戸籍情報システム
標準仕様書

日本加除出版株式会社

発行者　日本加除出版株式会社

戸籍標準仕様研究会
東京都豊島区南長崎 3-16-6
03-3953-5757

本標準仕様書は下記の各団体から派遣された研究員の調査研究により作成されたものです。

法務省民事局民事第一課

東京法務局

東京都新宿区

東京都大田区

東京都江戸川区

株式会社日立製作所

株式会社両毛システムズ

日本電気株式会社

富士ゼロックスシステムサービス株式会社

富士通株式会社

第 12 版までの発行者：財団法人民事法務協会

戸籍事務コンピュータ化調査研究会

第 13 版の発行者:日本加除出版株式会社

第 14 版の発行者:株式会社大和総研ビジネス・イノベーション

第 14.1 版～第 22 版の発行者：日本加除出版株式会社

標準仕様書の構成(目次)

第１　戸籍情報システムの範囲と標準仕様書について
　１　システムの範囲
　　(1)　システム開発の目的と方針
　　(2)　システム化と戸籍事務の流れ
　　(3)　システム化の範囲
２　標準仕様書の遵守について

第２　新事務処理(戸籍事務)の概要
　１　戸籍
　２　事務処理の体系
　３　戸籍の検索
　４　戸籍の証明
　５　受付ファイル
　６　受付ファイルの検索
　７　不受理申出ファイル
　８　個人状態ファイル
　９　届出処理
　10　審査結果入力処理
　11　訂正・更正・追完処理

第３　システム処理の導入・テスト編
　削除
　　(戸籍法，戸籍法施行規則，
　　コンピュータ化関係通達及び
　　その解説を参照)

第４　システム処理の運用編
　削除
　　(戸籍法，戸籍法施行規則，
　　コンピュータ化関係通達及び
　　その解説を参照)

第５　戸籍情報システムの詳細仕様
　１　新業務処理手順図
　２　システムの機能体系図
　３　オンライン処理の流れ図(詳細)
　４　バッチ処理の流れ図(詳細)
　５　「画面」関係仕様
　　(1)　画面設計書
　　(2)　画面項目一覧表
　６　「帳票」関係仕様
　　(1)　新帳票一覧表
　　(2)　帳票設計書
　　(3)　帳票項目一覧表
　７　「ファイル」関係仕様
　　(1)　ファイル一覧表
　　(2)　ファイル仕様書
　８　「コード」関係仕様
　　(1)　コード設計書
　　(2)　コード一覧表
　　(3)　メッセージ一覧表
　９　現行記載例/項目化後記載例一覧
　10　「システム処理」の概要説明
　　(1)　「業務選択」処理
　　(2)　「検索」処理
　　(3)　「届出選択」処理
　　(4)　「異動検索」処理
　　(5)　「審査」処理
　　1.出生届(含国籍留保)
　　2.認知届
　　3.養子縁組届
　　4.養子離縁届
　　5.特別養子縁組届
　　6.特別養子離縁届
　　7.戸籍法 73 条の 2 届
　　9.養子離縁届同時戸籍法 73 条の 2 届
　　9.婚姻届
　　10.離婚届
　　11.戸籍法 77 条の 2 届
　　12.離婚届同時戸籍法 77 条の 2 届
　　13.親権(管理権)届
　　14.後見届
　　15.保佐届
　　16.死亡届(含本籍分明)
　　17.失踪宣告届
　　18.復氏届
　　19.姻族関係終了届
　　20.推定相続人廃除届
　　21.入籍届
　　22.分籍届
　　23.国籍取得届
　　24.帰化届
　　25.国籍喪失届
　　26.国籍選択届
　　27.外国国籍喪失届
　　28.氏の変更届
　　29.戸籍法 107 条 2 項届
　　30.戸籍法 107 条 3 項届
　　31.戸籍法 107 条 4 項届
　　32.名の変更届
　　33.転籍届
　　34.就籍届
　　35.養子縁組取消届
　　36.戸籍法 69 条の 2 届
　　37.養子離縁取消届
　　38.婚姻取消届
　　39.戸籍法 75 条の 2 届
　　40.離婚取消届
　　41.失踪宣告取消届
　　42.推定相続人廃除取消届
　　(6)　「処分決定」処理
　　(7)　「仮戸籍表示」処理
　　(8)　「エラー履歴表示」処理
　　(9)　「移記事項入力」処理
　　(10)　「審査結果入力」処理
　　(11)　「訂正・更正・追完」処理
　　(12)　「決裁用帳票出力」処理
　　(13)　「決裁」処理
　　(14)　「証明書発行」処理
　　(15)　「各種ファイル更新」処理
　　(16)　「受領番号確保」処理
　　(17)　「帳票出力」処理
　　(18)　「統計」処理
　　(19)　「関連業務」処理
　　(20)　「一括」処理

第６　戸籍システムと関連事務の処理概要
１　はじめに
２　記載事務
(1)　死産届書
(2)　附票事務及び住民基本台帳法９条２項関係
３　証明事務
(1)　死体埋火葬許可証
(2)　身分証明書
(3)　相続税法58条通知
４　人口動態調査事務
５　民刑事務

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編
１　「システム処理」の要件定義について
(1)　要件定義書の作成方法
(2)　要件定義書の共通仕様について
２　要件定義書
(1)　「業務選択」処理
(2)　「検索」処理
(3)　「届出選択」処理
(4)　「異動検索」処理
(5)　「審査」処理
1.出生届(含国籍留保)
2.認知届
3.養子縁組届
4.養子離縁届
5.特別養子縁組届
6.戸籍法73条の２届
7.養子離縁届同時戸籍法73条の２届
8.婚姻届
9.離婚届
10.戸籍法77条の２届
11.離婚届同時戸籍法77条の２届
12.親権(管理権)届
13.未成年者の後見届
14.保佐届
15.死亡届(含本籍分明)
16.失踪宣告届
17.復氏届
18.姻族関係終了届
19.推定相続人廃除届
20.入籍届
21.分籍届
22.国籍取得届
23.帰化届
24.国籍喪失届
25.国籍選択届
26.外国国籍喪失届
27.氏の変更届
28.戸籍法107条２項届
29.戸籍法107条３項届
30.戸籍法107条４項届
31.名の変更届
32.転籍届
33.就籍届
(6)　「処分決定」処理
(7)　「仮戸籍表示」処理
(8)　「エラー履歴表示」処理
(9)　「移記事項入力」処理
(10)　「決裁用帳票出力」処理
(11)　「決裁」処理
(12)　「証明書発行」処理
(13)　「各種ファイル更新」処理
(14)　「受領番号確保」処理
(15)　「帳票出力」処理
(16)　「統計」処理
(17)　「関連業務」処理
(18)　「一括」処理
(19)　「行政区画土地の名称」変更
(20)　「受付ファイル欠番」処理
(21)　「再製」処理
(22)　本人届出確認台帳管理
(23)　不受理処分整理簿管理
(24)　戸籍副本データ管理システム

３　その他関連資料
(1)　「民事行政審議会の答申について」
(2)　「セットアップ部会検討結果報告書」
(3)　「附票部会検討結果報告書」

第１　戸籍情報システムの範囲と標準仕様書について

（目　次）

１　システムの範囲

２　標準仕様書の遵守について

第１　戸籍情報システムの範囲と基準書について

１　システムの範囲

(1)システム開発の目的と方針

戸籍事務のコンピュータ処理に関する調査研究の５年間の成果である「平成元年度報告書」において指摘された現行戸籍事務の問題点とその対応への方途，及び「平成２年度報告書」における事務改善の要望事項とその解決策をふまえて，システム化の機能要件は把握され，かつシステム処理の方法についても構想化された。

概観的には，戸籍事務の『トータル的なシステム』を具体化するため，各自治体で一般的に利用されている「オフィス・コンピュータ」または「汎用コンピュータ」と「ワークステーション」,「端末装置」等のハードウェアを用いた，戸籍法規に準拠し即時処理とする『オンライン・リアルタイム方式』のコンピュータ組織を最大限に活用することが，本システムの大きな特長となる。

なお，システム開発の基本的な目的や狙いは，つぎのとおりに集約される。

第一に，行政サービスの向上を図ることである。

①届出事件の処理時間の大幅な短縮，及び謄抄本や受理証明書等の速やかな交付を可能にすること。

②また，支所あるいは出張所を持つ自治体では，端末装置の設置により本庁と同様のサービスを可能にすること。

第二に，情報の一元処理を可能にすることである。

①戸籍事務のみならず，附票，住民基本台帳，人口動態，相続税等の戸籍関連事務についても一元的に処理することにより，事務の大半を占める記載，転記の作業及び点検作業を極力合理化すること。

②さらに，この関連事務の処理時間を大幅に短縮すること。

第三に，事務処理の正確性等を確保することである。

①システムに届書の『審査機能』を付加することにより，審査事務の的確性を確保するとともに，自動的な戸籍の『記載機能』によって，戸籍の記載の迅速性とより正確性を確保すること。

②さらに，帳簿類のブックレス・ペーパーレス化によって，戸籍の編綴作業や見出しの記載作業を廃止し，戸籍管理業務を容易にすること。

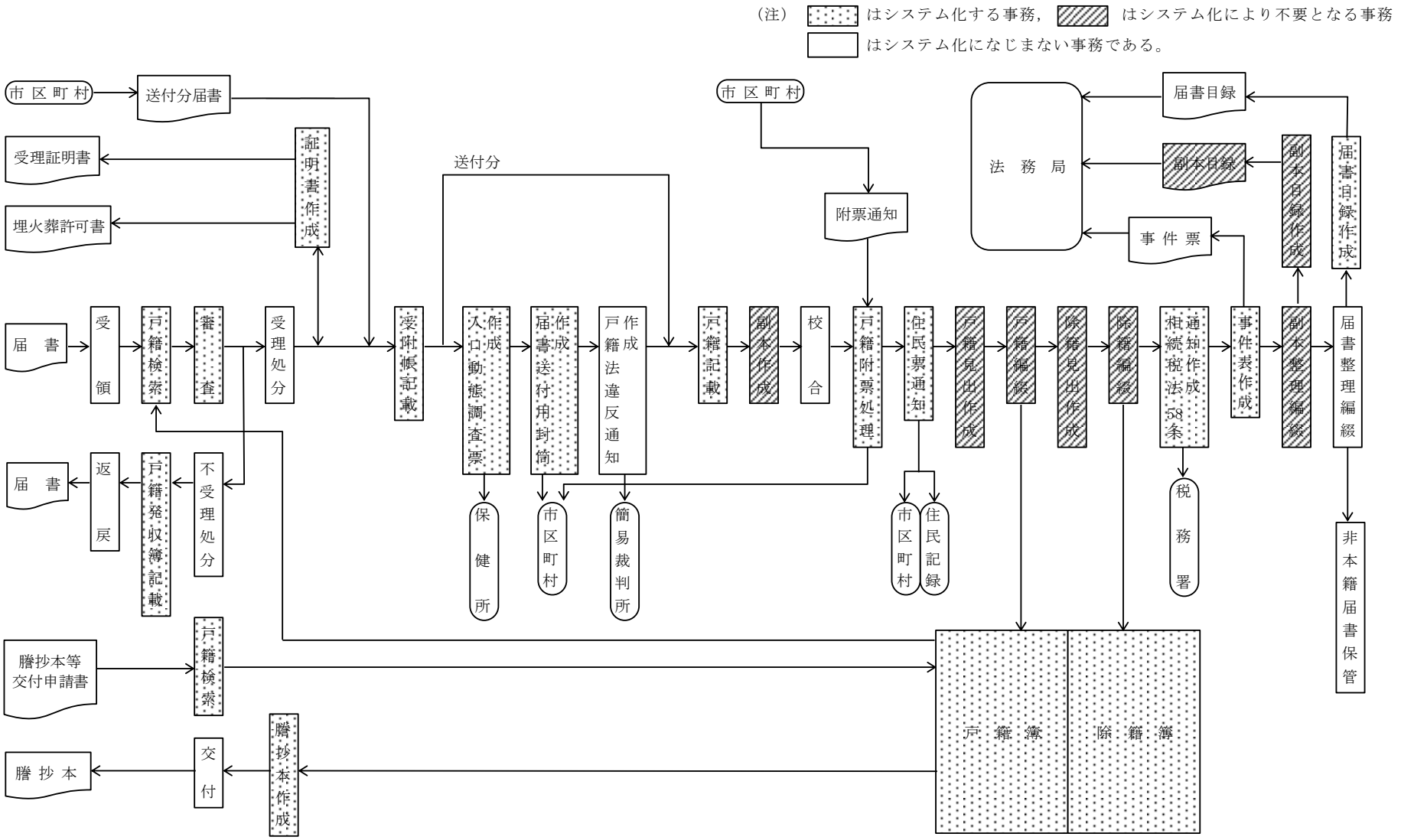
③戸籍の『即時検索機能』によって，検索時間の大幅な短縮を可能にすること。

④届書送付用の封筒作成や統計，報告事務などの戸籍周辺事務についてもシステム化することによって，事務処理の効率化と正確化を図ること。

このほか，①誤字　　の発生の防止，②執務環境の向上，及び③人的・物的面の『費用対効果』改善など，総合的な『事務改善』への波及効果の実現を可能にする。

(2)システム化と戸籍事務の流れ

現行事務の流れに基づき，システム化に伴い変更する事務は，次のとおりである。



(3) システム化の範囲

システム化する事務とその処理形態をオンライン，バッチ(含むオンライン・バッチ)及び手作業の区分にまとめたものである。なお，△は補助または補完のための機能である。

	事務	個別事務		オンライン処理	バッチ処理	手作業
1. 戸籍事務	1. 届出	1.届書受付(入力)		○		
		2.届書審査	一線式	○		△
			二線式	○		△
		3.出生届出済証明書				○
		4.関連市町村送付用封筒(宛名シール)等作成		△	○	
		5.戸籍法違反通知書		△		○
		6.受理(処理)伺い		△		○
		7.届書等逓送簿			△	○
		8.届書送付目録作成			○	
		9.不受理申出処理		○		△
		10.家裁事件通知書処理		△		○
		11.戸籍相談		△		○
		12.便宜訂正通知書発行				○
		13.便宜訂正通知書受領分処理		○		△
	2. 記載	1.戸籍記載		○		
		2.校合認印(決裁)		○		○
		3.戸籍訂正		○		○
		4.除籍の作成		○		
		5.送付用副本目録の作成			○	
	3. 証明	1.戸籍・除籍謄抄本の発行		○		
		2.記載事項証明の発行		○		○
		3.受理・不受理証明書の発行		○		○
		4.届書預り証明書		○		
		5.廃棄滅失証明書の発行				○
	4. その他統計	1.戸籍事件表、その他統計			○	○
		2.高齢者抽出処理			○	
		3.土地の名称・地番の変更処理			○	△

	事務	個別事務		オンライン処理	バッチ処理	手作業
2. 戸籍関連事務	1. 記載	1.死産届書		○		△
		2.附票処理 (住 19-1)		○		
		3.住民票記載事項通知(住 9-2)			○	
		4.戸籍照合通知 (住 19-2)				○
		5.本籍転属通知 (住 19-3)			○	
	2. 証明	1.死体埋火葬許可証の発行		○		○
		2.死胎埋火葬許可証の発行		○		○
		3.死体火葬許可交付証明書の発行				○
		4.死胎火葬許可交付証明書の発行				○
		5.改葬許可証の発行				○
		6.不在籍証明の発行				○
		7.身分証明書の発行		○		
		8.要件具備証明書の発行				○
		9.相続税法第 58 条通知			○	
	3. 人口動態	1.人口動態調査票の作成		△	○	
		2.人口動態調査送付票の作成		△	○	
	4. 民刑事務	1.民刑通知及び民刑関係収受簿				○
		2.既決犯罪人名簿				○
		3.禁治産者・準禁治産者・破産者名簿				○
		4 見出し	1.既決犯罪人名簿 見出し・目録の作成			○
			2.禁治産者・準禁治産者・破産者名簿見出し・目録の作成			○
		5 照会証明	1.身上照会	○		○
			2.身分調書回答			○
			3.公職選挙法第 11 条通知		△	○
			4.民刑事項異動通知		△	○
		6.統計				○

2　基準書（標準仕様書）の遵守について

戸籍を磁気媒体化し，かつ事務処理をシステム化した場合，コンピュータ・システムそのものが戸籍の機能を有し，事務処理方法を具現化することになる。しかも，戸籍事務が全国統一的にシステム処理として実施され，適正に運用されなければならない。

さらに，今後の戸籍情報システムの評価や認容の基準と方法，及び法改正に伴うシステムの変更方法と即応できる体制等を確立し，制度化する必要性が求められている。

したがって，これらの制度・条件を基本的に保障するため，全国斜に統一し標準化する仕様に係わる次の事項は，原則的に遵守されるべきこととする。

①データベース及び各種ファイルのデータ項目と検索キー

②入出力帳票の様式と出力形態

③オンラインの画面展開

④画面の表示項目（エラーメッセージ等を含む）

⑤入出力するデータ項目

⑥コード化された項目

⑦「要件定義書」等の処理ロジック等について

・入力チェック，審査チェック，記載項目の編集，エラー処理，戸籍 DB のロック

・データベース及び各種ファイルの更新処理

なお，詳細な部分において，メーカー又は各市区町村に一任する事項は，各ドキュメントに個々記述されている。

第２　新事務処理(戸籍事務)の概要

（目　次）

1　戸籍

2　事務処理の体系

3　戸籍の検索

4　戸籍の証明

5　受付ファイル

6　受付ファイルの検索

7　不受理申出ファイル

8　個人状態ファイル

9　届書処理

10　審査結果入力処理

11　戸籍訂正・更正・追完届処理

第 2　新事務処理(戸籍事務)の概要

1　戸籍

システムの戸籍は,戸籍特定ファイル･戸籍事項ファイル･氏名ファイル･個人特定ファイル･身分事項ファイルの計 5 つのファイルで構成されるデータ･ベースである。おのおのファイルに記録すべき戸籍情報の概要を以下に説明する。

(1) 戸籍特定ファイル

戸籍特定ファイルは,戸籍法第 9 条に定める「戸籍の表示」と戸籍データ･ベースを管理するための情報を記録するファイルである。戸籍特定ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

戸籍番号	編製年月日	改製年月日	回復年月日	消除年月日	

	本籍	筆頭者	記載者数	在籍者数	除籍者数	戸籍除区分	

	戸籍異動区分

「本籍」･「筆頭者」は,戸籍法施行規則第 3 条に定める「戸籍の編綴順序」と同法第 6 条に定める「見出帳」と相まって戸籍を検索するためのキー情報となっている。そこでシステムでも戸籍データベースを検索するためのキー項目とした。「本籍」･「筆頭者」は,行政区画の変更･土地の名称変更･管内転籍届･氏の変更届などがあったときには上書きし,従前の情報は戸籍事項として戸籍事項ファイルに記録する。

現行の戸籍制度で戸籍事項に記載すべき「編製年月日」･「改製年月日」･「回復年月日」･「消除年月日」を記録しているが,これらは「戸籍番号」･「戸籍除区分」･「戸籍異動区分」と同様にシステムが戸籍データ･ベースを管理するための情報である。戸籍事項欄に記載すべき「編製年月日」や「改製年月日」は次の(2)で述べる戸籍事項ファイルの戸籍事項項目として記録する。また「記載者数」･「在籍者数」･「除籍者数」は戸籍データ･ベースの情報を検索したときに画面に出力され,検索した戸籍の状況を知るうえでの補助となる情報で

ある。

(2) 戸籍事項ファイル

戸籍法施行規則 34 条･37 条･40 条･42 条に定める｢戸籍事項欄に記載すべき事項｣を記録するファイルである。戸籍事項ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

戸籍番号	事件コード	事件発生年月日	戸籍事項項目

氏の変更届や管内転籍届など現行の戸籍事項欄に記載すべき届出があるたびにそれぞれの事項を追加して記録する。戸籍の証明書および画面への出力は記録の順序による。すなわち現行の戸籍事項欄の記載順序と同じである。

｢戸籍番号｣と｢事件発生年月日｣はシステムが戸籍データ･ベースを管理するためのものである。

(3) 氏名ファイル

戸籍法第 13 条に定める｢戸籍の記載事項｣のうちの｢氏名｣を記録するファイルである。現行の戸籍制度では氏は筆頭者氏名欄にのみ記載し,名欄には｢名｣だけを記載しているが,氏名ファイルには｢氏｣と｢名｣両方を記録する｡氏名ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	カナ氏名	漢字氏名

｢カナ氏名｣･｢漢字氏名｣ともに戸籍データ･ベースを検索するためのキー項目である。カナ氏名は戸籍の検索の効率性を確保するために設けたものである。現行の戸籍制度では原則として氏名にふりがなを記載しないが,この理由からシステムの戸籍ではカナ氏名と漢字氏名を記録する｡ただし｢カナ氏名｣は,戸籍としての記録すべき情報でないことに変わりはない。したがって各種証明書には出力しない。また,名の変更･氏の変更があった者を旧氏名でも検索できるように変更前の｢カナ氏名｣･｢漢字氏名｣も履歴として記

録する。

(4) 個人特定ファイル

戸籍法第 13 条に定める「出生の年月日」・「実父の氏名」・「実母の氏名」・「実父母との続柄」・「養父の氏名」・「養母の氏名」・「養父母との続柄」・「夫である旨」・「妻である旨」を記録するファイルである。個人特定ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	戸籍番号	入籍年月日	除籍年月日	性別	生年月日	

	筆頭者区分	配偶者区分	父の氏名	母の氏名	父母との続柄	

	養父の氏名	養母の氏名	養父母との続柄	前個人番号	個人除区分

生年月日は氏名ファイルの「カナ氏名」と同様に戸籍を検索するときの効率性を図るために検索キー項目とした。

個人特定ファイルに記録されている情報に訂正・更正・変更などが生じたときには上書きし,それに応じた身分事項を身分事項ファイルに記録する。従前の情報はその身分事項のなかに従前の記録として記録する。

「個人番号」・「戸籍番号」・「入籍年月日」・「除籍年月日」・「性別」・「生年月日」「筆頭者区分」・「前個人番号」はシステムが戸籍データ・ベースを管理するためのものであり,戸籍としての記録情報ではない。

(5) 身分事項ファイル

戸籍法第 13 条及び戸籍法施行規則第 30 条・35 条・36 条・第 39 条・第 40 条に定める「身分事項に記載すべ記事項」を記録するファイルである。身分事項ファイルに記録する情報の概要は次のとおりである。

個人番号	事件コード	事件発生年月日	身分事項項目

戸籍の届出を受理したときには,その届出事件に応じた身分事項を追加して記録する。戸籍の証明および画面への出力は記録の順序による。すなわち現行の身分事項の記載順序と同じである。

「個人番号」・「事件発生年月日」はシステムが戸籍データ・ベースを管理するためのものであり,戸籍としての記録情報ではない。したがって戸籍の証明書には出力しない。

(6) 戸籍の編製

戸籍法は,第6条に「戸籍は,市町村の区域内に本籍を定める1の夫婦及びこれと氏を同じくする子ごとに,これを編製する。ただし,日本人でない者(以下「外国人という。)と婚姻した者又は配偶者がいない者について新たに戸籍を編製するときは,その者及びこれと氏を同じくする子ごとに,これを編製する。」と戸籍の編製基準を定めている。

システムにおいてもこの編製基準に基づいて戸籍を編製するものとした。

(7) 氏名の記載順序

戸籍法第 14 条は氏名の記載順序を次のように定めている。

「氏名を記載するには次(原文は『左』)の順序による。

第 1 夫婦が,夫の氏を称するときは夫,妻の氏を称するときは妻

第 2 配偶者

第 3 子

② 子の間では,出生の順序による。

③ 戸籍を編製した後にその戸籍に入るべき原因が生じた者については,戸籍の末尾にこれを記載する。」

システムでも戸籍の証明を出力したり,戸籍データ・ベースの記録情報を画面に出力するときはこの順序にしたがう。

(8) 戸籍の記載文字

戸籍法施行規則第 31 条は「戸籍の記載をするには,略字又は符合を用いず,字画を明らかにしなければならない。②年月日を記載するには、壱,弐,参,拾の文字をもちいなければならない。」と定めている。

また子の名に用いることのできる文字として戸籍法第 50 条は「子の名には常用平易な文字を用いなければならない。②常用平易な文字の範囲は,命令でこれを定める。」とし,常用平易な文字の範囲として戸籍法施行規則第 60 条に「戸籍法第 50 条第 2 項の常用平易な文字は,次に掲げるものとする。1　昭和 56 年内閣告示第 1 号常用漢字表に掲げる漢字(括弧書きが添えられているものについては,括弧の外のものに限る。)2　別表第 2 に掲げる漢字　3　片仮名又は平仮名(変体仮名を除く。)」と定めている。

さらに外国人については,本人が本国において氏名を漢字で表記する者である場合には正しい日本文字としての漢字を用いるときに限って,氏･名の順序により漢字で記載してさしつかえない(昭和 56 年 9 月 14 日民二 5537 号通達･昭和 59 年 11 月 1 日民二第 5500 号通達)。としている。このことからシステムで戸籍の証明を出力する場合に次の 2 つの問題点をあげることができる。

まず第 1 に,戸籍法施行規則第 31 条の「字画の明らか」についての問題がある。コンピュータでは対応する漢字の文字フォントを作成して画面やプリンターで出力することになる。漢字をデザインした文字フォントの形状は,極論すると作成者の個性があらわれている。そうすると各メーカーのフォントについては戸籍の文字として使用に耐えられるか検証する必要がある。検証方法については導入編による。

なお,「年月日を記載するには,壱,弐,参,拾の文字をもちいなければならない。」と定めているが,戸籍法施行規則第 73 条第 5 項に従い,戸籍の証明ではアラビア数字(算用数字)を用いて出力する。

第 2 は,子の名に用いることのできる文字の問題である。現在では上記の戸籍法及び戸籍法施行規則により使用できる文字の範囲が明確になっているが,昭和 23 年に戸籍法が制定される前は特に制限がなかった。したがって,システムで扱わなければならない戸籍の文字は制限がないというのが現状である。

コンピュータで使用することのできる文字は,メーカーにより若干の違いはあるが,概ね 1 万 5000 文字程度である。コンピュータ文字は,2 バイト構成文字といい,1 バイトは 8 ビットであるから単純計算をすると 2 の 16 乗で 131,072 文字の種類を表すことができ

るはずである。しかし,実際はハード･ウェア及びソフト･ウァアの制約から 1 万 5000 文字程度になっている。

現在一般的にメーカーで用意している文字は,JIS 第 1 水準 2965 文字,JIS 第 2 水準 3390 文字の合計 6355 文字とメーカー独自で調査した使用頻度の高い文字を合わせて,8000 文字程度である。残りは約 7000 文字となるが,その他にアルファベットや記号,各自治体独自で既に追加しているユーザーの漢字がある。したがって,新たに文字を加えることはできないといってよい。

そこで昭和 61 年度の「戸籍コンピュータ化調査研究会」では,この問題について特に重点的に調査研究が行われたところである。このときの調査研究報告書は甲市を例に実態調査を行っている。甲市の戸籍数 45,540 戸籍,戸籍人口 138,540 人であり,JIS 規格以外の文字の種類は 3,061 文字使用されていた。このことから甲市と同程度の規模の戸籍数及び戸籍人口であれば現在のシステムでもコンピュータ化は可能であるとした。しかし,一方では JIS 規格以外の文字の使用数は戸籍数,戸籍人口,地域の特性等があるのでこの調査結果から一概に可能であるとは言うことができないと結論付けている。

平成 4 年度「戸籍事務コンピュータ化調査研究会」ではこの問題について具体的に解決策を講じるべくセット･アップ分科会の検討項目に設定した。その結果,参加している多数のメーカーから「フォントの作成やコンピュータへの登録に時間を要するので即時には無理であるが,戸籍の記載に必要な全ての漢字について対応することが可能である。」との回答を得た(詳細はセット･アップ分科会報告書参照)。これを受けて文字の問題は,コンピュータにない文字ができるまでの間の戸籍の取り扱いをどのようにするか,作成した文字の管理をいかにするか,という 2 つの問題になった。

それでコンピュータに用意していない漢字を使用する届出があったときは,次の処理で対応するものとする。届出の受理,不受理の決定を行うだけで戸籍の記載はしない。戸籍を直ちに記載することができない旨を届出人に伝え,受理証明書の請求があるときは手書きで対応するものとする。その後文字を作成し,コンピュータに登録したら届書の情報を入力する。

つまり戸籍データ･ベースは情報が完全な状態でなければ更新してはならないということであり,便宜的に,その文字をブランクや記号に置き換えて戸籍データ･ベース更新して,取り敢えずその文字を手書きで埋めることによって証明書を交付し,後に文字を作成･登録した段階で整合性をつけるような行為はしてはならないということである。

外字の管理については外字の対応がメーカーによって異なるので,システムを導入する自治体とシステムを提供するメーカーとの間の問題となる。したがって,文字の作成経費の負担と速やかな事務処理の方法と合わせて充分協議することになる。

なお,誤字・俗字の取り扱いについては「平成 2 年 10 月 20 日法務省民二第 5200 号民事局長通達」,「平成 2 年 10 月 20 日法務省民二第 5202 号民事局第二課長依命通知」及び「平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7005 号民事局長通達」「平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7006 号民事局第二課長依命通知」が適用される。

(9) 文末認印について

戸籍法施行規則第 32 条第 1 項に「戸籍の記載をするごとに,市町村長は,その文の末尾に認印を押さなければならない。」と,また第 2 項では「市町村長の職務を代理する者が,戸籍の記載をするときは,その文末に代理資格を記載して,認印をおさなければならない。」と定めている。戸籍の記載の文末に認印を押す意味は 2 つある。一つは記載への加筆防止であり,もう一つは記載した者の責任の所在を明らかにすることにある。

システムでは戸籍事項および身分事項が記録されるごとにそれぞれの事項に 4 桁の管掌者コード(戸籍法施行規則第 77 条における「識別番号」に相当)を記録することにより文末認印にかわるものとした。コードは 4 桁で,上 2 桁がシステムを導入してからの歴代管掌者ごとの通し番号で表し,管掌者が選挙で選出されるごとに 1 を加える。下 2 桁は管掌者と代理資格を表す。01 が区長,02 が助役,03 が吏員とするようにした。なお,市町村によっては第 2 助役をおいている場合もあるので,市町村で明確に意味付けを行ない,割り当てなければならない。

なお,システムでは戸籍データ・ベースの改ざん防止策として次のような処置を講じている。

戸籍データ・ベースの更新はパスワードを持った決裁(校合)担当者のみ行なうことができる。

② 戸籍データ・ベースに記録されている情報は任意に変更できない。情報を変えようとする場合は訂正事項,更正事項等の戸籍事項または身分事項を記録しなければならない。

③ 受付ファイル(詳細は受付ファイルの項参照)を作成しないで記録情報の追加・変更・訂正を行なうことはできない。また受付ファイルは決裁(校合)担当者が戸籍データ・

ベースを更新するときに必ず見なければならない。

(10)記載すべき欄と記載方法(記載例の項目化)

戸籍法施行規則第 33 条は戸籍の記載すべき欄及び記載方法について定めている。記載すべき欄については戸籍データ･ベースを構成する各ファイルの項で既に述べた。ここでは記載方法に対する記録方法,さらに戸籍の証明書と画面への出力について述べる。なお説明の内容を具体的にするために父母婚姻中の嫡出子の出生届出を例にとってのべる。

届書の記載事項については戸籍法第 29 条(届書の記載事項通則)･戸籍法第 30 条(特別の記載事項)で定めている。これによると出生届書記載事項は次のようになる。

出生届出書記載事項

届出書記載項目	具体的記載事項例
①届出事件名	出生届
②届出年月日	平成 4 年 1 月 14 日
③子の氏名	甲野啓太郎
④父母との続柄	長男
⑤生まれたとき	平成 4 年 1 月 10 日
⑥生まれたところ	東京都千代田区平河町一丁目 1 番地
⑦住所	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑧父の氏名	甲野義太郎
⑨父の生年月日	昭和 40 年 6 月 21 日
⑩母の氏名	甲野梅子
⑪母の生年月日	昭和 41 年 1 月 8 日
⑫本籍	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑬筆頭者の氏名	甲野義太郎
⑭届出人の資格	父
⑮届出人の生年月日	昭和 40 年 6 月 21 日
⑯届出人の住所	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑰届出人の本籍	東京都千代田区平河町一丁目 10 番地
⑱届出人の筆頭者の氏名	甲野義太郎

現行の戸籍制度では出生届書に基づいて戸籍を記載する場合には,戸籍法施行規則第33条に定める附録第7号記載例に従い文章の形式に引き直して記載している。しかし,システムの戸籍では届書の記載事項をそのままデータ項目として記録することにした。それは,システムによる届書の審査と戸籍の自動記録をできうる限り実現しようとしたところにある。以下現行の戸籍と戸籍データ・ベースとを比較しながら説明する。なお丸番号は上記の届書記載項目の番号を表す。

ア　入籍すべき戸籍の特定

「⑫本籍」と「⑬筆頭者の氏名」は出生子が入籍する戸籍の表示である。戸籍を検索して入籍戸籍を特定するうえで必要な届書記載事項である。

現行の戸籍でも戸籍データ・ベースでもこの情報の取扱いは同じである。

イ　子の氏名等の記載または記録

現行の戸籍では「①子の氏名」は名欄に,「⑧父の氏名」は父欄に,「⑩母の氏名」は母欄に,「④父母との続柄」は父母との続柄欄にそれぞれ記載する。

戸籍データ・ベースでは「①子の氏名」は氏名ファイルに,「⑧父の氏名」・「⑩母の氏名」・「④父母との続柄」は個人特定ファイルの当該記録域に記録する。

ウ　身分事項の記載または記録(附録第7号の記載例1に該当する届出とする)

現行の戸籍での身分事項の記載は次のとおりである。

「⑤平成四年壱月拾日⑥東京都千代田区で①出生②同月拾四日⑭父届出入籍㊞」

戸籍データ・ベースでは身分事項ファイルに記録する。身分事項ファイルの定められた記録域に次のように記録される。

①事件名	⑤出生年月日	⑥出生地	②届出年月日	
出生	平成 4 年 1 月 10 日	東京都千代田区	平成 4 年 1 月 14 日	

	管掌者コード
	管掌者コード

エ　戸籍データ･ベースの記録情報の出力

戸籍データ･ベースの記録情報を戸籍の証明書(画面)に出力する場合には次のようになる。

【出生日】平成 4 年 1 月 10 日

【出生地】東京都千代田区

【届出日】平成 4 年 1 月 14 日

【届出人】父

(11)戸籍の証明のひな形

戸籍データ･ベースに記録した情報の出力方法を戸籍法施行規則に定める戸籍の記載のひな形を例に示せば次のとおりである。

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の1）　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製 転　　籍	【編製日】平成４年１月１０日 【転籍日】平成５年３月６日 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地
戸籍に記録されている者	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日【配偶者区分】夫 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
身分事項 出　　生	【出生日】昭和４０年６月２１日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】昭和４０年６月２５日 【届出人】父
婚　　姻	【婚姻日】平成４年１月１０日 【配偶者氏名】乙野梅子 【従前戸籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地　甲野幸雄
養子縁組	【縁組日】平成３３年１月１７日 【共同縁組者】妻 【養子氏名】乙川英助 【送付を受けた日】平成３３年１月２０日 【受理者】大阪市北区長
認　　知	【認知日】平成３５年１月７日 【認知した子の氏名】丙山信夫 【認知した子の戸籍】千葉市千葉町５番地　丙山竹子
戸籍に記録されている者	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日【配偶者区分】妻 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
出　　生	【出生日】昭和４１年１月８日 【出生地】京都市上京区 【届出日】昭和４１年１月１０日 【届出人】父

以下次頁

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の2）　全部事項証明

婚　姻	【婚姻日】平成4年1月10日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町18番地　乙野梅子
養子縁組	【縁組日】平成33年1月17日 【共同縁組者】夫 【養子氏名】乙川英助 【送付を受けた日】平成33年1月20日 【受理者】大阪市北区長
戸籍に記録されている者 除籍	【名】啓太郎 【生年月日】平成4年11月2日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
出　生	【出生日】平成4年11月2日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成4年11月10日 【届出人】父
推定相続人廃除	【推定相続人廃除の裁判確定日】平成32年3月16日 【被相続人】父　甲野義太郎 【届出日】平成32年3月20日 【届出人】父 【送付を受けた日】平成32年3月23日 【受理者】大阪市北区長
婚　姻	【婚姻日】平成33年3月6日 【配偶者氏名】丙野松子 【送付を受けた日】平成33年3月10日 【受理者】横浜市中区長 【新本籍】横浜市中区昭和町18番地 【称する氏】夫の氏
戸籍に記録されている者 除籍	【名】ゆり 【生年月日】平成6年2月15日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女
出　生	【出生日】平成6年2月15日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成6年2月19日 【届出人】父

以下次頁

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の3）　全部事項証明

特別養子縁組	【特別養子縁組の裁判確定日】平成１１年１０月7日 【届出日】平成１１年１０月１２日 【届出人】養父母 【送付を受けた日】平成１１年１０月１６日 【受理者】大阪市北区長 【新本籍】東京都千代田区平河町一丁目１０番地 【縁組後の氏】丙山
特別養子離縁	【特別養子離縁の裁判確定日】平成１８年１２月9日 【届出日】平成１８年１２月１５日 【届出人】父母 【新本籍】大阪市北区老松町二丁目６番地 【離縁後の氏】甲野
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】みち 【生年月日】平成9年7月9日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二女
出　生	【出生日】平成9年7月9日 【出生地】千葉市 【届出日】平成9年7月１３日 【届出人】父 【送付を受けた日】平成9年7月１５日 【受理者】千葉市長
婚　姻	【婚姻日】平成２８年１０月3日 【配偶者氏名】乙原信吉 【入籍戸籍】東京都千代田区平河町一丁目８番地　乙原信吉
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】英子 【生年月日】昭和６２年3月１７日 【父】 【母】甲野梅子 【続柄】女
出　生	【出生日】昭和６２年3月１７日 【出生地】横浜市中区 【届出日】昭和６２年3月１８日 【届出人】母 【送付を受けた日】昭和６２年3月２０日 【受理者】横浜市中区長

以下次頁

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の4）　全部事項証明

入　籍	【届出日】平成１４年３月２０日 【入籍事由】母の氏を称する入籍 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野梅子
養子縁組	【縁組日】平成１６年４月１２日 【養父氏名】乙野忠治 【養母氏名】乙野春子 【送付を受けた日】平成１６年４月１６日 【受理者】京都市上京区長 【入籍戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野忠治
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】芳次郎 【生年月日】平成１６年１月６日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二男
出　生	【出生日】平成１６年１月６日 【出生地】千葉市 【届出日】平成１６年１月１７日 【届出人】母 【送付を受けた日】平成１６年１月２０日 【受理者】千葉市長
死　亡	【死亡日】平成２４年１２月１３日 【死亡時分】午後８時３０分 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成２４年１２月１５日 【届出人】親族　甲野義太郎
戸籍に記録されている者	【名】英助 【生年月日】平成２４年５月１日 【父】乙川孝助 【母】乙川冬子 【続柄】二男 【養父】甲野義太郎 【養母】甲野梅子 【続柄】養子
出　生	【出生日】平成２４年５月１日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成２４年５月６日 【届出人】父

以下次頁

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の5）　全部事項証明

養子縁組	【縁組日】平成３３年１月１７日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子 【代諾者】親権者父母 【送付を受けた日】平成３３年１月２０日 【受理者】大阪市北区長 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町２０番地　乙川孝助
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】みち 【生年月日】平成9年7月9日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】二女
離　婚	【離婚日】平成３３年７月５日 【配偶者氏名】乙原信吉 【送付を受けた日】平成３３年７月７日 【受理者】横浜市中区長 【従前本籍】横浜市中区本町一丁目８番地　乙原信吉
分　籍	【分籍日】平成３３年８月２日 【新本籍】東京都中央区日本橋室町一丁目１番地
戸籍に記録されている者	【名】信夫 【生年月日】平成３４年６月１日 【父】甲野義太郎 【母】丙山竹子 【続柄】男
出　生	【出生日】平成３４年６月１日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成３４年６月３日 【届出人】母 【送付を受けた日】平成３４年６月１０日 【受理者】東京都千代田区長
認　知	【認知日】平成３５年１月７日 【認知者氏名】甲野義太郎 【送付を受けた日】平成３５年１月１０日 【受理者】東京都千代田区長
入　籍	【届出日】平成３５年１月１５日 【入籍事由】父の氏を称する入籍 【届出人】親権者母 【従前戸籍】千葉市千葉町５番地　丙山竹子

以下次頁

附録第六号様式　　戸籍の記載のひな形（第33条関係）

（6の6）　全部事項証明

親　権	【親権を定めた日】平成３５年１月２０日 【親権者】父 【届出人】父母
戸籍に記録されている者	【名】啓二郎 【生年月日】平成３０年４月３日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】三男
出　生 民法８１７の２	【出生日】平成３０年４月３日 【出生地】名古屋市中区 【届出日】平成３０年４月７日 【届出人】母 【民法８１７の２による裁判確定日】平成３５年２月１２日 【届出日】平成３５年２月１５日 【届出人】父母 【従前戸籍】名古屋市中区三の丸四丁目３番　甲野啓二郎
	以下余白

附録第八号様式　　戸籍の消除(第 42 条関係)　　第一　全部の消除

除　　籍	(1の1) 全部事項証明
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町二丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	略
戸籍消除	【消除日】平成４６年５月１１日
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
	略
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
死　　亡	略 【死亡日】平成４６年５月９日 【死亡時分】午後８時３０分 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成４６年５月１１日 【届出人】親族　甲野英助
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】ゆり 【生年月日】平成６年２月１５日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女
	略
	以下余白

附録第八号様式　　戸籍の消除(第42条関係)　　第二　一部の消除

(2の1)　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町二丁目１０番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	略
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男
死　　亡	略 【死亡日】平成１６年５月３日 【死亡時分】午前５時 【死亡地】東京都千代田区 【届出日】平成１６年５月５日 【届出人】同居者　丙原正作
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女
配偶者の死亡 復　　氏	略 【配偶者の死亡日】平成１６年５月３日 【婚姻前の氏に復した日】平成１７年５月８日 【送付を受けた日】平成１７年５月１２日 【受理者】京都市上京区長 【入籍戸籍】京都市上京区小山初音町１８番地　乙野忠治
戸籍に記録されている者	【名】ゆり 【生年月日】平成６年２月１５日 【父】甲野義太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長女

以下次頁

附録第八号様式　　戸籍の消除(第 42 条関係)　　第二　一部の消除

(2の2)　全部事項証明

親　　権	略 【親権喪失宣告取消の裁判確定日】平成１４年５月３日 【親権喪失取消者】父 【届出日】平成１４年５月９日 【届出人】親族　乙原清吉 【従前の記録】 【親権喪失宣告の裁判確定日】平成１２年９月１２日 【親権喪失者】父 【届出日】平成１２年９月１７日 【届出人】親権者母
	以下余白

附録第九号様式　　戸籍の訂正(第 44 条関係)　　第一　全部の訂正

除　　籍	(2の1) 全部事項証明
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目3番地 甲原　義太郎
戸籍事項欄 戸籍編製	略
戸籍消除	【消除日】平成１０年１２月８日
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】義太郎 【生年月日】昭和４０年６月２１日【配偶者区分】夫 【父】甲野幸雄 【母】甲野松子 【続柄】長男 【養父】甲原忠太郎 【養母】甲原杉子 【続柄】養子
消　　除	略
	【消除日】平成１０年１２月８日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養父甲原忠太郎養母甲原杉子との養子縁組無効の裁判確定 【裁判確定日】平成１０年１２月４日 【申請日】平成１０年１２月８日 【申請人】養父　甲原忠太郎 養母　甲原杉子 【従前の記録】 【縁組日】・・・・・・・ 【養父氏名】・・・・・ 【養母氏名】・・・・ 【従前戸籍】・・・・・・・・・・・・・・・
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】梅子 【生年月日】昭和４１年１月８日【配偶者区分】妻 【父】乙野忠治 【母】乙野春子 【続柄】長女 【養父】甲原忠太郎 【養母】甲原杉子 【続柄】養女
	略

以下次頁

附録第九号様式　　戸籍の訂正(第 44 条関係)　　第一　全部の訂正

除　　籍	(2の2) 全部事項証明
消　　除	【消除日】平成１０年１２月８日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養父甲原忠太郎養母甲原杉子との養子縁組無効の裁判確定 【裁判確定日】平成１０年１２月４日 【申請日】平成１０年１２月８日 【申請人】養父　甲原忠太郎 養母　甲原杉子 【従前の記録】 【縁組日】・・・・・・・ 【養父氏名】・・・・・ 【養母氏名】・・・・ 【従前戸籍】・・・・・・・・・・・・・・・
	以下余白

附録第九号様式　　戸籍の訂正(第44条関係)　　第二　一部の訂正

(2の1)　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都中央区日本橋室町一丁目１番地 若佐　鉄吉
戸籍事項 戸籍編製	略
氏の変更	【氏変更日】平成９年１０月１７日 【氏変更の種別】戸籍法１０７条１項の届出 【従前の記録】 【氏】我謝
戸籍に記録されている者	【名】鉄吉 【生年月日】昭和４０年６月２１日 【父】我謝幸雄 【母】我謝松子 【続柄】長男
消　　除	略 【消除日】平成９年９月１０日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】妻桃子との婚姻無効の裁判確定 【裁判確定日】平成９年９月４日 【申請日】平成９年９月１０日 【申請人】妻 【従前の記録】 【婚姻日】平成９年３月８日 【配偶者氏名】丙原桃子
名の変更	【名の変更日】平成１０年１１月４日 【従前の記録】 【名】銕吉
戸籍に記録されている者	【名】啓太郎 【生年月日】平成４年１１月２日 【父】我謝銕吉 【母】我謝梅子 【続柄】長男
	略

以下次頁

附録第九号様式　　戸籍の訂正(第44条関係)　　第二　一部の訂正

(2の2)　全部事項証明

訂　　正	【訂正日】平成5年2月26日 【訂正事項】名 【訂正事由】戸籍訂正許可の裁判確定 【裁判確定日】平成5年2月20日 【申請日】平成5年2月26日 【申請人】父 【従前の記録】 【名】敬太
戸籍に記録されている者 除　籍	【名】桃子 【生年月日】昭和47年4月9日 【父】丙原信吉 【母】丙原夏子 【続柄】三女
	略
消　　除	【消除日】平成9年9月10日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】夫銕吉との婚姻無効の裁判確定 【裁判確定日】平成9年9月4日 【申請日】平成9年9月10日 【従前の記録】 【婚姻日】平成9年3月8日 【配偶者氏名】我謝銕吉 【従前戸籍】東京都千代田区神保町二丁目10番地　丙原信吉
	以下余白

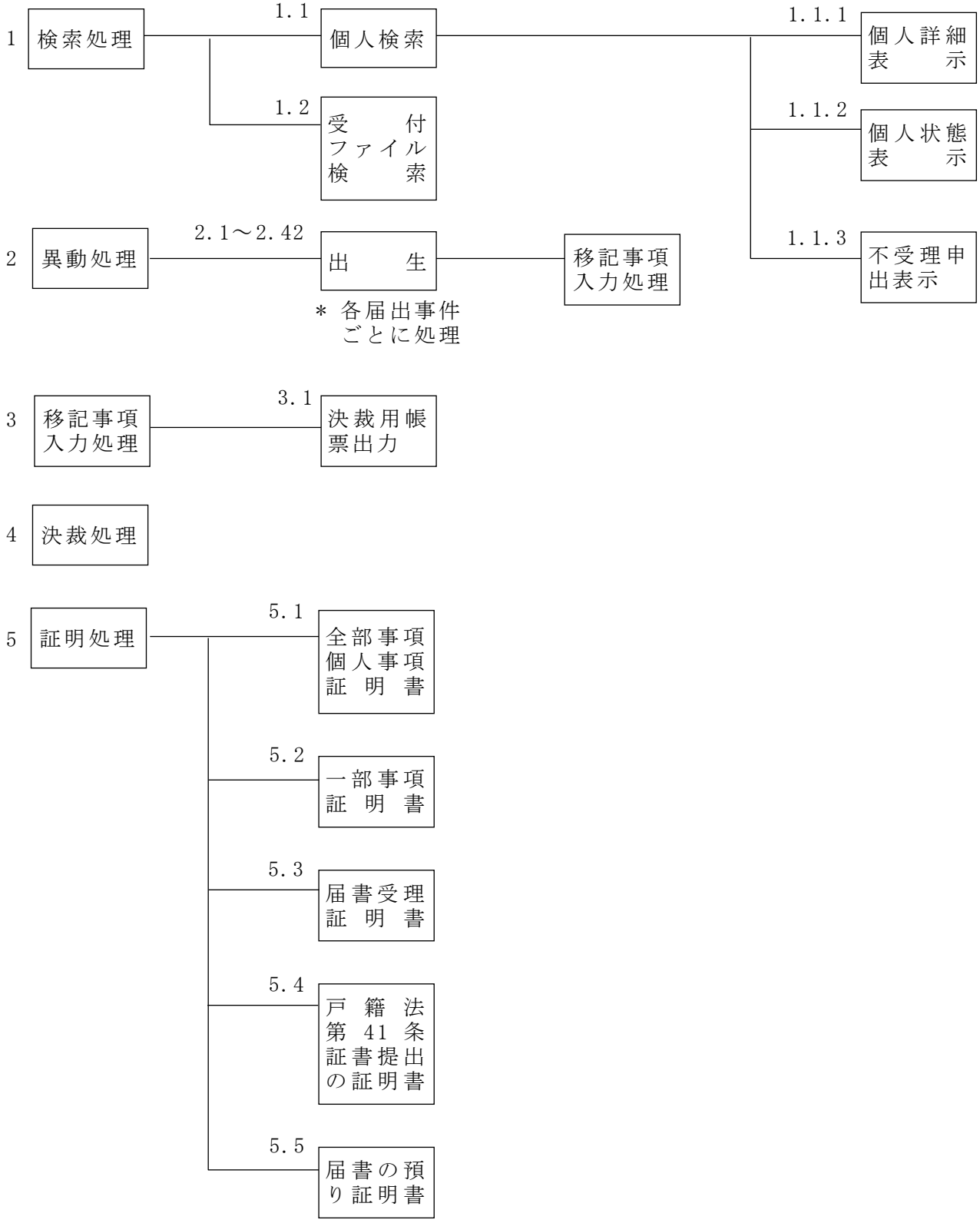
附録第十号様式　　本籍の更正(第 46 条関係)

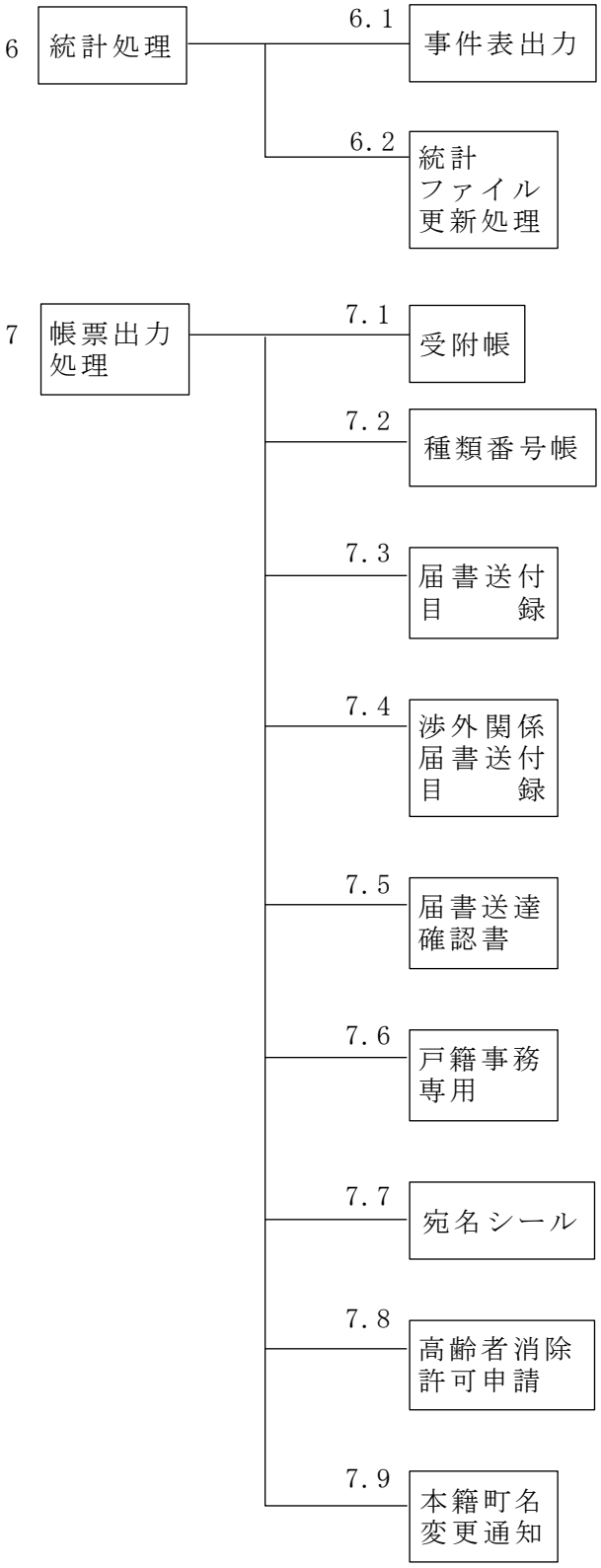
（1の1）　全部事項証明

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 甲野　廣造
戸籍事項欄 戸籍編製	略
更　　正	【更正日】平成　年　月　日 【更正事由】平成　年　月　日地番号変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目４番地
戸籍に記録されている者	【名】廣造 【生年月日】大正１０年６月２１日 【父】甲野義太郎 【母】乙野梅子 【続柄】男
	略
	以下余白

2　事務処理の体系

戸籍システムには次の図に示す事務処理機能がある。




6
統計処理
6.1
事件表出力
6.2
統計
ファイル
更新処理
7
帳票出力
処理
7.1
受附帳
7.2
種類番号帳
7.3
届書送付
目　　録
7.4
渉外関係
届書送付
目　　録
7.5
届書送達
確認書
7.6
戸籍事務
専用
7.7
宛名シール
7.8
高齢者消除
許可申請
7.9
本籍町名
変更通知

3　戸籍の検索

(1) 戸籍簿の検索

戸籍簿の検索方法は,戸籍法施行規則第 3 条に定める「戸籍の編綴順序」により戸籍を綴り,戸籍法施行規則第 6 条に定める見出帳を調整することによって確立している。

戸籍法施行規則第 3 条(戸籍の編綴順序)

「戸籍は,市町村長が定める区域ごとに,本籍を表示する地番号もしくは街区符合の番号の順序に又はその区域に本籍を有する者の戸籍の筆頭に記載記載した者の氏の(あ)(い)(う)(え)(お)の順序に従ってつづるものとする。」

戸籍法施行規則第 6 条(見出帳・見出票)

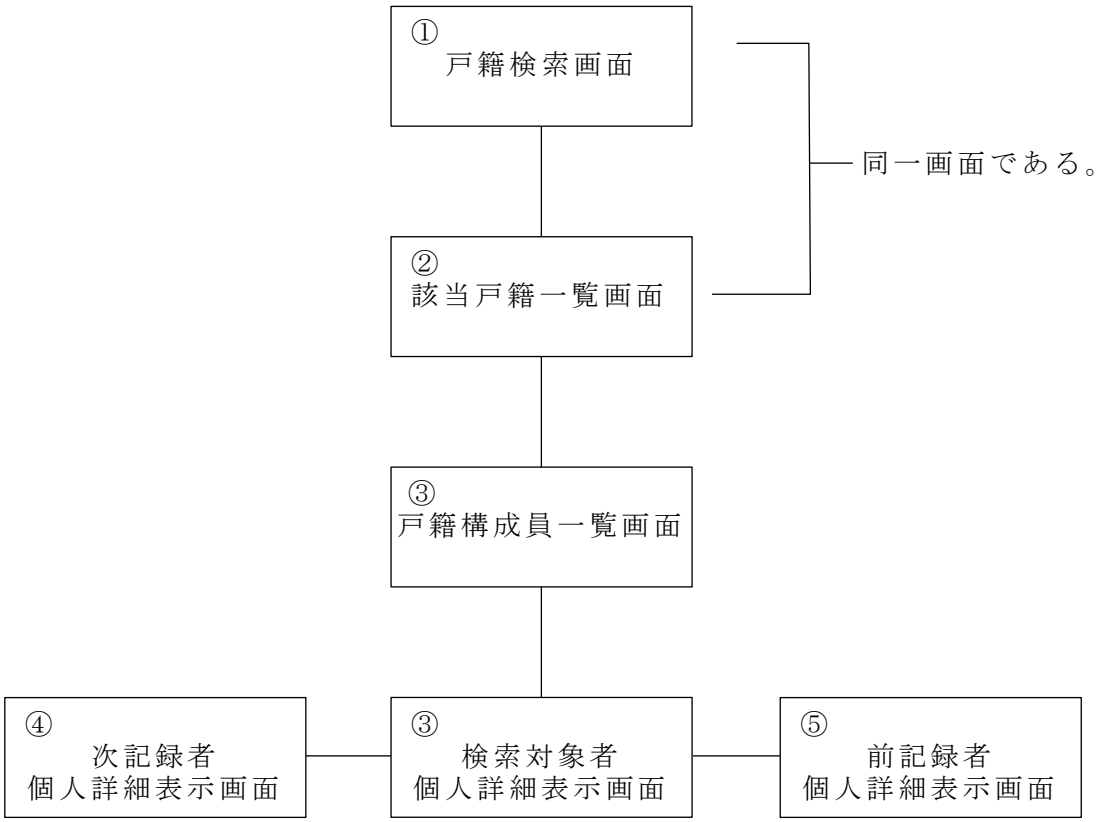
「市町村長は,附録第 3 号様式によって,戸籍簿及び除籍簿について各別に見出帳を調整し,これに戸籍の筆頭に記載者の氏の(い)(ろ)(は)順又は(あ)(い)(う)(え)(お)順に従い,その者の氏名,本籍その他の事項を記載しなければならない。②市町村長は,相当と認めるときは,附録第 4 号様式による見出票に前項の事項を記載し,これを同項に規定する順序に整序して,見出帳に代えることができる。」

(2) 戸籍データ・ベースの検索

戸籍又は除籍の検索項目は,本籍,氏名,仮名氏名,生年月日,筆頭者の氏名,戸籍の編製,戸籍の消除日,入籍日,除籍日及び戸籍又は除籍の別とし,かつ,これに限る。(平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7002 号民事局長通達)

本書では,本籍,漢字氏名,カナ氏名,生年月日,筆頭者(の漢字氏名)として,次項以降に画面展開等の説明を述べる。

(3) 戸籍検索の画面展開



個人詳細表示画面では検索対象者から同一戸籍構成員内で記録順位が,前の記録者の個人詳細表示,また次の記録者の個人詳細表示を検索できることにより戸籍への入籍順序がわかる(戸籍法第 14 条)。

検索対象から次の記録者の個人詳細を表示すれば,検索対象者が前の記載者になる。

同様に検索対象者から前の記録者の個人詳細を表示すれば,検索対象者が次の記録者になる。

(4) 戸籍検索画面

検索キーを入力する画面と,入力したキーに該当する者を表示する画面である。

画面ＩＤ	該当戸籍一覧	X99.99.99	99/99

検索	カナ氏名	N ―――― N(60) ―――― N
	漢字氏名	K ―――― K(30) ―――― K
	本　　籍	K ―――― K(30) ―――― K
	生年月日	X 99 99 99
	筆頭者	K ―――― K(30) ―――― K

No	本人氏名 ／ 筆頭者	生年月日	編製日	消除日	除籍日
99	K ―― K(14) ―― K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K ―― K(14) ―― K	K ―― K(21) ―『本籍地』- K			
99	K ―― K(14) ―― K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K ―― K(14) ―― K	K ―― K(21) ―― K			
99	K ―― K(14) ―― K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K ―― K(14) ―― K	K ―― K(21) ―― K			
99	K ―― K(14) ―― K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K ―― K(14) ―― K	K ―― K(21) ―― K			
99	K ―― K(14) ―― K	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99	X99.99.99
K	K ―― K(14) ―― K	K ―― K(21) ―― K			

該当番号 99

ＰＦガイダンス

K ―――― K(39) ―――― K

(4) 該当戸籍一覧画面(検索画面と同じ画面)

検索キーを入力して実行キーを押すと検索キーに該当する次の事項が表示される。

① 本人氏名

検索キーに該当する者の「氏名」を表示する(氏名ファイルから)。

② 筆頭者

検索キーに該当する者の「筆頭者」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 本籍

検索キーに該当する者の「本籍」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 生年月日

検索キーに該当する者の「生年月日」を表示する(個人特定ファイルから)。

⑤ 編製日

検索キーに該当する者が在籍する戸籍の「編製年月日」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ 戸籍消除年月日

検索キーに該当する者が在籍する戸籍の「消除年月日」を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑦ 除籍年月日

検索キーに該当する者が「除籍された年月日」を表示する(個人特定ファイルから)。

(5) 戸籍構成員一覧画面

画面ＩＤ　　戸籍構成員一覧　　X99.99.99　　99/99

（編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 （記載数） 99 （在籍数） 99

本　籍　K ――――――――――――――――K(30) ――――――――――――――――K

筆頭者　K ――――――――――――――――K(30) ――――――――――――――――K

戸籍事項　K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

K ――――――――――――――――K(33) ――――――――――――――――K

No	氏	名	生年月日	除籍日	続柄	配偶	家	伺	保	胎	メ
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊
99	K――K(14)	――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	＊	＊	＊	＊	＊

詳細選択番号 [99]

ＰＦガイダンス

K ――――――――――――――――K(39) ――――――――――――――――K

① 編製日

戸籍の編製年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

② 消除日

戸籍の消除年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 記載数

在籍者と除籍者の合計人数を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 在籍数

在籍者の人数を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 本籍

本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ 筆頭者

筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑦ 戸籍事項

戸籍事項を入力年月日順に表示する(戸籍事項ファイルから)。

⑧ 氏名

除籍者も含めて戸籍法第 14 条に定める順番で氏名を表示する(氏名ファイルから)。

⑨ 生年月日

戸籍構成員のそれぞれの生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑩ 除籍日

その者が戸籍から除籍された年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑪ 続柄

父母との続柄を表示する(個人特定ファイルから)。

⑫ 配偶

夫であること,妻であること,生存配偶者であることを表示する(個人特定ファイルから)。

⑬ 家･伺･保･胎･メ

個人状態ファイルに記録されている内容を表示する。詳細は個人状態ファイルを参照されたい。

(6) 個人詳細表示画面

画面ＩＤ	個人詳細表示	X99.99.99	99/99

（編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 家 K 伺 K 保 K 胎 K メ K

本 籍 K ——K(30)——K
筆頭者 K ——K(30)——K
カナ氏名 N ——N(60)——N
漢字氏名 K ——K(30)——K

（生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 KKK KKKKK KKK

父 K ——K(14)——K 母 K ——K(14)——K KKK
養父 K ——K(14)——K 養母 K ——K(14)——K KKK

No	事件名称	身分事項記載項目
99	K ——K	K ——K(27)—— K
	K ——K	K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
99	K ——K	K ——K(27)—— K
	K ——K	K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K

ＰＦガイダンス

K ——K(39)——K

① 編製日

戸籍の編製年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

② 消除日

戸籍の消除年月日を表示する(戸籍特定ファイルから)。

③ 家･伺･保･胎･メ

個人状態ファイルに記録されている内容を表示する。詳細は個人状態ファイルの項を参照されたい。

④ 本籍

本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者

筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥ カナ氏名

該当者のカナ氏名を表示する(氏名ファイルから)。

⑦ 漢字氏名

該当者の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

⑧ 生年月日

該当者の生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑨ 除籍日

該当者が戸籍から除籍された年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑩ 父

父の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑪ 母

母の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑫ 父母との続柄

父母との続柄を母の氏名のあとに表示する(個人特定ファイルから)。

⑬ 養父

養父の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑭ 養母

養母の氏名を表示する(個人特定ファイルから)。

⑮ 養父母との続柄

養父母との続柄を養母の氏名のあとに表示する(個人特定ファイルから)。

⑯　事件名称

戸籍法第 23 条に定める事件の種類を表示する(コード一覧のタイトル･コードを参照)。事件が多く,表示しきれないときは画面がスクロールする(身分事項ファイルから)。

⑰　身分事項記載項目

項目で身分事項を表示する(身分事項ファイルから)。1 身分事項に限り続けて表示することも可。

4　戸籍の証明

(1) 戸籍の謄抄本･記載事項証明

戸籍簿の取扱いにおける戸籍と除籍の証明は「謄本」･「抄本」･「記載事項証明書」(戸籍法第 10 条･第 12 条の 2)の 3 種類である。「謄本」とは文書の原本に記載された内容を原本と同一様式の書面に一字一句完全に写し取った書面であり,「抄本」とは原本に記載された内容の一部を原本と同一様式の書面に抜粋(原則として一事項単位)して写し取った書面である(戸籍法施行規則第 12 条)。また記載事項証明書は戸籍に記載した事項の証明書である(戸籍法施行規則第 14 条)。

(2) 記録事項証明(システムの戸籍証明)

システムでは戸籍情報をデータとしてデジタル信号化して磁気媒体(戸籍データ･ベース)に記録することになり可視台帳は存在しない。また戸籍の記録情報を証明書として交付するためにはシステムの機能を使用してプリント･アウトをしなければ人が認識できる情報とはならない。したがって戸籍の謄本･抄本と表現するのは適当でなく,記録されたものを証明するという範疇になる。(戸籍法第 117 条の 4)

システムで作成する戸籍証明の種類(戸籍法施行規則第 73 条 1 項)を戸籍･除籍の区別なく次項以降で説明する。なお,当然に認証文(戸籍法施行規則第 73 条 3 項で定める附録第 23 号書式)は付記することとなる。

(3) 全部事項証明

「戸籍の謄本」に相当する証明である。戸籍情報として戸籍データ･ベースに記録されているすべての事項を証明するものである。

なお,市区町村長限りの職権訂正は記録としてはあるが証明書に出力しないことにした。それは市区町村限りの職権訂正は先例により認められたものに限られること,またその誤りのために国民としばしばトラブルが生じることにある。市区町村長限りの職権訂正の証明の交付請求があったときには一部事項証明で対応する。

(4) 個人事項証明

「戸籍の抄本」に相当する証明である。証明する事項は個人の全ての記録事項である。複数人の記録事項をひとつの個人事項証明で証明することもできる。

なお,市区町村長限りの職権訂正は全部事項証明と同様に出力しない。

(5) 一部事項証明

「戸籍の記載事項証明」に相当する証明である。基本事項は,「本籍」・「筆頭者の氏名」・「証明すべき者の氏名」である。記録事項証明書はこれらの基本項目に一つ又は複数の記録事項を付加して作成する。

また,市区町村長限りの職権訂正も証明事項とする。

付加する記録事項の単位は次による。

戸籍事項ファイルに記録された情報

ひとつの戸籍事項を単位とする。たとば「転籍事項」・「氏の変更事項」がそれぞれ単位である。ひとつの戸籍事項の中のひとつの記録項目だけでは証明することはしない。たとえば転籍事項の中の「【届出日】」・「【従前の記録】」だけでは記録事項の証明単位にしない。

個人特定ファイルに記録された情報

単独で単位となる情報は「【生年月日】」・「【父】」・「【母】」・「【養父】」・「【養母】」である。

「父母との【続柄】」は単独では証明事項の対象にならなず,「【父】」か「【母】」あるいは「【父】と【母】」の選択が必要となる。

(「養父母との【続柄】」も同様である。)

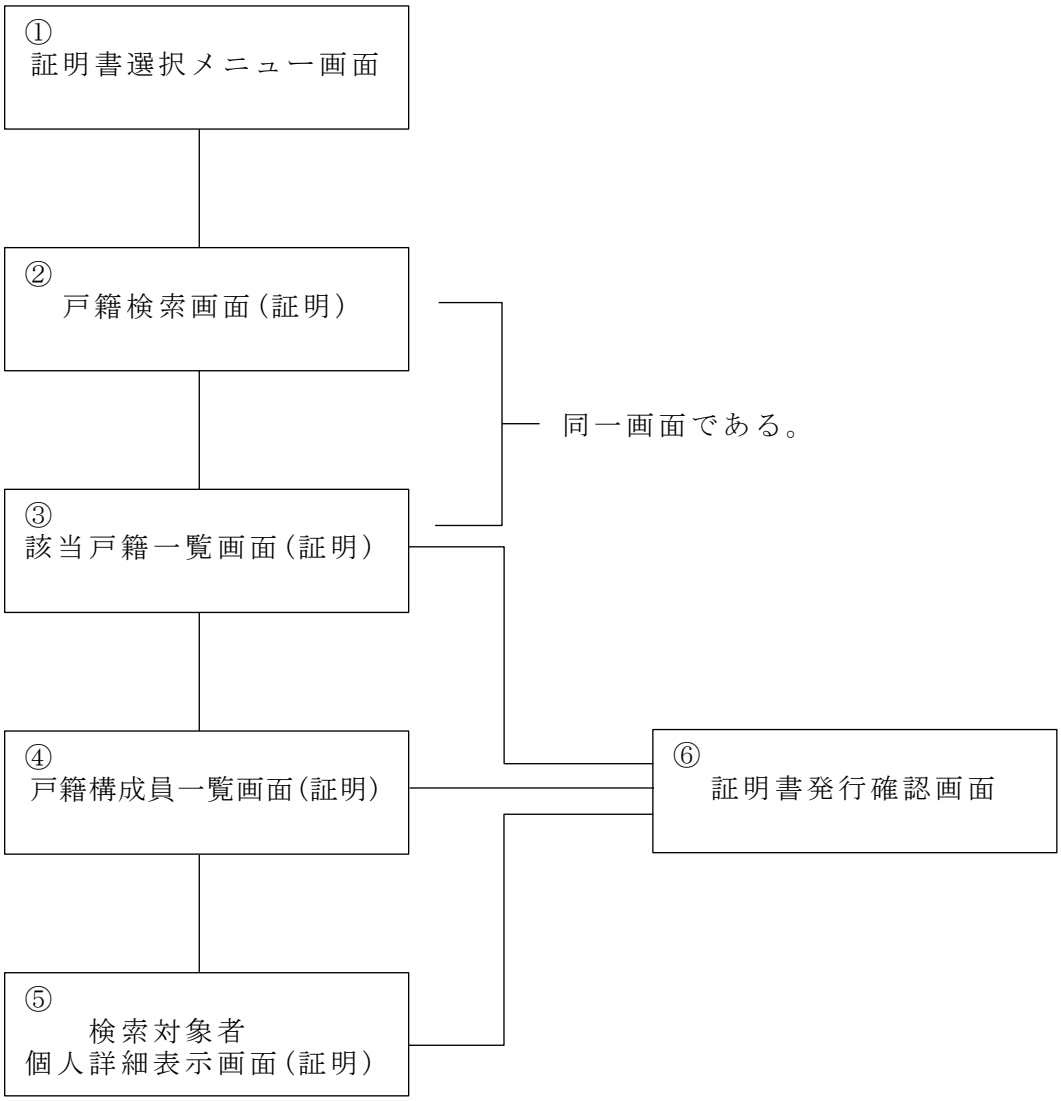
個人特定ファイルの記録された情報

ひとつの身分事項を単位とする。たとば「出生事項」・「婚姻事項」がそれぞれ単位である。ひとつの身分事項の中の一つの記録項目だけでは証明することはしない。たとえば出生事項の中の「【出生地】」だけでは一部事項の証明単位とはしない。

(6) 戸籍事務専用

「全部事項証明」・「個人事項証明」には市区町村長限りの職権訂正を出力しない。しかし,裁判所・法務局・市区町村等の官公庁で戸籍事務を処理するうえで必要となる場合にはこの書面を出力することによって対応する。

(7) 全部事項証明・個人事項証明発行における画面展開



(8) 証明書選択メニュー画面

出力する証明書を選択する。

画面ＩＤ	証明書選択メニュー	X99.99.99

1．全部事項・個人事項証明書

2．一部事項証明書

3．・・・・・・・

選択番号 [9]

ＰＦガイダンス

K——————————K(39)——————————K

(9) 戸籍検索画面(証明)

戸籍を検索するときの画面と同じである。

(10)該当戸籍一覧画面(証明)

検索キーに合致する戸籍が表示される。戸籍を検索するときの「該当戸籍一覧画面」と同じである。この画面で全部事項証明の作成を指示することができる。全部事項証明を作成する戸籍の選択番号を選択してから作成指示すると発行確認画面へ展開する。戸籍を確認してから全部事項証明を作成するときあるいは個人事項証明を作成するときには「戸籍構成員一覧画面」への展開を指示する。

(11)戸籍構成員一覧画面(証明)

戸籍を検索するときの「戸籍構成員一覧画面」と同じである。この画面では全部事項証明または個人事項証明の作成を指示することができる。全部事項証明のときは単にその作成を,個人事項証明のときは作成する者の選択番号を選択して指示すると発行確認画面へ展開する。

(12)個人詳細表示画面(証明)

戸籍を検索するときの「個人詳細画面」と同じである。この画面では全部事項証明

また

は個人証明の作成を指示することができる。全部証明のときは単にその作成を,個人事項証明のときは作成する者の選択番号を選択して指示すると発行確認画面へ展開する。

(13)発行確認画面

画面ＩＤ　　証明書発行確認　　X99.99.99

管掌者　9999　KKKKKKKKKK　KKKKKKKKKKKKKKKKKKKK
認証日　X 99 年 99 月 99 日

証明書種別　KKKKKKK

発行する戸籍の内容					
編製日	X99.99.99	消除日	X99.99.99	個人除区分	KK
本　籍	K ——— K(32) ——— K				
筆頭者	K ——— K(30) ——— K				
カナ氏名	N ——— N(60) ——— N				
漢字氏名	K ——— K(30) ——— K				

選択事項名
99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK
99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK
99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK
99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK
99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK　99　KKKKKKKKKK

発行部数　99

ＰＦガイダンス

K ——— K(39) ——— K

① 管掌者

証明書発行時の戸籍事務管掌者を表示する。戸籍事務管掌者は「市区町村長」・「市区町村長職務代理者助役」・「市区町村長職務代理者吏員」に逐次変更することができる。

② 認証日

作成時の年月日を表示する。当然のことながら作成年月日を変更することはできない。

③ 証明書種別

「全部事項証明」・「個人事項証明」・「一部事項証明」の区別を表示する。「該当戸籍一覧画面」・「戸籍構成員一覧画面」・「個人詳細表示画面」で作成を指示した証明書の種別が表示される。

④ 編製日

戸籍の編製の年月日を表示する。

⑤ 消除日

戸籍の消除年月日を表示する。

⑥ 個人除区分

個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときには「在籍」を,除籍されているときには「除籍」を表示する。

⑦ 本籍

戸籍の本籍を表示する。

⑧ 筆頭者

戸籍の筆頭者を表示する。

⑨ カナ氏名

個人事項証明を作成するときに個人のカナ氏名を表示する。

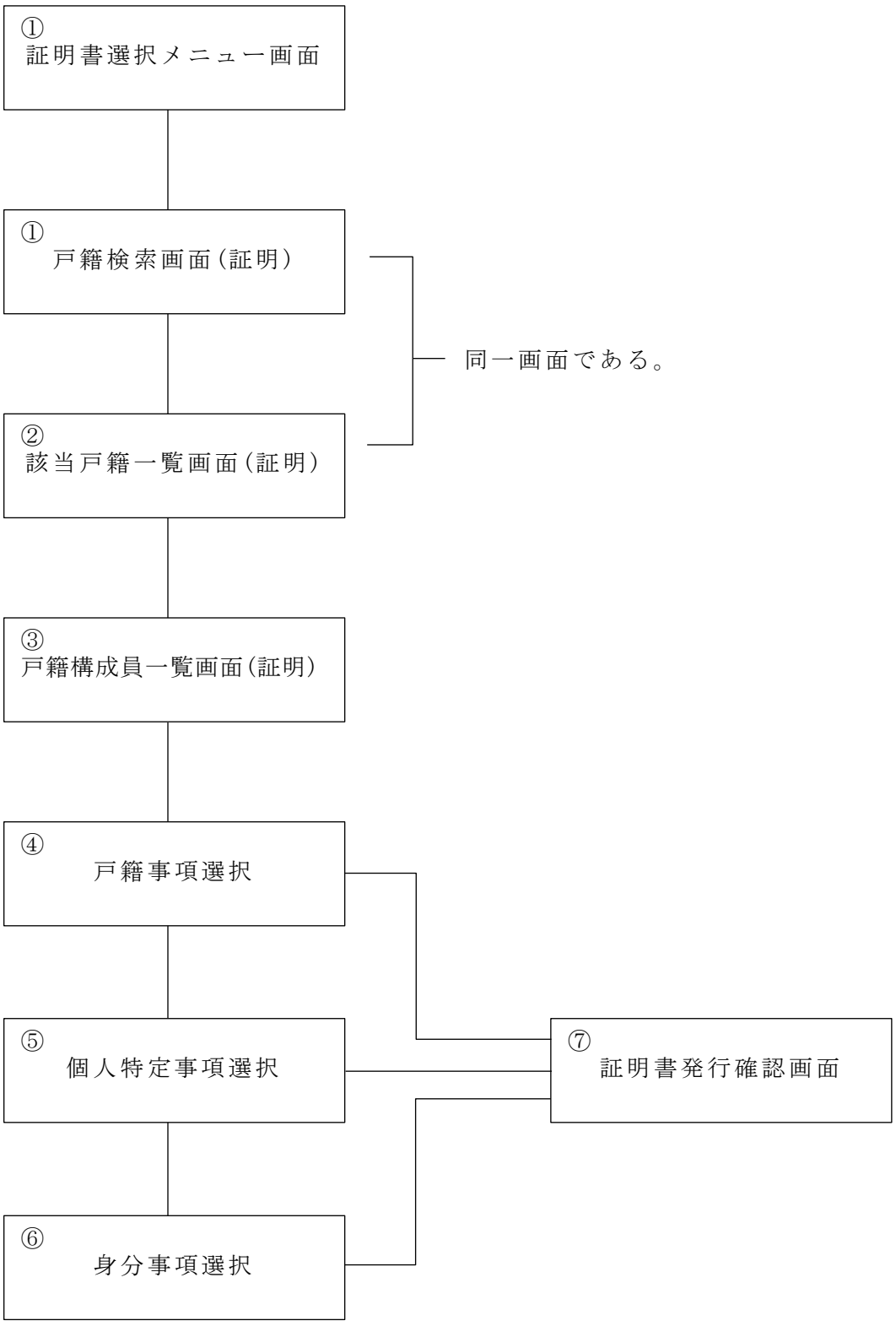
⑩ 漢字氏名

個人事項証明を作成するときに個人の漢字氏名を表示する。

⑪ 選択事項名(一部事項証明のみ)

一部事項証明を参照。

(14)一部事項証明


①
証明書選択メニュー画面
①
戸籍検索画面(証明)
同一画面である。
②
該当戸籍一覧画面(証明)
③
戸籍構成員一覧画面(証明)
④
戸籍事項選択
⑤
個人特定事項選択
⑥
身分事項選択
⑦
証明書発行確認画面

(15)戸籍事項選択

画面ＩＤ　　戸籍事項選択　　X99.99.99　99/99

（編製日） X99.99.99 （消除日） X99.99.99 （個人除区分） ＫＫ

本　籍　K ——K(34)—— K
筆頭者　K ——K(30)—— K
カナ氏名 N ——N(60)—— N
漢字氏名 K ——K(30)—— K

NO	戸籍事項名	戸籍事項記載項目
99	K ——— K	K——K(27)——K
	K ——— K	K——K(27)——K
		K——K(27)——K
		K——K(27)——K
99	K ——— K	K——K(27)——K
	K ——— K	K——K(27)——K
		K——K(27)——K
		K——K(27)——K
		K——K(27)——K
99	K ——— K	K——K(27)——K
	K ——— K	K——K(27)——K
		K——K(27)——K

選択番号： 99 99 99 99 99 99 99

ＰＦガイダンス

K——K(39)——K

①編製日

戸籍の編製の年月日を表示する。

②消除日

戸籍の消除年月日を表示する。

③個人除区分

個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」,除籍されているときは「除籍」を表示する。

④本籍

証明する戸籍の本籍を表示する。

⑤筆頭者

証明する戸籍の筆頭者を表示する。

⑥カナ氏名

個人事項証明を発行するとき個人のカナ氏名を表示する。

⑦漢字氏名

個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。

⑧番号

証明する事項を選択する。

⑨戸籍事項名

戸籍事項の事件名を表示する。

⑩戸籍事項記載項目

事件名に対応する戸籍事項を表示する。

(16)個人特定事項選択

画面ＩＤ　　個人特定事項選択　　X99.99.99

（編製日） X99.99.99 （消除日） X99.99.99 （個人除区分） ＫＫ

本　籍　K ——K(34)—— K
筆頭者　K ——K(30)—— K
カナ氏名 N——N(60)——N
漢字氏名 K ——K(30)—— K
配偶者　K

'S'	項目名	個人特定事項記載項目
X	生年月日	X99.99.99
X	父	K ——K(29)——K
X	母	K ——K(29)——K
X	父母続柄	KKK
X	養　父	K ——K(29)——K
X	養　母	K ——K(29)——K
X	養父母続柄	KKK

ＰＦガイダンス

K——K(39)——K

①編製日

戸籍の編製の年月日を表示する。

②消除日

戸籍の消除年月日を表示する。

③個人除区分

個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」,除籍されているときは「除籍」を表示する。

④本籍

証明する戸籍の本籍を表示する。

⑤筆頭者

証明する戸籍の筆頭者を表示する。

⑥カナ氏名

個人事項証明を発行するとき個人のカナ氏名を表示する。

⑦漢字氏名

個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。

⑧配偶者

夫または妻である旨を表示する。

⑨項目名

証明する事項を選択する。

⑩個人特定事項記載項目

事項名を表示する。

⑪生年月日

証明対象者の生年月日を表示する。

⑫父

証明対象者の父の氏名を表示する。

⑬母

証明対象者の母の氏名を表示する。

⑭父母続柄

証明対象者の父母との続柄を表示する。

⑮養父

証明対象者の養父の氏名を表示する。

⑯養母

証明対象者の養母の氏名を表示する。

⑰養父母続柄

証明対象者の養父母との続柄を表示する。

なお,個人特定ファイルの「養父の氏名」・「養母の氏名」・「養父母との続柄」は,養子が転縁組をしているときは最後の縁組の状況を表示する。その前の縁組は身分事項で対応することになる。

(17)身分事項選択

画面ＩＤ　　身分事項選択　　X99.99.99

（編製日） X99.99.99 （消除日） X99.99.99 （個人除区分） ＫＫ

本　籍　K ——K(34)—— K
筆頭者　K ——K(30)—— K
カナ氏名 N ——N(60)—— N
漢字氏名 K ——K(30)—— K

NO	身分事項名	身分事項記載項目
99	K —— K	K ——K(27)—— K
	K —— K	K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
99	K —— K	K ——K(27)—— K
	K —— K	K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K
		K ——K(27)—— K

選択番号： 99 99 99 99 99 99 99

ＰＦガイダンス

K ——K(39)—— K

①編製日

戸籍の編製の年月日を表示する。

②消除日

戸籍の消除年月日を表示する。

③個人除区分

個人事項証明のとき対象者がその戸籍に在籍しているときは「在籍」,除籍されているときは「除籍」を表示する。

④本籍

証明する戸籍の本籍を表示じする。

⑤筆頭者

証明する戸籍の筆頭者を表示する。

⑥カナ氏名

個人事項証明を発行するとき個人のカナ氏名を表示する。

⑦漢字氏名

個人事項証明を発行するとき個人の漢字氏名を表示する。

⑧番号

証明対象身分事項を選択する。

⑨身分事項名

身分事項の事件名を表示する。

⑩身分事項記載項目

事件名に対応する身分事項を表示する。

(18) 発行確認画面

全部事項証明･個人事項証明を出力するときと同じ画面である。

5　受付ファイル

受付ファイルとは受附帳と戸籍発収簿の機能を兼ね備え,このふたつの帳簿の情報を記録するファイルである。受付ファイルに受附帳と戸籍発収簿の機能を付与することにした理由は,「システムによる届書の一元管理」を図ったことによる。

(1) 届書の一元管理

受附帳について戸籍法施行規則第21条は「市町村長は,附録第5号様式によって毎年受附帳を調整し,これにその年度内に受理し又は送付を受けた事件について受附の順序に従い,次の事項を記載しなければならない。但し,第3号,第6号及び第7号の事項は,受理した事件についてのみ記載すればたりる。(以下省略)」と定めている。

また,戸籍発収簿については戸籍事務取扱準則制定標準で第34条に「届出,申請等の不受理の処分をしたときは,戸籍発収簿に発収年月日,事件の内容及び不受理の理由を記載し,届書,申請書を届出人に返戻しなければならない。」と,また同第33条で「届出,申請等について即日に受理の決定のできないときは,届書,申請書等に受領の年月日を記載し,戸籍発収簿にその旨を記載しなければならない。2　前項の届出,申請等について,受理又は不受理の処分をしたときは,その旨を戸籍発収簿の備考欄に記載しなければならない。」と定めている。

このことから戸籍簿の取扱いにおいて戸籍事務担当職員は届書を受領したならば,戸籍や添付の書類と届書の記載内容を照合し,その内容を関係法令に適用して適法であるかそうでないかの審査を行い,その結果から受理とした届書については受附帳に搭載し,不受理とした届書については戸籍発収簿に搭載する。また関係法令に適用して疑義のある届書については戸籍発収簿に搭載したうえで法務局に指示を仰ぐ。このとから受領した届書の処理あるいはその処理経過はこのふたつの帳簿により明確に管理されている。そこで戸籍情報システムではこの受附帳の情報と戸籍発収簿の情報をひとつの受付ファイルに記録し,届書を一元的に管理することにした。

(戸籍法施行規則第76条,戸籍事務取扱準則制定標準第68条)

(2) 受附帳の記載項目と発収簿の記載項目

先に述べたように受付ファイルには受領した届書の管理をおこなう機能を持たせることにしたので,受附帳の記載項目と戸籍発収簿の記載項目を合わせて記録できるよう

にした。またその記載内容が一致している項目は記録情報の重複を避けるためにひとつにまとめた。

受附帳に記載すべき事項は戸籍法施行規則第21条(附録第5号様式)と戸籍事務取扱準則制定標準第30条に定めている。一方,戸籍発収簿に記載すべき事項は戸籍事務取扱準則制定標準第56条(附録第37号)に定めている。これらの定めをもとに受付ファイルに記録する項目をあげれば次のとおりである。ただし,ここにあげた情報は主なものである。詳細は「ファイル設計書」を参照されたい。

受付ファイルの記録情報	意味
①受領番号	受附帳の「受附の番号」と発収簿の「進行番号」を兼ねた番号
②事件名	受附帳の「件名」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
③事件本人氏名	受附帳の「届出事件本人の氏名」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
④事件本人本籍	受附帳の「届出事件本人の本籍」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑤届出後本籍	受附帳の備考欄の記載 * 戸籍法第30条(届書の特別の記載事項)
⑥事件本人の国籍	受附帳の「届出事件本人の国籍」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑦事件本人の生年月日	受理証明書で使う項目
⑧届出人の資格	受附帳の「届出人の資格」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑨届出人の氏名	受附帳の「届出人の氏名」と発収簿の「差出人」を兼ねた項目
⑩受付日	受附帳の「受附の年月日」と発収簿の「発収の日」を兼ねた項目 *届書・申請書等を受領した年月日である。

受付ファイルの記録情報	意味
⑪受理･送付の別	受附帳の「受理し又は送付を受けたことの別」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
⑫事件発生年月日	受附帳の「出生の年月日」･「死亡の年月日」･「死亡とみなされる年月日」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
⑬事件発生時分	受附帳の「死亡の時分」と発収簿の「書面の要旨」を兼ねた項目
⑭本籍･非本籍の別	受附帳の「本籍人に関する届出と非本籍人に関する届出の区別」
⑮発　送　日	受附帳の「発送の年月日」 *戸籍事務取扱準則制定標準第 38 条
⑯郵　送　日	受附帳の「郵送年月日」 ＊ 戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条
⑰発　　日	発収簿の「発収の日」 ＊ 法務局に受理伺い･処理伺いを申請した年月日
⑱収　　日	発収簿の「発収の日」 ＊ 法務局からの指示書･許可書が到達した年月日
⑲指　示　日	発収簿の「書面の要旨」 ＊ 法務局が指示を決定した日で戸籍にも記載される。
⑳許　可　日	発収簿の「書面の要旨」 ＊ 法務局が許可を決定した日で戸籍にも記載される。
㉑関連受領番号	戸籍事務取扱準則制定標準第 35 条に規定する受附帳の整理のときに使用する項目 ＊ 詳細は追完届出等を受理した場合の受附帳の整理の項を参照

受付ファイルの記録情報	意味
㉒処 分 区 分	受理･不受理等の処分行為を入力する区分 ＊ この区分の記録により受附帳あるいは発収簿との区別をつける。(詳細は届出の受理･不受理の項を参照)
㉓決 裁 区 分	届出に係わる戸籍の事務処理がすべて完了したときに入力する項目 ＊ 決裁(校合)処理で入力され,これ以降はいかなる理由があっても処分区分を変更することはできない。(詳細は決裁の項参照)

(3) 受附帳の「備考欄」について

受附帳の備考欄に記載する事項は受付ファイルには記録しないことにした。受附帳の備考欄に記載する事項を受付ファイルに記録しないことにした主な理由は次のとおりである。

ア　備考欄の記載内容は届出に応じてケース･バイ･ケースであるため情報の類型化が図れないこと。

イ　本籍人については戸籍データ･ベースの記録内容と同じになってしまい,データの二重化となってしまうこと。

ウ　現行の受附帳は戸籍が滅失したときの再製資料となるが,受付ファイルは戸籍データ･ベースのバック･アップ･データとはなりえないこと。受付ファイルは戸籍データ･ベースと同じ磁気ディスク内に記録することになるので壊れるときは戸籍データ･ベースと一緒である。(データ保護については別項により示される。)

エ　備考欄の活用として,受理市区町村で非本籍人の届書廃棄後,本籍市区町村で届書の未着を発見したときに受附帳の備考欄の記載項目は戸籍記載の申出書の参考資料となることがあげられが,システムでは送達確認ハガキを出力することによって未着防止を図っていること。

ただし,事件本人の戸籍の表示が届出前と届出後で異なるときの備考欄に記載している「入籍戸籍の表示」または「新戸籍の表示」は記録することにした。これは届書の特別の記載事項として戸籍法第 30 条に定められていることによる。

(4) 受付ファイルの構成

受付ファイルは「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」とで構成するものとした。「受付項目ファイル」には受附帳および発収簿に記載する一般的事項を「事件本人項目ファイル」には事件本人固有の事項を記録する。ファイルをふたつに分けた理由は共同養子縁組のように事件本人が複数人いる届出でも対応できるようにしたことによる。今後，受付ファイルという場合は「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」を表す。

(5) 受付項目ファイル

「受付項目ファイル」に記録する項目の概要は次のとおりである。番号は前述の受付ファイルに記録する事項で示した表の番号を表す。

① 受領番号	出張所番号	② 受付事件コード	⑩ 受付日	⑫ 事件発生日	⑬ 事件発生時分	

⑪ 受理送付区分	⑭ 本非区分	⑥ 渉外区分	⑮ 発送日	⑯ 郵送日	⑰ 発日	⑱ 収日	⑲ 指示日	⑳ 許可日	

㉑ 関連受領番号	⑧ 届出人資格区分 1	⑧ 届出人資格名称 1	⑨ 届出人氏名 1	

⑧ 届出人資格区分 2	⑧ 届出人資格名称 2	⑨ 届出人氏名 2	⑤ 届出後本籍区分	

⑤ 届出後本籍コード	⑤ 届出後本籍	⑤ 届出後戸籍の筆頭者	送達確認	㉒ 処分区分	

㉓ 決裁区分	予備

(6) 事件本人項目ファイル

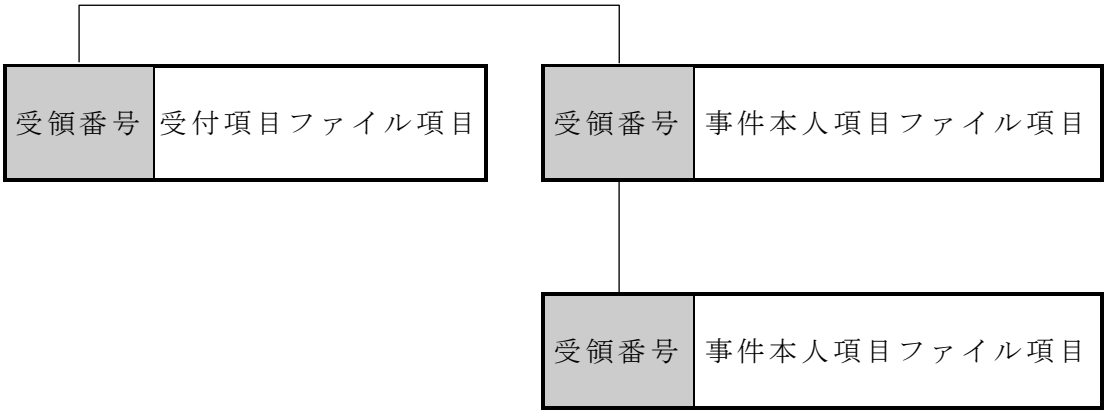
「事件本人項目ファイル」に記録する項目の概要は次のとおりである。番号は前述の受付ファイルに記録する事項で示した表の番号を表す。

① 受領番号	行番号	③ 事件本人区分	③ カナ氏名	③ 漢字氏名	⑥ 生年月日	④ 本籍コード	

④ 本籍	送達確認 2	予備	

(7) 「受付項目ファイル」と「事件本人項目ファイル」の関係

受付項目ファイルに記録した届書情報と事件項目ファイルに記録した届書情報は受領番号で連絡している。



(8) 受領番号と処分区分

戸籍法施行規則は第 20 条第 1 項で,「市町村長は,届書,申請書その他の書類を受理し,又はその送付を受けたときは,その書類に受付の番号及び年月日を記載しなければならない。」ことを,また,第 22 条で,「受附番号は,毎年これを更新しなければならない。」ことを規定し,さらに,第 21 条第 4 項では受附帳に受附番号を記載すること定めている。

また戸籍事務取扱準則制定標準第 31 条は「文書を発送又は収受したときは,その旨を戸籍発収簿に記載しなければならない。ただし,他の帳簿に記載した文書はこの限りでない。2　前項によって収受した文書には,附録 20 号ひな形の印判を押し,この各欄に所要の記載をしなければならない。」と定め,また第 56 条で発収簿の様式を規定して,文書のそれぞれに発収番号(進行番号)を記載することとしている。

「届書の一元管理」の項で述べたように,システムでは受付ファイルに受附帳と戸籍発収簿の一部の機能を持たせてることによって届書や申請書等をシステムで一元管理することにした。このことにより,受付ファイルに記録される番号は戸籍法施行規則第 20 条第 1 項で定める「受附の番号」と受理決定をしていない届書を記載する戸籍発収簿の「進行番号」も兼ねる,「届書受領番号」として記録することにした。

この番号は届書を受領し,システムに届書のデータを入力して受付ファイル画面で「受理」・「不受理」等の処分区分(処分区分の種類と意味については処分決定を参照)を入力することにより自動的に付番される(届書処理を参照)。「受理伺い」あるいは「処理伺い」等もこのとき一時的に処分区分として入力できるが最終的に届書を処理したときに入力する処分区分は「受理」・「不受理」・「返戻」・「取り下げ」・「受理処分の撤回」の 4 つである。このうち「受理」と入力した受付ファイルが現行の受附帳に該当するものであり,その「受領番号」が現行の受附番号に相当するものである。その他の処分区分を入力した受付ファイルは戸籍発収簿に該当するものであり,その「受領番号」は発収番号(進行番号)に相当する番号である。したがってこの「受領番号」と「受理」・「不受理」等の処分区分により,記録した届書の取り扱い方を知ることになる。

受付ファイルに記録した情報は戸籍を記録した後には原則として変更削除等の異動はないデータである。長い間システムに保管しておく必要性に乏しく,いずれかの段階でシステムから帳票として出力する必要がある。そのときにはこの処分区分にしたがって「受附帳」と「発収簿」とに分けて,それぞれ別に出力することも可能である。

(9) 処分決定(届出の受理・不受理)

市区町村長は届書を受領したときは,その届出の内容を民法・戸籍法等の関係法令に照らし合わせて違反をしていないことを認めたうえでなければ,これを受理することができないとされている(民法第 740 条,民法第 765 条,民法第 800 条,民法第 813 条,戸籍法第 34 条等)。また,届書を受領し届出の内容を審査するにあたって,添付の書類についての

事実の認定や民法･戸籍法等の関係法令の適用に疑義を生じたときは,監督法務局長に指示をもとめることができるとされている(戸籍法施行規則第 71 条)。さらにこれを受けて戸籍事務取扱準則制定標準には,届出･申請等について即日に受理の決定ができないときは,届書･申請書等に受領の年月日を記載し戸籍発収簿にその旨を記載することとしている。

このことによりシステムでは届書の審査の結果を判別するために区分を入力するものとした。設けた区分は次の 9 つである。今後はこれらの区分を総称して「処分区分」と言い,入力すべき区分を決めることを「処分決定」と言う。

受　　理	不 受 理	受 理 伺 い	処理伺い	
返　　戻	取り下げ	受理処分の撤回	保　　留	誤 処 理

これらの処分区分のうちシステムの審査機能を活用した場合に自動付設される処分区分は上段部に記載された区分である(システムの審査機能については届書審査処理を参照)。しかし,システムの審査機能を利用した場合であっても最終的な受理･不受理の決定は戸籍担当者が自ら行なわければならない。戸籍の届出は日本国民の身分関係を形成しそれを戸籍に登録公証するするものであるから,その受理･不受理の処分は戸籍担当者により慎重に行われるべきである。そこで,システムでは,市区町村の窓口での届出処理の実務実態に合わせて,システム審査機能によって表示される処分区分に対して定められた条件の基に戸籍担当者が変更入力をすることができるようにした。

なお,送付された届書についても同様に処分区分を入力することにした。受理した届書と送付された届書との区別は受付ファイルのデータの「受理･送付区分」で判別することになる。

では,次にそれぞれの処分区分についての意義を述べる。

ア　受　理

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて適法であると判断し,受理としたときに設定する区分である。

イ　不受理

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて不適法であると判断し，不受理としたときに設定する区分である。

ウ　受理伺い

届書を受領しその届出の内容を関係法令等に照らし合わせて受理するのに疑義があり，監督法務局長に受理伺いする必要があると判断したときに設定する区分である。

エ　処理伺い

受理した届書について処理方法が不明であるため監督法務局長に処理伺いするときに設定する区分である。他の市区町村長から送付された届書に対して，不受理申出が提出されていたときや受理した届書について記載方法がわからないので監督法務局長に処理伺いするときなどがその例である。

オ　返　戻

他の市区町村長から送付された届書を受理市区町村長に返戻する場合に設定する。たとえば，他の市区町村長から送付を受けた届書につて不受理申出があり，監督法務局長に処理伺いしたところ受理しないのが相当である旨の指示を受け，受理市区町村長に届書を返戻する場合や送付された届書に不備があり戸籍の記載ができないため追完の届出を必要とするときに受理市区町村に届書を返戻する場合などである。

カ　取り下げ

届書を受領後，受理・不受理の決定をする前に届出の取り下げがなされたときに設定する区分である。

キ　受理処分の撤回

受領した届書等につき受理決定した後に当該受理処分に瑕疵があることを発見したため，その受理処分の効力を否定した上で不受理処分をしなければならない場合に設定する区分である。例えば，受理した届書等を本籍地へ送付後，本籍地に当該届出について不受理申出が提出されていることが明らかになった場合等がある。

この区分は,あくまで例外的な処分区分の変更であるので,受付ファイルに履歴としてその経緯を記録する。又,この処分区分の設定行為に対する責任は市区町村長が負わなければならないことは言うまでもない。

ク　保留

戸籍事務取扱準則制定標準第 33 条にあるように即日に受理の決定ができない届出に対して,受付ファイルを戸籍発収簿の機能として活用する場合に入力する。しかし,この区分は一時的なものであるので,戸籍制度の趣旨からしてできるだけ速やかに監督法務局長への受理伺い等をなし,その届出の受理･不受理の決定を行わなければならない。

ケ　誤処理

誤認識･誤操作(選択違い等)によりいったん誤った処分決定処理を行った場合において,当該処分決定処理をはじめから処理されなかったものと扱って正しい処分決定処理を新たな処理として行う場合に設定する区分である。

この区分における履歴の記録及び設定行為に対する責任等は,「受理処分の撤回」と同様である。

又,この区分の設定及び履歴の記録は,処分決定処理ではなく決裁(校合)処理にて行われる。

(10)受付ファイルの具体的な作成例

受付ファイルの具体的な作成例は次に示すとおりである。例に示した受付ファイルの情報は受付ファイルの作成例を理解するためだけのものであり,全てを示すものではない。また番号は下記の情報を意味する。

① 受領番号

② 受領番号の枝番

③ 事件名

④ 受理,不受理処分(太い枠で表示)

⑤ 本籍人の届書,非本籍人の届書の別

⑥ 受理,送付の別(太い枠で表示)

⑦ 事件本人の氏名

⑧ 事件本人の本籍

⑨ 法務局へ受理,処理の伺い書をあげた日

⑩ 法務局から指示,許可のあった日

⑪ 法務局が許可した日

⑫ 法務局が指示した日

⑬ 決裁担当者が決裁したことを表す。(太い枠で表示)

⑭ 入力データに誤りがあるので修正するように決裁担当者が入力者に対して指示したことを表す。

⑮ 事件本人の選択にあやまりがあるので再処理をすように決裁担当者が入力者に対して指示したことを表す。

…… その他の記録事項を表す。

ア　受付帳としての受付ファイル

（ア）　受理した本籍人の届書を記録する。

① 100	② 0	③ 婚姻	④ 受　理	⑤ 本　籍	⑥ 受理	⑦ 氏名	⑧ 本籍	……	⑬ 決　裁

イ　受理した非本籍人の届書を記録する。

① 100	② 0	③ 婚姻	④ 受　理	⑤ 非本籍	⑥ 受理	⑦ 氏名	⑧ 本籍	……	⑬ 決　裁

（イ）　他の市区町村長から送付分された本籍人の届書を記録する。

① 100	② 0	③ 婚姻	④ 受　理	⑤ 本　籍	⑥ 送付	⑦ 氏名	⑧ 本籍	……	⑬ 決　裁

送付された届書については受理･不受理の判断をしないが,受理市区町村長に返戻した届書と区別するために処分区分｢受理｣を付設する。

イ　発収簿としての受付ファイル

（ア）　不受理処分した本籍人の届書を記録する。

① 100	② 0	③ 婚姻	④ 不受理	⑤ 本　籍	⑥ 受理	氏名	⑧ 本籍	……	⑬ 決　裁

（イ）　不受理処分した非本籍人の届書を記録する。

① 100	② 0	③ 婚姻	④ 不受理	⑤ 非本籍	⑥ 受理	氏名	⑧ 本籍	……	⑬ 決　裁

（ウ） 送付された届書を受理市区町村へ返戻したことを記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	返　戻	本　籍	送付	氏名	本籍	……	決　裁

（エ） 受理･不受理の処分を行なう前に届出人が取り下げた届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	取り下げ	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

ウ　一時的に発収簿として,最終的に受付帳として届書を記録する受付ファイル

（ア） 保留から受理となった届書を記録する。

	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保　留	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

破線で示した受付ファイルは発収簿として一時的に作成するものである。(以下破線で表した受付ファイルは一時的なものを表す。)

保留の届書は取り下げがない限り最終的には受理･不受理の処分をしなければならない。受理すると従前の発収簿としての受付ファイルは受付帳としての受付ファイルになる。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

（イ） 他の市区町村長から送付された届書をいったん保留としたのちに戸籍の記録をする届書を記録する。

	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保　留	本　籍	送付	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	送付	氏名	本籍	……	決　裁

エ　一時的に発収簿として,最終的にも発収簿として届書を記録する受付ファイル

（ア）　保留から不受理となった届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保　留	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	不受理	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

（イ）　保留から取り下げとなった届書を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保　留	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	取り下げ	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

（ウ）　他の市区町村長から送付された届書をいったん保留とし,最終的に受理市区町村長に届書を返戻したこと記録する

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	保　留	本　籍	送付	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	返　戻	本　籍	送付	氏名	本籍	……	決　裁

オ　受附帳と発収簿とを兼ねる受付ファイル

(ア)　受理伺いをしたのち受理した届書を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理伺い	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

受理伺い書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧	⑨		⑬
100	0	婚姻	受理伺い	本　籍	受理	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の許可年月日と許可書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名	本籍	発日	収日	許可日	……	決　裁

(イ)　受理した後,処理伺いした届書を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受理伺い	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

処理伺い書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧	⑨		⑬
100	0	婚姻	処理伺い	本　籍	受理	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の指示年月日と処理伺い書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名	本籍	発日	収日	指示日	……	決　裁

（ウ） 他の市区町村から送付され,処理伺いした届書を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	処理伺い	本　籍	送付	氏名	本籍	……	未決裁

処理伺い書を法務局長宛に発送した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤		⑦	⑧	⑨		⑬
100	0	婚姻	処理伺い	本　籍	送付	氏名	本籍	発日	……	未決裁

法務局長の指示年月日と処理伺い書を収受した年月日を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	送付	氏名	本籍	発日	収日	指示日	……	決　裁

カ　受理処分後に無効要件が発見された場合で,届書の経過を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	1	婚姻	受理処分の撤回	本　籍	受理	氏名	本籍	……	決　裁

履歴の関係は受領番号の枝番号で確保される。

キ　誤操作(選択誤り)により人違いで処理した場合で,決裁処理にて操作者が「誤処理」指示を行い,正当な対象者の処理を行った時の届書の経過を記録する。

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	0	婚姻	不受理	本　籍	受理	氏名 A	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	1	婚姻	誤処理	本　籍	受理	氏名 A	本籍	……	未決裁

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧		⑬
100	2	婚姻	受　理	本　籍	受理	氏名 B	本籍	……	決　裁

履歴の関係は受領番号の枝番号で確保される。

改訂日付	平成 29 年 3 月 31 日
版	20

受付事件(受領事件を含む。)の検索項目は,受付(受領)番号,氏名,仮名氏名,届書等の受領年月日,届出事件の種別,渉外事件であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分とする。
(平成 6 年 11 月 16 日法務省民二第 7002 号民事局長通達)

① 受領番号

届書に記載した受領番号で検索する。

② 受領年月日

受領年月日での検索は,何年何月何日の届書と日で指定する方法と何年何月何日から何年何月何日までの間に受領した届書と範囲を指定する方法とがある。

③ 処分区分

「受理」・「不受理」・「受理伺い」・「処理伺い」・「返戻」・「取り下げ」「受理処分の撤回」・「保留」・「誤処理」の 9 つの処分区分で検索することができる。いずれもコード入力する。

④ カナ氏名

事件本人のカナ氏名で検索する。

⑤ 漢字氏名

事件本人の漢字氏名で検索する。

⑥ 事件コード

「出生」・「婚姻」・「死亡」等の事件コードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

⑦ 渉外区分

「日本人」・「渉外」・「外国人」のコードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

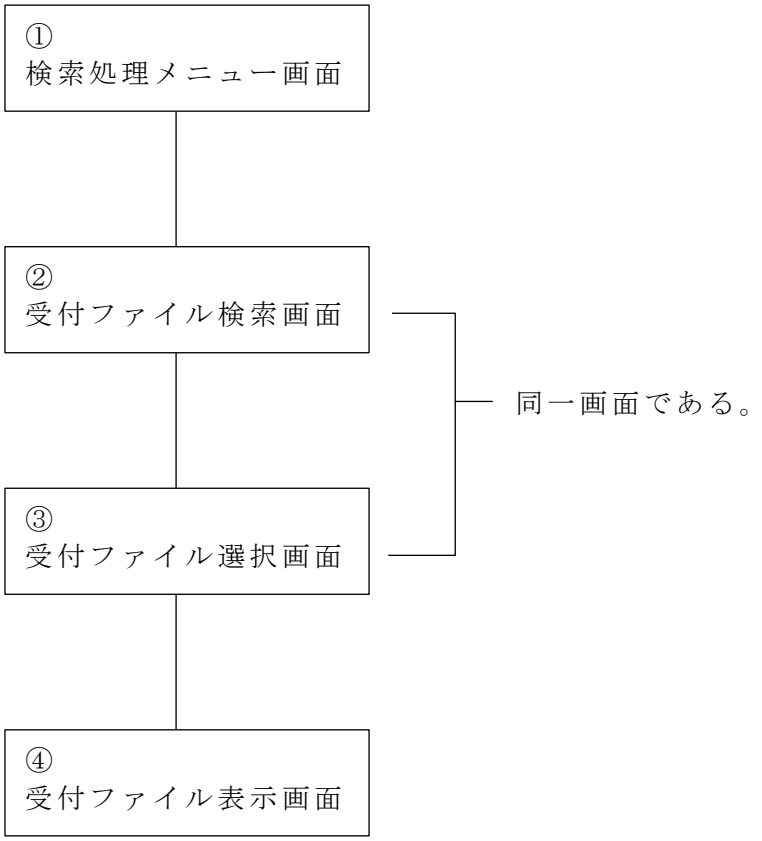
⑧ 生年月日　※20 版で追記

事件本人の生年月日で検索する。

⑨ 受理送付区分　※20 版で追記

「受理」・「送付」のコードを入力することによってメインキーの検索条件をさらに絞り込む。

(2) 受付ファイル検索の画面展開



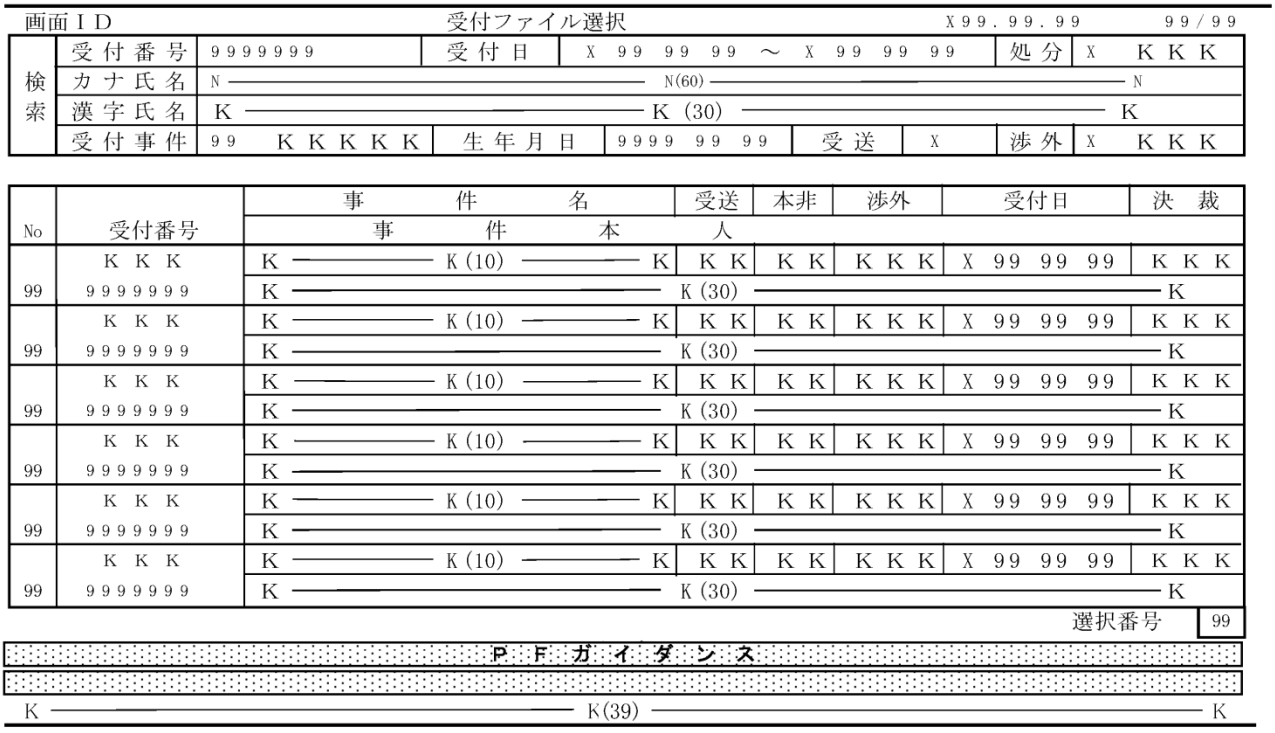
(3) 検索処理メニュー画面

戸籍検索のときの検索処理メニュー画面と同じである。

改訂日付	平成 29 年 3 月 31 日
版	20

(4) 受付ファイル検索画面

検索キーを入力する画面と,入力したキーに該当する受付ファイルを表示する画面である。



(5) 受付ファイル選択画面

受付ファイル検索画面と同じ画面に表示される。

① 受付番号

検索キーに該当する受付ファイルの「受領番号」を出力する。受領番号で検索したときには表示されるのは1件である。

② 事件名

「出生」・「婚姻」・「死亡」等の受付事件名が表示される。

③ 受送

「受理」・「送付」の区別が表示される。

④ 本非

「本籍」・「非本籍」の区別が表示される。

⑥ 渉外

「渉外」・「外国人」が表示される。事件本人が「日本人」だけの届書については表示されない。

⑦ 受付日

届書の「受領年月日」が表示される。

⑧ 決裁

「決裁」・「未決裁」・「修正」の決裁区分を表示する(決裁を参照)。

⑨ 事件本人

届書の事件本人の「漢字氏名」が表示される。

該当する受付ファイルのNOを入力すると受付ファイル(検索)画面に展開する。

(6) 受付ファイル(検索)画面

画面ＩＤ	受付ファイル検索	H99.99.99	99/99
受付№： 9999999-9	受送： ＫＫ	受付日： Ｘ 99 99 99	処分： ＫＫＫ 決裁： ＫＫＫ
事件名： ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ		事件日： Ｘ 99 99 99	時分： 99:99
出張所： 999	発送日： Ｘ 99 99 99	郵送日： Ｘ 99 99 99	本非： ＫＫＫ
発　日： Ｘ 99 99 99	収　日： Ｘ 99 99 99	許可日： Ｘ 99 99 99	渉外： ＫＫＫ
指示日： Ｘ 99 99 99	関連№： 9999999 9999999 9999999 9999999 9999999		

事件本人区分	氏　名　（カナ／漢字）	生年月日
（届出人）	本　籍	
ＫＫＫＫＫＫ	Ｘ——Ｘ(48)——Ｘ	ＸＸＸＸ.99.99
ＫＫＫ	Ｋ——Ｋ(24)——Ｋ	送達 Ｘ Ｘ
	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	
ＫＫＫＫＫＫ	Ｘ——Ｘ(48)——Ｘ	ＸＸＸＸ.99.99
ＫＫＫ	Ｋ——Ｋ(24)——Ｋ	送達 Ｘ
	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	
届出 ＫＫＫＫＫ	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	
届出 ＫＫＫＫＫ	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	
届後本籍	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	
筆頭者	Ｋ——Ｋ(30)——Ｋ	

ＰＦガイダンス

Ｋ——Ｋ(39)——Ｋ

(7) 受付ファイル(検索)画面

① 受付 No

「受領番号」を表示する。

② 受送

「受理」・「送付」の区別を表示する。

③ 受付日

「受領年月日」を表示する。

④ 処分

「受理」・「不受理」・「受理伺い」・「処理伺い」・「返戻」・「取り下げ」「受理処分の撤回」・「保留」・「誤処理」の 9 つの処分区分を表示する。

⑤ 決裁

「決裁」・「未決裁」・「修正」の決裁区分を表示する(決裁を参照)。

⑥ 事件名

「出生」・「婚姻」・「死亡」等の受付事件名を表示する。

⑦ 事件日

「事件発生年月日」を表示する。

⑧ 時分

死亡の「事件発生時分」を表示する。

⑨ 出張所

支所・出張所で戸籍事務を行なう場合,届書を処理した支所・出張所の番号を表示する。支所・出張所番号は市区町村で割り当てることになる。

⑩ 発送日

戸籍の記載をする必要のある市区町村へ届書を発送した年月日を表示する。

⑪ 郵送日

戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条に定める通信日付印中の年月日を表示する。

⑫ 本非

「本籍」・「非本籍」の区別を表示する。

⑬ 発日

監督法務局長へ「受理伺い」または「処理伺い」をした年月日を表示する。

⑭　収日

監督法務局長からの「許可書」または「指示書を」受領した年月日を表示する。

⑮　許可日

監督法務局長が受理許可をした年月日を表示する。

⑯　渉外

事件本人として「日本人」・「渉外」・「外国人」のいずれかの者がある事を表示する。

⑰　指示日

監督法務局長が処理伺いに対して指示した年月日を表示する。

⑱　関連 No

戸籍事務取扱準則制定標準第 30 条に定める関連受付ファイルの受領番号が表示する。

⑲　事件本人区分

出生届書出あれば「出生子」,婚姻届書であれば「夫」・「妻」,死亡届書であれば「死亡者」の表示をする。

⑳　カナ氏名

事件本人のカナ氏名を表示する。

㉑　漢字氏名

事件本人の漢字氏名を表示する。

㉒　生年月日

事件本人の生年月日を表示する。

㉓　送達

事件本人について戸籍の記載の必要のある市区町村長から届書が届いた旨の確認通知が返送されてきたことを表示する。

㉔　届出資格

届出人の資格を表示する。

㉕　届出人氏名

届出人の漢字氏名を表示する。

㉖　届出後本籍

届出前と届出後で事件本人の本籍が異なるとき届出後の本籍を表示する。

7　不受理申出ファイル

不受理申出については昭和 51 年 1 月 23 日民 2 第 900 号民局長通達にその取扱いが定められている。またこの通達についての具体的な事務手続きとして法務省民事局第 2 課長から法務局長と地方法務局長宛の依命通知(法務省民 2 第 901 号昭和 51 年 1 月 23 日)がある。この中の 5 に「不受理申出がされた場合には,当該戸籍の直前に着色用紙をとじ込む等の方法を講ずることは差し支えないが,戸籍に直接附箋等を貼付することのないよう配慮するものとする。」とされている。

システムではこの着色用紙に相当するものとして不受理申出ファイルを作成するとにした。つまりシステム化後も戸籍データ･ベースに直接不受理申出データを記録してはならないとした。

(1) 不受理申出ファイルに記録する情報

不受理申出ファイルに記録する情報は次のとおりである。

① 不受理処分をする届出の種別
② 相手方氏名(ひとつの不受理申出について最大 2 名まで記録)
③ 不受理申出期間の開始年月日
④ 不受理申出期間の失効する年月日
⑤ 失効の種別

終　　了=不受理申出期間が終了した。
取り下げ=不受理申出の取り下げがあった。
失　　効=不受理申出の相手方以外の者との間の届出があり,申出の効力がなくたった。

⑥ 不受理申出ファイルを作成した年月日

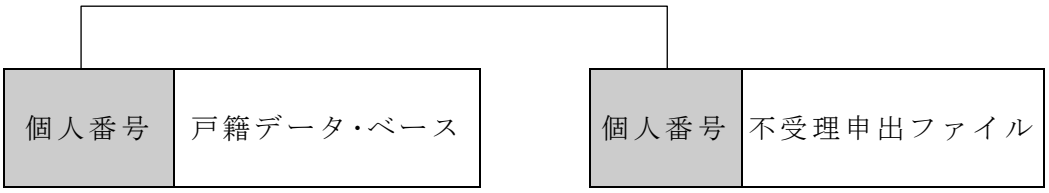
(2) 不受理申出ファイルの概要

個人番号	行番号	出張所番号	不受理申出事件コード	開始日(届出日)	

	送付日	失効日	失効区分	作成日(処理日)	相手方氏名 1	相手方氏名 2

(3) 不受理申出ファイルと戸籍データ･ベースとの関連

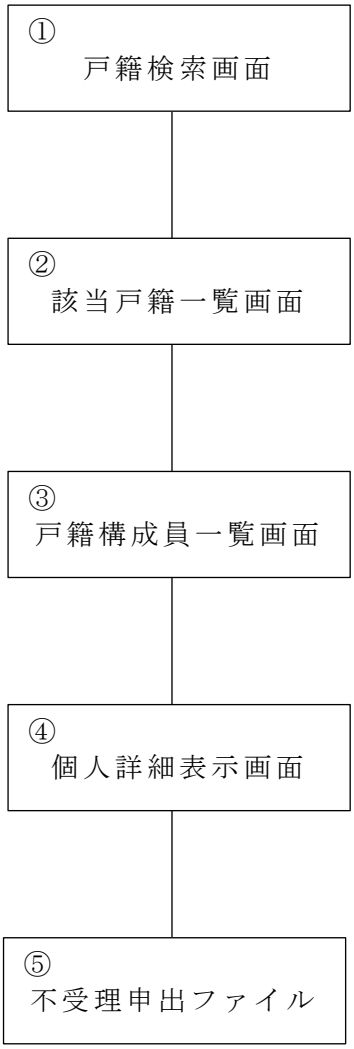
不受理申出ファイルに記録した情報は個人番号により戸籍データ･ベースに記録した個人と関連付けられている。



(4) 不受理申出ファイルの表示

届出事件本人について不受理申出ファイルに記録があるときには,届書入力処理で事件本人を特定したときに記録した内容を表示する画面が自動的に出力される。入力者は不受理申出ファイルの内容を確認して届出の受理･不受理の判断を行なう。

(5) 受理申出の検索･更新における画面展開



(6) 不受理申出ファイルの検索

① 検索画面

戸籍検索における検索画面に同じである。

② 該当戸籍一覧画面

戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

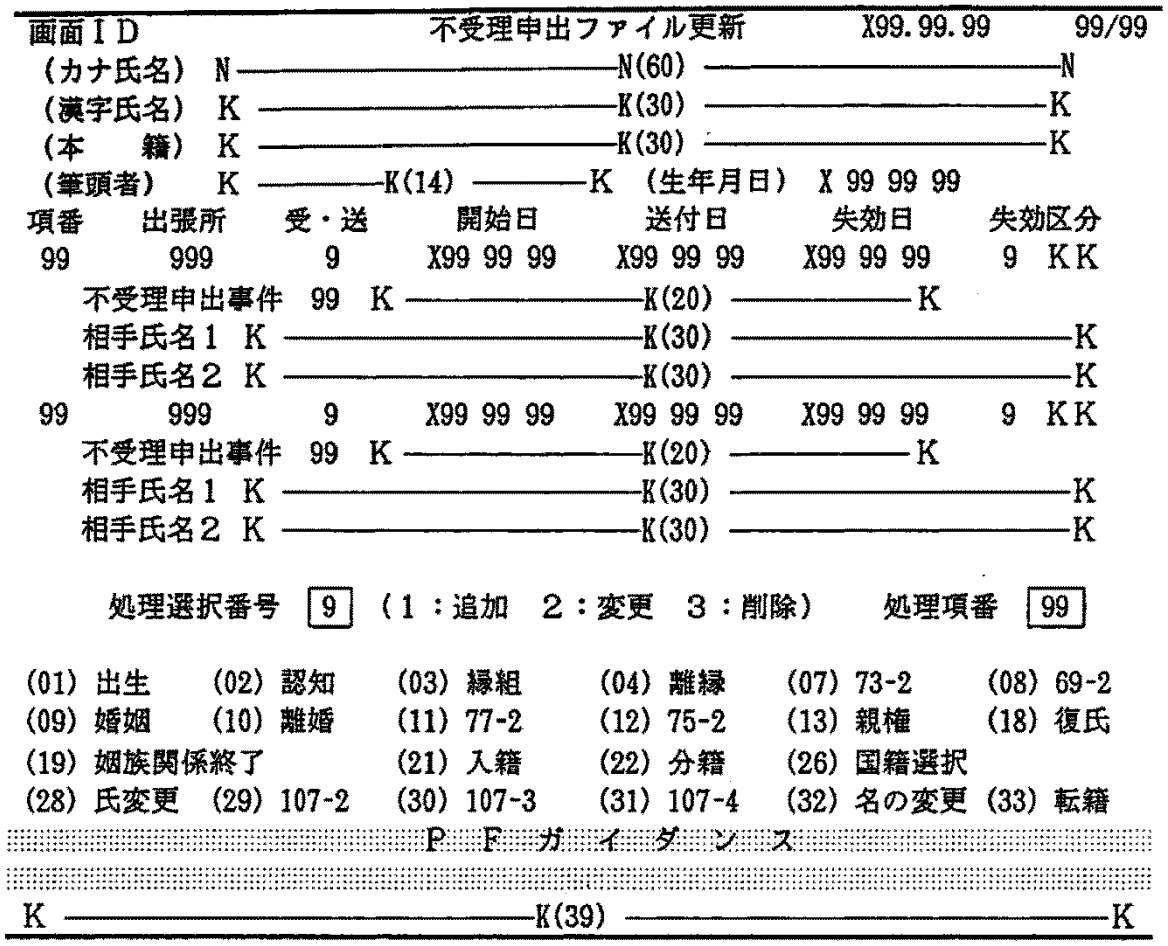
③ 戸籍構成員一覧画面

戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

④ 個人詳細表示画面

戸籍検索における個人詳細表示画面と同じである。

(7) 不受理申出ファイル更新画面



①カナ氏名

申出人のカナ氏名を表示する(氏名ファイルから)。

②漢字氏名

申出人の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

③本籍

申出人の本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④筆頭者の氏名

申出人の筆頭者の氏名を表示する(戸籍特定ファイルから)。

⑥項番

申出事件順に項番号を表示する。

⑦出張所

処理する支所･出張所番号を表示する。

⑧受･送

申出書を受理したのか,他の市区町村から送付されてきたのかの区別を入力する。

⑨開始日

申出期間の開始年月日を入力する。

⑩送付日

他の市区町村で受領した申出書が送付された年月日を入力する。

⑪失効日

申出期間の失効年月日を入力する。

⑫失効区分

申出が失効した理由を入力する。

終　　了　1　=不受理申出期間が終了した。

取り下げ　2　=不受理申出の取り下げがあった。

失　　効　3　=不受理申出の相手方以外の者との間の届出があり,申出の効力がなくたった。申出人が死亡した等。

⑬不受理申出事件

不受理処分する事件名コードを画面下の表示にしたがい入力する。

⑭相手方氏名 1

不受理処分する事件の相手方の氏名を入力する。相手方を特定していないときは入

力しない。

⑮相手方氏名 2

不受理処分する事件の相手方がふたりいるときに氏名を入力する。

⑯処理選択番号を入力する。

追加　1=新たに申出られた不受理申出書を入力するときに入力する。

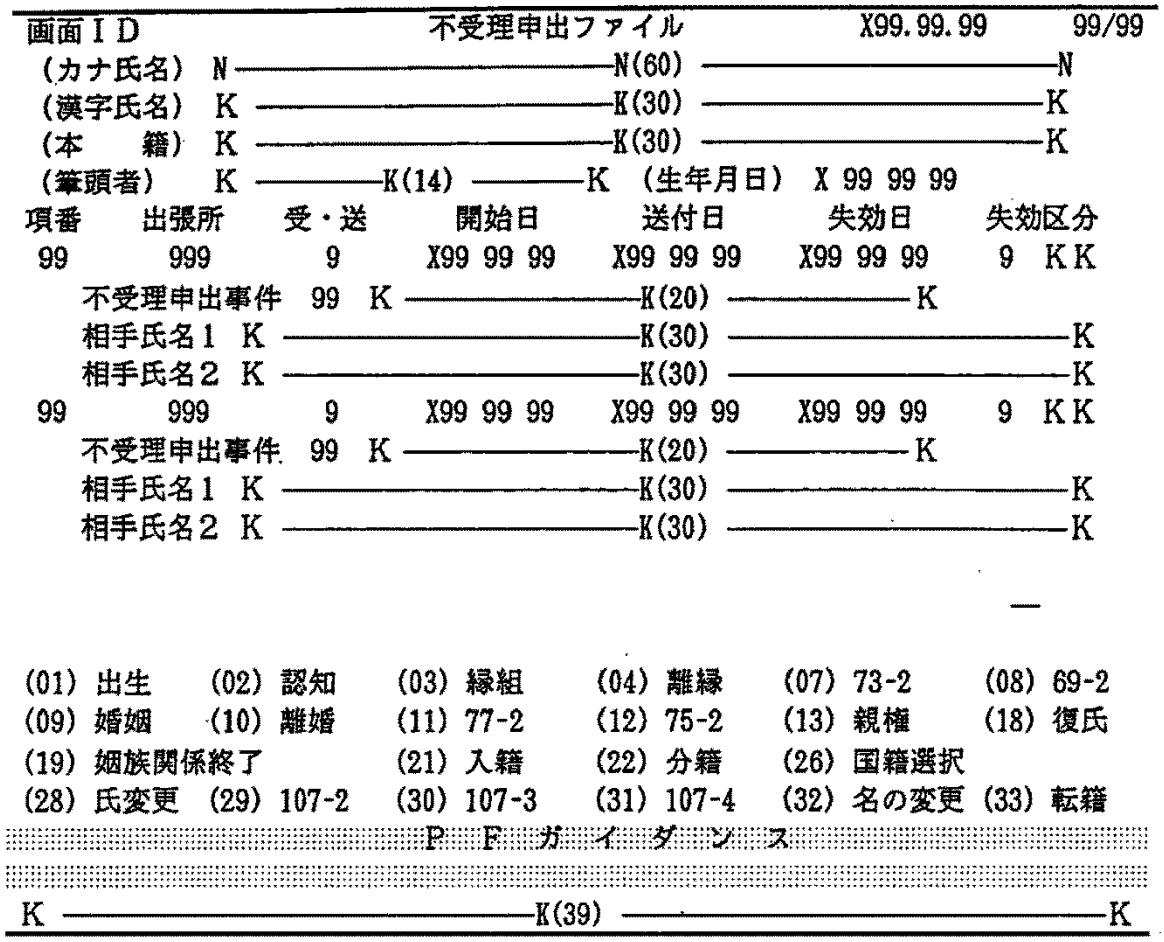
変更　2=すでに入力されている不受理申出の内容を変更するときに入力する。

削除　3=すでに入力されている不受理申出を削除するときに入力する。

⑰処理項番

処理する不受理申出の項番を入力する。新規に入力するときはすでに入力さている不受理申出の次の項番を入力する。変更･削除するときは当該不受理申出の画面に表示される項番を入力する。

(8) 不受理申出ファイル表示画面



①カナ氏名

申出人のカナ氏名を表示する。

②漢字氏名

申出人の漢字氏名を表示する。

③本籍

申出人の本籍を表示する。

④筆頭者の氏名

申出人の筆頭者の氏名を表示する。

⑥項番

申出事件順に項番号を表示する。

⑦出張所

処理した支所･出張所番号を表示する。

⑧受･送

申出書を受理したのか,他の市区町村から送付されてきたのかの区別を表示する。

⑨開始日

申出期間の開始年月日を表示する。

⑩送付日

他の市区町村で受領した申出書が送付された年月日を表示する。

⑪失効日

申出期間の失効年月日を表示する。

⑫失効区分

申出が失効した理由を表示する。

終　　了=不受理申出期間が終了した。

取り下げ=不受理申出の取り下げがあった。

失　　効=不受理申出の対象相手方以外の者との間の届出があり,申出の効力がなくたった。

⑥不受理申出ファイルを作成した日

不受理申出ファイルを作成した年月日を表示する。

⑬不受理申出事件

不受理処分をする事件名を表示する。

⑭相手方氏名 1

不受理処分をする相手方の氏名を表示する。相手方を特定していないときは表示されない。

⑮相手方氏名 2

不受理処分をする相手方の氏名を表示する。ひとつの不受理申出について相手方がふたりいるときに表示される。

⑯不受理申出事件

不受理処分をする事件名を表示する。不受理申出が複数件あるときに順次表示する。画面はスクロールする。

⑰相手方氏名 1

不受理処分をする相手方の氏名を表示する。相手方を特定していないときは表示されない。

⑱相手方氏名 2

不受理処分をする相手方の氏名を表示する。ひとつの不受理申出について相手方がふたりいるときに表示される。

8　個人状態ファイル

(1) 個人状態ファイルに記録する情報

個人状態ファイルは本籍人について個人単位で注意事項を記録するファイルである。注意事項とは次の事項である。

① 「受理伺い」・「処理伺い」・「保留」中の届書がある。

② 母について胎児認知届書がある(戸籍法第 61 条)。

③ 家庭裁判所から通知がある(家事審判規則第 143 条)。

④ 禁治産者に該当している
(地方自治法第 2 条第 3 項第 16 号・公職選挙法第 11 条)。

⑤ 準禁治産者に該当している(地方自治法第 2 条第 3 項第 16 号)。

⑥ 破産宣告を受けている(地方自治法第 2 条第 3 項第 16 号)

⑦ 既決犯罪人名簿がある(公職選挙法第 11 条)

⑧ そのほかの注意事項を文章で記録する。75 文字まで記録が可能である。
戸籍訂正許可申請中である。
市区町村長の親族である旨を記録する等。

(2) 個人状態ファイルのファイル構成

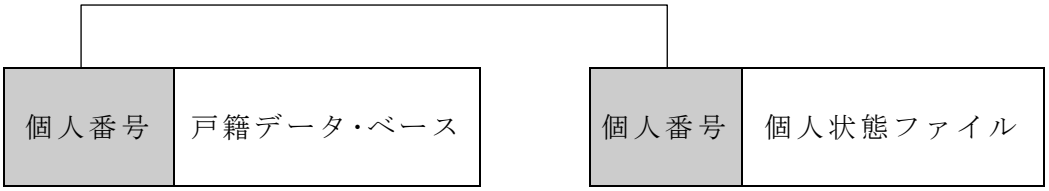
個人番号	禁治産者区分	準禁治産者区分	破産宣告人区分	裁判所通知区分	

	犯歴区分	胎児認知区分	受理伺い区分	保留区分	メモ

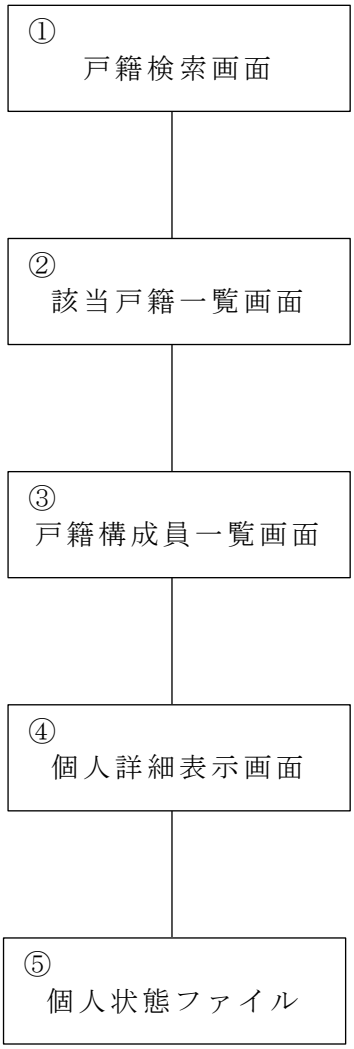
※犯歴区分は,プライバシー問題があるので,文言及び使用可否等も含め市町村へ委ねる。又,使用する場合は,検索表示であってもパスワード等により,操作者を限定する必要がある。

(3) 個人状態ファイルと戸籍データ･ベースとの関連

個人状態ファイルに記録した情報は個人番号により戸籍データ･ベースに記録した個人と関連付けられている。



(4) 個人状態ファイルの検索･更新における画面展開



(5) 個人状態ファイルの更新

① 検索画面

戸籍検索における検索画面と同じである。

② 該当戸籍一覧画面

戸籍検索における該当戸籍一覧画面と同じである。

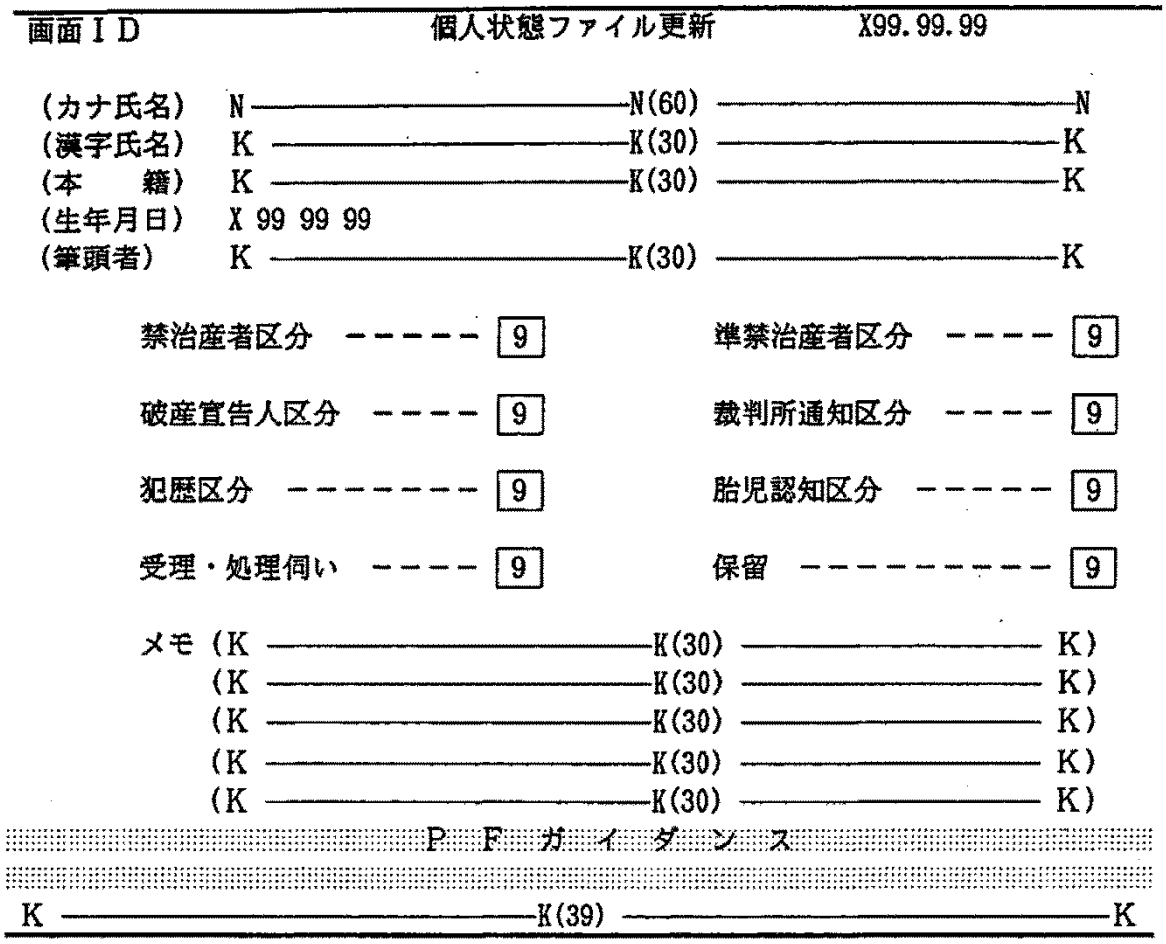
③ 戸籍構成員一覧画面

戸籍検索における戸籍構成員一覧画面と同じである。

④ 個人詳細表示画面

戸籍検索における個人詳細表示画面と同じである。

(6) 個人状態ファイル更新画面



① カナ氏名

個人状態ファイル処理対象者のカナ氏名を表示する(氏名ファイルから)。

② 漢字氏名

個人状態ファイル処理対象者の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

③ 本籍

個人状態ファイル処理対象者の本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 生年月日

個人状態ファイル処理対象者の生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者

個人状態ファイル処理対象者の筆頭者の氏名を表示する。

⑥ 禁治産者区分

禁治産宣告による後見届出があったときは届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理」と入力すると自動的に個人状態ファイルが更新される。

届出より先に家庭裁判所からの通知があったときは,この画面を開いて区分を入力する。

禁治産者区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。また身分証明書を出力するときにその旨が表示される。

禁治産宣告の取り消しがあっときに区分を削除する場合もこの画面で行なう。

⑦ 準禁治産者区分

保佐届出があり届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理」と入力すると自動的に個人状態ファイルが更新される。

届出よりも先に家庭裁判所からの通知があったときは,ここに区分を入力する準禁治産者区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。また身分証明書を出力するときにその旨が表示される。

準禁治産宣告の取り消しがあっときに区分を削除する場合もこの画面で行なう。

⑧ 破産宣告人区分

家庭裁判所からの通知があったとき,ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。また身分証

明書を出力するときにその旨が表示される。

破産宣告の取り消しがあったときに区分を削除する場合もこの画面で行なう。

⑨　裁判所通知区分

家事審判規則第 143 条により離婚･離縁等の調停が成立もしくは審判が確定した旨の家庭裁判所から通知があったときに区分を入力する。ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

当該通知に係わる届出があったときにこの画面で裁判所通知区分を削除する。

⑩　犯歴区分

検察庁から既決犯罪人通知または市区町村長からの民刑事項通知を受けたときに特定のパスワード保持者が区分を入力する。システムではこの画面以外はいかなる画面にも表示しない。届出により該当者について戸籍の異動があったときに市区町村間の民刑事項通知が滞りなく行なわれるようにするためである。

既決犯罪人名簿を閉鎖したときにはこの画面で速やかに区分を削除する。

⑪　胎児認知区分

胎児認知届出があったときに届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理」と入力したときに本籍人の母について個人状態ファイルが自動更新される。この区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

胎児認知届書に対応する出生届書または死産届書を入力したときは,後にこの画面を開いて区分を消除する。

⑫　受理･処理伺い

届書入力処理の処分決定で処分区分を「受理伺い」もしくは「処理伺い」と入力したときに自動的に付設される。またこの画面を開いて入力することもできる。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

法務局からの許可または指示を受けて届書を処理したときはこの画面を開いて区分を削除する。区分の削除は自動的には行なわない。それは当該人について複数の受理伺い中の届出書がある場合でも受理伺い中の届出がある旨しか対応していないからである。

⑬　保留

届書入力処理の処分決定で処分区分を「保留」と入力したときに自動的に付設される。またこの画面を開いて入力することもできる。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄に反映することができる。

届書を処理をしたときはこの画面を開いて区分を削除する。

⑭　メモ

戸籍法第 24 条による戸籍訂正許可申請中であるとか,市区町村長の親族であるので職務代理者が戸籍事務を管掌する必要があるとか,戸籍に対する注意事項を全角 75 文字の範囲で入力する。

ここに区分を入力することにより戸籍構成員一覧画面および個人詳細表示画面の該当欄にメモがある旨を反映することができる。

(7) 個人状態ファイル検索画面

①　検索画面

戸籍検索における検索画面に同じである。

②　該当戸籍一覧画面

戸籍検索における該当戸籍一覧画面に同じである。

(8) 戸籍構成員一覧画面

画面ＩＤ　　戸籍構成員一覧　　X99.99.99　　99/99

（編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 （記載数） 99 （在籍数） 99

本　籍　K ――――――――――K(30) ――――――――――K
筆頭者　K ――――――――――K(30) ――――――――――K
戸籍事項　K ――――――――――K(33) ――――――――――K
　　K ――――――――――K(33) ――――――――――K
　　K ――――――――――K(33) ――――――――――K
　　K ――――――――――K(33) ――――――――――K
　　K ――――――――――K(33) ――――――――――K
　　K ――――――――――K(33) ――――――――――K

No	氏名	生年月日	除籍日	続柄	配偶	家	伺	保	胎	メ
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※
99	K――K(14)――K	X99.99.99	X99.99.99	KKK	KK	※	※	※	※	※

詳細選択番号 [99]

ＰＦガイダンス

K ――――――――――K(39) ――――――――――K

戸籍検索における戸籍構成員一覧画面で説明しなかった項目について述べる。合わせて戸籍検索の項を参照願いたい。

① 家

該当戸籍の在籍者について家事審判規則第143条による通知の有無を表示する。

② 伺

該当戸籍の在籍者について「受理伺い」・「処理伺い」中の届書があるか,ないかを表示する。

③ 保留

該当戸籍の在籍者について「保留」中の届書があるか,ないかを表示する。

④ 胎

該当戸籍の在籍者(母)について「胎児認知届書」があるか,ないかを表示する。

⑤ メ

該当戸籍の在籍者について「メモ」があるか,ないかを表示する。

(9) 個人詳細表示画面

画面ＩＤ　　個人詳細表示　　X99.99.99　　99/99

（編製日） X.99.99.99 （消除日） X.99.99.99 家 K 伺 K 保 K 胎 K メ K
本　籍　K ――――――――――――――K(30) ――――――――――――K
筆頭者　K ――――――――――――――K(30) ――――――――――――K
カナ氏名 N ――――――――――――――N(60) ――――――――――――N
漢字氏名 K ――――――――――――――K(30) ――――――――――――K
（生年月日） X.99.99.99 （除籍日） X.99.99.99 KKK KKKKK KKK
父 K ――――K(14) ――――K 母 K ――――K(14) ――――K KKK
養父 K ――――K(14) ――――K 養母 K ――――K(14) ――――K KKK

No	事件名称	身分事項記載項目
99	K ――――K	K ――――――――K(27) ――――――――K
	K ――――K	K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K
99	K ――――K	K ――――――――K(27) ――――――――K
	K ――――K	K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K
		K ――――――――K(27) ――――――――K

ＰＦガイダンス

戸籍検索における個人詳細表示画面で説明しなかった項目について述べる。合わせて戸籍検索の項を参照願いたい。

① 家

家事審判規則第 143 条による通知の有無を表示する。

② 伺

「受理伺い」・「処理伺い」中の届書があるか,ないかを表示する。

③ 保留

「保留」中の届書があるか,ないかを表示する。

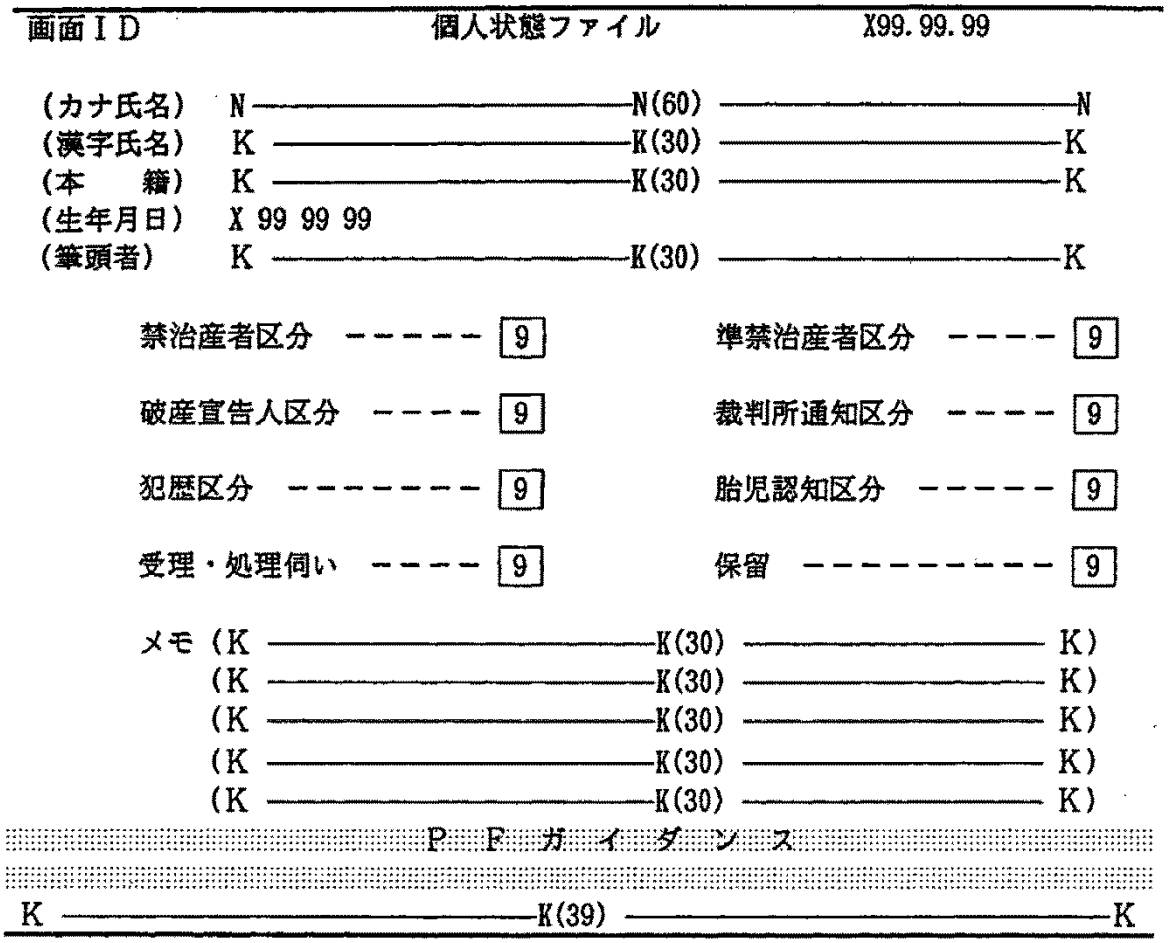
④ 胎

「胎児認知届書」があるか,ないかを表示する。

⑤ メ

「メモ」があるか,ないかを表示する。

(10)個人状態ファイル表示画面



① カナ氏名

検索対象者のカナ氏名を表示する(氏名ファイルから)。

② 漢字氏名

検索対象者の漢字氏名を表示する(氏名ファイルから)。

③ 本籍

検索対象者の戸籍の表示のうち,本籍を表示する(戸籍特定ファイルから)。

④ 生年月日

検索対象者の生年月日を表示する(個人特定ファイルから)。

⑤ 筆頭者

検索対象者の戸籍の表示のうち,筆頭者の氏名を表示する。

⑥ 禁治産者区分

検索対象者が禁治産者に該当する場合に表示する。

⑦ 準禁治産者区分

検索対象者が準禁治産者に該当する場合に表示する。

⑧ 破産宣告人区分

検索対象者が破産宣告を受けている場合に表示する。

⑨ 裁判所通知区分

検索対象者について家事審判規則第 143 条により家庭裁判所から通知を受けている旨を表示する。

⑩ 犯歴区分

既決犯罪人名簿がある旨を表示する。

⑪ 胎児認知区分

母について胎児認知届書がある旨を表示する。

⑫ 受理･処理伺い

受理伺いまたは処理伺い中の届書がある旨を表示する。この場合受付ファイルも受理伺いまたは処理伺いで作成されている。

⑬ 保留

処理を保留している届書がある旨を表示する。この場合受付ファイルも保留で作成されている。

⑭ メモ

戸籍法第24条による戸籍訂正許可申請中であるとか,市区町村長の親族であるとので職務代理者が戸籍事務を管掌する必要があるとか,戸籍に対する注意事項を表示する。

9　届書の処理

届書の処理とは届書に記載された事項を入力して戸籍データ･ベースや受付ファイルなどシステムの各ファイルに必要事項を記録することをいう。

届書の処理方法はシステムの審査機能を活用することによって関係法令を原則的に適用する「届書審査処理」と,関係法令を原則的に適用したのでは処理することができない,あるいは関係法令の他にさらに先例･通達等を適用しなければ処理することができない場合の「届書審査結果入力処理」,戸籍訂正および追完に関する届書(申請書)を処理する場合の「戸籍訂正･追完処理」の 3 つである。

これら 3 つの処理方法を設けた理由は,市区町村の戸籍事務担当職員から事務改善事項として要望の高かった「システムによる届書の審査と戸籍の記載」による(平成元年度戸籍事務コンピュータ化調査研究会報告書)。

(1) 届書審査処理

届書審査処理は,届書の審査から戸籍の記載までを画面との対話形式で処理する方法である。この処理には届書の審査機能と戸籍記載機能を組み込み,届書審査機能により複雑多岐に渡る関係法令の適用漏れや適用誤りを防ぎ,戸籍の自動記載機能によって戸籍作成の迅速性と正確性を向上させた。

(2) 届書審査結果入力処理

届書審査結果入力処理は届書の審査から戸籍の記載までの全ての処理の判断を人手で行ない,その結果を入力する方法である。この処理は届書審査処理でシステムとの対話処理により原則的に処理ができないと判断されたもの,または先例･通達等を適用する必要があり戸籍の専門的知識が無ければ処理ができないと予め了解できる届書を処理する。

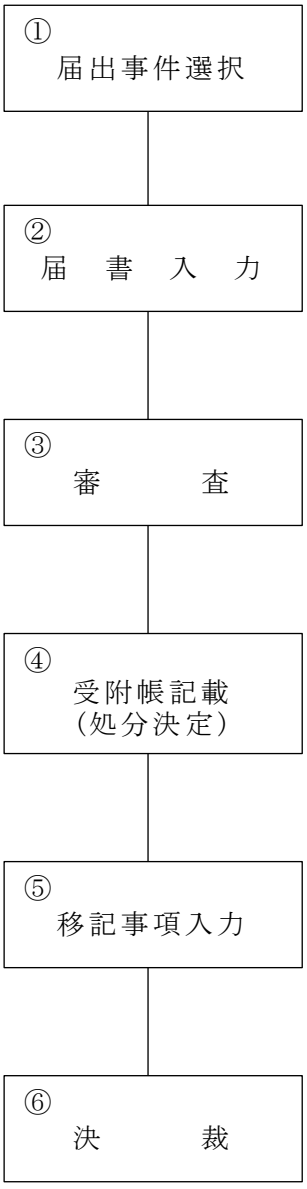
(3) 戸籍訂正･追完処理

戸籍訂正･追完処理は「戸籍法第 24 条」･「第 113 条」･「第 114 条」･「第 116 条」･「市区町村長限り職権訂正」の戸籍訂正と追完届専門の処理方法である。戸籍の訂正は処理の内容がさまざまであるためシステムで自動的に行なうことはできない。したがって審査結果処理入力と同様に人手により判断した結果を入力することになる。

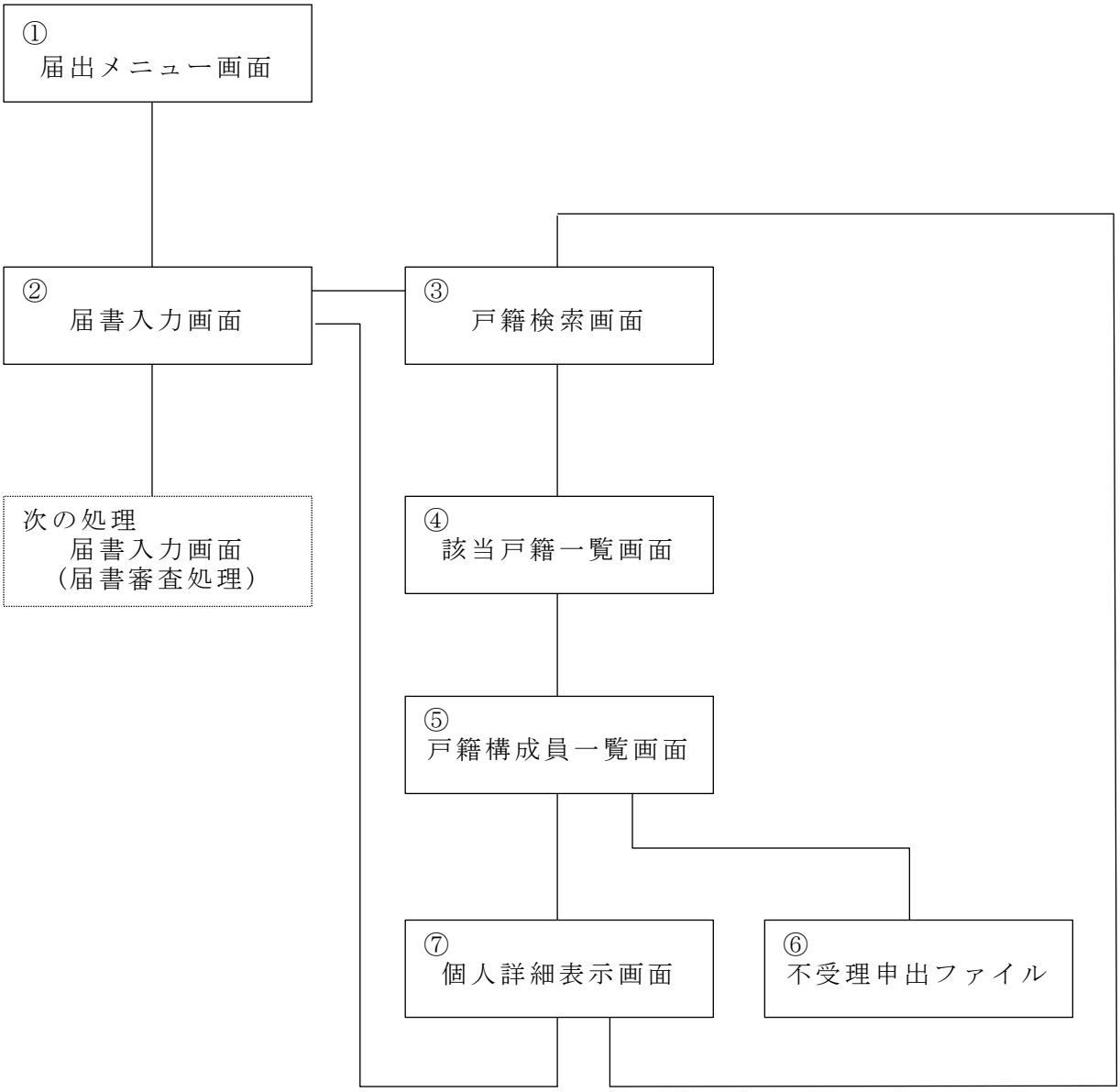
なおデータ･保護の観点から戸籍の訂正は必ず訂正事項を記録しなければ処理できないようにした。つまり戸籍訂正は必ず訂正事項入力を介してから所要の処理することにした。

(4) 届書審査処理の概念図

システムの審査機能を活用した届書の処理の概要を示すと次のようになる。以下各処理ごとの画面展開を順次説明することにする。



(5) 届出事件の選択と届書入力の画面



① 届出メニュー画面

届出事件の一覧から受領した届書の事件を選択する。届出事件を選択して実行キーを押すと届書入力画面に展開する。

② 届書入力画面

事件本人が本籍人のときは戸籍データ･ベースを検索するために戸籍検索画面へ画面を展開する。事件本人の検索の方法は戸籍の検索のときと同じ方法である。

事件本人が非本籍人のときは,画面項目にしたがって届書と添付書類から画面項目を入力する。

③　戸籍検索画面

事件本人の戸籍を検索するためのキーを入力する。画面と検索キーは戸籍検索(戸籍検索を参照)と同じである

④　該当戸籍一覧画面

検索キーに該当する戸籍が出力されるので,事件本人の戸籍を選択する。画面は戸籍検索と同じである。

ここで検索した事件本人が何に該当するか指示入力をする。婚姻届けを例に取れば,検索した者が「夫」である場合は「夫」の指示入力を行なう。

⑤　不受理申出ファイル画面

事件本について不受理申出ファイル(不受理申出ファイル参照)があるときには,不受理申出ファイルが強制的に表示される。不受理申出の内容と届書の内容を照合して不受理申出事項の該当しないときはこの画面で「受理」の区分を,該当するときは「不受理」の区分を入力する。

「不受理」の区分を入力しても届書入力は行なうことになる。なぜなら受付ファイルは戸籍発収簿の機能(受付ファイル参照)を持つからである。

もし,届出と同時に不受理申出の取り下げがあるときは,届書入力を中止して各種ファイル更新処理から不受理申出のファイルの更新画面を開いて「取り下げ」の処理をしてから届書入力を行なう。

⑥　個人詳細表示画面

事件本人の身分事項と届書の内容を確認する。画面は戸籍検索の個人詳細表示画面と同じである。

事件本人が複数人いるときは検索画面に戻り次の人を検索する。

⑦　届書入力画面

事件本人の戸籍を特定して届書入力画面にもどると戸籍データ･ベースが保有している情報が該当する画面項目に出力される。

戸籍データ･ベースから出力されない届書画面項目は届書と添付書類から入力する。

事件本人が非本籍人のときは,画面項目にしたがって届書と添付書類から画面項

目を入力する。

届書画面の入力が終了して実行キーをおすと事件本人が本籍人であるときは検索した戸籍がロックされる。戸籍のロックとは,届書入力画面で事件本人の戸籍データ・ベースを検索したときに,その戸籍について他の届書入力処理ができない,あるいは戸籍の証明が出力されないようにするために,システム的に戸籍データ・ベースに処理の排他をかけることである。

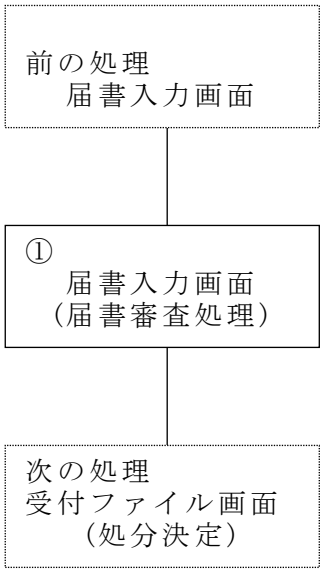
戸籍のロックは届出事件本人個人にかけるのではなく,戸籍全体にかける。これは届書の処理は事件本人だけでなく関連して別のひとも処理されることがあるからである。たとえば転籍や氏の変更では届出人は筆頭者と配偶者であるが届出に基づく処理の対象は在籍者全員である。また婚姻している筆頭者が縁組する場合は配偶者も追従入籍するし,父母の婚姻により嫡出の身分を取得する準正子は父母との続柄が関連訂正対象である。転籍や氏の変更のときは届出の種別を判別して戸籍全体にロックをかけることは可能であるが,養子縁組や婚姻では届書の種類ではなくその届出の内容によって在籍者に影響をあたえるか判別する必要がある。これをシステムでロックするようにすると届書入力画面での入力項目が煩雑になってかえって処理効率が悪くなる。したがって,どの届書処理においても戸籍全体にロックをかけることにした。

戸籍にロックがかかると届書入力画面で事件本人の戸籍を検索するとロックされている旨が表示され,処理ができないようになる。また戸籍の証明を出力しようとするとやはりロックされている旨が表示される。ただし端末操作者の判断により個人証明を出力することができる。

戸籍のロックの解除は戸籍の選択を誤った場合等の例外を除いて原則的に決裁担当者(決裁参照)が仮戸籍(仮戸籍を参照)の記録が正しくなされるか確認して戸籍データ・ベースの更新をしたときに解除される。

(6) 届書の審査

届書審査の処理画面



届書入力画面の入力項目が全て入力されたら実行キーを押すと本籍人の戸籍がロックされると同時に入力項目の審査が開始する。審査は届書入力画面上で行なわれる。審査の内容は次のとおりである。

① 単体チェック

入力項目の個々について矛盾がないかチェックする。たとえば年月日はありうる年月日であることなど。

入力項目に矛盾があるとその項目が強調表示される。

② 関連チェック

入力項目の相互に矛盾がないかチェックする。たとえば事件本人が外国人であるときは生年月日が西暦で本籍が国名であることなど。

入力項目の相互に矛盾があると関連する項目が強調表示される。

③ 法令審査

それぞれの届出事件によって民法･戸籍法等の関係法令の審査を行なう。審査内容に対応したメッセージが画面上に出力される。表示されるメッセージの意味は次のとおりである。

エラー･メッージ

システム審査により不受理要件があるとき表示される。

婚姻届を例にとり主なエラー･メッセージあげれば次のようなものがある。

「重婚です。婚姻届出は受理できません。」

「婚姻適齢に達していません。」

「新本籍を入力してください。」

「新本籍には入力できません。」

確認メッセージ

システム審査により確認が必要なとき表示される。Y または N で指示する。

「(確)婚姻要件具備証明書等が添付されていますか。」

＊　事件本人に外国人がいるとき。

「(確)婚姻を証する書面が添付されていますか。」

＊　外国の方式で婚姻が成立したとき。

「(確)医師の診断書の内容を確認してください。」

＊　事件本人が禁治産者であるとき。

「(確)未成年者の婚姻ですが同意はありますか。」

＊　事件本人が未成年者のとき。

「(確)待婚期間が 6 箇月以内ですがよろしいですか。」

＊　前婚解消から 6 箇月経過していないとき。

ガイダンス･メッセージ

システムで審査できない法令審査はヘルプ画面等を開くことにより,表示される。

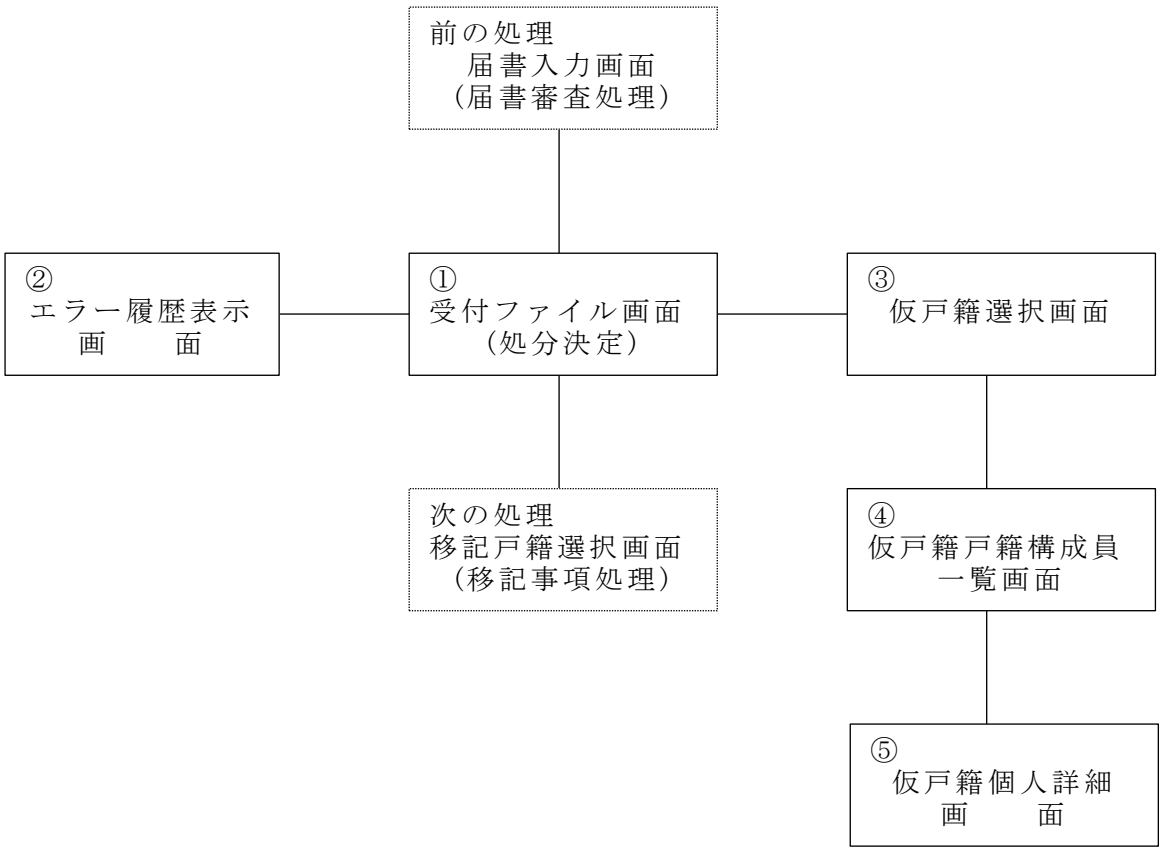
「近親婚ではありませんね。」

「証人の記載はありますか。」

エラー･メッセージと確認メッセージは出力されても審査を続けることができる。それは次の受付ファイル(処分決定)画面で処分区分を入力して届出の処分を行ない,届書の記録を受付ファイルに残さなければならないからである。

審査が終了すると受付ファイル画面に展開する。

(7) 受付ファイル画面(処分決定)



① 受付ファイル(処分決定画面)

届書入力画面の入力項目にしたがい受付ファイルが作成される。受付ファイル画面が出力されるので処分区分を入力する(受付ファイルと処分区分については受付ファイル参照)

② エラー履歴表示画面

届書審査を行なった際に表示去れた「エラー・メッセージ」と「確認メッセージ」を一覧で表示する画面である。端末操作者はこの画面を参照しながら処分区分を入力する。

③ 仮戸籍選択画面

現行制度の仮戸籍は,関東大震災など天災より戸籍が大量に滅失してしまったときや(大正 14 年 2 月 27 日民事 537 回答),終戦直後,本籍を沖縄県に有しており本土に在住している者の身分登録簿(昭和 20 年 8 月 28 日民事特甲 350 通達)としてなど、応急処置の方法として通達や回答で示されている。

ところで,ここでいう仮戸籍とは,システムでの仮戸籍であり,現行制度における仮戸籍とは異なる。システムの仮戸籍は,届出により戸籍データ･ベースに戸籍情報を記録するとき,入力情報を確認するために作成する仮の戸籍データ･ベースである。作成は,戸籍単位で行われ,その方法は,届書審査処理とそのほかの処理では異なり,届書審査処理とそのほかの処理でも新戸籍編製,個人の入･除籍など戸籍の処理方法によって異なる。

システム処理(システムの審査機能を活用する方法)では,次のとおりである。届出により事件本人について新戸籍を編製する場合は、システムが入力情報に基づいて受理と判定した時に自動的に作成する。届出により事件本人の戸籍内容を変更する(入籍･除籍･単なる記載)場合は,検索して戸籍を特定した時にその戸籍と同一内容で作成される。さらに,入力情報により届出を受理と判定した時,その届出の事項が仮戸籍に加えられる。非本籍人については,作成しない。また,受理以外のシステム判定では,作成された仮戸籍は,削除される。

審査結果入力処理と戸籍訂正･追完処理(届出の審査を人手で行い,その結果を入力する方法)では,次のとおりである。新らたに戸籍を作成するときは,まず第 1 に戸籍特定情報を入力し,次に戸籍事項情報,さらに,氏名情報,個人特定情報,身分事項情報と順次データ･ベースのファイル構成(戸籍データ･ベースの項参照)情報を入力するたびに対応する当該ファイルが作成される。最後に,これらのファイル情報にデータ･ベースとして矛盾が無いかチェックされることによって仮戸籍となる。届出により事件本人の戸籍内容を変更する(入籍･除籍･単なる記載)場合は,検索して該当戸籍を特定したときに作成する。その後は,この仮戸籍を対象に戸籍情報の入力を行う。レアケース処理では,現行のタイプ･ライターと同じ感覚で戸籍の記載処理を行うことになる。当然のことではあるが,非本籍人および受理処分をしない届出については,この処理はない。

仮戸籍を消す時期は,いずれの処理の場合でも,戸籍データ･ベースを仮戸籍と同じ内容で更新したときである。

(8) 移記事項入力処理

移記事項入力は戸籍法施行規則第37条(管外転籍の場合の記載事項)と同法第39条(身分事項の移記)に定める事項を戸籍に記録するための入力処理である。

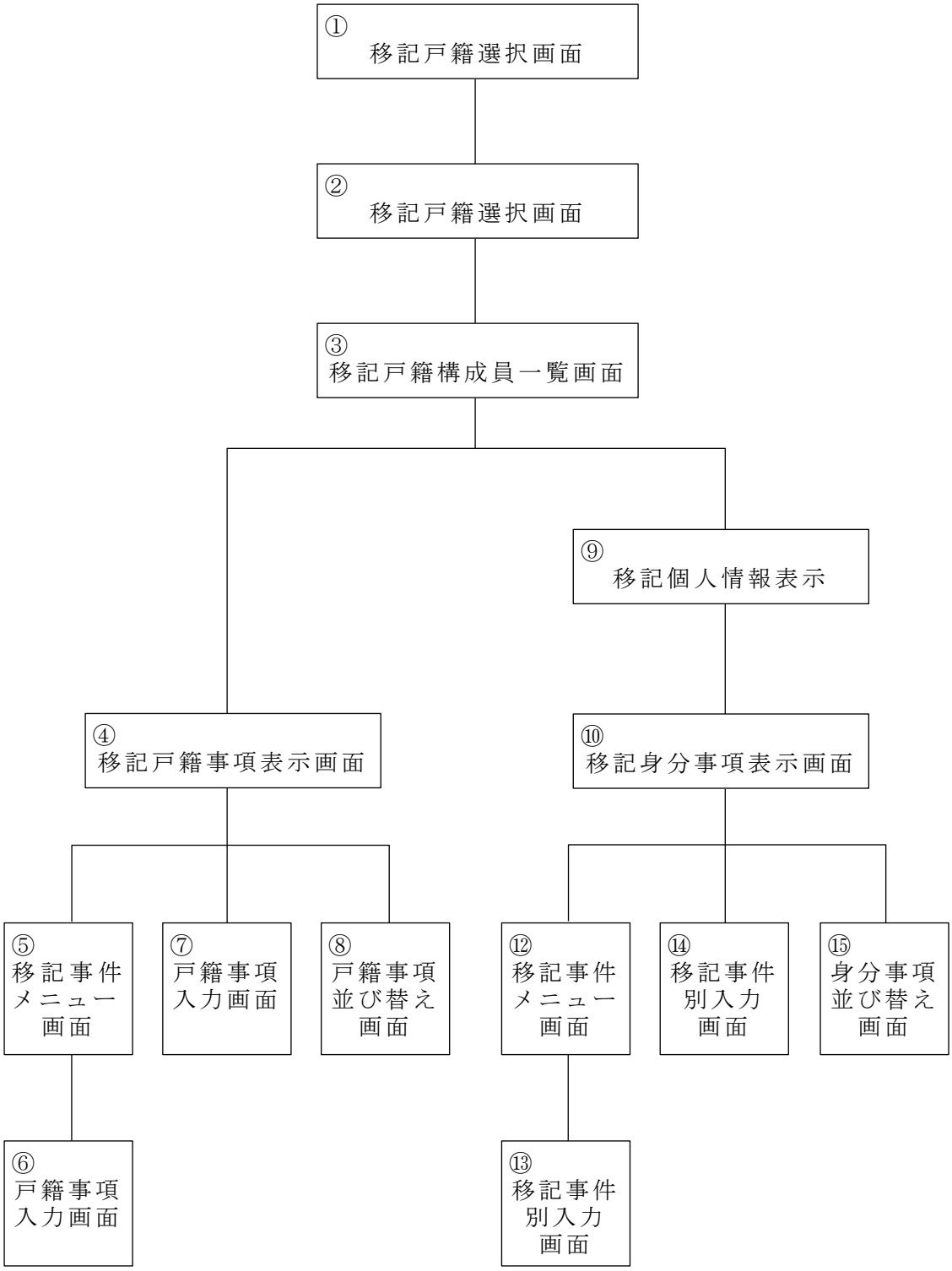
処分決定の項で述べたように「移記戸籍選択画面」は処分決定から引き続き画面を展開することもできるし,処分決定以降の処理をいったん中断した場合は,戸籍メニュー画面から移記事項処理を選ぶことにより画面を開くこともできる。つまり移記事項の入力は窓口の担当者が処分決定からの一連の作業として行うこともできるし,また窓口担当者は届書の入力と処分決定だけを行い移記事項の入力は事務所内の奥の別の者がすることもできる。

戸籍メニュー画面から画面を開くときには,移記事項処理を選択する。「移記戸籍選択画面」に展開するので,受付ファイル画面(処分決定)で届書に記載した「受領番号」を入力してキーを押す。「受領番号」に関係した仮戸籍の一覧(従前戸籍の仮戸籍も表示される。)が表示されるので,移記事項を入力する仮戸籍を選択する。処分決定から引き続き処理する場合は「移記戸籍選択画面」に展開することによりそれまでに処理した仮戸籍が表示されるので,移記事項を入力する戸籍を選択する。

移記戸籍選択画面には従前戸籍の仮戸籍も表示される。しかしデータ保護の観点から従前戸籍の仮戸籍に記録した情報はいっさい処理することはできない。従前戸籍の仮戸籍は移記事項を確認するために表示のみする。

また届書から入力した事項に基づき記録した事項(戸籍事項・身分事項等)も変更することができない。届書により記録した事項は受付ファイルにも同様の内容で記録されている。したがって届書入力により記録した仮戸籍の事項を修正するときは再入力となる。

(9) 移記事項入力処理の画面展開



ア　①移記戸籍選択画面

処分決定で届書に記載した「受領番号」を入力する。

処分決定から引き続き処理している場合はそのまま実行キーを押す。

イ　②移記戸籍選択画面

移記事項を入力する仮戸籍を選択する。

事件本人が本籍人であるときには従前戸籍も含めて表示される。この場合入籍戸籍または新戸籍の仮戸籍を選択する。

ウ　③移記戸籍構成員一覧画面

戸籍検索のときの戸籍構成員一覧画面と同じ構成の画面である。

戸籍事項へ移記すべき事件があるときには「移記戸籍事項事件表示画面」に画面を展開する。戸籍事項へ移記すべき事件がないときには,事件本人を選択して「個人情報表示画面」に画面を展開して身分事項の移記をする。

エ　④移記戸籍事項表示画面

選択した仮戸籍の戸籍事項の一覧を表示する。この画面で処理を選択する。処理は「記録」・「修正」・「削除」・「並べ替え」の 4 つである。「記録」を選択すると「移記事件メニュー画面」に,「修正」を選択すると「戸籍事件別入力画面」に,「並び替え」を選択すると「戸籍事並び替え画面」に展開する。「削除」は当該事件をこの画面で削除することができる。

オ　⑤移記戸籍事項事件メニュー画面

戸籍事項に移記する事件名を選択する画面である。事件名を選択すると次の画面で入力する項目が表示されるので,それにしたがって入力する。記録すべき事件が複数あるときは一つの事件を入力し終わるたびにこの画面に戻り次に移記する事件名を選択する。

選択する事件名は次のとおりである。

(ア)氏の変更

(イ)戸籍法 107 条 2 項

(ウ)戸籍法 107 条 3 項

(エ)戸籍法 107 条 4 項

(オ)戸籍法 73 条の 2

(カ)戸籍法 69 条の 2

(キ)戸籍法 77 条の 2

(ク)戸籍法 75 条の 2

カ　⑥移記戸籍事項事件別入力画面

⑤移記戸籍事項事件メニュー画面で選択した事件に対応する項目が表示されるので,項目にしたがって入力する。

移記入力する戸籍事項が複数あるときには,⑤移記戸籍事項事件メニュー画面に戻り再度事件を選択する。

キ　⑦移記戸籍事項事件別入力画面

「移記戸籍事項表示画面」で修正する事件を選択して「修正」を指示するとこの画面に展開する。戸籍事項の修正は決裁処理で入力の誤りを発見したときに活用する。ただし,ここで修正できるのは移記した事件だけである。「戸籍の編製年月日」・「戸籍の消除年月日」など受付ファイルにも影響する事項は処理できない。届書入力画面からの再入力となる。

ク　⑧戸籍事項並び替え画面

戸籍事項として移記した事件の順番を替えるときに使う。移記事項の並び替えは「移記事件メニュー画面」で入力順を誤ったときや決裁で順番の誤りが発見され「修正指示」があったときに利用する。

ケ　⑨移記個人情報表示

個人特定情報を入力する。通常個人特定情報は届書入力画面で入力するのでここでの入力はあまりない。転籍届出での父の氏名・母の氏名・父母との続柄は届書入力画面から入力しないのでここで入力する。また個人特定情報へ養父の氏名・養母の氏名・養

父母との続柄を移記する場合もこの画面から入力する。

コ　⑩移記身分事項表示画面

事件本人の身分事項の一覧が表示される。この画面で処理を選択する。処理は「記録」・「修正」・「削除」・「並べ替え」の 4 つである。「記録」を選択すると「移記事件メニュー画面」に,「修正」を選択すると「事件別入力画面」に,「並び替え」を選択すると「身分事項並び替え画面」に展開する。「削除」は身分事項を削除するときに選択する。「削除」はこの画面で行う。なお届書入力により記録された身分事項についてはいっさい処理をすることができない。届書から入力した情報は受付ファイルにも同様の内容で記録されている。したがって届書入力により記録された身分事項を修正するときには届書入力画面からの再入力となる。

身分事項の移記入力は次の 2 つに大別することができる。

(ア)　従前戸籍が管内であるとき

入籍戸籍・新戸籍の仮戸籍に従前戸籍から移記すべき身分事項を自動的に複写する。従前の戸籍に記録されたものをそのまま複写するので,移記をする際に引き直しを必要とする場合には「移記事件別入力画面」へ画面展開指示をする。また,婚姻・養子縁組などの身分形成事項と離婚・養子離縁などの解消事項が複数あるときには,システムでは対応が判別できないので全てを移記してしまう。この場合には移記不要な身分事項を消除する。

(イ)　従前の戸籍が管外であるとき

添付の戸籍謄本・全部証明等から移記事項を入力する。入力は「移記事件メニュー画面」を開いて行なう。

サ　⑫移記身分事項事件メニュー画面

戸籍法施行規則第 39 条に定める移記すべき身分事項をこの画面で選択する。事件名を選択すると次の画面で選択した事件に対応する入力項目が表示されるので,それにしたがって入力する。記録すべき事件が複数あるときには一つの事件を入力し終わるたびにこの画面に戻り次に移記する事件名を選択する。

選択する事件名は次のとおりである。

(ア)出生

(イ)認知(被認知者の記録)・(認知した親に対する記録)

(ウ)養子縁組

(エ)特別養子縁組(養子の新戸籍の記録)・(養子の入籍戸籍の記録)

(オ)婚姻

(カ)親権(管理権)

(キ)後見

(ク)保佐

(ケ)推定相続人排除

(コ)国籍選択

(サ)配偶者の国籍喪失

(シ)外国国籍喪失

(ス)名の変更

(セ)外国人配偶者の国籍変更

(ソ)外国人配偶者の氏名変更

シ　⑬移記事件別入力画面

「移記戸籍事項表示画面」で事件を選択して「修正」を指示するとこの画面に展開する。システムが従前戸籍から複写した身分事項を引き直す必要があるとき,移記身分事項事件メニュー画面から入力した身分事項を訂正するとき,決裁処理で入力の誤りを発見して「修正」指示があったときなどの場合にこの画面で処理する。

⑭　身分事項並び替え画面

移記した身分事項の順番を替えるときに使う。移記事項の並び替えは「移記身分事項事件メニュー画面」で入力順を誤ったときや決裁で順番の誤りが発見され「修正」指示があったときに利用する。

(10)　決裁処理(校合)

決裁処理とは現行の戸籍事務のなかの「校合」に相当する事務である。校合とは戸籍法施行規則第 32 条に定める「文末認印」の押印とそれに先行して行われる戸籍の記載確認である。校合担当者は届書とそれに基づいて記載した戸籍を綿密に照合して記載に過誤がないことを確認した後でなければ文末認印を押印してはならないとされている。これは戸籍の記載の責任が事務管掌者である市区町村長に帰属するからである。戸籍の記載の確認は本籍・氏名・生年月日等の入力データの確認はもちろんのこと事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から移記事項の確認まで戸籍の記載処理すべてを含む。またこのことから記載の正確性を確保するために市区町村では校合する者と戸籍を記載する者とをそれぞれ個別に配置して相互牽制の制度を確立しているのが一般的である。

システムによる戸籍への記録方法は「審査処理」・「審査結果入力処理」・「戸籍訂正追完処理」と 3 つある。「審査処理」は届書入力画面で届書からデータを入力すれば事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から戸籍の記録までシステムが自動的に行う。ただし移記事項は別途入力する。「審査結果入力処理」・「戸籍訂正追完処理」は届書に基づく事件本人の入籍・除籍・新戸籍の編製から戸籍の記録まで全て入力する。いずれの記録方法であっても決裁を行うのは言うまでもない。またシステムにおいてもデータ入力者と決裁者の相互牽制作用を確保するために決裁処理は異動処理および移記事項入力処理から切り離した。決裁するにはメニュー画面から「決裁処理」を選択して決裁の権限を与えられた者のパスワードを入力することにより画面を開くことときできる。

システムによる決裁処理で入力することのできる決裁区分は「決裁」・「修正」の 3 つである。以下これらの意味について説明する。但し,例外的に処分区分の「誤処理」は,この決裁処理で設定する(受付ファイルを参照)。

ア　決裁

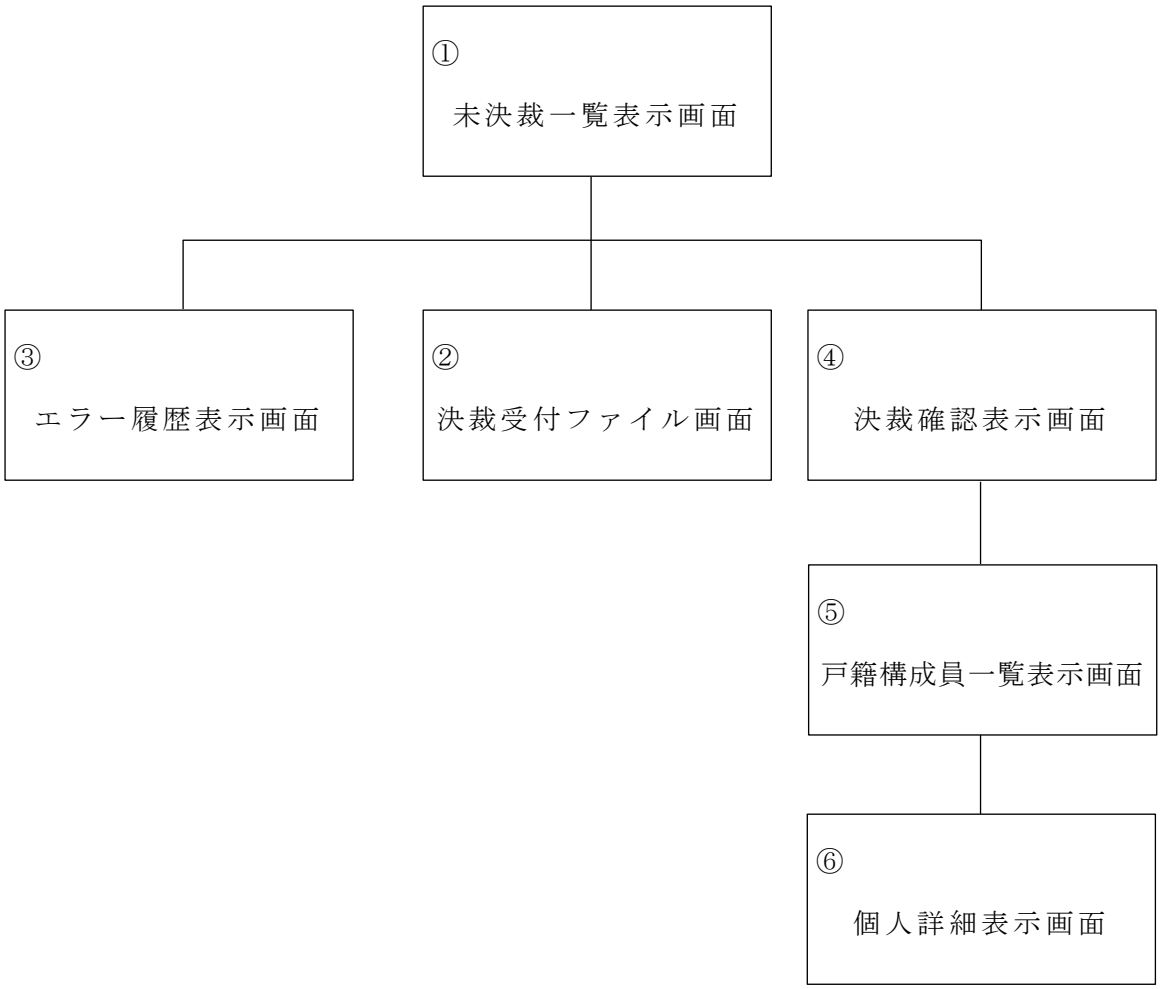
決裁担当者が届書と戸籍を照合して戸籍の記載に過誤がないことを認めたときに入力する。決裁担当者が「決裁」を入力するとシステムは「文末認印」に替わる「管掌者コード(「戸籍データ・ベースの文末認印について」の項参照)を仮戸籍に入力し、仮戸籍と同じ内容で戸籍データ・ベースを更新する。また同時に受付ファイルにも「決裁」が済んでいる旨を記録する。

イ　修正

決裁担当者が届書と戸籍を照合して戸籍の記載に過誤を発見したときに入力する。決裁担当者は「修正」を入力したときにはデータを入力した者に届書と添付書類を返戻してその旨を伝える。この場合届書データ入力者と移記事項データ入力者を別に設けてシステム運用をしているときには修正すべきデータに応じてその担当者に返戻することになる。

届書データに入力の誤りがあったときには担当者は届書に記載されている受領番号を入力して届書画面を開いて入力データの修正する。なおデータを修正して再度審査機能を活用した結果が不受理となったとしても,届書と添付書類に形式的無効原因がないかぎり届書を届出人に返戻してはいけない。修正後のデータでそのまま戸籍に記録する。訂正するのには関係者からの申立てによる家庭裁判所の確定審判を待つことになる。これは戸籍制度上当然のことである。

（11） 決裁の画面展開


①
未決裁一覧表示画面
③
エラー履歴表示画面
②
決裁受付ファイル画面
④
決裁確認表示画面
⑤
戸籍構成員一覧表示画面
⑥
個人詳細表示画面

① 未決裁一覧表示画面

決裁処理は戸籍データ保護の観点から他の処理から独立しており,この画面は戸籍メニュー画面から「決裁処理」を選択して決裁者の資格を持った者のパスワードを入力することによってしか開くことができない。

この画面で実行キーを押すと決裁がなされていない受付ファイルの一覧が受領番号順に表示される。支所でも戸籍事務を行っている自治体については支所番号を入力すると,その支所で記録した決裁がなされていない受付ファイルの一覧が表示される。また届出事件を特定して受付ファイルを表示したいときには受領番号を入力する。

② 決裁受付ファイル画面

画面は受付ファイル画面と同じである。届書および添付書類と仮戸籍(決裁用仮戸籍帳票あるいは画面)を綿密に照合する。届書および添付書類と仮戸籍を綿密に照合した結果,戸籍の記録に誤りがなければ「決裁」を入力する。決裁を入力することにより戸籍データ・ベースが仮戸籍と同じ内容で更新され,受付ファイルにも決裁済みである旨のコードが入力される。戸籍の記録に誤りがあれば「修正」を入力する。「修正」を入力したときには,その修正個所が届書入力に係わる事項であれば届書入力者に,移記事項入力に係わる事項であれば移記事項入力者に届書を返戻して,その旨を伝える。事件本人の指定誤りや形式的に判断して無効な届出ある等,処理に根本的な誤りを発見したときには「誤処理」を入力して,届書入力者に届書を返戻のうえその旨を伝える。

③ エラー履歴表示画面

届書入力で表示された「エラーメッセージ」と「確認メッセージ」の一覧が表示される。確認メッセージ」については届書入力者の応答内容も表示される。この画面を参照して決裁区分を入力するうえでの判断の一助とする。

④ 決裁確認表示画面

従前戸籍・入籍戸籍・新戸籍など一つの受領番号に係わる全ての仮戸籍一覧が表示される。参照したい仮戸籍を選択する

⑤　戸籍構成員一覧表示画面

決裁確認表示画面で選択した仮戸籍の構成員一覧画面が表示される。戸籍検索での戸籍構成員一覧画面と同じである。この画面で戸籍事項および構成員を確認する。身分事項を確認するのには事件本人を選択して個人詳細画面へ展開する。

⑥　個人詳細表示画面

選択した事件本人の身分事項が表示される。画面は戸籍検索のときの個人詳細表示画面と同じである。届出により記録された身分事項,移記入力された身分事項を確認する。

10.審査結果入力処理

1 「審査結果入力処理」とは,「審査処理」において自動的に処理できない事件で,「訂正・更正・追完処理」によって処理するものではない事件についての処理である。

したがって,「審査結果入力処理」によって処理する事件は,「審査処理」において自動的に処理できない通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)及び通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件となり,次のようなものとなる。

① 「審査処理」によっては,自動的に審査ができない届出事件

② 「審査処理」によっては,自動的に戸籍の編製ができない届出事件

③ 市区町村長が職権で記録する事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)

④ 通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件

なお,戸籍訂正・更正・追完事件(通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件を除く。)は,「訂正・更正・追完処理」によって処理するものである。

2 「審査結果入力処理」においては,現在のブックシステムにおける戸籍と届書による審査⇨受理決定⇨記載の処理⇨文末認印の手順と同様にして,システムにおいても,職員が届書と画面で検索した戸籍から審査し,その結果により受理決定して受付帳を作成し,戸籍の記録処理を行い,この後に決裁処理を行うこととなる。そして,この戸籍の記録処理においては,戸籍の変動(編製,消除,回復等),戸籍における個人の変動(入籍,除籍等),戸籍事項,身分事項の記録内容などを画面上指示し,該当事件に関係するすべての仮戸籍を手作業により作成することとなる。

つまり,審査結果入力処理においては,処分決定後,手作業により受付帳を作成し,必要に応じ手作業により仮戸籍を作成し,それから決裁処理を行うという処理手順となる。

3 「審査処理」とのシステム上の相違点は,別表のとおりである。

4 「審査結果入力処理」における戸籍の記録処理においては,通常の「審査処理」において予定する各戸籍の記録処理を手作業により可能とするほか,通常の届出事件(戸籍訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件についての戸籍の記録処理

を可能とする。

さらに、通常の届出事件(戸籍訂正･更正･追完事件でないもの)による戸籍の処理が,戸籍の訂正事件の系統での処理となる場合に,その必要とされる戸籍の記録処理をも可能とすべきものであるが,これ以外の戸籍の訂正･更正･追完事件処理に可能とされるべき戸籍の記録処理はできないものとすべきである。つまり,戸籍の訂正･更正･追完事件の処理は,既に記録されている事項についての修正(置き換え),追加,削除となるため,それらの処理は,「訂正･更正･追完処理」において,必ず,当該訂正･更正･追完処理についての処理事項を記録し,この処理をしたことを明示した上でなければできないとするものである。

5　この「審査結果入力処理」において可能とされるべき戸籍の訂正･更正･追完事件の系統での処理の例としては,次のようなものがある。

①　個人回復

失踪宣告取消届出事件

②　戸籍回復

ア．失踪宣告により除籍となっている後に失踪宣告取消届出事件がだされた場合

イ．離婚後 300 日以内の嫡出子の出生届出事件で両親の婚姻中の戸籍が子の出生後届出までの間に除籍となっている場合

③　父母との続柄の訂正

ア．準正の場合の婚姻届出事件,認知届出事件に必要

イ．年少である嫡出子が戸籍にある場合の年長である嫡出子の後れた出生届出事件

6　「審査結果入力処理」における受付帳の事件名については,通常の「審査処理」において予定する各処理の事件名と同様に『出生』『認知』等‥の届出事件名を記録する必要がある。また,「審査結果入力処理」において通常の届出事件(戸籍訂正･更正･追完事件でないもの)についての戸籍の記録前の追完事件に関しては,当該市区町村に追完届出がなされた場合,受付帳に事件名『追完』として記録する必要がある。

なお,「審査結果入力処理」における戸籍の記録処理においては,届書に基づいて処理す

るのが原則であり,事件名『訂正(市区町村長職権)』等,或いは『更正』となる処理は通常行うことができず,受付帳にも記録されることはない。

別表

	個別事務		審査処理	審査結果入力 訂正・更正・追完
戸籍事務	受付帳の作成		○	○
	戸籍処理(編製・記録・消除等)		○	○
	個人状態情報の更新		○	×
	不受理申出情報の更新		○	×
	宛名(届書,住基法通知)の作成		○	×
	事件表(統計)の作成		○	○
戸籍関連事務	附票	附票処理	○	×
		住民票記録事項通知(住 19-2)	○	×
	本籍転属通知(住 19-3)		○	×
	死体埋火葬許可証の発行		○	×
	相続税法第 58 条通知の作成		○	×
	人口動態調査票の作成		○	□：受領番号のみ
	民刑事務		○	×

11.訂正･更正･追完処理

1　概説

(1) 訂正･更正･追完処理は,戸籍法第59条,第113条,第114条,第116条による戸籍の訂正の申請,同法第24条第2項,戸籍法施行規則第41条,第43条,第45条による市区町村長による職権訂正･更正及び戸籍法第45条による追完届についての処理である。

訂正･更正･追完処理は,その処理の内容がさまざまであるため,システムで自動的に行うことはできない。したがって,「審査結果入力処理」と同様に,戸籍と申請書等により審査,判断した結果を,手作業により入力して処理することとなる。

(2) 訂正･更正･追完処理においては,受付帳の作成及び戸籍の記録の処理は手作業となり,記録処理においては,戸籍の変動(編製,消除,回復等),戸籍における個人の変動(入籍,除籍等),戸籍事項,身分事項等の記録内容などを画面上指示し,該当事件に関係するすべての仮戸籍を手作業により作成し,この後に決裁処理を行うこととなるが,決裁処理の段階では,必ず,受付帳と仮戸籍が作成されていなければならないものである(非本の訂正を除く)。

(3) 訂正･更正･追完処理においては,既に記録されている事項の修正(置き換え),追加,削除を行うことから,この処理をしたことを明らかとするため,必ず,訂正･更正･追完処理事項を入力して記録しなければならないものとする(タイトルによる明示)。

(4) 訂正･更正･追完処理による事件の内容等を,タイトルを付して大別すれば,別表1のとおりとなる。

2　訂正･更正･追完処理による修正(置き換え),追加,消除の具体的処理方法

(1) 総則

訂正･更正･追完処理においては,この処理をしたことを明らかとするため,必ず訂正･更正･追完処理事項を記録し,タイトルにより明示しなければならない。

(2) 記録の修正(置き換え)

既に記録されている事項を修正(置き換え)するときは,当該記録を置き換え,従前の記録は,消除することなく,必ず,訂正･更正･追完処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。現行のブックシステムにおける朱線抹消に類する作業,表示は行わない。

① 本籍又は筆頭者の記録を修正(置き換え)するときは,戸籍事項に,訂正･更正･追完処理事項を,「訂正」、「文字訂正」、「更正」、「文字更正」、「追完」などのタイトルを付した上で記録する。従前の記録は,この戸籍事項の訂正･更正･追完処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例1を参照。)。

② 「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を修正(置き換え)するときは,身分事項に,訂正処理事項を,当該訂正処理事項のタイトルを、「訂正」、「文字訂正」と付した上で記録する。従前の記録は,この身分事項の訂正･更正･追完処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例2を参照。)。

③ 戸籍事項又は身分事項の既応の記録を修正(置き換え)するときは,当該修正に係る戸籍事項又は身分事項の次に続けて,訂正･更正･追完事項を,「訂正」、「文字関連訂正」、「更正」、「文字関連更正」、「追完」などの段落ちによるタイトルを付した上で記録する。従前の記録は,この訂正･更正･追完処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例3を参照。)。

(3) 追加記録

既に記録されている事項に,記録を一部追加するときは,追加する記録を所要の場所に追加記録した上,必ず,訂正･更正･追完処理事項の記録中に,当該追加した記録の内容を【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする。

① 「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を追加記録する場合は,追加する記録を所要の場所に追加記録した上,身分事項に,訂正･追完処理事項を,「記録」又は「追完」のタイトルを付した上で記録する。追加した記録の内容は,この身分事項の訂正･追完処理事項の記録中に,【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする。

② 一戸籍事項又は一身分事項の全部を追加記録するときは(記録処理として、当該記録についてのタイトル(段落ちでないもの)を付して、一戸籍事項又は一身分事項全体を記録するときは、それは、当該事件についての記録処理そのものであって、追加記録処理には当たらない。したがって、ここで、一戸籍事項又は一身分事項の全部を追加記録するときとは、当該戸籍事項又は身分事項の記録すべてを過誤により遺漏した場合などにする追加「記録」そのものと、他の戸籍の戸籍事項又は身分事項の記録を、当該記録が本来記録されるべき戸籍の所要の箇所に「移記」して記録する場合である。),当該追加記録する戸籍事項又は身分事項のタイトルを付して追加記録を行った上,当該追加記録に係る戸籍事項又は身分事項の次に続けて,当該訂正処理事項を、段落ちによる「記録」又は「移記」のタイトルを付した上で記録する。この場合には,追加した記録の内容を【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録する必要はない(事例4を参照。)。

③ 戸籍事項又は身分事項の記録に,一部追加記録するときは,追加する記録を所要の場所に追加記録した上,当該追加記録に係る戸籍事項又は身分事項に続けて,訂正・追完事項を,当該訂正・追完処理の区分に応じて,「訂正」,「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で記録する。追加した記録の内容は,この訂正・追完処理事項の記録中に,【記録の内容】のインデックスの下に重ねて記録するものとする(事例5を参照。)。

この場合のタイトルを,訂正処理の場合は「訂正」,追完処理の場合は「追完」とするのは,例えば,一訂正申請において,修正(置き換え)と一部追加記録の二つの処理を要する場合に,この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩瑣であるため,「訂正」の一つのタイトルの下に,一度により処理することとすることによるものである。

なお、訂正処理と追完処理とを一度により行うことはできないものとする。

(4) 記録の消除

既に記録されている事項を消除するときは,当該消除する記録を,記録上消除することなく,必ず【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。現行のブックシステムにおける朱線抹消及び朱線交叉に類する作業,表示は行わない。また,現行における朱線抹消及び朱線交叉の区別は行わない。

① 「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を消除するときは,身分事項に,訂正処理事項を,「消除」のタイトルを付した上で記録する。消除する記録は,記録上消除することなく,必ず,この身分事項の訂正処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする。

② 一戸籍事項又は一身分事項の全部を消除するときは,訂正処理事項を,「消除」又は「移記」のタイトルを付した上で記録する。消除する記録がある場合は,記録上消除することなく,必ず,この訂正処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとするが,当該消除された戸籍事項又は身分事項のタイトルは,表示させないものとする(事例7を参照。)。

③ 戸籍事項又は身分事項の記録を一部消除するときは,当該一部消除に係る戸籍事項又は身分事項に続けて,訂正・追完事項を,当該訂正・追完処理の区分に応じて,「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で記録する。一部消除する記録は,記録上消除することなく,必ず,この訂正・追完処理事項の記録中に,【従前の記録】のインデックスの下に存置させるものとする(事例8を参照。)。

この場合のタイトルを,訂正処理の場合は「訂正」,追完処理の場合は「追完」と限るのは,例えば,一訂正申請において,修正(置き換え)と一部消除の二つの処理を要する場合に,この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩瑣であるため,「訂正」の一つのタイトルの下に,一度により処理することとすることによるものである。

なお、訂正処理と追完処理とを一度により行うことはできないものとする。

④ 現行のブックシステムにおいて,個人が除籍されるときは,システムにおいては「戸籍に記録されている者」の欄に,除　籍マークを付すことにより表示するものとし,現行のブックシステムにおけて,個人が消除されるときは,システムにおいては「戸籍に記録されている者」の欄に,消　除マークを付すことにより表示するものとする。したがって,除籍者が消除されるときは,消　除マーク及び除　籍マークの両方のマークを併記して表示するものとする。現行のブックシステムにおける朱線交叉に類する作業,表示は行わないものとする(事例9を参照。)。

(5) 補則

① 同一の戸籍事項又は身分事項の既に記録されている事項に対して,修正(置き換え),一部追加記録,一部消除の処理をすべき訂正・更正・追完処理を重ねて行う場合には,当該訂正・更正・追完処理事項の記録は,当該各処理の時系列により記録するものとする。

② 戸籍事項又は身分事項の既に記録されている事項に対して,一事件により,二つ以上の修正(置き換え),一部追加記録又は一部消除の処理をする場合は,当該訂正・追完・追完処理事項の記録は,当該訂正・更正・追完処理の区分に応じて,「訂正」,「更正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付した上で一件の記録により記録するものとする。

これは,例えば,一訂正申請において,修正(置き換え)と一部消除の二つの処理を要する場合に,この二つの処理を各個の訂正処理により行うとすることが煩瑣であるため,「訂正」の一つのタイトルの下に,一度により処理することとすることによるものである。

③ 現行のブックシステムにおいては,一文の記載により複数箇所の訂正を記述し,訂正される事項については,必ずしも各別に当該訂正に係る記載を表記しない処理を行っている。しかしながら,システムにおいては,データ保護の観点から,各修正,追加,消除を行う場合には,必ず,各修正,追加,消除ごとにそれぞれ所要の各処理を要するものとる。このため,例えば,父に当たる者の名の文字訂正を行った場合は,子に当たる者の父欄の名等を関連して文字訂正する必要があるが,この文字訂正は,基本となる文字訂正に関連するものとして,基本となる文字訂正と区別し,この関連する文字訂正については,全部事項証明書及び個人事項証明書には出力しないものとする。

(6) 次に具体的な処理事例を示す。

事例1　本籍の記録の一部の更正(置き換え)

事例2　戸籍に記録されている者に係る記録の修正(置き換え)

事例3　一身分事項の記録の一部の修正(置き換え)

事例4　一身分事項の全ての追加記録

事例5　一身分事項の一部の追加記録

事例６　一個人の全ての記録の追加記録

事例７　一身分事項の記録の全部消除

事例８　一身分事項の記録の一部消除

事例９　一個人の全ての記録の消除

3　訂正･更正･追完処理におけるタイトルの付し方等についての概略説明

(1) 訂正事件処理

①　訂正

「訂正」のタイトルを付すのは,本籍,筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を修正(置き換え)する場合である。

「(段落ち)訂正」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について,修正(置き換え),一部追加記録及び一部消除する場合である。

②　文字訂正

「文字訂正」のタイトルを付すのは,筆頭者欄の氏及び各戸籍に記録されている者の名欄の名の文字訂正をする場合である(筆頭者についての氏は筆頭者欄の氏を文字訂正するが,筆頭者についての名は「戸籍に記録されている者」の名欄の名の文字訂正を行うものとする。)。

③　「文字関連訂正」

「文字関連訂正」のタイトルを付すのは,筆頭者の名の文字訂正を行った場合において,筆頭者欄の筆頭者の名を関連して文字訂正する場合若しくは父の名の文字訂正を行った場合において,子の父欄の父の名を関連して文字訂正する場合などである。

「(段落ち)文字関連訂正」のタイトルを付すのは,夫の名の文字訂正を行った場合において,妻の婚姻事項における配偶者氏名の夫の名を関連して文字訂正する場合などである。

④　「記録」

「記録」のタイトルを付すのは,「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を過誤により記録漏れとしている場合に,これに追加記録する場合である。

「(段落ち)記録」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項に記録すべき事項を,過誤により,一事項全てが記録漏れとなっている場合に,当該記録事項のタイトルをも付した上で,これを追加記録する場合である。

また,一個人すべてを遺漏したときは,一個人すべてを追加記録したうえ,身分事項の末尾に「記録」のタイトルを付した訂正事項を記録すれば足り,一身分事項ごとに「(段落ち)記録」のタイトルを付す必要はない。

なお,戸籍事項又は身分事項の記録に,一部追加記録するときは,当該当該一部追加記録となる訂正・追完処理の区分に応じて,「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付すものとする。

⑤　「消除」

「消除」のタイトルを付すのは,戸籍事項の記録,「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)又は身分事項の記録の各一記録の全部を消除する場合である。

なお,戸籍事項又は身分事項の記録を一部消除するときは,当該当該一部消除となる訂正・追完処理の区分に応じて,「訂正」又は「追完」の段落ちによるタイトルを付すものとするので,「(段落ち)消除」のタイトルを付す必要はない。

⑥　「移記」

「移記」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項の有効な記録を当該記録が本来記録されるべき戸籍の所要の欄に移記することにより,当初の記録を消除する場合,例えば,親子関係の不存在により,新たな出生届をもって他の戸籍に入籍した者について,従前の戸籍からその者についての婚姻事項を移記する場合において,当該婚姻事項を消除するときなどである。

「(段落ち)移記」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項の記録を,当該記録が本来記録されるべき他の戸籍の所要の箇所に移記して記録する場合である。

⑦　「入籍」

「入籍」のタイトルを付すのは,誤った戸籍にある者を本来あるべき戸籍に入籍させる場合,例えば,離婚後300日以内に出生した子について,嫡出否認とされ,離婚後の母の戸籍に入籍させる場合に,当該入籍させる旨の身分事項を記録する場合などである。

なお,この場合には,当該入籍させる者の他の身分事項については,訂正・更正・追完処理事項を記録することなく記録する必要が生じる(上記の例における出生事項など。)ことがあるので注意されたい。

⑧　「子の入籍」

「子の入籍」のタイトルを付すのは,例えば,離婚後300日以内に出生した子について,嫡出否認とされ,離婚後の母の戸籍に入籍させる場合において,子を入籍させれば三代戸籍となるため,母について新戸籍を編製すべきときにする当該母の従前の戸籍において母を除籍させる身分事項の記録をする場合及び当該母の新戸籍において母を入籍させる身分事項の記録をする場合である。

⑨　「除籍」

「除籍」のタイトルを付すのは,誤った戸籍にある者を本来あるべき戸籍に入籍させる場合,例えば,離婚後300日以内に出生した子について,嫡出否認とされ,離婚後の母の戸籍に入籍させる場合に,婚姻中の父母の戸籍において,当該子について除籍させる旨の身分事項を記録するときなどである。

⑩　「戸籍回復」

「戸籍回復」のタイトルを付すのは,戸籍消除の記録を消除して戸籍を回復する場合における,その回復後の戸籍の戸籍事項欄に戸籍回復の記録をする場合である。

⑪　「引取り」

「引取り」のタイトルを付すのは,父母が棄児について出生届をした後,当該棄児の戸籍の身分事項に引取りにより消除の旨を記録する場合である。

⑫　「子の復籍」

「子の復籍」のタイトルを付すのは,例えば子が離婚等により母の戸籍に復籍する場合において,子を復籍させれば三代戸籍となるため,母について新戸籍を編製すべきときにする当該母の従前の戸籍において母を除籍させる旨の身分事項を記録する場合及び当該母の新戸籍において母を入籍させる身分事項を記録する場合などである。

(2) 更正事件処理

①　「更正」

「更正」のタイトルを付すのは,本籍,筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)について,例えば「行政区画の名称変更」により本籍の表示を修正(置き換え)するなどの更正をする場合である。

「(段落ち)更正」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について,例えば,出生届の届出人「同居者男」を同人の認知により「父」に修正(置き換え)するなど,更正により当該記録の修正(置き換え)をする場合である。

②　「文字更正」

「文字更正」のタイトルを付すのは,筆頭者欄の氏及び各戸籍に記録されている者の名欄の名の文字更正をする場合である(筆頭者についての氏は筆頭者欄の氏を文字更正するが,筆頭者についての名は「戸籍に記録されている者」の名欄名の文字更正を行うものとする。)。

③　「文字関連更正」

「文字関連更正」のタイトルを付すのは,筆頭者の名の文字更正を行った場合において,筆頭者欄の名を関連して文字更正する場合あるいは父の名の文字更正を行った場合において,子の父欄の父の名を関連して文字更正する場合などである。

「(段落ち)文字関連更正」のタイトルを付すのは,夫の名の文字更正を行った場合において,妻の婚姻事項における配偶者氏名の夫の名を関連して文字更正する場合などである。

(3) 追完事件処理

「追完」

「追完」のタイトルを付すのは,本籍,筆頭者の記録又は「戸籍に記録されている者」に係る記録(父母(養父母)氏名,父母(養父母)との続柄,名,出生年月日)を追完により記録する場合である。

「(段落ち)追完」のタイトルを付すのは,戸籍事項又は身分事項に記録されている事項について,追完により当該記録の修正(置き換え),一部追加記録又は一部消除する場合である。

(4) 変更事件処理

① 「配偶者の国籍変更」

「配偶者の国籍変更」のタイトルを付すのは,外国人と婚姻している者について,その身分事項に当該外国人配偶者の国籍変更の記録をする場合である。

② 「配偶者の氏名変更」

「配偶者の氏名変更」のタイトルを付すのは,外国人と婚姻している者について,その身分事項に当該外国人配偶者の氏名変更の記録をする場合である。

4 訂正・更正・追完処理における受付帳の事件名については,『訂正(市区町村長職権)』等,『更正』,または『追完』が記録される。「審査処理」において記録される届出の『出生』『認知』‥等の事件名は通常記録されない。

5 証明書に出力されない訂正事項についての概略説明

既に記録してある事項の訂正は従来の朱線交叉或いは朱線抹消の方法によらず,訂正事項とともに【従前の記録】として必ず記録を残すこととしている。

しかし,氏の文字訂正のような戸籍事項には訂正事項を記載し,子の父母欄等の文字訂正については格別に訂正事項は記載していない例に対しても,システム化により変更された事項がすべて表示されることとなる。これらを踏まえてシステム上訂正事項を必ず記録するが,全部事項証明書等には特に表示しない特殊な場合をいくつか設ける。

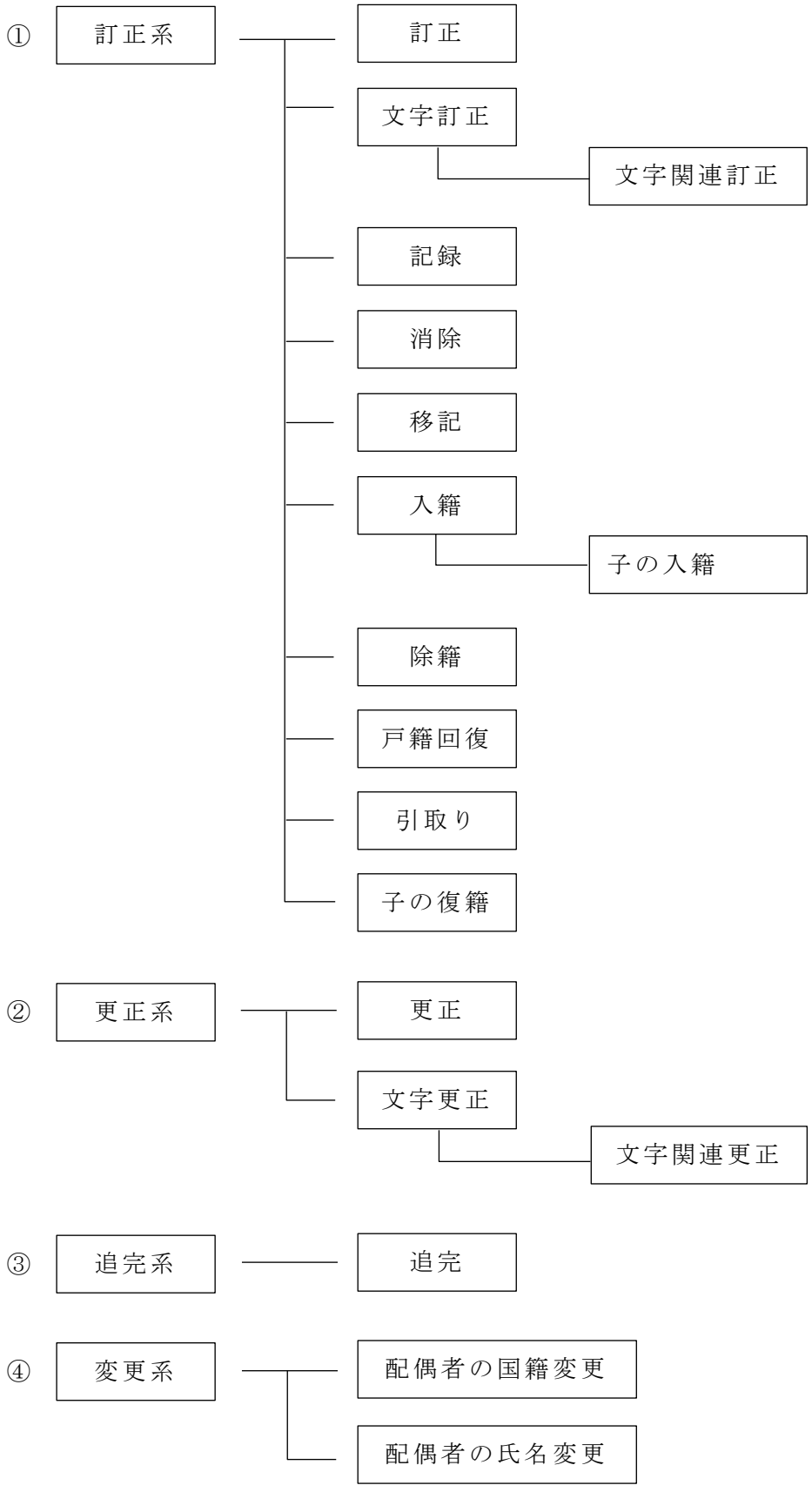
(1) 文字訂正,文字更正にともない訂正或いは更正された際の訂正(更正)事項は証明書には出力しない。具体的にはタイトルが「文字関連訂正」「(段落ち)文字関連訂正」「文字関連更正」「(段落ち)文字関連更正」については出力しない。なお,これらの関連訂正(更

正)は先に氏或いは名の文字訂正･文字更正後,一連の流れで処理をすべきもので,単独で関連訂正(更正)の処理をしてはならない。

(2) 市区町村長限りの誤記,遺漏を事由とする職権訂正についての事項は証明書に出力しない。具体的にはタイトルが「訂正」「(段落ち)訂正」「記録」「(段落ち)記録」で【裁判確定日】【許可日】【申請日】の各インデックスに記録がなく,かつ事由が誤記,遺漏の場合に出力しない。(タイトル「消除」「更正」は必ず出力すべき事項である。)

(3) 戸籍事務専用の帳票にはこれら特殊な訂正(更正)事項を含め,システムで保有している「戸籍に記録すべき事項」をすべて出力する必要がある。

別表 1



但し,④の訂正系の記載事由等の無い身分事項記録として扱う。

事例１　本籍の記録の一部の更正(書き換え)

本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目４番地 甲野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製 更　　正	【編製日】昭和 56 年１月１日 【更正日】平成２年１月５日 【更正事項】本籍の表示 【更正事由】平成２年１月１日行政区画変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町二丁目３番地

事例２　戸籍に記録されている者に係る記録の修正(書き換え)

戸籍に記録～	【名】義太郎 【生年月日】昭和 60 年 1 月 1 日 【父】甲野太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
出　　生	【出生日】昭和 60 年 1 月 1 日 ： ：
訂　　正	【訂正日】平成 2 年 5 月 5 日 【訂正事項】父母との続柄 【訂正事由】平成 2 年 5 月 1 日父が兄幸蔵を認知届出 【従前の記録】 【続柄】二男

事例３　一身分事項の記録の一部の修正(書き換え)

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】平成２年１月10日 【届出人】父
訂　　正	【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事由】誤記 【従前の記録】 　　【出生日】平成２年１月１日

※　上記,訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例 4　一身分事項の全ての追加記録

出　　生	【出生日】昭和 38 年 1 月 2 日 ： ：
婚　　姻	【婚姻日】平成 2 年 5 月 5 日 【配偶者氏名】乙野梅子
記　　録	【記録日】平成 3 年 10 月 10 日 【記録事由】記録遺漏 【許可日】平成 3 年 10 月 4 日

※　上記,記録事項は証明書に出力されない事項となります(項番 5 参照。)。

事例５　一身分事項の一部の追加記録

縁　　組	【縁組日】平成２年１月２日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子　【代諾者】親権者父母 【入籍戸籍】東京都千代田区・・・・・・・ 乙川忠二郎
訂　　正	【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事由】記録遺漏 【許可日】平成２年４月28日 【記録の内容】 【代諾者】親権者父母

※　上記,訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例６　一個人の全ての記録の追加記録

戸籍に記録～	【名】花子 【生年月日】昭和３年５月 10 日 ：

出　　生	【出生日】昭和３年５月 10 日 【出生地】東京都千代田区 【届出日】昭和３年５月 15 日 【届出人】父
婚　　姻	【婚姻日】昭和 33 年１月１日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】東京都千代田区平河町一丁目 18 番地　乙野忠治
記　　録	【記録日】平成５年５月 17 日 【記録事由】転籍による記録遺漏 【許可日】平成５年５月 10 日

※　上記,訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例７　一身分事項の記録の全部消除

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 ： 【縁組日】平成２年１月２日 【養子氏名】甲野義太郎
縁　　組	

出　　生	【出生日】平成２年１月２日 ： 【消除日】平成６年４月４日 【消除事項】縁組事項 【消除事由】養子縁組無効 【裁判確定日】平成６年３月24日 【申請日】平成６年４月４日 【従前の記録】 【縁組日】平成２年１月２日 【養子氏名】甲野義太郎
消　　除	

事例８　一身分事項の記録の一部消除

縁　　組	【縁組日】平成２年１月２日 【養父氏名】甲野義太郎 【養母氏名】甲野梅子 【入籍戸籍】東京都千代田区・・・・・・・ 乙川忠二郎
訂　　正	【訂正日】平成２年５月５日 【訂正事由】誤記 【従前の記録】 【代諾者】親権者父母

※　上記,訂正事項は証明書に出力されない事項となります(項番５参照。)。

事例９　一個人の全ての記録の消除

戸籍に記録～	【名】花子 【出年月日】昭和 30 年 1 月 1 日 ： 【婚姻日】平成 2 年 1 月 2 日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町 18 番地 乙野忠治
婚　　姻	

戸籍に記録～ 消　　除	【名】花子 【出年月日】昭和 30 年 1 月 1 日 【父】乙野忠治 【母】乙野冬子 【続柄】長女
消　　除	【消除日】平成 2 年 5 月 2 日 【消除事項】婚姻事項 【消除事由】婚姻無効 【裁判確定日】平成 2 年 4 月 28 日 【申請日】平成 2 年 5 月 2 日 【申請者】夫 【従前の記録】 【婚姻日】平成 2 年 1 月 2 日 【配偶者氏名】甲野義太郎 【従前戸籍】京都市上京区小山初音町 18 番地　乙野忠治

第５　戸籍情報システムの詳細仕様

（目　次）

1　新業務処理手順図

2　システムの機能体系図

3　オンライン処理の流れ図(詳細)

4　バッチ処理の流れ図(詳細)

5　「図面」関係仕様

6　「帳票」関係仕様

7　「ファイル」関係仕様

8　「コード」関係仕様

9　現行記載例/項目化後記載例一覧

10「システム処理」の概要説明

第5.1　新業務処理手順図

第5.1　新業務処理手順図

(1) 作成の目的と要領

新業務処理手順図は,実態調査及びその分析結果に基づき、開発するシステムの処理手順を明確にすることを目的としており,現行業務処理手順の調査分析段階の各作業ステップを参考にしながら,次の点を考慮して作成作業を行った。

ア　システム開発方針に沿っているか。
イ　事務改善要望事項の方針に沿っているか。
ウ　技術的に対処できるか。

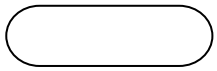
特に,この処理手順図の作成に当たっては,戸籍情報システムのうちメインとなる異動業務について,現行業務処理手順の調査･分析に基づき,システム化した場合の処理手順を明確にした。

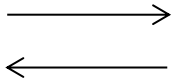
異動業務は,届出事件の内容により処理手順が異なることとなるが,ここでは,全ての届出事件に共通する異動処理全般,本籍人と非本籍人,人口動態統計を作成するものとしないものに分類し,次に示す6パターンについて検討した。

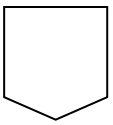
ア　異動処理全般　受理(本籍分)･人口動態有
イ　異動処理全般　受理(本籍分)･人口動態無
ウ　異動処理全般　受理(非本籍分)･人口動態有
エ　異動処理全般　送付･人口動態無
オ　異動処理全般　送付(在外公館からの送付)･人口動態有
カ　異動処理全般　受理(時間外受付分)

なお,使用した主な記号は,次のとおりである。

ア．きっかけ　　イ．作業の流れ　　ウ．(作業の流れ)の結合子



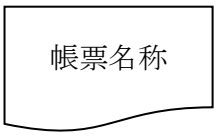




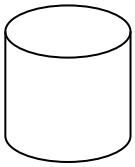
エ．作業

作業方法は,手作業,オンライン及びバッチ処理に分けている。

オ．帳票

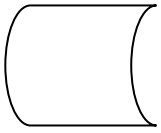


カ．データベース(DB)



台帳イメージで,磁気ディスクに記録･格納した関連するデータの集合体をいう。

キ．ファイル



入力データやDBから中間的にデータを記録活用する場合などに用いる。

(2) 作業手順

前項の各パターンについて,業務開始(きっかけ)から終了(結果)までの処理手順を記号を用いて示した。

各作業手順の決定に当たっては,戸籍情報システム開発方針で示されたとおり,届出審査をシステムで行うため,先に届出内容を入力することとし,システムで審査ができない事項については問答審査あるいは審査結果処理とした。

また,コンピュータ処理する部分については,オンラインまたはバッチを区別し,それぞれの作業概要を「備考」欄で明らかにした。

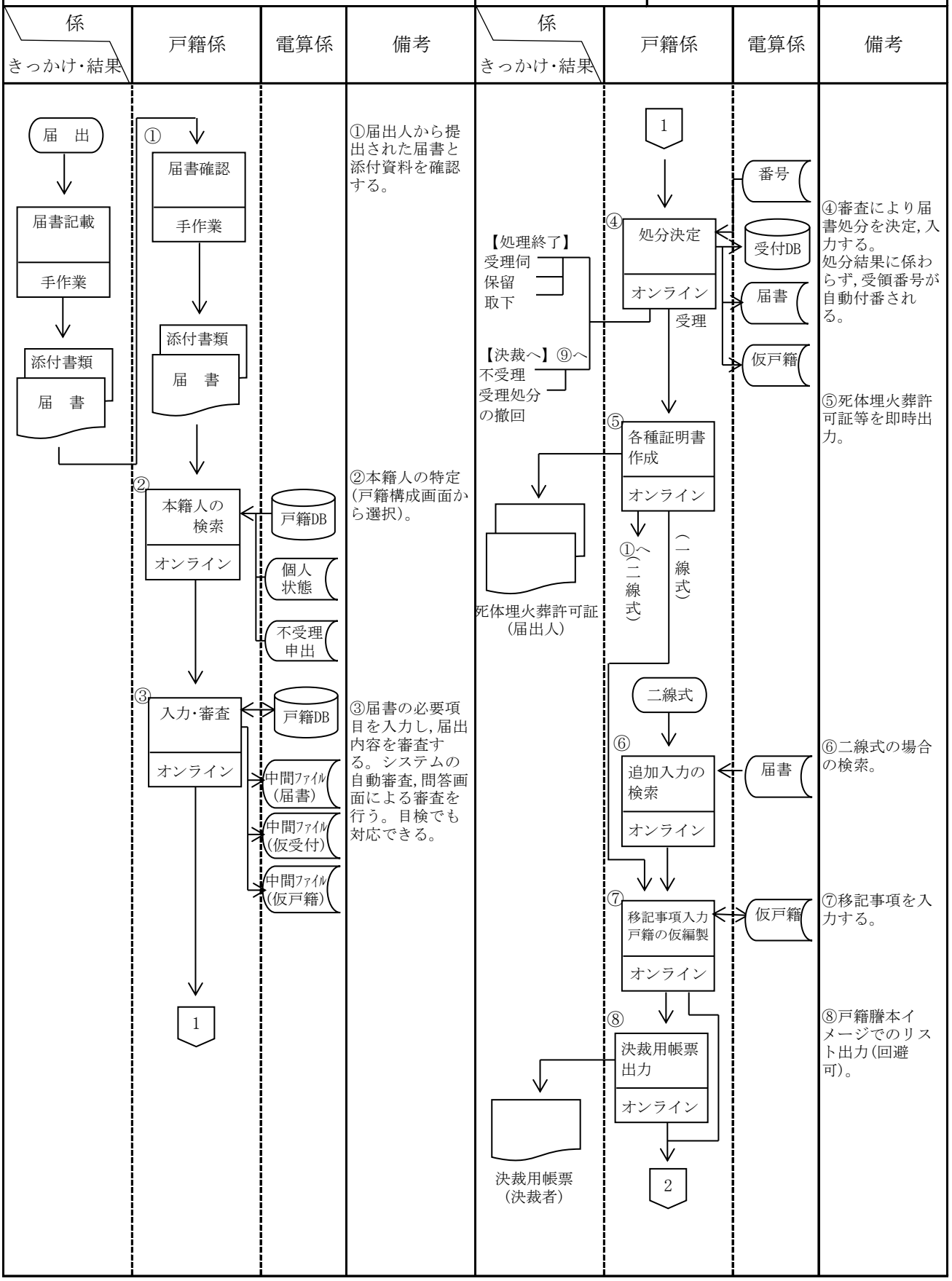
さらに,一線式処理における処理手順と二線式処理における処理手を区分して示した。

(3) 新業務処理手順図

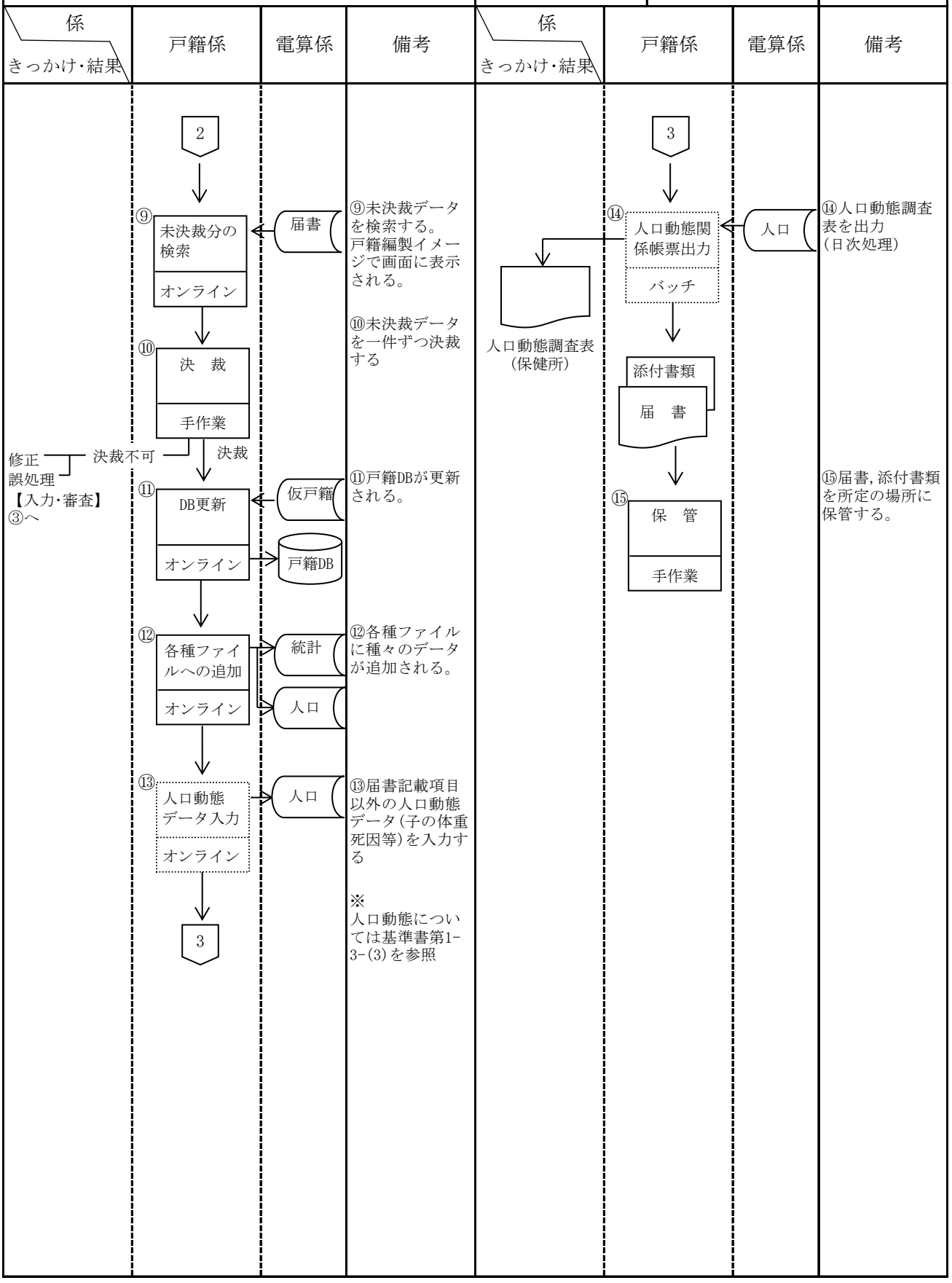
上記の検討を経て作成した各パターンごとの新業務処理手順図は,以下のとおりである。

第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態有	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

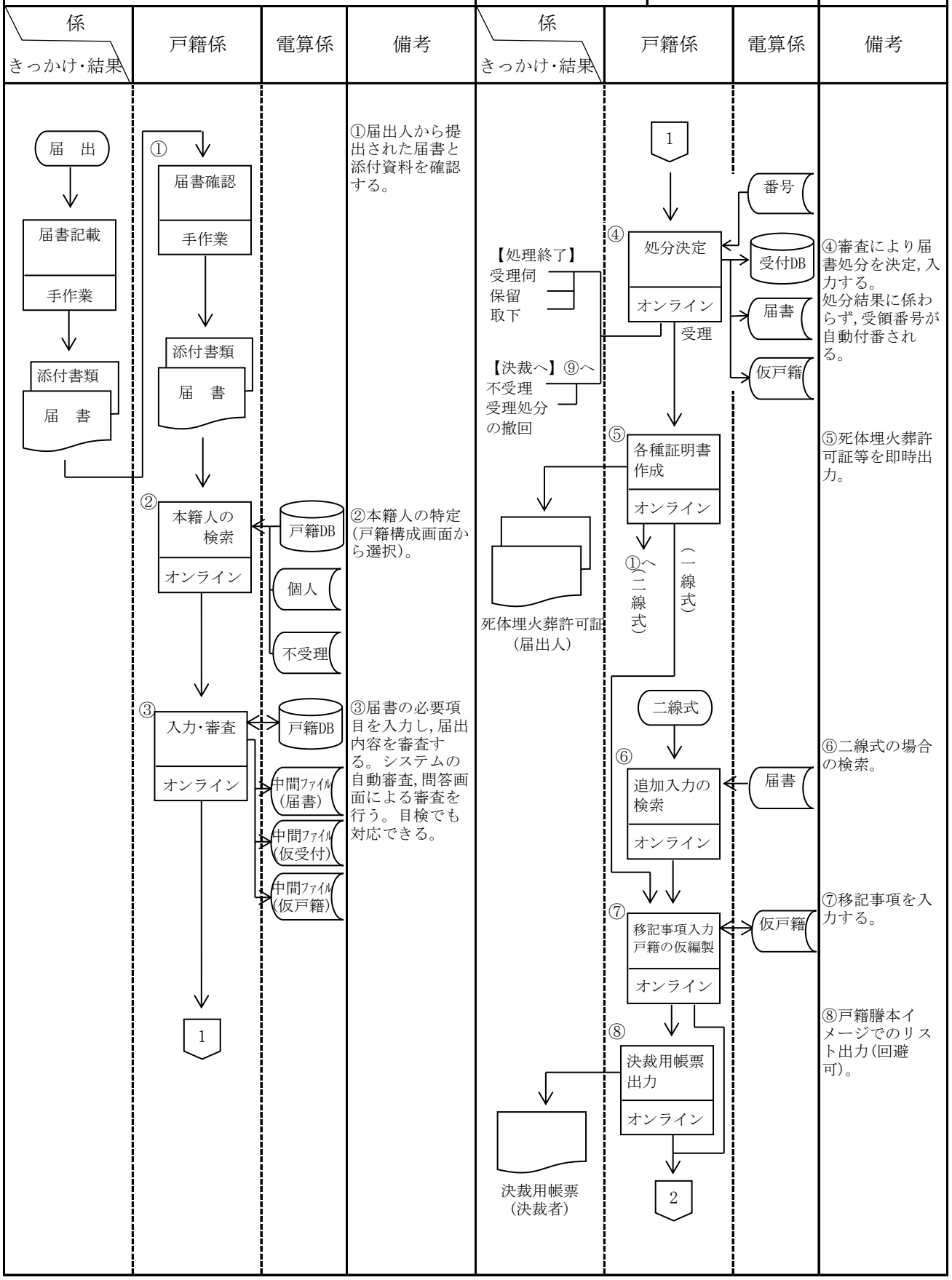


第5 1	新業務処理手順図	作成者		頁
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態有		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



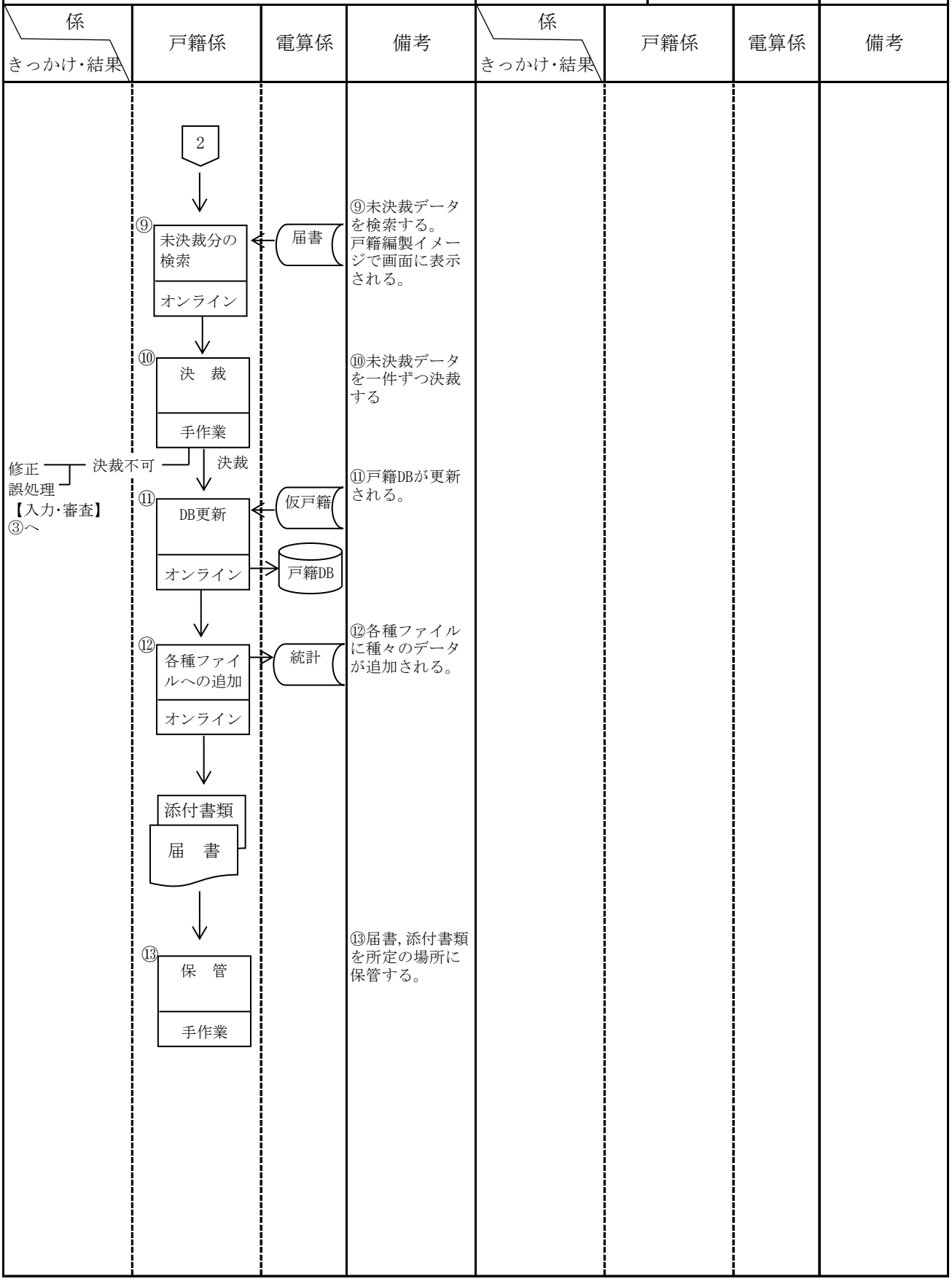
第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態無	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



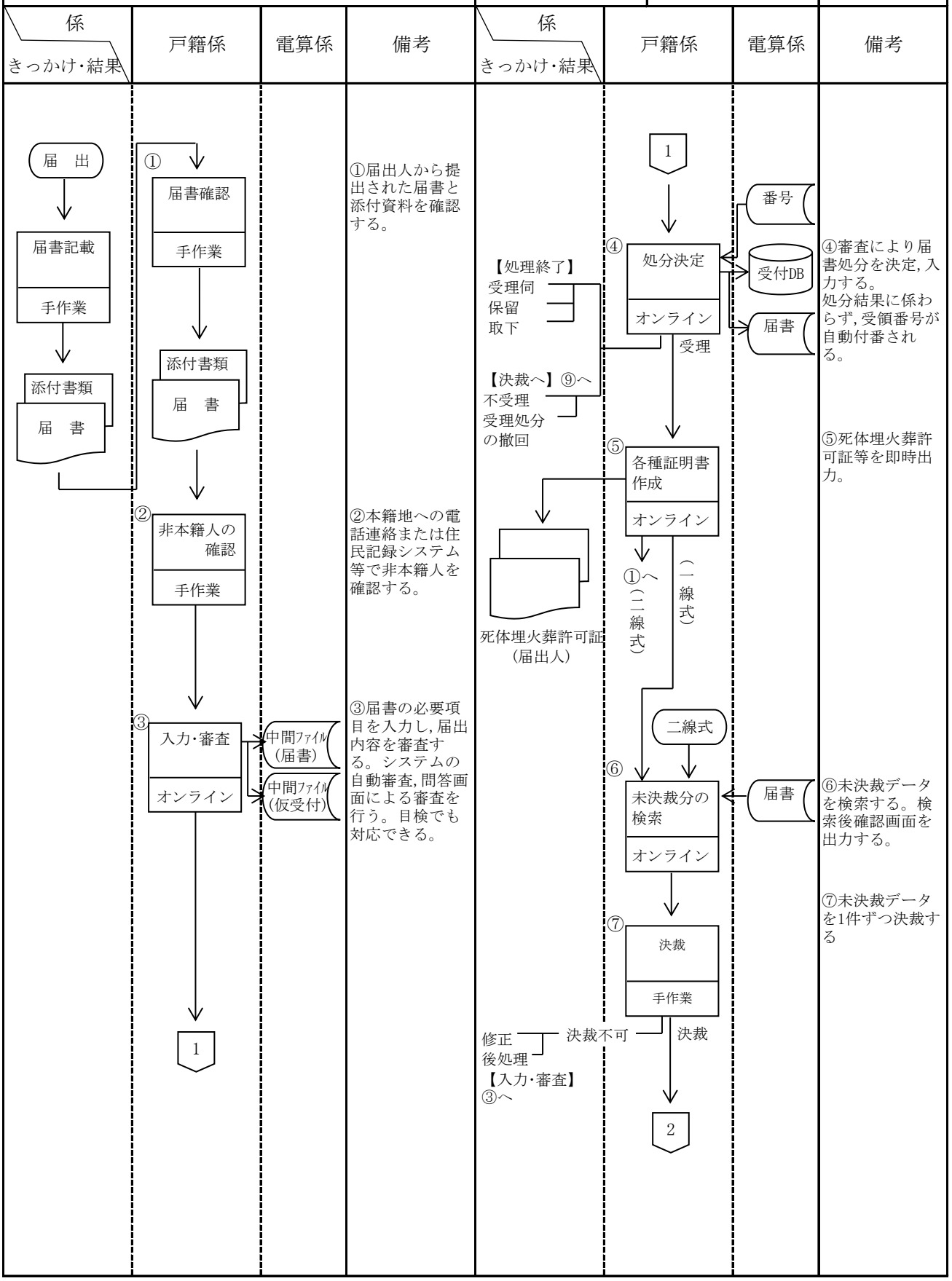
第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(本籍分)・人口動態無	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



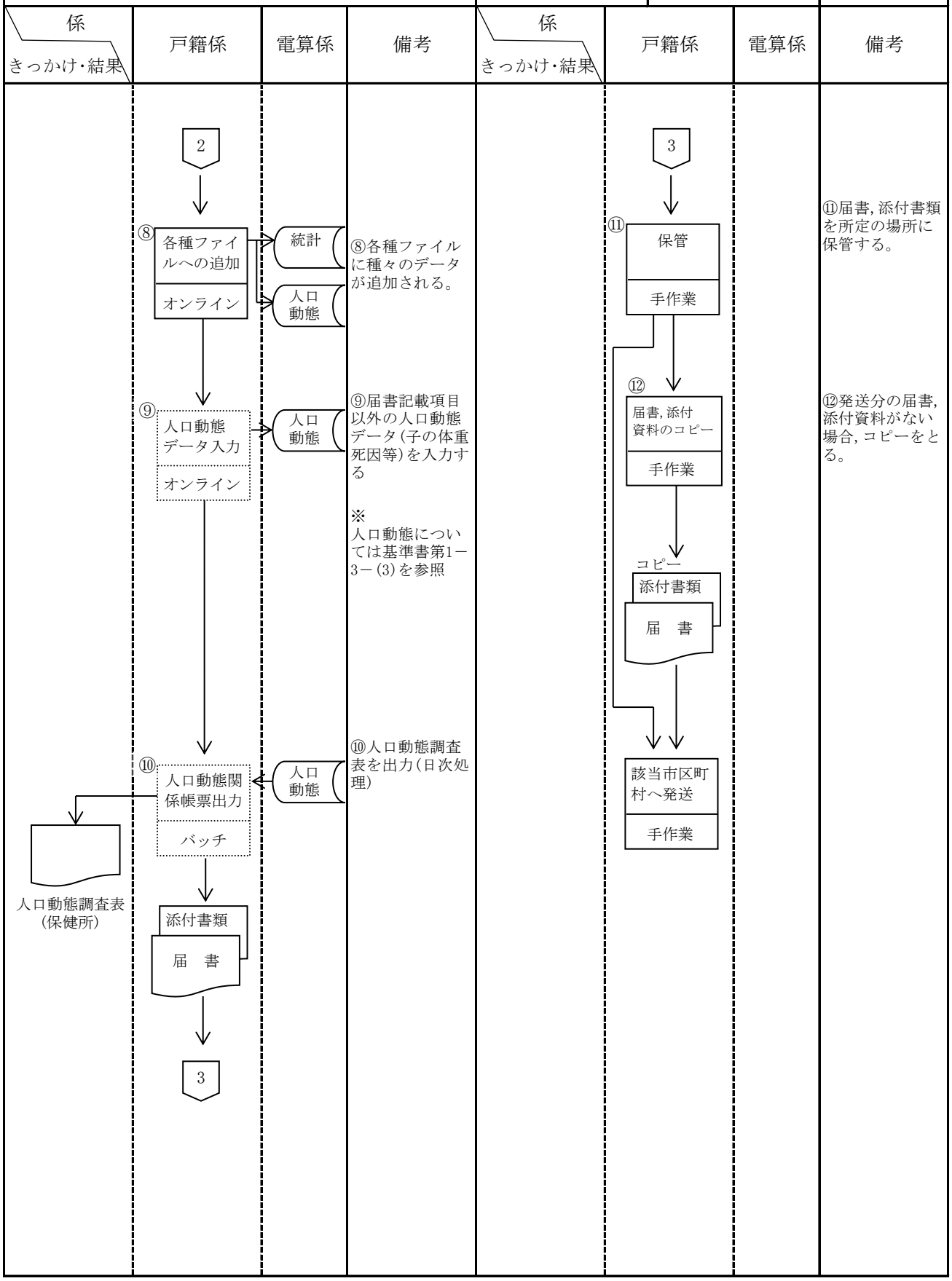
第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(非本籍分)・人口動態有	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



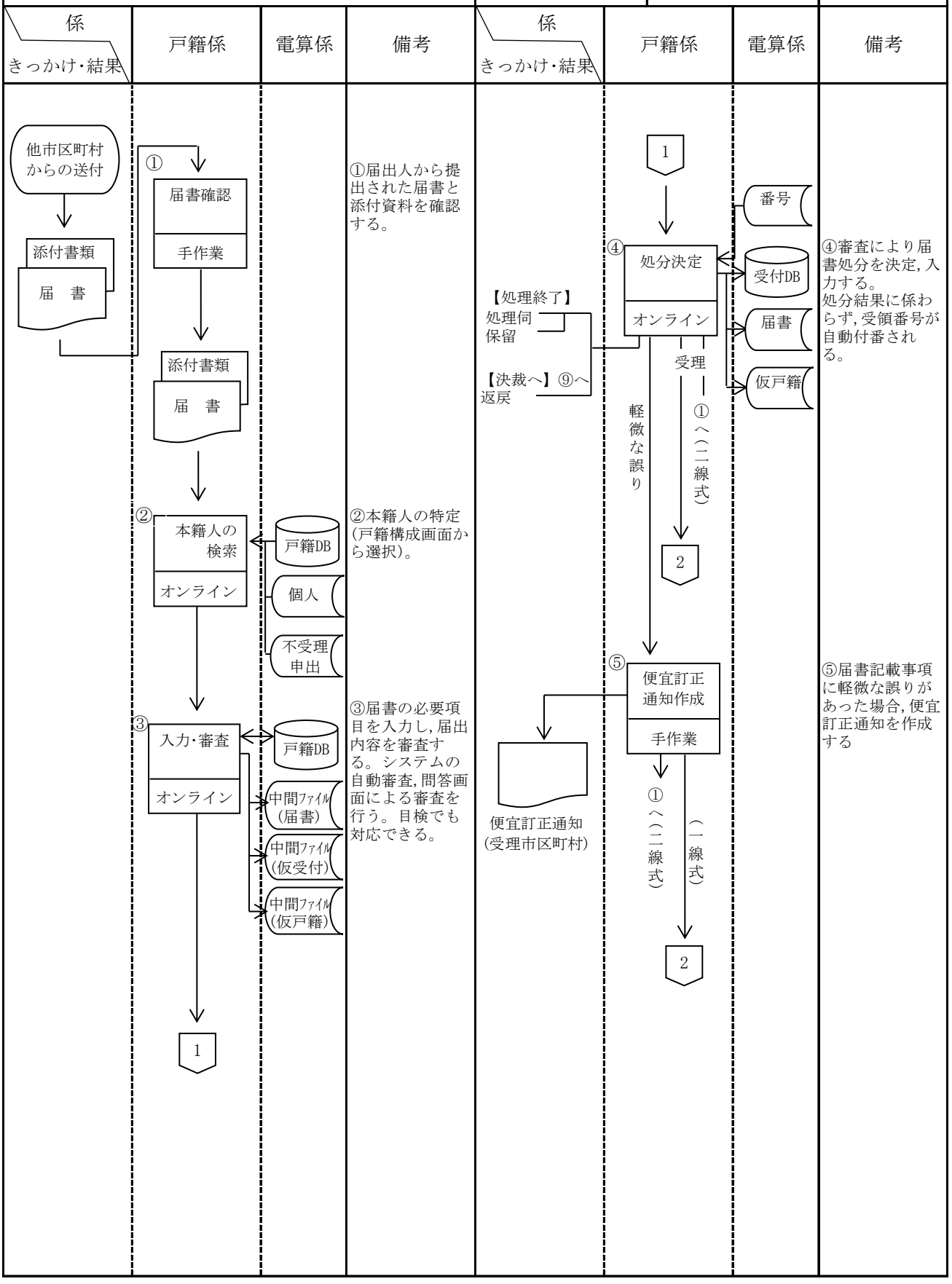
第51	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(非本籍分)・人口動態有	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

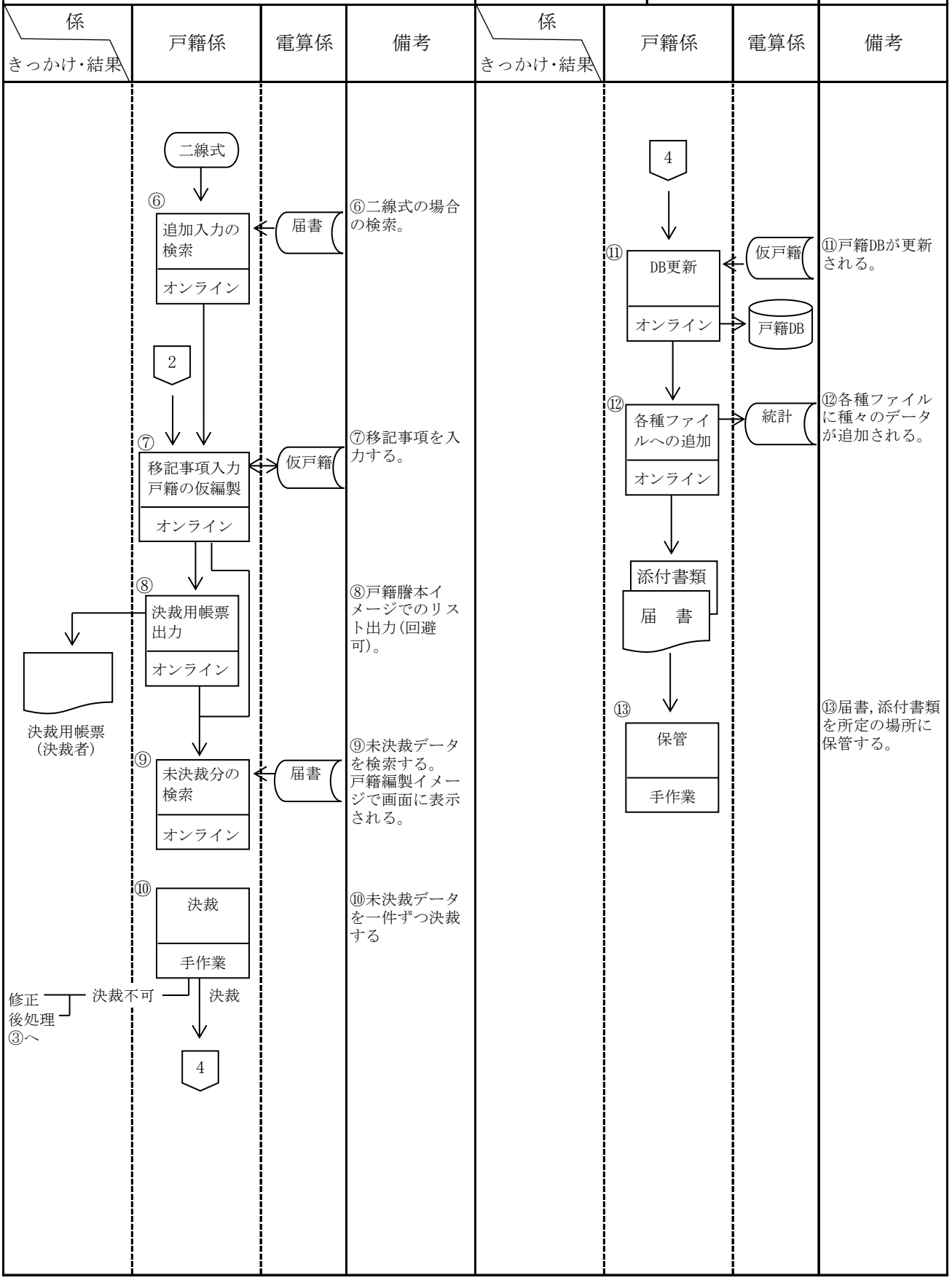


第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　送付・人口動態無	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

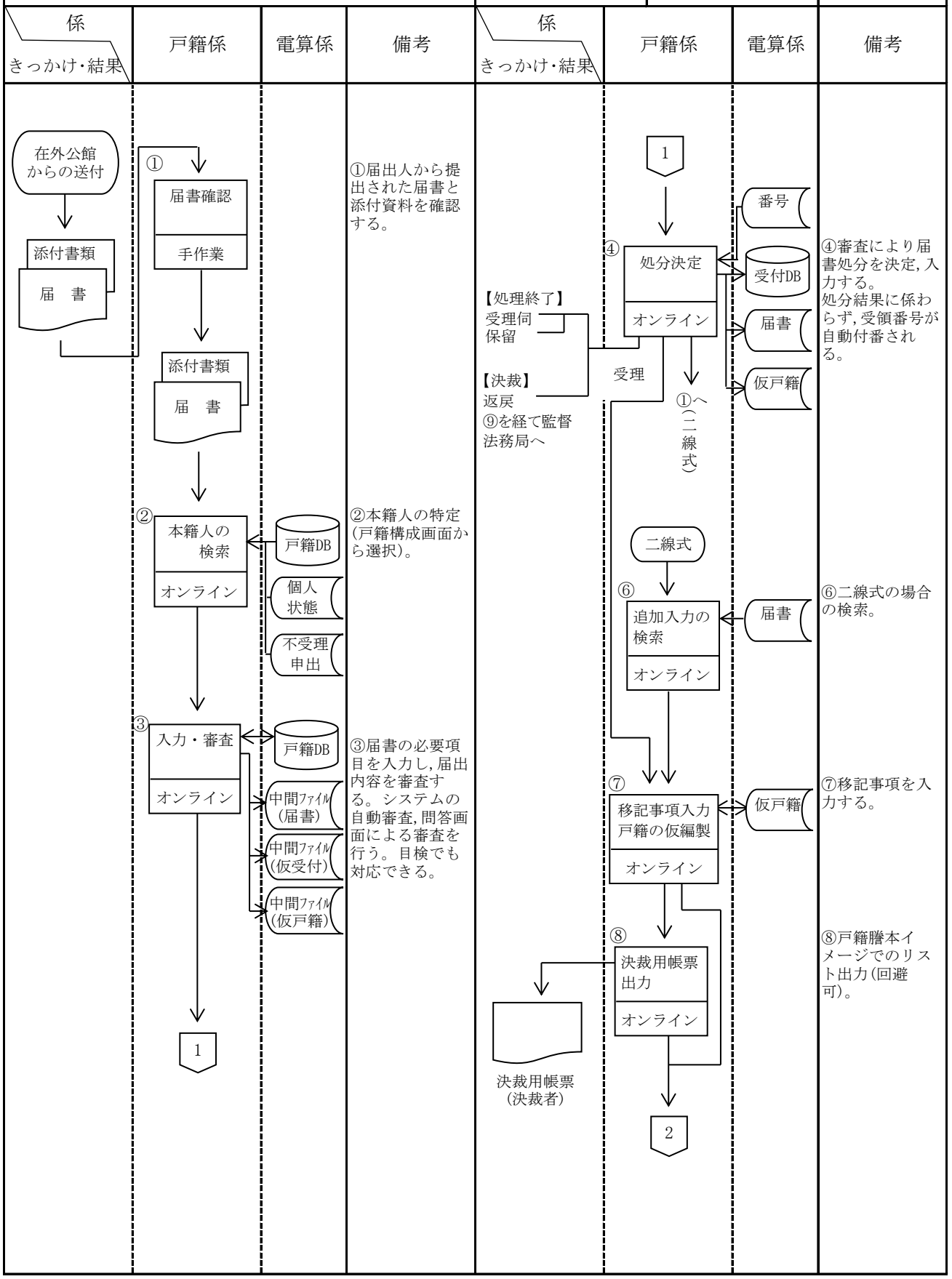


第5 1	新業務処理手順図	作成者		頁
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日	改定日	版
異動処理　全般　送付･人口動態無		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

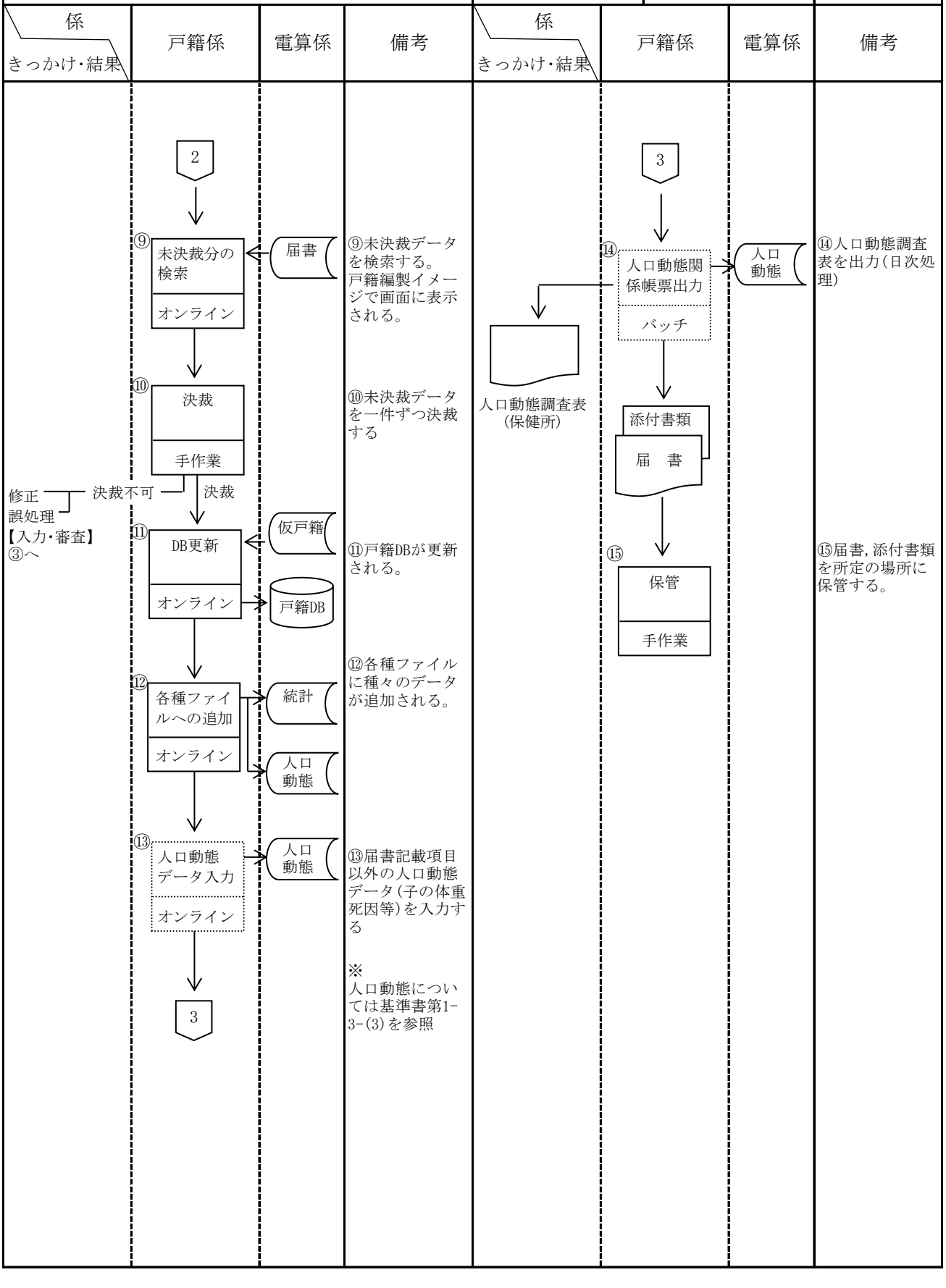


第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　送付(在外公館からの送付)・人口動態有	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



第51	新業務処理手順図	作成者		頁
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日	改定日	版
異動処理　全般　送付(在外公館からの送付)・人口動態有		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



第5 1	新業務処理手順図	作成者	頁
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日	改定日	版
異動処理　全般　受理(時間外受付)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

係 きっかけ・結果	戸籍係	電算係	備考
時間外届出			
添付書類 届　書			
①			
時間外受付簿記入 手作業			①届出人からの提出により受付簿に記入する。
受付簿			
	②		
	休祝日・夜間分 受領NO取得 オンライン	受付DB	②時間外受領届出件数分の受領番号を一括確保する。この後届出業務開始。
	添付書類 届　書		

係 きっかけ・結果	戸籍係	電算係	備考

第5.2　システムの機能体系図

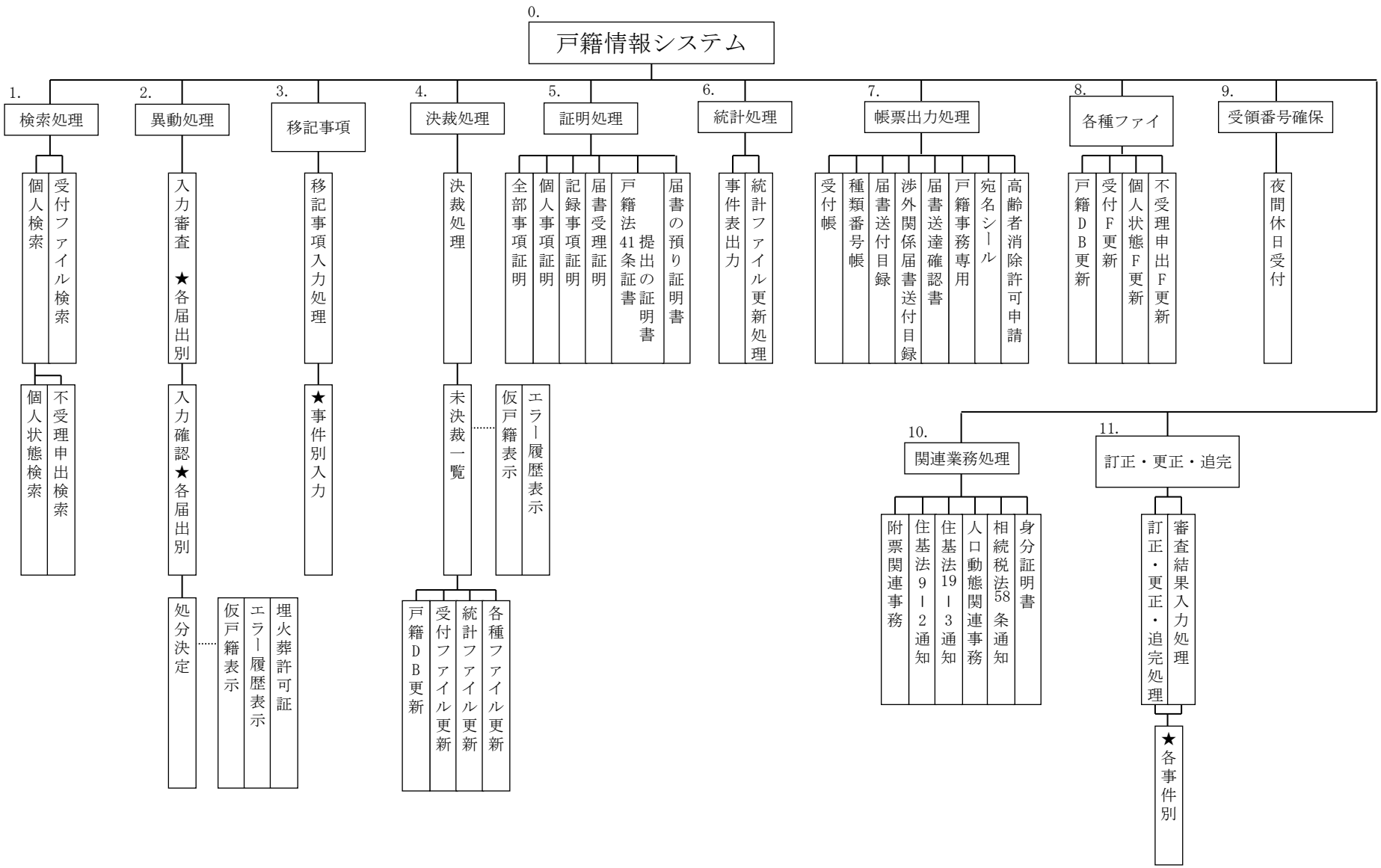
第5.2　システムの機能体系図

(1) 作成の目的
　システム化対象事務には，どのような機能があるかを把握するとともに，どのような処理体系であるかを整理する。

(2) 作成方法
　第一の「システム化の範囲」及び第五の「新業務処理手順図」よりシステム処理を洗い出し，一致する処理機能をまとめ，階層のレベルが細分化しないように配慮しつつ，システムの全体像が把握できる一覧を作成した。

(3) システムの機能体系図
　上記の検討を経て作成した体系図は，以下のとおりである。

	システムの機能体系図	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

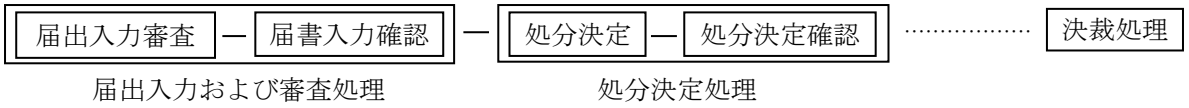


第5.3　オンライン処理の流れ図(詳細)

第53	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
オンライン処理の流れ図(詳細)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1)　異動処理における機能の流れは順守とする。



(2)　処理選択毎に機密保護対策としてのパスワードチェック等の照合を行うこと。

〔留意点〕

(1)　システム動作環境により流れは多少異なるため、ここで示す「オンラインの流れ」はサンプル提示とする。

(2)　「第5-5(1)　画面設計書」で示されている画面名称と一部表現が異なっているものがあるが、該当画面に置きかえて読み取ること。

(3)　関連業務処理、帳票出力処理など、自治体の運用に合わせて設計(開発)する画面については、「第5-5(1)　画面設計書」を作成していない。オンラインの流れ図では仮名称としているので個別に作成のこと。

(4)　流れ図中に対象となる入出力ファイル(DB)を説明しているが、あくまで参考的なもので中間ファイル、仮戸籍ファイル、戸籍ファイル(DB)の位置づけを明確にし、更新のタイミングを考慮する事。

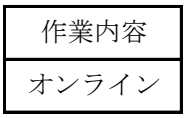
(5)　便宜上、PFxxの表現があるが実現するための手法については任意とする。

第5.3　オンライン処理の流れ図(詳細)

(1)　作成の目的

この流れ図は,新業務処理手順図で示されたオンライン処理部分を,さらに詳細な処理手順の流れに明確化するとともに,新システムのオンライン処理全体を把握する資料とするものである。

具体的には,新業務処理手順図の



を,コンピュータ処理の手順に沿って分割し,オンライン画面の展開図を作成する。

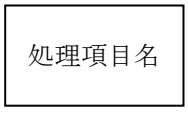
(2)　作成方法

ここでは,端末を操作する者にとって分かりやすい入力及び検索の画面を考慮した結果,届書入力を基本とした。

各処理･作業内容は機能単位で作成し,プログラム規模の統一化や機能の単純化,パターン化を図った。

使用する記号は,新業務処理手順図で用いたもののほか,次のとおりである。

ア.処理項目(プロセス)



イ.画面

なお,各画面の処理概要については,その説明を備考欄に示した。

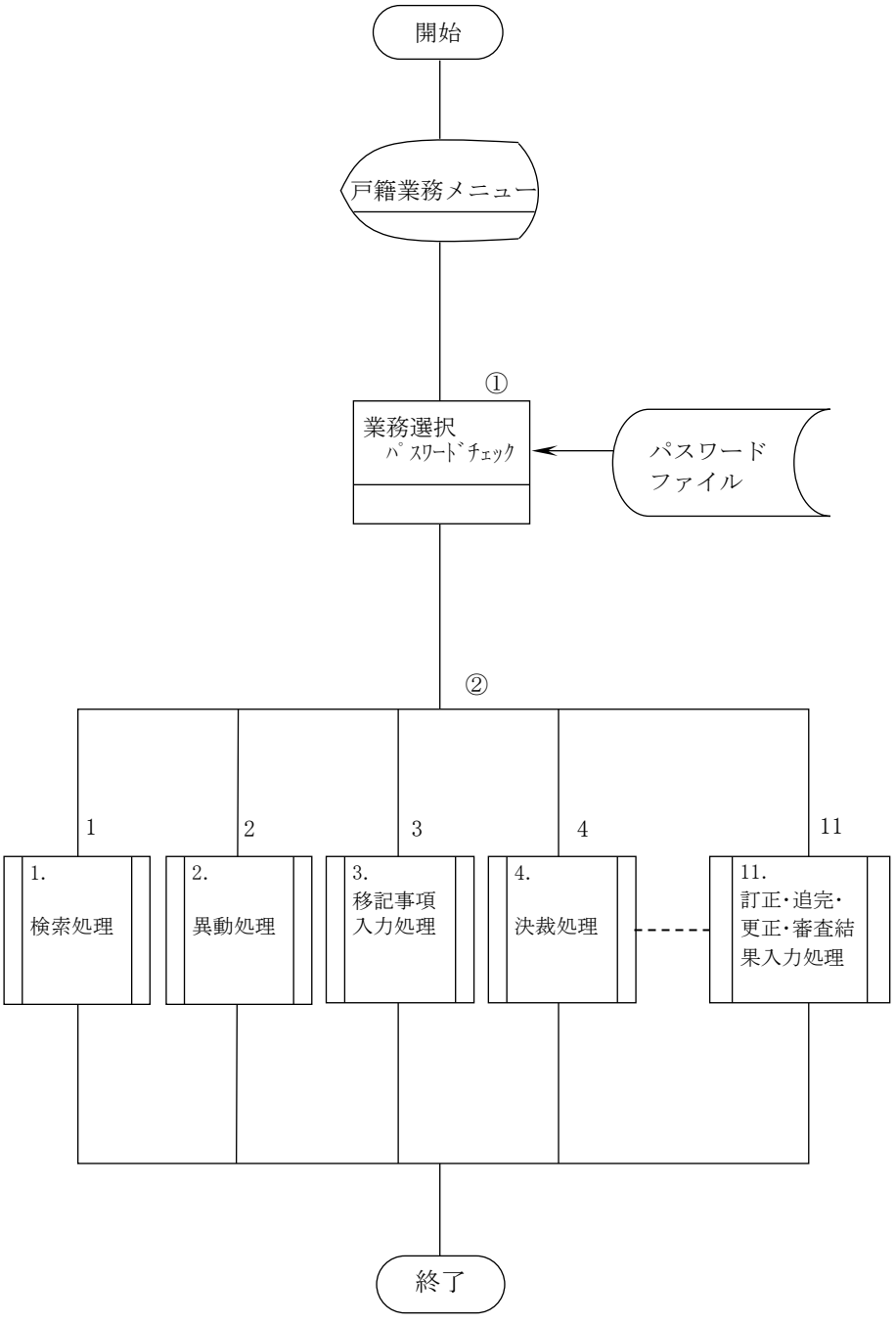
(3)　オンラインの処理の流れ図(詳細)

上記の検討を経て作成した流れ図は,以下のとおりである。

提示の範囲は以下のものです。

1. 業務選択
2. 検索処理
3. 異動処理(処分決定含む)
4. 移記処理
5. 決裁処理
6. 証明処理
7. 統計処理
8. 帳票出力処理
9. 各種ファイル更新処理
10. 受領番号確保
11. 関連業務処理

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
0.業務選択		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



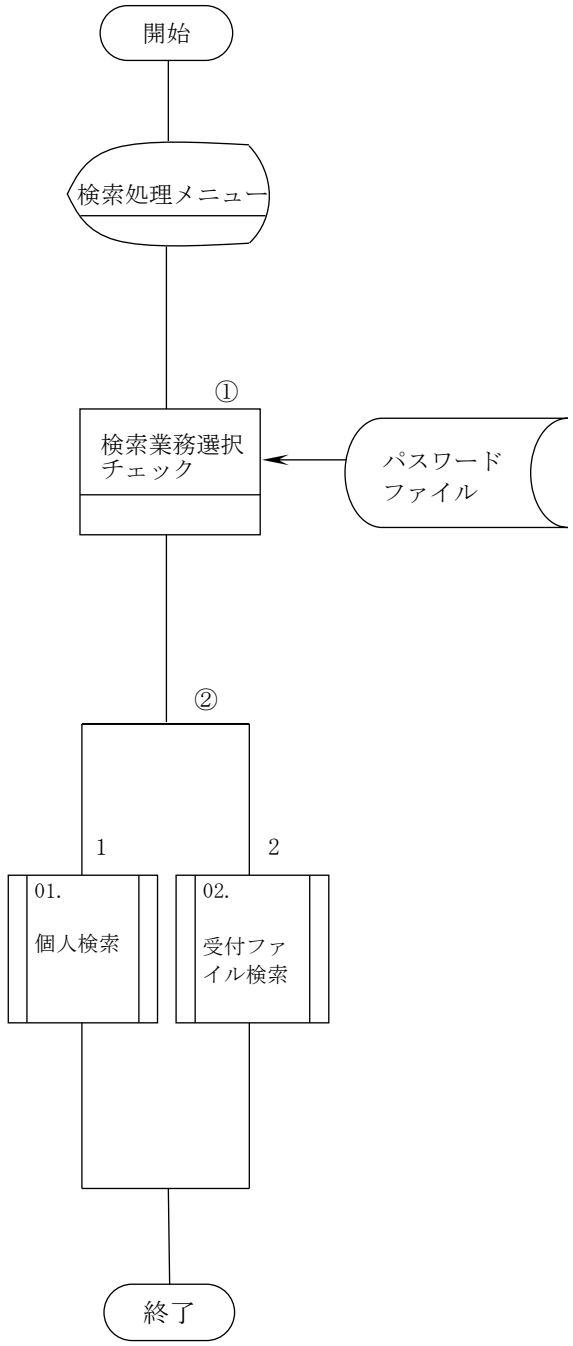
備考

①
(1) 業務選択番号及びパスワードの入力
(2) 業務選択番号及びパスワードのチェック
※　エラー時はメニュー画面へ戻る

判定条件
(1) 業務選択番号の誤入力
(2) 検索資格なし
※　4回連続エラー時は,次入力が出来ない

② 以下の業務に制御を渡す。
1.検索処理
2.異動処理
3.移記事項入力処理
4.決裁処理
5.証明処理
6.統計処理
7.帳票出力処理
8.各種ファイル更新処理
9.受領番号確保処理
10.関連業務処理
11.訂正･追完･更正･審査結果入力処理

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



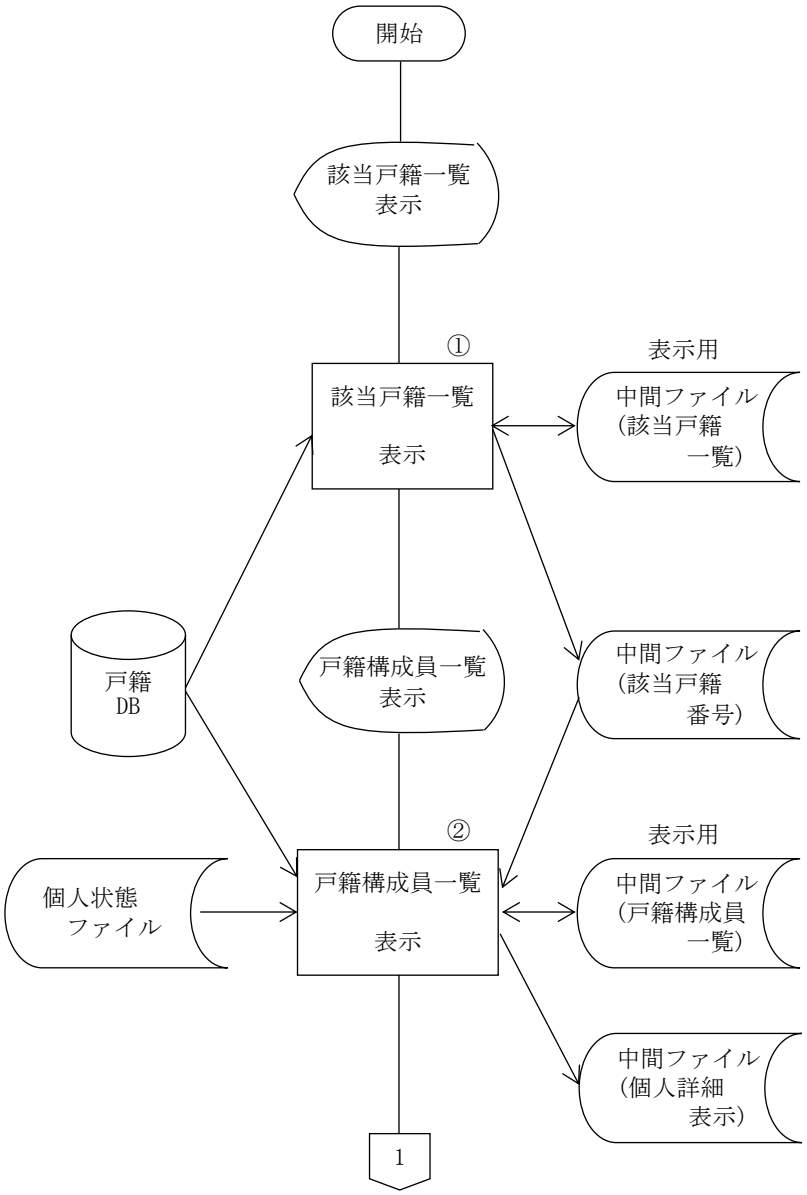
備考

①
(1) 選択番号の入力
(2) 選択番号及び検索資格のチェック
※エラー時はメニュー画面へ戻る

判定条件
(1) 選択番号の誤入力
(2) 検索資格なし

②　以下の業務に制御を渡す.
1.01　個人検索
a.個人詳細表示
b.不受理申出表示
c.個人状態表示
.02　受付ファイル検索

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1.1個人検索(1/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①該当戸籍選択

(1) 検索キー(補助キー)の入力
a.カナ氏名(氏,氏名)
b.漢字氏名(氏,氏名)
c.本籍地(前方一致)
d.生年月日(前方一致)
e.筆頭者(氏名)
［各自治体の判断により異なる］
※複合検索も可

(2) 戸籍DBを検索し、検索キーに該当する戸籍の一覧を表示する。

(3) 該当番号を入力

(4) 該当戸籍を選択する。

(5) 戸籍構成員一覧へ制御を渡す。

②戸籍構成員一覧

(1) 個人詳細番号の入力

(2) 中間ファイル(該当番号)の戸籍番号をキーに戸籍DB,個人状態ファイルを検索し、戸籍事項･身分事項等を編集する。

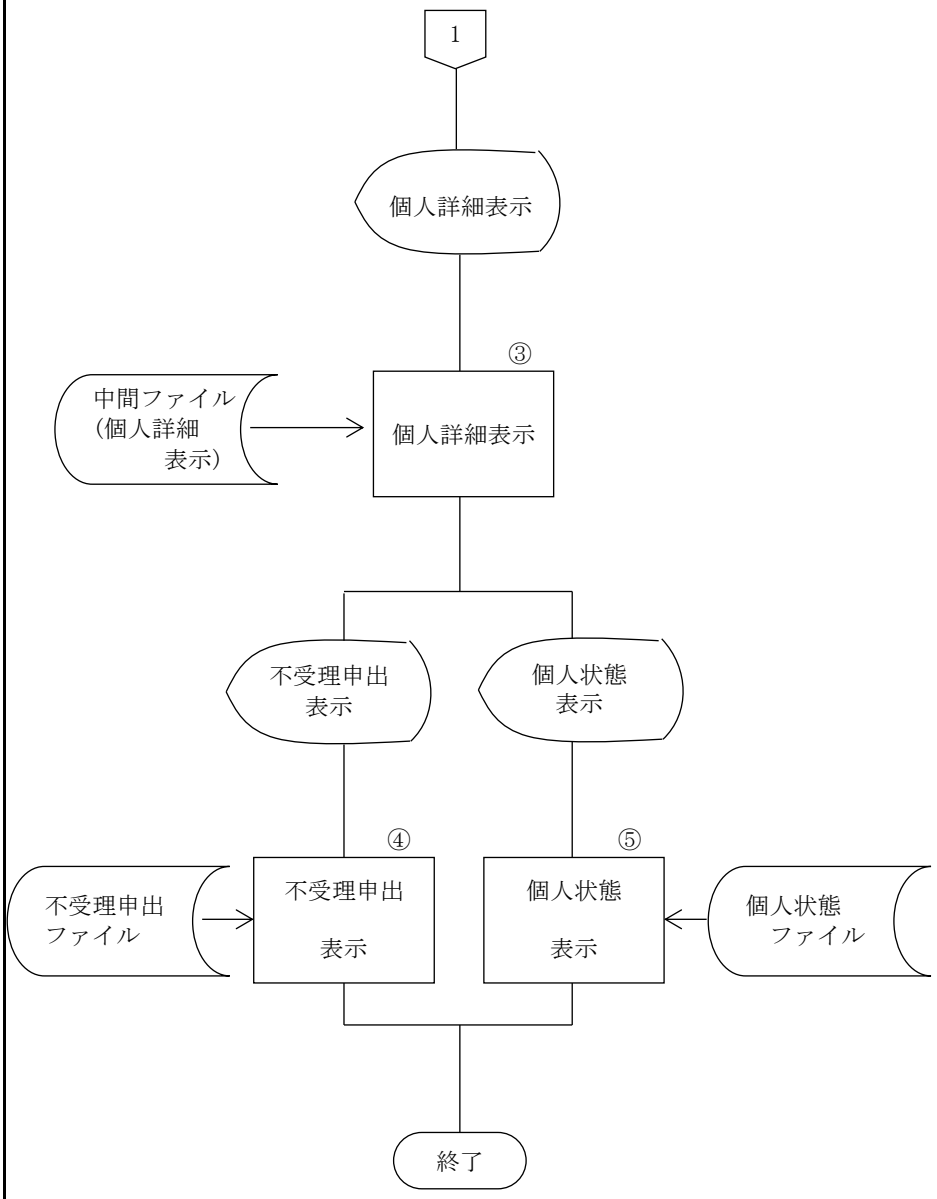
(3) 戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する。

(4) 戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細表示の選択

(5) 選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する。

(6) 個人詳細表示へ制御を渡す。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1.1個人検索		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

③　個人詳細表示

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を読み込み個人事項等を編集する。

(2) 個人詳細表示

(3) 不受理申出･個人状態を表示するためのパスワードチェック及びPFキー選択
a.PF10-不受理申出表示
PF11-個人状態表示

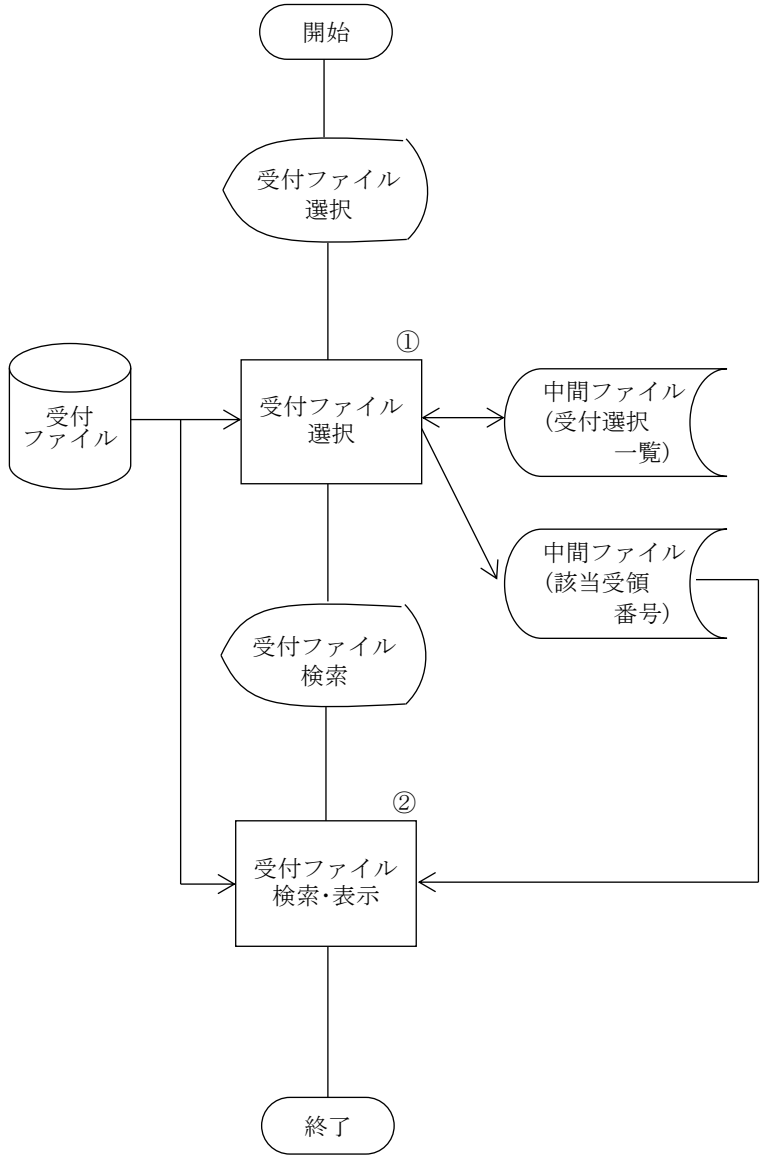
④　不受理申出表示

(1) 不受理申出がある場合のみ、表示する。
a.PFキー選択による他画面の選択
PF9-個人詳細表示
PF11-個人状態表示

⑤　個人詳細表示

(1) 個人状態がある場合のみ表示する。
a.PFキー選択による他画面の選択
PF9-個人詳細表示
PF10-不受理申出表示

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		5/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1.2受付ファイル検索		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①受付ファイル選択

(1) 検索キーの入力
a. 受領番号
b. 受領日
c. 処分区分
d. カナ氏名(氏,氏名)
e. 漢字氏名(氏,氏名)
f. 事件コード
g. 渉外区分
［自治体の判断により異なる］
※複合検索も可

(2) 検索キーにより受付ファイルを検索し、受付ファイル選択を表示する。
　但し、検索件数が多すぎる場合はエラーとする。
(打切り件数は任意)

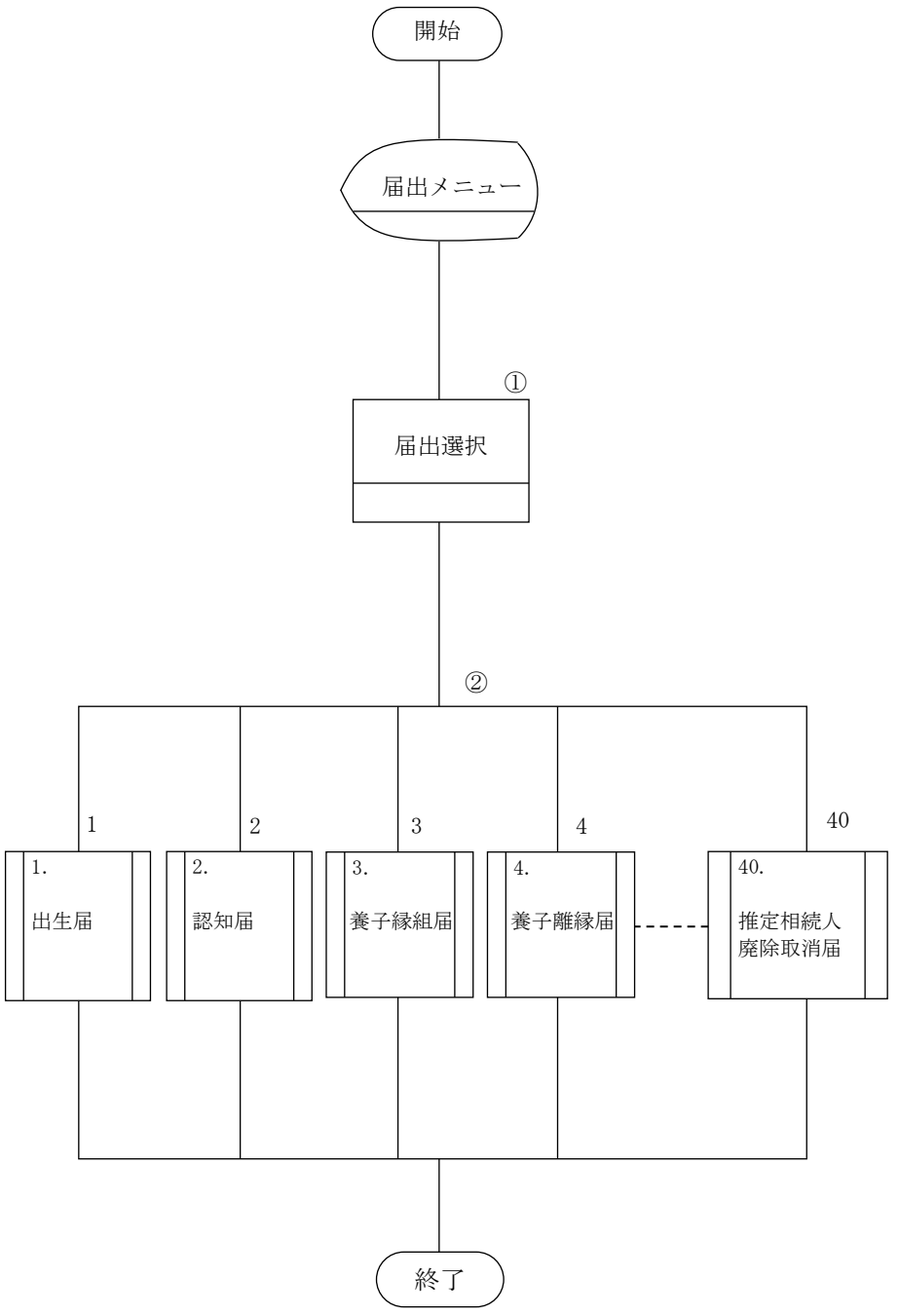
(3) 該当番号を入力する。

(4) 受付ファイル検索に制御を渡す。

②受付ファイル表示

(1) 該当番号の受領番号をキーとして受付ファイルを検索し受領ファイル検索に表示する。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		6/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　2.0届出選択		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

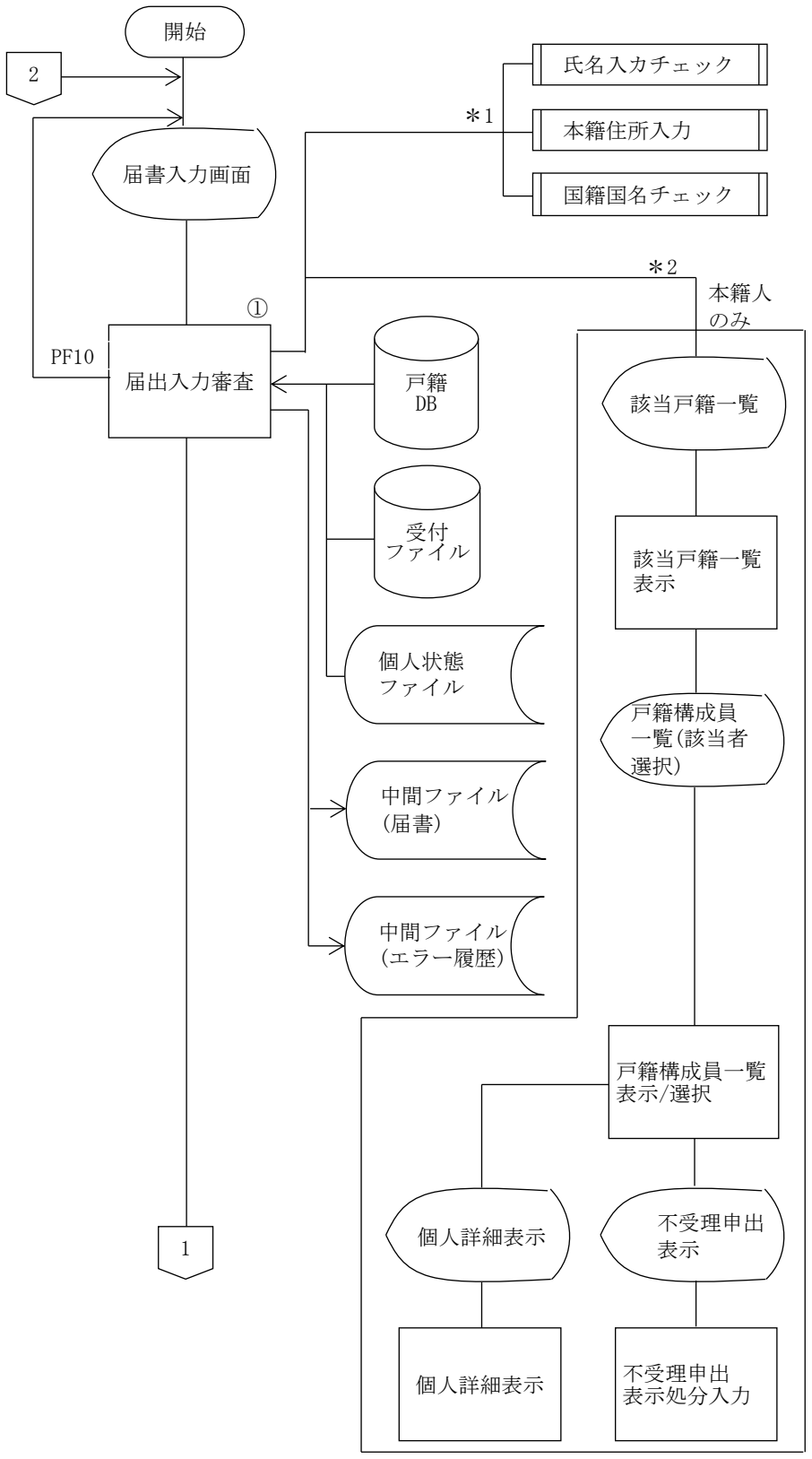


備考

①届出選択
(1) 事件コードの入力
(2) 事件コードのチェック

② 以下の業務に制御を渡す。
1. 出生届
2. 認知届
3. 養子縁組届
4. 養子離縁届
5. 特別養子縁組届
6. 特別養子離縁届
7. 73条の2届
8. 養子離縁届同時73条の2届
9. 婚姻届
10. 離婚届
11. 77条の2届
12. 離婚届同時77条の2届
13. 親権(管理権)届
14. 後見届
15. 保佐届
16. 死亡届
17. 失踪届
18. 復氏届
19. 姻族関係終了届
20. 推定相続人廃除届
21. 入籍届
22. 分籍届
23. 国籍取得届
24. 帰化届
25. 国籍喪失届
26. 国籍選択届
27. 外国国籍喪失届
28. 氏の変更届
29. 107条の2届
30. 107条の3届
31. 107条の4届
32. 名の変更届
33. 転籍届
34. 就籍届
35. 縁組取消届
36. 離縁取消届
37. 婚姻取消届
38. 離婚取消届
39. 失踪宣告取消届
40. 推定相続人廃除取消届

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		7/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①届書入力審査

(1)届書の内容を画面入力する。

*1.入力の時、以下の補助入力サブルーチンが使用可
･氏名入力チェック
･本籍住所入力
･国籍国名入力

*2.本籍人の場合は検索し、該当者を選択する。
戸籍DBの該当データをロックする。
不受理申出がある場合その旨画面に表示する。

(2)入力された項目の単体･関連チェックを行う。
但し、エラー(単体･関連･法令)がある場合、届書入力画面に戻る。

(3)届出審査でのメッセージを中間ファイル(エラー履歴)へ出力する。

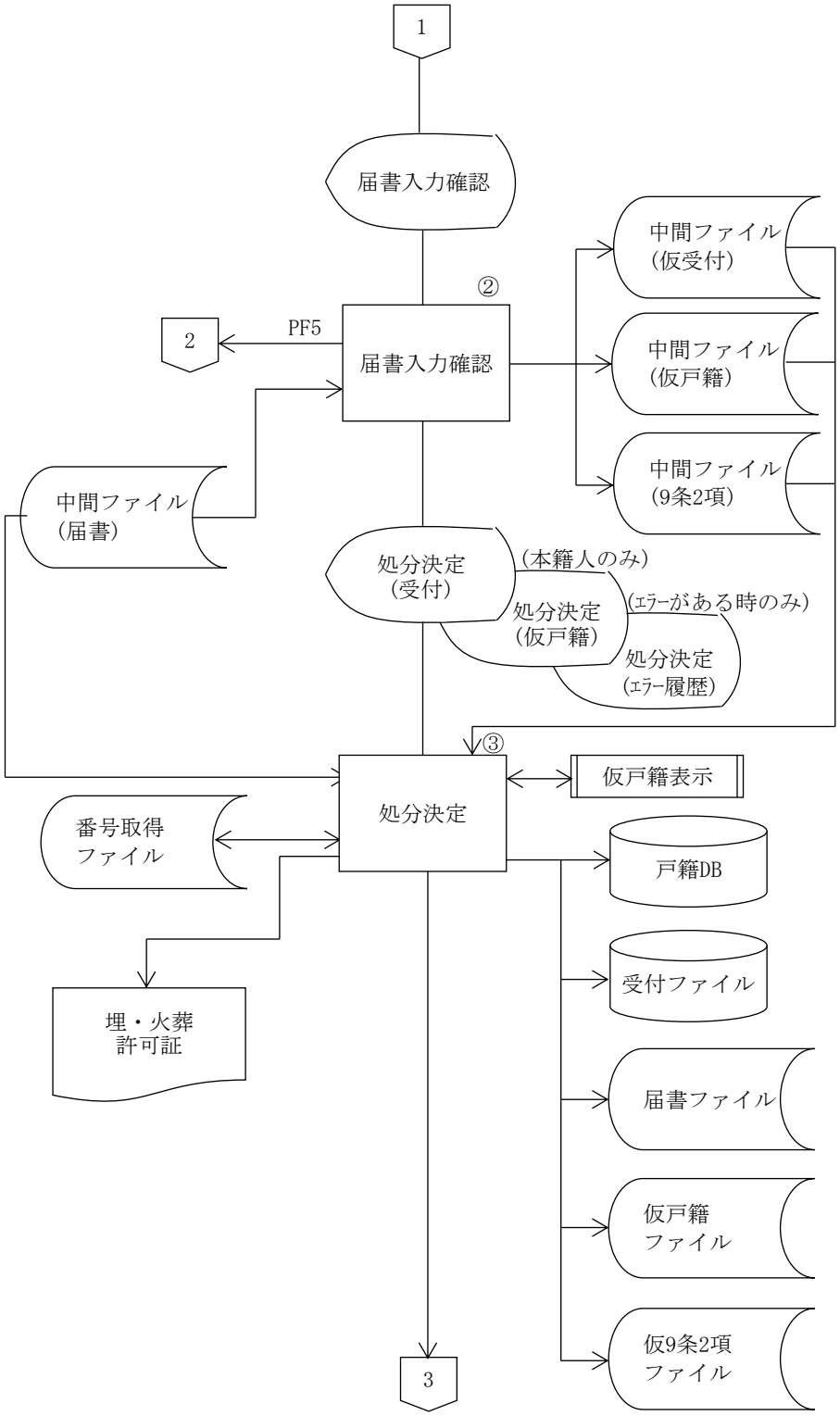
(4)関連事件の確認を行う。

(5)入力された内容をもとに中間ファイル(届書)の作成を行う。

(6)入力確認に制御を渡す。

(7)PF10
　画面入力項目の入力禁止を解除する。

第5 3	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		8/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理(2/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

②届事入力確認

(1) 審査後の入力内容の確認を行う。

(2) 入力された内容をもとに中間ファイル(届書)の更新及び中間ファイル(仮受付、仮戸籍、9条2項)の作成を行う。

(3) 処分決定に制御を渡す。

(4) PF5
届書入力画面に制御を渡す。

③処分決定

(1) 処分区分を決定する。

(2) 番号取得ファイルから受領番号を取得し、更新を行う。(末番管理)

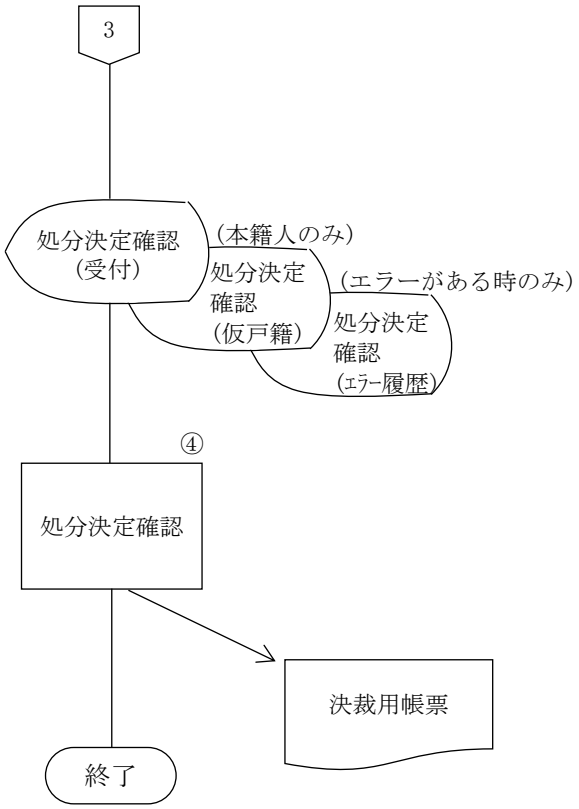
(3) 中間ファイル(届書)
中間ファイル(仮受付)
中間ファイル(仮戸籍)
中間ファイル(9条2項)
をもとに受付ファイルの更新、戸籍DB、届書ファイル、仮戸籍ファイル、仮9条2項ファイルの作成を行う。

(4) 埋･火葬許可証の出力を行う。(死亡届のみ)

(5) 処分決定確認に制御を渡す。

(6) 仮戸籍表示はPFキーで制御を渡す。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		9/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理 2.1届書入力･審査及び処分決定処理(3/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

④処分決定確認

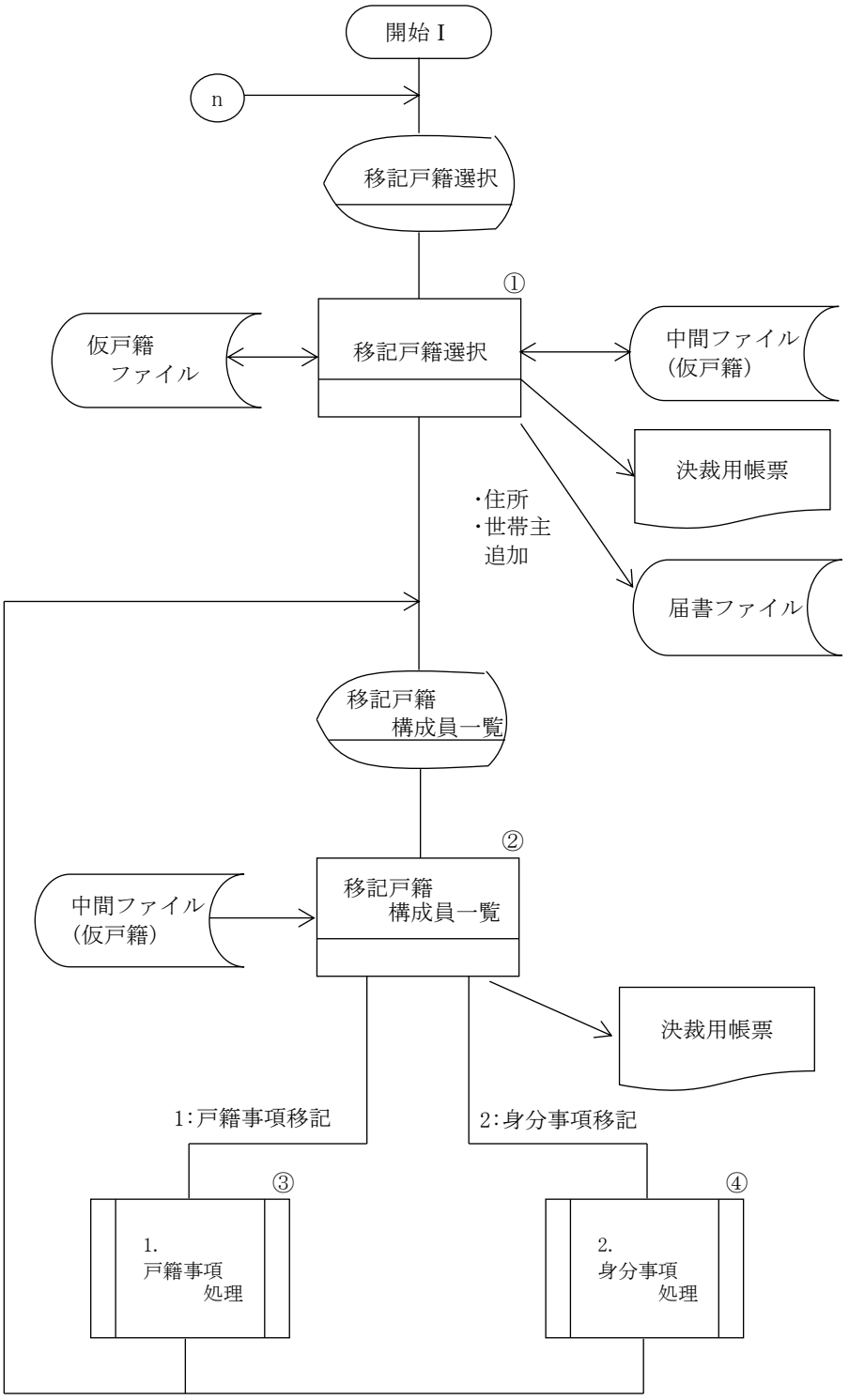
(1) 取得した受領番号の確認を行う。

(2) PFキー操作により各業務に制御を渡す。

･移記事項入力(一線式)
･届出メニュー(二線式)

(3) 決裁用帳票の出力を行う。(必要時に出力指示)

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		10/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



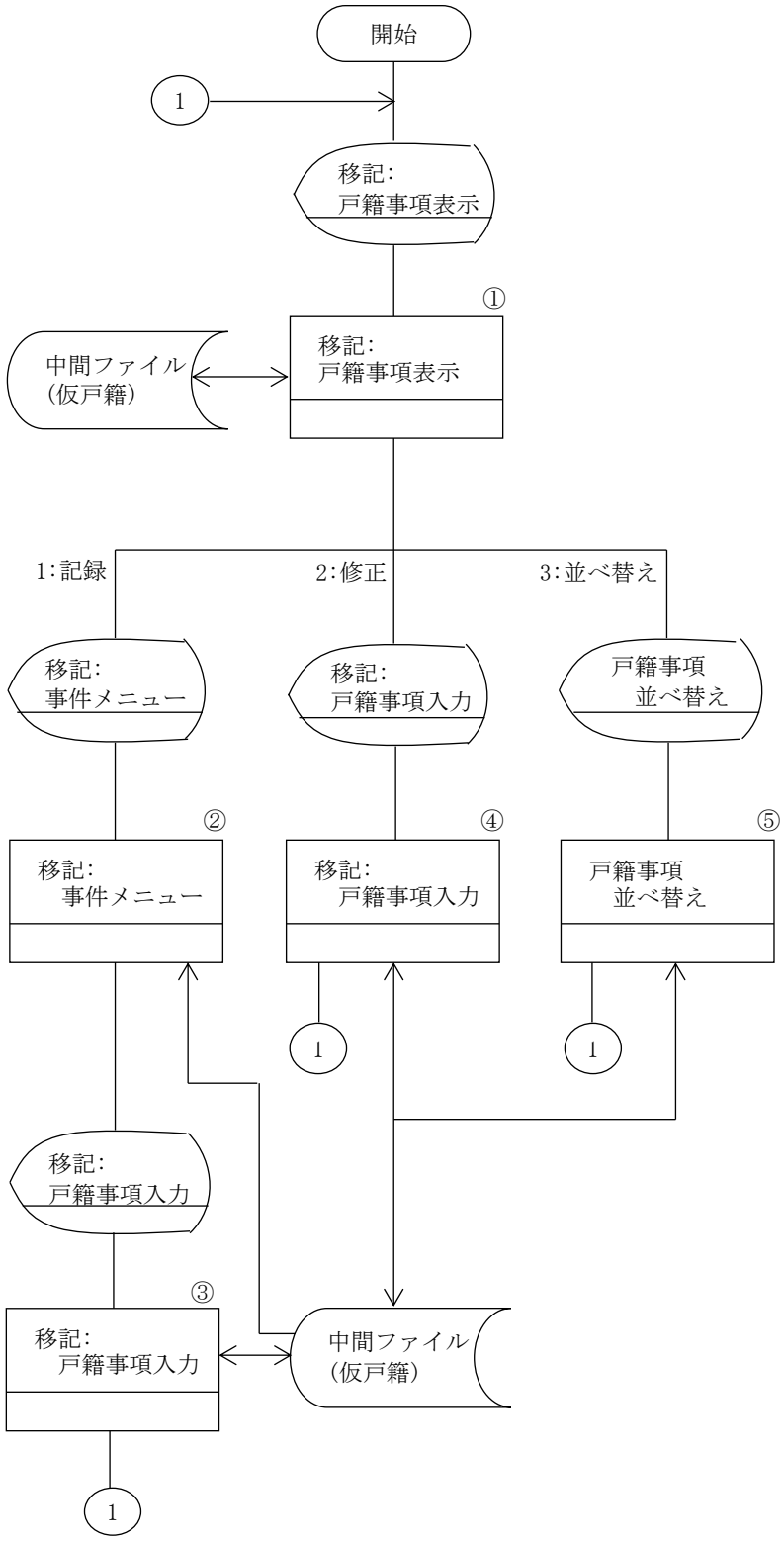
備考

①
Ⅰ-1.戸籍業務選択から制御
①-1. 移記戸籍選択番号を入力する
②-2. 入力された受領番号で仮戸籍ファイルを検索し、存在しなければエラー表示を行い、存在すれば画面編集を行い中間ファイル(仮戸籍)を作成する
・該当戸籍番号の入力
→②に制御を渡す
・処理中止のPFキー
→中間ファイル(仮戸籍)の削除

Ⅰ-2.処分決定処理から制御
(1線式の処理)
①-1. 渡された受領番号で仮戸籍ファイルを検索し、存在しなければエラー表示を行い、存在すれば画面編集を行い中間ファイル(仮戸籍)を作成する
・該当戸籍番号の入力
→②に制御を渡す
・処理中止のPFキー
→中間ファイル(仮戸籍)の削除

n.移記戸籍構成員一覧から制御
①-1. ガイダンスメッセージを表示する
-PFXX:移記処理終了
-区分=1:帳票要、0:不要
・該当戸籍番号の入力
→②に制御を渡す
・PFXXの押下
→・中間ファイル(仮戸籍)を基に仮戸籍ファイルを更新後、中間ファイルを削除する
・区分が1なら決裁用帳票を出力する
・戸籍業務選択に制御を渡す
・処理中止のPFキー
→中間ファイル(仮戸籍)の削除
②入力された選択番号の戸籍を中間ファイル(仮戸籍)から編集、表示する
・戸籍事項の移記選択
→③に制御を渡す
・身分事項の移記選択
→④に制御を渡す
　決裁用帳票の出力を行う。
③戸籍事項の移記処理を行う
④身分事項の移記処理を行う

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		11/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項処理　3.1戸籍事項処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①前プロセスで入力された選択番号で中間ファイル(移記戸籍)を検索し、編集、表示する
・記録を選択
→　②に制御を渡す
・修正を選択
→・審査で記載された戸籍事項は選択不可
・④に制御を渡す
・並べ替えを選択
→　⑤に制御を渡す

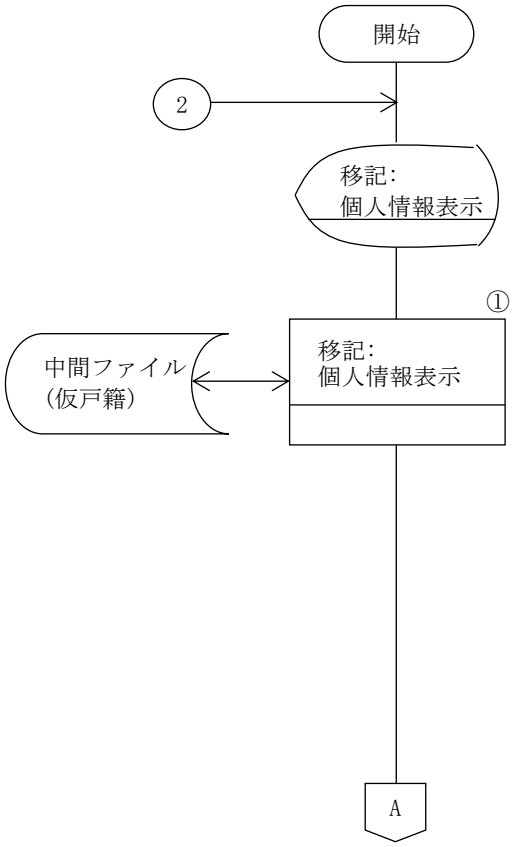
②移記:事件メニューを表示する
選択番号の入力
→　③に制御を渡す

③移記:戸籍事項入力画面を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)に追加する

④前プロセスで入力された選択番号の戸籍事項を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

⑤タイトルの一覧を表示する
・並べ替え処理を行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

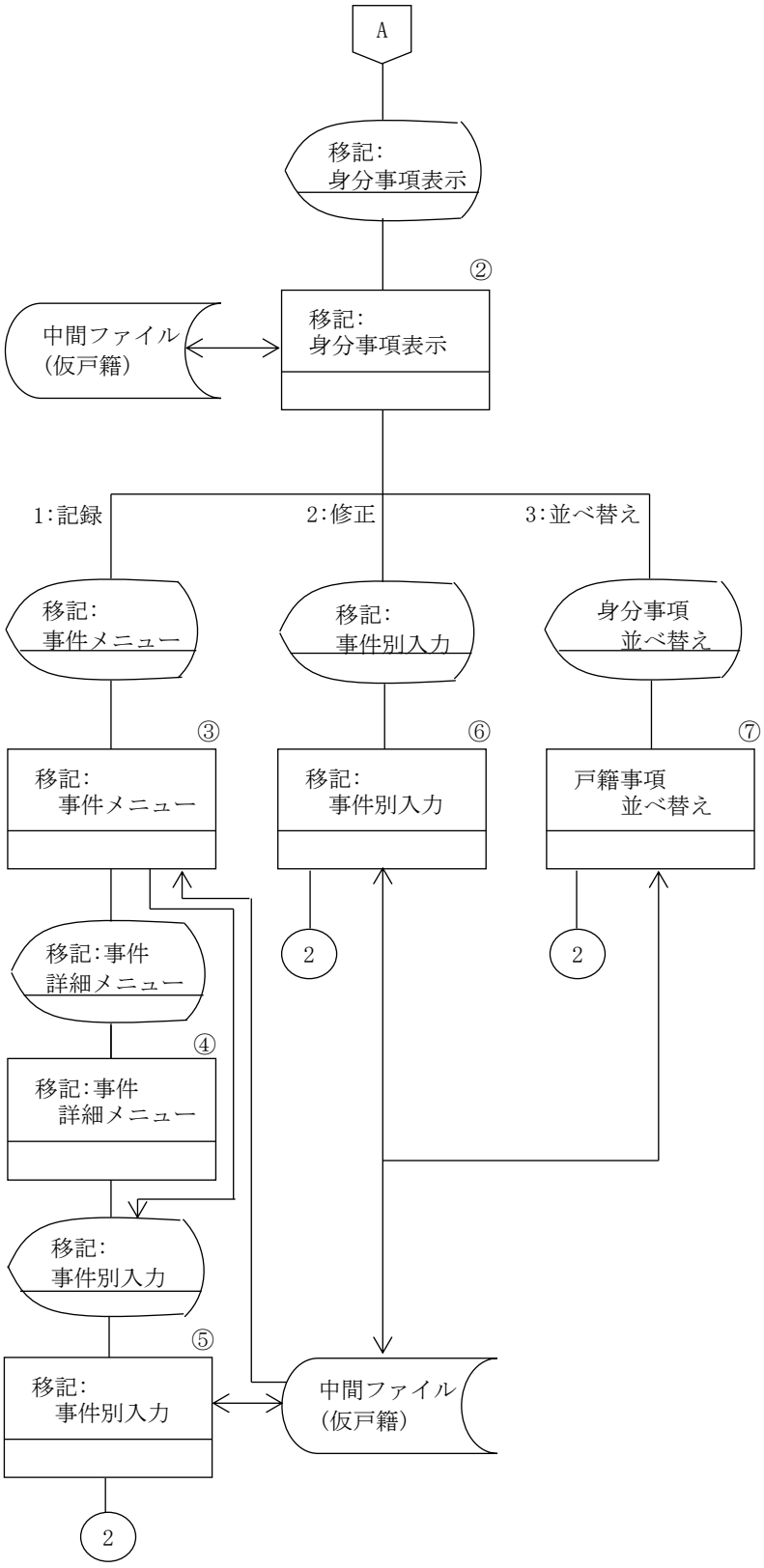
第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		12/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項処理　3.2身分事項処理(1/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①前プロセスで入力された選択番号で中間ファイル(仮戸籍)を検索し、編集･表示する
･入力処理(父母欄等)
→･確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する
･②に制御を渡す

第5 3	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		13/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項処理　3.2身分事項処理(2/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

②中間ファイル(仮戸籍)を検索し、編集、表示する
・記録を選択
→　③に制御を渡す
・修正を選択(*2)
→・審査で記載された身分事項は選択不可
・⑥に制御を渡す
・並べ替えを選択(*2)
→　⑦に制御を渡す

③移記:事件メニューを表示する
選択番号の入力
→　④に制御を渡す

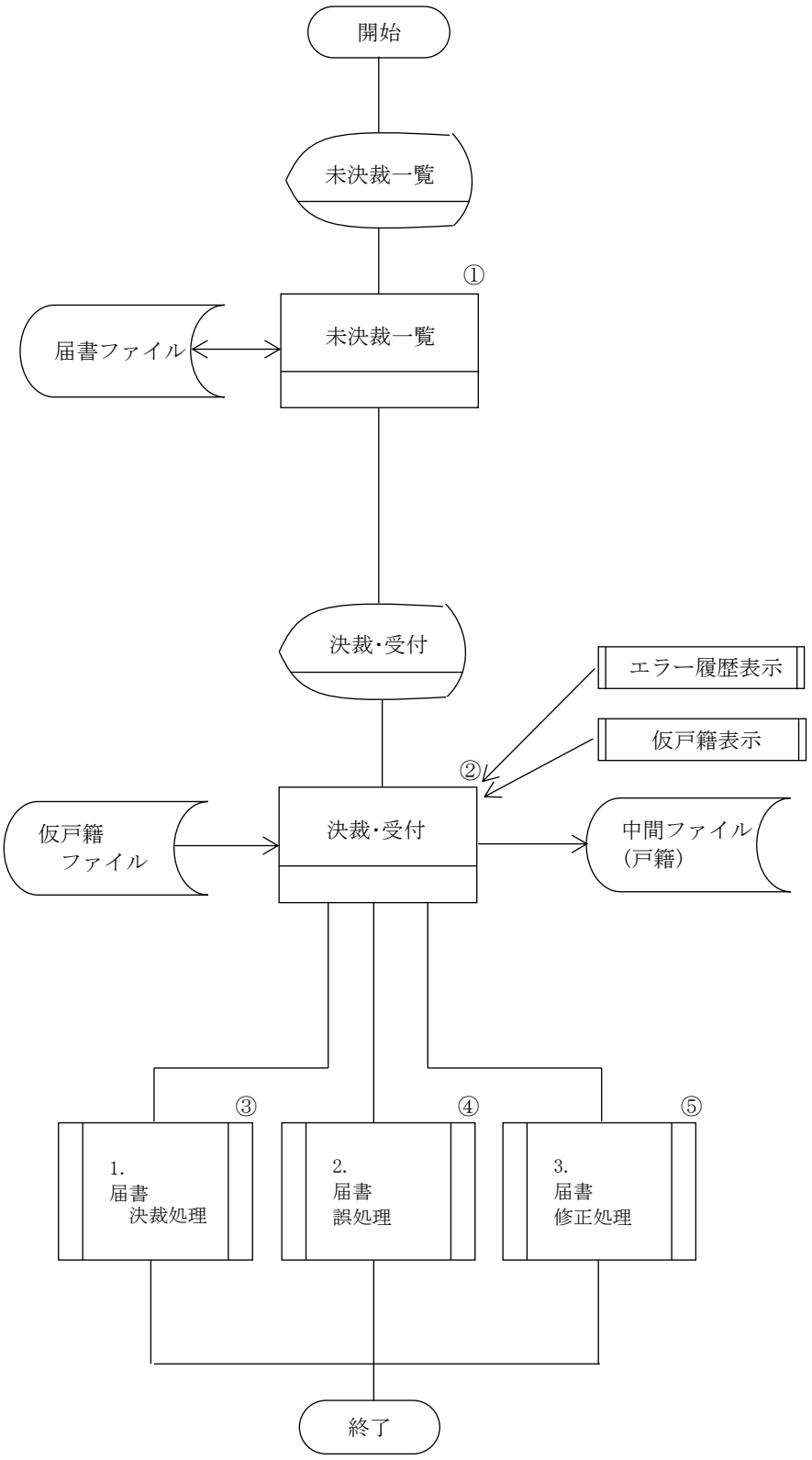
④前プロセスで入力された選択番号の移記:事件詳細メニューを表示する

⑤移記:身分事項入力画面を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)に追加する

⑥前プロセスで入力された選択番号の身分事項を表示する
・単体チェック、関連チェックを行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

⑦タイトルの一覧を表示する
・並べ替え処理を行う
・確認後、中間ファイル(仮戸籍)を訂正する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		14/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①「一覧表示のための入力キー
または受領番号を入力して下さい。」を表示する

①-1未決裁の届書の一覧表示
ア.本庁分の一覧表示
支所No未入力
→届書ファイルの支所NoがZEROのレコードを抽出し一覧表示する
イ.支所分の一覧表示
支所Noに支所コード入力
→届書ファイルの支所Noと一致するレコードを抽出し一覧表示する
ウ.全件の一覧表示
支所Noに'99'を入力
→届書ファイルをすべて抽出し一覧表示する
選択番号の入力
→②に制御を渡す

※受理窓口が本庁のみの自治体においては「届書入力処理」で『支所No』は未使用のためアもウも抽出用件は同じでイは無効である

①-2未決裁の届書の直接指定受領番号の入力
→②に制御を渡す

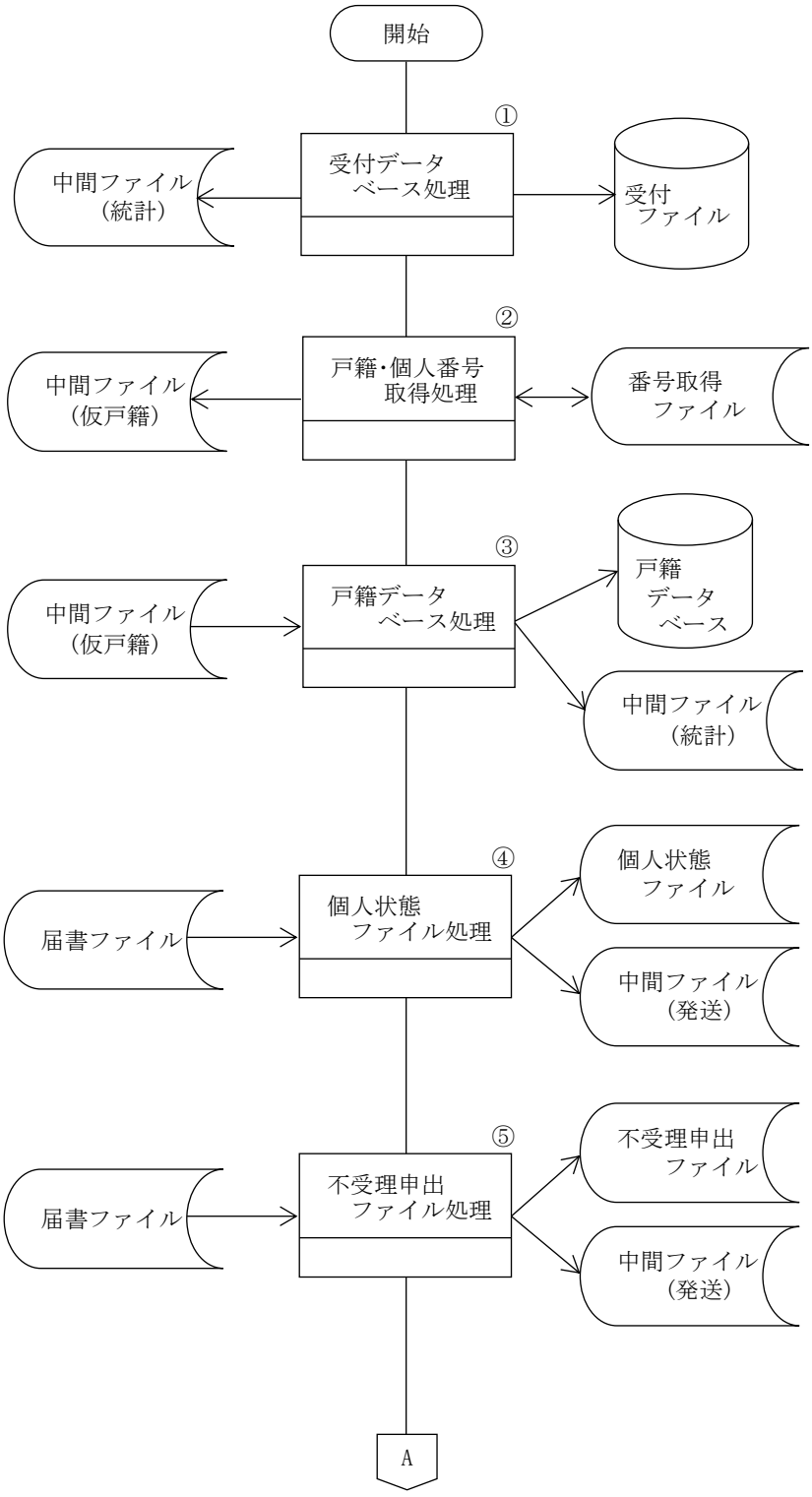
選択された届書レコードに排他をかける

②前プロセスで入力された選択番号(①-1)または入力された受領番号(②-2)の受付の内容を表示する
･決裁処理
仮戸籍ファイルから該当の戸籍を抽出する
→③に制御を渡す
･誤処理
→④に制御を渡す
･修正処理
→⑤に制御を渡す

※決裁戸籍、エラー履歴、9条2項ファイルは各PFキーで表示される

届書レコードが削除されないで処理を終了する場合は、届書レコードの排他を解除する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		15/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　4.1 届書決裁処理(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①(本処理で作成された全部の受付帳に対して処理する)
受付ファイルの決裁区分を決裁とする
統計の中間ファイルを作成する

②(本籍人の場合に処理する)
「戸籍番号」は新戸籍編製の場合に戸籍に対して採番する
「個人番号」は入籍の場合に個人に対して採番する

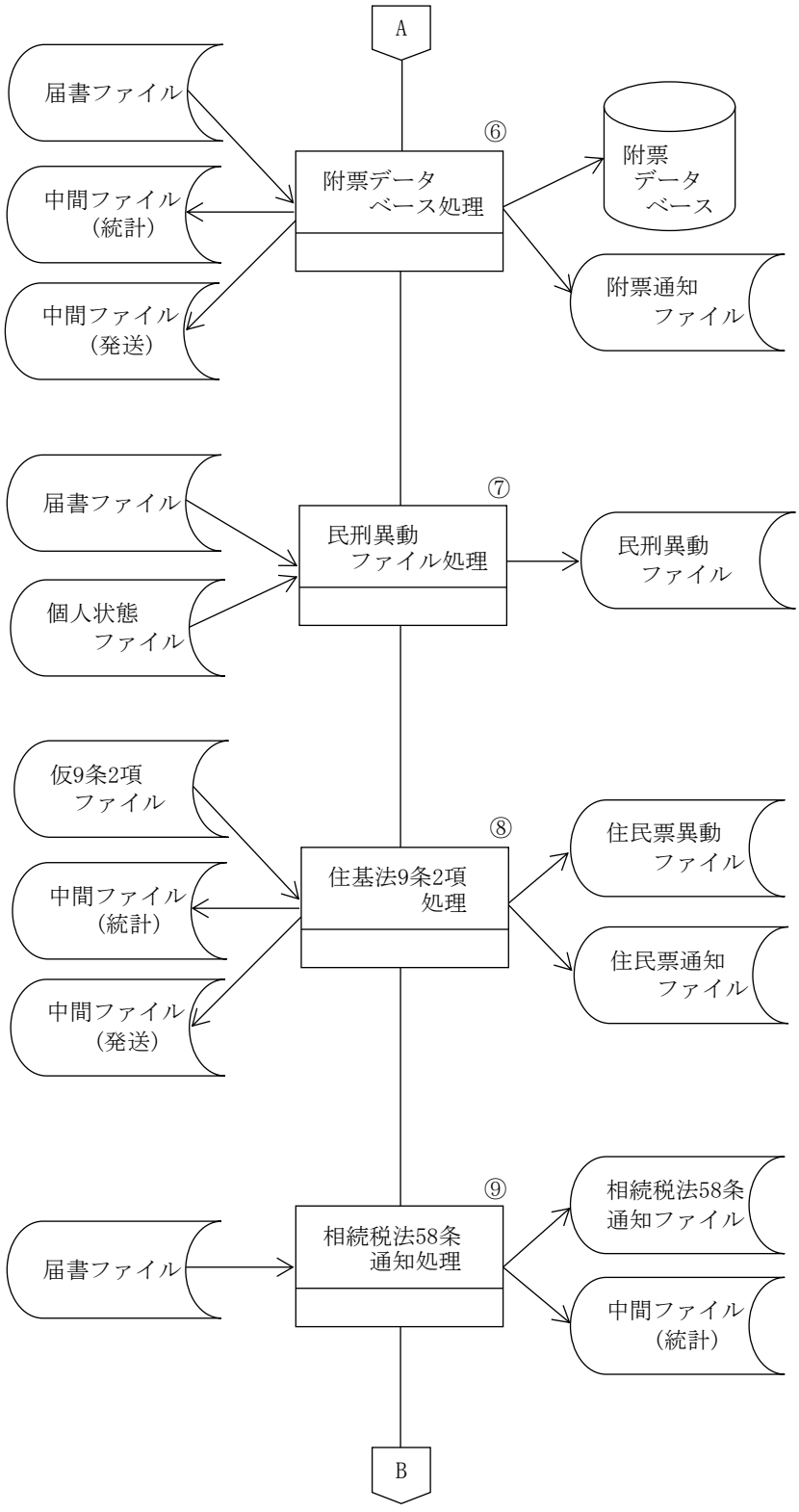
③(本籍人の場合に処理する)
『受理』の場合
戸籍に変動があった場合、更新(作成)を行う
戸籍の異動者数、編製状態等の統計を取得する

『不受理』の場合
戸籍のロックを解除する

④(本籍人の場合に処理する)
禁治産者区分、準禁治産者区分、胎児認知区分に変更がある場合に更新する
管内→管内異動の場合にその内容を移記する
胎児認知区分を有している者が管外へ異動しだ場合に中間ファイル(発送)を作成する

⑤(本籍人の場合に処理する)
管内→管内異動の場合にその内容を移記する
管内→管外異動の場合に中間ファイル(発送)を作成する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		16/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　4.1 届書決裁処理(2/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

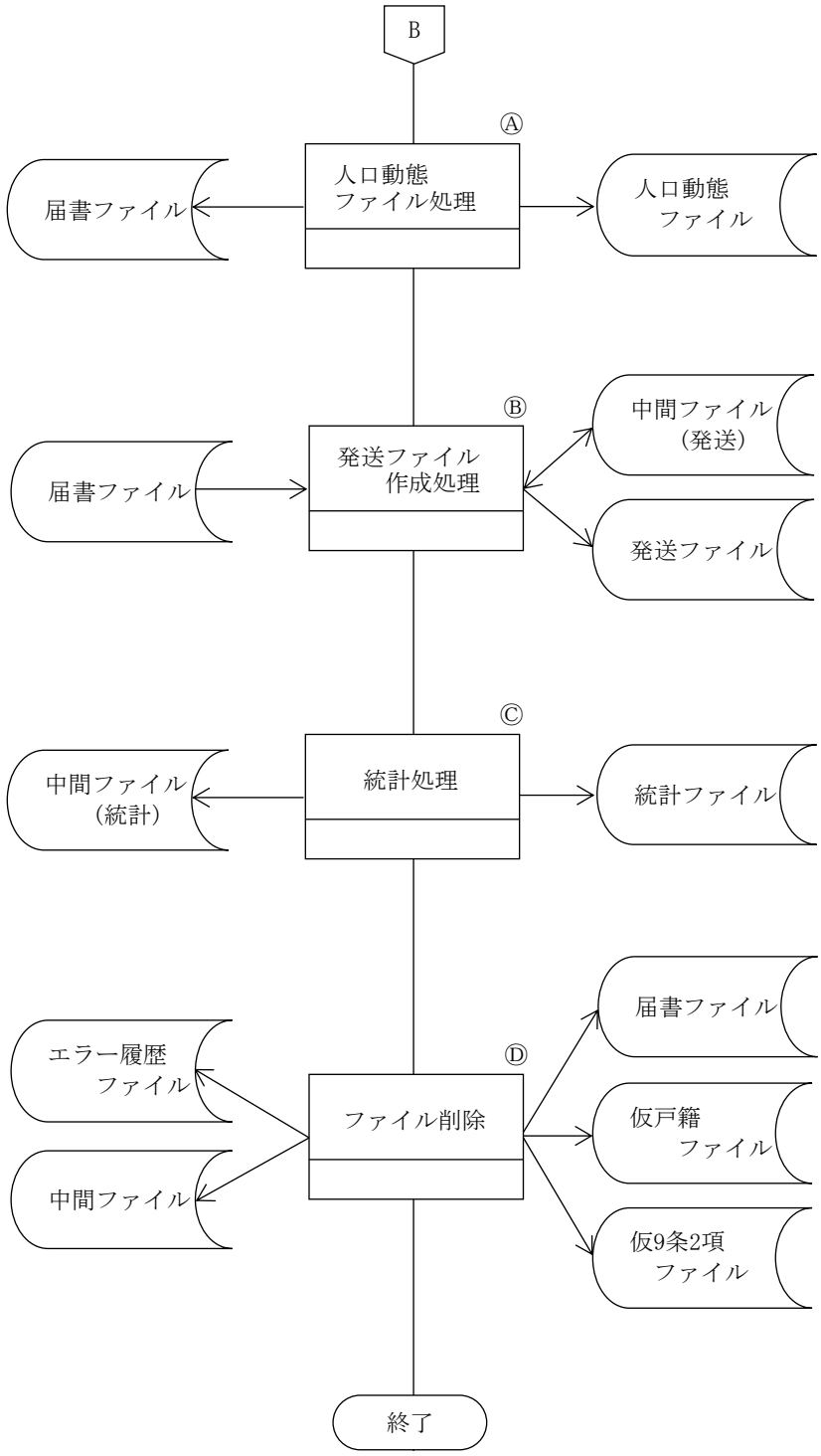
⑥(本籍人の場合に処理する)
管内→管内異動の場合に最終住所、住定日を移記する
管外→管内異動の場合に附票枠だけ作成する(19-3通知を待って処理する)
管内→管外異動の場合に附票通知ファイル(19-3通知)を作成し、この場合中間ファイル(統計)と中間ファイル(発送)も作成する

⑦(本籍人の場合に処理する)
民刑対象者(禁治産者、準禁治産者、破産者、犯罪者)に戸籍の変動及び表示の変更(本籍、筆頭者、氏名、生年月日)があった場合、民刑異動ファイルを作成する

⑧(受理地の場合に処理する)
戸籍の届出によって住民票の記載に変更がある場合、本処理を行う
受理地=住所地:住民票異動ファイルの作成
住民票異動数の統計を取得する
受理地≠住所地：住民票通知ファイルの作成
住民票通知数の統計を取得する
異動先の中間ファイル(発送)を作成する

⑨(受理地の場合に処理する)
死亡の届出があった場合に相続税法58条通知ファイルを作成する
相続税法58条通知の統計を取得する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		17/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　4.1 届書決裁処理(3/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

Ⓐ(受理地の場合に処理する)
出生、婚姻、離婚、死亡の各届出があった場合に人口動態ファイルを作成する

Ⓑ(他自治体に発送がある場合)
非本籍地に届書等(戸籍に関する書類)を送付する場合
住所地(住民票記載に関する書類)に送付する場合
複数の送付先が存在するが、同一の発送先があるものは一つにまとめる

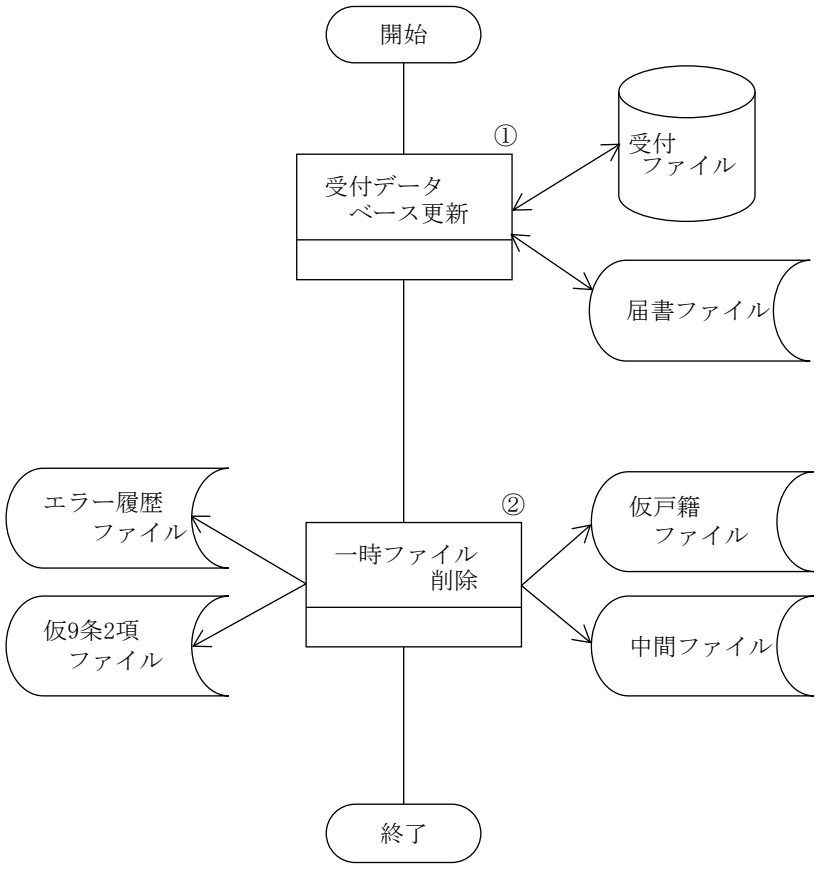
Ⓒ(全ての場合)
中間ファイル(統計)の内容を統計ファイルに反映させる

※事件表の統計
附票の統計
通知書発行の統計

Ⓓ本処理での受領番号に該当する届書ファイル、仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮9条2項ファイルを削除する

本処理で作成した中間ファイル(各種)を削除する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		18/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　4.2 届書誤処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

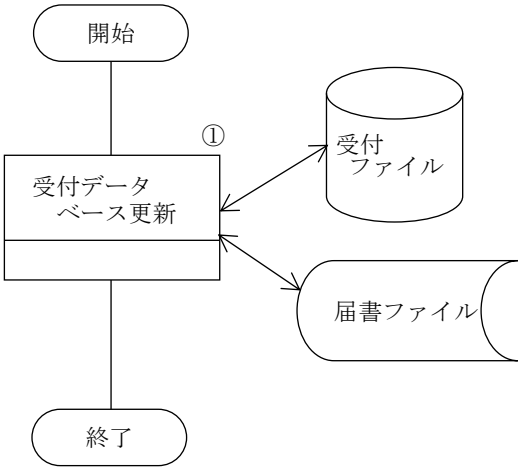
①受付ファイル、届書ファイルとも決裁区分を誤処理とする

該当の届書レコードの排他を解除する

②本処理での受領番号に該当する仮戸籍ファイル、エラー履歴ファイル、仮9条2項ファイルを削除する

届書入力審査処理で作成した中間ファイル(各種)を削除する

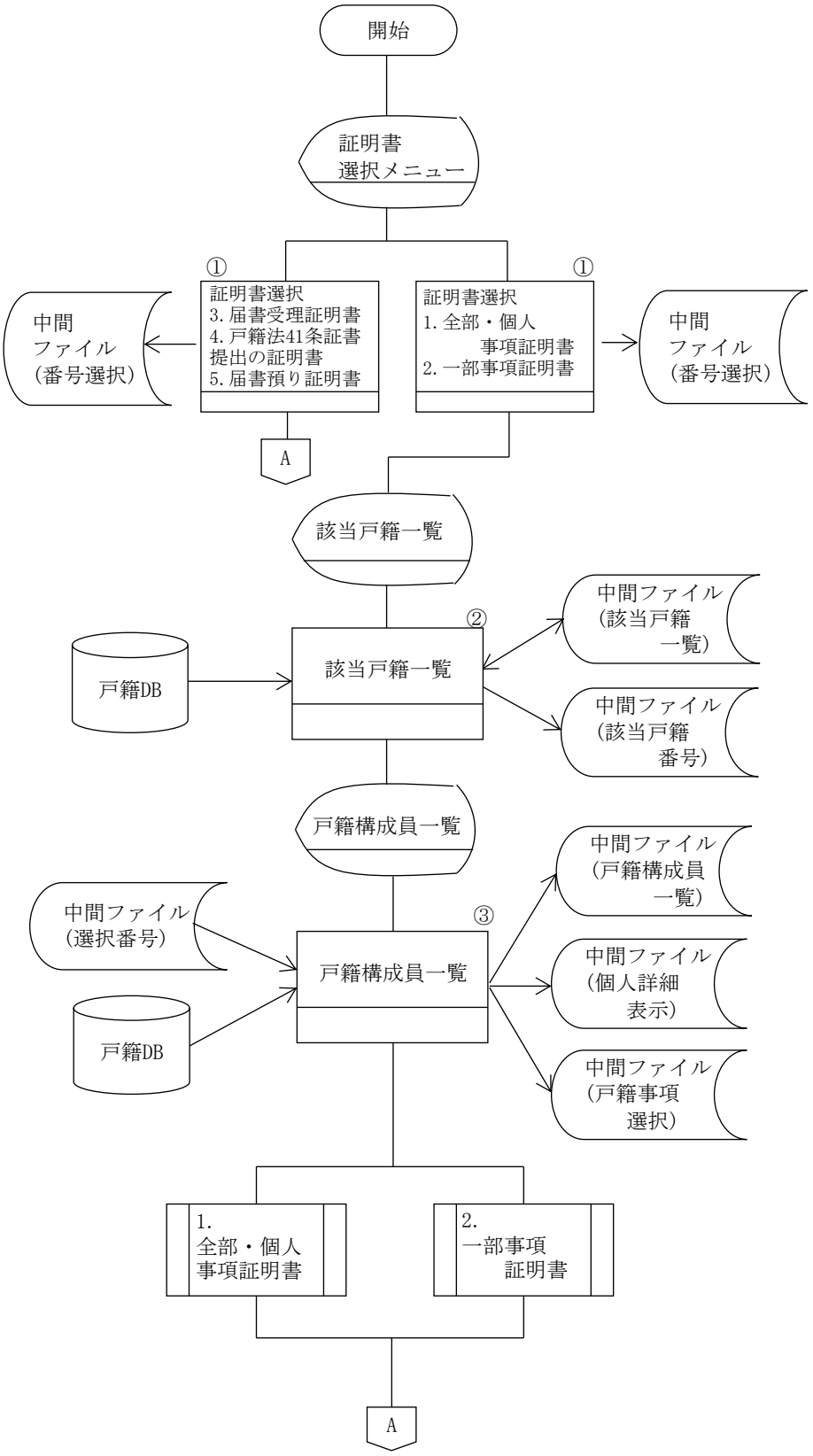
第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		19/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　4.3届書修正処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①受付ファイル,届書ファイルとも決裁区分を修正とする。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		20/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理(1/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①証明書選択メニュー

(1) 選択番号を入力する
・選択番号
1:全部・個人事項証明書
2:一部事項証明書
該当戸籍一覧に制御を渡す
・選択番号
3:届書受理証明書
4:戸籍法41条証書提出の証明書
5:届書預り証明書
受付ファイル選択
メニューに制御を渡す

②該当戸籍一覧

(1) 検索キーの入力
a.カナ氏名
b.漢字氏名
c.本籍
d.生年月日
e.筆頭者　等
※複合検索も可

(2) 検索キーにより戸籍DBを検索し、該当戸籍一覧を表示する

(3) 該当番号を入力し、戸籍を決定する

(4) 戸籍構成員一覧に制御を渡す

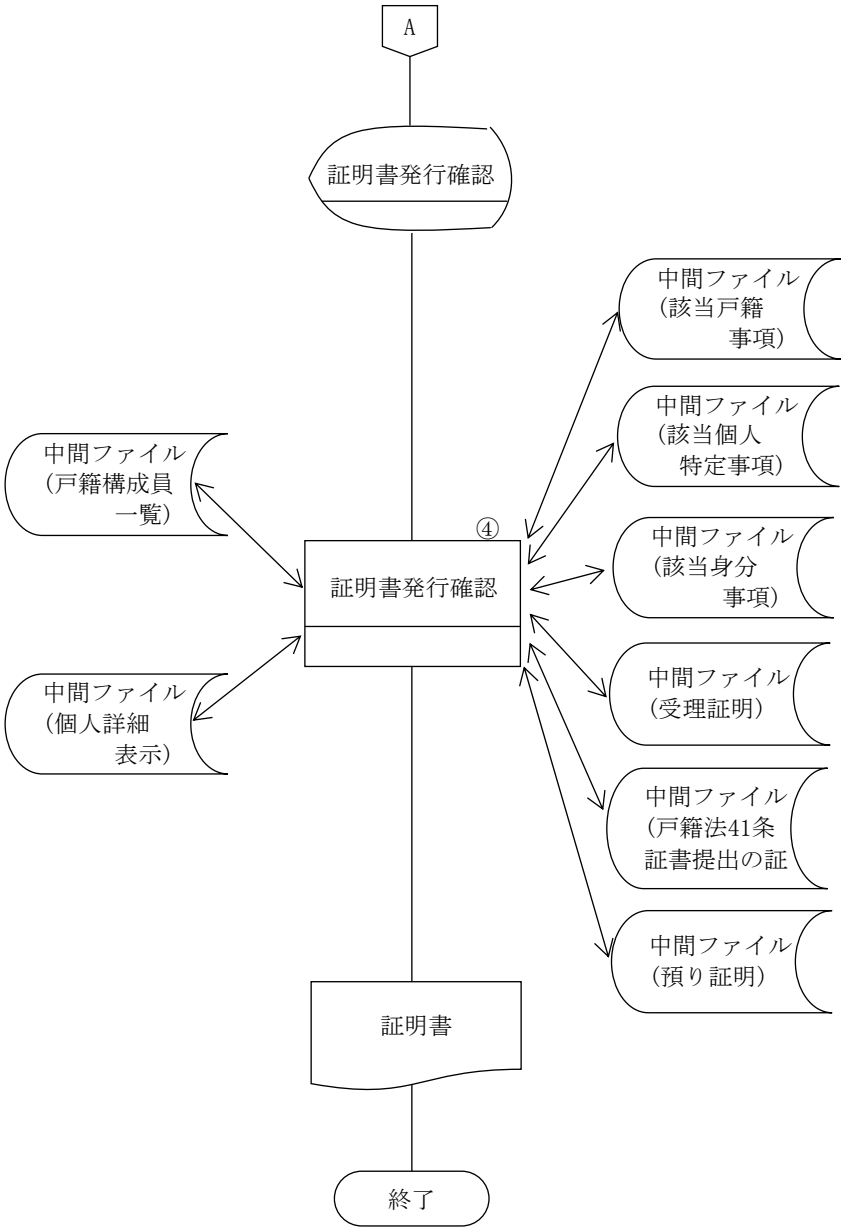
③戸籍構成員一覧

(1) ②で選択された戸籍番号より戸籍DBを検索し、戸籍事項及び構成員を表示する

(2) 詳細選択番号を入力し、個人を決定する

(3) ①で入力した選択番号により、それぞれの処理に制御を渡す
・選択番号=1:
全部・個人事項証明書
・選択番号=2:
一部事項証明書

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		21/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理(2/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

④証明書発行確認

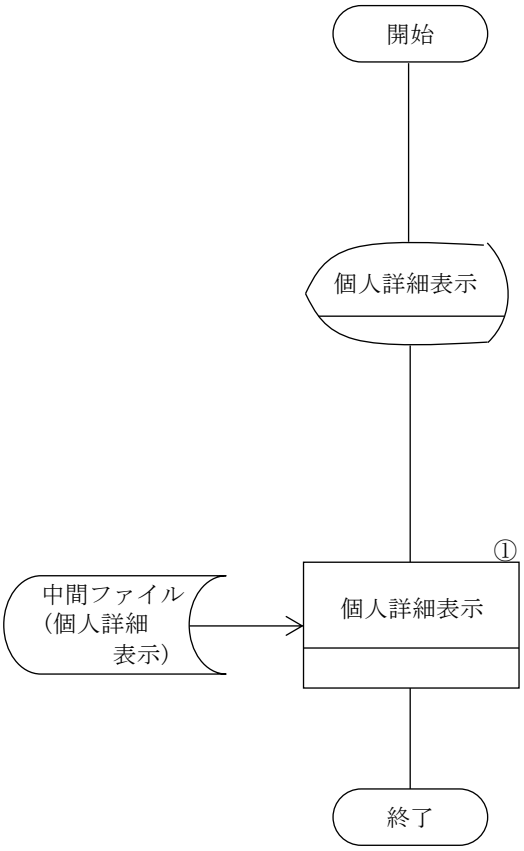
(1) 証明書種別及び戸籍の基本内容を表示する

(2) 発行部数を入力する

(3) 各中間ファイルより証明書を出力する

(4) 各中間ファイルを削除する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		22/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理　5.1全部･個人事項証明書		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

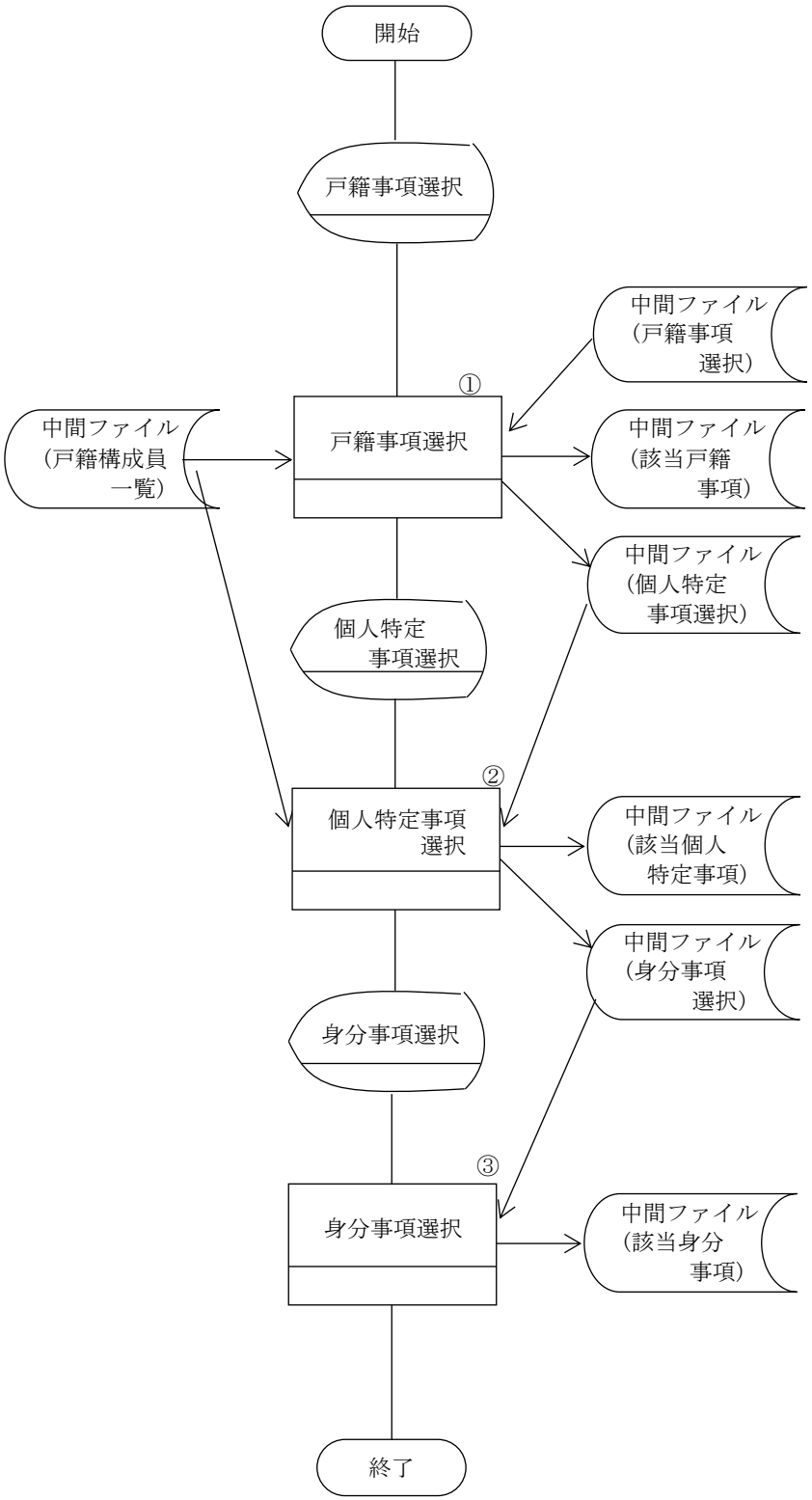
①個人詳細表示

(1) 中間ファイルより個人の戸籍内容を表示する

(2) 身分事項は全て照会可能とする

(3) PFキー操作により全部事項証明書、個人事項証明書を決定し、証明書発行確認に制御を渡す

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		23/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理　5.2 一部事項証明書		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備考

①戸籍事項選択

(1) 中間ファイルより戸籍事項一覧を表示する

(2) 戸籍事項を出力する場合、選択番号を入力する(複数指定可)

(3) 選択番号が入力された場合、該当戸籍事項を中間ファイルに出力する

(4) 個人特定事項選択に制御を渡す

②個人特定事項選択

(1) 中間ファイルより個人特定事項一覧を表示する

(2) 個人特定事項を出力する場合、記録事項を選択する(複数指定可)

(3) 記録事項が選択された場合、該当個人特定事項を中間ファイルに出力する

(4) 身分事項選択に制御を渡す

③身分事項選択

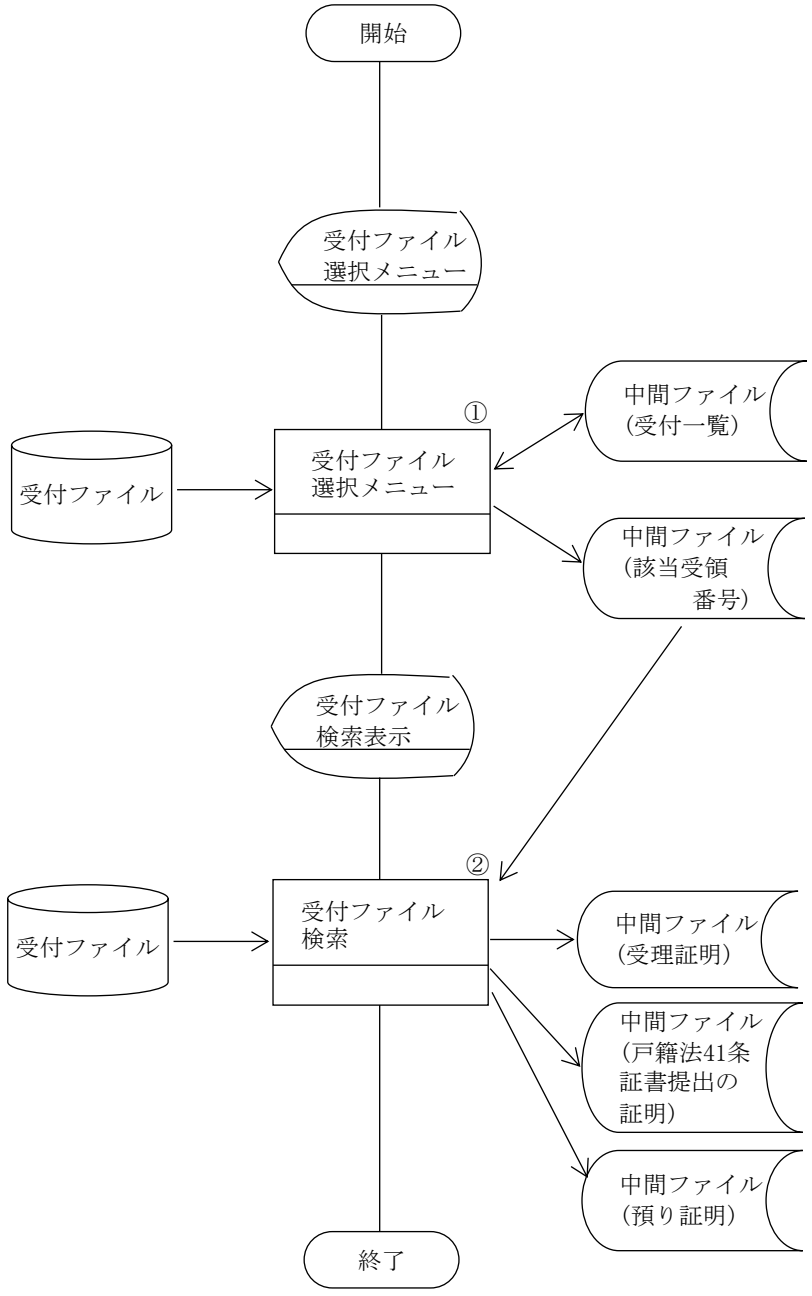
(1) 中間ファイルより身分事項一覧を表示する

(2) 身分事項を出力する場合、選択番号を入力する(複数指定可)

(3) 選択番号が入力された場合、該当身分事項を中間ファイルに出力する

(4) 証明書発行確認に制御を渡す

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		24/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理　5.3 届書受理証明書他		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



備考

①受付ファイル選択メニュー

(1) 検索しようとするキーを入力する。

(2) 入力されたキーを基に受付ファイルを検索し該当データを表示する。

(3) 一覧画面より、証明書出力する該当者(事件)を選択し番号を入力する。

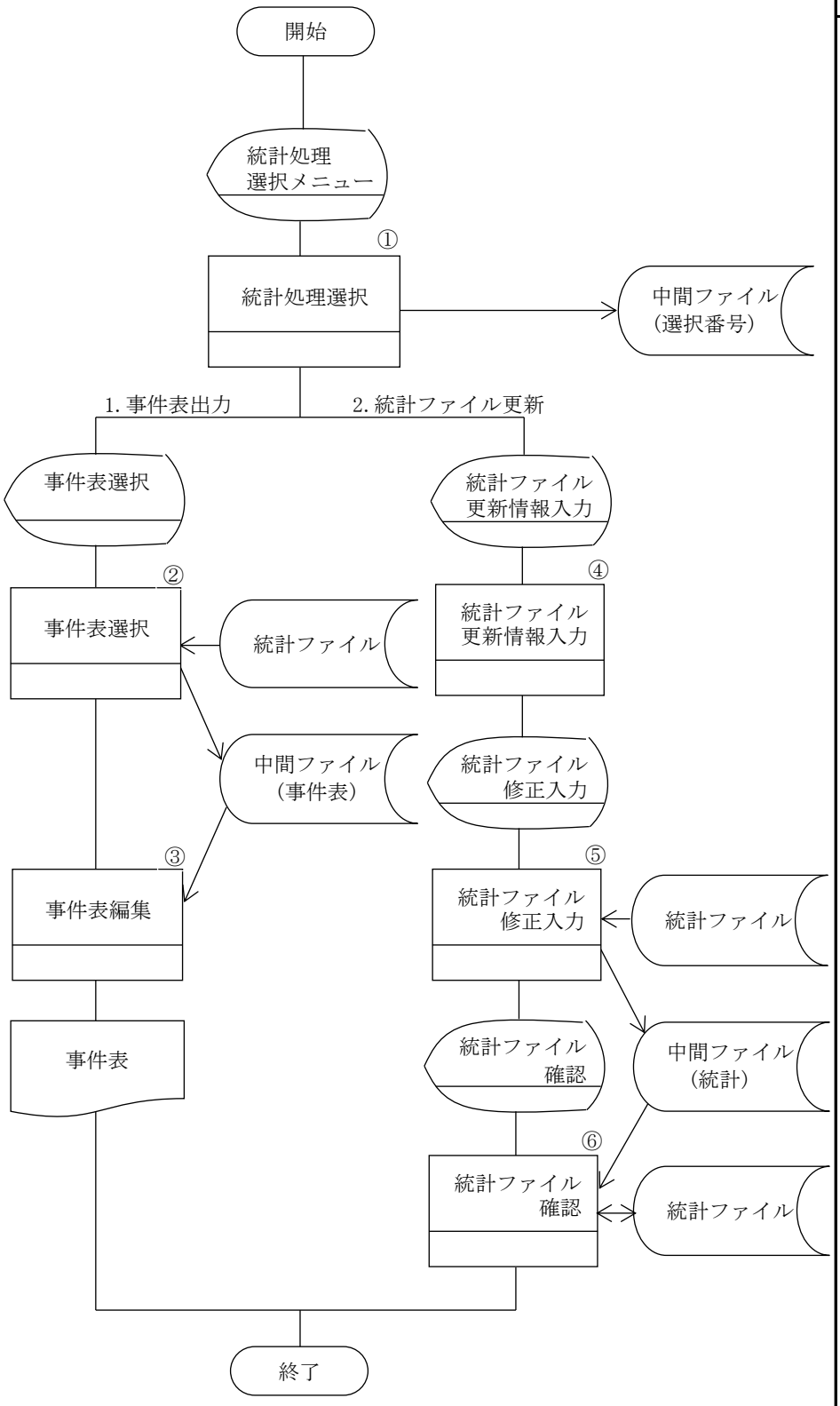
(4) 選択された受付データと証明書選択番号(種別)の妥当性チェックを行う。

(5) 正しければ受付ファイル検索へ制御を渡す。

②受付ファイル検索

(1) 選択した受付ファイルの内容を確認し、正しければ証明書発行確認へ制御を渡す。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		25/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
6.統計処理		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



※統計ファイル更新処理については、自治体の運用に合わせて作成する。

備考

①統計処理選択メニュー

(1) 選択番号を入力する。
1:事件表出力
2:統計ファイル更新
(2) 選択番号により事件表選択、統計ファイル更新情報入力へそれぞれ制御を渡す。

②事件表選択

出力しようとする事件表種別を選択する。

※日計表、月計表等は自治体により運用が異なるため詳細省略。

③事件表編集出力

統計ファイルから各項目を集計し、事件表を出力する

④統計ファイル更新情報入力

修正しようとする統計情報の日付を指定する。

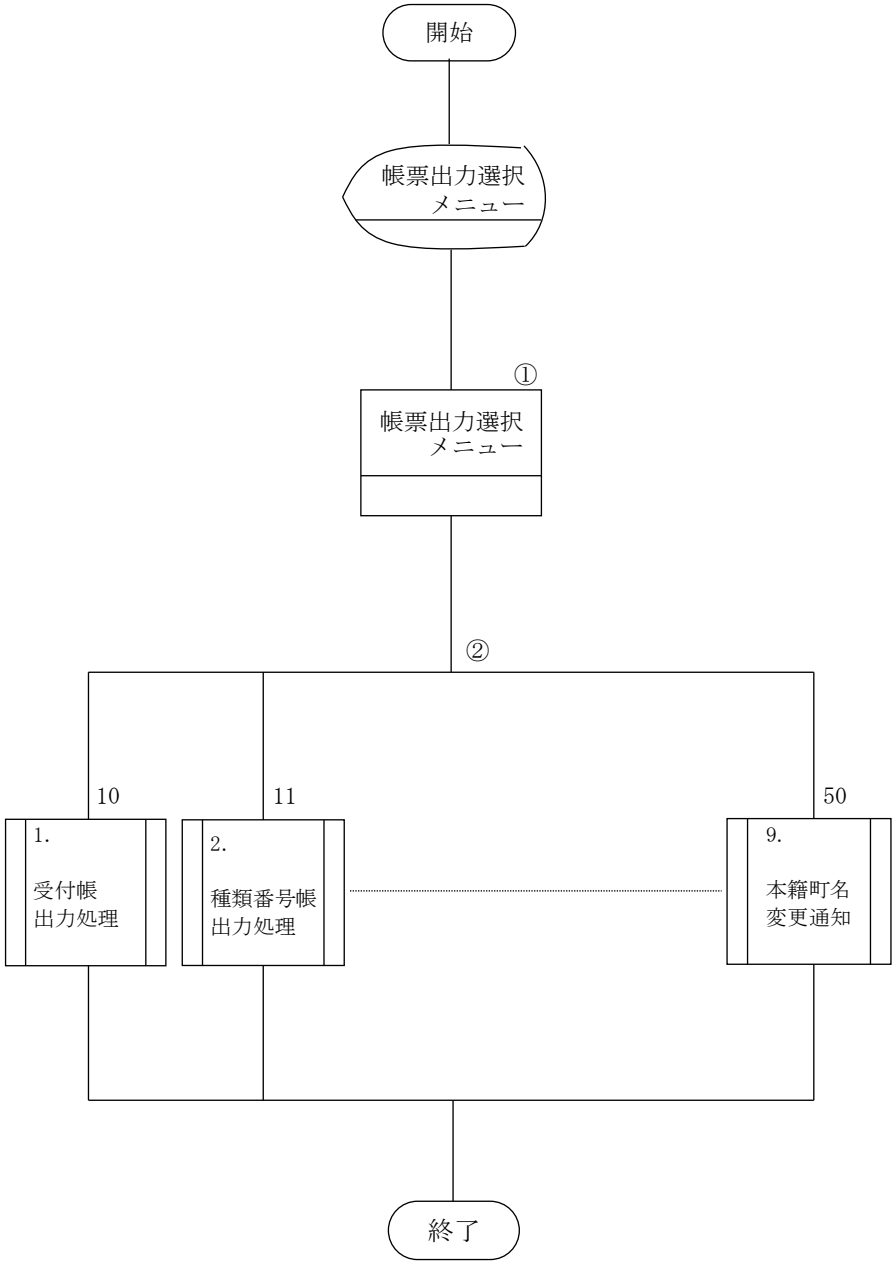
⑤統計ファイル修正入力

指定された統計情報を検索し表示する。
修正した内容を中間ファイル(統計)に出力し、確認へ制御を渡す。

⑥統計ファイル確認

修正した内容を確認し、正しければ更新する。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		26/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
7.帳票出力処理		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



備考

①帳票出力選択メニュー

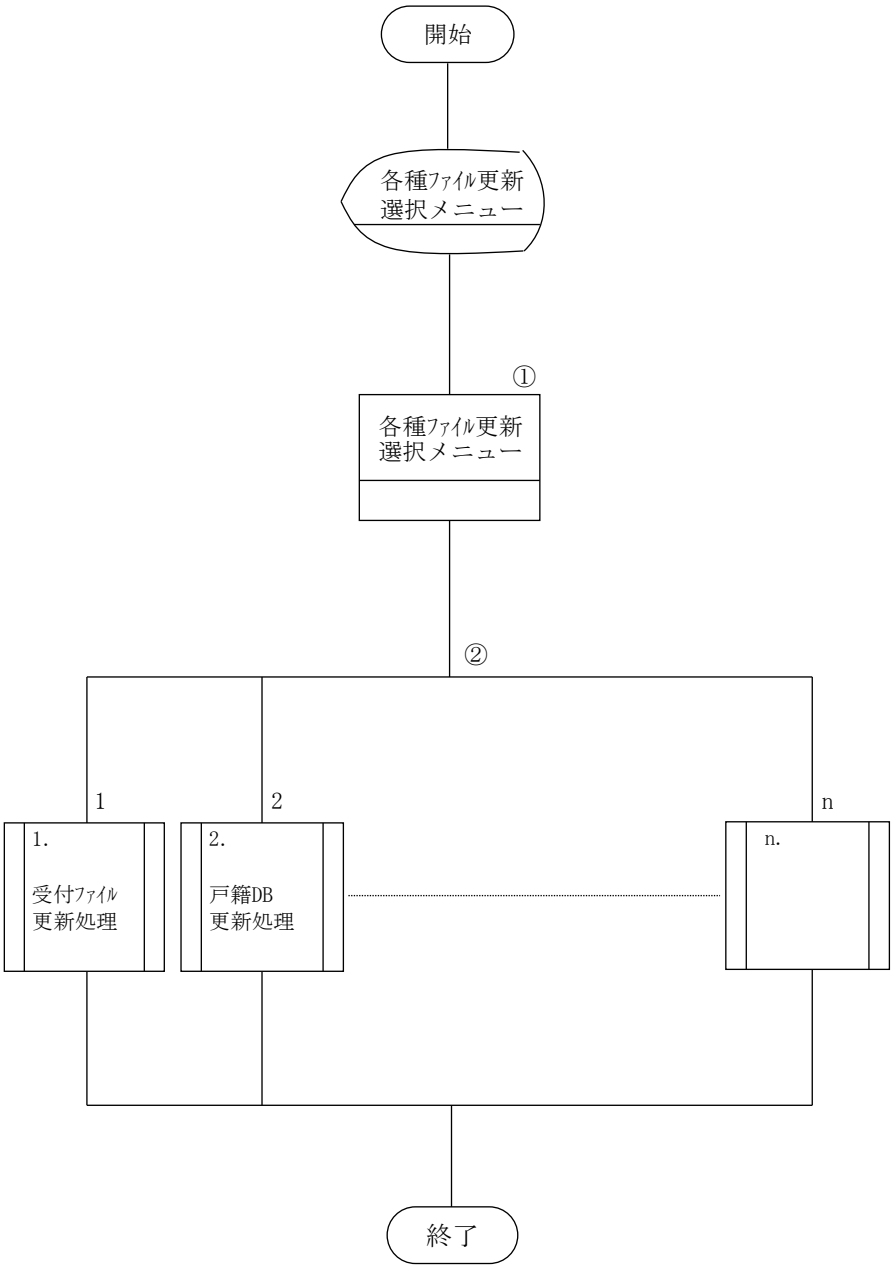
出力する帳票の選択番号を入力する。

10:受付帳
11:種類番号帳
12:届書送付目録
13:渉外関係届書送付目録
14:届書送達確認書
20:戸籍事務専用
30:宛名シール
40:高齢者消除許可申請証
50:本籍町名変更通知

②選択番号に従い、各帳票の出力処理へ制御を渡す。

各帳票の出力処理では、出力条件を入力し該当ファイルを検索、抽出、編集した後、出力する。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		27/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
8.各種ファイル更新処理		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



備考

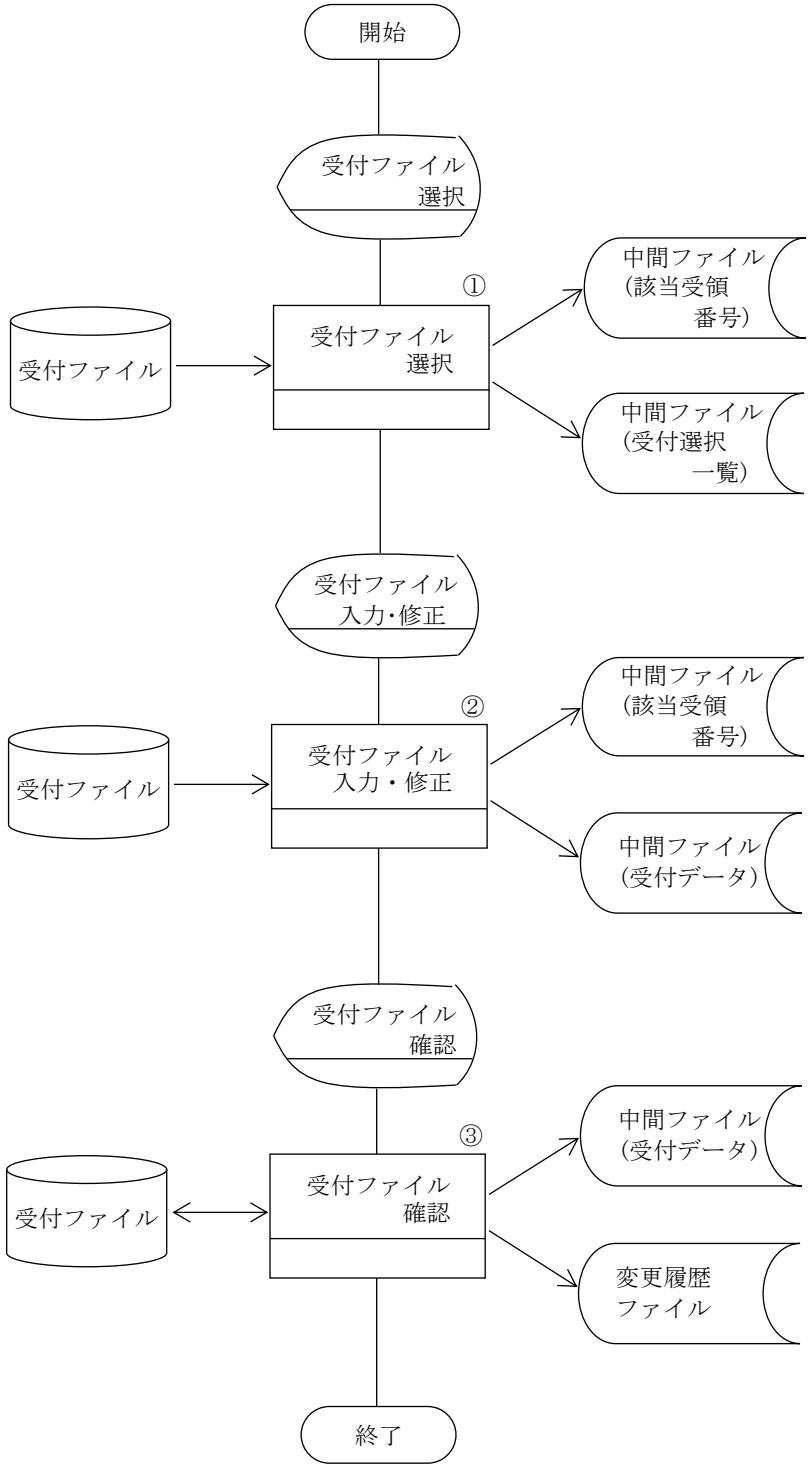
①各種ファイル更新選択メニュー

(1) 選択番号の入力
(2) 選択番号及び更新資格のチェック

②各々のサブ業務へ制御を渡す。

1:受付ファイル更新処理
2:戸籍DB更新処理
n:その他、自治体において運用に関連するファイル更新処理

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		28/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
8.各種ファイル更新処理 8.1 受付ファイル更新処理		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



備考

①受付ファイル選択

(1) 検索キーの入力
(2) 受付ファイルの該当データの検索を行い、一覧画面を表示する。
(3) 修正しようとする受付データの選択番号を入力する。

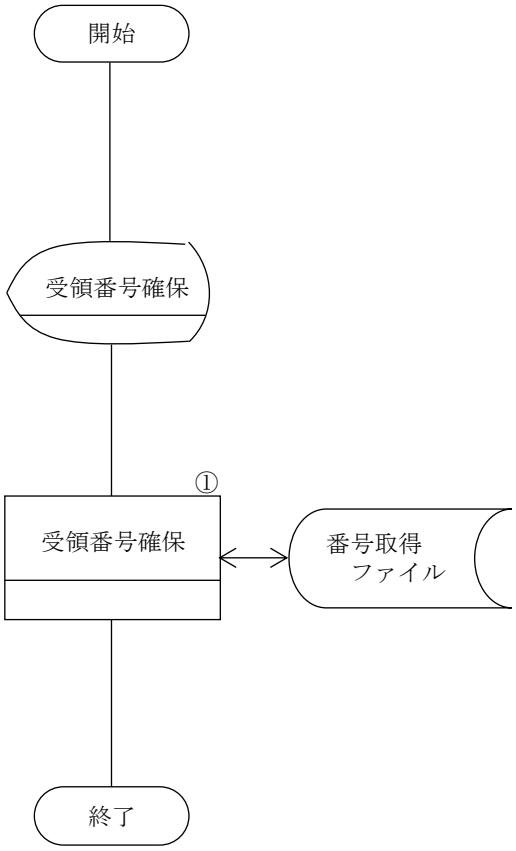
②受付ファイル入力･修正

(1) 選択された受領番号をキーとして受付ファイルを検索し、画面に表示する。
(2) 項目の入力及びチェック。
(3) エラーがなければ、確認画面へ制御を渡す。

③受付ファイル確認

(1) 修正後の内容を画面表示する。
(2) 内容を確認し、受付ファイルを更新する。
(3) 更新前、更新後の受付ファイルの内容を変更履歴ファイルに出力する。

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		29/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
9.受領番号確保		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	



備考

①受領番号確保

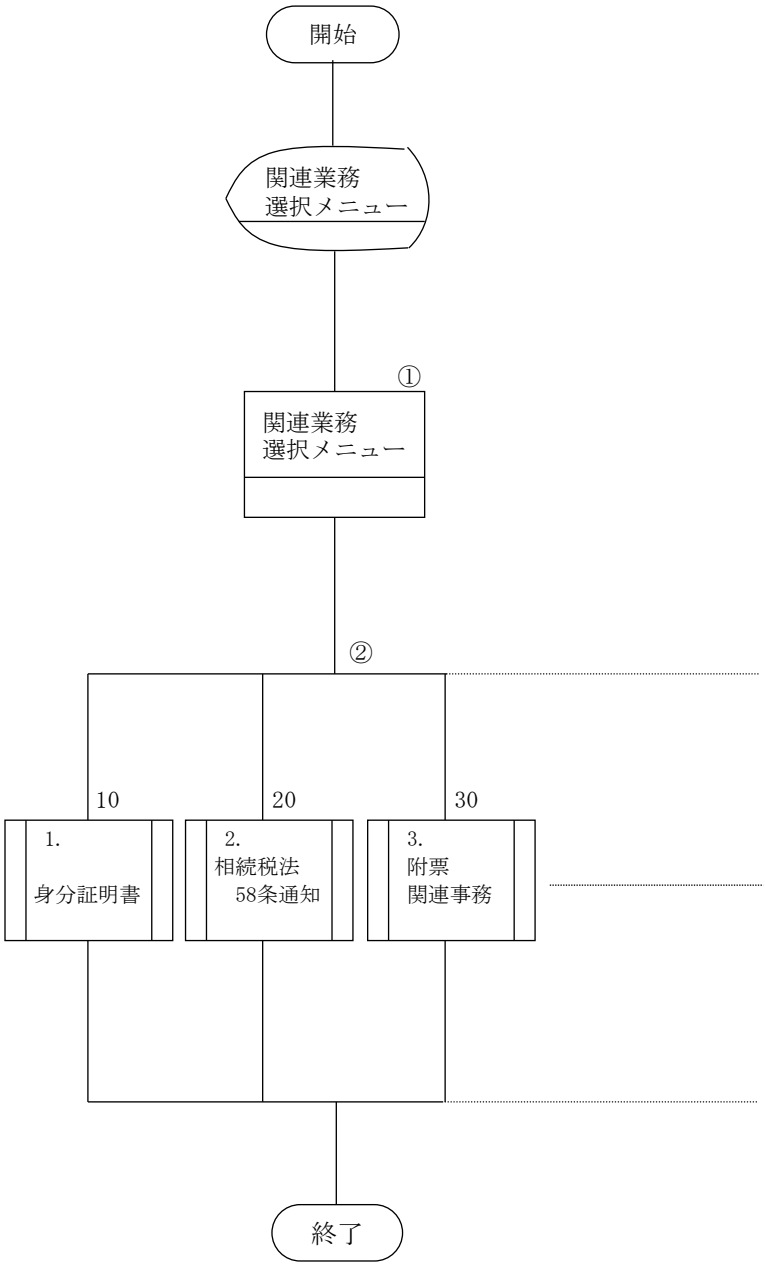
(1) 項目の入力
a.受領日
b.届書枚数

(2) 受領日の年度をキーとし、番号取得ファイルを入力する

(3) 今回取得する開始番号と終了番号を表示する

(4) 届書枚数を受領番号に加算し、番号取得ファイルを更新する

第53	オンライン処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		30/30
適用業務名		作成日付	改定日付	版
10.関連業務処理		平成　年　月　日	令和　年　月　日	1



備考

①関連業務選択メニュー

(1) 選択番号を入力

②各サブ業務へ制御を渡す。

各サブ業務では必要に応じメニュー画面を設け関連処理をグループ化し、機能分割する。

10:身分証明書
20:相続税法58条通知
30:附票関連事務

※関連事務処理については今後更に追加する業務有。(人口動態業務は現在検討中)

第5.4　バッチ処理の流れ図(詳細)

第54	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
バッチ処理の流れ図(詳細)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1) 一例の処理を示したものである。

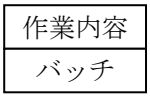
(2) 純然バッチ処理または、オンラインバッチ処理など運用にあわせた方式を取っても構わない。
[オンラインバッチ処理]:オンライン画面で処理起動し、バッチ処理をする。

(3) 個人データ保護(プライバシー)の観点から、業務目的以外に個人のデータを抽出することは許されない。

第5.4　バッチ処理の流れ図

(1) 作成の目的

この流れ図は，新業務処理手順図で示されたバッチ処理の部分を，さらに詳細な処理手順を明らかにするとともに、オンライン処理との重複や組込みの要、不要等についての判断資料とするものである。

新業務処理手順図の 

を、コンピュータ処理の手順に沿って分割し作成する。

(2) 作成方法

作業の内容から，コンピュータ処理に必要な機能を把握した。

つぎに，コンピュータ処理機能を処理の手順に置き換えた。主なコンピュータの処理機能は，次のとおりである。

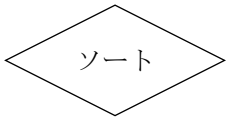
①データチェック　②抽出　③分類・並び替え(ソート)　④計算　⑤印刷等々

各処理のファイル，帳票などの入出力と処理内容の名称を記入し，また，処理内容については，その説明を備考欄に示した。

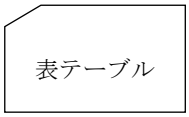
なお，追加使用した記号は次のとおりである。

ア.

イ.



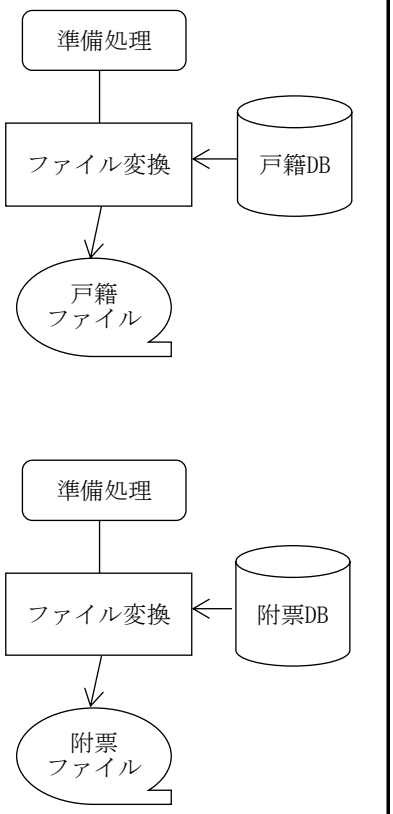
ウ.

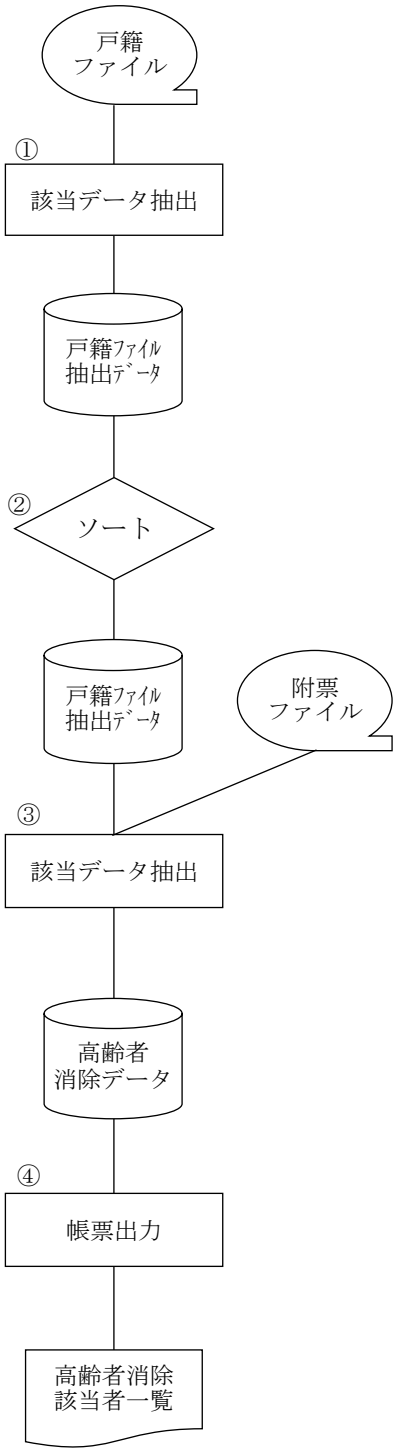


(3) バッチシステムの流れ図(詳細)

上記の検討を経て作成した流れ図は，以下のとおりである。

第54	バッチ処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
1.高齢者消除抽出		平成 6年12月 1日	平成23 年 3月 1日	14





備　　考

【準備処理】
　全件検索を対象とするDBを順ファイルに変換する。
(1)戸籍DB → 戸籍ファイル
(2)附票DB → 附票ファイル

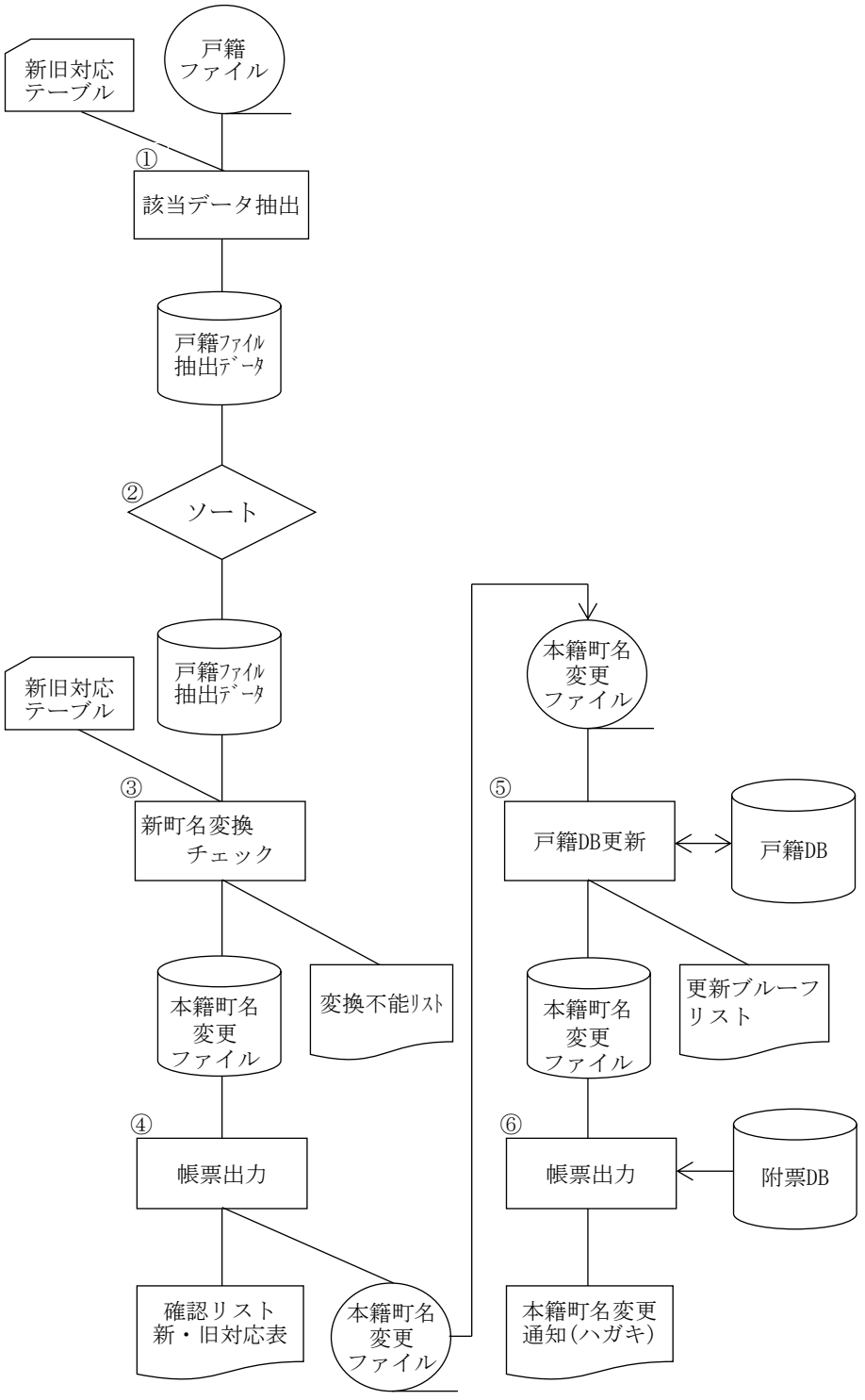
高齢者消除抽出(一覧表作成)
①該当データ抽出(戸籍ファイル)
　戸籍ファイルを順次読み込み、以下の条件に該当するデータのみを戸籍ファイル抽出データに出力する。
(ア)満100歳～満119歳の生存者
・現在戸籍
・100歳未満の在籍者がいない
(イ)満120歳以上の生存者
・現在戸籍
・在籍者の判断は不要

②並び替え(ソート)
　附票ファイルと突合せするために、個人番号で昇順に並び替え(ソート)する。

③該当データ抽出(附票ファイル)
　戸籍ファイル抽出データと附票ファイルにより個人番号で突合せを行う。
　附票の記載がないデータ(住所がスペースまたは消除されているデータのみ)を高齢者消除データとして出力する。

④帳票出力
　高齢者消除データファイルをもとに編集し、高齢者消除一覧表を出力する。

第54	バッチ処理の流れ図(詳細)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
2.行政区画変更		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1



備　　考

【事前準備】
　行政区画変更に対する、新旧テーブルを作成する
・本籍コードと町名称
・分割する場合は地番まで

※事前に戸籍DB→戸籍ファイルに変換する。

①該当データ抽出(戸籍ファイル)
　戸籍特定の本籍コードと、対応テーブルとを突き合わせ、該当データを戸籍ファイル抽出データへ出力する。

②並び替え(ソート)
　本籍コードで昇順に並び替えを行う。

③新町名変更チェック
　戸籍ファイルより抽出されたデータを、新旧対応テーブルによって，変換できるかチェックを行う。
　変換不能データは、変換不能リストに出力し、原因調査。変換可能なデータは、新情報(本籍コード、町名称)を付加し本籍町名変更ファイルへ出力する。

④帳票出力(確認リスト)
　本籍町名変更ファイルから確認リストを編集出力する。

　内容確認後、正しければ、戸籍DBへ反映させるため、更新処理を行う。

⑤戸籍DB更新
　本籍町名変更ファイルをもとに、戸籍DBを検索し、戸籍事項の情報を付加(更新事項)すると同時に、本籍情報を更新する。
　また、更新ブルーフリストも出力し、検証に活用する。

⑥帳票出力(本籍町名変更通知)
　本籍の変更を行った戸籍に対し、その旨を通知する。
　宛名を取り込むため、附票DBより、筆頭者(在籍者)の住所を取得する。

第 5.5 「画面」関係仕様

（目次）

(1) 画面設計書

(2) 画面項目一覧表

第5.5.(2)　画面設計書

第5 5 (2)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「画面」関係仕様		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1)　画面の流れは「第5-1　新業務処理手順図」および「第5-3　オンライン処理の流れ図(詳細)」の通りとする。その他は「第7-2　要件定義書」を熟読し,と。

(2)　入出力項目は「第5-5(1)　画面設計書」および「第5-5(2)　画面項目一覧票」の通りとする。

〔留意点〕

(1)　画面設計書はサンプルであり,入出力項目の長さは任意である。ただし氏名,本籍等全部を入出力できる方策を講じなければいけない(桁数の設定は任意)。

(2)　画面の項目名は画面設計書の制約から省略形を多く用いているが,省略する場合は意味が理解できる文言を使用すること。入力項目については順守しなければいけないが,表示項目(コード内容･説明項目等)は任意である。

(3)　画面設計書の制約から内容によっては複数に画面を分割して提示してあるが,単一画面(論理大画面方式等)を採用しても構わない。項目の順番も任意とする。

(4)　画面設計書にあるガイダンス行はファンクションキー等を使用する場合に用いる。

第5.5.(2)　画面設計書

(1) 作成の目的

画面に入出力する項目、位置を明確にするとともに,その後の詳細設計の検討に資するため,オンラインの流れ図に沿って画面設計書を作成する。

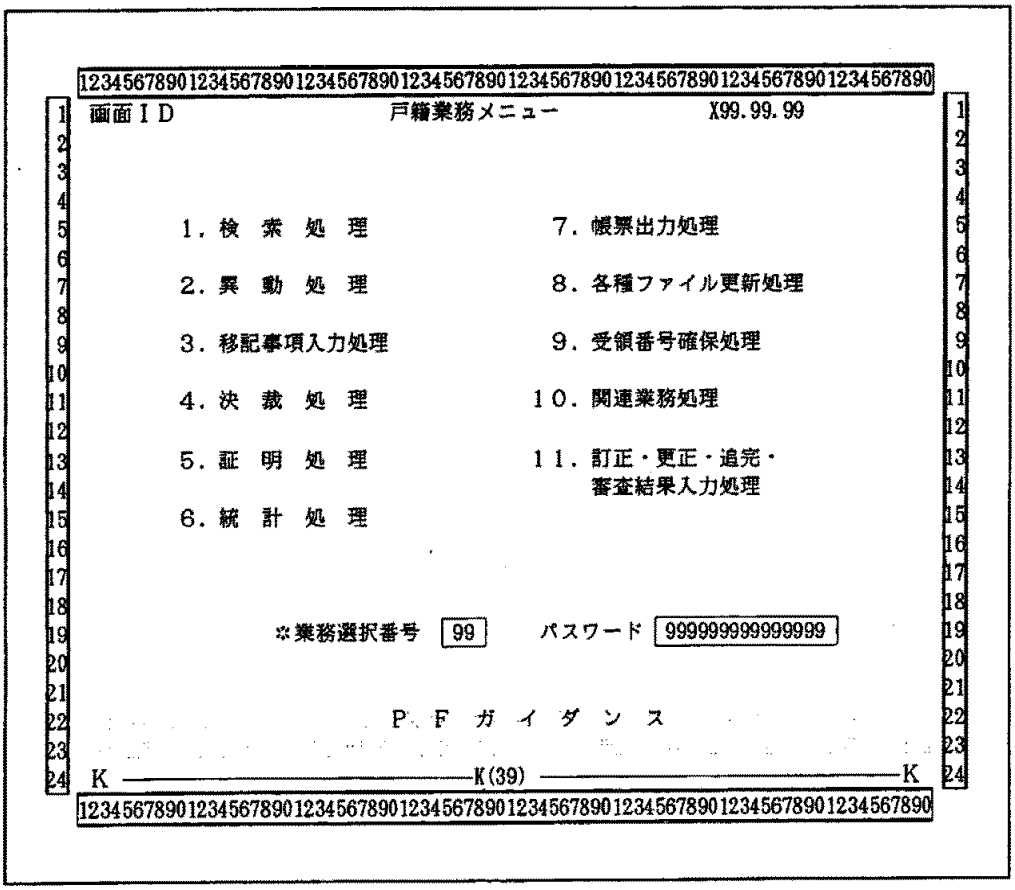
(2) 作成方法

画面のレイアウトは,参考までに一般的パターンである24行/80桁のイメージで作成したものである。
画面の1行目は画面ID(識別番号),画面名称,コンピュータの処理年月日を出力し,22～23行目はPFキーガイダンス,24行目はエラーメッセージの出力欄とした。
また,画面上の入出力項目の属性,タイプについては,次のとおりである。
K:漢字(全角)
N:カナ(以下,半角)
X:英数字カナ
9:数字

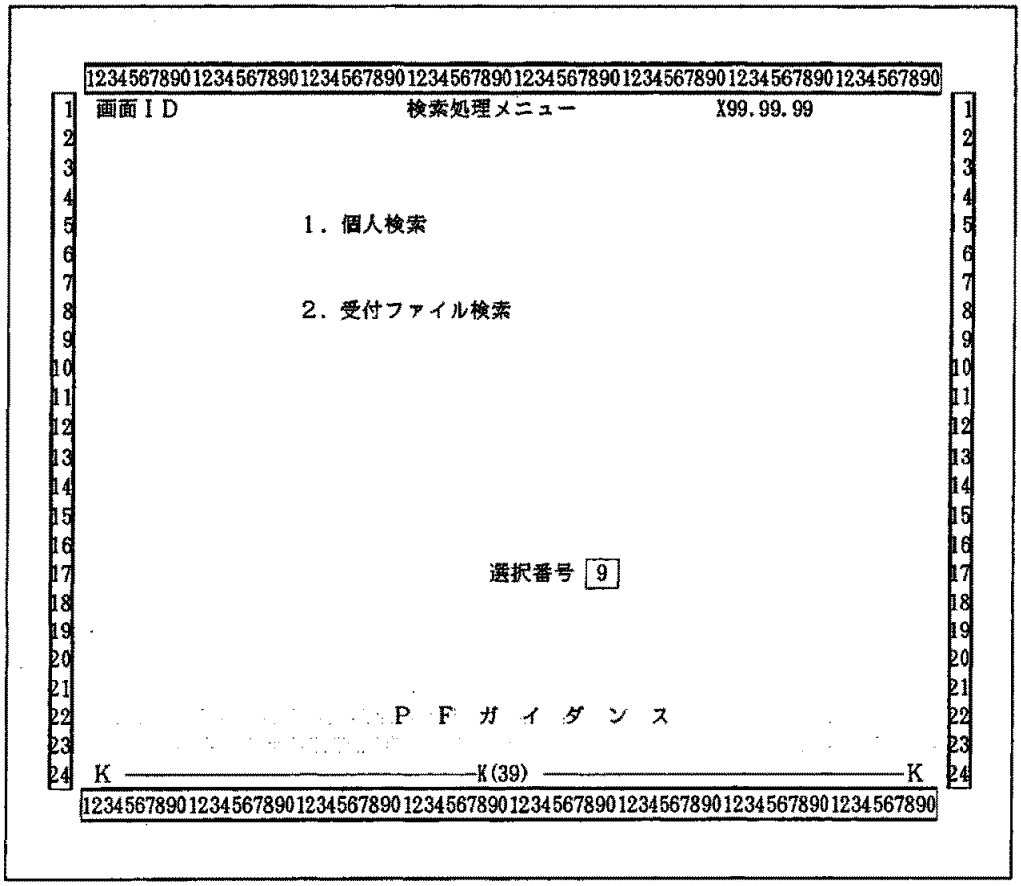
(3) 画面設計書

上記の検討を経て作成した画面設計書は,以下のとおりである。

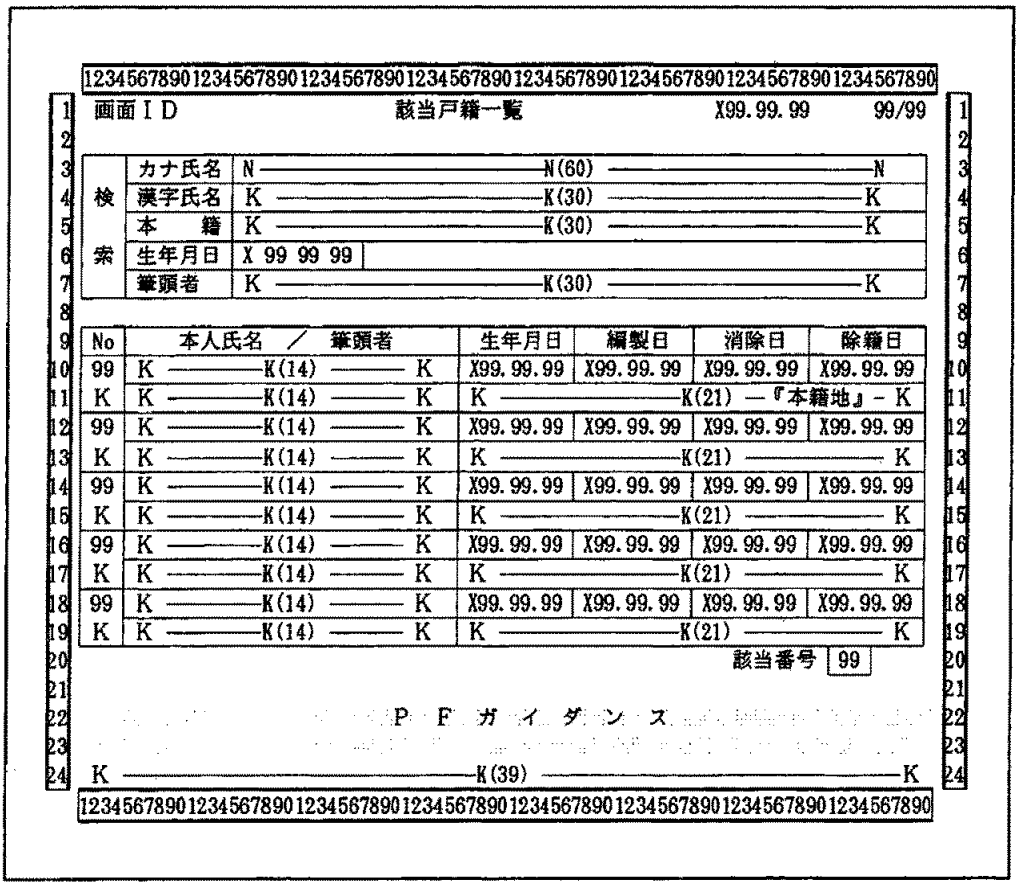
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
0.業務メニュー		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍業務メニュー	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	検索処理メニュー	



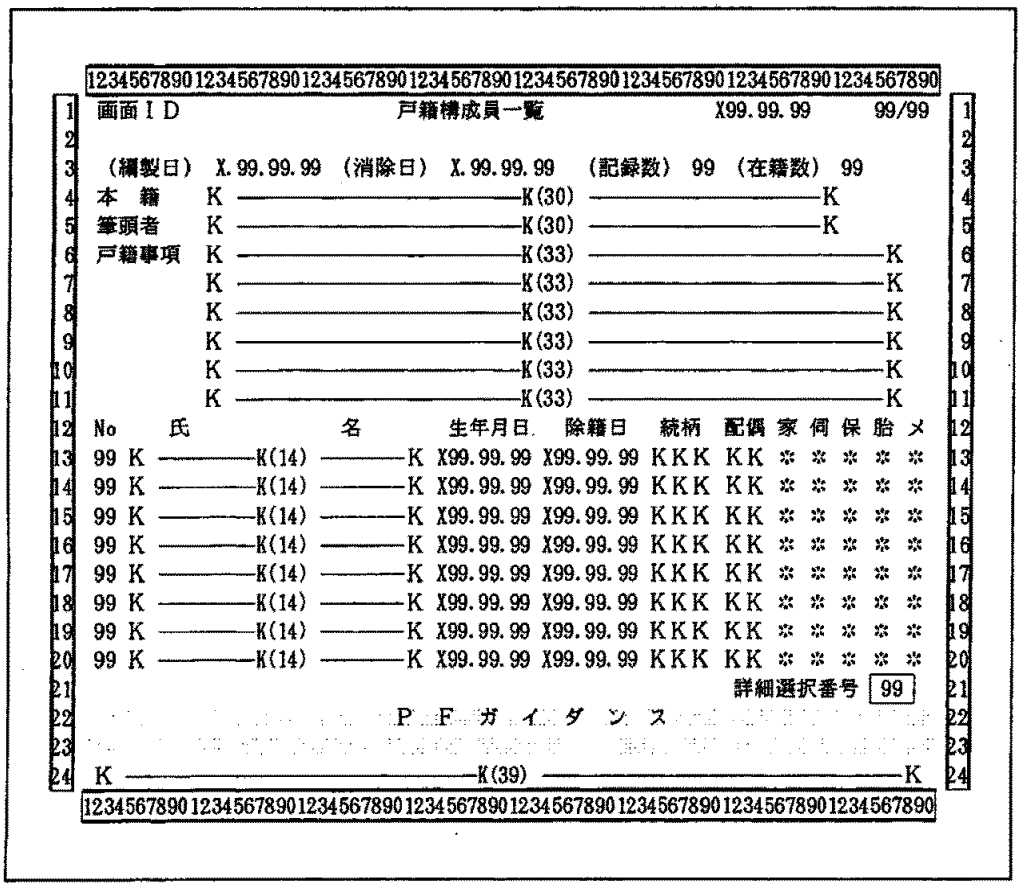
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1-1.戸籍検索　該当戸籍一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	該当戸籍一覧	



本籍:管内の町丁名以降
NOの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

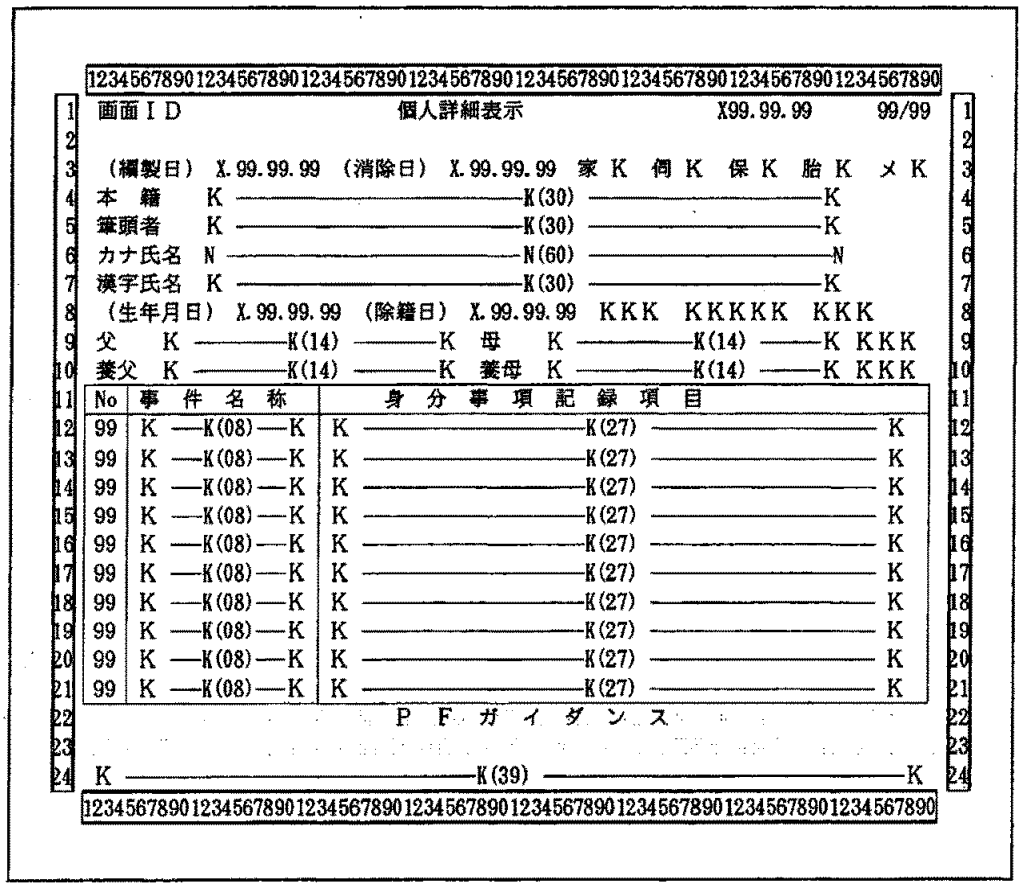
*検索件数:MAX99件

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1-1.戸籍検索　戸籍構成員一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧	



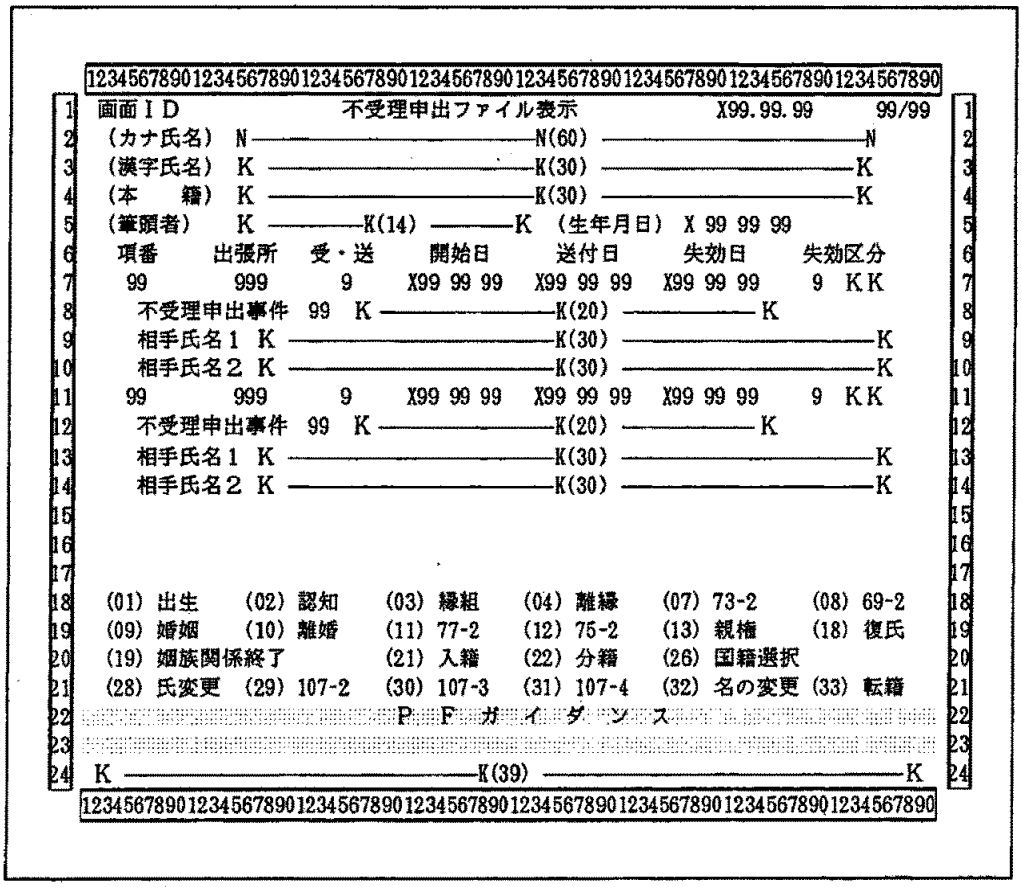
配偶:夫,妻,生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
伺:受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
メ:メモの有無を表す

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1-1.戸籍検索　個人詳細表示		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人詳細表示	



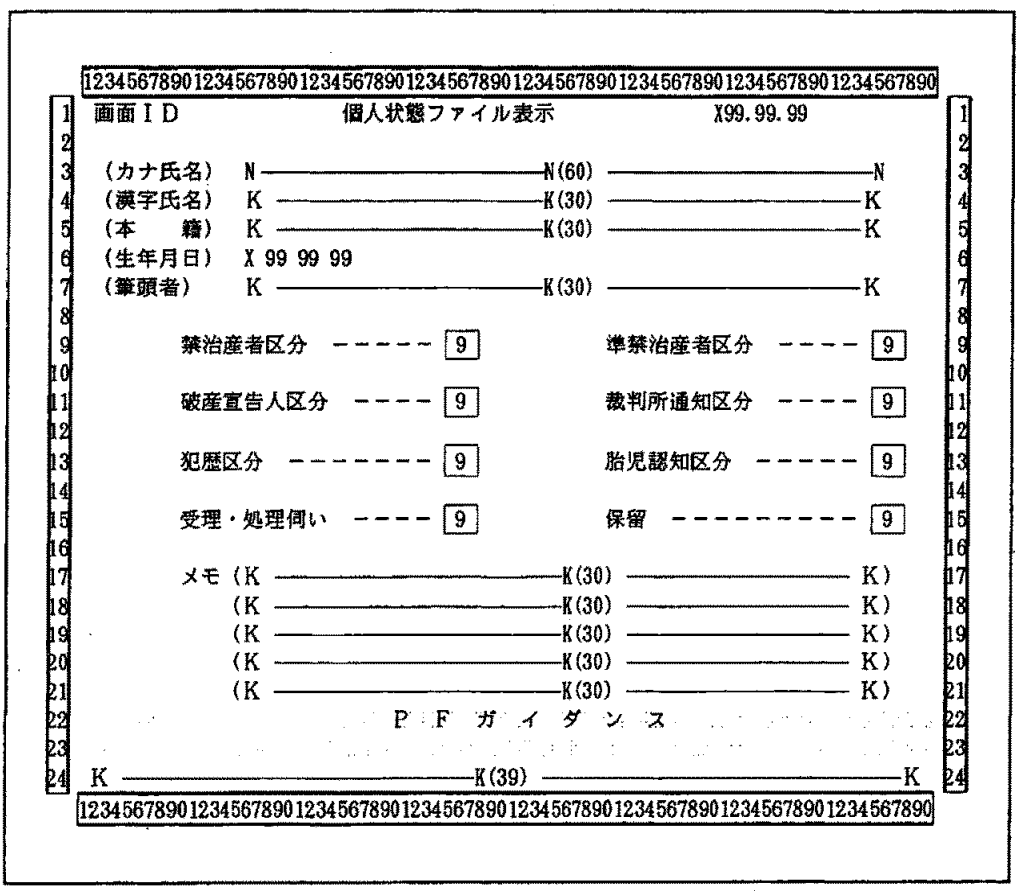
家　　家裁通知の有無を表す
伺　　受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保　　保留の届出の有無を表す
胎　　胎児認知の有無を表す
メ　　メモの届出の有無を表す
8行49桁目　筆頭者の場合『筆頭者』
8行57桁目　配偶者区分により『夫』『妻』『生存配偶者』
8行69桁目　個人状態Fより破産宣告人の場合『破産者』

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-3.不受理申出ファイル検索		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示	

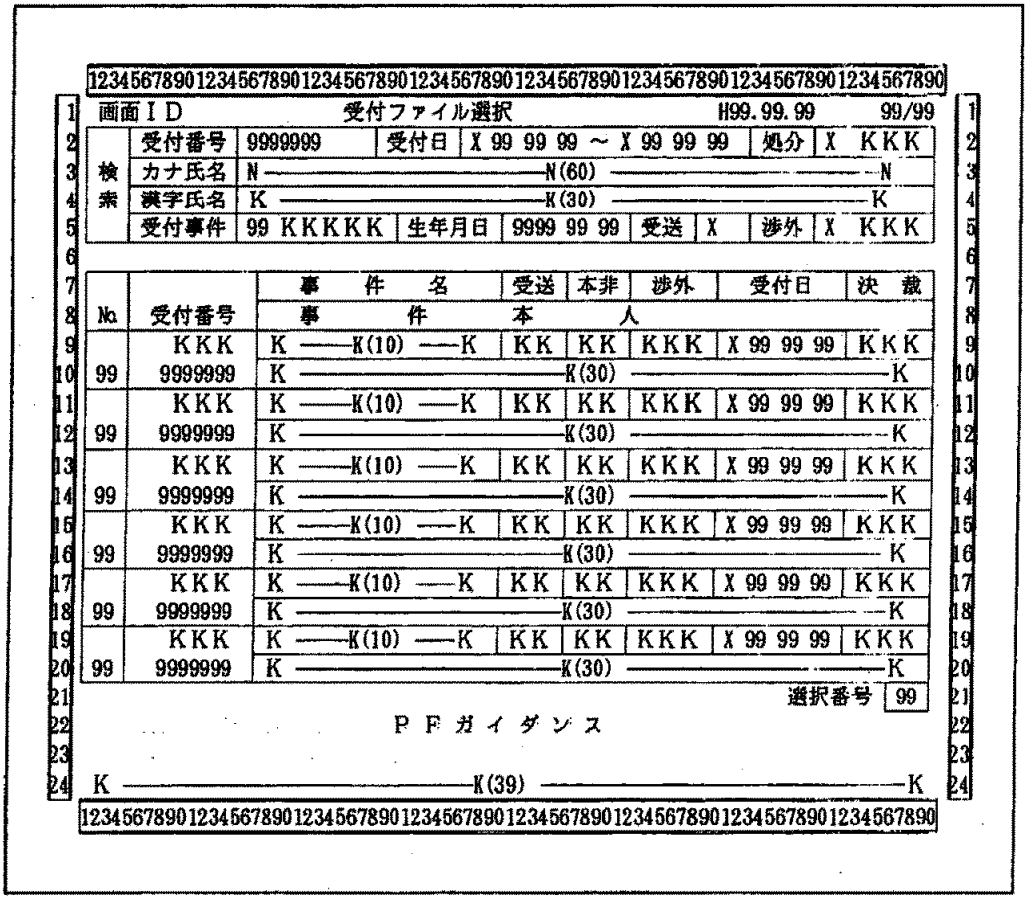


失効区分:終了、取り下げ、失効を区分する

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-4.個人状態ファイル検索		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人状態ファイル表示	



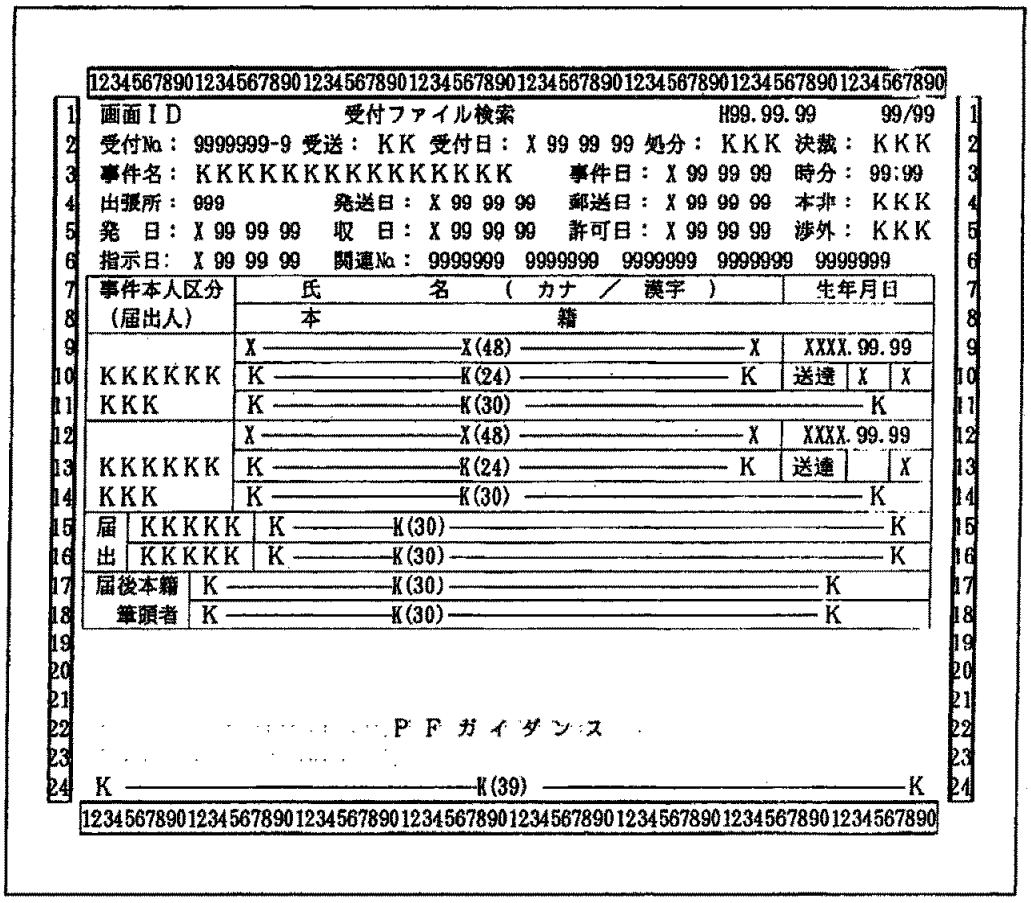
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-2.受付ファイル検索　受付ファイル選択		平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2
画面番号		画面名	受付ファイル選択	



検索キー、カナ氏名:事件本人1～4のカナ氏名を検索する
(但し、氏のみ又は、氏名両方入力の場合は、完全一致)
検索キー、漢字氏名:事件本人1～4の漢字氏名を検索する
(但し、氏のみ又は、氏名両方入力の場合は、完全一致)
検索キー、処分区分:1=受理、2=不受理、3=受理伺、4=処理伺、5=返戻、6=取り下げ、7=保留、8=受撤回、9=誤処理

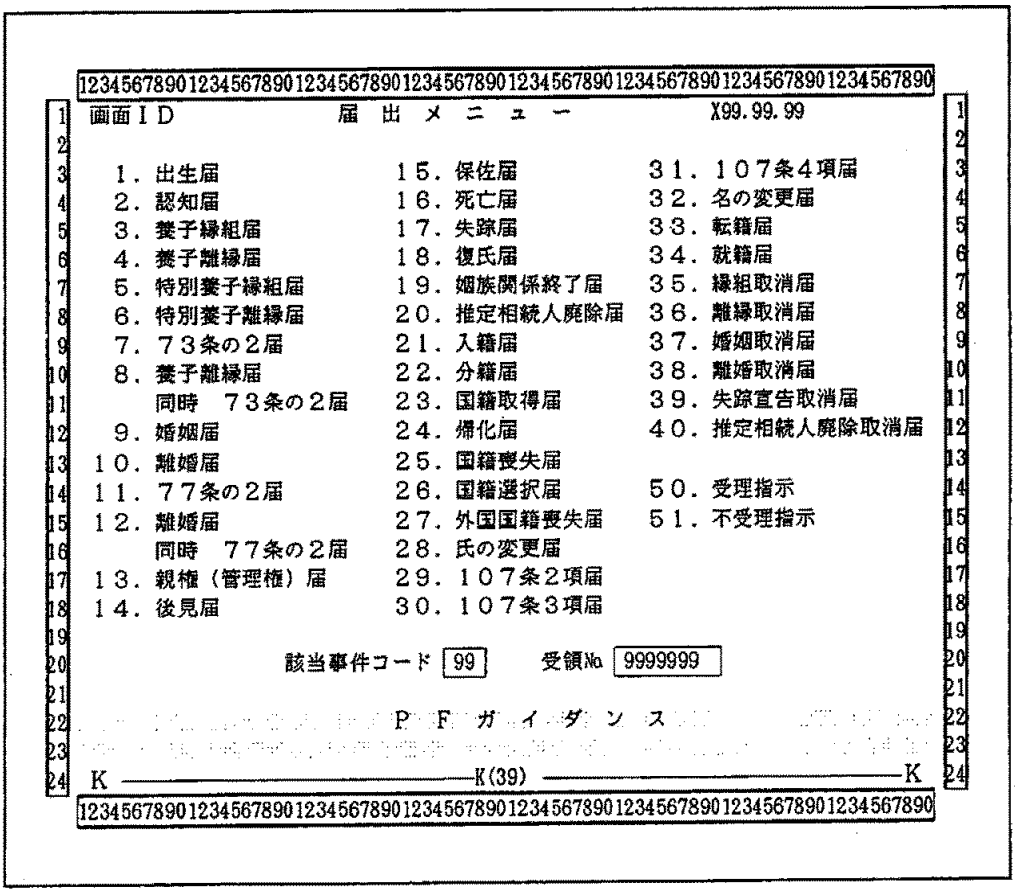
*補助キー･･･事件コード、渉外区分(SPACE=全事件、1=日本人、2=渉外、3=外国人)
生年月日、受理送付区分(1=受理、2=送付、SPACE=両方)

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-2.受付ファイル検索　受付ファイル検索		平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2
画面番号		画面名	受付ファイル検索	



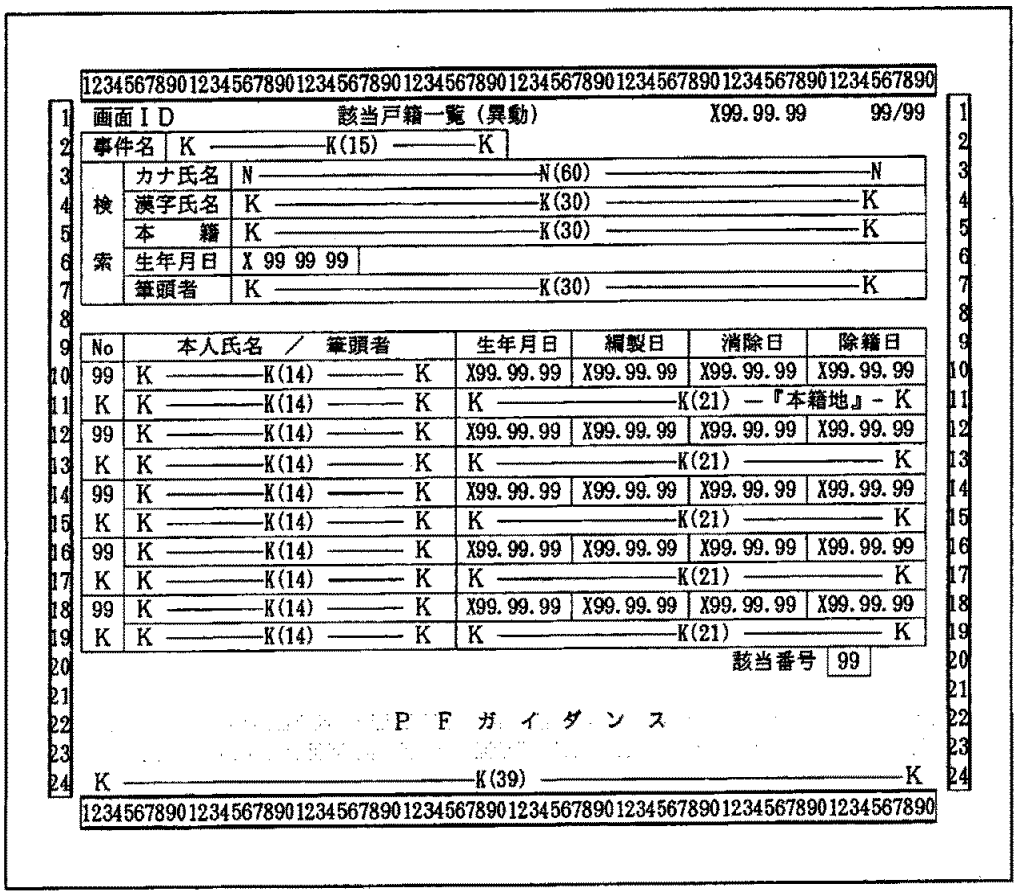
事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者　等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ,漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地/筆頭者
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃　2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2:　届出人の資格
exp.父、母　等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず
届後本籍･筆頭者
*死亡の場合は"死亡日時"項目となり,タイトルも『死亡日時』となる
但し,受付DB上は届後本籍の項目欄と共用

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　2-1.届出メニュー		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	届出メニュー	



※ 6.特別養子離縁、35.縁組取消届～40.推定相続人廃除取消届
審査結果入力処理

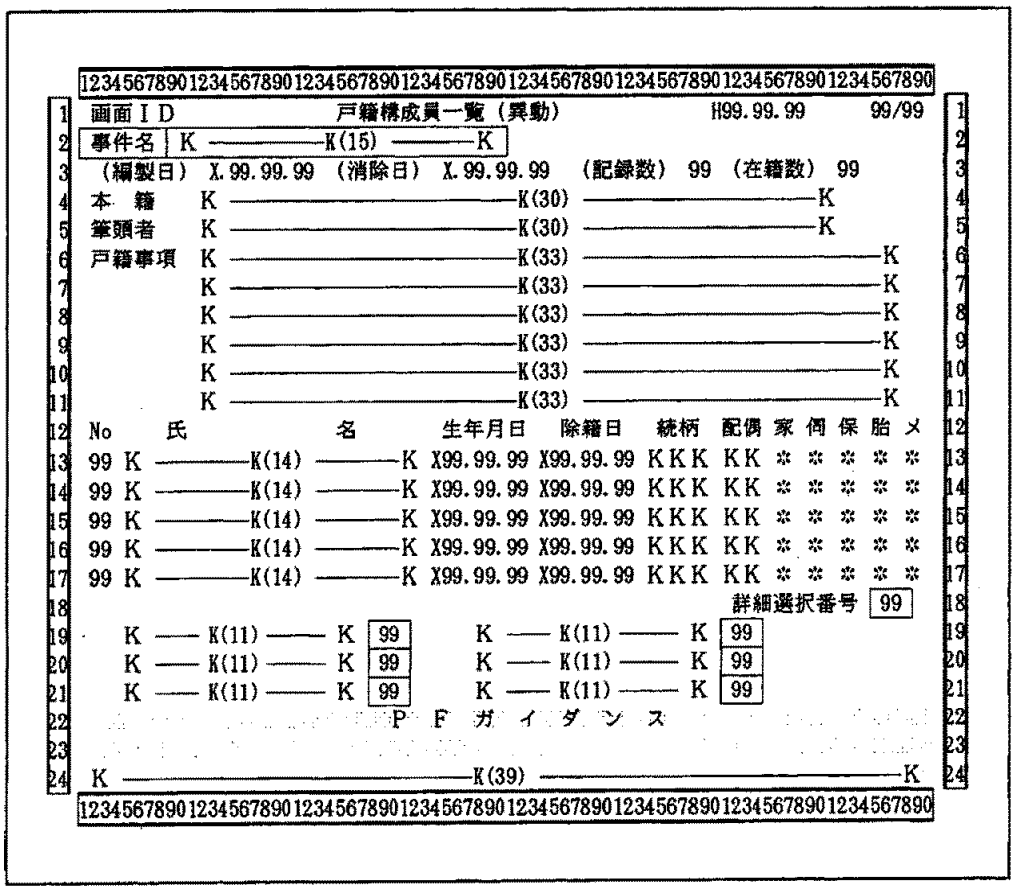
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	該当戸籍一覧(異動)	



本籍:管内の町丁名以降
NOの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

*検索件数:MAX99件

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索(2/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)	



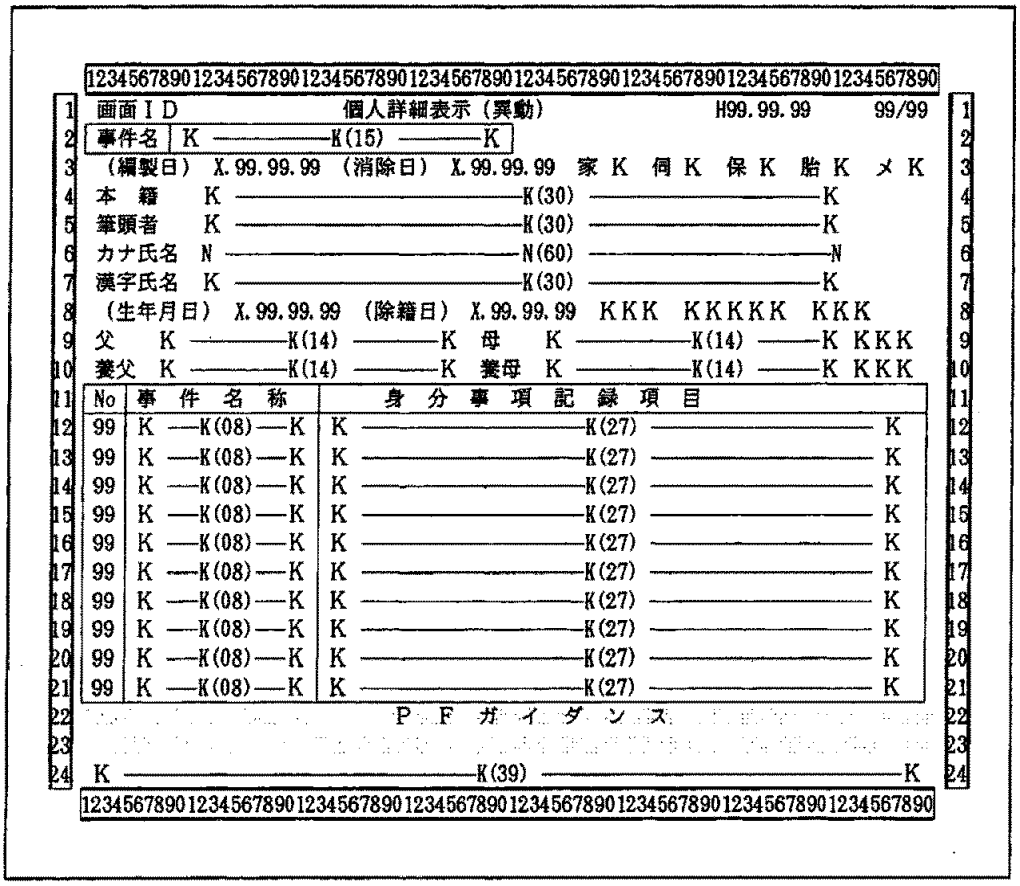
配偶:夫,妻,生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
伺:受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
メ:メモの有無を表す

19行目～20行目:各届出毎の検索し、個人特定する項目を表示/入力する。

EXP.出生届

父 □　母 □
入るべき戸籍 □

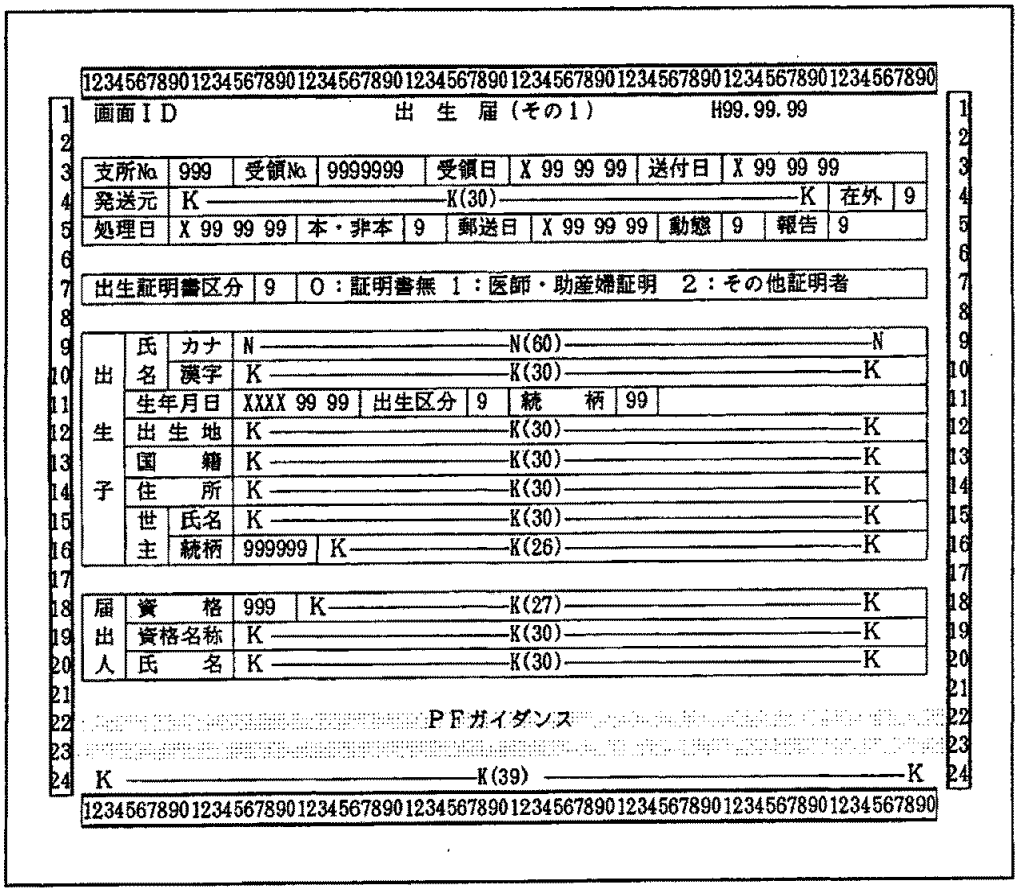
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索(3/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)	



家　　家裁通知の有無を表す
伺　　受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保　　保留の届出の有無を表す
胎　　胎児認知の有無を表す
メ　　メモの届出の有無を表す
8行49桁目　筆頭者の場合『筆頭者』
8行57桁目　配偶者区分により『夫』『妻』『生存配偶者』
8行69桁目　個人状態Fより破産宣告人の場合『破産者』

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
出生		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生届(その1)



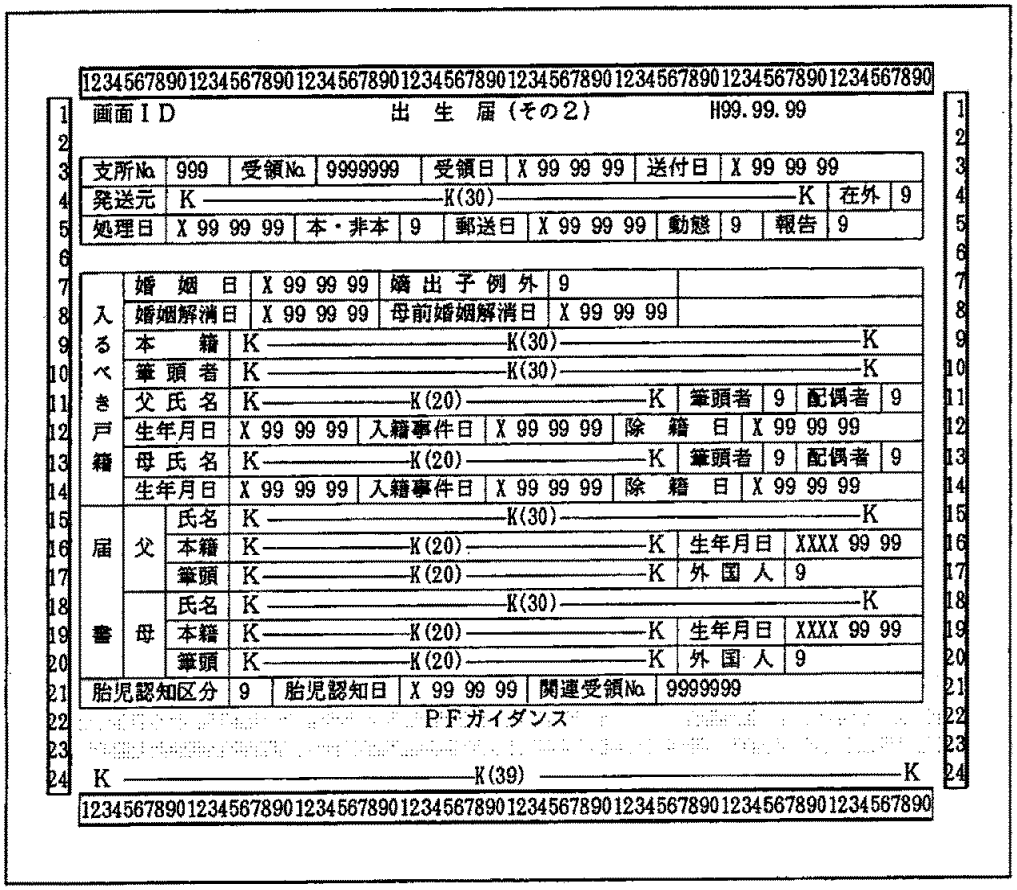
出生子項目

出生区分　　1:嫡出子,2:準正嫡出子,3:非嫡出子,4:棄児
出生地　　国内出生の場合、行政区迄の入力。行政区迄の入力かどうかの審査項目はない。
　　国外出生の場合も上記同様。
国籍　　出生子が外国人である場合に入力する。但し、任意入力項目であるが、日本人父･外国人母の戸籍法62条に基づく出生届の場合は、必須入力となる。

届出人項目

資格名称　　届出人資格が、法定代理人又は、市区町村長の場合に実際の名称を入力する。
　例:法定代理人→母の親権者　等
　　出生区分=4(棄児)の場合
　　届出人資格コード　　→097　　←　操作員入力
　　届出人資格コード名称→市区町村長　　←　システムがコードより編集･表示
　　届出人資格名称　　→△△△県□□□市　　←　操作員入力
　　届出人氏名　　→　---　　←　未入力

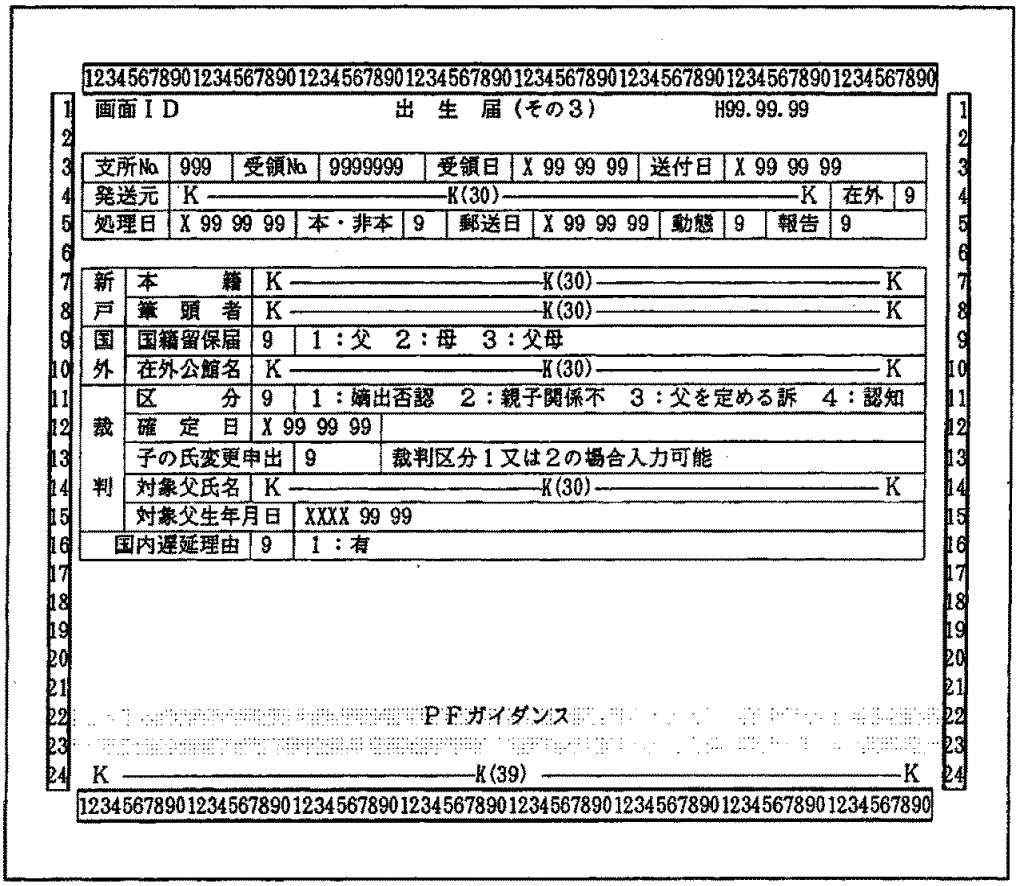
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
出生		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	出生届(その2)	



入るべき戸籍項目

嫡出子例外　　民法772条の規定により嫡出の推定を受ける子につき、例外的な取扱いを指す。
　例:昭和39年2月6日　民事甲第276号回答　等
婚姻解消日　　父母の離婚日又は、婚姻の取消し日。
母前婚姻解消日　父母離婚後、母につき新戸籍を編製した戸籍を入力した場合の離婚日(婚姻解消日)
　(上記パターンを婚姻解消日に入力すると、関連チェックで婚姻日とのチェックを行っているので、母の戸籍には婚姻に関する身分事項はないから入力出来ない。)
　又は、母が筆頭者で婚姻･離婚を繰り返した場合の、直近の婚姻･離婚日より一つ前の離婚日を指す。
入籍事件日　　入籍事由の事件発生日を指す。
　例:婚姻した場合、婚姻日,養子縁組をした場合、縁組日　等

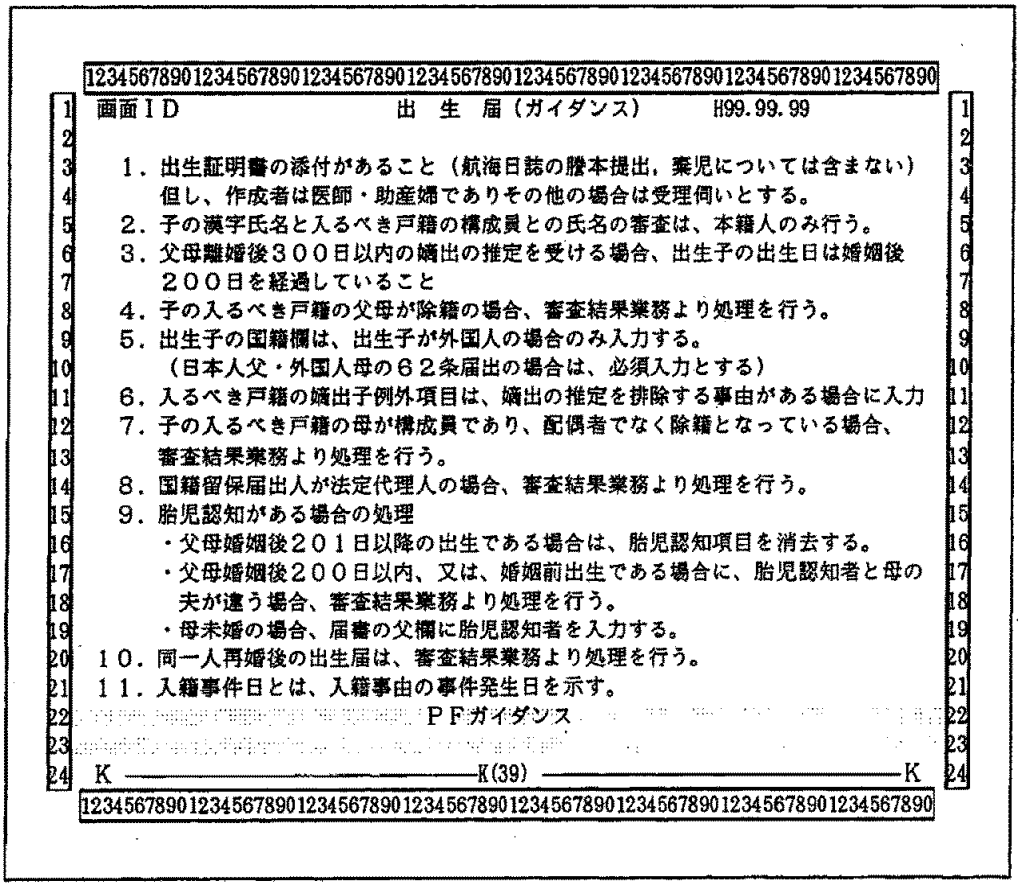
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
出生		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	出生届(その3)	



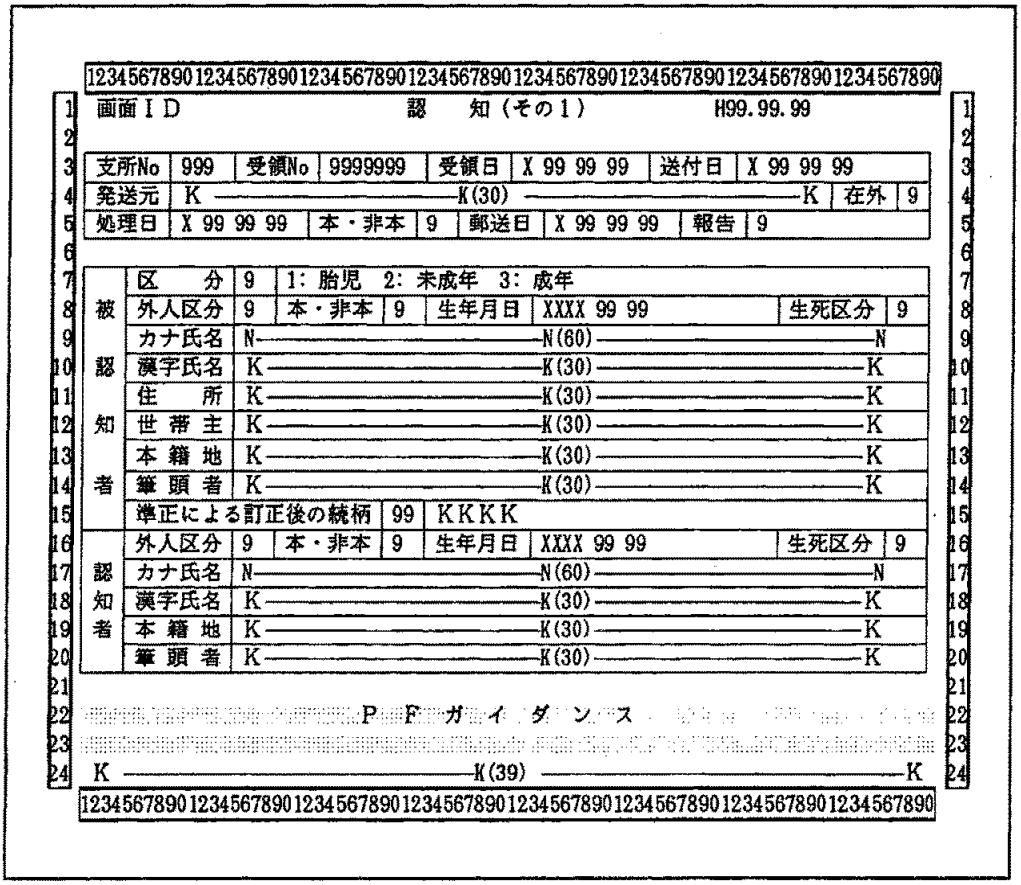
裁判項目

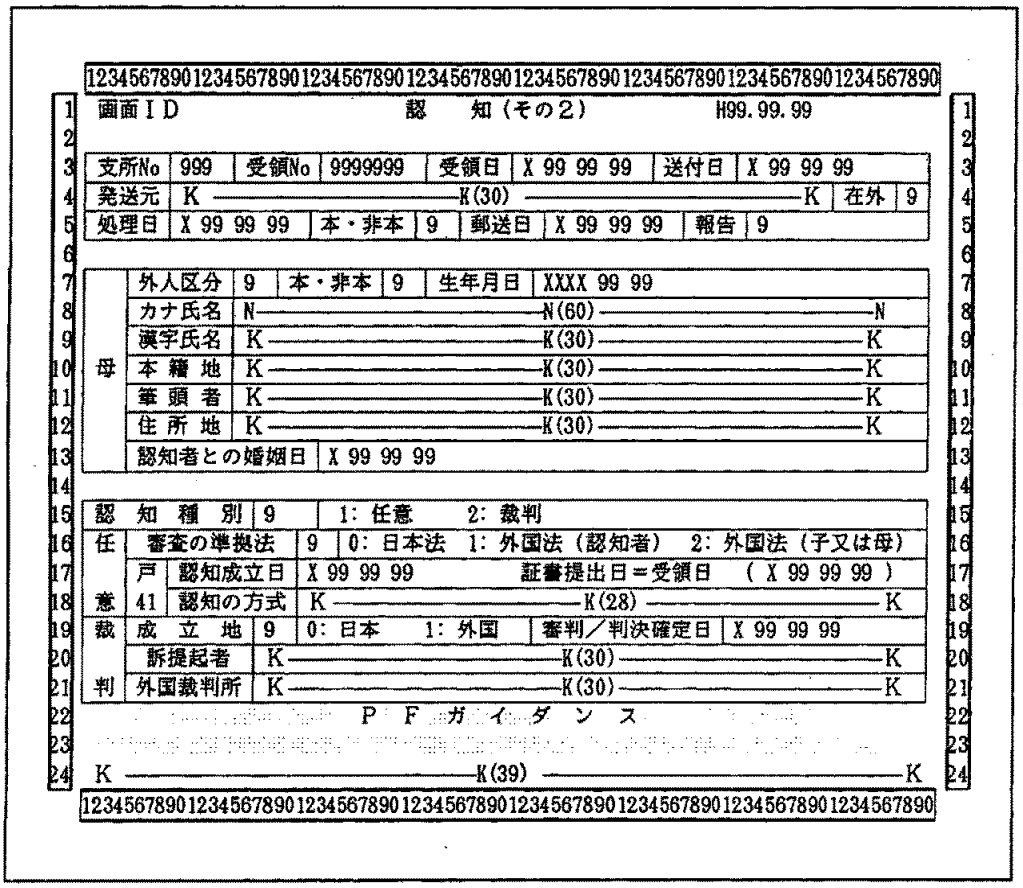
子の氏変更申出　　嫡出否認･親子関係不存在確認の裁判確定･審判書の添付とともに、子の氏を母の氏とする申出があった場合に入力。
対象父氏名　　裁判の対象となった父の入力。
(生年月日)

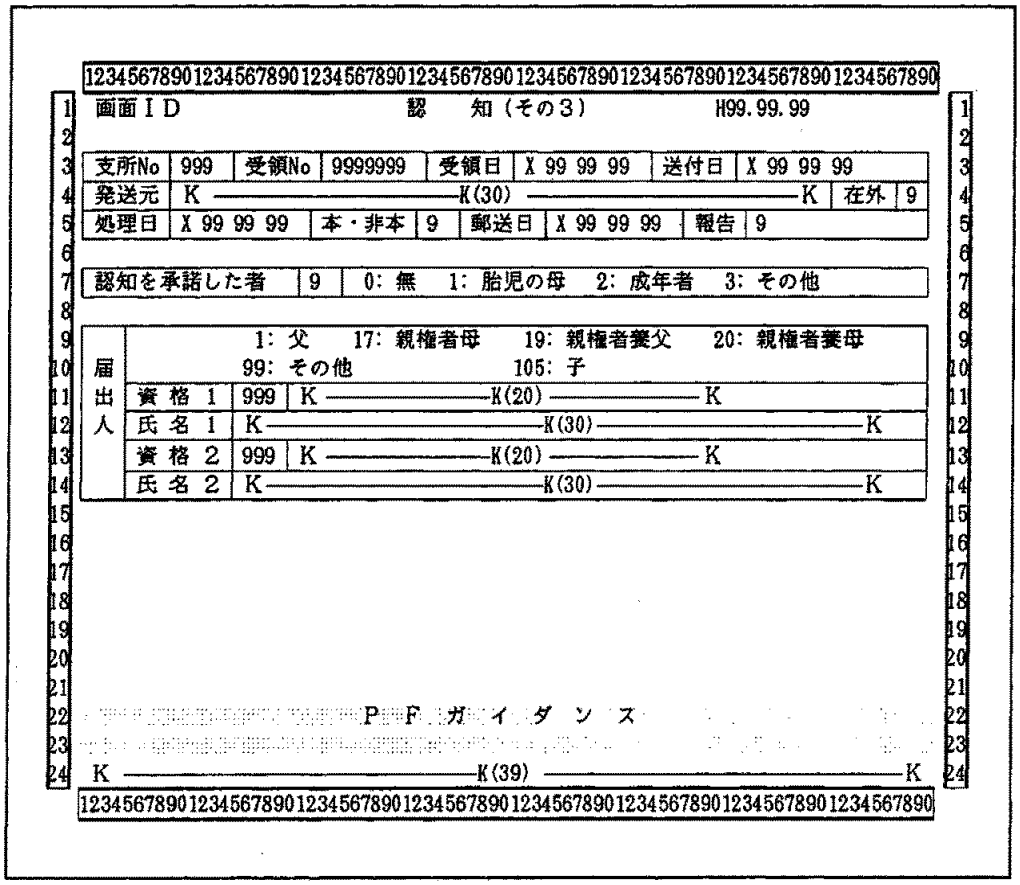
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
出生		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	出生届(ガイダンス)	



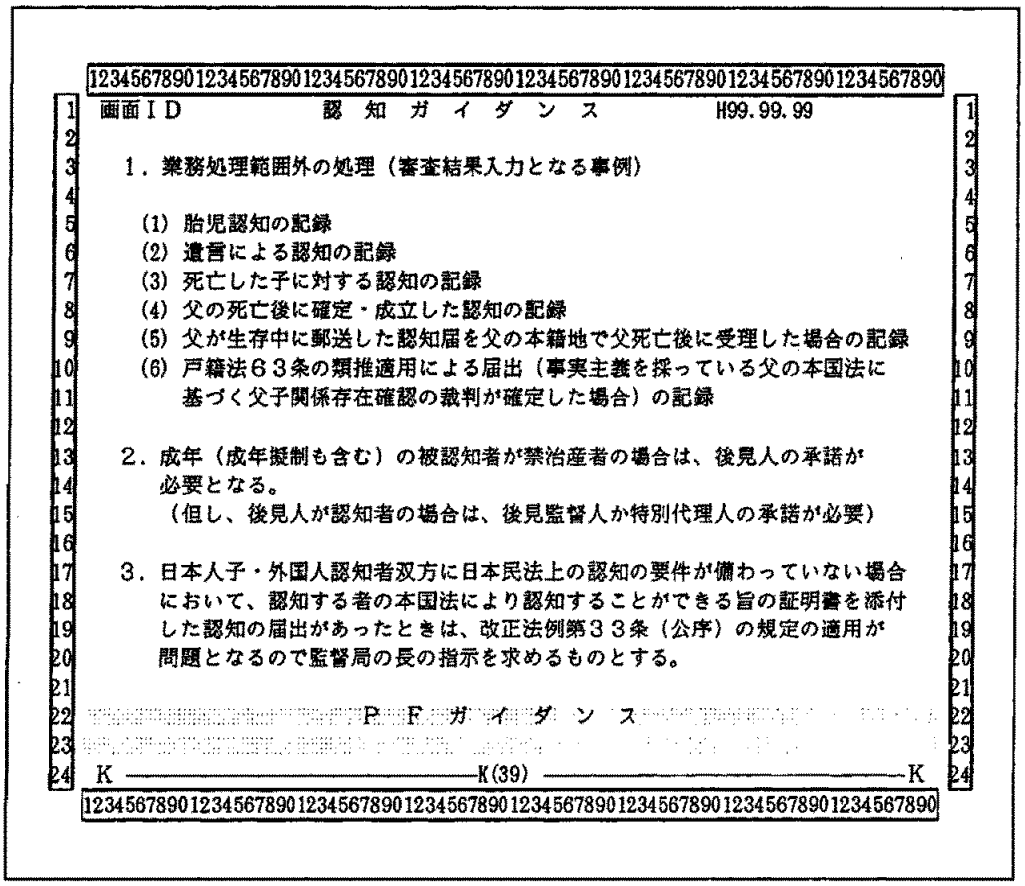
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　認知届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	認知届(その1)	



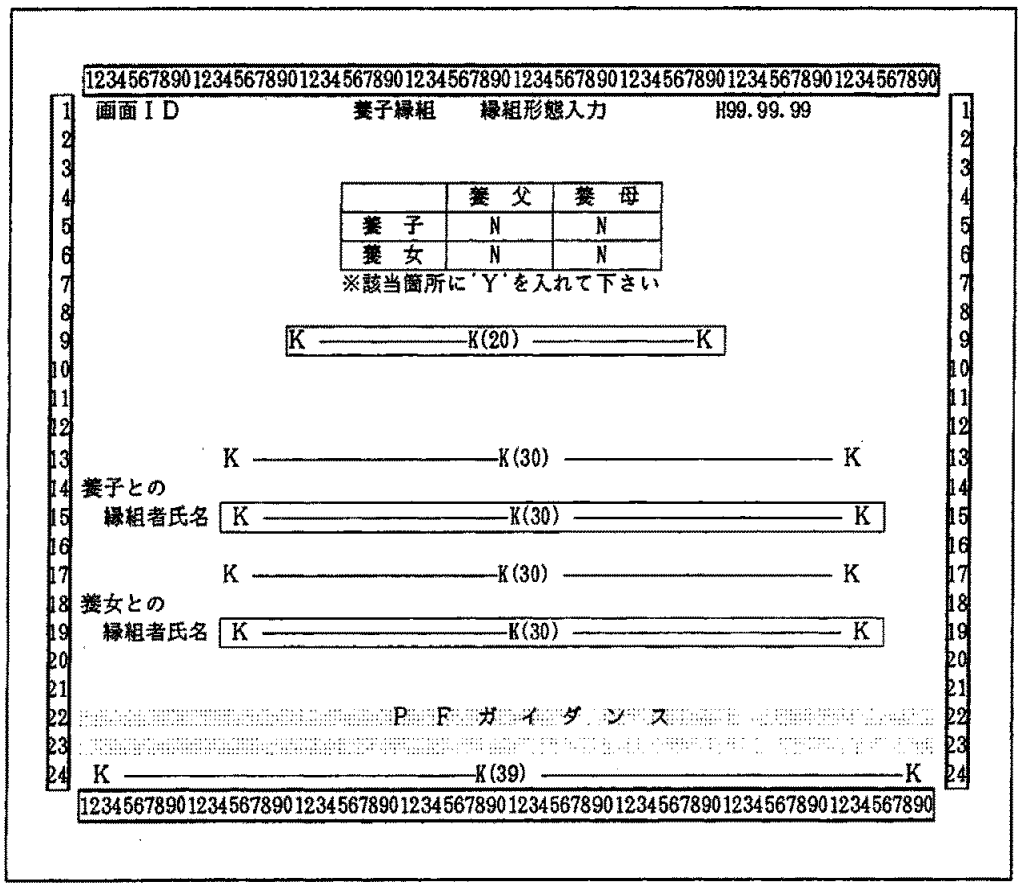

画面ＩＤ
認　知（その２）
H99.99.99
支所No 999 受領No 9999999 受領日 X 99 99 99 送付日 X 99 99 99
発送元 K K(30) K 在外 9
処理日 X 99 99 99 本・非本 9 郵送日 X 99 99 99 報告 9
母
外人区分 9 本・非本 9 生年月日 XXXX 99 99
カナ氏名 N N(60) N
漢字氏名 K K(30) K
本籍地 K K(30) K
筆頭者 K K(30) K
住所地 K K(30) K
認知者との婚姻日 X 99 99 99
認知種別 9 1: 任意 2: 裁判
任意
審査の準拠法 9 0: 日本法 1: 外国法（認知者） 2: 外国法（子又は母）
戸41
認知成立日 X 99 99 99 証書提出日＝受領日 (X 99 99 99)
認知の方式 K K(28) K
裁判
成立地 9 0: 日本 1: 外国 審判／判決確定日 X 99 99 99
訴提起者 K K(30) K
外国裁判所 K K(30) K
ＰＦガイダンス
K K(39) K


画面ＩＤ
認　知（その３）
H99.99.99
支所No 999 受領No 9999999 受領日 X 99 99 99 送付日 X 99 99 99
発送元 K K(30) K 在外 9
処理日 X 99 99 99 本・非本 9 郵送日 X 99 99 99 報告 9
認知を承諾した者 9 0: 無 1: 胎児の母 2: 成年者 3: その他
届出人
1: 父 17: 親権者母 19: 親権者養父 20: 親権者養母
99: その他 105: 子
資 格 1 999 K K(20) K
氏 名 1 K K(30) K
資 格 2 999 K K(20) K
氏 名 2 K K(30) K
ＰＦ ガイダンス
K K(39) K

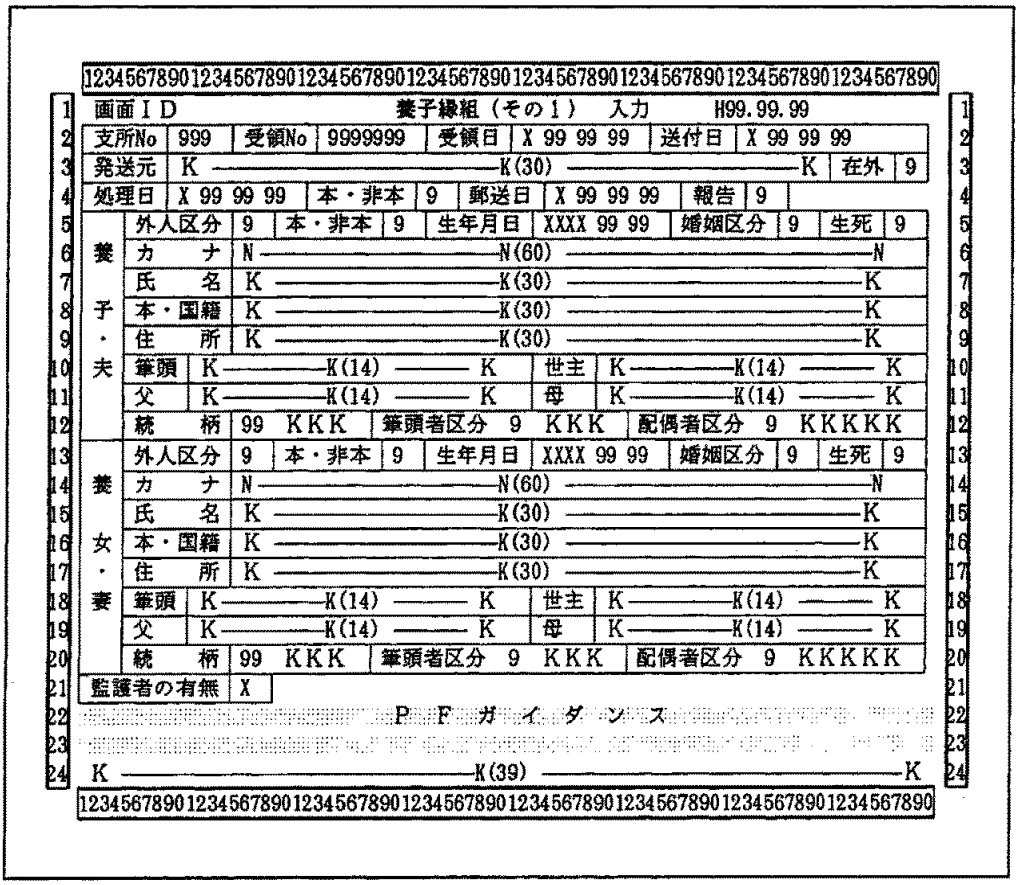
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　認知届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	認知届ガイダンス	



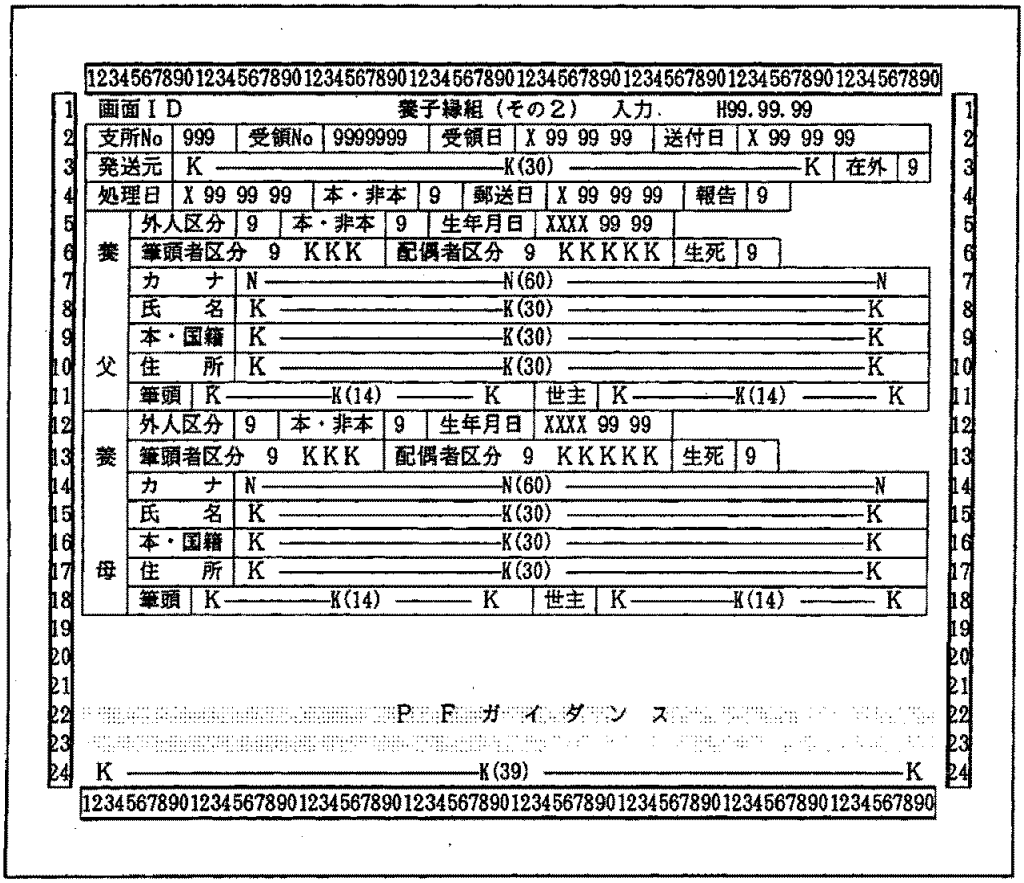
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子縁組　縁組形態入力	



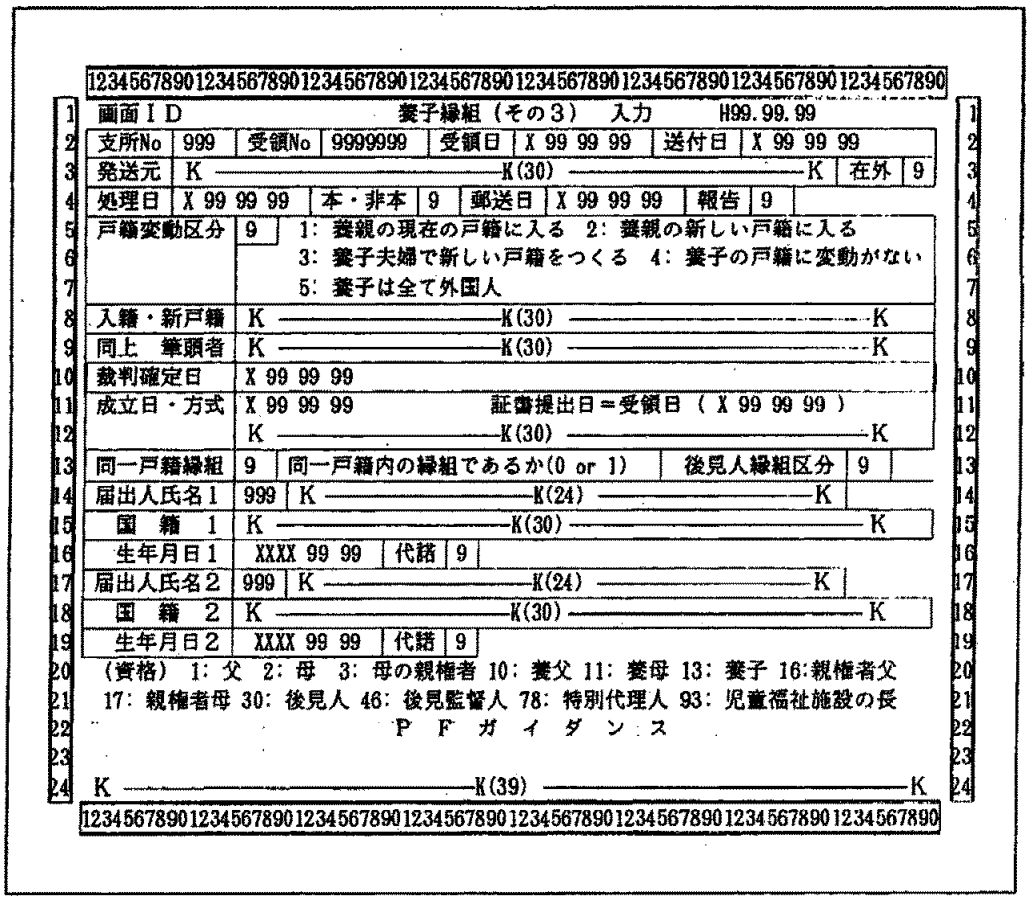
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子縁組(その1)	



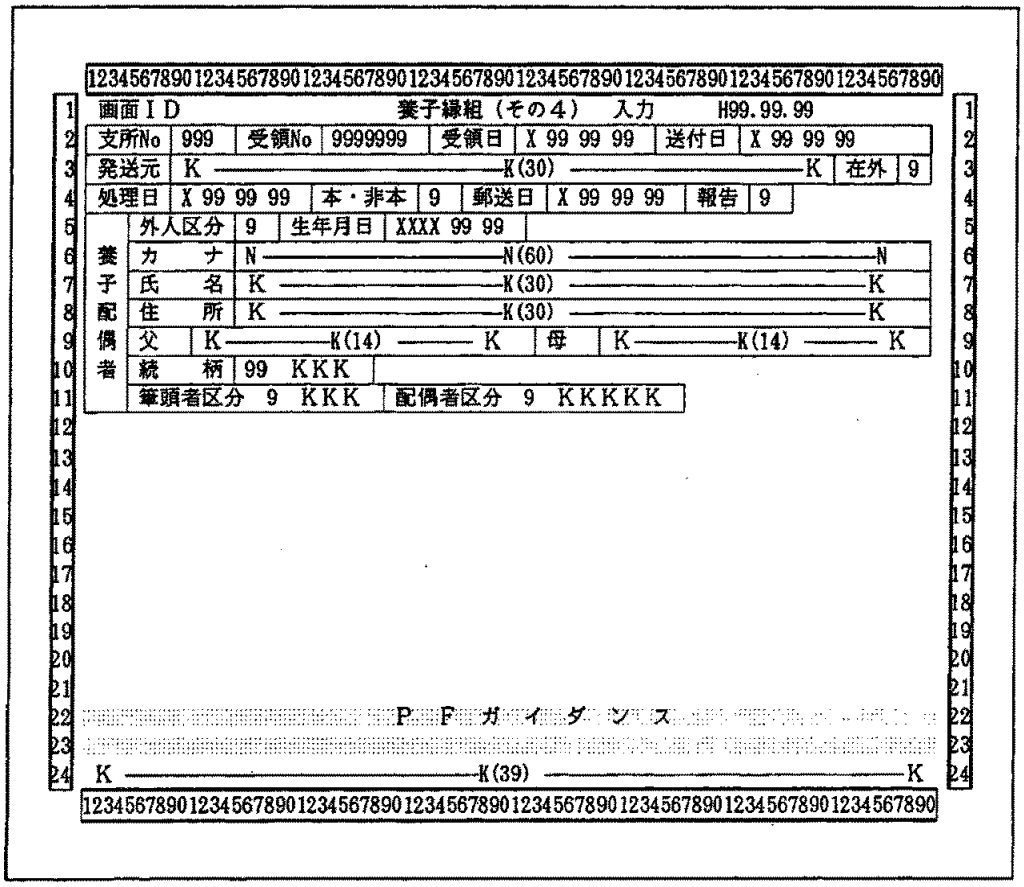
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子縁組(その2)	



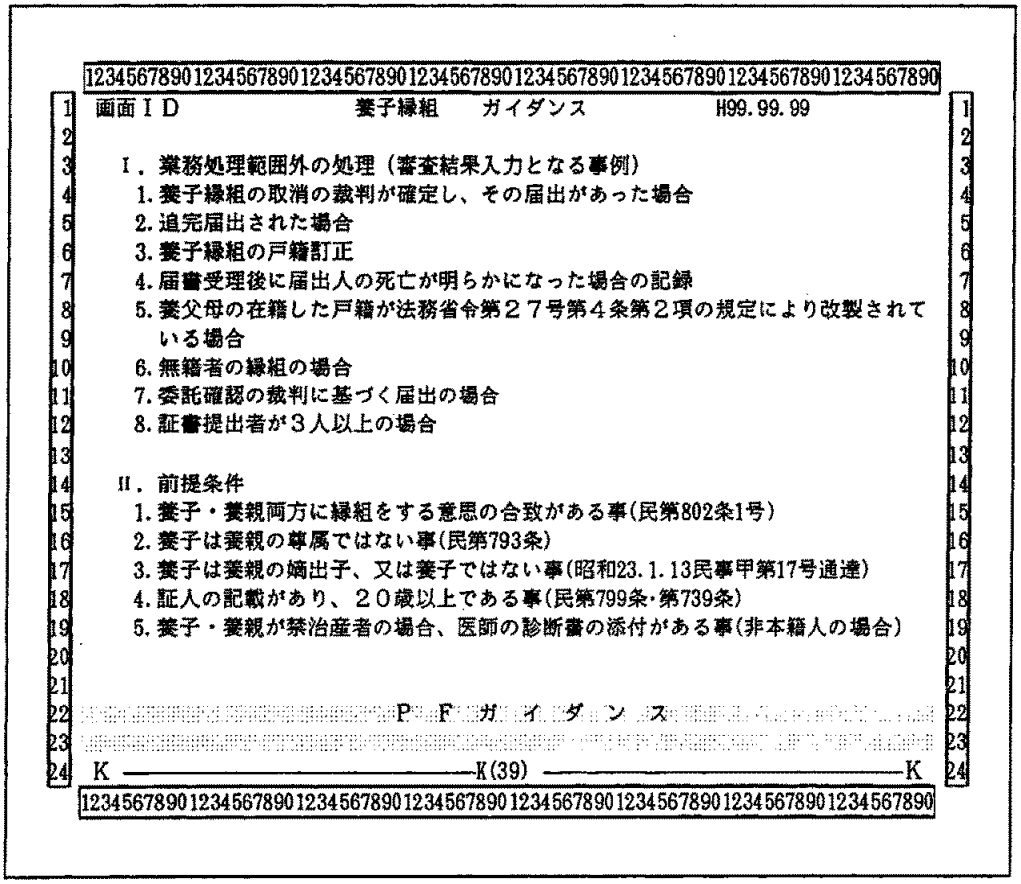
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2
画面番号		画面名	養子縁組(その3)	



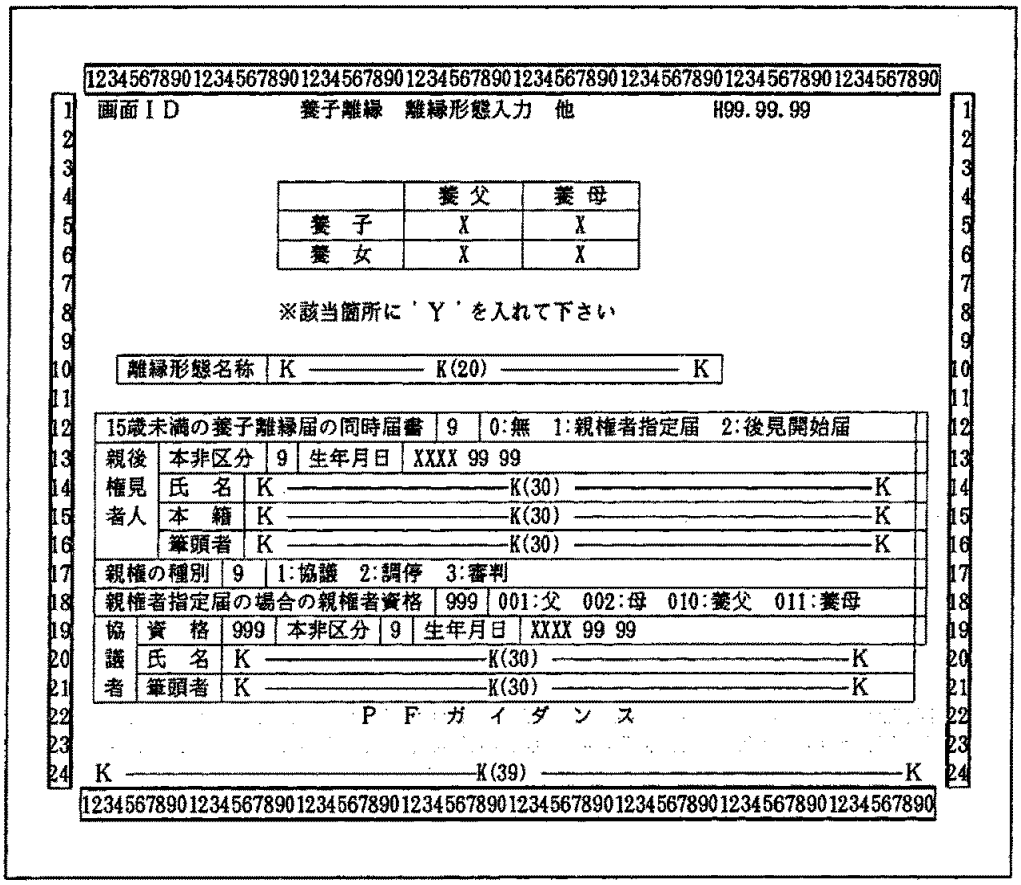
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		5/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子縁組(その4)	



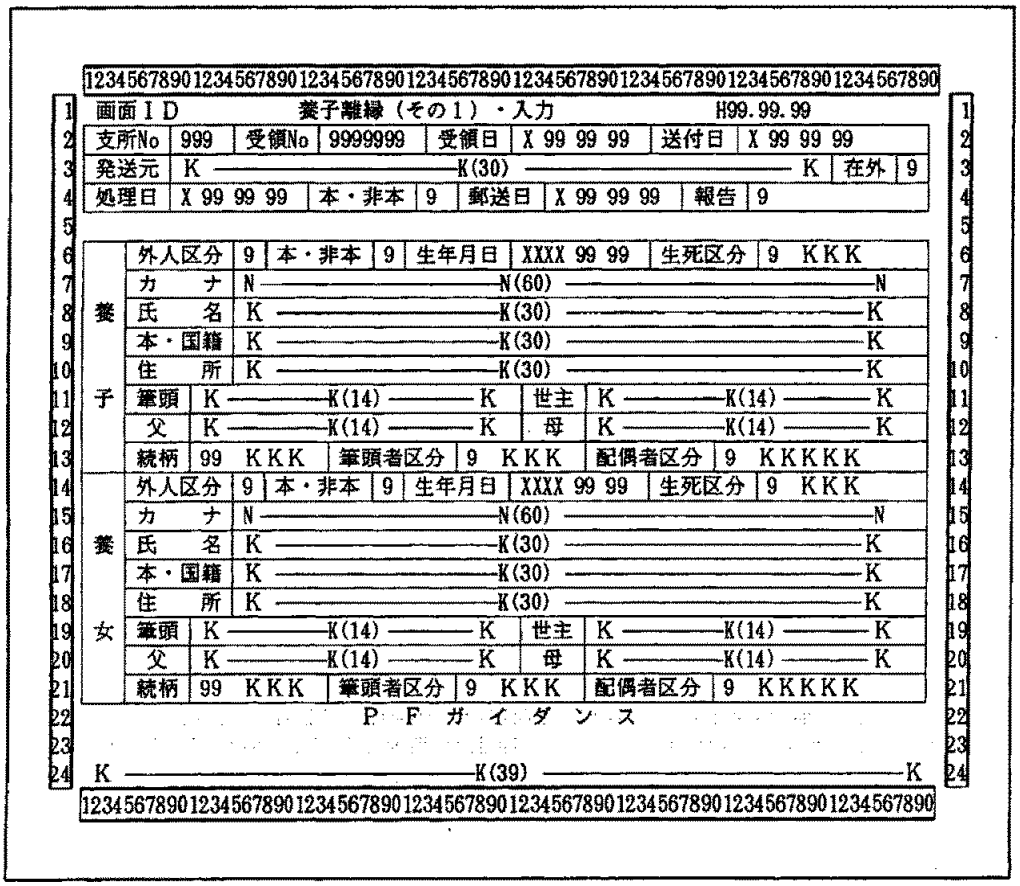
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		6/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子縁組　ガイダンス	



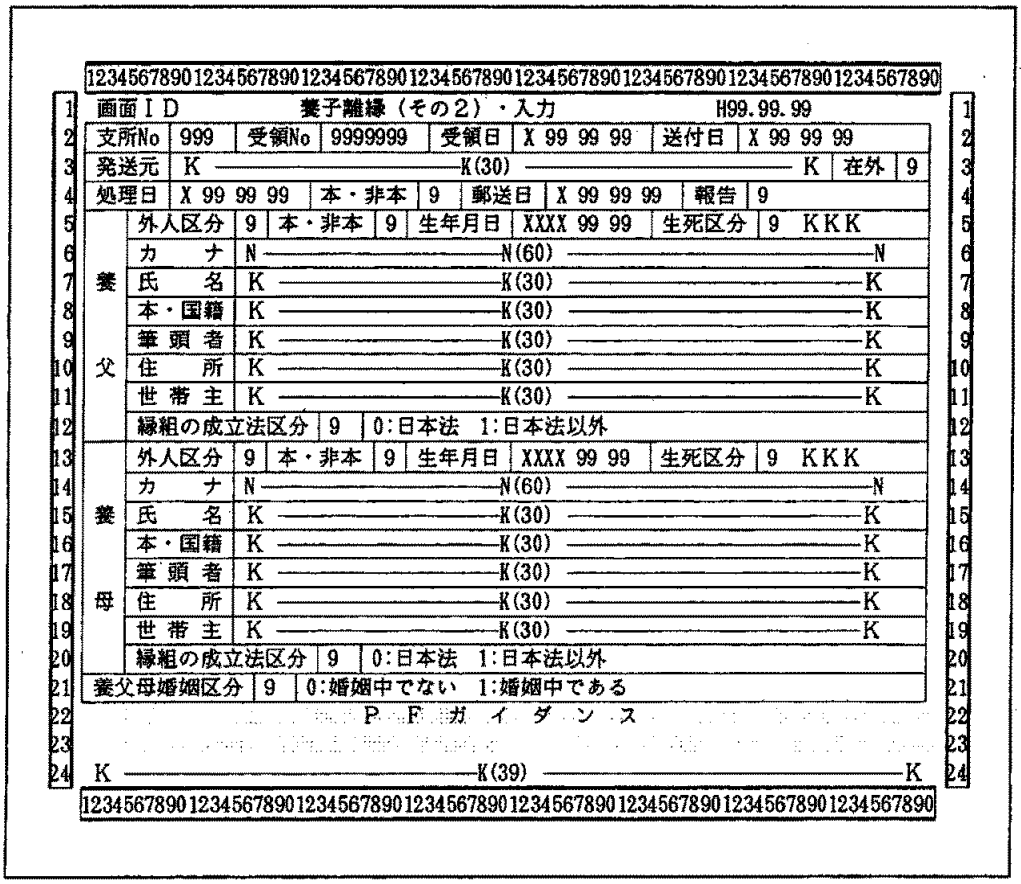
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁届 離縁形態入力 他	

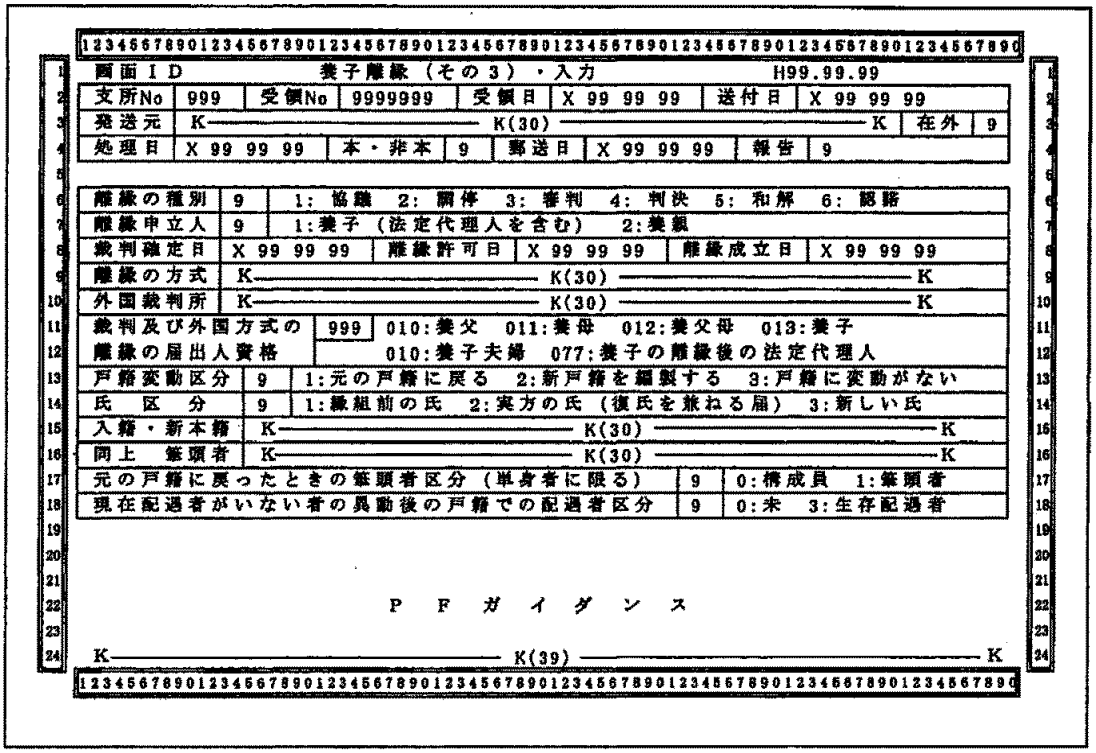


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁届(その1)・入力	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁届(その2)・入力	





画面ＩＤ　養子離縁（その３）・入力　H99.99.99

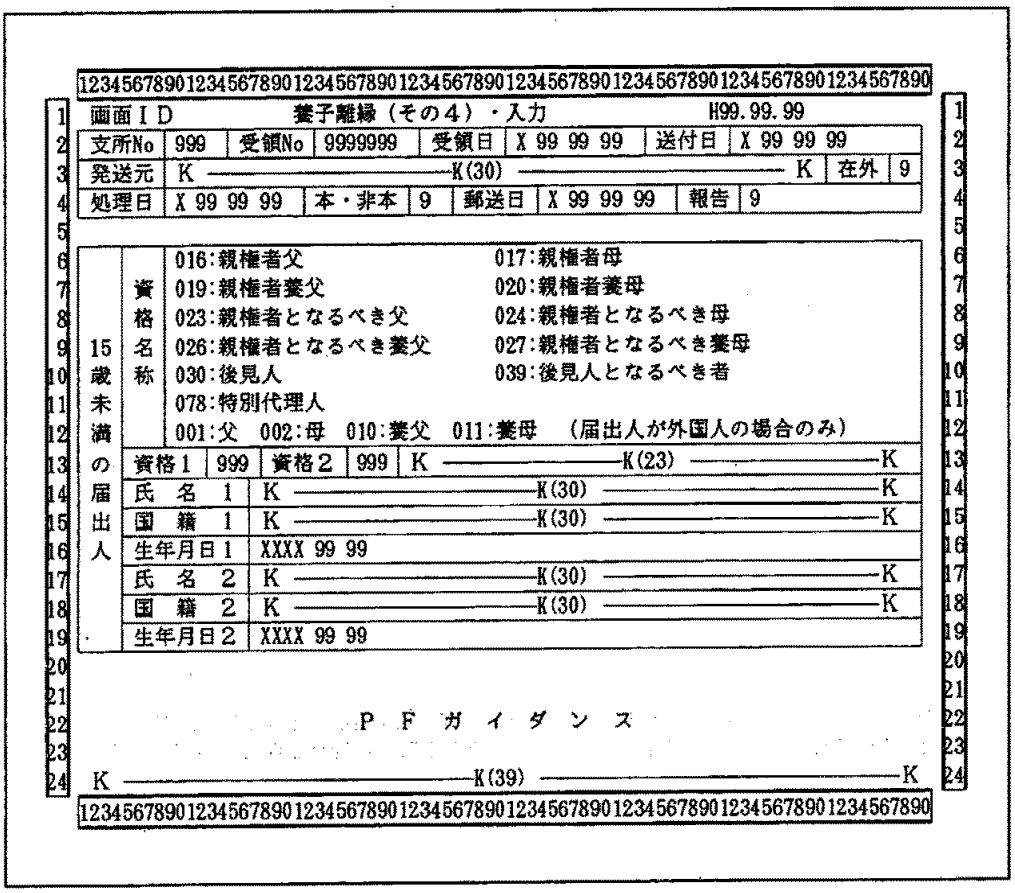
支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K	K(30)				K	在外 9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99	報告	9

離縁の種別	9	1:協議 2:調停 3:審判 4:判決 5:和解 6:認諾
離縁申立人	9	1:養子（法定代理人を含む） 2:養親
裁判確定日	X 99 99 99	離縁許可日 X 99 99 99　離縁成立日 X 99 99 99
離縁の方式	K	K(30) K
外国裁判所	K	K(30) K
裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	999	010:養父 011:養母 012:養父母 013:養子 010:養子夫婦 077:養子の離縁後の法定代理人
戸籍変動区分	9	1:元の戸籍に戻る 2:新戸籍を編製する 3:戸籍に変動がない
氏区分	9	1:縁組前の氏 2:実方の氏（復氏を旅ねる届） 3:新しい氏
入籍・新本籍	K	K(30) K
同上 筆頭者	K	K(30) K
元の戸籍に戻ったときの筆頭者区分（単身者に限る）		9 0:構成員 1:筆頭者
現在配偶者がいない者の異動後の戸籍での配偶者区分		9 0:未 3:生存配偶者

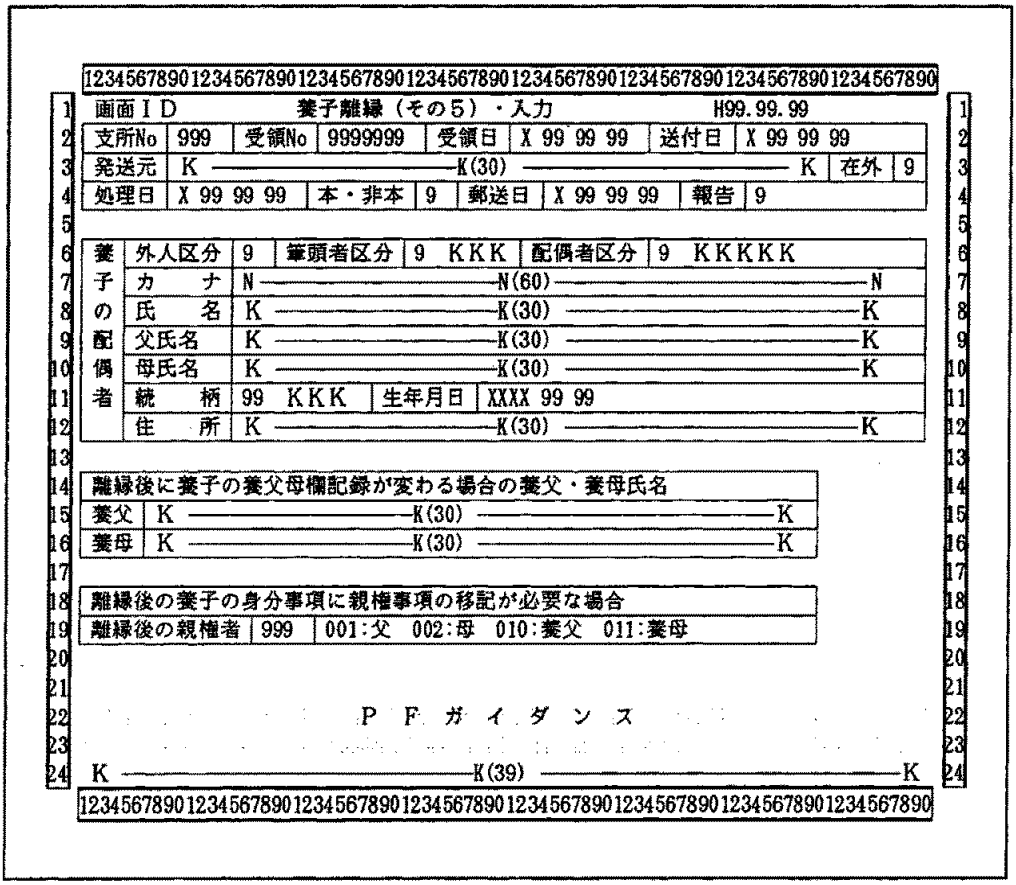
ＰＦガイダンス

K K(39) K

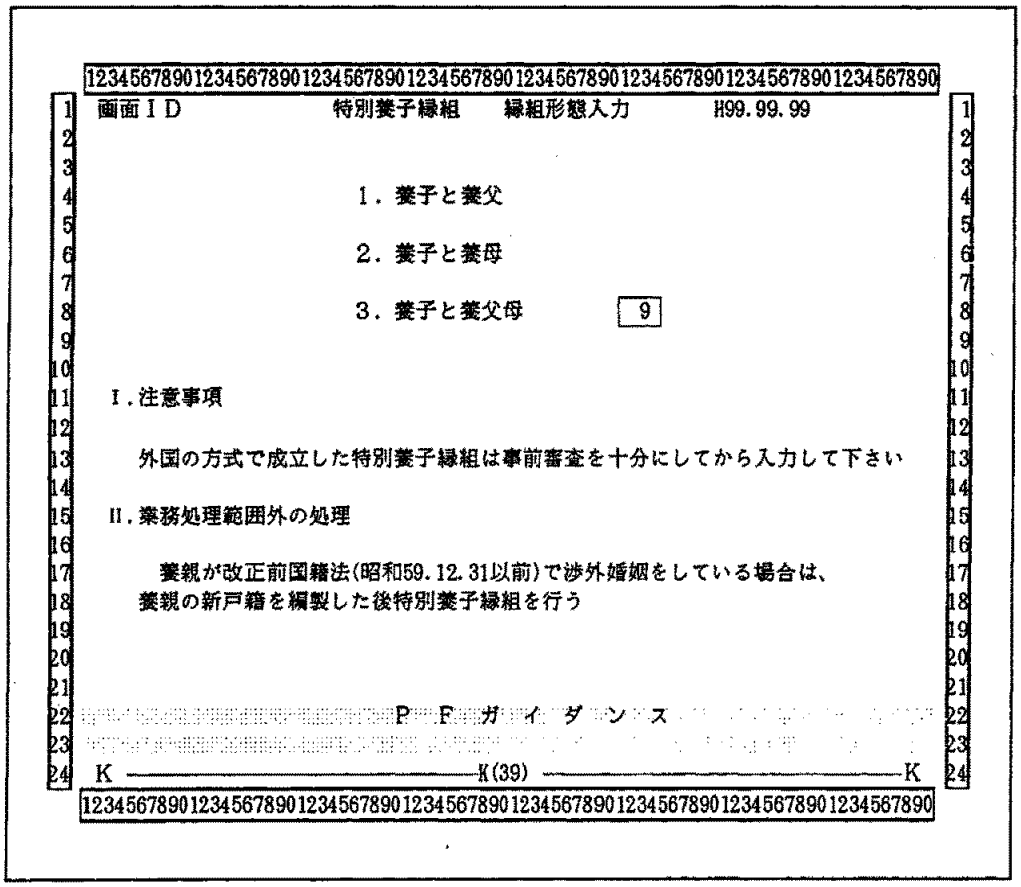
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		5/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁届(その4)・入力	



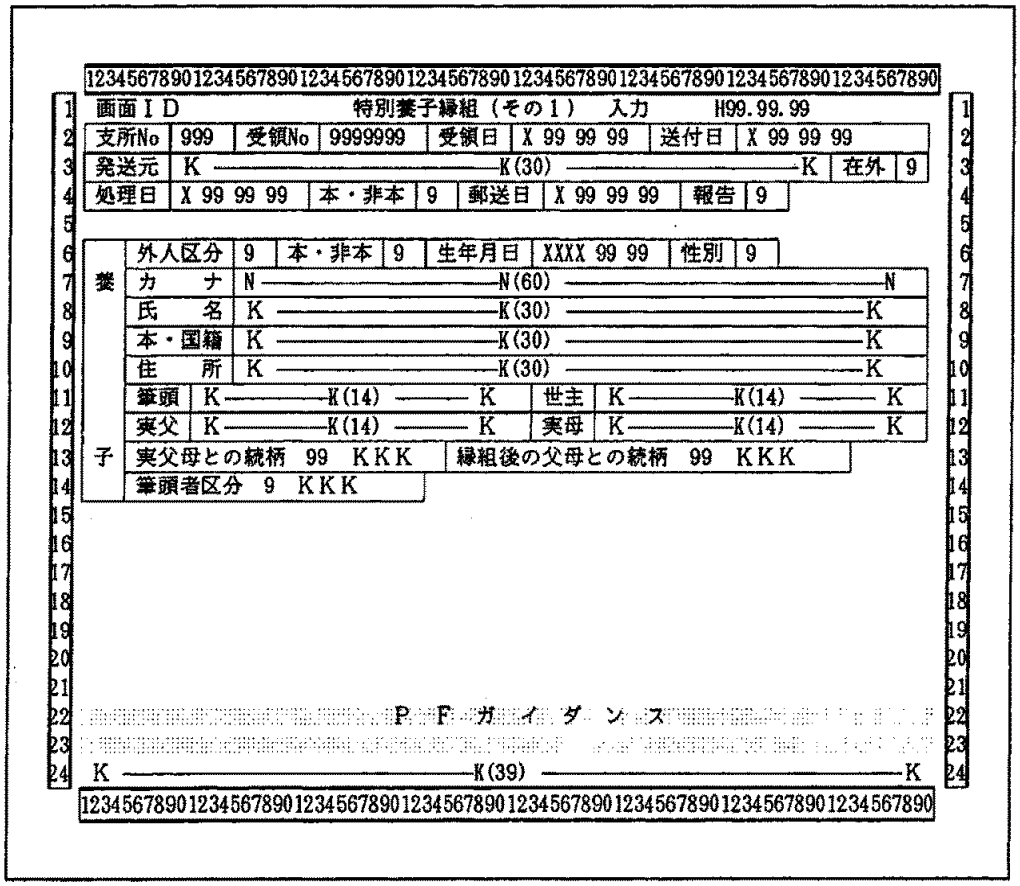
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		6/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁届(その5)・入力	



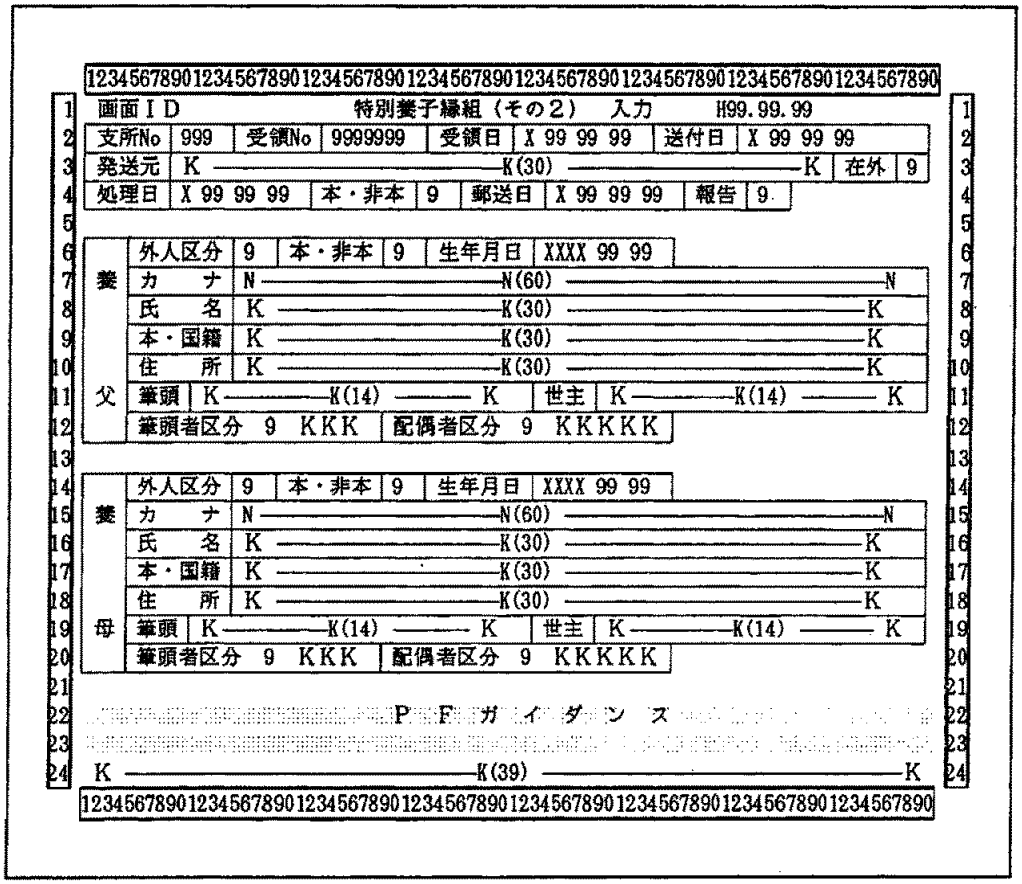
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　特別養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	特別養子縁組　縁組形態入力	



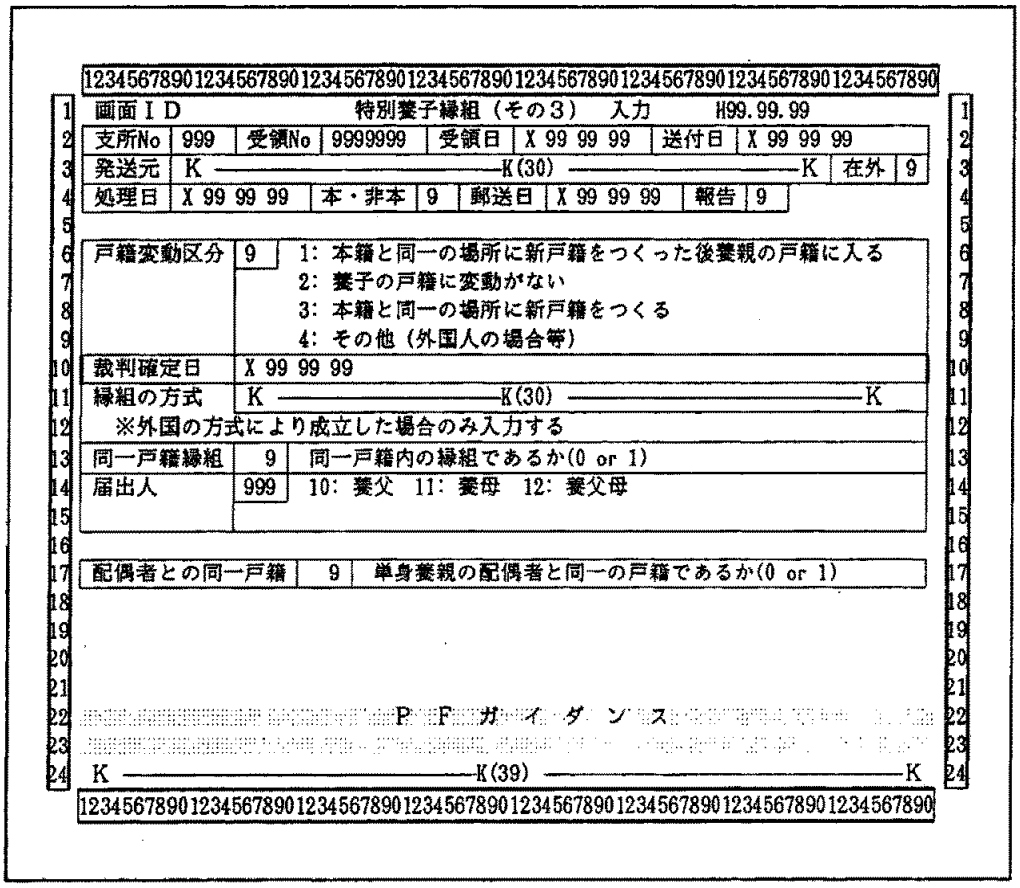
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　特別養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	特別養子縁組(その1)	



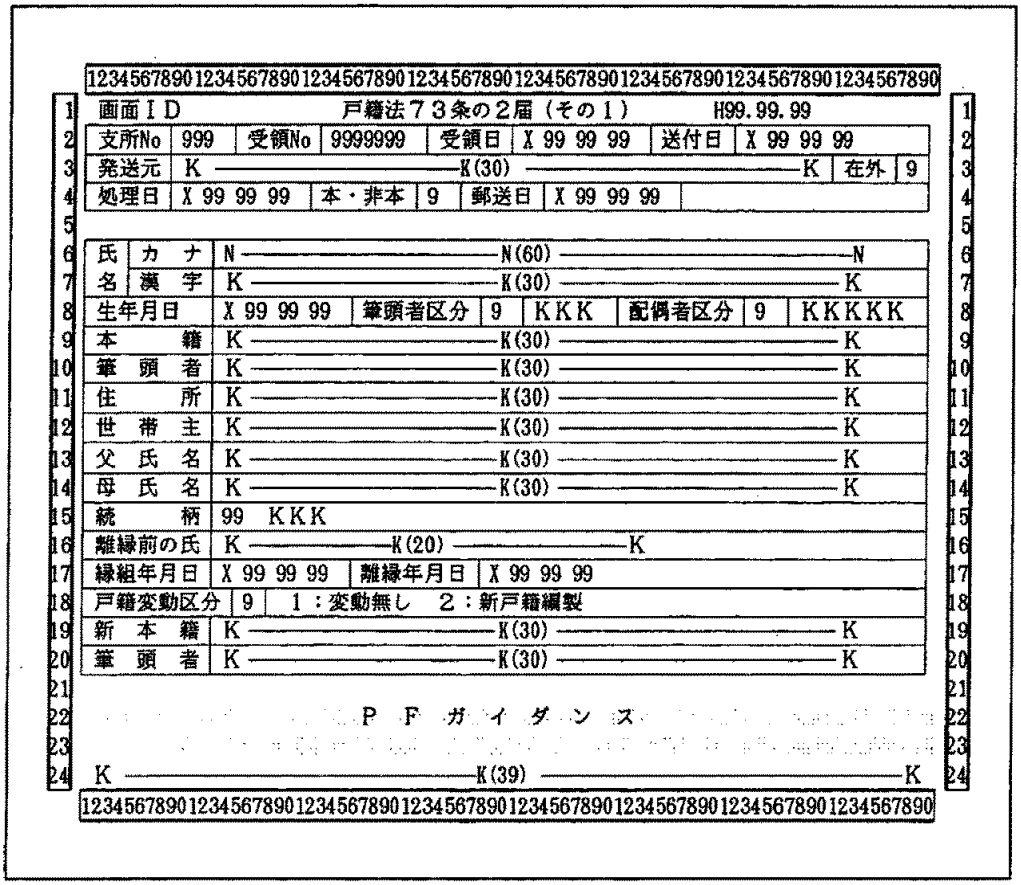
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　特別養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)	



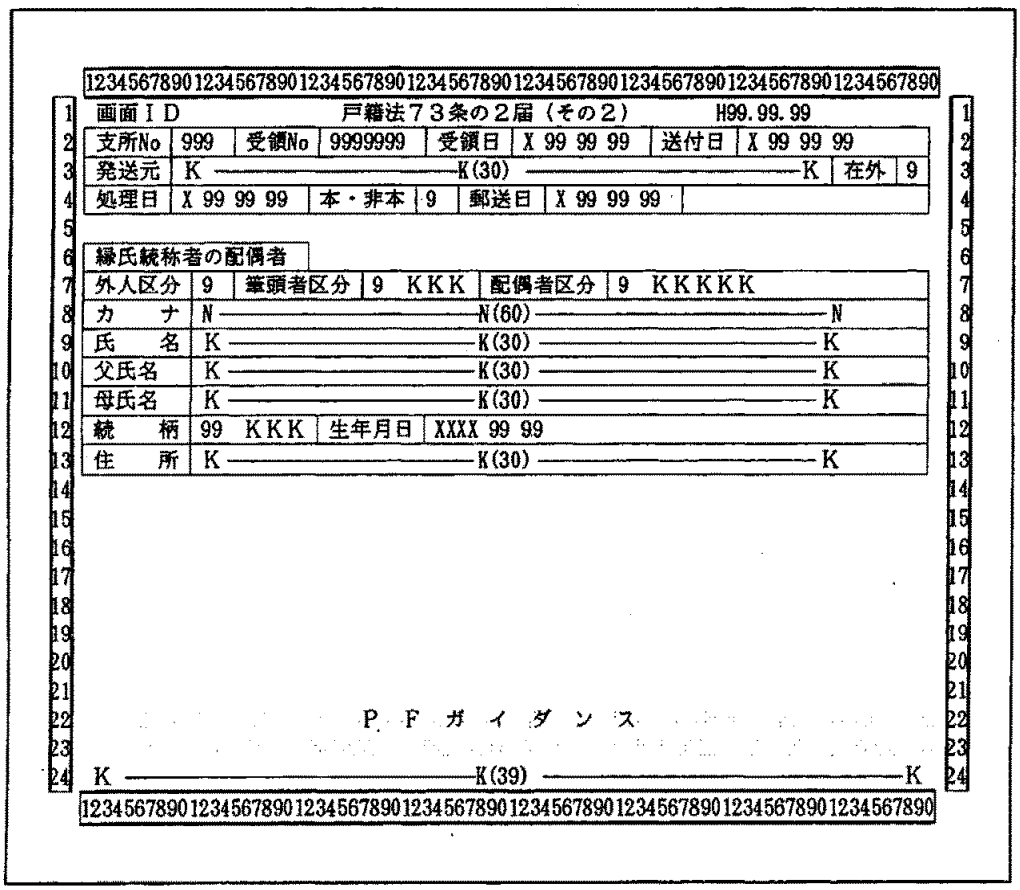
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　特別養子縁組		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	特別養子縁組(その3)	

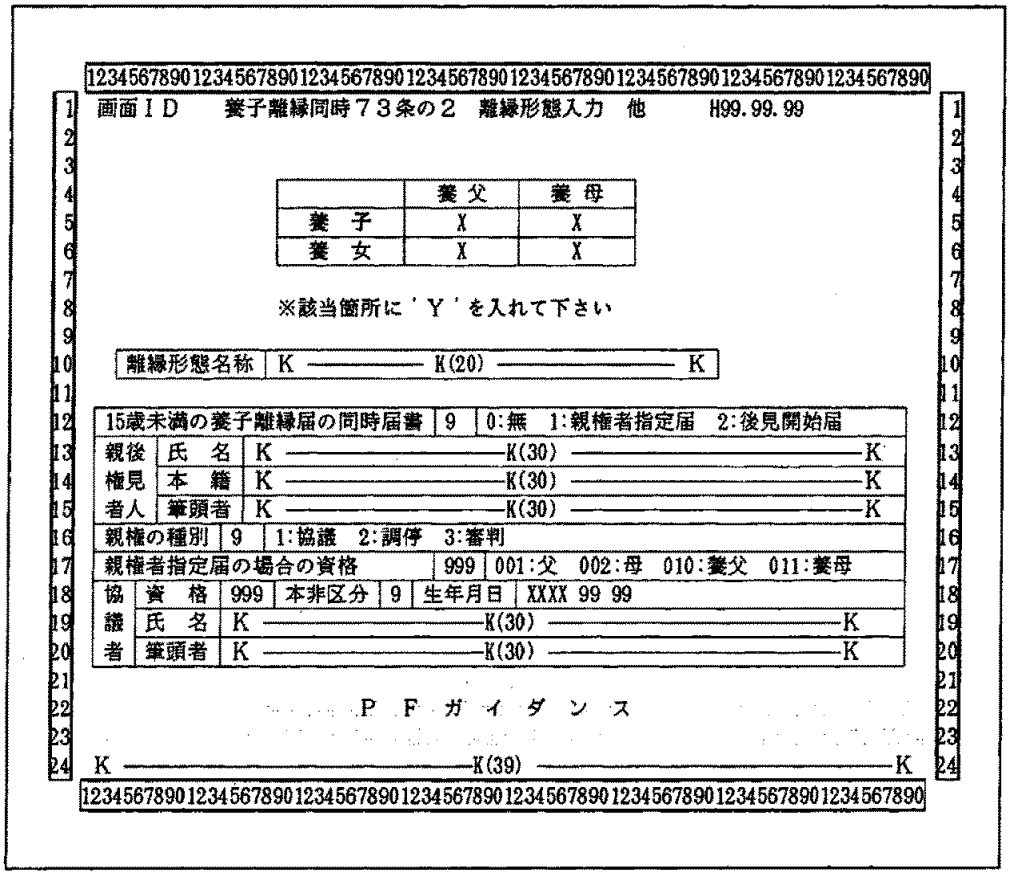


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　戸籍法73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍法73条の2届(その1)	

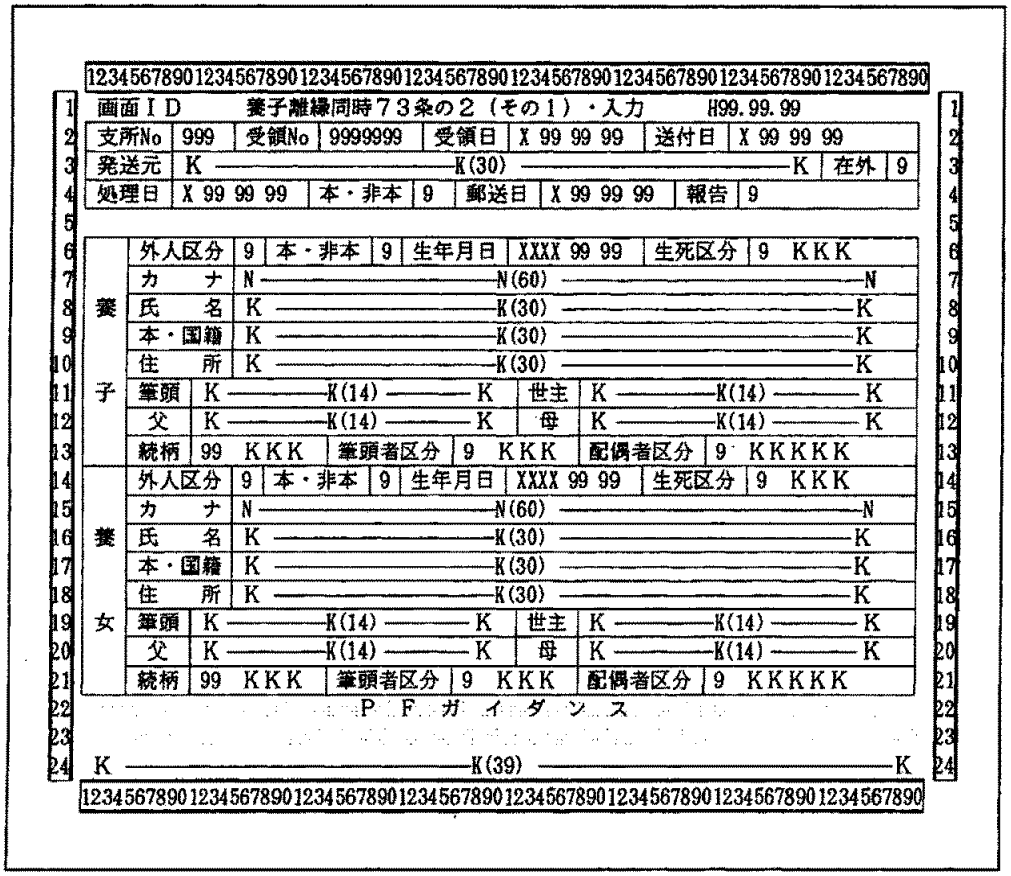


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　戸籍法73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍法73条の2届(その2)	

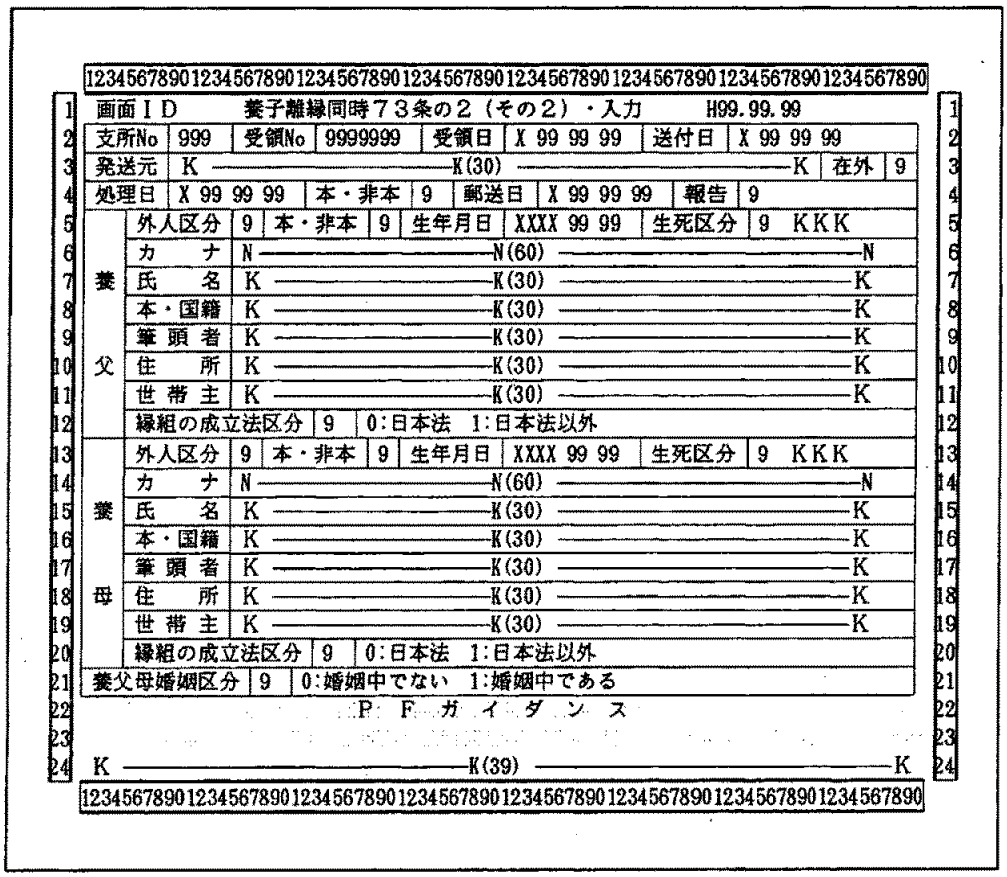



画面ＩＤ　養子離縁同時７３条の２　離縁形態入力　他　H99.99.99
養父
養母
養子
養女
※該当箇所に'Ｙ'を入れて下さい
離縁形態名称
15歳未満の養子離縁届の同時届書
0:無　1:親権者指定届　2:後見開始届
親後権見者人
氏名
本籍
筆頭者
親権の種別
1:協議　2:調停　3:審判
親権者指定届の場合の資格
001:父　002:母　010:養父　011:養母
協議者
資格
本非区分
生年月日
氏名
筆頭者
ＰＦガイダンス

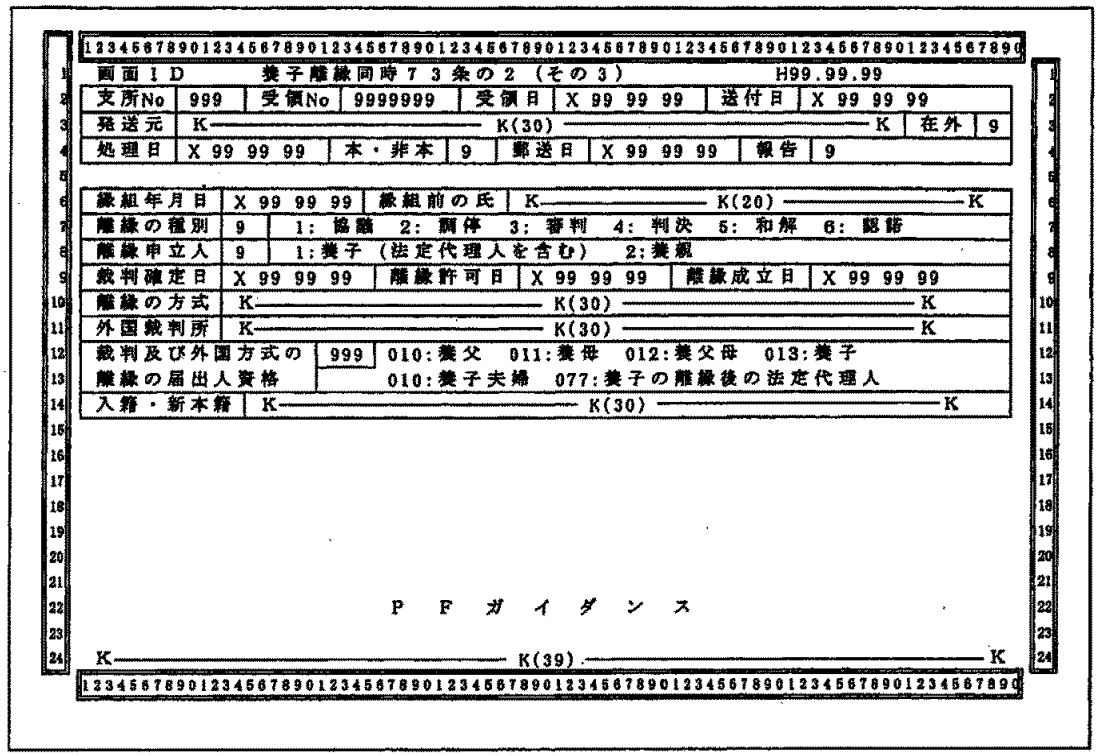
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁同時73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その1)・入力	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁同時73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その2)・入力	

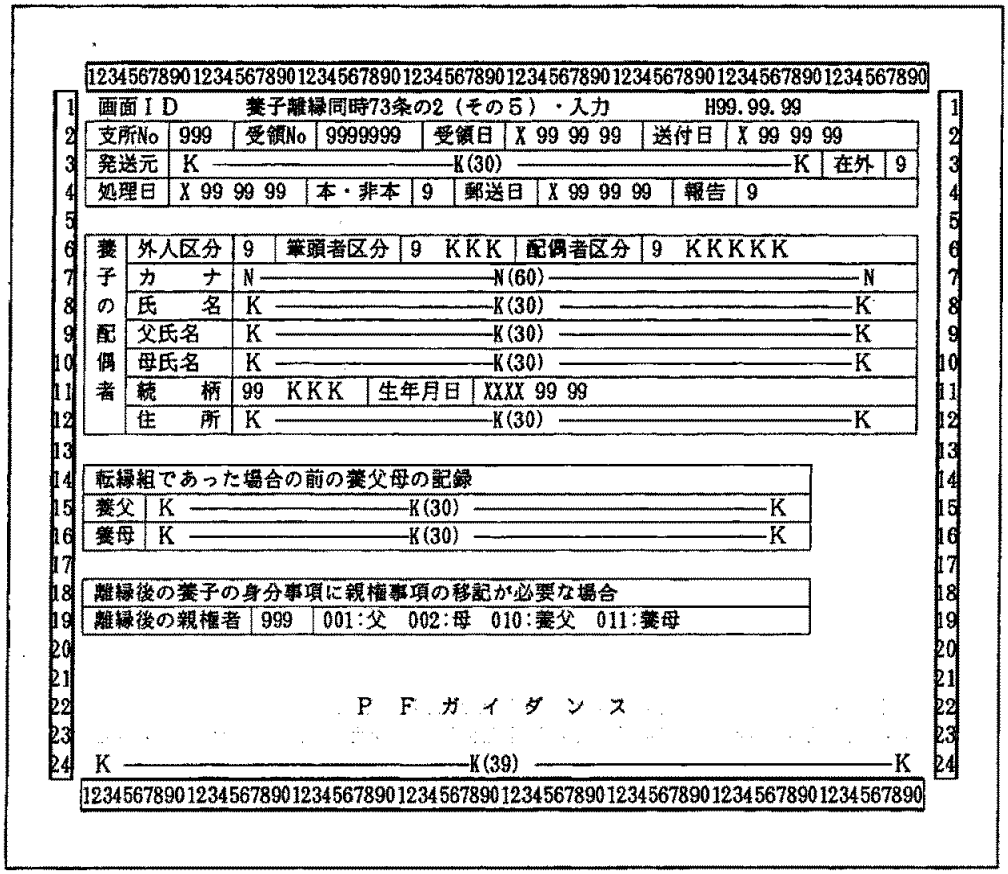


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/6
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
2.異動処理　養子離縁同時73条の2届		平成6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その3)・入力	

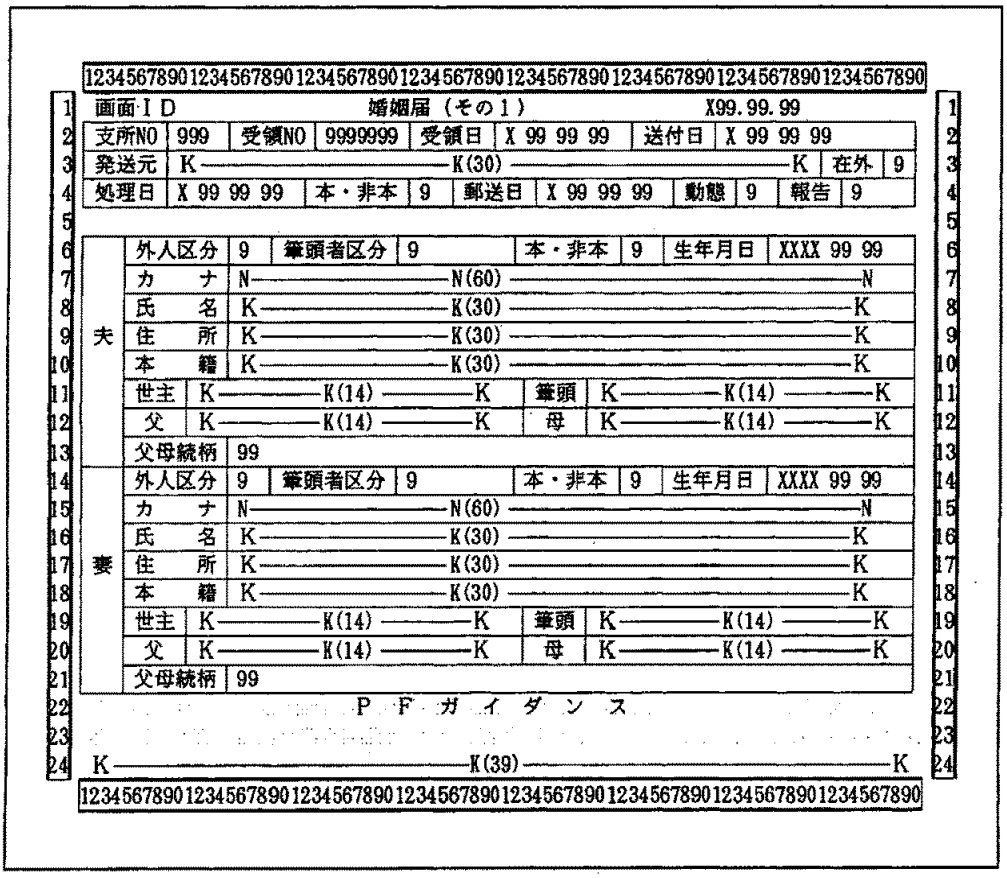


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		5/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁同時73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その4)・入力	

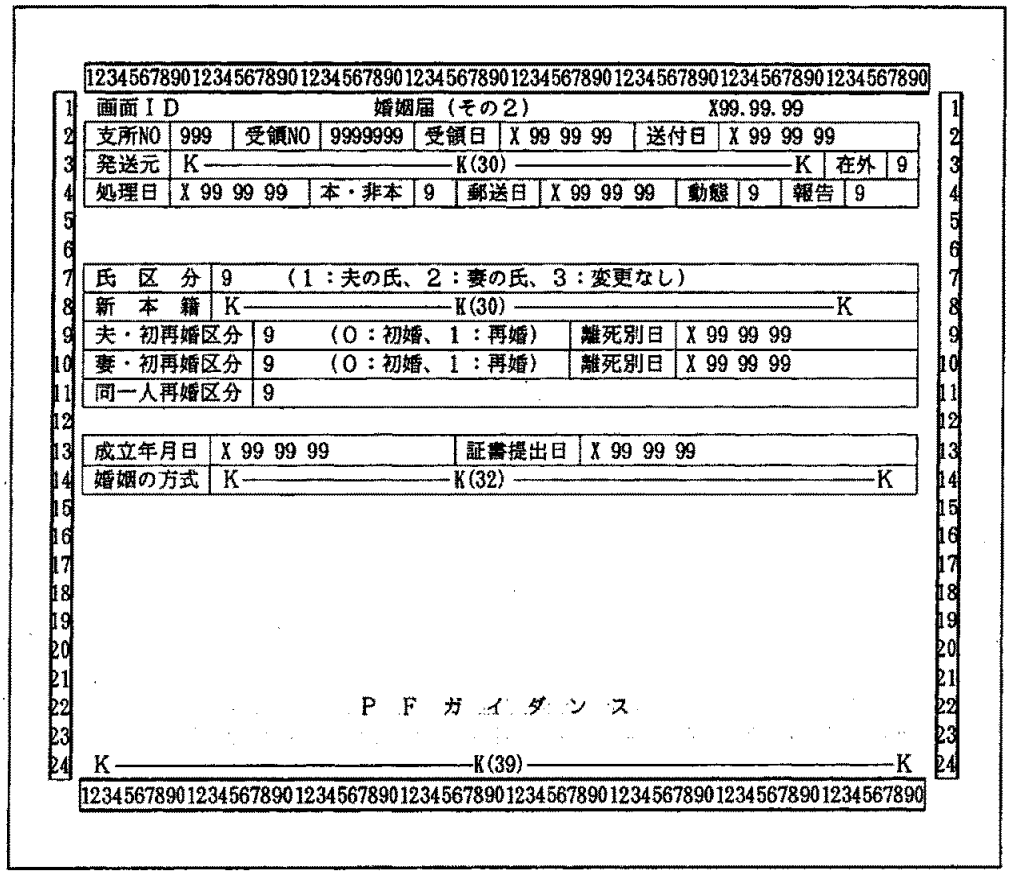
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		6/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　養子離縁同時73条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2(その5)・入力	



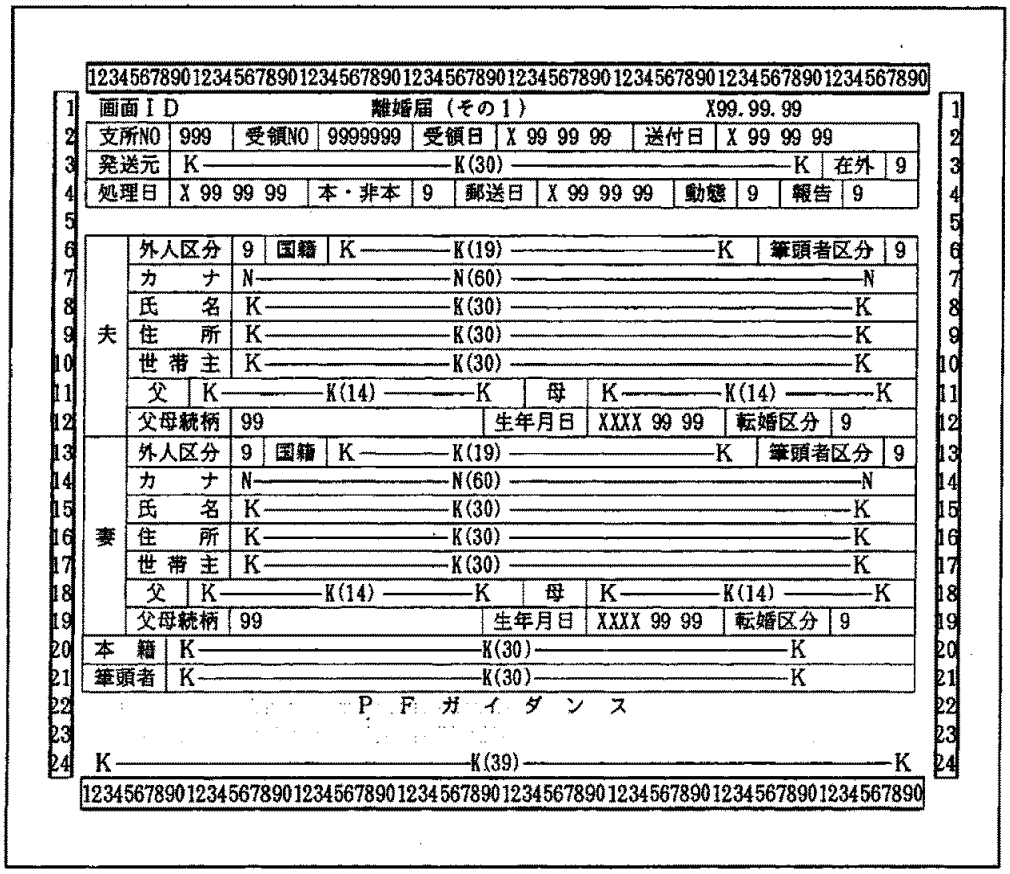
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　婚姻届(1/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	婚姻届(その1)	

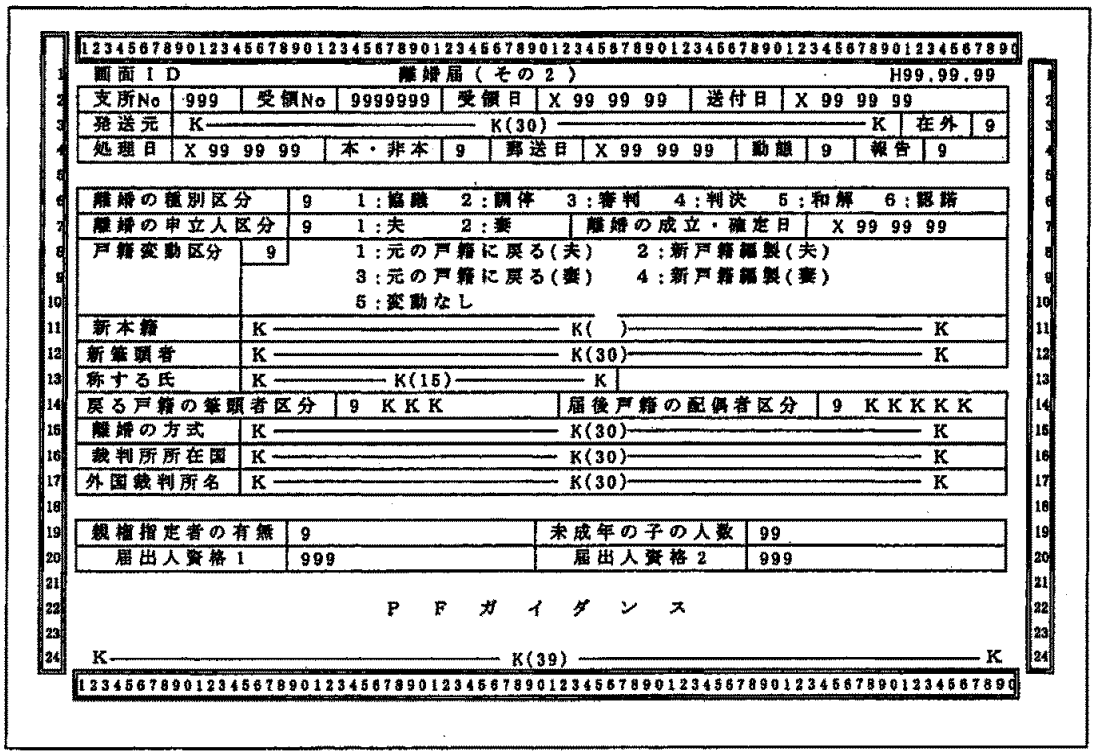


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　婚姻届(2/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	婚姻届(その2)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　離婚届(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	離婚届(その1)	

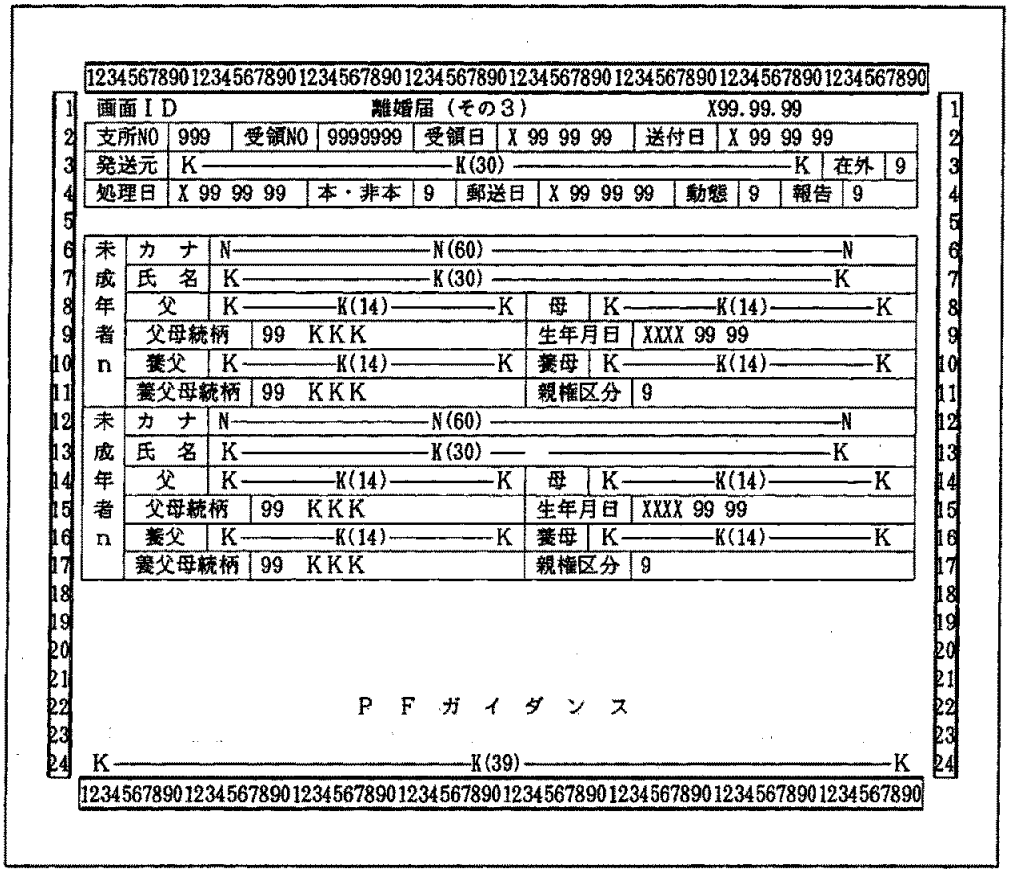



画面ＩＤ
離婚届（その２）
H99.99.99
支所No 999
受領No 9999999
受領日 X 99 99 99
送付日 X 99 99 99
発送元 K K(30) K
在外 9
処理日 X 99 99 99
本・非本 9
郵送日 X 99 99 99
動態 9
報告 9
離婚の種別区分 9 1：協議 2：調停 3：審判 4：判決 5：和解 6：認諾
離婚の申立人区分 9 1：夫 2：妻
離婚の成立・確定日 X 99 99 99
戸籍変動区分 9
1：元の戸籍に戻る(夫) 2：新戸籍編製(夫)
3：元の戸籍に戻る(妻) 4：新戸籍編製(妻)
5：変動なし
新本籍 K K( ) K
新筆頭者 K K(30) K
称する氏 K K(15) K
戻る戸籍の筆頭者区分 9 KKK
届後戸籍の配偶者区分 9 KKKKK
離婚の方式 K K(30) K
裁判所所在国 K K(30) K
外国裁判所名 K K(30) K
親権指定者の有無 9
未成年の子の人数 99
届出人資格１ 999
届出人資格２ 999
ＰＦガイダンス
K K(39) K

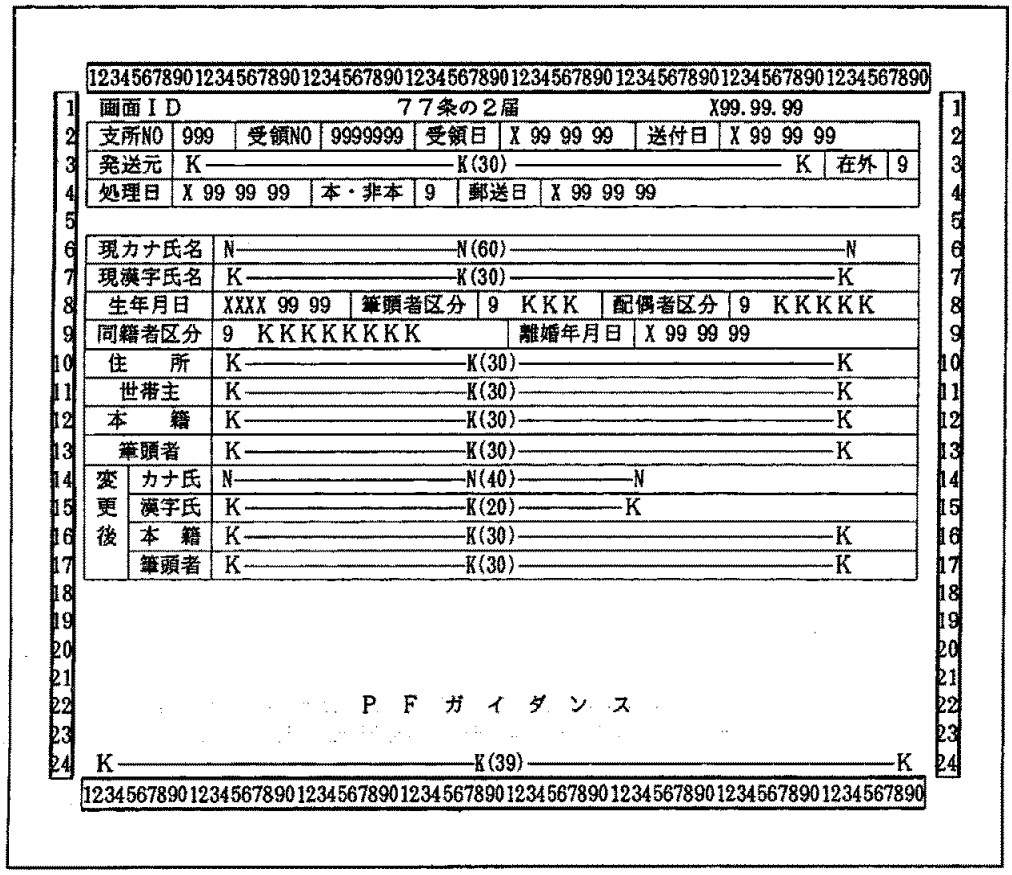
第5 5 (2)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　離婚届(3/3)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

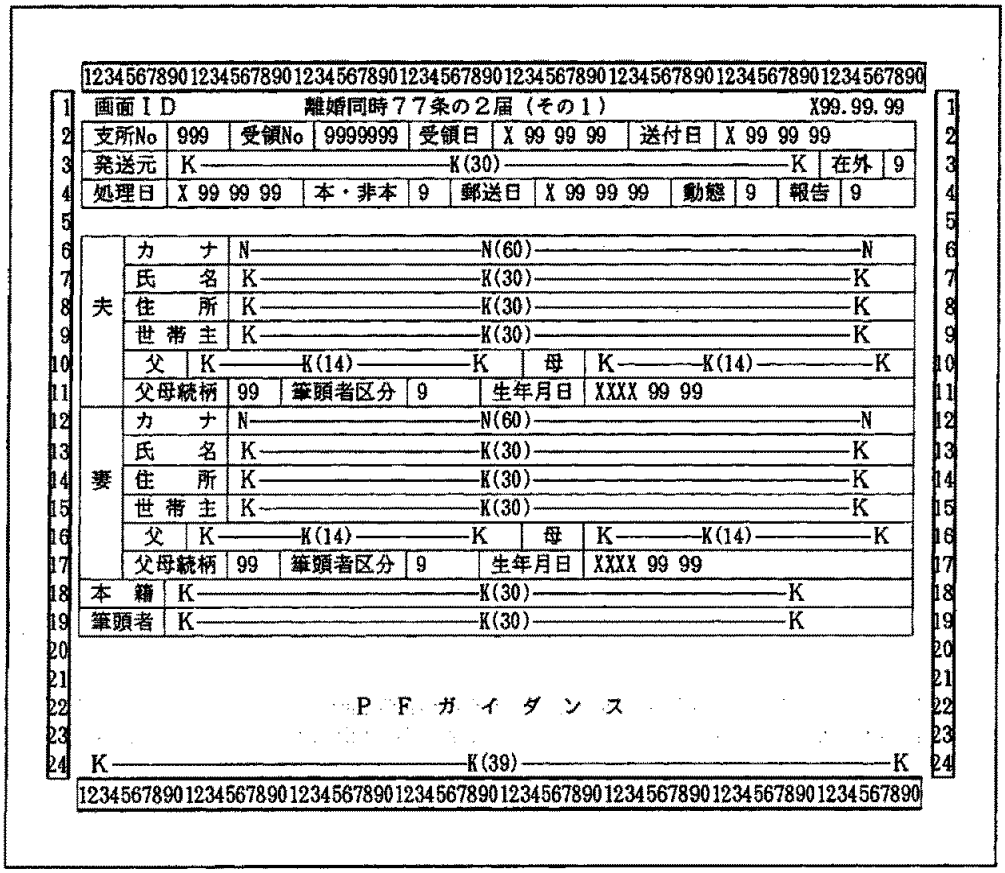
画面番号		画面名	離婚届(その3)



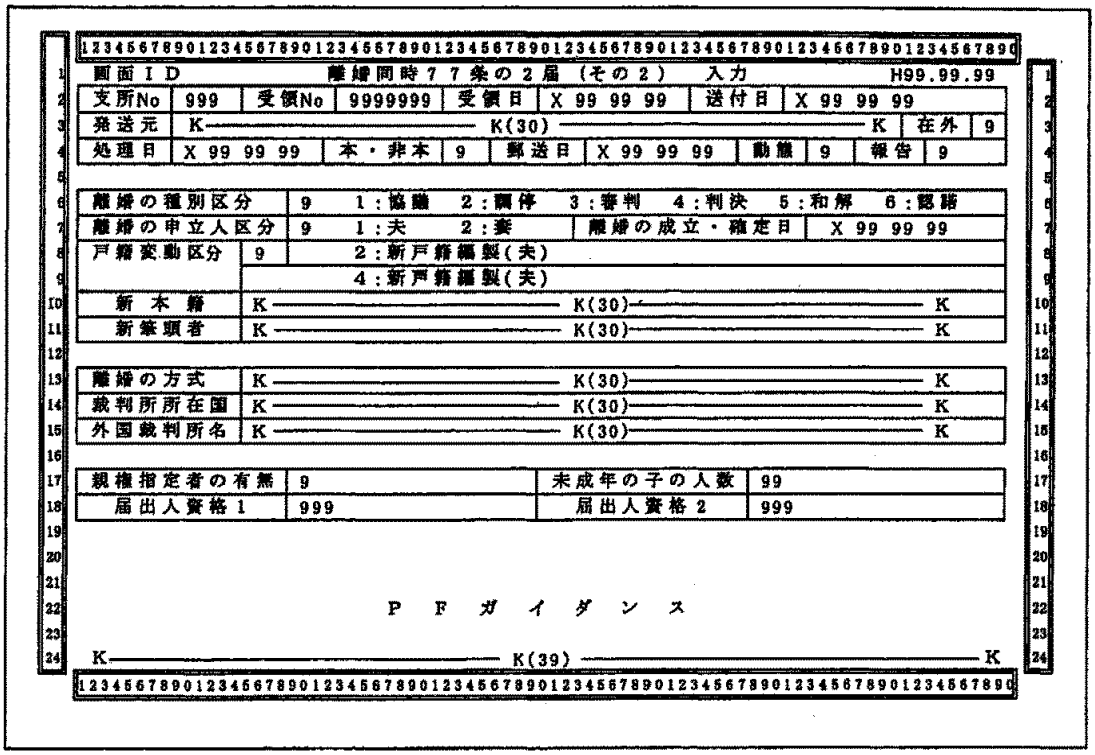
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　77条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	77条の2届	



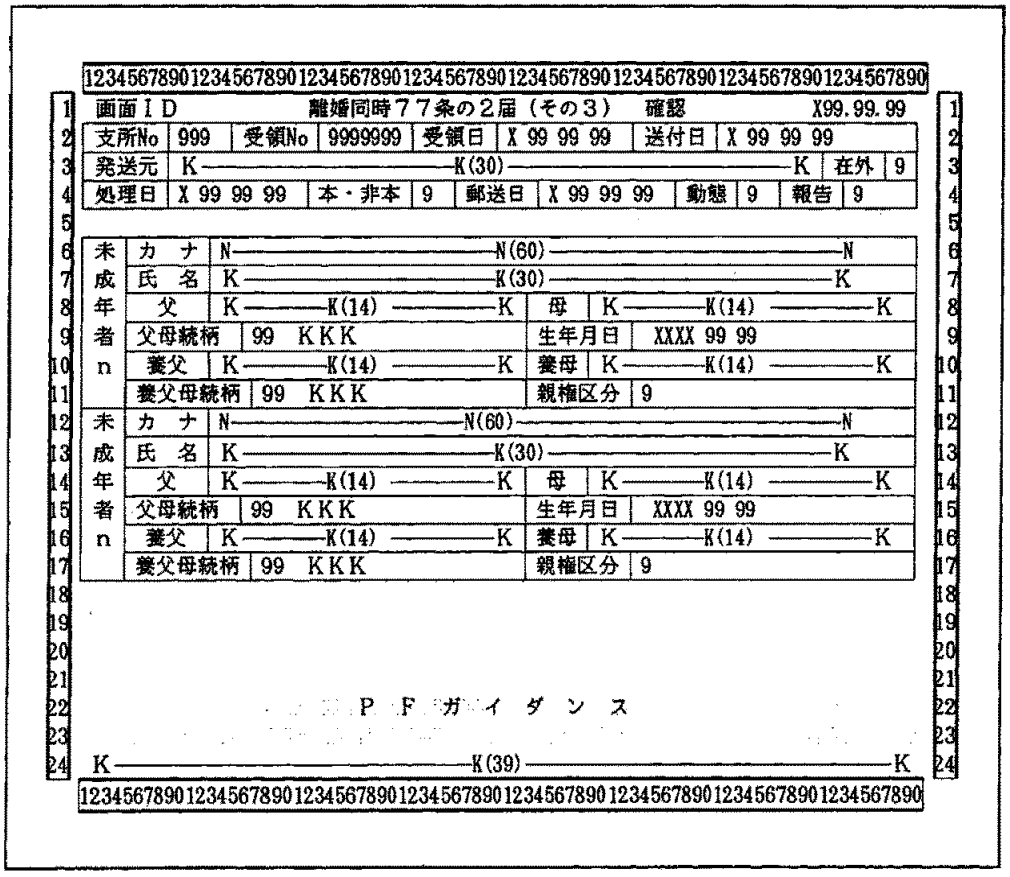
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　離婚同時77条の2届(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)	



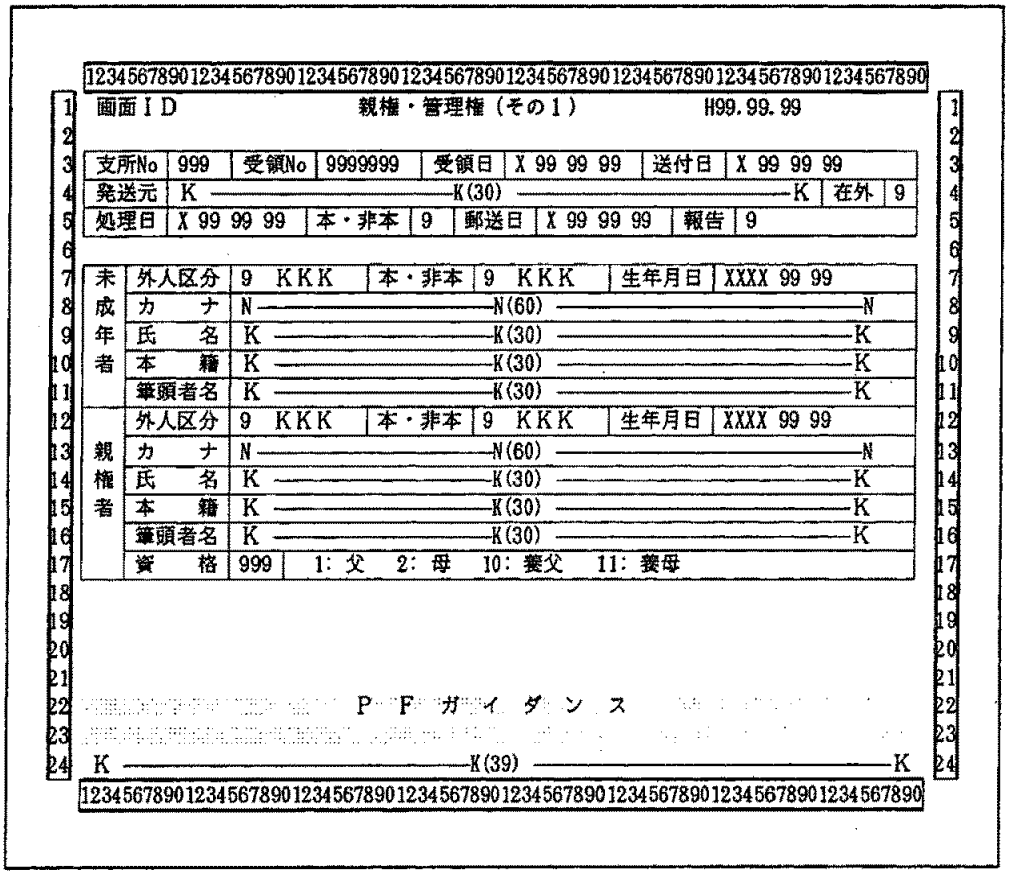
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
2.異動処理　離婚同時77条の2届(2/3)　入力		平成6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1
画面番号		画面名	離婚同時77条の2(その2)　入力	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　離婚同時77条の2届(3/3)　(確認)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その3)　確認	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　親権･管理権届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	親権･管理権(その1)	



画面ＩＤ　　親権・管理権　（その２）　　H99.99.99

支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99		
発送元	K	K(30)					K	在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99	報告	9		

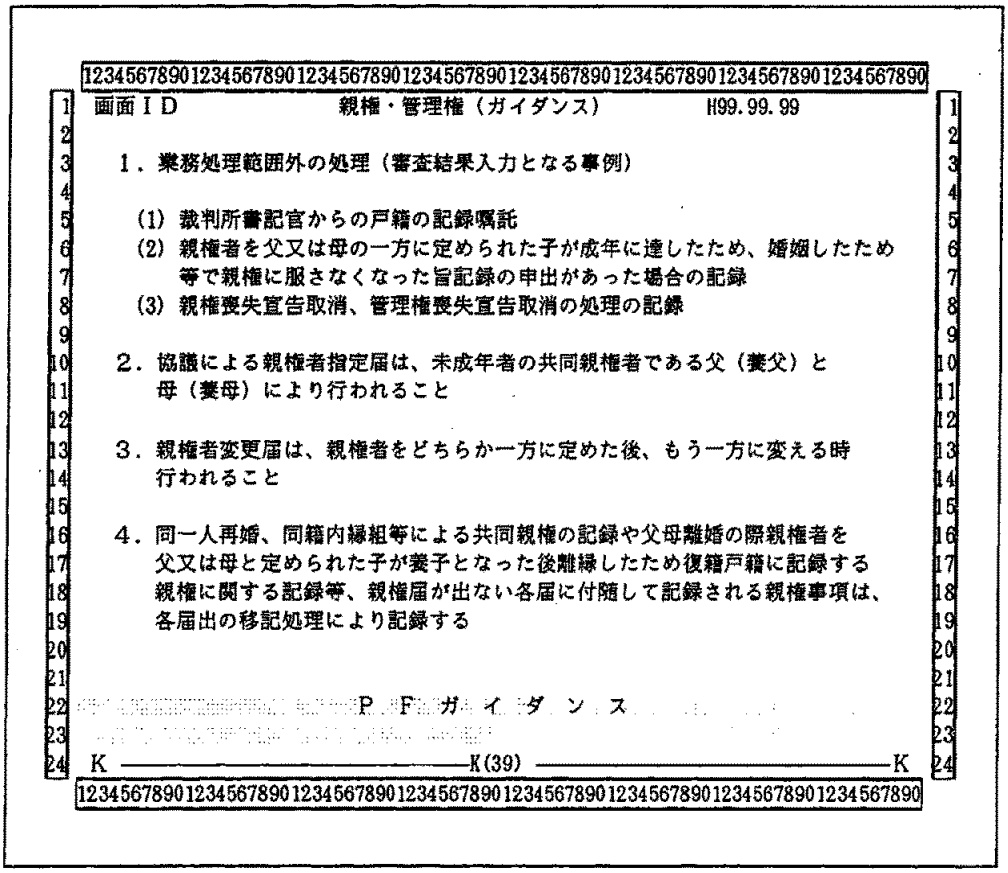
届出事件	9	1: 親権者指定　2: 親権者変更 4: 親権辞任　5: 親権回復 7: 管理権辞任　8 管理権回復
種別	9	1: 協議　2: 調停（成立） 3: 許可の審判　4: 審判（確定）　審判／調停日 X 99 99 99
関連事件発生日	X 99 99 99	（養子離縁の時に入力）

届出人							
1: 父　2: 母　10: 養父　11: 養母　82: 親族							
資格 1	999						
氏名 1	K	K(30)					K
協議者	資格	999	外人区分	9	本非区分	9	生年月日 XXXX 99 99
	カナ	N	N(60)				N
	氏名	K	K(30)				K
	本籍	K	K(30)				K

ＰＦガイダンス

K　K(39)　K

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　親権･管理権届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	親権･管理権ガイダンス画面	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
2.異動処理　未成年後見		平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1
画面番号		画面名	未成年後見届(その1)	

画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（その１）　　H99.99.99

支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K——K(30)——K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99		

被後見人	外人区分	9　ＫＫＫ	本・非本	9　ＫＫＫ	生年月日	XXXX 99 99
	カナ	N——N(60)——N				
	氏名	K——K(30)——K				
	本籍	K——K(30)——K				
	筆頭者名	K——K(30)——K				
後見人	外人区分	9　ＫＫＫ	本・非本	9　ＫＫＫ	生年月日	XXXX 99 99
	区分	9　1：未成年後見人　2：未成年後見監督人				
	カナ	N——N(60)——N				
	氏名	K——K(30)——K				
	本籍	K——K(30)——K				
	筆頭者名	K——K(30)——K				
	資格	999　1：父　2：母				
	法人住所	K——K(100)——K				

※後見人が法人の場合、法人住所が必須入力であること。後見人が法人で無い場合、法人住所は未入力であること。

Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス

K——K(39)——K

画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（その２）　　H99.99.99

支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99		
発送元	K ―― K(30) ―― K							在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99				

届出事件	原因 99	
	開始（就職）	11：親権行使者不在　12：親権行使者管理権喪失 16：未成年後見監督人就職
	終了	32：親権者親権回復　33：親権者管理権回復 37：未成年被後見人成人　38：未成年被後見人親権に服する 39：未成年後見監督人任務終了
	開始日	X 99 99 99　　就職日　X 99 99 99
	終了日	X 99 99 99
届出人	110：未成年後見人　112：未成年後見監督人 113：後任未成年後見人　114：後任未成年後見監督人	
	資格	999
	氏名	K ―― K(30) ―― K

ＰＦガイダンス

K ―― K(39) ―― K

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
2.異動処理　未成年後見届		平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

画面番号		画面名	未成年後見届(ガイダンス)

画面ＩＤ　　未　成　年　後　見（ガイダンス）　　H99.99.99

１．業務処理範囲外の処理（審査結果入力となる事例）
（1）裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託があった場合の記録。
（2）未成年被後見人が、婚姻したため、成年に達したため等の申出による記録。
（3）未成年被後見人が、養子縁組、養子離縁、婚姻等の届書のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記載して届出があった場合の記録。
（4）未成年者からの届出があった場合の記録。
（5）複数の未成年後見人から届出があった場合の記録。
（6）複数の未成年後見人事項の記載がある人のいる戸籍に届出があった場合の記録。
（7）未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録。

２．未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人、保佐人又は補助人、破産者、未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族、行方の知れない者は、未成年後見人（未成年後見監督人）となることができない。

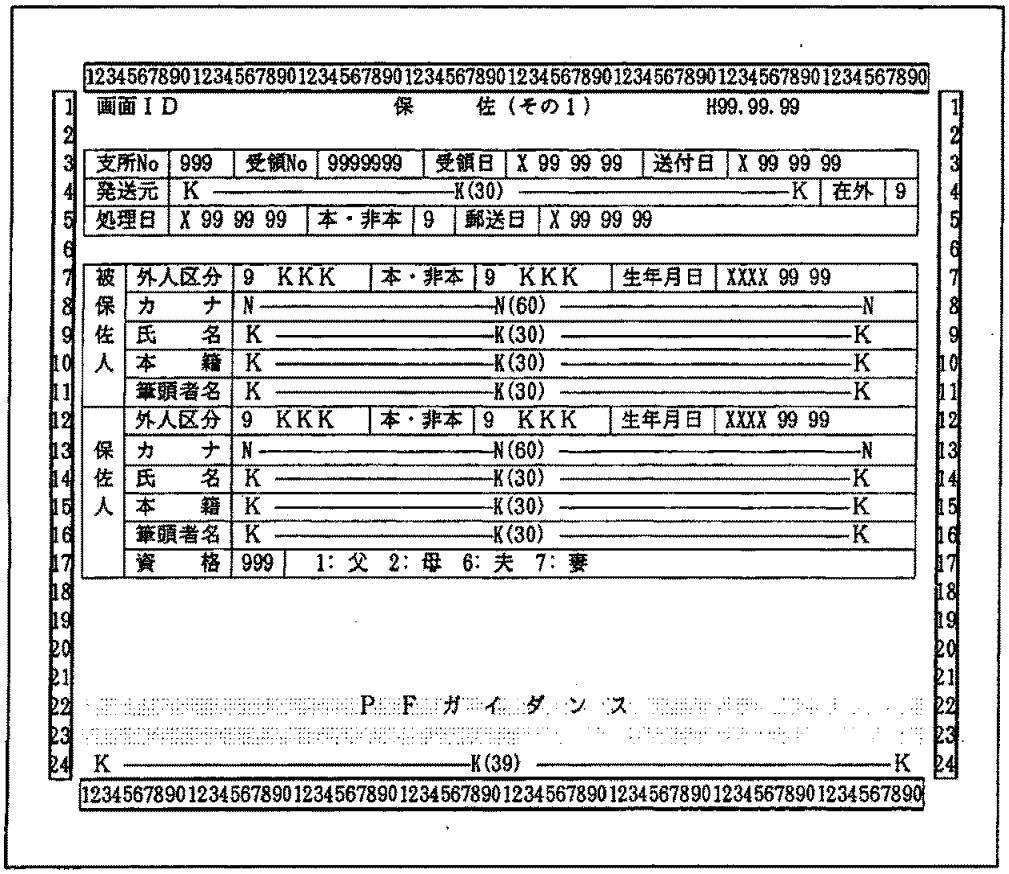
３．未成年後見人の配偶者、直系血族及び兄弟姉妹は、未成年後見監督人となることができない。

４．未成年後見監督人は、未成年後見人が就職してから就職すること。

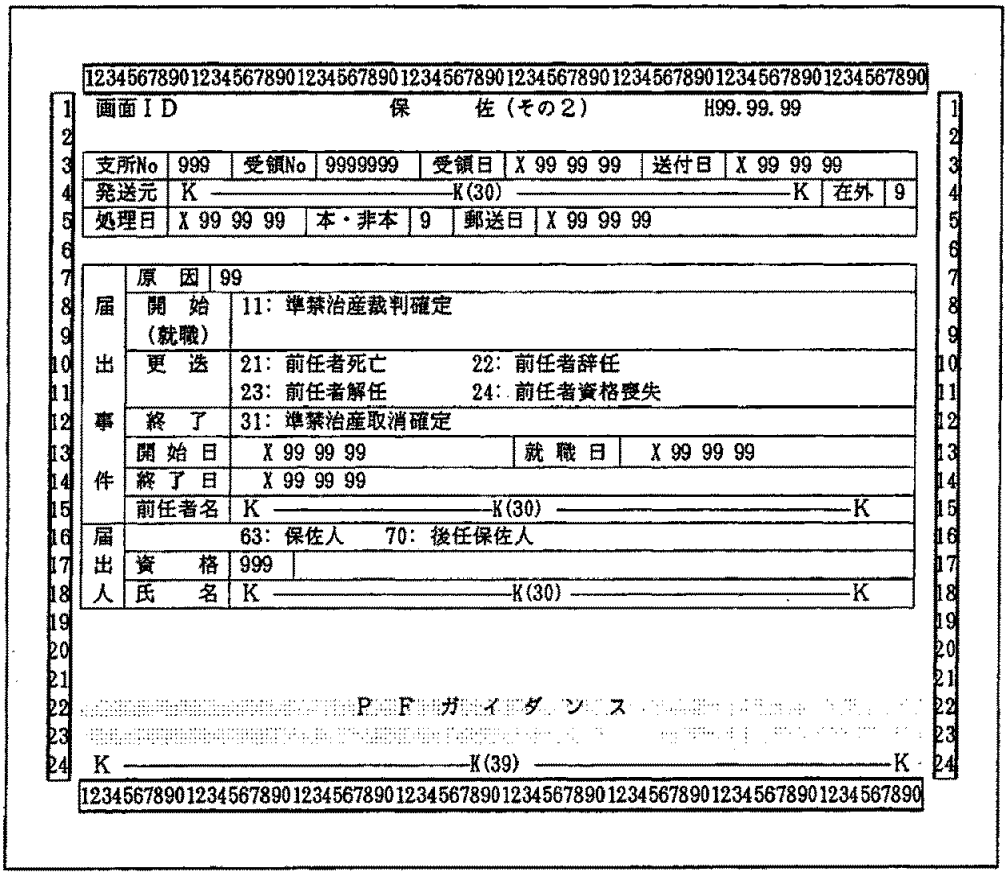
Ｐ　Ｆ　ガ　イ　ダ　ン　ス

K ―― K(39) ―― K

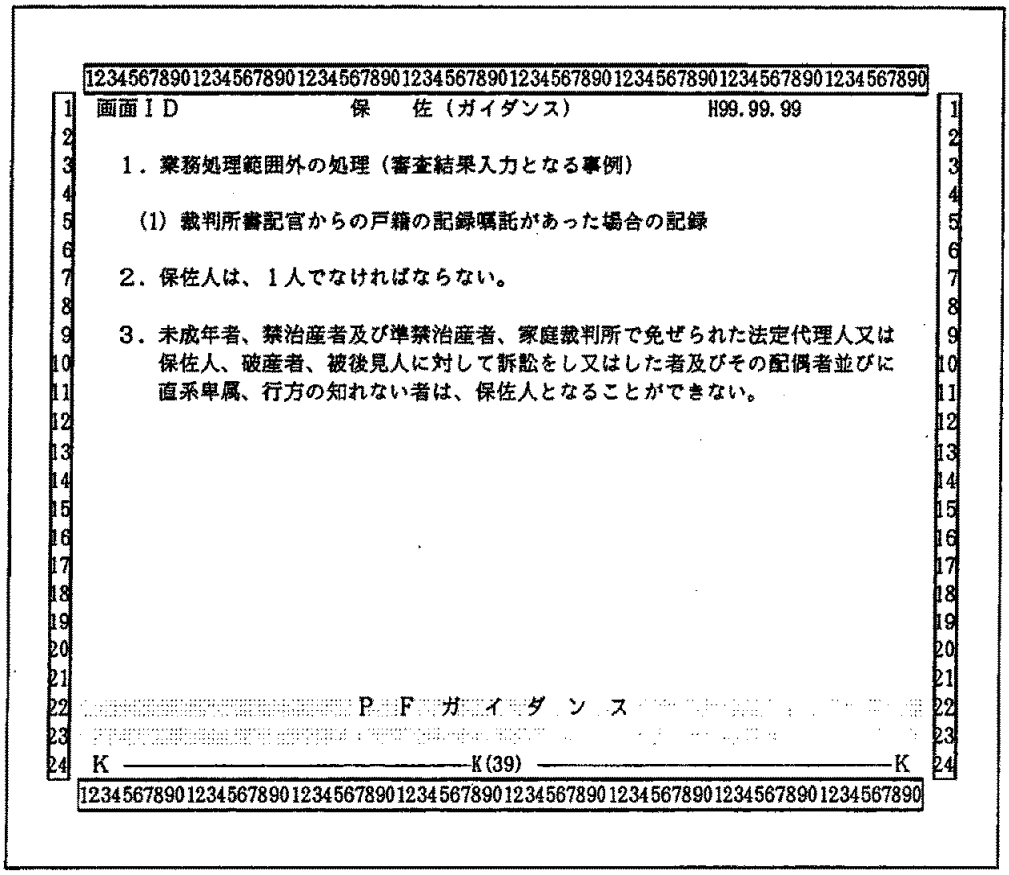
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　保佐		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	保佐届(その1)	



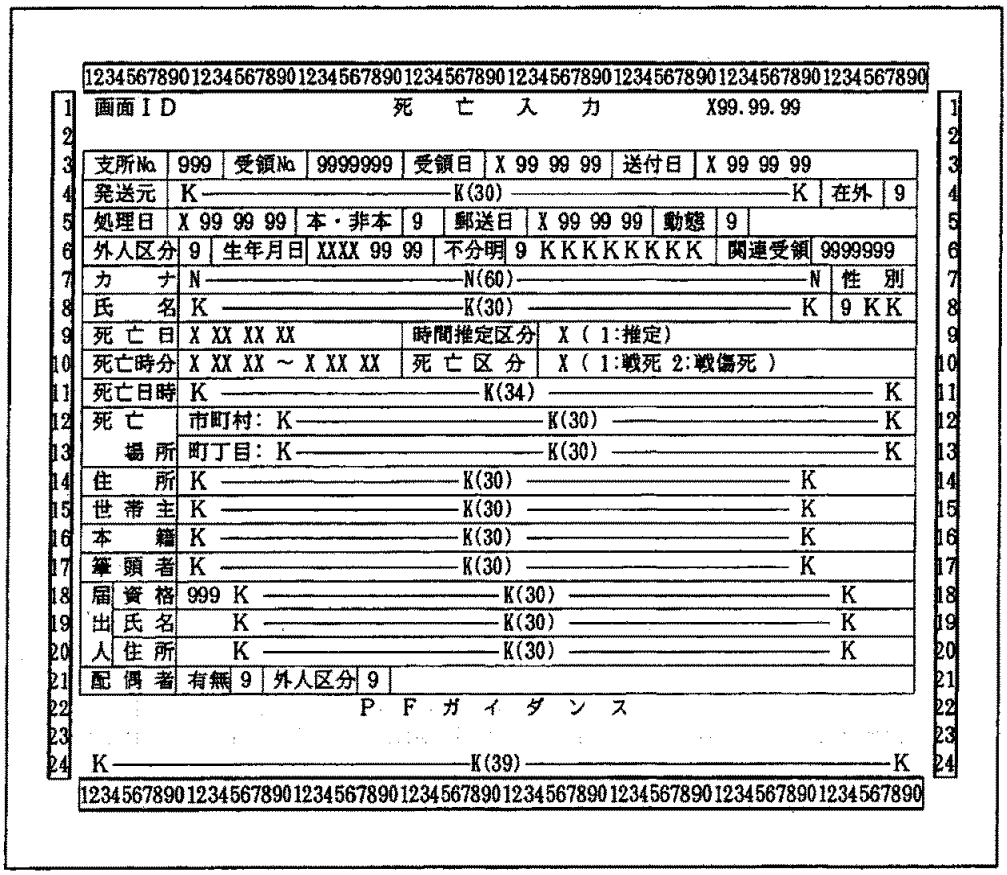
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　保佐		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	保佐届(その2)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　保佐		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	保佐届ガイダンス	



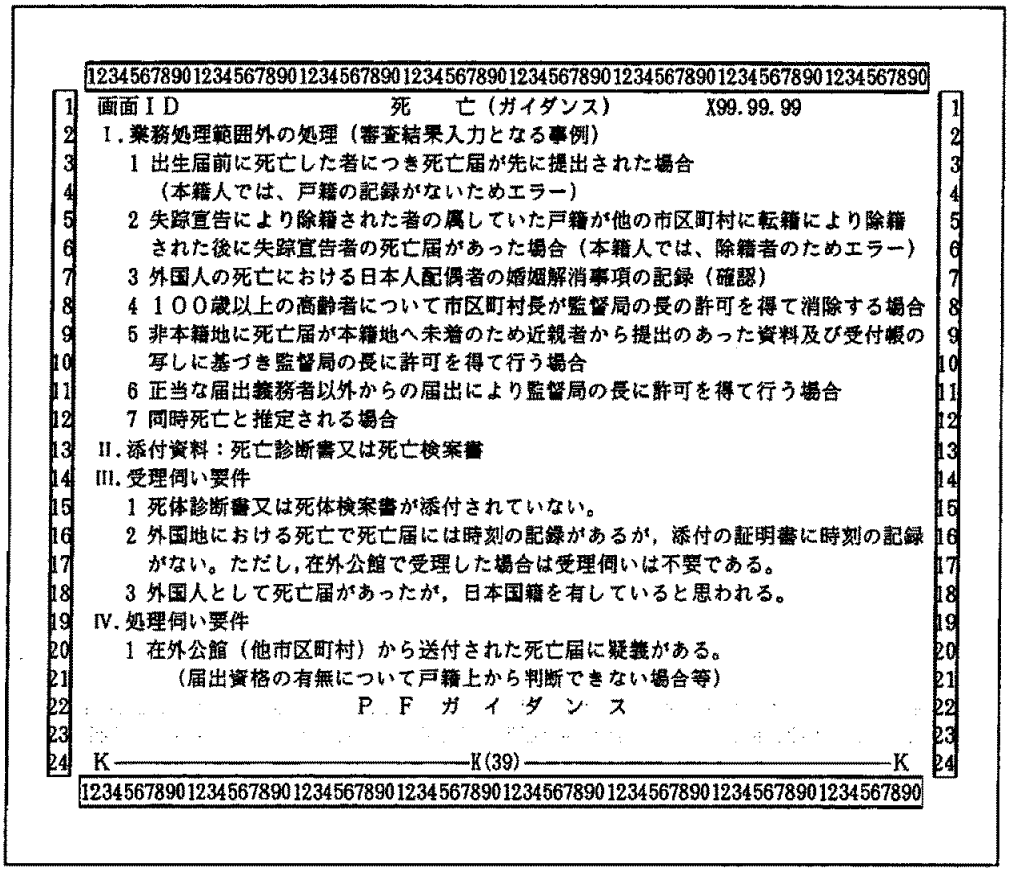
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　死亡届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	死亡届	



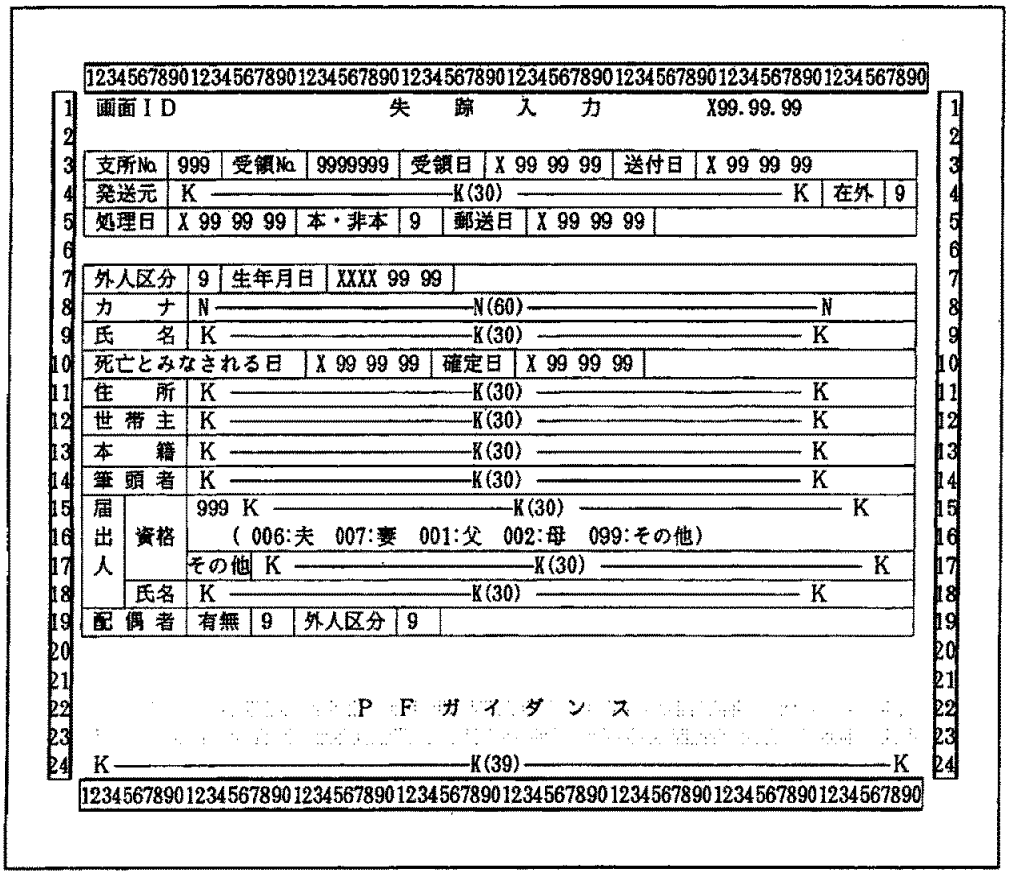
[本籍不分明区分]
　0:死亡届
　1:92条Ⅰの報告
　2:92条Ⅱの報告
　3:92条Ⅲの届出
　4:身元不明の死亡届
　5:本籍分明(本籍分明届、追完届)

[届出人資格]
　83:同居の親族
　84:同居していない親族
　85:同居者
　86:家主
　87:地主
　88:家屋管理人
　89:土地管理人
　92:船長からの航海日誌の謄本提出[法93条(55条)]
　93:公設所の長の届出[法93条(56条)] ○○所長/院長
　94:公設所の長の報告[法90条] ○○刑務所長/拘置所長
　95:取調官庁及び公署の報告[法89条] ○○署長/○○知事
　96:警察官の報告[法92条1項、2項] ○○署長
　99:その他(公路死亡等)

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　死亡届(ガイダンス)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	死亡届(ガイダンス)	



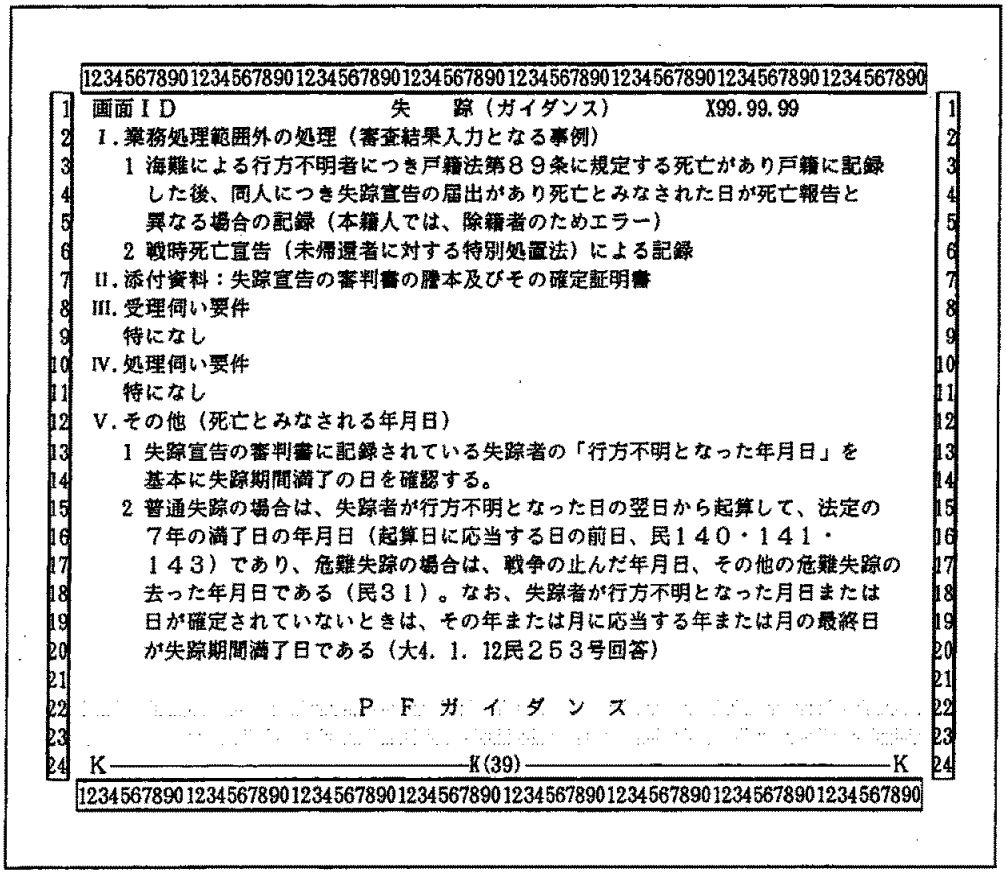
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　失踪届(1/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	失踪届	



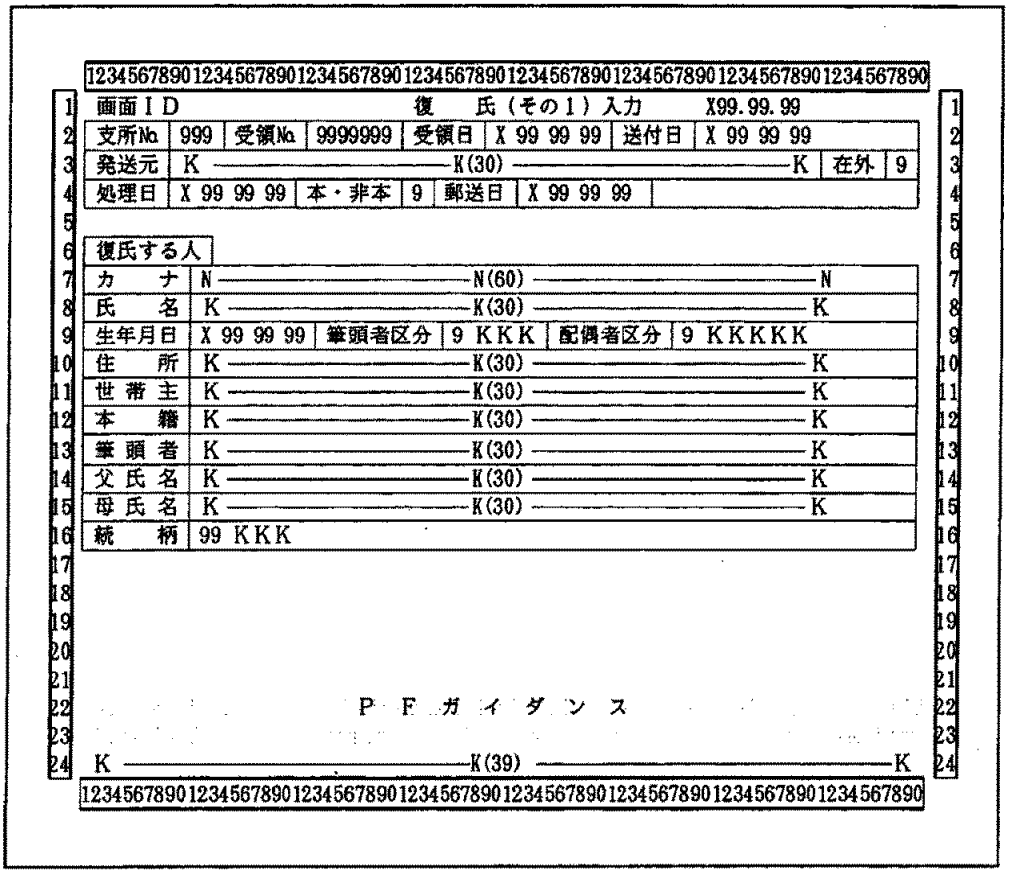
(参考)
『利害関係者』
- ・推定相続人
- ・配偶者
- ・財産管理者
- ・受遺者
- ・保険金受取人

［届出資格］ 099:その他　何何企業代表理事

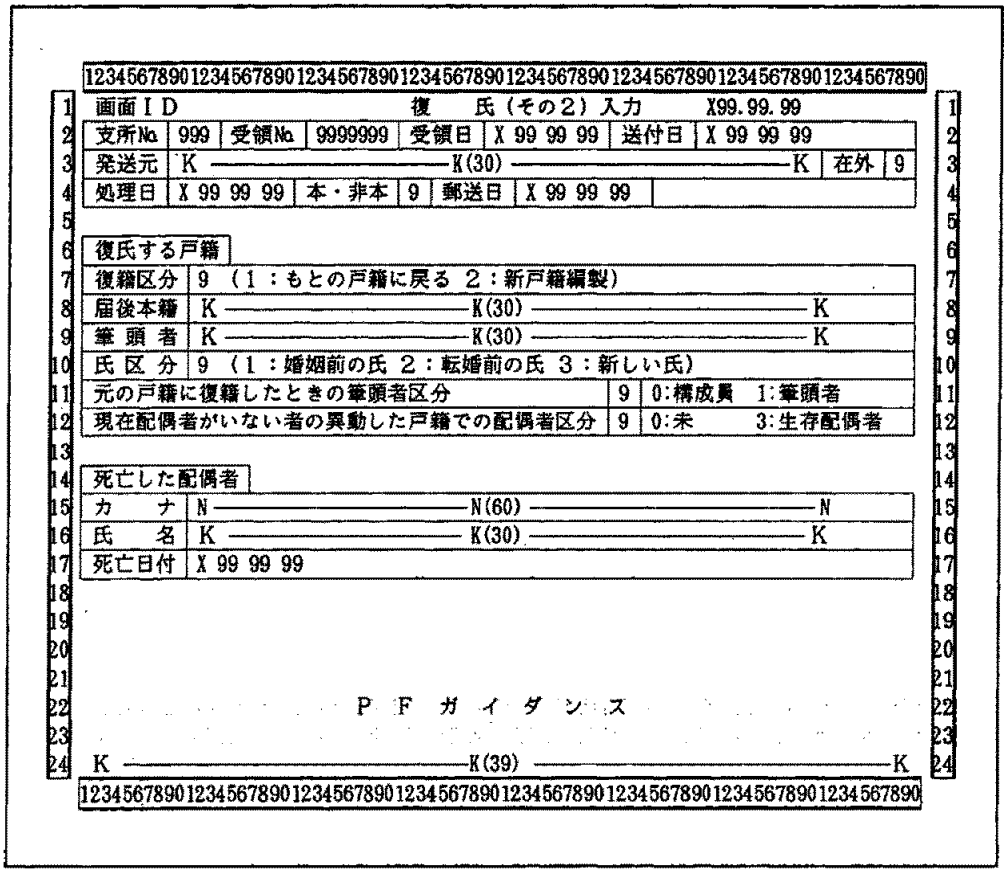
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　失踪届(2/2)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	失踪届(ガイダンス)	



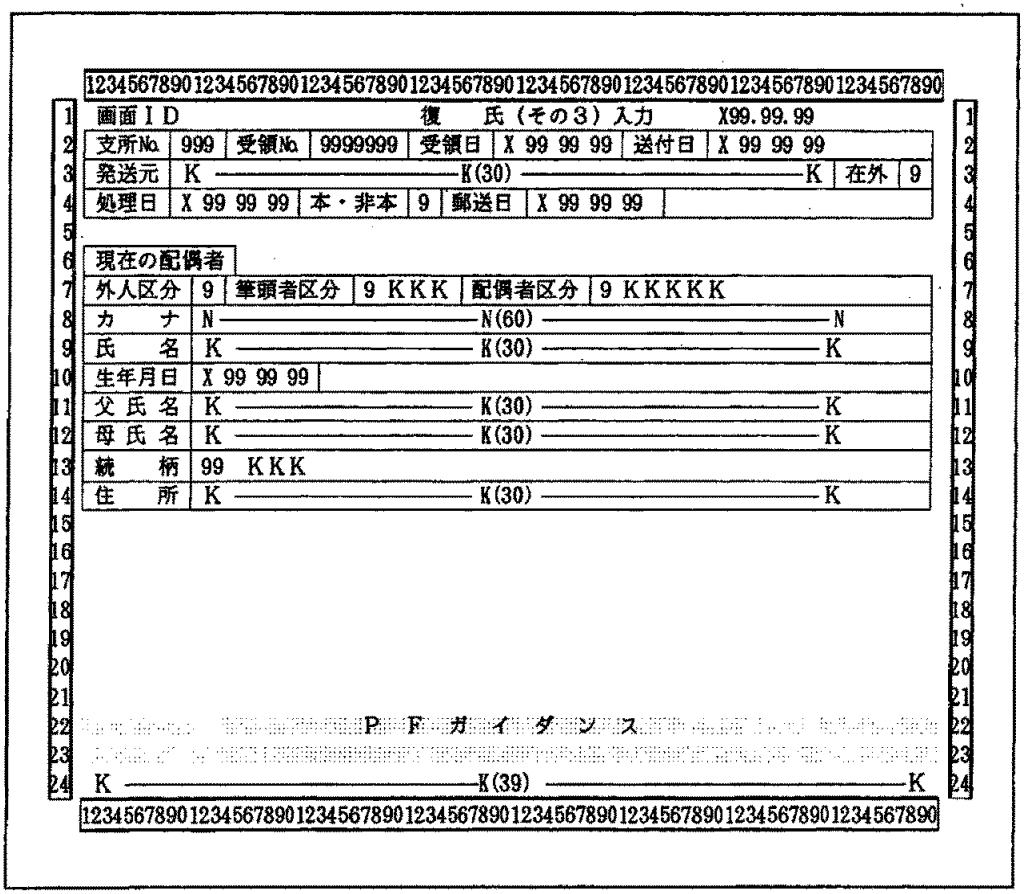
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　復氏届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	復氏届(その1)	



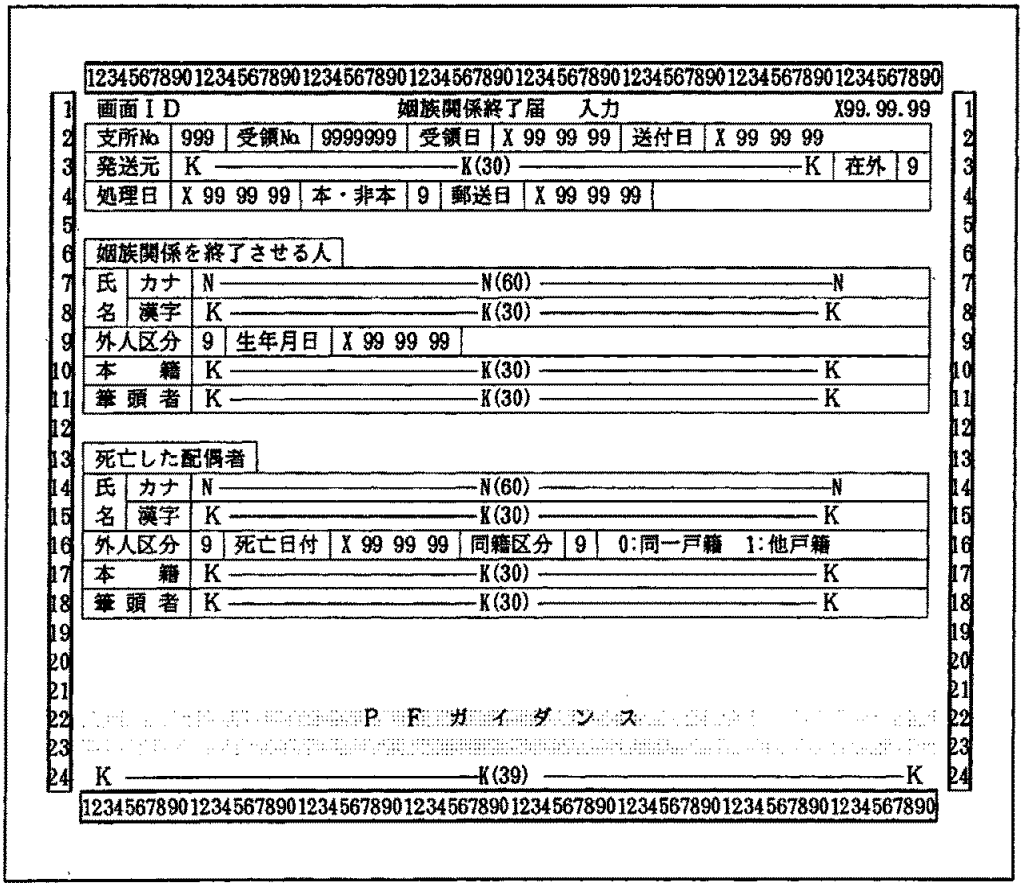
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　復氏届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	復氏届(その2)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　復氏届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	復氏届(その3)	



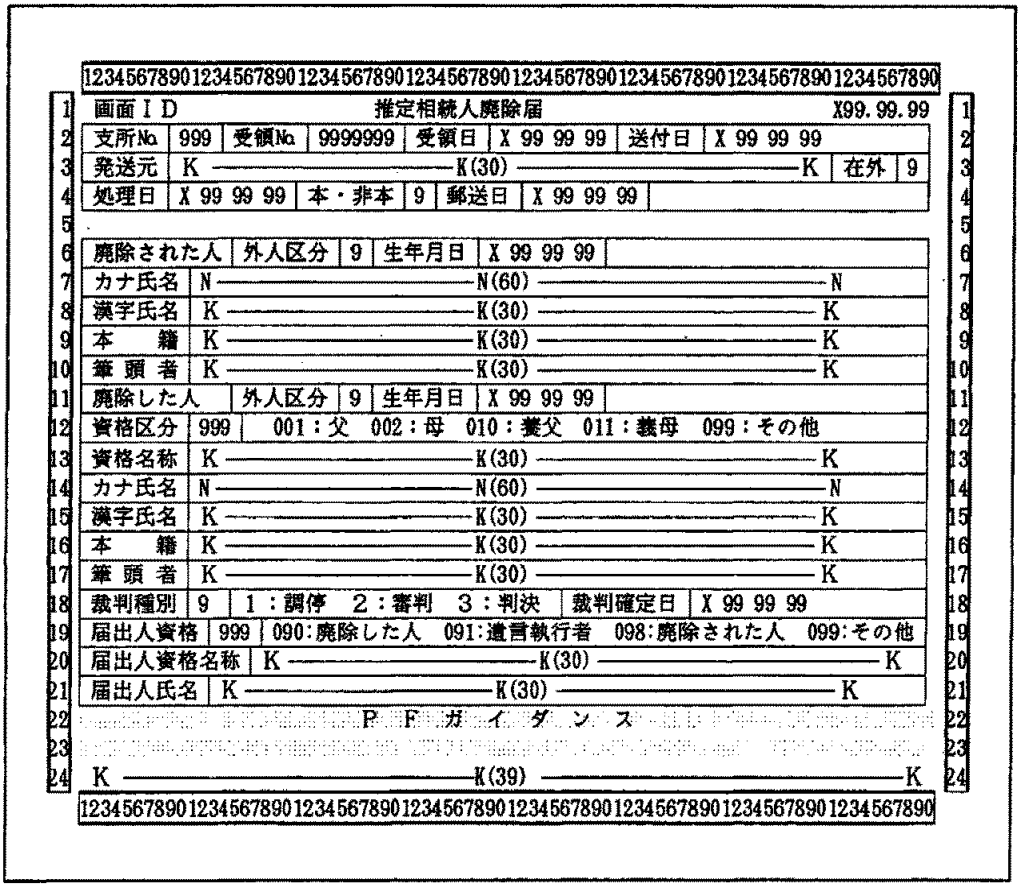
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　姻族関係終了届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	姻族関係終了届	



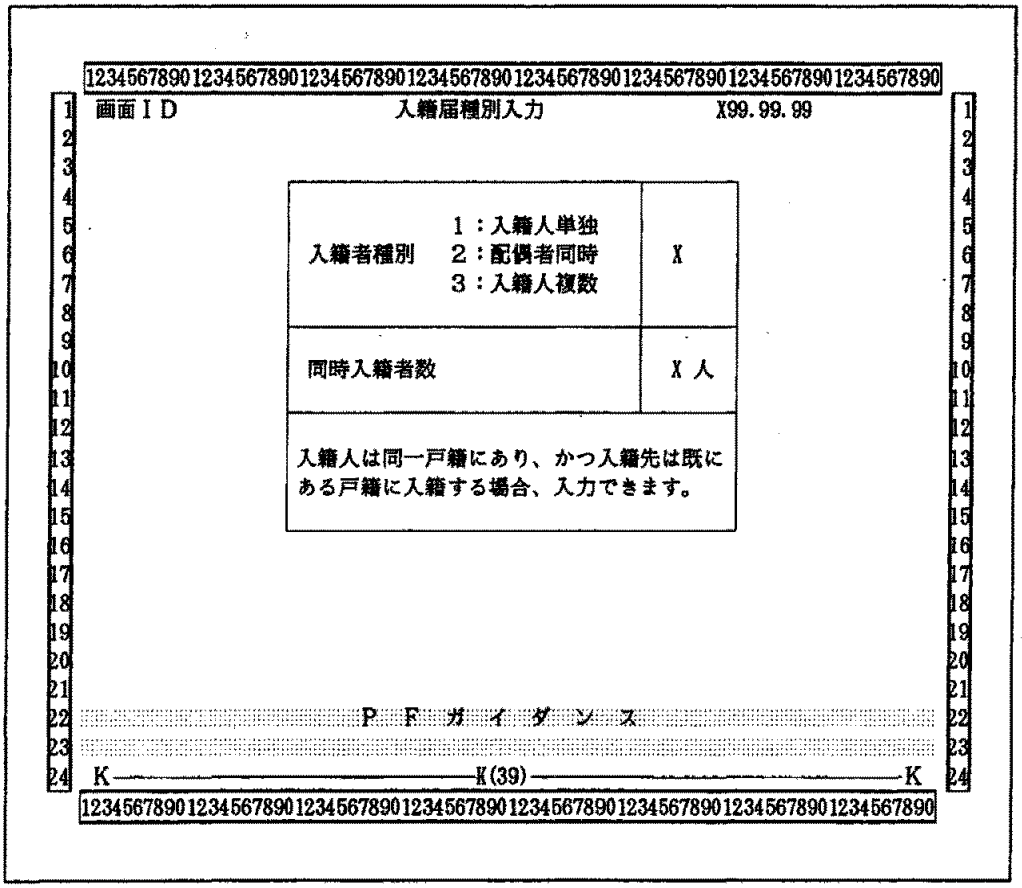
第5 5 (2)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

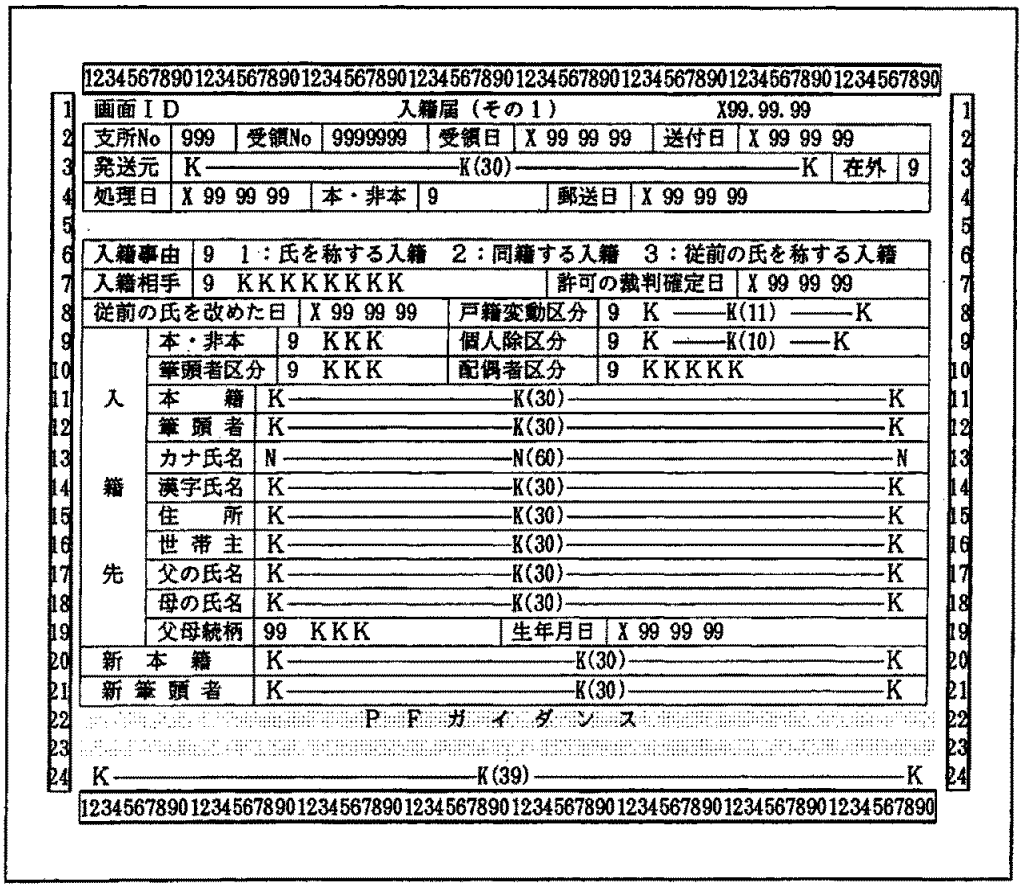
適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　推定相続人廃除届	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	推定相続人廃除届



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　入籍届種別入力		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	入籍届種別入力	





入籍事由　　1:氏を称する入籍,2:同籍する入籍,3:従前の氏を称する入籍

入籍相手　　1:無,2:父,3:母,4:父母,5:養父,6:養母,7:養父母,8:父及び養母,9:母及び養父

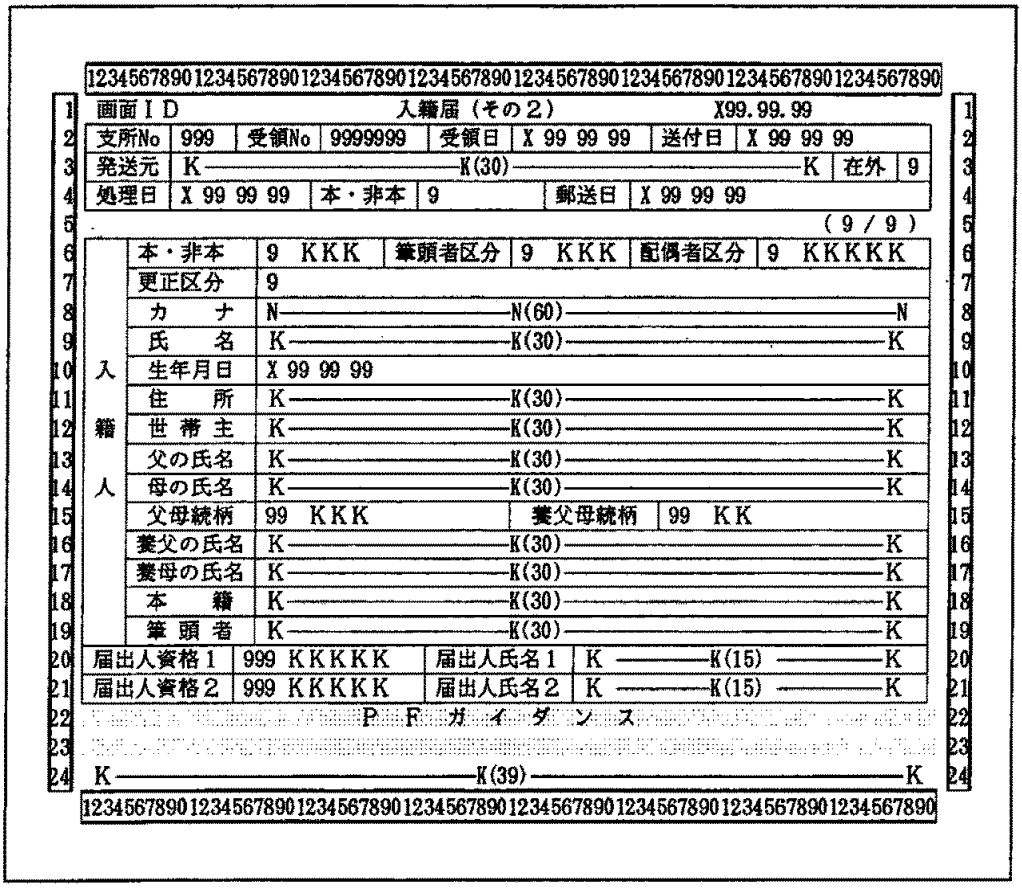
戸籍変動区分　　1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる

入籍先本･非区分　1:本籍,2:非本籍

入籍先個人除区分　0:在籍者,1=除籍者,2:戸籍消除者,3:消除者,4:消除及び除籍者

入籍先筆頭者区分　0:構成員,1:筆頭者

入籍先配偶者区分　スペース:未入力,0:未婚,1:夫,2:妻,3:生存配偶者



画面ＩＤ		入籍届（その２）		X99.99.99		
支所No	999	受領No	9999999	受領日	X 99 99 99	送付日	X 99 99 99
発送元	K——K(30)——K					在外	9
処理日	X 99 99 99	本・非本	9	郵送日	X 99 99 99		

（９／９）

入籍人	本・非本	9 KKK	筆頭者区分	9 KKK	配偶者区分	9 KKKKK
	更正区分	9				
	カナ	N——N(60)——N				
	氏名	K——K(30)——K				
	生年月日	X 99 99 99				
	住所	K——K(30)——K				
	世帯主	K——K(30)——K				
	父の氏名	K——K(30)——K				
	母の氏名	K——K(30)——K				
	父母続柄	99 KKK	養父母続柄	99 KK		
	養父の氏名	K——K(30)——K				
	養母の氏名	K——K(30)——K				
	本籍	K——K(30)——K				
	筆頭者	K——K(30)——K				
届出人資格１	999 KKKKK	届出人氏名１	K——K(15)——K			
届出人資格２	999 KKKKK	届出人氏名２	K——K(15)——K			

ＰＦガイダンス

K——K(39)——K

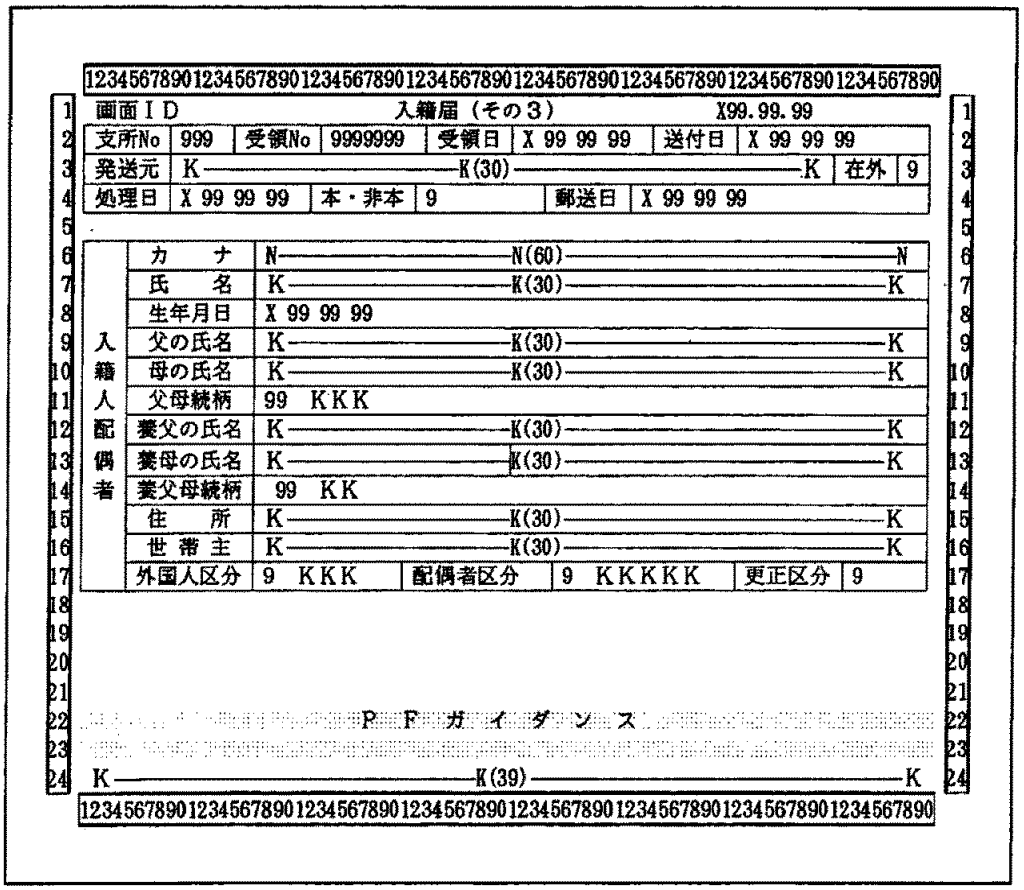
入籍人本･非区分　1:本籍,2:非本籍

入籍人筆頭者区分　0:構成員,1:筆頭者

入籍人配偶者区分　0:未婚,1:夫,2:妻,3:生存配偶者

更正区分　1:無,2:父,3:母,4:父母,5:養父,6:養母,7:養父母,8:父及び養母,9:母及び養父

届出人資格　009:配偶者,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,030:後見人,098:事件本人,000:未入力

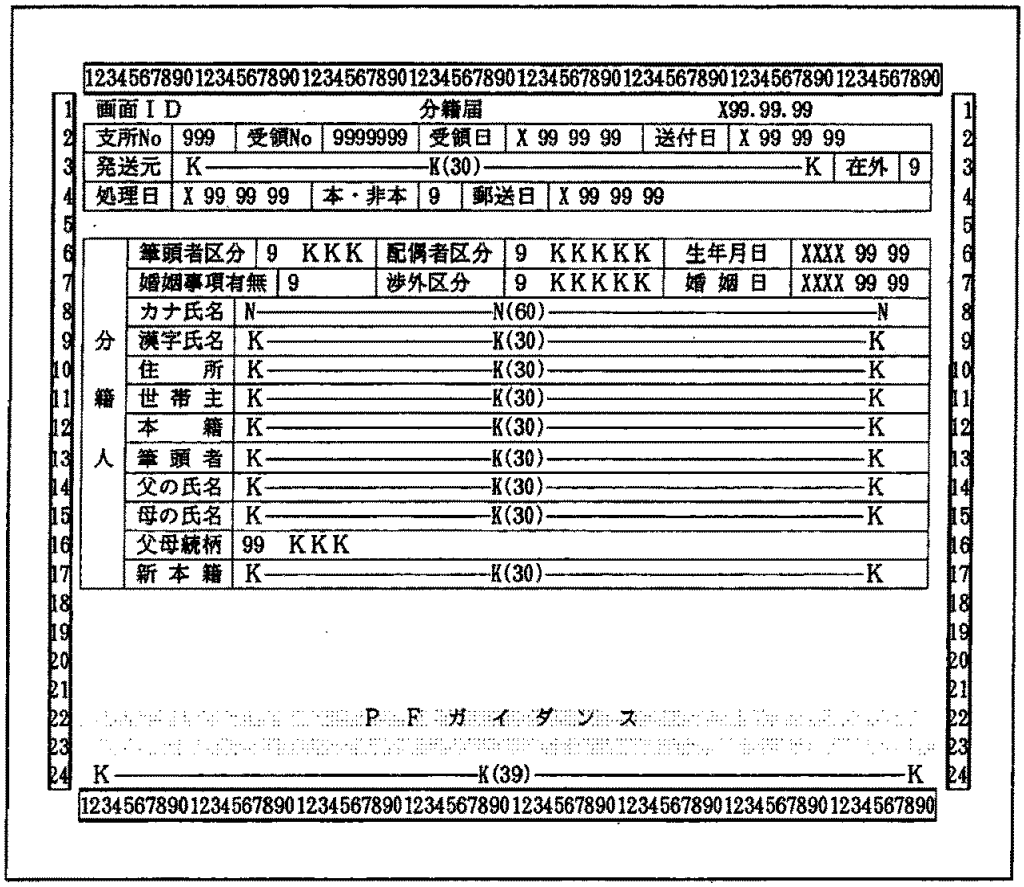


外国人区分　　0:日本人,1:外国人

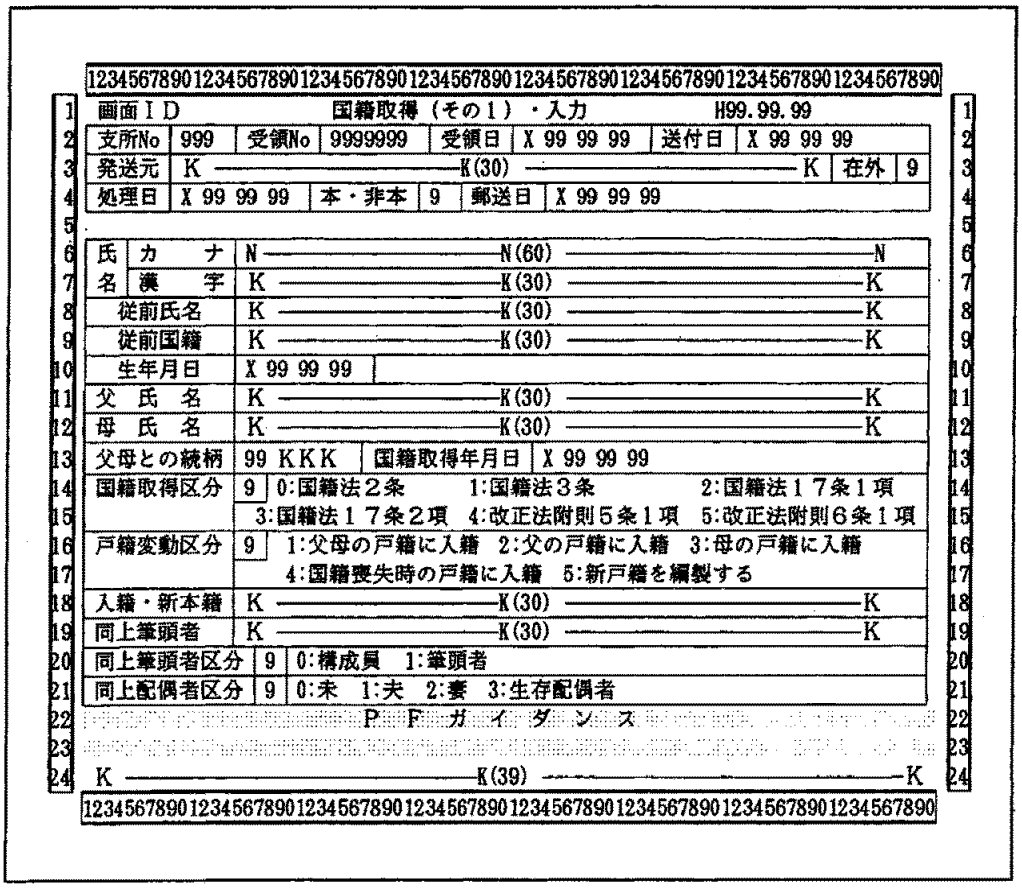
配偶者区分　　1:夫,2:妻

更正区分　　1:無,5:養父,6:養母,7:養父母

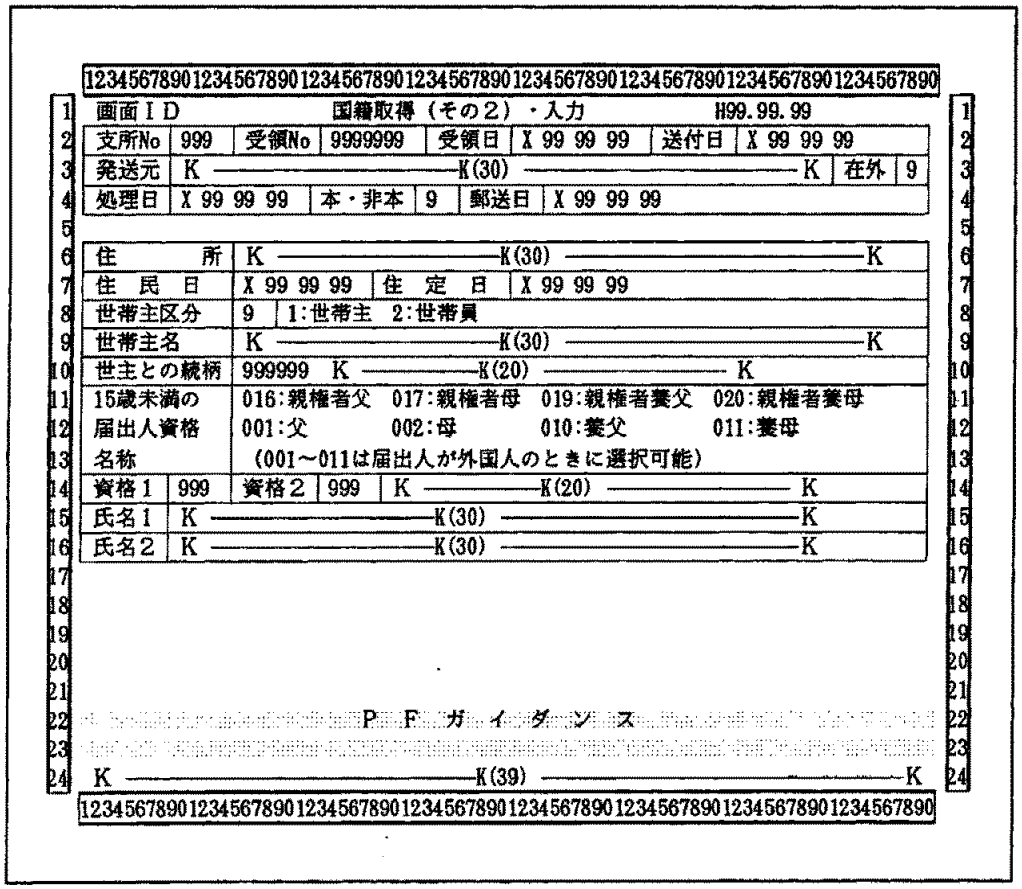
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　分籍届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	分籍届	



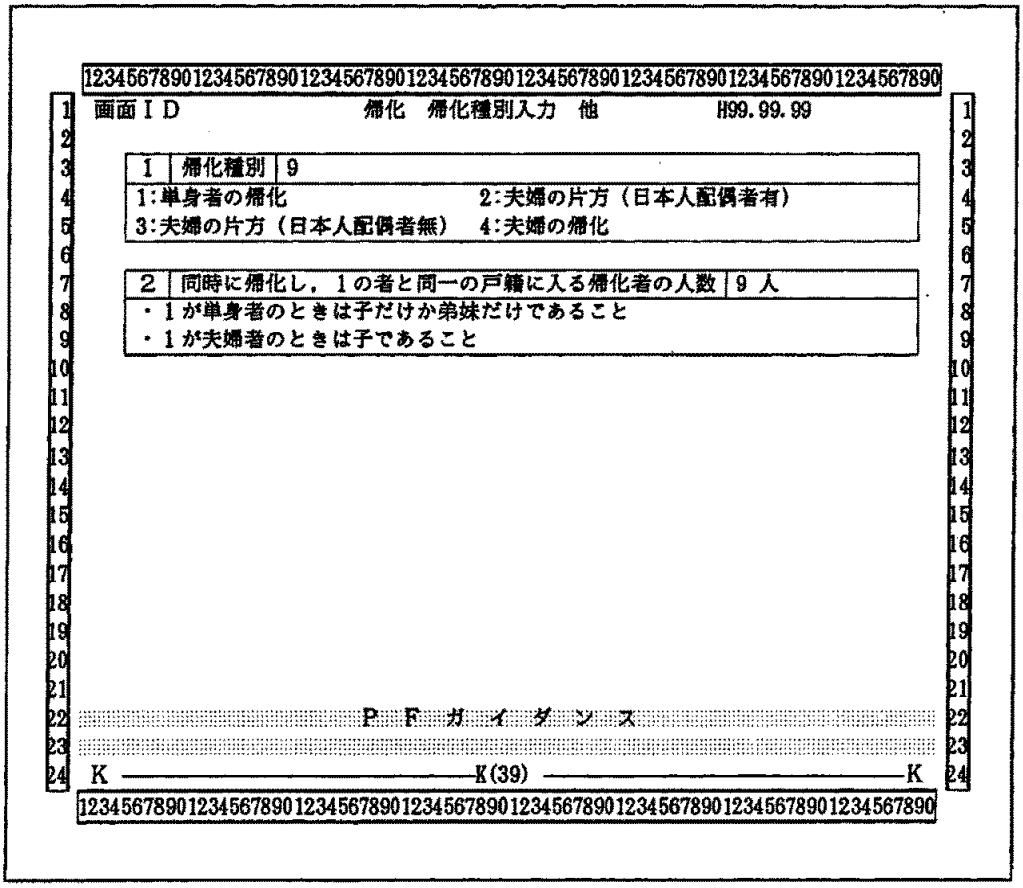
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　国籍取得届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	国籍取得(その1)・入力	



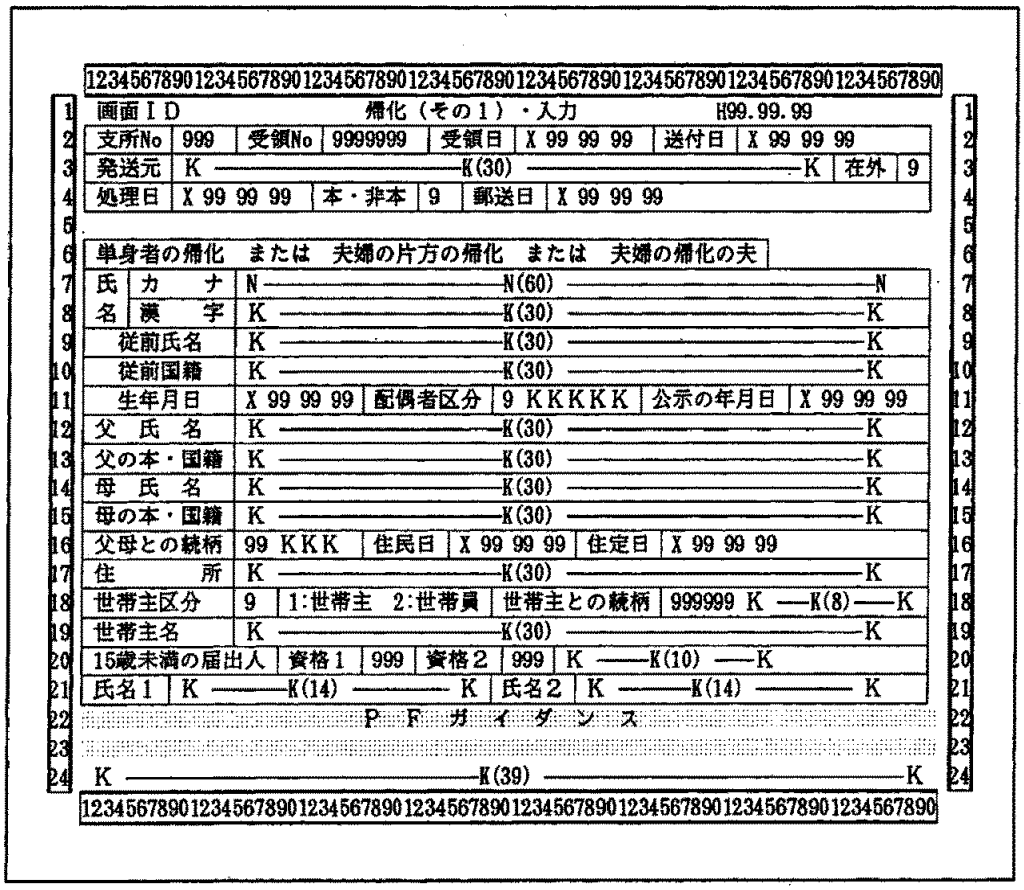
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　国籍取得届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	国籍取得(その2)・入力	

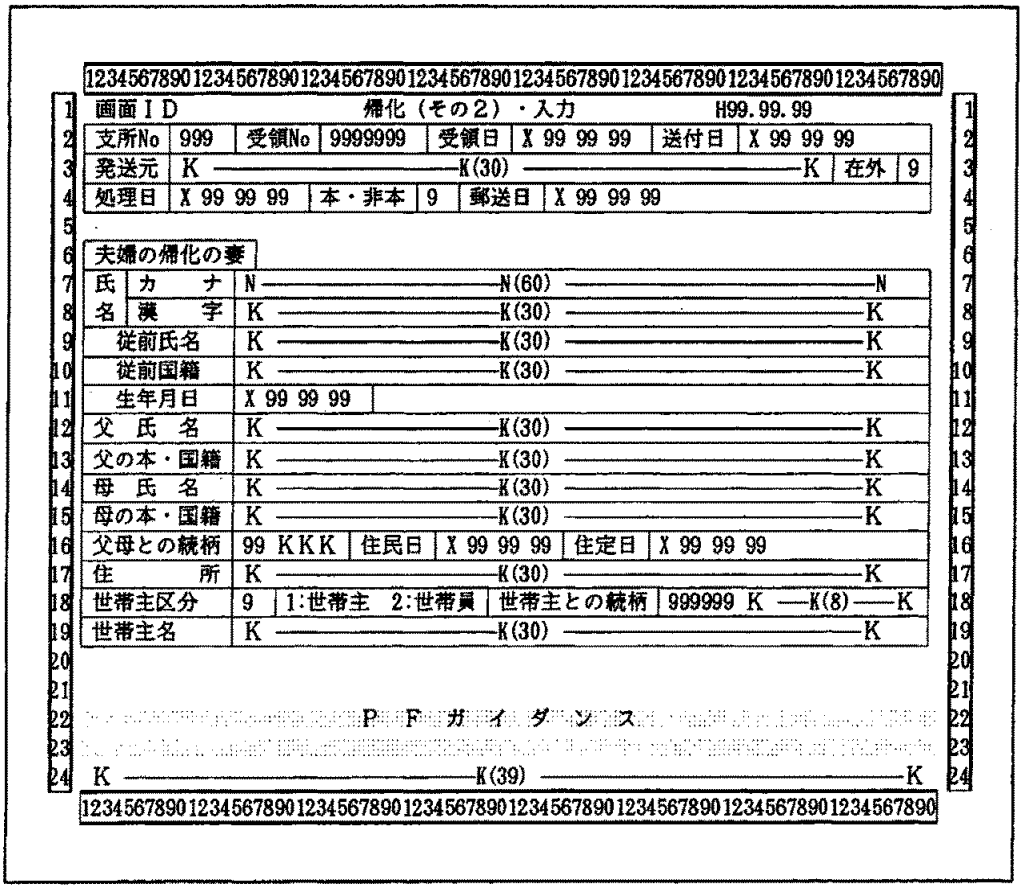


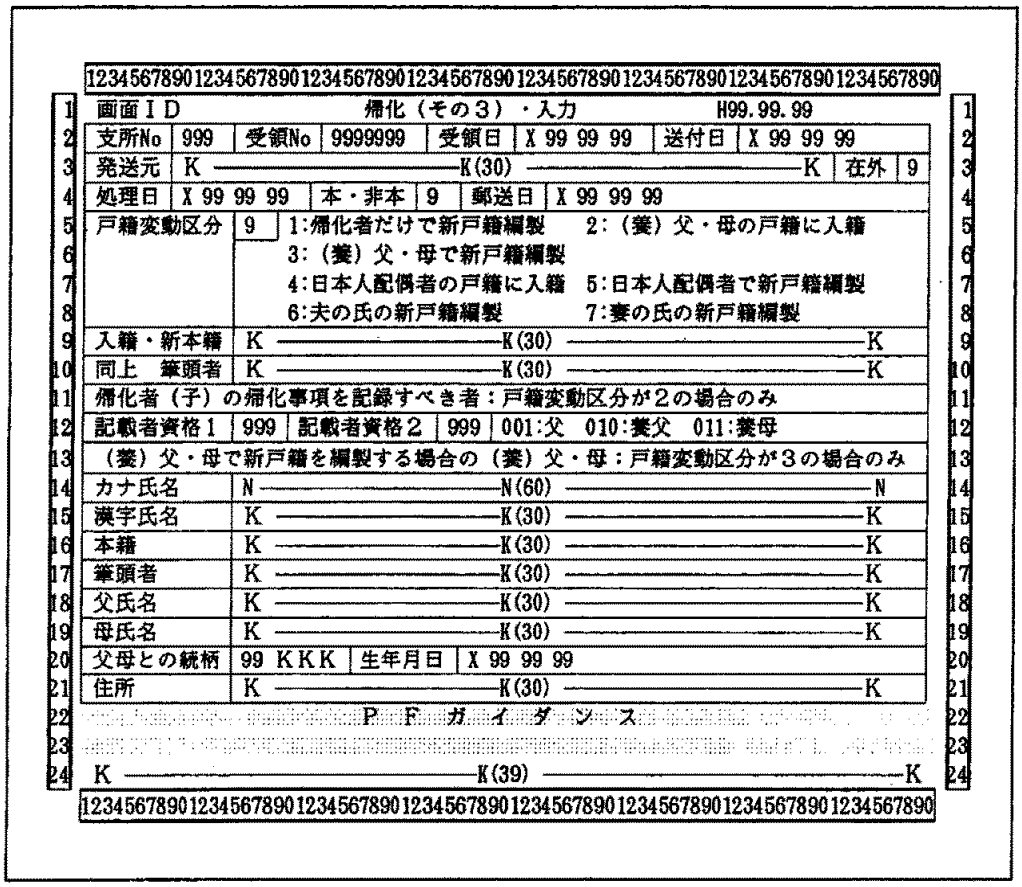
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　帰化届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	帰化　帰化種別入力　他	



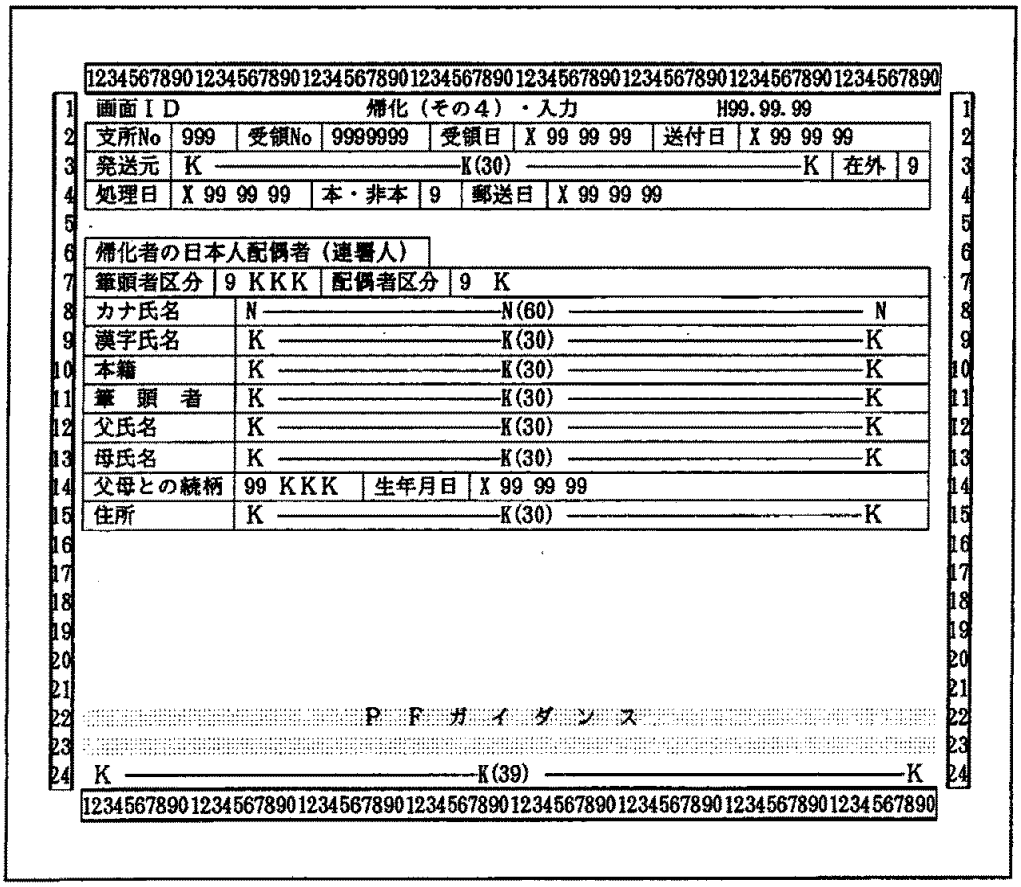
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　帰化届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	帰化(その1)・入力	



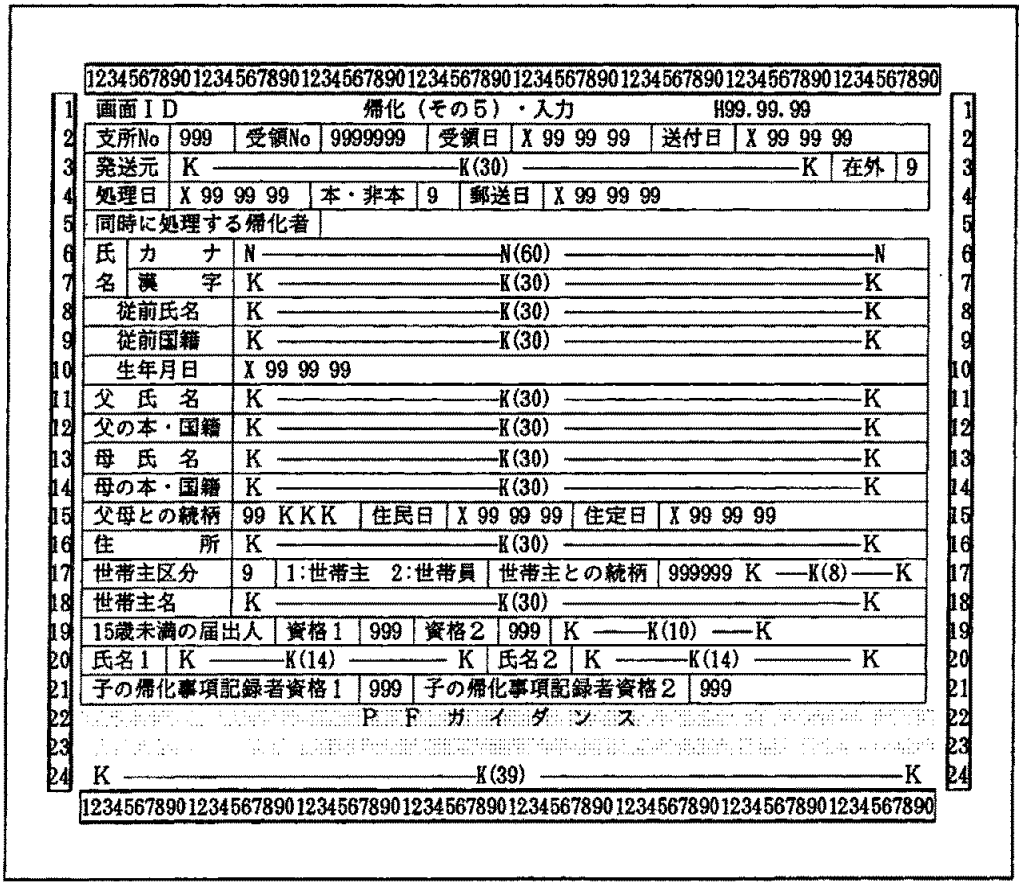

画面ＩＤ
帰化（その２）・入力
H99.99.99
支所No 999
受領No 9999999
受領日 X 99 99 99
送付日 X 99 99 99
発送元 K —K(30)— K
在外 9
処理日 X 99 99 99
本・非本 9
郵送日 X 99 99 99
夫婦の帰化の妻
氏 カナ N —N(60)— N
名 漢字 K —K(30)— K
従前氏名 K —K(30)— K
従前国籍 K —K(30)— K
生年月日 X 99 99 99
父氏名 K —K(30)— K
父の本・国籍 K —K(30)— K
母氏名 K —K(30)— K
母の本・国籍 K —K(30)— K
父母との続柄 99 KKK
住民日 X 99 99 99
住定日 X 99 99 99
住所 K —K(30)— K
世帯主区分 9
1:世帯主 2:世帯員
世帯主との続柄 999999 K —K(8)— K
世帯主名 K —K(30)— K
ＰＦガイダンス
K —K(39)— K


画面ＩＤ
帰化（その３）・入力
H99.99.99
支所No 999 受領No 9999999 受領日 X 99 99 99 送付日 X 99 99 99
発送元 K K(30) K 在外 9
処理日 X 99 99 99 本・非本 9 郵送日 X 99 99 99
戸籍変動区分 9 1:帰化者だけで新戸籍編製 2:（養）父・母の戸籍に入籍
3:（養）父・母で新戸籍編製
4:日本人配偶者の戸籍に入籍 5:日本人配偶者で新戸籍編製
6:夫の氏の新戸籍編製 7:妻の氏の新戸籍編製
入籍・新本籍 K K(30) K
同上　筆頭者 K K(30) K
帰化者（子）の帰化事項を記録すべき者：戸籍変動区分が２の場合のみ
記載者資格１ 999 記載者資格２ 999 001:父 010:養父 011:養母
（養）父・母で新戸籍を編製する場合の（養）父・母：戸籍変動区分が３の場合のみ
カナ氏名 N N(60) N
漢字氏名 K K(30) K
本籍 K K(30) K
筆頭者 K K(30) K
父氏名 K K(30) K
母氏名 K K(30) K
父母との続柄 99 KKK 生年月日 X 99 99 99
住所 K K(30) K
ＰＦガイダンス
K K(39) K

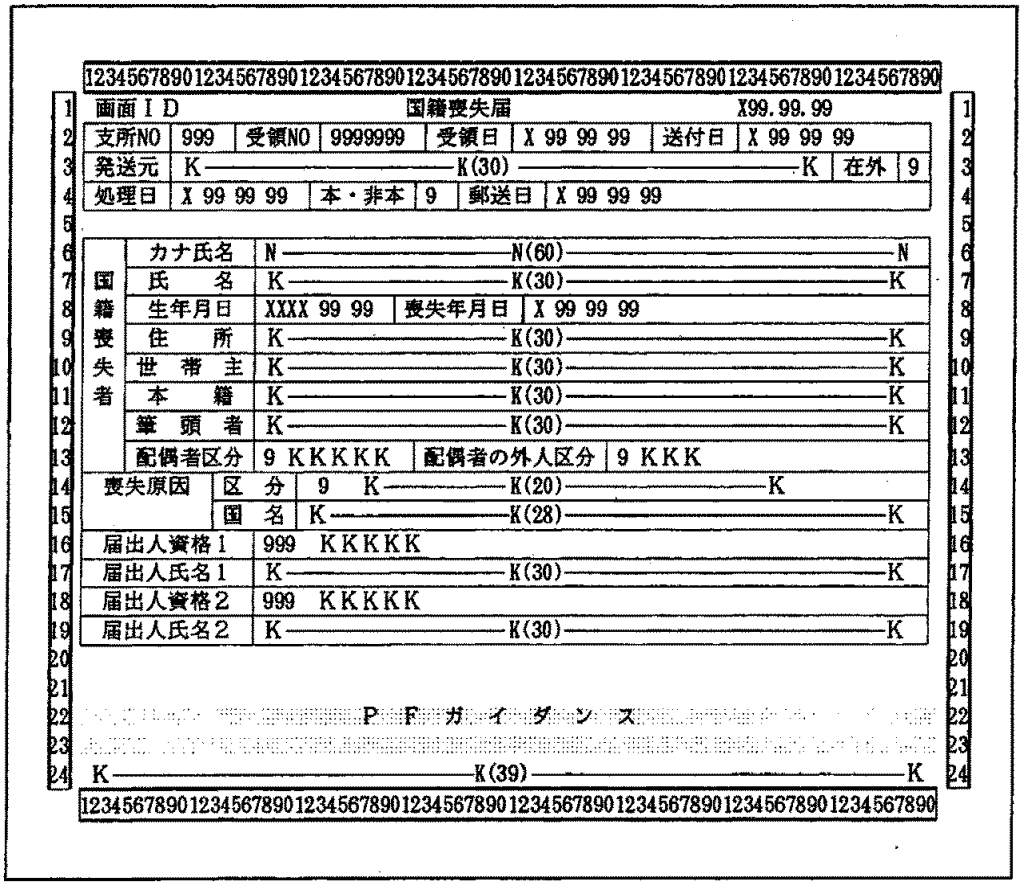
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		5/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　帰化届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	帰化(その4)・入力	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		6/6
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　帰化届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	帰化(その5)・入力	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　国籍喪失届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	国籍喪失届	



入力項目の説明

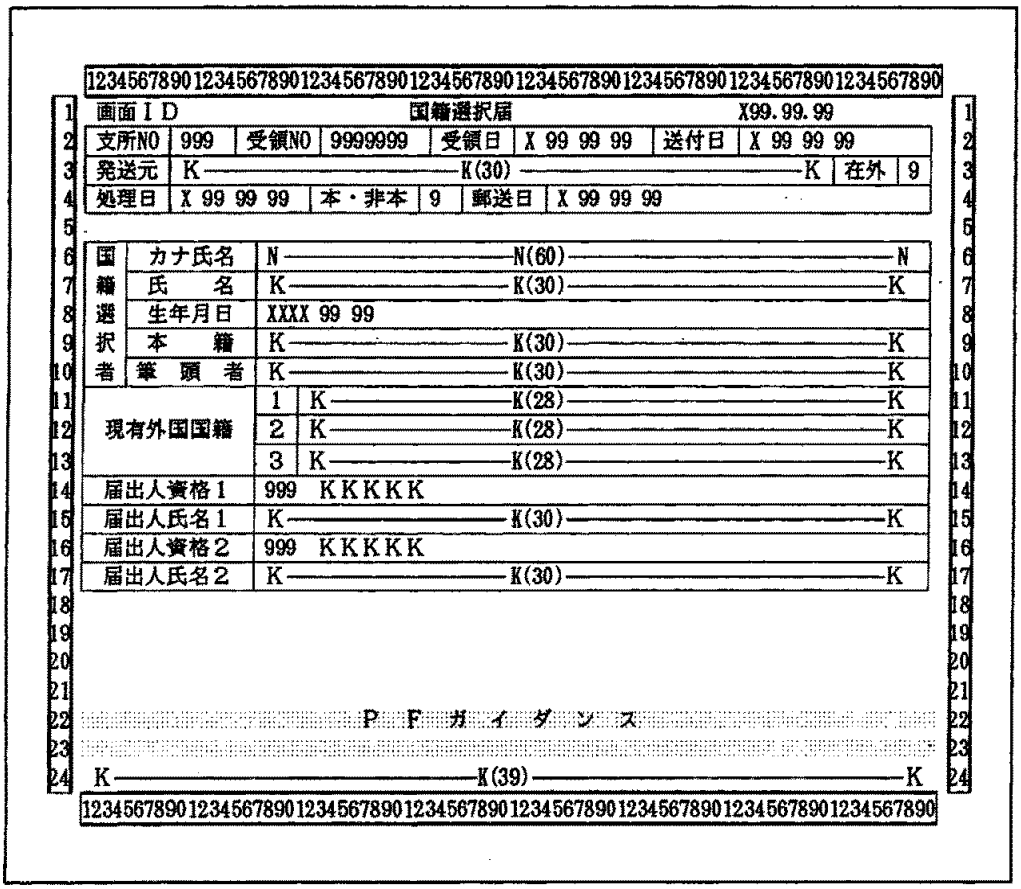
・喪失年月日…帰化事実証明書などの添付書類に記録されている国籍喪失年月日

・喪失原因(区分)…該当する喪失原因(区分)を入力
(1)志望により外国国籍を取得した(国11)
(2)重国籍者による国籍離脱(国13,憲法22)
(3)重国籍者の国籍選択(国11-Ⅱ)
(4)国籍選択の催告を受けて選択をしなかった(国15-Ⅲ)
(5)国籍喪失の宣告を受けた(国16-Ⅱ,Ⅳ)

・喪失原因(国名)…喪失原因(区分)が(1),(2),(3)の時、取得・選択した国の国名コードを入力

・届出人資格…事件本人、配偶者又は四親等内の親族が届出人資格を有する(戸103-Ⅰ)
また、官公署が職務上国籍を喪失した者があることを知ったときは、本籍地の市区町村長に報告しなければならない(戸105)
この場合の報告者は居出人資格を「099:その他」で対応して、届出人資格名称は届出人氏名欄に入力する
届出人資格(006:夫,007:妻,001:父,002:母,098:事件本人,082:親族,099:その他)

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　国籍選択届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	国籍選択届	

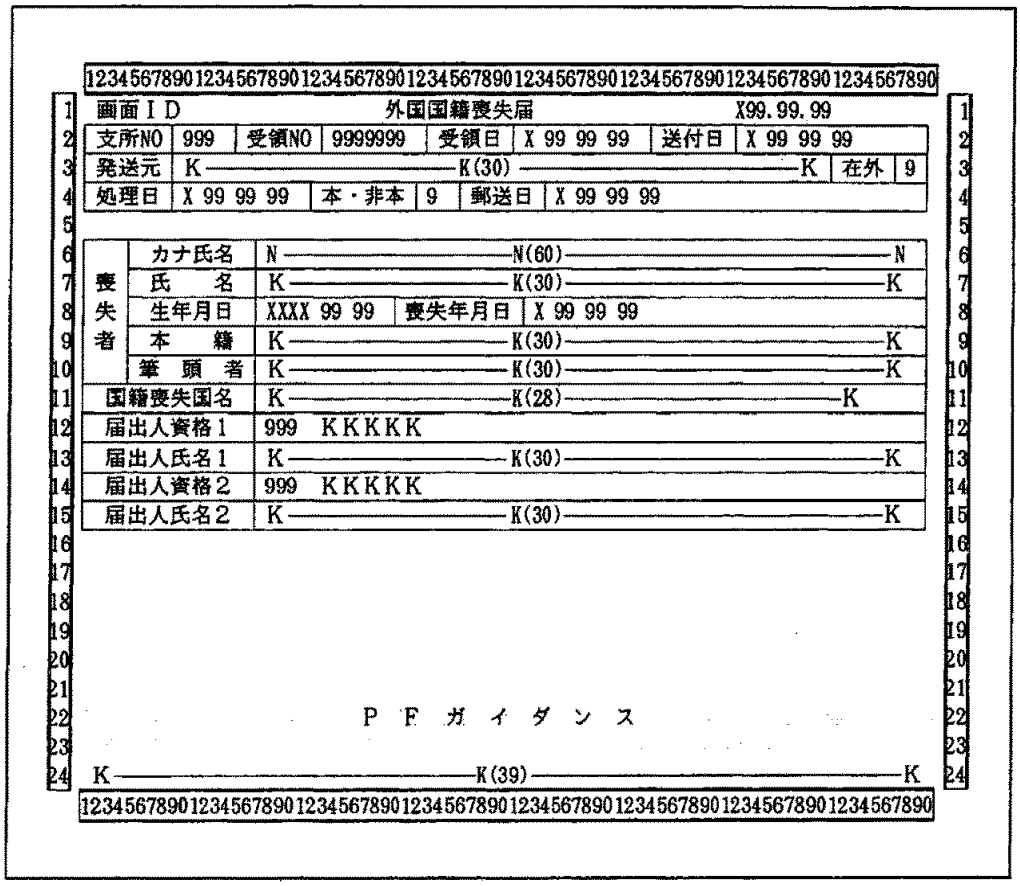


入力項目の説明

・現有外国国籍区分…国籍を選択するものが有しているすべての外国国籍を国名コードにより入力
［同時に有する外国国籍が通常最大3重国籍と考えられるため、その入力項目を3項目設定する］
（戸104の2-Ⅱ）

・届出人資格1･2…国籍を選択しようとする者又は、その者が15才未満のときは、その法定代理人の届出人資格を入力(国18)
法定代理人が外国に在る外国人であっても届出をすることができる
(昭59.11.1民二5500号通達第3の5の(2))
(1)届出人資格1（016:親権者父,019:親権者養父,030:後見人,017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人）
(2)届出人資格2（016:親権者父,019:親権者養父,030:後見人,017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人）

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　外国国籍喪失届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	外国国籍喪失届	



入力項目の説明

・喪失年月日…外国官公署の発行する国籍離脱証明書などの添付書類に記録されている外国国籍喪失年月日

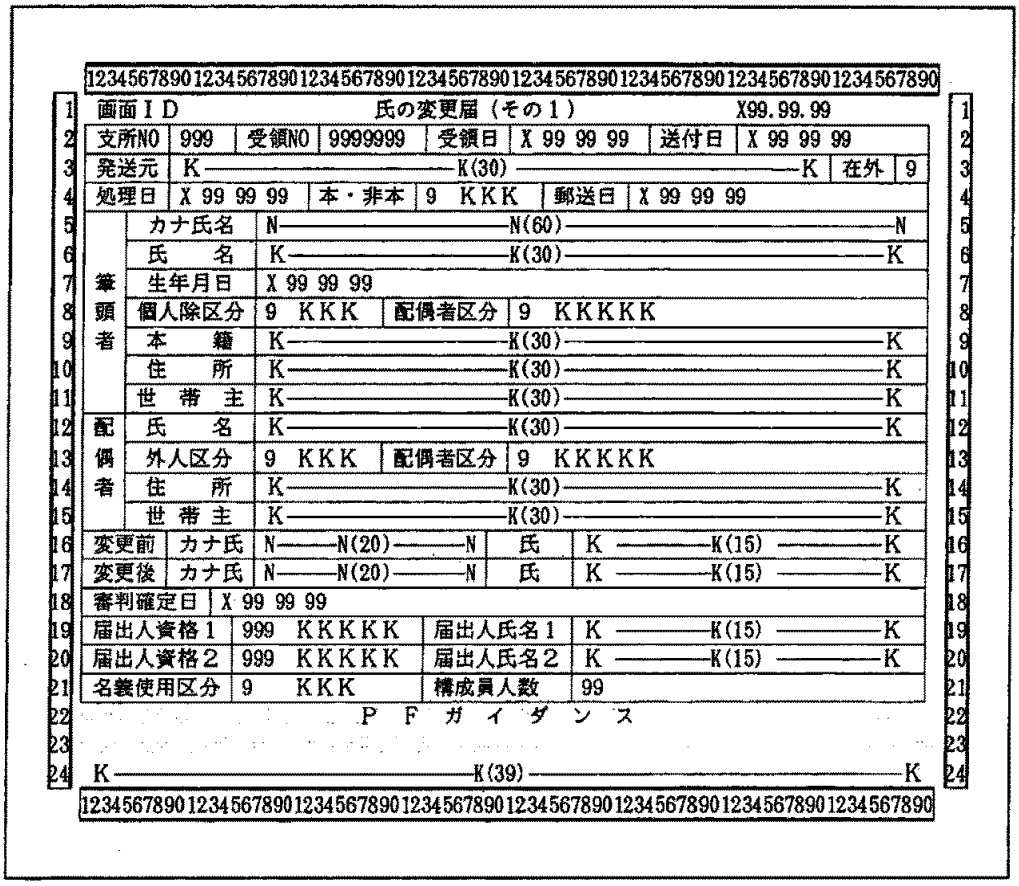
・国籍喪失国名…国籍を喪失した国の国名コードを入力

・届出人資格1・2…外国の国籍を喪失した本人又は、その者が15才未満のときは、その法定代理人の届出人資格を入力

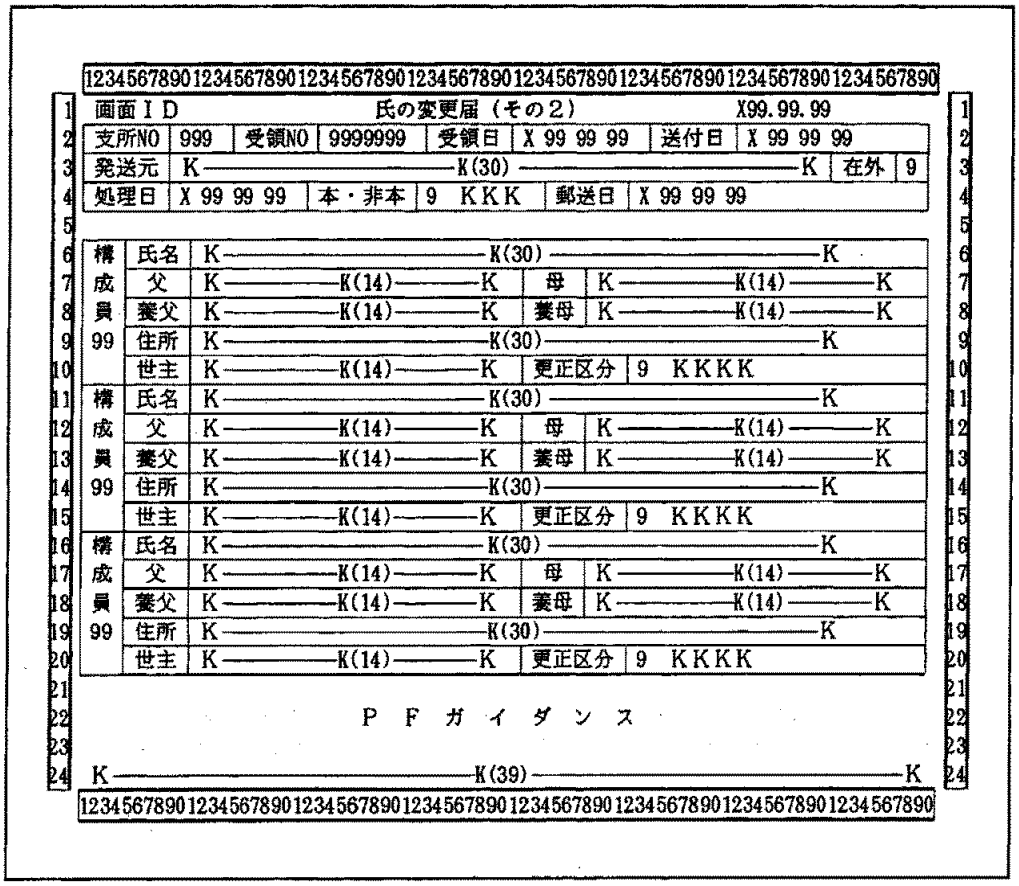
(1)届出人資格1(016:親権者父,019:親権者養父,030:後見人,017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人)

(2)届出人資格2(016:親権者父,019:親権者養父,030:後見人,017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人)

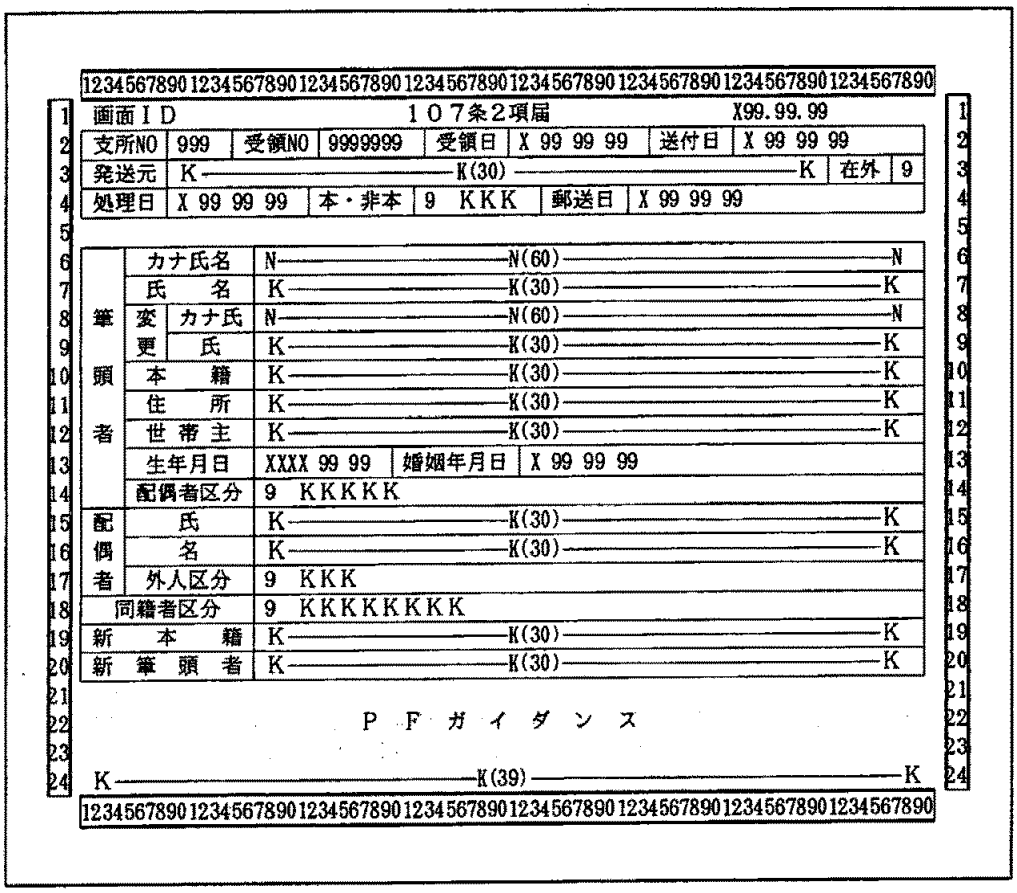
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　氏の変更届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	氏の変更届(その1)	



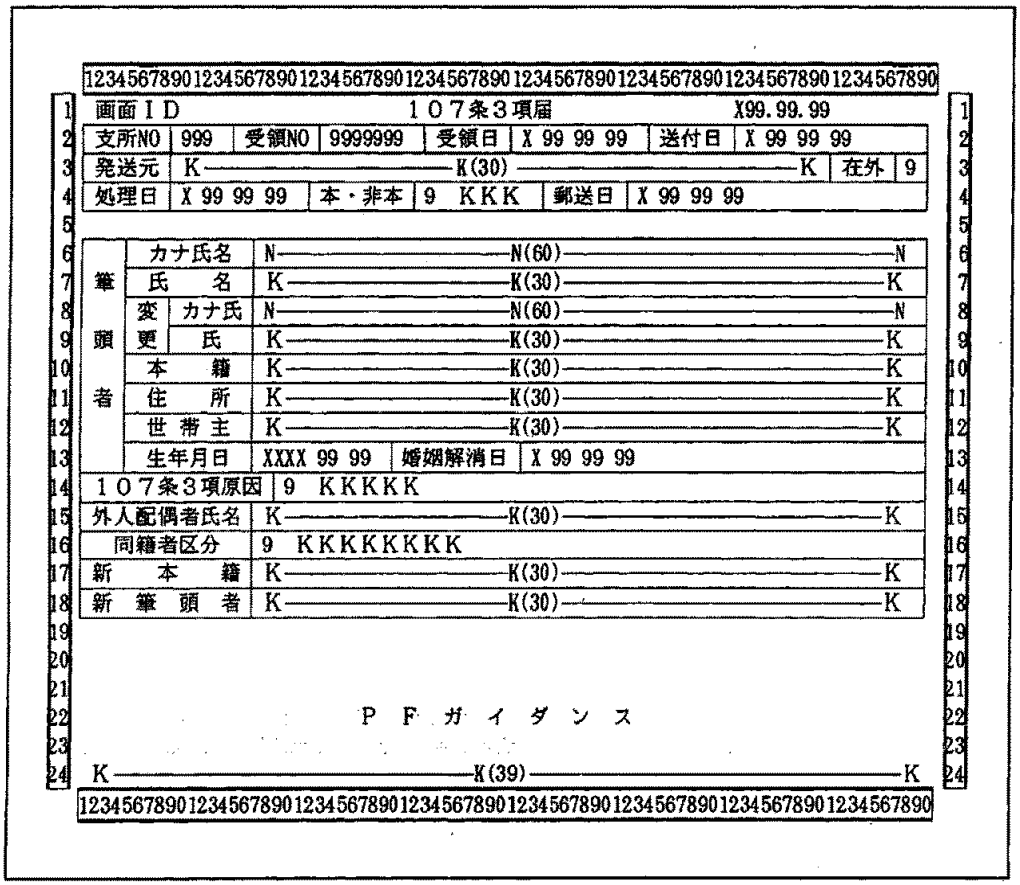
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　氏の変更届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	氏の変更届(その2)	



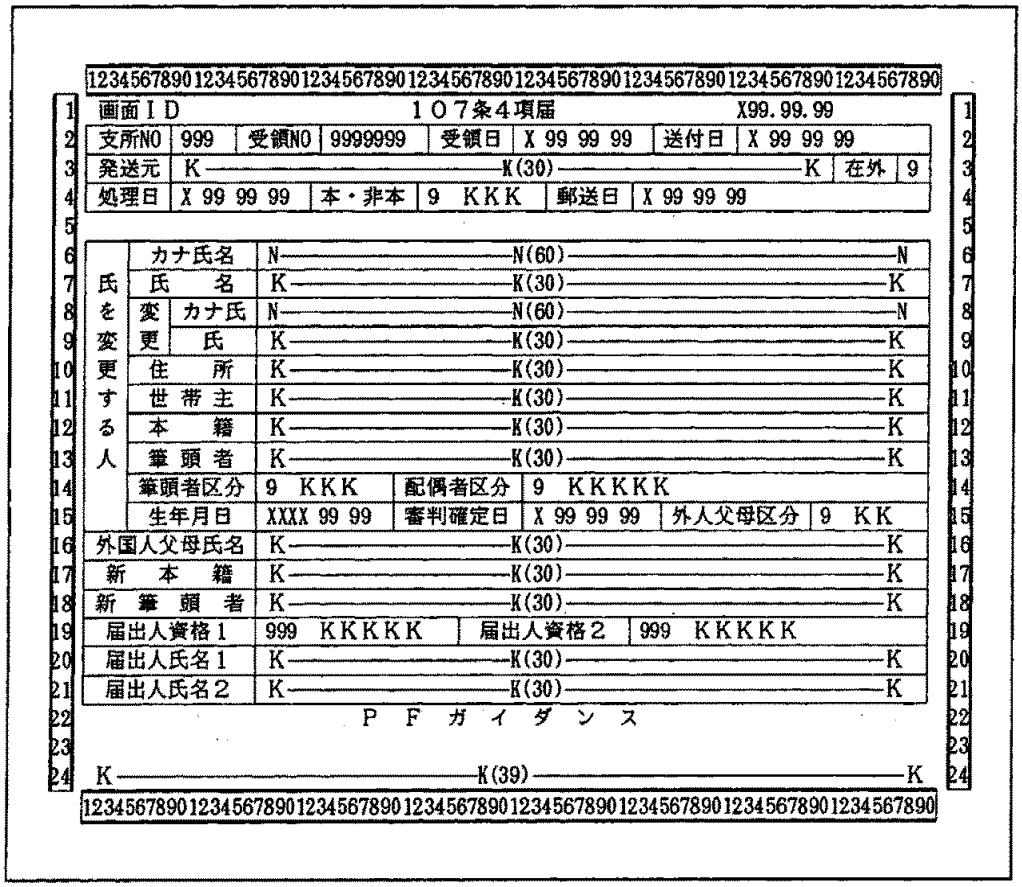
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　107条2項届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	107条2項届	



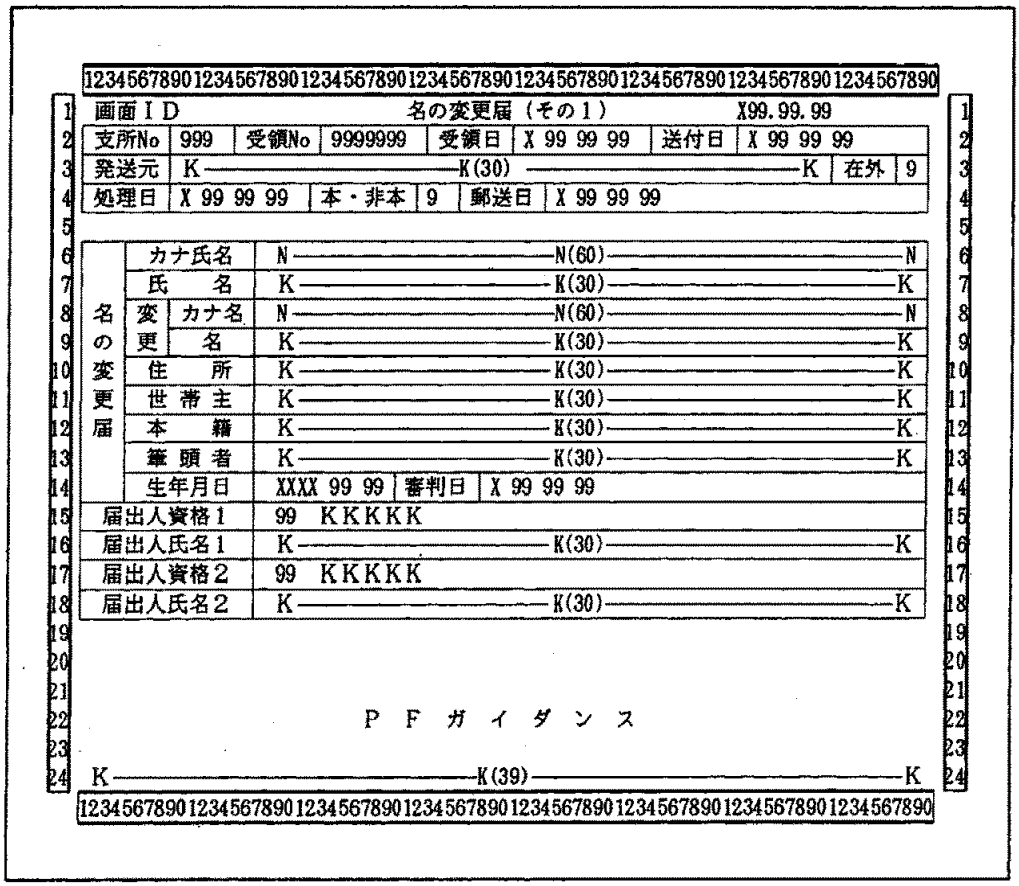
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　107条3項届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	107条3項届	



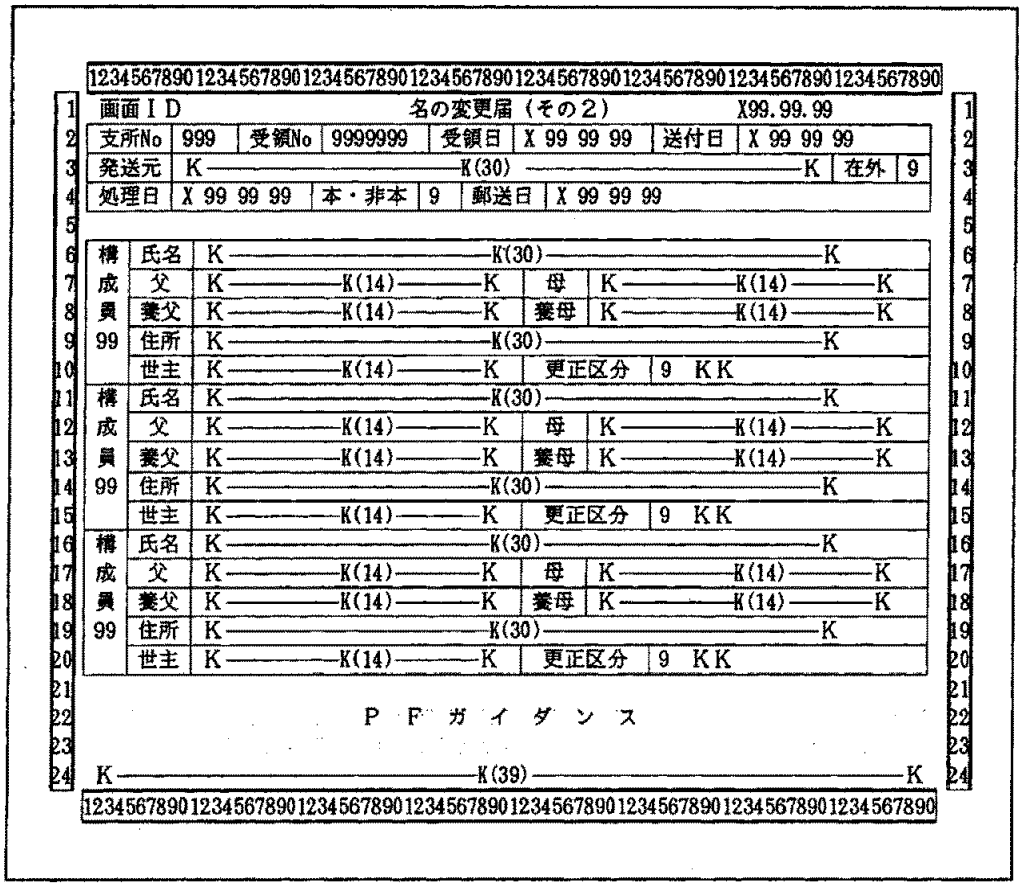
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　107条4項届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	107条4項届	



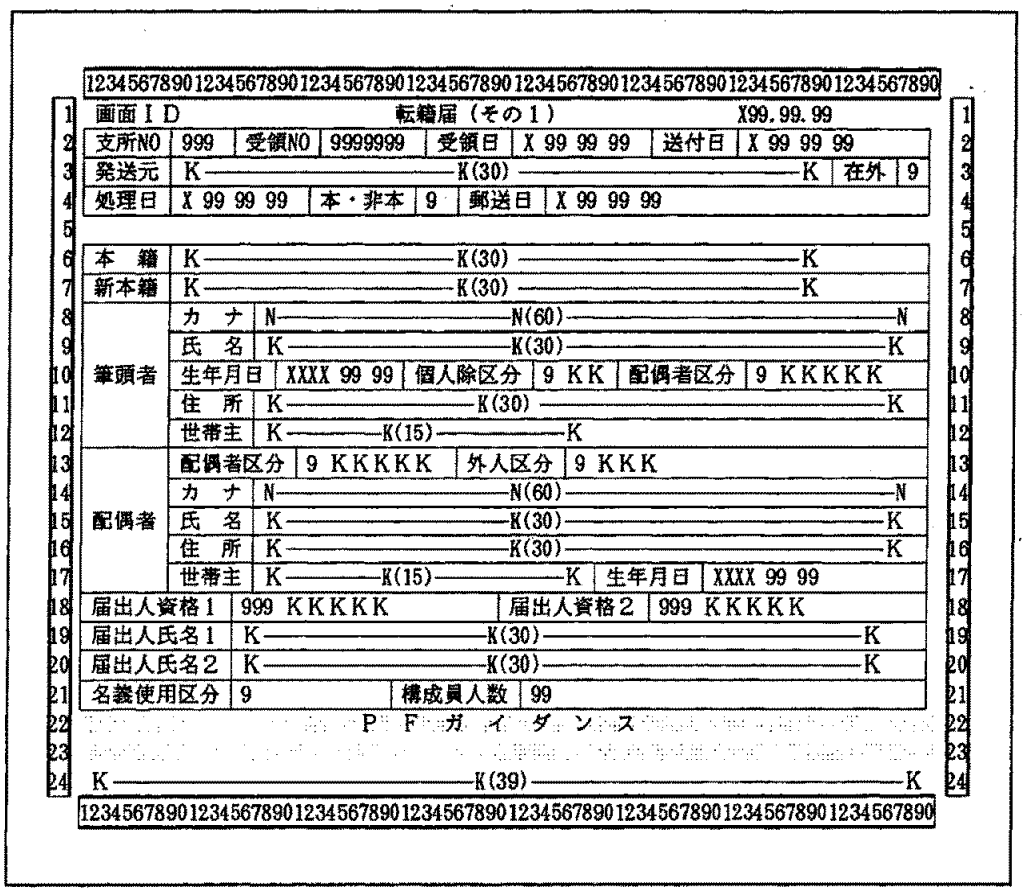
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　名の変更届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	名の変更届(その1)	

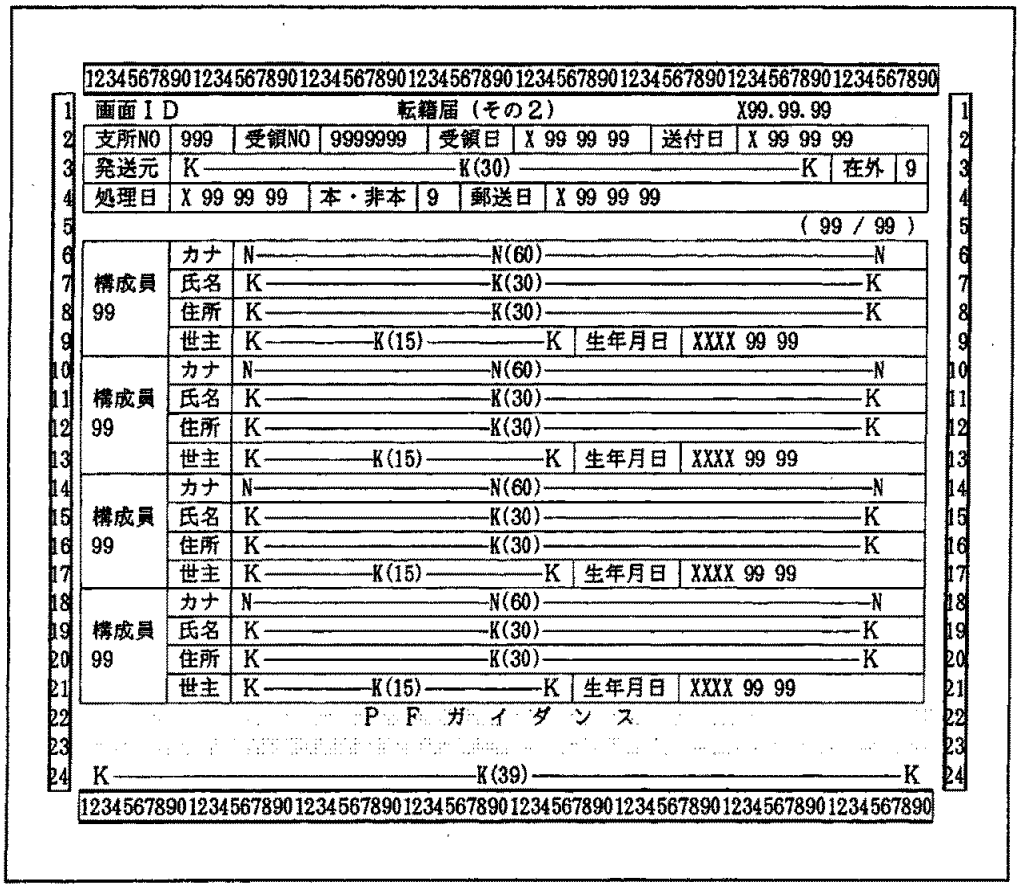


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　名の変更届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	名の変更届(その2)	

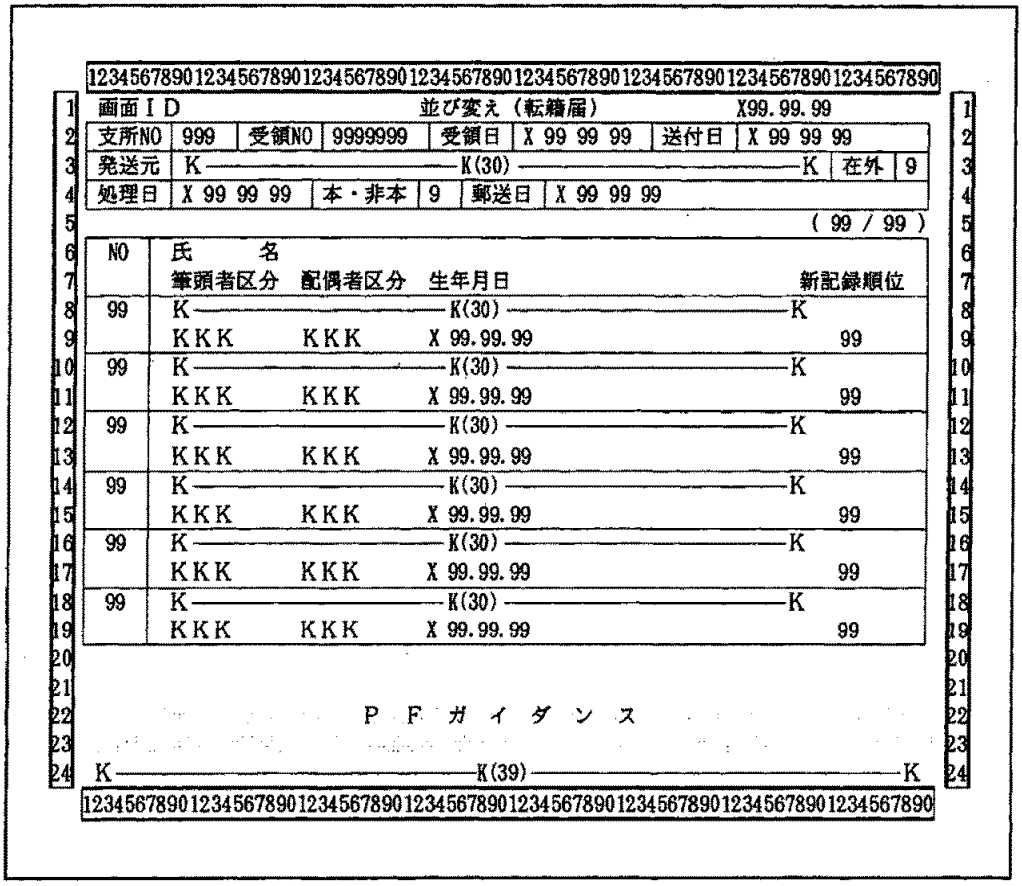


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　転籍届(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	転籍届(その1)	




画面ＩＤ
転籍届（その２）
X99.99.99
支所NO 999 受領NO 9999999 受領日 X 99 99 99 送付日 X 99 99 99
発送元 K K(30) K 在外 9
処理日 X 99 99 99 本・非本 9 郵送日 X 99 99 99
(99 / 99)
構成員 99
カナ N N(60) N
氏名 K K(30) K
住所 K K(30) K
世主 K K(15) K 生年月日 XXXX 99 99
ＰＦガイダンス
K K(39) K

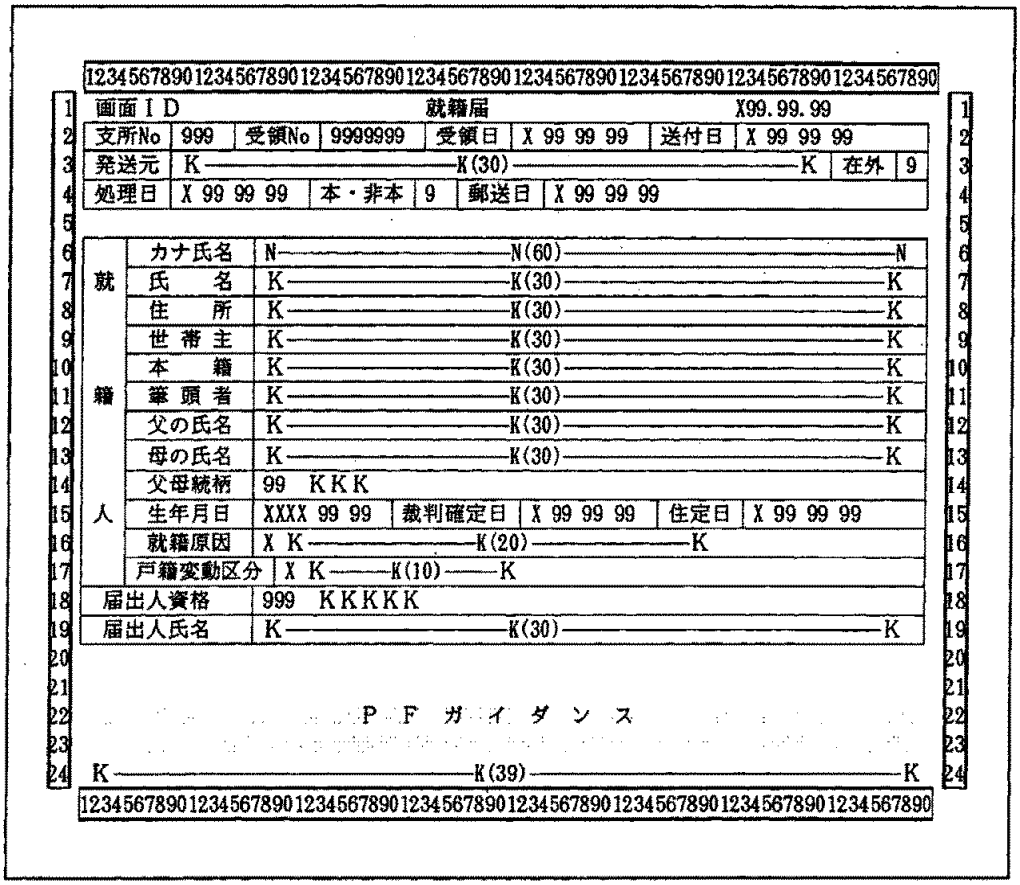
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　転籍届(3/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	並び変え(転籍届)	



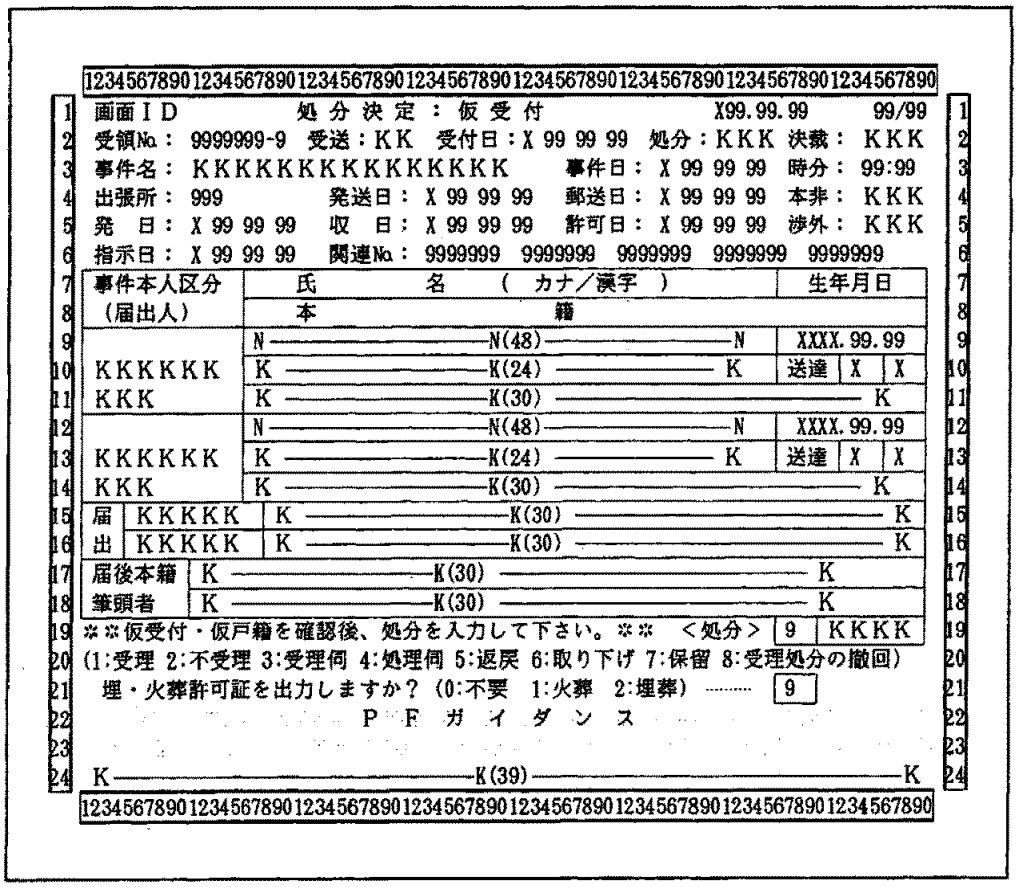
第5 5 (2)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　就籍届	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	就籍届

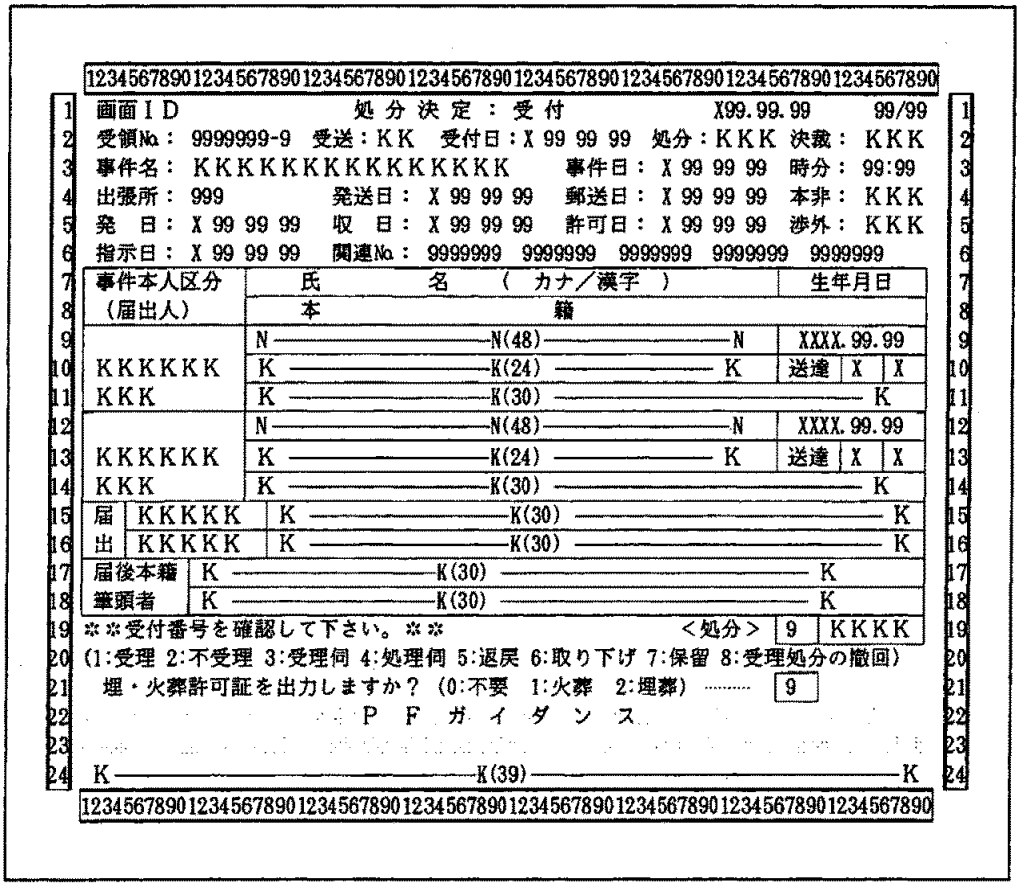


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.処分決定処理　処分決定･仮受付		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	処分決定･仮受付	



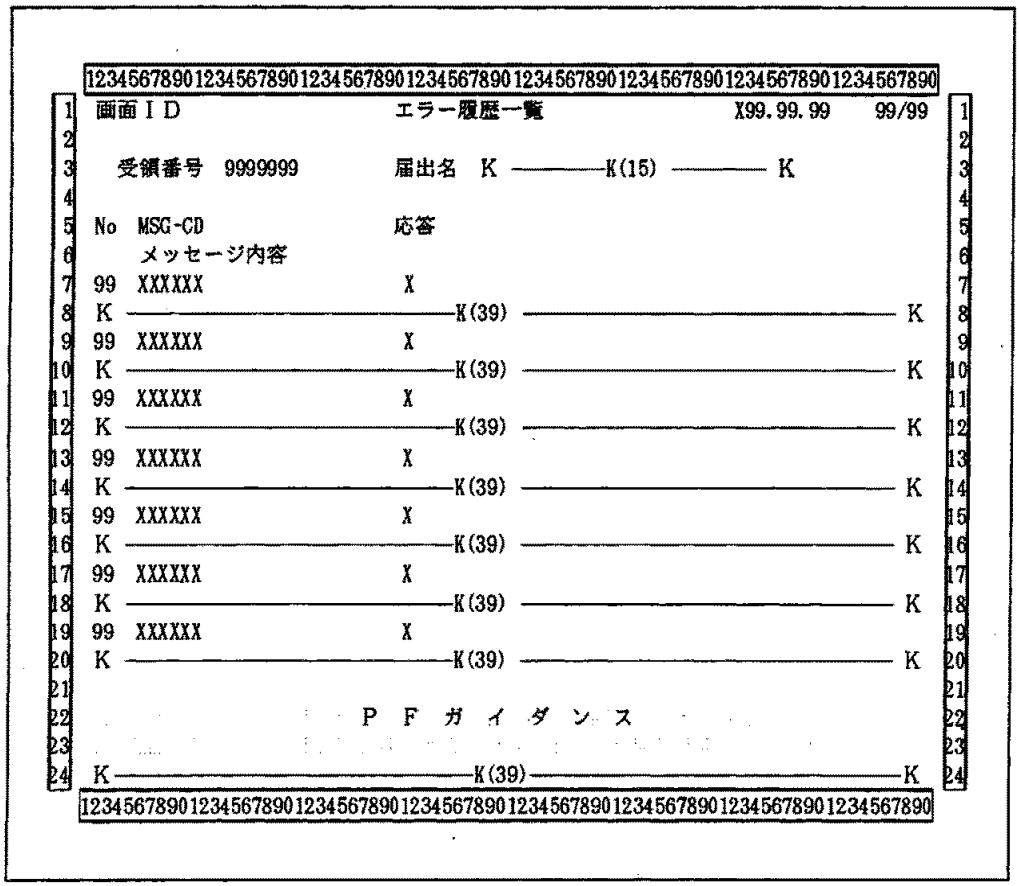
事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃　2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2:　届出人の資格
exp.父、母　等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.処分決定処理　処分決定･受付		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	処分決定･受付	

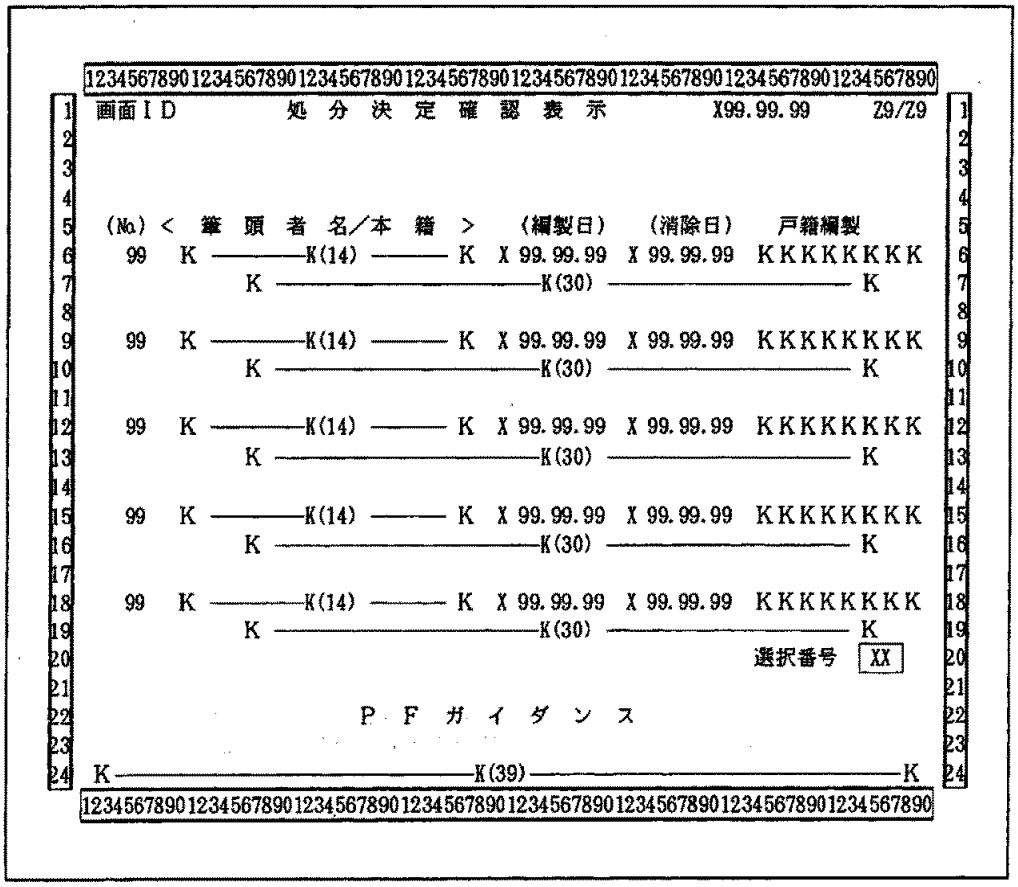


事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の本籍地
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃　2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる
届出人1～2:　届出人の資格
exp.父、母　等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

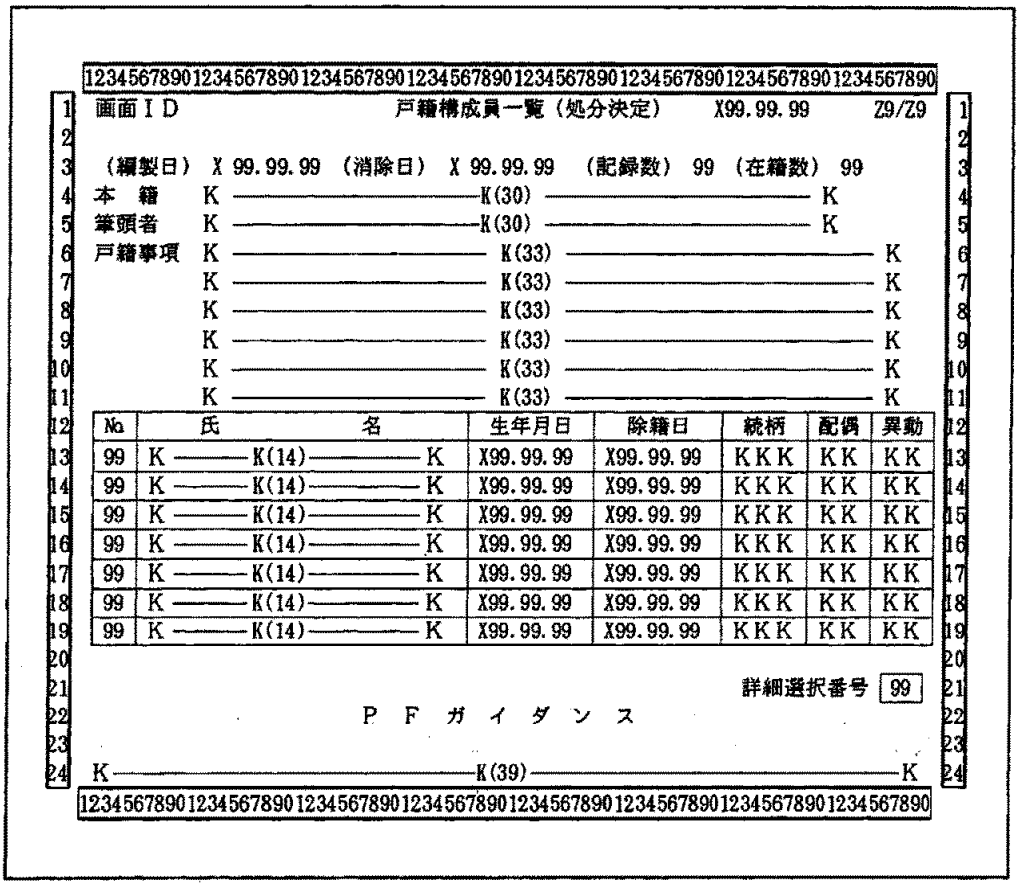
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
エラー履歴処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	エラー履歴一覧	



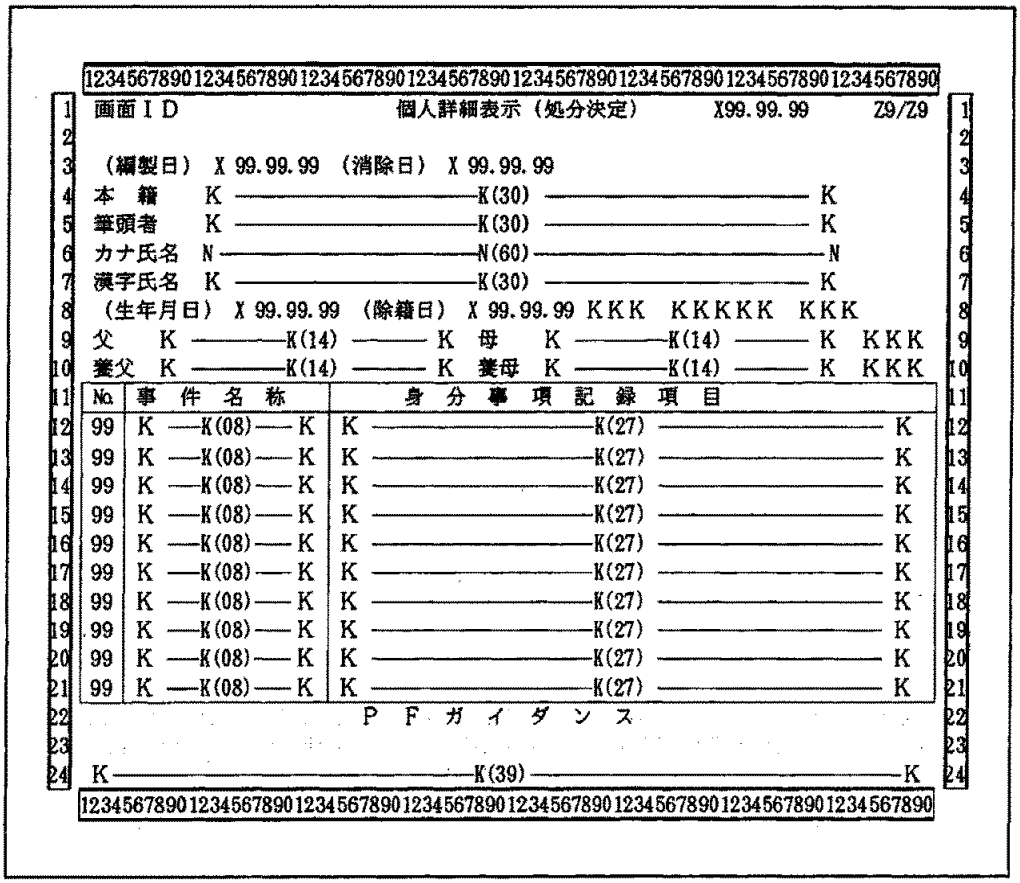
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.処分決定　処分決定確認表示		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	処分決定　確認表示	



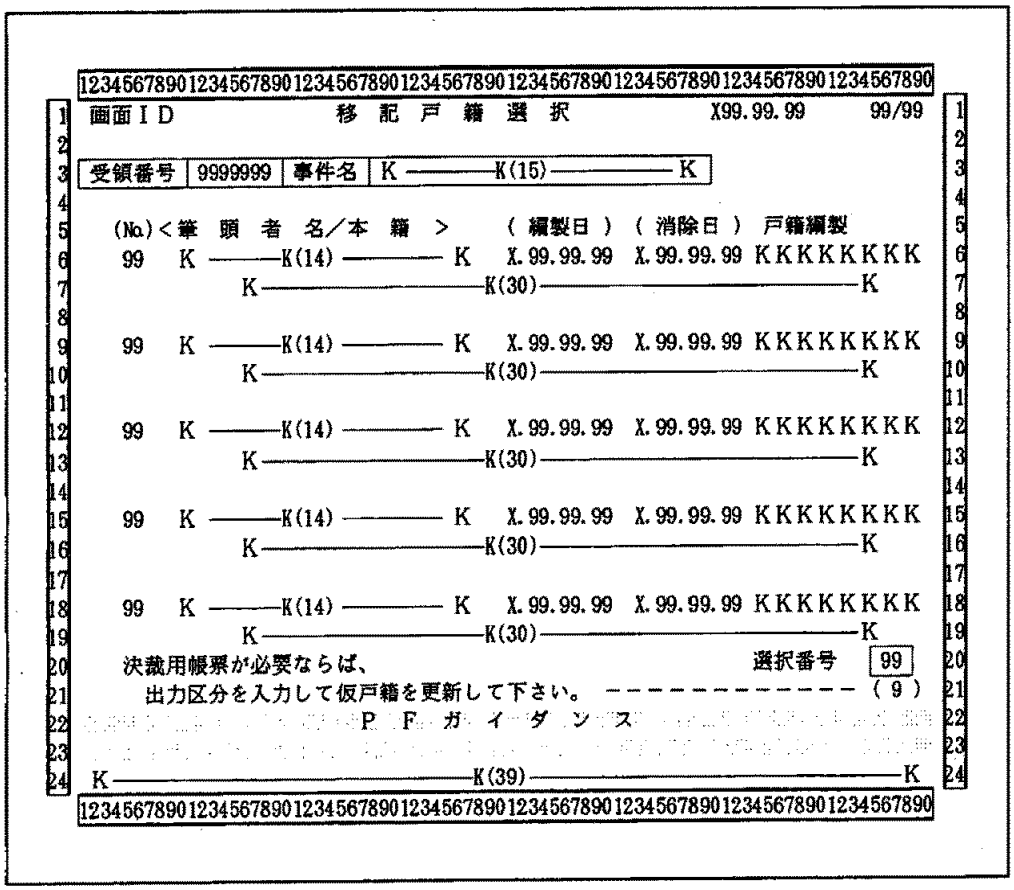
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.処分決定　戸籍構成員一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	処分決定　戸籍構成員一覧(処分決定)	



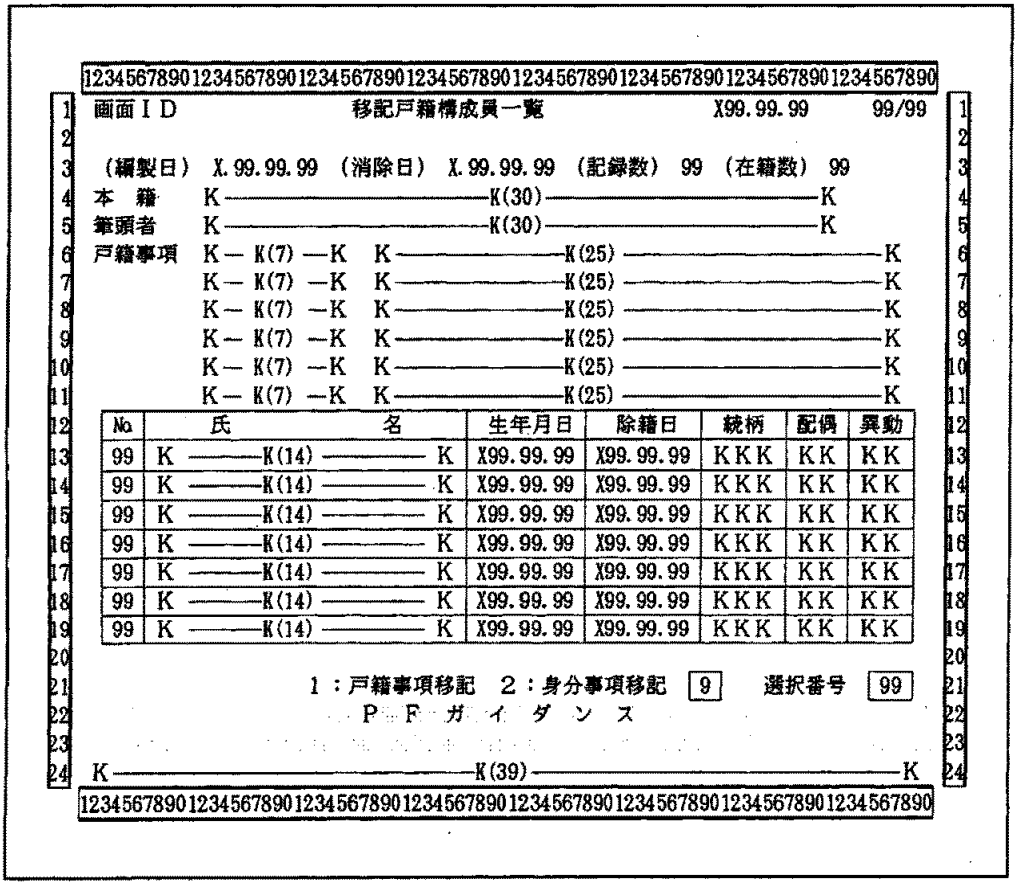
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.処分決定　個人詳細表示		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	処分決定　個人詳細表示(処分決定)	



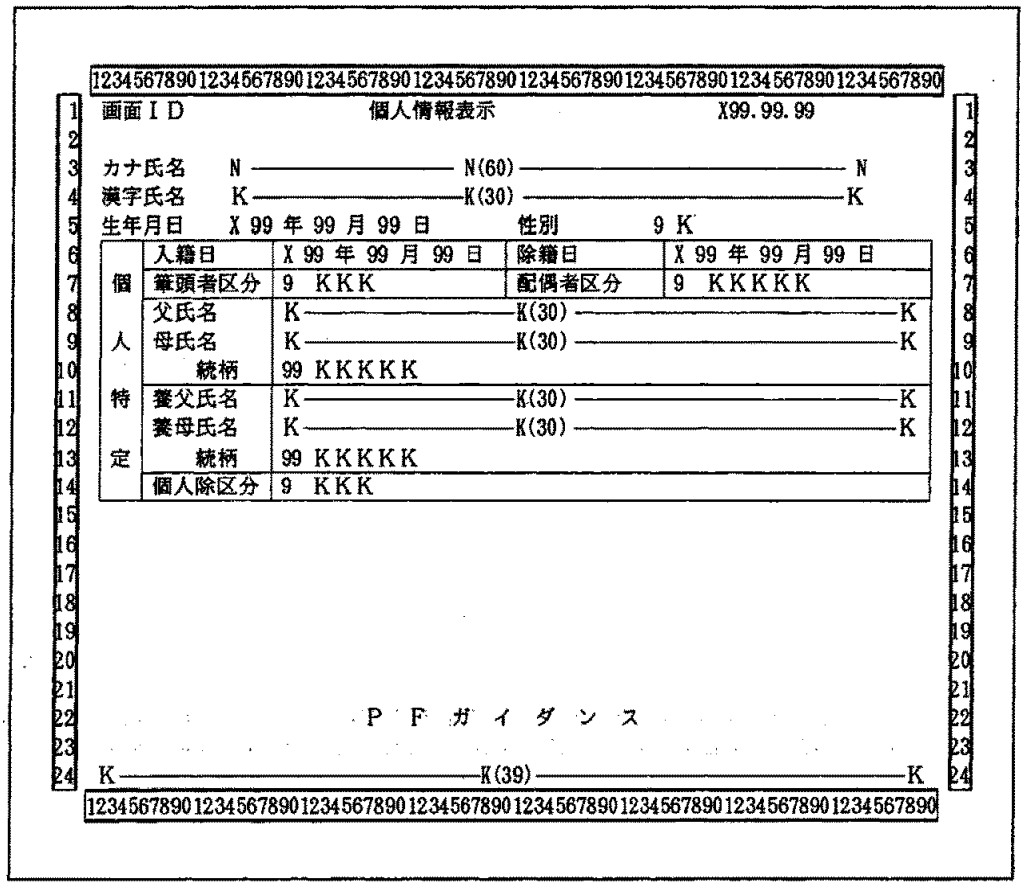
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記戸籍選択)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記戸籍選択)	



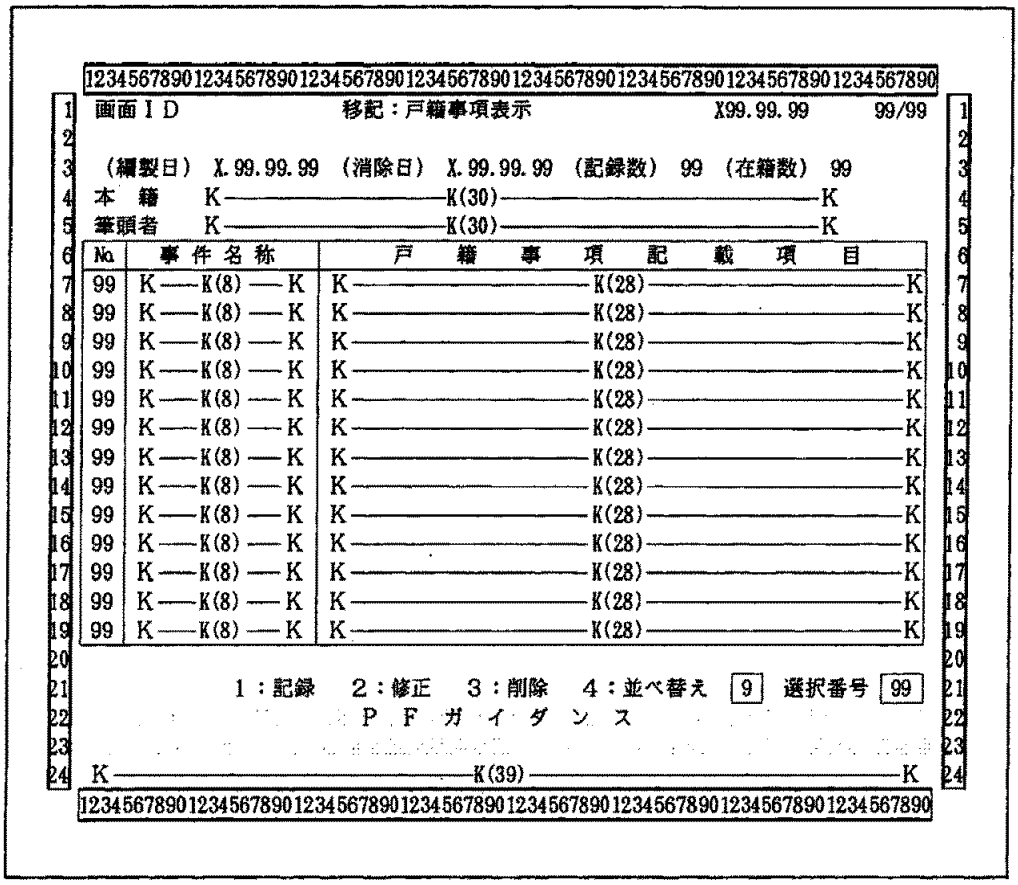
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記戸籍構成員一覧)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記戸籍構成員一覧)	



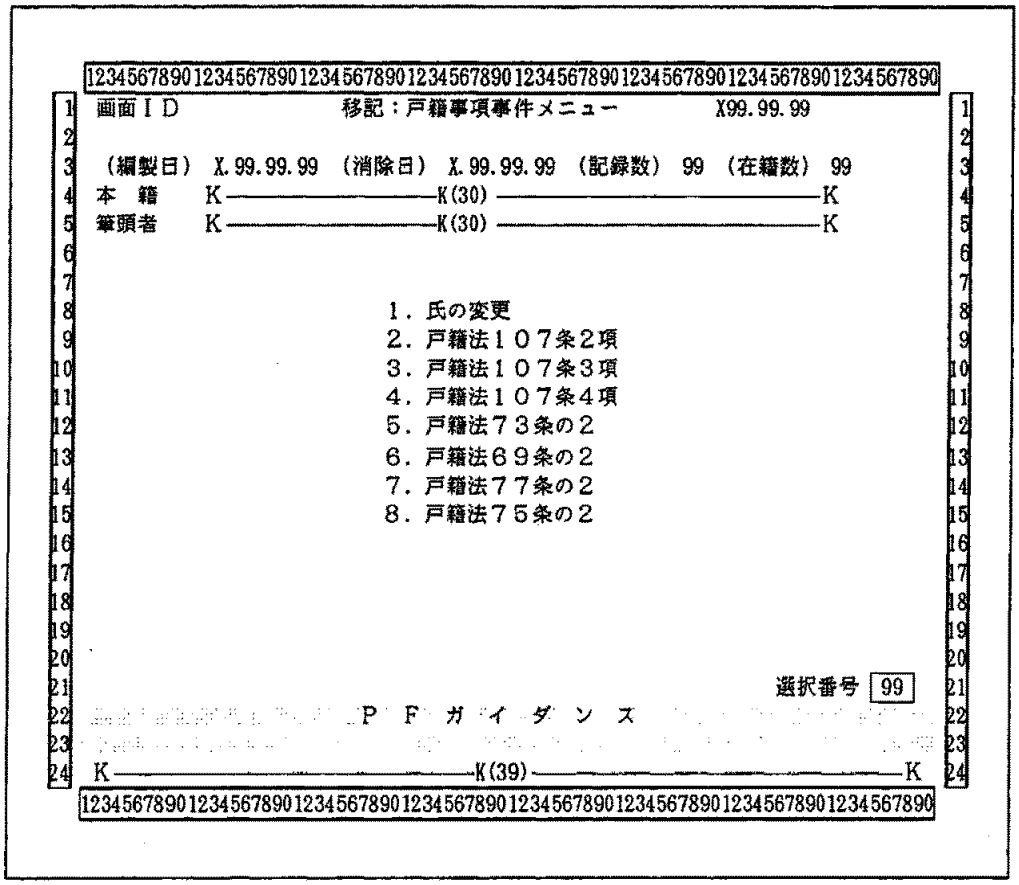
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(個人情報表示)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(個人情報表示)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:戸籍事項表示)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:戸籍事項表示)	

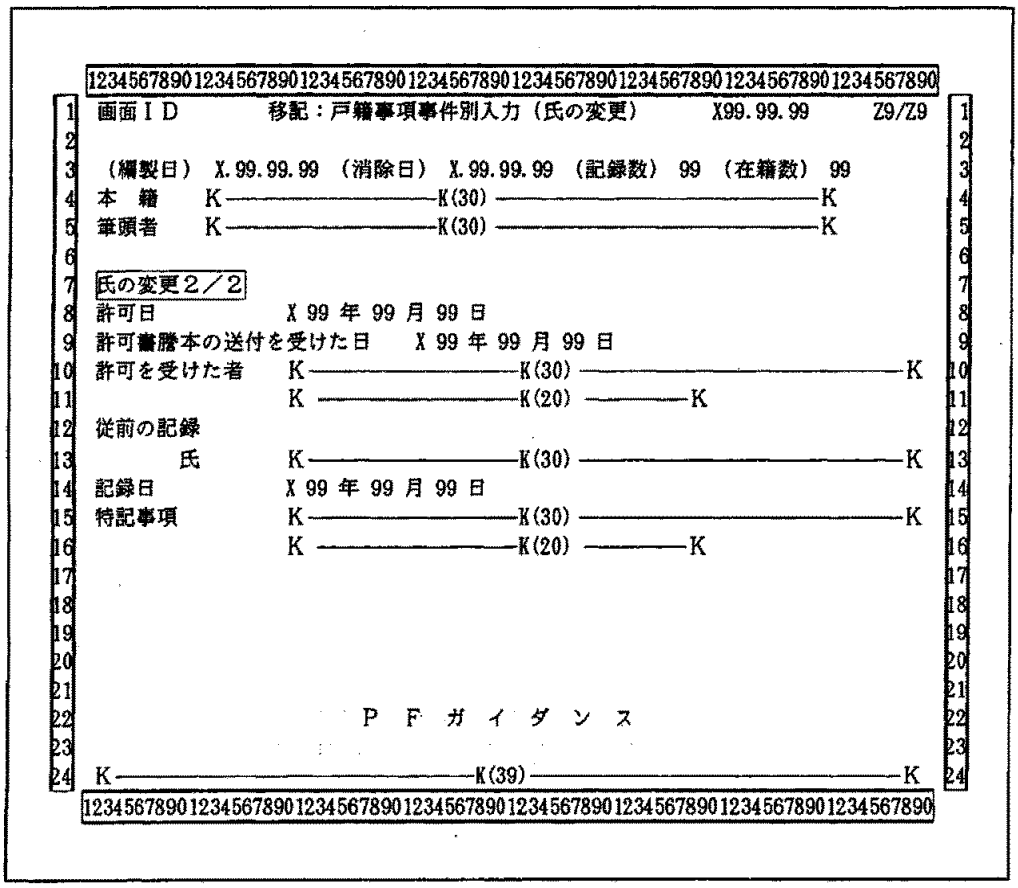


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:戸籍事項事件メニュー)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:戸籍事項事件メニュー)	

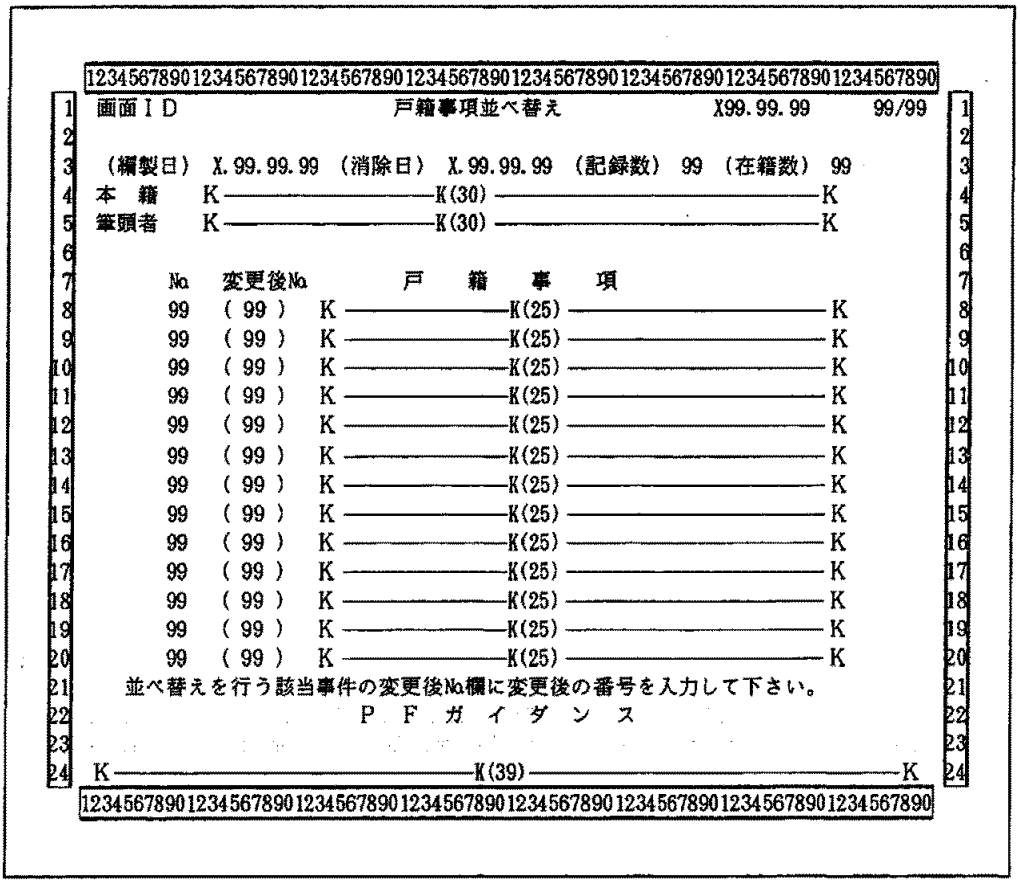


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更)1/2	

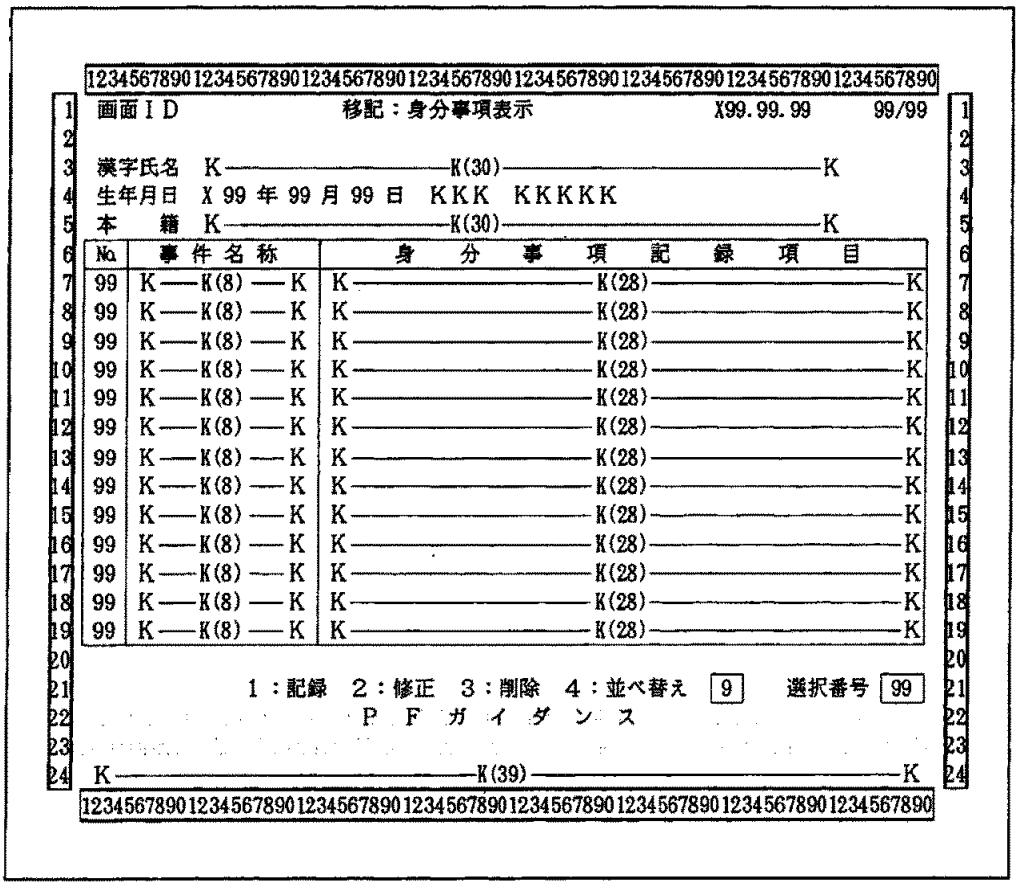
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:戸籍事項事件別入力　氏の変更)2/2	



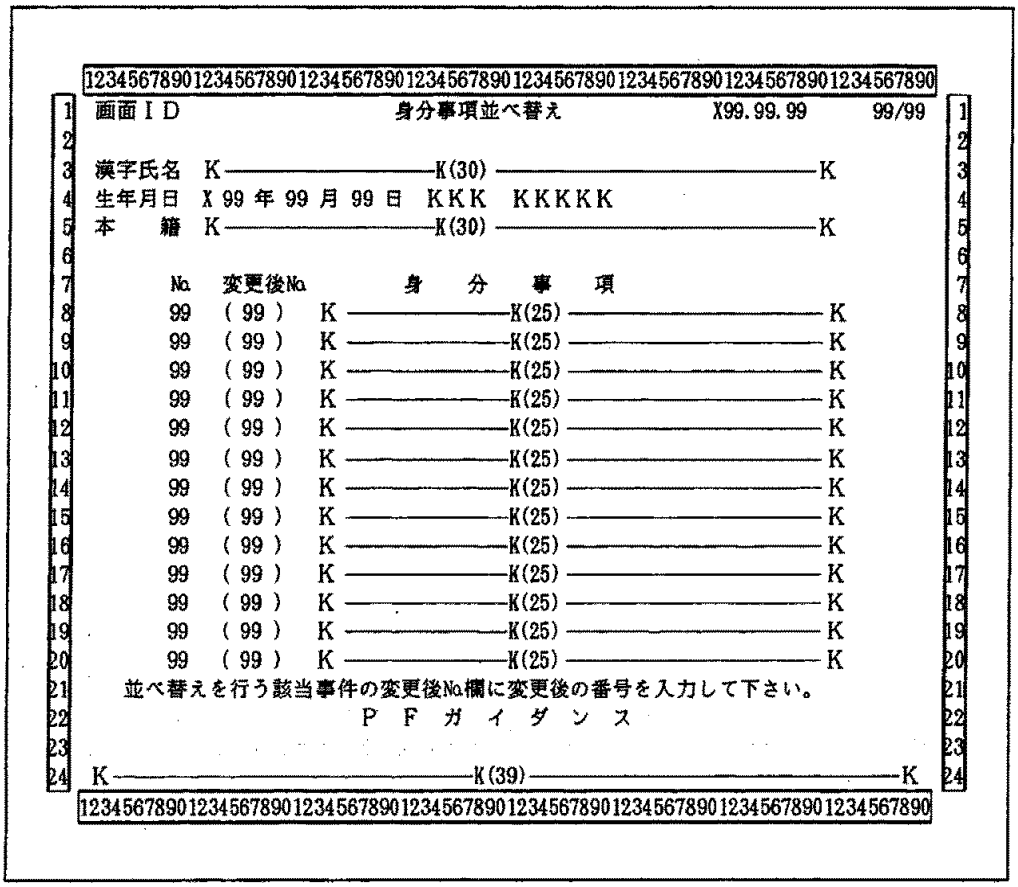
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(戸籍事項並べ替え)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(戸籍事項並べ替え)	



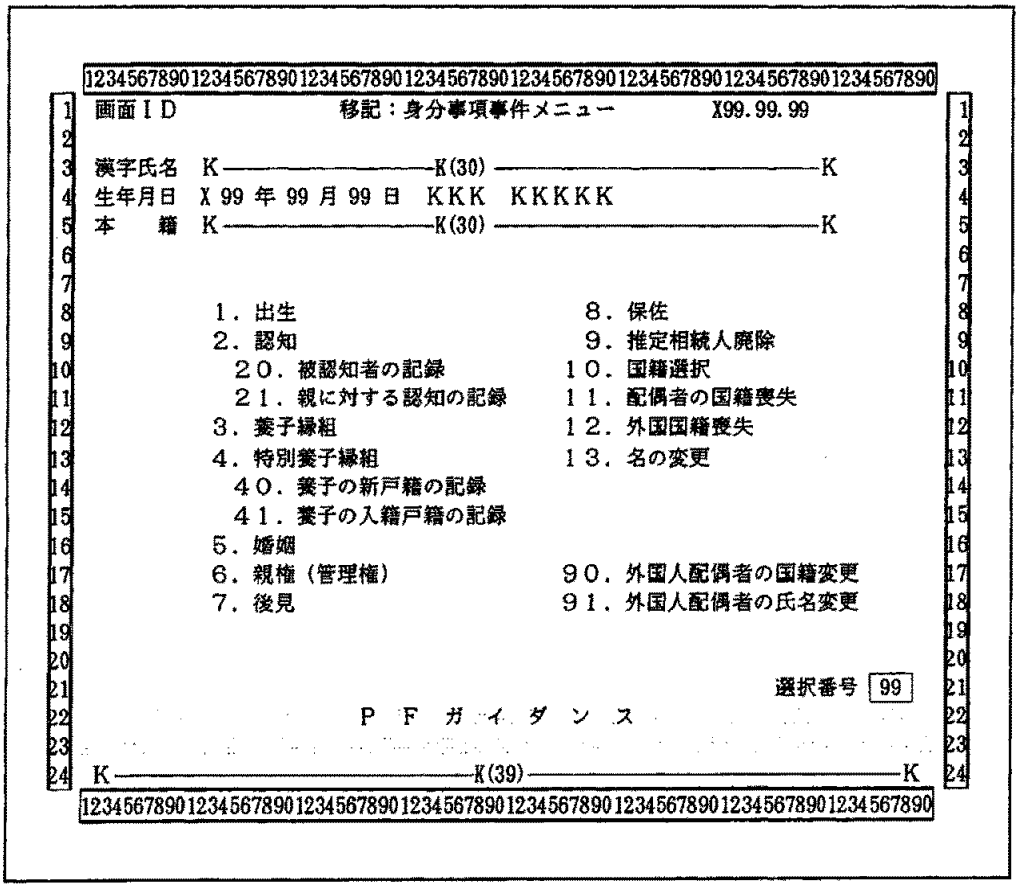
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:身分事項表示)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:身分事項表示)	



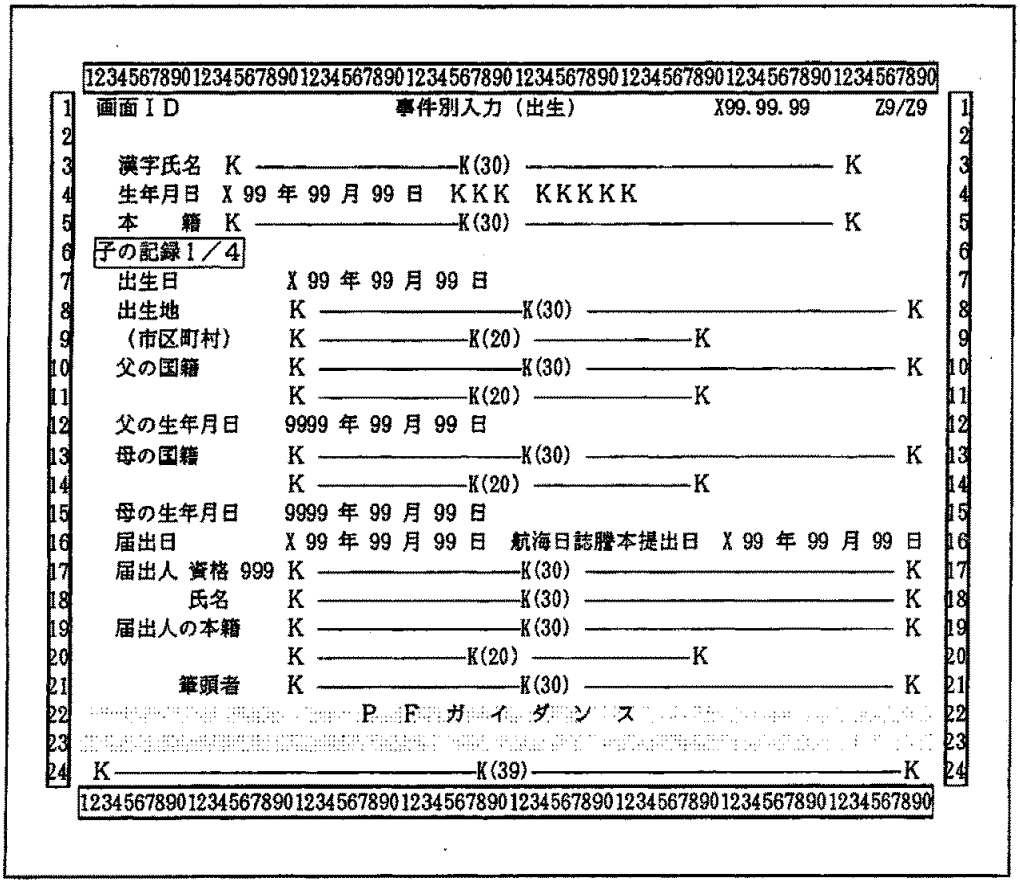
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(身分事項並べ替え)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(身分事項並べ替え)	



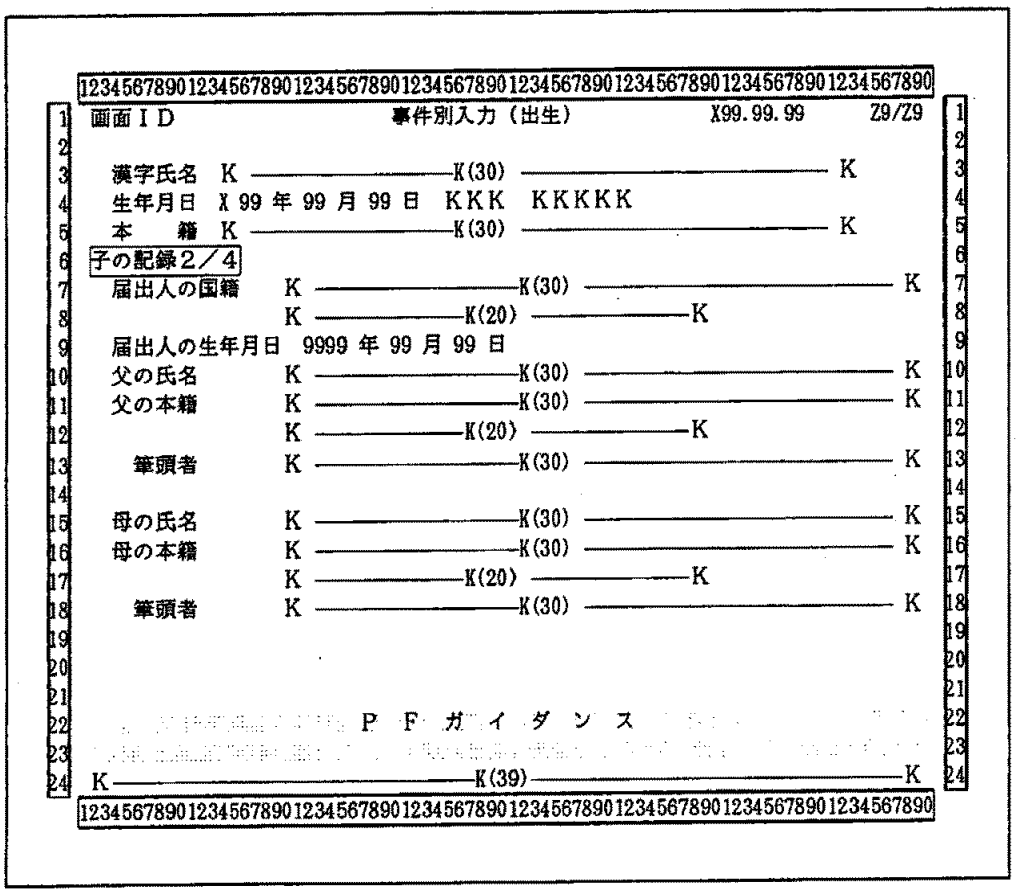
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記事項入力処理(移記:身分事項事件メニュー)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	(移記:身分事項事件メニュー)	



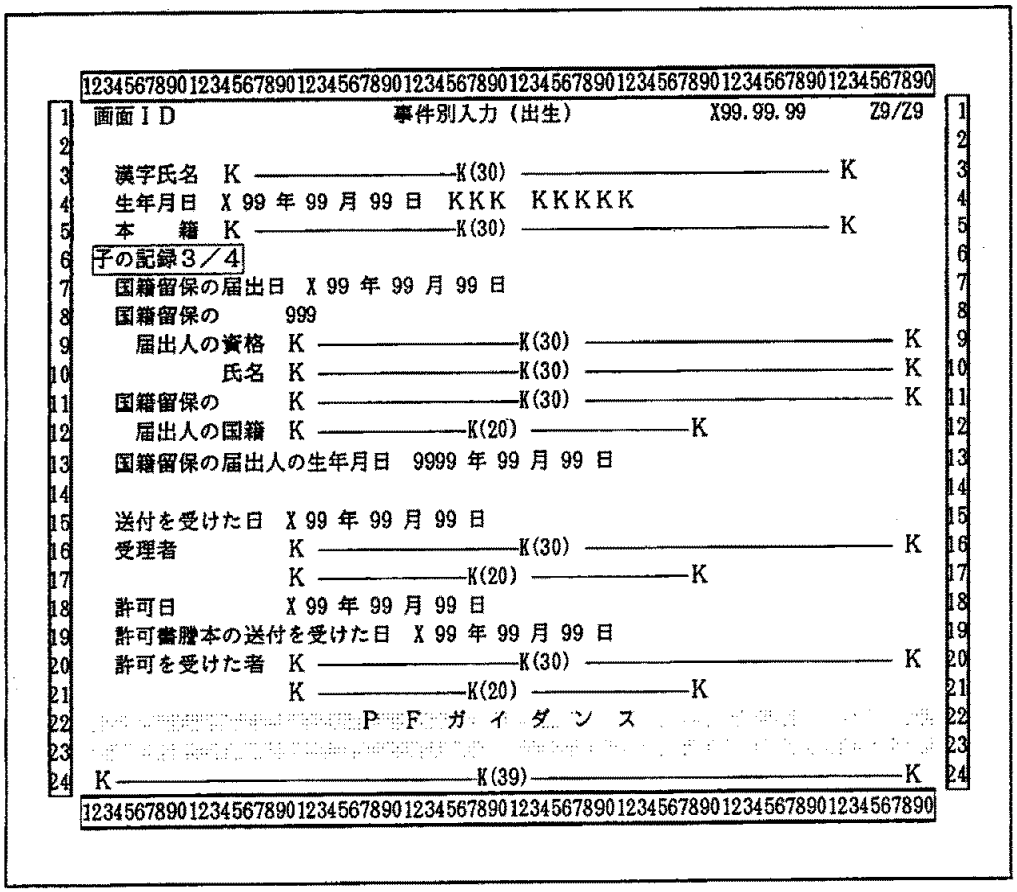
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記処理　事件別入力(出生)子の記録1/4		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録(その1)	



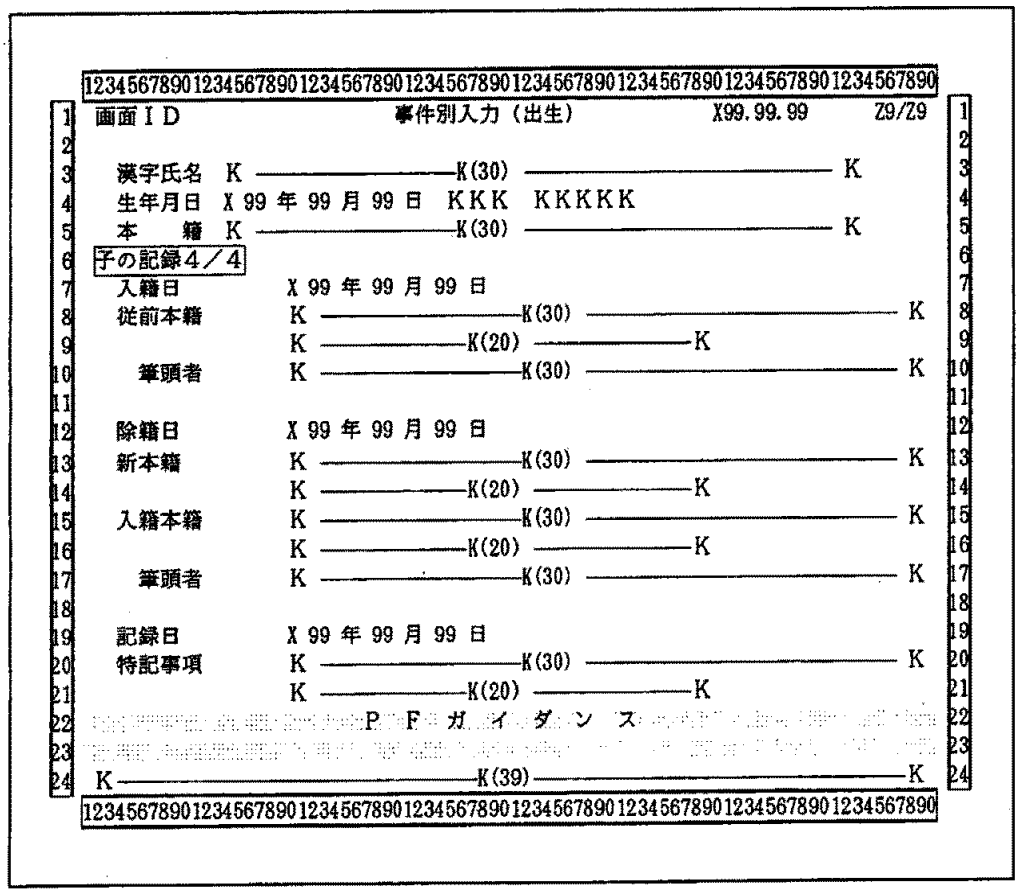
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記処理　事件別入力(出生)子の記録2/4		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録(その2)	



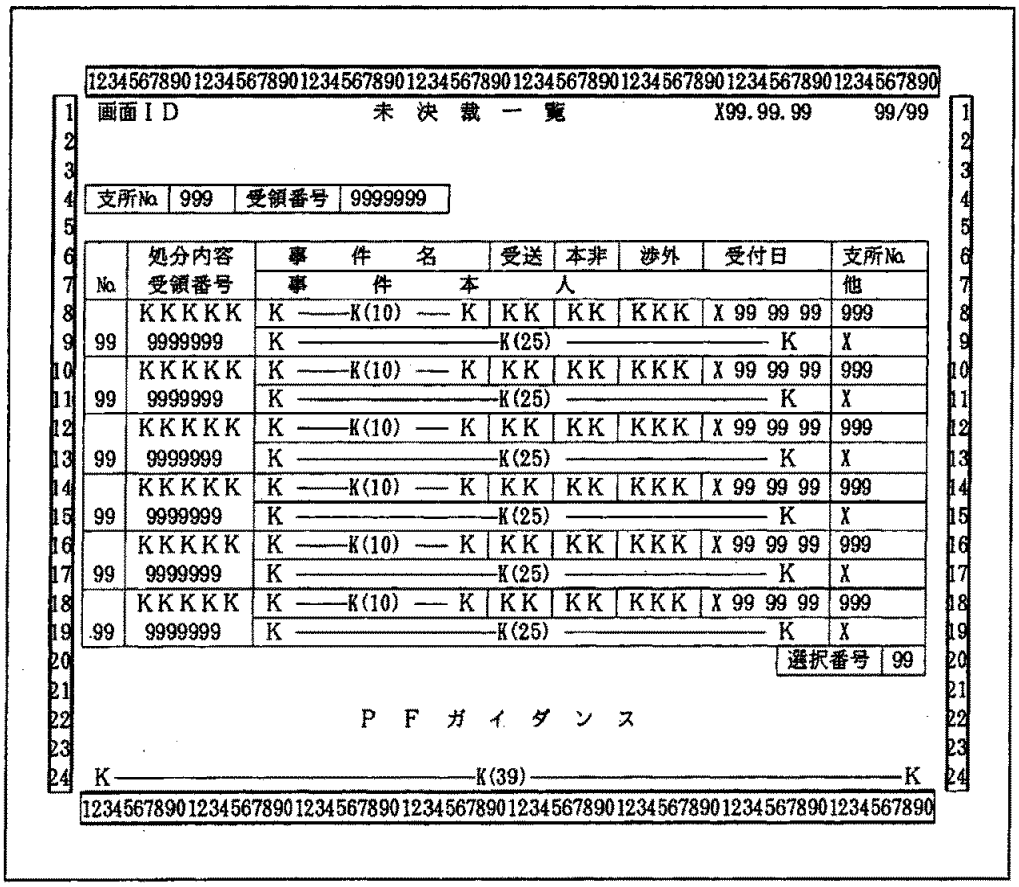
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記処理　事件別入力(出生)子の記録3/4		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録(その3)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
3.移記処理　事件別入力(出生)子の記録4/4		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録(その4)	



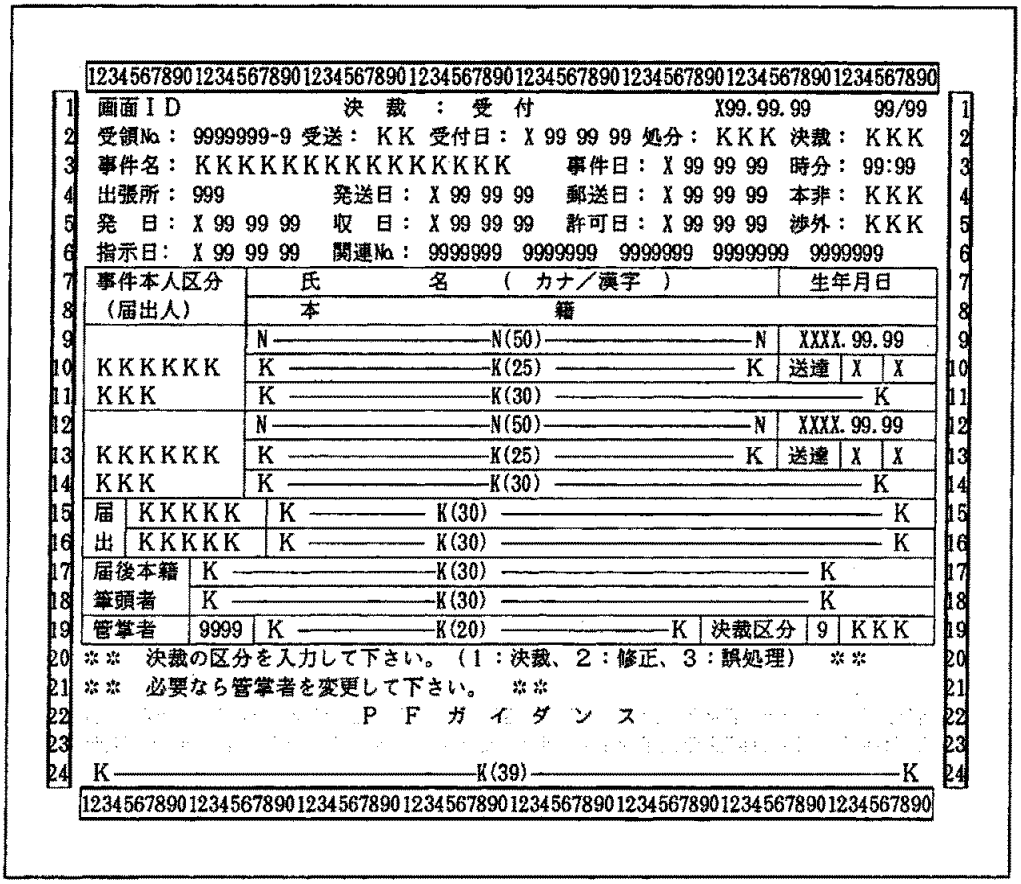
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　未決裁一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	未決裁一覧	



処理方法:1)一覧表の表示後選択番号の入力
2)受領番号の直接入力

受領番号の上:処分を表示する
exp.受理、不受理、返戻、受理の撤回
事件本人の隣:受付帳が複数ある場合に「*」を表示する
(同時決裁受領番号を参照)

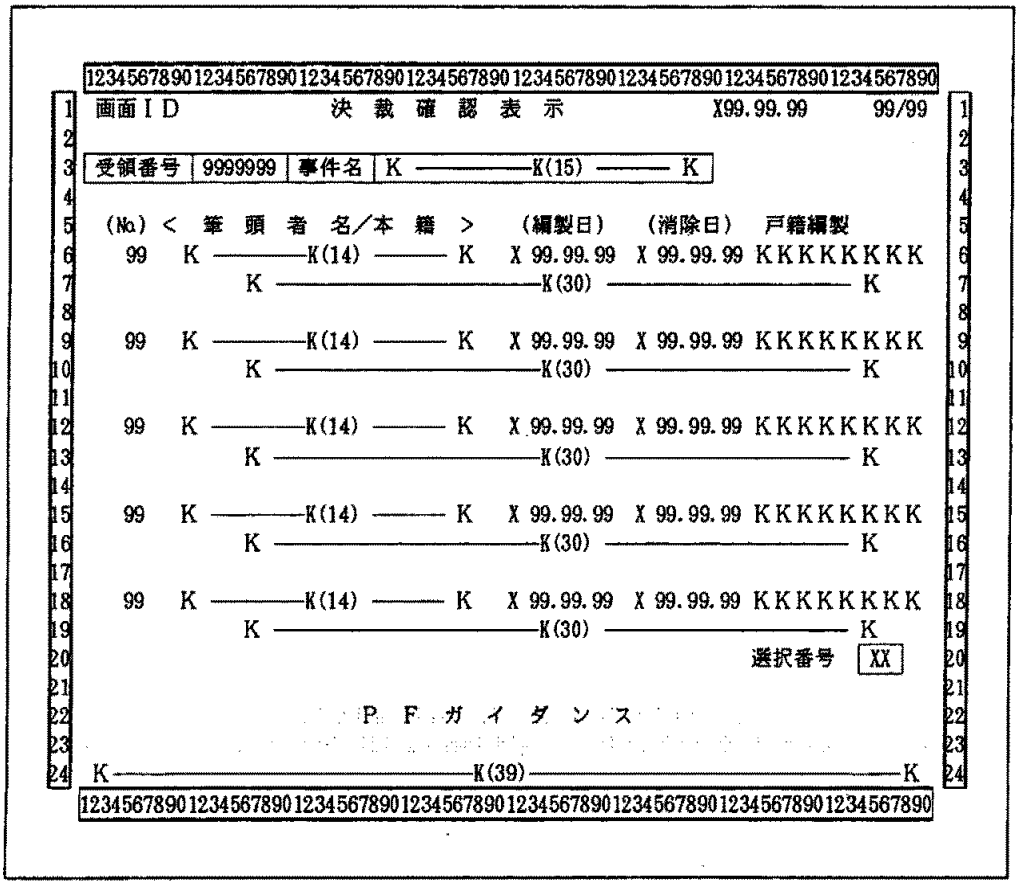
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　決裁･受付		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	決裁･受付	



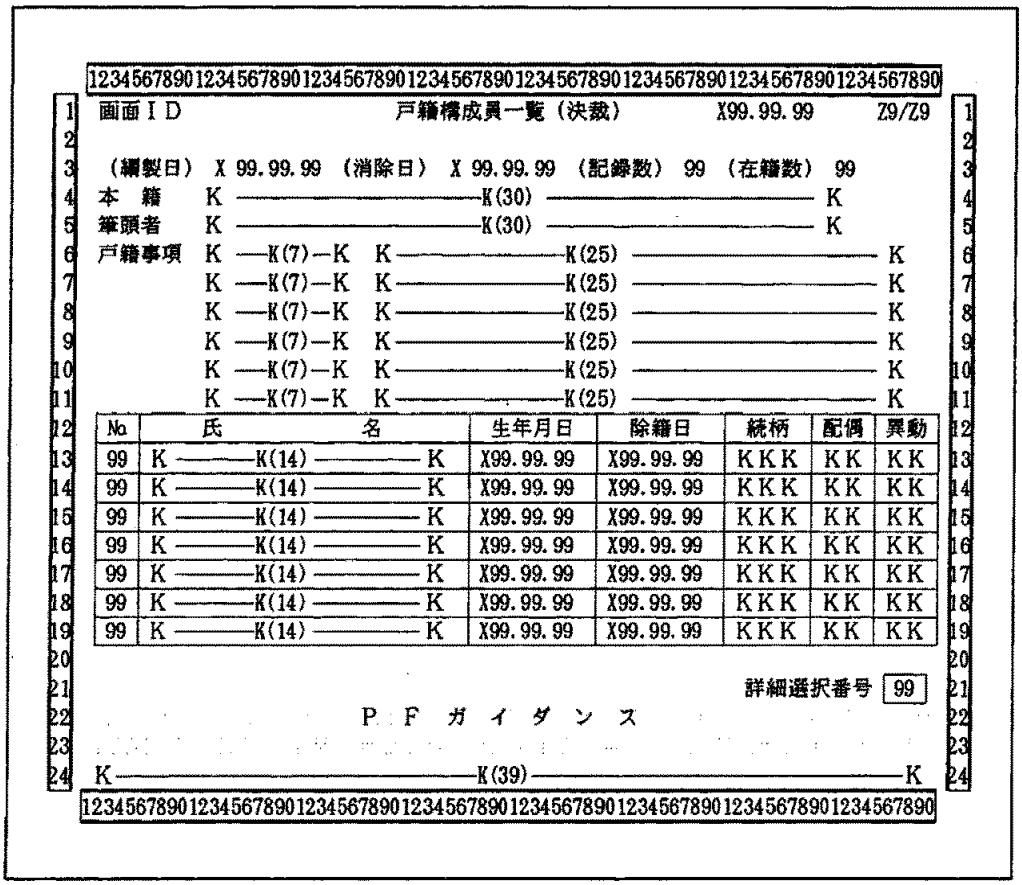
事件本人1～2:事件本人区分
exp.被認知者、認知者等
事件本人=届出人の場合、事件本人区分の下に「届出人」と表示
事件本人の氏名(カナ、漢字)
事件本人の生年月日
事件本人の送達確認1:従前本籍分
〃　2:新本籍分
*事件本人が3人以上の場合は複数頁になる

届出人1～2:　届出人の資格
exp.父、母　等
届出人の氏名
*事件本人=届出人の場合は表示せず

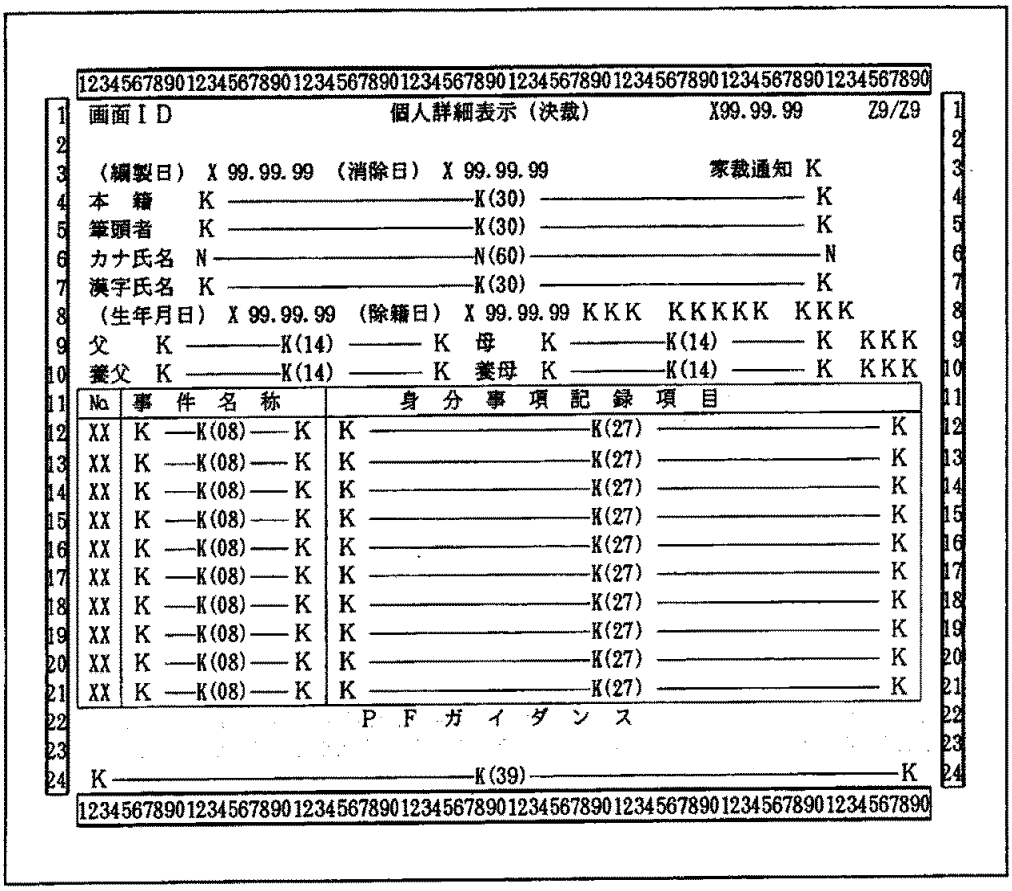
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　決裁確認表示		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	決裁確認表示	



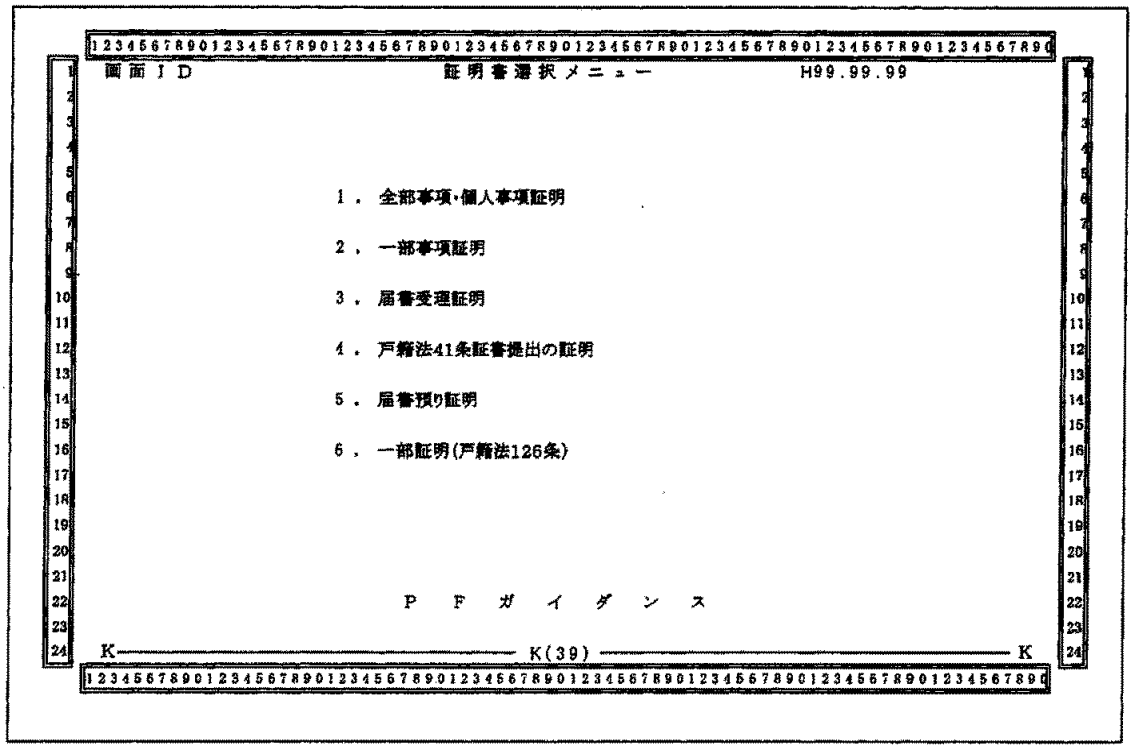
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　戸籍構成員一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	決裁　戸籍構成員一覧(決裁)	



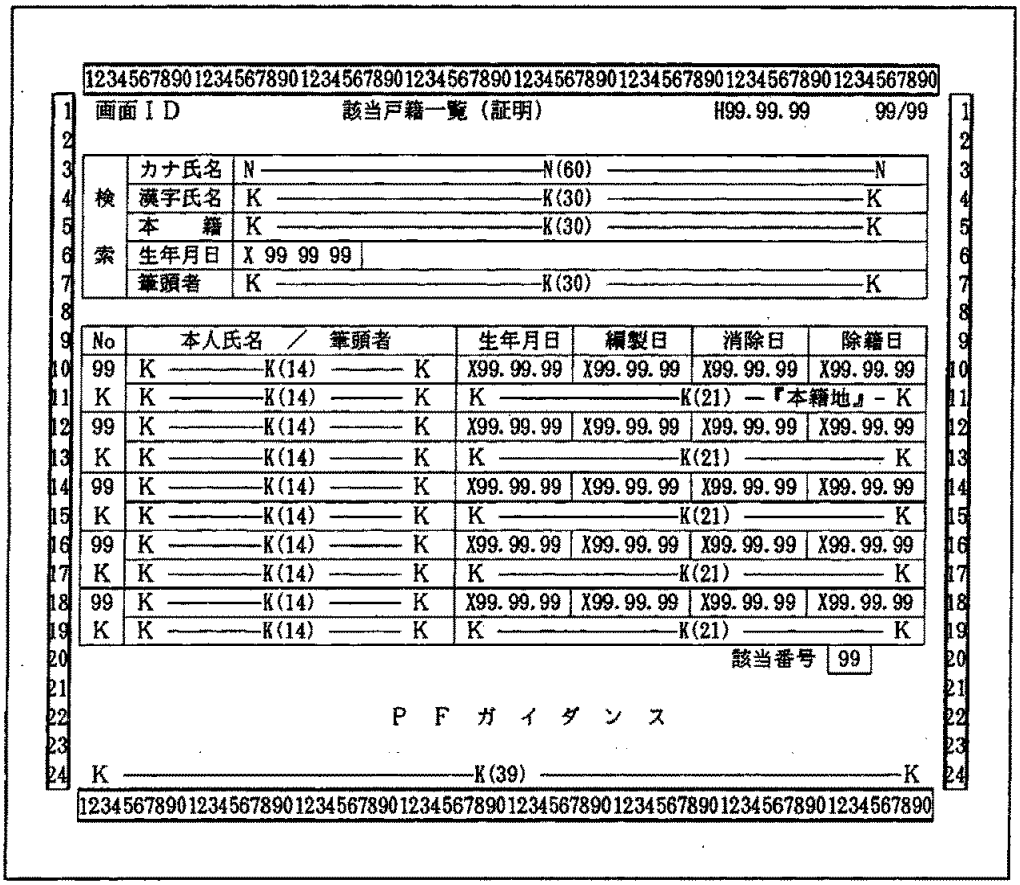
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
4.決裁処理　個人詳細表示		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	決裁　個人詳細表示(決裁)	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
5.証明発行処理		平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12
画面番号		画面名	証明書選択メニュー	



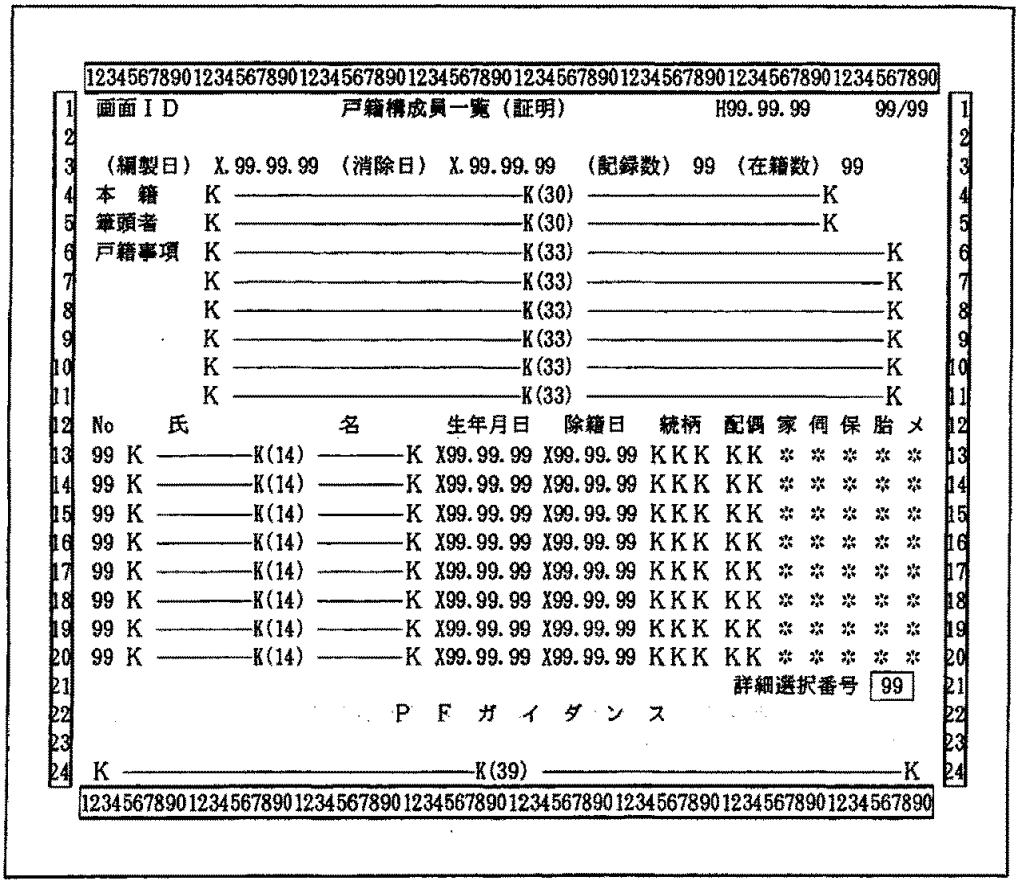
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明処理　5-3.本籍人戸籍検索(1/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	該当戸籍一覧(証明)	



本籍:管内の町丁名以降
NOの下:旧氏名で検索した場合「旧」を表示

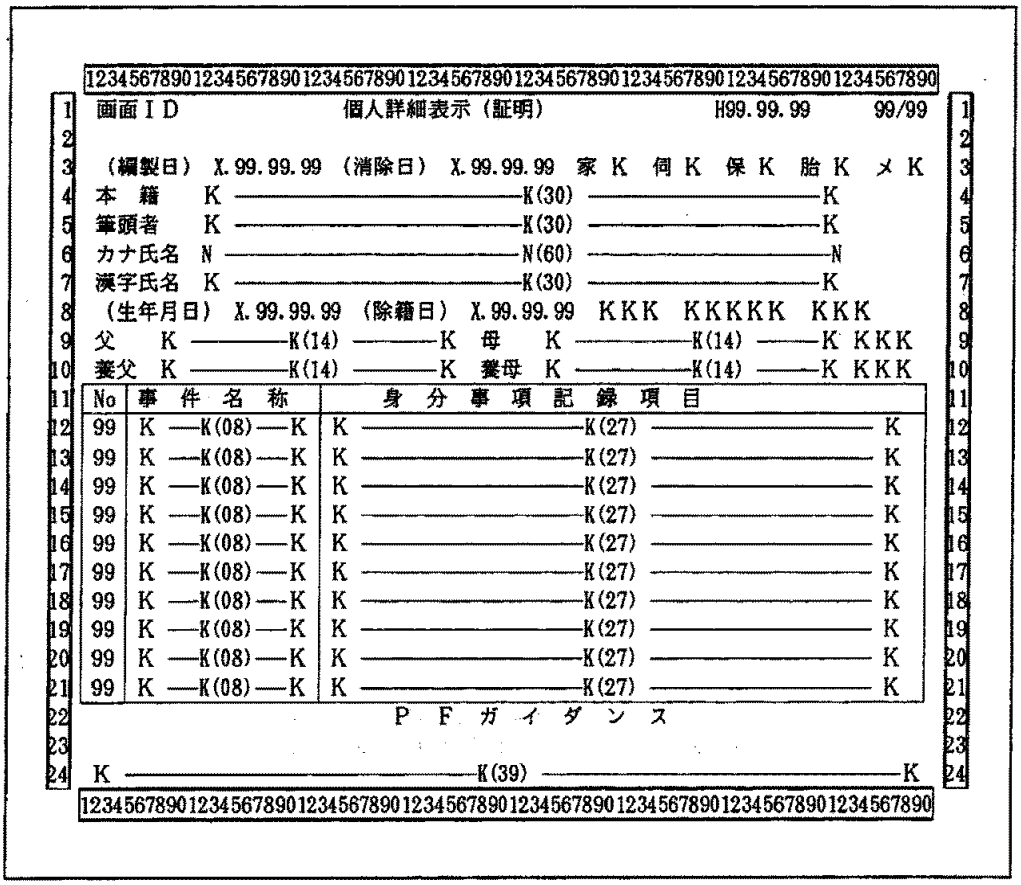
*検索件数:MAX99件

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.証明処理　5-3.本籍人戸籍検索(2/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(証明)	



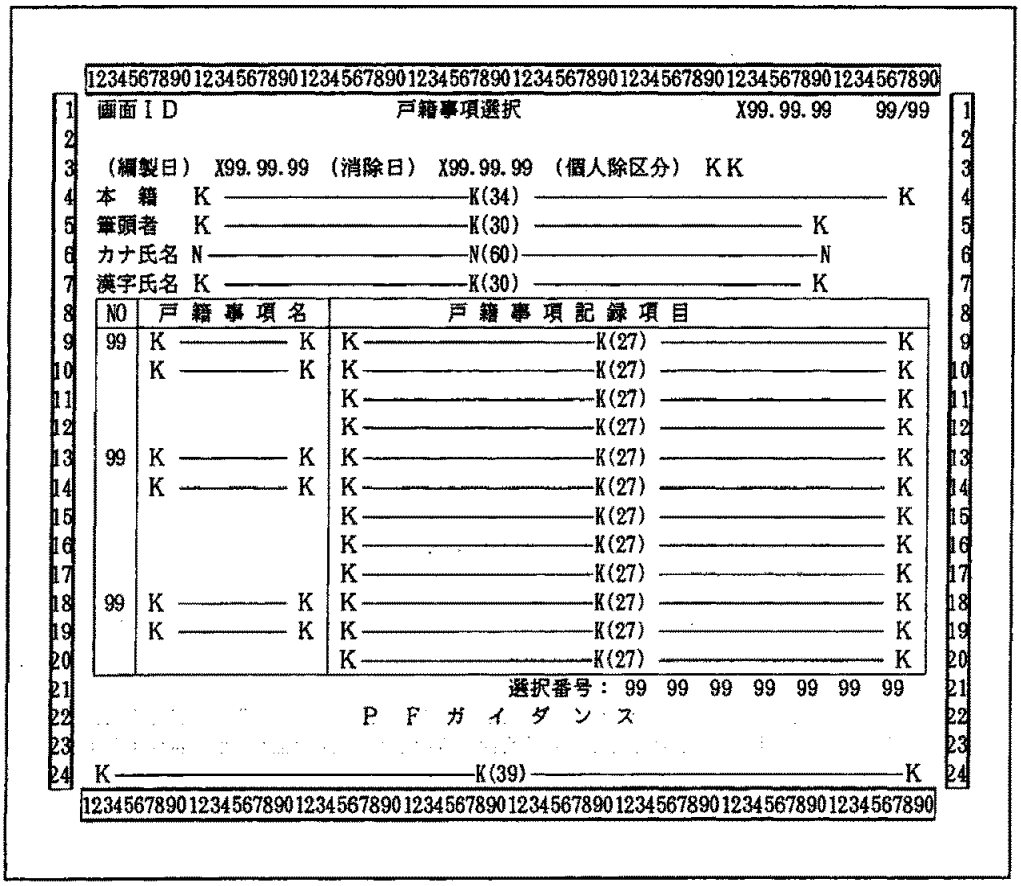
配偶:夫,妻,生配(生存配偶者)
家:家裁からの通知の有無を表す
伺:受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保:保留の届出の有無を表す
胎:胎児認知の有無を表す
メ:メモの有無を表す

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.証明処理　5-3.本籍人戸籍検索(3/3)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人詳細表示(証明)	

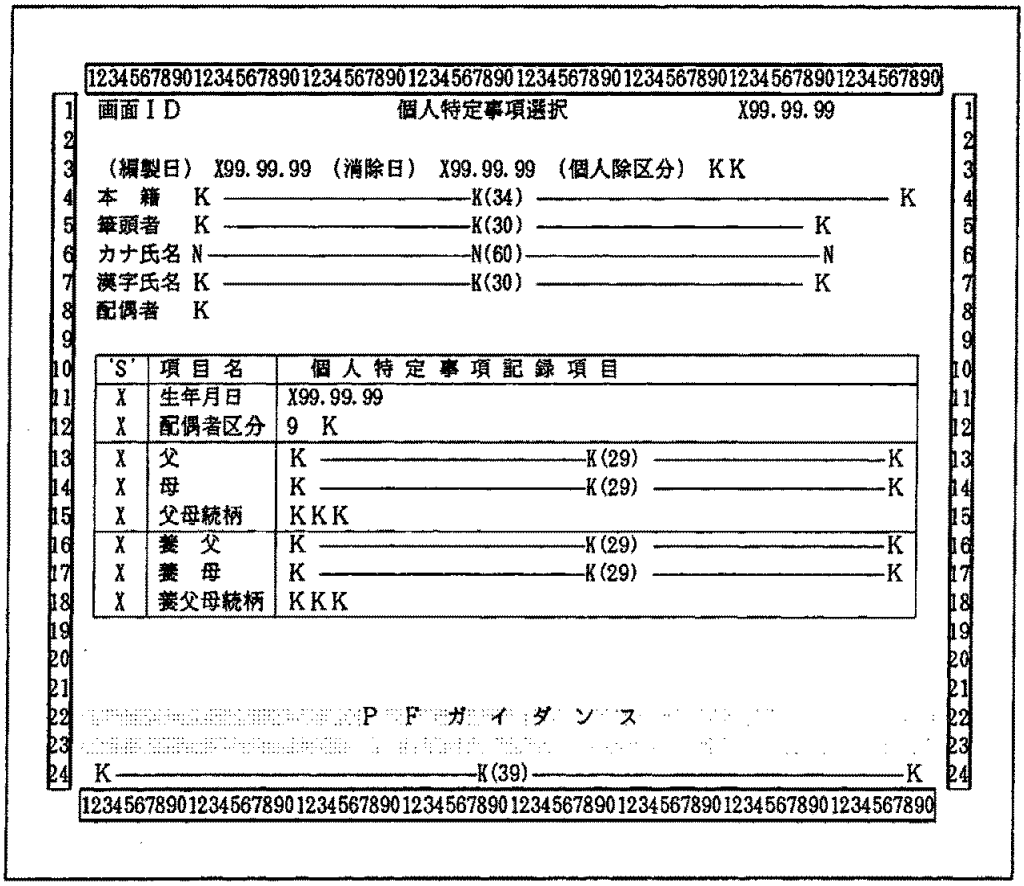


家　　家裁通知の有無を表す
伺　　受理伺いまたは処理伺いの届出の有無を表す
保　　保留の届出の有無を表す
胎　　胎児認知の有無を表す
メ　　メモの届出の有無を表す
8行49桁目　筆頭者の場合『筆頭者』
8行57桁目　配偶者区分により『夫』『妻』『生存配偶者』
8行69桁目　個人状態Fより破産宣告人の場合『破産者』

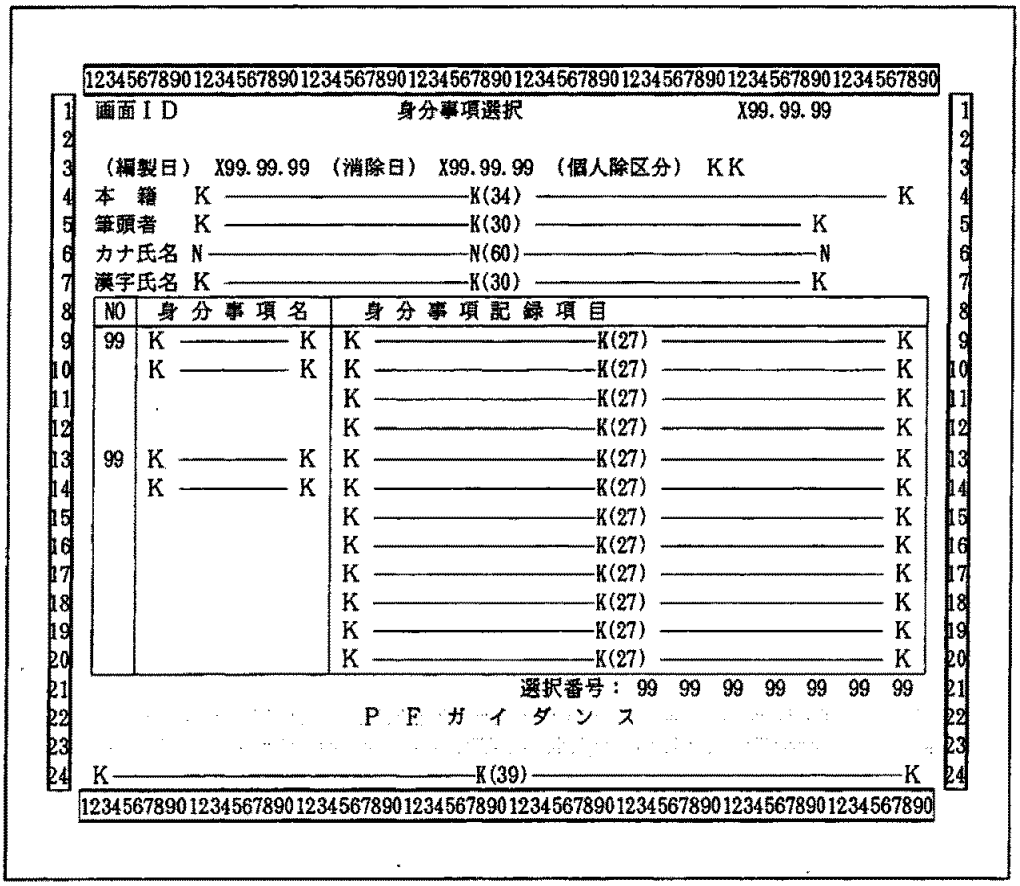
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明書発行処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項選択	



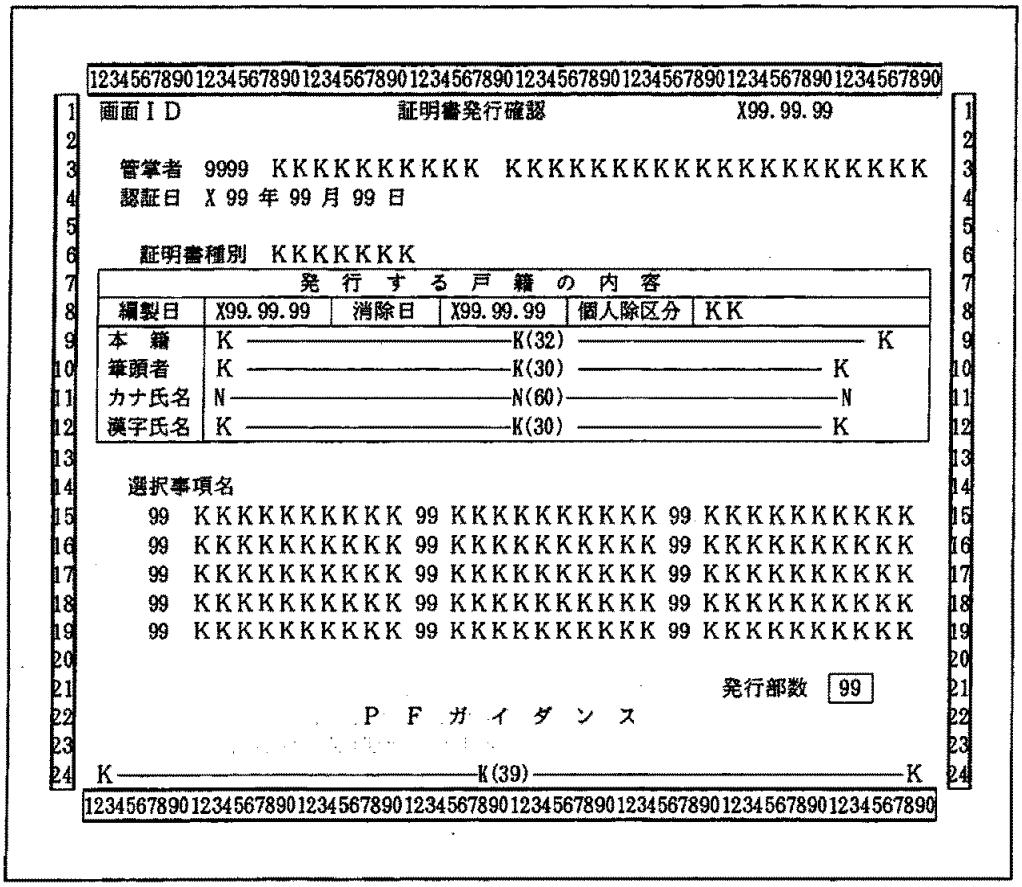
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明書発行処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人特定事項選択	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明書発行処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	身分事項選択	

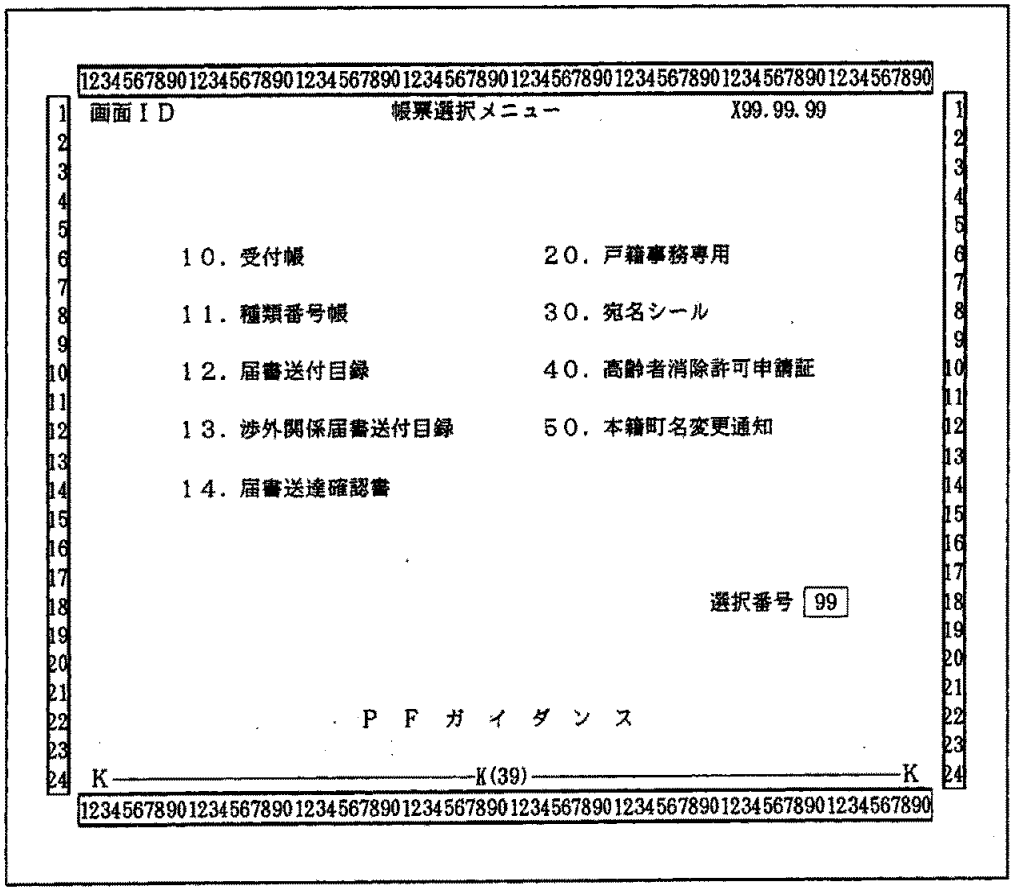


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
5.証明書発行処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	証明書発行確認	



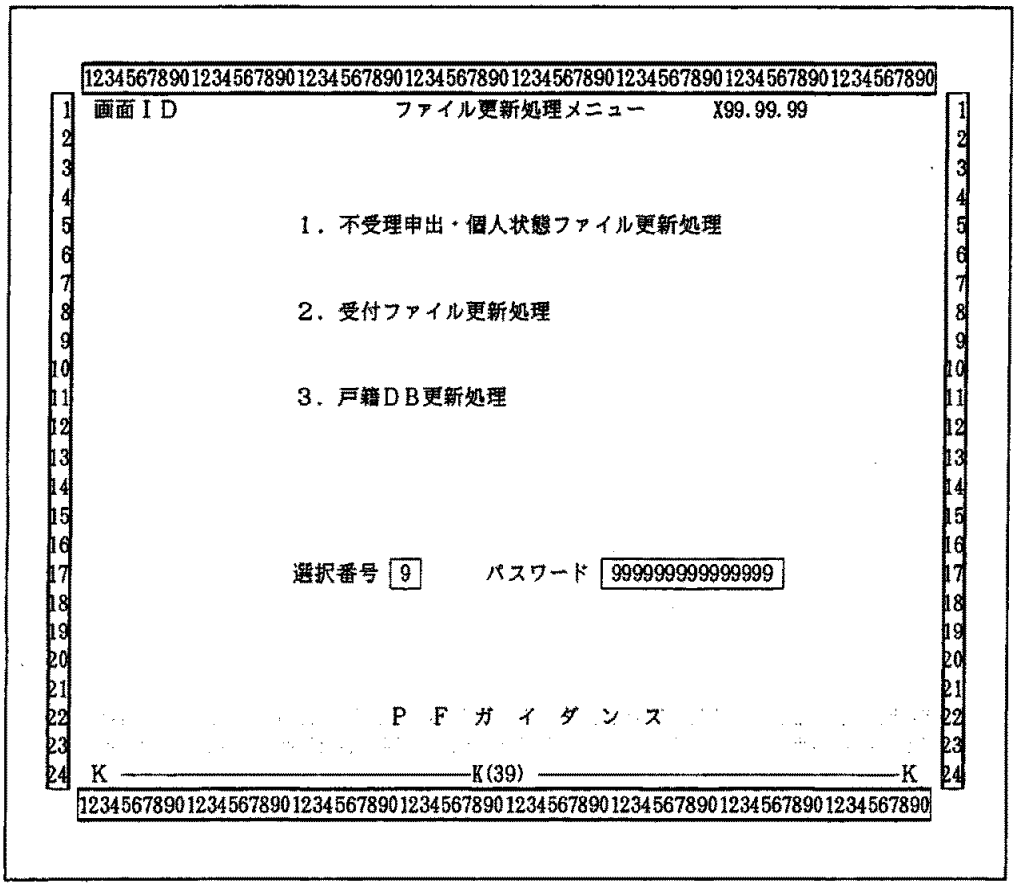
第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
6.統計処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	統計処理選択メニュー	

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
7.帳票出力処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	帳票出力選択メニュー	

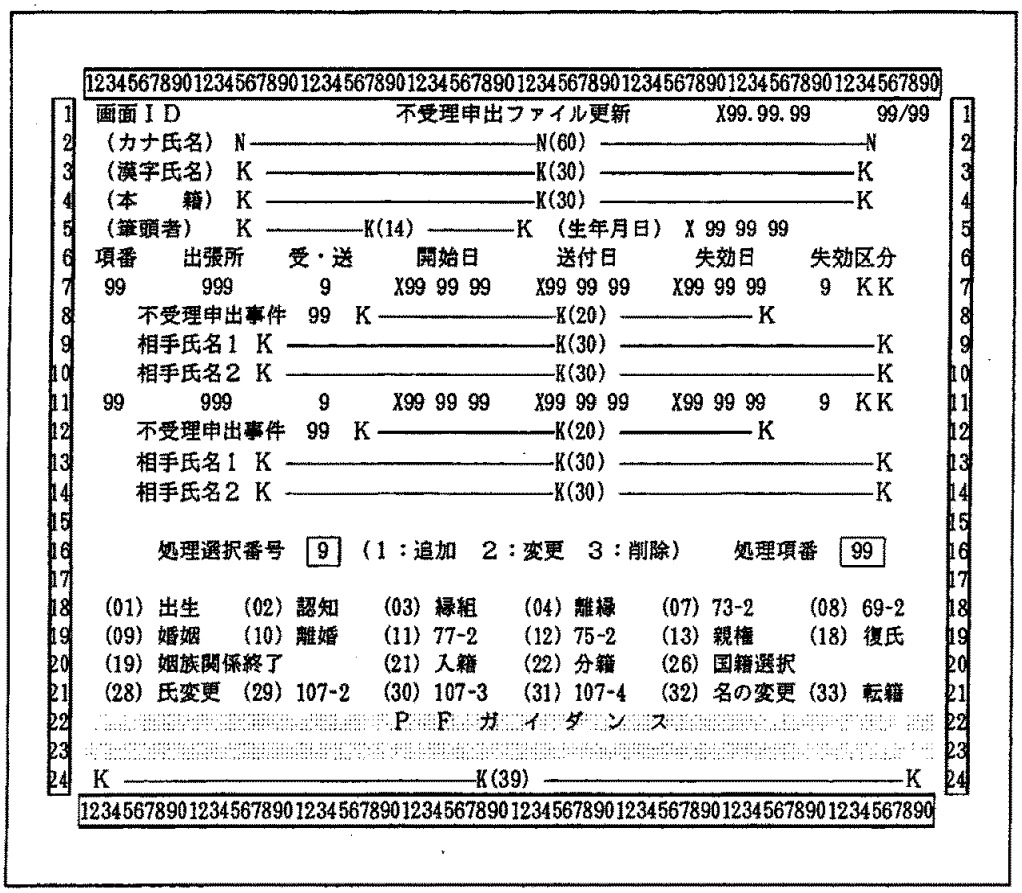


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
10.関連業務処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	関連業務選択メニュー	

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	ファイル更新処理メニュー	

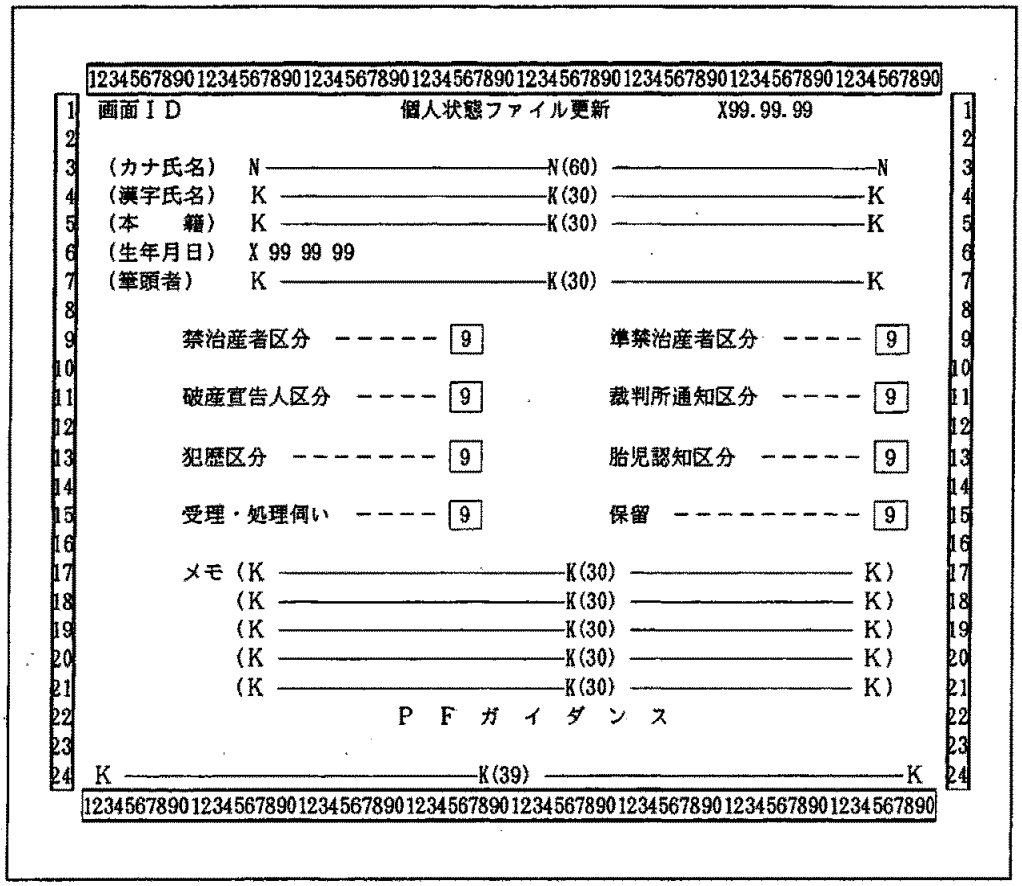


第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理　1.不受理申出ファイル更新		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	不受理申出ファイル更新	

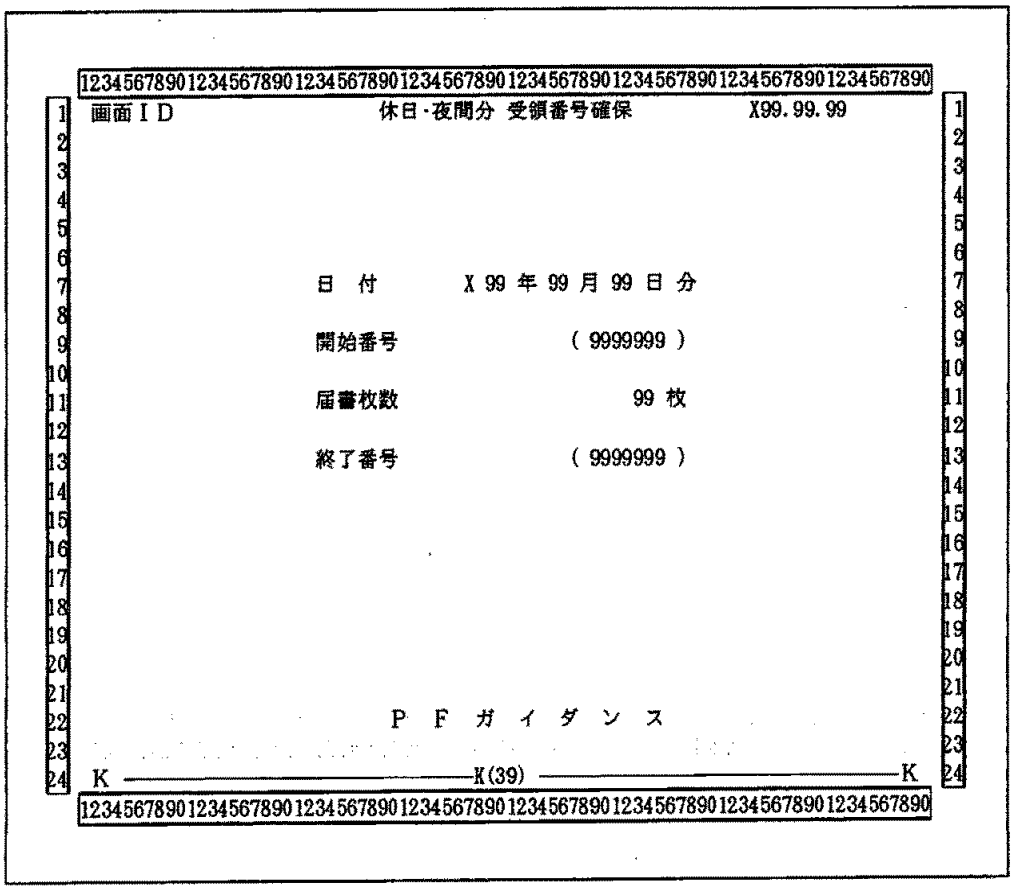


失効区分:終了、取り下げ、失効を区分する

第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理　2.個人状態ファイル更新		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人状態ファイル更新	



第5 5 (2)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
9.受領番号確保		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	休日･夜間分　受理番号確保	



第5.5.(3) 画面項目一覧表

第5.5.(3) 画面項目一覧表

(1) 作成の目的

入出力項目,ファイル項目を把握する資料とするため,オンラインシステムの流れ図届書及び画面設計書を参考にして,画面項目を検討し作成する。

(2) 作成方法

画面設計書で示した各項目の洗い出しを行った。
なお,各欄の記入内容は,次のとおりである。

ア　画面名　　画面の名称を記入する。

イ　項目名　　項目の名称を記入する。

ウ　桁数　　項目の桁数(長さ)を記入する。

エ　タイプ　　項目の属性(漢字･数字･カナ)を記入する。

オ　入出力　　入力項目なら「入」、出力項目なら「出」と記入する。

(3) 画面項目一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は,以下のとおりである。

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
0.業務メニュー	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍業務メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	業務選択番号	2	数字	入	
4	パスワード	15	英数字	入	*自治体固有チェック
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	検索処理メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	2	数字	入	
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1.戸籍検索　該当戸籍一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	該当戸籍一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	カナ氏名	60	カナ	入	
5	漢字氏名	30	漢字	入	
6	本籍	30	漢字	出	
7	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
8	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
9	一連番号	2	数字	出	
10	本人氏名	14	漢字	出	
11	生年月日	7	英数字	出	
12	編製日	7	英数字	出	
13	消除日	7	英数字	出	
14	除籍日	7	英数字	出	
15	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
16	筆頭者	14	漢字	出	
17	本籍地	21	漢字	出	
*上記9～17を一画面MAX5人表示する　(複数ページ有り)					
18	該当番号	2	数字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1.戸籍検索　戸籍構成員一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記10を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
11	構成員SEQ番号	2	数字	出	
12	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
13	構成員生年月日	7	英数字	出	
14	構成員除籍日	7	英数字	出	
15	構成員続柄	3	漢字	出	
16	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
17	構成員裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「*」
18	構成員伺い届出有無	1	漢字	出	受理･処理伺い:1の時「*」
19	構成員保留届出有無	1	漢字	出	保留:1の時「*」
20	構成員胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「*」
21	構成員メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
*上記11～20を一画面MAX8人表示する　(複数ページ有り)					
22	詳細選択番号	2	数字	入	
23	PFガイダンス1	39	漢字	出	
24	PFガイダンス2	39	漢字	出	
25	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1.戸籍検索　個人詳細表示	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「有」
7	伺い届出有無	1	漢字	出	受理･処理伺い:1の時「有」
8	保留届出有無	1	漢字	出	保留:1の時「有」
9	胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「有」
10	メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「有」
11	本籍	30	漢字	出	
12	筆頭者	30	漢字	出	
13	カナ氏名	60	カナ	出	
14	漢字氏名	30	漢字	出	
15	生年月日	7	英数字	出	
16	除籍日	7	英数字	出	
17	筆頭者表示	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
18	配偶者区分表示	5	漢字	出	
19	破産宣告人表示	3	漢字	出	破産宣告人の場合「破産者」
20	父氏名	14	漢字	出	
21	母氏名	14	漢字	出	
22	父母との続柄	3	漢字	出	
23	養父氏名	14	漢字	出	
24	養母氏名	14	漢字	出	
25	養父母との続柄	3	漢字	出	
26	身分事項事件項番	2	数字	出	
27	身分事項事件名	8	漢字	出	
28	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記25～27を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-1.戸籍検索　個人詳細表示	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-3.不受理申出ファイル検索	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	不受理申出ファイル表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	カナ氏名	60	カナ	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	項番	2	数字	出	
10	出張所番号	3	数字	出	
11	受理･送付別	1	数字	出	受理分:1,送付分:2
12	開始日	7	英数字	出	
13	送付日	7	英数字	出	
14	失効日	7	英数字	出	
15	失効区分	1	数字	出	終了:1,取下:2,失効:3
16	失効区分表示	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出事件コード	2	数字	出	
18	不受理申出事件名称	20	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名1	30	漢字	出	
20	不受理申出相手氏名2	30	漢字	出	
*上記　9～20を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理　1-4.個人状態ファイル検索	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人状態ファイル表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	カナ氏名	60	カナ	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	生年月日	7	英数字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	禁治産者区分	1	数字	出	禁治産者の場合:1
9	準禁治産者区分	1	数字	出	準禁治産者の場合:1
10	破産宣告人区分	1	数字	出	破産宣告人の場合:1
11	裁判所通知区分	1	数字	出	裁判所からの通知があった場合:1
12	犯歴区分	1	数字	出	犯罪歴がある場合:1
13	胎児認知区分	1	数字	出	胎児認知がある場合:1
14	受理･処理伺い区分	1	数字	出	受理･処理伺いがある場合:1
15	保留区分	1	数字	出	保留がある場合:1
16	メモ1	30	漢字	出	
17	メモ2	30	漢字	出	
18	メモ3	30	漢字	出	
19	メモ4	30	漢字	出	
20	メモ5	30	漢字	出	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理 1-2.受付ファイル検索 受付ファイル選択	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

画面番号		画面名	受付ファイル選択

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	入	
5	受領日1　　『範囲指定の場合、開始日』	7	英数字	入	元号コード入力有
6	受領日2　　『範囲指定の場合、終了日』	7	英数字	入	元号コード入力有
7	処分区分	1	数字	入	
8	処分名称	3	漢字	出	
9	カナ氏名	60	カナ	入	
10	漢字氏名	30	漢字	入	
11	届出事件コード	2	数字	入	
12	届出事件名称	5	漢字	出	
13	生年月日	7	数字	入	元号コード/西暦入力有
13-1	受理送付区分	1	数字	入	
13-2	渉外区分	1	数字	入	
14	渉外区分名	3	漢字	出	
15	一連番号	2	数字	出	
16	処分区分表示	3	漢字	出	
17	事件名	10	漢字	出	
18	受理･送付区分	2	漢字	出	
19	本籍･非本籍区分	2	漢字	出	
20	渉外区分	3	漢字	出	
21	受付日	7	英数字	出	
22	決裁区分	3	漢字	出	
23	受付番号	7	数字	出	
24	事件本人漢字氏名	30	漢字	出	事件本人1を表示
*上記15～24を一画面MAX6件分示する　(複数ページ有り)					
25	選択番号	2	数字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理 1-2.受付ファイル検索 受付ファイル検索	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

画面番号		画面名	受付ファイル検索(1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受付番号	9	英数字	出	「9999999-9」で編集
5	受理･送付区分	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	
7	処分区分表示	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件日	7	英数字	出	
10	決裁区分	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	
13	郵送日	7	英数字	出	
14	本籍･非本籍区分	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	
16	収日	7	英数字	出	
17	許可日	7	英数字	出	
18	渉外区分	3	漢字	出	
19	指示日	7	英数字	出	
20	関連事件番号1	7	数字	出	
21	関連事件番号2	7	数字	出	
22	関連事件番号3	7	数字	出	
23	関連事件番号4	7	数字	出	
24	関連事件番号5	7	数字	出	
25	事件本人区分	6	漢字	出	
26	事件本人カナ氏名	48	カナ	出	
27	事件本人生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年　月　日」 外国人の場合「西暦年　月　日」
28	事件本人漢字氏名	24	漢字	出	
29	事件本人送達確認区分1	1	数字	出	注：1画面中2人目にはなし
30	事件本人送達確認区分2	1	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
1.検索処理 1-2.受付ファイル検索 受付ファイル検索	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

画面番号		画面名	受付ファイル検索(2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	事件本人届出人同一表示	3	漢字	出	
32	事件本人本籍/筆頭者	30	漢字	出	K-本籍-K　K - 筆頭者-K　で編集表示する
	*上記24～31を一画面MAX2人分示する　(複数ページ有り)				
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後本籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　届出メニュー	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	届出メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	該当事件コード	2	数字	入	
4	受領番号	7	数字	入	
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索　該当戸籍一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	該当戸籍一覧(異動)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	カナ氏名	60	カナ	入	
6	漢字氏名	30	漢字	入	
7	本籍	30	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
9	筆頭者	30	漢字	入	「氏△名」
10	一連番号	2	数字	出	
11	本人氏名	14	漢字	出	
12	生年月日	7	英数字	出	
13	編製日	7	英数字	出	
14	消除日	7	英数字	出	
15	除籍日	7	英数字	出	
16	旧氏名検索表示	1	漢字	出	検索対象が旧氏名の場合「旧」表示
17	筆頭者	14	漢字	出	
18	本籍地	21	漢字	出	
*上記10～18を一画面MAX5人表示する　(複数ページ有り)					
19	該当番号	2	数字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索　戸籍構成員一覧(1/2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)(1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	事件名	15	漢字	出	
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	記録数	2	数字	出	
8	在籍数	2	数字	出	
9	本籍	30	漢字	出	
10	筆頭者	30	漢字	出	
11	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記11を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
12	構成員SEQ番号	2	数字	出	
13	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
14	構成員生年月日	7	英数字	出	
15	構成員除籍日	7	英数字	出	
16	構成員続柄	3	漢字	出	
17	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
18	構成員裁判所通知有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「*」
19	構成員伺い届出有無	1	漢字	出	受理･処理伺い:1の時「*」
20	構成員保留届出有無	1	漢字	出	保留1:の時「*」
21	構成員胎児認知有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「*」
22	構成員メモ有無	1	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
*上記12～22を一画面MAX6人表示する　(複数ページ有り)					
23	詳細選択番号	2	数字	入	
24	事件本人1選択番号	2	数字	入	届出により事件本人名称及び該当者の入力項目数を変える
25	事件本人2選択番号	2	数字	入	
26	事件本人3選択番号	2	数字	入	
27	事件本人4選択番号	2	数字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍検索　戸籍構成員一覧(2/2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(異動)(2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍選択　個人詳細表示(1/2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)(1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	
3	ページ	5	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
4	事件名	15	漢字	出	「99/99」で編集
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	裁判所通知有無	1	漢字	出	
8	伺い届出有無	1	漢字	出	裁判所通知:1の時「*」
9	保留届出有無	1	漢字	出	受理･処理伺い:1の時「*」
10	胎児認知有無	1	漢字	出	保留1:の時「*」
11	メモ有無	1	漢字	出	胎児認知:1の時「*」
12	本籍	30	漢字	出	メモ:NOT SPACEの時「*」
13	筆頭者	30	漢字	出	
14	カナ氏名	60	カナ	出	
15	漢字氏名	30	漢字	出	
16	生年月日	7	英数字	出	
17	除籍日	7	英数字	出	
18	筆頭者表示	3	漢字	出	
19	配偶者区分表示	5	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
20	破産宣告人表示	3	漢字	出	
21	父氏名	14	漢字	出	破産宣告人の場合「破産者」
22	母氏名	14	漢字	出	
23	父母との続柄	3	漢字	出	
24	養父氏名	14	漢字	出	
25	養母氏名	14	漢字	出	
26	養父母との続柄	3	漢字	出	
27	身分事項事件項番	2	数字	出	
28	身分事項事件名	8	漢字	出	
29	身分事項記録項目	27	漢字	出	
*上記27～29を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　本籍人戸籍選択　個人詳細表示(2/2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(異動)(2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	
32	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　出生(その1)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	出生証明書区分	1	数字	入	
15	出生子のカナ氏名	60	カナ	入	
16	出生子の漢字氏名	30	漢字	入	
17	出生子の生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
18	出生子の出生区分	1	数字	入	
19	出生子の続柄コード	2	数字	入	
20	出生子の出生地	30	漢字	入	
21	出生子の国籍	30	漢字	入	*
22	出生子の住所	30	漢字	入	
23	出生子の世帯主氏名	30	漢字	入	
24	出生子の世帯主との続柄コード	6	数字	入	
25	届出人の資格コード	3	数字	入	
26	届出人の資格コード名称	27	漢字	出	
27	届出人の資格名称	30	漢字	入	
28	届出人の氏名	30	漢字	入	
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　出生(その2)　1/2	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	入るべき戸籍の婚姻日	7	英数字	入	*
15	入るべき戸籍の同一人再婚区分	1	数字	入	*
16	入るべき戸籍の嫡出子例外区分	1	数字	入	*
17	入るべき戸籍の離婚日	7	英数字	入	*
18	入るべき戸籍の母前離婚日	7	英数字	入	*
19	入るべき戸籍の本籍	30	漢字	入	
20	入るべき戸籍の筆頭者氏名	30	漢字	入	
21	入るべき戸籍の父氏名	23	漢字	入	
22	入るべき戸籍の父筆頭者区分	1	数字	入	*
23	入るべき戸籍の父生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
24	入るべき戸籍の父入籍日	7	英数字	入	*
25	入るべき戸籍の父除籍日	7	英数字	入	*
26	入るべき戸籍の父配偶者区分	1	数字	入	*
27	入るべき戸籍の母氏名	23	漢字	入	
28	入るべき戸籍の母筆頭者区分	1	数字	入	*
29	入るべき戸籍の母生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
30	入るべき戸籍の母入籍日	7	英数字	入	*
31	入るべき戸籍の母除籍日	7	英数字	入	*

*届書にない項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　出生(その2)　2/2	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	入るべき戸籍の母配偶者区分	1	数字	入	*
33	届書の父氏名	30	漢字	入	
34	届書の父本籍	18	漢字	入	
35	届書の父生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
36	届書の父筆頭者氏名	18	漢字	入	
37	届書の父外国人区分	1	数字	入	*
38	届書の母氏名	30	漢字	入	
39	届書の母本籍	18	漢字	入	
40	届書の母生年月日	8	英数字	入	(外国人は西暦入力)
41	届書の母筆頭者氏名	18	漢字	入	
42	届書の母外国人区分	1	数字	入	*
43	胎児認知区分	1	数字	出	*
44	胎児認知日	7	英数字	入	*
45	関連受領番号	7	数字	入	*
46	PFガイダンス1	39	漢字	出	
47	PFガイダンス2	39	漢字	出	
48	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　出生(その3)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード.年.月.日」で編集
3	支所No.	3	数字	入	*
4	受領No.	7	数字	出	*
5	受領日	7	英数字	入	
6	送付日	7	英数字	入	
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	*
10	本･非本	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	*
12	動態	1	数字	入	*
13	報告	1	数字	入	*
14	新戸籍の本籍	30	漢字	入	*
15	新戸籍の筆頭者氏名	30	漢字	入	*
16	国外出生の国籍留保届出人資格	1	数字	入	*
17	国外出生の在外公館名	30	漢字	入	*
18	裁判の区分	1	数字	入	*
19	裁判の確定日	7	英数字	入	*
20	裁判の子の氏変更日	7	英数字	入	*
21	裁判の対象夫氏名	18	漢字	入	*
22	裁判の対象夫生年月日	8	英数字	入	*
23	親権の区分	1	数字	入	*
24	親権の確定日	7	英数字	入	*
25	国内遅延理由区分	1	数字	入	*
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*届書にない項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード 年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	報告的届出区分	1	数字	入	*
13	被認知者の区分	1	数字	入	
14	被認知者の外国人区分	1	数字	入	*
15	被認知者の本非区分	1	漢字	入	*
16	被認知者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	被認知者の生死区分	1	数字	入	*
18	被認知者のカナ氏名	60	カナ	入	*
19	被認知者の漢字氏名	30	漢字	入	
20	被認知者の住所	30	漢字	入	
21	被認知者の世帯主	30	数字	入	
22	被認知者の本籍地	30	漢字	入	
23	被認知者の筆頭者	30	数字	入	
24	被認知者の準正による訂正後の続柄	2	数字	入	*
25	被認知者の準正による訂正後の続柄名称	4	漢字	出	
26	認知者の外国人区分	1	数字	入	*
27	認知者の本非区分	1	数字	入	*
28	認知者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外人は西暦)
29	認知者の生死区分	1	数字	入	*
30	認知者のカナ氏名	60	カナ	入	*
31	認知者の漢字氏名	30	漢字	入	
32	認知者の本籍地	30	漢字	入	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	認知者の筆頭者	30	漢字	入	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード 年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	母の外国人区分	1	数字	入	*
14	母の本非区分	1	数字	入	*
15	母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
16	母のカナ氏名	60	カナ	入	*
17	母の漢字氏名	30	漢字	入	
18	母の本籍地	30	漢字	入	
19	母の筆頭者	30	漢字	入	
20	母の住所地	30	漢字	入	*
21	母の認知者との婚姻日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
22	認知種別	1	数字	入	
23	審査の準拠法	1	数字	入	*
24	認知成立日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
25	証書提出日	7	英数字	出	発号コード有
26	認知の方式	28	漢字	入	*
27	裁判成立地	1	数字	入	*
28	審判/判決確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
29	裁判訴提起者	30	漢字	入	*
30	外国の裁判所名	30	漢字	入	*
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	認知を承諾した者	1	数字	入	*
14	届出人資格1	3	数字	入	
15	届出人資格1名称	20	漢字	入	
16	届出人氏名1	30	漢字	入	
17	届出人資格2	3	数字	入	*
18	届出人資格2名称	20	漢字	入	*
19	届出人氏名2	30	漢字	入	*
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	認知届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組･縁組形態入力　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	＊
4	養子と養母区分	1	英字	入	＊
5	養女と養父区分	1	英字	入	＊
6	養女と養母区分	1	英字	入	＊
7	縁組形態名称	20	漢字	出	
8	表示1	30	漢字	出	
9	養親配偶者氏名1	30	漢字	入	＊
10	表示2	30	漢字	出	
11	養親配偶者氏名2	30	漢字	入	＊
12	PFガイダンス1	39	漢字	出	
13	PFガイダンス2	39	漢字	出	
14	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養子の外国人区分	1	数字	入	*
14	養子の本非区分	1	数字	入	*
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養子の婚姻区分	1	数字	入	*
17	養子の生死区分	1	数字	入	*
18	養子のカナ氏名	60	カナ	入	*
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者氏名	14	漢字	入	
23	養子の世帯主氏名	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の続柄コード	2	数字	入	*
27	養子の続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	*
29	養子の筆頭者	3	漢字	出	
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	*
31	養子の配偶者	5	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その1)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養女の外国人区分	1	数字	入	*
33	養女の本非区分	1	数字	入	*
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
35	養女の婚姻区分	1	数字	入	*
36	養女の生死区分	1	数字	入	*
37	養女のカナ氏名	60	カナ	入	*
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者氏名	14	漢字	入	
42	養女の世帯主氏名	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の続柄コード	2	数字	入	*
46	養女の続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	*
48	養女の筆頭者	3	漢字	出	
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	*
50	養女の配偶者	5	漢字	出	
51	監護者の有無	1	英字	入	
52	PFガイダンス1	39	漢字	出	
53	PFガイダンス2	39	漢字	出	
54	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その2)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養父の外国人区分	1	数字	入	*
14	養父の本非区分	1	数字	入	*
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養父の筆頭者区分	1	数字	入	*
17	養父の筆頭者	3	漢字	出	
18	養父の配偶者区分	1	数字	入	*
19	養父の配偶者	5	漢字	出	
20	養父の生死区分	1	数字	入	*
21	養父のカナ氏名	60	カナ	入	*
22	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
23	養父の本･国籍	30	漢字	入	
24	養父の住所	30	漢字	入	
25	養父の筆頭者氏名	14	漢字	入	
26	養父の世帯主氏名	14	漢字	入	
27	養母の外国人区分	1	数字	入	*
28	養母の本非区分	1	数字	入	*
29	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
30	養母の筆頭者区分	1	数字	入	*
31	養母の筆頭者	3	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その2)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養母の配偶者区分	1	数字	入	*
33	養母の配偶者	5	漢字	出	
34	養母の生死区分	1	数字	入	*
35	養母のカナ氏名	60	カナ	入	*
36	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
37	養母の本･国籍	30	漢字	入	
38	養母の住所	30	漢字	入	
39	養母の筆頭者氏名	14	漢字	入	
40	養母の世帯主氏名	14	漢字	入	
41	PFガイダンス1	39	漢字	出	
42	PFガイダンス2	39	漢字	出	
43	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その3)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	戸籍変動区分	1	数字	入	
14	入籍する戸籍または新しい戸籍	30	漢字	入	
15	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
16	裁判確定日	7	英数字	入	*
17	縁組成立日	7	英数字	入	*
18	縁組方式	30	漢字	入	*
19	証書提出日	7	英数字	出	
20	同一戸籍縁組	1	数字	入	*
21	後見人縁組区分	1	数字	入	*
22	届出人資格コード1	3	数字	入	
23	届出人氏名1	24	漢字	入	
24	代諾者コード1	1	数字	入	*
25	届出人国籍1	30	漢字	入	
26	届出人生年月日1	8	数字	入	
27	届出人資格コード2	3	数字	入	
28	届出人氏名2	24	漢字	入	
29	代諾者コード2	1	数字	入	*
30	届出人国籍2	30	漢字	入	
31	届出人生年月日2	8	数字	入	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その3)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	8/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子縁組(その4)　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	*
14	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西歴入力)
15	配偶者カナ氏名	60	カナ	入	*
16	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	*
17	配偶者住所	30	漢字	入	*
18	配偶者父氏名	14	漢字	入	*
19	配偶者母氏名	14	漢字	入	*
20	配偶者続柄コード	2	数字	入	*
21	配偶者続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
22	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	*
23	配偶者筆頭者	3	漢字	出	
24	配偶者配偶者区分	1	数字	入	*
25	配偶者配偶者	5	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(離縁形態入力)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
4	養子と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
5	養女と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
6	養女と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
7	養子離縁形態名称	20	漢字	出	＊
8	同時届区分	1	数字	入	0:無　1:親権届　2:後見届　＊
8-1	親権･後見人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
8-2	親権･後見人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
9	親権･後見人氏名	30	漢字	入	
10	親権･後見人本籍	30	漢字	入	
11	親権･後見人筆頭者	30	漢字	入	
12	同時親権届の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判
13	同時親権者資格	3	数字	入	
14	同時親権届出人資格	3	数字	入	
15					
15-1	同時親権届出人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15-2	同時親権届出人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	同時親権届出人氏名	30	漢字	入	
16-1	同時親権届出人本籍	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届 2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届 2:報告的届　＊
13	養子の外国人区分	1	数字	入	0:日本人 1:外国人　＊
14	養子の本非区分	1	数字	入	1:本籍人 2:非本籍人　＊
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養子の生死区分	1	数字	入	0:生存者 2:死亡者　＊
17	養子の生死区分名称	3	漢字	出	＊
18	養子のカナ氏名	60	カナ	入	
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者	14	漢字	入	
23	養子の世帯主	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
27	養子の父母との続柄名称	3	漢字	出	
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
29	養子の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　3:生存配偶者　＊
31	養子の配偶者区分名称	5	漢字	出	＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その1)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養女の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
33	養女の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
35	養女の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
36	養女の生死区分名称	3	漢字	出	＊
37	養女のカナ氏名	60	カナ	入	
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者	14	漢字	入	
42	養女の世帯主	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
46	養女の父母との続柄名称	3	漢字	出	
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
48	養女の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	0:未　2:妻　3:生存配偶者　＊
50	養女の配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
51	PFガイダンス1	39	漢字	出	
52	PFガイダンス2	39	漢字	出	
53	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その2)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	養父の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
14	養父の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養父の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
17	養父の生死区分名称	3	漢字	出	＊
18	養父のカナ氏名	60	カナ	入	
19	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養父の本･国籍	30	漢字	入	
21	養父の筆頭者	30	漢字	入	
22	養父の住所	30	漢字	入	
23	養父の世帯主	30	漢字	入	
24	養父の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　＊
25	養母の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
26	養母の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
27	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
28	養母の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
29	養母の生死区分名称	3	漢字	出	＊
30	養母のカナ氏名	60	カナ	入	
31	養母の漢字氏名	30	漢字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		5/8
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その2)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養母の本･国籍	30	漢字	入	
33	養母の筆頭者	30	漢字	入	
34	養母の住所	30	漢字	入	
35	養母の世帯主	30	漢字	入	
36	養母の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　＊
37	養父母婚姻区分	1	数字	入	0:婚姻中でない 1:婚姻中である　＊
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1

画面番号		画面名	養子離縁届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	図面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	離縁の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判　4:判決　5:和解　6:認諾
14	離縁の申立人区分	1	数字	入	1:養子　2:養親　＊
15	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	離縁許可日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	離縁成立日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	離縁の方式	30	漢字	入	＊
19	外国裁判所名	30	漢字	入	＊
20	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	3	数字	入	
21	戸籍変動区分	1	数字	入	
22	氏区分	1	数字	入	＊
23	届後本籍	30	漢字	入	
24	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
25	戻る戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
26	届後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	0:未　3:生存配偶者　＊
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
14	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
15	15歳未満の届出人資格名称	23	漢字	出	
16	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
17	15歳未満の届出人国籍1	30	漢字	入	
18	15歳未満の届出人生年月日1	8	英数字	入	
19	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
20	15歳未満の届出人国籍2	30	漢字	入	
21	15歳未満の届出人生年月日2	8	英数字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	8/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁届(その5)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
14	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
15	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
16	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
17	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
18	配偶者カナ氏名	60	カナ	入	＊
19	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
20	配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	＊
24	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有　＊
25	配偶者住所	30	漢字	入	＊
26	離縁後変更養父氏名	30	漢字	入	＊
27	離縁後変更養母氏名	30	漢字	入	＊
28	親権移記親権者区分	3	数字	入	＊
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(特別養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	特別養子縁組･縁組形態入力　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	縁組形態区分	1	数字	入	*
4	PFガイダンス1	39	漢字	出	
5	PFガイダンス2	39	漢字	出	
6	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(特別養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	特別養子縁組(その1)　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養子の外国人区分	1	数字	入	*
14	養子の本非区分	1	数字	入	*
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養子の性別	1	数字	入	*
17	養子のカナ氏名	60	カナ	入	*
18	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
19	養子の本･国籍	30	漢字	入	
20	養子の住所	30	漢字	入	
21	養子の筆頭者氏名	14	漢字	入	
22	養子の世帯主氏名	14	漢字	入	
23	養子の父氏名	14	漢字	入	
24	養子の母氏名	14	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	*
26	父母との続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
27	養父母との続柄コード	2	数字	入	*
28	養父母との続柄	3	漢字	出	「続柄変換SUB」により変換表示
29	養子の筆頭者区分	1	数字	入	*
30	養子の筆頭者	3	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(特別養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	養父の外国人区分	1	数字	入	*
14	養父の本非区分	1	数字	入	*
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
16	養父のカナ氏名	60	カナ	入	*
17	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
18	養父の本･国籍	30	漢字	入	
19	養父の住所	30	漢字	入	
20	養父の筆頭者氏名	14	漢字	入	
21	養父の世帯主氏名	14	漢字	入	
22	養父の筆頭者区分	1	数字	入	*
23	養父の筆頭者	3	漢字	出	
24	養父の配偶者区分	1	数字	入	*
25	養父の配偶者	5	漢字	出	
26	養母の外国人区分	1	数字	入	*
27	養母の本非区分	1	数字	入	*
28	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力)
29	養母のカナ氏名	60	カナ	入	*
30	養母の漢字氏名	30	漢字	入	
31	養母の本･国籍	30	漢字	入	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(特別養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	特別養子縁組(その2)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養母の住所	30	漢字	入	
33	養母の筆頭者氏名	14	漢字	入	
34	養母の世帯主氏名	14	漢字	入	
35	養母の筆頭者区分	1	数字	入	*
36	養母の筆頭者	3	漢字	出	
37	養母の配偶者区分	1	数字	入	*
38	養母の配偶者	5	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理(特別養子縁組)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	特別養子縁組(その3)　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告区分	1	数字	入	*
13	戸籍変動区分	1	数字	入	
14	裁判確定日	7	英数字	入	
15	縁組方式	30	漢字	入	*
16	同一戸籍縁組	1	数字	入	*
17	届出人資格コード	3	数字	入	*
18	配偶者同一戸籍	1	数字	入	*
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	73条の2届入力(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有り
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有り
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
12	カナ氏名	60	カナ	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	筆頭者名称	3	漢字	出	
17	配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	配偶者名称	5	漢字	出	
19	本籍	30	漢字	入	コード入力有り
20	筆頭者	30	漢字	入	
21	住所	30	漢字	入	コード入力有り
22	世帯主	30	漢字	入	
23	父氏名	30	漢字	入	
24	母氏名	30	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	
26	父母との続柄名称	3	漢字	出	
27	離縁前の氏	20	漢字	入	
28	縁組年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
29	離縁年月日	7	英数字	入	元号コード入力有り
30	戸籍変動区分	1	数字	入	1:変動無し　2:新戸籍編製　＊
31	新本籍	30	漢字	入	コード入力有り

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	73条の2届入力 （その1） 2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	新戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	73条の2届入力(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有り
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有り
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有り　＊
12	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
13	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
14	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
15	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
16	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	＊
17	配偶者カナ氏名	60	カナ	入	＊
18	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
19	配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
20	配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
21	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	＊
22	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	＊
23	配偶者生年月日	8	漢数字	入	元号コード入力有
24	配偶者住所	30	漢字	入	
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	養子と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
4	養子と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
5	養女と養父区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
6	養女と養母区分	1	英字	入	"Y"か"N"を入力　＊
7	養子離縁形態名称	20	漢字	出	
8	同時届区分	1	数字	入	0:無　1:親権届　2:後見届　＊
8-1	親権･後見人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
8-2	親権･後見人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
9	親権･後見人氏名	30	漢字	入	
10	親権･後見人本籍	30	漢字	入	
11	親権･後見人筆頭者	30	漢字	入	
12	同時親権届の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判
13	同時親権者資格	3	数字	入	
14	同時親権届出人資格	3	数字	入	
15					
15-1	同時親権届出人の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15-2	同時親権届出人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	同時親権届出人氏名	30	漢字	入	
16-1	同時親権届出人本籍	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	養子の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
14	養子の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15	養子の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養子の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
17	養子の生死区分名称	3	漢字	出	
18	養子のカナ氏名	60	カナ	入	
19	養子の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養子の本･国籍	30	漢字	入	
21	養子の住所	30	漢字	入	
22	養子の筆頭者	14	漢字	入	
23	養子の世帯主	14	漢字	入	
24	養子の父氏名	14	漢字	入	
25	養子の母氏名	14	漢字	入	
26	養子の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
27	養子の父母との続柄名称	3	漢字	出	
28	養子の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
29	養子の筆頭者区分名称	3	漢字	出	＊
30	養子の配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:生存配偶者　＊
31	養子の配偶者区分名称	5	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その1)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養女の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
33	養女の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
34	養女の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
35	養女の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
36	養女の生死区分名称	3	漢字	出	
37	養女のカナ氏名	60	カナ	入	
38	養女の漢字氏名	30	漢字	入	
39	養女の本･国籍	30	漢字	入	
40	養女の住所	30	漢字	入	
41	養女の筆頭者	14	漢字	入	
42	養女の世帯主	14	漢字	入	
43	養女の父氏名	14	漢字	入	
44	養女の母氏名	14	漢字	入	
45	養女の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
46	養女の父母との続柄名称	3	漢字	出	
47	養女の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
48	養女の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
49	養女の配偶者区分	1	数字	入	0:未　2:妻　3:生存配偶者　＊
50	養女の配偶者区分名称	5	漢字	出	
51	PFガイダンス1	39	漢字	出	
52	PFガイダンス2	39	漢字	出	
53	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その2)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2：報告的届　＊
13	養父の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
14	養父の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
15	養父の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
16	養父の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
17	養父の生死区分名称	3	漢字	出	
18	養父のカナ氏名	60	カナ	入	
19	養父の漢字氏名	30	漢字	入	
20	養父の本･国籍	30	漢字	入	
21	養父の筆頭者	30	漢字	入	
22	養父の住所	30	漢字	入	
23	養父の世帯主	30	漢字	入	
24	養父の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　＊
25	養母の外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
26	養母の本非区分	1	数字	入	1:本籍人　2:非本籍人　＊
27	養母の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
28	養母の生死区分	1	数字	入	0:生存者　1:死亡者　＊
29	養母の生死区分名称	3	漢字	出	
30	養母のカナ氏名	60	カナ	入	
31	養母の漢字氏名	30	漢字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		5/8
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その2)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	養母の本･国籍	30	漢字	入	
33	養母の筆頭者	30	漢字	入	
34	養母の住所	30	漢字	入	
35	養母の世帯主	30	漢字	入	
36	養母の縁組成立法区分	1	数字	入	0:日本法　1:日本法以外　＊
37	養父母婚姻区分	1	数字	入	0:婚姻中でない 1:婚姻中である　＊
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	縁組年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	縁組前の氏	20	漢字	入	
15	離縁の種別	1	数字	入	1:協議　2:調停　3:審判　4:判決　5:和解　6:認諾
16	離縁の申立人区分	1	数字	入	1:養子　2:養親　＊
17	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	離縁許可日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	離縁成立日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	離縁の方式	30	漢字	入	＊
21	外国裁判所名	30	漢字	入	＊
22	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	3	数字	入	
23	新本籍	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
14	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
15	15歳未満の届出人資格名称	23	漢字	出	
16	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
17	15歳未満の届出人国籍1	30	漢字	入	
18	15歳未満の届出人生年月日1	8	英数字	入	
19	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
20	15歳未満の届出人国籍2	30	漢字	入	
21	15歳未満の届出人生年月日2	8	英数字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	8/8

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	養子離縁同時73条の2届(その5)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	報告区分	1	数字	入	1:創設的届　2:報告的届　＊
13	配偶者外国人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
14	配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
15	配偶者筆頭者区分名称	3	漢字	出	
16	配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未 1:夫 2:妻 3:生存配偶者　＊
17	配偶者配偶者区分名称	5	漢字	出	
18	配偶者カナ氏名	60	カナ	入	＊
19	配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
20	配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	配偶者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有　＊
25	配偶者住所	30	漢字	入	＊
26	離縁後変更養父氏名	30	漢字	入	＊
27	離縁後変更養母氏名	30	漢字	入	＊
28	親権移記親権者区分	3	数字	入	＊
29	PFガイダンス1	39	漢字	出	
30	PFガイダンス2	39	漢字	出	
31	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	婚姻届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本･非本	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫の外人区分	1	数字	入	＊
15	夫の筆頭者区分コード	1	数字	入	＊
16	夫の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
17	夫の本･非本	1	数字	入	＊
18	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 （外国人は西暦入力）
19	夫のカナ氏名	60	カナ	入	
20	夫の漢字氏名	30	漢字	入	コード入力有
21	夫の住所	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
22	夫の本籍	30	漢字	入	
23	夫の世帯主	14	漢字	入	
24	夫の戸籍の筆頭者	14	漢字	入	
25	夫の父の氏名	14	漢字	入	
26	夫の母の氏名	14	漢字	入	
27	夫の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
28	夫の父母との続柄名称	3	漢字	出	
29	妻の外国人区分	1	数字	入	＊
30	妻の筆頭者区分コード	1	数字	入	＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	婚姻届(その1)　入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	妻の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
32	妻の本･非区分	1	数字	入	＊
33	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有 (外国人は西暦入力)
34	妻のカナ氏名	60	カナ	入	
35	妻の漢字氏名	30	漢字	入	コード入力有
36	妻の住所	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
37	妻の本籍	30	漢字	入	
38	妻の世帯主	14	漢字	入	
39	妻の戸籍の筆頭者	14	漢字	入	
40	妻の父の氏名	14	漢字	入	
41	妻の母の氏名	14	漢字	入	
42	妻の父母との続柄コード	2	数字	入	＊
43	妻の父母との続柄名称	3	漢字	出	
44	PFガイダンス1	39	漢字	出	
45	PFガイダンス2	39	漢字	出	
46	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	婚姻届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本･非本	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	氏区分コード	1	数字	入	
15	氏区分名称	4	漢字	出	
16	新本籍	30	数字	入	コード入力有
17	夫の初･再婚区分コード	1	数字	入	
18	夫の初･再婚区分名称	2	漢字	出	
19	夫の離死別日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	妻の初･再婚区分コード	1	カナ	入	
21	妻の初･再婚区分名称	2	漢字	出	
22	妻の離死別日	7	漢字	入	元号コード入力有
23	同一人再婚区分コード	1	数字	入	
24	同一人再婚区分名称	4	漢字	出	
25	成立年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
26	婚姻の方式	32	漢字	入	外国名はコード入力有
27	証書提出日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫の外国人区分	1	数字	入	
15	夫の国籍	19	漢字	入	
16	夫の筆頭者区分	1	数字	入	
17	夫のカナ氏名	60	カナ	入	
18	夫の漢字氏名	30	漢字	入	
19	夫の住所	30	漢字	入	
20	夫の世帯主	30	漢字	入	
21	夫の父の氏名	14	漢字	入	
22	夫の母の氏名	14	漢字	入	
23	夫の父母との続柄	2	数字	入	
24	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
25	夫の転婚区分	1	数字	入	
26	妻の外国人区分	1	数字	入	
27	妻の国籍	19	漢字	入	
28	妻の筆頭者区分	1	数字	入	
29	妻のカナ氏名	60	カナ	入	
30	妻の漢字氏名	30	漢字	入	
31	妻の住所	30	漢字	入	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/5
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	妻の世帯主	30	漢字	入	
33	妻の父の氏名	14	漢字	入	
34	妻の母の氏名	14	漢字	入	
35	妻の父母との続柄	2	数字	入	
36	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
37	妻の転婚区分	1	数字	入	
38	本籍	30	漢字	入	
39	筆頭者	30	漢字	入	
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/5

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1

画面番号		画面名	離婚届(その2)入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	離婚の種別区分	1	数字	入	1:協議 2:調停 3:審判 4:判決 5:和解 6:認諾
15	離婚の申立人区分	1	数字	入	
16	離婚の成立･確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	
18	新戸籍	30	漢字	入	
19	新筆頭者	30	漢字	入	
20	戻る戸籍の筆頭者区分	1	数字	入	
21	届後の戸籍の配偶者区分	1	数字	入	
22	称する氏	15	漢字	入	
23	外国離婚方式	30	漢字	入	
24	裁判所所在国	30	漢字	入	
25	外国裁判所名	30	漢字	入	
26	親権指定者の有無	1	数字	入	
27	未成年の子の人数	2	数字	入	
28	届出人資格1	3	数字	入	
29	届出人資格2	3	数字	入	
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/5
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚届(その2)　入力		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	5/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚届(その3)

No.	項目名		桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID		8	英数字	出	
2	システム日付		7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO		3	数字	出	
4	受領NO		7	数字	出	
5	受領日		7	英数字	出	
6	送付日		7	英数字	出	
7	発送元		30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分		1	数字	出	
9	処理日		7	英数字	出	
10	本非区分		1	数字	出	
11	郵送日		7	英数字	出	
12	動態		1	数字	出	
13	報告		1	数字	出	
14	未成年者項目　複数件	未成年者nのカナ氏名	60	カナ	入	未成年者項目は複数件入力可能
15		未成年者nの漢字氏名	30	漢字	入	便宜上n件で表現する。
16		未成年者nの父の氏名	14	漢字	入	
17		未成年者nの母の氏名	14	漢字	入	
18		未成年者nの父母との続柄	2	数字	入	
19		未成年者nの父母との続柄名称	3	漢字	出	
20		未成年者nの生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21		未成年者nの養父の氏名	14	漢字	入	
22		未成年者nの養母の氏名	14	漢字	入	
23		未成年者nの養父母との続柄	2	数字	入	
24		未成年者nの養父母との続柄名称	3	漢字	出	
25		未成年者nの親権者区分	1	数字	入	
26	PFガイダンス1		39	漢字	出	
27	PFガイダンス2		39	漢字	出	
28	エラーメッセージ		39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.異動処理　2.11　77条の2届	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	77条の2届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	出張所Noと同意
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付,　＊ 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	現カナ氏名	60	カナ	入	
13	現漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員,1:筆頭者
		3	漢字	出	
16	配偶者区分	1	数字	入	0:未,1:夫,2:妻,
		5	漢字	出	3:生存配偶者
17	同籍者区分	1	数字	入	0:無,1:配偶者のみ, 2:配偶者+他構成員, 3:他構成員のみ
		8	漢字	出	
18	離婚年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	住所	30	漢字	入	
20	世帯主	30	漢字	入	
21	本籍	30	漢字	入	
22	筆頭者	30	漢字	入	
23	変更後カナ氏	40	カナ	入	
24	変更後漢字氏	20	漢字	入	
25	変更後本籍	30	漢字	入	
26	変更後筆頭者	30	漢字	入	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
2.異動処理　2.11　77条の2届		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	77条の2届		
No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	動態	1	数字	入	
13	報告	1	数字	入	
14	夫のカナ氏名	60	カナ	入	
15	夫の漢字氏名	30	漢字	入	
16	夫の住所	30	漢字	入	
17	夫の世帯主	30	漢字	入	
18	夫の父の氏名	14	漢字	入	
19	夫の母の氏名	14	漢字	入	
20	夫の父母との続柄	2	数字	入	
21	夫の筆頭者区分	1	数字	入	
22	夫の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
23	妻のカナ氏名	60	カナ	入	
24	妻の漢字氏名	30	漢字	入	
25	妻の住所	30	漢字	入	
26	妻の世帯主	30	漢字	入	
27	妻の父の氏名	14	漢字	入	
28	妻の母の氏名	14	漢字	入	
29	妻の父母との続柄	2	数字	入	
30	妻の筆頭者区分	1	数字	入	
31	妻の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	本籍	30	漢字	入	
33	筆頭者	30	漢字	入	
34	PFガイダンス1	39	漢字	出	
35	PFガイダンス2	39	漢字	出	
36	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その2)入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	
12	動態	1	数字	出	
13	報告	1	数字	出	
14	離婚の種別区分	1	数字	入	1:協議 2:調停 3:審判 4:判決 5:和解 6:認諾
15	離婚の申立人区分	1	数字	入	
16	離婚の成立･確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	
18	新本籍	30	漢字	入	
19	新筆頭者	30	漢字	入	
20	外国離婚方式	30	漢字	入	
21	裁判所所在国	30	漢字	入	
22	外国裁判所名	30	漢字	入	
23	親権指定者の有無	1	数字	入	
24	未成年の子の人数	2	数字	入	
25	届出人資格1	3	数字	入	
26	届出人資格2	3	数字	入	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	離婚同時77条の2届(その3)

No.	項目名		桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID		8	英数字	出	
2	システム日付		7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO		3	数字	出	
4	受領NO		7	数字	出	
5	受領日		7	英数字	出	
6	送付日		7	英数字	出	
7	発送元		30	漢字	出	
8	在外送付区分		1	数字	出	
9	処理日		7	英数字	出	
10	本非区分		1	数字	出	
11	郵送日		7	英数字	出	
12	動態		1	数字	出	
13	報告		1	数字	出	
14	未成年者項目　複数件	未成年者nのカナ氏名	60	カナ	入	未成年者項目は複数件入力可能
15		未成年者nの漢字氏名	30	漢字	入	便宜上n件で表現する。
16		未成年者nの父の氏名	14	漢字	入	
17		未成年者nの母の氏名	14	漢字	入	
18		未成年者nの父母との続柄	2	数字	入	
19		未成年者nの父母との続柄名称	3	漢字	出	
20		未成年者nの生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21		未成年者nの養父の氏名	14	漢字	入	
22		未成年者nの養母の氏名	14	漢字	入	
23		未成年者nの養父母との続柄	2	数字	入	
24		未成年者nの養父母との続柄名称	3	漢字	出	
25		未成年者nの親権者区分	1	数字	入	
26	PFガイダンス1		39	漢字	出	
27	PFガイダンス2		39	漢字	出	
28	エラーメッセージ		39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	親権・管理権届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	報告的届出区分	1	数字	入	*
13	未成年者の外国人区分	1	数字	入	*
14	未成年者の外国人区分名称	3	漢字	出	
15	未成年者の本非区分	1	数字	入	*
16	未成年者の本非区分名称	3	漢字	出	
17	未成年者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
18	未成年者のカナ氏名	60	カナ	入	*
19	未成年者の漢字氏名	30	漢字	入	
20	未成年者の本籍	30	漢字	入	
21	未成年者の筆頭者名	30	漢字	入	
22	親権者の外国人区分	1	数字	入	*
23	親権者の外国人区分名称	3	漢字	出	
24	親権者の本非区分	1	数字	入	*
25	親権者の本非区分名称	3	漢字	出	
26	親権者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
27	親権者のカナ氏名	60	カナ	入	*
28	親権者の漢字氏名	30	漢字	入	
29	親権者の本籍	30	漢字	入	
30	親権者の筆頭者名	30	漢字	入	
31	親権者資格	3	数字	入	*
32	PFガイダンス1	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	親権･管理権届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
34	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	親権・管理権届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	報告的届出区分	1	数字	出	
13	届出事件	1	数字	入	
14	種別区分	1	数字	入	
15	審判/調停日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	関連事件発生日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
17	届出人資格1	3	数字	入	
18	届出人氏名1	30	漢字	入	
19	届出人･協議者資格	3	数字	入	
20	届出人･協議者の外国人区分	1	数字	入	＊
21	届出人･協議者の本非区分	1	数字	入	＊
22	届出人･協議者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
23	届出人･協議者のカナ氏名	60	カナ	入	＊
24	届出人･協議者の漢字氏名	30	漢字	入	
25	届出人･協議者の本籍	30	漢字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	親権･管理権届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

画面番号		画面名	未成年後見届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有 *
12	未成年被後見人の外国人区分	1	数字	入	*
13	未成年被後見人の外国人区分名称	3	漢字	出	
14	未成年被後見人の本非区分	1	数字	入	*
15	未成年被後見人の本非区分名称	3	漢字	出	
16	未成年被後見人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	未成年被後見人のカナ氏名	60	漢字	入	*
18	未成年被後見人の漢字氏名	30	漢字	入	
19	未成年被後見人の本籍	30	漢字	入	
20	未成年被後見人の筆頭者名	30	漢字	入	
21	未成年後見人の外国人区分	1	数字	入	*
22	未成年後見人の外国人区分名称	3	漢字	出	
23	未成年後見人の本非区分	1	数字	入	*
24	未成年後見人の本非区分名称	3	数字	出	
25	未成年後見人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
26	未成年後見人区分	1	数字	入	
27	未成年後見人のカナ氏名	60	漢字	入	*
28	未成年後見人の漢字氏名	30	漢字	入	
29	未成年後見人の本籍	30	漢字	入	
30	未成年後見人の筆頭者名	30	漢字	入	
31	未成年後見人の資格	3	漢字	入	*
32	未成年後見人の住所	100	漢字	入	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
異動処理		平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

画面番号		画面名	未成年後見届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	PFガイダンス1	39	漢字	出	
34	PFガイダンス2	39	漢字	出	
35	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
異動処理	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

画面番号		画面名	未成年後見届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	届出原因区分	2	数字	入	
13	開始日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	就職日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	終了日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	届出人資格	1	数字	入	*
17	届出人氏名	30	漢字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
異動処理		平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

画面番号		画面名	未成年後見届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	保佐届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	入	*
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	*
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
10	本非区分	1	数字	入	*
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　*
12	被保佐人の外国人区分	1	数字	入	*
13	被保佐人の外国人区分名称	3	漢字	出	
14	被保佐人の本非区分	1	数字	入	*
15	被保佐人の本非区分名称	3	漢字	出	
16	被保佐人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
17	被保佐人のカナ氏名	60	カナ	入	*
18	被保佐人の漢字氏名	30	漢字	入	
19	被保佐人の本籍	30	漢字	入	
20	被保佐人の筆頭者名	30	漢字	入	
21	保佐人の外国人区分	1	数字	入	*
22	保佐人の外国人区分名称	3	漢字	出	
23	保佐人の本非区分	1	数字	入	*
24	保佐人の本非区分名称	3	漢字	出	
25	保佐人の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦)
26	保佐人のカナ氏名	60	カナ	入	*
27	保佐人の漢字氏名	30	漢字	入	
28	保佐人の本籍	30	漢字	入	
29	保佐人の筆頭者名	30	漢字	入	
30	保佐人資格	3	数字	入	*
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	保佐届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	保佐届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	元号コード有
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード有
12	届出原因区分	2	数字	入	
13	開始日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	就職日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	終了日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	前任者氏名	30	漢字	入	
17	届出人資格	2	数字	入	*
18	届出人氏名	30	漢字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	保佐届ガイダンス

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	PFガイダンス1	39	漢字	出	
2	PFガイダンス2	39	漢字	出	
3	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	死亡届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	(支所番号)
9	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊ 死亡の場合,「除籍日」となる
10	本非区分	1	数字	入	＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	動態区分	1	数字	入	＊
13	外人区分	1	数字	入	＊
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力
15	本籍不分明区分	1	数字	入	＊
16	本籍不分明区分名称	8	漢字	出	
17	関連受領番号	7	数字	入	＊
18	カナ氏名	60	カナ	入	
19	漢字氏名	30	漢字	入	
20	性別	1	数字	入	
21	性別名称	2	漢字	出	
22	死亡の年	3	英数字	入	元号コード入力有
23	〃　月	2	英数字	入	
24	〃　日	2	英数字	入	
25	死亡時間推定区分	1	英数字	入	＊
26	死亡の午前午後区分	1	英数字	入	
27	〃　時分	4	英数字	入	
28	終期の死亡の午前午後区分	1	英数字	入	＊
29	〃　時分	4	英数字	入	＊
30	死亡区分	1	英数字	入	＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	死亡届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	死亡日時	34	漢字	入	
32	死亡場所市町村	30	漢字	入	コード入力有(外国は国名等入力)
33	死亡場所町丁目	30	漢字	入	コード入力有(外国は国名等入力)
34	住所	30	漢字	入	コード入力有
35	世帯主	30	漢字	入	
36	本籍	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
37	筆頭者	30	漢字	入	
38	届出人資格	3	数字	入	
39	届出人資格名称	30	漢字	出	
40	届出人の氏名	30	漢字	入	
41	届出人の住所	30	漢字	入	
42	配偶者有無区分	1	数字	入	*
43	配偶者外人区分	1	数字	入	*
44	PFガイダンス1	39	漢字	出	
45	PFガイダンス2	39	漢字	出	
46	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	失踪宣告届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	入	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	34	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	漢字	入	コード入力有　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	外人区分	1	数字	入	＊
13	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有(外国人は西暦入力
14	カナ氏名	60	カナ	入	
15	漢字氏名	30	漢字	入	
16	死亡とみなされる日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
18	住所	30	漢字	入	コード入力有
19	世帯主	14	漢字	入	あふれ記号有
20	本籍	30	漢字	入	コード入力有(外国人は国籍入力)
21	筆頭者	14	漢字	入	あふれ記号有
22	届出人資格	3	数字	入	
23	届出人資格名称	30	漢字	出	
24	その他の届出人資格名称	30	漢字	入	
25	届出人の氏名	30	漢字	入	
26	配偶者有無区分	1	数字	入	＊
27	配偶者外人区分	1	数字	入	＊
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	復氏届(その1)・入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	0:本籍分届　1:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	カナ氏名	60	カナ	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	筆頭者名称	3	漢字	出	
17	配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	配偶者名称	5	漢字	出	
19	住所	30	漢字	入	コード入力有
20	世帯主	30	漢字	入	
21	本籍	30	漢字	入	コード入力有
22	筆頭者	30	漢字	入	
23	父氏名	30	漢字	入	
24	母氏名	30	漢字	入	
25	父母との続柄コード	2	数字	入	＊
26	父母との続柄名称	3	漢字	出	
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	復氏届(その2)・入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	復籍区分	1	数字	入	1:もとの戸籍　2:新戸籍編製
13	届後本籍	30	漢字	入	コード入力有
14	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
15	氏区分	1	数字	入	1:婚姻前の氏　＊ 2:転婚前の氏 3:新しい氏
15-1	復籍戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者
15-2	異動後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	0:未　3:生存配偶者
16	死亡配偶者カナ氏名	60	カナ	入	
17	死亡配偶者漢字氏名	30	漢字	入	
18	死亡配偶者死亡日	7	英数字	入	元号コード入力有
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	復氏届(その3)・入力

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	出	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	現在配偶者カナ氏名	60	カナ	入	＊
13	現在配偶者漢字氏名	30	漢字	入	＊
14	現在配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人　＊
15	現在配偶者筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
16	現在配偶者筆頭者名称	3	漢字	出	
17	現在配偶者配偶者区分	1	数字	入	0:未　1:夫　2:妻　3:生存配偶者　＊
18	現在配偶者配偶者名称	5	漢字	出	
19	現在配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
20	現在配偶者父氏名	30	漢字	入	＊
21	現在配偶者母氏名	30	漢字	入	＊
22	現在配偶者父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力　＊
23	現在配偶者父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	現在配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有　＊
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	姻族関係終了届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	カナ氏名	60	カナ	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
15	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	本籍	30	漢字	入	コード入力有り
17	筆頭者	30	漢字	入	
18	死亡配偶者カナ氏名	60	カナ	入	
19	死亡配偶者漢字氏名	30	漢字	入	
20	死亡配偶者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
21	死亡年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	同籍区分	1	数字	入	0:同一戸籍　1:他戸籍
23	死亡配偶者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
24	死亡配偶者筆頭者	30	漢字	入	
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	推定相続人廃除届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	被廃除者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
13	被廃除者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	被廃除者カナ氏名	60	カナ	入	
15	被廃除者漢字氏名	30	漢字	入	
16	被廃除者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
17	被廃除者筆頭者	30	漢字	入	
18	廃除者外人区分	1	数字	入	0:日本人　1:外国人
19	廃除者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	廃除者資格区分	3	数字	入	001:父　002:母　010:養父 011:養母　099:その他
21	廃除者資格名称	30	漢字	入	
22	廃除者カナ氏名	60	カナ	入	
23	廃除者漢字氏名	30	漢字	入	
24	廃除者本籍	30	漢字	入	コード入力有り
25	廃除者筆頭者	30	漢字	入	
26	裁判種別	1	数字	入	1:調停　2:審判　3:判決
27	裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	届出人資格	3	数字	入	090:廃除した人　091:遺言執行者 098:事件本人　099:その他
29	届出人資格名称	30	漢字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	推定相続人廃除届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	届出人氏名	30	漢字	入	
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/7
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届種別入力　　1/1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	入籍者種別	1	数字	入	1:入籍人単独　＊ 2:配偶者同時 3:入籍人複数
4	同時入籍者数	1	数字	入	＊
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ	39	数字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その1)　　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	入籍事由	1	数字	入	1:氏を称する入籍 2:同籍する入籍 3:従前の氏を称する入籍
13	入籍相手	1	数字	入	1:無,2:父,3:母,4:父母 5:養父,6:養母,7:養父母 8:父及び養母,9:母及び養父,
14	入籍相手名称	8	漢字	出	
15	許可の審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
16	従前の氏を改めた日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	戸籍変動区分	1	数字	入	1:既にある戸籍に入る 2:父又は母の新戸籍に入る 3:新しい戸籍をつくる
18	戸籍変動区分名称	11	漢字	出	
19	入籍先の本･非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
20	入籍先の本･非区分名称	3	漢字	出	
21	入籍先の個人除区分	1	数字	入	0:在籍者,1:除籍者,　＊ 2:戸籍消除者,3:消除者, 4:消除及び除籍者
22	入籍先の個人除区分名称	10	漢字	出	
23	入籍先の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員,1:筆頭者　＊
24	入籍先の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
25	入籍先の配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力,0:未婚　＊ 1:夫,2:妻 3:生存配偶者
26	入籍先の配偶者区分名称	5	漢字	出	
27	入籍先の本籍	30	漢字	入	コード入力有
28	入籍先の筆頭者	30	漢字	入	
29	入籍先のカナ氏名	60	カナ	入	＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/7
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その1)　　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	入籍先の漢字氏名	30	漢字	入	＊
31	入籍先の住所	30	漢字	入	コード入力有　＊
32	入籍先の世帯主	30	漢字	入	＊
33	入籍先の父の氏名	30	漢字	入	＊
34	入籍先の母の氏名	30	漢字	入	＊
35	入籍先の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女　＊
36	入籍先の父母続柄名称	3	漢字	出	
37	入籍先の生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
38	新本籍	30	漢字	入	コード入力有　＊
39	新筆頭者	30	漢字	入	＊
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	数字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	4/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その2)　　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	現在頁	1	数字	出	＊
13	最大頁	1	数字	出	＊
14	入籍人の本･非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
15	入籍人の本･非区分名称	3	漢字	入	
16	入籍人の筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員,1:筆頭者　＊
17	入籍人の筆頭者区分名称	3	漢字	出	
18	入籍人の配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力,0:未婚　＊ 1:夫,2:妻 3:生存配偶者
19	入籍人の配偶者区分名称	5	漢字	出	
20	入籍人の更生区分	1	数字	入	＊
21	入籍人のカナ氏名	60	カナ	入	＊
22	入籍人の漢字氏名	30	漢字	入	
23	入籍人の生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	入籍人の住所	30	漢字	入	コード入力有
25	入籍人の世帯主	30	漢字	入	
26	入籍人の父の氏名	30	漢字	入	
27	入籍人の母の氏名	30	漢字	入	
28	入籍人の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女
29	入籍人の父母続柄名称	3	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	5/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その2)　　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	入籍人の養父母続柄	2	数字	入	51:養子,52:養女　　*
31	入籍人の養父母続柄名称	2	漢字	出	
32	入籍人の養父の氏名	30	漢字	入	*
33	入籍人の養母の氏名	30	漢字	入	*
34	入籍人の本籍	30	漢字	入	コード入力有
35	入籍人の筆頭者	30	漢字	入	
36	届出人資格1	3	数字	入	009:配偶者,　016:親権者父 017:親権者母,　019:親権者養父, 020:親権者養母,030:後見人, 098:事件本人
		5	漢字	出	
37	届出人氏名1	15	漢字	入	
38	届出人資格2	3	数字	入	009:配偶者,　016:親権者父 017:親権者母,　019:親権者養父, 020:親権者養母,030:後見人, 098:事件本人
		5	漢字	出	
39	届出人氏名2	15	漢字	入	
40	PFガイダンス1	39	漢字	出	
41	PFガイダンス2	39	漢字	出	
42	エラーメッセージ	39	数字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	6/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その3)　　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	出	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	入籍人配偶者のカナ氏名	60	カナ	入	＊
13	入籍人配偶者の漢字氏名	30	漢字	入	＊
14	入籍人配偶者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有　＊
15	入籍人配偶者の父の氏名	30	漢字	入	＊
16	入籍人配偶者の母の氏名	30	漢字	入	＊
17	入籍人配偶者の父母続柄	2	数字	入	10:男～49:十九女　＊
18	入籍人配偶者の父母続柄名称	3	漢字	出	
19	入籍人配偶者の養父の氏名	30	漢字	入	＊
20	入籍人配偶者の養母の氏名	30	漢字	入	＊
21	入籍人配偶者の養父母続柄	2	数字	入	51:養子,52:養女　＊
22	入籍人配偶者の養父母続柄名称	2	漢字	出	
23	入籍人配偶者の住所	30	漢字	入	コード入力有　＊
24	入籍人配偶者の世帯主	30	漢字	入	
25	入籍人配偶者の外国人区分	1	数字	入	0:日本人,1:外国人　＊
26	入籍人配偶者の外国人区分名称	3	漢字	出	
27	入籍人配偶者の配偶者区分	1	数字	入	1:夫,2:妻　＊
28	入籍人配偶者の配偶者区分名称	5	漢字	出	
29	入籍人配偶者の更正区分	1	数字	入	＊
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		7/7
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	入籍届(その3)　　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	分籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	分籍人の筆頭者区分	1	数字	入	*
		3	漢字	出	
13	分籍人の配偶者区分	1	数字	入	*
		5	漢字	出	
14	分籍人の生年月日	8	漢字	入	元号コード入力有
15	分籍人の婚姻事項の有無	1	漢字	入	*
16	分籍人の渉外区分	1	数字	入	*
		5	漢字	出	
17	分籍人の婚姻日	8	英数字	入	元号コード入力有
18	分籍人のカナ氏名	60	カナ	入	
19	分籍人の漢字氏名	30	漢字	入	
20	分籍人の住所	30	漢字	入	コード入力有
21	分籍人の世帯主	30	漢字	入	
22	分籍人の本籍	30	漢字	入	コード入力有
23	分籍人の筆頭者	30	漢字	入	
24	分籍人の父の氏名	30	漢字	入	
25	分籍人の母の氏名	30	漢字	入	
26	分籍人の父母との続柄	2	数字	入	
		3	漢字	出	
27	分籍人の新本籍	30	漢字	入	コード入力有

*:届書にない項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	分籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍取得(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	カナ氏名	60	カナ	入	
13	漢字氏名	30	漢字	入	
14	従前氏名	30	漢字	入	
15	従前国籍	30	漢字	入	
16	生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	父氏名	30	漢字	入	
18	母氏名	30	漢字	入	
19	父母との続柄コード	2	数字	入	
20	父母との続柄名称	3	漢字	出	
21	国籍取得年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	国籍取得区分	1	数字	入	0:国籍法2条　＊ 1:国籍法3条 2:国籍法17条1項 3:国籍法17条2項 4:改正法附則5条1項 5:改正法附則6条1項
23	戸籍変動区分	1	数字	入	1:父母の戸籍に入籍する 2:父の戸籍に入籍する 3:母の戸籍に入籍する 4:国籍喪失時の戸籍に入籍する 5:新戸籍を編製する
24	届後本籍	30	漢字	入	
25	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
26	届後戸籍での筆頭者区分	1	数字	入	＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍取得(その1)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	届後戸籍での配偶者区分	1	数字	入	*
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍取得(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	住所	30	漢字	入	
13	住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
16	世帯主名	30	漢字	入	
17	世帯主との続柄コード	6	数字	入	
18	世帯主との続柄名称	20	漢字	出	
19	15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
20	15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
21	15歳未満の届出人資格名称	20	漢字	出	
22	15歳未満の届出人氏名1	30	漢字	入	
23	15歳未満の届出人氏名2	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/9
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(帰化種別入力)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	帰化種別	1	数字	入	1:単身者の帰化 2:夫婦の片方(日本人配偶者有) 3:夫婦の片方(日本人配偶者無) 4:夫婦の帰化 *
4	同時帰化者数	1	数字	入	*
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その1)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	帰化者カナ氏名	60	カナ	入	
13	帰化者漢字氏名	30	漢字	入	
14	帰化者従前氏名	30	漢字	入	
15	帰化者従前国籍	30	漢字	入	
16	帰化者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	帰化者配偶者区分	1	数字	入	＊
18	帰化者配偶者区分名称	5	漢字	出	
19	公示年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
20	帰化者父氏名	30	漢字	入	
21	帰化者父の本･国籍	30	漢字	入	
22	帰化者母氏名	30	漢字	入	
23	帰化者母の本･国籍	30	漢字	入	
24	帰化者父母との続柄コード	2	数字	入	
25	帰化者父母との続柄名称	3	漢字	出	
26	帰化者住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
27	帰化者住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
28	帰化者住所	30	漢字	入	
29	帰化者世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
30	帰化者世帯主との続柄コード	6	数字	入	
31	帰化者世帯主との続柄名称	8	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		3/9
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その1)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	帰化者世帯主名	30	漢字	入	
33	帰化者15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
34	帰化者15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	
35	帰化者15歳未満の届出人資格名称	10	漢字	出	
36	帰化者15歳未満の届出人氏名1	14	漢字	入	
37	帰化者15歳未満の届出人氏名2	14	漢字	入	
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その2)1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	帰化者妻カナ氏名	60	カナ	入	
13	帰化者妻漢字氏名	30	漢字	入	
14	帰化者妻従前氏名	30	漢字	入	
15	帰化者妻従前国籍	30	漢字	入	
16	帰化者妻生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	帰化者妻父氏名	30	漢字	入	
18	帰化者妻父の本･国籍	30	漢字	入	
19	帰化者妻母氏名	30	漢字	入	
20	帰化者妻母の本･国籍	30	漢字	入	
21	帰化者妻父母との続柄コード	2	数字	入	
22	帰化者妻父母との続柄名称	3	漢字	出	
23	帰化者妻住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	帰化者妻定住日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	帰化者妻住所	30	漢字	入	
26	帰化者妻世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
27	帰化者妻世帯主との続柄コード	6	数字	入	
28	帰化者妻世帯主との続柄名称	8	漢字	出	
29	帰化者妻世帯主名	30	漢字	入	
30	PFガイダンス1	39	漢字	出	
31	PFガイダンス2	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		5/9
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その2)2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その3)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	戸籍変動区分	1	数字	入	＊
13	届後本籍	30	漢字	入	
14	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
15	帰化記載者資格1	3	数字	入	＊
16	帰化記載者資格2	3	数字	入	＊
17	養/父母カナ氏名	60	カナ	入	＊
18	養/父母漢字氏名	30	漢字	入	＊
19	養/父母本籍	30	漢字	入	＊
20	養/父母筆頭者	30	漢字	入	＊
21	養/父母父氏名	30	漢字	入	＊
22	養/父母母氏名	30	漢字	入	＊
23	養/父母父母との続柄コード	2	数字	入	＊
24	養/父母父母との続柄名称	3	漢字	出	
25	養/父母生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
26	養/父母住所	30	漢字	入	＊
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2：非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	連署人筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員　1:筆頭者　＊
13	連署人筆頭者名称	3	漢字	出	
14	連署人配偶者区分	1	数字	入	1:夫　2:妻
15	連署人配偶者名称	1	漢字	出	
16	連署人カナ氏名	60	カナ	入	＊
17	連署人漢字氏名	30	漢字	入	
18	連署人本籍	30	漢字	入	
19	連署人筆頭者	30	漢字	入	
20	連署人父氏名	30	漢字	入	＊
21	連署人母氏名	30	漢字	入	＊
22	連署人父母との続柄コード	2	数字	入	＊
23	連署人父母との続柄名称	3	漢字	出	
24	連署人生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	連署人住所	30	漢字	人	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	8/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その5)　1/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	出張所番号	3	数字	入	
4	受領番号	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	コード入力　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍分届　2:非本籍分届　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	同時帰化者nカナ氏名	60	カナ	入	
13	同時帰化者n漢字氏名	30	漢字	入	
14	同時帰化者n従前氏名	30	漢字	入	
15	同時帰化者n従前国籍	30	漢字	入	
16	同時帰化者n生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	同時帰化者n父氏名	30	漢字	入	
18	同時帰化者n父の本･国籍	30	漢字	入	
19	同時帰化者n母氏名	30	漢字	入	
20	同時帰化者n母の本･国籍	30	漢字	入	
21	同時帰化者n父母との続柄コード	2	数字	入	
22	同時帰化者n父母との続柄名称	3	漢字	出	
23	同時帰化者n住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	同時帰化者n住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	同時帰化者n住所	30	漢字	入	
26	同時帰化者n世帯主区分	1	数字	入	1:世帯主　2:世帯員
27	同時帰化者n世帯主との続柄コード	6	数字	入	
28	同時帰化者n世帯主との続柄名称	8	漢字	出	
29	同時帰化者n世帯主名	30	漢字	入	
30	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1	3	数字	入	
31	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2	3	数字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		9/9
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	帰化(その5)　2/2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
32	同時帰化者n15歳未満の届出人資格名称	10	漢字	出	
33	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1	14	漢字	入	
34	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2	14	漢字	入	
35	同時帰化者n帰化記載者資格1	3	数字	入	*
36	同時帰化者n帰化記載者資格2	3	数字	入	*
上記項目　No.12　～　No.36　をMAX　9回繰り返す (nには1～9の数字のいずれかを代入する)					
37	PFガイダンス1	39	漢字	出	
33	PFガイダンス2	39	漢字	出	
39	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍喪失届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	国籍喪失者カナ氏名	60	カナ	入	
13	国籍喪失者氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	喪失年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	住所	30	漢字	入	コード入力有
17	世帯主	30	漢字	入	
18	本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	筆頭者	30	漢字	入	
20	配偶者区分	1	数字	入	0:未,1:夫,2:妻　＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
21	配偶者の外人区分	1	数字	入	0:日本人,1:外国人　＊
		3	漢字	出	
22	喪失原因(区分)	1	数字	入	1:志望により外国国籍を取得したため 2:日本国籍の離脱 3:外国国籍の選択 4:国籍選択の催告を受けて選択をしなかったため 5:国籍喪失の宣告を受けたため
		26	漢字	出	
23	喪失原因(国名)	28	漢字	入	国名コード入力有

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍喪失届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
24	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力,006:夫,007:妻, 001:父,002:母,010:養父, 011:養母,098:事件本人, 082:親族(四親等内),099:その他, 016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人
		28	漢字	出	
25	届出人氏名1	30	漢字	入	
26	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力,006:夫,007:妻, 001:父,002:母,010:養父, 011:養母,098:事件本人, 082:親族(四親等内),099:その他, 016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人
		28	漢字	出	
27	届出人氏名2	30	漢字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	国籍選択届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	国籍選択者カナ氏名	60	カナ	入	
13	国籍選択者漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	本籍	30	漢字	入	コード入力有
16	筆頭者	30	漢字	入	
17	現有外国国籍1	28	漢字	入	国名コード入力有　＊
18	現有外国国籍2	28	漢字	入	国名コード入力有　＊
19	現有外国国籍3	28	漢字	入	国名コード入力有　＊
20	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 019:親権者養父,030:後見人, 017:親権者母,020:親権者養母, 098:事件本人
		5	漢字	出	
21	届出人氏名1	30	漢字	入	
22	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 019:親権者養父,030:後見人, 017:親権者母,020:親権者養母, 098:事件本人
		5	漢字	出	
23	届出人氏名2	30	漢字	入	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	外国国籍喪失届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付,　＊ 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	外国国籍喪失者カナ氏名	60	カナ	入	
13	外国国籍喪失者漢字氏名	30	漢字	入	
14	生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
15	喪失年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者	30	漢字	入	
18	国籍喪失国名	28	漢字	入	国名コード入力有　＊
19	届出人資格1	3	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 019:親権者養父,030:後見人, 017:親権者母,020:親権者養母, 098:事件本人
		5	漢字	出	
20	届出人氏名1	30	漢字	入	
21	届出人資格2	3	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 019:親権者養父,030:後見人, 017:親権者母,020:親権者養母, 098:事件本人
		5	漢字	出	
22	届出人氏名2	30	漢字	入	
23	PFガイダンス1	39	漢字	出	
24	PFガイダンス2	39	漢字	出	
25	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	氏の変更届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	筆頭者カナ氏名	60	カナ	入	
13	筆頭者氏名	30	漢字	入	
14	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	筆頭者-個人除区分	1	数字	入	0:在籍者,1:除籍者　＊
		3	漢字	出	
16	筆頭者-配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力,0:未婚,　＊
		5	漢字	出	1:夫,2:妻,3:生存配偶者
17	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
19	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
20	配偶者氏名	30	漢字	入	
21	配偶者-外人区分	1	数字	入	0:日本人,1:外国人　＊
		3	漢字	出	
22	配偶者-配偶者区分	1	数字	入	スペース:未入力,0:未婚,　＊
		5	漢字	出	1:夫,2:妻,3:生存配偶者
23	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
24	配偶者世帯主	30	漢字	入	
25	変更前カナ氏	20	カナ	出	
26	変更前氏	15	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	氏の変更届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	変更後カナ氏	20	カナ	入	
28	変更後氏	15	漢字	入	
29	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
30	届出人資格1	3	数字	入	008:筆頭者,009:配偶者,　＊ 016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人,000:未入力
		5	漢字	出	
31	届出人氏名1	15	漢字	入	
32	届出人資格2	3	数字	入	008:筆頭者,009:配偶者,　＊ 016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人,000:未入力
		5	漢字	出	
33	届出人氏名2	15	漢字	入	
34	名義使用区分	1	数字	入	0:未使用,1:夫,2:妻　＊
		3	漢字	出	
35	構成員人数	2	数字	入	＊
36	PFガイダンス1	39	漢字	出	
37	PFガイダンス2	39	漢字	出	
38	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	氏の変更届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	30	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	出	
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
13	構成員氏名(その1)	30	漢字	入	
14	構成員の父の氏名(その1)	14	漢字	入	
15	構成員の母の氏名(その1)	14	漢字	入	
16	構成員の養父の氏名(その1)	14	漢字	入	
17	構成員の養母の氏名(その1)	14	漢字	入	
18	構成員住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
19	構成員の世帯主(その1)	30	漢字	入	
20	構成員更正区分(その1)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母,4:父母, 5:養父,6:養母,7:養父母, 8:父+養母,9:母+養父
		4	漢字	出	
21	構成員番号(その2)	2	数字	出	
22	構成員氏名(その2)	30	漢字	入	
23	構成員の父の氏名(その2)	14	漢字	入	
24	構成員の母の氏名(その2)	14	漢字	入	
25	構成員の養父の氏名(その2)	14	漢字	入	
26	構成員の養母の氏名(その2)	14	漢字	入	
27	構成員住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
28	構成員の世帯主(その2)	30	漢字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	氏の変更届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
29	構成員更正区分(その2)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母,4:父母, 5:養父,6:養母,7:養父母, 8:父+養母,9:母+養父　＊
		4	漢字	出	
30	構成員番号(その3)	2	数字	出	
31	構成員氏名(その3)	30	漢字	入	
32	構成員の父の氏名(その3)	14	漢字	入	
33	構成員の母の氏名(その3)	14	漢字	入	
34	構成員の養父の氏名(その3)	14	漢字	入	
35	構成員の養母の氏名(その3)	14	漢字	入	
36	構成員住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
37	構成員の世帯主(その3)	30	漢字	入	
38	構成員更正区分(その3)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母,4:父母, 5:養父,6:養母,7:養父母, 8:父+養母,9:母+養父　＊
		4	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	107条2項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	＊
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	筆頭者カナ氏名	60	カナ	入	
13	筆頭者漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後カナ氏	60	カナ	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
19	筆頭者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
20	筆頭者婚姻年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	筆頭者-配偶者区分	1	数字	入	0:未,1:夫,2:妻　＊
		5	漢字	出	3:生存配偶者
22	配偶者氏	30	漢字	入	
23	配偶者名	30	漢字	入	
24	配偶者-外人区分	1	数字	入	0:日本人,1:外国人　＊
		3	漢字	出	
25	同籍者区分	1	数字	入	0:無,1:配偶者のみ　＊ 2:配偶者+他構成員 3:他構成員のみ
		8	漢字	出	
26	新本籍	30	数字	入	コード入力有　＊

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	107条2項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	PFガイダンス1	39	漢字	出	
28	PFガイダンス2	39	漢字	出	
29	エラーメッセージ	39	漢字	出	

*:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	107条3項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由　＊
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	筆頭者カナ氏名	60	カナ	入	
13	筆頭者漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後カナ氏	60	カナ	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	筆頭者本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
18	筆頭者世帯主	30	漢字	入	
19	筆頭者生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
20	筆頭者婚姻解消日	7	英数字	入	元号コード入力有
21	107条3項原因	1	数字	入	1:離婚,2:婚姻解消
		5	漢字	出	3:配偶者死亡
22	外人配偶者氏名	30	漢字	入	
23	同籍者区分	1	数字	入	0:無,1:配偶者のみ　＊ 2:配偶者+他構成員
		8	漢字	出	3:他構成員のみ
24	新本籍	30	漢字	入	コード入力有
25	PFガイダンス1	39	漢字	出	
26	PFガイダンス2	39	漢字	出	
27	エラーメッセージ	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	107条4項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付,　＊ 2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍
		3	漢字	出	
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	氏変更人カナ氏名	60	カナ	入	
13	氏変更人漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後カナ氏	60	カナ	入	
15	変更後漢字氏	30	漢字	入	
16	氏変更人住所	50	漢字	入	コード入力有
17	氏変更人世帯主	30	漢字	入	
18	氏変更人本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	氏変更人筆頭者	30	英数字	入	元号コード入力有
20	氏変更人筆頭者区分	1	数字	入	0:構成員,1:筆頭者
		3	漢字	出	
21	氏変更人配偶者区分	1	数字	入	0:未婚,1:夫,2:妻,
		5	漢字	出	3:生存配偶者
22	氏変更人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
23	審判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
24	外国人父母区分	1	数字	入	0:父,1:母
		2	漢字	出	2:養父,3:養母
25	外国人父母氏名	30	漢字	入	
26	新本籍	30	漢字	入	コード入力有

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	107条4項届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	届出人資格1	1	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 017:親権者母,019:親権者養父, 020:親権者養母,030:後見人, 098:事件本人
		5	漢字	出	
28	届出人資格2	1	数字	入	000:未入力,016:親権者父, 017:親権者母,019:親権者養父, 020:親権者養母,030:後見人, 098:事件本人
		5	漢字	出	
29	届出人氏名1	30	漢字	入	
30	届出人氏名2	30	漢字	入	
31	PFガイダンス1	39	漢字	出	
32	PFガイダンス2	39	漢字	出	
33	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	名の変更届(その1)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	英数字	入	0:受理分,1:国内からの送付　＊ 2:在外公館の直接交付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	名の変更者のカナ氏名	60	カナ	入	
13	名の変更者の漢字氏名	30	漢字	入	
14	変更後のカナ名	60	カナ	入	
15	変更後の漢字名	30	漢字	入	
16	名の変更者の住所	30	漢字	入	コード入力有
17	名の変更者の世帯主	30	漢字	入	
18	名の変更者の本籍	30	漢字	入	コード入力有
19	名の変更者の筆頭者	30	英数字	入	
20	名の変更者の生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	審判日	7	英数字	入	元号コード入力有
22	届出人資格1	3	数字	入	016:親権者父　017:親権者母 019:親権者養父　020:親権者養母 030:後見人　098:事件本人
		5	漢字	出	
23	届出人氏名1	30	漢字	入	
24	届出人資格2	3	数字	入	016:親権者父　017:親権者母 019:親権者養父　020:親権者養母 030:後見人　098:事件本人
		5	漢字	出	
25	届出人氏名2	30	漢字	入	
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	名の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	出	
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
6	送付日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
7	発送元	30	漢字	出	
8	在外送付区分	1	英数字	出	
9	処理日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
10	本非区分	1	数字	出	
11	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年　月　日」で編集
12	構成員番号　(その1)	2	数字	出	
13	構成員氏名　(その1)	30	漢字	入	
14	構成員の父の氏名　(その1)	14	漢字	入	
15	構成員の母の氏名　(その1)	14	漢字	入	
16	構成員の養父の氏名(その1)	14	漢字	入	
17	構成員の養母の氏名(その1)	14	漢字	入	
18	構成員住所　(その1)	30	漢字	入	
19	構成員の世帯主　(その1)	14	漢字	入	
20	構成員更正区分　(その1)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母, 5:養父,6:養母
		2	漢字	出	
21	構成員番号　(その2)	2	数字	出	
22	構成員氏名　(その2)	30	漢字	入	
23	構成員の父の氏名　(その2)	14	漢字	入	
24	構成員の母の氏名　(その2)	14	漢字	入	
25	構成員の養父の氏名(その2)	14	漢字	入	
26	構成員の養母の氏名(その2)	14	漢字	入	
27	構成員住所　(その2)	30	漢字	入	
28	構成員の世帯主　(その2)	14	漢字	入	
29	構成員更正区分　(その2)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母, 5:養父,6:養母
		2	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	名の変更届(その2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
30	構成員番号　(その3)	2	数字	出	
31	構成員氏名　(その3)	30	漢字	入	
32	構成員の父の氏名　(その3)	14	漢字	入	
33	構成員の母の氏名　(その3)	14	漢字	入	
34	構成員の養父の氏名(その3)	14	漢字	入	
35	構成員の養母の氏名(その3)	14	漢字	入	
36	構成員住所　(その3)	30	漢字	入	
37	構成員の世帯主　(その3)	14	漢字	入	
38	構成員更正区分　(その3)	1	数字	入	1:無,2:父,3:母, 5:養父,6:養母
		2	漢字	出	
39	PFガイダンス1	39	漢字	出	
40	PFガイダンス2	39	漢字	出	
41	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	転籍届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	入	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	34	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	入	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有
12	本籍	30	漢字	入	コード入力有
13	新本籍	30	漢字	入	コード入力有
14	筆頭者カナ氏名	60	カナ	入	
15	筆頭者氏名	30	漢字	入	
16	筆頭者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	筆頭者個人除区分コード	1	数字	入	0:在籍者,1:除籍者　＊
18	筆頭者個人除区分名称	3	漢字	出	＊
19	筆頭者-配偶者区分コード	1	数字	入	0:未　＊ 1:夫,2:妻 3:生存配偶者
20	筆頭者-配偶者区分名称	5	漢字	出	
21	筆頭者住所	30	漢字	入	コード入力有
22	筆頭者世帯主	15	漢字	入	
23	配偶者-配偶者区分コード	1	数字	入	0:未　＊ 1:夫,2:妻 3:生存配偶者
24	配偶者-配偶者区分名称	5	漢字	出	
25	配偶者外人区分コード	1	数字	入	0:日本人,1:外国人　＊
26	配偶者外人区分名称	3	漢字	出	
27	配偶者カナ氏名	60	カナ	入	
28	配偶者氏名	30	漢字	入	
29	配偶者住所	30	漢字	入	コード入力有
30	配偶者世帯主	30	漢字	入	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	転籍届届　その1

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	配偶者生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
32	届出人資格1コード	3	数字	入	008:筆頭者,009:配偶者, 016:親権者父,017:親権者母, 019：親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人 ＊
33	届出人資格1名称	5	漢字	出	
34	届出人資格2コード	3	数字	入	008:筆頭者,009:配偶者, 016:親権者父,017:親権者母, 019：親権者養父,020:親権者養母, 030:後見人 ＊
35	届出人資格2名称	5	漢字	出	
36	届出人氏名1	30	漢字	入	
37	届出人氏名2	30	漢字	入	
38	名義使用区分コード	1	数字	入	0:未使用,1:夫,2:妻　＊
39	名義使用区分名称	3	漢字	出	
40	構成員人数	2	数字	入	＊
41	PFガイダンス1	39	漢字	出	
42	PFガイダンス2	39	漢字	出	
43	エラーメッセージ	39	数字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	転籍届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	34	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	出	元号コード入力有
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍,2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	出	元号コード入力有
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
13	構成員カナ氏名(その1)	60	カナ	入	
14	構成員氏名(その1)	30	漢字	入	
15	構成員住所(その1)	30	漢字	入	コード入力有
16	構成員の世帯主(その1)	30	漢字	入	
17	構成員生年月日(その1)	7	英数字	入	
18	構成員番号(その2)	2	数字	出	
19	構成員カナ氏名(その2)	60	カナ	入	
20	構成員氏名(その2)	30	漢字	入	
21	構成員住所(その2)	30	漢字	入	コード入力有
22	構成員の世帯主(その2)	30	漢字	入	
23	構成員生年月日(その2)	7	英数字	入	
24	構成員番号(その3)	2	数字	出	
25	構成員カナ氏名(その3)	60	カナ	入	
26	構成員氏名(その3)	30	漢字	入	
27	構成員住所(その3)	30	漢字	入	コード入力有
28	構成員の世帯主(その3)	30	漢字	入	
29	構成員生年月日(その3)	7	英数字	入	
30	構成員番号(その4)	2	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/4
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	転籍届　その2

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	構成員カナ氏名(その4)	60	カナ	入	
32	構成員氏名(その4)	30	漢字	入	
33	構成員住所(その4)	30	漢字	入	コード入力有
34	構成員の世帯主(その4)	30	漢字	入	
35	構成員生年月日(その4)	7	英数字	入	
36	現在頁	2	数字	出	
37	最大頁	2	数字	出	
38	PFガイダンス1	39	漢字	出	
39	PFガイダンス2	39	漢字	出	
40	エラーメッセージ	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	並び換え(転籍届)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所NO	3	数字	出	
4	受領NO	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	出	
6	送付日	7	英数字	出	
7	発送元	34	漢字	出	(送付元)
8	在外送付区分	1	数字	出	0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館からの直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	出	
10	本非区分	1	数字	出	1:本籍,2:非本籍
11	郵送日	7	英数字	出	
12	構成員番号(その1)	2	数字	出	
13	構成員氏名(その1)	60	漢字	出	
14	構成員筆頭者区分名称(その1)	3	漢字	出	
15	構成員配偶者区分名称(その1)	3	漢字	出	
16	構成員生年月日(その1)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	構成員新記載順位(その1)	2	数字	入	
18	構成員番号(その2)	2	数字	出	
19	構成員氏名(その2)	60	漢字	出	
20	構成員筆頭者区分名称(その2)	3	漢字	出	
21	構成員配偶者区分名称(その2)	3	漢字	出	
22	構成員生年月日(その2)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
23	構成員新記載順位(その2)	2	数字	入	
24	構成員番号(その3)	2	数字	出	
25	構成員氏名(その3)	60	漢字	出	
26	構成員筆頭者区分名称(その3)	3	漢字	出	
27	構成員配偶者区分名称(その3)	3	漢字	出	
28	構成員生年月日(その3)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
29	構成員新記載順位(その3)	2	数字	入	
30	構成員番号(その4)	2	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	並び換え(転籍届)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	構成員氏名(その4)	60	漢字	出	
32	構成員筆頭者区分名称(その4)	3	漢字	出	
33	構成員配偶者区分名称(その4)	3	漢字	出	
34	構成員生年月日(その4)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
35	構成員新記載順位(その4)	2	数字	入	
36	構成員番号(その5)	2	数字	出	
37	構成員氏名(その5)	60	漢字	出	
38	構成員筆頭者区分名称(その5)	3	漢字	出	
39	構成員配偶者区分名称(その5)	3	漢字	出	
40	構成員生年月日(その5)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
41	構成員新記載順位(その5)	2	数字	入	
42	構成員番号(その6)	2	数字	出	
43	構成員氏名(その6)	60	漢字	出	
44	構成員筆頭者区分名称(その6)	3	漢字	出	
45	構成員配偶者区分名称(その6)	3	漢字	出	
46	構成員生年月日(その6)	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
47	構成員新記載順位(その6)	2	数字	入	
48	現在頁	2	数字	出	
49	最大頁	2	数字	出	
50	PFガイダンス1	39	漢字	出	
51	PFガイダンス2	39	漢字	出	
52	エラーメッセージ	39	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
異動処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	就籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	支所No	3	数字	入	＊
4	受領No	7	数字	出	
5	受領日	7	英数字	入	元号コード入力有
6	送付日	7	英数字	入	元号コード入力有
7	発送元	30	漢字	入	(送付元)
8	在外送付区分	1	英数字	入	0:受理分,1:国内からの送付　＊ 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
9	処理日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
10	本非区分	1	数字	入	1:本籍,2:非本籍　＊
11	郵送日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
12	就籍人カナ氏名	60	カナ	入	
13	就籍人漢字氏名	30	漢字	入	
14	就籍人住所	30	漢字	入	コード入力有
15	就籍人世帯主	30	漢字	入	
16	就籍人本籍	30	漢字	入	コード入力有
17	就籍人筆頭者	30	漢字	入	
18	就籍人父の氏名	30	漢字	入	
19	就籍人母の氏名	30	漢字	入	
20	就籍人生年月日	8	英数字	入	元号コード入力有
21	就籍人父母続柄	2	数字	入	
		3	漢字	出	
22	就籍人裁判確定日	7	英数字	入	元号コード入力有
23	就籍人住定日	7	英数字	入	元号コード入力有　＊
24	就籍人就籍原因	1	英数	入	スペース:家庭裁判所の許可　＊ 1:国籍の存在確認の審判 2:親子関係存在確認の審判
		20	漢字	出	
25	就籍人戸籍変動区分	1	数字	入	1:新戸籍編製　＊ 2:父母の現在戸籍に入る 3:配偶者の戸籍に入る
		10	漢字	出	
26	届出人資格	3	数字	入	098:事件本人　016:親権者父 030:後見人　017:親権者母 029:親権代行者
		5	漢字	出	

＊:届書にない入力項目

第5 5 (3)	画面項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
異動処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	就籍届

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
27	届出人氏名	30	漢字	入	
28	PFガイダンス1	39	漢字	出	
29	PFガイダンス2	39	漢字	出	
30	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
処分決定	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	処分決定･仮受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分名称	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	入	
16	収日	7	英数字	入	
17	指示日	7	英数字	入	
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	カナ氏名	48	カナ	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
処分決定	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	処分決定･仮受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	送達確認2	1	数字	出	
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　(複数ページ有り)　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	変更処分区分	1	数字	入	
40	変更処分名称	3	漢字	出	
41	埋火葬許可証発行メッセージ	30	漢字	出	死亡届(受理分)のときのみ出力
42	埋火葬許可証発行区分	1	数字	入	
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
処分決定	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	処分決定･受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分名称	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	収日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	指示日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	カナ氏名	48	カナ	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
処分決定	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	処分決定･受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	送達確認2	1	数字	出	
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　(複数ページ有り)　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	変更処分区分	1	数字	出	
40	変更処分名称	3	漢字	出	
41	埋火葬許可証発行メッセージ	30	漢字	出	死亡届(受理分)のときのみ出力
42	埋火葬許可証発行区分	1	数字	出	
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.処分決定　処分決定確認表示	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	処分決定確認表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	筆頭者	14	漢字	出	
5	編製日	7	英数字	出	
6	消除日	7	英数字	出	
7	戸籍編製区分	8	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
*上記4～8を一画面MAX5件表示する　(複数ページ有り)					
9	選択番号	2	英数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.処分決定　戸籍構成員一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(処分決定)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項(1～6)	33	漢字	出	
*上記10を一画面MAX6行表示する　(複数ページ有り)					
11	構成員SEQ番号	2	数字	出	
12	構成員漢字氏名	14	漢字	出	
13	構成員生年月日	7	英数字	出	
14	構成員除籍日	7	英数字	出	
15	構成員続柄	3	漢字	出	
16	構成員配偶者区分	2	漢字	出	
17	構成員異動区分	2	漢字	出	
*上記11～17を一画面MAX7人表示する　(複数ページ有り)					
18	詳細選択番号	2	数字	入	
19	PFガイダンス1	39	漢字	出	
20	PFガイダンス2	39	漢字	出	
21	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
2.処分決定　個人詳細表示	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(処分決定)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	
5	消除日	7	英数字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	カナ氏名	60	カナ	出	
9	漢字氏名	30	漢字	出	
10	生年月日	7	英数字	出	
11	除籍日	7	英数字	出	
12	筆頭者表示	3	漢字	出	筆頭者の場合「筆頭者」
13	配偶者区分表示	5	漢字	出	
14	破産宣告人表示	3	漢字	出	破産宣告人の場合「破産者」
15	父氏名	14	漢字	出	
16	母氏名	14	漢字	出	
17	父母との続柄	3	漢字	出	
18	養父氏名	14	漢字	出	
19	養母氏名	14	漢字	出	
20	養父母との続柄	3	漢字	出	
21	身分事項事件項番	2	数字	出	
22	身分事項事件名	8	漢字	出	
23	身分事項記載項目	27	漢字	出	
*上記21～23を一画面MAX10行表示する　(複数ページ有り)					
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
エラー履歴処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	エラー履歴一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	届出名	15	漢字	出	
6	メッセージ項番	2	数字	出	
7	メッセージコード	5	英数字	出	
8	応答区分	1	英字	出	
9	メッセージ内容	39	数字	出	
*上記6～9を一画面MAX7件表示する　(複数ページ有り)					
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記戸籍選択

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	入	
5	事件名	15	漢字	出	
6	明細番号	2	数字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	戸籍編製区分名称	8	漢字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
＊　上記6～11を一画面MAX5件分表示する　（複数ページ有り）					
12	選択番号	2	数字	入	
13	決裁用帳票出力区分	1	数字	入	
14	PFガイダンス1	39	漢字	出	
15	PFガイダンス2	39	漢字	出	
16	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記戸籍構成員一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項タイトル	7	漢字	出	
11	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～11を一画面MAX6件分表示する　（複数ページ有り）					
12	明細番号	2	数字	出	
13	漢字氏名	14	漢字	出	
14	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
15	除籍日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	父母との続柄	3	漢字	出	
17	配偶者区分	2	漢字	出	
18	異動区分	2	漢字	出	
＊　上記12～18を一画面MAX7件分表示する　（複数ページ有り）					
19	移記処理区分	1	数字	入	
20	選択番号	2	数字	入	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
移記事項入力		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:戸籍事項表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	明細番号	2	数字	出	
11	戸籍事項タイトル	8	漢字	出	
12	戸籍事項	28	漢字	出	
＊　上記10～12を一画面MAX13件分表示する　(複数ページ有り)					
13	処理区分	1	数字	入	
14	選択番号	2	数字	入	
15	PFガイダンス1	39	漢字	出	
16	PFガイダンス2	39	漢字	出	
17	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	選択番号	2	数字	入	
11	PFガイダンス1	39	漢字	出	
12	PFガイダンス2	39	漢字	出	
13	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力(氏変更1/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	氏変更日	7	英数字	入	
11	氏変更の事由	1	数字	入	
12	届出人1資格区分	3	数字	入	
13	届出人1資格名称	10	漢字	出	
14	届出人1氏名	30	漢字	入	
15	届出人2資格区分	3	数字	入	
16	届出人2資格名称	10	漢字	出	
17	届出人2氏名	30	漢字	入	
18	送付を受けた日	7	英数字	入	
19	受理者	50	漢字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
移記事項入力		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:戸籍事項事件別入力(氏変更2/2)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	許可日	7	英数字	入	
11	許可書謄本の送付を受けた日	7	英数字	入	
12	許可を受けた者	50	漢字	入	
13	従前の記載(氏)	30	漢字	入	
14	記録日	7	英数字	入	
15	特記事項	30	漢字	入	
16	PFガイダンス1	39	漢字	出	
17	PFガイダンス2	39	漢字	出	
18	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:戸籍事項並べ替え

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記録数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	明細番号	2	数字	出	
11	新明細番号	2	数字	入	
12	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～12を一画面MAX13件分表示する　（複数ページ有り）					
13	PFガイダンス1	39	漢字	出	
14	PFガイダンス2	39	漢字	出	
15	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人情報表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	カナ氏名	60	カナ	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	性別	1	数字	出	
7	性別名称	1	漢字	出	
8	入籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	筆頭者区分	1	数字	出	
11	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
12	配偶者区分	1	数字	出	
13	配偶者区分名称	5	漢字	出	
14	父氏名	30	漢字	入	
15	母氏名	30	漢字	入	
16	父母との続柄	2	数字	入	
17	父母との続柄名称	5	漢字	出	
18	養父氏名	30	漢字	入	
19	養母氏名	30	漢字	入	
20	養父母との続柄	2	数字	入	
21	養父母との続柄名称	5	漢字	出	
22	個人除区分	1	数字	出	
23	個人除区分名称	3	漢字	出	
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:身分事項表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	明細番号	2	数字	出	
10	身分事項タイトル	8	漢字	出	
11	身分事項	28	漢字	出	
＊　上記9～11を一画面MAX13件分表示する　(複数ページ有り)					
12	処理区分	1	数字	入	
13	選択番号	2	数字	入	
14	PFガイダンス1	39	漢字	出	
15	PFガイダンス2	39	漢字	出	
16	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:身分事項事件メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	選択番号	2	数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	移記:身分事項並べ替え

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	明細番号	2	数字	出	
10	新明細番号	2	数字	入	
11	身分事項	25	漢字	出	
＊　上記9～11を一画面MAX13件分表示する　(複数ページ有り)					
12	PFガイダンス1	39	漢字	出	
13	PFガイダンス2	39	漢字	出	
14	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子1/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	出生日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	出生地	50	漢字	入	(市区町村)まで
11	父の国籍	50	漢字	入	
12	父の生年月日	8	数字	入	
13	母の国籍	50	漢字	入	
14	母の生年月日	8	数字	入	
15	届出日	7	英数字	入	元号コード入力有
16	航海日誌謄本提出日	7	英数字	入	元号コード入力有
17	届出人資格区分	3	数字	入	コード入力有
18	届出人資格名称	10	漢字	出	
19	届出人氏名	30	漢字	入	
20	届出人の戸籍の本籍	50	漢字	入	
21	届出人の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
22	PFガイダンス1	39	漢字	出	
23	PFガイダンス2	39	漢字	出	
24	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子2/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	届出人の国籍	50	漢字	入	
10	届出人の生年月日	8	数字	入	
11	父の氏名	30	漢字	入	
12	父の戸籍の本籍	50	漢字	入	
13	父の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
14	母の氏名	30	漢字	入	
15	母の戸籍の本籍	50	漢字	入	
16	母の戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
17	PFガイダンス1	39	漢字	出	
18	PFガイダンス2	39	漢字	出	
19	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子3/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	国籍留保の届出日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	国籍留保の届出人資格区分	3	数字	入	コード入力有
11	国籍留保の届出人資格名称	10	漢字	出	
12	国籍留保の届出人氏名	30	漢字	入	
13	国籍留保の届出人の国籍	50	漢字	入	
14	国籍留保の届出人の生年月日	8	数字	入	
15	送付を受けた日	7	数字	入	
16	受理者	50	漢字	入	
17	許可日	7	数字	入	
18	許可書謄本の送付を受けた日	7	数字	入	
19	許可を受けた者	50	漢字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
移記事項入力	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	出生　事件別入力(子4/4)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	生年月日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
7	配偶者区分名称	5	漢字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	入籍日	7	英数字	入	元号コード入力有
10	従前戸籍の本籍	50	漢字	入	
11	従前戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
12	除籍日	7	英数字	入	元号コード入力有
13	新本籍	50	漢字	入	
14	入籍戸籍の本籍	50	漢字	入	
15	入籍戸籍の筆頭者	30	漢字	入	
16	記録日	7	数字	入	
17	特記事項	50	漢字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	未決裁一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	入力支所番号	3	数字	入	
5	入力受領番号	7	数字	入	
6	一連番号	2	数字	出	
7	受領番号	7	数字	出	
8	処分区分名称	5	漢字	出	
9	事件名	10	漢字	出	
10	受理送付区分名称	2	漢字	出	
11	本非区分名称	2	漢字	出	
12	渉外区分名称	3	漢字	出	
13	受付日	7	数字	出	
14	支所番号	3	数字	出	
15	事件本人	25	漢字	出	
16	他受領番号	1	英字	出	他受領番号があるとき「*」
＊　上記6～16を一画面MAX6件分表示する　（複数ページ有り）					
17	選択番号	2	数字	入	
18	PFガイダンス1	39	漢字	出	
19	PFガイダンス2	39	漢字	出	
20	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	決裁･受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	受理送付の別	2	漢字	出	
6	受付日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
7	処分内容	3	漢字	出	
8	事件名	15	漢字	出	
9	事件発生日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	決裁内容	3	漢字	出	
11	出張所番号	3	数字	出	
12	発送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
13	郵送日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
14	本籍非本籍の別	2	漢字	出	
15	発日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	収日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
17	指示日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
18	許可日	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
19	渉外内容	3	漢字	出	
20	関連受領番号1	9	数字	出	
21	関連受領番号2	9	数字	出	
22	関連受領番号3	9	数字	出	
23	関連受領番号4	9	数字	出	
24	関連受領番号5	9	数字	出	
25	事件本人区分内容	6	漢字	出	
26	届出人表示	3	漢字	出	
27	カナ氏名	48	カナ	出	
28	漢字氏名	24	漢字	出	
29	生年月日	8	英数字	出	日本人の場合「元号コード　年.月.日 外国人の場合「西暦年　月　日」
30	送達確認1	1	数字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	決裁･受付

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
31	送達確認2	1	数字	出	
32	本籍	30	漢字	出	
＊　上記25～32を一画面MAX2人分表示する　(複数ページ有り)　MAX:4人					
33	届出人資格1	5	漢字	出	
34	届出人氏名1	30	漢字	出	
35	届出人資格2	5	漢字	出	
36	届出人氏名2	30	漢字	出	
37	届後本籍	30	漢字	出	
38	届後戸籍の筆頭者	30	漢字	出	
39	管掌者コード	4	数字	入	
40	管掌者	20	漢字	出	
41	決裁区分	1	数字	入	
42	決裁内容	3	漢字	出	
43	PFガイダンス1	39	漢字	出	
44	PFガイダンス2	39	漢字	出	
45	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁処理(決裁確認表示)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	決裁確認表示

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	事件名	15	漢字	出	
6	一連番号	2	数字	出	
7	筆頭者氏名	14	漢字	出	
8	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
9	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
10	戸籍編製区分名称	8	漢字	出	
11	本籍	30	漢字	出	
＊　上記6～11を一画面MAX5件分表示する　(複数ページ有り)					
12	選択番号	2	数字	入	
13	PFガイダンス1	39	漢字	出	
14	PFガイダンス2	39	漢字	出	
15	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁処理(戸籍構成員一覧)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧(決裁)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	記載数	2	数字	出	
7	在籍数	2	数字	出	
8	本籍	30	漢字	出	
9	筆頭者	30	漢字	出	
10	戸籍事項タイトル	7	漢字	出	
11	戸籍事項	25	漢字	出	
＊　上記10～11を一画面MAX6行分表示する　(複数ページ有り)					
12	明細番号	2	数字	出	
13	氏名	14	漢字	出	
14	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
15	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
16	父母との続柄	3	漢字	出	
17	配偶者区分	2	漢字	出	
18	異動区分	2	漢字	出	
＊　上記12～18を一画面MAX7件分表示する　(複数ページ有り)					
19	詳細選択番号	2	数字	入	
20	PFガイダンス1	39	漢字	出	
21	PFガイダンス2	39	漢字	出	
22	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
決裁処理(個人詳細表示)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人詳細表示(決裁)

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	編製日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
5	消除日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	カナ氏名	60	英数字	出	
9	漢字氏名	30	漢字	出	
10	生年月日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
11	除籍日	7	数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
12	筆頭者区分名称	3	漢字	出	
13	配偶者区分名称	5	漢字	出	
14	破産宣告人区分名称	3	漢字	出	
15	父氏名	14	漢字	出	
16	母氏名	14	漢字	出	
17	父母との続柄	3	漢字	出	
18	養父氏名	14	漢字	出	
19	養母氏名	14	漢字	出	
20	養父母との続柄	3	漢字	出	
21	一連番号	2	数字	出	
22	事件名称	8	漢字	出	
23	身分事項記載項目	27	漢字	出	
＊　上記21～23を一画面MAX10件分表示する　(複数ページ有り)					
24	PFガイダンス1	39	漢字	出	
25	PFガイダンス2	39	漢字	出	
26	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	ファイル更新処理メニュー

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	選択番号	1	数字	入	
4	パスワード	15	数字	入	
5	PFガイダンス1	39	漢字	出	
6	PFガイダンス2	39	漢字	出	
7	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理　1.不受理申出ファイル更新	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	不受理申出ファイル更新

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	カナ氏名	60	カナ	出	
5	漢字氏名	30	漢字	出	
6	本籍	30	漢字	出	
7	筆頭者	14	漢字	出	
8	生年月日	7	英数字	出	
9	項番	2	数字	出	
10	出張所番号	3	数字	入出	
11	受理･送付別	1	数字	入出	受理分:1,送付分:2
12	開始日	7	英数字	入出	
13	送付日	7	英数字	入出	
14	失効日	7	英数字	入出	
15	失効区分(コード)	1	数字	入出	終了:1,取下:2,失効:3
16	失効区分(漢字)	3	漢字	出	(上記の内容を表示)
17	不受理申出事件(コード)	2	数字	入出	
18	不受理申出事件(名称)	20	漢字	出	
19	不受理申出相手氏名1	30	漢字	入出	
20	不受理申出相手氏名2	30	漢字	入出	
*上記　9～20を一画面MAX2件分示する　(複数ページ有り)					
21	処理選択番号	1	数字	入	
22	処理項番	2	数字	入	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
8.ファイル更新処理　2.個人状態ファイル更新	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	個人状態ファイル更新

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	カナ氏名	60	カナ	出	
4	漢字氏名	30	漢字	出	
5	本籍	30	漢字	出	
6	生年月日	7	英数字	出	
7	筆頭者	30	漢字	出	
8	禁治産者区分	1	数字	入出	禁治産者の場合:1
9	準禁治産者区分	1	数字	入出	準禁治産者の場合:1
10	破産宣告人区分	1	数字	入出	破産宣告人の場合:1
11	裁判所通知区分	1	数字	入出	裁判所からの通知があった場合:1
12	犯歴区分	1	数字	入出	犯罪歴がある場合:1
13	胎児認知区分	1	数字	入出	胎児認知がある場合:1
14	受理･処理伺い区分	1	数字	入出	受理･処理伺いがある場合:1
15	保留区分	1	数字	入出	保留がある場合:1
16	メモ1	30	漢字	入出	
17	メモ2	30	漢字	入出	
18	メモ3	30	漢字	入出	
19	メモ4	30	漢字	入出	
20	メモ5	30	漢字	入出	
21	PFガイダンス1	39	漢字	出	
22	PFガイダンス2	39	漢字	出	
23	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第5 5 (3)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
9.受領番号確保	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	休日・夜間分受領番号確保

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	9	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	受領日	7	英数字	入	「元号コード　年.月.日」で編集
4	開始番号	7	数字	出	
5	届書枚数	2	数字	入	
6	終了番号	7	数字	出	
7	PFガイダンス1	39	漢字	出	
8	PFガイダンス2	39	漢字	出	
9	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第 5.6　「帳票」関係仕様

（目次）

(1) 新帳票一覧表

(2) 帳票設計書

(3) 帳票項目一覧表

第 5 6	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1／1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「帳票」関係仕様		平成 6 年 12 月 1 日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1) 「第 5-6(2) 帳票設計書」に各帳票の順守範囲を示す。

(2) 但し、法令等で定められる帳票(「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」など)は全て順守。

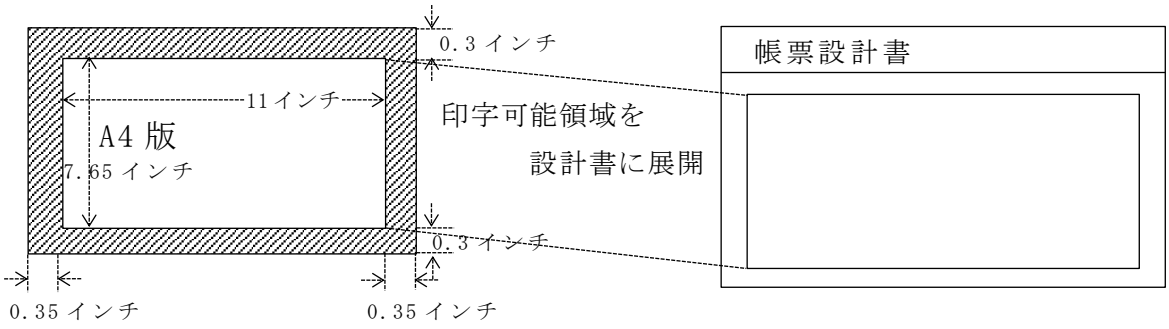
〔留意点〕

(1) 新帳票一覧表に掲げた種類は、規則、準則等で最低必要となる帳票及び戸籍関連事務に関するものである。その他、自治体で運用上必要となる帳票を出力することはかまわない。

(2) 一部の帳票においては、関係省庁との事前調整が必要なものもあるため、様式等決定する上では、注意を要する。

(3) 証明書関係及び外部へ提出する帳票に関しては、用紙サイズを A4 判に統一している。内部帳票に関しては、自治体の運用に合わせて設計すること。

(4) 「帳票設計書(レイアウト)」ワークシートは、印刷不能領域をある程度意識している。(但し、原寸大のサイズで表せないため、参考とすること)システム環境により、合致しない場合の微調整は構わない。



(5) 行ピッチ、文字ピッチ

行ピッチ　：　6LPI
文字ピッチ：　5CPI 又は 10CPI(7 ポ相当、9 ポ相当)

上記のピッチで設計している。

第5.6.(1)　新帳票一覧表

第5.6.(1)　新帳票一覧表

(1) 作成の目的
　この一覧表は，新システムで使用する帳票を明確にするとともに、現行事務帳票の調査分析・整理統合と「システム化の範囲」とを考慮してまとめたものである。

(2) 作成方法
　業務の処理手順に沿って、各システムの流れ図から帳票を抽出する。さらに，抽出した帳票は統合整理を行い、新システム帳票一覧表に記入する。
　なお，記入方法は次のとおりである。

ア	項番	帳票番号。新システムで使用する帳票を、概ね業務の処理手順に沿って，番号を記入する。
イ	帳票名	現在使用されている帳票の場合はその名称を、新規に作成する帳票の場合は適宜名称を定めて記入する。
ウ	旧番号	(旧帳票番号の略で，現行帳票分析時に用いた一連番号)
エ	規格の有無	法規等で様式が定められている場合は，「有」と記入する。
オ	根拠法令	上記で定める法規等の名称及び条項を記入する。
カ	保存期間	上記で定める保存期間を記入する。
キ	処理区分	オンライン処理・バッチ処理の別を記入する。
ク	出力サイクル	出力のタイミング(日次，月次，年次，随時等)を記入する。
ケ	備考	補足説明を要する場合に記入する。

(3) 新帳票一覧表
　上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

第5 6 (1)	新帳票一覧表		作成者			頁数
			システム化調査研究会			1/3
適用業務名			作成日付	改定日付		版
戸籍事務			平成6年12月 1日	令和　年　月　日		1
項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間 (年)	オンライン バッチ区分	出力サイクル
1-1	戸籍受付帳	有	戸規21条	50	バッチ	月次
		有	準則	3		
1-2	戸籍事務取扱準則38条2項用紙	有	準則(東京法務局)		バッチ	月次
1-3	種類番号帳	無	戸規48条		バッチ	月次
1-4	届書送達確認書	無	昭59.6.15 特別区主管課長会		バッチ	日次
1-5	(高齢者消除)戸籍記載許可申請書	有	準則	27	バッチ	随時
1-6	相続税法58条通知	有	相続税法58条		バッチ	月次
1-7	宛名シール	無			バッチ	日次

第5 6 (1)	新帳票一覧表		作成者			頁数
			システム化調査研究会			2/3
適用業務名			作成日付	改定日付		版
証明等に係わる業務			平成6年12月 1日	令和　年　月　日		1
項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間 (年)	オンライン バッチ区分	出力サイクル
2-1	全部事項証明(戸籍謄本)	有	戸規12条		オンライン	随時
2-2	一部事項証明(戸籍抄本)	有	戸規1，2条		オンライン	随時
2-3	記録事項証明(戸籍記載事項証明)	有	戸規14条		オンライン	随時
2-4	届書受理証明 (出生，縁組，離縁，婚姻，離婚，死亡，他)	有	戸規66条		オンライン	随時
2-5	戸籍法41条証書提出の証明	無			オンライン	随時
2-6	届書預り証明書(婚姻届受理伺い中，婚姻届以外の受理伺い中である旨の通知書も含む)	無			オンライン	随時
2-7	身分証明書	無			オンライン	随時
2-8	死体埋火葬許可証 (死体埋火葬許可交付申請書も含む)	有	墓地・埋葬法		オンライン	随時
2-9	本籍の町名変更についてのお知らせ(ハガキ)	無			バッチ	不確定
2-10	本籍の町名変更についてのお知らせ(証明書)	無			オンライン	不確定

第5 6 (1)	新帳票一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
統計事務		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンライン バッチ区分	出力サイクル
3-1	戸籍事件表	有	準則	10	バッチ	年次

第5.6.(2)　帳票設計書

第5.6.(2)　帳票設計書

(1) 作成の目的

法令等で定められている様式のほか参考提示できる様式についても,そのレイアウトを作成し,帳票の大きさ、出力する項目及び位置を明確にするものである。

(2) 作成方法

帳票の見出し部分と出力部分を記入する。

出力部分の属性,タイプについては,次のとおりである。

K:漢字(全角)

N:カナ(以下,半角)

X:英数字カナ

9:数字

なお、数字･英字･カナの項目であっても2バイト文字で出力したい場合は、「K」で記入する。

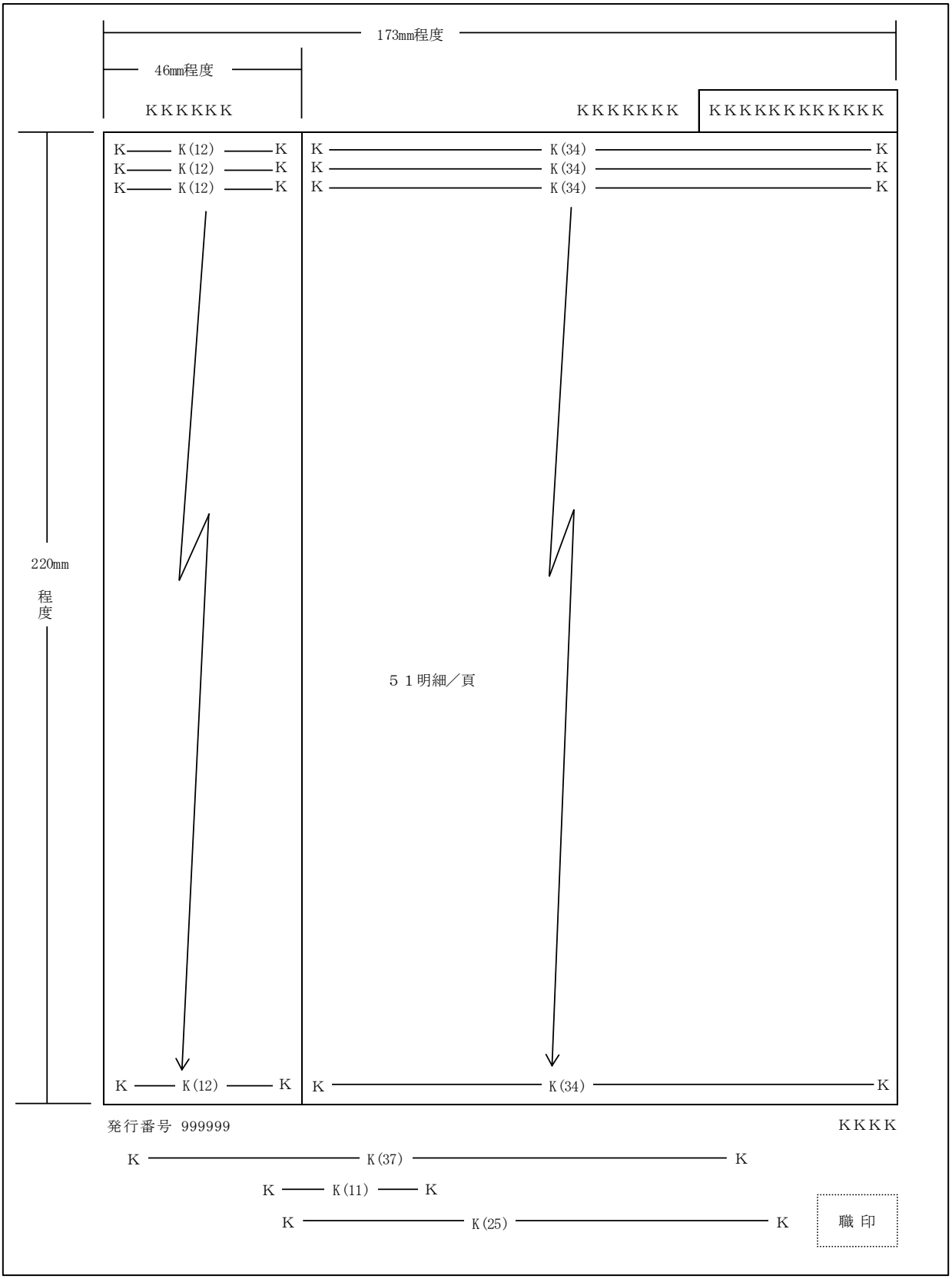
(3) 帳票設計書

上記の検討を経て作成した帳票設計書は,以下のとおりである。

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
証明書発行	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

記録事項証明書の規格(民二第7002号通達　別紙6)	帳票名	全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/9

適用業務名	作成日付	改定日付	版
証明書発行	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

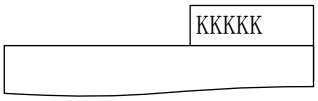
証明書概要説明での呼称	帳票名	全部・個人・一部事項証明書・戸籍事務専用(共通ﾌｫｰﾏｯﾄ)

	見出し欄 (タイトル表示欄)	項目欄
		(1の1) 全部事項証明
戸籍の表示欄	本　籍 氏　名	△東京都千代田区霞ヶ関～ △△△～　←空　行→ △河野　義太郎 △△△～　←空　行→
戸籍事項欄	戸籍事項 戸籍編製 氏の変更	△△△～　←空　行→ 【編製日】平成6年12月1日 【氏変更日】平成7年2月21日 【氏変更の事由】戸籍法107条～ 【従前の記録】 △△【氏】甲野
個人特定欄	戸籍に記録されている者	△△△～　←空　行→ 【名】義太郎 △△△～　←空　行→ 【生年月日】昭和36年4月19日△△【配偶者区分】夫 【父】甲野太郎 【母】甲野梅子 【続柄】長男
(個人欄)	身分事項 △△出　生	△△△～　←空　行→ 【出生日】昭和36年4月19日 【出生地】広島県広島市 【届出日】昭和36年4月25日 【届出人】父
身分事項欄	△△婚　姻	【婚姻日】平成元年1月28日 ・ ・ ・ 【従前戸籍】京都府～　～町 △△20番地△甲野太郎
	戸籍に記録されている者	△△△～　←空　行→
	身分事項	△△△～　←空　行→
		以下余白

△発行番号　999999

△:ブランク(空白文字)を示す

証明書の様式、出力条件について以下に示す。証明書の出力条件については、全国統一様式を図るため詳細項目にわたり基準を定めている。

項番	項目	内容
1	様式	戸籍法施行規則第73条、79条の12を遵守する
2	証明書の種類	1. 全部事項証明書(戸籍謄本) 一戸籍に記録している全部の事項を証明したもの 2. 個人事項証明書(戸籍抄本) 一戸籍内の特定個人の記録についての全部証明したもの 3. 一部事項証明書(記載事項証明書) 一戸籍内の特定個人の記録中特定事項についての証明したもの 4. 戸籍事務専用 市区町村間の連絡(届書添付)、法務局の問い合わせ、訂正通知等の用途で使用する。 管掌者番号および市区町村長限りの職権訂正事項を含めて、記録されているすべての事項を出力する。 5. 一部証明書 戸籍法第126条に基づき、一戸籍内の特定個人の記録中特定事項について証明したもの 証明書の種類を表すため、様式の右側上部欄外に表示する。  「全部事項証明」　「戸籍事務専用」 「個人事項証明」　「一部証明」 「一部事項証明」
3	用紙サイズ	日本工業規格A列4番縦
4	行間隔	6行/インチ(6LPI)
5	行数	外枠内で区切り罫線も含めて51行(明細)/頁
6	文字サイズ	標準10ポ(ポイント)程度 但し　1. 個人の名……14ポ程度 ・2行表示の場合に文字が認識できる程度であり、6行/インチでの最大文字程度 ・全角文字の縦横を等倍にしたもの。縦倍のみ、横倍のみとすることは、著しく字形が変わるため不可とする 2. 認証文～認証者…12ポ程度 ・特に規定しないが、極力上記に示すサイズで出力する。
7	文字間隔	特に規定はしない。但し、判読しやすいものとする。
8	文字数	文字サイズに依存
9	線の種類	外枠、証明書の種類枠及び罫線は固定とする。(戸籍の除籍表示枠は、除籍の場合のみ表示)他は、罫線(文字の一種として文字分のスペースをとる線)を用いる 1.実線罫線 ・個人の除籍及び消除の表示を囲む線 ・戸籍の表示、戸籍事項及び戸籍に記載されている者の区分け ・最終行の区切り

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		4/9
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
証明書概要説明書		平成6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12

項番	項目	内容
		2.破線罫線 ・戸籍に記載されている者の名欄と身分事項の区分け ・身分事項の事件毎の区分け
10	戸籍の除籍の表示	右記のように外枠の左上に表示する。 1葉目のみに表示し、2葉目以降表示しない。 除籍 本籍

項番	項目	内容
11	丁数の表示	証明書が複数となる場合は、総数(N)と該当頁(n)を「(Nのn)」の様式で表示する。 証明書が2枚の場合は、「(2の1)」「(2の2)」となる。 出力位置は、証明の種類表示の左側に次のように表示する。 (2の1) 全 部 事 項 証 明　　(10の1) 全 部 事 項 証 明
12	空白行の取扱い	1.見出し欄及び項目欄ともに空白のもの(縦罫線は除く) ・戸籍表示欄の「本籍」の次行 ・戸籍表示欄の「氏名」の次行 ・戸籍に記録されている者の「名」の次行 ・「以下余白」の表示以降の行 2.項目欄のみ空白のもの(縦罫線は除く) ・見出し欄に次のタイトル表示のある行 「戸籍事項」「戸籍に記録されている者」「身分事項」
13	個人の除籍･消除	個人の除籍･消除に該当する場合は、次の位置に表示する。 戸籍に記録されている者 消　除 除　籍 【名】 【生年月日】 【父】 【母】 【続柄】 罫線の囲みを含めて、除籍マーク、消除マークと呼ぶ。 これらのマークは、一部事項証明書では表示しない。
14	項目欄の表示	1.戸籍の表示欄 ・本籍、氏名は、2桁目より表示する。 2.その他の項目欄 ・記録の要素項目は、要素項目名を「【」と「】」で挟んで表示する。 ・基本的に、要素項目名を1桁目より表示し続けてデータを表示する。
15	配偶者区分の表示	1.「夫」「妻」の場合のみ表示する。「生存配偶者」は表示しない。 2.出力表示位置 【生年月日】の後に次のように表示する。(固定位置) (項目欄カラム)‥‥+‥‥10‥‥+‥‥20‥‥+‥‥ 【生年月日】昭和36年10月30日△【配偶者区分】夫 【生年月日】平成6年1月4日△△△△【配偶者区分】妻
16	折返しの表示	要素項目名の表示及びその内容項目が、対象枠欄の1行に収まらない場合は、項目欄内の次の行へ折り返して表示する。 その場合の2行目以降の表示を以下に規定する。 1.項目の1行目の先頭表示位置と同位置より表示する項目 ・戸籍表示欄の「本籍」「氏名」 ［例］ 本　籍：△京都府～　～町 △20番地 △△△～　← 空　行 → 氏　名：△河野　義太郎 △△△～　← 空　行 →

項番	項目	内容
16	折返しの表示	2.「【」の位置から3桁目(2桁空白)より表示する項目 ・戸籍事項欄及び身分事項欄 ・【名】を除く個人特定欄 ［例］【従前戸籍】XXX県XXXXXX郡大字XXXX字123 △△4番地XXX△甲野義太郎
17	空白文字の取扱い	要素項目名の表示及びその内容項目表示には、基本的に空白文字は使用しない。 氏名など氏と名が区分けされていても空白文字は詰めて表示する。 但し、以下に示す場合は除外する。 《例外》 a.戸籍の表示の「本籍」「氏名」の先頭文字 b.戸籍の表示の「氏名」の氏と名の区分け c.身分事項中の要素項目で、本籍と筆頭者氏名および資格と氏名等との区分け ［例］ 【届出人】親族　甲野啓二朗
18	(養)父母欄の表示	父母欄に関しては、固定表示とするが、養父母欄は内容が設定されている場合のみ表示する。 ［例］ 【父】甲野太郎　【父】甲野太郎　【養父】乙川次郎　【養父】乙川次郎 【母】甲野梅子　【母】　【養母】乙川花子　【続柄】養女 【続柄】長男　【続柄】男　【続柄】養女
19	一頁内の出力条件 (改頁)	①氏名の記載順序は、戸籍法14条の規定に従い戸籍に記載された順に出力する。 ②一用紙に複数人を出力する場合は、各個人の記録の間に罫線(実線)を引き、区切りを明らかにする ③同一ページ内に収まらない場合は、改頁しその続きを冒頭から出力する。 ④様式の枠内下部に余白が生じる場合には、罫線(実線)を引いた上「以下余白」の旨を表示する。 また、証明が複数ページにわたる場合は、右下枠外に「以下次頁」と表示する。
20	発行番号	1証明書に対しての固有の管理番号を付設する。(桁数、内容を任意)

(2の1) 全部事項証明

本　籍 氏　名	
戸籍事項	
戸籍に記録・	【名】太郎
身分事項	(1)
	(2)
	(3)
	(4)

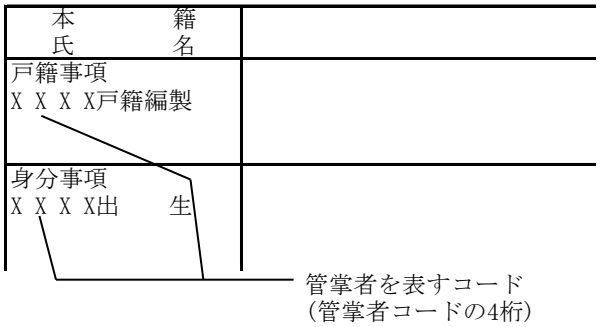
以下次頁

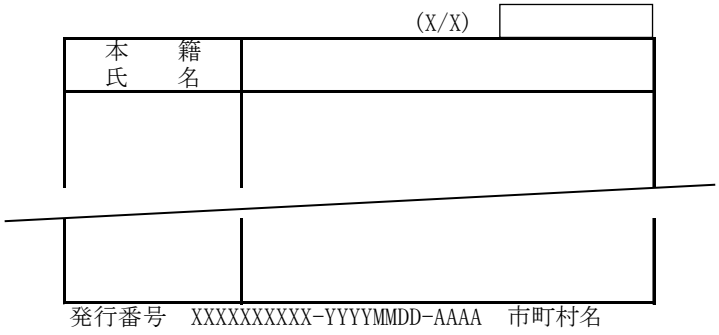
(2の2) 全部事項証明

	(4)の続き
戸籍に記録・	【名】花子
身分事項	(1)
	(2)
戸籍に記録・	【名】次郎
身分事項	(1)
	(2)
	以下余白

〔説明〕

・[例1]の(2の1)に太郎の情報が全て収まらないため、改頁し(2の2)の冒頭から太郎(4)の続きを表示する。
続けて花子の情報を表示する。

項番	項目	内容
21	認証者の表記	職務代理者が認証する場合は、次に示すように資格敬称を付加して表示する。 ［市区町村長の場合］ 何々市区町村長　　何某　　職印 ［職務代理者の場合］ 何々市区町村長　職務代理者　助役　何某　　職印 ↓ 資格名称(助役,吏員)
22	認証文	戸籍施行規則第73条、79条の12を遵守する
23	認証印	電子印か朱印を用いる。 電子印(印鑑証明等に用いることの出来る性能を有するハード)を用いる場合は、地紋入りの用紙を用いること。
24	戸籍事務専用	記録された事項単位に管掌者が判別できるようレコード中の管掌者コード等を出力表示すること。出力位置は、タイトルの左横とする。 [例]  戸籍事務専用帳票は内部資料の位置付けであり法定の帳票ではない。このため全部事項証明等の法定の帳票とは性質的に異なるため、認証文から認証印までの出力項目を下記に示す内容に規定し遵守するものとする。 [出力項目] ・認証文 「これは,戸籍に記録されている全ての事項を出力したものである。」 ・作成日 ・市区町村名 ※管掌者、認証印は出力しない
25	再製した戸籍の証明	申出再製により再製した戸籍を全部事項証明書、個人事項証明書で出力する場合、再製に関する事項は出力しない。 ただし、一部事項証明で再製に関する事項の証明請求があった場合には出力する。 (平成14年12月18日民一第3000号民事局長通達　第6)

項番	項目	内容
26	法務省民一第440号の対応 (契印不要の際の仕様)	 契印を不要とする際は、毎葉に発行年月日、市町村名、発行端末番号、任意の発行番号ページ番号及び総ページ数を印刷することとされている ・ページ番号、総ページ数は項番11の「丁数の表示」とする ・発行番号、発行年月日、端末番号はハイフンでつなげる ・発行番号、発行年月日、端末番号、市町村名の印刷位置は上記箇所とする ・表示順は発行番号、発行年月日、端末番号、市町村名の順とする ・発行番号の桁数はメーカー任意とする ・端末番号の桁数はメーカー任意とする ・市町村名を()で囲むことはメーカ任意とする
27	個人事項証明	1.改製前に個人除籍となった筆頭者の個人事項証明について 発行の抑制について、機能としては警告メッセージとし、仕組みについてはメーカー任意とする

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		9/9
適用業務名		作成日付	改定日付	版
証明書発行		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
帳票番号		帳票名		

タイトル文字の表示
　戸籍事項･身分事項のタイトル文字出力について、以下に示す文字数(文字列)により表示する。

本籍 氏名	本籍 氏名	本籍 氏名	
戸籍事項 　転籍 　戸籍編製 　戸籍消除 　戸籍回復 　戸籍改製 　戸籍再製 　氏の変更	戸籍事項 　訂正 　　訂正 　文字訂正 　文字関連訂正 　　文字関連訂正 　消除 　回復	戸籍事項 　更正 　　更正 　文字更正 　文字関連更正 　　文字関連更正	戸籍事項 　追完 　　追完 　　記録
戸籍に記録されている者 ←　12文字分　→			
身分事項 　出生 　子の出生 　認知 　親に対する認知 　養子縁組 　配偶者の縁組 　婿養子縁組 　養子離縁 　配偶者の離縁 　特別養子縁組 　民法817条の2 　特別養子離縁 　婚姻 　婿養子縁組婚姻 　入夫婚姻 　離婚 　親権 　後見 　保佐 　死亡 　配偶者の死亡 　高齢者消除 　失踪宣告 　配偶者の失踪宣告 　復氏 　配偶者の復氏 　姻族関係終了 　推定相続人廃除 　入籍 　子の入籍 　配偶者の入籍 　分籍 　国籍取得 　子の国籍取得 　養子の国籍取得	身分事項 　配偶者の国籍取得 　親の国籍取得 　養親の国籍取得 　帰化 　子の帰化 　養子の帰化 　配偶者の帰化 　親の帰化 　養親の帰化 　後見人の帰化 　保佐人の帰化 　国籍喪失 　配偶者の国籍喪失 　国籍選択 　外国国籍喪失 　氏の変更 　配偶者の氏の変更 　名の変更 　就籍 　養子縁組取消し 　配偶者の縁組取消し 　養子離縁取消し 　配偶者の離縁取消し 　婚姻取消し 　離婚取消し 　失踪宣告取消し 　配偶者の失踪宣告取消し 　推定相続人廃除取消し	身分事項 　訂正 　　訂正 　文字訂正 　文字関連訂正 　文字関連訂正 　記録 　　記録 　消除 　回復 　追完 　　追完 　配偶者の国籍変 　配偶者の氏名変更 　移記 　　移記 　除籍 　引取り 　子の復籍 　更正 　　更正 　文字更正 　文字関連更正 　　文字関連更正	身分事項

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
受付帳		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)様式については規定しないが、極力提示した様式に準じること。

(届書送付目録と兼用する場合も考えられるため、提出先となる法務局の事務作業を考慮し、準じた様式で作成すること)

(3)出力項目は、受付ファイルに記録されている内容を全て対象とする。

2.編集条件

(1)出力サイクル

随時出力(特に定めない)
但し、受付ファイルの過年度レコードを削除する際に、受付レコードの内容を受付帳として同時出力し保管するものとする。

(2)抽出条件

①受付ファイルから、過年度レコードを削除するものを対象とする。
(削除範囲指定方法は、特に規定しない)
②同一受領番号が存在する場合には、最新レコード(枝番の大きいもの)。

(3)明細出力順位

①[受付年月日]……昇順
②[受領番号]……昇順

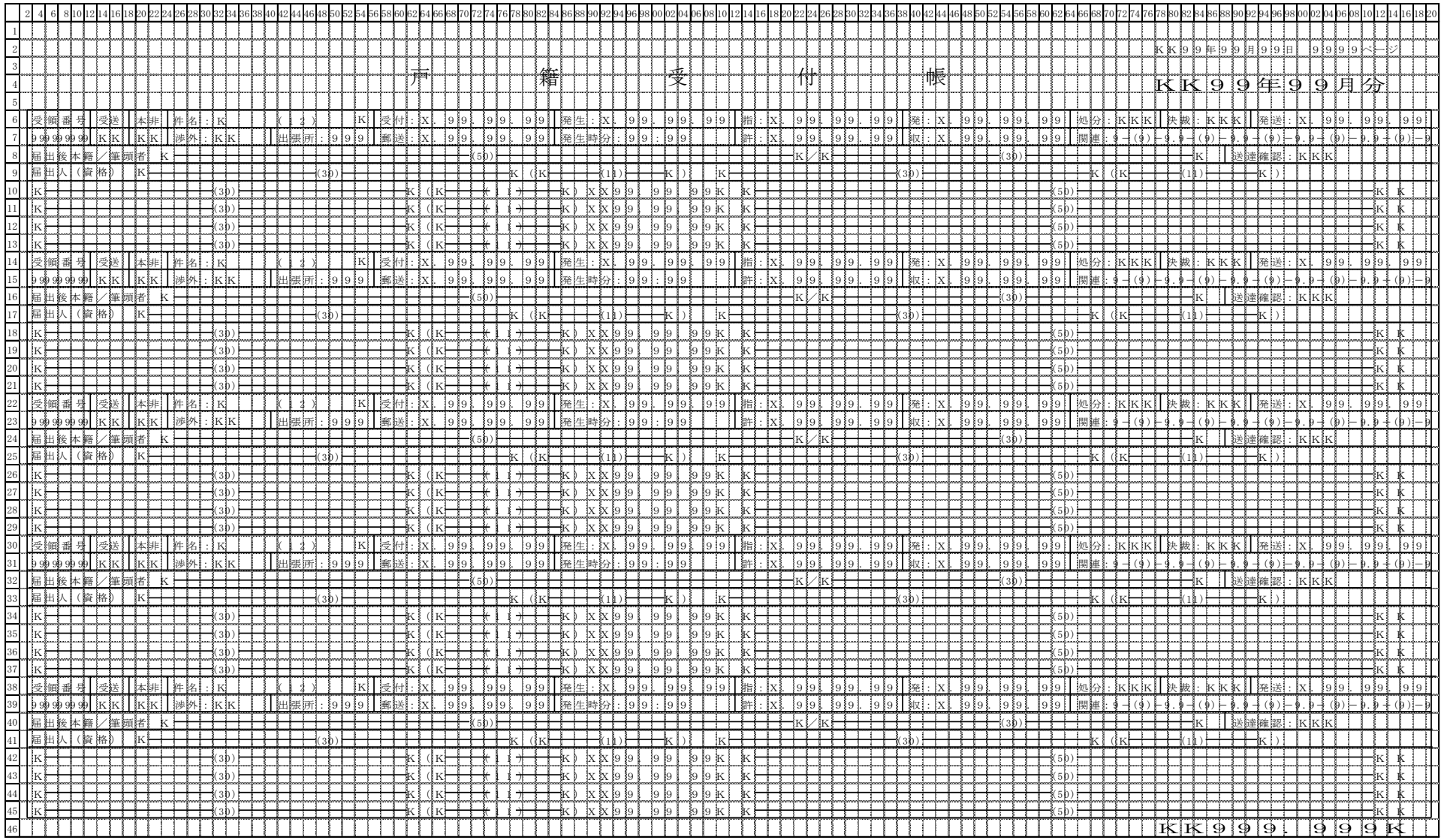
3.運用関係

(1)発収簿も兼ねるため、内部資料として処分区分による並べ変え、抽出条件を行っても構わない。
(出張所別でも可)

(2)届書送付目録などと兼用する場合の、編集条件は該当帳票の項を参照のこと。

(3)システム導入自治体の運用に合わせて、各種条件を取り決めること。

第56(2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍受付帳	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍受付帳	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	1/1

平成　６年　２月　１日　　５９ページ

戸　　籍　　受　　付　　帳

平成　６年　１月分

受領番号	受送	本非	件名：出生		受付：４．　６．　１．１２	発生：４．　６．　１．　７	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
1 99 40 00 01	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者						／				送達確認：不要	
届出人（資格）　甲野　花子					（母	）			（　）		
甲野　啓太郎					（　）	平成　６．１．７生	千代田区平河町１丁目４番地				
					（　）						
					（　）						
					（　）						

受領番号	受送	本非	件名：婚姻		受付：４．　６．　１．１２	発生：４．　６．　１．１２	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
1 99 40 00 02	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者　千代田区平河町３丁目１５番地						／乙川　忠司				送達確認：不要	
届出人（資格）					（　）				（　）		
乙川　忠司					（夫	）昭和３５．　４．１９生	千代田区平河町３丁目１５番地				
春野　梅子					（妻	）昭和４０．１２．２４生	千代田区有楽町１丁目６番地				
					（　）						
					（　）						

受領番号	受送	本非	件名：婚姻		受付：４．　６．　１．１３	発生：４．　６．　１．　２	指：４．　６．　１．１８	発：４．　６．　１．１３	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：４．　６．　１．２１
1 99 40 00 03	受理	非本	渉外：渉外	出張所：００２	郵送：	発生時分：	許：	収：４．　６．　１．２０	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者　広島市南区西旭町５番						／小泉　今日子				送達確認：到達済	
届出人（資格）					（　）				（　）		
フォンデンボッシュ．ウェイン					（夫	）１９５５．１０．　３生	アメリカ合衆国				
小泉　今日子					（妻	）平成３９．　３．　３生	広島市南区西旭町５番				到
					（　）						
					（　）						

受領番号	受送	本非	件名：養子縁組		受付：４．　６．　１．１３	発生：４．　６．　１．１３	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：４．　６．　１．１３
1 99 40 00 04	受理	本籍	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者						／				送達確認：到達済	
届出人（資格）乙川　幸助					（親権者父	）乙川　明美			（親権者母	）	
甲野　義太郎					（義父	）昭和１０．　６．１８生	千代田区永田町４丁目５番地				
甲野　ももこ					（義母	）昭和１４．　８．　６生	千代田区永田町４丁目５番地				到
乙川　英助					（養子	）昭和４５．１１．２２生	群馬県前橋市千代田町１丁目２７番地				
					（　）						

受領番号	受送	本非	件名：死亡		受付：４．　６．　１．１４	発生：４．　６．　１．１３	指：	発：	処分：受　理	決裁：決　裁	発送：
1 99 40 00 05	受理	非本	渉外：	出張所：００１	郵送：	発生時分：　７：３０	許：	収：	関連：　．　．　．　．		
届出後本籍／筆頭者						／				送達確認：不要	
届出人（資格）　小田原　庄助					（親族	）			（　）		
小田原　長十郎					（　）	大正　２．　８．　８生					
					（　）						
					（　）						
					（　）						

合計　　２９６件

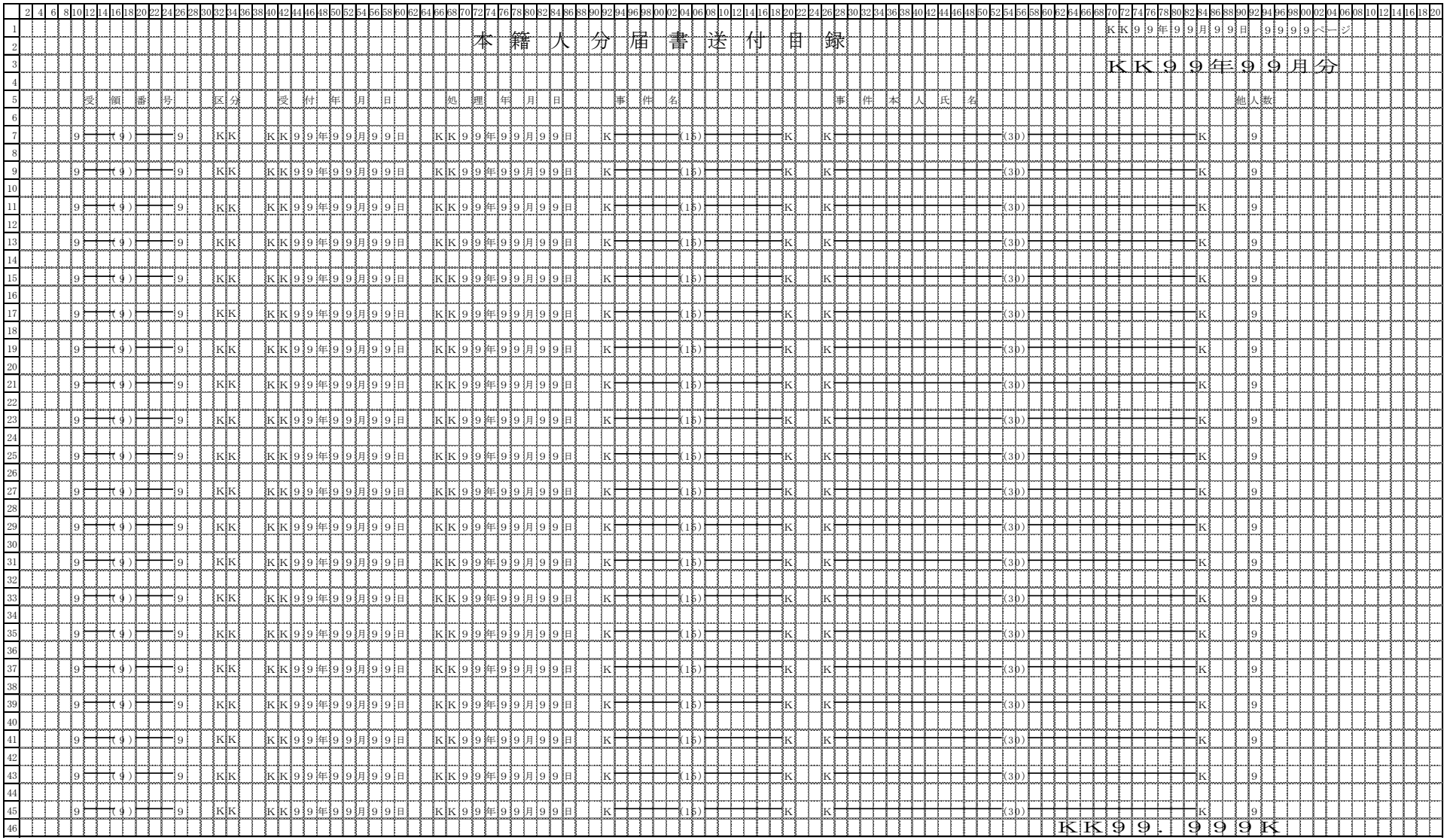
第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
本籍人届書送付目録		平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

1.様式
(1)A4版横
(2)出力項目及び様式は規定しないが、極力提示した様式に準ずること。

2.編集条件
(1)出力サイクル
月次処理とし、1ヶ月分(1日から末日)を編集する。
(2)抽出条件
受付ファイルのレコード中
「処分区分」=1(受理)かつ「届書送付目録区分」=1(有)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。
認知届が「胎児認知」かつ「受理送付区分」=1(受理)の場合は出力しない。
出生届に関連受領番号があった場合、関連受領番号の受付事件名が「胎児認知」の場合は、
胎児認知を目録に出力する。
(3)明細出力順位
①[処理年月日]……昇順
②[受付年月日]……昇順
③[受領番号]
※[処理年月日]は、[発年月日]=スペースのとき、[受付年月日]
[発年月日]≠スペースのとき、[収年月日]

3.運用関係
特になし

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		本籍人分届書送付目録	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



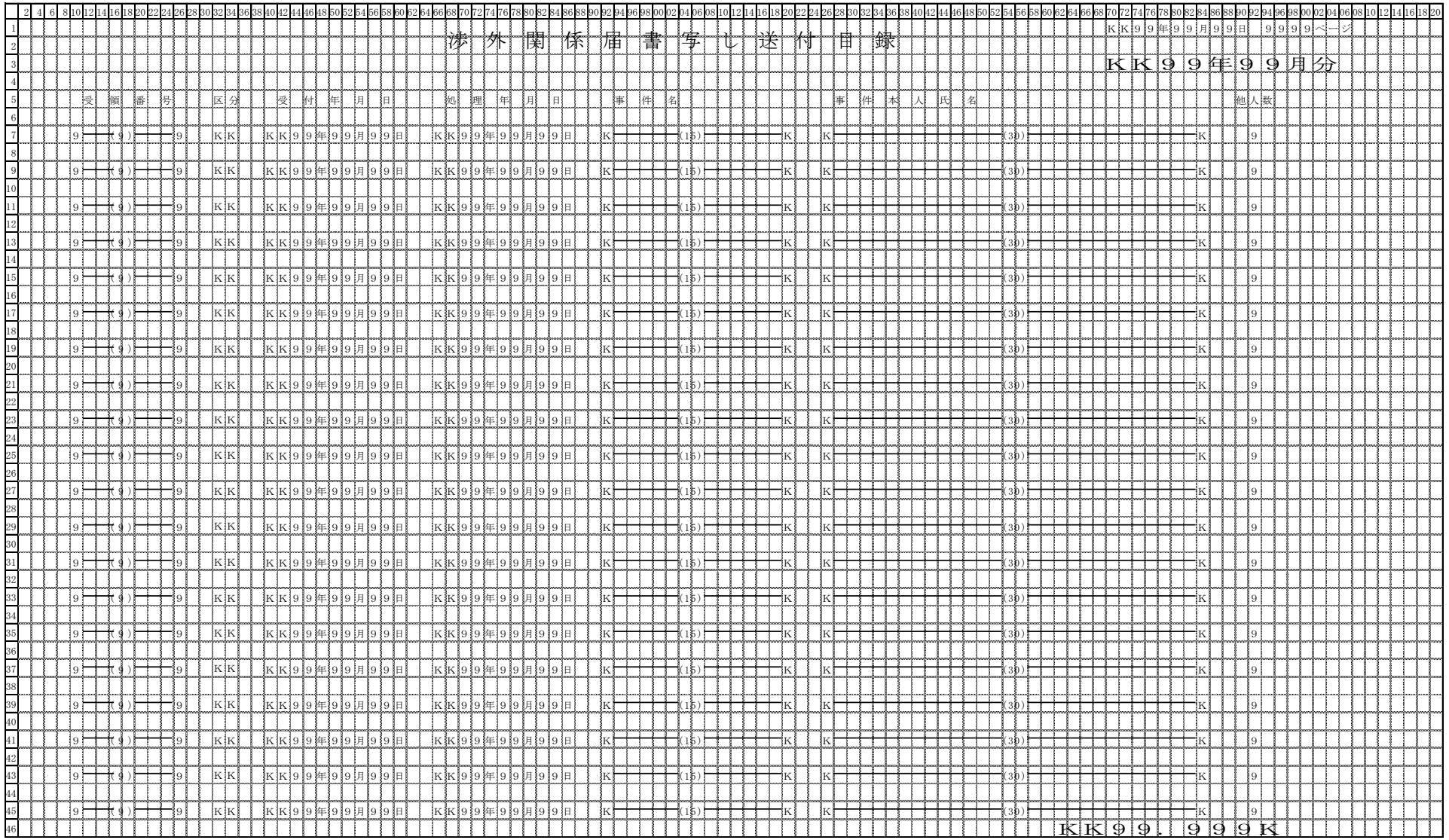
第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
渉外届書写送付目録		平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

1.様式
(1)A4版横
(2)出力項目及び様式は規定しないが、極力提示した様式に準ずること。

2.編集条件
(1)出力サイクル
月次処理とし、1ヶ月分(1日から末日)を編集する。
(2)抽出条件
受付ファイルのレコード中
「渉外区分」=1(渉外)かつ
「処分区分」=1(受理)かつ
「届書送付目録区分」=1(有)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。
認知届が「胎児認知」かつ「受理送付区分」=1(受理)の場合は出力しない。
出生届に関連受領番号があった場合、関連受領番号の受付事件名が「胎児認知」の場合は、
胎児認知を目録に出力する。
(3)明細出力順位
①[処理年月日]‥‥‥‥‥昇順
②[受付年月日]‥‥‥‥‥昇順
③[受領番号]
※[処理年月日]は、[発年月日]=スペースのとき、[受付年月日]
[発年月日]≠スペースのとき、[収年月日]

3.運用関係
特になし

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		渉外関係届書送付目録	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
種類番号帳		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定しないが、極力提示した様式に準じること。

2.編集条件

(1)出力サイクル
月次処理とし、1ヶ月分(1日から末日)を編集する。

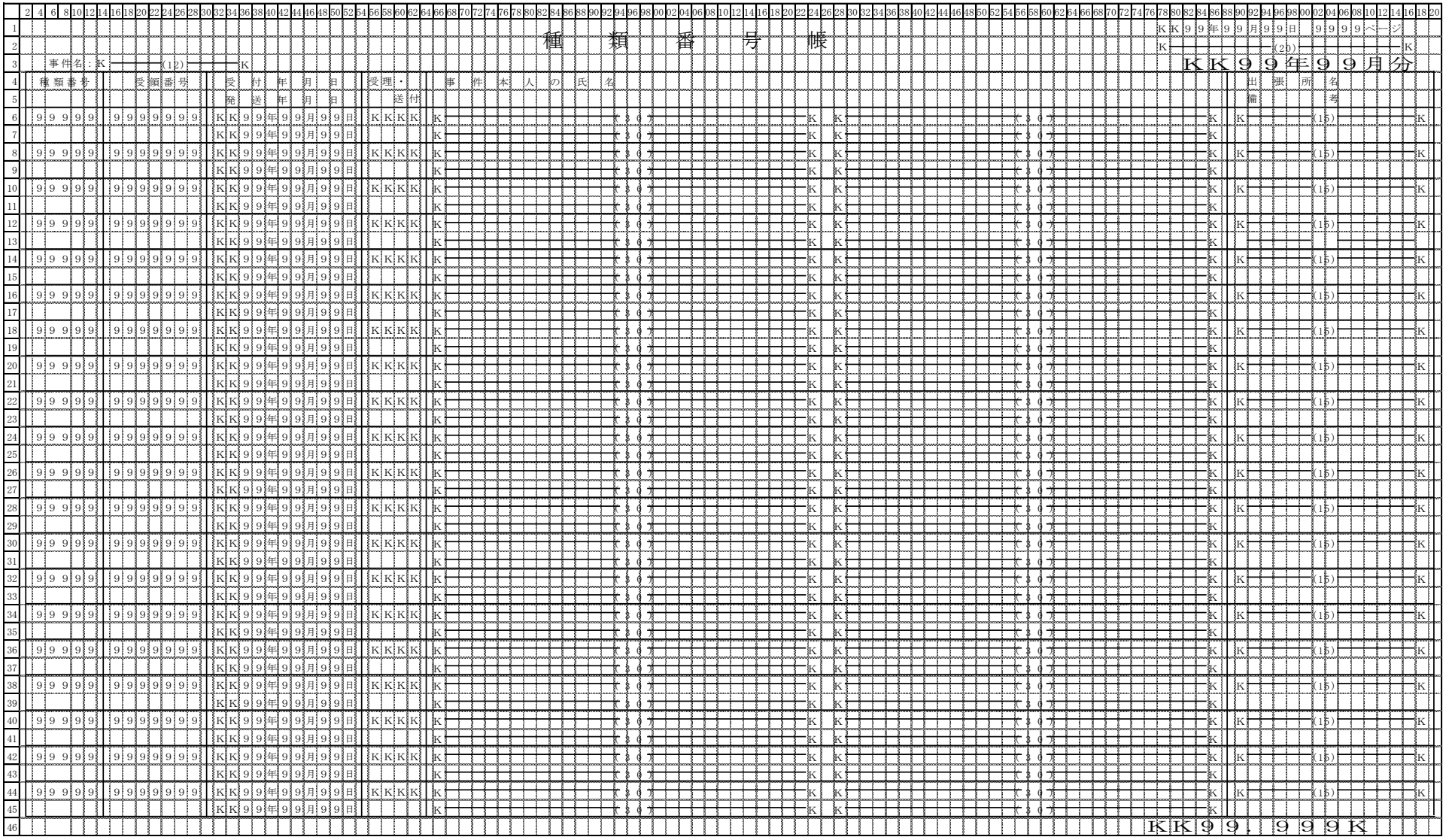
(2)抽出条件
受付ファイルのレコード中
「処理区分」=1(受理)かつ
「届書送付目録区分」=1(有)のレコードを抽出する。
※同一受領番号がある場合には、最新のレコードを対象とする。

(3)明細出力順位
①[事件] ･･･････････････････事件表第2表届出事件表の順
②[受付年月日]･･･････････昇順
③[受領番号]･･･････････････昇順

3.運用関係

(1)オプション項目(準則に対して)
[受領番号]、[発送年月日]、[受理・送付]、[出張所名]の項目については任意

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		種類番号帳	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
届書送達確認書		平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

1.様式

(1)ハガキ
表(送達確認):送付する届書内容を出力
裏(宛名)　　:送付元市区町村名の宛名……プレプリントでも可

(2)サンプル様式である。

2.編集条件

(1)出力サイクル
日次処理

(2)抽出条件
発送ファイルから(全件)抽出する
抽出範囲については、運用に合わせて指定する

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

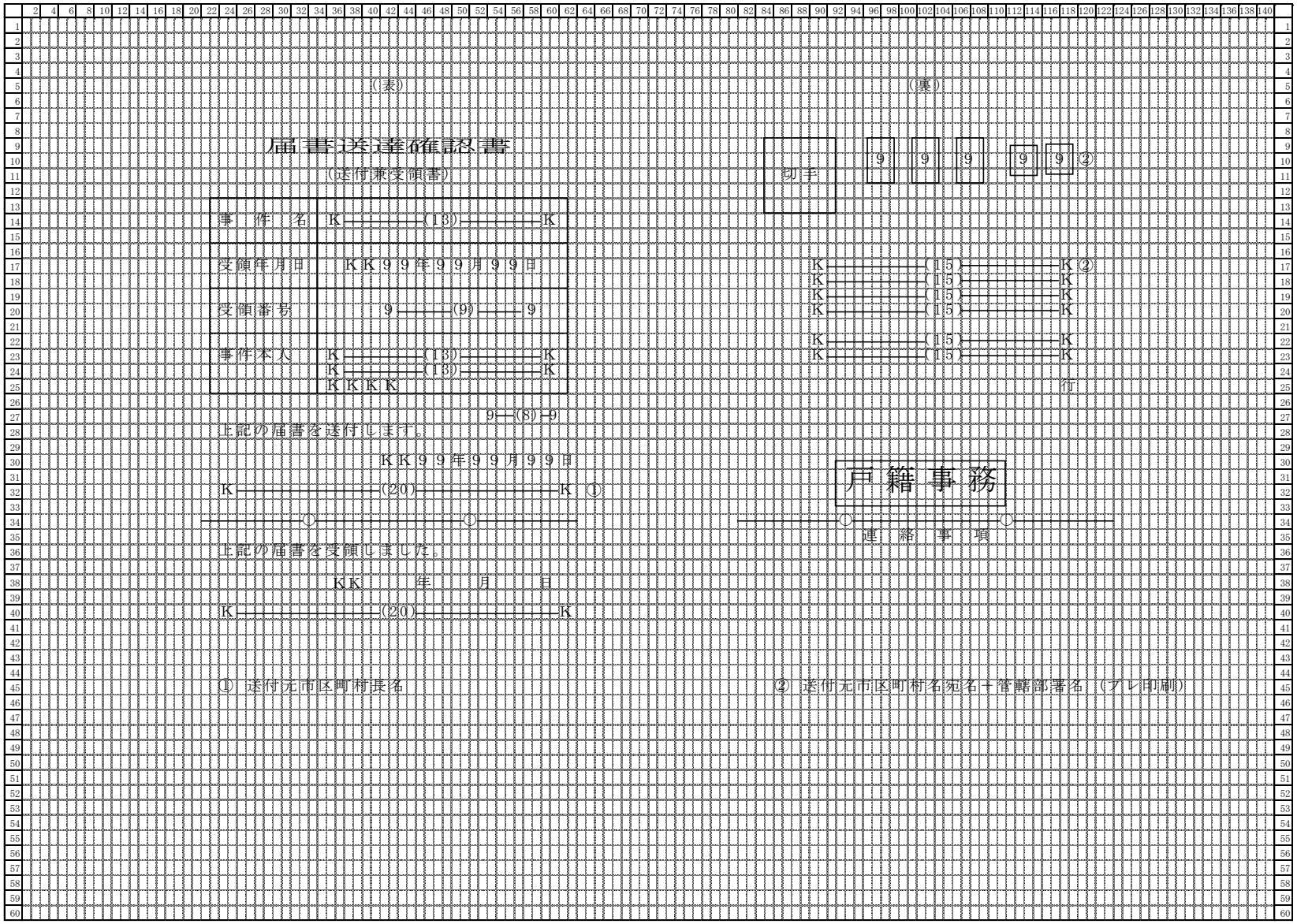
(1)届書送達確認書と届書を送付した場合には、受付ファイルメンテナンス処理等により、[発送年月日]を入力する必要がある。

(2)事件本人を基本として届書送達確認書の要･不要を判定しているため、下記の事案においては届書送達確認書は出力されない。このような場合においては手書きの運用で対応することとする。また、この際に受付ファイルの送達確認区分の消し込み確認ができないためこの点も運用で対応する。

届出種別	事案
出生届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合
入籍届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合
国籍収得届	事件本人が一時的に記録される、養子縁組･婚姻前の実方戸籍を管理する市町村が届出を受理した場合
	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合
	事件本人の日本人配偶者につき新戸籍編製又は日本人配偶者が事件本人の新戸籍に入籍するとき、事件本人の日本人配偶者の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合
帰化届	事件本人の父又は母につき新戸籍が編製されるとき、事件本人の父又は母の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合
	事件本人の日本人配偶者につき新戸籍編製又は日本人配偶者が事件本人の新戸籍に入籍するとき、事件本人の日本人配偶者の除籍の記録を行う市町村が届出を受理した場合

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		届書送達確認書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

原寸サイズ:B4
文字ピッチ:5CPI
行ピッチ　:6LPI



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
高齢者消除該当一覧		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

1.様式

(1)A4版横

(2)サンプル提示
（提示した帳票設計は、東京法務局の確認済み）

2.編集条件
(1)出力サイクル
随時(数回/年)

(2)抽出条件
100歳以上の年齢を任意で入力できることとする。
但し、抽出は下記条件を満たすこととする。
①120歳以上(個人特定の出生日)
・住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ)
（平成22年9月6日　法務省民一第2191号)
・戸籍の附票に外国住所が記載されたもの(平成29年9月19日　法務省民一第1132号)

②100歳以上119歳以下(個人特定の出生日)
・住所不明(戸籍の附票に記載がない、附票ファイルの住所がスペース、消除されたデータのみ)
・該当戸籍内に100歳未満の在籍者がいない

※基準日を設けての抽出については、任意の機能とする。

(3)明細出力条件
特になし
但し、同一戸籍内に複数人該当する場合は、連続して出力すること

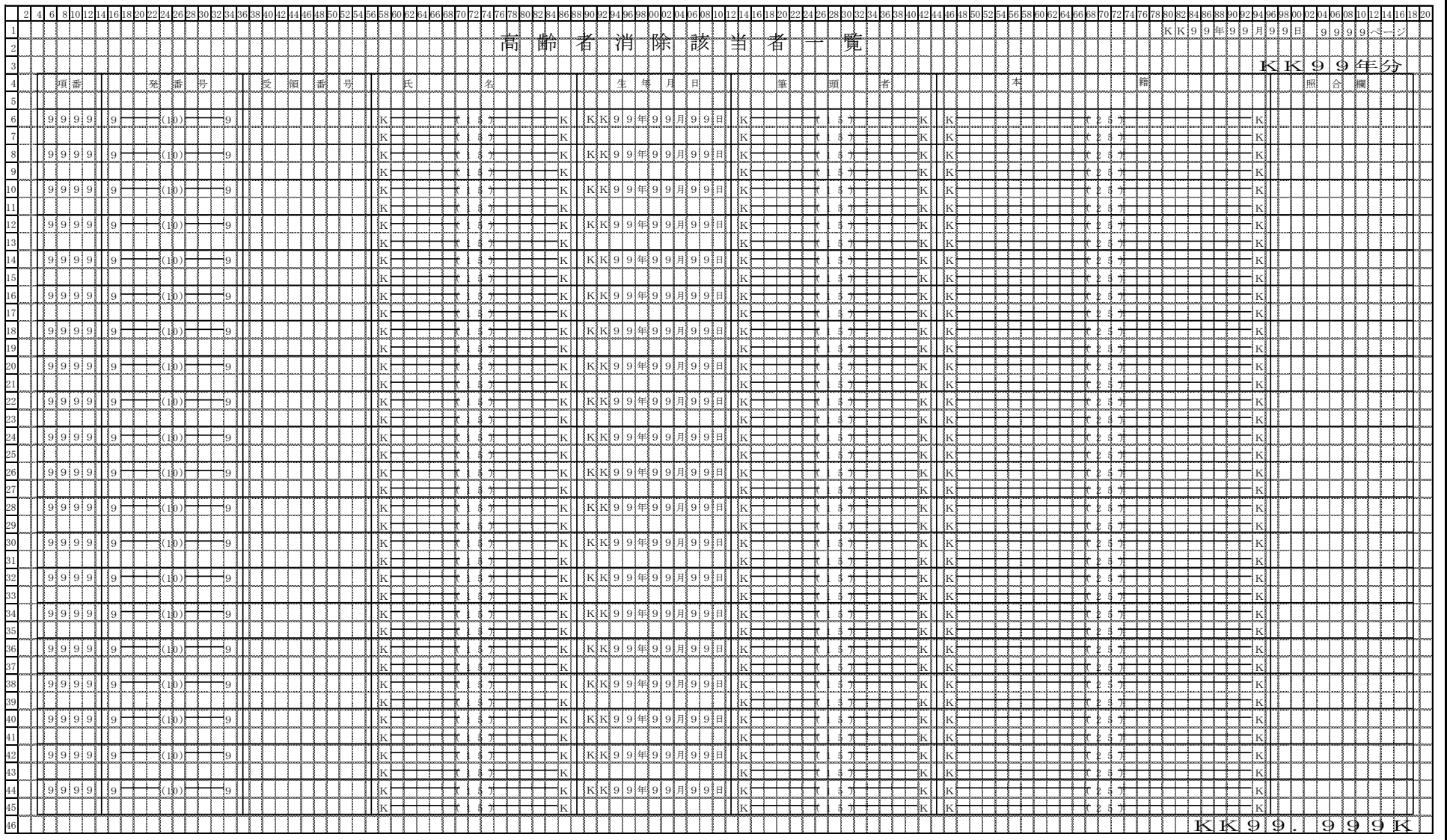
3.運用関係
(1)システムで上記条件に合致する該当者を抽出し一覧表を出力する。
その後、高齢者消除の要件に満たしているか職員による調査を行い、法務局に提出する申請書を作成する。
申請書作成以降に関しては、運用に合わせてシステム化を行う。
[第7-2(18) 一括処理]を参考

(2)高齢者消除該当一覧で許可申請を行う場合は、事前に法務局との確認が必要。

4.その他

高齢者消除で使用する戸籍記載許可申請の訂正･記載の事由及び趣旨の記述内容は、参考記載例171を参考にしている。参考記載例171が見直された場合には、内容に基づいて修正を行う。

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		高齢者消除該当一覧	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		高齢者消除該当一覧	システム化調査研究会	平成 5年 7月31日	令和　年　月　日	3	1/1

平成　5年　8月　1日　　3ページ

高 齢 者 消 除 該 当 者 一 覧

平成　5年分

項番	発番号	受領番号	氏名	生年月日	筆頭者	本籍	照合欄
41	12345		青木源三郎	明治25年10月10日	青木源三郎	千代田区有楽町2丁目3番地	
42	12346		青山忠五郎	明治25年 3月14日	青山忠次	千代田区霞ケ関1丁目1番地	
43	12347		井上政志	明治24年 9月 7日	井上政志	千代田区神田錦町2丁目34番地	
44	12348		上田トラ	明治26年12月25日	上田正吉	千代田区永田町6丁目11番地	
45	12349		金井善吉	明治25年11月19日	金井善吉	千代田区丸の内2丁目1番地	
46	12350		田之畑勇次郎	明治23年 4月14日	田之畑勇次郎	千代田区麹町1丁目1番地	
47	12351		中村ウメ	明治21年 8月 6日	中村正一郎	千代田区大手町3丁目6番地	
48	12352		橋本サク	明治25年10月 3日	橋本寅吉	千代田区有楽町3丁目15番地	
49	12353		三浦文	明治24年 5月 5日	三浦文	千代田区一番町1丁目1番地	
50	12354		村上康雄	明治25年12月31日	村上康雄	千代田区九段下2丁目9番地	
51	12355		安田歌江門	明治24年 5月17日	安田孝三	千代田区神田錦町4丁目22番地	
52	12356		和歌山竜之助	明治24年 1月11日	和歌山竜之助	千代田区竹橋6丁目1番地	

合計　　52件

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

作業名	作成日付	改訂日付	版
高齢者消除	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

帳票番号		帳票名	戸籍記載許可申請

受付年月日　ＫＫ９９年９９月９９日
受領番号

書類調査	戸籍記載	記載調査	附票	住民票	通知

戸籍記載許可申請

K————(　)————K 殿

ＫＫＫ発第９————(　)————９号
ＫＫ９９年９９月９９日申請
K　　(　)　　K
K————(　)————K

事件本人

氏名　K————(　)————K

生年月日　ＫＫ９９年９９月９９日

本籍　K————(　)————K
K————(　)————K

筆頭者　K————(　)————K

訂正・記載の事由　上記事件本人は、９(3)９歳以上でその所在が明らかでなく、すでに死亡したものと認められるので、職権をもって死亡の記載をする。
なお、１２０歳以上は、戸籍の附票が空欄であること、もしくは外国住所であること、１２０歳未満は、戸籍の附票が空欄であることを確認した。

訂正・記載の趣旨　上記事件本人について、死亡の記載をして除籍する。
－記載例－
【高齢者消除の許可日】ＫＫ９９年９９月９９日
【除籍日】ＫＫ９９年９９月９９日

添付資料
全部事項証明、戸籍の附票（写し）

上記申請を許可する。

第　　号
ＫＫ９９年９９月９９日

※年齢は、抽出条件で入力した内容を反映する

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
相続税法58条通知		平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

1.様式

(1)B4版横、A4版縦(東京国税局管内の様式変更版:平成10年2月提出分から)

(2)サンプル提示

(3)一枚目と二枚目以降の様式が異なるので注意のこと

(4)三枚一組みで出力する

パンチ用
提出用
控え用 ┐
├ 三枚一組み
┘

2.編集条件

(1)出力サイクル
月次

(2)抽出条件
相続税法58条ファイルから指定された範囲を全件抽出
(範囲指定方法については任意)

(3)出力条件
特になし

3.運用関係

(1)届出人住所の項目は、「死亡」届処理で入力されているため出力可。
(提示の帳票設計書では、手書き対応となっている)

(2)システム化に当り、管轄税務署との事前確認を行う必要あり

富士税務署長殿

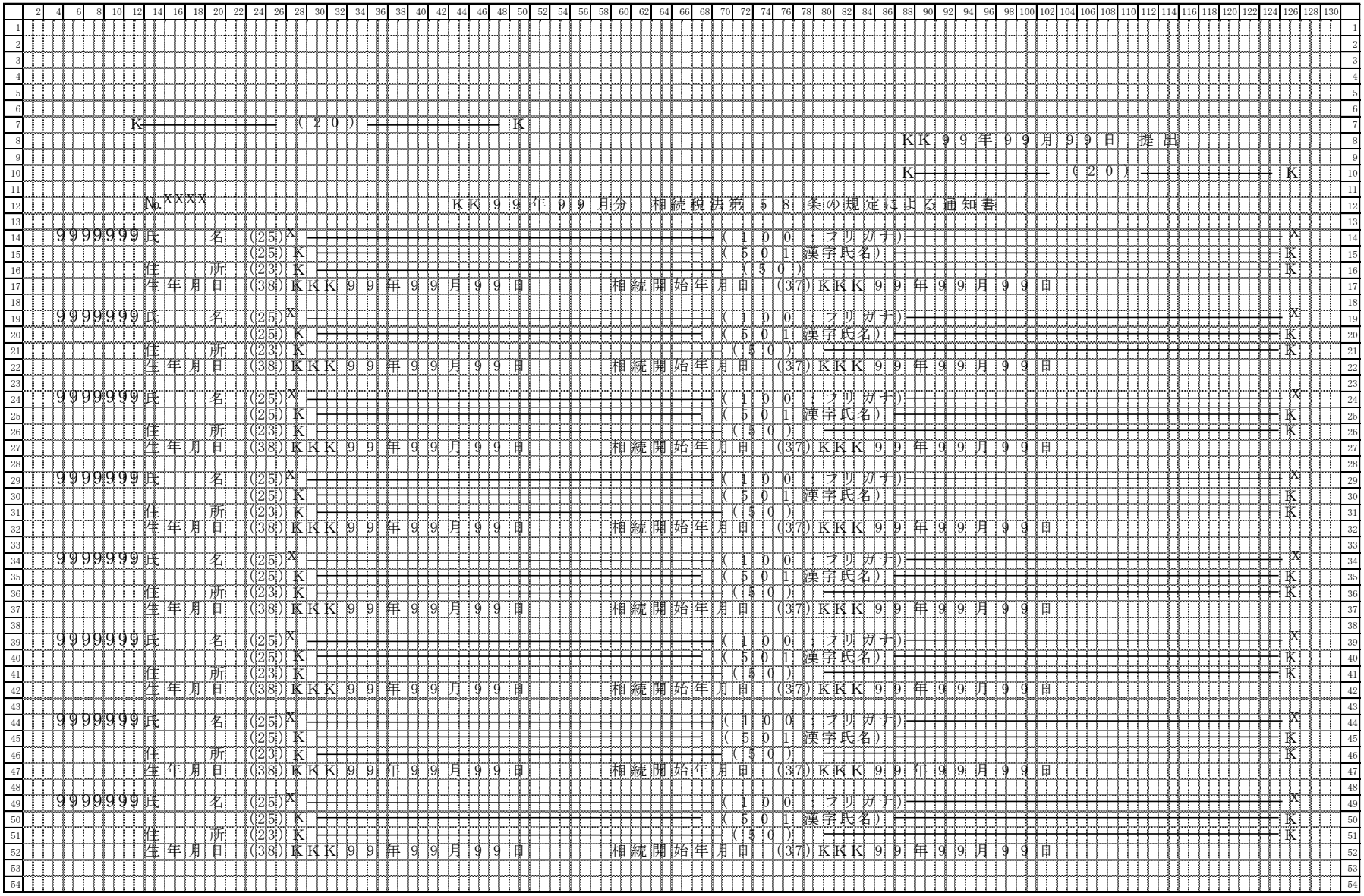
平成　元年　２月　１日　提出

東京都千代田区長

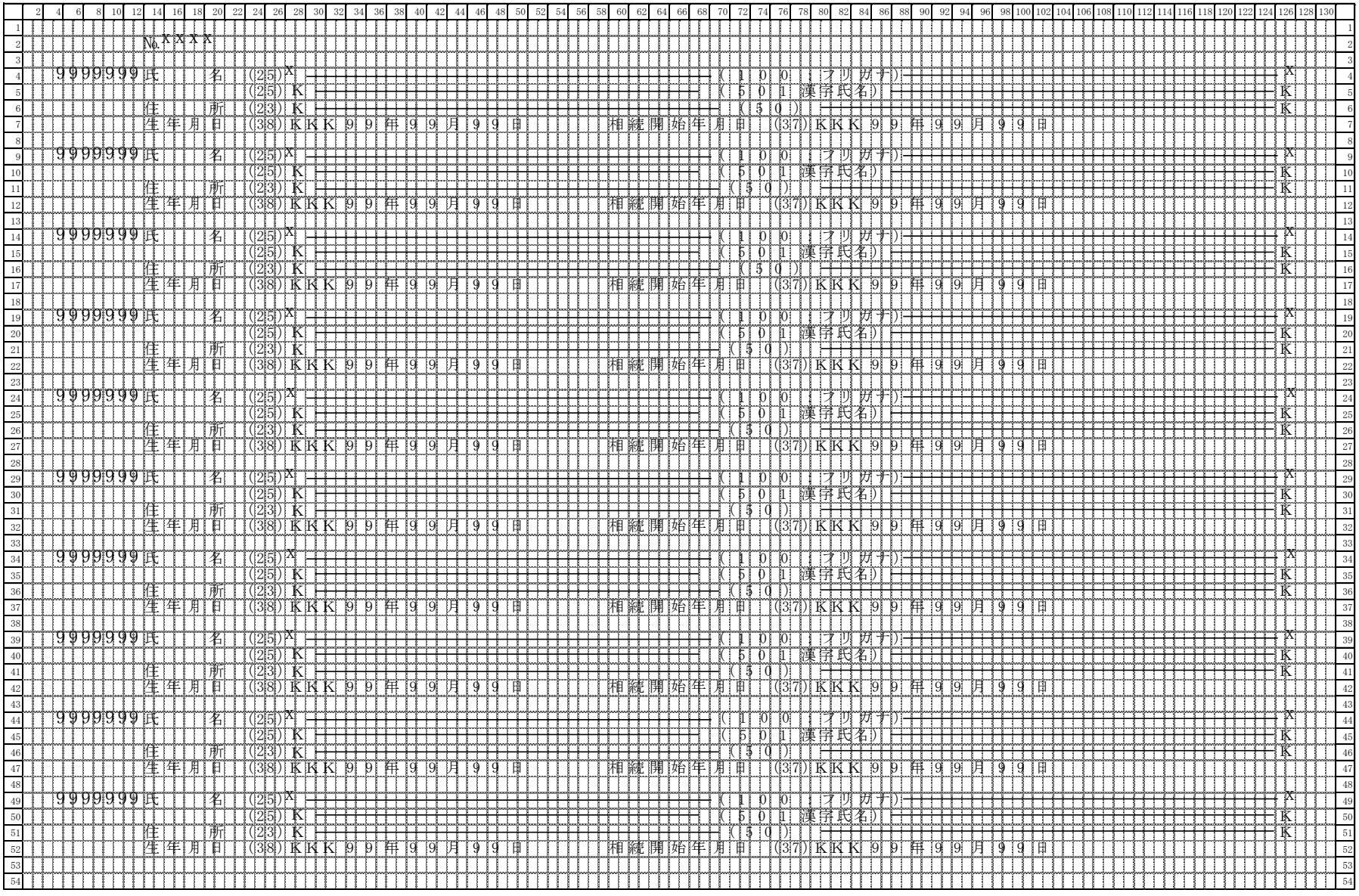
No.1　　平成　元年　１月分　相続税法第５８条の規定による通知書

1 氏　　名：(25)ｺｳﾉ ﾖｼﾀﾛｳ
　　：(25)甲野　義太郎
住　　所：(23)東京都千代田区西神田１丁目４番地
生年月日：(38)１昭和３７年　３月２４日　　相続開始年月日：(37)４平成　元年　１月　５日

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	1/2



第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	2/2



第56(2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知書（サンプル）	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	1/1

富士税務署長殿

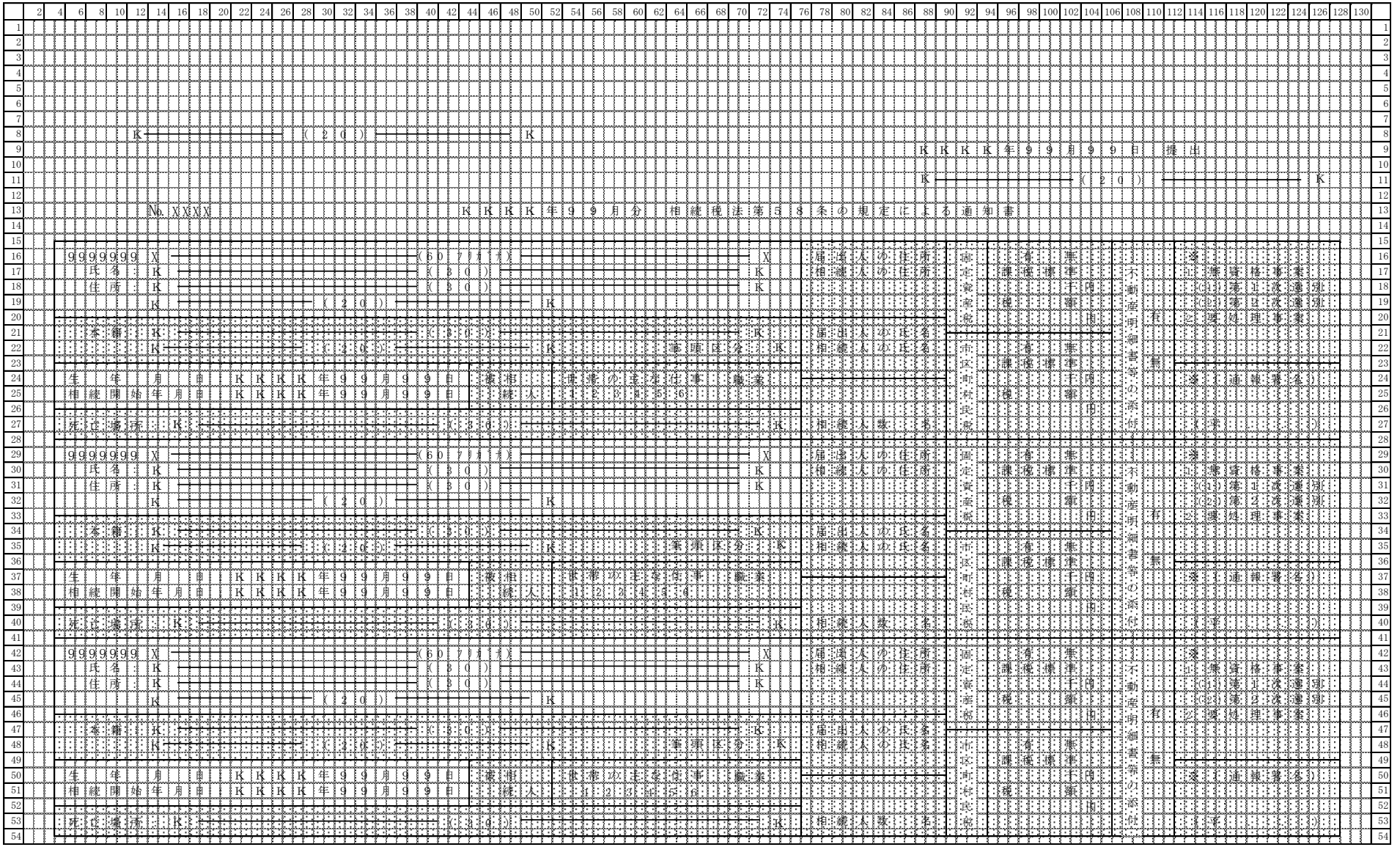
平成　元年　2月　1日　提出

東京都千代田区長

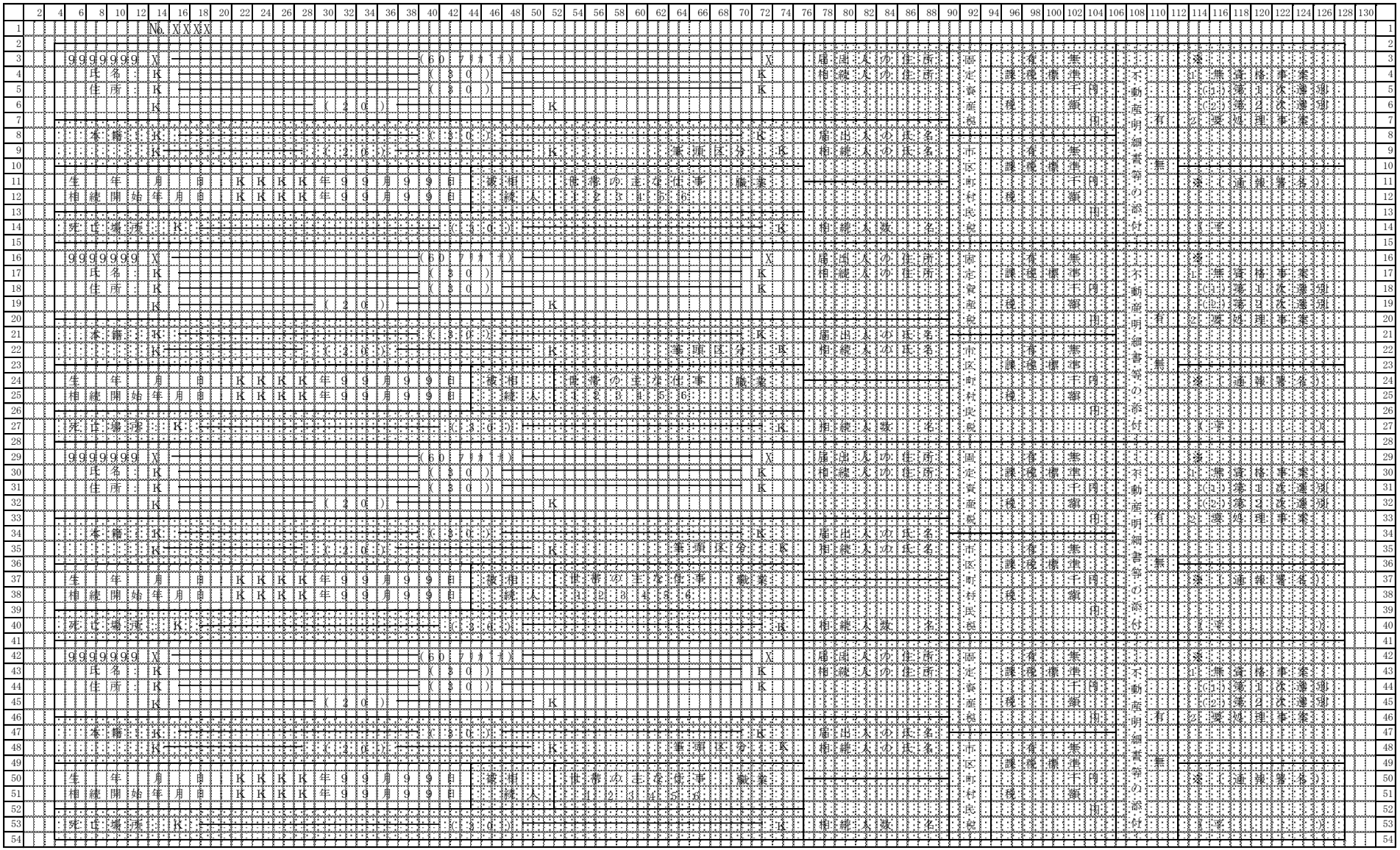
No. 1　　平成　元年　1月分　相続税法第５８条の規定による通知書

1 コウノ ヨシタロウ 氏名：甲野　義太郎 住所：東京都千代田区西神田１丁目４番地		届出人の住所 相続人の住所	固定資産税	有 課税標準額 円 無 税額 円	不動産明細書等の添 有 無	※ 1 無資格事案 （1）第１次選別 （2）第２次選別 2 要処理事案
本籍：東京都千代田区平河町１丁目１番地 筆頭区分：筆		届出人の氏名 相続人の氏名	市区町村民税	有 課税標準額 円 無 税額 円		※（通報署名） （平　.　.　）
生年月日：昭和３７年　３月２４日 相続開始年月日：平成　元年　１月　５日	被相続人	世帯の主な仕事　職業 １ ２ ３ ４ ５ ６				
死亡場所：東京都千代田区西神田１丁目４番地		相続人数　名				
氏名： 住所：		届出人の住所 相続人の住所	固定資産税	有 課税標準額 円 無 税額 円	不動産明細書等の添 有 無	※ 1 無資格事案 （1）第１次選別 （2）第２次選別 2 要処理事案
本籍： 筆頭区分：		届出人の氏名 相続人の氏名	市区町村民税	有 課税標準額 円 無 税額 円		※（通報署名） （平　.　.　）
生年月日：　年　月　日 相続開始年月日：　年　月　日	被相続人	世帯の主な仕事　職業 １ ２ ３ ４ ５ ６				
死亡場所：		相続人数　名				
氏名： 住所：		届出人の住所 相続人の住所	固定資産税	有 課税標準額 円 無 税額 円	不動産明細書等の添 有 無	※ 1 無資格事案 （1）第１次選別 （2）第２次選別 2 要処理事案
本籍： 筆頭区分：		届出人の氏名 相続人の氏名	市区町村民税	有 課税標準額 円 無 税額 円		※（通報署名） （平　.　.　）
生年月日：　年　月　日 相続開始年月日：　年　月　日	被相続人	世帯の主な仕事　職業 １ ２ ３ ４ ５ ６				
死亡場所：		相続人数　名				

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	1/2



第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	3	2/2



第5 6 (2)	帳票設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

ドキュメント名称	作成日付	改定日付	版
相続税法第58条通知書(単票)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

平 成 99 年 99 月 分　相 続 税 法 5 8 条 の 規 定 に よ る 通 知 書

(戸籍係の受付番号) No. 9999999	(死亡場所) NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	被相続人の世帯の主な仕事 1 2 3 4 5 6	相続人　の住所 届出人 NNNNNNNNNNNNNNN
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	NNNNN		
XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	(被相続人の住所) NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN		
(被相続人の氏名) NNNNNNNNNNNNNNN	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN		
NNNNNNNNNNNNNNN	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN	被相続人の職業	
(明.大.昭.平 9 9.9 9.9 9.生)	NNNNNNNNNNNNNNN		相続人　の住所 届出人 NNNNNNNNNNNNNNN
(筆頭者かどうかの区分) 筆　非	(被相続人の本籍) NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN		
(相続開始年月日) 平成9 9年9 9月9 9日	NNNNNNNNNNNNNNNNNNNN NNNNNNNNNN		相続人数　名

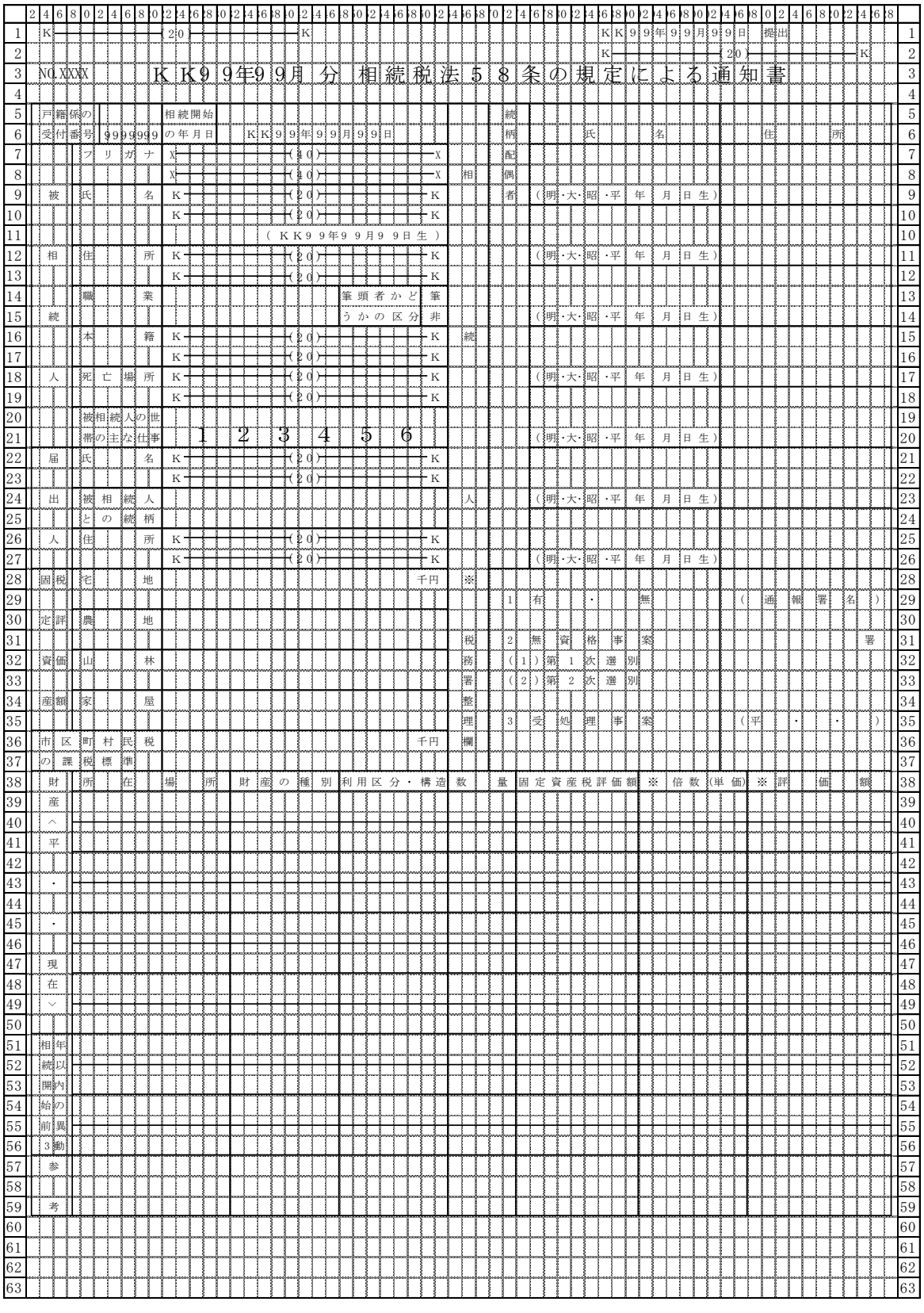
被相続人の地方税	区分	課税標準	税額	※ 税務署整理	
	固定資産税	千円	円	1 無資格事実 (1) 第1次選別 (2) 第2次選別 2 要処理事案	(通報署名) (平 . .)
	市区町村民税				

財産平・・現在	所在場所	財産の種別	利用区分 構造	数量	固定資産税 評価額	※ 倍数(単価)	※ 評価額
					円		円
相続開始前3年以内の異動							
参考							

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

作業名	作成日付	改定日付	版
相続税法58条通知	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

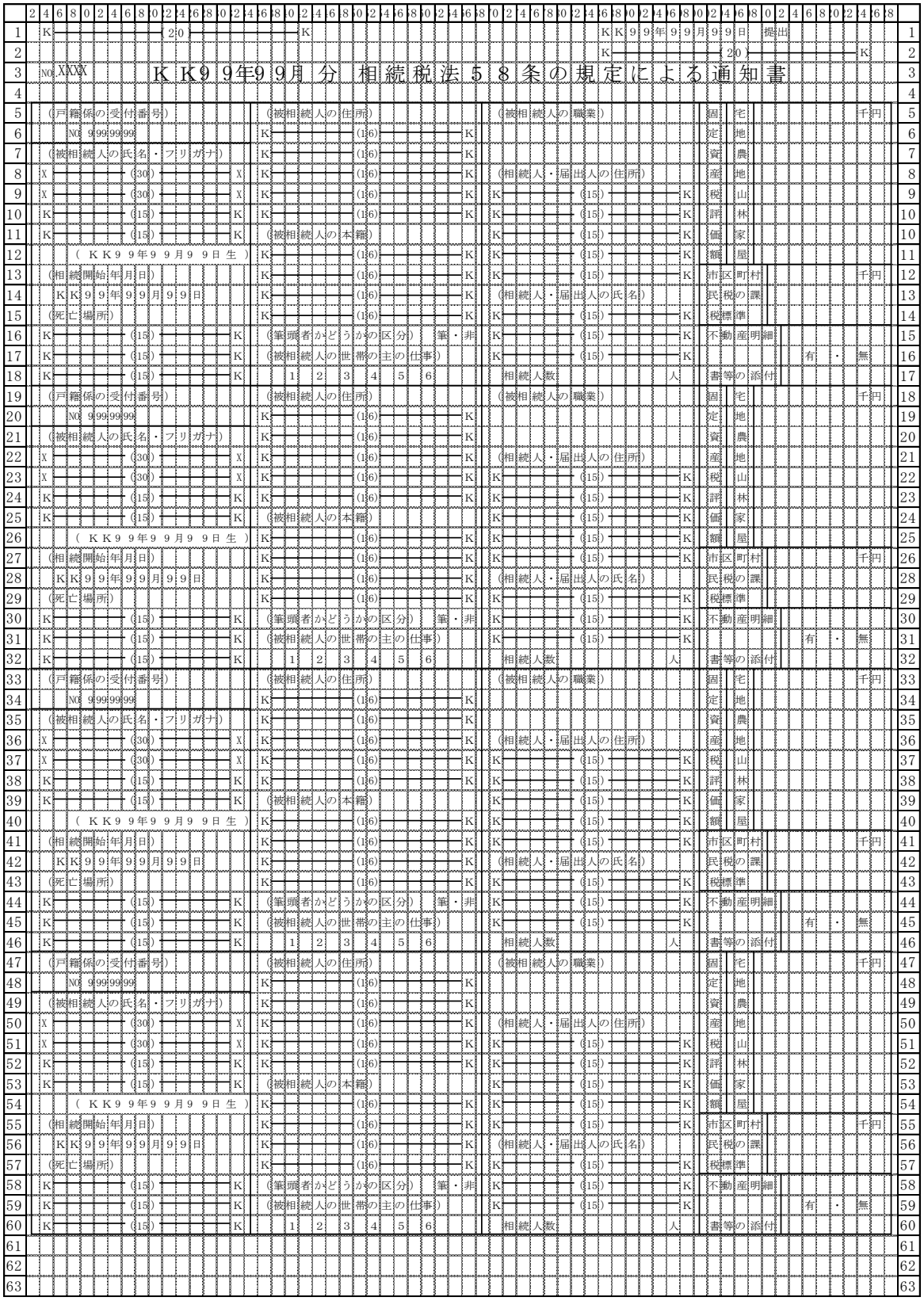
帳票番号		帳票名	相続税法58条通知 （単記式）



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

作業名	作成日付	改定日付	版
相続税法58条通知	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

帳票番号		帳票名	相続法58条通知　(連記式)



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
宛名シール		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)サンプル提示

2.編集条件

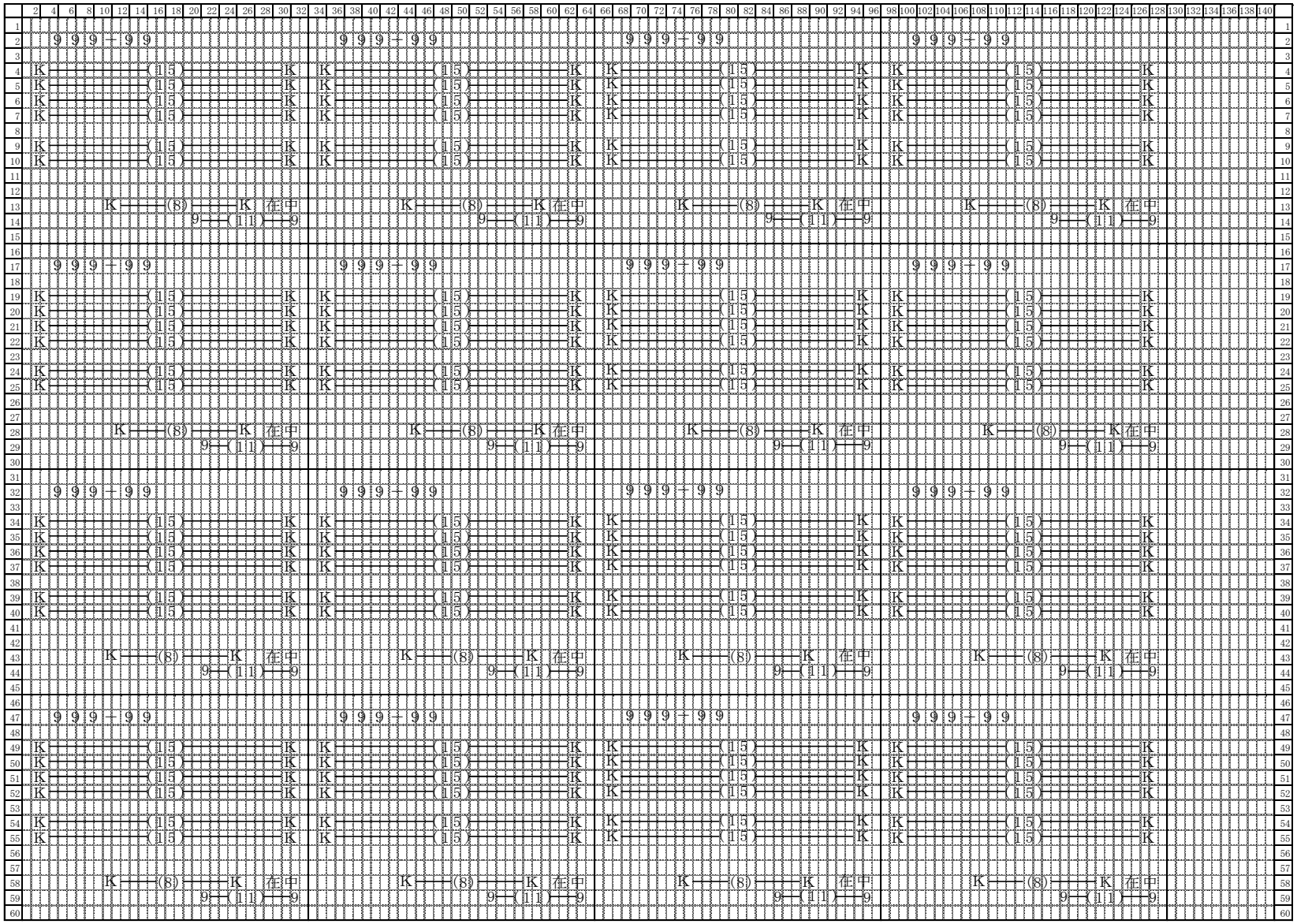
(1)出力サイクル
特になし

(2)抽出条件
特になし

(3)出力条件
特になし

3.運用関係
特になし

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		宛名シール	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



原寸ｻｲｽﾞ　:11×15
文字ピッチ:5CPI
行ピッチ　:6LPI

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
受理証明書		平成　6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11

1.様式
(1)A4版横
(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件
(1)出力サイクル
随時
(2)編集内容
帳票項目一覧を参照
届出人欄の筆頭者氏名、本籍の実装方法はメーカー任意とする

3.編集条件
特になし

第56(2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		受理証明書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	1/1

受　理　証　明　書

届　出	K ―― (15) ―― K	届　出　日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
届出人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K		
届出人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K		
事件本人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K	生年月日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
事件本人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K	生年月日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
事件本人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K	生年月日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
事件本人	K ―― (30) ―― K (K ―― (11) ―― K) KK K ―― (40) ―― K K ―― (10) ―― K	生年月日	K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日
届出の要旨			

上記の届出はKK 9 9 年 9 9 月 9 9 日受理したことを証明する。

K K 9 9 年 9 9 月 9 9 日　K ―― (25) ―― K

K ―― (15) ―― K　　職印

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
戸籍法41条証書提出の証明		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件

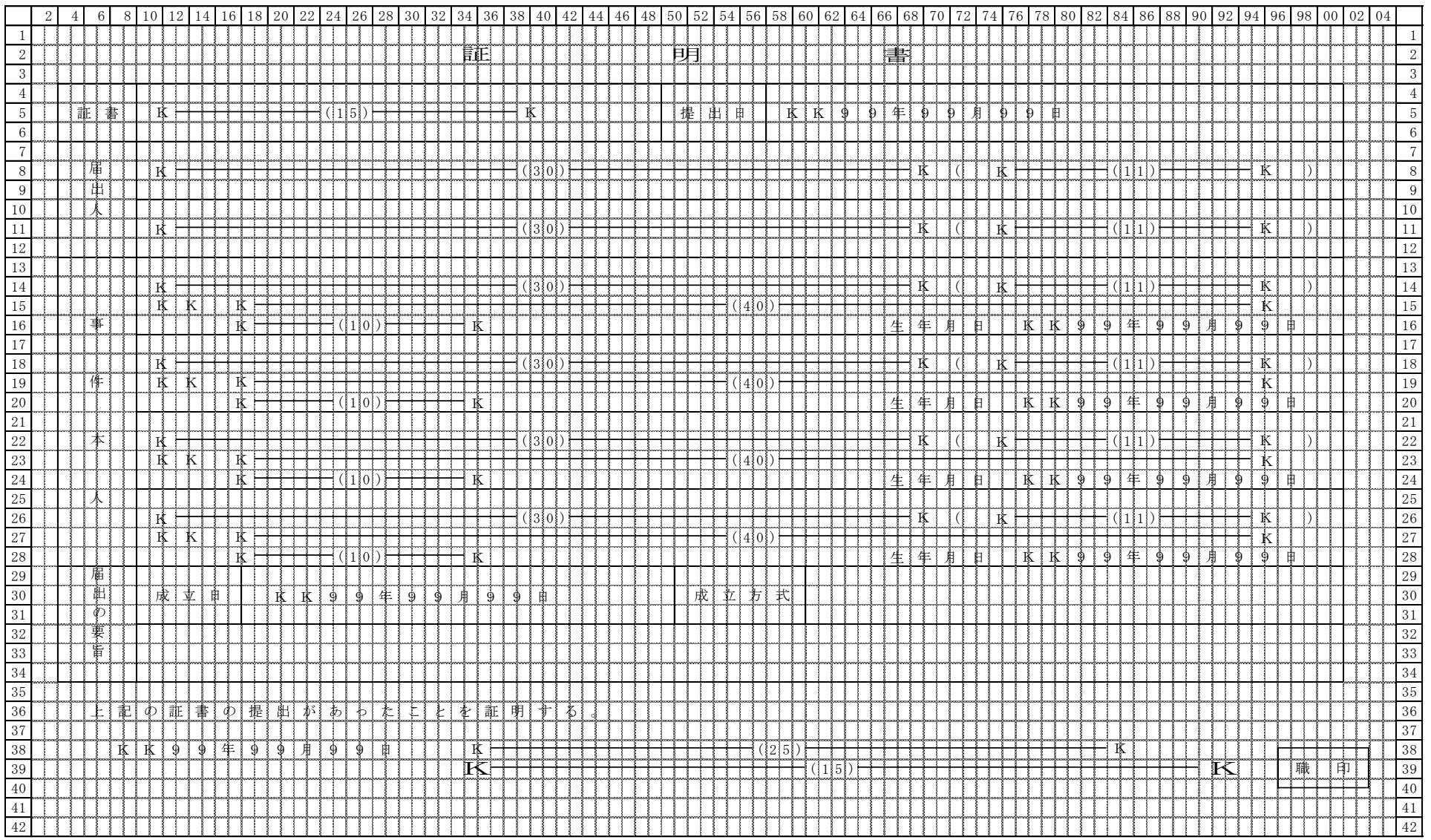
(1)出力サイクル
　随時

(2)編集内容
　帳票項目一覧を参照

・「証書」:受付事件コードを翻訳
・「提出日」:受付日
・「成立日」:事件発生日　　を出力

3.運用関係
　特になし

第56(2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍法41条証書提出の証明	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
届書預り証明書		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定

2.編集条件

(1)出力サイクル
　随時

(2)編集内容
　帳票項目一覧表を参照

3.運用関係
　特になし

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		届書預り証明書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

届　書　預　り　証　明　書

届出　K ―――― (15) ―――― K　　届出日　KK99年99月99日

届出人　K ―――― (30) ―――― K　(　K ―――― (11) ―――― K　)

K ―――― (30) ―――― K　(　K ―――― (11) ―――― K　)

事件本人　K ―――― (30) ―――― K　(　K ―――― (11) ―――― K　)

K K　K ―――― (40) ―――― K

K ―――― (10) ―――― K　　生年月日　KK99年99月99日

K ―――― (30) ―――― K　(　K ―――― (11) ―――― K　)

K K　K ―――― (40) ―――― K

K ―――― (10) ―――― K　　生年月日　KK99年99月99日

K ―――― (30) ―――― K　(　K ―――― (11) ―――― K　)

K K　K ―――― (40) ―――― K

K ―――― (10) ―――― K　　生年月日　KK99年99月99日

届出の要旨

上記届書の提出があったことを証明する。ただし、KKKKK法務局長の決定があるまで受否についての証明はできない。

KK99年99月99日　K ―――― (25) ―――― K

K ―――― (15) ―――― K　　職　印

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
身分証明書		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定しないが、極力提示した様式に準じること。

2.編集条件

(1)出力サイクル
随時

(2)編集内容
帳票項目一覧表を参照

・但し書き文を出力する条件
「帰化」の身分事項があり、「帰化」後3か月を経過していない場合のみ出力する。

3.運用関係

(1)身分証明書を発行する前に、次のチェックを行い発行確認画面にメッセージ出力すること

・入籍して3か月経過しているか否か

(民刑事務処理が、戸籍異動より事務手続き上遅れて通知される場合があるため、便宜的に3か月の経過期間を判定し注意を促す)
個人特定の入籍日　+　3か月　>　処理日(システム日付)の場合、メッセージ出力

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		身分証明書	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/1

身　分　証　明　書

本　　籍　　K ―――――――――――――――（３０）――――――――――――――― K
K ―――――――――――――（２０）――――――――――――― K

筆　頭　者　　K ―――――――――――――――（３０）――――――――――――――― K

本 人 氏 名　　K ―――――――――――――――（３０）――――――――――――――― K

生 年 月 日　　ＫＫ９９年９９月９９日

K ―――――――――――――――（２５）――――――――――――――― K

K ―――――――――――――（１８）――――――――――― K

K ―――――――――――――（１７）――――――――――― K

上記のとおり証明する。

K ―――――――――――――――（２３）――――――――――――――― K

ＫＫ９９年９９月９９日

K ―――――――――――――――（２５）――――――――――――――― K
K ―――――――――――――――――（１５）――――――――――――――――― K

職　印

第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
死体(埋)火葬許可書(申請書)		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)申請書と許可書の二枚一組みを出力する

(3)サンプル提示

2.編集条件

(1)出力サイクル
　随時

(2)編集内容
　帳票項目一覧表を参照

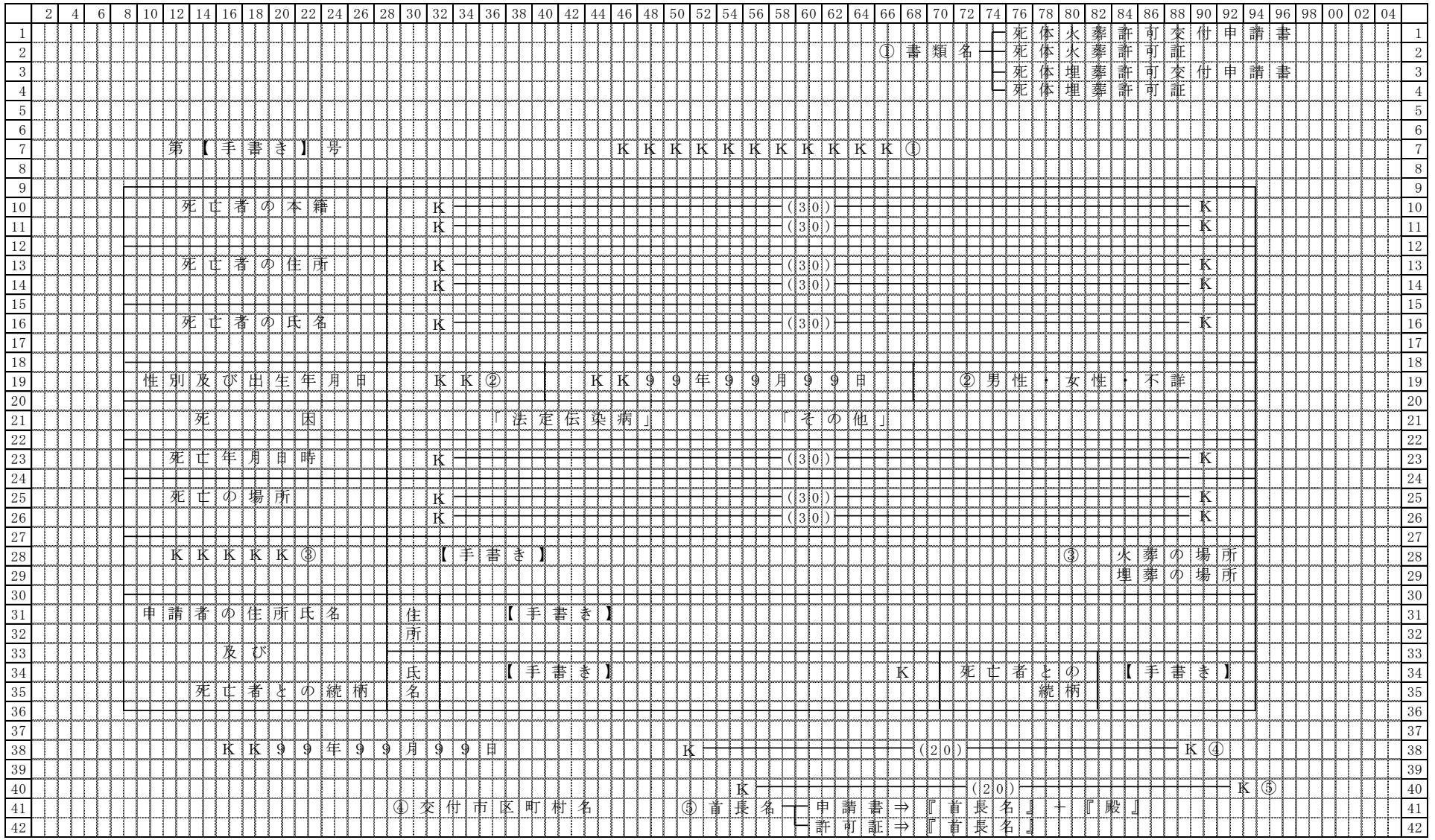
　①申請書と許可書で異なる点
　・申請者の住所、氏名
　　申請書:手書き対応とし、印欄を設ける
　　許可書:システム出力
　・職印
　　申請書:未出力
　　許可書:システム出力

3.運用関係

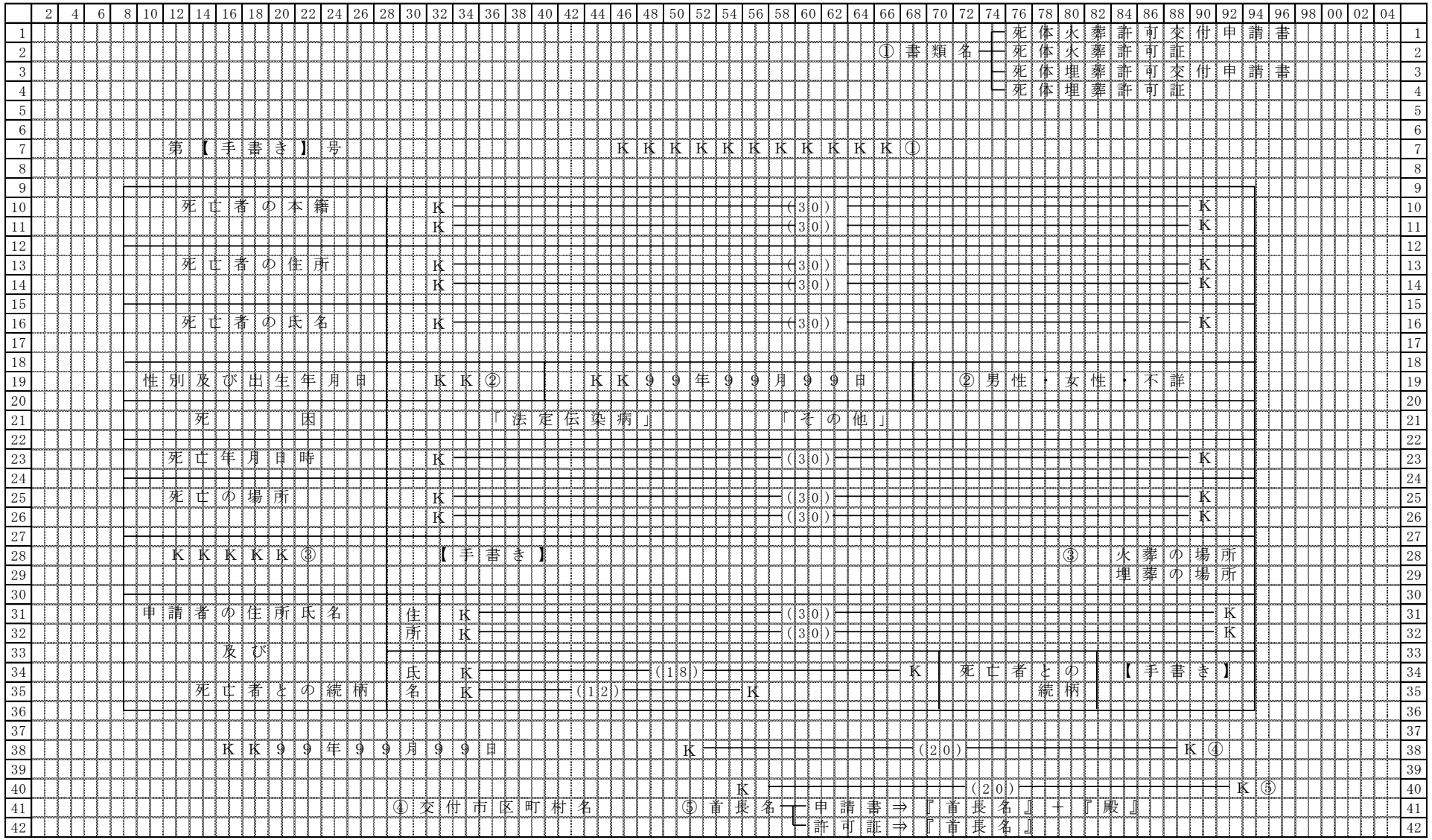
(1)申請者の住所、氏名が届出時の届出人と異なる場合は、許可書の申請者住所、氏名を手書き訂正し発行する。

(2)火葬・埋葬場所の欄について、画面による選択機能を付加しても構わない。
　(提示した帳票設計書では、手書き対応)

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		死体埋火葬許可証	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/2



第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		死体埋火葬許可証	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/2



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
町名変更のお知らせ		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)ハガキ

(2)サンプル提示

2.編集条件

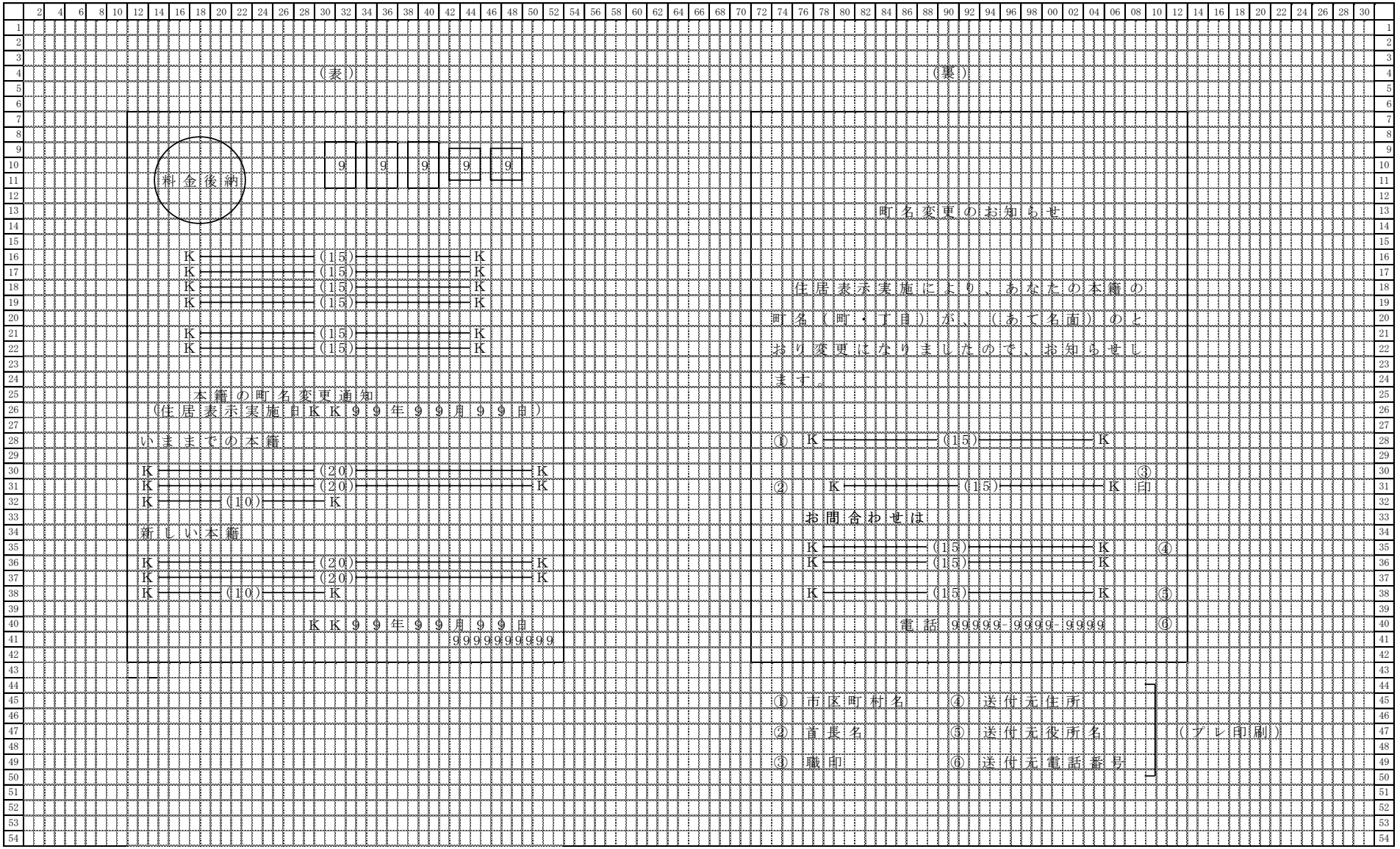
(1)出力サイクル
　随時

(2)編集内容
　帳票項目一覧を参照

3.運用関係

　特になし

第5 6 (2)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		町名変更のお知らせ	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1



第5 6 (2)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
事件表		平成　6年12月 1日	令和　年　月　日	1

1.様式

(1)A4版横

(2)出力項目及び様式は規定　　戸籍事務取扱準則第18条に示す様式

2.編集条件

(1)出力サイクル
　年次

(2)編集内容
　[第7-2(16)統計処理]を参照

3.運用関係

(1)日計、週計、月計、等の集計資料を出力することは構わない

(2)出力起動方法は特に規定しない。

4.その他

(1)次頁以降の事件表レイアウトでは、印字桁数等を表したものなので注意のこと。

第56(2)	帳票説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		事件表(その1)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	1/3

戸 籍 事 件 表

（その１）

日記第　　号　ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日

庁名　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ　（自　ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日）
（至　ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日）

第１表　届出事件数

事件の種類			総数	届出 計	届出 本籍人	届出 非本籍人	他市区町村からの送付
1	出生		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
2	国籍留保		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
3	認知		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
4	養子縁組		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
5	養子離縁		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
6	73-2.69-2		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
7	婚姻		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
8	離婚		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
9	77-2.75-2		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
10	親権後見	届出	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		嘱託 甲類	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		嘱託 審判	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
11	死亡		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
12	失踪		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
13	復氏		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
14	姻族関係＝		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
15	相続人消除		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)
16	入籍		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
17	分籍		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
18	国籍取得		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
19	帰化		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
20	国籍喪失		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
21	国籍選択		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
22	外国籍喪失		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
23	氏の変更	107-1	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		107-2	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		107-3	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		107-4	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
24	名の変更		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
25	転籍		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
26	就籍		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
27	訂正・更正	市＝＝	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		24-2	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		113等	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		116	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
		計	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
28	追完		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
29	その他		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
30	不受理申出		ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZ9
40	計		ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)	ZZZ,ZZ9 (ZZZ,ZZ9)

（注）(1)(　)内は、婚姻、縁組、失踪等の取消事件の内数である。

(2)10欄「甲類審判」は、甲類審判の確定件数、「保全処分」は、審判前の保全処分件数である。

(3)27欄「法113条等」は、戸籍法113条及び114条の申請件数である。

戸　籍　事　件　表　（その２）

庁名　KKKKKKKKKKKKKKK

第２表　処理事件表

1	新戸籍編成	Z,ZZZ,ZZ9
2	戸籍全部消除	Z,ZZZ,ZZ9
3	違反通知	Z,ZZZ,ZZ9
4	戸籍の再製・補完	Z,ZZZ,ZZ9
5	その他	Z,ZZZ,ZZ9
6	計	Z,ZZZ,ZZ9

（注）5欄「その他」は、届出の催告、戸籍の記載の錯誤遺漏通知、管轄局に対する許可の申請である。

第３表　諸証明件数

件数／種類			件数 有料	件数 無料	金額
1	全部事項証明書	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
2	個人事項証明書	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
3	一部事項証明書	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
4	①　小　計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9

件数／種類			件数 有料	件数 無料	金額
5	謄本	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
6	抄本	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
7	記載事項証明	戸籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		除籍	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
		計	Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
8	受理証明等		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	（内　数）		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
9	届書に基づく証明		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
10	閲覧		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
11	②小　計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	内数計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
12	合　計（①＋②）		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9
	内数合計		Z,ZZZ,ZZ9	Z,ZZZ,ZZ9	ZZZ,ZZZ,ZZZ,ZZ9

（注）(1)8欄「受理証明等」の(内数)は、戸籍法施行規則66条2項で定める上質紙用いる場合の証明の件数である。
(2)9欄「届書に基づく証明」は、届書の記載事項証明の件数である。
(3)1欄から3欄までの「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」は、磁気化されたデータファイルを電子情報処理組織により出力した証明書の件数である。
　なお、「一部事項証明書」には、戸籍法施行規則第79条の12第2項及び第4項の書面を含むものとする。
(4)電子情報処理組織を用いた届出又は申請等を処理する市区町村については、届出総数の事件表のほか、同様式により、オンライン届出事件数の事件表を併せて報告するものとする。

戸　籍　事　件　表

（その３）

庁名　ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

第４表　本籍数・本籍人口数（ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日現在）

本　籍　数	ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ
本籍人口数	ＫＫＫＫＫＫＫＫＫＫ

第５表　戸籍事務を取り扱う市区町村数及び事務所数（ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日現在）

	市区町村数		事務所数												
			本庁			支所			出張所			計		
	総数	コンピュータ化庁	総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ	総数	実数	コンピュータ
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注) (1)「市区町村数」欄の「総数」は、総市区町村数であり、「コンピュータ化庁」は、総市区町村のうち電子情報処理情報を用いて戸籍事務を処理する市区町村数である。
(2)「事務所数」欄の「総数」は、事務所数であり、「実数」は、総事務所数のうち戸籍事務を扱う事務所数であり、「コンピュータ」は、戸籍事務を扱う事務所を数のうち電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する事務所数である。

第６表　職員数（ＫＫＫＫ年ＫＫ月ＫＫ日現在）

	３年未満		３年以上		10年以上		計	
	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者	総数	兼任者
市	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
区	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
町	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
村	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9
計	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9	ZZ,ZZ9

(注)「兼任者」欄は、兼任者数の内数である。

第5.6.(3)　帳票項目一覧表

第5.6.(3)　帳票項目一覧表

(1) 作成の目的

入出力項目及びファイル項目を把握する資料とするため,帳票の整理統合を踏まえ,　帳票設計書等を参考に各項目を検討し作成する。

(2) 作成方法

帳票設計書で示した各項目の洗い出しを行った。

なお,各欄の記入内容は,次のとおりである。

ア	帳票名	帳票の名称を記入する。
イ	定･汎区分	規定用紙は「定型」,汎用用紙は「汎用」と記入する。
ウ	単･連区分	単票ならば、「単票」,連続用紙は「連続」と記入する。
エ	寸法	用紙のサイズ(ハガキ,B4版,A4版等)を記入する。
オ	複写枚数	複写用紙の場合、複写枚数を記入する。
カ	項目名	項目の名称を記入する。
キ	桁数	項目の桁数(長さ)を記入する。
ク	編集方法	漢字または数字等を記入する。 さらに,備考欄に数値等の場合の編集方法(前0を消す「Z制御」)を記入する。

(3) 帳票項目一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は,以下のとおりである。

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
戸籍受附帳	汎用	連票	15×11インチ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	報告年月	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
4	受領番号	9	数字	
5	受理･送付区分	2	漢字	'受理','送付'
6	本非区分	2	漢字	'本籍','非本'
7	事件名	12	漢字	
8	渉外区分	2	漢字	渉外関係のみ'渉外'の出力
9	出張所番号	3	数字	
10	受付日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
11	郵送日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
12	発生日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
13	発生区分	(5)	漢字	Z9:Z9
14	指示日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
15	許可日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
16	発日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
17	収日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
18	処分区分	3	漢字	'受理' '不受理' '受理伺' '処理伺' '取下' '返戻'
19	決裁区分	3	漢字	'決裁' '未決裁' '不決裁'
20	発送日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
21	関連受領番号	9	数字	最大5つまで
22	届出後本籍	50	漢字	
23	届出後筆頭者氏名	30	漢字	
24	送達確認1区分	3	漢字	'未到着' '到着済' '不要'
25	届出人氏名	30	漢字	最大2
26	届出人資格	11	漢字	最大2

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
戸籍受附帳	汎用	連票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
27	事件本人氏名	30	漢字	最大4
28	事件本人資格	11	漢字	最大4
29	事件本人生年月日	(10)	漢字	最大4 外国人の場合,西暦 日本人の場合,和暦
30	生年月日表示	1	漢字	最大4　'生'
31	事件本人本籍	(50)	漢字	最大4
32	送達確認2区分	1	漢字	最大4 '未' '到' '不'

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
本籍人分届書送付目録	汎用	連票	15×11インチ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ	4	漢字	
3	作成月分	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
4	受領番号	9	漢字	
5	受理・送付区分	2	漢字	'受理' OR '送付'
6	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
7	処理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	事件名	15	漢字	
9	事件本人氏名	30	漢字	
10	他事件本人数	1	漢字	
11	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
12	合計件数	6	漢字	最終頁にのみ出力 横倍角
13	件	1	漢字	最終頁にのみ'件'を出力 横倍角

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
渉外関係届書写し送付目録	汎用	単票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ	4	漢字	
3	作成月分	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
4	受領番号	9	漢字	
5	受理･送付区分	2	漢字	'受理' OR '送付'
6	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
7	処理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	事件名	15	漢字	
9	事件本人氏名	30	漢字	
10	他事件本人数	1	漢字	
11	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
12	合計件数	6	漢字	最終頁にのみ出力 横倍角
13	件	1	漢字	最終頁にのみ'件'を出力 横倍角

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
種類番号帳	汎用	連票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	市区町村名	20	漢字	
4	事件名	12	漢字	
5	報告年月	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分 横倍角
6	種類番号	5	漢字	前ゼロサプレス(シーケンス)
7	受領番号	7	漢字	
8	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9	発送年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
10	受理確認	2	漢字	'受理'
11	送付確認	2	漢字	'送付'
12	事件本人氏名	30	漢字	最大4人
13	出張所名	15	漢字	
14	備考		手書き	
15	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
16	合計件数	6	漢字	最終頁にのみ出力 横倍角
17	件	1	漢字	最終頁にのみ'件'を出力 横倍角

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
届書送達確認書	定型	連票	ハガキ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	事件名	13	漢字	
2	受領年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	受領番号	9	漢字	
4	事件本人氏名	30	漢字	3段編集
5	整理番号	8	数字	
6	発送日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
7	送付元市区町村長名	20	漢字	
8	年号	2	漢字	
9	送付先市区町村長名	20	漢字	

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
戸籍記載許可申請	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	枚数	編集方法	備考
1	受付年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	管轄法務局長	10	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	発行部署	3	漢字	
4	発行番号	10	漢字	
5	申請日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
6	市区町村名+役職名	15	漢字	
7	首長氏名	10	漢字	
8	氏名	30		
9	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
10	筆頭者	30	漢字	
11	本籍	50	手書き	2段編集
12	高齢者消除の許可日		手書き	
13	除籍日		手書き	
14	許可日	2	漢字	元号のみ
15	年齢	3	数字	抽出条件で入力した年齢

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
高齢者消除該当者一覧	汎用	単票	B4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	作成年分	(6)	漢字	元号Z9年分　横倍角
4	項番	4	漢字	
5	発番号	10	数字	
6	受領番号		手書き	
7	氏名	30	漢字(2段編集)	
8	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9	筆頭者氏名	30	漢字(2段編集)	
10	本籍	50	漢字(2段編集)	
11	照合欄		手書き	
12	合計	2	漢字	最終頁にのみ'合計'を出力 横倍角
13	合計件数	6	漢字	最終頁に出力 横倍角
14	件	1	漢字	最終頁に'件'を出力 横倍角

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
相続税法58条通知書	汎用	連票		

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	税務署長	20	漢字	税務署長+'殿'
2	提出日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	市区町村長	20	漢字	
4	作成月分	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分
	NO1～4は先頭ページにのみ出力			
5	ページ	4	数字	ZZZ9
6	項番	7	数字	ZZZZZZ9
7	カナ氏名	60	英数字	
8	漢字氏名	30	漢字	
9	住所	50	漢字	2段編集
10	本籍	50	漢字	2段編集
11	筆頭区分	1	漢字	
12	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	相続開始年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
14	死亡場所	30	漢字	

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
相続税法58条通知書	汎用	連票		

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	税務署長	20	漢字	税務署長+'殿'
2	提出日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	市区町村長	20	漢字	
4	作成月分	(9)	漢字	元号Z9年Z9月分
	NO1～4は先頭ページにのみ出力			
5	ページ	4	数字	ZZZ9
6	項番	7	数字	ZZZZZZ9
7	カナ氏名	100	英数字	
8	漢字氏名	50	漢字	
9	住所	50	漢字	
10	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
11	相続開始年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
宛名シール	定型	連票	15×11	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	郵便番号	(6)	漢字	999-99
2	住所	60	漢字	4段編集
3	宛先	30	漢字	2段編集
4	書類名	8	漢字	
5	整理番号	11	数字	2ケタ(番号種別)+9ケタ (受領番号)

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
受理証明書		汎用	単票	A4横

No.	項目名	枚数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	No.3～4は最大2件			
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合、'本籍' 外国人の場合、'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	No.5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	受理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	
16	届出人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合、'本籍' 外国人の場合、'国籍'
17	届出人本籍	50	漢字	
18	届出人の筆頭者	10	漢字	
	No.16～18は最大2件			
19	事件本人の筆頭者	10	漢字	
	No.19は最大4件			

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
戸籍法第41条証書提出の証明	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	証書名	15	漢字	
2	提出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	成立年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	成立方式		手書き	
13	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
14	市区町村名+役職名	25	漢字	
15	首長氏名	15	漢字	横倍角
16	職印	-	電子印	

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
届書預り証明書	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍･国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	届出の要旨		手書き	
11	監督法務局	5	漢字	
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
身分証明書	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	本籍	50	漢字	2段編集
2	筆頭者	30	漢字	
3	事件本人氏名	30	漢字	
4	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	証明内容1	19	漢字	「1. 禁治産者または準禁治産者ではない。」
6	証明内容2	10	漢字	「1. 破産者である。」 「1. 破産者ではない。」 またはスペース
7	但し書文	23	漢字	「但し、帰化の届出受理以降についての証明である。」
8	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
9	市区町村名+役職名	25	漢字	
10	首長氏名	15	漢字	横倍角
11	職印	-		電子印

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
死体埋火葬許可交付申請書	汎用	単票	A4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	発行番号		手書き	
2	書類名	11	漢字	'死体火葬許可交付申請書' '死体埋葬許可交付申請書'
3	死亡者の本籍	60	漢字	2段編集
4	死亡者の住所	60	漢字	2段編集
5	死亡者の氏名	30	漢字	
6	性別	2	漢字	'男性'　'女性'　'不詳'
7	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	死亡年月日時	30	漢字	
9	死亡の場所	60	漢字	2段編集
10	埋火葬場所表示	5	漢字	'火葬の場所' '埋葬の場所'
11	埋火葬場所		手書き	
12	申請者の住所		手書き	
13	申請者の氏名		手書き	
14	死亡者との続柄		手書き	
15	申請日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
16	交付市区町村名	20	漢字	
17	首長名	20	漢字	首長名+'殿'

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
死体埋火葬許可証	汎用	単票	A4	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	発行番号		手書き	
2	書類名	11	漢字	'死体火葬許可証' '死体埋葬許可証'
3	死亡者の本籍	60	漢字	2段編集
4	死亡者の住所	60	漢字	2段編集
5	死亡者の氏名	30	漢字	
6	性別	2	漢字	'男性' '女性' '不詳'
7	生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	死亡年月日時	30	漢字	
9	死亡の場所	60	漢字	2段編集
10	埋火葬場所表示	5	漢字	'火葬の場所' '埋葬の場所'
11	埋火葬場所		手書き	
12	申請者の住所	60	漢字	2段編集
13	申請者の氏名	30	漢字	2段編集
14	死亡者との続柄		手書き	
15	発行日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
16	交付市区町村名	20	漢字	
17	首長名	20	漢字	

第5 6 (3)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

帳票名	定･汎区分	単･連区分	寸法	複写枚数
町名変更のお知らせ	定型	連票	ハガキ	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	郵便番号	5	数字	
2	宛先	60	漢字	4段編集
3	受取人	30	漢字	2段編集 受取人のあとに'殿'を出力
4	住居表示実施日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	いままでの本籍	50	漢字	3段編集
6	新しい本籍	50	漢字	3段編集
7	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
8	整理番号	10	数字	

第 5.7 「ファイル」関係仕様

（目次）

(1) ファイル一覧表

(2) ファイル仕様書

第5.7.(1)　ファイル一覧表

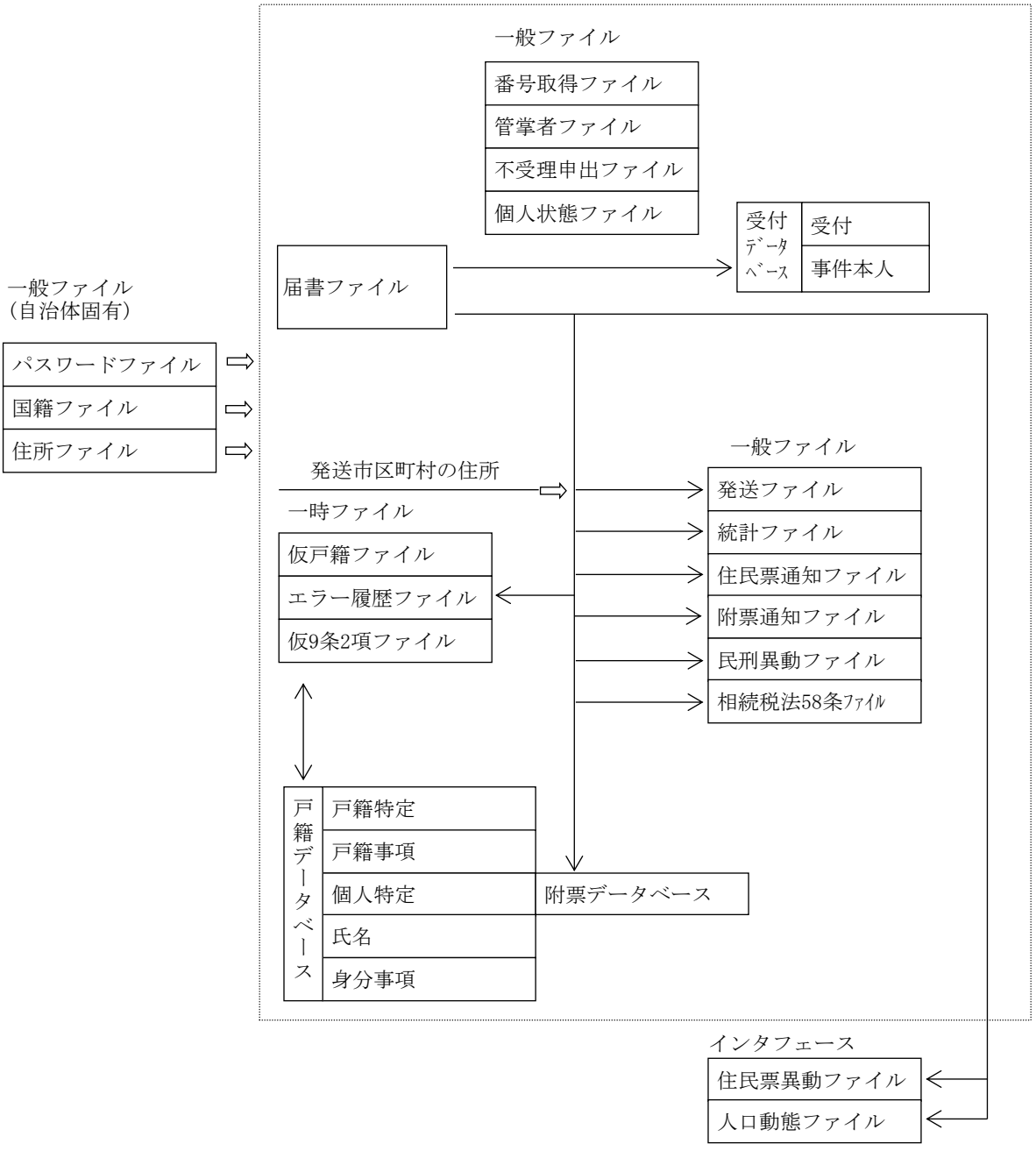
第5.7.(1)　ファイル一覧表

(1) 作成の目的
　この一覧表は,基本ファイル及び中間ファイル(作業ファイル)のそれぞれの関連とその用途を表すものとして作成した。

(2) 作成方法
　使用するファイルを関連するファイルに分類し,データの流れに着目しながら作成したものが「ファイル関連図」である。
　なお,関連ファイルの分類方法は,次のとおりである。
　ア　一般ファイル(市区町村固有,システム内の使用,発送関連)
　イ　中間ファイル
　ウ　データベース(受附帳,戸籍簿,附票)
　エ　他業務との連絡ファイル
　また,各ファイルの作成目的及び使用の概要を表したものが「概要説明」である。

(3) ファイル一覧表
　上記の検討を経て作成した一覧表は,以下のとおりである。

第57(1)	ファイル一覧表 （ファイル関連図）	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
共通		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



第57(1)	ファイル一覧表（概要説明）	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

NO.	ファイル名		概要説明	備考
1	パスワードファイル		機密保護のために使用する. 操作員と使用許可業務を限定する.	各自治体独自
2	住所ファイル		住所,本籍地のコード及び名称を定義する. 住所変換サブルーチンの辞書として使用する.	
3	国籍ファイル		国籍のコード及び名称を定義する.	未提示
4	番号取得ファイル		自動付番される以下の項目の識別番号を管理する. ･戸籍番号 ･個人番号 ･受領番号	
5	管掌者ファイル		管掌者の変遷を表す.	
6	戸籍データベース	戸籍特定	戸籍を特定するための最新の情報を格納管理する.	
		戸籍事項	戸籍事項を格納管理する. 戸籍の編製事項の他,種々の記録されるべき事項を時系列に記録する.	事件毎に項目が異なる
		個人特定	個人を特定するための最新の情報を格納管理する.	
		氏名	個人の氏名を格納管理する. 氏名の履歴を時系列に記録する.	
		身分事項	個人毎の身分事項を格納管理する. 出生事項の他,種々の記録されるべき事項を時系列に記録する.	事件毎に項目が異なる
7	受付データベース	受付	届書入力審査の後,処分決定された届書について,受領した情報を格納する.	発収簿の一部を兼ねる
		事件本人	受付帳の事件本人情報を格納管理する.	
8	個人状態ファイル		本籍人の特記事項(禁治産者,準禁治産者,破産宣告人等8項目及びメモ)を格納する.これにより処理の限定を行い,注意を促す.	
9	不受理申出ファイル		本籍人の不受理申出情報を格納管理する.	
10	届書ファイル		入力された届書の情報をすべて格納する.	事件毎にレイアウトが異なる
11	住民票異動ファイル		住基法9条2項通知(管内分)の情報を格納する.	
12	住民票通知ファイル(住基法9条2項通知)		住基法9条2項通知(管外分)の情報を格納する.	
13	附票データベース(附票ファイル)		戸籍附票を格納する. 本籍人の住所異動の情報を格納管理する.	※サンプル提示
14	附票通知ファイル		住基法19条3項通知の情報を格納する.	
15	民刑異動ファイル		民刑対象者の異動情報を格納する.	
16	相続税法58条ファイル		相続税法58条通知の情報を格納する.	
17	発送ファイル		他自治体の宛名情報を格納する.	
18	統計ファイル		戸籍事務の種々の統計情報を格納する.	戸籍事件表をこのファイルから作成する
19	人口動態ファイル		人口動態票を出力する5情報(出生,死亡,死産,婚姻,離婚)を格納する	※厚生省の「標準仕様書」を参照のこと(提示削除)

第5 7 (1)	ファイル一覧表 (概要説明)	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

NO.	ファイル名	概要説明	備考
20	仮戸籍ファイル	決裁で戸籍データベースを更新するための戸籍の異動情報を一時的に格納する.	
21	エラー履歴ファイル	届書入力審査で発生したエラー内容とその応答を格納する.	
22	仮9条2項ファイル	届書入力審査で作成した9条2項情報を格納する.	

第5.7.(2) ファイル仕様書

第5.7.(2) ファイル仕様書

(1) 作成の目的

マスターファイルの項目,レコード長等の諸条件を明確にするために作成した。
なお,中間ファイル(作業ファイル)は,各プロセス間のデータ受渡しのファイルであるため,仕様書は作成しない。

(2) 作成方法

ファイルの作成方式,編製方法,レコード長,キー項目等については,戸籍業務の処理方式を考慮して作成した。
参考までに,様々なプロセスでファイルを多く必要とするリレーショナル型データベースで設計したので,他のデータベースを利用する市区町村は,不要なデータを削除して作成されたい。
なお,記入内容は次のとおりである。

ア	ファイル名	ファイルの名称を記入する。
イ	メインキー項目	単独で抽出ができる項目名を記入する。
ウ	副次キー項目	単独で抽出ができないが,メインキーと合わせると抽出が可能な項目名を記入する。
エ	媒体	ファイルが作られる媒体を記入する。
オ	編成	ファイルの編成方法を記入する。
カ	レコード長	ファイルの1レコードの長さを記入する。
キ	項目名	ファイルの中の項目名を記入する。
ク	項目のバイト数	当該項目の属性及び桁数を記入する。

ケ　コード化の有無　　当該項目のデータがコード化されている場合は、「有」と記入する。

コ　繰り返し個数　　当該項目の繰り返し個数を記入する。

(3) ファイル仕様書
上記の検討を経て作成した仕様書は,以下のとおりである。

第5 7 (2)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改訂日付	版
ファイル仕様書		平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10

〔遵守事項〕

(1) 戸籍DB,受付DB,仮戸籍ファイル,個人状態ファイル,不受理申出ファイル,統計ファイル,番号取得ファイル,管掌者ファイル,エラー履歴ファイルは戸籍システム上必要なファイルである。これらのファイルは関係しない処理で変更が加えられないよう独立した形で構築されなければいけない。ただし,ファイルの詳細については「留意点」を参照のこと。

(2) 附票システムでのメインファイル(ここでは附票DB),人口動態システムでのメインファイル(ここでは人口働態ファイル)は,戸籍システムで規定することはできないので,ここで提示したものはサンプルに過ぎない。附票については「第7-3(2)　附票部会検討結果報告書」を参照のこと。人口動態については現在厚生省で基準書を作成中であり,予定では平成6年3月に提供される。遵守事項については関係省庁(附票:自治省･総務省,人口動態:厚生省)と対応をとること。

(3) 戸籍に関する事務(住基法関連通知,相続税58条通知　他)をシステム化する際のファイルは任意とするが,メーカでシステム化しない事務(手処理)に関するファイルを構築することは許さない。

(4) その他,プライバシーに係わるファイル,便利機能だけを目途としたファイル等,いわゆる戸籍として不適切なファイル(未婚者一覧,民刑者一覧等)を作成してはいけない。

〔留意点〕

(1) ファイル一覧表で示したファイルのうち,他システムと共用できるファイル(パスワードファイル,住所ファイル等)はそれを使用して構わない。

(2) ファイル仕様書全般においての留意点を下記に示す。
　①一のファイルの構築方法(1ファイルまたは複数ファイル),編成方法(DB(DB種別),索引ファイル,順編成ファイル等)は任意である。この場合,管理するために必要な項目の追加,削除は認められる。
　②項目のコード化の有無は任意であるが,コード化した場合は「第5-8　コード関係仕様」を参照のこと。
　③項目名,項目順番,レコード長,項目長,キー項目(メイン,副次)は任意とする。項目長はその項目の最大限の長さを設定すること。
　　また,検索業務での検索キーはファイルのキーとは異なる。検索キーについては「第5-10(2)　検索処理」を参照のこと。
　④各事項の事件発生日を設定する場合は,備考欄に「事件発生日」が記載されている日付の内,表記上の数値の小さいものから優先して事件発生日とする。

(3) 戸籍DBにおいての留意点を下記に示す。
　①戸籍事項,身分事項での項目名および項目順番は遵守とする(証明書,画面表示等においてのインデックス名称印刷(表示)順番と同じであるため)。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　パスワード

目的:　戸籍業務使用資格者のチェックを行う。

概要:　パスワードファイルの項目及び使用方法等は各メーカ(自治体の現状により)の自由とする。
資格についても自治体の運用形態が異なることから,設定する資格の内容は自由とする。

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
パスワード	職員番号		ディスク	索引	100

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	職員番号	9(10)	無	無	
2	氏名(カナ)	N(30)	無	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	パスワード	9(15)	無	無	
5	操作員資格区分				
	異動業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	証明業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	決裁	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	民刑業務	9(1)	有	無	0:適　1:不適
	システムメンテナンス	9(1)	有	無	0:適　1:不適
6	予備	X(32)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成19年 3月 1日	令和　年　月　日	11

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理処分	受領番号		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	
2	返戻年月日	9(8)	無	無	
3	不受理処分決定日	9(8)	無	無	
4	不受理の理由	K(123)	無	無	
5	予備	X(129)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　住所

目的:　住所コードから対応する本籍,住所および国籍を検索する。

概要:　自治体ごとに使用している住所ファイルが異なるので,その住所ファイルを使用する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
住所	住所コード		ディスク	索引	250

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍･住所コード				
	都道府県コード	9(2)	有	無	
	市区町村コード	9(3)	有	無	
	丁目コード	9(3)	有	無	
	字コード	9(3)	有	無	
	予備	9(4)	有	無	
2	漢字住所	K(50)	無	無	
3	カナ住所	N(100)	無	無	
4	郵便番号	X(6)	無	無	
5	予備	X(29)	—	—	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　番号取得

目的:　ファイルの一連番号を取得するための番号格納ファイルである。
　　戸籍番号(戸籍),個人番号(戸籍),受領番号(受付)の各々の番号を格納している。

戸籍番号:　管内に戸籍が新しく編製されるときに取得する。管内転籍では従来どおり本籍の変更だけにとどめ,新戸籍は編製しない。項目長は市区町村により変動可。

個人番号:　管内にある戸籍(新戸籍も含む)に個人が入籍したときに取得する。管内の一の戸籍から他の戸籍への異動によっても新しい個人番号を取得する。項目長は市区町村により変動可。

受領番号:　上4桁　⇒　西暦年,下5桁　⇒　一連番号(項目長は市区町村により変動可)
　　受理しまたは送付を受けた事件について,その審査の結果の如何にかかわらず取得する。
　　暦年が変わるごとに受領番号は更新する(1から開始)。

その他:　上記の4ファイルの一連番号が他の方法で取得可能であれば,番号取得ファイルを作成する必要は無い。また各々4つの取得ファイルに分別しても可。

※　1版では不受理申出ファイルの整理番号を取得する役割も持たせていたが,非本籍地に届出られた不受理申出の処理がシステム外となったため,整理番号は現行の運用通り職員が取得することとなった(本籍地に届出られた不受理申出も同様)。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
番号取得			ディスク	順	30

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	番号種別	9(1)	有	無	1:戸籍番号
2	予備	9(4)	無	無	『0000』
3	戸籍番号	9(10)	無	無	
4	予備	X(15)	——	——	
1	番号種別	9(1)	有	無	2:個人番号
2	予備	9(4)	無	無	『0000』
3	個人番号	9(10)	無	無	
4	予備	X(15)	——	——	
1	番号種別	9(1)	有	無	3:受領番号
2	西暦年	9(4)	無	無	
3	受領番号	9(5)	無	無	
4	予備	X(20)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　管掌者ファイル

目的:　処理する日の管掌者が誰かを表すファイルである。
　　管掌者が変更になった場合,従前の管掌者は履歴として保存される。

管掌者コード:　管掌者を表すコード。

管掌者名称:　管掌者の資格名称

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
管掌者			ディスク	順	200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	管掌者コード	9(4)	有	無	
2	管掌者資格	K(30)	無	無	
3	管掌者氏名	K(30)	無	無	
4	予備	X(76)	—	—	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/3
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　戸籍

目的:　戸籍情報を格納するファイルである。
　　管内に新戸籍が編製される時に作成する。戸籍の在籍者が全員除籍となりその戸籍が除籍となるときは,戸籍除区分を1(除籍)にするだけで,レコードを削除することはしない。

検索キー:　本籍および個人氏名である。ただし,戸籍番号と個人番号も検索キーとなり得るが普通の検索には使用しない。

検索補助キー:　筆頭者および個人の生年月日である。

戸籍番号:　1つの戸籍に1つの戸籍番号を付加する。
本籍:　最新の本籍を格納する。管内転籍等での従前本籍の扱いについては,戸籍事項で管理することとし,本籍の履歴を持つことはしない。
　　本籍の持ち方は自由(コードと地番で分割,漢字のみ,市区町村名省略　等)。
筆頭者:　最新の筆頭者を格納する。氏変等での従前筆頭者の扱いについては,戸籍事項で管理することとし,筆頭者の履歴を持つことはしない。
戸籍異動区分:　事件の該当者が,戸籍に記載されている個人である場合に,その個人が特定された段階で戸籍をロック(他の事件で処理できない状態)する。当該事件の決裁が完了した時点または受理,不受理以外の処分決定のときに戸籍ロックを外す。
戸籍事項欄:　戸籍事項を格納する。1戸籍事項1レコードする。
　　項目　戸籍事項は文章ではなく,複数の項目で表す。
　　本籍および筆頭者の履歴管理を行うため,今までの戸籍事項とは項目が異なる場合がある。
個人番号:　1人の在籍者に1つの個人番号を付加する。
　　管内の一の戸籍から他の戸籍に異動する場合は,新しい個人番号を付加する。また,他の戸籍から従前の戸籍に戻ったときも新しい個人番号を付加する。
性別:
前個人番号:　直前の他の戸籍(同一管内)での個人番号。
　　直前の戸籍が即座に確定,検索できるために設けた項目。
審査不可区分:　異動審査が不可能の者を識別する区分。
　　1:改正国籍法前の渉外婚姻で父母(養父母)の戸籍に在籍している者(配偶者区分無し)
　　2:昭和32年法務省令による改製作業における申出により夫が筆頭者となっている者
　　(夫,妻とも審査不可区分は2となる)
　　上記の場合にのみ区分を設定し,それ以外は0を設定する。設定は基準書で示される条件に従う
カナ氏名:　個人の氏と名をカナで格納する(氏と名に分割して格納も可)。
　　氏および名の変更があったときは,従前のカナ氏名を履歴して格納する(旧氏名でも検索を可能とするため)。
漢字氏名:　個人の氏と名を漢字で格納する(氏と名に分割して格納も可)。
　　氏および名の変更があったときは,従前の漢字氏名を履歴して格納する(旧氏名でも検索を可能とするため)。
身分事項欄項目:　身分事項を格納する。1身分事項1レコードする。
　　身分事項は文章ではなく,複数の項目で表す。
その他:　提示した項目を満足すればファイルの編成方式,分割等はメーカの任意である。
　　戸籍事項,身分事項は必要項目しか示さないが,管理等(システム実現)のため必要となる項目はメーカ任意で追加してもらいたい。
　　項目長は市区町村で任意であるが,ファイル仕様書で示した項目長が入出力の基本となる。
　　戸籍で除籍となったものを別ファイルで保存しても構わない。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍特定)	戸籍番号,本籍コード	筆頭者	ディスク	DB	250

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍番号	9(10)	無	無	
2	編製日	9(8)	無	無	
3	改製日	9(8)	無	無	
4	回復日	9(8)	無	無	
5	消除日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(15)	有	無	
7	本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者	K(30)	無	無	
9	記録者数	9(2)	無	無	戸籍の全人数
10	在籍者数	9(2)	無	無	在籍している人数
11	除籍者数	9(2)	無	無	除籍された人数
12	戸籍除区分	9(1)	有	無	0:戸籍 1:除籍
13	戸籍異動区分	9(1)	有	無	0:―― 1:ロック
14	予備	X(25)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項)	戸籍番号	行番号	ディスク	DB	3300

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍番号	9(　10)	無	無	
2	行番号	9(　 2)	無	無	
3	出力区分	9(　 1)	有	無	0:可　1:不可
4	戸籍事項タイトルコード	9(　 4)	有	無	上2桁:事件コード
5	戸籍事項記録コード	9(　 4)	有	無	上2桁:事件コード
6	管掌者コード	9(　 4)	有	無	
7	事件発生日	9(　 8)	無	無	
8	戸籍事項欄項目	X(3200)	無	無	詳細は別紙のファイル仕様書(戸籍事項欄項目)参照
9	予備	X(　67)	――	――	

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍事項〔タイトル/記録コード対応表〕	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
00	(戸籍事項) 受付事件名は「備考」参照	0001	戸籍編製	0001	戸籍編製事項の記録	×	戸籍編製・改製・消除と理由なる各届の事件名が「受付事件名」となる。 (例)　『出生』 〜 『訂正(116条)』
		0002	戸籍消除	0002	戸籍消除事項の記録	×	
		0003	戸籍回復	0003	戸籍回復事項の記録	×	
		0004	戸籍改製	0004	戸籍改製事項の記録	×	
		0005	戸籍再製	0005	戸籍再製事項の記録	×	
07	73条の2 受付事件名は『戸籍法73条の2』	0701	氏の変更	0701	縁氏続称者の氏の変更事項の記録 50, 53, 56	○	
08	69条の2 受付事件名は『戸籍法69条の2』	0801	氏の変更	0801	縁組取消者(氏変更となる者)の氏の変更事項の記録	○	
11	77条の2 受付事件名は『戸籍法77条の2』	1101	氏の変更	1101	婚氏続称者の氏の変更事項の記録 93, 96, 99	○	
12	75条の2 受付事件名は『戸籍法75条の2』	1201	氏の変更	1201	婚氏取消者(氏変更となる者)の氏の変更事項の記録	○	
28	氏の変更 (107条の1項) 受付事件名は『戸籍法107条1項』	2801	氏の変更	2801	107条1項の氏の変更事項の記録 175	○	
29	107条2項 受付事件名は『戸籍法107条2項』	2901	氏の変更	2901	107条2項の氏の変更事項の記録 176, 178	○	
30	107条3項 受付事件名『戸籍法107条3項』	3001	氏の変更	3001	107条3項の氏の変更事項の記録 181	○	
31	107条4項 受付事件名『戸籍法107条4項』	3101	氏の変更	3101	107条4項の氏の変更事項の記録 184	○	
33	転籍	3301	転籍	3301	転籍事項の記録	×	

・(受付)事件コード:当欄に記載されている事件名が,そのまま『受付事件名』となる。
(『受付事件名』と同じとならない場合,別途,当欄に『受付事件名』を記載する。)
・記録コード:記載されている数字は法定記載例の番号を示す。(かっこ書きは参考記載例の番号を示す。)
・移記:戸籍法施行規則第37条による移記　(転籍の際に　⇒　○:移記必要,×:移記不要)

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・戸籍編製)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:0001					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	許可	許可日	9(　8)	無	無	
2	編製	編製日	9(　8)	無	無	
3	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
4	予備		X(2984)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・戸籍消除)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:0002					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	消除	消除日	9(　8)	無	無	
2	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
3	予備		X(2992)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・戸籍回復)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍記録コード:0003					3200

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	回復	回復日	9(8)	無	無	事件発生日
2		回復事項	K(30)	無	無	
3		回復事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	備考		X(2338)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・戸籍改製)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍記録コード:0004					3200

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	改製	改製日	9(8)	無	無	
2		改製事由	K(50)	無	無	
3	入戸籍	従前戸籍				使用せず
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	特記	特記事項	K(100)	無	無	
5	備考		X(2732)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・戸籍再製)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍記録コード:0005					3200

No.	項目名		タイプ (桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	再製	再製日	9(8)	無	無	
2		再製事由	K(50)	無	無	使用せず
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	
4	備考		X(2892)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･73条2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:0701					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法73条の2の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録				
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
　【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･69条2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:0801					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法69条の2の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･77条2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:1101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法77条の2の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･75条2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:1201					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法75条の2の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・氏の変更)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:2801					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法107条1項の届出'
3	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	
6		受理者	K(　50)	無	無	
7	許可	許可日	9(　8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
10	従前記録	従前の記録	————	————	————	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(　30)	無	無	
11	記録	記録日	9(　8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
13	予備		X(2430)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･107条2)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:2901					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法107条2項の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・107条3項)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:3001					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法107条3項の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目・107条4項)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:3101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏の変更	氏変更日	9(　8)	無	無	
2		氏変更の事由	K(　12)	無	無	'戸籍法107条4項の届出'
3	許可	許可日	9(　8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	————	————	————	
		氏	K(　30)	無	無	
7	記録	記録日	9(　8)	無	無	
8	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
9	予備		X(2784)	——	——	

氏変更により戸籍に変動がない場合に記録する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.
【氏】某……氏変更の【従前の記録】は【氏】のみ.

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍事項欄項目･転籍)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍事項) ⇨ 戸籍事項記録コード:3301					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	転籍	転籍日	9(　8)	無	無	
2	入戸籍	従前本籍	K(　50)	無	無	管外転籍の場合に記録
3	除戸籍	新本籍	K(　50)	無	無	
4	届出	届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	
7		受理者	K(　50)	無	無	
8	許可	許可日	9(　8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
11	従前記録	従前の記録	————	————	————	
		管内転籍の場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【本籍】東京都･……管内転籍の【従前の記録】は【本籍】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		本籍	K(　50)	無	無	
12	記録	記録日	9(　8)	無	無	
13	特記	特記事項	K(　100)	無	無	
14	予備		X(2214)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(個人特定)	個人番号,戸籍番号	生年月日	ディスク	DB	350

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(　10)	無	無	
2	戸籍番号	9(　10)	無	無	
3	戸籍記録順位番号	9(　2)	無	無	戸籍内の個人記録順序
4	入籍日	9(　8)	無	無	戸籍に記載された日
5	除籍日	9(　8)	無	無	戸籍から除かれた日
6	性別	9(　1)	有	無	
7	生年月日	9(　8)	無	無	
8	筆頭者区分	9(　1)	有	無	0:構成員　1:筆頭者
9	配偶者区分	9(　1)	有	無	0:未 1:夫 2:妻 3:生存配偶者
10	父	K(　30)	無	無	
11	母	K(　30)	無	無	
12	父母との続柄	9(　2)	有	無	
13	養父	K(　30)	無	無	
14	養母	K(　30)	無	無	
15	養父母との続柄	9(　2)	有	無	
16	前個人番号	9(　10)	無	無	管内異動の場合に記録
17	個人除区分	9(　1)	有	無	
	0:在籍者,1:除籍者,2:戸籍消除者,3:消除者,4:除籍及び消除者				
18	審査不可区分	9(　1)	有	無	
19	予備	X(　45)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(氏名)	個人番号,カナ氏名,漢字氏名		ディスク	DB	150

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(　10)	無	無	
2	行番号	9(　 2)	無	無	履歴番号
3	カナ氏名	N(　60)	無	無	
4	漢字氏名	K(　30)	無	無	
5	予備	X(　18)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	個人番号	行番号	ディスク	DB	3300

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(　10)	無	無	
2	行番号	9(　2)	無	無	
3	出力区分	9(　1)	有	無	0:可　1:不可
4	身分事項タイトルコード	9(　4)	有	無	上2桁:事件コード
5	身分事項記載コード	9(　4)	有	無	上2桁:事件コード
6	管掌者コード	9(　4)	有	無	
7	事件発生日	9(　8)	無	無	
8	身分事項項目	X(3200)	無	無	詳細は別紙のファイル仕様書(身分事項欄項目)参照
9	予備	X(　71)	——	——	

第57(2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	備考
01 出生	0101 出生	0101 子の記録 1	○	
	0102 子の出生	0102 親の記録 10,12	×	
02 認知	0201 認知	0201 被認知者の記録 13	○	
		0202 認知者の記録 (20)	×	
	0203 親に対する認知	0203 被認知者の直系卑属の記録 (25)'	○	
03 養子縁組	0301 養子縁組	0301 養子の記録 20,21	○	従前戸籍の記録は婿養子婚姻事項に記録され,婿養子縁組縁組には記録しない。
		0302 養親の記録 19	×	
	0302 配偶者の縁組	0303 養子の配偶者の記録 (50),(54)	×	
	0303 婿養子縁組	(0301) 養子の記録	○	
		(0302) 養親の記録	×	
04 養子離縁	0401 養子離縁	0401 養子の記録 35,37	×	
		0402 養親の記録 36	×	
	0402 配偶者の離縁	0403 養子の配偶者の記録 (86),(89)	×	
05 特別養子縁組	0501 特別養子縁組	0501 養子の従前戸籍の記録 34	×	
		0502 養子の新戸籍の記録 33	○	養父母が外国人の場合,第39条による移記を要する。
	0502 民法817条の2	0503 養子の入籍戸籍の記録 31	○	
		0504 養親の記録 (77),(78)	×	養子が外国人の場合の記録
		0505 養親の新戸籍の記録	×	昭和60.1.1の改正法施行前に外国人と婚姻し,父母の戸籍に未だに在籍している者が養親となる際の新戸籍の記録
06 特別養子離縁	0601 特別養子離縁	0601 養子の記録 (116),(117),(118),(119)	×	
		0602 養親の記録 (120),(121)	×	養子が外国人の場合の記録

・(受付)事件コード:当欄に記載されている事件名が,そのまま『受付事件名』となる。
(『受付事件名』と同じとならない場合,別途,当欄に『受付事件名』を記載する。)
・記録コード:記載されている数字は法定記載例の番号を示す。(かっこ書きは参考記載例の番号を示す。)
・移記:戸籍法施行規則第39条による移記　(新戸籍または他の戸籍に入籍する際に　⇒　○:移記必要,×:移記不要)

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
09	婚姻	0901	婚姻	0901	夫又は妻の記録 59,60,61	○	
		0902	婿養子縁組婚姻	(0901)	夫又は妻の記録	○	
		0903	入夫婚姻	(0901)	夫又は妻の記録	○	
10	離婚	1001	離婚	1001	夫又は妻の記録 84,85,86,88,89	×	
		1002	養子の離婚	1002	夫又は妻の養父母の記録	×	
13	親権(管理権)	1301	親権	1301	親権(管理権)を受ける者の記録 105	○	
14	後見	1401	後見	1401	後見を受ける者の記録 117	○	
41	未成年者の後見	4101	未成年者の後見	4101	未成年後見を受ける者の記録	○	
15	保佐	1501	保佐	1501	保佐を受ける者の記録 127	○	
16	死亡	1601	死亡	1601	死亡者の記録 129	×	
		1602	配偶者の死亡	1602	死亡者の生存配偶者の記録 132	×	
		1603	高齢者消除	1603	高齢者消除となった者の記録 (166)	×	
17	失踪宣告	1701	失踪宣告	1701	失踪宣告者の記録 133	×	
		1702	配偶者の失踪宣告	1702	失踪宣告者の生存配偶者の記録 134	×	
18	復氏	1801	復氏	1801	復氏者の記録 137	×	
		1802	配偶者の復氏	1802	復氏者の配偶者の記録	×	
19	姻族関係終了	1901	姻族関係終了	1901	姻族関係を終了した生存配偶者の記録 142	×	
20	推定相続人廃除	2001	推定相続人廃除	2001	推定相続人廃除者の記録 143	○	
21	入籍	2101	入籍	2101	入籍者の記録 145,146	×	
		2102	子の入籍	2102	入籍者の父母の記録 153,155	×	
		2103	配偶者の入籍	2103	入籍する者の配偶者の記録 148,151	×	
22	分籍	2201	分籍	2201	分籍者の記録 163,164	×	

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

(受付)事件コード		タイトルコード				移記	備考
23	国籍取得	2301	国籍取得	2301	国籍取得者の記録 165,(183)	×	
		2302	子の国籍取得	2302	国籍取得者の父母の記録 (173),(174)	×	
		2303	養子の国籍取得	2303	国籍取得者の養父母の記録 (175),(176)	×	
		2304	配偶者の国籍取得	2304	国籍取得者の配偶者の記録 (179),(180)	×	
		2305	親の国籍取得	2305	国籍取得者の子の記録	×	
		2306	養親の国籍取得	2306	国籍取得者の養子の記録	×	
		2309	未成年後見人の国籍取得	2309	未成年後見人の国籍取得の記録	×	
24	帰化	2401	帰化	2401	帰化者の記録 167	×	
		2402	子の帰化	2402	帰化者の父母の記録 (173),(174)	×	
		2403	養子の帰化	2403	帰化者の養父母の記録	×	
		2404	配偶者の帰化	2404	帰化者の配偶者の配録 (179),(180)	×	
		2405	親の帰化	2405	帰化者の子の記録	×	
		2406	養親の帰化	2406	帰化者の養子の記録	×	
		2407	後見人の帰化	2407	後見人の帰化の記録	×	
		2408	保佐人の帰化	2408	保佐人の帰化の記録	×	
		2409	未成年後見人の帰化	2409	未成年後見人の帰化の記録	×	
25	国籍喪失	2501	国籍喪失	2501	国籍喪失者の記録 170	×	
		2502	配偶者の国籍喪失	2502	国籍喪失者の配偶者の記録 (187)	○	
26	国籍選択	2601	国籍選択	2601	国籍選択者の記録 169	○	
27	外国国籍喪失	2701	外国国籍喪失	2701	外国国籍喪失者の記録 174	○	
32	名の変更	3201	名の変更	3201	名の変更者の記録 187	○	

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	4/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕	平成12年 3月 1日	令和 年 月 日	4

(受付)事件コード		タイトルコード				移記	備考
33	転籍	—	――――――	—	―――――――――	×	戸籍事項欄のみの記録
34	就籍	3401	就籍	3401	就籍者の記録 192	×	

適用業務名	作成日付	改定日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 氏の変更系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
07	73条の2 受付事件名は『戸籍法73条の2』	0701	氏の変更	0701	縁氏続称者の記録 51, 52, 54, 55, 57	×	
		0702	配偶者の氏の変更	0702	縁氏続称者の配偶者の記録	×	
08	69条の2 受付事件名は『戸籍法69条の2』	0801	氏の変更	0801	縁組取消者(氏変更となる者)の記録	×	
		0802	配偶者の氏の変更	0802	縁組取消者(氏変更となる者)の配偶者の記録	×	
11	77条の2 受付事件名は『戸籍法77条の2』	1101	氏の変更	1101	婚氏続称者の記録 94, 95, 97, 98, 100	×	
		1102	配偶者の氏の変更	1102	婚氏続称者の配偶者の記録	×	
12	75条の2 受付事件名は『戸籍法75条の2』	1201	氏の変更	1201	婚姻取消者(氏変更となる者)の記録	×	
		1202	配偶者の氏の変更	1202	婚姻取消者(氏変更となる者)の配偶者の記録	×	
28	氏の変更 (107条1項) 受付事件名は『戸籍法107条1項』	—	―――	—	―――――――	×	戸籍事項欄のみの記録
29	107条2項 受付事件名は『戸籍法107条2項』	2901	氏の変更	2901	107条2項の氏の変更者の記録 177, 179, 180	×	
30	107条3項 受付事件名は『戸籍法107条3項』	3001	氏の変更	3001	107条3項の氏の変更者の記録 182, 183	×	
		3002	配偶者の氏の変更	3002	107条3項の氏の変更者の配偶者の記録	×	
31	107条4項 受付事件名は『戸籍法107条4項』	3101	氏の変更	3101	107条4項の氏の変更者の記録 185, 186	×	

適用業務名	作成日付	改定日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕 取消系	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

(受付)事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	備考
35	養子縁組取消し	3501	養子縁組取消し	3501	養子の記録 (74)	×	
				3502	養親の記録 (73)	×	
		3502	配偶者の養子縁組取消し	3503	養子の配偶者の記録	×	
36	養子離縁取消し	3601	養子離縁取消し	3601	養子の記録 (107),(108),(109)	×	
				3602	養親の記録 (110)	×	
		3602	配偶者の養子離縁取消し	3603	養子の配偶者の記録	×	
37	婚姻取消し	3701	婚姻取消し	3701	夫または妻の記録 82,83	×	
38	離婚取消し	3801	離婚取消し	3801	夫または妻の記録 (137),(138),(139)	×	
39	失踪宣告取消し	3901	失踪宣告取消し	3901	失踪宣告取消者の記録 135	×	
		3902	配偶者の失踪宣告取消し	3902	失踪宣告取消者の配偶者の記録 136	×	
40	推定相続人廃除取消し	4001	推定相続人廃除取消し	4001	推定相続人廃除取消者の記録 144	×	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・出生/子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:0101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	出生	出生日	9(8)	無	無	事件発生日
2		出生地	K(50)	無	無	
3	外国人父母	父の国籍	K(50)	無	無	
		①無国籍者の場合,「無国籍」と記録する。 ②帰化の際に記録する出生事項:認知の届出の効力のある出生届がされている場合で,父が外国人であるときに記録(準正嫡出子を除く)する。 ③帰化の際に記録する出生事項:事実主義の法制に基づき親子関係が成立している場合(出生地が国内・国外に係わらず)で,父が外国人であるときに記録(嫡出子を除く)する。				
4		父の生年月日	9(8)	無	無	項番3と同様。
5		母の国籍	K(50)	無	無	
		①無国籍者の場合,「無国籍」と記録する。 ②日本人男から認知されている外国人女の胎児が出生し,その届出により新戸籍を編製する場合に記録する。				
6		母の生年月日	9(8)	無	無	項番5と同様。
7	届出	届出日	9(8)	無	無	
8		航海日誌謄本提出日	9(8)	無	無	
9		届出人				
		資格	9(3)	有	無	旧法:「祖父」「父の後見人」等の場合もあり。
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
10		届出人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
11		届出人の国籍	K(50)	無	無	未成年母の法定代理人の届出で,その者が外国人の場合に記録する。
12		届出人の生年月日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・出生/子)	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
13	日本人父母	父の氏名	K(30)	無	無	
		①旧法の記録:庶子が父の戸籍に入籍できなかった場合に記録する。 ただし,その後,父と同一戸籍となった場合は記録しない。				
14		父の戸籍				
		①旧法の記録:庶子が父の戸籍に入籍できなかった場合に記録する。 ただし,その後,父と同一戸籍となった場合は記録しない。 ②帰化の際に記録する出生事項:認知の届出の効力のある出生届がされている場合で,父が既に帰化しているときに記録(準正嫡出子を除く)する。ただし,父と同籍する場合は記録しない。 ③帰化の際に記録する出生事項:事実主義の法制に基づき親子関係が成立している場合で,父が既に帰化しているときに記録(嫡出子を除く)する。ただし,父と同籍する場合は記録しない。 ④父母の婚姻前の出生子について嫡出子とする出生届が誤って受理された後,父から非嫡出子出生の届出に訂正する追完の届出があった場合に記録する。(62条:認知の効力を有する)				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		母の氏名	K(30)	無	無	
		①旧法の記録:庶子が母の戸籍に入籍しなかった場合に記録する。 ただし,その後,母と同一戸籍となった場合は記録しない。 ②旧法の記録:父の認知のない嫡出でない子が母の戸籍に入籍できないため,一家創立した場合に記録する。				
16		母の戸籍				項番15と同様。
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
17	国籍留保	国籍留保の届出日	9(8)	無	無	
18		国籍留保の届出人				項番9の届出人と同一人でない場合記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
19		国籍留保の届出人の国籍	K(50)	無	無	国籍留保の届出人が,外国人の場合記録する。
20		国籍留保の届出人の生年月日	9(8)	無	無	
21	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
22		受理者	K(50)	無	無	
23	許可	許可日	9(8)	無	無	
24		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
25		許可を受けた者	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・出生/子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
26	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
27	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
28	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
29	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
30		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
31	記録	記録日	9(8)	無	無	
32	特記	特記事項	K(100)	無	無	
33	予備		X(922)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・出生/親)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0102					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		航海日誌の謄本提出日	9(8)	無	無	
5		除籍日	9(8)	無	無	
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延等の際の記録は項番13の【除籍日】を使用する。〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番13の【除籍日】≠空白であること。 ・項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
6		除籍事由	K(50)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	送付がある場合二期録する。除籍には記録し新戸籍には記録しない。
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番13の【除籍日】=空白であること。				
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	
16	予備		X(2276)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/被認知者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0201					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知	認知日	9(8)	無	無	事件発生日①　1/4
2		胎児認知日	9(8)	無	無	事件発生日①　2/4
3		認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日①　3/4
		認知の裁判等が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
4		親子関係存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日①　4/4
		子の出生当時に父の本国法が事実主義を採用している場合において,父子関係存在確認の裁判が確定したときの報告的届出の場合に記録する。 (子または父からの戸籍法第63条の類推適用による届出)				
5		認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
6		認知者氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
7		認知者死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
8		認知者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9		認知者の国籍	K(50)	無	無	認知者が外国人の場合に記録する。
10		認知者の生年月日	9(8)	無	無	
11		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				
12		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/被認知者)	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
13	届出	届出日	9(8)	無	無	遺言のよる認知,裁判による認知の場合に記録する。
14		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
15		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
16		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で認知が成立した場合に記録する。
17		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		届書提出日	9(8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
19		届書提出者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
20		届書提出者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
21	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
22		受理者	K(50)	無	無	
23	許可	許可日	9(8)	無	無	
24		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
25		許可を受けた者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/被認知者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
26	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
27	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
28	直系卑属	直系卑属氏名	K(30)	無	無	民783条2項 死亡した者の認知で,その者の直系卑属の氏名を記録する。 ただし,以下の者のみ記録する。 ①未成年者 ②認知の承諾のあった成年者 (10名分保有する)
29		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
30		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
31		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
32		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
33		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
34		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
35		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
36		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
37		直系卑属氏名	K(30)	無	無	
38	関連	関連訂正事項	K(30)	無	無	'父母との続柄'
		被認知者が嫡出子の身分を取得し,【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番36も記録する。				
39	従前記録	従前の記録	――――	――――	――――	
		被認知者が嫡出子の身分を取得し,続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父母との続柄】男(女)……認知の【従前の記録】は【父母との続柄】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		父母との続柄	K(5)	無	無	'男'または'女'
40	記録	記録日	9(8)	無	無	
41	特記	特記事項	K(100)	無	無	
42	予備		X(713)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/認知者)		平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0202					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知	認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 1/4
2		届出日	9(8)	無	無	事件発生日① 2/4
		認知届出の効力を有する出生届が届出され,認知の記載を要する場合に記録する。				
3		届出の性質	K(30)	無	無	
		項番2と同様。‘認知届出の効力を有する出生届出’				
4		胎児認知日	9(8)	無	無	事件発生日① 3/4
5		認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日① 4/4
		認知の裁判等が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
6		認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
7		認知した子の氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	’亡’
		氏名	K(30)	無	無	
8		認知した子の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
9		認知した子の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10		認知した子の国籍	K(50)	無	無	認知した子が外国人の場合に記録する。
11		認知した子の生年月日	9(8)	無	無	
12		認知した子の母の氏名	K(30)	無	無	
13		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				
14		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				
15	届出	届出日	9(8)	無	無	遺言による認知,裁判による認知の場合に記録する。
16		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/認知者)	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で認知が成立した場合に記録する。
19		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
20		届書提出日	9(8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
21		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
23	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
24		受理者	K(50)	無	無	
25	許可	許可日	9(8)	無	無	
26		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
27		許可を受けた者	K(50)	無	無	
28	記録	記録日	9(8)	無	無	
29	特記	特記事項	K(100)	無	無	
30	予備		X(1431)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/親に対する)		平成6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:0203					3200

No.		項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	認知	認知日	9(8)	無	無	事件発生日①　1/2
2		認知の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日①　2/2
		認知の裁判等が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
3		認知届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
4		認知された親の氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		認知された親の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　1/2
		認知届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,認知された親が死亡している場合に記録する。(認知された親の死亡日を記録する。)				
6		認知された親の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
7		認知者氏名				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8		認知者死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　2/2
		認知届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,認知者が死亡している場合に記録する。(認知者の死亡日を記録する。)				
9		認知者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10		認知者の国籍	K(50)	無	無	認知者が外国人の場合に記録する。
11		認知者の生年月日	9(8)	無	無	
12		認知の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で認知が成立した場合に記録する。				

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・認知/親に対する)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
13		裁判所	K(　50)	無	無	
		外国の裁判所で認知が成立した場合に記録する。				
14	届出	届出日	9(　8)	無	無	遺言により認知,裁判による認知の場合に記録する。
15		届出人				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
16		証書提出日	9(　8)	無	無	外国の裁判所,方式で認知が成立した場合に記録する。
17		証書提出者				
		資格	9(　3)	有	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
18		届書提出日	9(　8)	無	無	認知届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
19		届書提出者				
		資格	9(　3)	無	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
20		届書提出者				
		資格	9(　3)	無	無	
		資格名称	K(　30)	無	無	
		氏名	K(　30)	無	無	
21	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	
22		受理者	K(　50)	無	無	
23	許可	許可日	9(　8)	無	無	
24		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
25		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
26	記録	記録日	9(　8)	無	無	
27	特記	特記事項	K(100)	無	無	
28	予備		X(1336)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0301					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組	縁組日	9(8)	無	無	事件発生日①　1/2
2		縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日①　2/2
		養子縁組の裁判等が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
3		縁組届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		養子縁組届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
4		共同縁組者				夫婦がともに縁組をする場合に記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
5		養父氏名	K(30)	無	無	
6		養父の国籍	K(50)	無	無	養父が外国人の場合に記録する。
7		養父の生年月日	9(8)	無	無	
8		養父死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　1/2　*1
		養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,養父が死亡している場合に記録する。(養父の死亡日を記録する。)				
9		養母氏名	K(30)	無	無	
10		養母の国籍	K(50)	無	無	養母が外国人の場合に記録する。
11		養母の生年月日	9(8)	無	無	
12		養母死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　2/2　*1
		養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,養母が死亡している場合に記録する。(養母の死亡日を記録する。)				
13		養親の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で養子縁組が成立した場合に記録する。				
15		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で養子縁組が成立した場合に記録する。				
16	代諾(1)	代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	

*1:届書委託で養子が死亡している場合,養子の縁組事項の「事件発生日」は未設定となる。(養子の死亡日が事件発生日)

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
	氏名	K(30)	無	無	
	代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人　XX,母の親権者　XX				
17	代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
18	代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
19	代諾(2) 代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人　XX,母の親権者　XX				
20	代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
21	代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
22	届出 届出日	9(8)	無	無	養子縁組の裁判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
23	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。				
24	届出人				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。				
25	証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で養子縁組が成立した場合に記録する。
26	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
27	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
28		届書提出日	9(8)	無	無	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
29		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
30		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
31	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
32		受理者	K(50)	無	無	
33	許可	許可日	9(8)	無	無	
34		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
35		許可を受けた者	K(50)	無	無	
36	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
37	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
38	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
39	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
40		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
41	縁組追完	縁組追完日	9(8)	無	無	
42		追完届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
43		追完届の送付を受けた日	9(8)	無	無	
44		追完届の受理者	K(50)	無	無	
45	記録	記録日	9(8)	無	無	
46	特記	特記事項	K(100)	無	無	
47	予備		X(70)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0302					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組 縁組日	9(8)	無	無	事件発生日①　1/2
2	縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日②　2/2
	養子縁組の裁判等が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
3	縁組届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
4	共同縁組者				夫婦がともに縁組をする場合に記録する。
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
5	養子氏名	K(30)	無	無	
6	養子の国籍	K(50)	無	無	養子が外国人の場合に記録する。
7	養子の生年月日	9(8)	無	無	
8	養子死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　1/2　*1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,養子が死亡している場合に記録する。(養子の死亡日を記録する。)				
9	養子氏名	K(30)	無	無	
10	養子の国籍	K(50)	無	無	養子が外国人の場合に記録する。
11	養子の生年月日	9(8)	無	無	
12	養子死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②　2/2　*1
	養子縁組届出の委託確認の審判が確定した報告的届出 届出委託時に,養子が死亡している場合に記録する。(養子の死亡日を記録する。)				
13	養子の戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
14	養子の従前戸籍				夫婦の筆頭者が養子となる場合に戸籍に変動があるが,その際に記録する。
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
15	養子の新本籍	K(50)	無	無	
16	縁組の方式	K(50)	無	無	
	外国の方式で養子縁組が成立した場合に記録する。				

*1:届書委託で養親が死亡している場合,養親の縁組事項の「事件発生日」は未設定となる。(養親の死亡日が事件発生日)

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で養子縁組が成立した場合に記録する。				
18	代諾者(1)	代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		代諾者が特定できない場合に記録する。(例)後見人　XX,母の親権者　XX				
19		代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
20		代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
21	代諾者(2)	代諾者				養子の法定代理人が届出した場合に代諾者として記録する。
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		代諾者が特定できない場合に記録する。				
22		代諾者の国籍	K(50)	無	無	代諾者が外国人の場合に記録する。
23		代諾者の生年月日	9(8)	無	無	
24	届出	届出日	9(8)	無	無	養子縁組の裁判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
25		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
26		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
27		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で養子縁組が成立した場合に記録する。
28		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
29	証書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
	届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
30	届書提出日	9(8)	無	無	養子縁組届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
31	届書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
32	届書提出者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	
33	送付 送付を受けた日	9(8)	無	無	
34	受理者	K(50)	無	無	
35	許可 許可日	9(8)	無	無	
36	許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
37	許可を受けた者	K(50)	無	無	
38	入籍 入籍日	9(8)	無	無	
39	入戸籍 従前戸籍				
	本籍	K(50)	無	無	
	筆頭者	K(30)	無	無	
40	除籍 除籍日	9(8)	無	無	
41	除戸籍 新本籍	K(50)	無	無	
42	記録 記録日	9(8)	無	無	
43	特記 特記事項	K(100)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
44	予備	X(209)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･養子縁組/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0303					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0401				3200

No.		項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁	離縁日	9(8)	無	無	事件発生日 1/6
2		離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/6
3		離縁の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 3/6
4		離縁の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/6
5		離縁の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/6
6		離縁除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 6/6
		本籍不明のまま縁組し,養親戸籍に入籍した者が離縁する場合に記録する。(縁組前無籍と認められた場合) 〔通常,【入籍戸籍】等で除籍を表すが,復籍する戸籍がないため【離縁除籍日】で除籍を表す。〕				
7		共同離縁者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	'夫'又は'妻'
8		養父氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
9		養父の国籍	K(50)	無	無	
10		養母氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
11		養母の国籍	K(50)	無	無	
12		離縁の方式	K(50)	無	無	
13		裁判所	K(50)	無	無	
14	協議者(1)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
15		協議者の国籍	K(50)	無	無	
16		協議者の生年月日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.		項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	協議者(2)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
18		協議者の国籍	K(50)	無	無	
19		協議者の生年月日	9(8)	無	無	
20	届出	届出日	9(8)	無	無	
21		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
23		証書提出日	9(8)	無	無	
24		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
25		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
26		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し,裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
27	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
28		受理者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養子)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	許可	許可日	9(8)	無	無	
30		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
31		許可を受けた者	K(50)	無	無	
32	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
33	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
34	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
35	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
36		称する氏	K(30)	無	無	
37		復する氏	K(30)	無	無	
38		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
39	記録	記録日	9(8)	無	無	
40	特記	特記事項	K(100)	無	無	
41	予備		X(599)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養親)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:0402				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	離縁	離縁日	9(8)	無	無	事件発生日 1/5
2		離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/5
3		離縁の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 3/5
4		離縁の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/5
5		離縁の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/5
6		共同離縁者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	'夫'又は'妻'
7		養子氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
8		養子の国籍	K(50)	無	無	
9		養子氏名				
		亡区分	K(1)	無	無	'亡'
		氏名	K(30)	無	無	
10		養子の国籍	K(50)	無	無	
11		離縁の方式	K(50)	無	無	
12		裁判所	K(50)	無	無	
13	協議者(1)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
14		協議者の国籍	K(50)	無	無	
15		協議者の生年月日	9(8)	無	無	
16	協議者(2)	協議者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
17		協議者の国籍	K(50)	無	無	
18		協議者の生年月日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁/養親)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	届出	届出日	9(8)	無	無	
20		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
21		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
22		証書提出日	9(8)	無	無	
23		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
24		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
25		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し,裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
26	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
27		受理者	K(50)	無	無	
28	許可	許可日	9(8)	無	無	
29		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
30		許可を受けた者	K(50)	無	無	
31	記録	記録日	9(8)	無	無	
32	特記	特記事項	K(100)	無	無	
33	予備		X(1163)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･養子離縁/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0403					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の従前戸籍)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:0501					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子縁組	特別養子縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養父の国籍	K(50)	無	無	
4		養父の生年月日	9(8)	無	無	
5		養母氏名	K(30)	無	無	
6		養母の国籍	K(50)	無	無	
7		養母の生年月日	9(8)	無	無	
8		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
9		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
10	届出	届出日	9(8)	無	無	
11		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
12		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
13		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
14		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
15	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		受理者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の従前戸籍)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
21	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
22		縁組後の氏	K(30)	無	無	
23	特記	特記事項	K(100)	無	無	
24	予備		X(1739)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の新戸籍)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0502					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子縁組	特別養子縁組の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養父の国籍	K(50)	無	無	
4		養父の生年月日	9(8)	無	無	
5		養母氏名	K(30)	無	無	
6		養母の国籍	K(50)	無	無	
7		養母の生年月日	9(8)	無	無	
8		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
9		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
10	届出	届出日	9(8)	無	無	
11		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
12		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
13		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
14		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
15	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		受理者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目・特別養子縁組/養子の新戸籍）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
21	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
22	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
23	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
24	特記	特記事項	K(100)	無	無	
25	予備		X(1571)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養子の入籍戸籍）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0503					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	民法817条の2	民法817条の2による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
3		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
6		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
7		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
8		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
9	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
15	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養子の入籍戸籍）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	予備	X(2075)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目・特別養子縁組/養親の記録）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0504					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	民法817条の2	民法817条の2による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		共同縁組者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4		養子の国籍	K(50)	無	無	
5		養子の生年月日	9(8)	無	無	
6		縁組の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
7		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で特別養子縁組が成立した場合に記録する。				
8	届出	届出日	9(8)	無	無	
9		証書提出日	9(8)	無	無	外国の裁判所,方式で特別養子縁組が成立した場合に記録する。
10		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養父　XX				
11		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
		届出人が特定できない場合に記録する。(例)養母　XX				
12	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		受理者	K(50)	無	無	
14	許可	許可日	9(8)	無	無	
15		許可書の謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
16		許可を受けた者	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目･特別養子縁組/養親の記録）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	予備	X(2067)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・特別養子縁組/養親の新戸)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒ 身分事項記録コード:0505					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延等の際の記録は項番10の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ・項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
5		除籍事由	K(50)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記載しない。
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。				
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2284)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目・特別養子離縁/養子	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0601					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子離縁	特別養子離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し,裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
12	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
		離縁後の氏	K(30)	無	無	
15		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	記録	記録日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	
18	予備		X(2002)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目・特別養子離縁/養親	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0602					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	特別養子離縁	特別養子離縁の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		特別養子の氏名	K(30)	無	無	
3		特別養子の国籍	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸73条2項により検察官が離縁の訴を提起し,裁判確定後に離縁の記載請求をした場合に記録する。				
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2338)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍（身分事項欄項目･婚姻）	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0901					3200

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚姻	婚姻日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		婚姻届出委託確認の裁判確定日	9(8)	無	無	
		婚姻届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。				
3		配偶者氏名	K(30)	無	無	
4		配偶者の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日②
		婚姻届出の委託確認の審判が確定した報告的届出の場合に記録する。(配偶者の死亡日を記録する。)				
5		配偶者の戸籍				配偶者が無籍者の場合に記録する。
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
6		配偶者の国籍	K(50)	無	無	配偶者が外国人の場合に記録する。
7		配偶者の生年月日	9(8)	無	無	
8		婚姻の方式	K(50)	無	無	
		外国の方式で婚姻が成立した場合に記録する。				
9		裁判所	K(50)	無	無	
		外国の裁判所で婚姻が成立した場合に記録する。				
10	届出	証書提出日	9(8)	無	無	
		外国の裁判所,方式で婚姻が成立した場合に記録する。				
11		届書提出日	9(8)	無	無	婚姻届出の委託確認の審判が確定し,報告的届として届出された場合に記録する。
12		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
13		届書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
14	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
15		受理者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・婚姻)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	許可	許可日	9(8)	無	無	
17		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
18		許可を受けた者	K(50)	無	無	
19	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
20	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
21	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
22	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
23		称する氏	K(3)	無	無	
24		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
25	記録	記録日	9(8)	無	無	
26	特記	特記事項	K(100)	無	無	
27	予備		X(1512)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・離婚)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1001				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	離婚	離婚日	9(8)	無	無	事件発生日 1/6
2		離婚の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 2/6
3		離婚の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/6
4		離婚の和解成立日	9(8)	無	無	事件発生日 4/6
5		離婚の請求認諾日	9(8)	無	無	事件発生日 5/6
6		離婚除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 6/6
		本籍不明のまま婚姻し,相手の氏を称し,入籍した者が離婚する場合に記録する。(婚姻前無籍と認められた場合) 〔通常,【入籍戸籍】等で除籍を表すが,復籍する戸籍がないため【離婚除籍日】で除籍を表す。〕				
7		配偶者氏名	K(30)	無	無	
8		配偶者の国籍	K(50)	無	無	
9		離婚の方式	K(50)	無	無	
10		裁判所	K(50)	無	無	
11	届出	届出日	9(8)	無	無	
12		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
13		証書提出日	9(8)	無	無	
14		証書提出者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
15	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
		受理者	K(50)	無	無	
17	許可	許可日	9(8)	無	無	
18		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
19		許可を受けた者	K(50)	無	無	
20	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
21	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
22	除籍	除籍日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・離婚)	平成6年12月 1日	平成16年4月1日	8.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
23	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
24		称する氏	K(30)	無	無	
25		離婚後の氏	K(30)	無	無	
26		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
27	記録	記録日	9(8)	無	無	
28	特記	特記事項	K(100)	無	無	
29	予備		X(1662)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･離婚/養父又は養母)	平成18年3月1日	平成18年3月1日	10

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒　身分事項記録コード:1002				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(　8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(　50)	無	無	'養子の離婚届出'
3	届出	届出日	9(　8)	無	無	事件発生日 2/2①
4		除籍日	9(　8)	無	無	事件発生日 2/2②
		許可記載の際に記録する。〔受理照会、記載遅延の際の記録は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ･項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
5		除籍事由	K(　50)	無	無	'養子の離婚届出'
6	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記録しない。
7		受理者	K(　50)	無	無	
8	許可	許可日	9(　8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(　50)	無	無	
		筆頭者	K(　30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(　8)	無	無	
		受理照会、記載遅延の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。				
13	除戸籍	新本籍	K(　50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2284)	――	――	

大きな法改正等により第7002号基準書通達を変更した時点で、本身分事項のシステム対応を行う。

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・親権)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1301				4000

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親権 親権者を定めた日	9(8)	無	無	事件発生日 1/30
2	親権者を定められた日	9(8)	無	無	事件発生日 2/30
3	親権者となった日	9(8)	無	無	事件発生日 3/30
6	親権者を定める裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/30
4	親権者を定める調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 5/30
5	親権者変更の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 6/30
7	親権者変更の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 7/30
8	共同親権に服した日	9(8)	無	無	事件発生日 8/30
9	親権に服した日	9(8)	無	無	事件発生日 9/30
10	親権に服さなくなった日	9(8)	無	無	事件発生日 10/30
11	親権喪失宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 11/30
12	管理権喪失宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 12/30
13	親権喪失宣告取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 13/30
14	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 14/30
15	親権辞任日	9(8)	無	無	事件発生日 15/30
16	管理権辞任日	9(8)	無	無	事件発生日 16/30
17	親権回復日	9(8)	無	無	事件発生日 17/30
18	管理権回復日	9(8)	無	無	事件発生日 18/30
19	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/30
20	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20/30
21	親権者職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 21/30
22	管理権執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 22/30
23	親権代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 23/30
24	管理権代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 24/30
25	親権喪失の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 25/30
26	管理権喪失の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 26/30
27	親権喪失の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 27/30
28	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 28/30
29	親権停止の審判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 29/30
30	親権停止の審判取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 30/30
31	親権者				
	資格	9(3)	有	無	
	資格名称	K(30)	無	無	
	氏名	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・親権)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					4000

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
32	親権喪失	親権喪失者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
33	管理権喪失	管理権喪失者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
34	親権喪失取消	親権喪失取消者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
35	管理権喪失取消	管理権喪失取消者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
36	親権辞任	親権辞任者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
37	管理権辞任	管理権辞任者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
38	親権回復	親権回復者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
39	管理権回復	管理権回復者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
40	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
41	管理権執行停止	管理権執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・親権)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					4000

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
42	親権代行	親権代行者	K(30)	無	無	
43		親権代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
44		親権代行者の国籍	K(50)	無	無	
45		親権代行者の生年月日	9(8)	無	無	
46	管理権代行	管理権代行者	K(30)	無	無	
47		管理権代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
48		管理権代行者の国籍	K(50)	無	無	
49		管理権代行者の生年月日	9(8)	無	無	
50	親権停止	親権停止者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
51		親権停止期間	K(30)	無	無	
52	親権停止取消	親権停止取消者				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
53	届出	届出日	9(8)	無	無	
54		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
55		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
56		記録嘱託日	9(8)	無	無	
57	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
58		受理者	K(50)	無	無	
59	許可	許可日	9(8)	無	無	
60		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
61		許可を受けた者	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・親権)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					4000

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
62	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	
		親権(管理権)喪失宣告取消において先の親権(管理権)喪失宣告の記録を消除する際に記録する。 (例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【親権喪失宣告の裁判確定日】平成7年・・ 【親権喪失取消者】父 【届出日】平成7年・・ 【届出人】親権者母 【従前の記録】〉の各事項の保有方法はメーカに一任する。				
63	記録	記録日	9(8)	無	無	
64	特記	特記事項	K(100)	無	無	
65	予備		X(466)	——	——	
						事件発生日がない場合もある。 「親権者　母」

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・後見)	平成6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	後見	禁治産宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	*1
2		後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/19
3		後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/19
4		後見開始事由	K(50)	無	無	
5		後見人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	＊2
6		後見監督人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	＊3
7		更迭事由	K(50)	無	無	
8		前任の後見人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
9		前任の後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
10		後任の後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 3/19
11		後任の後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 4/19
12		後見終了日	9(8)	無	無	事件発生日 5/19
13		後見監督終了日	9(8)	無	無	事件発生日 6/19
14		後見人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 7/19
15		後見監督人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 8/19
16		後見人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 9/19
17		後見監督人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 10/19
18		後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 11/19
19		後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 12/19
20		財産管理者による後見命令発効日	9(8)	無	無	事件発生日 13/19
21		財産管理者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 14/19
22		財産管理者による後見命令失効日	9(8)	無	無	事件発生日 15/19

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・後見)	平成6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
23		後見人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 16/19
24		後見監督人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 17/19
25		後見代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 18/19
26		後見監督代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/19
27		後見人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
28		後見人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
29		後見人の国籍	K(50)	無	無	
30		後見人の生年月日	9(8)	無	無	
31	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
32	後見監督	後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
33		後見監督人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
34		後見監督人の国籍	K(50)	無	無	
35		後見監督人の生年月日	9(8)	無	無	
36	後見代行	後見代行者	K(30)	無	無	
37		後見代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・後見)	平成6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1401				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
		筆頭者	K(30)	無	無	
38		後見代行者の国籍	K(50)	無	無	
39		後見代行者の生年月日	9(8)	無	無	
40	後見監督代行	後見監督代行者	K(30)	無	無	
41		後見監督代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
42		後見監督代行者の国籍	K(50)	無	無	
43		後見監督代行者の生年月日	9(8)	無	無	
44	財産管理	財産管理者	K(30)	無	無	
45		財産管理者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
46		財産管理者の国籍	K(50)	無	無	
47		財産管理者の生年月日	9(8)	無	無	
48	届出	届出日	9(8)	無	無	
49		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
50		記録嘱託日	9(8)	無	無	
51	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
52		受理者	K(50)	無	無	
53	許可	許可日	9(8)	無	無	
54		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
55		許可を受けた者	K(50)	無	無	
56	記録	記録日	9(8)	無	無	
57	特記	特記事項	K(100)	無	無	
58	予備		K(118)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・後見)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考

*1　項番1「禁治産宣告の裁判確定日」が記録された場合,事件発生日は項番2「後見人就職日」となり,項番2は必ず記録される.

*2　項番5「後見人更迭事由の発生日」が記録された場合,事件発生日は項番10「後任の後見人就職日」となり,項番10は必ず記録される.

*3　項番6「後見監督人更迭事由の発生日」が記録された場合,事件発生日は項番11「後任の後見監督人就職日」となり,項番11は必ず記録される.

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・保佐)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1501					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	保佐	準禁治産宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	*1
2		保佐人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/11
3		保佐人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*2
4		更迭事由	K(50)	無	無	
5		前任の保佐人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		後任の保佐人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/11
7		保佐終了日	9(8)	無	無	事件発生日 3/11
8		保佐人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/11
9		保佐人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 5/11
10		保佐人職務執行停止 及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 6/11
11		財産管理者による保佐命令発効日	9(8)	無	無	事件発生日 7/11
12		財産管理者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 8/11
13		財産管理者による保佐命令失効日	9(8)	無	無	事件発生日 9/11
14		保佐人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 10/11
15		保佐代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 11/11
16		保佐人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
17		保佐人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
18		保佐人の国籍	K(50)	無	無	
19		保佐人の生年月日	9(8)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・保佐)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1501					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
20	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
21	保佐代行	保佐代行者	K(30)	無	無	
22		保佐代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
23		保佐代行者の国籍	K(50)	無	無	
24		保佐代行者の生年月日	9(8)	無	無	
25	財産管理	財産管理者	K(30)	無	無	
26		財産管理者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
27		財産管理者の国籍	K(50)	無	無	
28		財産管理者の生年月日	9(8)	無	無	
29	届出	届出日	9(8)	無	無	
30		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
31		記録嘱託日	9(8)	無	無	
32	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
33		受理者	K(50)	無	無	
34	許可	許可日	9(8)	無	無	
35		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
36		許可を受けた者	K(50)	無	無	
37	記録	記録日	9(8)	無	無	
38	特記	特記事項	K(100)	無	無	
39	予備		K(1132)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・保佐)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					3200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考

*1　項番1「準禁治産宣告の裁判確定日」が記録された場合,事件発生日は項番2「保佐人就職日」となり,項番2は必ず記録される.

*2　項番3「保佐人更迭事由の発生日」が記録された場合,事件発生日は項番6「後任の保佐人就職日」となり,項番6は必ず記録される.

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・死亡/死亡者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:1601					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	死亡	死亡日	9(8)	無	無	(事件発生日)
2		死亡時分				
		推定区分	K(2)	無	無	"推定"のみ
		午前午後区分	X(1)	無	無	
		死亡時分	9(4)	無	無	
		午前午後区分(終期)	X(1)	無	無	
		死亡時分(終期)	9(4)	無	無	
3		死亡日時	K(50)	無	無	
4		死亡地	K(30)	無	無	
5		死亡区分	K(3)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8		航海日誌謄本提出日	9(8)	無	無	
9		報告日	9(8)	無	無	
10		報告者	K(50)	無	無	
11	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		受理者	K(50)	無	無	
13	許可	許可日	9(8)	無	無	
14		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
15		許可を受けた者	K(50)	無	無	
16	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	
18	予備		X(2333)	——	——	

事件発生日
「死亡日」から設定する

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・死亡/配偶者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1602				3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の死亡	配偶者の死亡日	9(8)	無	無	事件発生日
2	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	記録	記録日	9(8)	無	無	
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	
8	予備		X(2808)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・死亡/高齢者消除)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:1603					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	高齢者消除	高齢者消除の許可日	9(　8)	無	無	事件発生日
2	除籍	除籍日	9(　8)	無	無	
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	
4	予備		X(2984)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・失踪宣告/失踪者)	平成6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:1701				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪宣告	死亡とみなされる日	9(8)	無	無	
2		失踪宣告の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2621)	ー	ー	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・失踪宣告/配偶者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨	身分事項記録コード:1702				3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の失踪宣告	配偶者の死亡とみなされる日	9(8)	無	無	事件発生日
2	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	許可	許可日	9(8)	無	無	
4		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		許可を受けた者	K(50)	無	無	
6	記録	記録日	9(8)	無	無	
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	
8	予備		X(2808)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・復氏/復氏者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:1801					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	復氏	婚姻前の氏に復した日	9(8)	無	無	事件発生日
2	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
3		受理者	K(50)	無	無	
4	許可	許可日	9(8)	無	無	
5		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		許可を受けた者	K(50)	無	無	
7	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
8	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
10	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
11		復する氏	K(30)	無	無	
12		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2264)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・復氏/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1802					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・姻族関係終了)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:1901					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	姻族関係終了	死亡配偶者の親族との姻族関係終了日	9(8)	無	無	事件発生日
2		死亡配偶者氏名	K(30)	無	無	
3		死亡配偶者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4		死亡配偶者の国籍	K(50)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2440)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・推定相続人廃除)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2001					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	推定相続人廃除	推定相続人廃除の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		推定相続人廃除の調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
3		被相続人				
		続柄	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	
13	予備		X(2501)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・入籍/入籍者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2101					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	届出日	9(8)	無	無	事件発生日
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3		除籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17		復する氏	K(30)	無	無	
18		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・入籍/入籍者)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2101					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	
20	予備		X(1703)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・入籍/父又は母)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2102					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ・項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
5		除籍事由	K(50)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	送付がある場合に記録する。除籍には記録し新戸籍には記載しない。
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。				
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2284)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・入籍/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2103					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	届出による入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	届出による除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10		称する氏	K(30)	無	無	
11		復する氏	K(30)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	
13	予備		X(2288)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・分籍)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2201					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	分籍	分籍日	9(8)	無	無	事件発生日
2	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
3		受理者	K(50)	無	無	
4	許可	許可日	9(8)	無	無	
5		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		許可を受けた者	K(50)	無	無	
7	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
8	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
10	除戸籍　新本籍		K(50)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2492)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/取得者)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2301					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍取得	国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3	届出	届出人				
	届出	資格	9(3)	有	無	
	届出	資格名称	K(30)	無	無	
	届出	氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出人				
	届出	資格	9(3)	有	無	
	届出	資格名称	K(30)	無	無	
	届出	氏名	K(30)	無	無	
5	従前記録	取得の際の国籍	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の氏名	K(30)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
8	送付	受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10	許可	許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11	許可	許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
	入籍戸籍	本籍	K(50)	無	無	
	入籍戸籍	筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
15	除籍	除籍事由	K(50)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	除戸籍	称する氏	K(30)	無	無	
18	除戸籍	入籍戸籍				
	除戸籍	本籍	K(50)	無	無	
	除戸籍	筆頭者	K(30)	無	無	
19	記録	記録日	9(8)	無	無	
20	特記	特記事項	K(100)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/取得者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2301					3200

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
21	予備	X(1750)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/子)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2302					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	子の国籍取得	子の国籍取得日	9(8)	無	無	
2		子の氏名				
		続柄	9(3)	有	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	
7		除籍日	9(8)	無	無	
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
9	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特配事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2045)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/養父養母)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2303					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子の国籍取得	養子の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ・項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
9	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2048)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/養父養母)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2304					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の国籍取得	配偶者の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日①
2	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
5		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番14の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番5の【除籍日】≠空白であること。 ・項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
6		除籍事由	K(50)	無	無	
7	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番14の【除籍日】=空白であること。					
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2148)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2305					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親の国籍取得	父の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		母の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		父の新本籍	K(50)	無	無	
4		母の新本籍	K(50)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2552)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍取得/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2306					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養親の国籍取得	養父の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		養母の国籍取得日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		養父の新本籍	K(50)	無	無	
4		養母の新本籍	K(50)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2552)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/帰化者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2401					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	帰化	帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5	従前記録	帰化の際の国籍	K(50)	無	無	
6		従前の氏名	K(30)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	記録	記録日	9(8)	無	無	
13	特記	特記事項	K(100)	無	無	
14	予備		X(2346)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･帰化/父又は母)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2402					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	子の帰化	子の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		子の氏名				
		続柄	9(3)	有	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
		許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ･項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
8		除籍事由	K(50)	無	無	
9	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。				
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2045)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･帰化/養父又は養母の記録)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:2403					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子の帰化	養子の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
5		入籍事由	K(50)	無	無	
6	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
7		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番15の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番7の【除籍日】≠空白であること。 ･項番7の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
8		除籍事由	K(50)	無	無	
9	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番7の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番15の【除籍日】=空白であること。					
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2048)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2404					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の帰化	配偶者の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日①
2	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日③ 1/2
5		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日③ 2/2
	許可記載の際に記録する。〔受理指示、記載遅延の際の記録は項番14の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番5の【除籍日】≠空白であること。 ・項番5の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。					
6		除籍事由	K(50)	無	無	
7	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
	受理指示、記載遅延等の際に記録する。〔許可記載の際の記録は項番5の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番14の【除籍日】=空白であること。					
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16		称する氏	K(30)	無	無	
17	記録	記録日	9(8)	無	無	
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(2148)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2405					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	親の帰化	父の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		母の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		父の新本籍	K(50)	無	無	
4		母の新本籍	K(50)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2552)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2406					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養親の帰化	養父の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日1/2
2		養母の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日2/2
3		養父の新本籍	K(50)	無	無	
4		養母の新本籍	K(50)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2552)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/後見人)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2407					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	後見人の帰化	後見人の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2		後見人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		後見人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2540)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・帰化/保佐人)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2408					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	保佐人の帰化	保佐人の帰化日	9(8)	無	無	事件発生日
2		保佐人				
		氏名	K(30)	無	無	
3		保佐人の新本籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	記録	記録日	9(8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2450)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍喪失/喪失者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:2501					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍喪失	国籍喪失日	9(8)	無	無	事件発生日
2		喪失時の外国籍	K(50)	無	無	
3		喪失事由	K(50)	無	無	
4	婚姻	配偶者氏名	K(30)	無	無	
5	届出	届出日	9(8)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8		報告日	9(8)	無	無	
9		報告者	K(50)	無	無	
10	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		受理者	K(50)	無	無	
12	許可	許可日	9(8)	無	無	
13		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
14		許可を受けた者	K(50)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	
17	予備		X(2138)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍喪失/配偶者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2502					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の国籍喪失	配偶者の国籍	K(50)	無	無	
2	許可	許可日	9(8)	無	無	
3		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		許可を受けた者	K(50)	無	無	
5	記録	記録日	9(8)	無	無	
6	特記	特記事項	K(100)	無	無	
7	予備		X(2776)	――	――	
						事件発生日なし

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・国籍選択)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2601					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍選択	国籍選択の宣言日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	記録	記録日	9(8)	無	無	
11	特記	特記事項	K(100)	無	無	
12	予備		X(2506)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・外国国籍喪失)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2701					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	喪失外国国籍	外国籍喪失日	9(8)	無	無	事件発生日
2		喪失した外国籍	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(8)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	
13	予備		X(2401)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・名の変更)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3201					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更	名の変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	従前記録	従前の記録	————	————	————	
		【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【名】XX……名の変更の【従前の記録】は【名】のみ. 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
		名	K(30)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2462)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・就籍)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:3401				3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	就籍	就籍許可の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 1/4
2		就籍許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/4
3		国籍存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/4
4		親子関係存在確認の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/4
5	届出	届出日	9(8)	無	無	
6		就籍届出日	9(8)	無	無	
7		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録 記録日		9(8)	無	無	
14	特記 特記事項		K(100)	無	無	
15	予備		K(2597)	—	—	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸73条の2/事件本人	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0701					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法73条の2の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸73条の2/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:0702					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日　1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日　2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸69条の2/事件本人	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:0801					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法69条の2の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸69条の2/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:0802					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸77条の2/事件本人	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:1101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法77条の2の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸77条の2/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:1102					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日　1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日　2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸75条の2/事件本人	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇒身分事項記録コード:1201					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法75条の2の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		称する氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸75条の2/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:1202					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2488)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸107条2項)	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:2901					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条2項の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		変更後の氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸107条3項)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3001					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条3項の届出'
3	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		受理者	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
9	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
10	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
11	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
12		変更後の氏	K(30)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2400)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸107条3項/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒身分事項記録コード:3002				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・戸　107条4項)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更	氏変更日	9(8)	無	無	事件発生日
2		氏変更の事由	K(12)	無	無	'戸籍法107条4項の届出'
3	届出	届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
11	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14		変更後の氏	K(30)	無	無	
15	記録	記録日	9(8)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	
17	予備		X(2154)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組取消し/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3501					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組取消し	縁組取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養母氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
14	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
18	記録	記録日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組取消し/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:3501					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	
20	予備		X(1887)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組取消し/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3502					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子縁組取消し	縁組取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2323)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子縁組取消し/配偶者)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3503					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁取消し/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:3601					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁取消し	離縁取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養父氏名	K(30)	無	無	
3		養母氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
14	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
17		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
18	記録	記録日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁取消し/養子)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:3601					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	
20	予備		X(1887)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・養子離縁取消し/養親)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3602					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子離縁取消し	離縁取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		養子氏名	K(30)	無	無	
3		養子氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		共同届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
8	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		受理者	K(50)	無	無	
10	許可	許可日	9(8)	無	無	
11		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
12		許可を受けた者	K(50)	無	無	
13	記録	記録日	9(8)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		K(2323)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･養子離縁取消し/配偶者)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:3603					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	許可	許可日	9(8)	無	無	
6		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		許可を受けた者	K(50)	無	無	
8	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
9	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2408)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・婚姻取消し)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3701					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚姻取消し	婚姻取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
5		記録請求日	9(8)	無	無	
		戸75条2項により検察官が婚姻取消の訴を提起し,裁判確定後に婚姻取消の記載請求をした場合に記録する				
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
12	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
13	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
14	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
15		入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	記録	記録日	9(8)	無	無	
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	
18	予備		X(2125)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・離婚取消し)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3801					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚姻取消し	離婚取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2		配偶者氏名	K(30)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	
4		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
5	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
6		受理者	K(50)	無	無	
7	許可	許可日	9(8)	無	無	
8		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
9		許可を受けた者	K(50)	無	無	
10	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
11	入戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
13	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14	記録	記録日	9(8)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	
16	予備		X(2293)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・失踪宣告取消し/取消者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3901					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪宣告取消し	失踪宣告取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日
2	届出	届出日	9(8)	無	無	
3		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
5		受理者	K(50)	無	無	
6	許可	許可日	9(8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(50)	無	無	
9	消除	消除日	9(8)	無	無	
10		消除事項	K(30)	無	無	'失踪事項'
11	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
12	特記	特記事項	K(100)	無	無	
13	予備		X(2069)	——	——	

先の失踪宣告の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【死亡とみなされる日】平成7年‥
【失踪宣告の裁判確定日】平成7年‥
【届出日】平成7年‥
【届出人】親族‥

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・失踪宣告取消し/配偶者)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:3902					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	配偶者の失踪宣告	消除日	9(8)	無	無	事件発生日
2	許可	許可日	9(8)	無	無	
3		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
4		許可を受けた者	K(50)	無	無	
5	消除	消除事項	K(30)	無	無	'配偶者失踪の事項'
6	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	

先の配偶者失踪宣告の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【配偶者の死亡とみなされる日】平成7年‥
〜
【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

7	特記	特記事項	K(100)	無	無	
8	予備		X(2316)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目・推定相続人廃除取消し)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項) ⇨ 身分事項記録コード:4001					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	推定相続人廃除取消し	推定相続人廃除取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日　1/2
2		推定相続人廃除取消しの調停成立日	9(8)	無	無	事件発生日　2/2
3		被相続人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	記録	記録日	9(8)	無	無	
12	消除	消除事項	K(30)	無	無	'推定相続人廃除事項'
13	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	

先の推定相続人廃除の記録を消除する。
【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表示する際には段落ちで表示.
【推定相続人廃除の裁判確定日】平成7年‥
【被相続人】父‥
【届出日】平成7年‥
【届出人】父
【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(1938)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒ 身分事項記録コード:4101				5000

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年者の後見	未成年後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 1/32
2		未成年後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 2/32
3		未成年後見人選任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 3/32
4		未成年後見監督人選任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 4/32
5		未成年者の後見開始事由	K(50)	無	無	
6		未成年後見人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*1
7		未成年後見監督人更迭事由の発生日	9(8)	無	無	*2
8		更迭事由	K(50)	無	無	
9		前任の未成年後見人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
10		前任の未成年後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
11		後任の未成年後見人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 5/32
12		後任の未成年後見監督人就職日	9(8)	無	無	事件発生日 6/32
13		未成年後見人地位喪失事由の発生日	9(8)	無	無	事件発生日 7/32
14		未成年後見監督人地位喪失事由の発生日	9(8)	無	無	事件発生日 8/32
15		地位喪失事由	K(50)	無	無	
16		未成年者の後見終了日	9(8)	無	無	事件発生日 9/32
17		未成年者の後見監督終了日	9(8)	無	無	事件発生日 10/32
18		未成年後見人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 11/32
19		未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 12/32
20		未成年後見人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 13/32
21		未成年後見監督人解任の裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 14/32
22		未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 15/32
23		未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 16/32

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					5000

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
24		未成年後見人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 17/32
25		未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日	9(8)	無	無	事件発生日 18/32
26		未成年後見代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 19/32
27		未成年後見監督代行者改任の裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 20/32
28		未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 21/32
29		未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 22/32
30		未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 23/32
31		未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 24/32
32		未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 25/32
33		未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 26/32
34		未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 27/32
35		未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 28/32
36		未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 29/32
37		未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 30/32
38		未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 31/32
39		未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 32/32

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					5000

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
40		未成年後見人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
41		未成年後見人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
42		未成年後見人の国籍	K(50)	無	無	
43		未成年後見人の生年月日	9(8)	無	無	
44		未成年後見人の住所				
		住所	K(50)	無	無	
45		辞任した未成年後見人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
46		解任された未成年後見人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
47	職務執行停止	職務執行停止を受けた者				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
48	未成年者の後見監督	未成年後見監督人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
49		未成年後見監督人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
50		未成年後見監督人の国籍	K(50)	無	無	
51		未成年後見監督人の生年月日	9(8)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					5000

No.		項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
52		未成年後見監督人の住所				
		住所	K(50)	無	無	
53		辞任した未成年後見監督人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
54		解任された未成年後見監督人				
		資格	9(3)	無	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
55	未成年者の後見代行	未成年後見代行者	K(30)	無	無	
56		未成年後見代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
57		未成年後見代行者の国籍	K(50)	無	無	
58		未成年後見代行者の生年月日	9(8)	無	無	
59	未成年者の後見監督代行	未成年後見監督代行者	K(30)	無	無	
60		未成年後見監督代行者の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
61		未成年後見監督代行者の国籍	K(50)	無	無	
62		未成年後見監督代行者の生年月日	9(8)	無	無	
63	届出	届出日	9(8)	無	無	
64		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
65		記録嘱託日	9(8)	無	無	
66	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
67		受理者	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成6年12月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					5000

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
68	許可	許可日	9(8)	無	無	
69		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
70		許可を受けた者	K(50)	無	無	
71	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	
72	記録	記録日	9(8)	無	無	
73	特記	特記事項	K(100)	無	無	
74	予備		X(358)	——	——	

未成年後見(監督)人の財産に関する権限が取消され、先の財産の権限に関する記録を消除する際に記録する。
(例)

【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示.

【未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日】平成24年‥
【未成年後見人】‥
【記録嘱託日】平成24年‥

【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカに一任する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・未成年者の後見)	平成12年 3月 1日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)					5000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考

*1　項番6「未成年後見人更迭事由の発生日」が記録された場合,事件発生日は項番11「後任の未成年後見人就職日」となり,項番11は必ず記録される.

*2　項番7「未成年後見監督人更迭事由の発生日」が記録された場合,事件発生日は項番12「後任の未成年後見監督人就職日」となり,項番12は必ず記録される.

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・国籍取得/未成年後見人の国籍取得)	平成12年 3月 1日	令和　年　月　日	4

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒　身分事項記録コード:2309				3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年後見人の国籍取得	未成年後見人の国籍取得日	9(　8)	無	無	事件発生日
2		未成年後見人				
		氏名	K(　30)	無	無	
3		未成年後見人の新本籍				
		本籍	K(　50)	無	無	
		筆頭者	K(　30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		受理者	K(　50)	無	無	
6	許可	許可日	9(　8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
9	記録	記録日	9(　8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2540)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項項目・帰化/未成年後見人の帰化)	平成12年 3月 1日	令和　年　月　日	4

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒　身分事項記録コード:2409				3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年後見人の帰化	未成年後見人の帰化日	9(　8)	無	無	事件発生日
2		未成年後見人				
		氏名	K(　30)	無	無	
3		未成年後見人の新本籍				
		本籍	K(　50)	無	無	
		筆頭者	K(　30)	無	無	
4	送付	送付を受けた日	9(　8)	無	無	
5		受理者	K(　50)	無	無	
6	許可	許可日	9(　8)	無	無	
7		許可書謄本の送付を受けた日	9(　8)	無	無	
8		許可を受けた者	K(　50)	無	無	
9	記録	記録日	9(　8)	無	無	
10	特記	特記事項	K(100)	無	無	
11	予備		X(2540)	——	——	

第57(2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	1/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕訂正系1/3	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
50 訂正	5001 訂正	5001 基本事項の訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の訂正の記録 ・本籍,筆頭者
				身	個人特定事項の訂正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の訂正
	5002 ②訂正	(5001) 基本事項の訂正の記録 ⇒訂正事項は記録しない	×	戸	戸籍事項の訂正の記録
				身	身分事項の訂正の記録 (インデックスの追加,削除,訂正)
	5011 文字訂正	5011 基本事項の文字訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字訂正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字訂正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
				身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中,氏及び名
	5012 文字関連訂正	(5011) 文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字訂正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の訂正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
				身	※1,※2の文字訂正による個人特定事項の訂正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の訂正事項
	5013 ②文字関連訂正	(5011) 文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1,※2の文字訂正による基本事項中,氏名の訂正の記録 ※5
	5014 ②文字訂正	(5011) 基本事項の文字訂正の記録	×	身	身分事項の文字訂正の記録 ※2 ・身分事項中,氏及び名

*1：‘戸’⇨戸籍事項への記録　‘身’⇨ 身分事項への記録
②：タイトルの表示の際に,2段(2カラム)右に下げて表示する。

※1：氏の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・氏の文字訂正した者の(養)子：(養)父母の氏の訂正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者：婚姻事項中,配偶者の氏の訂正 ……※5
・氏の文字訂正した者の養子：養子縁組中,養親の氏の訂正 ……※5
└→ 他に,認知事項等もあり。
・同一呼称上の氏：(養)父母の氏の訂正 ……※4
・同一呼称上の氏：身分事項中の氏の訂正 ……※5

※2：名の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示：筆頭者の名の訂正 ……※3
⇨ 名の文字を訂正した者が筆頭者の場合
・名の文字訂正した者の(養)子：(養)父母の名の訂正 ……※4
・配偶者：婚姻事項中,配偶者の名の訂正 ……※5
・名の文字訂正した者の養子：養子縁組中,養親の名の訂正 ……※5
└→ 他に,認知事項等もあり。

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕訂正系2/3	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
51 記録	5101 記録	5101 基本事項の記録	×	身	個人特定事項の記録 ・(養)父母氏名,養父母との続柄
	5102 ②記録	(5101) 基本事項の記録	×	戸	戸籍事項の記録
				身	身分事項の記録
52 消除	5201 消除	5201 基本事項の消除の記録	×	戸	戸籍事項の消除の記録
				身	個人特定事項の消除の記録 ・(養)父母氏名,養父母との続柄 身分事項の消除の記録
53 移記	5301 移記	5301 移記による基本事項の消除の記録	×	身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記前の戸籍の記録)
	5302 ②移記	(5301) 移記による基本事項の記録	×	身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の記録 (移記後の戸籍の記録)
54 入籍	5401 入籍	5401 入籍の記録	×	身	嫡出否認等による入籍の記録 ※ 皇室典範11条・13条による入籍の記録
	5402 子の入籍	5402 子の入籍による(養)父母の入除籍の記録	×	身	※の際に,子の入籍となる(養)父母の入除籍の記録
55 除籍	5501 除籍	5501 除籍の記録	×	身	嫡出否認等による除籍の記録
56 回復	5601 回復	5601 回復の記録	×	身	除籍事項の回復の記録 転籍により除籍となっている場合の回復の記録
57 引取り	5701 引取り	5701 棄児引取りによる出生事項の消除の記録	×	身	棄児の引取りによる戸籍訂正の申請があった場合の記録　(18)

事件コード　：　50～57の「受付事件コード」は通常訂正系の「受付事件コード」となる。
訂正(市区町村長職権)
訂正(24条2項)
訂正(113条)
訂正(114条)
訂正(116条)
ただし,54,55,56の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる場合もある。

第57(2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕訂正系3/3	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
58 子の復籍	5801 子の復籍	5801 子の復籍による父母の入除籍の記録	×	身	子の復籍により3代戸籍となる場合の父母の入除籍の記録

事件コード ： 58の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる。

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	4/6

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕　更正系	平成 6年12月 1日	平成16年7月16日	8.2

(受付)事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
70 更正	7001 更正	7001 基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 →行政区画変更 →行政区画の名称変更等
				身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の更正
	7002 ②更正	(7001) 更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中,届出人資格の更正の記録
	7003 性同一性障害	7003 性別変更の記録	○	身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母との続柄の更正
	7011 文字更正	7011 基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
				身	個人特定事項の文字更正の記録 ※2 ・名
	7012 文字関連更正	(7011) 文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記録 ※3 ・筆頭者の名
				身	※1,※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録 ※4 ・(養)父母氏名の更正事項
	7013 ②文字関連更正	(7011) 文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1.※2の文字更正による基本事項中,氏名の更正の記録 ※5
	7014 ②文字更正	(7011) 基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録 ※2 ・身分事項中,氏及び名

※1 :氏の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正 ……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中,配偶者の氏の更正 ……※5
・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の氏の更正 ……※5
└→ 他に,認知事項等もあり。
〔著しく差異のない字体の更正〕
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正 ……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正 ……※5

※2 :名の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示:筆頭者の名の更正 ……※3
⇒ 名の文字を更正した者が筆頭者の場合
・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正 ……※4
・配偶者:婚姻事項中,配偶者の名の更正 ……※5
・名の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の名の更正 ……※5
└→ 他に,認知事項等もあり。

第5 7 (2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	5/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕追完系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件コード	タイトルコード	記録コード	移記	*1	備考
80 追完	8001 追完	8001 基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍特定事項の追完訂正の記録 ・本籍,筆頭者
				身	個人特定事項の追完の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の追完
	8002 ②追完	(8001) 基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍事項の追完の記録
				身	身分事項の追完の記録 (インデックスの追加,削除,訂正)

第57(2)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	6/6

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔タイトル/記録コード対応表〕変更系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
90	外国人配偶者の国籍変更	9001	配偶者の国籍変更	9001	国籍変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中,外国人配偶者の国籍(【配偶者の国籍】)の変更事項
91	外国人配偶者の氏名変更	9101	配偶者の氏名変更	9101	氏名変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中,外国人配偶者の氏名(【配偶者氏名】)の変更事項

事件名は訂正(市区町村長)となる.

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・訂正)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5001					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	訂正	訂正日	9(8)	無	無	事件発生日
2		訂正事項	K(30)	無	無	
3		訂正事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】-------- 【出生日】平成7年‥ 〜	戸籍(身分)事項中のインデックスを訂正、消除する場合に使用する。 個人特定事項中のタイトルを訂正、消除する場合に使用する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
15	記録内容	記録の内容	X(500)	無	無	
		(例) 【記録の内容】-------- 【出生日】平成7年‥ 〜	戸籍(身分)事項中のインデックスを記録する場合に使用する。 個人特定事項中のタイトルを記録する場合に使用する。 【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	
17	予備		X(1338)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・文字訂正/文字関連訂正)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇨戸籍/身分事項記録コード:5011					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	訂正	訂正日	9(　8)	無	無	事件発生日
2	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【父】甲野 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	
4	予備		X(2492)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・記録)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5101					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2		記録事項	K(30)	無	無	
3		記録事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	関連	関連訂正事項	K(30)	無	無	'父母との続柄'
		父欄を記録の際に【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番15も記録する。				
15	従前記録	従前の記録	-	-	-	
		(例) 【従前の記録】---------- 【父母との続柄】男(女)---	父母欄を記録する際に、続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 父欄を記録する際の【従前の記録】は【父母との続柄】のみ。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
		父母との続柄	K(5)	無	無	'男'または'女'

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・記録)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5101					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	記録内容	記録の内容	-	-	-	
		(例) 【記録の内容】---------- 【父】何某	父母欄を記録する際に、続柄を訂正する場合に記録する。 個人特定事項を訂正、消除する場合に記録する。 【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
		父	K(30)	無	無	
		母	K(30)	無	無	
		養父	K(30)	無	無	
		養母	K(30)	無	無	
		養父母との続柄	K(5)	無	無	'養子'または'養女'
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	
18	予備		X(2018)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・消除)	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)	⇒戸籍/身分事項記録コード:5201				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	消除	消除日	9(8)	無	無	事件発生日
2		消除事項	K(30)	無	無	
3		消除事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	消除戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	回復戸籍	回復後の戸籍				第10版にて修正
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・消除)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5201					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
16	関連	関連訂正事項	K(30)	無	無	'父母との続柄'
		父欄を消除の際に【父母との続柄】を訂正する場合に記録する。項番17も記録する。				
17	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】---------- 【出生日】平成7年‥ ～	【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
18	特記	特記事項	K(100)	無	無	
19	予備		X(1458)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・移記)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5301					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	移記	移記日	9(8)	無	無	事件発生日
2		移記事項	K(30)	無	無	
3		移記事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	移記戸籍	移記前の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		移記後の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
16	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】---------- 【出生日】平成7年‥ ～	移記により基本事項を消除する場合に使用する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・移記)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5301					3200

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
18	予備	X(1518)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・入籍)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5401					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日
2		入籍事項	K(30)	無	無	
3		入籍事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	特記	特記事項	K(100)	無	無	
16	予備		X(2178)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・子の入籍)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5402					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日②
4		除籍事由	K(50)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
16	特記	特記事項	K(100)	無	無	
17	予備		X(2038)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・除籍)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5501					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	除籍	除籍日	9(8)	無	無	事件発生日
2		除籍事項	K(30)	無	無	
3		除籍事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	除戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
15		新本籍	K(50)	無	無	
16	従前記録	従前の記録	K(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】---------- 【出生日】平成7年‥ ～	基本事項を消除し、除籍となる場合に使用する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
17	特記	特記事項	K(100)	無	無	
18	予備		X(1578)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・回復)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5601					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	回復	回復日	9(8)	無	無	事件発生日
2		回復事項	K(30)	無	無	
3		回復事由	K(50)	無	無	
4		裁判確定日	9(8)	無	無	
5	申請	申請日	9(8)	無	無	
6		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7		申請人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
8	送付	通知を受けた日	9(8)	無	無	
9		送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		受理者	K(50)	無	無	
11	許可	許可日	9(8)	無	無	
12		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
13		許可を受けた者	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2338)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・引取り)	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇨戸籍/身分事項記録コード:5701					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	引取り	引取日	9(8)	無	無	事件発生日
2		引取人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
3		引取人の戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
4		引取人氏名	K(30)	無	無	
5		申請日	9(8)	無	無	
6		消除事由	K(30)	無	無	'引取り'
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	
8	予備		X(2641)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・子の復籍)	平成6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:5801					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍	入籍日	9(8)	無	無	事件発生日①
2		入籍事由	K(50)	無	無	
3	届出	届出日	9(8)	無	無	事件発生日② 1/2
4		除籍日	9(8)	無	無	事件発生日② 2/2
		許可記載の際に記載〔受理指示、記載遅延等の際の記載は項番12の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番4の【除籍日】≠空白であること。 ・項番4の【除籍日】≠空白の場合、【許可日】≠空白であること。				
5		除籍事由	K(50)	無	無	
6	送付	送付を受けた日	9(8)	無	舞	送付がある場合に記載する。除籍には記載し新戸籍には記載しない。
7		受理者	K(50)	無	無	
8	許可	許可日	9(8)	無	無	
9		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
10		許可を受けた者	K(50)	無	無	
11	入籍戸籍	従前戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
12	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
		受理指示、記載遅延等の際に記載〔許可記載の際の記載は項番4の【除籍日】を使用する〕 ・【許可日】≠空白の場合、項番12の【除籍日】=空白であること。				
13	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
14	特記	特記事項	K(100)	無	無	
15	予備		X(2284)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・更正)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:7001					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	更正日	9(8)	無	無	
2		更正事項	K(30)	無	無	
3		更正事由	K(50)	無	無	
4	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】---------- 【父】甲野義太郎 ～		【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。		
5	特記	特記事項	K(100)	無	無	
6	予備		X(2332)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目・平成15年法律第111号3条)	平成16年 7月16日	平成23年9月30日	14.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)	⇒ 身分事項記録コード:7003				3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	平成15年法律第111号3条による裁判発効日	9(8)	無	無	事件発生日 1/2
2		平成15年法律第111号3条による裁判確定日	9(8)	無	無	事件発生日 2/2
3	届出	記録嘱託日	9(8)	無	無	
4	入籍戸籍	従前戸籍	——	——	——	
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
5	除戸籍	新本籍	K(50)	無	無	
6	従前記録	従前の記録	——	——	——	
		(例) 【従前の記録】 【父母との続柄】長男(長女)	続柄を訂正する場合に記録する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
		父母との続柄	K(5)	無	無	'長男'・'長女'等
		養父母との続柄	K(5)	無	無	'養子'または'養女'
7	特記	特記事項	K(100)	無	無	
8	予備		X(2696)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目･文字更正/文字関連更正)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項) ⇨戸籍/身分事項記録コード:7011					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	更正	更正日	9(　8)	無	無	
2	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】……【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示. 【氏】甲野 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。				
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	
4	予備		X(2492)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・追完)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:8001					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	追完	追完日	9(8)	無	無	
2		追完の内容	K(30)	無	無	
3		追完事由	K(50)	無	無	
4	届出	届出日	9(8)	無	無	
5		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
6		届出人				
		資格	9(3)	有	無	
		資格名称	K(30)	無	無	
		氏名	K(30)	無	無	
7	送付	送付を受けた日	9(8)	無	無	
8		受理者	K(50)	無	無	
9	許可	許可日	9(8)	無	無	
10		許可書謄本の送付を受けた日	9(8)	無	無	
11		許可を受けた者	K(50)	無	無	
12	入籍	入籍日	9(8)	無	無	
13	入籍戸籍	入籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	
14		新本籍	K(50)	無	無	
15	除籍	除籍日	9(8)	無	無	
16	除戸籍	除籍戸籍				
		本籍	K(50)	無	無	
		筆頭者	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(戸籍/身分事項欄項目・追完)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(戸籍/身分事項)⇒戸籍/身分事項記録コード:8001					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
17	従前記録	従前の記録	X(500)	無	無	
		(例) 【従前の記録】---------- 【出生日】平成7年‥ ～	基本事項中のインデックスを訂正、消除する場合に使用する。 【従前の記録】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【従前の記録】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
18	記録内容	記録の内容	X(500)	無	無	
		(例) 【記録の内容】---------- 【出生日】平成7年‥ ～	基本事項中のインデックスを記録する場合に使用する。 【記録の内容】中のインデックスを表記する際には段落ちで表示。 【記録の内容】の各事項の保有方法はメーカーに一任する。			
19	特記	特記事項	K(100)	無	無	
20	予備		X(878)	-	-	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(身分事項欄項目･配偶者の国籍変更)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
戸籍(身分事項) ⇒身分事項記録コード:9001					3200

No.	項目名		タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2	変更	変更事由	K(50)	無	無	
3		変更後の国籍	K(50)	無	無	
4	特記	特記事項	K(100)	無	無	
5	予備		X(2792)	-	-	

「記録日」は移記されないので、事件発生日がない場合もある。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(身分事項欄項目･配偶者の氏名変更)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
戸籍(身分事項)　⇨　身分事項記録コード:9101					3200

No.	項目名		項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	記録	記録日	9(8)	無	無	事件発生日
2	変更	変更後の氏名	K(30)	無	無	
3	特記	特記事項	K(100)	無	無	
4	予備		X(2932)	――	――	
						「記録日」は移記されないので,事件発生日がない場合もある。

ファイル:　受付

目的:　受付帳と発収簿の一部(管轄法務局へ照会をするもの)の情報を格納するファイルである。
　　届出事件で受領したものすべてについてレコードを作成する(不受理,受理照会,処理照会,返戻,取下げ,保留,受領処分の撤回の事件についても作成する)。

検索キー:　受領番号,事件本人カナ氏名,事件本人漢字氏名,事件本人生年月日,受付日,処分区分である。

検索補助キー:　事件コード,受理送付区分および渉外区分である。

受領番号:　1つの受付事件に1つの受領番号を付加する。
　　受領番号の内訳は番号取得ファイルで説明したとおりであるが,履歴が発生する場合があるので,その管理として最終1桁を枝番として付加する。
受付事件コード:　受付帳での事件コード(離婚の場合,『協議離婚』『調停離婚』『裁判離婚』を区別するため)。
受付日:　自庁に届出された日(受領日)または他市町村(在外公館)から届書が送られてきた日(送付日)。
事件発生日:　報告的届出の場合に記録し,創設的届出の場合は記録しない。
　　①出生,死亡はその事件が発生した日
　　②日本及び外国での裁判が確定した日(裁判確定日,調停成立日)
　　③外国の方式又は外国の裁判により成立した事件で証書の提出があった場合(証書提出日　etc.)
事件発生時分:　規則21条に規定されている,死亡した時分(死亡時分が明確な場合)。
発日:　管轄法務局に照会書を送付した日。
収日:　管轄法務局から指示書が到達した日。
指示日:　受理照会,処理照会に対する回答を管轄法務局が指示した日。

許可日:　管轄法務局に職権記載の許可を求め,その許可がおりた日。
関連受領番号:　追完,訂正等,既に受領済みの他の届出事件に関連する届が出されたとき,その関連する受領番号を設定する項目。
　　(ex.)既に受領済みの他の届出事件(受領番号100)に対する追完届(今回の受領番号200)が受領されたとき,受領番号100の関連受領番号に200を,受領番号200の関連受領番号に100を各々設定する。
届出人資格区分:　事件本人以外が届出人となった場合にその届出人の資格を格納する。
届出人氏名:　上記の届出人氏名を格納する。
処分区分:　届出の審査結果を格納する。
決裁区分:　決裁内容を格納する。
事件本人区分:　事件における事件本人の名称(養子であるか養父であるか　等)を格納する。
渉外区分:　渉外事件(昭和59年11月1日民二5500通達を含む)か外国人の事件かを区別する。
本籍:　事件本人の現本籍を格納する。
筆頭者:　事件本人の現本籍の筆頭者を格納する。
届後本籍:　事件本人が現本籍から異動する場合の届出後本籍(新戸籍,戻る戸籍　等)を格納する。
　　※死亡で日または時分が明確でない場合(推定の死亡日,死亡時分)に死亡日時を格納する。
送達確認1:　届後本籍地に送付する送達確認区分である。
送達確認2:　現本籍地に送付する送達確認区分である。
証書提出区分:　戸籍法41条に係わる届か,通常の届出かを区別する。
　　外国の方式又は外国の裁判により成立した事件で証書の提出があった場合に1(法41条証書提出),それ以外は0(届出)を設定する。
送付目録区分:　管轄法務局に届書の送付が必要か否かを区別する。
　　①本籍分の届出(本非区分=1)の場合は1(送付要)を設定する。
　　ただし,本籍分の届出であっても自庁内の戸籍への記録がない場合は0(送付不要)を設定する。
　　②非本籍分の届出(本非区分=2)であっても自庁内の戸籍に記録する場合は1(送付要)を設定する。
　　③非本籍分の届出(本非区分=2)であり,自庁内の戸籍への記録もない場合は0(送付不要)を設定する。
審査不可区分:　改正国籍法前に外国人と婚姻し,(養)父母の戸籍にとどまっている者に1を設定する。
　　昭和32年法務省令による改製作業における筆頭者の申出をした者に2を設定する。

履歴発生要因:　受付帳作成後に項目を修正(便宜訂正通知による　等)する場合:「受付ファイル更新」参照
　　処分決定後,処分区分に変更があった場合。
　　決裁で『誤処理』とされた場合に再作成された受付帳。「処分決定」参照

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(受付)	受領番号,受付日,処分区分	事件コード,渉外区分	ディスク	DB	700

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(10)	無	無	西暦年4バイト+受領番号5バイト+枝番1バイト
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	受付事件コード	9(4)	有	無	受付帳での事件コード
4	受付日	9(8)	無	無	
5	事件発生日	9(8)	無	無	
6	事件発生時分	9(4)	無	無	
7	事件発生日時	K(50)	無	無	未使用項目
8	受理送付区分	9(1)	有	無	1:受理　2:送付
9	本非区分	9(1)	有	無	1:本籍分届 2:非本籍分届
10	渉外区分	9(1)	有	無	0:- 1:渉外 2:外国
11	発送日	9(8)	無	無	
12	郵送日	9(8)	無	無	
13	発日	9(8)	無	無	
14	収日	9(8)	無	無	
15	指示日	9(8)	無	無	
16	許可日	9(8)	無	無	
17	関連受領番号	9(9)	無	5	受領番号上9バイト
18	届出人資格区分1	9(3)	有	無	届出人が本人の場合は入力無し
19	届出人資格名称1	K(30)	無	無	
20	届出人氏名1	K(30)	無	無	
21	届出人資格区分2	9(3)	有	無	
22	届出人資格名称2	K(30)	無	無	
23	届出人氏名2	K(30)	無	無	
24	届後本籍区分	9(1)	有	無	1:入籍 2:新戸籍編製
25	届後本籍コード	9(15)	有	無	
26	届後本籍	K(50)	無	無	
27	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(受付)	受領番号,受付日,処分区分	事件コード,渉外区分	ディスク	DB	700

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
28	送達確認1	9(1)	有	無	届後本籍が非本なら1を設定(受理分のみ)
29	証書提出区分	9(1)	有	無	0:届出 1:証書提出
30	届書送付目録区分	9(1)	有	無	0:送付不要 1:送付要
31	処分区分	9(1)	有	無	
32	決裁区分	9(1)	有	無	0:未決裁 1:決裁 2:―― 3:修正 4:欠番
33	予備	X(40)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
受付(事件本人)	受領番号,事件本人漢字氏名,事件本人カナ氏名		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(10)	無	無	西暦年4バイト+受領番号5バイト+枝番1バイト
2	行番号	9(1)	無	無	
3	事件本人区分	9(2)	有	無	
4	届出人区分	9(1)	有	無	0:事件本人が届出人でない 1:事件本人が届出人
5	カナ氏名	N(60)	無	無	
6	漢字氏名	K(30)	無	無	
7	生年月日	9(8)	無	無	
8	本籍コード	9(15)	有	無	
9	本籍	K(50)	無	無	
10	筆頭者	K(30)	無	無	
11	送達確認2	9(1)	有	無	現本籍が非本なら1を設定(受理分のみ) 但し外国の場合を除く
12	予備	X(82)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)		平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名:　個人状態
　目的:　指定された9区分に該当する個人に対してレコードを作成する。該当する区分が無くなったっときにレコードを削除する。
　個人番号:　該当する本責任の個人番号。
　禁治産者区分:　禁治産者(成年被後見人も含む)であれば項目に1を設定する。
準禁治産者区分:　準禁治産者であれば項目に1を設定する。
破産宣告人区分:　破産宣告人であれば項目に1を設定する。
裁判所通知区分:　裁判所からの確定通知があり、該当者がその届を未届の場合は項目に1を設定する。
　犯歴区分:　現在執行中の犯歴があれば項目に1を設定する。
　胎児認知区分:　胎児認知の事件本人(日本人女または外国人女が相手の日本人男)であれば項目に1を設定する。
受理処理伺い区分:　届が受理照会または処理照会となった事件の事件本人であれば項目に1を設定する。
　保留区分:　届が保留となった事件の事件本人であれば項目に1を設定する。
　メモ:　個人に対するメモが必要な場合に記載する。

　使用目的:　身分証明書の発行　⇒　禁治産者(成年被後見人も含む)、準禁治産者、破産者であれば発行しない。
　　身分調書の作成　　⇒　警察からの要望による身分調書の作成を行う。
　　破産者に対しては個人詳細画面に表示し、操作者に注意を促す。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
個人状態	個人番号		ディスク	DB	350

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
3	準禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
4	破産宣告人区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
5	裁判所通知区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
6	犯歴区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
7	胎児認知区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
8	受理処理伺い区分	9(1)	有	無	0:無 1:伺い中
9	保留区分	9(1)	有	無	0:無 1:保留中
10	メモ	K(150)	無	無	
11	予備	X(40)	-	-	
					禁治産者区分には、 成年被後見人も含む

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　不受理申出

目的:　不受理申出情報を格納するファイルである。
　　不受理申出が届出られたときにレコードを作成するが,申出が失効したときは直ちに削除することはできない(不受理申出期間内の該当届書が遅れて送付される可能性があるため)。

検索キー:　個人番号,整理番号

個人番号:　不受理申出を届出た本籍人の個人番号。
出張所番号:　出張所に届出られた場合に,その出張所番号を格納する項目(出張所に関係の無い市区町村は項目不要)。
不受理申出:　不受理の対象となる事件コードを格納する。
事件コード
失効区分:　1(終了)⇨　不受理の期間が経過した。
　　2(取下)⇨　不受理申出に対して取下書が提出された。
　　3(失効)⇨　不受理申出者が死亡(失踪)した。不受理該当事件が裁判等で確定した。等
相手方氏名:　不受理申出の対象となる人の氏名を格納する(最大2名)。
　　不受理申出の対象者が不特定多数の場合は,空白のまま。

※　1版では整理番号を持っていたが非本籍分の不受理申出処理をシステム外としたため,整理番号は無くした(番号取得ファイルの説明部分参照)。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理申出	個人番号,整理番号		ディスク	索引	200

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	行番号	9(2)	無	無	
3	出張所番号	9(3)	有	無	
4	不受理申出事件コード	9(2)	有	無	
5	開始日(届出日)	9(8)	無	無	
6	送付日	9(8)	無	無	
7	失効日	9(8)	無	無	
8	失効区分	9(1)	有	無	1:終了 2:取下 3:失効
9	作成日(処理日)	9(8)	無	無	
10	相手方氏名1	K(30)	無	無	
11	相手方氏名2	K(30)	無	無	
12	予備	X(30)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　届書

目的:　届書の入力内容を決裁終了まで保持する一時ファイルである。届書の再入力時には当ファイルから届書内容を読み込むことにより入力の軽減をはかる。
　　未決済一覧の出力および決裁でのバッチ処理にも使用する。

検索キー:　受領番号である。

受領番号:　1つの届書に1つの受領番号を付加する。
在外送付区分:　戸籍の届でを受けたもの(受理)であるか,送付されたものかを区別する区分である。
　　送付の届でもそれが日本国内の自治体で受理されたものか,在外公館で受理されたものか,在外公館で受理したものの国内の他自治体経由で送付されたものかを区別する。
渉外区分:　日本人のみの事件か,外国人を含む事件か,外国人のみの事件かを区別する項目である。
同時決裁受領番号:　1つの届書処理で受付帳が2件以上作成される場合に,2件目以降の受領番号を格納する。
ロック戸籍番号:　届書入力審査処理でロックした戸籍の番号を格納する。
不受理申出
処分区分:　当該届に対して不受理申出が届出られていた場合に,1(不受理)を設定する。
事件別内容:　各々の届独自の項目群である。
処分区分:　届出の審査結果を格納する。
決裁区分:　決裁内容を格納する。
届書排他区分:　届書ファイルを使用する場合に,処理が終了するまでそのレコードを使用中である旨の区分を設定する(システム排他が可能であれば本区分は不要)。

※　項目長についてはファイル仕様書と同じ長さにした。届書入力画面とは長さが異なるが,実際に画面を作成した長さと同じにしても構わない。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書	受領番号		ディスク	索引	4400

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	選択事件コード	9(2)	有	無	
3	出張所番号	9(3)	有	無	
4	受領日	9(8)	無	無	
5	送付日	9(8)	無	無	
6	発送元	K(50)	無	無	
7	在外送付区分	9(1)	有	無	0:受理分の届 1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由
8	処理日	9(8)	無	無	
9	指示日	9(8)	無	無	
10	許可日	9(8)	無	無	
11	受理送付区分	9(1)	有	無	1:受理　2:送付
12	本非区分	9(1)	有	無	1:本籍人 2･:非本籍人
13	郵送日	9(8)	無	無	
14	動態区分	9(1)	有	無	0:不要　1:要
15	届区分	9(1)	有	無	1:創設　2:報告
16	渉外区分	9(1)	有	無	0:- 1:渉外 2:外国
17	同時決裁受領番号	9(9)	無	5	
18	ロック戸籍番号	9(10)	無	5	
19	事件別内容	X(4000)	無	無	各事件ごとのファイル仕様書(別紙)参照
20	不受理申出処分区分	9(1)	有	無	
21	処分区分	9(1)	有	無	
22	決裁区分	9(1)	有	無	
23	届書排他区分	9(1)	有	無	0:未　1:排他
24	予備	X(133)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(出生･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	出生証明書区分	9(1)	有	無	
2	出生子のカナ氏名	N(60)	無	無	
3	出生子の漢字氏名	K(30)	無	無	
4	出生子の生年月日	9(8)	無	無	
5	出生子の出生区分	9(1)	有	無	
6	出生子の続柄コード	9(2)	有	無	
7	出生子の出生地コード	9(15)	有	無	
8	出生子の出生地	K(50)	無	無	
9	出生子の国籍	K(50)	無	無	
10	出生子の住所コード	9(15)	有	無	
11	出生子の住所	K(50)	無	無	
12	出生子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
13	出生子の世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
14	届出人の資格コード	9(3)	有	無	
15	届出人の資格名称	K(30)	無	無	
16	届出人の氏名	K(30)	無	無	
17	入るべき戸籍の婚姻日	9(8)	無	無	
18					
19	入るべき戸籍の嫡出子例外区分	9(1)	有	無	
20	入るべき戸籍の婚姻解消日	9(8)	無	無	
21	入るべき戸籍の母前婚姻解消日	9(8)	無	無	
22	入るべき戸籍の本籍コード	9(15)	有	無	
23	入るべき戸籍の本籍	K(50)	無	無	
24	入るべき戸籍の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
24-1	入るべき戸籍の父個人番号	9(10)	無	無	
24-2	入るべき戸籍の父カナ氏名	N(60)	無	無	
25	入るべき戸籍の父漢字氏名	K(30)	無	無	
26	入るべき戸籍の父筆頭者区分	9(1)	有	無	
27	入るべき戸籍の父生年月日	9(8)	無	無	
28	入るべき戸籍の父入籍事件日	9(8)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(出生･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	入るべき戸籍の父除籍日	9(8)	無	無	
30	入るべき戸籍の父配偶者区分	9(1)	有	無	
31	入るべき戸籍の母個人番号	9(10)	無	無	
32	入るべき戸籍の母カナ氏名	N(60)	無	無	
31	入るべき戸籍の母漢字氏名	K(30)	無	無	
32	入るべき戸籍の母筆頭者区分	9(1)	有	無	
33	入るべき戸籍の母生年月日	9(8)	無	無	
34	入るべき戸籍の母入籍事件日	9(8)	無	無	
35	入るべき戸籍の母除籍日	9(8)	無	無	
36	入るべき戸籍の母配偶者区分	9(1)	有	無	
36-1	届書の父個人番号	9(10)	無	無	
36-2	届書の父カナ氏名	N(60)	無	無	
37	届書の父漢字氏名	K(30)	無	無	
38	届書の父本籍コード	9(15)	有	無	
39	届書の父本籍	K(50)	無	無	
40	届書の父生年月日	9(8)	無	無	
41	届書の父筆頭者氏名	K(30)	無	無	
42	届書の父外国人区分	9(1)	有	無	
42-1	届書の母個人番号	9(10)	無	無	
42-2	届書の母カナ氏名	N(60)	無	無	
43	届書の母漢字氏名	K(30)	無	無	
44	届書の母本籍コード	9(15)	有	無	
45	届書の母本籍	K(50)	無	無	
46	届書の母生年月日	9(8)	無	無	
47	届書の母筆頭者氏名	K(30)	無	無	
48	届書の母外国人区分	9(1)	有	無	
49	母胎児認知区分	9(1)	有	無	
50	胎児認知日	9(8)	無	無	
51	関連受領番号	9(9)	無	無	
52	新戸籍の本籍コード	9(15)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(出生･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	新戸籍の本籍	K(50)	無	無	
53-1	新戸籍の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
54	新戸籍の筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
55	国外の国籍留保届出人資格	9(1)	有	無	
56	国外の在外公館名称	K(50)	無	無	
57	裁判の区分	9(1)	有	無	
58	裁判の確定日	9(8)	無	無	
59	裁判の子の氏変更申出区分	9(1)	有	無	
60	裁判の対象父氏名	K(30)	無	無	
61	裁判の対象父生年月日	9(8)	無	無	
62					
63					
64	国内遅延理由区分	9(1)	有	無	
64-1	大使館職員区分	9(1)	有	無	
64-2	国外遅延理由区分	9(1)	有	無	
65	予備	X(1774)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(認知･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被認知者の個人番号	9(10)	無	無	
2	被認知者の区分	9(1)	有	無	
3	被認知者の外国人区分	9(1)	有		
4	被認知者の本非区分	9(1)	有	無	
5	被認知者の生年月日	9(8)	無	無	
6	被認知者の生死区分	9(1)	有	無	
7	被認知者のカナ氏名	N(60)	無	無	
8	被認知者の漢字氏名	K(30)	無	無	
9	被認知者の住所コード	9(15)	有	無	
10	被認知者の住所	K(50)	無	無	
11	被認知者の世帯主	K(30)	無	無	
12	被認知者の本籍コード	9(15)	有	無	
13	被認知者の本籍地	K(50)	無	無	
14	被認知者の筆頭者	K(30)	無	無	
15	被認知者の準正による訂正後の続柄	9(2)	有	無	
16	認知者の個人番号	9(10)	無	無	
17	認知者の外国人区分	9(1)	有	無	
18	認知者の本非区分	9(1)	有	無	
19	認知者の生年月日	9(8)	無	無	
20	認知者の生死区分	9(1)	有	無	
21	認知者のカナ氏名	N(60)	無	無	
22	認知者の漢字氏名	K(30)	無	無	
23	認知者の本籍コード	9(15)	有	無	
24	認知者の本籍地	K(50)	無	無	
25	認知者の筆頭者名	K(30)	無	無	
26	母の個人番号	9(10)	無	無	
27	母の外国人区分	9(1)	有	無	
28	母の本非区分	9(1)	有	無	
29	母の生年月日	9(8)	無	無	
30	母のカナ氏名	N(60)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(認知･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	母の漢字氏名	K(30)	無	無	
32	母の本籍コード	9(15)	無	無	
33	母の本籍地	K(50)	無	無	
34	母の筆頭者	K(30)	無	無	
35	母の住所コード	9(15)	有	無	
36	母の住所地	K(50)	無	無	
37	認知者は母との婚姻日	9(8)	無	無	
38	認知種別	9(1)	有	無	
39	審査の準拠法	9(1)	有	無	
40	認知成立日	9(8)	無	無	
41	証書提出日	9(8)	無	無	
42	認知の方式	K(50)	無	無	
43	裁判成立地	9(1)	有	無	
44	審判/判決確定日	9(8)	無	無	
45	裁判申立人	K(30)	無	無	
46	外国の裁判所名	K(30)	無	無	
47	認知を承諾した者	9(1)	有	無	
48	届出人資格1	9(3)	有	無	
49	届出人資格1名称	K(30)	無	無	
50	届出人氏名1	K(30)	無	無	
51	届出人資格2	9(3)	有	無	
52	届出人資格2名称	K(30)	無	無	
53	届出人氏名2	K(30)	無	無	
54	予備	X(2258)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子縁組･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁組形態区分	9(2)	無	無	
2	養親配偶者氏名1	K(30)	無	無	
3	養親配偶者氏名2	K(30)	無	無	
4	養子個人番号	9(10)	無	無	
5	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
6	養子の本非区分	9(1)	有	無	
7	養子の生年月日	9(8)	無	無	
8	養子の婚姻区分	9(1)	有	無	
9	養子の生死区分	9(1)	有	無	
10	養子のカナ氏名	N(60)	無	無	
11	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
12	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
13	養子の本籍	K(50)	無	無	
14	養子の住所コード	9(15)	有	無	
15	養子の住所	K(50)	無	無	
16	養子の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
17	養子の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
18	養子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
19	養子の父氏名	K(30)	無	無	
20	養子の母氏名	K(30)	無	無	
21	養子の続柄コード	9(2)	有	無	
22	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
23	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
24	養女の個人番号	9(10)	無	無	
25	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
26	養女の本非区分	9(1)	有	無	
27	養女の生年月日	9(8)	無	無	
28	養女の婚姻区分	9(1)	有	無	
29	養女の生死区分	9(1)	有	無	
30	養女のカナ氏名	N(60)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子縁組･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	
32	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
33	養女の本籍	K(50)	無	無	
34	養女の住所コード	9(15)	有	無	
35	養女の住所	K(50)	無	無	
36	養女の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
37	養女の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
38	養女の世帯主氏名	K(30)	無	無	
39	養女の父氏名	K(30)	無	無	
40	養女の母氏名	K(30)	無	無	
41	養女の続柄コード	9(2)	有	無	
42	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
43	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
44	監護者の有無	X(1)	有	無	
45	養父の個人番号	9(10)	無	無	
46	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
47	養父の本非区分	9(1)	有	無	
48	養父の生年月日	9(8)	無	無	
49	養父の筆頭者区分	9(1)	有	無	
50	養父の配偶者区分	9(1)	有	無	
51	養父の生死区分	9(1)	有	無	
52	養父のカナ氏名	N(60)	無	無	
53	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
54	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
55	養父の本籍	K(50)	無	無	
56	養父の住所コード	9(15)	有	無	
57	養父の住所	K(50)	無	無	
58	養父の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
59	養父の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
60	養父の世帯主氏名	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子縁組･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
61	養母の個人番号	9(10)	無	無	
62	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
63	養母の本非区分	9(1)	有	無	
64	養母の生年月日	9(8)	無	無	
65	養母の筆頭者区分	9(1)	有	無	
66	養母の配偶者区分	9(1)	有	無	
67	養母の生死区分	9(1)	有	無	
68	養母のカナ氏名	N(60)	無	無	
69	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
70	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
71	養母の本籍	K(50)	無	無	
72	養母の住所コード	9(15)	有	無	
73	養母の住所	K(50)	無	無	
74	養母の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
75	養母の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
76	養母の世帯主氏名	K(30)	無	無	
77	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
78	入籍する戸籍または新しい戸籍コード	9(15)	有	無	
79	入籍する戸籍または新しい戸籍	K(50)	無	無	
80	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
81	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
82	裁判確定日	9(8)	無	無	
83	縁組成立日	9(8)	無	無	
84	縁組方式	K(50)	無	無	
85	同一戸籍縁組区分	9(1)	有	無	
86	後見人縁組区分	9(1)	有	無	
87	届出人資格コード1	9(3)	有	無	
88	届出人氏名1	K(30)	無	無	
89	届出人資格コード2	9(3)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子縁組･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
90	届出人氏名2	K(30)	無	無	
91	代諾者資格1	9(3)	有	無	
92	代諾者氏名1	K(30)	無	無	
93	代諾者コード1	9(1)	無	無	
94	代諾者国籍1	K(50)	無	無	
95	代諾者生年月日1	9(8)	無	無	
96	代諾者資格2	9(3)	有	無	
97	代諾者氏名2	K(30)	無	無	
98	代諾者コード2	9(1)	無	無	
99	代諾者国籍2	K(50)	無	無	
100	代諾者生年月日2	9(8)	無	無	
101	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
102	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
103	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
104	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
105	配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
106	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
107	配偶者住所	K(50)	無	無	
108	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
109	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
110	配偶者続柄コード	9(2)	有	無	
110	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
111	予備	X(232)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子と養父区分	X(1)	無	無	
2	養子と養母区分	X(1)	無	無	
3	養女と養父区分	X(1)	無	無	
4	養女と養母区分	X(1)	無	無	
5	同時届区分	9(1)	有	無	
5-1	親権・後見人の個人番号	9(10)	無	無	
5-2	親権・後見人の本非区分	9(1)	有	無	
5-3	親権・後見人生年月日	X(8)	無	無	
6	親権・後見人氏名	K(30)	無	無	
7	親権・後見人本籍コード	9(15)	有	無	
8	親権・後見人本籍	K(50)	無	無	
9	親権・後見人筆頭者	K(30)	無	無	
10	同時親権届の種別	9(1)	有	無	
11	同時親権者資格	9(3)	有	無	
12	同時親権届出人資格	9(3)	有	無	
12-1	同時親権届出人の個人番号	9(10)	無	無	
12-2	同時親権届出人の本非区分	9(1)	有	無	
12-3	同時親権届出人生年月日	X(8)	無	無	
13	同時親権届出人氏名	K(30)	無	無	
13-1	同時親権届出人本籍コード	9(15)	有	無	
13-2	同時親権届出人本籍	K(50)	無	無	
14	養子の個人番号	9(10)	無	無	
15	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
16	養子の本非区分	9(1)	有	無	
17	養子の生年月日	X(8)	無	無	
18	養子の生死区分	9(1)	有	無	
19	養子のカナ氏名	N(60)	無	無	
20	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
21	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
22	養子の本・国籍	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁届･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
23	養子の住所コード	9(15)	有	無	
24	養子の住所	K(50)	無	無	
25	養子の筆頭者	K(30)	無	無	
26	養子の世帯主	K(30)	無	無	
27	養子の父氏名	K(30)	無	無	
28	養子の母氏名	K(30)	無	無	
29	養子の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
30	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
31	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
32	養女の個人番号	9(10)	無	無	
33	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
34	養女の本非区分	9(1)	有	無	
35	養女の生年月日	X(8)	無	無	
36	養女の生死区分	9(1)	有	無	
37	養女のカナ氏名	N(60)	無	無	
38	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	
39	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
40	養女の本･国籍	K(50)	無	無	
41	養女の住所コード	9(15)	有	無	
42	養女の住所	K(50)	無	無	
43	養女の筆頭者	K(30)	無	無	
44	養女の世帯主	K(30)	無	無	
45	養女の父氏名	K(30)	無	無	
46	養女の母氏名	K(30)	無	無	
47	養女の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
48	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
49	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
50	養父の個人番号	9(10)	無	無	
51	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
52	養父の本非区分	9(1)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁届･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	養父の生年月日	X(　8)	無	無	
54	養父の生死区分	9(　1)	有	無	
55	養父のカナ氏名	N(60)	無	無	
56	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
57	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
58	養父の本･国籍	K(50)	無	無	
59	養父の筆頭者	K(30)	無	無	
60	養父の住所コード	9(15)	有	無	
61	養父の住所	K(50)	無	無	
62	養父の世帯主	K(30)	無	無	
63	養父の縁組成立法区分	9(　1)	有	無	
64	養母の個人番号	9(10)	無	無	
65	養母の外国人区分	9(　1)	有	無	
66	養母の本非区分	9(　1)	有	無	
67	養母の生年月日	X(　8)	無	無	
68	養母の生死区分	9(　1)	有	無	
69	養母のカナ氏名	N(60)	無	無	
70	養母の漢字氏名	K(50)	無	無	
71	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
72	養母の本･国籍	K(50)	無	無	
73	養母の筆頭者	K(30)	無	無	
74	養母の住所コード	9(15)	有	無	
75	養母の住所	K(50)	無	無	
76	養母の世帯主	K(30)	無	無	
77	養母の縁組成立法区分	9(　1)	有	無	
78	養父母婚姻区分	9(　1)	有	無	
79	離縁の種別	9(　1)	有	無	
80	離縁の申立人区分	9(　1)	有	無	
81	裁判確定日	X(　7)	無	無	
82	離縁許可日	X(　7)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
83	離縁成立日	X(7)	無	無	
84	離縁の方式	K(30)	無	無	
85	外国裁判所名	K(30)	無	無	
86	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	9(3)	有	無	
87	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
88	氏区分	9(1)	有	無	
89	届後本籍コード	K(15)	有	無	
90	届後本籍	K(50)	無	無	
91	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
92	戻る戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
93	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
94	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
95	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
96	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
97	15歳未満の届出人国籍1	K(50)	無	無	
98	15歳未満の届出人生年月日1	X(8)	無	無	
99	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
100	15歳未満の届出人国籍2	K(50)	無	無	
101	15歳未満の届出人生年月日2	X(8)	無	無	
102	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
103	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
104	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
105	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
106	配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
107	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
108	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
109	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
110	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
111	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
112	配偶者住所コード	9(15)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁届･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
113	配偶者住所	K(50)	無	無	
114	離縁後変更養父氏名	K(30)	無	無	
115	離縁後変更養母氏名	K(30)	無	無	
116	親権移記親権者区分	9(3)	有	無	
117	予備	X(117)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(特別養子縁組・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁組形態区分	9(2)	有	無	
2	養子の個人番号	9(10)	無	無	
3	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
4	養子の本非区分	9(1)	有	無	
5	養子の生年月日	9(8)	無	無	
6	養子の性別区分	9(1)	有	無	
7	養子のカナ氏名	N(60)	無	無	
8	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
9	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
10	養子の本籍	K(50)	無	無	
11	養子の住所コード	9(15)	有	無	
12	養子の住所	K(50)	無	無	
13	養子の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
14	養子の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
15	養子の世帯主氏名	K(30)	無	無	
16	養子の父氏名	K(30)	無	無	
17	養子の母氏名	K(30)	無	無	
18	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
19	養父母との続柄コード	9(2)	有	無	
20	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
21	養父の個人番号分	9(10)	無	無	
22	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
23	養父の本非区分	9(1)	有	無	
24	養父の生年月日	9(8)	無	無	
25	養父のカナ氏名	N(60)	無	無	
26	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
27	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
28	養父の本籍	K(50)	無	無	
29	養父の住所コード	9(15)	有	無	
30	養父の住所	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(特別養子縁組・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	養父の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
32	養父の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
33	養父の世帯主氏名	K(30)	無	無	
34	養父の筆頭者区分	9(1)	有	無	
35	養父の配偶者区分	9(1)	有	無	
36	養母の個人番号	9(10)	無	無	
37	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
38	養母の本非区分	9(1)	有	無	
39	養母の生年月日	9(8)	無	無	
40	養母のカナ氏名	N(60)	無	無	
41	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
42	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
43	養母の本籍	K(50)	無	無	
44	養母の住所コード	9(15)	有	無	
45	養母の住所	K(50)	無	無	
46	養母の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
47	養母の筆頭者氏名	K(30)	無	無	
48	養母の世帯主氏名	K(30)	無	無	
49	養母の筆頭者区分	9(1)	有	無	
50	養母の配偶者区分	9(1)	有	無	
51	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
52	裁判確定日	9(8)	無	無	
53	縁組方式	K(50)	無	無	
54	同一戸籍縁組区分	9(1)	有	無	
55	届出人資格コード	9(3)	有	無	
56	配偶者同一戸籍	9(1)	有	無	
57	予備	X(2104)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(73条の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	縁氏続称者個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	X(7)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	本籍コード	9(15)	有	無	
8	本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者	K(30)	無	無	
10	住所コード	9(15)	有	無	
11	住所	K(50)	無	無	
12	世帯主	K(30)	無	無	
13	父氏名	K(30)	無	無	
14	母氏名	K(30)	無	無	
15	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
16	離縁前の氏	K(20)	無	無	
17	縁組年月日	X(7)	無	無	
18	離縁年月日	X(7)	無	無	
19	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	新本籍	K(50)	無	無	
22	新戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
23	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
24	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
25	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
26	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
27	配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
28	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
29	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
30	配偶者母氏名	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(73条の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
32	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
33	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
34	配偶者住所	K(50)	無	無	
35	予備	X(2781)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	養子と養父区分	X(1)	無	無	
2	養子と養母区分	X(1)	無	無	
3	養女と養父区分	X(1)	無	無	
4	養女と養母区分	X(1)	無	無	
5	同時届区分	9(1)	有	無	
5-1	親権・後見人の個人番号	9(10)	無	無	
5-2	親権・後見人の本非区分	9(1)	有	無	
5-3	親権・後見人の生年月日	X(8)	無	無	
6	親権・後見人氏名	K(30)	無	無	
7	親権・後見人本籍コード	9(15)	有	無	
8	親権・後見人本籍	K(50)	無	無	
9	親権・後見人筆頭者	K(30)	無	無	
10	同時親権届の種別	9(1)	有	無	
11	同時親権者資格	9(3)	有	無	
12	同時親権届出人資格	9(3)	有	無	
12-1	同時親権届出人の個人番号	9(10)	無	無	
12-2	同時親権届出人の本非区分	9(1)	有	無	
12-3	同時親権届出人の生年月日	X(8)	無	無	
13	同時親権届出人氏名	K(30)	無	無	
13-1	同時親権届出人本籍コード	9(15)	有	無	
13-2	同時親権届出人本籍	K(50)	無	無	
14	養子の個人番号	9(10)	無	無	
15	養子の外国人区分	9(1)	有	無	
16	養子の本非区分	9(1)	有	無	
17	養子の生年月日	X(8)	無	無	
18	養子の生死区分	9(1)	有	無	
19	養子のカナ氏名	N(60)	無	無	
20	養子の漢字氏名	K(30)	無	無	
21	養子の本籍コード	9(15)	有	無	
22	養子の本・国籍	K(50)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
23	養子の住所コード	9(15)	有	無	
24	養子の住所	K(50)	無	無	
25	養子の筆頭者	K(30)	無	無	
26	養子の世帯主	K(30)	無	無	
27	養子の父氏名	K(30)	無	無	
28	養子の母氏名	K(30)	無	無	
29	養子の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
30	養子の筆頭者区分	9(1)	有	無	
31	養子の配偶者区分	9(1)	有	無	
32	養女の個人番号	9(10)	無	無	
33	養女の外国人区分	9(1)	有	無	
34	養女の本非区分	9(1)	有	無	
35	養女の生年月日	X(8)	無	無	
36	養女の生死区分	9(1)	有	無	
37	養女のカナ氏名	N(60)	無	無	
38	養女の漢字氏名	K(30)	無	無	
39	養女の本籍コード	9(15)	有	無	
40	養女の本･国籍	K(50)	無	無	
41	養女の住所コード	9(15)	有	無	
42	養女の住所	K(50)	無	無	
43	養女の筆頭者	K(30)	無	無	
44	養女の世帯主	K(30)	無	無	
45	養女の父氏名	K(30)	無	無	
46	養女の母氏名	K(30)	無	無	
47	養女の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
48	養女の筆頭者区分	9(1)	有	無	
49	養女の配偶者区分	9(1)	有	無	
50	養父の個人番号	9(10)	無	無	
51	養父の外国人区分	9(1)	有	無	
52	養父の本非区分	9(1)	有	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
53	養父の生年月日	X(8)	無	無	
54	養父の生死区分	9(1)	有	無	
55	養父のカナ氏名	N(60)	無	無	
56	養父の漢字氏名	K(30)	無	無	
57	養父の本籍コード	9(15)	有	無	
58	養父の本・国籍	K(50)	無	無	
59	養父の筆頭者	K(30)	無	無	
60	養父の住所コード	9(15)	有	無	
61	養父の住所	K(50)	無	無	
62	養父の世帯主	K(30)	無	無	
63	養父の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
64	養母の個人番号	9(10)	無	無	
65	養母の外国人区分	9(1)	有	無	
66	養母の本非区分	9(1)	有	無	
67	養母の生年月日	X(8)	無	無	
68	養母の生死区分	9(1)	有	無	
69	養母のカナ氏名	N(60)	無	無	
70	養母の漢字氏名	K(30)	無	無	
71	養母の本籍コード	9(15)	有	無	
72	養母の本・国籍	K(50)	無	無	
73	養母の筆頭者	K(30)	無	無	
74	養母の住所コード	9(15)	有	無	
75	養母の住所	K(50)	無	無	
76	養母の世帯主	K(30)	無	無	
77	養母の縁組成立法区分	9(1)	有	無	
78	養父母婚姻区分	9(1)	有	無	
79	縁組年月日	X(7)	無	無	
80	縁組前の氏	K(20)	無	無	
81	離縁の種別	9(1)	有	無	
82	離縁の申立人区分	9(1)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
83	裁判確定日	X(7)	無	無	
84	離縁許可日	X(7)	無	無	
85	離縁成立日	X(7)	無	無	
86	離縁の方式	K(30)	無	無	
87	外国裁判所名	K(30)	無	無	
88	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格	9(3)	有	無	
89	新本籍コード	9(15)	有	無	
90	新本籍	K(50)	無	無	
91	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
92	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
93	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
94	15歳未満の届出人国籍1	K(50)	無	無	
95	15歳未満の届出人生年月日1	X(8)	無	無	
96	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
97	15歳未満の届出人国籍2	K(50)	無	無	
98	15歳未満の届出人生年月日2	X(8)	無	無	
99	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
100	配偶者外国人区分	9(1)	有	無	
101	配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
102	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
103	配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
104	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
105	配偶者父氏名	K(30)	無	無	
106	配偶者母氏名	K(30)	無	無	
107	配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
108	配偶者生年月日	X(8)	無	無	
109	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
110	配偶者住所	K(50)	無	無	
111	離縁後変更養父氏名	K(30)	無	無	
112	離縁後変更養母氏名	K(30)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(養子離縁同時73の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
113	親権移記親権者区分	9(　3)	有	無	
114	予備	X(174)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(婚姻･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	夫の外人区分	9(1)	有	無	
3	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
4	夫の本非区分	9(1)	有	無	
4-1	夫の生年月日	9(8)	無	無	
5	夫のカナ氏名	N(60)	無	無	
6	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	夫の本籍コード	9(15)	有	無	
8	夫の本籍地番	K(50)	無	無	
9	夫の筆頭者	K(30)	無	無	
10	夫の父の氏名	K(30)	無	無	
11	夫の母の氏名	K(30)	無	無	
12	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
13	夫の住所コード	9(15)	有	無	
14	夫の住所地番	K(50)	無	無	
15	夫の世帯主	K(30)	無	無	
16	妻の個人番号	9(10)	無	無	
17	妻の外人区分	9(1)	有	無	
18	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
19	妻の本非区分	9(1)	有	無	
19-1	妻の生年月日	9(8)	無	無	
20	妻のカナ氏名	N(60)	無	無	
21	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
22	妻の本籍コード	9(15)	有	無	
23	妻の本籍地番	K(50)	無	無	
24	妻の戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
25	妻の父の氏名	K(30)	無	無	
26	妻の母の氏名	K(30)	無	無	
27	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
28	妻の住所コード	9(15)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(婚姻･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	妻の住所地番	K(50)	無	無	
30	妻の世帯主	K(30)	無	無	
31	氏区分	9(1)	有	無	
32	新本籍コード	9(15)	有	無	
33	新本籍地番	K(50)	無	無	
34	夫の初再婚区分	9(1)	有	無	
35	夫の離死別日	9(8)	無	無	
36	妻の初再婚区分	9(1)	有	無	
37	妻の離死別日	9(8)	無	無	
38	同一人再婚区分	9(1)	有	無	
39	婚姻成立年月日	9(8)	無	無	
40	証書提出日	9(8)	無	無	
41	婚姻の方式	K(50)	無	無	
42	予備	X(2524)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(離婚･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	レコード番号	9(10)	無	無	
3	夫の外国人区分	9(1)	有	無	
4	夫の国籍	K(50)	無	無	
5	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	夫のカナ氏名	N(60)	無	無	
7	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
8	夫の住所コード	9(15)	有	無	
9	夫の住所地番	K(50)	無	無	
10	夫の世帯主	K(30)	無	無	
11	夫の父の氏名	K(30)	無	無	
12	夫の母の氏名	K(30)	無	無	
13	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
14	夫の生年月日	9(8)	無	無	
15	夫の転婚区分	9(1)	有	無	
16	妻の個人番号	9(10)	無	無	
17	妻の外国人区分	9(1)	有	無	
18	妻の国籍	K(50)	無	無	
19	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
20	妻のカナ氏名	N(60)	無	無	
21	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
22	妻の住所コード	9(15)	有	無	
23	妻の住所地番	K(50)	無	無	
24	妻の世帯主	K(30)	無	無	
25	妻の父の氏名	K(30)	無	無	
26	妻の母の氏名	K(30)	無	無	
27	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
28	妻の生年月日	9(8)	無	無	
29	妻の転婚区分	9(1)	有	無	
30	本籍コード	9(15)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(離婚･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	本籍地番	K(50)	無	無	
32	筆頭者	K(30)	無	無	
33	離婚の種別区分	9(1)	有	無	
34	離婚の申立人区分	9(1)	有	無	
35	離婚の成立確定日	9(8)	無	無	
36	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
37	新本籍コード	9(15)	有	無	
38	新本籍地番	K(50)	無	無	
39	新筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
40	新筆頭者	K(30)	無	無	
40-1	戻る戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
40-2	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
41	称する氏	K(15)	無	無	
42	外国離婚方式	K(50)	無	無	
43	裁判所所在国	K(50)	無	無	
44	外国裁判所名	K(30)	無	無	
45	親権指定者の有無	9(1)	有	無	
46	未成年の子の人数	9(2)	無	無	
47	届出人資格1	9(3)	有	無	
48	届出人資格2	9(3)	有	無	
49	未成年者のカナ氏名	N(60)	無	n	繰り返しの数は未成年の子の人数 No.89～No.58までのバイト数は373バイト
50	未成年者の漢字氏名	K(30)	無	n	
51	未成年者の父の氏名	K(30)	無	n	
52	未成年者の母の氏名	K(30)	無	n	
53	未成年者の父母との続柄コード	9(2)	有	n	
54	未成年者の生年月日	9(8)	無	n	
55	未成年者の養父の氏名	K(30)	無	n	
56	未成年者の養母の氏名	K(30)	無	n	
57	未成年者の養父母との続柄コード	9(2)	有	n	
58	未成年者の親権者区分	9(1)	有	n	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(離婚･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
59	予備	X (――)	――	――	No.1～No.48までのバイト数は1793バイト 未成年者数が5人とすると予備は342バイト 6人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(戸籍法77条の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	婚氏続称者個人番号	9(10)	無	無	
2	現カナ氏名	N(60)	無	無	
3	現漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	同籍者区分	9(1)	有	無	
8	離婚年月日	9(8)	無	無	
9	住所コード	9(15)	有	無	
10	住所地番	K(50)	無	無	
11	世帯主	K(30)	無	無	
12	本籍コード	9(15)	有	無	
13	本籍地番	K(50)	無	無	
14	筆頭者	K(30)	無	無	
15	変更後カナ氏	N(40)	無	無	
16	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
17	変更後本籍コード	9(15)	有	無	
18	変更後本籍地番	K(50)	無	無	
19	変更後筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
20	変更後筆頭者	K(30)	無	無	
21	予備	X(3186)	——	——	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(離婚同時77条の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	夫の個人番号	9(10)	無	無	
2	夫の筆頭者区分	9(1)	有	無	
3	夫のカナ氏名	N(60)	無	無	
4	夫の漢字氏名	K(30)	無	無	
5	夫の住所コード	9(15)	有	無	
6	夫の住所地番	K(50)	無	無	
7	夫の世帯主	K(30)	無	無	
8	夫の父氏名	K(30)	無	無	
9	夫の母氏名	K(30)	無	無	
10	夫の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
11	夫の生年月日	9(8)	無	無	
12	妻の筆頭者区分	9(1)	有	無	
13	妻の個人番号	9(10)	無	無	
14	妻のカナ氏名	N(60)	無	無	
15	妻の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	妻の住所コード	9(15)	有	無	
17	妻の住所地番	K(50)	無	無	
18	妻の世帯主	K(30)	無	無	
19	妻の父氏名	K(30)	無	無	
20	妻の母氏名	K(30)	無	無	
21	妻の父母との続柄コード	9(2)	有	無	
22	妻の生年月日	9(8)	無	無	
23	本籍コード	9(15)	有	無	
24	本籍地番	K(50)	無	無	
25	筆頭者	K(30)	無	無	
26	離婚の種別区分	9(1)	有	無	
27	離婚の申立人区分	9(1)	有	無	
28	離婚の成立・確定日	9(7)	無	無	
29	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
30	新本籍コード	8(15)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(離婚同時77条の2届・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	新本籍地番	K(50)	無	無	
32	新筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
33	新筆頭者	K(30)	無	無	
34	外国離婚方式	K(50)	無	無	
35	裁判所所在国	K(50)	無	無	
36	外国裁判所名	K(30)	無	無	
37	親権指定者の有無	9(1)	有	無	
38	未成年の子の人数	9(2)	無	無	
39	届出人資格1	9(3)	有	無	
40	届出人資格2	9(3)	有	無	
41	未成年者nカナ氏名	N(60)	無	n	繰り返しの数は未成年の子の人数 No.41～No.50までのバイト数は373バイト
42	未成年者n漢字氏名	K(30)	無	n	
43	未成年者n父の氏名	K(30)	無	n	
44	未成年者n母の氏名	K(30)	無	n	
45	未成年者n父母との続柄コード	9(2)	有	n	
46	未成年者n生年月日	9(8)	無	n	
47	未成年者n養父の氏名	K(30)	無	n	
48	未成年者n養母の氏名	K(30)	無	n	
49	未成年者n養父母との続柄コード	9(2)	有	n	
50	未成年者n親権者区分	9(1)	有	n	
51	予備	X(――)	――	――	No.1～No.40までのバイト数は1561バイト 未成年者数が6人とすると予備は201バイト 7人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(親権(管理権)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年者の個人番号	9(10)	無	無	
2	未成年者の外国人区分	9(1)	有	無	
3	未成年者の本非区分	9(1)	有	無	
4	未成年者の生年月日	9(8)	無	無	
5	未成年者のカナ氏名	N(60)	無	無	
6	未成年者の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	未成年者の本籍コード	9(15)	有	無	
8	未成年者の本籍	K(50)	無	無	
9	未成年者の筆頭者	K(30)	無	無	
10	親権者の個人番号	9(10)	無	無	
11	親権者の外国人区分	9(1)	有	無	
12	親権者の本非区分	9(1)	有	無	
13	親権者の生年月日	9(8)	無	無	
14	親権者のカナ氏名	N(60)	無	無	
15	親権者の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	親権者の本籍コード	9(15)	有	無	
17	親権者の本籍	K(50)	無	無	
18	親権者の筆頭者名	K(30)	無	無	
19	親権者資格	9(3)	有	無	
20	届出事件コード	9(1)	有	無	
21	届出事件種別区分	9(1)	有	無	
22	審判/調停日	9(8)	無	無	
23	関連事件発生日	9(8)	無	無	
24	届出人資格1	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人・協議者資格	9(3)	有	無	
27	届出人・協議者の個人番号	9(10)	無	無	
28	届出人・協議者の外国人区分	9(1)	有	無	
29	届出人・協議者の本非区分	9(1)	有	無	
30	届出人・協議者の生年月日	9(8)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(親権(管理権)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	届出人･協議者のカナ氏名	N(60)	無	無	
32	届出人･協議者の漢字氏名	K(30)	無	無	
33	届出人･協議者の本籍コード	9(15)	有	無	
34	届出人･協議者の本籍	K(50)	無	無	
35	予備	X(3028)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(後見･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被後見人の個人番号	9(10)	無	無	
2	被後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
3	被後見人の本非区分	9(1)	有	無	
4	被後見人の生年月日	9(8)	無	無	
5	被後見人区分	9(1)	有	無	
6	被後見人のカナ氏名	N(60)	無	無	
7	被後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
8	被後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
9	被後見人の本籍	K(50)	無	無	
10	被後見人の筆頭者	K(30)	無	無	
11	後見人の個人番号	9(10)	無	無	
12	後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
13	後見人の本非区分	9(1)	有	無	
14	後見人の生年月日	9(8)	無	無	
15	後見人区分	9(1)	有	無	
16	後見人のカナ氏名	N(60)	無	無	
17	後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
18	後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
19	後見人の本籍	K(50)	無	無	
20	後見人の筆頭者名	K(30)	無	無	
21	後見人資格	9(3)	有	無	
22	届出原因区分	9(2)	有	無	
23	開始日	9(8)	無	無	
24	就職日	9(8)	無	無	
25	終了日	9(8)	無	無	
26	前任者氏名	K(30)	無	無	
27	届出人資格	9(3)	有	無	
28	届出人氏名	K(30)	無	無	
29	予備	X(3216)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(保佐･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被保佐人の個人番号	9(10)	無	無	
2	被保佐人の外国人区分	9(1)	有	無	
3	被保佐人の本非区分	9(1)	有	無	
4	被保佐人の生年月日	9(8)	無	無	
5	被保佐人のカナ氏名	N(60)	無	無	
6	被保佐人の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	被保佐人の本籍コード	9(15)	有	無	
8	被保佐人の本籍	K(50)	無	無	
9	被保佐人の筆頭者	K(30)	無	無	
10	保佐人の個人番号	9(10)	無	無	
11	保佐人の外国人区分	9(1)	有	無	
12	保佐人の本非区分	9(1)	有	無	
13	保佐人の生年月日	9(8)	無	無	
14	保佐人のカナ氏名	N(60)	無	無	
15	保佐人の漢字氏名	K(30)	無	無	
16	保佐人の本籍コード	9(15)	有	無	
17	保佐人の本籍	K(50)	無	無	
18	保佐人の筆頭者名	K(30)	無	無	
19	保佐人資格	9(3)	有	無	
20	届出原因区分	9(2)	有	無	
21	開始日	9(8)	無	無	
22	就職日	9(8)	無	無	
23	終了日	9(8)	無	無	
24	前任者氏名	K(30)	無	無	
25	届出人資格	9(3)	有	無	
26	届出人氏名	K(30)	無	無	
27	予備	X(3218)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(死亡・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	死亡者個人番号	9(10)	無	無	
2	外人区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	本籍不分明区分	9(1)	有	無	
5	関連受領番号	9(7)	無	無	
6	カナ氏名	N(60)	無	無	
7	漢字氏名	K(30)	無	無	
8	性別	9(1)	有	無	
9	死亡日	9(8)	無	無	
10	推定区分	9(1)	有	無	
11	死亡の午前午後区分	9(1)	有	無	
12	死亡の時分	9(4)	無	無	
13	終期の死亡の午前午後区分	9(1)	有	無	
14	終期の死亡の時分	9(4)	無	無	
15	死亡区分	9(1)	有	無	
16	死亡日時	K(50)	無	無	
17	死亡場所市町村	K(50)	無	無	
18	死亡場所町丁目	K(50)	無	無	
19	住所コード	9(15)	有	無	
20	住所	K(50)	無	無	
21	世帯主	K(30)	無	無	
22	本籍コード	9(15)	有	無	
23	本籍	K(50)	無	無	
24	筆頭者	K(30)	無	無	
25	届出人資格	9(3)	有	無	
25-1	届出人資格名称	K(30)	無	無	
26	届出人氏名	K(30)	無	無	
27	届出人住所コード	9(15)	有	無	
28	届出人住所	K(50)	無	無	
29	配偶者有無区分	9(1)	有	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(死亡・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
30	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
31	予備	X(2942)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(失踪・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	失踪者個人番号	9(10)	無	無	
2	外人区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	カナ氏名	X(60)	無	無	
5	漢字氏名	K(30)	無	無	
6	死亡日	9(8)	無	無	
7	審判確定日	9(8)	無	無	
8	住所コード	9(15)	有	無	
9	住所	K(50)	無	無	
10	世帯主	K(30)	無	無	
11	本籍コード	9(15)	有	無	
12	本籍	K(50)	無	無	
13	筆頭者	K(30)	無	無	
14	届出人資格	9(3)	有	無	
15	その他の届出人資格名称	K(30)	無	無	
16	届出人氏名	K(30)	無	無	
17	配偶者有無区分	9(1)	有	無	
18	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
19	予備	X(3370)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(復氏･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	復氏者個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者区分	9(1)	有	無	
6	配偶者区分	9(1)	有	無	
7	住所コード	9(15)	有	無	
8	住所	K(50)	無	無	
9	世帯主	K(30)	無	無	
10	本籍コード	9(15)	有	無	
11	本籍	K(50)	無	無	
12	筆頭者	K(30)	無	無	
13	父氏名	K(30)	無	無	
14	母氏名	K(30)	無	無	
15	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
16	復籍区分	9(1)	有	無	
17	届後本籍コード	9(15)	有	無	
18	届後本籍	K(50)	無	無	
19	届後戸籍の筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
20	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
21	氏区分	9(1)	有	無	
21-1	復籍戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
21-2	異動後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
22	死亡配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
23	死亡配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
24	死亡配偶者死亡日	9(8)	無	無	
25	現在配偶者個人番号	9(10)	無	無	
26	現在配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
27	現在配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
28	現在配偶者外人区分	9(1)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(復氏･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
29	現在配偶者筆頭者区分	9(1)	有	無	
30	現在配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
31	現在配偶者生年月日	9(8)	無	無	
32	現在配偶者父氏名	K(30)	無	無	
33	現在配偶者母氏名	K(30)	無	無	
34	現在配偶者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
35	現在配偶者住所コード	9(15)	有	無	
36	現在配偶者住所	K(50)	無	無	
37	予備	X(2643)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(姻族関係終了･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	外人区分	9(1)	有	無	
5	生年月日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(15)	有	無	
7	本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者	K(30)	無	無	
9	死亡配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
10	死亡配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
11	死亡配偶者外人区分	9(1)	有	無	
12	死亡年月日	9(8)	無	無	
13	同籍区分	9(1)	有	無	
14	死亡配偶者本籍コード	9(15)	有	無	
15	死亡配偶者本籍	K(50)	無	無	
16	死亡配偶者筆頭者	K(30)	無	無	
17	予備	X(3381)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(推定相続人廃除届･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	被廃除者個人番号	9(10)	無	無	
2	被廃除者外人区分	9(1)	有	無	
3	被廃除者生年月日	9(8)	無	無	
4	被廃除者カナ氏名	N(60)	無	無	
5	被廃除者漢字氏名	K(30)	無	無	
6	被廃除者本籍コード	9(15)	有	無	
7	被廃除者本籍	K(50)	無	無	
8	被廃除者筆頭者	K(30)	無	無	
9	廃除者個人番号	9(10)	無	無	
10	廃除者外人区分	9(1)	有	無	
11	廃除者生年月日	9(8)	無	無	
12	廃除者資格区分	9(3)	有	無	
13	廃除者資格名称	K(30)	無	無	
14	廃除者カナ氏名	N(60)	無	無	
15	廃除者漢字氏名	K(30)	無	無	
16	廃除者本籍コード	9(15)	有	無	
17	廃除者本籍	K(50)	無	無	
18	廃除者筆頭者	K(30)	無	無	
19	裁判種別	9(1)	有	無	
20	裁判確定日	9(8)	無	無	
21	届出人資格	9(3)	有	無	
22	届出人資格名称	K(30)	無	無	
23	届出人氏名	K(30)	無	無	
24	予備	X(3177)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(入籍･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	入籍者種別	9(1)	有	無	
2	同時入籍者数	9(1)	無	無	
3	入籍事由	9(1)	有	無	
4	入籍相手	9(1)	有	無	
5	従前の氏を改めた日	9(8)	無	無	
6	許可の審判確定日	9(8)	無	無	
7	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
8	入籍先の本非区分	9(1)	有	無	
9	入籍先の個人除区分	9(1)	有	無	
10	入籍先の筆頭者区分	9(1)	有	無	
11	入籍先の配偶者区分	9(1)	有	無	
12	入籍先の本籍コード	9(15)	有	無	
13	入籍先の本籍	K(50)	無	無	
14	入籍先の筆頭者	K(30)	無	無	
15	入籍先の個人番号	9(10)	無	無	
16	入籍先のカナ氏名	N(60)	無	無	
17	入籍先の漢字氏名	K(30)	無	無	
18	入籍先の住所コード	9(15)	有	無	
19	入籍先の住所	K(50)	無	無	
20	入籍先の世帯主	K(30)	無	無	
21	入籍先の父の氏名	K(30)	無	無	
22	入籍先の母の氏名	K(30)	無	無	
23	入籍先の父母との続柄	9(2)	有	無	
24	入籍人の生年月日	9(8)	無	無	
25	新本籍コード	9(15)	有	無	
26	新本籍	K(50)	無	無	
27	新筆頭者	K(30)	無	無	
28	入籍人の本非区分	9(1)	有	無	
29	入籍人の本籍コード	9(15)	有	無	
30	入籍人の本籍	K(50)	無	無	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(入籍･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	入籍人の筆頭者	K(30)	無	無	
32	入籍人nの筆頭者区分	9(1)	有	n	繰り返しの数は入籍人の人数 No.32～No.47までのバイト数は560バイト
33	入籍人nの配偶者区分	9(1)	有	n	
34	入籍人nの更正区分	9(1)	有	n	
35	入籍人nの個人番号	9(10)	無	n	
36	入籍人nのカナ氏名	N(60)	無	n	
37	入籍人nの漢字氏名	K(30)	無	n	
38	入籍人nの生年月日	9(8)	無	n	
39	入籍人nの住所コード	9(15)	有	n	
40	入籍人nの住所	K(50)	無	n	
41	入籍人nの世帯主	K(30)	無	n	
42	入籍人nの父の氏名	K(30)	無	n	
43	入籍人nの母の氏名	K(30)	無	n	
44	入籍人nの父母続柄	9(2)	有	n	
45	入籍人nの養父の氏名	K(30)	無	n	
46	入籍人nの養母の氏名	K(30)	無	n	
47	入籍人nの養父母続柄	9(2)	有	n	
48	届出人資格1	9(3)	有	無	
49	届出人氏名1	K(30)	無	無	
50	届出人資格2	9(3)	有	無	
51	届出人氏名2	K(30)	無	無	
52	入籍人配偶者のカナ氏名	N(60)	無	無	
53	入籍人配偶者の漢字氏名	K(30)	無	無	
54	入籍人配偶者の生年月日	9(8)	無	無	
55	入籍人配偶者の父氏名	K(30)	無	無	
56	入籍人配偶者の母氏名	K(30)	無	無	
57	入籍人配偶者の父母との続柄	9(2)	有	無	
58	入籍人配偶者の養父氏名	K(30)	無	無	
59	入籍人配偶者の養母氏名	K(30)	無	無	
60	入籍人配偶者の養父母との続柄	9(2)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/3

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(入籍･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
61	入籍人配偶者の住所コード	9(15)	有	無	
62	入籍人配偶者の住所	K(50)	無	無	
63	入籍人配偶者の世帯主	K(30)	無	無	
64	入籍人配偶者の外国人区分	9(1)	有	無	
65	入籍人配偶者の配偶者区分	9(1)	有	無	
66	入籍人配偶者の更正区分	9(1)	有	無	
67	入籍人配偶者の個人番号	9(10)	無	無	
68	予備	X(――)	――	――	No.32～No.47以外のバイト数は1672バイト 入籍人数が4人とすると予備は88バイト 5人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(分籍･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	筆頭者区分	9(1)	有	無	
2	配偶者区分	9(1)	有	無	
3	生年月日	9(8)	無	無	
4	婚姻事項の有無	9(1)	有	無	
5	渉外区分	9(1)	有	無	
6	婚姻日	9(8)	無	無	
7	個人番号	9(10)	無	無	
8	カナ氏名	N(60)	無	無	
9	漢字氏名	K(30)	無	無	
10	住所コード	9(15)	有	無	
11	住所地番	K(50)	無	無	
12	世帯主	K(30)	無	無	
13	本籍コード	9(15)	有	無	
14	本籍地番	K(50)	無	無	
15	筆頭者	K(30)	無	無	
16	父の氏名	K(30)	無	無	
17	母の氏名	K(30)	無	無	
18	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
19	新本籍コード	9(15)	有	無	
20	新本籍地番	K(50)	無	無	
21	予備	X(3263)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(国籍取得･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	カナ氏名	N(60)	無	無	
2	漢字氏名	K(30)	無	無	
3	従前氏名	K(30)	無	無	
4	従前国籍	K(50)	無	無	
5	生年月日	X(7)	無	無	
6	父個人番号	9(10)	無	無	
7	父氏名	K(30)	無	無	
8	母個人番号	9(10)	無	無	
9	母氏名	K(30)	無	無	
10	父母との続柄コード	9(2)	有	無	
11	国籍取得年月日	X(7)	無	無	
12	国籍取得区分	9(1)	有	無	
13	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
14	届後本籍コード	9(15)	有	無	
15	届後本籍	K(50)	無	無	
16	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
17	届後戸籍での筆頭者区分	9(1)	有	無	
18	届後戸籍での配偶者区分	9(1)	有	無	
19	住所コード	9(15)	有	無	
20	住所	K(50)	無	無	
21	住民日	X(7)	無	無	
22	住定日	X(7)	無	無	
23	世帯主区分	9(1)	有	無	
24	世帯主名	K(30)	無	無	
25	世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
26	15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
27	15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
28	15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
29	15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
30	予備	X(3063)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(帰化･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	帰化種別	9(1)	有	無	
2	同時帰化者数	9(1)	無	無	
3	帰化者カナ氏名	N(60)	無	無	
4	帰化者漢字氏名	K(30)	無	無	
5	帰化者従前氏名	K(30)	無	無	
6	帰化者従前国籍	K(50)	無	無	
7	帰化者生年月日	X(7)	無	無	
8	帰化者配偶者区分	9(1)	有	無	
9	公示年月日	X(7)	無	無	
10	帰化者父氏名	K(30)	無	無	
11	帰化者父の本籍コード	9(15)	有	無	
12	帰化者父の本･国籍	K(50)	無	無	
13	帰化者母氏名	K(30)	無	無	
14	帰化者母の本籍コード	9(15)	有	無	
15	帰化者母の本･国籍	K(50)	無	無	
16	帰化者父母との続柄コード	9(2)	有	無	
17	帰化者住民日	X(7)	無	無	
18	帰化者住定日	X(7)	無	無	
19	帰化者住所コード	9(15)	有	無	
20	帰化者住所	K(50)	無	無	
21	帰化者世帯主区分	9(1)	有	無	
22	帰化者世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
23	帰化者世帯主名	K(30)	無	無	
24	帰化者15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	無	
25	帰化者15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	無	
26	帰化者15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	無	
27	帰化者15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	無	
28	帰化者妻カナ氏名	N(60)	無	無	
29	帰化者妻漢字氏名	K(30)	無	無	
30	帰化者妻従前氏名	K(30)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(帰化･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	帰化者妻従前国籍	K(50)	無	無	
32	帰化者妻生年月日	X(7)	無	無	
33	帰化者妻父氏名	K(30)	無	無	
34	帰化者妻父の本籍コード	9(15)	有	無	
35	帰化者妻父の本･国籍	K(50)	無	無	
36	帰化者妻母氏名	K(30)	無	無	
37	帰化者妻母の本籍コード	9(15)	有	無	
38	帰化者妻母の本･国籍	K(50)	無	無	
39	帰化者妻父母との続柄コード	9(2)	有	無	
40	帰化者妻住民日	X(7)	無	無	
41	帰化者妻住定日	X(7)	無	無	
42	帰化者妻住所コード	9(15)	有	無	
43	帰化者妻住所	K(50)	無	無	
44	帰化者妻世帯主区分	9(1)	有	無	
45	帰化者妻世帯主との続柄コード	9(6)	有	無	
46	帰化者妻世帯主名	K(30)	無	無	
47	戸籍変動区分	9(1)	有	無	
48	届後本籍コード	9(15)	有	無	
49	届後本籍	K(50)	無	無	
50	届後戸籍の筆頭者	K(30)	無	無	
51	帰化記載者資格1	9(3)	無	無	
52	帰化記載者資格2	9(3)	無	無	
53	養/父母カナ氏名	N(60)	無	無	
54	養/父母漢字氏名	K(30)	無	無	
55	養/父母本籍コード	9(15)	有	無	
56	養/父母本籍	K(50)	無	無	
57	養/父母筆頭者	K(30)	無	無	
58	養/父母父氏名	K(30)	無	無	
59	養/父母母氏名	K(30)	無	無	
60	養/父母父母との続柄コード	9(2)	有	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(帰化･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
61	養/父母生年月日	X(7)	無	無	
62	養/父母住所コード	9(15)	無	無	
63	養/父母住所	K(50)	無	無	
64	連署人筆頭者区分	9(1)	無	無	
65	連署人配偶者区分	9(1)	無	無	
66	連署人カナ氏名	N(60)	無	無	
67	連署人漢字氏名	K(30)	無	無	
68	連署人本籍コード	9(15)	有	無	
69	連署人本籍	K(30)	無	無	
70	連署人筆頭者	K(30)	無	無	
71	連署人父氏名	K(30)	無	無	
72	連署人母氏名	K(30)	無	無	
73	連署人父母との続柄コード	9(2)	有	無	
74	連署人生年月日	X(7)	無	無	
75	連署人住所コード	9(15)	有	無	
76	連署人住所	K(50)	無	無	
77	同時帰化者nカナ氏名	N(60)	無	n	繰り返し数は同時帰化者数 No.77～No.101までのバイト数は967バイト
78	同時帰化者n漢字氏名	K(30)	無	n	
79	同席帰化者n従前氏名	K(30)	無	n	
80	同時帰化者n従前国籍	K(50)	無	n	
81	同時帰化者n生年月日	X(7)	無	n	
82	同時帰化者n父氏名	K(30)	無	n	
83	同時帰化者n父の本籍コード	9(15)	有	n	
84	同時帰化者n父の本･国籍	K(50)	無	n	
85	同時帰化者n母氏名	K(30)	無	n	
86	同時帰化者n母の本籍コード	9(15)	有	n	
87	同時帰化者n母の本･国籍	K(50)	無	n	
88	同時帰化者n父母との続柄コード	9(2)	有	n	
89	同時帰化者n住民日	X(7)	無	n	
90	同時帰化者n住定日	X(7)	無	n	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/4

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(帰化･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
91	同時帰化者n住所コード	9(15)	有	n	
92	同時帰化者n住所	K(50)	無	n	
93	同時帰化者n世帯主区分	9(1)	有	n	
94	同時帰化者n世帯主との続柄コード	9(6)	有	n	
95	同時帰化者n世帯主名	K(30)	無	n	
96	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1	9(3)	有	n	
97	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2	9(3)	有	n	
98	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1	K(30)	無	n	
99	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2	K(30)	無	n	
100	同時帰化者n帰化記載者資格1	9(3)	無	n	
101	同時帰化者n帰化記載者資格2	9(3)	無	n	
102	予備	X(――)	――	――	No.1～No.76までのバイト数は3028バイト 同時帰化者数が1人とすると予備は 5バイト 2人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(国籍喪失･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍喪失者個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	喪失年月日	9(8)	無	無	
6	住所コード	9(15)	有	無	
7	住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	本籍コード	9(15)	有	無	
10	本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
12	喪失原因区分	9(1)	有	無	
13	国名コード	9(15)	有	無	
14	喪失原因国名	K(50)	無	無	
15	届出人資格1	9(3)	有	無	
16	届出人氏名1	K(30)	無	無	
17	届出人資格2	9(3)	有	無	
18	届出人氏名2	K(30)	無	無	
19	予備	X(3262)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(国籍選択･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	国籍選択者個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	本籍コード	9(15)	有	無	
5	本籍	K(50)	無	無	
6	筆頭者	K(30)	無	無	
7	生年月日	9(8)	無	無	
8	国名コード1	9(15)	有	無	
9	現有外国国籍1	K(50)	無	無	
10	国名コード2	9(15)	有	無	
11	現有外国国籍2	K(50)	無	無	
12	国名コード3	9(15)	有	無	
13	現有外国国籍3	K(50)	無	無	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(30)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(30)	無	無	
18	予備	X(3216)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(外国国籍喪失･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	外国国籍喪失者個人番号	9(10)	無	無	
2	カナ氏名	N(60)	無	無	
3	漢字氏名	K(30)	無	無	
4	生年月日	9(8)	無	無	
5	喪失年月日	9(8)	無	無	
6	本籍コード	9(15)	有	無	
7	本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者	K(30)	無	無	
9	国名コード	9(15)	有	無	
10	国籍喪失国名	K(50)	無	無	
11	届出人資格1	9(3)	有	無	
12	届出人氏名1	K(30)	無	無	
13	届出人資格2	9(3)	有	無	
14	届出人氏名2	K(30)	無	無	
15	予備	X(3438)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(氏の変更(107条1項)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
5	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
6	筆頭者配偶者区分	9(1)	有	無	
7	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
8	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
10	筆頭者住所	K(50)	無	無	
11	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
12	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
13	配偶者氏名	K(30)	無	無	
14	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
15	配偶者配偶者区分	9(1)	有	無	
16	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
17	配偶者住所	K(50)	無	無	
18	配偶者世帯主	K(30)	無	無	
19	変更前カナ氏	N(40)	無	無	
20	変更前漢字氏	K(20)	無	無	
21	変更後カナ氏	N(40)	無	無	
22	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
23	審判確定日	9(8)	無	無	
24	届出人資格1	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人資格2	9(3)	有	無	
27	届出人氏名2	K(30)	無	無	
28	名義使用区分	9(1)	有	無	
29	構成員人数	9(2)	無	無	
39	構成員nの個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(氏の変更(107条1項)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	構成員nの漢字氏名	K(30)	無	n	構成員人数 No.30～No.39までのバイト数は486バイト
32	構成員nの父の氏名	K(30)	無	n	
33	構成員nの母の氏名	K(30)	無	n	
34	構成員nの養父の氏名	K(30)	無	n	
35	構成員nの養母の氏名	K(30)	無	n	
36	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
37	構成員n住所	K(50)	無	n	
38	構成員nの世帯主	K(30)	無	n	
39	構成員n更正区分	9(1)	有	n	
40	予備	X(――)	――	――	No.1～No.29までのバイト数は974バイト 構成員人数が6人とすると予備は110バイト 7人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(氏の変更(107条2項)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後カナ氏	N(40)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
7	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
9	筆頭者住所	K(50)	無	無	
10	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
11	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
12	筆頭者婚姻年月日	9(8)	無	無	
13	配偶者区分	9(1)	有	無	
14	配偶者氏	K(20)	無	無	
15	配偶者名	K(20)	無	無	
16	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
17	同籍者区分	9(1)	有	無	
18	届後戸籍筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
19	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	新本籍	K(50)	無	無	
22	予備	X(3166)	――	――	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(氏の変更(107条3項)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
3	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後カナ氏	N(40)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	筆頭者本籍コード	9(15)	有	無	
7	筆頭者本籍	K(50)	無	無	
8	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
9	筆頭者住所	K(50)	無	無	
10	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
11	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
12	筆頭者婚姻解消日	9(8)	無	無	
13	107条3項原因	9(1)	有	無	
14	配偶者氏名	K(30)	無	無	
15	同籍者区分	9(1)	有	無	
16	届後戸籍筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
17	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
18	新本籍コード	9(15)	有	無	
19	新本籍	K(50)	無	無	
20	予備	X(3187)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(氏の変更(107条4項)・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	氏変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	氏変更者カナ氏名	N(60)	無	無	
3	氏変更者漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後カナ氏	N(40)	無	無	
5	変更後漢字氏	K(20)	無	無	
6	氏変更者住所コード	9(15)	有	無	
7	氏変更者住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	氏変更者本籍コード	9(15)	有	無	
10	氏変更者本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
12	筆頭者区分	9(1)	有	無	
13	配偶者区分	9(1)	有	無	
14	生年月日	9(8)	無	無	
15	審判確定日	9(8)	無	無	
16	外国人父母区分	9(1)	有	無	
17	外国人父母氏名	K(30)	無	無	
18	届後戸籍筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
19	届後戸籍筆頭者氏名	K(30)	無	無	
20	新本籍コード	9(15)	有	無	
21	氏変更者新本籍	K(50)	無	無	
22	届出人資格1	9(3)	有	無	
23	届出人資格2	9(3)	有	無	
24	届出人氏名1	K(30)	無	無	
25	届出人氏名2	K(30)	無	無	
26	予備	X(3000)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(名の変更･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	名の変更者個人番号	9(10)	無	無	
2	名の変更者のカナ氏名	N(60)	無	無	
3	名の変更者の漢字氏名	K(30)	無	無	
4	変更後カナ名	N(40)	無	無	
5	変更後漢字名	K(20)	無	無	
6	住所コード	9(15)	有	無	
7	住所	K(50)	無	無	
8	世帯主	K(30)	無	無	
9	本籍コード	9(15)	有	無	
10	本籍	K(50)	無	無	
11	筆頭者	K(30)	無	無	
12	生年月日	9(8)	無	無	
13	審判日	9(8)	無	無	
14	届出人資格1	9(3)	有	無	
15	届出人氏名1	K(30)	無	無	
16	届出人資格2	9(3)	有	無	
17	届出人氏名2	K(30)	無	無	
18	筆頭者区分	9(1)	有	無	
19	構成員n漢字氏名	K(30)	無	n	繰り返しの数は構成員人数 No.19～No.27までのバイト数は476バイト
20	構成員n父氏名	K(30)	無	n	
21	構成員n母氏名	K(30)	無	n	
22	構成員n養父氏名	K(30)	無	n	
23	構成員n養母氏名	K(30)	無	n	
24	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
25	構成員n住所	K(50)	無	n	
26	構成員n世帯主	K(30)	無	n	
27	構成員n更正区分	9(1)	有	n	
28	予備	X(――)	――	――	No.1～No.18までのバイト数は703バイト 構成員人数が5人とすると予備は441バイト 6人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(転籍・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	本籍コード	9(15)	有	無	
2	本籍	K(50)	無	無	
3	新本籍コード	9(15)	有	無	
4	新本籍	K(50)	無	無	
5	筆頭者個人番号	9(10)	無	無	
6	筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
7	筆頭者漢字氏名	K(30)	無	無	
8	筆頭者生年月日	9(8)	無	無	
9	筆頭者個人除区分	9(1)	有	無	
10	筆頭者配偶者入力区分	9(1)	有	無	
11	筆頭者住所コード	9(15)	有	無	
12	筆頭者住所	K(50)	無	無	
13	筆頭者世帯主	K(30)	無	無	
14	配偶者配偶者入力区分	9(1)	有	無	
15	配偶者外人区分	9(1)	有	無	
16	配偶者個人番号	9(10)	無	無	
17	配偶者カナ氏名	N(60)	無	無	
18	配偶者漢字氏名	K(30)	無	無	
19	配偶者生年月日	9(8)	無	無	
20	配偶者住所コード	9(15)	有	無	
21	配偶者住所	K(50)	無	無	
22	配偶者世帯主	K(30)	無	無	
23	届出人資格1	9(3)	有	無	
24	届出人資格2	9(3)	有	無	
25	届出人氏名1	K(30)	無	無	
26	届出人氏名2	K(30)	無	無	
27	名義使用区分	9(1)	有	無	
28	構成員人数	9(2)	無	無	
29	構成員n個人番号	9(10)	無	n	繰り返しの数は構成員人数
30	構成員nカナ氏名	N(60)	無	n	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(転籍・事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
31	構成員n漢字氏名	K(30)	無	n	No.29～No.35までのバイト数は313バイト
32	構成員n住所コード	9(15)	有	n	
33	構成員n住所	K(50)	無	n	
34	構成員n世帯主	K(30)	無	n	
35	構成員n生年月日	9(8)	無	n	
36	予備	X(――)	――	――	No.1～No.26までのバイト数は989バイト 構成員人数が9人とすると予備は194バイト 10人以上の場合は別レコードにする等の方法を考える

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(就籍･事件別内容)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	カナ氏名	N(60)	無	無	
2	漢字氏名	K(30)	無	無	
3	住所コード	9(15)	有	無	
4	住所	K(50)	無	無	
5	生年月日	9(8)	無	無	
6	世帯主	K(30)	無	無	
7	本籍コード	9(15)	有	無	
8	本籍	K(50)	無	無	
9	筆頭者カナ氏名	N(60)	無	無	
10	筆頭者	K(30)	無	無	
11	父の氏名	K(30)	無	無	
12	母の氏名	K(30)	無	無	
13	父母続柄コード	9(2)	有	無	
14	父母続柄	K(3)	有	無	
15	審判日	9(8)	無	無	
16	住定日	9(8)	無	無	
17	戸籍変動区分コード	9(1)	有	無	
18	就籍原因コード	9(1)	有	無	
19	届出人資格コード	9(3)	有	無	
20	届出人氏名	K(30)	無	無	
21	予備	X(3253)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(未成年者の後見・事件別内容)	平成31年 3月31日	令和　年　月　日	22

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
届書					4000

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	未成年被後見人の個人番号	9(10)	無	無	
2	未成年被後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
3	未成年被後見人の本非区分	9(1)	有	無	
4	未成年被後見人の生年月日	9(8)	無	無	
5	未成年被後見人のカナ氏名	N(60)	無	無	
6	未成年被後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
7	未成年被後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
8	未成年被後見人の本籍	K(50)	無	無	
9	未成年被後見人の筆頭者	K(30)	無	無	
10	未成年後見人の個人番号	9(10)	無	無	
11	未成年後見人の外国人区分	9(1)	有	無	
12	未成年後見人の本非区分	9(1)	有	無	
13	未成年後見人の生年月日	9(8)	無	無	
14	未成年後見人の区分	9(1)	有	無	
15	未成年後見人のカナ氏名	N(60)	無	無	
16	未成年後見人の漢字氏名	K(30)	無	無	
17	未成年後見人の本籍コード	9(15)	有	無	
18	未成年後見人の本籍	K(50)	無	無	
19	未成年後見人の筆頭者	K(30)	無	無	
20	未成年後見人資格	9(3)	有	無	
21	未成年後見人の法人住所コード	9(15)	有	無	
22	未成年後見人の法人住所	K(50)	無	無	
23	届出事件種別区分	9(2)	有	無	
24	開始日	9(8)	無	無	
25	就職日	9(8)	無	無	
26	終了日	9(8)	無	無	
27	裁判確定日	9(8)	無	無	
28	記録嘱託日	9(8)	無	無	
29	前任者氏名	K(30)	無	無	
30	届出人資格	9(3)	有	無	
31	届出人氏名	K(30)	無	無	
32	予備	X(3086)	—	—	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　住民票異動

目的:　届出により管内の戸籍に異動が発生すると同時に管内の住民票に変動が生ずる場合に,住民票へ異動内容を通知するファイルである。

住定日:　国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。
住民日:　国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。
世帯主との続柄:　出生,国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。

その他:　住民票通知ファイルの管内版である(詳細は住民票異動ファイルを参照)。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
住民票異動			ディスク	順	900

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	事件コード	9(2)	有	無	
4	受理日	9(8)	無	無	
5	新氏名	K(30)	無	無	
6	旧氏名	K(30)	無	無	
7	新生年月日	9(8)	無	無	
8	旧生年月日	9(8)	無	無	
9	新父母との続柄	9(2)	有	無	
10	旧父母との続柄	9(2)	有	無	
11	新本籍コード	9(15)	有	無	
12	新本籍	K(50)	無	無	
13	旧本籍コード	9(15)	有	無	
14	旧本籍	K(50)	無	無	
15	新筆頭者	K(30)	無	無	
16	旧筆頭者	K(30)	無	無	
17	住所コード	9(15)	有	無	
18	住所	K(50)	無	無	
19	方書	K(50)	無	無	
20	住定日	9(8)	無	無	
21	住民日	9(8)	無	無	
22	世帯主	K(30)	無	無	
23	世帯主との続柄	9(6)	有	無	
24	予備	X(91)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　住民票通知

目的:　届出により他市区町村の住民票に異動が発生する場合に作成するファイルである。

出張所番号:　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード:　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
住定日:　国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。
住民日:　国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。
世帯主との続柄:　出生,国籍取得,帰化および就籍のときに入力される。

その他:　1人1通作成する。
　　変更がない項目については旧項目だけを出力する。

住民票通知が不要な事件
　親権(管理権),後見,保佐,姻族関係終了,推定相続人廃除,同取消,国籍選択,外国国籍喪失

住民票通知が要･不要の判断が必要な事件(住民票の内容が変更になる場合だけ出力)
　認知,婚姻,離婚
　養子縁組,養子離縁における養親(養子に関しては必ず通知を作成する)

上記以外の事件については無条件に住民票通知を作成する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
住民票通知			ディスク	順	900

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	自治体毎に使用コードが異なる
4	宛名	K(20)	無	無	
5	事件コード	9(2)	有	無	
6	受理日	9(8)	無	無	
7	新氏名	K(30)	無	無	
8	旧氏名	K(30)	無	無	
9	新生年月日	9(8)	無	無	
10	旧生年月日	9(8)	無	無	
11	新父母との続柄	9(2)	有	無	
12	旧父母との続柄	9(2)	有	無	
13	新本籍	K(50)	無	無	
14	旧本籍	K(50)	無	無	
15	新筆頭者	K(30)	無	無	
16	旧筆頭者	K(30)	無	無	
17	住所	K(50)	無	無	
18	方書	K(50)	無	無	
19	住定日	9(8)	無	無	
20	住民日	9(8)	無	無	
21	世帯主	K(30)	無	無	
22	世帯主との続柄	K(10)	無	無	
23	予備	X(77)	——	——	

サンプル

ファイル名: 附票

目的: 附票情報を格納するファイルである。
本籍,筆頭者,個人氏名については戸籍ファイルを使用する。
住所の異動をすべて管理する。

検索キー:戸籍ファイルと同じ

戸籍個人番号: 戸籍データベースと関連付ける番号。
住記個人番号: 住民記録データベースと関連付ける番号。
履歴番号: 住所の変遷を示す番号。
現除区分: その住所が現住所か以前の住所かを表す区分。
作成日: 附票情報(住所・住定日)を作成した日(処理日)。
住所登録: 住所を登録した事由コード。
事由コード
消除日: 現住所でなくなった日(処理日)。
住所消除: 住所を消除した事由コード(住所登録事由コードと同じコードを使用する。)
事由コード
修正確定日:住所の変更が確定した日(職権で住所を変更したときのみ)。

※ 附票の項目については現在の附票(可視台帳)の項目を満足していれば,その他の項目については自治体の自由である。ただし,附票にまったく関係のない項目を持ってはならない(戸籍基準書で規定される)。

戸籍システムと連動させる附票システムについては,戸籍基準書と附票基準書の双方を参照のこと。
戸籍システムと連動させない附票システムについては,附票基準書のみ参照のこと。

DV(ドメスティックバイオレンス)・ストーカー被害者支援に関する法律に関する附票の発行抑止についてはメーカーに一任する。(平成16年7月1日施行)

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
附票	個人番号		ディスク	DB	300

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	戸籍個人番号	9(10)	無	無	
2	住記個人番号	9(10)	無	無	
3	履歴番号	9(2)	無	無	
4	現除区分	9(1)	有	無	0:現附票　1:除附票
5	作成日	9(8)	無	無	
6	住所登録事由コード	9(2)	有	無	
7	住所	K(50)	無	無	
8	方書	K(50)	無	無	
9	住定日	9(8)	無	無	
10	消除日	9(8)	無	無	
11	住所消除事由コード	9(2)	有	無	
12	修正確定日	9(8)	無	無	
13	予備	X(41)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　附票通知

目的:　届出により管内の戸籍から管外の戸籍に入籍する場合の附票通知を格納するファイルである。

出張所番号:　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード:　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
事件コード:　附票通知を作成する原因となった事件を格納する。
受理日:　附票通知を作成する原因となった事件を受理した日を格納する。

その他:　1届1通作成する。
　　転籍届等で1届に付き複数人の附票通知を作成する場合は、その人数分のレコードを作成する。

※　戸籍システムと連動した附票DBがないと当通知は出力できない。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
附票通知			ディスク	順	700

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	自治体毎に使用コードが異なる
4	宛名	K(20)	無	無	
5	事件コード	9(2)	有	無	
6	受理日	9(8)	無	無	
7	新本籍	K(50)	無	無	
8	旧本籍	K(50)	無	無	
9	新筆頭者	K(30)	無	無	
10	旧筆頭者	K(30)	無	無	
11	氏名	K(30)	無	無	
12	住所	K(50)	無	無	
13	方書	K(50)	無	無	
14	住定日	9(8)	無	無	
15	在外選挙人名簿登録市区町村コード	K(5)	有	無	自治体毎に使用コードが異なる コードで格納するか漢字で格納するかはメーカーに一任する
16	予備	X(350)	——	——	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)		平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名:　民刑異動
目的　:　管内の民刑名簿に記録されている個人に対する事件が発生した場合に作成する。
　　出力後の民刑異動名簿は、民刑担当者が民刑名簿を簡便に修正できるために作成したものである。
禁治産者区分:　禁治産者(成年被後見人も含む)か否かの区分。
準禁治産者区分:　準禁治産者か否かの区分。
破産宣告人区分:　破産宣告人か否かの区分。
犯歴区分:　犯歴があるか否かの区分。
その他:　民刑該当者に対する戸籍の処理があった場合は、異動の有無にかかわらず作成する。
　　個人内容の変動の有無にかかわらず新旧項目を出力する。
　　帳票出力は民刑担当者しか行えない。
　　原課プリンタからのみ出力する。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編製	レコード長
民刑異動			ディスク	順	500

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	処理日	9(8)	無	無	
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	事件コード	9(2)	有	無	
4	禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
5	準禁治産者区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
6	破産宣告人区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
7	犯歴区分	9(1)	有	無	0:無 1:有
8	新氏名	K(30)	無	無	
9	旧氏名	K(30)	無	無	
10	新本籍	K(50)	無	無	
11	旧本籍	K(50)	無	無	
12	新筆頭者	K(30)	無	無	
13	旧筆頭者	K(30)	無	無	
14	新生年月日	9(8)	無	無	
15	旧生年月日	9(8)	無	無	
16	予備	X(27)	-	-	
					禁治産者区分には 成年被後見人も含む

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　相続税法58条

目的:　死亡･失踪宣告による相続税法58条通知の内容を格納するファイルである。

相続開始年月日:　死亡日または死亡とみなされた日

筆頭者区分:　死亡者(失踪宣告者)が本籍人のときのみ設定する

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
相続税法58条			ディスク	順	700

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	カナ氏名	N(60)	無	無	
4	漢字氏名	K(30)	無	無	
5	住所	K(50)	無	無	
6	本籍	K(50)	無	無	
7	筆頭者区分	9(1)	有	無	0:構成員　1:筆頭者
8	生年月日	9(8)	無	無	
9	相続開始年月日	9(8)	無	無	
10	死亡地	K(50)	無	無	
11	届出人氏名	K(30)	無	無	
12	届出人住所	K(50)	無	無	
13	予備	X(91)	——	——	

ファイル名:　発送

目的:　届出により他市区町村に書類を送付する場合に、他市区町村の宛名を蓄積するファイルである。

出張所番号:　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード:　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
送付書類区分:　届書
不受理申出
胎児認知
住民票通知
附票通知
在外選挙人通知

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
発送			ディスク	順	200

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	自治体毎で使用コードが異なる
4	郵便番号	X(8)	無	無	
5	住所	K(50)	無	無	
6	宛名	K(20)	無	無	
7	送付書類区分				
	届書	9(1)	有	無	0:無 1:有
	不受理申出	9(1)	有	無	0:無 1:有
	胎児認知	9(1)	有	無	0:無 1:有
	住民票通知	9(1)	有	無	0:無 1:有
	附票通知	9(1)	有	無	0:無 1:有
	在外選挙人通知	9(1)	有	無	0:無 1:有
8	予備	X(99)	――	――	

第57(2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/5
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　統計

目的:　種々の統計票を作成するためのファイル。

概要:　事件票を作成するために必要な項目はすべて網羅した。
その他,必要と思われる附票関係,各帳票の通知数等の項目を追加した。

※　統計を取る項目はすべて本ファイルに項目を設定する。したがって,今後項目が追加される可能性がある。自治体毎に不要と思われる項目については削除しても構わない。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	1500

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	日付	9(8)	無	無	西暦日付
2	出張所番号	9(10)	有	無	
3	本籍数	9(7)	無	無	
4	本籍数の増減	9(5)	無	無	
5	本籍人口数	9(7)	無	無	
6	本籍人口数の増減	9(5)	無	無	
7	出生				
	本籍人届出数	9(5)	無	無	
	非本籍人届出数	9(5)	無	無	
	送付数	9(5)	無	無	
8	国籍留保	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
9	認知	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
10	養子縁組	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
11	養子縁組取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
12	養子離縁取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
13	特別養子縁組	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
14	特別養子離縁	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
15	戸籍法73条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
16	戸籍法69条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
17	婚姻	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
18	婚姻取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
19	離婚	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
20	離婚取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
21	戸籍法77条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
22	戸籍法75条の2	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
23	親権(届出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
24	親権(嘱託・甲類審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
25	親権(嘱託・審判前の保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
26	後見(嘱託・甲類審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
27	後見(嘱託・審判前の保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/5

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	1500

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
28	後見(嘱託・審判前の保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
29	保佐(届出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
30	保佐(嘱託・甲類審判の確定)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
31	保佐(嘱託・審判前の保全処分)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
32	死亡	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
33	失踪	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
34	失踪取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
35	復氏	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
36	姻族関係終了	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
37	相続人廃除	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
38	相続人廃除取消	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
39	入籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
40	分籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
41	国籍取得	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
42	帰化	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
43	国籍喪失	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
44	国籍選択	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
45	外国国籍喪失	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
46	戸籍法107条1項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
47	戸籍法107条2項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
48	戸籍法107条3項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
49	戸籍法107条4項	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
50	名の変更	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
51	転籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
52	就籍	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
53	訂正(市区町村長職権)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
54	訂正(戸籍法24条2項)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
55	訂正(戸籍法113条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
56	訂正(戸籍法114条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
57	訂正(戸籍法116条)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	4/5

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	1500

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
58	続柄の記載更正(嘱託)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
59	続柄の記載更正(申出)	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
60	追完	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
61	その他	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
62	不受理申出	9(15)	無	無	内訳は出生と同じ
63	新戸籍編製数	9(5)	無	無	
64	戸籍全部消除数	9(5)	無	無	
65	違反通知数	9(5)	無	無	
66	戸籍の再製･補完数	9(5)	無	無	
67	その他(届出の催告･錯誤遺漏通知)	9(5)	無	無	
68	戸籍全部証明書(有料)	9(6)	無	無	
69	戸籍全部証明書(無料)	9(6)	無	無	
70	除籍全部証明書(有料)	9(6)	無	無	
71	除籍全部証明書(無料)	9(6)	無	無	
72	戸籍個人証明書(有料)	9(6)	無	無	
73	戸籍個人証明書(無料)	9(6)	無	無	
74	除籍個人証明書(有料)	9(6)	無	無	
75	除籍個人証明書(無料)	9(6)	無	無	
76	戸籍一部証明書(有料)	9(6)	無	無	
77	戸籍一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
78	除籍一部証明書(有料)	9(6)	無	無	
79	除籍一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
80	戸籍記載事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
81	戸籍記載事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
82	除籍記載事項証明書(有料)	9(6)	無	無	
83	除籍記載事項証明書(無料)	9(6)	無	無	
84	受理証明書(有料)	9(6)	無	無	
85	受理証明書(無料)	9(6)	無	無	
86	特別の受理証明書	9(6)	無	無	
87	閲覧(有料)	9(6)	無	無	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/5

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
統計	日付	出張所番号	ディスク	索引	1500

No.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
88	閲覧(無料)	9(6)	無	無	
89	身分証明書	9(6)	無	無	
90	附票全部証明書(有料)	9(6)	無	無	
91	附票全部証明書(無料)	9(6)	無	無	
92	附票除票全部証明書(有料)	9(6)	無	無	
93	附票除票全部証明書(無料)	9(6)	無	無	
94	附票一部証明書(有料)	9(6)	無	無	
95	附票一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
96	附票除票一部証明書(有料)	9(6)	無	無	
97	附票除票一部証明書(無料)	9(6)	無	無	
98	附票一部記載数	9(6)	無	無	
99	附票全部記載数	9(6)	無	無	
100	附票一部消除数	9(6)	無	無	
101	附票全部消除数	9(6)	無	無	
102	附票通知作成数(受理分)	9(6)	無	無	住基法19条3項
103	附票通知作成数(送付分)	9(6)	無	無	住基法19条3項
104	住民票異動ファイル作成数	9(6)	無	無	住基法9条2項:管内
105	住民票通知作成数	9(6)	無	無	住基法9条2項:管外
106	附票通知受取数	9(6)	無	無	住基法19条1項
107	相続税法58条通知作成数	9(6)	無	無	
108	予備	X(353)	-	-	

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
戸籍(共通)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

ファイル名:　人口動態

目的:　人口動態票を作成するためのファイル。

厚生省の「標準仕様書」を参照のこと

サンプル

ファイル名:　在外選挙人通知

目的:　届出により、在外選挙人に対して戸籍の異動(氏変更・転籍等も含む)がある場合の在外選挙人通知を格納するファイルである。

出張所番号:　出張所(支所)別に宛名を出力する場合に使用する。
市区町村コード:　市区町村ごとに並びかえて(ソート)出力する場合に使用する。
事件コード:　在外選挙人通知を作成する原因となった事件を格納する。
受理日:　在外選挙人通知を作成する原因となった事件を受理した日を格納する。

その他:　事件本人以外の在外選挙人については、該当者一覧リストを出力して手書き対応とする。
　　また、在外選挙人通知データのメンテナンス機能を設けて該当者を追加できるようにすることはメーカーに一任する。

※　戸籍システムと連動した附票DBがないと当通知は出力できない。

第5 7 (2)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/2

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成11年3月1日	令和　年　月　日	2.1

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
在外選挙人通知			ディスク	順	500

NO.	項目名	項目のバイト数	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(9)	無	無	枝番無し
2	出張所番号	9(3)	有	無	
3	市区町村コード	9(5)	有	無	在外選挙人名簿登録市区町村コード 自治体毎に使用コードが異なる
4	宛名	K(20)	無	無	市区町村コードを宛名に変換する
5	事件コード	9(2)	有	無	
6	受理日	9(8)	無	無	
7	個人番号	9(10)	無	無	
8	新氏名	K(30)	無	無	
9	旧氏名	K(30)	無	無	
10	新生年月日	9(8)	無	無	
11	旧生年月日	9(8)	無	無	
12	新性別	9(1)	有	無	1:男 2:女 3:不詳
13	旧性別	9(1)	有	無	1:男 2:女 3:不詳
14	新本籍コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
15	新本籍	K(50)	無	無	
16	旧本籍コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
17	旧本籍	K(50)	無	無	
18	新筆頭者	K(30)	無	無	
19	旧筆頭者	K(30)	無	無	
20	住所コード	9(5)	無	無	自治体毎に使用コードが異なる
21	住所	K(50)	無	無	
22	方書	K(50)	無	無	
23	転入届出日	9(8)	無	無	
24	予備	X(82)			

第 5.8 「コード」関係仕様

（目次）

(1) コード設計書

(2) コード一覧表

(3) メッセージ一覧表

第5.8.(1) コード設計書

第5 8 (1)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改訂日付	版
「コード」関係仕様		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

[順守事項]

(1)コード一覧に記載されているコードはすべて順守とする。ただし、備考欄等において、「自治体およびメーカ独自」の記述されているものはこの限りではない。

(2)各付設対象内のコードの種類および桁数とも順守とする。

[留意点]

(1)個人番号、戸籍番号は戸籍システムでの順次番号とし、特別の意味を持たせるようなコード付けを行ってはいけない。

(2)画面上の選択番号は番号により選択入力する場合に使用される。他の方法(マウス、GUI等)で選択する場合は選択番号を使用する必要はない。コード化しないで対応できる項目はコード化しなくても構わない。

(3)メッセージに関する留意点は「第5-8(3)　メッセージ一覧表」を参照のこと。

第5.8.(1) コード設計書

(1) 作成の目的
　新システムで使用するデータの記録方法を明確にし、共通項目のコード付設を統一するために作成した。

(2) 作成方法
　コード化対象データを50音順に並べ、下記のとおり記入した。
　ア　付設対象　　コード化の対象となる項目名を記入する。
　イ　方式　　コード付設の方式を記入する。
　ウ　一覧頁　　「コード一覧表」に対応する頁数を記入する。
　エ　目的　　コード化する目的を記入する。
　オ　付設区分具体例　コード化される具体的項目例を記入する。

(3) コード設計書
　上記の検討を経て作成した設計書は、以下のとおりである。

第5 8 (1)	コード設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
あ					
	インデックス	順番	1	戸籍、身分事項記載の項目の識別	「【出生日】」「【出生地】」
	受付事件コード	区分	2	受付ファイル上での事件種別の識別	「出生」「出生(国籍留保)」
	氏区分	区分	8	氏の形態の識別	「婚姻前の氏」
	縁組離縁形態区分	区分	9	縁組、離縁の形態の識別	「養子と養父」
	縁組成立法区分	区分	9	縁組成立法の識別	「日本法」「日本法以外」

第58(1)	コード設計書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/8
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
か					
	外国人父母区分	区分	10	戸籍法107条の4　該当外国人の識別	「父」「母」「養父」「養母」
	外人区分	区分	10	外国人と日本人の識別	「日本人」「外国人」
	確認区分	区分	10	メッセージ確認の識別	「Yes」「No」
	監護者の有無	区分	10	監護者の有無の識別	「有」「無」
	管掌者コード	合成	10	戸籍法施行規則77条該当の識別番号	1～2桁:世代,3～4桁:資格
	関連受領番号	合成	10	該当届出に関連する受領番号	西暦下2桁+順番号+枝
	帰化種別	区分	10	帰化の識別	「単身者の帰化」
	記録区分	区分	11	記録の識別	「既存の記録」
	共同親権有無区分	区分	11	共同親権の有無	「無」「有」
	業務選択番号	順番	11	処理業務の選択	「検索処理」「異動処理」
	禁治産者区分	区分	11	禁治産者の該当有無	「無」「有」
	決裁区分	区分	11	戸籍異動の決裁状況	「未決裁」「決裁」
	元号	区分	12	和暦の元号の識別	「明治」「大正」「昭和」
	後見人区分	区分	12	後見人、後見監督人の区分	「後見人」「後見監督人」
	後見届出原因	区分	12	後見届出原因の識別	「開始:親権行使者不在」
	後見人縁組区分	区分	13	養親が後見人かの識別	「無」「有」
	更正区分	区分	13	更正者の識別	「無」「父」「母」「父母」
	国籍･国名	順番	14	国籍･国名の識別	「アフガニスタン」
	国籍取得区分	区分	15	国籍取得の識別	「国籍法3条」
	国籍喪失原因	区分	15	日本国籍喪失の原因の識別	「外国籍取得」「国籍離脱」
	国籍留保区分	区分	15	国籍留保の有無及びその届出人の識別	「無」「父」「母」
	個人異動区分	区分	15	個人の記載状況の識別	「記載」「入籍」「除籍」
	個人異動形態区分	区分	15	個人の異動形態の識別	「本→本の異動」
	個人除区分	区分	15	戸籍の個人の状態	「在籍者」「除籍者」
	個人番号	順番	16	個人識別の固有番号	
	戸籍異動区分	区分	16	戸籍の状況(データ・ロック)	「処理中」
	戸籍事項 記録コード	区分 区分	17	戸籍事項DBの戸籍事項記載種別の識別	「戸籍編製事項の記載」
	戸籍事項 タイトルコード	区分 区分	20	戸籍事項のタイトルの識別	「編製」「氏の変更」
	戸籍除区分	区分	23	戸籍の状況	「戸籍」「除籍」
	戸籍番号	順番	23	戸籍識別の固有番号	

第58(1)	コード設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	3/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
	戸籍編製区分	区分	23	戸籍編製の種別	「新戸籍編製」「全部除籍」
	戸籍変動区分	区分	24	戸籍変動状況の識別	「元の戸籍に戻る」
	戸籍法107条3項の原因区分	区分	26	戸籍法107条3項の原因区分	「離婚」
	午前午後区分	区分	26	時間の午前,午後の識別	「午前」「午後」
	婚姻区分	区分	26	婚姻中かどうかの判定	「未婚」「婚姻中」
	婚姻事項有無	区分	26	婚姻事項の有無	「無」「有」

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
さ					
	在外送付区分	区分	27	送付の種別	「国内からの送付」
	裁判所通知区分	区分	27	裁判所からの通知の有無	「無」「有」
	裁判成立地	区分	27	裁判成立地の識別	「日本」「外国」
	資格区分	区分	28	届出人の資格種別	「父」「母」「母の親権者」
	事件コード	区分	32	事件の種別	「出生」「認知」
	事件本人区分	区分	34	事件本人の識別	「出生子」「棄児」「父」
	失効区分	区分	36	不受理申出の失効理由	「終了」「取下」「失効」
	死亡区分	区分	36	戦死,戦傷死の識別	「戦死」「戦傷死」
	就籍原因	区分	36	就籍の原因の識別	「家庭裁判所の許可」
	出生子区分	区分	37	出生子の嫡,非嫡等の識別	「嫡出子」「準正嫡出子」
	出生証明書区分	区分	37	出生証明書の有無及び証明者の識別	「無」「医師」「助産婦」
	出生裁判区分	区分	37	出生の裁判の種別	「嫡出否認」
	出生親権区分	区分	37		「調停」「裁判」
	出張所番号	区分	37	支所,出張所等の識別番号	「数字」
	出力区分	区分	37	戸籍,身分事項の出力表示の可不可	「可」「不可」
	種別(裁判)区分	区分	38	種別(裁判)の識別	「協議」「調停成立」
	受理処理伺い区分	区分	38	受理処理伺いの識別	「無」「伺い中」
	受理送付区分	区分	38	受理と送付の識別	「受理」「送付」
	受領番号	合成	38	受付,受領識別の固有番号	西暦下2桁+順番号+枝
	準禁治産者区分	区分	39	準禁治産者の該当有無	「無」「有」
	渉外区分	区分	39	民二5500号通達第4.4の識別	「渉外」「外国人」
	証書提出区分	区分	39	届出と証書提出の区分	「届出」
	称する氏区分	区分	39	婚姻後の夫婦の氏	「夫の氏」「妻の氏」
	初再婚区分	区分	39	初婚と再婚の識別	「初婚」「再婚」
	除籍事由	区分	39	縁組での除籍事由	「夫の縁組」「妻の縁組」
	処分区分	区分	39	届出,申請書等の処分結果	「受理」「不受理」「保留」
	親権指定者の有無	区分	40	親権指定者の有無	「無」「有」
	親権者区分	区分	40	親権者となりうる者の資格	「父」「母」「養父」「養母」
	親権届出区分	区分	40	親権届の種別	「親権者指定」「親権喪失」
	審査完了区分	区分	41	審査完了の識別	「未」「完了」
	審査の準拠法	区分	41	認知での審査要件準拠法の識別	「日本法」

第58(1)	コード設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	5/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
	審査不可区分	区分	41	異動審査対象外とする区分	
	推定区分	区分	41	推定,不詳の識別	「推定」
	生死区分	区分	41	生死の識別	「生存者」「死亡者」
	成年区分	区分	41	成年,未成年の識別	「未成年」「成年」
	性別	区分	41	性別の識別	「男」「女」「不詳」
	世帯員区分	区分	41	世帯主,構成員の識別	「世帯主」「構成員」
	世帯主との続柄	区分	42	住民票上の(世帯主との)続柄	「世帯主」「妻」「夫」
	操作員資格区分	区分	43	捜査員の資格区分	「適」「不適」
	喪失原因区分	区分	43	喪失原因の識別	「重国籍者の国籍選択」
	送達確認区分	区分	43	送達確認ハガキの返信(到着)の識別	「到着済」「未到着」
	送付書類区分	区分	43	送付必要書類の有無	「無」「有」

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	胎児認知区分	区分	44	胎児認知の有無	「無」「有」
	代諾者有無区分	区分	44	縁組での代諾者の有無	「無」「有」
	遅延理由区分	区分	44	遅延理由の有無,場所の識別	「無」「国内有」「国外有」
	嫡出子例外区分	区分	44	嫡出子判定の審査例外の有無	「無」「有」
	続柄	区分	45	父母との続柄,養父母との続柄	「長男」「長女」「養子」
	転婚区分	区分	45	転婚の有無	「無」「有」
	同一戸籍縁組	区分	45	同一戸籍内の縁組かどうかの判定	「同一戸籍内縁組」
	同一人再婚区分	区分	45	同一人同士の再婚	「同一人以外」「同一人」
	同時届区分	区分	46	同時届の識別	「無」「親権者指定届」
	同籍区分	区分	46	同一戸籍かどうかの識別	「同一戸籍」「他戸籍」
	同籍者有無区分	区分	46	氏変更等での同籍者の有無	「無」「有」
	同籍者区分	区分	46	配偶者や構成員などの識別	「無」「配偶者のみ」
	動態区分	区分	46	人口動態処理の要不要	「要」「不要」
	届書送付目録区分	区分	46	届書送付目録の有無	「無」「有」
	届書排他区分	区分	46	届書の状況(データ・ロック)	「未」「排他(使用中)」
	届区分	区分	46	届出の種類	「創設」「報告」
	届後戸籍での配偶者区分	区分	46	届後戸籍での配偶者の識別	「未」「生存配偶者」
	届後本籍区分	区分	46	届後本籍の識別	「入籍」「新本籍編製」
	届出選択番号	区分	47	届出選択番号の識別	「出生届」「認知届」
	届出人区分	区分	48	届出人の識別	「届出人」
な					
	入籍相手区分	区分	49	入籍相手の識別	「無」「父」「母」「父母」
	入籍者種別	区分	49	入籍の種別	「入籍人単独」 「配偶者同時」
	入籍事由区分	区分	49	入籍事由の種別	「氏を称する入籍」
	認知種別区分	区分	49	認知の種類の識別	「任意認知」「遺言認知」
	認知承諾者	区分	49	認知の承諾者の有無,種別	「無」「胎児の母」

第58(1)	コード設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
は					
	配偶者有無区分	区分	50	配偶者の有無	「無」「有」
	配偶者区分	区分	50	配偶者の識別と種別	「夫」「妻」「生存配偶者」
	配偶者同一戸籍	区分	50		「配偶者と同一戸籍」
	廃除した人の資格区分	区分	50	廃除した人の資格の識別	続柄に同じ
	破産宣告人区分	区分	50	破産宣告人の該当有無	「無」「有」
	犯歴区分	区分	50	犯罪歴の有無	「無」「有」
	番号種別	区分	50	番号の識別	「戸籍番号」「個人番号」
	被後見人区分	区分	50	被後見人の種別	「未成年者」「禁治産者」
	筆頭者区分	区分	50	筆頭者と構成員の識別	「筆頭者」「構成員」
	被認知者区分	区分	51	被認知者の識別	「胎児」「未成年」「成年」
	復する氏区分	区分	51	復氏届の復する氏の識別	「婚姻直前の氏」
	不受理申出処分区分	区分	51	不受理申出対象の届出の処理判定	「可」「不可」
	保佐届出原因	区分	52	保佐届の原因の識別	「開始:準禁治裁判確定」
	保留区分	区分	52	保留の有無	「無」「保留」
	本籍・住所コード	桁別	53	本籍,住所の識別	「北海道…」
	本籍不分明区分	区分	54	本籍不明者,認識不能者等の届出報告の識別	「死亡届」「92条1の報告」
	本非区分	区分	54	本籍と非本籍の識別	「本籍」「非本籍」

第58(1)	コード設計書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	8/8

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
ま					
	埋火葬許可証 発行区分	区分	55	埋葬･火葬許可証の識別	「不要」「火葬許可証」 「埋葬許可証」
	身分事項 記録コード	区分	56	身分事項DBの身分事項記載種別の識別	「子の記載」「母の記載」
	身分事項 タイトルコード	区分	63	身分事項のタイトルの識別	「出生」「子の出生」
	名義使用区分	区分	69	転籍での夫婦双方の名義使用の識別	「夫」「妻」「未使用」
	メッセージ	合成	69	確認及びエラー･メッセージの識別	「項目エラーが…」
	戻る戸籍での 筆頭者区分	区分	69	戻る戸籍での筆頭者の識別	「構成員」「筆頭者」
ら					
	離縁申立人区分	区分	70	離縁申立人の識別	「養子」「養親」
	離婚申立人区分	区分	70	離婚申立人の識別	「夫」「妻」

第5.8.(2) コード一覧表

第5.8.(2) コード一覧表

(1) 作成の目的

新システムで使用するデータのどの項目がコード化されているか、また、どのようなコードが付設されているかを、一覧できるようにするために作成した。

(2) 作成方法

コード一覧表の記入内容は、次の通りである。

ア　付設対象　　コードを代表する名称を記入する。

イ　項目名　　コードに置き換えられる項目を記入する。

ウ　コード　　コードを記入する。

エ　桁数　　使用コードの桁数を記入する。

オ　桁の意味　　各桁によって、分類又は意味を持っている場合に記入する。

(3) コード一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	インデックス　＊1	出生日		4		表示時は、項目の前後に「【」、「】」を付ける exp.【出生日】 【出生地】 コード付けはメーカー独自 但し、出力順等の規則有り。ファイル仕様に委ねる。
		出生地				
		届出日				
		届出人				
		↓				

【　】は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	2/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (1/6)	出生届	(01)	4		【養子縁組(実方との親族関係終了)】
		出生	0101			
		出生(国籍留保)	0102			
		出生(認知)	0103			
		出生(棄児発見)	0104			
		出生 (認知・国籍留保)	0105			
		認知届	(02)			
		認知	0201			
		認知(胎児)	0202			
		認知(遺言)	0203			
		認知(裁判)	0204			
		養子縁組届	(03)			
		養子縁組	0301			
		養子縁組 (実方と親族関係終了)	0302			
		養子離縁届	(04)			
		養子離縁	0401			
		養子離縁(調停)	0402			
		養子離縁(裁判)	0403			
		特別養子縁組届	(05)			
		特別養子縁組	0501			
		特別養子離縁届	(06)			
		特別養子離縁	0601			
		戸籍法73条の2の届	(07)			
		戸籍法73条の2の氏変更	0701			
		戸籍法69条の2の届	(08)			
		戸籍法69条の2の氏変更	0801			
		婚姻届	(09)			
		婚姻	0901			

【　】は、民二7002号通達での名称

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (2/6)	離婚届	(10)	4		
		離婚	1001			
		離婚(調停)	1002			
		離婚(調停)裁判)	1003			
		戸籍法77条の2の届	(11)			
		戸籍法77条の2の氏変更	1101			
		戸籍法75条の2の届	(12)			
		戸籍法75条の2の氏変更	1201			
		親権届	(13)			
		親権者指定	1301			
		親権者指定(調停)	1302			
		親権者指定(裁判)	1303			
		親権者変更(調停)	1304			
		親権者変更(裁判)	1305			
		親権喪失(裁判)	1306			
		管理権喪失(裁判)	1307			
		親権喪失取消し	1308			
		管理権喪失取消し	1309			
		親権者辞任	1310			
		管理権者辞任	1311			
		親権回復	1312			
		管理権回復	1313			
		親権喪失　(嘱託)	1314			
		管理権喪失(嘱託)	1315			
		親権停止代行選任 (嘱託)	1316			【親権停止代行者選任(嘱託)】
		親権停止代行改任 (嘱託)	1317			【親権停止代行者改任(嘱託)】
		管理権停止代行選任 (嘱託)	1318			【管理権停止代行者選任(嘱託)】

【　】は、民二7002号通達での名称

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (3/6)	管理権停止代行改任(嘱託)	1319	4		【管理権停止代行者改任(嘱託)】
		親権停止(嘱託)	1320			2011年6月3日の民法改正により新設
		親権停止取消し	1321			2011年6月3日の民法改正により新設
		後見届	(14)			
		後見開始	1401			
		後見終了	1402			
		後見人更迭	1403			
		後見人辞任(嘱託)	1404			
		後見人改任(嘱託)	1405			
		後見命令(嘱託)	1406			
		後見停止代行選任(嘱託)	1407			【後見停止代行者選任(嘱託)
		後見停止代行改任(嘱託)	1408			【後見停止代行者改任(嘱託)
		財産管理者改任(嘱託)	1409			
		後見監督開始	1410			
		後見監督終了	1411			
		後見監督人更迭	1412			
		後見監督人辞任(嘱託)	1413			
		後見監督人解任(嘱託)	1414			
		後見監督停止代行選任(嘱託)	1415			【後見監督停止代行者選任(嘱託)
		財産管理者改任代行改任(嘱託)	1416			【後見監督停止代行者改任(嘱託)
		後見職務代行改任(嘱託)	1417 *2			

*2 民二7002号通達にないコード 【 】は民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		5/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (4/6)	保佐届	(15)	4		【保佐停止代行者選任(嘱託)】 【保佐停止代行者改任(嘱託)】
		保佐開始	1501			
		保佐終了	1502			
		保佐人更迭	1503			
		保佐人辞任(嘱託)	1504			
		保佐人改任(嘱託)	1505			
		保佐命令(嘱託)	1506			
		保佐停止代行選任(嘱託)	1507			
		保佐停止代行改人(嘱託)	1508			
		財産管理者改任(嘱託)	1509			
		死亡届	(16)			
		死亡	1601			
		死亡(高齢者消除)	1602 *2			
		失踪届	(17)			
		失踪宣告	1701			
		復氏届	(18)			
		復氏	1801			
		姻族関係終了届	(19)			
		姻族関係終了	1901			
		推定相続人廃除届	(20)			
		推定相続人廃除(調停)	2001			
		推定相続人廃除(裁判)	2002			
		入籍届	(21)			
		入籍	2101			
		分籍届	(22)			
		分籍	2201			

*2　民二7002号通達にないコード　【　】は民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	6/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (5/6)	国籍取得届	(23)	4		
		国籍取得	2301			
		帰化届	(24)			
		帰化	2401			
		国籍喪失届	(25)			
		国籍喪失	2501			
		国籍喪失(国籍離脱)	2502			
		国籍選択届	(26)			
		国籍選択	2601			
		外国国籍喪失届	(27)			
		外国国籍喪失	2701			
		氏の変更届	(28)			
		戸籍法107条1項の氏変更	2801			
		戸籍法107条2項の届	(29)			
		戸籍法107条2項の氏変更	2901			
		戸籍法107条3項の届	(30)			
		戸籍法107条3項の氏変更	3001			
		戸籍107条4項の届	(31)			
		戸籍法107条4項の氏変更	3101			
		名の変更届	(32)			
		名の変更	3201			
		転籍届	(33)			
		転籍	3301			
		就籍届	(34)			
		就籍	3401			
		縁組取消届	(35)			
		縁組取消し	3501			

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	7/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (6/6)	離縁取消届	(36)	4		
		離縁取消し	3601			
		婚姻取消届	(37)			
		婚姻取消し	3701			
		離婚取消届	(38)			
		離婚取消し	3801			
		失踪宣告取消届	(39)			
		失踪宣告取消し	3901			
		推定相続人廃除取消届	(40)			
		推定相続人廃除取消し(調停)	4001			
		推定相続人廃除取消し(裁判)	4002			
		その他	(44)			
		その他	4401			
		その他(本籍分明)	4402			
		その他(胎児死産)	4403			
		その他(死亡)	4404			
		戸籍訂正	(50)			
		訂正 (市区町村長の職権)	5001			
		訂正(戸籍法24条2項)	5002			
		訂正(戸籍法113条)	5003			
		訂正(戸籍法114条)	5004			
		訂正(戸籍法116条)	5005			
		更正	(70)			
		更正	7001			
		続柄の記載更正(嘱託)	7003			平成15年法律第111号3条対応
		続柄の記載更正(申出)	7004			第8.3版にて追加
		追完	(80)			
		追完	8001			
		戸籍再製	(95)			【再製】
		戸籍再製	9501			

【 】は、民二7002号通達での名称

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (6-1/6)	未成年者の後見届	(41)	4		
		未成年者の後見開始	4101			
		未成年者の後見終了	4102			
						2011年6月3日の民法改正により不要
		未成年後見人辞任(嘱託)	4104			
		未成年後見人解任(嘱託)	4105			
		未成年者の後見停止代行者選任(嘱託)	4107			
		未成年者の後見停止代行者改任(嘱託)	4108			
		未成年者の後見監督開始	4110			
		未成年者の後見監督終了	4111			
						2011年6月3日の民法改正により不要
		未成年後見監督人辞任(嘱託)	4113			
		未成年後見監督人解任(嘱託)	4114			
		未成年者の後見監督停止代行者選任(嘱託)	4115			
		未成年者の後見監督停止代行者改任(嘱託)	4116			
		未成年後見人選任(嘱託)	4117			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人地位喪失	4118			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人選任(嘱託)	4119			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人地位喪失	4120			2011年6月3日の民法改正により新設(民法に明文化されていない)

【 】は、民二7002号通達での名称

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
		未成年者の後見届	(41)			
	受付事件コード (6-2/6)	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定め (嘱託)	4121	4		2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定め (嘱託)	4122			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定め (嘱託)	4123			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)	4124			211年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消し (嘱託)	4125			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消し (嘱託)	4126			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定め (嘱託)	4127			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定め (嘱託)	4128			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定め (嘱託)	4129			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し (嘱託)	4130			2011年6月3日の民法改正により新設

【 】は、民二7002号通達での名称

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	受付事件コード (6-3/6)	未成年者の後見届	(41)	4		
		未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消し (嘱託)	4131			2011年6月3日の民法改正により新設
		未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消し (嘱託)	4132			2011年6月3日の民法改正により新設

【 】は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		11/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	氏区分	婚姻前の氏	1	1		離縁(同時73の2も含) 離婚(同時77の2も含) 復氏の各届で使い分ける
		転婚前の氏	2			
		新しい氏	3			

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	縁組離縁形態区分 [縁組・離縁形態区分]	養子と養父	01	2		
		養子と養母	02			
		養子と養父母	03			
		養女と養父	04			
		養女と養母	05			
		養女と養父母	06			
		養子夫婦と養父	07			
		養子夫婦と養母	08			
		養子と養父・養女と養母	09			
		養子と養父・養女と養父母	10			
		養子と養母・養女と養父	11			
		養子と養母・養女と養父母	12			
		養子と養父母・養女と養父	13			
		養子と養父母・養女と養母	14			
		養子と養父母・養女と養父母	15			
	縁組成立法区分 [縁組の準拠法区分]	日本法	0	1		離縁、同時73の2で使用
		日本法以外	1			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		13/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	外国人父母区分	父	0	1		
		母	1			
		養父	2			
		養母	3			
	外人区分 [外国人区分]	日本人	0	1		
		外国人	1			
	確認区分	Yes	1	1		
		No	2			
	監護者の有無 [監護者の有無区分]	有	Y	1		面面入力の場合は任意
		無	N			
	管掌者コード*1		数字	4		1～2桁　世代 3～4桁　資格該当者
	関連受領番号*1		数字	7		「受領番号」を参照
	帰化種別 [帰化の種別区分]	単身者の帰化	1	1		
		夫婦の片方 (日本人配偶者有)	2			[夫婦の片方(日本人配偶者有)]
		夫婦の片方 (日本人配偶者無)	3			[夫婦の片方(日本人配偶者無)]
		夫婦の帰化	4			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	14/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	記録区分	戸籍事項記録区分		1		
		既存の記録	0			
		審査結果で記録	1			
		移記処理で記録	2			
		身分事項記録区分				
		既存の記録	0			
		審査結果で記録	1			
		移記処理(事件別)で記録	2			
		移記処理(個人情報)で記録	3			
	共同親権有無区分 [共同親権の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	業務選択番号*1	検索処理	01	2		
		異動処理	02			
		移記事項入力処理	03			
		決裁処理	04			
		証明処理	05			
		統計処理	06			
		帳票出力処理	07			
		各種ファイル更新処理	08			
		受領番号確保処理	09			
		関連業務処理	10			
		訂正・更正・追完、審査結果入力処理	11			
	禁治産者区分	無	0	1		システム自動、手入力個人状態ファイル使用
		有	1			
	決裁区分	未決裁	0	1		『2』は、未使用
		決裁	1			
		修正	3			
		欠番	4			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	15/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	元号 [元号区分]	元治	Y	1	慶応以前は、アルファベットを逆順 明治以降は、数字を昇順で使用する	改元の日
		慶応	Z			(1865)元2.4.7
		明治	1			(1865)慶4.9.8
		大正	2			(1912)明45.7.30
		昭和	3			(1926)大15.12.25
		平成	4			(1989)昭64.1.7翌日
		令和	5			(2019)平31.4.30翌日,R2.1(ｺｰﾄﾞ
	後見人区分	後見人	1	1		
		後見監督人	2			
		未成年後見人	3			
		未成年後見監督人	4			
	後見原因区分 [後見届出の原因区分]	開始:親権行使者不在	11	2	1桁:種別 2桁:原因	
		親権行使者 管理権喪失	12			
						削除
						削除
						22版削除
		未成年後見監督人就職	16			
		~~更迭:前任者死亡~~	~~21~~			
		~~前任者辞任~~	~~22~~			
		~~前任者改任~~	~~23~~			2011年6月3日の民法改正により削除
		~~前任者資格喪失~~	~~24~~			
						削除
		終了:親権者親権回復	32			
		親権者管理権回復	33			
						[被後見人に対する親権回復]
						削除
		未成半被後見人成年	37			
		未成年被後見人親権に服する	38			
		未成年後見人監督人任務終了	39			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		16/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	後見原因区分 [後見届出の原因区分]			2	1桁:種別 2桁:原因	22版削除
						22版削除
		嘱託:未成年後見人選任	51			嘱託記載の届書対応により新設(22版)
		未成年後見人選任親権者不在	52			嘱託記載の届書対応により新設(22版)
		未成年後見人選任管理権喪失	53			嘱託記載の届書対応により新設(22版)
		未成年後見監督人選任	54			嘱託記載の届書対応により新設(22版)

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	17/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	後見人縁組区分	無	0	1		
		有	1			
	更正区分 (父母欄)	無	1	1		
		父	2			
		母	3			
		父母	4			
		養父	5			
		養母	6			
		養父母	7			
		父・養母	8			
		母・養父	9			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	18/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	国籍・国名 *1	アイスランド	001	3		各自治体独自で可 (サンプル提示)
		アイルランド	002			
		アゼルバイジャン	003			
		アフガニスタン	004			
		アメリカ合衆国	005			
		アラブ首長国連邦	006			
			:			
			:			
		エジプト	030			
		エストニア	031			
		エティオピア	032			
			:			
			:			
		ケニア	060			
		コスタリカ	061			
		コモロ	062			
			:			
			:			
		セネガル	090			
		セントヴィンセント	091			
			:			
			:			
		ニカラグァ	120			
		ニジェール	121			
			:			
			:			
		ペルー	150			
		ベルギー	151			
			:			
		(国籍未特定)	999	……画面表示の際は,「***」or「---」等で表示		

*1 民二7002号通達にない付設対象

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	19/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	国籍取得区分	国籍法3条	1	1		
		国籍法17条1項	2			
		国籍法17条2項	3			
		国籍法附則5条1項	4			
		国籍法附則6条1項	5			
	国籍喪失原因 [国籍喪失の原因区分]	外国籍取得	1	1		
		国籍離脱	2			
		外国籍選択	3			
		国籍選択催告・不選択	4			(国籍喪失で使用)
		国籍喪失宣告	5			
	国籍留保区分	無	0	1		
		父	1			
		母	2			
		父母	3			
		法定代理人	4			
	個人異動区分	(記録なし)	0	1		
		記録	1			
		入籍	2			
		除籍	3			
		入籍除籍	4 *2			表示“入除”
	個人異動形態区分	異動なし	0	1	[本籍地から本籍地への異動] [非本籍地から本籍地への異動] [本籍地から非本籍地への異動]	
		本→本の異動	1			
		非→本の異動	2			
		本→非の異動	3			
	個人除区分 [個人の除籍区分]	在籍者	0	1		
		除籍者	1			
		戸籍消除者	2			
		消除者	3			
		除籍者及び消除者	4			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		20/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	個人番号 *1		数字	10		個人単位に自動付番
	戸籍異動区分		0	1		[処理中でない戸籍]
		処理中(データ・ロック)	1			[処理中]

*1 民二7002号通達にない付設対象

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 記録コード (1/3)		(00)	4		
		戸籍編製事項の記録	0001			
		戸籍消除事項の記録	0002			
		戸籍回復事項の記録	0003			
		戸籍改製事項の記録	0004			
		戸籍再製事項の記録	0005			
		戸籍法73条の2の氏変更	(07)			
		戸籍法73条の2の氏変更の記録	0701			
		戸籍法69条の2の氏変更	(08)			
		戸籍法69条の2の氏変更の記録	0801			
		戸籍法77条の2の氏変更	(11)			
		戸籍法77条の2の氏変更の記録	1101			
		戸籍法75条の2の氏変更	(12)			
		戸籍法75条の2の氏変更の記録	1201			
		戸籍法107条1項の氏変更	(28)			
		戸籍法107条1項の氏変更の記録	2801			
		戸籍法107条2項の氏変更	(29)			
		戸籍法107条2項の氏変更の記録	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更	(30)			
		戸籍法107条3項の氏変更の記録	3001			
		戸籍法107条4項の氏変更	(31)			
		戸籍法107条4項の氏変更の記録	3101			
		転籍	(33)			
		転籍の記録	3301			

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 記録コード (2/3)	訂正	(50)	4		
		基本事項の訂正の記録	5001			
		基本事項の文字訂正の記録	5011			
		記録	(51)			
		基本事項の記録	5101			5101の「*」を削除
		消除	(52)			
		基本事項の消除の記録	5201			
		移記	(53)			
		移記による基本事項の消除	5301			
		入籍	(54)			
		入籍の記録 *	5401			
		父母の 入除籍の記録 *	5402			
		除籍	(55)			
		除籍の記録 *	5501			
		回復	(56)			
		回復の記録 *	5601			5601に「*」を追加
		引取り	(57)			
		消除の記録 *	5701			
		子の復籍	(58)			
		父母の 入除籍の記録 *	5801			
		更正	(70)			
		基本事項の更正の記録	7001			
		基本事項の文字更正の記録	7011			
		追究	(80)			
		追究の記録	8001			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	23/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 記録コード (3/3)	外国人配偶者の国籍変更	(90)	4		
		日本人　＊ 配偶者の記録	9001			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		日本人　＊ 配偶者の記録	9101			

＊ … 身分事項のみ使用

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	24/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 タイトルコード (1/3)		(00)	4		
		戸籍編製	0001			
		戸籍消除	0002			
		戸籍回復	0003			
		戸籍改製	0004			
		戸籍再製	0005			
		戸籍法73条の2の氏変更	(07)			
		氏の変更	0701			
		戸籍法69条の2の氏変更	(08)			
		氏の変更	0801			
		戸籍法77条の2の氏変更	(11)			
		氏の変更	1101			
		戸籍法75条の2の氏変更	(12)			
		氏の変更	1201			
		戸籍法107条1項の氏変更	(28)			
		氏の変更	2801			
		戸籍法107条2項の氏変更	(29)			
		氏の変更	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更	(30)			
		氏の変更	3001			
		戸籍法107条4項の氏変更	(31)			
		氏の変更	3101			
		転籍	(33)			
		転籍	3301			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	25/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 タイトルコード (2/3)	訂正	(50)	4		
		訂正	5001			
		訂正	5002			段落ちして表示
		文字訂正	5011			
		文字関連訂正	5012			5013，5014に「*」を追加
		文字関連訂正 *	5013			段落ちして表示
		文字訂正 *	5014			段落ちして表示
		記録	(51)			
		記録 *	5101			
		記録	5102			段落ちして表示
		消除	(52)			
		消除	5201			
		移記	(53)			
		移記	5301			
		移記	5302			段落ちして表示
		入籍	(54)			
		入籍 *	5401			
		子の入籍 *	5402			
		除籍	(55)			
		除籍 *	5501			
		回復	(56)			
		回復 *	5601			5601に「*」を追加
		引取り	(57)			
		引取り *	5701			
		子の復籍	(58)			
		子の復籍 *	5801			

「段落ちして表示」は，右へ2桁ずらして表示

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	26/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍事項 タイトルコード (3/3)	更正	(70)			
		更正	7001			7002に「*」を追加
		更正 *	7002			段落ちして表示
		文字更正	7011			
		文字関連更正	7012			7013，7014に「*」を追加
		文字関連更正 *	7013			段落ちして表示
		文字更正 *	7014			段落ちして表示
		追完	(80)			
		追完	8001			
		追完	8002			段落ちして表示
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		配偶者の国籍変更 *	9001			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		配偶者の氏名変更 *	9101			

＊ … 身分事項のみしよう

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	27/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍除区分 [戸籍・除籍区分]	戸籍	0	1		
		除籍	1			
		改製原戸籍	2			
		再製原戸籍	3			
	戸籍番号　*1		数字	10		戸籍単位に自動付番
	戸籍編製区分	新戸籍編製	1	1		
		全部除籍	2			
		変動なし	3			
		新戸・全除	4			[新戸籍編製・全部除籍]

*1 民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	28/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍変動区分 (1/2)	離婚・離婚同時77条の2		1	[離婚のみ]	(画面) 付設対象
		夫は元の戸籍に戻る	1		[夫は新戸籍を編製する]	婚姻前に戻る者の戸籍区分を入力
		夫は新戸籍編製	2			
		妻は元の戸籍に戻る	3		[妻は新戸籍を編製する]	
		妻は新戸籍編製	4			
		変動なし	5			
		養子縁組				
		養親の現在の戸籍に入る	1			
		養親の新戸籍に入る	2			
		養子夫婦で新しい戸籍をつくる	3			[養子夫婦で新戸籍を編製する]
		養子の戸籍に変動がない	4			
		養子はすべて外国人	5			
		養子離縁				
		元の戸籍に戻る	1			
		新戸籍を編製する	2			
		戸籍に変動がない	3			
		特別養子縁組				
		本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後養親の戸籍に入る	1			[同一本籍地に新戸籍を編製した後養親の戸籍に入る]
		養子の戸籍に変動がない	2			
		本籍と同一の場所に新戸籍をつくる	3			[同一本籍地に新戸籍を編製する]
		その他(外国人の場合等)	4			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	29/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍変動区分 (2/2)	復氏		1		
		元の戸籍に戻る	1			
		新戸籍編製	2			[新戸籍を編製する]
		入籍				
		既にある戸籍に入る	1			
		父又は母の新戸籍に入る	2			
		新しい戸籍をつくる	3			[新戸籍を編製する]
		国籍取得				
		父母の戸籍に入る	1			
		父の戸籍に入籍	2			[父の戸籍に入る]
		母の戸籍に入籍	3			[母の戸籍に入る]
		国籍喪失時の戸籍に入籍	4			[国籍喪失時の戸籍に入る]
		新戸籍を編製する	5			
		帰化				
		新戸籍編製	1			[新戸籍を編製する]
		父・母(養父・養母)の戸籍に入る	2			
		父・母(養父・養母)で新戸籍編製	3			[父・母(養父・養母)で新戸籍を編製する]
		日本人配偶者の戸籍に入籍	4			[日本人配偶者の戸籍に入る]
		日本人配偶者で新戸籍編製	5			[日本人配偶者の新戸籍を編製する]
		夫の氏の新戸籍編製	6			[夫の氏の新戸籍を編製する]
		妻の氏の新戸籍編製	7			[妻の氏の新戸籍を編製する]
		就籍				
		新戸籍編製	1			[新戸籍を編製する]
		父母の現在戸籍に入る	2			[父母の現在の戸籍に入る]
		配偶者の戸籍に入る	3			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	30/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	戸籍法107条3項の原因区分	離婚	1	1		
		婚姻取消し	2			
		配偶者死亡	3			
	午前午後区分 [午前・午後区分]	午前	1	1		
		午後	2			
	婚姻区分	未婚	0	1		
		婚姻中	1			
	婚姻事項有無 [婚姻事項の有無区分]	無	0	1		
		有	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		31/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	在外送付区分 [在外公館からの送付区分]	受理分	0	1		[在外公館からの直接送付] [在外公館から国内を経由]
		国内からの送付	1			
		在外公館の直接送付	2			
		在外公館の国内経由	3			
	裁判所通知区分 [裁判所からの通知区分]	無	0	1		手入力 個人状態ファイル使用
		有	1			
	裁判成立地 [裁判の成立地区分]	日本	0	1		
		外国	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	32/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	資格区分 (1/4)	[未入力]	000	3		
		父	001			
		母	002			
		母の親権者	003			
		母の後見人	004			
		父母	005			
		夫	006			
		妻	007			
		筆頭者	008			
		配偶者	009			
		養父	010			
		養母	011			
		養父母	012			
		養子	013			
		養子夫婦	014			
		養子の離縁協議者	015			
		親権者父	016			
		親権者母	017			
		親権者父母	018			
		親権者養父	019			
		親権者養母	020			
		親権者養父母	021			
		親権を行なう	022			
		親権者となるべき父	023			
		親権者となるべき母	024			
		親権者となるべき父母	025			
		親権者となるべき養父	026			
		親権者となるべき養母	027			
		親権者となるべき養父母	028			
		親権代行者	029			
		後見人	030			
		後見人父	031			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		33/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	資格区分 (2/4)	後見人母	032	3		
		後見人夫	033			
		後見人妻	034			
		後見人父母	035			
		後見人養父	036			
		後見人養母	037			
		後見人養父母	038			
		後見人となるべき者	039			
		後見人となるべき父	040			
		後見人となるべき母	041			
		後見人となるべき父母	042			
		後見人となるべき養父	043			
		後見人となるべき養母	044			
		後見人となるべき養父母	045			
		後見監督人	046			
		後見監督人父	047			
		後見監督人母	048			
		後見監督人養父	049			
		後見監督人養母	050			
		後任後見人	051			
		後任後見人父	052			
		後任後見人母	053			
		後任後見人養父	054			
		後任後見人養母	055			
		後任後見監督人	056			
		後任後見監督人父	057			
		後任後見監督人母	058			
		後任後見監督人夫	059			
		後任後見監督人妻	060			
		後任後見監督人養父	061			
		後任後見監督人養母	062			
		保佐人	063			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		34/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	資格区分 (3/4)	保佐人父	064			
		保佐人母	065			
		保佐人夫	066			
		保佐人妻	067			
		保佐人養父	068			
		保佐人養母	069			
		後任保佐人	070			[後任の保佐人]
		後任保佐人父	071			[後任の保佐人父]
		後任保佐人母	072			[後任の保佐人母]
		後任保佐人夫	073			[後任の保佐人夫]
		後任保佐人妻	074			[後任の保佐人妻]
		後任保佐人養父	075			[後任の保佐人養父]
		後任保佐人養母	076			[後任の保佐人養母]
		法定代理人	077			
		特別代理人	078			
		医師	079			
		助産婦	080			
		その他の立会人	081			
		親族	082			
		同居の親族※	083		※両面入力のみ	
		同居していない親族※	084		(死亡)	
		同居者	085			
		家主	086			
		地主	087			
		家屋管理人	088			
		土地管理人	089			
		廃除した人	090			
		遺言執行者	091			
		船長	092			
		公設所の長の届出	093 ※1		※病院の長/管理人/監獄の長等	[公設所の長(届出)]
		公設所の長の報告	094 ※2			[公設所の長(報告)]
		取調官庁又は公署の報告	095 ※3			[取調官庁又は公署(報告)]

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		35/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	資格区分 (4/4)	警察官の報告	096 ※2	3	[警察官(報告)]	※2監獄の長等
		市区町村長	097 ※3			
						※1～3については区分入力し、名称が翻訳された後、具体的な「役職名」を入力する(修正入力)
		事件本人	098			
		その他	099			
		申立人	100			
		相手方	101			※1:出生/死亡届の届出資格
		訴提起者	102		[訴えの提起者]	
		父及び養母	103			※2:死亡届の届出資格
		養父及び母	104			
		子	105			※3:出生届の届出資格
		母の親権者	106			
		成年後見人	107			
		成年後見監督人	108			
		母の未成年後見人	109			
		未成年後見人	110			
		未成年後見人となるべき者	111			
		未成年後見監督人	112			
		後任未成年後見人	113			
		後任未成年後見監督人	114			
		助産師	115			
		補助人	116			
		任意後見人	117			
		任意後見受任者	118			R2.1(令和元年5月法律第17

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	36/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	事件コード (1/2)	出生	01	2		
		認知	02			
		養子縁組	03			
		養子離縁	04			
		特別養子縁組	05			
		特別養子離縁	06			
		戸籍法73条の2	07			離縁の際に称していた氏を称する届
		戸籍法69条の2	08			
		婚姻	09			
		離婚	10			
		戸籍法77条の2	11			離婚の際に称していた氏を称する届
		戸籍法75条の2	12			
		親権(管理権)	13			
		後見	14			
		保佐	15			
		死亡	16			
		失踪	17			
		復氏	18			
		姻族関係終了	19			
		推定相続人廃除	20			
		入籍	21			
		分籍	22			
		国籍取得	23			
		帰化	24			
		国籍喪失	25			
		国籍選択	26			
		外国国籍喪失	27			
		氏の変更 (戸籍法107条1項)	28			
		戸籍法107条2項	29			[外国人との婚姻による氏の変更届]
		戸籍法107条3項	30			[外国人との離婚による氏の変更届]
		戸籍法107条4項	31			[外国人父母の氏への氏の変更届]

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	37/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	事件コード (2/2)	名の変更	32	2		
		転籍	33			
		就籍	34			
		縁組取消し	35			
		離縁取消し	36			
		婚姻取消し	37			
		離婚取消し	38			
		失踪宣告取消し	39			
		推定相続人廃除取消し	40			
		未成年者の後見	41			
		訂正	50 *2			
		記録	51 *2			
		消除	52 *2			
		移記	53 *2			
		入籍	54 *2			
		除籍	55 *2			
		回復	56 *2			
		引取り	57 *2			
		子の復籍	58 *2			
		更正	70 *2			
		追完	80 *2			
		外国人配偶者の国籍変更	90			民二7002号通達では「50」となっている
		外国人配偶者の氏名変更	91 *2			

*2　民二7002号通達にないコード

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		38/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	事件本人区分 (1/2)	出生子	01	2		出生
		棄児	02			出生
		父	03			出生・親権
		母	04			出生・親権
		被認知者	05			認知
		認知者	06			認知・胎児認知
		胎児の母	07			胎児認知
		養父	08			養子縁組・養子離縁
		養母	09			養子縁組・養子離縁
		養子	10			養子縁組・養子離縁
		養女	11			養子縁組・養子離縁
		夫	12			婚姻・離婚
		妻	13			婚姻・離婚
		氏続称者	14		[従前の氏を称する者]	77の2・73の2
		未成年者	15			親権(管理権)
		親権者	16			親権(管理権)
		親権喪失者	17			親権(管理権)
		親権喪失取消者	18			親権(管理権)
		親権辞任者	19			親権(管理権)
		親権回復者	20			親権(管理権)
		管理権者	21			親権(管理権)
		管理権喪失者	22			親権(管理権)
		管理権喪失取消者	23			親権(管理権)
		管理権辞任者	24			親権(管理権)
		管理権回復者	25			親権(管理権)
		被後見人	26			後見
		後見人	27			後見
		後見監督人	28			後見
		被保佐人	29			保佐
		保佐人	30			保佐
		死亡者	31			死亡

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		39/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	事件本人区分 (2/2)	失踪者	32	2	[失踪宣告取消者]	失踪
		失踪取消者	33			失踪
		生存配偶者	34			復氏
		推定相続人	35			推定相続人廃除
		入籍者	36			入籍
		分籍者	37			分籍
		国籍取得者	38			国籍取得
		帰化者	39			帰化
		国籍喪失者	40			国籍喪失
		国籍選択者	41			国籍選択
		外国国籍喪失者	42			外国国籍喪失
		名の変更者	43			名の変更
		筆頭者	44		[戸籍の筆頭者]	転籍・氏の変更
		配偶者	45			転籍・氏の変更
		就籍者	46			就籍
			47			欠番
		姻族関係終了者	48			姻族関係終了
		親権協議者	49			親権
		前任後見人	50		[前任の後見人]	後見
		前任後見監督人	51		[前任の後見監督人]	後見
		前任保佐人	52		[前任の保佐人]	保佐
		氏変更者	53		[氏の変更者]	107-2,3,4
		胎児	54			胎児(胎児認知)
		未成年被後見人	55			未成年者の後見
		未成年後見人	56			未成年者の後見
		未成年後見監督人	57			未成年者の後見
		前任の未成年後見人	58			未成年者の後見
		前任の未成年後見監督人	59			未成年者の後見
		親権停止者	60			2011年6月3日の民法改正により新設
		親権停止取消者	61			2011年6月3日の民法改正により新設
		事件本人	99			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		40/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	失効区分	(有効)	0	1		不受理ファイルにて使用 [取下げ]
		終了	1			
		取下	2			
		失効	3			
	死亡区分	戦死	1	1		
		戦傷死	2			
	就籍原因 [就籍の原因区分]	家庭裁判所の許可	スペース	1		
		国籍の存在確認の審判	1			
		親子関係不存在確認の審判	2			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		41/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	出生子区分	嫡出子	1	1		
		準正嫡出子	2			
		非嫡出子	3			
		棄児	4			
	出生証明書区分	無	0	1		
		医師・助産婦	1			
		その他	2			
	出生裁判区分 [出生子の裁判区分]	無	0	1		
		嫡出否認	1			
		親子関係不存在	2			
		父を定める訴え	3			
		強制認知	4			[認知]
	出生親権区分 [出生子の親権区分]	無	0	1		
		調停	1			
		裁判	2			
	出張所番号 *1		数字	3		
	出力区分	可	0又は空文字	1		
		不可	0以外の数字			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	42/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	種別(裁判)区分	親権		1		
		協議	1			
		調停成立	2			
		許可の審判	3			
		審判確定	4			
		推定相続人廃除				
		調停成立	1			
		審判確定	2			第13版で修正
		判決	3			
		養子離縁				
		協議離縁	1			
		裁判離縁(調停)	2			
		裁判離縁(審判)	3			
		裁判離縁(判決)	4			
		死亡者との離縁	5			
		協議+死亡者	6			
		外国方式の離縁	7			[外国の方式による離縁] 人事訴訟法制定に伴い追加
		裁判離縁(和解)	8			
		裁判離縁(認諾)	9			
		離婚				
		協議離婚	1			
		裁判離婚(調停)	2			
		裁判離婚(審判)	3			
		裁判離婚(判決)	4			
		裁判離婚(和解)	5			人事訴訟法制定に伴い追加
		裁判離婚(認諾)	6			
	受理処理伺い区分 [受理伺い・処理伺い区分]	無	0	1		個人状態ファイル
		伺い中	1			
	受理送付区分 [受理・送付区分]	受理	1	1		
		送付	2			
	受領番号		数字	10 (8)	(1～2桁 西暦上2桁) 3～4桁 西暦下2桁) 5～9桁 順番号 10桁 枝番(初期0)	受付単位に自動付番 西暦上2桁は昇順キーとしてのみ使用し表示しない

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	43/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	準禁治産者区分	無	0	1		システム自動，手入力個人状態ファイル使用
		有	1			
	渉外区分	(日本人)	0	1		検索入力時のみスペースで全検索 “0”は一覧表示の時は空欄表示
		渉外	1			
		外国人	2			
	証書提出区分	届出	0	1		
		戸籍法41条証書提出	1			
	称する氏区分	夫の氏	1	1		
		妻の氏	2			
		変更なし	3			(渉外の場合)
	初再婚区分 [初婚・再婚区分]	初婚	0	1		
		再婚(死別)	1			
		再婚(離別)	2			
	除籍事由 [除籍事由区分]	夫の縁組	1	1		
		妻の縁組	2			
	処分区分	受理	1	1		受理は一覧表示の時は空欄表示
		不受理	2			
		受理照会	3			表示用:“受理照”
		処理照会	4			表示用:“処理照”
		返戻	5			
		取下げ	6			
		保留	7			
		受理処分の撤回	8			表示用:“受撤回”
		誤処理	9			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	44/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	親権指定者の有無 [親権指定者の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	親権者区分	父	1			
		母	2	1		
		養父	3			
		養母	4			
	親権届出区分	親権者指定	01			
		親権者変更	02	2		
		親権喪失	03			
		親権辞任	04			
		親権回復	05			
		管理権喪失	06			
		管理権辞任	07			[管理権者辞任]
		管理権回復	08			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	45/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	審査完了区分	未	0	1		
		完了	1			[未了]
	審査の準拠法 [審査の準拠法区分]	日本法	0	1		
		外国法(認知者)	1			
		外国法(子又は母)	2			
	審査不可区分	(なし)	0	1		
		国籍法改正前の渉外婚姻で父母(養父母)の戸籍に在籍する者	1			
		昭和32年法務省令による改製作業における筆頭者の申出	2			
	推定区分	(なし)	0	1		
		推定	1			
	生死区分	生存者	0	1		
		死亡者	1			
	成年区分	未成年	1	1		
		成年	2			
		成年擬制	3			
	性別 [性別区分]	男	1	1		
		女	2			
		不詳	3			(不詳表示は、空欄)
	世帯員区分　*1	世帯主	1			
		構成員	2			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	46/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	世帯主との続柄 *1	世帯主	01	6	1～2桁　第一世代 3～4桁　第二世代 5～6桁　第三世代 例) 020000 妻 111100 長男の長男(=孫) 113151 長男の長女の養子	(サンプル提示) 住民基本台帳事務処理要領に準拠する
		妻	02			
		夫	03			
		妻　未届	04			
		夫　未届	05			
		長男	11			
		二男	12			
		↓	↓			
		九男	19			
		十男	20			
		↓	↓			
		十九男	29			
		長女	31			
		二女	32			
		↓	↓			
		九女	39			
		十女	40			
		↓	↓			
		十九女	49			
		子	50			
		養子	51			
		養女	52			
		養父	53			
		養母	54			
		父	61			
		母	62			
		兄	63			
		弟	64			
		姉	65			
		妹	66			
		縁故者	70			
		同居人	80			

*1　民二7002号通達にない付設対象

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	47/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成11年3月10日	3

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	操作員資格区分	適	0	1		各業務単位に、適・不適の区分を付設 パスワードファイルで使用
		不適	1			
	喪失原因区分	外国国籍の取得	1	1		
		重国籍者の国籍離脱	2			
		重国籍者の国籍選択	3			
		国籍選択の催告後の国籍喪失	4			
		国籍喪失の宣言	5			
	送達確認区分	不要	0	1		
		未到着	1			
		到着済	2			
		送達中	3			
	送付書類区分	無	0	1		次の送付書類単位に有無の区分を付設 届書 不受理申出 胎児認知 9条2項通知 19条2項通知
		有	1			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	48/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	胎児認知区分	無	0	1		不受理ファイル使用
		有	1			
	代諾者有無区分 [代諾者の有無区分]	無	0	1		
		有	1			
	遅延理由区分	無	0	1		
		国内有	1			
		国外有	2			
	嫡出子例外区分	無	0	1		
		有	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	49/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	続柄 [続柄区分]	男	10	2		(父母との続柄)
		長男	11			
		二男	12			
		↓	↓			
		九男	19			
		十男	20			
		↓	↓			
		十九男	29			
		女	30			
		長女	31			
		二女	32			
		↓	↓			
		九女	39			
		十女	40			
		↓	↓			
		十九女	49			
		養子	51			(養父母との続柄)
		養女	52			
		[空欄]	99			
	転婚区分	無	0	1		
		有	1			
	同一戸籍縁組 [同一戸籍での縁組区分]	その他	0	1		[同一戸籍外の縁組] [同一戸籍内での縁組]
		同一戸籍内縁組	1			
	同一人再婚区分	同一人同士以外の再婚	0	1		共同親権用区分 (女性のみ)
		同一人同士の再婚	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	50/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	同時届区分 [同時届出区分]	無	0	1		離縁,同時73の2で使用
		親権者指定届	1			
		後見開始届	2			
	同籍区分	同一戸籍	0	1		
		他戸籍	1			
	同籍者有無区分	有	0	1		
		無	1			
	同籍者区分	無	0	1		
		配偶者のみ	1			
		配偶者+他構成員	2			[同籍者+他構成員]
		他構成員のみ	3			[他の構成員のみ]
	動態区分　*1	不要	0	1		
		要	1			
	届書送付目録区分	不要	0	1		市町村内に届書あり 法務局に届書あり
		要	1			
		目録送付済	2			
	届書排他区分 [届書の使用区分]	未	0	1		
		排他(使用中)	1			[使用中]
	届区分 [届出区分]	創設	1	1		[創設的届出]
		報告	2			[報告的届出]
	届後戸籍での配偶者区分 [届出後の戸籍における配偶者区分]	未	0	1		配偶者区分の一部
		生存配偶者	3			
	届後本籍区分 [届出後の本籍区分]	入籍	1	1		受付(共通)
		新戸籍編製	2			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	51/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	届出選択番号	出生届	1			
	(1/2)	認知届	2	2		(1:
	[届出番号区分]	養子縁組届	3			[離縁の際に称していた氏を称する届(戸籍法73条の2の届)]
		養子離縁届	4			
		特別養子縁組届	5			
		特別養子離縁届	6			(2
		戸籍法73条の2届　(1	7			[養子離縁届と同時の離縁の際に称していた氏を称する届(戸籍法73条の2の届)]
		養子離縁届　同時　(2 戸籍法73条の2届	8			
		婚姻届	9			
		離婚届	10			(3:
		戸籍法77条の2届　(3	11			[離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条2の届)]
		離婚届　同時　(4 戸籍法77条の2届	12			
		親権(管理権)届	13			(4:
		後見届	14			[離婚届と同時の離婚の際に称していた氏を称する届(戸籍法77条の2の届)]
		保佐届	15			
		死亡届	16			
		失踪届	17			
		復氏届	18			
		姻族関係終了届	19			(5:
		推定相続人廃除届	20			[氏の変更届(戸籍法107条1項の届)]
		入籍届	21			
		分籍届	22			(6:
		国籍取得届	23			外国人との婚姻による氏の変更届(戸籍法107条2項の届)]
		帰化届	24			
		国籍喪失届	25			
		国籍選択届	26			(7:
		外国国籍喪失届	27			[外国人との離婚による氏の変更届(戸籍法107条3項の届)]
		氏の変更届　(5	28			
		戸籍法107条2項届　(6	29			
		戸籍法107条3項届　(7	30			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		52/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	届出選択番号 (2/2)	戸籍法107条4項届 (8	31	2		(8:[外国人父母の氏への氏の変更届(戸籍法107条4項の届)]
		名の変更届	32			
		転籍届	33			
		就籍届	34			
		縁組取消届	35 *3			
		離縁取消届	36 *3			
		婚姻取消届	37 *3			
		離婚取消届	38 *3			
		失踪宣告取消届	39 *3			
		推定相続人廃除取消届	40 *3			
		受理指示	50			
		不受理指示	51 *3			
	届出人区分	届出人以外	0	1		
		届出人	1			

*3　民二7002号通達と異なるコード　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		53/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	入籍相手区分	無	1	1		
		父	2			
		母	3			
		父母	4			
		養父	5			
		養母	6			
		養父母	7			
		父及び養母	8			
		母及び養父	9			
	入籍者種別 [入籍者の種別区分]	入籍人単独	1	1		[単独入籍]
		配偶者同時	2			[配偶者と同時入籍]
		入籍人複数	3			[複数人の入籍]
	入籍事由区分	氏を称する入籍	1	1		
		同籍する入籍	2			
		従前の氏を称する入籍	3			
	認知種別区分 [認知の種別区分]	任意認知	1	1		
		裁判認知	2			
	認知承諾者 [認知の承諾者区分]	無	0	1		
		胎児の母	1			
		成年者	2			
		その他	3			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		54/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	配偶者有無区分	無	0	1		
		有	1			
	配偶者区分	未	0			
		夫	1	1		
		妻	2			
		生存配偶者	3			
	配偶者同一戸籍 [配偶者との同一戸籍区分]	その他	0	1		
		配偶者と同一戸籍	1			
	廃除した人の資格区分 [推定相続人を廃除した人の資格区分]	父	001	3		
		母	002			
		養父	010			
		養母	011			
		その他	099			
	破産宣告人区分	無	0	1		手入力 個人状態ファイル使用
		有	1			
	犯歴区分 *1	無	0	1		手入力 個人状態ファイル使用
		有	1			
	番号種別 [番号の種別区分]	戸籍番号	1	1		番号取得ファイルでの種別
		個人番号	2			
		受領番号	3			
	被後見人区分	未成年者	1	1		
		禁治産者	2			
	筆頭者区分	筆頭者以外	0	1		筆頭者も構成員であるが"0"を構成員として表示可
		筆頭者	1			

*1 民二7002号通達にない付設対象　　[ ]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	55/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	被認知者区分	胎児	1	1		
		未成年	2			
		成年	3			
	復する氏区分 [復する氏の区分]	婚姻直前の氏	1	1		[婚姻直前の氏以外の氏]
		婚姻直前以外の氏	2			
		新しい氏	3			
	不受理申出処分区分 [不受理申出の処分区分]	可	0	1		
		不可	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	56/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	保佐届出原因 [保佐届の原因区分]			2	1桁：種別 2桁：原因	削除 [更迭：前任者の死亡] [　　：前任者の辞任] [　　:前任者の解任] [　　:前任者の資格喪失] [終了：準禁治産宣告の取消し確定]
		更迭:前任者死亡	21			
		前任者辞任	22			
		前任者解任	23			
		前任者資格喪失	24			
		終了:準禁治取消確定	31			
	保留区分	無	0	1		個人状態ファイル
		保留中	1			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		57/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	本籍・住所コード ＊1	北海道……	01……	15 (11)	1～2桁　都道府県 (JISコード) 01～47 都道府県名 3～5桁　市区町村 (JISコード) 101～199 指定都市名・区名及び特別区名 201～299 市名 301～799 郡名及び町村名 6～8桁　大字・通称 001～999 大字・通称名 9～11桁　字・丁目 001～099 丁目 101～999 字名・小字名・通称名	(サンプル表示)
		↓	↓			
		↓	↓			
		青森県……	02……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		福島県……	07……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		東京都千代田区…	1310102……			
		東京都千代田区一番町	13101002000			
		↓	↓			
		↓	↓			
		静岡県浜松市幸3丁目	22202077003			
		静岡県浜松市幸4丁目	22202077004			
		静岡県浜松市幸5丁目	22202077005			
		↓	↓			
		↓	↓			
		大阪府……	27……			
		大阪府東大阪市……	2722707……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		広島県……	34……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		佐賀県……	41……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		鹿児島県……	46……			
		↓	↓			
		↓	↓			
		沖縄県……	47……			

＊1　民二7002号通達にない付設対象

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		58/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	本籍不分明区分	死亡届	0	1		
		戸籍法92条1項の報告	1			
		戸籍法92条2項の報告	2			
		戸籍法92条3項の届出	3			
		身元不明者の死亡届	4			
		本籍分明	5			
	本非区分 [本籍・非本籍区分]	本籍	1	1		届書の本非区分個人(又は戸籍)の本非区分を兼ねる 届書の本非区分 1:本籍分届 2：非本籍分届 個人(又は戸籍)の本非区分 1:本籍人 2：非本籍人とみなす
		非本籍	2			

[　]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		59/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	埋火葬許可証 発行区分 [埋火葬許可証の発行区分]	不要	0	1		
		火葬許可証	1			
		埋葬許可証	2			

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (1/7)	出生	(01)	4		
		子の記録	0101			
		父母の記録	0102			
		認知	(02)			
		被認知者の記録	0201			
		認知者の記録	0202			
		被認知者の直系卑属の記録	0203			昭和45年3月31日法務省令85号による改正前の記載例
		養子縁組	(03)			
		養子の記録	0301			
		養親の記録	0302			
		養子の配偶者の記録	0303			
		養子離縁	(04)			
		養子の記録	0401			
		養親の記録	0402			
		養子の配偶者の記録	0403			
		特別養子縁組	(05)			
		養子の従前の戸籍の記録	0501			
		養子の新戸籍の記録	0502			
		養子の入籍戸籍の記録	0503			
		養親の記録	0504			養子が外国人の場合の記録
		養子の新戸籍の記録	0505			
		特別養子離縁	(06)			
		養子の記録	0601			
		養親の記録	0602			養子が外国人の場合の記録

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成15年3月1日	7

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (2/7)	戸籍法73条の2	(07)	4		
		縁氏続称者の記録	0701			[縁氏を称する者の記録]
		縁氏続称者の配偶者の記録	0702			[縁氏を称する者の配偶者の記録]
		戸籍法69条の2	(08)			
		縁氏続称者の記録	0801			[縁氏を称する者の記録]
		縁氏続称者の配偶者の記録	0802			[縁氏を称する者の配偶者の記録]
		婚姻	(09)			
		夫又は妻の記録	0901			
		離婚	(10)			
		夫又は妻の記録	1001			
		夫又は妻の養父母の記録	1002			
		戸籍法77条の2	(11)			
		婚氏続称者の記録	1101			[婚氏を称する者の記録]
		婚氏続称者の配偶者の記録	1102			[婚氏を称する者の配偶者の記録]
		戸籍法75条の2	(12)			
		婚氏続称者の記録	1201			[婚氏を称する者の記録] (重婚の場合) [婚氏を称する者の(配偶者)の記録]
		婚氏続称者(配偶者)の記録	1202			
		親権(管理権)	(13)			
		親権に服する者の記録	1301			
		後見	(14)			
		被後見人の記録	1401			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (3/7)	保佐	(15)	4		
		準禁治産者の記録	1501			
		死亡	(16)			
		死亡者の記録	1601			
		死亡者の生存配偶者の記録	1602			
		高齢者消除の記録	1603			
		失踪	(17)			
		失踪者の記録	1701			
		失踪者の生存配偶者の記録	1702			
		復氏	(18)			
		復氏者の記録	1801			
		復氏者の配偶者の記録	1802			
		姻族関係終了	(19)			
		姻族関係を終了した生存配偶者の記録	1901			
		推定相続人廃除	(20)			
		推定相続人排除をされた者の記録	2001			
		入籍	(21)			
		入籍する者の記録	2101			
		子の入籍による父又は母の記録	2102			
		入籍する者の配偶者の記録	2103			
		分籍	(22)			
		分籍者の記録	2201			

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (4/7)	国籍取得	(23)	4		
		国籍取得者の記録	2301			
		国籍取得者の父母の記録	2302			
		国籍取得者の養父母の記録	2303			
		国籍取得者の配偶者の記録	2304			
		国籍取得者の子の記録	2305			
		国籍取得者の養子の記録	2306			
		未成年後見人の国籍取得の記録	2309			
		帰化	(24)			
		帰化者の記録	2401			
		帰化者の父母の記録	2402			
		帰化者の養父母の記録	2403			
		帰化者の配偶者の記録	2404			
		帰化者の子の記録	2405			
		帰化者の養子の記録	2406			
		後見人の帰化の記録	2407			
		保佐人の帰化の記録	2408			
		未成年後見人の帰化の記録	2409			
		国籍喪失	(25)			
		国籍喪失者の記録	2501			
		国籍喪失者の配偶者の記録	2502			
		国籍選択	(26)			
		国籍選択者の記録	2601			

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成　年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (4-1/7)	外国国籍喪失	(27)	4		
		外国国籍喪失者の記録	2701			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		65/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (5/7)	氏の変更(107条1項)	(28)	4		「戸籍事項記載別コード」参照 戸籍事項欄のみ
		戸籍法107条2項	(29)			
		戸籍法107条2項の氏変更の変更者の記録	2901			
		戸籍法107条3項	(30)			
		戸籍法107条3項の氏変更の変更者の記録	3001			
		戸籍法107条3項の氏変更の変更者の配偶者の記録	3002			
		戸籍法107条4項	(31)			
		戸籍法107条4項の氏変更の変更者の記録	3101			
		名の変更	(32)			
		名の変更者の記録	3201			
		転籍	(33)			「戸籍事項記載別コード」参照 戸籍事項欄のみ
		就籍	(34)			
		就籍者の記録	3401			
		縁組取消	(35)			
		養子の記録	3501			
		養親の記録	3502			
		養子の配偶者の記録	3503			
		離縁取消	(36)			
		養子の記録	3601			
		養親の記録	3602			
		養子の配偶者の記録	3603			

[　]内は、民二7002号通達での名称

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (6/7)	婚姻取消し	(37)	4		
		夫又は妻の記録	3701			
		離婚取消し	(38)			
		夫又は妻の記録	3801			
		失踪宣告取消し	(39)			
		失踪宣告を取り消された者の記録	3901			
		失踪宣告を取り消された者の配偶者の記録	3902			
		推定相続人廃除取消し	(40)			
		推定相続人廃除を取り消された者の記録	4001			
		未成年者の後見	(41)			
		未成年後見を受ける者の記録	4101			

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	67/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 記録コード (7/7)	訂正	(50)	4		
		基本事項の訂正の記録	5001			
		基本事項の文字訂正の記録	5011			
		記録	(51)			
		基本事項の記録	5101			
		消除	(52)			
		基本事項の消除の記録	5201			
		移記	(53)			
		移記による基本事項の消除の記録	5301			
		入籍	(54)			
		入籍の記録	5401			
		父母の入除籍の記録	5402			
		除籍	(55)			
		除籍の記録	5501			
		回復	(56)			
		回復の記録	5601			
		引取り	(57)			
		消除の記録	5701			
		子の復籍	(58)			
		父母の入除籍の記録	5801			
		更正	(70)			
		基本事項の更正の記録	7001			
		[redacted]				[redacted]
		基本事項の文字更正の記録	7011			
		追完	(80)			
		追完の記録	8001			
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		日本人配偶者の記録	9001			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		日本人配偶者の記録	9101			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		68/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	平成15年3月1日	7

No.	付設対象	項目名		コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (1/6)	出生		(01)	4		
			出生	0101			
			子の出生	0102			
		認知		(02)			
			認知	0201			0202は欠番
			親に対する認知	0203			[死亡した子の認知]
		養子縁組		(03)			
			養子縁組	0301			
			配偶者の縁組	0302			
			婿養子縁組	0303			
		養子離縁		(04)			
			養子離縁	0401			
			配偶者の離縁	0402			
		特別養子縁組		(05)			
			特別養子縁組	0501			
			民法817条の2	0502			[特別養子縁組の審判]
		特別養子離縁		(06)			
			特別養子離縁	0601			
		戸籍法73条の2の氏変更		(07)			
			氏の変更	0701			
			配偶者の氏の変更	0702			
		戸籍法69条の2の氏変更		(08)			
			氏の変更	0801			
			配偶者の氏の変更	0802			
		婚姻		(09)			
			婚姻	0901			
			婿養子縁組婚姻	0902			
			入夫婚姻	0903			
		離婚		(10)			
			離婚	1001			
			養子の離婚	1002			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	69/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (2/6)	戸籍法77条の2の氏変更	(11)	4		
		氏の変更	1101			
		配偶者の氏の変更	1102			
		戸籍法75条の2の氏変更	(12)			
		氏の変更	1201			
		配偶者の氏の変更	1202			
		親権(管理権)	(13)			
		親権	1301			
		後見	(14)			
		後見	1401			
		保佐	(15)			
		保佐	1501			
		死亡	(16)			
		死亡	1601			
		配偶者の死亡	1602			
		高齢者消除	1603			
		失踪宣告	(17)			
		失踪宣告	1701			
		配偶者の失踪宣告	1702			
		復氏	(18)			
		復氏	1801			
		配偶者の復氏	1802			
		姻族関係終了	(19)			
		姻族関係終了	1901			
		推定相続人廃除	(20)			
		推定相続人廃除	2001			
		入籍	(21)			
		入籍	2101			
		子の入籍	2102			
		配偶者の入籍	2103			
		分籍	(22)			
		分籍	2201			

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (3/6)	国籍取得	(23)	4		
		国籍取得	2301			
		子の国籍取得	2302			
		養子の国籍取得	2303			
		配偶者の国籍取得	2304			
		親の国籍取得	2305			
		養親の国籍取得	2306			
		未成年後見人の国籍取得	2309			
		帰化	(24)			
		帰化	2401			
		子の帰化	2402			
		養子の帰化	2403			
		配偶者の帰化	2404			
		親の帰化	2405			
		養親の帰化	2406			
		後見人の帰化	2407			
		保佐人の帰化	2408			
		未成年後見人の帰化	2409			
		国籍喪失	(25)			
		国籍喪失	2501			
		配偶者の国籍喪失	2502			
		国籍選択	(26)			
		国籍選択	2601			
		外国国籍喪失	(27)			
		外国国籍喪失	2701			
		氏の変更(107条1項)	(28)			
		戸籍法107条2項の氏変更	(29)			
		氏の変更	2901			
		戸籍法107条3項の氏変更	(30)			
		氏の変更	3001			
		配偶者の氏の変更	3002			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	71/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (4/6)	戸籍法107条4項の氏変更	(31)	4		
		氏の変更	3101			
		名の変更	(32)			
		名の変更	3201			
		転籍	(33)			「戸籍事項記載別コード」参照 戸籍事項欄のみ
		就籍	(34)			
		就籍	3401			
		縁組取消し	(35)			
		養子縁組取消し	3501			
		配偶者の養子縁組取消し	3502			
		離縁取消し	(36)			
		養子離縁取消し	3601			
		配偶者の養子離縁取消し	3602			
		婚姻取消し	(37)			
		婚姻取消し	3701			
		離婚取消し	(38)			
		離婚取消し	3801			
		失踪宣告取消し	(39)			
		失踪宣告取消し	3901			
		配偶者の失踪宣告取消し	3902			
		推定相続人廃除取消し	(40)			
		推定相続人廃除取消し	4001			
		未成年者の後見	(41)			
		未成年者の後見	4101			

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	72/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (5/6)	訂正	(50)	4		
		訂正	5001			
		訂正	5002			段落ちして表示
		文字訂正	5011			
		文字関連訂正	5012			
		文字関連訂正	5013			段落ちして表示
		文字訂正	5014			段落ちして表示
		記録	(51)			
		記録	5101			
		記録	5102			段落ちして表示
		消除	(52)			
		消除	5201			
		移記	(53)			
		移記	5301			
		移記	5302			段落ちして表示
		入籍	(54)			
		入籍	5401			
		子の入籍	5402			
		除籍	(55)			
		除籍	5501			
		回復	(56)			
		回復	5601			
		引取り	(57)			
		引取り	5701			
		子の復籍	(58)			
		子の復籍	5801			
		更正	(70)			
		更正	7001			
		更正	7002			段落ちして表示
		[redacted]				[redacted]
		文字更正	7011			

第5 8 (2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	73/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	身分事項 タイトルコード (6/6)	文字関連更正	7012	4		
		文字関連更正	7013			段落ちして表示
		文字更正	7014			
		追完	(80)			
		追完	8001			
		追完	8002			
		外国人配偶者の国籍変更	(90)			
		配偶者の国籍変更	9001			
		外国人配偶者の氏名変更	(91)			
		配偶者の氏名変更	9101			

第58(2)	コード一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		74/75
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	名義使用区分 [夫婦名義の使用区分]	未使用	0	1		(夫婦双方の名義使用)
		夫	1			
		妻	2			
	メッセージ　*1			6		メッセージ一覧を参照
	戻る戸籍での筆頭者区分 [戻る戸籍における筆頭者区分]	構成員	0	1		筆頭者区分と同じ
		筆頭者	1			

*1　民二7002号通達にない付設対象　　[　]内は、民二7002号通達での名称

第58(2)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	75/75

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	離縁申立人区分	養子(法定代理人含む)	1	1		
		養親	2			
	離婚申立人区分	無	0	1		
		夫	1			
		妻	2			

第5.8.(3)メッセージ一覧表

第5.8.(3)メッセージ一覧表

(1) 作成の目的

新システムのオンライン画面で使用する各種「メッセージ」をコードと対応して、一覧できるようにするために作成した。

(2) 作成方法

一覧表の記入内容は、次のとおりである。

ア コード　　コードを記入する。

コードの上1桁の意味は、以下のとおりである。

「C」:確認メッセージ

「S」:審査メッセージ

「E」:エラーメッセージ

「M」:メッセージ

イ　メッセージ　　コードに置き換えられる「メッセージ」項目名を記入する。

(3) メッセージ一覧表

上記の検討を経て作成した一覧表は、以下のとおりである。

	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		コード一覧表	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	1/1

戸籍システムにおけるメッセージは、コード体系上、以下のように4つに区分けしている。
但し、基準書においては、「確認メッセージ」「エラーメッセージ」で示してある。

(1)確認メッセージ
入力審査の場合で、入力項目だけでは審査できないもの(exp.添付資料等の有無及び内容確認、審査に例外がある場合の対応等)の判断を操作員に促すものである。この確認メッセージには、常に応答入力が必要であり、通常、「Yes」の場合は処理を続行し、「No」入力の場合は処理停止となる。処理停止の場合でも審査続行の特別な処理(exp.特殊キーを押下)をした時のみ、基準書(要件定義書の根拠法令欄)で示してある「不受理」「照会」等をシステム審査の処分値として処理を続行できる。但し、例外的に審査ロジック分岐の判断を、操作員に確認してもらう為に使用する場合もある。この時は、処分に影響はない。

(2)審査メッセージ
入力審査を行い審査不可となった状況を操作員に知らせるものであり、応答入力を必要としないメッセージとして表示され、処理は停止状態となる。処理を続行させるには、審査続行の特別な処理をするが、システム審査の処分値として常に「不受理」である。

(3)エラーメッセージ
応答入力を必要としないメッセージで、処理の続行が不可(処理停止)の場合に表示されるものである。

(4)メッセージ
応答入力を必要としないメッセージで、処理に影響を与えず、操作員に注意及び操作指示等を促すものである。

△:特別な処理により審査続行可能

NO	基準書上でのメッセージ表記	コード体系上でのメッセージ表記	コード	届書入力―審査(××届)						届書入力以外				メッセージ例
					応答入力		処分	審査継続	エラー履歴		応答入力		処理継続	
1	確認メッセージ	確認メッセージ	C	○	○	Yes	―	○	○	○	○	Yes	○	医師の診断書があり,内容を確認しましたか?
						No	不受理 照会等	△				No		
2	エラーメッセージ	審査ﾒｯｾｰｼﾞ	S	○	×	―	不受理	△	○					強制認知による胎児認知はできません。
		エラーﾒｯｾｰｼﾞ	E	○	×	―	―	×	×	○	×	―	×	審査結果入力で入力して下さい。
		メッセージ	M	○	×	―	―	○	×	○	×	―	○	

[注意] 1.届出入力―審査(××届)における、応答入力に対する処分や分岐等は、基準書要件定義書の備考欄に記述されているものをチェック―優先―する。
2.メッセージについては、今後、若干の変更を伴う可能性があります。随時、変更修正できるように配慮して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

コード	メッセージ
C01001	相手方から10日以内の届出です。受理してもいいですか?
C01002	医師の診断書があり、内容を確認しましたか?
C01003	医師の診断書の内容を確認して下さい。
C01004	医師の診断書の内容を確認しましたか?
C01005	姻族関係終了を認めたその国の証明書が添付されていますか?
C01006	縁氏続称者の他には在籍者はいませんね。
C01007	縁氏続称者は、離縁復氏から現在まで氏を変更していませんね。
C01008	縁組の保護要件等は養子の本国法によります。保護要件等は審査済みですか?
C01009	縁組の保護要件等は養女の本国法によります。保護要件等は審査済みですか?
C01010	縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01011	縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01012	縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C01013	夫の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?
C01014	夫の国籍を証明するものがありますか?
C01015	夫の住民票の写が添付されていますか?
C01016	夫は国籍を証明するものがありますか?
C01017	縁組継続中ですが、よろしいですか?
C01018	夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?
C01019	夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
C02001	改正法附則5条1項の届出で間違いはありませんね。
C02002	家庭裁判所の許可書謄本が添付され、届書の証人欄に記載がありますね。
C02003	家庭裁判所の許可書の謄本がありますか?
C02004	監護者の同意書が添付されていますか?
C02005	監護者は養子の父又は母ですか?
C02006	監護者は養女の父又は母ですか?
C02007	外国人出生子として処理を続行しますか?
C02008	外国人の非嫡出子として処理を続行しますか?
C02009	外国人母に前婚の履歴がありますか?
C02010	外国の方式により認知が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?
C02011	該当の受領番号は照会ですが、法務省の指示なしで修正しても構いませんか?
C02012	帰化者同士婚姻していますね。
C02013	帰化者の配偶者は同時に帰化しませんね。
C02014	帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。
C02015	棄児の処理として続行しますか?
C02016	共同親権ですか?
C02017	許可審判書の謄本の添付がありますか?
C02018	後見人･被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか?
C02019	後見人(後見監督人･特別代理人)の承諾がありますか?
C02020	後見人(後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか?
C02021	後見人選任を証する書面が添付されていますか?
C02022	国籍取得時の年齢が20歳を越えていますが、問題ありませんね。
C02023	国籍取得者は国籍喪失時の戸籍に戻れない理由がありますね。
C02024	戸籍取得者は戸籍を喪失した者ですね。
C02025	戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。
C02026	戸籍法73条の2は養子夫婦の筆頭者が届出人ですね。
C02027	子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか?
C02028	子の母は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C02029	子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか?
C02030	子の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?
C02031	子は成年者(成年擬制も含む)ですか?
C02032	婚姻要件具備証明等が添付されていますか?
C02033	婚姻を証明する書類が添付されていますか?

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		3/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C02034	改正法附則6条1項の届出で間違いはありませんね?	
C02035	戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか?	
C02036	外国国籍を取得していませんね。	
C02037	外国人母に婚姻解消の履歴がありますか?	
C02038	現夫の出生子として処理を続行しますか?	
C02039	後見人の就職日は、被後見人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか?	
C02040	後見人は、入籍相手と同一人ですか?	
C02041	外国の方式により縁組が成立した旨の証明又は証明書の添付がありますか?	
C02042	外国人のみからの証書提出ですか?	
C02043	後見人（後見監督人）は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C02044	国籍取得時の年齢が18歳を越えていますが、問題ありませんね。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C02045	子は成年者ですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		4/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C03001	在外公館職員は父として処理を続行しますか?
C03002	裁判の対象夫は母の前夫と同一と判断して処理を続行しますか?
C03003	裁判の謄本の添付がありますか?
C03004	事件発生日が不明の身分事項があります。よろしいですか?
C03005	事件本人の本籍地又は所在地ですか?
C03006	事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか?
C03007	事件本人は復氏出来ますか?
C03008	失踪の記録前に失踪確定日後発生した身分事項が記録されています。
C03009	失踪の記録前に失踪確定日当日に発生した身分事項が記録されています。
C03010	死亡(失踪)した配偶者と婚姻していたことを確認しましたか?
C03011	死亡の記録前に死亡日後発生した身分事項が記録されています。
C03012	死亡の記録前に死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。
C03013	従前に称していた氏ですか?
C03014	出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか?
C03015	出生子は死亡していますか?
C03016	出生子は名未定として処理を続行しますか?
C03017	出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか?
C03018	出生地での国籍を未取得として処理を続行しますか?
C03019	出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか?
C03020	証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか?
C03021	親権者は未成年ですがよろしいですか?
C03022	親権者名は正しいですか?
C03023	新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか?
C03024	審判書及び確定証明書がありますか?
C03025	審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか?
C03026	審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか?
C03027	新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。
C03028	既に養子離縁は成立しており、事件発生日と養子離縁届出日は同じですか?
C03029	成年擬制ですか?
C03030	前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか?
C03031	前夫の離婚は前夫との婚姻後201日以降ですか?
C03032	前夫の嫡出の推定を排除する事由(裁判除)がありますか?
C03033	前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		5/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C03034	住所を日本に有していませんが、問題ありませんね。	
C03035	出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですか?	
C03036	出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。	
C03037	出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか?	
C03038	出生日は、母と前夫の婚姻の翌日より201日以降ですか?	
C03039	前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか?	
C03040	出生の届出が出生日から14日を過ぎています。	
C03041	新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか?	
C03042	事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか？	R2.1(名未定)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		6/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

コード	メッセージ
C04001	待婚期間が6箇月以内ですがよろしいですか?
C04002	胎児認知区分が有りますが、胎児認知日無として処理を続行しますか?
C04003	胎児認知者と届書の父を同一人として処理を続行しますか?
C04004	単独親権ですか?
C04005	遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか?
C04006	父の認知があるものとして処理を続行しますか?
C04007	父の配偶者は国籍取得者の母と同じですね。
C04008	父は帰化者の認知者ですね(準正でない)。
C04009	父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか?
C04010	父は事実主義に関する証明書が添付されているものとして処理を続行しますか?
C04011	嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんね?
C04012	調停調書の謄本がありますか?
C04013	調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?
C04014	直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか?
C04015	直系卑属は成年に達していますか?
C04016	通常、廃除者か、遺言執行者しか届出人になれません。よろしいですか?
C04017	妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?
C04018	妻の国籍を証明するものがありますか?
C04019	妻の住民票の写が添付されていますか?
C04020	妻は国籍を証明するものがありますか?
C04021	当時の外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出せますか?
C04022	特別代理人を証する書面が添付されていますか?
C04023	都道府県知事の許可書が添付されていますか?
C04024	届出期間を経過していますがよろしいですか?
C04025	届出期間を過ぎていますがよろしいですか?
C04026	届出期間を超過しています。よろしいですか?
C04027	届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか?
C04028	届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。
C04029	届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?
C04030	届出人資格が後見人ですがよろしいですか?
C04031	届出人の所在地での届出ですか?
C04032	届出人は、後見人(後見監督人)ではありませんがよろしいですか?
C04033	届出人は、喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		7/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C04034	届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか?
C04035	届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね。
C04036	届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね。
C04037	届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか?
C04038	届出人は正しいですか?
C04039	届出人は認知者ではありませんがよろしいですか?
C04040	届出人は未成年者の父(養父)、母(養母)の双方ですか?
C04041	届出人を市区町村長として処理を続行しますか?
C04042	父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか?
C04043	現夫の出生子として処理を続行しますか?
C04044	同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか?
C04045	届出人が父・父母以外のため、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか?
C04046	妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?
C04047	妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?
C04048	同時に帰化する者は帰化者と(養)親子関係にありますね?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		8/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6

コード	メッセージ
C05001	内容を確認して下さい。
C05002	日本国内で行われた裁判離婚ですか?
C05003	日本人生存配偶者に対する婚姻解消事項の記録の手続きが必要です。
C05004	日本人配偶者に対する婚姻解消事項の記録の手続きが必要です。
C05005	日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか?
C05006	入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?
C05007	入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?
C05008	入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?
C05009	入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?
C05010	入籍人の父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05011	入籍人の母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05012	入籍人の父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05013	入籍人の養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05014	入籍人の養父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05015	入籍人の養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05016	認知者及び子の生年月日は正しいですか?
C05017	認知者と胎児の母との婚姻解消後300日以内の届出ではありませんね。
C05018	認知者の国籍証明書の添付がありますか?
C05019	認知者の生年月日は正しいですか?
C05020	認知者の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?
C05021	認知者は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C05022	認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか?
C05023	認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか?
C05024	入籍人の父の名又は養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05025	入籍人の母の名又は養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?
C05026	入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?
C05027	入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?
C05028	名のみの届出ですか?`
C05029	入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?
C05030	入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?
C05031	入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?
C05032	入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?
C05033	入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		9/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20

コード	メッセージ
C05034	入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?
C05035	入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?
C05036	入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?
C05037	入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?
C05038	入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?
C05039	入籍日から100日を超えていませんが、離死別日に間違いはありませんね?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		10/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18

コード	メッセージ
C06001	配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後200日を経過していないですね。
C06002	廃除者氏名と被廃除者の戸籍の記載の氏名が異なりますがよろしいですか?
C06003	入るべき戸籍に在籍者が存在するものとして処理を続行しますか?
C06004	入るべき戸籍の父と届書の母は婚姻しているものとして処理を続行しますか?
C06005	母に前離婚の履歴がないものとして処理を続行しますか?
C06006	母の国籍証明書の添付がありますか?
C06007	母の配偶者は国籍取得の父と同じですね。
C06008	母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか?
C06009	母の本国法により認知することが出来る旨の証明書はありますか?
C06010	判決の謄本･確定証明書(調停･和解･認諾調書の謄本)が添付されていますね。
C06011	判決の謄本及び確定証明書がありますか?
C06012	被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか?
C06013	表示された戸籍事項を削除してよろしいですか?
C06014	表示された身分事項を削除してよろしいですか?
C06015	夫婦の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?
C06016	復氏届を兼ねることが出来る届出に間違いありませんね。
C06017	復籍する戸籍に間違いはありませんか?
C06018	父母の婚姻後の出生届ですか?
C06019	父母の嫡出子であり、父母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか?
C06020	父母の離婚後の出生届ですか?
C06021	父母又は母が無国籍人であることの証明書があるものとして処理を続行しますか?
C06022	平和条約発効に該当する国ですか?
C06023	保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか?
C06024	本来、廃除される者が届出人になることは出来ません。よろしいですか?
C06025	変更後の氏は、当該届書で変更可能な氏ですか?
C06026	保佐人の就職日は被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか?
C06027	母に婚姻の履歴はありませんね。
C06028	母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか?
C06029	母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか?
C06030	父母の婚姻後の出生ですか?
C06031	父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか?
C06032	父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか?
C06033	被認知者は禁治産者ですか?

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		11/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C06034	保佐人は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C06035	被認知者は成年者ですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C06036	変更後の氏と配偶者の氏が異なりますが、よろしいですか?	R2.1(107条2項25)
C06037	変更後の氏と外国人父母の氏が異なりますが、よろしいですか?	R2.1(107条4項28)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		12/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C07001	埋葬許可書をプリントしますか?	
C07002	未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?	
C07003	未成年者がいますが、成年擬制又は他の親権を受けていますか?	
C07004	未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?	
C07005	民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?	
C07006	民法上の氏は同じですか?	
C07007	未成年者がいますが、他の親権を受けていますか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
C07008	未成年者の婚姻ですが同意はありますか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		13/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C08001	養親の現在の国籍と縁組成立時の国籍が異なりますが構いませんね。
C08002	養親の配偶者とは縁組していませんね。
C08003	養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか?
C08004	養子が養父より年上ですがよろしいですか?
C08005	養子が養母より年上ですがよろしいですか?
C08006	養子となる者は6歳以上ですが、審判申立日現在は6歳未満ですか?
C08007	養子となる者は6歳に達する前から養親となる者に監護されていますか?
C08008	養子となる者は審判申立日現在は8歳未満ですか?
C08009	養子となる者は養母の配偶者の嫡出子又は特別養子ですか?
C08010	養子と養女は婚姻していましたか?
C08011	養子の配偶者が同意出来ない正当な理由の記載がありますか?
C08012	養子の配偶者の同意書がありますか?
C08013	養子の本国法に養子制度がありませんか?
C08014	養子は異動後の戸籍で、生存配偶者に間違いありませんね。
C08015	養子は帰化者等、従前の戸籍がない者ですね。
C08016	養子は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08017	養子は禁治産者ですか?
C08018	養子は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08019	養子は婚姻したことがありませんね。
C08020	養子は従前の戸籍には戻れませんね。
C08021	養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。
C08022	養子は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね。
C08023	養子は養父の直系卑属ですか?
C08024	養子は養父の配偶者の嫡出子ですか?
C08025	養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか?
C08026	養子は養父又は養母の直系卑属ですか?
C08027	養子は養母の直系卑属ですか?
C08028	養子は養母の配偶者の嫡出子ですか?
C08029	養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか?
C08030	養女が本国法上の保護要件を備えている旨の書面がありますか?
C08031	養女が養父より年上ですがよろしいですか?
C08032	養女が養母より年上ですがよろしいですか?
C08033	養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか?

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		14/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C08034	養女の配偶者の同意書がありますか?
C08035	養女の本国法に養子制度がありませんか?
C08036	養女は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08037	養女は禁治産者ですか?
C08038	養女は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08039	養女は婚姻したことがありませんね。
C08040	養女は養父の直系卑属ですか?
C08041	養女は養父の配偶者の嫡出子ですか?
C08042	養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか?
C08043	養女は養父又は養母の直系卑属ですか?
C08044	養女は養母の直系卑属ですか?
C08045	養女は養母の配偶者の嫡出子ですか?
C08046	養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか?
C08047	養父及び養母の要件具備証明書等がありますか?
C08048	養父と養子は縁組していますね。
C08049	養父の配偶者が縁組出来ない正当な理由が記載されていますか?
C08050	養父の配偶者が同意出来ない正当な理由が記載がありますか?
C08051	養父の配偶者の同意書がありますか?
C08052	養父の要件具備証明書等がありますか?
C08053	養父は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08054	養父は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?
C08055	養父は婚姻したことがありますか?
C08056	養父は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか?
C08057	養父母と共同で離縁出来ない正当な理由がありますか?
C08058	養父母は審判日に25歳(一方20歳以上で可)未満ですがよろしいですか?
C08059	養父母は夫婦ですか?又は、養子と縁組中夫婦でしたか?
C08060	養母と養子は縁組していますね。
C08061	養母の配偶者が縁組出来ない正当な理由が記載されていますか?
C08062	養母の配偶者が同意出来ない正当な理由の記載がありますか?
C08063	養母の配偶者の同意書がありますか?
C08064	養母の要件具備証明書等がありますか?
C08065	養母は禁治産者です。医師の診断書が添付されていますか?
C08066	養母は禁治産者のため、医師の診断書の添付がありますか?

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		15/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C08067	養母は婚姻したことがありますか?	
C08068	養母は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか?	
C08069	養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。	
C08070	養子は、後見を受けていますね。	
C08071	15歳に達する前から養親に監護されており、申立ができなかった理由がありますか。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)
C08072	養子となる者は15歳以上ですが、審判申立日現在は15歳未満ですか。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)
C08073	養子となる者の同意はありますか。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		16/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
C09001	離縁の証書が添付されていますか?
C09002	離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C09003	離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか?
C09004	離縁復氏したことを別戸籍で確認して下さい。
C09005	連署人は帰化者と婚姻していますね。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		17/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3

コード	メッセージ
C10001	外国人だけからの証書提出ではないですね。
C10002	養父(母)と離縁協議者は同一人ですか?
C10003	協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか?
C10004	死亡養親との離縁で届出人が後見人ではありませんがよろしいですね？
C10005	証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか？

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		18/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19

コード	メッセージ
C11001	未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが、よろしいですか?
C11002	届出人は、未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか?
C11003	成年後見人からの届出ですが、成年後見登記の登記事項証明書のチェックは行いましたか?
C11004	事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?
C11005	未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか?
C11006	被認知者は成年被後見人ですか?
C11007	成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?
C11008	未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか?
C11009	特別代理人が届出人になれるケースですか?
C11010	養子は未成年後見を受けていますね?
C11011	外国の方式により離婚が成立した旨の証書または証明書の添付がありますか?
C11012	親権区分nの親権指定は必要ですか?
C11013	届書の届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?
C11014	構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか?
C11015	未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか?
C11016	死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんがよろしいですね?
C11017	外国人からだけの証書提出ではないですね?
C11018	性同一性障害の記録があります。元の戸籍に戻れますか?
C11019	父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね?
C11020	母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね?
C11021	性同一性障害の記録があります。入力した戸籍に入籍できますか?
C11022	父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?
C11023	父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?
C11024	復する氏に間違いはありませんか?
C11025	父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね?
C11026	母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね?
C11027	受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?
C11028	養親の配偶者が養子の親権者ですか?
C11029	妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。
C11030	妻は従前の戸籍に戻れませんね。
C11031	新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。
C11032	夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。
C11033	夫は従前の戸籍に戻れませんね。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		19/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
C11034	新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。	
C11035	死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか?	
C11036	届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか?	
C11037	後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判所の謄本が添付されていますか?	
C11038	日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。	
C11039	子は準正嫡出子(父母が婚姻している)ですね。	
C11040	子は非嫡出子(父母が婚姻していない)ですね。	
C11041	養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね。	
C11042	養親の国籍が、縁組成立時と異なる可能性がありますが、よろしいですね。	
C11043	告示日から1箇月を経過していますが、交付日から1箇月は経過していませんね?	
C11044	養子に単独親権の記録がありますか。	
C11045	養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?	
C11046	養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?	
C11047	同一戸籍内縁組ではありませんね?	
C11048	夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか?	
C11049	夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか?	
C11050	届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11051	届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11052	届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11053	届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。	
C11054	戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか?	
C11055	許可の審判確定日に入力がありますがよろしいですか?	
C11056	許可の審判確定日に入力がありませんがよろしいですか?	
C11057	出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか?	
C11058	出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?	
C11059	処理照会要件は、法務局に照会済ですね。	
C11060	待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?	
C11061	民法第733条第2項に該当する再婚ですか?	
C11062	未成年被後見人は婚姻していますか。	
C11063	未成年後見人（未成年後見監督人）は18歳未満ですが、よろしいですか？	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		20/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1

コード	メッセージ
E01001	9条2項データが1件もありません。
E01002	9条2項データは存在しません。
E01003	15歳未満で養子養女双方の入力があります。審査結果入力で処理して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		21/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E02001	移記不要の身分事項があります。不要な記録を削除して下さい。
E02002	移記不要の婚姻事項があります。不要な記録を削除して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		22/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
E03001	改正前国籍法下での渉外婚姻です。父の新戸籍編製後出生処理を行って下さい。
E03002	改正前国籍法下での渉外婚姻です。母の新戸籍編製後出生処理を行って下さい。
E03003	該当の受領番号で未決裁の届はありません。
E03004	該当の受領番号の届書は現在処理中です。決裁は行えません。
E03005	該当の受領番号の届と選択された事件が異なります。
E03006	該当の受領番号の届は、照会ではありません。
E03007	該当のデータはありません。
E03008	仮戸籍がありませんので移記事項処理は行えません。
E03009	この届出による新戸籍編製では移記の処理はできません。
E03010	管掌者コードが間違っています。
E03011	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。
E03012	関連受領番号の受付帳は『死亡』以外ですので、処理出来ません。
E03013	関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記載して下さい。
E03014	基本となる届の受領番号を入力して下さい。
E03015	決裁する届の番号を選択して下さい。
E03016	決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。
E03017	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。
E03018	改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果入力で処理して下さい。
E03019	戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
E03020	改正前国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果入力で処理して下さい。
E03021	帰化記録者資格に父を入力する必要はありません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		23/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
E04001	作成された受付帳は1件だけです。
E04002	指定した該当者に対して移記の処理はできません。
E04003	指定日は入力できません。
E04004	指定日を入力して下さい。
E04005	収日は入力できません。
E04006	出生又は認知の記録が2件以上あります。不要な記録を削除して下さい。
E04007	処理選択番号が違います。再度、入力して下さい。
E04008	処理番号を入力して下さい。
E04009	新記録順位が重複しています。
E04010	新記録順位は設定可能範囲を超えています。
E04011	審査結果入力で処理して下さい。
E04012	審査処理で記録した転籍事項ですので、修正･削除はできません。
E04013	審査で記録した事項ですので削除できません。
E04014	審査で記録した事項ですので修正できません。
E04015	処理を続行して入力項目チェックを行って下さい。
E04016	実行キーを押下しないと決裁処理はできません。
E04017	実行キーを押さないと処分決定は処理できません。
E04018	従前からある記録事項ですので削除できません。
E04019	従前からある記録事項ですので修正できません。
E04020	除籍者に対して移記の処理はできません。
E04021	選択した届書ファイルは他で処理中です。決裁処理することはできません。
E04022	選択に該当するデータはありません。
E04023	選択番号に誤っています。正しく入力して下さい。
E04024	選択番号が誤りです。正しく入力して下さい。
E04025	前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています。
E04026	前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります。
E04027	出生日が新国籍法施行前の出生処理は、審査結果入力で処理して下さい。
E04028	収日を入力して下さい。
E04029	受理･処理照会です。発日を入力して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		24/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E05001	続柄が入力してあるにも係わらず養父又は養母氏名が記録されていません。
E05002	同生年月日者同士の記録順位の変更しか出来ません。
E05003	届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。
E05004	届書が正当なら、審査結果入力で処理して下さい。
E05005	特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい。
E05006	届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
E05007	胎児認知者と母の夫が違います。審査結果入力で処理して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		25/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E06001	入力された関連受領No.は、胎児認知の受付帳ではありません。
E06002	入力された受領番号で受付DBはありません。
E06003	入力された受領番号の受付DBは処理済みです.
E06004	入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。
E06005	入力された明細番号が身分事項件数を超えています。
E06006	入力された明細番号の事項は既存の記録ですので、並べ替えできません。
E06007	入力された明細番号の事項は転籍事項ですので、並べ替えできません。
E06008	入力された明細番号は事項は戸籍事項件数を超えています。
E06009	入力された明細番号は重複して入力されています。
E06010	入力されている明細番号が重複しています。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		26/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E07001	配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず、婚姻事項があります。
E07002	配偶者区分が夫又は妻となっているにも係わらず、婚姻事項がありません。
E07003	パスワード･エラー
E07004	発日は入力出来ません。
E07005	表示する移記戸籍がありません。
E07006	入るべき戸籍に父母が在籍していないため、審査結果業務より処理して下さい。

<table>
<tr><td rowspan="2">第5
8
(3)</td><td rowspan="2">メッセージ一覧表</td><td colspan="2">主管課名</td><td>頁数</td></tr>
<tr><td colspan="2">システム化調査研究会</td><td>27/55</td></tr>
<tr><td colspan="2">適用業務名</td><td>作成日付</td><td>改訂日付</td><td>版</td></tr>
<tr><td colspan="2"></td><td>平成 6年12月 1日</td><td>令和　年　月　日</td><td>1</td></tr>
</table>

コード	メッセージ
E08001	未決裁の届は存在しません。(全て決裁済みです。)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		28/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E09001	養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず、縁組事項があります。
E09002	養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず、縁組事項がありません。
E09003	養父又は養母氏名が入力してあるにも係わらず続柄が記録されていません。
E09004	養子･養女が婚姻関係にありません。正当なら審査結果入力で処理して下さい。
E09005	養子･養女が同一戸籍にいません。正当なら審査結果入力で処理して下さい。
E09006	養子養親の片方同士が死亡の離縁届の1通処理は審査結果入力で処理願います。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名 システム化調査研究会		頁数 29/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
E10001	連続して受付帳を確保することができません。
E10002	連署人が構成員なら審査結果入力で処理して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		30/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
E11001	新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。	
E11002	事件本人は20歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。	
E11003	事件本人は成年擬制者です。未成年後見人は届出人になれません。	
E11004	事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人になれません。	
E11005	未成年後見人･未成年被後見人の縁組はできません。	
E11006	外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません。	
E11007	親権区分nは入力不要です。削除して下さい。	
E11008	養子には未成年後見人がいません。	
E11009	新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。	
E11010	入るべき戸籍に母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。	
E11011	死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。離縁許可日の入力が必要です。	
E11012	出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。	
E11013	入るべき戸籍に父母が在籍していない為、審査結果業務より処理して下さい。	
E11014	関連受領番号の入力がないため、報告日の確認がとれません。審査結果業務より処理してください。	
E11015	日本法の方式に従って協議離婚はできません。	
E11016	外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。	
E11017	外国方式の協議離縁届と未成年後見届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。	
E11018	父の名が違います。入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。	
E11019	母の名が違います。入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。	
E11020	養父の名が違います。入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。	
E11021	養母の名が違います。入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。	
E11022	同一人でないため、父母欄更正できません。	
E11023	家庭裁判所の許可が必要な入籍です。	
E11024	関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理して下さい。	
E11025	事件本人は18歳以上です。未成年後見人は届出人になれません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		31/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
M01001	「処理照会」には変更できません。
M01002	「受理」には変更できません。
M01003	「受理照会」には変更できません。
M01004	「受理処分の撤回」には変更できません。
M01005	「取り下げ」には変更できません。
M01006	「不受理」には変更できません。
M01007	「返戻」には変更できません。
M01008	PF3キーでデータが削除されます。
M01009	「保留」には変更できません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		32/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M02001	エラー履歴情報が存在しません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		33/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M03001	該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。
M03002	該当者が多すぎます。再度、検索キーを入力して下さい。
M03003	個人状態はありません。
M03004	個人状態ファイルがありません。
M03005	個人状態ファイルが更新されました。
M03006	この後の履歴はありません。
M03007	この前の履歴はありません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		34/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M04001	最終ページです。
M04002	最終ページを表示中です。
M04003	削除してもよろしいですね。確認してくだ下さい。
M04004	審査の結果、前の処分区分と異なりました。注意して下さい。
M04005	先頭ページです。
M04006	先頭ページを表示中です。
M04007	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
M04008	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻･入夫婚姻)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		35/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M05001	チェックOKです。個人状態ファイルを更新して下さい。
M05002	チェックOKです。不受理申出ファイルを更新して下さい。
M05003	チェックOKです。不受理申出ファイルを削除して下さい。
M05004	チェックOKです。不受理申出ファイルを追加して下さい。
M05005	父の情報が特定出来ないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。

<table>
<tr><td rowspan="2">第5
8
(3)</td><td rowspan="2" colspan="2">メッセージ一覧表</td><td colspan="2">主管課名</td><td>頁数</td></tr>
<tr><td colspan="2">システム化調査研究会</td><td>36/55</td></tr>
<tr><td colspan="3">適用業務名</td><td>作成日付</td><td>改訂日付</td><td>版</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>平成 6年12月 1日</td><td>令和　年　月　日</td><td>1</td></tr>
<tr><td>コード</td><td colspan="5">メッセージ</td></tr>
<tr><td>M06001</td><td colspan="5">入力項目を確認し、よければ処理を続行して下さい。</td></tr>
</table>

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		37/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M07001	不受理申出はありません。
M07002	不受理申出ファイルがありません。
M07003	不受理申出ファイルが更新されました。
M07004	不受理申出ファイルが削除されました。
M07005	不受理申出ファイルが追加されました。
M07006	母の情報が特定出来ないため、移記処理で母欄の更正を行って下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		38/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
M08001	無効なキーが押下されました。
M08002	無効なキーが押されました。
M08003	無効なキーが入力されました。
M08004	無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。

<table>
<tr><td>第5
8
(3)</td><td colspan="2">メッセージ一覧表</td><td colspan="2">主管課名
システム化調査研究会</td><td>頁数
39/55</td></tr>
<tr><td colspan="3">適用業務名</td><td>作成日付</td><td>改訂日付</td><td>版</td></tr>
<tr><td colspan="3"></td><td>平成 6年12月 1日</td><td>令和　年　月　日</td><td>1</td></tr>
</table>

コード	メッセージ
M09001	養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。
M09002	養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		40/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
M10001	外国人同士の外国における婚姻届は受理出来ません。	
M10002	養子に共同親権の記録をして下さい。	
M10003	養子に共同親権の記録が必要か確認してください。	
M10004	子(養子)に共同親権の記録が必要か確認してください。	
M10005	養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理で入力して下さい。	
M10006	届出期間を経過していますので注意して下さい。	
M10007	父に子の国籍取得事項の記録が必要です。父が本籍人であれば、審査結果入力処理で記録して下さい。	
M10008	父に性同一性障害の記録があります。よろしければ処理を続行してください。	
M10009	届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。	
M10010	法務局に照会して下さい。	
M10011	届出期間を経過しています。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ118)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		41/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1

コード	メッセージ
S01001	15歳未満であるのに、養子養女の双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。
S01002	15歳未満の人は届出ることができません。
S01003	15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		42/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
S02001	新しい本籍は作れません。
S02002	姻族関係終了する配偶者は死亡(失踪)していません。
S02003	氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。
S02004	縁氏続称の資格がないので受理できません。
S02005	縁組日から3箇月以上経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02006	縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02007	縁組前の氏と現在の氏が同じなので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S02008	夫に婚姻事項がありません。
S02009	親子関係不存在の裁判が確定しているため、離婚前の戸籍へは入籍できません。
S02010	親子関係不存在の裁判の対象父を確認して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		43/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S03001	外国人出生子が国外で出生した出生届は受理できません。
S03002	外国人出生子の場合、入るべき戸籍には入力できません。
S03003	外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。
S03004	外国人同士の証書提出は受理できません。
S03005	外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。
S03006	外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。
S03007	外国人は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S03008	外国人配偶者が死亡しています。
S03009	外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません。
S03010	改正国籍法以前の国外出生の届出人が父母以外です。
S03011	改正戸籍法施行前の出生子は外国人です。入るべき戸籍へは入力できません。
S03012	改正前国籍法下での出生子は外国人です。入るべき戸籍へは入力できません。
S03013	改正前法例前における事実主義にもとづく父欄の入力はできません。
S03014	該当者は氏を称する入籍はできません。
S03015	該当者は従前の氏を称する入籍はできません。
S03016	該当者は既にある戸籍に入る入籍はできません。
S03017	該当者は同籍する入籍はできません。
S03018	帰化種別が間違っています。
S03019	帰化種別か連署人指定に間違いがあります。
S03020	強制認知による胎児認知はできません。
S03021	後見人･被後見人の縁組はできません。
S03022	後見人(後見監督人)は禁治産宣告を受けています。
S03023	後見人(後見監督人)は準禁治産宣告を受けています。
S03024	後見人(後見監督人)は破産宣告を受けています。
S03025	構成員の更正区分に誤りがあります。
S03026	構成員の生存配偶者の離縁では、縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません。
S03027	構成員の生存配偶者の離縁では、復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません。
S03028	更正区分にも誤りがあります。
S03029	国外で出生した出生子の出生届は受理できません。
S03030	国外での出生の場合、出生届は受理できません。
S03031	国籍法17条2項は国籍喪失者の国籍取得です。再度内容を確認して下さい。
S03032	戸籍の異動がないので、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S03033	戸籍編製区分が正しくありません。再入力して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		44/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S03034	戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。
S03035	戸籍変動区分が間違っています。
S03036	戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
S03037	戸籍変動に係わる情報が正しくありません。
S03038	子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。
S03039	この事件本人は届出の資格がありません。
S03040	婚姻適齢に達していません。
S03041	後見人の就職日は、被後見人との婚姻日でなければなりません。
S03042	強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。
S03043	現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S03044	現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S03045	現夫の嫡出子です。胎児認知欄は入力出来ません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		45/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	5.1

コード	メッセージ
S04001	裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申出人のみです。
S04002	事件発生日が不明の身分事項があります。
S04003	死亡者がいるので縁組はできません。
S04004	死亡者は、戸籍法73条の2の届を出すことができません。
S04005	氏名と筆頭者が一致していません。
S04006	氏名と筆頭者の氏が一致していません。
S04007	重婚です。婚姻届は受理できません。
S04008	従前の氏を改めた日の入力をして下さい。
S04009	従前の氏を改めた日を再度入力をして下さい。
S04010	従前の氏を称する入籍はできません。
S04011	出生後に胎児認知があります。胎児認知日は無効ですから消去して下さい。
S04012	出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。
S04013	出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。
S04014	出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。
S04015	出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。
S04016	出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。
S04017	出生子の続柄に誤りがあります。
S04018	出生子の年齢が学齢を越えています。
S04019	出生子は外国人です。届書の父欄･入るべき戸籍には入力出来ません。
S04020	出生子は外国人です。届書の父欄には入力出来ません。
S04021	出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。
S04022	出生子は非嫡出子です。届書の父欄には入力出来ません。
S04023	出生証明書が医師･助産師以外です。
S04024	出生子欄に未入力の部分があります。
S04025	出生当時の母の年齢が50歳を越えています。
S04026	出生の届出が出生日から14日を過ぎています。
S04027	出生日が新国籍法施行前の出生処理は出来ません。
S04028	準拠法が異なります。
S04029	準拠法が不明です。
S04030	準禁治産者ではありません。
S04031	準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。
S04032	準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。
S04033	親権区分nに誤りがあります。(未成年者でない)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		46/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S04034	親権指定者の有無に誤りがあります。
S04035	親権指定者の有無に誤りがあります。(親権指定なし)
S04036	親権者は禁治産者です。
S04037	新戸籍の本籍は管内へ作成して下さい。
S04038	新戸籍は作成出来ません。
S04039	新戸籍欄へ入力して下さい。
S04040	新戸籍を作成しなければいけません。
S04041	新戸籍を編製するのに、養子の名と筆頭者の名が異なります。
S04042	新本籍には入力出来ません。
S04043	新本籍又は筆頭者に入力があります。
S04044	新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。
S04045	新本籍を入力して下さい。
S04046	既に準禁治産宣告を受けています。
S04047	既に胎児認知届けがだされています。
S04048	既に認知されている子を認知することはできません。
S04049	生存配偶者は届出できません。
S04050	成年者の承諾がなければ認知できません。
S04051	成年に達してから1年を経過しています。
S04052	前夫の嫡出子です。入力した戸籍には入籍できません。
S04053	送付分の届書としては処理できません。
S04054	出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。
S04055	出生子の国籍を入力して下さい。
S04056	出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。
S04057	出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。
S04058	出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。
S04059	出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。
S04060	準正嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S04061	前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		47/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S05001	胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい。
S05002	胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい。
S05003	父の判断が出来ないため、親子関係不存在対象夫の判断ができません。
S05004	父の判断ができないため、嫡出否認対象夫の判断ができません。
S05005	父は既に存在します。
S05006	父又は母が届出人でないため新本籍、新筆頭者の入力はできません。
S05007	父未定の子です。届書の父欄へは入力できません。
S05008	父を定める裁判の対象夫と届書の父が違います。
S05009	父を定める裁判の対象夫と入るべき戸籍の父が違います。
S05010	父を定める訴の裁判は有りえません。
S05011	嫡出子出生処理のため、新戸籍欄には入力できません。
S05012	嫡出子を認知することはできません。
S05013	嫡出否認の裁判が確定しているため、離婚前の戸籍へは入籍できません。
S05014	妻に婚姻事項がありません。
S05015	同一人でないため、父母欄更正はできません。
S05016	当該届書は受理できません。
S05017	同時入籍の入籍先は既にある戸籍でなければなりません。
S05018	同時入籍での入籍者は構成員でなければなりません。
S05019	同時入籍での入籍者は未婚でなければなりません。
S05020	同時入籍での入籍元戸籍は同一戸籍内でなければなりません。
S05021	特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい。
S05022	特別養子を認知することはできません。
S05023	届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。
S05024	届書の失踪宣告者は既に除籍となっています。
S05025	届書の死亡者は既に除籍となっています。
S05026	届書の父と入るべき戸籍の父が違います。入るべき戸籍欄には入力できません。
S05027	届書の父欄に入力があり母欄に入力がありません。母欄を入力して下さい。
S05028	届書の父欄には裁判の対象夫を入力して下さい。
S05029	届書の父母は婚姻していません。
S05030	届出期間を経過しているので受理できません。
S05031	届出期間を超過しています。
S05032	届出資格を有していません。
S05033	届出人資格1と届出人資格2が重複しています。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		48/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
S05034	届出人資格1の入力に誤りがあります。
S05035	届出人資格1を正しく入力して下さい。
S05036	届出人資格2の入力に誤りがあります。
S05037	届出人資格2を正しく入力して下さい。
S05038	届出人資格がその他です。
S05039	届出人資格に誤りがあります。
S05040	届出人資格を正しく入力して下さい。
S05041	届出人資格を父又は父母として届け出ることはできません。
S05042	届出人資格を有していません。
S05043	届出人は法定代理人でなければなりません。
S05044	届出人は本人でなければなりません。
S05045	届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。
S05046	届出有効期聞(6箇月以内)を経過しています。
S05047	胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。
S05048	届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。
S05049	父欄を入力することは出来ません。
S05050	父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。
S05051	父を定める訴の裁判は入力出来ません。
S05052	嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。
S05053	嫡出でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		49/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S06001	日本法上子の保護要件の審査は済みましたか?	
S06002	入籍相手区分を正しく入力して下さい。	
S06003	入籍戸籍には筆頭者が在籍しています。	
S06004	入籍先の本籍に入力がありません。	
S06005	入籍事由に誤りがあります。	
S06006	入籍事由を正しく入力して下さい。	
S06007	入籍届は受理出来ません。	
S06008	入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力で処理して下さい)。	
S06009	入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。	
S06010	入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。	
S06011	入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。	
S06012	認知の裁判の対象夫と届書の父が違います。	
S06013	認知以外の裁判区分を入力することはできません。	
S06014	認知業務より処理して下さい。	
S06015	入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06016	入籍先の養父との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06017	入籍先の養母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。	
S06018	入籍相手に誤りがあります。	
S06019	入籍人は未成年です。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		50/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21

コード	メッセージ
S07001	配偶者-配偶者区分には誤りがあります。
S07002	配偶者とともに届出が必要です。
S07003	配偶者の有無区分を'有'にして下さい。
S07004	配偶者は届出できません。
S07005	廃除者は死亡(失踪)していないので、遺言執行者は届出人になれません。
S07006	入るべき戸籍に在籍者がいないので出生業務からは処理できません。
S07007	入るべき戸籍には裁判の対象夫を入力して下さい。
S07008	入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。
S07009	入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。
S07010	入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。
S07011	入るべき戸籍の父は胎児認知者となることは出来ません。
S07012	入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。
S07013	入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。
S07014	発収簿処理をして下さい。
S07015	母構成員、除籍の場合、出生処理からは処理できません。
S07016	母前離婚前出生の場合、入るべき戸籍は母の前離婚当時の戸籍です。
S07017	母との戸籍上の続柄は男･女又は空欄でなければなりません。
S07018	母に婚姻の履歴がないため、親子関係不存在対象夫の判断ができません。
S07019	母に婚姻の履歴がないため、嫡出否認対象夫の判断ができません。
S07020	母につき新戸籍ですが、新戸籍欄への入力がありません。
S07021	母の夫=届書の夫、且つ、届出人が父の場合、胎児認知日には入力できません。
S07022	母の現在の戸籍へ入籍です。新戸籍欄への入力はできません。
S07023	母の承諾がなければ胎児認知できません。
S07024	母は無籍者です。受理照会となります。
S07025	被後見人は禁治産宣告を受けています。
S07026	被後見人は禁治産宣告を受けていません。
S07027	被後見人は婚姻しています。
S07028	被後見人は未成年者です。
S07029	被後見人は未成年者ではありません。
S07030	非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07031	非嫡出子のため、届書の父欄への入力はできません。
S07032	筆頭者が外国人配偶者と婚姻中ではありません。
S07033	筆頭者は届出できません。

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		51/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

コード	メッセージ
S07034	夫婦の帰化を選択して下さい。
S07035	夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。
S07036	夫婦の構成員の離縁において戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。
S07037	夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。
S07038	復氏することができません。
S07039	父母が婚姻中でないため、氏を称する入籍はできません。
S07040	父母が婚姻中でないため、同籍する入籍はできません。
S07041	父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります。
S07042	父母婚姻中・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07043	父母の嫡出子です。胎児認知日には入力できません。
S07044	父母離婚後・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。
S07045	父母離婚前出生の場合、入るべき戸籍は父母離婚当時の戸籍です。
S07046	分籍届は受理できません。
S07047	分籍人は婚姻中です。分籍届は受理できません。
S07048	分籍人は配偶者(生存配偶者)です。
S07049	分籍人は筆頭者です。
S07050	分籍人は筆頭者です。分籍届は受理できません。
S07051	分籍人は未成年者です。
S07052	変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。
S07053	変更後の本籍を入力して下さい。
S07054	保佐人は禁治産宣告を受けています。
S07055	保佐人は準禁治産宣告を受けています。
S07056	保佐人は破産宣告を受けています。
S07057	本人以外の承諾が必要です。
S07058	保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません。
S07069	本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。
S07060	本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。
S07061	報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。
S07062	報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。
S07063	入るべき戸籍を確認して下さい。

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		52/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S08001	未成年者の年齢は20歳以上です。	
S08002	未成年者は禁治産者です。	
S08003	身分事項に後見人事項がありません。	
S08004	民法上の氏が異なるため、同籍する入籍はできません。	
S08005	無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力できません。	
S08006	名義使用区分は入力できません。	
S08007	もとの戸籍が除籍になっています。	
S08008	戻る戸籍が除籍です。	
S08009	戻る戸籍には筆頭者が既にいます。	
S08010	戻る戸籍には夫･妻又は生存配偶者が既にいます。	
S08011	未成年者の年齢は18歳以上です。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第5 8 (3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		53/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S09001	養子･養親双方生存配偶者なので、離縁許可日の入力は不要です。	
S09002	養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。	
S09003	養子･養女が同一戸籍にいません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。	
S09004	養子及び養親の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい。	
S09005	養子が外国人なので戸籍の異動はありません。	
S09006	養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。	
S09007	養子か養親かに死亡者がいるので、離縁許可日の入力が必要です。	
S09008	養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09009	養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09010	養子には後見人がいません。	
S09011	養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。	
S09012	養子の身分事項に縁組事項がありません。	
S09013	養子夫婦の離縁では元の戸籍には戻れません。	
S09014	養子、養親とも外国人で報告的届出を受理することはできません。	
S09015	養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09016	養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。	
S09017	養女の身分事項に縁組事項がありません。	
S09018	養父は成年者ではありません。	
S09019	養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず、縁組事項がありません。	
S09020	養母は成年者ではありません。	
S09021	養父は20歳以上ではありません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
S09022	養母は20歳以上ではありません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)
S09023	養子となる者は成立時に18歳に達しています。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ121)

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		54/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1

コード	メッセージ	
S11001	未成年被後見人は未成年者です。	
S11002	未成年被後見人は未成年者ではありません。	
S11003	未成年被後見人は婚姻しています。	
S11004	未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。	
S11005	性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。	
~~S11006~~	~~養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理で入力して下さい。~~	
~~S11007~~	~~日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。~~	
~~S11008~~	~~養子に共同親権の記録が必要か確認してください。~~	
~~S11009~~	~~子(養子)に共同親権の記録が必要か確認してください。~~	
S11010	入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理してください。	
S11011	未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。	
S11012	終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。	
S11013	終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。	R2.1(ﾒｯｾｰｼﾞ112)

第58(3)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		55/55
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13

コード	メッセージ
S11001	未成年被後見人は未成年者です。
S11002	未成年被後見人は未成年者ではありません。
S11003	未成年被後見人は婚姻しています。
S11004	未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。
S11005	性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。
~~S11006~~	~~養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理で入力して下さい。~~
~~S11007~~	~~日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。~~
~~S11008~~	~~養子に共同親権の記録が必要か確認してください。~~
~~S11009~~	~~子(養子)に共同親権の記録が必要か確認してください。~~
S11010	入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理してください。

第5.9　現行記載例/項目化後記載例一覧

第5 9	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
現行記載例/項目化後記載例一覧		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1)　現行記載例は戸籍システム化後に項目化記載例となる。

(2)　タイトル名称,インデックス名称,インデックスの並び(順番)は順守事項である。タイトル名称,インデックス名称インデックスの並び(順番)は「第5-7　ファイル関係仕様」を参照のこと。

〔留意点〕

(1)　項目化記載例の作成は,各事件の要件定義書「第7-2(5)　1.出生届(含国籍留保届)～33.就籍届」をよく理解し,衆知徹底すること。
　審査結果入力及び訂正・更正・追完に関しては「第5-10(10)　審査結果入力処理」,「第5-10(11)　訂正・更正・追完処理」を熟読し,その考えを十分理解した上でシステム作成に当たること。

(2)　証明書への出力については「第5-6(2)　帳票設計書」を参照のこと。

〔戸籍記載例〕

項目化記載例は以下の戸籍法施行規則及び通達で示されたため,当基準書では提示しない。

〔法定記載例〕戸籍法施行規則(第33条関係)　付録第7号　戸籍記載例

〔参考記載例〕平成2年3月1日付け法務省民二第600号民事局長通達　別紙　戸籍記載例

第 5.10 「システム処理」の概要説明

（目次）

(1)「業務選択」処理 (1～1 頁)
(2)「検索」処理 (1～1 頁)
(3)「届出選択」処理 (1～1 頁)
(4)「異動検索」処理 (1～1 頁)
(5)「審査」処理 (1～1 頁)
(6)「処分決定」処理 (1～1 頁)
(7)「仮戸籍表示」処理 (1～1 頁)
(8)「エラー履歴表示」処理 (1～1 頁)
(9)「移記事項入力」処理 (1～1 頁)
(10)「審査結果入力」処理 (1～3 頁)
(11)「訂正・更正・追完」処理 (1～33 頁)
(12)「決裁用帳票出力」処理 (1～1 頁)
(13)「決裁」処理 (1～1 頁)
(14)「証明書発行」処理 (1～1 頁)
(15)「各種ファイル更新」処理 (1～1 頁)
(16)「受領番号確保」処理 (1～1 頁)
(17)「帳票出力」処理 (1～1 頁)
(18)「統計」処理 (1～1 頁)
(19)「関連業務」処理 (1～1 頁)
（帳票系,9 条 2 項通知ファイル更新）
(20)「一括」処理(高齢者消除,行政区画変更) (1～1 頁)

第5.10.(1)

「業務選択」処理

第5 10 (1)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「業務選択」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 戸籍システムとしては下記の11処理を選択することができる。
①検索処理
　現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と,現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」ができる。
②異動処理
　届出事件の異動処理を行う。届書内容の入力,審査,仮戸籍ファイルおよび受付ファイルの作成や行政処分にあたる「受理」「不受理」等の処分区分の入力を行う。
③移記事項入力処理
　異動処理で作成された仮戸籍に対して従前の戸籍から移記が必要な場合の処理を行う。異動処理から業務選択に戻らず,続けて処理することも可能である。
④決裁処理
　現行の校合にあたる処理で,審査,移記の内容を確認して戸籍DBや関連ファイルを作成する。
⑤証明処理
　現行の戸籍謄抄本にあたる「全部事項証明」「個人事項証明」等の証明書を出力する。
⑥統計処理
　統計ファイルの修正や事件表の出力等,統計関係の処理を行う。
⑦帳票出力処理
　受附帳,届書送付目録等の帳票を出力する。
⑧各種ファイル更新処理
　受付ファイル等システムで使用するファイルのメンテナンスを行う。
⑨受領番号確保処理
　閉庁時(夜間,休日等)の届出に対し受領番号(受付ファイル)を事前確保する。
⑩関連業務処理
　身分証明書出力,相続税法58条通知出力,附票等の戸籍に関連する事務の処理を行う。
⑪訂正・更正・追完・審査結果入力処理
　訂正,更正,追完および異動処理において処理できなかった届を処理する審査結果入力処理を行う。

〔順守事項〕

　なし

〔留意点〕

(1) データ保護,プライバシー保護の観点から,「処理概要」で述べた処理を行えるかどうかは入力されたパスワードで判断する。基準書では業務選択でパスワード入力を行わせているが,これ以前にパスワードを入力させても構わない。

(2) 業務選択のメニュー(項番,内容等)内容についてはメーカに一任する。

第5.10.(2)

「検索」処理

第5 10 (2)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「検索」処理		平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20

〔処理概要〕

(1) 検索は現行の戸籍簿の検索にあたる「個人検索」と,現行の受附帳の検索にあたる「受付ファイル検索」を行うことができる。
①個人検索
　対象はシステム稼働後の現在戸籍およびシステム稼働後に発生した除籍である。
　現行の戸籍簿の検索との違いは,該当個人検索時に同時に個人状態ファイル及び不受理申出ファイルを検索表示できることにある。
　流れとしては検索キーを入力し,該当者が複数存在すれば該当する戸籍の一覧を表示(該当戸籍一覧画面)し,その中から該当戸籍を選択する。該当戸籍の選択後(キー入力で個人が確定できた場合は直接),戸籍の構成員一覧を表示(戸籍構成員一覧画面)する。この画面で本籍,筆頭者,戸籍事項欄,構成員の名欄の一部及び個人状態の有無が表示される。さらに構成員を選択することにより,その個人の名欄および身分事項が表示される(個人詳細画面)。個人状態および不受理申出の表示もこの画面から展開することができる。
　要件定義書には記述されていないが戸籍DBに前個人番号をセットすることにより,個人詳細画面より前歴として前戸籍の個人詳細を表示することができる(管内異動に限られる)。
②受付ファイル検索
　対象は現行の受附帳および発収簿の一部(受理・処理伺い等)である。
　流れとしては個人検索同様にキー入力を行い,対象が複数あればその該当一覧を表示し,選択後に受付画面が表示される。

〔遵守事項〕

(1) 個人検索における順守事項を下記に示す。
①検索キーは次の10項目を限度とする(要件定義書上では全部を記述していない)。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。
・本籍
・カナ氏名
・漢字氏名
・生年月日
・筆頭者(漢字)
・戸籍編製日
・戸籍消除日
・入籍日
・除籍日
・現除区分

(2) 戸籍構成員一覧の個人の記載順位(表示順位)は法令,通達等に基づく。

(3) 受付ファイル検索における順守事項を下記に示す。
①検索キーは次の項目とする。メインキーとサブキーの切り分けはメーカに一任する。
・受領番号
・事件本人カナ氏名
・事件本人漢字氏名
・事件本人生年月日
・受領日の範囲
・届出事件コード
・受理送付区分
・渉外区分
・処分区分

(4) 受付ファイルに関しては履歴表示も行えるようにする。

(5) 個人検索,受付ファイル検索における検索キー項目以外を検索キーとすることは認めない。また,すべてを検索キーとする必要はない。

〔留意点〕

(1) 個人検索において,カナ氏名,漢字氏名の検索は旧氏名でも検索可能としている。

(2) 戸籍事項,身分事項の表示は証明書と同様にするのが基本であるが,一事項をベタ打ち(連続表示)しても構わない。

(3) 個人状態の破産者,犯歴区分の表示の有無は自治体の運用(判断)に委ねる。

(4) ロックがかかっている戸籍を検索した場合は,メッセージにてその旨を表示する(「第4-10(4) 異動検索処理」を参照のこと)。

第5.10.(3)

「届出選択」処理

第5 10 (3)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「届出選択」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 基本的に届出された事件に該当する事件を選択し,それぞれ該当する届書入力画面を表示する。届出メニュー項目は届書の区分けとして,40種および伺いに対する法務局からの指示を2種設ける。

届書で,養子離縁届と同時に出された戸籍法73条の2届および離婚届と同時に出された戸籍法77条の2届に関しては独立した異動処理とした。また,特別養子離縁届および届書様式(昭59.11.1 民二5502号通達)にない取消届は審査結果入力で処理する。

受理指示は伺いを上げた届書の受領番号とともに選択番号(届出選択画面では50:受理指示)を入力し,受領番号に該当する届書入力画面を表示する。不受理指示は受理指示と同様の処理を行うが(届出選択画面では60:不受理指示),流れとしては直接処分決定・仮受付画面を表示する。

通常は該当事件を選択し該当処理へと進むが,受領番号を入力する場合として上記に示した伺いに対する指示入力のような再入力処理がある。指示入力以外としては処分決定で「保留」としたものや,決裁がされていない届で簡易な入力ミスがあったものの修正等がある(決裁後は訂正による他は修正の術がない)。

「入籍」「帰化」等のように一回の異動処理で受付ファイルが複数件発生した場合の再入力処理では,付設された受領番号の最小値を入力しなければいけない。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(4)

「異動検索」処理

第5 10 (4)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「異動検索」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 異動処理における本籍人の検索であり,異動事件の該当本籍人を検索することにより,該当する届書入力画面へのデータの反映を行うためのサブシステムにあたる。
　ここで述べる要件を満たしていれば方法等は制約しない。
　基本は本籍人である個人を検索選択するものであるが,場合によっては戸籍を検索選択することもある。
　流れおよび画面は通常の「検索処理」に準じ該当本籍人に不受理申出がされていれば事件に関係なく,選択時に確認の意味で強制的に不受理申出画面を表示させる。
　異動に関する検索はすべてこのサブシステムを用い,選択された場合はデータの整合性のために戸籍のロック処理を行う。戸籍のロック処理は本籍人が選択された場合にフラグを利用して戸籍全体にかける。すでにロックのかかっている戸籍を選択しようとした場合には,選択不可とする処理を行う。
　操作の誤り等により再選択する場合には,前に選択された戸籍のロック解除および再選択された戸籍のロック設定を行う(ロックの解除は「第5-10(6) 処分決定」「第5-10(13) 決裁」を参照のこと)。

〔順守事項〕
　なし

〔留意点〕
　なし

第5.10.(5)

「審査」処理

第5 10 (5)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「審査」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 各異動届の入力,審査,仮戸籍ファイルの作成等を行う。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること(処理の流れ,チェック・審査内容,戸籍編製内容等)。

〔留意点〕

(1) より深く審査するための画面項目の追加,審査項目の追加は構わない。

(2) 他の仕様を変更することによる処理の変更は認める(関連事務のファイルを作成する等)。

(3) 画面への入力方式は任意とする。

〔その他〕

(1) 審査処理で処理できないもの(審査結果入力処理)を以下に示す。
①通常のカレンダーにはない日付を持っている者の処理(日付には生年月日の他に,戸籍事項および身分事項にも複数存在する)
・元号が変わった境目の日付(大正15年12月25日と昭和元年12月25日等)
・実際にカレンダー上にはない日付(大正16年,2月30日等)
②改正国籍法(昭和60年1月1日施行)前に外国人と婚姻してシステム化後も(養)父母の戸籍にいる者の処理
その者については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し,審査ではじくことにする。
③旧法において婿養子縁組婚姻または入夫婚姻した夫が昭和32年法務省令による改製作業の際に申出を行い筆頭者となった夫及び妻については個人特定DBの審査不可区分に1を設定し,審査ではじくことにする。
④不受理とされた創設的届出に対して,受理を命ずる裁判が確定した場合の処理
⑤事件本人が既に死亡している者の創設的届出があったときの処理(死亡後受理)
上記以外については各事件の要件定義書「システム処理の概要説明」を参照のこと。

(2)　審査処理で注意が必要な事項を以下に示す。
①北方地域(色丹,国後および択捉島)に本籍を有することができること。また,この場合の送付先は根室市であることに注意が必要である。
②再入力処理での入力仕様,異動検索との関わり等

第5.10.(6)

「処分決定」処理

第5 10 (6)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「処分決定」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(1) 異動処理で審査した結果を基に処分内容を決定する(処分区分の入力)。再入力処理以外のときは,処分区分を入力した後に受領番号が取得される。

〔順守事項〕

(1) 基本的にすべてを順守すること(処理の流れ,処分区分のチェック等)。

〔留意点〕

(1) 死亡での埋火葬許可証の出力は任意とする。

(2) 受付DB,仮戸籍ファイルの作成および個人状態ファイルへの処理は順守とするが,それ以外のファイルについては任意とする。

(3) 再入力処理における処分区分の入力は法制上非常に重要な問題であるので,システム上十分注意して作成すること(「第2 新事務処理(戸籍事務)の概要」を参照のこと)。

(4) 移記入力が不要な場合には,処分決定後すぐに決裁処理がなされるため,処分決定処理で決裁用帳票を出力させても構わない。処理の流れは「第5-3 オンライン処理の流れ図」を,帳票出力については「第5-10(12) 決裁用帳票出力」を参照のこと。

第5.10.(7)

「仮戸籍表示」処理

第5 10 (7)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「仮戸籍表示」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 仮戸籍の内容を画面表示する。表示内容は戸籍検索と同様である(「第7-2(2) 検索処理」を参照のこと)。

〔順守事項〕

(1) 処分決定,決裁で仮戸籍の表示ができること。

〔留意点〕

(1) 仮戸籍の内容は処理が進むごとに変更されるので,表示する処理によって内容は異なる。決裁処理で表示される内容がそのまま戸籍DBに反映される。

第5.10.(8)

「エラー履歴表示」処理

第5 10 (8)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「エラー履歴表示」処理		平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 審査で発生したエラー一覧を画面表示する。

〔順守事項〕

(1) 処分決定,移記,決裁でエラー履歴の表示ができること。

(2) 表示内容は順守すること(「第7-2(8)エラー履歴表示」を参照のこと)。

〔留意点〕

なし

第5.10.(9)

「移記事項入力」処理

第5 10 (9)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「移記事項入力」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 異動処理で審査した結果を基に編製された仮の戸籍に対し,戸籍法施行規則第37条(管外転籍の場合の記録)と同法第39条(重要な身分事項の移記)による事項の記録するための入力処理である。

(2) 管外からの転籍で従前に氏の変更があった場合,戸籍事項一覧(移記対象届出)から移記すべき戸籍事項を選択し各事項の入力が可能である。

(3) 入籍する者(新戸籍編製による入籍者も含む)が,従前本籍人の場合,自動的に従前の戸籍から身分事項がすべて移記(複写)される。複写された身分事項の引き直し(修正)及び移記不要の身分事項の削除が可能である。また,従前非本籍人の場合,身分事項一覧(移記対象届出)から移記すべき身分事項を選択し各事項の入力が可能である。

(4) 管外への転籍等,除籍のみの記録の場合,「移記事項入力」処理を行うことなく「決裁」処理をすることが可能である。

〔順守事項〕

(1) 既に戸籍に記録されている事項,及び「審査入力」により作成された事項を訂正することはできない。
①既に戸籍に記録されている事項に対する訂正は,戸籍訂正に手続きによる。
②「審査入力」により作成された事項に対する訂正は,「審査入力」処理を再度行い各事項を再作成する。

(2) 事項の並べ替えについては,「移記事項入力」処理で記録した事項のみを対象とし,既に戸籍に記録されている事項の並べ替えを行うことはできない。

〔留意点〕

(1) 移記に対する処理に不備があった場合でも,「決裁」処理で『決裁済』にしていなければ,再度「移記事項入力」処理をすることができる。

第5.10.(10)

「審査結果入力」処理

第5 10 (10)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「審査結果入力」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

「審査結果入力処理」は,「審査処理」において自動的に処理できない事件で、「訂正・更正・追完処理」以外の事件についての処理、又は通常の届出事件についての戸籍に記録前の追完事件であり、次のようなものとなる。

1.「審査処理」によっては、自動的に審査ができない届出事件
2.「審査処理」によっては、自動的に戸籍の編製/記録ができない届出事件
3. 市区町村長が職権で記録する事件(訂正・更正・追完事件でないもの)
4. 通常の届出事件(訂正・更正・追完事件でないもの)についての戸籍に記録前の追完事件

処理の概要は、現在の戸籍処理と同様に職員が届書と検索した戸籍から審査を行い、その結果により受理処分をして、必ず、受付帳を作成し、検索/選択した仮戸籍に対して操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理(記録の追加が原則)するものである。その後、「決裁処理」を行うこととなる。

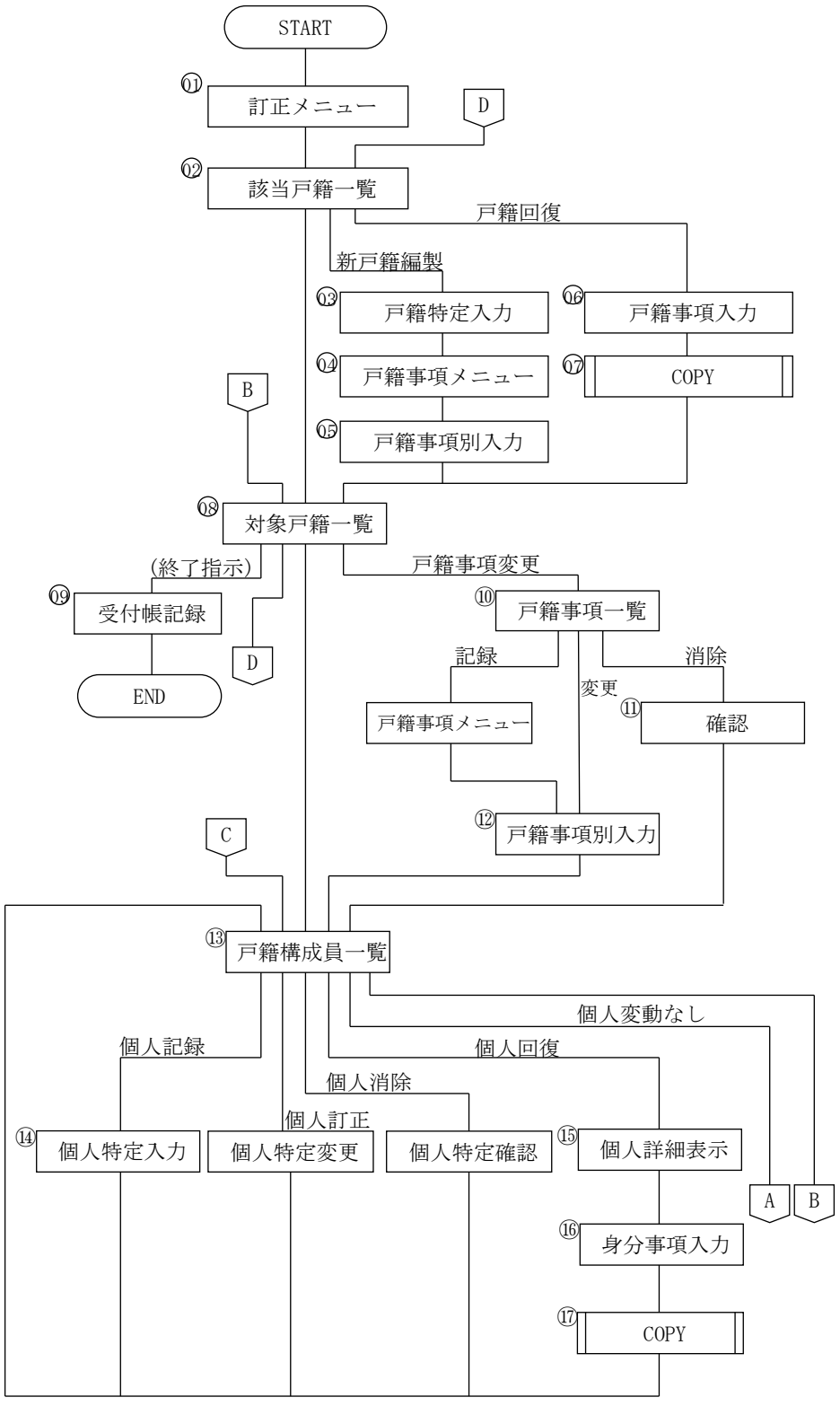
非本籍の届出事件に対する、処理が審査結果となることも考慮されるため、上記処理にて、受付帳のみの作成も可能とすべきである。

〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とする場合はこの点を前提として参考にされたい。

1. オンラインの流れ図(概要)のサンプル

第5 10 (10)	オンライン処理の流れ図(概要)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
(11.審査結果入力)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



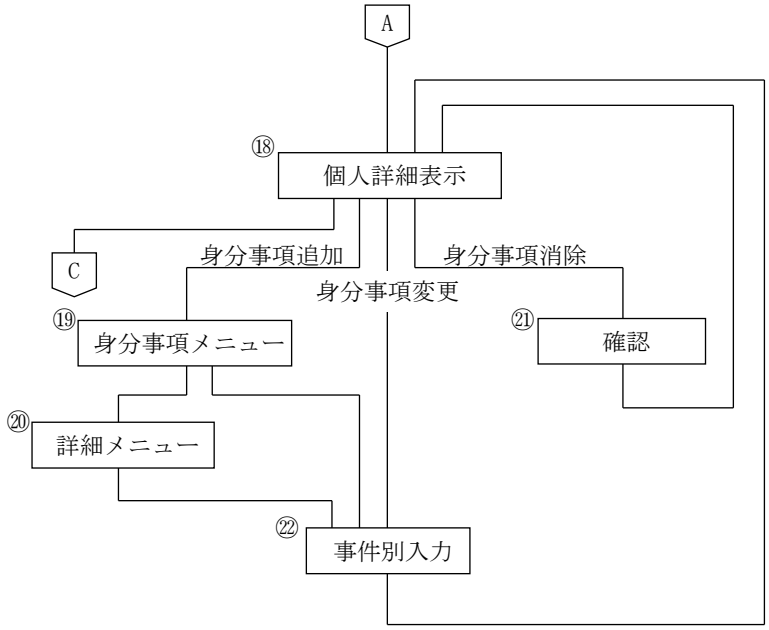
処理概要

⑪メニューより処理を選択する
・審査結果入力

⑫対象となる戸籍を検索・選択する
・新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする
⑬戸籍特定情報を入力する
・編製日　等
・本籍、筆頭者、戸籍除区分
⑭戸籍事項メニューより選択する

⑮選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力する
⑯回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する
⑰回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
・複写の際に戸籍除区分等は変更する
⑱対象戸籍一覧より選択する
・処理終了:処理した戸籍が1件以上の場合
→受付帳作成へ
・戸籍事項変更指示
→戸籍事項変更処理
⑨受付帳作成画面より入力・作成
・事件,事件本人、届出人等
⑩戸籍事項表示し、対象事項を選択後に処理を選択する
⑪消除対象事項を再度確認する
・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ
⑫選択された戸籍事項別入力画面に必要項目を入力/変更する
・変更できるのは上記⑪と同様
⑬構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ
⑭個人特定画面にて入力/修正/確認をする
・氏名、生年月日、性別、入籍日、除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分
⑮回復原因となる身分事項を選択
⑯回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する
⑰回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
・複写の際に個人除区分等は変更する

第5 10 (10)	オンライン処理の流れ図(概要)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改定日付	版
(11.審査結果入力)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



処理概要

⑱個人詳細表示より処理を選択する
　・身分事項の変更、消除、追加
⑲事件メニューより記録追加する事件を選択する
　・取消し関係の中でも親権喪失取消、推定相続人廃除取消、失踪宣告取消については消除対象事項を選択する
⑳詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑事件別画面により確認する
　・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ
㉒事件別画面に入力/変更をする
　・回復した戸籍又は審査結果処理により入力された事項のみ

*回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

第5.10.(11)

「訂正・更正・追完」処理

第5 10 (11)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「訂正・更正・追完」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

「訂正・更正・追完」は,戸籍法第59条,第113条,第114条,第116条による戸籍の訂正の申請,同法第24条第2項,戸籍法施行規則第41条,第43条,第45条による市区町村長による職権訂正・更正及び戸籍法第45条による追完届による処理である。
しかし、その処理内容が多岐にわたるため、システムで自動的に行うことはできない。そのため、戸籍と申請書等により審査を行った後に、操作員の指示に基づき処理し、戸籍を処理するものである。
処理は、通常の審査と同様に戸籍検索を行い、対象戸籍または個人を選択して仮戸籍に対して、各々の処理を行い既に記録されている事項、又は戸籍/個人/戸籍事項/身分事項の修正・追加・削除を行うことから、この処理をしたことを明らかとするため、必ず、訂正・更正・追完事項を記録(タイトルによる明示)を行い、処理中において、必ず、受付帳を作成するものとする。その後に、「決裁処理」を行うこととなる。
また、通常審査とは異なり、一部機能がないものがある(新事務処理の概要/審査結果入力の別表参照)。

処理を大別すると以下のようになり、その概要を示す。

1.修正(置き換え)

当該記録を修正する場合は、従前の記録を消除することなく、必ず、処理事項の記録中に、修正前の記録として、【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

2.追加

既に記録されている事項に、一部追加するときは、追加すべき箇所に追加記録した上、必ず、処理事項の記録中に、追加の記録として、【記録の内容】のインデックスの下に当該項目を重ねて記録する。
但し、記録されている事項の一部追加ではなく、戸籍/個人/戸籍事項/身分事項の追加を行う場合は、追加記録した上、当該事項全てのために、【記録の内容】の記録はせずに処理事項を記録する。

3.消除

既に記録されている事項を消除するときは、当該消除する記録を消除後、必ず、処理事項中の【従前の記録】のインデックスの下に当該項目を記録する。

4.上記の修正と追加と消除の3つの処理を同じにする場合も同様である。

なお、詳細な記載方法に関しては、新事務処理の概要を参照されたい。

〔添付資料〕

次頁以降に、以下の資料を添付するが、あくまでも参考資料であり、内容等に関して検討していない。参考とすす場合はこの点を前提として参考にされたい。

1.オンラインの流れ図(概要)のサンプル

2.画面設計書のサンプル

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕訂正系 1/3	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
50	訂正	5001	訂正	5001	基本事項の訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の訂正の記録 ・本籍,筆頭者
							身	個人特定事項の訂正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の訂正
		5002	②訂正	(5001)	基本事項の訂正の記録 ⇒訂正事項は記録しない	×	戸	戸籍事項の訂正の記録
							身	身分事項の訂正の記録 (インデックスの追加,削除,訂正)
		5011	文字訂正	5011	基本事項の文字訂正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字訂正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字訂正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
							身	身分事項の文字訂正の記録　※2 ・身分事項中,氏及び名
		5012	文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字訂正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の訂正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1,※2の文字訂正による個人特定事項の訂正の記録　※4 ・(養)父母氏名の訂正事項
		5013	②文字関連訂正	(5011)	文字訂正による関連訂正の記録 ⇒訂正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1,※2の文字訂正による基本事項中,氏名の訂正の記録　※5
		5014	②文字訂正	(5011)	基本事項の文字訂正の記録	×	身	身分事項の文字訂正の記録　※2 ・身分事項中,氏及び名

*1;'戸'⇒戸籍事項への記録'身'⇒身分事項への記録
②:タイトルの表示の際に,2段(2カラム)右に下げて表示する。

※1:氏の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・氏の文字訂正した者の(養)子:(養)父母の氏の訂正　……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中,配偶者の氏の訂正　……※5
・氏の文字訂正した者の養子:養子縁組中,養親の氏の訂正　……※5
↳ 他に,認知事項等もあり。
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の訂正　……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の訂正　……※5

※2:名の文字訂正
〔訂正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示:筆頭者の名の訂正　……※3
⇒名の文字を訂正した者が筆頭者の場合
・名の文字訂正した者の(養)子:(養)父母の名の訂正　……※4
・配偶者:婚姻事項中,配偶者の名の訂正　……※5
・名の文字訂正した者の養子:養子縁組中,養親の名の訂正　……※5
↳ 他に,認知事項等もあり。

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)訂正系 2/3	平成6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8

(受付)事件ｺｰﾄﾞ		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
51	記録	5101	記録	5101	基本事項の記録	×	身	個人特定事項の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄
		5102	②記録	(5101)	基本事項の記録	×	戸	戸籍事項の記録
							身	身分事項の記録
52	消除	5201	消除	5201	基本事項の消除の記録	×	戸	戸籍事項の消除の記録
							身	個人特定事項の消除の記録 ・(養)父母氏名、養父母との続柄 身分事項の消除の記録
53	移記	5301	移記	5301	移記による基本事項の消除の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記前の戸籍の記録)
		5302	②移記	(5301)	移記による基本事項の記録	×	戸	訂正による戸籍事項移記の記録
							身	親子関係不存在の際の移記による身分事項の消除の記録 (移記後の戸籍の記録)
54	入籍	5401	入籍	5401	入籍	×	身	嫡出否認等による入籍の記録　※皇室典範11条･13条による入籍の記録
		5402	子の入籍	5402	子の入籍による(養)父母の入籍後の記録	×	身	※の際に,子の入籍となる(養)父母の入籍後の記録
55	除籍	5501	除籍	5501	除籍の記録	×	身	嫡出否認等による除籍の記録
56	回復	5601	回復	5601	回復の記録	×	身	除籍事項の回復の記録 転籍により除籍となっている場合の回復の記録
57	引取り	5701	引取り	5701	棄児の引取りによる出生事項の消除の記録	×	身	棄児の引取りによる戸籍訂正の申請があった場合の記録　(18)

事件コード:50～57の「受付事件コード」は通常訂正系の「受付事件コード」となる。
訂正(市区町村長職権)
訂正(24条2項)
訂正(113条)
訂正(114条)
訂正(116条)
ただし,54,55,56の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる場合もある。

第5 10 (11)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	3/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕訂正系 3/3	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
58	子の復籍	5801	子の復籍	5801	子の復籍による父母の入除籍の記録	×	身	子の復籍により3代戸籍となる場合の父母の入除籍の記録

事件コード：58の「受付事件コード」は通常系の「受付事件コード」となる。

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕更正系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件ｺｰﾄﾞ		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 →　行政区画変更 →　行政区画の名称変更　等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中,届出人資格の更正の記録
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録　※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記載 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1,※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録　※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1,※2の文字更正による基本事項中,氏名の更正の記録　※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録　※2 ・身分事項中,氏及び名

※1:氏の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正　……※4
・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中,配偶者の氏の更正　……※5
・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の氏の更正　……※5
↳　他に,認知事項等もあり。
〔著しく差異のない字体の更正〕
・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正　……※4
・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正　……※5

※2:名の文字更正
〔更正の及ぶ範囲〕
・戸籍の表示:筆頭者の名の更正　……※3
⇒　名の文字を更正した者が筆頭者の場合
・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正　……※4
・配偶者:婚姻事項中,配偶者の名の更正　……※5
・名の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の名の更正　……※5
↳　他に,認知事項等もあり。

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍/身分事項(ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表)更正系	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

(受付)事件ｺｰﾄﾞ		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
70	更正	7001	更正	7001	基本事項の更正の記録	×	戸	戸籍特定事項(本籍)の更正の記録 →　行政区画変更 →　行政区画の名称変更　等
							身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の更正
		7002	②更正	(7001)	更正事項の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない	×	身	出生事項中,届出人資格の更正の記録
		7011	文字更正	7011	基本事項の文字更正の記録	×	戸	戸籍特定事項の文字更正の記録 ※1 ・氏(筆頭者欄の氏) 戸籍事項の文字更正の記録 ・戸籍事項中,氏及び名(筆頭者)
							身	個人特定事項の文字更正の記録　※2 ・名
		7012	文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	戸	名の文字更正(※2)が筆頭者の場合の戸籍特定事項の更正の記録 ※3 ・筆頭者欄の名
							身	※1,※2の文字更正による個人特定事項の更正の記録　※4 ・(養)父母氏名の更正事項
		7013	②文字関連更正	(7011)	文字更正による関連更正の記録 ⇒更正事項/事由は記録しない ⇒証明には未出力	×	身	※1,※2の文字更正による基本事項中,氏名の更正の記録　※5
		7014	②文字更正	(7011)	基本事項の文字更正の記録	×	身	身分事項の文字更正の記録　※2 ・身分事項中,氏及び名
		7003	平成15年法律第111号3条	7003	性別変更の記録	○	身	個人特定事項の更正の記録 ・(養)父母との続柄の更正

※1:氏の文字更正
　[更正の及ぶ範囲]
　　・氏の文字更正した者の(養)子:(養)父母の氏の更正　……※4
　　・婚姻の際に相手の氏を称した配偶者:婚姻事項中,配偶者の氏の更正　……※5
　　・氏の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の氏の更正　……※5
　　　↳　他に,認知事項等もあり。
　[著しく差異のない字体の更正]
　　・同一呼称上の氏:(養)父母の氏の更正　……※4
　　・同一呼称上の氏:身分事項中の氏の更正　……※5

※2:名の文字更正
　[更正の及ぶ範囲]
　　・戸籍の表示:筆頭者の名の更正　……※3
　　　⇒　名の文字を更正した者が筆頭者の場合
　　・名の文字更正した者の(養)子:(養)父母の名の更正　……※4
　　・配偶者:婚姻事項中,配偶者の名の更正　……※5
　　・名の文字更正した者の養子:養子縁組中,養親の名の更正　……※5
　　　↳　他に,認知事項等もあり。

第5 10 (11)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	6/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕追完系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

(受付)事件ｺｰﾄﾞ		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
80	追完	8001	追完	8001	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍特定事項の追完訂正の記録 ・本籍,筆頭者
							身	個人特定事項の追完の記録 ・(養)父母氏名,(養)父母との続柄,名,出生年月日の追完
		8002	②追完	(8001)	基本事項の追完の記録	×	戸	戸籍事項の追完の記録
							身	身分事項の追完の記録 (インデックスの追加,削除,訂正)

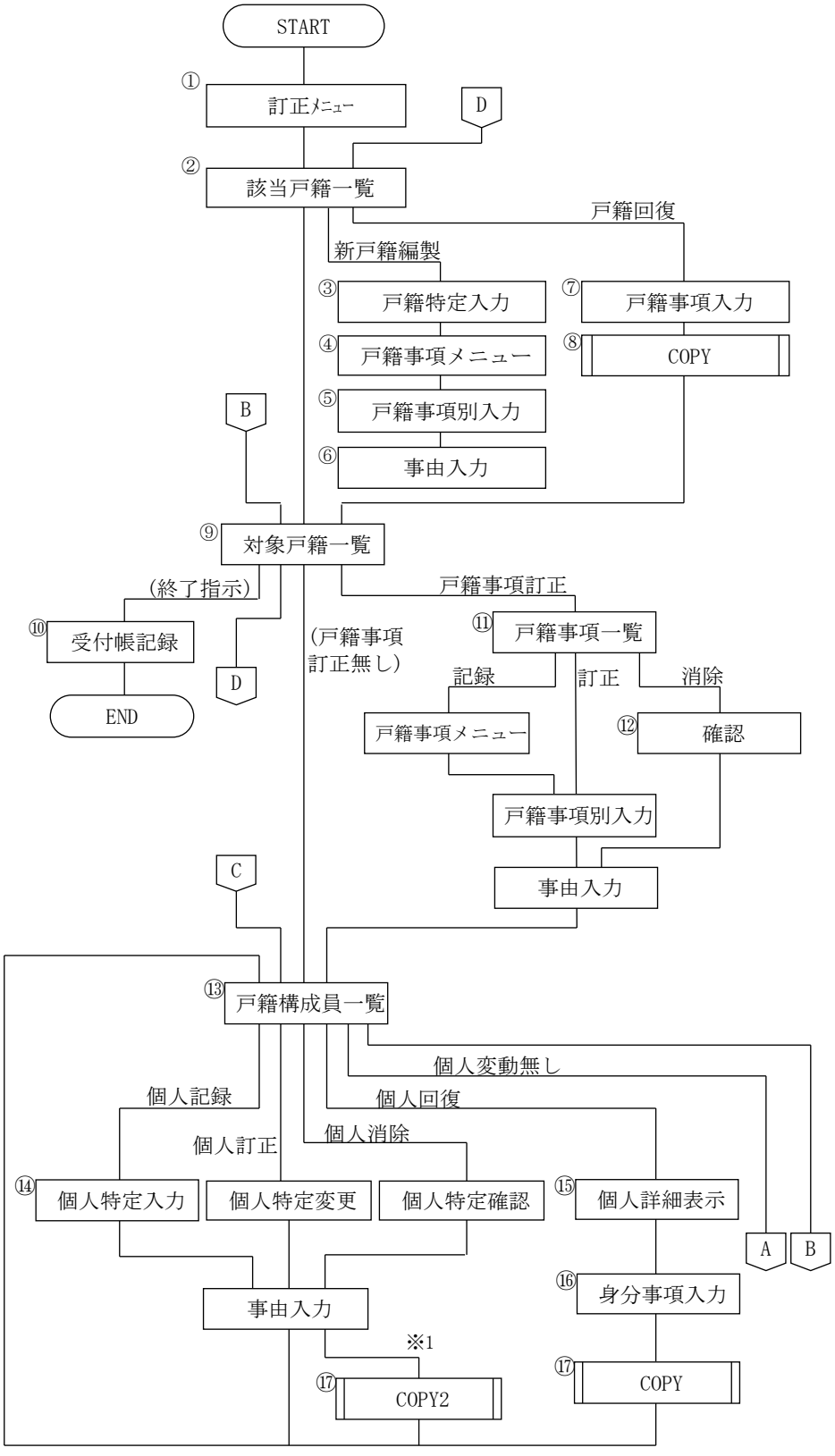
第5 10 (11)	補足説明書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	7/7

適用業務名	作成日付	改定日付	版
戸籍/身分事項〔ﾀｲﾄﾙ/記録ｺｰﾄﾞ対応表〕変更系	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

事件コード		タイトルコード		記録コード		移記	*1	備考
90	外国人配偶者の国籍変更	9001	配偶者の国籍変更	9001	国籍変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中,外国人配偶者の国籍(【配偶者の国籍】)の変更事項
91	外国人配偶者の氏名変更	9101	配偶者の氏名変更	9101	氏名変更の日本人配偶者の記録	○	身	日本人の婚姻事項中,外国人配偶者の氏名(【配偶者氏名】)の変更事項

事件名は訂正(市区町村長)となる。

第5 10 (11)	オンライン処理の流れ図(概要)	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
(11.訂正・追完・更正)		平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

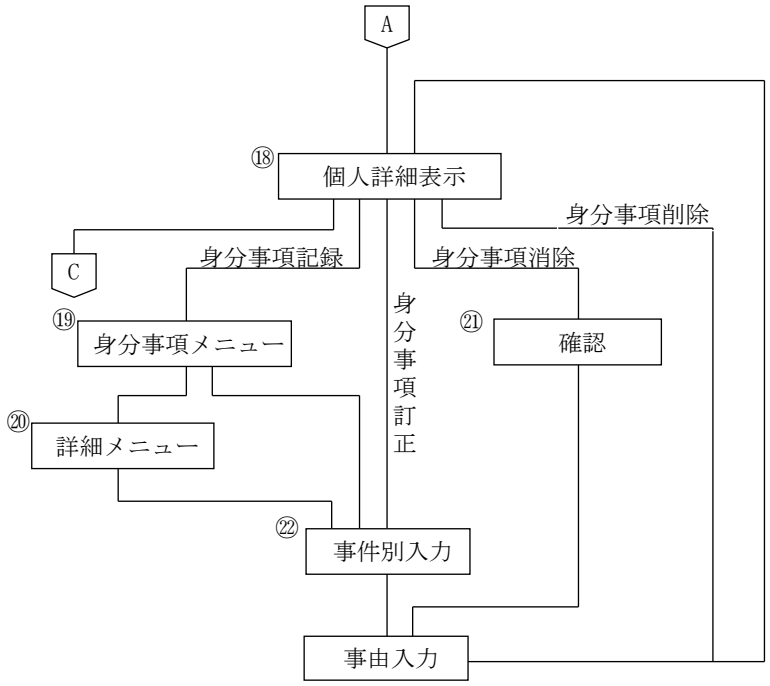


※1　平成15年法律111号3条による新戸籍編成が必要な場合

処理概要

①メニューより処理を選択する
　・訂正、追完、更正等
②対象となる戸籍を検索・選択する
　・新戸籍編製及び戸籍回復をする場合は各々指示入力をする
③戸籍特定情報を入力する
　・編製日　等
　・本籍、筆頭者、戸籍除区分
④戸籍事項メニューより選択する
⑤選択された戸籍事項入力面面に必要項目を入力する
⑥事由入力画面に日付、事由等を入力する
　・裁判確定日、許可日、申請届出関連がない場合に市区町村限りの職権訂正とする
⑦回復元の戸籍消除事項に対する回復に関する日付、事由等を入力する
⑧回復元戸籍を元に回復戸籍を作成する為に複写する
　・複写の際に戸籍除区分等は変更する
⑨対象戸籍一覧より選択する
　・処理終了:処理した戸籍が1件以上の場合
　　→受付帳作成へ
　・戸籍事項訂正指示
　　→戸籍事項訂正処理
⑩受付帳作成画面より入力・作成
　・事件、事件本人、届出人　等
⑪戸籍事項表示し、対象事項を選択後に処理を選択する
⑫消除対象事項を再度確認する
⑬構成員一覧より対象者を選択し処理を選ぶ
⑭個人特定画面にて入力/修正/確認をする
　・氏名、生年月日、性別、入籍日除籍日、筆頭者区分、配偶者区分、父母氏名、続柄、養父母氏名、養父母との続柄、個人除区分、個人異動区分
⑮回復原因となる身分事項を選択
⑯回復元の身分事項消除に対する日付、事由等を入力する
⑰回復元者を元に回復先者を作成する為に複写する
　・複写の際に個人除区分等は変更する
⑰対象者の新戸籍編製用の複写処理
　・新戸籍情報(戸籍特定、戸籍事項、個人特定、身分事項、氏名)用に現在の状態をそのまま複写
　・複写の際に個人除区分等は変更する

第5 10 (11)	オンライン処理の流れ図(概要)	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		2/2
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
(11.訂正・追完・更正)		平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2

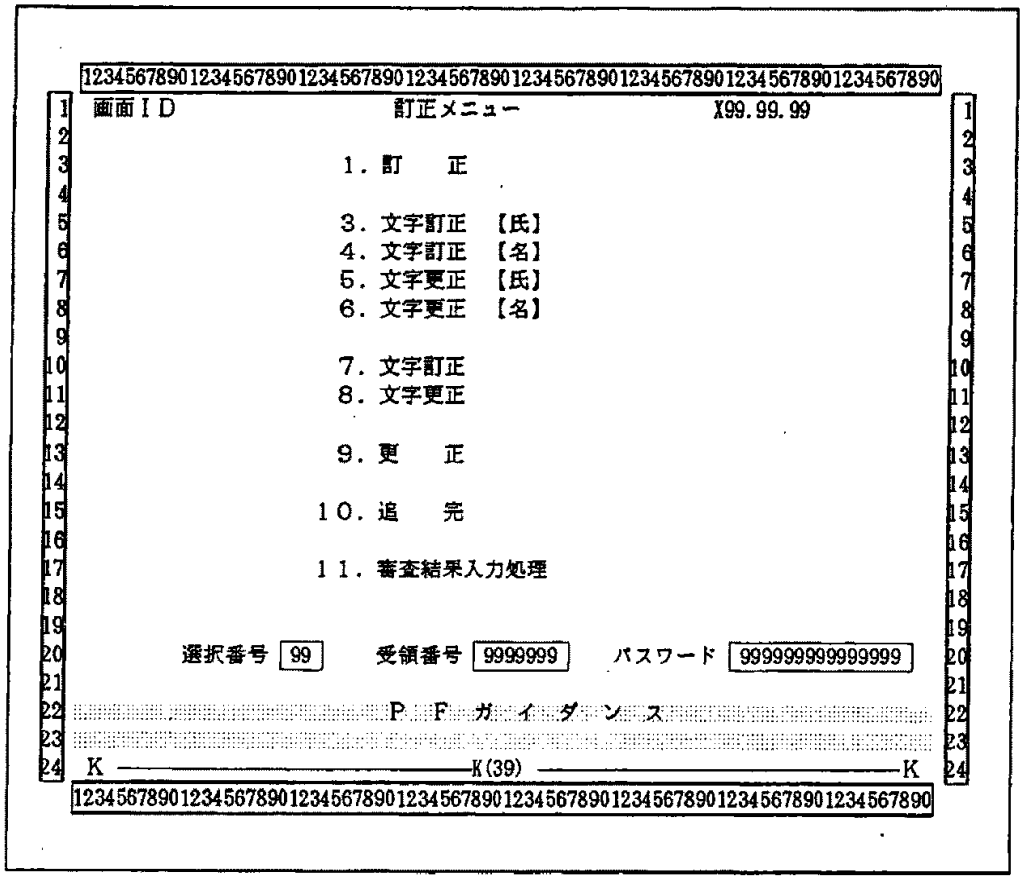


処理概要

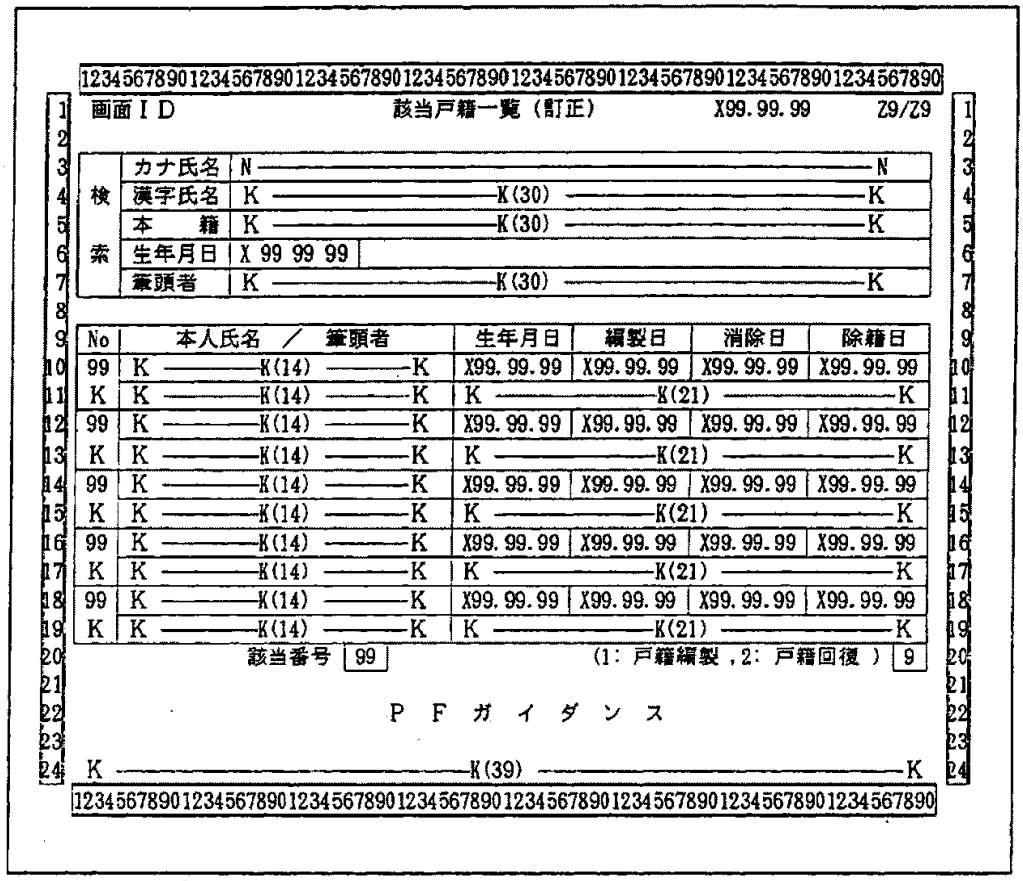
⑱個人詳細表示より処理を選択する
　・身分事項の変更、消除、追加
⑲事件メニューより記録追加する事件を選択する
⑳詳細メニューのある事件はさらに記録に従い選択する
㉑事件別画面により確認する
㉒事件別画面により入力/変更をする

※回復後の者の身分事項を改製方式に従って変更する為、回復後の者の修正はオールマイティとなる

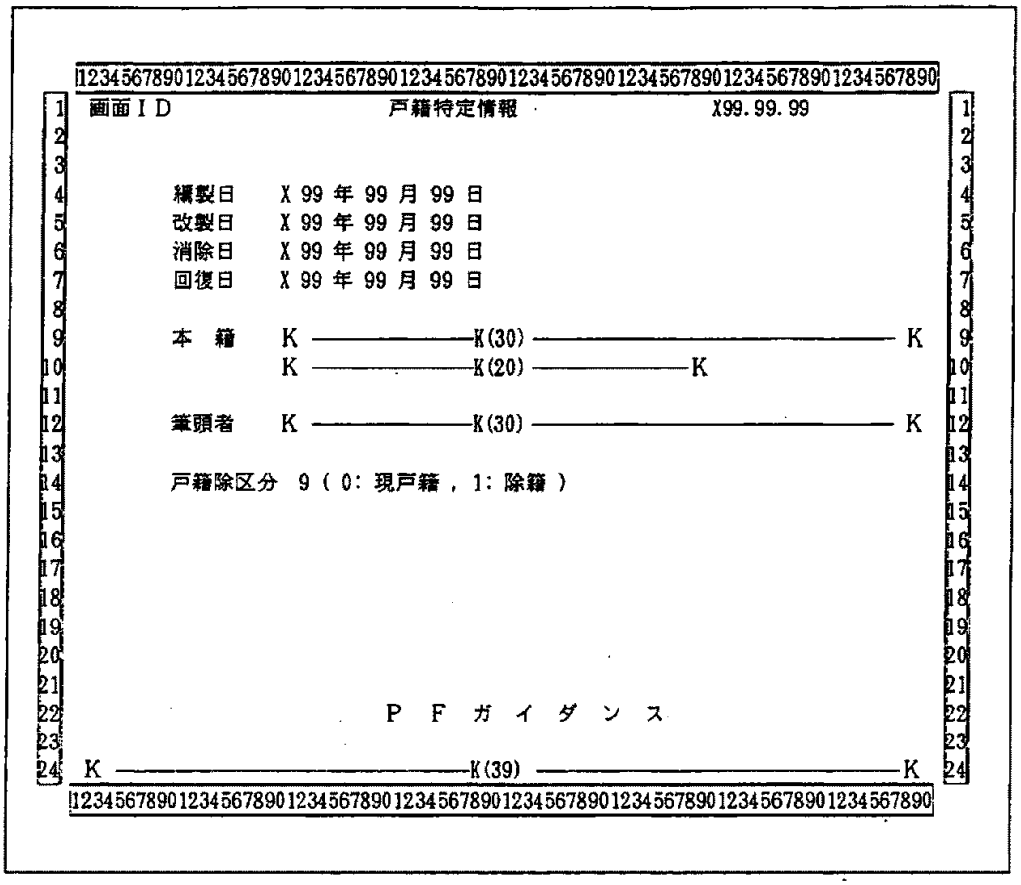
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　訂正メニュー　(01)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	訂正メニュー	



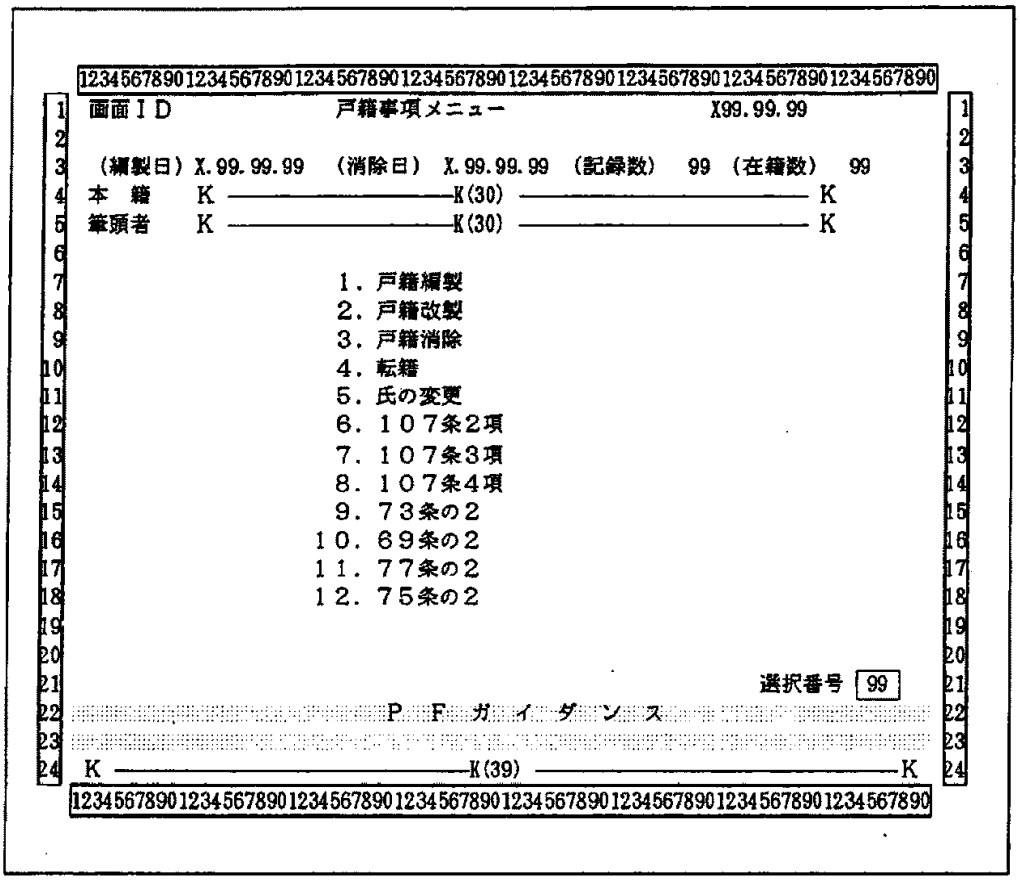
・処理を選択する
・決裁前に再度処理する場合は、受領番号を入力する
・パスワードによる厳密な使用制限をする


画面ＩＤ
該当戸籍一覧（訂正）
X99.99.99
Z9/Z9
検索
カナ氏名
漢字氏名
本　籍
生年月日
筆頭者
No
本人氏名 ／ 筆頭者
生年月日
編製日
消除日
除籍日
該当番号
(1: 戸籍編製 ,2: 戸籍回復)
ＰＦガイダンス

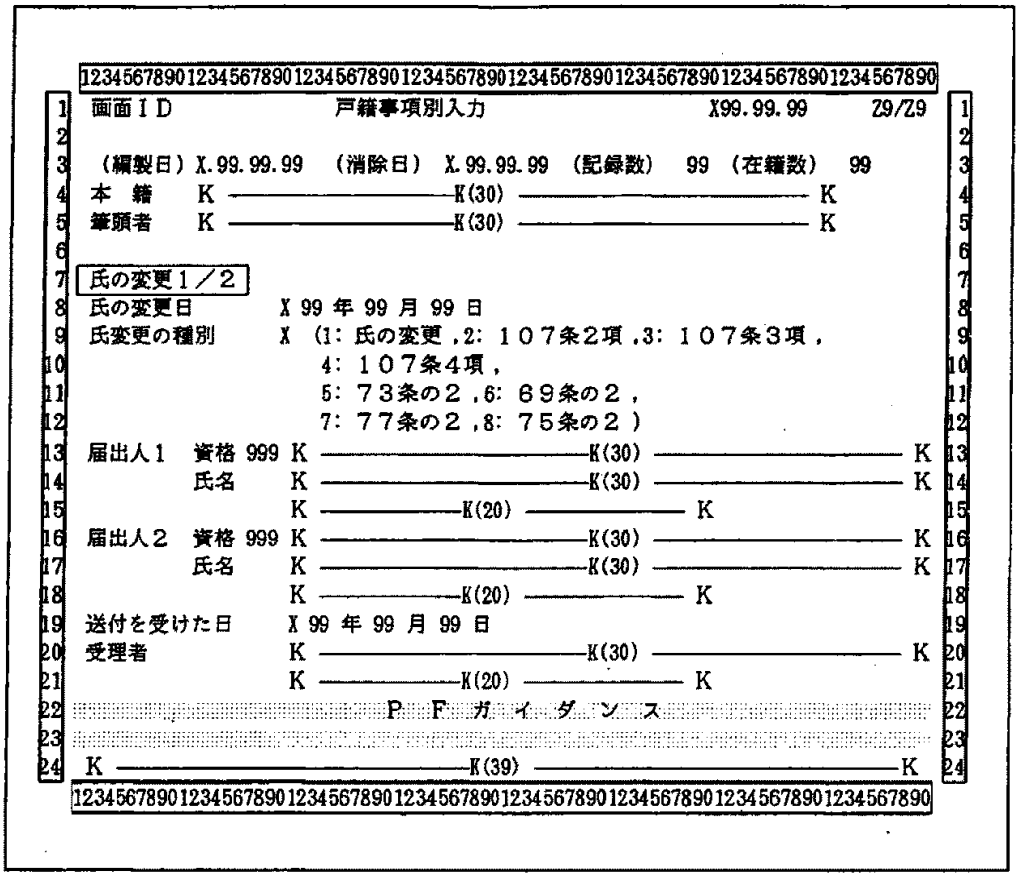
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍特定情報　(03)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍特定情報	



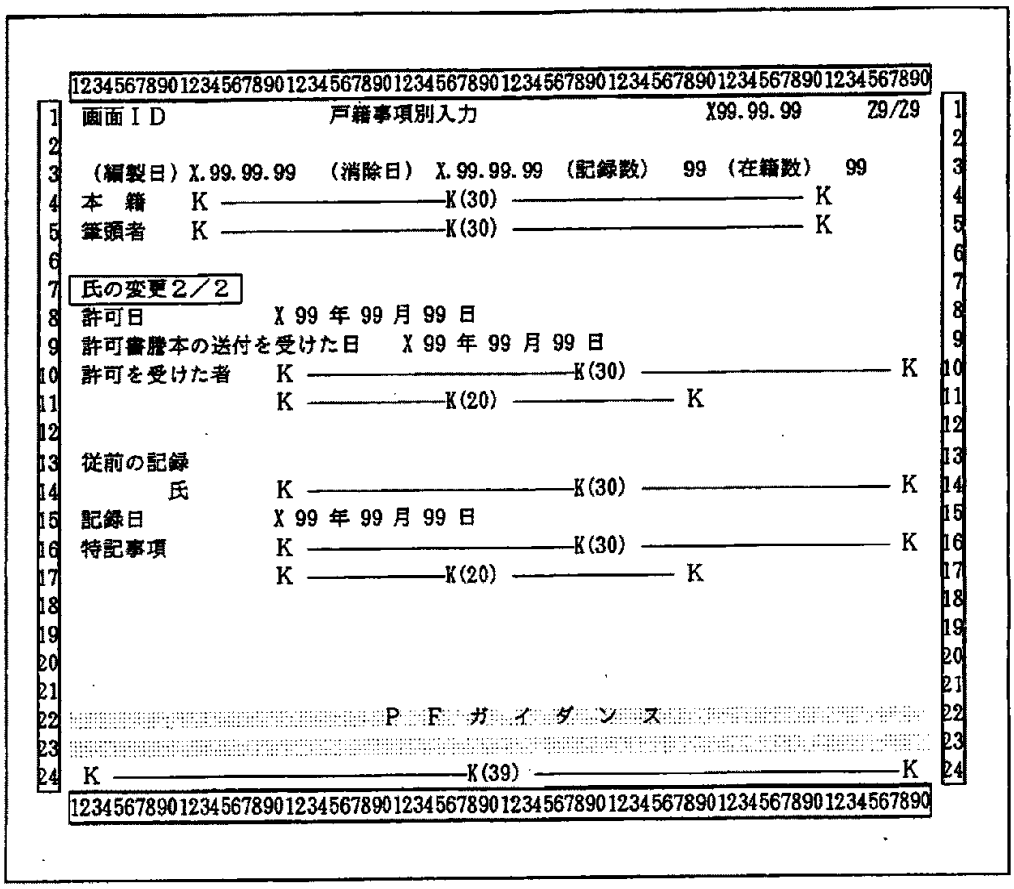
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項メニュー　(04)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項メニュー	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更(1/2) (05)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更(1/2)	



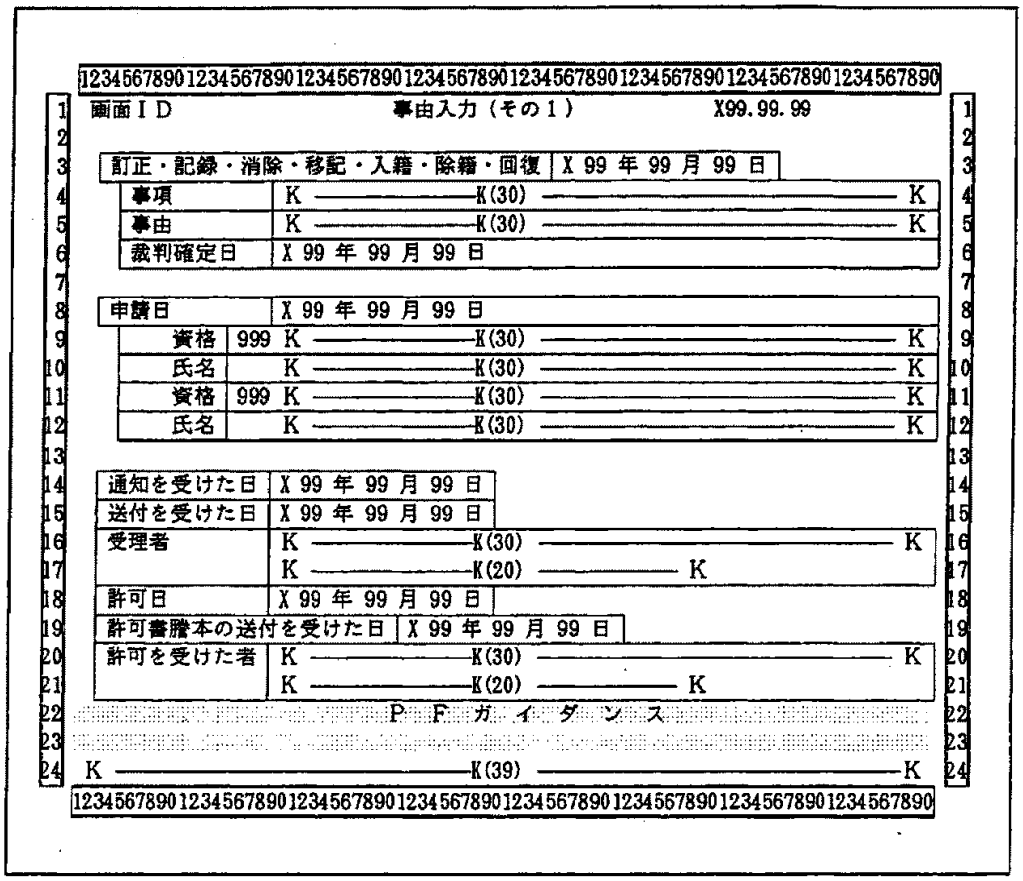
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項別入力　氏の変更(2/2) (05)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項別入力　氏の変更(2/2)	



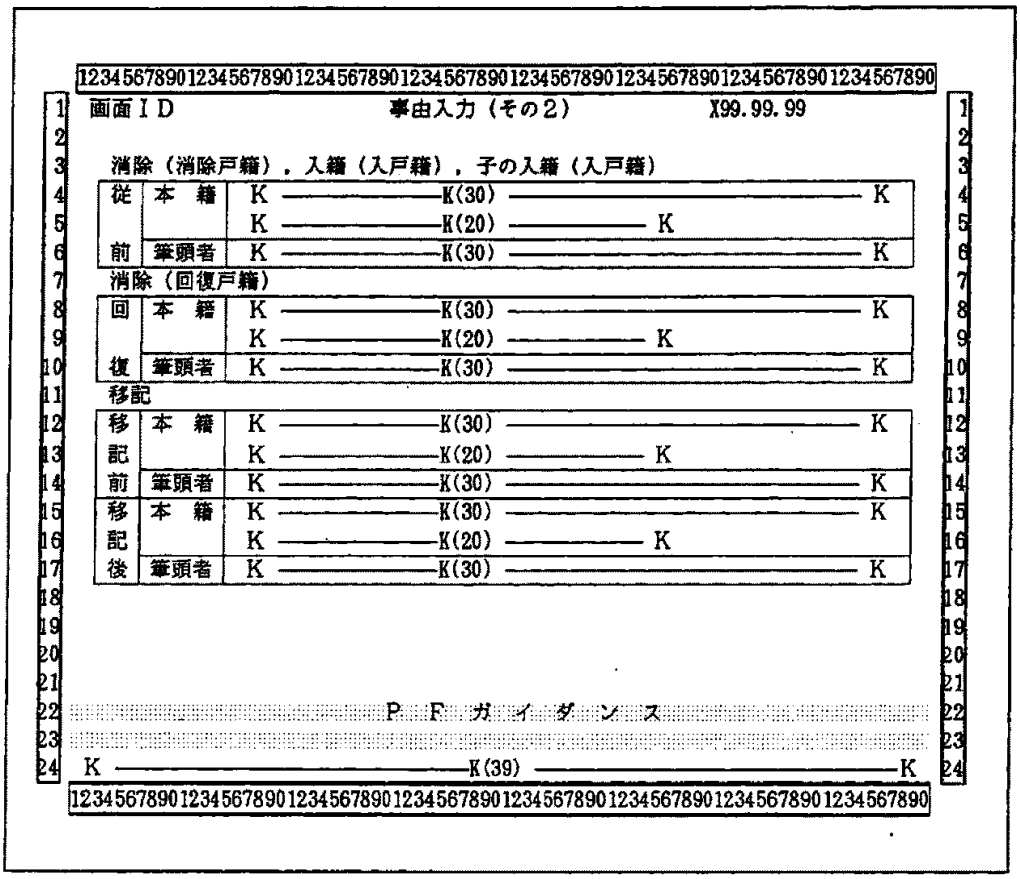
第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面(1/3)　(06)	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

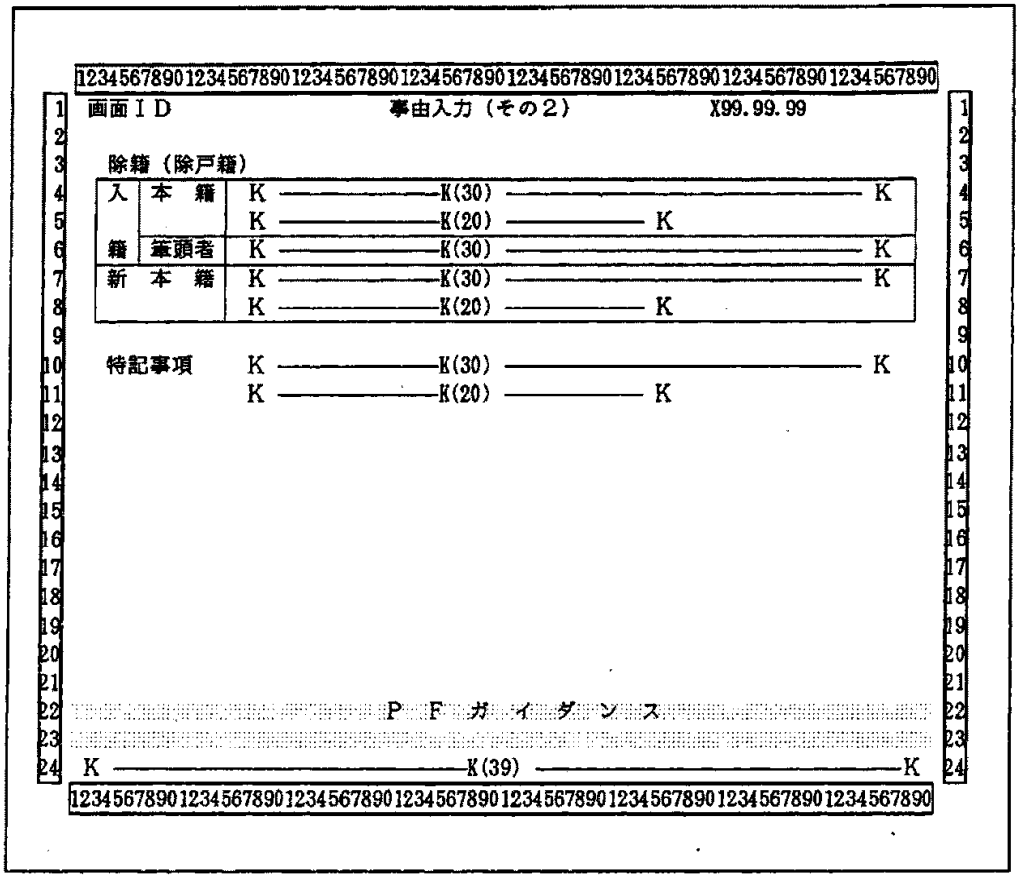
画面番号		画面名	事由入力画面(1/3)



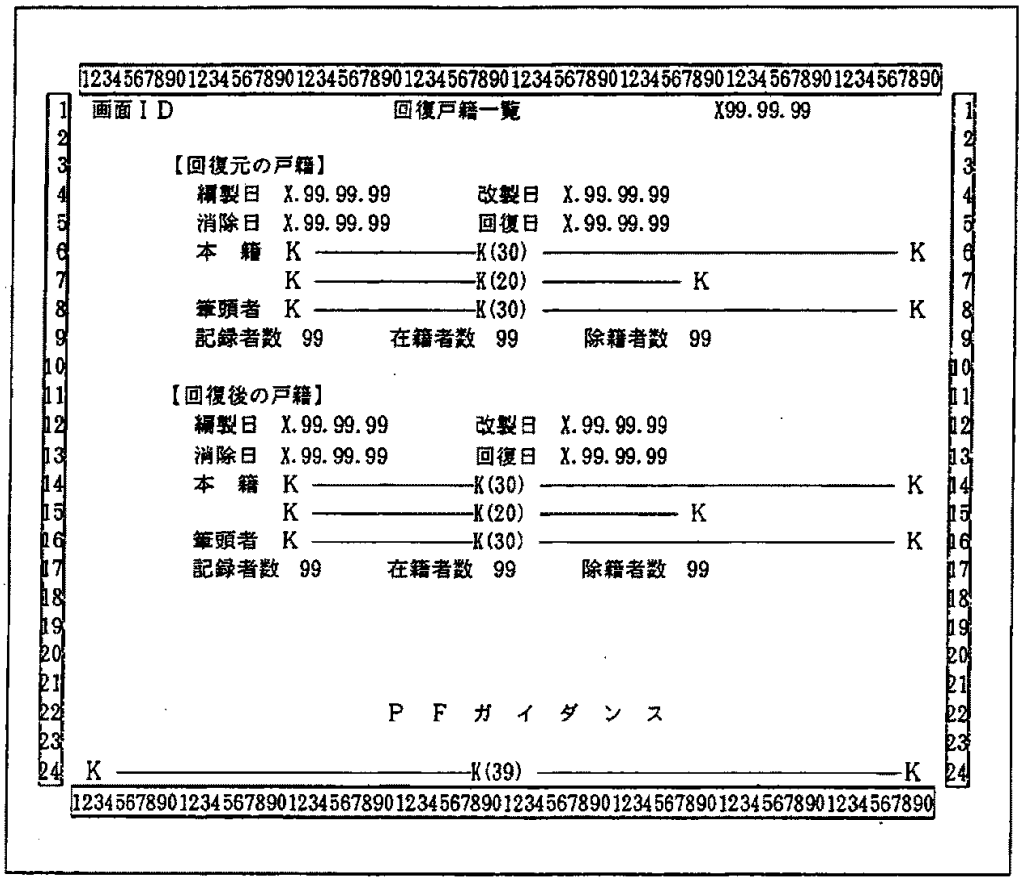
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面(2/3)　(06)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事由入力画面(2/3)	



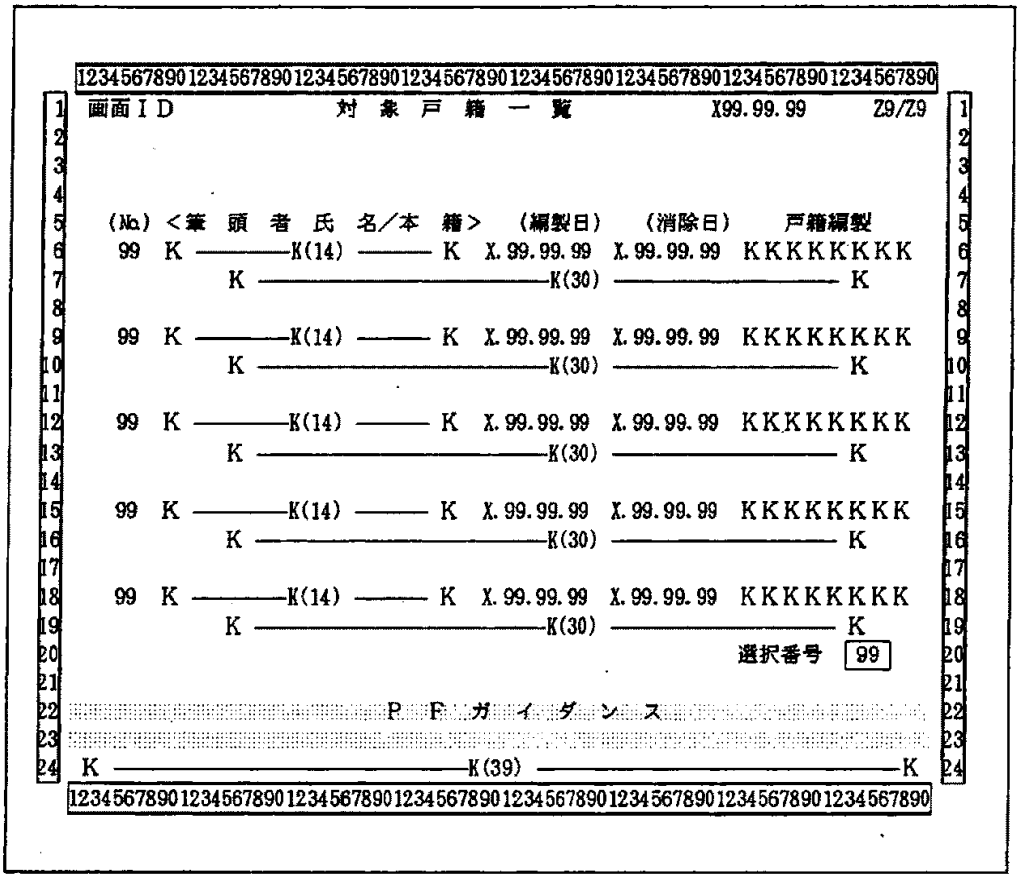
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事由入力画面(3/3)　(06)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事由入力画面(3/3)	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　回復戸籍一覧　(08)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	回復戸籍一覧	



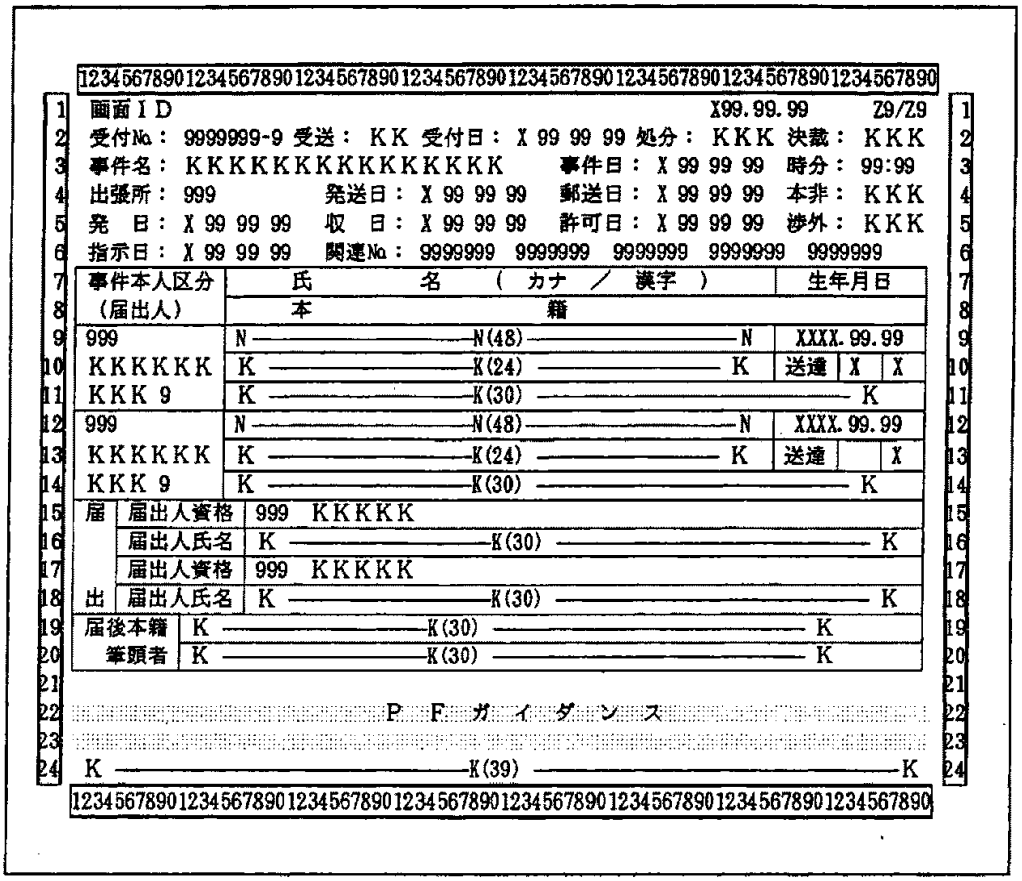
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　対象戸籍一覧　(09)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	対象戸籍一覧	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　受付帳記録　⑩	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

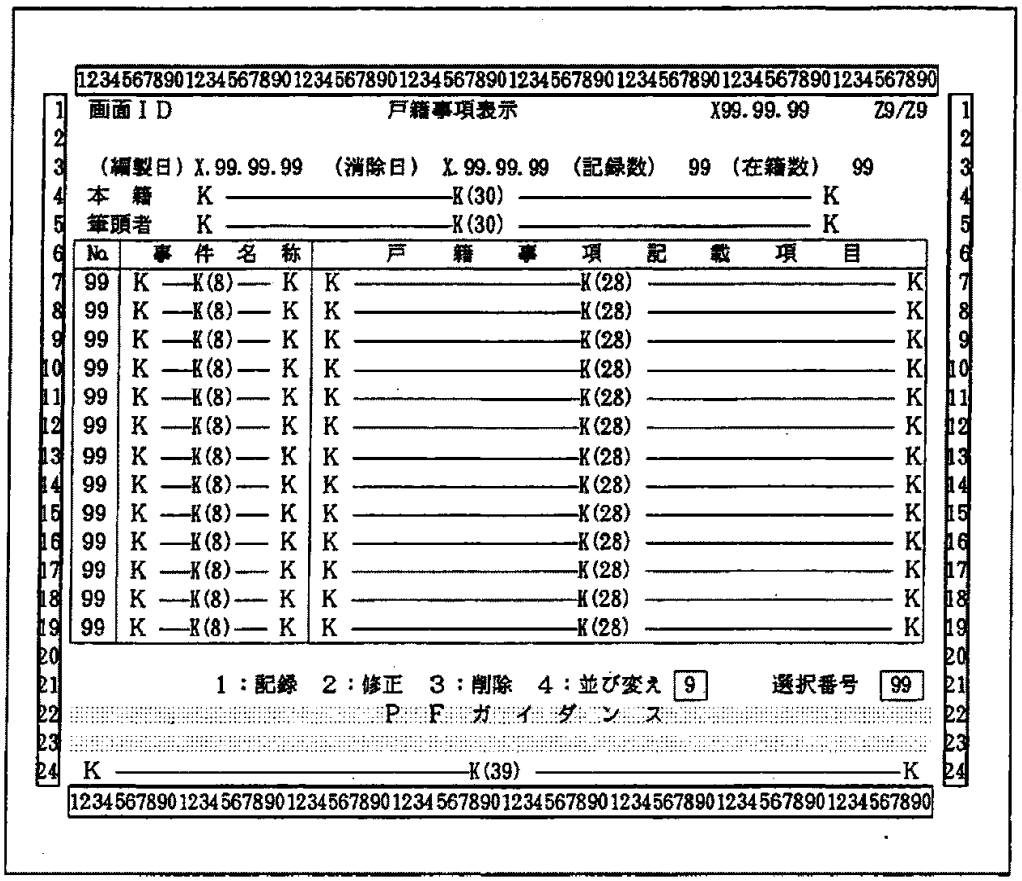
画面番号		画面名	対象戸籍一覧



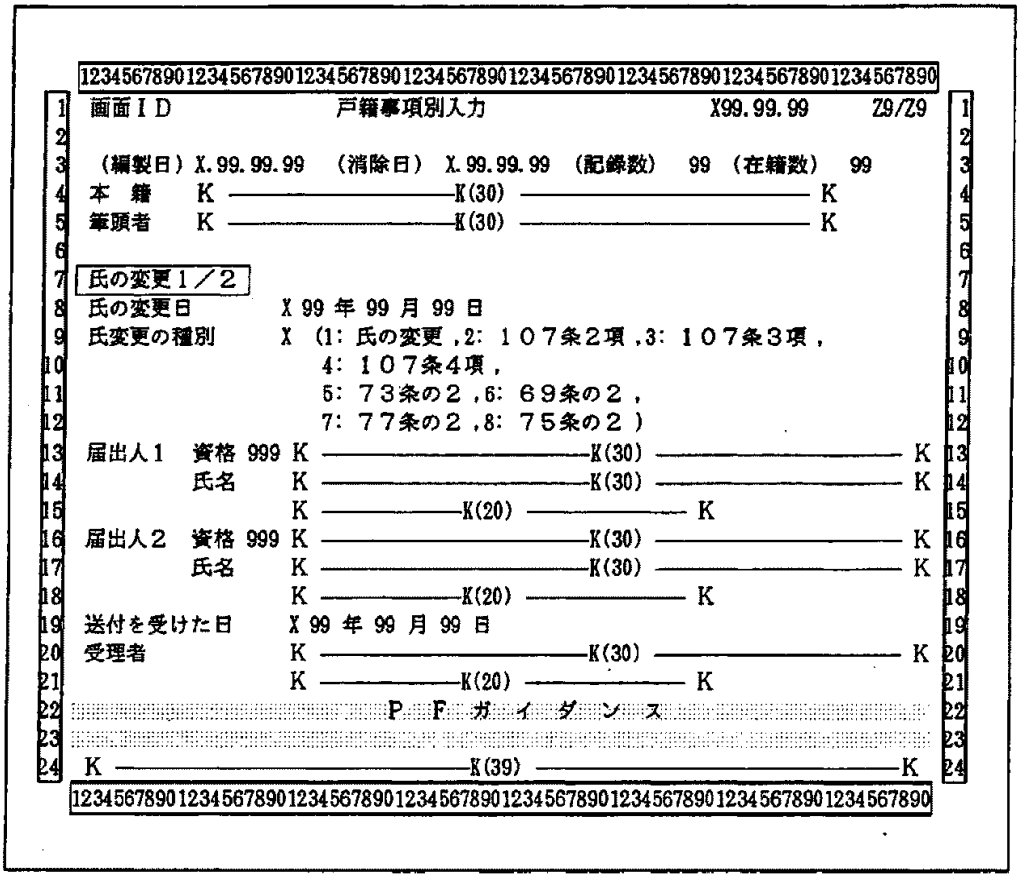
第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項表示　⑪	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍事項表示



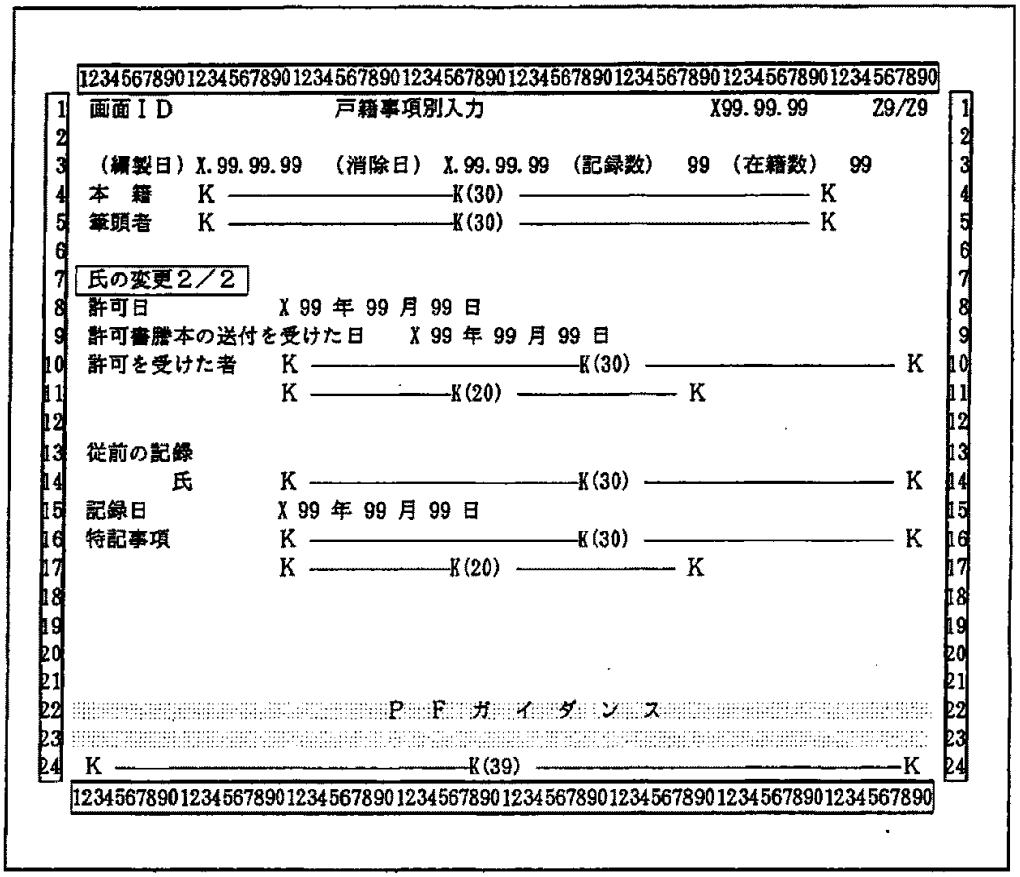
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更(1/2)　⑫		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更(1/2)	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍事項確認　氏の変更(2/2)　⑫	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

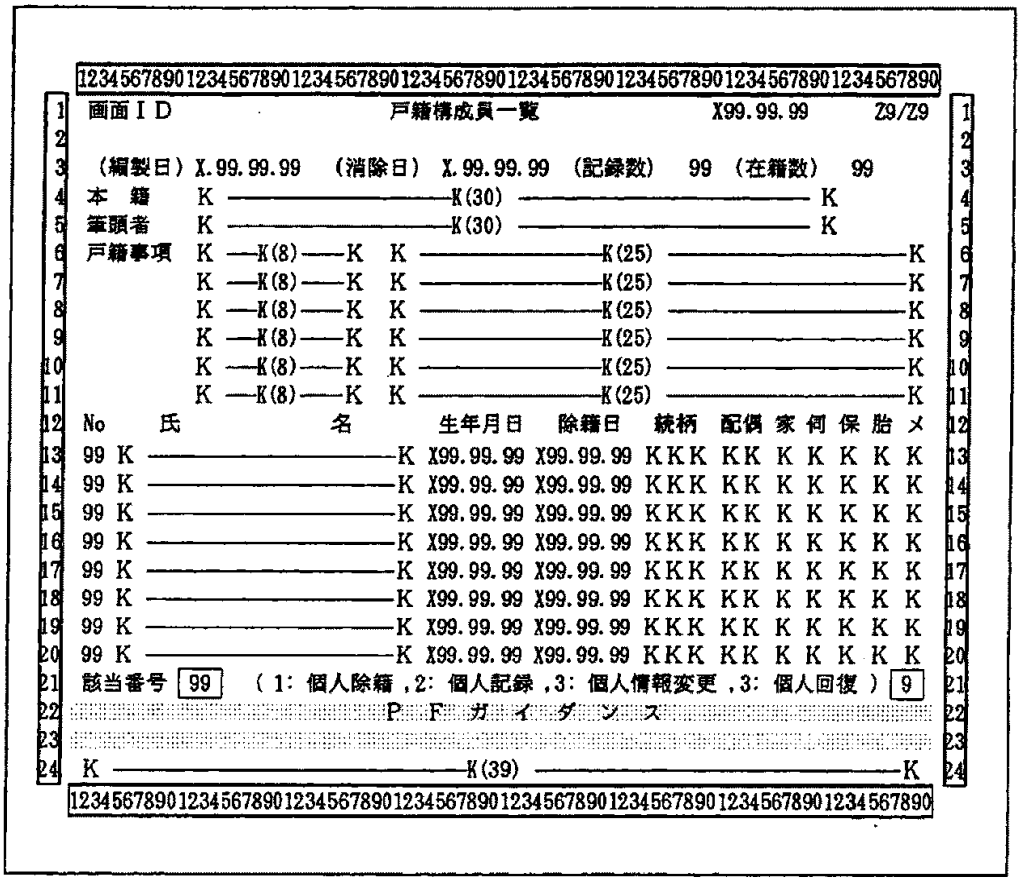
画面番号		画面名	戸籍事項確認　氏の変更(2/2)



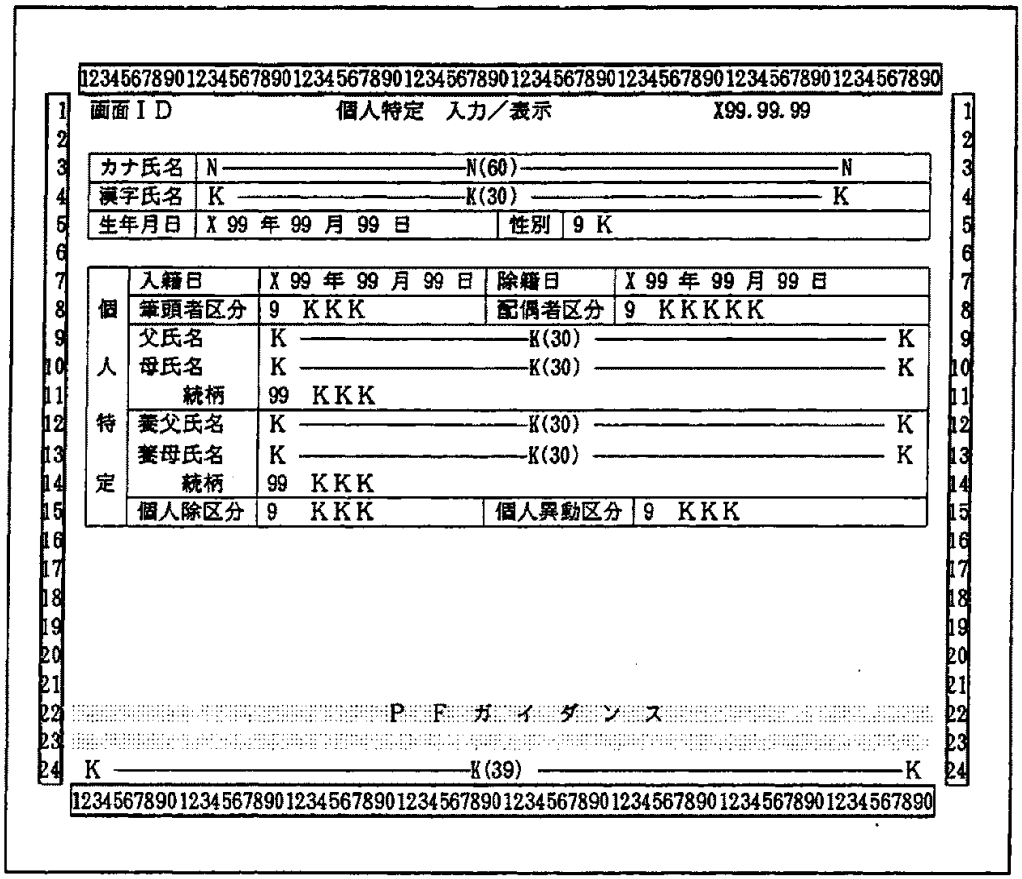
第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　戸籍構成員一覧　⑬	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	戸籍構成員一覧



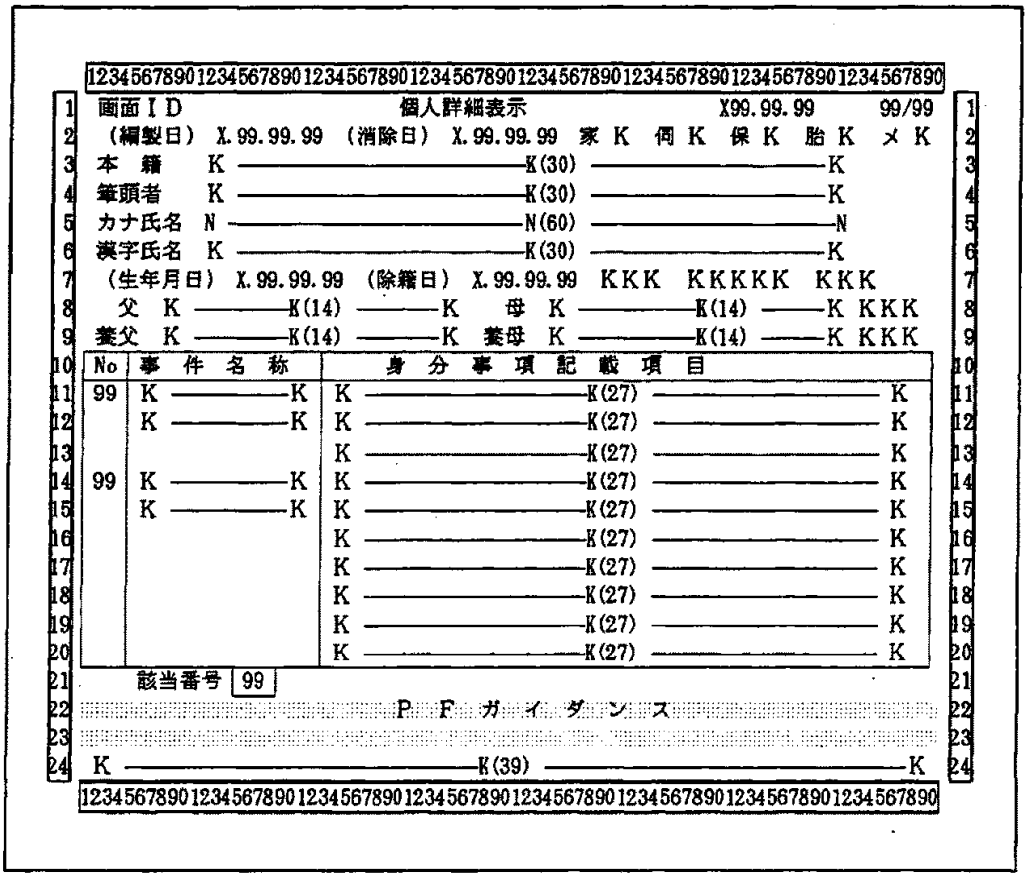
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人特定画面　⑭		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	個人特定画面	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人詳細表示　⑮	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

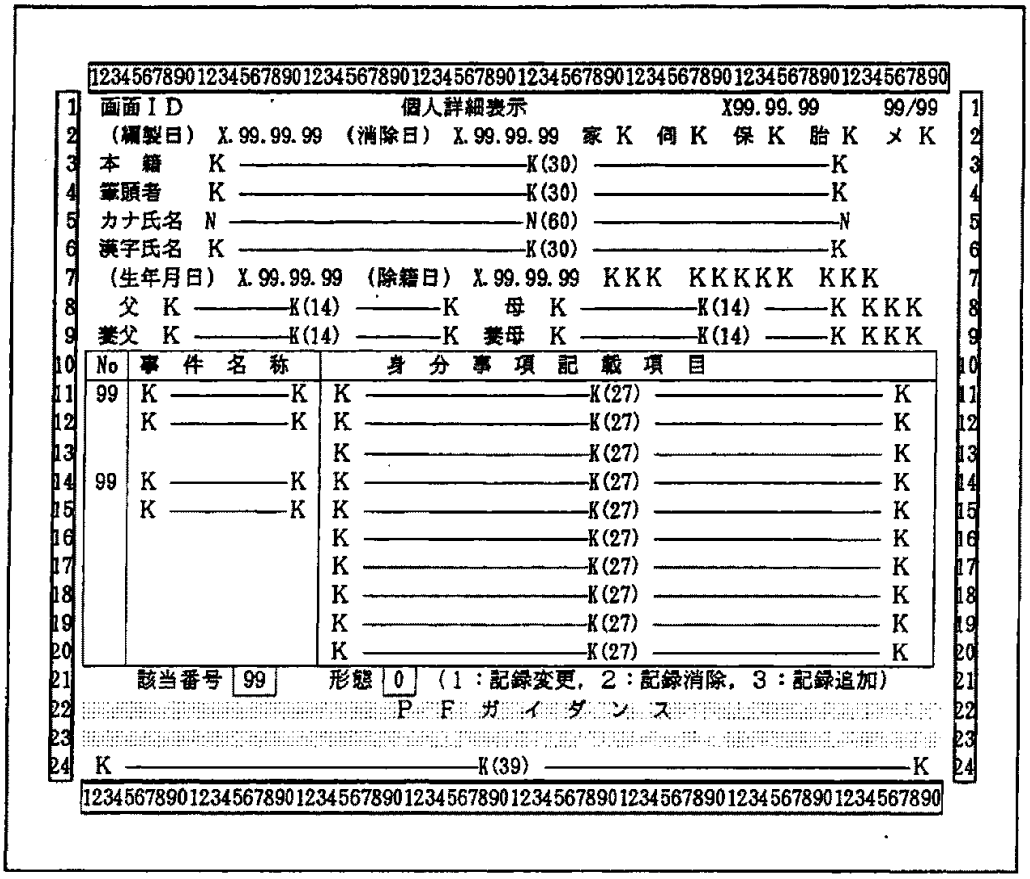
画面番号		画面名	個人詳細表示



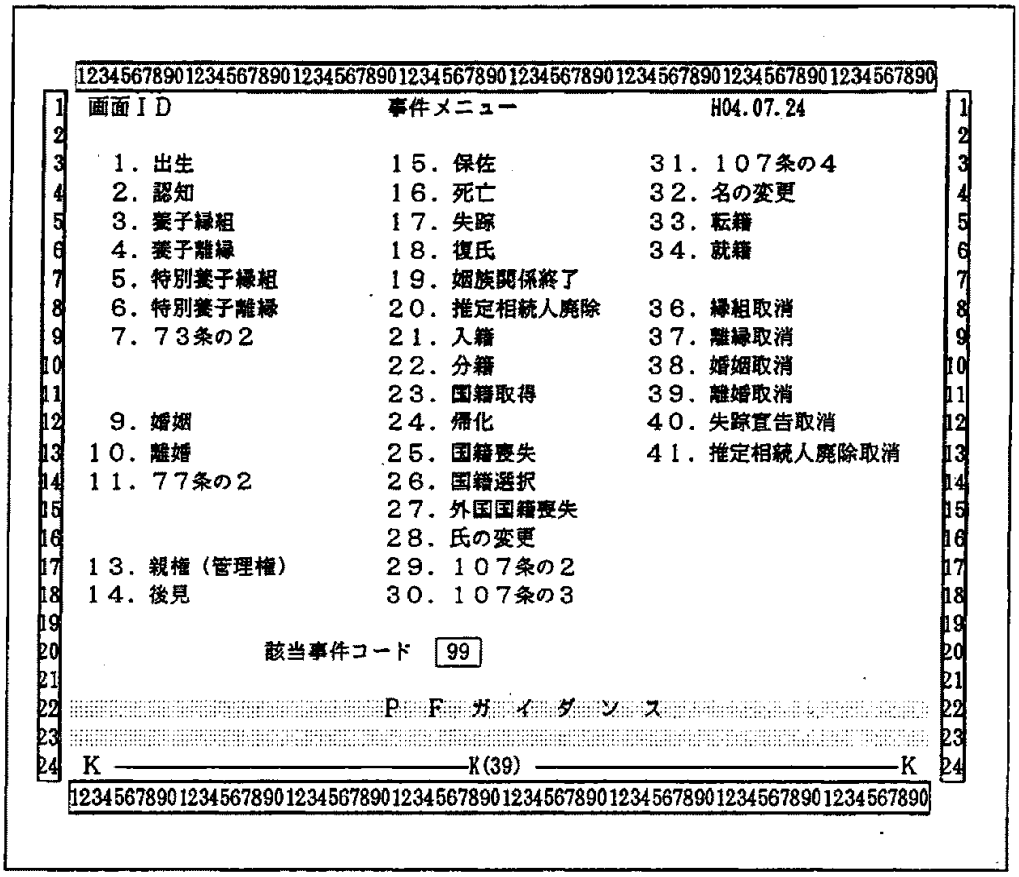
第5 10 (11)	画面設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	/

適用業務名	作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　個人詳細表示　⑱	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

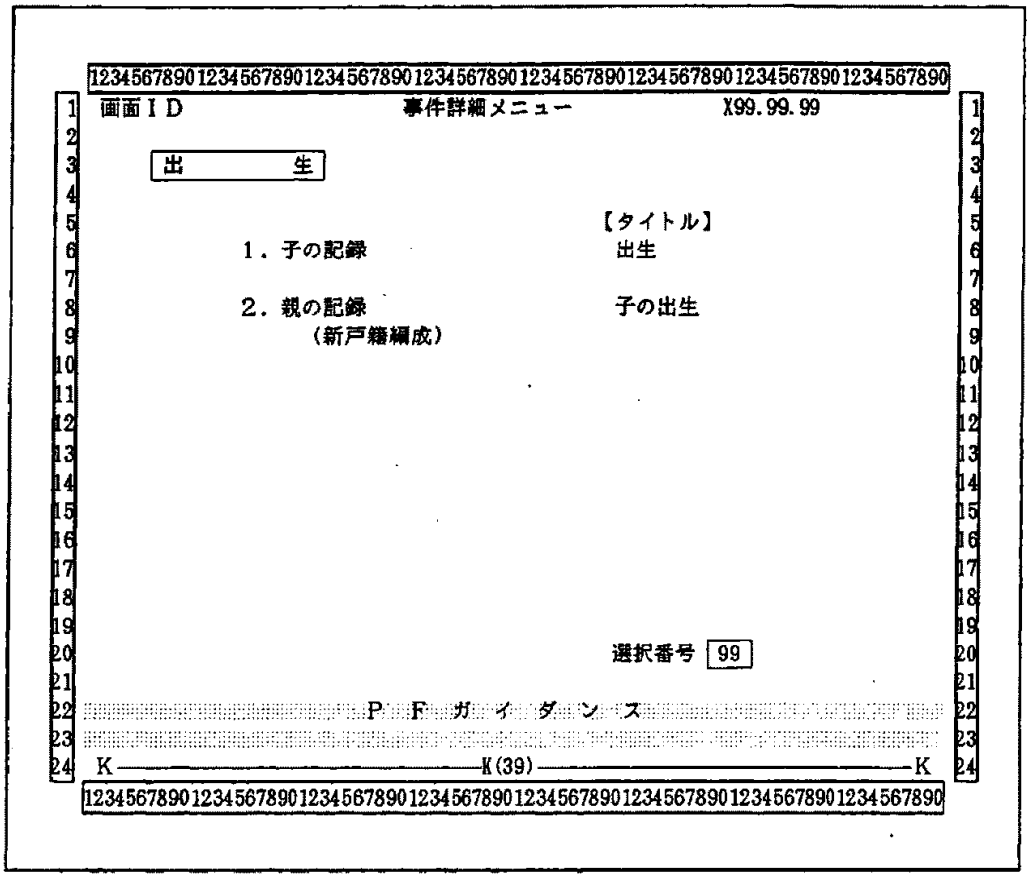
画面番号		画面名	個人詳細表示



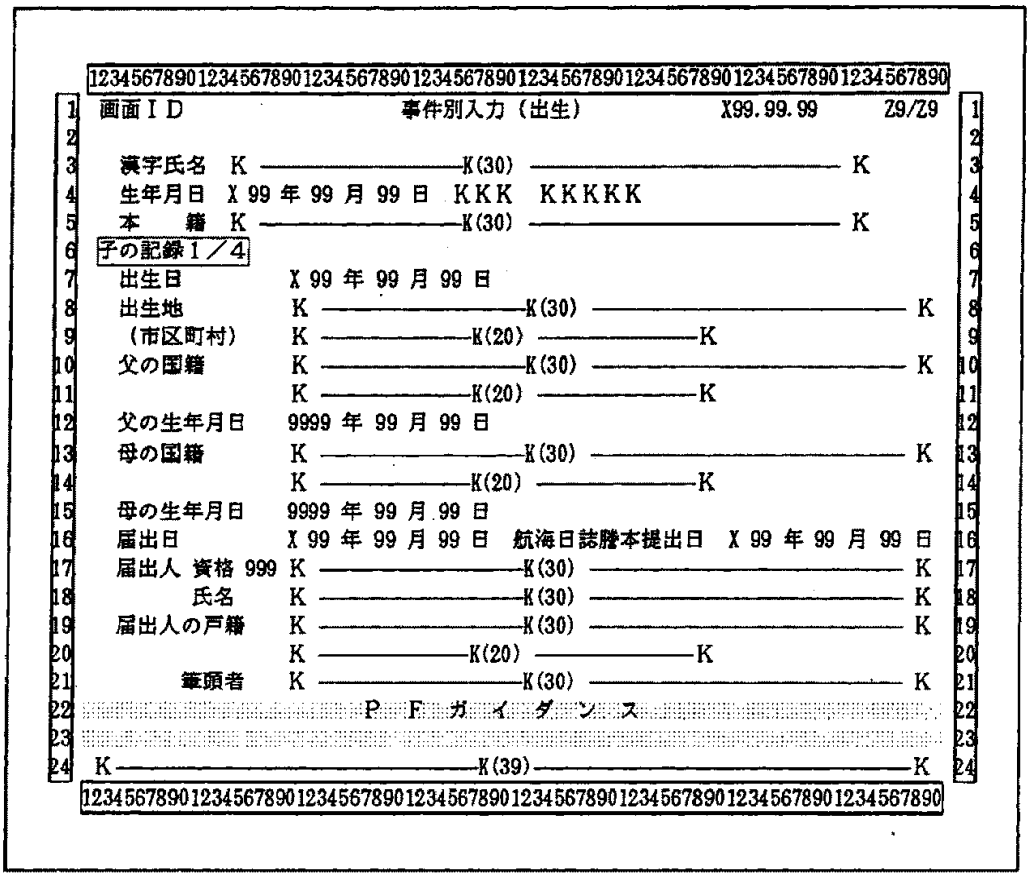
第5 10 (11)	画面設計書		作成者		頁数
			システム化調査研究会		/
適用業務名			作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件メニュー		⑲	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件メニュー		



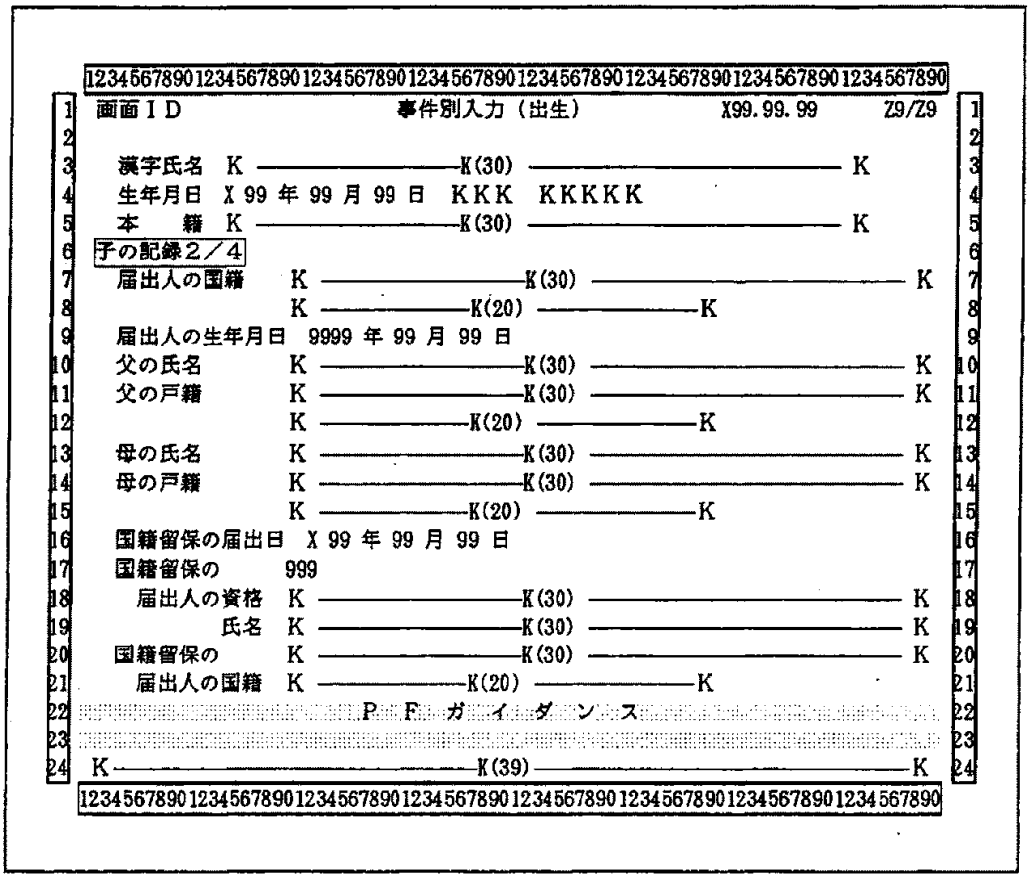
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件詳細メニュー(出生)　⑳		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件詳細メニュー(出生)	



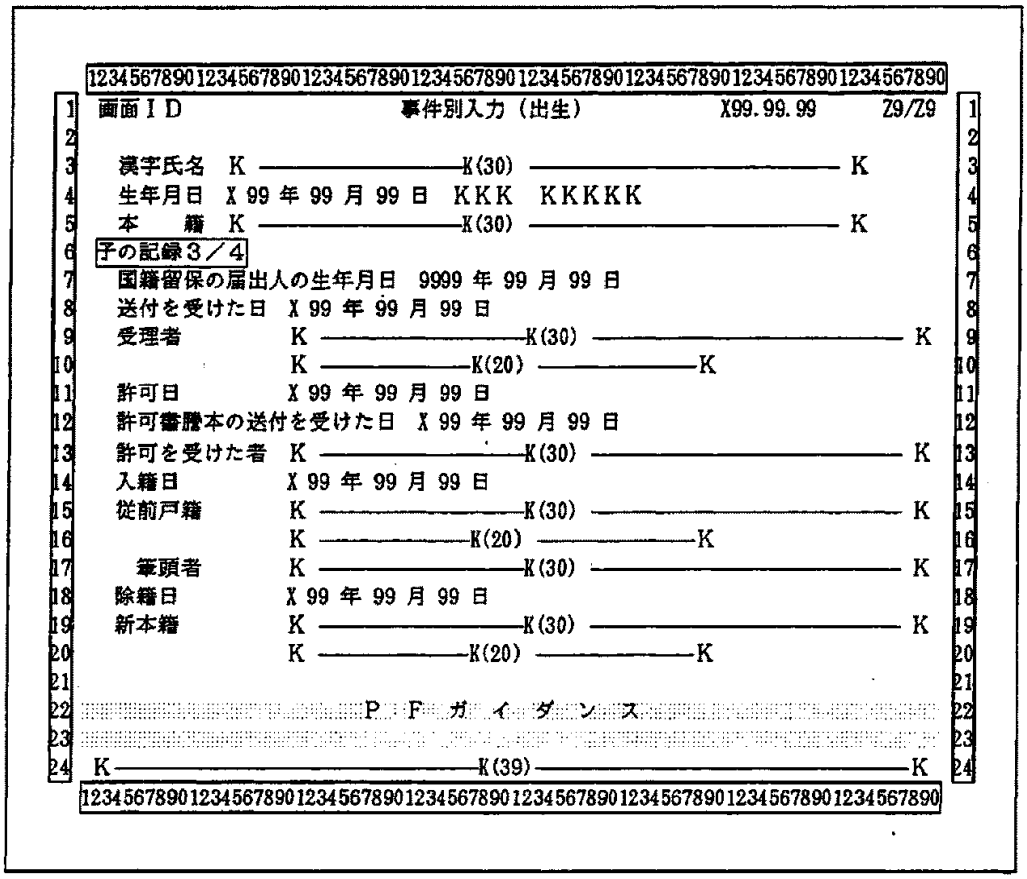
第5 10 (11)	画面設計書		作成者		頁数
			システム化調査研究会		/
適用業務名			作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録1/4　㉑㉒			平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録1/4		



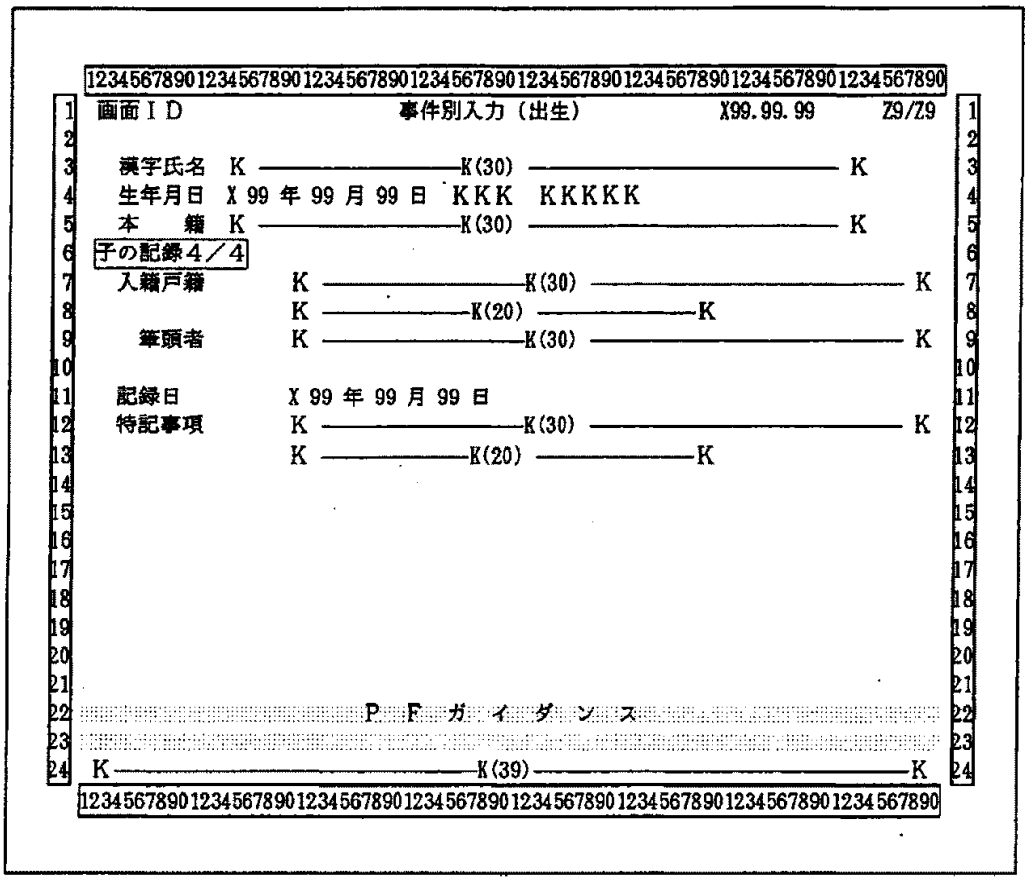
第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録2/4　㉑㉒		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録2/4	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録3/4　㉑㉒		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録3/4	



第5 10 (11)	画面設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		/
適用業務名		作成日付	改定日付	版
11.訂正処理　事件別入力(出生)子の記録4/4　㉑㉒		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1
画面番号		画面名	事件別入力(出生)子の記録4/4	



第5.10.(12)

「決裁用帳票出力」処理

第5 10 (12)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「決裁用帳票出力」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 決裁における判断資料として,仮戸籍の内容を全部事項証明書イメージ(「第5-6(2) 帳票設計書」を参照のこと)で出力することができる。

〔順守事項〕

(1) 移記で決裁用帳票の出力ができること。

(2) 出力する仮戸籍の選択ができること。

〔留意点〕

(1) 処分決定および決裁でも出力させて構わない。

第5.10.(13)

「決裁」処理

第5 10 (13)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「決裁」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 審査,処分決定,移記が正しくなされているか最終的にチェックする。決裁がなされれば届における異動処理は完結する。

〔順守事項〕

(1) 未決裁一覧から決裁への処理の流れは順守する。

(2) 決裁で処理されるファイルで順守すべき処理を下記に示す。
①受付DBに係わる処理
②戸籍DBに係わる処理
③個人状態ファイルに係わる処理
④不受理申出ファイルに係わる処理
⑤仮戸籍ファイルに係わる処理
⑥エラー履歴ファイルに係わる処理

〔留意点〕

(1) 基準書では一つの異動処理(届)ですべての処理を完結させる仕様としたため,全処理をオンラインイメージで記述しているが,内容によってはバッチとして処理しても構わない。

(2) メーカでシステム外処理(手処理)としたものは決裁処理から削除すること。

(3) 附票,人口動態の連動を考えない戸籍システムを採用した場合は,連動の処理を決裁から削除すること。

第5.10.(14)

「証明書発行」処理

第5 10 (14)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「証明書発行」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

(1) 様式については、「第5-6(2) 帳票設計」を参照。

(2) 検索キーは、「第5-10(2) 検索処理」に準ずること。

(3) 各証明書の認証日は、処理日(システム日付)とする。

(4) 1証明書に対して複数人証明できること。(留意点に補足)
「個人事項証明書」「一部事項証明書」が対象。

〔留意点〕

(1) 「全部事項証明書」「個人事項証明書」「一部事項証明書」の編集仕様は「第5-6(2) 帳票設計書」を熟読すること。

(2) 「証明書発行」として、基準書では、5つの選択番号を設定しているが、総合窓口による運用も考慮し特に限定しない。また、パスワードによる発行種別を限定させる機能を講じること。

(3) 画面遷移、画面レイアウトに関しては、サンプル的に示す。

(4) 今回[第7-2(12) 証明書発行]の要件定義書では、1証明書1人を前提に作成しているが、1証明書当り複数人を選択出力(証明)できるようにすること。
また、「個人事項証明書」で全員を選択された場合や「一部事項証明書」で全事項選択された場合は、エラーメッセージを出力すること。

第5.10.(15)

「各種ファイル更新」処理

第5 10 (15)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「各種ファイル更新」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) システムにおいて使用するファイルの更新を行う処理であり,操作者の限定を行う必要がある。
　戸籍DB,受付ファイル,不受理申出ファイル,個人状態ファイルの4つのファイルの更新処理については「第7-2(13) 各種ファイル更新処理」の通りとすること。
　受付ファイル更新以外は,基本的に個人の検索を行いそれぞれの処理へ流れる。以下に各々のファイル更新について説明する。
①戸籍DB更新
　戸籍簿にあたる項目の更新は認めない(必ず訂正処理で行うこと)。戸籍簿にない項目で修正が可能な項目のみ更新可能とする。
②受付ファイル更新
　便宜訂正,届書の返戻,発日・発送日更新,関連受領番号更新,受理後の処理伺い,送達確認取り込みの各処理を行う。条件により受付ファイルの直接更新とレコードを追加(履歴処理)するものに分かれる。上記以外の理由によるファイル更新は行えない。
③個人状態ファイル更新
　各項目に対しての更新処理を行う。ただし犯歴区分の更新は民刑者担当に限られるべきであり,単純にファイル更新の操作権限があるだけでは不可とする。異動処理で自動的に付設される項目(禁治産者区分,準禁治産者区分,伺い区分,保留区分)もあるが,付設・解除ともに操作者が行うことが基本となる。
④不受理申出ファイル更新
　不受理申出ファイルの作成,更新,削除を行う。失効区分等は期限を過ぎても送付分の届出の審査があるために,自動で更新は行わない。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(16)

「受領番号確保」処理

第5 10 (16)	詳細仕様説明書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「受領番号確保」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1)　閉庁日(休日および夜間)に届出られた届書を処理する場合に,前もって受領番号を確保する処理(受付ファイルの作成)であり,通常の異動処理を開始する以前に行う処理である。あくまで受領番号が付設された受付ファイルを作成するだけであるので戸籍のロック等の処理は行われない。その後の処理としては,届出選択で届出事件と受領番号を入力することにより以降通常の処理と同様になる。

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

なし

第5.10.(17)

「帳票出力」処理

第5 10 (17)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「帳票出力」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 戸籍システムで管理するファイルから出力する帳票をグループ化し「帳票出力」処理としている。事件表も考えられるが、「統計処理」から出力するようにした。

〔順守事項〕

特になし

〔留意点〕

(1) [第5-3 オンラインの流れ図]で示しているように、各帳票を画面指示により起動(オンライン・バッチ処理)しているが、純然バッチ処理でも構わない。

(2) 月次処理、日次処理による出力帳票が存在するが、出力する際の範囲指定方法については任意とする。
(画面から指示,外部パラメタによる指示等)

第5.10.(18)

「統計」処理

第5 10 (18)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「統計」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1) 「統計」処理では、事件表を正確に作成するための処理を行う。

(2) 基本的には、[第5-7(2) ファイル仕様書]で示されている統計ファイルをシステムで集計できない項目を更新する。また、統計状況を参照する機能や事件表を出力指示する画面で構成する。

〔順守事項〕

(1) 事件表の様式は[第5-6(2) 帳票設計書]に従うこと。

〔留意点〕

(1) 最終的な機能としては、[第5-6(2) 帳票設計書]で示す事件表が正確に出力されればよい。

(2) 自治体の運用によっては、日計、週計、月計のサイクルで統計情報を取得している場合あるため、更新する手順については任意とする。

(3) 日計、週計、月計等による更新を行う場合には、ファイル仕様書(年計)で示すレコード以外に設けてもよい。
（ただし、サブレコードとして位置づけること）

(4) 統計ファイル更新処理を使用するケース。
・第2表　届出事件件数　:「不受理申出」の件数
※万一システムで処理できない事件が発生した場合、統計ファイルに反映させるため届出事件数を個別に更新する必要がある。
・第3表　処理事件数　　:「違反通知」「戸籍の再製・補完」「その他」
・第4表　謄抄本等件数　:全て
・第5表　戸籍事務を～　:全て
・第6表　職員数　　:全て

※　事件表の様式について、現在検討中のため変更となる可能性あり。

第5.10.(19)

「関連業務」処理

第5 10 (19)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「関連業務」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔順守事項〕

〔留意点〕

(1) 戸籍関連業務メニューには、関連業務が今後追加される可能性がある。
（人口動態システムについては、現在検討中である）

(2) 法改正等によるシステム仕様変更が行われたとしても、戸籍システム及び関連業務システムに対して影響が相互に及ばぬよう独立させることが望ましい。
EX.
戸籍附票処理を選択した場合には、戸籍附票に関する照会、ファイル更新、証明書発行をその中で行う。
選択されたメニュー(入口)で制御を飛ばすだけで、戸籍システム本体への影響を最小限にとどめる工夫をすること。

第5.10.(20)

「一括」処理

第5 10 (20)	詳細仕様説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
ドキュメント名称		作成日付	改定日付	版
「一括」処理		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

〔処理概要〕

(1)　一括処理では、年次処理又は、行政区画変更などの処理を対象に、大量データを扱うものをグループ化した。

(2)　戸籍データを全件読み込み、該当データを抽出するものや行政区画変更などある特定のデータを全件処理する場合など。

(3)　下記の2例について[第5-4バッチ処理の流れ図]で示す。

・「高齢者消除該当一覧」作成
・「行政区画変更(町名の変更)」処理による戸籍DBへの記録および通知ハガキの作成

〔順守事項〕

なし

〔留意点〕

(1)　高齢者消除該当一覧を許可申請書として兼用する場合は、事前に法務局の承認を得ること。

(2)　高齢者消除を一括バッチ処理する場合は、戸籍事務(システム)の運用を十分理解のうえ方式を決定すること。
　　バッチ処理であっても、戸籍DBに記録するため「処分決定」「決裁処理」の位置づけを明確にし正確性を確保すること。

第６　戸籍システムと関連事務の処理概要

（目次）

１　はじめに　（1～1 頁）

２　記載事務　（2～3 頁）

３　証明事務　（3～3 頁）

４　人口動態調査事務　（3～4 頁）

５　民刑事務　（4～4 頁）

第6　戸籍システムと関連事務の処理概要

1　はじめに

戸籍関連事務は,記載事務,証明事務,人口動態調査事務及び民刑事務とに大別され,市区町村の所管事務の大半を占める記載,転記及び照合･点検作業からなっている。

これらのシステム化は,事務処理の省力化,効率化及び正確性がより一層促進されることにあり,また,市区町村の長年の強い要望でもあることから,戸籍事務と合わせてパッケージ化(以下,戸籍システムと区別するために関連事務システムという。)を図ることとした。

ただし,関連事務システム各々の採用の有無については,各自治体のそれぞれの事情に基づく判断に委ねられることとなる。

ところで,関連事務システムにとって,リアルタイムに戸籍システムとの連動,リンケージが大きなメリットになるが,戸籍システム本体に直接影響なく,開発,運用されることが前提条件となる。将来,関連事務システムの追加･修正があった場合に,戸籍システムが無修正であることを担保とすることにある。

そこで,第1章の「戸籍情報システムの範囲と基準書について」における「システム化の範囲」で示された事務の中で,記載事務,人口動態調査事務及び証明事務の相続税通知等への連動のタイミングを検討したところ,戸籍システムの「決裁処理」以降の処理(連動ための「各種ファイル更新」等)に,その大半が位置づけられることとなった。

また,その他の証明事務及び民刑事務については,戸籍データベースや戸籍関連ファイル(届書ファイル,個人状態ファイル等)の直接的な活用の必要性から,戸籍システムのオンライン処理の流れに組み込むこととし,一部にデータの追加入力作業により事務処理を補完することになる。

なお,「各種ファイル更新」処理おいて作成･更新されるファイルは,住所地通知(住基法9-2,管外住所分),住民票異動(住基法 9-2,管内住所分),附票通知(住基法 19-3),附票異動(住基法19-1,附票DB更新用),58条通知(相続税法),人口動態,民刑異動,発送(他市区町村等送付用)等の各ファイルである。

したがって,これらのファイルを即時的に活用し,主にオンライン処理もしくはバッチ処理にて,引き続き関連事務処理を行うこととする。

2　記載事務

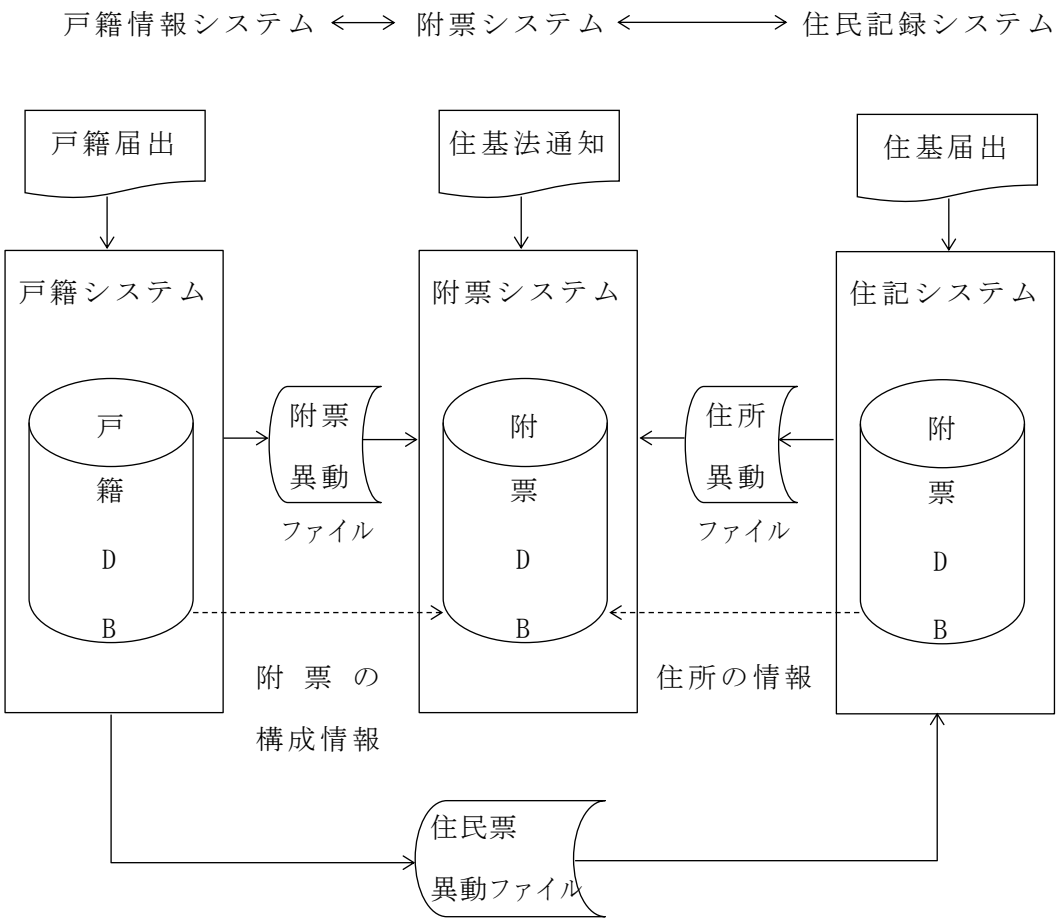
(1) 死産届書

厚生省で作成する基準書の「人口動態調査事務システム」において,システム化することとする。

(2) 附票事務及び住基法 9-2 関係

戸籍システム及び住民記録システムと連携した附票システムを構築することとする。これらの関連性については,次の「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」を参照されたい。

「戸籍・附票・住民記録システムの関連図」



附票システムでは,戸籍システムで作成された附票異動ファイル,住民記録システムで作成された住所異動ファイル,及び住基法通知により,附票データベースの異動処理を行う。また,附票通知ファイルにより,通知書作成を行うものである。

なお,附票の証明様式,住所の履歴,改製の方法,及びセットアップの方法等については,第7章の「システム化に係わる『詳細設計』等資料編」の「その他関連資料」の「附票部会検討結果報告書」を参考にされたい。

一方,住基法9-2関係については,住民票異動(住基法9-2,管内住所分)ファイルにより,自庁の住民記録データベースの異動処理を行う。また,住所地通知(住基法9-2,管外住所分)ファイルにより,通知書作成を行うこととする。

3　証明事務

(1) 埋火葬許可証

戸籍システムの「処分決定」処理からの展開で,プリント出力を行う。

なお,「死胎埋火葬許可証」については,厚生省の基準書の「人口動態調査事務システム」において,システム化を行うこととなる。

(2) 身分証明書

オンライン処理の業務メニューの「関連業務」処理の帳票系において,プリント出力を行う。

この際,個人状態ファイルを参照し,禁治産者,準禁治産者,破産者の該当の有無を画面に表示することにより,証明発行の可否判断に対応することとする。

(3) 相続税58条通知

相続税法第58条に基づく税務署長への通知は,帳票の出力様式として連名方式または単票方式のいずれかを検討し,選択する。

オンライン処理の業務メニューの「関連業務」処理の帳票系において,58条通知ファイルにより,一括してプリント出力を行う。

4　人口動態調査事務

市区町村は,厚生省の人口動態調査令,及び同令施行細則に基づき調査票及び送付票を作成し当該保健所長に送付しており,その作成に当たっては,国の主要な指定統計として完全性,正確性,迅速性が求められている。

そこで,戸籍システムの「決裁処理」後,届書ファイルから作成された「人口動態ファイル」を活用し,引き続き,オンライン処理において人口動態調査票等に必要なデータを付加入力

することとなる。また,調査票及び送付票は,オンライン・バッチもしくはバッチ処理により作成する。

なお,厚生省において,戸籍情報システムの始動時期に合わせて「人口動態調査事務システム」の稼働が計画されており,現在,システム化のための基準書(標準仕様書)を作成している。

したがって,この厚生省の「基準書」により「人口動態ファイル」とのインターフェースを図るとともに,戸籍事務に連動した人口動態調査事務をシステム化することとする。

5　民刑事務

市区町村が地方自治法第 2 条及び公選法第 11 条に基づき執行している民刑事務等は,自治体固有事務の中でも極めて秘匿性,プライバシー性の高いものである。この事務のシステム化については,最終的に市区町村のそれぞれの判断に委ねられることになる。

そこで,戸籍が磁気媒体となった場合に,少なくとも現行の「付箋」に代わるなんらかの判別表示が必要なため,また,民刑事務のシステム化に対応できるようにするために,個人状態ファイルにフラグ(有無の表示)を立てて対応することとする。

したがって,オンライン処理の「各種ファイルメンテ」において,フラグの入力処理を行い,身分証明書の発行の際に「該当の有無」が表示されることになる。

また,システム化後には,このフラグを活用した公選法第 11 条に基づく通知作成のための抽出処理を考慮するものである。

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

（目次）

1　「システム処理」の要件定義について

2　要件定義書

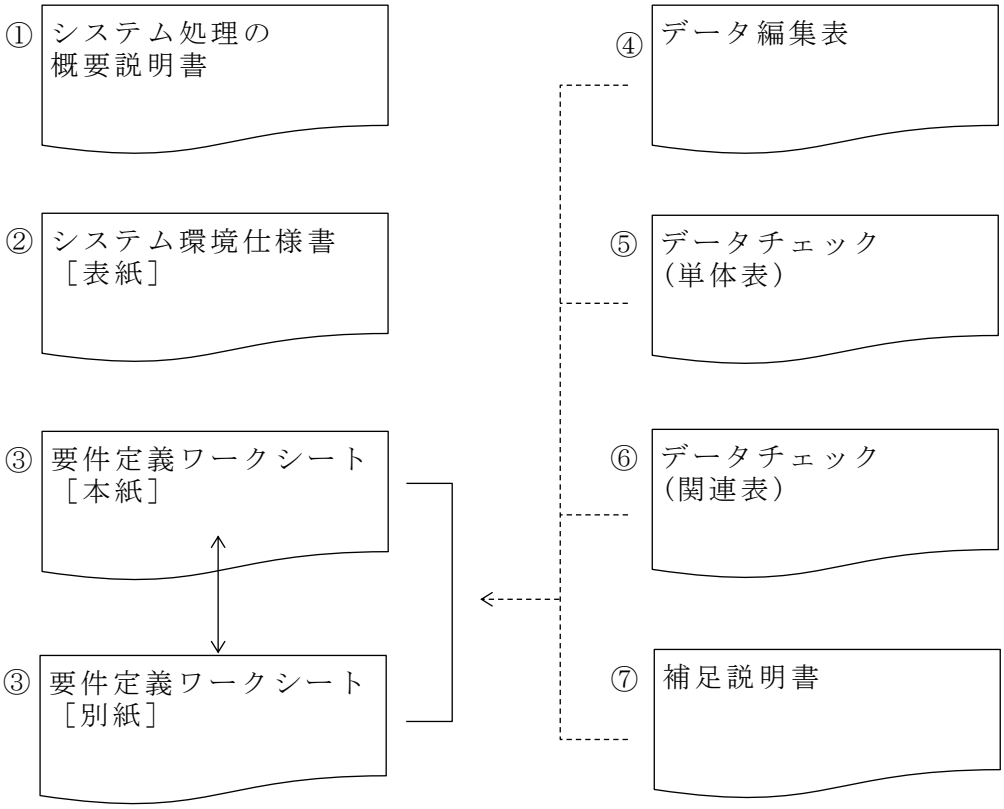
第 7.1「システム処理」の要件定義について

第７　システム化に係わる「詳細設計」等資料編

1　システム処理の要件定義について

(1) 要件定義書の作成方法

ア　要件定義書の構成



イ　要件定義書の各ドキュメントの内容

①　システム処理の概要説明書

プロセス単位又はいくつかプロセスをまとめて,それらのシステム処理の概要及びシステム処理しない部分を説明する。

②　システム環境仕様書

基本的に要件定義書の表紙となるもので,詳細フロー,使用 DB・ファイル一覧処理の概要,機能体系(又は,要件定義書の構成),及び特記事項等を記述する。

③　要件定義ワークシート

本紙においては,処理のメーン・ロジックを自己完結型に記述し,各詳細については,別紙でトップダウン方式で展開する。

別紙においては,第三レベルまでに止どめ,本紙のロジックを補強する。また,各々自己完結型に詳細記述し,本紙に戻る。

④　データ編集表

DB・各ファイル間や,画面と各ファイル間などで,データの受渡しを行う場合に,それらの項目をこの一覧表に記述する。

⑤　データチェック(単体表)

データの単体チェックの内容,エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑥　データチェック(関連表)

データの関連チェックの内容,エラーメッセージ及びエラーコード等を記述する。

⑦　補足説明書

必要に応じて,項目関連図(マトリックス)等を作成し,追加説明する。

ウ　要件定義ワークシート記載方法の基本パターン

ワークシートについては,次の点を考慮した。

①トップダウン方式や「基本パターン」でロジックを整理できること。

②プログラムの処理概要の全体を視覚的に把握,理解できること。

③入力部及び出力部を限定し,エラー処理が明確化できること。

④ワープロ作成ができること。(追加,修正に容易に対応できる)

「基本パターン」は,次のとおりである。

①順次処理

データを上から下へ,無条件で順番に処理するケース

(1)　処理　A
(2)　処理　B
(3)　処理　C

②条件処理

一定の条件に基づいて,処理が 2 つに別れるケース

(1)条件が YES か,NO か？	
YES	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
NO	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

③繰り返し処理

一定の条件を満たすまで繰り返し処理するケース

(1)一定の条件を満たすまで(2)～(5)を繰り返す	
	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
	(4)　処理　C
	(5)　処理　D

④複合条件処理

複数の条件があり,それぞれの条件に対する処理があるケース

(1)条件が,「>」,「=」,「<」,「その他」か？	
>の場合	(2)　処理　A
	(3)　処理　B
=	(4)　処理　C
	(5)　処理　D
<	(6)　処理　E
	(7)　処理　F
その他	(8)　処理　G

オ　要件定義ワークシート記載方法の基本的ルール

(ア)　規定用語について

①プロセスから画面に展開する場合は

「画面を編集(出力)する」

②プロセスからプロセスに展開する場合は

「制御を渡す」

③DB を読むときは

「(検索)キーとして DB を読む」

④ファイルを読むときは

「(キーとして)ファイルを読む」

⑤DB・ファイルの更新は

「追加,更新,削除する」

⑥条件(ケース)の処理は

「比較する,判定する,チェックする,選択する」

AND 条件は,「かつ」

OR 条件は,「または」

このほか,比較記号等を用いる(例,=,≠,<,>等)

⑦エラーの表現は

「エラーメッセージ表示,確認メッセージ表示,」

⑧その他

「抽出する,(初期)設定する,処理する,作成する,実行する,変換する,計算する,転送する,(キーとして昇順/降順)にソートする」

(イ)「PF キー」について

次のとおり,参考までに主な機能を割り当てた,下記以外は各プロセスで定める。

①PF1　　戸籍業務メニューへ

②PF2　　届出選択メニューへ

③PF5　　前画面へ

④PF7　　前頁へ

⑤PF8　　後頁へ

⑥実行キー　実行処理

(2) 要件定義書の共通仕様について

ア　戸籍 DB の編集(戸籍編製マトリックス)

要件定義書(入力確認)においては,仮の戸籍 DB を編集する場合に,データ編集表と戸籍編製マトリックスを使用して記述されており,戸籍編製マトリックスは,次のような手順・要領に従っている。

【戸籍編製マトリックス】(サンプル)

項番	グループ 1			グループ 2			条件		戸籍 A		戸籍 B	新戸籍編製
	条件 1	条件 2	条件 3	条件 4	条件 5	条件 6	7		一部除籍 A.2 6.3	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 A.2 C.1 D.1	A.1 B.1 C.1 D.1
1	○			○							子(5.1)	
2	○				○						子(5.1)	母(7.1)
3	○			－	－	－	○				子(5.1)	

(ア)マトリックスは,「条件項目」と「戸籍編製パターン」に分けて記述する。

「条件項目」等が、多い場合は複数頁になる。

が,メッセージに対する流れは,メッセージの種類に影響されるので,「第 5-8(3)メッセージ一覧表」の補足説明書及び後述の「審査の流れについて(エラー処理)」を参照のこと。

(イ)『項番』は,「条件項目」の種類別を順番号で区別する。

(ウ)「条件項目」中の記号は,次の 4 種である。

・『○』(マル)　　:条件に該当する内容。

・『－』(ハイフン)　:条件対象外(何であろうと無関係)。

・『　』(ブランク)　:入力なし。

・『×』(バツ)　　:条件に該当しない内容。

(エ)「戸籍編製パターン」は,各事件の該当する戸籍単位の戸籍の編製を示す。

・『一部除籍』　　:除籍後に他の在籍者あり。

・『全部除籍』　　:除籍後に他の在籍者なし。

・『変動なし』　　:戸籍事項/身分事項の記録のみ。

・『一部記載』　　:該当戸籍に入籍。

・『新戸籍編製』　:新しい戸籍の編製。

(オ)「戸籍編製パターン」欄にあらわれる『X.X』の数字は,戸籍編製を行う場合に,使用されるデータ編集表の処理名の番号である。

また,英字で記述されているものは全届に対して共通なデータ編集表であり,中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型として使用している。

中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型については,後述の補足説明書を参照のこと。

(カ)「条件項目」に該当した場合の処理を行うべき対象(者)を,「戸籍編製パターン」の該当する欄へ「子」「養子」「夫」等で記述するとともに,戸籍編製を行う場合に,使用されるデータ編集表の処理名の番号を記述する。

※(例)【戸籍編製マトリックス】(サンプル)の項番 1 の場合

・条件として,『条件 1』『条件 4』に該当して,他の「条件項目」に入力がない

・『戸籍 B』『一部記載』の欄に,『子(5.1)』の記入があるので,戸籍 B へ子をデータ編集表の 5.1 及び中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型 A.2,C.1,D.1 を使用して記録処理を行う。

イ　メッセージ表示後の対応

要件定義書(入力審査)において,メッセージ表示後の対応は,エラーメッセージも確認メーッセージも,本紙もしくは要件定義書の前の処理へ戻るような記述をしている

第7 1 (2)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

処理名	中間ファイル(仮戸籍)の設定ひな型

中間ファイル(仮戸籍)

分類	中間ファイル(仮戸籍)で管理する情報の名称	ひな型	ひな型の名称	ひな型の説明	中間ファイル(仮戸籍への更新内容)
A	戸籍特定情報 戸籍DBのうち,戸籍特定DBの内容に関して管理する	A.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製または管外から管内への転籍で新しく戸籍を編製する場合に使用	戸籍特定レコードの追加
		A.2	戸籍特定(記録)	・本籍・筆頭者が変更となる場合に使用 (管内転籍または筆頭者の氏及び名の変更) ・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用 ・その他戸籍の変動により戸籍の記録者数等の戸籍情報に変更がある場合に使用	戸籍特定レコードの更新
B	戸籍事項情報 戸籍DBのうち,戸籍事項DBの内容に関して管理する	B.1	戸籍特定(編製)	・管内に新戸籍を編製する場合に使用(管外から管内への転籍は転籍の審査で対応)	戸籍事項レコードの追加
		B.2	戸籍特定(消除)	・戸籍の変動により全部除籍となる場合に使用	戸籍事項レコードの追加
		―――	――――――――	・B.1及びB.2以外の記録は各審査で対応(氏の変更,管内転籍等)	戸籍事項レコードの追加
C	個人特定情報 戸籍DBのうち,個人特定DBの内容に関して管理する	C.1	個人特定(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	個人特定レコードの追加
		C.2	個人特定(記録)	・配偶者区分・父母名・養父母名が変更となる場合に使用する (婚姻,養子縁組した養子等) ・戸籍の変動により除籍者となる場合に使用	個人特定レコードの更新
D	氏名情報 戸籍DBのうち,氏名DBの内容に関して管理する	D.1	氏名(入籍)	・戸籍の変動により戸籍に個人が入籍する場合に使用	氏名レコードの追加
		D.2	氏名(記録)	・現在の氏名に変更があった場合に使用 〔今までの氏名を旧氏名として履歴に残す〕 (戸籍の変動がない氏の変更,名の変更)	氏名レコードの追加 (履歴作成)
E	身分事項情報 戸籍DBのうち,身分事項DBの内容に関して管理する	―――	――――――――	・身分事項情報の記録は各届出によりすべて異なるため,各審査で対応	身分事項レコードの追加

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	A.1　戸籍特定(編製)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定　←(引渡側)中間ファイル(届書),戸籍編成処理

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定
	編製日		中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数		戸籍編成処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	A.2　戸籍特定(記録)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定　←(引渡側)中間ファイル(届書),戸籍編成処理

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)	戸籍番号							
戸籍特定	編製日		中間ファイル(届書)					
	改製日							
	消除日			処理日 (または送付日 または受領日)				【全部除籍のとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				【管内転籍のとき設定】
	本籍			新本籍				同上
	筆頭者			変更後の筆頭者氏名				【筆頭者の氏及び名の変更のとき設定】
	記録者数		戸籍編成処理					【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に記録されている人数を設定 記録者数=在籍者数+除籍者数
	在籍者数							【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍に在籍している人数を設定
	除籍者数							【戸籍情報に変更があるとき設定】 戸籍から除籍になっている人数を設定
	戸籍除区分							全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分							0:解除を設定

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	B.1　戸籍事項(編製)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項　←(引渡側)戸籍編成処理,中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					0001:編製を設定
	記録コード							0001:戸籍編製事項の記録を設定
	事件発生日		中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目							【編製】の戸籍事項項目を使用
	編製日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	B.2　戸籍事項(消除)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項　←(引渡側)戸籍編製処理,中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	出力区分							0:可を設定
	タイトルコード		戸籍編製処理					0002:消除を設定
	記録コード							0002:戸籍消除事項の記録を設定
	事件発生日		中間ファイル(届書)					
	戸籍事項項目							【消除】の戸籍事項項目を使用
	消除日			処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	特記事項							

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	C.1　個人特定(入籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定　←(引渡側)中間ファイル(届書),戸籍編製処理

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母の続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母の続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	C.2　個人特定(記録)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定　←(引渡側)中間ファイル(届書),戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)					
	除籍日			処理日 (または送付日 または受領日)				【個人が除籍になるとき設定】 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分			配偶者区分				【個人情報に変更があるとき設定】
	父			父氏名				同上
	母			母氏名				同上
	父母の続柄							
	養父			養父氏名				同上
	養母			養母氏名				同上
	養父母の続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					
	個人除区分							【個人が除籍になるとき設定】 1:除籍者を設定

第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	D.1　氏名(入籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/氏名　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							1を設定(RDBのみ)
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	カナ氏名(入籍者のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名(入籍者の漢字氏名)				

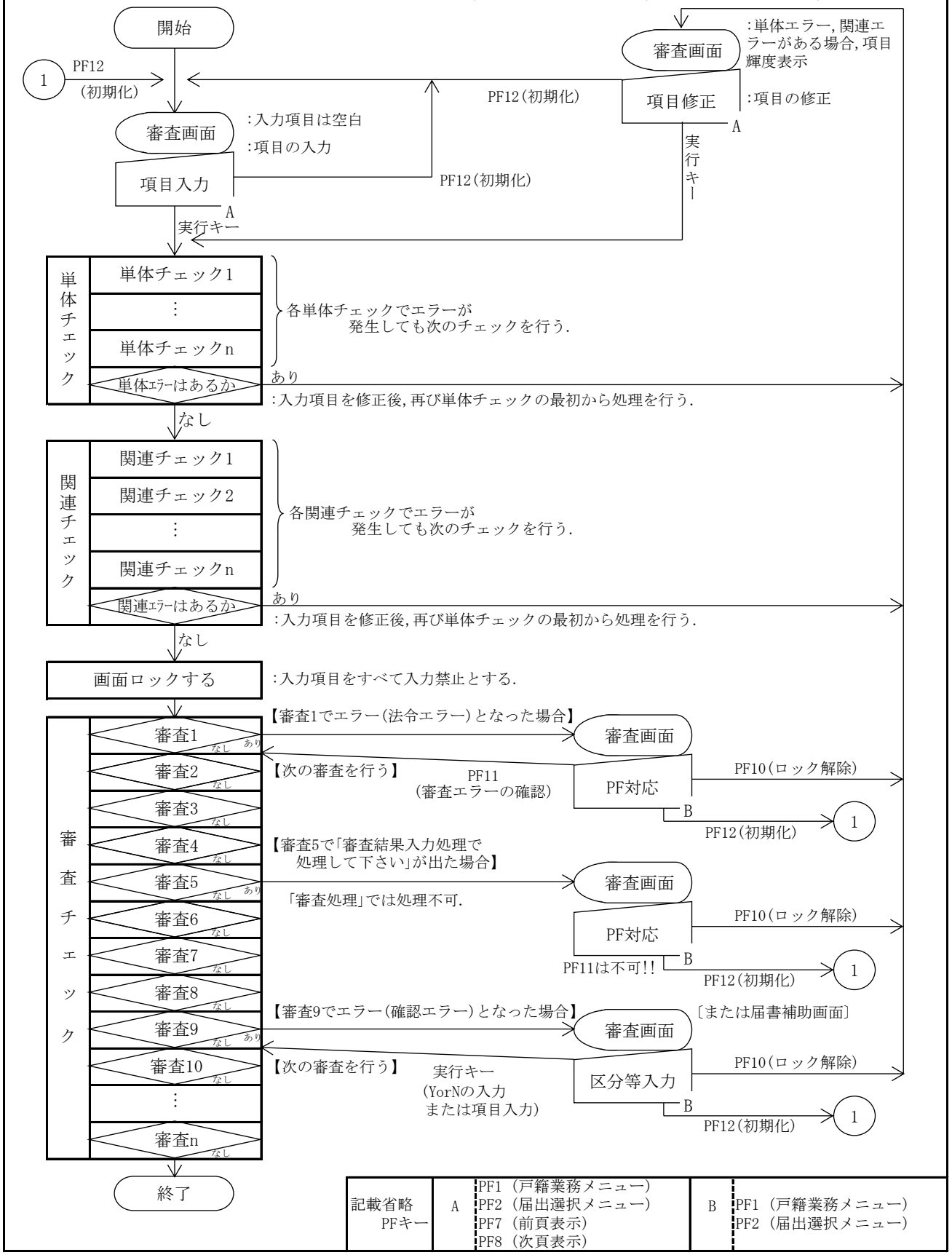
第7 1 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(ひな型)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	D.2　氏名(記録)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/氏名　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名	個人番号							
	行番号							システムで設定(RDBのみ)
	カナ氏名		中間ファイル(届書)	カナ氏名(事件本人のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名(事件本人の漢字氏名)				

※　現在の氏名に変更があった場合に,今までの氏名を旧氏名として履歴に残す。変更の要件としては下記のものがある。
- ･戸籍の異動が無い氏の変更届(73条の2,77条の2関係も含む)
- ･名の変更届
- ･氏名の訂正

第7 1 (2)	補足説明書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
審査の流れについて(エラー処理)		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



記載省略 PFキー	A	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー) PF7 (前頁表示) PF8 (次頁表示)	B	PF1 (戸籍業務メニュー) PF2 (届出選択メニュー)

第 7.2　要件定義書

（目次）

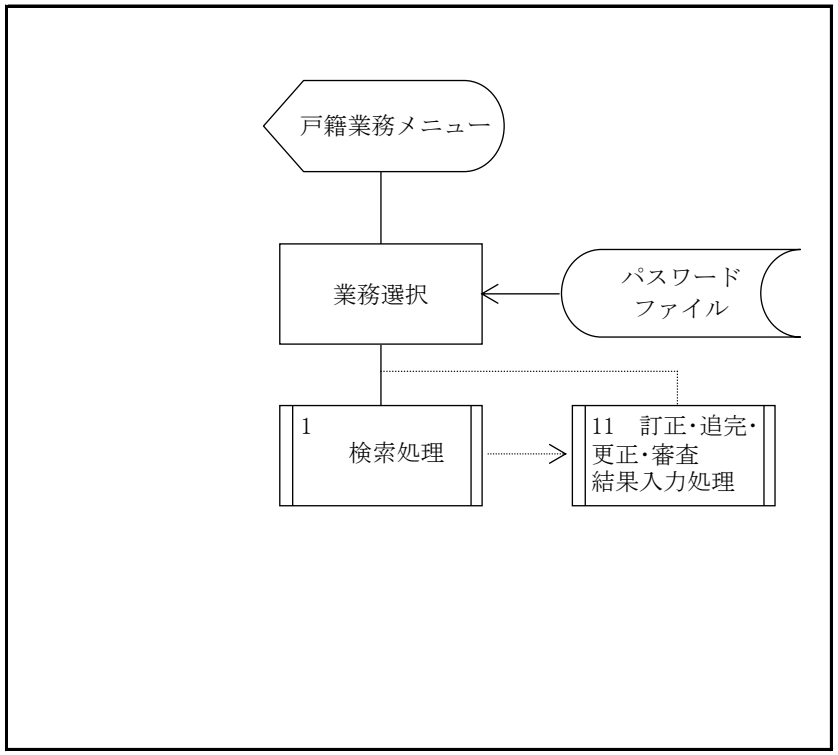
(1)「業務選択」処理
(2)「検索」処理
(3)「届出選択」処理
(4)「異動検索」処理
(5)「審査」処理
(6)「処分決定」処理
(7)「仮戸籍表示」処理
(8)「エラー履歴表示」処理
(9)「移記事項入力」処理
(10)「決裁用帳票出力」処理
(11)「決裁」処理
(12)「証明書発行」処理
(13)「各種ファイル更新」処理
(14)「受領番号確保」処理
(15)「帳票出力」処理
(16)「統計」処理
(17)「関連業務」処理
　　（帳票系,9 条 2 項通知ファイル更新）
(18)「一括」処理（高齢者消除,行政区画変更）

第7.2.(1)

「業務選択」処理

第7 2 (1)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
パスワードファイル	入力		

3.処理概要
(1)業務選択番号の入力チェック
(2)入力パスワードの入力チェック
(3)検索処理～訂正･追完･更正･審査結果入力処理作業に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙 ― 1.0 別紙1(パスワード･チェック)
　　└ 2.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)
(1)パスワードチェック　サブルーチン

第7 2 (1)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0 本紙		根拠法令(マニュアル処理)
(1)戸籍業務メニュー画面を出力する		／	
(2)キー選択(実行キー, その他)		／	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	／	
YES	(4)パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	／	
YES	(5)業務選択番号(1～11)	／	
1	(6)検索処理		(7)検索処理に制御を渡す
2	(8)異動処理		(9)異動処理に制御を渡す
3	(10)移記事項入力処理		(11)移記事項入力処理に制御を渡す
4	(12)決裁処理		(13)決裁処理に制御を渡す
5	(14)証明処理		(15)証明処理に制御を渡す
6	(16)統計処理		(17)統計処理に制御を渡す
7	(18)帳票出力処理		(19)帳票出力処理に制御を渡す
8	(20)各種ファイル更新処理		(21)各種ファイル更新処理に制御を渡す
9	(22)受領番号確保処理		(23)受領番号確保処理に制御を渡す
10	(24)関連業務処理		(25)関連業務処理に制御を渡す
11	(26)訂正･追完･更正･審査結果入力処理		(27)訂正･追完･更正･審査結果入力処理に制御を渡す
NO	(28)エラーメッセージ『パスワード･エラー』を表示する		(29)同画面を編集する

第7 2 (1)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名		0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
実行キー	NO	(30)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示		(29)同画面を編集する	
その他		(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する			

第72(1)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/5

処理名		1.0 別紙1(パスワード･チェック)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)			/		
	(2)内容をチェックする(OK:YES,NG:NO) <<自治体, メーカー独自>>		/		パスワードチェック･サブルーチン
YES	YES	(3)操作員資格区分を参照する	/		
	NO	(4)エラー	/		
NO	(5)エラー		/		

第7 2 (1)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		業務選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目チェック	業務選択メニュー		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	業務選択番号	○	数字	01～11であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	パスワード	○	数字	数字であること			

第7.2.(2)

「検索」処理

第7.2.(2)

「検索」処理

作業名

1. 検索処理
2. 検索選択
3. 該当戸籍一覧表示
4. 戸籍構成員一覧表示
5. 個人詳細表示
6. 不受理申出ファイル表示
7. 個人状態ファイル表示
8. 受付ファイル選択表示
9. 受付ファイル検索

1. 検索処理の概要

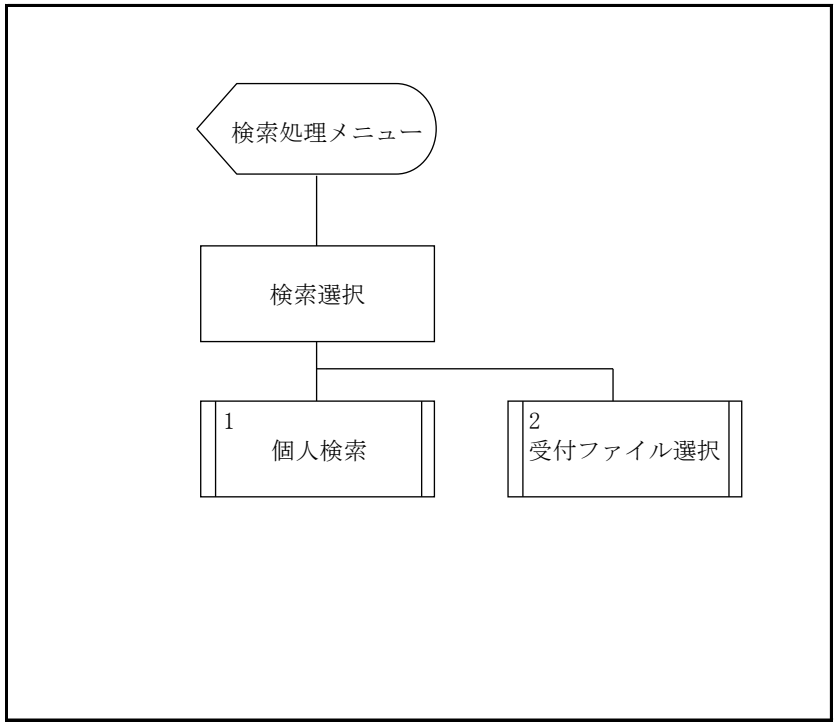
A.個人検索
・個人検索処理には,該当戸籍一覧表示,戸籍構成員一覧表示,個人詳細表示,個人状態表示,不受理申出表示がある
・該当戸籍一覧表示では,該当戸籍を表示選択し,戸籍構成員一覧表示では,該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する
個人詳細表示及び個人状態ファイル表示,不受理申出ファイル表示では,選択された個人の各ファイルを検索して表示する
・該当戸籍一覧表示での検索項目は,本籍,氏名,仮名氏名,生年月日,筆頭者の氏名,戸籍の編製日,戸籍の消除日,入籍日,除籍日及び戸籍又は除籍の別の10項目であり,当説明では,本籍,漢字氏名,カナ氏名,生年月日,筆頭者と称して5検索キーのみの説明を記す。
B. 受付検索
・受付検索には,受付ファイル選択,受付ファイル検索があり,受付ファイル選択で選択された受付ファイルの内容を受付ファイル検索で表示する
・受付ファイル選択での検索項目は,受付(受領)番号,氏名,カナ氏名,生年月日,届書等の受領年月日,届出事件の種別,渉外事件であるかどうかの別,受理か送付であるかどうかの別及び処分決定における処分の区分であり,当説明では,受領番号,漢字氏名,カナ氏名,生年月日,受領日,届出事件コード,渉外区分,受理送付区分,処分区分と称して説明を記す。

2. 各検索画面でのPFキー

画面 / PFキー	検索処理ﾒﾆｭｰ	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出表示	個人状態表示	受付ﾌｧｲﾙ選択	受付ﾌｧｲﾙ検索
PF1	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ	戸籍業務ﾒﾆｭｰ
PF2		検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ	検索処理ﾒﾆｭｰ
PF3				前頁構成員				前履歴表示
PF4				次頁構成員				次履歴表示
PF5			該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧		受付ﾌｧｲﾙ選択
PF6				前戸籍個人表示				
PF7		前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示		前頁表示	前頁表示
PF8		次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次頁表示		次頁表示	次頁表示
PF9					個人詳細表示	個人詳細表示		
PF10			戸籍項目前頁	不受理申出表示		不受理申出表示		
PF11			戸籍項目次頁	個人状態表示	個人状態表示			
PF12		入力画面初期化					入力画面初期化	
実行キー	該当戸籍一覧 受付ﾌｧｲﾙ選択	戸籍構成員一覧	個人詳細表示				受付ﾌｧｲﾙ検索	

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要
(1)検索処理選択番号の入力チェック
(2)個人検索,受付ファイル選択に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙 ―― 1.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)検索処理メニュー画面を出力する		／		
(2)キー選択(実行キー,PF1,その他)		／		
実行キー	(3)選択番号の入力チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	／		
	YES (4)選択番号(1～2)	／		
	1 (5)個人検索		(6)該当戸籍一覧表示に制御を渡す	
	2 (7)受付ファイル検索		(8)受付ファイル選択表示に制御を渡す	
	NO (9) エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(10)同画面を編集する	
PF1	⟶		(11)業務選択に制御を渡す	
その他	(12) エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(13)同画面を編集する	

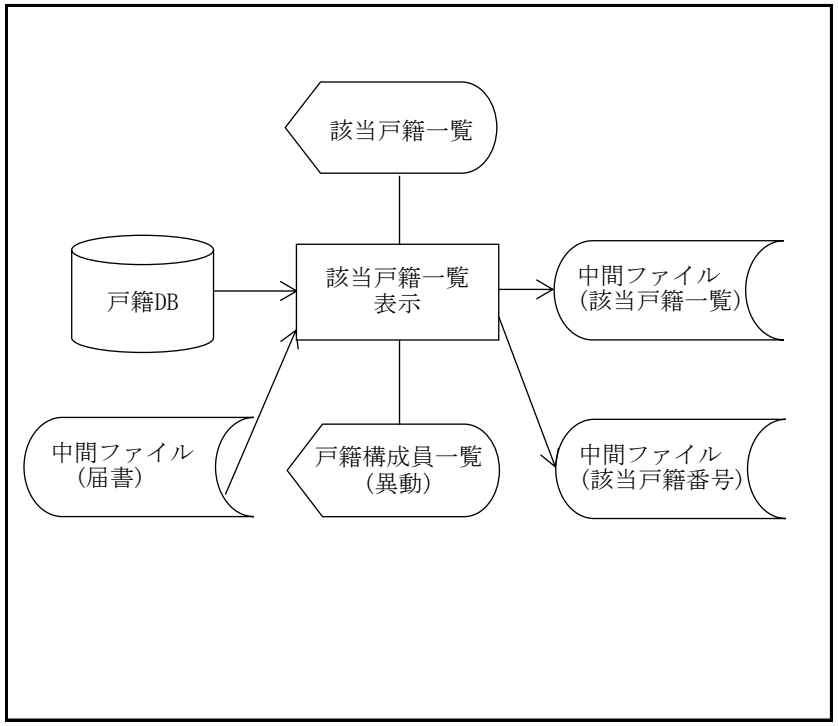
第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		検索選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	画面名	画面ID	
1.0　検索処理選択番号のチェック	検索処理メニュー		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1～2であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル (該当戸籍一覧)	入出力		
中間ファイル (該当戸籍番号)	出力		

3.処理概要

(1) 検索キーの入力及びキーによる戸籍DBの検索
- a.カナ氏名(氏,氏名) ※従前のカナ氏名含む
- b.漢字氏名(氏,氏名) ※従前の漢字氏名含む
- c.本籍地　(前方一致):各自治体の判断により異なる
- d.生年月日(前方一致)
- e.筆頭者　(氏名)

(2) 該当戸籍の表示及び該当戸籍選択

(3) 戸籍構成員一覧へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍一覧))
- 3.0 データ編集表(該当戸籍一覧画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当戸籍番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0 本紙 (1/2)	根拠法令(マニュアル処理)

(1)該当戸籍一覧画面を出力する									／		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF12,その他)									／		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO)							[5.0] [7.0]	／		
	YES	(4)カナ氏名～筆頭者で検索する						[1.0]	／		
		(5)0<検索人数<100か? (YES,NO)							／		MAX件数は任意
		YES	(6)該当戸籍一覧画面編集･出力する					[3.0]	／		
			(7)キー選択 (該当番号の入力 (実行キー),PF1,PF2,PF7,PF8,PF12,その他)						／		
			実行キー	(8)該当番号のチェック (OK:YES,NG:NO)				[6.0]	／		
				YES	(9)中間ファイル (該当戸籍番号)を編集･出力する			[4.0]		(10)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
				NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する					(12)同画面を編集する	
			PF1	⟶						(13)業務選択に制御を渡す	
			PF2	⟶						(14)検索選択に制御を渡す	
			PF7	(15)前ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)					／	(17)同画面を編集する	
				YES	(16)前ページ分の該当戸籍一覧画面編集						
				NO	(18)エラーメッセージ『先頭ページです』を表示する						
			PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)					／		
				YES	(20)次ページ分の該当戸籍一覧画面編集						
				NO	(21)エラーメッセージ『最終ページです』を表示する						
			PF12	(22)入力画面を初期化する							
			その他	(23)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する							
		NO	(24)検索人数＝0	エラーメッセージ『該当者がありません。再度、検索キーを入力して下さい。』を表示する							

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	0.0 本紙 (2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
実行キー	YES	(25)検索人数>99	エラーメッセージ『該当者が多過ぎます。再度、検索キーを入力して下さい。』を表示する	(17)同画面を編集する
	NO	(26)エラーメッセージ		
PF1	⟶			(27)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶			(28)検索選択に制御を渡す
PF12	(29)入力画面を初期化する			(30)同画面を編集する
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する			

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0　別紙1　(検索処理)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)検索キー(カナ氏名)の入力あるか	/		
YES	(2)カナ名の入力あるか	/		
YES	(3)カナ氏名を検索キーとする	/		
NO	(4)カナ氏のみを検索キーとする	/		
NO	(5)カナ氏名は検索キーとしない	/		
	(6)検索キー(漢字氏名)の入力あるか	/		
YES	(7)漢字名の入力あるか	/		
YES	(8)漢字氏名を検索キーとする	/		
NO	(9)漢字氏のみを検索キーとする	/		
NO	(10)漢字氏名は検索キーとしない	/		
	(11)検索キー(本籍地)の入力あるか	/		
YES	(12)本籍地を検索キーとする	/		
NO	(13)本籍地は検索キーとしない	/		
	(14)検索キー(生年月日)の入力あるか	/		
YES	(15)生年月日は検索キーとする	/		
NO	(16)生年月日は検索キーとしない	/		
	(17)検索キー(筆頭者)の入力あるか	/		
YES	(18)筆頭者を検索キーとする	/		
NO	(19)筆頭者は検索キーとしない	/		
	(20)上記で指定した検索キーで戸籍DBを全件読み込む (カナ氏名･漢字氏名は、旧氏名の場合もあるため、個人の氏名履歴全て対象とする)	/		
	(21)中間ファイル(該当戸籍一覧)に編集･出力する　[2.0]	/		
	(22)検索終了		(23)本紙へ	
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	2.0 中間ファイル(該当戸籍一覧)作成処理	(受取側)中間ファイル(該当戸籍一覧)	← (引渡側)戸籍DB

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号		戸籍DB戸籍特定	戸籍番号				
	本人氏名		戸籍DB氏名	漢字氏名				※　最新の戸籍DB氏名よりセット
	筆頭者		戸籍DB戸籍特定	筆頭者				
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日				
	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	除籍日		戸籍DB個人特定	除籍日				個人除区分が『2』（戸籍消除者)の場合のみall『-』(ハイフン)をセット
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	旧氏名表示		戸籍DB氏名	-				※　検索した氏名が戸籍DB氏名の最新でない場合『1』セット

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/10

処理名	3.0 該当戸籍一覧編集処理	(受取側) 該当戸籍一覧画面	←(引渡側) 中間ファイル(該当戸籍一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
該当戸籍一覧画面	現ページ,総ページ		－	－				
	カナ氏名		該当戸籍一覧画面	(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	本籍			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
(本人氏名～本籍地) 最大1画面　5人	筆頭者			(同項目)				
	本人氏名　1～5		中間ファイル (該当戸籍一覧)	本人氏名				
	旧氏名表示1～5			旧氏名表示				1の場合『旧』
	筆頭者　　1～5			筆頭者				
	生年月日　1～5			生年月日		有		
	編製日　　1～5			編製日		有		
	消除日　　1～5			消除日		有		
	除籍日　　1～5			除籍日		有		
	本籍地　　1～5			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	該当番号		－	－				

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	4.0 中間ファイル(該当戸籍番号)作成処理	(受取側)中間ファイル(該当戸籍番号)	← (引渡側) 中間ファイル(該当戸籍一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍番号)	戸籍番号		中間ファイル (該当戸籍一覧)	戸籍番号				

第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/10

処理名	画面名	画面ID	
5.0　入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	カナ氏名		カナ		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	漢字氏名		漢字				
03	本籍		漢字	『管内本籍住所変換サブルーチン』			
04	生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
05	筆頭者		漢字	氏、名共に入力があること			

第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	画面名	画面ID	
6.0　該当番号のチェック	該当戸籍一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している該当戸籍のNo(MAX05)	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

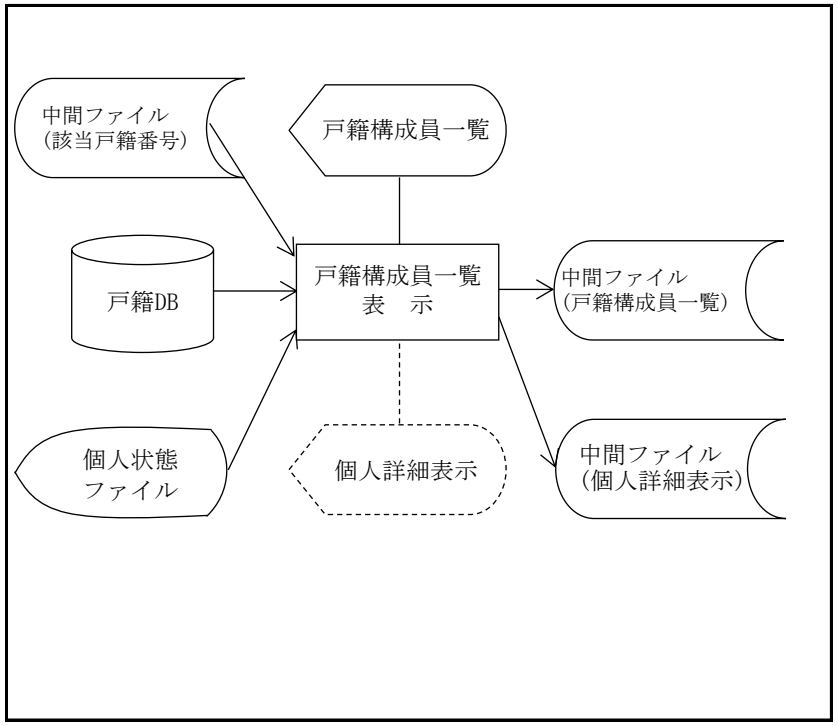
第7 2 (2)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		該当戸籍一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	画面名	画面ID	
7.0　入力検索キーのチェック	該当戸籍一覧		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1) カナ氏名,(NO.2) 漢字氏名,(NO.3) 本籍,(NO.4) 生年月日,(NO.5) 筆頭者のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力	中間ファイル (個人詳細表示)	出力
中間ファイル (該当戸籍番号)	入力		
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入出力		
個人状態ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーに戸籍DB,個人状態ファイルを検索し,戸籍事項,個人事項等を編集する

(2)戸籍構成員の個人番号をキーに個人状態ファイルを読み込み編集する

(3)戸籍構成員一覧の表示及び個人詳細番号の選択

(4)選択された中間ファイル(個人詳細表示)を編集･出力する

(5)個人詳細表示へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(戸籍構成員一覧))
- 2.0 データ編集表(戸籍構成員一覧画面作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル作成(個人詳細表示))
- 4.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0 本紙 (1/2)		根拠法令(マニュアル処理)
	(1)中間ファイル(該当戸籍番号)を読む	／	
	(2)中間ファイル(該当戸籍番号)の戸籍番号をキーとして戸籍DBをよむ	／	
	(3)戸籍DBの個人特定を全件読む	／	
	(4)戸籍DB.個人特定の個人番号をキーとして個人状態ファイルを読む	／	
	(5)中間ファイル(戸籍構成員一覧)に編集･出力する [1.0]	／	
	(6)戸籍構成員一覧画面を編集する [2.0]	／	(7)同画面を編集する
	(8)キー選択(詳細選択番号の入力(実行キー), PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF10, PF11, その他)	／	
実行キー	(9)詳細選択番号のチェックをする(OK:YES, NG:NO) [4.0]	／	
YES	(10)中間ファイル(戸籍構成員一覧)を全件読む	／	
	(11) 中間ファイル(戸籍構成員一覧)を中間ファイル(個人詳細表示)へ編集･出力する [3.0]		(12)個人詳細表示に制御を渡す
NO	(13)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(14)同画面を編集する
PF1	⟶		(15)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(16)検索選択に制御を渡す
PF5	⟶		(17)該当戸籍一覧表示に制御を渡す
PF7	(18)戸籍構成員の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	(20)同画面を編集する
YES	(19)前ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する		
NO	(21)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する		
PF8	(22)戸籍構成員の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(23)次ページ分の構成員欄の戸籍構成員一覧画面を編集する		
NO	(24)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
PF10	(25)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(26)前ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する		
NO	(27)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する		

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	0.0 本紙 (2/2)		根拠法令(マニュアル処理)
	(28)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	
PF11	YES (29)次ページ分の戸籍事項欄の戸籍構成員一覧画面を編集する		
	NO (30)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』と表示する		

(20)同画面を編集する

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	1.0　中間ファイル(構成員一覧)作成　1/2	(受取側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)	←　(引渡側)戸籍DB,個人状態

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		戸籍DB戸籍特定	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数		戸籍DB個人特定	－				個人特定の数
	在籍数			－				個人特定中,在籍者の数
	本籍･住所コード		戸籍DB戸籍特定	本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項コード		戸籍DB戸籍事項	戸籍事項コード				複数有り
	戸籍事項			戸籍事項項目				
	個人番号		戸籍DB個人特定	個人番号				
	カナ氏名		戸籍DB氏名	カナ氏名				最新のもの
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		戸籍DB個人特定	生年月日				
	除籍日			除籍日				個人除区分が『2』(戸籍消除者)の場合のみall『-』(ハイフン)をセット
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	タイトルコード		戸籍DB身分事項	タイトルコード				複数有り
	記載コード			記載コード				

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	1.0　中間ファイル(構成員一覧)作成　2/2	(受取側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)	←　(引渡側)戸籍DB,個人状態

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	身分事項		戸籍DB身分事項	身分事項				複数有り
	家裁		個人状態	裁判所通知区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				証明業務での身分証明書発行検索でのみセット
	受理伺い区分			受理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	メモ区分			メモ				メモにデータがあれば『1』セット

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	2.0　戸籍構成員一覧編集処理	(受取側)戸籍構成員一覧画面	←　(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍構成員一覧画面	現ページ,総ページ		－	－			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	戸籍事項			戸籍事項				複数有り
	氏名　1～8			漢字氏名				
	生年月日　1～8			生年月日		有		
	除籍日　1～8			除籍日		有		
	続柄　1～8			続柄		有		
	配偶　1～8			配偶者区分		有		
	家裁　1～8			家裁				1の場合『*』
	受理伺い　1～8			受理伺い区分				1の場合『*』
	保留　1～8			保留区分				1の場合『*』
	胎児　1～8			胎児認知区分				1の場合『*』
	メモ　1～8			メモ区分				1の場合『*』
	詳細選択番号		－	－				

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	3.0　中間ファイル(個人詳細)作成　1/2	(受取側)中間ファイル(個人詳細表示)	←　(引渡側) 中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	選択区分		－	－				選択されたものに『1』セット
	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	記録数			記録数				
	在籍数			在籍数				
	本籍･住所コード			本籍･住所コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	個人番号			個人番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	事件名			事件名				複数有り
	身分事項			身分事項				
	家裁			家裁				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	3.0　中間ファイル(個人詳細)作成　2/2	(受取側)中間ファイル(個人詳細表示)	←　(引渡側)　中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (個人詳細表示)	受理伺い区分		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	受理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	メモ区分			メモ区分				

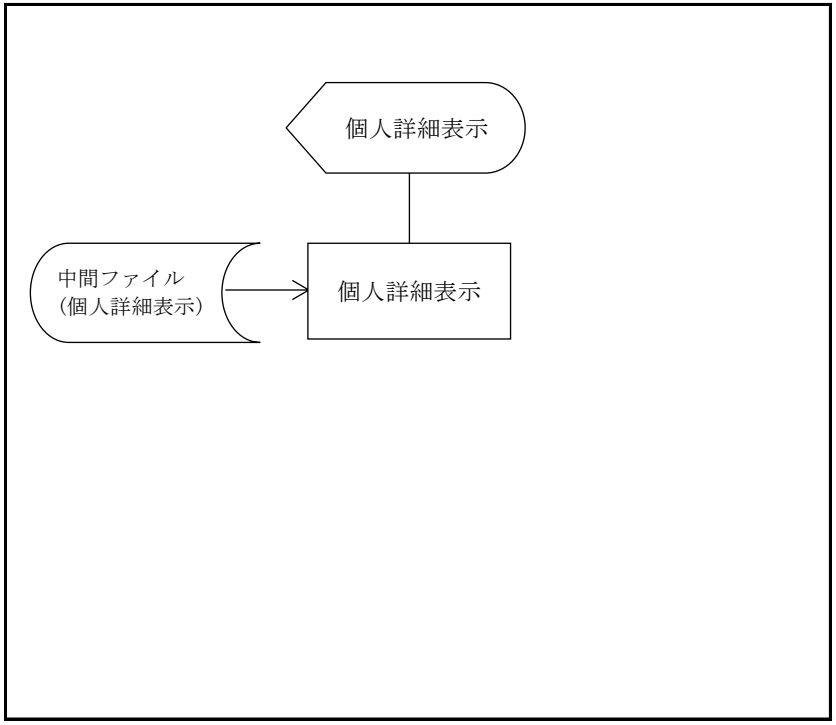
第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍構成員一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	画面名	画面ID	
4.0　詳細選択番号のチェック	戸籍構成員一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	詳細選択番号	○	数字	表示している構成員のNo(MAX08)	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を読み込み,個人事項等を編集する

(2) 個人詳細表示画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 —— 1.0 データ編集表(個人詳細表示画面作成)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙		根拠法令(マニュアル処理)
	(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし,該当データを読み込む	／	
	(2)個人詳細表示画面を編集･表示する [1.0]	／	
	(3)キー選択 (PF1,PF2,PF3,PF4,PF5,PF7,PF8,PF10,PF11,その他)	／	
PF1	⟶		(4)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(5)検索選択に制御を渡す
PF3	(6)一件前の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)	／	(9)同画面を編集する
YES	(7)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	／	
NO	(8)エラーメッセージ『この前には構成員がありません』を表示する		
PF4	(10)一件後の中間ファイル(個人詳細表示)があるか?(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(11)該当する中間ファイル(個人詳細表示)を読み(2)へ	／	
NO	(12)エラーメッセージ『この後には構成員がありません』を表示する		
PF6	(13)中間ファイル(個人詳細表示)の前個人番号にデータがあるか?(ある:YES,なし:NO)	／	前戸籍個人表示(要件定義書省略)からの戻りは,頭初の個人詳細表示へ制御を渡す
YES	(14)前個人番号により前戸籍個人を検索し編集する		
NO	(15)エラーメッセージ『該当する戸籍はありません』を表示する		
PF7	(16)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(17)前ページ分の個人詳細表示を編集する		
NO	(18)エラーメッセージ『先頭のページです』を表示する		
PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(20)次ページ分の個人詳細表示を編集する		
NO	(21)エラーメッセージ『最後のページです』を表示する		
PF10	⟶		(22)不受理申出表示に制御を渡す
PF11	⟶		(23)個人状態表示に制御を渡す
その他	(24)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(25)同画面を編集する

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　個人詳細表示編集処理　1/2	(受取側)個人詳細表示画面	←　(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人詳細表示画面	現ページ,総ページ		－	－			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (個人詳細表示)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	家裁通知			家裁				1の場合『有』
	伺い			受理伺い区分				1の場合『有』
	保留			保留区分				1の場合『有』
	胎児			胎児認知区分				1の場合『有』
	メモ			メモ区分				1の場合『有』
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				1の場合『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				1の場合『破産者』
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄		有		
	事件SEQ		－	－				

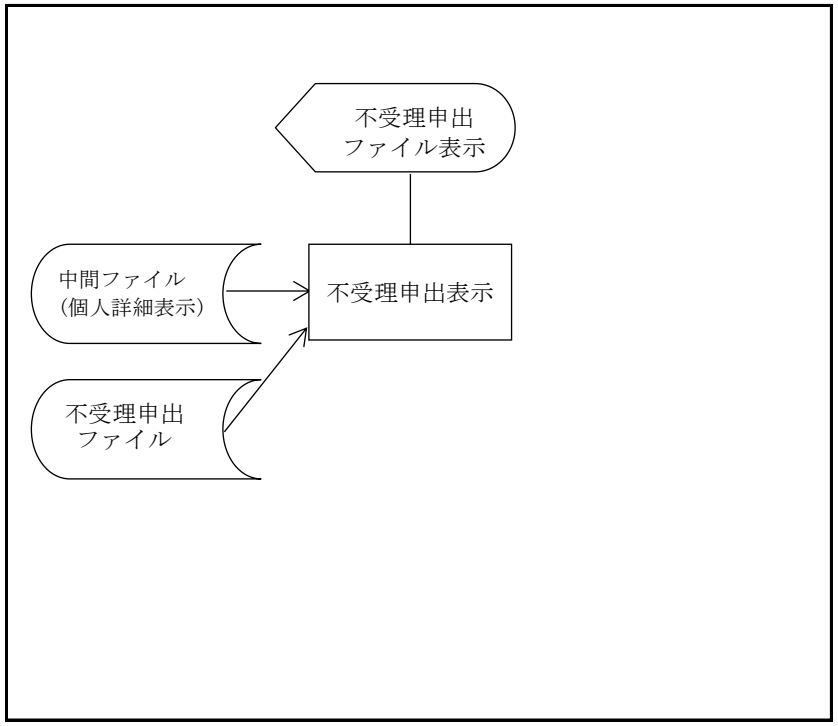
第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人詳細表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	1.0　個人詳細表示編集処理　2/2	(受取側)個人詳細表示画面	←(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人詳細表示画面	事件名称		中間ファイル (個人詳細表示)	事件名		有		複数有り 事項証明書と同形式が基本であるが画面表示する場合で1身分事項内に限り,ベタ打ちを可とする
	身分事項記録項目			身分事項				

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/3

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
不受理申出ファイル	入力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し,ファイルの内容等を編集する

(2) 不受理申出ファイル表示画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙―― 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/3

処理名	0.0 本紙　(3)不受理申出ファイル表示画面を編集･表示する		根拠法令(マニュアル処理)
	(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし,該当データを読み込む	／	
	(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する ※整理番号違いで複数件有り　(OK:YES,NG:NO)	／	
YES	(3)不受理申出ファイル表示画面を編集･表示する [1.0]	／	(5)同画面を編集する
NO	(4)エラーメッセージ『不受理申出はありません』を表示する		
	(6)キー選択(PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF9,PF11,その他)	／	
PF1	⟶		(7)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(8)検索選択に制御を渡す
PF5	⟶		(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す
PF7	(10)不受理申出の前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	(12)同画面を編集する
PF7 YES	(11)前ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		
PF7 NO	(13)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
PF8	(14)不受理申出の次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	／	
PF8 YES	(15)次ページ分の不受理申出ファイル表示画面を編集する		
PF8 NO	(16)エラーメッセージ『最終のページです』を表示する		
PF9	⟶		(17)個人詳細表示に制御を渡す
PF11	⟶		(18)個人状態表示に制御を渡す
その他	(19)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(20)同画面を編集する

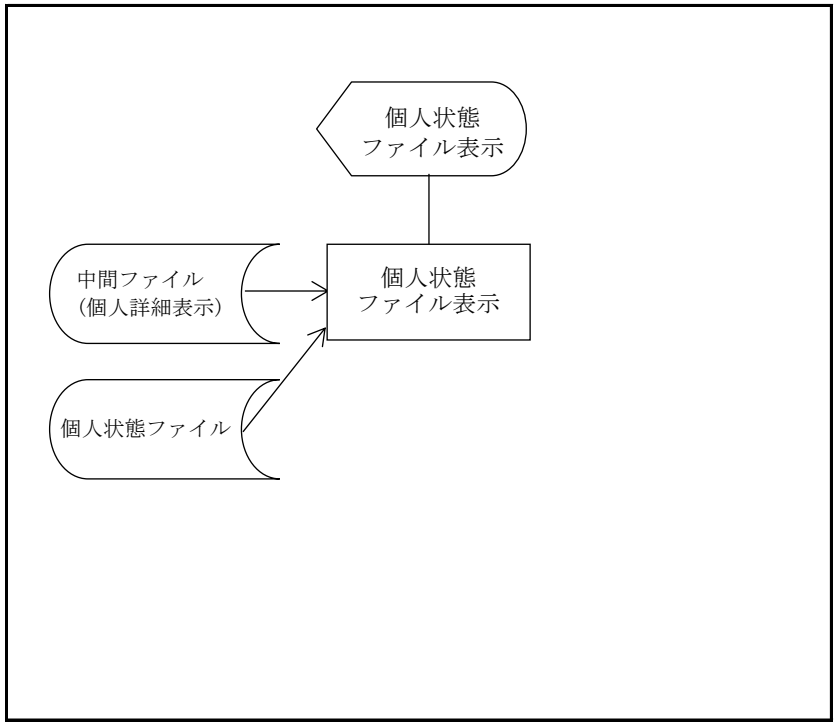
第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/3

処理名	1.0　不受理申出ファイル表示画面編集	(受取側)不受理申出ファイル表示画面	←　(引渡側)中間ファイル(個人詳細),不受理申出ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出 ファイル表示画面	現ページ,総ページ		－	－				
	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
(整理番号～ 相手氏名2) 最大1画面　2件	項番　1～2		－	－				01から件数分表示する
	出張所番号　1～2		不受理申出 ファイル	出張所番号				
	受理送付区分　1～2			受理送付区分				
	開始日　1～2			開始日		有		
	送付日　1～2			送付日		有		
	失効日　1～2			失効日		有		
	失効区分　1～2			失効区分		有		
	事件コード　1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ				
	事件名　1～2			不受理申出事件ｺｰﾄﾞ		有		
	相手氏名1　1～2			相手方氏名1				
	相手氏名2　1～2			相手方氏名2				

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/3

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
個人状態ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し,ファイルの内容等を編集する

(2)個人状態ファイル表示画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙―― 1.0 データ編集表(個人状態ファイル表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/3

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし,該当データを読み込む		／		
(2)中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する (OK:YES,NG:NO)		／		
YES	(3)個人状態ファイル表示画面を編集･表示する [1.0]	／	(5)同画面を編集する	
NO	(4)エラーメッセージ『個人状態はありません』を表示する			
(6)キー選択(PF1,PF2,PF5,PF9,PF10,その他)		／		
PF1	⟶		(7)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(8)検索選択に制御を渡す	
PF5	⟶		(9)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
PF9	⟶		(10)個人詳細表示に制御を渡す	
PF10	⟶		(11)不受理申出表示に制御を渡す	
その他	(12)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(13)同画面を編集する	

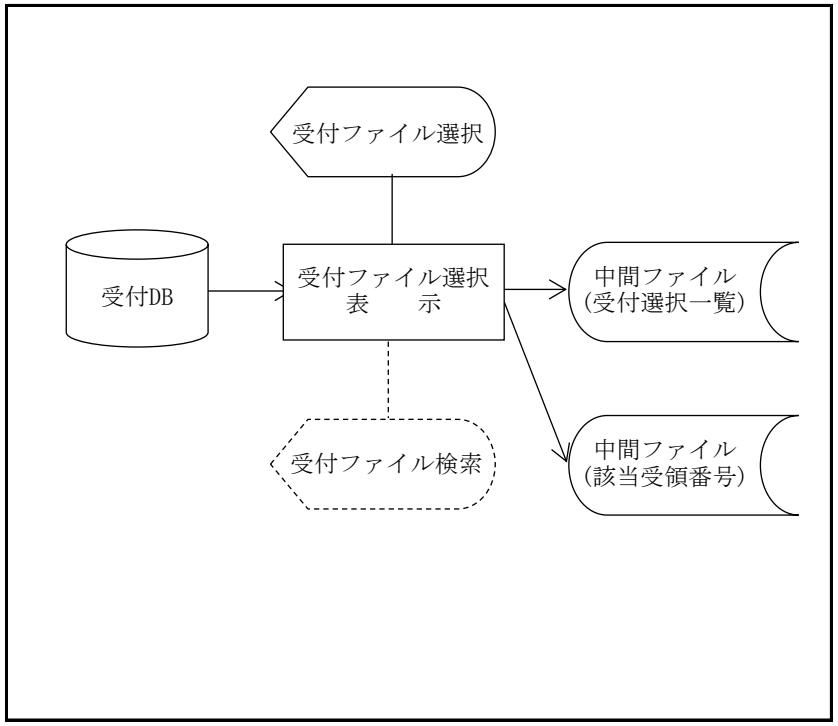
第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/3

処理名	1.0　個人状態ファイル表示画面編集	(受取側)個人状態ファイル表示画面	←　(引渡側)中間ファイル(個人詳細),個人状態ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル 表示画面	カナ氏名		中間ファイル (個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合 全ての項目へ0(ゼロ)をセット 破産宣告人区分は,証明業務での身分証明書発行検索でのみ表示 犯歴区分は,民刑担当者が操作の場合のみ表示する時,市町村の判断に委ねられる
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	(犯歴区分)			(犯歴区分)				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理･処理伺い			受理伺い区分				
	保留			保留区分				
	メモ			メモ				

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力		
中間ファイル (受付選択一覧)	入出力		
中間ファイル (該当受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる受付DBの検索

a.受領番号(7桁):受付DBの受付番号の3～9桁
b.受付日　　※範囲指定の検索も可能
c.処分区分
d.カナ氏名(氏,氏名)
e.漢字氏名(氏,氏名}
f.受付事件
g.渉外区分
h.生年月日
i.受理･送付区分

(2)受付ファイル選択の表示及び事件番号選択

(3)受付ファイル検索へ制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(検索)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル作成(受付選択一覧))
- 3.0 データ編集表(受付ファイル選択画面作成)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル作成(該当受領番号))
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データチェック(単体表)
- 7.0 データチェック(関連表)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/11

処理名	0.0 本紙 (1/2)				根拠法令(マニュアル処理)
(1)受付ファイル選択画面を出力する			／		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF12,その他)			／		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO)	[5.0] [7.0]	／		
YES	(4)受領番号～渉外区分で受付DBを検索する	[1.0]	／		
	(5)0<検索人数<100か?(YES,NO)		／		
YES	(6)受付ファイル選択面面を編集･表示する	[3.0]	／		
	(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー),PF1,PF2,PF7,PF8,PF12,その他)		／		
実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO)	[6.0]	／		
YES	(9)中間ファイル(該当受領番号)を編集･出力する	[4.0]		(10)受付ファイル検索に制御を渡す	
NO	(11)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する			(12)同画面を編集する	
PF1	⟶			(13)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶			(14)検索選択に制御を渡す	
PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		／	(17)同画面を編集する	
YES	(16)前ページ分の受付ファイル選択画面編集				
NO	(18)エラーメッセージ 『先頭ページです』を表示する				
PF8	(19)次ページがあるか? (ある:YES,なし:NO)		／		
YES	(20)次ページ分の受付ファイル選択面面編集				
NO	(21)エラーメッセージ 『最終ページです』を表示する				
PF12	(22)入力画面を初期化する				
その他	(23)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する				

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/11

処理名			0.0 本紙 (2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
	YES	NO	(24)検索人数=0	エラーメッセージ『該当者がありません。再度,検索キーを入力して下さい。』を表示する	(17)同画面を編集する	
			(25)検索人数>99	エラーメッセージ『該当者が多過ぎます。再度,検索キーを入力して下さい。』を表示する		
		NO	(26)エラーメッセージ			
PF1	⟶				(27)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶				(28)検索選択に制御を渡す	
PF12	(29)入力画面を初期化する				(30)同画面を編集する	
その他	(31)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する					

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4/11

処理名	1.0 別紙1 (検索処理) (1/2)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)検索キー(受領番号)の入力あるか	/		
YES	(2)受領番号を検索キーとする	/		
NO	(3)受領番号は検索キーとしない	/		
	(4)検索キー(受付日)の入力あるか	/		
YES	(5)受付日を検索キーとする	/		
NO	(6)受付日を検索キーとしない	/		
	(7)検索キー(処分区分)の入力あるか	/		
YES	(8)処分区分を検索キーとする	/		
NO	(9)処分区分を検索キーとしない	/		
	(10)検索キー(カナ氏名)の入力あるか	/		
YES	(11)カナ名の入力あるか	/		
YES	(12)カナ氏名を検索キーとする	/		
NO	(13)カナ氏のみを検索キーとする	/		
NO	(14)カナ氏名を検索キーとしない	/		
	(15)検索キー(漢字氏名)の入力あるか	/		
YES	(16)漢字名の入力あるか	/		
YES	(17)漢字氏名を検索キーとする	/		
NO	(18)漢字氏のみを検索キーとする	/		
NO	(19)漢字氏名を検索キーとしない	/		
	(20)検索キー(受付事件)の入力あるか	/		
YES	(21)受付事件を検索キーとする	/		
NO	(22)受付事件を検索キーとしない	/		
	(23)検索キー(渉外区分)の入力あるか	/		
YES	(24)渉外区分を検索キーとする	/		
NO	(25)渉外区分を検索キーとしない	/		
	(25-1)検索キー(生年月日)の入力あるか	/		
YES	(25-2)生年月日を検索キーとする	/		
NO	(25-3)生年月日を検索キーとしない	/		

第72(2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	5/11

処理名	1.0 別紙1 (検索処理) (2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
	(25-4)検索キー(受理･送付区分)の入力あるか		/	
YES	(25-5)受理･送付区分を検索キーとする		/	
NO	(25-6)受理･送付区分を検索キーとしない		/	
	(26)上記で指定した検索キーで受付DBを全件読み込む 但し,検索キー(受領番号)以外では,決裁区分:欠番は対象外とする		/	
	(27)中間ファイル(受付選択一覧)に編集･出力する	[2.0]	/	
	(28)検索終了			(29)本紙へ

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/11

処理名	2.0 中間ファイル(受付選択一覧)作成	(受取側)中間ファイル(受付選択一覧)	← (引渡側)受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号		受付DB	受領番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	処分区分			処分区分				「受理」の時はブランク
	決裁区分			決裁区分				「決裁」の時はブランク
	受付日			受付日				
	事件コード			受付事件コード				
	涉外区分			涉外区分				
	事件本人漢字氏名		受付DB事件本人	事件本人漢字氏名				
	注)受付DBの受領番号は枝番で履歴管理しているため,最新のデータを対象とし,該当するデータを移す。 但し,処分区分『誤処理』での検索の場合のみ,すべてのデータを対象とし,該当するデータをそのまま移す。						

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	7/11

処理名	3.0　受付ファイル選択画面表示	(受取側)受付ファイル選択画面	←　(引渡側)中間ファイル(受付選択一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付ファイル 選択画面	現ページ,総ページ		－	－				
	検索･受領番号		受付ファイル 選択画面	(同項目)				
	受付日1			(同項目)				
	受付日2			(同項目)				
	処分区分			(同項目)				
	処分名			処分区分		有		
	カナ氏名			(同項目)				
	漢字氏名			(同項目)				
	受付事件			(同項目)				
	生年月日			(同項目)				
	受理･送付区分			(同項目)				
	涉外区分			(同項目)				
	涉外区分名			－				涉外区分より変換 1:ブランク,2:涉外,3:外国人
(処分　～ 事件本人) 最大1画面　6人	処分　1～6		中間ファイル (受付選択一覧)	処分区分		有		
	事件名　1～6			事件コード		有		
	受理送付　1～6			受理送付区分		有		
	本非　1～6			本非区分		有		
	涉外　1～6			涉外区分		有		
	受付日　1～6			受付日		有		
	決裁　1～6			決裁区分		有		
	受領番号　1～6			受領番号				3桁目以降を表示する
	事件本人　1～6			事件本人漢字氏名				
	選択番号		－	－				

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/11

処理名	4.0　中間ファイル(該当受領番号)作成	(受取側)中間ファイル(該当受領番号)　←　(引渡側)中間ファイル(受付選択一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当受領番号)	受領番号		中間ファイル (受付選択一覧)	受領番号				

第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	9/11

処理名	画面名	画面ID	
5.0　入力検索キーのチェック	受付ファイル選択画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	受領番号		数字		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	受付日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
03	処分区分		数字	1(受理)～ 9(誤処理)であること			
04	カナ氏名		カナ				
05	漢字氏名		漢字				
06	受付事件		数字	受付事件コードの頭2桁であること			
06-1	生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
06-2	受理･送付区分		数字	ブランク,1(受理),2(送付)であると			
07	渉外区分		数字	0(日本人のみ)～ 2(外国人のみ)であること			

第7 2 (2)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/11

処理名	画面名	画面ID	
6.0　該当番号のチェック	受付ファイル選択画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当番号	○	数字	表示している事件のNo(MAX06)	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第72(2)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		受付ファイル選択表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	11/11

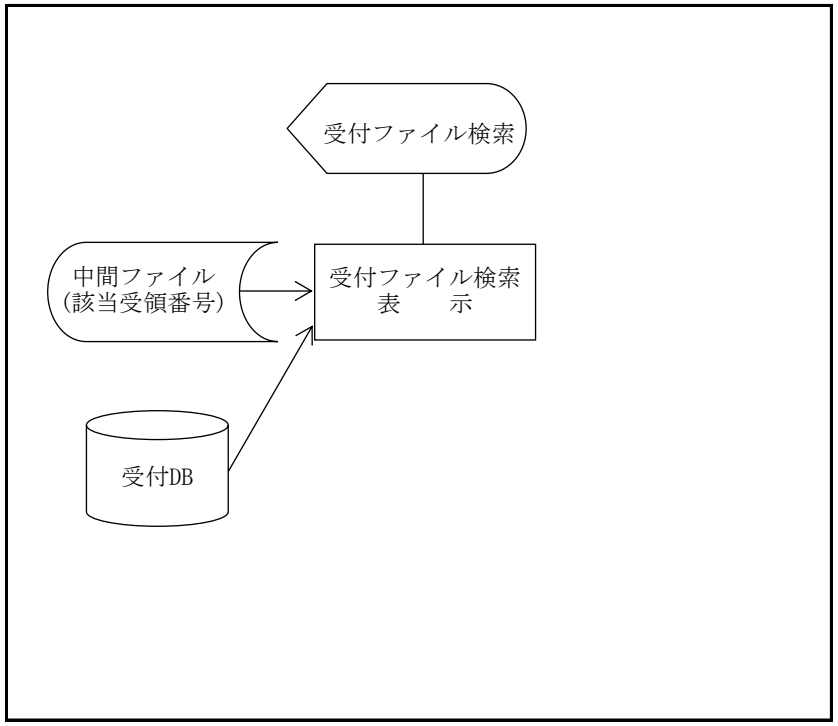
処理名	画面名	画面ID	
7.0 入力検索キーのチェック	受付ファイル選択画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(No.1)受領番号,(No.2)受付日,(No.3)処分区分,(No.4)カナ氏名,(No.5)漢字氏名,(No.6-1)生年月日のいずれかに必ず入力があること(複数入力可能)	『関連エラーがあります。正しく入力してください。』		

欠　　番

第7 2 (2)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (該当受領番号)	入力		
受付DB	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーに受付DBを検索し,DBの内容等を編集する

(2)受付ファイル検索画面の表示

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙 ── 1.0 データ編集表(受付ファイル検索画面の編集)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (2)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙		根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(該当受領番号)を読む		／	
(2)中間ファイル(該当受領番号)の受領番号をキーとして受付ファイルを検索する		／	
(3)受付ファイル検索画面を編集･表示する	[1.0]	／	
(4)キー選択(PF1,PF2,PF3,PF4,PF5,PF7,PF8,その他)		／	
PF1	⟶		(5)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(6)検索選択に制御を渡す
PF3	(7)前履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)	／	(9)同画面を編集する
YES	(8)該当する受付ファイルを検索し,(3)へ		
NO	(10)エラーメッセージ『この前の履歴はありません。』を表示する。		
PF4	(11)次履歴分の受付ファイルはあるか?(ある:YES,なし:NO)	／	
YES	(12)該当する受付ファイルを検索し,(3)へ		
NO	(13)エラーメッセージ『この後の履歴はありません。』を表示する。		
PF5	⟶		(14)受付ファイル選択表示に制御を渡す
PF7	(15)前ページがあるか?(YES,NO)	／	(17)同画面を編集する
YES	(16)前ページ分の受付ファイル検索画面編集		
NO	(18)エラーメッセージ『先頭ページです。』を表示する		
PF8	(19)次ページがあるか?(YES,NO)	／	
YES	(20)次ページ分の受付ファイル検索画面編集		
NO	(21)エラーメッセージ『最終ページです。』を表示する		
その他	(22)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する		

第7 2 (2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　受付ファイル検索画面編集(1/2)	(受取側)受付ファイル検索画面　←　(引渡側)受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付ファイル 検索画面	現ページ,総ページ		－	－				
	受領番号		受付DB	受領番号				3～9桁目を表示
	受理送付			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分区分			処分区分		有		
	事件名			事件コード		有		
	事件日			事件発生日		有		
	時分			事件発生時分				
	決裁区分			決裁区分		有		
	出張所			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本非区分			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外区分			渉外区分		有		但し,1:日本人のときブランク
	指示日			指示日		有		
(事件本人区分 ～　本籍) 最大1画面　2人	関連受領番号　1～5			関連受領番号　1～5				
	事件本人区分　1～2		受付DB事件本人	事件本人区分		有		
	届出人区分　1～2			－				事件本人=届出人の場合 『届出人』を表示
	カナ氏名　1～2			事件本人カナ氏名				
	漢字氏名　1～2			事件本人漢字氏名				
	生年月日　1～2			生年月日		有		
	送達1　1		受付DB	送達確認1				最初の事件本人に移送する

第72(2)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4/4

処理名	1.0　受付ファイル検索画面編集(2/2)	(受取側)受付ファイル検索画面 ← (引渡側)受付DB

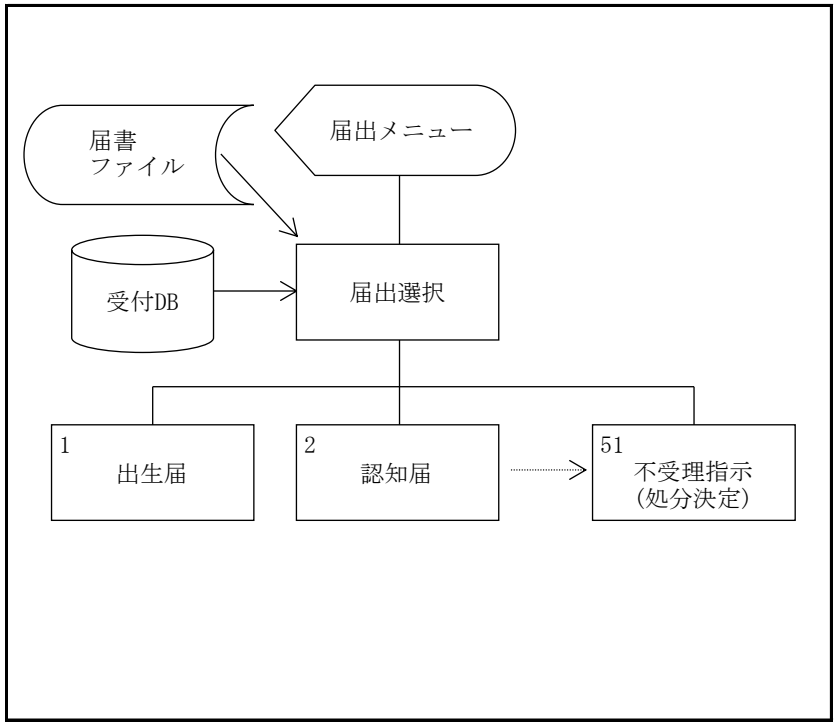
受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付ファイル検索画面	送達2　1～2		受付DB事件本人	送達確認2				
	本籍　1～2		受付DB	事件本人本籍地				'本籍地△筆頭者'で編集
				事件本人筆頭者				
	届出人1資格			届出人資格区分1		有		
	届出人1氏名			届出人氏名1				
	届出人2資格			届出人資格区分2		有		
	届出人2氏名			届出人氏名2				
	届後本籍			届後本籍地(死亡の場合,内容は'死亡日時')				(*1)死亡の場合,受付DBの届後本籍地に'死亡日時'がセットされている為,画面タイトルを『死亡日時』とする。
	筆頭者 (*1)			届後戸籍の筆頭者				

第7.2.(3)

「届出選択」処理

第7 2 (3)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/12

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入		
届書ファイル	入		

3.処理概要

(1)届出選択(事件コード)の入力チェック
(2)受領番号入力時の届書F項目及び受付DB項目とのチェック
(3)出生届～不受理指示に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.0 届書ファイル及び受付DBとのチェック
- 4.0 仮受付ファイル(データ)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/12

処理名	0.0 本紙 (1/4)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)届出メニュー画面を出力する		／		
(2)キー選択(実行キー,PF1,その他)		／		
実行キー	(3)該当事件コード,受領番号の入力チェック(OK:YE,NG:NO) [1.0]	／		
YES	(4)該当事件コード,受領番号の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	／		
YES	(5)届書F及び受付DBとのチェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]	／		
YES	(6)　→　(10)	／		
NO	(7)　→		(8)同画面を編集する	
NO	(9)　→			
	(10)該当事件コード(1～40,50,51)	／		再入力時点で届書ファイルの排他区分を設定する
1	(11)出生届		(12)出生届に制御を渡す	
2	(13)認知届		(14)認知届に制御を渡す	
3	(15)養子縁組届		(16)養子縁組届に制卸を渡す	
4	(17)養子離縁届		(18)養子離縁届に制御を渡す	
5	(19)特別養子縁組届		(20)特別養子縁組届に制御を渡す	
6	(21)特別養子離縁届		(22)特別養子離縁届に制御を渡す	審査結果入力
7	(23)73条の2届		(24)73条の2届に制御を渡す	
8	(25)養子離縁届同時73条の2届		(26)養子離縁届同時73条の2届に制御を渡す	
9	(27)婚姻届		(28)婚姻届に制御を渡す	
10	(29)離婚届		(30)離婚届に制御を渡す	

第72(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	3/12

処理名			0.0 本紙 (2/4)		根拠法令(マニュアル処理)
実行キー	YES	11	(31)77条の2届	(32)77条の2届に制御を渡す	
		12	(33)離婚届同時77条の2届	(34)離婚届同時77条の2届に制御を渡す	
		13	(35)親権(管理権)届	(36)親権(管理権)届に制御を渡す	
		14	(37)~~後見届~~	(38)~~後見届に制御を渡す~~	(37)～(38)第22版で削除
		15	(39)保佐届	(40)保佐届に制御を渡す	
		16	(41)死亡届	(42)死亡届に制御を渡す	
		17	(43)失踪届	(44)失踪届に制御を渡す	
		18	(45)復氏届	(46)復氏届に制御を渡す	
		19	(47)姻族関係終了届	(48)姻族関係終了届に制御を渡す	
		20	(49)推定相続人廃除届	(50)推定相続人廃除届に制御を渡す	
		21	(51)入籍届	(52)入籍届に制御を渡す	
		22	(53)分籍届	(54)分籍届に制御を渡す	
		23	(55)国籍取得届	(56)国籍取得届に制御を渡す	
		24	(57)帰化届	(58)帰化届に制御を渡す	

第72(3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/12

処理名			0.0 本紙 (3/4)		根拠法令(マニュアル処理)
実行キー	YES	25	(59)国籍喪失届	(60)国籍喪失届に制御を渡す	
		26	(61)国籍選択届	(62)国籍選択届に制御を渡す	
		27	(63)外国国籍喪失届	(64)外国国籍喪失届に制御を渡す	
		28	(65)氏の変更届	(66)氏の変更届に制御を渡す	
		29	(67)107条の2届	(68)107条の2届に制御を渡す	
		30	(69)107条の3届	(70)107条の3届に制御を渡す	
		31	(71)107条の4届	(72)107条の4届に制御を渡す	
		32	(73)名の変更届	(74)名の変更届に制御を渡す	
		33	(75)転籍届	(76)転籍届に制御を渡す	
		34	(77)就籍届	(78)就籍届に制御を渡す	
		35	(79)縁組取消届	(80)縁組取消届に制御を渡す	審査結果入力
		36	(81)離縁取消届	(82)離縁取消届に制御を渡す	審査結果入力
		37	(83)婚姻取消届	(84)婚姻取消届に制御を渡す	審査結果入力
		38	(85)離婚取消届	(86)離婚取消届に制御を渡す	審査結果入力

第7 2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	5/12

処理名			0.0 本紙 (4/4)		根拠法令(マニュアル処理)
実行キー	YES	39	(87)失踪宣告取消届	(88)失踪宣告取消届に制御を渡す	審査結果入力
		40	(89)推定相続人廃除取消届	(90)推定相続人廃除取消届に制御を渡す	審査結果入力
		41	(90-1)未成年者の後見届	(90-2)未成年者の後見届に制御を渡す	
		50	(91)受理指示 受理指示事件コードにより届出事件を判別する	(92)各処理に制御を渡す	
		51	(93)不受理指示	(94)処分決定処理に制御を渡す	
	NO		(95)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する	(96)同画面を編集する	
PF1			⟶	(97)業務選択に制御を渡す	
その他			(98)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示する	(99)同画面を編集する	

第7 2 (3)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年3月31日	22	6/12

処理名	画面名	画面ID	
1.0　該当事件コードのチェック	届出メニュー		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	該当事件コード	○	数字	1～41、50～51であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	受領番号		数字				

第7 2 (3)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/12

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック	届出メニュー		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)該当事件コードが50～51の場合,(NO.2)受領番号に入力があること	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第7 2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年3月31日	21	8/12

処理名	3.0 別紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)入力された受領番号をキーに届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)		／		
YES (2)届書排他区分=1:『排他』である(YES,NO)		／		
YES (3)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は現在処理中です。移動処理は行えません。」を表示			(4)本紙へ	
NO (5)→(6)へ		／		
NO		／		
(6)入力された受領番号をキーに受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)		／		
YES (7)決裁区分は1:『決裁』又は4:『欠番』である(YES,NO)		／		
YES (8)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は,再処理は行えません。」を表示			(9)本紙へ	
NO (10)→(13)へ		／		
NO (11)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届はありません。」を表示			(12)本紙へ	
(13)画面入力された該当事件コードは50:『受理指示』又は51:『不受理指示』である(YES,NO)		／		
YES (14)処分区分は3:『受理照会』又は4:『処理照会』である(YES,NO)				
YES (15)→(19)へ				
NO (16)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届は,照会ではありません。」を表示			(17)本紙へ	
NO (18)→(19)へ		／		
(19)受付DB.関連受領番号1～5まで繰り返す		／		
(20)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／		
YES (21)入力された受領番号<受付DB.関連受領番号である(YES,NO)		／		
YES (22)→		／		
NO (23)エラーメッセージ 「関連する届があります。基本となる届の受領番号を入力してください。」を表示			(24)本紙へ	
NO (25)→		／		
(26)受理指示事件コードを初期化する				
(27)該当事件コード(4,8,10,12,50,51,その他)				

第7 2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/12

処理名	3.0　別紙			根拠法令(マニュアル処理)
4 (離縁)	(28)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／	
	YES	(29)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		(30)本紙へ
	NO	(31)受付事件コード=『離縁』である(YES,NO)	／	
		YES (32)→		(33)本紙へ
		NO (34)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示		
8 (離縁同時 73条の2)	(35)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／	
	YES	(36)受付事件コード=『離縁』である(YES,NO)	／	
		YES (37)→		(38)本紙へ
		NO (39)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示		
	NO	(40)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		
10 (離婚)	(41)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／	
	YES	(42)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		(43)本紙へ
	NO	(44)受付事件コード=『離婚』である(YES,NO)	／	
		YES (45)→		(46)本紙へ
		NO (47)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示		
12 (離婚同時 77条の2)	(48)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)		／	
	YES	(49)受付事件コード=『離婚』である(YES,NO)	／	
		YES (50)→		(51)本紙へ
		NO (52)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示		
	NO	(53)エラーメッセージ 「関連する届があります。正しい該当事件コードを入力して下さい。」を表示		
51	(54)受理指示事件コードに,選択事件コードを,受付事件コードで判別してセットする		／	

第7 2 (3)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/12

処理名	3.0　別紙		根拠法令(マニュアル処理)
(受理指示)	(55)受付DB.関連受領番号に入力がある(YES,NO)	/	
	YES (56)受付事件コード=『離縁』である(YES,NO)	/	
	YES (57)受付指示事件コードに選択事件コード:離縁同時73条の2をセットする	/	
	NO (58)　→　(59)へ	/	
	(59)受付事件コード=『離婚』である(YES,NO)	/	
	YES (60)受付指示事件コードに選択事件コード:離婚同時77条の2をセットする		(61)本紙へ
	NO (62)　→		
	NO		
52	(63)　→		(64)本紙へ
その他	(65)選択事件コードと受付事件コードのチェックをする(OK:YES,NG:NO)	/	
	YES (66)　→		(67)本紙へ
	NO (68)エラーメッセージ 「該当の受領番号の届と選択された事件が異なっています。」を表示		

第7 2 (3)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/12

処理名	4.0　仮受付ファイル作成	(受取側)仮受付ファイル	←　(引渡側)受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮受付ファイル	受領番号		受付DB	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				

第7 2 (3)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		届出選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/12

処理名	4.0　仮受付ファイル作成	(受取側)仮受付ファイル	←　(引渡側)受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮受付ファイル	届後戸籍の筆頭者		受付DB	届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7.2.(4)

「異動検索」処理

★前提★

ここに記述するものは,基本的な例であり,処理機能・画面等は,各自治体・メーカー一任とする。

但し,次に掲げる事項は,必須とする。

1).該当者選択時における審査不可区分のチェック

区分	新メッセージ内容
1	審査不可区分が設定されています。(渉外婚姻)
2	審査不可区分が設定されています。(婿養子縁組婚姻,入夫婚姻)

2).不受理申出がある場合の,不受理申出画面の強制表示

3).出生子の名に使える文字のチェック

4).本籍,住所等選択入力の場合のコードの設定

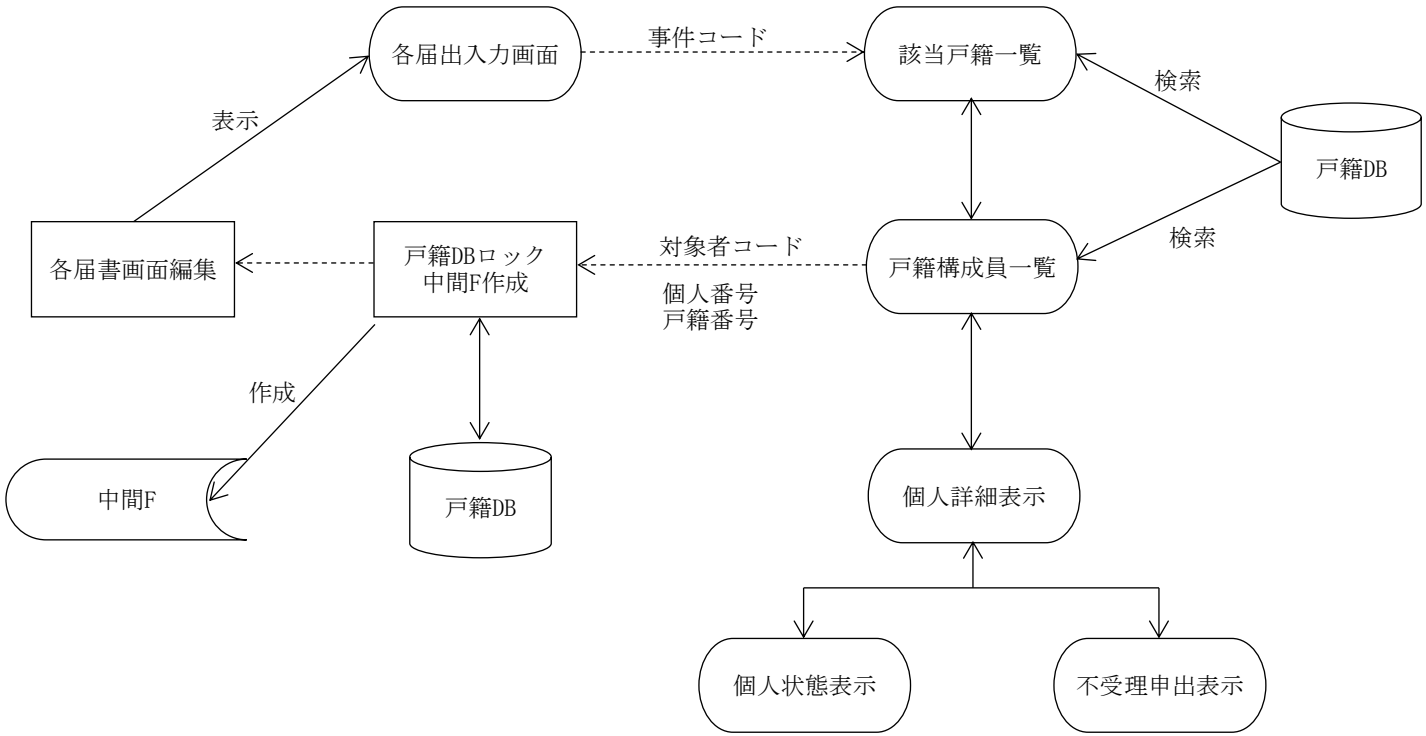
5).戸籍DBの排他制御(ロック)処理(エラーメッセージ表示含む)

6).その他,処理に必要なコード等の設定

7).除籍者が選択された場合は,注意喚起のメッセージ等を表示

第7 2 (4)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		異動検索	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

1. 異動検索処理業務の概要図



1.異動検索処理業務の概要

A.各届書入力画面からの制御

・各届書入力画面から,事件コードを受け取る。

B.該当戸籍一覧～個人詳細表示

・該当戸籍選択:検索処理と同様

・戸籍構成員一覧:与えられた事件コードに対する該当者及び該当戸籍を選択する。【次頁参照】 } 該当者/該当戸籍分繰り返す

・個人詳細表示:検索処理と同様

・個人状態表示:検索処理と同様

・不受理申出表示:検索処理と同様

C.該当者選択終了後

・該当者に不受理申出Fが存在すれば,不受理申出に該当するかどうかの判断入力ができる不受理申出の画面を強制的に出力させる。
判断結果は,異動入力へと引き継ぐ。

・該当する戸籍に対して,ロックをかける

・届書画面に対応する中間Fを作成する。

D.届書画面編集

・作成した中間Fより画面へ編集する。

処理名　1.0 異動検索の届書別該当者一覧

届書名	該当者	該当戸籍	備考
出生届	父 母 届出人	入るべき戸籍	新本籍の入力
認知届	被認知者(子) 認知者(父) 被認知者の母 (子の母)		
養子縁組届	養子･養女 養父 養母		新本籍の入力
養子離縁届	養子･養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
特別養子縁組届	養子･養女 養父 養母		
特別養子離縁届	養子･養女 養父 養母	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
法73条の2届(法69条の2届)	縁氏続称者		新本籍の入力
養子離縁届同時73条の2届	養子･養女 養父 養母		新本籍の入力
婚姻届	夫 妻		新本籍の入力
離婚届	夫 妻	戻る戸籍	新本籍の入力
77条の2届	婚氏続称者		新本籍の入力
離婚届同時77条の2届	夫 妻		新本籍の入力
親権(管理権)届	未成年者 親権者(管理権者)		
未成年後見届	未成年被後見人 未成年後見人		
保佐届	被保佐人 保佐人		

届書名	該当者	該当戸籍	備考
死亡届	死亡者 死亡者の生存配偶者		
失踪宣告届	失踪者 失踪者の生存配偶者		
復氏届	復氏届	戻る戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
姻族関係終了届	姻族関係終了者		
推定相続人廃除届	被廃除者 廃除者		
入籍届	入籍者 入籍者の配偶者	入籍戸籍	
分籍届	分籍者		
国籍取得届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
帰化届		入籍戸籍(の筆頭者)	新本籍の入力
国籍喪失届	国籍喪失者 国籍喪失者の配偶者		
国籍選択届	国籍選択者		
外国国籍喪失届	外国国籍選択者		
107条1項届	氏変更者 氏変更の筆頭者		
107条2項届	氏変更者		新本籍の入力
107条3項届	氏変更者		新本籍の入力
107条4項届	氏変更者		新本籍の入力
名の変更届	名変更者		
転籍届	転籍者 転籍の筆頭者		新本籍の入力
就籍届		入籍戸籍	新本籍の入力

第7.2.(5)

「審査」処理

第7.2.(5)「異動」処理

1.出生届

1.出生業務範囲外の処理

(1).国外の出生地主義,条件付出生地主義,血統主義に関する審査
(2).裁判以外の嫡出の推定を排除する例外事由の内容についての審査
(3).新国籍法施行前(昭和25年6月30日以前)の出生届(審査結果業務)
(4).改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に外国人と婚姻し,現在も(養)父母の戸籍にいる者の出生届(審査結果業務)
(5).入るべき戸籍の父母双方が除籍である場合(審査結果業務)
(6).母重婚中に出生した出生届(審査結果業務)
(7).親子関係存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(8).父母又は母の親子関係不存在確認の裁判によるもの(審査結果業務)
(9).国籍留保届出人が法定代理人である場合の出生届(審査結果業務)
(10).非嫡出子を出生した母(構成員,配偶者区分 ＝ 未)が,出生当時の戸籍より除籍となっている場合の出生届(審査結果業務)
(11).父母婚姻前出生,又は婚姻後200日以内出生の時,胎児認知があり,胎児認知者が母の夫以外である場合の出生届(審査結果業務)
(12).嫡出子出生届により,既に入籍している子の弟妹につき父母との続柄を訂正する場合の訂正処理(訂正業務)
(13).出生子の名のみの届出の場合(審査結果業務)
(14).胎児認知がある場合,胎児認知を届け出た市区町村以外への出生の届出(審査結果業務)
　　及び,送付分による父のみの胎児認知の記録の出生届
(15).同一人との再婚後に出生した場合の出生届(審査結果業務)
(16).入るべき戸籍の本籍が管外であり,入籍事件日への入力がない場合は,入るべき戸籍,出生区分等の審査(審査3.5～3.12)については審査しない。
　　但し,入籍事件日への入力がある場合は,通常の審査を行う。
(17).改正国籍法施行前(昭和59年12月31日以前)に国外で出生した場合の出生届(審査結果業務)
(18).父又母が性同一性障害者で,性同一性障害による性別変更以前に出生した出生届(審査結果業務)
(19).日本人男と外国人母が婚姻し、離婚後300日以内に出生、別の日本人男が胎児認知届を行い、前夫との嫡出否認の裁判の出生届
(20).国籍喪失者(筆頭者)とその配偶者の嫡出子出生届(外国人と日本人の嫡出子出生届)(審査結果入力)
　　→戸籍編製マトリックスで判断項目が不足しているため、審査結果入力対象とする。
(21).胎児認知届が証書提出の場合→出生届に証書関連の入力項目が存在しないため、審査結果入力対象とする。
(22).入るべき戸籍の母が除籍者の場合は、審査結果入力対象とする。

2.出生届出入力画面の意義

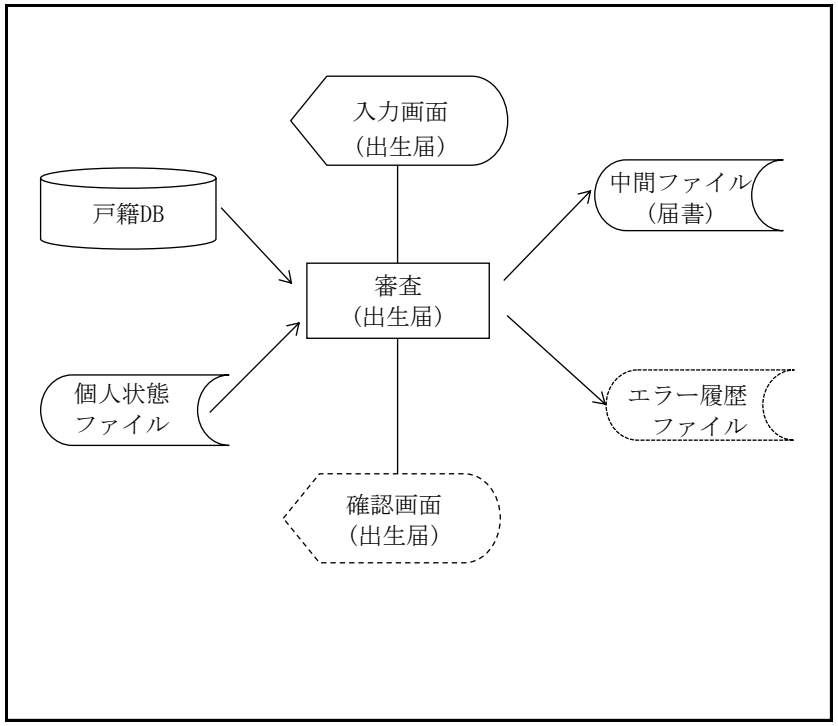
(1).その1画面:出生子･届出人の各項目を入力する。
(2).その2画面:入るべき戸籍･父母の各項目を入力する。
(3).その3画面:上記入力以外の身分事項記載用データを入力する。

3.その他

(1).対象父(現夫,前後夫,届書の父)について
　･審査で使用している対象父の考えは,画面上に入力された父を現夫として取り扱っている。
　　従って,審査のパターンによっては,母の実際の夫が後夫として取り扱われる場合もある。
(2).離婚後300日以内の出生子への「親権」事項の記載について
　･昭和36年12月5日民事甲第3061号において、記載不要との先例があるが、コンピュータ化後の記載としては省略せずに記載するものとする。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/95

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入		
個人状態ファイル	入		
中間ファイル(届書)	出		
エラー履歴ファイル	出		

3.処理概要

(1)出生届の内容を画面入力する
(2)出生届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)出生届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)出生届から中間ファイル(届書)を編集･出力する
(6)確認画面(出生届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査(レアケース,不受理,以降の処理制御)
    - 3.1 審査(嫡出否認の裁判)
    - 3.2 審査(親子関係不存在確認の裁判)
    - 3.3 審査(父を定める訴の裁判)
    - 3.4 審査(強制認知の裁判)
    - 3.5 審査(父母日本人婚姻後201日以降出生)
    - 3.6 審査(父母日本人婚姻後200日以内出生)
    - 3.7 審査(父母日本人婚姻前出生)
    - 3.8 審査(父母日本人,母未婚･婚姻解消後出生)
    - 3.9 審査(父日本人,母外国人婚姻後201日以降出生)
    - 3.10 審査(父日本人,母外国人婚姻後200日以内出生)
    - 3.11 審査(父日本人,母外国人婚姻前出生)
    - 3.12 審査(父日本人,母外国人,母未婚･婚姻解消後出生)
    - 3.13 審査(父母外国人･無国籍人出生)
    - 3.14 審査(棄児)
    - 3.15 審査(嫡出子)
    - 3.16 審査(準正嫡出子)
    - 3.17 審査(非嫡出子)
    - 3.18 審査(受理伺い)
    - 3.19 審査(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)
    - 3.20 審査(母日本人,父外国人婚姻後200日以内出生)
    - 3.21 審査(母日本人,父外国人婚姻前出生)
    - 3.22 審査(母日本人,父外国人,母未婚･婚姻解消後出生)
    - 3.23 審査(母日本人未婚･婚姻解消後出生)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル[届書])

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/95

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)入力画面(出生届)の表示		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]			
YES	(7)中間ファイル(届書)を編集・出力する [4.0]		(8)入力確認処理へ制御を渡す	
NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
確認	(12)確認メッセージを表示し、応答した後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO				
NO	(13)エラーメッセージを表示する			
PF1	―――――→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	―――――→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがあるか(YES,NO)	/		
YES	(17)前ページ出生画面表示		(18)同画面を編集する	
NO	(19)「先頭ページです」			
PF8	(20)次ページがあるか(YES,NO)	/		
YES	(21)次ページの出生画面表示		(22)同画面を編集する	
NO	(23)「最後ページです」			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)同画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	4/95

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2/6)	養子縁組(その1) 1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本・非本区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:要,1:不要)であること			
10	報告区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
11	出生証明書区分	○	数字	(0:無,1:医師・助産師,2:その他)であること			
12	出生子.カナ氏名	○	カナ	(氏△名　又は　氏)であること			
13	〃　.漢字氏名	○	漢字	(氏△名　又は　氏)であること			
14	〃　.生年月日	○	英数	「日付ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」「年齢算出ﾁｪｯｸｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ」			
15	〃　.出生区分	○	数字	(1:嫡出子,2:準正嫡出子,3:非嫡出子,4:棄児)であること			
16	〃　.続柄コード	○	数字	~~(10～49,99)であること~~　(11～29,31～49,99)であること			
17	〃　.出生地		漢字				
18	〃　.国籍		漢字				
19	〃　.住所	○	漢字				
20	〃　.世帯主氏名	○	漢字				
21	〃　. 世帯主との続柄コード	○	数字				
22	届出人.資格コード	○	数字	(001:父,002:母,005:父母,077:法定代理人,079:医師,115:助産師,081:その他立会人,082:親族,085:同居者,			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/95

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(2/5)	出生(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
				092:船長,093:公設所の長,097:市区町村長)であること			
23	届出人.資格名称		漢字				
24	〃　.氏名		漢字	届出人の資格 ＝ 005.097の場合未入力 届出人の資格 ≠ 005,097の場合入力必須			
					「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/95

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(3/5)	出生(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
－	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
－	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	発送元		漢字				
－	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
－	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	本･非本区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
－	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	動態区分	○	数字	(0:不要,1:要)であること			
－	報告区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
25	入るべき戸籍．婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	〃　．嫡出子例外区分		数字	(0:無,1:有)であること			
28	〃　．婚姻解消日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	〃　．母前婚姻解消日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	〃　．本籍		漢字				
31	〃　．筆頭者		漢字				
32	〃　．父氏名		漢字				
33	〃　．父筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
37	〃　．父配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,3:生存配偶者)であること			
34	〃　．父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/95

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(4/5)	出生(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	〃　. 父入籍事件日		英数	「日付チェックサブルーチン」	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
36	入るべき戸籍. 父除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
38	〃　. 母氏名		漢字				
39	〃　. 母筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
43	〃　. 母配偶者区分		数字	(0:未,2:妻,3:生存配偶者)であること			
40	〃　. 母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	〃　. 母入籍事件日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	〃　. 母除籍日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	届書. 父氏名		漢字				
45	〃 . 父本籍		漢字				
46	〃 . 父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	〃 . 父筆頭者		漢字				
48	〃 . 父外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
49	〃 . 母氏名		漢字				
50	〃 . 母本籍		漢字				
51	〃 . 母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	〃 . 母筆頭者		漢字				
53	〃 . 母外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
54	胎児認知区分		数字	(0:無,1:有)であること			
55	胎児認知日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
56	関連受領番号		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/95

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(5/5)	出生(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
－	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
－	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	発送元		漢字				
－	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
－	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	本･非本区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
－	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
－	動態区分	○	数字	(0:不要,1:要)であること			
－	報告区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
57	新戸籍. 本籍		漢字				
58	〃 . 筆頭者		漢字				
59	国籍留保届出人区分		数字	(0:無,1:父,2:母,3:父母)であること			
60	在外公館名		漢字				
61	裁判. 区分		数字	(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)であること			
62	〃 . 確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	〃 . 子の氏変更申出区分		数字	(0:無,1:有)であること			
64	〃 . 対象父氏名		漢字				
65	〃 . 対象父生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
68	国内遅延届出区分		数字	(0:無,1:国内有)であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(1/6)	出生(共通項目欄)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時,(No.4)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時,(No.4)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時,(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日 であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時,(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペース,かつ,(No.15)出生子の出生区分 ≠ 4の時,(No.9)動態区分 ＝ 1:要 であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時,(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース,かつ,(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース,かつ,(No.4)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース,かつ,(No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 のとき (No.9)動態区分 ＝ 1:要であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース,かつ,(No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 または (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 のとき (No.9)動態区分 ＝ 0:不要 であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時,(No.6)処理日>(No.2)受領日 であること			第20版変更
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時,(No.3)送付日 ＝ スペース であること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時,(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日 であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	10/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(2/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
15	(No.15)出生子の出生区分 ＝ 4の時,(No.9)動態区分 ＝ 0 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
16	(No.32～37)父欄のいずれか 又は (No.38～43)母欄のいずれかに入力がある場合, (No.30)本籍 ≠ スペース,(No.31)筆頭者 ≠ スペース であること			
17	(No.28)婚姻解消日 ≠ スペースの時, (No.25)婚姻日 ≠ スペース,(No.28)婚姻解消日 ≧ (No.25)婚姻日 であること			
18	(No.32～37)父欄のいずれかに入力がある場合, (No.32)父氏名,(No.33)父筆頭者区分,(No.34)父生年月日, (No.37)父配偶者区分 ≠ スペース であること			
19	(No.38～43)母欄のいずれかに入力がある場合, (No.38)母氏名,(No.39)母筆頭者区分,(No.40)母生年月日, (No.43)母配偶者区分 ≠ スペース であること			
20	(No.30)本籍 ≠ スペース 又は (No.31)筆頭者 ≠ スペースの時 (No.30)本籍 ≠ スペース,(No.31)筆頭者 ≠ スペース であること (No.32～37)父欄(関連No.18項目) (No.38～43)母欄(同No.19項目) の双方又は一方に入力があること			
21	(No.44～47)父氏名,父本籍,父生年月日,父筆頭者のいずれかに入力がある時 (No.48)父外国人区分 ＝ 0の場合 (No.44)父氏名 ≠ スペース,(No.45)父本籍 ≠ 本籍,(No.46)父生年月日 ＝ 和暦, (No.47)父筆頭者氏名 ≠ スペース であること (No.48)父外国人区分 ＝ 1の場合 (No.44)父氏名 ≠ スペース,(No.45)父本籍 ＝ 国籍,(No.46)父生年月日 ＝ 西暦, (No.47)父筆頭者氏名 ＝ スペース であること			
22	(No.49～52)母氏名,母本籍,母生年月日,母筆頭者のいずれかに入力がある時 (No.53)母外国人区分 ＝ 0の場合 (No.49)母氏名 ≠ スペース,(No.50)母本籍 ＝ 本籍,(No.51)母生年月日 ＝ 和暦, (No.52)母筆頭者氏名 ≠ スペースであること (No.53)母外国人区分 ＝ 1の場合 (No.49)母氏名 ≠ スペース,(No.50)母本籍 ＝ 国籍,(No.51)母生年月日 ＝ 西暦,			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(3/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	(NO.52)母筆頭者氏名 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
23	(NO.57)本籍 ≠ スペース 又は (NO.58)筆頭者 ≠ スペースの時 (NO.57)本籍 ≠ スペースかつ (NO.58)筆頭者 ≠ スペースであること			
24	(NO.59)国籍留保届出人区分 ≠ スペースの時、(NO.60)在外公館名 ＝ スペースであること			
25	(NO.60)在外公館名 ≠ スペースの時、(NO.59)国籍留保届出人区分 ＝ スペースであること			
26	(NO.61)区分 ＝ 1,2の時 (NO.62)確定日 ≠ スペース,(NO.64)対象父氏名 ≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースであること			
27	(NO.61)区分 ＝ 3,4の時 (NO.62)確定日 ≠ スペース,(NO.63)子の氏変更申出区分 ＝ スペース, (NO.64)対象父氏名 ≠ スペース,(NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースであること			
28	(NO.62)確定日 ≠ スペースの時 (NO.61)区分 ≠ スペース,(NO.64)対象父氏名 ≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースであること			
29	(NO.63)子の氏変更申出区分 ≠ スペースの時 (NO.61)区分 ＝ 1又は2,(NO.62)確定日 ≠ スペース,(NO.64)対象父氏名 ≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースであること			
30	(NO.64)対象父氏名 ≠ スペースの時 (NO.61)区分 ≠ スペース,･(NO.62)裁判確定日 ≠ スペース, (NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースであること			
31	(NO.65)対象父生年月日 ≠ スペースの時 (NO.61)区分 ≠ スペース,･(NO.62)確定日 ≠ スペース, (NO.64)対象父氏名 ≠ スペースであること			
32				22版(出生142)
33				22版(出生142)
34	(NO.68)国内遅延理由区分 ≠ スペースの時 (NO.5)在外送付区分 ＝ 1、かつ、(NO.4)発送元 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(4/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
35	(NO.22)届出人. 資格コード ＝ 077(法定代理人),093(公設所の長)の時 (NO.23)届出人. 資格名称 ≠ スペースであること			
36	(NO.22)届出人. 資格コード ≠ 077(法定代理人),093(公設所の長),097(市区町村長)の時 (NO.23)届出人. 資格名称 ＝ スペースであること			
37	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1　又は　(NO.22)届出人資格コード ＝ 092(船長)の時 (NO.17)出生地 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
39	(NO.32)父氏名 ≠ スペース　かつ　(NO.38)母氏名 ≠ スペースの時 (NO.32)父氏名(氏) ＝ (NO.38)母氏名(氏)であること			
40	(NO.48)父外国人区分 ＝ 1　かつ　(NO.53)母外国人区分 ＝ 1の時 (NO.25～43)入るべき戸籍欄 ＝ スペースであること			
41	(NO.55)胎児認知日 ＝ スペースの時 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄　又は　(NO.44～48)届書の父欄の一方には入力があること			
42	(NO.12)カナ氏名 ＝ 氏のみの時 (NO.13)漢字氏名 ＝ 氏のみであること			
43	(NO.12)カナ氏名 ＝ 氏△名の時 (NO.13)漢字氏名 ＝ 氏△名であること			
44	(NO.32)父氏名 ≠ スペースの時 (NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			
45	(NO.38)母氏名 ≠ スペースの時 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペースであること			
46	(NO.44)父氏名 ≠ スペース (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペースであること			
47	(NO.49)母氏名 ≠ スペースの時 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(5/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	(NO.22)資格コード ＝ 001(父)の時 (NO.24) ＝ 氏名(NO.32)入るべき戸籍の父氏名　又は (NO.24)氏名 ＝ (NO.44)届書の父氏名　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
49	(NO.22)資格コード ＝ 002(母)の時 (NO.24)氏名 ＝ (NO.38)入るべき戸籍の母氏名　又は (NO.24)氏名 ＝ (NO.49)届書の母氏名　であること			
50	(NO.22)資格コード ＝ 005(父母)の時 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース　又は　(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペース　かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース　又は　(NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペース　であること			
51	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日 ＝ スペース　かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペースの時 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース　又は　(NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
52	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日 ＝ スペース　かつ (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース　又は　(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであること			
53	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日 ＝ スペース　かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース　かつ　(NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時 (NO.49～53)届書の母欄 ＝ スペース　かつ　(NO.44～48)届書の父欄 ＝ スペースであること			
54	(NO.25)婚姻日 ≠ スペース　かつ　(NO.28)婚姻解消日 ＝ スペース　かつ (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース　かつ　(NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースの時 (NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペース　かつ　(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースであること			
55	(NO.25)婚姻日 ＝ スペース　かつ　(NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時 (NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース　かつ　(NO.43～53)届書の母欄 ＝ スペースであること			
56	(NO.25)婚姻日 ＝ スペース　かつ　(NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースの時 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ＝ スペースであること			
57	(NO.44～48)届書の父欄 ≠ スペースの時 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース　又は　(NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(6/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
58	(NO.32～37)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース　かつ　(NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペースの時 (NO.25)婚姻日 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
59	(NO.15)出生区分 ＝ 4の時 (NO.17)出生地 ＝ スペースであること			
60	(NO.11)出生証明書区分 ＝ 1の時 (NO.15)出生区分 ≠ 4であること			
61	(NO.15)出生区分 ≠ 4の時 (NO.38～43)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース　又は　(NO.49～53)届書の母欄 ≠ スペースであること			
62	(NO.54)胎児認知区分, (NO.55)胎児認知日, (NO.56)関連受領番号のいずれかに入力がある時 (NO.54～56)全てに入力があること			
63	(NO.30)本籍 ≠ スペース　かつ　本籍 ＝ 管内の時 (NO.32～37)父欄のいずれかに入力がある場合 (NO.35)父入籍事件日 ≠ スペースであること (NO.38～43)母欄のいずれかに入力がある場合 (NO.41)母入籍事件日 ≠ スペースであること			
64	(NO.36)父除籍日 ≠ スペースの時 (NO.35)父入籍事件日 ≠ スペースであること			
65	(NO.42)母除籍日 ≠ スペースの時 (NO.41)母入籍事件日 ≠ スペースであること			
66	入るべき戸籍の父,入るべき戸籍の母 ≠ スペース　かつ　父母の一方が本籍人の時 入るべき戸籍の父,戸籍番号 ＝ 入るべき戸籍の母,戸籍番号であること			
67	(NO.14)生年月日 ＝ 和暦の時 (NO.18)国籍 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	15/95

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(6-1/6)	出生(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
68	(No.33)入るべき戸籍.父筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.36)入るべき戸籍.父除籍日 ≠ スペース かつ (No.42)入るべき戸籍.母除籍日 ＝ スペース の時、 (No.43)入るべき戸籍,母配偶者区分 ≠ 2 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		12版追加
69	(No.36)入るべき戸籍.父除籍日 ＝ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍.母筆頭者区分 ＝ 1 かつ (No.42)入るべき戸籍.母除籍日 ≠ スペース の時、 (No.37)入るべき戸籍.父配偶者区分 ≠ 1 であること			12版追加
70	(No.33)入るべき戸籍.父筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.36)入るべき戸籍.父除籍日 ＝ スペース かつ (No.37)入るべき戸籍.父配偶者区分 ＝ 1 の時、 (No.49)届書.母氏名 ～ (No.53)届書.母外国人区分 ＝ (未入力)であること			
71	(No.39)入るべき戸籍.母筆頭者区分 ＝ 0 かつ (No.42)入るべき戸籍.母除籍日 ＝ スペース かつ (No.43)入るべき戸籍.母配偶者区分 ＝ 2の時、 (No.44)届書.父氏名 ～ (No.48)届書.父外国人区分 ＝ (未入力)であること			
72	(No.32)入るべき戸籍.父氏名 ≠ スペース かつ (No.36)入るべき戸籍.父除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍.婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍.婚姻解消日 ＝ スペース かつ (No.38)入るべき戸籍.母氏名 ≠ スペースの時、 (No.37)入るべき戸籍.父配偶者区分 ＝ 1 であること			20版追加
73	(No.37)入るべき戸籍.母氏名 ≠ スペース かつ (No.39)入るべき戸籍.母除籍日 ＝ スペース かつ (No.25)入るべき戸籍.婚姻日 ≠ スペース かつ (No.28)入るべき戸籍.婚姻解消日 ＝ スペース かつ (No.32)入るべき戸籍.父氏名 ≠ スペース の時、 (No.43)入るべき戸籍.母配偶者区分 ＝ 2 であること			20版追加

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	16/95

処理名	3.0 審査 1/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)関連受領No. ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES (2)受けF.受付事件コード ≠ 0202(YES,NO)		/		
YES (3) エラーメッセージ 「入力された関連受領No.は、胎児認知の受付帳ではありません。」を表示			(4) 本紙へ	不受理
NO (5)受けF.受理送付区分 = 1 かつ 在外送付区分 = 0(YES,NO)		/		※出生:受理、胎児認知:受理だけ審査対象それ以外は審査結果入力
YES (5-1)→(6)へ		/		
NO (5-2) エラーメッセージ 「出生、胎児認知が受理分以外の場合は審査結果業務で処理して下さい。」を表示			(5-3) 本紙へ	審査結果入力
NO (5-4)→(6)へ				
(6) 出生子の生年月日 < 昭和25年7月1日(YES,NO)		/		新国籍法(昭和25. 7. 1施行)
YES (7)エラーメッセージ 「出生日が新国籍法施行前の出生処理は審査結果業務で処理して下さい。」を表示			(8)本紙へ	審査結果入力
NO (9)→(10)へ		/		
(10)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES (10-1)確認メッセージ(YES,NO) 「同一人の再婚でないものとして処理を続行しますか。」を表示			(10-2)本紙へ	
YES (10-3)→(10-7)へ		/		
NO (10-4)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(10-5)本紙へ	審査結果入力
NO (10-6)→(10-7)へ		/		
(10-7)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 = 1(YES,NO)		/		
YES (11)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES (13)父母渉外婚姻区分に1を移送		/		父母渉外婚姻区分は審査処理上の区分
(14)→(17)へ				
NO (15)父母渉外婚姻区分に3を移送		/		
(16)→(17)へ		/		
NO				
(17)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース かつ 届書の父氏名 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 = 1(YES,NO)		/		
YES (18)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES (20)父母渉外婚姻区分に2を移送		/		
(21)→(24)へ		/		

処理名	3.0　審査 2/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(22)父母渉外婚姻区分に4を移送	/		
	(23)→(24)へ	/		
NO				
(24)入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の婚姻日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)		/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)
YES	(25)父母渉外婚姻区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(26)入るべき戸籍の筆頭者 ≠ 入るべき戸籍の父氏名(YES,NO)	/		
YES	(27)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(28)本紙へ	審査結果入力
NO	(29)→(35)へ	/		
NO	(30)父母渉外婚姻区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
YES	(31)入るべき戸籍の筆頭者 ≠ 入るべき戸籍の母氏名(YES,NO)	/		
YES	(32)エラーメッセージ 「改正前国籍法下での渉外の婚姻です。審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(33)本紙へ	審査結果入力
NO	(34)→(35)へ			
NO		/		
NO				
(35)出生子の生年月日<昭和60年1月1日(YES,NO)		/		改正国籍法(昭和60.1.1施行)
YES	(36)父母渉外婚姻区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
YES	(37)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(38)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。出生子の生年月日を西暦で入力して下さい。」を表示		(39)本紙へ	不受理
NO	(40)→(46)へ			
NO		/		
NO				
(46)入るべき戸籍の父入籍事件日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の父除籍日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペース　かつ　入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	18/95

処理名	3.0 審査 3/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(47)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に父母が在籍していない為,審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(48)本紙へ	審査結果入力
NO	(49)→(49-1)へ	/		第20版変更
	(49-1)入るべき戸籍の父氏名～入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 届書の父氏名～届書の父外国人区分のいずれかに入力があり かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ≠ スペース(YES,NO)	/		第13版変更
YES	(49-2)エラーメッセージ 「入るべき戸籍に母が在籍していない為,審査結果業務より処理して下さい。」を表示		(49-3)本紙へ	審査結果入力
NO	(49-4)→(60)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	19/95

処理名	3.0 審査 3/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
				(50)～(59)は欠番
		/		
	(60)入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＞ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(61)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母が除籍者です。入るべき戸籍に誤りがなければ、審査結果入力にて処理して下さい。」を表示		(62)本紙へ	不受理 若しくは 一時的に3代戸籍となる場合は審査結果入力
NO	(63)→(64)へ	/		
	(64)胎児認知区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(65)出生子の生年月日 ≦ 胎児認知日(YES,NO)	/		
YES	(66)エラーメッセージ 「出生後に胎児認知があります。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		(67)本紙へ	不受理
NO	(68)→(69)へ	/		
	(69)関連受領番号に対応する受付F.事件本人漢字氏名･生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父 又は 届書の父(YES,NO)	/		
YES	(70)→(98)へ	/		
NO	(71)エラーメッセージ 「胎児認知者と入るべき戸籍の父又は届書の父が違います。」を表示		(72)本紙へ	審査結果入力
NO	(73)→(74)へ	/		
	(74)入るべき戸籍.父入籍事件日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍.父除籍日 ≠ スペース かつ 届書.母外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/		
YES	(75)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父母が在籍していない為,審査結果入力より処理して下さい。」を表示		(76)本紙へ	審査結果入力
NO	(77)→(98)へ	/		
				(78)～(81)は欠番

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	20/95

処理名	3.0 審査 3/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
(98)入るべき戸籍の母入籍事件日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
YES	(99)入るべき戸籍の母入籍事件日>出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(100)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は,入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(101)本紙へ	
YES	(102)→(112)	/		
NO	(103)→		(104)本紙へ	不受理
NO	(104-1)入るべき戸籍の母の婚姻日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(105)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
YES	(106)確認メッセージ(YES,NO)を表示 「母に前婚姻解消の履歴がないものとして処理を続行しますか。」		(107)本紙へ	
YES	(108)→(112)へ	/		
NO	(109)→		(110)本紙へ	不受理
NO	(111)→(112)へ	/		
NO				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	21/95

処理名	3.0 審査 4/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(111-1)入るべき戸籍の父入籍事件日+300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(111-2)入るべき戸籍の父入籍事件日 > 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(111-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(111-4)表紙へ	
YES	(111-5)→(112)へ	/		
NO	(111-6)→		(111-7)本誌へ	不受理
NO	(111-8)→(112)へ			
NO				
(112)出生子の出生地 = 国外 かつ 出生子の生年月日 ≧ 昭和60年1月1日 かつ 出生子の国籍 = スペース(YES,NO)		/		
YES	(113)国籍留保届出人区分 = スペース(YES,NO)	/		戸104I,昭和23.6.24 民事甲1989号通達
YES	(114)在外公館名 = スペース(YES,NO)	/		昭和32.9.21 民事甲1833号通達
YES	(115)確認メッセージ(YES,NO) 「外国国籍を取得していませんね。」を表示		(116)本紙へ	
YES	(117)→(123-1)へ	/		
NO	(118)→		(119)本紙へ	不受理
NO	(120)確認メッセージ(YES,NO) 「在外公館職員は父として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(121)中間F(届書).大使館職員区分に1を移送	/		
NO	(122)中間F(届書).大使館職員区分に2を移送	/		
	(123)→(123-1)へ	/		
	(123-1)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ヶ月(YES,NO)	/		戸104I
YES	(123-2)→(133)へ	/		
NO	(123-3)メッセージ 「届出期間を経過していますので注意して下さい。」を表示			戸104III

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	22/95

処理名	3.0 審査 5/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
	(123-4-1) →(133)へ	/		
	(123-4-2)から (123-7)まで,削除	/		
		/		
		/		
		/		
NO	(124)受領日 ≦ 出生子の生年月日 + 3ケ月(YES,NO)	/		戸104I
YES	(125)→(133)へ	/		
NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「遅延理由書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示		(127)本紙へ	戸104III
YES	~~(127-1)在外送付区分＝2又は3(YES,NO)~~	~~/~~		(15版修正)
~~YES~~	~~(127＝2)＝(133)~~	~~/~~		(15版修正)
~~NO~~	(128)中間F(届書).国外遅延理由区分に1を移送	/		~~受理伺い~~ 誤植(15版修正)
	(129)→(133)へ	/		
NO	(130)→		(131)本紙へ	不受理,大正13.11.14民事11606号回答
NO	(132)出生子の出生地 ＝ 国外 かつ 出生子の生年月日 < 昭和60年1月1日(YES,NO)	/		
YES	(132-1)エラーメッセージ 「改正国籍法以前の国外出生の出生届は審査結果で行って下さい。」を表示		(132-2)本紙へ	審査結果入力
NO	(132-3)→(133)へ	/		
(133)出生子の漢字氏名(名) ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は名未定として処理を続行しますか。」を表示		(135)本紙へ	
YES	(136)→(140)へ	/		
NO	(137)確認メッセージ(YES,NO) 「名のみの届出ですか。」を表示		(138)本紙へ	
YES	(138-1)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			審査結果入力
NO	(138-2)→			不受理
NO	(139)→(140)へ	/		
(140)~~入るべき戸籍の父入籍事件目 ≠ スペース~~ かつ 入るべき戸籍の父除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ≠ スペース(YES,NO)		/		昭和39.8.5-6島根県戸住協決 12版改修

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	23/95

処理名	3.0 審査 6/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(140-1)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)	/		第20版変更
YES	(141)入るべき戸籍の父氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)			民790I本文,民790II 第20版変更
YES	(142)→(145)へ	/		第20版変更
NO	(143)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示		(144)本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	(145)入るべき戸籍の父氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)	/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
YES	(146)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の父と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示		(147)本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
NO	(148)→(149)へ			第20版変更
NO		/		第20版変更
NO				
	(149)~~入るべき戸籍の母入籍事件目 ≠ スペース~~ かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース かつ 出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		昭和39.8.5～6 島根県戸住協決 12版改修
YES	(149-1)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)	/		第20版変更
YES	(150)入るべき戸籍の母氏名(氏) ＝ 出生子の漢字氏名(氏)(YES,NO)			民790I本文,民790II 第20版変更
YES	(151)→(154)へ	/		第20版変更
NO	(152)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の氏(漢字)が違います。」を表示		(153)本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
	(154)入るべき戸籍の母氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)	/		昭和40.6.21 民事甲1430号回答 第20版変更
YES	(155)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の母と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示		(156)本紙へ	不受理 第20版変更 第20版変更
NO	(157)→(158)へ			第20版変更
NO		/		第20版変更
NO				
	(158)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内 かつ 出生子の漢字氏名(名) ≠ スペース かつ (入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 2又は3 又は 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 1)(YES,NO)	/		
YES	(159)入るべき戸籍の構成員数分繰り返す(構成員の個人特定DB.個人除区分 ＝ 0の者の	/		
	(160)入るべき戸籍の構成員n番の氏名(名) ＝ 出生子の漢字氏名(名)(YES,NO)	/		
YES	(161)エラーメッセージ 「入るべき戸籍の構成員と出生子の名(漢字)が同じです。」を表示		(162)本紙へ	不受理
NO	(163)→(164-1)へ	/		
NO	(164)→(164-1)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	24/95

処理名	3.0　審査 6-1/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
(164-1)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)		/		
YES	(164-2)入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(164-3)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(164-4)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。よろしければ処理を続行してください。」を表示		(164-5)本紙へ	第19版変更
YES	(164-6)→(164-10)へ	/		第19版変更
NO	(164-8)→			不受理　第20版変更
NO	(164-9)→(164-10)へ	/		
NO				
(164-10)入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(164-11)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(164-12)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね?」を表示		(164-13)本紙へ	
YES	(164-14)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(164-15)本紙へ	審査結果入力
NO	(164-16)→			不受理　第20版変更
NO	(164-17)→(164-18)へ	/		
NO				
(164-18)届書の父本籍 ＝ 管内(YES,NO)		/		
YES	(164-19)父の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(164-19)確認メッセージ(YES,NO) 「父に性同一性障害の記録があります。父に間違いありませんね?」を表示		(164-21)本紙へ	
YES	(164-22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(164-23)本紙へ	審査結果入力
NO	(164-24)→			不受理　第20版変更
NO	(164-25)→(164-26)へ	/		
NO				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	25/95

処理名	3.0 審査 6-2/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
(164-26)届書の母本籍 ＝ 管内(YES,NO)		/		
YES	(164-27)母の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		平成15年法律第111号
YES	(164-28)確認メッセージ(YES,NO) 「母に性同一性障害の記録があります。母に間違いありませんね。」(YES,NO)		(164-29)本紙へ	
YES	(164-30)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」		(164-31)本紙へ	審査結果入力
NO	(164-32)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(164-33)→(164-34)へ	/		
NO		/		
(164-34)出生子、出生区分 ＝ 1(嫡出子)(YES,NO)		/		
YES	(164-35) 入るべき戸籍の父筆頭者区分 ＝ 0:構成員かつ 入るべき戸籍の父配偶者区分 ≠ 0:未かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1:外国人または、 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0:構成員かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ≠ 0:未かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1:外国人 (YES,NO)	/		
YES	(164-36)審査メッセージ 「日本人父又は母が構成員で、外国人配偶者との嫡出子出生届です。」(YES,NO)	/		
YES	(164-37)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理してください。」		(164-38)本紙へ	
NO				
NO	(164-39)→(164-40)へ	/		21版(出生139)
NO				
(164-40)受領日 ＝ 送付日の場合 確認メッセージ(YES,NO)受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示		/		
YES	(164-41)→(165)へ	/		
NO	(164-42)→		(164-43)本紙へ	
				21版で削除(出生112)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	26/95

処理名	3.0 審査 7/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
(165)裁判区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(166)→(187)へ	/		
1	(167)嫡出否認の裁判審査処理へ [3.1]	/		
	(171)→(187)へ	/		
2	(172)親子関係不存在確認の裁判審査処理へ [3.2]	/		
	(176)→(187)へ	/		
3	(177)父を定める訴の裁判審査処理へ [3.3]	/		
	(178)3.3審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (179)→		(180)本紙へ	
	NO (181)→(187)へ	/		
4	(182)強制認知の裁判審査処理へ [3.4]	/		
	(186)→(187)へ	/		
(187)入るべき戸籍の母欄 ≠ スペース 又は 届書の母欄 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 ＝ 0(YES,NO)		/		
YES	(188)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は 届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)	/		
	YES (189)(入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日+300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES,NO)	/		
	YES (190)父母日本人,婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.5]	/		
	(191)3.5審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (192)→		(193)本紙へ	
	NO (194)→(250)へ	/		
	NO (195)(入出る生べき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日 かつ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	27/95

処理名	3.0 審査 8/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
	入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(196)父母日本人,婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.6]	/		
	(197)3.6審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(198)→		(199)本紙へ	
NO	(200)→(250)へ	/		
NO	(201)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
YES	(201-1)父母日本人,婚姻前出生審査処理へ [3.7]	/		
	(202)3.7審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(203)→		(204)本紙へ	
NO	(205)→(250)へ	/		
NO	(206)父母日本人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ[3.8]	/		
	(207)3.8審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(208)→		(209)本紙へ	
NO	(210)→(250)へ	/		
NO	(210-1)届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(210-2)入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 又は 入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日 (YES,NO)	/		
YES	(210-3)母日本人・父外国人,婚姻後201日以降出生審査処理へ [3.19]	/		
	(210-4)3.19審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(210-5)→		(210-6)本紙へ	
NO	(210-7)→(250)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	28/95

処理名	3.0 審査9/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(210-8) (入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ＜ 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 ＜ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日＜出生子の生年月日)(YESNO)	/		
YES	(210-9)母日本人・父外国人,婚姻後200日以内出生審査処理へ [3.20]	/		
	(210-10)3,20審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-11)→		(210-12)本紙へ	
	NO (210-13)→(250)へ	/		
NO	(210-14)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
	YES (210-15)母日本人・父外国人,婚姻前出生審査処理へ [3.21]	/		
	(210-16)3.21審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-17)→	/	(210-18)本紙へ	
	NO (210-19)→(250)へ	/		
	NO (210-20)母日本人・父外国人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.22]	/		
	(210-21)3.22審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-22)→		(210-23)本紙へ	
	NO (210-24)→(250)へ	/		
NO	(210-25)母日本人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ [3.23]	/		
	(210-36)3.23審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (210-37)→		(210-38)本紙へ	
	NO (210-39)→(250)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	29/95

処理名	3.0 審査10/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(211)入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース 又は届書の父欄 ≠ スペース かつ 届書の父外国人区分 ＝ 0(YES,NO)	/		
YES	(213) (入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 < 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日)(YES、NO)	/		
YES	(214)父母日本人,母外国人,婚姻後201日以降出生審査処理へ[3.9]	/		
	(215)3.9審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(216)→		(217)本紙へ	
NO	(218)→(250)へ	/		
NO	(219) (入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日) 又は (入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻日 < 出生子の生年月日> かつ 入るべき戸籍の婚姻日 + 200日 ≧ 出生子の生年月日 かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日)(YES,NO)	/		
YES	(220)父日本人,母外国人,婚姻後200日以内出生審査処理へ[3.10]	/		
	(221)3.10審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(222)→		(223)本紙へ	
NO	(224)→(250)へ	/		
NO	(225) 出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の婚姻日かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
YES	(225-1)父日本人,母外国人,婚姻前出生審査処理へ[3.11]	/		
	(226)3.11審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
YES	(227)→		(228)本紙へ	
NO	(229)→(250)へ	/		
NO	(230)父日本人,母外国人,未婚・婚姻解消後出生審査処理へ[3.12]	/		
	(231) 3.12審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセ			

処理名	3.0　審査11/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)		根拠法令(マニュアル処理)
	ージがある(YES,NO)		
	YES (232)→	(233)本紙へ	
	NO (234)→(250)へ	/	
NO	(235)届書の母氏名 ≠ スペース(YES,NO)	/	
YES	(236)父母外国人・無国籍の出生審査処理へ [3.13]	/	
	(237)3.13審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/	
	YES (238)→	(239)本紙へ	
	NO (240)→(269)へ	/	
NO	(241)確認メッセージ(YES,NO) 「棄児の処理として続行しますか。」を表示	(242)本紙へ	
	YES (243)棄児の審査処理へ [3.14]	/	
	(244)3.14審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/	
	YES (245)→	(246)本紙へ	
	NO (247)→(250)へ	/	
	NO (248)→	(249)本紙へ	受理伺い
(250)出生子の生年月日 ＝ 西暦　かつ　出生子の出生区分 ≠ 2(YES,NO)		/	
YES	(251)→(269)へ	/	
NO	(252)→(253)へ	/	
(253)出生子の出生区分(1:嫡出子,2:準正嫡出子,3:非嫡出子)		/	
1	(254)嫡出子の審査処理へ [3.15]	/	
	(255)3.15審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/	
	YES (256)→	(257)本紙へ	
	NO (258)→(269)へ	/	
2	(259)準正嫡出子の審査処理へ [3.16]	/	
	(260)3.16審査の結果、確認メッセージ・エラーメッセージがある(YES,NO)	/	
	YES (261)→	(262)本紙へ	
	NO (263)→(269)へ	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	31/95

処理名	3.0 審査11-1/11(レアケース,不受理,以降の処理制御)			根拠法令(マニュアル処理)
3	(264)非嫡出子の審査処理へ [3.17]	/		
	(265)3.17審査の結果、確認メッセージ･エラーメッセージがある(YES,NO)	/		
	YES (266)→		(267)本紙へ	
	NO (268)→(269)へ	/		
(269)受理伺いの審査処理へ [3.18]		/		
(270)→			(271)本紙へ	
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/95

処理名	3.1　審査(嫡出否認の裁判)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父氏名・生年月日　又は 裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 届書の父氏名・生年月日(YES,NO)		/		
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送		(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送			
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	33/95

処理名	3.2　審査(親子関係不存在確認の裁判)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父氏名・生年月日　又は 裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 届書の父氏名・生年月日(YES,NO)		/		
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送		(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
NO	(4)対象父区分に2(前後夫)を移送			
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/95

処理名	3.3　審査(父を定める訴の裁判)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父氏名・生年月日　又は 裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 届書の父氏名・生年月日(YES,NO)		/		
YES	(2)→		(3)3.0審査へ	
NO	(4)エラーメッセージ 「父を定める裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示			不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	35/95

処理名	3.4　審査(強制認知の裁判)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 入るべき戸籍の父氏名・生年月日(YES,NO)		/		
YES	(2)対象父区分に1(現夫)を移送		(3)3.0審査へ	対象父区分は審査上の区分
NO	(4)→(5)へ	/		
(5)裁判の対象父氏名・生年月日 ＝ 届書の父氏名・生年月日(YES,NO)		/		
YES	(6)対象父区分に3(届書の父)を移送		(7)3.0審査へ	
NO	(7)対象父区分に2(前後夫)を移送			
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	36/95

処理名	3.5 審査 1/3(父母日本人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		民772II
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3) 3.0審査へ	
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13) 3.0審査へ	昭28. 7.20 民事甲 1238号回答
YES	(14) → (63)へ	/		
NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)	/		
0	(19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(20)中間F (届書).父未定区分に 1 を移送	/		戸54
	(21) → (63)へ	/		
NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		(23) 3.0審査へ	不受理 昭20. 9.24 民事特甲 408号回答 昭24. 9. 5 民事甲 1942号回答
1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項入力して下さい。」を表示			不受理
1.2	(25)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(27) 3.0審査へ	不受理
2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(29) → (63)へ	/		
NO	(30) →		(30-1) 3.0審査へ	不受理
3	(31) → (63)へ	/		民773
4	(36)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		
1.3	(37) → (63)へ	/		

処理名	3.5 審査 2/3(父母日本人婚姻後201日以降出生)		根拠法令(マニュアル処理)
	2 (38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示	(39)3.0審査へ	不受理
NO	(40) →(41)へ	/	
NO			
(41)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/	
0	(42) → (63)へ	/	
1,2	(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/	民775
	1 (44) → (78)	/	
	2 (50) → (63)	/	
3	(54) → (63)へ	/	民773
4	(55)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/	民787
	1,3 (56) → (63)へ	/	
	2 (57)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	(58)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)		/	
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/	戸49II1
	YES (65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/	
	YES (66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/	
	YES (67) →	(68)3.0審査へ	
	NO (69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
	NO (70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		不受理
	NO (71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		不受理
1	(72) → (78)へ	/	
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	38/95

処理名	3.5 審査 3/3(父母日本人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(79)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		21版(出生112)
YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 = 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 = スペース(YES,NO)	/		21版(出生112) 21版(出生112)
YES	(79-2) → (88)へ	/		21版(出生112)
NO	(79-3) → (80)へ	/		21版(出生112)
	(80)入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 = スペース(YES,NO)	/		
YES	(81) → (88)へ	/		
NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(83)3.0審査へ	
YES	(84) → (88)へ	/		
NO	(85) →		(86)3.0審査へ	不受理
NO	(87) → (88)へ	/		
	(88)出生子の出生区分 = 3(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(89)出生子の生年月日 = 和暦(YES,NO)	/		
YES	(90) →		(91)3.0審査へ	
NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	39/95

処理名	3.6 審査 1/3(父母日本人婚姻後200日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示			(3)3.0審査へ	民772
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/	
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査	
YES	(14) → (52)へ		/	
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)		/	民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-1) → (52)へ		/	
NO	(20-2) →		(20-3)3.0審査へ	不受理
2	(20-4)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)		/	民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(20-6)3.0審査へ	不受理
2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-8) → (52)へ		/	
NO	(20-9) →		(20-10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(22)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)		/	民787

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	40/95

処理名				3.6 審査 2/3(父母日本人婚姻後200日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			1,3	(23) → (52)へ	/		
			2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
	NO			(30) →(32)へ	/		
NO							
(32)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)					/		
0				(33) → (52)へ	/		
1				(34)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
	1			(35)エラーメッセージ「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(36)3.0審査へ	不受理
	2			(37) → (52)へ	/		
2				(38)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
	1			(39)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
		YES		(40) → (59)へ	/		
		NO		(41)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示		(41-1)3.0審査へ	不受理
	2			(41-2) → (52)へ	/		
3				(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(42-1)3.0審査へ	不受理
4				(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
	1,3			(44) → (52)へ	/		
	2			(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(46)3.0審査へ	不受理
(52)届出人 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)					/		昭和26. 6.27 民事甲 1332号回答
YES				(53) → (59)へ	/		
NO				(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
	YES			(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	41/95

処理名	3.6 審査 3/3(父母日本人婚姻後200日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	YES (56)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			
	YES (57)→		(57-1)3.0審査へ	
	NO (57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO (58-1)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES (74)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペースかつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
	YES (74-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 ＝ スペース(YES,NO)	/		21版(出生112)
	YES (74-2)→(83)へ	/		21版(出生112)
	NO (74-3)→(75)へ	/		21版(出生112)
	(75)入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペースかつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)	/		21版(出生112)
	YES (76)→(83)へ	/		
	NO (77)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(78)3.0審査へ	
	YES (79)→(83)へ	/		
	NO (80)→		(81)3.0審査へ	不受理
	NO (82)→(83)へ	/		
	(83)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		戸49II1
	YES (84)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (85)→		(86)3.0審査へ	
	NO (87)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (88)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO (89)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示				不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	42/95

処理名	3.7 審査 1/4(父母日本人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
YES (2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示			(3) 3.0審査へ	民772
YSE (11)裁判の区分(0:無, 1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0 (12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示			(13)3.0審査へ	
YES (14)→(59)へ		/		
NO (15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示			(16)3.0審査へ	不受理
1 (17)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)		/		民775
1 (18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示			(19)3.0審査へ	不受理
2 (20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示				
YES (20-1)→(59)へ		/		
NO (20-2)→			(20-3)3.0審査	不受理
2 (20-4)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)		/		民775
1 (20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示			(20-6)3.0審査へ	不受理
2 (20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示				
YES (20-8)→(59)へ		/		
NO (20-9)			(20-10)3.0審査へ	不受理
3 (21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示				不受理 民773
4 (22)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)		/		民787.昭和41.3.14 民事甲 655号回答

処理名					3.7 審査 2/4(父母日本人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			1,3		(23)→(59)へ	/		
			2		(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
	NO				(38)→(39)へ	/		
NO								
(39)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)						/		
0					(40)→(59)へ	/		
1,2					(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区外を入力することは出来ません。」を表示		(42)3.0審査へ	不受理
3								
4					(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
	1,3				(44)→(59)へ	/		戸49II1
	2				(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)						/		
YES					(59-1)裁判の区分 ＝ 4　かつ　対象父区分 ＝ 1又は3(YES,NO)	/		
	YES				(59-2)→(112)へ	/		
	NO				(59-3)→(60)へ	/		
					(60)届出人の資格 ＝ 001又は005(YES,NO)	/		戸62,大正8.9.13 民　3686号回答
	YES				(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示		(62)3.0審査へ	民783II前段 大正6.3.6 民　197号回答
		YES			(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示			民783II前段
			YES		(64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示			民3,783II後段
				YES	(65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	44/95

処理名	3.7 審査 3/4(父母日本人婚姻前出生)		根拠法令(マニュアル処理)
	YES (66)→(112)へ	/	
	NO (70)→	(71)3.0審査へ	不受理
	NO (72)→(112)へ	/	
	NO (75)→		不受理
NO	(75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)	/	R2.1(出生150)
YES	(75-2)子の生年月日 + 18年 ≦ 受領日(YES,NO)	/	民3,782 R2.1(出生150)
YES	(75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示	(75-4)3.0審査へ	大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150) 昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150) R2.1(出生150)
YES	(75-5)→(112)へ	/	R2.1(出生150)
NO	(75-6)→	(75-7)3.0審査へ	不受理 R2.1(出生150)
NO	(75-8)→(112)へ	/	R2.1(出生150)
NO	(76)子の生年月日 + 20年 ≦ 受領日(YES,NO)	/	民3,782 21版(出生138)
YES	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示	(78)3.0審査へ	大正7.5.30民1159号回答 昭和43.4.5民事甲689号回答
YES	(79)→(112)へ	/	
NO	(82)→	(83)3.0審査へ	不受理
NO	(84)→(112)へ	/	
NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父･父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示	(89)3.0審査へ	
YES	(88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 ＝ スペース(YES,NO)	/	21版(出生112) 21版(出生112)
YES	(88-2)→(118)へ	/	21版(出生112)
NO	(88-3)→(90)へ	/	21版(出生112)
	(90)入るべき戸籍の母入籍事件日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/	
YES	(91)→(118)へ	/	
NO	(94)入るべき戸籍の母入籍事件日 > 出生子の生年月日(YES,NO)	/	

				YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(96)3.0審査へ		
					YES	(97)→(118)へ	/		
					NO	(98)→		(99)3.0審査へ	不受理
				NO(100)→					受理伺い
			NO	(101)→					不受理
NO	(111)→(112)へ						/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	45/95

処理名	3.7 審査 3/4(父母日本人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)		/		
YES	(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (114)→		(115)3.0審査へ	
	NO (116)エラーメッセージ			不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	46/95

処理名	3.7 審査 4/4(父母日本人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
	(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (120)→		(121)3.0審査へ	
	NO (122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	47/95

処理名	3.8 審査1/3(父母日本人、母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示		(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ	/		
	(5)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(7)3.0審査へ	民772
YES	(8)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(10)3.0審査へ	
YES	(11)→(42)へ	/		
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(13)3.0審査へ	不受理
1	(14)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(14-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(14-2)3.0審査へ	不受理
2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	/		
YES	(16)裁判の子の氏変更中出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(17)→(42)へ	/		
NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
YES	(19-1)→(42)へ	/		
NO	(19-2)→		(19-3)3.0審査へ	不受理
NO	(20)→(42)へ	/		
2	(21)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(22)エラーメッセージ		(22-1)3.0審査へ	不受理

処理名	3.8 審査2/3(父母日本人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示			
2	(22-2)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	/		
YES	(22-3)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(22-4)→(42)へ	/		
NO	(22-5)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(22-6)3.0審査へ	
YES	(22-7)→(42)へ	/		
NO	(22-8)→		(22-9)3.0審査へ	不受理
NO	(22-10)→(42)へ			
3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(24)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
1.3	(25)→(65)へ	/		
2	(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(29)3.0審査へ	不受理
NO	(30)→(31)へ	/		
NO				
(31)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(32)→(42)へ	/		
1	(33)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(33-1)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-2)3.0審査へ	不受理
2	(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
YES	(33-4)→(42)へ	/		
NO	(33-5)→		(33-6)3.0審査へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	49/95

処理名	3.8 審査3/3(父母日本人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
2	(33-7)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
	1 (33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-9)3.0審査へ	不受理
	2 (33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は,入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
	YES (33-11)→(42)へ	/		
	NO (33-12)→		(33-13)3.0審査へ	不受理
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理
4	(35)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
	1,3 (36)→(65)へ	/		
	2 (40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(41)3.0審査へ	不受理
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(43)エラーメッセージ 「父様を入力することは出来ません。」を表示		(44)3.0審査へ	不受理
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
	YES (62)→(65)へ	/		
	NO (63)→		(64)3.0審査へ	不受理
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		戸49II1
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (67)→		(68)3.0審査へ	
	NO (69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	50/95

処理名	3.9 審査1/3(父日本人,母外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示			(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前央の嫡出の推定を受けますか。」を表示			民772
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	昭28.7.20　民事甲　1238号回答
YES	(14)→(52)へ	/		
NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)	/		
0	(19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(20)中間F(届書),父未定区分に2を移送	/		戸54,戸規50
	(21)→(60)へ	/		
NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		(23)3.0審査へ	不受理 昭20.9.24　民事特甲　408号回答 昭24.9.5　民事甲　1942号回答
1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示			不受理
1,2	(25)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(27)3.0審査へ	不受理
2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(29)→(52)へ	/		
NO	(30)→		(31)3.0審査へ	不受理
3	(32)→(52)へ	/		民773
4	(36)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	51/95

処理名				3.9 審査　2/3(父日本人,母外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			1,3	(37)→(52)へ	/		
			2	(38)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(39)3.0審査へ	不受理
	NO			(40)→(41)へ	/		
NO							
(41)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)					/		
0				(42)→(52)へ	/		
1,2				(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
	1			(44)→(60)へ	/		
	2			(45)→(52)へ	/		
3				(47)→(52)へ	/		
4				(48)対象父区分(1;現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		
	1.3			(49)→(52)へ	/		
	2			(50)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(51)3.0審査へ	不受理
(52)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)					/		
0				(53)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
	YES			(54)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
		YES		(55)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
			YES	(56)→		(56-1)3.0審査へ	
			NO	(56-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和歴でなければなりません。」を表示			不受理
		NO		(57)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO			(58)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
1				(59)→(60)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	52/95

処理名	3.9 審査3/3(父日本人,母外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES (61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示			(62)3.0審査へ	
YES (69)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名,生年月日 届書母欄　筆頭者欄以外の項目		/		
YES (70)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)		/		
YES (71)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
YES (72)→			(72-1)3.0審査へ	
NO (72-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示				不受理
NO (73)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示				不受理
NO (74)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示				不受理
NO (75)→				不受理
NO (76)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示				不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	53/95

処理名	3.10 審査1/3(父日本人,母外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示		(2)3.0審査へ	
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示			民772
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	
YES	(14)→(51)へ	/		
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-1)→(51)へ	/		
NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査へ	不受理
2	(20-4)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(20-6)3.0審査へ	不受理
2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-8)→(51)へ	/		
NO	(20-9)→		(20-10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	54/95

処理名	3.10 審査　2/3(父日本人,母外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令(マニュアル処理)
4	(22)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
1,3	(23)→(51)へ	/		
2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(28)3.0審査へ	不受理
NO	(32)→(33)へ	/		
NO				
(33)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(34)→(51)へ	/		
1	(35)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
1	(36)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(36-1)3.0審査へ	不受理
2	(36-2)→(51)へ	/		
2	(37)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
1	(38)→(60)へ	/		
2	(38-6)→(51)へ	/		
3	(41)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(41-1)3.0審査へ	不受理
4	(42)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		
1.3	(43)→(51)へ	/		
2	(47)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(48)3.0審査へ	不受理
(51)届出人 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
YES	(52)→(60)へ	/		
NO	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(55)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		
YES	(561出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(57)→		(57-1)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	55/95

処理名	3.10 審査　3/3(父日本人,母外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	NO (57-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (58)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO (59)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
(60)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES (61)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示			(62)3.0審査へ	
	YES (63)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名,生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目	/		
	YES (64)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
	YES (65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
	YES (66)→		(67)3.0審査へ	
	NO (68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (70)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示			不受理
	NO (71)→			不受理
NO (72)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示				不受理
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	56/95

処理名	3.11 審査　1/4(父日本人,母外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示			(2) 3.0審査へ	
YES	(3) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示			民772
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(15)3.0審査へ	
YES	(13)→(76)へ	/		
NO	(14)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(15)3.0審査へ	不受理
1	(16)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(17)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(18)3.0審査へ	不受理
2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(19-1)→(76)へ	/		
NO	(19-2)→		(19-3)3.0審査へ	不受理
2	(19-4)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(19-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19-6)3.0審査へ	不受理
2	(19-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(19-8)→(76)へ	/		
NO	(19-9)		(19-10)3.0審査へ	不受理
3	(20)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	57/95

処理名					3.11 審査　2/4(父日本人,母外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			4		(21)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
				1,3	(23)→(76)へ	/		戸49II1
				2	(41)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(42)3.0審査へ	不受理
		NO			(46)→(47)へ	/		
	NO							
(47)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)						/		
0					(48)→(76)へ	/		
1,2					(49)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示		(50)3.0審査へ	不受理
3								
4					(51)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
		1,3			(53)→(76)へ	/		
		2			(71)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(72)3.0審査へ	不受理
(76)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)						/		
YES					(76-1)裁判の区分 ＝ 4　かつ　対象父区分1又は3(YES,NO)	/		
	YES				(76-2)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
		YES			(76-3)届書の母の国籍 ≠ 無国籍(YES,NO)	/		
			YES		(76-4)出生の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
				YES	(76-5)→		(76-6)3.0審査へ	
				NO	(76-7)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
			NO		(76-8)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
				YES	(76-9)→		(76-10) 3.0審査へ	
				NO	(76-11)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりませ			不受理

処理名	3.11 審査　3/4(父日本人,母外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	ん。」を表示			
NO	(76-12) エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(76-13)→(77)へ	/		
	(77)届出人の資格 ＝ 001又は005(YES,NO)	/		戸62,大正8.9.13民　3686号回答
YES	(78)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(78-1)届書の母の国籍 ≠ 無国籍(YES,NO)	/		
YES	(79)在外送付区分 ＝ 0又は1(YES,NO)	/		
YES	(80)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
YES	(81)出生子の国籍 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(82)→		(83)3.0審査へ	
NO	(84)エラーメッセージ 「出生子の国籍を入力して下さい。」を表示			不受理
NO	(85)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(86)エラーメッセージ 「認知業務より処理して下さい。」を表示			認知業務処理
NO	(86-1)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(86-2)→		(86-3)3.0審査へ	
NO	(86-4)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(87)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人出生子として処理を続行しますか。」を表示			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	59/95

処理名	3.11 審査　4/4(父日本人,母外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(89)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ･漢字氏名,生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目	/		
YES	(93)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
YES	(94)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
YES	(95)→		(95-1)3.0審査へ	
NO	(96-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(96)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(97)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示			不受理
NO	(98)→			不受理
NO	(99)父母渉外婚姻区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(100)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(101)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(102)→		(102-1) 3.0審査へ	
NO	(102-2)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(103)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(104)エラーメッセージ 「胎児認知者と母の夫が違います。審査結果業務で処理した下さい。」を表示			審査結果入力
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	60/95

処理名	3.12 審査 1/3(父日本人,母外国人,母未婚・婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 確認メッセージ(YES,NO) 「外国人母に婚姻解消の履歴がありますか。」を表示			(2) 3.0審査へ	
YES	(3) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫及び外国人母の本国法により前夫の嫡出の推定を受けますか。」を表示			民772
YES	(4) 裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(5) 確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(6) 3.0審査へ	
YES	(7)→(37)へ	/		
NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(9) 3.0審査へ	不受理
1	(10)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(11-1)3.0審査へ	不受理
2	(12)→(37)へ	/		
2	(13)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
1	(13-1)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(13-2)3.0審査へ	不受理
2	(13-3)→(37)へ	/		
3	(14)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(14-1)3.0審査へ	不受理 民773
4	(15)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
1,3	(16)→(37)へ	/		
2	(22)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(22-1)3.0審査へ	不受理
NO	(23)→(24)へ			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	61/95

処理名	3.12 審査 2/3(父日本人,母外国人,母未婚・婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
NO				
(24)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(25)→(37)へ	/		
1	(26)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
1	(27)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(28)3.0審査へ	不受理
2	(29)→(37)へ	/		
2	(30)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
1	(31)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(32)3.0審査へ	不受理
2	(33)→(37)へ	/		
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(35)3.0審査へ	不受理
4	(36)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		
1,3	(36-1)→(37)へ	/		
2	(36-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(36-3)3.0審査へ	不受理
(37)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(38)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(39)エラーメッセージ 「出生子は外国人です。入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示		(40)3.0審査へ	不受理
NO	(41)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名,生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目	/		
YES	(42)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(43)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
YES	(44)→		(44-1)3.0審査へ	
NO	(44-2)エラーメッセージ			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	62/95

処理名					3.12 審査 3/3(父日本人,母外国人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
					「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			
				NO	(45)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
			NO		(46)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示			不受理
	NO				(47)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
		YES			(48)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
			YES		(49)出生の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
				YES	(50)→		(51)3.0審査へ	
				NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
			NO		(53)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		NO			(54)→			不受理
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		
						/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	63/95

処理名	3.13 審査 1/4(父母外国人・無国籍人出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES		/		
	(3) 届書の父本籍 ＝ 無国籍、かつ、届書の母本籍 ＝ 無国籍(YES,NO)	/		
	YES (4)→(30)へ	/		
	NO (5) 確認メッセージ(YES,NO) 「父母の嫡出子であり、父母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示		(6) 3.0審査へ	
	YES (7) 以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名,生年月日 届書父母欄　筆頭者欄を除く項目	/		
	YES (8)→(11)へ	/		
	NO (9) エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示		(10)3.0審査へ	不受理
	(11)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
	YES (12)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
	YES (13)→		(13-1)3.0審査へ	
	NO (13-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (14)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
	NO (15)→			不受理
NO	(17)届書の母本籍 ＝ 無国籍人(YES,NO)	/		
	YES (18)→(30)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	64/95

処理名	3.13 審査 2/4(父母外国人・無国籍人出生)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「母の非嫡出子であり、母の国籍証明資料があるものとして処理を続行しますか。」を表示		(20)3.0審査へ	
YES	(21)以下の項目に入力がある(YES,NO) 出生子欄　カナ・漢字氏名,生年月日 届書母欄　筆頭者欄を除く項目	/		
YES	(22)→(25)へ	/		
NO	(23)エラーメッセージ 「外国人出生子の場合の入力項目に入力がありません。」を表示		(24)3.0審査へ	不受理
	(25)出生子の生年月日 ＝ 西暦(YES,NO)	/		
YES	(26)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
YES	(27)→		(27-1)3.0審査へ	
NO	(27-2)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(28)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、西暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(29)→			不受理
(30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母又は母が無国籍人であるものとして処理を続行しますか。」を表示				
YES	(31)→(34)へ	/		
NO	(32)→		(33)3.0審査へ	不受理
(34)出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
YES	(35)出生子の出生地 ＝ 日本国内(YES,NO)	/		国2
YES	(36)→(43)へ	/		
NO	(37)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示		(38)3.0審査へ	不受理
NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は日本で出生したものとして処理を続行しますか。」を表示			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	65/95

処理名	3.13 審査 3/4(父母外国人・無国籍人出生)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(40)→(43)へ	/		
NO	(41)→		(42)3.0審査へ	不受理
(43)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)		/		国2
YES	(44)エラーメッセージ 「出生子の新戸籍を新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示		(45)3.0審査へ	不受理
NO	(46)→(47)へ	/		
(47)入るべき戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(48)エラーメッセージ 「無国籍人の出生子の場合、入るべき戸籍欄には入力出来ません。」を表示		(49)3.0審査へ	不受理
NO	(50)→(51)へ	/		
(51)届書の父氏名 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「父母の婚姻後の出生ですか。」を表示		(53)3.0審査へ	
YES	(54)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)			戸49II1,昭和57.7.6民二　265号通達
YES	(55)→(63)へ			
NO	(56)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		(57)3.0審査へ	不受理
NO	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「父母は婚姻しているものとして処理を続行しますか。」を表示			
YES	(58-1)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
YES	(58-2)→(63)へ	/		
NO	(58-3)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示		(58-4)3.0審査へ	不受理
NO	(58-5)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
YES	(58-6)→(63)へ	/		
NO	(58-7)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示		(58-7)3.0審査へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	66/95

処理名	3.13 審査 4/4(父母外国人・無国籍人出生)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(58-9)→(59)へ			
	(59)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		戸49II1,昭和57.7.6民二　　265号通達
YES	(60)→(63)へ	/		
NO	(61)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示		(62)3.0審査へ	不受理
	(63)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(64)→		(65)3.00審査へ	受理伺い
NO	(66)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	67/95

処理名	3.14 審査(出生区分 ＝ 棄児)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)出生子の出生地 ＝ 国外(YES,NO)	/		
YES	(2)エラーメッセージ 「国外で出生した出生子の出生届は受理出来ません。」を表示		(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)	/		
	(5)出生子の出生区分 ≠ 4(YES,NO)	/		戸4II1
YES	(6)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は4(棄児)でなければなりません。」を表示		(7)3.0審査へ	不受理
NO	(8)→(9)	/		
	(9)届出人の資格 ≠ 市区町村長(YES,NO)	/		戸57
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人を市区町村長として処理を続行しますか。」を表示		(11)3.0審査へ	
YES	(12)中間F(届書),届出人資格,資格名称に市区町村コード,市区町村名を移送	/		
NO	(13)→		(14)3.0審査へ	不受理
NO	(15)→(20)へ	/		
	(20)新戸籍欄 ＝ スペース(YES,NO)	/		戸57II
YES	(21)エラーメッセージ 「新戸籍欄へ入力して下さい。」を表示		(22)3.0審査へ	不受理
NO	(23)新戸籍の本籍 ≠ 管内(YES,NO}	/		昭和25.4.10　民事甲　932号回答
YES	(24)エラーメッセージ 「新戸籍の本籍は管内に作成して下さい。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
NO	(26)→		(26-1)3.0審査へ	
	(27)削除	/		(27)～(30)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(28)削除		(29)削除	
NO	(30)削除			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	8.3	68/95

処理名	3.15 審査(出生区分 ＝ 嫡出子)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)新戸籍 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(2)届書の父母双方 ≠ 無国籍人(YES,NO)	/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示	(4)3.0審査へ	不受理
	NO	(5)→(6)へ	/	
NO				
(6)中間F(届書).父未定区分 ＝ 1又は2(YES,NO)				
YES	(7)届出人,資格 ＝ 母,同居者,医師,助産師,立会人,法定代理人,公設署の長,船長,親族のいずれかである(YES,NO)	/		戸52
	YES	(8)→	(8-1)3.0審査へ	
	NO	(9)エラーメッセージ 「父母離婚後(父未定)・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示	(10)3.0審査へ	不受理
YES	(11)届出人.資格 ＝ 父,母,父母,同居者,医師,助産師,立会人,法定代理人,公設署の長,船長,親族のいずれかである(YES,NO)	/		戸52 昭和36.7.18～19第20回福島県下戸連合協決
	YES	(12)→	(12-1)3.0審査へ	
	NO	(13)エラーメッセージ 「父母婚姻中・嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示	(14)3.0審査へ	不受理
(15)削除		/		(15)～(23)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(16)削除	/		
	YES	(17)削除	(18)削除	
	NO	(19)削除		
NO	(20)削除	/		
	YES	(21)削除	(22)削除	
	NO	(23)削除		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 11月 1日	8.3	69/95

処理名	3.16 審査(出生区分 ＝ 準正嫡出子)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)新戸籍 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(2)届書の父母双方 ≠ 無国籍人(YES,NO)	/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「準正嫡出子出生処理の為、新戸籍欄には入力出来ません。」を表示	(4)3.0審査へ	不受理
	NO	(5)→(6)へ	/	
NO				
(6)届出人の資格 ＝ 父又は父母(YES,NO)		/		戸62,大正11.11.30民事　4297回答
YES	(7)→(14)へ	/		
NO	(8)胎児認知区分 ＝ 1又は裁判の区分 ＝ 4(YES,NO)	/		
	YES	(9)届出人.資格 ＝ 母,同居者,医師,助産師,立会人,法定代理人,公設署の長,船長,親族のいずれかである(YES,NO)	/	
		YES	(9-1)→(14)へ	/	
		NO	(9-2)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示	(9-3)3.0審査へ	不受理
	NO	(9-4)エラーメッセージ 「準正嫡出子の場合の届出入資格に間違いがあります。」を表示		不受理
(10)削除		/		(10)～(13)を削除(続柄更正申出対応8.3版)
YES	(11)削除	/		
NO	(12)削除		(13)削除	
(14)母の本籍 ＝ 無国籍　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ　父の本籍 ≠ 国籍(YES,NO)				
YES	(15)→		(16)3.0審査へ	受理照会
NO	(17)→			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	70/95

処理名	3.17 審査(出生区分 ＝ 非嫡出子)			根拠法令(マニュアル処理)
①入るべき戸籍欄 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母筆頭者区分 ＝ 0 かつ 入るべき戸籍の母配偶者区分 ＝ 0 又は 届書の父外国人区分 ＝ 0 かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1 かつ 胎児認知日 ≠ スペース 又は 届書の母外国人区分 ＝ 1 かつ 届書の母本籍 ＝ 無国籍(YES,NO)		/		
YES	(2)新戸籍欄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(3)→(9)へ	/		
NO	(4)届書の母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(5)エラーメッセージ 「子につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示		(6)3.0審査へ	不受理
NO	(7)エラーメッセージ 「母につき新戸籍編製ですが、新戸籍欄への入力がありません。」を表示			不受理
NO	(8)新戸籍の本籍 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(8-1)エラーメッセージ 「母の現在戸籍への入籍です。新戸籍欄への入力は出来ません。」を表示		(8-2)3.0審査へ	不受理
NO	(8-3)→(9)へ	/		
(9)届出人.資格 ＝ 母,同居者,医師,助産師,立会人,法定代理人,公設所の長,船長,親族のいずれかである(YES,NO)		/		戸52
YES	(10)→		(10-1)3.0審査へ	
NO	(11)エラーメッセージ 「非嫡出子出生の場合の届出人資格に間違いがあります。」を表示		(12)3.0審査へ	不受理
(13)削除		/		(13)～(16)を削除
YES	(14)削除		(15)削除	
NO	(16)削除			
(17)届出人.資格 ≠ 母 かつ 新戸籍の本籍 ≠ 入るべき戸籍.本籍 かつ 新戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍.本籍 ≠ スペース(YES,NO)				16版改修 第20版誤植変更
YES	(18)エラーメッセージ 「新本籍と従前の本籍は同一でなければなりません。」を表示		(19)3.0審査へ	戸籍法30-3 不受理 第19版変更
NO	(20)→		(21)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	71/95

処理名	3.18 審査1/2(受理照会等)			根拠法令(マニュアル処理)
				↑
				↑
				第18版削除
(1)出生子の生年月日 ＝ 西暦　かつ　出生証明書区分 ＝ 1(YES,NO)		/		昭和36.5.17民事甲1196号回答
YES	(2)→(10-1)へ	/		第19版変更
NO	(3)子の出生日 + 6年(6歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	/		昭和34.8.27民事甲1545号通達21版(出生138)
YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の年齢が学齢を越えています。受理してよろしいですか?」を表示	/		第18版変更 ↓
YES	(4-1)→(7)へ	/		↓
NO	(4-2)→		(5)3.0審査へ	受理照会 ↓ 昭和36.5.12～13佐賀県戸協決 ↓
NO	(6)→(7)へ	/		↓
(7)母の生年月日 + 50年(50歳以上) ≦ 子の出生日(YES,NO)		/		平成26.7.3民一737号通達　21版(出生138)
YES	(7-1)確認メッセージ(YES,NO) 「出生時、母年齢が50歳以上です。出生施設は医療法上の病院ですか?」を表示			第18版変更 ↓
YES	(7-2)→(10-1)へ	/		第19版変更
NO	(8)エラーメッセージ 「出生当時の母の年齢が50歳を越えています。」を表示		(9)3.0審査へ	受理照会　第18版変更 昭和36.9.5民事甲2008号通達 ↓
NO	(10)→(10-1)へ	/		↓
(10-1)在外送付区分 ＝ 0:受理分(YES,NO)		/		送付分の届書は受理照会の対象外とする。
YES	(10-2)→(11)へ	/		↓
NO	(10-3)→(21)へ	/		↓
(11)出生証明書区分 ≠ 1　かつ　届出人.資格 ≠ 船長　かつ　出生子.出生区分 ≠ 4(YES		/		戸49III
YES	(12)エラーメッセージ 「出生証明者が医師・助産師以外です。」を表示		(13)3.0審査へ	受理照会,昭和23.12.1民事甲1998号回答 昭和54.9.27～28高知県連協決
NO	(14)→(15)へ	/		
(15)出生子の出生場所 ＝ 国内である(YES,NO)		/		
YES	(16)出生子の生年月日+14日(14日未満) ＞ 受領日(YES,NO)	/		戸49I　21版(出生138)
YES	(17)→(21)へ	/		
NO	(18)エラーメッセージ 「出生の届出が出生日から14日を過ぎています。」を表示		(19)3.0審査へ	受理 (失期通知を裁判所へ提出)
NO	(20)→(21)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	72/95

処理名	3.18 審査1/2(受理照会等)			根拠法令(マニュアル処理)
(21)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
YES	(22)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内　かつ　新戸籍の本籍 ＝ 管外(YES,NO)	/		
YES	(22-1)在外送付区分 ＝ 0:受理　又は2:在外公館の直接送付(YES,NO)	/		
YES	(23)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
YES	(24)→(37)へ	/		
NO	(26)エラーメッセージ 「本・非本区分け2(非本籍)でなければなりません。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
NO	(26-1)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
YES	(26-2)→(37)へ	/		
NO	(26-3)エラーメッセージ 「本・非本区分け1(本籍)でなければなりません。」を表示		(26-4)3.0審査へ	不受理
NO	(27)→(28)へ	/		
NO		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	73/95

処理名	3.18 審査2/2(受理照会等)			根拠法令(マニュアル処理)
(28)入るべき戸籍の本籍 ＝ 管内又は新戸籍の本籍 ＝ 管内(YES,NO)		/		
YES	(29)本・非本区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
	YES (30)→(37)へ	/		
	NO (31)エラーメッセージ 「本・非本区分は1(本籍)でなければなりません。」を表示		(32)3.0審査へ	不受理
NO	(33)本・非本区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
	YES (34)→(37)へ	/		
	NO (35)エラーメッセージ 「本・非本区分は2(非本籍)でなければなりません。」を表示		(36)3.0審査へ	不受理
(37)出生子の出生区分 ＝ 2 かつ 入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 届書の母外国人区分 ＝ 1 かつ 胎児認知日 ＝ スペース かつ 在外送付区分 ＝ 1(YES,NO)		/		
YES	(38)報告区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
	YES (39)→		(40)3.0審査へ	
	NO (41)エラーメッセージ 「報告区分は1(創設的届出)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(42)報告区分 ＝ 2(YES,NO)	/		
	YES (43)→		(44)3.0審査へ	
	NO (45)エラーメッセージ 「報告区分は2(報告的届出)でなければなりません。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	74/95

処理名	3.19 審査1/3(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		民772II
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3)3.0審査へ	
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	昭28.7.20 民事甲 1238号回答
YES	(14)→(63)へ	/		
NO	(15)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)	/		
0	(19)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
YES	(20)中間F(届書).父未定区分に1を移送	/		戸54
	(21)→(63)へ	/		
NO	(22)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		(23)3.0審査へ	不受理 昭20.9.24 民事特甲 408号回答 昭24.9.5 民事甲 1942号回答
1	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示			不受理
1.2	(25)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(26)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(27)3.0審査へ	不受理
2	(28)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(29)→(63)へ	/		
NO	(30)→		(31)3.0審査へ	不受理
3	(32)→(63)へ	/		民773.戸49II1
4	(39)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		
1.3	(39-1)→(63)へ	/		

処理名				3.19 審査2/3(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			2	(39-2)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(39-3)3.0審査へ	不受理
	NO	(40)→(41)へ			/		
NO							
(41)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)					/		
0	(42)→(63)へ				/		
1,2	(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)				/		民775
	1	(44)→(78)へ			/		
	2	(53)→(63)へ			/		
3	(54)→(63)へ				/		民773
4	(62)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)				/		
	1,3	(62-1)→(63)へ			/		
	2	(62-2)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示				(62-3)3.0審査へ	不受理
(63)入るべき戸籍の嫡出子例外区分(0:無,1:有)					/		
0	(64)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)				/		戸49II1
	YES	(65)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)			/		
		YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)		/		
			YES	(67)→		(68)3.0審査へ	
			NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
		NO		(70)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理
	NO	(71)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示					不受理
1	(72)→(78)へ				/		
(78)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)					/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	76/95

処理名	3.19 審査3/3(母日本人,父外国人婚姻後201日以降出生)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(79)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペースかつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(79-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 = 管外 かつ入るべき戸籍の母入籍事件日 = スペース(YES,NO)	/		21版(出生211)
YES	(79-2)→(88)へ	/		21版(出生211)
NO	(79-3)→(80)へ	/		21版(出生211)
	(80)入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペースかつ 入るべき戸籍の母除籍日 = スペース(YES,NO)	/		
YES	(81)→(88)へ	/		
NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(83)3.0審査へ	
YES	(84)→(88)へ	/		
NO	(85)→		(86)3.0審査へ	不受理
NO	(87)→(88)へ	/		
	(88)出生子の出生区分 = 3(YES,NO)	/		
YES	(89)出生子の生年月日 = 和暦(YES,NO)	/		
YES	(90)→		(91)3.0審査へ	
NO	(92)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(93)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(107)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	77/95

処理名	3.20 審査1/3(母日本人･父外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3)3.0審査へ	民772
YES	(4)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(6)3.0審査へ	
YES	(7)→(47)へ	/		
NO	(8)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(9)3.0審査へ	不受理
1	(10)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(11)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(12)3.0審査へ	不受理
2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(14)→(47)へ	/		
NO	(15)→		(16)3.0審査へ	不受理
2	(17)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(18)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(21)→(47)へ	/		
NO	(22)→		(23)3.0審査へ	不受理
3	(24)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(25)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	78/95

処理名				3.20 審査2/3(母日本人,父外国人婚姻後200日以内出生)			根拠法令(マニュアル処理)
			1,3	(26)→(47)へ	/		
			2	(27)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(28)3.0審査へ	不受理
	NO			(29)→(30)へ	/		
NO							
(30)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)					/		
0				(31)→(47)へ	/		
1				(32)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
	1			(33)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(34)3.0審査へ	不受理
	2			(35)→(47)へ	/		
2				(36)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
	1			(37)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/		
		YES		(38)→(53)へ	/		
		NO		(39)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示		(40)3.0審査へ	不受理
	2			(41)→(47)へ	/		
3				(42)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(42-1)3.0審査へ	不受理
4				(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		
	1			(44)→(47)へ	/		
	2			(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(46)3.0審査へ	不受理
(47)届出人 ＝ 母　かつ　出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)					/		昭和26.6.27 民事甲　1332号回答
YES				(48)→(53)へ	/		
NO				(49)出生子の出生区分 ＝ 1(YES,NO)	/		戸49II1
	YES			(50)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	79/95

処理名	3.20 審査3/3(母日本人,父外国人婚姻後200日以内出生)		根拠法令(マニュアル処理)
YES	(51)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/	
YES	(51-1)→		(51-2)3.0審査へ
NO	(51-3)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
NO	(51-4)エラーメッセージ 「現夫の嫡出子です。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		不受理
NO	(52)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は1(嫡出子)でなければなりません。」を表示		不受理
(53)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/	
YES	(54)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 ＜ 出生子の生年月日(YES,NO)	/	
YES	(54-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 ＝ スペース(YES,NO)	/	21版(出生211) 21版(出生211)
YES	(54-2)→(63)へ	/	21版(出生211)
NO	(54-3)→(55)へ	/	21版(出生211)
	(55)入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)	/	
YES	(56)→(63)へ	/	
NO	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(58)3.0審査へ
YES	(59)→(63)へ	/	
NO	(60)→		(61)3.0審査へ 不受理
NO	(62)→(63)へ	/	
	(63)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)	/	
YES	(64)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/	
YES	(65)→		(66)3.0審査へ
NO	(67)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示		不受理
NO	(68)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示		不受理
NO	(69)エラーメッセージ 「現夫による胎児認知は出来ません。胎児認知無効の処理を行って下さい。」を表示		不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	80/95

処理名	3.21 審査1/4(母日本人･父外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(3)3.0審査へ	民772
YES	(11)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(13)3.0審査へ	
YES	(14)→(59)へ	/		
NO	(15)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理
1	(17)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(18)エラーメッセージ 「嫡出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
2	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-1)→(59)へ	/		
NO	(20-2)→		(20-3)3.0審査へ	不受理
2	(20-4)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(20-5)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(20-6)3.0審査へ	不受理
2	(20-7)確認メッセージ(YES,NO) 「現夫の出生子として処理を続行しますか。」を表示			
YES	(20-8)→(59)へ	/		
NO	(20-9)→		(20-10)3.0審査へ	不受理
3	(21)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
4	(22)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787.昭和41.3.14 民事甲　655号回答

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	81/95

処理名	3.21 審査2/4(母日本人,父外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
1,3	(23)→(59)へ	/		
2	(24)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(25)3.0審査へ	不受理
NO	(38)→(39)へ	/		
NO		/		
(39)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(40)→(59)へ	/		
1,2 3	(41)エラーメッセージ 「認知以外の裁判区分を入力することは出来ません。」を表示		(42)3.0審査へ	不受理
4	(43)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
1.3	(44)→(59)へ	/		戸49II1
2	(45)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(46)3.0審査へ	不受理
(59)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(59-1)裁判の区分 ＝ 4　かつ　対象父区分 ＝ 1又は3(YES,NO)	/		
YES	(59-2)→(112)へ	/		
NO	(59-3)→(60)へ	/		
(60)届出人の資格 ＝ 001又は005(YES,NO)		/		戸62,大正8.9.13民　3686号回答
YES	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子は死亡していますか。」を表示		(62)3.0審査へ	民783II前段 大正6.3.6民　197号回答
YES	(63)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子には、直系卑属がいるものとして処理を続行しますか。」を表示			民783II前段
YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属は成年に達していますか。」を表示			民3,783II後段
YES	(65)確認メッセージ(YES,NO) 「直系卑属の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	82/95

処理名	3.21 審査3/4(母日本人,父外国人婚姻前出生)		根拠法令(マニュアル処理)
	YES (66)→(112)へ	/	
	NO (70)→	(71)3.0審査へ	不受理
	NO (72)→(112)へ	/	
	NO (75)→		不受理
	NO (75-1)受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)	/	R2.1(出生150)
	YES (75-2)子の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	/	民3,782 R2.1(出生150)
	YES (75-3)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示	(75-4)3.0審査へ	大正7.5.30民1159号回答 R2.1(出生150) 昭和43.4.5民事甲689号回答 R2.1(出生150) R2.1(出生150)
	YES (75-5)→(112)へ	/	R2.1(出生150)
	NO (75-6)→	(75-7)3.0審査へ	不受理 R2.1(出生150)
	NO (75-8)→(112)へ	/	R2.1(出生150)
	NO (76)子の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	/	民3,782 21版(出生138)
	YES (77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知に対する出生子の承諾があるものとして処理を続行しますか。」を表示	(78)3.0審査へ	大正7.5.30 民 1159号回答 昭和43.4.5 民事甲 689号回答
	YES (79)→(112)へ	/	
	NO (82)→	(83)3.0審査へ	不受理
	NO (84)→(112)へ	/	
NO	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が父･父母以外の為、準正嫡出子にはなれませんがよろしいですか。」を表示	(89)3.0審査へ	
	YES (88-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 ＝ スペース(YES,NO)	/	21版(出生211) 21版(出生211)
	YES (88-2)→(118)へ	/	21版(出生211)
	NO (88-3)→(90)へ	/	21版(出生211)
	(90)入るべき戸籍の母入籍事件日<出生子の生年月日(YES,NO)	/	
	YES (91)→(118)へ	/	
	NO		22版(出生143) 22版(出生143) 22版(出生143) 22版(出生143)
	(94)入るべき戸籍の母入籍事件日>出生子の生年月日(YES,NO)	/	

				YES	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(96)3.0審査へ		
					YES	(97)→(118)へ	/		
					NO	(98)→		(99)3.0審査へ	不受理
				NO		(100)→			受理照会
		NO	(101)→						不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	83/95

処理名	3.21審査4/4(母日本人,父外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(111)→(112)へ	/		
(112)出生子の出生区分 ＝ 2(YES,NO)		/		
YES	(113)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (114)→		(115)3.0審査へ	
	NO (116)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(117)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は2(準正嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
(118)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		
YES	(119)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
	YES (120)→		(121)3.0審査へ	
	NO (122)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(123)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	84/95

処理名	3.22審査1/4(母日本人,父外国人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示		(3)3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ	/		
	(5)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(7)3.0審査へ	民772
YES	(8)裁判の区分(0:無,1:摘出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の摘出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(10)3.0審査へ	
YES	(11)→(42)へ	/		
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の摘出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		**(13)3.0審査へ**	不受理
1	(14)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(14-1)エラーメッセージ 「摘出否認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(14-2)3.0審査へ	不受理
2	(15)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	/		
YES	(16)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(17)→(42)へ	/		
NO	(18)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(19)3.0審査へ	不受理
YES	(19-1)→(42)へ	/		
NO	(19-2)→		(19-3)3.0審査へ	不受理
NO	(20)→(42)へ	/		
2	(21)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(22)エラーメッセージ		(22-1)3.0審査へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	85/95

処理名				3.22 審査2/4(母日本人,父外国人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
				「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示			
			2	(22-2)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	/		
			YES	(22-3)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/		
				YES (22-4)→(42)へ	/		
				NO (22-5)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(22-6)3.0審査へ	
				YES (22-7)→(42)へ	/		
				N O (22-8)→		(22-9)3.0審査へ	不受理
			NO	(22-10)→(42)へ			
		3		(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理 民773
		4		(24)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
			1,3	(25)→(65)へ	/		
			2	(28)エラーメッセージ 「前夫の出生子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(29)3.0審査へ	不受理
	NO			(30)→(31)へ	/		
NO							
(31)裁判の区分(0:無,1:摘出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)					/		
0				(32)→(42)へ	/		
1				(33)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
	1			(33-1)エラーメッセージ 「摘出否認裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-2)3.0審査へ	不受理
	2			(33-3)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
		YES		(33-4)→(42)へ	/		
		NO		(33-5)→		(33-6)3.0審査へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	86/95

処理名	3.22 審査3/4(母日本人,父外国人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
2	(33-7)対象父区分(1:現夫,2:前後夫)	/		民775
1	(33-8)エラーメッセージ 「親子関係不存在確認の裁判の対象父を確認して下さい。」を表示		(33-9)3.0審査へ	不受理
2	(33-10)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示			
YES	(33-11)→(42)へ	/		
NO	(33-12)→		(33-13)3.0審査へ	不受理
3	(34)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示			不受理
4	(35)対象父区分(1:現夫,2:前後夫,3:届書の父)	/		民787
1,3	(36)→(65)へ	/		
2	(40)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示		(41)3.0審査へ	不受理
(42)胎児認知日 ＝ スペース(YES,NO)		/		
YES	(43)出生子の生年月日 ≧ 平成2年1月1日(YES,NO)	/		改正法例(平成2年1月1日施行)
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「父は事実主義国の外国人として処理を続行しますか。」を表示		(45)3.0審査へ	法18I
YES	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「父の事実主義に関する証明書の添付があるものとして処理を続行しますか。」を表示			平成元年.10.2　民二3900号通達 第3の2(2)ア
YES	(47)→(65)へ	/		
NO	(48)→		(49)3.0審査へ	不受理
NO	(50)エラーメッセージ 「改正法例前における事実主義にもとずく父欄の入力は出来ません。」を表示			不受理
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO) 「母に婚姻の履歴はありませんね。」を表示			
YES	(62)→(65)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	87/95

処理名	3.22 審査4/4(母日本人,父外国人,母未婚･婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(63)→		(64)3.0審査へ	不受理
(65)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)		/		戸49II1
YES	(66)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)	/		
YES	(67)→		(68)3.0審査へ	
NO	(69)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			不受理
NO	(70)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		
		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	88/95

処理名	3.21 審査2/4(母日本人･父外国人婚姻前出生)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書の母欄 ≠ スペース(YES,NO)		/		
YES	(2)エラーメッセージ 「届書の母を入るべき戸籍の母欄へ入力して下さい。」を表示		(3).3.0審査へ	不受理
NO	(4)→(5)へ	/		
(5)入るべき戸籍の母前婚姻解消日 + 300日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)		/		
YES	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「出生日は、母と前夫が婚姻した翌日から201日以降ですか。」を表示		(7)3.0審査へ	民772
YES	(8)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)	/		
0	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「前夫の嫡出の推定を排除する例外事由がありますか。」を表示		(10)3.0審査へ	
YES	(11)→(38)へ	/		
NO	(12)エラーメッセージ 「前夫の嫡出子です。前夫及び前夫との婚姻事項を入力して下さい。」を表示		(13)3.0審査へ	不受理
1,2	(14)出生子の生年月日 ≦ 入るべき戸籍の母前婚姻解消日(YES,NO)	/		民775
YES	(15)裁判の子の氏変更申出区分 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES	(16)→(38)へ	/		
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「出生子の入るべき戸籍は、入力した戸籍でよろしいですね。」を表示		(18)3.0審査へ	不受理
YES	(19)→(38)へ	/		
NO	(20)→		(21)3.0審査へ	不受理
NO	(22)→(38)へ	/		
3	(23)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(24)3.0審査へ	不受理 民773
4	(25)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	89/95

処理名	3.23 審査2/2(母日本人未婚・婚姻解消後出生)			根拠法令(マニュアル処理)
	NO (26)→(27)へ	/		
NO		/		
(27)裁判の区分(0:無,1:嫡出否認,2:親子関係不存在,3:父を定める訴,4:強制認知)		/		
0	(28)→(38)へ	/		
1,2	(29)入るべき戸籍の婚姻解消日 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の婚姻解消日 < 出生子の生年月日(YES,NO)	/		
	YES (29-1)入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース かつ 入るべき戸籍の本籍 ＝ 管外 かつ 入るべき戸籍の母入籍事件日 ＝ スペース(YES,NO)	/		21版(出生211)
	YES (29-2)→(38)へ	/		21版(出生211)
	NO (29-3)→(30)へ	/		21版(出生211)
	(30)入るべき戸籍の母入籍事件日 ≠ スペースかつ入るべき戸籍の母除籍日 ＝ スペース(YES,NO)	/		21版(出生211)
	YES (31)→(38)へ	/		
	(32)エラーメッセージ 「出生子は、母の現在戸籍への入籍です。母の現在戸籍を入力して下さい。」を表示		(33)3.0審査へ	不受理
	NO (34)→(38)へ	/		
3	(35)エラーメッセージ 「父を定める訴の裁判は入力出来ません。」を表示		(36)3.0審査へ	不受理
4	(37)エラーメッセージ 「強制認知の裁判の対象父を入るべき戸籍又は届書の父欄に入力して下さい。」を表示	/		不受理
(38)出生子の出生区分 ＝ 3(YES,NO)				戸49II1
YES	(39)出生子の生年月日 ＝ 和暦(YES,NO)			
	YES (40)→		(41)3.0審査へ	不受理
	NO (42)エラーメッセージ 「出生子の生年月日は、和暦でなければなりません。」を表示			
NO	(43)エラーメッセージ 「出生子の出生区分は3(非嫡出子)でなければなりません。」を表示			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	90/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　1/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面,その他

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		出生(その1)面面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							01(出生届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0:1 在外送付区分 ≠ 0:2
	本非区分			本･非本区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			報告区分				
	渉外区分			外国人区分(届書父) 外国人区分(届書母) 国籍留保届出人区分				父母双方に入力がある場合 　父母双方日本人　　:0 　父母の一方が日本人:1 　父母双方外国人　　:2 父母の一方に入力がある場合 　入力がある者は日本人:0 　入力がある者は外国人:2 但し、上記区分 ＝ 0であるとき 　国籍留保届出人 ≠ 0の場合:1
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人サブシステム インターフェイス	戸籍番号				入るべき戸籍,届書の父,届書の母が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(4)							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	91/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　2/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面,その他

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	ロック戸籍番号(5)							
	事件別内容		出生入力画面					3/6～6/6参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理、又は2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理伺いをセットする。審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							受領No. ＝ スペース:0を移送
	届書排他区分							再入力の場合:1

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	92/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　3/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容								
	出生証明書区分		出生(その1)面面	出生証明書区分				
	出生子のカナ氏名			出生子.カナ氏名				
	〃　漢字氏名			〃　.漢字氏名				
	〃　生年月日			〃　.生年月日				
	〃　出生区分			〃　.出生区分				
	〃　続柄コード			〃　.続柄コード				
	〃　出生地コード			〃　.出生地		有		
	〃　出生地							
	〃　国籍コード			〃　.国籍		有		
	〃　国籍							
	〃　住所コード			〃　.住所		有		
	〃　住所							
	〃　世帯主氏名			〃　.世帯主氏名				
	〃　世帯主との続柄コード			〃　.世帯主との続柄コード				
	届出人の資格コード			届出人.資格コード				
	〃　資格名称			〃　.資格名称				
	〃　氏名			〃　.氏名				
	入るべき戸籍の婚姻日		出生(その2)画面	入るべき戸籍.婚姻日				
	〃　嫡出子例外区分			〃　.嫡出子例外区分				
	〃　婚姻解消日			〃　.婚姻解消日				
	〃　母前婚姻解消日			〃　.母前婚姻解消日				
	〃　本籍コード			〃　.本籍		有		
	〃　本籍							
	〃　筆頭者氏名			〃　.筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	93/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　4/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	入るべき戸籍の 父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の父の個人番号を移送
	〃 父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	〃　父漢字氏名		出生(その2)面面	入るべき戸籍.父氏名				
	〃　父筆頭者区分			〃　.父筆頭者区分				
	〃　父生年月日			〃　.父生年月日				
	〃　父入籍事件日			〃　.父入籍事件日				
	〃　父除籍日			〃　.父除籍日				
	〃　父配偶者区分			〃　.父配偶者区分				
	〃　母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、入るべき戸籍の母の個人番号を移送
	〃　母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	〃　母漢字氏名		出生(その2)面面	入るべき戸籍.母氏名				
	〃　母筆頭者区分			〃　.母筆頭者区分				
	〃　母生年月日			〃　.母生年月日				
	〃　母入籍事件日			〃　.母入籍事件日				
	〃　母除籍日			〃　.母除籍日				
	〃　母配偶者区分			〃　.母配偶者区分				
	届書の父個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の父の個人番号を移送
	〃　父カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	〃　父漢字氏名		出生(その2)面面	届書.父氏名				
	〃　父本籍コード			〃.父本籍		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	94/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　5/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	届書の父本籍		出生(その2)画面	届書.父本籍				
	〃　父生年月日			〃.父生年月日				
	〃　父筆頭者氏名			〃.父筆頭者区分				
	〃　父外国人区分			〃.父外国人区分				
	〃　母個人番号		サブシステム インターフェイス					本籍人の場合、届書の母の個人番号を移送
	〃　母カナ氏名							本籍人:本籍人サブシステム 非本籍人:非本籍人サブシステム
	〃　母漢字氏名		出生(その2)面面	届書.母氏名				
	〃　母本籍コード			〃.母本籍		有		
	〃　母本籍							
	〃　母生年月日			〃.母生年月日				
	〃　母筆頭者氏名			〃.母筆頭者区分				
	〃　母外国人区分			〃.母外国人区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日				
	関連受領番号			関連受領番号				西暦の頭2桁 + 関連受領番号を移送
	新戸籍の本籍コード		出生(その3)面面	新戸籍.本籍				
	〃　本籍							
	〃　筆頭者カナ氏名		サブシステム インターフェイス					
	〃　筆頭者漢字氏名		出生(その3)面面	〃.筆頭者				
	国外の 国籍留保届出人資格			国外. 国籍留保届出人区分				
	〃　在外公館名称			〃.在外公館名				
	裁判の区分			裁判.区分				

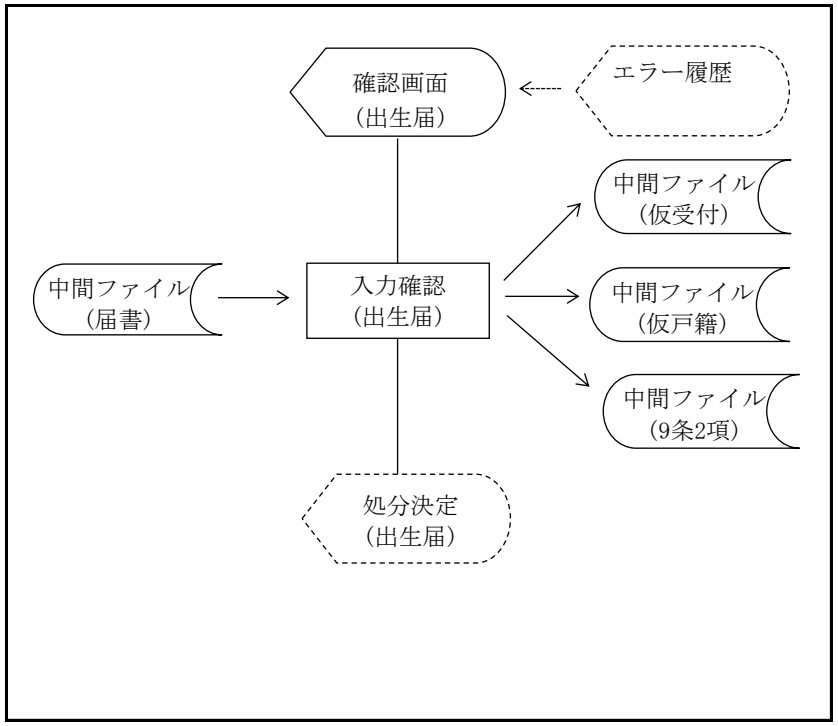
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	95/95

処理名	4.0　中間ファイル(届書)　6/6	(受取側)中間ファイル(届書)	←(引渡側)届出書入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	裁判の確定日		出生(その3)画面	裁判.確定日				
	〃子の氏変更申出区分			〃 .子の氏変更申出				
	〃対象父氏名			〃 .対象父氏名				
	〃対象父の生年月日			〃 .対象父生年月日				
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				
	大使館職員区分		審査処理					
	国外遅延理由区分							
	父未定区分							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/39

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する
(2)戸籍変動状況を確定する
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する
(6)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編成マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
    - 3.1 事件本人(子)　出生
    - 3.2 事件本人(父)　認知(62条)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
    - 4.1 事件本人　認知(62条)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 父(変動なし)/62条
    - 5.2 父(変動なし)/胎児認知
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 母(除籍)
    - 6.2 母(入籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 7.1 出生子(入籍)
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 8.1 出生子(入籍)
    - 8.2 出生子(記録[親権])/協議
    - 8.3 出生子(入籍[棄児])
    - 8.4 出生子(記録[胎児認知])
  - 9.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 9.1 出生子
    - 9.2 母

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/39

処理名	0.0　本紙　1/2			根拠法令(マニュアル処理)
(1)　中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する　[1.0] 「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」		/		
(2)　キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)		/		
実行キー	(3)　中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する　[2.0]	/		
	(4)　出生子.出生区分 ＝ 2　かつ　在外送付区分 ＝ 1　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4　かつ　入るべき戸籍.父氏名 ≠ スペース　かつ　届書.母外国人区分 ＝ 1(YES,NO)	/		
	YES　(5)　中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する　[4.0]	/		認知(62条)受付作成
	YES　(6)　中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する　[4.1]	/		
	NO　(7)　中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する　[3.0]	/		出生受付作成
	NO　(8)　中間ファイル(仮受付[事件本人(出生子)])を編集・出力する　[3.1]	/		
	NO　(9)　出生区分 ＝ 2　かつ　胎児認知日 ＝ スペース　かつ　裁判の区分 ≠ 4(YES,NO)	/		
	NO　YES　(10)中間ファイル(仮受付[事件本人(父)])を編集・出力する　[3.2]	/		
	NO　NO　(11)→(12)へ	/		
	(12)父 ＝ 本籍人(YES,NO)	/		
	YES　(13)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			
	YES　父の変動なし(身分事項)　(14)父の記録事項の編集(62条)　[5.1]	/		
	YES　父の変動なし(身分事項)　(15)父の記録事項の編集(胎児認知)　[5.2]	/		
	NO　(16)→(17)へ	/		
	(17)母 ＝ 本籍入(YES,NO))	/		
	YES　(18)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			
	YES　母の除籍(身分事項)　(19)母の除籍事項の編集　[6.1]	/		
	YES　母の入籍(身分事項)　(20)母の入籍事項の編集　[6.2]	/		
	NO　(21)→(22)へ	/		
	(22)出生子 ＝ 本籍人　かつ　出生子の生年月日 ＝ 和暦　かつ　父未定区分 ≠ 2(YES,N	/		
	YES　(23)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			
	YES　子の入籍(個人特定)　(24)出生子の記録事項の編集　[7.1]	/		
	YES　子の入籍(身分事項)　(25)出生子の記録事項の編集　[8.1]	/		
	YES　子の入籍(身分事項)　(26)出生子の記録事項の編集　[8.3]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/39

処理名	0.0　本紙　2/2		根拠法令(マニュアル処理)
	子の記録(身分事項)　(27)出生子の記録事項の編集　[8.4]	/	
	(28)出生子の出生区分 ＝ 1　かつ　父母婚姻解消日 ≠ スペース　かつ　父未定区分 ＝ 0　かつ　父母婚姻解消日+301日 ≧ 出生子の生年月日(YES,NO)	/	
	YES　子の記録(身分事項)　(29)出生子の記録事項の編集　[8.2]	/	
	NO　(30)→(31)へ	/	
	NO		
	(31)在外送付区分 ＝ 0又は2　かつ　出生子の生年月日 ＝ 和暦　かつ　父未定区分 ≠ 2(YES,NO)	/	
	YES　(32)戸籍変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	/	
	(33)出生子の編集　[9.1]	/	
	(34)→(35-1)へ	/	
	NO　(35)→(35-1)へ	/	
	(35-1)在外送付区分 ＝ 0又は2　かつ　出生子の出生区分 ≠ 4　かつ(入るべき戸籍の母 ≠ スペース　又　は届書の母外国人区分 ＝ 0)(YES,NO)	/	
	YES　(35-2)戸籍変動状況(母につき新戸籍編製)をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	/	
	(35-3)母の編集　[9.2]		(35-4)処分決定に制御を渡す
	NO　(35-5)→		
PF1	―――――→		(36)業務選択に制御を渡す
PF2	―――――→		(37)届出選択に制御を渡す
PF5	―――――→		(38)届書入力(出生届)に制御を渡す
PF7	(39)前ページがあるか(YES,NO)	/	
	YES　(40)前ページ出生確認画面表示		(41)同画面を編集する
	NO　(42)「先頭ページです。」を表示		
PF8	(43)次ページあるか(YES,NO)	/	
	YES　(44)次ページ出生確認画面表示		(45)同画面を編集する
	NO　(46)「最終ページです。」を表示		
PF11	―――――→		(47)エラー履歴画面に制御を渡す
その他	(48)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示		(49)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/39

処理名	1.0 入力確認(出生)表示1/4	(受取側)出生届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
出生届確認画面 共通域	画面ID			画面ID				画面ID
	システム日付			システム日付				システム日付
	支所No.		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No.			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元		有		
	在外			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非本区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態			動態区分				
	報告			報告区分				
出生(その1)確認画面	出生証明書区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	出生証明書区分				
	出生子.カナ氏名			出生子のカナ氏名				
	出生子.漢字氏名			出生子の漢字氏名				
	出生子.生年月日			出生子の生年月日		有		
	出生子.出生区分			出生子の出生区分				
	出生子.続柄			出生子の続柄				
	出生子.出生地			出生子の出生地コード 出生子の出生地		有		
	出生子.国籍			出生子の国籍コード 出生子の国籍		有		
	出生子.住所			出生子の住所コード 出生子の住所		有		
	出生子.世帯主名			出生子の世帯主氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/39

処理名	1.0 入力確認(出生)表示2/4	(受取側)出生届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
出生(その1)確認画面	出生子. 世帯主との続柄		中間ファイル(届書) 事件別内容	出生子の世帯主との続柄				
	届出人.資格			届出人の資格				
	届出人.資格名称			届出人の資格名称				
	届出人.氏名			届出人の氏名				
出生(その2)確認画面	入るべき戸籍. 婚姻日			入るべき戸籍の父母婚姻日		有		
	入るべき戸籍. 嫡出子例外			入るべき戸籍の嫡出子例外				
	入るべき戸籍. 婚姻解消日			入るべき戸籍の婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍. 母前婚姻解消日			入るべき戸籍の母前婚姻解消日		有		
	入るべき戸籍.本籍			入るべき戸籍の本籍コード 入るべき戸籍の本籍		有		
	入るべき戸籍.筆頭者			入るべき戸籍の筆頭者				
	人るべき戸籍.父氏名			入るべき戸籍の父氏名				
	人るべき戸籍. 父筆頭者区分			入るべき戸籍の父筆頭者区分				
	入るべき戸籍. 父生年月日			入るべき戸籍の父生年月日		有		
	入るべき戸籍. 父入籍事件日			入るべき戸籍の父入籍事件日		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/39

処理名	1.0 入力確認(出生)表示3/4	(受取側)出生届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
出生(その2)確認画面	入るべき戸籍. 父除籍事件日		中間ファイル(届書) 事件別内容	入るべき戸籍の父除籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 父配偶者区分			入るべき戸籍の父配偶者区分				
	入るべき戸籍.母氏名			入るべき戸籍の母氏名				
	入るべき戸籍. 母筆頭者区分			入るべき戸籍の母筆頭者区分				
	入るべき戸籍. 母生年月日			入るべき戸籍の母生年月日		有		
	入るべき戸籍. 母入籍事件日			入るべき戸籍の母入籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 母除籍事件日			入るべき戸籍の母除籍事件日		有		
	入るべき戸籍. 母配偶者区分			入るべき戸籍の母配偶者区分				
	届書.父氏名			届書の父氏名				
	届書.父本籍			届書の父本籍コード 届書の父本籍		有		
	届書.父生年月日			届書の父生年月日		有		
	届書.父筆頭者氏名			届書の父筆頭者氏名				
	届書.父外国人区分			届書の父外国人区分				
	届書.母氏名			届書の母氏名				
	届書.母本籍			届書の母本籍コード 届書の母本籍		有		
	届書.母生年月日			届書の母生年月日		有		
	届書.母筆頭者氏名			届書の母筆頭者氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/39

処理名	1.0 入力確認(出生)表示4/4	(受取側)出生届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
出生(その2)確認画面	届書.母外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	届書の母外国人区分				
	胎児認知区分			母胎児認知区分				
	胎児認知日			胎児認知日		有		
	関連受領番号			関連受領番号				3桁目より7桁を表示
出生(その3)確認画面	新戸籍.本籍			新戸籍の本籍コード 新戸籍の本籍		有		
	新戸籍.筆頭者氏名			新戸籍の筆頭者氏名				
	国外.国籍留保届区分			国外の国籍留保届区分				
	国外.在外会館名			国外の在外公館名				
	裁判.区分			裁判の区分				
	執判.確定日			裁判の確定日		有		
	裁判.子の氏変更申出			裁判の子の氏変更申出		有		
	裁判.対象父氏名			裁判の対象父氏名				
	裁判.対象父生年月日			裁判の対象父生年月日		有		
	国内遅延理由区分			国内遅延理由区分				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	8/39

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 1/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
1	○				○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
2	○				○		○										－	－						子(7.1) 子(8.1)					
3	○								－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)			
4	○									○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
5		○			○		－	－			○		－	－	－	－						子(7.1) 子(8.1)							
6		○			○		－	－			○		－	－	－	－			○			子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)						
7		○			○		○										○								父(5.1)				
8		○			○		○										－	－	○					子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)	父(5.2)				
9		○							－	－	○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)			
10		○							－	－	○		○		－	－			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
11		○								○								○		○									子(7.1) 子(8.1)
12			○								○		○		－	－										子(7.1) 子(8.1)			
13			○			○	－	－			○		○		－	－			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
14			○		○		－	－			○		○		－	－			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	9/39

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 2/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
15			○								○			○	○					○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
16			○			○	－	－			○			○	○				○	○						母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
17			○		○		－	－			○			○	○				○	○				父(5.2)		母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
18			○								○			○		○				○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
19			○			○	－	－			○			○		○			○	○							母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
20			○		○		－	－			○			○		○			○	○				父(5.2)			母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
21			○								○			○	○						○					母(6.1)		
22			○		○		－	－			○			○	○				○		○			父(5.2)		母(6.1)		
23			○								○			○		○					○						母(6.1)	
24			○		○		－	－			○			○		○			○		○			父(5.2)			母(6.1)	
25			○									○		○	－	－				○								母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
28			○			○	－	－									○		○	○								子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/39

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　3/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
					日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2												
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
29			○		○		−	−									○		○	○					父(5.2)				子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
30			○															○		○									子(7.1) 子(8.1)
31			○			○	−	−										○	○	○									子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
32			○		○		−	−										○	○	○					父(5.2)				子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
33				○																○									子(7.1) 子(8.3)
34			○		○		−	−									○		○		○				父(5.2)				
35			○		○		−	−										○	○		○				父(5.2)				
36			○						○		○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
37			○						○		○			○	○					○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
38			○						○		○			○		○				○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
39			○						○		○			○	○						○						母(6.1)		
40			○						○		○			○		○					○							母(6.1)	
41			○						○			○		○	−	−				○									母(6.2) 子(7.1) 子(8.1)
42		○			○		○											○						子(7.1) 子(8.1)					

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/39

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　3-1/3

項番	出生区分				父						母								胎児認知有	新戸籍編製		父母の戸籍		父の戸籍		母の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1*1 D.1
	嫡出子	準正嫡出子	非嫡出子	棄児	日本人				外国人*2	無国籍*2	日本人						外国人*2	無国籍*2		管内	管外	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	変動なし	一部記録 A.2 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	
					本籍		構成				本籍		構成		他の在籍者															
					本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無														
43 *3	○				○		○				−	−	−	−	−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)					
44 *3	○				−	−	−	−	−	−	○		○		−	−										子(7.1) 子(8.1)			
45			○						−	−	○		○		−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
46			○						−	−	○			○	○				○	○							母(6.1)		母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
47			○						−	−	○			○	○				○		○						母(6.1)		
48			○						−	−	○			○		○			○	○								母(6.1)	母(6.2) 子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)
49			○						−	−	○			○		○			○		○							母(6.1)	
50 *4			○								○			○	−	−										子(7.1) 子(8.1)			
51 *4			○		○		−	−			○			○	−	−			○						父(5.2)	子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
52 *4			○			−	−	−	−	−	○			○	−	−			○							子(7.1) 子(8.1) 子(8.4)			
53 *5			○		○		−	−			○		−	−	−	−						子(7.1) 子(8.1)							

＊1：母につき新戸籍編製時の母の個人特定についての編集を指す。
＊2：届書の父母欄より判断する。
＊3：項番43～44：父母の婚姻解消日 ≠ スペース かつ　入るべき戸籍に入力のある父又は母の場合を指す。
＊4：項番50～52：母の配偶者区分 ≠ 0の条件が成り立つ時に処理する。
＊5：項番51：父母婚姻中の場合に処理する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	12/39

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付) 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付[受付])	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			出生子の出生区分 国籍留保届出区分 胎児認知日 裁判の区分	･出生子の出生区分 ＝ 3(非嫡)&入るべき戸籍の母 ＝ 本籍人&新戸籍の本籍 ＝ 非本籍&在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)or2(在外公館の直接送付)or3(在外公館の国内経由):4401(その他)。 ･国籍留保届出区分 ≠ スペース:0102(出生:国籍留保) ･出生子の出生区分 ＝ 2(準嫡)&以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース&裁判の区分 ≠ 4):0103(出生･認知) (胎児認知日 ≠ スペースor裁判の区分 ＝ 4):0101(出生) ･出生子の出生区分 ＝ 4(棄児):0104(出生･棄児発見) ･国籍留保届出区分 ≠ スペース&出生子の出生区分 ＝ 2&以下のどちらか (胎児認知日 ＝ スペース&裁判の区分 ≠ 4):0105(出生･認知、国籍留保) (胎児認知日 ≠ スペースor裁判の区分 ＝ 4):0102(出生･国籍留保) ･上記以外:0101(出生)			
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移
	事件発生日			出生子の生年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0 :1 在外送付区分 ＝ 1or2or3:2
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	13/39

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付) 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付[受付])	届出人資格区分1 届出人資格名称1 届出人氏名1 届出人資格区分2 届出人資格名称2 届出人氏名2		中間ファイル(届書)	届出人の資格 届出人の資格名称 届出人の氏名 入るべき戸籍欄 届書欄	届出人の資格 ＝ 005(父母)の場合 届出人資格区分1 ＝ ″001″(父) 届出人資格名称1 ＝ ″父″ 届出人氏名1 ＝ 入るべき戸籍又は届書の父欄 届出人資格区分2 ＝ ″002″(母) 届出人資格名称2 ＝ ″母″ 届出人氏名2 ＝ 入るべき戸籍又は届書の母欄 届出人の資格 ＝ 081(その他の立会人)の場合 届出人資格区分1 ＝ スペース 届出人資格名称1 ＝ スペース 届出人氏名1 ＝ 届出人の氏名 届出人の資格 ＝ 077(法定代理人),093(公設所の長)の場合 届出人資格区分1 ＝ 届出人の資格 届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 届出人氏名1 ＝ 届出人の氏名 届出人の資格 ＝ 097(市区町村長)の場合 届出人資格区分1 ＝ スペース 届出人資格名称1 ＝ スペース 届出人氏名1 ＝ スペース 上記以外の場合(届出人が事件本人の場合スペース処理) 届出人資格区分1 ＝ 届出人の資格(コード)を変換した名称 届出人資格名称1 ＝ 届出人の資格名称 届出人氏名1 ＝ 届出人の氏名				
	届後本籍区分							出生子が入籍:1 出生子or母につき新戸籍編製:2
	届後本籍コード			新戸籍の本籍コード				受付事件コード:4401(その他)の場合のみ移送する
	届後本籍			新戸籍の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者氏名				
	送達確認区分1							在外送付区分 ＝ 0かつ 届後本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送
	証書提出区分							0 を移送
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	14/39

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付) 事件本人	(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							･受付事件コード ≠ 4401:04 ･上記以外 出生子の出生区分 ≠ 4:01 出生子の出生区分 ＝ 4:02
	届出人区分			届出人区分				･事件本人区分 ＝ 04 & 届出人の資格 ＝ 002:1 ･上記以外:0(ZERO)
	カナ氏名			カナ氏名				･事件本人区分 ＝ 04: 入るべき戸籍の母を移送 ･上記以外 出生子を移送
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				在外送付区分 ＝ 0 かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

※出生子の本籍(コード)編集の条件
出生子の国籍 ≠ スペース ： 出生子の国籍を移送
新戸籍の本籍 ≠ スペース ： 新戸籍の本籍を移送
入るべき戸籍の本籍 ≠ スペース ： 入るべき戸籍の本籍を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	15/39

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付) 事件本人	(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							03を移送
	届出人区分							1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				入るべき戸籍の父欄 ≠ スペース: 入るべき戸籍の父欄を編集 入るべき戸籍の父欄 ＝ スペース: 届書の父欄を編集
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2							在外送付区分 ＝ 0 かつ 事件本人の本籍 ＝ 非本籍:1を移送 上記以外:0を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/39

処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　1/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付[受付])	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0201を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							2を移送
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 5月 1日	9	17/39

処理名	4.0　中間ファイル(仮受付)　2/2	(受取側) 中間ファイル(仮受付)	←	(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付[受付])	届後本籍		中間ファイル(届書)					
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認区分1							
	証書提出区分							0　を移送
	届書送付目録区分							1　を移送
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	18/39

処理名	4.1　中間ファイル(仮受付) 事件本人	(受取側) 中間ファイル(仮受付) 事件本人　←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							事件本人 ＝ 出生子:01 事件本人 ＝ 父　:03
	届出人区分							事件本人 ＝ 父　:1を移送
	カナ氏名			カナ氏名				事件本人区分に対するデータを移送する 事件本人区分 ＝ 01:出生子 事件本人区分 ＝ 03:入るべき戸籍の父
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2							0を移送

仮受付(事件本人)の出力順位
1. 出生子
2. 父

注:出生子の本籍コード、本籍の編集元は、出生子、国籍コード、国籍とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/39

処理名	5.1　父の記録(変動なし)　1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	個人番号(父)				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日			受領日				
	認知 届出の性質							″認知届出の効力を有する出生届出″を移送
	認知 胎児認知日							未使用
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知 認知した子の死亡日							未使用
	認知 認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知 認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者 入るべき戸籍の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	20/39

処理名	5.1　父の記録(変動なし)　2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項		認知した子の国籍		中間ファイル(届書)	出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
		認知した子の生年月日			出生子の生年月日				
		認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/39

処理名	5.1　父の記録(変動なし)　3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	許可日				項目がある場合移送
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/39

処理名	5.2　父の記録　(変動なし)　1/3	(受取側)　中間ファイル　(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)　中間ファイル　(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	個人番号(父)				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	認知 認知日							未使用
	認知 届出日							未使用
	認知 届出の性質							未使用
	認知 胎児認知日			胎児認知日				
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知した子の氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知した子の氏名(氏名)			出生子の漢字氏名				項目がある場合移送
	認知 認知した子の死亡日							未使用
	認知 認知した子の戸籍(本籍)			新戸籍の本籍 入るべき戸籍の本籍				国籍 ＝ スペース:下記条件で移送 新戸籍欄 ≠ スペース:新戸籍欄 新戸籍欄 ＝ スペース:入るべき戸籍欄
	認知 認知した子の戸籍(筆頭者)			新戸籍の筆頭者 入るべき戸籍の筆頭者				
	認知 認知した子の国籍			出生子の国籍				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	23/39

処理名	5.2父の記録 (変動なし) 2/3	(受取側) 中間ファイル (仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル (届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項		認知した子の生年月日		中間ファイル(届書)	出生子の生年月日				出生子の国籍 ≠ スペースの時移送
		認知した子の母の氏名			届書の母漢字氏名				
		認知の方式							未使用
		裁判所							未使用
	届出	届出日							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/39

処理名	5.2　父の記録　(変動なし)　3/3	(受取側)　中間ファイル　(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)　中間ファイル　(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	許可	許可書謄本の送付を受けた日		中間ファイル(届書)					未使用
		許可を受けた者							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合移送
	特記	特記事項							未使用

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	25/39

処理名	6.1母の記録(除籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	個人番号(母)				必須移送項目
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0102を移送
	記録コード							0102を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	届出 届出日			受領日				届出人の資格 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格 ＝ 船長:届出日に受領日を移送
	届出 航海日誌謄本提出日							
	除籍Ⅰ 除籍事由							届出人資格 ＝ 船長:″子の出生の航海日誌謄本提出″ 届出人資格 ≠ 船長:″子の出生届出″
	送付 送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
	送付 受理者			発送元				項目がある場合移送
	入籍 入籍日							除籍では不使用
	入籍 入籍事由							除籍では不使用
	入籍 従前戸籍							除籍では不使用
	除籍 除籍日			処理日				項目がある場合移送
	除籍 新本籍			新戸籍の本籍				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/39

処理名	6.2母の入籍(編製)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(母)					必須移送項目
	行番号									
	出力区分									0(ZERO)を移送
	タイトルコード									0102を移送
	記録コード									0102を移送
	管掌者コード									
	事件発生日				出生子の生年月日					
	届出	届出日								新戸籍編製では不使用
		航海日誌謄本提出日								新戸籍編製では不使用
	除籍I	除籍事由								新戸籍編製では不使用
	送付	送付を受けた日								新戸籍編製では不使用
		受理者								新戸籍編製では不使用
	入籍	入籍日			処理日 送付日 受領日					処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
		入籍事由								届出人資格 ＝ 船長:“子の出生の航海日誌謄本提出” 届出人資格 ≠ 船長:“子の出生届出”
		従前戸籍			入るべき戸籍の本籍					項目がある場合移送
					入るべき戸籍の筆頭者					
	除籍II	除籍日								新戸籍編製では不使用
		新本籍								新戸籍編製では不使用

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	27/39

処理名	7.1子の入籍(一部記録)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日に入力がない時:送付日 送付日に入力がない時:受領日
	除籍日							
	性別			父母との続柄				
	筆頭者区分							新戸籍の筆頭者 ≠ スペース　かつ 新戸籍の筆頭者 ＝ 出生子の氏名:1を移送 上記以外:0を移送
	配偶者区分							0を移送
	父			入るべき戸籍の父氏名 届書の父氏名	出生子の出生区分 ＝ 1又は2　又は 出生子の出生区分 ＝ 3かつ(裁判の区分 ＝ 4又は胎児認知日 ≠ スペース又は事実主義を含む出生)の時 入るべき戸籍の父氏名 ≠ スペース:入るべき戸籍の父氏名を移送 届書の父氏名 ≠ スペース:届書の父氏名を移送 ※父未定区分 ＝ 1又は2の場合:スペースを移送			
	母			入るべき戸籍の母氏名 届書の母氏名				入るべき戸籍の母氏名 ≠ スペース 入るべき戸籍の母氏名を移送 届書の母氏名 ≠ スペース 届書の母氏名を移送
	父母との続柄			出生子の続柄				
	養父							スペースを移送
	養母							スペースを移送
	養父母との続柄							00を移送
	生年月日			出生子の生年月日				
	前個人番号							スペースを移送
	個人除区分							0:在籍者を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	28/39

処理名	8.1子の入籍(一部記録) 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)						処分決定にて付番
	行番号									
	出力区分									0(ZERO)を移送
	タイトルコード									0101を移送
	記録コード									0101を移送
	管掌者コード									
	事件発生日				出生子の生年月日					
	出生	出生日			出生子の生年月日					必須移送項目
		出生地			出生子の出生地					必須移送項目
	父母	父の国籍			届書の父本籍					編集仕様に関しては補足説明書(117-1ページ)を参照
		父の生年月日			届書の父生年月日					
		母の国籍			届書の母本籍					
		母の生年月日			届書の母生年月日					
	届出	届出日			受領日					届出人の資格 ＝ 船長:航海日誌謄本提出日に受領日を移送 届出人の資格 ≠ 船長:届出日に受領日を移送
		航海日誌謄本提出日								
		届出人資格			届出人の資格					資格 ＝ 父,母,父母、医師、助産師同居者,親族の時移送 ※但し、法定代理人の場合は届出人資格名称を移送
		届出人氏名			届出人の氏名					資格 ＝ 父,母,父母,船長の場合、スペースを移送 資格 ＝ 市区町村長の場合 市区町村名 +「長」を移送 上記以外で届出人の氏名 ≠ スペースの場合移送
	国籍留保	国籍留保の届出日			受領日					国籍留保届出区分 ≠ スペースの時移
		国籍留保届出人資格			国籍留保届出区分					国籍留保届出区分 ≠ スペース、かつ出生届出人の資格(名称) ≠ 国籍留保届出区分(名称)の場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	29/39

処理名	8.1子の入籍(一部記録) 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日			許可日				項目がある場合移送
	入籍日	入籍日			処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							一部記録では不使用
		従前の筆頭者							
	特記事項				裁判確定日 対象父氏名 入るべき戸籍.本籍		項目がある場合以下の編集後移送 裁判区分 ＝ 1:裁判確定日 + 対象父氏名+″の嫡出子否認の裁判確定″ 裁判区分 ＝ 2:裁判確定日 + 対象父氏名+″との親子関係不存在確認の裁判確定″ 裁判区分 ＝ 3:″父を″ + 対象父氏名 + ″と定める裁判確定″ 裁判区分 ＝ 4:裁判確定日 + 入るべき戸籍.本籍 + 対象父氏名 + ″認知の裁判確定″		
					子の氏変更申出区分		区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 受領日+母の氏を称する入籍届		
					国内遅延理由区分		区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 発送元+からの届書送付未着につき再送付		
					国外遅延理由区分		区分 ＝ 1の場合以下の編集後移送 ″責めに帰することのできない事由のため期間経過″		
					大使館職員区分 在外公館名		項目がある場合以下の編集後移送 大使館職員区分 ＝ 1:″父″ + 在外公館名 + ″職員″ 大使館職員区分 ＝ 2:″母″ + 在外公館名 + ″職員″		
					出生子の漢字氏名		出生子の名がない場合、″名未定″を移送		
					父未定区分		父未定区分 ＝ 1の場合、″父未定″を移送		

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成18年 3月 1日	令和　年　月　日	10	30/39

処理名

No	出生区分				父			母			胎認=	出生子日本人	出生子の身分事項	
	棄児	嫡出	準嫡	非嫡	日本	外国	無籍	日本	外国	無籍			父の国籍・生年月日	母の国籍・生年月日
1	○											○	×	×
2		○					○			○	−	○	○	○
3		○			No2以外							○	×	×
4			○		○			○				○	×	×
5			○		○			○			○	○	×	×
6			○		○				○			×		
7			○		○				○		○	○	×	×
8			○		○					○		×		
9			○		○					○	○	○	×	×
10			○			○		○				○	○	×
11			○			○		○			○	○	×	×
12			○			○			○			×		
13			○			○			○		○	×		
14			○			○				○		×		
15			○			○				○	○	×		
16			○				○	○				○	○	×
17			○				○	○			○	○	×	×
18			○				○		○			×		
19			○				○		○		○	×		
20			○				○			○		○	○	○
21			○				○			○	○	○	○	○
22				○				○				○	×	×
23				○					○			×		
24				○						○		○	×	○
25				○	○			○			○	○	×	×
26				○	○				○		○	○	×	○
27				○	○					○	○	○	×	○
28				○		○		○			○	○	○	×
29				○		○			○		○	×		
30				○		○				○	○	×		
31				○			○	○			○	○	○	×
32				○			○		○		○	×		
33				○			○			○	○	○	○	○
34				○		○		○				○	○	×
35				○		○			○			×		
36				○		○				○		×		

<8.1子の入籍　出生事項中の父母国籍・生年月日記録仕様>

○出生区分 ＝ 嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外:移送不要
○出生区分 ＝ 準正嫡出子
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍:父母双方移送
　届書の父母の本籍 ＝ 無国籍以外
　胎児認知有:移送不要
　胎児認知無:届書の父又は母の外国人区分 ＝ 1の場合、外国人を移送
○出生区分 ＝ 非嫡出子:届書の父又は母の外国人区分 ＝ 1の場合、外国人を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	31/39

処理名	8.2 子の記録(一部記録)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							1301を移送
	記録コード							1301を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			出生子の生年月日				
	親権者 資格							002を移送
	資格名称							“母”を移送
	記録 記録日			処理日				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/39

処理名	8.3 子の入籍(一部記録) 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)						処分決定にて付番
	行番号									
	出力区分									0(ZERO)を移送
	タイトルコード									0101を移送
	記録コード									0101を移送
	管掌者コード									
	事件発生日				出生子の生年月日					
	出生	出生日			出生子の生年月日					
		出生地								
	父母	父の国籍								
		父の生年月日								
		母の国籍								
		母の生年月日								
	届出	届出日			受領日					
		航海日誌謄本提出日								
		届出人資格								
		届出人氏名								市区町村名 +「長」を移送
	国籍留保	国籍留保の届出日								
		国籍留保届出人資格								
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	33/39

処理名	8.3 子の入籍(一部記録) 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	入籍	入籍日		中門ファイル(届書)	処理日				項目がある場合移送
		従前の本籍							
		従前の筆頭者							
	特記事項								

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/39

処理名	8.4 子の記録(一部記録) 1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)					処分決定にて付番
	行番号							
	出力区分							0(ZERO)を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			母胎児認知日				
	認知 認知日							未使用
	認知 胎児認知日			母胎児認知日				項目がある場合移送
	認知 認知の裁判確定日							未使用
	認知 親子関係不存在確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知届出委託確認の裁判確定日							未使用
	認知 認知者氏名(亡区分)							未使用
	認知 認知者氏名(氏名)			入るべき戸籍の父欄 届書の父欄				届書の父欄 ＝ スペース:入るべき戸籍の父欄 届書の父欄 ≠ スペース:届書の父欄
	認知 認知者死亡日							未使用
	認知 認知者の戸籍(本籍)			入るべき戸籍の父欄 届書の父欄				届書の父外国人区分 ＝ 0の時編集 届書の父欄 ＝ スペース:入るべき戸籍の父欄 届書の父欄 ≠ スペース:届書の父
	認知 認知者の戸籍(筆頭者)							
	認知 認知者の国籍			届書の父欄				届書の父外国人区分 ＝ 1の時編集
	認知 認知者の生年月日							
	認知 認知の方式							未使用
	認知 裁判所							未使用

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	35/39

処理名	8.4 子の入籍(一部記録) 2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	届出	届出日		中間ファイル(届書)					未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		届出人 資格							未使用
		届出人 資格名称							未使用
		届出人 氏名							未使用
		証書提出日							未使用
		証書提出者 資格							未使用
		証書提出者 資格名称							未使用
		証書提出者 氏名							未使用
		届書提出日							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
		届書提出者 資格							未使用
		届書提出者 資格名称							未使用
		届書提出者 氏名							未使用
	送付	送付を受けた日			送付日				項目がある場合移送
		受理者			発送元				項目がある場合移送
	許可	許可日							未使用
		許可書謄本の送付を受けた日							未使用
		許可を受けた者							未使用
	入籍	入籍日							未使用

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	36/39

処理名	8.4 子の記録(一部記録) 3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	直系卑属	直系卑属氏名		中間ファイル(届書)					未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属民名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
		直系卑属氏名							未使用
	関連	関連訂正事項							未使用
	従前	従前の記録 父母との続柄							未使用
	記録	記録日			処理日				項目がある場合,移送
	特記	特記事項							未使用

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	37/39

処理名	9.1 中間ファイル(9条2項) 1/2	(受取側)中間ファイル(9-2)	←(引渡側)届出書入力面面

受取側									
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目		コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			出生子.住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			出生子.住所				市区町村部分だけの住所
	事件コード							01(出生届)
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			出生子.漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			出生子.生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			出生子.続柄コード				
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新戸籍.本籍コード 入るべき戸籍.本籍コード				新戸籍.本籍コード ＝ スペース: 入るべき戸籍.本籍コード 新戸籍.本籍コード ≠ スペース: 新戸籍.本籍コード
	新本籍			新戸籍.本籍 入るべき戸籍.本籍				新戸籍.本籍 ＝ スペース: 入るべき戸籍.本籍 新戸籍.本籍 ≠ スペース: 新戸籍.本籍
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			新戸籍.筆頭者 入るべき戸籍.筆頭者				新戸籍.筆頭者 ＝ スペース: 入るべき戸籍.筆頭者 新戸籍.筆頭者 ≠ スペース: 新戸籍.筆頭者
	旧筆頭者							
	住所コード			出生子.住所コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/39

処理名	9.1 中間ファイル(9条2項) 2/2	(受取側)中間ファイル(9-2)	← (引渡側)届出書入力面面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	住所		中間ファイル(届書)	出生子.住所				
	方書			出生子.住所				
	住定日			出生子.生年月日				
	住民日			出生子.生年月日				
	世帯主			出生子.世帯主氏名				
	世帯主との続柄			出生子.世帯主との続柄				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(出生届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	39/39

処理名	9.2 中間ファイル(9条2項)	(受取側)中間ファイル(9-2)	← (引渡側)届出書入力面面

受取側							コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル(9条2項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	市区町村コード								
	宛名								
	事件コード								01(出生届)
	受理日			送付日 or受領日					送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			母の個人番号					本籍人の場合移送
	新氏名								
	旧氏名			母の氏名					
	新生年月日								
	旧生年月日			母の生年月日					
	新父母との続柄								
	旧父母との続柄								
	新本籍コード			新戸籍.本籍コード					
	新本籍			新戸籍.本籍					
	旧本籍コード			入るべき戸籍.本籍コード					
	旧本籍			入るべき戸籍.本籍					
	新筆頭者			新戸籍.筆頭者					
	旧筆頭者			入るべき戸籍.筆頭者					
	住所コード								注意:新戸籍が編製された場合,届書入力には住所入力欄がないため,処分決定後,別途,9条2項ファイルを修正する必要がある。
	住所								
	方書								
	住定日								
	住民日								
	世帯主								
	世帯主との続柄								

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 5年12月18日	平成14年 3月 1日	5.1	1/2

処理名	X.X 届出人コードチェック(出生)

届出事件細別	届出義務者 ・ 届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
嫡出子出生届	父、母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は父母以外の法定代理人	001	父	×	○	○	父	○	父	—	【届出人】父	
		002	母	×	○	○	母	○	母	—	【届出人】母	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	—	【届出人】父母	
		077	法定代理人	○	○	○	*実体名*	○	*実体名*	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	—	○	—	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
準正嫡出子出生届	父及び母又は父のみ	001	父	×	○	○	父	○	父	—	【届出人】父	
		005	父母	×	×	○	父母	○	父母	—	【届出人】父母	
	胎児認知又は強制認知があり、認知者が母の夫である場合に有効	002	母	×	○	○	母	○	母	—	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	*実体名*	○	*実体名*	○	【届出人】母の親権者 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	—	○	—	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
非嫡出子出生届 (胎児認知含む)	母、同居者又は出産に立ち会った医師、助産師若しくはその他の者又は母以外の法定代理人	002	母	×	○	○	母	○	母	—	【届出人】母	
		077	法定代理人	○	○	○	*実体名*	○	*実体名*	○	【届出人】後見人 ［氏名］	
		079	医師	×	○	○	医師	○	医師	○	【届出人】医師 ［氏名］	
		115	助産師	×	○	○	助産師	○	助産師	○	【届出人】助産師 ［氏名］	
		081	その他立会人	×	○	○	—	○	—	○	【届出人】［氏名］	
		082	親族	×	○	○	親族	○	親族	○	【届出人】親族 ［氏名］	
		085	同居者	×	○	○	同居者	○	同居者	○	【届出人】同居者 ［氏名］	
航海中の出生につき航海日誌の謄本送付	船長	092	船長	×	○	○	船長	○	—	×	【航海日誌の謄本提出日】［受領日］	

処理名	X.X 届出人コードチェック(出生)

届出事件細別	届出義務者・届出人	届書入力				受付帳			身分事項DB		項目化記載例	備考
		資格区分		実体名	氏名	資格	資格名称	氏名	資格名称	氏名		
病院、刑務所その他公設所において出生した場合	父母ともに届出不能の時は公設所の長又は管理人	093	公設所の長	○	○	○	実体名	○	－	○	【届出人】 ［氏名］	
棄児発見の申出	発見者又は発見の申告を受けた警察官	097	市区町村長	△	×	×	－	×	実体名	×	【届出人】 ［市区町村］+長	届書入力,実体名はメーカーオプション

※届書入力での実体名入力例 ()内は画面上の名称

資格コード(資格)	→	097	:操作員入力
資格コードの名称(-)	→	市区町村長	:システム対応
実体名(資格名称)	→	△△△県□□□市	:操作員入力
氏名(氏名)	→	－－－－	:未入力

第7.2.(5)「異動」処理

2.認知届

1.認知業務処理範囲外の処理

(1).胎児認知の記録

(2).遺言による認知の記録

(3).認知者の死後に確定した認知の記録

(4).死亡した子に対する認知の記録

(5).父が生存中に郵送した認知届を父の本籍地で父死亡後に受理した場合の記録

(6).戸籍法63条の類推適用による届出(事実主義を採っている父の本国法に基づく父子関係存在確認の裁判が確定した場合)の記録

(7).性同一性障害による性別変更者からの認知の記録

2.認知届入力画面の意義

(1).その1画面:認知される子及び認知する者の入力

(2).その2画面:認知される子の母及び認知の方法等の入力

(3).その3画面:届出人等の入力

3.その他

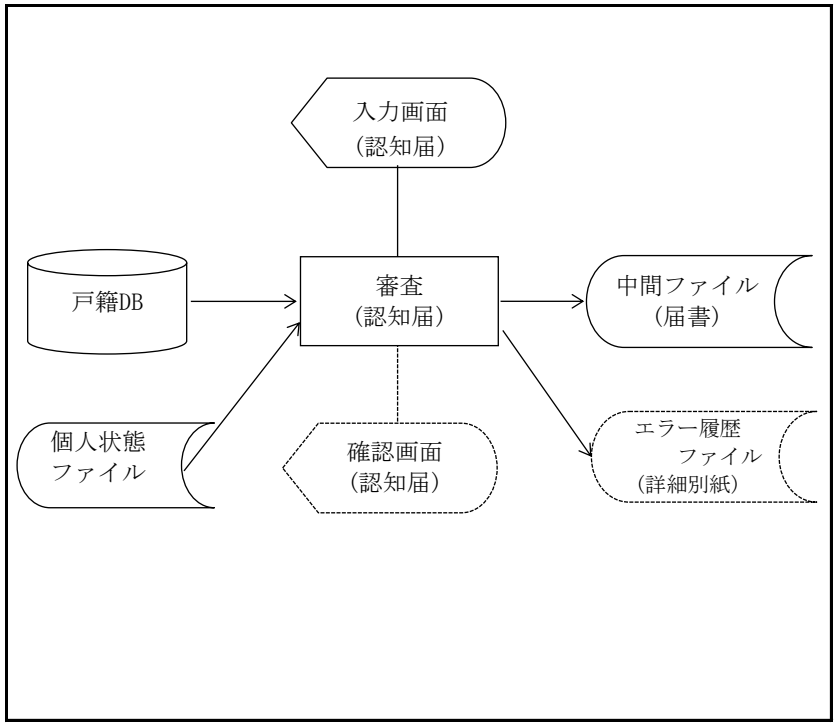
(1).成年(成年擬制も含む)の被認知者が成年被後見人の場合は,成年後見人の承諾が必要となる。
(但し,成年後見人が認知者の場合は,成年後見監督人か特別代理人の承諾が必要)

(2).日本人子・外国人認知者双方に日本民法上の認知の要件が備わっていない場合において,認知をする者の本国法により認知することができる旨の証明書を添付した認知の届出があったときは,改正法例第33条(公序)の規定の適用が問題となるので,管轄局の長の指示を求めるものとする。

(3).届出人となる母,養父,養母が外国人で親権規定がない場合は,審査結果入力で処理する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/29

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		

3.処理概要

(1)　認知届の内容を画面入力する。

(2)　認知届で入力された項目の単体チェックを行う。

(3)　認知届で入力された項目の関連チェックを行う。

(4)　審査を行う。

(5)　認知届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。

(6)　入力確認(認知届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0　データチェック(単体表)
  - 2.0　データチェック(関連表)
  - 3.0　審査
    - 3.1　審査
      - 3.2　審査
      - 3.3　審査
  - 4.0　データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/29

処理名	0.0　本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
NO	(14)エラーメッセージを表示する			
PF1	→		(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/	(19)同画面を編集する	
YES	(18)前ページ「認知届」画面編集			
NO	(20)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(21)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
YES	(22)次ページ「認知届」画面編集			
NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する	/		入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以後の審査を継続する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/29

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　1/3	入力画面(認知届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設,2:報告)であること			
11	被認知者の区分	○	数字	(1:胎児,2:未成年,3:成年)であること			
12	被認知者の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
13	被認知者の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
14	被認知者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	被認知者の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること			
16	被認知者のカナ氏名		カナ				
17	被認知者の漢字氏名		漢字				
18	被認知者の住所地		漢字				
19	被認知者の世帯主		漢字				
20	被認知者の本籍地		漢字				
21	被認知者の筆頭者		漢字				
22	準正による訂正後の続柄		数字	(11:長男～29:十九男　または　31:長女～49:十九女)であること			
23	認知者の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
24	認知者の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
25	認知者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	5/29

処理名	画面名	画面ID	
1.0 入力項目単体チェック 2/3	入力画面(認知届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	認知者の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	認知者のカナ氏名	○	カナ				
28	認知者の漢字氏名	○	漢字				
29	認知者の本籍地	○	漢字				
30	認知者の筆頭者		漢字				
31	母の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
32	母の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
33	母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	母のカナ氏名		カナ				
35	母の漢字氏名		漢字				
36	母の本籍地		漢字				
37	母の筆頭者		漢字				
38	母の住所地		漢字				
39	認知者との婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	認知種別	○	数字	(1:任意,2:裁判)であること			
41	審査の準拠法		数字	(0:日本法,1:外国法(認知者),2:外国法(子又は母))であること			
42	認知成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
43	認知の方式		漢字				
44	裁判成立地		数字	(0:日本,1:外国)であること			
45	審判/判決確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	裁判申立人		漢字				
47	外国の裁判所名		漢字				
48	認知を承諾した者		数字	(0:無,1:胎児の母,2:成年者,3:その他)であること			
49	届出人資格1	○	数字	(1:父,17:親権者母,19:親権者養父,20:親権者養母,99:その他,105:子)であること			
50	届出人資格1名称		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/29

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　3/3	入力画面(認知届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
51	届出人氏名1		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
52	届出人資格2		数字	(17:親権者母,19:親権者養父,20:親権者養母,99:その他)であること			
53	届出人資格2名称		漢字				
54	届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	7/29

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力項目関連チェック 1/4	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日=スペースの時、(No.5)発送元=スペースの時	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.5)発送元≠スペースの時			
3	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.4)送付日≧(No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日=スペースの時、(No.6)在外送付区分=0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日≠スペースの時、(No.6)在外送付区分≠0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元≠スペースかつ、(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』の時 (No.6)在外送付区分=1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元≠スペースかつ、(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外の時 (No.6)在外送付区分=2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分=3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日≠スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.4)送付日=スペースであること			
10	(No.9)郵送日≠スペースの時、(No.9)郵送日≦(No.3)受領日であること			
11	(No.11)被認知者の区分=1(胎児)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.22)準正による訂正後の続柄は、未入力であること			
12	(No.11)被認知者の区分=2(未成年)～3(成年)の時、 (No.12)被認知者の外国人区分～(No.17)被認知者の漢字氏名および (No.20)被認知者の本籍地は、必須入力であること			
13	(No.11)被認知者の区分=2(未成年) かつ (No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人) かつ 受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>受領日であること			R2.1(認知111)
13-0-1	(No.11)被認知者の区分=2(未成年) かつ (No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人) かつ 受領日≧2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳未満)＞受領日であること			R2.1(認知111)
13-1	(No.11)被認知者の区分=3(成年) かつ (No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人) かつ 受領日<2022年4月1日の時、 (No.14)被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日　であること			R2.1(認知111)
13-1-1	(No.11)被認知者の区分=3(成年) かつ (No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人) かつ 受領日≧2022年4月1日 かつ (2004年4月2日>(No.14)被認知者の生年月日　または 2006年4月1日<(No.14)被認知者の生年月日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
13-1-2	(No.11)被認知者の区分=3(成年) かつ (No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人) かつ 受領日≧2022年4月1日　かつ　(2004年4月2日≦(No.14)被認知者の生年月日≦2006年4月1日)の時、 (No.14)被認知者の生年月日＋16年(16歳以上)≦受領日であること			R2.1(認知111)
14	(No.12)被認知者の外国人区分=1(外国人)の時、 (No.13)被認知者の本非区分=2(非本籍)であること			
15	(No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.14)被認知者の生年月日=和暦であること			
16	(No.12)被認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.14)被認知者の生年月日=西暦であること			

17	(No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.20)被認知者の本籍地=本籍であること			
18	(No.12)被認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.20)被認知者の本籍地=国籍であること			
19	(No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は必須入力であること			
20	(No.12)被認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.21)被認知者の筆頭者は未入力であること			
21	(No.13)被認知者の本非区分=1(本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地=管内であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8/29

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目関連チェック　2/4	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.13)被認知者の本非区分=2(非本籍)の時、(No.20)被認知者の本籍地=管外であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
23	(No.11)被認知者の区分=2(未成年),3(成年)で、(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、 (No.39)母の認知者との婚姻日は、入力必須であること			
23-1	(No.18)被認知者の住所地≠スペース、(No.19)被認知者の世帯主≠スペースの時であること			
23-2	(No.18)被認知者の住所地=スペース、(No.19)被認知者の世帯主=スペースの時であること			
23-1-1	(No.11)被認知者の区分=2(未成年)～3(成年)かつ(No.12)被認知者の外国人区分=0(日本人)の時 (No.17)被認知者の漢字氏名の氏=(No.21)被認知者の筆頭者の氏であること			

25	(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、(訂正前の父母との続柄=10(男)～29(十九男))ならば (No.22)準正による訂正後の続柄=11(長男)～29(十九男)であること			※被認知者が本籍人の時、チェックする
26	(No.22)準正による訂正後の続柄に入力がある時、(訂正前の父母との続柄=30(女)～49(十九女))ならば (No.22)準正による訂正後の続柄=31(長女)～49(十九女)であること			
27	(No.23)認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.24)認知者の本非区分=2(非本籍)であること			
28	(No.23)認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.25)認知者の生年月日=和暦であること			
29	(No.23)認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.25)認知者の生年月日=西暦であること			
30	(No.23)認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.29)認知者の本籍地=本籍であること			
31	(No.23)認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.29)認知者の本籍地=国籍であること			
32	(No.23)認知者の外国人区分=0(日本人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は入力必須であること			
33	(No.23)認知者の外国人区分=1(外国人)の時、(No.30)認知者の筆頭者は未入力であること			
34	(No.24)認知者の本非区分=1(本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地=管内であること			
35	(No.24)認知者の本非区分=2(非本籍)の時、(No.29)認知者の本籍地=管外であること			
35-1	(No.23)認知者の外国人区分=0(日本人)の時、 (No.28)認知者の漢字氏名の氏=(No.30)認知者の筆頭者の氏であること			
36	(No.31)母の外国人区分=1(外国人)の時、(No.32)母の本非区分=2(非本籍)であること			
37	(No.31)母の外国人区分=0(日本人)の時、(No.33)母の生年月日=和暦であること			
38	(No.31)母の外国人区分=1(外国人)の時、(No.33)母の生年月日=西暦であること			
39	(No.31)母の外国人区分=0(日本人)の時、(No.36)母の本籍地=本籍であること			
40	(No.31)母の外国人区分=1(外国人)の時、(No.36)母の本籍地=国籍であること			
41	(No.31)母の外国人区分=0(日本人)の時、(No.37)母の筆頭者は入力必須であること			
42	(No.31)母の外国人区分=1(外国人)の時、(No.37)母の筆頭者は未入力であること			
43	(No.32)母の本非区分=1(本籍)の時、(No.36)母の本籍地=管内であること			
44	(No.32)母の本非区分=2(非本籍)の時、(No.36)母の本籍地=管外であること			
44-1	(No.31)母の外国人区分=0(日本人)の時、 (No.35)母の漢字氏名の氏=(No.37)母の筆頭者の氏			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/29

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目関連チェック　3/4	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
45	(N040)認知種別=1(任意)で,(N042)認知成立日=0(日本の方式)の時, (N010)報告区分=1(創設)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
46	(N040)認知種別=1(任意)で,(N042)認知成立日≠0(外国の方式)の時, (N010)報告区分=2(報告)であること			
47	(N040)認知種別=2(裁判)の時,(N010)報告区分=2(報告)であること			
48	(N040)認知種別=2(裁判)の時, (N045)審判/判決確定日,(N046)裁判申立人は,必須入力であること			
48-1	(N045)審判/判決確定日≠スペースの場合, (N09)郵送日≠スペースの時,(N09)郵送日≧(N045)審判/判決確定日であり, (N09)郵送日=スペースの時,(N03)受領日≧(N045)審判/判決確定日であること			
49	(N042)認知成立日≠0(外国の方式)の時,(N040)認知種別=1(任意)であること			
50	(N042)認知成立日≠0(外国の方式)の時,(N043)認知の方式は必須入力であること			
51	(N042)認知成立日≠0(外国の方式)の場合, (N09)郵送日≠スペースの時,(N09)郵送日≧(N042)認知成立日であり, (N09)郵送日=スペースの時,(N03)受領日≧(N042)認知成立日であること			
52	(N044)裁判成立地=1(外国で成立)の時,(N040)認知種別=2(裁判)であること			
53	(N044)裁判成立地=1(外国で成立)の時,(N047)外国の裁判所名は必須入力であること			
54	(N044)裁判成立地=0(日本で成立)の時,(N047)外国の裁判所名は未入力であること			
55	(N011)被認知者の区分=1(胎児)の時, (N048)認知を承諾した者=0(無),1(胎児の母)であること			
56	(N011)被認知者の区分=3(成年)の時, (N048)認知を承諾した者=0(無),2(成年),3(その他)であること			
57	(N011)被認知者の区分=1(胎児)かつ,(N031)母の外国人区分=1(外国人)の時, (N038)母の住所地は,必須入力であること			
58	(N049)届出人資格1≠99の時, (N050)届出人資格1名称=スペースであること			
59	(N049)届出人資格1=1(父)かつ(N051)届出人氏名1≠スペースの時, (N051)届出人氏名1=(N028)認知者の漢字氏名であること			
60	(N049)届出人資格1=17(親権者母)かつ(N035)母の漢字氏名≠スペースかつ, (N051)届出人氏名1≠スペースの時, (N051)届出人氏名1=(N035)母の漢字氏名であること			
61	(N049)届出人資格1=99(その他)の時,(N050)届出人資格1名称=必須入力であること			
62	(N049)届出人資格1≠1,17(父,親権者母)の時,(N051)届出人氏名1=必須入力であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/29

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目関連チェック　4/4	入力画面(認知届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
62-1	(N049)届出人資格1=17(親権者母)かつ、(N035)母の漢字氏名=スペースの時、 (N051)届出人氏名1=必須入力であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
63	(N040)認知種別=1(任意)の時、 (N052)届出人資格2,(N053)届出人資格2名称,(N054)届出人氏名2=未入力であること			
64	(N052)届出人資格2=99(その他)の時、(N053)届出人資格2名称=必須入力であること			
64-1	(N052)届出人資格2≠スペース,17(未入力,親権者母)の時、 (N054)届出人氏名2=必須入力であること			
64-2	(N052)届出人資格2=17(親権者母)かつ(N035)母の漢字氏名=スペースの時、 (N054)届出人氏名2=必須入力であること			
64-3	(N011)被認知者の区分=1(胎児)の時、または、 (N011)被認知者の区分=2,3(未成年,成年)かつ、(N012)被認知者の外人区分=1(外国人)の時、 (N031)母の外国人区分～(N036)母の本籍地は、必須入力あること			
65	(N011)被認知者の区分=1(胎児)の時、 (N024)認知者の本非区分=1(本籍)又は、(N032)母の本非区分=1(本籍)ならば (N08)本非区分=1(本籍)であること			
66	(N011)被認知者の区分=1(胎児)の時、 (N024)認知者の本非区分=2(非本籍)かつ、(No32)母の本非区分=2(非本籍)ならば (N08)本非区分=2(非本籍)であること			
67	(N011)被認知者の区分=2,3(未成年,成年)の時、 (N013)被認知者の本非区分=1(本籍)又は、(N024)認知者の本非区分=1(本籍)ならば (N08)本非区分=1(本籍)であること			
68	(N011)被認知者の区分=2,3(未成年,成年)の時、 (N013)被認知者の本非区分=2(非本籍)かつ、(N024)認知者の本非区分=2(非本籍)ならば (N08)本非区分=2(非本籍)であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	11/29

処理名	3.0 審査 1/4			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1)受領日=送付日である。		/		
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)	/		
	YES (0-3)→(0-7)へ	/		R2.1(認知114)
	NO (0-4)		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ	/		R2.1(認知114)
(0-7)(被認知者の外国人区分=0:日本人 かつ 被認知者の漢字氏名の名が未入力) または (認知者の外国人区分=0:日本人 かつ 認知者の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		R2.1(認知114)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示		(0-9)本紙へ	R2.1(認知114)
	YES (0-10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(認知114)
	NO (0-11)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(認知114)
NO	(0-13)→(1)へ	/		R2.1(認知114)
(1)審判/判決確定日≠スペースである。(YES,NO)		/		
YES	(2)審判/判決確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
	YES (3)エラーメッセージ「審査結果入力で処理してください。」を表示		(4)本紙へ	
	NO (5)審判/判決確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
	YES (6)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示		(7)本紙へ	
	YES (8)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
	NO (9)→(19)へ	/		
	NO			
NO	(10)認知成立日≠スペースである(YES,NO)	/		
	YES (11)認知成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
	YES (12)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(13)本紙へ	
	NO (14)認知成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
	YES (15)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約の発効に該当する国ですか?」を表示		(16)本紙へ	
	YES (17)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
	NO (18)→(19)へ	/		
	NO			
	NO			
(19)認知者の生死区分(0:生存,1:死亡)		/		
0	(20)被認知者の区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)	/		

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し,現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

1	(21)→(26-1)へ		/		R2.1
2,3	(22)被認知者の生死区分(0:生存,1:死亡)		/		
	0	(23)→(26-1)へ	/		R2.1
	1	(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(25)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	令和2年3月31日	R2.1	12/29

処理名	3.0 審査　1-1/4			根拠法令(マニュアル処理)
1	(26)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
(26-1)認知者の本籍地=管内(YES,NO)		/		
YES	(26-2)認知者の身分事項に性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(26-3)エラーメッセージ 「性同一性障害の記録があります。審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(26-4)本紙へ	
NO	(26-5)→(26-6)へ	/		R2.1(認知112)
NO				
(26-6)在外送付区分=2(在外公館の直接送付)又は3(在外公館の国内経由)(YES,NO)		/		R2.1(認知112)
YES	(26-7)被認知者の区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)	/		R2.1(認知112)
1	(26-8)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		R2.1(認知112)
0	(26-9)→(27)へ	/		R2.1(認知112)
1	(26-10)エラーメッセージ 「在外公館から送付された胎児認知届は審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(26-11)本紙へ	R2.1(認知112)
2,3	(26-12)→(27)へ	/		R2.1(認知112)
NO				R2.1(認知112)

処理名	3.0 審査　2/4			根拠法令(マニュアル処理)
(27)認知種別(1:任意,2:裁判)		/		
1	(28)外国の方式により成立した届出(戸籍法41条)であるか	/		
YES	(29)確認メッセージ(YES,NO)「外国の方式により認知が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示		(30)本紙へ	
YES	(31)→(34)へ	/		
				R2.1(認知112) (31-1)～(31-7)を削除
NO	(32)→		(33)本紙へ	不受理　R2.1(認知112)
	(34)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(35)被認知者の区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)	/		
1	(36)子の母の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(37)→(63)へ	/		
1	(38)確認メッセージ(YES,NO)「母の国籍証明書の添付がありますか?」を表示		(39)本紙へ	
YES	(40)→(63)へ	/		
NO	(41)→		(42)本紙へ	不受理
2,3	(43)被認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(44)→(63)へ	/		
1	(45)確認メッセージ(YES,NO)「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか?」を表示		(46)本紙へ	
YES	(47)→(63)へ	/		
No	(48)→		(49)本紙へ	不受理
1	(50)確認メッセージ(YES,NO)「認知者の国籍証明書の添付がありますか?」を表示			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10月 2月27日	2	14/29

処理名				3.0 審査 3/4			根拠法令(マニュアル処理)
1	YES	1	YES	(51)→(54)	/		
			NO	(52)→		(53)本紙へ	不受理
				(54)被認知者の区分(1:胎児,2:未成年,3:成年〉	/		
			1	(55)子の母の外国入区分(0:日本人,1:外国人)	/		
				0 (56)→(63)	/		
				1 (57)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示		(58〉 本紙へ	不受理
			2,3	(59)被認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
				0 (60)→(63)	/		
				1 (61)エラーメッセージ 「外国人同士の証書提出は受理できません。」を表示		(62)本紙へ	不受理
				(63)確認メッセージ(YES,NO)「証書の謄本が認知を証明するものかどうか審査は済みましたか?」を表示			
				YES (64)→			受理
				NO (65)→			不受理
		NO		(66)3.1審査へ進む	/		
				(67)→		(68)本紙へ	
2				(69)被認知者区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)	/		
		1		(70)エラーメッセージ「強制認知による胎児認知はできません。」を表示		(71)本紙へ	不受理,昭和25.1.7民事甲22号回答
		2,3		(72)確認メッセージ(YES,NO) 「審判又は判決の謄本及び確定証明書の添付がありますか?」を表示			戸63
				YES (73)→(76)	/		
				NO (74)→		(75)本紙へ	不受理
				(76)裁判成立地(日本,外国)	/		
				日本 (77)審判/判決確定日より10日以内の届出であるか	/		戸63
				YES (78)届出人は裁判の申立人であるか	/		戸63
				YES (79)→		(80)本紙へ	受理
				NO (81)エラーメッセージ「裁判確定日より10日以内に届け出られるのは申立人のみです。」を表示			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12月 3月 1日	4	15/29

処理名				3.0 審査 4/4			根拠法令(マニュアル処理)
2	2,3	日本	NO	(82)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は裁判の申立人もしくは裁判の相手方ですか?」を表示		(82-1)本紙へ	戸63Ⅱ
			YES	(83)→			受理
			NO	(84)→			不受理
		外国		(85)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
			0	(86)→(91)	/		
			1	(87)被認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
				0 (88)→(91)	/		
				1 (89)エラーメッセージ「外国で成立した外国人同士の裁判認知届は受理できません。」を表示		(90)本紙へ	不受理
				(91)確認メッセージ(YES,NO) 「民事訴訟法118条の要件を満たし判決は承認されますか?」を表示			民訴118
			YES	(92)→			受理
			NO	(93)→			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12月 3月 1日	4	16/29

処理名	3.1 審査 1/7			根拠法令(マニュアル処理)
(1)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)		/		
0	(2)→(15)	/		(3)～(9)削除
1	(10)確認メッセージ(YES,NO)「認知者の国籍証明書の添付がありますか」を表示		(11)3.0審査へ	
	YES (12)→(15)	/		
	NO (13)→		(14)3.0審査へ	不受理
(15)被認知者区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)		/		
1	(16)子の母の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(17)子の母の本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/		戸61
1	(18)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(19)審査の準拠法(0:日本法)	/		
0	(20)→(31)	/		
その他	(21)エラーメッセージ「準拠法が異なります」を表示		(22)3.0審査へ	
1	(23)審査の準拠法(0:日本法,1:外国法(認知者の本国法))	/		
0	(24)→(31)	/		
1	(25)確認メッセージ(YES,NO)「認知者の本国法により認知できる旨の証明書はありますか」を表示		(26)3.0審査へ	
	YES (27)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示			
	YES (28)→			受理
	NO (29)→			不受理
	NO (30)→			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/29

処理名				3.1　審査　2/7			根拠法令(マニュアル処理)
1	0	1		(31)母は現在婚姻していますか	/		
			YES	(32)確認メッセージ(YES,NO) 「配偶者からの認知ではなく、婚姻成立後200日を経過していないですね」を表示		(33)3.0審査へ	民772 民779
				YES (34)　→　(41)	/		
				NO (35)　→		(36)3.0審査へ	不受理
			NO	(37)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者と胎児の母との婚姻解消後300日以内の届出ではありませんね」を表示			民779
				YES (38)　→　(41)	/		
				NO (39)　→		(40)3.0審査へ	不受理
				(41)既に胎児認知届が出されているか	/		大正5.11.2　民事　1331号回答
			YES	(42)エラーメッセージ 「既に胎児認知届がだされています」を表示		(43)3.0審査へ	不受理
			NO	(44)→(87)	/		
		2		(45)母は無籍者であるか	/		
			YES	(46)エラーメッセージ 「母は無籍者です。受理伺いとなります」を表示		(47)3.0審査へ	受理伺い
			NO	(48)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の本籍地に届け出て下さい」を表示			不受理
	1			(49)確認メッセージ(YES,NO)　「母の国籍証明書の添付がありますか」を表示			
			YES	(50)　→　(53)	/		
			NO	(51)　→		(52)3.0審査へ	不受理
				(53)認知者の外国入区分(0:日本人,1:外国人)	/		
			0	(54)母の住所地(管内,管外,国外)	/		昭和29.3.6　民事甲　509号回答
			管内	(55)　→　(63)	/		
			管外	(56)エラーメッセージ 「胎児認知届は母の住所地に届け出て下さい」を表示		(57)3.0審査へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/29

処理名				3.1　審査　3/7			根拠法令(マニュアル処理)
1	1	0	国外	(58)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の本籍地又は届出人の所在地ですか」を表示		(59)3.0審査へ	
				YES (60)　→　(63)	/		
				NO (61)　→		(62)3.0審査へ	受理伺い
				(63)審査の準拠法(0:日本法,2:外国法(子又は母の本国法))	/		
				0 (64)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示		(65)3.0審査へ	
				YES (66)　→　(87)	/		
				NO (67)　→		(68)3.0審査へ	不受理
				2 (69)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			
				YES (70)　→			受理
				NO (71)　→			不受理
			1	(72)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人の所在地での届出ですか」を表示			
				YES (73)　→　(76)	/		
				NO (74)　→		(75)3.0審査へ	
				(76)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法) 2:外国法(子又は母の本国法))	/		
				1 (77)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示		(78)3.0審査へ	
				YES (79)確認メッセージ(YES,NO) 「母の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示			
				YES (80)　→			受理
				NO (81)　→			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	19/29

処理名	3.1 審査 4/7							根拠法令(マニュアル処理)
1	1	1	1	NO	(82) →		(83)3.0審査へ	不受理
			2		(84)確認メッセージ(YSE,NO) 「母の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			
				YES	(85) →			受理
				NO	(86) →			不受理
	(87)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 受領日か					/		昭和39.7.8～9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39.9.16～17 香川県連合戸住協決 昭和40.4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示
	YES	(88) → (94)				/		
	NO	(89)確認メッセージ(YSE,NO)「認知者の生年月日は正しいですか」を表示					(90)3.0審査へ	
		YES	(91) → (94)			/		
		NO	(92) →				(93)3.0審査へ	
	(94)3.2 審査へ進行					/		
	(95)審査の結果、確認･エラーメッセージがない(YSE,NO)					/		
	YES	(96) → (166)				/		
	NO	(97) →					(98)3.0審査へ	
2,3	(99)被認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)					/		
	0	(100)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)				/		
		0	(101)審査の準拠法(0:日本法)			/		
			0	(102) → (118)		/		
			その他	(103)エラーメッセージ「準拠法が異なります」を表示			(104)3.0審査へ	
		1	(105)在外送付区分は、2(在外公館の直接送付)であるか			/		戸40,法例18Ⅰ･Ⅱ,22
			YES	(106)エラーメッセージ 「送付分の届書としては処理できません」を表示			(107)3.0審査へ	
			NO	(108) → (109)		/		
			(109)審査の準拠法(0:日本法,1:外国法(認知者の本国法))			/		
			0	(110) → (118)		/		
			1	(111)確認メッセージ(YSE,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			(112)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/29

処理名	3.1　審査　5/7	根拠法令(マニュアル処理)

2,3	0	1	1	YES	(113)確認メッセージ(YES,NO) 「日本法上の子の保護要件の審査は済みましたか」を表示		(114)3.0審査へ	
					YES (115)　→			受理
					NO (116)　→			不受理
				NO	(117)　→			不受理
		(118)3.3　審査へ進む				/		
		(119)審査結果、確認・エラーメッセージがない(YES,NO)				/		
		YES	(120)　→　(149)			/		
		NO	(121)　→				(122)3.0審査へ	
	1	(123)確認メッセージ(YES,NO) 「子の国籍証明書及び出生証明書の添付がありますか」を表示						
		YES	(124)　→　(127)			/		
		NO	(125)　→				(126)3.0審査へ	
		(127)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)				/		
		0	(128)審査の準拠法(0:日本法,2:外国法(子の本国法))			/		
			0	(129)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示			(130)3.0審査へ	
				YES	(131)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子・特別養子・既に認知されている子では、ありませんか」を表示			
					YES (132)　→　(149)	/		
					NO (133)　→		(134)3.0審査へ	不受理
				NO	(135)　→			不受理
			2	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	21/29

処理名	3.1 審査 6/7			根拠法令(マニュアル処理)
2.3 1 0 2	YES	(137) →	(138)3.0審査へ	受理
	NO	(139) →		不受理
1	(140)審査の準拠法(1:外国法(認知者の本国法), 2:外国法(子又は母の本国法))	/		
1	(141)確認メッセージ(YSE,NO) 「認知者の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示		(142)3.0審査へ	
	YES	(143)確認メッセージ(YSE,NO) 「子の本国法上の保護要件を満たしている旨の証明書はありますか」を表示		
	YES	(144) →		受理
	NO	(145) →		不受理
2	(146)確認メッセージ(YSE,NO) 「子の本国法により認知することができる旨の証明書はありますか」を表示			
	YES	(147) →		受理
	NO	(148) →		不受理
(149)認知者と母との婚姻日 ≠ スペースであるか		/		
YES	(150)被認知者は認知者と母の婚姻200日以内の出生子であるか	/		昭和34.8.28 民事甲 1827号通達
YES	(151)エラーメッセージ 「父母婚姻200日以内の子の認知は嫡出子としての戸籍訂正となります」を表示		(152)3.0審査へ	
NO	(153) → (154)	/		
NO				
(154)認知者の生年月日 + 12年(12歳以上) ≦ 被認知者の生年月日か		/		昭和39.7.8～9 釧路地方法務局管内戸住協決 昭和40.3.6 民事(2)発第87号民事局変更指示 昭和39.9.16～17 香川県連合戸住協決 昭和40.4.14 民事(2)発第146号民事局変更指示
YES	(155) → (161)	/		
NO	(156)確認メッセージ(YSE,NO) 「認知者及び子の生年月日は正しいですか」を表示		(157)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	22/29

処理名	3.1 審査 6/7			根拠法令(マニュアル処理)
2.3 NO YES	(158) → (161)	/		
NO	(159) →		(160)3.0審査へ	
	(161)3.2 審査へ進む	/		
	(162)審査結果、確認･エラーメッセージがない(YES,NO)	/		
YES	(163) → (166)	/		
NO	(164) →		(165)3.0審査へ	
(166)届出人は認知者本人であるか		/		
YES	(167) → (172)	/	(168)~~3.0審査へ~~	(168)を削除
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は、認知者でありがせんがよろしいですか」を表示		(169-1)3.0審査へ	
YES	(170) →			受理
NO	(171) →			不受理
(172)認知者の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日		/		
YES	(173)メッセージ 「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示			受理照会 昭和49.7.25～26 徳島地方法務局管内連合戸協決議
NO	(174) →		(175)3.0審査へ	

処理名	3.2 審査 1/2			根拠法令(マニュアル処理)
(1)被認知者の区分(1:胎児,2:未成年,3:成年)		/		
1		/		(2)～(10)削除
	(11)認知の承諾者(0:無,1:胎児の母)	/		
	0 (12)エラーメッセージ 「母の承諾がなければ胎児認知できません。」を表示		(13)3.1審査へ	不受理
	1 (14)→			
2,3	(15)被認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
	0 (15-1)認知成立日≠スペース かつ 認知成立日≧2022年4月1日 または 審判/判決確定日≠スペース かつ 審判/判決確定日≧2022年4月1日 または 認知成立日=スペース かつ 審判/判決確定日=スペース の場合、 受領日≧2022年4月1日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける R2.1(認知111)
	YES (15-2) 認知成立日≠スペースの場合 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペース かつ 審判/判決確定日=スペースの場合 被認知者の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)後の審査 民731(改正後) R2.1(認知111)
	YES (15-3) 2004年4月2日≦被認知者の生年月日≦2006年4月2日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は経過措置として改正前の民731が適用される ※被認知者の性別が分かる項目がないため、 男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 R2.1(認知111)
	YES (15-4)確認メッセージ(YES,NO)「成年擬制ですか?」を表示		(15-5)3.1審査へ	民753 R2.1(認知111)
	YES (15-6)→(24)へ	/		R2.1(認知111)
	NO (15-7)→		(15-8)3.1審査へ	R2.1(認知111)
	NO			
	NO (15-9)→(24)へ	/		R2.1(認知111)
	NO (16) 認知成立日≠スペースの場合 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合 被認知者の生年月日+20年(20歳未満)>受領日	/		民法改正(2022年4月1日)前の審査

			YES	(17) 認知成立日≠スペースの場合 　被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦認知成立日 審判/判決確定日≠スペースの場合 　被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦審判/判決確定日 認知成立日=スペースかつ審判/判決確定日=スペースの場合 　被認知者の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日	/		民731(改正前) ※被認知者の性別が分かる項目がないため、 男女に関係なく16歳以上として審査を行う。 本籍人の年齢条件を削除(第13版)
				YES (18)確認メッセージ(YES,NO)「成年擬制ですか?」を表示		(19)3.1審査へ	民753
				YES (20)→(24)へ	/		
				NO (21)→		(22)3.1審査へ	
				NO			
			NO	(23)→(24)へ	/		
		(24)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示			/		
			YES	(25)認知の承諾者(0:無,2:成年者,3:その他)	/		民782,昭和18.12.3　民事甲　943回答
				0,2 (26)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示		(27)3.1審査へ	不受理
				3 (28)確認メッセージ(YES,NO) 「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」を表示			昭和45.1.31　民事甲　464回答

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	24/29

処理名					3.2 審査 2/2			根拠法令(マニュアル処理)
2,3	0	YES	3	YES	(29)→		(30)3.1審査へ	
				NO	(31)→			不受理
		NO	(32)認知の承諾者(0:無,2:成年者,3:その他)			/		民782
			0,3		(33)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示		(34)3.1審査へ	不受理
			2		(35)→			(36)～(47)削除
	1	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「被認知者は成年者(成年擬制も含む)ですか?」を表示						
		YES	(49)確認メッセージ(YES,NO)「被認知者は成年被後見人ですか?」を表示					
			YES		(50)認知の承諾者(0:無,2:成年者,3:その他)	/		民782,昭和18.12.3 民事甲 943回答
				0,2	(51)エラーメッセージ 「本人以外の承諾が必要です。」を表示		(52)3.1審査へ	
				3	(53)確認メッセージ(YES,NO)「成年後見人(成年後見監督人・特別代理人)の承諾がありますか?」を表示			昭和45.1.31 民事甲 464回答
					YES (54)→			
					NO (55)→			不受理
			NO		(56)認知の承諾者(0:無,2:成年者,3:その他)	/		戸782
				0,3	(57)エラーメッセージ 「成年者の承諾がなければ認知できません。」を表示		(58)3.1審査へ	不受理
				2	(59)→			
		NO	(60)→					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	25/29

処理名	3.3 審査			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)被認知者の本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/		
1	(2)	/		(2)～(4)第8.3版により削除
1	(3)		(4)	
1	(5)被認知者は特別養子であるか	/		戸817の9 等により嫡出子に準ずる
1 / YES	(6)エラーメッセージ「特別養子を認知することはできません」を表示		(7)3.1審査へ	不受理
1 / NO	(8)被認知者は既に認知されているか	/		大正5.11.2　民事　1331回答
1 / NO / YES	(9)エラーメッセージ 「既に認知されている子を認知するっことはできません」を表示		(10)3.1審査へ	不受理
1 / NO / NO	(11)被認知者の戸籍に父の氏名が記録されているか	/		
1 / NO / NO / YES	(12)認知者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
1 / NO / NO / YES / 0	(13)エラーメッセージ 「父は既に存在します」を表示		(14)3.1審査へ	不受理
1 / NO / NO / YES / 1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「認知者は父欄に記載されている父で本国法は事実主義ですか」を表示			平成1.10.2　民事二　3900号通達3･2(2)
1 / NO / NO / YES / 1 / YES	(16)→			
1 / NO / NO / YES / 1 / NO	(17)→			不受理
1 / NO / NO / NO	(18)→			
2	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「嫡出子･特別養子･既に認知されている子ではありませんか」を表示			戸779,明治32.3.24　民刑　2180号回答 大正5.11.2　民事　1331回答
2 / YES	(20)→			
2 / NO	(21)→			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 10日	3	26/29

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(認知届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		認知届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							2(認知)を移送する
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時:1 在外送付区分 ＝ 1,2,3の時:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							被認知者の区分 ＝ 胎児の時 認知者･子の母が日本人 ＝ 0 認知者が日本人･子の母が外国人 ＝ 0 認知者が外国人･子の母が日本人 ＝ 1 認知者･子の母が外国人 ＝ 2 被認知者の区分 ≠ 胎児の時 認知者･被認知者が日本人 ＝ 0 認知者･被認知者 いずれかが日本人 ＝ 1 認知者･被認知者が外国人 ＝ 2
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索 サブシステム　インターフェース					認知者･被認知者(子の母)が本籍人の場合、選択戸籍番号を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/29

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 2/4	(受取側)　中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)　入力画面(認知届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	事件別内容		認知届(その1) 入力画面					3/4,4/4参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、1を移送する
	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理伺いをセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							受領番号 ＝ スペースの時、0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/29

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 3/4	(受取側)　中間ファイル(届書)/事件別内容　←　(引渡側)　入力画面(認知届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	被認知者区分		認知届(その1) 入力画面	被認知者区分				
	外国人区分(被認知)			被認知者外国人区分				
	本非区分(被認知)			被認知者本非区分				
	生年月日(被認知)			被認知者生年月日				
	生死区分(被認知)			被認知者生死区分				
	カナ氏名(被認知)			被認知者カナ氏名				
	漢字氏名(被認知)			被認知者漢字氏名				
	住所コード(被認知)			被認知者住所地				
	住所地(被認知)							
	世帯主(被認知)			被認知者世帯主				
	本籍コード(被認知)			被認知者本籍				
	本籍(被認知)							
	筆頭者(被認知)			被認知者筆頭者				
	訂正続柄(被認知)			準正による訂正後続柄				
	外国人区分(認知者)			認知者外国人区分				
	本非区分(認知者)			認知者本非区分				
	生年月日(認知者)			認知者生年月日				
	生死区分(認知者)			認知者生死区分				
	カナ氏名(認知者)			認知者カナ氏名				
	漢字氏名(認知者)			認知者漢字氏名				
	本籍コード(認知者)			認知者本籍				
	本籍(認知者)							
	筆頭者名(認知者)			認知者筆頭者				
	外国人区分(母)			母外国人区分				
	本非区分(母)			母本非区分				

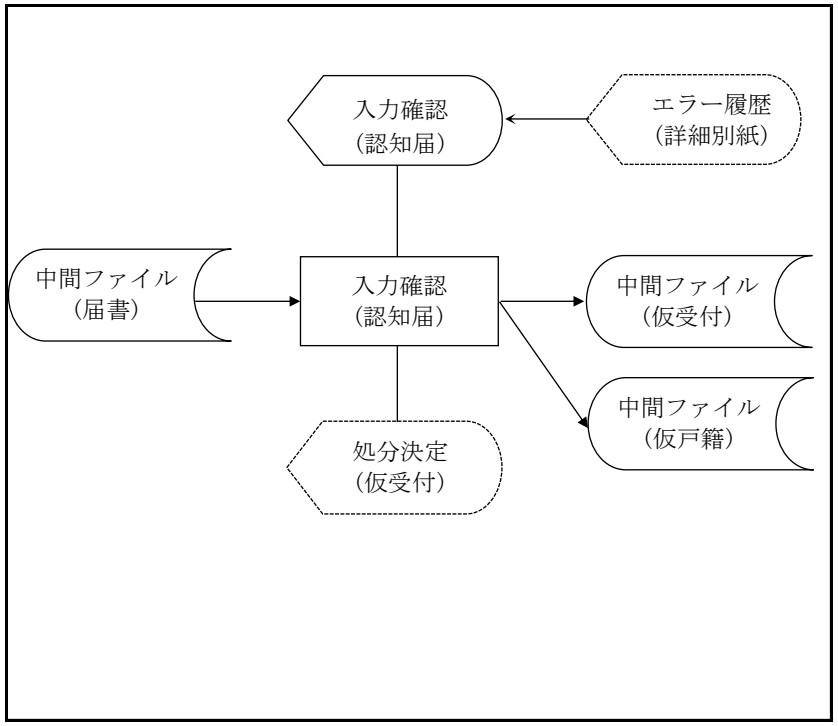
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	29/29

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 4/4	(受取側)　中間ファイル(届書)/事件別内容　←　(引渡側)　入力画面(認知届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	生年月日(母)		認知届(その2) 入力画面	母生年月日				
	カナ氏名(母)			母カナ氏名				
	漢字氏名(母)			母漢字氏名				
	本籍コード(母)			母本籍				
	本籍(母)							
	筆頭者(母)			母筆頭者				
	住所コード(母)			母住所地				
	住所地(母)							
	認知者との婚姻日			認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			受領日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				
	裁判申立人			裁判訴提起者				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				
	認知承諾者		認知届(その3) 入力画面	認知を承諾した者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 4年 9月30日	平成16年11月 1日	8.3	1/20

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。

(2)戸籍変動状況を確定する。

(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。

(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。

(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0データ編集表(認知届確認画面)
  - 2.0データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 3.0戸籍編製マトリックス表
  - 4.0データ編集表(中間ファイル(仮受付))
  - 5.0データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
    - 5.1個人特定(変動なし)
    - 5.2身分事項(変動なし)
  - 6.0データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
    - 6.1身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	2/20

処理名	0.0 本紙 1/2				根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する [1.0]			/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,その他)			/		
実行キー	(3)胎児認知であるか		/		
	YES	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する [2.0]	/		
		(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する [2.1]	/	(6)処分決定に制御を渡す	
	NO	(7)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する [3.0]	/		
		(8)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する [4.0]	/		
		(9)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する [4.1]	/		
		(10)事件本人(被認知者)が本籍人である(YES,NO)	/		
		YES (11)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する [5.0]	/		
		個人特定(変動なし) (12)個人特定(被認知者)の編集 [5.1]	/		
		身分事項(変動なし) (13)身分事項(被認知者)の編集 [5.2]	/		
		NO (14)→(15)	/		
		(15)事件本人(認知者)が本籍人である(YES,NO)	/		
		YES (16)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する [6.0]	/		
		身分事項(変動なし) (17)身分事項(認知者)の編集 [6.1]	/		
		NO (18) →	/	(22)処分決定に制御を渡す	
PF1	→			(24)業務選択に制御を渡す	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/20

処理名	0.0 本紙　2/2			根拠法令(マニュアル処理)
PF2	⟶		(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	⟶		(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/	(29)同画面を編集する	
	YES (28)前ページ「認知届」画面編集			
	NO (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	YES (32)次ページ「認知届」画面編集			
	NO (33)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	⟶		(34)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(35)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(36)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/20

処理名	1.0 確認画面編集(認知届)　1/3	(受取側)　確認画面(認知届)	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
認知届(その1～3) 確認画面	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			支所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
認知届(その1) 確認画面	被認知者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	被認知者区分				
	被認知者外国人区分			外国人区分(被認知)				
	被認知者本非区分			本非区分(被認知)				
	被認知者生年月日			生年月日(被認知)				
	被認知者生死区分			生死区分(被認知)				
	被認知者カナ氏名			カナ氏名(被認知)				
	被認知者漢字氏名			漢字氏名(被認知)				
	被認知者住所			住所(被認知)				
	被認知者世帯主			世帯主(被認知)				
	被認知者本籍			本籍(被認知)				
	被認知者筆頭者			筆頭者(被認知)				
	準正による訂正後続柄			訂正続柄(被認知)		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/20

処理名	1.0 確認画面編集(認知届)　2/3	(受取側)　確認画面編集(認知届)	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
認知届(その1) 確認画面	認知者外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外国人区分(認知者)				
	認知者本非区分			本非区分(認知者)				
	認知者生年月日			生年月日(認知者)				
	認知者生死区分			生死区分(認知者)				
	認知者カナ氏名			カナ氏名(認知者)				
	認知者漢字氏名			漢字氏名(認知者)				
	認知者本籍			本籍(認知者)				
	認知者筆頭者			筆頭者(認知者)				
認知届(その2) 確認画面	母外国人区分			外国人区分(母)				
	母本非区分			本非区分(母)				
	母生年月日			生年月日(母)				
	母カナ氏名			カナ氏名(母)				
	母漢字氏名			漢字氏名(母)				
	母本籍			本籍(母)				
	母筆頭者			筆頭者(母)				
	母住所地			住所(母)				
	認知者との婚姻日			認知者との婚姻日				
	認知種別			認知種別				
	審査の準拠法			審査の準拠法				
	認知成立日			認知成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	認知の方式			認知の方式				
	裁判成立地			裁判成立地				
	審判/判決確定日			審判/判決確定日				
	裁判訴提起者			裁判申立人				
	外国の裁判所名			外国の裁判所名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/20

処理名	1.0 確認画面編集(認知届)　3/3	(受取側)　確認画面編集(認知届)	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
認知届(その3) 確認画面	認知を承諾した者		中間ファイル(届書) 事件別内容	認知承諾者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届由人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	7/20

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0202(認知(胎児))を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格1 ≠ 1,17の時に、移送する (届出人資格1 ＝ 99の時、届出人資格1名称を移送)
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		
				届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/20

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集 2/3	(受取側)　中間ファイル(仮受付)/共通	←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届出人資格区分2		中間ファイル(届書)					
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							0を移送
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	9/20

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							胎児の時,54(胎児) 認知者の時,6(認知者)
	届出人区分							届出人が父又は母の時,1設定
	カナ氏名			カナ氏名				胎児の時,カナ氏名(母) 認知者の時,カナ氏名(認知者)
	漢字氏名			漢字氏名				胎児の時, 漢字氏名(母) + 'の胎児' 認知者の時,漢字氏名(認知者)
	生年月日			生年月日				胎児の時,移送しない 認知者の時,生年月日(認知者)
	本籍コード			本籍コード				胎児の時,本籍コード(母) 認知者の時,本籍コード(認知者)
	本籍			本籍				胎児の時,本籍(母) 認知者の時,本籍(認知者)
	筆頭者			筆頭者				胎児の時,筆頭者(母) 認知者の時,筆頭者(認知者)
	送達確認2							0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1. 胎児
2. 認知者

処理名	3.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件								戸籍の変動	
	被認知者				認知者				被認知者 現戸籍	認知者 現戸籍
	外国人区分		本非区分		外国人区分		本非区分			
	日本人	外国人	本籍	非本籍	日本人	外国人	本籍	非本籍	変動なし 5.1 5.2	変動なし 6.1
1	○		○		○		○		子	認知者
2	○		○		○			○	子	
3	○		○			○	－	－	子	
4	○			○	○		○			認知者
5	○			○	○			○		
6	○			○		○	－	－		
7		○	－	－	○		○			認知者
8		○	－	－	○			○		
9		○	－	－		○	－	－		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/20

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付)編集　1/3	(受取側)　中間ファイル(仮受付)受付	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) [受付]	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							認知種別 ＝ 1の時、0201 認知種別 ＝ 2の時、0204を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			認知成立日				認知種別 ＝ 1かつ認知成立日 ≠ 0の時、移送
				審判/判決日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			届出人資格1				認知種別 ＝ 1の場合、 　届出人資格1 ＝ 1,105以外ならば移送 認知種別 ＝ 2の場合、 　届出人資格1 ＝ 1,105かつ 　　届出人氏名1 ＝ 裁判申立人 　　ならば102を移送 　　届出人氏名1 ≠ 裁判申立人 　　ならば101を移送 (届出人資格1 ＝ 1かつ 　届出人氏名1に入力がない場合は、漢字氏名(認知者)で処理)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	12/20

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付)編集　2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)受付	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) [受付]	届出人資格区分1		中間ファイル(届書)	届出人資格1				届出人資格1 ≠ 1,105かつ 届出人氏名1 ＝ 裁判申立人 ならば102を移送 届出人氏名1 ≠ 裁判申立人 ならば届出人資格1を移送 (届出人資格1 ＝ 17かつ 届出人氏名1に入力がない場合は、 漢字氏名(母)で処理)
	届出人資格名称1					有		上記、届出人資格区分1に移送した コード変換して移送する
				届出人資格1名称				届出人資格1 ＝ 99の時、移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				(認知種別 ＝ 1かつ届出人資格1 ＝ 1,105) 以外の時、移送する 認知種別 ＝ 2かつ届出人氏名1 ＝ スペースかつ 届出人資格1 ＝ 1の時、漢字氏名(認知者)を移送 認知種別 ＝ 2かつ届出人資格1 ＝ 105の時、 漢字氏名(被認知者)を移送 届出人氏名1 ＝ スペースかつ届出人資格1 ＝ 17の時、 漢字氏名(母)を移送する(届出人氏名1は必須ではない為)
				漢字氏名(認知者)				
				漢字氏名(被認知者)				
				漢字氏名(母)				
	届出人資格区分2			届出人資格2				認知種別 ＝ 2かつ届出人資格2 ≠ スペースの場合に、移送する (届出人資格区分1に102を移送した場合は、 届出人資格区分･名称2にも102を移送する) 届出人資格2 ＝ 99の時、届出人資格名称2を移送 届出人氏名2 ＝ スペースかつ届出人資格名称2 ＝ 17の時は漢字氏名(母)を移送
	届出人資格名称2			届出人資格2		有		
				届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
				漢字氏名(母)				
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							認知成立日 ≠ 0の時、1を移送 上記以外の時、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	13/20

処理名	4.0 中間ファイル(仮受付)編集 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) [事件本人]	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	受領日			受領日				
	事件本人区分							被認知者の時,5(被認知者) 認知者の時,6(認知者)
	届出人区分							届出人が父又は子の時,1設定
	カナ氏名			カナ氏名				被認知者の時,カナ氏名(被認知) 認知者の時,カナ氏名(認知者)
	漢字氏名			漢字氏名				被認知者の時,漢字氏名(被認知) 認知者の時,漢字氏名(認知者)
	生年月日			先年月日				被認知者の時,生年月日(被認知) 認知者の時,生年月日(認知者)
	本籍コード			本籍コード				被認知者の時,本籍コード(被認知) 認知者の時,本籍コード(認知者)
	本籍			本籍				被認知者の時,本籍(被認知) 認知者の時,本籍(認知者)
	筆頭者			筆頭者				被認知者の時,筆頭者(被認知者) 認知者の時,筆頭者(認知者)
	送達確認2							本籍が非本籍かつ 在外送付区分 ＝ 0の時, 1 を移送 上記以外の時,0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序
1. 被認知者
2. 認知者

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/20

処理名	5.1 個人特定　被認知者編集 1/1	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/個人特定　←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			漢字氏名(認知者)				
	母							
	父母との続柄			準正による訂正後の続柄		有		準正による訂正後の続柄 ≠ 0の時、移送
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/20

処理名	5.2 身分事項　被認知者編集 1/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	個人番号(被認知)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0201を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送
				認知成立日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送
				審判/判決日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知日			受領日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送
				認知成立日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知者氏名			漢字氏名(認知者)				
	認知者の戸籍(本籍)			本籍(認知者)				外国人区分(認知者) ＝ 0の時、移送
	認知者の戸籍 (筆頭者)			筆頭者(認知者)				外国人区分(認知者) ＝ 0の時、移送
	認知者の国籍			本籍(認知者)				外国人区分(認知者) ＝ 1の時、移送
	認知者の生年月日			生年月日(認知者)				外国人区分(認知者) ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	裁判所名			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	証書提出日			証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時、移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	16/20

処理名	5.2 身分事項 被認知者編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	届出人(資格1)		中間ファイル(届書)	届出人資格1				認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格1 ≠ 105の時,移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格1 ≠ 105の時,移送
				届出人資格1名称				認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格1 ＝ 99の時,移送
	届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格1 ＝ 19,20,99の時,移送
	届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 ＝ 2の時,移送
	届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 ＝ 2の時,移送
				届出人資格2名称				認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格2 ＝ 99の時,移送
	届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 ＝ 2かつ 届出人資格2 ＝ 19,20,99の時、移送
	証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0の時,移送
	証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ≠ 99,105の時, 届出人資格1を移送
				届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ＝ 99の時, 届出人資格名称1を移送
	証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ＝ 19,20,99の時,移送
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時,移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時,移送
	関連事項訂正							訂正後続柄 ≠ 0の時, ‘父母との続柄’と編集し移送
	従前の記録							訂正後続柄 ≠ 0の時,移送
	父母との続柄							訂正前の続柄を移送する
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時,移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/20

処理名	6.1　身分事項　認知者編集　1/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	個人番号(認知者)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							0201を移送
	記録コード							0202を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送
				認知成立日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送
				審判/判決日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知日			受領日				認知種別 ＝ 1かつ 認知成立日 ＝ 0の時、移送
				認知成立日				認知種別＝1かつ 認知成立日 ≠ 0の時、移送
	認知の裁判確定日			審判/判決確定日				認知種別 ＝ 2の時、移送
	認知した子の氏名			漢字氏名(被認知)				
	認知した子の戸籍			本籍(被認知)				外国人区分(被認知) ＝ 0の時、移送
	認知した子の筆頭者			筆頭者(被認知)				外国人区分(被認知) ＝ 0の時、移送
	認知した子の国籍			国籍(被認知)				外国人区分(被認知) ＝ 1の時、移送
	認知した子の生年月日			生年月日(被認知)				外国人区分(被認知) ＝ 1の時、移送
	認知した子の母の氏名			漢字氏名(母)				外国人区分(被認知) ＝ 1の時、移送
	認知の方式			認知の方式				認知成立日 ≠ 0の時、移送
	裁判所			外国の裁判所名				裁判成立地 ＝ 1の時、移送
	届出日			受領日				認知種別 ＝ 2の時、移送

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	18/20

処理名	6.1 身分事項 認知者編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	証書提出日		中間ファイル(届書)	証書提出日				認知成立日 ≠ 0の時,移送
	届出人(資格1)			届出人資格1				認知種別 = 2かつ 届出人資格1 ≠ 1,105の時,移送
	届出人(資格1名称)			届出人資格1		有		認知種別 = 2かつ 届出人資格1 ≠ 1,105の時,移送
				届出人資格1名称				認知種別 = 2かつ 届出人資格1 = 99の時,移送
	届出人(氏名1)			届出人氏名1				認知種別 = 2かつ 届出人資格1 = 19,20,99,105の時、移送
	届出人(資格2)			届出人資格2				認知種別 = 2の時,移送
	届出人(資格2名称)			届出人資格2		有		認知種別 = 2の時,移送
				届出人資格2名称				認知種別 = 2かつ 届出人資格2 = 99の時,移送
	届出人(氏名2)			届出人氏名2				認知種別 = 2かつ 届出人資格2 = 19,20,99の時,移送
	証書提出者資格			届出人資格1				認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ≠ 1の時,移送
	証書提出者資格名称			届出人資格1		有		認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ≠ 1、99の時,届出人資格1を移送
				届出人資格1名称				認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 = 99の時,届出人資格1名称を移送
	証書提出者氏名			届出人氏名1				認知成立日 ≠ 0かつ 届出人資格1 ≠ 1の時,移送
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時,移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時,移送
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時,移送

※データ編集表(5.2、6.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項は、ノーマル時の項目のみを記述している。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	19/20

処理名	7.1 被認知者　編集･出力　1/2	(受取側)　中間ファイル(9条2項)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名		Z9.,	

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(認知届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	20/20

処理名	7.1 被認知者　編集･出力　2/2	(受取側)　中間ファイル(9条2項)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目			Z9.,	
	名称	記号名		名称	記号名			

空白ページです

第7.2.(5)「異動」処理

3.養子縁組届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	1/79

1.養子縁組業務処理範囲外の処理
・養子縁組取り消しの裁判が確定し、その届出があった場合
・追完届出された場合
・養子縁組の戸籍訂正
・届書受理後に届出人の死亡が明らかになった場合の記録
・養父母の在籍した戸籍が法務省令第27号第4条第2項の規定により改製されている場合
・無籍者の縁組の場合
・委託確認の裁判に基づく届出の場合
・配偶者(筆頭者)の死亡後に婚氏を称する婚姻で筆頭者となった者が養子となる縁組の場合
※養子の戸籍は変動なし(婚氏のまま)であるが、システムは新戸籍編製でなければ通らない(筆頭者がする夫婦縁組)。
・成年被後見人(又は禁治産者)と成年後見人(又は後見人)の縁組届の場合
・特別代理人、児童福祉施設の長、未成年後見人、未成年後見監督人が複数人の届出(代諾)は審査結果
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
※標準仕様書では養子が該当する場合関連チェック(NO.14)で、養親が該当する場合関連チェック(NO.17,18)でエラーとなる。

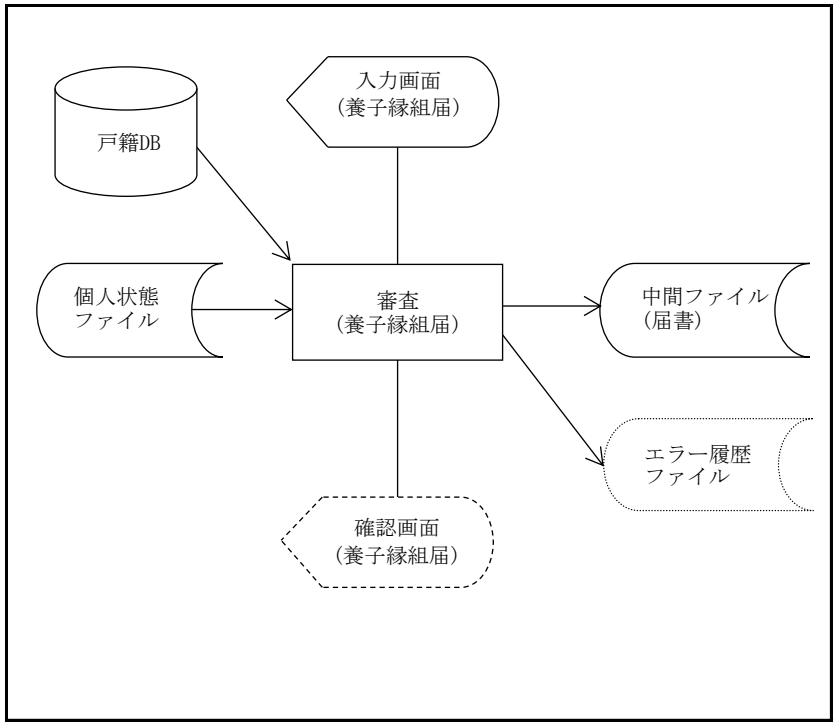
2.養子縁組入力画面の意義
・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する
・その4画面　養子となる者の配偶者の現在の状況の各項目を入力する
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3.その他
・養子・養親両方に縁組をする意思の合致がある事(民第802条1号)
・養子は養親の尊属ではない事(民第793条)
・養子は養親の嫡出子、又は養子ではない事(昭和23.1.13民事甲第17号通達)
・証人の記録があり、20歳以上である事(民第799条・第739条)
・証書提出者が3人以上の場合は審査結果入力で処理する
・養子縁組により、養子に共同親権に服する記録を要する場合は、移記処理で行う
・届出前の本籍が管内にあり、かつ、管内に新戸籍編製及び入籍する事件本人の父母欄及び養父母欄の氏名に変更がある場合は、移記処理で修正する
・養子(養女)が15歳未満の時、代諾者となる父母が外国人でその国に親権規定がない場合は、審査結果入力で処理する。
(注)日本人父母同様に届出人資格等を入力すると、代諾者が親権者父母となるので注意すること

その他:審査内部で使用している[縁組形態区分]は、前提入力画面の【縁組の形態】を数字で表したものである

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	2/79

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)養子縁組届の内容を入力する。
(2)養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(養子縁組届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 国籍処理ルーチン(養子)
    - 3.1 要件具備証明書ルーチン(養子)
    - 3.2 保護要件ルーチン(養子)
    - 3.3 養子審査ルーチン
      - R2.1(縁組
        - 3.4 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養子)
        - 3.4.0.1養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養子)
        - 3.5 同意書ルーチン(養子)
        - 3.6 届出人ルーチン(養子)
  - 3.0.1 国籍処理ルーチン(養女)
    - 3.1.1 要件具備証明書ルーチン(養女)
    - 3.2.1 保護要件ルーチン(養女)
    - 3.3.1 養女審査ルーチン
      - R2.1(縁組
        - 3.4.1 養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン(養女)
        - 3.4.1.1養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン(養女)
        - 3.5.1 同意書ルーチン(養女)
        - 3.6.1 届出人ルーチン(養女)
  - 4.0 データ編集(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/79

処理名	0.0 本紙				根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書内容を画面入力する			/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)			/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/		
	YES (4)縁組形態名称を画面に出力する	[1.1]	/		
	(5)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)	[2.0]	/		
	YES (6)画面の入力項目をすべて入力禁止とする		/		
	(7)審査(OK:YES,NG:NO)	[3.0]	/		
	YES (8)中間ファイル(届書)編集・出力	[4.0]		(9)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (10)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/		
	審査エラー (11)エラーメッセージを表示する			(12)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (13)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (14)エラーメッセージを表示する				
	NO				
PF1	---- >			(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	---- >			(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがある(YES,NO)		/		
	YES (18)前ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集・表示する			(19)同画面を編集する	
	NO (20)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する				
PF8	(21)次ページがある(YES,NO)		/		
	YES (22)次ページ分の入力画面(養子縁組届)を編集・表示する			(23)同画面を編集する	
	NO (24)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する				
PF10	(25)画面の入力項目の入力禁止を解除する				入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(26)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する				審査エラー発生時のみ有効
PF12	(27)入力画面を初期化する				
その他	(28)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	4/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1/6)	養子縁組(縁組形態入力画面) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:縁組あり,スペース:縁組なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:縁組あり,スペース:縁組なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:縁組あり,スペース:縁組なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:縁組あり,スペース:縁組なし)であること			
5	養親配偶者氏名1		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養子の養親の氏名
6	養親配偶者氏名2		漢字				今回の縁組が単独縁組の場合、既に縁組済の養女の養親の氏名

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	5/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2/6)	養子縁組(その1)　1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
7	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
8	受領番号		数字				
9	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	発送元		漢字				
12	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
13	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
15	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	届出区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
17	養子の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
18	養子の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
19	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
20	養子の婚姻区分		数字	(0:未婚,1:婚姻中)であること			
21	養子の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること			
22	養子のカナ氏名		カナ				
23	養子の漢字氏名		漢字				
24	養子の本･国籍		漢字				
25	養子の住所		漢字				
26	養子の筆頭者氏名		漢字				
27	養子の世帯主氏名		漢字				
28	養子の父氏名		漢字				
29	養子の母氏名		漢字				
30	養子の続柄		数字	~~「続柄変換サブルーチン」~~　10(男)～29(十九男)であること。			
31	養子の筆頭者区分		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	6/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック(3/6)	養子縁組(その1)　2/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	養子の配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,3:生存配偶者)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
33	養女の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
34	養女の本非区分		数字	(1:本籍2:非本籍)であること			
35	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
36	養女の婚姻区分		数字	(0:未婚,1:婚姻中)であること			
37	養女の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること			
38	養女のカナ氏名		カナ				
39	養女の漢字氏名		漢字				
40	養女の本･国籍		漢字				
41	養女の住所		漢字				
42	養女の筆頭者氏名		漢字				
43	養女の世帯主氏名		漢字				
44	養女の父氏名		漢字				
45	養女の母氏名		漢字				
46	養女の続柄		数字	~~「続柄変換サブルーチン」~~　30(女)～49(十九女)であること。			
47	養女の筆頭者区分		数字				
48	養女の配偶者区分		数字	(0:未,2:妻,3:生存配偶者)であること			
49	監護者の有無		英字	(Y:有,N:無)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(4/6)	養子縁組(その2)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	養父の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
51	養父の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
52	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
53	養父の筆頭者区分		数字				
54	養父の配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,3:生存配偶者)であること			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の住所		漢字				
60	養父の筆頭者氏名		漢字				
61	養父の世帯主氏名		漢字				
62	養母の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
63	養母の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
64	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
65	養母の筆頭者区分		数字				
66	養母の配偶者区分		数字	(0:未,2:妻,3:生存配偶者)であること			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存,1:死亡)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の筆頭者氏名		漢字				
73	養母の世帯主氏名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(5/6)	養子縁組(その3)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	戸籍変動区分	○	数字	(1:養親の現在の戸籍に入る,2:養親の新しい戸籍に入る,3:養子夫婦で新しい戸籍を作る,4:養子の戸籍に変動がない,5:養子は全て外国人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
75	入籍する戸籍または新しい戸籍		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1,2,3の場合,必須 戸籍変動区分 ＝ 4,5の場合,入力不可			
76	入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者		漢字	戸籍変動区分 ＝ 1,2,3の場合,必須 戸籍変動区分 ＝ 4,5の場合,入力不可			
77	裁判確定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
78	縁組成立日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
79	縁組方式		漢字				
80	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組,0:その他)であること			
81	後見人縁組区分		数字	(0:無,1:有)であること			
82	届出人資格コード1		数字	(01:父,02:母,03:母の親権者,10:養父,11:養母,13:養子,16:親権者父,17:親権者母,78:特別代理人,93:児童福祉施設の長,109:母の未成年後見人,110:未成年後見人,112:未成年後見監督人)であること			
83	届出人氏名1		漢字				
84	代諾者コード1		数字	(0:無,1:有)であること			
85	届出人国籍1		漢字				
86	届出人生年月日1		数字	「日付チェックサブルーチン」			
87	届出人資格コード2		数字	(01:父,02:母,03:母の親権者,10:養父,11:養母,13:養子,16:親権者父,17:親権者母,78:特別代理人,93:児童福祉施設の長,109:母の未成年後見人,110:未成年後見人,112:未成年後見監督人)であること			
88	届出人氏名2		漢字				
89	代諾者コード2		数字	(0:無,1:有)であること			
90	届出人国籍2		漢字				
91	届出人生年月日2		数字	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/79

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(6/6)	養子縁組(その4)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
92	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
93	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
94	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
95	配偶者カナ氏名		カナ				
96	配偶者漢字氏名		漢字				
97	配偶者住所		漢字				
98	配偶者父氏名		漢字				
99	配偶者母氏名		漢字				
100	配偶者続柄		数字	「続柄変換サブルーチン」			
101	配偶者筆頭者区分		数字				

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定1/2			

No	内容	備考
	以降、審査内部で使用する縁組形態区分の設定について記述する ・(No.1)[養子と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 1とする ・(No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 2とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.2)[養子と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 3とする ・(No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 4とする ・(No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 5とする ・(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 6とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 7とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 8とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 9とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 10とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 11とする ・(No.2)[養子と養母区分]かつ(No.3)[養女と養父区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 12とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 13とする	

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/79

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定2/2			

No	内容	備考
	・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.4)[養女と養母区分]のみ入力がある時、縁組形態区分 ＝ 14とする ・(No.1)[養子と養父区分]かつ、(No.2)[養子と養母区分]かつ、 (No.3)[養女と養父区分]かつ、(No.4)[養女と養母区分]に入力がある時、縁組形態区分 ＝ 15とする	

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	12/79

処理名	1.1入力画面(養子縁組)表示	(受取側)(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子縁組画面	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	表示1							縁組形態区分 ＝ 1,4,7の時、 養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 2,5,8の時、 養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9,10の時、 養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 11,12の時、 養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示
	表示2							縁組形態区分 ＝ 11,13の時、 養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい を表示 縁組形態区分 ＝ 9,14の時、 養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい を表示

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分 ＝ 1:養子と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	縁組形態区分 ＝ 2:養子と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
3	縁組形態区分 ＝ 3:養子と養父母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　は入力が無いこと			
4	縁組形態区分 ＝ 4:養女と養父の場合、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
5	縁組形態区分 ＝ 5:養女と養母の場舎、 (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分、 (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
6	縁組形態区分 ＝ 6:養女と養父母の場合、 (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれかに入力が有り (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　は入力が無いこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
7	縁組形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　は入力が無いこと			
8	縁組形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の場合、 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有り (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　は入力が無いこと			
9	縁組形態区分 ＝ 9:養子と養父&養女と養母　又は、10:養子と養父&養女と養父母 又は、11:養子と養母&養女と養父　又は、12:養子と養母&養女と養父母 又は、13:養子と養父母&養女と養父　又は、14:養子と養父母&養女と養母 又は、15:養子と養父母&養女と養父母の場合 (No.17)養子の外国人区分～(No.32)養子の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.33)養女の外国人区分～(No.48)養女の配偶者区分　のいずれか、かつ (No.50)養父の外国人区分～(No.61)養父の世帯主氏名　のいずれか、かつ (No.62)養母の外国人区分～(No.73)養母の世帯主氏名　のいずれかに入力が有ること			
10	縁組形態区分 ＝ 1～3,6,10,12,15の時、(No.06)養親配偶者氏名2 ＝ スペースであり、 縁組形態区分 ＝ 3～6,13～15の時、(No.05)養親配偶者氏名1 ＝ スペースであること、			
11	縁組形態区分 ＝ 9,10でかつ、(No.05)養親配偶者氏名1　≠　スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であり、			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	縁組形態区分 ＝ 11,12でかつ、(No.05)養親配偶者氏名1 ≠ スペースの時、 (No.05)養親配偶者氏名1 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり、 縁組形態区分 ＝ 9,14でかつ、(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.57)の養父の漢字氏名であり、 縁組形態区分 ＝ 11,13でかつ、(No.06)養親配偶者氏名2 ≠ スペースの時、 (No.06)養親配偶者氏名2 ＝ (No.69)の養母の漢字氏名であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
12	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中、 (No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1:夫、 (No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2:妻　であること			
13	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.40)養女の本･国籍かつ、 (No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であり、かつ、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であり、又は (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0ならば、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1であること			
14	縁組形態区分 ＝ 7～15の時で、 (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること、又は (No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
15	縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の時、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫　でかつ、(No.66)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻　であり、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ (No.70)養母の本･国籍かつ、 (No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
16	縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者ならば、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること、又は、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員ならば、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
17	縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
18	縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の時、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
19	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.11)発送元 ＝ スペースであること			
20	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.11)発送元 ≠ スペースであること			
21	(No.10)送付日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ≧ (No.09)受領日であること			
22	(No.10)送付日 ＝ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
23	(No.11)発送元 ≠ スペースの時、(No.12)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
24	(No.11)発送元 ≠ スペースかつ (No.11)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』のとき (No.12)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付　であること			
25	(No.11)発送元 ≠ スペースかつ (No.11)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』以外のとき (No.12)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.12)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
26	(No.13)処理日 ≠ スペースの時、(No.13)処理日 ＞ (No.09)受領日であること			
27	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)送付日 ＝ スペースであること			
28	(No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≦ (No.09)受領日であること			
29	(No.14)本非区分 ＝ 1の場合、(No.18)養子の本非区分･(No.34)養女の本非区分･ (No.51)養父の本非区分･(No.63)養母の本非区分のいずれか ＝ 1であるか (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (本籍地)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	17/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(5/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
30	(No.78)縁組成立日 ≠ スペースかつ、(No.79)縁組方式 ≠ スペースの場合、あるいは (No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 2:報告的届出であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
30-1	(No.78)縁組成立日 ＝ スペースかつ、(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.16)届出区分 ＝ 1:創設的届出であること			
31	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.19)養子の生年月日 ＝ (和暦)、 (No.24)養子の本･国籍 ≠ スペース、(No.26)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.31)養子の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
32	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.19)養子の生年月日 ＝ (西暦)、 (No.24)養子の本･国籍 ＝ 国籍、(No.26)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
34	(No.19)養子の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ、 (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合、又は(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養子の年齢に関係なく養親が届出人となる
35	(No.19)養子の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日かつ (No.19)養子の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
36	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1であること			
37	(No.20)養子の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
38	(No.25)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.27)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
39	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ、 (No.25)養子の住所 ＝ 日本の場合、(No.27)養子の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
40	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
41	(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.23)養子の漢字氏名 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	18/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(6/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
--		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
43	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.35)養女の生年月日 ＝ (和暦)、 (No.40)養女の本･国籍 ≠ スペース、(No.42)養女の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.47)養女の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
44	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.35)養女の生年月日 ＝ (西暦)、 (No.40)養女の本･国籍 ＝ 国籍、(No.42)養女の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
45	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳未満) ＞ 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
46	(No.35)養女の生年月日+15年(15歳以上) ≦ 受領日でかつ、 (No.81)後見人縁組区分 ＝ 0:無の場合、又は(No.77)裁判確定日 ＝ スペースの場合、 (No.82)届出人資格コード1かつ2 ＝ スペースであること			※裁判による縁組の場合、養女の年齢に関係なく養親が届出人となる
47	(No.35)養女の生年月日 ≧ (No.52)養父の生年月日かつ (No.35)養女の生年月日 ≧ (No.64)養母の生年月日であること			
48	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2であること			
49	(No.36)養女の婚姻区分 ＝ 0の場合、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0又は3であること			
50	(No.41)養女の住所 ＝ スペースの場合、(No.43)養女の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
51	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ、 (No.41)養女の住所 ＝ 日本の場合、(No.43)養女の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
52	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
53	(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.39)養女の漢字氏名 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	19/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(7/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
--		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
55	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.52)養父の生年月日 ＝ (和暦)、 (No.58)養父の本･国籍 ≠ スペース、(No.60)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.53)養父の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
56	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.52)養父の生年月日 ＝ (西暦)、 (No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍、(No.60)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
57	(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.57)養父の漢字氏名 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であること			
--				
59	(No.59)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.61)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
60	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ、 (No.59)養父の住所 ＝ 日本の場合、(No.61)養父の世帯主氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.64)養母の生年月日 ＝ (和暦)、 (No.70)養母の本･国籍 ≠ スペース、(No.72)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.65)養母の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
62	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.64)養母の生年月日 ＝ (西暦)、 (No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍、(No.72)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
63	(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 (No.69)養母の漢字氏名 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること			
--				
65	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.73)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
66	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人でかつ、 (No.71)養母の住所 ＝ 日本の場合、(No.73)養母の世帯主氏名 ≠ スペースであること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	20/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(8/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
67	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養父又は養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 入力のある養子かつ養女の婚姻区分 ＝ 0:未であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
67-1	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1又は2の場合、 入力のある養子又は養女の筆頭者区分 ＝ 0:構成員かつ、 配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者以外であること			13版で69-1を移した
67-2	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の場合、 入力のある養父又は養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者又は、配偶者区分 ≠ 0:未以外　であること			13版で68-1を移した
68	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 1の時で、 縁組形態区分 ＝ 1又は、3又は、4又は、6でかつ (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No.58)養父の本･国籍でかつ、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名であり、 縁組形態区分 ＝ 2又は、3又は、5又は、6でかつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、 (No.75)入籍する戸籍または新しい戸籍 ＝ (No、70)養母の本･国籍でかつ、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名であること 縁組形態区分 ≠ 7～15であること			
69	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 2の時で、 縁組形態区分 ＝ 1又は、4の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.57)養父の漢字氏名、 (No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり、 縁組形態区分 ＝ 2又は、5の場合、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者 ＝ (No.69)養母の漢字氏名、 (No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0:未、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であること 縁組形態区分 ≠ 3,6～15であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	21/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(9/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
70	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時で、 縁組形態区分 ＝ 1,4,7の場合、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 2,5,8の場合、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であり、 縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の場合、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人、又は、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
71	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3でかつ、 縁組形態区分 ＝ 1又は、2又は、3の時、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること 縁組形態区分 ＝ 4又は、5又は、6の時、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
72	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 4でかつ、同一戸籍縁組 ≠ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1,4,7の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であること、又は 縁組形態区分 ＝ 2,5,8の時、(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること、又は 縁組形態区分 ＝ 3,6,9～15の時、(No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、 (No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること、又は 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、 (No.32)養子の配偶者区分 ＝ 1又は3でかつ、 (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること、又は、 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、 (No.48)養女の配偶者区分 ＝ 2又は3でかつ、 (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること			
73	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.76)入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者に入る筆頭者氏名は、 縁組形態区分 ＝ 1,2,4,5の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 縁組形態区分 ＝ 3,6の時、 養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子(女)の漢字氏名の名であること 縁組形態区分 ＝ 7,8の時、 養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること 縁組形態区分 ＝ 9～15の時、養父母のうち日本人である方の漢字氏名の氏 + 養子夫婦のうち筆頭者である方の漢字氏名の名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	22/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(10/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
74	(No.74)戸籍変動区分 ＝ 5でかつ 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人であること、又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること、又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、 (No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
74-1	縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人　又は 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人　又は 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、(No.17)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、(No.33)養女の外国人区分 ＝ 1:外国人　の時、 (No.74)戸籍変動区分 ＝ 5であること			
75	(No.77)裁判確定日又は、(No.78)縁組成立日に入力がある時、 (No.15)郵送日 ≠ スペースの時、(No.15)郵送日 ≧ (No.77)裁判確定日又は(No.78)縁組成立日で、 (No.15)郵送日 ＝ スペースの時、(No.09)受領日 ≧ (No.77)裁判確定日又は(No.78)縁組成立日　であること			
76	(No.77)裁判確定日 ≠ スペースの場合、 (No.50)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人、又は(No.62)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人でかつ、 (No.78)縁組成立日 ＝ スペースかつ、(No.79)縁組方式 ＝ スペースかつ、 (No.82)届出人資格コード1のみ入力がある時10又は11又は13でかつ、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 0であり、 (No.82)届出人資格コード1かつ2に入力がある時、10かつ11、又は13でかつ、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 0かつ(No.89)代諾者コード2 ＝ 0であること			※裁判による縁組の場合、養親が届出人となる
77	(No.78)縁組成立日 ≠ スペースの時、(No.77)裁判確定日 ＝ スペースかつ、 (No.79)縁組方式 ≠ スペースでかつ、(No.82)届出人資格コード1 ≠ 03,78,93,109,110,112であること			
78	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時で、 縁組形態区分 ＝ 1の場合、(No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.58)養父の本･国籍であること、又は 縁組形態区分 ＝ 2の場合、(No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.70)養母の本･国籍であること、又は 縁組形態区分 ＝ 3の場合、(No.24)養子の本･国籍 ＝ (No.58)養父の本･国籍又は(No.70)養母の本･国籍であること、又は 縁組形態区分 ＝ 4の場合、(No.40)養女の本･国籍 ＝ (No.58)養父の本･国籍であること、又は 縁組形態区分 ＝ 5の場合、(No.40)養女の本･国籍 ＝ (No.70)養母の本･国籍であること、又は 縁組形態区分 ＝ 6の場合、(No.40)養女の本･国籍 ＝ (No.58)養父の本･国籍又は(No.70)養母の本･国籍であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	23/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(11/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
79	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～3の時、(No.32)養子の配偶者区分 ＝ 0でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0であること、あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6の時、(No.48)養女の配偶者区分 ＝ 0でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0であること、あるいは 縁組形態区分 ≠ 7～15であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
80	(No.80)同一戸籍縁組 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ、(No.54)養父の配偶者区分 ＝ 0かつ、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0の場合、あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ、(No.66)養母の配偶者区分 ＝ 0かつ、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0の場合、 (No.74)戸籍変動区分 ＝ 2であること 縁組形態区分 ＝ 1又は4でかつ、(No.54)養父の配偶者区分 ≠ 0又は、(No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 1の場合、あるいは 縁組形態区分 ＝ 2又は5でかつ、(No.66)養母の配偶者区分 ≠ 0又は、(No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 1の場合、あるいは 縁組形態区分 ＝ 3又は6の場合、 (No.74)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
81	(No.81)後見人縁組区分 ＝ 1の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3かつ、(No.19)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日の場合、あるいは、 縁組形態区分 ＝ 4～6かつ、(No.35)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ＝ 112:未成年後見監督人又は、78:特別代理人であること			民第851条4号 昭和23.12.22 民事甲 第3914号回答
82	(No.87)届出人資格コード2 ≠ スペースの時、(No.82)届出人資格コード1 ≠ スペースであること			
83	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1,2,10,11,16,17の場合、 (No.82)届出人資格コード1 ≠ (No.87)届出人資格コード2であること			
84	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 78,93,110,112の場合、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ、届出人氏名1 ≠ スペースでかつ、 (No.87)届出人資格コード2～(No.91)届出人生年月日2に入力がないこと			未成年後見監督人複数人の届出は審査結果
85	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 03,109の場合、(No.84)代諾者コード1 ＝ 1でかつ、 (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであること			※資格人コード03で2人いる場合、氏名が同一の時には審査でメッセージを出力する
85-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 03,109の場合、(No.89)代諾者コード2 ＝ 1でかつ、 (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	24/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(12/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
86	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1,2,16又は17の場合、 (No.83)届出人氏名1 ≠ スペースでかつ、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		※届出人が外国人父母の場合 届出人氏名 ≠ スペース 日本人父母の場合も 届出人氏名 ≠ スペースとする。(16版対応)
86-1	(No.87)届出人資格コード2 ＝ 1,2,16又は17の場合、 (No.88)届出人氏名2 ≠ スペースでかつ、 (No.89)代諾者コード2 ＝ 1であること			
87				15版で審査に移行
88				15版で審査に移行

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	25/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(13/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
89	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 1又は16の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3かつ、(No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合、あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6かつ、(No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養父氏名 ＝ スペースであること (No.82)届出人資格コード1 ＝ 2又は17の時、 縁組形態区分 ＝ 1～3かつ、(No.18)養子の本非区分 ＝ 1:本籍の場合、あるいは 縁組形態区分 ＝ 4～6かつ、(No.34)養女の本非区分 ＝ 1:本籍の場合 個人特定Fの養母氏名 ＝ スペースであること **※届出人2も1と同じ様にチェックする。**	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		※本籍人の場合のチェック
90	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 10又は11でかつ、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 1の場合、(No.83)届出人氏名1 ≠ スペースであり、 (No.84)代諾者コード1 ＝ 0の場合、(No.83)届出人氏名1 ＝ スペースでかつ、 (No.77)裁判確定日 ≠ スペース又は、(No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること (No.87)届出人資格コード2 ＝ 10又は11でかつ、 (No.89)代諾者コード2 ＝ 1の場合、(No.88)届出人氏名2 ≠ スペースであり、 (No.89)代諾者コード2 ＝ 0の場合、(No.88)届出人氏名2 ＝ スペースでかつ、 (No.77)裁判確定日 ≠ スペース又は、(No.79)縁組の方式 ≠ スペースであること			※転縁組の場合前養親が届出人となり、届出人氏名に入力がなければならない ※養親が届出人(代諾者ではない)となるには、裁判か外国の方式による場合
91				15版で審査に移行

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	26/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(14/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
91-1	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、(No.77)裁判確定日 ≠ スペース　かつ (No.84)代諾者コード1 ＝ 0かつ、(No.83)届出人氏名1 ＝ スペースであること **※届出人2も1と同じ様にチェックする。**	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
91-2	(No.82)届出人資格コード1 ＝ 13の場合、 縁組形態区分 ＝ 1～6の時、届出人資格2 ＝ スペースであり、 縁組形態区分 ＝ 7～15の時、届出人資格2 ＝ 13,スペースであること			
92	(No.85)届出人国籍1 ≠ スペースの時、(No.85)届出人国籍1 ＝ 国籍であり、 (No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースであること			
93	(No.90)届出人国籍2 ≠ スペースの時、(No.90)届出人国籍2 ＝ 国籍であり、 (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースであること			
94	(No.86)届出人生年月日1 ≠ スペースの時、 (No.85)届出人国籍1 ≠ スペースかつ、(No.86)届出人生年月日1 ＝ (西暦)であること (No.91)届出人生年月日2 ≠ スペースの時、 (No.90)届出人国籍2 ≠ スペースかつ、(No.91)届出人生年月日2 ＝ (西暦)であること			
95	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ、 (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ、 (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.92)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	27/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(15/15)	養子縁組(縁組形態入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
96	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 (No.20)養子の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ、 (No.18)養子の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ、(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 (No.36)養女の婚姻区分 ＝ 1:婚姻中でかつ、(No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者でかつ、 (No.34)養女の本非区分 ＝ 2:非本籍でかつ、(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0である時、 (No.100)配偶者続柄、(No.93)配偶者生年月日、(No.94)配偶者配偶者区分、 (No.95)配偶者カナ氏名、(No.96)配偶者漢字氏名に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
97	縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、(No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2:妻の場合、 (No.100)配偶者続柄 ＝ 30:女～49:十九女であること			
97-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
98	縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、(No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1:夫の場合、 (No.100)配偶者続柄 ＝ 10:男～29:十九男であること			
98-1	(削除)			続柄更正申出対応(8.3版)
99	縁組形態区分 ＝ 7～15の場合、 (No.92)配偶者の外国人区分～(No.101)配偶者筆頭者区分け、未入力であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	28/79

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(15-1/15)	養子縁組(縁組形態区分入力、その1～その4)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
100	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.31)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.26)養子の筆頭者氏名の「氏」であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
101	(No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.47)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.42)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
102	(No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.39)養女の漢字氏名の「氏」であること			
103	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.33)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.39)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
104	(No.92)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.94)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.17)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.23)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.96)配偶者漢字氏名の「氏」であること			
105	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.53)養父の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の「氏」であること			
106	(No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.65)養母の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合、 (No.69)養母の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.72)養母の筆頭者氏名の「氏」であること			
107	(No.50)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.62)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合、 (No.57)養父の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の「氏」であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	29/79

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (1/4)			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES	(0-3)→(0-6)へ	/	(0-5)本紙へ	R2.1(縁組116)
NO	(0-4)→			
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) または (養女の外国人区分=0:日本人 かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) または (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) または (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		R2.1(縁組116)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-8)本紙へ	
YES	(0-9)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ	/		
(1)裁判確定日≠スペースである(YES,NO)		/		
YES	(2)裁判確定日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
YES	(3)→(24)へ	/		
NO	(4)裁判確定日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
YES	(5)→(26)へ	/		
NO	(6)→(30)へ	/		
NO	(7)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)	/		
YES	(8)縁組成立日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
YES	(9)→(24)へ	/		
NO	(10)縁組成立日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
YES	(11)→(26)へ	/		
NO	(12)→(30)へ	/		
NO	(13)送付日≠スペースである(YES,NO)	/		
YES	(14)送付日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
YES	(15)→(24)へ	/		
NO	(16)送付日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/		
YES	(17)→(26)へ	/		
NO	(18)→(30)へ	/		
NO	(19)受領日<昭和25年7月1日である(YES,NO)	/		
YES	(20)→(24)へ	/		

現行国籍法施行(昭和25年7月1日)以前の有効な身分行為に関しては、現行法では処理できない。
但し、現行法施行以降でも対日平和条約発効(昭和27年4月28日)以前で、平和条約を締結している国に関しても同様に現行法では処理できない。

			NO	(21)受領日<昭和27年4月28日である(YES,NO)	/	
			YES	(22)→(26)へ	/	
			NO	(23)→(30)へ	/	
(24)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示						(25)本紙へ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	30/79

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (2/4)			根拠法令(マニュアル処理)
	(26)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示		(27)本紙へ	
YES	(28)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
NO	(29)→(30)へ	/		
	(30)養親かつ養子の生死区分が0:生存である(YES,NO)	/		
YES	(31)→(33-1)へ	/		
NO	(32)エラーメッセージ 「死亡者がいるので縁組はできません。」を表示		(33)本紙へ	
	(33-1)縁組成立日≠スペースである(YES,NO)	/		戸41
YES	(33-2)確認メッセージ(YES,NO) 「外国の方式により縁組が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか」を表示		(33-3)本紙へ	
YES	(33-4)確認メッセージ(YES,NO) 「外国人のみからの証書提出ですか」を表示			
YES	(33-4-1)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
NO	(33-4-2)→(33-8)へ	/		R2.1(縁組115)
				(33-4-3)～(33-4-8)を削除
NO	(33-5)→		(33-6)本紙へ	不受理
NO	(33-7)→(33-8)へ	/		
	(33-8)同一縁組区分=0(その他) かつ 養子縁組区分=1～6 である(YES,NO)	/		
YES	(33-9)縁組形態区分=1～3である(YES,NO)	/		
YES	(33-10)養子は日本人である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	31/79

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (2-1/4)		根拠法令(マニュアル処理)
YES	(33-11)(養子の本・国籍=養父の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名) または (養子の本・国籍=養母の本・国籍 かつ 養子の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)	/	
YES	(33-12)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示		(33-13)本紙へ
YES	(33-14)→(34)へ	/	
NO	(33-15)→		(33-16)本紙へ
NO	(33-17) → (34)へ	/	
NO			
NO	(33-18)養女は日本人である(YES,NO)		
YES	(33-19)(養女の本・国籍=養父の本・国籍 かつ 養女の筆頭者氏名=養父の筆頭者氏名) または (養女の本・国籍=養母の本・国籍 かつ 養女の筆頭者氏名=養母の筆頭者氏名) である(YES,NO)	/	
YES	(33-20)確認メッセージ(YES,NO) 「同一戸籍内縁組ではありませんね?」を表示		(33-21)本紙へ
YES	(33-22)→(34)へ	/	
NO	(33-23)→		(33-24)本紙へ
NO	(33-25) → (34)へ	/	
NO			
NO	(33-26)→(34)へ	/	
(34)養子に入力がある(YES,NO)		/	
YES	(35)→(37-1)へ	/	
NO	(36)→		(37)3.0.1養女国籍処理へ
(37-1)養子の本・国籍=本籍(日本人) である(YES,NO)		/	
YES	(37-2)養子の父氏名=スペース 又は 養子の母氏名=スペース(YES,NO)	/	
YES	(37-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(37-4)本紙へ
YES	(37-5)→(38)へ	/	
NO	(37-6)→		(37-7)本紙へ 不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	32/79

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (3/4)		根拠法令(マニュアル処理)
NO	(37-8)養子の父母との続柄=10(男)である(YES,NO)	/	
YES	(37-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	(37-10)本紙へ	
YES	(37-11)→(38)へ	/	
NO	(37-12)→	(37-13)本紙へ	不受理
NO	(37-14)→(38)へ	/	
NO	(37-15)→(38)へ	/	
(38)縁組形態区分=1又は7又は9又は10である(YES,NO)		/	
YES	(39)養子は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(40)養父は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(41)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(42)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(43)縁組形態区分 ＝ 1である(YES,NO)	/	
YES	(44)→	(45)本紙へ	
NO	(46)→	(47)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(48)養子保護要件へ [3.2]		
	(49)→	/	(50)3.3養子審査へ
NO	(51)養父は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(52)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(53)→	(54)3.3養子審査へ	
NO	(55)→	(56)3.3養子審査へ	
NO	(57)縁組形態区分=2又は8又は11又は12である(YES,NO)	/	
YES	(58)養子は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(59)養母は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(60)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(61)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(62)縁組形態区分=2である(YES,NO)	/	
YES	(63)→	(64)本紙へ	
NO	(65)→	(66)3.0.1養女国籍処理へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	33/79

処理名	3.0 養子国籍処理ルーチン (4/4)		根拠法令(マニュアル処理)
NO	(67)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(68)→		(69)3.3養子審査へ
NO	(70)養母は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(71)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(72)→		(73)3.3養子審査へ
NO	(73)→		(75)3.3養子審査へ
NO	(76)縁組形態区分=3又は13又は14又は15である(YES,NO)	/	
YES	(77)→(80)へ	/	
NO	(78)→		(79)本紙へ
	(80)養子は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(81)養父は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(82)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(83)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(84)養母は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(85)縁組形態区分=3である(YES,NO)	/	
YES	(86)→		(87)本紙へ
NO	(88)→		(89)3.0.1養女国籍処理へ
NO	(90)→		(91)3.3養子審査へ
NO	(92)養母は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(93)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(94)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(95)→		(96)3.3養子審査へ
NO	(97)養子保護要件へ [3.2]	/	
	(98)→		(99)3.3養子審査へ
NO	(100)養父又は養母は外国人である(YES,NO)	/	
YES	(101)養子要件具備へ [3.1]	/	
	(102)→		(103)3.3養子審査へ
NO	(104)→		(105)3.3養子審査へ

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	34/79

処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン (1/2)			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1)養女の本・国籍=本籍(日本人)である(YES,NO)		/		
YES	(0-2)養女の父氏名=スペース　又は　養女の母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(0-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(0-4)本紙へ	
YES	(0-5)→(1)へ	/		
NO	(0-6)→		(0-7)本紙へ	不受理
NO	(0-8)養女の父母との続柄=30(女)である(YES,NO)	/		
YES	(0-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(0-10)本紙へ	
YES	(0-11)→(1)へ	/		
NO	(0-12)→		(0-13)本紙へ	不受理
NO	(0-14)→(1)へ	/		
NO	(0-15)→(1)へ	/		
(1)縁組形態区分=4又は7又は11又は13である(YES,NO)		/		
YES	(2)養女は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(3)養父は外国人である(YES,NO)	/		
	(4)養女要件具備へ [3.1.1]	/		
	(5)養女保護要件へ [3.2.1]	/		
	(6)→		(7)本紙へ	
	(8)養女保護要件へ [3.2.1]	/		
	(9)→		(10)3.3.1養女審査へ	
NO	(11)養父は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(12)養女要件具備へ [3.1.1]	/		
	(13)→		(14)3.3.1養女審査へ	
NO	(15)→		(16)3.3.1養女審査へ	
NO	(17)縁組形態区分=5又は8又は9又は14である(YES,NO)	/		
YES	(18)養女は外国人である(YES,NO)	/		
YES	(19)養母は外国人である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	35/79

処理名	3.0.1 養女国籍処理ルーチン (2/2)	根拠法令(マニュアル処理)
	YES (20)養女要件具備へ [3.1.1] /	
	(21)養女保護要件へ [3.2.1] /	
	(22)→	(23)本紙へ
	NO (24)養女保護要件へ [3.2.1] /	
	(25)→	(26)3.3.1養女審査へ
	NO (27)養母は外国人である(YES,NO) /	
	YES (28)養女要件具備へ [3.1.1] /	
	(29)→	(30)3.3.1養女審査へ
	NO (31)→	(32)3.3.1養女審査へ
NO	(33)縁組形態区分=6又は10又は12又は15である(YES,NO) /	
	YES (34)→(37)へ /	
	NO (35)→	(36)本紙へ
	(37)養女は外国人である(YES,NO) /	
	YES (38)養父は外国人である(YES,NO) /	
	YES (39)養女要件具備へ [3.1.1] /	
	(40)養女保護要件へ [3.2.1] /	
	(41)養母は外国人である(YES,NO) /	
	YES (42)→	(43)本紙へ
	NO (44)→	(45)3.3.1養女審査へ
	NO (46)養母は外国人である(YES,NO) /	
	YES (47)養女要件具備へ [3.1.1] /	
	(48)養女保護要件へ [3.2.1] /	
	(49)→	(50)3.3.1養女審査へ
	NO (51)養女保護要件へ [3.2.1] /	
	(52)→	(53)3.3.1養女審査へ
	NO (54)養父又は養母は外国人である(YES,NO) /	
	YES (55)養女要件具備へ [3.1.1] /	
	(56)→	(57)3.3.1養女審査へ
	NO (58)→	(59)3.3.1養女審査へ

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	36/79

処理名	3.1 養子要件具備証明書ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=3,13～15)、かつ養父と養母は外国人である(YES,NO)		/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(3)本紙へ	
	YES (4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
	YES (5)→		(6)3.0養子国籍処理へ	
	NO (7)→		(8)本紙へ	不受理
	NO			
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=1,3,7,9,10,13～15)、かつ外国人である(YES,NO)	/		
	YES (10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(11)本紙へ	
	YES (12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
	YES (13)→		(14)3.0養子国籍処理へ	
	NO (15)→		(16)本紙へ	不受理
	NO			
	NO (17)→(18)へ	/		
	(18)養母に入力があり(縁組形態区分=2,3,8,11～15)、かつ外国人である(YES,NO)	/		
	YES (19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(20)本紙へ	
	YES (21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
	YES (22) →		(23)3.0養子国籍処理へ	
	NO (24) →		(25)本紙へ	不受理
	NO			
	NO (26) →		(27)3.0養子国籍処理へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	37/79

処理名	3.1.1 養女要件具備証明書ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)養父と養母に入力があり(縁組形態区分=6)、かつ養父と養母は外国人である(YES,NO)		/		
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養父及び養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(3)本紙へ	
YES	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父及び養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES	(5)→		(6)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(7)→		(8)本紙へ	不受理
NO				
NO	(9)養父に入力があり(縁組形態区分=4,6,11,12)、かつ外国人である(YES,NO)	/		
YES	(10)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(11)本紙へ	
YES	(12)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES	(13)→		(14)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(15)→		(16)本紙へ	不受理
NO				
NO	(17)→(18)へ	/		
(18)養母に入力があり(縁組形態区分=5,6,9,10)、かつ外国人である(YES,NO)		/		
YES	(19)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の要件具備証明書等がありますか。」を表示		(20)本紙へ	
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示			
YES	(22)→		(23)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(24)→		(25)本紙へ	不受理
NO				
NO	(26)→		(27)3.0.1養女国籍処理へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/79

処理名	3.2 養子保護要件ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示			(2)本紙へ	法例20I
YES	(3)→(9)へ		/	
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の本国法に養子制度がありませんか。」を表示		(5)本紙へ	
	YES (6)→(9)へ		/	
	NO (7)→		(8)本紙へ	不受理
(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養子の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示				
YES	(10)→		(11)3.0養子国籍処理へ	
NO	(12)→		(13)本紙へ	不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	39/79

処理名	3.2.1 養女保護要件ルーチン (1/1)		根拠法令(マニュアル処理)
	(1)確認メッセージ(YES,NO) 「養女が本国法上の保護要件等を備えている旨の書面がありますか。」を表示	(2)本紙へ	法例20I
YES	(3)→(9)へ	/	
NO	(4)確認メッセージ(YES,NO) 「養女本国法に養子制度がありませんか。」を表示	(5)本紙へ	
YES	(6)→(9)へ	/	
NO	(7)→	(8)本紙へ	不受理
	(9)確認メッセージ(YES,NO) 「縁組の保護要件等は養女の本国法によります。保護要件等は審査済みですか。」を表示		
YES	(10)→	(11)3.0.1養女国籍処理へ	
NO	(12)→	(13)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	40/79

処理名	3.3 養子審査ルーチン (1/1)		根拠法令(マニュアル処理)
(1)縁組形態区分=1又は2である(養親1人との縁組)		/	
YES (2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　または、 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　または、 裁判確定日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースかつ　受領日<2022年4月1日の場合 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースかつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/	平成19年3月1日 成年後見法対応で、削除した(1)～(9)を第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。 民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する R2.1(縁組108)
YES (3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)		/	
YES (4)養子は本籍人である(YES,NO)		/	
YES (5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示			(6)本紙へ
YES (7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示			(8)本紙へ
NO (9)→(10)へ			
NO		/	
NO			
NO			
(10)養子は婚姻している(YES,NO)		/	
YES (10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)		/	
YES (10-2)配偶者父氏名=スペース 又は 配偶者母氏名=スペース(YES,NO)		/	
YES (10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」			(10-4)本紙へ
(10-5)→(11)へ		/	
(10-6)→			(10-7)本紙へ
NO (10-8)配偶者父母との続柄=30(女)である(YES,NO)		/	不受理
YES (10-89確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」			(10-10)本紙へ

			YES	(10-11)→(11)へ		/				
			NO	(10-12)→			(10-13)本紙へ	不受理		
		NO	(10-14)→(11)へ			/				

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	41/79

処理名	3.3 養子審査ルーチン (1-1/1)	根拠法令(マニュアル処理)

	NO	(10-15)→(11)へ			/					
		(11)縁組形態区分=13でかつ、養子と養母は外国人である または 縁組形態区分=14でかつ、養子と養父は外国人である(YES,NO)			/			縁組形態区分=14の審査漏れ対応(22版)		
	YES	(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)			/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
		YES	(12)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ	[3.4]	/					
		NO	(12-1)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ	[3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
	NO	(13)養子同意書審査へ		[3.5]	/					
		(13-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)			/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
		YES	(14)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ	[3.4]	/					
		NO	(14-1)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ	[3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
		(15)養女に入力があるか(YES,NO)			/					
	YES	(16)→				(17)3.0.1養女国籍処理へ				
	NO	(18)→				(19)3.6養子届出人審査へ				
NO		(19-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)			/			縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
	YES	(20)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ		[3.4]	/					
	NO	(20-1)養子養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ		[3.4.0.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする			
		(21)→				(22)3.6養子届出人審査へ				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	42/79

処理名	3.3.1 養女審査ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)縁組形態区分=4又は5である(養親1人との縁組)		/		平成19年3月1日 成年後見法対応で、削除した(1)～(9)を第11版対応で(1)～(9)の数字を再利用。
YES	(2)縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日　または、 縁組成立日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペース　かつ　縁組成立日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日　または、 裁判確定日≠スペース　かつ　縁組成立日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースかつ　受領日<2022年4月1日の場合 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日　または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースかつ　受領日≧2022年4月1日の場合 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満 で共同親権記録の要・不要を判定する R2.1(縁組108)
YES	(3)同一戸籍内縁組である(YES,NO)	/		
YES	(4)養女は本籍人である(YES,NO)	/		
YES	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養子に単独親権の記録がありますか?」を表示		(6)本紙へ	
YES	(7)メッセージ 「養子に共同親権の記録をして下さい。」を表示		(8)本紙へ	
NO	(9)→(10)へ	/		
NO				
NO				
NO				
(10)養女は婚姻している(YES,NO)		/		
YES	(10-1)配偶者外国人区分=0:日本人(YES,NO)	/		
YES	(10-2)配偶者父氏名=スペース 又は 配偶者母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(10-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(10-4)本紙へ	
	(10-5)→(11)へ	/		
	(10-6)→		(10-7)本紙へ	不受理
NO	(10-8)配偶者父母との続柄=10(男)である(YES,NO)	/		

		YES	(10-89確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」			(10-10)本紙へ		
			YES	(10-11)→(11)へ	/			
			NO	(10-12)→		(10-13)本紙へ	不受理	
		NO		(10-14)→(11)へ	/			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	43/79

処理名	3.3.1 養女審査ルーチン (1-1/1)	根拠法令(マニュアル処理)

	NO	(10-15)→(11)へ		/				
		(11)縁組形態区分=10でかつ、養女と養母は外国人である または 縁組形態区分=12でかつ、養女と養父は外国人である(YES,NO)		/		(13)の審査を(11)と統合(22版) ※(11)～(14)を養子審査ﾙｰﾁﾝと同様に修正する(22版)		
	YES	(11-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
		YES	(12)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ [3.4.1]	/				
		NO	(12-1)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ [3.4.1.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
	NO	(13)		/		養子の審査と同様、(11)で一緒に審査する(22版		
			(14)	/		(13)の変更に伴い削除(22版)		
		(15)養女同意書審査へ [3.5.1]		/				
		(15-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
		YES	(16)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ [3.4.1]	/				
		NO	(16-1)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ [3.4.1.1]	/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
		(17)→			(18)3.6.1養女届出人審査へ			
NO		(18-1)縁組成立日≠スペースの場合　2022年4月1日≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　2022年4月1日≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		縁組日が民法改正日(2022年4月1日)を判定して、審査の分岐先を変える		R2.1(縁組108)
	YES	(19)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正後) へ [3.4.1]		/				
	NO	(19-1)養女養親判定 (2022年4月1日民法改正前) へ [3.4.1.1]		/		2022年4月1日以降削除する審査を追加扱いとする		
	(20)→				(21)3.6.1養女届出人審査へ			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	44/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (1/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
(1)～(18)		/		(1)～(18)までを削除	
(19)縁組形態区分=1,7,9,10である(YES,NO)		/			
YES	(20)→(22)へ	/			
NO	(21)→(111)へ	/			
(22)養父は日本人である(YES,NO)		/			
YES	(22-1)縁組成立日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
YES	(22-2)→(23)へ	/			
NO	(23-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示		(23-4)本紙へ	不受理	
(23)養父は婚姻している(YES,NO)		/			
		/		民法改正により(24)(25)削除	R2.1(縁組109)
		/			
YES	(26)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
				民法改正により(27)(28)削除	R2.1(縁組109)
YES	(29)→(31)へ	/			
NO	(30)→(101)へ	/			
(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示			(32)本紙へ	民第795条	
YES	(33)→(101)へ	/			
NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示		(35)本紙へ	民第795条	
YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条	

				YES	(37)→(101)へ	/		
				NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(39)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	45/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (2/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
	YES (40)→(101)へ	/		
	NO (41)→		(42)本紙へ	不受理
	NO (43)→		(44)本紙へ	不受理
	NO (45)→(87)へ	/		民法改正により(46)～(54)削除 R2.1(縁組109)
NO	(55)縁組形態区分=9,10である(YES,NO)	/		
	YES (56)養母は日本人である(YES,NO)	/		
	YES (57)→(101)へ	/		
	NO (58)→(59)へ	/		
	NO			
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)	/		
		/		民法改正により(60)(61)(62)削除 R2.1(縁組109)
	YES (63)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された R2.1(縁組108)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	46/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (3/8)			根拠法令(マニュアル処理)
				民法改正により(64)(65)削除 R2.1(縁組109)
YES	(66)→ (69)へ	/		
NO	(67)→		(68)3.3養子審査へ	
	(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(70)本紙へ	民第798条
YES	(71)→		(72)3.3養子審査へ	
NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(74)本紙へ	
YES	(75)→		(76)3.3養子審査へ	
NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(78)本紙へ	
YES	(79)→		(80)3.3養子審査へ	
NO	(81)→		(82)本紙へ	不受理
NO	(83)→(87)へ	/		R2.1(縁組109)
		/		民法改正により(84)(85)(86)削除
(87)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された R2.1(縁組108)
				民法改正により(88)削除 R2.1(縁組109)
YES	(89)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(90)本紙へ	民第798条
YES	(91)→		(92)3.3養子審査へ	
NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示		(94)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	47/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (4/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
YES	(95)→		(96)3.3養子審査へ		
NO	(97)→		(98)本紙へ	不受理	
NO	(99)→		(100)3.3養子審査へ		R2.1(縁組109)
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示			(102)本紙へ	民第796条	
YES	(103)→		(104)3.3養子審査へ		
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(106)本紙へ		
YES	(107)→		(108)3.3養子審査へ		
NO	(109)→		(110)本紙へ	不受理	
(111)縁組形態区分=2,8,11,12である(YES,NO)		/			
YES	(112)→(114)へ	/			
NO	(113)→(203)へ	/			
(114)養母は日本人である(YES,NO)		/			
YES	(114-1)縁組成立日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
YES	(114-2)→(115)へ	/			
NO	(114-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示		(114-4)本紙へ	不受理	
(115)養母は婚姻している(YES,NO)		/			
				民法改正により(116)(117)削除	R2.1(縁組109)
YES	(118)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日　または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日　または、 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
				民法改正により(119)(120)削除	R2.1(縁組109)
YES	(121) → (123)へ	/			
NO	(122) → (193)へ	/			
(123)確認メッセージ(YES,NO)			(124)本紙へ	民第795条	

		「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示				
		YES	(125)→(193)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	48/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (5/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示	(127)本紙へ	民第795条	
	YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条	
		YES (129)→(193)へ	/		
		NO (130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示	(131)本紙へ		
		YES (132)→(193)へ	/		
		NO (133)→	(134)本紙へ	不受理	
	NO	(135)→	(136)本紙へ	不受理	
	NO	(137)→(179)へ	/	民法改正により(138)～(146)削除	R2.1(縁組109)
NO	(147)縁組形態区分=11,12である(YES,NO)		/		
	YES	(148)養父は日本人である(YES,NO)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	49/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (6/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	YES (149)→(193)へ	/			
	NO (150)→(151)へ	/			
NO					
(151)養母は婚姻している(YES,NO)		/			
				民法改正により(152)(153)(154)削除	R2.1(縁組109)
YES	(155)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
				民法改正により(156)(157)削除	R2.1(縁組109)
	YES (158)→(161)へ	/			
	NO (159)→		(160)3.3養子審査へ		
	(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(162)本紙へ	民第798条	
	YES (163)→		(164)3.3養子審査へ		
	NO (165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(166)本紙へ		
	YES (167)→		(168)3.3養子審査へ		
	NO (169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(170)本紙へ		
	YES (171)→		(172)3.3養子審査へ		
	NO (173)→		(174)本紙へ	不受理	
NO	(175)→(179)へ	/			R2.1(縁組109)
				民法改正により(176)(177)(178)削除	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	50/79

処理名	3.4 養子養親判定(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (7/8)	根拠法令(マニュアル処理)

	(179)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/			R2.1(縁組108)
				民法改正により(180)削除	R2.1(縁組109)
YES	(181)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(182)本紙へ	民第798条	
YES	(183)→		(184)3.3養子審査へ		
NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示		(186)本紙へ		
YES	(187)→		(188)3.3養子審査へ		
NO	(189)→		(190)本紙へ	不受理	
NO	(191)→		(192)3.3養子審査へ		R2.1(縁組109)
	(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」		(194)本紙へ	民第796条	
YES	(195)→		(196)3.3養子審査へ		
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(198)本紙へ		
YES	(199)→		(200)3.3養子審査へ		
NO	(201)→		(202)本紙へ	不受理	
	(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)	/			
				民法改正により(204)(205)(206)削除	R2.1(縁組109)
YES	(207)縁組成立日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または、 裁判確定日≠スペースの場合　養子の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または、 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合 養子の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
YES	(208)→		(209)3.3養子審査へ		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	51/79

処理名	3.4 養子養親判定（2022年4月1日民法改正後）ルーチン（8/8）	根拠法令(マニュアル処理)	
NO		民法改正により(210)削除	R2.1(縁組109)
	(211)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示	(212)本紙へ	民第798条
YES	(213)→	(214)3.3養子審査へ	
NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示	(216)本紙へ	
YES	(217)→	(218)3.3養子審査へ	
NO	(219)→	(220)本紙へ	不受理
NO	(221)→	(222)3.3養子審査へ	R2.1(縁組109)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (1/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	(1)～(18)	/		(1)～(18)までを削除	R2.1(縁組108) ※22版(平成31年3月31日)までの3.4養子養親判定ルーチンをそのままコピーした。
	(19)縁組形態区分=1,7,9,10である(YES,NO)	/			
YES	(20)→(22)へ	/			
NO	(21)→(111)へ	/			
	(22)養父は日本人である(YES,NO)	/			
YES	(23)養父は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(24)養子は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(25)→(101)へ	/			
NO	(26)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/			
YES	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(28)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(29)→(31)へ	/			
NO	(30)→(101)へ	/			
NO					
	(31)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(32)本紙へ	民第795条	
YES	(33)→(101)へ	/			
NO	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示		(35)本紙へ	民第795条	
YES	(36)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条	
YES	(37)→(101)へ	/			
NO	(38)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(39)本紙へ		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (2/8)		根拠法令(マニュアル処理)
	YES (40)→(101)へ	/	R2.1(縁組108)
	NO (41)→	(42)本紙へ	不受理
	NO (43)→	(44)本紙へ	不受理
NO	(45)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/	民第792条
YES	(46)→(84)へ	/	
NO	(47)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)	/	
YES	(48)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示	(49)本紙へ	民第753条
YES	(50)→(84)へ	/	
NO	(51)→	(52)本紙へ	不受理
NO	(53)エラーメッセージ 「養父は成年者ではありません。」を表示	(54)本紙へ	不受理
NO	(55)縁組形態区分=9,10である(YES,NO)	/	
YES	(56)養母は日本人である(YES,NO)	/	
YES	(57)→(101)へ	/	
NO	(58)→(59)へ	/	
NO			
	(59)養父は婚姻している(YES,NO)	/	
YES	(60)養子は婚姻している(YES,NO)	/	
YES	(61)→	(62)3.3養子審査へ	
NO	(63)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (3/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
YES	(64)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(65)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答 R2.1(縁組108)
YES	(66)→ (69)へ	/		
NO	(67)→		(68)3.3養子審査へ	
NO				
	(69)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(70)本紙へ	民第798条
YES	(71)→		(72)3.3養子審査へ	
NO	(73)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(74)本紙へ	
YES	(75)→		(76)3.3養子審査へ	
NO	(77)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(78)本紙へ	
YES	(79)→		(80)3.3養子審査へ	
NO	(81)→		(82)本紙へ	不受理
NO	(83)→(84)へ	/		
(84)養子は婚姻している(YES,NO)		/		
YES	(85)→		(86)3.3養子審査へ	
NO	(87)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
YES	(88)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(89)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(90)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
YES	(91)→		(92)3.3養子審査へ	
NO	(93)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父の直系卑属ですか。」を表示		(94)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (4/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	YES (95)→		(96)3.3養子審査へ		R2.1(縁組108)
	NO (97)→		(98)本紙へ	不受理	
NO	(99)→		(100)3.3養子審査へ		
NO					
(101)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示			(102)本紙へ	民第796条	
YES	(103)→		(104)3.3養子審査へ		
NO	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(106)本紙へ		
YES	(107)→		(108)3.3養子審査へ		
NO	(109)→		(110)本紙へ	不受理	
(111)縁組形態区分=2,8,11,12である(YES,NO)		/			
YES	(112)→(114)へ	/			
NO	(113)→(203)へ	/			
(114)養母は日本人である(YES,NO)		/			
YES	(115)養母は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(116)養子は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(117)→(193)へ	/			
NO	(118)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/			
YES	(119)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(120)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(121) → (123)へ	/			
NO	(122) → (193)へ	/			
NO					
	(123)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(124)本紙へ	民第795条	
YES	(125)→(193)へ	/			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (5/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
NO	(126)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示	(127)本紙へ	民第795条	R2.1(縁組108)
YES	(128)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条	
YES	(129)→(193)へ	/		
NO	(130)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示	(131)本紙へ		
YES	(132)→(193)へ	/		
NO	(133)→	(134)本紙へ	不受理	
NO	(135)→	(136)本紙へ	不受理	
NO	(137)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/	民第792条	
YES	(138)→(176)へ	/		
NO	または 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		
YES	(140)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示	(141)本紙へ	民第753条	
YES	(142)→(176)へ	/		
NO	(143)→	(144)本紙へ	不受理	
NO	(145)エラーメッセージ 「養母は成年者ではありません。」を表示	(146)本紙へ	不受理	
NO	(147)縁組形態区分=11,12である(YES,NO)	/		
YES	(148)養父は日本人である(YES,NO)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (6/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
YES	(149)→(193)へ	/		R2.1(縁組108)
NO	(150)→(151)へ	/		
NO		/		
(151)養母は婚姻している(YES,NO)		/		
YES	(152)養子は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(153)→		(154)3.3養子審査へ	
NO	(155)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
YES	(156)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(157)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(158)→(161)へ	/		
NO	(159)→		(160)3.3養子審査へ	
NO				
(161)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			(162)本紙へ	民第798条
YES	(163)→		(164)3.3養子審査へ	
NO	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(166)本紙へ	
YES	(167)→		(168)3.3養子審査へ	
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(170)本紙へ	
YES	(171)→		(172)3.3養子審査へ	
NO	(173)→		(174)本紙へ	不受理
NO	(175)→(176)へ	/		
(176)養子は婚姻している(YES,NO)		/		
YES	(177)→		(178)3.3養子審査へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (7/8)			根拠法令(マニュアル処理)
NO	(179)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		R2.1(縁組108)
YES	(180)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示		(181)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(182)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
YES	(183)→		(184)3.3養子審査へ	
NO	(185)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養母の直系卑属ですか。」を表示		(186)本紙へ	
YES	(187)→		(188)3.3養子審査へ	
NO	(189)→		(190)本紙へ	不受理
NO	(191)→		(192)3.3養子審査へ	
NO				
(193)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」			(194)本紙へ	民第796条
YES	(195)→		(196)3.3養子審査へ	
NO	(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(198)本紙へ	
YES	(199)→		(200)3.3養子審査へ	
NO	(201)→		(202)本紙へ	不受理
(203)縁組形態区分=3である(YES,NO)		/		
YES	(204)養子は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(205)→		(206)3.3養子審査へ	
NO	(207)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		
YES	(208)→		(209)3.3養子審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.0.1 養子養親判定(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (8/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
NO	(210)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は婚姻したことがありませんね。」を表示	(211)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	R2.1(縁組108)
YES	(212)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条	
YES	(213)→	(214)3.3養子審査へ		
NO	(215)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示	(216)本紙へ		
YES	(217)→	(218)3.3養子審査へ		
NO	(219)→	(220)本紙へ	不受理	
NO	(221)→	(222)3.3養子審査へ		
NO				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	52/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (1/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
(1)～(26)		/		(1)～(26)までを削除	
(27)縁組形態区分=4,7,11,13である(YES,NO)		/			
YES	(28)→(30)へ	/			
NO	(29)→(117)へ	/			
(30)養父は日本人である(YES,NO)		/			
YES	(30-1)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　または 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)
YES	(30-2)→(31)へ	/			
NO	(30-3) エラーメッセージ　「養父は２０歳以上ではありません。」を表示		(30-4)本紙へ	不受理	
(31)養父は婚姻している(YES,NO)		/			
				民法改正により(32)(33)削除	R2.1(縁組109)
YES	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
YES	(34-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(36)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(37)→(39)へ	/			
NO	(38)→(107)へ	/			
NO	(38-1)→(39)へ	/			
NO	(38-2)→(107)へ	/			
	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(40)本紙へ	民第795条	
YES	(41)→(107)へ	/			
NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示		(43)本紙へ	民第795条	
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO)			民第798条	

				「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示								
				YES	(45)→(107)へ		/					
				NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示			(47)本紙へ				

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	53/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (2/8)	根拠法令(マニュアル処理)	

					YES	(48)→(107)へ		/					
					NO	(49)→			(50)本紙へ		不受理		
				NO		(51)→			(52)本紙へ		不受理		
		NO	(53)→(93)へ					/			民法改正により(54)～(61)削除	R2.1(縁組109)	
NO		(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)						/					
		YES	(63)→(107)へ					/					
		NO	(64)→(65)へ					/					
		(65)養父は婚姻している(YES,NO)						/					
											民法改正により(66)(67)(68)削除	R2.1(縁組109)	
		YES	(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)					/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)	
			YES	(69-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)	
				YES	(70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示				(71)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	54/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (3/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
YES	(72)→ (75)へ	/			
NO	(73)→		(74)3.3.1養女審査へ		
NO	(74-1)→(75)へ	/			R2.1(縁組109)
NO	(74-2)→		(74-3)3.3.1養女審査へ		
(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			(76)本紙へ	民第798条	
YES	(77)→		(78)3.3養子審査へ		
NO	(79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(80)本紙へ		
YES	(81)→		(82)3.3.1養女審査へ		
NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(84)本紙へ		
YES	(85)→		(86)3.3.1養女審査へ		
NO	(87)→		(88)本紙へ	不受理	
NO	(89)→(93)へ	/			R2.1(縁組109)
				民法改正により(90)(91)(92)削	
(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)		/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
YES	(93-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
YES	(94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(95)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(95-1)→ (96)へ	/			
NO	(95-2)→		(95-3)3.3.1養女審査		
NO	(95-4)→(96)へ	/			
(96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			(96-1)本紙へ	民第798条	
YES	(97)→		(98)3.3.1養女審査へ		

	NO	(99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示				(100)本紙へ			
		YES	(101)→			(102)3.3.1養女審査へ			
		NO	(103)→			(104)本紙へ	不受理		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	55/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (4/8)	根拠法令(マニュアル処理)

NO	(105)→			(106)3.3.1養女審査へ					
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示				(108)本紙へ	民第796条				
YES	(109)→			(110)3.3.1養女審査へ					
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示			(112)本紙へ					
	YES	(113)→		(114)3.3.1養女審査へ					
	NO	(115)→		(116)本紙へ	不受理				
(117)縁組形態区分=5,8,9,14である(YES,NO)			/						
YES	(118)→(120)へ		/						
NO	(119)→(207)へ		/						
(120)養母は日本人である(YES,NO)			/						
YES	(120-1)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日　または 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　または 縁組成立日=スペース　かつ　裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)		/		民法792条の改正(2022年4月1日)により、養親が日本人の場合20歳以上であることに変更された(改正前は成年であること)	R2.1(縁組108)			
	YES	(120-2)→(121)へ	/						
	NO	(120-3) エラーメッセージ　「養母は２０歳以上ではありません。」を表示		(120-4)本紙へ	不受理				
	(121)養母は婚姻している(YES,NO)		/						
					民法改正により(122)(123)削除	R2.1(縁組109)			
	YES	(124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、配偶者との共同縁組を要する規定(民795)と家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)			
		YES	(124-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)		
			YES	(125)確認メッセージ(YES,NO)		(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		

				「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示								
				YES	(127)→(129)へ		/					
				NO	(128)→(197)へ		/					
			NO	(128-1)→(129)へ			/					
		NO	(128-2)→(197)へ				/					
		(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示						(130)本紙へ	民第795条			
		YES	(131)→(197)へ				/					

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	56/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (5/8)	根拠法令(マニュアル処理)

		NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示					(133)本紙へ	民第795条			
		YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示						民第798条			
			YES	(135)→(197)へ			/					
			NO	(136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示				(137)本紙へ				
				YES	(138)→(197)へ		/					
				NO	(139)→			(140)本紙へ	不受理			
			NO	(141)→				(142)本紙へ	不受理			
		NO	(143)→(183)へ				/		民法改正により(144)～(151)削除		R2.1(縁組109)	
NO	(152)縁組形態区分=9,14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO)						/					
	YES	(153)→(197)へ					/					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	57/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (6/8)	根拠法令(マニュアル処理)

NO	(154)→(155)へ				/				
(155)養母は婚姻している(YES,NO)					/				
								民法改正により(156)(157)(158)削除	R2.1(縁組109)
YES	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)				/			民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
	YES	(159-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)			/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
		YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示			(161)本紙へ		昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
			YES	(162)→(165)へ	/				
			NO	(163)→		(164)3.3.1養女審査へ			
		NO	(164-1)→(165)へ		/				
	NO	(164-2)→				(164-3)3.3.1養女審査へ			
	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示					(166)本紙へ		民第798条	
	YES	(167)→				(168)3.3.1養女審査へ			
	NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示				(170)本紙へ			
		YES	(171)→			(172)3.3.1養女審査へ			
		NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示			(174)本紙へ			
			YES	(175)→		(176)3.3.1養女審査へ			
			NO	(177)→		(178)本紙へ		不受理	
NO	(179)→(183)へ				/				R2.1(縁組109)
								民法改正により(180)(181)(182)削除	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	58/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (7/8)	根拠法令(マニュアル処理)

(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された	R2.1(縁組108)
YES (183-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月 1 日)附則第3条第2項	R2.1(縁組109)
YES (184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(185)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES (185-1)→ (186)へ	/			
NO (185-2)→		(185-3)3.3.1養女審査へ		
NO (185-4)→(186)へ	/			
(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(186-1)本紙へ	民第798条	
YES (187)→		(188)3.3.1養女審査へ		
NO (189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示		(190)本紙へ		
YES (191)→		(192)3.3.1養女審査へ		
NO (193)→		(194)本紙へ	不受理	
NO (195)→		(196)3.3.1養女審査へ		
(197)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者の同意書がありますか?又は養母の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示		(198)本紙へ	民第796条	
YES (199)→		(200)3.3.1養女審査へ		
NO (201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(202)本紙へ		
YES (203)→		(204)3.3.1養女審査へ		
NO (205)→		(206)本紙へ	不受理	
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)	/			
			民法改正により(208)(209)(210)削除	R2.1(縁組109)

YES	(211)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+18年(18歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民法4条の改正(2022年4月1日)により、家庭裁判所の許可を要する規定(民798)が18歳以上であることに変更された		R2.1(縁組108)
	YES	(212)→			(213)3.3.1養女審査へ			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	59/79

処理名	3.4.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正後)ルーチン (8/8)	根拠法令(マニュアル処理)

	NO	(213-1)2004年4月2日≦養女の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月１日)附則第3条第2項		R2.1(縁組109)
		YES	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(215)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答		
			YES	(215-1)→(216)へ	/			
			NO	(215-2)→		(215-3)3.3.1養女審査へ		
		NO		(215-4)→(216)へ	/			
		(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示				民第798条		
		YES		(217)→		(218)3.3.1養女審査へ		
		NO		(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示		(220)本紙へ		
			YES	(221)→		(222)3.3.1養女審査へ		
			NO	(223)→		(224)本紙へ	不受理	
								R2.1(縁組109)
NO	(225)→					(226)3.3.1養女審査へ		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (1/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	(1)～(26)	/		(1)～(26)までを削除	R2.1(縁組108) ※22版(平成31年3月31日)までの3.4.1養女養親判定ルーチンをそのままコピーした。
	(27)縁組形態区分=4,7,11,13である(YES,NO)	/			
YES	(28)→(30)へ	/			
NO	(29)→(117)へ	/			
	(30)養父は日本人である(YES,NO)	/			
YES	(31)養父は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(32)養女は婚姻している(YES,NO)	/			
YES	(33)→(107)へ	/			
NO	(34)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女子の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/			
YES	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(36)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	
YES	(37)→(39)へ	/			
NO	(38)→(107)へ	/			
NO					
	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(40)本紙へ	民第795条	
YES	(41)→(107)へ	/			
NO	(42)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示		(43)本紙へ	民第795条	
YES	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条	
YES	(45)→(107)へ	/			
NO	(46)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(47)本紙へ		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (2/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
	YES (48)→(107)へ	/		R2.1(縁組108)
	NO (49)→		(50)本紙へ	不受理
	NO (51)→		(52)本紙へ	不受理
NO	(53)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		民第792条
YES	(54)→(90)へ	/		
NO	(55)縁組成立日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養父の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養父の生年月日+18年(18歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		
YES	(56)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は婚姻したことがありますか。」を表示		(57)本紙へ	民第753条
YES	(58)→(90)へ	/		
NO	(59)→		(60)本紙へ	不受理
NO	(61)エラーメッセージ 「養父は成年者ではありません。」を表示			不受理
NO	(62)縁組形態区分=11でかつ、養母は日本人である(YES,NO)	/		
YES	(63)→(107)へ	/		
NO	(64)→(65)へ	/		
	(65)養父は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(66)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(67)→		(68)3.3.1養女審査へ	
NO	(69)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
YES	(70)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(71)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (3/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
	YES (72)→ (75)へ	/		R2.1(縁組108)
	NO (73)→		(74)3.3.1養女審査へ	
	NO			
	(75)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(76)本紙へ	民第798条
	YES (77)→		(78)3.3養子審査へ	
	NO (79)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(80)本紙へ	
	YES (81)→		(82)3.3.1養女審査へ	
	NO (83)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養父の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(84)本紙へ	
	YES (85)→		(86)3.3.1養女審査へ	
	NO (87)→		(88)本紙へ	不受理
NO	(89)→(90)へ	/		
(90)養女は婚姻している(YES,NO)		/		
YES	(91)→		(92)3.3.1養女審査へ	
NO	(93)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
	YES (94)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(95)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
	YES (96)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
	YES (97)→		(98)3.3.1養女審査へ	
	NO (99)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父の直系卑属ですか。」を表示		(100)本紙へ	
	YES (101)→		(102)3.3.1養女審査へ	
	NO (103)→		(104)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (4/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
	NO (105)→		(106)3.3.1養女審査へ	R2.1(縁組108)
NO				
(107)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者の同意書がありますか?又は養父の配偶者が縁組の代諾者ですか?」を表示			(108)本紙へ	民第796条
YES	(109)→		(110)3.3.1養女審査へ	
NO	(111)確認メッセージ(YES,NO) 「養父の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(112)本紙へ	
	YES (113)→		(114)3.3.1養女審査へ	
	NO (115)→		(116)本紙へ	不受理
(117)縁組形態区分=5,8,9,14である(YES,NO)		/		
YES	(118)→(120)へ	/		
NO	(119)→(207)へ	/		
(120)養母は日本人である(YES,NO)		/		
YES	(121)養母は婚姻している(YES,NO)	/		
	YES (122)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
	YES (123)→(197)へ	/		
	NO (124)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
	YES (125)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(126)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
	YES (127) → (129)へ	/		
	NO (128) → (197)へ	/		
	NO			
	(129)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(130)本紙へ	民第795条
	YES (131)→(197)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (5/8)			根拠法令(マニュアル処理)	
	NO	(132)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が縁組できない正当な理由が記載されていますか。」を表示	(133)本紙へ	民第795条	R2.1(縁組108)
	YES	(134)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判書の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条	
		YES (135)→(197)へ /			
		NO (136)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示	(137)本紙へ		
		YES (138)→(197)へ /			
		NO (139)→	(140)本紙へ	不受理	
	NO	(141)→	(142)本紙へ	不受理	
NO	(143)縁組成立日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO) /			民第792条	
	YES	(144)→(180)へ /			
	NO	または 裁判確定日≠スペースの場合、養母の生年月日+16年(16歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養母の生年月日+16年(16歳以上)≦受領日(YES,NO) /			
	YES	(146)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は婚姻したことがありますか。」を表示	(147)本紙へ	民第753条	
		YES (148)→(180)へ /			
		NO (149)→	(150)本紙へ	不受理	
	NO	(151)エラーメッセージ 「養母は成年者ではありません。」を表示		不受理	
NO	(152)縁組形態区分=9,14で かつ 、養父は日本人である(YES,NO) /				
	YES (153)→(197)へ /				

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (6/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
NO	(154)→(155)へ	/		R2.1(縁組108)
	(155)養母は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(156)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(157)→		(158)3.3.1養女審査へ	
NO	(159)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
YES	(160)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(161)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(162)→(165)へ	/		
NO	(163) →		(164)3.3.1養女審査へ	
NO				
	(165)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		(166)本紙へ	民第798条
YES	(167)→		(168)3.3.1養女審査へ	
NO	(169)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の配偶者の嫡出子ですか。」を表示		(174)本紙へ	
YES	(171)→		(172)3.3.1養女審査へ	
NO	(173)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母又は養母の配偶者の直系卑属ですか。」を表示		(174)本紙へ	
YES	(175)→		(176)3.3.1養女審査へ	
NO	(177)→		(178)本紙へ	不受理
NO	(179)→(180)へ	/		
	(180)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(181)→		(182)3.3.1養女審査へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (7/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
NO	(183)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/		R2.1(縁組108)
YES	(184)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示		(185)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答
YES	(186)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示			民第798条
YES	(187)→		(188)3.3.1養女審査へ	
NO	(189)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養母の直系卑属ですか。」を表示		(190)本紙へ	
YES	(191)→		(192)3.3.1養女審査へ	
NO	(193)→		(194)本紙へ	不受理
NO	(195)→		(196)3.3.1養女審査へ	
NO				
YES	(199)→		(200)3.3.1養女審査へ	
NO	(201)確認メッセージ(YES,NO) 「養母の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(202)本紙へ	
YES	(203)→		(204)3.3.1養女審査へ	
NO	(205)→		(206)本紙へ	不受理
(207)縁組形態区分=6である(YES,NO)		/		
YES	(208)養女は婚姻している(YES,NO)	/		
YES	(209)→		(210)3.3.1養女審査へ	
NO	(211)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+20年(20歳以上)≦受領日(YES,NO)	/		
YES	(212)→		(213)3.3.1養女審査へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	令和 2年 3月31日		R2.1	

処理名	3.4.1.1 養女養親判定ルーチン(2022年4月1日民法改正前)ルーチン (8/8)		根拠法令(マニュアル処理)	
NO	(214)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は婚姻したことがありませんね。」を表示	(215)本紙へ	昭和23.2.20 民事甲第87号 回答	R2.1(縁組108)
YES	(216)確認メッセージ(YES,NO) 「家庭裁判所の許可書の謄本がありますか。」を表示		民第798条	
YES	(217)→	(218)3.3.1養女審査へ		
NO	(219)確認メッセージ(YES,NO) 「養女は養父又は養母の直系卑属ですか。」を表示	(220)本紙へ		
YES	(221)→	(222)3.3.1養女審査へ		
NO	(223)→	(224)本紙へ	不受理	
NO	(225)→	(226)3.3.1養女審査へ		
NO				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	60/79

処理名	3.5 養子同意書ルーチン (1/1)		根拠法令(マニュアル処理)
(1)縁組形態区分=1～3,9,11,13,14である(YES,NO)		/	
YES (2)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者の同意書がありますか。」を表示		(3)本紙へ	民第796条
YES (4)→		(5)3.3養子審査へ	
NO (6)確認メッセージ(YES,NO) 「養子の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示		(7)本紙へ	
YES (8)→		(9)3.3養子審査へ	
NO (10)→		(11)本紙へ	不受理
NO (12)→		(13)3.3養子審査へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	61/79

処理名	3.5.1 養女同意書ルーチン (1/1)		根拠法令(マニュアル処理)
	(1)縁組形態区分=4～6,9～12である(YES,NO)	/	
YES	(2)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者の同意書がありますか。」を表示	(3)本紙へ	民第796条
YES	(4)→	(5)3.3.1養女審査へ	
NO	(6)確認メッセージ(YES,NO) 「養女の配偶者が同意できない正当な理由の記載がありますか。」を表示	(7)本紙へ	
YES	(8)→	(9)3.3.1養女審査へ	
NO	(10)→	(11)本紙へ	不受理
NO	(12)→	(13)3.3.1養女審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	62/79

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (1/2)			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)縁組成立日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養子の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養子の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)	/		
YES	(1-1)裁判確定日=スペース、かつ 縁組成立日=スペースである(YES,NO)	/		
YES	(1-2)→(2)へ	/		
NO	(1-3)→(26-1)へ	/		
	(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)	/		
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示		(4)本紙へ	民第794条
YES	(5)→(20)へ	/		
NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理
NO	(8)→(9)へ	/		
	(9)縁組形態区分=1 かつ 養子の父氏名の名=養父の名 または 縁組形態区分=2 かつ 養子の母氏名の名=養母の名 である(YES,NO)	/		【22版の修正】 養子の父の名と養父の名が同じ または 養子の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養子の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である または 養子の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別
YES	(9-0-1)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-2)縁組形態区分=1 かつ 養父が本籍人である または 縁組形態区分=2 かつ 養母が本籍人である(YES,NO)	/		
YES	(9-0-3)養父または養母の身分事項に、名の変更(3201) または 文字訂正(5011) または 文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/		
YES	(9-0-4)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-5)→(9-8)へ	/		
NO				
	(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示		(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)	/		
YES	(9-4)→(36)へ	/		
NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示		(9-6)本紙へ	不受理
NO	(9-7)→(9-8)へ	/		
	(9-8)届出人に入力があり、かつ特別代理人以外である(YES,NO)	/		民第797条

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	63/79

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2/2)		根拠法令(マニュアル処理)
YES	(10)→(13)へ	/	
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示	(11-1)本紙へ	
YES	(11-2)→(36)へ	/	
NO	(11-3)→	(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)		/	
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示	(15)本紙へ	
YES	(16)→(20)へ	/	
NO	(17)→	(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ	/	
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)		/	昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示]	(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(23)→(27)へ	/	
NO	(24)→	(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ	/	
(26-1)届出人資格1=又は16又である(YES,NO)		/	
YES	(26-2)養子の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/	
YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示	(26-4)本紙へ	
YES	(26-5)→(26-9)へ	/	
NO	(26-6)→	(26-7)本紙へ	不受理
NO	(26-8)→(26-9)へ	/	
NO			
(26-9)届出人資格2=1又は16又である(YES,NO)		/	
YES	(26-10)養子の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/	
YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示	(26-12)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	64/79

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2-1/2)		根拠法令(マニュアル処理)
	YES (26-13)→(26-17)へ	/	
	NO (26-14)→		(26-15)本紙へ 不受理
	NO (26-16)→(26-17)へ	/	
NO			
(26-17)届出人資格1=2又は17又である(YES,NO)		/	
YES	(26-18)養子の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/	
	YES (26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-20)本紙へ
	YES (26-21)→(26-25)へ	/	
	NO (26-22)→		(26-23)本紙へ 不受理
	NO (26-24)→(26-25)へ	/	
NO			
(26-25)届出人資格2=2又は17又である(YES,NO)		/	
YES	(26-26)養子の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/	
	YES (26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-28)本紙へ
	YES (26-29)→(26-33)へ	/	
	NO (26-30)→		(26-31)本紙へ 不受理
	NO (26-32)→(26-33)へ	/	
NO			
(26-33)養子は本籍人でかつ届出人資格1=10かつ、代諾者コード1=1である(YES,NO)		/	
YES	(26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/	
	YES (26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-36)本紙へ
	YES (26-37)→(26-41)へ	/	
	NO (26-38)→		(26-39)本紙へ 不受理
	NO (26-40)→(26-41)へ	/	
NO			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	65/79

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2-2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
(26-41)養子は本籍人でかつ届出人資格2=10かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)		/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/		
	YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-44)本紙へ
		YES	(26-45)→(26-49)へ	/		
		NO	(26-46)→		(26-47)本紙へ	不受理
	NO		(26-48)→(26-49)へ	/		
NO						
(26-49)養子は本籍人でかつ届出人資格1=11かつ、代諾者コード1=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)			/		
	YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示			(26-52)本紙へ	
		YES	(26-53)→(26-57)へ	/		
		NO	(26-54)→		(26-55)本紙へ	不受理
	NO		(26-56)→(26-57)へ	/		
NO						
(26-57)養子は本籍人でかつ届出人資格2=11かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)			/		
	YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示			(26-60)本紙へ	
		YES	(26-61)→(27)へ	/		
		NO	(26-62)→		(26-63)本紙へ	不受理
	NO		(26-64)→(27)へ	/		
NO						
(27)養子は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10又は11かつ、代諾者コード1=1であるか、又は 届出人資格2=10又は11かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)				/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	66/79

処理名	3.6 養子届出人ルーチン (2-3/2)		根拠法令(マニュアル処理)
YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)	/	
YES	(29)→(36)へ	/	
NO	(30)確認メッセージ(YES,NO)「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示		(31)本紙へ
YES	(32)→(36)へ	/	
NO	(33)→		(34)本紙へ 不受理
NO	(35)→(36)へ	/	
	(36)養子を監護する者がいる(YES,NO)	/	
YES	(37)確認メッセージ(YES,NO)「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示		(38)本紙へ
YES	(39)確認メッセージ(YES,NO)「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示		民第797条2項
YES	(40)→		(41)3.3養子審査へ
NO	(42)→		(43)本紙へ 不受理
NO	(44)→		(45)3.3養子審査へ
NO			
NO	(46)後見人縁組区分=1 かつ 裁判確定日=スペース かつ 縁組成立日=スペース である(YES,NO)	/	
YES	(47)→(53)へ	/	
NO	(47-1)裁判確定日≠スペース又は、縁組成立日≠スペースである	/	
YES	(47-2)→		(47-3)3.3養子審査へ
NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)	/	
YES	(49)→		(50)3.3養子審査へ
NO	(51)エラーメッセージ 「届出人は本人でなければなりません。」を表示		(52)本紙へ
	(53)確認メッセージ(YES,NO)「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示		
YES	(54)確認メッセージ(YES,NO)「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示		民第794条
YES	(55)→		(56)3.3養子審査へ
NO	(57)→		(58)本紙へ 不受理
NO	(59)エラーメッセージ「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示		不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	67/79

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (1/2)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)縁組成立日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>縁組成立日 または 裁判確定日≠スペースの場合、養女の生年月日+15年(15歳未満)>裁判確定日 または 縁組成立日=スペース かつ 裁判確定日=スペースの場合、 養女の生年月日+15年(15歳未満)>受領日(YES,NO)		/		
YES	(1-1)裁判確定日=スペース、かつ 縁組成立日=スペースである(YES,NO)	/		
YES	(1-2)→(2)へ	/		
NO	(1-3)→(26-1)へ	/		
(2)後見人縁組区分=1である(YES,NO)		/		
YES	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示		(4)本紙へ	民第794条
YES	(5)→(20)へ	/		
NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理
NO	(8)→(9)へ	/		
(9)縁組形態区分=4 かつ 養女の父氏名の名=養父の名 または 縁組形態区分=5 かつ 養女の母氏名の名=養母の名 である(YES,NO)		/		【22版の修正】 R2.1(誤修正) 養女の父の名と養父の名が同じまたは 養女の母の名と養母の名が同じ場合、(9-1)の届出人が特別代理人かどうかの審査を行う。 養女の父の名と養父の名が異なるが養父が本籍人である または 養女の母の名と養母の名が異なるが養母が本籍人である場合、身分事項に名の変更、文字訂正、文字更正があれば(9-1)の届出人が特別
YES	(9-0-1)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-2)縁組形態区分=4 かつ 養父が本籍人である または 縁組形態区分=5 かつ 養母が本籍人である(YES,NO)	/		
YES	(9-0-3)養父または養母の身分事項に、名の変更(3201) または 文字訂正(5011) または 文字更正(7011)がある。(YES,NO)	/		
YES	(9-0-4)→(9-1)へ	/		
NO	(9-0-5)→(9-8)へ	/		
NO				
(9-1)確認メッセージ(YES,NO) 「養子は養父又は養母の非嫡出子で、養父又は養母が親権者ですか。」を表示			(9-2)本紙へ	昭和23.11.30民事甲第3186号回答
YES	(9-3)届出人資格1=78:特別代理人である(YES,NO)	/		
YES	(9-4)→(36)へ	/		
NO	(9-5)エラーメッセージ 「嫡出子でない子を実父母が養子とする時は、特別代理人の代諾が必要です。」を表示		(9-6)本紙へ	不受理
NO	(9-7)→(9-8)へ	/		
(9-8)届出人に入力があり、かつ特別代理人以外である(YES,NO)		/		民第797条

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	68/79

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
YES	(10)→(13)へ	/		
NO	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「特別代理人が届出人になれるケースですか」を表示		(11-1)本紙へ	
YES	(11-2)→(36)へ	/		
NO	(11-3)→		(12)本紙へ	不受理
(13)届出人資格コード1かつ2が03で、届出人氏名1=届出人氏名2である(YES,NO)		/		
YES	(14)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人(母の親権者)2人の氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示		(15)本紙へ	
YES	(16)→(20)へ	/		
NO	(17)→		(18)本紙へ	不受理
NO	(19)→(20)へ	/		
(20)届出人は児童福祉施設の長である(YES,NO)		/		昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(21)確認メッセージ(YES,NO) 「都道府県知事の許可書が添付されていますか。」を表示]		(22)本紙へ	児童福祉法第47条 昭和26.11.5 民事甲第2102号 通達
YES	(23)→(27)へ	/		
NO	(24)→		(25)本紙へ	不受理
NO	(26)→(26-1)へ	/		
(26-1)届出人資格1=又は16又である(YES,NO)		/		
YES	(26-2)養女の父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/		
YES	(26-3)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-4)本紙へ	
YES	(26-5)→(26-9)へ	/		
NO	(26-6)→		(26-7)本紙へ	不受理
NO	(26-8)→(26-9)へ	/		
NO				
(26-9)届出人資格2=1又は16又である(YES,NO)		/		
YES	(26-10)養女の父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/		
YES	(26-11)確認メッセージ 「届出人(父)氏名と養子の父の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-12)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	69/79

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2-1/2)		根拠法令(マニュアル処理)
	YES (26-13)→(26-17)へ	/	
	NO (26-14)→	(26-15)本紙へ	不受理
	NO (26-16)→(26-17)へ	/	
	NO		
	(26-17)届出人資格1=2又は17又である(YES,NO)	/	
	YES (26-18)養女の母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/	
	YES (26-19)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示	(26-20)本紙へ	
	YES (26-21)→(26-25)へ	/	
	NO (26-22)→	(26-23)本紙へ	不受理
	NO (26-24)→(26-25)へ	/	
	NO		
	(26-25)届出人資格2=2又は17又である(YES,NO)	/	
	YES (26-26)養女の母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/	
	YES (26-27)確認メッセージ 「届出人(母)氏名と養子の母の氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示	(26-28)本紙へ	
	YES (26-29)→(26-33)へ	/	
	NO (26-30)→	(26-31)本紙へ	不受理
	NO (26-32)→(26-33)へ	/	
	NO		
	(26-33)養女は本籍人でかつ届出人資格1=10かつ、代諾者コード1=1である(YES,NO)	/	
	YES (26-34)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)	/	
	YES (26-35)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示	(26-36)本紙へ	
	YES (26-37)→(26-41)へ	/	
	NO (26-38)→	(26-39)本紙へ	不受理
	NO (26-40)→(26-41)へ	/	
	NO		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	70/79

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2-2/2)			根拠法令(マニュアル処理)
(26-41)養女は本籍人でかつ届出人資格2=10かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)		/		
YES	(26-42)個人特定Fの養父氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)	/		
	YES	(26-43)確認メッセージ 「届出人(養父)氏名と養子の戸籍の養父氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-44)本紙へ
		YES	(26-45)→(26-49)へ	/	
		NO	(26-46)→		(26-47)本紙へ	不受理
	NO	(26-48)→(26-49)へ	/		
NO					
(26-49)養女は本籍人でかつ届出人資格1=11かつ、代諾者コード1=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-50)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名1である(YES,NO)		/		
	YES	(26-51)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-52)本紙へ
		YES	(26-53)→(26-57)へ	/	
		NO	(26-54)→		(26-55)本紙へ	不受理
	NO	(26-56)→(26-57)へ	/		
NO					
(26-57)養女は本籍人でかつ届出人資格2=11かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		
YES	(26-58)個人特定Fの養母氏名≠届出人氏名2である(YES,NO)		/		
	YES	(26-59)確認メッセージ 「届出人(養母)氏名と養子の戸籍の養母氏名が異なっていますが、よろしいですか。」を表示		(26-60)本紙へ
		YES	(26-61)→(27)へ	/	
		NO	(26-62)→		(26-63)本紙へ	不受理
	NO	(26-64)→(27)へ	/		
NO					
(27)養女は非本籍人でかつ、 届出人資格1=10又は11かつ、代諾者コード1=1であるか、又は 届出人資格2=10又は11かつ、代諾者コード2=1である(YES,NO)			/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	71/79

処理名	3.6.1 養女届出人ルーチン (2-3/2)			根拠法令(マニュアル処理)
	YES	(28)養父氏名に入力がある場合、届出人資格が10の届出人氏名と異なり、 養母氏名に入力がある場合、届出人資格が11の届出人氏名と異なる(YES,NO)	/	
		YES	(29)→(36)へ	/	
		NO	(30)確認メッセージ(YES,NO) 「前養親氏名と養親氏名が同一ですが、よろしいですか。」を表示		(31)本紙へ
			YES	(32)→(36)へ	/	
			NO	(33)→		(34)本紙へ	不受理
	NO	(35)→(36)へ	/	
	(36)養女を監護する者がいる(YES,NO)		/	
	YES	(37)確認メッセージ(YES,NO)「監護者は養子の父又は母ですか。」を表示		(38)本紙へ	
		YES	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「監護者の同意書が添付されていますか。」を表示			民第797条2項
			YES	(40)→		(41)3.3養子審査へ	
			NO	(42)→		(43)本紙へ	不受理
		NO	(44)→		(45)3.3養子審査へ	
	NO				
NO	(46)後見人縁組区分=1　かつ　裁判確定日=スペース　かつ　縁組成立日=スペース　である(YES,NO)		/	
	YES	(47)→(53)へ	/	
	NO	(47-1)裁判確定日≠スペース又は、縁組成立日≠スペースである	/	
		YES	(47-2)→		(47-3)3.3養子審査へ	
		NO	(48)届出人資格＝スペースである(YES,NO)	/	
			YES	(49)→		(50)3.3養子審査へ	
			NO	(51)エラーメッセージ　「届出人は本人でなければなりません。」を表示		(52)本紙へ	
	(53)確認メッセージ(YES,NO)「養子は未成年後見を受けていますね。」を表示			
	YES	(54)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人・未成年被後見人の縁組なので、家庭裁判所の許可書の添付がありますか。」を表示			民第794条
		YES	(55)→		(56)3.3養子審査へ	
		NO	(57)→		(58)本紙へ	不受理
	NO	(59)エラーメッセージ「未成年後見人・未成年被後見人の縁組はできません。」を表示			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	72/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(1/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		養子縁組画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							03(養子縁組届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時1 在外送付区分 ＝ 1～3の時2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0:不要
	届区分			届出区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1、 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容							3/8～8/8参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合、'1'を移送する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	73/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(2/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		養子縁組画面					審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							0:未決裁
	届書排他区分							再入力の場合1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	74/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(3/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　←　(引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	縁組形態区分			縁組形態区分				
	養親配偶者氏名1		養子縁組画面	養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	養子個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	75/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(4/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　←　(引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	養女個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本籍コード			養女の本･国籍		有		
	養女の本籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者カナ氏名							
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	監護者の有無			監護者の有無				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	76/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(5/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	養父個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	77/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(6/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	養母個人番号		養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	78/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(7/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	戸籍変動区分		養子縁組画面	戸籍変動区分				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍コード					有		
	入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者カナ氏名							
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 0の場合移送
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	代諾者資格1			届出人資格コード1				代諾者コード1 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名1			届出人氏名1				
	代諾者コード1			代諾者コード1				
	代諾者国籍1			届出人国籍1				
	代諾者生年月日1			届出人生年月日1				
	代諾者資格2			届出人資格コード2				代諾者コード2 ＝ 1の場合移送
	代諾者氏名2			届出人氏名2				

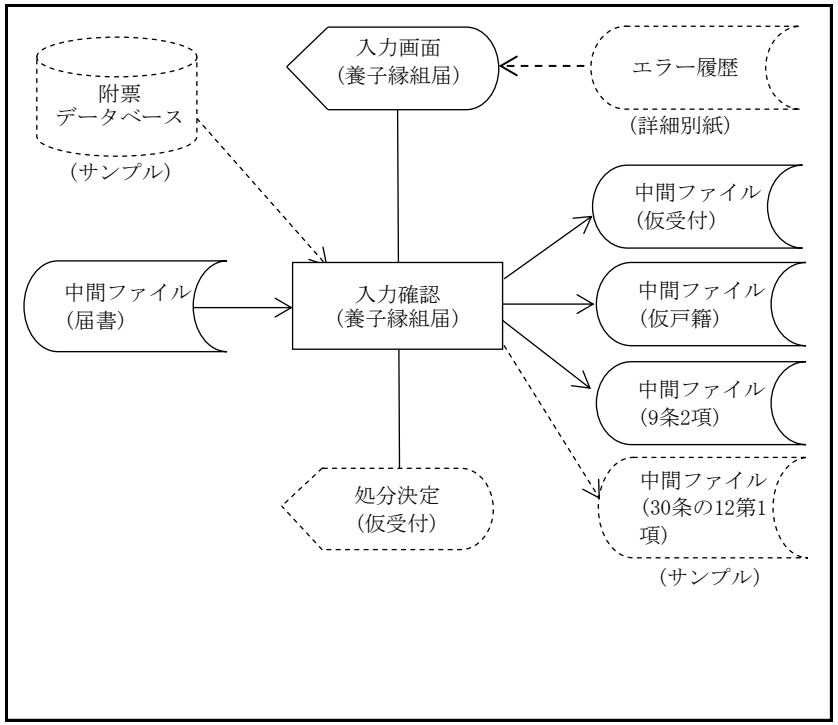
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	79/79

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集(8/8)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別	代諾者コード2			代諾者コード2				
	代諾者国籍2			代諾者国籍2				
	代諾者生年月日2			代諾者生年月日2				
	配偶者個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	配偶者外国人区分			配偶者外国人区分				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	1/67

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の12第1項)	出力(サンプル)		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2) 戸籍変動情報を確定する。
(3) 中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4) 中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5) 中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6) 中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。‥‥(サンプル提示)
(7) 処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 4.1 養親(入籍)
    - 4.2 養親(除籍)
    - 4.3 養親(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 養子(入籍)
    - 5.2 養子(除籍)
    - 5.3 養子(記録)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 養子(女)の配偶者(入籍)
    - 6.2 養子(女)の配偶者(除籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 養父
    - 7.2 養母
    - 7.3 養子
    - 7.4 養女
    - 7.5 養子(女)の配偶者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 8.1 養子
    - 8.1.1養子(戸籍の変動無し)
    - 8.2 養親&養子(女)の配偶者
  - 9.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)‥‥(サンプル提示)
    - 9.1 養父
    - 9.2 養母
    - 9.3 養子
    - 9.4 養女
    - 9.5 養子(女)の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/67

処理名	0.0 本紙 1/4						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する。 [1.0]						/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]					/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]					/	
	(5)養父に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(6)養父の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	
		(7)養父は事件本人である(YES,NO)				/	
		YES	(7-1)養父は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示
			YES	(7-2)養父について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.1]		/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(7-1)(7-2)(7-3)(7-4)
				(7-3) → (8)へ		/	
			NO	(7-4) → (8)へ		/	
			(8) 届書ファイル、戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/	
			YES	(9) 身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]		/	
				(10) 新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
				YES	(11) 身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/	
				NO	(12) → (18)へ	/	
			NO	(13) 身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]		/	
		NO	(14) 届書ファイル、戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)			/	
			YES	(15) 新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
				YES	(16) 身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]	/	
				NO	(17) → (18)へ	/	
			NO				
	NO						
	(18)養母に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(19)養母の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	
		(20)養母は事件本人である(YES,NO)				/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/67

処理名	0.0 本紙 2/4						備考
	YES	(20-1)養母は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示
		YES	(20-2)養母について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.2]			/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(20-1)(20-2)(20-3)(20-4)
			(20-3) → (21)へ			/	
		NO	(20-4) → (21)へ			/	
		(21)届書ファイル、戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)				/	
		YES	(22)身分事項:養親(除籍)の編集をする [4.2]			/	
			(23)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/	
			YES	(24)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]		/	
			NO	(25) → (31)		/	
		NO	(26)身分事項:養親(記録)の編集をする [4.3]			/	
	NO	(27)届書ファイル、戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)				/	
		YES	(28)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/	
			YES	(29)身分事項:養親(入籍)の編集をする [4.1]			
			NO	(30) → (31)へ		/	
		NO					
NO						/	
(31)養子に入籍がある(YES,NO)						/	
YES	(32)養子の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する					/	
	(33)養子は本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(33-1)養子は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示
		YES	(33-2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [9.3]			/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(33-1)(33-2)(33-3)(33-4)
			(33-3) → (34)へ			/	
		NO	(33-4) → (34)へ			/	
		(34)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)				/	
		YES	(35)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]			/	
			(36)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)			/	
			YES	(37)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]		/	
				(38) → (48)へ		/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	4/67

処理名	0.0 本紙 3/4					備考
			NO	(39) → (48)へ	/	
		NO		(40) → (41)	/	
		(41)届書ファイル、戸籍変動区分が4である(YES,NO)			/	
		YES	(42)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]		/	
		NO	(43) → (48)へ		/	
	NO	(44)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/	
		YES	(45)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
			YES	(46)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	/	
			NO	(47) → (48)へ	/	
		NO				
NO						
(48)養女に入力がある(YES,NO)					/	
YES	(49)養女の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する				/	
	(50)養女は本籍人である(YES,NO)				/	
	YES	(50-1)養女は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示
		YES	(50-2)養女について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [9.4]		/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(50-1)(50-2)(50-3)(50-4)
			(50-3) → (51)へ		/	
		NO	(50-4) → (51)へ		/	
		(51)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/	
		YES	(52)身分事項:養子(除籍)の編集をする [5.2]		/	
			(53)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	
			YES	(54)身分事項:養子(入籍)の編集をする [5.1]	/	
			NO	(55) → (64)へ	/	
		NO	(56) → (57)へ		/	
		(57)届書ファイル、戸籍変動区分が4である(YES,NO)			/	
		YES	(58)身分事項:養子(記録)の編集をする [5.3]		/	
		NO	(59) → (64)へ		/	
	NO	(60)届書ファイル、戸籍変動区分が1～3である(YES,NO)			/	
		YES	(61)新戸籍又は入籍する戸籍の編製場所は管内である(YES,NO)		/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	14	5/67

処理名	0.0 本紙 4/4	備考
	YES (62)身分事項:養子(入籍)の編集をする。 [5.1] /	
	NO (63)→(64)へ	
	NO /	
NO		
(64)単独縁組でかつ筆頭者である養子(女)には配偶者がいる(YES,NO) /		
YES	(65)配偶者の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する /	
	(66)養子(女)の配偶者は本籍人である(YES,NO) /	
	YES (66-1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO) /	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合の処理(66-1)(66-2)(66-3)(66-4)
	YES (66-2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条12第1項)を編集・出力する [9.5] /	
	(66-3)→(67)へ /	
	NO (66-4)→(67)へ /	
	(67)戸籍変動区分 ＝ 4(養子の戸籍に変動がない)である((YES,NO) /	
	YES (67-1)→(68)へ /	
	NO (67-2)身分事項:配偶者(除籍)の編集をする。 [6.2] /	
	(68)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO) /	
	YES (69)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1] /	
	NO (70)→(77)へ /	
	NO (71)養子(女)の配偶者は日本人である(YES,NO) /	
	YES (72)新戸籍の編製場所は管内である(YES,NO) /	
	YES (73)身分事項:配偶者(入籍)の編集をする。 [6.1] /	
	NO (74)→(77)へ /	
	NO (75)→(77)へ /	
NO	(76)→(77)へ /	
(77)在外送付区分 ＝ 0又は2である(YES,NO) /		
YES	(78) /	
	(79)養父に入力があり、かつ養父の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO) /	
	YES (80)養父の編集 [7.1] /	
	NO (81)→(82)へ /	
	(82)養母に入力があり、かつ養母の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO) /	
	YES (83)養母の編集 /	
	NO (84)→(85)へ /	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月 1日	2.1	6/67

処理名		0.0 本紙 4-1/4			備考
		(88)養子に入力があり、かつ養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES、NO)	/		
		YES (86)養子の編集 [7.3]	/		
		NO (87) → (88)へ	/		
		(88)養女に入力があり、かつ養女の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/		
		YES (89)養女の編集 [7.4]	/		
		NO (90) → (91)へ	/		
		(91)養子(女)の配偶者に入力があり、かつ配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/		
		YES (92)配偶者の編集 [7.5]		(93)処分決定に制御を渡す	
		NO (94) →			
	NO				
PF1	→			(95)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(96)届出選択に制御を渡す	
PF5	→			(97)審査(養子縁組)に制御を渡す	
PF7	(98)前ページがあるか(ある:YES、なし:NO)		/		
	YES	(99)前ページ分の「養子縁組届」画面を編集・出力する		(100)同画面を編集する	
	NO	(101)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(102)次ページがあるか(ある:YES、なし:NO)		/		
	YES	(103)次ページ分の「養子縁組届」画面を編集・出力する		(104)動画面を編集する	
	NO	(105)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF11	→			(106)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(107)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(108)動画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(1/9)	(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届(前提入力) 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別	縁組形態区分				1,3,7,9,10,13,14,15の時'Y'移送
	養子と養母区分							2,3,8,11,12,13,14,15の時'Y'移送
	養女と養父区分							4,6,7,10,11,12,13,15の時'Y'移送
	養女と養母区分							5,6,8,9,10,12,14,15の時'Y'移送
	縁組形態名称			縁組形態区分		有		
	養親配偶者氏名1			養親配偶者氏名1				
	養親配偶者氏名2			養親配偶者氏名2				
	表示1							縁組形態区分 ＝ 1,4,7の時、 '養父の配偶者が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 2,5,8の時、 '養母の配偶者が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9,10の時、 '養子と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 11,12の時、 '養子と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示
	表示2							縁組形態区分 ＝ 11,13の時、 '養女と養母が既に縁組している場合は養母氏名を入力して下さい'を表示 縁組形態区分 ＝ 9,14の時、 '養女と養父が既に縁組している場合は養父氏名を入力して下さい'を表示

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(2/9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届（その1) ～(その4) 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(3/9)	(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届（その1） 確認画面	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の婚姻区分			養子の婚姻区分				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の続柄コード			養子の続柄コード				
	養子の続柄					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(4/9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届（その1） 確認画面	養女の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の婚姻区分			養女の婚姻区分				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者氏名			養女の筆頭者氏名				
	養女の世帯主氏名			養女の世帯主氏名				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の続柄コード			養女の続柄コード				
	養女の続柄					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆頭者					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者					有		
	監護者の有無			監護者の有無				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(5/9)	(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届 (その2) 確認画面	養父の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の筆頭者					有		
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の配偶者					有		
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(6/9)	(受取側)養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届(その2) 確認画面	養母の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(7/9)	(受取側)養子縁組届画面　←　(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届(その3) 確認画面	戸籍変動区分		中間ファイル(届書) 事件別	戸籍変動区分				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				
	入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組成立日			縁組成立日				
	縁組方式			縁組方式				
	証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	後見人縁組区分			後見人縁組区分				
	届出人資格コード1			届出人資格コード1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			届出人氏名1				〃
	代諾者コード1							届出人資格コード1に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード2			届出人資格コード2				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名2			届出人氏名2				〃
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'0'をセットする
	届出人資格コード1			代諾者資格1				項目に入力がある場合移送する
	届出人氏名1			代諾者氏名1				〃
	代諾者コード1							代諾者資格1に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍1			代諾者国籍1				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日1			代諾者生年月日1				〃
	届出人資格コード2			代諾者資格2				〃

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(8/9)	(受取側)養子縁組届画面　←　(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届(その3) 確認画面	届出人氏名2		中間ファイル(届書) 事件別	代諾者氏名2				項目に入力がある場合移送する
	代諾者コード2							届出人資格コード2に入力がある時'1'をセットする
	届出人国籍2			代諾者国籍2				項目に入力がある場合移送する
	届出人生年月日2			代諾者生年月日2				〃

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/67

処理名	1.0確認画面(養子縁組届)表示(9/9)	(受取側)養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子縁組届(その4) 確認画面	配偶者の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	配偶者の外国人区分				
	配偶者の生年月日			配偶者の生年月日				
	配偶者の配偶者区分			配偶者の配偶者区分				
	配偶者のカナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者の漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者の住所			配偶者住所				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者続柄コード			配偶者続柄コード				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	16/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(1/8)

項番	養子													養親									同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
1	○		○		－	－				○				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
2	○		○		－	－				○				○		○			○					養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
3	○		○		－	－				○				○			○		○									養子 5.2		養親4.1 養子5.1
4	○		○		－	－				○				－	－					○										養子 5.3	
5	○		○		－	－				○				－	－		○	○		－									養子 5.2		
6	○		○		－	－				○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
7	○		○		－	－			○					－	－	○		○					養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
8	○		○		－	－			○					○		○			○					養親 4.2			養子 5.2			養親4.1 養子5.1
8-1	○		○			○			○					○		○			○		○			養親 4.2 ※			養親 5.2 ※			養親4.1 養子5.1
																							※養子･養親は、同籍なので二人の他に在籍者無しの場合、全除							
9	○		○		－	－			○					○			○		○								養子 5.2			養親4.1 養子5.1
10	○		○		－	－			○					－	－					○										養子 5.3	
11	○		○		－	－			○					－	－		○	○		－							養子 5.2				
12	○		○		－	－			○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			

処理名：2.0戸籍編製マトリックス表(2/8)

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
			日本人													日本人															
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
	単身縁組	夫婦縁組	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無	外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組	本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員	外国人			一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
		※1													※1								A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1
																										※2	※2		※3
13	○		○			○			○					－	－	○		○			○				養親 4.3			養子 5.3	
13-1	○		○			○			○					－	－	○		○		○	○				養親 4.3			養子 5.3	
14	○		○			○		○	－	－				－	－	○		○							養親 4.3			養子 5.3	
15	○		○			○		○	－	－				○		○			○						養親 4.3			養子 5.3	
16	○		○			○		○	－	－				○			○	－	－									養子 5.3	
17	○		○			○		○	－	－				－	－					○								養子 5.3	
18	○		○			○		○	－	－					○		○	○		－								養子 5.3	
19	○		○			○		○	－	－					○	○		○		○					養親 4.3			養子 5.3	
20	○		○		○			○	○					－	－	○		○					養子 5.1		養親 4.3	養子 5.2			
21	○		○		○			○	○					○		○			○					養親 4.2		養子 5.2			養親4.1 養子5.1
22	○		○		○			○	○					○			○		○							養子 5.2			養親4.1 養子5.1
23	○		○		○			○	○					－	－					○								養子 5.3	
24	○		○		○			○	○					－	－		○	○		－						養子 5.2			

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	18/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(3/8)

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人			一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
25	○		○		○			○	○						○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3	養子 5.2			
26	○		○		○			○		○				－	－	○		○					養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
27	○		○		○			○		○				○		○			○					養親 4.2				養子 5.2		養親4.1 養子5.1
28	○		○		○			○		○				○			○		○									養子 5.2		養親4.1 養子5.1
29	○		○		○			○		○				－	－					○									養子 5.3	
30	○		○		○			○		○				－	－		○	○		－								養子 5.2		
31	○		○		○			○		○					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3		養子 5.2		
32	○		○		○		○		○				○	－	－	○		○								養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
33	○		○		○		○		○				○	○		○			○							養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
34	○		○		○		○		○				○	○			○	－	－								養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
35	○		○		○		○		○				○	－	－					○								養子 5.3	
36	○		○		○		○		○				○		○		○	○		－							養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1
37	○		○		○		○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3	養子5.2 配偶者6.2		養子5.1 配偶者6.1

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	19/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(4/8)

項番	養子													養親									同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人				一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
38	○		○		○		○			○			○	－	－	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
39	○		○		○		○			○			○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
40	○		○		○		○			○			○	○			○	－	－									養子 5.2		養子 5.1
41	○		○		○		○			○			○	－	－					○									養子 5.3	
42	○		○		○		○			○			○		○		○	○		－								養子 5.2		養子 5.1
43	○		○		○		○			○			○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
44	○		○			○	○		○				○	－	－		○	－	－	－						養親 4.3			養子 5.3	
45	○		○			○	○		○				○	－	－	○		－	－	－									養子 5.3	
46	○										－	－	－	－	－	○		○								養親 4.3				
47	○										－	－	－	○		○			○							養親 4.3				
48	○										－	－	－		○	○		○		○						養親 4.3				
49	○			○	－	－			－	－				－	－	○		○						養子 5.1			養親 4.3				
50	○			○	－	－			－	－				○		○			○						養親 4.2					養親4.1 養子5.1

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	20/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(5/8)

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人			一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
51	○			○	－	－			－	－					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3				
52	○			○		○	○		○				○	－	－	○		－	－	－						養親 4.3				
53	○			○	○		○		○				○	－	－	○		○								養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
54	○			○	○		○		○				○	○		○			○							養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
55	○			○	○		○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3				養子5.1 配偶者6.1
56	○			○		○		○	－	－				－	－	○		○								養親 4.3				
57	○			○		○		○	－	－				○		○			○							養親 4.3				
58	○			○		○		○	－	－					○	○		○		○						養親 4.3				
59	○			○	○			○	－	－				－	－	○		○					養子 5.1			養親 4.3				
60	○			○	○			○	－	－				○		○			○					養親 4.3						養親4.1 養子5.1
61	○			○	○			○	－	－					○	○		○		○			養子 5.1			養親 4.3				
62		○	○		○	○	○			○			○	－	－	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
63		○	○		○	○	○			○			○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	21/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(6/8)

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人			一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
64		○	○		○	○	○ ○			○			○	○			○	－	－										養子 5.2		養子 5.1
65		○	○		○	○	○ ○			○			○	－	－					○									養子 5.3	
66		○	○		○	○	○ ○			○			○		○		○	○		－								養子 5.2		養子 5.1
67		○	○		○	○	○ ○			○			○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
68		○	○		○	○	○ ○		○				○	－	－	○		○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
69		○	○		○	○	○ ○		○				○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
70		○	○		○	○	○ ○		○				○	○			○	－	－								養子 5.2			養子 5.1
71		○	○		○	○	○ ○		○				○	－	－					○									養子 5.3	
72		○	○		○	○	○ ○		○				○		○		○	○		－							養子 5.2			養子 5.1
73		○	○		○	○	○ ○		○				○		○	○		○		○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
74		○	○		○		○			○	○		○	－	－	○		○								養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
75		○	○		○		○			○	○		○	○		○			○							養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
76		○	○		○		○			○	○		○	○			○	－	－									養子 5.2		養子 5.1

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	22/67

処理名	2.0戸籍編製マトリックス表(7/8)

項番	養子													養親								同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人			一部記載 A.2 8.0 D.1	一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	一部除籍 A.2 C.2 ※2	全部除籍 A.2 B.2 C.2 ※2	変動なし 8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1 ※3
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成													
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員											
77		○	○		○		○			○	○		○	－	－					○									養子 5.3	
78		○	○		○		○			○	○		○		○		○	○		－								養子 5.2		養子 5.1
79		○	○		○		○			○	○		○		○	○		○		○						養親 4.3		養子 5.2		養子 5.1
80		○	○		○		○		○		○		○	－	－	○		○								養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
81		○	○		○		○		○		○		○	○		○			○							養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
82		○	○		○		○		○		○		○	○			○	－	－								養子 5.2			養子 5.1
83		○	○		○		○		○		○		○	－	－					○									養子 5.3	
84		○	○		○		○		○		○		○		○		○	○		－							養子 5.2			養子 5.1
85		○	○		○		○		○		○		○		○	○		○		○						養親 4.3	養子 5.2			養子 5.1
86		○		○	○	○	○ ○		－	－			○	－	－	○		○								養親 4.3				養子 5.1
87		○		○	○	○	○ ○		－	－			○	○		○			○							養親 4.3				養子 5.1
88		○		○	○	○	○ ○		－	－			○		○	○		○		○						養親 4.3				養子 5.1
89		○		○	○		○		－	－	○		○	－	－	○		○								養親 4.3				養子 5.1

処理名：2.0戸籍編製マトリックス表(8/8)

項番	養子													養親										同一戸籍		養親の戸籍				養子の戸籍			新戸籍編製
	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人								外国人	無国籍	婚姻中	単身縁組	夫婦縁組 ※1	日本人				外国人					一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	一部除籍	全部除籍	変動なし	
			本籍		構成		配偶者		他の在籍者							本籍		構成														
			本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	配偶者	生存配偶者	有	無						本籍人	非本籍人	筆頭者・配偶者	構成員												
																									A.2 8.0 D.1	A.2 C.2	A.2 B.2 C.2		A.2 C.2	A.2 B.2 C.2	8.1.1	A.1 B.1 8.0 D.1
90		○		○	○		○		－	－	○		○	○		○			○									養親 4.3				養子 5.1
91		○		○	○		○		－	－	○		○		○	○		○		○								養親 4.3				養子 5.1
92		○									－	－	○	－	－	○		○										養親 4.3				
93		○									－	－	○	○		○			○									養親 4.3				
94		○									－	－	○		○	○		○		○								養親 4.3				

※1 夫婦縁組の場合、該当する戸籍編製に対応するデータ編集をおのおの夫と妻の2人分行う。
※2 配偶者はC.2のみ
※3 新戸籍編製の場所が管内の場合のみ新戸籍編製の処理を行う。又、配偶者は8.0,D.1のみ。
※4 養子が非本籍人の場合、入籍する戸籍又は新戸籍の編製場所が管外の場合は養子の戸籍編製を省き、なおかつ養親も非本籍人の場合は、養親の戸籍編製も省く。

※A.1,A.2,B.1,B.2,C.2,D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照(8.0は養子と養親で8.1と8.2に分かれる)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	24/67

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通(1/2)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0301’
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移送
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							移送項目なし
	届出人資格区分1			届出人資格コード1				①代諾者コード1又は2に入力がある場合 届出人資格区分1、2の編集方法 < 代諾者国籍に入力が無い場合 > 1→16、2→17、10→19、11→20、93→22に変換して移送する < 代諾者国籍に入力がある場合 > そのまま移送する
	届出人資格名称1		中間ファイル(仮受付)	届出人資格区分1		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	25/67

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通(2/2)	届出人氏名1		中間ファイル(届書)	届出人氏名1(備考欄参照)				届出人氏名1,2の編集方法 ①代諾者コード1または2に入力がある場合 データ編集表の通り、それぞれ届出人氏名1,2を移送する。(代諾者国籍の有無に関係しない) ②代諾者コード1かつ2に入力がない場合 届出人コード1が10,11,13の場合、 届出人コードをそのまま移送する。 届出人コード ＝ 10の場合「養父氏名」 届出人コード ＝ 11の場合「養母氏名」 届出人コード ＝ 13の場合「養子氏名」又は「養女氏名」を移送する。
	届出人資格区分2			届出人資格コード2				
	届出人資格名称2		中間ファイル(仮受付)	届出人資格区分2		有		
	届出人氏名2		中間ファイル(届書)	届出人氏名2(備考欄参照)				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 2又は3の場合、'2'を移送
	届後本籍コード			入籍する戸籍 または新しい戸籍コード				
	届後本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				項目に入力がある場合移送
	届後戸籍の筆頭者			入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者				〃
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組成立日 ≠ スペースの時、1を移送上記以外のとき、0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	26/67

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人(1/2)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10 養女:11
	届出人区分							養父、養母の場合 縁組方式 ≠ スペースかつ 外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する 養子、養女の場合 代諾者資格1,2に入力がある場合は'0'を移送する 代諾者資格1,2に入力がない場合 縁組方式 ≠ スペースかつ外国人の場合は'0'を移送する それ以外は'1'を移送する
	カナ氏名			カナ氏名				養父のカナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名 養女のカナ氏名
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名 養女の漢字氏名
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日 養女の生年月日

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	27/67

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人(2/2)	本籍コード		中間ファイル(届書)	本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍 養女の本籍
	筆頭者			筆頭者				養父の本籍の筆頭者 養母の本籍の筆頭者 養子の本籍の筆頭者 養女の本籍の筆頭者
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時1を移送、 それ以外は0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序
1. 養親の後に養子
2. 夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ養父、養母、養子、養女の順に出力する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/67

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)入籍　　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)入籍(1/2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0301'
	記録コード							'0302'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	縁組日			縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格							入籍では不使用
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養子 養子の国籍			養子の本籍				入籍では不使用
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				〃
	養女 養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
	養女 養子の国籍			養女の本籍				入籍では不使用
	養女 養子の生年月日			養女の生年月日				〃
	養子の戸籍							〃
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				〃
	外国の方式 証書提出日			受領日				〃

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	29/67

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)入籍　　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)入籍(2/2)	代諾者1	代諾者資格		中間ファイル (届書)	代諾者資格1				入籍では不使用
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名1				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				〃
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				〃
		代諾者資格名称							〃
		代諾者氏名			代諾者氏名2				〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				〃
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍(本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1又は4の場合、 養父の本籍と養父の筆頭氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 2又は5の場合、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		従前戸籍(筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	養子の従前戸籍								入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				〃
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍				〃
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/67

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)除籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)除籍(1/2)	個人番号			中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0301'
	記録コード								'0302'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	縁組日				縁組成立日 受領日				縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格								除籍では不使用
	共同縁組者資格名称								
	養子	養子氏名			養子の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
		養子の国籍			養子の本籍				除籍では不使用
		養子の生年月日			養子の生年月日				〃
	養女	養子氏名			養女の漢字氏名				項目に入力がある場合移送
		養子の国籍			養女の本籍				除籍では不使用
		養子の生年月日			養女の生年月日				〃
	養子の戸籍								〃
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				〃
		証書提出日			受領日				〃

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	31/67

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)除籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)除籍(2/2)	代諾者1	代諾者資格		中間ファイル (届書)	代諾者資格1					除籍では不使用
		代諾者資格名称								〃
		代諾者氏名			代諾者氏名1					〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍1					〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1					〃
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2					〃
		代諾者資格名称								〃
		代諾者氏名			代諾者氏名2					〃
		代諾者の国籍			代諾者国籍2					〃
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2					〃
	送付	送付を受けた日			送付日					項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元					〃
	入戸籍	従前戸籍								除籍では不使用
	養子の従前戸籍									〃
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍					
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍					除籍では不使用
	除籍日				処理日					項目に入力がある場合移送
	特記事項									

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/67

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録　　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(1/3)	個人番号			中間ファイル (届書)	養父個人番号 養母個人番号					養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号									
	出力区分									0:可
	タイトルコード									'0301'
	記録コード									'0302'
	管掌者コード									
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日					裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日をそれぞれ移送
	裁判	縁組の 裁判確定日								裁判確定日 ≠ スペースの時移送
	縁組日				縁組成立日 受領日					裁判確定日 ＝ スペースの場合、 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格									縁組形態区分 ＝ 3,6,10,12～15の場合 かつ、 養父の時、7:'妻'を移送 養母の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称									
	養子	養子氏名			養子の漢字氏名					養父の時、縁組形態区分 が,3,7,9,10,13～15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送
		養子の国籍			養子の本籍					〃　でかつ、 養子が外国人の場合移送
		養子の生年月日			養子の生年月日					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	33/67

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(2/3)	養女	養子氏名		中間ファイル (届書)	養女の漢字氏名				養父の時、縁組形態区分が4,6,7,10～13,15の時移送、 あるいは、 養母の時、縁組形態区分が5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養子の国籍			養女の本籍				〃　でかつ、養女が外国人の場合移送
		養子の生年月日			養女の生年月日				
	養子の戸籍 (本籍)				養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 4の時でかつ、 同一戸籍縁組 ≠ 1でかつ、 養子に入力がある時 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、養女に入力がある時、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
	養子の戸籍 (筆頭者)				養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送 (養子が外国人の時のみ設定)
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送 (養子が外国人の時のみ設定)
	代諾者1	代諾者資格			代諾者資格1				**養子が外国人の時のみ移送** 養子が外国人で戸籍に記録されないため、代諾者情報は日本人養父母に記録する。 代諾者が帰化して日本人となっている場合でも「親権者父母」と統合せずに、そのまま代諾者1と2を移送する。 (国籍が日本の場合、国籍欄と生年月日欄は空欄で構わない)。 代諾者氏名1,2の編集内容。 〈 代諾者国籍に入力が無い場合 〉 代諾者氏名は移送しない(記録不要)。 〈 代諾者国籍に入力がある場合 〉 データ編集表の通り、それぞれ代諾者氏名1と2を移送する。
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名1(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称							
		代諾者氏名			代諾者氏名2(備考欄参照)				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	34/67

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(3/3)	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1				裁判確定日に入力がある場合移送 届出人資格コード1が13又は 届出人資格コード1,2が13の時のみ移送する
		届出人資格名称			届出人資格コード1		有		
	許可日								
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	養子の従前戸籍(本籍)				養子の本籍 養女の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送、あるいは、 養女の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
	養子の従前戸籍(筆頭者)				養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				記録では不使用
	養子の新本籍				入籍する戸籍 または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	記録日				処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	35/67

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍　　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(1/4)	個人番号			中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号				養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0301'
	記録コード								'0301'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	裁判	縁組の 裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日				縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格								縁組形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称								
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4,6,7,10～13,15の時移送
		養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、 養父が外国人の場合移送
		養父の生年月日			養父の生年月日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	36/67

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(2/4)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃　でかつ、
		養母の生年月日			養母の生年月日				養母が外国人の場合移送
		養親の戸籍(本籍)			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍(筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1,2と、証書提出者氏名1,2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1,2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1,2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者 1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	37/67

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(3/4)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1,2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16,2の時17,10の時19,11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父),2(母),16(親権者父),17(親権者母)のとき、代諾者氏名1,2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格		有		
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入籍日				処理日				〃
	入戸籍	従前戸籍(本籍)			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 7～15でかつ、 養子の筆頭者区分 ＝ 1の場合、 養子の本籍と筆頭者氏名を移送 養女の筆頭者区分1の場合 養女の本籍と筆頭者氏名を移送
		従前戸籍(筆頭者)			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/67

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル (届書)					入籍では不使用
		入籍戸籍							〃
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	39/67

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(1/4)	個人番号			中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号				養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号
	行番号								
	出力区分								0:可
	タイトルコード								'0301'
	記録コード								'0301'
	管掌者コード								
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	裁判	縁組の 裁判確定日			裁判確定日				項目に入力がある場合移送
	縁組日				縁組成立日 受領日				裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格								縁組形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称								
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4,6,7,10～13,15の時移送
		養父の国籍			養父の本籍				〃　でかつ、
		養父の生年月日			養父の生年月日				養父が外国人の場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	40/67

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(2/4)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃 でかつ、 養母が外国人の時移送
		養母の生年月日			養母の生年月日				
		養親の戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時でかつ、 養父に入力がある時、 養父の本籍と養父の筆頭者氏名を移送 養父に入力がない時、 養母の本籍と養母の筆頭者氏名を移送
		養親の戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1,2と、証書提出者氏名1,2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1,2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1,2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者 1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	41/67

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(3/4)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1,2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16,2の時17,10の時19,11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父),2(母),16(親権者父),17(親権者母)のとき、代諾者氏名1,2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 ＋ 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送(養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							除籍では不使用
	除戸籍	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
		入籍戸籍 (本籍)			入籍する戸籍 または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送
	除戸籍	入籍戸籍 (筆頭者)			入籍する戸籍 または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1又は2の時移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	42/67

処理名	5.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(4/4)	除籍日		中間ファイル (届書)	処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	43/67

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(1/3)	個人番号			中間ファイル (届書)	養子個人番号 養女個人番号					養子の時、養子個人番号 養女の時、養女個人番号
	行番号									
	出力区分									0:可
	タイトルコード									'0301'
	記録コード									'0301'
	管掌者コード									
	事件発生日				裁判確定日 縁組成立日 受領日					裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	裁判	縁組の 裁判確定日			裁判確定日					項目に入力がある場合移送
	縁組日				縁組成立日 受領日					裁判確定日 ＝ スペースかつ、 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 縁組成立日 ＝ スペースの時、受領日を移送
	共同縁組者資格									縁組形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合かつ、 養子の時、7:'妻'を移送 養女の時、6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称									
	養親	養父氏名			養父の漢字氏名					養子の時、縁組形態区分が 1,3,7,9,10,13,14,15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 4,6,7,10～13,15の時移送
		養父の国籍			養父の本籍					〃　でかつ、
		養父の生年月日			養父の生年月日					養父が外国人の場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	44/67

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(2/3)	養親	養母氏名		中間ファイル (届書)	養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が2,3,8,11～15の時移送、 あるいは、 養女の時、縁組形態区分が 5,6,8～10,12,14,15の時移送
		養母の国籍			養母の本籍				〃 でかつ、
		養母の生年月日			養母の生年月日				養母が外国人の時移送
		養子の戸籍 (本籍)			養父の本籍 養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 1,3,4,6,7,9～15かつ 養父の外国人区分 ＝ 0の場合、 養父の本籍と筆頭者氏名を移送 又は、 縁組形態区分2,3,5,6,8～15かつ、 養母の外国人区分 ＝ 0の場合、 養母の本籍と筆頭者氏名を移送
		養子の戸籍 (筆頭者)			養父の筆頭者氏名 養母の筆頭者氏名				
	外国の方式	縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
		証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの時移送
		証書提出者 資格1			届出人資格コード1 代諾者資格1				縁組方式 ≠ スペースの時移送する 証書提出者1,2と、証書提出者氏名1,2は、項目に入力がある方を移送 ①但し、証書提出者1,2は 届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1と 2の時→ 5:父母 10と11の時→12:養父母 16と17の時→18:親権者父母 を証書提出者1に移送し、 証書提出者氏名1と証書提出者2 全部にスペースを移送 ②上記以外はそのまま移送 但し、届出人資格コード1かつ2、又は 代諾者資格1かつ2が 1(父)、2(母)、16(親権者父)、 17(親権者母)の時、証書提出者氏名1,2に氏名は移送しない
		証書提出者 資格名称1		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格1		有		
		証書提出者 氏名1		中間ファイル (届書)	届出人氏名1 代諾者氏名1				
		証書提出者 資格2			届出人資格コード2 代諾者資格2				
		証書提出者 資格名称2		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格2		有		
		証書提出者 氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2 代諾者氏名2				
	代諾者 1	代諾者資格			代諾者資格1				縁組方式かつ、裁判確定日に入力がなく、代諾者項目に入力がある場合、次の条件により移送する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	45/67

処理名	5.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(3/3)	代諾者1	代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者1 代諾者資格				代諾者資格1,2の変換方法 (その他の項目はそのまま移送する) ①代諾者国籍に入力が無い場合 a)代諾者資格1と2が1かつ2の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 代諾者資格1と2が16かつ17の時 代諾者1.代諾者資格 ＝ 18 を移送し、代諾者1.代諾者氏名～代諾者2全部にスペースを移送 b)代諾者資格1と2が1の時16,2の時17,10の時19,11の時20を移送 但し、代諾者資格1と2が1(父),2(母),16(親権者父),17(親権者母)のとき、代諾者氏名1,2に氏名は移送しない c)代諾者資格1が93の時22を移送 d)a)～c)以外はそのまま移送する ②代諾者国籍に入力がある場合はそのまま移送する
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名1				
		代諾者の国籍			代諾者国籍1				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日1				
	代諾者2	代諾者資格			代諾者資格2				
		代諾者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	代諾者2 代諾者資格				
		代諾者氏名		中間ファイル (届書)	代諾者氏名2				
		代諾者の国籍			代諾者国籍2				
		代諾者の生年月日			代諾者生年月日2				
	届出日				受領日				裁判確定日に入力がある場合移送
	届出人	届出人資格			届出人資格コード1 + 届出人資格コード2				裁判確定日に入力がある場合移送 (養子が届け出た場合は移送しない) 届け出人資格コード1と2が10かつ11の時、12:養父母を移送 届出人資格コード1のみ入力ありの場合は届出人資格コード1のみ移送
		届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		
	許可日			中間ファイル (届書)					
	送付	送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
		受理者			発送元				〃
	入戸籍	従前戸籍							記録では不使用
	除戸籍	新本籍							〃
		入籍戸籍							〃
	記録日								項目に入力がある場合移送
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/67

処理名	6.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(配偶者)入籍← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(配偶者)入籍(1/1)	個人番号		中間ファイル (届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	入籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペースかつ 送付日 ≠ スペースの時送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時受領日を移送
	入籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 4:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 5:'妻の縁組'を移送
	従前戸籍 (本籍)			養子の本籍 養女の本籍				縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 養子の本籍と養子の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 養女の本籍と養女の筆頭者氏名を移送
	従前戸籍 (筆頭者)			養子の筆頭者氏名 養女の筆頭者氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	47/67

処理名	6.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(配偶者)除籍← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(配偶者)除籍(1/1)	個人番号		中間ファイル (届書)	配偶者個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0302'
	記録コード							'0303'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日 縁組成立日 受領日				裁判確定日 ≠ スペースの時、裁判確定日を移送 縁組成立日 ≠ スペースの時、縁組成立日を移送 裁判確定日&縁組成立日 ＝ スペースの時受領日を移送
	除籍日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペースの時、処理日を移送 処理日 ＝ スペースかつ 送付日 ≠ スペースの時送付日を移送 処理日と送付日がどちらもスペースの時受領日を移送
	除籍事由							縁組形態区分 ＝ 1～3の場合、 1:'夫の縁組'を移送 縁組形態区分 ＝ 4～6の場合、 2:'妻の縁組'を移送
	新本籍			入籍する戸籍 または新しい戸籍				

※データ編集表(4.1～6.2身分事項編集)の仮戸籍.身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	48/67

処理名	7.1養父 編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養父の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養父が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	49/67

処理名	7.1養父 編集･出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養父の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	50/67

処理名	7.2養母 編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養母の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養母が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	51/67

処理名	7.2養母 編集・出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名画面名称	項目		DB・ファイル名画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主			養母の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	52/67

処理名	7.3養子 編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	53/67

処理名	7.3養子 編集･出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	54/67

処理名	7.4養女 編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養女 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養女の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養女が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	55/67

処理名	7.4養女 編集･出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養女 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	56/67

処理名	7.5配偶者 編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/配偶者 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							
	宛名							
	事件コード							03(養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	57/67

処理名	7.5配偶者 編集･出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(9条2項)/配偶者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)	住所		中間ファイル (届書)	配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	58/67

処理名	8.1個人特定(養子)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1,2の時、0移送
	配偶者区分			配偶者区分				戸籍変動区分 ＝ 1,2でかつ 配偶者区分 ＝ 3の時、0を移送
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養親配偶者氏名1				縁組形態区分2,8,11,12で入力がある 時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5,8,9,14で入力がある 時移送(養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3,7,9,10,13,14,15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4,6,7,10～13,15の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1,7,9,10で入力がある 時移送(養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4,7,11,13で入力がある 時移送(養女の時のみの移送項目)
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2,3,8,11～15の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5,6,8～10,12,14,15の時移送

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	59/67

処理名	8.1個人特定(養子)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍)個人特定	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	60/67

処理名	8.1.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父		中間ファイル (届書)	養親配偶者氏名1				縁組形態区分2で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分5で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養父の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 1,3の時移送 養女の時、縁組形態区分が 4,6の時移送
	養母			養親配偶者氏名1				縁組形態区分1で入力がある時移送 (養子の時のみの移送項目)
				養親配偶者氏名2				縁組形態区分4で入力がある時移送 (養女の時のみの移送項目)
				養母の漢字氏名				養子の時、縁組形態区分が 2,3の時移送 養女の時、縁組形態区分が 5,6の時移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	61/67

処理名	8.1.1個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	養父母との続柄							養子の時51、養女の時52を移送
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	62/67

処理名	8.2個人特定(養親・配偶者)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子親 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日(または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		養父の場合:'男'、 養母の場合:'女' 配偶者の場合移送
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分							養親の場合'1'を移送 配偶者の場合'0'を移送
	配偶者区分			配偶者区分				
	父		従前戸籍の情報	父				本籍内異動のときに従前戸籍から情報を設定
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	63/67

処理名	9.1養父 編集･出力 (1/1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/養父 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養父の筆頭者氏名				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	64/67

処理名	9.2養母 編集･出力 (1/1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/養母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 2の場合移送
	旧筆頭者			養母の筆頭者氏名				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	65/67

処理名	9.3養子 編集･出力(1/1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/養子 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					03:養子縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養女縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	66/67

処理名	9.4養女 編集･出力(1/1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/養女 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:養女縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養女の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1～3の場合移送
	旧筆頭者			養女の筆頭者氏名				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(配偶者縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	67/67

処理名	9.5配偶者 編集･出力(1/1)	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/配偶者 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					03:配偶者縁組届
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 配偶者の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者の続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者の続柄コード				
	新本籍コード			入籍する戸籍または 新しい戸籍コード				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	新本籍			入籍する戸籍または 新しい戸籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			入籍する戸籍または 新しい戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 3の場合移送
	旧筆頭者							
	住所コード							
	住所							
	方書							

第7.2.(5)「異動」処理

4.養子離縁届

1.養子離縁業務処理範囲外の処理

・養子縁組取り消しの裁判が確定し,その届出があった場合

・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)

・養子離縁の戸籍訂正(職権記録他)

・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録

・無籍者の離縁

・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁

・離縁により養子が従前の戸籍に復籍したときに三代戸籍となるため,養子の父又は母につき新戸籍を編製し養子が入籍する場合

・日本人養子夫婦の双方が死亡しているときで,同一戸籍にいない場合

・15歳未満の届出人が特別代理人のとき,特別代理人以外に届出人がいる場合

・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は,離縁届の処理が終了後,親権又は未成年後見で処理する

・被後見人との報告的離縁で,後見人が届出た場合

・複数の未成年後見人から届出があった場合および、法人(未成年後見人)からの届出があった場合の記録

・転縁組をしている日本人養子が、外国人養親と離縁する場合

2.養子離縁入力画面の意義

・離縁形態入力画面　　養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する
15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する

・その1入力画面　　養子の現在の状況の各項目を入力する

・その2入力画面　　養親の現在の状況の各項目を入力する

・その3入力画面　　離縁の種別及び離縁後の戸籍変動に関する各項目を入力する

・その4入力画面　　15歳未満の養子届出人に関する各項目を入力する

・その5入力画面　　養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する
離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁),その養父及び養母氏名を入力する
離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合,離縁後の親権者区分を入力する(この記録は移記処理では行えないので,当離縁入力で必ずすること)

3.その他

・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を,離縁届の処理が終了後,親権又は未成年後見で処理して構わない

・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は,移記事項処理で処理しても構わない

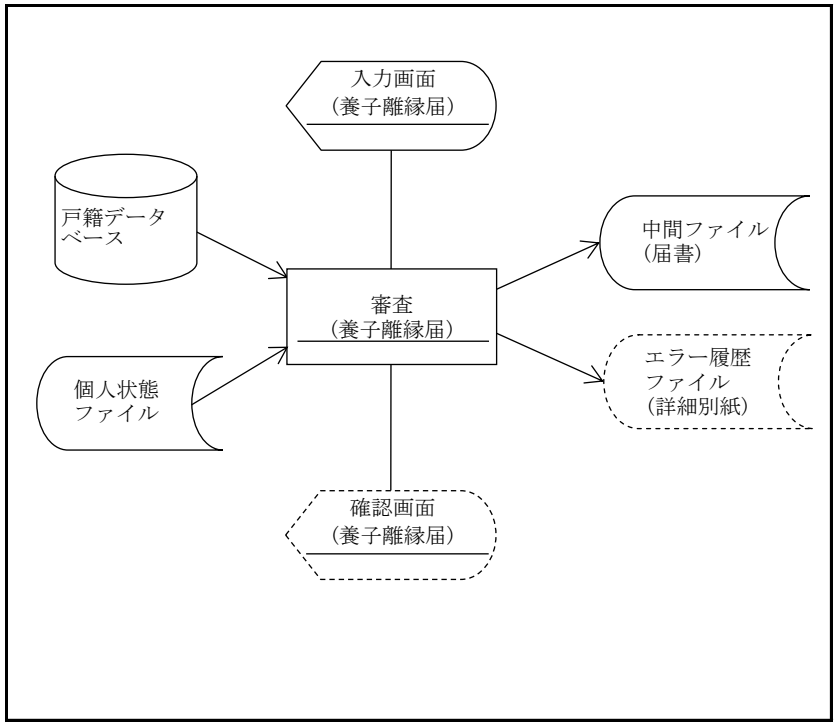
・養子,養女,養父,養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は,離縁成立時の年齢を算出すること
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢,同様離縁成立日における年齢,双方入力がない場合は受領日の年齢)

・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること

・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

第7 2 (5)	システム環境仕様	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/92

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)養子離縁届の内容を入力する。
(2)養子離縁届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子離縁届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子離縁届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する。
(6)入力確認(養子離縁届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック
    - 1.1 関連チェック(条件設定表)
  - 2.0 関連チェック
    - 2.1 関連チェック(表示設定後)
  - 3.0 審査(関連審査補完)
    - 3.1 離縁の準拠法確定
      - 3.1.1 日本法での離縁
        - 3.1.1.1 15歳未満の離縁
        - 3.1.1.2 未成年の離縁
      - 3.1.2 外国法での離縁
    - 3.2 離縁種別の確認
    - 3.3 戸籍異動の確認
      - 3.3.1 養子-養親異動
      - 3.3.2 養女-養親異動
      - 3.3.3 養子夫婦-養親異動
  - 4.0データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/92

処理名	0.0 本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する			/	「届出メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)			/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/	
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)	[2.0]	/	
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/	
	(6)審査(OK:YES,NG:NO)	[3.0]	/	
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/	
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	⟶			(14)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶			(15)届出選択に制御を渡す
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)		/	
	YES (17)前ページ分の入力画面(養子離縁)を編集する			(18)同画面を編集する
	NO (19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)		/	
	YES (21)次ページ分の入力画面(養子離縁)を編集する			(22)同画面を編集する
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押されました」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1/7)	養子離縁届(離縁形態入力画面) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	以上から1つ	英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無,1:親権者指定届,2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議,2:調停,3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父,002:母,010:養父,011:養母)であること			
11	同時親権者届出人資格		数字	(001:父,002:母,010:養父,011:養母)であること			
11-1	同時親権者届出人の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権者届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権者届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権者届出人本籍		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(2/7)	養子離縁(その1)　1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
14	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
15	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	発送元		漢字				
18	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
19	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	本非区分	○	数字	(1:本籍分届,2:非本籍分届)であること			
21	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	報告区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
23	養子の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
24	養子の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
25	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
26	養子の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
27	養子のカナ氏名		カナ				
28	養子の漢字氏名		漢字				
29	養子の本･国籍		漢字				
30	養子の住所		漢字				
31	養子の筆頭者		漢字				
32	養子の世帯主		漢字				
33	養子の父氏名		漢字				
34	養子の母氏名		数字				
35	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
36	養子の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
37	養子の配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,3:生存配偶者)であること			
38	養女の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
39	養女の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(3/7)	養子離縁(その1)　2/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
40	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
41	養女の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
42	養女のカナ氏名		カナ				
43	養女の漢字氏名		漢字				
44	養女の本･国籍		漢字				
45	養女の住所		漢字				
46	養女の筆頭者		漢字				
47	養女の世帯主		漢字				
48	養女の父氏名		漢字				
49	養女の母氏名		漢字				
50	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			
51	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
52	養女の配偶者区分		数字	(0:未,2:妻,3:生存配偶者)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(4/7)	養子離縁(その2)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	養父の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
54	養父の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
55	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
56	養父の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
57	養父のカナ氏名		カナ				
58	養父の漢字氏名		漢字				
59	養父の本･国籍		漢字				
60	養父の筆頭者		漢字				
61	養父の住所		漢字				
62	養父の世帯主		漢字				
63	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法,1:日本法以外)であること			
64	養母の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
65	養母の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
66	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
67	養母の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
68	養母のカナ氏名		カナ				
69	養母の漢字氏名		漢字				
70	養母の本･国籍		漢字				
71	養母の筆頭者		漢字				
72	養母の住所		漢字				
73	養母の世帯主		漢字				
74	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法,1:日本法以外)であること			
75	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない1:婚姻中である)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	9/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(5/7)	養子離縁(その3)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
76	離縁の種別	○	数字	(1:協議,2:調停,3;審判,4:判決,5:和解,6:認諾)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
77	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む),2:養親)であること			
78	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
79	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁の方式		漢字				
82	外国裁判所名		漢字				
83	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父,011:養母,012:養父母,013:養子,014:養子夫婦,077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
84	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍を編製する,3:戸籍に変動がない)であること			
85	氏区分		数字	(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏を兼ねる届),3;新しい氏)であること			
86	届後本籍		漢字				
87	届後戸籍の筆頭者		漢字				
88	戻る戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
89	届後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未,3:生存配偶者)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	10/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チエック表(6/7)	養子離縁(その4)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
90	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父,002:母, 010:養父,011:養母,016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母,023:親権者となるべき父, 024:親権者となるべき母,026:親権者となるべき養父, 027:親権者となるべき養母,078:特別代理人, 110:未成年後見人,111:未成年後見人となるべき者)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
91	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
92	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
93	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
94	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
95	15歳未満の届出人氏名2		漢字				
96	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
97	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	11/92

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(7/7)	養子離縁(その5) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
98	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
99	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
100	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻)であること			
101	配偶者カナ氏名		カナ				
102	配偶者漢字氏名		漢字				
103	配偶者父氏名		漢字				
104	配偶者母氏名		漢字				
105	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
106	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
107	配偶者住所		漢字				
108	離縁後変更養父氏名		漢字				
109	離縁後変更養母氏名		漢字				
110	親権移記親権者区分		数字	(001:父,002:母,010:養父,011:養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/92

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定(1/2)	養子離縁(離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
	以降,審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 1とする 『養子と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 2とする 『養子と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.2)〔養子と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 3とする 『養子と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 4とする 『養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 5とする 『養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 6とする 『養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 7とする 『養子夫婦と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 8とする 『養子夫婦と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 9とする 『養子と養父及び養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 10とする 『養子と養父及び養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕 かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 11とする 『養子と養父及び養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と義母　かつ　養女と養父の離縁
12	(No.2)〔養子と養母区分〕 かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 12とする 『養子と養母及び養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/92

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定(2/2)	養子離縁(離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
13	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.2)〔養子と養母区分〕 かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 13とする 『養子と養父母及び養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.2)〔養子と養母区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 14とする 『養子と養父母及び養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕 かつ (No.2)〔養子と養母区分〕 かつ (No.3)〔養女と養父区分〕 かつ (No.4)〔養女と養母区分〕 の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 15とする 『養子夫婦と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(1/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		入力がある場合に,外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
5	離縁形態区分 ＝ 5(養女と養母の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養母の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペース　であること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)　の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.53)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペース　であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
9	離縁形態区分 ＝ 9 (養子と養父 かつ養女と養母の離縁)　または 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父 かつ養女と養父母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母 かつ養女と養父の離縁)　または 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母 かつ養女と養父母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母 かつ養女と養父の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母 かつ養女と養母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合, (No.23)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.38)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.53)養父の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.64)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
10	(No5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合, (No.6)親権･未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ≠ スペース かつ (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.92)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ＝ スペース かつ (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ (No.93)15歳未満の届出人国籍1であること			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合, (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース かつ (No.10)同時親権者の資格 ≠ スペースであること			
15	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判)の場合, (No11)同時親権届出人資格 ＝ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
17	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) または 011(養母)であること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) または 010(養父)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	16/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) または 011(養母) であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
20	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父) または 010(養父) であること			
21	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合, 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名 であること			
22	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合, 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名 であること			
23	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合, 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.33)養子の父氏名 であること			
24	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合, 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.34)養子の母氏名 であること			
25	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合, 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名 であること			
26	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合, 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名 であること			
27	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 001(父)の場合, 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.48)養女の父氏名 であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母)の場合, 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ (No.49)養女の母氏名 であること			
29	(No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) または 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること			
30	(No.10)同時親権者資格 ＝ 002(母)の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) または 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること			
31	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) または 010(養父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	17/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母) または 011(養母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
33	(No.16)送付日 ＝ スペースのとき,(No.17)発送元 ＝ スペース であること			
34	(No.16)送付日 ≠ スペースのとき,(No.17)発送元 ≠ スペース であること			
35	(No.16)送付日 ≠ スペースのとき,(No.16)送付日 ≧ (No15)受領日 であること			
36	(No.16)送付日 ＝ スペースのとき,(No.18)在外送付区分 ＝ 0(受理分) であること			
37	(No.17)発送元 ≠ スペースのとき,(No.18)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外) であること			
38	(No.17)発送元 ≠ スペース かつ,(No.17)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.18)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) であること			
39	(No.17)発送元 ≠ スペースのとき,(No.17)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.18)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) または (No.18)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由) であること			
40	(No.19)処理日 ≠ スペースのとき,(No.19)処理日 ＞ (No15)受領日 であること			
41	(No.21)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.16)送付日 ＝ スペース であること			
42	(No.21)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.21)郵送日 ≦ (No.15)受領日 であること			
43	(No.20)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき, (No.24)養子の本非区分 ＝ 1 または (No.38)養女の本非区分 ＝ 1 または (No.54)養父の本非区分 ＝ 1 または (No.64)養母の本非区分 ＝ 1 または (No.86)届後本籍 ＝ 管内本籍地 であること			(No.20)本非区分は養子離縁届の本非区分と位置付ける。 親権・未成年後見届は関係しない。
44	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)のとき, (No.24)養子の本非区分 ＝ 2 かつ(No.39)養女の本非区分 ＝ 2 かつ (No.54)養父の本非区分 ＝ 2 かつ(No.65)養母の本非区分 ＝ 2 かつ (No.86)届後本籍 ＝ 管外本籍地 であること			
45	(No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合, (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペース であること			
45-1	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No80)離縁成立日 ＝ スペースの場合, (No.22)報告区分 ＝ 1(創設的届出) であること			
45-2	(No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合, (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No80)離縁成立日 ≠ スペース) または (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾) であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	18/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
46	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No80)離縁成立日 ≠ スペースの場合, (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		外国の方式による離縁の入力チェック
47	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾)の場合, (No.22)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(5/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	養子に入力がある場合, (No.23)養子の外国人区分 かつ (No.24)養子の本非区分 かつ (No.25)養子の生年月日 かつ (No.26)養子の生死区分 かつ (No.27)養子のカナ氏名 かつ (No.28)養子の漢字氏名 かつ (No.29)養子の本･国籍 かつ (No.35)養子の父母との続柄コードに入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		養子に入力がある場合の必須入力項目
49	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.25)養子の生年月日 ＝ (和暦) かつ(No.29)養子の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.31)養子の筆頭者 ≠ スペース かつ(No.36)養子の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.37)養子の配偶者区分 ≠ スペース であること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
50	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) の場合, (No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.25)養子の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.29)養子の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.31)養子の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ スペース であること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
51	(No.24)養子の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合,(No.29)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
52	(No.24)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.29)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍地 であること			
53	養父に入力がある場合,(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
54	養父に入力がある場合,(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.26)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)または3(審判)または4(判決)または5(和解)または6(認諾) かつ (No.83)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
55	(No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未以上) ≦ (No.14)受領日 の場合,(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
56	(No.30)養子の住所 ＝ スペース の場合,(No.32)養子の世帯主 ＝ スペース であること			
57	(No.32)養子の世帯主 ≠ スペース の場合,(No.30)養子の住所 ≠ スペースであること			
58				
59				単体チェックと同じため

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(6/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60	(No.36)養子の筆頭者区 ＝ 1(筆頭者) の場合,(No.28)養子の漢字氏名 ＝ (No.31)養子の筆頭者 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
60-1	(No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) の場合, (No.28)養子の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.31)養子の筆頭者氏名の「氏」 であること			
61	養女に入力がある場合, (No.38)養女の外国人区分 かつ (No.39)養女の本非区分 かつ (No.40)養女の生年月日 かつ (No.41)養女の生死区分 かつ (No.42)養女のカナ氏名 かつ (No.43)養女の漢字氏名 かつ (No.44)養女の本･国籍 かつ (No.50)養女の父母との続柄コードに入力があること			養女に入力がある場合の必須入力項目
62	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.40)養女の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.44)養女の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.52)養女の配偶者区分 ≠ スペース であること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
63	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) の場合, (No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.40)養女の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.44)養女の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.46)養女の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ スペース であること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
64	(No.39)養女の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合,(No.44)養女の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
65	(No.39)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.44)養女の本･国籍 ＝ 管外本籍地 であること			
66	養父に入力がある場合,(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
67	養父に入力がある場合,(No.63)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.74)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.41)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停)または3(審判)または4(判決)または5(和解)または6(認諾) かつ (No.82)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) の場合, (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
68	(No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日 の場合,(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
69	(No.45)養女の住所 ＝ スペース の場合,(No.47)養女の世帯主 ＝ スペース であること			
70	(No.47)養女の世帯主 ≠ スペース の場合,(No.45)養女の住所 ≠ スペースであること			
71				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	21/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(7/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
72		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		単体チェックと同じためカット
73	(No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) の場合, (No.43)養女の漢字氏名 ＝ (No.46)養女の筆頭者 であること			
73-1	(No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) の場合, (No.43)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.46)養女の筆頭者氏名の「氏」 であること			
74	養子と養女の双方に入力がある場合 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) のとき、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
75	養子と養女の双方に入力がある場合 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) のとき、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
75-1				
76	養子または養女の片方だけに入力がある場合 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき、 (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペース であること			
77	養子または養女の片方だけに入力がある場合 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ(No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき、 (No.98)配偶者外国人区分 ≠ スペース であること			

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(8/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
78	養父に入力がある場合, (No.53)養父の外国人区分 かつ (No.54)養父の本非区分 かつ (No.55)養父の生年月日 かつ(No.56)養父の生死区分 かつ (No.57)養父のカナ氏名 かつ(No.58)養父の漢字氏名 かつ (No.59)養父の本･国籍 かつ(No.63)養父の縁組成立法区分に入力があること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		養父に入力がある場合の必須入力項目
79	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.55)養父の生年月日 ＝ (和暦) かつ(No.59)養父の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ≠ スペース であること			西暦で入力されても和暦に変換されれば
80	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) の場合, (No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.55)養父の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.59)養父の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ スペース であること			和暦で入力されても西暦に変換されれば
80-1	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の氏であること			
81	(No.54)養父の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合,(No.59)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
82	(No.54)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.59)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍地 であること			
83	(No.61)養父の住所 ＝ スペース の場合,(No.62)養父の世帯主 ＝ スペース であること			
84	(No.62)養父の世帯主 ≠ スペース の場合,(No.61)養父の住所 ≠ スペースであること			
85	養母に入力がある場合, (No.64)養母の外国人区分 かつ(No.65)養母の本非区分 かつ (No.66)養母の生年月日 かつ(No.67)養母の生死区分 かつ (No.68)養母のカナ氏名 かつ(No.69)養母の漢字氏名 かつ (No.70)養母の本･国籍 かつ(No.74)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
86	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.66)養母の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ≠ スペース であること			西暦で入力されても和暦に変換されれば
87	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) の場合, (No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.66)養母の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.70)養母の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.71)養母の筆頭者 ＝ スペース であること			和暦で入力されても西暦に変換されれば
87-1	(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.69)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.71)養母の筆頭者氏名の氏であること			
88	(No.65)養母の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合,(No.70)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地 であること			
89	(No.65)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ(No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合, (No.70)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地 であること			
90	(No.72)養母の住所 ＝ スペース の場合,(No.73)養母の世帯主 ＝ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	23/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(8-1/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
91	(No.73)養母の世帯主 ≠ スペースの場合,(No.72)養母の住所 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
91-1				
92	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.77)離縁の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ＝ スペース であること			

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(9/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
93	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.79)離縁許可日 ≠ スペース の場合, (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.82)外国裁判所名 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		外国方式での離縁 外国の裁判所で協議された離縁
94				
95	(No.76)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ(No.80)離縁成立日 ≠ スペース の場合, (No.81)離縁の方式 または (No.82)外国裁判所名 のいずれか一方に入力があること			
95-1	(No.81)離縁の方式 ≠ スペース の場合,(No.80)離縁成立日 ≠ スペース であること			
95-2	(No.82)外国裁判所名 ≠ スペース の場合,(No.80)離縁成立日 ≠ スペース であること			
96				
97	(No.76)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾) の場合, (No.77)離縁の申立人区分 ≠ スペース かつ (No.78)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.79)離縁許可日 ＝ スペース かつ (No.80)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペース であること			
98				
99	(No.78)裁判確定日 ≦ (No.15)受領日 であること			
100	(No.79)離縁許可日 ≦ (No.15)受領日 であること			
101	(No.80)離縁成立日 ≦ (No.15)受領日 であること			
102	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3 の場合, (No.25)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			15歳未満の届出人がいる場合は,資格1が必須入力項目
103	(No.83)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6 の場合, (No.40)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
104	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) の場合, (No.85)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏) または 2(実方の氏(復氏を兼ねる届)) かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.88)戻る戸籍での筆頭者区分 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(10/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
105	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍を編製する)　の場合, (No.85)氏区分 ≠ スペース　かつ (No.86)届後本籍 ≠ スペース　かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ≠ スペース　かつ (No.88)戸る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
106	(No.84)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)　の場合, (No.85)氏区分 ＝ スペース　かつ　(No.86)届後本籍 ＝ スペース　かつ (No.87)届後戸籍の筆頭者 ＝ スペース　かつ (No.88)戸る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペース　であること (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ＝ スペース　であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(11/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
107	養子に入力がある場合 (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)　または　3(生存配偶者)　かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)　または　2(新戸籍を編成する)　の場合, (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
108	養女に入力がある場合 (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)　または　3(生存配偶者)　かつ (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)　または　2(新戸籍を編成する)　の場合, (No.89)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペース　であること			
109	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース　の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2　～ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2　までがすべてスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は,資格1が必須入力項目
110	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　の場合, (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース　かつ (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース　かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日 ＝ スペース　であること			
111	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース　の場合, (No.92)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース　であること			
112	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース　の場合, (No.95)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペース　であること			
113	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)～011(養母)　の場合, (No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース　かつ (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦　であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
114	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペース　の場合, (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ スペースであること			
115	(No.93)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース　の場合, (No.94)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦　であること			
116	(No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父)～011(養母)　の場合, (No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース　かつ (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦　であること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
117	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース　の場合, (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペース　であること			
118	(No.96)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース　の場合, (No.97)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ 西暦　であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	27/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(12/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
119	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) または 111(未成年後見人となるべき者) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
120	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 011(養母) または 017(親権者母) または 020(親権者養母) または 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペース であること			
121	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 010(養父) または 016(親権者父) または 019(親権者養父) または 023(親権者となるべき父) または 026(親権者となるべき養父) または スペース であること			
122	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 011(養母) または 017(親権者母) または020(親権者養母) または 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペース であること			
123	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または010(養父) または 016(親権者父) または019(親権者養父) または 023(親権者となるべき父) または026(親権者となるべき養父) または スペース であること			
124	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) または020(親権者養母) または スペース であること			
125	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) または019(親権者養父) または スペース であること			
126	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) または020(親権者養母) または スペースであること			
127	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) または019(親権者養父) または スペース であること			
128	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) または027(親権者となるべき養母) または スペース であること			
129	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母) の場合, (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) または026(親権者となるべき養父) または スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	28/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(13/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
130	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) の場合 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
131	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母) の場合 (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) または 026(親権者となるべき養父) または スペース であること			
132				
133				
134				
135				
136				
137				
138				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	29/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(14/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
139		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
140	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) または 111(未成年後見人となるべき者) の場合, (No.5)同時届区分 ＝ 0(無)または 2(未成年後見開始届)であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	30/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(15/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
141	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.101)配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.102)配偶者漢字氏名 ≠ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
142	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.99) 配偶者筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.105)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.106)配偶者生年月日 ＝ 和暦 であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
143	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) であること			
144	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.51)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) であること			
145	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) であること			
146	(No.98) 配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.99) 配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) の場合、 (No.36)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男) ～ 29(十九男) であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女) ～ 49(十九女) であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	31/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(16/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	挿入場所	備考
151	(No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース または (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペース の場合, (No.84)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る) または 2(新戸籍を編製する) であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3の場合, (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6の場合, (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) であること			R2.1(離縁109) 改正前のチェック
154				No.213に変更
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3の場合, (No.23)養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.37)養子の配偶者区分 = 0(未) であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック
156	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.110)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 4 または 5 または 6の場合, (No.38)養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.40)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.52)養女の配偶者区分 = 0(未) であること			R2.1(離縁109) 改正後のチェック

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	32/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(17/18)	養子離縁 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	挿入場所	備考
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届) の場合, (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」	No.14の後	追加分は No.200からスタートする
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合, (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地 であること		No.201～ No.208は No.16の後	
202	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍) の場合, (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地 であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍 の場合, (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦 であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 国籍 の場合, (No.5-2)親権・未成年後見人生年 ＝ 西暦 であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍) の場合, (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地 であること			
206	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍) の場合, (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地 であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍 の場合, (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦 であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍 の場合, (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦 であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.26)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合, (No.37)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.110)親権移記親権者区分 ＝ スペース であること		No.54の後	
210	(No.41)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合, (No.52)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No. 5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.110)親権移記載権者区分 ＝ スペース であること		NO.67の後	

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	33/92

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(18/18)	養子離縁(養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.23)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.38)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)のとき、 (No.27)養子のカナ氏名の氏 ＝ (No.42)養女のカナ氏名の氏 かつ (No.28)養子の漢字氏名の氏 ＝ (No.43)養女の漢字氏名の氏 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」	No.75の後	養子･養女が日本人のときは同一戸籍であること
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.56)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) または (No.67)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)のとき、 (No.75)養母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない) であること		No.91の後	
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.64)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.75)養母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中) のとき、 (No.57)養父のカナ氏名の氏 ＝ (No.68)養母のカナ氏名の氏 かつ (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.69)養母の漢字氏名の氏 かつ (No.59)養父の本国籍 ＝ (No.70)養母の本国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 ＝ (No.71)養母の筆頭者 であること			養父･養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格 ＝ 10(養父) または 11(養母) の場合 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース または (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペース であること			
215	(No.110)親権移記親権区分 ＝ 10(養父) または 11(養母) の場合 (No.108)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース または (No.109)離縁後変更養母氏名 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/92

処理名	画面名	画面ID	
2.1　表示設定その1　(1/1)	養子離縁(離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
	以降,養子離縁画面(離縁形態入力画面)で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより,このページを削除する
1	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペース　の場合, 『父』と表示する	
2	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペース　の場合, 『母』と表示する,	
3	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペース　の場合, 『養父』と表示する	
4	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ スペース　の場合, 『養母』と表示する	
5	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)　の場合, 『父母』と表示する	
6	(No.10)同時親権者区分 ＝ 001(父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)　の場合, 『父及び養母』と表示する	
7	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 001(父)　の場合, 『父母』と表示する	
8	(No.10)同時親権者区分 ＝ 002(母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)　の場合, 『養父及び母』と表示する	
9	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 002(母)　の場合, 『養父及び母』と表示する	
10	(No.10)同時親権者区分 ＝ 010(養父)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)　の場合, 『養父母』と表示する	
11	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 011(養母)　の場合, 『養父母』と表示	
12	(No.10)同時親権者区分 ＝ 011(養母)　かつ　(No.12)同時親権届出人区分 ＝ 010(養父)　の場合, 『養父母』と表示	

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定その2(1/3)	養子離縁(その4画面)		

No	内容	備考
	以降,養子離縁画面(その4画面)で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合, 『父』と表示する	同様資格2がスペースの場合は,資格1のコード内容をそのまま表示 111は『未成年後見人となるべき者』と表示する
2	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合, 『父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合, 『父及び養母』と表示する	同上
4	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合, 『父及び親権者母』と表示する	同上
5	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合, 『父及び親権者養母』と表示する	同上
6	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合, 『父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
7	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合, 『父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
8	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合, 『養父及び母』と表示する	同上
9	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合, 『親権者父及び母』と表示する	同上
10	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合, 『親権者養父及び母』と表示する	同上
11	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合, 『親権者となるべき父及び母』と表示する	同上
12	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合, 『親権者となるべき養父及び母』と表示する	同上

処理名	画面名	画面ID	
2.1　表示設定その2　(2/3)	養子離縁(その4画面)		

No	内容	備考
13	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　の場合, 『養父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
14	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　の場合, 『養父及び親権者母』と表示する	同上
15	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　の場合, 『養父及び親権者養母』と表示する	同上
16	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　の場合, 『養父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
17	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『養父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
18	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　の場合, 『親権者父及び養母』と表示する	同上
19	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)　の場合, 『親権者養父及び養母』と表示する	同上
20	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　の場合, 『親権者となるべき父及び養母』と表示する	同上
21	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)　の場合, 『親権者となるべき養父及び養母』と表示する	同上
22	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　の場合, 『親権者父母』と表示する	同上
23	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　の場合, 『親権者父及び親権者養母』と表示する	同上
24	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)　の場合, 『親権者養父及び親権者母』と表示する	同上
25	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)　の場合, 『親権者養父母』と表示する	同上

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/92

処理名	画面名	画面ID	
2.1　表示設定その2　(3/3)	養子離縁(その4画面)		

No	内容	備考
26	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　の場合, 『親権者となるべき父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
27	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『親権者となるべき父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
28	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)　の場合, 『親権者となるべき養父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
29	(No.90)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　かつ (No.91)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『親権者となるべき養父母』と表示する	同上

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	38/92

処理名	3.0 関連審査補完 (1/6)			備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/	
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示		/	
	YES	(0-2)→(0-5)へ	/	
	NO	→	(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ		/	
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) または (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) または (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) または (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)			/	R2.1(離縁112)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示		(0-7)本紙へ	R2.1(離縁112)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示	(0-10)本紙へ	R2.1(離縁112) 画面項目修正(審査完了しない)
	NO	(0-9)→		R2.1(離縁112)
NO	(0-11)→(1)		/	R2.1(離縁112)
(1)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)			/	離縁の成立した日が旧国籍法当時の場合は、国籍の得喪がからむので、審査結果入力で 処理する 現行の国籍法の施行日は昭和25年7月1日(ただし、平和条約の発効に伴う国の場合は
YES	(2)裁判確定日 < 昭和25年7月1日である (YES,NO)		/	
	YES	(3)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示	(4)本紙へ	
	NO	(5)裁判確定日 < 昭和27年4月28日である (YES,NO)	/	
		YES (6) → (21)へ	/	
		NO (7) → (25)へ	/	
NO	(8)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)		/	
	YES	(9)離縁成立日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)	/	
		YES (10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示	(11)本紙へ	
		NO (12)離縁成立日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/	
		YES (13) → (21)へ	/	
		NO (14) → (25)へ	/	
	NO	(15)受領日 < 昭和25年7月1日 である(YES,NO)		
		YES (16)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示	(17)本紙へ	
		NO (18)受領日 < 昭和27年4月28日 である(YES,NO)	/	
		YES (19) → (21)へ	/	
		NO (20) → (25)へ	/	
(21)確認メッセージ「平和条約発効に該当する国ですか。」を表示(YES,NO)			(22)本紙へ	
YES	(23)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
NO	(24) → (25)へ		/	養子・養女の双方に入力がある場合,本位捨て無で処理可能な条件。
(25)離縁形態区分 ＝ 7～15 のいずれかである(YES,NO)			/	

YES	(26)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		・片方または双方が15歳未満でないこと ・双方生存者の場合は夫婦であること ・双方が死亡者の場合は、養子･養女は同一戸籍であること(生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わない離縁届で正当な届は、審査結果入力で処理する。
	YES	(27)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。		(28)本紙へ	
	NO	(29)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	39/92

処理名		3.0 関連審査補完 (1-1/6)				備考
		YES	(30)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。		(31)本紙へ	
		NO	(32)→ (33)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	40/92

処理名	3.0 関連審査補完 (2/6)								備考
	(33)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)							/	
	YES	(34)養子の本籍 ＝ 養女の本籍 かつ 養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者 である(YES,NO)						/	養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)
		YES	(35)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)					/	
			YES	(36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)				/	
				YES	(37) → (49)へ			/	双方生存で夫婦であれば次の処理へ
				NO	(38)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				双方生存で夫婦でなければエラー
			NO	(40)確認メッセージ 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)					養子養女の一方または双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
		NO	(41)エラーメッセージ 「養子･養女が同一戸籍にいません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する						双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー
	NO	(42)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)						/	片方または双方が外国人の場合
		YES	(43)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)					/	
			YES	(44) → (49)へ				/	双方生存で夫婦であれば次の処理へ
			NO	(45)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する					双方生存で夫婦でなければエラー
		NO	(46)確認メッセージ 「養子と養女は婚姻していましたか」を表示する (応答後(49)へ)						養子養女の一方または双方が死亡している場合、同一戸籍で婚姻していた事実があれば次の処理へ
NO	(48) → (49)へ							/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	41/92

処理名	3.0　関連審査補完　(3/6)			備考
(49)離縁形態区分 ＝ 1　または　3　または　7　または　9　または 10　または　13　または　14　または　15　である　(YES,NO)		/		
YES	(50)養子の生年月日 ＜ 養父の生年月日　である(YES,NO)	/		養子が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって,無効要件ではない)
YES	(51)確認メッセージ「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(54)へ)		(52)本紙へ	
NO	(53) → (54)へ	/		
(54)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
YES	(55)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(56)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
NO	(57) → (59)へ	/		
NO	(58) → (59)へ	/		
(59)離縁形態区分 ＝ 4　または　6　または　7　または　10　または 11　または　12　または　13　または　15　である　(YES,NO)		/		
YES	(60)養女の生年月日 ＜ 養父の生年月日　である(YES,NO)	/		
YES	(61)確認メッセージ「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(64)へ)		(62)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって,無効要件ではない)
NO	(63) → (64)へ	/		
(64)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
YES	(65)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(66)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
NO	(67) → (69)へ	/		
NO	(68) → (69)へ	/		
(69)離縁形態区分 ＝ 2　または　3　または　8　または　11　または 12　または　13　または　14　または　15　である　(YES,NO)		/		
YES	(70)養子の生年月日 ＜ 養母の生年月日　である(YES,NO)	/		
YES	(71)確認メッセージ「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(74)へ)		(72)本紙へ	養子が養母より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって,無効要件ではない)
NO	(73) → (74)へ	/		
(74)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)		/		
YES	(75)エラーメッセージ「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(76)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
NO	(77) → (79)へ	/		
NO	(78) → (79)へ 10　または　12　または　14　または　15　である(YES,NO)	/ /		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	1	42/92

処理名	3.0 関連審査補完 (4/6)								備考
(79)離縁形態区分 ＝ 5 または 6 または 8 または 9 または 10 または 12 または 14 または 15 である(YES,NO)							/		
YES	(80)養女の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)						/		
	YES	(81)確認メッセージ 「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する(応答後(85)へ)						(82)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805) (取消要件であって,無効要件ではない)
	NO	(83)→(85)へ					/		(84)は欠番
	(85)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)かつ養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)						/		
	YES	(86)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する						(87)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない (民811の範囲外)
	NO	(88)→(89)へ					/		
NO	(88)→(89)へ						/		
(89)離縁形態区分 ＝ 9～15のいずれかである(YES,NO)							/		
YES	(90)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)または養女の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)						/		
	YES	(91)養父の生死区分 ＝ 1(死亡)または養母の生死区 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)					/		
		YES	(92)エラーメッセージ 「養子及び養親の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい」を表示する					(93)本紙へ	養子の一方及び養親の一方が死亡者の離縁届が1通処理可能な場合は審査結果入力とする
		NO	(94)→(95)へ				/		
	NO								
NO									
(95)離縁形態区分 ＝ 1～3または7～15のいずれかである(YES,NO)							/		
YES	(96)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)						/		
	YES	(97)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)					/		
		YES	(98)→(101)へ				/		
		NO	(99)エラーメッセージ 「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する					(100)本紙へ	民811①
		(101)					/		(101)～(104)は削除
			(102)				/		
				(103)				(104)	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	43/92

処理名	3.0 関連審査補完 (5/6)				備考
			/		
	NO	(105)→(106)へ			
NO					
(106)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(107)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
	YES	(108)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)	/		
		YES (109)→(112)へ	/		
		NO (110)エラーメッセージ 「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する		(111)本紙へ	民811①
		(112)	/		(112)～(115)は削除
		(113)			
		(114)		(115)	
			/		
			/		
	NO	(116)→(117)へ			
NO					
(117)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 4 または 6 または 7 または 9～1 5のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(118)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
	YES	(119)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/		
		YES (120)→(123)へ	/		
		NO (121)確認メッセージ 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(128)へ)		(122)本紙へ	民811①
		(123)	/		(123)～(126)は削除
		(124)			
		(125)		(126)	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	44/92

処理名		3.0 関連審査補完 (6/6)			備考
			/		
	NO	(127)→(128)へ			
NO					
(128)離縁形態区分 ＝ 2 または 3 または 5 または 6 または 8～15 のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(129)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
	YES	(130)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/		
		YES (131)→(139)へ	/		
		NO (132)確認メッセージ 「養母と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(139)へ)		(133)本紙へ	民811①
		(134)	/		(134)～(137)は削除
		(135)			
		(136)		(137)	
			/		
			/		
	NO	(138)→(139)へ			
NO					
(139)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)			/		
YES	(140)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)		/		
	YES	(141)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(142)本紙へ	
	NO	(143)→(144)へ	/		
NO					
(144)離縁の準拠法確定 [3.1]			/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	1	45/92

処理名	3.1 離縁の準拠法確定 (1/3)					備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 4 または 6 または 7 または 9～15 のいずれかである(YES,NO)					/	離縁は縁組当時の養親の本国法が適用されるので、そのチェックを行う。(法例20②) 養親の本国(外交)法で成立した縁組の離縁については、システム審査が出来ないので、目検で審査する。
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/	
	YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/	
		YES	(4) → (12)へ		/	
		NO	(5)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(12)へ)		/	~~(6)本紙へ~~
	NO	(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/	
		YES	(8)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(12)へ)		/	~~(9)本紙へ~~
		NO	(10) → (12)へ		/	
NO	(11) → (12)へ				/	
(12)離縁形態区分 ＝ 2 または 3 または 5 または 6 または 8～15 のいずれかである(YES,NO)					/	
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/	
	YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/	
		YES	(15) → (23)へ		/	
		NO	(16)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(23)へ)		/	~~(17)本紙へ~~
	NO	(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)			/	
		YES	(19)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(23)へ)		/	~~(20)本紙へ~~
NO	(22) → (23)へ				/	
(23)離縁形態区分?					/	
1	(24)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/	
	YES	(25)離縁の方式 ≠ スペース または 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO			/	
		YES	(26)エラーメッセージ 「養子、養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する			(27)本紙へ

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/92

処理名		3.1　離縁の準拠法確定　(2/3)			備考
		NO	(28) → (58)へ	/	
	NO				
2	(29)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/	
	YES	(30)離縁の方式 ≠ スペース　または　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/	
		YES	(31)エラーメッセージ 「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(32)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(32) → (58)へ	/	
	NO				
3	(33)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/	
	YES	(34)離縁の方式 ≠ スペース　または　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/	
		YES	(35)エラーメッセージ 「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(36)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(37) → (58)へ	/	
	NO				
4	(38)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/	
	YES	(39)離縁の方式 ≠ スペース　または　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/	
		YES	(40)エラーメッセージ 「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(41)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(42) → (58)へ	/	
	NO				
5	(43)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/	
	YES	(44)離縁の方式 ≠ スペース　または　外国裁判所名 ≠ スペース　である(YES,NO)		/	
		YES	(45)エラーメッセージ 「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(46)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO	(47) → (58)へ	/	
	NO				
6	(48)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)			/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	47/92

処理名		3.1 離縁の準拠法確定 (3/3)			備考
	YES	(49)離縁の方式 ≠ スペース または 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)	/		
		YES (50)エラーメッセージ「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(51)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO (52) → (58)へ	/		
	NO				
7～15	(53)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES, NO)		/		
	YES	(54)離縁の方式 ≠ スペース または 外国裁判所名 ≠ スペース である(YES,NO)	/		
		YES (55)エラーメッセージ「養子,養親とも外国人で外国で成立した届出を受理することはできません」を表示する		(56)本紙へ	事件本人がすべて外国人の外国で成立した届出は受理できない
		NO (57) → (58)へ	/		
	NO				
(58)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 4 または 6 または 7 または 9～15 のいずれかである(YES, NO)			/		
YES	(59)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES, NO)		/		
	YES	(60)日本法での離縁 [3.1.1]	/		
	NO	(61)外国法での離縁 [3.1.2]	/		
NO	(62)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES, NO)		/		
	YES	(63)日本法での離縁 [3.1.1]	/		
	NO	(64)外国法での離縁 [3.1.2]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	48/92

処理名	3.1.1　日本法での離縁　(1/1)						備考
(1)離縁形態区分?					/		
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
	YES	(3)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]			/		
	NO	(3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合, 裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 または 離縁成立日 ≠ スペースの場合, 離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 または 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合, 受領日 ≧ 2022年4月1日　である(YES,NO)			/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)
		YES	(3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)
			YES	(3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		R2.1(離縁109)
				YES (3-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)
				NO (3-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫または生存配偶者は成年, R2.1(離縁109)
			NO	(3-6)離縁種別の確認 [3.2]	/		R2.1(離縁109)
		NO	(4)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)		/		
					/		
					/		
					/		
					/		
			YES	(5)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)	/		
				YES (6)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
				NO (7)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫または生存配偶者は成年
			NO	(8)離縁種別の確認 [3.2]	/		
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)				/		
	YES	(10)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]			/		
	NO	(10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合, 裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 または 離縁成立日 ≠ スペースの場合, 離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 または 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合, 受領日 ≧ 2022年4月1日　である(YES,NO)			/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁109)

		YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		R2.1(離縁109)
			YES	(10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		R2.1(離縁109)
				YES	(10-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁109)
				NO	(10-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が妻または生存配偶者は成年, R2.1(離縁109)
			NO	(10-6)離縁種別の確認 [3.2]		/		R2.1(離縁109)
		NO	(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/		
						/		
						/		
						/		
						/		
			YES	(12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)		/		
				YES	(13)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
				NO	(14)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が妻または生存配偶者は成年
			NO	(15)離縁種別の確認 [3.2]		/		
7～15	(16)離縁種別の確認 [3.2]					/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	49/92

処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁　(1/3)				備考
(0)離縁形態区分?				/	
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/	
	YES	(0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/	
		YES	(0.3)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する		
			YES	(0.4)→(0.8)へ		
			NO	(0.5)→		(0.6)本紙へ	不受理
		NO	(0.7)→(0.8)へ			
	NO					
	(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/	
	YES	(0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/	
		YES	(0.9)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する		
			YES	(0.11)→(0.15)へ		
			NO	(0.12)→		(0.13)本紙へ	不受理
		NO	(0.14)→(0.15)へ			
	NO					
	(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/	
	YES	(0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/	
		YES	(0.17)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する		
			YES	(0.18)→(0.22)へ		
			NO	(0.19)→		(0.20)本紙へ	不受理
		NO	(0.21)→(0.22)へ			
	NO					
	(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/	
	YES	(0.23)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/	

処理名			3.1.1.1　15歳未満の離縁　(1/3)			備考
		YES	(0.24)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES	(0.25)→(1)へ			
			NO	(0.26)→		(0.27)本紙へ	不受理
		NO	(0.28)→(1)へ				
	NO						
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) または 016(親権者父)　または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/		
		YES	(0.31)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.32)→(0.36)へ			
			NO	(0.33)→		(0.34)本紙へ	不受理
		NO	(0.35)→(0.36)へ				
	NO						
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 016(親権者父)　または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)			/		
		YES	(0.38)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.39)→(0.43)へ			
			NO	(0.40)→		(0.41)本紙へ	不受理
		NO	(0.42)→(0.43)へ				
	NO						
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)				/		
	YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)			/		
		YES	(0.45)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する				
			YES	(0.46)→(0.50)へ			
			NO	(0.47)→		(0.48)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	51/92

処理名						備考
		NO	(0.49)→(0.50)へ			
	NO					
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		
		YES	(0.52)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.53)→(1)へ			
			NO (0.54)→		(0.55)本紙へ	不受理
		NO	(0.56)→(1)へ			
	NO					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	52/92

処理名	3.1.1.1　15歳未満の離縁　(1-2/3)			備考
(1)離縁形態区分?		/		
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)または養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)	/		養父単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES (3)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)	/	(4)本紙へ	
	YES (5)→(8.1)へ	/		
	NO (6)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(応答後(8.1)へ)		(7)本紙へ	
	NO (8)→(8.1)へ	/		
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/	(8.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常,養子の未成年後見人が届出人となる
	YES (8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
	YES (8.3)→(19.5)へ	/		
	NO (8.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)			
	NO (8.5)→(19.5)へ	/		
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)または養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)	/		養母単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES (10)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)	/	(11)本紙へ	
	YES (12)→(15.1)へ	/		
	NO (13)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(応答後(15.1)へ)		(14)本紙へ	
	NO (15)→(15.1)へ	/		
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/	(15.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常,養子の未成年後見人が届出人となる
	YES (15.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
	YES (15.3)→(19.5)へ	/		
	NO (15.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	53/92

処理名		3.1.1.1　15歳未満の離縁　(1-3/3)			備考
	NO	(15.5)→(19.5)へ	/		
3,6		(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	54/92

処理名		3.1.1.1 15歳未満の離縁 (2/3)			備考
	YES	(17)→(19.5)へ			
	NO	(18)確認メッセージ 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する(応答後(19.1)へ)		(19)本紙へ	
	(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)かつ養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/	(19.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常、養子の未成年後見人が届出人となる。
	YES	(19.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
		YES (19.3)→(19.5)へ	/		
		NO (19.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)			
	NO	(19.4.1)→(19.5)へ	/		
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)かつ離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1または養父の氏名 ＝ 届出人氏名2または養母の氏名 ＝ 届出人氏名1または養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)		/		養子離縁の利益相反審査
	YES	(19.7)確認メッセージ 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する(応答後(20)へ)			
	NO	(19.8)→(20)へ	/		
NO					
(20)15歳未満の届出人資格1または15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)または017(親権者母)または019(親権者養父)または020(親権者母)である(YES,NO)			/		
YES	(21)確認メッセージ 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			(22)本紙へ	現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(23)→(24)へ		/		
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			/		
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1または2または3である(YES,NO)		/		
	YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/		
		YES (27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
		YES (28)→(47)へ	/		
		NO (29)エラーメッセージ 「養子には未成年後見人がいません」を表示する		(30)本紙へ	後見事項がなければエラー

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	55/92

処理名			3.1.1.1 15歳未満の離縁 (3/3)			備考
		NO	(31)確認メッセージ 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
	NO	(32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)		/		
		YES	(33)養女の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
			YES (34)→(47)へ	/		
			NO (35)エラーメッセージ 「養子には後見人がいません」を表示する		(36)本紙へ	未成年後見事項がなければエラー
		NO	(37)確認メッセージ 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(38)→(39)へ			/		
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)				/		
YES	(40)確認メッセージ 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(41)本紙へ	未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(42)→(43)へ			/		
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)				/		
YES	(44)確認メッセージ 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)				(45)本紙へ	特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(46)→(47)へ			/		
(47)離縁形態区分 ＝ 3 または 6 である(YES,NO)				/		
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)					
	YES	(49)外国法での離縁 [3.1.2]		/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
	NO	(50)→(51)へ		/		
NO						
(51)離縁種別の確認 [3.2]				/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	56/92

処理名	3.1.1.2　未成年の離縁　(1/1)						備考
(1)離縁形態区分?						/	
1,4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)　である(YES,NO)					/	養父単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(3)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)					(4)本紙へ
		YES	(5)離縁種別の確認		[3.2]	/	
		NO	(6)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(YES,NO)				(7)本紙へ
			YES	(8)離縁種別の確認	[3.2]	/	
			NO	→　(応答後,離縁種別の確認[3.2]へ)			(9)本紙へ
	NO	(10)離縁種別の確認			[3.2]	/	
2,5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)　である(YES,NO)					/	養母単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES	(12)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)					(13)本紙へ
		YES	(14)離縁種別の確認		[3.2]	/	
		NO	(15)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(YES,NO)				(16)本紙へ
			YES	(17)離縁種別の確認	[3.2]	/	
			NO	→　(応答後,離縁種別の確認[3.2]へ)			(18)本紙へ
	NO	(19)離縁種別の確認			[3.2]	/	
3,6	(20)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)					/	
	YES	(21) → (24)へ				/	養父母が日本人で夫婦の場合は無条件OK
	NO	(22)確認メッセージ 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する(応答後(24)へ)					(23)本紙へ
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)					/	
	YES	(25)外国法での離縁			[3.1.2]	/	養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
	NO	(26)離縁種別の確認			[3.2]	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	57/92

処理名	3.1.2 外国法での離縁 (1/1)			備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) または 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) または 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) または 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) である(YES,NO)		/		
YES	(0.1)確認メッセージ 「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する(YES,NO)	/		
	YES (0.2)→(0.6)へ	/		
	NO (0.3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ	/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)		/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。	/		
	YES (0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する	/	(0.9)本紙へ	
	NO (0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。	/		
	YES (0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と未成年後見届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する	/	(0.13)本紙へ	
	NO (0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	58/92

処理名	3.1.2 外国法での離縁 (1-1/1)			備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 4 または 6 または 7 または 9 ～ 15 かつ養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			/	
YES	(2)確認メッセージ「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する(YES,NO)(応答後(4)へ)		/	(3)本紙へ
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/	
	YES	(5)確認メッセージ 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する(応答後(8)へ)		(6)本紙へ
	NO	(7)→(8)へ	/	報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3 または 6 または 9 ～ 15 である(YES,NO)		/	
	YES	(9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/	
		YES (10)→(14)へ	/	
		NO (11)日本法での離縁 [3.1.1]	/	
	NO	(12)離縁種別の確認 [3.2]	/	
NO	(13)→(14)へ		/	
(14)確認メッセージ「養母の要件具備証明書等がありますか」を表示する(応答後(16)へ)				(15)本紙へ
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)			/	
YES	(17)確認メッセージ 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する(YES,NO)			(18)本紙へ
	YES	(19)離縁種別の確認 [3.2]	/	
	NO	→(応答後,離縁種別の確認[3.2]へ)		(20)本紙へ
NO	(21)離縁種別の確認 [3.2]		/	報告的届出は確認メッセージ不要

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	59/92

処理名	3.2　離縁種別の確認　(1/6)			備考
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)			/	
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペース である(YES,NO)		/	
	YES	(3)離縁形態区分?	/	
		1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(5)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(6)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(7)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(9)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(10)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(11)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(13)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(14)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(15)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(17)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(18)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(19)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		5	(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		

処理名		3.2　離縁種別の確認　(2/6)					備考
			YES	(21)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(22)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(23)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(25)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(26)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(27)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(29)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(30)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(31)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
			YES	(33)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する 応答後(40)へ		(34)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(35)エラーメッセージ 「養子・養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		9～15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)			
			YES	(37)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(38)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	61/92

処理名						備考
		3.2 離縁種別の確認 (3/6)				
			NO	(39)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する		
		(40)戸籍異動の確認 [3.3]			/	
	NO	(41)離縁成立日 ≠ スペース である(YES,NO)			/	
		YES	(42)確認メッセージ 「離縁の証書が添付されでいますか。」を表示する (応答後(48)へ)		(43)本紙へ	戸41
						R2.1(離縁111)
						R2.1(離縁111)
						R2.1(離縁111)
			(48)戸籍異動の確認 [3.3]		/	
		NO	(49)→(50)		/	
		(50)離縁形態区分?				
		1	(51)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/	
			YES	(52)戸籍異動の確認 [3.3]	/	
			NO	(53)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(54)本紙へ
		2	(55)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/	
			YES	(56)戸籍異動の確認 [3.3]	/	
			NO	(57)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(58)本紙へ
		3	(59)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)		/	
			YES	(60)戸籍異動の確認 [3.3]	/	
			NO	(61)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(62)本紙へ

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	62/92

処理名		3.2　離縁種別の確認　(4/6)				備考
		4	(63)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(64)戸籍異動の確認　[3.3]	/	
			NO	(65)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(65)本紙へ
		5	(67)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(68)戸籍異動の確認　[3.3]	/	
			NO	(69)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(70)本紙へ
		6	(71)養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(72)戸籍異動の確認　[3.3]	/	
			NO	(73)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(74)本紙へ
		7	(75)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(76)戸籍異動の確認　[3.3]	/	
			NO	(77)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(78)本紙へ
		8	(79)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(80)戸籍異動の確認　[3.3]	/	
			NO	(81)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(82)本紙へ
		9～15	(83)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)		/	
			YES	(84)戸籍異動の確認　[3.3]	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	63/92

処理名				3.2 離縁種別の確認 (5/6)			備考
			NO	(85)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(86)本紙へ	
NO	(86-1)離縁確定日 ≠ スペースである(YES,NO)				/		
	YES	(86-2)養子の生死区分 = 1(死亡) または 養女の生死区分 = 1(死亡) または 養父の生死区分 = 1(死亡) または 養母の生死区分 = 1(死亡)である (YES,NO)			/		
		YES	(86-3)エラーメッセージ 「死亡者との離縁は、創設的届です。離縁種別は協議です。離縁許可日の入力が必要です。」を表示する			(86-4)本紙へ	死亡者との離縁は、死亡者に変わり裁判所が代行して協議する。審判書が添付されるため、報告的届出として処理することを防ぐための処理
		NO	(86-5)→(87)へ		/		
	NO						
	(87)確認メッセージ 「判決の謄本・確定証明書(調停・和解・認諾調書の謄本)が添付されていますね。」を表示する (応答後(90)へ)					(88)本紙へ	
					/		R2.1(離縁111)
		(90)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)			/		戸73(戸63①の準用),戸43
		YES	(91)→(100)へ		/		大4.1.14民事1805回答
		NO	(92)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示する(応答後(100)へ)			(93)本紙へ	戸規65
							R2.1(離縁111)
							R2.1(離縁111)
							R2.1(離縁111)
	(100)離縁の申立人区分 = 1(養子) である(YES,NO)				/		
	YES	(101)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 = 013(養子) または 014(養子夫婦) または 077(養子の離縁後の法定代理人) である(YES,NO)			/		
		YES	(102)戸籍異動の確認 [3.3]		/		
		NO	(103)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)		/		戸73(戸63②の準用),戸43,大4.1.14民事1805回答

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	64/92

処理名		3.2 離縁種別の確認 (5/6)					備考
			YES	(104)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する(YES,NO)		(105)本紙へ	
				YES (102)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
				NO (104)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(108)本紙へ	不受理
			NO	(109)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
	NO	(110)裁判及び外国式の離縁の届出入資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母) である(YES,NO)			/		
		YES	(111)戸籍異動の確認 [3.3]		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	65/92

処理名	3.2 離縁種別の確認 (6/6)					備考
	NO	(112)裁判確定日 + 10日 > 受領日 (YES,NO)		/		戸73(戸63②の準用),戸43
						大4.1.14民事1805回答
		YES	(113)エラーメッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する(YES,NO)		(114)本紙へ	
			YES (115)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO (116)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(117)本紙へ	不受理
		NO	(118)戸籍異動の確認 [3.3]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	66/92

処理名	3.3 戸籍異動の確認 (1/1)					備考
(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)				/		
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース 又は 養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-2)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
		YES	(0-3)→(0-13)へ	/		
		NO	(0-4)		(0-5)本紙へ	不受理
	NO	(0-6)義子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-7)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
			YES (0-8)→(0-13)へ	/		
			NO (0-9)		(0-10)本紙へ	不受理
		NO	(0-11)→(0→13)へ	/		
NO	(0-12)→(0-23)へ			/		
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/		
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース 又は 養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-15)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
		YES	(0-16)→(0-26)へ	/		
		NO	(0-17)		(0-18)本紙へ	不受理
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-20)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。 父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
			YES (0-21)→(0-26)へ	/		
			NO (0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
		NO	(0-25)→(0-26)へ	/		
NO	(0-25)→(0-26)へ			/		
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) である(YES,NO)				/		
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース 又は 配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)			/		
	YES	(0-28)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	67/92

処理名			3.3 戸籍異動の確認 (1-1/1)			備考
		YES	(0-29)→(1)へ	/		
		NO	(0-30)		(0-31)本紙へ	不受理
	NO	(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男) 又は 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES	(0-33)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
			YES (0-34)→(1)へ	/		
			NO (0-35)		(0-36)本紙へ	不受理
		NO	(0-37)→(1)へ	/		
NO	(0-38)→(1)へ			/		
(1)離縁形態区分?				/		
1～3	(2)養子-養親異動 [3.3.1]			/		
4～6	(3)養女-養親異動 [3.3.2]			/		
7～15	(4)養子夫婦-養親異動 [3.3.3]			/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	68/92

処理名	3.3.1 養子−養親異動 (1/5)				備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/	
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する			
NO	(5)→(6)へ			/	
(6)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する			
NO	(10)→(10-1)へ			/	
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり,戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)				/	平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/	
	YES	(10-3)→(11)へ		/	
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/	
(11)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/	
YES	(12)配偶者区分?(0:未,1:夫,3:生存配偶者)			/	
	0	(13)→(34)へ		/	戸籍変動区分チェックへ
	1	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/	養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/	
			YES	(14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO	→		
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動がない)		/	
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏届を兼ねる),3:新しい氏)	/	
			1	(18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	69/92

処理名	3.3.1 養子−養親異動 (2/5)					備考
			YES	(18-2)→(34)へ		戸籍変動区分チェックへ
			NO	(18-3)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する	(18-4)本紙へ	
		2		(19)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
		3		(20)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する	(21)本紙へ	
		2		(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES, NO)	/	
			YES	(23)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」を表示する	(24)本紙へ	
			NO	(25)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
		3		(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES, NO)	/	
			YES	(25-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する	(26)本紙へ	審査終了
			NO	→		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	70/92

処理名	3.3.1 養子−養親異動 (3-1/5)			備考
NO	(27)配偶者区分?(0:未,1:夫,3:生存配偶者)		/	
	0	(28)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
	1	(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES, NO)	/	
		YES (30)エラーメッセージ 「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ
		NO (32)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
	3	(33)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動がない)			/	【戸籍変動区分チェック】
1	(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES, NO)		/	
	YES	(36)→(48)へ	/	戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO	(37)確認メッセージ 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ
2	(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名 である(YES, NO)		/	
	YES	(40)→(43)へ	/	
	NO	(41)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに,養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ
	(43)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏を兼ねる届),3:新しい氏)		/	
	1	(44)→(70)へ	/	戸籍法30条3項チェックへ
	2	(45)確認メッセージ 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)		(46)本紙へ
	3	(47)確認メッセージ 「養子は帰化者等,従前の戸箱がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)		
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES, NO)		/	
	YES	(47-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(47-3)本紙へ 審査終了
	NO	→		
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES, NO)			/	【戻る戸籍での筆頭者区分チェック】
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES, NO)		/	戻る戸籍が管内にある場合は,その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする
	YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	71/92

処理名	3.3.1 養子-養親異動 (3/5)		備考
	(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者)かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/	筆頭者がいれば,戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	72/92

処理名		3.3.1 養子-養親異動 (4/5)				備考
		YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
			YES	(53)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ
			NO	(55)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
		NO	(56)→(50)へ		/		
		(57)→(61)へ			/		
	NO	(58)エラーメッセージ「戻る戸籍が除籍です。」を表示する				(59)本紙へ	
NO	(60)→(61)へ				/		
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)					/		養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで,筆頭者と成りうるか類推する
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)				/		
	YES	(63)確認メッセージ 「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)				(64)本紙へ	
	NO	(65)→(85)へ			/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)				/		
	YES	(67)→(85)へ			/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
	NO	(68)確認メッセージ 「養子は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)				(69)本紙へ	
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母)である(YES,NO)					/		【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合,養子の申出がない限り,従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは,従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
YES	(71)確認メッセージ「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する(YES,NO)				/		
	YES	(72)→(75)へ			/		
	NO	(73)確認メッセージ 「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)				(74)本紙へ	
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏届を兼ねる),3:新しい氏)				/		
	1,2	(76)確認メッセージ 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する(YES,NO)				(77)本紙へ	(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答
		YES	(78)→(85)へ		/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	73/92

処理名			3.3.1 養子−養親異動 (5/5)			備考
		NO	(79)確認メッセージ 「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する (応答後(85)へ)		(80)本紙へ	
	3		(81)養子の本･国籍 ＝ 届後本籍である(YES,NO)	/		
		YES	→		(82)本紙へ	審査終了
		NO	(83)確認メッセージ 「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
NO	(84)→(85)へ			/		
(85)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES, NO)				/		【届後戸籍での配偶者区分チェック】
YES	→				(86)本紙へ	審査終了
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)			/		
	YES	→			(88)本紙へ	審査終了
	NO	(89)確認メッセージ 「養子は異動後の戸籍で,生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	74/92

処理名	3.3.2 養女-養親異動 (1/5)				備考
(1)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)				/	
YES	(2)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
	YES	→			(3)本紙へ	養子が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(4)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する			
NO	(5)→(6)へ			/	
(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	
YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
	YES	→			(8)本紙へ	養子が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
	NO	(9)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する			
NO	(10)→(10-1)へ			/	
(10-1)養子の身分事項に性同一性障害(7003)があり,戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES,NO)				/	平成15年法律第111号3条
YES	(10-2)確認メッセージ 「性同一性障害者の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する			/	
	YES	(10-3)→(11)へ		/	
	NO	→			(10-4)本紙へ	不受理
NO	(10-5)→(11)へ			/	
(11)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)				/	
YES	(12)配偶者区分?(0:未,2:妻,3:生存配偶者)			/	
	0	(13)→(34)へ		/	戸籍変動区分チェックへ
	2	(14)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)		/	養子夫婦の構成員は戸籍異動なし
		YES	(14-1)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)	/	
			YES	(14-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(15)本紙へ	(審査終了)
			NO	→		
		NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁で戸籍の異動はありません。」を表示する			(審査終了)
	3	(17)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動がない)		/	
		1	(18)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏届を兼ねる),3:新しい氏)	/	
			1	(18-1)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/	

処理名	3.3.2 養女-養親異動 (2/5)					備考
			YES	(18-2)→(34)へ		戸籍変動区分チェックへ
			NO	(18-3)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する	(18-4)本紙へ	
		2		(19)→(34)へ /		戸籍変動区分チェックへ
		3		(20)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,復氏を兼ねる届しか元の戸籍には戻れません」を表示する	(21)本紙へ	
		2		(22)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES, NO) /		
			YES	(23)エラーメッセージ 「構成員の生存配偶者の離縁では,縁組前の氏に戻る新戸籍編製はできません」を表示する	(24)本紙へ	戸籍変動区分チェックへ
			NO	(25)→(34)へ /		
		3		(25-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES, NO) /		
			YES	(25-2)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する	(26)本紙へ	審査終了
			NO	→		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	76/92

処理名	3.3.2 養女-養親異動 (3/5)			備考
NO	(27)配偶者区分?(0:未,2:妻,3:生存配偶者)		/	
	0	(28)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
	1	(29)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る)である(YES, NO)	/	
		YES (30)エラーメッセージ「夫婦の筆頭者の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する		(31)本紙へ
		NO (32)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
	3	(33)→(34)へ	/	戸籍変動区分チェックへ
(34)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動がない)			/	【戸籍変動区分チェック】
1	(35)氏区分 ＝ 1(縁組前の氏)である(YES, NO)		/	
	YES	(36)→(48)へ	/	戸籍での筆頭者区分チェックへ
	NO	(37)確認メッセージ「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(48)へ)		(38)本紙へ
2	(39)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名 である(YES, NO)		/	
	YES	(40)→(43)へ	/	
	NO	(41)エラーメッセージ「新戸籍を編製するのに,養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する		(42)本紙へ
	(43)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏を兼ねる届),3:新しい氏)		/	
	1	(44)→(70)へ	/	戸籍法30条3項チェックへ
	2	(45)確認メッセージ「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(70)へ)		(46)本紙へ
	3	(47)確認メッセージ「養子は帰化者等,従前の戸箱がない者ですね。」を表示する(応答後(70)へ)		
3	(47-1)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES, NO)		/	
	YES	(47-2)メッセージ「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する		(47-3本紙へ	審査終了
	NO	→		
(48)元に戻る戸籍は管内にある戸籍である(YES, NO)			/	【戻る戸籍での筆頭者チェック】
YES	(49)戸籍除区分 ＝ 0(現戸籍)である(YES, NO)		/	戻る戸籍が管内にある場合は,その戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする
	YES	(50)戸籍DBに記録されている者について順次(51)～(56)の処理を繰り返す	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	77/92

処理名	3.3.2 養女-養親異動 (3-1/5)		備考
	(51)個人除区分 ＝ 0(在籍者) かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES, NO)	/	筆頭者がいれば,戻る戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	78/92

処理名							備考
			YES	(52)戻る戸籍での筆頭者区分(画面項目) ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		
				YES (53)エラーメッセージ「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(54)本紙へ	
				NO (55)→(85)へ	/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
			NO	(56)→(50)へ	/		
		(57)→(61)へ			/		
	NO	(58)エラーメッセージ「戻る戸籍が除籍です。」を表示する				(59)本紙へ	
NO	(60)→(61)へ				/		
(61)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)					/		養子の名と戻る戸籍の筆頭者のなで,筆頭者と成りうるか類推する
YES	(62)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)				/		
	YES	(63)確認メッセージ「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)				(64)本紙へ	
	NO	(65)→(85)へ			/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
NO	(66)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)				/		
	YES	(67)→(85)へ			/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ
	NO	(68)確認メッセージ「養子は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね。」を表示する(応答後(85)へ)				(69)本紙へ	
(70)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母)である(YES,NO)					/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(71)確認メッセージ「養子は従前の戸籍には戻れませんね。」を表示する(YES,NO)				/		養子本人以外から届出られた離縁で戸籍の異動がある場合,養子の申出がない限り,従前の戸籍に戻らなければならない。従前の戸籍に戻れず新戸籍を編製すべきときは,従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
	YES	(72)→(75)へ			/		
	NO	(73)確認メッセージ「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する(応答後(85)へ)				(74)本紙へ	
	(75)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏届を兼ねる),3:新しい氏)				/		
	1,2	(76)確認メッセージ「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する(YES,NO)				(77)本紙へ	(参考)S50.4.30民二2221号民事二課長回答
		YES	(78)→(85)へ		/		届後戸籍での配偶者区分チェックへ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	79/92

処理名		3.3.2 養女-養親異動 (5/5)			備考
		NO	(79)確認メッセージ 「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する (応答後(85)へ)	(80)本紙へ	
	3	(81)養子の本･国籍 ＝ 届後本籍である(YES, NO)		/	
		YES	→	(82)本紙へ	審査終了
		NO	(83)確認メッセージ 「新戸籍を編成する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する		
NO	(84)→(85)へ			/	
(85)養子の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES, NO)				/	【届後戸籍での配偶者区分チェック】
YES	→			(86)本紙へ	審査終了
NO	(87)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES, NO)			/	
	YES	→		(88)本紙へ	審査終了
	NO	(89)確認メッセージ 「養子は異動後の戸籍で,生存配偶者に間違いありませんね。」を表示する			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	80/92

処理名	3.3.3 要旨夫婦-養親異動 (1/3)						備考
(1)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)						/	
YES	(2)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/	
	YES	(3)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/	
		YES	→				(4)本紙へ	養子夫婦双方が外国人の場合は戸籍異動なし (審査終了)
		NO	(5)エラーメッセージ 「養子が外国人なので戸籍の異動はありません。」を表示する				
	NO	(6)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	
		YES	(7)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
			YES	→			(8)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
			NO	(9)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人、他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する			
		NO	(10)養女-養親異動 [3.3.2]			/		養子外国人の場合は養女だけの異動を考える
NO	(10)→(11)へ					/	
(11)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)						/	
YES	(12)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/	
	YES	(13)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)				/	
		YES	→				(14)本紙へ	一方外国人他方死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
		NO	(15)エラーメッセージ 「養子の一方が外国人,他方が死亡者なので異動はありません。」を表示する				
	NO	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	
		YES	(17)戸籍変動区分 ＝ 3(戸籍に変動がない)である(YES,NO)			/	
			YES	→			(18)本紙へ	養子夫婦双方が死亡者の場合は戸籍異動なし (審査終了)
			NO	(19)エラーメッセージ 「養子が死亡しているので戸籍の異動はありません。」を表示する			
		NO	(20)養女-養親異動 [3.3.2]			/		養子死亡者の場合は養女だけの異動を考える
NO	(21)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)					/	
	YES	(22)養子-養親異動 [3.3.1]				/		養女外国人の場合は養子だけの異動を考える
	NO	(23)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)				/	
		YES	(24)養子-養親異動 [3.3.1]			/		養女死亡者の場合は養子だけの異動を考える

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	81/92

処理名			3.3.3 養子夫婦-養親異動 (2/3)			備考
		NO	(25) → (26)へ		/	
(26)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍を編製する,3:戸籍に変動がない)					/	日本人夫婦(双方生存者)の場合
1	(27)エラーメッセージ 「養子夫婦の離縁では元の戸籍には戻れません。」を表示する					(28)本紙へ
2	(29)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)				/	
	YES	(30)養子の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名　である(YES,NO)			/	
		YES	(31) → (38)へ		/	
		NO	(32)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに,養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する			(33)本紙へ
	NO	(34)養女の名 ＝ 届後戸籍の筆頭者の名である(YES,NO)			/	
		YES	(35) → (38)へ		/	
		NO	(36)エラーメッセージ 「新戸籍を編製するのに,養子の名と筆頭者の名が異なります。」を表示する			(37)本紙へ
	(38)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の氏(復氏を兼ねる届),3:戸籍に変動がない)				/	
	1	(39) → (43)へ			/	
	2	(40)確認メッセージ 「復氏届を兼ねることができる届出に間違いありませんね。」を表示する(応答後(43)へ)				(41)本紙へ
	3	(42)確認メッセージ 「養子は帰化者等,従前の戸籍がない者ですね。」を表示する(応答後(43)へ)				
	(43)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父)　または 011(養母)　または 012(養父母)である(YES,NO)				/	【戸籍法30条3項チェック】 養子本人以外から届出られた離縁で新戸籍を編製すべきときは,従前の本籍と同一の場所に新本籍を定めなければいけない。
	YES	(44)氏区分?(1:縁組前の氏,2:実方の民(復氏を兼ねる届),3:新しい氏)			/	
		1,2	(45)確認メッセージ 「新本籍地は養子の従前の本籍と同一の場所ですね。」を表示する(YES,NO)			(46)本紙へ
			YES	→		審査終了
			NO	(47)確認メッセージ 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する		
		3	(48)養子の本・国籍 ＝ 届後本籍　である(YES,NO)		/	
			YES	→		(49)本紙へ	審査終了

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	82/92

処理名		3.3.3 養子夫婦-養親異動 (3/3)					備考
			NO	(50)戻確認メッセージ 「新戸籍を編製する旨の養子からの申出がありますか。」を表示する			
	NO	→					審査終了
3	(51)養子の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)				/		
	YES	(52)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する				(53)本紙へ	審査終了
	NO	(54)養女の身分事項に縁組(0301、0303)が複数ある(YES,NO)			/		
		YES	(55)メッセージ 「養父母欄が空欄になります。必要に応じて養父母氏名を移記処理にて入力して下さい。」を表示する			(56)本紙へ	審査終了
		NO	→				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	83/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/10	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		養子離縁届画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							04(養子離縁届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者･後見人は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子,養親,届後戸籍が本籍分の場合,選択戸籍番号を設定
	事件別内容							3/8～8/8参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により,1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする。 (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	84/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 2/10	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分		養子離縁届画面					何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月1日	4	85/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 3/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子と養父区分		養子離縁届 (離縁形態区分)画面	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の個人番号		本籍人検索	親権･未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定
	親権･未成年後見人の本非区分		養子離縁届 (離縁形態区分)画面	親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍コード			親権･未成年後見人本籍		有		
	親権･未成年後見人本籍							
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人個人番号		本籍人検索	同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定
	同時親権届出人本非区分		養子離縁届 (離縁形態区分)画面	同時親権届出人本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人の氏名			同時親権届出人の氏名				
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有		
	同時親権届出人本籍							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	86/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 4/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定
	養子の外国人区分		養子離縁届 (その1)画面	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定
	養女の外国人区分		養子離縁届 (その1)画面	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	87/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 5/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養女の本籍コード		養子離縁届 (その1)画面	養女の本･国籍		有		
	養女の本籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯圭			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配隅者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	88/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 6/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定
	養父の外国人区分		養子離縁届 (その2)画面	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定
	養母の外国人区分		養子離縁届 (その2)画面	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	89/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 7/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養母の世帯主		養子離縁届 (その2)画面	養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	90/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 8/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	離縁の種別		養子離縁届 (その3)画面	離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	91/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 9/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	15歳未満の届出人資格1		養子離縁届 (その4)画面	15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍 コード1			15歳未満の届出人国籍1		有		
	15歳未満の届出人国籍1							
	15歳未満の届出人生年月 日1			15歳未満の届出人生年月 日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍 コード2			15歳未満の届出人国籍2		有		
	15歳未満の届出人国籍2							
	15歳未満の届出人生年月 日2			15歳未満の届出人生年月 日2				

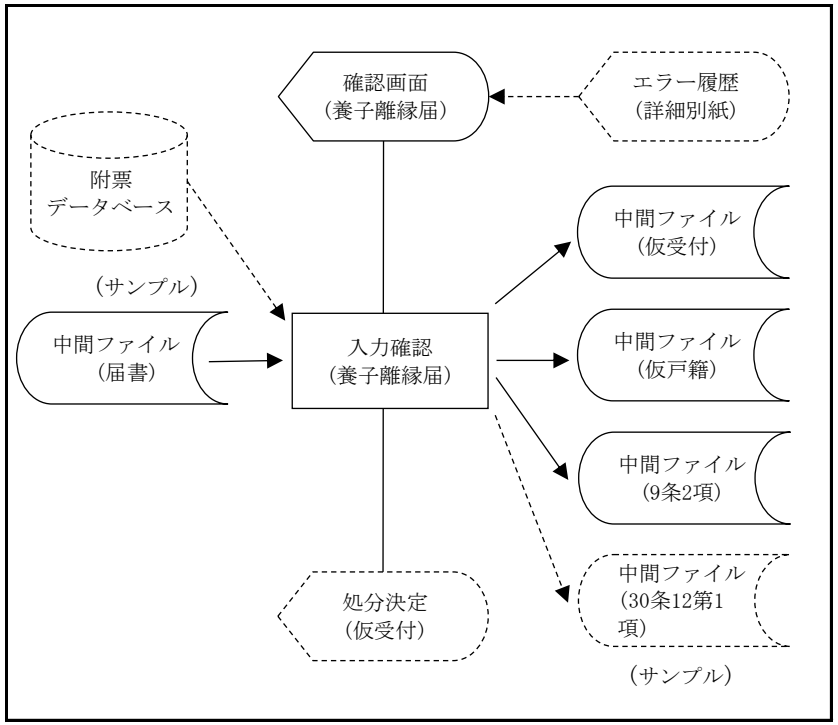
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	92/92

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 10/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(養子離縁届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	配偶者個人番号		本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定
	配偶者外国人区分		養子離縁届 (その5)画面	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	離縁後住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/131

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条12第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集、出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集、出力する。----------(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
    - 2.1 離縁マトリックス表
    - 2.2 親権マトリックス表
    - 2.3 未成年後見マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
    - 3.1 離縁
    - 3.2 親権
    - 3.3 未成年後見
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
    - 4.1 養子の戻る戸籍(記録) ※ひな形A.2と異なる場合
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 5.1 養子の新戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
    - 5.2 養子の戻る戸籍(入籍) ※ひな形C.1と異なる場合
    - 5.3 養子の戻る戸籍に変動無し(記録) ※ひな形C.2と異なる場合
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 養子(女)(入籍)
    - 6.2 養子(女)(除籍)
    - 6.3 養子(女)(記録)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 7.1 養親(記録)
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 8.1 養子(女)の配偶者(入籍)
    - 8.2 養子(女)の配偶者(徐籍)
  - 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 9.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届の場合
    - 9.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
    - 9.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
  - 10.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 10.1 養父
    - 10.2 養母
    - 10.3 養子
    - 10.4 養女
    - 10.5 養子(女)の配偶者
  - 11.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項) ----------(サンプル表示)
    - 11.1 養子
    - 11.2 養女
    - 11.3 養子(女)の配偶者

5.備考(特記事項含む)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/131

処理名	0.0　本紙　1/8	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よろしければ実行キーを押下して下さい。」を表示する。							〔1.0〕	/
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2.PF5,PF7,PF8,PF11,その他)								/
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する						〔2.0〕	/
	(4)離縁形態区分?							/
	3	(4.1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/
		YES	(4.2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
		NO	(4.3)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
			(4.4)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
	6	(4.5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/
		YES	(4.6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
		NO	(4.7)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
			(4.8)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
	7	(4.9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/
		YES	(4.10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
		NO	(4.11)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
			(4.12)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
	8	(4.13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)						/
		YES	(4.14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
		NO	(4.15)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
			(4.16)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する				〔3.1〕	/
	9〜15	(4.17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)						/
		YES	(4.18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)					/
			YES	(4.19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する			〔3.1〕	/
			NO	(4.19.1)離縁形態区分?				
				9	(4.19.2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する		〔3.1〕	

備考
養父母のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される
養父母のいずれか一方又は養子夫婦のいずれか一方が死亡しているとき、受付帳は2件作成される

処理名	0.0　本紙　2/8	備考

					(4.19.3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/		
				10	(4.19.4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/		
				11	(4.19.6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
				12	(4.19.8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
				13	(4.19.10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
				14	(4.19.12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
				15	(4.19.14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /		
					(4.19.15)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/		
		NO	(4.22.1)離縁形態区分?					
				9	(4.22.2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕			

処理名	0.0 本紙 3/8					備考
				(4.22.3)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/	
			10	(4.22.4)農父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/	
			11	(4.22.6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
			12	(4.22.8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
			13	(4.22.10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
			14	(4.22.12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.13)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
			15	(4.22.14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/ /	
				(4.22.15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕	/	
	その他	(4.24)事件本人(養父、養母、養子、養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する 〔3.1〕				

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/131

処理名	0.0 本紙 4/8						備考
	(4.25)同時届区分?						
	0	(4.26)→(5)へ				/	
	1	(4.27)中間ファイル(仮受付･親権)を編集･出力する [3.2]				/	
	2	(4.28)中間ファイル(仮受付･未成年後見)を編集･出力する [3.3]				/	
	(5)養子に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動無し)				/	
		1	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(8)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]		/	
				(8.1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
				YES	(8.2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(8.1)(8.2)
				NO	(9)→(10)へ	/	
			NO				
			(10)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)			/	
			YES	(10.1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)かつ届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である(YES,NO)		/	戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う
				YES	(10.2)戸籍特定:養子の戻る戸籍(記録)を編集する [4.1]	/	
				NO	(10.3)→(10.4)へ	/	
				(10.4)個人特定:養子の戻る戸籍(入籍)を編集する [5.2]		/	
				(11)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]		/	
			NO	(12)→(24)へ		/	
		2	(7)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(14)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]		/	
				(14.1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
				YES	(14.2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(14.1)(14.2)
				NO	(15)→(16)へ	/	
			NO				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	6/131

処理名	0.0 本紙 4-1/8					備考
			(16)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)		/	
			YES	(16.1)離縁形態区分 ＝ 1,2,3 または 離縁形態区分 ＝ 7～15で,養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)	/	
				YES	(16.2)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	
					(17)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
				NO	(17.1)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	養女が筆頭者であるため,養女を入籍させた後で養子を入籍させる
					(17.2)身分事項:養女(入籍)を編集する [6.1]	/	
					(17.3)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	
					(17.4)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]	/	
			NO	(18)→(24)へ		/	
		3	(19)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(20)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する [5.3]		/	
				(21)身分事項:養子(記録)を編集する [6.3]		/	
			NO	(22)→(24)へ		/	
	NO	(22)→(24)へ				/	
	(24)養女に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(25)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動無し)				/	
		1	(26)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(27)身分事項:養子(除籍)を編集する [6.2]		/	
				(27.1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
				YES	(27.2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
				NO	(28)→(29)へ	/	処理(27.1)(27.2)
			NO				
			(29)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)			/	
			YES	(29.1)戻る戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ 届後戸籍の筆頭者 ＝ 戻る戸籍の筆頭者氏名である (YES,NO)		/	戻る戸籍で筆頭者となる養子の名と戻る戸籍の筆頭者の名が異なる場合だけ[4.1]の編集を行う

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	7/131

処理名	0.0 本紙 5/8						備考
				YES	(29.2)戸籍特定:養女の戻る戸籍(記録)を編集する [4.1]	/	
				NO	(29.3)→(10.4)へ	/	
				(29.4)個人特定:養女の戻る戸籍(入籍)を編集する [5.2]		/	
				(30)身分事項:養子(入籍)を編集する [6.1]		/	
			NO	(31)→(43)へ		/	
		2	(32)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(33)身分事項:養女(除籍)を編集する [6.2]		/	
				(33.1)養女は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
				YES	(33.2)養女について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により往外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
				NO	(34)→(35)へ		処理(33.1)(33.2)
			NO				
			(35)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/	
			YES	(35.1)離縁形態区分 ＝ 4、5、6 または 離縁形態区分 ＝ 7～15で,養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)		/	
				YES	(35.2)個人特定:養女の新戸籍(入籍)を編集する [5.1]	/	
					(36)身分事項:養女(入籍)を編集する [6.1]	/	
				NO	(36.1)個人特定:養女の新戸雑(入籍)を編集する [5.1]	/	養子が筆頭者の場合は(16.2)～(17)で養子が入籍済みなので養女のみ入籍させる
					(36.2)身分事項;養女(入籍)を編集する [6.1]	/	
			NO	(37)→(43)へ		/	
		3	(38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
			YES	(39)個人特定:養子の戸籍に変動無し(記録)を編集する [5.3]		/	
				(40)身分事項:養子(記録)を編集する [6.3]		/	
			NO	(41)→(43)へ		/	
	NO	(42)→(43)へ				/	
	(43)養父に入力がある(YES,NO)					/	
	YES	(44)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)				/	
		YES	(45)身分事項:養親(記録)を編集する [7.1]			/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	8/131

処理名	0.0 本紙 6/8				備考
	NO	(46)→(48)へ		/	
NO	(47)→(48)へ			/	
(48)養母に入力がある(YES,NO)				/	
YES	(49)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	
	YES	(50)身分事項:養親(記録)を編集する [7.1]		/	
	NO	(51)→(53)へ		/	
NO	(52)→(53)へ			/	
(53)養子の配偶者に入力があり配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)				/	戸籍変動区分は2(新戸籍編製)だけである
YES	(61)養子の配偶者の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/	養子または養女の本非区分で判断する
	YES	(62)身分事項:養子の配偶者(除籍)を編集する [8.2]		/	(54)から(60)は欠番
		(62.1)養子は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
		YES	(62.2)養子について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [11.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		NO	(62.3)→(64)へ	/	処理(62.1)(62.2)
	NO	(63)→(64)へ		/	
	(64)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)			/	
	YES	(65)身分事項:養子の配偶者(入籍)を編集する [8.1]		/	
	NO	(66)→(69)へ		/	
NO	(68)→(69)へ			/	
(69)同時届区分 ＝ 0(無)である(YES,NO)				/	
YES	(70)→(83)へ				
NO	(71)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動無し)			/	
	1	(72)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)		/	
		YES	(73)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)	/	
			YES (74)身分事項:養子(女)の親権事項(記録) [9.1]	/	
			NO (75)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録) [9.3]	/	
		NO	(76)→(93)へ	/	
	2	(77)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)		/	
		YES	(78)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)	/	

処理名	0.0 本紙 7/8					備考
			YES	(79)身分事項:養子(女)の親権事項(記録) [9.1]	/	
			NO	(80)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録) [9.3]	/	
		NO	(81)→(93)へ		/	
		3	(82)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
		YES	(82.1)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である(YES,NO)		/	
			YES	(82.2)身分事項:養子(女)の親権事項(記録) [9.1]	/	
			NO	(82.3)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録) [9.3]	/	
		NO	(82.4)→(93)へ		/	
	(83)親権移記親権者区分に入力がある(YES,NO)				/	
	YES	(84)戸籍変動区分?(1:元の戸籍に戻る,2:新戸籍編製,3:戸籍に変動無し)				
		1	(85)元に戻る戸籍は管内にある(YES,NO)		/	
		YES	(86)身分事項:養子(女)の親権事項(移記) [9.2]		/	
		NO	(87)→(93)へ		/	
		2	(88)新戸籍の編製地は管内にある(YES,NO)		/	
		YES	(89)身分事項:養子(女)の親権事項(移記) [9.2]		/	
		NO	(90)→(93)へ		/	
		3	(91)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)		/	
		YES	(91-1)身分事項:養子(女)の親権事項(移記) [9.2]		/	
		NO	(91-2)→(93)へ		/	
	NO	(92)→(93)へ			/	
	(93)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/	
	YES	(94)養父に入力があり,養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	
		YES	(95)養父について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [10.1]		/	
		NO	(96)→(97)へ		/	
		(97)養母に入力があり,養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	
		YES	(98)養母について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [10.2]		/	
		NO	(99)→(100)へ		/	
		(100)養子に入力があり,養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/	
		YES	(101)養子について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [10.3]		/	
		NO	(102)→(103)へ			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	10/131

処理名		0.0 本紙 8/8			備考
		YES	(104)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [10.4]	/	
		NO	(105)→(106)へ	/	
		(106)養子の配偶者に入力があり, 養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/	
		YES	(104)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [10.5]		(108)処分決定に制御を渡す
		NO	→		
	NO	→			
PF1	→				(109)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(110)届出選択に制御を渡す
PF5	→				(111)審査(養子離縁届)に制御を渡す
PF7	(112)前ページがある(YES,NO)			/	
	YES	(113)前ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する			(114)同画面を編集する
	NO	(115)エラーメッセージ｢先頭ページです｣を表示する			
PF8	(116)次ページがある(YES,NO)			/	
	YES	(117)次ページ分の確認画面(養子離縁届)を編集する			(118)同画面を編集する
	NO	(119)エラーメッセージ｢最終ページです｣を表示する			
PF11	→				(119)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(120)エラーメッセージ｢無効なキーが押下されました｣を表示する				(121)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	11/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 1/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
養子離縁 養子離縁届(離縁形態入力) 画面確認	画面ID		中間ファイル (届書) 事件別内容					画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分			養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人の本非区分			親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 2/9	(受取側) 養子離縁画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その1)～(その5)画面 共通	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 3/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その1)画面	養子の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子の生死区分名称					有		
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の父母との続柄名称					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者区分名称					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者区分名称					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女の生死区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 4/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その1)画面	養女のカナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の父母との続柄名称					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆頭者区分名称					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 5/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その2)画面	養父の外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父の生死区分名称					有		
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母の生死区分名称					有		
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 6/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その2)画面	養母の世帯主		中間ファイル (届書) 事件別内容	養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分		事件別内容	養父母婚姻区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 7/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その3)画面	離縁の種別		中間ファイル (届書) 事件別内容	離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	氏区分			氏区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 8/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その4)画面	15歳未満の届出人資格1		中間ファイル (届書) 事件別内容	15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/131

処理名	1.0 確認画面(養子離縁届) 表示 9/9	(受取側) 養子離縁画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁届 (その5)画面	配偶者外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者筆頭者			配偶者筆頭者				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/131

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(1/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子本人の配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父				養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は,同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので,養子と養女で戸籍が異なることはない。						構成員の場合のみ,配偶者の随従入除籍が発生する。 筆頭者の場合は,戸籍変動区分が変動なしである。			全部除籍か,一部除籍かの判断項目。		審査でチェックしているので,信頼に足る項目である。					養父母に関しては婚姻中であれば同一戸籍で処理するが,離婚していれば別々の戸籍であるので,養父と養母の2つに判断を分けた。但し,右表の戸籍の記録は,養親1つの戸籍で表している。別々の戸籍にいる場合は,各々の戸籍に記録があるので注意すること。							5.1はC.1の代わり	5.2はC.1の代わり				
1	1	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養子・養父ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
1.1	1	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
2	1	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
2.1	1	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
3	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
3.1	1	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
4	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
4.1	1	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
5	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
5.1	1	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2 8.2			7.1
6	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
6.1	1	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
7	1	○	×			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	21/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(2/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人(外国人) いずれか	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人(外国人) いずれか	死亡者	有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人(外国人) いずれか	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人(外国人) いずれか	死亡者		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
								筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍														
8	1	○	×				−	−	−	○	×	○	×	×	×	×	×	○			養子だけに記録有（養父の記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2				
8.1	1	○	×				−	−	−	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2				
9	1	○	×				−	−	−	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1			6.2		
9.1	1	○	×				−	−	−	×	○	×	○	×	×	×	×	○								6.2		
10	1	○	×				×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2				
10.1	1	○	×				×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2				
11	1	○	×				×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1				6.2		
11.1	1	○	×				×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○								6.2		
12	1	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2				
12.1	1	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2 8.2				
13	1	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)				6.2 8.2		
13.1	1	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○								6.2 8.2		
14	1	○	×				−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	×	○									6.3	
15	1	×	○				−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	○	×			養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1					7.1
15.1	1	×	○				−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録							7.1
16	1	×					×	×	○	−	−	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1						7.1
16.1	1	×	○				×	×	○	−	−	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録							7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(3/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
17	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
18	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
19	1	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
19.1	1	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○									
20	1	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1 6.1					
20.1	1	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○									
21	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
21.1	1	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○									
22	1	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
22.1	1	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(4/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
23	2	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
23.1	2	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
24	2	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
24.1	2	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
25	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
25.1	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
26	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
26.1	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
27	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
27.1	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2 8.2			7.1
28	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
28.1	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2 8.2		7.1
29	2	○	×			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
30	2	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×			×	○	養子だけに記録有(養母の記録無)		4.1 5.2 6.1	6.2			
30.1	2	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
31	2	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
31.1	2	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	24/131

処理名	2.1 戸籍編製マトリクス表･離縁 (5/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
32	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
32.1	2	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
33	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
33.1	2	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
34	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
34.1	2	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2 8.2			
35	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
35.1	2	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2 8.2		
36	2	○	×			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
37	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
37.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
38	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
38.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
39	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
40	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
41	2	×	○			-	-	-	-	-	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
41.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	○	×	×	×			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	25/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(6/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
42	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
42.1	2	×	○			×	×	○	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
43	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
44	2	×	○			×	○	×	-	-	×	×	×	○	×			×	○							
44.1	2	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
44.2	2	×	○			-	-	-	-	-	×	×	×	×	○			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/131

処理名　2.1　戸籍編製マトッリクス表･離縁　(7/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母				養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
45	3	○	×				−	−	−	○	×	○	×	×	×	×		○	×		○	×	養子・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2				7.1
45.1	3	○	×				−	−	−	○	×	×	○	×	×	×		○	×		○	×				6.2				7.1
46	3	○	×				−	−	−	×	○	○	×	×	×	×		○	×		○	×			4.1 5.2 6.1		6.2			7.1
46.1	3	○	×				−	−	−	×	○	×	○	×	×	×		○	×		○	×					6.2			7.1
47	3	○	×				×	×	○	○	×	×	×	○	×	×		○	×		○	×		5.1 6.1		6.2				7.1
47.1	3	○	×				×	×	○	○	×	×	×	×	○	×		○	×		○	×				6.2				7.1
48	3	○	×				×	×	○	×	○	×	×	×	○	×		○	×		○	×		5.1 6.1			6.2			7.1
48.1	3	○	×				×	×	○	×	○	×	×	×	×	○		○	×		○	×					6.2			7.1
49	3	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×		○	×		○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2				7.1
49.1	3	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	×	○		○	×		○	×				6.2 8.2				7.1
50	3	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×		○	×		○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2			7.1
50.1	3	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	×	○		○	×		○	×					6.2 8.2			7.1
51	3	○	×				−	−	−	−	−	×	×	×	×	×	○	○	×		○	×							6.3	7.1
52	3	○	×				−	−	−	○	×	○	×	×	×	×		○	×		×	○	養子・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2				7.1
52.1	3	○	×				−	−	−	○	×	×	○	×	×	×		○	×		×	○				6.2				7.1
53	3	○	×				−	−	−	×	○	○	×	×	×	×		○	×		×	○			4.1 5.2 6.1		6.2			7.1
53.1	3	○	×				−	−	−	×	○	×	○	×	×	×		○	×		×	○					6.2			7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(8/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人 外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人 外国人 いずれか							
54	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
54.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
55	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
55.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
56	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
56.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2 8.2			7.1
57	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
57.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
58	3	○	×			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
59	3	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母に記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
59.1	3	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
60	3	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
60.1	3	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
61	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
61.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
62	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
62.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(9/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
63	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
63.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
64	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
64.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
65	3	○	×			−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
66	3	○	×			−	−	−	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
66.1	3	○	×			−	−	−	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
67	3	○	×			−	−	−	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
67.1	3	○	×			−	−	−	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
68	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
68.1	3	○	×			×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
69	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
69.1	3	○	×			×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
70	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
70.1	3	○	×			×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2 8.2			
71	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
71.1	3	○	×			×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	29/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(10/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人・外国人 いずれか							
72	3	○	×			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
73	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
73.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
74	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
74.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
75	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
76	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
77	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
77.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
78	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
78.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
79	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1
80	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
81	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
81.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
82	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
82.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
83	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(11/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
84	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
85	3	×	○			－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
85.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
86	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1 6.1					
86.1	3	×	○			×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
87	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸籍	5.1/6.1(養子) C.1/8.1(配)					
88	3	×	○			×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
88.1	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
88.2	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
88.3	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
88.4	3	×	○			－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	31/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(12/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
89	4			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×			養女・養父ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
89.1	4			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7.1
90	4			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
90.1	4			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
91	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
91.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
92	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
92.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
93	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
93.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2 8.2			7.1
94	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
94.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2 8.2		7.1
95	4			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
96	4			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○			養女だけに記録有 (養父の記録無)		4.1 5.2 6.1	6.2			
96.1	4			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○						6.2			
97	4			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
97.1	4			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	32/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(13/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女					戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
							有		無																	
							筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍											
98	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
98.1	4			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○						6.2			
99	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
99.1	4			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○							6.2		
100	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
100.1	4			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○						6.2 8.2			
101	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	○				5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
101.1	4			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○							6.2 8.2		
102	4			○	×	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	×	×	○								6.3	
103	4			×	○	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
103.1	4			×	○	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
104	4			×	○	×	×	○	−	−	×	×	○	×	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
104.1	4			×	○	×	×	○	−	−	×	×	×	○	×	×	○	×			養父の記録						7.1
105	4			×	○	×	○	×	−	−	×	×	○	×	×	×	○	×			養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
106	4			×	○	×	○	×	−	−	×	×	×	○	×	×	○	×			養父の記録						7.1
107	4			×	○	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
107.1	4			×	○	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	×	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	33/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(14/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女					養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分				養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか				有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
										筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍												
108	4				×	○				×	×	○	−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1 6.1					
108.1	4				×	○				×	×	○	−	−	×	×	×	○	×	×	○									
109	4				×	○				×	○	×	−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
110	4				×	○				×	○	×	−	−	×	×	×	○	×	×	○									
110.1	4				×	○				−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
110.2	4				×	○				−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(15/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女					戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
							有		無																	
							筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍											
111	5			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×				○	×	養女・養母ともに記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
111.1	5			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×				○	×				6.2			7.1
112	5			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×				○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
112.1	5			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×				○	×					6.2		7.1
113	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
113.1	5			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×				○	×				6.2			7.1
114	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
114.1	5			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2		7.1
115	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×				○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
115.1	5			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×				○	×				6.2 8.2			7.1
116	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×				○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
116.1	5			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×				○	×					6.2 8.2		7.1
117	5			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○				○	×						6.3	7.1
118	5			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×				×	○	養女だけに記録有 (養母の記録無)		4.1 5.2 6.1	6.2			
118.1	5			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×				×	○				6.2			
119	5			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×				×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
119.1	5			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×				×	○					6.2		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	35/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(16/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女					養子の日本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)				有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
										筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍												
120	5				○	×				×	×	○	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
120.1	5				○	×				×	×	○	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
121	5				○	×				×	×	○	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
121.1	5				○	×				×	×	○	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
122	5				○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
122.1	5				○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2 8.2			
123	5				○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
123.1	5				○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2 8.2		
124	5				○	×				−	−	−	−	−	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
125	5				×	○				−	−	−	−	−	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
125.1	5				×	○				−	−	−	−	−	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
126	5				×	○				×	×	○	−	−	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
126.1	5				×	○				×	×	○	−	−	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
127	5				×	○				×	○	×	−	−	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
128	5				×	○				×	○	×	−	−	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
129	5				×	○				−	−	−	−	−	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
129.1	5				×	○				−	−	−	−	−	×	○	×	×	×			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(17/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
130	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
130.1	5			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×			×	○							
131	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
132	5			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×			×	○							
132.1	5			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
132.2	5			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(18/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
133	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女・養父母ともに記録有（養父母別戸籍の場合注意）		4.1 5.2 6.1	6.2				7.1
133.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2				7.1
134	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2			7.1
134.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2			7.1
135	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2				7.1
135.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2				7.1
136	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2			7.1
136.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2			7.1
137	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2				7.1
137.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2 8.2				7.1
138	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2			7.1
138.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2 8.2			7.1
139	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
140	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父に記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2				7.1
140.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2				7.1
141	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2			7.1
141.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2			7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(19/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人(いずれか)		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
						筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍												
142	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
142.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
143	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
143.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
144	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
144.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2 8.2			7.1
145	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
145.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2 8.2		7.1
146	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
147	6			○	×	－	－	－	○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女・養母の記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
147.1	6			○	×	－	－	－	○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
148	6			○	×	－	－	－	×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
148.1	6			○	×	－	－	－	×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
149	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
149.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
150	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
150.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	39/131

処理名　2.1　戸籍編製マトッリクス表･離縁　(20/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか	本籍人・生存者	死亡者 非本籍人 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
151	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			7.1
151.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2 8.2			7.1
152	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		7.1
152.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2 8.2		7.1
153	6			○	×	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
154	6			○	×	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけに記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
154.1	6			○	×	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
155	6			○	×	-	-	-	×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
155.1	6			○	×	-	-	-	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
156	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
156.1	6			○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
157	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
157.1	6			○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
158	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)		6.2 8.2			
158.1	6			○	×	×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2 8.2			
159	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)			6.2 8.2		
159.1	6			○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2 8.2		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	40/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(21/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女					養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか				有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
										筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍												
160	6			○	×	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	
161	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
161.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
162	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
162.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
163	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸籍 養父母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
164	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
165	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
165.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
166	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1 6.1					7.1
166.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
167	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸籍 養父の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1
168	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
169	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
169.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
170	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1 6.1					7.1
170.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
171	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸籍 養母の記録	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(22/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか	本籍人・生存者	死亡者・非本籍人(外国人)いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
172	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
173	6			×	○	－	－	－	－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
173.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
174	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1 6.1					
174.1	6			×	○	×	×	○	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
175	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸籍	5.1/6.1(養女) C.1/8.1(配)					
176	6			×	○	×	○	×	－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
176.1	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
176.2	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
176.3	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
176.4	6			×	○	－	－	－	－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	42/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(23/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
177	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養子夫婦・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
177.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
178	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
178.1	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
179	7	○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
180	7	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
180.1	7	○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
181	7	○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
181.7	7	○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
182	7	○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
183	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養子・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
183.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
184	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
184.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
185	7	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
186	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養子だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
186.1	7	○	×	×	外国人				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
187	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
187.1	7	○	×	×	外国人				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
188	7	○	×	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	43/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(24/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母				養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
189	7	○	×	×	死亡者						○	×	○	×	×	×	×	○	×						4.1 5.2 6.1	6.2				7.1
189.1	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	○	×	×	×	○	×							6.2				7.1
190	7	○	×	×	死亡者						×	○	○	×	×	×	×	○	×						4.1 5.2 6.1		6.2			7.1
190.1	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	○	×	×	×	○	×								6.2			7.1
191	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	○	×	×	○	×						5.1 6.1		6.2			7.1
191.1	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	×	○	×	○	×								6,2			7.1
192	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	○	×	×	○	×						5.1 6.1			6.2		7.1
192.1	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	×	○	×	○	×									6.2		7.1
193	7	○	×	×	死亡者						-	-	×	×	×	×	○	○	×										6.3	7.1
194	7	○	×	×	死亡者						○	×	○	×	×	×	×	×	○						4.1 5.2 6.1	6.2				
194.1	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	○	×	×	×	×	○							6.2				
195	7	○	×	×	死亡者						×	○	○	×	×	×	×	×	○						4.1 5.2 6.1		6.2			
195.1	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	○	×	×	×	×	○									6.2		
196	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	○	×	×	×	○						5.1 6.1		6.2			
196.1	7	○	×	×	死亡者						○	×	×	×	×	○	×	×	○								6.2			
197	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	○	×	×	×	○						5.1 6.1			6.2		
197.1	7	○	×	×	死亡者						×	○	×	×	×	○	×	×	○									6.2		
198	7	○	×	×	死亡者						-	-	×	×	×	×	○	×	○										6.3	

養子・養父とも記録有

養子だけ記録有（養父記録無）

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	44/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(25/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人外国人	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人外国人	死亡者	有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人外国人	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人外国人	死亡者		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動なし	変動なし
			いずれか			いずれか		筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍			いずれか			いずれか			A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
199	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×			養女・養父とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
199.1	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×					6.2			7.1
200	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
200.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
201	7	×	外国人	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1
202	7	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			
202.1	7	×	外国入	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
203	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
203.1	7	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
204	7	×	外国人	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
205	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×			養女・養父とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
205.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×						6.2			7,1
206	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×					4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
206.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×							6.2		7.1
207	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1		6.2			7.1
207.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×						6.2			7.1
208	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×				5.1 6.1			6.2		7.1
208.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×							6.2		7.1
209	7	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×								6.3	7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(26/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
210	7	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
210.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○						6,2			
211	7	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○					4.1 5.2 6.1		6.2		
211.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○							6.2		
212	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1		6.2			
212.1	7	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
213	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
213.1	7	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
214	7	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○								6.3	
215	7	×	非本籍	×	非本籍				-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
215.1	7	×	非本籍	×	非本籍				-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
215.2	7	×	非本籍	×	非本籍				-	-	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
216	7	×	非本籍	×	外国人				-	-	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
216.1	7	×	非本籍	×	外国人				-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
216.2	7	×	非本籍	×	外国人				-	-	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
217	7	×	外国人	×	非本籍				-	-	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
217.1	7	×	外国人	×	非本籍				-	-	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
217.2	7	×	外国人	×	非本籍				-	-	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	46/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(27/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人	死亡者	有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人	死亡者	本籍人・生存者	非本籍人	死亡者	新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し	変動無し
			いずれか			いずれか		筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍			いずれか			いずれか		A.1 B.1 C.1 D.1	C.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	5.3	
218	7	×	非本籍	×	死亡者						－	－	○	×	×	×	×	○	×			養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
218.1	7	×	非本籍	×	死亡者						－	－	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
218.2	7	×	非本籍	×	死亡者						－	－	×	×	○	×	×	○	×			養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
218.3	7	×	非本籍	×	死亡者						－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
218.4	7	×	非本籍	×	死亡者						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
219	7	×	死亡者	×	非本籍						－	－	○	×	×	×	×	○	×			養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
219.1	7	×	死亡者	×	非本籍						－	－	×	○	×	×	×	○	×			養父の記録						7.1
219.2	7	×	死亡者	×	非本籍						－	－	×	×	○	×	×	○	×			養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
219.3	7	×	死亡者	×	非本籍						－	－	×	×	×	○	×	○	×			養父の記録						7.1
219.4	7	×	死亡者	×	非本籍						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220	7	×	外国人	×	死亡者						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.1	7	×	死亡者	×	外国人						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.2	7	×	外国人	×	外国人						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
220.3	7	×	死亡者	×	死亡者						－	－	×	×	×	×	○	○	×			養父の記録						7.1
221	7	×	非本籍	×	非本籍						－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
221.1	7	×	非本籍	×	非本籍						－	－	×	×	×	○	×	×	○									
221.2	7	×	非本籍	×	非本籍						－	－	×	×	×	×	○	×	○									
222	7	×	非本籍	×	外国人						－	－	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1 6.1					
222.1	7	×	非本籍	×	外国人						－	－	×	×	×	○	×	×	○									
222.2	7	×	非本籍	×	外国人						－	－	×	×	×	×	○	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(28/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
223	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
223.1	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
223.2	7	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
224	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	○	×	×	×	×	×	○			養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
224.1	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	×	○									
224.2	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養子の新戸	5.1 6.1					
224.3	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
224.4	7	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
225	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	×	○			養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
225.1	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	×	○									
225.2	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○			養女の新戸	5.1 6.1					
225.3	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○									
225.4	7	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226	7	×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226.1	7	×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226.2	7	×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○									
226.3	7	×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	48/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(29/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
227	8	○	×	○	×						○	×	×	×	○	×	×			○	×	養子夫婦・養母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
227.1	8	○	×	○	×						○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
228	8	○	×	○	×						×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
228.1	8	○	×	○	×						×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
229	8	○	×	○	×						-	-	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
230	8	○	×	○	×						○	×	×	×	○	×	×			×	○	養子夫婦だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
230.1	8	○	×	○	×						○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
231	8	○	×	○	×						×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
231.1	8	○	×	○	×						×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
232	8	○	×	○	×						-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
233	8	○	×	×	外国人						○	×	×	×	○	×	×			○	×	養子・養母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
233.1	8	○	×	×	外国人						○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
234	8	○	×	×	外国人						×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
234.1	8	○	×	×	外国人						×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
235	8	○	×	×	外国人						-	-	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
236	8	○	×	×	外国人						○	×	×	×	○	×	×			×	○	養子だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
236.1	8	○	×	×	外国人						○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
237	8	○	×	×	外国人						×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
237.1	8	○	×	×	外国人						×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
238	8	○	×	×	外国人						-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	49/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(30/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女			養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		有		無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
								筆頭者	構成員				本籍	非本籍	本籍	非本籍												
239	8	○	×		×	死亡者					○	×	○	×	×	×	×			○	×	養子・養母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
239.1	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
240	8	○	×		×	死亡者					×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
240.1	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
241	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
241.1	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
242	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
242.1	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
243	8	○	×		×	死亡者					－	－	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
244	8	○	×		×	死亡者					○	×	○	×	×	×	×			×	○	養子だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
244.1	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
245	8	○	×		×	死亡者					×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
245.1	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
246	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
246.1	8	○	×		×	死亡者					○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
247	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
247.1	8	○	×		×	死亡者					×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
248	8	○	×		×	死亡者					－	－	×	×	×	×	○			×	○						6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	50/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(31/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女		養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
249	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×	養女・養母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
249.1	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
250	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
250.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
251	8	×	外国人	○	×				-	-	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1
252	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			
252.1	8	×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
253	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
253.1	8	×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
254	8	×	外国人	○	×				-	-	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
255	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			○	×	養女・養母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
255.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			○	×				6.2			7.1
256	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
256.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			○	×					6.2		7.1
257	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
257.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			○	×				6.2			7.1
258	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
258.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			○	×					6.2		7.1
259	8	×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○			○	×						6.3	7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	51/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(32/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の日本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか							
260	8	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×			×	○	養女だけ記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
260.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×			×	○				6.2			
261	8	×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×			×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
261.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×			×	○					6.2		
262	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1		6.2			
262.1	8	×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×			×	○				6.2			
263	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×			×	○		5.1 6.1			6.2		
263.1	8	×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×			×	○					6.2		
264	8	×	死亡者	○	×				−	−	×	×	×	×	○			×	○						6.3	
265	8	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×			○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
265.1	8	×	非本籍	×	非本箱				−	−	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
265.2	8	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
266	8	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
266.1	8	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
266.2	8	×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
267	8	×	外国入	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
267.1	8	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
267.2	8	×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(33/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
268	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
268.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
268.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
268.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
268.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
269	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
269.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			○	×	養母の記録						7.1
269.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
269.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			○	×	養母の記録						7.1
269.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						
270	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
270.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			○	×	養母の記録						7.1
271	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
271.1	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
271.2	8	×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
272	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
272.1	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
272.2	8	×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(34/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人籍人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
273	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
273.1	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
273.2	8	×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
274	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
274.1	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×			×	○							
274.2	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
274.3	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
274.4	8	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
275	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×			×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
275.1	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×			×	○							
275.2	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×			×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
275.3	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×			×	○							
275.4	8	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276	8	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.1	8	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.2	8	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○			×	○							
276.3	8	×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	54/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(35/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍編製を 本籍	新戸籍編製を 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
277	9〜15	○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦・養父母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
277.1		○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
278		○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
278.1		○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
279		○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
280		○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子夫婦・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
280.1		○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
281		○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
281.1		○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
282		○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
283		○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子夫婦・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
283.1		○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
284		○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
284.1		○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
285		○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
286		○	×	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子夫婦だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
286.1		○	×	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
287		○	×	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
287.1		○	×	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
288		○	×	○	×				-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	55/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(36/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女					養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父			養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	無	有			無	有	無	元の戸籍に戻る		新戸籍編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人	いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
									筆頭者	構成員					本籍	非本籍	本籍	非本籍													
289	9 〜 15	○	×		×	外国人							○	×	×	×	○	×	×	○	×		○	×		養子・養父母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
289.1		○	×		×	外国人							○	×	×	×	×	○	×	○	×		○	×					6.2			7.1
290		○	×		×	外国人							×	○	×	×	○	×	×	○	×		○	×			5.1 6.1			6.2		7.1
290.1		○	×		×	外国人							×	○	×	×	×	○	×	○	×		○	×						6.2		7.1
291		○	×		×	外国人							-	-	×	×	×	×	○	○	×		○	×							6.3	7.1
292		○	×		×	外国人							○	×	×	×	○	×	×	○	×		×	○		養子・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
292.1		○	×		×	外国人							○	×	×	×	×	○	×	○	×		×	○					6.2			7.1
293		○	×		×	外国人							×	○	×	×	○	×	×	○	×		×	○			5.1 6.1			6.2		7.1
293.1		○	×		×	外国人							×	○	×	×	×	○	×	○	×		×	○						6.2		7.1
294		○	×		×	外国人							-	-	×	×	×	×	○	○	×		×	○							6.3	7.1
295		○	×		×	外国人							○	×	×	×	○	×	×	×	○		○	×		養子・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
295.1		○	×		×	外国人							○	×	×	×	×	○	×	×	○		○	×					6.2			7.1
296		○	×		×	外国人							×	○	×	×	○	×	×	×	○		○	×			5.1 6.1			6.2		7.1
296.1		○	×		×	外国人							×	○	×	×	×	○	×	×	○		○	×						6.2		7.1
297		○	×		×	外国人							-	-	×	×	×	×	○	×	○		○	×							6.3	7.1
298		○	×		×	外国人							○	×	×	×	○	×	×	×	○		×	○		養子だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
298.1		○	×		×	外国人							○	×	×	×	×	○	×	×	○		×	○					6.2			
299		○	×		×	外国人							×	○	×	×	○	×	×	×	○		×	○			5.1 6.1			6.2		
299.1		○	×		×	外国人							×	○	×	×	×	○	×	×	○		×	○						6.2		
300		○	×		×	外国人							-	-	×	×	×	×	○	×	○		×	○							6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	56/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(37/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女						戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）					元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
							養子の本人配偶者			配偶者以外の在籍者																
							有		無																	
							筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍											
301	9〜15	○	×		×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子・養父母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
301.1		○	×		×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
302		○	×		×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
302.1		○	×		×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
303		○	×		×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
303.1		○	×		×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
304		○	×		×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
304.1		○	×		×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
305		○	×		×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
306		○	×		×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子・養父とも記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
306.1		○	×		×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
307		○	×		×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
307.1		○	×		×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
308		○	×		×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
308.1		○	×		×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
309		○	×		×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
309.1		○	×		×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
310		○	×		×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(38/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女				養子の本人配偶者			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分				養父			養母				養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
311	9 ～ 15	○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子・養母とも記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
311.1		○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
312		○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
312.1		○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
313		○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
313.1		○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
314		○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
314.1		○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
315		○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
316		○	×	×	死亡者				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子だけ記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
316.1		○	×	×	死亡者				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
317		○	×	×	死亡者				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
317.1		○	×	×	死亡者				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
318		○	×	×	死亡者				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
318.1		○	×	×	死亡者				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
319		○	×	×	死亡者				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
319.1		○	×	×	死亡者				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
320		○	×	×	死亡者				-	-	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	58/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(39/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女					戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	養子の日本人配偶者 有 筆頭者	養子の日本人配偶者 有 構成員	養子の日本人配偶者 無	配偶者以外の在籍者 有	配偶者以外の在籍者 無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
321	9 〜 15	×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女・養父母とも記録有	5.1 6.1		6.2			7.1
321.1		×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
322		×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
322.1		×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
323		×	外国人	○	×				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
324		×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも記録有（養母記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
324.1		×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
325		×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
325.1		×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
326		×	外国人	○	×				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1
327		×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女・養母とも記録有（養父記録無）	5.1 6.1		6.2			7.1
327.1		×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
328		×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
328.1		×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
329		×	外国人	○	×				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
330		×	外国人	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○			養女だけ記録有（養父母記録無）	5.1 6.1		6.2			
330.1		×	外国人	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○						6.2			
331		×	外国人	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○				5.1 6.1			6.2		
331.1		×	外国人	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○							6.2		
332		×	外国人	○	×				−	−	×	×	×	×	○	×	○								6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	59/131

c

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(40/46)

項番	離縁形態区分	養子			養女					戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか				元の戸籍に戻る		新戸籍を編製			本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者 外国人 いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
							養子の本人配偶者																			
							有		無	配偶者以外の在籍者																
							筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍	戸籍変動なし										
333	9 ～ 15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女・養父母とも記録有		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
333.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	○	×				6.2			7.1
334		×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
334.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	×					6.2		7.1
335		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
335.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×				6.2			7.1
336		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
336.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×					6.2		7.1
337		×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	○	×						6.3	7.1
338		×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女・養父とも記録有（養母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
338.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	○	×	×	○				6.2			7.1
339		×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	○	×	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
339.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	○	×	×	○					6.2		7.1
340		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1		6.2			7.1
340.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	○	×	×	○				6.2			7.1
341		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	○		5.1 6.1			6.2		7.1
341.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○					6.2		7.1
342		×	死亡者	○	×				-	-	×	×	×	×	○	○	×	×	○						6.3	7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	60/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(41/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人 いずれか							
343	9〜15	×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女・養母とも記録有（養父記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			7.1
343.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×				6.2			7.1
344		×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	○	×			4.1 5.2 6.1		6.2		7.1
344.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	○	×					6.2		7.1
345		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1		6.2			7.1
345.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	○	×				6.2			7.1
346		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	○	×		5.1 6.1			6.2		7.1
346.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×					6.2		7.1
347		×	死亡者	○	×				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×						6.3	7.1
348		×	死亡者	○	×				○	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女だけ記録有（養父母記録無）		4.1 5.2 6.1	6.2			
348.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○				6.2			
349		×	死亡者	○	×				×	○	○	×	×	×	×	×	○	×	○			4.1 5.2 6.1		6.2		
349.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	○	×	×	×	×	○	×	○					6.2		
350		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1		6.2			
350.1		×	死亡者	○	×				○	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○				6.2			
351		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	○	×	×	×	○	×	○		5.1 6.1			6.2		
351.1		×	死亡者	○	×				×	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○					6.2		
352		×	死亡者	○	×				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○						6.3	

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	61/131

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(42/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者の在籍者以外の		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし 5.3	変動なし
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか							
353	9 〜 15	×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子夫婦の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
353.1		×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
353.2		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
354		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
354.1		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
354.2		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
355.1		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
355.2		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356		×	非本籍	×	死亡者				−	−	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養子の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
356.1		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.2		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養子の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
356.3		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
356.4		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357		×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	○	×	○	×	養女の復籍戸籍 養父母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
357.1		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.2		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×	○	×	養女の新戸 養父母の記録	5.1 6.1					7.1
357.3		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
357.4		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(43/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人・いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人・いずれか	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人・いずれか	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人・いずれか		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し 7.1
358	9	×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.1	～	×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.2	15	×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
358.3		×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	○	×	養父母の記録						7.1
359		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子夫婦の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
359.1		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
359.2		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
360		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
360.1		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
360.2		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
361		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
361.1		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
361.2		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362		×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養子の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.1 6.1				7.1
362.1		×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362.2		×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	○	×	×	○	×	×	○	養子の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
362.3		×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
362.4		×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363		×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	○	×	×	○	養女の復籍戸籍 養父の記録		4.1 5.1 6.1				7.1
363.1		×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリクス表･離縁　(44/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・死亡者・外国人（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
363.2	9〜15	×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	○	×	×	○ ○	養女の新戸 養父の記録	5.1 6.1					7.1
363.3		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	○	×	×	○	養父の記録						7.1
363.4		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364		×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.1		×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.2		×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
364.3		×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	○	×	×	○	養父の記録						7.1
365		×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子夫婦の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
365.1		×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
365.2		×	非本籍	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
366.1		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
366.2		×	非本籍	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
367.1		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
367.2		×	外国人	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368		×	非本籍	×	死亡者				−	−	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養子の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
368.1		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
368.2		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養子の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
368.3		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(45/46)

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子の本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母		備考	養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	非本籍人・外国人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・外国人・死亡者（いずれか）	有 筆頭者	有 構成員	無	有	無	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本籍	新戸籍を編製 本籍	新戸籍を編製 非本籍	戸籍変動なし	本籍人・生存者	非本籍人・外国人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	非本籍人・外国人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
368.4	9	×	非本籍	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369	～	×	死亡者	×	非本籍				－	－	○	×	×	×	×	×	○	○	×	養女の復籍戸籍 養母の記録		4.1 5.2 6.1				7.1
369.1	15	×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	○	×	×	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369.2		×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	○	×	養女の新戸 養母の記録	5.1 6.1					7.1
369.3		×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	×	養母の記録						7.1
369.4		×	死亡者	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370		×	外国人	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.1		×	死亡者	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.2		×	外国人	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
370.3		×	死亡者	×	死亡者				－	－	×	×	×	×	○	×	○	○	×	養母の記録						7.1
371		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子夫婦の新戸	5.1 6.1					
371.1		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	○	○							
371.2		×	非本籍	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
372		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
372.1		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
372.2		×	非本籍	×	外国人				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
373		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
373.1		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
373.2		×	外国人	×	非本籍				－	－	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
374		×	非本籍	×	死亡者				－	－	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養子の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	65/131

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(46/46)	備考

項番	離縁形態区分	養子		養女		養子本人配偶者の日			配偶者以外の在籍者		戸籍変動区分					養父		養母			養子の戸籍					養親
						有		無			元の戸籍に戻る		新戸籍を編製		戸籍変動なし						編製新戸籍 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動無し 5.3	変動無し
		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	筆頭者	構成員		有	無	本籍	非本籍	本籍	非本籍		本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか	本籍人・生存者	非本籍外国人死亡者人 いずれか							
374.1	9	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
374.2	〜	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養子の新戸	5.1 6.1					
374.3	15	×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
374.4		×	非本籍	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
385		×	死亡者	×	非本籍				−	−	○	×	×	×	×	×	○	×	○	養女の復籍戸籍		4.1 5.2 6.1				
385.1		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	○	×	×	×	×	○	×	○							
385.2		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	○	×	×	×	○	×	○	養女の新戸	5.1 6.1					
385.3		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	○	×	×	○	×	○							
385.4		×	死亡者	×	非本籍				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386		×	外国人	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.1		×	死亡者	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.2		×	外国人	×	外国人				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							
386.3		×	死亡者	×	死亡者				−	−	×	×	×	×	○	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	66/131

処理名	2.2 戸籍編製マトリクス表・親権/未成年後見 (1/1)	備考

項番	同時属区分			親権移記区分入力		戸籍変動区分							養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	元の戸籍に戻る 本籍	元の戸籍に戻る 非本	新戸籍を編製する 本籍	新戸籍を編製する 非本	戸籍変動なし 本籍	戸籍変動なし 非本		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
												あくまでも,養子(女)の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。 そのため,共通の身分事項については離縁参照のこと。					
1	×	○	×	-	-	○	×	×	×	×	×			9.1			
2	×	○	×	-	-	×	○	×	×	×	×						
3	×	○	×	-	-	×	×	○	×	×	×		9.1				
4	×	○	×	-	-	×	×	×	○	×	×						
5	×	×	○	-	-	○	×	×	×	×	×			9.3			
6	×	×	○	-	-	×	○	×	×	×	×						
7	×	×	○	-	-	×	×	○	×	×	×		9.3				
8	×	×	○	-	-	×	×	×	○	×	×						
9	○	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×			9.2			
10	○	×	×	×	○	×	○	×	×	×	×						
11	○	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×		9.2				
12	○	×	×	×	○	×	×	×	○	×	×						
12-1	○	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×						9.2
13	○	×	×	○	×	-	-	-	-	-	-						
14	×	○	×	-	-	×	×	×	×	○	×						9.1
15	×	○	×	-	-	×	×	×	×	×	○						
16	×	×	○	-	-	×	×	×	×	○	×						9.3
17	×	×	○	-	-	×	×	×	×	×	○						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	67/131

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付･離縁)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･養子離縁)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき 0401を設定 2(調停)のとき 0402を設定 3(審判) または 4(判定) 5(和解) または 6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日があれば受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			･渉外区分 ＝ 0 または 2 のとき,渉外区分を設定する ･渉外区分 ＝ 1 のとき 事件本人が全員日本人のときは 0 を設定する 事件本人が全員外国人のときは 2 を設定する 上記以外のときは 1 を設定する				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容	(補足説明書「届出人編集」(67/117頁,68/117頁)を参照)				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	68/131

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付･離縁)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･養子離縁)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人資格区分2		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 1 (元の戸籍に戻る)のとき1 2 (新戸籍を編製する)のとき2
			補足説明書 「届出人編集」 68/117頁参照					
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍 かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	証書提出区分							離縁の方式 ≠ 空白 のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	69/131

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付･離縁)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･養子離縁)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			養父,養母,養子,養女の順に,入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方または養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))				
	事件本人区分			養父:08,養母:09,養子:10,養女:11				
	届出人区分			(補足説明書「届出人区分編集」(68－1/117頁)を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養父の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合,1を設定 または 　養父の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父) 　または 012(養父母))の場合,1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養母の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合,1を設定 または 　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (011(養母) 　または 012(養父母))の場合,1を設定 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合,1を設定 または 　養子の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ 離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子) 　または 014(養子夫婦))の場合,1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ 　養女の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合,1を設定 または 　養女の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 　15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ 離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子) 　または 014(養子夫婦))の場合,1を設定				
	カナ氏名			養父のカナ氏名または養母のカナ氏名または養子のカナ氏名または養女のカナ氏名				
	漢字氏名			養父の漢字氏名または養母の漢字氏名または養子の漢字氏名または養女の漢字氏名				
	生年月日			養父の生年月日または養母の生年月日または養子の生年月日または養女の生年月日				
	本籍コード			養父の本籍コードまたは養母の本籍コードまたは養子の本籍コードまたは養女の本籍コード				
	本籍			養父の本籍または養母の本籍または養子の本籍または養女の本籍				
	筆頭者			養父の筆頭者または養母の筆頭者または養子の筆頭者または養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき, ※外国人は0を設定する 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				

「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」(1/2)

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは,15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)

15歳未満の届出人資格1,2 → 届出人資格区分1,2
→ 届出人資格名称1,2(資格を名称変換する)
15歳未満の届出人氏名1,2 → 届出人名称1,2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で,申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

※ 申立人と届出人が同一とは,
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子),014(養子夫婦),077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父),011(養母),012(養父母)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

100(申立人) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で,申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

※ 申立人と届出人が異なるとは,
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父),011(養母),012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子),014(養子夫婦),077(養子の離縁後の法定代理人)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
→ 届出人資格名称1
→ 届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名 → 届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母) → 届出人氏名2 (養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他) → 届出人資格区分1
→ 届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称 → 届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称 → 届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1 → 届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2 → 届出人氏名2 (15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届出人編集」(2/2)

4.離縁種別 ＝ 3(審判)または4(裁判)または5(和解)または6(認諾)で,申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

102(訴提起者)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1 ※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)または4(裁判)または5(和解)または6(認諾)で,申立人と届出人が異なるときは届出人資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1 ※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合または養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは,届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合

生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合

1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず,2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は,「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

(1)養父の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	−	−	○	×	−	−	−	−	−	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	−	−	−	−	−	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	−	−	−	−	−	0
4	○	×	−	−	−	−	×	○	−	−	−	−	−	0
5	×	○	−	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	1
6	×	○	−	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	0
7	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	○	×	×	1
8	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	×	○	×	0
9	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養母の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	−	−	○	×	−	−	−	−	−	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	−	−	−	−	−	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	−	−	−	−	−	0
4	○	×	−	−	−	−	×	○	−	−	−	−	−	0
5	×	○	−	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	0
6	×	○	−	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	1
7	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	○	×	×	1
8	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	×	○	×	0
9	×	○	−	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	0

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	−	○	−	−	○	×	−	−	−	−	−	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	−	−	−	−	−	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	−	−	−	−	−	0
4	○	×	×	○	−	−	−	−	○	×	−	−	−	−	−	0
5	○	×	−	−	−	−	−	−	×	○	−	−	−	−	−	0
6	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	0
7	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	0
8	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	○	×	×	0
9	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	×	○	×	1
10	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養女の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	−	−	○	×	−	−	−	−	−	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	−	−	−	−	−	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	−	−	−	−	−	0
4	○	×	×	○	−	−	−	−	○	×	−	−	−	−	−	0
5	○	×	−	−	−	−	−	−	×	○	−	−	−	−	−	0
6	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	○	×	×	×	×	0
7	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	○	×	×	×	0
8	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	○	×	×	0
9	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	×	○	×	1
10	×	○	−	−	−	−	−	−	−	−	×	×	×	×	○	1

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3 月1日	4	73/131

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・親権) 編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・親権)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき 1301を設定 2(調停)のとき 1302を設定 3(審判)のとき 1303を設定
	受付日			送村日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		事件別内容	届後本籍 ＝ 管内 または 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍) または 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定				
	涉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人) かつ 親権・未成年後見人の本籍 ＝ 国籍 かつ 同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容					
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3 月1日	8	74/131

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付･親権) 編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･親権)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人氏名2		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3 月1日	15	75/131

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・親権) 編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・親権)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人氏名に入力があるとき				
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)				
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定				
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み ＋ 養子(女)のカナ氏名の「名」				←未成年者(養子(女))
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 親権・未成年後見人氏名 同時親権届出人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍コード			届後本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード 同時親権届出人本籍コード				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍			届後本籍 親権・未成年後見人本籍 同時親権届出人本籍				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者 親権・未成年後見人の筆頭者				←未成年者(養子(女)) ←親権者
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき,未成年者(養子(女)) ※外国人は0を設定する 届後本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定,管外なら1(未到着)を設定 親権者 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1を設定 親権協議者 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3 月1日	4	76/131

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付・未成年後見) 編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・未成年後見)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定
	受付日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		事件別内容	届後本籍 ＝ 管内 または 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ親権・未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容					110を設定
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定
	届出人氏名1			親権・未成人後見人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3 月1日	8	77/131

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付･未成年後見) 編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･未成年後見)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3 月1日	15	78/131

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付・未成年後見) 編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・未成年後見)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人
	事件本人区分							未成年被後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定
	カナ氏名			届後戸籍の筆頭者の「氏」のカナ読み ＋ 養子(女)のカナ氏名の「名」				←未成年披後見人(養子(女))
	漢字氏名			届後戸籍の筆頭者の「氏」 ＋ 養子(女)の漢字氏名の「名」 親権・未成年後見人氏名				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍コード			届後本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍			届後本籍 親権・未成年後見人本籍				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者 親権・未成年後見人の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき,未成年被後見人(養子(女)) ※外国人は0を設定する 届後本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定,管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	79/131

処理名	4.1 戸籍特定(記録) 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定(養子の戻る戸籍)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル (届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者		中間ファイル (届書)	『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養子の漢字氏名』の名 または 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養女の漢字氏名』の名				戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1　かつ養子に入力がある場合,『届後戸籍の筆頭者』の名 ≠ 『養子の漢字氏名』の名　のとき 左記項目を移送 戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ 1　かつ養女に入力がある場合,『届後戸籍の筆頭者』の名 ≠ 『養女の漢字氏名』の名　のとき 左記項目を移送
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	80/131

処理名	5.1 個人特定(入籍) 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子の新戸籍編製)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日があれば処理日,処理日がないときは送付日,送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード		有		⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合,『養子の筆頭者区分』を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者)の場合,1(筆頭者)を設定 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合,『養女の筆頭者区分』を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者)の場合,1(筆頭者)を設定				
	配偶者区分			･養子の個人特定の場合 養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合,『養子の配偶者区分』を移送 養子の配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者)の場合,『届後戸籍での配偶者区分』を移送 ･養女の個人特定の場合 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合,『養女の配偶者区分』を移送 養女の配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者)の場合,『届後戸籍での配偶者区分』を移送				
	父			養子の父氏名 養女の父氏名				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　または 「養母」≠ 空白　のとき, 『養子』(養子の個人特定の場合),『養女』(養女の個人特定の場合)を設定する				
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	81/131

処理名	5.2 個人特定(入籍) 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子の戻る戸籍)入籍 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							戻る戸籍の戸籍番号を設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日があれば処理日,処理日がないときは送付日,送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード		有		⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			養子の父氏名 養女の父氏名				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄				⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				
	養母			離縁後変更養母氏名				
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白　または 「養母」≠ 空白　のとき, 『養子』 『養女』				 ⇐ 養子の個人特定の場合 ⇐ 養女の個人特定の場合
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	82/131

処理名	5.3 個人特定(記録) 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(戸籍の変動なし)記録 ←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父		中間ファイル (届書)	･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 1,3,7,9,10,13,14,15　の場合,スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 4,6,7,10,11,12,13,15　の場合,スペースを設定する				
	養母			･養子の場合 離縁形態区分 ＝ 2,3,8,11,12,13,14,15　の場合,スペースを設定する ･養女の場合 離縁形態区分 ＝ 5,6,8,9,10,12,14,15　の場合,スペースを設定する				
	養父母との続柄							「養父」＝ 空白　かつ「養母」＝ 空白　の場合,空白を設定する
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	83/131

処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(1/4)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日 または離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル (届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合 かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 養子の身分事項であれば"007"『妻』を 養女の身分事項であれば"006"『夫』を設定する				
		共同離縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ,養父の本籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養母 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	84/131

処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(1/4)	養母の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養母の本籍を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	85/131

処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(2/4)		離縁の方式		中間ファイル (届書)	離縁の方式				
		裁判所			外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕		有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は,資格をコード変換した名称を設定する ただし,協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定,協議者2は設定しない 氏名は,001(父),002(母),016(親権者父),017(親権者母),023(親権者となるべき父),024(親権者となるべき母),005(父母),018(親権者父母),025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁),かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕		有		
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を設定
		届出人(1) 資格名称							
		届出人(1) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		届出人(2) 資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		届出人(2) 資格名称							
		届出人(2) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出日			受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	86/131

処理名	6.1 養子(入籍) 編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目				
						名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(3/4)		証書提出者(1) 資格			中間ファイル (届書)	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合、『15歳未満の届出人資格1』を設定
		証書提出者(1) 資格名称								
		証書提出者(1) 氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出者(2) 資格						有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		証書提出者(2) 資格名称								
		証書提出者(2) 氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023.024は未設定)
		記録請求日								
	送付	送付を受けた日				送付日				
	送付	受理者				発送元				
	許可	許可日								
	許可	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可	許可を受けた日								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍 本籍				養子の本籍 または 養女の本籍				⇐ 養子の身分事項の場合 ⇐ 養女の身分事項の場合
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者				養子の筆頭者 または 養女の筆頭者				⇐ 養子の身分事項の場合 ⇐ 養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	87/131

処理名	6.1 養子(入籍) 編集･出力　4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍(4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル (届書)					
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	88/131

処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(1/4)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日 または離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル (届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合 かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 養子の身分事項であれば"007"『妻』を 養女の身分事項であれば"006"『夫』を設定する				
		共同離縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ,養父の本籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養母 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	89/131

処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(1/4)	養母の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養母の本籍を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	90/131

処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(2/4)		離縁の方式		中間ファイル (届書)	離縁の方式				
		裁判所			外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕		有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は,資格をコード変換した名称を設定する ただし,協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定,協議者2は設定しない 氏名は,001(父),002(母),016(親権者父),017(親権者母),023(親権者となるべき父),024(親権者となるべき母),005(父母),018(親権者父母),025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁),かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕		有		
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を設定
		届出人(1) 資格名称							
		届出人(1) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		届出人(2) 資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		届出人(2) 資格名称							
		届出人(2) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出日			受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	91/131

処理名	6.2 養子(除籍) 編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目				
						名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(3/4)		証書提出者(1)	資格		中間ファイル (届書)	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合、『15歳未満の届出人資格1』を設定
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023.024は未設定)
		記録請求日								
	送付	送村を受けた日				送付日				
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	92/131

処理名	6.2 養子(除籍) 編集･出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル (届書)	届後本籍				戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		称する氏			『届後戸籍の筆頭者』の氏				氏区分 ＝ 3の場合に設定
		復する氏			『届後戸籍の筆頭者』の氏				氏区分 ＝ 2かつ戸籍変動区分 ＝ 2の場合に設定
		入籍戸籍 本籍			届後本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
		入籍戸籍 筆頭者			届後戸籍の筆頭者				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に設定
	記録	記録日							
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	93/131

処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(1/4)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日 または離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル (届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3 又は 4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2 のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5 のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6 のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者 資格			離縁形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合 かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存者) のとき 養子の身分事項であれば"007"『妻』を 養女の身分事項であれば"006"『夫』を設定する				
		共同離縁者 資格名称							
		養父 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養父 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定				
		養父の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14 のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人) の場合のみ,養父の本籍を設定				
		養母 亡区分			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者) の場合,"亡"を設定				
		養母 氏名			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	94/131

処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(1/4)	養母の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10 のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13 のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養母の本籍を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	95/131

処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(2/4)		離縁の方式		中間ファイル (届書)	離縁の方式				
		裁判所			外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕		有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ離縁成立日 ＝ スペースのとき設定 資格名称は,資格をコード変換した名称を設定する ただし,協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定,協議者2は設定しない 氏名は,001(父),002(母),016(親権者父),017(親権者母),023(親権者となるべき父),024(親権者となるべき母),005(父母),018(親権者父母),025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁),かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕		有		
		協議者 資格名称			※				
		協議者 氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を設定
		届出人(1) 資格名称							
		届出人(1) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		届出人(2) 資格					有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		届出人(2) 資格名称							
		届出人(2) 氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出日			受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	96/131

処理名	6.3 養子(記録) 編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(3/4)		証書提出者(1)	資格		中間ファイル (届書)	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合、『15歳未満の届出人資格1』を設定
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出者(2)	資格					有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称							
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023.024は未設定)
		記録請求日								
	送付	送村を受けた日				送付日				
		受理者				発送元				
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた日								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	97/131

処理名	6.3 養子(記録) 編集･出力　4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)記録　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)記録(4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル (届書)					
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	98/131

処理名	7.1養親(記録) 編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項(養親)記録(1/3)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日 または離縁成立日 双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3,6,10,12～15 かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存者) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養父の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の譜合"007"『妻』を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合『養母氏名』を設定する(この場合資格は未設定) 養母の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"『妻』を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合『養父氏名』を設定する(この場合資格は未設定)				
			資格名称						
		養子	亡区分						養子に入力があるとき,また養子養女双方に入力があるとき 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定 養女だけに入力があるとき 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定
			氏名		養子(女)の漢字氏名				条件は上記のとおり
			養子の国籍		養子(女)の本籍				条件は上記のとおり 養子(女)の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	99/131

処理名	7.1養親(記録) 編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称			記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(2/3)		養子	亡区分		中間ファイル (届書)	養父の身分事項の場合,離縁形態区分 ＝ 9,11,12,14のとき設定不要(氏名,国籍も同様) 養母の身分事項の場合,離縁形態区分 ＝ 9,10,11,13のとき設定不要(氏名,国籍も同様) 養子養女の双方に入力がある場合,養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
			氏名			養女の漢字氏名					条件は上記のとおり
		養子の国籍				養女の本籍					条件は上記のとおり 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
		離縁の方式				離縁の方式					
		裁判所				外国裁判所名					
	協議者 (1)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1			有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ 離縁成立日 ＝ スペースかつ 養子の外人区分又は養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人氏名1					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者 (2)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2					
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人民名2			有		
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日				受領日					裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人 (1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			有		裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合設定不要 013,014の場合左記項目を移送 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を移送
			資格名称								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を移送 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
			氏名								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	100/131

処理名	7.1 養親(記録) 編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(3/3)	届出人(2)	資格		中間ファイル (届書)			有		裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合『15歳未満の届出人資格2』を移送 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は、養子の身分事項の届出人と同様
		資格名称							
		氏名							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合『15歳未満の届出人氏名2』を移送 (届出人資格:001,002,016.017,023,024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1)、(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(1)と同じ
	証書提出者(2)	資格							条件は届出人(2)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(2)と同じ
	記録請求日								
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	記録	記録日			処理日				
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	101/131

処理名	8.1 養子の日本人配偶者(入籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)入籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配縄者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル (届書)					処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 ″妻の離縁″を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 ″夫の離縁″を設定
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本籍 または 養女の本籍				⇐　養子に入力がある場合 ⇐　養女に入力がある場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者 または 養女の筆頭者				⇐　養子に入力がある場合 ⇐　養女に入力がある場合
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	102/131

処理名	8.2 養子の日本人配偶者(除籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)除籍　← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)除籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0402(配偶者の離縁)
	記録コード								0403(養子の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル (届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日							処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の離縁"を設定 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の離縁"を設定
	許可	詩可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		評可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			届後本籍				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	103/131

処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)記録	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル (届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	104/131

処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力 2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)記録	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日			中間ファイル (届書)					
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			同時親権者資格				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	105/131

処理名	9.1 養子(親権･記録) 編集･出力 3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)記録	親権回復者	資格		中間ファイル (届書)					
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	106/131

処理名	9.1 養子(親権・記録) 編集・出力 4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)記録	届出日			中間ファイル (届書)	受領日				
	届出人(1)	資格			同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 『同時親権者資格』と『同時親権届出人資格』が 001(父)と002(母)の組み合わせは『父母』を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは『養父母』を設定 上記以外は『同時親権者資格』を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)または3(審判)の場合、『同時親権者資格』を移送				
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格			同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 『同時親権者資格』と『同時親権届出人資格』が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格』を移送 同時親権届の種別) ＝ 2(調停)または3(審判)の場合、設定不要				
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	107/131

処理名	9.2 養子(親権･移記) 編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)移記	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル (届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	108/131

処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力 2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)移記	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日			中間ファイル (届書)					
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権移記親権者区分				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	109/131

処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力 3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)移記	親権回復者	資格		中間ファイル (届書)					
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	110/131

処理名	9.2 養子(親権・移記) 編集・出力 4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)移記	届出日			中間ファイル (届書)					
	届出人(1)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日								
	受理者								
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日　または 送付日　または 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	111/131

処理名	9.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル (届書)					裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見開始事由							
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見終了日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	112/131

処理名	9.3 養子(未成年後見･記録) 編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	未成年後見監督終了日		中間ファイル (届書)					
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	113/131

処理名	9.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日								
	未成年後見人	資格		中間ファイル (届書)					
		資格名称							
		氏名			親権者・未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍	本籍			親権者・未成年後見人本籍				
		筆頭者			親権者・未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍				15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所								
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	114/131

処理名	9.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	未成年後見監督人の生年月日			中間ファイル (届書)					
	未成年後見監督人の住所								
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	115/131

処理名	9.3 養子(未成年後見・記録) 編集・出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				
	受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を							
	受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日							
	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	116/131

処理名	10.1 養父 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養父	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養父	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							0.4(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養父の本籍コード				
	新本籍			養父の本籍				
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			養父の筆頭者				
	旧筆頭者			養父の筆頭者				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養父の世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	117/131

処理名	10.1 養父 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養父　←	(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養父	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	118/131

処理名	10.2 養母 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養母	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養母	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							0.4(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養母の本籍コード				
	新本籍			養母の本籍				
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			養母の筆頭者				
	旧筆頭者			養母の筆頭者				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養母の世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	119/131

処理名	10.2 養母 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養母	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養母	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	120/131

処理名	10.3 養子 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							0.4(養子離縁)
	受理日			送付日				送付日がない場合は受領日を設定
				受領日				
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養子の漢字氏名』の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『養子の漢字氏名』を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養子の本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がある ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養子の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	121/131

処理名	10.3 養子 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子	住所コード		中間ファイル (届書)	養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	122/131

処理名	10.4 養女 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養女	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養女	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							0.4(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養女の漢字氏名』の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『養女の漢字氏名』を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がある ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養女の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	123/131

処理名	10.4 養女 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養女	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養女	住所コード		中間ファイル (届書)	養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養女の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	124/131

処理名	10.5 養子(女)の配偶者 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養子(女)の配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(女)の配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							0.4(養女離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『配偶者漢字氏名』の名　を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『配偶者漢字氏名』を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード 養女の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍 養女の本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がある ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がない
	旧筆頭者			養女の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	125/131

処理名	10.5 養(女)の配偶者 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養(女)の配偶者← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(女)の配偶者	旧本籍		中間ファイル (届書)	養子の本籍 養女の本籍				⇐ 養子に入力がある場合 ⇐ 養女に入力がある場合
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭考に入力がある ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合 ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 養子に入力がある場合 ⇐ 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	126/131

処理名	11.1養女 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/養女 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書)(30条12第1項) 養女	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					0.4(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養子の漢字氏名』の名 を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『養子の漢字氏名』を移送
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新性別							養子の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合
				養子の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合
				養子の本籍				⇐ 届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がある
				養子の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がない

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	127/131

処理名	11.1養子 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/養子 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｬｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 養子	旧筆頭者		中間ファイル (届書)	養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	128/131

処理名	11.2養女 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/養女 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書)(30条12 第1項) 養女	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『養女の漢字氏名』の名 を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『養女の漢字氏名』を移送
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新性別							養女の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合
				養女の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がない場合
	新本籍			届後本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合
				養女の本籍				⇐ 届後本籍に入力がない場合
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				⇐ 届後筆頭者に入力がある場合
				養女の筆頭者				⇐ 届後筆頭者に入力がない場合

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	129/131

処理名	11.2養女　編集･出力　2/2	(受取側)　中間ファイル(30条12第1項)/養女　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 養女	旧筆頭者		中間ファイル (届書)	養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	130/131

処理名	11.3養子(女)の配偶者 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)の配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書)(30条12第1項) 養子(女)の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	出張所番号			出張所番号				17(失踪宣告届)
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					04(養子離縁)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							届後戸籍の筆頭者に入力がある場合 『届後戸籍の筆頭者』の氏 + 『配偶者漢字氏名』の名 を設定 届後戸籍の筆頭者に入力がない場合 『配偶者漢字氏名』を移送
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							養子(女)の配偶者の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード 養子の本籍コード 養女の本籍コード				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合
	新本籍			届後本籍 養子の本籍 養女の本籍				⇐ 届後本籍に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がなく、養子に入力がある場合 ⇐ 届後本籍に入力がなく、養女に入力がある場合

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	131/131

処理名	11.3 養子(女)の配偶者 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)の配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 養子(女)の配偶者	旧本籍コード		中間ファイル (届書)	養子の本籍コード 養女の本籍コード				⇐ 養子に入力がある場合 ⇐ 養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本籍 養女の本籍				⇐ 養子に入力がある場合 ⇐ 養女に入力がある場合
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者 養子の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がある ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合 ⇐ 届後戸籍の筆頭者に入力がなく養子に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				⇐ 養子に入力がある場合 ⇐ 養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

5.特別養子縁組届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/24

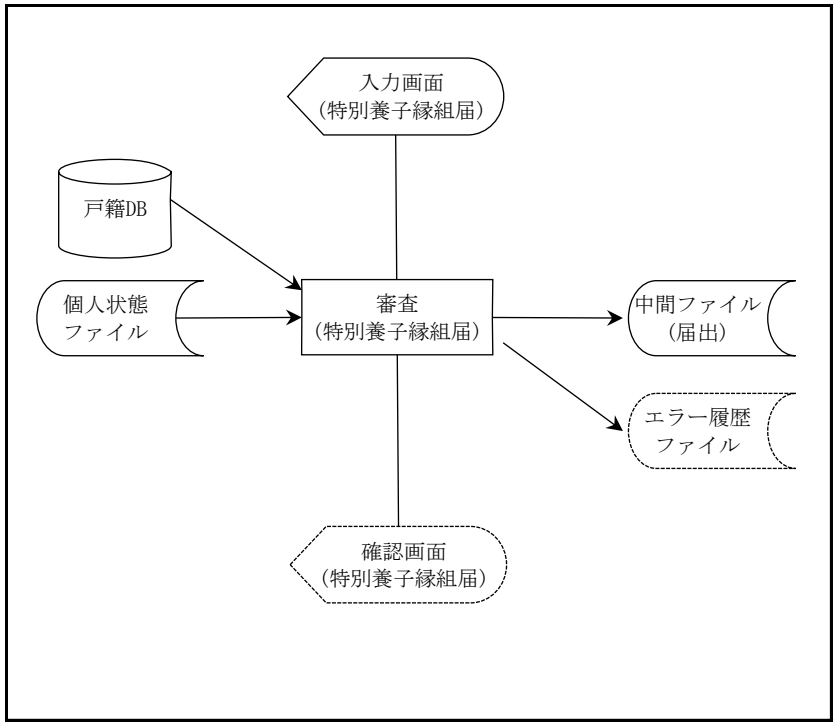
1.特別養子縁組業務処理範囲外の処理
・養親が改正前国籍法(昭和59.12.31以前)で渉外婚姻をしている場合は、養親の新戸籍を編製した後特別養子縁組を行うようになる。
・養父母の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では関連チェック(NO.41)でエラーとなる。

2.特別養子縁組入力画面の意義
・その1画面　養子となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その2画面　養親となる者の現在の状況の各項目を入力する
・その3画面　縁組後の新本籍や届出人に関する各項目を入力する
・縁組形態入力画面　縁組の形態を入力する

3.その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/24

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1) 特別養子縁組届の内容を画面入力する。
(2) 特別養子縁組届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 特別養子縁組届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4) 審査を行う。
(5) 特別養子縁組届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6) 入力確認(特別養子縁組届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 養子審査ルーチン
    - 3.1　日付審査ルーチン
    - 3.2　養親審査ルーチン
  - 4.0 データ編集(中間ファイル(届書))

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/24

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4) 入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5) 画面の入力項目をすべて入力禁止とする	/		
	(6) 審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7) 中間ファイル(届書)の編集・出力 [4.0]		(8) 入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9) メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査エラー (10) エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12) 確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	----〉		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	----〉		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16) 前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17) 前ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集・表示する		(18)同画面を編集する	
	NO (19) エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20) 次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(特別養子縁組届)を編集・表示する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF10	(24) 画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25) 当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26) 入力画面を初期化する			
その他	(27) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/24

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(1/4)	特別養子縁組(縁組形態区分入力)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	縁組形態区分	○	数字	(1:養子と養父,2:養子と養母,3:養子と養父母)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	5/24

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(2/4)	特別養子縁組(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
2	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
3	受領番号		数字				
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
8	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
10	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	報告区分	○	数字	(2:報告的届出)であること			
12	-----						
13	養子の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
14	養子の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
15	養子の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
16	養子の性別	○	数字	(1:男,2:女)であること			
17	養子のカナ氏名		カナ				
18	養子の漢字氏名	○	漢字				
19	養子の本･国籍	○	漢字				
20	養子の住所		漢字				
21	養子の筆頭者氏名		漢字				
22	養子の世帯主氏名		漢字				
23	養子の父氏名		漢字				
24	養子の母氏名		漢字				
25	父母との続柄		数字	10(男)～49(十九女)であること。			
26	養父母との続柄	○	数字	11(長男)～29(十九男),31(長女)～49(十九女)であること。			
27	養子の筆頭者区分		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/24

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(3/4)	特別養子縁組(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
28	養父の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
29	養父の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
30	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
31	養父のカナ氏名		カナ				
32	養父の漢字氏名		漢字				
33	養父の本･国籍		漢字				
34	養父の住所		漢字				
35	養父の筆頭者氏名		漢字				
36	養父の世帯主氏名		漢字				
37	養父の筆頭者区分		数字				
38	養父の配偶者区分		数字				
39	養母の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
40	養母の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
41	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
42	養母のカナ氏名		カナ				
43	養母の漢字氏名		漢字				
44	養母の本･国籍		漢字				
45	養母の住所		漢字				
46	養母の筆頭者氏名		漢字				
47	養母の世帯主氏名		漢字				
48	養母の筆頭者区分		数字				
49	養母の配偶者区分		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/24

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(4/4)	特別養子縁組(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:本籍と同一の場所に新戸籍をつくった後養親の戸籍に入る 2:養子の戸籍に変動がない 3:本籍と同一の場所に新戸籍をつくる 4:その他(外国人の場合等))であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
51	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
52	縁組方式		漢字				
53	同一戸籍縁組		数字	(1:同一戸籍内縁組,0:その他)であること			
54	届出人資格コード	○	数字	(10:養父,11:養母,12:養父母)であること			
55	配偶者同一戸籍		数字	(1:配偶者と同一戸籍,0:その他)			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	8/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(1/7)	特別養子縁組(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり、 (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分は入力がないこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があり、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分は入力がないこと			
3	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分～(No.38)養父の配偶者区分のいずれかに入力があり、かつ (No.39)養母の外国人区分～(No.49)養母の配偶者区分のいずれかに入力があること			
4	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.06)発送元 ＝ スペースであること			
5	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.06)発送元 ≠ スペースであること			
6	(No.05)送付日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ≧ (No.04)受領日であること			
7	(No.05)送付日 ＝ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
8	(No.06)発送元 ≠ スペースの時、(No.07)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
9	(No.06)発送元 ≠ スペースかつ (No.06)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』のとき (No.07)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
10	(No.06)発送元 ≠ スペースかつ (No.06)発送元の最終文字が『市』『区』『長』『村』『町』以外のとき (No.07)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.07)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
11	(No.08)処理日 ≠ スペースの時、(No.08)処理日>(No.04)受領日であること			
12	――――――――――――――――――――――――――――――			
13	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.05)送付日 ＝ スペースであること			
14	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.10)郵送日 ≦ (No.04)受領日であること			
15	(No.10)郵送日 ≠ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.10)郵送日であり、 (No.10)郵送日 ＝ スペースの時、(No.51)裁判確定日 ≦ (No.04)受領日であること			
16	(No.09)本非区分 ＝ 1の場合、(No.14)養子の本非区分･(No.29)養父の本非区分･(No.40)養母の本非区分のいずれか ＝ 1であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(2/7)	特別養子縁組(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.15)養子の生年月日 ＝ (和暦)、 (No.19)養子の本･国籍 ≠ スペース、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0又は1、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
18	(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.15)養子の生年月日 ＝ (西暦)、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.27)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4であること			
19	(No.20)養子の住所 ＝ スペースの場合、(No.22)養子の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
20	(No.22)養子の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.20)養子の住所 ≠ スペースであること			
21	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男かつ、(No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 10～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女かつ、(No.25)父母との続柄 ≠ スペースの時、 (No.25)父母との続柄 ＝ 30～49であること			
22	(No.16)養子の性別 ＝ 1:男の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 11～29であること (No.16)養子の性別 ＝ 2:女の時、(No.26)養父母との続柄 ＝ 31～49であること			
23	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、(No.18)養子の漢字氏名 ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名であること			
24				18版で削除
24-1	(No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.18)養子の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.21)養子の筆頭者氏名の｢氏｣であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	10/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(3/7)	特別養子縁組(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.30)養父の生年月日 ＝ (和暦) (No.33)養父の本･国籍 ≠ スペース、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0又は1であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
26	(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.30)養父の生年月日 ＝ (西暦) (No.33)養父の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
27	(No.34)養父の住所 ＝ スペースの場合、(No.36)養父の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
28	(No.36)養父の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.34)養父の住所 ≠ スペースであること			
29	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.32)養父の漢字氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名であること			
30				18版で削除
30-1	(No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.32)養父の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名の｢氏｣であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	11/24

処理名	画面名	画面ID
2.0 関連チェック表(4/7)	特別養子縁組(その1～その3)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.41)養母の生年月日 ＝ (和暦) (No.44)養母の本･国籍 ≠ スペース、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ≠ スペース、 (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0か1であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
32	(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.41)養母の生年月日 ＝ (西暦) (No.44)養母の本･国籍 ＝ 国籍、 (No.46)養母の筆頭者氏名 ＝ スペース、 (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
33	(No.45)養母の住所 ＝ スペースの場合、(No.47)養母の世帯主氏名 ＝ スペースであること			
34	(No.47)養母の世帯主氏名 ≠ スペースの場合、(No.45)養母の住所 ≠ スペースであること			
35	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者の場合、 (No.43)養母の漢字氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
36				18版で削除
36-1	(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、 (No.43)養母の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名の｢氏｣であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/24

処理名	画面名	画面ID
2.0 関連チェック表(5/7)	特別養子縁組(その1～その3)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1, 3の場合、 (No.38)養父の配偶者区分 ＝ 1:夫であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		民第817条の3
38	(No.01)縁組形態区分 ＝ 2, 3の場合、 (No.49)養母の配偶者区分 ＝ 2:妻であること			民第817条の3
39	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0かつ、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1かつ(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 0であるか、又は (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 0かつ(No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1であること			
40	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0かつ、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0である場合、 (No.33)養父の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍　かつ、 (No.35)養父の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名であること			
41	(No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人かつ、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人の場合、 (No.37)養父の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること、又は (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人かつ、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.48)養母の筆頭者区分 ＝ 1:筆頭者であること			
42	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1でかつ、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1かつ、(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合、又は (No.01)縁組形態区分 ＝ 2でかつ、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1かつ、(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3でかつ、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 1かつ、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1かつ、(No.13)養子の外国人区分 ＝ 1の場合、 (No.50)戸籍変動区分 ＝ 4:その他でかつ、(No.52)縁組方式 ＝ スペースであること			ALL外人の時の チェック

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(6/7)	特別養子縁組(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
43	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1～3の時、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
44	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他　であること			
45	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の場合、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他　であること			
46	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1でかつ、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 0又は、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0であり、かつ (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他　であること			
47	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 2の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 1かつ (No.27)養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員であり、かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1かつ、(No.28)養父の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2のかつ、(No.39)養母の外国人区分 ＝ 0:日本人の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.44)養母の本･国籍、 (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.46)養母の筆頭者氏名、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の場合、 (No.19)養子の本･国籍 ＝ (No.33)養父の本･国籍、又は(No.44)養母の本･国籍であり (No.21)養子の筆頭者氏名 ＝ (No.35)養父の筆頭者氏名、又は (No.46)養母の筆頭者氏名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(7/7)	特別養子縁組(その1～その3)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3の時、 (No.53)同一戸籍縁組 ＝ 0:その他であり、かつ (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
49	(No.55)配偶者同一戸籍 ＝ 1:同一戸籍の場合、 (No.13)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人、かつ (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、 (No.28)養父の外国人区分 ＝ 1:外国人であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、 (No.39)養母の外国人区分 ＝ 1:外国人であり、 (No.01)縁組形態区分 ≠ 3であること			
50	(No.01)縁組形態区分 ＝ 1の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 2の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 11であり、 (No.01)縁組形態区分 ＝ 3の時、(No.54)届出人資格コード ＝ 10又は11又は12であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	15/24

処理名	3.0 養子審査ルーチン (1-1/2)			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES	(0-3)→(0-6)へ	/		R2.1(特養42)
NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	
(0-6)(養子の外国人区分=0:日本人 かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) または (養父の外国人区分=0:日本人 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) または (養母の外国人区分=0:日本人 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		R2.1(特養42)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-8)本紙へ	
YES	(0-9)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ	/		
(1)事件本人が外国人である(YES,NO)		/		
YES	(2)→		(3)本紙へ	受理
NO	(4)→(5)へ	/		
(5)確認メッセージ(YES,NO)「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか。」を表示			(6)本紙へ	戸63条の1
YES	(7)→(9-1)へ	/		
NO	(8)→		(9)本紙へ	不受理
(9-1)養子の外国人区分=0:日本人(YES, NO)		/		
YES	(9-2)養子の父氏名=スペース又は養子の母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(9-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(9-4)本紙へ	
YES	(9-5)→(9-16)へ	/		R2.1(特養44)
NO	(9-6)→		(9-7)本紙へ	不受理
NO	(9-8)父母との続柄=10(男)又は30(女)である(YES,NO)	/		R2.1(誤修正)
YES	(9-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(9-10)本紙へ	
YES	(9-11)→(9-16)へ	/		R2.1(特養44)
NO	(9-12)→		(9-13)本紙へ	不受理
NO	(9-14)→(9-16)へ	/		R2.1(特養44)
NO	(9-15)→(9-16)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	16/24

処理名	3.0 養子審査ルーチン (1-2/2)			根拠法令(マニュアル処理)	
(9-16)養子の生年月日+18年(18歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/		R2.1で(9-16)～(9-19)を追加	R2.1(特養44)
YES	(9-17)エラーメッセージ「養子となる者は成立時に１８歳に達しています。」を表示		(9-18)本紙へ	不受理、民第817条の5第1項後段	
NO	(9-19)→(10)へ	/			
(10)養子の生年月日+15年(15歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/			
YES	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者は１５歳以上ですが、審判申立日現在は１５歳未満ですか。」を表示		(12)本紙へ	民第817条の5第1項前段	
YES	(13)→(24)へ	/		R2.1で(14)(15)を削除し、(17)を(15)に変更	
NO	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「１５歳に達する前から養親に監護されており、申立ができなかった理由がありますか」を表示		(16)本紙へ	民第817条の5第2項 文字制限が無い場合のメッセージ例「養子となる者は１５歳に達する前から養親となる者に監護されており、１５歳までに審判申立ができなかった事由がありますか。」	
YES	(18)→(24)へ	/		R2.1で(17)(19)を削除	
NO	(20)→		(21)本紙へ	不受理	
NO	(22)→		(23)3.1日付審査へ		
(24)確認メッセージ(YES,NO) 「養子となる者の同意はありますか。」を表示			(25)本紙へ	R2.1で(24)～(29)を追加 民第817条の5第3項	
YES	(26)→		(27)3.1日付審査へ		
NO	(28)→		(29)本紙へ	不受理	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	17/24

処理名	3.1 日付審査ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
				R2.1版で(1)～(10),(15)～(20)を削除 R2.1(特養43)
	(11)裁判確定日+10日>受領日(YES,NO)		/	戸68の2･63Ⅰ
	YES	(12)→		(13)3.2養親審査へ
	NO	(14)メッセージ 「届出期間を過ぎています。」を表示		(14-1)3.2養親審査へ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	18/24

処理名	3.2 養親審査ルーチン (1/1)			根拠法令(マニュアル処理)
(1)縁組形態区分=1である(YES,NO)			/	
YES	(2)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/	民第817条の4
	YES	(3)→		(4)本紙へ	受理
	NO	(5)確認メッセージ(YES,NO) 「養父は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示			
		YES	(6)→		受理
		NO	(7)→		不受理
NO	(8)→(9)へ		/	
(9)縁組形態区分=2である(YES,NO)			/	
YES	(10)養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/	民第817条の4
	YES	(11)→		(12)本紙へ	受理
	NO	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「養母は審判日に25歳に達していませんが、よろしいですか。」を表示			
		YES	(14)→		受理
		NO	(15)→		不受理
NO	(16)→(17)へ		/	
(17)縁組形態区分=3である(YES,NO)			/	
YES	(18)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ　養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)		/	民第817条の4
	YES	(19)→		(20)本紙へ	受理
	NO	(21)養父の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日　かつ　養母の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)	/	民第817条の4
		YES	(22)→		(23)本紙へ	受理
		NO	(24)養父の生年月日+20年(20歳以上)≦裁判確定日　かつ　養母の生年月日+25年(25歳以上)≦裁判確定日(YES,NO)	/	民第817条の4
			YES	(25)→		(26)本紙へ	受理
			NO	(27)確認メッセージ(YES,NO) 「養父母は審判日に25歳(一方20歳以上で可)未満ですがよろしいですか。」を表示		
				YES	(28)→		受理
				NO	(29)→		不受理
NO	(30)→						不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集　(1/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←　(引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		特別養子縁組画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							05(特別養子縁組届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時1 在外送付区分 ＝ 1～3の時2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0:不要
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人の場合は0を移送 事件本人のうち全員ではないが、1人以上外国人がいる場合は1を移送 事件本人全員が外国人の場合は2を移送
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号		本籍人検索サブシステムインターフェース					養子、養親が本籍人の場合、選択戸籍番号をセット
	事件別内容							3/6～6/6参照
	不受理申出処分区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集　(2/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		特別養子縁組画面					審査の結果によりセットする 審査において1つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							0:未決裁
	届書排他区分							再入力の場合1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集　(3/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←　(引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書)	縁組形態区分		特別養子縁組画面	縁組形態区分				
事件別	養子個人番号							本籍人の時、戸籍個人番号を移送
	養子の外国人区分			養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別区分			養子の性別区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者カナ氏名							
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集　(4/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←　(引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書)	養父個人番号		特別養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
事件別	養父の外国人区分			養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の筆頭者カナ氏名							
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	23/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 (5/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書)	養母個人番号		特別養子縁組画面					本籍人の時、戸籍個人番号を移送
事件別	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							
	養母の筆頭者カナ氏名							
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				

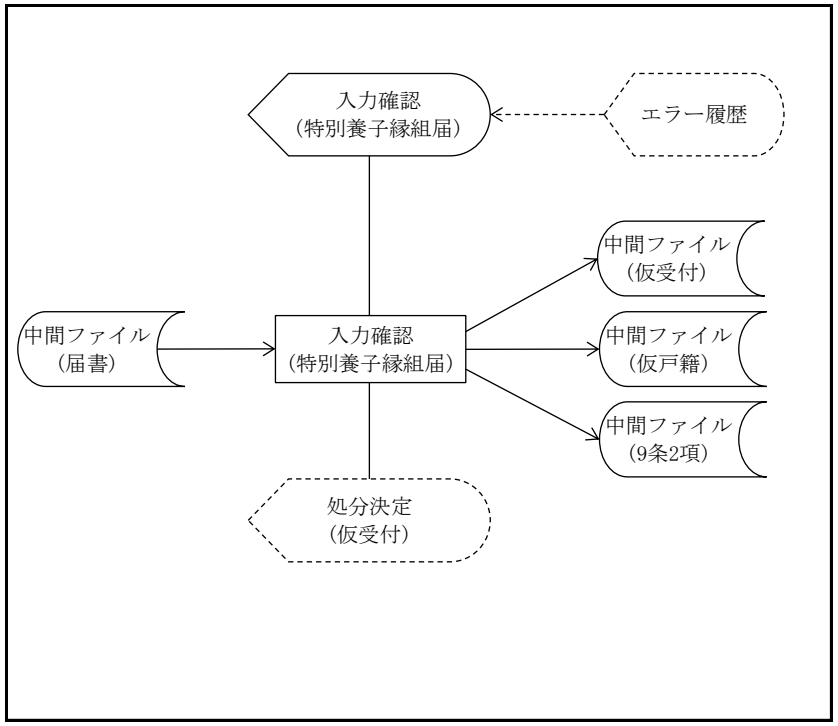
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/24

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集　(6/6)	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　← (引渡側)特別養子縁組届画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書)	戸籍変動区分		特別養子縁組画面	戸籍変動区分				
事件別	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年3月31日	19	1/30

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 4.1 養子(除籍)
    - 4.2 養子(新戸)
    - 4.3 養子(入籍)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 養親(記録)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 養子
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 7.1 養子(新戸)
    - 7.2 養子(入籍)
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	2/30

処理名	0.0 本紙 1/2			根拠法令(マニュアル処理)
	(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」を表示する [1.0]	/		
	(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)	/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の変動状況を決定する [2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]	/		
	(5)養子の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	(6)養子は本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (7)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 1である(YES,NO)	/		
	YES (8)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]	/		
	(9)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない	/		
	(10)身分事項:養子(新戸)の編集をする [4.2]	/		
	(11)入籍する養親の戸籍は管内である(YES,NO)	/		
	YES (12)身分事項:養子(入籍)の編集をする [4.3]	/		
	NO (13)→(33)へ	/		
	NO (14)→(15)へ	/		
	(15)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 2である(YES,NO)	/		
	YES (16)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]	/		
	(17)身分事項:養子(入籍)の編集をする [4.3]	/		
	NO (18)→(19)へ	/		
	(19)届書ファイル.戸籍変動区分 ＝ 3である(YES,NO)	/		
	YES (20)身分事項:養子(除籍)の編集をする [4.1]	/		
	(21)養子の身分事項で出生(0101)以外のものは新戸籍に移記しない	/		
	(22)身分事項:養子(新戸)の編集をする [4.2]	/		
	NO (23)→(33)へ	/		
	NO (24)養子は外国人である(YES,NO)	/		
	YES (25)養父に入力がある(YES,NO)	/		
	NO YES (26)養父は本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (27)身分事項:養親(記録)の編集をする [5.1]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	3/30

処理名	0.0 本紙 2/2			根拠法令(マニュアル処理)
	NO (28)→(29)へ			
	NO		/	
	(29)養母に入力がある(YES,NO)		/	
	YES (30)養母は本籍人である(YES,NO)		/	
	YES (31)身分事項:養親(記録)の編集をする [5.1]		/	
	NO (32)→(33)へ			
	NO		/	
	NO			
	(33)在外送付区分 ＝ 0又は2である(YES,NO)		/	
	YES (34)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [6.0]		/	
	(35)養子の外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)		/	
	YES (36)届書ファイル.戸籍変動区分		/	
	1 (37)養子の編集(新戸) [6.1]		/	
	(37-1)養子の編集(入籍) [6.2]			(37-2)処分決定に制御を渡す
	2 (37-3)養子の編集(変動なし) [6.3]			
	3 (37-4)養子の編集(新戸のみ) [6.4]			
	NO (38)→			
	NO			
PF1	---->			(39)業務選択に制御を渡す
PF2	---->			(40)届出選択に制御を渡す
PF5	---->			(41)審査(特別養子縁組)に制御を渡す
PF7	(42)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	
	YES (43)前ページ分の「特別養子縁組届」画面を編集･表示する			(44)同画面を編集する
	NO (45)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(46)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	
	YES (47)次ページ分の「特別養子縁組届」画面を編集･表示する			(48)同画面を編集する
	NO (49)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF11	---->			(50)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(51)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(52)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	4/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(1/6)	(受取側)特別養子縁組画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(縁組形態入力) 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	縁組形態区分		中間ファイル(届書) 事件別	縁組形態区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	5/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(2/6)	(受取側)特別養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(その1)～(その3) 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	6/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(3/6)	(受取側)特別養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(その1) 確認画面	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の性別			養子の性別				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者氏名			養子の筆頭者氏名				
	養子の世帯主氏名			養子の世帯主氏名				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄					有		
	養父母との続柄コード			養父母との続柄コード				
	養父母との続柄					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	7/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(4/6)	(受取側)特別養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(その2) 確認画面	養父の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の筆頭者氏名			養父の筆頭者氏名				
	養父の世帯主氏名			養父の世帯主氏名				
	養父の筆頭者区分			養父の筆頭者区分				
	養父の筆頭者					有		
	養父の配偶者区分			養父の配偶者区分				
	養父の配偶者					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	8/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(5/6)	(受取側)特別養子縁組届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(その2) 確認画面	養母の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				
	養母の筆頭者氏名			養母の筆頭者氏名				
	養母の世帯主氏名			養母の世帯主氏名				
	養母の筆頭者区分			養母の筆頭者区分				
	養母の筆頭者					有		
	養母の配偶者区分			養母の配偶者区分				
	養母の配偶者					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	9/30

処理名	1.0確認画面(特別養子縁組届)表示(6/6)	(受取側)特別養子縁組届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
特別養子縁組届(その3) 確認画面	戸籍変動区分		中間ファイル(届書) 事件別	戸籍変動区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	縁組方式			縁組方式				
	同一戸籍縁組区分			同一戸籍縁組区分				
	届出人資格コード			届出人資格コード				
	配偶者同一戸籍			配偶者同一戸籍				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	10/30

処理名　2.0戸籍編製マトリックス表　特別養子縁組(1/2)

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人					A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 C.2	A.2 7.2 D.1
1	○		○				○	○		－					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
2	○		○				○	○		－	○									養子 4.1	養子 4.3
3	○		○				○		○	－					養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
4	○		○				○			○					養子 4.1	養子 4.2					
5	○		○			○		○							養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
6	○		○			○			○						養子 4.1	養子 4.2	養子 4.2				
7	○		○			○				○					養子 4.1	養子 4.2					
8	○		○			○		○			○									養子 4.1	養子 4.3
9	○		○			○				○		○								養子 4.1	養子 4.3
10	○			○			○	○		－				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
--																					
12	○			○			○		○	－				養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
13	○			○			○			○				養子 4.1		養子 4.2					

処理名　2.0戸籍編製マトリックス表　特別養子縁組(2/2)

項番	養子					養親					同一戸籍	配偶者同一戸籍		養子の戸籍		養子の新戸籍		養親の戸籍			
	本籍		他の在籍者		外国人	単身縁組	夫婦縁組	本籍		外国人				全部除籍	一部除籍	新戸籍編製	全部除籍	一部記録	変動なし	一部除籍	末尾記録
	本籍人	非本籍人	有	無				本籍人	非本籍人					A.2 B.2 C.2	A.2 C.2	8.0 B.1 7.1 D.1 ※1	A.2 B.2 C.2	A.2 7.2 D.1		A.2 C.2	A.2 7.2 D.1
14	○			○		○		○						養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2	養子 4.3			
15	○			○		○			○					養子 4.1		養子 4.2	養子 4.2				
16	○			○		○				○				養子 4.1		養子 4.2					
--																					
--																					
19					○		○	○											養親 5.1		
20					○		○	○		○									養親 5.1		
21					○	○		○											養親 5.1		
22		○	-	-			○	○										養子 4.3			
23		○	-	-			○	○		○								養子 4.3			
24		○	-	-		○		○										養子 4.3			

※1　実親の本籍地(従前の本籍地)に養親の氏 + 子の名、又は養子の氏名で、単身の新戸籍を編製する
※2　単身縁組した養親の配偶者と、養子が同じ戸籍に在籍している場合

※A.2,B.1,B.2,C.2,D.1はひな型のデータ編集を参照。それ以外はシステム環境仕様書(1頁目)の4.機能体系のデータ編集を参照。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	12/30

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通(1/2)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							'0501'
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースの時、送付日移送 送付日 ＝ スペースの時、受領日移
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							9.0版(事件本人が届出人であるため共通では不要)
	届出人資格名称1							R2.1(誤修正)
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1の場合'1'を移送 戸籍変動区分 ＝ 3の場合'2'を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	13/30

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通(2/2)	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	養父(母)の本籍コード 養子の本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、縁組形態区分 ＝ 1の時、養父の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、養母の項目を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、養父母どちらか筆頭者である方の項目を移送 戸籍変動区分 ＝ 2,3の時、養子の項目を移送
	届後本籍			養父(母)の本籍 養子の本籍				
	届後戸籍の筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 1の時でかつ、縁組形態区分 ＝ 1の時、養父の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 2の時、養母の筆頭者氏名を移送 縁組形態区分 ＝ 3の時、養父母どちらか筆頭者である方の筆頭者氏名を移送
				養子の筆頭者氏名				戸籍変動区分 ＝ 2の時移送
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送
	送達確認1							届後本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時、1を移送 それ以外は0を移送
	証書提出区分							縁組方式 ≠ スペースの時、1を移送 それ以外は0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分							
	決裁区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	14/30

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号					
	行番号								
	事件本人区分							養父:08 養母:09 養子:10	
	届出人区分							縁組形態区分 ＝ 1の時,養父に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 2の時,養母に1を移送、それ以外は0 縁組形態区分 ＝ 3の時,届出人資格に応じて移送 ･届出人資格 ＝ 1であれば、養父に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 2であれば、養母に1を移送、それ以外は0 ･届出人資格 ＝ 3であれば、養父、養母に1を移送、それ以外は0	R2.1(誤修正)
	カナ氏名			カナ氏名				養父のカナ氏名 養母のカナ氏名 養子のカナ氏名	
	漢字氏名			漢字氏名				養父の漢字氏名 養母の漢字氏名 養子の漢字氏名	
	生年月日			生年月日				養父の生年月日 養母の生年月日 養子の生年月日	
	本籍コード			本籍コード				養父の本籍コード 養母の本籍コード 養子の本籍コード	
	本籍			本籍				養父の本籍 養母の本籍 養子の本籍	
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				養父の筆頭者 養母の筆頭者 養子の筆頭者	
	送達確認2							本籍が非本籍でかつ、在外送付区分が0の時,1を移送 それ以外は0を移送	

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1.養親の後に養子
2.夫婦縁組の場合は、1の順序でなおかつ筆頭者が先

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	15/30

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(1/2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0501'
	記録コード							'0501'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日			裁判確定日				
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1,3の時移送
	養親 養父の国籍			養父の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 1,3でかつ、養父が外国人の時移送
	養親 養父の生年月日			養父の生年月日				
	養親 養母氏名			養母の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2,3の時移送
	養親 養母の国籍			養母の本籍				戸籍変動区分 ＝ 2でかつ、縁組形態区分 ＝ 2,3でかつ、養母が外国人の時移送
	養親 養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル (届書)	受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	16/30

処理名	4.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍(2/2)	届出人資格		中間ファイル(届書)	届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合移送 但し、戸籍変動区分 ＝ 2の時は、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル(仮戸籍)	届出人資格		有		〃
	送付 送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	除籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	新本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1,3の時移送
	縁組後の氏			養父(母)の漢字氏名の氏				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項							同一戸籍縁組区分 ＝ 1又は配偶者同一戸籍 ＝ 1の場合に’末尾記録につき消除’を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	17/30

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮籍)/身分事項(養子)新戸 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)新戸 (1/2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0501'
	記録コード							'0502'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	特別養子縁組の裁判確定日			裁判確定日				
	養親 養父氏名			養父の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 1,3の時移送
	養親 養父の国籍			養父の本籍				縁組形態区分 ＝ 1,3でかつ、養父が外国人の時移送
	養親 養父の生年月日			養父の生年月日				
	養親 養母氏名			養母の漢字氏名				縁組形態区分 ＝ 2,3の時移送
	養親 養母の国籍			養母の本籍				縁組形態区分 ＝ 2,3でかつ、養母が外国人の時移送
	養親 養母の生年月日			養母の生年月日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合移送届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル (届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	18/30

処理名	4.2中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)新戸 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)新戸 (2/2)	送付 送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	入籍日			処理日				項目に入力がある場合移送
	従前戸籍 本籍			養子の本籍				
	従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	除籍日			処理日				戸籍変動区分 ＝ 1の場合に項目に入力がある場合移送
	入籍戸籍 本籍			養父(母)の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の本籍と筆頭者氏名を移送
	入籍戸籍 筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	19/30

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍 (1/2)	個人番号		中間ファイル (届書)	養子個人番号				
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0503'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	外国の方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外国の方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	外国の方式 証書提出者資格			届出人資格コード				縁組方式 ≠ スペースの場合で届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	外国の方式 証書提出者資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	証書提出者資格		有		縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日		中間ファイル (届書)	受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	届出人資格			届出人資格コード				縁組方式 ＝ スペースの場合で、届出人資格コード ＝ 10の時1、11の時2、12の時5を移送
	届出人資格名称		中間ファイル (仮戸籍)	届出人資格		有		縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	20/30

処理名	4.3中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍 (2/2)	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日				項目に入力がある場合移送
	従前戸籍 本籍			養子の本籍				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送
	従前戸籍 筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の場合のみ移送 入力のある養父母の双方又は一方の日本人養父(母)の氏
	特記事項							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	21/30

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養親)記録(1/1)	個人番号		中間ファイル(届書)	養父個人番号 養母個人番号				養父の時、養父個人番号 養母の時、養母個人番号
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							'0502'
	記録コード							'0504'
	管掌者コード							
	事件発生日			裁判確定日				
	民法817条の2の裁判確定日			裁判確定日				
	共同縁組者資格							縁組形態区分 ＝ 3で、養父の時7:'妻'を移送 養母の時6:'夫'を移送
	共同縁組者資格名称							
	養子 養子の氏名			養子の漢字氏名				
	養子 養子の国籍			養子の本籍				
	養子 養子の生年月日			養子の生年月日				
	外方式 縁組の方式			縁組方式				項目に入力がある場合移送
	外方式 証書提出日			受領日				縁組方式 ≠ スペースの場合移送
	届出日			受領日				縁組方式 ＝ スペースの場合移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目に入力がある場合移送
	送付 受理者			発送元				〃
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	記録日			処理日				項目に入力がある場合移送
	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	22/30

処理名	6.1中間ファイル(9条2項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(1/2)(新戸)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目05(特別養子縁組)
	事件コード							
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(新戸の際の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	23/30

処理名	6.1中間ファイル(9条2項)編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 養子(2/2)(新戸)	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	24/30

処理名	6.2中間ファイル(9条2項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(1/2)(入籍)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号(入籍した時の個人番号)を設定
	新氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	旧氏名			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養父母との続柄コード				
	新本籍コード			養父(母)の本籍コード				
	新本籍			養父(母)の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養父(母)の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				養父母のいずれかが外国人の場合は日本人養父母の方の氏
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	25/30

処理名	6.2中間ファイル(9条2項)編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(2/2)(入籍)	住定日		中間ファイル (届書)					
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	26/30

処理名	6.3中間ファイル(9条2項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子 (1/1)(変動なし)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	27/30

処理名	6.4中間ファイル(9条2項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子 (1/1)(新戸のみ)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			養子の住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							05(特別養子縁組)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							養子が本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子の本籍コード				
	新本籍			養子の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名				
	旧筆頭者			養子の筆頭者氏名				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養子の世帯主氏名				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	28/30

処理名	7.1個人特定(養子)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				養子の筆頭者区分 ＝ 0:構成員の場合、1:筆頭者を移送
	配偶者区分							
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1,3の場合移送
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2,3の場合移送
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送
	父母との続柄			養父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動のときに従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	29/30

処理名	7.2個人特定(養子)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							決裁処理で設定
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				戸籍変動区分 ＝ 1:の時 0:構成員を移送
	配偶者区分							
	父			養父氏名				縁組形態区分 ＝ 1,3の場合移送
				父氏名				縁組形態区分 ＝ 2の場合移送
	母			養母氏名				縁組形態区分 ＝ 2,3の場合移送
				母氏名				縁組形態区分 ＝ 1の場合移送
	父母との続柄			養父母との続柄				
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号		戸籍編製処理					本籍内異動の時に従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		入力確認(特別養子縁組届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	30/30

処理名	8.0戸籍特定(編製)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定	← (引渡側)中間ファイル(届書),戸籍編製処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号							決裁処理で設定	
	編製日		中間ファイル (届書)	処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定	
	改製日								
	消除日								
	回復日								
	本籍コード			養子の本籍コード					
	本籍			養子の本籍					
	筆頭者			養父(母)の漢字氏名の氏 + 養子の漢字氏名の名				戸籍変動区分 ＝ 1の時移送 養父母のいずれかが外国人の場合は	R2.1 (誤修
				養子の漢字氏名				戸籍変動区分 ＝ 3の時移送	
	記録者数		戸籍編製処理					戸籍に記録されている人数を設定 記録者数 ＝ 在籍者数	
	在籍者数							戸籍に在籍している人数を設定	
	除籍者数								
	戸籍除区分							0:現戸籍を設定	
	戸籍異動区分							0:解除を設定	

第7.2.(5)「異動」処理

6. 73条の2届

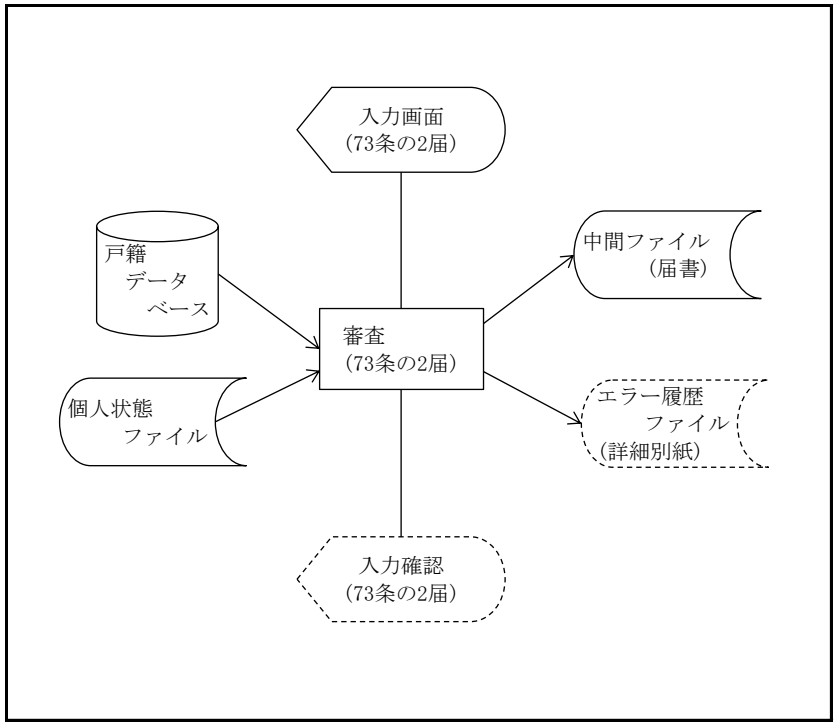
1. 戸籍法73条の2業務処理範囲外の処理
   - 養子離縁届と同時に届出られた戸籍法73条の2の処理は,養子離縁同時73の2で処理を行う。
   - 戸籍法69条の2は審査結果入力処理で行う。

2. 戸籍法73条の2届出入力画面の意義
   - 縁氏続称者と縁氏続称者の配偶者は入力を分ける。

3. 戸籍法73条の2届の審査
   - 縁氏続称者に離縁復氏の記録がある場合はシステムで審査する。
   - 上記以外についてはすべて操作員の確認によるものとし,システムでは入力された項目を基に審査する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)73条の2届の内容を画面入力する
(2)73条の2届で入力された項目の単体チェックを行う
(3)73条の2届で入力された項目の関連チェックを行う
(4)審査を行う
(5)73条の2届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する
(6)入力確認(73条の2届)に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/14

処理名	0.0　本紙			備考
(1) 届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集を行う。
(2) キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4) 入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5) 画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6) 審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7) 中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8) 入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9) メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO	(13)エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
YES	(17)前ページ分の入力画面(73の2届)を編集する		(18)同画面を編集する	
NO	(19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
YES	(21)次ページ分の入力画面(73の2届)を編集する		(22)同画面を編集する	
NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　1/2	入力画面(73条の2届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届,2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
13	配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	住所		漢字				
17	世帯主		漢字				
18	父氏名		漢字				
19	母氏名		漢字				
20	父母との続柄コード	○	数字	10(男)～49(十九女)であること			
21	離縁前の氏	○	漢字				
22	縁組年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	離縁年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	戸籍変動区分	○	数字	(1:変動無し,2:新戸籍編製)であること			
24	新本籍		漢字				
25	新戸籍の筆頭者		漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　2/2	入力画面(73条の2届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	配偶者外人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
27	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員　1:筆頭者)であること			
28	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻)であること			
29	配偶者カナ氏名		カナ				
30	配偶者漢字氏名		漢字				
31	配偶者父氏名		漢字				
32	配偶者母氏名		漢字				
33	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
34	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	配偶者住所		漢字				

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 1/3	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペース のとき,(No.4)発送元 ＝ スペース であること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペース のとき,(No.4)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペース のとき,(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日 であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペース のとき,(No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.3)送付日 ≠ スペース のとき,(No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ(No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき,(No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ(No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき,(No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または(No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースのとき,(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日 であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.3)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日 であること			
11	(No.22)縁組年月日 ≦ (No.23)離縁年月日 ≦ (No.2)受領日 であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍) かつ(No.24)新本籍 ＝ スペース のとき, (No.14)本籍 ＝ 管内 であること			
13	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍) かつ(No.14)本籍 ＝ 管外 のとき, (No.24)新本籍 ≠ スペースかつ管内 であること			
14	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍) のとき,(No.14)本籍 ＝ 管外 であること			
15	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ(No.24)新本籍 ≠ スペース のとき, (No.24)新本籍 ＝ 管外 であること			
15-1	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏 であること			
16				
17	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき, (No.20)父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男) であること			
18	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき, (No.20)父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女) であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成16年11月 1日	8.3	7/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 2/3	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19		関連エラーがあります。正しく入力してください。		第8.3版により削除
20				第8.3版により削除
21				第8.3版により削除
22	(No.24)新本籍 ＝ スペース のとき,(No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペース であること			
23	(No.24)新本籍 ≠ スペース のとき,(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペース であること			
24	(No.12)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫) または2(妻) のとき, (No.26)配偶者外人区分 ≠ スペース であること			
25	(No.26)配偶者外人区分 ＝ スペース のとき, (No.27)配偶者筆頭者区分 ～ (No.35)配偶者住所 までスペースであること			
26	(No.26)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人) のとき, (No.27)配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.28)配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.29)配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ(No.30)配偶者漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.33)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.34)配偶者生年月日 ＝ 和暦 であること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
27	(No.13)配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき,(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) であること			
28	(No.13)配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき,(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) であること			
29	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) のとき, (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男) であること			
30	(No.28)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) のとき, (No.33)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女) であること			
31				第8.3版により削除
32				第8.3版により削除
33	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 1(変動無し) のとき, (No.24)新本籍 ＝ スペース かつ (No.25)新戸籍の筆頭者 ＝ スペース であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成31年3月31日	22	8/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック　3/3	入力画面(73条の2届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
34	(No.36)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製)　のとき, (No.24)新本籍 ≠ スペース　かつ　(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
35	(No.17)世帯主 ≠ スペース　のとき, (No.16)住所 ≠ スペース　であること			
36	(No.16)住所 ＝ スペースの時　のとき, (No.17)世帯主 ＝ スペースであること			
37	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペース　のとき, (No.21)離縁前の氏 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「氏」であること			
38	(No.25)新戸籍の筆頭者 ≠ スペース　のとき, (No.10)漢字氏名の「名」 ＝ (No.25)新戸籍の筆頭者の「名」であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	9/14

処理名	3.0 審査 (1/2)			備考
(0-1)受領日=送付日である。		/		
YES (0-2)確認ﾒｯｾｰｼﾞ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)		/		
YES (0-3)→(0-7)へ		/		
NO (0-4)			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO (0-6)→(0-7)へ		/		
(0-7)父氏名=スペース　または　母氏名=スペース(YES,NO)		/		(0-1)→(0-6)を追加
YES (0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		上記の追加に伴い項番を変更(第11版) 修正前:(0-1)→(0-24)
YES (0-9)→(0-18)へ		/		修正後:(0-7)→(0-30)
NO (0-10)			(0-11)本紙へ	不受理
NO (0-12)父母との続柄コード=10(男)　または　30(女)である(YES,NO)		/		
YES (0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」		/		
YES (0-14)→(0-18)へ		/		
NO (0-15)			(0-16)本紙へ	不受理
NO (0-17)→(0-18)へ		/		
(0-18)配偶者外人区分=0(日本人)である(YES,NO)		/		
YES (0-19)配偶者父氏名=スペース　または　配偶者母氏名=スペース(YES,NO)		/		
YES (0-20)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
YES (0-21)→(0-31)へ		/		R2.1(73-39)
NO (0-22)			(0-23)本紙へ	不受理
NO (0-24)父母との続柄コード=10(男)　または　30(女)である(YES,NO)		/		
YES (0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」		/		
YES (0-26)→(0-31)へ		/		R2.1(73-39)
NO (0-27)			(0-28)本紙へ	不受理
NO (0-29)→(0-31)へ		/		R2.1(73-39)
NO (0-30)→(0-31)へ		/		R2.1(73-39)
(0-31)事件本人の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(73-39)
YES (0-32)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示			(0-33)本紙へ	R2.1(73-39)

	YES	(0-34)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-36)本紙へ	不受理　R2.1(73-39)
	NO	(0-35)→			画面項目修正(審査完了しない)　R2.1(73-39)
NO	(0-37)→(1)へ		/		R2.1(73-39)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年3月31日	22	10/14

処理名	3.0 審査 (1-1/2)			備考
(1)本籍=管内		/		
YES				(2)～(5)削除
	(6)事件本人の身分事項に離縁(記録コード=0401)がある(YES,NO)	/		
	YES (7)→(11)へ	/		
	NO (8)確認メッセージ「(確認)離縁復氏したことを別戸籍で確認して下さい。」(応答後(11)へ)		(9)本紙へ	
NO	(10)→(11)へ	/		
(11)事件本人の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日		/		昭62.10.1　民二5000号通達　第三の一
YES	(12)メッセージ「届出人の年齢が15歳未満です。受理照会が必要な届です。」を表示		(13)本紙へ	受理照会 平成27.3.9民一308号通知
NO	(14)→(15)へ	/		
(15)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁年月日(YES,NO)		/		民816条2項
YES	(16)→(19)へ	/		
NO	(17)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」		(18)本紙へ	不受理
(19)(離縁年月日 + 1日) + 3箇月 > 受領日(YES,NO)		/		民816条2項
YES	(20)→(23)へ	/		
NO	(21)エラーメッセージ「届出期間を経過しているので受理できません」		(22)本紙へ	不受理
(23)漢字氏名の氏 ≠ 離縁前の氏(YES,NO)		/		
YES	(24)→(27)へ	/		
NO	(25)エラーメッセージ「縁氏続称の資格がないので受理できません」		(26)本紙へ	不受理
(27)筆頭者区分=0:構成員　である(YES,NO)		/		
YES	(28)配偶者区分=1:夫　または　2:妻　である(YES,NO)	/		
	YES (29)エラーメッセージ「この事件本人は届出の資格がありません」		(30)本紙へ	不受理
	NO (31)→(41)へ	/		
NO	(32)新本籍 ≠ スペース　である(YES,NO)	/		
	YES (33)確認メッセージ「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する(YES,NO)		(33.1)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	11/14

処理名	3.0 審査 (2/2)			備考
	YES (34)エラーメッセージ「新本籍は作成できません」を表示する		(35)本紙へ	不受理
	NO (36)→(41)へ	/		
NO	(37)確認ﾒｯｾｰｼﾞ「縁氏続称者の他に在籍者はいませんね」を表示する(YES,NO)		(37.1)本紙へ	
	YES (38)→(41)へ	/		
	NO (39)エラーメッセージ「新戸籍を作成しなければいけません」を表示する		(40)本紙へ	不受理
(41)確認メッセージ 「縁氏続称者は,離縁復氏から現在まで氏を変更していませんね」を表示する。(YES,NO)			(41.1)本紙へ	
YES →			(42)本紙へ	
NO (43)エラーメッセージ 「縁氏続称の資格がないので受理できません」				不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ ＝ サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		73条の2画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							07(戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0
	同時決裁受領番号(1～5)							
	ロック戸籍番号(1～5)							本籍が管内の場合,戸籍番号を設定
	事件別内容							2/2～3/3　参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル(届書) 事件別内容	縁氏続称者個人番号		73条の2届	縁氏続称者個人番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	本籍コード			本籍		有		
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所		有		
	住所							
	世帯主名			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	配偶者個人番号			配偶者個人番号				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				

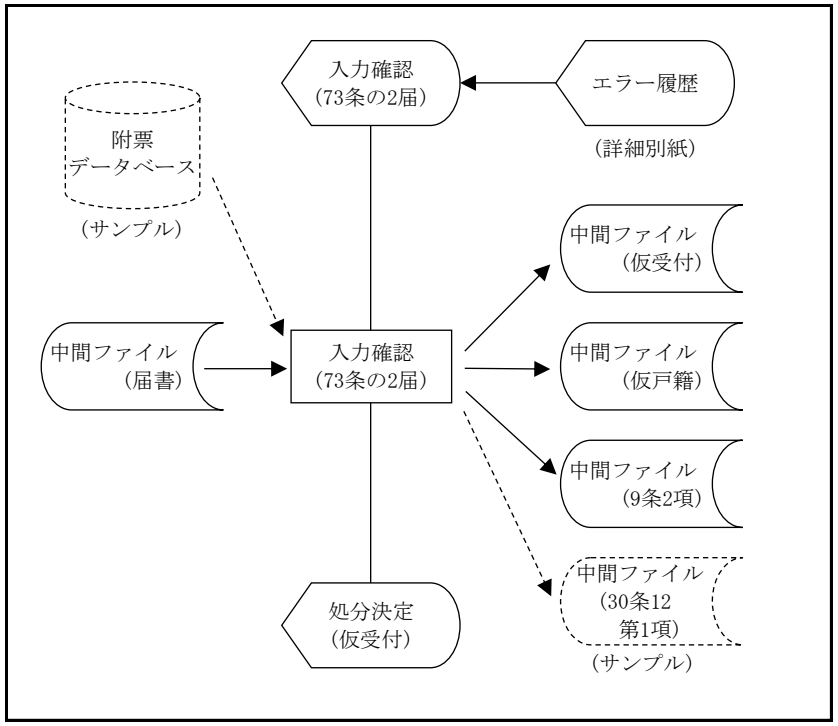
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル(届書) 事件別内容	配偶者カナ氏名		73条の2届	配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/26

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集し･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。…… (サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
    - 4.1 戸籍特定(記録)
  - 5.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
    - 5.1 氏の変更(記録)
    - 5.2 氏の変更(新戸籍編製)
  - 6.0 データ編集(中間ファイル/[氏名])
    - 6.1 氏名(記録)
  - 7.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 7.1 縁氏続称者(記録)
    - 7.2 縁氏続称者(入籍)
    - 7.3 縁氏続称者(除籍)
  - 8.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 8.1 縁氏続称者の配偶者(入籍)
    - 8.2 縁氏続称者の配偶者(除籍)
  - 9.0 データ編集(中間ファイル/9条2項)
    - 9.1 縁氏続称者
    - 9.2 縁氏続称者の配偶者
  - 10.0 データ編集(中間ファイル/30条の12第1項)……(サンプル提示)
    - 10.1 縁氏続称者
    - 10.2 縁氏続称者の配偶者

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/26

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
	(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]		/	
	(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)		/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]		/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]		/	
	(5)縁氏続称者が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(6)新本籍に入力がある(YES,NO)	/	
		YES	(7)身分事項:縁氏続称者(除籍)の編集をする [7.3]	/
		NO	(8)戸籍事項:縁氏続称者(記録)の編集をする [5.1]	/
			(9)身分事項:縁氏続称者(記録)の編集をする [7.1]	/
		(9-1)縁氏続称者は在外選挙人である(YES,NO)		/
		YES	(9-2)縁氏続称者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [10.1]	/
		NO	(10)→(11)へ	/
	NO			
	(11)新本籍に入力がある(YES,NO)		/	
	YES	(14)新本籍は管内である(YES,NO)	/	
		YES	(15)戸籍事項:縁氏続称者(新戸籍編製)の編集をする [5.2]	/
			(16)身分事項:縁氏続称者(入籍)の編集をする [7.2]	/
		NO	(17)→(19)へ	/
	NO	(18)→(19)へ		/
	(19)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/	
	YES	(20)縁氏続称者は本籍人である(YES,NO)	/	
		YES	(21)身分事項:縁氏続称者の配偶者(除籍)の編集をする [8.2]	/
			(21-1)縁氏続称者の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)	/
			YES	(21-2)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [10.2]	/
			NO	(22)→(23)へ	/
		NO			
		(23)新本籍人は管内である(YES,NO)		/
		YES	(24)身分事項:縁氏続称者の配偶者(入籍)の編集をする [8.1]	/
		NO	(25)→(26)へ	/
	NO			
	(26)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)		/	
	YES	(27)縁氏続称者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [9.1]	/	
		(28)配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	

※サンプル提示
附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
処理 (9-1)(9-2)

※サンプル提示
附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
処理 (21-1)(21-2)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/26

処理名	0.0 本紙 (2/2)			備考
	YES (29)縁氏続称者の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集出力する [9.2]		(30)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
	NO			
PF1	→		(31)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(32)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(33)審査(73条の2届)に制御を渡す	
PF7	(34)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (35)前ページ分の確認画面(73の2届)を編集する		(36)同画面を編集する	
	NO (37)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (39)次ページ分の確認画面(73の2届)を編集する		(40)同画面を編集する	
	NO (41)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF11	→		(42)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(43)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する		(41)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/26

処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示 1/3	(受取側)確認画面(73条の2届・その1)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
73条の2届 確認画面(その1)1/2	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者名称					有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者名称					有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/26

処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示 2/3	(受取側)確認画面(73条の2届･その1)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
73条の2届 確認画面(その1)2/2	父母との続柄コード		中間ファイル(届書) 事件別内容	父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		
	離縁前の氏			離縁前の氏				
	縁組年月日			縁組年月日				
	離縁年月日			離縁年月日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/26

処理名	1.0 確認画面(73条の2届)表示 3/3	(受取側)確認画面(73条の2届・その2)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
73条の2届 確認画面(その2)	配偶者外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/26

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表 (1/1)

項番	条件									縁氏続称者の戸籍				
	縁続氏称者 ○管内(1) ×管外(0)	縁氏続称者		日本人配偶者		他の在籍者		新編製戸籍地 ○管内(1) ×管外(0)		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 一部除籍 B.2 C.2	一部記載	変動なし 4.1 5.1 6.1	新戸籍編成 A.1 5.2 B.1 C.1 D.1
		筆頭者(1)	構成員(0)	無(1)	有(0)	無(1)	有(0)							
1	○	×	○	−	−	○	×	○			本人7.3			本人7.2
2	○	×	○	−	−	○	×	×			本人7.3			
3	×	×	○	−	−	−	−	○						本人7.2
4	○	×	○	−	−	×	○	○		本人7.3				本人7.2
5	○	×	○	−	−	×	○	×		本人7.3				
6	○	○	×	○	×	○	×	−					本人7.1	
7	○	○	×	○	×	×	○	○		本人7.3				本人7.2
8	○	○	×	○	×	×	○	×		本人7.3				
9	×	○	×	○	×	−	−	○						本人7.2
10	○	○	×	×	○	○	×	○			本人7.3 配偶者8.2			本人7.2 配偶者8.1
11	○	○	×	×	○	○	×	×			本人7.3 配偶者8.2			
12	×	○	×	×	○	−	−	○						本人7.2 配偶者8.1
13	○	○	×	×	○	×	○	○		本人7.3 配偶者8.2				本人7.2 配偶者8.1
14	○	○	×	×	○	×	○	×		本人7.3 配偶者8.2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	8/26

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通 1/2	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0701
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		中間ファイル(届書) 事件別内容					新本籍に入力がある場合2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/26

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通 2/2	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル(届書) 事件別内容	新本籍				
	届後戸籍の筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	送達確認1							新本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	10/26

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							14(縁氏続称者)
	届出人区分							1(届出人)を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							本籍が非本籍　かつ在外送付区分 ＝0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき、0を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/26

処理名	4.1 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定(記録)　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定(記録)	戸籍爵号		中間ファイル(届書)					
	編製日							
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	12/26

処理名	5.1中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項(記録) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項(記録)	戸籍番号							取得済みの戸籍番号を設定
	行番号							前の戸籍事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分							0(可)
	タイトルコード							0701(氏の変更)
	記録コード							0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更 氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前 従前の記録 氏			『漢字氏名』の氏				
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	13/26

処理名	5.2 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項(新戸籍編製)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項(新戸籍編製)	戸籍番号							決裁処理で取得
	行番号							01
	出力区分							0(可)
	タイトルコード							0701(氏の変更)
	記録コード							0701 (73条の2の氏の変更の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更 氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	従前 従前の記録 氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	14/26

処理名	5.2 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項(新戸籍編製)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項(新戸籍編製)	戸籍番号									決裁処理で取得
	行番号									02
	出力区分									0(可)
	タイトルコード									0001(編製)
	記録コード									0001(戸籍編製事項の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									
	許可	許可日		中間ファイル(届書)						
	編製	編製日			処理日　または 送付日　または 受領日					処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/26

処理名	6.1 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/氏名(記録)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名(記録)	個人番号		中間ファイル(届書)					取得済みの個人番号を設定
	行番号							前の氏名DBの最終行番号 + 1
	カナ氏名							新戸籍の筆頭者のカナ
	漢字氏名			新戸籍の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	16/26

処理名	7.1 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(記録) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(記録)	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
	除戸籍	称する氏							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	17/26

処理名	7.2 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(入籍) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(入籍)	個人番号								決裁処理で取得
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前籍戸 本籍			本籍				
	入戸籍	従前籍戸 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
	除戸籍	称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	18/26

処理名	7.3 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(除籍) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(除籍)	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏続称者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変更	氏変更の事由							「戸籍法73条の2の届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	除戸籍	称する氏			『新戸籍の筆頭者』の氏				
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	19/26

処理名	8.1 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(配偶者の入籍) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(配偶者の入籍)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 または 送付日 または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
	入籍	入籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の戸籍法73条の2の届出" 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の戸籍法73条の2の届出"
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	20/26

処理名	8.2 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(配偶者の除籍)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(配偶者の除籍)	個人番号								取得済みの個人番号を設定
	行番号								前の身分事項DBの最終行番号 + 1
	出力区分								0(可)
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702 (縁氏続称者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日 または 送付日 または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日、送付日がなければ受領日
		除籍事由							配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合 "妻の戸籍法73条の2の届出" 配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合 "夫の戸籍法73条の2の届出"
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	21/26

処理名	9.1 縁氏続称者　編集･出力 1/2	(受取側)　中間ファイル(9条2項)/縁氏続称者	←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 縁氏続称者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							07(73条の2)
	受領日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			『離縁前の氏』 + 『漢字氏名』の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/26

処理名	9.1 縁氏続称者　編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/縁氏続称者	←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 縁氏続称者	世帯主		中間ファイル(届書)	世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	23/26

処理名	9.2 縁氏続称者の配偶者　編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/縁氏続称者の配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 縁氏続称者の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領日				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							07(73条の2)
	受領日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			『離縁前の氏』 + 『配偶者漢字氏名』の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/26

処理名	9.2 縁氏続称者の配偶者　編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/縁氏続称者の配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ ＝ ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 縁氏続称者の配偶者	世帯主		中間ファイル(届書)					
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	25/26

処理名	10.1 縁氏続称者　編集･出力	(受取側)　中間ファイル(30条の12第1項)/縁氏続称者	←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 縁氏続称者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			『離縁前の氏』 + 『漢字氏名』の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	26/26

処理名	10.2 縁氏続称者の配偶者　編集･出力	(受取側)　中間ファイル(30条の12第1項)/縁氏続称者の配偶者　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 縁氏続称者の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					07(73条の2)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			『離縁前の氏』 + 『配偶者漢字氏名』の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							配偶者父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			新戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

7.養子離縁届同時
73条の2届

1.養子離縁同時73の2業務処理範囲外の処理
・追完届出された場合(追完の記録が必要な場合)
・協議離縁届で届書受理後に事件本人(養子及び養親)の死亡が明らかになった場合の記録
・無籍者の離縁
・旧法当時婿養子縁組婚姻をした養子と養親との離縁
・養子夫婦の一方が生存,他方が死亡している場合
・15歳未満の届出人が特別代理人のとき,特別代理人以外に届出人がいる場合
・15歳以上の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理は,離縁同時73の2届の処理が終了後,親権又は未成年後見で処理する
・離縁届と同時に戸籍法73条の2の届をした者が,実方の氏の新戸籍編製を申し出た場合は,離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理するか,審査結果入力で処理する
(離縁届と戸籍法73条の2届を別に処理しても結果は変らない)
・被後見人との報告的離縁で,後見人が届出た場合
・複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2.養子離縁同時73条の2入力画面の意義

・離縁形態入力画面　　養子と養親で離縁する者同士の情報を入力する
15歳未満の離縁届と同時に届出られた親権者指定届又は未成年後見開始届の情報を入力する

・その1入力画面　　養子の現在の状況の各項目を入力する

・その2入力画面　　養親の現在の状況の各項目を入力する

・その3入力画面　　縁組前の氏,縁組年月日,離縁の種別に関する各項目を入力する

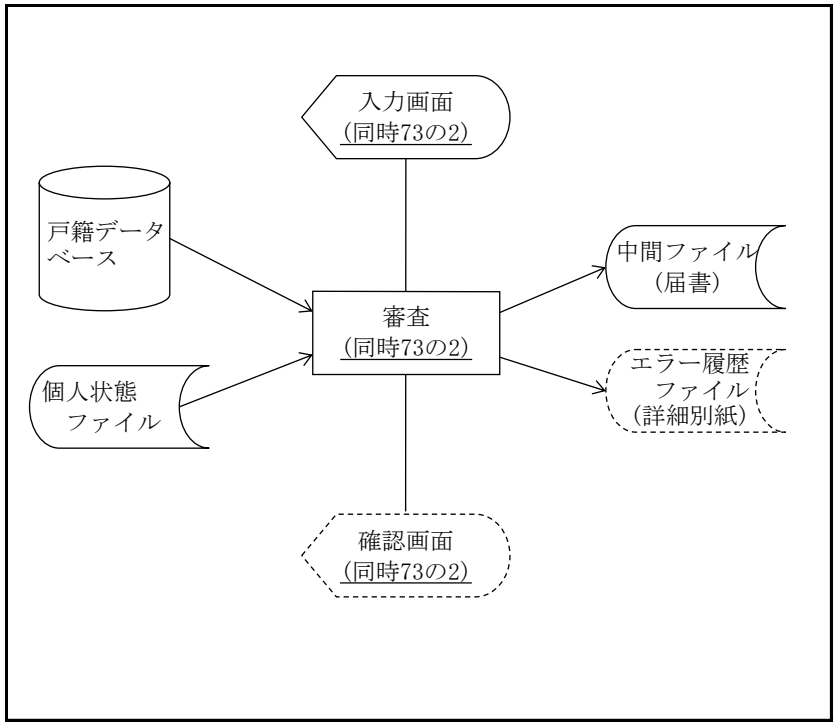
・その4入力画面　　15歳未満の養子の届出人に関する各項目を入力する

・その5入力画面　　養子の配偶者(事件本人以外)に関する各項目を入力する
離縁によって養子の養父母が変る場合(転縁組の離縁),その養父及び養母氏名を入力する
離縁により従前の親権事項を移記(記録)する場合,離縁後の親権者区分を入力する

3.その他
・15歳未満の未成年の離縁で同時に親権者指定届又は未成年後見開始届が出されたときの処理を,離縁同時73の2届の処理が終了後,親権又は未成年後見で処理して構わない
・離縁によって養子の養父母が変わる場合(転縁組の離縁)の養父及び養母氏名の入力は,移記事項処理で処理しても構わない
・養子,養女,養父,養母の年齢算出は算出の要件が明記されていない場合は,離縁成立時の年齢を算出すること
(裁判確定日に入力があれば裁判確定日での年齢,同様離縁成立日における年齢,双方入力がない場合は受領日の年齢)
・外国人養子の離縁協議者(外国人父母)の記載では国により「親権者父母」と「父母」の場合があるため双方に対応すること
・受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

第7 2 (5)	システム環境仕様	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/78

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)養子離縁届の内容を入力する。
(2)養子離縁届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)養子離縁届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)養子離縁届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する。
(6)入力確認(養子離縁届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
    - 1.1 関連チェック(条件設定表)
  - 2.0 関連チェック
    - 2.1 関連チェック(表示設定表)
  - 3.0 審査(関連審査補完)
    - 3.1　離縁の準拠法確定
      - 3.1.1 日本法での離縁
        - 3.1.1.1 15歳未満の離縁
        - 3.1.1.2 未成年の離縁
      - 3.1.2 外国法での離縁
    - 3.2　離縁種別の確認
    - 3.3　戸籍異動の確認
      - 3.2.1　養子―養親異動
      - 3.2.2　養女―養親異動
      - 3.3.3　養子夫婦―養親異動
  - 4.0 データ編集票(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/78

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PP2,PP7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1/7)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力画面) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	養子と養父区分	1から4のうちどれか1つ以上	英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	養子と養母区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
3	養女と養父区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
4	養女と養母区分		英字	(Y:離縁あり,スペース:離縁なし)であること			
5	同時届区分	○	数字	(0:無,1;親権者指定届,2:未成年後見開始届)であること			
5-1	親権・未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
5-2	親権・未成年後見人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	親権・未成年後見人氏名		漢字				
7	親権・未成年後見人本籍		漢字				
8	親権・未成年後見人筆頭者		漢字				
9	同時親権届の種別		数字	(1:協議,2:調停,3:審判)であること			
10	同時親権者資格		数字	(001:父,002:母,010:養父,011:養母)であること			
11	同時親権者届出人資格		数字	(001:父.002:母,010:養父,011:養母)であること			
11-1	同時親権者届出人の本非区分		数字	(1;本籍人,2:非本籍人)であること			
11-2	同時親権者届出人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	同時親権者届出人氏名		漢字				
12-1	同時親権者届出人本籍		漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	5/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(2/7)	養子離縁同時73条の2届(その1) 1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
13	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
14	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	発送元		漢字				
17	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
18	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	本非区分	○	数字	(1:本籍分届,2:非本籍分届)であること			
20	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	報告区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
22	養子の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
23	養子の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
24	養子の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
25	養子の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
26	養子のカナ氏名		カナ				
27	養子の漢字氏名		漢字				
28	養子の本･国籍		漢字				
29	養子の住所		漢字				
30	養子の筆頭者		漢字				
31	養子の世帯主		漢字				
32	養子の父氏名		漢字				
33	養子の母氏名		数字				
34	養子の父母との続柄コード		数字	10(男)～29(十九男)であること			
35	養子の筆頭考区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
36	養子の配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,3:生存配偶者)であること			
37	養女の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
38	養女の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(3/7)	養子離縁同時73条の2届(その1)　2/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
39	養女の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」	項目エラーがあります。正しく入力してください。		
40	養女の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
41	養女のカナ氏名		カナ				
42	養女の漢字氏名		漢字				
43	養女の本･国籍		漢字				
44	養女の住所		漢字				
45	養女の筆頭者		漢字				
46	養女の世帯主		漢字				
47	養女の父氏名		漢字				
48	養女の母氏名		漢字				
49	養女の父母との続柄コード		数字	30(女)～49(十九女)であること			
50	養女の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
51	養女の配偶者区分		数字	(0:未,2:妻,3:生存配偶者)であること			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	7/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(4/7)	養子離縁同時73条の2届(その2) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	養父の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	項目エラーがあります。正しく入力してください。		
53	養父の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
54	養父の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
55	養父の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
56	養父のカナ氏名		カナ				
57	養父の漢字氏名		漢字				
58	養父の本･国籍		漢字				
59	養父の筆頭者		漢字				
60	養父の住所		漢字				
61	養父の世帯主		漢字				
62	養父の縁組成立法区分		数字	(0:日本法,1:日本法以外)であること			
63	養母の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
64	養母の本非区分		数字	(1:本籍人,2:非本籍人)であること			
65	養母の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」「年齢算出サブルーチン」			
66	養母の生死区分		数字	(0:生存者,1:死亡者)であること			
67	養母のカナ氏名		カナ				
68	養母の漢字氏名		漢字				
69	養母の本･国籍		漢字				
70	養母の筆頭者		漢字				
71	養母の住所		漢字				
72	養母の世帯主		漢字				
73	養母の縁組成立法区分		数字	(0:日本法,1:日本法以外)であること			
74	養父母婚姻区分		数字	(0:婚姻中でない 1:婚姻中である)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	8/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(5/7)	養子離縁同時73条の2届(その3)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
75	離縁年月日	○	数字	「日付チェックサブルーチン」	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
76	縁組前の氏	○	数字				
77	離縁の種別	○	数字	(1:協議,2:調停,3:審判,4:判決,5:和解,6:認諾)であること			
78	離縁の申立人区分		数字	(1:養子(法定代理人を含む),2:養親)であること			
79	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	離縁許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
81	離縁成立日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
82	離縁の方式		漢字				
83	外国裁判所		漢字				
84	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		数字	(010:養父,011:養母,012:養父母,013:養子,014:養子夫婦,077:(養子の離縁後の)法定代理人)であること			
85	新本籍	○	漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(6/7)	養子離縁同時73条の2届(その4) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
86	15歳未満の届出人資格1		数字	(001:父,002:母, 010:養父,011:養母,016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母,023:親権者となるべき父, 024:親権者となるべき母,026:親権者となるべき養父, 027:親権者となるべき養母,078:特別代理人, 110:未成年後見人,111:未成年後見人となるべき者) であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
87	15歳未満の届出人資格2		数字	同上			
88	15歳未満の届出人民名1		漢字				
89	15歳未満の届出人国籍1		漢字				
90	15歳未満の届出人生年月日1		英数	「日付チェックサブルーチン」			
91	15歳未満の届出人氏名2		漢字				
92	15歳未満の届出人国籍2		漢字				
93	15歳未満の届出人生年月日2		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/78

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表(7/7)	養子離縁同時73条の2届(その5)　1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
94	配偶者外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること	項目エラーがあります。正しく入力してください。		
95	配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
96	配偶者配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻)であること			
97	配偶者カナ氏名		カナ				
98	配偶者漢字氏名		漢字				
99	配偶者父氏名		漢字				
100	配偶者母氏名		漢字				
101	配偶者父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
102	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
103	配偶者住所		漢字				
104	離縁後変更養父氏名		漢字				
105	離縁後変更養母氏名		漢字				
106	親権移記親権者区分		数字	(001:父.002:母,010:養父,011:養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/78

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定(1/2)	養子離縁同時73条の2届 (離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
	以降,審査内部で使用する離縁形態区分の設定および表示内容について記述する	
1	(No.1)〔養子と養父区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 1とする 『養子と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 1:養子と養父の離縁
2	(No.2)〔養子と養母区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 2とする 『養子と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 2:養子と養母の離縁
3	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ (No.2)〔養子と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 3とする 『養子と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 3:養子と養父母の離縁
4	(No.3)〔養女と養父区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 4とする 『養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 4:養女と養父の離縁
5	(No.4)〔養女と養母区分〕のみ入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 5とする 『養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 5:養女と養母の離縁
6	(No.3)〔養女と養父区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 6とする 『養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 6:養女と養父母の離縁
7	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 7とする 『養子夫婦と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 7:養子夫婦と養父の離縁
8	(No.2)〔養子と養母区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 8とする 『養子夫婦と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 8:養子夫婦と養母の離縁
9	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 9とする 『養子と養父及び養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 9:養子と養父　かつ　養女と養母の離縁
10	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 10とする 『養子と養父及び養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 10:養子と養父　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養女と養母の離縁)
11	(No.2)〔養子と養母区分〕かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 11とする 『養子と養父母及び養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 11:養子と養母　かつ　養女と養父の離縁
12	(No.2)〔養子と養母区分〕かつ　(No.3)〔養女と養父区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 12とする 『養子と養母及び養女と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 12:養子と養母　かつ　養女と養父母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養女と養父の離縁)

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/78

処理名	画面名	画面ID	
1.1　条件設定(2/2)	養子離縁同時73条の2届 (離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
13	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕かつ (No.3)〔養女と養父区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 13とする 『養子と養父母及び養女と養父の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 13:養子と養父母　かつ　養女と養父の離縁 (養子夫婦と養父　かつ　養子と養母の離縁)
14	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕かつ (No.4)〔養女と養母区分〕の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 14とする 『養子と養父母及び養女と養母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 14:養子と養父母　かつ　養女と養母の離縁 (養子夫婦と養母　かつ　養子と養父の離縁)
15	(No.1)〔養子と養父区分〕かつ　(No.2)〔養子と養母区分〕かつ (No.3)〔養女と養父区分〕かつ　(No.4)〔養女と養母区分〕 の入力があるとき,離縁形態区分 ＝ 15とする 『養子夫婦と養父母の離縁』と表示する	離縁形態区分 ＝ 15:養子夫婦と養父母の離縁

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(1/13)	養子離縁同時73条の2届 (離縁形態入力画面,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	離縁形態区分 ＝ 1(養子と養父の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		入力がある場合に,外国人区分は必須入力項目
2	離縁形態区分 ＝ 2(養子と養母の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
3	離縁形態区分 ＝ 3(養子と養父母の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
4	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　であること			
5	離縁形態区分 ＝ 4(養女と養父の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　であること			
6	離縁形態区分 ＝ 6(養女と養父母の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　であること			
7	離縁形態区分 ＝ 7(養子夫婦と養父の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペース　であること			
8	離縁形態区分 ＝ 8(養子夫婦と養母の離縁)　の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ スペース　かつ (No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース　かつ (No.94)配偶者外国人区分 ＝ スペース　であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(2/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
9	離縁形態区分 ＝ 9(養子と養父 かつ 養女と養母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 10(養子と養父 かつ 養女と養父母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 11(養子と養母 かつ 養女と養父の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 12(養子と養母 かつ 養女と養父母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 13(養子と養父母 かつ 養女と養父の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 14(養子と養父母 かつ 養女と養母の離縁) または 離縁形態区分 ＝ 15(養子夫婦と養父母の離縁)の場合, (No.22)養子の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.37)養女の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.52)養父の外国入区分 ≠ スペース かつ (No.63)養母の外国人区分 ≠ スペース かつ (No.94)配偶外国人区分 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
10	(No.5)同時届区分 ＝ 0(無)の場合, (No.6)親権･未成年後見人氏名～(No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること			
11	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.6)親権･未成年後見人氏名 ≠ スペース かつ (No.6)親権･未成年後見人氏名 ＝ (No.86)15歳未満の届出人氏名1であること			
12	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3 または 4 または 5 または 6であること			
13	(No.5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 本籍であれば (No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ≠ スペースであること			
14	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者推定届) または 2(未成年後見開始届)の場合, (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ 国籍であれば(No.8)親権･未成年後見人筆頭者 ＝ スペース かつ (No.7)親権･未成年後見人本籍 ＝ (No.89)15歳未満の届出人国籍1であること			
15	(No5)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)の場合, (No.9)同時親権届の種別 ≠ スペース かつ (No.10)同時親権者資格 ≠ スペースであること			
16	(No.9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ≠ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ≠ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ≠ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ≠ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ スペースであること			
17	(No.9)同時親椎届の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ スペース かつ (No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ スペース かつ (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ スペース かつ (No.12)同時親権届出人氏名 ＝ スペース かつ (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ スペースであること			
18	(No9)同時親権届の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 ＝ 001(父)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 ＝ 002(母) または 011(養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No9)同時親権届の種別 = 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 = 002(母)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 = 001(父) または 010(養父)であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
20	(No9)同時親権届の種別 = 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 = 010(養父)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 = 002(母) または 011(養母)であること			
21	(No9)同時親権届の種別 = 1(協議) かつ (No.10)同時親権者資格 = 011(養母)の場合, (No.11)同時親権届出人資格 = 001(父) または 010(養父)であること			
22	(No.10)同時親権者資格 = 001(父)の場合, 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 = (No.32)養子の父氏名であること			
23	(No.10)同時親権者資格 = 002(母)の場合, 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 = (No.33)養子の母氏名であること			
24	(No.11)同時親権届出人資絡 = 001(父)の場合, 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 = (No.32)養子の父氏名であること			
25	(No.11)同時親権届出人資格 = 002(母)の場合, 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 = (No.33)養子の母氏名であること			
26	(No.10)同時親権者資格 = 001(父)の場合, 離縁形態区分 = 4 または 5 または 6であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 = (No.47)養女の父氏名であること			
27	(No.10)同時親権者資格 = 002(母)の場合, 離縁形態区分 = 4 または 5 または 6であれば, (No.6)親権･未成年後見人氏名 = (No.48)養女の母氏名であること			
28	(No.11)同時親権届出人資格 = 001(父)の場合, 離縁形態区分 = 4 または 5 または 6であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 = (No.47)養女の父氏名であること			
29	(No.11)同時親権届出人資格 = 002(母)の場合, 離縁形態区分 = 4 または 5 または 6であれば, (No.12)同時親権届出人氏名 = (No.48)養女の母氏名であること			
30	(No.10)同時親権者資格 = 001(父)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格 = 023(親権者となるべき父) または 001(父) かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 = スペースであること			
31	(No.10)同時親権者資格 = 002(母)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 = 024(親権者となるべき母) または 002(母) かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 = スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	16/78

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック表(4/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.10)同時親権者資格 ＝ 010(養父)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父) または 010(養父) かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
33	(No.10)同時親権者資格 ＝ 011(養母)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母) または 011(養母) かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
34	(No.15)送付日 ＝ スペースのとき,(No.16)発送元 ＝ スペースであること			
35	(No.15)送付日 ≠ スペースのとき,(No.16)発送元 ≠ スペースであること			
36	(No.15)送付日 ≠ スペースのとき,(No.15)送付日 ≧ (No14)受領日であること			
37	(No.15)送付日 ＝ スペースのとき,(No.17)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
38	(No.16)発送元 ≠ スペースのとき,(No.17)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
39	(No.16)発送元 ≠ スペース かつ ,(No.16)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.17)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
40	(No.16)発送元 ≠ スペース かつ (No.16)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.17)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) または (No.17)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
41	(No.18)処理日 ≠ スペースのとき,(No.18)処理日 ＞ (No14)受領日であること			
42	(No.20)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.15)送付日 ＝ スペースであること			
43	(No.20)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.20)郵送日 ≦ (No.14)受領日であること			
44	(No.19)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき, (No.23)養子の本非区分 ＝ 1 または (No.38)養女の本非区分 ＝ 1 または (No.53)養父の本非区分 ＝ 1 または (No.64)養母の本非区分 ＝ 1 または (No.85)新本籍 ＝ 管内本籍であること			(No.19)本非区分は養子離縁同時73の2届の本非区分と位置付ける。 親権・未成年後見届は関係しない。
45	(No.20)本非区分 ＝ 2(非本籍)のとき, (No.23)養子の本非区分 ＝ 2 かつ (No.38)養女の本非区分 ＝ 2 かつ (No.53)養父の本非区分 ＝ 2 かつ (No.64)養母の本非区分 ＝ 2 かつ (No.85)新本籍 ＝ 管外本籍であること			
46	(No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)の場合, (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No81)離縁成立日 ＝ スペースであること			
46-1	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No81)離縁成立日 ＝ スペースの場合, (No.21)報告区分 ＝ 1(創設的届出)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	17/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No		出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
46-2	(No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)の場合, ((No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No81)離縁成立日 ≠ スペース) または (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾)であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
47	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No81)離縁成立日 ≠ スペースの場合, (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること			外国の方式による離縁の入力チェック

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月 1日	20	18/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(5/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
48	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾)の場合, (No.21)報告区分 ＝ 2(報告的届出)であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
49	養子に入力がある場合, (No.22)養子の外国人区分 かつ (No.23)養子の本非区分 かつ (No.24)養子の生年月日 かつ (No.25)養子の生死区分 かつ (No.26)養子のカナ氏名 かつ (No.27)養子の漢字氏名 かつ (No.28)養子の本･国籍 かつ (No.34)養子の父母との続柄コードに入力があること			養子に入力がある場合の必須入力項目
50	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.24)養子の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.28)養子の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.30)養子の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.36)養子の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
51	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合, (No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.24)養子の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.28)養子の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.30)養子の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
52	(No.23)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合,(No.28)養子の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
53	(No.23)養子の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.28)養子の本･国籍 ＝ 管外本籍であること			
54	養父に入力がある場合,(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
55	養父に入力がある場合,(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日 かつ (No.25)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾) かつ (No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
56	(No.24)養子の生年月日+15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合,(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
57	(No.29)養子の住所 ＝ スペースの場合,(No.31)養子の世帯主 ＝ スペースであること			
58 59				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	19/78

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック表(6/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
60		「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
61	(No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合, (No.27)養子の漢字氏名 ＝ (No.30)養子の筆頭者であること			
61-1	(No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合, (No.27)養子の漢字氏名の「氏」＝ (No.30)養子の筆頭者氏名の「氏」であること			
62	養女に入力がある場合, (No.37)養女の外国人区分 かつ (No.38)養女の本非区分 かつ (No.39)養女の生年月日 かつ (No.40)養女の生死区分 かつ (No.41)養女のカナ氏名 かつ (No.42)養女の漢字氏名 かつ (No.43)養女の本･国籍 かつ (No.49)養女の父母との続柄コードに入力があること			養女に入力がある場合の必須入力項目
63	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.39)養女の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.43)養女の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.45)養女の筆頭者 ≠ スペース かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.51)養女の配偶者区分 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
64	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合, (No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.39)養女の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.43)養女の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.45)養女の筆頭者 ＝ スペース かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換されればよい
65	(No.38)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合,(No.43)養女の本･国籍 ＝ 管内本籍であること			
66	(No.38)養女の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.43)養女の本･国籍 ＝ 管外本籍であること			
67	養父に入力がある場合,(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
68	養父に入力がある場合,(No.62)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) 養母に入力がある場合,(No.73)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法) かつ (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.40)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ (No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾) かつ (No.84)裁判及び外国の方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人)の場合, (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
69	(No.39)養女の生年月日+15年(15歳以上) ≦ (No.14)受領日の場合,(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースであること			
70	(No.44)養女の住所 ＝ スペースの場合,(No.46)養女の世帯主 ＝ スペースであること			
71				

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	20/78

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック表(7/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
72		「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
73				
74	(No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合, (No.42)養子の漢字氏名 ＝ (No.46)養女の筆頭者であること			
74-1	(No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合, (No.42)養女の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.45)養女の筆頭者氏名の「氏」であること			
75	養子と養女の双方に入力がある場合 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき, (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)であること			
76	養子と養女の双方に入力がある場合 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)のとき, (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
76-1				
77	養子 または 養女の片方だけに入力がある場合 (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき, (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
78	養子 または 養女の片方だけに入力がある場合 (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき, (No.94)配偶者外国人区分 ≠ スペースであること			
79	養父に入力がある場合, (No.52)養父の外国人区分 かつ (No.53)養父の本非区分 かつ (No.54)養父の生年月日 かつ (No.55)養父の生死区分 かつ (No.56)養父のカナ氏名 かつ (No.57)養父の漢字氏名 かつ (No.58)養父の本･国籍 かつ (No.61)養父の縁組成立区分に入力があること			養父に入力がある場合の必須入力項目
80	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.54)養父の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.58)養父の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.59)養父の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換できればよい
81	(No.52)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合, (No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.54)養父の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.58)養父の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.59)養父の筆頭者 ＝ スペースであること			和暦で入力されても西暦に変換できればよい
81-1	(No.53)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.58)養父の漢字氏名の氏 ＝ (No.60)養父の筆頭者氏名の氏であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	21/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表(7/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
82	(No.53)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合,(No.58)養父の本･国籍 ＝ 管内本籍であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
83	(No.53)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.52)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.58)養父の本･国籍 ＝ 管外本籍であること			
84	(No.60)養父の住所 ＝ スペースの場合,(No.61)養父の世帯主 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	22/78

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック表(6/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
85	(No.61)養父の世帯主 ≠ スペースの場合,(No.60)養父の住所 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
86	養母に入力がある場合, (No.63)養母の外国人区分 かつ (No.64)養母の本非区分 かつ (No.65)養母の生年月日 かつ (No.66)養母の生死区分 かつ (No.67)養母のカナ氏名 かつ (No.68)養母の漢字氏名 かつ (No.69)養母の本･国籍 かつ (No.73)養母の縁組成立法区分に入力があること			養母に入力がある場合の必須入力項目
87	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.65)養母の生年月日 ＝ (和暦) かつ (No.69)養母の本･国籍 ＝ 本籍 かつ (No.70)養母の筆頭者 ≠ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
88	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)の場合, (No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.65)養母の生年月日 ＝ (西暦) かつ (No.69)養母の本･国籍 ＝ 国籍 かつ (No.70)養母の筆頭者 ＝ スペースであること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
88-1	(No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.68)養母の漢字氏名の氏 ＝ (No.70)養母の筆頭者氏名の氏であること			
89	(No.64)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合,(No.69)養母の本･国籍 ＝ 管内本籍地であること			
90	(No.64)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.63)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.69)養母の本･国籍 ＝ 管外本籍地であること			
91	(No.71)養母の住所 ＝ スペースの場合,(No.72)養母の世帯主 ＝ スペースであること			
92	(No.72)養母の世帯主 ≠ スペースの場合,(No.71)養母の住所 ≠ スペースであること			
93				
94	(No.75)縁組年月日 < (No.14)受領日,(No.79)裁判確定日, (No.80)離縁許可日,(No.81)離縁成立日であること			
95	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議)の場合, (No.78)離縁の申立区分 ＝ スペース かつ (No.79)裁判確定日 ＝ スペースであること			
96	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.80)離縁許可日 ≠ スペースの場合, (No.81)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.82)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.83)外国裁判所名 ＝ スペース かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ スペースであること			死亡者との離縁
97	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.81)離縁成立日 ≠ スペースの場合, (No.80)離縁許可日 ＝ スペースであること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	23/78

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック(9/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
98	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合, (No.82)離縁の方式 ≠ スペースであれば (No.84)外国裁判所名 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		外国方式での離縁
99	(No.77)離縁の種別 ＝ 1(協議) かつ (No.80)離縁成立日 ≠ スペースの場合, (No.84)外国裁判所名 ≠ スペースであれば (No.82)離縁の方式 ＝ スペースであること			外国の裁判所で協議された離縁
99-1	(No.82)離縁の方式 ≠ スペースの場合,(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
99-2	(No.84)外国裁判所名 ≠ スペースの場合,(No.80)離縁成立日 ≠ スペースであること			
100	(No.77)離縁の種別 ＝ 2(調停) または 3(審判) または 4(判決) または 5(和解) または 6(認諾)の場合, (No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペース かつ (No.79)裁判確定日 ≠ スペース かつ (No.80)離縁許可日 ＝ スペース かつ (No.81)離縁成立日 ＝ スペース かつ (No.82)離縁の方式 ＝ スペース かつ (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			裁判による離縁
101	(No.78)離縁の申立人区分 ≠ スペースの場合, (No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ≠ スペースであること			
102	(No.79)裁判確定日 ≦ (No.14)受領日であること			
103	(No.80)離縁許可日 ≦ (No.14)受領日であること			
104	(No.81)離縁成立日 ≦ (No.14)受領日であること			
105	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3の場合, (No.24)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日 かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
106	(No.84)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 077(養子の離縁後の法定代理人) かつ 離縁形態区分 ＝ 4 または 5 または 6の場合, (No.39)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > (No.14)受領日 かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースであること			
107	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合, (No.87)15歳未満の届出人資格2 ～ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2までスペースであること			15歳未満の届出人がいる場合は,資格1が必須入力項目
108	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合, (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース かつ (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペース かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ＝ スペースであること			
109	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースの場合, (No.88)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペースであること			
110	(No.87)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースの場合, (No.91)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	24/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(10/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
111	(No.86)15歳未満の届出人資格 ＝ 001(父)～011(養母)の場合, (No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペース かつ (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		和暦で入力されても西暦に変換されればよい
112	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ＝ スペースの場合, (No.89)15歳未満の届出人生年月日 ＝ スペースであること			
113	(No.89)15歳未満の届出人国籍1 ≠ スペースの場合, (No.90)15歳未満の届出人生年月日1 ＝ 西暦であること			
114	(No.87)15歳未満の届出人資絡2 ＝ 001(父)～011(養母)の場合, (No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペース かつ (No.93)15歳未満の届出人生年月日2 ≠ スペースであること			和暦で入力されでも西暦に変換されればよい
115	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ＝ スペースの場合, (No.93)15歳未満の届出人生年月日 ＝ スペースであること			
116	(No.92)15歳未満の届出人国籍2 ≠ スペースの場合, (No.93)15歳未満の届出人生年月日 ＝ 西暦であること			
117	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) または 111(未成年後見人となるべき者)の場合, (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースであること			
118	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)の場合, (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 011(養母) または 017(親権者母) または 020(親権者養母) または 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペースであること			
119	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)の場合, (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 010(養父) または 016(親権者父) または 019(親権者養父) または 023(親権者となるべき父) または 026(親権者となるべき養父) または スペースであること			
120	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)の場合, (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 011(養母) または 017(親権者母) または 020(親権者養母) または 024(親権者となるべき母) または 026(親権者となるべき養母) または スペースであること			
121	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)の場合, (No.87)15未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 010(養父) または 016(親権者父) または 019(親権者養父) または 023(親権者となるべき父) または 026(親権者となるべき養父) または スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	25/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(11/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
122	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の場合 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) または 020(親権者養母) または スペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
123	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の場合 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) または 019(親権者養父) または スペースであること			
124	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) または 020(親権者養母) または スペースであること			
125	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) または 019(親権者養父) または スペースであること			
126	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペースであること			
127	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父) または 027(親権者となるべき養父) または スペースであること			
128	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母) または 027(親権者となるべき養母) または スペースであること			
129	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合、 (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべ養父) または 026(親権者となるべき養父) または スペースであること			
130				
131				
132				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	26/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(12/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
133		「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
134				
135				
136				
137				
138	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)の場合, (No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)であること			
141	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.97)配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.98)配偶者漢字氏名 ≠ スペースであること			
142	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.95)配偶者筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.101)配偶者父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.102)配偶者生年月日 ＝ 和暦であること			西暦で入力されても和暦に変換されればよい
143	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.95)配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			

処理名	画面名	画面ID
2.0関連チェック(13/13)	養子離縁同時73条の2 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)	

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
144	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.95)配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.50)養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
145	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.95)配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
146	(No.94)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.95)配偶者筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.96)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合, (No.35)養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
147				
148	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
149				
150	(No.100)配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)の場合、 (No.105)配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
152	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3の場合, (No.22)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)養子の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
153	(No.14)受領日 ＜ 2022年4月1日 かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 ＝ 1 または 2 または 3の場合, (No.37)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.39)養女の生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正前のチェック
154	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3の場合, (No.22)養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.24)養子の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.36)養子の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック
155	(No.14)受領日 ≧ 2022年4月1日 かつ (No.106)親権移記親権者区分 ≠ スペース かつ 離縁形態区分 = 1 または 2 または 3の場合, (No.37)養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.39)養女の生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ (No.14)受領日 かつ (No.51)養女の配偶者区分 = 0(未)であること			R2.1(離縁同87) 改正後のチェック

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	28/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(13-1/13)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
200	(No.5)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)の場合, (No.9)同時親権届の種別～ (No.12-1)同時親権届出人本籍までスペースであること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」	No.15の後	追加分はNo.200からスタートする
201	(No.5-1)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合, (No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 管内本籍地であること		No.201 ～ No.208 は No.17の後	
202	(No.7)親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合, (No.7)親権・未成年後見人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
203	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合, (No5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
204	(No.7)親権・未成年後見人本籍 ＝ 本籍の場合, (No.5-2)親権・未成年後見人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
205	(No.11-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)の場合, (No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 管内本籍地であること			
206	(No.12-1)同時親権届出人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合, (No.12-1)同時親権届出人本籍 ≠ 管内本籍地であること			
207	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 本籍の場合, (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 和暦であること			西暦入力でも和暦に変換されればよい
208	(No.12-1)同時親権届出人本籍 ＝ 国籍の場合, (No.11-2)同時親権届出人生年月日 ＝ 西暦であること			和暦入力でも西暦に変換されればよい
209	(No.25)養子の生死区分-1(死亡者)の場合, (No.36)養子の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No.5)同時届区分 ＝ スペース かつ (No.106)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること		No.55の後	
210	(No.40)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合, (No.51)養女の配偶者区分 ＝ 0(未) かつ (No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース かつ (No.5)同時届区分スペース かつ (No.106)親権移記親権者区分 ＝ スペースであること		No.68の後	

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	29/78

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(/)	養子離縁同時73条の2届 (養子離縁形態入力,その1～その5画面)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
211	養子と養女の双方に入力がある場合、 (No.22)養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.37)養女の外国人区分 = 0(日本人) のとき、 (No.26)養子のカナ氏名の氏 = (No.41)養女のカナ氏名の氏 かつ (No.27)養子の漢字氏名の氏 = (No.42)養女の漢字氏名の氏 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」	No.76の後	養子・養女が日本人のときは同一戸籍であること
212	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.55)養父の生死区分 = 1(死亡者) または (No.66)養母の生死区分 = 1(死亡者) のとき、 (No.74)養母婚姻区分 = 0(婚姻中でない) であること		No.92の後	
213	養父と養母の双方に入力がある場合、 (No.52)養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.63)養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ (No.74)養母婚姻区分 = 1(婚姻中) のとき、 (No.56)養父のカナ氏名の氏 = (No.67)養母のカナ氏名の氏 かつ (No.57)養父の漢字氏名の氏 = (No.68)養母の漢字氏名の氏 かつ (No.59)養父の本国籍 = (No.70)養母の本国籍 かつ (No.60)養父の筆頭者 = (No.71)養母の筆頭者 であること			養父・養母が日本人で婚姻中のときは、同一戸籍であること
214	(No.10)同時親権者資格 = 10(養父) または 11(養母)の場合 (No.104)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース または (No.105)離縁後変更養母氏名 ≠ スペース であること			
215	(No.106)親権移記親権区分 = 10(養父) または 11(養母)の場合 (No.104)離縁後変更養父氏名 ≠ スペース または (No.105)離縁後変更養母氏名 ≠ スペース であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	30/78

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定その1 (1/1)	養子離縁同時73条の2届 (離縁形態入力画面)		

No	内容	備考
	以降,養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力画面)で表示する 同時親権届出人名称の内容について記述する	同時親権届出人名称をカットしたことにより,このページを削除する。
1	(No.10) 同時親権者資格 = 001(父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = スペース の場合, 『父』と表示する	
2	(No.10) 同時親権者資格 = 002(母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = スペース の場合, 『母』と表示する	
3	(No.10) 同時親権者資格 = 010(養父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = スペース の場合, 『養父』と表示する	
4	(No.10) 同時親権者資格 = 011(養母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = スペース の場合, 『養母』と表示する	
5	(No.10) 同時親権者資格 = 001(父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 002(母) の場合, 『父母』と表示する	
6	(No.10) 同時親権者資格 = 001(父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 011(養母) の場合, 『父及び養母』と表示する	
7	(No.10) 同時親権者資格 = 002(母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 001(父) の場合, 『父母』と表示する	
8	(No.10) 同時親権者資格 = 002(母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 010(養父) の場合, 『養父及び母』と表示する	
9	(No.10) 同時親権者資格 = 010(養父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 002(母) の場合, 『養父及び母』と表示する	
10	(No.10) 同時親権者資格 = 010(養父) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 011(養母) の場合, 『養父母』と表示する	
11	(No.10) 同時親権者資格 = 011(養母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 001(父) の場合, 『父及び養母』と表示する	
12	(No.10) 同時親権者資格 = 011(養母) かつ (No.11) 同時親権届出人資格 = 010(養父) の場合, 『養父母』と表示する	

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定その2(1/3)	養子離縁同時73条の2届(その4画面)		

No	内容	備考
	以降,養子離縁同時73条の2届画面(その4画面)で表示する 15歳未満の届出人資格名称の内容について記述する	
1	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースの場合, 『父』と表示する	同様資格2がスペースの場合は,資格1のコード内容をそのまま表示 111は『未成年後見人となるべき者』と表示する
2	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)の場合, 『父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)の場合, 『父及び養母』と表示する	同上
4	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の場合, 『父及び親権者母』と表示する	同上
5	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の場合, 『父及び親権者養母』と表示する	同上
6	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)の場合, 『父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
7	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)の場合, 『父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
8	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 010(養父)の場合, 『養父及び母』と表示する	同上
9	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の場合, 『親権者父及び母』と表示する	同上
10	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の場合, 『親権者養父及び母』と表示する	同上
11	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)の場合, 『親権者となるべき父及び母』と表示する	同上
12	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)の場合, 『親権者となるべき養父及び母』と表示する	同上

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/78

処理名	画面名	画面ID	
2.1　表示設定その2　(2/3)	養子離縁同時73条の2届(その4画面)		

No	内容	備考
13	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　の場合, 『養父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
14	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　の場合, 『養父及び親権者母』と表示する	同上
15	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　の場合, 『養父及び親権者養母』と表示する	同上
16	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　の場合, 『養父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
17	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『養父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
18	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)　の場合, 『親権者父及び養母』と表示する	同上
19	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)　の場合, 『親権者養父及び養母』と表示する	同上
20	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 023(親権者となるべき父)　の場合, 『親権者となるべき父及び養母』と表示する	同上
21	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 011(養母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)　の場合, 『親権者となるべき養父及び養母』と表示する	同上
22	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　の場合, 『親権者父母』と表示する	同上
23	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　の場合, 『親権者父及び親権者養母』と表示する	同上
24	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)　の場合, 『親権者養父及び親権者母』と表示する	同上
25	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　の場合, 『親権者養父母』と表示する	同上

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	33/78

処理名	画面名	画面ID	
2.1　表示設定その2　(3/3)	養子離縁同時73条の2届(その4画面)		

No	内容	備考
26	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 024(親権者となるべき母)　の場合, 『親権者となるべき父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
27	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 023(親権者となるべき父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『親権者となるべき父及び親権者となるべき養母』と表示する	同上
28	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 024(親権者となるべき母)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 026(親権者となるべき養父)　の場合, 『親権者となるべき養父及び親権者となるべき母』と表示する	同上
29	(No.86)15歳未満の届出人資格1 ＝ 026(親権者となるべき養父)　かつ (No.87)15歳未満の届出人資格2 ＝ 027(親権者となるべき養母)　の場合, 『親権者となるべき養父母』と表示する	同上

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	34/78

処理名	3.0 関連審査補完(1/10)			備考
(0)受領日 ＝ 送付日 である(YES,NO)		/		
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	/		
YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ	/		
(0-5)(養子の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養子の漢字氏名の名が未入力) または (養女の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養女の漢字氏名の名が未入力) または (養父の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) または (養母の外国人区分 = 0(日本人) かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) である (YES,NO)		/		R2.1(離縁同時88)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示		(0-7)本紙へ	R2.1(離縁同時88)
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示		(0-10)本紙へ	R2.1(離縁同時88) 画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-9)→			R2.1(離縁同時88)
NO	(0-11)→(1)	/		R2.1(離縁同時88)
(1)離縁形態区分 ＝ 1～3のいずれかである(YES,NO)		/		
YES	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)	/		昭和62.10.1民二5000号通達第三の一
YES	(3)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(4)本紙へ	
NO	(5)→(13)へ	/		
NO	(6)→(7)へ	/		
(7)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)		/		
YES	(8)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)	/		昭和62.10.1民二5000号通達第三の一
YES	(9)エラーメッセージ 「15歳未満の養子は戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(10)本紙へ	
NO	(11)→(13)へ	/		
NO	(12)→(13)へ	/		
(13)裁判確定日 ≠ スペースである(YES,NO)		/		
YES	(14)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 裁判確定日(YES,NO)	/		民816条2項
YES	(15)→(18)へ	/		
NO	(16)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(17)本紙へ	
(18)(裁判確定日 + 1日) + 3ヶ月 ＞ 受領日(YES,NO)		/		民816条2項
YES	(19)→(37)へ	/		

	NO	(20)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(21)本紙へ	
NO	(22)→(23)へ		/		
(23)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)			/		
YES	(24)(縁組年月日 + 1日) + 7年 ≦ 離縁成立日(YES,NO)		/		民816条2項
	YES	(25)→(28)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	35/78

処理名	3.0 関連審査補完(1-1/10)			備考
NO	(26)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(27)本紙へ	
	(28)(離縁成立日 + 1日) + 3ヶ月 > 受領日(YES,NO)	/		民816条2項
YES	(29)→(37)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	36/78

処理名		3.0 関連審査補完(2/10)			備考
	NO	(30)エラーメッセージ 「離縁の日から3ヶ月を経過しているので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(31)本紙へ	
NO		(32)→(33)へ	/		
(33)(離縁年月日 + 1日) + 7年 ≦ 受領日(YES,NO)			/		民816条2項
YES		(34)→(37)へ	/		
NO		(35)エラーメッセージ 「縁組日から7年経過していないので戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(36)本紙へ	
(37)離縁形態区分 ＝ 1～3のいずれかである(YES,NO)			/		
YES		(38)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)	/		
	YES	(39)エラーメッセージ 「外国人は,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(40)本紙へ	
	NO	(41)→(42)へ	/		
		(42)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/		
	YES	(43)エラーメッセージ 「死亡者は,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(44)本紙へ	
	NO	(45)→(46)へ	/		
		(46)養子の氏 ＝ 縁組前の氏である(YES,NO)	/		
	YES	(47)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(48)本紙へ	
	NO	(49)→(87)へ	/		
NO		(50)→(51)へ	/		
(51)離縁形態区分 ＝ 4～6のいずれかである(YES,NO)			/		
YES		(51)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)	/		
	YES	(53)エラーメッセージ 「外国人は,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(54)本紙へ	
	NO	(55)→(56)へ	/		
		(56)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/		
	YES	(57)エラーメッセージ 「死亡者は,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(58)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/78

処理名	3.0 関連審査補完(3/10)			備考
NO	(59)→(60)へ	/		
	(60)養女の氏 ＝ 縁組前の氏　である(YES,NO)	/		
YES	(61)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(62)本紙へ	
NO	(63)→(87)へ	/		
NO	(64)→(65)へ	/		
(65)養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)		/		
YES	(66)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)	/		
YES	(67)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」を表示する		(68)本紙へ	
NO	(69)養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)　である(YES,NO)	/		
YES	(70)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(71)本紙へ	
NO	(72)養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　である(YES,NO)	/		
YES	(72.1)→(83)へ	/		
NO	(72.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(72.3)本紙へ	
NO	(73)→(74)へ	/		
(74)養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)　である(YES,NO)		/		
YES	(78)養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)　である(YES,NO)	/		
YES	(79)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する		(80)本紙へ	
NO	(81)養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)　である(YES,NO)	/		
YES	(81.1)→(83)へ	/		
NO	(81.2)エラーメッセージ 「戸籍の異動がないので,戸籍法73条の2の届を出すことができません。」 を表示する	/	(81.3)本紙へ	
NO	(82)→(83)へ			
(83)養子の氏 ＝ 縁組前の氏である　(YES,NO)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/78

処理名	3.0 関連審査補完(4/10)			備考
YES	(84)エラーメッセージ 「縁組前の氏と現在の氏が同じなので,戸籍法73条の2の届を出すことがを表示する		(85)本紙へ	
NO	(86)→(87)へ	/		
(87)離縁形態区分 ＝ 1　または　4　または　7　である　(YES,NO)		/		
YES	(88)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である　(YES,NO)	/		
YES	(89)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)である　(YES,NO)	/		
YES	(90)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので,戸籍法73条の2の届はできません。」 を表示する		(91)本紙へ	
NO	(92)確認メッセージ 「当時は外国人養親との縁組でしたが,戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する(YES,NO)			
YES	(93)→(115)へ	/		
NO	→		(94)本紙へ	不受理
NO	(95)→(115)へ	/		
NO	(96)→(97)へ	/		
(97)離縁形態区分 ＝ 2　または　5　または　8　である　(YES,NO)		/		
YES	(98)養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である　(YES,NO)	/		
YES	(99)養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である　(YES,NO)	/		
YES	(100)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので,戸籍法73条の2の届はできません。」 を表示する		(101)本紙へ	
NO	(102)確認メッセージ 「当時は外国人養親との縁組でしたが,戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する(YES,NO)			
YES	(103)→(115)へ	/		
NO	→		(104)本紙へ	不受理
NO	(105)→(115)へ	/		
NO	(106)→(107)へ	/		
(107)養父の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)　かつ　養母の縁組成立法 ＝ 1(日本法以外)である　(YES,NO)		/		
YES	(108)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)　かつ　養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)である　(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	39/78

処理名	3.0 関連審査補完(5/10)		備考
YES	(109)エラーメッセージ 「外国人との縁組では氏に変更がないので、戸籍法73条の2の届はできません。」を表示する	(110)本紙へ	
NO	(111)確認メッセージ 「当時は外国人養親との縁組でしたが、戸籍法73条の2の届を出すことができますね。」を表示する(YES,NO)		
	YES (112)→(115)へ	/	
	NO -----→	(113)本紙へ	不受理
NO	(114)→(115)へ	/	
(115)離縁形態区分 ＝ 7～15のいずれかである(YES,NO)		/	養子･養女の双方に入力がある場合、本システムでの処理可能な条件。 ･双方生存者の場合は夫婦であること ･片方又は双方が死亡者の場合、養子･養女は同一戸籍であること(生存中は夫婦であったこと) 上記の条件に合わないもので正当な届は、審査結果入力で処理する。
YES	(116)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)	/	
	YES (117)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」表示する	(118)本紙へ	
	NO (119)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) ＞ 受領日である(YES,NO)		
	YES (120)エラーメッセージ 「15歳未満であるのに、養子養女双方の入力があります。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する	(121)本紙へ	
	NO (122)→(123)へ	/ (104)本紙へ	
	(123)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)かつ養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES (124)養子の本籍 ＝ 養女の本籍かつ養子の筆頭者 ＝ 養女の筆頭者である(YES,NO)	/	養子と養女が双方日本人の場合 養子と養女は同一戸籍にいるか(本籍人であれば戸籍番号で確認可能)
	YES (125)養子の生死区分 ＝ 0(生存)かつ養女の生死区分 ＝ 0(生存)である(YES,NO)	/	
	YES (126)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫)かつ養女の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)	/	
	YES (127)→(138)へ	/	双方生存で夫婦であれば次の処理へ
	NO (128)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する	(128)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
	NO (129)確認メッセージ 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する(応答後(138)へ)		片方死亡の場合,婚姻していた事実があれば次の処理へ

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	40/78

処理名	3.0 関連審査補完(6/10)			備考
	NO (130)エラーメッセージ 「養子･養女が同一戸籍にいません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			双方日本人で別戸籍にいる場合はエラー
	NO (131)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		片方が外国人の場合
	YES (132)養子の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 養女の配偶者区分 ＝ 2(妻) である(YES,NO)	/		
	YES (133)→(138)へ	/		双方生存で夫婦であれば次の処理へ
	NO (134)エラーメッセージ 「養子･養女が婚姻関係にありません。届出が正当なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(133)本紙へ	双方生存で夫婦でなければエラー
	NO (136)確認メッセージ 「養子と養女は婚姻していましたか。」を表示する (応答後(138)へ)			片方死亡の場合,婚姻していた事実があれば次の処理へ
NO	(137)→(138)へ	/		
	(138)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 7 または 9 または 10 または 13 または 14 または 15 である(YES,NO)	/		
YES	(139)養子の生年月日 < 養父の生年月日 である(YES,NO)	/		
	YES (140)確認メッセージ「養子が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(143)へ)		(141)本紙へ	養子が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消し要件であって,無効要件ではない)
	NO (142)→(143)へ	/		
	(143)養子の生死区分 ＝ 1(死亡) かつ 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
	YES (144)エラーメッセージ 「養子と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(145)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
	NO (146)→(148)へ	/		
NO	(147)→(148)へ	/		
	(148)離縁形態区分 ＝ 4 または 6 または 7 または 10 または 11 または 12 または 13 または 15 である(YES,NO)	/		
YES	(149)養女の生年月日 < 養父の生年月日である(YES,NO)	/		
	YES (150)確認メッセージ「養女が養父より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(153)へ)		(151)本紙へ	養女が養父より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって,無効要件ではない)
	NO (152)→(153)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	41/78

処理名	3.0 関連審査補完(7/10)			備考
	(153)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
	YES (154)エラーメッセージ 「養女と養父の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(155)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
	NO (156)→(158)へ	/		
NO	(157)→(158)へ	/		
	(158)離縁形態区分 ＝ 2　または　3　または　8　または　11　または　12　または　13　または　14　または　15　である(YES,NO)	/		
YES	(159)養子の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)	/		
	YES (160)確認メッセージ「養子が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(163)へ)		(161)本紙へ	養子が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって,無効要件ではない)
	NO (162)→(163)へ	/		
	(103)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
	YES (164)エラーメッセージ 「養子と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(165)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
	NO (166)→(168)へ	/		
NO	(167)→(168)へ	/		
	(168)離縁形態区分 ＝ 5　または　6　または　8　または　9　または　10　または　12　または　14　または　15　である(YES,NO)	/		
YES	(169)養女の生年月日 < 養母の生年月日である(YES,NO)	/		
	YES (170)確認メッセージ「養女が養母より年上ですがよろしいですか。」を表示する (応答後(173)へ)		(171)本紙へ	養女が養母より年上でも離縁は可能(民805)(取消要件であって,無効要件ではない)
	NO (172)→(173)へ	/		
	(173)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　かつ　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
	YES (174)エラーメッセージ 「養女と養母の双方が死亡しているので離縁はできません。」を表示する		(175)本紙へ	死亡者同士の離縁はできない(民811の範囲外)
	NO (176)→(178)へ	/		
NO	(177)→(178)へ	/		
	(178)離縁形態区分 ＝ 9～15　のいずれかである(YES,NO)	/		
YES	(179)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または　養女の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	42/78

処理名	3.0 関連審査補完(8/10)			備考
YES	(180)養父の生死区分 ＝ 1(死亡)または養母の生死区分 ＝ 1(死亡)である(YES,NO)	/		
YES	(181)エラーメッセージ 『養子及び養新の片方同士が死亡している離縁届の1通処理は審査結果入力で処理して下さい』を表示する		(182)本紙へ	養子の一方及び養親一方が死亡者の離縁届が1通処理可能な場合は審査結果入力とする
NO	(183)→(184)へ	/		
NO				
NO				
(184)離縁形態区分 ＝ 1～3または7～15のいずれかである(YES,NO)		/		
YES	(185)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/		
YES	(186)養子の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)	/		
YES	(187)→(195)へ	/		
NO	(188)エラーメッセージ 「養子の身分事項に縁組事項がありません」を表示する		(189)本紙へ	民811①
(190)		/		(190)～(193)は削除
(191)				
(192)			(193)	
		/		
NO	(194)→(195)へ			
NO				
(195)離縁形態区分 ＝ 4～15のいずれかである(YES,NO)		/		
YES	(196)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/		
YES	(197)養女の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0301)がある(YES,NO)	/		
YES	(198)→(206)へ	/		
NO	(199)エラーメッセージ 「養女の身分事項に縁組事項がありません」を表示する		(200)本紙へ	民811①
(201)		/		(201),〈202〉は削除
	(202)	/		

処理名	3.0 関連審査補完(9/10)		備考
	(203)	(204)	(203),(204)は削除
NO	(205)→(206)へ	/	
(206)離縁形態区分 ＝ 1または3または4または6または7　9～15のいずれかである(YES,NO)		/	
YES	(207)養父の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/	
YES	(208)養父の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/	
YES	(209)→(217)へ	/	
NO	(210)確認メッセージ 「養父と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(217)へ)	(211)本紙へ	民811①
	(212)	/	(212)～(215)は削除
	(213)		
	(214)	(215)	
NO	(216)→(217)へ	/	
(217)離縁形態区分 ＝ 2または3または5または6または8～15のいずれかである(YES,NO)		/	
YES	(218)養母の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/	
YES	(219)養母の身分事項に縁組事項(記録コード ＝ 0302)がある(YES,NO)	/	
YES	(220)→(228)へ	/	
NO	(221)確認メッセージ 「養母と養子は縁組していますね」を表示する(応答後(228)へ)	(222)本紙へ	民811①
	(223)	/	(223)は削除

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	44/78

処理名	3.0 関連審査補完(10/10)			備考
	(224)	/		(224)～(226)は削除
	(225)		(226)	
		/		
NO	(227)→(228)へ			
NO				
(228)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)		/		
YES	(229)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースである(YES,NO)	/		
YES	(230)エラーメッセージ 「特別代理人の他に届出人がいる場合は審査結果入力で処理して下さい」を表示する		(231)本紙へ	
NO	(232)→(233)へ	/		
NO				
(233)離縁の準拠法確定	[3.1]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	45/78

処理名	3.1 離縁の準拠法確定(1/2)				備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1 または 3 または 4 または 6 または 7 または 9～15 のいずれかである(YES,NO)			/		離縁は縁組当時の養親の本国籍が適用されるので,そのチェックを行う。(法例20②) 養親の本国(外国)法で成立した縁組の離縁については、システム審査ができないので、目検で審査する。
YES	(2)養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
YES	(3)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/		
YES	(4)→(12)へ		/		
NO	(5)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(12)へ)		/	~~(6)本紙へ~~	
NO	(7)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/		
YES	(8)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する		/	~~(9)本紙へ~~	
NO	(10)→(12)へ		/		
NO	(11)→(12)へ		/		
(12)離縁形態区分 ＝ 2 または 3 または 5 または 6 または 8～15 のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(13)養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/		
YES	(14)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/		
YES	(15)→(23)へ		/		
NO	(16)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する(応答後(23)へ)		/	~~(17)本紙へ~~	
NO	(18)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)				
YES	(19)確認メッセージ 「養親の国籍が,縁組成立時と異なる可能性がありますが,よろしいですね」を表示する		/	~~(20)本紙へ~~	
NO	(21)→(23)へ		/		
NO	(22)→(23)へ		/		
(23)離縁形態区分 ＝ 1または3または4または6または7または9～15のいずれかである(YES,NO)			/		
YES	(24)養父の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/		
YES	(25)日本法での離縁	[3.1.1]	/		
NO	(26)外国法での離縁	[3.1.2]	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/78

処理名	3.1 離縁の準拠法確定(2/2)			備考
NO	(27)養母の縁組成立法区分 ＝ 0(日本法)である(YES,NO)		/	
YES	(28)日本法での離縁	[3.1.1]	/	
NO	(29)外国法での離縁	[3.1.2]	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	47/78

処理名	3.1.1 日本法での離縁(1/1)			備考
(1)離縁形態区分?		/		
1～3	(2)養子の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		
	YES (3)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]	/		
	NO (3-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合, 裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 または 離縁成立日 ≠ スペースの場合, 離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 または 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合, 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)
	YES (3-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である または 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合,養子の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		R2.1(離縁同87)
	YES (3-3)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		R2.1(離縁同87)
	YES (3-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁同87)
	NO (3-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫または生存配偶者は成年,R2.1(離縁同87)
	NO (3-6)離縁種別の確認 [3.2]	/		R2.1(離縁同87)
	NO (4)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である または 裁判確定日 = スペース かつ 離縁成立日 = スペースの場合,養子の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		
	YES (5)養子の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		
	YES (6)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
	NO (7)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫または生存配偶者は成年
				R2.1(5)～(7)と重複のため削除
				R2.1(5)～(7)と重複のため削除
				R2.1(5)～(7)と重複のため削除
	NO (8)離縁種別の確認 [3.2]	/		
4～6	(9)養女の生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		
	YES (10)15歳未満の離縁 [3.1.1.1]	/		
	NO (10-1)裁判確定日 ≠ スペースの場合, 裁判確定日 ≧ 2022年4月1日 または 離縁成立日 ≠ スペースの場合, 離縁成立日 ≧ 2022年4月1日 または 裁判確定日 = スペースかつ離縁成立日 = スペースの場合, 受領日 ≧ 2022年4月1日 である(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(離縁同87)

		YES	(10-2)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養女の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		R2.1(離縁同87)
			YES (10-3)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		R2.1(離縁同87)
			YES (10-4)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		R2.1(離縁同87)
			NO (10-5)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が妻または生存配偶者は成年,R2.1(離縁同87)
			NO (10-6)離縁種別の確認 [3.2]	/		R2.1(離縁同87)
		NO	(11)裁判確定日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 裁判確定日である　または 離縁成立日 ≠ スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 離縁成立日である　または 裁判確定日 = スペース　かつ　離縁成立日 = スペースの場合,養女の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)	/		
			YES (12)養女の配偶者区分 = 0(未)である(YES,NO)	/		
			YES (13)未成年の離縁 [3.1.1.2]	/		
			NO (14)離縁種別の確認 [3.2]	/		配偶者区分が夫または生存配偶者は成年
			NO (15)離縁種別の確認 [3.2]	/		
7～15	(16)離縁種別の確認 [3.2]			/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	48/78

処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁(1/3)			備考
(0)離縁形態区分?		/		
1,2,3	(0.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)	/		
	YES (0.2)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)	/		
	YES (0.3)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
	YES (0.4)→(0.8)へ			
	NO (0.5)→		(0.6)本紙へ	不受理
	NO (0.7)→(0.8)へ			
	NO			
	(0.8)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)	/		
	YES (0.9)養子の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)	/		
	YES (0.10)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
	YES (0.11)→(0.15)へ			
	NO (0.12)→		(0.13)本紙へ	不受理
	NO (0.14)→(0.15)へ			
	NO			
	(0.15)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)	/		
	YES (0.16)養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1 である(YES,NO)	/		
	YES (0.17)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
	YES (0.18)→(0.22)へ			
	NO (0.19)→		(0.20)本紙へ	不受理
	NO (0.21)→(0.22)へ			
	NO			
	(0.22)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)	/		
	YES (0.23>養子の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	49/78

処理名			3.1.1.1 15歳未満の離縁(1/3)			備考
	YES	YES	(0.24)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
		YES	(0.25)→(1)へ			
		NO	(0.26)→		(0.27)本紙へ	不受理
		NO	(0.28)→(1)へ			
	NO					
4,5,6	(0.29)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.30)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1である(YES,NO)		/		
		YES	(0.31)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
		YES	(0.32)→(0.36)へ			
		NO	(0.33)→		(0.34)本紙へ	不受理
		NO	(0.35)→(0.36)へ			
	NO					
	(0.36)15歳未満の届出人資格2 ＝ 001(父) または 016(親権者父) または 023(親権者となるべき父)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.37)養女の父氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2である(YES,NO)		/		
		YES	(0.38)確認メッセージ 「父氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
		YES	(0.39)→(0.43)へ			
		NO	(0.40)→		(0.41)本紙へ	不受理
		NO	(0.42)→(0.43)へ			
	NO					
	(0.43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES	(0.44)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名1 である(YES,NO)		/		
		YES	(0.46)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
		YES	(0.46)→(0.50)へ			
		NO	(0.47)→		(0.48)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	50/78

処理名			3.1.1.1 15歳未満の離縁(1/3)			備考
		NO	(0.49)→(0.50〉 へ			
	NO					
	(0.50)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) または 017(親権者母) または 024(親権者となるべき母)である(YES,NO)			/		
	YES		(0.51)養女の母氏名 ≠ 15歳未満の届出人氏名2 である(YES,NO)	/		
		YES	(0.52)確認メッセージ 「母氏名と届出人氏名が異なりますがよろしいですね」を表示する			
			YES (0.53)→(1)へ			
			NO (0.54)→		(0.55)本紙へ	不受理
		NO	(0.56)→(1)へ			
	NO					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	51/78

処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁(1/3)			備考
(1)離縁形態区分?		/		
1,4	(2)養父の本非区分 ＝ 2(非本籍)または養父の本非区分 ＝ 1(本籍)で養父の配偶者区分は(夫)である(YES,NO)	/		養父単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES (3)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)	/	(4)本紙へ	
	YES (5)→(8.1)へ	/		
	NO (6)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(応答後(8.1)へ)		(7)本紙へ	
	NO (8)→(8.1)へ	/		
	(8.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/	(8.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常,養子の未成年後見人が届出人となる
	YES (8.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
	YES (8.3)→(19.5)へ			
	NO (8.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)	/		
	NO (8.5)→(19.5)へ	/		
2,5	(9)養母の本非区分 ＝ 2(非本籍)または養母の本非区分 ＝ 1(本籍)で養母の配偶者区分は(妻)である(YES,NO)	/		養母単独の離縁の場合,共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
	YES (10)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)	/	(11)本紙へ	
	YES (12)→(15.1)へ	/		
	NO (13)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(応答後(15.1)へ)		(14)本紙へ	
	NO (15)→(15.1)へ	/		
	(15.1)養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)	/	(15.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常,養子の未成年後見人が届出人となる
	YES (15.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
	YES (15.3)→(19.5)へ	/		
	NO (15.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する(応答後(19.5)へ)			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	52/78

処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁(1/3)			備考
	NO (15.5)→(19.5)へ	/		
3,6	(16)養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	53/78

処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁(2/3)			備考
YES	(17)→(19.5)へ			
NO	(18)確認メッセージ 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する(応答後(19.0へ)		(19)本紙へ	
(19.1)養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)かつ養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/	(19.2)本紙へ	死亡養親のみとの離縁は通常,養子の未成年後見人が届出人となる。
YES	(19.1.1)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)			
YES	(19.3)→(19.5)へ	/		
NO	(19.4)確認メッセージ 「死亡養親との離縁で届出人が未成年後見人ではありませんが,よろしいですね」を表示する (応答後(19.5)へ)			
NO	(19.4.1)→(19.5)へ	/		
(19.5)離縁の種別 ＝ 1(協議離縁)かつ離縁成立日 ＝ スペースである(YES,NO)		/		
YES	(19.6)養父の氏名 ＝ 届出人氏名1または養父の氏名 ＝ 届出人氏名2または養母の氏名 ＝ 届出人氏名1または養母の氏名 ＝ 届出人氏名2である(YES,NO)	/		養子離縁の利益相反審査
YES	(19.7)確認メタセージ 「協議者は特別代理人が原則です。届出人資格は正当ですか。」を表示する(応答後(20)へ)			
NO	(19.8)→(20)へ	/		
NO				
(20)15歳未満の届出人資格1または16歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父)または017(親権者母)または019(親権者養父)または020(親権者母)である(YES,NO)		/		
YES	(21)確認メッセージ 「届出人は現在養子の親権を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)		(22)本紙へ	現在の親権者が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(23)→(24)へ	/		
(24)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)である(YES,NO)		/		
YES	(25)離縁形態区分 ＝ 1または2または3である(YES,NO)	/		
YES	(26)養子の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/		
YES	(27)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
YES	(28)→(47)へ	/		
NO	(29)エラーメッセージ 「養子には未成年後見人がいません」を表示する		(30)本紙へ	後見事項がなければエラー

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	54/78

処理名	3.1.1.1 15歳未満の離縁(3/3)			備考
	NO (31)確認メッセージ 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
	NO (32)養女の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)	/		
	YES (33)養子の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
	YES (34)→(47)へ	/		
	NO (35)エラーメッセージ 「養子には後見人がいません」を表示する		(36)本紙へ	未成年後見事項がなければエラー
	NO (37)確認メッセージ 「届出人は現在養子の後見を行っている者に間違いないですね」を表示する(応答後(47)へ)			現在の未成年後見人が届出人となるケースは少ないので確認メッセージ対応とする
NO	(38)→(39)へ	/		
(39)15歳未満の届出人資格1 ＝ 111(未成年後見人となるべき者)である(YES,NO)		/		
YES	(40)確認メッセージ 「未成年後見人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)		(41)本紙へ	未成年後見人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(42)→(43)へ	/		
(43)15歳未満の届出人資格1 ＝ 078(特別代理人)である(YES,NO)		/		
YES	(44)確認メッセージ 「特別代理人選任を証する書面が添付されていますか」を表示する(応答後(47)へ)		(46)本紙へ	特別代理人選任を証する書面があることが審査の要件となる
NO	(46)→(47)へ	/		
(47)離縁形態区分 ＝ 3または6である(YES,NO)		/		
YES	(48)養母の縁組成立区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)			
	YES (49)外国法での離縁 [3.1.2]	/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
	NO (50)→(51)へ	/		
NO				
(51)離縁種別の確認 [3.2]		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	55/78

処理名	3.1.1.2 未成年の離縁(1/1)			備考
(1)離縁形態区分?		/		
1.4	(2)養父の配偶者区分 ＝ 1(夫)である(YES,NO)	/		養父単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
YES	(3)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)		(4)本紙へ	
YES	(5)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	(6)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(YES,NO)		(7)本紙へ	
YES	(8)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ		(9)本紙へ	
NO	(10)離縁種別の確認 [3.2]	/		
2.5	(11)養母の配偶者区分 ＝ 2(妻)である(YES,NO)	/		養母単独の離縁の場合、共同離縁が不要かのチェックを行う。(民811の2)
YES	(12)確認メッセージ 「養親の配偶者とは縁組していませんね。」を表示する(YES,NO)		(13)本紙へ	
YES	(14)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	(15)確認メッセージ 「養父母と共同で離縁できない正当な理由がありますね。」を表示する(YES,NO)		(16)本紙へ	
YES	(17)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	→　(応答後、離縁種別の確認[3.2]へ		(18)本紙へ	
NO	(19)離縁種別の確認 [3.2]	/		
3.6	(20)養父母離婚区分 ＝ 1(婚姻中である)である(YES,NO)	/		
YES	(21)→(24)へ	/		
NO	(22)確認メッセージ 「養父母は養子と縁組中夫婦でしたか。」を表示する　(応答後(24)へ)		(23)本紙へ	
	(24)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
YES	(25)外国法での離縁 [3.1.2]	/		養母が外国人の場合は外国法での審査を行う
NO	(26)離縁種別の確認 [3.2]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	56/78

処理名	3.1.2 外国法での離縁(1/1)			備考
(0)養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)または養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)または養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)または 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/		
YES	(0.1)確認メッセージ 「外国人からだけの証書提出ではないですね。」を表示する(YES,NO)	/		
	YES (0.2)→(0.6)へ	/		
	NO (0.3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0.4)本紙へ	
NO	(0.5)→(0.6)へ	/		
(0.6)離縁の種別 ＝ 1(協議)(YES,NO)		/		
YES	(0.7)同時届区分 ＝ 1(親権者指定届)である。	/		
	YES (0.8)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する	/	(9)本紙へ	
	NO (0.10)→(0.11)へ	/		
	(0.11)同時届区分 ＝ 2(未成年後見開始届)である。	/		
	YES (0.12)エラーメッセージ 「外国方式の協議離縁届と親権届を同時に入力できません。届書ごとに入力して下さい。」を表示する	/	(0.13)本紙へ	
	NO (0.14)→(1)へ	/		
NO	(0.15)→(1)へ	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	57/78

処理名	3.1.2 外国法での離縁(1-1/1)			備考
(1)離縁形態区分 ＝ 1または3または4または6または7または9～15かつ 養父の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)		/		
YES	(2)確認メッセージ「養父の要件具備証明書等がありますか」を表示する(YES,NO)(応答後(4)へ)	/	(3)本紙へ	
	(4)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)	/		
	YES (5)確認メッセージ 「離縁の要件は養父の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する(応答後(8)へ)		(6)本紙へ	
	NO (7)→(8)へ	/		報告的届出は確認メッセージ不要
	(8)離縁形態区分 ＝ 3または6または9～15である(YES,NO)	/		
	YES (9)養母の縁組成立法区分 ＝ 1(日本法以外)である(YES,NO)	/		
	YES (10)→(14)へ	/		
	NO (11)日本法での離縁 [3.1.1]	/		
	NO (12)離縁種別の確認 [3.2]	/		
NO	(13)→(14)へ	/		
(14)確認メッセージ「養母の要件具備証明書がありますか」を表示する(応答後(16)へ)			(15)本紙へ	
(16)報告区分 ＝ 1(創設的届出)である(YES,NO)		/		
YES	(17)確認メッセージ 「離縁の要件は養母の本国法によります。要件審査は済みましたか。」を表示する(YES,NO)		(18)本紙へ	
	YES (19)離縁種別の確認 [3.2]	/		
	NO →(応答後,離縁種別の確認[3.2]へ)		(20)本紙へ	
NO	(21)離縁種別の確認 [3.2]	/		報告的届出は確認メッセージ不要

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	58/78

処理名	3.2 離縁種別の確認(1/6))			備考
(1)離縁の種別 ＝ 1(協議)である(YES,NO)		/		
YES	(2)離縁許可日 ≠ スペースである(YES,NO)	/		
YES	(3)離縁形態区分?	/		
1	(4)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
YES	(5)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(6)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
NO	(7)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
2	(8)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
YES	(9)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(10)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
NO	(11)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
3	(12)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または　養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
YES	(13)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(14)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
NO	(15)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
4	(16)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または　養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
YES	(17)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(18)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	59/78

処理名			3.2 離縁種別の確認(2/6)			備考
		NO	(19)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
	5		(20)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
		YES	(21)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(26)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
		NO	(23)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
	6		(24)養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
		YES	(25)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(26)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
		NO	(27)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
	7		(28)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)	/		
		YES	(29)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(30)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
		NO	(31)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
	8		(32)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分～1(死亡)　である(YES,NO)	/		
		YES	(33)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(34)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)

処理名				3.2 離縁種別の確認(3/6)			備考
			NO	(35)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		9 ～ 15		(36)養子の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養女の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養父の生死区分 ＝ 1(死亡)　または 養母の生死区分 ＝ 1(死亡)　である(YES,NO)			
			YES	(37)確認メッセージ 「家庭裁判所の許可証謄本が添付されていますね。届書の証人欄に記録がありますね」を表示する (応答後(40)へ)		(38)本紙へ	民811⑥ 民812(民739②の準用)
			NO	(39)エラーメッセージ 「養子･養親双方生存者なので,離縁許可日の入力は不要です。」を表示する			
		(40)戸籍異動の確認 [3.3]			/		
	NO	(41)離縁成立日 ≠ スペースである(YES,NO)			/		
		YES		(42)確認メッセージ 「離縁の証書が添付されていますか。」を表示する(応答後,戸籍異動の確認 [3.3])	/	(42.1)本紙へ	
		NO		(43)→(44)へ			
		(44)離縁形態区分?			/		
		1		(45)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/		
			YES	(46)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(47)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(48)本紙へ	
		2		(49)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/		
			YES	(50)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO	(51)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(52)本紙へ	
		3		(53)養子の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存)　かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存)　である(YES,NO)	/		
			YES	(54)戸籍異動の確認 [3.3]	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	61/78

処理名			3.2 離縁種別の確認(4/6)			備考
		NO	(55)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(56)本紙へ	
	4		(57)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(58)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(59)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(60)本紙へ	
	5		(61)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(62)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(63)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(64)本紙へ	
	6		(65)養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(66)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(67)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(68)本紙へ	
	7		(69)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(70)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(71)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(72)本紙へ	
	8		(73)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(74)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(75)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(76)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8	62/78

処理名	3.2 離縁種別の確認(5/6)	備考

		9 ～ 15	(77)養子の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養女の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存) かつ 養母の生死区分 ＝ 0(生存) である(YES,NO)	/		
		YES	(78)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(85)エラーメッセージ 「養子か養親に死亡者がいるので,離縁許可日の入力が必要です。」を表示する		(80)本紙へ	
NO			(81)確認メッセージ 「判決の謄本・確定証明書(調停・和解・認諾調書の謄本)が添付されていますね。」を表示する (応答後,(82)へ)		(81.1)本紙へ	
			(82)外国の裁判所名 ＝ スペースである(YES,NO)	/		
	YES		(83)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/		戸籍73(戸63①の準用),戸43
		YES	(84)→(89)へ	/		大4.1.14民事1805回答
		NO	(85)確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか。」を表示する(応答後,(89)へ)		(86)本紙へ	戸規65
	NO		(88)→(89)へ	/		
			(89)離縁の申立人区分 ＝ 1(養子)である(YES,NO)	/		
	YES		(90)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子) または 014(養子夫婦) または 077(養子の離縁後の法定代理人)である(YES,NO)	/		
		YES	(91)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
		NO	(92)裁判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)	/		戸73(戸63②の準用),戸43,大4.1.14民事1805回答
		YES	(93)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する(YES,NO)		(94)本紙へ	
			YES (95)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO (96)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(97)本紙へ	不受理
		NO	(98)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
	NO		(99)裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母) である(YES,NO)	/		
		YES	(100)戸籍異動の確認 [3.3]	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	63/78

処理名			3.2 離縁種別の確認(6/6)			備考
	NO		(101)裁判確定日 + 10日 > 受領日 (YES,NO)	/		戸73(戸63②の準用),戸43,大4.1.14 民事1805回答
		YES	(102)エラーメッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示する(YES,NO)		(103)本紙へ	
			YES (104)戸籍異動の確認 [3.3]	/		
			NO (105)エラーメッセージ 「発収簿処理して下さい。」を表示する		(106)本紙へ	不受理
		NO	(107)戸籍異動の確認 [3.3]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	64/78

処理名	3.3 戸籍異動の確認(1/1)				備考
(0)養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/		
YES	(0-1)養子の父氏名 ＝ スペース又は養子の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)		/		
	YES	(0-2)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		
		YES (0-3)→(0-13)へ	/		
		NO (0-4)		(0-5)本紙へ	不受理
	NO	(0-6)養子の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)	/		
		YES (0-7)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
		YES (0-8)→(0-13)へ	/		
		NO (0-9)		(0-10)本紙へ	不受理
	NO	(0-11)→(0-13)へ	/		
NO	(0-12→(0-13)へ		/		
(0-13)養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/		
YES	(0-14)養女の父氏名 ＝ スペース又は養女の母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)		/		
	YES	(0-15)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		
		YES (0-16)→(0-26)へ	/		
		NO (0-17)		(0-18)本紙へ	不受理
	NO	(0-19)養女の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)	/		
		YES (0-20)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
		YES (0-21)→(0-26)へ	/		
		NO (0-22)		(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-24)→(0-26)へ	/		
NO	(0-25)→(0-26)へ		/		
(0-26)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)			/		
YES	(0-27)配偶者父氏名 ＝ スペース又は配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)		/		
	YES	(0-28)確認メッセージ 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	65/78

処理名			3.3 戸籍異動の確認(1-1/1)			備考
		YES	(0-29)→(1)へ	/		
		NO	(0-30)		(0-31)本紙へ	不受理
	NO		(0-32)配偶者父母との続柄 ＝ 10(男)又は30(女)である(YES,NO)	/		
		YES	(0-33)確認メッセージ 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
			YES (0-34}→(1)へ	/		
			NO (0-35)		(0-36)本紙へ	不受理
		NO	(0-38)→(1)へ	/		
NO			(0-38)→(1)へ	/		
(1)離縁形態区分?				/		
1～3			(2)養子-養親異動 [3.3.1]	/		
4～6			(3)養女-養親異動 [3.3.2」	/		
7～15			(4)養子夫婦-養親異動 [3.3.3]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	66/78

処理名	3.3.1 養子−養親異動(1/1)			備考
(1) 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)		/		
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)	/		
	YES (3) → (7)へ	/		
	NO (4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」を表示する		(5)本紙へ	
NO	(6) → (7)へ	/		
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母)である(YES,NO)		/		
YES	(8) 確認メッセージ「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する(YES,NO)	/		
	YES →		(9)本紙へ	受理
	NO →			不受理
NO	→			受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	67/78

処理名	3.3.2 養女-養親異動(1/1)			備考
(1) 養女の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)		/		
YES	(2) 配偶者区分 ＝ 0(未)である(YES,NO)	/		
	YES (3) → (7)へ	/		
	NO (4)エラーメッセージ 「夫婦の構成員の離縁においては戸籍法73条の2の届出を出すことはできません。」を表示する		(5)本紙へ	
NO	(6) → (7)へ	/		
(7) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母)である(YES,NO)		/		
YES	(8) 確認メッセージ「戸籍法73条の2の届は養子が届出人ですね。」を表示する(YES,NO)	/		
	YES →		(9)本紙へ	受理
	NO →			不受理
NO	→			受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	68/78

処理名	3.3.3 養子夫婦-養親異動(1/1)			備考
(1) 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/		
YES	(2) 養女-養親異動 [3.3.2]	/		
NO	(3)→(4)へ	/		
(4) 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/		
YES	(5)養女-養親異動 [3.3.2]	/		
NO	(6)→(7)へ	/		
(7) 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)である(YES,NO)		/		
YES	(8) 養子-養親異動 [3.3.1]	/		
NO	(9)→(11)へ	/		
(11) 養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)である(YES,NO)		/		
YES	(12) 養子-養親異動 [3.3.1]	/		
NO	(13)→(14)へ	/		
(14) 裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父) または 011(養母) または 012(養父母)である(YES,NO)		/		
YES	(15) 確認メッセージ 「戸籍法73条の2は養子夫婦の筆頭者が届出人ですね。」を表示する(YES,NO)	/		
	YES →		(16)本紙へ	受理
	NO →			不受理
NO	→			受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	69/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/10	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		養子離縁同時 73の2届画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分			報告区分				
	渉外区分							事件本人全員が日本人のとき0 事件本人全員が外国人のとき2 上記以外のとき1 (親権者・後見人等は含まない)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							養子,養親が本籍分の場合,選択戸籍番号を設定
	事件別内容							3/8～8/8参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされているとき1
	処分区分							審査の結果により,1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	70/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/10	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分		養子離縁同時 73の2届画面					何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	71/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 3/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子と養父区分		養子離縁届同時73条の2(離縁形態区分)画面	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	同時届区分			同時届区分				
	親権・未成年後見人の個人番号			親権・未成年後見人の個人番号				本籍人の場合のみ設定
	親権・未成年後見人の本非区分			親権・未成年後見人の本非区分				
	親権・未成年後見人生年月日			親権・未成年後見人生年月日				
	親権・未成年後見人氏名			親権・未成年後見人氏名				
	親権・未成年後見人本籍コード			親権・未成年後見人本籍		有		
	親権・未成年後見人本籍							
	親権・未成年後見人筆頭者			親権・未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人個人番号			同時親権届出人個人番号				本籍人の場合のみ設定
	同時親権届出人本非区分			同時親権届出人本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人の氏名			同時親権届出人の氏名				
	同時親権届出人本籍コード			同時親権届出人本籍		有		
	同時親権届出人本籍							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	4	72/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 4/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養子の個人番号		本籍人検索	養子の個人番号				養子が本籍人の場合のみ設定
	養子の外国人区分		養子離縁同時73条の2届(その1) 画面	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本籍コード			養子の本･国籍		有		
	養子の本･国籍							
	養子の住所コード			養子の住所		有		
	養子の住所							
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養女の個人番号		本籍人検索	養女の個人番号				養女が本籍人の場合のみ設定
	養女の外国人区分		養子離縁同時73条の2届(その1) 画面	養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女のカナ氏名			養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	73/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 5/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養女の本籍コード		養子離縁同時73条の2届(その1) 画面	養女の本･国籍		有		
	養女の本･国籍							
	養女の住所コード			養女の住所		有		
	養女の住所							
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	74/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 6/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養父の個人番号		本籍人検索	養父の個人番号				養父が本籍人の場合のみ設定
	養父の外国人区分		養子離縁同時73条の2届(その2) 画面	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本籍コード			養父の本･国籍		有		
	養父の本籍							
	獲父の筆頭者			養父の筆頭者				
	養父の住所コード			養父の住所		有		
	養父の住所							
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の個人番号		本籍人検索	養母の個人番号				養母が本籍人の場合のみ設定
	養母の外国人区分		養子離縁同時73条の2届(その2) 画面	養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本籍コード			養母の本･国籍		有		
	養母の本籍							
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所コード			養母の住所		有		
	養母の住所							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	75/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 7/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	養母の世帯主		養子離縁同時73条の2届(その2) 画面	養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母婚姻区分			養父母婚姻区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	76/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 8/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書)事件別内容	縁組年月日		養子離縁同時73条の2届(その3) 画面	縁組年月日				
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍コード			新本籍		有		
	新本籍							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	77/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 9/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

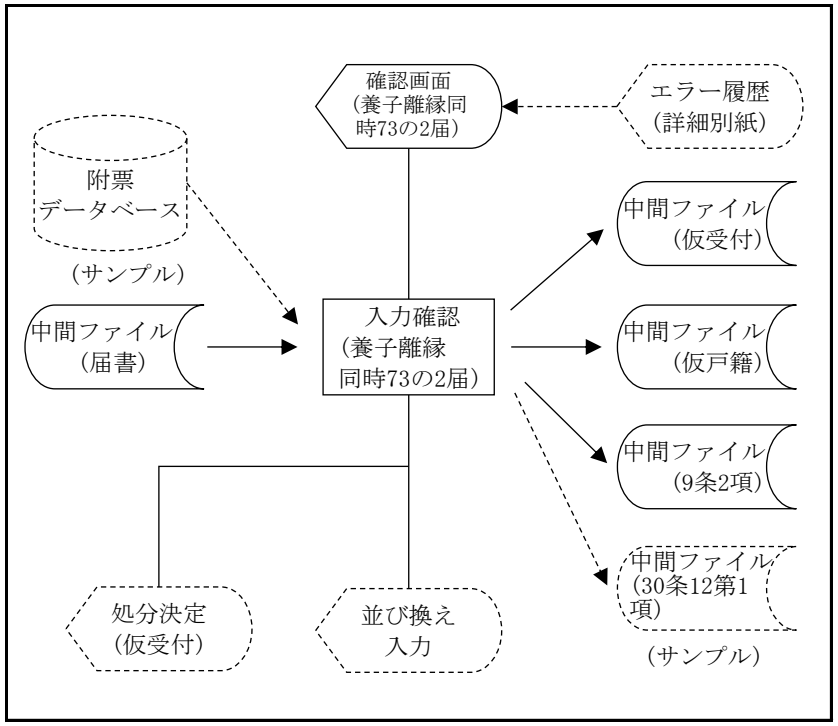
受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	15歳未満の届出人資格1		養子離縁同時73条の2届(その4) 画面	15歳未満の届出人				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍コード1			15歳未満の届出人国籍1		有		
	15歳未満の届出人国籍1							
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍コード2			15歳未満の届出人国籍2		有		
	15歳未満の届出人国籍2							
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	78/78

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 10/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(養子離縁同時73条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	配偶者個人番号		本籍人検索	配偶者個人番号				配偶者が本籍人の場合のみ設定
	配偶者外国人区分		養子離縁同時73条の2届(その5) 画面	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	離縁後住所コード			配偶者住所		有		
	配偶者住所							
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条12第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届出書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集、出力する。
(6)中間ファイル(30条12第1項)を編集、出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 2.1 離縁マトリックス表
  - 2.2 親権・未成年後見マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 3.1 離縁
  - 3.2 戸籍法73条の2
  - 3.3 親権
  - 3.4 未成年後見
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
  - 4.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形A.1と異なる場合
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
  - 5.1 養子の新戸籍(編製) ※73条の2の戸籍事項
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
  - 6.1 養子の新戸籍(編製) ※ひな形C.1と異なる場合
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 7.1 養子(女)(入籍・離縁)
  - 7.2 養子(女)(入籍・法73条の2)
  - 7.3 養子(女)(除籍・離縁)
  - 7.4 養子(女)(除籍・法73条の2)
- 8.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 8.1 養親(記録)
- 9.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 9.1 養子(女)の配偶者(入籍)
  - 9.2 養子(女)の配偶者(除籍)
- 10.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
  - 10.1 養子(女)の親権事項(記録) ※同時親権届
  - 10.2 養子(女)の親権事項(移記) ※従前の親権事項の移記
  - 10.3 養子(女)の未成年後見事項(記録) ※同時後見届の場合
- 11.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 11.1 養父
  - 11.2 養母
  - 11.3 養子
  - 11.4 養女
  - 11.5 養子(女)の配偶者
- 12.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項)……(サンプル提示)
  - 12.1 養父
  - 12.2 養母
  - 12.3 養子(女)
  - 12.4 養子(女)の配偶者

5.備考(特記事項含む)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/114

処理名	0.0 本紙 1/8	備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)	/	
実行キー (3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]	/	
(4)離縁形態区分?	/	
3 (4.1)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)	/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき,受付帳は2件作成される
YES (4.2)養父母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
NO (4.3)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
(4.4)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
6 (4.5)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)	/	
YES (4.6)養父母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
NO (4.7)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
(4.8)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
7 (4.9)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)	/	養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき,受付帳は2件作成される
YES (4.10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
NO (4.11)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
(4.12)養父と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
8 (4.13)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)	/	
YES (4.14)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
NO (4.15)養母と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
(4.16)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
9〜15 (4.17)養父の生死区分 ＝ 養母の生死区分(YES,NO)	/	養父母のいずれか一方又は養子夫婦いずれか一方が死亡しているとき,受付帳は2件作成される
YES (4.18)養子の生死区分 ＝ 養女の生死区分(YES,NO)	/	
YES (4.19)養父母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
NO (4.19.1)離縁形態区分?	/	
9 (4.19.2)養父と養子で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	
(4.19.3)養母と養女で中間ファイル(仮受付・離縁)を編集・出力する [3.1]	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/114

処理名	0.0 本紙 2/8			備考
	10	(4.19.4)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.5)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	11	(4.19.6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	12	(4.19.8)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.9)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	13	(4.19.10)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.11)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	14	(4.19.12)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.13)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	15	(4.19.14)養父母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.19.15)養父母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	NO	(4.22.1.)離縁形態区分?	/	
	9	(4.22.2)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
		(4.22.3)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	4/114

処理名		0.0 本紙 3/8				備考
			10	(4.22.4)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.5)養母と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			11	(4.22.6)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.7)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			12	(4.22.8)養父と養女で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.9)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			13	(4.22.10)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.11)養母と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			14	(4.22.12)養父と養子で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.13)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
			15	(4.22.14)養父と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
				(4.22.15)養母と養子夫婦で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]	/	
	その他	(4.24.)事件本人(養父,養母,養子,養女)で中間ファイル(仮受付･離縁)を編集･出力する [3.1]			/	
	(5)離縁形態区分 ＝ 1,2,3または離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)				/	
	YES	(5.1)養子で中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)を編集する [3.2]			/	筆頭者となる者だけが事件本人となる
	NO	(5.2)養女で中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)を編集する [3.2]			/	

処理名	0.0　本紙　4/8		備考
	(6)同時届区分?	/	
	0 (7)→(10)へ	/	
	1 (8)中間ファイル(仮受付･親権)を編集･出力する [3.3]	/	
	2 (9)中間ファイル(仮受付･未成年後見)を編集･出力する [3.4]	/	
	(10)養子に入力がある(YES,NO)	/	
	YES (10.1)離縁形態区分 ＝ 1,2,3または離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO)	/	
	YES (11)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
	YES (12)身分事項:養子(女)(除籍･離縁)を編集する [7.3]	/	
	(13)身分事項:養子(女)(除籍･戸籍法73条の2)を編集する [7.4]	/	
	NO (14)→(15)へ	/	
	(15)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES (16)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1]	/	
	(17)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1]	/	
	(18)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	
	(19)身分事項:養子(女)(入籍･離縁)を編集する [7.1]	/	
	(20)身分事項:養子(女)(入籍･戸籍法73条の2)を編集する [7.2]	/	
	(20.1)養子(女)は在外選挙人である(YES,NO)	/	※サンプル提示
	YES (20.2)養子(女)について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [12.3]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (21)→(23)へ	/	処理(20.1)(20.2)
	NO		
	NO (21.1)養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
	YES (21.2)身分事項:養子(女)(除籍･離縁)を編集する [7.3]	/	
	(21.3)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する [9.2]	/	
	NO (21.4)→(21.5)へ	/	
	(21.5)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES (21.6)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1]	/	養女が筆頭者であるため,新戸籍を編製し,養女を入籍させた後に養子を入籍させる。
	(21.7)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1]	/	
	(21.8)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/	養女の個人特定

処理名	0.0 本紙 5/8		備考
	(21.9)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1] /		養女の身分事項
	(21.10)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.2] /		養女の身分事項
	(21.10.1)養子(女)は在外選挙人である(YES,NO) /		※サンプル提示
	YES (21.10.2)養子(女)について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [12.3] /		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (21.10.3)→(21.11)へ /		処理(21.10.1)(21.10.2)
	(21.11)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1] /		養子の個人特定
	(21.12)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1] /		養子の身分事項
	(21.13)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者)を編集する [9.3] /		養子の身分事項
	(21.13.1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO) /		※サンプル提示
	YES (21.13.2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [12.4] /		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (21.14)→(23)へ /		処理(21.13.1)(2.13.2)
	NO /		
	NO (22)→(23)へ /		
	(23)養女に入力がある(YES,NO) /		
	YES (23.1)離縁形態区分 ＝ 4,5,6または離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者である(YES,NO) /		
	YES (24)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO) /		養女が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
	YES (25)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する [7.3] /		
	(26)身分事項:養子(女)(除籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.4] /		
	NO (27)→(28)へ /		
	(28)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO) /		
	YES (28.1)離縁形態区分 ＝ 4,5,6である(YES,NO) /		
	YES (29)戸籍特定:養子の新戸籍(編製) [4.1] /		養女のみに入力ある場合
	(30)戸籍事項:養子の新戸籍(編製) [5.1] /		
	(31)個人特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1] /		
	(32)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1] /		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	7/114

処理名	0.0 本紙 6/8						備考
				(33)身分事項:養子(女)(入籍・戸籍法73条の2)を編集する [7.4]	/		
				(33.1.1)養子(女)は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
			YES	(33.1.2)養子(女)について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [12.3]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
			NO	(33.1)→(36)へ	/		
			NO				養女と養子の双方に入力があり,養女筆頭者の場合は(21.6)～(21.10)で処理済み
		NO		(33.2)→(36)へ	/		
		NO		(34)養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/		養子が離縁後に新戸籍の筆頭者となる場合
		YES		(34.1)身分事項:養子(女)(除籍・離縁)を編集する [7.3]	/		
				(34.2)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)を編集する [9.3]	/		
		NO		(34.3)→(34.4)へ	/		
				(34.4)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/		(16)～(20)で養子は新戸籍に入籍済み
		YES		(34.5)戸籍特定:養子の新戸籍(入籍) [6.1]	/		養女の個人特定
				(34.6)身分事項:養子(女)(入籍・離縁)を編集する [7.1]	/		養女の身分事項
				(34.7)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)を編集する [9.1]	/		養女の身分事項
				(34.7.1)養子(女)の配偶者は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
			YES	(34.7.2)養子(女)の配偶者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [12.4]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
			NO	(34.8)→(36)へ	/		処理(34.7.1)(34.7.2)
		NO					
	NO	(35)→(36)へ			/		
	(36)養父に入力がある(YES,NO)				/		
	YES	(37)養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)			/		
		YES		(38)身分事項:養親(除籍)を編集する [8.1]	/		
				(38.1)養父は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
			YES	(38.2)養父について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
			NO	(39)→(41)へ	/		処理(38.1)(38.2)
		NO					

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	8/114

処理名	0.0 本紙 6-1/8		備考
NO	(40)→(41)へ	/	
	(41)養母に入力がある(YES,NO)	/	
YES	(42)養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	
YES	(43)身分事項:養親(除籍)を編集する [8.1]	/	
	(43.1)養父は在外選挙人である(YES,NO)	/	※サンプル提示
YES	(43.2)養母について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する [12.2]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
NO	(44)→(46)へ	/	処理(43.1)(43.2)
NO			
NO	(45)→(46)へ	/	
	(46)配偶者外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
YES	(47)養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍人)である(YES,NO)	/	養子または養女の本非区分で判断する

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	9/114

処理名			0.0 本紙 7/8		備考
	YES		(48)身分事項:養子(女)の配偶者(除籍)(離縁対象者でない者)を編集する [9.2]	/	
	NO		(49)→(50)へ	/	
			(50)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES		(50.1)個人特定:養子の新戸籍(入籍)を編集する [6.1]	/	
			(51)身分事項:養子(女)の配偶者(入籍)(離縁対象者でない者)を編集する [9.1]	/	
	NO		(52)→(54)へ	/	
NO			(53)→(54)へ	/	
			(54)同時届区分?	/	
0			(55)→(62)へ	/	
1			(56)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES		(57)身分事項:養子(女)の親権事項(記録)を編集する [10.1]	/	
	NO		(58)→(67)へ	/	
2			(59)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES		(60)身分事項:養子(女)の未成年後見事項(記録)を編集する [10.3]	/	
	NO		(61)→(67)へ	/	
			(62)親権移記親権者区分に入力がある(YES,NO)	/	
YES			(63)新戸籍の編製地は管内である(YES,NO)	/	
	YES		(64)身分事項:養子(女)の親権事項(移記)を編集する [10.2]	/	
	NO		(65)→(67)へ	/	
NO			(66)→(67)へ	/	
			(67)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/	
YES			(68)養父に入力があり,養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES		(69)養父について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [11.1]	/	
	NO		(70)→(71)へ	/	
			(71)養母に入力があり,養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES		(72)養母について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [11.2]	/	
	NO		(73)→(74)へ	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/114

処理名	0.0　本紙　8/8		備考
	(74)養子に入力があり,養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES (75)養子について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.3]	/	
	NO (76)→(77)へ	/	
	(77)養女に入力があり,養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES (78)養女について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.4]	/	
	NO (79)→(80)へ	/	
	(80)養子の配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)	/	
	YES (81)養子の配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [11.5]		(82)処分決定に制御を渡す
	NO →		
	NO →		
PF1	→		(83)業務選択に制御を渡す
PF2	→		(84)届出選択に制御を渡す
PF5	→		(85)審査(養子離縁届)に制御を渡す
PF7	(86)前ページがある(YE,NO)	/	
	YES (87)前ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する		(88)同画面を編集する
	NO (89)エラーメッセージ｢先頭ページです｣を表示する		
PF8	(90)次ページがある(YES,NO)	/	
	YES (91)次ページ分の確認画面(養子離縁同時73条の2届)を編集する		(92)同画面を編集する
	NO (93)エラーメッセージ｢最終ページです｣を表示する		
PF11	→		(94)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(95)エラーメッセージ｢無効なキーが押下されました｣を表示する		(96)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	11/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 1/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(離縁形態入力)画面確認	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	養子と養父区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子と養父区分				
	養子と養母区分			養子と養母区分				
	養女と養父区分			養女と養父区分				
	養女と養母区分			養女と養母区分				
	養子離縁形態名称			養子離縁形態区分		有		審査の条件設定を参照
	同時届区分			同時届区分				
	親権･未成年後見人氏名			親権･未成年後見人氏名				
	親権･未成年後見人本籍			親権･未成年後見人本籍コード		有		
				親権･未成年後見人本籍				
	親権･未成年後見人筆頭者			親権･未成年後見人筆頭者				
	同時親権届の種別			同時親権届の種別				
	同時親権者資格			同時親権者資格				
	同時親権届出人資格			同時親権届出人資格				
	同時親権届出人氏名			同時親権届出人氏名				
	親権･未成年後見人の本非区分			親権･未成年後見人の本非区分				
	親権･未成年後見人生年月日			親権･未成年後見人生年月日				
	同時親権届出人の本非区分			同時親権届出人の本非区分				
	同時親権届出人生年月日			同時親権届出人生年月日				
	同時親権届出人本籍			同時親権届出人本籍コード		有		
				同時親権届出人本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	12/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 2/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2(その1)～(その5)確認画面 共通	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示　3/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(その1) 確認画面	養子の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養子の外国人区分				
	養子の本非区分			養子の本非区分				
	養子の生年月日			養子の生年月日				
	養子の生死区分			養子の生死区分				
	養子の生死区分名称					有		
	養子のカナ氏名			養子のカナ氏名				
	養子の漢字氏名			養子の漢字氏名				
	養子の本･国籍			養子の本籍コード		有		
				養子の本籍				
	養子の住所			養子の住所コード		有		
				養子の住所				
	養子の筆頭者			養子の筆頭者				
	養子の世帯主			養子の世帯主				
	養子の父氏名			養子の父氏名				
	養子の母氏名			養子の母氏名				
	養子の父母との続柄コード			養子の父母との続柄コード				
	養子の父母との続柄名称					有		
	養子の筆頭者区分			養子の筆頭者区分				
	養子の筆頭者区分名称					有		
	養子の配偶者区分			養子の配偶者区分				
	養子の配偶者区分名称					有		
	養女の外国人区分			養女の外国人区分				
	養女の本非区分			養女の本非区分				
	養女の生年月日			養女の生年月日				
	養女の生死区分			養女の生死区分				
	養女の生死区分名称					有		

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	14/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 4/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子離縁同時73条の2届(その1) 確認画面	養女のカナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	養女のカナ氏名				
	養女の漢字氏名			養女の漢字氏名				
	養女の本･国籍			養女の本籍コード		有		
				養女の本籍				
	養女の住所			養女の住所コード		有		
				養女の住所				
	養女の筆頭者			養女の筆頭者				
	養女の世帯主			養女の世帯主				
	養女の父氏名			養女の父氏名				
	養女の母氏名			養女の母氏名				
	養女の父母との続柄コード			養女の父母との続柄コード				
	養女の父母との続柄名称					有		
	養女の筆頭者区分			養女の筆頭者区分				
	養女の筆順者区分名称					有		
	養女の配偶者区分			養女の配偶者区分				
	養女の配偶者区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示　5/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(その2) 確認画面	養父の外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	養父の外国人区分				
	養父の本非区分			養父の本非区分				
	養父の生年月日			養父の生年月日				
	養父の生死区分			養父の生死区分				
	養父の生死区分名称					有		
	養父のカナ氏名			養父のカナ氏名				
	養父の漢字氏名			養父の漢字氏名				
	養父の本･国籍			養父の本籍コード		有		
				養父の本籍				
	養父の筆頭者			養父の筆頭名				
	養父の住所			養父の住所コード		有		
				養父の住所				
	養父の世帯主			養父の世帯主				
	養父の縁組成立法区分			養父の縁組成立法区分				
	養母の外国人区分			養母の外国人区分				
	養母の本非区分			養母の本非区分				
	養母の生年月日			養母の生年月日				
	養母の生死区分			養母の生死区分				
	養母の生死区分名称					有		
	養母のカナ氏名			養母のカナ氏名				
	養母の漢字氏名			養母の漢字氏名				
	養母の本･国籍			養母の本籍コード		有		
				養母の本籍				
	養母の筆頭者			養母の筆頭者				
	養母の住所			養母の住所コード		有		
				養母の住所				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	16/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 6/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(その2) 確認画面	養母の世帯主		中間ファイル(届書) 事件別内容	養母の世帯主				
	養母の縁組成立法区分			養母の縁組成立法区分				
	養父母の婚姻区分			養父母の婚姻区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示　7/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(その3) 確認画面	縁組年月日		中間ファイル(届書) 事件別内容	縁組年月日				
	縁組前の氏			縁組前の氏				
	離縁の種別			離縁の種別				
	離縁の申立人区分			離縁の申立人区分				
	裁判確定日			裁判確定日				
	離縁許可日			離縁許可日				
	離縁成立日			離縁成立日				
	離縁の方式			離縁の方式				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	18/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 8/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
養子離縁同時73条の2届(その4) 確認画面	15歳未満の届出人資格1		中間ファイル(届書) 事件別内容	15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格名称				15歳未満の届出人資格1と2の内容から変換 (審査の表示設定その2参照)
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人国籍1			15歳未満の届出人国籍コード1		有		
				15歳未満の届出人国籍1				
	15歳未満の届出人生年月日1			15歳未満の届出人生年月日1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	15歳未満の届出人国籍2			15歳未満の届出人国籍コード2		有		
				15歳未満の届出人国籍2				
	15歳未満の届出人生年月日2			15歳未満の届出人生年月日2				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	19/114

処理名	1.0 確認画面(同時73の2届) 表示 9/9	(受取側) 養子離縁同時73条の2届画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
養子離縁同時73条の2(その5) 確認画面	配偶者外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	配偶者外国人区分				
	配偶者筆頭者区分			配偶者筆頭者区分				
	配偶者筆頭者区分名称					有		
	配偶者配偶者区分			配偶者配偶者区分				
	配偶者配偶者区分名称					有		
	配偶者カナ氏名			配偶者カナ氏名				
	配偶者漢字氏名			配偶者漢字氏名				
	配偶者父氏名			配偶者父氏名				
	配偶者母氏名			配偶者母氏名				
	配偶者父母との続柄コード			配偶者父母との続柄コード				
	配偶者父母との続柄名称					有		
	配偶者生年月日			配偶者生年月日				
	配偶者住所			配偶者住所コード		有		
				配偶者住所				
	離縁後変更養父氏名			離縁後変更養父氏名				
	離縁後変更養母氏名			離縁後変更養母氏名				
	親権移記親権者区分			親権移記親権者区分				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/114

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(1/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
	あくまでも目安	養子･養女の入力がある場合は,同一戸籍であることが前提(外国人を除く)であるので,養子と養女で戸籍が異なることはない。						構成員の場合のみ,配偶者の随従入籍(除籍)が発生する		全部除籍か,一部除籍かの判断項目		養父と養母に関しては同一戸籍であれば,養親の戸籍で処理するが離婚していれば別々の戸籍も考えられるので,養父と養母の2つに判断を分けた。 但し,右表の戸籍の記録は,養親1つの戸籍で処理している。別々の戸籍にいる場合は,各々の戸籍に記録があるので注意すること。										
1	1	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
2	1	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
3	1	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
4	1	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
5	1	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
6	1	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
7	1	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
8	1	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
9	1	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(2/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
10	1	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
11	1	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
12	1	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		
13	1	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×						7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
14	1	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×							7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
15	1	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○						7.3 7.4 9.2(配偶者)			
16	1	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○							7.3 7.4 9.2(配偶者)		
17	1	×	○			○	×	○	×	-	-	○	×				7.1 7.2					8.1
18	1	×	○			○	×	○	×	-	-	×	○				7.1 7.2					
19	1	×	○			○	×	×	○	-	-	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
20	1	×	○			○	×	×	○	-	-	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)					
21	1	×	○			×	○	-	-	-	-	○	×									8.1
22	1	×	○			×	○	-	-	-	-	×	○									

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(3/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
23	2	○	×			○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
24	2	○	×			○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
25	2	○	×			○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
26	2	○	×			○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
27	2	○	×			○	×	×	○	○	×			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
28	2	○	×			○	×	×	○	×	○			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
29	2	○	×			○	×	×	○	○	×			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
30	2	○	×			○	×	×	○	×	○			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
31	2	○	×			×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
32	2	○	×			×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
33	2	○	×			×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
34	2	○	×			×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(4/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
35	2	○	×			×	○	×	○	○	×			○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
36	2	○	×			×	○	×	○	×	○			○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
37	2	○	×			×	○	×	○	○	×			×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
38	2	○	×			×	○	×	○	×	○			×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
39	2	×	○			○	×	○	×	－	－			○	×		7.1 7.2					8.1
40	2	×	○			○	×	○	×	－	－			×	○		7.1 7.2					
41	2	×	○			○	×	×	○	－	－			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
42	2	×	○			○	×	×	○	－	－			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
43	2	×	○			×	○	－	－	－	－			○	×							8.1
44	2	×	○			×	○	－	－	－	－			×	○							

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(5/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
45	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
46	3	○	×			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
47	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
48	3	○	×			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
49	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
50	3	○	×			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
51	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
52	3	○	×			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
53	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
54	3	○	×			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
55	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
56	3	○	×			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(6/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
57	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
58	3	○	×			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
59	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
60	3	○	×			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
61	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1
62	3	○	×			×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
63	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
64	3	○	×			×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
65	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1
66	3	○	×			×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
67	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
68	3	○	×			×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(7/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
69	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
70	3	○	×			×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
71	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
72	3	○	×			×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
73	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8,1
74	3	○	×			×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8,1
75	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
76	3	○	×			×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
77	3	×	○			○	×	○	×	-	-	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
78	3	×	○			○	×	○	×	-	-	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
79	3	×	○			○	×	○	×	-	-	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
80	3	×	○			○	×	○	×	-	-	×	○	×	○		7.1 7.2					

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(8/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
81	3	×	○			○	×	×	○	-	-	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
82	3	×	○			○	×	×	○	-	-	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
83	3	×	○			○	×	×	○	-	-	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
84	3	×	○			○	×	×	○	-	-	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
85	3	×	○			×	○	-	-	-	-	○	×	○	×							8.1
86	3	×	○			×	○	-	-	-	-	○	×	×	○							8.1
87	3	×	○			×	○	-	-	-	-	×	○	○	×							8.1
88	3	×	○			×	○	-	-	-	-	×	○	×	○							

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(9/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
89	4			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×				7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
90	4			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×				7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
91	4			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○				7.1 7.2		7.3 7.4			
92	4			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○				7.1 7.2			7.3 7.4		
93	4			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
94	4			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
95	4			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
96	4			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
97	4			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×						7.3 7.4			8.1
98	4			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×							7.3 7.4		8.1
99	4			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○						7.3 7.4			
100	4			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○							7.3 7.4		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	29/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(10/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
101	4			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×						7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
102	4			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×							7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
103	4			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○						7.3 7.4 9.2(配偶者)			
104	4			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○							7.3 7.4 9.2(配偶者)		
105	4			×	○	○	×	○	×	-	-	○	×				7.1 7.2					8.1
106	4			×	○	○	×	○	×	-	-	×	○				7.1 7.2					
107	4			×	○	○	×	×	○	-	-	○	×				7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
108	4			×	○	○	×	×	○	-	-	×	○				7.1 7.2 9.1(配偶者)					
109	4			×	○	×	○	-	-	-	-	○	×									8.1
110	4			×	○	×	○	-	-	-	-	×	○									

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(11/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
111	5			○	×	○	×	○	×	○	×			○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
112	5			○	×	○	×	○	×	×	○			○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
113	5			○	×	○	×	○	×	○	×			×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
114	5			○	×	○	×	○	×	×	○			×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
115	5			○	×	○	×	×	○	○	×			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
116	5			○	×	○	×	×	○	×	○			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
117	5			○	×	○	×	×	○	○	×			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			
118	5			○	×	○	×	×	○	×	○			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
119	5			○	×	×	○	○	×	○	×			○	×				7.3 7.4			8.1
120	5			○	×	×	○	○	×	×	○			○	×					7.3 7.4		8.1
121	5			○	×	×	○	○	×	○	×			×	○				7.3 7.4			
122	5			○	×	×	○	○	×	×	○			×	○					7.3 7.4		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	31/114

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(12/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
123	5			○	×	×	○	×	○	○	×			○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
124	5			○	×	×	○	×	○	×	○			○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
125	5			○	×	×	○	×	○	○	×			×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
126	5			○	×	×	○	×	○	×	○			×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
127	5			×	○	○	×	○	×	-	-			○	×		7.1 7.2					8.1
128	5			×	○	○	×	○	×	-	-			×	○		7.1 7.2					
129	5			×	○	○	×	×	○	-	-			○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
130	5			×	○	○	×	×	○	-	-			×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
131	5			×	○	×	○	-	-	-	-			○	×							8.1
132	5			×	○	×	○	-	-	-	-			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(13/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
133	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
134	6			○	×	○	×	○	×	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
135	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2		7.3 7.4			8.1
136	6			○	×	○	×	○	×	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2		7.3 7.4			
137	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
138	6			○	×	○	×	○	×	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
139	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2			7.3 7.4		8.1
140	6			○	×	○	×	○	×	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2			7.3 7.4		
141	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
142	6			○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
143	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
144	6			○	×	○	×	×	○	○	×	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)		7.3 7.4 9.2(配偶者)			

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	33/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(14/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
145	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
146	6			○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
147	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
148	6			○	×	○	×	×	○	×	○	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)			7.3 7.4 9.2(配偶者)		
149	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4			8.1
150	6			○	×	×	○	○	×	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4			8.1
151	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4			8.1
152	6			○	×	×	○	○	×	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4			
153	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4		8.1
154	6			○	×	×	○	○	×	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4		8.1
155	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4		8.1
156	6			○	×	×	○	○	×	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(15/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
157	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
158	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
159	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	○	×				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
160	6			○	×	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			8.1
161	6			○	×	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
162	6			○	×	×	○	×	○	○	×	×	○	×	○				7.3 7.4 9.2(配偶者)			
163	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	○	×					7.3 7.4 9.2(配偶者)		8.1
164	6			○	×	×	○	×	○	×	○	×	○	×	○					7.3 7.4 9.2(配偶者)		
165	6			×	○	○	×	○	×	-	-	○	×	○	×		7.1 7.2					8.1
166	6			×	○	○	×	○	×	-	-	○	×	×	○		7.1 7.2					8.1
167	6			×	○	○	×	○	×	-	-	×	○	○	×		7.1 7.2					8.1
168	6			×	○	○	×	○	×	-	-	×	○	×	○		7.1 7.2					

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	35/114

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(16/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
169	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
170	6			×	○	○	×	×	○	－	－	○	×	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
171	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	○	×		7.1 7.2 9.1(配偶者)					8.1
172	6			×	○	○	×	×	○	－	－	×	○	×	○		7.1 7.2 9.1(配偶者)					
173	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	○	×							8.1
174	6			×	○	×	○	－	－	－	－	○	×	×	○							8.1
175	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	○	×							8.1
176	6			×	○	×	○	－	－	－	－	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	36/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(17/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
177	7	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
178	7	○	×	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
179	7	○	×	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
180	7	○	×	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
181	7	○	×	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
182	7	○	×	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
183	7	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
184	7	○	×	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
185	7	○	×	×	○	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
186	7	○	×	×	○	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
187	7	○	×	×	○	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
188	7	○	×	×	○	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(18/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
189	7	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
190	7	○	×	×	○	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
191	7	○	×	×	○	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
192	7	○	×	×	○	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
193	7	×	○	○	×	○	×			○	×	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
194	7	×	○	○	×	○	×			×	○	○	×				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
195	7	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
196	7	×	○	○	×	○	×			×	○	×	○				7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
197	7	×	○	○	×	×	○			○	×	○	×						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
198	7	×	○	○	×	×	○			×	○	○	×							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
199	7	×	○	○	×	×	○			○	×	×	○						7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
200	7	×	○	○	×	×	○			×	○	×	○							7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/114

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(19/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍死亡者人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍死亡者人（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍死亡者人（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍死亡者人（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
201	7	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
201-1	7	×	○	×	○	○	×			－	－	○	×			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
202	7	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○			※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
202-1	7	×	○	×	○	○	×			－	－	×	○			※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
203	7	×	○	×	○	×	○			－	－	○	×									8.1
204	7	×	○	×	○	×	○			－	－	×	○									

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　－:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	39/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(20/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
205	8	○	×	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
206	8	○	×	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
207	8	○	×	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
208	8	○	×	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
209	8	○	×	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
210	8	○	×	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
211	8	○	×	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
212	8	○	×	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
213	8	○	×	×	○	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
214	8	○	×	×	○	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者)		8.1
215	8	○	×	×	○	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
216	8	○	×	×	○	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	40/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(21/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人籍人・非本籍人・死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
217	8	○	×	×	○	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
218	8	○	×	×	○	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
219	8	○	×	×	○	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
220	8	○	×	×	○	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
221	8	×	○	○	×	○	×			○	×			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
222	8	×	○	○	×	○	×			×	○			○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
223	8	×	○	○	×	○	×			○	×			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
224	8	×	○	○	×	○	×			×	○			×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
225	8	×	○	○	×	×	○			○	×			○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
226	8	×	○	○	×	×	○			×	○			○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
227	8	×	○	○	×	×	○			○	×			×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
228	8	×	○	○	×	×	○			×	○			×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	41/114

処理名：2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(22/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
229	8	×	○	×	○	○	×			-	-			○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
229-1	8	×	○	×	○	○	×			-	-			○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
230	8	×	○	×	○	○	×			-	-			×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
230-1	8	×	○	×	○	○	×			-	-			×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
231	8	×	○	×	○	×	○			-	-			○	×							8.1
232	8	×	○	×	○	×	○			-	-			×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
233	9〜15	○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
234		○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
235		○	×	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
236		○	×	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
237		○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
238		○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
239		○	×	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)		7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
240		○	×	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)			7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
241		○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
242		○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
243		○	×	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
244		○	×	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	43/114

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(24/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
245	9〜15	○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			8.1
246		○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		8.1
247		○	×	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)			
248		○	×	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(夫婦) 7.4(筆頭者) 9.4(構成員)		
249		○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
250		○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
251		○	×	×	○	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
252		○	×	×	○	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
253		○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
254		○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
255		○	×	×	○	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
256		○	×	×	○	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	44/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(25/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
257	9〜15	○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
258		○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
259		○	×	×	○	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
260		○	×	×	○	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
261		○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
262		○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
263		○	×	×	○	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
264		○	×	×	○	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
265		×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
266		×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
267		×	○	○	×	○	×			○	×	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
268		×	○	○	×	○	×			×	○	○	×	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	45/114

処理名	2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(26/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者 いずれか		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
269	9〜15	×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
270		×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	○	×		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
271		×	○	○	×	○	×			○	×	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)		7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
272		×	○	○	×	○	×			×	○	×	○	×	○		7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)			7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		
273		×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
274		×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
275		×	○	○	×	×	○			○	×	○	×	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
276		×	○	○	×	×	○			×	○	○	×	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
277		×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	○	×				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			8.1
278		×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	○	×					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		8.1
279		×	○	○	×	×	○			○	×	×	○	×	○				7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)			
280		×	○	○	×	×	○			×	○	×	○	×	○					7.3(筆頭者) 7.4(筆頭者)		

○:該当する内容　　×:該当しない内容　　△(ブランク):入力無　　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/114

処理名　2.1　戸籍編製マトリックス表･離縁　(27/27)

項番	離縁形態区分	養子		養女		新戸籍		養子の日本人配偶者		配偶者以外の在籍者		養父		養母			養子の戸籍					養親
		本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍	非本籍	無	有	有	無	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）	本籍人・生存者	外国人非本籍人死亡者（いずれか）		新戸籍編製 4.1 5.1 B.1 6.1 D.1	一部記載	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし	変動なし
281	9〜15	×	○	×	○	○	×			-	-	○	×	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
281-1		×	○	×	○	○	×			-	-	○	×	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
282		×	○	×	○	○	×			-	-	○	×	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
282-1		×	○	×	○	○	×			-	-	○	×	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8,1
283		×	○	×	○	○	×			-	-	×	○	○	×	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					8.1
283-1		×	○	×	○	○	×			-	-	×	○	○	×	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					8.1
284		×	○	×	○	○	×			-	-	×	○	×	○	※構成員である者が日本人生存者	7.1(夫婦) 7.2(筆頭者) 9.3(構成員)					
284-1		×	○	×	○	○	×			-	-	×	○	×	○	※構成員である者が外国人又は死亡者	7.1(筆頭者) 7.2(筆頭者)					
285		×	○	×	○	×	○			-	-	○	×	○	×							8.1
286		×	○	×	○	×	○			-	-	○	×	×	○							8.1
287		×	○	×	○	×	○			-	-	×	○	○	×							8.1
288		×	○	×	○	×	○			-	-	×	○	×	○							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	47/114

処理名	2.2　戸籍編製マトリクス表･親権/未成年後見　(1/1)

項番	同時届区分			親権移記区分入力		新戸籍			養子(女)の戸籍				
	無	親権者指定届	未成年後見開始届	無	有	本籍	非本籍		新戸籍編製	一部記載	一部除籍	全部除籍	変動無し
									あくまでも,養子(女)の離縁移動後の戸籍の離縁の身分事項の後に記録される身分事項である。				
1	×	○	×			○	×		10.1				
2	×	○	×			×	○						
3	×	×	○			○	×		10.3				
4	×	×	○			×	○						
5	○	×	×	×	○	○	×		10.2				
6	○	×	×	×	○	×	○						
7	○	×	×	○	×	-	-						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	48/114

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付・離縁) 編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離縁)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							離縁の種別 1(協議)のとき 0401を設定 2(調停)のとき 0402を設定 3(審判) または 4(判決) 5(和解) または 6(認諾)のとき 0403を設定
	受付日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							裁判確定日があれば裁判確定日 離縁成立日があれば離縁成立日
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	涉外区分			・涉外区分 ＝ 0 または 2 のとき,涉外区分を設定する ・涉外区分 ＝ 1 のとき 事件本人が全員日本人のときは 0 を設定する 事件本人が全員外国人のときは 2 を設定する 上記以外のときは 1 を設定する				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容	(補足説明書「届出人編集」(48/99頁,49/99頁)を参照)				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	49/114

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付･離縁) 編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･離縁)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人資格区分2		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍		補足説明書 「届出人編集」49/99頁参照	新本籍				
	届後戸籍の筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1,2,3の場合,「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4,5,6の場合,「養女漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合, 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養子漢字氏名」を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養女漢字氏名」を設定				
	送達確認1							新本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	証書提出区分							離縁の方式 ≠ 空白 のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	50/114

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付・離縁) 編集・出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・離縁)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			養父,養母,養子,養女の順に,入力がある者につき1から付番する。 (養子夫婦の一方または養父母の一方が死亡している場合の受付件数に注意(本紙参照))				
	事件本人区分			養父:08,養母:09,養子:10,養女:11				
	届出人区分			(補足説明書「届出人区分編集」(49-1/99頁)を参照) 養父の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養父の外国人区分 ＝ 0(日本人)かつ養父の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合,1を設定または 養父の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ養父の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (010(養父) または012(養父母))の場合,1を設定 養母の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養母の外国人区分 ＝ 0(日本人)かつ養母の生死区分 ＝ 0(生存者)の場合,1を設定または 養母の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ養母の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (011(養母) または012(養父母))の場合,1を設定 養子の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養子の外国人区分 ＝ 0(日本人)かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ 15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合,1を設定または 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ養子の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ 15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースかつ離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子) または014(養子夫婦))の場合,1を設定 養女の場合 離縁の種別 ＝ 1(協議)のとき,養女の外国人区分 ＝ 0(日本人)かつ養女の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ 15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースの場合,1を設定または 養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ養女の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ 15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースかつ離縁成立日 ＝ スペースの場合,1を設定 離縁の種別 ≠ 1(協議以外)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人 ＝ (013(養子) または014(養子夫婦))の場合,1を設定				
	カナ氏名			養父のカナ氏名または養母のカナ氏名または養子のカナ氏名または養女のカナ氏名				
	漢字氏名			養父の漢字氏名または養母の漢字氏名または養子の漢字氏名または養女の漢字氏名				
	生年月日			養父の生年月日または養母の生年月日または養子の生年月日または養女の生年月日				
	本籍コード			養父の本籍コードまたは養母の本籍コードまたは養子の本籍コードまたは養女の本籍コード				
	本籍			養父の本籍または養母の本籍または養子の本籍または養女の本籍				
	筆頭者			養父の筆頭者または養母の筆頭者または養子の筆頭者または養女の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき, ※外国人は0を設定する 養父の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養母の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養子の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定 養女の本非区分 ＝ 1(本籍人)なら0(不要)を設定, 2(非本籍人)でかつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定生死区分 ＝ 1(死亡)なら0を設定				

「養子離縁同時73の2における離縁の受付ファイルの届出人編集」(1/2)

1.離縁種別 ＝ 1(協議)のときは,15歳未満の届出人を編集する(養子が15歳未満のときだけ編集有り)

15歳未満の届出人資格1,2　→　届出人資格区分1,2
→　届出人資格名称1,2(資格を名称変換する)

15歳未満の届出人氏名1,2　→　届出人氏名1,2

2.離縁種別 ＝ 2(調停)で,申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

※　申立人と届出人が同一とは,
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子),014(養子夫婦),077(養子の離縁後の法定代理人)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父),011(養母),012(養父母)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

100(申立人)　→　届出人資格区分1
→　届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
→　届出人資格名称1
→　届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

届出人の各氏名　→　届出人1
(養子,養女,養父,義母)　→　届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)　→　届出人資格区分1
→　届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「申立人」+ 15歳未満の届出人資格1の名称　→　届出人資格名称1※「申立人親権者となるべき父」等が編集される
「申立人」+ 15歳未満の届出人資格2の名称　→　届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1　→　届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2　→　届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

3.離縁種別 ＝ 2(調停)で,申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

※　申立人と届出人が異なるとは,
①離縁の申立人区分 ＝ 1(養子側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 010(養父),011(養母),012(養父母)
②離縁の申立人区分 ＝ 2(養親側)のとき,裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 ＝ 013(養子),014(養子夫婦),077(養子の離縁後の法定代理人)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)　→　届出人資格区分1
→　届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
→　届出人資格名称1
→　届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

届出人の各氏名　→　届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母)　→　届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)　→　届出人資格区分1
→　届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称　→　届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称　→　届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1　→　届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2　→　届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁同時73条の2における離縁の受付ファイルの届出人編集」(2/2)

4.離縁種別 ＝ 3(審判)または4(裁判)または5(和解)または6(認諾)で,申立人と届出人が同一のときはその資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

102(訴提起者)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「訴提起者親権者となるべき父」等が編集される
「訴提起者」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

5.離縁種別 ＝ 3(審判)または4(裁判)または5(和解)または6(認諾)で,申立人と届出人が異なるときは届出人の資格と氏名を編集する(養子の法定代理人が届出るときの資格の編集に注意する)

(1)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)以外のとき

101(相手方)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
	→	届出人資格名称1
	→	届出人資格名称2(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)
届出人の各氏名	→	届出人氏名1
(養子,養女,養父,養母)	→	届出人氏名2　(養子夫婦または養父母届出のとき編集有り)

(2)届出人が077(養子の離縁後の法定代理人)のとき

099(その他)	→	届出人資格区分1
	→	届出人資格区分2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格1の名称	→	届出人資格名称1※「相手方親権者となるべき父」等が編集される
「相手方」+ 15歳未満の届出人資格2の名称	→	届出人資格名称2(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)
15歳未満の届出人氏名1	→	届出人氏名1
15歳未満の届出人氏名2	→	届出人氏名2　(15歳未満の届出人資格2に入力があるとき)

「養子離縁の受付ファイルの届後本籍情報編集」の注意点

1.離縁処理において離縁の受付帳が2件作成されるパターン(養子夫婦の一方が死亡している場合または養親夫婦の一方が死亡している場合の離縁)のときは,届後本籍の編集を下記のようにする。

(1)養子夫婦の一方が死亡している場合

生存している養子の受付帳にしか届後本籍情報を設定しない(死亡養子には戸籍の異動が考えられないため)。

(2)養親夫婦の一方が死亡している場合

1件目の受付帳には届後本籍情報を設定せず,2件目の受付帳にのみ設定する。(1件目の受付帳だけ見ると他方との離縁が残っているように見えるため。)

※届後本籍情報に該当する項目は,「届後本籍区分」「届後本籍コード」「届後本籍」「届後戸籍の筆頭者」「送達確認1」の5項目である。

「養子離縁の受付事件本人ファイルの届出人区分編集」

1.届出人区分の設定条件マトリックス

(1)養父の場合

項番	離縁の種別		養父の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	1
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(2)養母の場合

項番	離縁の種別		養母の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
5	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	1
7	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	1
8	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	0

(3)養子の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養子の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	-	-	×	×	×	×	○	1

(4)養女の場合

項番	離縁の種別		15歳未満の届出人資格1		養女の外国人区分		離縁成立日		生死区分		裁判及び外国方式の離縁の届出人					届出人区分
	1(協議)	1以外	空白	空白以外	0(日本人)	1(外国人)	空白	空白以外	0(生存者)	1(死亡者)	010(養父)	011(養母)	012(養父母)	013(養子)	014(養子夫婦)	
1	○	×	○	×	○	×	-	-	○	×	-	-	-	-	-	1
2	○	×	○	×	×	○	○	×	○	×	-	-	-	-	-	1
3	○	×	○	×	×	○	×	○	○	×	-	-	-	-	-	0
4	○	×	×	○	-	-	-	-	○	×	-	-	-	-	-	0
5	○	×	-	-	-	-	-	-	×	○	-	-	-	-	-	0
6	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	○	×	×	×	×	0
7	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	○	×	×	×	0
8	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	○	×	×	0
9	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	○	×	1
10	×	○	-	-	-	-	-	-	○	×	×	×	×	×	○	1

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	54/114

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2) 編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							0701(戸籍法73条の2)
	受付日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		事件別内容	養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍)または新本籍 ＝ 管内本籍のとき1を設定 養親の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外は2を設定				
	渉外区分							0(日本人のみ)を設定
	発送日							
	郵送日		共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							2を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	55/114

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2) 編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付･戸籍法73条の2)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1,2,3の場合,「養子漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4,5,6の場合,「養女漢字氏名」を設定 ･離縁形態区分 ＝ 7～15の場合, 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養子漢字氏名」を設定 養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき「養女漢字氏名」を設定				
	送達確認1							新本籍が非本籍 かつ 在外送付区分 ＝ 0のとき1を設定 上記以外のとき,0を設定
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	56/114

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2) 編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・戸籍法73条の2)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							従前の氏を称する者:14
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名				
	生年月日			養子(女)の生年月日				
	本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	本籍			養子(女)の本籍				
	筆頭者			養子(女)の筆頭者				
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき, 養子(女)の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0(不要)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 0(生存)なら1(未到着)を設定 養子(女)の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ生死区分 ＝ 1(死亡)なら0(不要)を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	57/114

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付・親権) 編集・出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・親権)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							同時親権届の種別 1(協議)のとき1301を設定 2(調停)のとき1302を設定 3(審判)のとき1303を設定
	受付日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		事件別内容	新本籍 ＝ 管内 または 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)　または　同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ親権・未成年後見人の本籍 ＝ 国籍　かつ同時親権届出人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容					
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	58/114

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付・親権) 編集・出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・親権)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人氏名2		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	59/114

処理名	3.3 中間ファイル(仮受付・親権) 編集・出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・親権)/事件本人 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			01:未成年者(養子(女)) 02:親権者 03:親権協議者←同時親権届出人に入力があるとき				
	事件本人区分			未成年者(養子(女)):15(子) 親権者:16(親権者) 親権協議者:49(親権協議者)				
	届出人区分			未成年者(養子(女)):0を設定 親権者:1を設定 親権協議者:1を設定				
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年者(養子(女))
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権・未成年後見人氏名 同時親権届出人氏名				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日 同時親権届出人生年月日				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍コード			新本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード 同時親権届出人本籍コード				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	本籍			新本籍 親権・未成年後見人本籍 同時親権届出人本籍				←未成年者(養子(女)) ←親権者 ←親権協議者
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権・未成年後見人の筆頭者				←未成年者(養子(女)) ←親権者
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受理分)のとき, 未成年者(養子(女)) 新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定, 管外なら1(未到着)を設定 親権者 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1(未到着)を設定 親権協議者 同時親権届出人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1(未到着)を設定				※外国人は0を設定する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	60/114

処理名	3.4 中間ファイル(仮受付・未成年後見) 編集・出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・未成年後見)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4101(未成年者の後見開始)を設定
	受付日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分		事件別内容	新本籍 ＝ 管内または親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)のとき1を設定 上記以外のとき2を設定				
	渉外区分			養子(女)の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ親権・未成年後見人の本籍 ＝ 国籍のとき2を設定 上記以外のとき0を設定				
	発送日							
	郵送日		共通	郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号1～5							
	届出人資格区分1		事件別内容					110を設定
	届出人資格名称1							未成年後見人を設定
	届出人氏名1			親権・未成年後見人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	61/114

処理名	3.4 中間ファイル(仮受付・未成年後見) 編集・出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・未成年後見)/共通 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処理区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	62/114

処理名	3.4 中間ファイル(仮受付・未成年後見) 編集・出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・未成年後見)/事件本人 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							01:未成年被後見人(養子(女)) 02:未成年後見人
	事件本人区分							未成年後見人(養子(女)):55:(未成年被後見人) 未成年後見人:56(未成年後見人)
	届出人区分							未成年被後見人(養子(女)):0を設定 未成年後見人:1を設定
	カナ氏名			養子(女)のカナ氏名				←未成年被後見人(養子(女))
	漢字氏名			養子(女)の漢字氏名 親権・未成年後見人氏名				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年被後見人
	生年月日			養子(女)の生年月日 親権・未成年後見人生年月日				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍コード			新本籍コード 親権・未成年後見人本籍コード				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	本籍			新本籍 親権・未成年後見人本籍				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	筆頭者			新本籍の筆頭者 親権・未成年後見人の筆頭者				←未成年被後見人(養子(女)) ←未成年後見人
	送達確認2			在外送付区分 ＝ 0(受領分)のとき, 未成年被後見人(養子(女)) 新本籍 ＝ 管内なら0(不要)を設定, 管外なら1(未到着)を設定 未成年後見人 親権・未成年後見人の本非区分 ＝ 1(本籍)なら0を設定,2(非本籍)なら1を設定				※外国人は0を設定する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	63/114

処理名	4.1 戸籍特定(編製)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定(養子の新戸籍)編製	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	改製日							
	消除日							
	回復日							
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			･離縁形態区分 ＝ 1,2,3または離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合｢養子漢字氏名｣を設定 ･離縁形態区分 ＝ 4,5,6または離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合｢養女漢字氏名｣を設定				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	64/114

処理名	5.1 戸籍事項(編製)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項(養子の新戸籍)編製	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項	戸籍番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							0701(氏の変更)
	記録コード							0701(氏の変更者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							裁判確定日　または　離縁成立日 双方なければ受領日
	氏変の更 氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
	氏変の更 氏変の事由							『戸籍法73条の2の届出』を設定
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							
	記載前 載の従記前 氏							
	記録 記録日							
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	65/114

処理名	6.1 個人特定(入籍)編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子の新戸籍編製)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日があれば処理日,処理日がないときは送付日,送付日もないときは受領日を設定				
	除籍日							
	性別			養子の父母との続柄コード 養女の父母との続柄コード 配偶者父母との続柄コード		有		←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	生年月日			養子の生年月日 養女の生年月日 配偶者生年月日				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	筆頭者区分			･養子の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 1,2,3のとき1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･養女の個人特定の場合 離縁形態区分 ＝ 4,5,6のとき1(筆頭者)を設定 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき1(筆頭者)を設定 上記以外は0(構成員)を設定 ･配偶者の個人特定の場合,0(構成員)を設定				
	配偶者区分			養子の配偶者区分 養女の配偶者区分 配偶者配偶者区分				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父			養子の父氏名 養女の父氏名 配偶者父氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	母			養子の母氏名 養女の母氏名 配偶者母氏名				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	父母との続柄			養子の父母との続柄 養女の父母との続柄 配偶者父母との続柄				←　養子の個人特定の場合 ←　養女の個人特定の場合 ←　配偶者の個人特定の場合
	養父			離縁後変更養父氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養母			離縁後変更養母氏名				※配偶者の個人特定は設定不要
	養父母との続柄			「養父」≠ 空白または「義母」≠ 空白のとき,『養子』(養子の個人特定の場合),『養女』(養女の個人特定の場合)子」を設定する ※配偶者の個人特定は設定不要				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	66/114

処理名	6.1 個人特定(入籍)編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(養子の新戸籍編製)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	前個人番号		中間ファイル (届書)					
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	67/114

処理名	7.1 養子(入籍･離縁)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍･離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍離縁 (1/4)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日または離縁成立日双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル (届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者 資格		離縁形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養子の身分事項であれば"007"『妻』を 養女の身分事項であれば"006"『夫』を設定する					
		共同離縁者 資格名称							
		養父 亡区分		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
		養父 氏名		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定					
		養父の国籍		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養父の本籍を設定					
		養母 亡区分		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
		養母 氏名		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	68/114

処理名	7.1 養子(入籍・離縁)編集・出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍・離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)入籍離縁(1/4)	養母の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養母の本籍を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	69/114

処理名	7.1 養子(入籍･離縁)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍･離縁　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)入籍離縁 (2/4)		離縁の方式		中間ファイル (届書)	離縁の方式				
		裁判所			外国裁判所名				
	協議者(1)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕		有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は,資格をコード変換した名称を設定する ただし,協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 　父と母のとき協議者1に005(父母)を設定,協議者2は設定しない 　親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定,協議者2は設定しない 　親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定,協議者2は設定しない 氏名は,001(父),002(母),016(親権者父),017(親権者母),023(親権者となるべき父),024(親権者となるべき母),005(父母),018(親権者父母),025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁),かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
		資格名称			※				
		氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	協議者(2)	協議者 資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕		有		
		資格名称			※				
		氏名			15歳未満の届出人氏名2				
		協議者の国籍			15歳未満の届出人国籍2				
		協議者の生年月日			15歳未満の届出人生年月日2				
	届出	届出日			受領日				裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1) 資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を設定
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024 は未設定)
		届出人(2) 資格							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024 は未設定)
		証書提出日			受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	70/114

処理名	7.1 養子(入籍・離縁)編集・出力 3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍・離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目				
						名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)入籍離縁(3/4)		証書提出者(1)	資格		中間ファイル(届書)	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合、『15歳未満の届出人資格1』を設定
			資格名称					有		
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出者(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称					有		
			氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		記録請求日								
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								
	入籍	入籍日								
	入戸籍	従前戸籍	本籍							
			筆頭者							
	除籍	除籍日								

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	71/114

処理名	7.1 養子(入籍・離縁)編集・出力 4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍・離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)入籍離縁(4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル(届書)					
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	72/114

処理名	7.2 養子(入籍・法73条の2)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)入籍・法73条の2　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サニタブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)入籍法73条の2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変更の事由							『戸籍法73条の2の届出』を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			養子の本籍または 養女の本籍				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
		従前戸籍 筆頭者			養子の筆頭者または 養女の筆頭者				←　養子の身分事項の場合 ←　養女の身分事項の場合
	除籍	除籍日							
	徐戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	73/114

処理名	7.3 養子(除籍･離縁)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍･離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍離縁 (1/4)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0401(養子の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日または離縁成立日双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		離縁除籍日							
		共同離縁者 資格		離縁形態区分 ＝ 7,8,10,12～15の場合かつ 養子の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ養女の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養子の身分事項であれば"007"『妻』を 養女の身分事項であれば"006"『夫』を設定する				
		資格名称							
		養父 亡区分		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
		氏名		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の漢字氏名を設定					
		養父の国籍		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,12のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,14のとき設定不要 養父の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養父の本籍を設定					
		養母 亡区分		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
		氏名		養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9.10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の漢字氏名を設定					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	74/114

処理名	7.3 養子(除籍･離縁)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍･離縁 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍離縁(1/4)	養母の国籍			養子の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 9,10のとき設定不要 養女の身分事項であれば,離縁形態区分 ＝ 11,13のとき設定不要 養母の外人区分 ＝ 1(外国人)の場合のみ,養母の本籍を設定				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	75/114

処理名	7.3 養子(除籍･離縁)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍･離縁　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称			記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍離縁(2/4)		離縁の方式			中間ファイル(届書)	離縁の方式					
		裁判所				外国裁判所名					
	協議者(1)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1〔注〕			有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ離縁成立日 ＝ スペースのとき設定資格名称は,資格をコード変換した名称を設定する ただし,協議者1および協議者2の双方に入力がある場合は以下の通りとする 父と母のとき協議者1に005(父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者父と親権者母は018(親権者父母)を設定,協議者2は設定しない 親権者となるべき父と親権者となるべき母は025(親権者となるべき父母)を設定,協議者2は設定しない 氏名は,001(父),002(母),016(親権者父),017(親権者母),023(親権者となるべき父),024(親権者となるべき母),005(父母),018(親権者父母),025(親権者となるべき父母)は設定しない 離縁許可日に入力があり(死亡養親との離縁),かつ養親全て死亡者の場合は協議者(1)(2)への設定でなく該当項目を届出人(1)(2)に設定
			資格名称			※					
			氏名			15歳未満の届出人氏名1					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者(2)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2〔注〕			有		
			資格名称			※					
			氏名			15歳未満の届出人氏名2					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日				受領日					裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格					裁判及び外国方式の離縁の届出人資格010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合,『15歳未満の届出人資格1』を設定
			資格名称						有		
			氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名1』を設定(届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		届出人(2)	資格								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
			資格名称						有		
			氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,『15歳未満の届出人氏名2』を設定(届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
		証書提出日				受領日					離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	76/114

処理名	7.3 養子(除籍・離縁)編集・出力　3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍・離縁　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍離縁(3/4)	証書提出者(1)	資格		中間ファイル(届書)	裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合左記項目を移送 013,014の場合設定不要 077の場合、『15歳未満の届出人資格1』を設定
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名1』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
	証書提出者(2)	資格							裁判及び外国方式の離縁届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人資格2』を設定 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は協議者と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 077の場合、『15歳未満の届出人氏名2』を設定 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
	記録請求日								
送付	送付を受けた日								
	受理者								
許可	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
入籍	入籍日								
入戸籍	従前戸籍	本籍							
		筆頭者							
除籍	除籍日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	77/114

処理名	7.3 養子(除籍・離縁)編集・出力　4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍・離縁　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子)除籍離縁 (4/4)	除戸籍	新本籍		中間ファイル (届書)					
		称する氏							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	78/114

処理名	7.4 養子(除籍・法73条の2)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子)除籍・法73条の2　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子)除籍法73条の2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0701(氏の変更)
	記録コード								0701(縁氏を称する者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日		中間ファイル(届書)	受領日				
		氏変更の事由							『戸籍法73条の2の届出』を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	79/114

処理名	8.1養親(記録)編集･出力　1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養親)記録(1/3)	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0401(養子離縁)
	記録コード								0402(養親の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								裁判確定日または離縁成立日　双方なければ受領日
	離縁	離縁日		中間ファイル(届書)	離縁成立日				
					受領日				離縁成立日,裁判確定日がない場合
		離縁の裁判確定日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 3又は4のとき設定
		離縁の調停成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 2のとき設定
		離縁の和解成立日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 5のとき設定
		離縁の請求認諾日			裁判確定日				離縁の種別 ＝ 6のとき設定
		共同離縁者	資格		離縁形態区分 ＝ 3,6,10,12～15かつ 養父の生死区分 ＝ 0(生存者)かつ養母の生死区分 ＝ 0(生存者)のとき 養父の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"007"『妻』を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合『養母氏名』を設定する(この場合資格は未設定) 養母の身分事項であれば 養父母婚姻区分 ＝ 1(婚姻中である)の場合"006"『妻』を 養父母婚姻区分 ＝ 0(婚姻中でない)の場合『養父氏名』を設定す				
			資格名称						
		養子	亡区分		･養子だけに入力がある,または養子･養女双方に入力がある場合 養子の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば,"亡"を設定 ･養女だけに入力がある場合,養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)であれば,"亡"を設定				
			氏名		･養子だけに入力がある,または養子･養女双方に入力がある場合「養子の漢字氏名」を移送 ･養女だけに入力がある場合,「養女の漢字氏名」を移送				
			養子の国籍		･養子だけに入力があり,または養子･養女双方に入力がある場合「養子の本籍」を移送 養子の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば,「養子の本籍」を移送 ･養女だけに入力がある場合,養女の外国人区分 ＝ 1(外国人)であれば,「養女の本籍」を移送				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	80/114

処理名	8.1 養親(記録)編集･出力　2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称			記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養親)記録(2/3)		養子	亡区分		中間ファイル (届書)	養父の身分事項の場合,離縁形態区分 ＝ 9,11,12,14のとき設定不要(氏名,国籍も同様) 養父の身分事項の場合,離縁形態区分 ＝ 9,10,11,13のとき設定不要(氏名,国籍も同様) 養子･養女双方に入力があるとき,養女の生死区分 ＝ 1(死亡者)の場合,"亡"を設定					
			氏名			養女の漢字氏名					養子･養女双方に入力があるとき
		養子の国籍				養女の本籍					養子･養女双方に入力があるとき 養女の外人区分 ＝ 1の場合のみ設定する
		離縁の方式				離縁の方式					
		裁判所				外国裁判所名					
	協議者(1)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格1			有		離縁種別 ＝ 1(協議)かつ 離縁成立日 ＝ スペースかつ 養子の外人区分又は養女の外人区分 ＝ 1のとき設定 資格名称には資格をコードに変換した名称を設定する
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人氏名1					
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍1					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日1					
	協議者(2)	協議者	資格			15歳未満の届出人資格2					
			資格名称								
			氏名			15歳未満の届出人氏名2			有		
		協議者の国籍				15歳未満の届出人国籍2					
		協議者の生年月日				15歳未満の届出人生年月日2					
	届出	届出日				受領日					裁判確定日に入力がある場合に設定 届出人(1),(2)も同様
		届出人(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格					裁判及び外国方式の離縁の届出人資格 010,011,012の場合設定不要 013,014の場合左記項目を移送　077の場合,「15歳未満の届出人資格1」を移送
									有		
			資格名称								
			氏名								裁判及び外国方式の離縁の届出人資格077の場合,「15歳未満の届出人氏名1」を移送 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	81/114

処理名	8.1 養親(記録)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養親)記録 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養親)記録(3/3)	届出人(2)	資格		中間ファイル(届書)					裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合『15歳未満の届出人資格2』を移送 15歳未満の届出人資格1,2の双方に入力がある場合の設定は,養子の身分事項の届出人と同様
		資格名称					有		
		氏名							裁判及び外国方式の離縁届出人資格077の場合『15歳未満の届出人氏名2』を移送 (届出人資格:001,002,016,017,023,024は未設定)
	証書提出日				受領日				離縁成立日に入力がある場合に設定 証書提出者(1),(2)も同様
	証書提出者(1)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格		有		条件は届出人(1)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(1)と同じ
	証書提出者(2)	資格			裁判及び外国方式の離縁の届出人資格				条件は届出人(2)と同じ
		資格名称							
		氏名							条件は届出人(2)と同じ
	記録請求日								
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	82/114

処理名	9.1 養子の日本人配偶者(入籍)編集･出力(離縁対象者でない者)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)入籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		入籍事由			離縁形態区分 ＝ 1,2,3のとき,"夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定 離縁形態区分 ＝ 4,5,6のとき,"妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定				
	除籍	除籍日							
		除籍事由							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 1,2,3のとき,「養子の本籍」を設定 離縁形態区分 ＝ 4,5,6のとき,「養女の本籍」を設定				
		従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 1,2,3のとき,「養子の筆頭者」を設定 離縁形態区分 ＝ 4,5,6のとき,「養女の筆頭者」を設定				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に,随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(入籍)である。

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	83/114

処理名	9.2 養子の日本人配偶者(除籍)編集･出力(離縁対象者でない者)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)除籍 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)除籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日 または 送付日 または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		除籍事由			離縁形態区分 ＝ 1,2,3のとき,"夫の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定 離縁形態区分 ＝ 4,5,6のとき,"妻の離縁及び戸籍法73条の2の届出"を設定				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

※筆頭者である者だけが離縁届と戸籍法73条の2を届を同時に届出た場合に,随従で異動する配偶者(離縁対象者ではない)に記録される身分事項(除籍)である。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	84/114

処理名	9.3 養子の日本人配偶者(入籍)編集･出力(離縁対象者･構成員)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)入籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	入籍	入籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合,"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合,"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定　※養子の記録				
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合,「養子の本籍」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合,「養女の本籍」を設定　※養子の記録				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			離縁形態区分 ＝ 7～15　で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合,「養子の筆頭者」を設定　※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合,「養女の筆頭者」を設定　※養子の記録				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし,筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合,構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(入籍)である。

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	85/114

処理名	9.4 養子の日本人配偶者(除籍)編集･出力(離縁対象者･構成員)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の日本人配偶者)除籍 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｾﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(養子の日本人配偶者)除籍	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								0702(配偶者の氏の変更)
	記録コード								0702(縁氏を称する者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)					
		入籍事由							
	除籍	除籍日			処理日 または 送付日 または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなく送付日があれば送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		除籍事由			離縁形態区分 ＝ 7～15 で 養子の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の場合,"夫の戸籍法73条の2の届出"を設定 ※養女の記録 養子の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の場合,"妻の戸籍法73条の2の届出"を設定 ※養子の記録				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除戸籍	新本籍			新本籍				
	特記	特記事項							

※養子と養女双方が養親と離縁をし,筆頭者である者が戸籍法73条の2届を出した場合,構成員である者(離縁対象者)に記録される身分事項(除籍)である。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	86/114

処理名	10.1 養子(親権・記録)　編集・出力　1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)記録	個人番号							決済処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定 以外は受領日を設定
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	87/114

処理名	10.1 養子(親権・記録)　編集・出力　2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)記録	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日			中間ファイル(届書)					
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			同時親権者資格				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				同時親権者資格 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				同時親権者資格 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	88/114

処理名	10.1 養子(親権・記録)　編集・出力　3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)記録	親権回復者	資格		中間ファイル(届書)					
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	89/114

処理名	10.1 養子(親権・記録)　編集・出力　4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)記録	届出日			中間ファイル (届書)	受領日				
	届出人(1)	資格			同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 『同時親権者資格』と『同時親権届出人資格』が 001(父)と002(母)の組み合わせは『父母』を設定 010(養父)と011(養母)の組み合わせは『養父母』を設定 上記以外は『同時親権者資格』を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)または3(審判)の場合、『同時親権者資格』を移送				
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格			同時親権届の種別 ＝ 1(協議)の場合 『同時親権者資格』と『同時親権届出人資格』が 001(父)と002(母)の組み合わせは設定不要 010(養父)と011(養母)の組み合わせは設定不要 上記以外は「同時親権届出人資格』を移送 同時親権届の種別 ＝ 2(調停)または3(審判)の場合、設定不要				
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日				送付日				
	受理者				発送元				
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日								
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	90/114

処理名	10.2 養子(親権・移記)　編集・出力　1/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)移記	個人番号							決済処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1301(親権)
	記録コード							1301(親権を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	親権者を定めた日		中間ファイル(届書)					
	親権者を定められた日							
	親権者となった日							
	親権者を定める裁判確定日							
	親権者を定める調停成立日							
	親権者変更の裁判確定日							
	親権者変更の調停成立日							
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定以外は受領日を設定
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							
	管理権喪失宣告の裁判確定日							
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日							
	親権辞任日							
	管理権辞任日							
	親権回復日							
	管理権回復日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	91/114

処理名	10.2 養子(親権・移記)　編集・出力　2/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)移記	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日			中間ファイル(届書)					
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権移記親権者区分				
		資格名称					有		
		氏名			離縁後変更養父氏名				親権移記親権者区分 ＝ 10の時、移送
					離縁後変更養母氏名				親権移記親権者区分 ＝ 11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失取消者	資格							
		資格名称							
	親権辞任者	資格							
		資格名称							
	管理権辞任者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	92/114

処理名	10.2 養子(親権・移記)　編集・出力　3/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(親権)移記	親権回復者	資格		中間ファイル(届書)					
		資格名称							
	管理権回復者	資格							
		資格名称							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	管理権執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
	親権代行者								
	親権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	親権代行者の国籍								
	親権代行者の生年月日								
	管理権代行者								
	管理権代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	管理権代行者の国籍								
	管理権代行者の生年月日								
	親権停止者	資格							
		資格名称							
	親権停止期間								
	親権停止取消者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	93/114

処理名	10.2 養子(親権・移記)　編集・出力　4/4	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の親権事項)移記	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(親権)移記	届出日			中間ファイル (届書)					
	届出人(1)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	届出人(2)	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								
	送付を受けた日								
	受理者								
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日　または 送付日　または 受領日				処理日がなければ送付日を移送 送付日もなければ受領日を移送
	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	94/114

処理名	10.3 養子(未成年後見・記録)　編集・出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							4101(未成年後見)
	記録コード							4101(未成年後見を受ける者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	未成年後見人就職日		中間ファイル(届書)					裁判離縁の場合は、裁判確定日を設定以外は受領日を設定
	未成年後見人選任の裁判確定日							
	未成年後見監督人就職日							
	未成年後見監督人選任の裁判確定日							
	未成年後見開始事由							「親権を行う者がないため」を移送
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見終了日							
	未成年後見監督終了日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	95/114

処理名	10.3 養子(未成年後見・記録)　編集・出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	未成年後見人辞任許可の裁判確定日		中間ファイル(届書)					
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日							
	未成年者の後見監督終了日							
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	96/114

処理名	10.3 養子(未成年後見・記録)　編集・出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人 資格		中間ファイル(届書)					
	資格名称							
	氏名			親権者・未成年後見人氏名				
	未成年後見人の戸籍 本籍			親権者・未成年後見人本籍				
	筆頭者			親権者・未成年後見人筆頭者				
	未成年後見人の国籍			15歳未満の届出人国籍1				
	未成年後見人の生年月日			15歳未満の届出人生年月日1				
	未成年後見人の住所							
	辞任した未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	解任された未成年後見人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	職務執行停止を受けた者 資格							
	資格名称							
	氏名							
	未成年後見監督人 資格							
	資格名称							
	氏名							
	未成年後見監督人の戸籍 本籍							
	筆頭者							
	未成年後見監督人の国籍							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	97/114

処理名	10.3 養子(未成年後見･記録)　編集･出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項(未成年後見)記録	未成年後見監督人の生年月日			中間ファイル(届書)					
	未成年後見監督人の住所								
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	記録嘱託日								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	98/114

処理名	10.3 養子(未成年後見・記録)　編集・出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(養子の未成年後見事項)記録　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項(未成年後見)記録	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				
	受理者			発送元				
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日							
	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	99/114

処理名	11.1養父　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養父	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養父	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養父の本籍コード				
	新本籍			養父の本籍				
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			養父の筆頭者				
	旧筆頭者			養父の筆頭者				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養父の世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	100/114

処理名	11.1養父　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/養父	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養父	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	101/114

処理名	11.2養母　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養母	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養母	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養母の本籍コード				
	新本籍			養母の本籍				
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			養母の筆頭者				
	旧筆頭者			養母の筆頭者				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養母の世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	102/114

処理名	11.2養母　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養母	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養母	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	103/114

処理名	11.3養子　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養子の漢字氏名				
	旧氏名			養子の漢字氏名				
	新生年月日			養子の生年月日				
	旧生年月日			養子の生年月日				
	新父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養子の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				
	旧本籍			養子の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名	←離縁形態区分 ＝ 1,2,3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4,5,6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合			
	旧筆頭者			養子の筆頭者				
	住所コード			養子の住所コード				
	住所			養子の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	104/114

処理名	11.3養子　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養子の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	105/114

処理名	11.4養女　編集･出力　1/2	(受取側)　中間ファイル(9条2項)/養女	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項) 養女	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養女の漢字氏名				
	旧氏名			養女の漢字氏名				
	新生年月日			養女の生年月日				
	旧生年月日			養女の生年月日				
	新父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			養女の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養女の本籍コード				
	旧本籍			養女の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名	←離縁形態区分 ＝ 1,2,3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合 ←離縁形態区分 ＝ 4,5,6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合			
	旧筆頭者			養女の筆頭者				
	住所コード			養女の住所コード				
	住所			養女の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	106/114

処理名	11.4養女　編集･出力　2/2	(受取側)　中間ファイル(9条2項)/養女	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養女	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養女の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	107/114

処理名	11.5養子(女)の配偶者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子(女)の配偶者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(女)の配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			配偶者の漢字氏名				
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード 養女の本籍コード				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本籍 養女の本籍				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	新筆頭者			養子の漢字氏名 養女の漢字氏名				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者 養女の筆頭者				←養子に入力がある場合 ←養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	108/114

処理名	11.5養子(女)の配偶者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/養子(女)の配偶者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 養子(女)の配偶者	住所		中間ファイル (届書)	配偶者住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	109/114

処理名	12.1養父　編集･出力	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養父	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 養父	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養父の漢字氏名				
	旧氏名			養父の漢字氏名				
	新生年月日			養父の生年月日				
	旧生年月日			養父の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養父の本籍コード				
	新本籍			養父の本籍				
	旧本籍コード			養父の本籍コード				
	旧本籍			養父の本籍				
	新筆頭者			養父の筆頭者				
	旧筆頭者			養父の筆頭者				
	住所コード			養父の住所コード				
	住所			養父の住所				
	方書			養父の方書				
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養父の世帯主				
	世帯主との続柄							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	110/114

処理名	12.2養母　編集･出力	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養母	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条12第1項)養母	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養母の漢字氏名				
	旧氏名			養母の漢字氏名				
	新生年月日			養母の生年月日				
	旧生年月日			養母の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養母の本籍コード				
	新本籍			養母の本籍				
	旧本籍コード			養母の本籍コード				
	旧本籍			養母の本籍				
	新筆頭者			養母の筆頭者				
	旧筆頭者			養母の筆頭者				
	住所コード			養母の住所コード				
	住所			養母の住所				
	方書			養母の方書				
	住定日							
	住民日							
	世帯主			養母の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	111/114

処理名	12.3養子(女)　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 養子(女)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養子(女)の漢字氏名				
	旧氏名			養子(女)の漢字氏名				
	新生年月日			養子(女)の生年月日				
	旧生年月日			養子(女)の生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	新本籍			養子(女)の本籍				
	旧本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	旧本籍			養子(女)の本籍				
	新筆頭者			養子の漢字氏名	←離縁形態区分 ＝ 1,2,3の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養子の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合			
				養女の漢字氏名	←離縁形態区分 ＝ 4,5,6の場合 離縁形態区分 ＝ 7～15で養女の筆頭者区分 ＝ 筆頭者の場合			
	旧筆頭者			養子(女)の筆頭者				
	住所コード			養子(女)の住所コード				
	住所			養子(女)の住所				
	方書			養子(女)の方書				
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	112/114

処理名	12.3養子(女)　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 養子(女)	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			養子(女)の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	113/114

処理名	12.4養子(女)の配偶者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)の配偶者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条12第1項) 養子(女) の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				市区町村部分だけのコード
				登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					08(養子離縁同時戸籍法73条の2届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			配偶者の漢字氏名				
	旧氏名			配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			配偶者の生年月日				
	旧生年月日			配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			養子(女)の本籍コード				
	新本籍			養子(女)の本籍				
	旧本籍コード			養子の本籍コード				←養子に入力がある場合
				養女の本籍コード				←養女に入力がある場合
	旧本籍			養子の本籍				←養子に入力がある場合
				養女の本籍				←養女に入力がある場合
	新筆頭者			養子の漢字氏名				←養子に入力がある場合
				養女の漢字氏名				←養女に入力がある場合
	旧筆頭者			養子の筆頭者				←養子に入力がある場合
				養女の筆頭者				←養女に入力がある場合
	住所コード			配偶者住所コード				
	住所			配偶者住所				
	方書			配偶者方書				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(養子離縁同時73の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	114/114

処理名	12.4養子(女)の配偶者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/養子(女)の配偶者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 養子(女)の配偶者	住定日		中間ファイル (届書)					
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7.2.(5)「異動」処理

8.婚姻届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		婚姻届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	1/1

1.婚姻業務処理範囲外の処理

(1)「受理すべき旨の裁判」による婚姻届

(2) 旧国籍法(明治32年3月16日制定)施行中(明治32年4月1日～昭和25年6月30日)の婚姻届(報告的)

(3) 婚姻届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の婚姻届。

上記(1)～(3)は、審査結果入力で処理を行う。

2.婚姻届入力画面の意義

(1) その1画面、婚姻をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

(2) その2画面、婚姻後の氏の選択及び新本籍等の各項目を入力する。

3.その他

(1) 近親間の婚姻に関する審査(民734～736)はシステムで行わない

(2) 事件本人の成年擬制チェックはシステムで行わない

(3) 事件本人のみ届出の為、届出人資格は画面上にない

(4) 証人の有無及び資格チェックは画面上にない

(5) 婚姻届に伴う親権記録(共同親権、準正子)は移記処理または訂正処理(市区町村長限りの職権)で記録する。

その際、婚姻届の受領番号を関連受領番号として付与し相互関係を明らかにしておくこと。

(同一人との再婚において、婚姻後の戸籍に子が在籍している場合など)

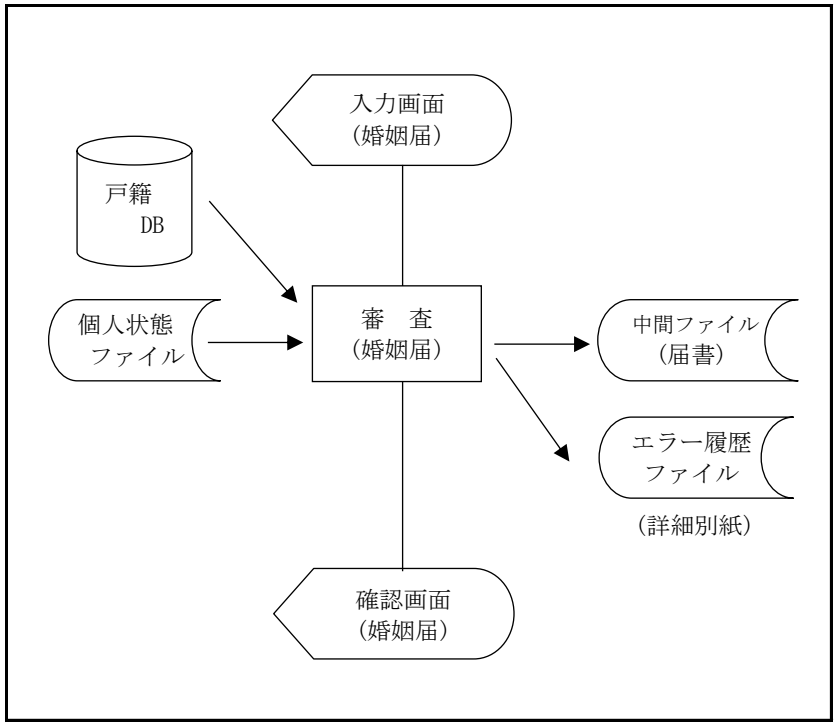
(6) 日本に在住する外国人が日本においてその外国の方式により日本に居住する日本人と婚姻した場合は、

日本での創設的婚姻届が有効な届出であることから証書提出による報告的婚姻届は受理できない。

証書提出による報告的婚姻届出の場合、所在地の審査はシステムで行わないため、受理/不受理は窓口で判断する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 3月11月30日	令和　年　月　日	1	1/20

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1) 婚姻届の内容を画面入力する。
(2) 婚姻届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 婚姻届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4) 審査(創設的届,報告的届)を行う。
(5) 婚姻届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6) 入力確認(婚姻届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/20

処理名	0.0 本紙　1/1				備考
(1)届書内容を画面入力する			/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)			/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]		/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)の編集出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。			
			NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO							
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す。	
PF7	(16)前ページがあるか(ある,なし)				/		
	ある	(17)前ページ「婚姻届」画面編集				(18)同画面を編集する	
	なし	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(20)次ページがあるか(ある,なし)				/		
	ある	(21)次ページ「婚姻届」画面編集				(22)同画面を編集する	
	なし	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する						入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する。						審査エラー発生時のみ有効
その他	(27)エラーメッセージ 「無効なキーが入力されました。」を表示						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	3/20

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1/3)	婚姻届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付, 3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要,1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
13	夫の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
14	夫の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
15	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	夫のカナ氏名	○	カナ				
17	夫の漢字氏名	○	漢字				
18	夫の住所		漢字				
19	夫の本籍	○	漢字				
20	夫の世帯主		漢字				
21	夫の戸籍の筆頭者		漢字				
22	夫の父の氏名		漢字				
23	夫の母の氏名		漢字				
24	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男,11:長男～29:十九男)であること			
25	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	4/20

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(2/3)	婚姻届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	妻の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	妻の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	妻のカナ氏名	○	カナ				
30	妻の漢字氏名	○	漢字				
31	妻の住所		漢字				
32	妻の本籍	○	漢字				
33	妻の世帯主		漢字				
34	妻の戸籍の筆頭者		漢字				
35	妻の父の氏名		漢字				
36	妻の母の氏名		漢字				
37	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女,31:長女～49:十九女)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/20

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表　3/3	婚姻届(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	氏区分	○	数字	(1:夫の氏,2:妻の氏,3:変動なし)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		称する氏
39	新本籍		漢字				
40	夫の初再婚区分	○	数字	(0:初婚,1:再婚(死別),2:再婚(離別))であること			
41	夫の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	妻の初再婚区分	○	数字	(0:初婚,1:再婚(死別),2:再婚(離別))であること			
43	妻の離死別日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
44	同一人再婚区分		数字	(0:同一人以外,1:同一人)であること			
45	成立年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	証書提出日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	婚姻の方式		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/20

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1/2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時,(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時,(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」の時, (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」以外の時, (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時, (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ　(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)の時, (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	【空白】			
12	【空白】			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時,(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
15	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
16	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時, (No.19)夫の本籍又は(No.32)妻の本籍又は(No.39)新本籍のいずれかが管内であること			
17	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.45)成立年月日 ＝ スペース　かつ　(No.46)証書提出日 ＝ スペース　かつ (No.47)婚姻の方式 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	7/20

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時, (No.45)成立年月日 ≠ スペース かつ (No.46)証書提出日 ≠ スペース かつ (No.47)婚姻の方式 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
19	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.13)夫の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.15)夫の生年月日 ＝ 和暦 かつ (No.19)夫の本籍=本籍 かつ (No.21)夫の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
20	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)の時, (No.13)夫の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.15)夫の生年月日 ＝ 西暦 かつ (No.19)夫の本籍=国籍 かつ (No.21)夫の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
21	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペース かつ (No.28)妻の生年月日 ＝ 和暦 かつ (No.19)妻の本籍=本籍 かつ (No.34)妻の戸籍の筆頭者 ≠ スペースであること			
22	(No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)の時, (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.28)妻の生年月日 ＝ 西暦 かつ (No.19)妻の本籍 ＝ 国籍 かつ (No.34)妻の戸籍の筆頭者 ＝ スペースであること			
23	(No.14)夫の本非区分 ＝ 1(本籍)の時,(No.19)夫の本籍 ＝ 管内であること			
24	(No.14)夫の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時,(No.20)夫の本籍 ＝ 管外であること			
25	(No.27)妻の本非区分 ＝ 1(本籍)の時,(No.32)妻の本籍 ＝ 管内であること			
26	(No.27)妻の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時,(No.32)妻の本籍 ＝ 管外であること			
26-1	(No.18)夫の住所 ＝ スペースの場合,(No.20)夫の世帯主 ＝ スペースであること			
26-2	(No.20)夫の世帯主 ≠ スペースの場合,(No.18)夫の住所 ≠ スペースであること			
26-3	(No.31)妻の住所 ＝ スペースの場合,(No.33)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
26-4	(No.33)妻の世帯主 ≠ スペースの場合,(No.31)妻の住所 ≠ スペースであること			
27	(No.40)夫の初再婚区分 ＝ 0(初婚)の時,(No.41)夫の離死別日 ＝ スペースであること			
28	(No.40)夫の初再婚区分 ＝ 1(再婚(死別)) または 2(再婚(離別))の時, (No.28)夫の離死別日 ≠ スペースであること			
29	(No.42)妻の初再婚区分 ＝ 0(初婚)の時,(No.43)妻の離死別日 ＝ スペースであること			
30	(No.42)妻の初再婚区分 ＝ 1(再婚(死別)) または 2(再婚(離別))の時, (No.28)妻の離死別日 ≠ スペースであること			
31	(No.44)同一人再婚区分 ＝ 1(同一人)の時, (No.40)夫の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別)) かつ (No.42)妻の初再婚区分 ＝ 2(再婚(離別))であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	8/20

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2-1/2)	婚姻届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時,(No.45)成立年月日 ≦ (No.46)証書提出日であること			
33	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.25)妻の外人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時, (No.38)氏区分 ＝ 3(変動なし) かつ (No.39)新本籍 ＝ スペースであること			
34	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時, (No.17)夫の漢字氏名 ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者であること			
35	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.13)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時, (No.17)夫の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.21)夫の戸籍の筆頭者の「氏」であること			
36	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時, (No.30)妻の漢字氏名 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者であること			
37	(No.25)妻の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時, (No.30)妻の漢字氏名の「氏」 ＝ (No.34)妻の戸籍の筆頭者の「氏」であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	9/20

処理名	3.0 審査 (1/6)			根拠法令(マニュアル処理)
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES	(0-3)→(0-6)へ	/		R2.1(婚姻142)
NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	
(0-6)(夫の外人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) または (妻の外人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		R2.1(婚姻142)
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-8)本紙へ	
YES	(0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ	/		
(1)届出区分(1:創設,2:報告)		/		
1	(2)→(11)へ	/		
2	(3)成立年月日<昭和25年7月1日(YES,NO)	/		
YES	(4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」		(5)本紙へ	
NO	(6)成立年月日<昭和27年4月28日(YES,NO)	/		
YES	(7)確認メッセージ(YES,NO) 「平和条約発行に該当する国ですか?」		(8)本紙へ	
YES	(9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」			
NO	(10)→(11)へ	/		(10-1)～(10-7)を削除 R2.1(婚姻143)
NO				
(11)届出区分(1:創設,2:報告)		/		
1	(12)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(13)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(14)→(18)へ	/		
1	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻要件具備証明書等が添付されていますか?」		(16)本紙へ	法令13I、昭和22.6.25民事甲595号回答 「N」の時、不受理
1				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	10/20

処理名	3.0 審査 (2/6)			根拠法令(マニュアル処理)
2	(17)確認メッセージ(YES,NO) 「婚姻を証明する書類が添付されていますか?」		(17-1)本紙へ	
YES	(17-2)→(17-5)へ	/		
NO	(17-3)→		(17-4)本紙へ	不受理
	(17-5)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(17-6)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(17-7)→(18)へ	/		
1	(17-8)確認メッセージ(YES,NO) 「証書提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」		(17-9)本紙へ	
YES	(17-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」			不受理
NO	(17-11)→(18)へ	/		
1	(17-12)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(17-13)確認メッセージ(YES,NO) 「証明提出者は外国人配偶者のみからの届出ですか?」		(17-14)本紙へ	
YES	(17-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい」			不受理
NO	(17-16)→(18)へ	/		
1	(17-17)エラーメッセージ 「外国人同士の外国における婚姻届は受理できません」		(17-18)本紙へ	不受理

処理名	3.0 審査 (3/6)		根拠法令(マニュアル処理)
(18)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)		/	
0	(18-1)夫の父氏名=スペース又は夫の母氏名=スペース(YES,NO)	/	
YES	(18-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	(18-3)本紙へ	
YES	(18-4)→(19)へ	/	
NO	(18-5)→	(18-6)本紙へ	不受理
NO	(18-7)夫の父母との続柄=10(男)である(YES,NO)	/	
YES	(18-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	(18-9)本紙へ	
YES	(18-10)→(19)へ	/	
NO	(18-11)→	(18-12)本紙へ	不受理
NO	(18-13)→(19)へ	/	
(19)夫の本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/	
1	(20)夫の配偶者区分(1:夫,その他)	/	民732
1	(21)エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する	(22)本紙へ	不受理
	(24-1)	/	
	(24-2)	(24-4)	
その他	(24-3)→(30)へ	/	
2			(25)～(29)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
(30)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日 または 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)		/	民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける
YES	(31)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 または 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)
YES	(32)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する	(33)本紙へ	不受理
NO	(34)→(36)へ	/	
NO	(34-1)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日 または 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月1日)前の審査
YES	(34-2)成立年月日≠スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 または 成立年月日=スペースの場合、夫の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/	民731(改正前)
YES	(34-3)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する	(34-4)本紙へ	不受理
NO	(34-5)確認メッセージ(YES,NO)		民737,昭24.11.11民事甲2641号回答

R2.1(婚姻144)

				「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」を表示する				戸381ただし書き、		
				YES	(34-6)→(36)へ		/			
				NO	(34-7)→			(34-8)本紙へ	不受理	
		NO	(35)→(36)へ				/			
1										

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	12/20

処理名	3.0 審査 (4/6)			根拠法令(マニュアル処理)
(36)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)		/		
0	(36-1)妻の父氏名=スペース又は妻の母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(36-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(36-3)本紙へ	
YES	(36-4)→(37)へ	/		
NO	(36-5)→		(36-6)本紙へ	不受理
NO	(36-7)妻の父母との続柄=30(女)である(YES,NO)	/		
YES	(36-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(36-9)本紙へ	
YES	(36-10)→(37)へ	/		
NO	(36-11)→		(36-12)本紙へ	不受理
NO	(36-13)→(37)へ	/		
(37)妻の本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
1	(38)妻の配偶者区分(2:妻,その他)	/		民732
2	(39)エラーメッセージ 「重婚です。婚姻届は受理できません。」を表示する		(40)本紙へ	不受理
	(42-1)	/		
	(42-2)		(42-4)	
その他	(42-3)→(48)へ	/		
2				(43)~(47)を削除※未成年後見制度対応(平成12年3月1日第4版)
(48)成立年月日≠スペースの場合、成立年月日≧2022年4月1日 または 成立年月日=スペースの場合、受領日≧2022年4月1日(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月1日)以降か前かで審査を分ける R2.1(婚姻144)
YES	(49)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>成立年月日 または 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)以降の審査 民731(改正後)
YES	(49-1) 2004年4月2日≦妻の生年月日≦2006年4月1日である(YES,NO)	/	民法改正(2022年4月1日)附則第3条第2項 →改正日に16歳以上18歳未満の女性は 経過措置として改正前の民731が適用される	
YES	(49-2)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」を表示する		(49-3)本紙へ	民737,昭24.11.11民事甲2641号回答 戸381ただし書き、
YES	(49-4)→(53-1)へ	/		
NO	(49-5)→		(49-6)本紙へ	不受理
NO	(50)エラーメッセージ 「婚姻適齢に達していません。」を表示する		(51)本紙へ	不受理
NO	(51-1)→(53-1)へ	/		

NO	(51-2)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>成立年月日　または 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+20年(20歳未満)>受領日(YES,NO)				/		民法改正(2022年4月1日)前の審査
	YES	(51-3)成立年月日≠スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>成立年月日　または 成立年月日=スペースの場合、妻の生年月日+16年(16歳未満)>受領日(YES,NO)			/		民731(改正前)
		YES	(51-4)エラーメッセージ　「婚姻適齢に達していません。」を表示する			(51-5)本紙へ	不受理
		NO	(52)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者の婚姻ですが同意はありますか。又は、成年擬制者ですか?」を表示する				民737,昭24.11.11民事甲2641号回答 戸381ただし書き、
			YES	(52-1)→(53-1)へ	/		
			NO	(52-2)→		(52-3)本紙へ	不受理
	NO	(53)→(53-1)へ			/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13/20

処理名	3.0 審査 (4-1/6)			根拠法令(マニュアル処理)
	(53-1)届出区分(1:創設的届出,2:報告的届出)	/		
1	(54)妻の初再婚区分(0:初婚,1:再婚(死別),2:再婚(離別))	/		
1,2	(55)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)	/		民733I 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(56)同一人再婚区分=0(同一人以外)またはスペースである (YES,NO)	/		大元.11.25民事708号回答
YES	(57)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」を表示する		(57-1)本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(57-2)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。		(57-3)本紙へ	民733Ⅱ 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(57-4)民法733条フラグに'1'を移送 →(65)へ	/		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版)
NO	(57-5)民法733条フラグに'0'を移送 →(65)へ	/		
NO	(57-6)→		(58)本紙へ	不受理
NO	(59)→(65)へ	/		
NO	(60)妻の本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/		
1	(61)妻の現戸籍の入籍日+100日>婚姻日(YES,NO)	/		
YES	(62)確認メッセージ(YES,NO) 「入籍日から100日を超えていませんが、離死別日に間違いはありませんね?」を表示する		(62-1)本紙へ	
YES	(62-2)→(65)へ	/		
NO	(62-3)→		(63)本紙へ	不受理
NO	(64)→(65)へ	/		
2				
0				
2				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14/20

処理名	3.0 審査 (4-2/6)			根拠法令(マニュアル処理)
1	(64-1)届出区分(1:創設的届出,2:報告的届出)	/		民733I 平成28年6月1日民法改正対応
1	(64-2)妻の初再婚区分(0:初婚,1:再婚(死別),2:再婚(離別))	/		外国人の場合も、創設的届出の時に待婚期間をチェックする。(第17版)
1,2	(64-3)妻の離死別日+100日>婚姻日(YES,NO)	/		
YES	(64-4)同一人再婚区分=0(同一人以外)またはスペースである(YES,NO)	/		
YES	(64-5)確認メッセージ(YES,NO) 「待婚期間が100日を経過していません。再婚が可能か確認しましたか?」を表示する		(64-6)本紙へ	民733II 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(64-7)確認メッセージ(YES,NO) 「民法733条第2項に該当する再婚ですか?」を表示する。		(64-8)本紙へ	民733II 平成28年6月1日民法改正対応
YES	(64-9)民法733条フラグに'2'を移送 →(65)へ	/		身分事項の特記事項記録用フラグを追加(第20版) 妻が外国人のため、夫の身分事項に記録する
NO	(64-10)民法733条フラグに'0'を移送 →(65)へ	/		
NO	(64-11)→		(64-12)本紙へ	不受理
NO	(64-13)→(65)へ	/		
NO				
0				
2				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	15/20

処理名	3.0 審査 (5/6)			根拠法令(マニュアル処理)
(65)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)		/		
0	(66妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(67)氏区分(1:夫の氏,2:妻の氏,3:変更なし)	/		民750,戸16
1	(68)夫の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		
0	(69)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
YES	(69-1)→(105)へ	/		
NO	(70)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示		(71)本紙へ	不受理
1	(72)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
YES	(73)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示		(74)本紙へ	不受理
NO	(74-1)→(105)へ	/		
2	(75)妻の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		
0	(76)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
YES	(77)→(105)へ	/		
NO	(78)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示		(79)本紙へ	戸16I 不受理
1	(80)新本籍に記録がある(YES,NO)	/		
YES	(81)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示		(82)本紙へ	不受理
NO	(82-1)→(105)へ	/		
3	(83)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示		(83-1)本紙へ	不受理
1	(84)氏区分(1:夫の氏,2:妻の氏,3:変更なし)	/		
1	(85)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示		(86)本紙へ	民750,戸16 不受理
2				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16/20

処理名	3.0 審査 (6/6)																根拠法令(マニュアル処理)
0	1	3	(87)夫の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)												/		
			0	(88)新本籍に記録がある(YES,NO)											/		
				YES	(88-1)→(105)へ										/		
				NO	(89)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示											(90)本紙へ	戸16I 不受理
			1	(91)新本籍に記録がある(YES,NO)											/		
				YES	(92)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示											(93)本紙へ	不受理
				NO	(93-1)→(105)へ										/		
1	(94)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)														/		
	0	(95)氏区分(1:夫の氏,2:妻の氏,3:変更なし)													/		
		1	(96)エラーメッセージ 「氏区分に誤りがあります。正しく入力して下さい。」を表示													(97)本紙へ	民750,戸16 不受理
		2															
		3	(98)妻の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)												/		
			0	(99)新本籍に記録がある(YES,NO)											/		
				YES	(99-1)→(105)へ										/		
				NO	(100)エラーメッセージ 「新本籍を入力して下さい。」を表示											(101)本紙へ	戸16I 不受理
			1	(102)新本籍に記録がある(YES,NO)											/		
				YES	(103)エラーメッセージ 「新本籍には入力できません。」を表示											(104)本紙へ	不受理
				NO	(104-1)→(105)へ										/		
	1	(104-2)→(105)へ													/		
(105)同一人再婚区分=0(同一人以外)またはスペースである(YES,NO)															/		
YES	(106)→															(107)本紙へ	
NO	(108)メッセージ「子(養子)に共同親権の記録が必要か確認して下さい。」を表示																

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	17/20

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		婚姻届入力画面	受領NO				
	選択事件コード			－				「09」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日		届出画面メニュー	指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分		婚姻届入力画面	－				在外送付区分=0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				0:不要
	届区分			届出区分				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				夫外人区 / 妻外人区 / 渉外区分 0 / 0 / 0 0 / 1 / 1 1 / 0 / 1 1 / 1 / 2
	同時決裁受領番号			－				
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、夫と妻の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号(2)			戸籍番号				
	ロック戸籍番号(3)			－				
	ロック戸籍番号(4)			－				
	ロック戸籍番号(5)			－				
	事件別内容							3/4～4/4参照

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/20

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	不受理申出処分区分		婚姻届入力面面	－				
	処分区分			－				審査の結果により、1=受理または2=不受理をセットする。*
	決裁区分			－				ZERO
	届書排他区分			－				0:未　1:排他
								*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	19/20

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力　3/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫個人番号							本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	外人区分(夫)		婚姻届入力画面	夫の外人区分				
	筆頭者区分(夫)		(その1)	夫の筆頭者区分				
	本非区分(夫)			夫の本非区分				
	生年月日(夫)			夫の生年月日				
	カナ氏名(夫)			夫のカナ氏名				
	漢字氏名(夫)			夫の漢字氏名				
	本籍コード(夫)			夫の本籍				
	本籍地番(夫)							
	筆頭者(夫)			夫の戸籍の筆頭者				
	父(夫)			夫の父の氏名				
	母(夫)			夫の母の氏名				
	父母との続柄(夫)			夫の父母との続柄				
	住所コード(夫)			夫の住所				
	住所地番(夫)							
	世帯主(夫)			夫の世帯主				
	妻個人番号							本籍人のとき、戸籍個人番号を設定
	外人区分(妻)			妻の外人区分				
	筆頭者区分(妻)			妻の筆頭者区分				
	本非区分(妻)			妻の本非区分				
	生年月日(妻)			妻の生年月日				
	カナ氏名(妻)			妻のカナ氏名				
	漢字氏名(妻)			妻の漢字氏名				
	本籍コード(妻)			妻の本籍				
	本籍地番(妻)							
	筆頭者(妻)			妻の戸籍の筆頭者				

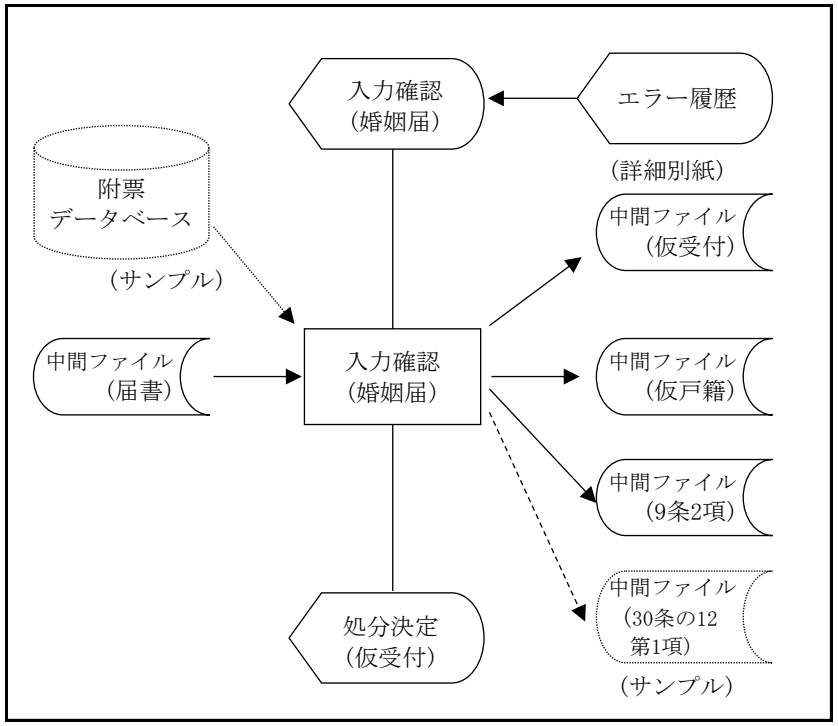
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	20/20

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力　4/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通　←　(引渡側)婚姻届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	父(妻)		婚姻届入力画面 (その1)	妻の父の氏名				
	母(妻)			妻の母の氏名				
	父母との続柄(妻)			妻の父母との続柄				
	住所コード(妻)			妻の住所				
	住所地番(妻)							
	世帯主(妻)			妻の世帯主				
	氏区分		婚姻届入力画面 (その2)	氏区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	初再婚区分(夫)			夫の初再婚区分				
	離死別日(夫)			夫の離死別日				
	初再婚区分(妻)			妻の初再婚区分				
	離死別日(妻)			妻の離死別日				
	同一人再婚区分			同一人再婚区分				
	婚姻成立日			成立年月日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/41

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。----------(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
    - 4.3 身分事項(変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
    - 5.1 身分事項(除籍)
    - 5.2 身分事項(入籍)
    - 5.3 身分事項(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 夫
    - 6.2 妻
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)----(サンプル提示)
    - 7.1 夫
    - 7.2 妻

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/41

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]	/		
	(5)夫は本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)夫の戸籍変動をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	身分事項(除籍) (7)夫の除籍事項の編集 [4.1]	/		
	身分事項(入籍) (8)夫の入籍事項の編集 [4.2]	/		
	身分事項(変動なし) (9)夫の変動なし事項の編集 [4.3]	/		
	(9-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
	YES (9-2)夫について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.1]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理 (9-1)(9-2)
	NO (10)→(11)	/		
	NO			
	(11)妻は本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (12)妻の戸籍変動をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	身分事項(除籍) (13)妻の除籍事項の編集 [5.1]	/		
	身分事項(入籍) (14)妻の入籍事項の編集 [5.2]	/		
	身分事項(変動なし) (15)妻の変動なし事項の編集 [5,3]	/		
	(15-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
	YES (15-2)妻について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.1]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理 (15-1)(15-2)
	NO (16)→(17)	/		
	NO			
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/		
	YES (18)夫の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/		
	YES (19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]	/		
	NO (20)	/		
	(21)妻の外人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/		
	YES (22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]		(23)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
	NO			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/41

処理名	0.0 本紙 2/2			備考
PF1	→		(24)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	ある (28)前ページ分の「婚姻届」画面を編集		(29)同画面を編集する	
	なし (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	ある (32)次ページ分の「婚姻届」画面を編集		(33)同画面を編集する	
	なし (34)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→		(35)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(36)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」		(37)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/41

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示　1/3	(受取側)婚姻届確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
婚姻届入力画面 (その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届出区分			届区分				
	夫の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分(夫)				
	夫の筆頭者区分コード			筆頭者区分(夫)				
	夫の筆頭者区分名称							
	夫の本非区分			本非区分(夫)				
	夫の生年月日			生年月日(夫)				
	夫のカナ氏名			カナ氏名(夫)				
	夫の漢字氏名			漢字氏名(夫)				
	夫の住所			住所コード(夫)				
				住所地番(夫)				
	夫の本籍			本籍コード(夫)				
				本籍地番(夫)				
	夫の世帯主			世帯主(夫)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	5/41

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示　2/3	(受取側)婚姻届確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
婚姻届入力画面 (その1)	夫の戸籍の筆頭者		中間ファイル(届書) 事件別内容	筆頭者(夫)				
	夫の父の氏名			父(夫)				
	夫の母の氏名			母(夫)				
	夫の父母との続柄コード			父母との続柄(夫)				
	夫の父母との続柄名称							
	妻の外人区分			外人区分(妻)				
	妻の筆頭者区分コード			筆頭者区分(妻)				
	妻の筆頭者区分名称							
	妻の本･非区分			本非区分(妻)				
	妻の生年月日			生年月日(妻)				
	妻のカナ氏名			カナ氏名(妻)				
	妻の漢字氏名			漢字氏名(妻)				
	妻の住所			住所コード(妻)				
				住所(妻)				
	妻の本籍			本籍コード(妻)				
				本籍(妻)				
	妻の世帯主			世帯主(妻)				
	妻の戸籍の筆頭者			筆頭者(妻)				
	妻の父の氏名			父(妻)				
	妻の母の氏名			母(妻)				
	妻の父母との続柄コード			父母との続柄(妻)				
	妻の父母との続柄名称							
婚姻届入力画面 (その2)	氏区分コード			氏区分				
	氏区分名称							
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	6/41

処理名	1.0確認画面(婚姻届)表示　3/3	(受取側)婚姻届確認画面 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
婚姻届入力画面 (その2)	夫の初再婚区分コード		中間ファイル(届書) 事件別内容	初再婚区分(夫)				
	夫の初再婚区分名称							
	夫の離死別日			離死別日(夫)				
	妻の初再婚区分コード			初再婚区分(妻)				
	妻の初再婚区分名称							
	妻の離死別日			離死別日(妻)				
	同一人再婚区分コード			同一人再婚区分				
	同一人再婚区分名称							
	成立年月日			婚姻成立日				
	証書提出日			証書提出日				
	婚姻の方式			婚姻の方式				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/41

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　1-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
1	○			○			○	○			○			○	○			○	○	
2	○			○			○	○			○			○	○			○		○
3	○			○			○		○		○			○		○		○	○	
4	○			○			○		○		○			○		○		○		○
5	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○	
6	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○
7		○		○			○	○			○			○	○			○	○	
8		○		○			○	○			○			○	○			○		○
9		○		○			○		○		○			○		○		○	○	
10		○		○			○		○		○			○		○		○		○
11		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－			○	
12		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				○
13	○			○		○		－	－		○		○		○					

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/41

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　1-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
1	夫 (4.1) 妻 (5.1)												夫 (4.2) 妻 (5.2)
2	夫 (4.1) 妻 (5.1)												
3		夫 (4.1) 妻 (5.1)											夫 (4.2) 妻 (5.2)
4		夫 (4.1) 妻 (5.1)											
5													夫 (4.2) 妻 (5.2)
6													
7	妻 (5.1) 夫 (4.1)												妻 (5.2) 夫 (4.2)
8	妻 (5.1) 夫 (4.1)												
9		妻 (5.1) 夫 (4.1)											妻 (5.2) 夫 (4.2)
10		妻 (5.1) 夫 (4.1)											
11													妻 (5.2) 夫 (4.2)
12													
13							妻 (5.2)	夫 (4.3)	妻 (5.1)				

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 2-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
14	○			○		○		－	－		○		○			○				
15	○			○		○		－	－		○			○	○					
16	○			○		○		－	－		○			○		○				
17	○			○		○		－	－			○	－	－	－	－				
18	○			○			○	○			○		○		○				○	
19	○			○			○	○			○		○		○					○
20	○			○			○	○			○		○			○			○	
21	○			○			○	○			○		○			○				○
22	○			○			○		○		○		○		○				○	
23	○			○			○		○		○		○		○					○
24	○			○			○		○		○		○			○			○	
25	○			○			○		○		○		○			○				○
26	○			○			○	○			○			○	○				○	
27	○			○			○	○			○			○	○					○
28	○			○			○	○			○			○		○			○	
29	○			○			○	○			○			○		○				○

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　2-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
14							妻 (5.2)	夫 (4.3)		妻 (5.1)			
15			妻 (5.1)				妻 (5.2)	夫 (4.3)					
16				妻 (5.1)			妻 (5.2)	夫 (4.3)					
17							妻 (5.2)	夫 (4.3)					
18	夫 (4.1)		妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
19	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
20	夫 (4.1)			妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
21	夫 (4.1)			妻 (5.1)									
22		夫 (4.1)	妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
23		夫 (4.1)	妻 (5.1)										
24		夫 (4.1)		妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
25		夫 (4.1)		妻 (5.1)									
26	夫 (4.1)		妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
27	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
28	夫 (4.1)			妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
29	夫 (4.1)			妻 (5.1)									

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表　3-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
30	○			○			○		○		○			○	○				○	
31	○			○			○		○		○			○	○					○
32	○			○			○		○		○			○		○			○	
33	○			○			○		○		○			○		○				○
34	○			○			○	○				○	－	－	－	－			○	
35	○			○			○	○				○	－	－	－	－				○
36	○			○			○		○			○	－	－	－	－			○	
37	○			○			○		○			○	－	－	－	－				○
38	○				○	－	－	－	－		○			○	○				○	
39	○				○	－	－	－	－		○			○	○					○
40	○				○	－	－	－	－		○			○		○			○	
41	○				○	－	－	－	－		○			○		○				○
42		○		○		○		○			○		○		－	－				
43		○		○		○			○		○		○		－	－				
44		○		○			○	○			○		○		－	－				
45		○		○			○		○		○		○		－	－				
46		○			○	－	－	－	－		○		○		－	－				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　3-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
30		夫 (4.1)	妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
31		夫 (4.1)	妻 (5.1)										
32		夫 (4.1)		妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
33		夫 (4.1)		妻 (5.1)									
34	夫 (4.1)												夫 (4.2) 妻 (5.2)
35	夫 (4.1)												
36		夫 (4.1)											夫 (4.2) 妻 (5.2)
37		夫 (4.1)											
38			妻 (5.1)										夫 (4.2) 妻 (5.2)
39			妻 (5.1)										
40				妻 (5.1)									夫 (4.2) 妻 (5.2)
41				妻 (5.1)									
42					夫 (4.1)						夫 (4.2)	妻 (5.3)	
43						夫 (4.1)					夫 (4.2)	妻 (5.3)	
44	夫 (4.1)										夫 (4.2)	妻 (5.3)	
45		夫 (4.1)									夫 (4.2)	妻 (5.3)	
46											夫 (4.2)	妻 (5.3)	

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表　4-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外			
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無			管内	管外
47		○		○		○		○			○			○	○				○	
48		○		○		○		○			○			○	○					○
49		○		○		○			○		○			○	○				○	
50		○		○		○			○		○			○	○					○
51		○		○		○		○			○			○		○			○	
52		○		○		○		○			○			○		○				○
53		○		○		○			○		○			○		○			○	
54		○		○		○			○		○			○		○				○
55		○		○			○	○			○			○	○				○	
56		○		○			○	○			○			○	○					○
57		○		○			○		○		○			○	○				○	
58		○		○			○		○		○			○	○					○
59		○		○			○	○			○			○		○			○	
60		○		○			○	○			○			○		○				○
61		○		○			○		○		○			○		○			○	

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　4-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
47			妻 (5.1)		夫 (4.1)								妻 (5.2) 夫 (4.2)
48			妻 (5.1)		夫 (4.1)								
49			妻 (5.1)			夫 (4.1)							妻 (5.2) 夫 (4.2)
50			妻 (5.1)			夫 (4.1)							
51				妻 (5.1)	夫 (4.1)								妻 (5.2) 夫 (4.2)
52				妻 (5.1)	夫 (4.1)								
53				妻 (5.1)		夫 (4.1)							妻 (5.2) 夫 (4.2)
54				妻 (5.1)		夫 (4.1)							
55	夫 (4.1)		妻 (5.1)										妻 (5.2) 夫 (4.2)
56	夫 (4.1)		妻 (5.1)										
57		夫 (4.1)	妻 (5.1)										妻 (5.2) 夫 (4.2)
58		夫 (4.1)	妻 (5.1)										
59	夫 (4.1)			妻 (5.1)									妻 (5.2) 夫 (4.2)
60	夫 (4.1)			妻 (5.1)									
61		夫 (4.1)		妻 (5.1)									妻 (5.2) 夫 (4.2)

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表　5-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
62		○		○			○		○		○			○		○				○
63		○			○	－	－	－	－		○			○	○				○	
64		○			○	－	－	－	－		○			○	○					○
65		○			○	－	－	－	－		○			○		○			○	
66		○			○	－	－	－	－		○			○		○				○
67		○		○			○	○				○	－	－	－	－			○	
68		○		○			○	○				○	－	－	－	－				○
69		○		○			○		○			○	－	－	－	－			○	
70		○		○			○		○			○	－	－	－	－				○
71			○	○		○		－	－								○			
72			○	○			○	○									○		○	
73			○	○			○	○									○			○
74			○	○			○		○								○		○	
75			○	○			○		○								○			○
76			○		○	－	－	－	－								○		○	
77			○		○	－	－	－	－								○			○
78			○							○	○		○		－	－				
79			○							○	○			○	○				○	
80			○							○	○			○	○					○

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　5-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
62		夫 (4.1)		妻 (5.1)									
63			妻 (5.1)										妻 (5.2) 夫 (4.2)
64			妻 (5.1)										
65				妻 (5.1)									妻 (5.2) 夫 (4.2)
66				妻 (5.1)									
67	夫 (4.1)												妻 (5.2) 夫 (4.2)
68	夫 (4.1)												
69		夫 (4.1)											妻 (5.2) 夫 (4.2)
70		夫 (4.1)											
71								夫 (4.3)					
72	夫 (4.1)												夫 (4.2)
73	夫 (4.1)												
74		夫 (4.1)											夫 (4.2)
75		夫 (4.1)											
76													夫 (4.2)
77													
78												妻 (5.3)	
79			妻 (5.1)										妻 (5.2)
80			妻 (5.1)										

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表　6-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
81			○							○	○			○		○			○	
82			○							○	○			○		○				○
83			○							○		○	－	－	－	－			○	
84			○							○		○	－	－	－	－				○
85										○							○			
86	○				○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				
87		○			○	－	－	－	－			○	－	－	－	－				
88	○				○	－	－	－	－		○		○		○				○	
89	○				○	－	－	－	－		○		○		○					○
90	○				○	－	－	－	－		○		○			○			○	
91	○				○	－	－	－	－		○		○			○				○
92		○		○		○		○				○	－	－	－	－			○	
93		○		○		○		○				○	－	－	－	－				○
94		○		○		○			○			○	－	－	－	－			○	
95		○		○		○			○			○	－	－	－	－				○
96			○		○	－	－	－	－								○			
97			○							○		○	－	－	－	－				
98	○				○	－	－	－	－		○			○	○					
99	○				○	－	－	－	－		○			○		○				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　6-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
81				妻 (5.1)									妻 (5.2)
82				妻 (5.1)									
83													妻 (5.2)
84													
85													
86													
87													
88									妻 (5.1)				夫 (4.2) 妻 (5.2)
89									妻 (5.1)				
90										妻 (5.1)			夫 (4.2) 妻 (5.2)
91										妻 (5.1)			
92					夫 (4.1)								妻 (5.2) 夫 (4.2)
93					夫 (4.1)								
94						夫 (4.1)							妻 (5.2) 夫 (4.2)
95						夫 (4.1)							
96													
97													
98			妻 (5.1)										
99				妻 (5.1)									

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/41

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　7-1/7

項番	氏区分			夫							妻							夫・妻同一戸籍	新戸籍編製	
				日本人						日本人以外	日本人						日本人以外		管内	管外
				本籍		構成		他の在籍者			本籍		構成		他の在籍者					
	夫	妻	変動なし	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無		本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	有	無				
100		○		○			○	○				○	－	－	－	－				
101		○		○			○		○			○	－	－	－	－				
102	○				○	－	－	－	－		○		○		○					
103	○				○	－	－	－	－		○		○			○				
104		○		○		○		○				○	－	－	－	－				
105		○		○		○			○			○	－	－	－	－				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表　7-2/7

項番	夫の父母の戸籍(養父母)		妻の父母の戸籍(養父母)		夫の戸籍				妻の戸籍				新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	
100	夫 (4.1)												
101		夫 (4.1)											
102									妻 (5.1)				
103										妻 (5.1)			
104					夫 (4.1)								
105						夫 (4.1)							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/41

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			－				「0901」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日≠空白の時、送付日 送付日=空白の時、受領日
	事件発生日			婚姻成立日				報告区分=2の時、移送
	事件発生時分			－				ZERO
	事件発生日時			－				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				0:日本人 1:渉外 2:外国人
	証書提出区分							婚姻の方式≠スペースのとき、1上記以外は、0(届出)
	発送日			送付日				
	郵送日			郵送日				
	発日			－				ZEROをセット
	収日			－				ZEROをセット
	指示日			－				ZEROをセット
	許可日			－				ZEROをセット
	関連受領番号			－				ZEROをセット
	届出人資格区分1			－				届出人資格区分には、「ZERO」
	届出人資格名称1			－				届出人資格名称には、「SPACE」
	届出人氏名1			－				届出人氏名には、「SPACE」
	届出人資格区分2			－				
	届出人資格名称2			－				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	22/41

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考			
DB･ファイル名 画像名称	項目		DB･ファイル名	項目							
	名称	記号名	画面名称	名称	記号名						
中間ファイル (仮受付)	届出人氏名2		中間ファイル(届書)								
	届後本籍区分							1:入籍.2:新戸籍編製			
	届後本籍コード			新本籍コード							
	届後本籍			新本籍							
	届後戸籍の筆頭者			－			新本籍 ＝ スペースの場合、未設定 新本籍 ≠ スペースの場合、				
							氏区分	夫の外国人区分	妻の外国人区分	設定内容	
							1	－	－	夫の漢字氏名	
							2	－	－	妻の漢字氏名	
							3	0	1	夫の漢字氏名	
								1	0	妻の漢字氏名	
	送達確認1			－				届後本籍が非本 かつ 在外送付区分=0(受理分)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。			
	届書送付目録区分							本非区分=1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部を用いる。			
	処分区分			処分区分							
	決裁区分			決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	23/41

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画像名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				該当データーは事件本人の人数分作成
	行番号			－				
	事件本人区分			－				夫の時、「12」を 妻の時、「13」をセット
	届出人区分			－				夫の時、届出区分=2:報告 かつ 夫の外人区分=1:外国人 かつ 妻の外人区分=0:日本人の場合、「0:なし」を設定 妻の時、届出区分=2:報告 かつ 妻の外人区分=1:外国人 かつ 夫の外人区分=0:日本人の場合、「0:なし」を設定 上記以外は「1:事件本人が届出人」を設定
	カナ氏名			－				夫の時、カナ氏名(夫) 妻の時、カナ氏名(妻)
	漢字氏名			－				夫の時、漢字氏名(夫) 妻の時、漢字氏名(妻)
	生年月日			－				夫の時、生年月日(夫) 妻の時、生年月日(妻)
	本籍コード			－				夫の時、本籍コード(夫) 妻の時、本籍コード(妻)
	本籍			－				夫の時、本籍(夫) 妻の時、本籍(妻)
	筆頭者			－				夫の時、筆頭者(夫) 妻の時、筆頭者(妻)
	送達確認2							事件本人の現本籍が、(本非区分=2)かつ (在外送付区分=0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

*事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/41

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力　1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				－				
	出力区分				－				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				－				「0901」を移送
	記録コード				－				「0901」を移送
	管掌者コード				－				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名(妻)				
	婚姻	配偶者の死亡日			－				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍(妻)				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日(妻)				妻が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	25/41

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	−				
		許可書謄本の送付を受けた日			−				
		許可を受けた者			−				
	入籍	入籍日			−				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			−				
		従前戸籍 筆頭者			−				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		入籍戸籍 本籍			本籍(妻)				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		入籍戸籍 筆頭者			筆頭者(妻)				
	記録	記録日			−				
	特記	特記事項			−				・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・妻死亡後受理、死亡後受理 ・妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/41

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集・出力　1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				(決裁処理で付番)
	行番号				－				
	出力区分				－				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				－				「0901」を移送
	記録コード				－				「0901」を移送
	管掌者コード				－				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名(妻)				
	婚姻	配偶者の死亡日			－				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍(妻)				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日(妻)				妻が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	27/41

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍(夫)				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者(夫)				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍			－				
		称する氏			－				
		入籍戸籍 本籍			－				
		入籍戸籍 筆頭者			－				
	記録	記録日			－				
	特記	特記事項			－				・(年月日)受理を命ずる裁判確認 ・妻死亡後受理、死亡後受理 ・婚姻により国籍取得(取得の際の国籍xxxxxx) ・妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/41

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				－				
	出力区分				－				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				－				「0901」を移送
	記録コード				－				「0901」を移送
	管掌者コード				－				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名(妻)				
	婚姻	配偶者の死亡日			－				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍(妻)				妻が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日(妻)				妻が外国人の時、当該項目を移送。
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年3月31日	20	29/41

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			－				
	除戸籍	新本籍				－			
		称する氏							
		戸籍入籍 本籍							
		戸籍入籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			－				･(年月日)受理を命ずる裁判確定 ･妻死亡後受理、死亡後受理 ･妻証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ･民法733条フラグ ＝ 2のとき、「民法第733条第2項」を記録する

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	30/41

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				－				
	出力区分				－				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				－				「0901」を移送
	記録コード				－				「0901」を移送
	管掌者コード				－				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名(夫)				
	婚姻	配偶者の死亡日			－				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍(夫)				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日(夫)				夫が外国人の時、当該項目を移送
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年3月31日	20	31/41

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	−				
		許可書謄本の送付を受けた日			−				
		許可を受けた者			−				
	入籍	入籍日			−				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			−				
		従前戸籍 筆頭者			−				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				新戸籍編製の時、セット
		称する氏			氏区分				
		戸入籍籍 本籍			本籍(夫)				配偶者の戸籍に入籍する時、セット
		戸入籍籍 筆頭者			筆頭者(夫)				
		記録日			−				
	特記	特記事項			−				・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/41

処理名	5.2 身分事項(入籍)の編集・出力　1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				(決裁処理で付番)
	行番号				－				
	出力区分				－				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				－				「0901」を移送
	記録コード				－				「0901」を移送
	管掌者コード				－				
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
		婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
		配偶者氏名			漢字氏名(夫)				
		配偶者の死亡日			－				
		配偶者の国籍			本籍(夫)				夫が外国人の時、配偶者の国籍
		配偶者の生年月日			生年月日(夫)				夫が外国人の時、当該項目を移送
		婚姻の方式			婚姻の方式				
		裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
		届書提出日			－				
		届書提出者 資格			－				
		届書提出者 氏名			－				
		届書提出者 資格			－				
		届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年3月31日	20	33/41

処理名	5.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－ －				
		許可を受けた者			処理日				
	入籍	入籍日			本籍(妻)				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			筆頭者(妻)				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			－				
	除戸籍	新本籍			－				
		称する氏			－				
		入戸籍 本籍			－				
		入戸籍 筆頭者			－				
	記録	記録日			－				(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 ・婚姻により国籍取得(取得の際の国籍xxxxxx) (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する
	特記	特記事項							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	34/41

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号								
	出力区分								「0」ゼロを移送
	タイトルコード								「0901」を移送
	記録コード								「0901」を移送
	管掌者コード								
	事件発生日				婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻日			婚姻成立日 受領日				婚姻成立日≠空白の時、婚姻成立日 婚姻成立日=空白の時、受領日
	婚姻	婚姻の委託確認の裁判確定日			－				
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名(夫)				
	婚姻	配偶者の死亡日			－				
	婚姻	配偶者の国籍			本籍(夫)				夫が外国人の時、配偶者の国籍
	婚姻	配偶者の生年月日			生年月日(夫)				夫が外国人の時、当該項目を移送。
	婚姻	婚姻の方式			婚姻の方式				
	婚姻	裁判所			－				
	届出	証書提出日			証書提出日				
	届出	届書提出日			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	届出	届書提出者 資格			－				
	届出	届書提出者 氏名			－				
	送付	送付を受けた日			送付日				
	送付	受理者			発送元				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年3月31日	20	35/41

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル(届書)	－				
		許可書謄本の送付を受けた日			－ －				
		許可を受けた者			－				
	入籍	入籍日			－				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			－				
		従前戸籍 筆頭者			－				
	除籍	除籍日			－				
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			－				・(年月日)受理を命ずる裁判確定 ・夫死亡後受理、死亡後受理 ・夫証書提出 (上記内容は審査結果入力で設定) ・民法733条フラグ ＝ 1のとき、「民法第733条第2項」を記録する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	36/41

処理名	6.1 夫　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(夫)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (9条2項) 夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時　夫の漢字氏名 =2の時　妻の漢字氏名 =3の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/41

処理名	6.1 夫　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(夫)　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) (夫)	世帯主		中間ファイル(届書)	夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	38/41

処理名	6.2 妻　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(妻)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 妻	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+妻の名				氏区分=1の時、夫の氏 + 妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	39/41

処理名	6.2 妻　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(妻)　　　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード 変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) (妻)	世帯主		中間ファイル(届書)	妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	40/41

処理名	7.1 夫　編集･出力	(受取側)　中間ファイル(30条の12第1項)/(夫)　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 妻の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の氏+夫の名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							
	旧性別							夫の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			夫の本籍コード				
	旧本籍			夫の本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の筆頭者				
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(婚姻届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	41/41

処理名	7.2 妻　編集･出力	(受取側)　中間ファイル(30条の12第1項)/(妻) ← (引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 妻	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					09(婚姻届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 夫の氏+夫の名				氏区分=1の時、夫の氏+妻の名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							
	旧性別							妻の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			妻の本籍コード				
	旧本籍			妻の本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名　又は 夫の漢字氏名				氏区分=1の時、夫の漢字氏名 =2の時、妻の漢字氏名 =3の時、妻の漢字氏名
	旧筆頭者			妻の筆頭者				
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

9.離婚届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/1

1.離婚業務処理範囲外の処理
(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と婚姻しかつ(養)親の戸籍に往籍する者の離婚届。
(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年者の親権指定処理。
(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。
(4)実方の戸籍が法107条1項等により氏の変更を行っていた時に、その戸籍には復籍せずに申出により新戸籍を編製する場合。
(5)渉外婚姻の場合に外国人のみから証書提出された離婚届。
(6)外国の方式で離婚したときに未成年者の親権が外国法で共同親権となる場合。
(7)離婚と同時に法77条の2届出をした場合。
(8)事件本人の成年後見人から報告的離婚届出がされた場合。
(9)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。
※標準仕様書では戸籍変動区分が「変動無し」以外の場合関連チェック(No.18)で、戸籍変動区分が「変動無し」の場合は戸籍編製エラーとなる。

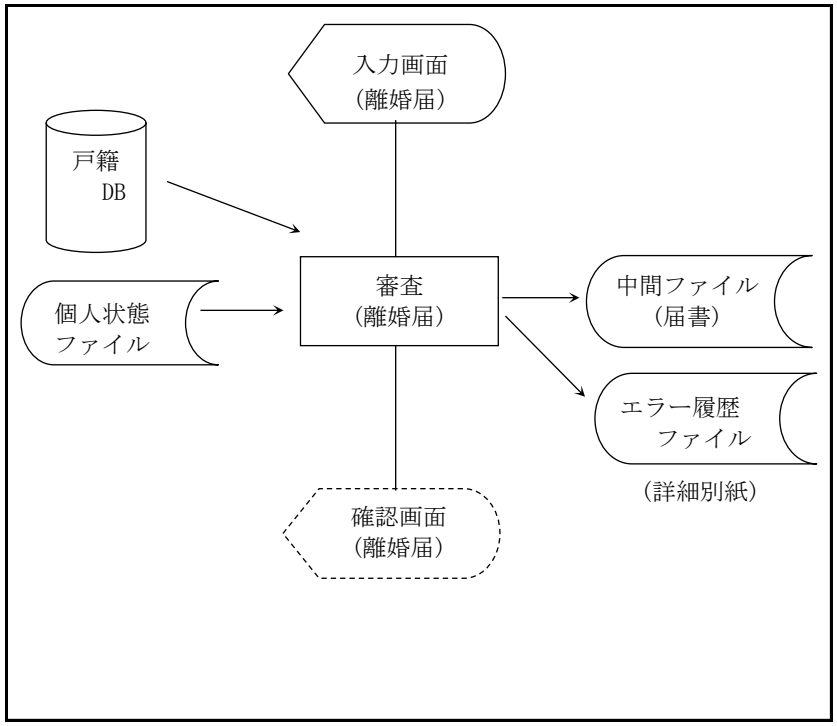
上記(1)～(6)、(8)、(9)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(7)は、別届書番号(別メニュー)で処理を行う。

2.離婚届入力画面の意義
(1)その1画面:離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。
(2)その2画面:離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。
(3)その3画面:離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

3.その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	1/28

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)離婚届の内容を画面入力する。
(2)離婚届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)離婚届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査(協議離婚、裁判離婚)を行う。
(5)離婚届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(離婚届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 3.1 審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
･離婚の成立日･確定日+10が閉庁日の場合は、翌開庁日とする。

R2.1(離婚118)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/28

処理名	0.0本紙　1/1			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES, NG:NO) [1.0]	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES, NG:NO) [2.0]	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES, NG:NO) [3.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)の編集出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査ｴﾗｰ (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す。	
PF7	(16)前ページがあるか(ある,なし)	/		
	ある (17)前ページ「離婚届」画面編集		(18)同画面を編集する	
	なし (19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(20)次ページがあるか(ある,なし)	/		
	ある (21)次ページ「離婚届」画面編集		(22)同画面を編集する	
	なし (23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する			入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する。			審査エラー発生時のみ有効
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	3/28

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(1/4)	離婚届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No.		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No.		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	動態区分	○	数字	(0:不要,1:要)であること			
11	届出区分	○	数字	(1:創設的届出,2:報告的届出)であること			
12	夫の外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
13	夫の国籍		漢字				
14	夫の筆頭者区分		英数	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
15	夫のカナ氏名	○	カナ				
16	夫の漢字氏名	○	漢字				
17	夫の住所		漢字				
18	夫の世帯主		漢字				
19	夫の父の氏名		漢字				
20	夫の母の氏名		漢字				
21	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男,11:長男～29:十九男)であること			
22	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
23	夫の転婚区分		数字	(0:無,1:有)であること			
24	妻の外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
25	妻の国籍		漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/28

処理名	画面名	画面ID	

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	妻の筆頭者区分		英数	(0:構成員,1:筆頭者)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	妻のカナ氏名	○	カナ				
28	妻の漢字氏名	○	漢字				
29	妻の住所		漢字				
30	妻の世帯主		漢字				
31	妻の父の氏名		漢字				
32	妻の母の氏名		漢字				
33	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女,31:長女～49:十九女)であること			
34	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
35	妻の転婚区分		数字	(0:無,1:有)であること			
36	本籍		漢字				
37	筆頭者		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	5/28

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表 3/4	離婚届(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議,2:調停,3:審判,4:判決,5:和解,6:認諾)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
39	離婚の申立人区分		数字	(1:夫,2:妻)であること			
40	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
41	戸籍変動区分	○	数字	(1:元の戸籍に戻る(夫),2:新戸籍編製(夫),3:元の戸籍に戻る(妻),4:新戸籍編製(妻),5:変動なし)であること			
42	新本籍		漢字				
43	新筆頭者		漢字				
43-2	戻る戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
43-3	届後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未、3:生存配偶者)であること			
44	称する氏		漢字				
45	離婚の方式		漢字				
46	裁判所所在国		漢字				
47	外国裁判所名		漢字				
48	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
49	未成年の子の人数		数字				
50	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
51	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6/28

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表 4/4	離婚届(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
52	未成年者のカナ氏名n		カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		No.52～No.61の項目は複数存在する
53	未成年者の漢字氏名n		漢字				
54	未成年者の父の氏名n		漢字				
55	未成年者の母の氏名n		漢字				
56	未成年者の父母との続柄n		数字	(10:男,11:長男～29:十九男,30:女,31:長女～49:十九女)であること			
57	未成年者の生年月日n		英数	「日付チェックサブルーチン」			
58	未成年者の養父の氏名n		漢字				
59	未成年者の養母の氏名n		漢字				
60	未成年者の養父母との続柄n		数字	(51:養子,52:養女)であること			
61	未成年者の親権者区分n		数字	(1:父,2:母,3:養父,4:養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	7/28

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1/3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時,(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ＝ スペースの時,(No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースの時,(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」の時, (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」以外の時, (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時, (No.10)動態区分 ＝ 1(要)であること			
10	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)の時, (No.10)動態区分 ＝ 0(不要)であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時,(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
12	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.13)夫の国籍 ＝ スペースかつ(No.22)夫の生年月日 ＝ 和暦であること			
14-1	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人)かつ(No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時, (No.16)夫の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			
15	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人)の時, (No.13)夫の国籍 ≠ スペースかつ(No.22)夫の生年月日 ＝ 西暦であること			
16	(No.24)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.25)妻の国籍 ＝ スペースかつ(No.34)妻の生年月日 ＝ 和暦であること			
16-1	(No.24)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)かつ(No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時, (No.28)妻の漢字氏名 ＝ (No.37)筆頭者であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8/28

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)または(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時, (No.41)戸籍変動区分 ＝ 5(変動なし)かつ(No.42)新本籍 ＝ スペースかつ (No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
18-1	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 1(外国人)かつ(No.24)妻の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時, (No.36)本籍 ＝ スペースかつ(No.37)筆頭者 ＝ スペースであること			
18-2	(No.12)夫の外国人区分 ＝ 0(日本人)または(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.36)本籍 ≠ スペースかつ(No.37)筆頭者 ≠ スペースであること			
19	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)かつ(No.45)離婚の方式 ＝ スペースの時, (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペースかつ(No.40)離婚の成立･確定日 ＝ スペースかつ (No.50)届出人資格1 ≠ スペースかつ(No.51)届出人資格2 ≠ スペースであること			
19-2	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議)かつ(No.45)離婚の方式 ≠ スペースの時, (No.39)離婚の申立人区分 ＝ スペースかつ(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペースかつ (No.50)届出人資格1,(No.51)届出人資格2いずれかに入力があること			
20	(No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停),3(審判),4(判決),5(和解),6(認諾)の時, ((No.39)離婚の申立人区分 ≠ スペースかつ(No.40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)かつ ((No.50)届出人資格1、(No.51)届出人資格2一方が ≠ ZEROかつ他方が ＝ ZERO)であること			人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
21	(No.42)新本籍 ＝ スペースの時,(No.43)新筆頭者 ＝ スペースであること			
22	(No.48)親権指定者の有無 ＝ 1(有り)の時,(No.49)未成年の子の人数>0であること			
23	(No.49)未成年の子の人数 ＝ 0の時,(No.48)親権指定者の有無 ＝ 0(無し)かつ (No.52)未成年者のカナ氏名n～(No.61)未成年者の親権者区分nが全てスペースであること			22版で見直し
24	(No.49)未成年の子の人数 > 0の時, (No.52)未成年者のカナ氏名n ≠ スペースかつ(No.53)未成年者の漢字氏名n ≠ スペースかつ (No.56)未成年者の父母との続柄n ≠ スペースかつ(No.57)未成年者の生年月日n ≠ スペースであること			22版で見直し
24-1				22版で削除
24-2				22版で削除
24-3				22版で削除
25	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ≠ スペースの時, (No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペースまたは(No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			22版で見直し

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9/28

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3/3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	(No.60)未成年者の養父母との続柄n ＝ スペースの時、 (No.58)未成年者の養父氏名n ＝ スペース　かつ　(No.59)未成年者の養母氏名n ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
27	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 1の時、(No.54)未成年者の父氏名n ≠ スペースであること			
28	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 2の時、(No.55)未成年者の母氏名n ≠ スペースであること			
29	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 3の時、(No.58)未成年者の養父氏名n ≠ スペースであること			
30	(No.61)未成年者の親権者区分n ＝ 4の時、(No.59)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			
31	(No.11)届出区分 ＝ 1(創設)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)離婚の方式 ＝ スペースであること			
31-1	(No.11)届出区分 ＝ 2(報告)の時、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 2(調停),3(審判),4(判決),5(和解),6(認諾)または、 (No.38)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)　かつ　(No.45)離婚の方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
32	(N0.12)夫の外国人区分 ＝ 0の時、　(No.14)夫の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
33	(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0の時、　(No.26)妻の筆頭者区分 ≠ スペースであること			
34	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、 (No.12)夫の外国人区分 ＝ 0　または　(No.24)妻の外国人区分 ＝ 0(日本人)であること			
35				
35-1	(No.46)裁判所所在国 ＝ スペース　の時、 (No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-2	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペース　の時、 (No.47)外国裁判所名 ≠ スペースであること			
35-3	(No.45)離婚の方式 ≠ スペースの時、 (No.46)裁判所所在国 ＝ スペース　かつ　(No.47)外国裁判所名 ＝ スペースであること			
35-4	(No.46)裁判所所在国 ≠ スペース　かつ(No.47)外国裁判所名 ≠ スペースの時、 (No.45)離婚の方式 ＝ スペースであること。			
36	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製　(夫))　または　4(新戸籍編製　(妻))であること			
37	(No.44)称する氏 ≠ スペースの時、 (No.44)称する氏 ＝ (No.43)新筆頭者(氏のみ)　であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	10/28

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3-1/3)	離婚届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
38	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 1(元の戸籍に戻る (夫)) または3(元の戸籍に戻る (妻))かつ (No.42)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.43-2)戻る戸籍での筆頭者区分 ≠ スペースかつ (No.43-3)届後戸籍での配偶者区分 ≠ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
39	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製 (夫)) または 4(新戸籍編製 (妻))または、5(変動なし)の時、 (No.43-2)戻る戸籍での筆頭者区分 ＝ スペースかつ (No.43-3)届後戸籍での配偶者区分 ＝ スペースであること			
40	(No.40)離婚の成立･確定日 ≦ (No.3)受領日 であること			
41	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペース であること			
42	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペース であること			
43	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24) 妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) または (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) であること			
43-1	(No.12)夫の外人区分 ＝ 0(日本人) かつ (No.24)妻の外人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢氏｣ ＝ (No.28)妻の漢字氏名の｢氏｣であること			(No.37)筆頭者の｢氏｣との チェックはNo.14-1,No.16-1
43-2	(No.12)夫の外人区分 ＝ 1(外国人) かつ (No.24)妻の外人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.14)夫の筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.26)妻の筆頭者区分 ＝ スペースであること			
44	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))の時、 (No.16)夫の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
45	(No.41)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))の時、 (No.28)妻の漢字氏名の｢名｣ ＝ (No.43)新筆頭者の｢名｣であること			
46	(No.17)夫の住所 ＝ スペースの時、(No.18)夫の世帯主 ＝ スペース であること			
47	(No.18)夫の世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)夫の住所 ≠ スペース であること			
48	(No.29)妻の住所 ＝ スペースの時、(No.30)妻の世帯主 ＝ スペース であること			
49	(No.30)妻の世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)妻の住所 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	11/28

処理名	3.0 審査 (1-1/8)			備考
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES (0-3)→(0-6)へ		/		R2.1(離婚119)
NO (0-4)→			(0-5)本紙へ	
(0-6)(夫の外人区分=0:日本人 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) または (妻の外人区分=0:日本人 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)		/		R2.1(離婚119)
YES	(0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-8)本紙へ	
	YES (0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-11)本紙へ	不受理
	NO (0-10)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-12)→(1)へ	/		
(1)離婚の種別(1:協議,2:調停,3:審判,4:判決,5:和解,6:認諾)		/		人事訴訟法(H16.4)により、種別:5,6を追加
1	(1-1)離婚の成立･確定日≠スペースである(YES,NO)	/		
	YES (1-2)確認メッセージ 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示(YES,NO)		(1-3)本紙へ	
	YES (1-3-1)→(1-11)へ	/		R2.1(離婚117)
	NO (1-3-2)→		(1-3-3)本紙へ	不受理
				R2.1版で(1-4)～(1-10)を削除 R2.1(離婚117)
	(1-11)夫の外人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0 (1-12)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)	/		
	0 (1-13)→(43)へ	/		
	1 (1-14)確認メッセージ 「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示(YES,NO)		(1-14-1)本紙へ	
	YES (1-15)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(1-16)本紙へ	審査結果入力へ
	NO (1-17)→(43)へ	/		
	1 (1-18)妻の外人区分(0:日本人、1:外国人)	/	(1-19-1)本紙へ	
	0 (1-19)確認メッセージ			

				「証書提出は外国人のみからの届出ですか?」を表示(YES,NO)					
				YES	(1-20)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(1-21)本紙へ	審査結果入力へ	
				NO	(1-22)→(43)へ	/			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12/28

処理名				3.0 審査 (1-2/8)			備考
			1	(1-23)エラーメッセージ 「外国人同士が国外で協議離婚した旨の届出は受理できません。」を表示		(1-24)本紙へ	不受理
1	NO	(2)夫の外国人区分(0:日本人,1:外国人)			/		法例16・14
		0	(3)妻の外国人区分(0:日本人,1:外国人)		/		平元.10.2民二3900号通達第2の1・第8の1(1)
			0	(4)→(43)へ	/		
			1	(5)確認メッセージ 「夫の住民票の写が添付されていますか?」を表示		(6)本紙へ	
				YES	(7)→(43)へ	/		
				NO	(8)確認メッセージ 「妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示		(9)本紙へ	
					YES (10)→(43)へ	/		
					NO (11)エラーメッセージ「準拠法が不明です。」を表示		(12)本紙へ	不受理
		1	(13)妻の外国人区分(0:日本人,1:外国人)		/		
			0	(14)確認メッセージ 「妻の住民票の写が添付されていますか?」を表示		(15)本紙へ	
				YES	(16)→(43)へ	/		
				NO	(17)確認メッセージ 「妻の在留カード等が添付され、在留期間(1年)を過ぎていますか?」を表示		(18)本紙へ	
					YES (19)→(43)へ	/		
					NO (20)エラーメッセージ「準拠法が不明です。」を表示		(20-1)本紙へ	不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13/28

処理名				3.0 審査 (2/8)			備考
1	NO	1	1	(21)夫の国籍 ＝ 妻の国籍 である。(YES,NO)	/		
				YES (22)確認メッセージ 「夫婦の本国法により協議離婚を日本法に従って行えますか?」を表示		(23)本紙へ	
				YES (23-1)→(43)へ	/		
				NO (23-2)エラーメッセージ 「日本法の方式に従って協議離婚はできません。」を表示		(23-3)本紙へ	不受理
				NO (23-4)確認メッセージ 「夫婦の住所の登録が明らかになる書類が添付され、常居所が日本ですか?」を表示		(23-5)本紙へ	
				YES (23-6)→(43)へ	/		
				NO (24)エラーメッセージ 「準拠法が不明です。」を表示		(25)本紙へ	不受理
2,3,4,5,6	(26)夫の外国人区分(0:日本人,1:外国人)				/		
	0	(27)妻の外国人区分(0:日本人,1:外国人)			/		
		0	(28)→(38)へ		/		
		1	(29)確認メッセージ 「妻の国籍を証明するものがありますか?」を表示			(30)本紙へ	Nのとき、不受理
	1	(31)妻の外国人区分(0:日本人,1:外国人)			/		
		0	(32)確認メッセージ 「夫の国籍を証明するものがありますか?」を表示			(33)本紙へ	Nのとき、不受理
		1	(34)確認メッセージ 「日本国内で行われた裁判離婚ですか?」を表示				
			YES (35)→(38)へ		/		
			NO (36)エラーメッセージ 「外国人同士の国外で行われた裁判離婚届は受理できません。」を表示			(37)本紙へ	法例16･14 不受理
		(38)離婚の種別(2:調停,3:審判,4:判決,5:和解,6:認諾)			/		
		2	(39)確認メッセージ 「調停･和解･認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示			(40)本紙へ	戸77･63 Nのとき、不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14/28

処理名	3.0 審査 (3/8)			備考
3	(41)確認メッセージ 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示		(41-1)本紙へ	戸77・63　Nのとき、不受理
4	(42)確認メッセージ 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示		(42-1)本紙へ	戸77・63　Nのとき、不受理
5	(42-2)確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示		(42-3)本紙へ	人事訴訟法(H16.4)　Nのとき、不受理
6	(42-4)確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示		(42-5)本紙へ	人事訴訟法(H16.4)　Nのとき、不受理
(43)本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
1	(44)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(45)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/		
YES	(46)→(54)へ	/		
NO	(47)エラーメッセージ「夫に婚姻事項がありません。」を表示		(48)本紙へ	不受理
	(49)	/		(49)～(52)は削除
	(50)	/		
	(51)		(52)	
1	(53)→(54)へ	/		
	(54)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(55)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/		
YES	(56)→(63-1)へ	/		
NO	(57)エラーメッセージ「妻に婚姻事項がありません。」を表示		(58)本紙へ	不受理
	(59)	/		(59)～(62)は削除
	(60)	/		
	(61)		(62)	
1	(63)→(63-1)へ	/		
2				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	15/28

処理名	3.0 審査 (3-1/8)			備考
(63-1)夫の外人区分=0:日本人(YES,NO)		/		
YES	(63-2)夫の父の氏名=スペース又は夫の母の氏名=スペース(YES,NO)	/		
	YES	(63-3)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(63-4)本紙へ	
		YES	(63-5)→(63-16)へ	/		
		NO	(63-6)→		(63-7)本紙へ	不受理
	NO	(63-8)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)	/		
		YES	(63-9)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(63-10)本紙へ	
			YES	(63-11)→(63-16)へ	/		
			NO	(63-12)→		(63-13)本紙へ	不受理
		NO	(63-14)→(63-16)へ	/		
NO	(63-15)→(63-16)へ		/		
(63-16)妻の外人区分=0:日本人(YES,NO)			/		
YES	(63-17)妻の父の氏名 ＝ スペース又は妻の母の氏名=スペース(YES,NO)		/		
	YES	(63-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		(63-19)本紙へ	
		YES	(63-20)→(63-31)へ	/		
		NO	(63-21)→		(63-22)本紙へ	不受理
	NO	(63-23)妻の父母との続柄=30(女)である(YES,NO)	/		
		YES	(63-24)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(63-25)本紙へ	
			YES	(63-26)→(63-31)へ	/		
			NO	(63-27)→		(63-28)本紙へ	不受理
		NO	(63-29)→(63-31)へ	/		
NO	(63-30)→(63-31)へ		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	16/28

処理名	3.0 審査 (3-2/8)			備考
(63-31)離婚の届出人が夫のみ　かつ　戸籍変動区分=4(新戸籍編製(妻))である(YES,NO)		/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-32)確認メッセージ(YES,NO) 「妻から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」		(63-33)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
YES	(63-34)→(64)へ		/	
NO	(63-35)確認メッセージ(YES,NO) 「妻は従前の戸籍に戻れませんね。」		(63-36)本紙へ	
YES	(63-37)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は妻の従前の本籍と同一の場所ですね。」		(63-38)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
YES	(63-39)→(64)へ		/	
NO	(63-40)→		(63-41)本紙へ	不受理
NO				
NO	(63-42)→(63-43)へ		/	
(63-43)離婚の届出人が妻のみ　かつ　戸籍変動区分=2(新戸籍編製(夫))である(YES,NO)		/		【戸籍法30条3項チェック】
YES	(63-44)確認メッセージ(YES,NO) 「夫から新戸籍を編製する申出又はそれに準ずる事項がありますか。」		(63-45)本紙へ	(参考)S53.7.22民二第4184号通達 (参考)S55.1.18民二第680号通達
YES	(63-46)→(64)へ		/	
NO	(63-47)確認メッセージ(YES,NO) 「夫は従前の戸籍に戻れませんね。」		(63-48)本紙へ	
YES	(63-49)確認メッセージ(YES,NO) 「新本籍は夫の従前の本籍と同一の場所ですね。」		(63-50)本紙へ	(参考)S50.4.30民二第2221号民事二課長回答
YES	(63-51)→(64)へ		/	
NO	(63-52)→		(63-53)本紙へ	不受理
NO				
NO	(63-54)→(64)へ		/	

処理名	3.0 審査 (4/8)			備考
(64)戸籍変動区分 (1:元の戸籍に戻る(夫),2:新戸籍編製(夫),3:元の戸籍に戻る(妻),4:新戸籍編製(妻),5:変動なし)		/		
1.2	(65)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(66)夫の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		
0	(67)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)	/		
YES	(68)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫),2:新戸籍編製(夫))	/		
1	(68-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]	/		R2.1(誤修正)
	(68-2)→(86)へ	/		
2	(68-3)→(86)へ	/		
NO	(69)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(70)本紙へ	不受理
1				
1				
3.4	(71)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(72)妻の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		
0	(73)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)	/		
YES	(74)戸籍変動区分(3:元の戸籍に戻る(妻),4:新戸籍編製(妻))	/		
3	(74-1)審査(復籍先の筆頭者区分･配偶者区分)へ [3.1]	/		R2.1(誤修正)
	(74-2)→(86)へ	/		
4	(74-3)→(86)へ	/		
NO	(75)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(76)本紙へ	不受理
1				
1				
5	(77)夫の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(78)妻の外人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(79)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(80)本紙へ	不受理
1	(81)→(86)へ	/		
1				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	18/28

処理名	3.0 審査 (5/8)			備考	
(86)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)		/		民819I	
(87)親権者指定の有無(0:無,1:有)		/			
0	(88)離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立・確定日　または、 離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立・確定日　または、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日　または、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月１日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
YES	(89)未成年者の親権者区分n=スペース(YES,NO)	/			
YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示		(92)本紙へ	(90)(93)を削除	R2.1(離婚116)
YES	(93-1)→(86)	/			
NO	(93-2)→		(93-3)本紙へ	不受理	
NO	(94)エラーメッセージ 「親権者指定の有無に誤りがあります。」を表示				
NO	(95)未成年者の親権者区分n ＝ スペース(YES,NO)	/			
YES	(96)→(86)へ	/			
NO	(97)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示		(97-1)本紙へ		
1	(98)離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)> 離婚の成立・確定日　または、 離婚の成立・確定日≠スペース　かつ　離婚の成立・確定日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)> 離婚の成立・確定日　または、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日<2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+20年(20歳未満)>受領日　または、 離婚の成立・確定日=スペース　かつ　受領日≧2022年4月1日の場合 未成年者nの生年月日+18年(18歳未満)>受領日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月１日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月１日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する。	R2.1(離婚116)
YES	(99)未成年者の親権者区分n=スペース(YES,NO)	/			
YES	(101)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」を表示		(102)本紙へ	(100)(103)を削除	R2.1(離婚116)
YES	(103-1)→(86)	/			
NO	(103-2)→		(103-3)本紙へ	不受理	
NO	(103-4)夫の漢字氏名=未成年者の父氏名　または　未成年者の養父氏名)　かつ (妻の漢字氏名=未成年者の母氏名　または　未成年者の養母氏名)(YES,NO)	/			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	19/28

処理名	3.0 審査　6/8		備考
	YES (104)未成年者カウント(内部)=未成年者カウント(内部)+1→(86)へ	/	
	NO (104-1)確認メッセージ 「親権区分nの親権指定は必要ですか?」(YES,NO)	(104-2)本紙へ	R2.1(誤修正)
	YES (104-3)未成年者カウント(内部)=未成年者カウント(内部)+1→(86)へ	/	
	NO (104-4)→	(104-5)本紙へ	不受理※入力誤りであるため。 R2.1(誤修正)
	NO (105)未成年者の親権者区分n=スペース(YES,NO)	/	
	YES (106)→(86)へ	/	
	NO (107)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示	(108)本紙へ	
(109)親権指定者の有無(0:無、1:有)		/	
0	(110)→(115)へ	/	
1	(111)未成年者カウント(内部)>0(YES,NO)	/	
	YES (112)→(115)へ	/	
	NO (113)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示	(114)本紙へ	
(115)届出区分(1:創設、2:報告)		/	
1	(116)届出人資格1(006:夫、007:妻)	/	創設的届出の場合届出人資格1は必須入力
			標準仕様書第10版で(116-1)～(116-7)を削除
006	(117)届出人資格2(006:夫、007:妻)	/	創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
			標準仕様書第10版で(117-1)～(117-4)を削除
	006 (118)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示	(119)本紙へ	
	007 (120)→(152)へ	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	20/28

処理名	3.0 審査　7/8			備考
1	007	(121)届出人資格2(006:夫、007:妻)	/	創設的届出の場合届出人資格2は必須入力
			/	標準仕様書第10版で(121-1)～(121-4)を削除
	006	(122)→(152)へ	/	
	007	(123)エラーメッセージ「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示		(124)本紙へ　不受理
2			/	(124-1),(124-8)～(124-11)を削除　R2.1(離婚117)
	(124-2)離婚の方式=スペースである(YES,NO)		/	日本及び外国の裁判離婚のケース※証書提出は審査不要
	YES	(124-3)受領日<離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	/	
		YES (124-4)→(125)へ	/	
		NO (124-5)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示		(124-6)本紙へ　審査続行(応答後(125)へ)
	NO	(124-7)→(125)へ	/	
	(125)離婚の申立人区分(1:夫,2:妻,スペース)		/	
	1	(126)届出人資格1または届出人資格2(006:夫、007:妻)	/	
		006 (127)→(152)へ		
		007 (131)受領日<離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	/	
		YES (132)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示 (YES,NO)		(133)本紙へ
		YES (134)→(152)へ	/	
		NO (135)エラーメッセージ「発収簿処理をして下さい。」を表示		(136)届出メニューへ　不受理
		NO (137)→(152)へ	/	NO.138欠番

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	21/28

処理名			3.0 審査　8/8			備考
2	2		(139)届出人資格1または届出人資格2(006:夫、007:妻)	/		
		006	(140)受領日<離婚の成立・確定日+10日(YES,NO)	/		
			YES (141)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示 (YES,NO)		(142)本紙へ	
			YES (143)→(152)へ	/		
			NO (144)エラーメッセージ「発収簿処理をして下さい。」を表示		(145)届出メニューへ	不受理
			NO (146)→(152)へ	/		NO.147欠番
		007	(148)→(152)へ	/		
	スペース		(151)→(152)へ	/		
(152)称する氏=スペース(YES,NO)				/		
YES	(153)→				(154)届出メニューへ	
NO	(155)確認メッセージ 「帰化等により、復籍すべき戸籍がないですね。」を表示					Nのとき、不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	22/28

処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査 (1/2)			備考
(1)新本籍=管内である(YES,NO)		/		
YES	(2)戸籍除区分(復籍先)=0(現戸籍)である。(YES,NO)	/		
YES	(3)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(4)～(9)の処理を繰り返す。	/		
	(4)個人除区分=0(在籍者)かつ筆頭者区分=1(筆頭者)である。(YES,NO)	/		
	YES (5)戸籍での筆頭者区分=1(筆頭者)である。(YES,NO)	/		
	YES (6)エラーメッセージ「戻る戸籍には筆頭者がいます。」を表示		(7)本紙へ	不受理
	NO (8)→(14)へ	/		
	NO (9)→(3)へ	/		
	(10)→(14)へ	/		
NO	(11)エラーメッセージ「戻る戸籍が除籍です。」を表示		(12)本紙へ	不受理
NO	(13)→(43)へ	/		
(14)戻る戸籍での筆頭者区分=0(構成員)である。(YES,NO)		/		
YES	(15)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫),3:元の戸籍に戻る(妻))	/		
1	(16)新筆頭者の名=夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)	/		
YES	(17)確認メッセージ **「夫は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示**		(18)本紙へ	Nのとき、不受理
NO	(19)→(32)へ	/		
3	(20)新筆頭者の名=妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)	/		
YES	(21)確認メッセージ **「妻は戻る戸籍の筆頭者ではありませんね?」を表示**		(22)本紙へ	Nのとき、不受理
NO	(23)→(32)へ	/		
NO	(24)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫),3:元の戸籍に戻る(妻))	/		
1	(25)新筆頭者の名=夫の漢字氏名の名である。(YES,NO)	/		
YES	(26)→(32)へ	/		
NO	(27)確認メッセージ **「夫は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示**		(28)本紙へ	Nのとき、不受理
3	(28-1)新筆頭者の名=妻の漢字氏名の名である。(YES,NO)	/		
YES	(29)→(32)へ	/		
NO	(30)確認メッセージ **「妻は戻る戸籍の筆頭者で間違いありませんね?」を表示**		(31)本紙へ	Nのとき、不受理

		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	23/28

処理名	3.1 復籍先の筆頭者区分･配偶者区分の審査 (2/2)			備考
(32)戸籍除区分(復籍先)=0(現戸籍)である。(YES,NO)		/		

YES	(33)戸籍DB(復籍先)に記録されている者について順次(34)～(39)の処理を繰り返す。			/		
	(34)個人除区分=0(在籍者)かつ(配偶者区分=1(夫)又は2(妻)又は3(生存配偶者)である。(YES,NO)			/		
	YES	(35)届後戸籍での配偶者区分(0:未,3:生存配偶者)		/		
		0	(36)→(33)へ	/		
		3	(37)エラーメッセージ「戻る戸籍には夫・妻又は生存配偶者が既にいます。」		(38)本紙へ	不受理
	NO	(39)→(33)へ		/		
	(40)→(43)へ			/		
NO	(41)エラーメッセージ「戻る戸籍が除籍です。」を表示				(42)本紙へ	不受理
(43)本籍=管内(YES,NO)				/		
YES	(44)戸籍変動区分(1:元の戸籍に戻る(夫),3:元の戸籍に戻る(妻))			/		
	1	(45)夫の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。		/		
		YES	(46)確認メッセージ 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する。		(47)本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れな Nのとき、不受理
		NO	(47-1)→			
	3	(48)妻の身分事項欄に性同一性障害(7003)がある。		/		
		YES	(49)確認メッセージ 「性同一性障害の記録があります。戸籍変動分は正しいですか?」を表示する。		(50)本紙へ	平成15年法律111号3条により元の戸籍には戻れな Nのとき、不受理
		NO	(50-1)→			
NO	(50-2)→					

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	24/28

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力1/5	(受取側)中間ファイル(届書)	←	(引渡側)離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		離婚届入力画面	受領No				
	選択事件コード			―				「10」を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			―				
	許可日			―				
	受理送付区分			送付日				在外送付区分=0の時、1 在外送付区分≠0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			夫の外人区分 妻の外人区分				
	同時決裁受領番号							
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)							
	ロック戸籍番号(3)							
	ロック戸籍番号(4)							
	ロック戸籍番号(5)							

夫外人区分	妻外人区分	渉外区分
0	0	0
0	1	1
1	0	1
1	1	2

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/28

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力2/5	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1=受理または2=不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							0:未1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/28

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力3/5	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	夫の個人番号							本籍人の場合、夫の個人番号
	レコード番号		離婚届入力面面(その1)	――――――				
	外人区分(夫)			夫の外人区分				
	国籍(夫)			夫の国籍				
	筆頭者区分(夫)			夫の筆頭者区分				
	カナ氏名(夫)			夫のカナ氏名				
	漢字氏名(夫)			夫の漢字氏名				
	住所コード(夫)			夫の住所				
	住所地番(夫)							
	世帯主(夫)			夫の世帯主				
	父氏名(夫)			夫の父の氏名				
	母氏名(夫)			夫の母の氏名				
	父母との続柄(夫)			夫の父母との続柄				
	生年月日(夫)			夫の生年月日				
	転婚区分(夫)			夫の転婚区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	外人区分(妻)			妻の外人区分				
	国籍(妻)			妻の国籍				
	筆頭者区分(妻)			妻の筆頭者区分				
	カナ氏名(妻)			妻のカナ氏名				
	漢字氏名(妻)			妻の漢字氏名				
	住所コード(妻)			妻の住所				
	住所地番(妻)							
	世帯主(妻)			妻の世帯主				
	父氏名(妻)			妻の父の氏名				
	母氏名(妻)			妻の母の氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/28

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力4/5	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)離婚入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	父母との続柄(妻)		離婚届入力画面(その1)	妻の父母との続柄				
	生年月日(妻)			妻の生年月日				
	転婚区分(妻)			妻の転婚区分				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	離婚の種別区分		離婚届入力画面(その2)	離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍地番							
	新筆頭者カナ氏多							
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での筆配偶者区分			届後戸籍での筆配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	外国離婚方式			離婚の方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

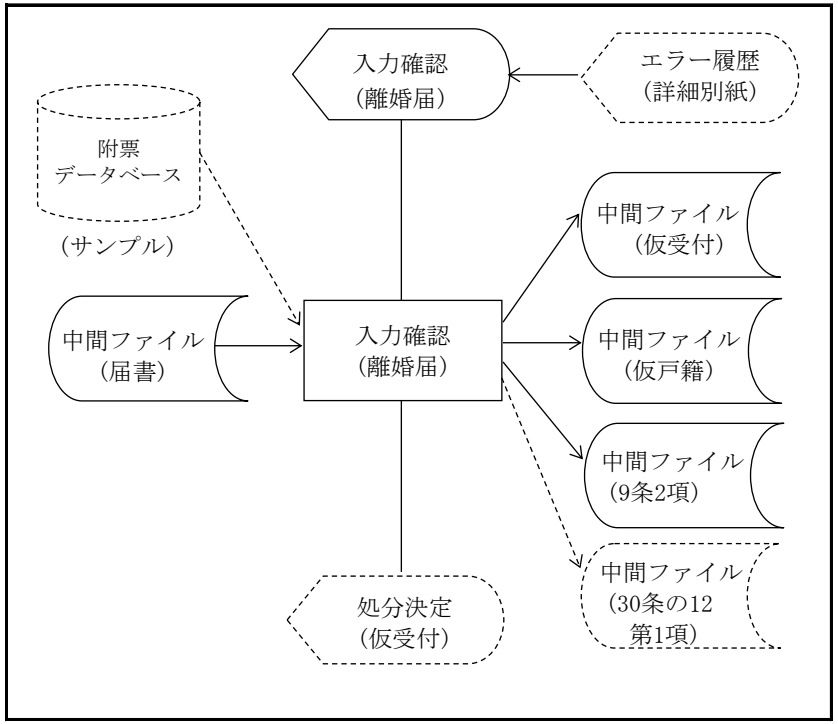
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/28

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力5/5	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)離婚入力画面

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年者項目	カナ氏名 (未成年者n)		離婚届入力画面(その3)	未成年者項目	未成年者nのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
		漢字氏名 (未成年者n)				未成年者nの漢字氏名				
		父の氏名 (未成年者n)				未成年者nの父の氏名				
		母の氏名 (未成年者n)				未成年者nの母の氏名				
		父母との続柄 (未成年者n)				未成年者nの父母との続柄				
		生年月日 (未成年者n)				未成年者nの生年月日				
		養父の氏名 (未成年者n)				未成年者nの養父の氏名				
		養母の氏名 (未成年者n)				未成年者nの養母の氏名				
		養父母との続柄 (未成年者n)				未成年者nの養父母との続柄				
		親権者区分 (未成年者n)				未成年者nの親権者区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/41

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(夫))
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
    - 4.3 身分事項(変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(妻))
    - 5.1 身分事項(除籍)
    - 5.2 身分事項(入籍)
    - 5.3 身分事項(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
    - 6.1 身分事項(変動なし)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 夫
    - 7.2 妻
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 夫
    - 妻

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/41

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届出ファイルから画面編集をおこなう
(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF11, その他)		/		
実行キー (3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]		/		
(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。 [3.0]		/		
(5)事件本人が本籍人である(YES, NO)		/		
YES (6)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
身分事項(除籍)	(7)夫の除籍事項の編集 [4.1]	/		
身分事項(入籍)	(8)夫の入籍事項の編集 [4.2]	/		
身分事項(変動なし)	(9)夫の変動なし事項の編集 [4.3]	/		
(9-1)夫は在外選挙人である(YES, NO)		/		
YES (9-2)夫について中間ﾌｧｲﾙ(30条の12第1項)を編集・出力する。 [8.1]		/		
NO (9-3)→(10)		/		
(10)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
身分事項(除籍)	(11)妻の除籍事項の編集 [5.1]	/		
身分事項(入籍)	(12)妻の入籍事項の編集 [5.2]	/		
身分事項(変動なし)	(13)妻の変動なし事項の編集 [5.3]	/		
(13-1)妻は在外選挙人である(YES, NO)		/		
YES (13-2)妻について中間ﾌｧｲﾙ(30条の12第1項)を編集・出力する。 [8.2]		/		
NO (13-3)→(14)		/		
(14)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。		/		
身分事項(変動なし)	(15)子の変動なし事項の編集 [6.1]	/		
NO (16)→(17)		/		
(17)在外送付区分=0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES, NO)		/		
YES (18)夫の外人区分=0:日本人である(YES, NO)		/		
YES (19)夫について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する。 [7.1]		/		
NO (20)→(21)		/		
(21)妻の外人区分=0:日本人である(YES, NO)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/41

処理名	0.0 本紙 2/2			備考
	YES (22)妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。 [7.2]		(23)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
	NO			
PF1	→		(24)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(25)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(26)審査に制御を渡す	
PF7	(27)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	ある (28)前ページ分の「離婚届」画面を編集		(29)同画面を編集する	
	なし (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
	ある (32)次ページ分の「離婚届」画面を編集		(33)同画面を編集する	
	なし (34)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→		(35)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(36)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(37)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/41

処理名	1.0確認画面(離婚届)表示　1/4	(受取側)離婚届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚届確認画面(その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分(夫)				
	夫の国籍			国籍(夫)				
	夫の筆頭者区分			筆頭者区分(夫)				
	夫のカナ氏名			カナ氏名(夫)				
	夫の漢字氏名			漢字氏名(夫)				
	夫の住所			住所コード(夫)				
				住所地番(夫)				
	夫の世帯主			世帯主(夫)				
	夫の父の氏名			父氏名(夫)				
	夫の母の氏名			母氏名(夫)				
	夫の父母との続柄			父母との続柄(夫)				
	夫の生年月日			生年月日(夫)				
	夫の転婚区分			転婚区分(夫)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/41

処理名	1.0確認画面(離婚届)表示　2/4	(受取側)離婚届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚届確認画面(その1)	妻の外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分(妻)				
	妻の国籍			国籍(妻)				
	妻の筆頭者区分			筆頭者区分(妻)				
	妻のカナ氏名			カナ氏名(妻)				
	妻の漢字氏名			漢字氏名(妻)				
	妻の住所			住所コード(妻)				
				住所地番(妻)				
	妻の世帯主			世帯主(妻)				
	妻の父の氏名			父の氏名(妻)				
	妻の母の氏名			母の氏名(妻)				
	妻の父母との続柄			父母との続柄(妻)				
	妻の生年月日			生年月日(妻)				
	妻の転婚区分			転婚区分(妻)				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
離婚届確認画面(その2)	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	戻る戸籍での筆頭者区分			戻る戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	称する氏			称する氏				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/41

処理名	1.0確認画面(離婚届)表示　3/4	(受取側)離婚届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚届確認画面(その2)	離婚の方式		中間ファイル(届書) 事件別内容	外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年者の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/41

処理名	1.0確認画面(離婚届)表示　4/4	(受取側)離婚届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
離婚届確認画面(その3)	未成年者項目n件	未成年者nのカナ氏名			未成年者項目n件	カナ氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの漢字氏名				漢字氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの父の氏名				父の氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの母の氏名				母の氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの父母との続柄				父母との続柄 (未成年者n)				
		未成年者nの生年月日				生年月日 (未成年者n)				
		未成年者nの養父の氏名				養父の氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの養母の氏名				養母の氏名 (未成年者n)				
		未成年者nの養父母との続柄				養父母との続柄 (未成年者n)				
		未成年者nの親権者区分				親権者区分 (未成年者n)				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/41

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表　1/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人			日本人						もとの戸籍へ		新戸籍								
			構成			構成																
	管内	管外	筆頭者	構成員	外国人	筆頭者	構成員	外国人	夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無		一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
1	○		○				○			○		○					○		妻(5.1)	夫(4.3)	妻(5.2)	
2	○		○				○			○			○				○		妻(5.1)	夫(4.3)		
3	○		○				○			○				○			○		妻(5.1)	夫(4.3)		妻(5.2)
4	○		○				○			○					○		○		妻(5.1)	夫(4.3)		
5	○		○					○			○	－	－	－	－		○			夫(4.3)		
6	○			○		○			○			○					○		夫(4.1)	妻(5.3)	夫(4.2)	
7	○			○		○			○				○				○		夫(4.1)	妻(5.3)		
8	○			○		○			○					○			○		夫(4.1)	妻(5.3)		夫(4.2)
9	○			○		○			○						○		○		夫(4.1)	妻(5.3)		
10	○				○	○					○	－	－	－	－		○			妻(5.3)		
11	－	－			○			○			○	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－
12		○	○				○			○		○					○				妻(5.2)	
13		○	○				○			○			○				○		－	－	－	－
14		○	○				○			○				○			○					妻(5.2)
15		○	○				○			○					○		○		－	－	－	－
16		○	○					○			○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
17		○		○		○			○			○					○				夫(4.2)	
18		○		○		○			○				○				○		－	－	－	－
19		○		○		○			○					○			○					夫(4.2)
20		○		○		○			○						○		○		－	－	－	－
21		○			○	○					○	－	－	－	－		○		－	－	－	－
22	○		○				○			○		○				○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)	妻(5.2)	

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	9/41

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 2/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人			日本人						もとの戸籍へ		新戸籍					一部除籍 C.2	変動なし	一部記載 C.1 D.1	
	管内	管外	構成 筆頭者	構成 構成員	外国人	構成 筆頭者	構成 構成員	外国人	夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無					
23	○		○				○			○			○			○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
24	○		○				○			○				○		○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		妻(5.2)
25	○		○				○			○					○	○			妻(5.1)	夫(4.3) 子(6.1)		
26	○		○					○			○	－	－	－	－	○				夫(4.3) 子(6.1)		
27	○			○		○			○			○				○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)	夫(4.2)	
28	○			○		○			○				○			○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
29	○			○		○			○					○		○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		夫(4.2)
30	○			○		○			○						○	○			夫(4.1)	妻(5.3) 子(6.1)		
31	○				○	○					○	－	－	－	－	○				妻(5.3) 子(6.1)		
32		○	○				○			○		○				○					妻(5.2)	
33		○	○				○			○			○			○			－	－	－	－
34		○	○				○			○				○		○						妻(5.2)
35		○	○				○			○					○	○			－	－	－	－
36		○	○					○			○	－	－	－	－	○			－	－	－	－

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/41

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表　3/3

項番	現在の夫婦の戸籍		夫			妻			婚前に戻る者			戻る者の本籍				親権指定有無			夫婦の戸籍		もとの戸籍	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
			日本人			日本人						もとの戸籍へ		新戸籍							
			構成			構成															
	管内	管外	筆頭者	構成員	外国人	筆頭者	構成員	外国人	夫	妻	変動なし	管内	管外	管内	管外	有	無		一部除籍 C.2	変動なし C.2	一部記載 C.1 D.1	
37		○		○		○			○			○				○					夫(4.2)	
38		○		○		○			○				○			○			－	－	－	－
39		○		○		○			○					○		○						夫(4.2)
40		○		○		○			○						○	○			－	－	－	－
41		○			○	○					○	－	－	－	－	○			－	－	－	－

ひな型使用時の補足説明

(1)C1:個人特定(入籍)編集

・戸籍変動区分 ＝ 1 OR 3(元の戸籍に戻る)の場合、戻る戸籍での筆頭者区分　→　筆頭者区分
　　届後戸籍での配偶者区分　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する

・戸籍変動区分 ＝ 2 OR 4(新戸籍編製)の場合、　1(筆頭者)　→　筆頭者区分
　　0(未)　→　配偶者区分　をそれぞれ設定する

(2)C2:個人特定(記録)編集

・夫および妻の配偶者区分は 0(未)を設定する
（元の戸籍に戻る場合や新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること）

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	11/41

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付)共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――				離婚の種別=1の時は、「1001」 離婚の種別=2の時は、「1002」 上記以外は、「1003」
	受付日			受領日または送付日				送付日≠スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立・確定日				届出区分=2の場合、移送
	事件発生時分			――――――				
	事件発生日時			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――		離婚の方式≠スペースの時、1(証書提出)、以外は0(届出)		
	発送日			――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	関連受領番号			――――――				受領番号+1(77条の2届の受領番号)
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別=1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2				
	届出人氏名1			夫の氏名	(2)離婚の種別≠1(協議)の場合 届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

申立人区分	届出人資格1 or 2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	妻の氏名

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/41

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力　2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付)共通	届後本籍区分		中間ファイル(届書)			戸籍変動区分 ＝ 1,3のとき「1」,2,4のとき「2」,その他はスペース		
	届後本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=1,2,3,4の場合に設定する。 上記以外はスペース。
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1			――――――				届後本籍が非本　かつ　在外送付区分=1(受理分)の場合　1(未到着)を設定。 上記以外は,0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――				本非区分=1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	13/41

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(夫)
	届出人区分			離婚の種別=1の場合、 夫及び妻の場合は1を設定 但し、離婚の成立確定日≠0の場合、 夫、妻が外国人であれば、0を設定		離婚の種別≠1で夫の場合、 届出人資格1または2=006(夫)のとき1を設定。 それ以外は0を設定。 妻の場合、 届出人資格1または2=007(妻)のとき1を設定。 それ以外は0を設定。		
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫または妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	送達確認2							事件本人の現戸籍が(本非区分=2)かつ(在外送付区分=0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

※事件本人情報の出力順位は、氏を改めない者を先に出力する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	14/41

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項 夫	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	15/41

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	戸籍従前 本籍			――――――				
		筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分=2のときのみ
		称する氏			称する氏				
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名(氏のみ)				戸籍変動区分=2かつ夫の転婚区分=1の場合のみ
		戸入籍 本籍			新本籍				戸籍変動区分=1のときのみ
		筆頭者			新筆頭者				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	16/41

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格							離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称			――――――				
		証書提出日			受領日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	17/41

処理名	4.2 身分事項(入籍)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			処理日					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍					
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者					
	除籍	除籍日			――――――					
	除戸籍	新本籍			――――――					
		称する氏			――――――					
		離婚後の氏			――――――					
		入戸籍 本籍			――――――					
		入戸籍 筆頭者			――――――					
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項							妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	19/41

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのと		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	20/41

処理名	4.3 身分事項(変動なし)の編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			――――――					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――					
		従前戸籍 筆頭者			――――――					
	除籍	除籍日			――――――					
	除戸籍	新本籍			――――――					
		称する氏			――――――					
		離婚後の氏			――――――					
		戸入籍籍 本籍			――――――					
		戸入籍籍 筆頭者			――――――					
	記録	記録日			処理日					
	特記	特記事項			――――――				妻証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	22/41

処理名	5.1身分事項(除籍)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=006の場合、「夫」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースのときのみ		
		証書提出者 資格資格名称			――――――		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	23/41

処理名	5.1身分事項(除籍)の編集・出力　2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			――――――					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――					
		従前戸籍 筆頭者			――――――					
	除籍	除籍日			処理日					
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分=4のときのみ	
		称する氏			称する氏					
		離婚後の氏			新筆頭者の氏名 (氏のみ)				戸籍変動区分=4かつ夫の転婚区分=1の場合のみ	
		入戸籍 本籍			新本籍				戸籍変動区分=3のときのみ	
		入戸籍 筆頭者			新筆頭者					
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項			――――――				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	25/41

処理名	5.2身分事項(入籍)の編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=006の場合、「夫」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースのときのみ		
		証書提出者 資格資格名称			――――――		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	26/41

処理名	5.2身分事項(入籍)の編集・出力　2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			処理日					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍					
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者					
	除籍	除籍日			――――――					
	除戸籍	新本籍			――――――					
		称する氏			――――――					
		離婚後の氏			――――――					
		入戸籍 本籍			――――――					
		入戸籍 筆頭者			――――――					
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項			――――――				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	28/41

処理名	5.3 身分事項(変動なし)の編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式=スペースの時、受領日　離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別=6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1のときのみ
		届出人	資格		――――――				離婚の種別≠1かつ届出人資格1or2=006の場合、「夫」を設定
			資格名称						
		証書提出日			受領日		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースのときのみ		
		証書提出者	資格		――――――		離婚の種別=1(協議)かつ離婚の方式≠スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
			資格名称						

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	29/41

処理名	5.3身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考	
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル(届書)	送付日				送付日≠スペースのときのみ	R2.1(誤修正) [送付]～[許可]の空欄行を削除
		受理者			発送元					
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			――――――					
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――					
		従前戸籍 筆頭者			――――――					
	除籍	除籍日			――――――					
	除戸籍	新本籍			――――――					
		称する氏			――――――					
		離婚後の氏			――――――					
		入戸籍 本籍			――――――					
		入戸籍 筆頭者			――――――					
	記録	記録日			処理日					
	特記	特記事項			――――――				夫証書提出 上記内容は審査結果入力で設定	

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	31/41

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集･出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	個人番号(子n)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1301」を移送
	記録コード				――――――				「1301」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別=1(協議)かつ 離婚の方式=ｽﾍﾟｰｽの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	親権	親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別=1(協議) かつ 離婚の方式=スペースの場合、受領日 離婚の種別=1(協議) かつ 離婚の方式≠スペースの場合、 離婚の成立日･確定日 上記以外は、未設定
		親権者を定められた日			離婚の成立日･確定日				離婚種別≠1(協議以外)の場合、離婚の成立日･確定日を設定 上記以外は、未設定
		親権者となった日～親権停止の審判取消しの裁判確定日 は省略							
		親権者 資格			――――――				未成年者nの親権者指定区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」を設定
		親権者 資格名称							
		親権者 氏名			未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名				未成年者nの親権者指定区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペースを設定
	親権喪失～親権停止取消 は省略								
	届出	届出日			受領日				離婚の種別≠1(協議以外)のときのみ
		届出人1 資格			――――――				離婚の種別=1(協議)の場合次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合スペースを設定
		届出人1 資格名称							
		届出人1 氏名			――――――				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	32/41

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集･出力 1-1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項		届出人2 資格		中間ファイル(届書)	――――――				離婚の種別=1(協議)の場合次頁の編集条件を参照 離婚の種別≠1(協議以外)の場合スペースを設定
		届出人2 資格名称			――――――				
		届出人2 氏名			――――――				
		記録嘱託日			――――――				
	送付	送付を受けた日			――――――				
		受理者			――――――				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	従前の記録	従前の記録			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

処理名	補足説明(親権事項の届出人の資格編集条件)

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する。

親権者指定区分	養父母欄の条件*1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母=スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
2 (母)	養父=スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
3 (養父)	養母=スペース?	YES	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n
4 (養母)	養父=スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n

*1:未成年者の子側の養父母欄を示す

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	34/41

処理名	7.1 夫　編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(夫)	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(9条2項)夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日or送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名又は新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分=1,2の時 新筆頭者の氏+夫の名戸籍変動区分≠1,2の時夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄ｺｰﾄﾞ				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄ｺｰﾄﾞ				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=1,2の時　新本籍 戸籍変動区分≠1,2の時　本籍
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分=1,2の時　新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分=1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	35/41

処理名	7.1 夫　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(夫)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)(夫)	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	36/41

処理名	7.2 妻　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(妻)	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)妻	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							10(離婚届)
	受理日			受領日or送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分=3,4の時　新筆頭者の氏 + 妻の名 戸籍変動区分≠3,4の時妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄ｺｰﾄﾞ				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄ｺｰﾄﾞ				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=3,4の時　新本籍 戸籍変動区分≠3,4の時　本籍
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				戸籍変動区分=3,4の時　新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分=1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/41

処理名	7.2 妻　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/(妻)	←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)(妻)	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	38/41

処理名	8.1 夫　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/夫	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)夫	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+夫の名				戸籍変動区分=1,2の時 新筆頭者の氏+夫の名 戸籍変動区分≠1,2の時 夫の漢字氏名
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=1,2の時　新本籍 戸籍変動区分≠1,2の時　本籍
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				戸籍変動区分=1,2の時　新筆頭者 上記以外の時　夫の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分=1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	39/41

処理名	8.1 夫　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/夫	←	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)夫	住所コード		中間ファイル(届書)					
	住所							
	方書							
	転入届出日							
	住民日							
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	40/41

処理名	8.2妻　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/妻　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)妻	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					10(離婚)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名　又は 新筆頭者の氏+妻の名				戸籍変動区分=3,4の時 新筆頭者の氏+妻の名 戸籍変動区分≠3,4の時 妻の漢字氏名
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分=3,4の時　新本籍 戸籍変動区分≠3,4の時　本籍
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				戸籍変動区分=3,4の時　新筆頭者 上記以外の時　妻の漢字氏名
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分=1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	41/41

処理名	8.2妻　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/妻　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項)妻	住所コード		中間ファイル(届書)					
	住所							
	方書							
	転入届出日							
	住民日							
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7.2.(5)「異動」処理

10.77条の2届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		77条の2届	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	1/1

1.77条の2届処理範囲外の処理
(1)離婚の届出と同時に77条の2の届出をした場合
(2)非本籍地から本籍地における配偶者の随従入籍を伴う場合
(3)構成員の父母(養父母)欄更正処理

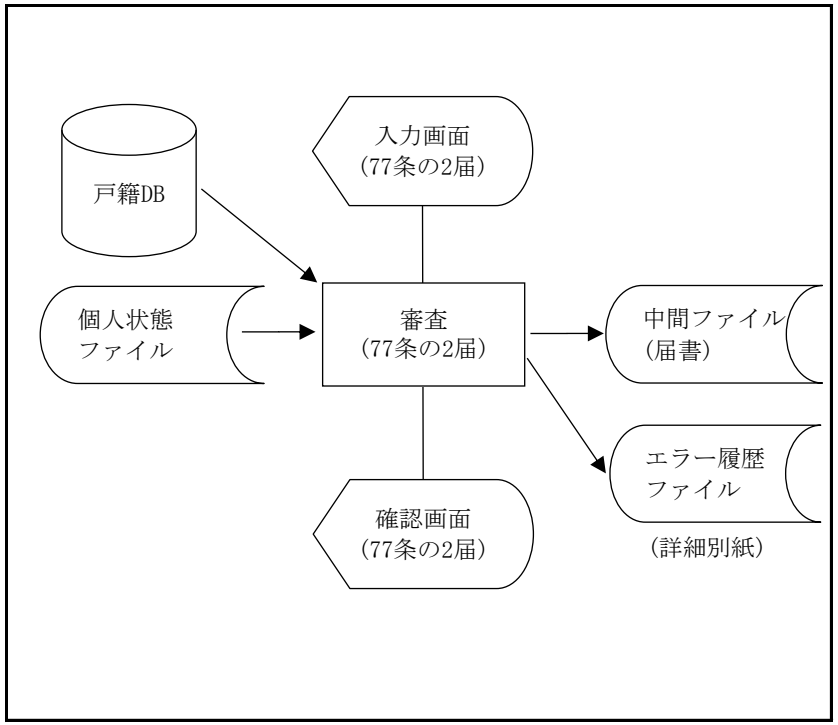
上記(1)～(3)は、別に処理方法を考慮する。

2.77条の2届入力画面の意義
(1)婚氏続称当事者の各項目を入力する。

3.その他
(1)配偶者の随従入籍を伴う場合は配偶者の9条2項ファイルに住所及び世帯主は設定されない。
9条2項通知は運用で対処する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)77条の2届の内容を画面入力する。
(2)77条の2届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)77条の2届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)77条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(77条の2届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出有効期間について
　離婚年月日 + 3箇月が閉庁日の場合は、翌開庁日として判定

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0　本紙(77条の2届)						備考
(1)届書内容を画面入力する					/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)					/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) 〔1.0〕				/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕			/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) 〔3.0〕		/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力 〔4.0〕		(7)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
				審査ｴﾗｰ (10)エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する					(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する						
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック	77条の2届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	現カナ氏名	○	カナ				
11	現漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
14	配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
15	同籍者区分	○	数字	(0:無,1:配偶者のみ,2:配偶者 + 他構成員,3:他構成員のみ)であること			
16	離婚年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	住所		漢字				
18	世帯主		漢字				
19	本籍	○	漢字				
20	筆頭者	○	漢字				
21	変更後のカナ氏	○	カナ				
22	変更後の漢字氏	○	漢字				
23	変更後の本籍		漢字				
24	変更後の筆頭者		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	4/10

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック	77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-1	(No.3)受領日 ≧ (No.16)離婚年月日であること			
10-2	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、 (No.19)本籍 ＝ 管内または(No.23)変更後の本籍 ＝ 管内　であること			
10-3	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)のとき、 (No.19)本籍 ＝ 管外かつ(No.23)変更後の本籍 ＝ 管外　であること			
11	(No.23)変更後の本籍 ＝ スペースの時、(No.24)変更後の筆頭者 ＝ スペースであること			
12	(No.23)変更後の本籍 ≠ スペースの時、(No.24)変更後の筆頭者 ≠ スペースであること			
13	(No.14)配偶者区分 ＝ 1または2の時、(No.15)同籍者区分 ＝ 1または2であること			
14	(No.18)世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)住所 ≠ スペースであること			
14-1	(No.17)住所 ＝ スペースの時、(No.18)世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.24)変更後の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.22)変更後の氏 ＝ (No.24)変更後の筆頭者の「氏」であること			
16	(No.24)変更後の筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.11)現漢字氏名の「名」 ＝ (No.24)変更後の筆頭者の「名」であること			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	5/10

処理名	3.0 審査 (1/3)			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」(YES,NO)			
	YES	(0-3)→(0-7)へ		R2.1(婚氏34)
	NO	(0-4)→	(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			R2.1(婚氏34)
(0-7)現漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(婚氏34)
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO)		(0-9)本紙へ	R2.1(婚氏34)
	「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示			R2.1(婚氏34)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示	(0-12)本紙へ	R2.1(婚氏34)
	NO	(0-11)→		画面項目修正(審査完了しない) R2.1(婚氏
NO	(0-13)→(1)へ	/		R2.1(婚氏34)
(1)(離婚年月日 + 1日) + 3箇月 ＞ 受領日である(YES,NO)		/		民767Ⅱ,民140～143
YES	(2)現在の氏 ≠ 変更後の氏である(YES,NO)	/		
	YES	(3)筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/	(3-1)～(3-7)は削除
		0 (3-1)	/	
		(3-2)	/	
		(3-3)		
		(3-4)		
		(3-5)	(3-7)	
		(3-6)		
		(4)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/	
		YES (5)→	(6)本紙へ	
		NO (7)エラーメッセージ 「変更後の本籍を入力してください。」を表示		
		1 (8)事件本人の本籍は管内である(YES,NO)	/	(8-1)～(8-6)は削除
		YES (8-1)	/	
		(8-2)		

						(8-3)			
						(8-4)		(8-6)	
					(8-5)				
				(9)同籍者区分(0:無,1:配偶者のみ,2:配偶者 + 他構成員,3:他構成員のみ)			/		※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 ＝ 0のみ)
				1	(10)配偶者-個人除区分(0:在籍者,その他)		/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月31日	11	6/10

処理名		3.0 審査 (2/3)							備考
YES	YES	1	YES	1	0	(11)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (12) →		(13)本紙へ	
						NO (14)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
YES	YES	1	YES	1	その他	(15)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (16)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(17)本紙へ	
						NO (18) →			
				2	(19)配偶者-個人除区分(0:在籍者,その他)		/		
					0	(20)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (21) →		(22)本紙へ	
						NO (23)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
					その他	(24)構成員-個人除区分(0:在籍者,その他)	/		
						0 (25)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (26) →		(27)本紙へ	
						NO (28)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
						その他 (29)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (30)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(31)本紙へ	
						NO (32) →			
				3	(33)構成員-個人除区分(0:在籍者,その他)		/		
					0	(34)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (35) →		(36)本紙へ	
						NO (37)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
					その他	(38)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)	/		
						YES (39)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示		(40)本紙へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月31日	11	7/10

処理名		3.0 審査 (3/3)							備考
YES	YES	1	YES	3		NO	(41)→		
				0	(42)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)			/	
YES	YES	1	YES	0	YES	(43)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示			(44)本紙へ
					NO	(45) →			
			NO	(46)同籍者区分(0:無,1:配偶者のみ,2:配偶者 + 他構成員,3:他構成員のみ)				/	※同籍者区分「他構成員」に除籍筆頭者は含まない。(筆頭者区分 = 0のみ)
				0	(47)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)			/	
					YES	(48)エラーメッセージ「新しい本籍は作れません。」を表示			(49)本紙へ
					NO	(50) →			
				1,2	(50-1)変更後の本籍 ≠ スペース かつ 変更後の本籍＝管内 (YES,NO)			/	
					YES	(51)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(51-1)本紙へ
					NO	(51-2) →			
				3	(52)変更後の本籍に記録がある(YES,NO)			/	
					YES	(53) →			(54)本紙へ
					NO	(55)エラーメッセージ「変更後の本籍を入力してください。」を表示			
	NO	(56)エラーメッセージ「変更後の氏に誤りがあります。再入力して下さい。」を表示							(57)本紙へ
NO	エラーメッセージ「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(77条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		77条の2届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――				「11」をセット
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――				1(創設)
	渉外区分			――――――				0:日本人
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の時、婚氏続称者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)			――――――				
	ロック戸籍番号(3)			――――――				
	ロック戸籍番号(4)			――――――				
	ロック戸籍番号(5)			――――――				
	事件別内容			――――――				3/3参照

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 77条の2届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	不受理申出処分区分		77条の2届 入力画面	――――――――				
	処分区分			――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分			――――――――				ZERO
	届書排他区分			――――――――				0:未　1:排他

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

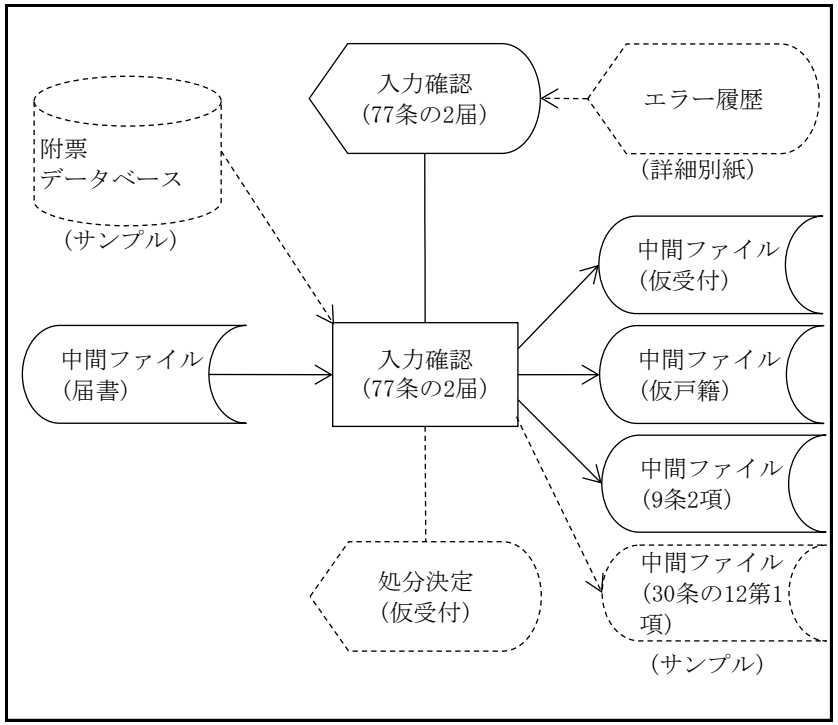
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(77条の2届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	婚氏続称者個人番号							本籍人の時、個人番号を設定
	カナ氏名(現)		77条の2届入力画面	現カナ氏名				
	漢字氏名(現)			現漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所コード			住所				
	住所地番							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏(変更後)			変更後の氏(カナ)				
	漢字氏(変更後)			変更後の氏(漢字)				
	本籍コード(変更後)			変更後の本籍				
	本籍地番(変更後)							
	筆頭者カナ氏名(変更後)							氏名変換等の入力画面から引用する
	筆頭者(変更後)			変更後の筆頭者				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/21

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の12第1項)	出力 (サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)より画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(婚氏続称者))
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
    - 4.3 身分事項(変動なし)
    - 4.4 戸籍事項(77条の2)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(配偶者))
    - 5.1 身分事項(除籍)
    - 5.2 身分事項(入籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 9条2項(婚氏続称者)
    - 6.2 9条2項(配偶者)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 7.1 婚氏続称者

5.備考(特記事項含む)

戸籍事項(77条の2)[4.4]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	2/21

処理名	0.0 本紙 1/2					備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕					/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)					/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕				/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕				/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)				/	
	YES	(6)事件本人の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/	
		身分事項(除籍)	(7)事件本人の除籍事項の編集 〔4.1〕			
		身分事項(入籍)	(8)事件本人の入籍事項の編集 〔4.2〕			
		身分事項(変動なし)	(9)事件本人の変動なし事項の編集 〔4.3〕			
		戸籍事項(77条の2)	(10)事件本人の戸籍事項の編集 〔4.4〕			
		(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			/	※サンプル提示
		YES	(10-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔7.1〕		/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)
		NO	(10-3)→(11)			
		(11)配偶者の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する			/	
		身分事項(除籍)	(12)配偶者の除籍事項の編集 〔5.1〕			
		身分事項(入籍)	(13)配偶者の入籍事項の編集 〔5.2〕			
	NO	(14)→(15)				
	(15)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)					
	YES	(16)同籍者区分(0:無,3:他構成員のみ,1:配偶者のみ,2:配偶者＋他構成員)			/	
		0 or 3	(17)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.1〕	(18)処分決定に制御を渡す		
		1 or 2	(19)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.1〕			
			(20)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.2〕			
	NO	→				
PF1	→			(21)業務選択に制御を渡す		
PF2	→			(22)届出選択に制御を渡す		
PF5	→			(23)審査に制御を渡す		
PF11	→			(24)エラー履歴表示に制御を渡す		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	3/21

処理名	0.0 本紙 2/2			備考
その他	(25)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(26)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/21

処理名	1.0 確認画面(77条の2届)表示　1/2	(受取側) 77条の2届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
77条の2届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所番号		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	現カナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名(現)				
	現漢字氏名			漢字氏名(現)				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分コード			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称					有		
	配偶者区分コード			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	同籍者区分コード			同籍者区分				
	同籍者区分					有		
	離婚年月日			離婚年月日				
	住所			住所コード		有		
				住所地番				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/21

処理名	1.0 確認画面(77条の2届)表示　2/2	(受取側) 77条の2届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
77条の2届 確認画面	筆頭者		中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者				
	変更後のカナ氏			カナ氏(変更後)				
	変更後の漢字氏			漢字氏(変更後)				
	変更後本籍			本籍コード(変更後)		有		
				本籍地番(変更後)				
	変更後の筆頭者			筆頭者(変更後)				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/21

処理名　2.0 戸籍マトリックス表　1/2

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新戸籍編製　A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍　C.2	全部除籍　A.2 B.2 C.2	変動なし　A.2 4.4 D.2	
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無	配偶者			他構成員			管内	管外				
						有り	個人除区分		有り	個人除区分							
							在籍者	除籍者		在籍者	除籍者						
1	○		○		○											婚氏続称者(4.3)	
2	○		○			○	○					○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
3	○		○			○		○								婚氏続称者(4.3)	
4	○		○			○	○						○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
5	○		○			○	○		○	○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
6	○		○			○		○	○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
7	○		○			○	○		○		○	○			婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		婚氏続称者(4.2) 配偶者　(5.2)
8	○		○			○		○	○		○					婚氏続称者(4.3)	
9	○		○			○	○		○	○			○	婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)			
10	○		○			○		○	○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
11	○		○			○	○		○		○		○		婚氏続称者(4.1) 配偶者　(5.1)		
12	○		○						○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
13	○		○						○		○					婚氏続称者(4.3)	
14	○		○						○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
15	○			○	○							○			婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)
16	○			○	○								○		婚氏続称者(4.1)		

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	7/21

処理名　2.0 戸籍マトリックス表　2/2

項番	条件													戸籍の変動			
	婚氏続称者													婚氏続称者の戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 4.4 C.1 D.1
	本籍		構成		同籍者区分							新戸籍編製		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.4 D.2	
	本籍人	非本籍人	筆頭者	構成員	無	配偶者			他構成員			管内	管外				
						有り	個人除区分		有り	個人除区分							
							在籍者	除籍者		在籍者	除籍者						
17	○			○					○	○		○		婚氏続称者(4.1)			婚氏続称者(4.2)
18	○			○					○		○	○			婚氏続称者(4.1)		婚氏続称者(4.2)
19	○			○					○	○			○	婚氏続称者(4.1)			
20	○			○					○		○		○		婚氏続称者(4.1)		
21		○	○		○							○					婚氏続称者(4.2)
22		○	○			○						○					*審査結果入力
23		○	○			○							○				
24		○	○						○			○					婚氏続称者(4.2)
25		○	○						○				○				
26		○	○			○			○			○					*審査結果入力
27		○	○			○			○				○				
28		○		○	○							○					婚氏続称者(4.2)
29		○		○	○								○				
30		○		○					○			○					婚氏続称者(4.2)
31		○		○					○				○				

(注)新戸籍編製の場合.B.1は4.4編集後作成する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領審号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				「1101」を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペースのとき 送付日 上記以外のとき 受領日
	事件発生日							
	事件発生時分			――――――――				ZEROを移送
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				移送データなし
	収日			――――――――				移送データなし
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				
	届出人資格区分1			――――――――				本人なので移送しない
	届出人資格名称1			――――――――				
	届出人氏名1			――――――――				
	届出人資格区分2			――――――――				
	届出人資格名称2			――――――――				
	届出人氏名2			――――――――				
	届後本籍区分			――――――――				届後本籍 ≠ スペースの時、2を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	本籍コード(変更後)				
	届後本籍			本籍(変更後)				
	届後戸籍の筆頭者			筆頭者(変更後)				
	送達確認1			――――――――				届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	10/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				「14」を移送
	届出人区分			――――――――				「1」を移送
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――――				婚氏続称者の現本籍が、(本非区分 ＝ 2) かつ (在外送付区分 ＝ 0) の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/21

処理名	4.1 婚氏続称者の身分事項(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(婚氏続称者)				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――――				「1101」を移送
	記録コード			――――――				「1101」を移送
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
	送付 受理者			送付元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入籍 入籍日			――――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――――――				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			本籍地番(変更後)				
	除戸籍 称する氏			漢字氏名(変更後)				氏のみ移送
	記録 記録日			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/21

処理名	4.2 婚氏続称者の身分事項(入籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(婚氏続称者)				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――――				「1101」を移送
	記録コード			――――――				「1101」を移送
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
	送付 受理者			送付元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従戸前籍 本籍			本籍(現)				
	入戸籍 従戸前籍 筆頭者			筆頭者(現)				
	除籍 除籍日			――――――				
	除戸籍 新本籍			――――――				
	除戸籍 称する氏			――――――				
	記録 記録日			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/21

処理名	4.3 婚氏続称者の身分事項(変動なし)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(婚氏続称者)				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――――				「1101」を移送
	記録コード			――――――				「1101」を移送
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目あれば移送
	送付 受理者			送付元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入籍 入籍日			――――――				
	入戸籍 従戸前籍 本籍			――――――				
	入戸籍 従戸前籍 筆頭者			――――――				
	除籍 除籍日			――――――				
	除戸籍 新本籍			――――――				
	除戸籍 称する氏			――――――				
	記録 記録日			処理日				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月1日	6	14/21

処理名	4.4戸籍事項(77条の2)編集･出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)					
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				「0」を設定
	タイトルコード			――――――――				「1101」を設定
	記録コード			――――――――				「1101」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	従前の記録							戸籍の変動無しの場合のみ、氏を移送
	氏			現漢字氏名				
	記録 記録日			――――――――				
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	15/21

処理名	5.1 配偶者の身分事項(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(配偶者)				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――――――				「1102」を移送
	記録コード			――――――――				「1102」を移送
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			――――――――				
	入籍 入籍事由			――――――――				
	除籍 除籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外は、受領日を移送
	除籍 除籍事由			――――――――				配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入戸籍 従前籍 本籍			――――――――				
	入戸籍 従前籍 筆頭者			――――――――				
	除戸籍 新本籍			本籍(変更後)				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	16/21

処理名	5.2 配偶者の身分事項(入籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(配偶者)				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード			――――――――				「1102」を移送
	記録コード			――――――――				「1102」を移送
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			処理日、送付日、受領日				処理日 ≠ スペースのとき、処理日 送付日 ≠ スペースのとき、送付日 上記以外のとき、受領日を移送
	入籍 入籍事由			――――――――				配偶者区分が 1の場合、「夫の戸籍法77条の2の届出」 2の場合、「妻の戸籍法77条の2の届出」
	除籍 除籍日			――――――――				
	除籍 除籍事由			――――――――				
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入戸籍 従前籍 本籍			本籍				
	入戸籍 従前籍 筆頭者			漢字氏名(現)				
	除戸籍 新本籍			――――――――				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	17/21

処理名	6.1婚氏続称者 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/婚氏続称者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 婚氏続称者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				11
	受理日			受領日OR送付日				送付日がない場合、受領日を設定
	個人番号			――――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏(変更後) + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名(現)				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍地番(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏(変更後) + 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――――				
	住民日			――――――――				
	世帯主			世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/21

処理名	6.1 婚氏続称者 編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/婚氏続称者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 婚氏続称者	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)	――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	19/21

処理名	6.2配偶者　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				11
	受理日			受領日OR送付日				送付日がない場合、受領日を設定
	個人番号		戸籍DB	配偶者個人番号				本籍人の場合のみ該当項目を戸籍DBから引用して設定する
	新氏名			漢字氏(変更後) + 配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			配偶者漢字氏名				
	新生年月日			配偶者生年月日				
	旧生年月日			配偶者生年月日				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード		中間ファイル (届書)	本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍地番(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍地番				
	新筆頭者			漢字氏(変更後) + 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			――――――――				
	住所			――――――――				
	方書							
	住定日			――――――――				
	住民日			――――――――				
	世帯主			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/21

処理名	6.2 配偶者　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 配偶者	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)	――――――――				

第72(5)	データ編集表(サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(77条の2届)	システム化調査研究会	平成11年 3月 1日	平成31年 3月31日	22	21/21

処理名	7.1婚氏続称者　編集･出力　1/1	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/婚氏続称者　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(30条12第1項) 婚氏続称者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					11(77条の2)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名			漢字氏(変更後) + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			――――――――				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別			――――――――				
	旧性別							
	新本籍コード			本籍コード(変更後)				
	新本籍			本籍(変更後)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			漢字氏(変更後) + 漢字氏名の名				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日			――――――――				
	(注意)婚氏続称者の配偶者については、「在外選挙人異動者リスト作成処理」にて別途対応する。							

第7.2.(5)「異動」処理

11.離婚同時77条の2届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		離婚同時77条の2届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/1

1.離婚同時77条の2業務処理範囲外の処理

(1)改正国籍法施行中(昭和60年1月1日より前)外国人と結婚しかつ親の戸籍に在籍する者の離婚届。

(2)離婚事件本人と同一戸籍でない未成年の親権指定処理。

(3)離婚届を届出た時、既に当事者の一方又は双方が死亡していた場合の離婚届。

(4)外国の方式で離婚したときに来成年者の親権が外国法で共同親権となる場合

(5)転婚者が、離婚同時77条の2届を届出た場合。

(6)事件本人の成年後見人から届出がされた場合。

(7)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合。

上記(1)～(4)、(6)～(7)は、審査結果入力で処理を行う。
上記(5)は、離婚届と77条の2届をそれぞれ別処理を行う。

2.離婚同時77条の2届入力画面の意義

(1)その1画面.離婚をする当事者(夫及び妻)の現在の状況の各項目を入力する。

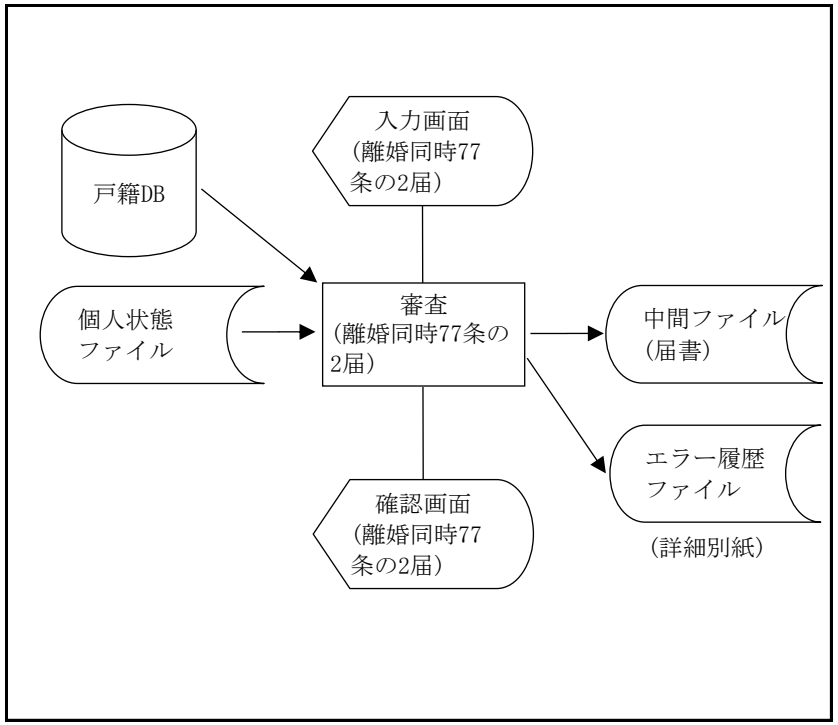
(2)その2画面.離婚種別及び婚前に戻る者等の各項目を入力する。

(3)その3画面.離婚後、未成年者の親権指定の各項目を入力する。

3.その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/21

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)離婚同時77条の2届の内容を画面入力する。
(2)離婚同時77条の2届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)離婚同時77条の2届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査(協議離婚、裁判離婚)を行う。
(5)離婚同時77条の2届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(離婚同時77条の2届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
　･協議離婚時:受領日
　･裁判離婚時:離婚の成立日･確定日　を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/21

処理名	0.0　本紙　1/1						備考
(1)届書内容を画面入力する						/	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8. PF10,PF11,PF12,その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕					/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕				/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕			/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)の編集出力〔4.0〕			(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。		
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す。
PF7	(16)前ページがあるか(ある,なし)					/	
	ある	(17)前ページ「離婚同時77条の2届」画面編集					(18)同画面を編集する
	なし	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(20)次ページがあるか(ある,なし)					/	
	ある	(21)次ページ「離婚同時77条の2届」画面編集					(22)同画面を編集する
	なし	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する						入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する。						審査エラー発生時のみ有効
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　1/4	離婚同時77条の2届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国外からの送付、2:在外公館の直接送付 3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本･非本	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態	○	数字	(0:不要,1:要)であること			
10	報告	○	数字	(1:創設,2:報告)であること			
11	夫のカナ氏名	○	カナ				
12	夫の漢字氏名	○	漢字				
13	夫の住所		漢字				
14	夫の世帯主		漢字				
15	夫の父の氏名		漢字				
16	夫の母の氏名		漢字				
17	夫の父母との続柄	○	数字	(10:男、11:長男～29:十九男)であること			
18	夫の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
19	夫の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	妻のカナ氏名	○	カナ				
21	妻の漢字氏名	○	漢字				
22	妻の住所		漢字				
23	妻の世帯主		漢字				
24	妻の父の氏名		漢字				
25	妻の母の氏名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	4/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック　2/4	離婚同時77条の2届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	妻の父母との続柄	○	数字	(30:女、31:長女～49:十九女)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
27	妻の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員、1:筆頭者)であること			
28	妻の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	本籍	○	漢字				
30	筆頭者	○	漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 4月 1日	8.1	5/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表(3/4)	離婚同時77条の2届(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	離婚の種別区分	○	数字	(1:協議、2:調停、3:審判、4:判決、5:和解、6:認諾)であること	項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。		人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
32	離婚の申立人区分		数字	(1:夫、2:妻)であること			
33	離婚の成立･確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	戸籍変動区分	○	数字	(2:新戸籍編製(夫)、4:新戸籍編製(妻))であること			
35	新本籍	○	漢字				
36	新筆頭者	○	漢字				
37	離婚の方式		漢字				
38	裁判所所在国		漢字				
39	外国裁判所名		漢字				
40	親権指定者の有無	○	数字	(0:無し、1:有り)であること			
41	未成年の子の人数		数字				
42	届出人資格1		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			
43	届出人資格2		数字	(000:未、006:夫、007:妻)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/21

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　4/4	離婚同時77条の2届(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
44	未成年者のカナ氏名n		カナ		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		NO.44～NO.53の項目は複数件存在する
45	未成年者の漢字氏名n		漢字				
46	未成年者の父の氏名n		漢字				
47	未成年者の母の氏名n		漢字				
48	未成年者の父母との続柄n		数字	(10:男,11:長男～29:十九男,30:女,31～49:十九女)であること			
49	未成年者の生年月日n		英数	「日付チェックサブルーチン」			
50	未成年者の養父の氏名n		漢字				
51	未成年者の養母の氏名n		漢字				
52	未成年者の養父母との続柄n		数字	(51:養子,52:養女)であること			
53	未成年者の親権者区分n		数字	(1:父,2:母,3:養父,4:養母)であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	7/21

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表 1/2	離婚同時77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースの時,(No.4)発送元 ＝ スペース であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースの時,(No.4)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースの時,(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日 であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースの時,(No.5)在外送付区分 ＝ 0(受理分) であること			
5	(No.3)送付日 ＝ スペースの時,(No.9)動態区分 ＝ 1(要) であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースの時,(No.5)在外送付区分 ≠ 0(受理分) であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』の時, (No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) であること			
8	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外の時, (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) または (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由) であること			
9	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)の時, (No.9)動態区分 ＝ 1(要) であること			
10	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ ((No.5)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) または (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由))の時, (No.9)動態区分 ＝ 0(不要) であること			
11	(No.6)処理日 ≠ スペースの時,(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
12	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時,(No.3)送付日 ＝ スペース であること			
13	(No.8)郵送日 ≠ スペースの時,(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日 であること			
13-1	(No.2)受領日 ≧ (No.33)離婚の成立･確定日 であること			
14	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時,(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) であること			
14-1	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時,(No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者 であること			
15	(No.18)夫の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)の時,(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) であること			
15-1	(No.27)妻の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の時,(No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.30)筆頭者 であること			
15-2	(No.12)夫の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)妻の漢字氏名の氏 であること			
16	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議) かつ (No.37)離婚の方式 ＝ スペースの時, (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.33)離婚の成立･確定日 ＝ スペース かつ (No.42)届出人資格1 ≠ スペース かつ (No.43)届出人資格2 ≠ スペース であること			
16-2	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議) かつ (No.37)離婚の方式 ≠ スペースの時, (No.32)離婚の申立人区分 ＝ スペース かつ (No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ (No.42)届出人資格1,(No.43)届出人資格2 いずれかに入力があること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	8/21

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表　2/2	離婚同時77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17	(No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停),3(審判),4(判決),5(和解),6(認諾)のとき, ((No.32)離婚の申立人区分 ≠ スペースかつ(No.33)離婚の成立･確定日 ≠ スペース)かつ ((No.42)届出人資格1、(No.43)届出人資格2　一方が ≠ ZERO)であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
18	(No.40)親権指定者の有無 ＝ 1(有)のとき、(No.46)未成年の子の人数 ＞ ZEROであること			
19	(No.41)未成年の子の人数 ＝ 0のとき、未成年者の欄(No.44～No.53) × n件 ＝ スペースであること			
20	(No.45)未成年者の漢字氏名n ≠ スペースのとき (No.44)未成年者のカナ氏名n ≠ スペースかつ(No.49)未成年者の生年月日n ≠ スペースであること			
21	(No.48)未成年者の父母との続柄n ＝ スペースのとき (No.46)未成年者の父氏名n ＝ スペースかつ(No.47)未成年者の母氏名n ＝ スペースであること			
22	(No.52)未成年者の養父母との続柄n ＝ スペースのとき (No.50)未成年者の養父氏名n ＝ スペースかつ(No.51)未成年者の養母氏名n ＝ スペースであること			
23	(No.53)未成年者の親権者区分n ＝ 1のとき、(No.46)未成年者の父氏名n ≠ スペースであること			
24	(No.53)未成年者の親権者区分n ＝ 2のとき、(No.47)未成年者の母氏名n ≠ スペースであること			
25	(No.53)未成年者の親権者区分n ＝ 3のとき、(No.50)未成年者の養父氏名n ≠ スペースであること			
26	(No.53)未成年者の親権者区分n ＝ 4のとき、(No.51)未成年者の養母氏名n ≠ スペースであること			
27	(No.10)報告区分 ＝ 1(創設)のとき、(No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)かつ (No.37)離婚の方式 ＝ スペースであること			
27-1	(No.10)報告区分 ＝ 2(報告)のとき、(No.31)離婚の種別区分 ＝ 2(調停)、3(審判)、4(判決)、5(和解)、6(認諾)または (No.31)離婚の種別区分 ＝ 1(協議離婚)かつ(No.37)離婚の方式 ≠ スペースであること			人事訴訟法(H16.4)により、5,6を追加
28	(No.37)離婚の方式 ≠ スペースかつ(No.38)裁判所所在国 ≠ スペースかつ (No.39)外国裁判所所名 ≠ スペースの場合エラー			
29	(No.44)未成年者のカナ氏名n ≠ スペースのとき (No.45)未成年者の漢字氏名n ≠ スペースかつ(No.49)未成年者の生年月日n ≠ スペースであること			
30	(No.44)未成年者のカナ氏名n ＝ スペースのとき (No.45)未成年者の漢字氏名n～(No.53)未成年者の親権者区分　全てスペースであること			
31	(No.45)未成年者の漢字氏名n ＝ スペースのとき (No.44)未成年者のカナ氏名n ＝ スペースかつ(No.46)未成年者の父氏名n～(No.53)未成年者の親権者区分　全てスペースであること			
32	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 2(新戸籍編製(夫))のとき (No.12)夫の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			
33	(No.34)戸籍変動区分 ＝ 4(新戸籍編製(妻))のとき (No.21)妻の漢字氏名 ＝ (No.36)新筆頭者であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9/21

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表　2-1/2	離婚同時77条の2届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
34	(No.13)夫の住所 ＝ スペースのとき、(No.14)夫の世帯主 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
35	(No.14)夫の世帯主 ≠ スペースのとき、(No.13)夫の住所 ≠ スペースであること			
36	(No.22)妻の住所 ＝ スペースのとき、(No.23)妻の世帯主 ＝ スペースであること			
37	(No.23)妻の世帯主 ≠ スペースのとき、(No.22)妻の住所 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	10/21

処理名	3.0 審査 1/5			備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)		/		
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	/		
	YES (0-2)→(0-5)へ	/		
	NO →		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ	/		
(0-5)夫の漢字氏名の名が未入力 または 妻の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(離婚同時77の2-67)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-7)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-67)
	YES (0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-10)本紙へ	不受理,R2.1(離婚同時77の2-67)
	NO (0-9)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(離婚同時77の2-67)
NO	(0-11)→(1)へ	/		R2.1(離婚同時77の2-67)
(1)離婚の種別(1:協議,2:調停,3:審判,4:判決,5:和解,6:認諾)		/		人事訴訟法(H16.4)により、種別:5,6を追加
1	(1-1)離婚の方式 ≠ スペース(YES,NO)	/		
	YES (1-2)確認メッセージ 「外国の方式により離婚が成立した旨の証書又は証明書の添付がありますか?」を表示		(1-3)本紙へ	戸41 Nのとき、不受理
	NO (2)→(7)へ	/		
2	(3)確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示		(4)本紙へ	戸77・63 Nのとき、不受理 C04013
3	(5)確認メッセージ 「審判書及び確定証明書がありますか?」を表示			戸77・63 Nのとき、不受理 C03025
4	(6)確認メッセージ 「判決の謄本及び確定証明書がありますか?」を表示			戸77・63 Nのとき、不受理 C06011
5	(6)-1 確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示			人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
6	(6)-2 確認メッセージ 「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか?」を表示			人事訴訟法(H16.4) Nのとき、不受理 C04013
(7)本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
1	(8)夫の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/		
	YES (9)→(17)へ	/		
	NO (10)エラーメッセージ 「夫に婚姻事項がありません。」を表示		(11)本紙へ	
	(12)	/		(12)～(16)削除
	(13)	/		
	(14)		(15)	
	(16)	/		
	(17)妻の身分事項に婚姻がある(YES,NO)	/		
	YES (18)→(27)へ	/		

	NO	(19)エラーメッセージ 「妻に婚姻事項がありません。」を表示		(20)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	11/21

処理名	3.0 審査 2/5				備考
	(21)		/		(21)～(25)削除
		(22)	/		
		(23)		(24)	
		(25)	/		
2	(26)→(26-1)		/		
(26-1)夫の父の氏名 ＝ スペース 又は 夫の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(26-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
	YES	(26-3)→(26-12)	/		
	NO	(26-4)		(26-5)本紙へ	不受理
NO	(26-6)夫の父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
	YES	(26-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
		YES (26-8)→(26-12)	/		
		NO (26-9)		(26-10)本紙へ	不受理
	NO	(26-11)→(26-12)	/		
(26-12)妻の父の氏名 ＝ スペース 又は 妻の母の氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(26-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
	YES	(26-14)→(27)	/		
	NO	(26-15)		(26-16)本紙へ	不受理
NO	(26-17)妻の父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
	YES	(26-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」	/		
		YES (26-19)→(27)	/		
		NO (26-20)		(26-21)本紙へ	不受理
	NO	(26-22)→(27)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	12/21

処理名	3.0 審査 2-1/5			備考
(27)戸籍変動区分(2:新戸編製(夫),4:新戸編製(妻))		/		
2	(28)夫の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		No.29欠番
0	(30)→(38)へ	/		
1	(31)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(32)本紙へ	
4	(33)妻の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		No.34欠番
0	(35)→(38)へ	/		
1	(36)エラーメッセージ 「戸籍変動に係わる情報が正しくありません。」を表示		(37)本紙へ	
(38)親権指定処理(未成年の子の人数分繰り返す)		/		民819Ⅰ
(39)親権指定者の有無(0:無,1:有)		/		
0	(40)離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立･確定日 または、 離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 離婚の成立･確定日 または、離婚の成立･確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 受領日 または、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 受領日 (YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
YES	(41)親権区分n ＝ スペース(YES, NO)	/		
YES	(42)	/		(42)(43)を削除(民法改正修正で削除),R2.1(離婚同時77の2-64)
	(43)		(44)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-64)
	(45)確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」(YES, NO)			R2.1(離婚同時77の2-64)
YES	(45-1)→(38)	/		R2.1(離婚同時77の2-64)
NO	(45-2)→		(45-3)本紙へ	不受理,R2.1(離婚同時77の2-64)
NO	(46)エラーメッセージ			

				「親権指定者の有無に誤りがあります。」を表示			
		NO	(47)親権区分n ＝ スペース(YES, NO)		/		
			YES	(48)→(38)	/		
			NO	(49)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示		(50)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-64)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	13/21

処理名		3.0 審査 3/5					備考
	1	(51)離婚の成立・確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 離婚の成立・確定日 または、 離婚の成立･確定日 ≠ スペース かつ 離婚の成立･確定日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 離婚の成立･確定日 または、離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ＜ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 20年(20歳未満) ＞ 受領日 または、 離婚の成立・確定日 ＝ スペース かつ 受領日 ≧ 2022年4月1日の場合、 未成年者nの生年月日 + 18年(18歳未満) ＞ 受領日 (YES,NO)			/		民法改正(2022年4月1日)前は20歳未満、 民法改正(2022年4月1日)後は18歳未満で 親権者指定の有無を判定する R2.1(離婚同時77の2-64)
		YES	(52)親権区分n ＝ スペース(YES,NO)				
			YES	(53)		/	(53)(54)を削除(民法改正修正で削除),R2.1(離婚同時77の2-64)
				(54)		≠	(55)本紙へ R2.1(離婚同時77の2-64)
				(56)確認メッセージ 「未成年者がいますが、親権指定しなくてよろしいですか?」(YES,NO)			R2.1(離婚同時77の2-64)
				YES	(56-1)→(38)	/	R2.1(離婚同時77の2-64)
				NO	(56-2)→		(56-3)本紙へ 不受理,R2.1(離婚同時77の2-64)
		NO	(56-4)(夫の漢字氏名 ＝ 未成年者の父氏名 または 未成年者の養父氏名) かつ (妻の漢字氏名 ＝ 未成年者の母氏名 または 未成年者の養母氏名)(YES,NO)			/	
			YES	(57)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1		/	
			NO	(57-1)確認メッセージ		/	(57-2)本紙へ 応答内容は処分区分に影響させない

					「親権区分nの親権指定は必要ですか?」				
					YES	(57-3)未成年者カウント(内部) ＝ 未成年者カウント(内部) + 1	/		
					NO	(57-4)→			
		NO	(58)親権区分n ＝ スペース(YES,NO)				/		
			YES	(59)→(38)			/		
			NO	(60)エラーメッセージ 「親権区分nに誤りがあります(未成年者でない)。」を表示			/	(61)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	14/21

処理名	3.0　審査　3-1/5				備考
(62)親権指定者の有無(0:無,1:有)			/		
0	(63)→(68)		/		
1	(64)未成年者カウント(内部) > 0(YES,NO)		/		
	YES	(65)→(68)	/		
	NO	(66)エラーメッセージ 「親権指定者の有無に誤りがあります(親権指定なし)。」を表示		(67)本紙へ	
(68)届出区分(1:創設,2:報告)			/		
1	(69)届出人資格1(000:未,006:夫,007:妻)		/		
	000	(69-1)離婚の方式 ＝ スペース(YES,NO)	/		
		YES	(69-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」を表示	/	(69-3)本紙へ
		NO	(69-5)届出人資格2(000:未,006:夫,007:妻)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	15/21

処理名		3.0 審査 4/5					備考
1	000	NO	000	(69-6)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(69-7)本紙へ	
			006,007	(69-8)→(107)	/		
	006	(70)届出人資格2(000:未,006:夫,007:妻)			/		
		000	(70-1)離婚の方式 ＝ スペース(YES,NO)		/		
			YES	(70-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(70-3)本紙へ	
			NO	(70-4)→(107)	/		
		006	(71)エラーメッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示			(72)本紙へ	
		007	(73)→(107)		/		
	007	(74)届出人資格2(000:未,006:夫,007:妻)			/		
		000	(74-1)離婚の方式 ＝ スペース(YES,NO)		/		
			YES	(74-2)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(74-3)本紙へ	
			NO	(74-4)→(107)	/		
		006	(75)→(107)		/		
		007	(76)確認メッセージ 「届出人資格1と届出人資格2が重複しています。」を表示			(77)本紙へ	Nのとき、不受理
2	(77-0-1)受領日 ＜ (離婚の成立･確定日 ＋ 1日) ＋ 3箇月 である(YES,NO)				/		民767-2 R2.1(離婚同時77の2-66)
	YES	(77-0-2)→(77-1)			/		
	NO	(77-0-3)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」				(77-0-4)本紙へ	
	(77-1)離婚の方式 ＝ スペース である(YES,NO)				/		R2.1(離婚同時77の2-66)
	YES	(77-2)受領日 ＜ 離婚の成立･確定日 ＋ 10日 である(YES,NO)					戸43:離婚届の届出期間審査
		YES	(77-3)→(82)		/		
		NO	(77-4)メッセージ 「届出期間を経過しています。」を表示			(77-5)本紙へ	R2.1(離婚同時77の2-66) 審査続行
		(78)			/		R2.1(離婚同時77の2-66)
			(79)→(82)		/		
			(80)			(81)	R2.1(離婚同時77の2-66) R2.1版で(78)～(81)を削除
	NO	(82)→(83)			/		R2.1(離婚同時77の2-66)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	16/21

処理名	3.0 審査 5/5						備考
2	(82)離婚の申立人区分(1:夫,2:妻,スペース)				/		
	1	(83)届出人資格1または届出人資格2(006:夫,007:妻)			/		
		006	(84)→(107)		/		(84)～(87)第12版で削除
				(85)	/		
				(86)		(87)	
		007	(88)受領日または処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		処理日がある場合には、処理日で判定
			YES	(89)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか?」を表示		(90)本紙へ	
				YES (91)→(107)	/		
				NO (92)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示		(93)届出メニューへ	
			NO	(94)→(107)	/		
	2	(95)届出人資格1または届出人資格2(006:夫,007:妻)			/		
		006	(96)受領日または処理日 < 離婚の成立･確定日 + 10日(YES,NO)		/		処理日がある場合には、処理日で判定
			YES	(97)確認メッセージ 「相手方からの10日以内の届出です。受理してもいいですか。」を表示		(98)本紙へ	
				YES (99)→(107)	/		
				NO (100)エラーメッセージ 「発収簿処理をしてください。」を表示		(101)届出メニューへ	
			NO	(102)→(107)	/		
		007	(103)→(107)		/		(103)～(106)第12版で削除
				(104)	/		
				(105)		(106)	
	スペース	→(107)					
(107)→							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	17/21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/5	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 離婚同時77条の2入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		離婚同時77条の2届入力画面	受領NO				
	選択事件コード			――――――				「12」を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			送付日				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態				
	届区分			報告				
	渉外区分			――――――				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号(1)			戸籍番号				本籍人の場合、夫婦の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)			――――――				
	ロック戸籍番号(3)			――――――				
	ロック戸籍番号(4)			――――――				
	ロック戸籍番号(5)			――――――				
	事件別内容							3/5～5/5参照

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/5	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 離婚同時77条の2入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	不受理申出処分区分			――――――				
	処分区分			――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――				何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分			――――――				0:未　1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/5	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 離婚同時77条の2入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	夫の個人番号		離婚同時77条の2届入力画面(その1)					本籍人の場合、妻の個人番号
	筆頭者区分(夫)			夫の筆頭者区分				
	カナ氏名(夫)			夫のカナ氏名				
	漢字氏名(夫)			夫の漢字氏名				
	住所コード(夫)			夫の住所				
	住所地番(夫)							
	世帯主(夫)			夫の世帯主				
	父氏名(夫)			夫の父の氏名				
	母氏名(夫)			夫の母の氏名				
	父母との続柄(夫)			夫の父母との続柄				
	生年月日(夫)			夫の生年月日				
	筆頭者区分(妻)			妻の筆頭者区分				
	妻の個人番号							本籍人の場合、妻の個人番号
	カナ氏名(妻)			妻のカナ氏名				
	漢字氏名(妻)			妻の漢字氏名				
	住所コード(妻)			妻の住所				
	住所地番(妻)							
	世帯主(妻)			妻の世帯主				
	父氏名(妻)			妻の父の氏名				
	母氏名(妻)			妻の母の氏名				
	父母との続柄(妻)			妻の父母との続柄				
	生年月日(妻)			妻の生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍地番							
	筆頭者			筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力　4/5	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 離婚同時77条の2届入力画面

受取側				引渡側				コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	離婚の種別区分			離婚同時77条の2届入力画面(その2)	離婚の種別区分 離婚の申立人区分					
	離婚の申立人区分									
	離婚の成立・確定日				離婚の成立・確定日					
	戸籍変動区分				戸籍変動区分					
	新本籍コード				新本籍					
	新本籍地番									
	新筆頭者カナ氏名									本籍人の場合設定
	新筆頭者				新筆頭者					
	外国離婚方式				離婚の方式					
	裁判所所在国				裁判所所在国					
	外国裁判所名				外国裁判所名					
	親権指定者の有無				親権指定者の有無					
	未成年の子の人数				未成年の子の人数					
	届出人資格1				届出人資絡1					
	届出人資格2				届出人資格2					
	未成年者項目	カナ氏名(未成年者n)		離婚同時77条の2画面(その3)	未成年者項目	未成年者nのカナ氏名				未成年者項目については、複数件数存在する場合がある。
		漢字氏名(未成年者n)				未成年者nの漢字氏名				
		父の氏名(未成年者n)				未成年者nの父の氏名				
		母の氏名(未成年者n)				未成年者nの母の氏名				
		父母との続柄(未成年者n)				未成年者nの父母との続柄				

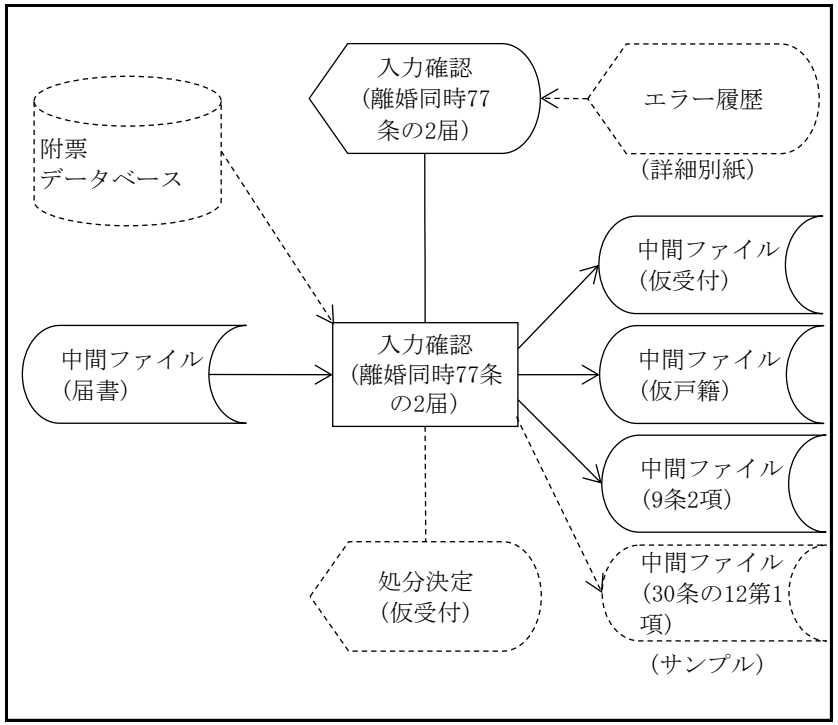
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/21

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　5/5	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 離婚同時77条の2入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	未成年者項目		離婚同時77条の2届入力画面(その3)	未成年者項目				
	生年月日(未成年者n)			未成年者nの生年月日				
	養父の氏名(未成年者n)			未成年者nの養父の氏名				
	養母の氏名(未成年者n)			未成年者nの養母の氏名				
	養父母との続柄(未成年者n)			未成年者nの養父母との続柄				
	親権者区分(未成年者n)			未成年者nの親権者区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/40

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル(30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル仮受付)
    - 3.1 仮受付(離婚)
    - 3.2 仮受付(77条の2)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル　仮戸籍(夫))
    - 4.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
    - 4.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
    - 4.3 身分事項(新戸籍　･入籍(離婚))
    - 4.4 身分事項(新戸籍　･入籍(77条の2))
    - 4.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
    - 4.6 戸籍事項(新戸籍　･入籍77条の2))
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル　仮戸籍(妻))
    - 5.1 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(離婚))
    - 5.2 身分事項(夫婦の戸籍･除籍(77条の2))
    - 5.3 身分事項(新戸籍　･入籍(離婚))
    - 5.4 身分事項(新戸籍　･入籍(77条の2))
    - 5.5 身分事項(夫婦の戸籍･変動なし)
    - 5.6 戸籍事項(新声籍　･入籍(77条の2))
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(子))
    - 6.1 身分事項(変動なし)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 夫
    - 7.2 妻
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 8.1 夫　8.2 妻

5.備考(特記事項含む)

※戸籍事項(77条の2)(4.6,5.6)を編集した場合は,その後に戸籍事項(編製)B1を作成する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	2/40

処理名	0.0 本紙	備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)		
実行キー (3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]		
(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する		
仮受付(離婚) (5)離婚届による仮受付ファイルの編集 [3.1]		
仮受付(77条の2) (6)77条の2届による仮受付ファイルの編集 [3.2]		
(7)事件本人が本籍人である(YES,NO)		
YES (8)夫の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		
身分事項(除籍) (11)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [4.1]		離婚の記載
身分事項(除籍) (12)夫の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [4.2]		77条の2の記載
身分事項(入籍) (13)夫の入籍事項の編集(新戸籍) [4.3]		離婚の記載
身分事項(入籍) (14)夫の入籍事項の編集(新戸籍) [4.4]		77条の2の記載
身分事項(変動なし) (15)夫の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [4.5]		
身分事項(入籍) (16)夫の77条の2事項の編集(新戸籍) [4.6]		
(16-1)夫は在外選挙人である(YES,NO)		※サンプル提示 処理(16-1)～(16-3)
YES (16-2)夫について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・入力する [8.1]		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
NO (16-3)→(17)		
(17)妻の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・入力する		
身分事項(除籍) (20)妻の除籍事項の編集(夫婦の戸籍) [5.1]		離婚の記載
身分事項(除籍) (21)妻の除籍事項の編集(妻婦の戸籍) [5.2]		77条の2の記載
身分事項(入籍) (22)妻の入籍事項の編集(新戸籍) [5.3]		離婚の記載
身分事項(入籍) (23)妻の入籍事項の編集(新戸籍) [5.4]		77条の2の記載
身分事項(変動なし) (24)妻の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [5.5]		
身分事項(入籍) (25)妻の77条の2事項の編集(新戸籍) [5.6]		
(25-1)妻は在外選挙人である(YES,NO)		※サンプル提示 処理(25-1)～(25-3)
YES (25-2)妻について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・入力する [8.2]		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
NO (25-3)→(26)		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	3/40

処理名		0.0 本紙			備考
実行キー	YES	(26)子の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	/		
		身分事項(変動なし) (27)子の変動なし事項の編集(夫婦の戸籍) [6.1]	/		
	NO	(28) → (29)	/		
	(29)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES,NO)		/		
	YES	(30) 夫について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]	/		
		(31) 妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]		(32),(33)処分決定に制御を渡す	
	NO	→			
PF1	→			(34)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(35)届出選択に制御を渡す	
PF5	→			(36)審査に制御を渡す	
PF7	(37)前ページがあるか (ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(38)前ページ分の「離婚同時77条の2届」画面を編集		(39)同画面を編集する	
	NO	(40)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(41)次ページがあるか (ある:YES,なし:NO)		/		
	YES	(42)次ページ分の「離婚同時77条の2届」画面を編集		(43)同画面を編集する	
	NO	(44)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→			(45)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(46)エラーメッセージ「無効なキーが押されました。」を表示する			(47)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/40

処理名	1.0 確認画面(離婚同時77条の2届)表示　1/3	(受取側) 離婚同時77条の2届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚同時77条の2届確認画面 (その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル (届書)共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本･非本			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態			動態区分				
	報告			届出区分				
	夫の筆頭者区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者区分(夫)				
	夫のカナ氏名			カナ氏名(夫)				
	夫の漢字氏名			漢字氏名(夫)				
	夫の住所			住所コード(夫)				
				住所地番(夫)				
	夫の世帯主			世帯主(夫)				
	夫の父の氏名			父氏名(夫)				
	夫の母の氏名			母氏名(夫)				
	夫の父母との続柄			父母との続柄(夫)				
	夫の生年月日			生年月日(夫)				
	妻の筆頭者区分			筆頭者区分(妻)				
	妻のカナ氏名			カナ氏名(妻)				
	妻の漢字氏名			漢字氏名(妻)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/40

処理名	1.0 確認画面(離婚同時77条の2届)表示　2/3	(受取側) 離婚同時77条の2届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
離婚同時77条の2届確認画面 (その1)	妻の住所		中間ファイル (届書) 事件別内容	住所コード(妻)				
				住所地番(妻)				
	妻の世帯主			世帯主(妻)				
	妻の父の氏名			父の氏名(妻)				
	妻の母の氏名			母の氏名(妻)				
	妻の父母との続柄			父母との続柄(妻)				
	妻の生年月日			生年月日(妻)				
	本籍			本籍コード				
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
離婚同時77条の2届確認画面 (その2)	離婚の種別区分			離婚の種別区分				
	離婚の申立人区分			離婚の申立人区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍地番				
	新筆頭者			新筆頭者				
	離婚の成立･確定日			離婚の成立･確定日				
	離婚の方式			外国離婚方式				
	裁判所所在国			裁判所所在国				
	外国裁判所名			外国裁判所名				
	親権指定者の有無			親権指定者の有無				
	未成年の子の人数			未成年の子の人数				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/40

処理名	1.0 確認画面(離婚同時77条の2届)表示　3/3	(受取側) 離婚同時77条の2届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目	名称	記号名			
離婚同時77条の2届確認画面 (その3)	未成年者項目 n件	未成年者nのカナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年者項目 n件	カナ氏名(未成年者n)				
		未成年者nの漢字氏名				漢字氏名(未成年者n)				
		未成年者nの父の氏名				父の氏名(未成年者n)				
		未成年者nの母の氏名				母の氏名(未成年者n)				
		未成年者nの父母との続柄				父母との続柄(未成年者n)				
		未成年者nの生年月日				生年月日(未成年者n)				
		未成年者nの養父の氏名				養父の氏名(未成年者n)				
		未成年者nの養母の氏名				養母の氏名(未成年者n)				
		未成年者nの養父母との続柄				養父母との続柄(未成年者n)				
		未成年者nの親権者区分				親権者区分(未成年者n)				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/40

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件												戸籍の変動			
	現在の夫婦の戸籍		夫		妻		婚前に戻る者		戻る者の本籍		親権指定		夫婦の戸籍		新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	
			構成		構成				新戸籍		有無					
	管内	管外	筆頭者	構成員	筆頭者	構成員	夫	妻	管内	管外	有	無	一部除籍 C.2	変動なし C.2		(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.6または5.6編集後作成する。
1	○		○			○		○	○		○		妻(5.1),(5.2)	夫(4.5),子(6.1)	妻(5.3),(5.4),(5.6)	
2	○		○			○		○	○			○	妻(5.1),(5.2)	夫(4.5)	妻(5.3),(5.4),(5.6)	
3	○		○			○		○		○	○		妻(5.1),(5.2)	夫(4.5),子(6.1)		
4	○		○			○		○		○		○	妻(5.1),(5.2)	夫(4.5)		
5		○	○			○		○	○		−	−			妻(5.3),(5.4),(5.6)	
6		○	○			○		○		○	−	−				
7	○			○	○		○		○		○		夫(4.1),(4.2)	妻(5.5),子(6.1)	夫(4.3),(4.4),(4.6)	
8	○			○	○		○		○			○	夫(4.1),(4.2)	妻(5.5)	夫(4.3),(4.4),(4.6)	
9	○			○	○		○			○	○		夫(4.1),(4.2)	妻(5.5),子(6.1)		
10	○			○	○		○			○		○	夫(4.1),(4.2)	妻(5.5)		
11		○		○	○		○		○		−	−			夫(4.3),(4.4),(4.6)	
12		○		○	○		○			○	−	−				

ひな型使用時の補足説明

(1)C2:個人特定(記録)編集

・夫および妻の配偶者区分は0(未)を設定する

(新戸籍編製で除籍となる者についても、配偶者区分を設定すること)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	8/40

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離婚)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・離婚) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				離婚届の受領番号
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――				離婚の種別が 1の場合、1001(離婚) 2の場合、1002(調停) 3の場合、1003(裁判) 4の場合、1003(裁判) 5の場合、1003(裁判) 6の場合、1003(裁判)
	受付日			受領日または送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			離婚の成立・確定日				報告区分 ＝ 2の場合、移送
	事件発生時分			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――――				0:日本人
	証書提出区分			――――――			離婚の方式 ≠ スペースの時、1(証書提出)、以外は0(届	
	発送日			――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			――――――				受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)
	届出人資格区分1			届出人資格1	条件(1-1)離婚の種別 ＝ 1(協議)の場合、スペース			
	届出人資格名称1			届出人資格2				
	届出人氏名1			夫の氏名	(2)離婚の種別 ≠ 1(裁判)の場合 届出人資格1及び届出人氏名1に以下の項目を設定			
	届出人資格区分2			妻の氏名				
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							

申立人区分	届出人資格1or2	離婚の種別	届出人資格	届出人氏名
1	006	2	「申立人」	夫の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	夫の氏名
	007	-	「相手方」	妻の氏名
2	006	-	「相手方」	夫の氏名
	007	2	「申立人」	妻の氏名
		3,4,5,6	「訴提起者」	妻の氏名

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/40

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力　2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離婚)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・離婚) 共通	届後本籍区分		中間ファイル (届書)	――――――――				「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1			――――――――				届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	10/40

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付・離婚)/事件本人 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡額			コード変換有無 サニサ ブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・離婚) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				夫の場合、12(夫) 妻の場合、13(妻)
	届出人区分			離婚の種別 ＝ 1かつ離婚の方式 ＝ スペースの場合 　夫及び妻の場合、1を設定 離婚の種別 ＝ 1かつ離婚の方式 ≠ スペースの場合 　夫の場合、届出人資格1または2 ＝ 006:夫の時、1を設定 　妻の場合、届出人資格1または2 ＝ 007:妻の時、1を設定 離婚の種別 ≠ 1の場合 　夫の場合、届出人資格1または2 ＝ 006:夫の時、1を設定 　妻の場合、届出人資格1または2 ＝ 007:妻の時、1を設定 上記以外は0を設定。					
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫または妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	筆頭者							夫の筆頭者区分が1のとき夫の漢字氏名 上記以外、妻の漢字氏名
	送達確認2							現本籍が、(本非区分 ＝ 2)かつ(存外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

☆事件本人情報の出力順位は、筆頭者を先に出力する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	11/40

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・77条の2)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・77条2) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	――――――――				受領番号 + 1(77条の2届の受領番号)
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				1101(77条の2届)を設定
	受付日			受領日または送付日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日
	事件発生日			――――――――				10版にて修正
	事件発生時分			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――――――				0:日本人
	証書提出区分			――――――――				0:届出
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号			受領番号				離婚届の受領番号
	届出人資格区分1							事件本人なので設定しない
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		中間ファイル (届書) 事件別内容					「2:新戸籍編製」を移送
	届後本籍コード			新本籍コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/40

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力　2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・77条の2)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・77条の2) 共通	届後本籍		中間ファイル (届書)	新本籍地番				
	届後戸籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認1			――――――――				届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	13/40

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・離婚)/共通 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付・77条2) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				「14」(氏続称者(従前の氏を称する者))を移送
	届出人区分			――――――				1を設定
	カナ氏名			夫または妻のカナ氏名				
	漢字氏名			夫または妻の漢字氏名				
	生年月日			夫または妻の生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍地番				
	送達確認2			――――――				現本籍が、(本非区分 ＝ 2)かつ(住外送付区分 ＝ 0)の場合、1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定

*夫、妻の筆頭者区分を判定し、筆頭者区分 ＝ 0(構成員)のどちらか一方を作成する。

(例)妻の筆頭者区分が0の場合、妻のカナ氏名、生年月日等のデータを編集する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	14/40

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/40

処理名	4.1 身分事項(除籍)の編集・出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	――――――				
		受理者			――――――				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	戸籍従前 本籍			――――――				
		戸籍従前 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		戸籍入籍 本籍			――――――				
		戸籍入籍 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/40

処理名	4.2 身分事項(除籍)の編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				――――――				「1101」を移送
	記録コード				――――――				「1101」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可	許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍コード 新本籍地番				
	除戸籍	称する氏			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	17/40

処理名	4.3 身分事項(入籍)の編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/40

処理名	4.3 身分事項(入籍)の編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	――――――				
		受理者			――――――				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	戸籍(従前) 本籍			――――――				
		戸籍(従前) 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		戸籍(入籍) 本籍			――――――				
		戸籍(入籍) 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/40

処理名	4.4 身分事項(除籍)の編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				――――――				「1101」を移送
	記録コード				――――――				「1101」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	20/40

処理名	4.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人 資格			――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「妻」を設定
		届出人 資格名称							
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者 資格			――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が妻から一方のみの場合に「妻」を設定		
		証書提出者 資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/40

処理名	4.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――				
		従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		入戸籍 本籍			――――――				
		入戸籍 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	22/40

処理名	4.6 戸籍事項(77条の2)編集･出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)					
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」を設定
	タイトルコード			――――――				「1101」を設定
	記録コード			――――――				「1101」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	従前の記録			――――――				
	氏							
	記録 記録日			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	23/40

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格		――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「夫」を設定
			資格名称						
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者	資格		――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
			資格名称						

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/40

処理名	5.1 身分事項(除籍)の編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	――――――				
		受理者			――――――				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	戸籍従前 本籍			――――――				
		戸籍従前 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		戸籍入籍 本籍			――――――				
		戸籍入籍 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/40

処理名	5.2 身分事項(除籍)の編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				――――――				「1101」を移送
	記録コード				――――――				「1101」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
	氏変更	氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付	受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可	許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍コード 新本籍地番				
	除戸籍	称する氏			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	26/40

処理名	5.3 身分事項(入籍)の編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日･確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立･確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日･確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立･確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日･確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立･確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格		――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「夫」を設定
			資格名称						
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者	資格		――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
			資格名称						

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/40

処理名	5.3 身分事項(入籍)の編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	――――――				
		受理者			――――――				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	戸籍 従前 本籍			――――――				
		戸籍 従前 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		戸籍 入籍 本籍			――――――				
		戸籍 入籍 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/40

処理名	5.4 身分事項(除籍)の編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(夫)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」ゼロを移送
	タイトルコード				――――――				「1101」を移送
	記録コード				――――――				「1101」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍地番				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	29/40

処理名	5.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(妻)				
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				「0」を移送
	タイトルコード				――――――				「1001」を移送
	記録コード				――――――				「1001」を移送
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日				離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	離婚	離婚日			受領日 離婚の成立日・確定日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの時、離婚の成立・確定日を設定　以外は、スペース		
		離婚の調停成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 2のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の裁判確定日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 3,4のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の和解成立日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 5のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚の請求認諾日			離婚の成立日・確定日				離婚種別 ＝ 6のときのみ、離婚の成立・確定日を設定
		離婚除籍日			――――――				
		配偶者氏名			妻の氏名				
		配偶者の国籍			――――――				
		離婚の方式			離婚の方式				
		裁判所			裁判所所在国 外国裁判所名				「裁判所所在国」+「外国裁判所名」
		届出日			受領日				離婚の種別 ≠ 1のときのみ
		届出人	資格		――――――				離婚の種別 ≠ 1かつ届出人資格1or2 ＝ 007の場合、「夫」を設定
			資格名称						
		証書提出日			受領日		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースのときのみ		
		証書提出者	資格		――――――		離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースかつ届出人が夫から一方のみの場合に「夫」を設定		
			資格名称						

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/40

処理名	5.5 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	送付	送付を受けた日		中間ファイル (届書)	送付日				項目があれば移送
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――				
		従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍	除籍日			――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――				
		称する氏			――――――				
		離婚後の氏			――――――				
		入戸籍 本籍			――――――				
		入戸籍 筆頭者			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	31/40

処理名	5.6 戸籍事項(77条の2)の編集･出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)					
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」を設定
	タイトルコード			――――――				「1101」を設定
	記録コード			――――――				「1101」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――				「戸籍法77条の2の届出」を移送
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	従前の記録			――――――				
	氏							
	記録 記録日			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	32/40

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	個人番号(子n)					
	行番号				――――――――					
	出力区分				――――――――					「0」ゼロを移送
	タイトルコード				――――――――					「1301」を移送
	記録コード				――――――――					「1301」を移送
	管掌者コード				――――――――					
	事件発生日				受領日 離婚の成立日・確定日					離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの時、受領日を設定 上記以外は、離婚の成立・確定日を設定
	親権	親権者を定めた日			受領日 離婚の成立日・確定日					離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ＝ スペースの場合、受領日 離婚の種別 ＝ 1(協議)かつ離婚の方式 ≠ スペースの場合、離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
		親権者を定められた日			離婚の成立日・確定日					離婚の種別 ≠ 1の場合、離婚の成立日・確定日 上記以外は未設定
		親権者	資格		――――――――					未成年nの親権者区分が 1の場合:「父」 2の場合:「母」 3の場合:「養父」 4の場合:「養母」
			資格名称							
			氏名		未成年者nの養父の氏名 未成年者nの養母の氏名					未成年nの親権者区分が 3の場合:未成年者nの養父の氏名 4の場合:未成年者nの養母の氏名 その他の場合:スペース
	届出	届出人1	資格		――――――――					離婚の種別 ＝ 1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 スペースを設定
			資格名称							
			氏名		――――――――					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	33/40

処理名	6.1 身分事項(変動なし)の編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項		届出人2	資格	中間ファイル (届書)	――――――				離婚の種別 ＝ 1の場合 次頁の編集条件を参照 離婚の種別 ≠ 1の場合 スペースを設定
			資格名称						
			氏名		――――――				
	送付	送付を受けた日			――――――				
		受理者			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

処理名	補足説明(親権事項の届出人資格編集条件)

☆親権事項中、届出人資格を以下の条件により設定する

親権者指定区分	養父母欄の条件 *1		届出人資格1	届出人氏名1	届出人資格2	届出人氏名2
1 (父)	養母 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
2 (母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父母】			
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
3 (養父)	養母 ＝ スペース?	YES	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【母】	
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n
4 (養母)	養父 ＝ スペース?	YES	【父】		【養母】	未成年者の養母の氏名n
		NO	【養父】	未成年者の養父の氏名n	【養母】	未成年者の養母の氏名n

*1: 未成年者の子側の養父母欄を示す

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	35/40

処理名	7.1夫　編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(夫)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 夫	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			夫の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	36/40

処理名	7.1 夫　編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(夫)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) (夫)	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			夫の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	37/40

処理名	7.1妻　編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(妻)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 妻	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							12(離婚同時戸籍法77条の2届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			妻の父母との続柄コード				
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	38/40

処理名	7.1妻　編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/(妻)　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 妻	住民日		中間ファイル (届書)					
	世帯主			妻の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	39/40

処理名	8.1 夫　編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/夫	← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 夫	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			受領日　OR　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			夫の漢字氏名				
	旧氏名			夫の漢字氏名				
	新生年月日			夫の生年月日				
	旧生年月日			夫の生年月日				
	新性別							夫の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 2の時　新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ≠ 2の時　本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			夫の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				夫の筆頭者区分 ＝ 1の時 夫の漢字氏名 上記以外の時　妻の漢字氏名
	住所コード			夫の住所コード				
	住所			夫の住所				
	方書			――――――――				
	転入届出日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(離婚同時77条の2届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	40/40

処理名	8.2 妻　編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/妻	← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻ ﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 妻	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					12:離婚同時77条の2届(届出選択番号)
	受理日			受領日　OR　送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			妻の漢字氏名				
	旧氏名			妻の漢字氏名				
	新生年月日			妻の生年月日				
	旧生年月日			妻の生年月日				
	新性別							妻の父母との続柄を性別に変換して 性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				戸籍変動区分 ＝ 4の時　新本籍
	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ≠ 4の時　本籍
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			妻の漢字氏名				
	旧筆頭者			夫の漢字氏名　又は 妻の漢字氏名				妻の筆頭者区分 ＝ 1の時 妻の漢字氏名 上記以外の時　夫の漢字氏名
	住所コード			妻の住所コード				
	住所			妻の住所				
	方書			――――――――				
	転入届出日			――――――――				

第7.2.(5)「異動」処理

12.親権(管理権)の届

1.親権(管理権)業務処理範囲外の処理

(1).裁判所書記官から戸籍の記録嘱託

(2).同一人再婚,同籍内縁組等による共同親権の記録や父母離婚の際親権者を父又は母と定められた子が養子となった後離縁したため復籍戸籍に記録する
親権に関する記録等,親権届が出ない各届に付随して記録される親権事項は,各届での移記処理により記録する

(3).親権者を父又は母の一方に定められた子が成年に達したため,婚姻したため親権に服さなくなった旨記録の申出があった場合の記録

(4).取消に関する処理

2.親権(管理権)届入力画面の意義

(1).その1入力画面:未成年者及び親権者の入力

(2).その2入力画面:届出事項及び届出人の入力

(3).ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

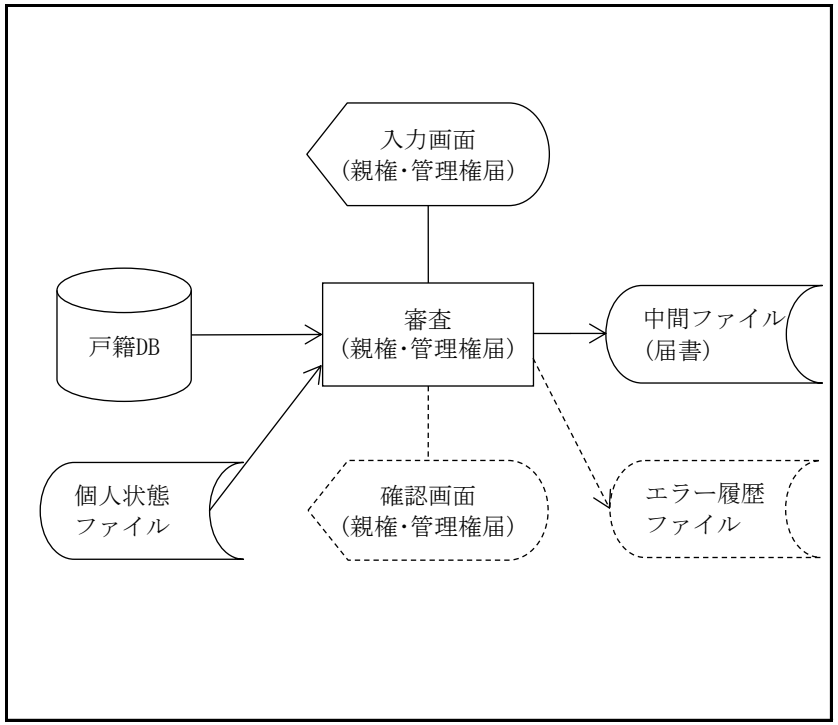
3.その他

(1).協議による親権者指定届は,未成年者の共同親権者である父(養父)と母(養母)により行われること。

(2).親権者変更届は,親権者をどちらか一方に定めた後,もう一方に変えるときに行われること。

(3).受付ファイルにおける親権協議者の筆頭者氏名は受付DBメンテで行う。

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)親権(管理権)届の内容を画面入力する。
(2)親権(管理権)届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)親権(管理権)届で入力された項目の単体チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)親権(管理権)届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する。
(6)入力確認(親権(管理権)届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/16

処理名	0.0　本紙						根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書内容を画面入力する						/	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)				[1.0]	/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)			[2.0]	/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する
				確認	(12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答する。		
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO	(14)エラーメッセージを表示する					
PF1	⟶						(15)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶						(16)届出選択に制御を渡す
PF7	(17)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)					/	(19)同画面を編集する
	YES	(18)前ページ「親権・管理権届」画面編集					
	NO	(20)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(21)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)					/	
	YES	(22)次ページ「親権・管理権届」画面編集					
	NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以後の審査を継続する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	4/16

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　1/2	入力画面(親権・管理権届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	報告区分	○	数字	(1:創設,2:報告)であること			
11	未成年者の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
12	未成年者の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
13	未成年者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	未成年者のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年者の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年者の本籍	○	漢字				
17	未成年者の筆頭者		漢字				
18	親権者の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
19	親権者の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
20	親権者の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	親権者のカナ氏名	○	カナ				
22	親権者の漢字氏名	○	漢字				
23	親権者の本籍	○	漢字				
24	親権者の筆頭者		漢字				
25	親権者資格	○	数字	(1:父,2:母,10:養父,11:養母)であること			
26	届出事件	○	数字	(1:親権者指定～8:管理権回復)であること(3:親権喪失、6:管理権喪失を除く)			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/16

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　2/2	入力画面(親権・管理権届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	種別区分	○	漢字	(1:協議　～　4:審判(確定))であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
28	審判/調停日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	関連事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	届出人資格1	○	数字	(1:父,2:母,10:養父,11:養母 82:親族)であること			
31	届出人氏名1		漢字				
32	届出人・協議者資格		数字	(1:父,2:母,10:養父,11:養母)であること			
33	届出人・協議者外人区分		数字	(0:日本人,2:外国人)であること			
34	届出人・協議者本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
35	届出人・協議者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	届出人・協議者カナ氏名		カナ				
37	届出人・協議者漢字氏名		漢字				
38	届出人・協議者本籍		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目関連チェック 1/3	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ,(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ,(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館からの直接送付)　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき,(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.13)未成年者の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.17)未成年者の筆頭者が入力されていること			
17	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.17)未成年者の筆頭者は未入力であること			
18	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時,(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管内であること			
19	(No.12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時,(No.16)未成年者の本･国籍 ＝ 管外であること			
19-1	(No.11)未成年者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.15)未成年者の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年者の筆頭者氏名の氏であること			
20	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.20)親権者の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.20)親権者の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.23)親権者の本･国籍 ＝ 本籍であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	7/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0入力項目関連チェック 2/3	入力画面(親権・管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.23)親権者の本・国籍 ＝ 国籍であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時,(No.24)親権者の筆頭者が入力されていること			
26	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時,(No.24)親権者の筆頭者は未入力であること			
27	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時,(No.23)親権者の本・国籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時,(No.23)親権者の本・国籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.18)親権者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.22)親権者の漢字氏名の氏 ＝ (No.24)親権者の筆頭者氏名の氏であること			
29	(No.10)届出区分 ＝ 1(創設的届出)の時, (No.26)届出事件 ＝ 4,5,7,8(親権者辞任,親権者回復,管理権辞任,管理権回復)又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で、(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)であること			
30	(No.10)届出区分 ＝ 2(報告的届出)の時, (No.26)届出事件 ＝ 2,(親権者変更)又は (No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)で(No.27)種別区分 ＝ 2,4(調停,審判)であること			
31	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時,(No.26)届出事件 ＝ 1(親権者指定)であること			
32	(No.27)種別区分 ＝ 2(調停)の時, (No.26)届出事件 ＝ 1,2(親権者指定,親権者変更)であること			
33	(No.27)種別区分 ＝ 3(許可の審判)の時, (No.26)届出事件 ＝ 4,5,7,8(親権者辞任,親権者回復,管理権辞任,管理権回復)であること			
34	(No.27)種別区分 ＝ 4(審判)の時, (No.26)届出事件 ＝ 1,2(親権者指定,親権者変更)であること			
35	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時,(No.28)審判/調停日は入力されていないこと			
36	(No.27)種別区分 ＝ 2,3,4(調停,許可の審判,審判)の時,(No.28)審判/調停日は,必須入力でありかつ,(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≧ (No.28)審判/調停日であり,(No.9)郵送日 ＝ スペースの時,(No.2)受領日 ≧ (No.28)審判/調停日であること			
37	(No.25)親権者区分 ＝ (No.30)届出人資格1かつ(No.31)届出人氏名1 ≠ スペースの時, (No.22)親権者の漢字指名 ＝ (No.31)届出人氏名1であること			
38	(No.25)親権者区分 ≠ (No.30)届出人資格1の時,(No.31)届出人氏名1は,必須入力であること			
39	(No.27)種別区分 ＝ 1(協議)の時, (No.32)届出人・協議者資格～(No.38)届出人・協議者の本籍は,必須入力であること			
40	(No.27)種別区分 ≠ 1(協議)の時, (No.32)届出人・協議者資格～(No.38)届出人・協議者の本籍は,未入力であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目関連チェック 3/3	入力画面(親権･管理権届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
42	(NO32)届出人･協議者資格に入力がある時, (NO30)届出人資格1 ＝ 1又は10(父,養父)の場合は, (NO32)届出人･協議者資格 ＝ 2又は11(母,養母)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
43	(NO32)届出人･協議者資格に入力がある時, (NO30)届出人資格1 ＝ 2又は11(母,養母)の場合は, (NO32)届出人･協議者資格 ＝ 1又は10(父,養父)であること			
44	(NO33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時, (NO34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
45	(NO33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (NO35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 和暦であること			
46	(NO33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時, (NO35)届出人･協議者の生年月日 ＝ 西暦であること			
47	(NO33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (NO38)届出人･協議者の本籍 ＝ 本籍であること			
48	(NO33)届出人･協議者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時, (NO38)届出人･協議者の本籍 ＝ 国籍であること			
49	(NO34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)の時, (NO38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管内であること			
50	(NO34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時, (NO38)届出人･協議者の本籍 ＝ 管外であること			
51	(NO12)未成年者の本非区分 ＝ 1(本籍)又は,(NO19)親権者の本非区分 ＝ 1(本籍)又は, (NO34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (NO8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
52	(NO12)未成年者の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ,(NO19)親権者の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ, (NO34)届出人･協議者の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (NO8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	9/16

処理名	3.0 審査 (1/3)						根拠法令(マニュアル処理)
(0)受領日 ＝ 送付日 である(YES,NO)						/	
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示					/	
	YES	(0-2)→(0-5)へ				/	
	NO	→					(0-3)本紙へ
NO	(0-4)→(0-5)へ					/	
(0-5)(未成年者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年者の漢字氏名の名が未入力) または (親権者の外国人区分 = 0(日本人) かつ 親権者の漢字氏名の名が未入力) または (届出人・協議者外人区分 = 0(日本人) かつ 届出人・協議者漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)						/	名未定の審査 R2.1(親権79)
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示						(0-7) 本紙へ R2.1(親権79)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示					(0-10) 本紙へ R2.1(親権79) 画面項目修正(審査完了しない)
	NO	(0-9)→					R2.1(親権79)
NO	(0-11)→(1)					/	R2.1(親権79)
(1)届出種別(1:協議,2:調停,3:許可審判,4:審判)							
1	(2)未成年者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)					/	
	0	(2-1)審判／調停日 ≠ スペースの場合, 成立年月日 ≧ 2022年4月1日 または 審判／調停日 = スペースの場合, 受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)				/	民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ) (2022年4月1日) R2.1(親権77)
		YES	(2-2)未成年者の生年月日 + 18年(18歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/	民818の1 R2.1(親権77)
			YES	(2-3)→(7)		/	R2.1(親権77)
			NO	(2-4)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は18歳以上です」を表示			(2-5)本紙へ 不受理 R2.1(親権77)
		NO	(3)未成年者の生年月日 + 20年(20歳未満) > 受領日である(YES,NO)			/	民818の1
			YES	(4)→(7)		/	
			NO	(5)エラーメッセージ 「未成年者の年齢は20歳以上です」を表示			(6)本紙へ 不受理
		(7)未成年者の本非区分(1:本籍,2:非本籍)				/	
		1	(8)			/	(8)～(11)削除
				(9)			(10)
				(11)→(12)		/	
			(12)未成年者の父(養父)母(養母)の氏名欄のいずれかに親権者の氏名があるか			/	
			YES	(13)→(20)		/	
			NO	(14)確認メッセージ(OK:YES,NG:NO)			(15)本紙へ

				「親権者名は正しいですか」を表示				
				YES	(16)→(20)	/		
				NO	(17)→		(18)本紙へ	不受理
		2	(19)→(20)			/		
	1							
	(20)親権者の外国人区分(0:日本人,1:外国人)					/		
	0	(20-1)審判／調停日 ≠ スペースの場合，成立年月日 ≧ 2022年4月1日 または審判／調停日 = スペースの場合，受領日 ≧ 2022年4月1日(YES,NO)				/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ)
								(2022年4月1日) R2.1(親権77)
		YES	(20-2)親権者の生年月日 + 18年(18歳未満) ≦ 受領日である(YES,NO)			/		明治33.11.16 民刑第1451号回答 R2.1(親権77)
			YES	(20-3)→(28)		/		R2.1(親権77)
			NO	(20-4)確認メッセージ 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示			(20-5)本紙へ	昭和26.3.6 民事甲第412号回答 R2.1(親権77)
				YES	(20-6)→(28)	/		R2.1(親権77)
				NO	(20-7)→		(20-8)本紙へ	不受理 R2.1(親権77)
		NO	(21)親権者の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 受領日である(YES,NO)			/		民818の1
			YES	(22)→(7)		/		
			NO	(23)確認メッセージ 「親権者は未成年ですがよろしいですか」を表示			(24)本紙へ	昭和26.3.6 民事甲第412号回答
				YES	(25)→(28)	/		
				NO	(26)→		(27)本紙へ	不受理
		(28)親権者の本非区分(1:本籍,2:非本籍)				/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	10/16

処理名	3.0 審査 1-1/3			根拠法令(マニュアル処理)
	1	(29)	/	(29)～(32)削除
		(30)	(31)	
		(32)→(34)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	11/16

処理名		3.0 審査 2/3			根拠法令(マニュアル処理)
1	0	2 (33)→(34)	/		
	1				
	(34)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は未成年者の父(養父),母(養母)の双方ですか」を表示			(35)本紙へ	戸78
	YES	(36)→(89)	/		
	NO	(37)→		(38)本紙へ	不受理
2	(39)確認メッセージ(YES,NO)「調停・和解・認諾調書の謄本の添付がありますか」を表示				戸63、人事訴訟法によりメッセージを変更
	YES	(40)→(43)	/		
	NO	(41)→		(42)本紙へ	不受理
	(43)調停成立日 + 10日 > 受領日(YES,NO)		/		戸63
	YES	(44)→(50)	/		
	NO	(45)確認メッセージ(YES,NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示		(46)本紙へ	
		YES (47)→(50)	/		
		NO (48)→		(49)本紙へ	不受理
	(50)届出人は新たに親権者となった者であるか		/		戸79
	YES	(51)→(89)	/		
	NO	(52)確認メッセージ(YES,NO)「届出人は正しいですか」を表示		(53)本紙へ	
		YES (54)→(89)	/		
		NO (55)→		(56)本紙へ	不受理
3	(57)確認メッセージ(YES,NO)「許可審判書の謄本の添付がありますか」を表示				
	YES	(58)→(61)	/		
	NO	(59)→		(60)本紙へ	不受理
	(61)届出人は辞任(回復)しようとする親権者か		/		戸80
	YES	(62)→		(63)本紙へ	受理
	NO	(64)確認メッセージ(YES,NO)「届出人は正しいですか」を表示			
		YES (65)→			受理
		NO (66)→			不受理
4	(67)確認メッセージ(YES,NO)「審判書の謄本及び確定証明書の添付がありますか」を表示				戸63
	YES	(68)→(71)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	12/16

処理名		3.0 審査 3/3			根拠法令(マニュアル処理)
4	NO	(69)→		(70)本紙へ	不受理
	(71)審判確定日 + 10日 > 受領日(YES,NO)		/		戸79
	YES	(72)→(78)	/		
	NO	(73)確認メッセージ(YES,NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示		(74)本紙へ	
		YES (75)→(78)	/		
		NO (76)→		(77)本紙へ	不受理
	(78)届出事件は1(親権者指定),2(親権者変更)であるか		/		
	YES	(79)届出人は親権(管理権)をそれぞれ指定・変更する親権者本人であるか	/		戸79
		YES (80)→(89)	/		
		NO (81)確認メッセージ(YES,NO)「届出期間正しいですか」を表示		(82)本紙へ	
		YES (83)→(89)	/		
		NO (84)→		(85)本紙へ	不受理
	NO	(86)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は喪失宣告を受けないもう一方の親権者ですか」を表示	/		戸79
		YES (87)→			受理
		NO (88)→			不受理
(89)届出事件は1(親権者指定)であるか			/		
YES	(90)関連事件発生日に入力があるか		/		
	YES	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「既に養子離縁は成立しており,事件発生日と養子離縁届出日は同じですか」を表示		(92)本紙へ	
		YES (93)→			受理
		NO (94)→			不受理
	NO	(95)→			受理
NO					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(親権・管理権届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		親権・管理権届 (その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							13(親権・管理権届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0の時:1 在外送付区分 ＝ 1,2,3の時:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分			報告区分				
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム・インターフェース	戸籍番号				未成年者が本籍人の場合,選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							3/4,4/4参照
	不受理申出処分区分							本籍人で該当する不受理申出がある場合,1を移送する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(親権･管理権届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未設定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 3/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(親権・管理権届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	外国人区分(未成年)		親権・管理権届 (その1) 入力画面	未成年者外国人区分				
	本非区分(未成年)			未成年者本非区分				
	生年月日(未成年)			未成年者生年月日				
	カナ氏名(未成年)			未成年者カナ氏名				
	漢字氏名(未成年)			未成年者漢字氏名				
	本籍コード(未成年)			未成年者本籍				
	本籍(未成年)							
	筆頭者(未成年)			未成年者筆頭者				
	外国人区分(親権者)			親権者外国人区分				
	本非区分(親権者)			親権者本非区分				
	生年月日(親権者)			親権者生年月日				
	カナ氏名(親権者)			親権者カナ氏名				
	漢字氏名(親権者)			親権者漢字氏名				
	本籍コード(親権者)			親権者本籍				
	本籍(親権者)							
	筆頭者(親権者)			親権者筆頭者				
	親権者資格			親権者資格				
	届出事件		親権・管理権届 (その2) 入力画面	届出事件				
	種別区分			種別区分				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				

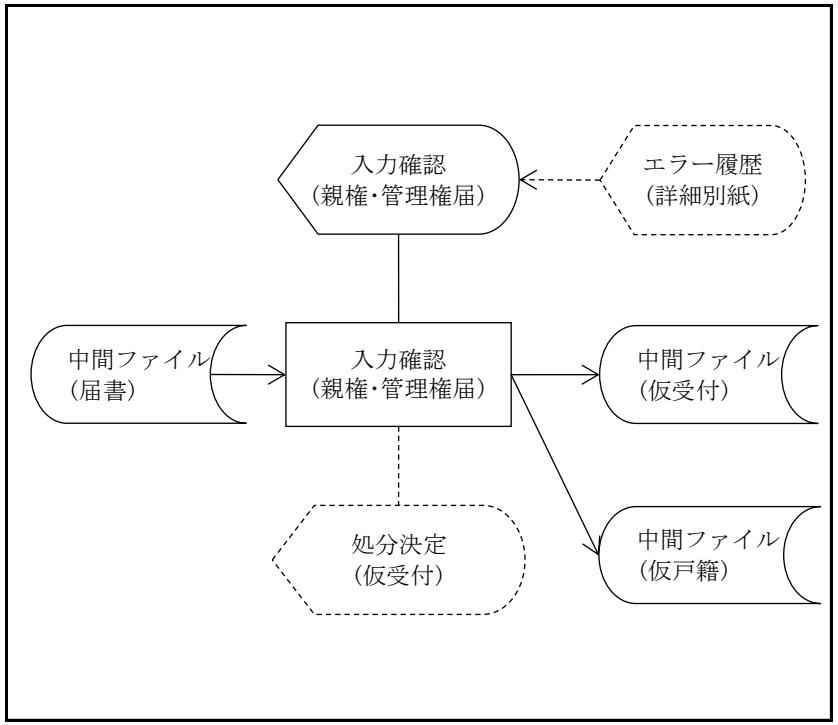
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 4/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(親権・管理権届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	届出人・協議者資格		親権・管理権届 (その2) 入力画面	届出人・協議者資格				
	外国人区分(届出人・協議者)			届出人・協議者外国人区分				
	本非区分(届出人・協議者)			届出人・協議者本非区分				
	生年月日(届出人・協議者)			届出人・協議者生年月日				
	カナ氏名(届出人・協議者)			届出人・協議者カナ氏名				
	漢字氏名(届出人・協議者)			届出人・協議者漢字氏名				
	本籍コード(届出人・協議者)			届出人・協議者本籍				
	本籍(届出人・協議者)							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/13

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(親権･管理権届確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/13

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」を表示する	[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する	[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[3.0]	/	
	(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[3.1]	/	
	(6)事件本人(未成年者)が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES　(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/	(9)処分決定に制御を渡す
	身分事項(変動なし)　(8)現戸籍(未成年者)に親権・管理権事項の編集	[4.1]		
	NO　⟶			
PF1	⟶			(10)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶			(11)届出選択に制御を渡す
PF5	⟶			(12)審査に制御を渡す
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	(15)同画面を編集する
	YES　(14)前ページ「親権・管理権届」画面編集			
	NO　(16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	
	YES　(18)次ページ「親権・管理権届」画面編集			
	NO　(19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	⟶			(20)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(22)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/13

処理名	1.0 確認画面編集(親権・管理権届)　1/2	(受取側)　確認画面(親権・管理権画面)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
親権・管理権届 確認画面(その1)	画面ID		中間ファイル (届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	報告区分			届区分				
	未成年者外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	外国人区分(未成年)		有		
	未成年者本非区分			本非区分(未成年)		有		
	未成年者生年月日			生年月日(未成年)				
	未成年者カナ氏名			カナ氏名(未成年)				
	未成年者漢字氏名			漢字氏名(未成年)				
	未成年者本籍			本籍(未成年)				
	未成年者筆頭者			筆頭者(未成年)				
	親権者外国人区分			外国人区分(親権者)		有		
	親権者本非区分			本非区分(親権者)		有		
	親権者生年月日			生年月日(親権者)				
	親権者カナ氏名			カナ氏名(親権者)				
	親権者漢字氏名			漢字氏名(親権者)				
	親権者本籍			本籍(親権者)				
	親権者筆頭者			筆頭者(親権者)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/13

処理名	1.0 確認画面編集(親権・管理権届)　2/2	(受取側)　確認画面(親権・管理権届)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
親権・管理権届確認画面(その1)	親権者資格		中間ファイル(届書) 事件別内容	親権者資格				
親権・管理権届確認画面(その2)	届出事件			届出事件				
	届出種別			届出種別				
	審判/調停日			審判/調停日				
	関連事件発生日			関連事件発生日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人・協議者資格			届出人・協議者資格				
	届出人・協議者外国人区分			外国人区分(届出人・協議者)				
	届出人・協議者本非区分			本非区分(届出人・協議者)				
	届出人・協議者生年月日			生年月日(届出人・協議者)				
	届出人・協議者カナ氏名			カナ氏名(届出人・協議者)				
	届出人・協議者漢字氏名			漢字氏名(届出人・協議者)				
	届出人・協議者本籍			本籍(届出人・協議者)				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/13

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				未成年者の現在戸籍
	未成年者				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者(4.1)
2	○			○	
3		○	－	－	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	6/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出事件 ＝ 1(親権者指定)の時、 種別区分 ＝ 協議ならば 1301(親権者指定) 種別区分 ＝ 調停ならば 1302(親権者指定(調停)) 種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1303(親権者指定(裁判)) 届出事件 ＝ 2(親権者変更)の時、 種別区分 ＝ 調停ならば 1304(親権者変更(調停)) 種別区分 ＝ 審判(確定)ならば 1305(親権者変更(裁判)) 届出事件 ＝ 4(親権辞任)の時、 1310(親権辞任) 届出事件 ＝ 7(管理権辞任)の時、 1311(管理権辞任) 届出事件 ＝ 5(親権回復)の時、 1312(親権回復) 届出事件 ＝ 8(管理権回復)の時、 1313(管理権回復)を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			審判/調停日				種別区分 ＝ 調停,審判(確定)かつ関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	7/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	渉外区分		中間ファイル (届書)					日本人のみ届のため設定不要
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	届出人資格区分1			届出人資格1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人資格名称1			届出人資格1		有		親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送
	届出人氏名1			届出人氏名1				親権者資格 ≠ 届出人資格1の時移送 ただし届出人資格 ＝ 1,2の場合は移送しない
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	8/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年者 ＝ 15 親権者 ＝ 16～25 16:届出事件が親権者指定,親権者変更 19:届出事件が親権辞任 20:届出事件が親権回復 24:届出事件が管理権辞任 25:届出事件が管理権回復 親権協議者 ＝ 49
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				未成年者 ＝ カナ氏名(未成年者) 親権者 ＝ カナ氏名(親権者) 親権協議者 ＝ カナ氏名(届出人・協議者)
	漢字氏名			漢字氏名				未成年者 ＝ 漢字氏名(未成年者) 親権者 ＝ 漢字氏名(親権者) 親権協議者 ＝ 漢字氏名(届出人・協議者)
	生年月日			生年月日				未成年者 ＝ 生年月日(未成年者) 親権者 ＝ 生年月日(親権者) 親権協議者 ＝ 生年月日(届出人・協議者)
	本籍コード			本籍コード				未成年者 ＝ 本籍コード(未成年者) 親権者 ＝ 本籍コード(親権者) 親権協議者 ＝ 本籍コード(届出人・協議者)
	本籍			本籍				未成年者 ＝ 本籍(未成年者) 親権者 ＝ 本籍(親権者) 親権協議者 ＝ 本籍(届出人・協議者)
	筆頭者氏名			筆頭者氏名				未成年者 ＝ 筆頭者(未成年者) 親権者 ＝ 筆頭者(親権者)
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(未成年者のみ設定) 上記以外は、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序
1. 未成年者
2. 親権者
3. 親権協議者(但し、親権協議者は、協議による親権者指定届の時のみ出力する)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9/13

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)					
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1301(親権者指定)
	記録コード							1301(親権者指定)
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				種別区分 ＝ 協議かつ 関連事件発生日 ＝ 0または、 種別区分 ＝ 許可審判の時、移送
				関連事件発生日				届出事件 ＝ 親権者指定かつ、 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
				審判/調停日				種別区分 ＝ 調停,審判(確定)かつ、 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定めた日			受領日				届出事件 ＝ 親権者指定かつ、 届出区分 ＝ 協議かつ、 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定められた日							
	親権者となった日			関連事件発生日				届出事件 ＝ 親権者指定かつ、 関連事件発生日 ≠ 0の時、移送
	親権者を定める裁判確定日			審判/調停日				届出事件 ＝ 親権者指定かつ、 届出区分 ＝ 審判(確定)かつ、 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者を定める調停成立日			審判/調停日				届出事件 ＝ 親権者指定かつ、 届出区分 ＝ 調停かつ、 関連事件発生日 ＝ 0の時、移送
	親権者変更の裁判確定日			審判/調停日				届出事件 ＝ 親権者変更かつ、 届出区分 ＝ 審判(確定)の時、移送
	親権者変更の調停成立日			審判/調停日				届出事件 ＝ 親権者変更かつ、 届出区分 ＝ 調停の時、移送
	共同親権に服した日							
	親権に服した日							
	親権に服さなくなった日							
	親権喪失宣告の裁判確定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	10/13

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	管理権喪失宣告の裁判確定日			中間ファイル (届書)					
	親権喪失宣告取消しの裁判確定日								
	管理権喪失宣告取消しの裁判確定日								
	親権辞任日				受領日				届出事件 ＝ 親権辞任の時、移送
	管理権辞任日				受領日				届出事件 ＝ 管理権辞任の時、移送
	親権回復日				受領日				届出事件 ＝ 親権回復の時、移送
	管理権回復日				受領日				届出事件 ＝ 管理権回復の時、移送
	親権者職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	管理権執行停止及び代行者選任の裁判発効日								
	親権者職務執行停止の裁判失効日								
	管理権執行停止の裁判失効日								
	親権代行者改任の裁判発効日								
	管理権代行者改任の裁判発効日								
	親権喪失の審判確定日								
	管理権喪失の審判確定日								
	親権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	管理権喪失の審判取消しの裁判確定日								
	親権停止の審判確定日								
	親権停止の審判の取消しの裁判確定日								
	親権者	資格			親権者資格		有		届出事件 ＝ 親権者指定、親権者変更の時、移送
		資格名称							
		氏名			漢字氏名(親権者)				届出事件 ＝ 親権者指定、親権者変更かつ、親権者資格 ＝ 10,11の時、移送
	親権喪失者	資格							
		資格名称							
	管理権喪失者	資格							
		資格名称							
	親権喪失取消者	資格							
		資格名称							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	11/13

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	管理権喪失取消者	資格 資格名称		中間ファイル (届書)						
	親権辞任者	資格 資格名称			親権者資格			有		届出事件 ＝ 親権辞任の時、移送
	管理権辞任者	資格 資格名称			親権者資格			有		届出事件 ＝ 管理権辞任の時、移送
	親権回復者	資格 資格名称			親権者資格			有		届出事件 ＝ 親権回復の時、移送
	管理権回復者	資格 資格名称			親権者資格			有		届出事件 ＝ 管理権回復の時、移送
	職務執行停止を受けた者	資格 資格名称								
	管理権執行停止を受けた者	資格 資格名称								
	親権代行者									
	親権代行者の戸籍	本籍 筆頭者								
	親権代行者の国籍									
	親権代行者の生年月日									
	管理権代行者									
	管理権代行者の戸籍	本籍 筆頭者								
	管理権代行者の国籍									
	管理権代行者の生年月日									
	親権停止者	資格 資格名称								
	親権停止期間									
	親権停止取消者	資格 資格名称								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権･管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月 31日	21	12/13

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出日		中間ファイル (届書)	受領日				種別区分 ＝ 協議かつ、 関連事件発生日 ＝ 0の時、又は、 種別区分 ＝ 許可の審判日の時、 上記以外の時、移送
	届出人(資格)			届出人資格1 届出人･協議者資格				種別区分 ＝ 協議の時、 届出人資格1,届出人･協議者資格が、 1,2の時、5(父母)に変換して移送 上記以外は、届出人資格1を移送 (但し、種別区分 ＝ 許可の審判の時は、移送しない)
	届出人(資格名称)			届出人資格1 届出人･協議者資格		有		上記、届出人資格に移送した資格をコード変換後に移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(親権・管理権届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	13/13

処理名	4.1身分事項 未成年者編集 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出人(氏名)		中間ファイル (届書)	届出人氏名1				届出人(資格)の備考に基づき、 届出人資格1 ＝ 1,2以外は移送する
	届出人(資格)			届出人・協議者資格				種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1かつ届出人・協議者資格 ＝ 11または 届出人資格1 ＝ 10かつ届出人・協議者資格 ＝ 2または 届出人資格1 ＝ 2かつ届出人・協議者資格 ＝ 10または 届出人資格1 ＝ 11かつ届出人・協議者資格 ＝ 1または 届出人資格1 ＝ 10かつ届出人・協議者資格 ＝ 11または 届出人資格1 ＝ 11かつ届出人・協議者資格 ＝ 10の時移送する
	届出人(資格名称)			届出人・協議者資格		有		
	届出人(氏名)			届出人・協議者漢字氏名				種別区分 ＝ 協議で、 届出人資格1 ＝ 1かつ届出人・協議者資格 ＝ 11または 届出人資格1 ＝ 2かつ届出人・協議者資格 ＝ 10または 届出人資格1 ＝ 10かつ届出人・協議者資格 ＝ 11または 届出人資格1 ＝ 11かつ届出人・協議者資格 ＝ 10の時移送する
	記載嘱託日							
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	許可日							
	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可を受けた者							
	従前の記録							
	記録日			処理日				送付日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							

データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍・身分事項の項目は、ノーマルケース時の項目のみを記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

13.未成年者の後見届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	1/18

1. 未成年者の後見業務処理範囲外の処理

(1). 裁判所書記官からの戸籍の記載嘱託(未成年後見人の選任, 未成年後見監督人の選任を除く)

(2). 成年に達したため及び婚姻したため等, 申出による未成年者の後見終了の記録

(3). 養子縁組, 養子離縁, 婚姻等, 各届出のその他欄に「未成年者の後見終了事項を記録されたい」旨記録して届出があった場合の後見終了の記録

(4). 未成年者からの届出があった場合の記録

(5). 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

(6). 複数の未成年後見人事項が記載されている人がいる戸籍に届出があった場合の記録

(7). 未成年後見人が地位を失った旨の届出があった場合の記録

2. 未成年者の後見終了届入力画面の意義

(1). その1画面:未成年被後見人及び未成年後見人の入力

(2). その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3). ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3. その他

(1). 添付書類

・未成年者の後見開始届については, 指定未成年後見人の場合には遺言の謄本, 選定未成年後見人の場合には, 選定審判の謄本の添付を要する。
親権・管理権の喪失宣告による未成年者の後見開始の場合には, その審判の謄本のほか, 確定証明書の添付を要する。

・未成年者の後見終了届については, 親権・管理権の喪失宣告取消等による後見終了の場合には, それぞれの審判の謄本の添付を要する。

・未成年後見監督人就職届については, 未成年者の後見開始と同様である。

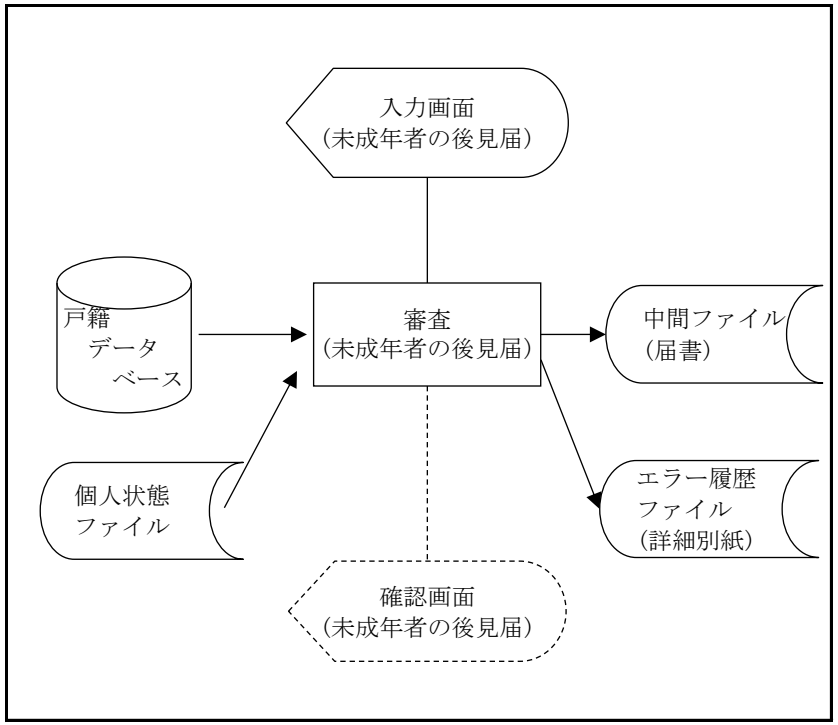
・未成年後見監督人任務終了届については, 終了の原因を証する書面(未成年後見監督人が未成年後見人と婚姻した時は, 婚姻事項の記録のある戸籍謄(抄)本が該当する)を添付する。

(2). 未成年者, 家庭裁判所で免ぜられた法定代理人, 保佐人又は補助人, 破産者, 未成年被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族, 行方の知れない者は, 未成年後見人(未成年後見監督人)となることができない。

(3). 未成年後見人の配偶者, 直系血族及び兄弟姉妹は, 未成年後見監督人となることができない。(民法850条)

(4). 未成年後見監督人は, 未成年後見人が就職してからでなければ就職できない。

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)未成年者の後見届の内容を画面入力する。

(2)未成年者の後見届で入力された項目の単体チェックを行う。

(3)未成年者の後見届で入力された項目の関連チェックを行う。

(4)審査を行う。

(5)未成年者の後見届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。

(6)入力確認(未成年者の後見届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/18

処理名	0.0 本紙						根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書内容を画面入力する						/	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES NG:NO) [1.0]					/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES NG:NO) [2.0]				/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES NG:NO) [3.0]			/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)の編集・出力 [4.0]			(8)入力確認画面(未成年者の後見届)に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する		
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO	(14)エラーメッセージを表示する					
PF1	→						(15)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(16)届出選択に制御を渡す
PF7	(17)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)					/	(18)同画面を編集する
	YES	(19)前ページ「未成年者の後見届」画面編集					
	NO	(20)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(21)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)					/	
	YES	(22)次ページ「未成年者の後見届」画面編集					
	NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以後の審査を継続する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	4/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表　1/2	入力画面(未成年者の後見届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	未成年者被後見人の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
11	未成年者被後見人の本非区分	○	漢字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
12	未成年者被後見人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	(削除)						
14	未成年者被後見人のカナ氏名	○	カナ				
15	未成年者被後見人の漢字氏名	○	漢字				
16	未成年者被後見人の本籍	○	漢字				
17	未成年者被後見人の筆頭者		漢字				
18	未成年者被後見人の外国人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	5/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表　2/2	入力画面(未成年者の後見届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	未成年後見人の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
20	未成年後見人の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	未成年後見人の後見人区分	○	数字	(3:未成年後見人,4:未成年後見監督人)であること			
22	未成年後見人のカナ氏名		カナ				
23	未成年後見人の漢字氏名	○	漢字				
24	未成年後見人の本籍		漢字				
25	未成年後見人の筆頭者		漢字				
26	未成年後見人の資格		数字	(1:父,2:母)であること			
26-1	未成年後見人の住所		漢字				
27	届出原因	○	数字	(11:親権行使者不在,12:親権行使者管理権喪失, 16:未成年後見監督人就職, 32:親権者親権回復,33:親権者管理権回復, 37:未成年後見人成年,38:未成年被後見人親権に服する, 39:未成年後見監督人任務終了,51:未成年後見人選任, 52:未成年後見人選任親権者不在, 53:未成年後見人選任管理権喪失, 54:未成年後見監督人選任)であること。			
28	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
30	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	裁判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31-1	記録嘱託日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
32	届出人資格		数字	(110:未成年後見人,112:未成年後見監督人,113:後任未成年後見人,114:後任未成年後見監督人,)であること。			
33	届出人氏名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表 1/4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき(No.5)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき(No.5)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日 であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.4)発送日 ≠ スペースのとき(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分以外 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館からの直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき(No.7)処理日>(No.2)受領日 であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき(No.4)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日 であること			
11	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 であること			
12	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.12)未成年被後見人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.17)未成年被後見人の筆頭者が入力 されていること			
17	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.17)未成年被後見人の筆頭者は未入力 であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	7/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表 2/4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.10)未成年被後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.15)未成年被後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.17)未成年被後見人の筆頭者氏名の氏であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
18	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 管内 であること			
19	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.16)未成年被後見人の本･国籍 ＝ 管外 であること			
20	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 であること			
21	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 和暦 であること			
22	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.20)未成年後見人の生年月日 ＝ 西暦 であること			
23	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.24)未成年後見人の本･国籍 ＝ 本籍 であること			
24	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.24)未成年後見人の本･国籍 ＝ 国籍 であること			
25	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者が入力 されていること			
26	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 1:外国人の時、(No.25)未成年後見人の筆頭者は未入力 であること			
26-1	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0または1の時、(No.22)未成年後見人のカナ氏名が入力されていること			
27	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.24)未成年後見人の本･国籍 ＝ 管内であること			
28	(No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍の時、(No.24)未成年後見人の本･国籍 ＝ 管外であること			
28-1	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が未入力であること			
28-2	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.18)未成年後見人の外国人区分が入力されていること			
28-3	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が未入力であること			
28-4	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.19)未成年後見人の本非区分が入力されていること			
28-5	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が未入力であること			
28-6	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.20)未成年後見人の生年月日が入力されていること			
28-7	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本･国籍が未入力であること			
28-8	(No.26-1)未成年後見人の住所 ＝ スペースの時、(No.24)未成年後見人の本･国籍が入力されていること			
28-9	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.25)未成年後見人の筆頭者が未入力であること			
28-10	(No.26-1)未成年後見人の住所 ≠ スペースの時、(No.26)未成年後見人の資格が未入力であること			
29	(No.18)未成年後見人の外国人区分 ＝ 0:日本人の時、 (No.23)未成年後見人の漢字氏名の氏 ＝ (No.25)未成年後見人の筆頭者氏名の氏であること			
30	(削除)			
31	(No.27)届出原因 ＝ 11,12,16:開始事由の時、(No.29)就職日は必須入力であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表 3/4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	(No.27)届出原因 ＝ 11,12,16:開始事由の時、(No.30)終了日,(No.31)裁判確定日,(No.31-1)記録嘱託日に入力がないこと	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
33	(削除)			
34	(削除)			
35	(No.27)届出原因 ＝ 32,33,37,38,39:終了事由の時,(No.30)終了日 は必須入力であること			
36	(No.27)届出原因 ＝ 32,33,37,38,39:終了事由の時,(No.28)開始日,(No.29)就職日,(No.31)裁判確定日,(No.31-1)記録嘱託日 に入力がないこと			
36-1	(No.27)届出原因 ＝ 51,52,53,54:嘱託事由の時,(No.31)裁判確定日,(No.31-1)記録嘱託日 は必須入力であること			
36-2	(No.27)届出原因 ＝ 51,52,53,54:嘱託事由の時,(No.28)開始日,(No.29)就職日,(No.30)終了日に入力がないこと			
37	(No.28)開始日 ≦ (No.29)就職日 であること			
37-1	(No.29)就職日 ≠ スペースの場合,(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≧ (No.29)就職日であり,(No.9)郵送日 ＝ スペースの時,(No.2)受領日 ≧ (No.29)就職日 であること			
37-2	(No.30)終了日 ≠ スペースの場合,(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≧ (No.30)終了日であり,(No.9)郵送日 ＝ スペースの時,(No.2)受領日 ≧ (No.30)終了日 であること			
37-3	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合,(No.4)送付日 ＝ スペース かつ(No.9)郵送日 ＝ スペース であること			
37-4	(No.31)裁判確定日 ≠ スペースの場合,(No.31)裁判確定日 ≦ (No.3)受領日 ≦ (No.31-1)記録嘱託日 であること			
38	(削除)			
39	(削除)			
40	(No.21)後見人区分 ＝ 3:未成年後見人の時,(No.27)届出原因 ＝ 16:未成年後見監督人就職,39:未成年後見監督人任務終了,54:未成年後見監督人選任以外 であること			
41	(No.21)後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人の時,(No.27)届出原因 ＝ 16:未成年後見監督人就職,39:未成年後見監督人任務終了,54:未成年後見監督人選任 であること			
42	(No.21)後見人区分 ＝ 3:未成年後見人 かつ (No.27)届出原因 ＝ 11:親権行使者不在,12:親権行使者管理権喪失,32:親権者親権回復,33:親権者管理権回復,37:未成年後見人成年,38:未成年被後見人親権に服するの時、(No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人,113:後任未成年後見人 であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表 4/4	入力画面(未成年者の後見届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
43	(No.21)後見人区分 ＝ 4:未成年後見監督人 かつ (No.27)届出原因 ＝ 16:未成年後見監督人就職,39:未成年後見監督人任務終了の時,(No.32)届出人資格 ＝ 112:未成年後見監督人,114:後任未成年後見監督人 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
43-1	(No.27)届出原因 ＝ 51,52,53,54:嘱託事由の時,(No.32)届出人資格,(No.33)届出人氏名 に入力がないこと			
44	(No.32)届出人資格 ＝ 110:未成年後見人 又は 112:未成年後見監督人 かつ (No.33)届出人氏名 ≠ スペースの時,(No.23)未成年後見人の漢字氏名 ＝ (No.34)届出人氏名 であること			
45	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人 の時,(No.27)届出原因 ＝ 11,12,16:開始事由 であること			
46	(No.32)届出人資格 ＝ 113:後任未成年後見人 又は 114:後任未成年後見監督人 の時,(No.33)届出人氏名 は必須入力であること			
47	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 1:本籍 又は (No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 1:本籍 の時,(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍 であること			
48	(No.11)未成年被後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 かつ (No.19)未成年後見人の本非区分 ＝ 2:非本籍 または (No.19)未成年後見人の本非区分が未入力の時,(No.8)本非区分 ＝ 2:非本籍 であること			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	10/18

処理名	3.0 審査 1/3			備考
(0.0-1)届出原因は51,52,53,54:嘱託事由であるか				22版追加
YES	(0.0-2)→		(0.0-3)審査終了	※嘱託記載の場合は審査不要のため
NO	(0.0-4)→(0)へ	/		
(0)受領日 ＝ 送付日 である(YES,NO)		/		
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」を表示	/		
YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ	/		
(0-5)(未成年被後見人の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年被後見人の漢字氏名の名が未入力) または (未成年後見人の外国人区分 = 0(日本人) かつ 未成年後見人の漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		名未定の審査 R2.1(後見45)
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示		(0-7) 本紙へ	R2.1(後見45)
YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」 を表示		(0-10) 本紙へ	R2.1(後見45) 画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-9)→			R2.1(後見45)
NO	(0-11)→(1)	/		R2.1(後見45)
(1) (削除)				
	(2)未成年被後見人の外国人区分(0:日本人,1:外国人)	/		
0	(3)未成年被後見人の本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/		
1	(4)未成年被後見人は婚姻しているか(YES,NO)	/		
YES	(5)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」を表示する		(6)本紙へ	不受理
NO	(7)届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか	/		
YES	(7-1)終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)	/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ), R2.1(後見43)
YES	(7-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) - 1日 = 終了日(YES,NO)			民4 ※年齢18歳をもって成年とする。R2.1(後見43) 終了日は18歳の誕生日の前日
YES	(7-3)→(34)	/		R2.1(後見43)
NO	(7-4)エラーメッセージ 「終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する		(7-5)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
NO	(8)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) - 1日 ＝ 終了日(YES,NO)			民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
YES	(9)→(34)	/		
NO	(10)エラーメッセージ		(11)本紙へ	不受理

							「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する			
				NO	(12)→(33-1)			/		R2.1(12/6議2)
		2	(13)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年被後見人は婚姻していますか」を表示する					/		
			YES	(14)エラーメッセージ 「未成年被後見人が婚姻しているため、未成年後見終了届は出せません。」を表示する					(15)本紙へ	不受理
			NO	(16)届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか				/		
				YES	(16-1)終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)			/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ), R2.1(後見43)
					YES	(16-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) - 1日 = 終了日(YES,NO)		/		民4 ※年齢18歳をもって成年とする。R2.1(後見43) 終了日は18歳の誕生日の前日
						YES	(16-3)→(34)	/		R2.1(後見43)
						NO	(16-4)エラーメッセージ 「終了日は18歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する		(16-5)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
					NO	(17)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) - 1日 = 終了日(YES,NO)		/		民4 ※年齢20歳をもって成年とする。 終了日は20歳の誕生日の前日
						YES	(18)→(34)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	11/18

処理名	3.0 審査 1/3									備考
						NO	(19)エラーメッセージ 「終了日は20歳の誕生日の前日でなければなりません。」を表示する		(20)本紙へ	不受理
				NO	(21)→(33-1)			/		R2.1(12/6議2)
	1	(21-1)→(34)						/		
(22) (削除)								/		
	(23) (削除)							/		
		(24) (削除)						/		
			(25) (削除)					/		
				(26) (削除)				/	(27) (削除)	
				(28) (削除)				/		
			(29) (削除)					/		
				(30) (削除)				/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	12/18

処理名					3.0 審査 2/3			備考
					(31) (削除)		(32) (削除)	
				(33) (削除)		/		
(33-1)開始日 ≧ 2022年4月1日 または 終了日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)						/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ), R2.1(後見43)
YES	(33-2)未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) > 開始日 または 未成年被後見人の生年月日 + 18年(18歳) < 終了日 であるか(YES,NO)					/		R2.1(後見43)
	YES	(33-3)→(34)				/		R2.1(後見43)
	NO	(33-4)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する					(33-5)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
NO	(33-6)未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) > 開始日 または 未成年被後見人の生年月日 + 20年(20歳) < 終了日 であるか(YES,NO)					/		R2.1(12/6議2)
	YES	(33-7)→(34)				/		R2.1(12/6議2)
	NO	(33-8)エラーメッセージ 「未成年被後見人は未成年者ではありません。」を表示する					(33-9)本紙へ	不受理 R2.1(12/6議2)
(34)届出原因は11,12,16:開始事由であるか						/		
YES	(34-1)就職日 ≧ 2022年4月1日である(YES,NO)					/		民法の一部を改正する法律(成年年齢引下げ), R2.1(後見43)
	YES	(34-2)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 18年(18歳以上) ≦ 就職日である(YES,NO)				/		民847,民852,民4 R2.1(後見43)
		YES	(34-3)→(42)へ			/		R2.1(後見43)
		NO	(34-4)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)			/		法人を判定 R2.1(後見43)
			YES	(34-5)→(42)へ		/		R2.1(後見43)
			NO	(34-6)確認メッセージ(YES,NO) 「未成年後見人(未成年後見監督人)は18歳未満ですが,よろしいですか。」を表示する			(34-7)本紙へ	R2.1(後見43)
			YES	(34-8)→(42)へ		/		R2.1(後見43)
			NO	(34-9)→			(34-10)本紙へ	不受理 R2.1(後見43)
	NO	(35)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日である(YES,NO)				/		民847,民852,民4
		YES	(36)→(42)へ			/		
		NO	(36-1)未成年後見人(未成年後見監督人)の生年月日は空欄か(YES,NO)			/		法人を判定
			YES	(36-2)→(42)へ		/		
			NO	(37)確認メッセージ(YES,NO)			(38)本紙へ	

				「未成年後見人(未成年後見監督人)は20歳未満ですが,よろしいですか。」を表示する				
				YES	(39)→(42)へ	/		
				NO	(40)→		(41)本紙へ	不受理
	(42)未成年後見人(未成年後見監督人)の外国人区分 0:日本人か					/		
	YES	(43)未成年後見人(未成年後見監督人)の本非区分(1:本籍,2:非本籍)				/		
		1	(44) (削除)			/		
				(45) (削除)			(46) (削除)	
				(47) (削除)		/		
					(48) (削除)		(49) (削除)	
					(50)未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けているか	/		民847,民852
					YES (51)エラーメッセージ「未成年後見人(未成年後見監督人)は破産宣告を受けています。」を表示する		(52)本紙へ	不受理
					NO (53)→(66)へ	/		
		2	(54)→(66)へ			/		
	NO							
	(55) (削除)							

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13/18

処理名		3.0 審査 3/3			備考
YES		(56) (削除)	/		
		(57) (削除)	/		
		(58) (削除)	/		
		(59) (削除)		(60) (削除)	
		(61) (削除)			
		(62) (削除)	/		
		(63) (削除)		(64) (削除)	
		(65) (削除)	/		
	(66)未成年後見人(未成年後見監督人)の就職日 + 10日 > 受領日		/		戸81,戸82,戸85
	YES	(67)→(80)へ	/		
	NO	(68)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する		(69)本紙へ	
		YES (70)→(80)へ	/		
		NO (71)→		(72)本紙へ	不受理
NO	(72-1)届出原因は37(未成年被後見人が成年に達した)であるか(YES,NO)		/		
	YES	(72-2)終了日 + 11日 > 受領日	/		未成年被後見人が成年に達した場合翌日起算
		YES (72-3)→(80)へ	/		
		NO (72-4)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する		(72-5)本紙へ	
		YES (72-6)→(80)へ	/		
		NO (72-7)→		(72-8)本紙へ	不受理
	NO	(72-9)届出原因は32,33,38,39であるか(YES,NO)			
		YES (73)終了日 + 10日 > 受領日	/		戸84,戸85
		YES (74)→(80)へ	/		
		NO (75)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間が過ぎていますがよろしいですか。」を表示する		(76)本紙へ	
		YES (77)→(80)へ	/		
		NO (78)→		(79)本紙へ	不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14/18

処理名		3.0 審査 3/3			備考
		NO (79-1)→(80)	/		
(80)届出人は未成年後見人(未成年後見監督人)か			/		戸81,戸82,戸84,戸85
YES	(81)→			(82)本紙へ	受理
NO	(83)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人は,未成年後見人(未成年後見監督人)ではありませんがよろしいですか。」を表示する				
	YES	(84)→			受理
	NO	(85)→			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		未成年者の後見届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							41(未成年者の後見届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき:1 在外送付区分 ≠ 0のとき:2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム･インターフェース	戸籍番号				未成年被後見人が本籍人の場合選択 戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	16/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分							審査結果により,1 ＝ 受理,又は,2 ＝ 不受理,又は,3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未設定)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	17/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	未成年被後見人 外国人区分		未成年者の後見届(その1) 入力画面	未成年被後見人 外国人区分				
	未成年被後見人 本非区分			未成年被後見人 本非区分				
	未成年被後見人 生年月日			未成年被後見人 生年月日				
	未成年被後見人 カナ氏名			未成年被後見人 カナ氏名				
	未成年被後見人 漢字氏名			未成年被後見人 漢字氏名				
	未成年被後見人 本籍コード			未成年被後見人 本籍				
	未成年被後見人 本籍							
	未成年被後見人 筆頭者			未成年被後見人 筆頭者				
	未成年後見人 外国人区分			未成年後見人 外国人区分				
	未成年後見人 本非区分			未成年後見人 本非区分				
	未成年後見人 生年月日			未成年後見人 生年月日				
	未成年後見人 後見人区分			未成年後見人 後見人区分				
	未成年後見人 カナ氏名			未成年後見人 カナ氏名				
	未成年後見人 漢字氏名			未成年後見人 漢字氏名				
	未成年後見人 本籍コード			未成年後見人 本籍				
	未成年後見人 本籍							
	未成年後見人 筆頭者			未成年後見人 筆頭者				
	未成年後見人の資格			未成年後見人の資格				
	未成年後見人の住所			未成年後見人の住所				
	届出原因		未成年者の後見届(その2) 入力画面	届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	18/18

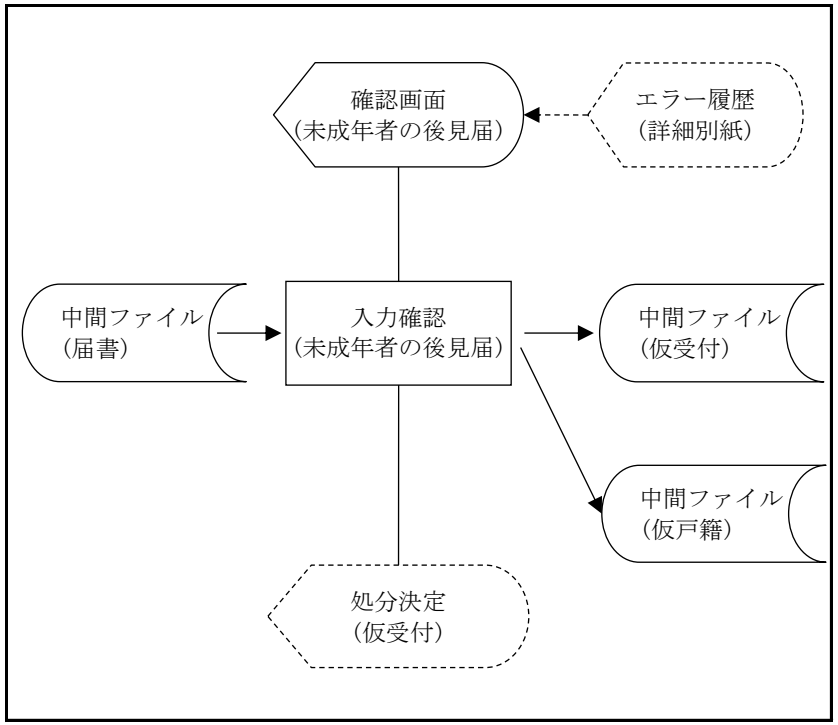
処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側) 入力画面(未成年者の後見届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

空白

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/15

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。

(2)戸籍変動状況を確定する。

(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。

(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。

(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(未成年者の後見届確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	2/15

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押してください。」		[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する	[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付〔受付〕)を編集・出力する	[3.0]	/	
	(5)中間ファイル(仮受付〔事件本人〕)を編集・出力する	[3.1]	/	
	(6)事件本人(未成年者被後見人)が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES (7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/	
	YES 身分事項(変動なし) (8)現戸籍(未成年者被後見人)に未成年者の後見事項の編集	[4.1]		(9)処分決定に制御を渡す
	NO →			
PF1	→			(10)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(11)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(12)審査に制御を渡す
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	(15)同画面を編集する
	YES (14)前ページ「未成年者の後見届」画面編集			
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/	
	YES (18)次ページ「未成年者の後見届」画面編集			
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→			(20)エラー表示に制御を渡す
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(22)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/15

処理名	1.0 確認画面編集 1/2	(受取側) 確認画面(未成年者の後見届) ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
未成年者の後見届確認画面(その1)	画面ID		中間ファイル(届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	未成年被後見人 外国人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	未成年被後見人 外国人区分		有		
	未成年被後見人 本非区分			未成年被後見人 本非区分		有		
	未成年被後見人 生年月日			未成年被後見人 生年月日				
	未成年被後見人 カナ氏名			未成年被後見人 カナ氏名				
	未成年被後見人 漢字氏名			未成年被後見人 漢字氏名				
	未成年被後見人 本籍			未成年被後見人 本籍				
	未成年被後見人 筆頭者			未成年被後見人 筆頭者				
	未成年後見人 外国人区分			未成年後見人 外国人区分		有		
	未成年後見人 本非区分			未成年後見人 本非区分		有		
	未成年後見人 生年月日			未成年後見人 生年月日				
	未成年後見人 後見人区分			未成年後見人 後見人区分				
	未成年後見人 カナ氏名			未成年後見人 カナ氏名				
	未成年後見人 漢字氏名			未成年後見人 漢字氏名				
	未成年後見人 本籍			未成年後見人 本籍				
	未成年後見人 筆頭者			未成年後見人 筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	4/15

処理名	1.0 確認画面編集 2/2	(受取側) 確認画面(未成年者の後見届)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
(その1)	未成年者の後見人の資格		中間ファイル (届書) 事件別内容	未成年者の後見人の資格				
	未成年者の後見人の住所			未成年者の後見人の住所				
未成年者の後見届確認画面 (その2)	届出原因			届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	裁判確定日			裁判確定日				
	記録嘱託日			記録嘱託日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				未成年被後見人の現在戸籍
	未成年被後見人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		未成年者被後見人(4.1)
2	○			○	
3		○	――	――	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出原因 ＝ 11,12(開始) 4101(未成年者の後見開始) 届出原因 ＝ 32,33,37,38(終了) 4102(未成年者の後見終了) 届出原因 ＝ 51,52,53(嘱託) 4117:(未成年後見人選任(嘱託)) 後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)の時 届出原因 ＝ 16(開始) 4110(未成年者の後見監督開始) 届出原因 ＝ 39(終了) 4111(未成年者の後見監督終了) 届出原因 ＝ 54(嘱託) 4119:(未成年後見監督人選任(嘱託))
	受領日			送付日 または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			就職日				届出原因 ＝ 11,12,16の時,移送
				終了日				届出原因 ＝ 32,33,37,38,39の時,移
				裁判確定日				届出原因 ＝ 51,52,53,54の時,移送
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人資格区分1		中間ファイル (届書)	届出人資格				届出人資格 ＝ 未成年後見人又は未成年後見監督人以外の時に移送する
	届出人資格名称1			届出人資格		有		
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	8/15

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							未成年被後見人 ＝ 55 未成年後見人 ＝ 56 未成年後見監督人 ＝ 57
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				未成年被後見人又は未成年後見人の受付を作成する際に,該当項目を移送する
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	(削除)							
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				未成年被後見人又は未成年後見人の受付を作成する際に,該当項目を移送する
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0 の時,1を移送(未成年被後見人のみ設定) 上記以外は,0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する
※出力順序

1. 未成年被後見人
2. 未成年後見人(未成年後見監督人)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	9/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(未成年被後見人)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							4101(未成年者の後見)
	記録コード							4101(未成年被後見人の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因 ＝ 11,12,16の時,移送
				終了日				届出原因 ＝ 32,33,37,38,39の時,移送
				裁判確定日				届出原因 ＝ 51,52,53,54の時,移送
	未成年後見人就職日			就職日				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,届出原因 ＝ 11,12(開始事由)の時,移送
	未成年後見人選任の裁判確定日			裁判確定日				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,届出原因 ＝ 51,52,53の時,移送
	未成年後見監督人就職日			就職日				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,届出原因 ＝ 16(後見監督人就職)の時,移送
	未成年後見監督人選任の裁判確定日			裁判確定日				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,届出原因 ＝ 54の時,移送
	未成年者の後見開始事由							後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)の時 届出原因 ＝ 11(親権行使者不在),52(未成年後見人選任親権者不在(嘱託))ならば「親権を行う者がいないため」 届出原因 ＝ 12(親権行使者管理権喪失),53(未成年後見人選任管理権喪失(嘱託))ならば「親権を行う者が管理権を有しないため」を移送
	未成年後見人更迭事由の発生日							
	未成年後見監督人更迭事由の発生日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	10/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	更迭事由							
	前任の未成年後見人 資格							
	前任の未成年後見人 資格名称							
	前任の未成年後見人 氏名							
	前任の未成年後見監督人 資格							
	前任の未成年後見監督人 資格名称							
	前任の未成年後見監督人 氏名							
	後任の未成年後見人就職日							
	後任の未成年後見監督人就職日							
	未成年後見人地位喪失事由の発生日							
	未成年後見監督人地位喪失事由の発生日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	11/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	地位喪失事由							
	未成年者の後見終了日			終了日				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,届出原因 ＝ 32,33,37,38(終了事由)の時,移送
	未成年者の後見監督終了日			終了日				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,届出原因 ＝ 39(監督人任務終了)の時,移送
	未成年後見人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見監督人辞任許可の裁判確定日							
	未成年後見人解任の裁判確定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督人解任の裁判確定日							
	未成年後見人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	未成年後見監督人職務執行停止及び代行者選任の裁判発効日							
	(削除)							
	(削除)							
	(削除)							
	未成年後見人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見監督人職務執行停止の裁判失効日							
	未成年後見代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見監督代行者改任の裁判発効日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの裁判確定日							
	未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限単独行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見監督人の財産に関する権限分掌行使の定めの取消しの裁判確定日							
	未成年後見人	資格		未成年後見人の資格				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,届出原因 ＝ 11,12(開始事由),51,52,53(嘱託事由)の時, 未成年後見人の資格 ＝ スペースの時,漢字氏名(未成年後見人) 未成年後見人の資格 ≠ スペース時,未成年後見人の資格を移送
		資格名称						
		氏名		漢字氏名(未成年後見人)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	未成年後見人の戸籍	本籍			本籍(未成年後見人)				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,外国人区分(未成年後見人) ＝ 日本人かつ,届出原因 ＝ 11,12(開始事由),51,52,53(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			筆頭者(未成年後見人)				
	未成年後見人の国籍				本籍(未成年後見人)				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,外国人区分(未成年後見人) ＝ 外国人かつ,届出原因 ＝ 11,12(開始事由),51,52,53(嘱託事由)の時移送
	未成年後見人の生年月日				生年月日(未成年後見人)				
	未成年後見人の住所	住所			未成年後見人の住所				後見人区分 ＝ 3(未成年後見人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,未成年後見人の住所 ≠ スペースかつ,届出原因 ＝ 11,12(開始事由),51,52,53(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	職務執行停止を受けた者	資格							
		資格名称							
		氏名							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
	未成年後見監督人	資格			未成年後見人の資格				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,届出原因 ＝ 16(開始事由),54(嘱託事由)の時, 未成年後見人の資格 ＝ スペースの時,漢字氏名(未成年後見人)を移送 未成年後見人の資格 ≠ スペースの時,未成年後見人の資格を移送
		資格名称			漢字氏名(未成年後見人)				
		氏名							
	未成年後見監督人の戸籍	本籍			本籍(未成年後見人)				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,外国人区分(未成年後見人) ＝ 日本人かつ,届出原因 ＝ 16(開始事由),54(嘱託事由)の時移送
		筆頭者			筆頭者(未成年後見人)				
	未成年後見監督人の国籍				本籍(未成年後見人)				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,外国人区分(未成年後見人) ＝ 外国人かつ,届出原因 ＝ 16(開始事由),54(嘱託事由)の時移送
	未成年後見監督人の生年月日				生年月日(未成年後見人)				
	未成年後見監督人の住所	住所			未成年後見人の住所				後見人区分 ＝ 4(未成年後見監督人)かつ,未成年後見人の資格 ＝ スペースかつ,未成年後見人の住所 ≠ スペースかつ,届出原因 ＝ 16(開始事由),54(嘱託事由)の時移送
	辞任した未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	解任された未成年後見監督人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	未成年後見代行者								
	未成年後見代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見代行者の国籍								
	未成年後見代行者の生年月日								
	未成年後見監督代行者								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(未成年者の後見届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	15/15

処理名	4.1 身分事項 未成年者被後見人 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
	未成年後見監督代行者の戸籍	本籍							
		筆頭者							
	未成年後見監督代行者の国籍								
	未成年後見監督代行者の生年月日								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	(削除)								
	届出日				受領日				
	届出人	資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 113(後任未成年後見人) 又は 114(後任未成年後見監督人)の時に移送
		資格名称							
		氏名			届出人氏名				
	記録嘱託日				記録嘱託日				記録嘱託日 ≠ 0の時,移送
	送付を受けた日				送付日				送付日 ≠ 0の時,移送
	受理者				発送元				送付日 ≠ 0の時,移送
	許可日								
	許可書謄本の送付を受けた日								
	許可を受けた者								
	従前の記録								
	記録日				処理日				処理日 ≠ 0の時,移送
	特記事項								届出原因 ＝ 37(未成年被後見人成年)の時, 「成年に達したため」 届出原因 ＝ 32(親権者親権回復)の時, 「親権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 届出原因 ＝ 33(親権者管理権回復)の時, 「管理権喪失の審判取消しの裁判確定のため」 届出原因 ＝ 38(未成年被後見人親権に服する)の時, 「親権を行う者があるに至ったため」 届出原因 ＝ 39(未成年被後見監督人任務終了)の時, 「未成年後見監督人」+漢字氏名(未成年後見人)+「に欠格事由が生じたため」を編集し移送

第7.2.(5)「異動」処理

14.保佐届

1.保佐業務処理範囲外の処理

・裁判所書記官からの戸籍の記録嘱託

・保佐開始届(法改正後は不要となるため)

2.保佐届書入力画面の意義

(1)その1画面:被保佐人及び保佐人の入力

(2)その2画面:届出事項及び届出人の入力

(3)ガイダンス画面:業務処理範囲外の処理及び処理の注意事項

3.その他

(1)添付書類
・保佐人更迭届については、法定保佐人が届出をするときには、準禁治産者の配偶者であることを証するため戸籍謄本の添付を要する。(本籍地に届出の場合は不要)
選定保佐人が届出をするときは、保佐人選任の審判の謄本を添付する。

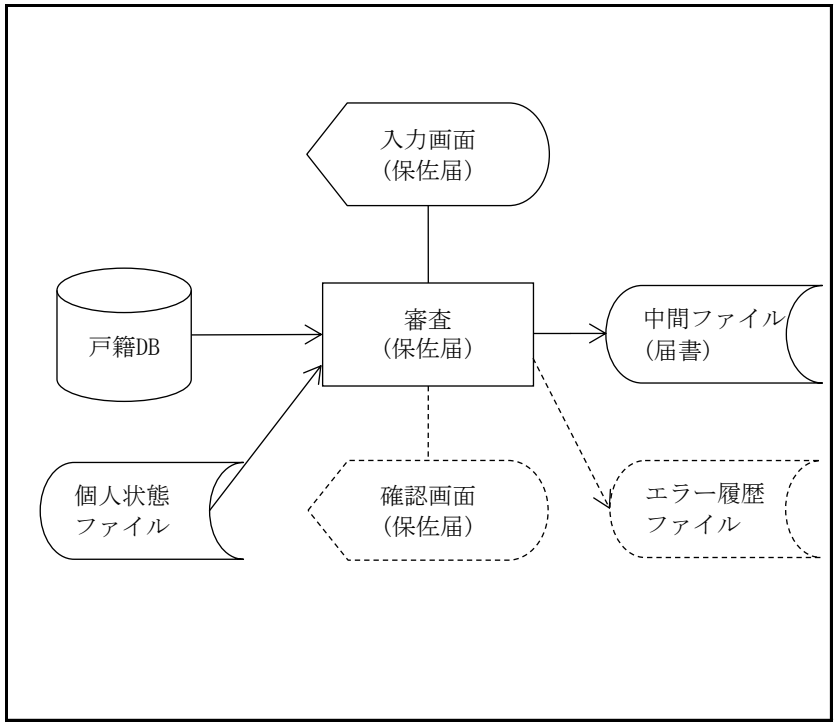
・保佐終了届については、準禁治産者宣告取消の審判の謄本の添付を要する。

(2)保佐人は1人でなければならない。

(3)未成年者、家庭裁判所で免ぜられた法定代理人又は保佐人、補助人、破産者、被後見人に対して訴訟をし又はした者及びその配偶者並びに直系血族、行方の知れないものは、保佐人となることはできない。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/13

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)保佐届の内容を画面入力する。
(2)保佐届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)保佐届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)保佐届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(保佐届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/13

処理名	0.0　本紙								根拠法令(マニュアル処理)
(1)届書内容を画面入力する							/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合,届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答する。				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO	(14)エラーメッセージを表示する							
PF1	⟶							(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶							(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)						/	(19)同画面を編集する	
	YES	(18)前ページ「保佐届」画面編集							
	NO	(20)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示							
PF8	(21)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)						/		
	YES	(22)次ページ「保佐届」画面編集							
	NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						/		入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以後の審査を継続する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する								

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/13

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　1/2	入力画面(保佐届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	在外送付区分	○	漢字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
6	発送元		漢字				
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
11	被保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
12	被保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	被保佐人のカナ氏名	○	カナ				
14	被保佐人の漢字氏名	○	漢字				
15	被保佐人の本籍	○	漢字				
16	被保佐人の筆頭者		漢字				
17	保佐人の外国人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
18	保佐人の本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
19	保佐人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
20	保佐人のカナ氏名	○	カナ				
21	保佐人の漢字氏名	○	漢字				
22	保佐人の本籍	○	漢字				
23	保佐人の筆頭者		漢字				
24	保佐人資格		数字	(1:父,2:母,6:夫,7:妻)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/13

処理名	画面名	画面ID	
1.0　入力項目単体チェック　2/2	入力画面(保佐届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届出原因	○	数字	(21:前任者死亡,22:前任者辞任,23:前任者解任,24:前任者資格喪失,31:準禁治産取消確定)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
26	開始日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	就職日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
28	終了日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
29	前任者氏名		数字				
30	届出人資格	○	英数	(63:保佐人)であること			
31	届出人の氏名		数字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力項目関連チェック 1/2	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ≧ (No.2)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ＝ 0(受理分)であること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ、(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ、(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき、(No.7)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.9)郵送日 ≦ (No.2)受領日であること			
11	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
12	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
13	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.12)被保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
14	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.15)被保佐人の本･国籍 ＝ 本籍であること			
15	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.15)被保佐人の本･国籍 ＝ 国籍であること			
16	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者が入力されていること			
17	(No.10)被保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.16)被保佐人の筆頭者は未入力であること			
18	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.15)被保佐人の本･国籍 ＝ 管内であること			
19	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(No.15)被保佐人の本･国籍 ＝ 管外であること			
20	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
21	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 和暦であること			
22	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.19)保佐人の生年月日 ＝ 西暦であること			
23	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(N0.22)保佐人の本･国籍 ＝ 本籍であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 入力項目関連チェック 2/2	入力画面(保佐届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(NO.22)保佐人の本･国籍 ＝ 国籍であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、(NO.23)保佐人の筆頭者が入力されていること			
26	(No.17)保佐人の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、(NO.23)保佐人の筆頭者は未入力であること			
27	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(NO.22)保佐人の本･国籍 ＝ 管内であること			
28	(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)の時、(NO.22)保佐人の本･国籍 ＝ 管外であること			
29	(No.24)保佐人資格 ＝ 6,7(夫,妻)かつ, (No.10)被保佐人の外国人区分,(No.18)保佐人の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時, (No.15)被保佐人の本籍 ＝ (No.22)保佐人の本籍 かつ, (No.16)被保佐人の筆頭者 ＝ (No.23)保佐人の筆頭者 であること			
30	【削除】			
31	【削除】			
32	(No.25)届出原因 ＝ 21～24(更迭事由)の時, (No.26)開始日,(No.27)就職日,(No.29)前任者氏名は必須入力であること			
33	(No.25)届出原因 ＝ 21～24(更迭事由)の時,(No.28)終了日には入力がないこと			
34	(No.25)届出原因 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時,(No.8)終了日は必須入力であること			
35	(No.25)届出原因 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時, (No.26)開始日,(No.27)就職日,(No.29)前任者氏名には,入力がないこと			
36	(No.26)開始日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-1	(No.27)就職日 ≠ スペースの場合,(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≦ (No.27)就職日であり, (No.9)郵送日 ＝ スペースの時,(No.2)受領日 ≦ (No.27)就職日であること			
36-2	(No.28)終了日 ≠ スペースの場合,(No.9)郵送日 ≠ スペースの時,(No.9)郵送日 ≦ (No.28)終了日であり, (No.9)郵送日 ＝ スペースの時,(No.2)受領日 ≦ (No.28)終了日であること			
37	(No.31)届出人氏名 ≠ スペースの時,(No.21)届出人氏名 ＝ (No.21)保佐人漢字氏名であること			
38	【削除】			【削除】
39	【削除】			
40	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)又は,(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
41	(No.11)被保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ,(No.18)保佐人の本非区分 ＝ 2(非本籍)ならば (No. 8)本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	8/13

処理名	3.0 審査 1/3				備考
(1)被保佐人の外国人区分(0:日本人,1:外国人)			/		
0	(2)被保佐人の本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
	1	(3)被保佐人は準禁治産者であるか	/		審査(4)～(6)削除
		YES (7) → (13)	/		審査(8)(9)削除
		NO (10)エラーメッセージ 「準禁治産者ではありません」を表示		(11)本紙へ	不受理
	2	(12) → (13)	/		
1			/		
(13)届出原因は21～24(更迭事由)であるか			/		
YES	(14)保佐人の生年月日 + 20年(20歳以上) ≦ 就職日		/		民847,平11改正前 民847
	YES	(15) → (21)	/		
	NO	(16)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人は20歳未満ですが、よろしいですか」を表示		(17)本紙へ	
		YES (18) → (21)	/		
		NO (19) →		(20)本紙へ	不受理
	(21)保佐人の外国人区分(0:日本人,1:外国人)		/		
	0	(22)保佐人の本非区分(0:本籍,1:非本籍)	/		審査(23)～(28)削除
		1 (29)保佐人は破産宣告を受けているか	/		民847,平11改正前 民847
		YES (30)エラーメッセージ 「保佐人は破産宣告を受けています」を表示		(31)本紙へ	不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9/13

処理名		3.0 審査 2/3					備考
YES	0	1	NO	(32) → (34)	/		
		2	(33) → (34)		/		
	1						
	(34)届出原因 ＝ 24(資格喪失)、且つ、保佐人資格 ＝ 6(夫)、7(妻)、且つ、届出人資格 ＝ 63(保佐人)である(YES,NO)				/		平11改正前 民847,平11改正前 民840
	YES	(35)保佐人の本非区分 ＝ 1(本籍人)(YES,NO)			/		
		YES	(36)保佐人と被保佐人の婚姻日 ＝ 就職日(YES,NO)		/		
			YES	(36) → (44)	/		
			NO	(37)エラーメッセージ 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日でなければなりません」を表示		(38)本紙へ	
		NO	(39)確認メッセージ(YES,NO) 「保佐人の就職日は、被保佐人との婚姻日であるものとして処理を続行しますか。」を表示				
			YES	(40) → (44)	/		
			NO	(41)→		(42)本紙へ	不受理
	NO	(43) → (44)			/		
	(44)保佐人の就職日 + 10日 ＞ 受領日				/		平11改正前 戸81,平11改正前 戸82
	YES	(45) → (58)			/		平11改正前 戸85
	NO	(46)確認メッセージ(YES,NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示				(47)本紙へ	
		YES	(48) → (58)		/		
		NO	(49) →			(50)本紙へ	不受理
NO	(51)保佐人の終了日 + 10日 ＞ 受領日				/		平11改正前 戸84,平11改正前 戸85
	YES	(52) → (58)			/		
	NO	(53)確認メッセージ(YES,NO)「届出期間が過ぎていますがよろしいですか」を表示				(54)本紙へ	
		YES	(55) → (58)		/		
		NO	(56) →			(57)本紙へ	不受理
(58)届出人は保佐人本人であるか					/		平11改正前 戸81･戸82･戸84･戸85
YES	(59)→					(60)本紙へ	受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/13

処理名	3.0　審査　3/3		根拠法令(マニュアル処理)
NO	(61)確認メッセージ(YES,NO)		
	「届出人は、保佐人ではありませんがよろしいですか」を表示		
	YES　(62)　→		受理
	NO　(63)　→		不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成15年 3月 1日	7	11/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通 ← (引渡側) 入力画面(保佐届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		保佐届(その1) 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							15(保佐届)
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき:1 在外送付区分 ＝ 1,2,3のとき:2を移送
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							
	届区分							2(報告)を移送
	渉外区分							0(日本人)を移送
	同時決裁受領番号(1)～(5)							
	ロック戸籍番号(1)		本籍人検索 サブシステム インターフェース	戸籍番号				被保佐人が本籍人の場合,選択戸籍番号を移送
	ロック戸籍番号(2)～(5)							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12/13

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(保佐届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分							審査結果により、1 ＝ 受理、又は、2 ＝ 不受理、又は、3 ＝ 受理照会をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする
	決裁区分							何も設定されていない場合に0(未決裁)を移送
	届書排他区分							再入力の場合に1(排他)を移送

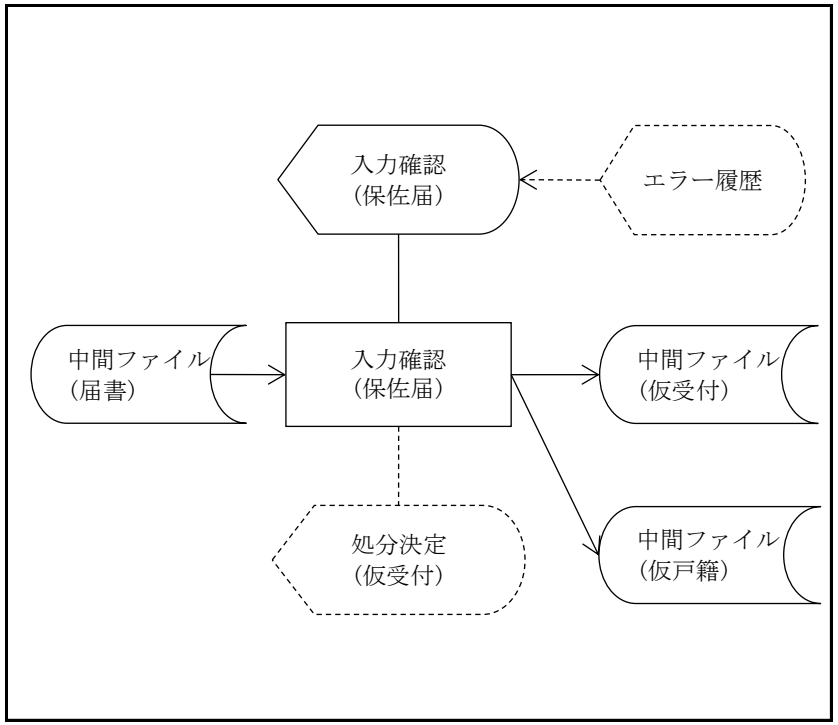
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側) 入力画面(保佐届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	外国人区分(被保佐)		保佐届(その1) 入力画面	被保佐人外国人区分				
	本非区分(被保佐)			被保佐人本非区分				
	生年月日(被保佐)			被保佐人生年月日				
	カナ氏名(被保佐)			被保佐人カナ氏名				
	漢字氏名(被保佐)			被保佐人漢字氏名				
	本籍コード(被保佐)			被保佐人本籍				
	本籍(被保佐)							
	筆頭者(被保佐)			被保佐人筆頭者				
	外国人区分(保佐人)			保佐人外国人区分				
	本非区分(保佐人)			保佐人本非区分				
	生年月日(保佐人)			保佐人生年月日				
	カナ氏名(保佐人)			保佐人カナ氏名				
	漢字氏名(保佐人)			保佐人漢字氏名				
	本籍コード(保佐人)			保佐人本籍				
	本籍(保佐人)							
	筆頭者(保佐人)			保佐人筆頭者				
	保佐人資格			保佐人資格				
	届出原因		保佐届(その2) 入力画面	届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(保佐届確認画面)
- 2.0 補足説明書(戸籍編製マトリックス表)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
  - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、誤りがなければ実行キーを押してください。」を表示する	[1.0]	/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍の変動状況を決定する	[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付[受付])を編集・出力する	[3.0]	/	
	(5)中間ファイル(仮受付[事件本人])を編集・出力する	[3.0]	/	
	(6)事件本人(被保佐人)が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(7)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	[4.0]	/	(9)処分決定に制御を渡す
		身分事項(変動なし)	(8)現戸籍(被保佐人)に保佐事項の編集	[4.1]		
	NO	―→			
PF1	―→			(10)業務選択に制御を渡す
PF2	―→			(11)届出選択に制御を渡す
PF5	―→			(12)審査に制御を渡す
PF7	(13)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)		/	(15)同画面を編集する
	YES	(14)前ページ「保佐届」画面編集		
	NO	(16)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する		
PF8	(17)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)		/	
	YES	(18)次ページ「保佐届」画面編集		
	NO	(19)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する		
PF11	―→			(20)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(22)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)　1/2	(受取側)　確認画面(保佐届)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
保佐届(その1) 確認画面	画面ID		中間ファイル (届書) 共通					画面ID
	システム日付							システム日付
	支所番号			出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	被保佐人外国人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	外国人区分(被保佐)		有		
	被保佐人本非区分			本非区分(被保佐)		有		
	被保佐人生年月日			生年月日(被保佐)				
	被保佐人カナ氏名			カナ氏名(被保佐)				
	被保佐人漢字氏名			漢字氏名(被保佐)				
	被保佐人本籍			本籍(被保佐)				
	被保佐人筆頭者			筆頭者(被保佐)				
	保佐人外国人区分			外国人区分(保佐人)		有		
	保佐人本非区分			本非区分(保佐人)		有		
	保佐人生年月日			生年月日(保佐人)				
	保佐人カナ氏名			カナ氏名(保佐人)				
	保佐人漢字氏名			漢字氏名(保佐人)				
	保佐人本籍			本籍(保佐人)				
	保佐人筆頭者			筆頭者(保佐人)				
	保佐人資格			保佐人資格				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0 確認画面編集(保佐届)　2/2	(受取側)　確認画面(保佐届)	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
保佐届(その2) 確認画面	届出原因		中間ファイル (届書) 事件別内容	届出原因				
	開始日			開始日				
	就職日			就職日				
	終了日			終了日				
	前任者氏名			前任者氏名				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件				被保佐人の現在戸籍
	被保佐人				変動なし
	外国人区分		本非区分		
	日本人	外国人	本籍	非本籍	
1	○		○		被保佐人(4.1)
2	○			○	
3		○	－	－	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成15年 3月 1日	7	6/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							届出原因 ＝ 21～24(更迭事由) 1503(保佐人更迭) 届出原因 ＝ 31(準禁治産取消) 1502(保佐終了)を移送
	受付日			受領日				送付日 ＝ 0の時、移送
				送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	事件発生日			就職日				届出原因 ＝ 21～24の時
				終了日				届出原因 ＝ 31の時
	事件発生時分							
	事件発生日							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号							
	届出人資格区分1			【削除】				【削除】
	届出人資格名称1			【削除】		【削除】		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人氏名1		中間ファイル (届書)	【削除】				【削除】
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							0を移送
	証書提出区分							0を移送
	届書送付目録区分							ファイル仕様書参照
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/10

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							被保佐人 ＝ 29 保佐人 ＝ 30
	届出人区分							事件本人が届出人の場合1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				被保佐人 ＝ カナ氏名(被保佐人) 保佐人 ＝ カナ氏名(保佐人)
	漢字氏名			漢字氏名				被保佐人 ＝ 漢字氏名(被保佐人) 保佐人 ＝ 漢字氏名(保佐人)
	生年月日			生年月日				被保佐人 ＝ 生年月日(被保佐人) 保佐人 ＝ 生年月日(保佐人)
	本籍コード			本籍コード				被保佐人 ＝ 本籍コード(被保佐人) 保佐人 ＝ 本籍コード(保佐人)
	本籍			本籍				被保佐人 ＝ 本籍(被保佐人) 保佐人 ＝ 本籍(保佐人)
	筆頭者			筆頭者				被保佐人 ＝ 筆頭者(被保佐人) 保佐人 ＝ 筆頭者(保佐人)
	送達確認2							本籍が非本籍かつ在外送付区分 ＝ 0の時、1を移送(被保佐人のみ設定) 上記以外の時、0を移送

※仮受付の事件本人を該当事件本人分出力する

※出力順序

1. 被保佐人
2. 保佐人

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/10

処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	個人番号(被保佐人)				
	行番号							
	出力区分							0を移送
	タイトルコード							1501を移送
	記録コード							1501を移送
	管掌者コード							
	事件発生日			就職日				届出原因 ＝ 21～24の時、移送
				終了日				届出原因 ＝ 31の時、移送
	準禁治産宣告の裁判確定日			【削除】				【削除】
	保佐人更迭事由の発生日			開始日				届出原因 ＝ 21,24の時、(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	更迭事由							届出原因 ＝ 21(前任者死亡)の時、『保佐人の死亡』 届出原因 ＝ 24(前任者資格喪失)の時、保佐人資格 ＝ 6,7(夫、妻)ならば 『任務完了』 保佐人資格 ≠ 6,7(夫、妻以外)ならば『欠格事由が生じたため』を移送
	前任の保佐人			前任者氏名				届出原因 ＝ 21,24の時、(前任者死亡、前任者資格喪失)の時、移送
	保佐人就職日			【削除】				【削除】
	後任の保佐人就職日			就職日				届出原因 ＝ 21～24の時、移送
	保佐終了日			終了日				届出原因 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時、移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(保佐届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	10/10

処理名	4.1 身分事項 被保佐人編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	保佐人		中間ファイル (届書)	漢字氏名(保佐人) 保佐人資格		有		届出原因 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、保佐人資格 ＝ スペースならば漢字氏名 (保佐人) 保佐人資格 ≠ スペースならば保佐人資格 を移送
	保佐人の戸籍(本籍)			本籍(保佐人)				保佐人資格 ＝ スペースかつ外国人区分(保佐人) ＝ 日本人かつ届出原因 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の戸籍(筆頭者)			筆頭者(保佐人)				保佐人資格 ＝ スペースかつ外国人区分(保佐人) ＝ 日本人かつ届出原因 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の国籍			本籍(保佐人)				保佐人資格 ＝ スペースかつ外国人区分(保佐人) ＝ 日本人かつ届出原因 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、移送
	保佐人の生年月日			生年月日(保佐人)				保佐人資格 ＝ スペースかつ外国人区分(保佐人) ＝ 日本人かつ届出原因 ＝ 21～24(開始、更迭事由)の時、移送
	届出日			受領日				
	届出人(資格)			【削除】				【削除】
	届出人(資格名称)			【削除】		【削除】		【削除】
	届出人(氏名)			【削除】				【削除】
	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ 0の時、移送
	受理者			発送元				送付日 ≠ 0の時、移送
	記録日			処理日				処理日 ≠ 0の時、移送
	特記事項							届出原因 ＝ 31(準禁治産取消確定)の時,『準禁治産宣告取消しの裁判確定のため』を移送

※データ編集表(4.1身分事項編集)の仮戸籍、身分事項は、ノーマルケース時の項目のみ記述している。

第7.2.(5)「異動」処理

15.死亡届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		死亡届	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/18

1.死亡業務処理範囲外の処理

(1) 100歳以上の高齢者について市区町村長が監督局の長の許可を得て消除する場合の記録〔高齢者消除〕

(2) 非本籍地の死亡届が本籍地へ未着のため近親者から提出のあった資料及び受附帳の写しに基づき監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録
〔24条2項による職権記録〕

(3) 失踪宣告により除籍された者の属していた戸籍が他の市区町村に転籍により除籍された後に失踪宣告者の死亡届があった場合の死亡事項の記録

(4) 出生届出前に死亡したものにつき死亡届が先に提出された場合の死亡事項の記録

(5) 外国人の死亡における日本人配偶者の婚姻解消事項の記録(生存配偶者が本籍人の場合)〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

(6) 正当な届出義務者以外からの届出により監督局の長に許可を得てする死亡事項の記録〔24条2項による職権記録〕

(7) 同時死亡と推定される場合(複数人の審査、記録)〔民882条〕

①(1)　:バッチ(高齢者消除)で一括処理する

②(2),(3),(4),(6),(7):別途、審査結果入力で処理を行う

③(5)　:「死亡届」の異動処理終了(志望者の死亡の記録)後、日本人配偶者の婚姻解消事項の記録を行う
⇒　日本人配偶者の婚姻解消事項の記録については、別途、審査結果入力で処理を行う

2.死亡届入力画面の意義

(1) 本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)について各項目(漢字氏名、本籍、住所等)を「不詳」として入力を行う

(入力面面で「不詳」と入力されることにより受付帳の氏名、本籍は「不詳」と記録される)

(2) 本籍不分明者・認識不能者の身元が判明した際(92条Ⅱの報告、92条Ⅲの届出、本籍分明)についても各項目(本籍、筆頭者、住所等)の入力を行う

①先の死亡報告・死亡届との関連付けの入力(関連受領番号入力)を行う

②本籍分明(先の身元不明の死亡届に対する追完)の際の届出人資格、届出人氏名の入力は先の身元不明の死亡届と同様の資格氏名を入力する
(本籍人と判明した場合、戸籍の記録で表記を要するため)

(3) 死亡日、死亡時分について推定あるいは不詳がある場合、「死亡日時」を直接日本語で入力を行い、それを戸籍の記録とする

ただし、「死亡日」(年・月)については死亡者の戸籍の事件発生日の設定及び生存配偶者の婚姻解消事項の配偶者死亡日の記録を要するため、必須入力である

(4)死亡地の入力は「市区町村名」と「町丁目以降」に分けて入力を行う

①「市区町村名」 ――――――――――――→ 「戸籍」への記録(例外:北緯○○度東経○○○度等もあり得る)

②「市区町村名」+「町丁目以降」 ――――――→ 「死体埋火葬許可書」「相続税法58条通知書」への記録

(5) 「死亡区分」は届出人資格が92(取調官庁及び公署の報告)で戦争による死亡(戦死、戦傷死)の際に入力も行う(戦病死は通常の死亡)

3.その他

(1)　受付帳には「死亡地」を登載しない(出生における出生地も同様)

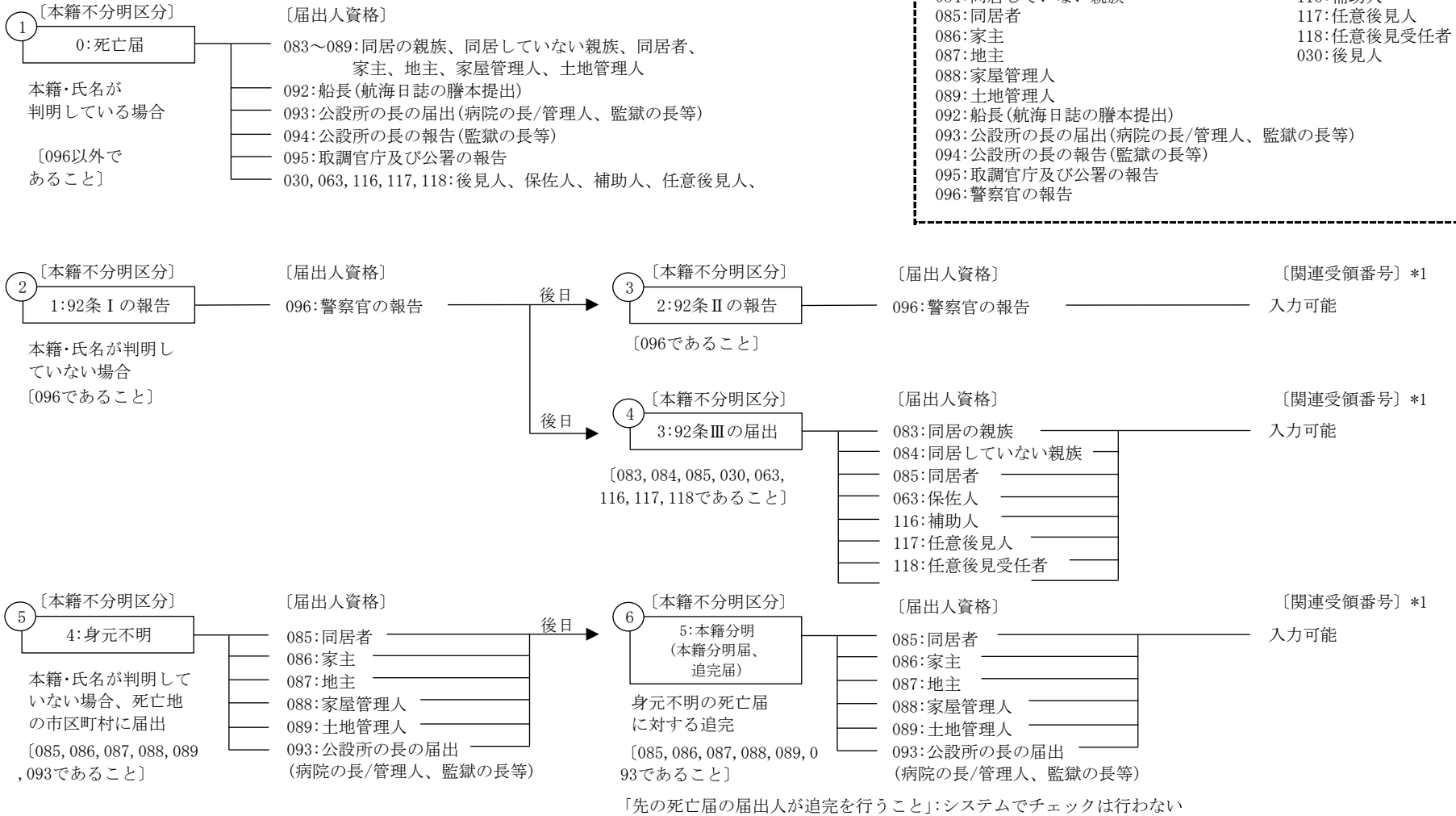
(2)　本籍不分明者・認識不能者の死亡(92条Ⅰの報告、身元不明の死亡届)の受付帳の氏名・本籍は基本的に「不詳」となっているが、この者の身元が判明した場合でも、先の受付帳の氏名・本籍は訂正しない

(3)死亡の入力の流れとチェックについて〔本籍不分明区分、届出資格、関連受領番号〕

死亡で使用する「資格区分」の一覧

R2.1(死亡104)で118:任意後見受任者を追加　※この頁全体

- 083:同居の親族
- 084:同居していない親族
- 085:同居者
- 086:家主
- 087:地主
- 088:家屋管理人
- 089:土地管理人
- 092:船長(航海日誌の謄本提出)
- 093:公設所の長の届出(病院の長/管理人、監獄の長等)
- 094:公設所の長の報告(監獄の長等)
- 095:取調官庁及び公署の報告
- 096:警察官の報告
- 063:保佐人
- 116:補助人
- 117:任意後見人
- 118:任意後見受任者
- 030:後見人

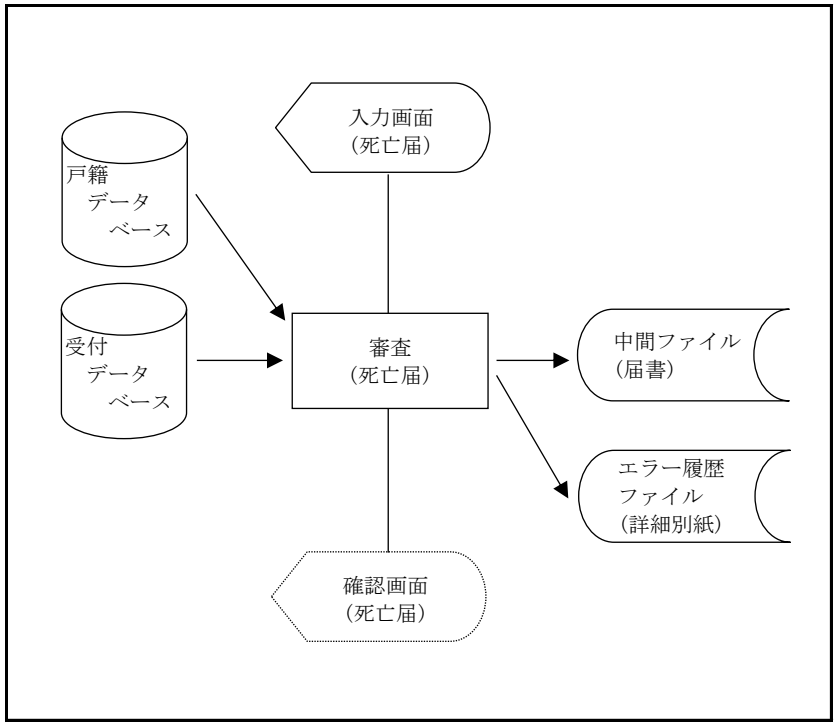


「先の死亡届の届出人が追完を行うこと」:システムでチェックは行わない

*1:「関連受領番号」が入力された場合、
-存在する場合、「処分決定処理」で当該受付の「関連受領番号」に当届書の「受領番号」を設定する(当届書の受付に対しても同様)
-存在しない場合、「審査」で確認メッセージを表示する

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/18

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
受付DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)死亡届の内容を画面入力する。
(2)死亡届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)死亡届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)死亡届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(死亡届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/18

処理名	0.0 本紙										備考
(1)届書内容を画面入力する									/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)									/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック1(OK:YES　NG:NO) [1.0]								/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック1(OK:YES　NG:NO) [1.1]							/		
		YES	(5)画面の入力項目をすべて入力禁止とする						/		
			(6)審査1(OK:YES　NG:NO) [1.1.1]						/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)の編集･出力 [2.0]					/	(8)入力確認(死亡届)に制御を渡す	
				(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)					/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				/	(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する				/		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
			NO	(13)エラーメッセージを表示する							
		NO	(14)エラーメッセージを表示する						/		
	NO	(15)エラーメッセージを表示する							/		
PF1	→								/	(16)業務選択に制御を渡す	
PF2	→								/	(17)届出選択に制御を渡す	
PF10	(18)画面の入力項目の入力禁止を解除する								/	(19)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(20)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								/	(21)同画面を編集する	審査エラー発生時のみ有効
PF12	(22)同画面を初期化する								/	(23)同画面を編集する	
その他	(24)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する								/	(25)同画面を編集する	
									/		
									/		
									/		
									/		
									/		
									/		
									/		
									/		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	動態区分	○	数字	(0:不要、1:要)			
10	外人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	性別	○	数字	(1:男、2:女、3:不詳)であること			
13	本籍不分明区分	○	数字	(0:死亡届、1:92条Ⅰ報告、2:92条Ⅱ報告 3:92条Ⅲ届出、4:身元不明の死亡届、 5:本籍分明)であること			
14	関連受領番号		数字				
15	カナ氏名		カナ				
16	漢字氏名	○	漢字				
17	死亡の年	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	死亡の月	○	英数				
19	死亡の日		英数				
20	推定区分		英数	(スペースまたは、1:推定)であること			
21	死亡の午前午後区分		英数	(スペースまたは、1:午前、2:午後)であること			
22	死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			
23	終期の死亡の午前午後区分		英数	(スペースまたは、1:午前、2:午後)であること			
24	終期の死亡の時分		英数	12時間表示の入力であること(0～11)			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	7/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表	入力画面(死亡届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	死亡区分		英数	(スペースまたは、1:戦死、2:戦傷死)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
26	死亡日時		漢字				
27	死亡場所(市区町村)	○	漢字				
28	死亡場所(町丁目)		漢字				
29	住所		漢字				
30	世帯主		漢字				
31	本籍	○	漢字				
32	筆頭者		漢字				
33	届出人資格	○	数字	(083:同居の親族　084:同居していない親族 085:同居者　086:家主 087:地主　088:家屋管理者 089:土地管理者 092:船長(航海日誌の謄本提出) 093:公設所の長の届出 (病院の長/管理人、監獄の長等) 094:公設所の長の報告(監獄の長等) 095:取調官庁又は公署の報告　096:警察官の報告 030:後見人　063:保佐人　116:補助人 117:任意後見人　118:任意後見受任者)であること			R2.1(死亡104)
34	届出人資格名称		漢字				
35	届出人の氏名	○	漢字				
36	届出人の住所		漢字				
37	配偶者有無区分		数字	(0:無、1:有)であること			
38	配偶者の外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			
39	配偶者の本非区分		英数	(1:本籍、2:非本籍)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3) 送付日 ＝ スペースのとき (No.4) 発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3) 送付日 ≠ スペースのとき (No.4) 発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3) 送付日 ≠ スペースのとき 送付日 ≧ (No.2) 受領日 であること			
4	(No.3) 送付日 ＝ スペースのとき (No.5) 在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.3) 送付日 ＝ スペースのとき (No.9) 動態区分 ＝ 1:要 であること			
6	(No.4) 発送元 ≠ スペースのとき (No.5) 在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
7	(No.4) 発送元 ≠ スペースかつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.5) 在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
8	(No.4) 発送元 ≠ スペースかつ (No.4) 発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.5) 在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.5) 在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
9	(No.4) 発送元 ≠ スペースかつ (No.5) 在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 のとき (No.8) 動態区分 ＝ 1:要 であること			
10	(No.4) 発送元 ≠ スペースかつ (No.5) 在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 または (No.5) 在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 のとき (No.8) 動態区分 ＝ 0:不要 であること			
11	(No.6) 処理日 ≠ スペースのとき 処理日 ＞ (No.2) 受領日 であること			
12	(No.8) 郵送日 ≠ スペースのとき (No.3) 送付日 ＝ スペース であること			
13	(No.8) 郵送日 ≠ スペースのとき 郵送日 ≦ (No.2) 受領日 であること			
14	(No.10) 外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.30) 本籍 ＝ 本籍 であること			
14-1	(No.10) 外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.31) 筆頭者 ≠ 空白 であること			
15	(No.10) 外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.30) 本籍 ＝ 国籍 であること			
16	(No.10) 外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.31) 筆頭者 が未入力 であること			
17	(No.36) 配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.37) 配偶者外人区分 ≠ 空白 であること			
18	(No.13) 本籍不分明区分が0:死亡届、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ届出、5:本籍分明の場合、 (No.36) 配偶者有無区分 ≠ 空白 であること			
18-1	(No.31) 本籍 ＝ 管内 のとき、(No.7) 本非区分 ＝ 1(本籍) であること			
18-2	(No.31) 本籍 ≠ 管内 のとき、(No.7) 本非区分 ＝ 2(非本籍) であること			
18-3	(No.13) 本籍不分明区分が1:92I報告、4:身元不明の死亡届 の場合、 (No.5) 在外送付区分 ＝ 0(受理分) かつ (No.7) 本非区分 ＝ 2(非本籍) であること			
18-4	(No.29) 住所 ＝ スペース のとき、(No.30) 世帯主 ＝ スペース であること			
18-5	(No.30) 世帯主 ≠ スペースのとき (No.29) 住所 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	9/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18-5	(No.16) 漢字氏名 ≠ スペースかつ (No.32) 筆頭者 ≠ スペース の場合、 (No.16) 漢字氏名の氏 ＝ (No.32) 筆頭者の氏 であること。	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」	日本人 かつ 本籍不分明区分が死亡届、92Ⅱ、92Ⅲ、本籍分明の場合実施する。	

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(死亡届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.17)死亡の年～(No.24)終期の死亡の時分、(No.26)死亡日時は以下のパターンであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

審査(死亡届)入力画面

種別	No.	現行記録例	No.17 死亡の年	No.18 死亡の月	No.19 死亡の日	No.20 死亡時間推定区分	No.21 午前午後区分	No.22 死亡の時	No.22 死亡の分	終期 No.23 区分	終期 No.24 時	終期 No.24 分	No.26 死亡日時
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	● 7年2月1日			×	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	2	平成7年2月1日午後1時30分	● 7年2月1日			×	● 午後	● 1時30分		×	×	×	×
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	● 7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 7年2月1日			● 1	● 午後	● 1時30分		×	×	×	×
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	×	×
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	● 30分	×
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	×	×
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	● 30分	×
レア入力処理	9	昭和30年3月上旬 ↓ 昭和30年3月1日から10日　までの間	● 30年	● 3月	● 10日	×	×	×	×	×	×	×	●
	10	昭和30年春頃(推定月を補記) ↓ 昭和30年推定4月	● 30年	● 4月	×	×	×	×	×	×	×	×	●

20	〔(No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分〕 ≠ 空白　の場合、 〔(No.21)死亡の午前午後区分 + (No.22)死亡の時分〕 ≦ 〔(No.23)終期の死亡の午前午後区分 + (No.24)終期の死亡の時分〕であること

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	11/18

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES	(0-3)→(0-6)へ		/	
NO	(0-4)→			(0-5)本紙へ
(0-6)死亡日+1ヶ月≦受領日の場合、 確認メッセージ「死亡日から届出日まで1ヶ月を経過しています。処理をしてよろしいですか。」				
YES	(0-7)→(0-10)へ		/	R2.1(死亡102)
NO	(0-8)→		(0-9)本紙へ	
(0-10)(外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)			/	R2.1(死亡102)
YES	(0-11)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する		(0-12)本紙へ	
YES	(0-13)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(0-15)本紙へ	不受理
NO	(0-14)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-16)→(1)へ		/	
(1)外人区分は何か? (0:日本人、1:外国人)			/	
0	(2)本非区分は何か? (1:本籍、2:非本籍)		/	
1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?		/	〔除籍者でないこと〕
YES	(4)エラーメッセージ 「届書の死亡者は既に除籍となっています。」		(5)本紙へ	
NO	(6)→(7)へ		/	
(7)死亡者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する			/	〔死亡後に発生した事件が記録されていないこと〕
(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(15)を繰り返す			/	
(9)死亡日:身分事項DB・事件発生日は? (<、＝ 、>、事件発生日未設定)			/	
<	(10)確認メッセージ 「死亡の記録前に死亡日後発生した身分事項が記録されています。」		(11)本紙へ	応答する
＝	(12)確認メッセージ 「死亡の記録前に死亡日当日に発生した身分事項が記録されています。」		(13)本紙へ	応答する
>	(14)→(16)へ		/	
事件発生日未設定	(15)確認メッセージ 「事件発生日が不明の身分事項があります」		(15-1)本紙へ	応答する
(16)次の身分事項を検索する				
(17)死亡者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が 1:有 となっていない (YES,NO)			/	戸規36Ⅰ 昭和23.1.13民事甲第17号通達:配偶欄消除
YES	(18)エラーメッセージ		(19)本紙へ	〔死亡者に配偶者がいる場合画面の配偶者の

			「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」			有無区分が有となっていること」
		NO	(20)→(21)へ	/		
	2					
1						

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	12/18

処理名	3.0 審査			備考
(21)本籍不分明区分は何か? (0:死亡届、1:92Ⅰ報告、2:92Ⅱ報告、3:92Ⅲ報告、4:身元不明の死亡届、5:本籍分明)		/		
0	(22)届出人資格は〔(096:警察官報告)以外〕であるか?	/		〔死亡届〕 戸87:届出義務者・資格者 戸93(戸55):船長 戸93(戸56):公設所の長等 戸89:取調官庁又は公署報告 戸90:公設所の長報告
	YES (23)→(46)へ	/		
	NO (24)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(25)本紙へ	
1	(26)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?	/		〔92条Ⅰの報告〕 戸92Ⅰ
	YES (27)→(46)へ	/		
	NO (28)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(29)本紙へ	
2	(30)届出人資格は(096:警察官報告)であるか?	/		〔92条Ⅱの報告〕 戸92Ⅱ
	YES (31)→(46)へ	/		
	NO (32)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(33)本紙へ	
3	(34)届出人資格は〔 (083:同居の親族)または(084:同居していない親族)または (085:同居者)または(030:後見人)または (063:保佐人)または(116:補助人)または (117:任意後見人)または(118:任意後見受任者) 〕であるか?	/		〔92条Ⅲの報告〕 戸92Ⅲ 第21版で(107:成年後見人)を削除 R2.1 R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加 (死亡104)
	YES (35)→(46)へ	/		
	NO (36)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(37)本紙へ	
4	(38)届出人資格は〔 (085:同居者)または(086:家主)または(087:地主) または (088:家屋管理人)または(089:土地管理人) または (093:公設所の長の届出) 〕であるか?	/		〔身元不明の死亡届〕
	YES (39)→(46)へ	/		
	NO (40)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(41)本紙へ	
5	(42)届出人資格は〔 (085:同居者)または(086:家主)または(087:地主) または (088:家屋管理人)または(089:土地管理人) または (093:公設所の長の届出) 〕であるか?	/		〔本籍分明〕 戸26
	YES (43)→(46)へ	/		
	NO (44)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分に対する届出人資格が誤っています。」		(45)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	13/18

処理名	3.0 審査						備考
(46)本籍不分明区分が(0:死亡届)または(1:92Ⅰ報告)または(4:身元不明の死亡届)の場合、関連受領番号は入力されたか?						/	〔本籍不分明者･認識不能者等の身元不明者の身元が判明した場合のみ関連受領番号の入力を可能とする〕
YES	(47)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分の場合、関連受領番号は入力できません。」					(48)本紙へ	
NO	(49)→(50)へ					/	
(50)画面に関連受領番号の入力があるか? (入力、未入力)						/	〔本籍不分明者･認識不能者等の身元不明の受付帳の関連受領番号に身元不明の受領番号を設定するための受付帳の存在チェックを行う〕
入力	(51)関連受領番号をキーに受付ファイルを読み(有り、無し)					/	
	有り	(53)受付ファイルの受付事件コードが(1601:死亡)か?				/	
		YES	(54)受付ファイルの受付日を、身元不明届出時受付日に移送する。			/	本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱの報告)のとき、【報告日】の編集を行うために受付日を届書ファイルに移送する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)のとき、【届出日】の編集を行うために受付日を、【特記事項】の編集を行うために届出人資格(コード、名称)と届出人氏名を届書ファイルに移送する。
			(54-1)受付ファイルの届出人資格コード1を、身元不明届出時届出人資格コードに移送する。			/	
			(54-2)受付ファイルの届出人資格名称1を、身元不明届出時届出人資格名称に移送する。			/	
			(54-3)受付ファイルの届出人氏名を身元不明届出時届出人氏名に移送する。			/	
		NO	(55)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は『死亡』の受付帳ではありませんので処理できません。」			(56)本紙へ	
	無し	(57)エラーメッセージ 「関連受領番号の受付帳は削除済ですので、手処理で記録して下さい。」				(58)本紙へ	
未入力	(58-1)本籍不分明区分は(2:92Ⅱ報告)か?					/	
	YES	(58-1-1)確認メッセージ 「戸籍法第92条2項の報告は、戸籍法第92条1項と同時に報告されていますか?」				(58-1-2)本紙へ	
		YES	(58-1-3)→(60)へ			/	
		NO	(58-2)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理してください。」			(58-3)本紙へ	
	NO	(59)本籍不分明区分は(5:本籍分明)か?				/	
		YES	(59-1)エラーメッセージ 「関連受領番号の入力がないため、正しい処理ができません。審査結果業務より処理して下さい。」			(59-2)本紙へ	
		NO	(59-3)→(60)へ			/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	14/18

処理名	3.0 審査			備考
(60)届出人資格が(095:取調官庁及び公署の長の報告)以外　の場合、死亡区分はスペースか?		/		〔知事からの戦時死亡(戦死、戦病死)の入力のチェック〕
YES	(61)エラーメッセージ 「入力された本籍不分明区分では、死亡区分の入力はできません。」		(62)本紙へ	
NO	(63)→(63-1)へ	/		
(63-1)届出人資格が　030:後見人,063:保佐人,116:補助人,117:任意後見人, 118:任意後見受任者 であるか?		/		第21版で107:成年後見人を削除 R2.1版で(118:任意後見受任者)を追加 R2.1 (死亡104)
YES	(63-2)確認メッセージ 「後見人等の資格を証明する登記事項証明書または裁判所の謄本が添付されていますか?」			
YES	(63-2)→(64)へ	/		
NO	(63-3)→		(63-4)本紙へ	
NO	(63-5)→(64)へ	/		
(64)外人区分が(1:外国人)で 配偶者有無区分が(1:有) かつ 配偶者の外国人区分が(0:日本人) であるか?		/		〔外国人死亡者の日本人生存配偶者の処理〕
YES	(65)確認メッセージ 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」		(66)本紙へ	
NO	(67)→			

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	15/18

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		死亡届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							16(死亡届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				本籍不分明区分 ＝ 0、1、4のときは入力画面で設定された値を、本籍不分明区分 ＝ 2、3、5のとき0を設定する
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、0(日本人)を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、2(外国人)を設定する 本籍不分明区分 ＝ 1、4の場合も、0(日本人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/4、4/4参照
	不受理申出処分区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/18

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 2/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通 ← (引渡側)入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		死亡届入力画面					審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/18

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 3/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容　←　(引渡側)入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	死亡者個人番号		死亡届入力画面	死亡者個人番号				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	性別			性別				
	死亡日			死亡日				(画面)死亡の年 (画面)死亡の月 (画面)死亡の日
	推定区分			推定区分				
	死亡の午前午後区分			死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の 午前午後区分			終期の死亡の 午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所(市町村)			死亡場所(市町村)				
	死亡場所(町丁目)			死亡場所(町丁目)				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				

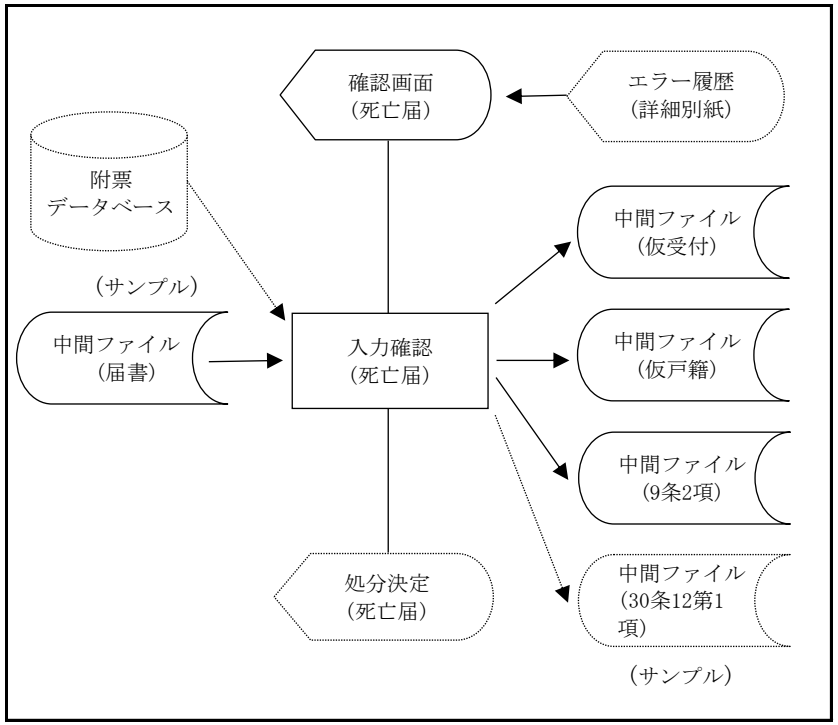
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力審査(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	18/18

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 4/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)入力画面(死亡届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	届出人資格		死亡届入力画面	届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	届出人住所			届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者の外人区分				
	配偶者の本非区分			配偶者の本非区分				
	身元不明届出時受付日		審査処理					
	身元不明届出時届出人資格コード							
	身元不明届出時届出人資格名称							
	身元不明届出時届出人資格氏名							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/16

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条12第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集、出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集、出力する。----------(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 個人特定　死亡者(配偶者区分)
    - 4.2 身分事項　死亡者(除籍)
    - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
    - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 5.1 死亡者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項)----------(サンプル提示)
    - 6.1 失踪者

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/16

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」 [1.0]			/	
(2) キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、死亡者の戸籍変動状況を決定する [2.0]		/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]		/	
	(5)死亡者が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/	非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定 (死亡者の配偶者区分)	(7)死亡者の配偶者区分の編集 [4.1]	/	
		身分事項 (死亡者の除籍)	(8)死亡者の除籍事項の編集 [4.2]	/	
		個人特定 (生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集 [4.3]	/	死亡者に配偶者がいる場合記録
		身分事項 (生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集 [4.4]	/	死亡者に配偶者がいる場合記録
		(10.1)死亡者は在外選挙人である(YES,NO)			※サンプル提示
		YES	(10.2)死亡者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [6.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10.2)(10.3)
		NO	(10.3) → (11)	/	
	NO				
	(11)(在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分 ＝ 0:日本人 である) (YES,NO)			/	
	YES	(12)死亡者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [5.0]			(13)処分決定に制御を渡す
	NO	→			
PF1	→				(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(15)届出選択に制御を渡す
PF5	→				(16)審査(死亡届)に制御を渡す
PF11	→				(17)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(19)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/16

処理名	1.0入力確認(死亡)表示 1/2	(受取側)　死亡届確認画面	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
死亡届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	動態区分			動態区分				
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍不分明区分			本籍不分明区分				
	本籍不分明区分名称					有		
	性別			性別				
	性別名称					有		
	関連受領番号			関連受領番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡の年			死亡日		有		
	死亡の月							
	死亡の日							
	推定区分			推定区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	4/16

処理名	1.0入力確認(死亡)表示 2/2	(受取側) 死亡届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
死亡届確認画面	死亡の午前午後区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	死亡の午前午後区分				
	死亡の時分			死亡の時分				
	終期の死亡の 午前午後区分			終期の死亡の 午前午後区分				
	終期の死亡の時分			終期の死亡の時分				
	死亡区分			死亡区分				
	死亡日時			死亡日時				
	死亡場所(市区町村)			死亡場所(市区町村)				
	死亡場所(町丁目)			死亡場所(町丁目)				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人の氏名			届出人氏名				
	届出人住所			届出人住所				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者の外人区分			配偶者外人区分				
	配偶者の本非区分			配偶者の本非区分				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件						死亡者の戸籍		
	死亡者		日本人生存配偶者が在籍する		死亡者以外に在籍者が存在する		一部除外 C.2	全部除外 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍以外人	有	無	有	無			
1	○			○	○		死亡者 (4.1,4.2)		
2	○			○		○		死亡者 (4.1,4.2)	
3 *3	○		○		○		死亡者 (4.1,4.2)		生存配偶者 (4.3,4.4)
4 *1		○		○	———	———	———	———	———
5 *2		○	○		———	———	———	———	———

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:戸籍の処理は不要
*2:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「死亡届」の異動処理終了後(死亡者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕
*3:「死亡者以外に在籍者が存在する」場合、その在籍者が生存配偶者とならない場合、死亡者の戸籍の記載で婚姻解消事項の記録は行わない。

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	6/16

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名				
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号					
	出張所番号			出張所番号					
	受付事件コード					・本籍不分明区分=0,1,4のとき、1601(死亡)を設定 ・本籍不分明区分=2のとき、受理送付区分=1かつ関連受領番号が未入力(ゼロ又はヌル)であれば1601(死亡)、それ以外であれば4402(その他(本籍分明))を設定 ・本籍不分明区分=3のとき、受理送付区分=1であれば4404(その他(死亡))、それ以外であれば1601(死亡)を設定 ・上記以外のとき、受理送付区分=1であれば442(その他(本籍分明))、それ以外であれば1601(死亡)を設定		R2.1(死亡106)
	受領日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日	
	事件発生日			死亡日				(3/4参照)	
	事件発生時分			死亡の午前午後区分 死亡の時分				(3/4参照)	
	事件発生日時								
	受理送付区分			受理送付区分					
	本非区分			本非区分					
	渉外区分			渉外区分					
	発送日								
	郵送日			郵送日					
	発日								
	収日								
	指示日								
	許可日								
	関連受領番号			関連受領番号					
	届出人資格区分1			届出人資格		資格区分083,084のとき、082を設定、名称は「親族」 093～096,030,063,116,117,118の時は設定不要			R2.1(死亡104)
	届出人資格名称1			届出人資格名称					
	届出人氏名1			届出人氏名					
	届出人資格区分2								
	届出人資格名称2								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	7/16

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人氏名2		中間ファイル (届書)					
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							(3/4参照)
	届後本籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	8/16

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 審査(死亡書) 入力画面

審査(死亡届) 入力画面														受付帳				
種別	No.	現行記録例	①死亡の年	②死亡の月	③死亡の日	④死亡時間 推定区分	⑤午前午後 区分	⑥死亡の時	⑦死亡の分	終期 ⑧区	終期 ⑨時	終期 ⑩分	⑪死亡日時	種別	事件発生日	事件発生時分 *1	届出後本籍 *2	備考
通常入力処理	1	平成7年2月1日午後1時	● 7年2月1日		●	×	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×	通常	1995.2.1	13:00	――――――	①②③を転送 ④⑤⑥から編集転送
	2	平成7年2月1日午後1時30分	● 7年2月1日		●	×	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×		1995.2.1	13:30	――――――	
	3	平成7年2月1日 推定午後1時	● 7年2月1日		●	● 1	● 午後	● 1時	×	×	×	×	×	レア	――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時	①～⑩から編集転送
	4	平成7年2月1日 推定午後1時30分	● 7年2月1日		●	● 1	● 午後	● 1時30分	●	×	×	×	×		――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時30分	
	5	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	×	×		――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時の間	
	6	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	×	● 午後	● 2時	● 30分	×		――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時から 午後2時30分の間	
	7	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	×	×		――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時の間	
	8	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	● 7年	● 2月	● 1日	● 1 推定	● 午後	● 1時	● 30分	● 午後	● 2時	● 30分	×		――――	――――	平成7年2月1日 推定午後1時30分から 午後2時30分の間	
レア入力処理	1	昭和30年3月 上旬 ↓ 昭和30年3月1日から10日までの間	● 30年	● 3月	● 10日	×	×	×	×	×	×	×	●		――――	――――	昭和30年3月1日から10日までの間	⑪を転送
	2	昭和30年春頃(推定月を補記) ↓ 昭和30年推定4月	● 30年	● 4月	×	×	×	×	×	×	×	×	●		――――	――――	昭和30年推定4月	

*1:24時間で格納
*2:日本語編集で格納

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年3月1日	10	9/16

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 4/4	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							31(死亡者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/16

処理名	4.1個人特定 死亡者(区分)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		――――					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	11/16

処理名	4.2身分事項 死亡者(除籍)編集 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側					引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号				中間ファイル(届書)						決裁処理で設定
	行番号										
	出力区分										
	タイトルコード										1601(死亡)
	記録コード										1601(死亡者の記録)
	管掌者コード										
	事件発生日					死亡日					*1
	死亡	死亡日			中間ファイル(届書)	死亡日					死亡日時 ＝ スペースのとき設定
		死亡時分	推定区分			推定区分					
			午前午後区分			死亡の午前午後区分					
			死亡時分			死亡の時分					
			午前午後区分(終期)			終期の死亡の午前午後区分					
			死亡時分(終期)			終期の死亡の時分					
		死亡日時				死亡日時					
		死亡地				死亡地(市町村)					
		死亡区分				死亡区分					
	届出	届出日				受領目 または 身元不明届出時受付日		本籍不分明区分=5(本籍分明)で、身元不明届出時受付日≠スペースの場合、それぞれ身元不明届出時受付日、身元不明届出時届出人資格コード、身元不明届出時届出人資格名称、身元不明届出時届出人氏名を設定する。それ以外は右記指示に従う。		届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、受領日を設定する	R2.1(死亡104)
		届出人	資格			届出人資格 または 身元不明届出時届出人資格コード					届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)のとき、届出人(資格、名称)を設定する 083(同居の親族)～084(同居していない親族)のときは082(親族)を設定する
			資格名称			届出人資格名称 または 身元不明届出時届出人資格名称					
			氏名			届出人氏名 または 身元不明届出時届出人資格氏名				届出人資格が、083(同居の親族)～089(土地管理人)、093(公設所の長の届出)、030、063、116、117、118のとき、届出人氏名を設定する	R2.1(死亡104)
		航海日誌謄本提出日				受領日					届出人資格が、092(船長)のとき設定する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	12/16

処理名	4.2身分事項 死亡者(除籍)編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出	報告日		中間ファイル (届書)	受領日　または 身元不明届出時受付日				本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、身元不明届出時受付日 ≠ スペースの場合、身元不明届出時受付日を設定する。 上記以外で、届出人資格が、094(公設所の長の報告)～096(警察官の報告)のとき、受領日を設定する。
		報告者			届出人氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の 送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日　または 受領日				処理日 ≠ スペースの場合、処理日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 2(92条Ⅱ)で、在外送付区分 ＝ 0:受理分の場合、受領日を設定する。 本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)で、送付日 ＝ スペースの場合、受領日を設定する。
	特記	特記事項			受領日 届出人資格名称 届出人氏名				本籍不分明区分 ＝ 5(本籍分明)の場合、以下の編集後移送。 受領日 + 届出人資格名称 + 届出人氏名 + ″本籍追完(本籍分明)届出″
									*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/16

処理名	4.3個人特定 生存配偶者(配偶者区分)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		――――					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3:生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/16

処理名	4.4身分事項 生存配偶者(記録)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							1を設定(RDBのみ)
	出力区分							
	タイトルコード							1602(配偶者の死亡)
	記録コード							1602(死亡者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日		中間ファイル(届書)	死亡日				*1
	配偶者の死亡 配偶者の死亡日		中間ファイル (届書)	死亡日				
	婚姻 配偶者氏名			――――――				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	記録 記録日			――――――				
	特記 特記事項							
								*1死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終年月日を事件発生日とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	15/16

処理名	5.1死亡者 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/死亡者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 死亡者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							16(死亡届)
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(死亡届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	16/16

処理名	6.1死亡者 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条12第1項)/死亡者 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 死亡者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					16:(死亡届)
	受理日			送付日 or 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	事件発生日			死亡日				死亡日の「日」が入力されていない場合、入力されている「年月」の最終日を事件発生日とする。

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12.0	1/2

処理名　届出人コード一覧(死亡)　1/2　　〔職権記載は審査結果入力で行う〕

届出事件細別	届出義務者 ・ 届出人	届出入力 資格区分		氏名	その他	受付帳 資格	氏名	身分事項DB 届出資格	届出人	報告資格	報告者	謄本提出日 航海日誌の日	項目化記載例	備考
死亡届 平成20年 5月 1日 法施行による届出人資格の追加分は次頁に記載	同居の親族、その他の同居者、家主、地主、家屋若しくは土地管理人、同居の親族以外の親族	83	同居の親族	○	×	○	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】親族〔氏名〕	
		84	同居していない親族	○	×	82 親族		82 親族		ファイル項目にない。				
		85	同居者	○	×	○同居者	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】同居者〔氏名〕	
		86	家主	○	×	○家主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家主〔氏名〕	
		87	地主	○	×	○地主	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】地主〔氏名〕	
		88	家屋管理人	○	×	○家屋管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】家屋管理人〔氏名〕	
		89	土地管理人	○	×	○土地管理人	○	○	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】土地管理人〔氏名〕	
航海中の死亡につき航海日誌の謄本の送付	船長	92	船長	○	×	○船長	○	×	×	×	×	○	【航海日誌の謄本提出日】 平成4年...	戸93条(戸56条) 「～丸船長」の形にはしない。
病院、その他の公設所において死亡した場合の死亡届	公設所の長	93	公設所の長の届出	○ *1	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】〔氏名〕	戸93条(戸56条) *1:公設所長名(個人名)を入力する
・公設所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届 ・刑務所又は拘置所で死亡した者につき、戸87条に規定する届出義務者が届出をすることができないため、戸93条・戸56条の規定により当該公設所の長又は管理人から死亡地の市区町村長から届出た死亡届														
在監者の死亡及び死刑執行による死亡報告	監獄の長 [在監者の死亡の場合は取引人がいないとき]	94	公設所の長の報告	○ *2	×	×	○	×	×	×	○	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔氏名〕	戸90条 *2:監獄長名(個人名)を入力する
・死刑の執行があった者につき、戸90条1項の規定により監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書 ・在監中の死亡者につき、戸90条2項の規定に監獄の長(刑務所長)から所在地の市区町村になされた死亡報告書														
水難、火災その他の事変による死亡報告	取調官庁及び公署	95	取調官庁及び公署の報告	○*3 〔警察署長〕	×	×	○ 〔警察署長〕	×	×	×	○ 〔警察署長〕	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔○○署長〕	戸89条 *3:「○○署長」と入力する　※直接入力
本籍不分明者及び認識不能者の死亡報告又は分明報告	警察官	96	警察官の報告	○*4 〔警察署長〕	×	×	○ 〔警察署長〕	×	×	×	○ 〔警察署長〕	×	【報告日】平成4年... 【報告者】〔○○署長〕	戸92条1項、2項 *4:「○○署長」と入力する　※直接入力
職権記載 (届出資格/届出人がいない)		—	————	—	—	×	×	×	×	×	×	×	————	

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		届出人コード一覧	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	2/2

処理名　届出人コード一覧(死亡)　2/2　　〔職権記載は審査結果入力で行う〕

届出事件細別	届出義務者 ・ 届出人	届出入力				受付帳		身分事項DB					項目化記載例	備考	
		資格区分		氏名	その他	資格	氏名	届出資格	届出人	報告資格	報告者	謄本日誌提出			
死亡届 平成20年5月1日 法施行による届出人資格の追加分	保佐人、補助人、任意後見人、任意後見受任者、後見人														
		63	保佐人	○	×	×	○	×	○	×	×	×	ファイル項目にない。		
		116	補助人	○	×	×	○	×	○	×	×	×			
		117	任意後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×	【届出日】平成4年... 【届出人】〔氏名〕		
		118	任意後見受任者	○	×	×	○	×	○	×	×	×		令和2年5月1日法施行による届出人資格の追加	R2.1 (死亡104)
		30	後見人	○	×	×	○	×	○	×	×	×			

第7.2.(5)「異動」処理

16.失踪宣告届

1.失踪業務処理範囲外の処理

(1)海難による行方不明者につき戸籍法第89条に規定する死亡があり戸籍に記録した後、同人につき失踪宣告の届出があり死亡とみなされた日が死亡報告と異なる日の記録

→ 別途、審査結果入力(失踪宣告者)及び訂正(先の死亡事項)で処理を行う

(2)戦時死亡宣告(未帰還者に対する特別措置法)による記録

→ 別途、審査結果入力で処理を行う

2.失踪宣告届出入力画面の意義

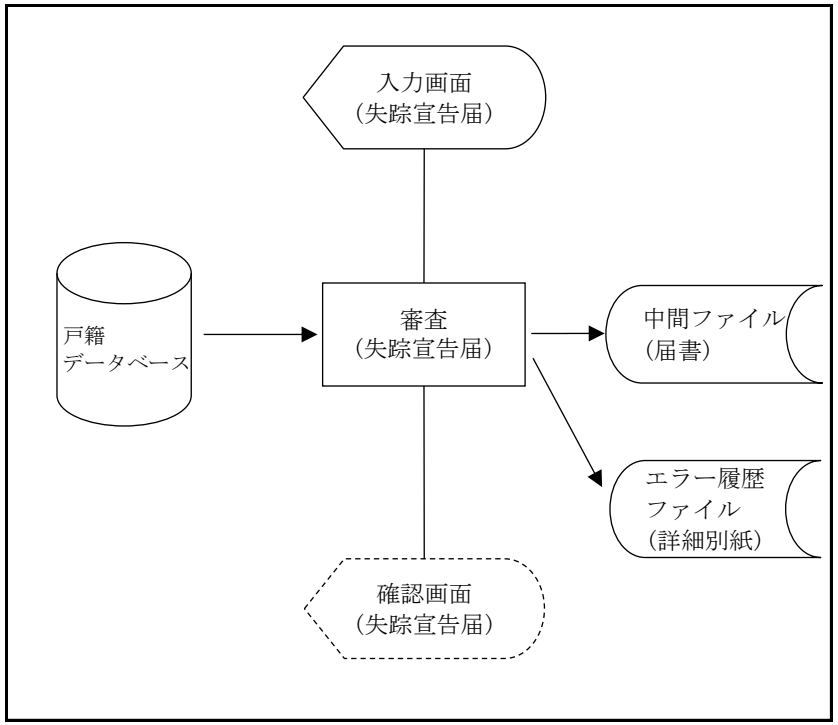
(1)生死不明となった年月日のうち月日が明示されていない失踪宣告の審判書を添付して失踪宣告の届出があった場合、「死亡とみなされる日」には失踪期間の始期を基に失踪期間満了日をもとめた後、入力を行う

3.その他

特になし

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)失踪宣告届の内容を画面入力する。
(2)失踪宣告届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)失踪宣告届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)失踪宣告届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	0.0　本紙								備考
(1)届書内容を画面入力する							/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合，届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF10、PF11、PF12、その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェックを行う(OK:YES NG:NO)					[1.0]	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES NG:NO)				[1.1]	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES NG:NO)			[1.1.1]	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集･出力		[2.0]	/	(8)入力確認(失踪宣告届)に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー、確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		/	(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の処理を続行する。		/		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				/		
	NO	(14)エラーメッセージを表示する					/		
PF1	→						/	(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→						/	(16)届出選択に制御を渡す	
PF10	(17)画面の入力項目の入力禁止を解除する						/	(18)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(19)当該審査エラーの確認後、以後の審査を続行する						/	(20)同画面を編集する	審査エラー発生時のみ有効
PF12	(21)同画面を初期化する						/	(22)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						/	(24)同画面を編集する	
							/		
							/		
							/		
							/		
							/		
							/		
							/		
							/		
							/		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表	入力画面(失踪宣告届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
10	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	カナ氏名	○	カナ				
12	漢字氏名	○	漢字				
13	死亡とみなされる日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	住所		漢字				
16	世帯主		漢字				
17	本籍	○	漢字				
18	筆頭者		漢字				
19	届出人資格	○	数字	(006:夫、007:妻、001:父、002:母、099:その他)であること			
20	その他の届出人資格名称		漢字				
21	届出人の氏名	○	漢字				
22	配偶者有無区分	○	数字	(0:無、1:有)であること			
23	配偶者外人区分		英数	(0:日本人、1:外国人)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5/10

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表	入力画面(失踪宣告届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースのとき (No.4)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースのとき (No.4)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースのとき 発送日 ≧ (No.2)受領日 であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースのとき (No.5)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースのとき (No.5)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペースかつ (No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.5)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペースかつ (No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.5)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.5)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースのとき 処理日>(No.2)受領日 であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき (No.3)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき 郵送日 ≦ (No.2)受領日 であること			
11	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.16)筆頭者が入力されていること			
12	(No.9)外人区分 ＝ 0:日本人の場合、(No.17)本籍 ＝ 本籍 であること			
13	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.17)本籍 ＝ 国籍 であること			
14	(No.9)外人区分 ＝ 1:外国人の場合、(No.16)筆頭者が未入力 であること			
15	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 1:有の場合、(No.23)配偶者外人区分 ≠ 空白 であること			
16	(No.22)配偶者有無区分 ＝ 0:無の場合、(No.23)配偶者外人区分 ＝ 空白 であること			
17	(No.10)生年月日 ≦ (No.13)死亡とみなされる日 ≦ (No.14)確定日 ≦ (No.2)受領日 であること			
18	(No.15)住所 ＝ スペースのとき (No.16)世帯主 ＝ スペース であること			
18-1	(No.16)世帯主 ≠ スペースのとき (No.15)住所 ≠ スペース であること			
19	(No.12)漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.18)筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.18)筆頭者の氏 であること。			日本人の場合、実施する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	6/10

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」(YES,NO)を表示する。		/		
YES	(0-2)→(0-4)へ		/	
NO	(0-3)→		(0-3-1)本紙へ	
(0-4)失踪者の外人区分＝0：日本人 かつ 失踪者の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(失踪宣告-34)
YES	(0-4-1)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-4-2)本紙へ	R2.1(失踪宣告-34)
	YES (0-4-3)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-4-5)本紙へ	不受理,R2.1(失踪宣告-34)
	NO (0-4-4)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(失踪宣告-34)
NO	(0-4-6)→(0-5)へ	/		R2.1(失踪宣告-34)
(0-5)届出人資格は(001:父 002:母 006:夫 007:妻)であるか?		/		
YES	(0-6) → (1)へ	/		
NO	(0-14)その他の届出人資格名称は「親族」か?	/		
	YES (0-8) → (1)へ	/		
	NO (0-9)確認メッセージ 「届出人資格名称が親族以外です。よろしいですか?」(YES,NO)を表示する。			
	YES (0-10) → (1)へ			
	NO (0-11) →		(0-12)本紙へ	
(1)外人区分は何か?(0:日本人、1:外国人)		/		
0	(2)本非区分は何か?(1:本籍、2:非本籍)	/		
1	(3)届書の死亡者が除籍となっているか?	/		〔除籍者でないこと〕
	YES (4)エラーメッセージ「届書の死亡者は既に除籍となっています。」		(5)本紙へ	
	NO (6) → (7)へ	/		
	(7)失踪者の身分事項DBの最初の「身分事項」を検索する	/		〔失踪宣告確定後に発生した事件が記録されていないこと〕
	(8)身分事項DBが終了するまで(9)～(16)を繰り返す	/		
	(9)確定日:身分事項DB･事件発生日は?(<、＝、>、事件発生日未設定)			
	< (10)確認メッセージ 「失踪の記録前に失踪確定日後発生した身分事項が記録されています。」	/	(11)本紙へ	応答する
	＝ (11)確認メッセージ 「失踪の記録前に失踪確定日当日に発生した身分事項が記録されています。」	/	(13)本紙へ	応答する
	> (14) → (16)へ	/		

			事件発生日未設定	(15)確認メッセージ 「事件発生日が不明の身分事項があります」	/		応答する	
				(16)次の身分事項を検索する	/			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	7/10

処理名						備考
0	1		(17)失踪者に配偶者が存在する場合、配偶者有無区分(画面)が 1:有となっていない(YES,NO)	/		
		YES	(18)エラーメッセージ「配偶者の有無区分を'有'として下さい。」	/	(19)本紙へ	〔失踪者に配偶者がいる場合画面の配偶者の有無区分が有となっていること〕
		NO	→	/		
	2					
1						
(20)外人区分が(1:外国人)で 配偶者有無区分が(1:有) かつ 配偶者の外国人区分が(0:日本人) であるか?				/		〔外国人失踪者の日本人生存配偶者の処理〕応答する
YES			(21)確認メッセージ 「日本人生存配偶者に対する婚姻解消記録事項の手続きが必要です。」	/	(22)本紙へ	
NO			→	/		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/10

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		失踪宣告届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							17(失踪宣告届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							外人区分が0(日本人)の場合、 0を設定する 外人区分が1(外国人)の場合、 2(外国人)を設定する
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分		失踪宣告届入力画面					何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

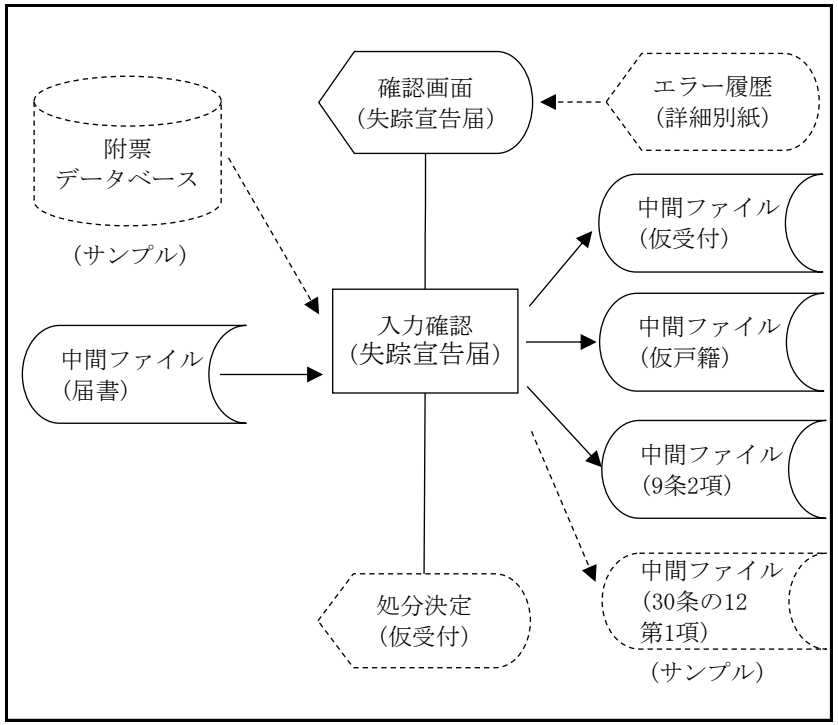
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(失踪宣告届)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	外人区分		失踪宣告届入力画面	外人区分				
	生年月日			生年月日				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡日			死亡とみなされる日				
	審判確定日			確定日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人の氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の12第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(30条12第1項)を編集、出力する。……(サンプル提示)
(6)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 個人特定　失踪者(配偶者区分)
    - 4.2 身分事項　失踪者(除籍)
    - 4.3 個人特定　生存配偶者(配偶者区分)
    - 4.4 身分事項　生存配偶者(記録)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 5.1 失踪者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項)……(サンプル提示)
    - 6.1 失踪者

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/14

処理名	0.0 本紙						備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」					[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)						/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、失踪者の戸籍変動状況を決定する				[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する				[3.0]		
	(5)失踪者が本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する				/	非本籍人及び外国人は記録不要
		個人特定(失踪者の配偶者区分)	(7)失踪者の配偶者区分の編集		[4.1]	/	
		身分事項(失踪者の除籍)	(8)失踪者の除籍事項の編集		[4.2]	/	
		個人特定(生存配偶者の配偶者区分)	(9)生存配偶者の配偶区分の編集		[4.3]	/	失踪者に配偶者がいる場合
		身分事項(生存配偶者の記録)	(10)生存配偶者の記録事項の編集		[4.4]	/	失踪者に配偶者がいる場合
		(10.1)失踪者は在外選挙人である(YES,NO)				/	※サンプル提示
		YES	(10.2)失踪者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する		[6.1]	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理 (10.1)(10.2)
		NO	(10.3) → (11)			/	
	NO						
	(11)(在外送付区分 = 0:受理分又は2:在外公館の直接送付 である) かつ (外人区分 = 0: 日本人 である)				(YES,NO)		
	YES	(12)失踪者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する			〔5.1〕		(13)処分決定に制御を渡す
	NO	→					
PF1	→						(14)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(15)届出選択に制御を渡す
PF5	→						(16)審査(失踪宣告届)に制御を渡す
PF11	→						(17)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(17)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						(18)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/14

処理名	1.0入力確認(失踪)表示　1/2	(受取側)　失踪宣告届確認画面	←　(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
失踪宣告届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	死亡とみなされる日			死亡日		有		
	確定日			審判確定日		有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称					有		
	その他の届出人資格名称			その他の届出人資格名称				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/14

処理名	1.0入力確認(失踪)表示　2/2	(受取側)　失踪宣告届確認画面 ← (引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
失踪宣告届確認画面	届出人の氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	届出人氏名				
	配偶者有無区分			配偶者有無区分				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				

処理名　2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	条件						失踪者の戸籍　*1		
	失踪者		日本人 生存配偶者		失踪者以外に存在する		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	本籍以外人	有	無	有	無			
1	○			○	○		失踪者 (4.1,4.2)		
2	○			○		○		失踪者 (4.1,4.2)	
3	○		○		○		失踪者 (4.1,4.2)		生存配偶者 (4.3,4.4)
4 *2		○		○	——	——	———	———	———
5 *3		○	○		——	——	———	———	———

A.2:戸籍特定(記録) ⇒ 戸籍の消除
B.2:戸籍事項(消除) ⇒ 消除事項の記録
C.2:個人特定(記録) ⇒ 個人の除籍

*1:本籍の場合のみ処理し、非本籍の場合は処理しない。
*2:戸籍の処理は不要
*3:戸籍の処理は不要。生存配偶者の婚姻解消事項の記録は「失踪宣告届」の異動処理終了後(失踪者の除籍記録)後、別途、審査結果入力で処理を行う。
〔申し出による市区町村長限りの職権記録〕

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	6/14

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード							1701(失踪)
	受領日			送付日　または 受領日				送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			審判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1			届出人資格				
	届出人資格名称1			届出人資格名称				
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/14

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル (届書)					
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき 0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	10	8/14

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							32(失踪者)
	届出人区分							0(事件本人が届出人ではない)
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/14

処理名	4.1個人特定 死亡者(失踪)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		――――					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							0:未を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							1:除籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	10/14

処理名	4.2身分事項 失踪者(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1701(失踪宣告)
	記録コード								1701(失踪宣告者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日				審判確定日				
	失踪宣告	死亡とみなされる日			死亡とみなされる日				
		失踪宣告の裁判確定日			審判確定日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人 資格			届出人資格				
		届出人 資格名称			届出人資格名				
		届出人 氏名			届出人氏名				届出人資格 ＝ 99(その他)の時,移送
	送付	送付を受けた日			発送日				
		受理者			発送元				
	届	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/14

処理名	4.3個人特定 生存配偶者(配偶者区分)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		――――					
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							3;生存配偶者区分を設定
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/14

処理名	4.4身分事項 生存配偶者(記録)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							1702(配偶者の失踪宣告)
	記録コード							1702(失踪宣告者の生存配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							
	配偶者の失踪宣告 / 配偶者の死亡とみなされる日			死亡とみなされる日				
	婚姻 / 配偶者氏名							
	許可 / 許可日							
	許可 / 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 / 許可を受けた者							
	除籍 / 除籍日							
	特記 / 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	13/14

処理名	5.1失踪者 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/失踪者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 失踪者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							17(失踪宣告届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(失踪宣告届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	14/14

処理名	6.1失踪者 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/失踪者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条12第1項) 失踪者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					17(失踪宣告届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名							
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							失踪者の父母との続報を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

17.復氏届

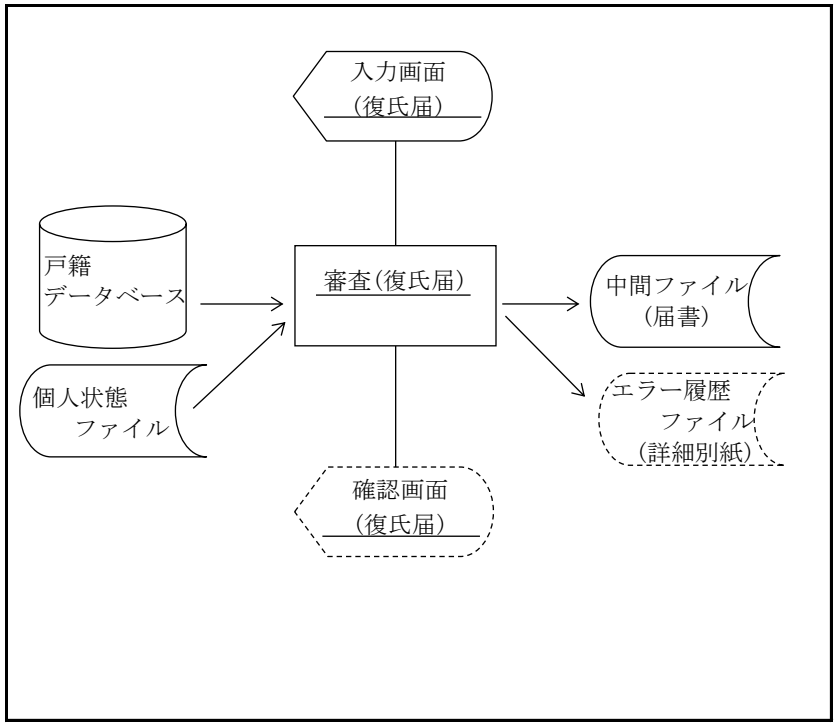
1. 復氏届の審査結果入力
   - 失踪宣告届の配偶者が再婚後に、失踪宣告の取消しを受けた者がする復氏届は審査結果入力処理で行う。

2. 復氏届の審査
   - 夫婦の一方が死亡(失踪宣告を含む)し,生存配偶者が婚姻の際に氏を改めた者であることのシステム審査は,事件本人の配偶者区分,及び筆頭者区分で行う.
   - 事件本人が生存配偶者である場合以外は,すべて操作員の確認に依るものとする.
   - 復氏しようとする者の氏の妥当性は一部システムで審査するが,一般に操作員の確認に依るものとする.

3. その他
   - 帰化者等で復する氏がない場合は,入力画面の氏区分で〔3:新しい氏〕を選択する.

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)復氏届の内容を画面入力する.
(2)復氏届で入力された項目の単体チェックを行う.
(3)復氏届で入力された項目の関連チェックを行う.
(4)審査を行う.
(5)復氏届から,中間ファイル(届書)を編集し,出力する.
(6)入力確認(復氏届)に制御を渡す.

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/14

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査ｴﾗｰ (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(復氏届)を編集する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(復氏届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する			
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(1/2)	入力画面(復氏届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	カナ氏名	○	カナ				
12	漢字氏名	○	漢字				
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	筆頭者区分	○	数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
15	配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
16	住所		漢字				
17	世帯主		漢字				
18	本籍	○	漢字				
19	筆頭者	○	漢字				
20	父氏名		漢字				
21	母氏名		漢字				
22	父母との続柄コード	○	数字	10～29,30～49であること			
23	復籍区分	○	英数	(1:もとの戸籍へ戻る,2:新戸籍編製)であること			
24	届後本籍	○	漢字				
25	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(2/2)	入力画面(復氏届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	復する氏区分	○	数字	(1:婚姻前の氏,2:転婚前の氏, 3:新しい氏)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
26-1	復籍戸籍での筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
26-2	異動後戸籍での配偶者区分		数字	(0:未,1:生存配偶者)であること			
27	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
28	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
29	死亡配偶者死亡日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」　年月までが必須入力			
30	現在配偶者カナ氏名		カナ				
31	現在配偶者漢字氏名		漢字				
32	現在配偶者外人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
33	現在配偶者筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
34	現在配偶者配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻)であること			
35	現在配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
36	現在配偶者父氏名		漢字				
37	現在配偶者母氏名		漢字				
38	現在配偶者父母との続柄コード		数字	10～29,30～49であること			
39	現在配偶者住所		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	6/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1/2)	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき　(No.5)発送元 ＝ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき　(No.5)発送元 ≠ スペース　であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき　(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日　であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき　(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分　であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースのとき　(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分　であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付　であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日　であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき(No.4)送付日 ＝ スペース　であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日　であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、 (No.18)本籍 ＝ 管内　または(No.24)　届後本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)のとき、 (No.18)本籍 ＝ 管外　かつ(No.24)　届後本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.12)漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.19)筆頭者 ≠ スペース　の場合、 (No.12)漢字氏名の氏 ＝ (No.19)筆頭者の氏であること。			
14	~~(No.12)父氏名 ＝ スペースまたは(No.21)母氏名 ＝ スペースのとき、~~ ~~(No.22)父母との続柄コード ＝ 10(男)または　30(女)　であること~~			第8.3版により削除
15	(No.14)筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)かつ (No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)　または ＝ 2(妻)のとき、 (No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース　かつ (No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			
16	(No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)のとき (No.12)漢字氏名の名 ＝ (No.25)届後戸籍の筆頭者の名　であること			
17	(No.26)復する氏区分 ＝ 3(新しい氏)のとき、 (No.23)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	7/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/2)	入力画面(復氏届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.14)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)のとき、(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ スペース であること			
19	(No.32)現在配偶者外字区分 ＝ スペース のとき、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ＝ スペース かつ (No.31)現在配偶者漢字氏名 ＝ スペース かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ スペース かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ スペース かつ (No.35)現在配偶者生年月日 ＝ スペース かつ (No.36)現在配偶者父氏名 ＝ スペース かつ (No.37)現在配偶者母氏名 ＝ スペース かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ スペース かつ			配偶者外人区分がスペースであれば、現在の配偶者欄は全部スペースであること
20	(No.32)現在配偶者外字区分 ＝ 0(日本人)のとき、 (No.30)現在配偶者カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.31)現在配偶者漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.33)現在配偶者筆頭者区分 ＝ 0(構成員)かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ≠ スペース かつ (No.35)現在配偶者生年月日 ≠ スペース かつ (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ≠ スペース であること			
21	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペースかつ(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男) ～ 29(十九男)であること			第21版で一部条件を削除
22	(No.36)現在配偶者父氏名 ≠ スペースかつ(No.37)現在配偶者母氏名 ≠ スペース かつ (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、 (No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女) ～ 49(十九女)であること			第21版で一部条件を削除
23	~~(No.36)現在配偶者父氏名 ＝ スペース かつ(No.37)現在配偶者母氏名 ＝ スペース かつ~~ ~~(No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、~~ ~~(No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)であること~~			第8.3版により削除
24	~~(No.36)現在配偶者父氏名 ＝ スペース かつ(No.37)現在配偶者母氏名 ＝ スペース かつ~~ ~~(No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、~~ ~~(No.38)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 30(女)であること~~			第8.3版により削除
25	~~(No.32)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、~~ ~~(No.12)漢字氏名の『氏』 ＝ (No.31)現在配偶者漢字氏名の『氏』であること~~			
26	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース かつ(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 2(妻)であること			
27	(No.32)現在配偶者外人区分 ≠ スペース かつ(No.15)配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき、 (No.34)現在配偶者配偶者区分 ＝ 1(夫)であること			
28	(No.33)復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)のとき、 (No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)であること			
29	(No.15)配偶者区分 ＝ 1(夫)または 2(妻)のとき、 (No.26-2)異動後戸籍での配偶者区分 ＝ スペース であること			
30	(No.16)住所 ＝ スペース のとき、(No.17)世帯主 ＝ スペース であること			
30-1	(No.17)世帯主 ≠ スペース のとき、(No.16)住所 ≠ スペース であること			第21版で追加
31	(No.24)届後本籍 ＝ 管内のとき、(No.26-1)復籍戸籍での筆頭者区分 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	8/14

処理名	3.0 審査(1/3)			備考
	(0-0-1)受領日 ＝ 送付日の場合、 確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」(YES,NO)を表示する。	/		第11版により、(0-0-1)～(0-0-4)追加
YES	(0-0-2)→(0-0-5)へ	/		R2.1(復氏29)
NO	(0-0-3)→		(0-0-4)本紙へ	
	(0-0-5)漢字氏名の名が未入力(YES,NO)	/		R2.1(復氏29)
YES	(0-0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-0-7)本紙へ	R2.1(復氏29)
				R2.1(復氏29)
YES	(0-0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-0-10)本紙へ	R2.1(復氏29)
NO	(0-0-9)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(復氏29)
NO	(0-0-11)→(0-1)へ	/		R2.1(復氏29)
	(0-1)復氏する者の父氏名 ＝ スペース又は母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)	/		第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(0)～(0-20)を追加
YES	(0-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			
YES	(0-3)→(0-10)へ	/	(0-4)本紙へ	
NO	――→	/		不受理
NO	(0-5)復氏者の父母との続柄 ＝ 10(男)または 30(女)である(YES,NO)			
YES	(0-6)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		(0-8)本紙へ	
YES	(0-7)→(0-10)へ	/		
NO	――→			不受理
NO	(0-9)→(0-10)へ	/		
	(0-10)現在配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)である。(YES,NO)	/		
YES	(0-11)現在配偶者父氏名 ＝ スペース又は現在配偶者母氏名 ＝ スペースである(YES,NO)	/		
YES	(0-12)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」を表示する			
YES	(0-13)→(1)へ	/	(0-14)本紙へ	
NO	――→			不受理
NO	(0-15)現在配偶者父母との続柄コード ＝ 10(男)または 30(女)である(YES,NO)	/	(0-18)本紙へ	
YES	(0-16)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」			

			YES	(0-17)→(1)へ	/		
			NO	――→			不受理
		NO		(0-19)→(1)へ	/		
NO	(0-20)→(1)				/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	9/14

処理名	3.0 審査(2/3)			備考
(1)筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)		/		
YES (2)配偶者区分(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)		/		
0 (3)確認メッセージ(YES,NO)「事件本人は復氏できますか?」を表示する			(4)本紙へ	
YES (5) → (20)へ		/		
NO ―――→				不受理
1,2 (6) エラーメッセージ 「復氏することができません」を表示する				
3 (7)本籍が管内である(YES,NO)		/		
YES (8)身分事項DBに婚姻事項がある(YES,NO)		/		
YES (9)復する氏区分 ＝ 1(婚姻前の氏に復する)である(YES,NO)		/		
YES (10)届後戸籍の筆頭者の『氏』 ＝ 婚姻事項の「従前戸籍の筆頭者」項目の『氏』である(YES,NO)		/		
YES (11)→(17)へ		/		
NO (11-1)復籍区分(1:元の戸籍へ戻る,2:新戸籍編製)				
1 (12)確認メッセージ(YES,NO) 「復籍する戸籍に間違いはありませんか?」を表示する			(13)本紙へ	
YES (14)→(20)へ				
NO ―――→		/		不受理
2 (14.1)確認メッセージ(YES,NO) 「復する氏に間違いはありませんか?」を表示する			(14.2)本紙へ	
YES (14.3)→(20)へ				
NO ―――→		/		不受理
NO (14.4)→(20)へ				
NO (15)→(20)へ		/		
NO (16)→(20)へ		/		
NO (17)確認メッセージ(YES,NO)「事件本人は復氏できますか?」を表示する			(18)本紙へ	
YES (19)→(20)へ		/		
NO ―――→				不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	10/14

処理名	3.0 審査(3/3)			備考
(20)復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)である(YES,NO)		/		
YES	(20.1)本籍が管内である(YES,NO)	/		平成15年法律第111号3条
YES	(20.2)身分事項DBに性同一性障害(7003)がある(YES,NO)	/		
YES	(20.3)確認メッセージ「性同一性障害の記録があります。元の戸籍に戻れますか?」を表示する。	/		
YES	(20.4)→(21)へ			
NO	→	/	(20.5)本紙へ	不受理
NO	(20.6)→(21)へ			
NO	(20.7)→(21)へ			
(21)届後本籍 ＝ 管内である(YES,NO)		/		
YES	(22)戻る戸籍は全部除籍になっている(YES,NO)	/		
YES	(23)エラーメッセージ「もとの戸籍が除籍になっています」を表示する		(24)本紙へ	戸19I
NO	(25)戸籍DBに記録されている者について順次(25.1)～(25.6)の処理を繰り返す	/		【復籍戸籍での筆頭者区分のチェック】
	(25.1)個人除区分 ＝ 0(在籍者)かつ 筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		戻る戸籍が管内にある場合は,戻る戸籍の在籍者に筆頭者がいるかチェックする
YES	(25.2)復籍戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)	/		筆頭者がいれば,復籍戸籍の筆頭者区分は0(構成員)でなければならない
YES	(25.3)エラーメッセージ 「戻る戸籍には筆頭者が既にいます。」を表示する		(25.4)本紙へ	
NO	(25.5)→(26)へ	/		
NO	(25.6)→(25)へ	/		
	(25.7)→(26)へ	/		
NO	(25.8)→(26)へ	/		
NO				
(26)→本紙へ				第8.3版(続柄記載更正(申出))により、(27)～(29)はロジックが削除されているため削除

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(復氏届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		復氏届(その1)入力 画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							18(復氏届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							0(日本人のみ)
	同時決裁受領番号 1～5							
	ロック戸籍番号 1～5							
	事件別内容							3/4,4/4参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により,1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする.)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(復氏届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	決裁区分		復氏届(その1)入力 画面					何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(復氏届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	復氏者個人番号		復氏届(その1)入力画面					本籍人のとき個人番号を設定
	漢字氏名			漢字氏名				
	カナ氏名			カナ氏名				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	復籍区分		復氏届(その2)入力画面	復籍区分				
	届後本籍コード			届後本箱				
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	氏区分			復する氏区分				
	復籍戸籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				

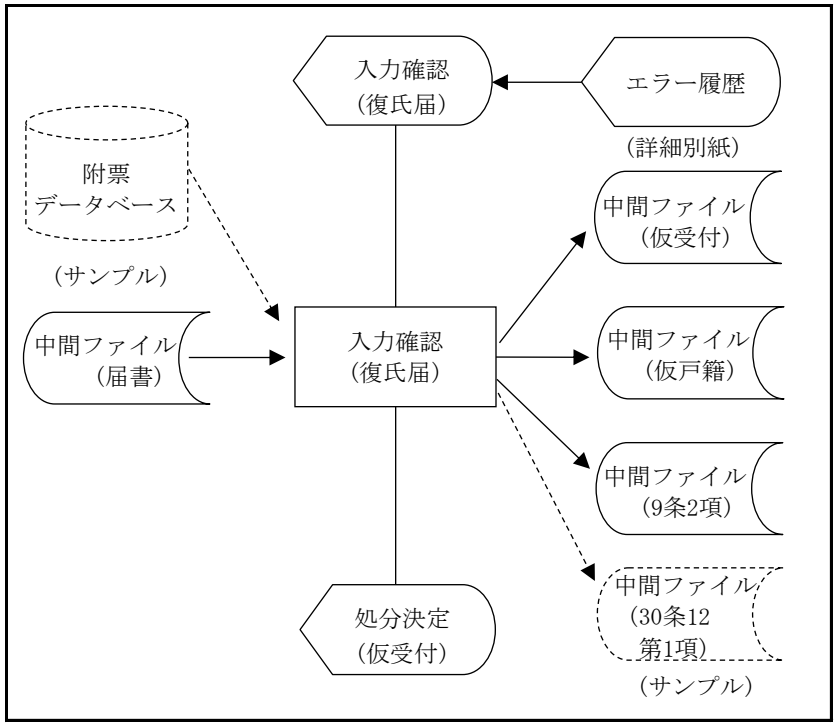
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　4/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(復氏届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日				
	現在配偶者カナ氏名		復氏届(その3)入力画面	現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分				
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分				
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日				
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名				
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード				
	現在配偶者住所コード			現在配偶者住所				
	現在配偶者住所							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/25

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 4.1 復氏者(入籍)
    - 4.2 復氏者(除籍)
  - 5.0データ 編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 5.1 復氏者の配偶者(入籍)
    - 5.2 復氏者の配偶者(除籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 復氏者
    - 6.2 復氏者の配偶者
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)……(サンプル提示)
    - 7.1 復氏者
    - 7.2 復氏者の配偶者

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/25

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
	(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]	/		
	(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)	/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	身分事項(入籍) (7)事件本人の入籍事項の編集 [4.1]	/		
	身分事項(除籍) (8)事件本人の除籍事項の編集 [4.2]	/		
	身分事項(配偶者の入籍) (9)事件本人の配偶者の入籍事項の編集 [5.1]	/		
	身分事項(配偶者の除籍) (10)事件本人の配偶者の除籍事項の編集 [5.2]	/		
	(10-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
	YES (10-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.1]	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(10-1)～(10-6)
	NO (10-3) → (10-4)へ	/		
	(10-4)現在配偶者外人区分 = 0 (日本人) である (YES,NO)	/		
	YES (10-5)復氏者の配偶者は在外選挙人である (YES,NO)	/		
	YES (10-6)復氏者の配偶者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [7.2]	/		
	NO (11)→(12)へ	/		
	NO			
	NO			
	(12)在外送付区分 = 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である (YES,NO)	/		
	YES (13)復氏者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]	/		
	(14)現在配偶者外人区分 = 0 (日本人)である (YES,NO)	/		
	YES (15)復氏者の配偶者ついて中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]		(16)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
	NO →			
PF1	→		(17)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(18)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(19)審査(復氏届)に制御を渡す	
PF7	(20)前ページがある (YES,NO)	/		
	YES (21)前ページ分の確認画面(復氏届)を編集する		(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/25

処理名	0.0　本紙　2/2			備考
PF8	(24)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (25)次ページ分の確認画面(復氏届)を編集する		(26)同画面を編集する	
	NO (27)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する			
PF11	→		(28)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(29)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する		(30)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/25

処理名	1.0 確認画面(復氏届)表示 1/5	(受取側)復氏届(その1)確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届(その1)確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル(届書)事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者名称					有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者名称					有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	父氏名			父氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/25

処理名	1.0 確認画面(復氏届)表示 2/5	(受取側)復氏届(その1)確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届(その1)確認画面	母氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	死亡配偶者カナ氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/25

処理名	1.0 確認画面(復氏届)表示 3/5	(受取側)復氏届(その2)確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届(その2)確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	復籍区分		中間ファイル(届書)事件別内容	復籍区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	復する氏区分			氏区分				
	復籍声籍での筆頭者区分			復籍戸籍での筆頭者区分				
	異動後戸籍での配偶者区分			異動後戸籍での配偶者区分				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者死亡日			死亡配偶者死亡日		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/25

処理名	1.0 確認画面(復氏届)表示 4/5	(受取側)復氏届(その3)確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届(その3)確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書)共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	現在配偶者カナ氏名		中間ファイル(届書)事件別内容	現在配偶者カナ氏名				
	現在配偶者漢字氏名			現在配偶者漢字氏名				
	現在配偶者外人区分			現在配偶者外人区分				
	現在配偶者筆頭者区分			現在配偶者筆頭者区分				
	現在配偶者筆頭者名称					有		
	現在配偶者配偶者区分			現在配偶者配偶者区分				
	現在配偶者配偶者名称					有		
	現在配偶者生年月日			現在配偶者生年月日		有		
	現在配偶者父氏名			現在配偶者父氏名				
	現在配偶者母氏名			現在配偶者母氏名		有		
	現在配偶者父母との続柄コード			現在配偶者父母との続柄コード				
	現在配偶者続柄名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/25

処理名	1.0 確認画面(復氏届)表示 5/5	(受取側)復氏届(その3)確認画面	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
復氏届(その3)確認画面	現在配偶者注所		中間ファイル(届書)共通	現在配偶者住所ｺｰﾄﾞ		有		
				現在配偶者住所				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	9/25

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (1/2)

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	*3
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1		配偶者以外の在籍者		一部除籍 C.2	*2 全部除籍 A.2 B.2 C.2	*2 一部記録 C.1 D.1	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫OR妻	未OR生存配偶者	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する		日本人配偶者							
							本	非	本	非	有	無	有	無				
1	○	×	○	×	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
1-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
1-2	×	○	○	×	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
1-3	×	○	○	×	×	○		○			－	－	－	－				
2	○	×	○	×	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
2-1	○	×	○	×	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
3	○	×	○	×	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
3-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
3-2	×	○	○	×	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
3-3	×	○	○	×	×	○				○	－	－	－	－				
4	○	×	○	×	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
4-1	○	×	○	×	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		
5	○	×	×	○	×	○	○				－	－	○	×	本人(4.2)		本人(4.1)	
5-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	○	×	本人(4.2)			
5-2	×	○	×	○	×	○	○				－	－	－	－			本人(4.1)	
5-3	×	○	×	○	×	○		○			－	－	－	－				
6	○	×	×	○	×	○	○				－	－	×	○		本人(4.2)	本人(4.1)	
6-1	○	×	×	○	×	○		○			－	－	×	○		本人(4.2)		
7	○	×	×	○	×	○			○		－	－	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
7-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	○	×	本人(4.2)			
7-2	×	○	×	○	×	○			○		－	－	－	－				本人(4.1)
7-3	×	○	×	○	×	○				○	－	－	－	－				
8	○	×	×	○	×	○			○		－	－	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
8-1	○	×	×	○	×	○				○	－	－	×	○		本人(4.2)		

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/25

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (2/2)

項番	条件														復氏者の現在の戸籍		復籍する戸籍	*3
	復氏者の本籍		筆頭者区分		配偶者区分		復籍区分				*1		配偶者以外の在籍者		一部除籍 C.2	*2 全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記録 C.1 D.1	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	本籍	非本籍	構成員	筆頭者	夫OR妻	未OR生存配偶者	もとの戸籍に戻る		新戸籍を編製する		日本人配偶者							
							本	非	本	非	有	無	有	無				
9	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	○	×	本人(4..2) 配偶者(5.2)			本人(4.1) 配偶者(5.1)
9-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	○	×	本人(4.2) 配偶者(5.2)			
9-2	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	-	-				本人(4.1) 配偶者(5.1)
9-3	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	-	-				
10	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		本人(4.1) 配偶者(5.1)
10-1	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○		本人(4.2) 配偶者(5.2)		
11	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	○	×	本人(4.2)			本人(4.1)
12	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	○	×	本人(4.2)			
13	×	○	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	-	-				本人(4.1)
14	×	○	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	-	-				
15	○	×	×	○	○	×	×	×	○	×	×	○	×	○		本人(4.2)		本人(4.1)
16	○	×	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○		本人(4.2)		

*1　日本人配偶者がある場合,配偶者は事件本人とともに随従除籍,随従入籍となる。
*2　配偶者についてはA.2,B.2は行わずC.2,5.2のみを行う。
*3　配偶者についてはA.1,B.1は行わずC.1,D.1,5.1のみを行う。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/25

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1801(復氏)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							復籍区分 ＝ 1のとき1を設定 復籍区分 ＝ 2のとき2を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	12/25

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)　中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)　中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル(届書)	届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							届後戸籍が非本籍なら　1　を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							「ファイル仕様書」参照
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/25

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	送達確認2							本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/25

処理名	4.1　復氏者(入籍)編集・出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日		中間ファイル(届書)	受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
		従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		復する氏							
		入籍戸籍 本籍							
		入籍戸籍 筆頭者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/25

処理名	4.1　復氏者(入籍)編集･出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	記録	記録日		中間ファイル(届書)					
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/25

処理名	4.2　復氏者(除籍)編集･出力(1/2)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1801(復氏)
	記録コード								1801(復氏者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	受領日				
	復氏	婚姻前の氏に復した日		中間ファイル(届書)	受領日				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日							
	入戸籍	従前戸籍 本籍							
		従前戸籍 筆頭者							
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			届後本籍コード		有		復籍区分 ＝ 2(新戸籍編製)のとき
					届後本籍				
		復する氏			･婚姻前の氏(氏区分 ＝ 1)のとき,設定不要 ･転婚前の氏(氏区分 ＝ 2)で新戸籍編製(復籍区分 ＝ 2)のとき, 届後戸籍の筆頭者の『氏』を設定 ･新しい氏(氏区分 ＝ 3)のとき (1)漢字氏名の『氏』 ≠ 届後戸籍の筆頭者の『氏』なら,届後戸籍の筆頭者の『氏』を設定 (2)漢字氏名の『氏』 ＝ 届後戸籍の筆頭者の『氏』なら,設定不要				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/25

処理名	4.2　復氏者(除籍)編集・出力(2/2)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項		入籍戸籍	本籍		中間ファイル(届書)	届後本籍コード				復籍区分 ＝ 1(もとの戸籍に戻る)のとき
						届後本籍				
			筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	18/25

処理名	5.1復氏者の配偶者(入籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
	入籍	入籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	除籍	除籍日							
	除籍	除籍事由							
	許可	許可日							
	許可	許可書謄本の送付を受けた日							
	許可	許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍 本籍			本籍コード		有		
					本籍				
	入戸籍	従前戸籍 筆頭者			筆頭者				
	除戸籍	新本籍							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	19/25

処理名	5.2復氏者の配偶者(除籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1802(配偶者の復氏)
	記録コード								1802(復氏者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	除籍	除籍日		中間ファイル(届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日がない場合は送付日を設定 送付日がない場合は受領日を設定
		除籍事由							″夫(妻)の復氏届出″
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						
	除戸籍	新本籍			届後本籍コード		有		
					届後本籍				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	20/25

処理名	6.1復氏者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/復氏者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 復氏者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							18(復氏届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏　+ 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							
	世帯主			世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/25

処理名	6.1　復氏者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/復氏者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 復氏者	世帯主との続柄		中間ファイル(届書)					

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	22/25

処理名	6.2復氏者の配偶者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/復氏者の配偶者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(9条2項) 復氏者の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							18(復氏届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日			現在配偶者生年月日				
	旧生年月日			現在配偶者生年月日				
	新父母との続柄			現在配偶者父母との続柄コード				
	旧父母との続柄			現在配偶者父母との続柄コード				
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/25

処理名	6.2　復氏者の配偶者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/復氏者の配偶者　　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 復氏者の配偶者	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	24/25

処理名	7.1 復氏者　編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/復氏者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 復氏者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の 氏 + 漢字氏名の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(復氏届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	25/25

処理名	7.2 復氏者の配偶者　編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/復氏者の配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 復氏者の配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					18(復氏届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍の筆頭者の氏 + 現在配偶者漢字氏名の名				
	旧氏名			現在配偶者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			現在配偶者生年月日				
	新性別							
	旧性別							現在配偶者父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

18.姻族関係終了届

1. 姻族関係終了届の審査結果入力

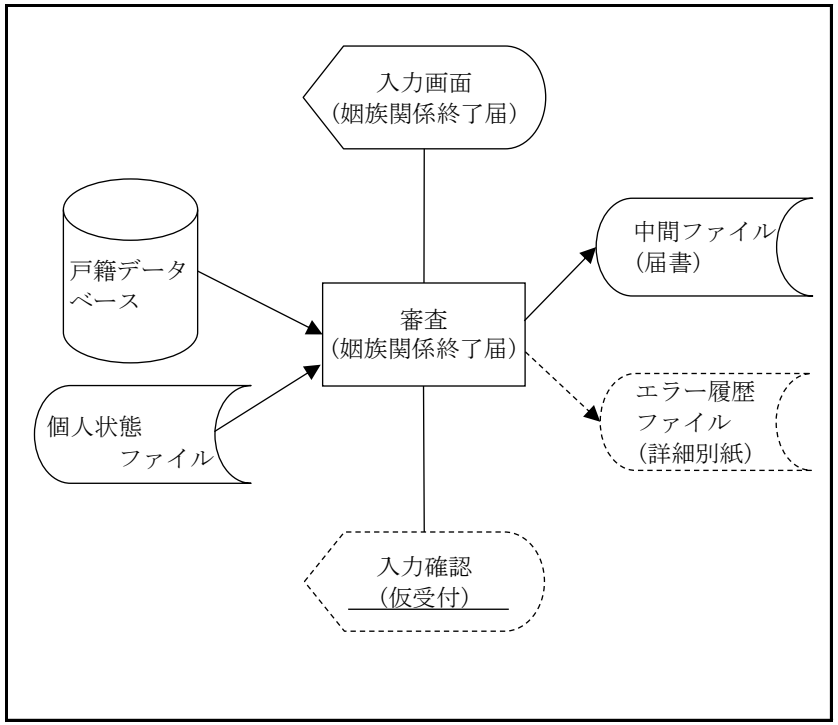
2. 姻族関係終了届の審査

- 事件本人が生存配偶者でない場合,死亡配偶者と婚姻していたことは,操作員に確認してもらう.
- 姻族関係終了届が受理できるか,最後に確認メッセージを表示し,操作員に必ず確認してもらう.

3. その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)姻族関係終了届の内容を画面入力する.
(2)姻族関係終了届で入力された項目の単体チェックを行う.
(3)姻族関係終了届で入力された項目の関連チェックを行う.
(4)審査を行う。
(5)姻族関係終了届から,中間ファイル(届書)を編集し,出力する.
(6)入力確認(姻族関係終了届)に制御を渡す.

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	0.0　本紙						備考
(1)届書内容を画面入力する						/	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)				[1.0]	/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)			[2.0]	/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)		[3.0]	/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力	[4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する。			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する					
	NO							
PF1	―→						(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	―→						(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後,以後の審査を続行する							審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する							
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する							

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック	入力画面(姻族関係終了届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	カナ氏名	○	カナ				
11	漢字氏名	○	漢字				
12	外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者		漢字				
16	死亡配偶者カナ氏名	○	カナ				
17	死亡配偶者漢字氏名	○	漢字				
18	死亡配偶者外人区分	○	数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
19	死亡年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」年月まで必須入力			
20	同籍区分		数字	(0:同一戸籍,1:他戸籍)であること			
21	死亡配偶者本籍		漢字				
22	死亡配偶者筆頭者		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	5/10

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	入力画面(姻族関係終了届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.5)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.5)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき、(No.4)発送日 ≧ (No.3)受領日 であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースのとき、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日 であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.4)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日 であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき、(No.14)本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、 (No.14)本籍 ＝ 管外 であること			
13	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)のとき、 (No.8)本非区分 ＝ 2(非本籍)かつ(No.14)本籍 ＝ 国籍 であること			
14	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、(No.15)筆頭者 ≠ スペース であること			
15	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)のとき、(No.15)筆頭者 ＝ スペース であること			
16	(No.12)外人区分 ＝ 0(日本人)かつ(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、(No.20)同籍区分 ≠ スペース であること			
16-1	(No.12)外人区分 ＝ 1(外国人)または(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人人)のとき、(No.20)同籍区分 ＝ スペース であること			
17	(No.20)同籍区分 ＝ 0(同一戸籍) のとき、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ スペース かつ (No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペース または (No.14)本籍 ＝ (No.21)死亡配偶者本籍かつ(No.15)筆頭者 ＝ (No.22)死亡配偶者であること			
18	(No.20)同籍区分 ＝ 1(他戸籍) のとき、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 本籍 かつ (No.22)死亡配偶者筆頭者 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	6/10

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	入力画面(姻族関係終了届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19	(No.18)死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人) のとき、 (No.21)死亡配偶者本籍 ＝ 国籍 かつ (No.22)死亡配偶者筆頭者 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
20	(No.11)漢字氏名 ≠ スペースかつ (No.15) 筆頭者 ≠ スペースの場合、 (No.11)漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏 であること。			日本人の場合、実施する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	7/10

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日=送付日の場合、 確認メッセージ(YES,NO)「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか。」			(0-2)本紙へ	
YES (0-3)→(0-6)へ		/		R2.1(姻族21)
NO (0-4)→			(0-5)本紙へ	
(0-6)(外人区分=0:日本人 かつ 漢字氏名の名が未入力)(YES,NO)		/		R2.1(姻族21)
YES (0-7)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示する			(0-8)本紙へ	
YES (0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する			(0-11)本紙へ	不受理
NO (0-10)→				画面項目修正(審査完了しない)
NO (0-12)→(1)へ		/		
(1)外人区分＝1:外国人である(YES,NO)		/		
YES (2)確認メッセージ(YES,NO) 「姻族関係終了を認めたその国の証明書が添付されていますか」を表示する			(3)本紙へ	
YES (4)→(6)へ		/		
NO (4-1)→			(4-2)本紙へ	不受理
NO (5)→(6)へ		/		
(6)死亡配偶者外人区分=0:日本人である(YES,NO)		/		
YES (7)死亡配偶者本籍＝管内である(YES,NO)		/		
YES (7-1)死亡配偶者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)		/		システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため,審査できない
YES (8)個人除区分≠0:在籍者以外である(YES,NO)		/		
YES (9)→(21)へ		/		
NO (10)エラーメッセージ 「姻族関係を終了する配偶者は死亡(失踪)していません」を表示する			(11)本紙へ	
NO (12)→(21)へ		/		
NO (13-1)→(21)へ				
NO (13)→(21)へ		/		
(14)		/		(14)～(20)は削除
(15)		/		
(16)		/	(17)	
(18)		/		
(19)		/		
(20)		/		
(21)確認メッセージ(YES,NO) 「死亡(失踪)した者と婚姻していたことを確認しましたか?」を表示する			(22)本紙へ	

YES	(22-1)→			
NO	(22-2)→			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(姻族関係終了届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		姻族関係終了届 入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							19(姻族関係終了届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							1(創設)
	渉外区分							外国人区分 ＝ 0なら0(日本人のみ) 外国人区分 ＝ 1なら2(外国人のみ)
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							不受理申出がされている場合に設定
	処分区分							審査の結果により,1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(姻族関係終了届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分		姻族関係終了届 入力画面					何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

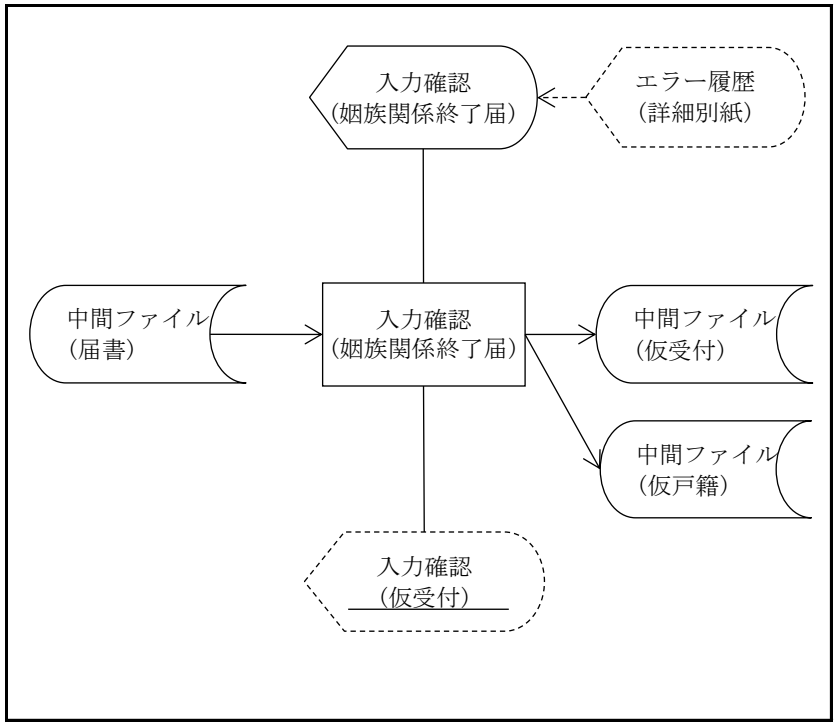
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側) 入力画面(姻族関係終了届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	個人番号		姻族関係終了届 入力画面	個人番号				本籍人の場合個人番号を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日				
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍コード			死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者本籍							
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/7

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する.
(2)中間ファイル(仮受付)を編集し,出力する.
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集し,出力する.
(4)処分決定処理に制御を渡す.

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集(確認画面)
  - 2.0 データ編集(中間ファイル/仮受付)
  - 3.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍)
    - 3.1 身分事項(一部記録)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/7

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し, メッセージ「入力項目を確認し,よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する		[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する	[2.0]	/	
	(4)事件本人が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/	非本籍人及び外国人は記録不要
		(6)身分事項を編集する(一部記録) [3.1]		(7)処分決定に制御を渡す
	NO	―→		
PF1	―→			(8)業務選択に制御を渡す
PF2	―→			(9)届出選択に制御を渡す
PF5	―→			(10)審査(姻族関係終了届)に制御を渡す
PF11	―→			(11)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(12)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する			(13)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/7

処理名	1.0 確認画面(姻族関係終了届)表示	(受取側) 確認画面(姻族関係終了届)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
姻族関係終了届 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	カナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	外人区分			外人区分				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	死亡配偶者カナ氏名			死亡配偶者カナ氏名				
	死亡配偶者漢字氏名			死亡配偶者漢字氏名				
	死亡配偶者外人区分			死亡配偶者外人区分				
	死亡年月日			死亡年月日		有		
	同籍区分			同籍区分				
	死亡配偶者本籍			死亡配偶者本籍コード		有		
				死亡配偶者本籍				
	死亡配偶者筆頭者			死亡配偶者筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/7

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							1901(姻族関係終了)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/7

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル (届書)					
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	6/7

処理名	2.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							34(生存配偶者)
	届出人区分							1を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2							現本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき) 外国人の場合は0を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(姻族関係終了届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	7/7

処理名	3.1身分事項(一部記録)編集･出力

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								1901(姻族関係終了)
	記録コード								1901(姻族関係の終了した生存配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル (届書)	受領日				
		死亡配偶者の親族との姻族関係終了日		中間ファイル (届書)	受領日				
	姻族関係終了	死亡配偶者氏名			死亡配偶者漢字氏名				
		死亡配偶者の戸籍 本籍			死亡配偶者本籍コード		有		死亡配偶者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合に設定 (同籍区分 ＝ 0の場合は設定不要)
					死亡配偶者本籍				
		筆頭者			死亡配偶者筆頭者				同上
		死亡配偶者の国籍			死亡配偶者本籍				死亡配偶者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合に設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

19.推定相続人廃除届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	1/12

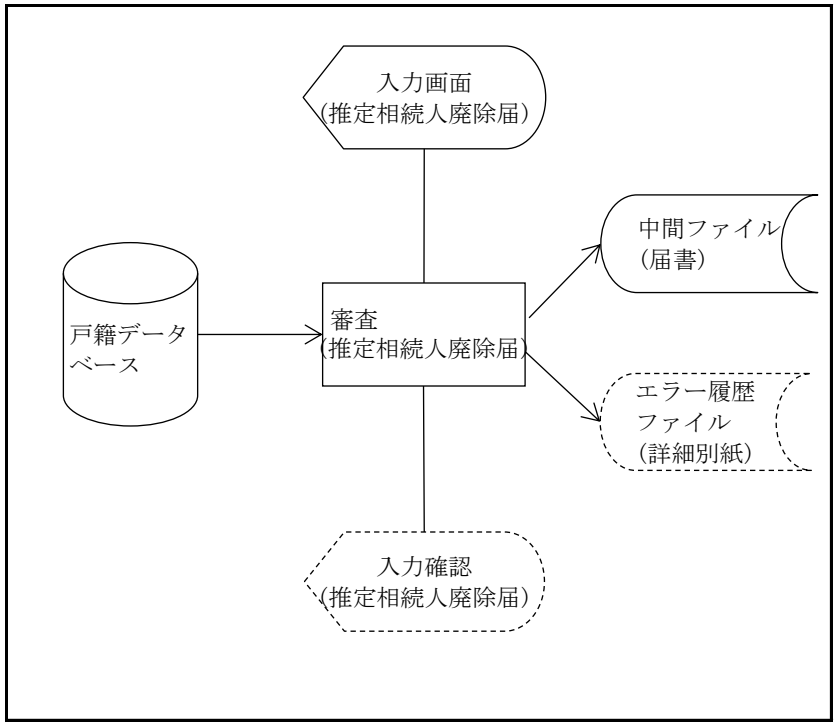
1. 推定相続人廃除届の審査結果入力
・届出がない場合(管轄局の許可を得て記録する場合等)は,審査結果入力で処理を行う。

2. 推定相続人廃除届の審査
・審判確定(調停成立)の日から10日以内の届出であることの審査を行う。

3. その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/12

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)推定相続人廃除届の内容を画面入力する.
(2)推定相続人廃除届で入力された項目の単体チェックを行う.
(3)推定相続人廃除届で入力された項目の関連チェックを行う.
(4)審査を行う.
(5)推定相続人廃除届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する.
(6)入力確認(推定相続人廃除届)に制御を渡す.

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/12

処理名	0.0　本紙								備考
(1)届書内容を画面入力する							/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する。				メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	―→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	―→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する							(24)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	4/12

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(1/2)	推定相続人廃除届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。		
2	受領番号		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国からの送付、2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	被廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
11	被廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	被廃除者カナ氏名	○	カナ				
13	被廃除者漢字氏名	○	漢字				
14	被廃除者本籍	○	漢字				
15	被廃除者筆頭者		漢字				
16	廃除者外人区分	○	数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
17	廃除者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	廃除者資格区分	○	数字	(001:父、002:母、010:養父、011:養母、099:その他)であること			
19	廃除者資格名称		漢字				
20	廃除者カナ氏名	○	カナ				
21	廃除者漢字氏名	○	漢字				
22	廃除者本籍	○	漢字				
23	廃除者筆頭者		漢字				
24	裁判区分	○	数字	(~~1:調停~~、2:審判)であること			16版修正 No24:裁判区分 1:調停を削除 →家事事件手続法第244条により
25	裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/12

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(2/2)	推定相続人廃除届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	届出人資格	○	数字	(090:廃除した人,091:遺言執行者 098:廃除された人,099:その他)であること	項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。		
27	届出人資格名称		数字				
28	届出人氏名	○	漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成27年 3月 1日	18	6/12

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(1/2)	推定相続人廃除届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.4)発送日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の とき (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき,(No.7)処理日〉(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.9)郵送日 ≦ (No.4)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍) のとき,(No.14)被廃除者本籍 ＝ 管内であること			
12	(No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍) かつ (No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、 (No.14)被廃除者本籍 ＝ 管外であること			
13	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)のとき、 (No.8)本籍区分 ＝ 2(非本籍)かつ(No.14)被廃除者本籍 ＝ 国籍であること			
14	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、(No.15)被廃除者筆頭者 ≠ スペースであること			
15	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)のとき、(No.15)被廃除者筆頭者 ＝ スペースであること			
15-1	(No.10)被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき, (No.13)被廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)被廃除者筆頭者の氏であること			
16	(No.18)廃除者資格区分 ＝ 099のとき、(No.19)廃除者資格名称 ≠ スペース であること			
17	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 本籍かつ(No.23)廃除者筆頭者 ≠ スペース であること			
18	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)のとき、 (No.22)廃除者本籍 ＝ 国籍かつ(No.23)廃除者筆頭者 ＝ スペース であること			
18-1	(No.16)廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)のとき, (No.21)廃除者漢字氏名の氏 ＝ (No.23)廃除者筆頭者の氏であること			
19	(No.26)届出人資格 ＝ 090(廃除した人)のとき、 (No.28)届出人氏名 ＝ (No.21)廃除者漢字氏名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	7/12

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(2/2)	推定相続人廃除届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19-1	(No.26)届出人資格 ＝ 098(廃除された人) のとき, (No.28)届出人氏名 ＝ (No.13)被廃除者漢字氏名 であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
20	(No.26)届出人資格 ＝ 099(その他) のとき,(No.27)届出人資格名称 ≠ スペース であること			
21	(No.26)届出人資格 ＝ 091(遺言執行者) または (No.26)届出人資格 ＝ 099(その他)のとき, (No,28)届出人氏名 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	8/12

処理名	3.0 審査 (1/2)				備考
(0-1)受領日=送付日である				/	
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)			/	
	YES	(0-3)→(0-7)へ		/	R2.1(推相廃14)
	NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			/	R2.1(推相廃14)
(0-7)被廃除者の外国人区分=0:日本人 かつ 被廃除者の名が未入力 (YES,NO)				/	R2.1(推相廃14)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示			(0-9)本紙へ	R2.1(推相廃14)
	YES	(0-10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(推相廃14)
	NO	(0-11)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(推相廃14)
NO	(0-13)→(1)へ			/	R2.1(推相廃14)
(1)被廃除者は本籍人である。(YES,NO)				/	
YES	(2)廃除者資格名称(001:父,002:母,010:養父,011:養母)			/	
	001:父	(3)廃除者漢字氏名=被廃除者の戸籍の父氏名(YES,NO)		/	
		YES	(4)→(24)へ	/	
		NO	(5)確認メッセージ 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」と表示する。(YES,NO)	(6)本紙へ	
			YES (7)→(24)へ	/	
			NO →		不受理
	002:母	(8)廃除者漢字氏名=被廃除者の戸籍の母氏名(YES,NO)		/	
		YES	(9)→(24)へ	/	
		NO	(10)確認メッセージ 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する。(YES,NO)	(11)本紙へ	
			YES (12)→(24)へ	/	
			NO →		不受理
	010:養父	(13)廃除者漢字氏名=被廃除者の戸籍の養父氏名(YES,NO)		/	
		YES	(14)→(24)へ	/	
		NO	(15)確認メッセージ 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する。(YES,NO)	(16)本紙へ	
			YES (17)→(24)へ	/	
			NO →		不受理
	011:養母	(18)廃除者漢字氏名=被廃除者の戸籍の養母氏名(YES,NO)		/	
		YES	(19)→(24)へ	/	
		NO	(20)確認メッセージ 「廃除者氏名と被廃除者の戸籍に記録の氏名が異なりますがよろしいですか?」を表示する。(YES,NO)	(21)本紙へ	
			YES (22)→(24)へ	/	
			NO →		不受理
NO	(23)→(24)へ			/	
(24)届出人資格?(090:廃除した人,091:遺言執行者,098:廃除された人,099:その他)				/	

090	(25)→(38)へ	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	9/12

処理名	3.0 審査 2/2						備考
091	(26)廃除者は本籍人である(YES,NO)					/	
	YES	(26.1)廃除者はシステム化後の戸籍にいる(YES,NO)				/	システム化前に死亡している者(構成員)はセットアップ対象外であるため、審査できない
		YES	(27)個人除区分 ≠ 0(在籍者以外)である(YES,NO)			/	
			YES	(28) → (38)へ		/	
			NO	(29)エラーメッセージ 「廃除者は死亡(失踪)していないので、遺言執行者は届出人になれません。」を表示する		(30)本紙へ	民893
		NO	(29.1) → (38)へ			/	
	NO	(31) → (38)へ				/	
098	(32)確認メッセージ 「本来、廃除される者が届出人になることはできません。よろしいですか?」を表示する(YES、NO)					/	法97(法63①の準用),法63②の準用はない 裁判請求者:民892,893 本例(S35.1.7民事甲第17号民事局長回答)
	YES	(33) → (38)へ				/	
	NO	→					(34)本紙へ 不受理
099	(35)確認メッセージ 「通常、廃除者か、遺言執行者しか届出人になることはできません。よろしいですか?」を表示する(YES、NO)						民892,893 本例は民895①の適用である (S36.7.3民事甲第1578号民事局長回答)
	YES	(36) → (38)へ				/	
	NO	→					(37)本紙へ 不受理
(38)審判確定の日から10日以内の届出である(YES、NO)						/	法97(法63①の準用)
YES	→						(39)本紙へ
NO	(40)確認メッセージ 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」を表示する(YES、NO)						
	YES	→					
	NO	→					不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/12

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(推定相続人廃除届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		推定相続人廃除届入力画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							20(推定相続人廃除届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							ZERO(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							被廃除者外人区分 ＝ 0(日本人)の場合,0を設定 被廃除者外人区分 ＝ 1(外国人)の場合,2(外国人のみ)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/12

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(推定相続人廃除届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		推定相続人廃除届入力画面					審査の結果により,1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする. (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする.)
	決裁区分							何も設定されていない場合に0:未決済を設定
	届書排他区分							

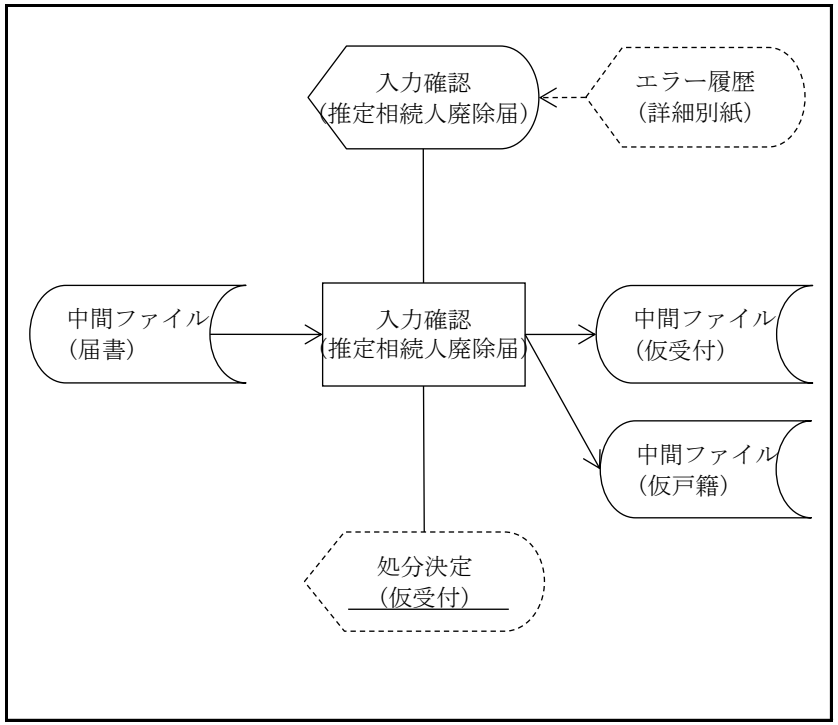
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/12

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別	← (引渡側) 入力画面(推定相続人廃除届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	被廃除者個人番号		推定相続人廃除届入力画面					本籍人の場合個人番号を設定
	被廃除者外人区分			被廃除者外人区分				
	被廃除者生年月日			被廃除者生年月日				
	被廃除者カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	被廃除者漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	被廃除者本籍コード			被廃除者本籍				
	被廃除者本籍							
	被廃除者筆頭者			被廃除者筆頭者				
	廃除者個人番号			廃除者個人番号				本籍人の場合個人番号を設定
	廃除者外人区分			廃除者外人区分				
	廃除者生年月日			廃除者生年月日				
	廃除者資格区分			廃除者資格区分				
	廃除者資格名称			廃除者資格名称				
	廃除者カナ氏名			廃除者カナ氏名				
	廃除者漢字氏名			廃除者漢字氏名				
	廃徐者本籍コード			廃除者本籍				
	廃除者本籍							
	廃除者筆頭者			廃除者筆頭者				
	裁判種別			裁判種別				
	裁判確定日			裁判確定日				
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する.
(2)中間ファイル(仮受付)を編集し,出力する.
(3)中間ファイル(仮戸籍)を編集し,出力する.
(4)処分決定処理に制御を渡す.

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集(確認画面)
  - 2.0 データ編集(中間ファイル/仮受付)
  - 3.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍)
    - 3.1 身分事項(一部記録)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し, メッセージ「入力項目を確認し,よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する		[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する	[2.0]	/	
	(4)被廃除者が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(5)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する	/	非本籍人及び外国人は記録不要
		(6)身分事項を編集する(一部記録)	[3.1]	(7)処分決定に制御を渡す
	NO	―→		
PF1	―→			(8)業務選択に制御を渡す
PF2	―→			(9)届出選択に制御を渡す
PF5	―→			(10)審査(推定相続人廃除届)に制御を渡す
PF11	―→			(11)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(12)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する			(13)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	1.0 確認画面(推定相続人廃除届)表示 1/2	(受取側)推定相続人廃除届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
推定相続人廃除届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	被廃除者外人区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	被廃除者外人区分				
	被廃除者生年月日			被廃除者生年月日		有		
	被廃除者カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	被廃除者漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	被廃除者本籍			被廃除者本籍コード		有		
				被廃除者本籍				
	被廃除者筆頭者			被廃除者筆頭者				
	廃除者外人区分			廃除者外人区分				
	廃除者生年月日			廃除者生年月日		有		
	廃除者資格区分			廃除者資格区分				
	廃除者資格名称			廃除者資格名称				
	廃除者カナ氏名			廃除者カナ氏名				
	廃除者漢字氏名			廃除者漢字氏名				
	廃除者本籍			廃除者本籍コード		有		
				廃除者本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	1.0 確認画面(推定相続人廃除届)表示 2/2	(受取側)推定相続人廃除届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
推定相続人廃除届確認画面	廃除者筆頭者		中間ファイル(届書) 事件別内容	廃除者筆頭者				
	裁判種別			裁判種別				
	裁判確定日			裁判確定日		有		
	届出人資格			届出人資格				
	届出人資格名称			届出人資格名称				098のとき「廃除された者」を表示
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							裁判種別 ＝ 1(調停)であれば2001(推定相続人廃除(調停)) 裁判種別 ＝ 2(審判)または3(判決)であれば2002(推定相続人廃除(裁判))
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号							
	届出人資格区分1							届出人資格 ＝ 090であれば入力された廃除者資格区分を設定 届出人資格 ＝ 091であれば091(遺言執行者)を設定 届出人資格 ＝ 098であれば届出人資格区分1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば099(その他)を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	2.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニタイズルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届出人資格名称1		中間ファイル (届書)					届出人資格 ＝ 090であれば入力された廃除者資格名称を設定 届出人資格 ＝ 091であれば「遺言執行者」を設定 届出人資格 ＝ 098であれば届出人資格名称1は未設定 届出人資格 ＝ 099であれば入力された届出人資格名称を設定
	届出人氏名1			届出人氏名				届出人資格 ＝ 098であれば未設定
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)の場合1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)の場合0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	7/9

処理名	2.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							35(推定相続人)
	届出人区分							届出人資格 ＝ 098であれば1(届出人)を設定
	カナ氏名			被廃除者カナ氏名				
	漢字氏名			被廃除者漢字氏名				
	生年月日			被廃除者生年月日				
	本籍コード			被廃除者本籍コード				
	本籍			被廃除者本籍				
	筆頭者			被廃除者筆頭者				
	送達確認2							本非区分 ＝ 2(非本籍) かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合1を設定 上記以外は0を設定 外国人は0を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	8/9

処理名	3.1身分事項(一部記録)編集 (1/2)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号								被廃除者が本籍人の場合個人番号を設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2001(推定相続人廃除)
	記録コード								2001(推定相続人廃除をされた者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル (届書)	裁判確定日				
	廃除推定相続人	推定相続人廃除の裁判確定日		中間ファイル (届書)	裁判確定日				裁判種別 ＝ 2(審判)または 3(判決)のとき
		推定相続人廃除の調停成立日			裁判確定日				裁判種別 ＝ 1(調停)のとき
		被続相人 続柄			廃除者資格名称				
		被続相人 氏名			廃除者漢字氏名				
	届出	届出日			受領日				
		届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 098であれば移送しない
		届出人 資格名称							届出人資格 ＝ 090(廃除した者)であれば、「廃除者資格名称」を設定 届出人資格 ＝ 098(廃除された者)であれば、未設定 届出人資格が上記以外のであれば、「届出人資格名称」を設定
		届出人 氏名							届出人資格 ＝ 090,098であれば未設定 届出人資格が上記以外であれば、「届出人氏名」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(推定相続人廃除届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	3.1身分事項(一部記録)編集 (2/2)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	許可	許可日		中間ファイル (届書)					
		許可証謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7.2.(5)「異動」処理

20.入籍届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	1/1

1.入籍届による入籍業務処理範囲外の処理

(1) 過去に氏の変更届(107条4項)を入籍人が届出。

(2) (養)父母欄の更正処理は、入籍人及びその配偶者:本籍、入籍先:本籍(本籍→本籍の異動)の場合のみ行う。
上記以外の異動パターンについては、更正処理で行う。

(3) 事件本人の成年後見人から届出された場合。

(4) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2.入籍届入力画面の意義

(1) 入籍人当事者の各項目を入力する。

3.その他

(1) 添付書類

・父又は母と氏を異にする子が、父又は母の氏を称しようとする場合(戸98I、民791I・III)、裁判所において「子の氏を父又は母の氏に変更する」旨の許可の審判書の謄本

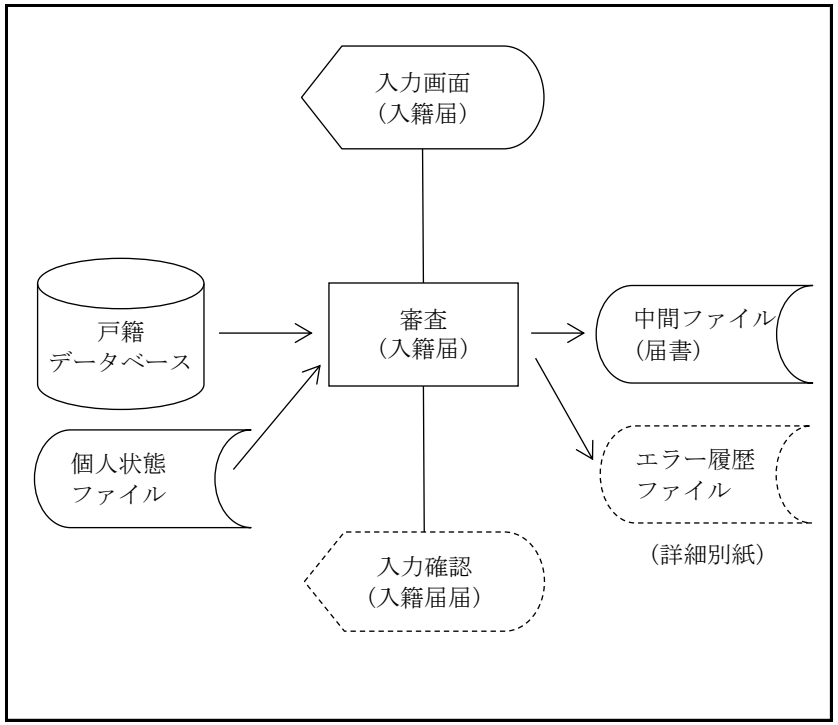
(2) 入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)を選択した場合の処理範囲

・届出人資格は、同一人であること(入籍人単位に指定できない。異なる場合は処理を別けて行う)

・入籍人の対象は、構成員とする。(筆頭者と構成員を同時に入籍できない)

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/54

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)入籍届の内容を画面入力する。
(2)入籍届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)入籍届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)入籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(入籍届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(氏を称する入籍)
    - 3.2 審査(同籍する入籍)
    - 3.3 審査(従前の氏を称する入籍)
    - 4.1 審査(届出人資格)
    - 4.2 審査(入籍人更正区分)
    - 4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)
    - 4.4 審査(父母関連)
    - 4.5 審査(父又は母の新戸籍)
    - 4.6 審査(入籍先･入籍相手)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)入籍者の年齢計算について
　･受領日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/54

処理名	0.0　本紙						備考
(1)届書内容を画面入力する					/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)					/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) 〔1.0〕				/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕			/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) 〔3.0〕		/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)の編集出力 〔5.0〕	/	(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する	
				確認 (11)確認メッセージを表示し、メッセージにに対して応答の後、以降の審査を続行する。			
PF1	→					(13)業務選択に制御を渡す	
PF2	→					(14)届出選択に制御を渡す	
PF7	(15)前ページがあるか(YES,NO)				/		
	YES	(16)前ページ「入籍届」画面編集				(18)同画面を編集する	
	NO	(17)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する					
PF8	(19)次ページがあるか(YES,NO)				/		
	YES	(20)次ページ「入籍届」画面編集				(26)同画面を編集する	
	NO	(21)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する					
PF10	(22)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止の時のみ有効
PF11	(23)当該審査エラーの確認後、以降の審査を継続する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(24)入力画面を初期化する						
その他	(25)エラーメッセージ「無効なキーが押されました。」を表示						

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/54

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　1/5	入籍届種別入力		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	入籍者種別	○	数字	(1:入籍人単独、2:配偶者同時、3:入籍人複数)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
2	同時入籍者数		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/54

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　2/5	入籍届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	支所NO		数字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
4	受領NO		数字				
5	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	発送元		漢字				
8	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館からの直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	入籍事由	○	数字	(1:氏を称する入籍,2:同籍する入籍,3:従前の氏を称する入籍)であること			
13	入籍相手	○	数字	(1:無,2:父,3:母,4:父母,5:養父,6:養母,7:養父母)であること			
14	従前の氏を改めた日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	許可の審判確定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	戸籍変動区分	○	数字	(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)であること			
17	入籍先の本非区分		数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
18	入籍先の個人除区分		数字	(0:在籍者,1:除籍者,2:戸籍消除者,3:消除者,4:消除及び除籍者)であること			
19	入籍先の筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
20	入籍先の配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
21	入籍先の本籍		漢字				
22	入籍先の筆頭者		漢字				
23	入籍先のカナ氏名		カナ				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/54

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　3/5	入籍届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	入籍先の漢字氏名		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
25	入籍先の住所		漢字				
26	入籍先の世帯主		漢字				
27	入籍先の父の氏名		漢字				
28	入籍先の母の氏名		漢字				
29	入籍先の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
30	入籍先の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
31	新本籍		漢字				
32	新筆頭者		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	6/54

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　4/5	入籍届(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
33	入籍人の本非区分	○	数字	(1:本籍、2:非本籍)であること	「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
34	入籍人nの筆頭者区分	○	英数	(0:構成員、1:筆頭者)であること			(注1)
35	入籍人nの配偶者区分	○	英数	(0:未、1:夫、2:妻、3:生存配偶者)であること			(注1)
36	入籍人nの更正区分	○	英数	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			(注1)
37	入籍人nの生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			(注1)
38	入籍人nのカナ氏名		カナ				(注1)
39	入籍人nの漢字氏名	○	漢字				(注1)
40	入籍人nの住所		漢字				(注1)
41	入籍人nの世帯主		漢字				(注1)
42	入籍人nの父の氏名		漢字				(注1)
43	入籍人nの母の氏名		漢字				(注1)
44	入籍人nの父母続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			(注1)
45	入籍人nの養父の氏名		漢字				(注1)
46	入籍人nの養母の氏名		漢字				(注1)
47	入籍人nの養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			(注1)
48	入籍人の本籍	○	漢字				
49	入籍人の筆頭者	○	漢字				
50	届出人資格1		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること			
51	届出人氏名1		漢字				
52	届出人資格2		数字	(009:配偶者、016:親権者父、017:親権者母、019:親権者養父、020:親権者養母、110:未成年後見人、098:事件本人)であること	(注1)複数人存在する場合あり		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	7/54

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック 5/5	入籍届(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	届出人氏名2		漢字		「項目エラーがあります。 正しく入力して下さい。」		
54	入籍人配偶者のカナ氏名		カナ				
55	入籍人配偶者の漢字氏名		漢字				
56	入籍人配偶者の生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
57	入籍人配偶者の父の氏名		漢字				
58	入籍人配偶者の母の氏名		漢字				
59	入籍人配偶者の父母続柄		数字	(10:男～49:十九女)であること			
60	入籍人配偶者の養父の氏名		漢字				
61	入籍人配偶者の養母の氏名		漢字				
62	入籍人配偶者の養父母続柄		数字	(51:養子、52:養女)であること			
63	入籍人配偶者の住所		漢字				
64	入籍人配偶者の世帯主		漢字				
65	入籍人配偶者の外国人区分		数字	(0:日本人、1:外国人)であること			
66	入籍人配偶者の配偶者区分		英数	(1:夫、2:妻)であること			
67	入籍人配偶者の更正区分		英数	(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父及び養母、9:養父及び母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	8/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (1/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.7)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.7)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.6)送付日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ≧ (No.5)受領日 であること			
4	(No.6)送付日 ＝ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分) であること			
5	(No.7)発送元 ≠ スペースの時、(No.8)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外) であること			
6	(No.7)発送元 ≠ スペース かつ (No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき (No.8)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付) であること			
7	(No.7)発送元 ≠ スペース かつ (No.7)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.8)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) または (No.8)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由) であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースの時、(No.9)処理日 ＞ (No.5)受領日 であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.6)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースの時、(No.11)郵送日 ≦ (No.5)受領日 であること			
11	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力 であること			
12	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 0(未) または 3(生存配偶者) であること			
13	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名～(No.67)入籍人配偶者の更正区分が未入力 であること			
13-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 1(入籍人単独) かつ ((No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍) または 2(同籍する入籍))の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る) または 2(父又は母の新戸籍に入る)であること			
14	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、(No.2)同時入籍者数 ＝ 未入力 であること			
15	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる) であること			
16	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.34)入籍人の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)、かつ (No.35)入籍人の配偶者区分 ＝ 1(夫)または2(妻)、であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 3月 1日	8	9/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (2/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)の時、 (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
17-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名 ～ (No.56)入籍人配偶者の生年月日 と (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 および (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ～ (No.67)入籍人配偶者の更正区分 が スペースでないこと			
17-3	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫)または2(妻)であること			
17-4	(No.1)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名 ～ (No.64)入籍人配偶者の世帯主 および (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ～ (No.67)入籍人配偶者の更正区分 が スペースであること			
18	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、(No.2)同時入籍者数 ≧ 2 であること			
19-1	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)であること			
19-2	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.38)入籍人nのカナ氏名 ～ (No.39)入籍人nの漢字氏名 および (No.44)入籍人nの父母続柄 が スペースでないこと			
20	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.34)入籍人nの筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ、 (No.35)入籍人nの配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者) であること			
21	(No.1)入籍者種別 ＝ 3(入籍人複数)の時、 (No.54)入籍人配偶者のカナ氏名 ～ (No.67)入籍人配偶者の更正区分 が未入力であること			
22	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	10/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (3/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	(No.12)入籍事由 ＝ 1(氏を称する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父)または3(母)または4(父母)または5(養父)または6(養母)または7(養父母)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
24	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ＝ スペース であること			
25	(No.12)入籍事由 ＝ 2(同籍する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父)または3(母)または4(父母)または5(養父)または6(養母)または7(養父母)であること			
26	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、 (No.14)従前の氏を改めた日 ≠ スペース であること			
27	(No.12)入籍事由 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 1(無) であること			
28-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.17)入籍先の本非区分 ～ (No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペース) かつ ((No.31)新本籍、(No.32)新筆頭者 ＝ スペース であること			
28-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、 ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) または ((No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)) かつ (No.20)入籍先の配偶者区分 ≠ 0(未)) であること			
29-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)の時、 (No.17)入籍先の本非区分 ～ (No.24)入籍先の漢字氏名 が ≠ スペース であること			
29-1-1	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)かつ (No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) または(No.31)新本籍 ＝ 管内の時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ～ (No.30)入籍先の生年月日 が ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	11/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (4/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29-2	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)の時、 (No.18)入籍先の個人除区分 ＝ 0(在籍者)かつ、 (No.19)入籍先の筆頭者区分 ＝ 0(構成員)かつ、 (No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 0(未)または3(生存配偶者)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
29-3	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)の時、 (No.13)入籍相手 ＝ 2(父)または3(母)または5(養父)または6(養母)であること			
29-4	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)かつ(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍先の漢字氏名 ＝ (No.32)新筆頭者であること			
29-5	(No.16)戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)かつ ((No.8)在外送付区分 ＝ 0(受理分)または2(在外公館の直接送付))の時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペースであること			
29-6				
30	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
31	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
32	(No.21)入籍先の本籍 ＝ 未入力の時、(No.17)入籍先の本非区分 ＝ 未入力であること			
33	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管内本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)であること			
34	(No.48)入籍人の本籍 ＝ 管外本籍の時、(No.33)入籍人の本非区分 ＝ 2(非本籍)であること			
35	(No.36)入籍人nの更生区分 ＝ 2(父)または4(父母)または8(父及び養母)の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペースであること			
36	(No.36)入籍人nの更生区分 ＝ 3(母)または4(父母)または9(養父及び母)の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペースであること			
37	(No.36)入籍人nの更生区分 ＝ 5(養父)または7(養父母)または9(養父及び母)の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペースであること			
38	(No.36)入籍人nの更生区分 ＝ 6(養母)または7(養父母)または8(父及び養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペースであること			
39	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 1(夫)かつ(No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男)であること			
40	(No.20)入籍先の配偶者区分 ＝ 2(妻)かつ(No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	12/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (5/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
41	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫) の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男) であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
42	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻) の時、 (No.44)入籍人1の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女) であること			
43	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人) の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻) であること			
44	(No.35)入籍人1の配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人) の時、 (No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫) であること			
45	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 1(夫) の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 10(男)～29(十九男) であること			
46	(No.66)入籍人配偶者の配偶者区分 ＝ 2(妻) の時、 (No.59)入籍人配偶者の父母続柄 ＝ 30(女)～49(十九女) であること			
47	(削除)			
48	(No.50)届出人資格1または(No.52)届出人資格2 ＝ 016(親権者父) の時、 (No.42)入籍人nの父の氏名 ≠ スペース であること			
49	(No.50)届出人資格1または(No.52)届出人資格2 ＝ 017(親権者母) の時、 (No.43)入籍人nの母の氏名 ≠ スペース であること			
50	(No.50)届出人資格1または(No.52)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父) の時、 (No.45)入籍人nの養父の氏名 ≠ スペース であること			
51	(No.50)届出人資格1または(No.52)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母) の時、 (No.46)入籍人nの養母の氏名 ≠ スペース であること			
52	(No.50)届出人資格1または(No.52)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人) の時、 (No.51)届出人氏名1または(No.53)届出人氏名2 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	13/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (6/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	(No.31)新本籍 ≠ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
54	(No.31)新本籍 ＝ スペースの時、 (No.32)新筆頭者 ＝ スペースであること			
55	(No.15)許可の審判確定日 ≠ スペースの時 (No.15)許可の審判確定日 ≦ (No.5)受領日であること			
56	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ (No.65)入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の時 (No.39)入籍人1の漢字氏名の氏 ＝ (No.55)入籍人配偶者の漢字氏名の氏 であること			
57	(No.1) 入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時、 (No.39)入籍人1の漢字氏名の名 ＝ (No.32)新筆頭者の名であること			
58	(No.49)入籍人の筆頭者の氏 ＝ (No.39)入籍人nの漢字氏名の氏 であること			
58-1	(No.22)入籍先の筆頭者の氏 ≠ スペースかつ(No.24)入籍先の漢字氏名 ≠ スペースの時 (No.22)入籍先の筆頭者の氏 ＝ (No.24)入籍先の漢字氏名の氏であること			
59	(No.67)入籍人配偶者の更生区分 ＝ 2(父) または4(父母) または8(父及び養母)の時 (No.57)入籍人配偶者の父の氏名 ≠ スペースであること			
60	(No.67)入籍人配偶者の更生区分 ＝ 3(母) または4(父母) または9(養父及び母)の時 (No.58)入籍人配偶者の母の氏名 ≠ スペースであること			
61	(No.67)入籍人配偶者の更生区分 ＝ 5(養父) または7(養父母) または9(養父及び母)の時 (No.60)入籍人配偶者の養父の氏名 ≠ スペースであること			
62	(No.67)入籍人配偶者の更生区分 ＝ 6(養母) または7(養父母) または8(父及び養母)の時 (No.61)入籍人配偶者の養母の氏名 ≠ スペースであること			
63	(No.24)入籍先漢字氏名 ≠ スペースかつ(No.32)新筆頭者 ≠ スペースの時 (No.24)入籍先漢字氏名の氏 ＝ (No.32)新筆頭者の氏 であること			
64	(No.13)入籍相手 ＝ 2(父)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペースであること			
65	(No.13)入籍相手 ＝ 3(母)の時、 (No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	14/54

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック (7/7)	入籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
66	(No.13)入籍相手 ＝ 4(父母)の時、 (No.42)入籍人nの父氏名 ≠ スペース かつ (No.43)入籍人nの母氏名 ≠ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
67	(No.13)入籍相手 ＝ 5(養父)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペース であること			
68	(No.13)入籍相手 ＝ 6(養母)の時、 (No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペース であること			
69	(No.13)入籍相手 ＝ 7(養父母)の時、 (No.45)入籍人nの養父氏名 ≠ スペース かつ (No.46)入籍人nの養母氏名 ≠ スペース であること			
70	(No.26)入籍先の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.25)入籍先の住所 ≠ スペース であること			
71	(No.41)入籍人nの世帯主 ≠ スペースの時、 (No.40)入籍人nの住所 ≠ スペース であること			
72	(No.64)入籍人配偶者の世帯主 ≠ スペースの時、 (No.63)入籍人配偶者の住所 ≠ スペース であること			
73	(No.25)入籍先の住所 ＝ スペースの時、 (No.26)入籍先の世帯主 ＝ スペース であること			
74	(No.40)入籍人nの住所 ＝ スペースの時、 (No.41)入籍人nの世帯主 ＝ スペース であること			
75	(No.63)入籍人配偶者の住所 ＝ スペースの時、 (No.64)入籍人配偶者の世帯主 ＝ スペース であること			
76	(No.27)入籍先の父の氏名 または(No.28)入籍先の母の氏名 ≠ スペースの時、 (No.29)入籍先の父母続柄 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	平成31年 3月31日	22	15/54

処理名	3.0 審査	0-1/1		
分岐	処理		遷移	備考
	(0-1)同時入籍者数分繰り返す	/		
	(0-2)入籍人の本籍=管内(YES,NO)	/		
YES	(0-3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,その他)	/		
1,2	(0-4)入籍人nの身分事項に性同一性障害(7003)がある。(YES,NO)	/		
YES	(0-5)確認メッセージ 「性同一性障害の記録があります。入力した戸籍に入籍できますか?」を表示する。			平成15年法律第111号3条
YES	(0-6)→(0-1)	/		
NO	(0-7)	/	(0-8)本紙へ	「N」の時、不受理
NO	(0-9)→(0-1)	/		
その他	(0-10)→(0-1)	/		
NO	(0-11)→(0-1)			
	(0-12)入籍先の父氏名=スペース または 入籍先の母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(0-12-1)入籍先の父母続柄≠スペース(YES,NO)	/		
YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		
YES	(0-14)→(0-23)	/		
NO	(0-15)		(0-16)本紙へ	不受理
NO	(0-16-1)→(0-23)	/		
NO	(0-17)入籍先の父母との続柄=10(男)または30(女)である(YES,NO)	/		
YES	(0-18)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」	/		
YES	(0-19)→(0-23)	/		
NO	(0-20)		(0-21)本紙へ	不受理
NO	(0-22)→(0-23)	/		
	(0-23)同時入籍者数分繰り返す	/		
	(0-24)入籍人nの父氏名=スペース または 入籍人nの母氏名=スペース(YES,NO)	/		
YES	(0-25)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		
YES	(0-26)→(0-23)	/		
NO	(0-27)		(0-28)本紙へ	不受理
NO	(0-29)入籍人nの父母との続柄=10(男) または 30(女) である(YES,NO)	/		
YES	(0-30)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」	/		
YES	(0-31)→(0-23)	/		
NO	(0-32)		(0-33)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	平成29年 3月31日	20	16/54

処理名	3.0 審査	0-2/1			
	NO	(0-34)→(0-23)	/		
(0-35)入籍人配偶者外人区分=0(日本人)である(YES,NO)			/		
YES	(0-36)配偶者父氏名=スペース または 配偶者母氏名=スペース(YES,NO)		/		
	YES	(0-37)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」	/		
		YES (0-38)→(0-48)	/		
		NO (0-39)		(0-40)本紙へ	不受理
	NO	(0-41)父母との続柄コード=10(男) または 30(女) である(YES,NO)	/		
		YES (0-42)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」	/		
			YES (0-43)→(0-48)	/	
			NO (0-44)		(0-45)本紙へ	不受理
		NO (0-46)→(0-48)	/		
NO	(0-47)→(0-48)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	令和2年3月31日	R2.1	17/54

処理名	3.0 審査 1/1						備考
(0-48)受領日=送付日である						/	
YES	(0-49)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)					/	
	YES	(0-50)→(0-54)へ				/	R2.1(入籍70)
	NO	(0-51)→					(0-52)本紙へ 画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-53)→(0-54)へ					/	R2.1(入籍70)
(0-54)同時入籍者数分繰り返す						/	R2.1(入籍70)
	(0-55)入籍人nの漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)					/	R2.1(入籍70)
	YES	(0-56)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示					(0-57)本紙へ R2.1(入籍70)
		YES	(0-58)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示				(0-60)本紙へ 不受理 R2.1(入籍70)
		NO	(0-59)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(入籍70)
	NO	(0-61)→(1)へ				/	R2.1(入籍70)
(1)許可の審査確定日≠スペース(YES,NO)						/	
YES	(2)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)					/	
	1	(2-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)				/	
		4,7	(2-2)確認メッセージ 「許可の審判確定日に入力がありますがよろしいですか?」を表示する。(YES,NO)				(2-3)本紙へ 民791II
			YES	(2-4)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]		/	
				(2-5)→(23)へ		/	
			NO	(2-6)			(2-7)本紙へ 不受理
		その他	(3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]			/	
			(4)→(23)へ			/	
	その他	(5)エラーメッセージ 「入籍事由に誤りがあります。」を表示する。					(6)本紙へ 不受理 昭和62.10.1 民二5000号通達第5の1(1)
NO	(7)入籍事由(1:氏を称する入籍、2:同籍する入籍、3:従前の氏を称する入籍)					/	
	1	(8)入籍先の配偶者区分(1:夫、2:妻、その他)				/	民791II
		1、2	(8-1)入籍相手(4:父母、7:養父母、その他)			/	
			4,7	(9)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]		/	
				(10)→(23)へ		/	
			その他	(10-1)確認メッセージ 「許可の審判確定日に入力がありませんがよろしいですか?」を表示する。(YES,NO)			(10-2)本紙へ
				YES	(10-3)審査(氏を称する入籍)処理 [3.1]	/	
					(10-4)→(23)へ	/	
				NO	(10-5)		(10-6)本紙へ 不受理
		その他	(11)エラーメッセージ 「家庭裁判所の許可が必要な入籍です。」を表示する。				(12)本紙へ 不受理
	2	(13)確認メッセージ 「民法上の氏は同じですか?」を表示する。					
		YES	(14)審査(同籍する入籍)処理 [3.2]				
			(15)→(23)へ				
		NO	(16)エラーメッセージ 「民法上の氏が異なるため、同籍する入籍はできません。」を表示する。				(17)本紙へ 不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成16年 7月16日	平成27年 3月31日	18	18/54

処理名		3.0 審査 1/1			備考
NO	3	(18)確認メッセージ 「従前に称していた氏ですか?」を表示する。			民791IV
		YES	(19)審査(従前の氏を称する入籍)処理 [3.3]		
			(20)→(23)		
		NO	(21)エラーメッセージ 「従前の氏を称する入籍はできません。」を表示する。	(22)本紙へ	不受理
(23)→				(24)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/54

処理名	3.1　審査(氏を称する入籍)　1/2			備考
(0)戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)(YES,NO)				
YES	(0-1)→(5)			
NO	(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者,その他)	/		
	0	(2)→(5)	/	
	その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届けは受理出来ません。」を表示	(4)3.0審査へ	昭23.7.1民甲1676回答 不受理
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)		/		
1	(6)→(15)	/		
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)	/		
	YES	(8)→(15)	/	
	NO	(9)エラーメッセージ 「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示	(10)3.0審査へ	不受理
3	(11)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)	/		
	YES	(12)→(15)	/	
	NO	(13)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示	(14)3.0審査へ	不受理
(15)同時入籍者数分繰り返す				
	(15-1)入籍人nの養父母続柄 ＝ スペース(YES,NO)	/		
	YES	(15-2)→(15-5)	/	
	NO	(15-3)確認メッセージ 「縁組継続中ですが、よろしいですか」を表示	(15-4)3.0審査へ	S26.9.4 民事甲第1787号通達 「N」の時、不受理
	(15-5)審査(入籍先・入籍人相手)処理 [4.6]	/		
	(16)審査(届出人資格)処理 [4.1]	/		
	(17)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]	/		
	(17-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)	/		
	2	(17-2)審査(父又は母の新戸籍)処理 [4.5]	/	
	その他	(17-3)→(15)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/54

処理名	3.1　審査(氏を称する入籍)　2/2			備考
(18)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)			/	
YES	(19)審査(入籍人配偶者更正区分)処理	[4.3]	/	
NO	(20)→(21)		/	
(21)→				(22)3.0審査へ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/54

処理名	3.2　審査(同籍する入籍) 1/1			備考
(1)入籍先の個人除区分(0:在籍者,その他)		/		
0	(2)→(5)	/		
その他	(3)エラーメッセージ 「入籍届は受理出来ません。」を表示		(4)3.0審査へ	昭23.7.1民甲1676回答 不受理
(5)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)		/		
1	(6)→(12)	/		
2	(7)入籍先の本籍に入力がある(YES,NO)	/		
YES	(8)→(12)	/		
NO	(9)エラーメッセージ 「入籍先の本籍に入力がありません。」を表示		(9-1)3.0審査へ	不受理
3	(10)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示		(11)3.0審査へ	不受理
(12)同時入籍者数分繰り返す		/		
	(12-1)審査(入籍先･入籍人相手)処理 [4.6]	/		
	(13)審査(届出人資格)処理 [4.1]	/		
	(14)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]	/		
	(15)審査(父母関連)処理 [4.4]	/		
	(15-1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)	/		
2	(15-2)審査(父又は母の新戸籍)処理 [4.5]	/		
その他	(15-3)→(12)	/		
(16)→			(17)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	22/54

処理名	3.3　審査(従前の氏を称する入籍)　1/1			備考
	(1)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる)	/		
1	(2)→(9)へ	/		
2	(3)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が正しくありません。再入力して下さい。」を表示		(4)3.0審査へ	不受理
3	(5)新本籍及び新筆頭者に入力がある(YES,NO)	/		
YES	(6)→(9)へ	/		戸19,戸20
NO	(7)エラーメッセージ 「新本籍又は筆頭者に入力がありません。入力して下さい。」を表示		(8)3.0審査へ	不受理
	(9)同時入籍者数分繰り返す	/		
	(10)受領日≧2022年4月1日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで審査を分ける R2.1(入籍69)
YES	(10-1)入籍人nの生年月日+18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)後の審査 R2.1(入籍69)
YES	(11)入籍人nの生年月日+19年(19歳未満)＞受領日である(YES,NO)	/		民791条4項 R2.1(入籍69)
YES	(12)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/		R2.1(入籍69)
YES	(13)入籍人nの生年月日+18年(18歳未満)＞従前の氏を改めた日である(YES,NO)	/		民791条4項 R2.1(入籍69)
YES	(14)→(20)へ	/		R2.1(入籍69)
NO	(15)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示		(16)3.0審査へ	不受理 R2.1(入籍69)
NO	(17)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示			不受理 R2.1(入籍69)
NO	(18)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示			不受理 R2.1(入籍69)
NO	(19)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示			R2.1(入籍69)
NO	(19-1)入籍人nの生年月日+20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)前の審査 R2.1(入籍69)
YES	(19-2)入籍人nの生年月日+21年(21歳未満)＞受領日である(YES,NO)	/		民791条4項 R2.1(入籍69)
YES	(19-3)従前の氏を改めた日の入力がある(YES,NO)	/		R2.1(入籍69)
YES	(19-4)入籍人nの生年月日+20年(20歳未満)＞従前の氏を改めた日である(YES,NO)	/		民791条4項 R2.1(入籍69)

					YES	(19-5)→(20)へ	/		R2.1(入籍69)
					NO	(19-6)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日を再度入力して下さい。」を表示		(19-7)3.0審査へ	不受理 R2.1(入籍69)
				NO		(19-8)エラーメッセージ 「従前の氏を改めた日の入力をして下さい。」を表示			不受理 R2.1(入籍69)
			NO			(19-9)エラーメッセージ 「成年に達してから1年を経過しています。」を表示			不受理 R2.1(入籍69)
		NO				(19-10)エラーメッセージ 「入籍人は未成年です(成年擬制の時は審査結果入力処理です)。」を表示			R2.1(入籍69)
	(20)審査(届出人資格)処理 [4.1]						/		
	(21)審査(入籍人更正区分)処理 [4.2]						/		
(22)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)							/		
YES	(23)審査(入籍人配偶者更正区分)処理 [4.3]						/		
NO	(24)→(25)へ						/		
(25)→								(26)3.0審査へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	23/54

処理名	4.1 審査(届出人資格)処理 1/3						備考
(1)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)					/		
YES	(2)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)				/		民791III
	000	(3)届出人資格2(016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)			/		
		016,017,019,020	(4)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示			(5)3.0審査へ	「N」の時、不受理
		110	(6)入籍人の本非区分(1:本籍分届,2:非本籍分届)		/		
			1	(7)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/		
				YES (8)→(76)	/		
				NO (9)エラーメッセージ「事件本人に未成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人になれません。」を表示		(10)3.0審査へ	不受理
			2	(10)→(76)	/		
		その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			(13)3.0審査へ	不受理
	016,019	(14)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)			/		
		000	(15)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示			(18)3.0審査へ	「N」の時、不受理
		017,020	(16)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示				「N」の時、不受理
		その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
	017,020	(19)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)			/		
		000	(20)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示			(23)3.0審査へ	「N」の時、不受理
		016,019	(21)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示				「N」の時、不受理
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示				不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	24/54

処理名		4.1 審査(届出人資格)処理 2/3					備考
YES	110	(24)届出人資格2(000:未入力,その他)			/		
		000	(25)入籍人の本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
			1	(26)入籍人nの身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/		
				YES (27)→(76)	/		
				NO (28)エラーメッセージ「事件本人に未成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人になれません。」を表示		(29)3.0審査へ	不受理
			2	(30)→(76)	/		
		その他	(31)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			(33)3.0審査へ	不受理
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示					不受理
NO	(34)入籍人nの配偶者区分(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)				/		戸98II,戸99II
	0	(35)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,その他)			/		
		000	(36)届出人資格2(098:事件本人,その他)		/		
			098	(37)→(76)	/		
			その他	(38)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(39)3.0審査へ	不受理
		098	(40)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
			000	(41)→(76)	/		
			その他	(42)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する		(44)3.0審査へ	不受理
		その他	(43)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
	1,2	(45)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,009:配偶者,その他)			/		
		000	(46)届出人資格2(098:事件本人,その他)		/		
			098	(47)許可の審判確定日 ＝ スペースかつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)			
				YES (48)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示		(49)3.0審査へ	不受理
				NO (50)許可の審判確定日 ＝ スペースかつ 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	25/54

処理名		4.1 審査(届出人資格)処理			2/3				備考
NO	1,2	000	098	NO	YES	(50-1)確認メッセージ 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」を表示する			
						YES (50-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(50-3)3.0審査へ	不受理
						NO (50-4)→(76)	/		
					NO	(50-5)→(76)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	26/54

処理名		4.1 審査(届出人資格)処理 3/3						備考
NO	1,2	000	その他	(51)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(52)3.0審査へ		不受理
		098	(53)届出人資格2(000:未入力,009:配偶者,その他)		/			
			000	(54)許可の審判確定日 ＝ スペースかつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)				
				YES	(55)エラーメッセージ 「配偶者とともに届出が必要です。」を表示		(56)3.0審査へ	不受理
				NO	(57)許可の審判確定日 ＝ スペースかつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 1(外国人)(YES,NO)	/		
					YES	(57-1)確認メッセージ 「届出人欄に外国人配偶者の署名がありますか?」を表示する		
						YES	(57-2)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(57-3)3.0審査へ	不受理
						NO	(57-4)→(76)	/		
					NO	(57-4)→(76)	/		
				009	(58)→(76)	/		
				その他	(59)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(60)3.0審査へ	不受理
		009	(61)届出人資格2(098:事件本人,その他)		/			
			098	(62)→(76)	/			
			その他	(63)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(65)3.0審査へ		不受理
		その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する					不受理
	3	(66)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,その他)			/			
		000	(67)届出人資格2(098:事件本人,その他)		/			
			098	(68)→(76)				
			その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する		(70)3.0審査へ		不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	27/54

処理名		4.1 審査(届出人資格)処理 3/3				備考
NO	3	098	(71)届出人資格2(000:未入力,その他)		/	
			000	(72)→(76)	/	
			その他	(73)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する	/	(75)3.0審査へ 不受理
		その他	(74)エラーメッセージ 「届出人資格を正しく入力して下さい。」を表示する			不受理
(76)→						(77)3.1又は、3.2又は、3.3審査へ

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	28/54

処理名	4.2 審査(入籍人更正区分)処理 1/4			備考
	(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)	/		
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍) である(YES,NO)	/		
YES	(3)入籍人nの更正区分	/		
2,4,8	(3-1)入籍先の配偶者区分	/		
1,2	(4)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの父の名(YES,NO)	/		
YES	(5)→(7-2)	/	(6)(削除)	(6)を削除(14版修正により)
NO	(7)確認メッセージ 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。	/	(7-1)削除	(7-1)を削除(16版修正により)
YES	~~(8)→(7-2)~~削除 (8-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(8-2)本紙へ	(8)(7-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
NO	(9)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(10)3.0審査へ	不受理
	(7-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの父の氏(YES,NO)	/		
YES	(7-3)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。		(7-4)3.0審査へ	不受理
NO	(7-5)→(12)	/		
0	(10-1)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)	/		
YES	(10-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名(YES,NO)	/		
YES	~~(10-3)→(10-5-1)~~削除 (10-3-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(10-3-2)本紙へ	(10-3)(10-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
NO	(10-4)確認メッセージ 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。	/	(10-5)削除	(10-5)を削除(16版修正により)
YES	(10-4-1)→(10-5-1)	/		
NO	(10-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(10-4-3)3.0審査へ	不受理
	(10-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父氏名の氏(YES,NO)	/		
YES	(10-5-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。		(10-5-3)3.0審査へ	不受理
NO	(10-5-4)→(12)	/		
NO	(10-6)確認メッセージ 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。」を表示する。		(10-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	29/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 1/4									備考
YES	YES	2,4,8	3	(10-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29,51)(YES､NO)					/		
				YES	(10-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名(YES､NO)				/		
					YES	(10-9)→(10-11-1)			/		
					NO	(10-10)確認メッセージ 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する			/	(10-11)削除	(10-11)を削除(16版修正により)
						YES	~~(10-10-1)→(10-11-1)~~削除 (10-10-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する。		/	(10-10-1-2)本紙へ	(10-10-1)(10-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(10-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。			(10-10-3)3.0審査へ	不受理
					(10-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父氏名の氏(YES､NO)				/		
					YES	(10-11-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。				(10-11-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(10-11-4)→(12)			/		
				NO	(10-12)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名(YES､NO)				/		
					YES	(10-13)→(10-15-1)			/		
					NO	(10-14)確認メッセージ 「入籍人の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する			/	(10-15)削除	(10-15)を削除(16版修正により)
						YES	~~(10-14-1)→(10-15-1)~~削除 (10-14-1-1)エラーメッセージ 「父の名が違います 入籍届を処理する前に父欄の更正を行ってください。」を表示する。		/	(10-14-1-2)本紙へ	(10-14-1)(10-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(10-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。			(10-14-3)3.0審査へ	不受理
					(10-15-1)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの父氏名の氏(YES､NO)				/		
					YES	(10-15-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。				(10-15-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(10-15-4)→(12)			/		
		その他	(11)→(12)						/		
		(12)入籍人nの更正区分							/		
		3,4,9	(12-1)入籍先の配偶者区分						/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	30/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 2/4							備考
YES	YES	3,4,9	1,2	(13)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの母の名(YES,NO)			/		
				YES	(14)→(16-2)		/	(15)(削除)	(15)を削除(14版修正により)
				NO	(16)確認メッセージ 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。		/	(16-1)削除	(16-1)を削除(16版修正により)
					YES	~~(17)→(16-2)~~削除 (17-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(17-2)本紙へ	(17)(16-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(18)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(19)3.0審査へ	不受理
				(16-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの母の氏(YES,NO)			/		
				YES	(16-3)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。			(16-4)3.0審査へ	不受理
				NO	(16-5)→(21)		/		
			0	(19-1)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)			/		
				YES	(19-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(19-3)→(19-5-1)	/		
					NO	(19-4)確認メッセージ 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。	/	(19-5)削除	(19-5)を削除(16版修正により)
						YES	~~(19-4-1)→(19-5-1)~~削除 (19-4-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(19-4-1-2)本紙へ	(19-4-1)→(19-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(19-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(19-4-3)3.0審査へ	不受理
					(19-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母氏名の氏(YES,NO)		/		
					YES	(19-5-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。		(19-5-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(19-5-4)→(21)	/		
				NO	(19-6)確認メッセージ 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を行って下さい。」を表示する。			(10-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	31/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 2/4								備考
YES	YES	3,4,9	3	(19-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49,52)(YES､NO)				/		
				YES	(19-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名(YES､NO)			/		
					YES	(19-9)→(19-11-1)				
					NO	(19-10)確認メッセージ 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		/	(19-11)削除	(19-11)を削除(16版修正により)
						YES	~~(19-10-1)→(19-11-1)~~削除 (19-10-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(19-10-1-2)本紙へ	(19-10-1)(19-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(19-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(19-10-3)3.0審査へ	不受理
					(19-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母氏名の氏(YES､NO)			/		
					YES	(19-11-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。			(19-11-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(19-11-4)→(21)		/		
				NO	(19-12)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名(YES､NO)			/		
					YES	(19-13)→(19-15-1)		/		
					NO	(19-14)確認メッセージ 「入籍人の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する		/	(19-15)削除	(19-15)を削除(16版修正により)
						YES	~~(19-14-1)→(19-15-1)~~削除 (19-14-1-1)エラーメッセージ 「母の名が違います 入籍届を処理する前に母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(19-14-1-2)本紙へ	(19-14-1)(19-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(19-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(19-14-3)3.0審査へ	不受理
					(19-15-1)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの母氏名の氏(YES､NO)			/		
					YES	(19-15-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。			(19-15-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(19-15-4)→(21)		/		
		その他	(20)→(21)					/		
		(21)入籍人nの更正区分						/		
		5,7,9	(21-1)入籍先の配偶者区分					/		
			1,2	(22)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の名 ＝ 入籍人nの養父の名(YES､				/		
				YES	(23)→(25-2)			/	(24)削除	(24)を削除(14版修正により)
				NO	(25)確認メッセージ 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。			/	(25-1)削除	(25-1)を削除(16版修正により)

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理			3/4				備考
YES	YES	5,7,9	1,2	NO	YES	~~(27)→(25-2)~~削除 (27-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(27-2)本紙へ	~~(27)(25-2)~~を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(28)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(29)3.0審査へ	
				(25-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏 ＝ 入籍人nの養父の氏(YES			/		
				YES	(25-3)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。			(25-4)3.0審査へ	不受理
				NO	(25-5)→(31)		/		
			0	(29-1)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)			/		
				YES	(29-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(29-3)→(29-5-1)	/		
					NO	(29-4)確認メッセージ 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。		(29-5)3.0審査へ	Nの時、不受理
						YES ~~(29-4-1)→(29-5-1)~~削除 (29-4-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(29-4-1-2)本紙へ	~~(29-4-1)(29-5-1)~~を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (29-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(29-4-3)3.0審査へ	不受理
					(29-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父氏名の氏		/		
					YES	(29-5-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。		(29-5-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(29-5-4)→(31)	/		
				NO	(29-6)確認メッセージ 「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。」を表示する。			(29-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない
			3	(29-7)入籍先の父母続柄が男性系(10～29,51)(YES,NO)			/		
				YES	(29-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(29-9)→(29-11-1)	/		
					NO	(29-10)確認メッセージ 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する	/	(29-11)削除	(29-11)を削除(16版修正により)
						YES ~~(29-10-1)→(29-11-1)~~削除 (29-10-1-1)エラーメッセージ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(29-10-1-2)本紙へ	~~(29-10-1)(29-11-1)~~を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO (29-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(29-10-3)3.0審査へ	不受理
					(29-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父氏名の氏(YES,NO)		/		
					YES	(29-11-2)エラーメッセージ 「更生区分に誤りがあります。」を表示する。		(29-11-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(29-11-4)→(31)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	33/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 3/4							備考
YSE	YES	5,7 9	3	NO	(29-12)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(29-13)→(29-15-1)	/		
					NO	(29-14)確認メッセージ 「入籍人の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。	/	(29-15)削除	(29-15)を削除(16版修正により)
						YES	~~(29-14-1)→(29-15-1)~~削除 (29-14-1-1)ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ 「養父の名が違います 入籍届を処理する前に養父欄の更正を行ってください。」を表示する	/	(29-14-1-2)本紙へ	(29-14-1)(29-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(29-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(29-14-3)3.0審査へ	不受理
					(29-15-1)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養父氏名の氏(YSE,NO)		/		
					YES	(29-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(29-15-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(29-15-4)→(31)	/		
		その他	(30)→(31)				/		
		(31)入籍人nの更正区分					/		
		6,7,8	(31-1)入籍先の配偶者区分				/		
			1,2		(32)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の名 ＝ 入籍人nの養母の名(YES,NO)		/		
				YES	(33)→(35-2)			(34)削除	(34)を削除(14版修正により)
				NO	(35)確認メッセージ 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。		/	(35-1)削除	
					YES	~~(36)→(35-2)~~削除 (36-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(36-2)本紙へ	(36)(35-2)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
					NO	(37)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(38)3.0審査へ	不受理
					(35-2)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏 ＝ 入籍人nの養母の氏(YES,NO)		/		
					YES	(35-3)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(35-4)3.0審査へ	不受理
					NO	(35-5)→(42)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	34/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 4/4									備考
YES	YES	6,7,8	0	(38-1)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)					/		
				YES	(38-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名(YES,NO)				/		
					YES	(38-3)→(38-5-1)			/		
					NO	(38-4)確認メッセージ 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。			/	(38-5)削除	(38-5)を削除(16版修正により)
						YES	~~(38-4-1)(38-5-1)~~削除 (38-4-1-1)エラーメッセージ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表		/	(38-4-1-2)本紙へ	(38-4-1)(38-5-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(38-4-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。			(38-4-3)3.0審査へ	不受理
					(38-5-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母氏名の氏(YES、NO)				/		
					YES	(38-5-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。				(38-5-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(38-5-4)→(42)			/		
				NO	(38-6)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。」を表示する。					(38-6-1)3.0審査へ	応答内容は、処分区分には影響させない
			3	(38-7)入籍先の父母続柄が女性系(30～49,52)(YES、NO)					/		
				YES	(38-8)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名(YES,NO)				/		
					YES	(38-9)→(38-11-1)			/		
					NO	(38-10)確認メッセージ 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。			/	(38-11)削除	(38-11)を削除(16版修正により)
						YES	~~(38-10-)→(38-11-1)~~削除 (38-10-1-1)ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する。		/	(38-10-1-1)本紙へ	(38-10-1)(38-11-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(38-10-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。			(38-10-3)3.0審査へ	不受理
					(38-11-1)入籍先の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母氏名の氏(YES、NO)				/		
					YES	(38-11-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。				(38-11-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(38-11-4)→(42)			/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	35/54

処理名		4.2 審査(入籍人更正区分)処理 4/4						作成日付	備考
YES	YES	6,7,8	3	NO	(38-12)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名(YES,NO)		/		
					YES	(38-13)→(38-15-1)	/		
					NO	(38-14)確認メッセージ 「入籍人の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。	/	(38-15)削除	(38-15)を削除(16版修正により)
						YES	~~(38-14-1)⇒(38-15-1)~~削除 (38-14-1-1)ｴﾗｰﾒｯｾｰｼﾞ 「養母の名が違います 入籍届を処理する前に養母欄の更正を行ってください。」を表示する。	/	(38-14-1-2)本紙へ	(38-14-1)(38-15-1)を削除(17版修正により) 名に更正区分は使用できない。
						NO	(38-14-2)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正できません。」を表示する。		(38-14-3)→3.0審査へ	不受理
					(38-15-1)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の氏 ＝ 入籍人nの養母氏名の氏(YES,NO)		/		
					YES	(38-15-2)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(38-15-3)3.0審査へ	不受理
					NO	(38-15-4)→(42)	/		
		その他	(39)→(42)				/		
	NO	(40)→(42)					/		
NO	(41)→(42)						/		
(42)→								(43)3.1,又は3.2,又は3.3審査へ	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	36/54

処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理 1/4										備考
(1)入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)(YES,NO)									/		
YES	(2)入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)である(YES,NO)								/		
	YES	(3)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)(YES,NO)							/		
		YES	(4)入籍人配偶者の更正区分						/		
			2,4,8	(5)入籍先の配偶者区分					/		
				1,2	(6)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の父氏名(YES,NO)						
					YES	(7)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。				(8)3.0審査へ	不受理
					NO	(9)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。					
						YES	(10)→(15)		/		
						NO	(11)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する。			(12)3.0審査へ	不受理
				0	(13)入籍相手 ＝ 2(父)(YES,NO)				/		
					YES	(13-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父氏名の名(YES、NO)			/		
						YES	(13-2)→(15)		/		
						NO	(13-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。			(13-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-5)確認メッセージ 「父の情報が特定できないため、移記処理で父欄の更正を行って下さい。」を表示する。					応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(13-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29,51)(YES、NO)				/		
					YES	(13-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父氏名の名(YES、NO)			/		
						YES	(13-8)→(15)		/		
						NO	(13-19)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。			(13-10)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(13-11)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父氏名の名(YES、NO)			/		
						YES	(13-12)→(15)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	37/54

処理名		4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理 2/4								備考
YES	YES	YES	2,4,8	3	NO	NO	(13-13)確認メッセージ 「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。		(13-14)3.0審査へ	Nの時、不受理
			その他	(14)→(15)				/		
			(15)入籍人配偶者の更正区分					/		
			3,4,9	(16)入籍先の配偶者区分				/		
				1,2	(17)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の母氏名(YES,NO)			/		
					YES	(18)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する			(19)3.0審査へ	不受理
					NO	(20)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。				
						YES	(21)→(26)	/		
						NO	(22)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する。		(23)3.0審査へ	不受理
				0	(24)入籍相手 ＝ 3(母)(YES,NO)			/		
					YES	(24-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母氏名の名(YES,NO)		/		
						YES	(24-2)→(26)			
						NO	(24-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。		(24-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(24-5)確認メッセージ 「母の情報が特定できないため、移記処理で母欄の更正を行って下さい。」を表示する。				応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(24-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49,52)(YES,NO)			/		
					YES	(24-6)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母氏名の名(YES,NO)		/		
						YES	(24-7)→(26)	/		
						NO	(24-8)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。		(24-9)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(24-10)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母氏名の名(YES,NO)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	38/54

処理名		4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理 3/4								備考
YES	YES	YES	3,4,9	3	NO	YES	(24-11)→(26)	/		
						NO	(24-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。		(24-13)3.0審査へ	Nの時、不受理
			その他	(25)→(26)				/		
			(26)入籍人配偶者の更正区分					/		
			5,7,9	(27)入籍先の配偶者区分				/		
				1,2	(28)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養父氏名(YES,NO)			/		
					YES	(29)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。			(30)3.0審査へ	不受理
					NO	(31)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。			(31-1)3.0審査へ	
						YES	(32)→(37)	/		
						NO	(33)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する。		(34)3.0審査へ	不受理
				0	(35)入籍相手 ＝ 5(養父)(YES,NO)			/		
					YES	(35-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父氏名の名(YES,NO)		/		
						YES	(35-2)→(37)	/		
						NO	(35-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。		(35-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(35-5)確認メッセージ 「養父の情報が特定できないため、移記処理で養父欄の更正を行って下さい。」を表示する。				応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(35-6)入籍先の父母続柄が男性系(10～29,51)(YES,NO)					
					YES	(35-7)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養父氏名の名(YES,NO)		/		
						YES	(35-8)→(37)	/		
						NO	(35-9)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養父と入籍先の養父は同一人ですか?」を表示する。		(35-10)3.0審査へ	Nの時、不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	39/54

処理名		4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理 4/4							備考
YES	YES	YES	5,7,9	3	NO	(35-10)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の母氏名の名(YES,NO)		/	
						YES	(35-11)→(37)	/	
						NO	(35-12)確認メッセージ 「入籍人配偶者の母と入籍先の母は同一人ですか?」を表示する。	(35-13)3.0審査へ	Nの時、不受理
			その他	(36)→(37)				/	
			(37)入籍人配偶者の更正区分					/	
			6,7,8	(38)入籍先の配偶者区分				/	
				1,2	(39)入籍先戸籍の内、配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名 ＝ 入籍人配偶者の養母氏名(YES,NO)			/	
					YES	(40)エラーメッセージ 「更正区分に誤りがあります。」を表示する。		(41)3.0審査へ	不受理
					NO	(42)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。		(43)3.0審査へ	
						YES	(44)→(48)	/	
						NO	(45)エラーメッセージ 「同一人でないため、父母欄更正はできません。」を表示する。	(46)3.0審査へ	不受理
				0	(47)入籍相手 ＝ 6(養母)(YES,NO)			/	
					YES	(47-1)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母氏名の名(YES,NO)		/	
						YES	(47-2)→(48)	/	
						NO	(47-3)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。	(47-4)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(47-5)確認メッセージ 「養母の情報が特定できないため、移記処理で養母欄の更正を行って下さい。」を表示する。			応答内容は、処分区分には影響させない
				3	(47-5-1)入籍先の父母続柄が女性系(30～49,52)(YES、NO)				
					YES	(47-5-2)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の養母氏名の名(YES、NO)		/	
						YES	(47-5-3)→(48)	/	
						NO	(47-5-4)確認メッセージ 「入籍人配偶者の養母と入籍先の養母は同一人ですか?」を表示する。	(47-5-5)3.0審査へ	Nの時、不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	40/54

処理名	4.3 審査(入籍人配偶者更正区分)処理 4/4								備考
YES	YES	YES	6,7,8	3	NO	(47-5-6)入籍先戸籍の内、死亡配偶者の漢字氏名の名 ＝ 入籍人配偶者の父氏名の名(YES、NO)		/	
						YES	(47-5-7)→(48)	/	
						NO	(47-5-8)確認メッセージ「入籍人配偶者の父と入籍先の父は同一人ですか?」を表示する。	/	(47-5-9)3.0審査へ Nの時、不受理
			その他	(48)→					(49)3.1又は3.2又は3.3審査へ
		NO							
	NO								
NO									

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	41/54

処理名		4.4　審査(父母関連) 1/1			備考
(1)入籍相手(2:父,3:母,4:父母,5:養父,6:養母,7:養父母)			/		
2	(2)入籍人nの父の民名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(3)→(26)	/		
	NO	(4)確認メッセージ 「入籍人の父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(5)9.2審査へ	「N」の時、不受理
3	(6)入籍入nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(7)→(26)	/		
	NO	(8)確認メッセージ 「入籍人の母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(9)3.2審査へ	「N」の時、不受理
4	(10)入籍人nの父の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名、または 入籍人nの母の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(11)→(26)	/		
	NO	(12)確認メッセージ 「入籍人の父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(18)3.2審査へ	「N」の時、不受理
5	(14)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(15)→(26)	/		
	NO	(16)確認メッセージ 「入籍人の養父の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(17)3.2審査へ	「N」の時、不受理
6	(18)入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(19)→(26)	/		
	NO	(20)確認メッセージ 「入籍人の養母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(21)3.2審査へ	「N」の時、不受理
7	(22)入籍人nの養父の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名、または 入籍人nの養母の氏名の名 ＝ 入籍先の氏名の名である(YES,NO)		/		
	YES	(23)→(26)	/		
	NO	(24)確認メッセージ 「入籍人の養父母の名と入籍先の氏名の名が違いますがよろしいですか?」を表示		(25)3.2審査へ	「N」の時、不受理
(26)→					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	42/54

処理名	4.5 審査(父又は母の新戸籍) 1/2			備考

						(1)新本籍 ≠ スペース(YES,NO)	/		
YES						(2)入籍先の本籍 ≠ 新本籍(YES,NO)	/		
	YES					(3)入籍人nの生年月日 + 15年(15歳未満) > 受領日(YES,NO)	/		
		YES				(4)入籍相手(2:父,3:母,5:養父,6:養母)	/		
			2			(5)届出人1または2(016:親権者父,110:未成年後見人,その他)	/		戸30条3項
				016		(6)→(38)	/		
				110		(7)確認メッセージ 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示		(8)3.0審査へ	
					YES	(9)→(38)	/		
					NO	(10)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示		(11)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他		(12)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示			「N」の時、不受理
			3			(13)届出人1または2(017:親権者母,110:未成年後見人,その他)	/		戸30条3項
				017		(14)→(38)	/		
				110		(15)確認メッセージ 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示		(16)3.0審査へ	
					YES	(17)→(38)	/		
					NO	(18)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示		(19)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他		(20)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示			「N」の時、不受理
			5			(21)届出人1または2(019:親権者養父,110:未成年後見人,その他)	/		戸30条3項
				019		(22)→(38)	/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	43/54

処理名		4.5 審査(父又は母の新戸籍) 2/2						備考
YES	YES	YES	5	110	(23)確認メッセージ 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示		(24)3.0審査へ	
					YES (25)→(38)	/		
					NO (26)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示		(27)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他	(28)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示			「N」の時、不受理
			6	(29)届出人1または2(020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)		/		戸30条3項
				020	(30)→(38)	/		
				110	(31)確認メッセージ 「未成年後見人は、入籍相手と同一人ですか。」を表示		(32)3.0審査へ	
					YES (33)→(38)	/		
					NO (34)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示		(35)3.0審査へ	「N」の時、不受理
				その他	(36)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示			「N」の時、不受理
		NO	(37)確認メッセージ 「新本籍は入籍先と同一地番ではありません。よろしいですか。」を表示					「N」の時、不受理
	NO	(38)→					(39)3.1審査または3.2審査へ	
NO								

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	44/54

処理名	4.6　審査(入籍先・入籍相手区分)　1/5		備考

(1)入籍先の本非区分(1:本籍,2:非本籍)								/		
1	(2)入籍相手(4:父母,7:養父母,その他)							/		
	4	(3)入籍先の配偶者区分(1:夫,2:妻,その他)						/		
		1	(4)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名					/		
			YES	(5)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか				/		
				YES	(6)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名			/		
					YES	(7)→(95)		/		
					NO	(8)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」			(9)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO	(10)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」					Nの時、不受理
			NO	(11)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」						
				YES	(12)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか			/		
					YES	(13)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名		/		
						YES	(14)→(95)	/		
						NO	(15)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」		(16)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(17)確認メッセージ 「入籍先に母が在籍していませんがよろしいですか?」				Nの時、不受理
				NO	(18)→					不受理
		2	(19)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名					/		
			YES	(20)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか				/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	45/54

処理名		4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)　2/5							備考
1	4	2	YES	YES	(21)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名		/		
					YES	(22)→(95)	/		
					NO	(23)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」		(24)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO	(25)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」				Nの時、不受理
			NO	(26)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」					
				YES	(27)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか		/		
					YES	(28)入籍先戸籍中のに配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名	/		
						YES	(29)→(95)	/	
						NO	(30)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」		(31)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(32)確認メッセージ 「入籍先に父が在籍していませんがよろしいですか?」			Nの時、不受理
				NO	(33)→				不受理
		その他	(34)エラーメッセージ 「入籍相手に誤りがあります」						
	7	(35)入籍先の配偶者区分(1:夫,2:妻,その他)					/		
		1	(36)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名				/		
			YES	(37)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか			/		
				YES	(38)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名		/		
					YES	(39)→(95)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/54

処理名		4.6　審査(入籍先･入籍相手区分)　3/5							備考
1	7	1	YES	YES	NO	(40)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」		(41)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO		(42)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」			Nの時、不受理
			NO			(43)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」			
				YES		(44)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 2(妻)の在籍者がいるか	/		
					YES	(45)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 2(妻)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名	/		
						YES　(46)→(95)	/		
						NO　(47)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」		(48)3.0審査へ	Nの時、不受理
					NO	(49)確認メッセージ 「入籍先に養母が在籍していませんがよろしいですか?」			Nの時、不受理
				NO		(50)→			不受理
		2	(51)入籍先の漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名				/		
			YES	(52)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか			/		
				YES		(53)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名	/		
					YES	(54)→(95)	/		
					NO	(55)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」		(56)3.0審査へ	Nの時、不受理
				NO		(57)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」			Nの時、不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	47/54

処理名				4.6 審査(入籍先･入籍相手区分) 4/5			備考
1	7	2	NO	(58)確認メッセージ		(59)3.0審査へ	
				「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」			
				YES	(60)入籍先戸籍に配偶者区分 ＝ 1(夫)の在籍者がいるか	/	
					YES (61)入籍先戸籍中の配偶者区分 ＝ 1(夫)の氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名	/	
					YES (62)→(95)	/	
					NO (63)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」		(64)3.0審査へ 「N」の時、不受理
					NO (65)確認メッセージ 「入籍先に養父が在籍していませんがよろしいですか?」		「N」の時、不受理
				NO	(66)→		
		その他		(67)エラーメッセージ 「入籍相手に誤りがあります」			
	その他	(68)→(70)				/	
2	(69)→(70)					/	
(70)入籍相手(2:父、3:母、5:養父、6:養母、その他)						/	
2	(71)入籍先の父母との続柄 ＝ 10～29(男～十九男)						
	YES	(72)入籍先漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの父氏名の名				/	
		YES	(73)→(95)			/	
		NO	(74)確認メッセージ 「入籍先(父)と入籍人の父の名が違いますがよろしいですか?」			(75)3.0審査へ	「N」の時、不受理
	NO	(75-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース				/	
		YES	(76)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」			(76-1)3.0審査へ	不受理
		NO	(76-2)→(95)			/	
3	(77)入籍先の父母との続柄 ＝ 30～49(女～十九女)					/	
	YES	(78)入籍先漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの母氏名の名				/	
		YES	(79)→(95)			/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	48/54

処理名	4.6 審査(入籍先･入籍相手区分) 5/5				備考
3	YES	NO	(80)確認メッセージ 「入籍先(母)と入籍人の母の名が違いますがよろしいですか?」	(81)3.0審査へ	「N」の時、不受理
	NO	(81-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース	/		
		YES	(82)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」	(82-1)3.0審査へ	不受理
		NO	(82-2)→(95)	/	
5	(83)入籍先の父母との続柄 ＝ 10～29(男～十九男)			/	
	YES	(84)入籍先漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養父氏名の名		/	
		YES	(85)→(95)	/	
		NO	(86)確認メッセージ 「入籍先(養父)と入籍人の養父の名が違いますがよろしいですか?」	(87)3.0審査へ	「N」の時、不受理
	NO	(87-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース		/	
		YES	(88)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」	(88-1)3.0審査へ	不受理
		NO	(88-2)→(95)	/	
6	(89)入籍先の父母との続柄 ＝ 30～49(女～十九女)			/	
	YES	(90)入籍先漢字氏名の名 ＝ 入籍人nの養母氏名の名		/	
		YES	(91)→(95)	/	
		NO	(92)確認メッセージ 「入籍先(養母)と入籍人の養母の名が違いますがよろしいですか?」	(93)3.0審査へ	「N」の時、不受理
	NO	(93-1)入籍先の父母続柄 ≠ スペース		/	
		YES	(94)エラーメッセージ 「入籍先の父母との続柄と入籍相手区分の組合せが不正です。」	(94-1)3.0審査へ	不受理
		NO	(94-2)→(95)	/	
その他	(95)→			(96)3.1または3.2審査へ	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	49/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/6	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 入籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		入籍届画面入力	受領NO				
	選択事件コード			――――――――				「21」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	存外送付区分			存外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 存外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				「0:無」をセット
	届出区分			――――――――				「1:創設」をセット
	渉外区分			――――――――				「0:日本人」をセット
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			――――――――				入籍先が本籍人の時、入籍先の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号2			――――――――				入籍人が本籍人の時、入籍人の戸籍番号をセット
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
				――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	50/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/6	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 入籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	事件別内容		入籍届画面 入力	――――――――				3/6～6/6参照
	不受理申出処分区分			――――――――				
	処分区分			――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分			――――――――				ZERO
	届書排他区分			――――――――				0:未、1:排他

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	51/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/6	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面 (入籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍者種別		入籍届種別入力 入力画面	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	52/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力 4/6	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面 (入籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍事由		入籍届(その1) 入力画面	入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の本籍コード			入籍先の本籍				
	入籍先の本籍							
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先の個人番号							本籍人の場合設定
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所コード			入籍先の住所				
	入籍先の住所							
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				
	入籍先の母の氏名			入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母続柄			入籍先の父母続柄				
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	53/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力 5/6	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面 (入籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人の本非区分		入籍届(その2) 入力画面	入籍人の本非区分				
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				
	入籍人nの個人番号							本籍人の場合、設定
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				
	入籍人の本籍コード			入籍人の本籍				
	入籍人の本籍							
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	入籍人nの住所コード			入籍人nの住所				入籍人は複数件存在する場合あり
	入籍人nの住所							
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

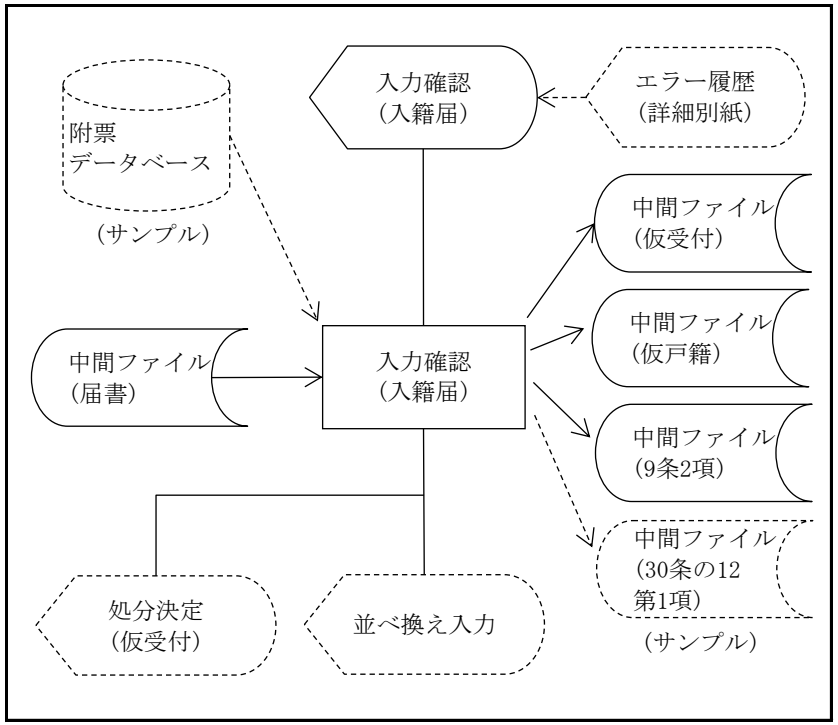
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	54/54

処理名	5.0 中間ファイル(届書)編集･出力 6/6	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面 (入籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人配偶者のカナ氏名		入籍届(その3) 入力画面	入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	入籍人配偶者の父氏名			入籍人配偶者の父氏名				
	入籍人配偶者の母氏名			入籍人配偶者の母氏名				
	入籍人配偶者の父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	入籍人配偶者の養父氏名			入籍人配偶者の養父氏名				
	入籍人配偶者の養母氏名			入籍人配偶者の養母氏名				
	入籍人配偶者の養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母との続柄				
	入籍人配偶者の住所コード			入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の住所							
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の更正区分			入籍人配偶者の更正区分				
	入籍人配偶者の個人番号							本籍人の場合、設定

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/48

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認面面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
    - 3.1 入籍人のデータ編集
    - 3.2 その他(除籍父又は母(送付･除籍のみ))のデータ編集
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 父又は母の個人特定(入籍)
    - 4.2 父又は母の身分事項(除籍)
    - 4.3 父又は母の身分事項(入籍)
    - 5.1 入籍人の個人特定(入籍)
    - 5.2 入籍人の身分事項(除籍)
    - 5.3 入籍人の身分事項(入籍)
    - 6.1 入籍人配偶者の個人特定(入籍)
    - 6.2 入籍人配偶者の身分事項(除籍)
    - 6.2 入籍人配偶者の身分事項(入籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 父又は母
    - 7.2 入籍者
    - 7.3 入籍人配偶者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)……(サンプル提示)
    - 8.1 父又は母
    - 8.2 入籍者
    - 8.3 入籍人配偶者

5.備考(特記事項含む)
(1)配偶者同時の場合は、仮受付レコードを入籍人と同時に作成する(同一受領番号)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/48

処理名	0.0 本紙 1/3	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、
メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕 /

(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他) /

実行キー
- (3)戸籍変動区分(1:既にある戸籍に入る,2:父又は母の新戸籍に入る,3:新しい戸籍をつくる) /
  - 1
    - (3-1)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.1〕 /
    - (3-2)入籍人配偶者の外国人区分(0:日本人,1:外国人) /
      - 0: (3-3)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.1'〕 /
      - 1: (3-4)→(12) /
  - 2
    - (4)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO) /
      - YES: (5)入籍人の本籍 ＝ 管外である(YES,NO) /
        - YES: (6)入籍先の本籍 ＝ 管内である(YES,NO) /
          - YES: (7)新本籍 ＝ 管外である(YES,NO) /
            - YES: (8-2)中間ファイル(仮受付)を編集出力する 〔3.2〕 /
            - NO: (9)中間ファイル(仮受付)を編集出力する 〔3.1〕 /
          - NO
        - NO
      - NO
  - 3
    - (10)入籍人の人数分繰り返す /
      - (11)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.1〕 /
- (12)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕 /
- (13)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO) /
  - YES: (14)父又は母は本籍人である(YES,NO) /
    - YES: (15)父又は母の戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する /
      - 個人特定(入籍): (16)父又は母の入籍の編集 〔4.1〕 /
      - 身分事項(除籍): (17)父又は母の除籍事項の編集 〔4.2〕 /
      - 身分事項(入籍): (18)父又は母の入籍事項の編集 〔4.3〕 /
      - (18-1)父又は母は在外選挙人である(YES,NO) /

備考:

※受付けファイルは入籍者だけに作成する
　ただし、入籍先の(養)父・母のみ除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 2)において、入籍人の本籍が管外で、(養)父・母の本籍が管内であるが、新戸籍編製地が管外の場合かつ、(養)父・母の本籍地への除籍の届書送付があった時に限り(養)父・母を本籍人として受付ファイルを作成する 〔3.2〕

　配偶者同時の場合は、入籍人配偶が日本人の場合に限り作成する。 〔3.1'〕

※サンプル提示

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/48

処理名		0.0 本紙 2/3					備考
実行キー	YES	YES	YES	(18-2)父又は母について中間ファイル((30条の12第1項)を)編集･出力する 〔8.1〕	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(18-1),(18-2)
			NO	(19)→(21)	/		
		NO			/		
	NO	(20)→(21)			/		
	(21)入籍人は本籍人である(YES,NO)				/		
	YES	(22)入籍人の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する			/		
		(23)入籍人の人数分繰り返す			/		
			個人特定(入籍)	(24)入籍人の入籍の編集 〔5.1〕	/		
			身分事項(除籍)	(25)入籍人の除籍事項の編集 〔5.2〕	/		
			身分事項(入籍)	(26)入籍人の入籍事項の編集 〔5.3〕	/		
			(27)入籍人は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示
			YES	(28)入籍人について中間ファイル((30条の12第1項)を)編集･出力する 〔8.2〕	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(27),(28),(29)
			NO	(29)→(30)	/		
		(30)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)である(YES,NO)			/		
		YES	(31)入籍人配偶者の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する		/		
			個人特定(入籍)	(32)入籍人の入籍の編集 〔6.1〕	/		
			身分事項(除籍)	(33)入籍人の除籍事項の編集 〔6.2〕	/		
			身分事項(入籍)	(34)入籍人の入籍事項の編集 〔6.3〕	/		
			(35)入籍人配偶者は在外選挙人である(YES,NO)		/		※サンプル提示
			YES	(36)入籍人配偶者について中間ファイル((30条の12第1項)を)編集･出力する 〔8.3〕	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(35),(36),(37)
			NO	(37)→(40)	/		
		NO	(38)→(40)		/		
	NO	(39)→(40)			/		
	(40)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)				/		
	YES	(41)入籍人は父又は母の新戸籍に入る(YES,NO)			/		
		YES	(42)父又は母について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する 〔7.1〕		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	4/48

処理名		0.0 本紙 3/3			備考
実行キー	YES	NO	(43)→(44)	/	
		(44)入籍人の人数分繰り返す		/	
			(45)入籍者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する 〔7.2〕		
		(46)入籍者種別 ＝ 2(配偶者同時)かつ入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)である(YES,NO)		/	
		YES	(47)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する 〔7.3〕		(48)処分決定に制御を渡す
		NO	→		
	NO	→			
PF1	→				(49)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(50)届出選択に制御を渡す
PF5	→				(51)審査に制御を渡す
PF7	(52)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(55)同画面を編集する
	ある	(53)前ページ分の「転籍届」画面を編集			
	なし	(54)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(56)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(59)同画面を編集する
	ある	(57)次ページ分の「転籍届」画面を編集			
	なし	(58)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→				(60)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(61)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(62)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　1/8	(受取側) 入籍届確認画面(その1)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届種別入力確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	入籍者種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	入籍者種別				
	同時入籍者数			同時入籍者数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　2/8	(受取側) 入籍届確認画面(その1)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その1) ～(その3)確認 画面 共通	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所NO		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　3/8	(受取側) 入籍届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その1) 確認画面	入籍事由		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍事由				
	入籍相手			入籍相手				
	入籍相手名称					有		
	従前の氏を改めた日			従前の氏を改めた日				
	許可の審判確定日			許可の審判確定日				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	戸籍変動区分名称					有		
	入籍先の本非区分			入籍先の本非区分				
	入籍先の本非区分名称					有		
	入籍先の個人除区分			入籍先の個人除区分				
	入籍先の個人除区分名称					有		
	入籍先の筆頭者区分			入籍先の筆頭者区分				
	入籍先の筆頭者区分名称					有		
	入籍先の配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	入籍先の配偶者区分名称					有		
	入籍先の本籍			入籍先の本籍コード		有		
				入籍先の本籍				
	入籍先の筆頭者			入籍先の筆頭者				
	入籍先のカナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	入籍先の漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	入籍先の住所			入籍先の住所コード		有		
				入籍先の住所				
	入籍先の世帯主			入籍先の世帯主				
	入籍先の父の氏名			入籍先の父の氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　4/8	(受取側) 入籍届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その1) 確認画面	入籍先の母の氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍先の母の氏名				
	入籍先の父母続柄			入籍先の父母続柄				
	入籍先の父母続柄名称					有		
	入籍先の生年月日			入籍先の生年月日				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　5/8	(受取側) 入籍届確認画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その2) 確認画面	入籍人の本非区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人の本非区分				
	入籍人の本非区分名称					有		
	入籍人nの筆頭者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの筆頭者区分名称					有		
	入籍人nの配偶者区分			入籍人nの筆頭者区分				
	入籍人nの配偶者区分名称					有		
	入籍人nの更正区分			入籍人nの更正区分				
	入籍人nのカナ氏名			入籍人nのカナ氏名				
	入籍人nの漢字氏名			入籍人nの漢字氏名				
	入籍人nの生年月日			入籍人nの生年月日				
	入籍人nの住所			入籍人nの住所コード		有		
				入籍人nの住所				
	入籍人nの世帯主			入籍人nの世帯主				
	入籍人nの父の氏名			入籍人nの父の氏名				
	入籍人nの母の氏名			入籍人nの母の氏名				
	入籍人nの父母続柄			入籍人nの父母続柄				
	入籍人nの父母続柄名称					有		
	入籍人nの養父の氏名			入籍人nの養父の氏名				
	入籍人nの養母の氏名			入籍人nの養母の氏名				
	入籍人nの養父母続柄			入籍人nの養父母続柄				
	入籍人nの養父母続柄名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　6/8	(受取側) 入籍届確認画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その2) 確認画面	入籍人の本籍		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人の本籍コード		有		
				入籍人の本籍				
	入籍人の筆頭者			入籍人の筆頭者				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　7/8	(受取側) 入籍届確認画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その3) 確認画面	入籍人配偶者のカナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人配偶者のカナ氏名				
	入籍人配偶者の漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	入籍人配偶者の生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	入籍人配偶者の父氏名			入籍人配偶者の父氏名				
	入籍人配偶者の母氏名			入籍人配偶者の母氏名				
	入籍人配偶者の父母続柄			入籍人配偶者の父母続柄				
	入籍人配偶者の父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の養父氏名			入籍人配偶者の養父氏名				
	入籍人配偶者の養母氏名			入籍人配偶者の養母氏名				
	入籍人配偶者の養父母続柄			入籍人配偶者の養父母続柄				
	入籍人配偶者の養父母続柄名称					有		
	入籍人配偶者の住所			入籍人配偶者の住所				
	入籍人配偶者の世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	入籍人配偶者の外国人区分			入籍人配偶者の外国人区分				
	入籍人配偶者の外国人区分名称					有		
	入籍人配偶者の配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	入籍人配偶者の配偶者区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/48

処理名	1.0 確認画面(入籍届)表示　8/8	(受取側) 入籍届確認画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
入籍届(その3) 確認画面	入籍人配偶者の更正区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	入籍人配偶者の更正区分				

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表 (1/4)

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無									
				本籍人	非本籍人	有		無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1	
						配偶者	その他															
1	○			○			○				○		—	—			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
2	○			○			○					○	—	—			入籍人(5.2)					
3	○			○				○			○		—	—				入籍人(5.2)			入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
4	○			○				○				○	—	—				入籍人(5.2)				
5	○				○		—	—			○		—	—							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
6	○				○		—	—				○	—	—								
7		○		○			○				○		○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
8		○		○			○				○			○	○		入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
9		○		○			○				○		○			○	入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
10		○		○			○				○			○		○	入籍人(5.2)			父又は母(4.2)		
11		○		○			○					○	—	—	○		入籍人(5.2)					父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
12		○		○			○					○	—	—		○	入籍人(5.2)					
13		○		○				○			○		○		○			入籍人(5.2)	父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表 (2/4)

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無										
				本籍人	非本籍人	有 配偶者	有 その他	無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1		
14		○		○				○			○			○	○			入籍人(5.2)		父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
15		○		○				○			○		○			○		入籍人(5.2)	父又は母(4.2)				
16		○		○				○			○			○		○		入籍人(5.2)		父又は母(4.2)			
17		○		○				○				○	—	—	○			入籍人(5.2)				父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
18		○		○				○				○	—	—		○		入籍人(5.2)					
19		○			○		—	—			○		○		○				父又は母(4.2)			父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
20		○			○		—	—			○		○			○			父又は母(4.2)				
21		○			○		—	—			○			○	○					父又は母(4.2)		父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
22		○			○		—	—			○			○		○				父又は母(4.2)			
23		○			○		—	—				○	—	—	○							父又は母(4.1) 父又は母(4.3) 入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
24		○			○		—	—				○	—	—		○							
25			○	○		○		○	○		—	—	—	—	○			入籍人(5.2) 入籍配偶者(6.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	15/48

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表 (3/4)

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無				一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1		
				本籍人	非本籍人	有 配偶者	有 その他	無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外							
26			○	○		○		○	○		—	—	—	—		○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)					※1
27			○	○		○	○		○		—	—	—	—	○		入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
28			○	○		○	○		○		—	—	—	—		○	入籍人(5.2) 入籍人配偶者(6.2)						※1
29			○	○			○			○	—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
29-1			○	○			○			○	—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
29-2			○	○				○		○	—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
30			○	○				○		○	—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
31			○	○			○				—	—	—	—	○		入籍人(5.2)					入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
32			○	○			○				—	—	—	—		○	入籍人(5.2)						
33			○	○				○			—	—	—	—	○			入籍人(5.2)				入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
34			○	○				○			—	—	—	—		○		入籍人(5.2)					
35			○		○	○	—	—	○		—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3) 入籍人配偶者(6.1) 入籍人配偶者(6.3)	※1
36			○		○	○	—	—	○		—	—	—	—		○							
37			○		○		—	—		○	—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)	
38			○		○		—	—		○	—	—	—	—		○							

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表 (4/4)

項番	戸籍編製区分			入籍人					入籍人配偶者		入籍先				新戸籍		入籍人の従前戸籍		入籍先の現在戸籍			新戸籍編製
	すでにある戸籍に入る	父又は母の新戸籍に入る	新しい戸籍を作る	本・非区分		他の在籍者			外国人区分		本・非区分		他の在籍者の有無									
				本籍人	非本籍人	有		無	日本人	外国人	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 D.1	A.1 B.1 C.1 D.1
						配偶者	その他															
39			○		○		—	—			—	—	—	—	○							入籍人(5.1) 入籍人(5.3)
40			○		○		—	—			—	—	—	—		○						

※1 入籍人配偶者の外国人区分 ＝ 0(日本人)の場合は、入籍人と入籍人配偶者の編集を行う。
上記以外(配偶者が外国人)の場合は、入籍人の編集のみを行う。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	17/48

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・入籍)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				2101:入籍を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日			――――――――				
	事件発生時分			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分					入籍人の本籍又は新本籍(新本籍 ＝ スペースの時は入籍先の本籍)が管内本籍であれば1(本籍)を設定 それ以外は2(非本籍)を設定		
	渉外区分			――――――――				0:日本人のみを設定
	証書提出区分			――――――――				0:届出
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				移送データなし
	収日			――――――――				移送データなし
	指示日			――――――――				移送データなし
	許可日			――――――――				移送データなし
	関連受領番号			――――――――				移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格1または2が、098,009の時は、設定しない。ただし、009で入籍人配偶者の外国人区分が1:外国人の時は、配偶者を設定する。 上記以外の場合は、引渡し項目をそれぞれ設定する。
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月 1日	5	18/48

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・入籍)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍区分		中間ファイル (届書)					戸籍変動区分 ＝ 1のとき、1:入籍を設定 戸籍変動区分 ＝ 2、3のとき、2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード			――――――――				新本籍コード ≠ スペース:新本籍コードを移送 新本籍コード ＝ スペース:入籍先本籍コードを移送
	届後本籍			――――――――				新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先本籍を移送
	届後本籍の筆頭者			――――――――		新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者を移送 新筆頭者 ＝ スペース:戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時入籍先の筆頭者を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)の時、入籍先の漢字氏名を移送		
	送達確認区分1			――――――――				届後本籍が非本籍　かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――		本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 本非区分 ＝ 2(非本籍)の場合、戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸籍に入る)の時、入籍人の本籍または入籍先の本籍または新本籍が管内本籍であれば1(送付要)を設定。 それ以外は0(不要)を設定。 戸籍変動区分 ≠ 2(父または母の新戸籍に入る)の時は、0(不要)を設定。 ※本非区分は、共通部の項目を用いる。		
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	19/48

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・入籍)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領NO		中間ファイル (届書)	受領NO				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				36:入籍者
	届出人区分			――――――――				資格区分1又は2 ＝ 098のとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0:を設定
	カナ氏名			入籍人のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人の漢字氏名				
	生年月日			入籍人の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			筆頭者氏名				
	送達確認2			――――――――				入籍人の本籍が、非本籍 かつ(在外送付区分 ＝ 0:受理の場合1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	20/48

処理名	3.1 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/1	(受取側) 中間ファイル(仮受付・入籍)/事件本人(配偶者) ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人(配偶者)	受領NO		中間ファイル (届書)	受領NO				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				45:配偶者
	届出人区分			――――――――				許可の審判確定日 ＝ スペースのとき、1:届出人を設定 それ以外のとき、0を設定
	カナ氏名			入籍人配偶者のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	本籍コード			入籍人の本籍コード				
	本籍			入籍人の本籍				
	筆頭者			入籍人の筆頭者				
	送達確認2			――――――――				入籍人の本籍が、非本籍 かつ(在外送付区分 ＝ 0:受理または2:在外公館から直接送付)の場合1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
								(注) 入籍人配偶者の情報を編集する。入籍人の事件本人レコードに続けて入籍人配偶者の事件本人レコードを出力する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成3年9月30日	平成10年 2月27日	2	21/48

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・その他)/共通 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)を設定
	受付日			送付日				
	事件発生日			――――――				
	事件発生時分			――――――				
	受理送付区分							「送付」を設定
	本非区分							「本籍」を設定
	渉外区分			――――――				0:日本人のみ
	証書提出区分			――――――				0:届出
	発送日			――――――				移送データなし
	郵送日			――――――				移送データなし
	発日			――――――				移送データなし
	収日			――――――				移送データなし
	指示日			――――――				移送データなし
	許可日			――――――				移送データなし
	関連受領番号			――――――				移送データなし
	届出人資格区分1			――――――				
	届出人資格区分1名称			――――――				
	届出人氏名1			――――――				
	届出人資格区分2			――――――				
	届出人資格区分2名称			――――――				
	届出人氏名2			――――――				
	届後本籍区分			――――――				2:新戸籍編製を設定
	届後本籍コード			新本籍コード				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/48

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・その他)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル (届書)	新本籍				
	届後本籍の筆頭者			新筆頭者				
	送達確認区分1			――――――――				0:不要を設定
	届書送付目録区分			――――――――				1(送付要)を設定。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	23/48

処理名	3.2 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付・その他)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領NO		中間ファイル (届書)	受領NO				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				99:事件本人
	届出人区分			――――――――				0:を設定
	カナ氏名			入籍先のカナ氏名				
	漢字氏名			入籍先の漢字氏名				
	生年月日			入籍先の生年月日				
	本籍コード			入籍先の本籍コード				
	本籍			入籍先の本籍				
	筆頭者			入籍先の筆頭者				
	送達確認2			――――――――				0:不要を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	24/48

処理名	4.1 父又は母の個人特定(入籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――――				決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号			――――――――				2.0 戸籍編製マトリックス表で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日 (または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			――――――――				
	性別			――――――――		有		入籍先の父母続柄より設定
	生年月日			入籍先の生年月日				
	筆頭者区分			――――――――				1:筆頭者を設定
	配偶者区分			入籍先の配偶者区分				
	父			入籍先の父の氏名				
	母			入籍先の母の氏名				
	父母との続柄			入籍先の父母続柄				
	養父			――――――――				
	養母			――――――――				
	養父母との続柄			――――――――				
	前個人番号			――――――――				入籍先の父又は母が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定
	個人除区分			――――――――				0:在籍者を設定

※養父、養母、養父母との続柄は、移記処理で入力する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/48

処理名	4.2 父又は母の身分事項(除籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可
	タイトルコード			――――――――				2102:「子の入籍」を設定
	記録コード			――――――――				2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			――――――――				
	入籍 入籍事由			――――――――				
	届出 届出日			受領日				
	届出 除籍日			――――――――				
	届出 除籍事由			――――――――				「子の入籍届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				項目があれば移送
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者							
	入戸籍 従前戸籍			――――――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――――――――				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――――――――				
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸 新本籍			――――――――				新本籍 ≠ スペース:新本籍を移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/48

処理名	4.3 父又は母の身分事項(入籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0:可
	タイトルコード			――――――				2102:「子の入籍」を設定
	記録コード			――――――				2102:「子の入籍による父又は母の記録」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 入籍日			処理日・送付日・受領日		処理日 ≠ スペース:処理日,送付日 ≠ スペース:送付日 他は受領日		
	入籍 入籍事由			――――――				「子の入籍届出」を移送
	届出 届出日			――――――				
	届出 除籍日			――――――				
	届出 除籍事由			――――――				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入戸籍 従前戸籍			――――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			入籍先の本籍				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			入籍先の筆頭者				
	除籍 除籍日			――――――				
	除戸 新本籍			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	27/48

処理名	5.1 入籍人の個人特定(入籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――――				決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号			――――――――		2.0 戸籍編製マトリックス表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日 (OR送付日OR受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			――――――――				
	性別			――――――――		有		入籍人nの父母続柄より設定
	生年月日			入籍人nの生年月日				
	筆頭者区分			――――――――		戸籍変動区分 ＝ 1(既にある戸籍に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 2(父または母の新戸に入る)の時、0を移送 戸籍変動区分 ＝ 3(新しい戸籍をつくる)の時、1を移送(1:筆頭者、0:構成員)		
	配偶者区分			入籍人nの配偶者区分				
	父			入籍人nの父の氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)かつ入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍)かつ入籍人の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人nの母の氏名				
	父母との続柄			入籍人nの父母続柄				
	養父			入籍人nの養父の氏名				
	養母			入籍人nの養母の氏名				
	養父母との続柄			入籍人nの養父母続柄				
	前個人番号					入籍人が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定		
	個人除区分							0:在籍者を設定

1.入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2.入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3.入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	28/48

処理名	5.2 入籍人の身分事項(除籍) 編集 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――――――					
	行番号				――――――――					
	出力区分				――――――――					0:可
	タイトルコード				――――――――					2101:「入籍」を設定
	記録コード				――――――――					2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――――					
	事件発生日				受領日					
	入籍 届出日				受領日					
	入籍 入籍事由				――――――――					
	入籍 除籍事由				――――――――					入籍事由区分 ＝ 1(氏を称する入籍) :入籍相手区分名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由区分 ＝ 2(同籍する入籍) :入籍相手区分名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由区分 ＝ 3(従前の氏を称する入籍) :「従前の氏に復する入籍」を設定
	届出 届出人(1)									届出人資格1または2が、098,009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。 但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
	届出 資格(1)				届出人資格1					
	届出 資格名称(1)							有		
	届出 氏名(1)				届出人氏名1					
	届出 届出人(2)									
	届出 資格(2)				届出人資格2					
	届出 資格名称(2)							有		
	届出 氏名(2)				届出人氏名2					

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016 親権者父		
017 親権者母	018	親権者父母

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	29/48

処理名	5.2 入籍人の身分事項(除籍) 編集 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出	共同届出人		中間ファイル (届書)	――――――――		届出人資格1又は2 ＝ 009 かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1又は2 ＝ 009 かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定		
		資格							
		資格名称							
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
		許可を受けた者			――――――――				
	入籍	入籍日			――――――――				
	入戸籍	従前戸籍			――――――――				
		本籍			――――――――				
		筆頭者			――――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍				戸籍変動区分 ＝ 3の場合のみ
		称する氏			――――――――		入籍事由区分 ＝ 1 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3の場合に新筆頭者の氏を移送		
		復する氏			――――――――		入籍事由区分 ＝ 3 かつ 戸籍変動区分 ＝ 3 かつ 入籍者種別 ＝ 2 かつ 入籍人の氏 ≠ 新筆頭者の氏の場合に新筆頭者の氏を移送		
		入籍戸籍			――――――――				
		本籍			新本籍 入籍先本籍		戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新本籍 ≠ スペース:新本籍,新本籍 ＝ スペース:入籍先本籍を移送		
		筆頭者			新筆頭者 入籍先の筆頭者 入籍先の漢字氏名		戸籍変動区分 ≠ 3の場合のみ 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 1の時:入籍先の筆頭者 戸籍変動区分 ＝ 2の時:入籍先の漢字氏名		
	特記	特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	30/48

処理名	5.3 入籍人の身分事項(入籍) 編集 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――――――					
	行番号				――――――――					
	出力区分				――――――――					0:可
	タイトルコード				――――――――					2101:「入籍」を設定
	記録コード				――――――――					2101:「入籍する者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――――					
	事件発生日				受領日					
	入籍	届出日			受領日					
		入籍事由								入籍事由区分 ＝ 1(氏を称する入籍) :入籍相手区分名称と「の氏を称する入籍」を結合し、設定 入籍事由区分 ＝ 2(同籍する入籍) :入籍相手区分名称と「と同籍する入籍」を結合し、設定 入籍事由区分 ＝ 3(従前の氏を称する入籍) :「従前の氏に復する入籍」を設定
		除籍事由			――――――――					
	届出	届出人(1)								届出人資格1または2が、098,009の時は、設定しない。 上記以外は、引渡し項目をそれぞれ設定する。 但し、(019、020、110)以外は資格項目のみ設定すること。(019、020、110の時のみ、資格と氏名が設定される) また、以下に示す組合せの場合は、個別編集する。
			資格(1)		届出人資格1					
			資格名称(1)					有		
			氏名(1)		届出人氏名1					
		届出人(2)								
			資格(2)		届出人資格2					
			資格名称(2)					有		
			氏名(2)		届出人氏名2					

届出人資格	資格(1)	資格名称(1)
016　親権者父		
017　親権者母	018	親権者父母

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	31/48

処理名	5.3 入籍人の身分事項(入籍) 編集 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	届出	共同届出人		中間ファイル (届書)	――――――――		届出人資格1又は2 ＝ 009 かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 1:夫 の場合「妻」を設定 届出人資格1又は2 ＝ 009 かつ 入籍人の配偶者区分 ＝ 2:妻 の場合「夫」を設定		
		資格							
		資格名称							
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日			――――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
		許可を受けた者			――――――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍			――――――――				
		本籍			入籍人の本籍				
		筆頭者			入籍人の筆頭者				
	除籍	除籍日			――――――――				
	除戸籍	新本籍			――――――――				
		称する氏			――――――――				
		復する氏			――――――――				
		入籍戸籍			――――――――				
		本籍			――――――――				
		筆頭者			――――――――				
	特記	特記事項			――――――――				

空白ページ

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	33/48

処理名	6.1 入籍人配偶者の個人特定(入籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)・個人特定 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――――				決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号			――――――――		2.0 戸籍編製マトリックス表で示した順で順次番号を付番する		
	入籍日			処理日 (OR送付日OR受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			――――――――				
	性別			――――――――		有		入籍人配偶者の父母続柄より設定
	生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	筆頭者区分			――――――――				0:構成員を設定
	配偶者区分			入籍人配偶者の配偶者区分				
	父			入籍人配偶者の父の氏名		入籍先の本非区分 ＝ 1(本籍)かつ入籍人の本非区分 ＝ 1(本籍) かつ 入籍人配偶者の更正区分 ≠ 1(無)の場合に父母欄更正を行う		
	母			入籍人配偶者の母の氏名				
	父母との続柄			入籍人配偶者の父母続柄				
	養父			入籍人配偶者の養父の氏名				
	養母			入籍人配偶者の養母の氏名				
	養父母との続柄			入籍人配偶者の養父母続柄				
	前個人番号					入籍人が本籍人の場合、従前戸籍の個人番号を設定		
	個人除区分							0:在籍者を設定

1. 入籍先の配偶者区分が「0:未」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先の漢字氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先の漢字氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先の漢字氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先の漢字氏名

2. 入籍先の配偶者区分が「1:夫」または「2:妻」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=1(夫)の氏名
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の配偶者区分=2(妻)の氏名

3. 入籍先の配偶者区分が「3:生存配偶者」の場合

更正区分	処理内容
2 OR 4 OR 8	父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
5 OR 7 OR 9	養父氏名←入籍先戸籍内の夫の氏名(続柄で判定して移送)
3 OR 4 OR 9	母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)
6 OR 7 OR 8	養母氏名←入籍先戸籍内の妻の氏名(続柄で判定して移送)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	34/48

処理名	6.2 入籍人配偶者の身分事項(除籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可
	タイトルコード			――――――――				2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード			――――――――				2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 届出による入籍日			――――――――				
	入籍 入籍事由			――――――――				
	除籍 届出による除籍日			処理日または送付日または受領日		処理日 ≠ スペース:処理日,送付日 ≠ スペース:送付日,処理日 ＝ スペースかつ送付日 ＝ スペース:受領日 を移送		
	除籍 除籍事由					入籍事由区分 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手区分名称と「の氏を称する入籍」を結合し設定 入籍事由区分 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手区分名称と「と同籍する入籍」を結合し設定 入籍事由区分 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入戸籍 従前戸籍			――――――――				
	入戸籍 本籍			――――――――				
	入戸籍 筆頭者			――――――――				
	除戸籍 新本籍					新本籍 ≠ スペース:新本籍,新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍を移送		
	除戸籍 称する氏					入籍事由 ＝ 1の時、新筆頭者の氏		
	除戸籍 復する氏					入籍事由 ＝ 3の時、新筆頭者の氏		
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	35/48

処理名	6.3 入籍人配偶者の身分事項(入籍)編集	(受取側)中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可
	タイトルコード			――――――――				2103:「配偶者の入籍」を設定
	記録コード			――――――――				2103:「入籍する者の配偶者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	入籍 届出による入籍日			処理日または送付日または受領日		処理日 ≠ スペース:処理日,送付日 ≠ スペース:送付日,処理日 ＝ スペースかつ送付日 ＝ スペース:受領日 を移送		
	入籍 入籍事由					入籍事由区分 ＝ 1(氏を称する入籍)の時 入籍相手区分名称と「の氏を称する入籍」を結合し設定 入籍事由区分 ＝ 2(同籍する入籍)の時 入籍相手区分名称と「と同籍する入籍」を結合し設定 入籍事由区分 ＝ 3(従前の氏を称する入籍)の時 「従前の氏に復する入籍」を設定 上記編集した後、入籍人の配偶者区分を名称に変えて先頭に付加する。EX)夫が父の氏を称する入籍		
	除籍 届出による除籍日			――――――――				
	除籍 除籍理由			――――――――				
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入戸籍 従前戸籍			――――――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			入籍人の本籍				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			入籍人の筆頭者				
	除戸籍 新本籍			――――――――				
	除戸籍 称する氏			――――――――				
	除戸籍 復する氏			――――――――				
	特記 特記事項			――――――――				

空白ページ

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	37/48

処理名	7.1 父又は母　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/父又は母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 父又は母	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍先の漢字氏名				
	旧氏名			入籍先の漢字氏名				
	新生年月日			入籍先の生年月日				
	旧生年月日			入籍先の生年月日				
	新父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	新本籍コード			入籍先の本籍コード OR 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 OR 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペス:新本籍
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード				
	旧本籍			入籍先の本籍				
	新筆頭者			漢字氏名(父又は母)				
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者				
	住所コード			入籍先の住所コード				
	住所			入籍先の住所				
	方書			入籍先の方書				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/48

処理名	7.1 父又は母　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 父又は母	住定日		中間ファイル (届書)					
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	39/48

処理名	7.2 入籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 入籍者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)			戸籍変動区分 ＝ 1または2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの漢字氏名の名 戸籍変動区分 ＝ 3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの名	
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	新父母との続柄			入籍人nの父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人nの父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード 入籍先の本籍コード				新本籍コード ≠ スペース:新本籍コード移送 新本籍コード ＝ スペース:入籍先の本籍コード移送
	新本籍			新本籍 入籍先の本籍				新本籍 ≠ スペース:新本籍移送 新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍移送
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名				新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者移送 新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	40/48

処理名	7.2 入籍者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/入籍者	←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 入籍者	旧筆頭者		中間ファイル (届書)	入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人nの住所コード				
	住所			入籍人nの住所				
	方書			入籍人nの方書				
	住定日			――――――――				
	住民日			――――――――				
	世帯主			入籍人nの世帯主				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	41/48

処理名	7.3 入籍人配偶者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 入籍人配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の漢字氏名(名) 新頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	新父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	42/48

処理名	7.2 入籍人配偶者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 入籍人配偶者	新筆頭者		中間ファイル (届書)	新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				
	住所コード			入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書			入籍人配偶者の方書				
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	43/48

処理名	8.1入籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/父又は母 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 父又は母	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍先の漢字氏名				
	旧氏名			入籍先の漢字氏名				
	新生年月日			入籍先の生年月日				
	旧生年月日			入籍先の生年月日				
	新父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍先の父母との続柄				
	新本籍コード			入籍先の本籍コード Or　新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 Or　新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍
	旧本籍コード			入籍先の本籍コード				
	旧本籍			入籍先の本籍				
	新筆頭者			漢字氏名(父又は母)				
	旧筆頭者			入籍先の筆頭者				
	住所コード			入籍先の住所コード				
	住所			入籍先の住所				
	方書			入籍先の方書				
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	44/48

処理名	8.1入籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/父又は母　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 父又は母	世帯主		中間ファイル (届書)					
	世帯主と続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	45/48

処理名	8.2入籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 入籍者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人nの漢字氏名(名) 新筆頭者(氏) 入籍先の筆頭者(氏)		戸籍変動区 ＝ 1又は2の場合、 入籍先の筆頭者の氏 + 入籍人nの漢字氏名の名 戸籍変動区分3の場合、 新筆頭者の氏 + 入籍人nの名		
	旧氏名			入籍人nの漢字氏名				
	新生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧生年月日			入籍人nの生年月日				
	旧父母との続柄			入籍人nの父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人nの父母との続柄				
	新本籍コード			入籍先の本籍コード 0r 新本籍コード				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍コード 新本籍 ≠ スペース:新本籍コード
	新本籍			入籍先の本籍 0r 新本籍				新本籍 ＝ スペース:入籍先の本籍 新本籍 ≠ スペース:新本籍
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者 旧筆頭者			新筆頭者 入籍先の漢字氏名 入籍人の筆頭者				新筆頭者 ＝ スペース:入籍先の漢字氏名 新筆頭者 ≠ スペース:新筆頭者

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	46/48

処理名	8.2入籍者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/入籍者	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 入籍者	住所コード		中間ファイル (届書)	入籍人nの住所コード				
	住所			入籍人nの住所				
	方書			入籍人nの方書				
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人nの世帯主				
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	47/48

処理名	8.3入籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/入籍人配偶者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 入籍人配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					21(入籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			入籍人配偶者の 漢字氏名(名) 新筆頭者(氏)				新筆頭者の氏 + 入籍人配偶者の漢字氏名の名
	旧氏名			入籍人配偶者の漢字氏名				
	新生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧生年月日			入籍人配偶者の生年月日				
	旧父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	旧父母との続柄			入籍人配偶者の父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			入籍人の本籍コード				
	旧本籍			入籍人の本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			入籍人の筆頭者				

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(入籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	48/48

処理名	8.3入籍者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/入籍人配偶者　← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 入籍人配偶者	住所コード		中間ファイル (届書)	入籍人配偶者の住所コード				
	住所			入籍人配偶者の住所				
	方書			入籍人配偶者の方書				
	住定日							
	住民日							
	世帯主			入籍人配偶者の世帯主				
	世帯主との続柄							

第7.2.(5)「異動」処理

21.分籍届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1. 分籍届による分籍業務処理範囲外の処理
   (1) 昭和60年1月1日より前に渉外婚姻をした者で、現在父母又は養父母の戸籍にいる者からの届。

   (2) 成年擬制者からの届出。

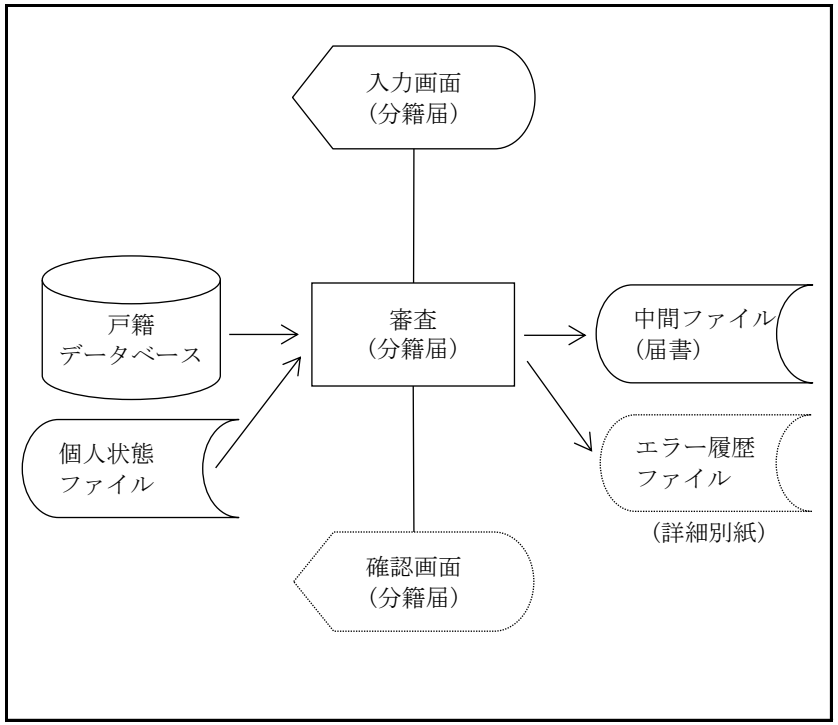
   上記(1),(2)は、審査結果入力で処理を行う。

2. 分籍届入力画面の意義
   (1) 分籍人当事者の各項目を入力する。

3. その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)分籍届の内容を画面入力する。
(2)分籍で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)分籍で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)分籍届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(分籍届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0　本紙						備考
(1)届書内容を画面入力する						/	「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)						/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) 〔1.0〕					/	
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕				/	
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする			/	
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) 〔3.0〕			/	
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力 〔4.0〕			(8)入力確認画面に制御を渡す
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)		/	
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(12)同画面を編集する　メッセージをエラー履歴に出力する
				確認	(11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO	(14)エラーメッセージを表示する					
PF1	→						(15)業務選択に制御を渡す
PF2	→						(16)届出選択に制御を渡す
PF10	(17)画面の入力項目の入力禁止を解除する						(18)同画面を編集する　入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(20)入力画面を初期化する						
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック　1/1	分籍届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		英数				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	分籍人の筆頭者区分	○	数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
11	分籍人の配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
12	分籍人の生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	分籍人の婚姻事項有無	○	数字	(0:無,1:有)であること			
14	分籍人の渉外区分		数字	(0:日本人のみ,1:渉外)であること			
15	分籍人の婚姻日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
16	分籍人のカナ氏名	○	カナ				
17	分籍人の漢字氏名	○	漢字				
18	分籍人の住所		漢字				
19	分籍人の世帯主		漢字				
20	分籍人の本籍	○	漢字				
21	分籍人の筆頭者	○	漢字				
22	分籍人の父の氏名		漢字				
23	分籍人の母の氏名		漢字				
24	分籍人の父母との続柄	○	数字	(10:男～49:十九女)であること			
25	分籍人の新本籍	○	漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	4/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	分籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.4)発送元 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき,(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本籍区分 ＝ 1(本籍) のとき, (No.20)分籍人の本籍または(No.25)分籍人の新本籍の何れかが管内であること			
12	(No.13)分籍人の婚姻事項有無 ＝ 0(無)のとき、 (No.14)分籍人の渉外区分 ＝ スペースかつ(No.15)分籍人の婚姻日 ＝ スペースであること			
13	(No.13)分籍人の婚姻事項有無 ＝ 1(有)のとき、 (No.14)分籍人の渉外区分 ≠ スペースかつ(No.15)分籍人の婚姻日 ≠ スペースであること			
14	(No.24)分籍人の父母との続柄 ≠ スペースのとき、 (No.22)分籍人の父氏名 ≠ スペース又は(No.23)分籍人の母氏名 ≠ スペースであること			
15	(No.17)分籍人の漢字氏名の氏 ＝ (No.21)分籍人の筆頭者の氏 であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	5/9

処理名	3.0 審査				備考
(0-1)受領日=送付日である			/		
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。よろしいですか?」		/		
	YES	(0-3)→(0-7)へ	/		
	NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ		/		
(0-7)分籍人の父氏名=スペースまたは分籍人の母氏名=スペース(YES,NO)			/		
YES	(0-8)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
	YES	(0-9)→(0-17)へ	/		
	NO	(0-10)		(0-11)本紙へ	不受理
NO	(0-12)分籍人の父母との続柄=10(男) または 30(女)である(YES,NO)		/		
	YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いありませんね?」	/		
		YES (0-14)→(0-18)へ	/		
		NO (0-15)		(0-16)本紙へ	不受理
	NO	(0-17)→(0-18)へ	/		
(0-18)分籍人の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)			/		
YES	(0-19)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示			(0-20)本紙へ	
	YES	(0-21)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-23)本紙へ	不受理
	NO	(0-22)→			画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-24)→(1)へ		/		

処理名	3.0 審査			備考
(1)2022年4月1日≦受領日(YES,NO)		/		民法改正(2022年4月1日)後か前で審査を分ける
YES	(1-1)分籍人の生年月日＋18年(18歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		戸21 I 民法改正(2022年4月1日)後の審査
YES	(2)分籍人の婚姻事項有無(0:無,1:有)	/		
1	(3)婚姻の渉外区分(1:渉外,その他)	/		
1	(4)分籍人の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		
0	(5)婚姻年月日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)	/		
YES	(6)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(7)本紙へ	
NO	(8)エラーメッセージ「分籍届は受理できません。」を表示			
1	(9)エラーメッセージ「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示			
その他	(10)エラーメッセージ「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示			
0	(11)分籍人の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)		(16)本紙へ	戸21 I
0	(12)分籍人の配偶者区分(0:未,その他)			
0	(13)→			(14),(15)削除
その他	(17)エラーメッセージ「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示			
1	(18)エラーメッセージ「分籍人は筆頭者です。」を表示			
NO	(19)エラーメッセージ「分籍人は未成年者です。」を表示		(20)本紙へ	
NO	(21)分籍人の生年月日＋20年(20歳以上)≦受領日である(YES,NO)	/		戸21 I 民法改正(2022年4月1日)前の審査
YES	(22)分籍人の婚姻事項有無(0:無,1:有)	/		
1	(23)婚姻の渉外区分(1:渉外,その他)	/		
1	(24)分籍人の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)	/		

				0	(25)婚姻年月日＜昭和60年1月1日である(YES,NO)		/		
					YES	(26)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(27)本紙へ	
					NO	(28)エラーメッセージ「分籍届は受理できません。」を表示			
				1	(29)エラーメッセージ「分籍人は筆頭者です。分籍届は受理出来ません。」を表示				
			その他	(30)エラーメッセージ「分籍人は婚姻中です。分籍届は受理出来ません。」を表示					
		0	(31)分籍人の筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)					(34)本紙へ	戸21Ⅰ
			0	(32)分籍人の配偶者区分(0:未,その他)					
				0	(33)→				
				その他	(35)エラーメッセージ「分籍人は配偶者(生存配偶者)です。」を表示				
			1	(36)エラーメッセージ「分籍人は筆頭者です。」を表示					
	NO	(37)エラーメッセージ「分籍人は未成年者です。」を表示						(38)本紙へ	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	7/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 分籍届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		分籍届入力画面	受領番号				
	選択事件コード			――――――――				「22」を引き渡す
	出張所番号			支所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)をセット
	届区分			――――――――				1(創設)をセット
	渉外区分			――――――――				ZEROをセット
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号(1)			――――――――				本籍人の時、分籍者の戸籍番号
	ロック戸籍番号(2)			――――――――				
	ロック戸籍番号(3)			――――――――				
	ロック戸籍番号(4)			――――――――				
	ロック戸籍番号(5)			――――――――				
	事件別内容			――――――――				3/3参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理または

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)	← (引渡側) 分籍届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分			――――――――				項目がない場合は、0
	届書排他区分			――――――――				0:未　1:排他

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

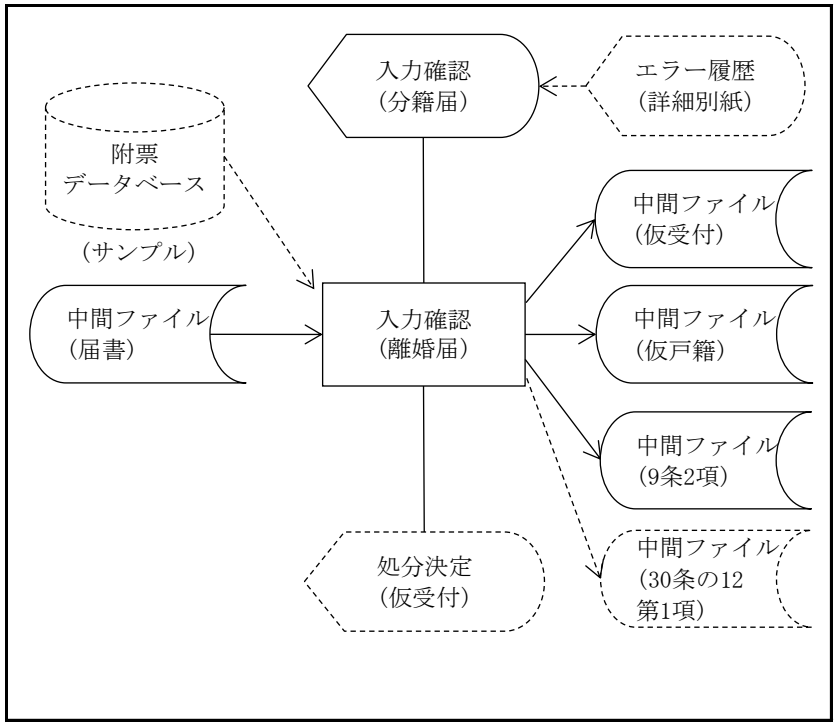
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側) 分籍届入力画面

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者区分(分籍人)		分籍届入力画面	分籍人筆頭者区分				
	配偶者区分(分籍人)			分籍人配偶者区分				
	生年月日(分籍人)			分籍人生年月日				
	婚姻事項有無(分籍人)			分籍人婚姻事項有無				
	渉外区分(分籍人)			分籍人渉外区分				
	婚姻日(分籍人)			分籍人婚姻日				
	分籍人の個人番号							本籍人の場合、分籍人の個人番号
	カナ氏名(分籍人)			分籍人カナ氏名				
	漢字氏名(分籍人)			分籍人漢字氏名				
	住所コード(分籍人)			分籍人住所				
	住所地番(分籍人)							
	世帯主(分籍人)			分籍人世帯主				
	本籍コード(分籍人)			分籍人本籍				
	本籍地番(分籍人)							
	筆頭者(分籍人)			分籍人筆頭者				
	父の氏名(分籍人)			分籍人父の氏名				
	母の氏名(分籍人)			分籍人母の氏名				
	父母との続柄(分籍人)			分籍人父母との続柄				
	新本籍コード(分籍人)			分籍人新本籍				
	新本籍地番(分籍人)							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月1日	2.1	1/12

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力
附票データベース	出力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 身分事項(除籍)
    - 4.2 身分事項(入籍)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)
    ……(サンプル提示)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月1日	2.1	2/12

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕			/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕		/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕		/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/	
		身分事項(除籍) (7)事件本人の除籍事項の編集 〔4.1〕	/	
		身分事項(入籍) (8)事件本人の入籍事項の編集 〔4.2〕	/	
		(8-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)	/	
		YES (8-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔6.0〕	/	
		NO (8-3)→(9)	/	
	NO	→	/	
	(9)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			
	YES	(10)中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔5.0〕		(11)処分決定に制御を渡す
	NO	→	/	
PF1	→			(12)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(13)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(14)審査に制御を渡す
PF11	→			(15)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(16)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(17)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/12

処理名	1.0 確認画面(分籍届)表示　1/2	(受取側) 分籍届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
分籍届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	分籍人筆頭者区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者区分(分籍人)				
	分籍人筆頭者区分名称					有		
	分籍人配偶者区分			配偶者区分(分籍人)				
	分籍人配偶者区分名称					有		
	分籍人生年月日			生年月日(分籍人)		有		
	分籍人婚姻事項有無			婚姻事項有無(分籍人)				
	分籍人渉外区分			渉外区分(分籍人)				
	分籍人渉外区分名称					有		
	分籍者婚姻日			婚姻日(分籍人)		有		
	分籍人カナ氏名			カナ氏名(分籍人)				
	分籍人漢字氏名			漢字氏名(分籍人)				
	分籍人住所			住所コード(分籍人)			有	
				住所番地(分籍人)				
	分籍人世帯主			世帯主(分籍人)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/12

処理名	1.0 確認画面(分籍届)表示　2/2	(受取側) 分籍届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
分籍届確認画面	分籍人本籍		中間ファイル (届書) 事件別内容	本籍コード(分籍人)			有	
				本籍番地(分籍人)				
	分籍人筆頭者			筆頭者(分籍人)				
	分籍人父の氏名			父の氏名(分籍人)				
	分籍人母の氏名			母の氏名(分籍人)				
	分籍人父母続柄コード			父母続柄(分籍人)				
	分籍人父母続柄名称					有		
	分籍人新本籍			新本籍コード(分籍人)			有	
				新本籍番地(分籍人)				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/12

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動				
	現本籍		他の在籍者		新本籍		父母(養父母)の戸籍				
	本籍	非本籍	有	無	管内	管外	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	一部記載 C.1 D.1	変動なし	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1
1	○		○		○		本人 4.1				本人 4.2
2	○		○			○	本人 4.1	本人 4.1			
3	○			○	○			本人 4.1			本人 4.2
4	○			○		○					
5		○	−	−	○						本人 4.2
6		○	−	−		○					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/12

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――――				「2201」をセット
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日			――――――				
	事件発生時分			――――――				ZEROをセット
	事件発生日時			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――――				「1:日本人のみ」をセット
	証書提出区分			――――――				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				ZEROをセット
	収日			――――――				ZEROをセット
	指示日			――――――				ZEROをセット
	許可日			――――――				ZEROをセット
	関連受領番号			――――――				ZEROをセット
	届出人資格区分1			――――――				届出人資格区分には、ZERO
	届出人資格名称1			――――――				届出人資格名称、届出人氏名には、SPACE
	届出人氏名1			――――――				
	届出人資格区分2			――――――				
	届出人資格名称2			――――――				
	届出人氏名2			――――――				
	届後本籍区分			――――――				「2:新戸籍編製」をセット

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/12

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	新本籍コード(分籍人)				
	届後本籍			新本籍地番(分籍人)				
	届後戸籍の筆頭者			漢字氏名(分籍人)				
	送達確認1			――――――				届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/12

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				「37」を設定
	届出人区分			――――――				「1」(事件本人)を設定
	カナ氏名			カナ氏名(分籍人)				
	漢字氏名			漢字氏名(分籍人)				
	生年月日			生年月日(分籍人)				
	本籍コード			本籍コード(分籍人)				
	本籍			本籍地番(分籍人)				
	筆頭者			筆頭者(分籍人)				
	送達確認2			――――――				事件本人の現本籍が、(非本籍) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/12

処理名	4.1 身分事項(除籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0:可　を設定
	タイトルコード			――――――				2201:「分籍」を設定
	記録コード			――――――				2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	分籍 分籍日			受領日				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入籍 入籍日			――――――				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――――――				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――――――				
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸 新本籍			新本籍地番(分籍人)				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/12

処理名	4.2 身分事項(入籍)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0:可　を設定
	タイトルコード			――――――				2201:「分籍」を設定
	記録コード			――――――				2201:「分籍者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	分籍 分籍日			受領日				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――				
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従前戸籍 本籍			従前戸籍 本籍地番(分籍人)				
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			筆頭者(分籍人)				
	除籍 除籍日			――――――				
	除戸 新本籍			――――――				
	特記 特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/12

処理名	5.0 中間ファイル(9条2項)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/事件本人	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				22(分籍届)を設定
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			分籍人の個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名(分籍人)				
	旧氏名			漢字氏名(分籍人)				
	新生年月日			生年月日(分籍人)				
	旧生年月日			生年月日(分籍人)				
	新父母との続柄			父母との続柄(分籍人)				
	旧父母との続柄			父母との続柄(分籍人)				
	新本籍コード			新本籍コード(分籍人)				
	新本籍			新本籍地番(分籍人)				
	旧本籍コード			本籍コード(分籍人)				
	旧本籍			本籍地番(分籍人)				
	新筆頭者			漢字氏名(分籍人)				
	旧筆頭者			筆頭者(分籍人)				
	住所コード			住所コード(分籍人)				
	住所			住所地番(分籍人)				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			世帯主(分籍人)				
	世帯主との続柄			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(分籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月1日	2.1	12/12

処理名	6.0 中間ﾌｧｲﾙ(30条の12第1項)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/事件本人 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					22(分籍届)を設定
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				
	新氏名			漢字氏名(分籍人)				
	旧氏名			漢字氏名(分籍人)				
	新生年月日			生年月日(分籍人)				
	旧生年月日			生年月日(分籍人)				
	新父母との続柄							父母との続柄コードを性別に変換して性別コードを設定
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード(分籍人)				
	新本籍			新本籍地番(分籍人)				
	旧本籍コード			本籍コード(分籍人)				
	旧本籍			本籍地番(分籍人)				
	新筆頭者			漢字氏名(分籍人)				
	旧筆頭者			筆頭者(分籍人)				
	住所コード							
	住所							
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

22.国籍取得届

1.国籍取得業務処理範囲外の処理

・国籍取得者が一の戸籍に入った後除籍となり,他の戸籍入籍する場合(国籍取得者が複数の戸籍に入除籍を繰り返す場合)は,審査結果入力で処理する

したがって,本処理では国籍取得者が一の戸籍に入籍した後,異動がないものしか取り扱わない

なお,非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の,以下の記録も審査結果入力で処理する
①配偶者の記録
②新戸籍編製以外の子の異動(養親、配偶者の戸籍へ入籍する場合など)

・国籍取得者が一の戸籍に入ったとき,その戸籍に在籍する者の身分事項に記録が必要な場合(下記条件)は一部(戸籍編製マトリックス参照)を除き訂正・更正処理で記録する。

①認知している子が国籍取得した場合:子の国籍取得事項の記録

②養子が国籍取得した場合:養子の国籍取得事項の記録

③親が国籍取得した場合:親の国籍取得事項の記録

④養親が国籍取得した場合:養親の国籍取得事項の記録

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・非嫡出子が国籍法3条により国籍取得した場合の,認知した父の記録

・附則(昭和59年5月25日法律第四五号)及び(平成20年12月12日法律第八八号)により国籍取得する場合

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.国籍取得の処理

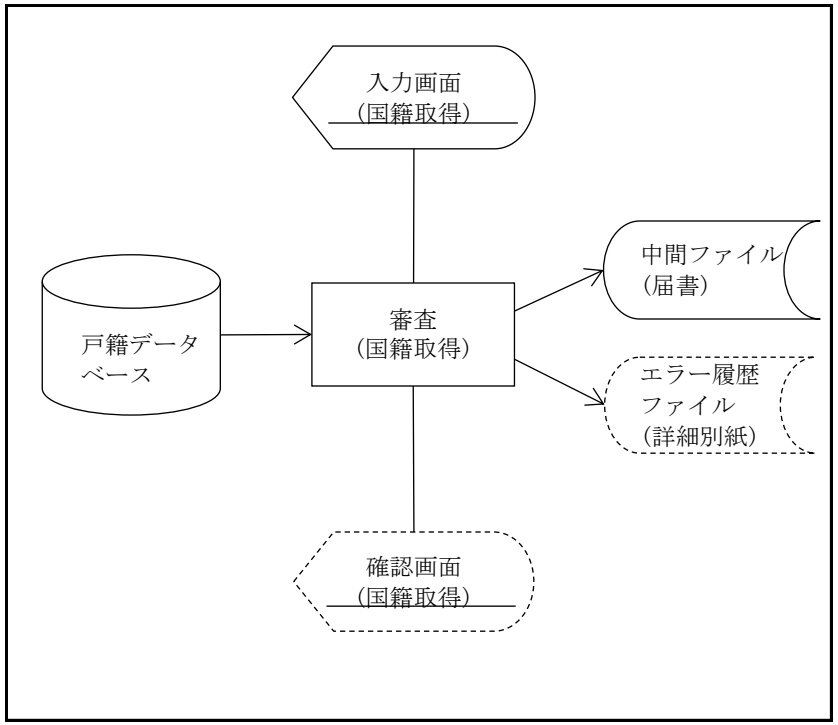
・国籍取得は報告的届出であるので,届書ならびに国籍取得証明書の内容をそのまま入力すればよい

・審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり,法令審査は行わない(確認メッセージのみの出力)

したがって,法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

第7 2 (5)	システム環境仕様	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/18

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)国籍取得届の内容を入力する。
(2)国籍取得届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)国籍取得届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)国籍取得届から中間ファイル(届書)を編集し,出力する。
(6)入力確認(国籍取得届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック
  - 2.0 関連チェック
    - 2.1 表示設定
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/18

処理名	0.0　本紙						備考
(1)届書内容を画面入力する					/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合, 届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)					/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]				/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする		/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]				
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集・出力 [4.0]		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
				審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
				確認 (12)確認メッセージを表示し,メッセージに対して応答の後,以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する				
	NO						
PF1	──→					(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	──→					(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(17)前ページ分の入力画面(国籍取得)を編集する				(18)同画面を編集する	
	NO	(19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する					
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)				/		
	YES	(21)次ページ分の入力画面(国籍取得)を編集する				(22)同画面を編集する	
	NO	(23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する					
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する						入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する						審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する						
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する						

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(1/2)	国籍取得		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送元		漢字				
5	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
6	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
7	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
8	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	カナ氏名	○	カナ				
10	漢字氏名	○	漢字				
11	従前氏名	○	漢字				
12	従前国籍	○	漢字				
13	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	父氏名		漢字				
15	母氏名		漢字				
16	父母との続柄コード	○	数字	(11:長男 ～ 29:十九男) または (31:長女 ～ 49:十九女) であること			
17	国籍取得年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	国籍取得区分	○	数字	(1:国籍法3条、2:国籍法17条1項、3:国籍法17条2項)であること			
19	戸籍変動区分	○	数字	(1:父母の戸籍に入籍する、2:父の戸籍に入籍する、 3:母の戸籍に入籍する、4:国籍喪失時の戸籍に入籍する 5:新戸籍を編製する)であること			
20	届後本籍	○	漢字				
21	届後本籍の筆頭者	○	漢字				
22	届後本籍の筆頭者区分		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	5/18

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(2/2)	国籍取得		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
23	届後本籍の配偶者区分		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
24	住所		漢字				
25	住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
27	世帯主区分		数字	(1:世帯主,2:世帯員)であること			
28	世帯主名		漢字				
29	世帯主との続柄コード		数字				
30	15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 110:未成年後見人, 001:父, 002:母 010:養父, 011:養母)であること			
31	15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父, 017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 001:父, 002:母 010:養父, 011:養母)であること			
32	15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	15歳未満の届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	6/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(1/3)	国籍取得		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)送付日 ＝ スペースのとき(No.4)発送元 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.3)送付日 ≠ スペースのとき(No.4)発送元 ≠ スペース であること			
3	(No.3)送付日 ≠ スペースのとき(No.3)送付日 ≧ (No.2)受領日 であること			
4	(No.3)送付日 ＝ スペースのとき(No.5)在外送付区分 ＝ 0:(受理分) であること			
5	(No.4)発送元 ≠ スペースのとき(No.5)在外送付区分 ≠ 0:(受理分以外) であること			
6	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ(No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.5)在外送付区分 ＝ 1:(国内からの送付) であること			
7	(No.4)発送元 ≠ スペース かつ(No.4)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき(No.5)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付) または (No.5)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由) であること			
8	(No.6)処理日 ≠ スペースのとき(No.6)処理日 ＞ (No.2)受領日であること			
9	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき(No.3)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.8)郵送日 ≠ スペースのとき(No.8)郵送日 ≦ (No.2)受領日			
11	(No.7)本非区分 ＝ 1(本籍)のとき (No.20)届後本籍 ＝ 管内本籍 であること			
12	(No.7)本非区分 ＝ 2(非本籍)のとき (No.20)届後本籍 ＝ 管外本籍 であること			
13	(No.10)漢字氏名の氏 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者の氏 であること			
14	(No.13)生年月日から15歳未満のとき(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			受領日から年齢を算出する
15	(No.13)生年月日から15歳以上のとき(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース であること			
16				
17				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
18	(No.17)国籍取得年月日 ≦ (No.2)受領日 であること			
19	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍) または 2(父の戸籍に入籍) または 3(母の戸籍に入籍) のとき (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 0(構成員) かつ (No.23)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 0(未) であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(2/3)	国籍取得		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
19-1	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍)のとき, (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名 または (No.15)母氏名 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
19-2	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍)のとき, (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.14)父氏名 であること			
19-3	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍)のとき, (No.21)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.15)母氏名 であること			
20	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 5(新戸籍を編製)のとき, (No.22)届後戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) であること			
21	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 1(父母の戸籍に入籍する)のとき, (No.14)父氏名 ≠ スペース かつ (No.15)母氏名 ≠ スペース かつ (No.14)父氏名の氏 ＝ (No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏 であること			
22	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 2(父の戸籍に入籍する)のとき, (No.14)父氏名 ≠ スペース かつ (No.14)父氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏 であること			
23	(No.19)戸籍変動区分 ＝ 3(母の戸籍に入籍する)のとき, (No.15)母氏名 ≠ スペース かつ (No.15)母氏名の氏 ＝ (No.10)漢字氏名の氏 であること			
24	(No.22)届後戸籍の筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき, (No.10)漢字氏名 ＝ (No.21)届後戸籍の筆頭者 であること			
25	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)のとき,(No.28)世帯主名 ＝ (No.10)漢字氏名 であること			
26	(No.27)世帯主区分 ＝ 1(世帯主)のとき, (No.29)世帯主との続柄コード ＝ スペース または 世帯主(に当たるコード) であること			
27	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースのとき, (No.23)届後戸籍の配偶者区分 ＝ 0(未) であること			
28	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースのとき, (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること			
29	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースのとき, (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック(3/3)	国籍取得		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
30	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース のとき, (No.32)15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
31	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース のとき, (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペース であること			
32	(No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース のとき, (No.33)15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			
33	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) または 019(親権者養父) または 001(父) または 010(養父) のとき, (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば, (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) または 020(親権者養母) または 002(母) または 011(養母) であること			
34	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 017(親権者母) または 020(親権者養母) または 002(母) または 011(養母) のとき, (No.31)15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース であれば, (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 016(親権者父) または 019(親権者養父) または 001(父) または 010(養父) であること			
35	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)のとき, (No.33)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース であること			
36	(No.24)住所 ＝ スペース のとき,(No.28)世帯主名 ＝ スペース であること			
37	(No.28)世帯主名 ≠ スペース のとき,(No.24)住所 ≠ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/18

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定 (1/2)	国籍取得(その1画面)		

No	内容	備考
1	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース　の場合, 15歳未満の届出人資格名称は「父」と表示する	同様資格2がスペースの場合は,資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略
2	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び親権者養母」と表示する	同上
4	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び母」と表示する	同上
5	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者父及び養母」と表示する	同上
6	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び親権者母」と表示する	同上
7	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父母」と表示する	同上
8	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び母」と表示する	同上
9	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「親権者養父及び養母」と表示する	同上
10	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者母」と表示する	同上
11	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「父及び親権者養母」と表示する	同上
12	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「父母」と表示する	同上
13	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「父及び養母」と表示する	同上

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/18

処理名	画面名	画面ID	
2.1 表示設定 (2/2)	国籍取得(その1画面)		

No	内容	備考
14	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者母」と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
15	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び親権者養母」と表示する	同上
16	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「養父及び母」と表示する	同上
17	(No.30)15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 15歳未満の届出人資格名称は「養父母」と表示する	同上

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	11/18

処理名	3.0 審査 (1/3)			備考
(0.01)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)		/		
YES	(0.02)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示	/		
	YES (0.03)→(0.06-1)へ	/		
	NO →		(0.04)本紙へ	
NO	(0.05)→(0.06-1)へ	/		
(0.06-1)国籍取得者の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(国籍取得-52)
YES	(0.06-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0.06-3)本紙へ	R2.1(国籍取得-52)
	YES (0.06-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0.06-6)本紙へ	不受理,R2.1(国籍取得-52)
	NO (0.06-5)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(国籍取得-52)
NO	(0.06-7)→(0.1)へ	/		R2.1(国籍取得-52)
(0.1)受領日 < 国籍取得年月日 + 3箇月(YES,NO)		/		戸102
YES	(0.2) → (1)へ	/		
NO	(0.3)エラーメッセージ 「届出期間を経過しています」を表示		(0.4)審査3.0へ	
(1)国籍取得区分?(1:国籍法3条,2:国籍法17条1項,3:国籍法17条2項)		/		4:改正法附則5条1項,5:改正法附則6条1項を第13版で削除
1	(2)戸籍変動区分?	/		
	1 (3)確認メッセージ 「父の配偶者は国籍取得者の母と同じですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(4)本紙へ	国籍法3条は、実質日本人父認知による国籍取得であるので、出生当時は母外国人である
	2 (5)確認メッセージ 「子は準正嫡出子(父母が婚姻している)ですね。」を表示する(YESなら(8)へ)		(5-1)本紙へ	
	3～4 (6)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理してください。」を表示する		(7)本紙へ	
	5 (6-1)確認メッセージ「子は非嫡出子(父母が婚姻していない)ですね。」を表示する	/		国籍法3条の改正対応(H21.1.1)
	YES (6-2)メッセージ「父に子の国籍取得事項の記録が必要です。父が本籍人であれば、審査結果入力処理で記録して下さい。」を表示する (8)へ	/		
	NO (6-3)→		(7-1)本紙へ	
	(8)2022年4月1日 ≦ 国籍取得日(YES,NO)	/		民法改正(2022年4月1日)後か前かで

									審査を分ける,R2.1(国籍取得-50)
	YES	(8-1)国籍取得者の生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得日 (YES,NO)			/				民法改正(2022年4月1日)後の審査
									生年月日と国籍取得日で年齢を算出する,R2.1(国籍取得-50)
		YES	(9)→(55)へ		/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(10)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが，問題ありませんね。」を表示する(YESなら(55)へ)			(11)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
	NO	(11-1)国籍取得者の生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得日 (YES,NO)							民法改正(2022年4月1日)前の審査
									生年月日と国籍取得日で年齢を算出する,R2.1(国籍取得-50)
		YES	(11-2)→(55)へ		/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(11-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが，問題ありませんね。」を表示する(YESなら(55)へ)			(11-4)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	12/18

処理名									備考
2	(12)戸籍変動区分?				/				
	1～3	(13)→(16)へ			/				
	4～5	(14)エラーメッセージ 「戸籍変動区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」を表示する				(15)本紙へ			
	(16)2022年4月1日 ≦ 国籍取得日 (YES, NO)				/				民法改正(2022年4月1日)後か前かで
									審査を分ける,R2.1(国籍取得-50)
	YES	(16-1)国籍取得者の生年月日 + 18年(18歳未満) > 国籍取得日 (YES, NO)			/				民法改正(2022年4月1日)後の審査
									生年月日と国籍取得日で年齢を算出する,R2.1(国籍取得-50)
		YES	(17)→(20)へ		/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(18)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が18歳を超えていますが，問題ありませんね。」を表示する(YESなら(20)へ)			(19)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)
	NO	(19-1)国籍取得者の生年月日 + 20年(20歳未満) > 国籍取得日 (YES, NO)			/				民法改正(2022年4月1日)前の審査
									生年月日と国籍取得日で年齢を算出する,R2.1(国籍取得-50)
		YES	(19-2)→(20)へ		/				R2.1(国籍取得-50)
		NO	(19-3)確認メッセージ 「国籍取得時の年齢が20歳を超えていますが，問題ありませんね。」を表示する(YESなら(20)へ)			(19-4)本紙へ			R2.1(国籍取得-50)

	(20)住所は日本国内である(住所に入力がある場合)		/		国籍法17条1項は、日本に住所を有していないといけない
	YES	(21) → (55)へ	/		
	NO	(22)確認メッセージ 「住所を日本に有していませんが,問題ありませんね。」を表示する(YESなら(55)へ)		(23)本紙へ	
3	(24)戸籍変動区分?		/		
	1～3	(25)エラーメッセージ 「戸籍変動区分が間違っています。」を表示する		(26)本紙へ	
	4	(27)確認メッセージ 「国籍取得者は国籍を喪失した者ですね。」を表示する(YES,NO)			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	13/18

処理名						備考
		3.0 審査 (2/3)				
		YES	(28)→(55)へ	/		
		NO	(29)エラーメッセージ 「国籍法17条2項は国籍喪失者の国籍取得です。再度内容を確認して下さい。」を表示する		(30)本紙へ	
	5	(31)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)または(妻)である(YES,NO)		/		
		YES	(32)エラーメッセージ 「届後戸籍での配偶者区分に間違いがなければ審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(33)本紙へ	国籍喪失後の婚姻であれば審査結果入力処理。 国籍喪失前の婚姻であれば区分入力間違い
		NO	(34) → (35)へ	/		
		(35)確認メッセージ 「国籍取得者は国籍喪失時の戸籍に戻れない理由がありますね。」を表示する (YESなら(55)へ)			(36)本紙へ	
	(37)				(38)	(37)～(54)第13版で削除
	(39)			/		
		(40) → (43)		/		
		(41)			(42)	
	(43)			/		
		(44)			(45)	
		(46)→(55)		/		
		(47)			(48)	
	(49)				(50)	
	(51)			/		
		(52)→(55)			(53)	
		(54)				
(55)届後戸籍は管内本籍である(YES,NO)				/		
YES	(56)届後の戸籍での筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)である(YES,NO)			/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	14/18

処理名		3.0 審査 (3/3)			備考
	YES	(57)届後戸籍の在籍者で筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)の者はいない(YES,NO)	/		
		YES ⟶		(58)本紙へ	審査終了
		NO (59)エラーメッセージ「入籍戸籍には筆頭者が在籍しています」を表示する			
	NO	⟶			
NO					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　1/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(国籍取得)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		国籍取得画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							23(国籍取得)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1 在外送付区分 ≠ 0のとき2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告的届出)
	渉外区分							1(渉外)を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							3/4～4/4参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により,1:受理または2:不受理をセットする

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(国籍取得)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	決裁区分		国籍取得画面					何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(国籍取得)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名		国籍取得(その1)画面	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父個人番号		本籍人検索					父が本籍人の場合設定
	父氏名		(その1)画面	父氏名				
	母個人番号		母籍人検索					母が本籍人の場合設定
	母氏名		(その1)画面	母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				

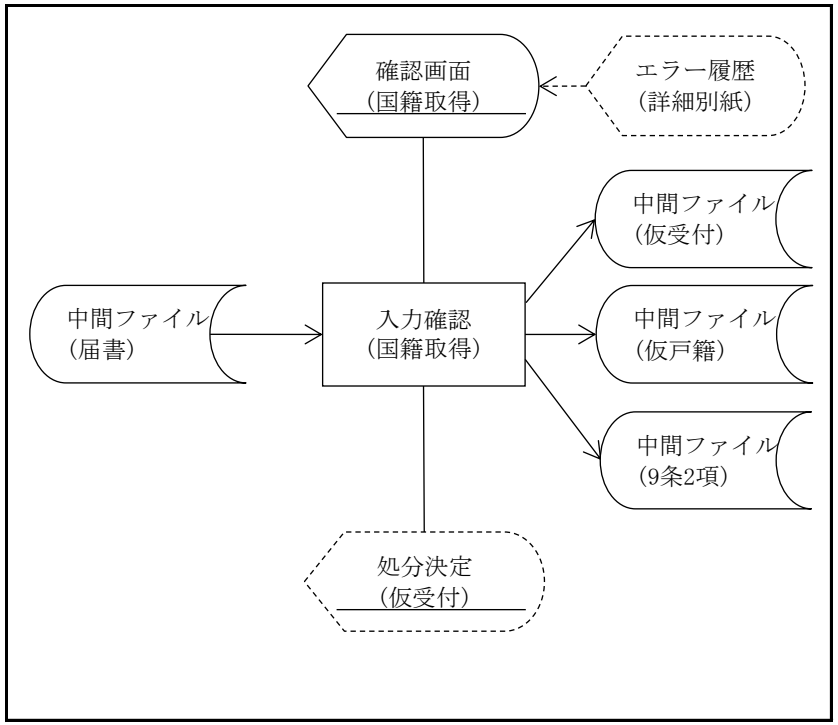
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		審査(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/18

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　4/4	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(国籍取得)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	住所コード		国籍取得(その2)画面	住所		有		
	住所							
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/21

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集,出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集,出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集,出力する。
(6)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔戸籍特定〕)
    - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔個人特定〕)
    - 5.1 個人特定(入籍)
    - 5.2 個人特定(新戸籍編製)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔身分事項〕)
    - 6.1 国籍取得者(入籍)
    - 6.2 国籍取得者の配偶者(記録)
    - 6.3 国籍取得者の父(記録)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 国籍取得者

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/21

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し, メッセージ「入力項目を確認し,よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する		[1.0]	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し,事件本人の戸籍変動状況を決定する	[2.0]	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する	[3.0]	/	
	(5)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES,NO)		/	
	YES (6)戸籍変動区分?		/	
	1 (7)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/	
	(8)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/	
	(9)国籍取得者の父母の身分事項に子の国籍取得事項を編集・出力する	[6.3]	/	国籍法3条による国籍取得の場合のみ
	2 (10)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/	
	(11)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/	
	(12)国籍取得者の父の身分事項に子の国籍取得事項を編集・出力する	[6.3]	/	国籍法3条による国籍取得の場合のみ
	3 (13)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/	
	(14)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/	
	4 (15)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.1]	/	
	(16)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/	
	(17)届後戸籍での配偶者区分 ＝ 1(夫)または2(妻)である(YES,N		/	
	YES (18)国籍取得者の配偶者の身分事項に配偶者の国籍取得事項を編集・出力する	[6.2]	/	
	NO (19)→(24)へ		/	
	5 (20)国籍取得者の戸籍特定を編集・出力する	[4.1]	/	
	(21)国籍取得者の個人特定を編集・出力する	[5.2]	/	
	(22)国籍取得者の身分事項を編集・出力する	[6.1]	/	
	NO (23)→(24)へ		/	
	(24)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付　である(YES,NO)		/	
	YES (25)国籍取得者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	[7.1]	/	
	NO ──→			(26)処分決定に制御を渡す

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/21

処理名	0.0 本紙 2/2		備考
PF1	―→		(27)業務選択に制御を渡す
PF2	―→		(28)届出選択に制御を渡す
PF5	―→		(29)審査(国籍取得届)に制御を渡す
PF7	(30)前ページがある(YES,NO)	/	
	YES (31)前ページ分の確認画面(国籍取得)を編集する		(32)同画面を編集する
	NO (33)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する		
PF8	(34)次ページがある(YES,NO)	/	
	YES (35)次ページ分の確認画面(国籍取得)を編集する		(36)同画面を編集する
	NO (37)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する		
PF11	―→		(38)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(39)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する		(40)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/21

処理名	1.0 確認画面(国籍取得)表示　1/3	(受取側) 国籍取得画面/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍取得(その1)～(その2)確認画面 共通	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/21

処理名	1.0 確認画面(国籍取得)表示　2/3	(受取側) 国籍取得画面(その1)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍取得(その1)確認画面	カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	従前氏名			従前氏名				
	従前国籍			従前国籍				
	生年月日			生年月日				
	父氏名			父氏名				
	母氏名			母氏名				
	父母との続柄コード			父母との続柄コード				
	父母との続柄名称					有		
	国籍取得年月日			国籍取得年月日				
	国籍取得区分			国籍取得区分				
	戸籍変動区分			戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	届後戸籍での筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	届後戸籍での配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/21

処理名	1.0 確認画面(国籍取得)表示　3/3	(受取側) 国籍取得画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍取得(その2)確認画面	住所		中間ファイル(届書) 事件別内容	住所コード		有		
				住所				
	住民日			住民日				
	住定日			住定日				
	世帯主区分			世帯主区分				
	世帯主名			世帯主名				
	世帯主との続柄コード			世帯主との続柄コード				
	世帯主との続柄名称					有		
	15歳未満の届出人資格1			15歳未満の届出人資格1				
	15歳未満の届出人資格2			15歳未満の届出人資格2				
	15歳未満の届出人資格名称			15歳未満の届出人資格1 ＋ 15歳未満の届出人資格2		有		審査2.1「表示設定」を参照
	15歳未満の届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	15歳未満の届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/21

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	戸籍変動区分					本非区分		国籍取得区分		国籍取得者の配偶者区分					国籍取得者の戸籍				
	父母の戸籍に入籍する	父の戸籍に入籍する	母の戸籍に入籍する	国籍喪失時の戸籍に入籍する	新戸籍を編製する	本籍分届	非本籍分届	国籍法3条	国籍法3条以外	未	夫	妻	生存配偶者		新戸籍編製 4.1 B.1 5.2 D.1	一部記載 5.1 D.1	一部除籍	全部除籍	変動なし
1	○	×	×	×	×	○	×	○	×	−	−	−	−			6.1 国籍取得者			6.3 父
2	○	×	×	×	×	○	×	×	○	−	−	−	−			6.1 国籍取得者			
3	×	○	×	×	×	○	×	○	×	−	−	−	−			6.1 国籍取得者			6.3 父
4	×	○	×	×	×	○	×	×	○	−	−	−	−			6.1 国籍取得者			
5	×	×	○	×	×	○	×	−	−	−	−	−	−			6.1 国籍取得者			
6	×	×	×	○	×	○	×	−	−	○	×	×	×			6.1 国籍取得者			
7	×	×	×	○	×	○	×	−	−	×	○	×	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
8	×	×	×	○	×	○	×	−	−	×	×	○	×			6.1 国籍取得者			6.2 妻
9	×	×	×	○	×	○	×	−	−	×	×	×	○			6.1 国籍取得者			
10	×	×	×	×	○	○	×	−	−	−	−	−	−		6.1 国籍取得者				
11	−	−	−	−	−	−	○	−	−	−	−	−	−						

国籍取得者がある戸籍に入籍するときに,その戸籍に在籍していた者に身分事項が記録される場合はあるが(下記条件),上記マトリックスの記録以外は訂正・更正で処理する。
①認知している子が国籍取得により入籍してきた場合:子の国籍取得事項を記録
②養子が国籍取得により入籍してきた場合:養子の国籍取得事項を記録
③親が国籍取得により入籍してきた場合:親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名),または父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)
④養親が国籍取得により入籍してきた場合:養親の国籍取得事項を記録(漢字氏名 ＝ 従前氏名),または養父母欄の更正及び更正事項の記録(漢字氏名 ≠ 従前氏名)

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書) 共通	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2301(国籍取得)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			国籍取得年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1		中間ファイル (届書) 事件別内容	15歳未満の届出人資格1				
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			15歳未満の届出人氏名1				
	届出人資格区分2			15歳未満の届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			15歳未満の届出人氏名2				
	届後本籍区分							戸籍変動区分 ＝ 1～4のとき1 ＝ 5のとき2を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	9/21

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書) 事件別内容					
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							本非区分 ＝ 2:非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)
	証書提出区分							0を設定
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき①父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 ②国籍喪失時の戸籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成13年 3月 1日	5	10/21

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							38(国籍取得者)
	届出人区分							15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースのとき1を設定 上記以外は0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後本籍筆頭者				
	送達確認2							0(不要)を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/21

処理名	4.1 戸籍特定(新戸籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定(新戸籍編製)　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							1を設定
	在籍者数							1を設定
	除籍者数							0を設定
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/21

処理名	5.1 個人特定(入籍)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(入籍)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニタブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							入籍する戸籍の戸籍番号を設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/21

処理名	5.2 個人特定(新戸籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(新戸籍編製)　←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							決裁処理で設定
	個人記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日 送付日　または 受領日　または				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日							
	性別			父母との続柄コード		有		
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			届後戸籍での筆頭者区分				
	配偶者区分			届後戸籍での配偶者区分				
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄コード		有		
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	14/21

処理名	6.1 国籍取得者(入籍)編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者)入籍 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 国籍取得者	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2301(国籍取得)
	記録コード								2301(国籍取得者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ﾌｧｲﾙ(届書)	国籍取得年月日				
	国籍取得	国籍取得日		中間ファイル (届書)	国籍取得年月日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人(1) 資格			15歳未満の届出人資格1		有		届出人資格1,2が(親権者)父と(親権者)母の場合は『(親権者)父母』を届出人(1)に編集し、届出人(2)はスペース 届出人資格1,2が(親権者)養父または(親権者)養母の場合、対応する氏名1,2をそれぞれ設定 届出人資格1が未成年後見人の場合、氏名1を設定
		届出人(1) 資格名称							
		届出人(1) 氏名			15歳未満の届出人氏名1				
		届出人(2) 資格			15歳未満の届出人資格2		有		
		届出人(2) 資格名称							
		届出人(2) 氏名			15歳未満の届出人氏名2				
	従前記録	取得の際の国籍			従前国籍				
		従前の氏名			従前氏名				従前の氏名 ＝ 漢字氏名 でも設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入籍	入籍日			処理日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/21

処理名	6.1 国籍取得者(入籍)編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者)入籍　←　(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 国籍取得者	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル (届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
		除籍事由								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
		入籍戸籍	本籍							
			筆頭者							
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/21

処理名	6.2 国籍取得者の配偶者(記録)編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者の配偶者)記録 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 国籍取得者の 配偶者	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2304(配偶者の国籍取得)
	記録コード								2304(国籍取得者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
	配偶者の国籍取得日			中間ファイル (届書)	国籍取得年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			漢字氏名				
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/21

処理名	6.2 国籍取得者の配偶者(記録)編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者の配偶者)記録 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 国籍取得者の 配偶者	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル (届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	18/21

処理名	6.3 国籍取得者の父(記録)編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者の父)記録 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 国籍取得者の父	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2302(子の国籍取得)
	記録コード								2302(国籍取得者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ﾌｧｲﾙ(届書)					
	子の国籍取得	子の国籍取得日		中間ファイル (届書)	国籍取得年月日				
		子の氏名 続柄			父母との続柄コード		有		
		子の氏名 氏名			漢字氏名				
		子の新本籍 本籍							
		子の新本籍 筆頭者							
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/21

処理名	6.3 国籍取得者の父(記録)編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(国籍取得者の父)記録 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項 戸籍取得者の父	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル (届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	20/21

処理名	7.1 国籍取得者 編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/国籍取得者 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 国籍取得者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							23(国籍取得届)
	受理日			送付日　または 受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名							
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日							
	新父母との続柄			父母との続柄コード				
	旧父母との続柄							
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(国籍取得届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/21

処理名	7.1 国籍取得者　編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/国籍取得者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 国籍取得者	世帯主との続柄		中間ファイル (届書)	世帯主との続柄				

第7.2.(5)「異動」処理

23.帰化届

1. 帰化業務処理範囲外の処理

・(養)親に子帰化の記録を行う時,以下に挙げる場合は,審査結果入力で処理を行う

(1)実子と養子が同時に帰化する場合

(2)筆頭者父が死亡している時,養母へ記録を行う場合

(3)配偶者養母が死亡している時,養母へ記録を行う場合

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・15歳以上の未成年者について、本人以外から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2. 帰化の処理

(1)帰化は報告的届出であるので,届書ならびに帰化者の身分証明の内容をそのまま入力すればよい

(2)審査は入力ミスを防ぐ目的のものであり,法令審査は行わない(確認メッセージのみ出力)

したがって,法令で不受理となることはない(入力ミスと思われるものをそのまま放置した場合にシステムでは不受理とする)

(3)一家で帰化する場合が相当数あるので,同一戸籍に入る場合は一処理で行えるようにした

3.その他

・(養)父母の戸籍に入るとき,(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項はシステムで自動記録する

但し、以下の(1)、(2)の処理(戸籍変動が異なる処理を同時に行う処理)は除く

(1) (養)父・母につき新戸籍編製で同時帰化者がある場合は別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②の処理を別々に入力してください。

①一人目の帰化者で(養)父・母で新戸籍編製

②2人目以降の帰化者が①の新戸籍に入籍

(2) 夫婦の片方(日本人配偶者有り)で夫(妻)の氏で新戸籍編製となる届で、同時帰化者がある場合(配偶者と子の同時帰化),別々に処理を行う

戸籍変動が異なる帰化者は同時に処理は行えません

以下の①と②を別々に入力して下さい

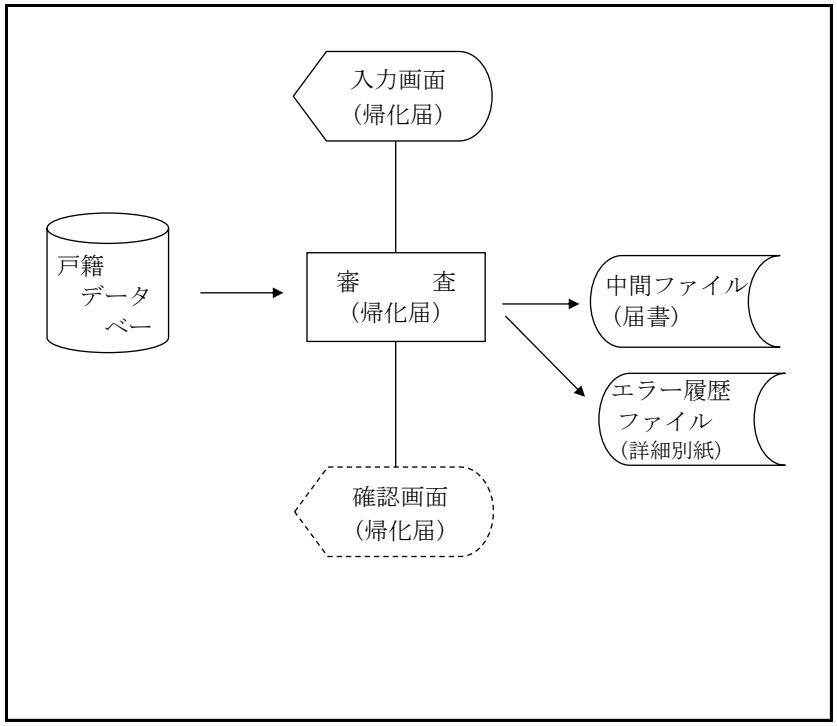
①夫(妻)の氏で新戸籍編製

②同時帰化者が①の戸籍に入籍

・他戸籍にいる(養)父母の身分事項欄に記録する子の帰化事項は,審査結果入力で処理する

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/36

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)帰化届の内容を画面入力する。
(2)帰化届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)帰化届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)帰化届から中間ファイル(届出)を編集し、出力する。
(6)入力確認(帰化届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
  - 2.1 表示設定
- 3.0 審査
- 4.0 データ編集(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/36

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF10、PF11、PF12、その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES NG:NO)〔1.0〕	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES NG:NO)〔2.0〕	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES NG:NO)〔3.0〕	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集・出力〔4.0〕	/	(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー、確認)	/		
	審査ｴﾗｰ (10)エラーメッセージを表示する	/	(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する	/		メッセージと応答をエラー履歴に出力する
	NO (13)エラーメッセージを表示する	/		
	NO			
PF1	→	/	(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→	/	(15)届出選択に制御を渡す	
PF7	(16)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (17)前ページ分の入力画面(帰化)を編集する	/	(18)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する	/		
PF8	(20)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (21)次ページ分の入力画面(帰化)を編集する	/	(22)同画面を編集する	
	NO (23)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する	/		
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する	/		入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する	/		審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する	/		
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました。」を表示する	/		

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(1/8)	帰化届(帰化種別入力画面) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	帰化種別	○	数字	(1:単身者の帰化,2:夫婦の片方(日本人配偶者有), 3:夫婦の片方幅本人配偶者無),4:夫婦の帰化)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
2	同時帰化者数		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	5/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(2/8)	帰化(その1) 1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
3	出張所番号		数字		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
4	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
6	発送元		漢字				
7	在外送付区分	○	数字	(0:受理分、1:国内からの送付 2:在外公館の直接送付、3:在外公館の国内経由)であること			
9	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本非区分	○	数字	(1:本籍分届、2:非本籍分届)であること			
11	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	帰化者カナ氏名	○	カナ				
13	帰化者漢字氏名	○	漢字				
14	帰化者従前氏名	○	漢字				
15	帰化者従前国籍	○	漢字				
16	帰化者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
17	帰化者配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻)であること			生存配偶者は無い
18	公示年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	帰化者父氏名		漢字				
20	帰化者父の本・国籍		漢字				
21	帰化者母氏名		漢字				
22	帰化者母の本・国籍		漢字				
23	帰化者父母との続柄コード	○	漢字	11(長男)～29(十九男)または31(長女)～49(十九女)であること			
24	帰化者住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
25	帰化者住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
26	帰化者住所		漢字				
27	帰化者世帯主区分		数字	(1:世帯主,2:世帯員)であること			
28	帰化者世帯主との続柄コード		数字				
29	帰化者の世帯主名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	6/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(3/8)	帰化(その1) 2/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
30	帰化者15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 110:未成年後見人, 001:父,002:母, 010:養父,011:養母)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
31	帰化者15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 110:未成年後見人, 001:父,002:母, 010:養父,011:養母)であること			
32	帰化者15歳未満の届出人氏名1		漢字				
33	帰化者15歳未満の届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	7/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(4/8)	帰化(その2) 1/1		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
34	帰化者妻カナ氏名		カナ		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
35	帰化者妻漢字氏名		漢字				
36	帰化者妻従前氏名		漢字				
37	帰化者妻住前国籍		漢字				
38	帰化者妻生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
39	帰化者妻父氏名		漢字				
40	帰化者妻父の本･国籍		漢字				
41	帰化者妻母氏名		漢字				
42	帰化者妻母の本･国籍		漢字				
43	帰化者妻父母との続柄コード		数字	31(長女)～49(十九女)であること			
44	帰化者妻住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
45	帰化者妻住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
46	帰化者妻住所		漢字				
47	帰化者妻世帯主区分		数字	(1:世帯主,2:世帯員)であること			
48	帰化者妻 世帯主との続柄コード		数字				
49	帰化者妻世帯主名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(5/8)	帰化(その3)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
50	戸籍変動区分	○	数字	(1:帰化者だけで新戸籍編製 2:(養)父・母の戸籍に入籍 3:(養)父・母で新戸籍編製 4:日本人配偶者の戸籍に入籍 5:日本人配偶者で新戸籍編製 6:夫の氏の新戸籍編製 7:妻の氏の新戸籍編製)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
51	届後本籍	○	漢字				
52	届後戸籍の筆頭者	○	漢字				
53	帰化記録者資格1		数字	(001:父,010:養父,011:養母)であること			
54	帰化記録者資格2		数字	(001:父,010:養父,011:養母)であること			
55	養/父母カナ氏名		カナ				
56	養/父母漢字氏名		漢字				
57	養/父母本籍		漢字				
58	養/父母筆頭者		漢字				
59	養/父母父氏名		漢字				
60	養/父母母氏名		漢字				
61	養/父母父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
62	養/父母生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
63	養/父母住所		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(6/8)	帰化(その4)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
64	連署人筆頭者区分		数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
65	連署人配偶者区分		漢字	(1:夫,2:妻)であること			
66	連署人カナ氏名		カナ				
67	連署人漢字氏名		漢字				
68	連署人本籍		漢字				
69	連署人筆頭者		漢字				
70	連署人父氏名		漢字				
71	連署人母氏名		漢字				
72	連署人父母との続柄コード		数字	10(男)～49(十九女)であること			
73	連署人生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
74	連署人住所		漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	10/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック(7/8)	帰化(その5) 1/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
75	同時帰化者nカナ氏名		カナ		項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
76	同時帰化者n漢字氏名		漢字				
77	同時帰化者n従前氏名		漢字				
78	同時帰化者n従前国籍		漢字				
79	同時帰化者n生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
80	同時帰化者n父氏名		漢字				
81	同時帰化者n父の本･国籍		漢字				
82	同時帰化者n母氏名		漢字				
83	同時帰化者n母の本･国籍		漢字				
84	同時帰化者n父母との続柄コード		数字	11(長男)～29(十九男)または 31(長女)～49(十九女)であること			
85	同時帰化者n住民日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
86	同時帰化者n住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
87	同時帰化者n住所		漢字				
88	同時帰化者n世帯主区分		数字	(1:世帯主,2:世帯員)であること			
89	同時帰化者n 世帯主との続柄コード		数字				
90	同時帰化者n世帯主名		漢字				
91	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1		数字	(016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 110:未成年後見人, 001:父,002:母, 010:養父,011:養母)であること			
92	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2		数字	(016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母, 110:未成年後見人, 001:父,002:母 010:養父,011:養母)であること			
93	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1		漢字				
94	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/36

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック(8/8)	帰化(その5)　2/2		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
95	同時帰化者n帰化記録者資格1		数字	(001:父,010:養父,011:養母)であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		
96	同時帰化者n帰化記録者資格1		数字	(001:父,010:養父,011:養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(1/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)送付日 ＝ スペースのとき(No.6)発送元 ＝ スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)送付日 ≠ スペースのとき(No.6)発送元 ≠ スペース　であること			
3	(No.5)送付日 ≠ スペースのとき(No.5)送付日 ≧ (No.4)受領日　であること			
4	(No.5)送付日 ＝ スペースのとき(No.7)在外送付区分 ＝ 0(受理分)　であること			
5	(No.6)発送元 ≠ スペースのとき(No.7)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)　であること			
6	(No.6)発送元 ≠ スペースかつ(No.6)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』のとき (No.7)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)　であること			
7	(No.6)発送元 ≠ スペースかつ(No.6)発送元の最終文字が『市』『区』『町』『村』『長』以外のとき (No.7)在外送付区分 ＝ 2(在外公館からの直接送付)　または (No.7)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)　であること			
8	(No.9)処理日 ≠ スペースのとき(No.9)処理日 ＞ (No.4)受領日　であること			
9	(No.11)郵送日 ≠ スペースのとき(No.5)送付日 ＝ スペース　であること			
10	(No.11)郵送日 ≠ スペースのとき(No.11)郵送日≦(No.4)受領日　であること			
11	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)のとき, (No.34)帰化者妻のカナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
12	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)のとき, (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
13	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)のとき,(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 0(未)　であること			
14	(No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)のとき, (No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)　または 2((養)父･母の戸籍に入籍)　または 3((養)父･母で新戸籍編製)　であること			
15	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)のとき, (No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
16	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)のとき, (No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　のいずれかに入力があること			
17	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)のとき, (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　または　2(妻)　であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(2/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
18	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)　かつ (No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき 　(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻)　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
19	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)　かつ (No.7)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき 　(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫)　であること			
20	(No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)のとき, 　(No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)　または 　6(夫の氏の新戸籍編製)　または 　7(妻の氏の新戸籍編製)　であること			
21	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)のとき 　(No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　がスペースであること			
22	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)のとき 　(No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
23	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)のとき 　(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　または　2(妻)　であること			
24	(No.1)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)のとき 　(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)　であること			
25	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき, 　(No.34)帰化者妻カナ氏名～(No.49)帰化者妻世帯主名　のいずれかに入力があること			
26	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき, 　(No.64)連署人筆頭者区分～(No.74)連署人住所　がスペースであること			
27	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき,(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)　であること			
28	(No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき, 　(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)　または 　7(妻の氏の新戸籍編製)　であること			
29	(No.2)同時帰化者 ＝ 0のとき 　(No.75)同時帰化者nカナ氏名～ 　(No.96)同時帰化者n帰化記録者資格2　がスペースであること			
30	(No.2)同時帰化者 ＞ 0のとき 　(No.75)同時帰化者nカナ氏名～ 　(No.96)同時帰化者n帰化記録者資格2　のいずれかに入力があること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	14/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(3/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
31	(No.2)同時帰化者>0のとき (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍) または 4(日本人配偶者の戸籍に入籍) であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		10版にて追加
32	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳未満のとき (No.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化) かつ (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
33	(No.16)帰化者生年月日から年齢が15歳以上のとき (No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース であること			
34	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男) であること			
35	(No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき (No.23)帰化者父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女) であること			
36	(No.19)帰化者父氏名 ＝ スペースのとき(No.20)帰化者父の本･国籍 ＝ スペース であること			
37	(No.19)帰化者父氏名 ≠ スペースのとき(No.20)帰化者父の本･国籍 ≠ スペース であること			
38	(No.21)帰化者母氏名 ＝ スペースのとき(No.22)帰化者母の本･国籍 ＝ スペース であること			
39	(No.21)帰化者母氏名 ≠ スペースのとき(No.22)帰化者母の本･国籍 ≠ スペース であること			
40				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
41				
42	(No.27)帰化者世帯主区分 ＝ 1(世帯主)のとき (No.29)帰化者の世帯主名 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名 であること			
43	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ スペースのとき (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース かつ (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			
44	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ≠ スペースのとき (No.32)帰化者15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース であること			
45	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペースのとき (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	15/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
45-1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)のとき、(No.32)届出人資格氏名1 ≠ ｽﾍﾟｰｽ かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ ｽﾍﾟｰｽ かつ (No.33)届出人資格氏名2 ＝ ｽﾍﾟｰｽ であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
46	(No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ≠ スペースのとき, (No.33)帰化者15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペース であること			
47	(No.34)帰化者妻カナ氏名 ≠ スペースのとき, (No.35)帰化者妻漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.36)帰化者妻従前氏名 ≠ スペース かつ (No.37)帰化者妻従前国籍 ≠ スペース かつ (No.38)帰化者妻生年月日 ≠ スペース かつ (No.43)帰化者妻父母との続柄コード ≠ スペース であること			
48	(No.39)帰化者妻父氏名 ＝ スペースのとき,(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ＝ スペース であること			
49	(No.39)帰化者妻父氏名 ≠ スペースのとき,(No.40)帰化者妻父の本･国籍 ≠ スペース であること			
50	(No.41)帰化者妻母氏名 ＝ スペースのとき,(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ＝ スペース であること			
51	(No.41)帰化者妻母氏名 ≠ スペースのとき,(No.42)帰化者妻母の本･国籍 ≠ スペース であること			
52				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
53				
54	(No.47)帰化者妻世帯主区分 ＝ 1(世帯主)のとき, (No.52)帰化者妻世帯主名 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名 であること			
55	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)のとき, (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名 であること			
56				
56-1	(No.53)帰化記録者資格1 ≠ スペースのとき, (No.50)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍) または 3((養)父･母で新戸籍編製) であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	16/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(4-1/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
56-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)のとき, (No.13)帰化者漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後本籍の筆頭者の氏 であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
56-3	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)～6(夫の氏の新戸籍編製)のとき, (No.35)帰化者妻漢字氏名の氏 ＝ (No.52)届後本籍の筆頭者の氏 であること			
56-4	(No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース のとき (No.76)同時帰化者n漢字氏名 ＝ (No.52)届後本籍の筆頭者の氏 であること			
57	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)のとき, (No.55)養/父母カナ氏名 ≠ スペース かつ (No.56)養/父母漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.57)養/父母本籍 ≠ スペース かつ (No.58)養/父母筆頭者 ≠ スペース かつ (No.61)養/父母父母との続柄コード ≠ スペース かつ (No.62)養/父母生年月日 ≠ スペース であること			
57-1	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)のとき, (No.53)帰化記録者資格1 ＝ スペース または 011(養母)であれば, (養)父･母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女) であること			
57-2	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)のとき, (No.53)帰化記録者資格1 ＝ 001(父) または 010(養父)であれば, (養)父･母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男) であること			

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(5/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
58	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 4(日本人配偶者の戸籍に入籍)のとき (No.61)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者) かつ (No.51)届後本籍 ＝ (No.68)連署人本籍 かつ (No.52)届後戸籍の筆頭 ＝ (No.67)連署人漢字氏名 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
59				
60	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))のとき (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名 であること			
61	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名 であること			
62	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製) かつ (No.1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方(日本人配偶者有))のとき (No.17)帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.13)帰化者漢字氏名 であること			
63	(No.50)戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製) かつ (No.1)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)のとき (No.52)届後戸籍の筆頭者 ＝ (No.35)帰化者妻漢字氏名 であること			
64	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 3((養)父･母で新戸籍編製)のとき (No.55)養/父母カナ氏名～(No.63)養/父母住所 がスペースであること			
65	(No.50)戸籍変動区分 ≠ 2((養)父･母の戸籍に入籍) かつ 3((養)父･母で新戸籍編製)のとき (No.53)帰化記録者資格1～(No.54)帰化記録者資格2 がスペースであること			
66	~~(No.51)届後本籍 ＝ 管内本籍のとき(No.10)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)であること~~			審査(37)に移行
67	~~(No.51)届後本籍 ＝ 管内本籍のとき(No.10)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)であること~~			審査(37)に移行
68	(No.64)連署人筆頭者区分 ＝ 1(筆頭者)のとき (No.67)連署人漢字氏名 ＝ (No.69)連署人筆頭者であること			
69				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
70	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ (No.70)連署人父氏名 ≠ スペース かつ (No.71)連署人母氏名 ≠ スペース のとき (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 10(男)～29(十九男)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	18/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(6/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
71		「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
72	(No.65)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ (No.70)連署人父氏名 ≠ スペース または (No.71)連署人母氏名 ≠ スペース のとき (No.72)連署人父母との続柄コード ＝ 30(女)～49(十九女)であること			
73	(No.2)同時帰化者数>0のとき (No.75)同時帰化者nカナ氏名 ≠ スペース かつ (No.76)同時帰化者n漢字氏名 ≠ スペース かつ (No.77)同時帰化者n従前氏名 ≠ スペース かつ (No.78)同時帰化者n従前国籍 ≠ スペース かつ (No.79)同時帰化者n生年月日 ≠ スペース かつ (No.84)同時帰化者n父母との続柄コード ≠ スペース であること			
74	(No.16)帰化者生年月日 ≦ (No.79)同時帰化者n生年月日 であること			同時帰化者は年少者
75	(No.2)同時帰化者数 > 1のとき (No.79)同時帰化者n生年月日 ≧ 同時帰化者(n-1)生年月日であること			同時帰化者は戸籍に記録される順番に入力する(年長順)
76	(No.79)同時帰化者n生年月日 から 同時帰化者nの年齢が15歳未満のとき (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース であること			
77	(No.79)同時帰化者n生年月日 から 同時帰化者nの年齢が15歳未満のとき (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース であること			
78	(No.80)同時帰化者n父氏名 ＝ スペース のとき (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ＝ スペース であること			
79	(No.80)同時帰化者n父氏名 ≠ スペース のとき (No.81)同時帰化者nの父の本･国籍 ≠ スペース であること			
80	(No.82)同時帰化者n母氏名 ＝ スペース のとき (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ＝ スペース であること			
81	(No.82)同時帰化者n母氏名 ≠ スペース のとき (No.83)同時帰化者nの母の本･国籍 ≠ スペース であること			
82				8.3版 続柄の記載更正(申出)により削除
83				

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	19/36

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表(7/7)	帰化(帰化種別入力)～帰化(その5)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
84	(No.88)同時帰化者n世帯主区分 ＝ 1(世帯主) のとき, (No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ (No.76)同時帰化者n漢字氏名 であること	関連エラーがあります。正しく入力して下さい。		
85	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ スペース のとき, (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ＝ スペース かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			
86	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ≠ スペース のとき, (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース であること			
86-1	(No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人) のとき, (No.93)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1 ≠ スペース かつ (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース かつ (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			
87	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース のとき, (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ＝ スペース であること			
88	(No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 ≠ スペース のとき, (No.94)同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2 ≠ スペース であること			
89				
90	(No.95)同時帰化者n帰化記録者資格1 ＝ スペース のとき, (No.96)同時帰化者n帰化記録者資格2 ＝ スペース であること			
91	(No.26)帰化者住所 ＝ スペース のとき,(No.29)帰化者の世帯主名 ＝ スペース であること			
92	(No.29)帰化者の世帯主名 ≠ スペース のとき,(No.26)帰化者住所 ≠ スペース であること			
93	(No.46)帰化者妻住所 ＝ スペース のとき,(No.49)帰化者妻世帯主名 ＝ スペース であること			
94	(No.49)帰化者妻世帯主名 ≠ スペース のとき,(No.26)帰化者妻住所 ≠ スペース であること			
95	(No.87)同時帰化者n住所 ＝ スペース のとき,(No.90)同時帰化者n世帯主名 ＝ スペース であること			
96	(No.90)同時帰化者n世帯主名 ≠ スペース のとき,(No.87)同時帰化者n住所 ≠ スペース であること			

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	20/36

処理名	画面名	画面ID	
2.1表示設定(1/2)	帰化(その1画面,その4画面)		

No	内容	備考
1	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ スペース の場合, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『父』と表示する	同様資格2がスペースの場合は,資格1のコード内容をそのまま表示 017(親権者母)以降省略 (No.91)同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 と (No.92)同時帰化者n15歳未満の届出人資格2 による 同時帰化者m15歳未満の届出人資格名称 も 左記と同じ変換･表示を行う
2	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
3	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者父及び親権者養母』と表示する	同上
4	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者父及び母』と表示する	同上
5	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 016(親権者父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者父及び養母』と表示する	同上
6	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者養父及び親権者母』と表示する	同上
7	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者養父母』と表示する	同上
8	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者養父及び母』と表示する	同上
9	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 019(親権者養父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『親権者養父及び養母』と表示する	同上
10	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『父及び親権者母』と表示する	同上
11	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父) かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母) のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『父及び親権者養母』と表示する	同上

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	21/36

処理名	画面名	画面ID	
2.1表示設定(1/2)	帰化(その1画面,その4画面)		

No	内容	備考
12	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『父母』と表示する	資格1と資格2のコードが反対でも表示内容は同じ
13	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 001(父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『父及び養母』と表示する	同上
14	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 017(親権者母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『養父及び親権者母』と表示する	同上
15	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『養父及び親権者養母』と表示する	同上
16	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 002(母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『養父及び母』と表示する	同上
17	(No.30)帰化者15歳未満の届出人資格1 ＝ 010(養父)　かつ (No.31)帰化者15歳未満の届出人資格2 ＝ 011(養母)　のとき, 帰化者15歳未満の届出人資格名称は『養父母』と表示する	同上

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	22/36

処理名		3.0審査(1/3)			備考
(0.001)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0.002)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示		/		
	YES	(0.003)→(0.006-1)へ	/		
	NO	→		(0.004)本紙へ	
NO	(0.005)→(0.006-1)へ		/		
(0.006-1)(帰化者の漢字氏名≠未入力 かつ 帰化者の漢字氏名の名が未入力) または (夫の漢字氏名≠未入力 かつ 夫の漢字氏名の名が未入力) または (妻の漢字氏名≠未入力 かつ 妻の漢字氏名の名が未入力) または (養父の漢字氏名≠未入力 かつ 養父の漢字氏名の名が未入力) または (養母の漢字氏名≠未入力 かつ 養母の漢字氏名の名が未入力) または (連署人の漢字氏名≠未入力 かつ 連署人の漢字氏名の名が未入力) または (同時帰化者nの漢字氏名≠未入力 かつ 同時帰化者nの漢字氏名の名が未入力) (YES,NO)			/		R2.1(帰化-53)
YES	(0.006-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」 を表示		/	(0.006-3)本紙へ	R2.1(帰化-53)
	YES	(0.006-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0.006-6)本紙へ	不受理,R2.1(帰化-53)
	NO	(0.006-5)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(帰化-53)
NO	(0.006-7)→(0.01)へ		/		R2.1(帰化-53)
(0.01)受領日 < 公示年月日 + 1 箇月(YES,NO)			/		戸102の2
YES	(0.02)→(0.1)へ		/		
NO	(0.03)確認メッセージ(YES,NO) 「告知日から1箇月を経過していますが、交付日から1箇月は経過していませんね?」を		/		
	YES	(0.04)→(0.1)へ	/		
	NO	→		(0.05)本紙へ	不受理
(0.1)帰化種別 ＝ 1(単身者の帰化)である(YES,NO)			/		
YES	(0.2)戸籍変動区分 ＝ 1(帰化者だけで新戸籍編製)である(YES,NO)		/		
	YES	(0.3)同時帰化者数 > 0(同時に帰化する者がいる)である(YES,NO)	/		
		YES (0.4)確認メッセージ「同時に帰化する者は帰化者と(養)親子関係にありますね?」を表示する(YES,NO)		(0.5)本紙へ	
		YES (0.6)→(25.1)へ	/		
		NO →		(0.7)本紙へ	不受理
		NO (0.8)→(25.1)へ	/		
	NO	(0.9)→(25.1)へ	/		

NO	(0.10)→(1)へ		/		
(1)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES,NO)			/		
YES	(2)連署人筆頭者区分 ＝ 0(構成員)である(YES,NO)		/		
	YES	(3)エラーメッセージ 「連署人が構成員なら審査結果入力で処理して下さい。」を表示する		(4)本紙へ	連署人は外国人と婚姻中であるので筆頭者のはずであるが,改正国籍法前の婚姻であれば父母の戸籍にいる可能性もある
	NO	(5)→(25.1)へ	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	23/36

処理名	3.0 審査(1/3)	備考

(6)確認メッセージ 「連署人は帰化者と婚姻していますね。」を表示する(YES,NO)				(7)本紙へ	
YES	(8)→(25.1)へ		/		
NO	(9)エラーメッセージ 「帰化種別か連署人指定に間違いがあります。」を表示する			(10)本紙へ	
(10.1-1)連署人配偶者区分 ＝ 1(夫) かつ 連署人父氏名 ＝ スペース 又は 連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
YES	(10.1-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
	YES	(10.1-3)→(25.1)	/		
	NO	(10.1-4)		(10.1-5)本紙へ	不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	24/36

処理名						備考
		3.0 審査(2/3)				
	NO	(10.1-6)連署人父母との続柄 ＝ 10(男)である(YES,NO)		/		
		YES (10.1-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		/		
			YES (10.1-8)→(25.1)	/		
			NO (10.1-9)		(10.1-10)本紙へ	不受理
		NO (10.1-11)→(25.1)		/		
	(10.2-1)連署人配偶者区分 ＝ 2(妻) かつ 連署人父氏名 ＝ スペース 又は 連署人母氏名 ＝ スペース(YES,NO)			/		
	YES	(10.2-2)確認メッセージ(YES,NO) 「父又は母の氏名が空欄ですが、父母との続柄に間違いはありませんね?」		/		
		YES (10.2-3)→(25.1)		/		
		NO (10.2-4)			(10.2-5)本紙へ	不受理
	NO	(10.2-6)連署人父母との続柄 ＝ 30(女)である(YES,NO)		/		
		YES (10.2-7)確認メッセージ(YES,NO) 「父母氏名双方に入力があります。父母との続柄が男又は女ですが間違いはありませんね?」		/		
			YES (10.2-8)→(25.1)	/		
			NO (10.2-9)		(10.2-10)本紙へ	不受理
		NO (10.2-11)→(25.1)		/		
NO	(11)→(12)へ			/		
(12)帰化種別 ＝ 3(夫婦の片方:日本人配偶者無)である(YES,NO)				/		
YES	(13)確認メッセージ 「帰化者の配偶者は同時に帰化していませんね。」を表示する(YES,NO)				(14)本紙へ	
	YES	(15)→(25.1)		/		
	NO	(16)エラーメッセージ 「夫婦の帰化を選択して下さい。」を表示する			(17)本紙へ	
(19)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES,NO)				/		
YES	(20)確認メッセージ 「帰化者同士婚姻してますね。」を表示する(YES,NO)				(21)本紙へ	
	YES	(22)→(25.1)		/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	25/36

処理名	3.0 審査(3/3)			備考
	NO	(23)エラーメッセージ 「帰化種別が間違っています。」を表示する	(24)本紙へ	
NO	(25)→(25.1)へ			
(25.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父母の戸籍に入る)である(YES,NO)		/		
YES	(26)帰化記録者資格1 ＝ 001(父) または 帰化記録者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)	/		
	YES	(27)確認メッセージ 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する(YES,NO)	(28)本紙へ	
		YES (29)→(32)へ	/	
		NO (29.1)エラーメッセージ 「帰化記録者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する	(30)本紙へ	
	NO	(31)→(32)へ	/	
	(32)同時帰化者n帰化記録者資格1 ＝ 001(父) または 同時帰化者n帰化記録者資格2 ＝ 001(父)である(YES,NO)		/	
	YES	(33)確認メッセージ 「父は帰化者を認知していますね。」を表示する(YES,NO)」	(34)本紙へ	
		YES (34.0)→(37)へ		~~審査終了~~
		NO (34.1)エラーメッセージ 「帰化記録者資格に父を入力する必要はありません。」を表示する		
	NO	(35)→(37)へ		~~審査終了~~
NO	(36)→(37)へ			~~審査終了~~
(37)届後本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)			/	
YES	(38)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/	
	YES	→		~~審査終了~~
	NO	(39)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する	(40)本紙へ	
NO	(41)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES,NO)		/	
	YES	(42)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製) かつ (養)父/母本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)	/	
		YES (43)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)	/	
		YES →		~~審査終了~~
		NO (44)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する	(45)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	26/36

処理名	3.0 審査(3/3)	備考

NO	YES	NO	(46)→(47)へ			
		(47)(戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) または 7(妻の氏の新戸籍編製)) かつ 帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有) かつ 連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES,NO)		/		
		YES	(48)本非区分 ＝ 1(本籍分届出)である(YES,NO)		/		
			YES	→			審査終了
			NO	(49)エラーメッセージ 「本非区分は1(本籍)でなければなりません」を表示する		(50)本紙へ	
		NO		(51)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)	/		
			YES	→			審査終了
			NO	(52)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する		(53)本紙へ	
	NO			(54)本非区分 ＝ 2(非本籍分届出)である(YES,NO)	/		
		YES	→				審査終了
		NO	(55)エラーメッセージ 「本非区分は2(非本籍)でなければなりません」を表示する			(56)本紙へ	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	27/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　1/10	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		帰化画面	受領番号				受領番号が取得済みの場合に設定
	選択事件コード							24(帰化届)
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							在外送付区分 ＝ 0のとき1(受理) 在外送付区分 ≠ 0のとき2(送付)
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分							0(不要)
	届区分							2(報告)
	渉外区分							0を設定
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							連署人本籍が管内本籍のとき,その戸籍番号を設定 養/父母本籍が管内本籍のとき,その戸籍番号を設定
	事件別内容							3/10～10/10参照
	不受理申出処分区分							
	処分区分							審査の結果により、1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする (審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　2/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	決裁区分		帰化画面					何も設定されていない場合に0:未決裁を設定
	届書排他区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	29/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　3/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別		帰化(帰化種別入力) 画面	帰化種別				
	同時帰化者数			同時帰化者数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　4/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者カナ氏名		帰化(その1)画面	帰化者カナ氏名				
	帰化者漢字氏名			帰化者漢字氏名				
	帰化者従前氏名			帰化者従前氏名				
	帰化者従前国籍			帰化者従前国籍				
	帰化者生年月日			帰化者生年月日				
	帰化者配偶者区分			帰化者配偶者区分				
	公示年月日			公示年月日				
	帰化者父氏名			帰化者父氏名				
	帰化者父本籍コード			帰化者父本･国籍		有		
	帰化者父本･国籍							
	帰化者母氏名			帰化者母氏名				
	帰化者母本籍コード			帰化者母本･国籍		有		
	帰化者母本･国籍							
	帰化者父母との続柄コード			帰化者父母との続柄コード				
	帰化者住民日			帰化者住民日				
	帰化者住定日			帰化者住定日				
	帰化者住所コード			帰化者住所		有		
	帰化者住所							
	帰化者世帯主区分			帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主名			帰化者世帯主名				
	帰化者15歳未満の届出人資格1			帰化者15歳未満の届出人資格1				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	31/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力　5/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者15歳未満の届出人資格2		帰化(その1)画面	帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　6/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者妻カナ氏名		帰化(その2)画面	帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				
	帰化者妻父の本籍コード			帰化者妻父の本･国籍		有		
	帰化者妻父の本･国籍							
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本籍コード			帰化者妻母の本･国籍		有		
	帰化者妻母の本･国籍							
	帰化者妻父母との続柄コード			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所コード			帰化者妻住所		有		
	帰化者妻住所							
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				
	帰化者妻世帯主との続柄コード			帰化者妻世帯主との続柄コード				
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	33/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　7/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	戸籍変動区分		帰化(その3)画面	戸籍変動区分				
	届後本籍コード			届後本籍		有		
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	帰化記録者資格1			帰化記録者資格1				
	帰化記録者資格2			帰化記録者資格2				
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名				
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名				
	養/父母本籍コード			養/父母本籍		有		
	養/父母本籍							
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者				
	養/父母父氏名			養/父母父氏名				
	養/父母母氏名			養/父母母氏名				
	養/父母父母との続柄コード			養/父母父母との続柄コード				
	養/父母生年月日			養/父母生年月日				
	養/父母住所コード			養/父母住所		有		
	養/父母住所							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集・出力　8/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	連署人筆頭者区分		帰化(その4)画面	連署人筆頭者区分				
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分				
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名				
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名				
	連署人本籍コード			連署人本籍		有		
	連署人本籍							
	連署人筆頭者			連署人筆頭者				
	連署人父氏名			連署人父氏名				
	連署人母氏名			連署人母氏名		有		
	連署人父母との続柄コード			連署人父母との続柄コード				
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所コード			連署人住所		有		
	連署人住所							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	35/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力　9/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	同時帰化者n カナ氏名		帰化(その5)画面 (1/2)	同時帰化者n カナ氏名				
	同時帰化者n 漢字氏名			同時帰化者n 漢字氏名				
	同時帰化者n 従前氏名			同時帰化者n 従前氏名				
	同時帰化者n 従前国籍			同時帰化者n 従前国籍				
	同時帰化者n 生年月日			同時帰化者n 生年月日				
	同時帰化者n 父氏名			同時帰化者n 父氏名				
	同時帰化者n 父の本籍コード			同時帰化者n 父の本･国籍		有		
	同時帰化者n 父の本･国籍							
	同時帰化者n 母氏名			同時帰化者n 母氏名				
	同時帰化者n 母の本籍コード			同時帰化者n 母の本･国籍		有		
	同時帰化者n 母の本･国籍							
	同時帰化者n 父母との続柄コード			同時帰化者n 父母との続柄コード				
	同時帰化者n 住民日			同時帰化者n 住民日				

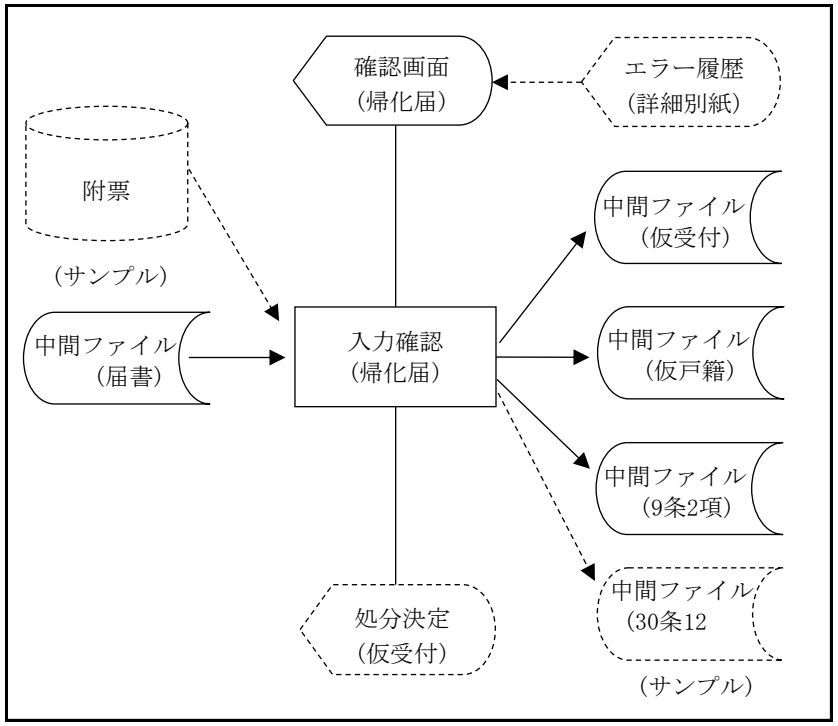
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	36/36

処理名	4.0中間ファイル(届書)編集･出力 10/10	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(帰化届)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	同時帰化者n 住定日		帰化(その5)画面	同時帰化者n 住定日				
	同時帰化者n 住所コード			同時帰化者n住所		有		
	同時帰化者n 住所							
	同時帰化者n 世帯主区分			同時帰化者n 世帯主区分				
	同時帰化者n世帯主 との続柄コード			同時帰化者n世帯主 との続柄コード				
	同時帰化者n 世帯主名			同時帰化者n世帯主 名				
	同時帰化者n15歳未 満の届出人資格1			同時帰化者n15歳未 満の届出人資格1				
	同時帰化者n15歳未 満の届出人資格2			同時帰化者n15歳未 満の届出人資格2				
	同時帰化者n15歳未 満の届出人氏名1			同時帰化者n15歳未 満の届出人氏名1				
	同時帰化者n15歳未 満の届出人氏名2			同時帰化者n15歳未 満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記録者資格1			同時帰化者n 帰化記録者資格1				
	同時帰化者n 帰化記録者資格2			同時帰化者n 帰化記録者資格2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成25年 3月 1日	16	1/58

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
附票データベース	入力(サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ﾌｧｲﾙ(30条12第1項)	出力(サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集、出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集、出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集、出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集、出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
    - 3.1 帰化(3.2の条件以外)
    - 3.2 その他(除籍配偶者(送付･除籍のみ)) または (除籍(養)父母(送付･除籍のみ))
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍特定])
    - 4.1 戸籍特定(新戸籍編製) ※ひな型A.1に対応
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 5.1 個人特定 ※ひな型C.1に対応
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 帰化者
    - 6.2 帰化者の日本人配偶者(入籍)
    - 6.3 帰化者の日本人配偶者(除籍)
    - 6.4 帰化者の日本人配偶者(記録)
    - 6.5 帰化者の父または母(入籍)
    - 6.6 帰化者の養父または養母(入籍)
    - 6.7 帰化者の父または母(除籍)
    - 6.8 帰化者の養父または養母(除籍)
    - 6.9 帰化者の父(記録)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 帰化者
    - 7.2 帰化者の日本人配偶者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項)……(サンプル提示)
    - 8.1 帰化者
    - 8.2 帰化者の日本人配偶者
    - 8.3 帰化者の(養)父母

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12	2/58

処理名	0.0 本紙 1/5	備考

(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、
メッセージを表示する「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」 [1.0] /

(2)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF5, PF7, PF8, PF11, その他) /

実行キー

(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0] /

(4)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO) /

YES (5)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO) /

YES (6)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO) /

YES (7)養/父母本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO) /

YES (8)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.2] ※2 /

NO → (18) へ /

NO

NO

NO (10)→(18)へ /

(18)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) または
7(妻の氏の新戸籍編製) である(YES, NO) /

YES (19)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO) /

YES (20)在外送付区分 ≠ 0(受理分以外)である(YES, NO) /

YES (21)届後本籍 ＝ 管外本籍である(YES, NO) /

YES (22)連署人本籍 ＝ 管内本籍である(YES, NO) /

YES (23)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.2] ※2 /

NO (24)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.1] /

NO

NO

NO

(25)本非区分 ＝ 1(本籍分届)である(YES, NO) /

※1
受付ファイルは帰化者だけに作成する

作成順序は

･夫婦の帰化の場合
①帰化後筆頭者になる者
②帰化後の筆頭者の配偶者
③同時に処理した帰化者
(年上順:チェックにより入力順で構わない)

･夫婦の帰化以外の場合
①主たる帰化者(その1画面入力者)
②同時に処理した帰化者

※2
連署人に入力があり,連署人が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 6, 7の一部)において,連署人の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合,連署人の本籍地へ除籍の届出書送付があったときに限り,連署人を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表)

上記の事例で連署人の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する)

同様,(養)父母が除籍になるケース(戸籍変動区分 ＝ 3)において(養)父･母の本籍地と新戸籍編製地が異なる場合,(養)父･母の本籍地へ除籍の届書送付があったときに限り,(養)父･母を本籍人として受付ファイルを作成する([3.2]のデータ編集表)

上記の事例で(養)父･母の本籍地へ帰化届出があった場合はこの限りでない(帰化者についてのみ受付ファイルを作成する)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	3/58

処理名	0.0 本紙 2/5		備考
	YES	(26)戸籍変動区分?(1:帰化者で新戸籍編製, 2:(養)父・母の戸籍に入籍, 3:(養)父・母で新戸籍編製, 4:日本人配偶者の戸籍に入籍, 6:夫の氏の新戸籍編製, 7:妻の氏の新戸籍編製) /	
	1	(27)戸籍特定を編集・出力する [4.1] /	
		(28)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1] /	
		(29)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1] /	
	2	(30)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1] /	
		(31)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1] /	
		(32)帰化者記録者資格1 または 2?(001:父,010:養父,011:養母) /	
		001 (33)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.9] /	配偶者区分 = 夫に記録,いなければ筆頭者に記録する
		010 (34)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10] /	
		011 (35)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集・出力する [6.10] /	配偶者区分 = 妻に記録,いなければ筆頭者に記録する
	3	(36)戸籍特定を編集・出力する [4.1] /	
		(37)帰化者の(養)父母の個人特定を編集・出力する [5.1] /	
		(37.1)帰化記録者資格1 = 001(父) または スペース(母)である(YES, NO) /	
		YES (38)帰化者の父または母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.5] /	
		NO (38.1)帰化者の養父または養母(入籍)の身分事項を編集・出力する [6.6] /	
		(39)帰化者の個人特定を編集・出力する [5.1] /	
		(40)帰化者の身分事項を編集・出力する [6.1] /	
		(41)養父母本籍 = 管内である(YES, NO) /	
		YES (41.1)帰化記録者資格1 = 001(父) または スペース(母)である(YES, NO) /	
		YES (42)帰化者の父または母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.7] /	
		NO (42.1)帰化者の養父または養母(除籍)の身分事項を編集・出力する [6.8] /	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/58

処理名	0.0 本紙 3/5		備考
	NO (42.2)→(75)へ	/	
4	(43)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(44)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
	(45)連署人の身分事項(記録)を編集･出力する [6.4]	/	
6	(53)戸籍特定を編集･出力する [4.1]	/	
	(54)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(55)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
	(56)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)	/	
	YES (57)連署人の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(58)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]	/	
	(59)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/	
	YES (60)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/	
	NO (60.1)→(75)へ	/	
	NO (61)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(62)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
7	(63)戸籍特定を編集･出力する [4.1]	/	
	(64)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)	/	
	YES (65)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(66)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
	(67)連署人の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(68)連署人の身分事項(入籍)を編集･出力する [6.2]	/	
	(69)連署人本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/	
	YES (70)連署人の身分事項(除籍)を編集･出力する [6.3]	/	
	NO (70.1)→(75)へ	/	
	NO (71)帰化者妻の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(72)帰化者妻の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
	(73)帰化者の個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(74)帰化者の身分事項を編集･出力する [6.1]	/	

処理名	0.0 本紙 4/5		備考
	(75)同時帰化者数 > 0である(YES, NO)	/	
	YES (76)同時帰化者の数だけ(77)～(82)の処理を繰り返す	/	
	(77)同時帰化者nの個人特定を編集･出力する [5.1]	/	
	(78)同時帰化者nの身分事項を編集･出力する [6.1]	/	
	(78.1)戸籍変動区分 ＝ 2((養)父･母の戸籍に入籍)?(YES, NO)	/	
	YES 同時帰化者n帰化記録者資格1 または 2?(001:父,010:養父,011:養母)	/	
	001 (80)帰化者の父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.9]	/	配偶者区分 ＝ 夫に記録,いなければ筆頭者に記録する
	010 (81)帰化者の養父の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/	配偶者区分 ＝ 夫に記録,いなければ筆頭者に記録する
	011 (82)帰化者の養母の身分事項に子の帰化を編集･出力する [6.10]	/	配偶者区分 ＝ 妻に記録,いなければ筆頭者に記録する
	NO (82.1)→(83)へ	/	
	(83)→(85)へ	/	
	NO ~~(84)→(85)へ~~ (削除)	/	
	(84.1)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父母で新戸籍編製)である(YES, NO)	/	
	YES (84.2)在外送付区分 ≠ 0(受理以外)である	/	
	YES (84.3)養/父母本籍 ＝ 管内である(YES, NO)	/	
	YES (84.4)帰化記録者資格1 ＝ 001(父) または スペース(母)である	/	受53,帰化11の対応
	YES (84.5)帰化者の父または母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.7]	/	
	NO (84.6)帰化者の養父または養母(除籍)の身分事項を編集･出力する [6.8]	/	
	(85)在外送付区分 ＝ 0:受理分または2:在外公館の直接送付である(YES, NO)	/	
	YES (86)帰化者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]	/	
	(87)戸籍変動区分 ＝ 3((養)父･母で新戸籍編製)である(YES, NO)	/	
	YES (88)(養)父母について中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)編集･出力する [7.3]	/	
	NO (89)→(101)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	6/58

処理名						0.0 本紙 5/5			備考
					(93)戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製) または 7(妻の氏の新戸籍編製)である(YES, NO)	/		
			YES		(94)帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)である(YES, NO)	/		
				YES	(95)連署人について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.2]	/		
				NO	(96) → (97)	/		
					(97)帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)である(YES, NO)	/		
				YES	(98)帰化者妻について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する	/		
				NO	(99) → (101)へ	/		
			NO		(100) → (101)へ			
					(101)同時帰化者数 > 0である(YES, NO)	/		
			YES		(102)同時帰化者の数だけ,同時帰化者のnについて中間 ファイル(9条2項)を編集･出力する [7.1]	/	(103)処分決定に制御を渡す	
			NO		――→	/		
		NO			――→	/		
PF1		――→					(104)業務選択に制御を渡す	
PF2		――→					(105)届出選択に制御を渡す	
PF5		――→					(106)審査(帰化届)に制御を渡す	
PF7		(107)前ページがある(YES, NO)				/		
		YES	(108)前ページ分の確認画面(帰化)を編集する				(109)同画面を編集する	
		NO	(110)エラーメッセージ「先頭ページです」を表示する					
PF8		(111)次ページがある(YES, NO)				/		
		YES	(112)次ページ分の確認画面(帰化)を編集する				(113)同画面を編集する	
		NO	(114)エラーメッセージ「最終ページです」を表示する					
PF11		――→					(115)ｴﾗｰ履歴表示に制御を渡す	
その他		(116)エラーメッセージ「無効なキーが押下されました」を表示する					(117)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示　1/9	(受取側)帰化画面/帰化種別入力	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化届(帰化種別入力) 確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	帰化種別		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化種別				
	同時帰化者数			同時帰化者数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	8/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示 2/9	(受取側)帰化画面/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化届(その1)～(その4) 確認画面 共通	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	出張所番号		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領番号			受領番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示　3/9	(受取側)帰化画面/その1	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化届(その1) 確認画面	帰化者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者カナ氏名				
	帰化者漢字氏名			帰化者漢字氏名				
	帰化者従前氏名			帰化者従前氏名				
	帰化者従前国籍			帰化者従前国籍				
	帰化者生年月日			帰化者生年月日				
	帰化者配偶者区分			帰化者配偶者区分				
	帰化者配偶者区分名称					有		
	公示年月日			公示年月日				
	帰化者父氏名			帰化者父氏名				
	帰化者父の本･国籍			帰化者父の国籍コード		有		
				帰化者父の本･国籍				
	帰化者母氏名			帰化者母氏名				
	帰化者母の本･国籍			帰化者母の国籍コード		有		
				帰化者母の本･国籍				
	帰化者父母との続柄コード			帰化者父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		
	帰化者住民日			帰化者住民日				
	帰化者住定日			帰化者住定日				
	帰化者住所			帰化者住所コード		有		
				帰化者住所				
	帰化者世帯主区分			帰化者世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄コード			帰化者世帯主との続柄コード				
	帰化者世帯主との続柄名称					有		
	帰化者世帯主名			帰化者世帯主名				
	帰化者15歳未満の届出人資格1			帰化者15歳未満の届出人資格1				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	10/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示 4/9	(受取側)帰化認画面/その1	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化届(その1) 確認画面	帰化者15歳未満の届出人資格2		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者15歳未満の届出人資格2				
	帰化者15歳未満の届出人資格名称			帰化者15歳未満の届出人資格1 + 帰化者15歳未満の届出人資格2				名称変換は,審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	帰化者15歳未満の届出人氏名1			帰化者15歳未満の届出人氏名1				
	帰化者15歳未満の届出人氏名2			帰化者15歳未満の届出人氏名2				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	11/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示 5/9	(受取側)帰化画面/その2	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
帰化(その2) 確認画面	帰化者妻カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	帰化者妻カナ氏名				
	帰化者妻漢字氏名			帰化者妻漢字氏名				
	帰化者妻従前氏名			帰化者妻従前氏名				
	帰化者妻従前国籍			帰化者妻従前国籍				
	帰化者妻生年月日			帰化者妻生年月日				
	帰化者妻父氏名			帰化者妻父氏名				
	帰化者妻父の本･国籍			帰化者妻父の本籍ｺｰﾄﾞ		有		
				帰化者妻父の本･国籍				
	帰化者妻母氏名			帰化者妻母氏名				
	帰化者妻母の本･国籍			帰化者妻母の本籍ｺｰﾄﾞ		有		
				帰化者妻母の本･国籍				
	帰化者妻父母との続柄ｺｰﾄﾞ			帰化者妻父母との続柄コード				
	帰化者父母との続柄名称					有		
	帰化者妻住民日			帰化者妻住民日				
	帰化者妻住定日			帰化者妻住定日				
	帰化者妻住所			帰化者妻住所コード		有		
				帰化者妻住所				
	帰化者妻世帯主区分			帰化者妻世帯主区分				
	帰化者世帯主との続柄ｺｰﾄﾞ			帰化者妻世帯主との続柄コード				
	帰化者妻世帯主との続柄名称					有		
	帰化者妻世帯主名			帰化者妻世帯主名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示　6/9	(受取側)帰化画面/その3	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化(その3) 確認画面	戸籍変動区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	戸籍変動区分				
	届後本籍			届後本籍コード		有		
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	帰化記録者資格1			帰化記録者資格1				
	帰化記録者資格2			帰化記録者資格2				
	養/父母カナ氏名			養/父母カナ氏名				
	養/父母漢字氏名			養/父母漢字氏名				
	養/父母本籍			養/父母本籍コード		有		
				養/父母本籍				
	養/父母筆頭者			養/父母筆頭者				
	養/父母父氏名			養/父母父氏名				
	養/父母母氏名			養/父母母氏名				
	養/父母との続柄コード			養/父母との続柄コード				
	養/父母との続柄名称					有		
	養/父母生年月日			養/父母生年月日				
	養/父母住所			養/父母住所コード		有		
				養/父母住所				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	13/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示 7/9	(受取側)帰化画面/その4	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化(その4) 確認画面	連署人筆頭者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	連署人筆頭者区分				
	達署人筆頭者名称					有		
	連署人配偶者区分			連署人配偶者区分				
	連署人配偶者名称					有		
	連署人カナ氏名			連署人カナ氏名				
	連署人漢字氏名			連署人漢字氏名				
	連署人本籍			連署人本籍コード		有		
				連署人本籍				
	連署人筆頭者			連署人筆頭者				
	連署人父氏名			連署人父氏名				
	連署人母氏名			連署人母氏名				
	連署人父母との続柄ｺｰﾄﾞ			連署人父母との続柄コード				
	連署人父母との続柄名称					有		
	連署人生年月日			連署人生年月日				
	連署人住所			連署人住所コード		有		
				連署人住所				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示　8/9	(受取側)帰化画面/その5(1/2)	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化(その5) 確認画面(1/2)	同時帰化者nカナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	同時帰化者nカナ氏名				
	同時帰化者n漢字氏名			同時帰化者n漢字氏名				
	同時帰化者n従前氏名			同時帰化者n従前氏名				
	同時帰化者n従前国籍			同時帰化者n従前国籍				
	同時帰化者n生年月日			同時帰化者n生年月日				
	同時帰化者n父氏名			同時帰化者n父氏名				
	同時帰化者n 父の本･国籍			同時帰化者n父の本籍ｺｰﾄﾞ		有		
				同時帰化者n父の本･本籍				
	同時帰化者n母氏名			同時帰化者n母氏名				
	同時帰化者n 母の本･国籍			同時帰化者n母の本籍ｺｰﾄﾞ		有		
				同時帰化者n母の本･国籍				
	同時帰化者n父母との続柄コード			同時帰化者n父母との続柄コード				
	同時帰化者n父母との続柄名称					有		
	同時帰化者n住民日			同時帰化者n住民日				
	同時帰化者n住定日			同時帰化者n住定日				
	同時帰化者n住所			同時帰化者n住所ｺｰﾄﾞ		有		
				同時帰化者n住所				
	同時帰化者n世帯主区分			同時帰化者n世帯主区分				
	同時帰化者n世帯主との続柄コード			同時帰化者n世帯主との続柄コード				
	同時帰化者n世帯主との続柄名称					有		
	同時帰化者n世帯主名			同時帰化者n世帯主名				
	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1			同時帰化者n15歳未満の届出人資格1				
	同時帰化者n15歳未満の届出人資格2			同時帰化者n15歳未満の届出人資格2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/58

処理名	1.0入力確認(帰化)表示　9/9	(受取側)帰化画面/その5(2/2)	←(引渡側)中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
帰化(その5) 確認画面(2/2)	同時帰化者n15歳未満の届出人資格名称		中間ファイル(届書) 事件別内容	同時帰化者n15歳未満の届出人資格1 + 同時帰化者n15歳未満の届出人資格2				名称変換は,審査(帰化) 2.1表示設定を参照
	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1			同時帰化者n15歳未満の届出人氏名1				
	同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2			同時帰化者n15歳未満の届出人氏名2				
	同時帰化者n 帰化記録者資格1			同時帰化者n 帰化記録者資格1				
	同時帰化者n 帰化記録者資格2			同時帰化者n 帰化記録者資格2				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	16/58

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (1/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
1	○	×	×	×	×	×	×	○	×							○	×		6.1帰化者				
2	○	×	×	×	×	×	×	○	×							×	○		6.1帰化者(複数)				
3	○	×	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
4	×	○	×	×	×	×	×	○	×							○	×			6.1帰化者			※1
5	×	○	×	×	×	×	×	○	×							×	○			6.1帰化者(複数)			※1
6	×	○	×	×	×	×	×	×	○							-	-						
7	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				○	×		6.1帰化者 6.5父または母 6.6養父または養母		6.7父または母 6.8養父または養母		
8	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				○	×		6.1帰化者 6.5父または母 6.6養父または養母			6.7父または母 6.8養父または養母	
9	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				○	×		6.1帰化者 6.5父または母 6.6養父または養母				

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	17/58

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (2/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
10	×	×	○	×	×	×	×	○	×	○	×	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父または母 6.6養父または養母		6.7父または母 6.8養父または養母		
11	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	○	×				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父または母 6.6養父または養母			6.7父または母 6.8養父または養母	
12	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	×	○				×	○		6.1帰化者(複数) 6.5父または母 6.6養父または養母				
13	×	×	○	×	×	×	×	×	○	○	×	×				−	−				6.7父または母 6.8養父または養母		
14	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	○	×				−	−					6.7父または母 6.8養父または養母	
15	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	○				−	−						
16	×	×	×	○	×	×	×	○	×				−	−	−	○	×			6.1帰化者			6.4日本人配偶者
17	×	×	×	○	×	×	×	○	×				−	−	−	×	○			6.1帰化者(複数)			6.4日本人配偶者 ※1
18	×	×	×	○	×	×	×	×	○				−	−	−	−	−						

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　−:その項目は不要

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	18/58

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (3/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製	一部記録	一部除籍	全部除籍	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有		4.1 B.1 5.1 D.1	5.1 D.1	C.2	A.2 B.2 C.2	
19																							
20																							
21																							
22						削除																	
23																							
24																							
25																							
26																							
27																							

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (4/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
28	×	×	×	×	×	○	×	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
29	×	×	×	×	×	○	×	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(配偶者)				
30	×	×	×	×	×	○	×	×	○							-	-						
31	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		
32	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
33	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
34	×	×	×	×	×	○	×	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1
35	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
36	×	×	×	×	×	○	×	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (5/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
37	×	×	×	×	×	○	×	×	○				○	×	×	-	-				6.3日本人配偶者		
38	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	○	×	-	-					6.3日本人配偶者	
39	×	×	×	×	×	○	×	×	○				×	×	○	-	-						
40	×	×	×	×	×	×	○	○	×							○	×		6.1帰化者(夫婦)				
41	×	×	×	×	×	×	○	○	×							×	○		6.1帰化者(夫婦)(複数)				
42	×	×	×	×	×	×	○	×	○							-	-						
43	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		
44	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	
45	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	○	×		6.1帰化者 6.2日本人配偶者				
46	×	×	×	×	×	×	○	○	×				○	×	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者		6.3日本人配偶者		※1

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

処理名：2.0 戸籍編製マトリックス表 (6/6)

項番	戸籍変動区分							届後戸籍		養/父母の戸籍			連署人の戸籍			同時処理帰化者			新戸籍編製 4.1 B.1 5.1 D.1	一部記録 5.1 D.1	一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	新戸籍を編製する	(養)父・母の戸籍に入籍する	(養)父・母で新戸籍を編製する	日本人配偶者の戸籍に入籍する	日本人配偶者で新戸籍を編製する	夫の氏の新戸籍を編製する	妻の氏の新戸籍を編製する	本籍	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	本籍 他在籍者有	本籍 他在籍者無	非本籍	無	有						
47	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	○	×	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者			6.3日本人配偶者	※1
48	×	×	×	×	×	×	○	○	×				×	×	○	×	○		6.1帰化者(複数) 6.2日本人配偶者				※1
49	×	×	×	×	×	×	○	×	○				○	×	×	-	-				6.3日本人配偶者		
50	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	○	×	-	-					6.3日本人配偶者	
51	×	×	×	×	×	×	○	×	○				×	×	○	-	-						

※1 (養)父母に子の帰化事項の記録する編集表は,本紙を参照のこと([6.9],養父または養母[6.10])

(参考)

(1) ※1で帰化者の帰化事項を記録すべき条件は次のとおり

①帰化者の父:帰化者を認知していること

②帰化者の養父母

・システムでの記録

帰化者が上記①②の戸籍に入籍する場合(①②で新戸籍を編製する場合は(養)子の帰化で除籍となるため,新戸籍には(養)子の帰化事項は記録しない)

帰化者が上記①②の戸籍に入籍しない場合は審査結果入力処理で処理すること

・同時帰化者がいる場合

(養)子の帰化事項を必ず記録する

※ (複数)は同時帰化者数の数だけ記録すること

夫(または妻)の氏の新戸籍編製の場合,帰化種別 ＝ 2(夫婦の片方:日本人配偶者有)は連署人の戸籍に入力がある

帰化種別 ＝ 4(夫婦の帰化)は連署人の戸籍に入力がない

○:該当する内容　×:該当しない内容　△(ブランク):入力無　-:その項目は不要

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/58

処理名	3.1中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							2401(帰化)
	受付日							送付日があれば送付日 送付日がなければ受領日
	事件発生日			公示年月日				
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1		中間ファイル(届書) 事件別内容	･単身者の場合 『帰化者の15歳未満の届出人資格1』を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 『同時帰化者nの15歳未満の届出人資格1』を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1			帰化者の15歳未満の届出人氏名1 同時帰化者nの15歳未満の届出人氏名1				←単身者 ←同時に帰化する者
	届出人資格区分2			･単身者の場合 『帰化者の15歳未満の届出人資格2』を設定　名称は変換して設定 ･同時に帰化する者の場合 『同時帰化者nの15歳未満の届出人資格2』を設定　名称は変換して設定				
	届出人資格名称2							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	23/58

処理名	3.1中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/4	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届出人氏名2			帰化者の15歳未満の届出人氏名2 同時帰化者nの15歳未満の届出人氏名2				← 単身者 ← 同時に帰化する者
	届後本籍区分							･帰化者及び帰化者妻 戸籍変動区分 ＝ 1,3,6,7のとき2を設定 上記以外のとき1を設定 ･同時に帰化する者 1を設定
	届後本籍コード							
	届後本籍							
	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							本非区分 ＝ 1(本籍分届)のとき 1(送付要)を設定 本非区分 ＝ 2(非本籍分届)のとき ①連署人の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 ②養/父母の本籍 ＝ 管内本籍であれば1(送付要)を設定 上記以外は0(送付不要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	24/58

処理名	3.1中間ファイル(仮受付)編集･出力 4/4	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							39(帰化者)
	届出人区分			･単身者の場合 『帰化者15歳未満の届出人資格1』に入力があれば0を設定 ･同時に帰化する者の場合 『同時帰化者nの15歳未満の届出人資格1』に入力があれば0を設定 ･上記以外は1を設定				
	カナ氏名			帰化者カナ氏名 帰化者妻カナ氏名 同時帰化者nカナ氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	漢字氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←帰化処理する者
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後本籍筆頭者				
	送達確認2							届後本籍が非本籍なら1を設定 (在外送付区分 ＝ 0のとき)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/58

処理名	3.2中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード							4401(その他)
	受付日			送付日				
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							2(送付)を設定
	本非区分							1(本籍)を設定
	渉外区分							0を設定
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分		中間ファイル(届書) 事件別内容					2を設定
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	26/58

処理名	3.2中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後戸籍の筆頭者		中間ファイル(届書) 事件別内容	届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							1(送付要)を設定
	処分区分							
	決裁区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	27/58

処理名	3.2中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	受領番号				
	行番号							
	事件本人区分							99(事件本人以外)
	届出人区分							0を設定
	カナ氏名			養/父母カナ氏名 連署人カナ氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	漢字氏名			養/父母漢字氏名 連署人漢字氏名				←養/父母 ←日本人配偶者
	生年月日			養/父母生年月日 連署人生年月日				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍コード			養/父母本籍コード 連署人本籍コード				←養/父母 ←日本人配偶者
	本籍			養/父母本籍 連署人本籍				←養/父母 ←日本人配偶者
	筆頭者			養/父母筆頭者 連署人筆頭者				←養/父母 ←日本人配偶者
	送達確認2							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/58

処理名	4.1戸籍特定　(新戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定(新戸籍編製 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					決裁処理で設定
	編製日			処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード			届後本籍コード				
	本籍			届後本籍				
	筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							0(現戸籍)を設定
	戸籍異動区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	29/58

処理名	5.1個人特定　(入籍)編集･出力　1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(入籍)　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号							決裁処理で設定
	戸籍番号							新戸籍編製の場合は決裁処理で設定 他は入籍する戸籍の戸籍番号を設定
	戸籍記録順位番号							
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	除籍日							
	性別			帰化者父母との続柄コード 帰化者養父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日 養/父母生年月日 連署人生年月日				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	筆頭者区分			同時に帰化する者は全員『構成員』 戸籍変動区分 ＝ 1の場合,帰化者(その1画面入力者)が『筆頭者』 戸籍変動区分 ＝ 2の場合,帰化者は『構成員』 戸籍変動区分 ＝ 3の場合,養/父･母が『筆頭者』,帰化者は『構成員』 戸籍変動区分 ＝ 4の場合,帰化者は『構成員』 戸籍変動区分 ＝ 6の場合,帰化者(その1画面入力者)が『筆頭者』,それ以外は『構成員』 戸籍変動区分 ＝ 7の場合,帰化種別 ＝ 2のとき,帰化者(その1画面入力者)が『筆頭者』, それ以外は『構成員』 帰化種別 ＝ 4のとき,帰化者妻(その2画面入力者)が『筆頭者』, それ以外は『構成員』				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/58

処理名	5.1個人特定　(入籍)編集･出力　2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定(入籍)　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
	配偶者区分			帰化者配偶者区分 『妻』 『未』 『未』 連署人配偶者区分				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	父			帰化者父氏名 帰化者妻父氏名 同時帰化者n父氏名 養/父母父氏名 連署人父氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	母			帰化者母氏名 帰化者妻母氏名 同時帰化者n母氏名 養/父母母氏名 連署人母氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード 養/父母父母との続柄コード 連署人父母との続柄コード		有		←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化処理する者 ←帰化者の(養)父･母 ←連署人
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							連署人または(養)父･母が本籍人で,新戸籍を編製する場合に,従前戸籍の個人番号を設定する
	個人番号							0:在籍者を設定
	審査不可区分							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	31/58

処理名	6.1 帰化者(入籍)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者(入籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2401(帰化)
	記録コード								2401(帰化者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日			中間ファイル(届書)	公示年月日				
	帰化	帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
	届出	届出日			受領日				
		届出人(1) 資格			単身者の場合 通常は 届出人(1)←帰化者15歳未満の届出人資格1,資格名称1(資格1を名称変換) 届出人(2)←帰化者15歳未満の届出人資格2,資格名称2(資格2を名称変換) ただし,資格1 ＝ 016(親権者父),資格2 ＝ 017(親権者母)の場合 資格1 ＝ 018(親権者父母),資格2は未設定と置き換える(資格1,2が逆も同様) 同様,資格1 ＝ 001(父),資格2 ＝ 002(母)の場合 資格1 ＝ 005(父母),資格2は未設定と置き換える(資格1,2が逆も同様) 同時帰化者の場合 上記(単身者)を「同時帰化者n15歳未満の届出人～」に読みかえる ※氏名の設定は不要 ただし,資格1 ＝ 110(未成年後見人)の場合は,氏名1を設定 資格1,2が010(養父)または011(養母)または019(親権者養父)または020(親権者養母)の場合は,対応する氏名1,2をそれぞれ設定				
		届出人(1) 資格名称							
		届出人(1) 氏名							
		届出人(2) 資格							
		届出人(2) 資格名称							
		届出人(2) 氏名							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	32/58

処理名	6.1 帰化者(入籍)編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者(入籍)2/2	従前記録	帰化の際の国籍			帰化者従前国籍 帰化者妻従前国籍 同時帰化者n従前国籍				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
		従前の氏名			帰化者従前氏名 帰化者妻従前氏名 同時帰化者n従前氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	33/58

処理名	6.2 帰化者の配偶者(入籍)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)入籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項 帰化者の配偶者(入籍)1/2	個人番号							決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							2404(配偶者の帰化)
	記録コード							2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日							ファイル仕様書の通り
	帰化者の 配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)					
	入籍 入籍日			処理日 または 送付日 または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
	入籍 入籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき,「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき,「妻の帰化届出」を設定				
	届出 届出日							
	届出 除籍日							
	届出 除籍事由							
	婚姻 配偶者氏名							
	送付 送付を受けた日							
	送付 受理者							
	許可 許可日							
	許可 許可書謄本の送付を受けた日							
	許可 許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	34/58

処理名	6.2 帰化者の配偶者(入籍)編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)身分事項 帰化者の配偶者(入籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)	連署人本籍				
			筆頭者			連署人筆頭者				
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	35/58

処理名	6.3 帰化者の配偶者(除籍)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)除籍 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の配偶者(除籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様書の通り
	配偶者の帰化者の	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)					
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由			･帰化者配偶者区分 ＝ 1(夫)のとき,「夫の帰化届出」を設定 ･帰化者配偶者区分 ＝ 2(妻)のとき,「妻の帰化届出」を設定				
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	36/58

処理名	6.3 帰化者の配偶者(除籍)編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)除籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考	
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称			記号名		名称	記号名				
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の配偶者(除籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)						
			筆頭者								
	除籍	除籍日				処理日					
	除戸籍	新本籍				届後本籍					
		称する氏				･戸籍変動区分 ＝ 6(夫の氏の新戸籍編製)のとき,「夫の氏」を設定 ･戸籍変動区分 ＝ 7(妻の氏の新戸籍編製)のとき,「妻の氏」を設定					
	記録	記録日									
	特記	特記事項									

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	37/58

処理名	6.4帰化者の配偶者(記録)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の配偶者(除籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2404(配偶者の帰化)
	記録コード								2404(帰化者の配偶者の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	配偶者の帰化	配偶者の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日				
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	婚姻	配偶者氏名			帰化者漢字氏名				
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							
	入戸籍	従前戸籍	本籍						
			筆頭者						

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	38/58

処理名	6.4帰化者の配偶者(記録)編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の配偶者)記録　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の配偶者(除籍)2/2	除籍	除籍日							
	除戸籍	新本籍							
		称する氏							
	記録	記録日							
	特記	特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	39/58

処理名	6.5帰化者の父または母(入籍)編集・出力 1/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父または母)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父または母(入籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		子の氏名	続柄						
			氏名						
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日			処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	40/58

処理名	6.5帰化者の父または母(入籍)編集・出力 2/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父または母)入籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父または母(入籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)	養/父母本籍				
			筆頭者			養/父母筆頭者				
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
		称する氏								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	41/58

処理名	6.6帰化者養父または養母(入籍)編集･出力1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の養父または養母(入籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2403(養子の帰化)
	記録コード								2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		養子の氏名							
		養子の新本籍 本籍							
		養子の新本籍 筆頭者							
	入籍	入籍日			処理日　または 送付日　または 受領日				処理日があれば処理日 処理日がなければ送付日 処理日,送付日がなければ受領日
		入籍事由							「子の帰化届出」を設定
	届出	届出日							
		除籍日							
		除籍事由							
	送付	送付を受けた日							
		受理者							
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	42/58

処理名	6.6帰化者養父または養母(入籍)編集･出力2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)入籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の養父または養母(入籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)	養/父母本籍				
			筆頭者			養/父母筆頭者				
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	43/58

処理名	6.7帰化者の父または母(除籍)編集･出力 1/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父または母)除籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父または母(除籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2402(子の帰化)
	記録コード								2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		子の氏名	続柄						
			氏名						
		子の新本籍	本籍						
			筆頭者						
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の帰化届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	44/58

処理名	6.7帰化者の父または母(除籍)編集・出力 2/2	(受取側)　中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父または母)除籍　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父または母(除籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日				処理日				
	除戸籍	新本籍				届後本籍				
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	45/58

処理名	6.8帰化者養父または養母(除籍)編集･出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)除籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の養父または養母(除籍)1/2	個人番号								決裁処理で設定
	行番号								
	出力区分								
	タイトルコード								2403(養子の帰化)
	記録コード								2403(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード								
	事件発生日								ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)					
		養子の氏名							
		養子の新本籍 本籍							
		養子の新本籍 筆頭者							
	入籍	入籍日							
		入籍事由							
	届出	届出日			受領日				
		除籍日							
		除籍事由							「子の帰化届出」を設定
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日							
		許可書謄本の送付を受けた日							
		許可を受けた者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	46/58

処理名	6.8帰化者養父または養母(除籍)編集･出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)除籍　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の養父または養母(除籍)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日				処理日				
	除戸籍	新本籍				届後本籍				
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	47/58

処理名	6.9帰化者の父(記録)　編集･出力1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父)記録　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父(記録)1/2	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									2402(子の帰化)
	記録コード									2402(帰化者の父母の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									ファイル仕様の通り
	子の帰化	子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日					
		子の氏名	続柄		･単身者の場合,『帰化者父母との続柄コード』を変換し設定 ･同時に帰化処理する者の場合,『同時帰化者n父母との続柄コード』を変換し設定					
			氏名		･単身者の場合,『帰化者漢字氏名』を移送 ･同時に帰化する者の場合,『同時帰化者n漢字氏名』を移送					
		籍子の新本	本籍							
			筆頭者							
	入籍	入籍日								
		入籍事由								
	届出	届出日								
		除籍日								
		除籍事由								
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	48/58

処理名	6.9帰化者の父(記録)　編集･出力2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の父)記録　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の父(記録)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
	記録	記録日								
	特記	特記事項								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	49/58

処理名	6.10帰化者養父または養母(記録)編集･出力1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)記録 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 養父または養母(記録)1/2	個人番号									決裁処理で設定
	行番号									
	出力区分									
	タイトルコード									2402(養子の帰化)
	記録コード									2402(帰化者の養父母の記録)
	管掌者コード									
	事件発生日									ファイル仕様の通り
	養子の帰化	養子の帰化日		中間ファイル(届書)	公示年月日					
		養子の氏名			･単身者の場合,『帰化者漢字氏名』を移送 ･同時に帰化する者の場合,『同時帰化者n漢字氏名』を移送					
		養子の本籍の新 本籍								
		養子の本籍の新 筆頭者								
	入籍	入籍日								
		入籍事由								
	届出	届出日								
		除籍日								
		除籍事由								
	送付	送付を受けた日								
		受理者								
	許可	許可日								
		許可書謄本の送付を受けた日								
		許可を受けた者								

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	50/58

処理名	6.10帰化者養父または養母(記録)編集･出力2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(帰化者の養父または養母)記録　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目				DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項 帰化者の養父または養母(記録)2/2	入戸籍	従前戸籍	本籍		中間ファイル(届書)					
			筆頭者							
	除籍	除籍日								
	除戸籍	新本籍								
	記録		記録日							
	特記		特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	51/58

処理名	7.1帰化者　編集･出力1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)帰化者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							
	新氏名			帰化者漢字氏名 帰化者妻漢字氏名 同時帰化者n漢字氏名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧氏名							
	新生年月日			帰化者生年月日 帰化者妻生年月日 同時帰化者n生年月日				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧生年月日							
	新父母との続柄			帰化者父母との続柄コード 帰化者妻父母との続柄コード 同時帰化者n父母との続柄コード		有		←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	52/58

処理名	7.1帰化者　編集･出力2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)帰化者	住所コード		中間ファイル(届書)	帰化者住所コード 帰化者妻住所コード 同時帰化者n住所ｺｰﾄﾞ				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住所			帰化者住所 帰化者妻住所 同時帰化者n住所				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	方書							
	住定日			帰化者住定日 帰化者妻住定日 同時帰化者n住定日				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	住民日			帰化者住民日 帰化者妻住民日 同時帰化者n住民日				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主			帰化者世帯主名 帰化者妻世帯主名 同時帰化者n世帯主名				←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者
	世帯主との続柄			帰化者世帯主との続柄コード 帰化者妻世帯主との続柄コード 同時帰化者n世帯主との続柄コード		有		←単身者,夫婦片方,夫婦帰化の夫 ←夫婦帰化の妻 ←同時に帰化する者

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	53/58

処理名	7.2帰化者の日本人配偶者　編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者の日本人配偶者←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 帰化者の日本人配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合,個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新父母との続柄			連署人父母との続柄ｺｰﾄﾞ		有		
	旧父母との続柄			連署人父母との続柄ｺｰﾄﾞ		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	住定日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	54/58

処理名	7.2帰化者の日本人配偶者 編集・出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者の日本人配偶者←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 帰化者の日本人配偶者	住民日		中間ファイル(届書)					
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	55/58

処理名	7.3帰化者の(養)父母　編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者の(養)父母　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 帰化者の(養)父母	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村コードを宛名に変換した項目
	事件コード							24(帰化届)
	受理日			送付日または受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	旧父母との続柄			養/父母父母との続柄コード		有		
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	住定日							
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	56/58

処理名	7.3帰化者の(養)父母　編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/帰化者の(養)父母　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 帰化者の(養)父母	世帯主		中間ファイル(届書)					
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	57/58

処理名	8.1帰化者の日本人配偶者　編集･出力	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/帰化者の日本人配偶者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条12第1項) 帰化者の日本人配偶者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			「届後戸籍の筆頭者」の氏 +「連署人漢字氏名」の名				
	旧氏名			連署人漢字氏名				
	新生年月日			連署人生年月日				
	旧生年月日			連署人生年月日				
	新性別							連署人の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			連署人本籍コード				
	旧本籍			連署人本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			連署人筆頭者				
	住所コード			連署人住所コード				
	住所			連署人住所				
	方書							
	転入届出日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(帰化届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	58/58

処理名	8.2帰化者の(養)父母　編集･出力	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/帰化者の(養)父母　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条12第1項) 帰化者の(養)父母	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					24(帰化届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			養/父母漢字氏名				
	旧氏名			養/父母漢字氏名				
	新生年月日			養/父母生年月日				
	旧生年月日			養/父母生年月日				
	新性別							養/父母の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			届後本籍コード				
	新本籍			届後本籍				
	旧本籍コード			養/父母本籍コード				
	旧本籍			養/父母本籍				
	新筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	旧筆頭者			養/父母筆頭者				
	住所コード			養/父母住所コード				
	住所			養/父母住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

24.国籍喪失届

1. 国籍喪失業務処理範囲外の処理
・通常有り得ない特異な組み合わせの届出義務者によって届出された国籍喪失届
・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合
・法務大臣の催告、宣告による国籍喪失届

上記の場合は、審査結果入力で処理を行う。

2. 国籍喪失届入力画面の意義
・国籍喪失を行う者の各項目を入力する。

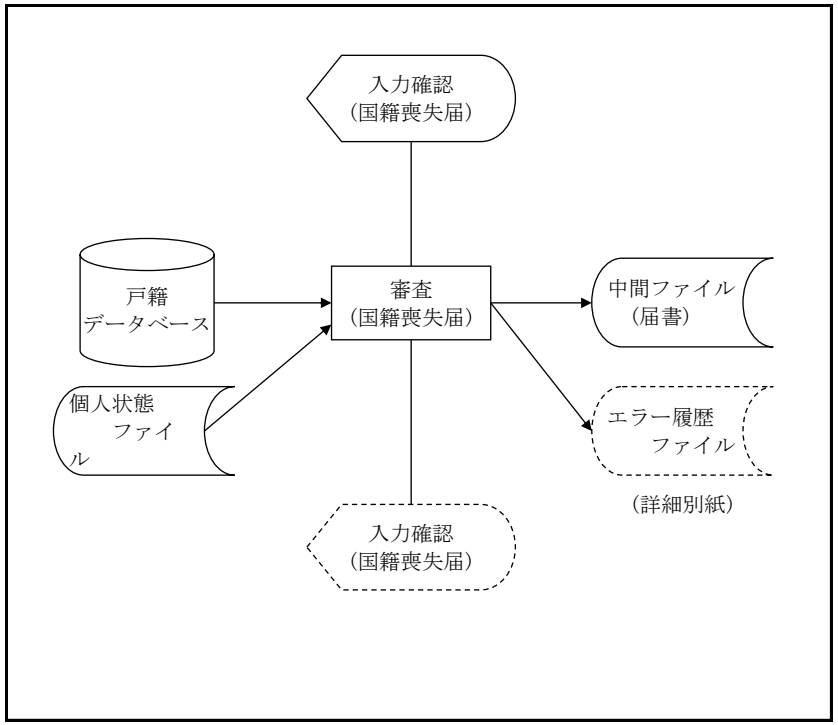
3. その他
添付書類
・外国への帰化を証する書面(又はその写し)、在外公館長の発給する帰化事実証明書など国籍喪失を証すべき書面(戸103-II)
・上記の書面が外国語によって作成されている場合はその訳文(規63の2)

届出期間の審査処理(戸103-I、大3.12.28民1125号回答)
・国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

法務省・在外公館からの国籍喪失の報告
・国籍喪失の報告の場合には届出人資格「099:その他」として、届出人資格欄に届出人資格名称を入力する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/16

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)国籍喪失届の内容を画面入力する。
(2)国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(国籍喪失届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0本紙
  - 1.0データチェック(単体表)
  - 2.0データチェック(関連表)
  - 3.0審査
  - 4.0データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間について
･喪失年月日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/16

処理名	0.0　本紙																備考
(1)届書内容を画面入力する															/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)															/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕														/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕													/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする												/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕												/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕												(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)											/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する											(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する												確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する														
	NO																
PF1	→															(14)業務選択に制御を渡す	
FF2	→															(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する															(17)画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する																審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する																
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する																

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	3/16

処理名	画面名		
1.0 単体チェック 1/2	国籍喪失届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍喪失者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	住所		漢字				
15	世帯主		漢字				
16	本籍	○	漢字				
17	筆頭者	○	漢字				
18	配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
19	配偶者外人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
20	喪失原因(区分)	○	数字	1:志望により外国国籍を取得したため 2:日本国籍の離脱 3:外国国籍の選択 (何れかであること)			国11 国13・憲法22 国11-Ⅱ
21	喪失原因(国名)	○	漢字	国籍であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/16

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック (2/2)	各届共通		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	届出人資格1		数字	(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母, 010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族, 099:その他,016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人) であること			戸103-I
23	届出人氏名1		漢字				
24	届出人資格2		数字	(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母, 010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族, 099:その他,016:親権者父,017:親権者母, 019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人) であること			戸103-I
25	届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5/16

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	国籍喪失届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペース　であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペース　であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分　であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分　であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付　であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース　かつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)本籍　が管内　であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日　であること			
11	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペース　であること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日　であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日　であること			
14	(No.11)国籍喪失者漢字氏名の氏 ＝ (No.17)筆頭者の氏　であること			
15	(No.18)配偶者区分 ＝ 0:未,3:生存配偶者の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ＝ スペース　であること			
15-1	(No.18)配偶者区分 ＝ 1:夫,2:妻の時、 (No.19)配偶者の外人区分 ≠ スペース　であること			
16	(No.22)届出人資格1 ≠ (No.24)届出人資格2　であること (但し、届出人資格が　082:親族　の時を除く)			
17	(No.22)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ≠ スペース　であること			
18	(No.22)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.23)届出人氏名1 ＝ スペース　であること			
19	(No.24)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ≠ スペース　であること			
20	(No.24)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.25)届出人氏名2 ＝ スペース　であること			
21	(No.23)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.23)届出人氏名1 ≠ (No.25)届出人氏名2　であること			
22	(No.14)住所 ＝ スペースの時、(No.15)世帯主 ＝ スペース　であること			
23	(No.15)世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)住所 ≠ スペース　であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	6/16

処理名	3.0 審査 1/6			
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)		/		
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示	/		
	YES (0-2)→(0-6)へ	/		
	NO →		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-6)へ	/		
(0-6)国籍喪失者の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(国籍喪失-27)
YES	(0-7)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-8)本紙へ	R2.1(国籍喪失-27)
	YES (0-9)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-11)本紙へ	不受理,R2.1(国籍喪失-27)
	NO (0-10)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(国籍喪失-27)
NO	(0-12)→(1)へ	/		R2.1(国籍喪失-27)
(1)受領日 < 喪失年月日 + 3箇月(YES,NO)		/		戸103I
YES	(2)→(8)へ	/		
NO	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」を表示		(4)本紙へ	大3.12.28民1125号回答
	YES (5)→(8)	/		
	NO (6)→		(7)本紙へ	不受理
(8)国籍喪失者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		/		戸31I,国18
YES	(9)届出人資格1(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族,099:その他,110:未成年後見人,その他)	/		
	000 (10)届出人資格2(006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族,099:その他,110:未成年後見人,その他)	/		
	006,007,001,002,010,011,098,099 (11)→		(12)本紙へ	受理
	082 (13)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示			民725～729
	YES (14)→			受理
	NO (15)→			不受理
	110 (16)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		(16-1)本紙へ	
	YES (16-2)→			受理
	NO (16-3)→			不受理
	その他 (17)審査メッセージ		(18)本紙へ	不受理

			「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			
	006, 007	(19)届出人資格2(000:未入力, 001:父, 002:母, 010:養父, 011:養母, 082:親族, その他)		/		
		000	(20)→		(21)本紙へ	受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	7/16

処理名	3.0 審査 1-1/6				
	001, 002, 010, 011, 082	(22)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
	その他	(23)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
001, 010		(24)届出人資格2(000:未入力, 006:夫, 007:妻, 002:母, 011:養母, 082:親族, その他)	/		
	000, 002, 011	(25)→		(26)本紙へ	受理

処理名	3.0 審査 2/6					
YES	001,010	006,007,082	(27)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(28)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	002,011	(29)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,010:養父,082:親族,その他)		/		
		000,001,010	(30)→		(31)本紙へ	受理
		006,007,082	(32)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(33)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	082	(34)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,082:親族,その他)		/		
		000	(35)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示		(36)本紙へ	民725～729
			YES →			受理
			NO →			不受理
		006,007,001,002,010,011,082	(37)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(38)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	098,099	(39)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
		000	(40)→		(41)本紙へ	受理
		その他	(42)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	110	(43)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
		000	(44)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		(44-11)本紙へ	
			YES (44-2)→			受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	9/16

処理名	3.0 審査 2-1/6			
	NO	(44-3)→		不受理
	その他	(45)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示	(46)本紙へ	不受理
その他		(47)審査メッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示		不受理

処理名	3.0 審査 3/6				
NO	(48)届出人資格1(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族,099:その他,110:未成年後見人,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母)		/		
	000	(49)届出人資格2(006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,098:事件本人,082:親族,099:その他,110:未成年後見人,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母)	/		
		006,007,001,002,010,011,098,099 (50)→		(51)本紙へ	受理
		082 (52)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示			民725～729
		YES (53)→			受理
		NO (54)→			不受理
		110 (55)→(110)	/		
		016,017,019,020 (56)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(57)本紙へ	
		YES (58)→			受理
		NO (59)→			不受理
	006,007	(60)届出人資格2(000:未入力,001:父,002:母,010:養父,011:養母,082:親族,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,その他)	/		
		000 (61)→		(62)本紙へ	
		001,002,010,011,082,016,017,019,020 (63)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他 (62)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	001,010	(65)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,002:母,011:養母,082:親族,017:親権者母,020:親権者養母,その他)	/		
		000,002,011 (66)→		(67)本紙へ	受理
		006,007,082,017,020 (68)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			

処理名	3.0 審査　4/6					
NO	001,010	その他	(69)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	002,011	(70)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,010:養父,082:親族,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/		
		000,001,010	(71)→		(72)本紙へ	受理
		006,007,082,016,019	(73)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(74)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	082	(75)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,002:母,010:養父,011:養母,082:親族,016:親権者父,017:親権者母　019:親権者養父,020:親権者養母,その他)		/		
		000	(76)確認メッセージ(YES,NO) 「届出人が四親等内の親族か否か確認して下さい。よろしいですか?」を表示		(77)本紙へ	民725～729
			YES (78)→			受理
			NO (79)→			不受理
		006,007,001,002,010,011,082,016,017,019,020	(80)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(81)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	098,099	(82)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
		000	(83)→		(84)本紙へ	受理
		その他	(85)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	110	(86)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
		000	(87)→(110)	/		
		その他	(88)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(89)本紙へ	不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	12/16

処理名		3.0 審査 5/6				
NO	016,019	(90)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,002:母,011:養母,082:親族,017:親権者母,020:親権者養母,その他)		/		
		000	(91)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(92)本紙へ	
			YES (93)→			受理
			NO (94)→			不受理
		017,020	(95)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示			
			YES (96)→			受理
			NO (97)→			不受理
		006,007,002,011,082	(98)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(99)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	017,020	(100)届出人資格2(000:未入力,006:夫,007:妻,001:父,010:養父,082:親族,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/		
		000	(101)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(102)本紙へ	
			YES (103)→			受理
			NO (104)→			不受理
		016,019	(105)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示			
			YES (106)→			受理
			NO (107)→			不受理
		006,007,001,010,082	(108)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			
		その他	(109)審査メッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
(110)本非区分(1:本籍,2:非本籍)				/		
1	(111)国籍喪失者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)			/		

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13/16

処理名		3.0 審査　6/6			
1	YES	(112)→		(113)本紙へ	受理
	NO	(114)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示			不受理
2	(115)→				受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	14/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		国籍喪失届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――――				25を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――――				2(報告)
	渉外区分			――――――――				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
	事件別内容			――――――――				3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		国籍喪失届 入力画面	――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――――				何も設定されていない場合に0:未決 裁を設定
	届書排他区分			――――――――				再入力の場合に1:排他　を設定

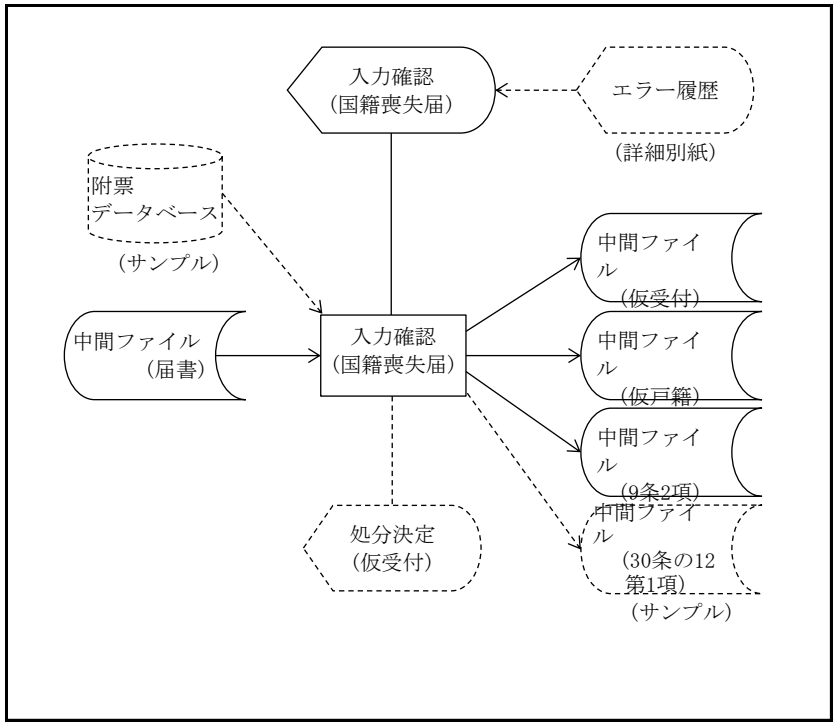
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/16

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	国籍喪失者個人番号		国籍喪失届 入力画面	――――――――				
	カナ氏名			国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			国籍喪失者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	喪失原因(区分)			喪失原因(区分)				
	国名コード			喪失原因(国名)				
	喪失原因(国名)							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	1/13

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
中間ファイル(30条の12第1項)	出力 (サンプル)		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0データ編集表(確認画面)
- 2.0 戸籍編製マトリックス表
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者])
  - 4.1 身分事項(除籍)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[国籍喪失者の配偶者])
  - 5.1 身分事項(変動なし)
- 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
  - 6.1 国籍喪失者
- 7.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル表示)
  - 7.1 国籍喪失者

5.備考(特記事項含む)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	2/13

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」を表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)国籍喪失者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する 〔4.0〕	/		
	身分事項(除籍) (7)国籍喪失者の除籍事項の編集 〔4.1〕	/		
	(7-1)国籍喪失者は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
	YES (7-2)国籍喪失者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔7.1〕	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
	NO (7-3)→(8)	/		処理(7-1)
	(8)国籍喪失者の配偶者の戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。 〔5.0〕	/		
	身分事項(変動なし) (9)国籍喪失者の配偶者の変動なし事項の編集 〔5.1〕	/		
	NO (10)→(11)			
	(11)在外送付区分 = 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/		
	YES (12)国籍喪失者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔6.1〕		(13)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(16)審査に制御を渡す	
PF11	→		(17)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(19)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/13

処理名	1.0 入力確認(国籍喪失届)表示　1/2	(受取側)国籍喪失届確認画面	←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍喪失届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル (届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			木非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名				
	国籍喪失者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	住所			住所コード				
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	配偶者の外人区分			配偶者の外人区分				
	配偶者の外人区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/13

処理名	1.0 入力確認(国籍喪失届)表示　2/2	(受取側)国籍喪失届確認画面	←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍喪失届 確認画面	喪失原因(区分)		中間ファイル (届書) 事件別内容	喪失原因(区分)				
	喪失原因(区分)名称					有		
	喪失原因(国名)			国名コード				
				喪失原因(国名)				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第72(5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失者)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/13

処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件							戸籍の変動		
	国籍喪失者							国籍喪失者の戸籍		
	本籍		配偶者の有無			配偶者の在籍者以外の有無		一部除籍 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし
	本籍人	非本籍人	有		無	有	無			
			日本人	外国人						
1	○		○			-	-	本人 4.1		配偶者 5.1
2	○			○		○		本人 4.1		
3	○			○			○		本人 4.1	
4	○				○	○		本人 4.1		
5	○				○		○		本人 4.1	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				喪失原因(区分) ＝ 2 → 2502を設定 上記以外 → 2501を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分			――――――――				
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				
	届出人資格1区分			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、届出人資格及び氏名は、未設定。届出人資格 ＝ 099のときは、届出人資格、届出人資格名称を移送。その他は、届出人資格及び氏名を移送する。 (但し、届出人資格1 ＝ 000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する。)
	届出人資格1名称			届出人資格1名称				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2区分			届出人資格2				
	届出人資格2名称			届出人資格2名称				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍区分		中間ファイル (届書)	――――――――				
	届後本籍コード			――――――――				
	届後本籍			――――――――				
	届後戸籍の筆頭者			――――――――				
	送達確認1			――――――――				届後本籍が非本籍　かつ　在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8/13

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				40(国籍喪失届)を設定
	届出人区分			――――――――				届出人資格1又は2 ＝ 098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――――				現本籍が、(本非区分 ＝ 2)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	9/13

処理名	4.1 国籍喪失者の記録(除籍) 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――――				本籍人の時、国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可
	タイトルコード				――――――				2501(国籍喪失)
	記録コード				――――――				2501(国籍喪失者の記録)
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				喪失年月日				
	国籍喪失	国籍喪失日			喪失年月日				必須項目
		喪失時の外国籍			喪失原因(国名)				喪失原因(区分):2のとき移送
		喪失事由			喪失原因(国名)				喪失原因(区分)により、移送項目を決定する 移送項目については、*1参照
					喪失原因(区分)				
	婚姻	配偶者氏名			――――――				旧国籍法当時の記録
	届出	届出日			受領日				届出人資 ＝ 099 のとき、未設定
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1又は2 ＝ 098(事件本人),099(その他)のとき、未設定。 届出人資格1又は2 ＝ 010(養父)または011(養母)または019(親権者養父)または020(親権者養母)または110(未成年後見人)または082(親族)のとき、対応する届出人氏名を移送する。 上記以外は、*2参照。 (届出人資格1･2の組み合わせにより資格及び資格名称を統合する必要がある場合は、統合した内容を届出人資格1、届出人資格1名称に設定する。)
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
		報告日			受領日				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
		報告者			届出人資格名称1又は2				届出人資格 ＝ 099 のとき、移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	10/13

処理名	4.1 国籍喪失者の記録(除籍) 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	許可	許可を受けた者		中間ファイル(届書)	――――――				
	除籍	除籍日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

*1:喪失事由及び喪失時の外国籍の編集内容

喪失原因		身分事項	
区分	国名	喪失事由	喪失時の外国籍
1	○	国名 +「の国籍取得」	――――――
2	○	喪失原因(区分)の内容	喪失原因(国名)
3	○	国名 +「の国籍選択」	――――――

*2:届出人資格の編集内容

入力された届出人資格1･2の組み合わせにより、以下に示す資格内容を移送する。届出人資格1 ＝ 000:未入力の場合は、届出人資格2の内容を1へ詰めて移送する。

資格1＼資格2	000(未入力)	006(夫)	007(妻)	001(父)	002(母)	010(養父)	011(養母)	082(親族)	016(親権者父)	017(親権者母)	019(親権者養父)	020(親権者養母)	110(未成年後見人)
000(未入力)		夫	妻	父	母	養父	養母	親族	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
006(夫)	夫			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
007(妻)	妻			★	★	★	★	★	★	★	★	★	
001(父)	父	★	★		父母		父･養母*1	★		★		★	
002(母)	母	★	★	父母		養父･母*1		★	★		★		
010(養父)	養父	★	★		養父･母*1		養父･養母*1	★		★		★	
011(養母)	養母	★	★	父･養母*1		養父･養母*1		★	★		★		
082(親族)	親族	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	★	
016(親権者父)	親権者父	★	★		★		★	★		親権者父母		親権者父･親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	★	★	★		★		★	親権者父母		親権者養父･親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父	★	★		★		★	★		親権者養父･親権者母*1		親権者養父･親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	★	★	★		★		★	親権者父･親権者養母*1		親権者養父･親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人												

但し、「★」については審査結果入力で対応する。

*1 届出人資格にそれぞれの資格を移送する。(資格名称の統合は行わない)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成24年 3月 1日	15	11/13

処理名	5.1 国籍喪失者の配偶者の記録(変動なし)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				本籍人の時、国籍喪失者の配偶者の個人番号を設定
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可
	タイトルコード			――――――――				2502(配偶者の国籍喪失)
	記録コード			――――――――				2502(国籍喪失者の配偶者の記録)
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			喪失年月日				
	国籍配偶者喪失の 配偶者の国籍			喪失原因(国名)				
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者							
	記録 記録日			――――――――				
	特記 特記事項							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12/13

処理名	6.1 国籍喪失者　編集･出力	(受取側)中間ファイル(9条2項)/国籍喪失者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 国籍喪失者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				25:国籍喪失届
	受理日			受領日OR送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――				
	旧氏名			――――――				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			――――――				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			――――――				
	新本籍			――――――				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			――――――				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			――――――				
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成11年3月1日	令和　年　月　日	2.1	13/13

処理名	7.1 国籍喪失者　編集･出力　1/1	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/国籍喪失者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 国籍喪失者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					25(国籍喪失届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				個人番号を設定
	新氏名			――――――				
	旧氏名			国籍喪失者漢字氏名				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			生年月日				
	新性別			――――――				
	旧性別							
	新本籍コード			――――――				
	新本籍			――――――				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			――――――				
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日			――――――				

第7.2.(5)「異動」処理

25.国籍選択届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	1/1

1.国籍選択業務処理範囲外の処理

・現に有する外国の国籍の全てが届書に記載されているか否かの審査
・届出期限の審査
・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合

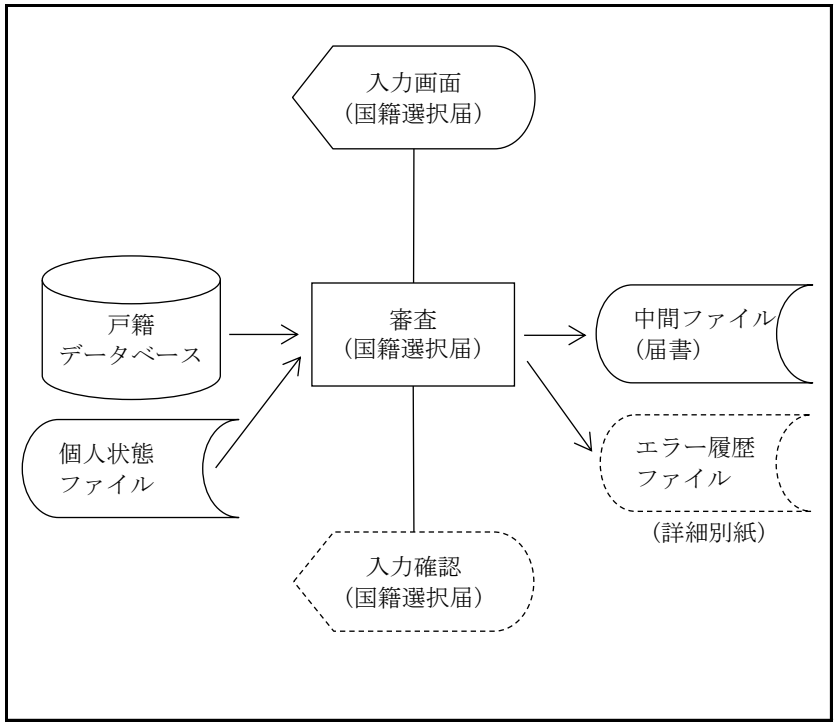
2.国籍選択届入力画面の意義

・国籍選択を行う者の各項目を入力する。

3.その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)国籍選択届の内容を画面入力する。
(2)国籍選択届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)国籍選択届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)国籍選択届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(国籍選択届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)
(1)国籍選択者の年齢計算について
･受領日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/11

処理名	0.0　本紙								備考
(1)届書内容を画面入力する							/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)					〔1.0〕	/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)				〔2.0〕	/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)			〔3.0〕	/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力		〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する								

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/11

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック	国籍選択届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	国籍選択者カナ氏名	○	カナ				
11	国籍選択者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	本籍	○	漢字				
14	筆頭者	○	漢字				
15	現有外国国籍1	○	漢字				戸104の2-Ⅱ
16	現有外国国籍2		漢字				
17	現有外国国籍3		漢字				
18	届出人資格1		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,110:未成年後見人,019:親権者養父,020:親権者養母,098:事件本人)であること			国18
19	届出人氏名1		漢字				
20	届出人資格2		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,110:未成年後見人,019:親権者養父,020:親権者養母,098:事件本人)であること			国18
21	届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	4/11

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	国籍選択届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペース であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペース であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペース かつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日 であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日 であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.13)本籍 が管内 であること			
11-1	(No.11)国籍選択者漢字氏名の氏 ＝ (No.14)筆頭者の氏 であること			
12	(No.18)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ≠ スペース であること			
13	(No.18)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.19)届出人氏名1 ＝ スペース であること			
14	(No.18)届出人資格1 ≠ (No.20)届出人資格2 であること			
15	(No.20)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ≠ スペース であること			
16	(No.20)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.21)届出人氏名2 ＝ スペース であること			
17	(No.19)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.19)届出人氏名1 ≠ (No.21)届出人氏名2 であること			

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	5/11

処理名	3.0 審査				備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				/	
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示			/	
	YES	(0-2)→(0-5)へ		/	
	NO	→			(0-3)本紙へ
NO	(0-4)→(0-5)へ			/	
(0-5)国籍選択者の漢字氏名の名が未入力 (YES,NO)				/	R2.1(国籍選択-20)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示				(0-7)本紙へ R2.1(国籍選択-20)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-10)本紙へ 不受理,R2.1(国籍選択-20)
	NO	(0-9)→			画面項目修正(審査完了しない) ,R2.1(国籍選択-20)
NO	(0-11)→(1)へ			/	R2.1(国籍選択-20)
(1)国籍選択者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)				/	国18
YES	(2)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,110:未成年後見人,その他)			/	
	000	(3)届出人資格2(098:事件本人,110:未成年後見人,その他)		/	
		098	(4)	/	(4)～(11)削除
			(5)	/	
			(6)		(7)
			(8)		
			(9)		
			(10)		
			(11)		
			(11-1) →		(11-2)本紙へ 受理
		110	(11-3)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		
			YES (11-4) →		受理
			NO (11-5) →		不受理
		その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		不受理
	098	(13)届出人資格2(000:未入力,その他)		/	
		000	(14)	/	(14)～(21)削除
			(15)	/	
			(16)		(17)
			(18)		
			(19)		
			(20)		
			(21)		

			(21-1) →		(21-2)本紙へ	受理
		その他	(22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	6/11

処理名		3.0 審査			備考
	110	(22-1)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
		000 (22-2)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		(22-3)本紙へ	
		YES (22-4) →			受理
		NO (22-5) →			不受理
		その他 (22-6)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
NO		(24)審査(届出人資格:法定代理人)処理[3.1]	/		
		(25) →		(26)本紙へ	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/11

処理名	3.0 審査(届出人資格:法定代理人)処理			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母 110:未成年後見人,その他)			/	
000	(2)届出人資格2(016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母 110:未成年後見人,その他)		/	
	016,017, 019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(4)3.0審査へ
		YES (5)→		受理
		NO (6)→		不受理
	110	(7)→(33)	/	
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(9)3.0審査へ 不受理
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)		/	
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(12)3.0審査へ
		YES (13)→		受理
		NO (14)→		不受理
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示		
		YES (16)→		受理
		NO (17)→		不受理
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		不受理
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/	
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(21)3.0審査へ
		YES (22)→		受理
		NO (23)→		不受理
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/11

処理名		3.0 審査(届出人資格:法定代理人)処理			備考
017,020	016,019	YES	(25)→		受理
		NO	(26)→		不受理
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
110	(28)届出人資格2(000:未入力,その他)			/	
	000	(29)→(33)		/	
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(31)3.0審査へ	不受理
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
(33)国籍選択者は本籍人である(YES,NO)				/	
YES	(34)国籍選択者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/	
	YES	(35)→		(36)3.0審査へ	受理
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示			不受理
NO	(38)→				受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	9/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(国籍選択届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		国籍選択届 入力画面	受領NO				
	選択事件コード			――――――――				26を引き渡す
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――――				1(創設)
	渉外区分			――――――――				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、国籍選択者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(国籍選択届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		国籍選択届 入力画面	――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――――				何も設定されていない場合に0:未決 裁を設定
	届書排他区分			――――――――				0:未,1:排他

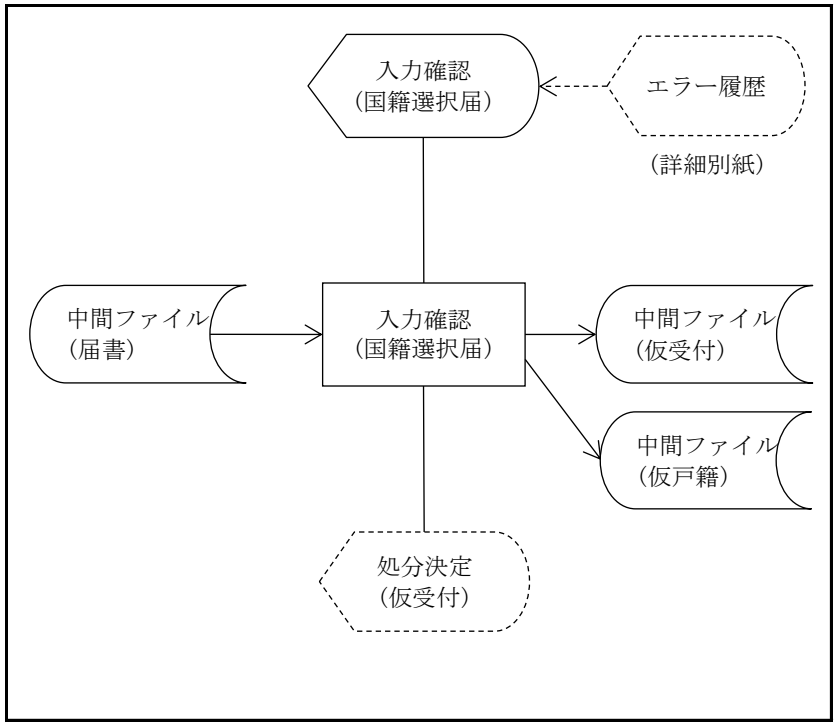
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(国籍選択届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	国籍選択者個人番号		国籍選択届 入力画面	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名(国籍選択者)			国籍選択者カナ氏名				
	漢字氏名(国籍選択者)			国籍選択者漢字氏名				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	国名コード1			現有外国国籍1				
	現有外国国籍1							
	国名コード2			現有外国国籍2				
	現有外国国籍2							
	国名コード3			現有外国国籍3				
	現有外国国籍3							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔国籍選択者〕)
    - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を入力確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押して下さい。」を表示する。		〔1.0〕	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する。	〔2.0〕	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。	〔3.0〕	/	
	(5)事件本人が本籍人である。(YES,NO)		/	
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。	〔4.0〕		(7)処分決定に制御を渡す。
	身分事項(変動なし) (8)国籍選択者の変動なし事項の編集	〔4.1〕		
	NO →			
PF1	→			(9)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(10)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(11)審査に制御を渡す
PF11	→			(12)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(13)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(14)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	1.0 入力確認(国籍選択届)表示　1/2	(受取側) 国籍選択届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍選択届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル (届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	国籍選択者カナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名(国籍選択者)				
	国籍選択者漢字氏名			漢字氏名(国籍選択者)				
	生年月日			生年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	現有外国国籍1			国名コード1				
				現有外国国籍1				
	現有外国国籍2			国名コード2				
				現有外国国籍2				
	現有外国国籍3			国名コード3				
				現有外国国籍3				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0 入力確認(国籍選択届)表示　2/2	(受取側) 国籍選択届確認画面	← (引渡側) 中間ファイル(届書)/事件別内容

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
国籍選択届 確認画面	届出人氏名1		中間ファイル (届書) 事件別内容	届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		国籍選択者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	6/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				2601(国籍選択)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日			――――――――				
	事件発生時分			――――――――				
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				
	届出人資格区分1 届出人資格区分1名称			届出人資格1		 有		届出人資格 ＝ 098のときは、未設定。その他は資格及び氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する。)
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2 届出人資格区分2名称			届出人資格2		 有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍		中間ファイル (届書)	――――――――				
	届後戸籍の筆頭者			――――――――				
	送達確認1			――――――――				「0:不要」を移送
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				41:国籍選択者
	届出人区分			――――――――				届出人資格1又は2 ＝ 098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名(国籍選択者)				
	漢字氏名			漢字氏名(国籍選択者)				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――――				事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2) かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(国籍選択届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	9/10

処理名	4.1 国籍選択者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――――				本籍人の時、国籍選択者の個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――――				2601(国籍選択)
	記録コード				――――――				2601(国籍選択者の記録)
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	国籍選択	国籍選択の宣言日			受領日				
	届出	届出日			――――――				
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1参照。 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、届出人資格2、届出人氏名2を1の方に詰めて移送する。
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者							
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

処理名	4.1 国籍選択者の記載(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1,2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父,親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父,親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父,親権者母*1		親権者養父,親権者養母*	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父,親権者養母*1		親権者養父,親権者養母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1,2が019(親権者養父)または020(親権者養母)または110(未成年後見人)の場合、対応する届出人氏名1,2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

26.外国国籍喪失届

1.外国国籍喪失業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合

・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.外国国籍喪失届入力画面の意義

・外国国籍喪失者の各項目を入力する。

3.その他

添付書類

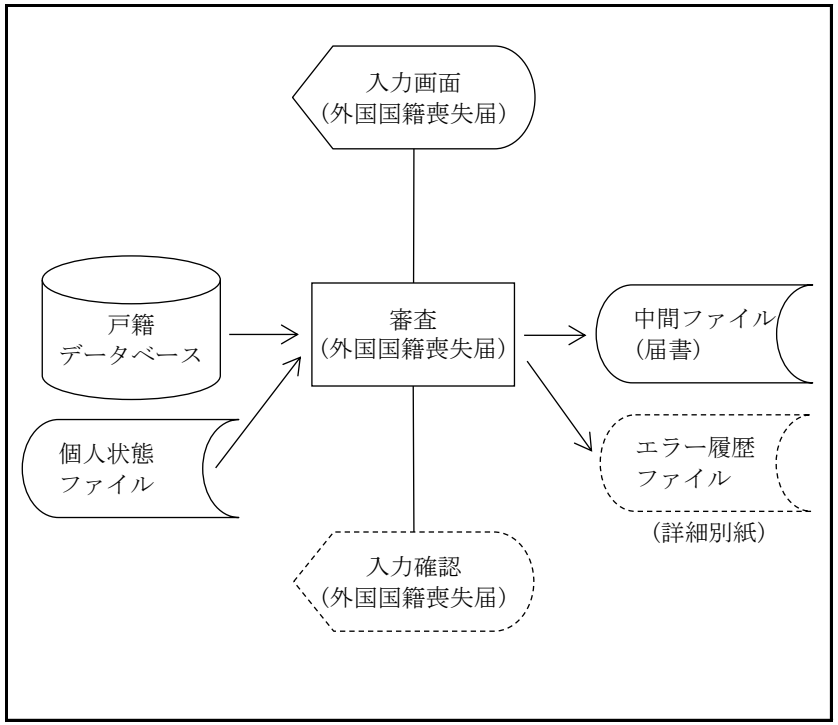
・外国官公署の発行する国籍離脱証明書、国籍を喪失した旨の記載のある外国の戸籍謄本、その他、外国の国籍を喪失したことを証する書面
(戸106-II・昭59.11.1民二5500号通達第3の6の(1))

届出期間の審査処理(戸106-I、大3.12.28民1125号回答)

・外国国籍喪失の事実を知った日及びその際に国内、国外に在ることが届書からはわからない為システム化後は喪失年月日を起算日とし、その日から3箇月以内であるか否かを確認メッセージでの対応とする。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)外国国籍喪失届の内容を画面入力する。
(2)外国国籍喪失届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)外国国籍喪失届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)外国国籍喪失届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6)入力確認(外国国籍喪失届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(届出人資格:法定代理人)処理
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)外国国籍喪失者の年齢計算について
　･受領日を基準日として計算する。
(2)届出期間について
　･喪失年月日を基準日として計算する。

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/11

処理名	0.0　本紙								備考
(1)届書内容を画面入力する							/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(11)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確認	(12)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する						
	NO								
PF1	→							(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する							(17)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する								
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する								

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/11

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック	外国国籍喪失届		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	外国国籍喪失者カナ氏名	○	カナ				
11	外国国籍喪失者漢字氏名	○	漢字				
12	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	喪失年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	本籍	○	漢字				
15	筆頭者	○	漢字				
16	国籍喪失国名	○	漢字	国名であること			戸106-Ⅱ
17	届出人資格1		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,110:来成年後見人,019:親権者養父,020:親権者養母,098:事件本人)であること			戸31
18	届出人氏名1		漢字				
19	届出人資格2		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,110:未成年後見人,019:親権者養父,020:親権者養母,098:事件本人)であること			戸31
20	届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	4/11

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	外国国籍喪失届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日 であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペース であること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペース であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分 であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分 であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付 であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日 であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペース であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日 であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.13)喪失年月日 であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.13)喪失年月日 であること			
13	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)本籍が管内 であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.13)喪失年月日 であること			
14-1	(No.11)外国国籍喪失者漢字氏名の氏 ＝ (No.15)筆頭者の氏 であること			
15	(No.17)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ＝ スペース であること			
16	(No.17)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.18)届出人氏名1 ≠ スペース であること			
17	(No.17)届出人資格1 ≠ (No.19)届出人資格2 であること			
18	(No.19)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ＝ スペース であること			
19	(No.19)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.20)届出人氏名2 ≠ スペース であること			
20	(No.18)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(No.18)届出人氏名1 ≠ (No.20)届出人氏名2 であること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年 3月31日	R2.1	5/11

処理名	3.0 審査				備考
(0)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)			/		
YES	(0-1)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」を表示		/		
	YES	(0-2)→(0-5)へ	/		
	NO	→		(0-3)本紙へ	
NO	(0-4)→(0-5)へ		/		
(0-5)外国国籍喪失者の漢字氏名の名が未入力(YES,NO)			/		R2.1(外国国籍喪失-20)
YES	(0-6)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示			(0-7)本紙へ	R2.1(外国国籍喪失-20)
	YES	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-10)本紙へ	不受理,R2.1(外国国籍喪失-20)
	NO	(0-9)→			画面項目修正(審査完了しない),R2.1(外国国籍喪失-20)
NO	(0-11)→(1)へ		/		R2.1(外国国籍喪失-20)
(1)受領日 ＜ 喪失年月日 ＋ 3箇月(YES,NO)			/		戸106I,戸43
YES	(2)→(8)へ		/		
NO	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」を表示			(4)本紙へ	大3.12.28民1125号回答
	YES	(5)→(8)	/		
	NO	(6)→		(7)本紙へ	不受理
(8)国籍喪失者の生年月日 ＋ 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)			/		戸31
YES	(9)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,110:未成年後見人,その他)		/		
	000	(10)届出人資格2(098:事件本人,110:未成年後見人,その他)	/		
		098 (11)→		(12)本紙へ	受理
		110 (13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		(13-1)本紙へ	
		YES (13-2)→			受理
		NO (13-3)→			不受理
		その他 (14)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(15)本紙へ	不受理
	098	(16)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
		000 (17)→		(18)本紙へ	受理
		その他 (19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
	110	(20)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
		000 (21)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」を表示		(21-1)本紙へ	
		YES (21-2)→			受理
		NO (21-3)→			不受理
		その他 (22)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(23)本紙へ	不受理
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示			不受理

NO	(25)審査(届出人資格:法定代理人)処理[3.1]	/		
	(26)→		(27)本紙へ	
(28)				(28)削除

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	6/11

処理名	3.0 審査		備考
	(29)		(29)～(33)削除
	(30)	(31)	
	(32)		
	(33)		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/11

処理名		3.0 審査(届出人資格:法定代理人)処理			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母 110:未成年後見人,その他)			/		
000	(2)届出人資格2(016:親権者父、017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母 110:未成年後見人,その他)		/		
	016,017, 019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(4)3.0審査へ	
		YES (5)→			受理
		NO (6)→			不受理
	110	(7)→(33)	/		
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(9)3.0審査へ	不受理
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)		/		
	000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(12)3.0審査へ	
		YES (13)→			受理
		NO (14)→			不受理
	017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示			
		YES (16)→			受理
		NO (17)→			不受理
	その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/		
	000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(21)3.0審査へ	
		YES (22)→			受理
		NO (23)→			不受理
	016,019	(24)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/11

処理名		3.0 審査(届出人資格:法定代理人)処理			備考
017,020	016,019	YES	(25)→		受理
		NO	(26)→		不受理
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
110	(28)届出人資格2(000:未入力,その他)			/	
	000	(29)→(33)		/	
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(31)3.0審査へ	不受理
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
(33)外国国籍喪失者は本籍人である(YES,NO)				/	
YES	(34)外国国籍喪失者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)			/	
	YES	(35)→		(36)3.0審査へ	受理
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見人事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示			不受理
NO	(38)→				受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	9/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(外国国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		外国国籍喪失届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――――				27を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――――				2(報告)
	渉外区分			――――――――				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、外国国籍喪失者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(外国国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		外国国籍喪失届 入力画面	――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――――				何も設定されていない場合に0:未決済を設定
	届書排他区分			――――――――				0:未,1:排他

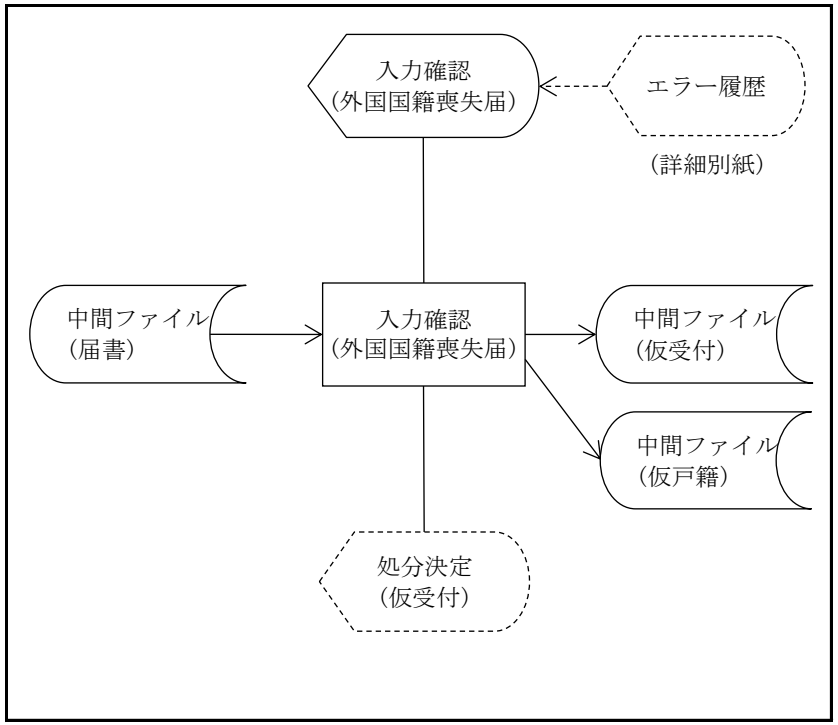
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/11

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(外国国籍喪失届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	外国国籍喪失者個人番号		外国国籍喪失届 入力画面	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名			外国国籍喪失者カナ氏名				
	漢字氏名			外国国籍喪失者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	喪失年月日			喪失年月日				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	国名コード			国籍喪失国名				
	国籍喪失国名							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔外国国籍喪失者〕)
    - 4.1 身分事項(変動なし)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1.0〕	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する。	〔2.0〕	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する。	〔3.0〕	/	
	(5)事件本人が本籍人である。(YES,NO)		/	
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する。	〔4.0〕		(7)処分決定に制御を渡す。
	身分事項(変動なし) (8)外国国籍喪失者の変動なし事項の編集	〔4.1〕		
	NO →			
PF1	→			(9)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(10)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(11)審査に制御を渡す
PF11	→			(12)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(13)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(14)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	1.0 入力確認(外国国籍喪失届)表示　1/2	(受取側) 外国国籍喪失届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
外国国籍喪失届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル (届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	外国国籍喪失者カナ氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	カナ氏名				
	外国国籍喪失者漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	喪失年月日			喪失年月日		有		
	本籍			本籍コード				
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	国籍喪失国名			国名コード				
				国籍喪失国名				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0 入力確認(外国国籍喪失届)表示　2/2	(受取側) 外国国籍喪失届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)/共通

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
外国国籍喪失届 確認画面	届出人氏名2		中間ファイル (届書)	届出人氏名2				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件		戸籍の変動
	本籍		外国国籍喪失者の戸籍
	本籍人	非本籍人	変動なし
1	○		本人 4.1
2		○	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	6/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				2701(外国国籍喪失)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペース:受領日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	事件発生日			喪失年月日				
	事件発生時分			――――――――				
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定。 その他は資格及び氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する。)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	――――――――				
	届後本籍			――――――――				
	届後戸籍の筆頭者			――――――――				
	送達確認1			――――――――				「0:不要」を移送
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/10

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				42:外国国籍喪失者
	届出人区分			――――――――				届出人資格1又は2 ＝ 098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――――				事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	9/10

処理名	4.1 外国国籍喪失者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル (届書)	――――――				本籍人の時、外国国籍喪失者の個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――――				2701(外国国籍喪失)
	記載コード				――――――				2701(外国国籍喪失者の記録)
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				喪失年月日				
	外国国籍喪失	外国国籍喪失日			喪失年月日				必須移送項目
		喪失国籍			国籍喪失国名				必須移送項目
	届出	届出日			受領日				
		届出人	資格		届出人資格1				届出人資格1･2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1参照。 但し、届出人資格1が000:未入力の場合は、届出人資格2、届出人氏名2を1の方につめて移送する。
			資格名称		届出人資格1名称				
			氏名		届出人氏名1				
		届出人	資格		届出人資格2				
			資格名称		届出人資格2名称				
			氏名		届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(外国国籍喪失届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 3月 1日	14	10/10

処理名	4.1 外国国籍喪失者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

*1:届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1,2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父,親権者養母*1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		親権者養父,親権者母*1		
019(親権者養父)	親権者養父		親権者養父,親権者母*1		親権者養父,親権者養母*1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父,親権者母*1		親権者養父･親権者母*1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

(2)届出人氏名
届出人資格1,2が019(親権者養父)または020(親権者養母)または110(未成年後見人)の場合、対応する届出人氏名1,2をそれぞれ移送する。

第7.2.(5)「異動」処理

27.氏の変更届

1.氏の変更業務処理範囲外の処理

(1)異籍の子の(養)父母欄の更正処理
(2)事件本人の成年後見人から届出がされた場合
(3)夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合
(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.氏の変更届入力画面の意義

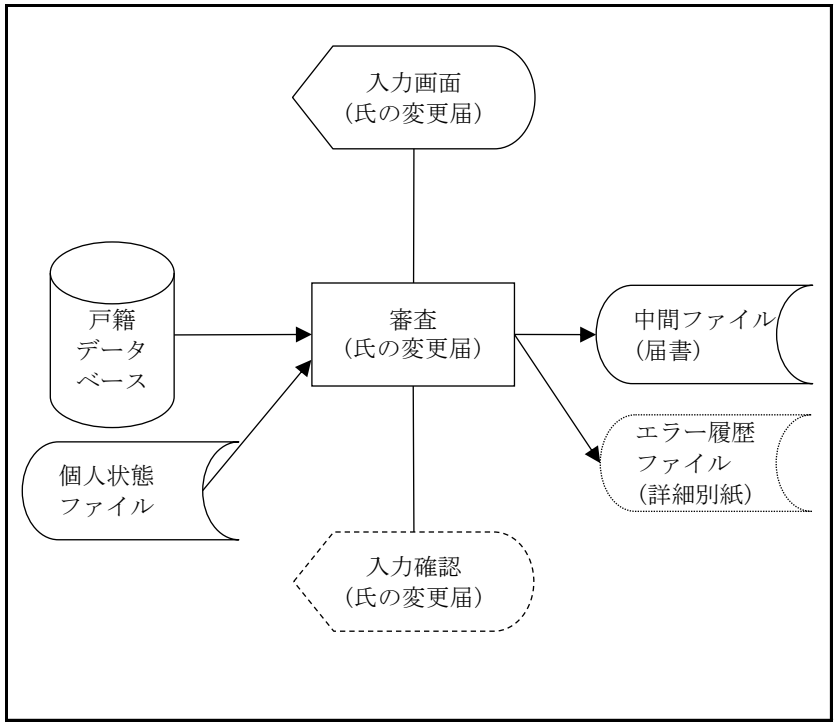
(1)その1画面:氏の変更を行う当事者(筆頭者及び配偶者)の各項目を入力する。
(2)その2画面:上記以外の構成員の各項目を入力する。

3.その他

(1)除籍になっている者の氏名DB中の漢字氏名の氏(カナ氏名も含む)も変更後の氏に変更する。
(2)配偶者の9条2項ファイルに生年月日は設定されない。9条2項通知は運用にて対処する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	1/22

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)氏の変更届の内容を画面入力する。
(2)氏の変更届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)氏の変更届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)氏の変更届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(氏の変更届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1審査(届出人資格:筆頭者単独)
    - 3.2審査(届出人資格:配偶者単独)
    - 3.3審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
    - 3.4審査(届出人資格:法定代理人)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/22

処理名						0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する							/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)							/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕						/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕					/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする				/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕				/		
			YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕				(8)入力確認画面に制御を渡す	
			NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)			/		
				審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する			(14)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
				確認	(11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する				確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	(12)エラーメッセージを表示する						
	NO	(13)エラーメッセージを表示する							
PF1	→							(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→							(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)						/		
	ある	(18)前ページ分の「氏の変更届」画面を編集						(20)同画面を編集する	
	なし	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する							
PF8	(21)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)						/		
	ある	(22)ページ分の「氏の変更届」画面を編集						(18)同画面を編集する	
	なし	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する							
PF10	(24)画面の入力項目の入力禁止を解除する								入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する								審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26)入力画面を初期化する								
その他	(27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する								

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/22

処理名	画面名	画面ID	コード入力項目の説明
1.0　単体チェック　1/3	入力画面(氏の変更届　その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者氏名	○	漢字				
12	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
13	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者,1:除籍者)であること			
14	筆頭者－配偶者区分		数字	(0:未,1:夫,2:妻,3;生存配偶者)であること			
15	筆頭者本籍	○	漢字				
16	筆頭者住所		漢字				住基8･9Ⅱ
17	筆頭者世帯主		漢字				
18	配偶者氏名		漢字				住基8･9Ⅱ
19	配偶者外人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
20	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
21	配偶者住所		漢字				
22	配偶者世帯主		漢字				
23	変更前カナ氏	○	カナ				
24	変更前氏	○	漢字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/22

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 2/3	入力画面(氏の変更届 その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	変更後カナ氏	○	カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
26	変更後氏	○	漢字				
27	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			戸38Ⅱ
28	届出人資格1		数字	(008:筆頭者,009:配偶者,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,000:未入力)であること			戸107Ⅰ
29	届出人氏名1		漢字				
30	届出人資格2		数字	(008:筆頭者,009:配偶者,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,000:未入力)であること			戸107Ⅰ
31	届出人氏名2		漢字				
32	名義使用区分		数字	(0:未使用,1:夫,2;妻)であること			
33	構成員人数		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/22

処理名	画面名	画面ID	コード入力項目の説明
1.0　単体チェック　3/3	入力画面(氏の変更届　その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	構成員n氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		住基8･9II
33	構成員n父の氏名		漢字				
34	構成員n母の氏名		漢字				
35	構成員n養父の氏名		漢字				
36	構成員n養母の氏名		漢字				住基8･9II
37	構成員n住所		漢字				
38	構成員nの世帯主		漢字				
39	構成員n更正区分		数字	(1:無,2:父,3:母,4:父母,5:養父,6:養母,7:養父母,8:父+養母,9:母+養父)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	6/22

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 1/3	氏の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)受領日 ≧ (No.27)審判確定日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
3	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
5	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
6	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
8	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
9	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
10	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
11	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.27)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.15)筆頭者本籍 ＝ 本籍地であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.27)審判確定日であること			
15	(No.13)筆頭者―個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.14)筆頭者―配偶者区分 ＝ 0:未婚,1:夫,2:妻,3:生存配偶者であること			
16				住所と世帯主はNo.19-1、19-2でチェックを実施するため削除
17	(No.13)筆頭者―個人除区分 ＝ 0:在籍者の時、 (No.20)配偶者―配偶者区分 ≠ 3:生存配偶者であること			
18	(No.13)筆頭者―個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 [(No.14)筆頭者―配偶者区分,(No.16)筆頭者住所, (No.17)筆頭者世帯主,(No.32)名義使用区分] ＝ スペースであること			
19	(No.13)筆頭者―個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (No.20)配偶者―配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者であること			
19-1	(No.17)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.16)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
19-2	(No.16)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.17)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	7/22

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表　2/3	氏の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
20	(NO.13)筆頭者-個人除区分 ＝ 1:除籍者の時、 (NO.18)配偶者氏名 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
21	(NO.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0:未婚の時、 [(NO.19)配偶者外人区分,(NO.20)配偶者-配偶者区分,(NO.18)配偶者氏名, (NO.21)配偶者住所,(NO.22)配偶者世帯主,(NO.32)名義使用区分] ＝ スペースであること			
22	(NO.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者の時、 [(NO.19)配偶者外人区分,(NO.20)配偶者-配偶者区分,(NO.18)配偶者氏名, (NO.21)配偶者住所,(NO.22)配偶者世帯主,(NO.32)名義使用区分] ＝ スペースであること			
23	(NO.19)配偶者外人区分 ＝ 0:日本人の時、 [(NO.20)配偶者-配偶者区分,(NO.18)配偶者氏名] ≠ スペースであること			
23-1	(NO.19)配偶者外人区分 ＝ 0:日本人かつ(NO.22)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、 (NO.21)配偶者住所 ≠ スペースであること			
23-2	(NO.19)配偶者外人区分 ＝ 0:日本人かつ(NO.21)配偶者住所 ＝ スペースの時、 (NO.22)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
24	(NO.19)配偶者外人区分 ＝ 1:外国人の時、 [(NO.18)配偶者氏名,(NO.21)配偶者住所, (NO.22)配偶者世帯主] ＝ スペースであること			
24-1	(NO.19)筆頭者-個人除区分 ＝ 0:在籍者かつ [(NO.14)筆頭者-配偶者区分 ＝ 1:夫または2:妻]の時、 (NO.19)配偶者外人区分 ≠ スペースであること			
25	(NO.28)届出人資格1 ≠ (NO.30)届出人資格2であること			
26	(NO.33)構成員人数 ＝ 0の時、[氏の変更届その2]は未表示であること			
27	(NO.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力)の時、(NO.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
28	(NO.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力)の時、(NO.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
29	(NO.28)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
30	(NO.30)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(NO.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
31	(NO.28)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
32	(NO.30)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(NO.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
33	(NO.28)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
34	(NO.30)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(NO.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
35	(NO.28)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
36	(NO.30)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(NO.31)届出人氏名2 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8/22

処理名	画面名	画面ID	
2.0関連チェック表 3/3	氏の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	(NO.28)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペース かつ (NO.30)届出人資格2 ＝ 000(未入力) かつ (NO.31)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
38	(NO.30)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.31)届出人氏名2 ≠ スペース かつ (NO.28)届出人資格1 ＝ 000(未入力) かつ (NO.29)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
39	(NO.29)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(NO.29)届出人氏名1 ≠ (NO.31)届出人氏名2であること			
40	(NO.24)変更前氏 ≠ (NO.26)変更後氏であること			
41	※構成員n共通関連チェック ①:構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、構成員n父の氏名 ≠ スペースであること ②:構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、構成員n母の氏名 ≠ スペースであること ③:構成員n更正区分 ＝ 4:父母の時、[構成員n父の氏名,構成員n母の氏名] ≠ スペースであること ④:構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、構成員n養父の氏名 ≠ スペースであること ⑤:構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、構成員n養母の氏名 ≠ スペースであること ⑥:構成員n更正区分 ＝ 7:養父母の時、[構成員n養父の氏名,構成員n養母の氏名] ≠ スペースであること ⑦:構成員n更正区分 ＝ 8:父+養母の時、[構成員n父の氏名,構成員n養母の氏名] ≠ スペースであること ⑧:構成員n更正区分 ＝ 9:母+養父の時、[構成員n母の氏名,構成員n養父の氏名] ≠ スペースであること ⑨:構成員nの世帯主 ≠ スペースの時、構成員n住所 ≠ スペースであること ⑩:構成員n住所 ＝ スペースの時、構成員nの世帯主 ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	9/22

処理名	3.0 審査 1/3				備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)					
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)				
	YES	(0-3)→(0-7)へ			R2.1(氏変40)
	NO	(0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ				R2.1(氏変40)
(0-7)筆頭者氏名の名が未入力 または (配偶者外人区分 = 0(日本人) かつ 配偶者氏名の名が未入力) (YES,NO)			/		R2.1(氏変40)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示			(0-9)本紙へ	R2.1(氏変40)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-12)本紙へ	R2.1(氏変40)
	NO	(0-11)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(氏変40)
NO	(0-13)→(1)へ		/		R2.1(氏変40)
(1)筆頭者-配偶者区分(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)			/		
0	(2)筆頭者-個人除区分(0:在籍,その他)		/		
	0	(3)筆頭者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)	/		
		YES (4)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	/		
		(5)→(49)	/		
		NO (6-1)審査(届出人資格:法定代理人)処理[3.4]	/		
		(6-2)→(49)	/		
	その他	(6-3)配偶者-外人区分(0:日本人,その他)	/		
		0 (6-4)配偶者-配偶者区分 ＝ 3:生存配偶者(YES,NO)	/		
		YES (6-5)名義使用区分(0:未使用,その他)	/		
		0 (6-6)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	/		
		(6-7)→(49)	/		
		その他 (6-8)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する。		(6-9)本紙へ	
		NO (6-10)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。			
	その他	(6-11)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する。			
1	(7)配偶者-外人区分(0:日本人,その他)		/		
	0	(8)配偶者-配偶者区分 ＝ 2:妻(YES,NO)	/		

		YES	(9)名義使用区分(1:夫,2:妻,その他)		/		
			1	(10)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答
				(11)→(49)	/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答
			2	(13)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答
				(14)→(49)	/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	10/22

処理名		3.0 審査 2/3					備考
1	0	YES	その他	(16)審査(届出人資格:筆頭者,配偶者双方)処理[3.3]	/		
				(17)→(49)	/		
		NO	(18)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」			(15)本紙へ	
	その他	(20)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]			/		
		(21)→(49)			/		
2	(23)配偶者-外人区分(0:日本人,その他)				/		
	0	(24)配偶者-配偶者区分 ＝ 1:夫(YES,NO)			/		
		YES	(25)名義使用区分(1:夫,2:妻,その他)		/		
			1	(26)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲 926号回答
				(27)→(49)	/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答
			2	(29)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]	/		昭和23.4.15 民事甲 926号回答
				(30)→(49)	/		昭和23.5. 6 民事甲 1131号回答
			その他	(32)審査(届出人資格:筆頭者,配偶者双方)処理[3.3]	/		
				(33)→(49)	/		
		NO	(34)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。			(35)本紙へ	
	その他	(36)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]			/		
		(37)→(49)			/		
3	(38)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]				/		
	(39)→(49)				/		NO.40～48欠番
(49)構成員の更正区分審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)					/		
	(50)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父						
	1	(51)→(49)			/		
	上記以外	(52)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父					
		2,4,8	(53)更正員nの父氏名 ＝ 筆頭者漢字氏名(YES,NO)		/		
			YES	(54)→(60)	/		
			NO	(55)更正員nの父氏名 ＝ 配偶者漢字氏名(YES,NO)	/		
				YES (56)→(60)	/		

処理名		3.0 審査 3/3					備考
	上記以外	2,4,8	NO	NO	(57)エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(58)本紙へ	
		上記以外	(59) → (60)				
		(60)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父					
		3,4,9	(61)更正員nの母氏名 ＝ 筆頭者漢字氏名(YES,NO)				
			YES	(62) → (68)			
			NO	(63)更正員nの母氏名 ＝ 配偶者漢字氏名(YES,NO)			
				YES	(64) → (68)		
				NO	(57)エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(66)本紙へ	
		上記以外	(67) → (68)				
		(68)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父					
		5,7,9	(69)更正員nの養父氏名 ＝ 筆頭者漢字氏名(YES,NO)				
			YES	(70) → (76)			
			NO	(71)更正員nの養父氏名 ＝ 配偶者漢字氏名(YES,NO)			
				YES	(72) → (76)		
				NO	(73)エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(74)本紙へ	
		上記以外	(75) → (76)				
		(76)更正員の更正区分(1:無、2:父、3:母、4:父母、5:養父、6:養母、7:養父母、8:父 + 養母、9:母 + 養父					
		6,7,8	(77)更正員nの養母氏名 ＝ 筆頭者漢字氏名(YES,NO)				
			YES	(78) → (51)			
			NO	(79)更正員nの養母氏名 ＝ 配偶者漢字氏名(YES,NO)			
				YES	(80) → (51)		
				NO	(81)エラーメッセージ 「更正員の更正区分に誤りがあります。」を表示	(82)本紙へ	
		上記以外	(83) → (49)				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	12/22

処理名	3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 1/2		備考
(1)届出人資格1(000:未入力,008:筆頭者,110:未成年後見人,その他)		/	
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者,110:未成年後見人,その他)	/	
008	(3)→	/	(3),(4),(5),(7),(8)は削除
	(4)	/	
	(5)		(6)本紙へ
	(7)	/	
	(8)	/	
110	(9)	/	(9),(10),(11),(12),(14)は削除
	(10)	/	
	(11)	/	
	(12)		(13)本紙へ
	(14)		
	(12-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」		「N」の時、不受理
その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		不受理
008	(16)届出人資格2(000:未入力,その他)	/	
000	(17)→	/	(17),(18),(19),(21),(22)は削除
	(18)	/	
	(19)		(20)本紙へ
	(21)	/	
	(22)	/	
その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(24)本紙へ 不受理
110	(25)届出人資格2(000:未入力,その他)	/	
000	(26)	/	(26),(27)は削除
	(27)	/	

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13/22

処理名		3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 2/2				備考
110	000		(28)	/		(28),(29),(31)は削除
			(29)		(30)本紙へ	
			(31)			
		(29-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」				「N」の時、不受理
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。				不受理
その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。				不受理
(34) →						

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14/22

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 1/2			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,009:配偶者,その他)		/		
000	(2)届出人資格2(009:配偶者,その他))	/		
009	(3)→	/		(4),(5),(7),(8)は削除
	(4)	/		
	(5)		(6)本紙へ	
	(7)	/		
	(8)	/		
	(9) →	/		(10),(11),(12),(14)は削除
	(10)	/		
	(11)	/		
	(12)		(13)本紙へ	
	(14)			
その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理
009	(16)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
000	(17) →	/		(18),(19),(21),(22)は削除
	(18)	/		
	(19)		(20)本紙へ	
	(21)	/		
	(22)	/		
その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(24)本紙へ	不受理
	(25)	/		(25),(26),(27)は削除
	(26)	/		
	(27)	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/22

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 2/2		備考
	(28)	/	(28),(29),(31)(32)は削除
	(29)	(30)本紙へ	
	(31)		
	(32)		不受理
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。		不受理
(34) →			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	16/22

処理名	3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方) 1/1			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,008:筆頭者,009:配偶者,その他		/		
008	(2)届出人資格2(009:配偶者,その他)	/		
	009 (3) → (11)	/		戸1081
	その他 (4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(5)本紙へ	
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者,その他)	/		
	008 (7) → (11)	/		戸1081
	その他 (8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(10)本紙へ	
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			
(11)→		/	(11-1)3.0審査へ	(12)～(19)は削除
	(12)	/		
	(13)		(14)	
	(15)	/		
	(16)	/		
	(17)		(18)	
			(19)	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	17/22

処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人) 1/2				備考
(1)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)				/	
000	(2)届出人資格2(016:親権者父.017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)			/	
	016,017, 019,020	(3)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。			(4)本紙へ	「N」の時、不受理
	110	(5)本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
		1	(6)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/		
			YES (7) →		(8)3.0審査へ	
			NO (9)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。		(10)本紙へ	
		2	(11) →		(12)3.0審査へ	
	その他	(13)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。			(14)本紙へ	
016,019	(15)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)			/		
	000	(16)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。			(17)本紙へ	「N」の時、不受理
	017,020	(18)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示する。				「N」の時、不受理
	その他	(19)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。				
017,020	(20)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)			/		
	000	(21)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。			(22)本紙へ	「N」の時、不受理
	016,019	(23)確認メッセージ 「単独親権ですか･?」を表示する。				「N」の時、不受理
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。				

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	18/22

処理名	3.4 審査(届出人資格:法定代理人) 2/2			備考
110	(25)届出人資格2(000:未入力,その他)		/	
000	(26) → (29)		/	
その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		(28)本紙へ	
	(29)本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/	
1	(30) 事件本人の身分事項に後見人事項がある(YES,NO)		/	
	YES (31) →		(32)3.0審査へ	
	NO (33)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。		(34)本紙へ	
2	(35) →		(36)3.0審査へ	
その他	(37)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。		(38)本紙へ	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	19/22

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(氏の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		氏の変更届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――――				28を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――――				1(創設)
	渉外区分			――――――――				0:日本人
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者及び配偶者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
	事件別内容							3/4～4/4参照

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/22

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(氏の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	不受理申処分区分		氏の変更届 入力画面	――――――――				
	処分区分			――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――――				何も設定されていない場合に 0:未決済を設定
	届書排他区分			――――――――				0:未,1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/22

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容 ← (引渡側)入力画面(氏の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	筆頭者の個人番号		氏の変更届(その1) 入力画面					本籍人の場合、筆頭者の個人番号
	カナ氏名(筆頭者)			筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名(筆頭者)			筆頭者漢字氏名				
	生年月日(筆頭者)			筆頭者生年月日				
	個人除区分(筆頭者)			筆頭者個人除区分				
	配偶者区分(筆頭者)			筆頭者-配偶者区分				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍(筆頭者)							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所(筆頭者)							
	世帯主(筆頭者)			筆頭者世帯主				
	配偶者の個人番号							本籍人の場合、配偶者の個人番号
	氏名(配偶者)			配偶者氏名				
	外人区分(配偶者)			配偶者外人区分				
	配偶者区分(配偶者)			配偶者-配偶者区分 配偶者住所				
	住所コード							
	住所(配偶者)							
	世帯主(配偶者)			配偶者の世帯主				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前漢字氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				

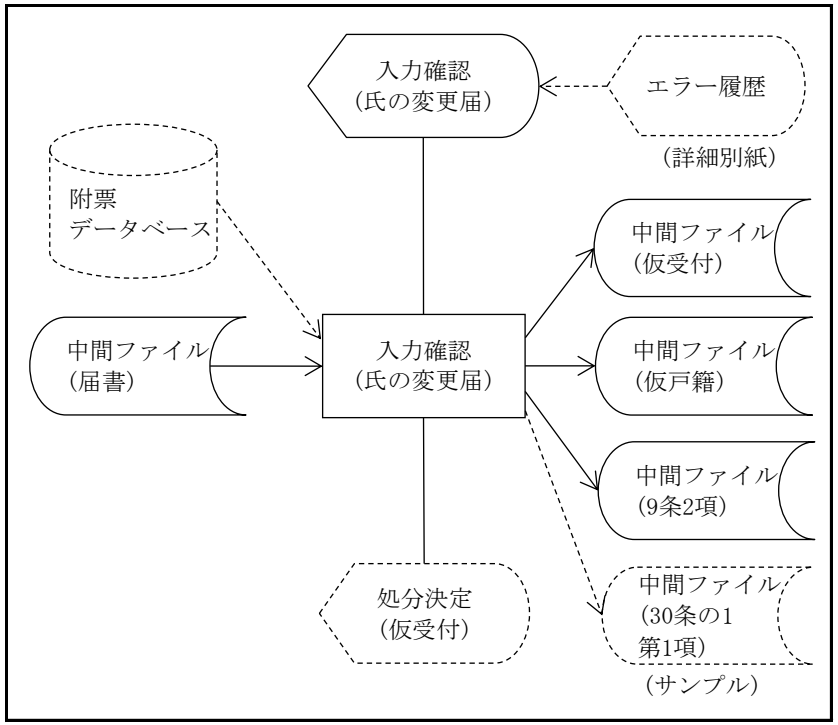
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/22

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力　4/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側)入力画面(氏の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	届出人氏名2		氏の変更届(その1) 入力画面	届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員nの個人番号		氏の変更届(その2) 入力画面					本籍人の場合、構成員の個人番号
	構成員nの漢字氏名			構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。 (入力されたデータ分)
	構成員n父の氏名			構成員n父の氏名				
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名			構成員n養父の氏名				
	構成員n養母の氏名			構成員n養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/22

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理にに制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
    - 4.1 戸籍事項(変動なし)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍(更正者))
    - 5.1 個人特定(変動なし)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 6.1 筆頭者
    - 6.2 配偶者
    - 6.3 他の構成員
  - 7.0 データ編集表(中間ファィル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 7.1 筆頭者
    - 7.2 配偶者
    - 7.3 他の構成員

5.備考(特記事項含む)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年3月1日	8	2/22

処理名	0.0 本紙				備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認面面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する [1.0]				/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2.PF5,PF7,PF8,PF11,その他)				/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を確認する [2.0]			/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]			/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)			/	
	YES	(6)戸籍変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/	
		戸籍変動(変動なし)	(7)氏の変更事項の編集 [4.1]	/	
		身分事項(変動なし)	(8)更正者の身分(更正)事項の編集 [5.1]	/	
		(8-1)在籍している筆頭者,配偶者,他の構成員全員について下記の処理を行う		/	※サンプル提示 附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合 処理(8-1)～(8-4)
			(8-2)当該在籍者は在外選挙人である(YES,NO)	/	
			YES (8-3)当該在籍者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 筆頭者[7.1],配偶者[7.2],他の構成員[7.3]	/	
			NO (8-4)→(10)	/	
	NO	(9)→(10)		/	
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受理分又は2:在外公館の直接送付である(YES,NO)			/	
	YES	(11)筆頭者個人除区分 ＝ 0:在籍者である(YES,NO)		/	
		YES	(12)筆頭者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.1]	/	
		NO	(13)→(14)	/	
		(14)配偶者一配偶者区分 ＝ 1:夫,2:妻又は3:生存配偶者である(YES,NO)		/	
		YES	(15)配偶者外国人区分 ＝ 0:日本人である(YES,NO)	/	
			YES (16)配偶者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.2]	/	
			NO (17)→(18)	/	
			(18)構成員人数 ≠ スペース(ZERO)である(YES,NO)	/	
			YES (19)構成員について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する [6.3]	/	
			NO →	/	
		NO	→	/	
	NO	→		/	

(20)処分決定に制御を渡す

※除籍者に対する9条2項通知の作成は不要である

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	3/22

処理名	0.0 本紙		備考
PF1	→		(21)業務選択に制御を渡す
PF2	→		(22)届出選択に制御を渡す
PF5	→		(23)審査(氏の変更届)に制御を渡す
PF7	(24)前ページがあるか(ある,なし)	/	
	ある (25)前ページ分の「氏の変更届」画面を編集		(27)同画面を編集する
	なし (26)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する		
PF8	(28)次ページがあるか(ある,なし)	/	
	ある (29)次ページ分の「氏の変更届」画面を編集		(31)同画面を編集する
	なし (30)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
PF11	→		(32)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	→		(34)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/22

処理名	1.0 入力確認(氏の変更)表示　1/3	(受取側) 氏の変更届確認画面(その1)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
氏の変更届 確認画面 (その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル (届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者生年月日		中間ファイル (届書) 事件別内容	生年月日(筆頭者)				
	筆頭者個人除区分			個人除区分(筆頭者)				
	筆頭者個人除区分名称					有		
	筆頭者-配偶者区分			配偶者区分(筆頭者)				
	筆頭者-配偶者区分名称					有		
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍(筆頭者)				
	筆頭者カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所(筆頭者)				
	筆頭者世帯主			世帯主(筆頭者)				
	配偶者外人区分			外人区分(配偶者)				
	配偶者外人区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/22

処理名	1.0 入力確認(氏の変更)表示　2/3	(受取側) 氏の変更届確認画面(その1)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
氏の変更届 確認画面 (その1)	配偶者-配偶者区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	配偶者区分(配偶者)				
	配偶者-配偶者区分名称					有		
	配偶者氏名			氏名(配偶者)				
	配偶者住所			住所コード				
				住所(配偶者)				
	配偶者の世帯主			世帯主(配偶者)				
	変更前カナ氏			変更前カナ氏				
	変更前漢字氏			変更前漢字氏				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	審判確定日			審判確定日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	夫婦双方名義使用区分			名義使用区分				
	夫婦双方名義使用区分名称					有		
	構成員人数			構成員人数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/22

処理名	1.0 入力確認(氏の変更)表示　3/3	(受取側) 氏の変更届確認画面(その2)	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
氏の変更届 確認画面 (その2)	構成員n氏名		中間ファイル (届書) 事件別内容	構成員nの漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員n父の氏名			構成員n父の氏名				
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名			構成員n養父の氏名				
	構成員n養母の氏名			構成員n養母の氏名				
	構成員nの住所			構成員n住所				
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動
	氏変更者				氏変更者の戸籍
	本籍		構成員の更正区分 *2		変動なし　A.2 C.2 D.2　*1
	本籍人	非本籍人	有 (2,3,4,5,6,7,8,9)	無 (1)	
1	○		○		戸籍事項編集 4.1 更正者 5.1
2	○			○	戸籍事項編集 4.1
3		○	○		
4		○		○	

*1:在籍者の人数分作成。

*2:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

(注)　・A.2(戸籍特定事項)は、筆頭者について更新を行う。

・D.2(氏名情報)は、カナ氏名と漢字氏名について変更後(氏の変更)氏名で作成する。

(筆頭者が除籍されている場合についても作成する。)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/22

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――――――				28を移送
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日			――――――――				
	事件発生時分			――――――――				ZEROを移送
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			――――――――				「0:日本人のみ」を移送
	証書提出日			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				移送データなし
	収日			――――――――				移送データなし
	指示日			――――――――				ZEROを移送
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				移送データなし
	届出人資格1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 008,009,000の場合は、未設定(資格1、2及び氏名1、2) 上記以外の場合は、資格および氏名を移送する。 (但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――――――				移送データなし

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/22

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	――――――――				移送データなし
	届後本籍			――――――――				移送データなし
	届後戸籍の筆頭者			――――――――				移送データなし
	送達確認1			――――――――				「0:不要」を移送
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成17年 3月 1日	9	10/22

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				届出人資格1又は2 ＝ 008:44(筆頭者)で1件作成 届出人資格1又は2 ＝ 009:45(配偶者)で1件作成 届出人資格1又は2 ＝ 008又は009以外の時、44(筆頭者)で1件作成
	届出人区分			――――――――				届出人資格1,2が008または009の場合 1(届出人)を設定。 上記以外は、0(届出人以外)を設定
	カナ氏名			――――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送
	漢字氏名			――――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送
	生年月日			――――――――				事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2			――――――――				事件本人の現本籍が、 (本非区分 ＝ 2) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成3年11月30日	令和　年　月　日	1	11/22

処理名	4.1 戸籍事項(変動なし)編集 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)	――――――――				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				「0」を設定
	タイトルコード			――――――――				2801:「氏の変更」を設定
	記録コード			――――――――				2801:「107条1項の氏の変更者の氏の変更の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	氏の変更 氏変更日			受領日				
	氏の変更 氏変更の事由			――――――――				「戸籍法107条1項の届出」を設定
	届出人 資格			届出人資格1,2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次頁参照(2/2)
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	届出人 資格							
	届出人 資格名称							
	届出人 氏名							
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				発送元 ≠ スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可を受けた者			――――――――				
	従前 従前の記録							
	従前 氏			変更前漢字氏				

処理名	4.1 戸籍事項(変動なし)編集 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル (届書)					処理日 ≠ スペース:処理日を移送
	特記	特記事項			――――――――				名義使用区分が1又は2の場合「夫婦名義で届出」を設定

届出人資格･氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1,2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 *1	夫または妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 *1				親権者父母			
009(配偶者)	夫または妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父,養母 *2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		養父,親権者母 *2		
019(親権者養父)	親権者養父				養父,親権者母 *2		養父,養母 *2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父,養母 *2		養父,養母 *2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1,2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX. 親権者養父 と 親権者養母 の場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1,2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月10日	3	13/22

処理名	5.1 更正者の身分事項(変動なし)編集	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)					決裁処理で設定
	行番号							
	出力区分							0:可
	タイトルコード							7001:「更正」を設定
	記録コード							7001:「更正事項の記録」を設定
	管掌者コード							
	事件発生日			受領日				
	更正 更正日			処理日 送付日 受領日				処理日 ≠ スペース:処理日を移送 送付日 ≠ スペース:送付日を移送 上記以外 :受領日を移送
	更正 更正事項							氏更正区分に該当する〔(養)父,(養)母〕を移送
	更正 更正事由							氏更正区分に該当する〔(養)父,(養)母〕+「氏変更」
	記載 従前の記録			構成員nの父、母 養父、養母氏名				該当項目を移送

(1)更正事項･更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
4	「父母」
5	「養父」
6	「養母」
7	「養父母」
8	「父及び養母」
9	「養父及び母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　(例)養父母の氏名
更正事由:変換文字 + 氏変更　(例)養父母氏変更

(2)従前の記録について
更正区分に従い、該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録	(移送する従前氏名)
2	【父】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名
3	【母】 KKK～KKK	←構成員nの母氏名
4	【父】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名
	【母】 KKK～KKK	←構成員nの母氏名
5	【養父】 KKK～KKK	←構成員nの養父氏名
6	【養母】 KKK～KKK	←構成員nの養母氏名
7	【養父】 KKK～KKK	←構成員nの養父氏名
	【養母】 KKK～KKK	←構成員nの養母氏名
8	【父】 KKK～KKK	←構成員nの父氏名
	【養母】 KKK～KKK	←構成員nの養母氏名
9	【母】 KKK～KKK	←構成員nの母氏名
	【養父】 KKK～KKK	←構成員nの養父氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎
【養母】甲野梅子

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14/22

処理名	6.1筆頭者　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/筆頭者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 筆頭者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			筆頭者の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 漢字氏名 (筆頭者)の名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			――――――――				
	新本籍			――――――――				
	旧本籍コード			――――――――				
	旧本籍			――――――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名 (筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所(筆頭者)				
	方書			――――――――				
	住定日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/22

処理名	6.1 筆頭者　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/筆頭者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 筆頭者	住民日		中間ファイル (届書)	――――――――				
	世帯主			世帯主(筆頭者)				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16/22

処理名	6.2 配偶者　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項)配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			配偶者の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 氏名(配偶者)の名				
	旧氏名			氏名(配偶者)				
	新生年月日			――――――――				
	旧生年月日			――――――――				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			――――――――				
	新本籍			――――――――				
	旧本籍コード			――――――――				
	旧本籍			――――――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(配偶者)				
	住所			住所(配偶者)				
	方書			――――――――				
	住定日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	17/22

処理名	6.2 配偶者　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/配偶者	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 配偶者	住民日		中間ファイル (届書)	――――――――				
	世帯主			世帯主(配偶者)				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	18/22

処理名	6.3 他の構成員　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/他の構成員 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 他の構成員	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			構成員の個人番号				本籍人の場合
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員の漢字氏名				
	新生年月日			――――――――				
	旧生年月日			――――――――				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			――――――――				
	新本籍			――――――――				
	旧本籍コード			――――――――				
	旧本籍			――――――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			構成員の住所コード				
	住所			構成員の住所				
	方書			――――――――				
	住定日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/22

処理名	6.3 他の構成員　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/他の構成員　← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 他の構成員	住民日		中間ファイル (届書)	――――――――				
	世帯主			構成員の世帯主				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	20/22

処理名	7.1 筆頭者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/筆頭者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 筆頭者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 漢字氏名 (筆頭者)の名				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新性別			――――――――				
	旧性別			――――――――				
	新本籍コード			――――――――				
	新本籍			――――――――				
	旧本籍コード			――――――――				
	旧本籍			――――――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名 (筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者)				
	住所			住所(筆頭者)				
	方書			――――――――				
	転入届出日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	21/22

処理名	7.2 配偶者 編集・出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/配偶者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 配偶者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 氏名(配偶者)の名				
	旧氏名			氏名(配偶者)				
	新生年月日			――――――――				
	旧生年月日			――――――――				
	新性別			――――――――				
	旧性別			――――――――				
	新本籍コード			――――――――				
	新本籍			――――――――				
	旧本籍コード			――――――――				
	旧本籍			――――――――				
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(配偶者)				
	住所			住所(配偶者)				
	方書			――――――――				
	転入届出日			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(氏の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	22/22

処理名	7.3 他の構成員 編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/他の構成員 ← (引渡側) 中間ファイル(届書),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｰｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 他の構成員	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					28:氏の変更届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			個人番号				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			変更後漢字氏 + 構成員漢字氏名の名				
	旧氏名			構成員の漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日							
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード							
	旧本籍							
	新筆頭者			変更後漢字氏 + 漢字氏名(筆頭者)の名				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			構成員の住所コード				
	住所			構成員の住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

28.107条2項届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/1

1.107条2項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合は、更正処理

・非本籍地に届出し、その管内に新戸籍編製する場合の個人特定(入籍)の編集は、移記処理

・変更後の氏に子に承継する部分が含まれているか否かの審査
　但し、上記についての外国法制の調査は実際に困難であるため、
　特段の事情がない限り届出の通り受理されることになる

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

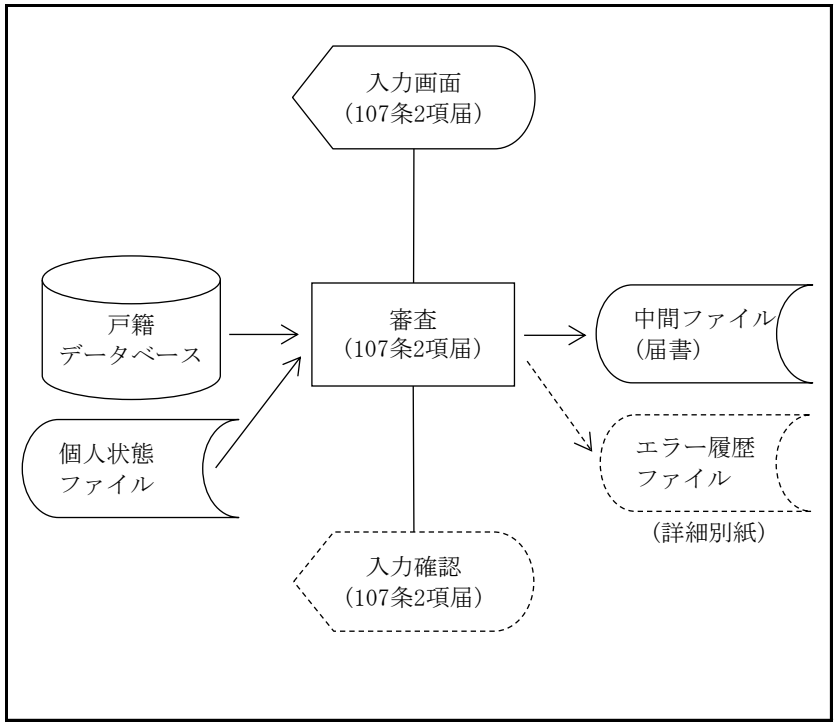
2.107条2項届入力画面の意義

・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

第72(5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/8

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)107条2項届の内容を画面入力する。
(2)107条2項届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)107条2項届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)107条2項届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(107条2項届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

(1)届出期間は、婚姻日～受領日で計算する。

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/8

処理名	0.0　本紙										備考
(1)届書内容を画面入力する									/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集を行う。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)									/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕								/		
	YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕							/		
		YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする						/		
			(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕						/		
				YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕					(8)入力確認画面に制御を渡す	
				NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)				/		
					審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する				(12)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
					確認	(11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する					確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
		NO	(13)エラーメッセージを表示する								
	NO	(14)エラーメッセージを表示する									
PF1	→									(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→									(16)届出選択に制御を渡す	
PF10	(17)画面の入力項目の入力禁止を解除する									(21)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(18)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する										審査エラー発生時のみ有効
PF12	(19)入力画面を初期化する										
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する										

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/8

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　1/1	入力画面(107条2項届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	筆頭者－配偶者区分	○	数字	(1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
20	配偶者氏	○	漢字				
21	配偶者名	○	漢字				
22	配偶者－外人区分	○	数字	(1:外国人)であること			
23	同籍者区分	○	数字	(0:無,3:他構成員のみ)であること			戸20の2Ⅰ
24	新本籍		漢字				戸20の2Ⅰ

第72(5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	4/8

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	入力画面(107条2項届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍又は(No.24)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.18)筆頭者婚姻年月日であること			
14	(No.23)同籍者区分 ＝ 0:無の時、(No.24)新本籍 ＝ スペースであること			
15	(No.23)同籍者区分 ≠ 0:無の時、(No.24)新本籍 ≠ スペースであること			
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107の2の25)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	5/8

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」(YES,NO)			
	YES	(0-3)→(0-7)へ		R2.1(107の2の23)
	NO	(0-4)→	(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ			R2.1(107の2の23)
(0-7)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(107の2の23)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-9)本紙へ	R2.1(107の2の23) R2.1(107の2の23)
	YES	(0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示	(0-12)本紙へ	R2.1(107の2の23)
	NO	(0-11)→		画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の23)
NO	(0-13)→(1)へ	/		R2.1(107の2の23)
(1)筆頭者婚姻年月日 + 6箇月 > 受領日である(YES,NO)		/		戸107Ⅱ,戸43,民143
YES	(2)筆頭者 - 配偶者区分(1:夫,2:妻,3:生存配偶者)	/		
	1,2	(3)→(14)へ		R2.1(107の2の25)
	3	(4)エラーメッセージ 「外国人配偶者が死亡しています。」を表示	(5)本紙へ	不受理 昭和59.11.1 民二5500号通達
NO	(6)エラーメッセージ 「届出有効期間(6箇月以内)を経過しています。」を表示			不受理
(7)		/		(7)～(13)欠番
	(8)	/		
	(9)		(10)	
	(11)			
	(12)			
	(13)			
(14) 変更後漢字氏 ＝ 配偶者氏(YES,NO)				R2.1(107の2の25)
YES	(15)→		(16)本紙へ	R2.1(107の2の25)
NO	(17)確認メッセージ(YES,NO)			R2.1(107の2の25)
	「変更後の氏と配偶者の氏が異なりますが、よろしいですか?」を表示			R2.1(107の2の25)
	YES	(18)→	(19)本紙へ	R2.1(107の2の25)
	NO	(20)→	(21)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107の2の25)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	6/8

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集・出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(107条2項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	受領番号		107条2項届 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――――				29を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	受理送付区分			――――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本・非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――――				1(創設)
	渉外区分			――――――――				1:渉外
	同時決裁受領番号			――――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――――				
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/8

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側) 入力画面(107条2項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 共通	処分区分		107条2項届 入力画面	――――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――――				何も設定されていない場合に0:未決 済を設定
	届書排他区分			――――――――				再入力の場合に 1:排他 を設定

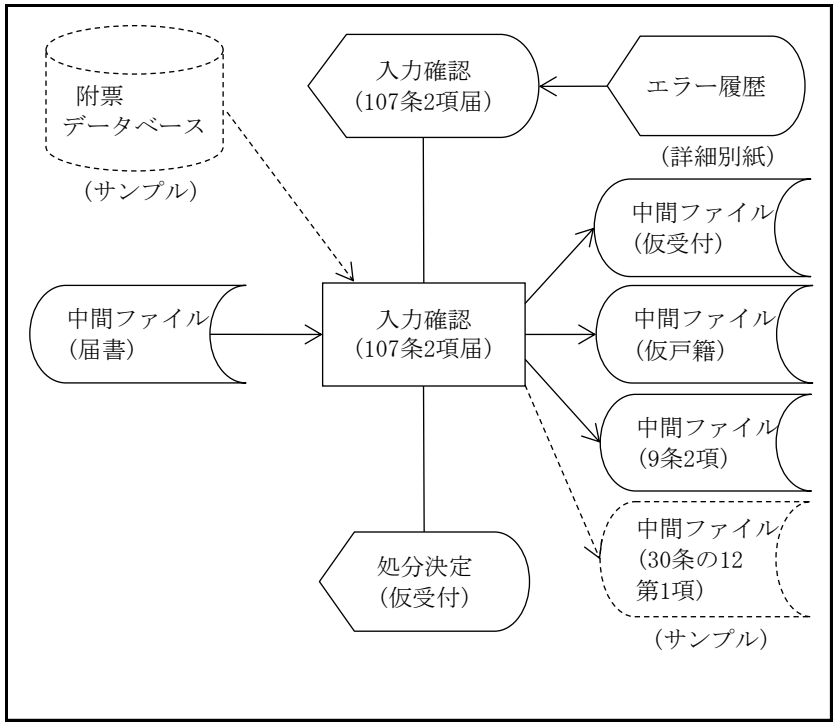
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/8

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	← (引渡側) 入力画面(107条2項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書) 事件別内容	氏変更者個人番号		107条2項届 入力画面	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名(筆頭者)			筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名(筆頭者)			筆頭者漢字氏名				
	カナ氏(変更後)			変更後カナ氏				
	漢字氏(変更後)			変更後漢字氏				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍(筆頭者)							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所(筆頭者)							
	世帯主(筆頭者)			筆頭者世帯主				
	生年月日(筆頭者)			筆頭者生年月日				
	婚姻年月日(筆頭者)			筆頭者婚姻年月日				
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者氏			配偶者氏				
	配偶者名			配偶考名				
	配偶者外人区分			配偶者外人区分				
	同籍者区分			同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏 + 筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者			――――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏 + 筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/16

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
    - 4.1 戸籍事項(107条2項)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 5.1 個人特定(入籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1 身分事項(除籍)
    - 6.2 身分事項(入籍)
    - 6.3 身分事項(変動なし)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 氏の変更者
  - 8.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 8.1 氏の変更者

5.備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条2項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	2/16

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する		〔1.0〕	/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する	〔2.0〕	/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する	〔3.0〕	/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する		/	
	戸籍事項 (7)戸籍法107条2項届の編集	〔4.1〕	/	
	個人特定(入籍) (8)事件本人の個人特定情報の編集	〔5.1〕	/	
	身分事項(除籍) (9)事件本人の除籍事項の編集	〔6.1〕	/	
	身分事項(入籍) (10)事件本人の入籍事項の編集	〔6.2〕	/	
	身分事項(変動なし) (11)事件本人の変動なし事項の編集	〔6.3〕	/	
	(11-1)氏変更者は在外選挙人である(YES,NO)		/	※サンプル提示
	YES (11-2)氏変更者について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する	〔8.1〕	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)
	NO (12) → (13)		/	
	NO			
	(13)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)		/	
	YES (14)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する	〔7.1〕		(15)処分決定に制御を渡す
	NO →			
PF1	→			(16)業務選択に制御を渡す
PF2	→			(17)届出選択に制御を渡す
PF5	→			(18)審査に制御を渡す
PF11	→			(19)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(21)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/16

処理名	1.0 入力確認(107条2項届)表示　1/2	(受取側) 107条2項届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条2項届 確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル (届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日		中間ファイル (届書) 事件別内容	郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名(筆頭者				
	変更後カナ氏			カナ氏(変更後)				
	変更後漢字氏			漢字氏(変更後)				
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍(筆頭者)				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所(筆頭者)				
	筆頭者世帯主			世帯主(筆頭者)				
	筆頭者生年月日			生年月日(筆頭者))		有		
	筆頭者婚姻年月日			婚姻年月日(筆頭者)		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称					有		
	配偶者氏			配偶者氏				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/16

処理名	1.0 確認画面(107条2項届)表示　2/2	(受取側) 107条2項届確認画面	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条2項届 確認画面	配偶者外人区分		中間ファイル (届書) 事件別内容	配偶者外人区分				
	配偶者外人区分名称					有		
	配偶者名			配偶者名				
	同籍者区分			同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(戸籍法107条2項)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/16

処理名	2.0　戸籍編製マトリクス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 5.1 D.1
	本籍		同籍者区分		新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	他構成員のみ	管内	管外			
1	○		○					氏変更者(6.3)	
2	○			○	○		氏変更者(6.1)		氏変更者(6.2)
3	○			○		○	氏変更者(6.1)		
4		○		○	○				民変更者(6.2)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	6/16

処理名	3.0中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――――				2901(戸籍法107条2項)を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ 空白の時、受領日 送付日 ≠ 空白の時、送付日
	事件発生日							
	事件発生時分			――――――――				
	事件発生日時			――――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				
	届出人資格区分1			――――――――				本人であるので移送しない
	届出人資格名称1			――――――――				
	届出人氏名1			――――――――				
	届出人資格区分2			――――――――				
	届出人資格名称2			――――――――				
	届出人氏名2			――――――――				
	届後本籍区分			――――――――				新本籍 ≠ スペースの時、2を移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/16

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/共通	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル (届書)	新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時,移送
	届後本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時,移送
	届後戸籍の筆頭者			――――――				新本籍 ≠ スペース:「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	送達確認1			――――――				(届後本籍が非本籍)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/16

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集・出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(仮受付)/事件本人	← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	行番号			――――――――				
	事件本人区分			――――――――				53:氏変更者 を設定
	届出人区分			――――――――				1:事件本人 を設定
	カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者漢字氏名				
	送達確認2			――――――――				事件本人の現本籍が、(本非区分 ＝ 2) かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	9/16

処理名	4.1 戸籍事項(107条2項)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号		中間ファイル (届書)	――――――――				
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――――――				2901:を設定
	記録コード			――――――――				2901:を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由			――――――――				「戸籍法107条2項の届出」を設定
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた日			――――――――				
	従前記録 従前の記録			――――――――				新本籍 ＝ スペースのとき、「漢字氏名(筆頭者)の氏」を移送 上記以外は移送しない。
	従前記録 氏							
	記録 記録日			――――――――				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/16

処理名	5.1 個人特定(入籍)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)個人特定	← (引渡側) 中間ファイル(届書)、戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 個人特定	個人番号			――――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――――				
	戸籍記録順位番号			――――――――				
	入籍日		中間ファイル (届書)	処理日 (または送付日 または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			――――――――				
	性別			――――――――				配偶者区分より判定し、設定
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	筆頭者区分			――――――――				1:筆頭者を設定
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			――――――――				移記処理で設定
	母			――――――――				
	父母との続柄			――――――――				
	養父			――――――――				
	養母			――――――――				
	養父母との続柄			――――――――				
	前個人番号			――――――――				
	個人除区分			――――――――				0:在籍者 を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	11/16

処理名	6.1 氏の変更者の記録(除籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――――――				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			――――――――				2901: 「107条2項の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入籍 入籍日			――――――――				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 本籍			――――――――				除籍では不使用
	入戸籍 従前戸籍 筆頭者			――――――――				除籍では不使用
	除籍 除籍日			処理日				
	除戸籍 新本籍			新本籍				該当項目を移送
	除戸籍 変更後の氏			漢字氏(変更後)				該当項目を移送
	記録 記録日			――――――――				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	12/16

処理名	6.2 氏の変更者の記録(入籍)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――――――				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			――――――――				2901: 「107条2項の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入籍 入籍日			処理日				
	入戸籍 従戸前籍 本籍			本籍(筆頭者)				該当項目を移送
	入戸籍 従戸前籍 筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				該当項目を移送
	除籍 除籍日			――――――――				入籍では不使用
	除戸籍 新本籍			――――――――				入籍では不使用
	除戸籍 変更後の氏			――――――――				入籍では不使用
	記録 記録日			――――――――				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	13/16

処理名	6.3 氏の変更者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮戸籍) 身分事項	個人番号		中間ファイル (届書)	――――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号			――――――――				
	出力区分			――――――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――――――				2901:「氏の変更」を設定
	記録コード			――――――――				2901: 「107条2項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード			――――――――				
	事件発生日			受領日				
	氏変更 氏変更日			受領日				
	氏変更 氏変更の事由							「戸籍法107条2項の届出」を移送
	送付 送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
	送付 受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可 許可日			――――――――				
	許可 許可書謄本の送付を受けた日			――――――――				
	許可 許可を受けた者			――――――――				
	入籍 入籍日			――――――――				変動なしでは不使用
	入戸籍 従戸前籍 本籍			――――――――				変動なしでは不使用
	入戸籍 従戸前籍 筆頭者			――――――――				変動なしでは不使用
	除籍 除籍日			――――――――				変動なしでは不使用
	除戸籍 新本籍			――――――――				変動なしでは不使用
	除戸籍 変更後の氏			――――――――				変動なしでは不使用
	記録 記録日			処理日				
	特記 特記事項			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	14/16

処理名	7.1 氏の変更者　編集･出力　1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/氏の変更者	←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――――				29:107条2項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍コード			本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍			本籍(筆頭者)				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新筆頭者			――――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――――				
	住民日							

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/16

処理名	7.1 氏の変更者　編集･出力　2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/氏の変更者 ← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (9条2項) 氏の変更者	世帯主		中間ファイル (届書)	筆頭者世帯主				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条2項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	16/16

処理名	8.1 氏の変更者　編集･出力　1/1	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/氏の変更者　← (引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (30条の12第1項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル (届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データ ベース	在外選挙人名簿登録 市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル (届書)					29:107条2項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号			――――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者)				
	新父母との続柄			――――――――				
	旧父母との続柄			――――――――				
	新本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新本籍			新本籍				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍コード			本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	旧本籍			本籍(筆頭者)				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	新筆頭者			――――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							

第7.2.(5)「異動」処理

29.107条3項届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	1/1

1.107条3項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・氏を変更する者の子について、(養)父母欄の氏を更正する場合(更正処理)

・事件本人が当該届出前に婚姻していた場合は審査結果入力処理で対応する。

・夫婦の筆頭者であった者が婚姻中に国籍喪失で除籍となっている場合

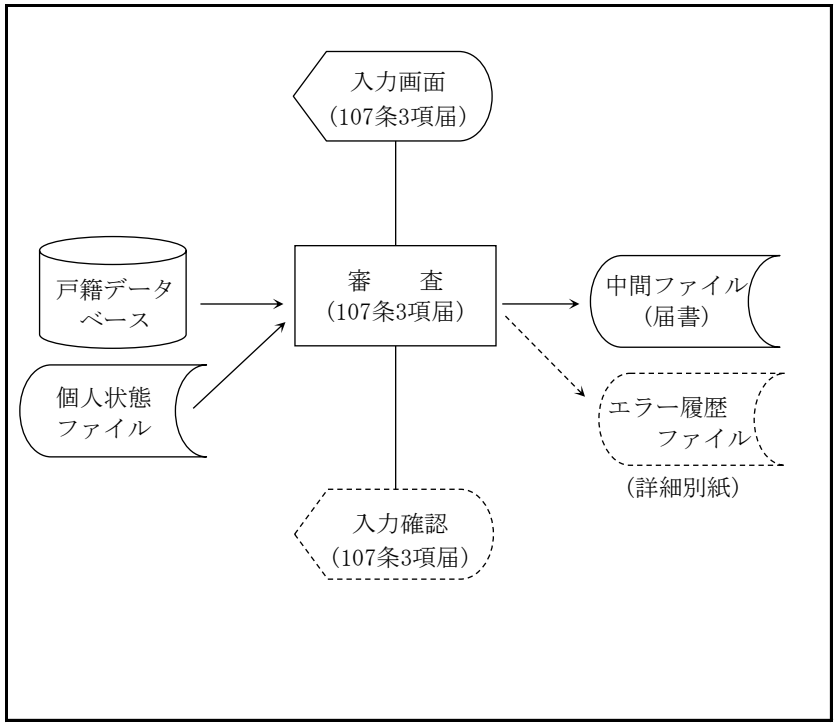
2.107条3項届入力画面の意義

・氏の変更を行う当事者(筆頭者)の各項目を入力する。

3.その他

第72(5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)107条3項届の内容を画面入力する。
(2)107条3項届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)107条3項届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)107条3項届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(107条3項届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	3	2/9

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕	/		
YES	(7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
審査ｴﾗｰ	(10)エラーメッセージを表示する		(13)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
確認	(11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
NO	(12)エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(20)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(17)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(18)入力画面を初期化する			
その他	(19)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック	入力画面(107条3項届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
11	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	筆頭者本籍	○	漢字				
15	筆頭者住所		漢字				
16	筆頭者世帯主		漢字				
17	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
18	筆頭者婚姻解消日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	107条3項原因	○	数字	(1:離婚,2:婚姻取消,3:配偶者死亡)であること			
20	外人配偶者氏名	○	漢字				
21	同籍者区分	○	数字	(0:無,1:配偶者のみ,2:配偶者+他構成員,3:他構成員のみ)であること			戸20の2I
22	新本籍		漢字				戸20の2I

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107の3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	4/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	入力画面(107の3項届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日>(No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.17)筆頭者婚姻解消年月日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.14)筆頭者本籍又は(No.22)新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.19)筆頭者婚姻解消日であること			
14	(No.21)同籍者区分 ≠ 0:の時、(No.22)新本籍 ≠ スペースであること			戸20の2I
15	(No.21)同籍者区分 ＝ 0:の時、(No.22)新本籍 ＝ スペースであること			戸20の2I
16	(No.11)筆頭者漢字氏名の氏 ≠ (No.13)変更後漢字氏であること			
17	(No.16)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.15)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
17-1	(No.15)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.16)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
18	(削除)			R2.1(107条3項18)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	5/9

処理名	3.0 審査			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				
YES	(0-2)確認ﾒｯｾｰｼﾞ「受領日と送付日が同一です。処理してよろしいですか?」(YES,NO)			
	YES (0-3)→(0-6-1)へ			R2.1(107条3項19)
	NO (0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-6-1)へ			R2.1(107条3項19)
(0-6-1)筆頭者漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(107条3項19)
YES	(0-6-2)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示		(0-6-3)本紙へ	R2.1(107条3項19) R2.1(107条3項19)
	YES (0-6-4)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-6-6)本紙へ	R2.1(107条3項19)
	NO (0-6-5)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107条3項
NO	(0-6-7)→(0-7)へ	/		R2.1(107条3項19)
(0-7)同籍者区分(1:配偶者のみ,2:配偶者 + 他構成員,その他)		/		
1,2	(0-8)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-10)本紙へ	
その他	(0-9)→(1)			
(1)本非区分(1:本籍,2:非本籍)		/		
1	(2)戸籍事項に107条2項届の記録がある(YES,NO)	/		戸107Ⅲ
	YES (3)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示		(4)本紙へ	戸107Ⅲ
	YES (5)→(8)			
	NO (6)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示		(7)本紙へ	不受理
	(8)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 > 受領日である(YES,NO)	/		戸43,戸107Ⅲ,民143
	YES (9)→	/		(10),(13),(14)欠番
	(10)		(11)本紙へ	
	(12)			受理
	(13)			
	(14)			
	NO (15)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月以内)を経過しています。」を表示			不受理 16,17欠番

	NO	(18)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示			不受理
2		(19)筆頭者婚姻解消日 + 3箇月 ＞ 受領日である(YES,NO)			戸43,戸107Ⅲ,民143

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	6/9

処理名	3.0 審査 2/2		備考
2	YES (20)確認メッセージ(YES,NO) 「戸籍法107条2項届で氏の変更をしていますか?」を表示	(21)本紙へ	戸107Ⅲ
	YES (22)→(25)		
	NO (23)エラーメッセージ 「当該届書は受理できません。」を表示	(24)本紙へ	不受理
	(25)確認メッセージ(YES,NO) 「変更後の氏は当該届書で変更可能な氏ですか?」を表示	(30)本紙へ	戸107
	YES (26)→		受理 27欠番
	NO (28)エラーメッセージ 「当該届は受理できません。」を表示		不受理
	NO (29)エラーメッセージ 「届出有効期間(3箇月)を経過しています。」を表示		不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(107条3項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条3項届入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――				30を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――				1:(創設)
	渉外区分			――――――				1:渉外
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――				
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(107条3項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		107条3項届入力画面	――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――				何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分			――――――				再入力の場合に　1:排他　を設定

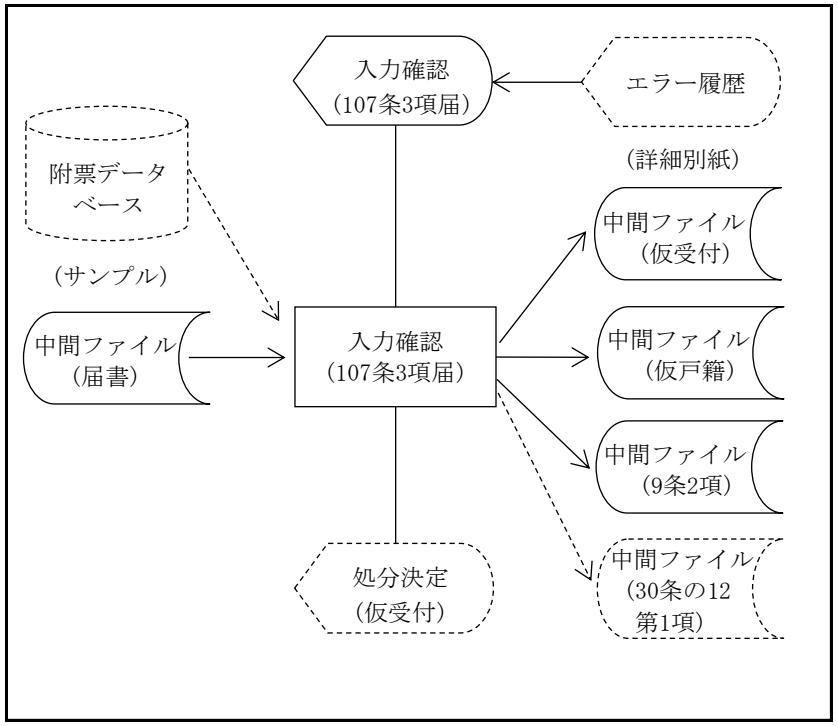
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/3	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(107条3項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号		107条3項届入力画面	――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	カナ氏名(筆頭者)			筆頭者カナ氏名				
	漢字氏名(筆頭者)			筆頭者漢字氏名				
	カナ氏(変更後)			変更後カナ氏				
	漢字氏(変更後)			変更後漢字氏				
	本籍コード			筆頭者本籍				
	本籍(筆頭者)							
	住所コード			筆頭者住所				
	住所(筆頭者)							
	世帯主(筆頭者)			筆頭者世帯主				
	生年月日(筆頭者)			筆頭者生年月日				
	婚姻解消日(筆頭者)			筆頭者婚姻解消日				
	107条3項原因			107条3項原因				
	配偶者氏名			配偶者氏名				
	同籍者区分			同籍者区分				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+筆頭者カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者氏名			――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+筆頭者漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/21

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)処分決定処理にに制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0戸籍編製マトリックス
  - 3.0データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
    - 4.1戸籍事項(107条3項)
  - 5.0データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[個人特定])
    - 5.1個人特定(入籍:氏の変更者)
  - 6.0データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[身分事項])
    - 6.1身分事項(除籍:氏の変更者)
    - 6.2身分事項(入籍:氏の変更者)
    - 6.3身分事項(変動なし:氏の変更者)
  - 7.0データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1氏の変更者
  - 8.0データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)…(サンプル提示)
    - 8.1氏の変更者

5.備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条3項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/21

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を碗認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF11,その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	戸籍事項 (7)戸籍法107条3項届の編集 〔4.1〕	/		
	個人特定(入籍) (8)事件本人の個人特定情報の編集 〔5.1〕	/		
	身分事項(除籍) (9)事件本人の除籍事項の編集 〔6・1〕	/		
	身分事項(入籍) (10)事件本人の入籍事項の編集 〔6・2〕	/		
	身分事項(変動なし) (11)事件本人の変動なし事項の編集 〔6.3〕	/		
	(11-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)			※サンプル提示
	YES (11-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する 〔8.1〕	/		附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(11-1)(11-2)
	NO	/		
	NO (16)→(17)	/		No.12～25欠番
	(17)在外送付区分 ＝ 0:受理分　又は　2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/		
	YES (18)氏変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕		(21)処分決定に制御を渡す	No.19,20欠番
	NO →			
PF1	→		(22)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(23)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(24)審査に制御を渡す	
PF11	→		(25)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(26)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(27)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/21

処理名	1.0 確認画面(107条3項届)表示 1/2	(受取側)107条3項届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条3項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外迭付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	筆頭者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名(筆頭者)				
	筆頭者漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	変更後カナ氏			カナ氏(変更後)				
	変更後漢字氏			漢字氏(変更後)				
	筆頭者本籍			本籍コード				
				本籍(筆頭者)				
	筆頭者住所			住所コード				
				住所(筆頭者)				
	筆頭者世帯主			世帯主(筆頭者)				
	筆頭者生年月日			生年月日(筆頭者)		有		
	筆頭者婚姻解消日			婚姻解消日(筆頭者)		有		
	107条3項原因			107条3項原因				
	107条3項原因名称					有		
	配偶者氏名			配偶者氏名				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/21

処理名	1.0 確認画面(107条3項届)表示 2/2	(受取側)107条3項届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条3項届確認画面	同籍者区分		中間ファイル(届書)	同籍者区分				
	同籍者区分名称					有		
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				

第7 2 (5)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(戸籍法107条3項)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	5/21

処理名　2.0　戸籍編製マトリクス表

項番	条件									戸籍の変動			
	氏変更者									氏変更者の戸籍			新戸籍編製 A.1 4.1 B.1 D.1
	本籍		同籍者区分					新戸籍編製		一部除籍 A.2 C.2	全部除籍 A.2 B.2 C.2	変動なし A.2 4.1 D.2	
	本籍人	非本籍人	無	配偶者 有	配偶者 無	他構成員 有	他構成員 無	管内	管外				
1	○		○									氏変更者(6.3)	
2	○			○		○		○		*審査結果入力			*審査結果入力
3	○			○		○			○	*審査結果入力			
4	○			○			○	○			*審査結果入力		*審査結果入力
5	○			○			○		○		*審査結果入力		
6	○				○	○		○		氏養更者(6.1)			氏変更者(6.2) (5.1)
7	○				○	○			○	氏変更者(6.1)			
8		○		○		○		○					*審査結果入力
9		○		○			○	○					*審査結果入力
10		○			○	○		○					氏変更者(6.2) (5.1)

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――――――				3001を設定
	受付日			送付日 受領日				送付日 ≠ 空白の時、送付日 送付日 ＝ 空白の時、受領日
	事件発生日							
	事件発生時分			――――――――				ZEROを移送
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――――				
	収日			――――――――				
	指示日			――――――――				
	許可日			――――――――				
	関連受領番号			――――――――				移送データなし
	届出人資格区分1			――――――――				本人であるので移送しない
	届出人資格名称1			――――――――				
	届出人氏名1			――――――――				
	届出人資格区分2			――――――――				
	届出人資格名称2			――――――――				
	届出人氏名2			――――――――				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍区分		中間ファイル(届書)	――――――				新本籍 ≠ スペースの時(2:新戸籍編製)を移送 上記以外、移送しない
	届後本籍コード			新本籍コード				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	届後本籍			新本箱				新本籍 ≠ スペースの時、移送
	届後戸籍の筆頭者			――――――				新本籍 ≠ スペースの時、「筆頭者の変更後氏 + 筆頭者の名」を移送。上記以外、移送しない
	送達確認1			――――――				(届後本籍が非本籍)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――				本非区分 ＝ 1(本籍) の場合は、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/21

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				53:氏変更者を設定
	届出人区分			――――――				1:事件本人を設定
	カナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(筆頭者)				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――				事件本人の現本籍が(本非区分 ＝ 2)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合は、1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成14年 3月 1日	6	9/21

処理名	4.1戸籍事項(107条3項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)	――――――					
	行番号				――――――					
	出力区分				――――――					0:可を設定
	タイトルコード				――――――					3001:を設定
	記録コード				――――――					3001:を設定
	事件発生日				受領日					
	氏変更	氏変更日			受領日					
		氏変更の事由			――――――					「戸籍法107条3項の届出」を移送
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた日			――――――					
	従前記録	従前の記録			――――――					新本籍 ＝ スペースのとき、「漢字氏名(筆頭者)の氏」を移送 上記以外は移送しない。
		氏								
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項			――――――					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	10/21

処理名	5.1個人特定(入籍:氏の変更者)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書)、戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号			――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――				
	戸籍記録順位番号			――――――				
	入籍日		中間ファイル(届審)	処理日 (又は送付日 又は受領日)				処理日 ＝ スペース の時、送付日 を設定 送付日 ＝ スペース の時、受領日 を設定
	除籍日			――――――				
	性別			――――――				移記処理で設定
	生年月日			生年月日(筆頭者)				
	筆頭者区分			――――――				1:筆頭者 を設定
	配偶者区分			――――――				0:未 を設定
	父			――――――				移記処理で設定
	母			――――――				
	父母との続柄			――――――				
	養父			――――――				
	養母			――――――				
	養父母との続柄			――――――				
	前個人番号			――――――				
	個人除区分			――――――				0:在籍者 を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/21

処理名		(受取側)	←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12/21

処理名	6.1 氏の変更者の記録(除籍)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)						本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――――					
	出力区分				――――――					0:を設定
	タイトルコード				――――――					3001:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――――					3001: 「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――					
	事件発生日				受領日					
	氏変更	氏変更日			受領日					
		氏変更の事由			――――――					「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日					送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元					送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			――――――					除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――					除籍では不使用
		従前戸籍 筆頭者			――――――					除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日					
	除戸籍	新本籍			新本籍					該当項目を移送
		変更後の氏			漢字氏(変更後)					該当項目を移送
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項			――――――					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	13/21

処理名	6.2 氏の変更の記録(入籍)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――――				3001:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――――				3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――――				「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース ＝ 送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	籍従前戸 本籍			本籍				該当項目を移送
		筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				該当項目を移送
	除籍	除籍日			――――――				入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			――――――				入籍では不使用
		変更後の氏			――――――				入籍では不使用
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	14/21

処理名	6.3 氏の変更者の記録(変動なし)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	――――――					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――――					
	出力区分				――――――					0:可を設定
	タイトルコード				――――――					3001:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――――					3001:「107条3項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――					
	事件発生日				受領日					
	氏変更	氏変更日			受領日					
		氏変更の事由			――――――					「戸籍法107条3項の届出」を移送
	送付	送付を受けた日			送付日					送付日 ≠ スペース ＝ 送付日を移送
		受理者			発送元					送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた者			――――――					
	入籍	入籍日			――――――					変動なしでは不使用
	入戸籍	従前戸籍 本籍			――――――					変動なしでは不使用
		従前戸籍 筆頭者			――――――					変動なしでは不使用
	除籍	除籍日			――――――					変動なしでは不使用
	除戸籍	新本籍			――――――					変動なしでは不使用
		変更後の氏			――――――					変動なしでは不使用
	記録	記録日			処理日					
	特記	特記事項			――――――					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15/21

処理名		(受取側) ←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名		Z9.,	

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16/21

処理名		(受取側)	←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	17/21

処理名	7.1氏の変更者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/氏の変更者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							30:107条3項届
	受理日			受領日　OR送付日				送付日がない場合は、受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――				「漢字氏(変更後)+漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			筆頭者生年月日				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/21

処理名	7.1氏の変更者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/氏の変更者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 氏の変更者	世帯主		中間ファイル(届書)	筆頭者世帯主				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	19/21

処理名		(受取側) ←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名		Z9.,	

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	20/21

処理名		(受取側) ←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名		Z9.,	

空白ページです

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条3項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年 3月1日	2.1	21/21

処理名	8.1氏の変更者　編集･出力	(受取側)中間ファイル(30条12第1項)/氏の変更者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					30:107条3項届
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受預日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			筆頭者生年月日				
	新性別			――――――				筆頭者の父母との続柄を性別に変換して性別コードを設定
	旧性別							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			――――――				「漢字氏(変更後) + 漢字氏名(筆頭者)の名」を移送
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

30.107条4項届

1.107条4項届による氏の変更業務処理範囲外の処理

・事件本人の成年後見人から届出がされた場合
・複数の未成年後見人から届出がされた場合

2.107条4項届入力画面の意義

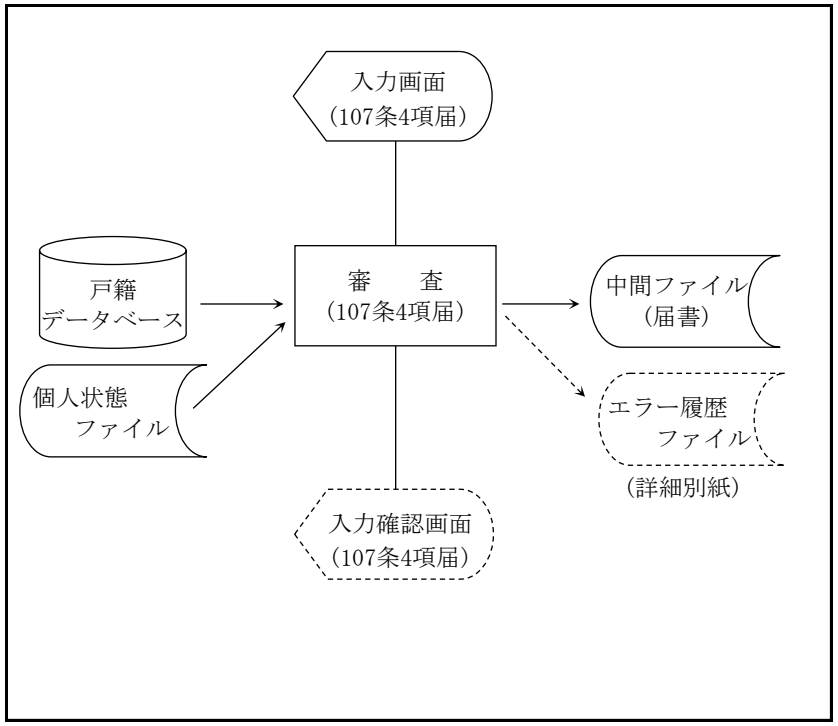
・氏の変更を行う当事者(氏変更人)の各項目を入力する。

3.その他

・添付資料
　氏変更許可の審判書の謄本および審判確定証明書

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/13

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1)107条4項届の内容を画面入力する。
(2)107条4項届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)107条4項届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)107条4項届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(107条4項届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)
  - 2.0 データチェック(関連表)
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上)
    - 3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満)(法定代理人)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1)未成年者の年齢計算について
・年齢計算基準日:受領日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/13

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する		(13)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴ファイルに出力する
	確認 (11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			確認と応答をエラー履歴ファイルに出力する
	NO (12)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF10	(16)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(20)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(17)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(18)入力画面を初期化する			
その他	(19)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/13

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック　1/2	入力画面(107条4項届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	氏変更人カナ氏名	○	カナ				
11	氏変更人漢字氏名	○	漢字				
12	変更後カナ氏	○	カナ				
13	変更後漢字氏	○	漢字				
14	氏変更人住所		漢字				
15	氏変更人世帯主		漢字				
16	氏変更人本籍	○	漢字				
17	氏変更人筆頭者	○	漢字				
18	氏変更人筆頭者区分	○	数字	(0:構成員,1:筆頭者)であること			
19	氏変更人配偶者区分	○	数字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
20	氏変更人生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	審判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	外国人父母区分	○	数字	(0:父,1:母,2:養父,3:養母)であること			
23	外国人父母氏名	○	漢字				
24	新本籍	○	漢字				戸20の2II

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/13

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 2/2	入力画面(107条4項届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届出人資格1		数字	(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父, 110:未成年後見人, 017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人)であること			
26	届出人資格2		数字	(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父, 110:未成年後見人, 017:親権者母,020:親権者養母,098:事件本人)であること			
27	届出人氏名1		漢字				
28	届出人氏名2		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5/13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 1/2	入力画面(107の4項届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ (No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付 または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由 であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
11	(No.3)受領日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
12	(No.8)本非区分 ＝ 1:本籍の時、(No.16)氏変更人本籍 又は (No.24) 新本籍が管内であること			
13	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)審判確定日であること			
13-1	(No.15)氏変更人世帯主 ≠ スペースの時、(No.14)氏変更人住所 ≠ スペースであること			
13-2	(No.14)氏変更人住所 ＝ スペースの時、(No.15)氏変更人世帯主 ＝ スペースであること			
14	(No.25)届出人資格1 ≠ (No.26)届出人資格2であること			
15	(No.25)届出人資格1 ≠ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
16	(No.25)届出人資格1 ＝ 000:未入力の時、(No.27)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
17	(No.27)届出人資格1 ≠ スペースの時、(No.27)届出人氏名1 ≠ (No.28)届出人氏名2であること			
18	(No.25)届出人資格1 ＝ 098:事件本人の時、 (No.27)届出人氏名1 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること			
19	(No.26)届出人資格2 ≠ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
20	(No.26)届出人資格2 ＝ 000:未入力の時、(No.28)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
21	(No.26)届出人資格2 ＝ 098:事件本人の時、 (No.28)届出人氏名2 ＝ (No.11)氏変更人漢字氏名であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	6/13

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表　2/2	入力画面(107の4項届)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
22	(No.11) 氏変更人漢字氏名の氏 ≠ (No.13) 変更後の漢字氏であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
23	(No.25) 届出人資格1 ＝ 110:未成年後見人の時,(No.27) 届出人氏名1 ≠ スペース かつ (No.26) 届出人資格2 ＝ 000:未入力 かつ (No.28) 届出人氏名2 ＝ スペース であること			
24	(No.26) 届出人資格2 ＝ 110:未成年後見人の時,(No.28) 届出人氏名2 ≠ スペース かつ (No.25) 届出人資格1 ＝ 000:未入力 かつ (No.27) 届出人氏名1 ＝ スペース であること			
25	(削除)			R2.1(107条4項28)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の4届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 2年 3月31日	R2.1	7/13

処理名	3.0 審査 1/4			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)				
YES (0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)				
YES YES (0-3)→(0-7)へ				R2.1(107条4項25)
YES NO (0-4)→			(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO (0-6)→(0-7)へ				R2.1(107条4項25)
(0-7)氏変更人漢字氏名の名が未入力(YES,NO)		/		R2.1(107条4項25)
YES (0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか。」を表示			(0-9)本紙へ	R2.1(107条4項25) R2.1(107条4項25)
YES YES (0-10)エラーメッセージ 「審査結果入力で処理して下さい。」を表示			(0-12)本紙へ	R2.1(107条4項25)
YES NO (0-11)→				画面項目修正(審査完了しない) R2.1(107条4項
NO (0-13)→(1)へ		/		R2.1(107条4項25)
(1)氏の変更者の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)		/		昭和59.11.1民事5500号通達第2の4の(3)のウ
YES (2)氏変更人筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)		/		
YES 0 (3)氏変更人配偶者区分(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)		/		
YES 0 0 (4)審査(届出人資格:事件本人15歳以上)処理[3.1]		/		
YES 0 0 (5)→(14)へ				R2.1(107条4項28)
YES 0 1,2 (6)エラーメッセージ 「配偶者は届出できません。」を表示				不受理 R2.1(107条4項
YES 0 3 (7)エラーメッセージ 「生存配偶者は届出できません。」を表示				不受理 R2.1(107条4項
YES 1 (8)エラーメッセージ 「筆頭者は届出できません。」を表示				不受理 R2.1(107条4項
NO (9)氏変更人筆頭者区分(0:構成員,1:筆頭者)		/		R2.1(107条4項28)
NO 0 (10)審査(届出人資格:事件本人15歳未満)処理[3.2]		/		
NO 0 (11)→			(12)本紙へ	
NO 1 (13)エラーメッセージ 「筆頭者は届出できません。」を表示				R2.1(107条4項28)
(14)変更後漢字氏 ＝ 外国人父母氏名の氏(YES,NO)		/		R2.1(107条4項28)
YES (15)→			(16)本紙へ	R2.1(107条4項28)
NO (17)確認メッセージ 「変更後の氏と外国人父母の氏が異なりますが、よろしいですか?」(YES,NO)				R2.1(107条4項28) R2.1(107条4項28)

	YES	(18)→		(19)本紙へ	R2.1(107条4項28)
	NO	(20)→		(21)本紙へ	R2.1(107条4項28)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/13

処理名	3.1 審査(届出人資格:事件本人15歳以上) 2/4			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,110:未成年後見人,その他)		/		
000	(2)届出人資格2(098:事件本人,110:未成年後見人,その他)	/		
	098 (3)→(11)	/		
	110 (3-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示		(5)3.0審査へ	「N」のとき不受理
	その他 (4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
098	(6)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
	000 (7)→(11)	/		
	その他 (8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(9)3.0審査へ	不受理
110	(9-1)届出人資格2(000:未入力,その他)	/		
	000 (9-2)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示		(9-4)3.0審査へ	「N」のとき不受理
	その他 (9-3)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
その他	(10)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
(11)→			(11-1)3.0審査へ	
	(12)	/		(12)～(18)は削除
	(13)		(14)	
	(15)			
	(16)			
	(17)			
	(18)			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/13

処理名	3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満) 3/4			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)		/		
000	(2)届出人資格2(016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)	/		
016,017,019,020	(3)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(4)3.0審査へ	
	YES (5)→			受理
	NO (6)→			不受理
110	(7)→(33)	/		
その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」と表示		(9)3.0審査へ	不受理
016,019	(10)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)			
000	(11)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(12)3.0審査へ	
	YES (13)→			受理
	NO (14)→			不受理
017,020	(15)確認メッセージ(YES,NO) 「共同親権ですか?」を表示			
	YES (16)→			受理
	NO (17)→			不受理
その他	(18)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」と表示			不受理
017,020	(19)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)	/		
000	(20)確認メッセージ(YES,NO) 「単独親権ですか?」を表示		(21)3.0審査へ	
	YES (22)→			受理
	NO (23)→			不受理
016,019	(24)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(107条の4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	10/13

処理名		3.2 審査(届出人資格:事件本人15歳未満) 4/4			備考
017,020	016,019	YES (25)→			受理
		NO (26)→			不受理
	その他	(27)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示			不受理
110	(28)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
	000	(29)→(33)	/		
	その他	(30)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示		(31)3.0審査へ	不受理
その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示				不受理
(33)氏の変更者は本籍人である(YES,NO)			/		
YES	(34)氏の変更者の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)		/		
	YES	(35)→		(36)3.0審査へ	受理
	NO	(37)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示			不受理
No	(38)→				受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(107条4項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		107条4項届入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――				31を引き渡す
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――				1:(創設)
	渉外区分			――――――				1:渉外
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、氏の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――				
	事件別内容							3/3参照
	不受理申出処分区分			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	2	12/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 2/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(107条4項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		107条4項届入力画面	――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――				何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分			――――――				再入力の場合に1:排他を設定

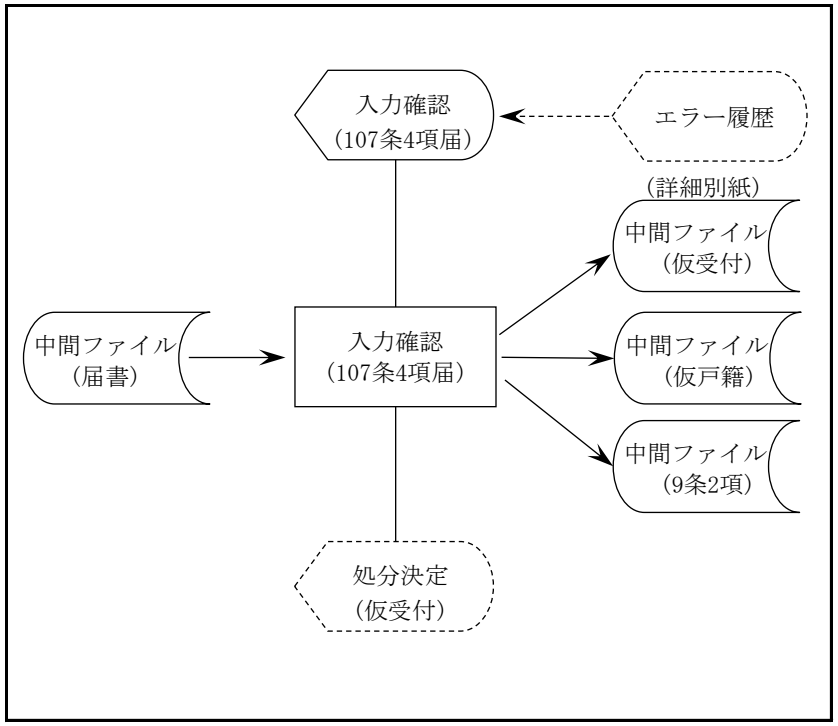
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/13

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 3/3	(受取側) 中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(107条4項届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	氏変更者個人番号		107条4項届入力画面	――――――				本籍人のときは、個人番号を設定
	カナ氏名(氏変更者)			氏変更人カナ氏名				
	漢字氏名(氏変更者)			氏変更人漢字氏名				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	住所コード			氏変更人住所				
	住所(氏変更者)							
	世帯主			氏変更人世帯主				
	本籍コード			氏変更人本籍				
	本箱(氏変更者)							
	筆頭者			氏変更人筆頭者				
	筆頭者区分			氏変更人筆頭者区分				
	配偶者区分			氏変更人配偶者区分				
	生年月日			氏変更人生年月日				
	審判確定日			審判確定日				
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母氏名			外国人父母氏名				
	届後戸籍筆頭者カナ氏名			――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後カナ氏+氏変更人カナ氏名の名」を移送
	届後戸籍筆頭者			――――――				新本籍 ≠ スペース:「変更後漢字氏+氏変更人漢字氏名の名」を移送
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍(氏変更者)							
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)処分決定処理にに制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編集マトリックス
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔戸籍事項〕)
    - 4.1 戸籍事項(107条4項)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔個人特定〕)
    - 5.1 個人特定(入籍)
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔身分事項〕)
    - 6.1 身分事項(除籍)
    - 6.2 身分事項(入籍)
  - 7.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 7.1 氏の変更者

5.備考(特記事項含む)

戸籍事項(107条4項)[4.1]を編集した場合は、その後に戸籍事項(編製)B.1を作成する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/14

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF11、その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する 〔2.0〕	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する 〔3.0〕	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ファイル(仮戸籍)を編集・出力する	/		
	戸籍事項 (7)戸籍法107条4項届の編集 〔4.1〕	/		
	個人特定(入籍) (8)氏変更人の個人特定情報の編集 〔5.1〕	/		
	身分事項(除籍) (9)氏変更人の除籍事項の編集 〔6･1〕	/		
	身分事項(入籍) (10)氏変更人の入籍事項の編集 〔6･2〕	/		
	NO (11)→(12)	/		
	(12)在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付 である(YES,NO)	/		
	YES (13)氏の変更者について中間ファイル(9条2項)を編集・出力する 〔7.1〕		(14)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
PF1	→		(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(16)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(17)審査に制御を渡す	
PF11	→		(18)ｴﾗｰ履歴表示に制御を渡す	
その他	(19)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(20)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/14

処理名	1.0 確認画面(107条4項届)表示 1/2	(受取側)107条4項届確認画面	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条4項届確認画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	支所番号				
	受頭No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本･非本			本非区分				
	本･非本名称					有		
	郵送日			郵送日		有		
	氏変更人カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名(氏変更人)				
	氏変更人漢字氏名			漢字氏名(氏変更人)				
	変更後カナ氏			変更後カナ氏				
	変更後漢字氏			変更後漢字氏				
	氏変更人住所			住所コード				
				住所(氏変更人)				
	氏変更人世帯主			世帯主				
	氏変更人本籍			本籍コード				
				本籍(氏変更人)				
	氏変更人筆頭者			筆頭者				
	氏変更人筆頭者区分			筆頭者区分				
	氏変更人筆頭者区分名称					有		
	氏変更人配偶者区分			配偶者区分				
	氏変更人配偶者区分名称					有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/14

処理名	1.0 確認画面(107条4項届)表示 2/2	(受取側)107条4項届確認画面	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
107条4項届確認画面	氏変更人生年月日		中間ファイル(届書) 事件別内容	生年月日		有		
	審判確定日			審判確定日		有		
	外国人父母区分			外国人父母区分				
	外国人父母区分名称					有		
	外国人父母氏名			外国人父母氏名		有		
	新本籍			新本籍コード				
				新本籍(氏変更人)				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格1名称					有		
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人資格2名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						戸籍の変動		
	氏変更者						氏変更者の戸籍		新　A.1 戸　4.1 籍　B.1 編　5.1 製　D.1
	本籍		他の在籍者		新戸籍編製		一部除籍　A.2 C.2	全部除籍　A.2 B.2 C.2	
	本籍人	非本籍人	有	無	管内	管外			
1	○		○		○		氏変更者 6.1		氏変更者 6.2
2	○		○			○	氏変更者 6.1		
3	○			○	○			氏変更者 6.1	氏変更者 6.2
4	○			○		○		氏変更者 6.1	
5		○	○		○				氏変更者 6.2
6		○		○	○				氏変更者 6.2

(注)新戸籍編製の場合、B.1は4.1編集後作成する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/14

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	支所番号			支所番号				
	受付事件コード			――――――				3201を設定
	受付日			受領日 送付日				送付日 ＝ スペースのとき　受領日 送付日 ≠ スペースのとき　送付日
	事件発生日							
	事件発生時分			――――――				
	事件発生日時			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	関連受領番号			――――――				
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定。その他は資格及び氏名を移送する。(但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する。)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――――				2:新戸籍編製

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/14

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル(届書)	新本籍コード				
	届後本籍			新本籍(氏変更人)				
	届後戸籍の筆頭者			――――――――				変更後漢字氏 + 漢字氏名の名を移送
	送達確認1			――――――――				(届後本籍が非本籍)かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			――――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合は、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を使用。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8/14

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				53:氏変更者を設定
	届出人区分			――――――				届出人資格1又は2 ＝ 098:1を設定 それ以外:0を設定
	カナ氏名			カナ氏名(氏変更人)				
	漢字氏名			漢字氏名(氏変更人)				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍(氏変更人)				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――				事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合は、 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成14年 3月1日	6	9/14

処理名	4.1戸籍事項(107条4項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号			中間ファイル(届書)	――――――					
	行番号				――――――					
	出力区分				――――――					0:可を設定
	タイトルコード				――――――					3101:を設定
	記録コード				――――――					3101:を設定
	管掌者コード				――――――					
	事件発生日				受領日					
	氏変更	氏変更日			受領日					
		氏変更の事由			――――――					「戸籍法107条4項の届出」を移送
	許可	許可日			――――――					
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――					
		許可を受けた日			――――――					
	従前記録	従前の記録			――――――					
		氏								
	記録	記録日			――――――					
	特記	特記事項			――――――					

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/14

処理名	5.1 個人特定(入籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書)、戸籍処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号			――――――				決裁処理で設定
	戸籍番号			――――――				
	戸籍記録順位番号			――――――				
	入籍日		中間ファイル(届書)	処理日 (又は送付日又は受領日)				処理日 ＝ スペース　の時、送付日を設定 送付日 ＝ スペース の時、受領日を設定
	除籍日			――――――				
	性別			――――――				移記処理で設定
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			――――――				1:筆頭者 を設定
	配偶者区分			――――――				0:未 を設定
	父			――――――				移記処理で設定
	母			――――――				
	父母との続柄			――――――				
	養父			――――――				
	養母			――――――				
	養父母との続柄			――――――				
	前個人番号			――――――				
	個人除区分			――――――				0:在籍者 を設定

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/14

処理名	6.1 氏の変更者の記録(除籍)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)					本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――――				3101:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――――				3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――――				「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1・2				届出人資格1・2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1を参照。
			届出人氏名		届出人氏名1・2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			――――――				除籍では不使用
	入戸籍	従前戸籍	本籍		――――――				除籍では不使用
			筆頭者		――――――				除籍では不使用
	除籍	除籍日			処理日				
	除戸籍	新本籍			新本籍(氏変更人)				該当項目を移送
		変更後の氏			変更後漢字氏				該当項目を移送
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

第72(5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12/14

処理名	6.2 氏の変更者の記録(入籍)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	――――――				本籍人のとき、個人番号を設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可を設定
	タイトルコード				――――――				3101:「氏の変更」を設定
	記録コード				――――――				3101: 「107条4項の氏の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	氏変更	氏変更日			受領日				
		氏変更の事由			――――――				「戸籍法107条4項の届出」を移送
	届出	届出人	届出人資格		届出人資格1・2				届出人資格1・2の何れかが、098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、*1を参照。
			届出人氏名		届出人氏名1・2				
	送付	送付を受けた日			送付日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送
		受理者			発送元				送付日 ≠ スペース:発送元を移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	入籍	入籍日			処理日				
	入戸籍	従前戸籍	本籍		本籍(氏変更人)				該当項目を移送
			筆頭者		筆頭者				該当項目を移送
	除籍	除籍日			――――――				入籍では不使用
	除戸籍	新本籍			――――――				入籍では不使用
		変更後の氏			――――――				入籍では不使用
	記録	記録日			――――――				
	特記	特記事項			――――――				

処理名	*1 届出人資格･氏名の編集内容	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			

(1)届出人資格
入力された届出人資格1,2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父,養母 *1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父,親権者母 *1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父,親権者母 *1		養父,養母 *1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父,養母 *1		養父,養母 *1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 親権者養父 と 親権者養母 の 場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1,2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(107条4項届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/14

処理名	7.1　氏の変更者　編集･出力　1/1	(受取側)中間ファイル(9条2項)/氏の変更者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 氏の変更者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				31:107条4項届
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がなければ受領日
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			届後戸籍筆頭者				
	旧氏名			漢字氏名(氏変更者)				
	新生年月日			氏変更人生年月日				
	旧生年月日			氏変更人生年月日				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍(氏変更者)				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(氏変更者)				
	新筆頭者			届後戸籍筆頭者				
	旧筆頭者			氏変更人筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			氏変更人世帯主				
	世帯主との続柄			――――――				

第7.2.(5)「異動」処理

31.名の変更届

1.名の変更業務処理範囲外の処理

(1)名の変更に伴う異籍者の父母、または養父母欄の更正

(2)同一戸籍内において、事件本人と構成員の(養)父母欄が一致していない場合の(養)父母欄更正処理

(3)事件本人の成年後見人から届出がされた場合

(4)複数の未成年後見人から届出がされた場合

上記(1)(2)は更正処理で行い、(3)(4)は審査結果入力処理で行う。

2.名の変更届入力画面の意義

(1)その1画面:名の変更届を行う事件本人の各項目を入力する画面である。

(2)その2画面:同籍する筆頭者、配偶者および除籍者以外の構成員を画面表示し、筆頭者または配偶者の名の変更に伴う父母または養父母欄の更正を行う。

起動条件　下記の条件が全て成立した場合のみ画面表示し、それ以外は表示しない。

・名の変更者が本籍人　　:(1)名の変更者は筆頭者区分が1(筆頭者)であるか、または配偶者区分が0(未)以外であること。

(2)(1)以外の者でかつ除籍者以外の同籍者が存在すること。

・名の変更者が非本籍人　:名の変更者は筆頭者であること(9条2項ファイルを出力するために画面を表示する)

表示内容　名の変更者が本籍人の場合、下記の条件が成立する同籍者構成員の内容を画面表示する。

(1)筆頭者区分が0(構成員)であり、かつ配偶者区分が0(未)の者

(2)除籍されていない者

住所欄、世帯主欄について

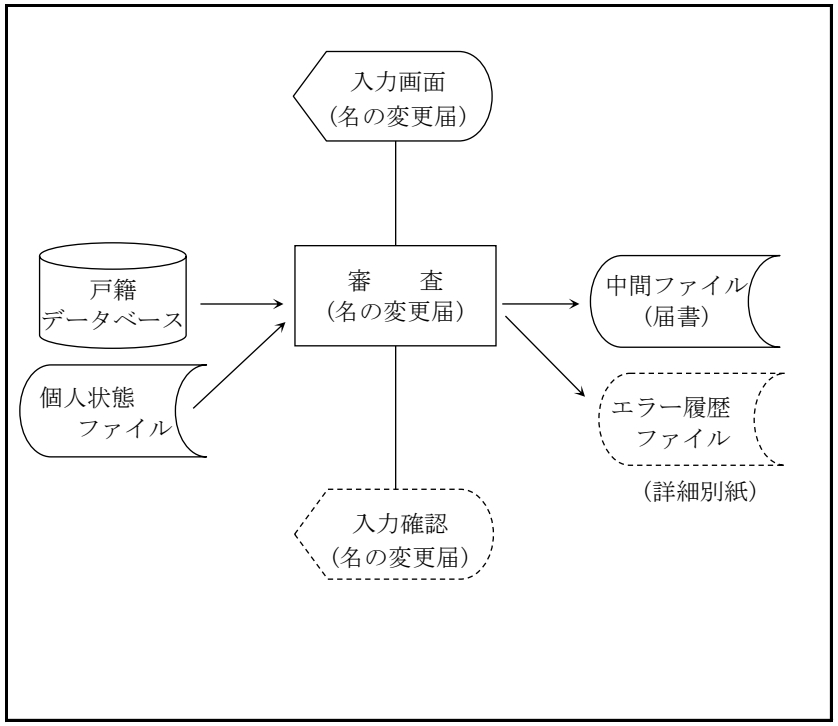
名の変更者が筆頭者の場合、入力必須。それ以外は入力されても無視する。

3.その他

筆頭者が名の変更者で配偶者が在籍する場合、入力画面に配偶者の入力項目が存在しないため、配偶者の9条2項ファイルは作成されない。配偶者の9条2項ファイルは9条2項メンテナンスで作成する。

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
附票DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)名の変更届の内容を画面入力する。
(2)名の変更届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)名の変更届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)名の変更届から中間ファイル(届出書)を編集し、出力する。
(6)確認画面(名の変更届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.0 審査(名の変更)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(届書))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/14

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕	/		
YES	(4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕	/		
YES	(5)画面の入力項目を全て入力禁止とする〔3.0〕	/		
	(6)審査(名の変更)(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕	/		
YES	(7)中間ファイル(届書)の編集出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
NO	(9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
審査エラー	(10)エラーメッセージを表示する		(14)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
確認	(11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO	(12)エラーメッセージを表示する			
NO	(13)エラーメッセージを表示する			
PF1	→		(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(16)届出選択に制御を渡す	
PF7	(17)前のページがあるか(ある,なし)	/		
ある	(18)前のページ「名の変更届(その1)」画面を編集		(20)同画面を編集する	
なし	(19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(21)次のページがあるか(ある,なし)	/		
ある	(22)次のページ「名の変更届(その2)」画面を編集		(24)同画面を編集する	
なし	(23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(25)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(29)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(26)当該審査エラーの確認後,以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(27)入力画面を初期化する			
その他	(28)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	3/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0単体チェック表　1/2	入力画面(名の変更届　その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付, 2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	名の変更者カナ氏名	○	カナ				
11	名の変更者漢字氏名	○	漢字				
12	変更後のカナ名	○	カナ				戸50,戸規60
13	変更後の漢字名	○	漢字				戸50,戸規60
14	住所		漢字				住基8･9II
15	世帯主		漢字				
16	本籍	○	漢字				
17	筆頭者	○	漢字				
18	生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
19	審判日	○	英数				戸38II
20	届出人資格1		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,098:事件本人)であること			戸107の2
21	届出人氏名1		漢字				
22	届出人資格2		数字	(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,098:事件本人)であること			戸107の2
23	届出人氏名2		漢字				

第72(5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック 2/2	入力画面(名の変更届 その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	構成員n氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	構成員n父の氏名		漢字				
26	構成員n母の氏名		漢字				
27	構成員n養父の氏名		漢字				
28	構成員n養母の氏名		漢字				
29	構成員n住所		漢字				住基8･9II
30	構成員n世帯主		漢字				住基8･9II
31	構成員n更正区分		数字	(1:無,2:父,3:母,5:養父,6:養母)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	5/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 1/3	名の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき (No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または (No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.11)名の変更者の漢字名 ≠ (No.13)変更後の漢字名であること			
12	(No.3)受領日 ≧ (No.19)審判日であること			
13	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.19)審判日であること			
14	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.19)審判日であること			
15	(No.20)届出人資格1 ＝ 000:(未入力)の時、(No.21)届出人氏名1 ＝ スペースであること			
16	(No.22)届出人資格2 ＝ 000:(未入力)の時、(No.23)届出人氏名2 ＝ スペースであること			
17	(No.20)届出人資格1 ＝ 016(親権者父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
18	(No.22)届出人資格2 ＝ 016(親権者父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
19	(No.20)届出人資格1 ＝ 017(親権者母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
20	(No.22)届出人資格2 ＝ 017(親権者母)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
21	(No.20)届出人資格1 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			
22	(No.22)届出人資格2 ＝ 019(親権者養父)の時、(No.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること			
23	(No.20)届出人資格1 ＝ 020(親権者養母)の時、(No.21)届出人氏名1 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	6/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック表　2/3	名の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	(NO.22)届出人資格2 ＝ 020(親権者養母)の時、(NO.23)届出人氏名2 ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
25	(NO.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.21)届出人氏名1 ≠ スペース　であること			
26	(NO.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.23)届出人氏名2 ≠ スペース　であること			
27	(NO.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(NO.21)届出人氏名1 ＝ スペース　であること			
28	(NO.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(NO.23)届出人氏名2 ＝ スペース　であること			
29	(NO.20)届出人資格1 ＝ 098(事件本人)の時、(NO.22)届出人資格2 ＝ スペース　であること			
30	(NO.22)届出人資格2 ＝ 098(事件本人)の時、(NO.20)届出人資格1 ＝ スペース　であること			
31	(NO.20)届出人資格1 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.22)届出人資格2 ＝ スペース　であること			
32	(NO.22)届出人資格2 ＝ 110(未成年後見人)の時、(NO.20)届出人資格1 ＝ スペース　であること			
33	(NO.20)届出人資格1 ≠ (NO.22)届出人資格2　であること			
34	(NO.21)届出人氏名1 ≠ スペースの時、(NO.21)届出人氏名1 ≠ (NO.23)届出人氏名2　であること			
35	(NO.11)名の変更者漢字氏名(氏のみ) ＝ (NO.17)筆頭者(氏のみ)であること			
35-1	(NO.15)世帯主氏名 ≠ スペースの時、(NO.14)住所 ≠ スペース　であること			
35-2	(NO.14)住所 ＝ スペースの時、(NO.15)世帯主氏名 ＝ スペース　であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	7/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック　3/3	名の変更届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
36	※構成員n共通関連チェック ①:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、(No.25)構成員n父の氏名 ≠ スペースであること ②:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 2:父の時、(No.25)構成員n父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ③:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、(No.26)構成員n母の氏名 ≠ スペースであること ④:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 3:母の時、(No.26)構成員n母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑤:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、(No.27)構成員n養父の氏名 ≠ スペースであること ⑥:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 5:養父の時、(No.27)構成員n養父の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑦:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、(No.28)構成員n養母の氏名 ≠ スペースであること ⑧:(No.31)構成員n更正区分 ＝ 6:養母の時、(No.28)構成員n養母の氏名 ＝ (No.11)名の変更者の漢字氏名であること ⑨:(削除) (A):(削除) (B):(No.24)構成員nの氏名 ＝ スペースの時、 (No.25)構成員nの父の氏名～(No.31)構成員nの更正区分 ＝ スペースであること (C):(No.24)構成員nの氏名 ≠ スペースの時、(No.31)構成員nの更正区分 ≠ スペースであること (D):(No.30)構成員n世帯主 ≠ スペースの時、(No.29)構成員n住所 ≠ スペースであること (E):(No.29)構成員n住所 ＝ スペースの時、(No.30)構成員n世帯主 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	8/14

処理名				3.0 審査(名の変更) 1/3			備考
(0-1)受領日 ＝ 送付日である(YES,NO)							
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)						
	YES	(0-3)→(1)へ					
	NO	(0-4)→				(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(1)へ						
(1)事件本人の生年月日 + 15年(15歳以上) ≦ 受領日(YES,NO)					/		戸32
YES	(2)届出人資格1(000:未入力,098:事件本人,110:未成年後見人,その他)				/		
	000	(3)届出人資格2(098:事件本人,110:未成年後見人,その他)			/		
		098	(4)→		/		(5),(6),(8),(9)欠番
				(5)	/		
				(6)		(7)本紙へ	
				(8)			
				(9)			
		110	(10)		/		(10),(11),(12),(14),(15)欠番
				(11)	/		
				(12)		(13)本紙へ	
				(14)			
				(15)			
			(12-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示				「N」の場合、不受理
		その他	(16)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。				不受理
	110	(17)届出人資格2(000:未入力,その他)			/		不受理
		000	(18)		/		(18),(19),(20),(22),(23)欠番
				(19)	/		
				(20)		(21)本紙へ	
				(22)			
				(23)			
			(20-1)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか。」を表示				「N」の場合、不受理
		その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。				不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	9/14

処理名	3.0 審査(名の変更)　2/3			備考
YES	098	(25)届出人資格2(000:未入力,その他)	/	
		000 (26)→	/	(27),(28),(30),(31)は削除
		(27)	/	
		(28)		(29)本紙へ
		(30)		
		(31)		
		その他 (32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		
	その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。		
NO	(34)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父, 0020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)		/	
	000	(35)届出人資格2(016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父 020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)	/	
		016,017,019,020 (36)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。		(37)本紙へ
		110 (38)本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/	
		1 (39)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/	
		YES (40)→		(41)本紙へ
		NO (42)エラーメッセージ 「事件本人に来成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。		
		2 (43)→		
		その他 (44)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		
	016,019	(45)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)	/	
		000 (46)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。		(47)本紙へ

処理名	3.0 審査(名の変更) 3/3				備考
NO	016,019	017,020	(48)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示する。	(49)本紙へ	「N」の場合、不受理
		その他	(50)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		不受理
	017,020	(51)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/	
		000	(52)確認メッセージ 「単独親権ですか?」を表示する。	(53)本紙へ	「N」の場合、不受理
		016,019	(54)確認メッセージ 「共同親権ですか?」を表示する。		「N」の場合、不受理
		その他	(55)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		不受理
	110	(56)届出人資格2(000:未入力,その他)		/	
		000	(57)本非区分(1:本籍,2:非本籍)	/	
			1 (58)事件本人の身分事項に未成年後見人事項がある(YES,NO)	/	
			YES (59)→	(60)本紙へ	
			NO (61)エラーメッセージ 「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」を表示する。		不受理
			2 (62)→		
		その他	(63)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」を表示する。		不受理
	その他	(64)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」を表示する。			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(名の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		名の変更届(その1) 入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――				32:名の変更届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――				1(創設)
	渉外区分			――――――				0:日本人のみ
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人の時、名の変更者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2			――――――				
	ロック戸籍番号3			――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――				
	事件別内容			――――――				3/4,4/4参照
	不受理申出処分区分			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	← (引渡側)入力画面(名の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		名の変更届(その1) 入力画面	――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――				何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分			――――――				0:未,1:排他

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(名の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者個人番号							本籍人のとき、個人番号を設定
	名の変更者カナ氏名		名の変更届(その1) 入力面面	名の変更者カナ氏名				
	名の変更者漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	変更後のカナ名			変更後のカナ名				
	変更後の漢字名			変更後の漢字名				
	住所コード			住所				
	住所							
	世帯主			世帯主				
	本籍コード			本籍				
	本籍							
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日				
	審判日			審判日				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	筆頭者区分			――――――				本籍人の場合のみ 変更前氏名 ＝ 筆頭者のとき、 1:筆頭者をセットする 変更前氏名 ≠ 筆頭者のとき、 0:構成員をセットする

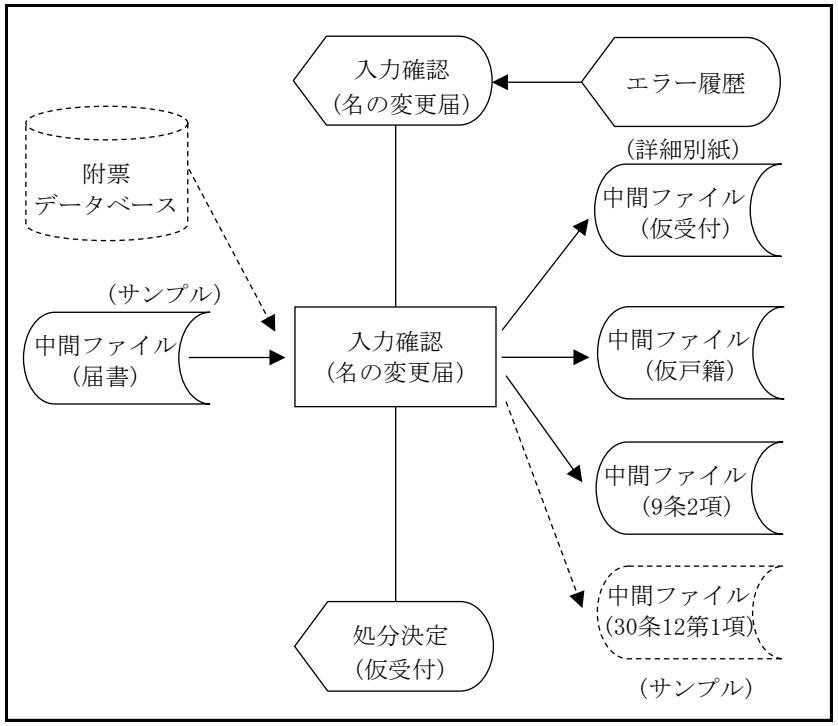
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/14

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　4/4	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(名の変更届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	構成員n漢字氏名		名の変更届(その2) 入力画面	構成員n氏名				構成員の明細については、複数件(n件)出力する。
	構成員n父の氏名			構成員n父の氏名				
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名			構成員n養父の氏名				
	構成員n養母の氏名			構成員n養母の氏名				
	構成員n住所コード			構成員n住所				
	構成員n住所							
	構成員nの世帯主			構成員nの世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/17

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル (30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3. 処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。----------(サンプル提示)
(7)処分決定処理に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍)
    - 4.1 身分事項(事件本人)
    - 4.2 身分事項(父母欄更正者)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 5.1 事件本人
    - 5.2 更生者･構成員
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条12第1項)
    - 6.1 事件本人----------(サンプル提示)

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2	2/17

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下して下さい。」を表示する [1.0]		/		
(2)キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF5、PF7、PF8、PF11、その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する [2.0]	/		
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集・出力する [3.0]	/		
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)	/		
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに、中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)を編集・出力する [4.0]	/		
	身分事項(変動なし) (7)事件本人の身分事項の編集 [4.1]	/		
	身分事項(変動なし) (8)更正者の身分事項の編集 [4.2]			
	(8-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)	/		※サンプル提示
	YES (8-2)事件本について中間ファイル(30条の12第1項)を編集・出力する [6.1]	/		附表情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合処理(8-1)(8-2)
	NO (9)→(10)			
	NO	/		
	(10)在外送付区分 ＝ 0:受領分 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/		
	YES (11)事件本人について中間ファイル(9条2項)を編集出力する [5.1]		(13)処分決定に制御を渡す	
	(12)事件本人は筆頭者である(YES,NO)	/		
	YES (12-1)事件本人は本籍人である(YES,NO)			
	YES (12-2)構成員全員の中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)を編集・出力する [5.2]	/		配偶者に関しても処理する
	NO (12-3)更正者についての中間ﾌｧｲﾙ(9条2項)を編集・出力する [5.2]			更正の有無に係わらず入力者全員分処理する
	NO →	/		
	NO			
PF1	→		(14)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(16)審査に制御を渡す	
PF7	(17)前ページがあるか(ある、なし)	/		
	ある (18)前ページの「名の変更届(その1)を編集」		(20)同画面を編集する	
	なし (19)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(21)次ページがあるか(ある、なし)	/		
	ある (22)前ページの「名の変更届(その2)を編集」		(24)同画面を編集する	
	なし (23)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→		(25)ｴﾗｰ履歴表示に制御を渡す	
その他	(26)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(27)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/17

処理名	1.0 確認画面(名の変更届)表示　1/3	(受取側)名の変更届確認画面(その1)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
名の変更届確認画面 共通	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領No			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	処理日			処理日		有		
	在外送付区分			在外送付区分				
	本非区分コード			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/17

処理名	1.0 確認画面(名の変更届)表示　2/3	(受取側)名の変更届確認画面(その1)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
名の変更届確認画面 その1	名の変更者カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	名の変更者カナ氏名				
	名の変更者カナ氏名			名の変更者カナ氏名				
	変更後のカナ氏名			変更後のカナ氏名				
	変更後の漢字氏名			変更後の漢字氏名				
	住所			住所コード		有		
				住所				
	世帯主			世帯主				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
	審判日			審判日		有		
	届出人資格1			届出人資格1		有		
	届出人資格2			届出人資格2		有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/17

処理名	1.0 確認画面(名の変更届)表示　3/3	(受取側)名の変更届確認画面(その2)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
名の変更届確認画面 その2	構成員n項番		中間ファイル(届書) 事件別内容	――――――				1～n
	構成員n氏名			構成員n漢字氏名				構成員の明細については、複数件(n件)含まれている。
	構成員n父の氏名			構成員n父の氏名				
	構成員n母の氏名			構成員n母の氏名				
	構成員n養父の氏名 構成員n養母の氏名			構成員n養父の氏名 構成員n養母の氏名				
	構成員n住所			構成員n住所コード		有		
				構成員n住所				
	構成員n世帯主			構成員n世帯主				
	構成員n更正区分			構成員n更正区分				

処理名	2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件						名の変更者の戸籍	
	本籍人	非本籍人	筆頭者区分		構成員の更正区分 *1		変動なし	変動なし
			筆頭者	構成員	有 (2,3,5,6)	無 (1)	A.2 C.2 D.2	C.2 D.2
1	○		○		○		本人　(4.1) 更正者(4.2)	
2	○		○			○	本人　(4.1)	
3	○			○	○			本人　(4.1) 更正者(4.2)
4	○			○		○		本人　(4.1)
5		○	○		○			
6		○	○			○		
7		○		○	○			
8		○		○		○		

*1:構成員の人数分それぞれ判定し、更正者の身分事項を作成する。(父母欄更正)

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7/17

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			――――――				3201(名の変更)を設定
	受付日			受領日、送付日				送付日 ≠ スペースのときのみ送付日
	事件発生日			――――――				
	事件発生時分			――――――				
	事件発生日時			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――				「0:届出」を移送
	発送日			――――――				
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	関連受領番号			――――――				
	届出人資格区分1			届出人資格1				届出人資格 ＝ 098のときは、未設定 その他は、資格および氏名を移送する(但し、届出人資格1が000(未入力)の場合は、届出人資格2の内容を1へつめて移送する)
	届出人資格名称1					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格2				
	届出人資格名称2					有		
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/17

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル(届書)	――――――				
	届後本籍			――――――				
	届後戸籍の筆頭者			――――――				
	送達確認1			――――――				「0:不要」を移送
	届書送付目録区分			――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	9/17

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)事件本人 ←(引渡側)中間ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				43:名の変更者を設定
	届出人区分			――――――				届出人資格1又は2 ＝ 098:1を設定 上記以外 :0を設定
	カナ氏名			名の変更者カナ氏名				
	漢字氏名			名の変更者漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――				事件本人の現本籍が (本非区分 ＝ 2)かつ (在外送付区分 ＝ 0)の場合 1(未到着)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/17

処理名	4.1 名変更者の記録(変動なし)	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 事件本人身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:(可)を設定
	タイトルコード				――――――				3201:「名の変更」を設定
	記録コード				――――――				3201: 「名の変更者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				受領日				
	名の変更	名の変更日			受領日				受領日を移送
	届出人	資格			届出人資格1,2				届出人資格1,2のいずれかが,098(事件本人)の場合は、移送しない。 上記以外は、次頁(*1)参照。
		資格名称							
		氏名							
	届出人	資格							
		資格名称							
		氏名							
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	従前記の録	従前の記録			名の変更者の氏名				氏名から名のみを移送する。
		名							
	特記	特記事項			――――――				

*1:届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1,2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
016(親権者父)	親権者父		親権者父母		親権者父,養母 *1	
017(親権者母)	親権者母	親権者父母		養父,親権者母 *1		
019(親権者養父)	親権者養父		養父,親権者母 *1		養父,養母 *1	
020(親権者養母)	親権者養母	親権者父,養母 *1		養父,養母 *1		
110(未成年後見人)	未成年後見人					

*1:届出人資格名称をそれぞれ設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)

EX. 親権者養父 と 親権者養母 の 場合
【届出人1】親権者養父 甲野 義太郎
【届出人2】親権者養母 甲野 梅子

(2)届出人氏名
届出人資格1,2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	12/17

処理名	4.2 更正者の記録(変動なし)	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)身分事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 更正者身分事項	個人番号		中間ファイル(届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				0:可を設定
	タイトルコード			――――――				7001:「更正」を設定
	記録コード			――――――				7001:「更正」を設定
	管挙者コード			――――――				
	事件発生日			受領日				
	更正 更正日			送付日 受領日				送付日 ≠ スペース:送付日を移送 送付日 ＝ スペース:受領日を移送
	更正 更正事項			――――――				名更正区分に該当する〔(養)父、(養)母〕を移送
	更正 更正事由			――――――				名更正区分に該当する〔(養)母、(養)母〕 +「名変更」
	記録 従前の記録			構成員nの 父、母、養父、養母 氏名				該当項目を移送

(1)更正事項・更正事由について

更正区分	変換文字
2	「父」
3	「母」
5	「養父」
6	「養母」

上記の表に従い、更正区分を判定し事項及び事由を作成する。
更正事項:変換文字 + の氏名　　(例)養父の氏名
更正事由:変換文字 + 名変更　　(例)養父名変更

(2)従前の記録について

更正区分に従い該当する従前の氏名を作成する。

更正区分	従前の記録		移送する従前氏名
2	【父】	KKK～KKK	←構成員nの父氏名
3	【母】	KKK～KKK	←構成員nの母氏名
5	【養父】	KKK～KXK	←構成員nの養父氏名
6	【養母】	KKK～KKK	←構成員nの養母氏名

(例)【従前の記録】
【養父】甲野義太郎

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	13/17

処理名	5.1 中間ファイル(9条2項) 編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				32(名の変更届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後の漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者 (変更後の漢字名)				名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき筆頭者の氏 + 変更後の漢字名を移送する 上記以外は、筆頭者を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/17

処理名	5.1 中間ファイル(9条2項) 編集･出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 事件本人	住民日		中間ファイル(届書)	――――――				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	15/17

処理名	5.2 中間ファイル(9条2項)編集･出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/更正者	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 更正者･構成員	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				32(名の変更届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			――――――				本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			構成員の漢字氏名				
	旧氏名			構成員の漢字氏各				
	新生年月日			――――――				
	旧生年月日			――――――				
	新父母との続柄			――――――				
	旧父母との続柄			――――――				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			筆頭者				名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき筆頭者の氏 + 変更後の漢字名を移送する。 上記以外は、筆頭者を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	16/17

処理名	5.2 中間ファイル(9条2項)編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(9条2項)/更正者	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 更正者・構成員	世帯主		中間ファイル(届書)	世帯主				
	世帯主との続柄			――――――――				

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(名の変更届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	17/17

処理名	6.1 事件本人　編集･出力	(受取側) 中間ファイル(30条の12第1項)/(事件本人) ←(引渡側) 中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					32(名の変更届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			筆頭者の氏 + 変更後の漢字名				
	旧氏名			名の変更者漢字氏名				
	新生年月日							
	旧生年月日			生年月日				
	新性別							
	旧性別							
	新本籍コード							
	新本籍							
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者							名の変更者漢字氏名 ＝ 筆頭者のとき筆頭者の氏 + 変更後の漢字名　を移送する
	旧筆頭者			筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書							
	転入届出日							

第7.2.(5)「異動」処理

32.転籍届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	1/1

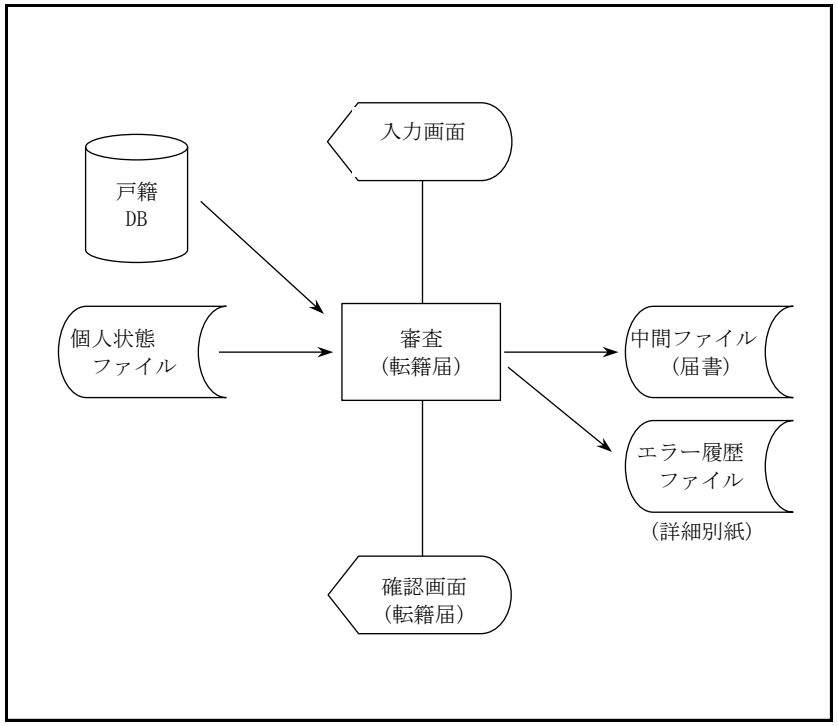
1. 転籍業務処理範囲外の処理
   (1) 複数の未成年後見人から届出があった場合の記録

2. 転籍届入力画面の意義
   (1) その1画面.転籍を行う当事者(筆頭者又は配偶者)の各項目を入力する。
   (2) その2画面.転籍を行う上記以外の構成員の各項目を入力する。

3. その他

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成3年11月30日	令和　年　月　日	1	1/23

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3. 処理概要

(1) 転籍届の内容を画面入力する。
(2) 転籍届で入力された項目の単体チェックを行う。
(3) 転籍届で入力された項目の関連チェックを行う。
(4) 審査を行う。
(5) 転籍届から中間ファイル(届書)を編集･出力する。
(6) 入力確認(転籍届)に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データチェック(単体表)□
  - 2.0 データチェック(関連表)□
  - 3.0 審査
    - 3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)
    - 3.2 審査(届出人資格:配偶者単独)
    - 3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)
    - 3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/届書)

5. 備考(特記事項含む)

(1) 筆頭者の年齢計算について
　･受領日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/23

処理名	0.0 本紙			備考
(1) 届書内容を画面入力する		/		「届出メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2) キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) 〔1.0〕	/		
YES	(4) 入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕	/		
YES	(5) 画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6) 審査(OK:YES,NG:NO) 〔3.0〕	/		
	YES (7) 中間ファイル(届書)編集出力 〔4.0〕		(8) 入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9) メッセージの種類(審査エラー,確認)	/		
	審査ｴﾗｰ (10) エラーメッセージを表示する		(12) 同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	確認 (11) 確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する			メッセージと応答をエラー履歴に出力する
NO	(13) エラーメッセージを表示する			
NO				
PF1	→		(14) 業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(15) 届出選択に制御を渡す	
PF7	(16) 前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
ある	(17) 前ページ分の「転籍届」画面を編集		(19) 同画面を編集する	
なし	(18) エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(20) 次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)	/		
ある	(21) 次ページ分の「転籍届」画面を編集		(23) 同画面を編集する	
なし	(22) エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(24) 画面の入力項目の入力禁止を解除する			入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(25) 当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する			審査エラー発生時のみ有効
PF12	(26) 入力画面を初期化する			
その他	(27) エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/23

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック　1/3	転籍届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所NO		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領NO		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	本籍	○	漢字				
11	新本籍	○	漢字				
12	筆頭者カナ氏名	○	カナ				
13	筆頭者漢字氏名	○	漢字				
14	筆頭者生年月日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
15	筆頭者個人除区分	○	数字	(0:在籍者,1:除籍者)であること			
16	筆頭者-配偶者区分		漢字	(0:未,1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
17	筆頭者住所		漢字				
18	筆頭者世帯主		漢字				
19	配偶者-配偶者区分		数字	(1:夫,2:妻,3:生存配偶者)であること			
20	配偶者外人区分		数字	(0:日本人,1:外国人)であること			
21	配偶者カナ氏名		カナ				
22	配偶者漢字氏名		漢字				
23	配偶者住所		漢字				
24	配偶者世帯主		漢字				
25	配偶者生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/23

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表　2/3	転籍届(その1)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
26	届出人資格1		数字	(000:未入力,008:筆頭者,009:配偶者,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
27	届出人資格2		数字	(000:未入力,008:筆頭者,009:配偶者,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人)であること			
28	届出人氏名1		漢字				
29	届出人氏名2		漢字				
30	名義使用区分		数字	(0:未使用,1:夫,2:妻)であること			
31	構成員人数		数字				

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/23

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック　3/3	転籍届(その2)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
32	構成員カナ氏名(その1)		カナ		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
33	構成員漢字氏名(その1)		漢字				
34	構成員住所(その1)		漢字				
35	構成員世帯主(その1)		漢字				
36	構成員生年月日(その1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
37	構成員カナ氏名(その2)		カナ				
38	構成員漢字氏名(その2)		漢字				
39	構成員住所(その2)		漢字				
40	構成員世帯主(その2)		漢字				
41	構成員生年月日(その2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
42	構成員カナ氏名(その3)		カナ				
43	構成員漢字氏名(その3)		漢字				
44	構成員住所(その3)		漢字				
45	構成員世帯主(その3)		漢字				
46	構成員生年月日(その3)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
47	構成員カナ氏名(その4)		カナ				
48	構成員漢字氏名(その4)		漢字				
49	構成員住所(その4)		漢字				
50	構成員世帯主(その4)		漢字				
51	構成員生年月日(その4)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	6/23

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 1/4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.5)送付元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.5)送付元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ＝ 0:(受理分)であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースの時、(No.6)在外送付区分 ≠ 0:(受理分)であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」のとき(No.6)在外送付区分 ＝ 1(国内からの送付)であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外のとき(No.6)在外送付区分 ＝ 2(在外公館の直接送付)または(No.6)在外送付区分 ＝ 3(在外公館の国内経由)であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.8)本非区分 ＝ 1(本籍)の時、(No.10)本籍 ＝ 本籍地又は(No.11)新本籍 ＝ 本籍地であること			
12	(No.10)本籍 ≠ (No.11)新本籍であること			
13	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の時、(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)、1(夫)、2(妻)、3(生存配偶者)であること			
14	(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の時、(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)かつ(No.17)筆頭者-住所、(No.18)筆頭者-世帯主 ＝ スペースであること			
15	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 0(未)の時、(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)またはスペース(未入力)であること			
16	【空白】			(No.16)欠番
17	(No.16)筆頭者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)または0(未)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/23

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 2/4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
17-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ 3(生存配偶者)の時、(No.15)筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
18	(No.19)配偶者-配偶者区分 ＝ スペース(未入力)の時、(No.20)配偶者-外人区分、(No.21)配偶者-カナ氏名、(No.22)配偶者-漢字氏名、(No.23)配偶者-住所、(No.24)配偶者-世帯主、(No.25)配偶者-生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
19	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力)かつ(No.20)配偶者-外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.21)配偶者-カナ氏名、(No.22)配偶者-漢字氏名、(No.25)配偶者-生年月日全て ≠ スペース(未入力)であること			
19-1	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力)かつ(No.20)配偶者-外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.21)配偶者-カナ氏名～(No.25)配偶者-生年月日全て ＝ スペース(未入力)であること			
20	(No.19)配偶者-配偶者区分 ≠ スペース(未入力)かつ(No.20)配偶者-外人区分 ＝ 0(日本人)の時、(No.12)筆頭者-カナ氏名(氏) ＝ (No.21)配偶者-カナ氏名(氏)、かつ(No.13)筆頭者-漢字氏名(氏) ＝ (No.22)配偶者-漢字氏名(氏)であること			
21	(No.20)配偶者-外人区分 ＝ スペース(未入力)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
22	(No.20)配偶者-外人区分 ＝ 1(外国人)の時、(No.30)名義使用区分 ＝ 0(未使用)であること			
23	(No.26)届出人資格1 ≠ 000(未入力)又は(No.27)届出人資格2 ≠ 000(未入力)であること			
24	(No.26)届出人資格1 ＝ 016、017、019、020、110の時、(No.28)届出人氏名1 ≠ スペース(未入力)であること			
25	(No.27)届出人資格2 ＝ 016、017、019、020、110の時、(No.29)届出人氏名2 ≠ スペース(未入力)であること			
26	構成員番号(その1) ＝ スペースの時、(No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員漢字氏名(その1)、(No.34)構成員住所(その1)、(No.35)構成員世帯主(その1)、(No.36)構成員生年月日(その1)が全て ＝ スペースであること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	8/23

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 3/4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、(No.32)構成員カナ氏名(その1)、(No.33)構成員漢字氏名(その1)、(No.36)構成員生年月日(その1)が全て ≠ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
28	構成員番号(その2) ＝ スペースの時、(No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員漢字氏名(その2)、(No.39)構成員住所(その2)、(No.40)構成員世帯主(その2)、(No.41)構成員生年月日(その2)が全て ＝ スペースであること			
29	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、(No.37)構成員カナ氏名(その2)、(No.38)構成員漢字氏名(その2)、(No.41)構成員生年月日(その2)が全て ≠ スペースであること			
30	構成員番号(その3) ＝ スペースの時、(No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員漢字氏名(その3)、(No.44)構成員住所(その3)、(No.45)構成員世帯主(その3)、(No.46)構成員生年月日(その3)が全て ＝ スペースであること			
31	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、(No.42)構成員カナ氏名(その3)、(No.43)構成員漢字氏名(その3)、(No.46)構成員生年月日(その3)が全て ≠ スペースであること			
32	構成員番号(その4) ＝ スペースの時、(No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員漢字氏名(その4)、(No.49)構成員住所(その4)、(No.50)構成員世帯主(その4)、(No.51)構成員生年月日(その4)が全て ＝ スペースであること			
33	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、(No.47)構成員カナ氏名(その4)、(No.48)構成員漢字氏名(その4)、(No.51)構成員生年月日(その4)が全て ≠ スペースであること			
34	構成員番号(その1) ≠ スペースの時、(No.12)筆頭者-漢字氏名(氏) ＝ (No.33)構成員漢字氏名(その1)(氏)であること			
35	構成員番号(その2) ≠ スペースの時、(No.12)筆頭者-漢字氏名(氏) ＝ (No.38)構成員漢字氏名(その2)(氏)であること			
36	構成員番号(その3) ≠ スペースの時、(No.12)筆頭者-漢字氏名(氏) ＝ (No.43)構成員漢字氏名(その3)(氏)であること			

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	9/23

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック 4/4	転籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
37	構成員番号(その4) ≠ スペースの時、(No.12)筆頭者-漢字氏名(氏) ＝ (No.48)構成員漢字氏名(その4)(氏)、であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
38	(No.30)名義使用区分 ≠ 0(未使用)の時、(No.26)届出人資格1 ≠ 110(未成年後見人)、かつ(No.27)届出人資格2 ≠ 110(未成年後見人)であること			
39	(No.17)筆頭者住所 ＝ スペースの時、(No.18)筆頭者世帯主 ＝ スペースであること			
40	(No.18)筆頭者世帯主 ≠ スペースの時、(No.17)筆頭者住所 ≠ スペースであること			
41	(No.23)配偶者住所 ＝ スペースの時、(No.24)配偶者世帯主 ＝ スペースであること			
42	(No.24)配偶者世帯主 ≠ スペースの時、(No.23)配偶者住所 ≠ スペースであること			
43	(No.34)構成員住所(その1) ＝ スペースの時、(No.35)構成員世帯主(その1) ＝ スペースであること			
44	(No.35)構成員世帯主(その1) ≠ スペースの時、(No.34)構成員住所(その1) ≠ スペースであること			
45	(No.39)構成員住所(その2) ＝ スペースの時、(No.40)構成員世帯主(その2) ＝ スペースであること			
46	(No.40)構成員世帯主(その2) ≠ スペースの時、(No.39)構成員住所(その2) ≠ スペースであること			
47	(No.44)構成員住所(その3) ＝ スペースの時、(No.45)構成員世帯主(その3) ＝ スペースであること			
48	(No.45)構成員世帯主(その3) ≠ スペースの時、(No.44)構成員住所(その3) ≠ スペースであること			
49	(No.49)構成員住所(その4) ＝ スペースの時、(No.50)構成員世帯主(その4) ＝ スペースであること			
50	(No.50)構成員世帯主(その4) ≠ スペースの時、(No.49)構成員住所(その4) ≠ スペースであること			

処理名	3.0 審査　1/7							
(0-1)受領日=送付日である						/		
YES	(0-2)確認メッセージ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)					/		
	YES	(0-3)→(0-7)へ				/		
	NO	(0-4)→					(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ					/		
(0-7)構成員カナ氏審査処理(構成員が無くなるまで繰り返す)						/		
	(0-8)筆頭者-カナ氏名の氏≠構成員カナ氏名の氏(YES,NO)					/		
	YES	(0-9)メッセージ 「構成員のカナ氏が筆頭者のカナ氏と異なりますがよろしいですか?」						
	NO	(0-11)→(0-7)へ				/		
(0-12)筆頭者の名が未入力　または　(配偶者区分≠スペース かつ 配偶者の名が未入力)(YES,NO)						/		R2.1(転籍59)
YES	(0-13)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人の名が未入力の者がいます。間違いありませんか?」を表示						(0-14)本紙へ	R2.1(転籍59)
	YES	(0-15)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示					(0-17)本紙へ	不受理　R2.1(転籍59)
	NO	(0-16)→						画面項目修正(審査完了しない) R2.1(転籍59)
NO	(0-18)→(1)へ					/		R2.1(転籍59)
(1)筆頭者-配偶者区分(0:未婚,1:夫,2:妻,3:生存配偶者,その他)						/		
0	(1-1)筆頭者-個人除区分(0:在籍,その他)					/		
	0	(2)筆頭者の生年月日+15年(15歳以上)≦受領日である(YES,NO)				/		
		YES	(3)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]			/		
			(4)→				(5)本紙へ	
		NO	(6)審査(届出人資格:筆頭者15歳未満)処理[3.4]			/		
			(7)→				(8)本紙へ	
	その他	(8-1)配偶者-外人区分(0:日本人,その他)				/		
		0	(8-2)配偶者-配偶者区分=3:生存配偶者(YES,NO)			/		
			YES	(8-3)名義使用外区分(0:未使用,その他)		/		
				0	(8-4)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	/		
					(8-5)→		(8-6)本紙へ	
				その他	(8-7)エラーメッセージ 「名義使用区分は入力できません。」を表示する。	/		
			NO	(8-8)エラーメッセージ 「配偶者-配偶者区分には誤りがあります。」を表示する。		/		
		その他	(8-9)エラーメッセージ 「届出資格を有していません。」を表示する。			/		
1	(9)配偶者-外人区分(0:日本人,その他)					/		
	0	(10)配偶者-配偶者区分=2:妻(YES,NO)				/		
		YES	(11)名義使用区分(1:夫,2:妻,その他)			/		
			1	(12)審査(届出人資格:筆頭者単独)処理[3.1]		/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答
				(13)→			(14)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答

			2	(15)審査(届出人資格:配偶者単独)処理[3.2]	/		昭和23.4.15 民事甲　926号回答
				(16)→		(17)本紙へ	昭和23.5.6 民事甲 1131号回答
			その他	(18)審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方)処理[3.3]	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	13/23

処理名		3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独)　1/2　3-1/7			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,008:筆頭者,110:未成年後見人,その他)			/		
000	(2)届出人資格2(008:筆頭者,110:未成年後見人,その他)		/		
	008	(3)→(34)			(4)～(8)削除
	110	(9)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」	/		
		YES (10)→		(11)3.0審査へ	
		NO (12)→			不受理 (13),(14)削除
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
008	(16)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
	000	(17)→(34)			(18)～(22)削除
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(24)3.0審査へ	不受理
110	(25)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
	000	(26)確認メッセージ 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」	/		

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	14/23

処理名		3.1 審査(届出人資格:筆頭者単独) 2/2 3-2/7			備考
110	000	YES	(27)→	(28)3.0審査へ	
		NO	(29)→		不受理
					(30),(31)削除
	その他	(32)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
その他		(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」			不受理
(34)→					

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	15/23

処理名		3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 1/2 4-1/7			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,009:配偶者,その他)			/		
000	(2)届出人資格2(009:配偶者,その他)		/		
	009	(3)→(34)			(4)～(14)削除
	その他	(15)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(15-1)3.0審査へ	不受理
009	(16)届出人資格2(000:未入力,その他)		/		
	000	(17)→(34)			(18)～(22)削除
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(24)3.0審査へ	不受理
					(25)～(32)削除

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	16/23

処理名	3.2 審査(届出人資格:配偶者単独) 2/2 4-2/7		備考
			(25)～(32)削除
その他	(33)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」	(33-1)3.0審査へ	不受理
(34)→			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	17/23

処理名		3.3 審査(届出人資格:筆頭者、配偶者双方) 5/7			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,008:筆頭者,009:配偶者,その他)			/		
008	(2)届出人資格2(009:配偶者,その他)		/		
	009	(3)→			戸108 I
	その他	(4)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(5)3.0審査へ	不受理
009	(6)届出人資格2(008:筆頭者,その他)		/		
	008	(7)→			戸108 I
	その他	(8)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」		(10)3.0審査へ	不受理
その他	(9)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」				不受理
					(11)～(18)削除

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	18/23

処理名		3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満) 1/2 6/7			備考
(1)届出人資格1(000:未入力,016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)			/		昭和23.10.15民事甲660号通達
000	(2)届出人資格2(016:親権者父,017:親権者母,019:親権者養父,020:親権者養母,110:未成年後見人,その他)		/		
	016,017,019,020	(3)確認メッセージ 「単独親権ですか?」		(4)3.0審査へ	Nのとき、不受理
	110	(5)筆頭者は本籍人である(YES,NO)	/		
		YES (6)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
		YES →		(8)3.0審査へ	
		NO (7)エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」			
		NO →			
	その他	(8-1)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
016,019	(9)届出人資格2(000:未入力,017:親権者母,020:親権者養母,その他)		/		
	000	(10)確認メッセージ 「単独親権ですか?」		(13)3.0審査へ	Nのとき、不受理
	017,020	(11)確認メッセージ 「共同親権ですか?」			Nのとき、不受理
	その他	(12)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理
017,020	(14)届出人資格2(000:未入力,016:親権者父,019:親権者養父,その他)		/		
	000	(15)確認メッセージ 「単独親権ですか?」		(18)3.0審査へ	Nのとき、不受理
	016,019	(16)確認メッセージ 「共同親権ですか?」			Nのとき、不受理
	その他	(17)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」			不受理

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成29年 3月31日	20	19/23

処理名						備考
3.4 審査(届出人資格:筆頭者15歳未満) 2/2 7/7						
110	(19)届出人資格2(000:未入力,その他)			/		
	000	(20)筆頭者は本籍人である(YES,NO)		/		
		YES	(21)筆頭者の身分事項に未成年後見事項がある(YES,NO)	/		
			YES →		(25)3.0審査へ	
			NO (22)エラーメッセージ「事件本人に未成年後見事項がありません。未成年後見人は届出人にはなれません。」			
		NO →				
	その他	(23)エラーメッセージ 「届出人資格2の入力に誤りがあります。」				不受理
	その他	(24)エラーメッセージ 「届出人資格1の入力に誤りがあります。」				不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	20/23

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力 1/4	(受取側)中間ファイル(届書) ← (引渡側)転籍届画面 入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		転籍届画面 入力	受領NO				
	選択事件コード			-				「33」をセット
	出張所番号			支所NO				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			-				
	許可日							
	受理送付区分			-				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本･非本				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			-				「0:不要」をセット
	届区分			-				「1:創設」をセット
	渉外区分			-				「0」をセット
	同時決裁受領番号			-				
	ロック戸籍番号1			-				本籍人の時、転籍者の戸籍番号をｾｯﾄ
	ロック戸籍番号2			-				
	ロック戸籍番号3			-				
	ロック戸籍番号4			-				
	ロック戸籍番号5			-				
	事件別内容			-				3/4～4/4参照
	不受理申出処分区分			-				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/23

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/4	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)転籍届画面　入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	処分区分		転籍届画面　入力	-				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。*
	決裁区分			-				ZERO
	届書排他区分			-				0:未、1:排他

*審査において一つでもエラーがある場合は不受理とする。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/23

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/4	(受取側)中間ファイル(届書)	(引渡側)転籍届画面　入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		転籍届画面　入力	本籍				
	本籍							
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	筆頭者の個人番号							本籍人の時、筆頭者の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名(筆頭者)			筆頭者のカナ氏名				
	漢字氏名(筆頭者)			筆頭者の漢字氏名				
	生年月日(筆頭者)			筆頭者の生年月日				
	個人除区分(筆頭者)			筆頭者の個人除区分				
	配偶者入力区分(筆頭者)			筆頭者の配偶者入力区分				
	住所コード(筆頭者)			筆頭者の住所				
	住所(筆頭者)							
	世帯主(筆頭者)			筆頭者の世帯主				
	配偶者入力区分(配偶者)			配偶者の配偶者入力区分				
	外人区分(配偶者)			配偶者の外人区分				
	配偶者の個人番号							本籍人の時、配偶者の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名(配偶者)			配偶者のカナ氏名				
	漢字氏名(配偶者)			配偶者の漢字氏名				
	生年月日(配偶者)			配偶者の生年月日				
	住所コード(配偶者)			配偶者の住所				
	住所(配偶者)							
	世帯主(配偶者)			配偶者の世帯主				
	届出人資格1			届出人資格1				
	届出人資格2			届出人資格2				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				

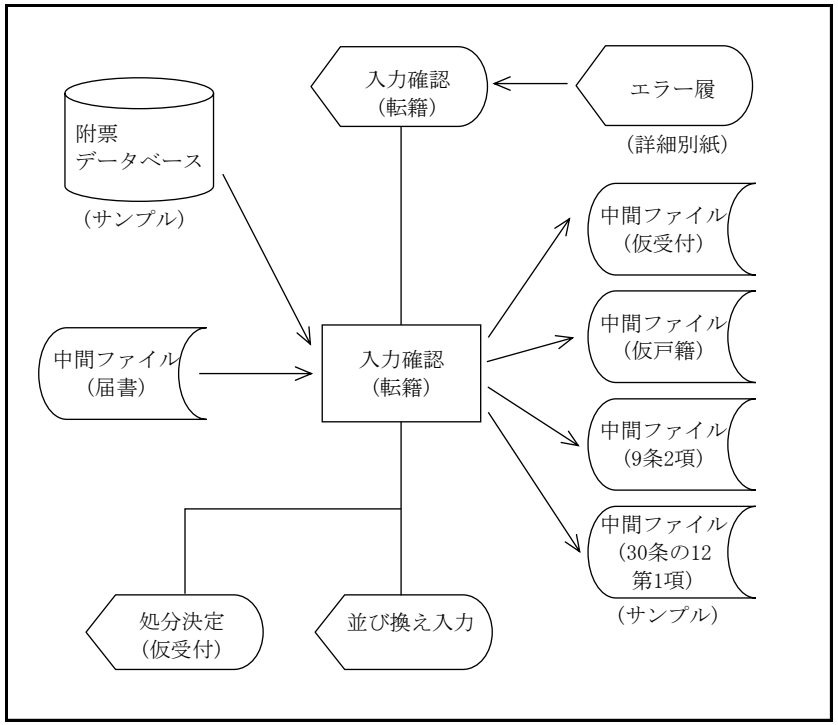
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/23

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　4/4	(受取側)中間ファイル(届書)	← (引渡側)転籍届画面　入力

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	名義使用区分		転籍届画面　入力	名義使用区分				
	構成員人数			構成員人数				
	構成員の個人番号							本籍人の時、構成員の個人番号をｾｯﾄ
	カナ氏名(構成員)			構成員のカナ氏名				構成員の明細について 画面では、4人/画面ファイルでは、3人/レコードです
	漢字氏名(構成員)			構成員の漢字氏名				
	住所コード(構成員)			構成員の住所				
	住所(構成員)							
	世帯主(構成員)			構成員の世帯主				
	生年月日(構成員)			構成員の生年月日				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年3月1日	2.1	1/25

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	中間ファイル(30条の12第1項)	出力 (サンプル)
附票データベース	入力 (サンプル)		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動情報を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する。……(サンプル提示)
(7)下記に制御を渡す。
　処分決定処理
　並び換え処理

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(入力確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍[戸籍事項])
    - 4.1 戸籍特定情報
      - 4.1.1 戸籍特定(新戸)
      - 4.2.1 戸籍特定(記録)
    - 4.2 戸籍事項情報
      - 4.2.1 戸籍事項(編製)
      - 4.2.2 戸籍事項(記録)
      - 4.2.3 戸籍事項(消除)
    - 4.3 個人特定情報
      - 4.3.1 個人特定(入籍)
      - 4.3.2 個人特定(記録)
    - 4.4 氏名情報
      - 4.4.1 氏名(入籍)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)
    - 5.1 転籍者
  - 6.0 データ編集表(中間ファイル/30条の12第1項)……(サンプル提示)
    - 6.1 転籍者

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	2/25

処理名	0.0 本紙　1/2			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、メッセージ「入力項目を確認し、よければ実行キーを押下してください。」を表示する〔1.0〕			/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF11,その他)			/	
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編成マトリックス表を参照し、事件本人の戸籍変動状況を決定する〔2.0〕		/	
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する〔3.0〕		/	
	(5)事件本人が本籍人である(YES,NO)		/	
	YES	(6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する〔4.0〕	/	
		(7)戸籍特定情報	/	
		戸籍特定(新戸) (8)戸籍特定(新戸)の編集〔4.1.1〕	/	
		戸籍特定(記録) (9)戸籍特定(記録)の編集〔4.1.2〕	/	
		(10)戸籍事項情報	/	
		戸籍事項(編製) (11)戸籍事項(編製)の編集〔4.2.1〕	/	
		戸籍事項(記録) (12)戸籍事項(記録)の編集〔4.2.2〕	/	
		戸籍事項(消除) (13)戸籍事項(消除)の編集〔4.2.3〕	/	
		(14)個人特定情報	/	転籍人数分行う
		個人特定(入籍) (15)個人特定(入籍)の編集〔4.3.1〕	/	
		個人特定(記録) (16)個人特定(記録)の編集〔4.3.2〕	/	
		(17)氏名情報	/	転籍人数分行う
		氏名(入籍) (18)氏名(入籍)の編集〔4.4.1〕	/	
		(17-1)事件本人は在外選挙人である(YES,NO)	/	転籍人数分行う,※サンプル提示
		YES (17-2)事件本人について中間ファイル(30条の12第1項)を編集･出力する〔6.1〕	/	附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が戸籍システムで可能な場合
		NO (19)→(20)	/	処理(17-1),(17-2)
	NO			
	(20)在外送付区分 = 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)		/	
	YES	(21)転籍者について中間ファイル(9条2項)を編集･出力する〔7.1〕	/	
	NO	(22)→(23)	/	
	(23)新戸編製である(YES,NO)		/	
	YES	(24)筆頭者、配偶者を除く構成員数は2名以上である(YES,NO)	/	

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成11年3月1日	2.1	3/25

処理名	0.0 本紙　2/2				備考
	YES	YES	(25)構成員(筆頭者、配偶者を除く)同生年月日者がいる(YES,NO)	/	
			YES (26)戸籍法14条により並べ換えし並び換え処理へ		(27)並べ換えに制御を渡す
			NO →		(28)処分決定に制御を渡す
		NO			
	NO				
PF1	→				(29)業務選択に制御を渡す
PF2	→				(30)届出選択に制御を渡す
PF5	→				(31)審査に制御を渡す
PF7	(32)前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(34)同画面を編集する
	ある	(33)前ページ分の「転籍届」画面を編集			
	なし	(35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(36)次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)			/	(38)同画面を編集する
	ある	(37)次ページ分の「転籍届」画面を編集			
	なし	(39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF11	→				(40)エラー履歴表示に制御を渡す
その他	(41)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する				(42)同画面を編集する

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/25

処理名	1.0 確認画面(転籍届(その1))表示1/2	(受取側)転籍届確認画面	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
転籍届確認画面(その1)	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	本籍		中間ファイル(届書) 事件別内容	本籍コード		有		
				本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	筆頭者のカナ氏名			カナ氏名(筆頭者)				
	筆頭者の漢字氏名			漢字氏名(筆頭者)				
	筆頭者の生年月日			生年月日(筆頭者)		有		
	筆頭者の個人除区分			個人除区分(筆頭者)		有		
	筆頭者の個人除区分名称							
	筆頭者の配偶者区分			配偶者区分(筆頭者)		有		
	筆頭者の配偶者区分名称							
	筆頭者の住所			住所コード(筆頭者)		有		
				住所(筆頭者)				
	筆頭者の世帯主			世帯主(筆頭者)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/25

処理名	1.0 確認画面(転籍届(その1))表示2/2	(受取側)転籍届確認画面	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
転籍届確認画面(その1)	配偶者の配偶者区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	配偶者区分(配偶者)		有		
	配偶者の配偶者区分名称							
	配偶者の外人区分			外人区分(配偶者)		有		
	配偶者の外人区分名称							
	配偶者のカナ氏名			カナ氏名(配偶者)				
	配偶者の漢字氏名			漢字氏名(配偶者)				
	配偶者の住所			住所コード(配偶者)		有		
				住所(配偶者)				
	配偶者の生年月日			生年月日(配偶者)		有		
	届出人資格1			届出人資格1		有		
	届出人資格1名称							
	届出人資格2			届出人資格2		有		
	届出人資格2名称							
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	名義使用区分			名義使用区分		有		
	名義使用区分表示							
	構成員人数			構成員数				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/25

処理名	1.0 確認画面(転籍届(その2))表示	(受取側)転籍届確認画面	(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
転籍届確認画面(その2)	構成員の番号		中間ファイル(届書) 事件別内容	-				構成員を一連番号で設定
	構成員のカナ氏名			カナ氏名(構成員)				構成員人数について 画面では、4人/画面ファイルでは、3人/レコードです
	構成員の漢字氏名			漢字氏名(構成員)				
	構成員の住所			住所コード(構成員)		有		
	構成員の世帯主			住所(構成員)				
				世帯主(構成員)				
	構成員の生年月日			生年月日(構成員)		有		
	現在頁			-				現在表示している画面の出現番号を表示する
	最大頁			-				構成員人数より必要な画面数の最大頁数を表示する

処理名　2.0　戸籍編製マトリックス表

項番	条件				戸籍の変動		
	現本籍		新本籍				
	本籍	非本籍	管内	管外	全部除籍 4.1.2 4.2.3 4.3.2 *1	新戸籍編製 4.1.1 4.2.1 4.3.1 4.4.1 *2	変動なし 4.1.2 4.2.2
1	○		○				○
2	○			○	○		
3		○	○			○	
4		○		○			

*1　4.3.2は画面入力した筆頭者、配偶者、構成員の全ての戸籍が除籍の対象とする。
　　ただし、筆頭者が除籍(個人除区分 ＝ 1)の場合、筆頭者の戸籍の変動は行わない。
*2　4.3.1、4.4.1は画面入力した転籍者(筆頭者、配偶者、構成員)は、以下の順で記録する。
　　第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者、0:構成員の順)
　　第2順位　配偶者区分　(1:夫、2:妻、3:生存配偶者、0:未婚の順)
　　第3順位　生年月日　　(和暦年号は西暦換算で上昇順、年、月、日の順)
　　第4順位　入力順　　(構成員番号の順)

☆管外から管内へ転籍する場合、外国人配偶者の戸籍(個人特定)は作成しないこと

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/25

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			-				「33」を設定
	受付日			送付日　または受領日				送付日 ≠ スペースの場合、送付日 送付日 ＝ スペースの場合、受領日
	事件発生日			-				
	事件発生時分			-				
	事件発生日時			-				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			-				0:日本人
	証書提出区分			-				0:届出
	発送日			-				
	郵送日			郵送日				
	発日			-				移送データなし
	収日			-				移送データなし
	指示日			-				移送データなし
	許可日			-				移送データなし
	関連受領番号			-				移送データなし
	届出人資格区分1			届出人資格1 OR 2				資格区分 ＝ 008:筆頭者または009:配偶者　以外の時設定
	届出人資格区分1名称					有		
	届出人氏名1			届出人氏名1 OR 2				
	届出人資格区分2							
	届出人資格区分2名称					有		
	届出人氏名2			-				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/25

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付)　共通	届後本籍区分		中間ファイル(届書)	-				戸籍編製マトリックスから設定 (1:入籍、2:新戸籍編製)
	届後本籍コード			新本籍コード				
	届後本籍			新本籍				
	届後本籍の筆頭者			筆頭者の漢字氏名				
	送達確認区分1			-				届後本籍が非本籍　かつ在外送付区分 ＝ 0(受理分)の場合、1(未到達)を設定。 上記以外は、0(不要)を設定。
	届書送付目録区分			-				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる。
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成26年 3月 1日	17	10/25

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/事件本人	← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			-				
	事件本人区分			-				名義使用区分 ≠ 1(夫)又は2(妻)の場合 資格区分1又は2 ＝ 008の時、44(筆頭者)で1件作成 資格区分1又は2 ＝ 009の時、45(配偶者)で1件作成 資格区分1又は2 ＝ 008又は009以外の時、44(筆頭者)で1件作成 名義使用区分 ＝ 1(夫)又は2(妻)の場合 資格区分1又は2 ＝ 008又は009の時、44(筆頭者)、45(配偶者)で1件ずつ作成
	届出人区分			-				資格区分1 又は2 ＝ 008または009 :1を設定 それ以外 :0設定
	カナ氏名			-				事件本人区分 44の場合、筆頭者カナ氏名移送 45の場合、配偶者カナ氏名移送
	漢字氏名			-				事件本人区分 44の場合、筆頭者漢字氏名移送 45の場合、配偶者漢字氏名移送
	生年月日			-				事件本人区分 44の場合、筆頭者生年月日移送 45の場合、配偶者生年月日移送
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	送達確認2							現本籍が(本非区分 ＝ 2)かつ(在外送付区分 ＝ 0)の場合1(未到着)を設定 上記以外は、0(不要)を設定。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/25

処理名	4.1.1 戸籍特定(編製)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)					
	編製日			処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	改製日			-				
	回復日			-				
	消除日			-				
	本籍コード			新本籍コード				
	本籍			新本籍				
	筆頭者			筆頭者の漢字氏名				
	記録者数			-				在籍者数+除籍者数
	在籍者数			-				筆頭者個人除区分 ＝ 0(在籍)の場合1+構成員人数 上記以外は、構成員人数
	除籍者数			-				筆頭者個人除区分 ＝ 1(除籍)の場合1を設定 上記以外は、0を設定
	戸籍除区分							0:現戸籍
	戸籍異動区分							0:解除を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/25

処理名	4.1.2 戸籍特定(記録)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号		中間ファイル(届書)	－				
	編製日			－				
	改製日			－				
	消除日			処理日(または送付日または受領日)				全部除籍のとき設定 処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	回復日			－				
	本籍コード			新本籍コード				管内転籍のとき設定
	本籍			新本籍				同上
	筆頭者			－				
	記録者数			－				
	在籍者数			－				全部除籍のとき、0を設定
	除籍者数			－				全部除籍のとき、記録者数を設定
	戸籍除区分			－				全部除籍のとき1:除籍を設定
	戸籍異動区分			－				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	13/25

処理名	4.2.1 戸籍事項(編製)編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	個人番号			中間ファイル(届書)	－				決裁処理で決定
	行番号				－				
	出力区分				－				0を設定
	タイトルコード				－				3301を設定
	記録コード				－				3301を設定
	管掌者コード				－				
	事件発生日				受領日				
	転籍日				受領日				
	入戸籍	従前本籍			本籍				
	除戸籍	新本籍			－				
	届出	資格			届出人資格1　または届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次項参照(2/2)
		資格名称							
		氏名			届出人氏名1　または届出人氏名2				
	送付	送付を受けた日			送付日				
		受理者			発送元				
	許可	許可日			－				
		許可書謄本を受けた日			－				
		許可を受けた者			－				
	従前の記録								
		本籍			－				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	14/25

処理名	4.2.1 戸籍事項(編製)編集・出力 2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル(届書)	処理日				
	特記	特記事項			−				名義使用区分が1または2の場合'夫婦名義で届出'を設定

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 *1	夫または妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 *1							
009(配偶者)	夫または妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父,養母 *2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母,養父 *2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母,養父 *2		養父、養母 *2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父,養母 *2		養父、養母 *2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1,2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	15/25

処理名	4.2.2 戸籍事項(記録)編集・出力 1/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	個人番号		中間ファイル(届書)	－				
	行番号			－				
	出力区分			－				0を設定
	タイトルコード			－				3301を設定
	記録コード			－				3301を設定
	管掌者コード			－				
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			－				
	除戸籍 新本籍			－				
	届出 資格			届出人資格1または届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、次項参照(2/2)
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1または届出人氏名2				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			－				
	許可 許可書謄本を受けた日			－				
	許可 許可を受けた者			－				
	従前の記録							
	本籍			本籍				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	16/25

処理名	4.2.2 戸籍事項(記録)編集・出力 2/2	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル(届書)	処理日				
	特記	特記事項			−				名義使用区分が1または2の場合'夫婦名義で届出'を設定

届出人資格・氏名の編集内容

(1)届出人資格
入力された届出人資格1、2の組合せにより以下に示す資格名称を移送する。

資格1＼資格2	000 (未入力)	008 (筆頭者)	009 (配偶者)	016 (親権者父)	017 (親権者母)	019 (親権者養父)	020 (親権者養母)	110 (未成年後見人)
000(未入力)		夫または妻 *1	夫または妻 *1	親権者父	親権者母	親権者養父	親権者養母	未成年後見人
008(筆頭者)	夫または妻 *1							
009(配偶者)	夫または妻 *1							
016(親権者父)	親権者父				親権者父母		親権者父,養母 *2	
017(親権者母)	親権者母			親権者父母		親権者母,養父 *2		
019(親権者養父)	親権者養父				親権者母,養父 *2		養父、養母 *2	
020(親権者養母)	親権者養母			親権者父,養母 *2		養父、養母 *2		
110(未成年後見人)	未成年後見人							

*1:名義使用区分 ＝ 1のとき「夫」
名義使用区分 ＝ 2のとき「妻」を設定する

*2:届出人資格1,2にそれぞれ資格名称を設定する
(届出人資格名称の統合は行わない)
EX. 019(親権者養父)と017(親権者母)の場合
【届出人(1)】親権者養父 甲野義太郎
【届出人(2)】親権者母

(2)届出人氏名
届出人資格1、2のいずれかが019(親権者養父)、020(親権者養母)、110(未成年後見人)の場合は、入力された届出人氏名を移送する。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	17/25

処理名	4.2.3 戸籍事項(消除)編集・出力 1/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項 ← (引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	個人番号		中間ファイル(届書)	－				
	行番号			－				
	出力区分			－				0を設定
	タイトルコード			－				3301を設定
	記録コード			－				3301を設定
	管掌者コード			－				
	事件発生日			受領日				
	転籍日			受領日				
	入戸籍 従前本籍			－				
	除戸籍 新本籍			新本籍				
	届出 資格			届出人資格1 または 届出人資格2				届出人資格1、2の組合せにより、設定する。 詳細編集内容は、前項参照
	届出 資格名称							
	届出 氏名			届出人氏名1 または 届出人氏名2				
	送付 送付を受けた日			送付日				
	送付 受理者			発送元				
	許可 許可日			－				
	許可 許可書謄本を受けた日			－				
	許可 許可を受けた者			－				
	従前の記録							
	本籍			－				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/25

処理名	4.2.3 戸籍事項(消除)編集・出力　2/2	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/戸籍事項	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	記録	記録日		中間ファイル(届書)	処理日				
	特記	特記事項			－				名義使用区分が1または2の場合'夫婦名義で届出'を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/25

処理名	4.3.1 個人特定(編製)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)	－				決裁処理で設定
	戸籍番号			－				決裁処理で設定
	戸籍記録順位番号			－				2.0戸籍編製マトリックス表*2で示した順で順次番号を付番する
	入籍日			処理日(または送付日または受領日)				処理日がないときは送付日を設定 送付日もないときは受領日を設定
	除籍日			処理日(または送付日または受領日)				個人除区分 ＝ 0の時、設定しない 個人除区分 ≠ 0の時、上記入籍日と同一日を設定する
	性別			－				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			－				筆頭者の場合:1を設定 その他:0を設定
	配偶者区分			配偶者入力区分				筆頭者,配偶者の場合:配偶者入力区分を移送 その他:0を設定
	父			－				
	母			－				
	父母との続柄			－				
	養父			－				
	養母			－				
	養父母との続柄			－				
	前個人番号			－				
	個人除区分			－				0:在籍者を設定 但し、筆頭者かつ個人除区分 ≠ 0の場合には入力された区分を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/25

処理名	4.3.2 個人特定(記録)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/個人特定　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号		中間ファイル(届書)					
	戸籍番号							
	戸籍記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日			処理日(または送付日又は受領日)				個人除区分 ≠ 0の場合は、既存区分を移送(変更なし) 個人除区分 ＝ 0の場合は、 処理日 ≠ スペース:処理日 送付日 ≠ スペース:送付日　他は受領日
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							既存の区分が0の場合、2(戸籍消除)を設定。 上記以外は、既存区分内容を移送。

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/25

処理名	4.4.1 氏名(入籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/氏名 ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名	個人番号		中間ファイル(届書)	－				決裁処理で設定
	行番号			－				
	カナ氏名			カナ氏名(事件者のカナ氏名)				
	漢字氏名			漢字氏名(事件者の漢字氏名)				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	22/25

処理名	5.1 転籍者 編集・出力 1/X	(受取側)中間ファイル(9条2項)/転籍者	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニタブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 転籍者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード							33(転籍届)
	受理日			受領日or送付日				送付日がない場合に受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名(筆頭者,配偶者,構成員)				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者,配偶者,構成員)				
	新生年月日			生年月日(筆頭者,配偶者,構成員)				
	旧生年月日			生年月日(筆頭者,配偶者,構成員)				
	新父母との続柄							
	旧父母と続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍				
	新筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆頭者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者,配偶者,構成員)				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/25

処理名	5.1 転籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(9条2項)/転籍者	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 転籍者	住所		中間ファイル(届書)	住所(筆頭者,配偶者,構成員)				項目がある場合移送
	方書			住所(筆頭者,配偶者,構成員)				項目がある場合移送
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	24/25

処理名	6.1 転籍者　編集･出力　1/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/転籍者　←　(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 転籍者	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿				
				登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		中間ファイル(届書)					33(転籍届)
	受理日			送付日又は受領日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号							本籍人の場合は個人番号を設定
	新氏名			漢字氏名(筆頭者,配偶者,構成員)				
	旧氏名			漢字氏名(筆頭者,配偶者,構成員)				
	新生年月日			新生年月日(筆頭者,配偶者,構成員)				
	旧生年月日			旧生年月日(筆頭者,配偶者,構成員)				
	新父母との続柄							
	旧父母との続柄							
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			本籍コード				
	旧本籍			本籍(筆頭者)				
	新筆頭者			漢字氏名(筆順者)				
	旧筆頭者			漢字氏名(筆順者)				
	住所コード			住所コード(筆頭者,配偶者,構成員)				項目がある場合移送

第7 2 (5)	データ編集表 (サンプル提示)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	25/25

処理名	6.1 転籍者　編集･出力　2/2	(受取側)中間ファイル(30条の12第1項)/転籍者　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サニサブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(30条の12第1項) 転籍者	住所		中間ファイル(届書)	住所(筆頭者　配偶者,構成員)				項目がある場合移送
	方書			方書(筆頭者,配偶者,構成員)				項目がある場合移送
	住定日							
	住民日							
	世帯主							
	世帯主との続柄							

第7 2 (5)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

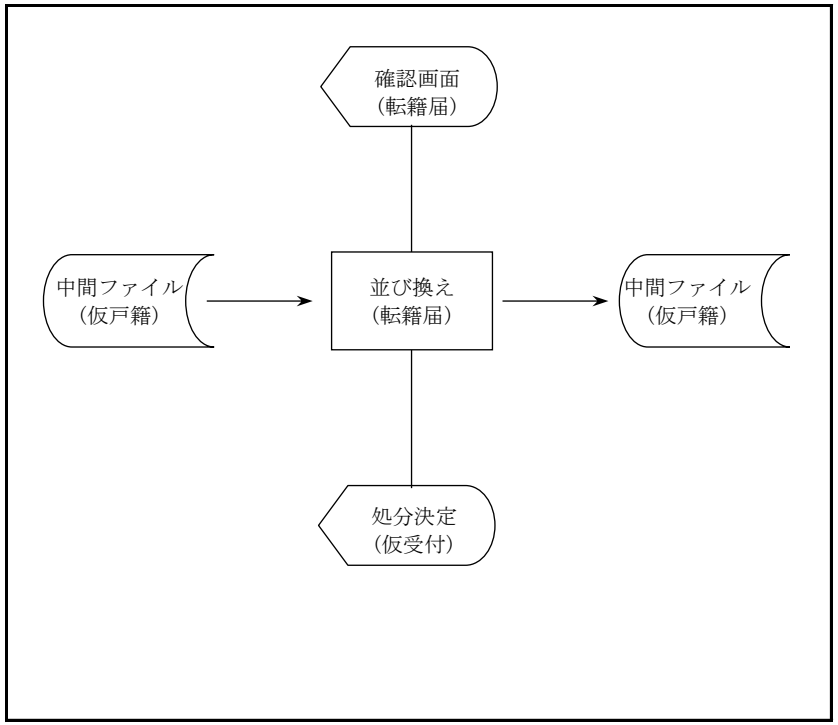
1. 並び換え(転籍届)処理範囲外の処理

2. 並び換え(転籍届)入力画面の意義
(1)転籍を行う当事者(筆頭者及び配偶者を除く)の新記録順位を入力する。

3. その他
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を以下の順に分類し新順位で中間ファイル(仮戸籍:個人特定、氏名)を作成してあること
第1順位　筆頭者区分　(1:筆頭者,0:構成員の順)
第2順位　配偶者区分　(1:夫,2:妻,3:生存配偶者,0:未の順)
第3順位　生年月日　(上昇順:年号は西暦換算で上昇順になること)
第4順位　入力順　(画面入力順)

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(仮戸籍	入出力		

3.処理概要
(1)新記録順位のチェック
(2)処分決定処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙
- 1.0 新記録順位チェック
- 2.0 データ編集表(並び換え(転籍届)画面)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名		0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を画面表示する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする			/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF7,PF8,PF11,PF12,その他)			/		
実行キー	(3)新記録順位チェック(OK:YES,NG:NO)　〔1.0〕		/		
	YES	(4)中間ファイル(仮戸籍:個人特定)を新記録順位で分類し編集出力	/		
		(5)面面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
		(6)新記録順位で「並び換え(転籍届)」画面を編集		(8)同画面を編集する	
	NO	(7)エラーメッセージを表示する			
PF1	→			(9)業務選択に制御を渡す	
PF2	→			(10)届出選択に制御を渡す	
PF5	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」			(11)入力確認に制御を渡す	
PF7	(12)前ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	ある	(13)前ページ分の「並び換え(転籍届)」画面を編集		(15)同画面を編集する	
	なし	(14)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(16)次ページがあるか(ある:YES,なし:NO)		/		
	ある	(17)次ページ分の「並び換え(転籍届)」画面を編集		(20)同面面を編集する	
	なし	(18)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(19)画面の入力項目の入力禁止を解除する ただし筆頭者、配偶者の新記録順位項目は入力禁止にする				入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	「中間ファイル(仮戸籍:個人特定)の順序を記録順位とする。」			(21)処分決定処理に制御を渡す	
PF12	(22)入力画面を初期化する			(24)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」				

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		並び換え(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　新記録順位チェック			備考
(1)構成員分繰り返す			(2)本紙へ	
	(3)新記録順位が入力されている(YES,NO)	/		
	YES (4)新記録順位は00＜新載順位 ≦ 在籍数である	/		
	YES (5)新記録順位は同生年月日者の番号である(YES,NO)	/		戸14
	YES (6)→(12)			
	NO (7)エラーメッセージ 「同生年月日者どうしの記録順位の変更しか出来ません。」		(9)本紙へ	
	NO (8)エラーメッセージ 「新記録順位は設定可能範囲を超えています。」			
	NO (10)構成員番号を新記録順位に移送	/		
	(11)→(12)	/		
	(12)新記録順位は重複している(YES,NO)	/		新記録順位を新たな構成員番号として移送する前に、既に新構成員番号が他の構成員にて設定されているか判定する。まだ未設定ならば、新たな構成員番号として移送する。
	YES (13)エラーメッセージ 「新記録順位が重複しています。」		(14)本紙へ	
	NO (15)新記録順位を構成員番号(新)へ移送する	/		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(転籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	2.0 並び換え(転籍届)表示	並び換え(転籍届)画面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
並び換え(転籍届)画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	支所NO		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	NO			-				仮戸籍(個人特定、氏名)の格納順を一連番号として設定
	漢字氏名		仮戸籍(氏名)	漢字氏名				仮戸籍(個人特定、氏名)を順次表示する　1画面/6件
	筆頭者区分		仮戸籍(個人特定)	筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	生年月日			生年月日		有		

第7.2.(5)「異動」処理

33.就籍届

第7 2 (5)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	1/1

1.就籍業務処理範囲外の処理

・親子関係存在確認の確定判決に基づく親子同時の就籍を行う場合の処理
　個々の届書に分けた上でそれぞれ審査を行う。

・樺太又は千島に本籍を有していた者が内地に就籍を行う場合の処理
　就籍原因については特記事項として記録する為

・死亡した者について就籍許可の審判がなされ、これに基づいて就籍届があっても受理しない(昭31.3.6民2発91第二課長回答)

・本籍不明又は無籍のまま婚姻した者が離婚して除籍された後、就籍を行う場合の処理(昭和31.5.2民甲838通達)
　別途届出にて審査する

・就籍届により、父または母について新戸籍を作成する場合

・事件本人の成年後見人から届出された場合

2.就籍届入力画面の意義

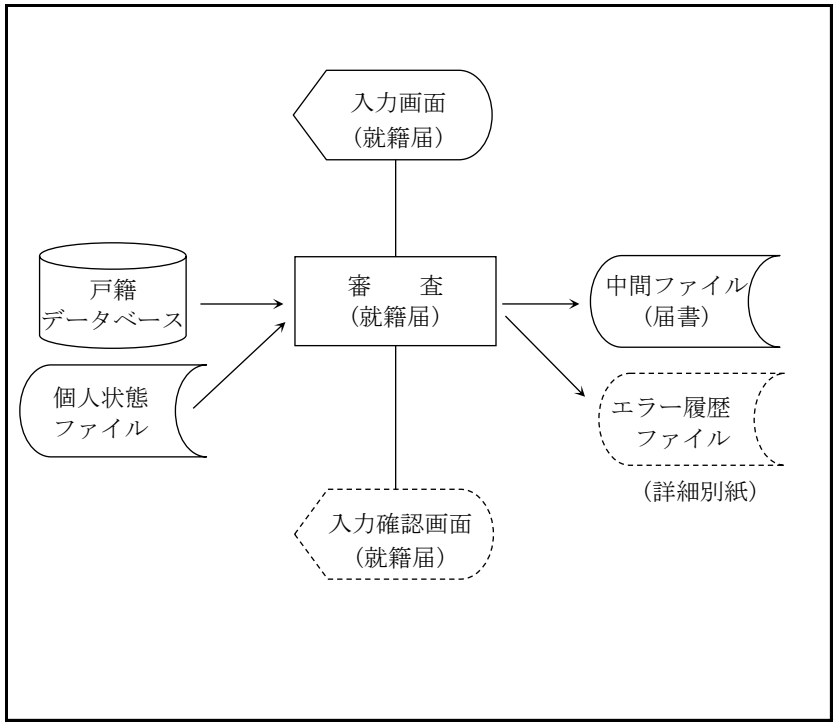
・就籍届を行う事件本人の各項目を入力する。

3.その他

添付書類
・家庭裁判所からの就籍許可審判書の謄本(戸38Ⅱ)又は確定判決(審判)による判決(審判)書の謄本及び判決(審判)確定証明書(戸111)

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入力		
個人状態ファイル	入力		
中間ファイル(届書)	出力		
エラー履歴ファイル	出力		

3.処理概要

(1)就籍届の内容を画面入力する。
(2)就籍で入力された項目の単体チェックを行う。
(3)就籍で入力された項目の関連チェックを行う。
(4)審査を行う。
(5)就籍届から中間ファイル(届書)を編集し、出力する。
(6)入力確認(就籍届)に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データチェック(単体表)
- 2.0　データチェック(関連表)
- 3.0　審査
- 4.0　データ編集表(中間ファイル/届書)

5.備考(特記事項含む)
(1)就籍人の年齢計算について
　受領日を基準日として計算する。

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0　本紙			備考
(1)届書内容を画面入力する		/		「届書メニュー」で受領番号が入力された場合、届書ファイルから画面編集をおこなう。
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)〔1.0〕	/		
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)〔2.0〕	/		
	YES (5)画面の入力項目を全て入力禁止とする	/		
	(6)審査(OK:YES,NG:NO)〔3.0〕	/		
	YES (7)中間ファイル(届書)編集出力〔4.0〕		(8)入力確認画面に制御を渡す	
	NO (9)メッセージの種類(審査エラー,確認)	/	(12)同画面を編集する	メッセージをエラー履歴に出力する
	審査エラー (10)エラーメッセージを表示する			確認と応答をエラー履歴に出力する
	確認 (11)確認メッセージを表示し、メッセージに対して応答の後、以降の審査を続行する。			
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO (14)エラーメッセージを表示する			
PF1	→		(15)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(16)届出選択に制御を渡す	
PF10	(17)画面の入力項目の入力禁止を解除する		(18)同画面を編集する	入力項目が入力禁止のときのみ有効
PF11	(19)当該審査エラーの確認後、以降の審査を続行する		(20)同画面を編集する	審査エラー発生時のみ有効
PF12	(21)入力画面を初期化する		(22)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」		(24)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	3/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表 1/2	入力画面(就籍届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	支所No		数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	受領No		数字				
3	受領日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	送付日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	発送元		漢字				
6	在外送付区分	○	数字	(0:受理分,1:国内からの送付,2:在外公館の直接送付,3:在外公館の国内経由)であること			
7	処理日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	本非区分	○	数字	(1:本籍,2:非本籍)であること			
9	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
10	就籍人カナ氏名	○	カナ				
11	就籍人漢字氏名	○	漢字				
12	就籍人住所		漢字				住基8,9Ⅱ
13	就籍人世帯主		漢字				住基8,9Ⅱ
14	就籍人本籍	○	漢字				
15	就籍人筆頭者	○	漢字				
16	就籍人父の氏名		漢字				
17	就籍人母の氏名		漢字				
18	就籍人生年月日	○	数字				
19	就籍人戸籍変動区分	○	英数	(1:新戸籍編製,2:父母の現在戸籍に入る,3:配偶者の戸籍に入る)であること			
20	就籍人住定日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
21	就籍人裁判確定日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
22	就籍人父母続柄	○	英数	(11:長男～29:十九男,31:長女～49:十九女)であること			
23	就籍人就籍原因		英数	(スペース:家庭裁判断の許可,1:国籍存在確認の審判確定,2:親子関係存在確認の審判確定)であること			

第7 2 (5)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0 単体チェック表　2/2	入力画面(就籍届)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	届出人資格	○	英数	(098:事件本人,110:未成年後見人,029:親権代行者, 016:親権者父,017:親権者母)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		戸110Ⅰ
25	届出人氏名		漢字				

第7 2 (5)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	5/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0 関連チェック	就籍届		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.5)発送元 ＝ スペースであること	「関連エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.5)発送元 ≠ スペースであること			
3	(No.4)送付日 ≠ スペースのとき,(No.4)発送元 ≧ (No.3)受領日であること			
4	(No.4)送付日 ＝ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ＝ 0:受理分　であること			
5	(No.5)発送元 ≠ スペースのとき,(No.6)在外送付区分 ≠ 0:受理分　であること			
6	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」の時、 (No.6)在外送付区分 ＝ 1:国内からの送付　であること			
7	(No.5)発送元 ≠ スペースかつ(No.5)発送元の最終文字が「市」「区」「町」「村」「長」以外の とき　(No.6)在外送付区分 ＝ 2:在外公館の直接送付　または (No.6)在外送付区分 ＝ 3:在外公館の国内経由　であること			
8	(No.7)処理日 ≠ スペースのとき,(No.7)処理日 ＞ (No.3)受領日であること			
9	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.4)送付日 ＝ スペースであること			
10	(No.9)郵送日 ≠ スペースのとき,(No.9)郵送日 ≦ (No.3)受領日であること			
11	(No.3)受領日 ≠ (No.21)審判日であること			
12	(No.4)送付日 ≠ スペースの時、(No.4)送付日 ≧ (No.21)審判日であること			
13	(No.7)処理日 ≠ スペースの時、(No.7)処理日 ≧ (No.21)審判日であること			
14	(No.9)郵送日 ≠ スペースの時、(No.9)郵送日 ≧ (No.21)審判日であること			
15	(No.24)届出人資格 ＝ 098の時、(No.25)届出人氏名 ＝ スペースであること			
16	(No.24)届出人資格 ≠ 098の時、(No.25)届出人氏名 ≠ スペースであること			
17	(No.11)就籍人漢字氏名の氏 ＝ (No.15)就籍人筆頭者の氏　であること			
18	(No.12)就籍人住所 ＝ スペースの時、(No.13)就籍人世帯主 ＝ スペースであること			
19	(No.13)就籍人世帯主 ≠ スペースの時、(No.12)就籍人住所 ≠ スペースであること			

第7 2 (5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	6/9

処理名	3.0 審査 1/1			備考
(0-1)受領日=送付日である		/		
YES	(0-2)確認ﾒｯｾｰｼﾞ「受領日と送付日が同一です。処理をしてよろしいですか?」(YES,NO)	/		
	YES (0-3)→(0-7)へ	/		R2.1(就籍20)
	NO (0-4)→		(0-5)本紙へ	画面項目修正(審査完了しない)
NO	(0-6)→(0-7)へ	/		R2.1(就籍20)
(0-7)就籍人の名が未入力 (YES,NO)		/		R2.1(就籍20)
YES	(0-8)確認メッセージ (YES,NO) 「事件本人の名が未入力です。間違いありませんか?」を表示		(0-9)本紙へ	R2.1(就籍20)
	YES (0-10)エラーメッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示		(0-12)本紙へ	不受理 R2.1(就籍20)
	NO (0-11)→			画面項目修正(審査完了しない) R2.1(就籍20)
NO	(0-13)→(1)へ	/		R2.1(就籍20)
(1)戸籍変動区分(1:新戸籍編製,その他)		/		
1	(2)就籍人氏名と筆頭者は同じである(YES,NO)	/		
	YES (3)→(10)へ	/		
	NO (4)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者が一致していません。」		(5)本紙へ	
その他	(6)就籍人の氏と筆頭者の氏は同じである(YES,NO)	/		
	YES (7)→(10)へ			
	NO (8)エラーメッセージ 「氏名と筆頭者の氏が一致していません。」		(9)本紙へ	
(10)就籍人の生年月日+15年(15歳以上)≦受領日である(YES,NO)		/		戸32
YES	(11)届出人資格(098:事件本人,110:未成年後見人,その他)	/		
	110 (12-1)確認メッセージ(YES,NO) 「事件本人は15歳以上です。法定代理人の届出でよろしいですか?」	/		
	YES (12-2)→(19)へ			
	NO (12-3)→			不受理
	098 (12)→(19)へ		(13)本紙へ	
	その他 (14)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」			
NO	(15)届出人資格(098:事件本人,その他)	/		
	098 (16)エラーメッセージ 「届出人資格に誤りがあります。」		(17)本紙へ	
	その他 (18)→(19)へ			
(19)裁判確定日+10日>受領日である		/		戸110,戸111
YES	(20)→		(21)本紙へ	

NO	(22)確認メッセージ(YES,NO) 「届出期間を経過していますがよろしいですか?」		/		
	YES	(23)→			
	NO	(24)→			不受理

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成10年 2月27日	2	7/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力1/3	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(就籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	受領番号		就籍届入力画面	受領No				
	選択事件コード			――――――				34:就籍届
	出張所番号			支所No				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	受理送付区分			――――――				在外送付区分 ＝ 0の時、1 在外送付区分 ≠ 0の時、2
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			――――――				ZERO(不要)
	届区分			――――――				2(報告)
	渉外区分			――――――				0:日本人
	同時決裁受領番号			――――――				
	ロック戸籍番号1			戸籍番号				本籍人かつ新戸籍編製以外の場合 筆頭者の戸籍番号
	ロック戸籍番号2							
	ロック戸籍番号3			――――――				
	ロック戸籍番号4			――――――				
	ロック戸籍番号5			――――――				
	事件別内容			――――――				3/3参照

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　2/3	(受取側)中間ファイル(届書)/共通	←(引渡側)入力画面(就籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 共通	不受理申出処分区分		就籍届入力画面	――――――				
	処分区分			――――――				審査の結果により、1 ＝ 受理または 2 ＝ 不受理をセットする。 審査において一つでもエラーがある 場合は不受理とする。
	決裁区分			――――――				何も設定されていない場合に 0:未決裁を設定
	届書排他区分			――――――				0:未,1:排他

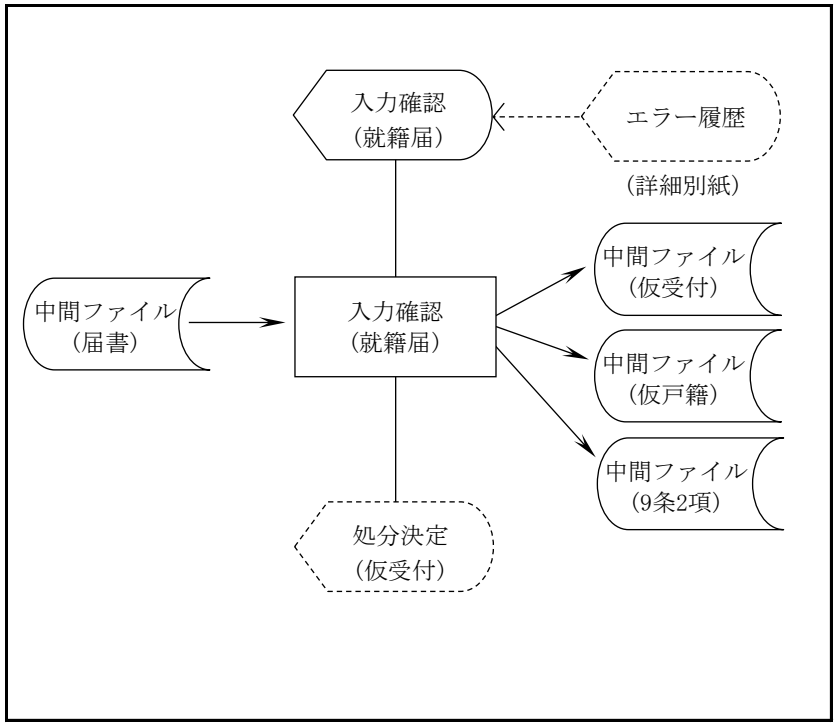
第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		審査(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	4.0 中間ファイル(届書)編集･出力　3/3	(受取側)中間ファイル(届書)/事件別内容	←(引渡側)入力画面(就籍届)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名		就籍届入力画面	就籍人カナ氏名				
	漢字氏名			就籍人漢字氏名				
	住所コード			就籍人住所				
	住所							
	生年月日			就籍人生年月日				
	世帯主			就籍人世帯主				
	本籍コード			就籍人本籍				
	本籍							
	筆頭者カナ氏名							
	筆頭者			就籍人筆頭者				
	父の氏名			就籍人父の氏名				
	母の氏名			就籍人母の氏名				
	父母続柄コード			就籍人父母続柄				
	父母続柄					有		
	審判日			就籍人審判日				
	住定日			住定日				
	戸籍変動区分コード			就籍人戸籍変動区分				
	戸籍変動区分					有		
	就籍原因コード			就籍人就籍原因				
	就籍原因					有		
	届出人資格コード			届出人資格				
	届出人資格					有		
	届出人氏名			届出人氏名				

第7 2 (5)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力		
中間ファイル(仮受付)	出力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(届書)の内容を画面表示する。
(2)戸籍変動状況を確定する。
(3)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する。
(4)中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する。
(5)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する。
(6)処分決定処理に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 データ編集表(確認画面)
  - 2.0 戸籍編製マトリックス表
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル/仮受付)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル/仮戸籍〔身分事項〕)
    - 4.1身分事項(入籍)
  - 5.0 データ編集表(中間ファイル/9条2項)

5.備考(特記事項含む)

第72(5)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年2月25日	2	2/11

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(届書)の内容を確認画面に出力し、 [1.0]		/		
メッセージ「入力項目を確認し、実行キーを押下して下さい。」を表示する				
(2)キー選択(実行キー、PF1,PF2、PF5、PF11、その他)		/		
実行キー	(3)中間ファイル(届書)の内容から戸籍編製マトリックス表を参照し、事件本人の			
	戸籍変動状況を決定する [2.0]			
	(4)中間ファイル(仮受付)を編集･出力する [3.0]	/		
	(5) 事件本人が本籍人である(YES、NO)	/		
	YES (6)戸籍の変動状況をもとに中間ファイル(仮戸籍)を編集･出力する [4.0]	/		
	(7)身分事項の編集 [4.1]	/		
	NO →	/		
	(8) 在外送付区分 ＝ 0:受理分 又は 2:在外公館の直接送付である(YES,NO)	/		
	YES (9)中間ファイル(9条2項)を編集･出力する [5.0]		(10)処分決定に制御を渡す	
	NO →			
PF1	→		(11)業務選択に制御を渡す	
PF2	→		(12)届出選択に制御を渡す	
PF5	→		(13)審査(就籍届)に制御を渡す	
PF11	→		(14)エラー履歴表示に制御を渡す	
その他	(15)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(16)同画面を編集する	

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	1.0 確認画面(就籍届)表示　1/2	(受取側)確認画面(就籍届)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
就籍届確認画面	画面ID							画面ID
	システム日付							システム日付
	支所No		中間ファイル(届書) 共通	出張所番号				
	受領NO			受領番号				
	受領日			受領日		有		
	送付日			送付日		有		
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日		有		
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日		有		
	就籍人カナ氏名		中間ファイル(届書) 事件別内容	カナ氏名				
	就籍人漢字氏名			漢字氏名				
	就籍人住所			住所コード 住所		有		
	就籍人生年月日			生年月日		有		
	就籍人世帯主			世帯主				
	就籍人本籍			本籍コード 本籍		有		
	就籍人筆頭者			筆頭者				
	就籍人父の氏名			父の氏名				
	就籍人母の氏名			母の氏名				
	就籍人父母続柄			父母続柄コード 父母続柄		有		
	就籍人裁判確定日			裁判確定日		有		
	就籍人住定日			住定日		有		

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0 確認画面(就籍届)表示　2/2	(受取側)確認画面(就籍届)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
就籍届確認画面	就籍人戸籍変動区分		中間ファイル(届書) 事件別内容	戸籍変動区分コード 戸籍変動区分		有		
	就籍人就籍原因			就籍原因コード 就籍原因		有		
	届出人資格			届出人資格コード 届出人資格		有		
	届出人氏名			届出人氏名				

処理名	2.0 戸籍編製マトリックス表

項番	戸籍変動区分		新本籍		戸籍の変動	
	父母もしくは配偶者の現在戸籍に入る	新戸籍編製	管内	管外	新戸籍編製 A.1 B.1 C.1 D.1	一部記載 C.1 D.1
1	○		○			○4.1
2	○			○		
3		○	○		○4.1	
4		○		○		

*1:就籍人の筆頭者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、1(筆頭者)を設定
・戸籍変動区分 ≠ 1(新戸籍編製)のとき、0(筆頭者)を設定
*2:就籍人の配偶者区分の設定条件
・戸籍変動区分 ＝ 1(新戸籍編製)のとき、 0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 2(父母の現在の戸籍に入る)のとき、0(未)を設定
・戸籍変動区分 ＝ 3(配偶者の戸籍に入る)のとき、
就籍人父母続柄 ＝ 男～十九男(男属性)の場合、1(夫)を設定
就籍人父母続柄 ＝ 女～十九女(女属性)の場合、2(妻)を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	6/11

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 1/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	受領番号		中間ファイル(届書)	受領No				
	出張所番号			支所No				
	受付事件コード			――――――				3401(就籍)を設定
	受付日			受領日 OR 送付日				送付日 ≠ スペースのとき、送付日 送付日 ＝ スペースのとき、受領日
	事件発生日			裁判確定日				
	事件発生時分			――――――				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	証書提出区分			――――――				「0:届書」を移送
	発送日							
	郵送日			郵送日				
	発日			――――――				
	収日			――――――				
	指示日			――――――				
	許可日			――――――				
	関連受領番号			――――――				
	届出人資格区分1			届出人資格				
	届出人資格名称1					有		届出人資格 ＝ 098のとき移送しない
	届出人氏名1			届出人氏名				
	届出人資格区分2			――――――				
	届出人資格名称2			――――――				
	届出人氏名2			――――――				
	届後本籍区分			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	7/11

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 2/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/共通	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 共通	届後本籍コード		中間ファイル(届書)	――――――				
	届後本籍			――――――				
	届後本籍の筆頭者			――――――				
	送達確認1			――――――				
	届書送付目録区分			――――――				本非区分 ＝ 1(本籍)の場合、 1(送付要)を設定。 上記以外は、0(送付不要)を設定。 *本非区分は、共通部の項目を用いる
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	8/11

処理名	3.0 中間ファイル(仮受付)編集･出力 3/3	(受取側)中間ファイル(仮受付)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮受付) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	行番号			――――――				
	事件本人区分			――――――				46:就籍者を設定
	届出人区分			――――――				届出人資格 ＝ 098:1を設定 それ以外 :0を設定
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2			――――――				本箱が非本籍 かつ 在外送付区分 ＝ 0:受理分 の場合 1:未到着 を設定。 上記以外は0:不要 を設定

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成23年9月30日	14.1	9/11

処理名	4.1 中間ファイル(仮戸籍)編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(編成)	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号			中間ファイル(届書)	――――――				決裁処理で設定
	行番号				――――――				
	出力区分				――――――				0:可
	タイトルコード				――――――				3401:「就籍」を設定
	記録コード				――――――				3401:「就籍者の記録」を設定
	管掌者コード				――――――				
	事件発生日				裁判確定日				
	就籍	就籍許可の裁判発効日			――――――				
		就籍許可の裁判確定日			裁判確定日				就籍原因の内容で審判日を何れかの項目に設定する 就籍原因 ＝ スペース:就籍許可の裁判確定日 ＝ 1 :国籍存在確認の裁判確定日 ＝ 2 :親子関係存在確認の裁判確定日
		国籍存在確認の裁判確定日							
		親子関係存在確認の裁判確定日							
	届出	届出日			受領日				就籍原因 ＝ スペースの場合、届出日に受領日を移送。 上記以外は、就籍届出日に移送。
		就籍届出日							
		届出人 資格			届出人資格				届出人資格 ＝ 098のときは移送しない。 上記以外は、*1を参照。 届出人資格 ＝ 029,110のとき、 届出人氏名を移送する。
		届出人 資格名称							
		届出人 氏名			届出人氏名				
	送付	送付を受けた			送付日				項目がある場合移送
		受理者			送付元				項目がある場合移送
	許可	許可日			――――――				
		許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
		許可を受けた者			――――――				
	記録	記録日			処理日				
	特記	特記事項			――――――				

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成16年 3月1日	令和　年　月　日	8	10/11

処理名	4.1 中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)/身分事項(編成)　←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名		Z9.,	

*1:届出人資格の編集内容

届出人資格(届書)	資格名称(身分事項)
016(親権者父)	親権者父
017(親権者母)	親権者母
029(親権代行者)	親権を行う者
110(未成年後見人)	未成年後見人

第7 2 (5)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		入力確認(就籍届)	システム化調査研究会	平成6年12月1日	平成10年 2月27日	2	11/11

処理名	5.0 中間ファイル(9条2項)編集･出力 1/1	(受取側)中間ファイル(9条2項)/事件本人	←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項) 事件本人	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			――――――				市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード			――――――				34(就籍届)
	受理日			受領日 OR 送付日				送付日がない場合受領日を設定
	個人番号			――――――				
	新氏名			漢字氏名				
	旧氏名			漢字氏名				
	新生年月日			生年月日				
	旧生年月日			生年月日				
	新父母との続柄			父母続柄				
	旧父母との続柄			父母続柄				
	新本籍コード			本籍コード				
	新本籍			本籍				
	旧本籍コード			――――――				
	旧本籍			――――――				
	新筆頭者			筆頭者				
	旧筆頭者			――――――				
	住所コード			住所コード				
	往所			住所				
	方書							
	住定日			――――――				
	住民日			――――――				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			――――――				

第7.2.(6)

「処分決定」処理

(1)処分決定処理

･処分決定処理では、各届で審査･確認された内容をもとにシステムで処分内容を出力する。
表示された処分内容に誤りがある場合、職員が処分内容を修正する。

･死亡届の受理分については埋火葬許可証区分を表示し、埋火葬許可証の要、不要を決定する。

(2)処分決定確認処理

･処分決定により取得された受領番号を表示･確認する。

2.処分決定･確認画面でのPFキー

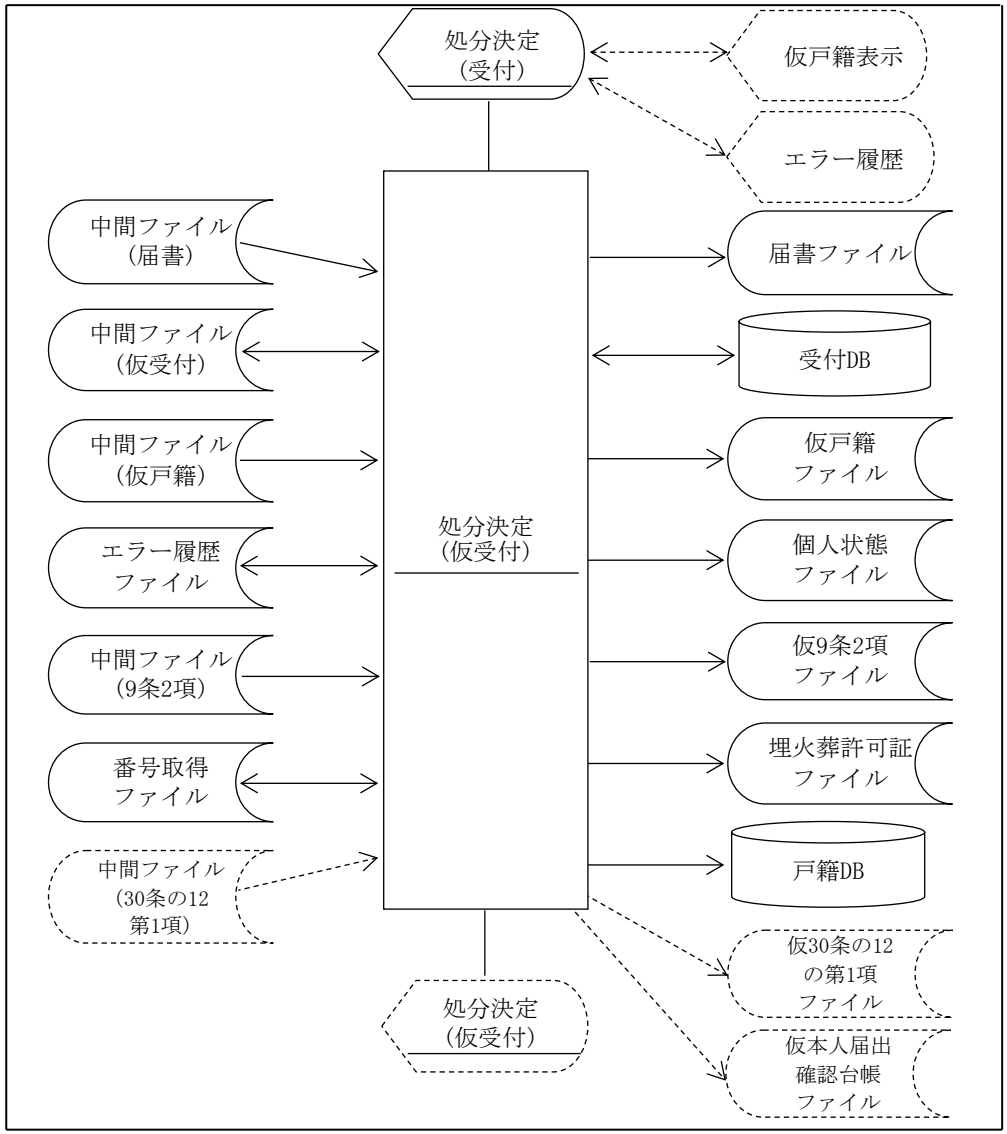
画面 / PFキー	処分決定画面	処分決定確認画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2	届出選択メニュー	届出選択メニュー
PF3	処分決定処理開始	移記事項入力処理
PF4		
PF5	届書入力処理	本人届出確認台帳処理
PF6		
PF7	前頁表示	前頁表示
PF8	次頁表示	次頁表示
PF9		
PF10	仮戸籍表示	
PF11	エラー履歴表示	
PF12	画面の初期化	
実行キー	処分区分の確定	

3.処分決定処理で入力可能な処分区分の意味

処分区分	意味
受理	届出が適法であるとする行政処分。
不受理	届出が不適法(法律上の要件を欠いている、届書の重要部分に記載遺漏･錯誤がある　他)であり、受理を拒否する行政処分。
受理照会	届出を審査するにあたって法律の解釈運用上に疑義が生じた場合、その届出を受理すべきかどうかについて管轄法務局に指示を求めること。
処理照会	受理または送付された届出の処理について疑義が生じた場合、その処理の方法について管轄法務局に指示を求めること。
返戻	送付された届出で戸籍の記載ができないものを送付された市区町村へ返送すること。
取下げ	提出した届書をお客が取り下げること。
保留	受理するか、不受理にするかの決定を延ばすこと。
受理処分の撤回	受理処分した後届書の審査内容に誤りがあり、正しい審査において無効要件のエラーがあった場合、従前の受理処分を取り消すこと。 取消要件のエラーでは受理処分を撤回することはできない。 (受理後、送付地でその届出に当たる不受理申出が出されていて、送付地から受理が不当と返戻された場合がこの一例である。)

第72(6)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成15年 5月30日	7.1	2/35

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入力	仮戸籍ファイル	出力
中間ファイル(仮受付)	入出力	戸籍DB	出力
中間ファイル(仮戸籍)	入力	個人状態ファイル	出力
中間ファイル(9条2項)	入力	仮9条2項ファイル	出力
番号取得ファイル	入出力	エラー履歴ファイル	入出力
届書ファイル	出力	埋火葬許可証ファイル	出力
受付DB	入出力	中間ﾌｧｲﾙ(30条の12第1項)	入力
仮本人届出確認台帳ファイル	出力	仮30条の12第1項ファイル	出力

3.処理概要

(1)処理区分および埋火葬許可証発行区分(死亡届のみ)を決定する(実行キー)
(2)必要に応じ仮戸籍画面を表示する(PF10)
(3)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(4)処理区分の内容に従って各々ファイルを処理する(PF3)
(5)処分決定(受付･確認)画面に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 初期審査表
    - 1.1 データ編集表(中間ファイル(仮受付))
    - 1.2 データ編集表(中間ファイル(届書))
  - 2.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)
  - 3.0 単体チェック表
  - 4.0 審査表
  - 5.0 処理テーブル表(処分区分での処理内容表)
  - 6.0 データ編集表(番号取得ファイル)
  - 7.0 データ編集表(届書ファイル)
  - 8.0 データ編集表(受付DB:受付DB作成更新処理)
  - 9.0 データ編集表(仮戸籍ファイル)
  - 10.0 データ編集表(戸籍DB)
  - 11.0 データ編集表(個人状態ファイル)
  - 12.0 データ編集表(仮9条2項ファイル)
  - 13.0 データ編集表(エラー履歴ファイル)
  - 14.0 データ編集表(埋火葬許可証ファイル)
  - 15.0 データ編集表(仮30条の12第1項ファイル)･････(サンプル提示)
  - 16.0 データ編集表(仮本人届出確認台帳ファイル)･･･(サンプル提示)

第7 2 (6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/35

処理名	0.0 本紙 (1/3)			備考
(1)初期審査(別紙1へ)(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/		既に受付DBが作成されている場合のチェック
YES (2)→(16)へ		/		
NO (3)キー選択(PF1,PF2,PF5,その他)		/		初期審査でｴﾗｰがあるときは以降の処理へは行けない
PF1 (4)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)		/		
YES (5)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する	[7.0]	/		届書レコードの排他の解除を行う
NO ⟶		/		
(6)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する			(7)業務選択に制御を渡す	
PF2 (8)受領番号をキーとして届書ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)		/		
YES (9)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する	[7.0]	/		届書レコードの排他の解除を行う
NO ⟶		/		
(10)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する			(11)届出選択に制御を渡す	
PF5 (12)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する		/		
(13)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する			(14)届書入力処理に制御を渡す	
その他 (15)キー選択を無効とする(画面内容は変わらず)　→　(3)へ		/		
(16)中間ファイル(仮受付)の1レコード目の内容で処分決定(受付)画面を編集する	[2.0]	/		
受付事件コード=「死亡」 かつ　在外送付区分=1:受理分　かつ　受領番号=スペースのとき埋火葬許可証メッセージ『埋･火葬許可証をプリントしますか?(0:不要,1:火葬,2:埋葬)』を表示する 処分決定(受付)画面の処分区分には中間ファイル(届書)の処分区分,在外送付区分,不受理申出処分区分の内容から該当する処分内容([4.0]審査での『表示する処分区分』を参照)を表示し,変更処分区分にはその該当コードを設定する。変更処分名称は空白のまま(初期設定のみ)				
(17)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF3,PF5,PF7,PF8,PF10,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー (18)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[3.0]	/		
YES (19)　→　(22)へ		/		
NO (20)エラーメッセージを表示する			(21)同画面を編集する→(16)へ	
(22)処分区分が変更された(YES,NO)		/		
YES (23)処分区分変更の審査(別紙2)(OK:YES,NG:NO)	[4.0]	/		
YES (24)変更後の処分区分と処分名称を処分決定(受付)画面の変更処分区分と変更処分名称に設定する　→　(28)へ		/		
NO (25)エラーメッセージを表示する			(26)同画面を編集する→(16)へ	
NO (27)処分決定(受付)画面の変更処分区分をコード変換し,変更処分名称に設定する　→　(28)へ		/		

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	4/35

処理名				0.0 本紙 (2/3)		備考
	(28)発日が入力された(YES,NO)				/	
	YES	(29)変更処分区分=3又は4である(YES,NO)			/	受理照会、処理照会のときだけ発日入力可能
		YES →				(30)同画面を編集する→(16)へ
		NO	(31)エラーメッセージ「発日は入力できません」を表示する。			
	NO	(32) → (33)へ			/	発日入力がないときはｼｽﾃﾑ日付をｼｽﾃﾑで設定
	(33)中間ファイル(届書)の選択事件は「受理指示」又は「不受理指示」である(YES,NO)				/	
	YES	(34)指示日がある(入力された)(YES,NO)			/	法務局からの回答による処理で提示日は必要入力項目
		YES →				(35)同画面を編集する→(16)へ
		NO	(36)エラーメッセージ「指示日を入力して下さい」を表示する			収日は入力されたデータを、入力がない場合はシステム日付をシステムで設定
	NO	(37)指示日が入力された(YES,NO)			/	
		YES	(38)エラーメッセージ「指示日は入力できません」を表示する			(39)同画面を編集する →(16)へ
		NO	(40) → (41)へ		/	
		(41)収日が入力された(YES,NO)			/	
		YES	(42)エラーメッセージ「収日は入力できません」を表示する			(43)同画面を編集する→(16)へ
		NO →				
PF1	(44)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)				/	
	YES	(45)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する (7.0)			/	届書レコードの排他の解除を行う
	NO	→				
	(46)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する					(47)業務選択に制御を渡す
PF2	(48)中間ファイル(届書)の受領番号があれば届書ファイルを検索する(ある：YES,ない：NO)				/	
	YES	(49)届書ファイルの届書排他区分に0を設定し届書ファイルを更新する (7.0)			/	届書レコードの排他の解除を行う
	NO	→			/	
	(50)すべての中間ファイルとエラー履歴ファイルを削除する					(51)抽出選択に制御を渡す
PF3	(52)処分決定(受付)画面の変更処分名称がコード変換(表示)されている(YES,NO)				/	実行ｷｰを押してからでないとPF3ｷｰ(処分決定)処理は行えない
	YES	(53)入力項目がチェック済みである(YES,NO)			/	画面項目を入力したら実行キーを押さなければならない
		YES	(54)処分区分,入力処理方式,受付件数の各条件により以下の処理を行う(処理テーブル表を参照) (5.0)		/	
				(55)受領番号確保処理 (6.0)	/	
				(56)届書ファイル処理 (7.0)	/	

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	5/35

処理名			0.0 本紙 (3/3)			備考
			処理内容	(57)受付DB処理 〔8.0〕	/	
				(58)仮戸籍ファイル処理 〔9.0〕	/	
				(59)戸籍DB処理 〔10.0〕	/	
				(60)個人状態ファイル処理 〔11.0〕	/	
				(61)9条2項ファイル処理 〔12.0〕	/	
				(62)エラー履歴ファイル処理 〔13.0〕	/	
				(63)埋火葬許可証処理処理 〔14.0〕	/	
				(63-1)仮30条の12第1項ファイル処理 〔15.0〕	/	
				(64)中間ファイルをすべて削除する		(65)処分決定(受付・確認)処理に制御を渡す
		NO	(66)エラーメッセージ			(67)同画面を編集する
	NO		『実行キーを押さないと処分決定(PF3)処理はできません』表示する			→(16)へ
PF5	(68)中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)にスペースを設定する				/	
	(69)中間ファイル(届書)以外の中間ファイルをすべて削除する					(70)届書入力処理に制御を渡す
PF7	(71)受付件数>1である(YES,NO)					
	YES	(72)現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES,NO)			/	PF7,PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときのみ使用可 (事件本人が3名以上いる場面の画面スクロールとは異なる
		YES	(73)前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する			(74)同画面を編集する
		NO	(75)エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する			→(16)へ
	NO		(76)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
PF8	(77)受付件数>1である(YES,NO)				/	
	YES	(78)現在画面表示している中間ﾌｧｲﾙ(仮受付)のﾚｺｰﾄﾞより後のﾚｺｰﾄﾞがある(YES,NO)			/	
		YES	(79)次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集・表示する			(80)同画面を編集する
		NO	(81)エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する			→(16)へ
	NO		(82)エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
PF10	→					(83)仮戸籍表示に制御を渡す
PF11	→					(84)エラー履歴表示に制御を渡す
PF12	(85)入力画面を初期化する					(86)同画面を編集する→(16)へ
その他	(87)エラーメッセージ『無効なキーが押されました。』を表示する					(88)同画面を編集する→(16)へ

第7 2 (6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/35

処理名	1.0　初期審査:別紙1　(1/3)			備考
	(1)中間ファイル(仮受付)を読み,受付件数(レコード数)をカウントする	/		
	(2)中間ファイル(届書)の受領番号が空白である(YES,NO)	/		
YES	⟶		(3)本紙へ	
NO	(4) → (5)	/		
	(5)中間ファイル(届書)の受領番号をキーとして受付DBを検索する	/		受付DBで履歴がある場合は最新の受付DBが検索対象となる
	(6)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)	/		
YES	(7)受付件数=1である(YES,NO)	/		受領番号確保処理での審査：(7)～(18)まで
YES	(8)中間ファイル(仮受付)の受領番号に,中間ファイル(届書)の受領番号を設定する [1.1]		(9)本紙へ	
NO	(10)(受付件数-1)の回数(10)～(15)の処理を繰り返す	/		受付件数分連続した受付ファイルが取得できるかのチェック
	(11)次の受付DBを検索する	/		
	(12)受付DBがある(YES,NO)	/		
YES	(13)受付DBの処分区分=スペースである(YES,NO)	/		
YES	(14) → (10) へ	/		
NO	(15)エラーメッセージ 『連続して受付帳を確保することができません』を表示する		(16)本紙へ	受領番号取得処理で確保した数を超えて受付帳が作成される場合はエラーとし,審査結果入力で処理する
	⟶			
	(17)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号に中間ファイル(届書)の受領番号を設定する。以下順次1を加えた数を次レコードの受領番号に設定し,最後のレコードまで処理する 各々のレコードの関連受領番号(1～5)には今回の処理で作成された他のレコードの受領番号を設定する [1.1]	/		中間ファイル(仮受付)の受領番号と関連受領番号(1～5)へのデータ設定
	(18)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]		(19)本紙へ	中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
NO	(20)受付DBの決裁区分は『未決裁』又は『修正』又は処分区分が『誤処理』である(YES,NO)	/		受領番号確保処理以外での再入力処理の審査決裁区分が『決裁』以外　または処分区分が『誤処理』　のものが対象となる
YES	(21)受付DBの関連受領番号のデータ数をカウントする	/		
	(22)受付件数　= 関連受領番号の数　+ 1 である(YES,NO)	/		
YES	(23)受付DBの関連受領番号(1～5)を中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)に設定する [1.2]	/		中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号(1～5)へのデータ設定
	(24)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に,受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/		作成済みの受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを,中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	7/35

処理名	1.0 初期審査:別紙1 (2/3)			備考
	(25)受付DBの決裁区分は『修正』である(YES,NO)	/		
	YES (26)受付DBの決裁区分を中間ファイル(届書)の決裁区分に設定する [1.2]	/		
	(27)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの決裁区分に,受付DBの決裁区分を設定する [1.1]	/		
	NO (28) → (29)へ	/		
	(29)中間ファイル(届書)の選択事件は『受理指示』又は『不受理指示』である(YES,NO)	/		
	YES (30)中間ファイル(仮受付)の最初のレコードの発日に,受付DBの発日を設定する [1.1]	/		法務局からの回答入力のとき,受付ＤＢの発日を中間ファイル(仮受付)の最初のレコードに移記する
	NO (31) → (32)へ	/		
	(32)関連受領番号の数だけ(33)～(43)の処理を繰り返す	/		
	(33)関連受領番号をキーとして受付DBを検索する	/		
	(34)受付DBの決裁区分は『未決裁』又は『修正』又は処分区分は『誤処理』 である (YES,NO)	/		
	YES (35)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの受領番号と関連受領番号(1～5)に,検索した受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)を設定する [1.1]	/		次の受付DBの受領番号と関連受領番号(1～5)のデータを,中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
	(36)受付DBの決裁区分は『修正』である(YES,NO)	/		
	YES (37)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの決裁区分に,検索した受付DBの決裁区分を設定する → (32)へ [1.1]	/		
	NO (38) → (39)へ	/		
	(39)中間ファイル(届書)の選択事件は『受理指示』又は『不受理指示』である(YES,NO)	/		
	YES (40)中間ファイル(仮受付)の次のレコードの発日に,検索した受付DBの発日を設定する→(32)へ [1.1]	/		法務局からの回答入力のとき,受付DBの発日を中間ファイル(仮受付)の次のレコードに移記する
	NO (41) → (32)へ	/		
	NO (42)エラーメッセージ 『前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています』を表示する		(43)本紙へ	関連受領番号に該当する受付DBが既に決裁済みになっている場合はエラーとし,審査結果入力で処理する
	⟶			

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/35

処理名	1.0　初期審査：別紙1　(3/3)	備考
NO	(44)エラーメッセージ 『前回の届書審査で作成された受付帳の数と今回の受付帳の数が異なります』を表示する	今回作成される受付帳の数が前回と異なる場合はエラーとし,審査結果入力で処理する
NO	(45)エラーメッセージ 『前回の処理で作成された受付帳が決裁済みになっています』を表示する	

初期審査での審査事項
・既に受付レコードが作成されている届に対して,再入力処理を行ったとき
(決裁区分は『決裁』以外である)
(1)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが,受領番号確保処理で取得されたものの場合,入力審査で作成された中間ファイル(仮受付)のレコード件数分,受領番号確保処理で作成された受付レコードが存在すること。

この場合,作成された中間(仮受付)の各々のレコードに,記録される情報は次のものである。
①受領番号
②関連受領番号(複数レコード作成される場合)　この場合は併せて,中間ファイル(届書)の同時決裁受領番号に,関連受領番号を設定する。

(2)届出選択で入力された受領番号に該当する受付レコードが,処分決定処理で作成されたものの場合,以前の処分決定時に作成した受付レコードの件数と,今回作成した中間ファイル(仮受付)のレコード件数が同じであること。
この場合,既に作成済みの受付レコードから,新たに作成されるレコードへ受け渡す情報は次のものである。
①関連受領番号(1～5)
②発日(ただし,届出選択事件が『受理指示』または『不受理指示』のときのみ)
③決裁区外(ただし,従前の受付レコードの決裁区分が『修正』のときのみ)

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/35

処理名	1.1　中間ファイル(仮受付)更新(1/2)	(受取側)中間ファイル(仮受付)	←　(引渡側)受付DB(または中間ファイル(届書))

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日		受付DB(受付)	発日				『受理指示』『不受理指示』のとき
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)		受付DB(受付)	関連受領番号(1～5)				
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/35

処理名	1.1　中間ファイル(仮受付)更新(2/2)	(受取側)中間ファイル(仮受付)	←　(引渡側)受付DB(または中間ファイル(届書))

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (仮受付)	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	証書提出区分							
	届書送付目録区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				『修正』のとき

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/35

処理名	1.2　中間ファイル(届書)更新	(受取側)中間ファイル(届書)	←　(引渡側)受付DB(または中間ファイル(仮受付))

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (届書)	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号 (1～5)		受付DB(受付)	関連受領番号 (1～5)				
	ロック戸籍番号 (1～5)							
	事件本人個人番号 (1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分		受付DB(受付)	決裁区分				
	届書排他区分							

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/35

処理名	2.0　処分決定(受付)表示　1/2	(受取側)処分決定(受付)画面	←　(引渡側)中間ファイル(仮受付),処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
処分決定 (受付)画面	画面ID							
	システム日付					有		システム日付
	現ページ,総ページ							
	受領番号		中間ファイル (仮受付) 受　付	受領番号				
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分名称		処分決定 (仮受付)処理 中間ファイル (仮受付) 受　付	表示の処分名称				最初の処分内容を表示(変化なし)
	事件名			事件コード		有		
	事件発生日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分		有		
	決裁内容			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号				
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	指示日			指示日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)		中間ファイル (仮受付) 事件本人	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1)　←　事件本人の1レコード目 (2)　←　事件本人の2レコード目 (3)　←　事件本人の3レコード目 (4)　←　事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有		
	カナ氏名(1～4)			カナ氏名				
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名				
	生年月日(1～4)			生年月日		有		

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	13/35

処理名	2.0　処分決定(受付)表示　2/2	(受取側)処分決定(受付)画面	←　(引渡側)中間ファイル(仮受付),処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
処分決定 (受付)画面	送達確認2(1～4)		事件本人	送達確認2				
	送達確認1		受付	送達確認1				
	本籍(1～4)		中間ファイル (仮受付)事件本人	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	戸籍の筆頭者(1～4)			戸籍の筆頭者				
	届出人資格1		中間ファイル (仮受付)受付	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍 (*1)			届後本籍コード				(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)又は 「4404」:その他(死亡)のとき, 「届後本籍」に設定があれば,その内容を表示する。なお,このときに画面のタイトルを「死亡日時」に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理					当初は処分決定(仮受付)処理での「表示する処分区分」を設定
	変更処分名称					有		当初はスペース
	埋火葬許可証発行ﾒｯｾｰｼﾞ							死亡の受理地届出分のみ
	埋火葬許可証発行区分							

第7 2 (6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成28年 3月31日	19	14/35

処理名	画面名	画面ID	
3.0 単体チェック	処分決定(受付)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処分区分	○	数字	(1:受理,2:不受理,3:受理照会,4:処理照会, 5:返戻,6:取下げ,7:保留, 8:受理処分の撤回)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	埋火葬許可証発行区分	○	数字	(0:不要,1:火葬許可証,2:埋葬許可証)であること			死亡届(受理)のみその場合必須表示
3	発日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≦発日であること)			処分区分が「受理照会」「処理照会」のときのみ入力可
4	収日		数字	日付チェックサブルーチン (システム日付≧収日であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみ入力可
5	指示日		数字	日付チェックサブルーチン (発日≦指示日≦収日(システム日付)であること)			届出選択番号が「受理指示」「不受理指示」のときのみこの場合必須入力

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成30年 3月31日	21	15/35

処理名	4.0 審査:別紙2 (1/3)	備考

1 通常入力での処分の変更(複数回修正された場合:最初に表示された処分区分(画面の処分名称)と変更処分区分を比較する)

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	受理	受理	受理	−	○*1	○	×	×	○	○	×
		不受理	受理照会	×	○*1	−	×	×	○	○	×
	送付	受理	受理	−	×	×	○	○*2	×	○	×
		不受理	処理照会	×	×	×	−	○*2	×	○	×
不受理	受理	−	不受理	×	−	○	×	×	○	○	×
	送付	−	処理照会	×	×	×	−	○*2	×	○	×
受理照会	受理	−	受理照会	×	○*1	−	×	×	○	○	×
	送付	−	処理照会	○*3	×	×	−	○*2	×	○	×

*1:システムで審査できない要件で法令エラーがある場合に変更可能。(例:近親婚 等)
*2:送付された届書で重大な法令エラーがあった場合は、ただちに受理地へ返送する「返戻」として処分区分を変更できる。
*3:送付された届書で「受理照会」要件の審査があった場合は、受理した自治体で法務局への照会が完了しているケースが殆どと考える。
そこで、「処理照会」の処分区分を「受理」に変更できるように変更する。ただし、下記メッセージを表示し、YESの場合のみ変更を許可する。
確認メッセージ「処理照会要件は、法務局に照会済ですね。」(YES,NO)
YES→「受理」の変更を許可する。NO→メッセージ「法務局に照会して下さい。」を表示し、「受理」への変更を許可しない。
変更結果が「○」または「-」のときはそのまま「本紙へ」
変更結果が「×」のときは,エラーメッセージ「XXXXには変更できません」を編集して「本紙へ」
↑変更した処分区分名

2 受領番号確保処理後の入力処理での処分の変更(受付帳の処分区分はスペース)
1の通常入力と同じ

3 処分区分が「受理照会」*1「保留」となっていたものの再入力処理での処分の変更
1の通常入力と同じ
*1:法務局へ問い合わせる前に「受理且」「不受理」が分かった場合

下記使用参照(平成6年10月6日提示)

・受付ファイルでの処分区分と決裁区分について

・受付ファイルの作成経過

18.0版の出生届、19.0版の73条の2届に伴う修正。

処理名：4.0 審査:別紙2 (2/3)

備考

4 処分区分が「処理照会」*1となっていたものの再入力処理での処分の変更
*1:法務局へ問い合わせる前に処理の方法が分かった場合

審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
				受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤回
受理	受理	受理	受理	−	×	×	○	×	×	×	○*
		不受理	受理照会	×	×	×	○	×	×	×	○*
	送付	受理	受理	−	×	×	○	○	×	×	×
		不受理	処理照会	×	×	×	−	○	×	×	×
不受理・受理照会	受理	−	処理照会	×	×	×	−	×	×	×	○*
	送付	−	処理照会	×	×	×	−	○	×	×	×

*:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され、正しい情報を入力した結果,無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし,メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

5 処分区分が「受理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	−	−	−	受理*	⇒処分区分の変更はできない
不受理	入力・審査は行わない			不受理	

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので,メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

処理名	4.0 審査:別紙2 (3/3)	備考

6 処分区分が「処理照会」となっていた届で法務局から回答があった場合の処分区分の変更

法務局からの指示	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	
受理	−	−	−	受理*	⇒処分区分の変更はできない
不受理	入力・審査は行わない	受理	−	受理処分の撤回	
		送付		返戻	

*:受理指示で審査の結果「不受理」となった場合でも処分区分は「受理」以外を選択することができない。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので,メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

7 決裁区分が「修正」または「未決裁」となっていたものの再入力処理での処分の変更

前処分区分	審査での処分区分	受理・送付	不受理申出処分区分	表示する処分区分	変更後の処分区分							
					受理	不受理	受理照会	処理照会	返戻	取下げ	保留	受理処分の撤
受理	−*1	受理	−*1	受理*1	−	×	×	×	×	×	×	○*2
		送付			−	×	×	×	×	×	×	×
受理以外	−*1	−	−*1	前処分区分*1	前処分区分と同じ処分区分でなければいけない(修正不可)							

*1:前回の処分区分が受理のとき,再入力処理において審査の結果が「不受理」となった場合でも処分区分を変更することはできない(一部を除く)。審査でエラーが発生した場合は処理内容が保証されないので,メッセージ「審査結果入力で処理して下さい。」を表示する。

*2:受理処分した後届出の入力内容に誤りが発見され,正しい情報を入力した結果,無効要件のエラーがあった場合だけ「受理処分の撤回」に変更できる。ただし,メッセージ「無効要件のエラーでなければ変更してはいけないので注意して下さい。」を表示させる。

8 処分区分が「誤処理」*1(決裁で誤処理とされたもの)となっていたものの再入力処理での処分の変更
1の通常入力と同じ
*1:前回の処分区分が「誤処理」であれば,処分決定で作成する受付ファイルは,同一受領番号で新しいレコードを作成する。
前データ(処分区分が「誤処理」となっているデータ)は履歴となる。

処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表) (1/2)	備考

※上段:受領番号未確保　　下段:受領番号確保済(受理処分の撤回はこの処理のみ)

処理区分	受理番号取得	届書ファイル	受付DB	仮戸籍ファイル	戸籍DB	個人状態ファイル	9条2項	エラー履歴	埋火葬許可証	30条の12第1項	本人届出確認台帳
受理	取得処理	作成処理	作成処理	作成処理	−	−	作成処理	更新処理	作成処理	作成処理	作成処理
	−	作成･更新処理	作成･追加*1処理	作成処理	−	−	作成処理	更新処理	−	作成処理	更新処理
不受理	取得処理	作成処理	作成処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
	−	作成･更新処理	作成･追加*1処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
受理照会	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	−	作成処理	−	−
	−	削除処理	作成･追加*1処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	−	−	−	−
処理照会	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	更新処理	−	−	−
	−	削除処理	作成･追加*1処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	更新処理	−	−	−
返戻	取得処理	作成処理	作成処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
	−	作成･更新処理	作成･追加*1処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	−
取下げ	取得処理	−	作成処理	−	更新処理	−	−	−	−	−	−
	−	削除処理	作成･追加*1処理	−	更新処理	−	−	−	−	−	−
保留	取得処理	作成処理	作成処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	−	作成処理	−	−
	−	作成･更新処理	作成･追加*1処理	−	更新処理	作成･更新処理	−	−	−	−	−
受理処分の撤回	−	更新処理	追加処理	−	−	−	−	更新処理	−	−	更新処理

*1:前回の処分区分が『誤処理』(決裁で誤処理されたもの)の場合は、同一受領番号で新しいレコードを追加する。

【受領番号取得処理】:再入力処理でない場合
番号ファイルを読み、受領番号を取得する
受領番号に受付件数を足した数を番号ファイルの受領番号にセットしファイルを更新する

【届書ファイル処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合

① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、届書ファイルを作成する。
② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(届書)の受領番号に受領番号取得処理で取得した最初の受領番号をセットする。

次の受領番号から取得した最後の受領番号までを、順次同時決裁受領番号(1～5)にセットする。
届書ファイルを作成する。

(2)更新処理:再入力処理の場合
中間ファイル(届書)の受領番号に該当する届書ファイルを更新する。
(3)削除処理:処分区分が『受理照会』又は『処理照会』又は『取下げ』の場合でかつ再入力処理の場合
中間ファイル(届書)に受領番号があれば、それに該当する届書ファイルを検索し、あった場合にその届書ファイルを削除する。

【受付DB処理】
(1)作成処理:再入力処理でない場合

処分区分が『取下げ』の場合、決裁区分に『決裁』を設定する(それ以外は『未決裁』)。
① 受付件数=1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、受付DBを作成する。

処理名	5.0 処理テーブル表 (処分区分での処理内容表) (2/2)	備考

② 受付件数>1件の場合:中間ファイル(仮受付)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した最初の受領番号を順番にセットする。

(1レコード目:取得の受領番号、2レコード目:取得の受領番号+1、3レコード目:取得の受領番号+2…。)
中間フィイル(仮受付)の各レコードの関連受領番号(1～5)に他のレコードの受領番号を順次セットする。
各々のレコード毎に受付DBを作成する。

(2)更新処理:再入力処理の場合(決裁区分が『未決裁』『修正』である)
中間ファイル (仮受付)の受領番号に該当する受付DBを更新する(複数件数ある場合は各々のレコード毎に受付DBを更新する)。

(3)追加処理:処分区分が『受理処分の撤回』又は前回の処分区分が『誤処理』(決裁で誤処理されたもの)の場合(再入力処理しかない)
中間ファイル(仮受付)の受領番号と枝番をカウントアップし、該当する受付DBにレコードを追加する。
(複数件数ある場合は各々の受領番号毎の受付DBにレコードを追加する)。

【仮戸籍ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(仮戸籍)の各レコード(仮戸籍が複数ある場合)の受領番号に、受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし(受付件数が複数ある場合は最初の受領番号)、仮戸籍ファイルを作成する。

【戸籍DB処理】:処分区分が『受理照会』『処理照会』『取下げ』『保留』の場合
中間ファイル(届書)のロック戸籍番号(1～5)に記載のある戸籍DBを検索する。
戸籍特定DBの戸籍異動処分に"0"をセットし、戸籍DBを更新する(届書審査でロックをかけた戸籍のロック解除処理)。

【個人状態ファイル処理】
(1)処分区分が『受理照会』『処理照会』の場合:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。

個人状態ファイルがあれば、受理処理照会区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、受理処理照会区分に"1"をセットする(作成処理)。

(2)処分区分が『保留』:中間ファイル(届書)の事件本人の個人番号に記載のある個人状態ファイルを検索する。

個人状態ファイルがあれば、保留区分に"1"をセットし、個人状態ファイルを更新する(更新処理)。
個人状態ファイルがなければ、個人番号をキーとして個人状態ファイルを作成し、保留区分に"1"をセットする(作成処理)。

【9条2項ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(9条2項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮9条2項ファイルを作成する。

【エラー履歴処理】:処分区分が『受理』『不受理』『返戻』『受理処分の撤回』
エラー履歴ファイルの受領番号に受領番号所得処理で取得した受領番号をセットし、エラー履歴ファイルを更新する。

【埋火葬許可証処理】:事件が『死亡』かつ処分区分が『受理』『受理照会』『保留』かつ1回目の処理(再入力でない)の場合
埋火葬許可証発行区分=0(不要):許可証発行不要(処理としては何もしない)。
埋火葬許可証発行区分=1(火葬):火葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。
埋火葬許可証発行区分=2(埋葬):埋葬許可証の内容で埋火葬ファイルを作成する(受領番号取得処理で取得した受領番号をセットする)。

【30条の12第1項ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
中間ファイル(30条の12第1項)の受領番号に受領番号取得処理で取得した受領番号をセットし、仮30条の12第1項ファイルを作成する。

【本人届出確認台帳ファイル処理】:処分区分が『受理』の場合
・ファイル作成件数は、受付DBの作成件数と同じ(上記【受付DB処理】参照)。
・創設的届出のものだけ作成する(創設的届出一覧は【第7.2.(22)本人届出確認台帳管理】を参照。)
『受理処分の撤回』の場合、本人届出確認台帳の「処分区分」を変更する。この処分区分の場合、本人届出確認台帳の検索対象としないこと。※『受理』で作成したファイルを削除しても構わない。

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/35

処理名	6.0　受領番号更新処理	(受取側)番号取得ファイル	←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル	番号種別		処分決定 (仮受付)処理	番号種別				3:受領番号
	西暦年			西暦年				
	受領番号			受領番号				最新の受領番号をセットする

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	21/35

処理名	7.0　届書ファイル更新処理	(受取側)届書ファイル	←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理,中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	選択事件コード		中間ファイル(届書)	選択事件コード				
	出張所番号			出張所番号				
	受領日			受領日				
	送付日			送付日				
	発送元			発送元				
	在外送付区分			在外送付区分				
	処理日			処理日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	郵送日			郵送日				
	動態区分			動態区分				
	届区分			届区分				
	渉外区分			渉外区分				
	同時決裁受領番号 (1～5)		処分決定 (仮受付)処理	同時決裁受領番号 (1～5)				
	ロック戸籍番号 (1～5)		中間ファイル(届書)	ロック戸籍番号 (1～5)				
	事件別内容			事件別内容				届出事件により異なる
	不受理申出処分区分			不受理申出処分区分				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	決裁区分		中間ファイル(届書)	決裁区分				
	届書排他区分		処分決定 (仮受付)処理					0:未　を設定(排他の解除のみの場合はこの項目だけを修正する)

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/35

処理名	8.0　受付DB作成・更新処理　1/3	(受取側)受付DB(受付)1/2	←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理,中間ファイル(仮受付)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル (仮受付)	出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時							
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日		中間ファイル (仮受付)	許可日				
	関連受領番号 (1～5)			関連受領番号 (1～5)				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	23/35

処理名	8.0 受付DB作成･更新処理 2/3	(受取側)受付DB(受付)2/2 ← (引渡側)処分決定(仮受付)処理,中間ファイル(仮受付)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付DB(受付)	届後本籍		中間ファイル (仮受付)	届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				
	証書提出区分			証書提出区分				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	処分区分		処分決定 (仮受付)処理	処分区分				
	決裁区分		中間ファイル (仮受付)	決裁区分				

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	24/35

処理名	8.0 受付DB作成・更新処理 3/3	(受取側)受付DB(事件本人)	← (引渡側)処分決定(仮受付)処理、中間ファイル(仮受付)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付DB(事件本人)	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	行番号							複数レコードを管理する(RDB)
事件本人が複数人いる場合は複数件のレコードが作成される	事件本人区分		中間ファイル(仮受付)	事件本人区分				
	届出人区分			届出人区分				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	戸籍の筆頭者			戸籍の筆頭者				
	送達確認2			送達確認2				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	25/35

処理名	9.0　仮戸籍ファイル作成処理	(受取側)仮戸籍ファイル	←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理,中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	その他の項目は省略		中間ファイル (仮戸籍)	その他の項目は省略				

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	26/35

処理名	10.0戸籍DB更新処理	(受取側)戸籍DB(戸籍特定)	← (引渡側)処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍DB (戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記載者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		処分決定 (仮受付)処理					0:解除を設定

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成28年 3月 31日	19	27/35

処理名	11.0　個人状態ファイル更新処理	(受取側)個人状態ファイル	← (引渡側)処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号							
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							
	破産宣告人区分							
	裁判所通知区分							
	犯歴区分							
	胎児認知区分							
	受理照会区分		処分決定(仮受付)処理					処分が「受理照会」「処理照会」のとき1を設定
	保留区分							処分が「保留」のとき1を設定
	メモ							

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	28/35

処理名	12.0　仮9条2項ファイル作成処理	(受取側)仮9条2項ファイル　←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理,中間ファイル(9条2項)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮9条2項ファイル	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル (9条2項)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	29/35

処理名	13.0 エラー履歴ファイル作成処理	(受取側)エラー履歴ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
エラー履歴 ファイル	受領番号		処分決定 (仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	エラーコード							
	メッセージコード (1～20)							
	確認 (1～20)							
	審査完了区分							

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	30/35

処理名	14.0　埋火葬許可証ファイル作成処理	(受取側)埋火葬許可証ファイル　←　(引渡側)処分決定(仮受付)画面,中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
埋火葬許可証 ファイル	書類名		処分決定 (受付)画面			有		埋火葬許可証発行区分 1:死体火葬許可証 2:死体埋葬許可証
	進行番号							
	死亡者の本籍		中間ファイル(届書)	本籍コード		有		
				本籍				
	死亡者の住所			住所コード		有		
				住所				
	死亡者の氏名			漢字氏名				
	死亡者の性別							
	死亡者の生年月日			生年月日		有		
	死因							
	死亡年月日時		中間ファイル(届書)	死亡日		有		中間ファイル(受付)の「届後本籍」に設定されている場合は,その設定内容を移送する
				死亡時分		有		
	死亡の場所			死亡場所				
	埋火葬の場所							
	申請者の住所		中間ファイル(届書)	届出人住所コード		有		
				届出人住所				
	申請者の氏名			届出人氏名				
	申請者と死亡者の続柄							
	発行日			システム日付		有		自治体,メーカに一任
	交付市区町村名							
	首長名							

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成11年 3月1日	2.1	31/35

処理名	15.0 仮30条の12第1項ファイル	(受取側)仮30条の12第1項ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ファイル(仮30条の12第1項)

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻ=ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮30条の12第1項ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				最新の受領番号をセットする
	出張所番号		中間ファイル(30条の12第1項)	出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	32/35

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理1/4	(受取側)仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード		中間ファイル(仮受付)	受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分		処分決定(仮受付)処理	処分区分				
	台帳対象区分							受付事件コードに応じて「1:対象」「2:対象外」を初期設定
	漢字氏名(1)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(1)				中間ファイル(仮受付)の1レコード目
	住所(1)							
	本人区分(1)			事件本人区分(1)				
	来庁者区分(1)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(1)							
	確認方法1(1)							
	確認手段1(1)							
	確認方法2(1)							
	確認手段2(1)							
	確認担当者(1)							
	通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(1)							
	通知担当者(1)							
	漢字氏名(2)		中間ファイル(事件本人)	漢字氏名(2)				中間ファイル(仮受付)の2レコード目
	住所(2)							
	本人区分(2)			事件本人区分(2)				
	来庁者区分(2)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(2)							
	確認方法1(2)							
	確認手段1(2)							

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	33/35

処理名	16.0 仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理2/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(2)							
	確認手段2(2)							
	確認担当者(2)							
	通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(2)							
	通知担当者(2)							
	漢字氏名(3)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(3)				中間ファイル(仮受付)の3レコード目
	住所(3)							
	本人区分(3)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(3)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(3)							
	確認方法1(3)							
	確認手段1(3)							
	確認方法2(3)							
	確認手段2(3)							
	確認担当者(3)							
	通知要否(3)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(3)							
	通知担当者(3)							
	漢字氏名(4)		中間ファイル(仮受付)	漢字氏名(4)				中間ファイル(仮受付)の4レコード目
	住所(4)							
	本人区分(4)			事件本人区分(3)				
	来庁者区分(4)		中間ファイル(届書)					「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	確認区分(4)							
	確認方法1(4)							
	確認手段1(4)							

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	34/35

処理名	16.0仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理3/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
仮本人届出確認台帳ファイル	確認方法2(4)							
	確認手段2(4)							
	確認担当者(4)							
	通知要否(4)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	通知日(4)							
	通知担当者(4)							
	届出人氏名(1)		中間ファイル（仮受付）	届出人氏名1				
	届出人住所(1)							
	届出人本人区分(1)			届出人資格名称1				
	届出人来庁者区分(1)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(1)							
	届出人確認方法1(1)							
	届出人確認手段1(1)							
	届出人確認方法2(1)							
	届出人確認手段2(1)							
	届出人確認担当者(1)							
	届出人通知要否(1)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(1)							
	届出人通知担当者(1)							
	届出人氏名(2)		中間ファイル（仮受付）	届出人氏名2				
	届出人住所(2)							
	届出人本人区分(2)			届出人資格名称2				
	届出人来庁者区分(2)							「郵送日」=スペースのとき「1:来庁者」 「郵送日」≠ｽﾍﾟｰｽのとき「2:郵送」を設定
	届出人確認区分(2)							
	届出人確認方法1(2)							
	届出人確認手段1(2)							

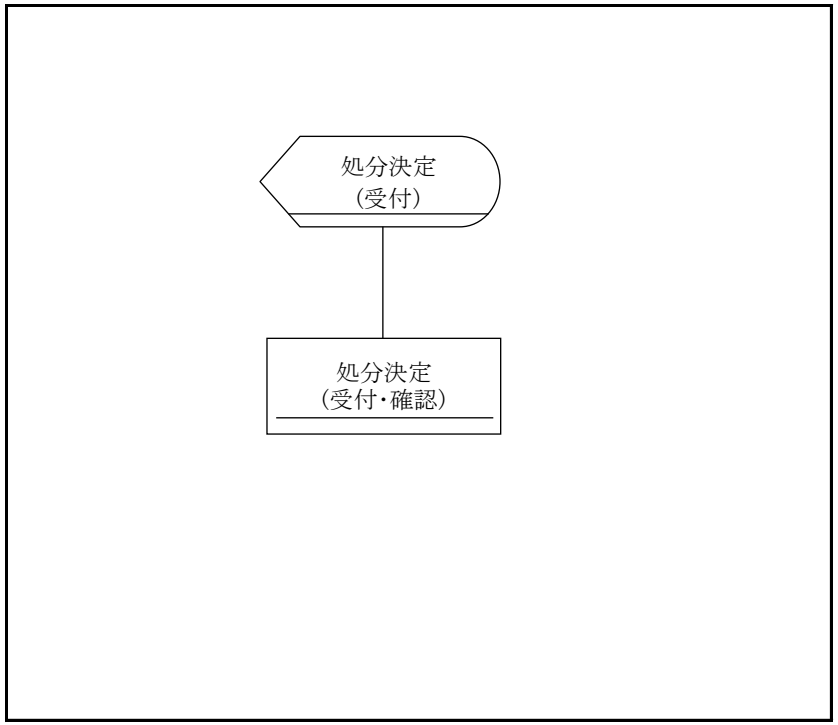
第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(仮受付)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	35/35

処理名	16.0仮本人届出確認台帳ﾌｧｲﾙ作成処理4/4	(受取側) 仮本人届出確認台帳ファイル ← (引渡側)処分決定(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(仮受付),中間ﾌｧｲﾙ(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮本人届出確認 台帳ファイル	届出人確認方法2(2)							
	届出人確認手段2(2)							
	届出人確認担当者(2)							
	届出人通知要否(2)							「0:通知不要」を初期値として設定 ※郵送の場合「1:通知要」を設定
	届出人通知日(2)							
	届出人通知担当者(2)							
	使者氏名(1)							
	使者住所(1)							
	使者確認区分(1)							
	使者確認方法1(1)							
	使者確認手段1(1)							
	使者確認方法2(1)							
	使者確認手段2(1)							
	使者確認担当者(1)							
	使者氏名(2)							
	使者住所(2)							
	使者確認区分(2)							
	使者確認方法1(2)							
	使者確認手段1(2)							
	使者確認方法2(2)							
	使者確認手段2(2)							
	使者確認担当者(2)							
	備考							

第7 2 (6)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1)受付DB内容、取得受領番号を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、
また移記事項入力画面に制御を渡す(PF3)。
または本人届出確認台帳画面に制御を渡す(PF5)。

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙 ── 1.0 データ編集表(処分決定(受付)画面)

5.備考(特記事項含む)

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付･確認)	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成 15年 5月 30日	7.1	2/4

処理名		0.0 本紙			備考
(1) 処分決定(受付)画面を編集する、「内容を確認して下さい」のメッセージ出力			/		
(2) キー選択(PF1、PF2、PF3、PF5、PF7、PF8、その他)			/		
PF1	⟶			(3) 業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶			(4) 届出選択に制御を渡す	
PF3	(5) 仮戸籍ファイルが存在する(YES、NO)		/		
	YES	⟶		(6) 移記事項処理に制御を渡す	
	NO	(7) エラーメッセージ 「仮戸籍がありませんので移動事項処理は行えません」を表示する		(8) 同画面を編集する	
PF5	(8.1) 仮本人届出確認台帳ファイルが存在する(YES、NO)		/		
	YES	⟶		(8.2) 本人届出確認台帳処理に制御を渡す	
	NO	(8.3) エラーメッセージ 「本人届出確認台帳がありませんので本人届出確認台帳処理は行えません」を表示する		(8.4) 同画面を編集する	
PF7	(9) 受付件数>1である(YES、NO)		/		PF7、PF8は1つの届で複数の受付帳が作成されるときにのみ使用可
	YES	(10) 現在表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより前のレコードがある(YES、NO)	/		(事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)
		YES (11) 前の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(12) 同画面を編集する	
		NO (13) エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する			
	NO	(14) エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
PF8	(15)受付件数>1である(YES、NO)		/		
	YES	(16) 現在画面表示している中間ファイル(仮受付)のレコードより後のレコードがある(YES、NO)	/		
		YES (17) 次の中間ファイル(仮受付)の内容を編集、表示する		(18) 同画面を編集する	
		NO (19) エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する			
	NO	(20) エラーメッセージ「作成された受付帳は1件だけです」を表示する			
その他	(21) エラーメッセージ「無効なキーが押されました」を表示する			(22) 同画面を編集する	

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　処分決定(受付)表示　1/2	(受取側)処分決定(受付)画面	←　(引渡側)処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
処分決定 (受付)画面	画面ID		前画面から項目を引き継ぐ					
	システム日付							
	現ページ,総ページ							
	受領番号		処分決定(仮受付)処理	受領番号				再入力の場合は前画面から項目を引き継ぐ
	受理送付の別		前画面から項目を引き継ぐ					
	受付日							
	処分名称					有		処分決定した名称を表示
	事件名							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	決裁内容							
	出張所番号							
	発送日							
	郵送日							
	本籍非本籍の別							
	発日		処分決定 (仮受付)処理	発日				仮受付処理で入力がある場合はその日付を表示 システムで設定した日付も表示
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日							
	渉外内容							
	関連受領番号(1～5)							
	事件本人区分内容(1～4)							
	届出人表示(1～4)							
	カナ氏名(1～4)							
	漢字氏名(1～4)							
	生年月日(1～4)							

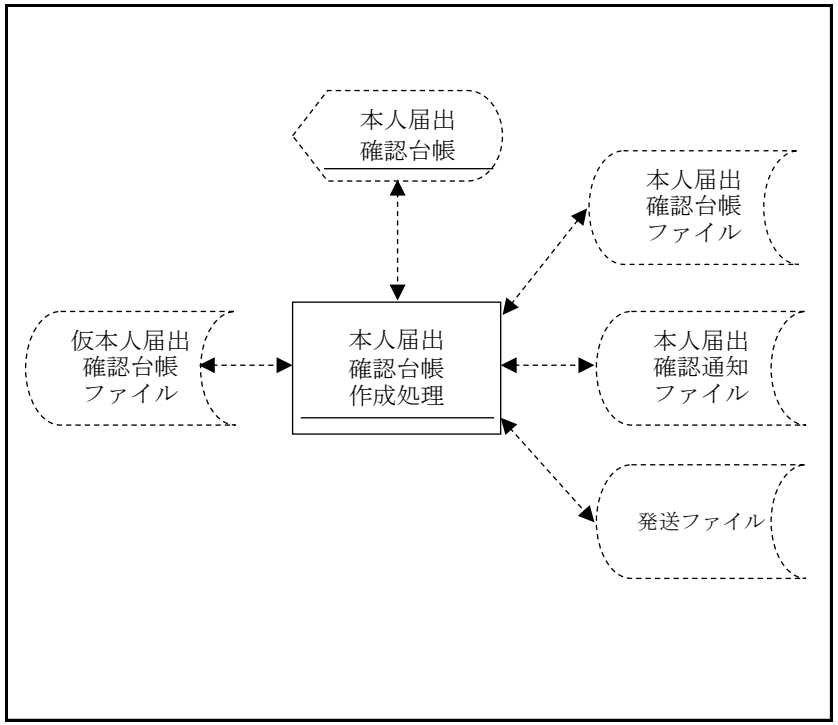
第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(受付・確認)	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成 18年 3月 1日	10	4/4

処理名	1.0 処分決定(受付)表示 2/2	(受取側) 処分決定(受付)画面	← (引渡側) 処分決定(仮受付)処理

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Z 9 . ,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
処分決定 (受付)画面	送達確認2(1～4)		前画面から項目を引き継ぐ					
	送達確認1							
	本籍(1～4)							
	戸籍の筆頭者(1～4)							
	届出人資格1							
	届出人氏名1							
	届出人資格2							
	届出人氏名2							
	届後本籍 (*1)							(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡 又は 「4402」:その他(本籍分明) のときに注意する
	届後戸籍の筆頭者							
	変更処分区分		処分決定 (仮受付)処理	変更処分区分				変更処分区分、その名称を表示する
	変更処分名称					有		
	埋火葬許可証発行ﾒｯｾｰｼﾞ							死亡の受理地届出のとき表示する
	埋火葬許可証発行区分			埋火葬許可証発行区分				

第7 2 (6)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(本人届出確認台帳作成)	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	1/18

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮本人届出確認台帳ファイル	入力		
本人届出確認台帳ファイル	出力		
本人届出確認通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3.処理概要

(1)本人届出確認台帳を確認する。
(2)業務選択画面に制御を渡す(PF1)、
　または届出選択画面に制御を渡す(PF2)、

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(本人届出確認台帳画面)
- 2.0　単体チェック表
- 3.0　関連チェック表
- 4.0　データ編集表(本人届出確認台帳ファイル)
- 5.0　データ編集表(本人届出確認通知ファイル)
- 6.0　データ編集表(発送ファイル)

5.備考(特記事項含む)

[redacted]

第72(6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		処分決定(本人届出確認台帳作成)	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	2/18

処理名							0.0 本紙			備考
(1)　本人届出確認台帳画面を編集する [1.0]								/		
(2)　キー選択(実行キー、PF1、PF2、PF7、PF8、PF12、その他)								/		
実行キー	(3)　入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]							/		
	YES	(4)　入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]						/		
		YES	(5)　本人届出確認台帳ファイルを編集･出力する [4.0]					/		
			(6)　通知要否(全項目)に「1:通知要」がある(ある:YES,ない:NO)					/		事件本人及び届出人の全てが対象
			YES	(7)　本人届出確認通知ファイルを編集･出力する [5.0]				/		
				(8)　発送ファイルを編集･出力する [6.0]					(9)　同画面を編集する	
		NO	(10)　エラーメッセージを表示する							
	NO									
PF1	⟶								(11)　業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶								(12)　届出選択に制御を渡す	
PF7	(13)　仮本人届出確認台帳件数>1である(YES,NO)							/		
	YES	(14)　現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより前のファイルがある(YES、NO)						/		PF7、PF8は1つの届で複数の仮本人届出確認台帳が作成されるときにのみ使用可(画面スクロールとは異なる)
		YES	(15)　前の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する						(16)　同画面を編集する	
		NO	(17)　エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する							
	NO	(18)　エラーメッセージ「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する								
PF8	(19)　仮本人届出確認台帳件数>1である(YES、NO)							/		
	YES	(20)　現在表示している仮本人届出確認台帳ファイルより後のファイルがある(YES、NO)						/		
		YES	(21)　次の仮本人届出確認台帳ファイルの内容を編集、表示する						(22)　同画面を編集する	
		NO	(23)　エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する							
	NO	(24)エラーメッセージ「作成された本人届出確認台帳は1件だけです」を表示する								
PF12	(25)　入力画面を初期化する								(26)　同画面を編集する	
その他	(27)　エラーメッセージ「無効なキーが押されました」を表示する								(28)　同画面を編集する	

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	3/18

処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集　(1/4)	(受取側)　本人届出確認台帳画面	←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	受付事件			受付事件		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)				
	確認方法1(1)			確認方法1(1)				
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)				
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)				
	確認方法1(2)			確認方法1(2)				
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				
	確認方法2(2)			確認方法2(2)				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	4/18

処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集　(2/4)	(受取側)　本人届出確認台帳画面	←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	確認手段2(2)		仮本人届出確認 台帳ファイル	確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)				
	確認方法1(3)			確認方法1(3)				
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)				
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)				
	確認方法1(4)			確認方法1(4)				
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				
	確認方法2(4)			確認方法2(4)				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	5/18

処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集　(3/4)	(受取側)　本人届出確認台帳画面	←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出 確認台帳画面	確認手段2(4)		仮本人届出確認 台帳ファイル	確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)				
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)				
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)				
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)				
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)				
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				
	届出人確認方法2(2)			届出人確認方法2(2)				

第72(6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	6/18

処理名	1.0　本人届出確認台帳画面編集　(4/4)	(受取側)　本人届出確認台帳画面	←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
本人届出 確認台帳画面	届出人確認手段2(2)		仮本人届出確認 台帳ファイル	届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)				
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)				
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)				
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)				
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)				
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

第7 2 (6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	7/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(1/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	台帳対象区分	○	数字	(1:対象,2:対象外)であること。	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	漢字氏名(1)	○	漢字				
3	住所(1)		漢字				
4	本人区分(1)	○	数字	※コード一覧参照			修正可能
5	来庁者区分(1)	○	数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
6	確認区分(1)	○	数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
7	確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
8	確認手段1(1)		漢字				
9	確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
10	確認手段2(1)		漢字				
11	確認担当者(1)		漢字				
12	通知要否(1)	○	数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
13	通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	通知担当者(1)		漢字				
15	漢字氏名(2)		漢字				
16	住所(2)		漢字				
17	本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
18	来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
19	確認区分(2)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
20	確認方法1(2)		数字				
21	確認手段1(2)		漢字				
22	確認方法2(2)		数字				
23	確認手段2(2)		漢字				
24	確認担当者(2)		漢字				
25	通知要否(2)		数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
26	通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第72(6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	8/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(2/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
27	通知担当者(2)		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
28	漢字氏名(3)		漢字				
29	住所(3)		漢字				
30	本人区分(3)		数字	※コード一覧参照			修正可能
31	来庁者区分(3)		数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
32	確認区分(3)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
33	確認方法1(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
34	確認手段1(3)		漢字				
35	確認方法2(3)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
36	確認手段2(3)		漢字				
37	確認担当者(3)		漢字				
38	通知要否(3)		数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
39	通知日(3)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
40	通知担当者(3)		漢字				
41	漢字氏名(4)		漢字				
42	住所(4)		漢字				
43	本人区分(4)		数字	※コード一覧参照			修正可能
44	来庁者区分(4)		数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
45	確認区分(4)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
46	確認方法1(4)		数字				
47	確認手段1(4)		漢字				
48	確認方法2(4)		数字				
49	確認手段2(4)		漢字				
50	確認担当者(4)		漢字				
51	通知要否(4)		数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
52	通知日(4)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第72(6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	9/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(3/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
53	通知担当者(4)		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
54	届出人氏名(1)		漢字				
55	届出人住所(1)		漢字				
56	届出人本人区分(1)		数字	※コード一覧参照			修正可能
57	届出人来庁者区分(1)		数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
58	届出人確認区分(1)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
59	届出人確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
60	届出人確認手段1(1)		漢字				
61	届出人確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
62	届出人確認手段2(1)		漢字				
63	届出人確認担当者(1)		漢字				
64	届出人通知要否(1)		数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
65	届出人通知日(1)		英数	「日付チェックサブルーチン」			
66	届出人通知担当者(1)		漢字				
67	届出人氏名(2)		漢字				
68	届出人住所(2)		漢字				
69	届出人本人区分(2)		数字	※コード一覧参照			修正可能
70	届出人来庁者区分(2)		数字	(1:来庁者,2:郵送)であること。			
71	届出人確認区分(2)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
72	届出人確認方法1(2)		数字				
73	届出人確認手段1(2)		漢字				
74	届出人確認方法2(2)		数字				
75	届出人確認手段2(2)		漢字				
76	届出人確認担当者(2)		漢字				
77	届出人通知要否(2)		数字	(0:通知不要,1:通知要)であること。			
78	届出人通知日(2)		英数	「日付チェックサブルーチン」			

第7 2 (6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	10/18

処理名	画面名	画面ID	
2.0単体チェック表(4/4)	本人届出確認台帳画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
79	届出人通知担当者(2)		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
80	使者氏名(1)		漢字				
81	使者住所(1)		漢字				
82	使者確認区分(1)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
83	使者確認方法1(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
84	使者確認手段1(1)		漢字				
85	使者確認方法2(1)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
86	使者確認手段2(1)		漢字				
87	使者確認担当者(1)		漢字				
88	使者氏名(2)		漢字				
89	使者住所(2)		漢字				
90	使者確認区分(2)		数字	(0:未確認,1:確認)であること。			
91	使者確認方法1(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
92	使者確認手段2(2)		漢字				
93	使者確認方法2(2)		数字	(1～5)であること。※コード一覧表参照			
94	使者確認手段2(2)		漢字				
95	使者確認担当者(2)		漢字				
96	備考		漢字				

第7 2 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	11/18

処理名	画面名	画面ID	
3.0関連チェック表(1/2)	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.5)来庁者区分(1)=2(郵送)の場合、 (No.6)確認区分(1)=0(未確認)であること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		他の事件本人、届出人も同様
2	(No.6)確認区分(1)＝0(未確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)=スペースかつ(No.11)確認担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人、使者も同様
3	(No.6)確認区分(1)=1(確認)の場合、 (No.7)確認方法1(1)≠スペースかつ(No.11)確認担当者(1)≠スペースであること。			
4	(No.7)確認方法1(1)＝1～4の場合、 (No.8)確認手段1(1)=スペースであること。			
5	(No.7)確認方法1(1)=5(その他)の場合、 (No.8)確認手段1(1)≠スペースであること。			
6	(No.9)確認方法2(1)≠スペースの場合、 (No.7)確認方法1(1)≠スペースであること。			
7	(No.9)確認方法2(1)=1～4の場合、 (No.10)確認手段2(1)=スペースであること。			
8	(No.9)確認方法2(1)=5(その他)の場合、 (No.10)確認手段2(1)≠スペースであること。			
9	(No.12)通知要否(1)=0(通知不要)の場合、 (No.13)通知日(1)=スペースかつ(No.14)通知担当者(1)=スペースであること。			他の事件本人、届出人も同様
10	(No.12)通知要否(1)=1(通知要)の場合、 (No.3)住所(1)≠スペースであること。			
11	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、(No.25)通知要否(2)のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
12	(No.15)漢字氏名(2)、(No.17)本人区分(2)、(No.18)来庁者区分(2)、(No.19)確認区分(2)、(NO.25)通知要否(2)の全てが未入力である場合、(No.15)漢字氏名(2)～(No.27)通知担当者(2)の全てが未入力であること。			
13	(No.28)漢字氏名(3)≠スペースの場合、 (No.15)漢字氏名(2)≠スペースであること。			

第72(6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月 30日	令和　年　月　日	7.1	12/18

処理名	画面名	画面ID	
3.0関連チェック表(2/2)	本人届出確認台帳画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
14	(No.41)漢字氏名(4)≠スペースの場合、 (No.28)漢字氏名(3)≠スペースであること。	「関連エラーがあります。確認して下さい。」 ※ワーニングレベルのエラーでも構わない。		
15	(No.67)届出人氏名(2)≠スペースの場合、 (No.54)届出人氏名(1)≠スペースであること。			
16	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1) のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
17	(No.80)使者氏名(1)、(No.82)使者確認区分(1) の全てが未入力である場合、(No.80)使者氏名(1)～(No.87)使者確認担当者(1)の全てが未入力であること。			
18	(No.88)使者氏名(2)≠スペースの場合、 (No.80)使者氏名(1)≠スペースであること。			
19	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2) のいずれかに入力がある場合、全てに入力があること。			
20	(No.88)使者氏名(2)、(No.90)使者確認区分(2) の全てが未入力である場合、(No.88)使者氏名(2)～(No.95)使者確認担当者(2)の全てが未入力であること。			

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	13/18

処理名	4.0本人届出確認台帳ファイル編集(1/4)	(受取側)　本人届出確認台帳ファイル　←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル,本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳 ファイル	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件コード			受付事件コード				
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分				
	台帳対象区分		本人届出確認 台帳画面	台帳対象区分		有		
	漢字氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	漢字氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		
	確認区分(2)			確認区分(2)		有		
	確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
	確認手段1(2)			確認手段1(2)				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	14/18

処理名	4.0本人届出確認台帳ファイル編集(2/4)	(受取側)　本人届出確認台帳ファイル　←　(引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳 ファイル	確認方法2(2)		本人届出 確認台帳画面	確認方法2(2)		有		
	確認手段2(2)			確認手段2(2)				
	確認担当者(2)			確認担当者(2)				
	通知要否(2)			通知要否(2)		有		
	通知日(2)			通知日(2)				
	通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	漢字氏名(3)			漢字氏名(3)				
	住所(3)			住所(3)				
	本人区分(3)			本人区分(3)		有		
	来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
	確認区分(3)			確認区分(3)		有		
	確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
	確認手段1(3)			確認手段1(3)				
	確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
	確認手段2(3)			確認手段2(3)				
	確認担当者(3)			確認担当者(3)				
	通知要否(3)			通知要否(3)		有		
	通知日(3)			通知日(3)				
	通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	漢字氏名(4)			漢字氏名(4)				
	住所(4)			住所(4)				
	本人区分(4)			本人区分(4)		有		
	来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		
	確認区分(4)			確認区分(4)		有		
	確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
	確認手段1(4)			確認手段1(4)				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	15/18

処理名	4.0本人届出確認台帳ファイル編集(3/4)	(受取側)　本人届出確認台帳ファイル　←　(引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳 ファイル	確認方法2(4)		本人届出 確認台帳画面	確認方法2(4)		有		
	確認手段2(4)			確認手段2(4)				
	確認担当者(4)			確認担当者(4)				
	通知要否(4)			通知要否(4)		有		
	通知日(4)			通知日(4)				
	通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人氏名(1)			届出人氏名(1)				
	届出人住所(1)			届出人住所(1)				
	届出人本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
	届出人来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
	届出人確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
	届出人確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
	届出人確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
	届出人確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
	届出人確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
	届出人確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
	届出人通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
	届出人通知日(1)			届出人通知日(1)				
	届出人通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人氏名(2)			届出人氏名(2)				
	届出人住所(2)			届出人住所(2)				
	届出人本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
	届出人来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		
	届出人確認区分(2)			届出人確認区分(2)		有		
	届出人確認方法1(2)			届出人確認方法1(2)		有		
	届出人確認手段1(2)			届出人確認手段1(2)				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	16/18

処理名	4.0本人届出確認台帳ファイル編集(4/4)	(受取側)　本人届出確認台帳ファイル　←　(引渡側)本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳 ファイル	届出人確認方法2(2)		本人届出 確認台帳画面	届出人確認方法2(2)		有		
	届出人確認手段2(2)			届出人確認手段2(2)				
	届出人確認担当者(2)			届出人確認担当者(2)				
	届出人通知要否(2)			届出人通知要否(2)		有		
	届出人通知日(2)			届出人通知日(2)				
	届出人通知担当者(2)			届出人通知担当者(2)				
	使者氏名(1)			使者氏名(1)				
	使者住所(1)			使者住所(1)				
	使者確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
	使者確認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
	使者確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
	使者確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
	使者確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
	使者確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者氏名(2)			使者氏名(2)				
	使者住所(2)			使者住所(2)				
	使者確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
	使者確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
	使者確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
	使者確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考			備考				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	17/18

処理名	5.0本人届出確認通知ファイル編集(1/1)	(受取側)　本人届出確認通知ファイル　←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル,本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認通知 ファイル	作成年月日		本人届出 確認台帳画面					システム編集
	事件本人氏名			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				通知要の者が対象
	発行市区町村名							システム編集
	受理年月日		仮本人届出確認 台帳ファイル	受付日				
	事件名			受付事件コード		有		
	届出人氏名1		本人届出 確認台帳画面	漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				事件本人で届出人である者及び届出人が対象
	届出人氏名2			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出人氏名3			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出人氏名4			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	届出事件本人氏名1			漢字氏名(1)				
	届出事件本人氏名2			漢字氏名(2)				
	届出事件本人氏名3			漢字氏名(3)				
	届出事件本人氏名4			漢字氏名(4)				
	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳作成	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	18/18

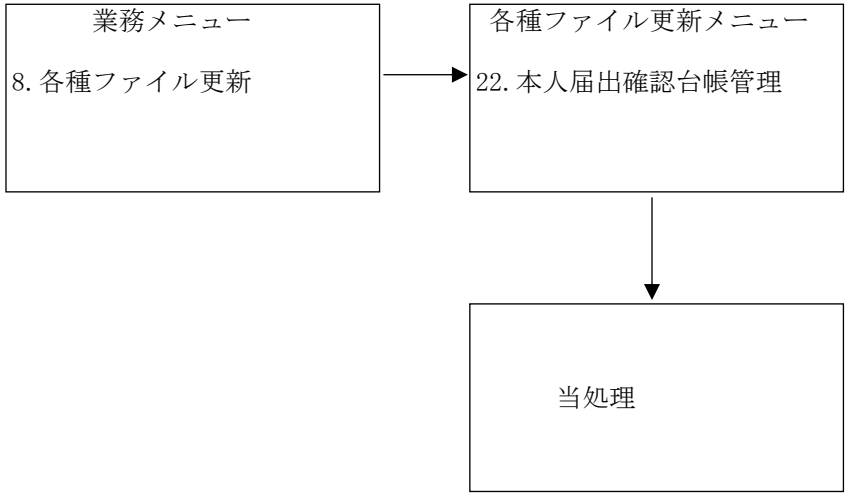
処理名	6.0 発送ファイル編集(1/1)	(受取側)　発送ファイル　←　(引渡側)仮本人届出確認台帳ファイル,本人届出確認台帳画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		仮本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード							システム編集
	郵便番号		本人届出 確認台帳画面					住所からシステム編集
	住所			住所(1)～(4),届出人住所(1)～(2)				通知要の者
	宛名			漢字氏名(1)～(4),届出人氏名(1)～(2)				
	送付書類区分			本人届出確認通知				

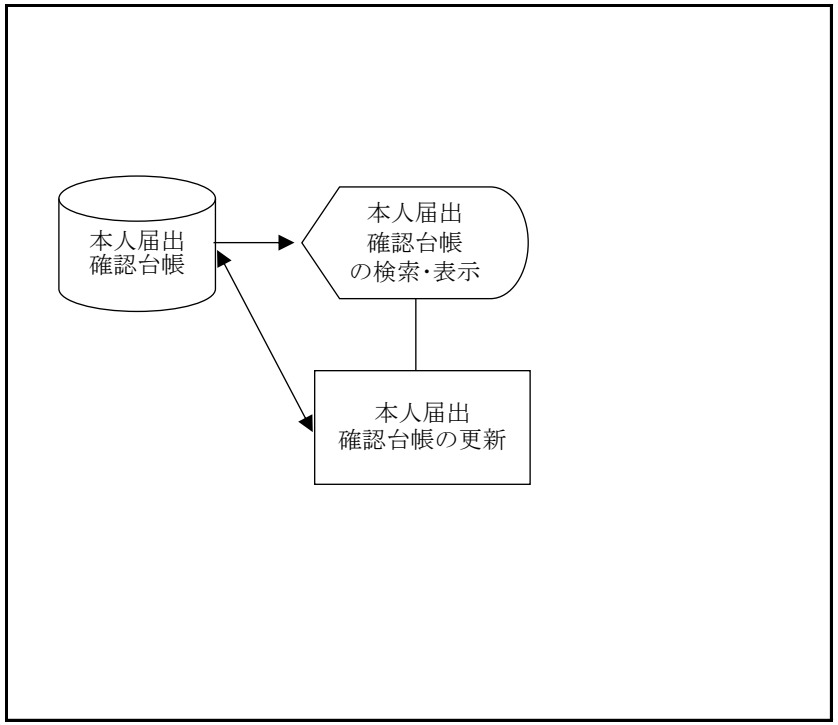
0.前提

・本仕様は創設的届における届出本人確認用の確認台帳の管理処理の一例を示すものです。

・当処理の位置付け



1.詳細フロー



2.使用DB・dファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
本人届出確認台帳ファイル	入出力		
本人届出確認通知ファイル	入出力		
発送ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる本人届出確認台帳の検索

a.受領番号(9桁)
b.受付日　　※範囲指定も検索可能
c.事件名
d.漢字氏名(氏,氏名)
e.処分区分
f.台帳対象区分

(2)キーを基に本人届出確認台帳を検索し,データの内容等を編集する

(3)本人届出確認台帳一覧画面の表示

(4)本人届出確認台帳の更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.1 データ編集表(検索画面編集)
- 3.2 データ編集表(確認台帳表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	3/15

処理名	0.0 本紙　1/2		備考
(1)本人届出確認台帳検索画面を表示する。		/	
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF12,その他)		/	
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]	/	
YES	(4)受領番号～台帳対象区分で本人届出確認台帳ファイルを検索する。	/	
	(5)0<検索件数<100か?(YES,NO)	/	
	YES (6)本人届出確認台帳検索画面を編集・表示する。 [3.1]	/	
	(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー), PF1,PF7,PF8,PF12,その他)	/	
	実行キー (8)該当番号のチェック(OK:YES,NO:NG)	/	
	YES (9)本人届出確認台帳表示・更新画面(該当受領番号)を編集・出力する。 [3.2]	/	(10)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
	(11)キー選択(PF1,PF7,PF8,PF9,その他)		(12)同画面を編集する
	PF1 →		(13)業務選択画面に制御を渡す
	PF2 →	/	(14)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
	PF7 (15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)	/	
	YES (16)前ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集	/	
	NO (17)エラーメッセージ『先頭ページです。』を表示する。		(18)同画面を編集する
	PF8 (19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)	/	
	YES (20)次ページ分の本人届出確認台帳表示・更新画面編集	/	
	NO (21)エラーメッセージ『最終ページです。』を表示する。		(22)同画面を編集する
	PF9 (23)本人届出確認台帳ファイルを更新する。		(24)本人届出確認台帳表示・更新に制御を渡す
	その他 (25)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。		(26)同画面を編集する
	NO (27)エラーメッセージ『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』を表示する。		
	PF1 →		(28)業務選択画面に制御を渡す

第7 2 (6)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1	4/15

処理名	0.0 本紙 2/2					備考
	PF7	(29)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
		YES	(30)前ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集		(31)同画面を編集する	
		NO	(32)エラーメッセージ 『先頭ページです』を表示する。			
	PF8	(33)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)				
		YES	(34)次ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集			
		NO	(35)エラーメッセージ 『最終ページです。』を表示する。			
	PF12	(36)入力画面を初期化する。				
	その他	(37)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました。』を表示する。				
	NO	(38)検索件数=0	エラーメッセージ 『該当がありません。再度,検索キーを入力して下さい。』を表示する。			
		(39)検索件数>99	エラーメッセージ 『該当が多すぎます。再度,検索キーを入力して下さい。』を表示する。			
	NO	(40)エラーメッセージ 『検索キーが正しくありません。再度,検索キーを入力して下さい。』を表示する。				
PF1	→				(41)業務選択画面に制御を渡す	
PF12	(42)入力図面を初期化する。				(43)同画面を編集する	
その他	(44)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。					

第72(6)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	5/15

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	受領番号		数字		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
2	受付事件		数字	※コード一覧参照			
3	受付日(1)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
4	受付日(2)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
5	漢字氏名		漢字				
6	処分区分		数字	※コード一覧参照			
7	台帳対象区分		数字	(1:対象,2:対象外)であること			

第7 2 (6)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	6/15

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)受領番号=スペース(未入力)かつ(No.2)受付事件=スペース(未入力)かつ (No.3)受付日(1)=スペース(未入力)かつ(No.4)受付日(2)=スペース(未入力)かつ (No.5)漢字氏名=スペース(未入力)かつ(No.6)処分区分=スペース(未入力)かつ (No.7)台帳対象区分=スペース(未入力)の時	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
2	(No.2)受付日(1)=スペース(未入力)かつ(No.3)受付日(2)≠スペース(未入力)の時			

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	7/15

処理名	3.1　検索画面編集(1/1)	(受取側)本人届出確認台帳検索画面	←(引渡側)本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出 確認台帳検索	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号							
	受付事件							
	受付日1							
	受付日2							
	処分区分							
	台帳対象区分							
	漢字氏名							
	No1～n		本人届出確認	――――――――				1～n件のシーケンス番号設定
	受領番号1～n		台帳ファイル	受領番号				
	受付日1～n			受付日				
	受付事件1～n			受付事件コード		有		
	氏名1～n			漢字氏名				

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	8/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(1/5)	(受取側)本人届出確認台帳検索画面	←(引渡側)本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示･更新	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号		本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件			受付事件コード		有		
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	事件本人（1） 氏名(1)			漢字氏名(1)				
	住所(1)			住所(1)				
	本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	通知日(1)			通知日(1)				
	通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	事件本人（2） 氏名(2)			漢字氏名(2)				
	住所(2)			住所(2)				
	本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	a	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	9/15

処理名	3.2　確認台帳表示画面編集(2/5)	(受取側)本人届出確認台帳検索画面	←(引渡側)本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示･更新	事件本人（2）	確認区分(2)		本人届出確認 台帳ファイル	確認区分(2)		有		
		確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			確認担当者(2)				
		通知要否(2)			通知要否(2)		有		
		通知日(2)			通知日(2)				
		通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	事件本人（3）	氏名(3)			漢字氏名(3)				
		住所(3)			住所(3)				
		本人区分(3)			本人区分(3)		有		
		来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
		確認区分(3)			確認区分(3)		有		
		確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
		確認手段1(3)			確認手段1(3)				
		確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
		確認手段2(3)			確認手段2(3)				
		確認担当者(3)			確認担当者(3)				
		通知要否(3)			通知要否(3)		有		
		通知日(3)			通知日(3)				
		通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	事件本人（4）	氏名(4)			漢字氏名(4)				
		住所(4)			住所(4)				
		本人区分(4)			本人区分(4)		有		
		来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	10/15

処理名	3.2　確認台帳表示画面編集(3/5)	(受取側)本人届出確認台帳検索画面	←(引渡側)本人届出確認台帳ファイル

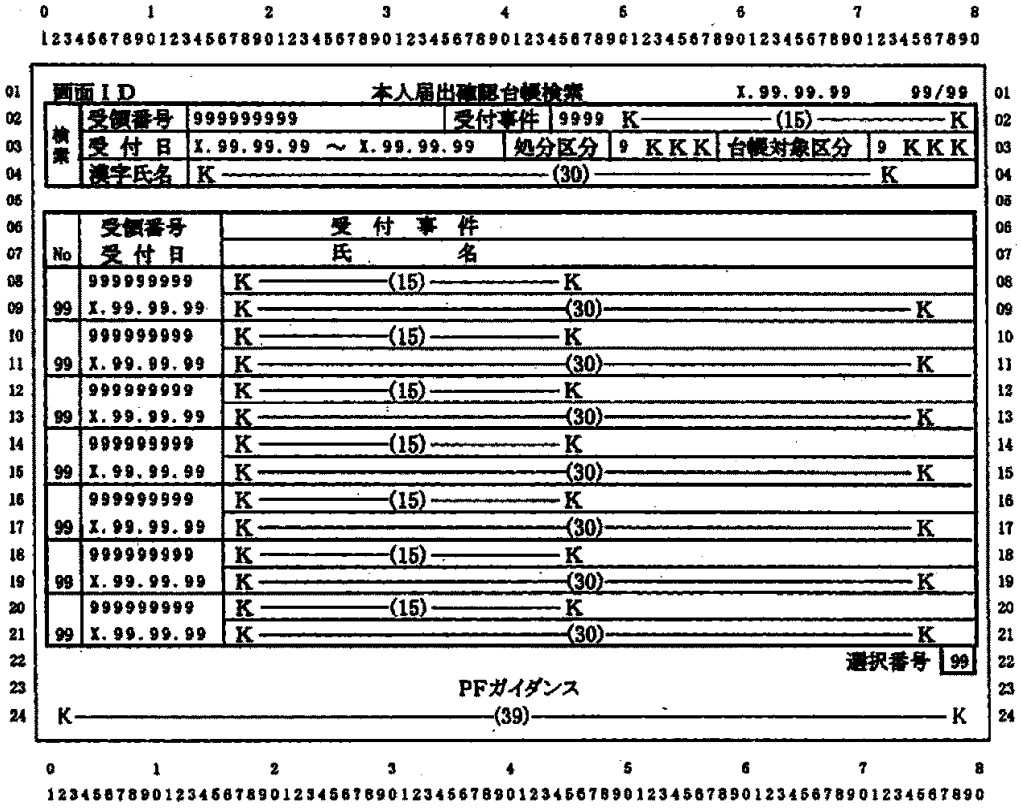
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
		名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示･更新	事件本人（4）	確認区分(4)		本人届出確認 台帳ファイル	確認区分(4)		有		
		確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
		確認手段1(4)			確認手段1(4)				
		確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
		確認手段2(4)			確認手段2(4)				
		確認担当者(4)			確認担当者(4)				
		通知要否(4)			通知要否(4)		有		
		通知日(4)			通知日(4)				
		通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人（1）	氏名(1)			届出人氏名(1)				
		住所(1)			届出人住所(1)				
		本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
		通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
		通知日(1)			届出人通知日(1)				
		通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人（2）	氏名(2)			届出人氏名(2)				
		住所(2)			届出人住所(2)				
		本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		

第7 2 (6)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	11/15

処理名	3.2　確認台帳表示画面編集(4/5)	(受取側)本人届出確認台帳検索画面	←(引渡側)本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示･更新	届出人（2）	確認区分(4)		本人届出確認 台帳ファイル	届出人確認区分(2)		有		
		確認方法1(4)			届出人確認方法1(2)		有		
		確認手段1(4)			届出人確認手段1(2)				
		確認方法2(4)			届出人確認方法2(2)		有		
		確認手段2(4)			届出人確認手段2(2)				
		確認担当者(4)			届出人確認担当者(2)				
		通知要否(4)			届出人通知要否(2)		有		
		通知日(4)			届出人通知日(2)				
		通知担当者(4)			届出人通知担当者(2)				
	使者（1）	氏名(1)			使者氏名(1)				
		住所(1)			使者住所(1)				
		確認区分(1)			使者確認区分(1)		有		
		擁認方法1(1)			使者確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			使者確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			使者確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			使者確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			使者確認担当者(1)				
	使者（2）	氏名(2)			使者氏名(2)				
		住所(2)			使者住所(2)				
		確認区分(2)			使者確認区分(2)		有		
		確認方法1(2)			使者確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			使考確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			使者確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			使者確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			使者確認担当者(2)				
	備考				備考				

本人届出確認台帳検索の画面



検索キー　:受領番号,受付事件,受付日,漢字氏名,処分区分,
台帳対象区分

※検索事件数:MAX99件
※受付日は範囲指定も可とする。

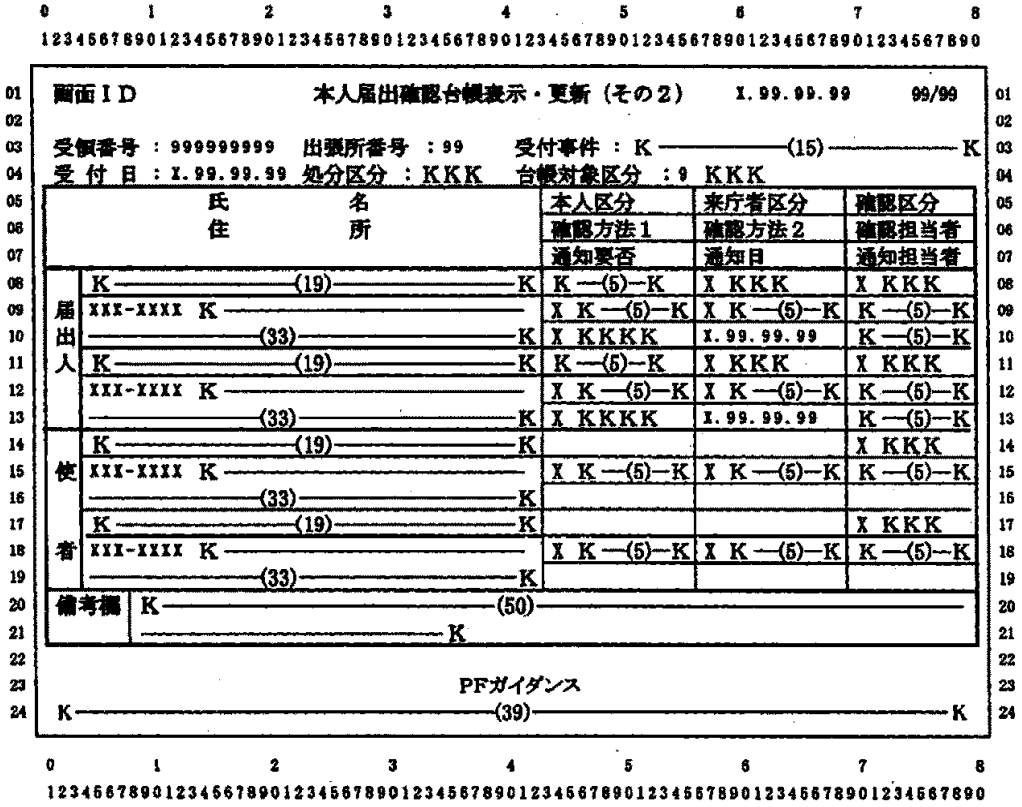
氏名　　:事件本人の複数表示も可とする。

本人届出確認台帳の画面

受付事件	:受付事件名
処分区分	:コード一覧参照
台帳対象区分	:1. 対象 2. 対象外
来庁者区分	:1. 来庁者 2. 郵送
確認区分	:1. 確認 0. 未確認
確認方法1･2	:1. 運転免許証　2. パスポート 3. 個人番号カード　4. 健康保険証 5. その他 ※「その他」のときはワープロ的に入力できるものとする。 ※その他確認方法の参考例 クレジットカード、免許証、許可証、学生証などがある
確認担当者	:本人確認をした職員氏名 ※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。
通知要否	:1. 通知要 0. 通知不要
通知日	:届出人に対して通知をした日
通知担当者	:通知をした職員氏名 ※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。

本人確認通知書:処分決定で発送ファイルが作成された後は、当該処理または帳票出力において発行することは、メーカー任意とする。

本人届出確認台帳の画面



使者の欄　:入力可能となっているが、運用に合わせて不要としてもよい。

備考欄　　:届出人からの連絡の記録等をワープロ的に記録できるものとする。

第7 2 (6)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	15/15

本人確認が必要と思われる届

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
1	出生(認知)	創設・報告	認知	出生	父、母	出生子、父	認知が創設の為、父に対して本人確認要。
2	出生(国籍留保)	創設・報告	国籍留保	出生	父、母	出生子	国籍留保が創設の為、国籍留保の届出人に対し本人確認要。
3	認知	創設・報告	右以外	裁判認知、 外国の方式	父、子、親権者母、親権者養父、 親権者養母、その他	父(認知者)、 子(被認知者)	
4	養子縁組	創設・報告	右以外	証書提出	養子、養女、養父、養母、法定代理人(父、母、母の親権者、特別代理人、母の未成年後見人、未成年後見人、未成年後見監督人、児童福祉施設の長)	養子、養女、養父、養母	
5	養子離縁	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養親、養子	養親、養子	養子が15歳未満のときは法定代理人(親権者、後見人)が届出人になる。
6	73の2	創設	創設のみ	無	離縁によって縁組前の氏に復した者	離縁によって縁組前の氏に復した者	届出人は本人のみ。法定代理人も不可。
7	離縁同時73の2	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養子、養女、養父、養母	養子、養女、養父、養母	
8	婚姻	創設・報告	右以外	証書提出	夫、妻	夫、妻	
9	離婚	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	
10	77の2	創設	創設のみ	無	復氏者	復氏者	
11	離婚 同時 77の2	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	創設的な離婚時、77の2は離婚の本人確認状態を引継ぐ。 報告的な離婚時、77の2は77の2の処分決定で本人確認情報を入力する。
		創設	創設のみ	無	夫、妻	夫、妻	
12	親権(管理権)	創設・報告	親権辞任、 親権回復、 管理権辞任、 管理権回復、 親権者指定(協議)	親権変更、 親権喪失、 管理権喪失、 親権者指定(調停・裁判)	父、母、養父、養母、親族	親権者、 未成年の子、 親権協議者	
13	復氏	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
14	婚姻関係終了	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
15	入籍	創設	創設のみ	無	入籍者、 入籍者の配偶者(配偶者があるとき)、 法定代理人(15歳未満のとき)	入籍者	民791条2項の場合は氏変更許可の審判書の謄本が必要
16	分籍	創設	創設のみ	無	分籍者	分籍者	
17	国籍選択	創設	創設のみ	無	親権者父、親権者母、 親権者義父、親権者養母、 未成年後見人、法定代理人	国籍選択者	
18	107の2	創設	創設のみ	無	外国人との婚姻による氏の変更者	外国人との婚姻による氏の変更者	
19	107の3	創設	創設のみ	無	事件本人	事件本人	
20	転籍	創設	創設のみ	無	筆頭者、配偶者、 親権者父、親権者母、 親権者養父、親権者養母、 未成年後見人	筆頭者、 配偶者	

第72(6)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

1.様式

(1)A4版縦

2.編集条件

(1)出力サイクル
日時

(2)抽出条件
本人届出確認台帳ファイルから該当項目を抽出

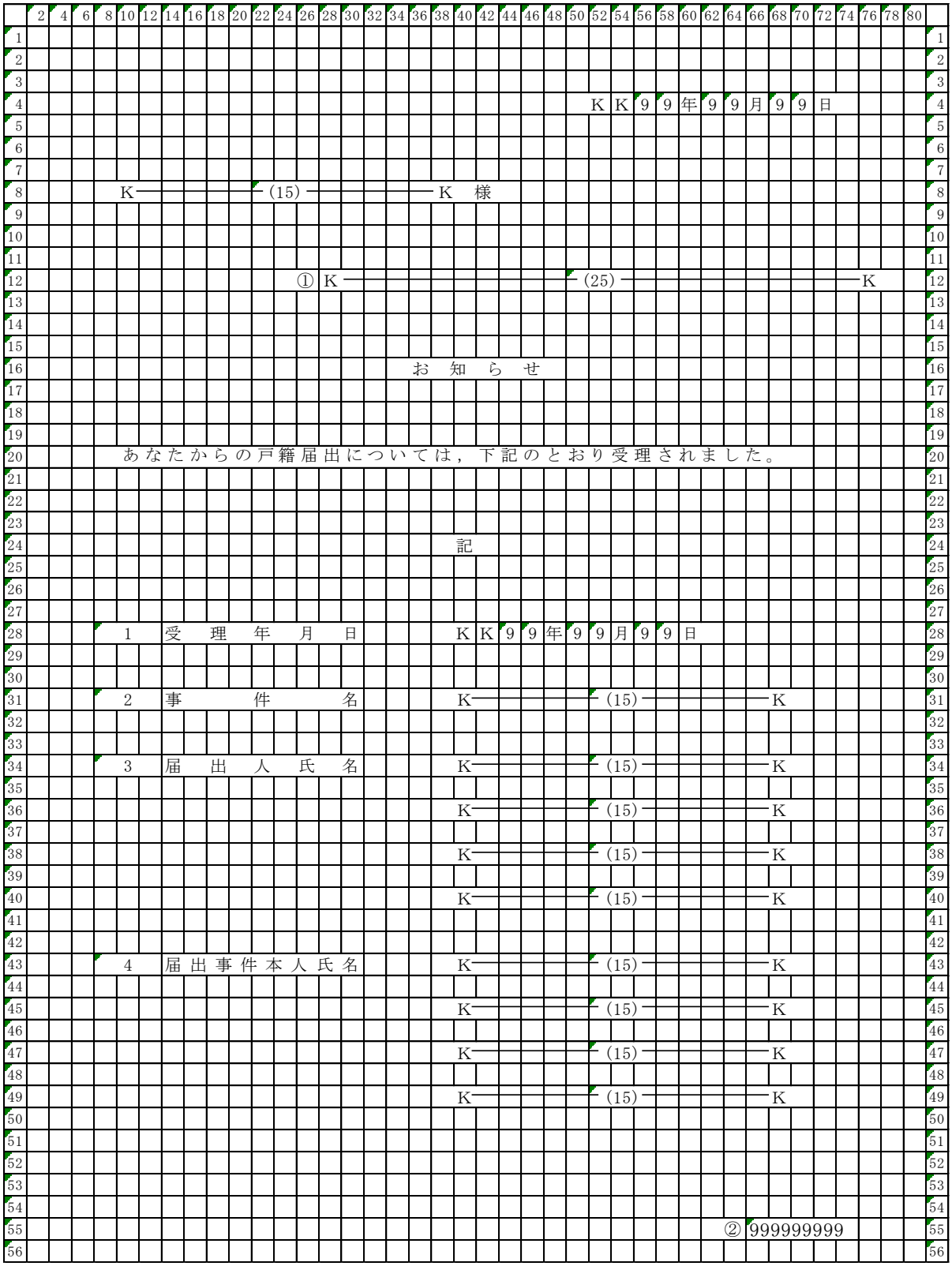
(3)出力条件
特になし

3.運用関係

本通知書は、
法務省民一第748号、戸籍の届出における本人確認等の取扱いについて(通達)
法務省民一第749号、戸籍の届出における本人確認等の取扱いについて(依命通知)
により運用すること。

第7 2 (6)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/3

帳票名称	作成日付	改訂日付	版
本人確認通知	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1



①発行市区町村名+″長″
②受領番号

第7 2 (6)	帳票項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	事件本人氏名	15	漢字	
3	発行市区町村名	25	漢字	市区町村名+"長"
4	受理年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	事件名	15	漢字	
6	届出人氏名1	15	漢字	
7	届出人氏名2	15	漢字	
8	届出人氏名3	15	漢字	
9	届出人氏名4	15	漢字	
10	届出事件本人氏名1	15	漢字	
11	届出事件本人氏名2	15	漢字	
12	届出事件本人氏名3	15	漢字	
13	届出事件本人氏名4	15	漢字	
14	受領番号	9	数字	

第72(6)	コード設計書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	台帳対象区分	区分	1	本人届出確認台帳の作成有無	「対象」「対象外」
	通知要否区分	区分	1	本人確認通知の要否	「通知不用」「通知要」
は					
	本人確認区分	区分	1	本人確認の有無	「未確認」「確認」
	本人確認方法	区分	1	届書持参者の本人識別	「運転免許証」「パスポート」
ら					
	来庁者区分	区分	1	届出の方法	「来庁者」「郵送」

第72(6)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	平成31年3月31日	22

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	台帳対象区分	対象	1	1		
		対象外	2			
	通知要否区分	通知不要	0	1		
		通知要	1			
	本人確認区分	未確認	0	1		
		確認	1			
	本人確認方法	運転免許証	1	1		
		パスポート	2			
		個人番号カード	3			
		健康保険証	4			
		その他	5			
	来庁者区分	来庁者	1	1		
		郵送	2			

[ ]内は、民二7002号通達での名称

第7 2 (6)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

コード	メッセージ
Mnnnnn	作成された本人届出確認台帳は1件だけです。

第7.2.(7)

「仮戸籍表示」処理

第7 2 (7)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		仮戸籍表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1. 仮戸籍表示

システムが入力審査確認後に,身分事項等の記載を,戸籍DBに仮に記載したり,新戸籍を仮に編製したりし,決裁処理で戸籍DBとして反映するまでのものを『仮戸籍』と呼ぶ。これらは,システムが自動的に作成するので,これらを確認する手段として『仮戸籍表示』を設ける。

『仮戸籍』は,あくまで仮の戸籍であり,システムが「受理」と判断した本籍分しか作成されないので,『仮戸籍表示』としては,移記処理の表示方法と同様とする。よって,ここでは概略を述べるに留めるので,詳細は移記処理の要件定義書を参照されたい。(画面は,単独提示)

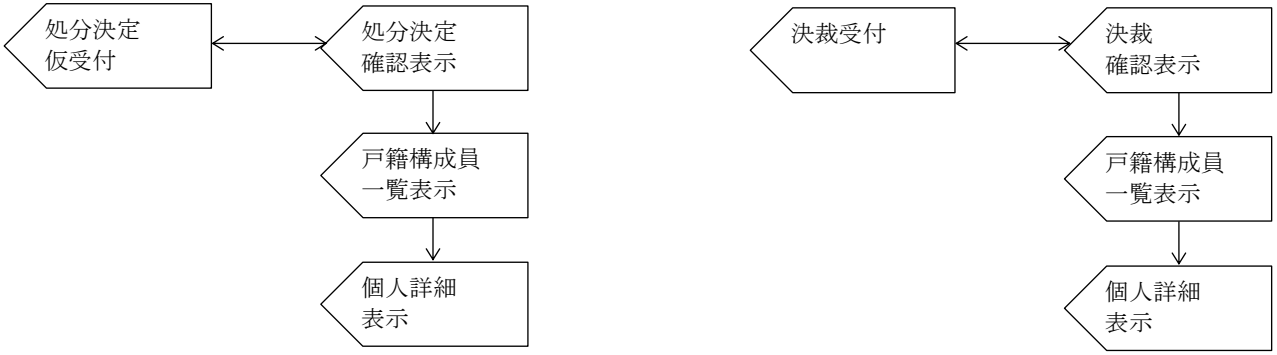
『仮戸籍表示』としては,次の3画面を使用する。

(1)確認表示画面(該当戸籍表示)
(2)戸籍構成員一覧画面
(3)個人詳細表示画面

2. 仮戸籍表示箇所

確認として表示されるのは,処分決定処理前と決裁処理前の2ヶ所である。

それぞれ,処分決定･決裁を行おうとする処理に該当する戸籍すべてを確認表示で表示させる。ここで,移記処理での表示との違いとしては,処分決定前においては,まだ,受領番号が確保されていないのでシステムにては注意を要する。



第7.2.(8)

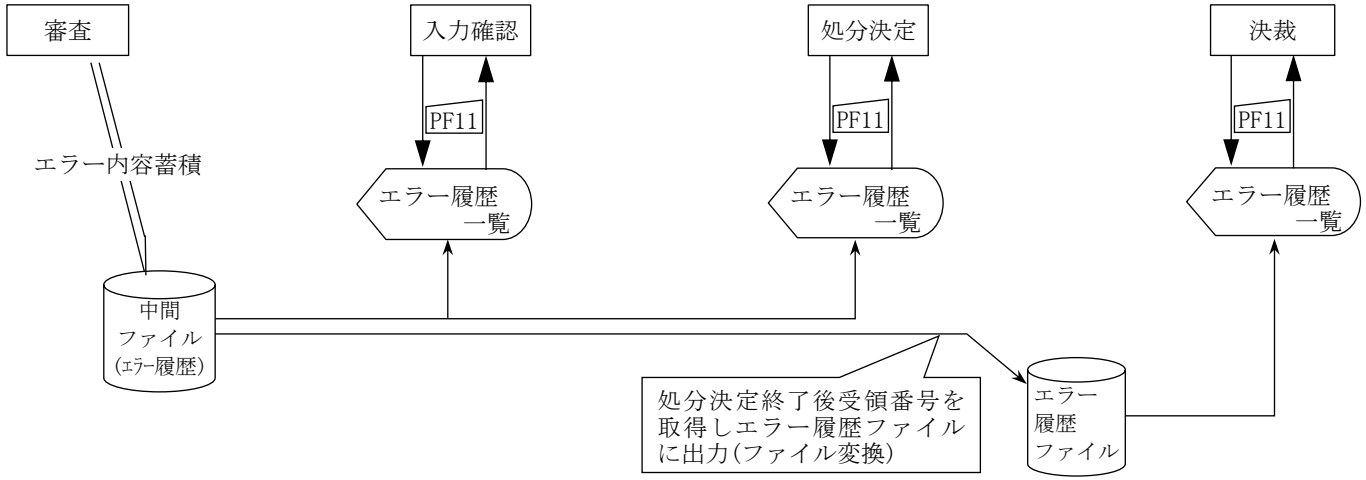
「エラー履歴表示」処理

第7 2 (8)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/2

1. 処理概要

異動業務処理において届書入力時の審査処理で発生したエラー内容(項目・関連チェック以外)を、エラー履歴として以降の処理で参照できるよう、共通仕様として以下に示す。

エラー履歴ファイルでは、受領番号がキーとなるため、受領番号を取得するまでは、一時的ファイル:中間ファイル(エラー履歴)に対して入出力を行う。処分決定処理で受領番号を取得し、完了した時点で、中間ファイル(エラー履歴)から、エラー履歴ファイルに出力する。



2. 届書入力処理におけるエラー処理について

審査処理で発生したエラー内容を、中間ファイル(エラー履歴)へ出力する。
但し、項目チェック、関連チェックによるエラーは除外し、法令審査による、重大エラー及び確認エラーを対象とする。

(1) 重大エラー
　法令等で定めた条件に明らかに反している場合、画面上にエラーメッセージを表示する。
エラーコードを、中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

(2) 確認エラー
　システム上で判断不能なエラーを、画面上に確認メッセージとして表示し、判断結果を応答する。
確認エラーコード及び、応答結果を中間ファイル(エラー履歴)に出力する。

3.エラー履歴一覧表示について

(1)入力確認
・届書入力項目の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

(2) 処分決定
・処分決定の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・中間ファイル(エラー履歴)からエラー情報を入力し、画面編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。
・処分決定し受領番号を取得した後、中間ファイル(エラー履歴)からエラー履歴ファイルへ出力する。(ファイル変換)

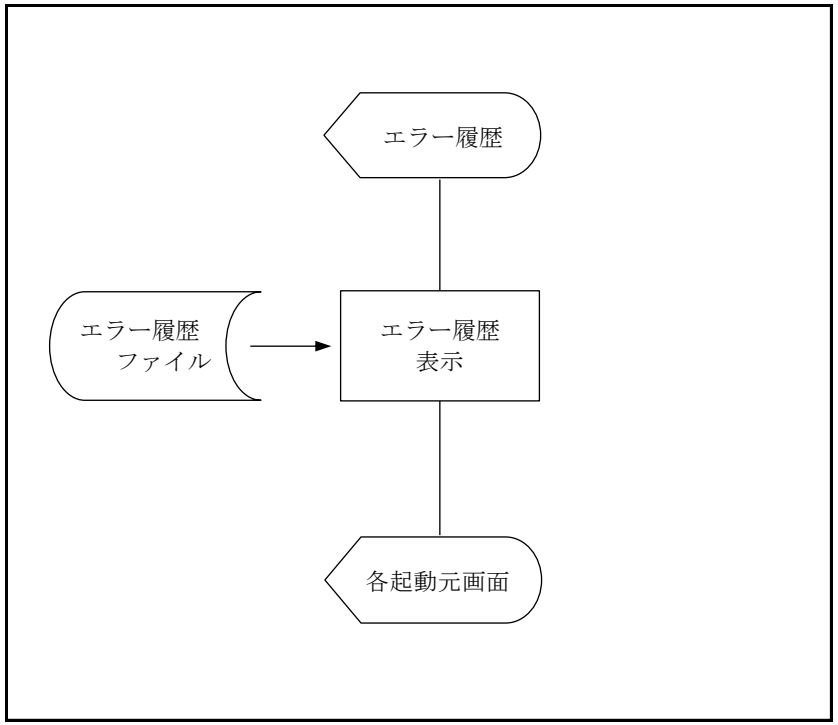
(3) 決裁
・決裁の確認時、PF11押下した時に本処理(エラー履歴一覧)に制御を渡す。
・エラー履歴ファイルからエラー情報を入力し、画画編集･出力する。
・本画面(エラー履歴一覧)でPF11押下した時、起動元の画面に制御を戻す。

4.その他

(1) エラー履歴一覧のエラー情報は、エラー発生順に表示する。
(2) エラー履歴として収容可能なエラー数は、MAX99個とし同一エラーは重複しないものとする。

第7 2 (8)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
エラー履歴ファイル	入力		

3.処理概要
(1) 検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索検索
(2) エラー履歴情報の編集･表示
(3) 起動元画面に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙 ┬ 1.0 データ編集表(中間ファイル作成(エラー履歴一覧))
　　└ 2.0 データ編集表(エラー履歴一覧画面作成)

5.備考(特記事項含む)
エラー履歴ファイルに対して入出力する場合、処理(入力確認･処分決定･決裁)によって状態が異なるため、データ出力と画面表示する場合に分けて以下の表に示す。

項番	処理区分	データ出力	画面表示
1	審　査　処　理	△	-
2	入 力 確 認 処 理	-	△
3	処 分 決 定 処 理	○	△
4	決　裁　処　理	-	○

△:中間ファイル(エラー履歴)
○:エラー履歴ファイル
- :該当せず

※取り扱うファイルとして、中間ファイル(エラー履歴)とエラー履歴ファイルが存在するが、本仕様書では「エラー履歴ファイル」で表現する。処理区分により識別し、それぞれのケースに合わせて置き換えること。

第7 2 (8)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名			0.0　本紙			備考
(1) 検索キー(受領番号)でエラー履歴ファイルを検索する				/		
(2) 該当データはあるか(YES,NO)				/		
YES	(3) エラー数 ＝ 0			/		
	YES	(4) エラーメッセージ 『エラー履歴情報が存在しません。』を表示する			(5)同画面を編集する	
	NO	(6) 中間ファイル(エラー履歴一覧)に編集･出力する	[1.0]	/		
		(7) エラー履歴一覧画面を編集する	[2.0]	/		
	(8) キー選択(PF7,PF8,P11,その他)			/		
	PF7	(9) 前ページがあるか?(YES,NO)		/		
		YES	(10) 前ページ分のエラー履歴一覧画面編集		(11)同画面を編集する	
		NO	(12) エラーメッセージ 『先頭ページです』を表示する			
	PF8	(13) 次ページがあるか?(YES,NO)		/		
		YES	(14) 次ページ分のエラー履歴一覧画面編集			
		NO	(15) エラーメッセージ 『最終ページです』を表示する			
	PF11	(16) →			(17)起動元画面に制御を渡す	
	その他	(18) エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する			(19)同画面を編集する	
NO	(20) エラーメッセージ 『エラー履歴情報が存在しません』を表示する					
	(21) キー選択(PF11,その他)			/		
	PF11	(22) →			(23)起動元画面に制御を渡す	
	その他	(24) エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました』を表示する			(25)同画面を編集する	

第7 2 (8)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0 中間ファイル(エラー履歴一覧)	(受取側)中間ファイル(エラー履歴一覧)	←(引渡側)エラー履歴ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 ｻﾆﾀｲｽﾞﾙｰﾁﾝ	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(エラー履歴一覧)	受領番号		エラー履歴ファイル	受領番号				
	届出選択番号			届出選択番号				
	エラー数			エラー数				
	メッセージ　メッセージコード			メッセージ　メッセージコード				99のテーブル
	メッセージ　応答内容			メッセージ　応答内容				

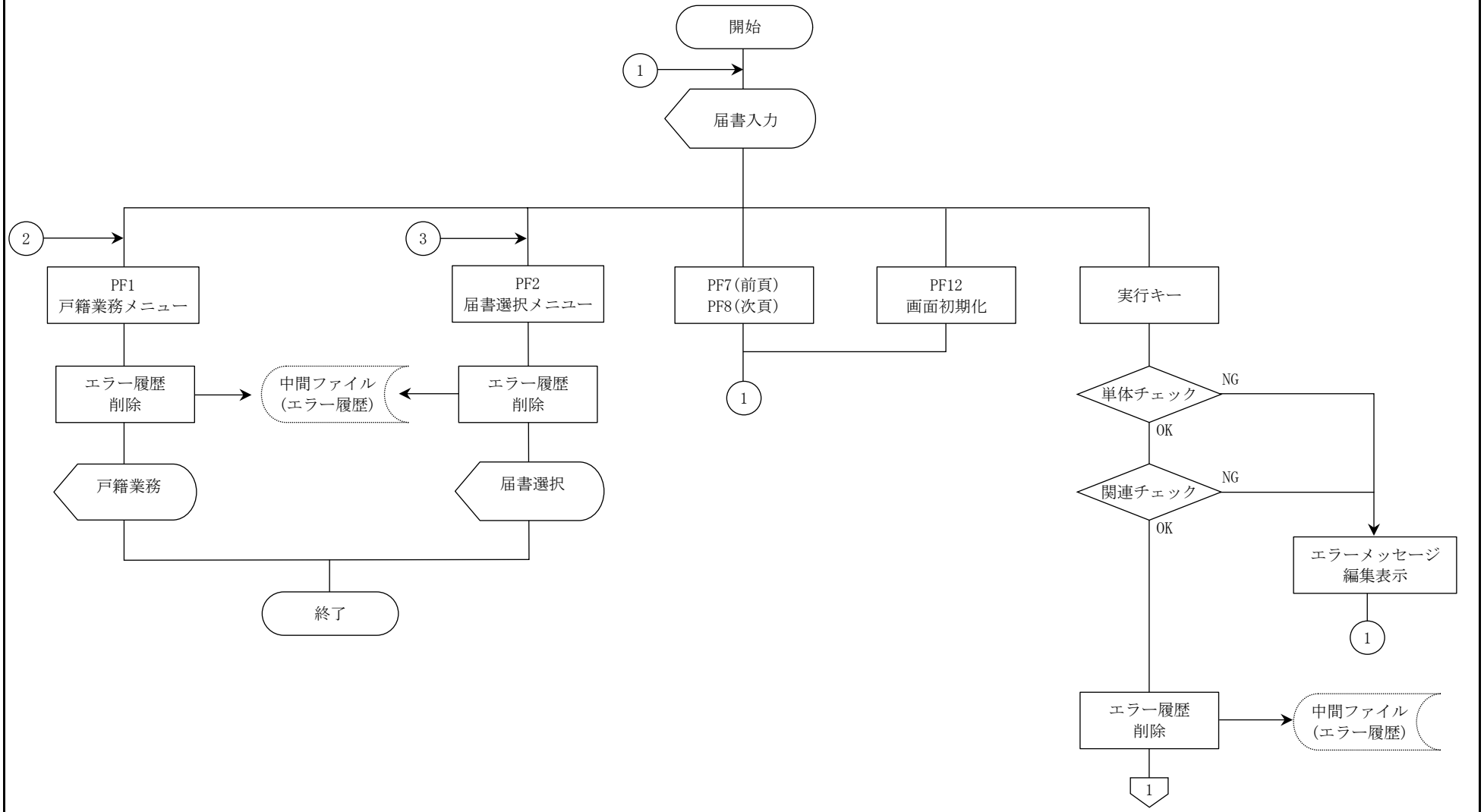
第72(8)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/4

処理名	2.0 エラー履歴一覧画面	(受取側)エラー履歴一覧画面	←(引渡側)中間ファイル(エラー履歴一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
エラー履歴一覧画面	画面ID		-	画面ID				
	システム日付			システム日付				
	ページ			-			Z9/Z9	
	受領番号		中間ファイル(エラー履歴一覧)	受領番号				
	届出名			届出選択番号		有		届出選択番号に対応する届出名称
	エラー履歴詳細情報			-				
	一連番号							シーケンス番号を付番
	メッセージコード			メッセージ メッセージコード				
	応答内容			メッセージ 応答内容				
	メッセージ内容			(メッセージコード)				ﾒｯｾｰｼﾞｺｰﾄﾞに対応するﾒｯｾｰｼﾞ内容

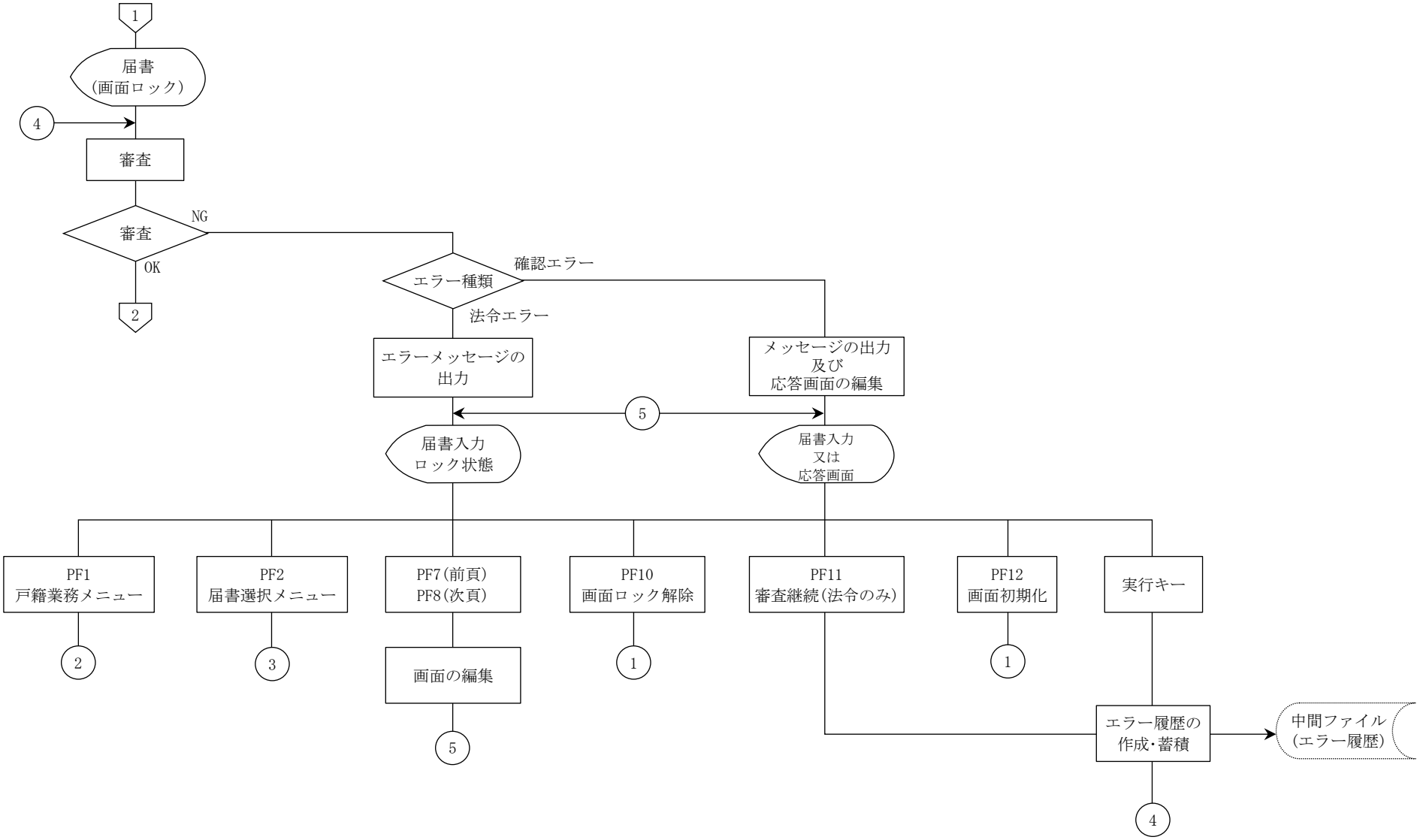
第7 2 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

処理名	エラー履歴処理フロー



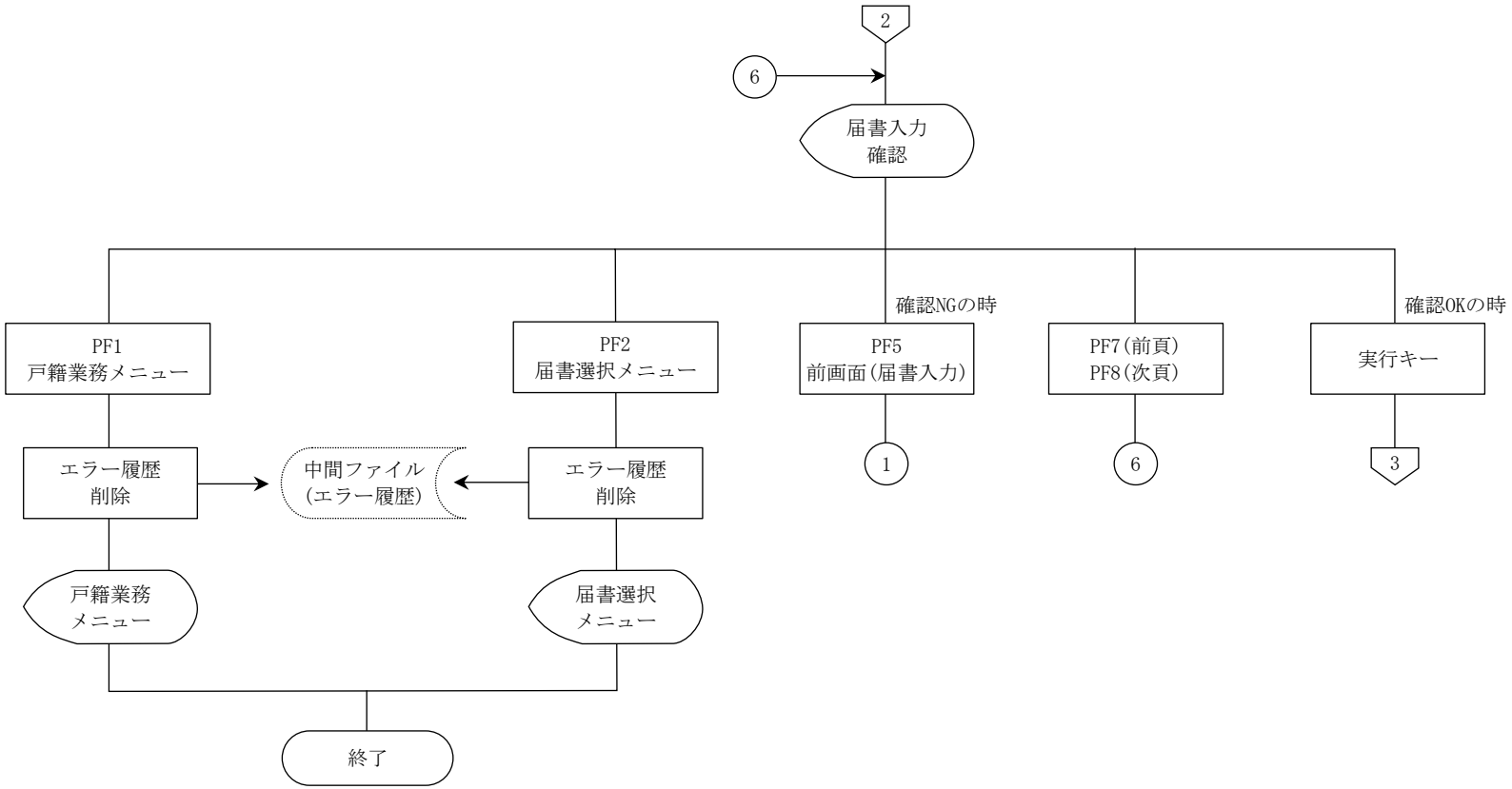
第72(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/6

処理名	エラー履歴処理フロー



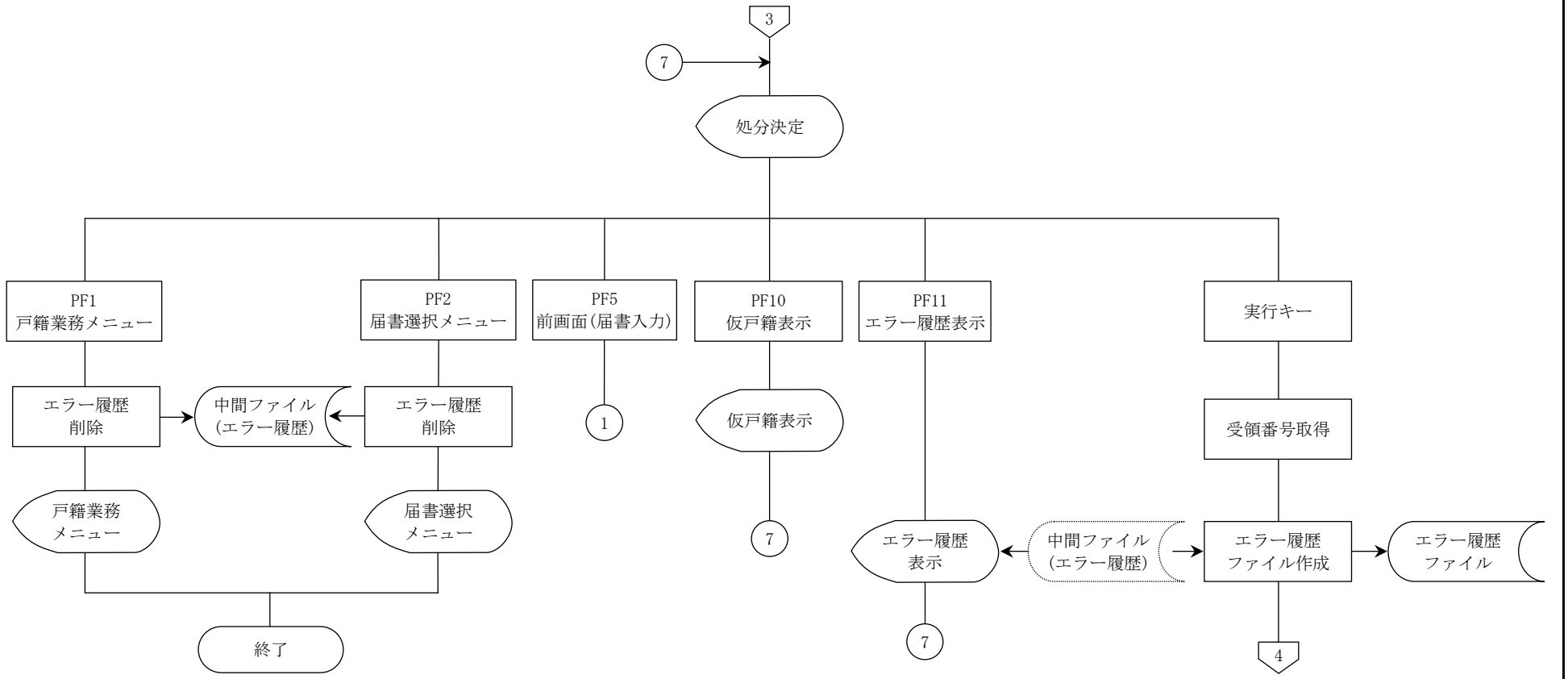
第7 2 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/6

処理名	エラー履歴処理フロー



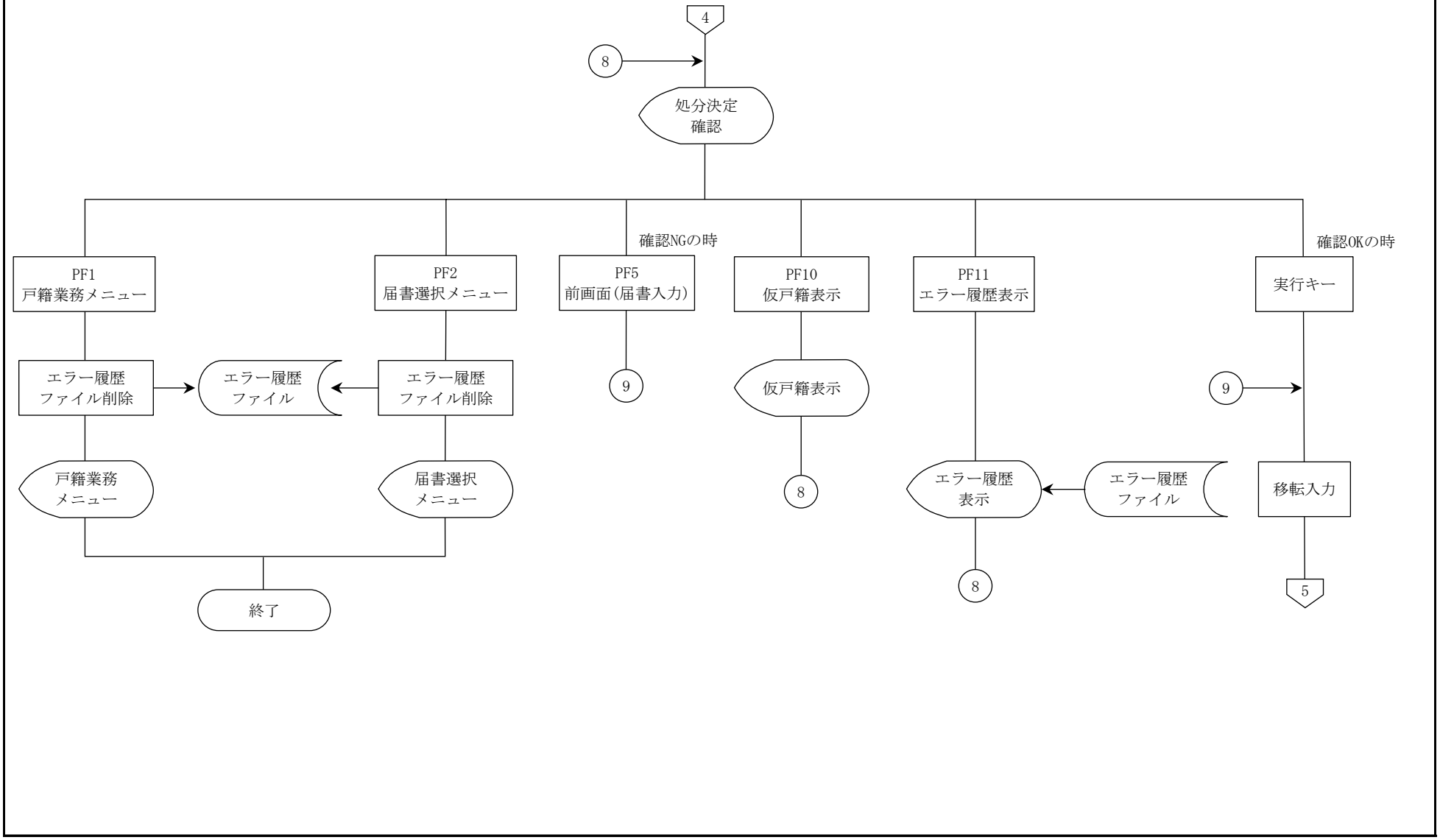
第7 2 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/6

処理名	エラー履歴処理フロー



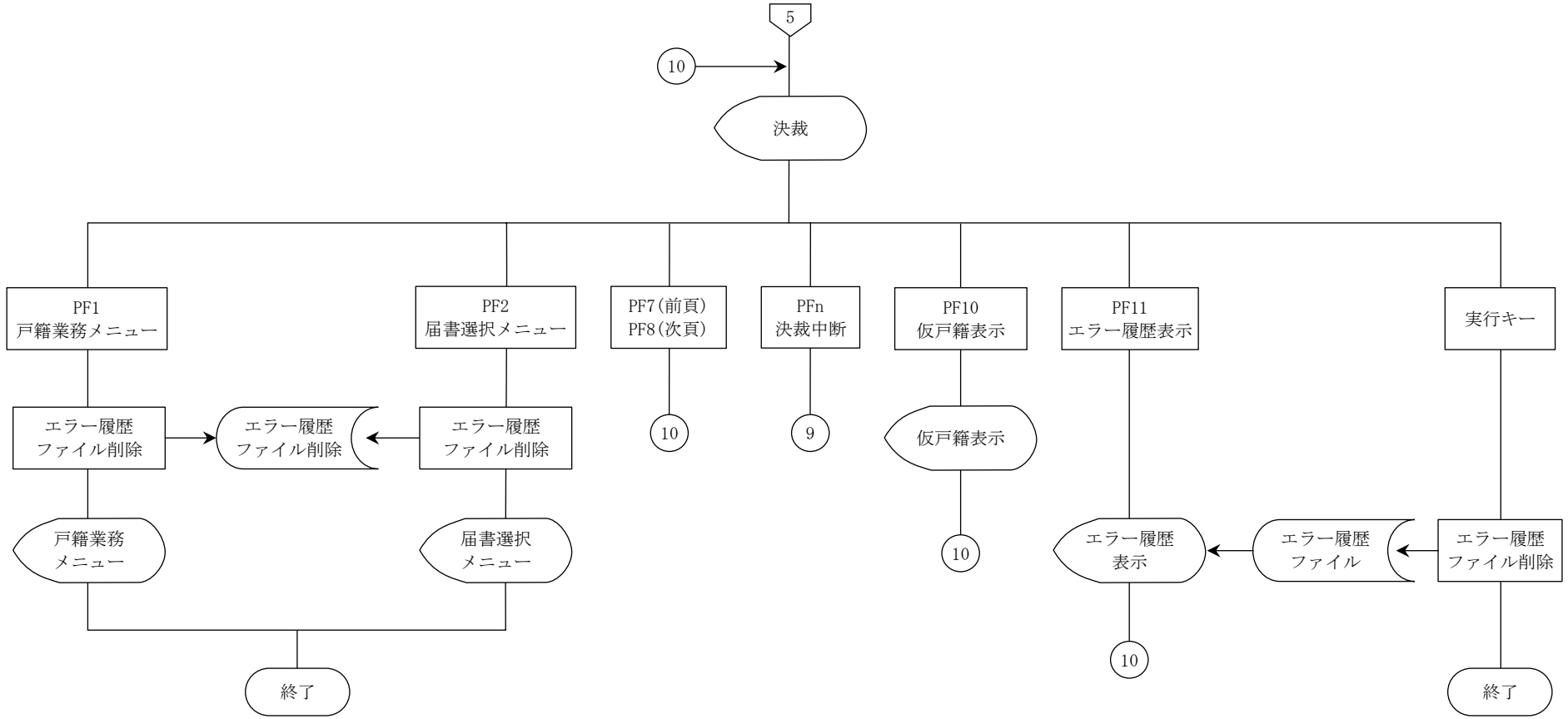
第72(8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/6

処理名	エラー履歴処理フロー



第7 2 (8)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		エラー履歴処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/6

処理名	エラー履歴処理フロー



第7.2.(9)

「移記事項入力」処理

1. 仮戸籍ファイル及び中間ファイル(仮戸籍)の管理情報

①戸籍特定情報

・戸籍編製区分(届出による戸籍の動き)　⇒　・「移記戸籍選択」:編製状態の表示
　・「移記:戸籍事項表示」:新戸籍編製かどうかの判定
1:新戸籍編製
2:全部除籍
3:変動なし
4:新戸籍編製・全部除籍

②戸籍事項情報

・戸籍事項記録区分　⇒　「移記:戸籍事項表示」:処理できるかどうかの判定
0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

③個人特定情報

・個人異動区分(届出による個人の動き)　⇒　・「移記戸籍構成員一覧」:変動状態の表示
　・「移記:戸籍事項表示」:処理できるのかどうかの判断
0:(記録なし)
1:記録
2:入籍
3:除籍
4:入籍除籍

・個人異動形態区分　⇒　未使用
0:異動なし
1:本→本の異動
2:非→本の異動
3:本→非の異動

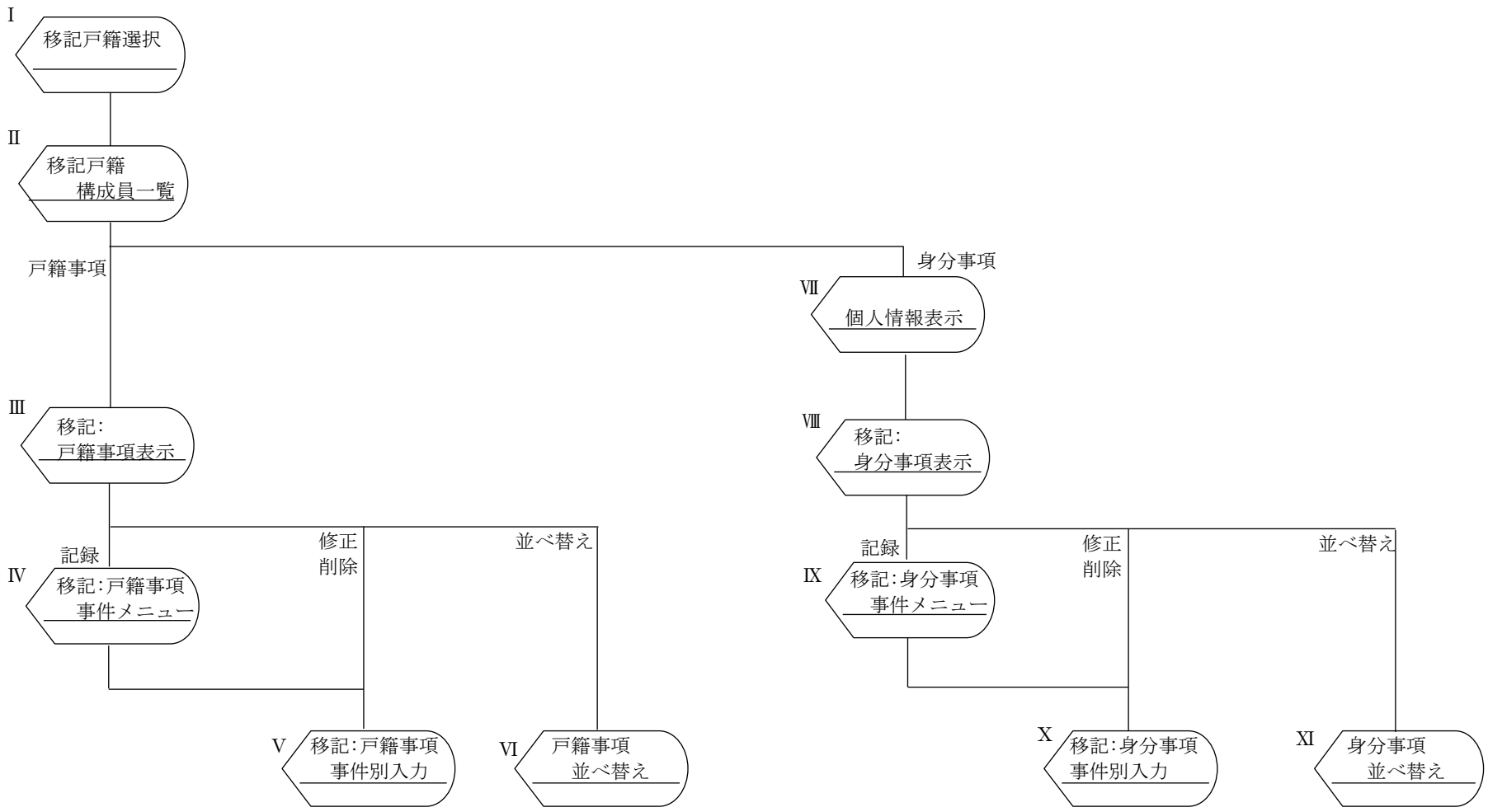
個人異動区分 と 個人異動形態区分 の関係
2:入籍 ┐ 1:本→本の異動
　　　 ┘ 2:非→本の異動
3:除籍 ┐ 2:非→本の異動
　　　 ┘ 3:本⇒非の異動

④身分事項情報

・身分事項記録区分　⇒　「移記:身分事項表示」:処理できるかどうかの判定
0:既存の記録
1:審査処理で記録
2:移記処理で記録

第7 2 (9)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記事項入力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/3

2. 画面展開図



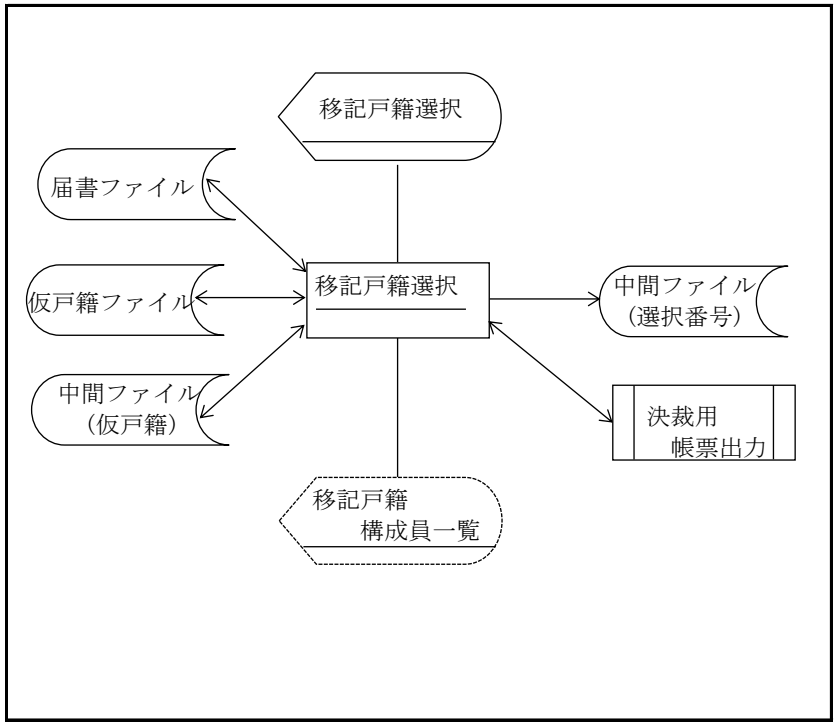
第72(9)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記事項入力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/3

1. PFキー一覧

画面名 / PFキー	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ	Ⅹ	Ⅺ	備考
	移記戸籍選択	移記戸籍構成員一覧	移記:戸籍事項 表示	移記:戸籍事項 事件メニュー	移記:戸籍事項 事件別入力	移記:戸籍事項 並べ替え	個人情報表示	移記:身分事項 表示	移記:身分事項 事件メニュー	移記:身分事項 事件別入力	移記:身分事項 並べ替え	
PF1	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	業務選択	処理中止
PF2		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	Ⅰ移記戸籍選択	処理中止
PF3												
PF4				Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧		Ⅱ移記戸籍構成員一覧				各処理終了
PF5		Ⅰ移記戸籍選択	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅲ移記:戸籍事項表示	・記録:Ⅳ事件メニュー ・訂正:Ⅲ表示	Ⅲ移記:戸籍事項表示	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	Ⅶ個人情報表示	Ⅷ移記:身分事項表示	・記録:Ⅸ事件ﾒﾆｭｰ ・訂正:Ⅷ表示	Ⅷ移記:身分事項表示	前画面へ
PF6												
PF7	前頁	前頁	前頁		前頁	前頁		前頁		前頁	前頁	
PF8	次頁	次頁	次頁		次頁	次頁		次頁		次頁	次頁	
PF9	処理後業務選択又はⅠ				処理後Ⅳ又はⅢ	処理後Ⅲ表示	処理後Ⅷ表示			処理後Ⅸ又はⅧ	処理後Ⅷ表示	処理後次処理
PF10		戸籍事項前頁										
PF11		戸籍事項次頁										
PF12	入力画面初期化				記録:入力画面初期化					記録:入力画面初期化		画面初期化
実行キー	Ⅱ移記戸籍構成員一覧	・戸籍:Ⅲ戸籍事項 ・身分:Ⅶ個人事項表示	・Ⅳﾒﾆｭｰ ・Ⅴ入力 ・Ⅵ並べ替え	Ⅴ移記:戸籍事項事件別入力	記録,訂正:入力項目チェック	並べ替えチェック	更正(訂正)項目チェック	・Ⅸﾒﾆｭｰ ・Ⅹ入力 ・Ⅺ並べ替え	Ⅹ移記:身分事項事件別入力	記録,訂正:入力項目チェック	並べ替えチェック	入力チェック等

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
届書ファイル	入出力		
仮戸籍ファイル	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	出力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3.処理概要

(1)戸籍業務メニューから制御が渡ってきた場合(2線式)
(1)-1入力された受領番号から移記戸籍の一覧を画面に表示する
(1)-2処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(1)-3移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(2)処分決定処理から制御が渡ってきた場合(1線式)
(2)-1渡ってきた受領番号を画面に表示する
(2)-2実行キーにより移記戸籍の一覧を画面に表示する
(2)-3処理する移記戸籍の明細番号を選択入力する
(2)-4移記戸籍構成員一覧に制御を渡す
〔仮戸籍ファイルから中間ファイル(仮戸籍)を作成する〕

(3)(1)または(2)以外で移記事項入力処理の各処理から制御が渡ってきた場合
(3)-1決裁用帳票出力区分が『要(1)』の場合,決裁用帳票を出力する
(3)-2移記事項入力処理の各処理で更新を行った中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルを更新する
(3)-3戸籍業務メニューに制御を渡す又は移記戸籍選択処理の当初画面を表示する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(届書ファイル)
- 2.0 データ編集(中間ファイル/仮戸籍)
- 3.0 データ編集(移記戸籍一覧画面)
- 4.0 単体チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)〔作成〕
- 6.0 データ編集(仮戸籍ファイル)
  - 6.1 戸籍事項情報
  - 6.2 個人特定情報
  - 6.3 身分事項情報

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	2/11

処理名	0.0 本紙		備考
(1) 処分決定処理から制御が渡って来たか?(YES,NO)	/		処分決定処理からの場合(1線式)も,
YES (2) 処分決定処理からの受領番号を画面に表示する		(3) 同画面を編集する	一度受領番号のみを表示する。その後,実
NO →			行キーにより検索を開始する
(4) キー選択(実行キー,PF1,PF12,その他)	/		
実行キー (5) 戸籍業務選択処理または処分決定処理から制御が渡って来た,または移記事項入力処理内の各プロセスからPF2(処理中止)により制御が渡って来たか?(YES,NO)	/		各プロセスからのPF2による処理中止の場合は,画面を初期化し,中間ファイルをすべて削除後,当プロセスの最初から処理を開始する
YES (6) 受領番号に該当する仮戸籍ファイルを読む	/		
(7) 仮戸籍ファイルはあるか?(YES,NO)	/		(中間ファイル(仮戸籍)がない場合)
YES (8) 受領番号に該当する届書ファイルを読む	/		
(9) 届書ファイルはあるか?(YES,NO)	/		
YES (10)「届書排他区分」は'0'となっているか? また,「審査結果入力」処理及び「訂正・更正・追完」処理で作成された届書ファイルでないこと (YES,NO)	/		:「審査結果入力」処理及び「訂正・校正・追完」処理で作成された仮戸籍ファイルは,移記処理では,更新できない
YES (11)届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'1'を設定する [1.0]	/		:届書ファイルに排他制御をかける
NO (12)エラーメッセージ 「入力された受領番号の届書は他の業務で処理中となっています。」を表示する		(13)同画面を編集する	
NO (14)エラーメッセージ 「届書が存在しません。受領番号を確認して下さい。」を表示する		(15)同画面を編集する	
(16)受領番号に該当する仮戸籍ﾌｧｲﾙを中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)に複写する [2.0]	/		
(17)受領番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/		
(18)移記戸籍選択画面を編集する [3.0]		(19)同画面を編集する	:複数画面を考慮する
NO (20)エラーメッセージ「表示する移記戸籍は有りません。」を表示する		(21)同画面を編集する	
NO (22)メッセージ 「決裁用帳票が必要ならば出力区分を入力し仮戸籍を更新して下さい。」を表示する 画面「決裁用帳票出力区分」に'1'(要)を表示する		(23)同画面を編集する(メッセージ表示)	移記事項処理内の各画面から制御が渡って来た場合,終了処理を行う (中間ファイル(仮戸籍)がある場合)
(24)キー選択(実行キー,PF1,PF7,PF8,PF9,PF12,その他)	/		
実行キー (25)選択番号のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [4.0]	/		
YES (26)選択した番号を中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(27)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	
NO (28)単体チェックで編集したメッセージを表示する		(29)同画面を編集する	

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/11

処理名		0.0 本紙			備考
	PF1	(30)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(31)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF7	(32)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(33)同画面を編集する	
		YES (34)前ページ分の移記戸籍選択を表示する			
		NO (35)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
	PF8	(36)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(37)同画面を編集する	
		YES (38)次ページ分の移記戸籍選択を表示する			
		NO (39)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
	PF9	(40)中間ファイル(仮戸籍)から仮戸籍ファイルを更新する [6.1][6.2][6.3]	/		
		(41)中間ファイル(仮戸籍)を削除する	/		
		(42)届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する	/		
		(43)決裁用帳票出力区分が'1'か? (YES,NO)	/		
		YES (44)『決裁用帳票出力処理』に帳票出力指示する		(45)決裁用帳票出力処理に制御を依頼する	
		→		(46) ①戸籍業務選択処理から制御が渡って来た場合,当プロセスの初期画面を表示する ②処分決定処理から制御が渡って来た場合戸籍業務選択処理に制御を渡す	:①画面を初期化し,中間ファイルをすべて削除する 当初どこから制御が渡ってきたかにより処理後の表示画面が異なる
		NO →			
	PF12	(47)入力画面を初期化し,中間ファイルをすべて削除する		(48)同画面を編集する	
	その他	(49)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
PF1		(50)当業務処理前に既に届書ﾌｧｲﾙの「届書排地区分」に'1'が設定されていた		(51)業務選択に制御を渡す	:(14)のエラー時,区分は解除しない
	YES	(52)中間ファイルをすべて削除する			「処理中止」
	NO	(53)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する,届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する			「処理中止」「届書ロック解除」
PF12		(54)入力画面を初期化し,中間ファイルをすべて削除する		(55)同画面を編集する	
その他		(56)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/11

処理名	1.0 届書ファイル　編集･出力	(受取側)　届書ファイル　←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
共通	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	更正区分							
	同時決裁受領番号1～5							
	ロック戸籍番号1～5							
	事件別内容							項目省略
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分			「1」				0:未,1;排他 届書ファイルにロックをかける

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	5/11

処理名	2.0 中間ファイル(仮戸籍)編集・出力	(受取側) 中間ファイル(仮戸籍)	←(引渡側)仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報	戸籍編製区分		仮戸籍ファイル 戸籍特定情報	戸籍編製区分				具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)
	戸籍持定DB内容			戸籍特定DB内容				
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分		仮戸籍ファイル 戸籍事項情報	戸籍事項記録区分				具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)
	戸籍事項DB内容			戸籍事項DB内容				
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	個人異動区分		仮戸籍ファイル 個人特定情報	個人異動区分				具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)
	個人持定DB内容			個人特定DB内容				
中間ファイル(仮戸籍) 氏名情報	氏名DB内容		仮戸籍ファイル 氏名情報	氏名DB内容				具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報	身分事項記録区分		仮戸籍ファイル 身分事項情報	身分事項記録区分				具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)
	身分事項DB内容			身分事項DB内容				

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/11

処理名	3.0 移記戸籍選択画面表示	(受取側)　移記戸籍選択画面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
移記戸籍選択画面	受領番号			中間ファイル(仮戸籍)	受領番号				
	事件名				事件コード		有		
	明細件数 1～5	明細番号			――――――				1移記戸籍毎に+1して表示する
		筆頭者			筆頭者				
		編製日			編製日		有		
		消除日			消除日		有		
		戸籍編製区分 名称			戸籍編製区分		有		1:新戸籍編製 2:全部除籍 3:変動なし 4:新戸全除 (新戸籍編製･全部除籍)
		本籍			本籍コード		有		
					本籍				
	選択番号				――――――				移記戸籍の選択入力
	決裁用帳票出力区分				――――――				0:不要,1:要の入力

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/11

処理名	画面名	画面ID	
4.0 単体チェック	移記戸籍選択画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	表示している移記戸籍のNo.であること(MAX05)	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/11

処理名	5.0 中間ファイル(選択番号)編集･出力	(受取側) 中間ファイル(選択番号)	←(引渡側)移記戸籍選択画面,届書ファイル,仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(選択番号)	受領番号		移記戸籍選択画面	受領番号				
	選択事件コード		届書ファイル	選択事件コード				
	在外送付区分			在外送付区分				
	戸籍 戸籍管理番号		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報管理	戸籍管理番号				移記戸籍選択画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の戸籍管理番号を設定する
	戸籍事項 処理区分							
	戸籍事項 明細番号							
	戸籍事項 記録コード							
	個人 個人管理番号							
	身分事項 処理区分							
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード							

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	9/11

処理名	6.1 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(戸籍事項情報)編集・出力	(受取側)仮戸籍ファイル ←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル	**戸籍編製区分**		**中間ファイル(仮戸籍)**	**戸籍編製区分**				**具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)**
戸籍事項情報	戸籍事項DB情報		戸籍事項情報	戸籍事項DB情報				

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	10/11

処理名	6.2 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(個人情報情報)編集･出力	(受取側) 仮戸籍ファイル ← (引渡側) 中間ファイル (仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル	**個人異動区分**		中間ファイル(仮戸籍)	**個人異動区分**				**具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)**
個人情報情報	個人情報DB情報		個人情報情報	個人情報DB情報				

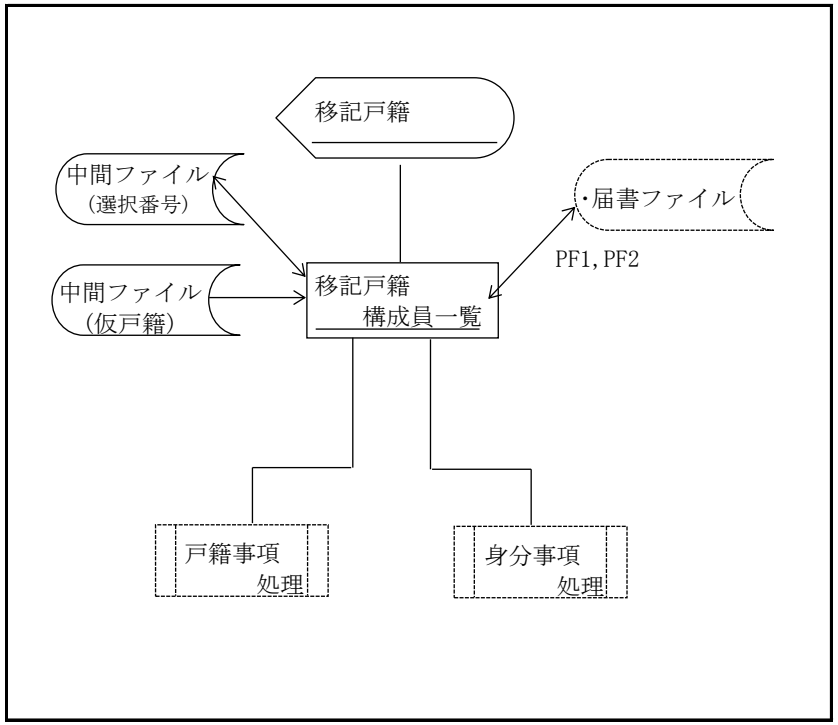
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	11/11

処理名	6.3 仮戸籍ﾌｧｲﾙ(身分事項情報)編集･出力	(受取側) 仮戸籍ファイル ← (引渡側) 中間ファイル (仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮戸籍ファイル	**身分事項記録区分**		中間ファイル(仮戸籍)	**身分事項記録区分**				**具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)**
身分事項情報	身分事項DB情報		身分事項情報	身分事項DB情報				

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)　中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号をキーに,中間ファイル(仮戸籍)を読み,戸籍事項/身分事項等を編集する

(2)　移記戸籍構成員一覧の表示及び選択番号の入力

(3)　『戸籍事項移記』が選択された場合

(3)-1　戸籍事項処理に制御を渡す

(4)　『身分事項移記』が選択された場合

(4)-1　身分事項処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記戸籍構成員一覧画面)
- 2.0 別紙(記載事項チェック)
- 3.0 単体チェック
- 4.0 関連チェック
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)　〔更新〕

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0 本紙　1/2			備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/		(参)中間ファイル(選択番号)
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む 該当戸籍の「戸籍事項」「個人特定」「氏名」情報を全件読む		/		-受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 ●戸籍管理番号
(3)移記戸籍構成員一覧画面を編集する [1.0]				別紙[2.0]で画面を出力する 複数画面を考慮する -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 -戸籍事項記録コード 〜
(4)「戸籍事項情報」「身分事項情報」の記録チェックを行う(OK:YES,NG:NO)　別紙 [2.0]		/		
YES	(5)　→　(7)	/		
NO	(6)FP2を無効とする	/		正しい選択を行った後でないと,「移記戸籍選択画面」への戻りは不可とする
(7)キー選択(実行キー,PF1,PF5,PF7,PF8,PF10,PF11,その他)		/		
実行キー	(8)入力項目のチェックをする(OK:YES,NG:NO) [3.0][4.0]	/		
	YES (9)移記処理区分は何か?(1:戸籍事項移記, 2:身分事項移記)	/		
	1　→		(10)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	
	2 (11)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(12)個人情報表示処理に制御を渡す	
	N O (13)各チェックで編集したメッセージを表示する			
PF1	(14)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(15)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(16)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(17)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(18)前画面へ			「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(19)戸籍構成員の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(20)同画面を編集する	
	YES (21)前ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	N O (22)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(23)戸籍構成員の次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (24)次ページ分の構成員欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	N O (25)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF10	(26)戸籍事項の前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (27)前ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	N O (28)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	0.0　本紙　2/2			備考
PF11	(29)戸籍事項の次のページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(30)同画面を編集する	
	YES (31)次ページ分の戸籍事項欄の移記戸籍構成員一覧画面を表示する			
	N O (32)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する。			
その他	(33)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する。			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	1.0 移記戸籍構成員一覧画面　編集･出力	(受取側)移記戸籍構成員一覧画面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記戸籍構成員一覧画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細1～件数6 戸籍事項ﾀｲﾄﾙ		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は,複数明細で表示する)
	戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
	明細件数1～7 明細番号							個人毎に+1して表示する
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 氏名情報	漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	生年月日		有		
	除籍日			除籍日		有		
	父母との続柄			父母との続柄		有		
	配偶者区分			配偶者区分		有		
	異動区分		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報管理	個人異動区分		有		『入籍』『除籍』『記録』,『入除』(入籍除籍),空白の別で表示
	移記処理区分		――――――	――――――				1:戸籍事項移記　2:身分事項移記 の選択入力
	選択番号			――――――				明細番号の入力

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	5/9

処理名	2.0 別紙 1/2		備考
(1) 『身分事項処理』の各移記事項入力処理から制御が渡って来たか? (YES,NO) (個人情報表示,移記:身分事項表示,事件メニュー,事件別入力,並べ替えの各移記事項入力処理)	/		(参) 中間ﾌｧｲﾙ (選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 〈 ●個人管理番号 -身分事項処理区分 -身分事項明細番号 -身分事項記録コード
YES (2) 個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/		
(3) 出生事項(子の記録)〔記録コード0101〕が2件以上ないこと または認知事項 (被認知者の記録)〔記録コード0201〕が2件以上ないこと (YES,NO)			同一事項が記録されていないこと
YES (4)→(9)	/		
NO (5) 確認メッセージ 「出生または認知の記録が2件以上あります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する		(6) 同画面を編集する(確認メッセージ表示)	
YES (7)→(9)			
NO →		(8) 同画面を編集する(確認メッセージ表示) 本紙へ	エラー処理 (NG)
(9) 個人管理番号に該当する者は異動者か? (YES,NO)	/		
YES (10)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/	(11)同画面を編集する 本紙へ	
(12)移記不要事項がないこと (YES,NO)	/		〔移記不要事項〕については 「移記:身分事項表示」1.1を参照
YES (13)→(15)	/		
NO (14)エラーメッセージ 「移記不要の身分事項があります。不要な記録を削除して下さい。」を表示する			
(15)「配偶者区分」が1:夫,2:妻の場合,「婚姻事項」があること (0901)	/		
YES (16)→(18)	/		
NO (17)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻なっているにも係わらず,婚姻事項がありません。」を表示する。			
(18)「配偶者区分」が1:夫,2:妻以外の場合,「婚姻事項」がないこと(0901)	/		
YES (19)→(21)	/		
NO (20)エラーメッセージ 「配偶者区分が夫又は妻以外にも係わらず,婚姻事項があります。」を表示する			

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	2.0　別紙2/2			備考
	(21)「義父氏名」または「義母氏名」が記録されている場合,「縁組事項」があること(0301:養子の記録)	/	(22)同画面を編集する 本紙へ	
	YES (23)→(25)	/		
	NO (24)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されているにも係わらず,縁組事項がありません。」を表示する			
	(25)「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていない場合,「縁組事項」がないこと(0301:養子の記録)	/		
	YES →			
	NO (26)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が記録されていないにも係わらず,縁組事項があります。」を表示する			
	NO →			
NO	→			

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	画面名	画面ID	
3.0　単体チェック	移記戸籍構成員一覧画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	移記処理区分	○	数字	1(戸籍事項移記)または2(身分事項移記)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している移記戸籍の構成員のNo.であること (MAX07)			

第7 2 (9)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	画面名	画面ID	
4.0　関連チェック	移記戸籍構成員一覧画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)　移記処理区分=1(戸籍事項移記)のとき　　(No.2)　選択番号=スペースであること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)　移記処理区分=2(身分事項移記)のとき　　(No.2)　選択番号≠スペースであること			

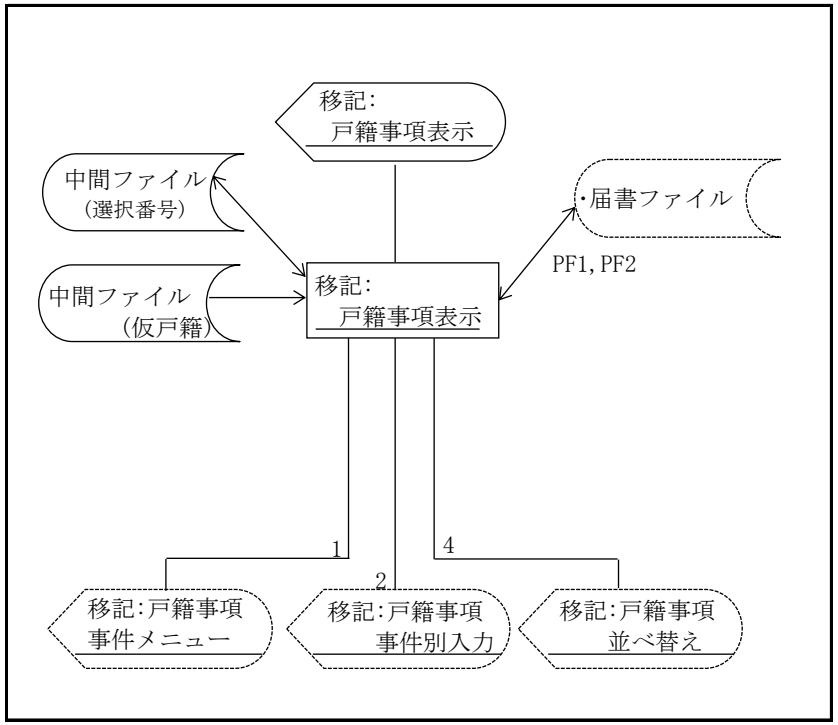
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記戸籍構成員一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	5.0　中間ファイル(選択番号)編集･出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(選択番号)	受領番号							移記戸籍選択画面で設定済
	届出事件コード							移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍 戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項 処理区分							
	戸籍事項 明細番号							
	戸籍事項 記録コード							
	個人 個人管理番号		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報管理	個人管理番号				移記戸籍構成員一覧で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の個人管理番号を設定する
	身分事項 処理区分							
	身分事項 明細番号							
	身分事項 記録コード							

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/7

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(戸籍管理番号)を中間ファイル(仮戸籍)を検索し、該当戸籍の戸籍事項をすべて画面に表示する

(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「記録」が選択された場合
移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され、「明細番号」が入力された場合
移記:戸籍事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され、「明細番号」が入力された場合
消除された戸籍事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集 (移記:戸籍事項表示画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集 (中間ファイル/選択番号) 〔更新〕

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	2/7

処理名	0.0 本紙			備考
(1) 中間ファイル（選択番号）を読む		/		(参) 中間ファイル(選択番号)
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報をファイル（仮戸籍）から読む		/		画面ヘッド部表示 －受領番号 －選択事件ｺｰﾄﾞ －在外送付区分 ●戸籍管理番号
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報をファイル（仮戸籍）から全件読む				複数画面を考慮する －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項記録コード
(4) 移記:戸籍事項表示画面を編集する [1.0]			(5) 同画面を編集する	
(6) キー選択（実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,その他）		/		
実行キー	(7) 入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0] [3.0]	/		
YES	(8) 審査 (OK:YES,NG:NO) [4.0]	/		
YES	(9) 処理区分は何か?（1,2,3,4）	/		
1 記録	(10)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [5.0]		(11)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	
2:修正	(12)中間ファイル（選択番号）を編集･出力する ([5.0])		(13)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す	
3:削除	(14)該当の「戸籍事項」のインデックスを高輝度表示する		(15)同画面を表示する	:中間ファイル（仮戸籍）から削除せず処理終了時(PF5) 等で削除する
4 並べ替え	→		(16)移記:戸籍事項並べ替え処理に制御を渡す	:当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除後,制御を渡す
NO	(17)メッセージを表示する		(18)同画面を編集する	
NO	(19)各チェックで編集したメッセージを表示する		(20)同画面を編集する	
PF1	(20)中間ファイルをすべて削除する,届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(23)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(24)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(25)前画面へ		(26)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍）から削除する
PF7	(27)前ページがあるか?（ある:YES,ない:NO）	/	(28)同画面を編集する	
YES	(29)前ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する			
NO	(30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(31)次ページがあるか?（ある:YES,ない:NO）	/		
YES	(32)次ページ分の移記:戸籍事項表示画面を表示する			
NO	(33)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
その他	(34)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/7

処理名	1.0 移記:戸籍事項表示画面　編集・出力	(受取側)移記:戸籍事項表示画面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項表示画面	現ページ/総ページ		――――	――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル（仮戸籍） 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数 1〜13 明細番号		中間ファイル（仮戸籍） 戸籍事項情報	――――				戸籍事項毎に+1して表示する
	戸籍事項ﾀｲﾄﾙ			タイトルコード		有		戸籍事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する （1明細であふれる場合は複数明細で表示する）
	戸籍事項			記録コード		有		
				戸籍事項項目				
				氏変更の種別		有		
	処理区分		――――	――――				1:記録〜4:並べ替え　の選択入力
	選択番号			――――				明細番号の入力

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/7

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック	移記:戸籍事項表示画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1（記録）　または　2（修正)または 3（削除）　または　4（並べ替え）　であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している戸籍事項のNo.であること（MAX13）			

第7 2 (9)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/7

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック	移記:戸籍事項表示画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分=1 (記録)のとき　または (No.1)処理区分=4(並べ替え)のとき　(No.2)選択番号=スペース　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1)処理区分=2 (修正) のとき　または (No.1)処理区分=3 (削除)のとき　(No.2)選択番号≠スペース　であること			

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成19年 3月 1日	11	6/7

処理名	4.0　審査	備考

1.処理区分の審査1

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	1:記録	4:並べ替え
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	○	○
		上記以外	× ①	× ①
Ⅱ	2:全部除籍	－	× ①	× ①
Ⅲ	3:変動なし	－	× ①	× ①
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	－	× ①	× ①

2.処理区分の審査2

	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	中間ファイル (選択番号)	中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍) 戸籍特定情報/管理	処理区分	
	戸籍編製区分	選択事件コード	戸籍事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	1:新戸籍編製	3301:転籍	0:既存の記録　*1	－	－
			1:審査処理で記録	× ①	× ①
			2:移記処理 (事件別)で記録	○	○
		上記以外	－	× ②	× ②
Ⅱ	2:全部除籍	－	－	× ②	× ②
Ⅲ	3:変動なし	－	－	× ②	× ②
Ⅳ	4:新戸籍編製 ・全部除籍	－	－	× ②	× ②

［処理手順］
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む　→戸籍編製区分の取得
(2)(1)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
(2)-1「○」の場合　本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
(2)-2「×」の場合
　本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
・エラーメッセージ
　①「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」

［処理手順］
(1)中間ファイル(選択番号)の戸籍管理番号に該当する
　中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む　→戸籍編製区分の取得
(2)移記:戸籍事項表示画面で入力された明細番号に該当する
　中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報を読む
　→戸籍事項記録区分の取得
(3)　(1)及び(2)で取得した区分と移記:戸籍事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する
　(3)-1「○」の場合　本紙に戻り、処理区分により次プロセスに制御を渡す
　(3)-2「×」の場合
　本紙に戻り、該当するエラーメッセージを表示後、同一画面を表示する
　・エラーメッセージ
　①「審査処理で記録した転籍事項ですので修正・消除の処理はできません。」
　②「この届出では仮戸籍に移記の処理はできません。」
*1:従前が非本籍の戸籍のため、従前の記録は実際はないパターン

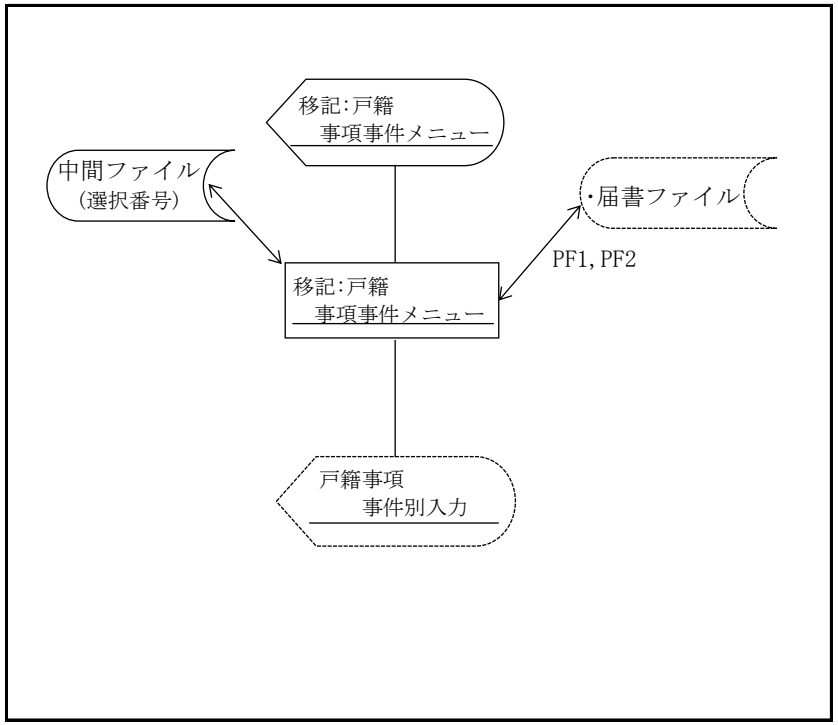
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/7

処理名	5.0　中間ファイル(選択番号)編集・出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	←(引渡側)移記:戸籍事項表示画面,中間ファイル(仮戸籍)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分		移記:戸籍事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	明細番号				処理区分が2:修正,3:削除の場合に,移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が2:修正,3:削除の場合に,移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル(仮戸籍)の記録コードを設定する
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)移記:戸籍事項事件メニュー画面を表示する

(2)入力された「選択番号」から移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:戸籍事項事件メニュー画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)〔更新〕

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/		(参)中間ファイル(選択番号)
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/		画面ヘッド部表示 -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 -戸籍事項記録コード 〜
(3)移記:戸籍事項事件メニュー画面を出力する [1.0]			(4)同画面を編集する	
(5)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF4,PF5,その他)		/		
実行キー	(6)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
	YES (7)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [3.0]		(8)移記:戸籍事項事件別入力処理に制御を渡す	
	NO (9)チェックで編集したメッセージを表示する		(10)同画面を編集する	
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(12)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→		(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」
PF5	(16)前画面へ		(17)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	1.0 移記:戸籍事項事件メニュー編集･出力	(受取側)移記:戸籍事項事件メニュー画面　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:戸籍事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	選択番号			――――――				明細番号の入力

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/5

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック	移記:戸籍事項事件メニュー画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(氏の変更)　または 2(107条2項)　または 3(107条3項)　または 4(107条4項)　または 5(73条の2)　または 6(69条の2)　または 7(77条の2)　または 8(75条の2)　であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

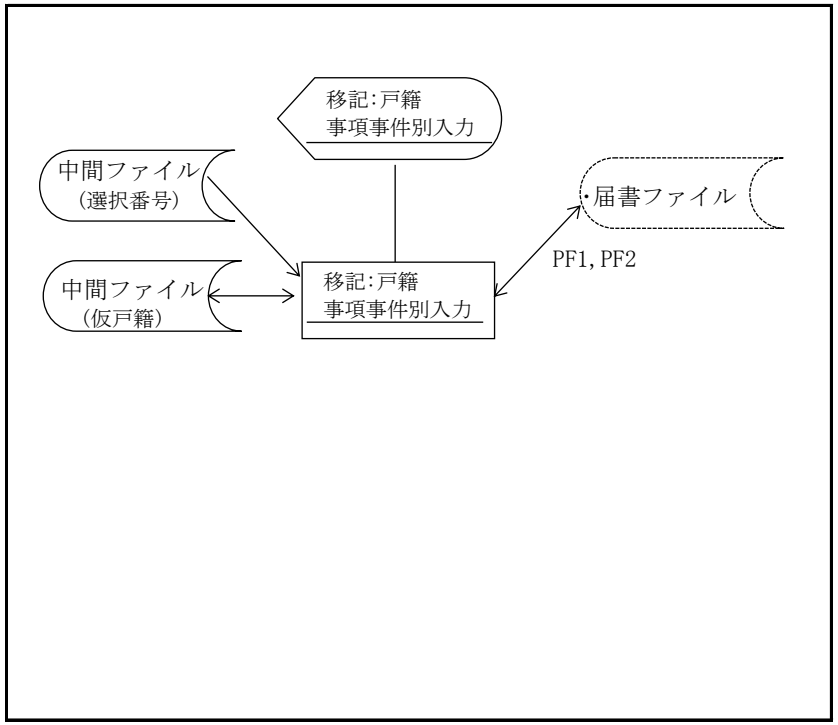
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項届出メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	←(引渡側)移記:戸籍事項届出メニュー画面

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							移記:戸籍事項表示画面で設定済 (1:記録)
		明細番号							
		記録コード		移記:戸籍事項 届出メニュー画面	(選択番号)				-選択番号=1(氏の変更)の場合,'2801'を設定 -選択番号=2(107条2項)の場合,'2901'を設定 -選択番号=3(107条3項)の場合,'3001'を設定 -選択番号=4(107条4項)の場合,'3101'を設定 -選択番号=5(73条の2)の場合,'0701'を設定 -選択番号=6(69条の2)の場合,'0801'を設定 -選択番号=7(77条の2)の場合,'1101'を設定 -選択番号=8(75条の2)の場合,'1201'を設定
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル（選択番号）を読み込む
(2)『戸籍事項処理区分』から記録,修正,削除の処理を行う
(3)『戸籍事項処理区分』が『記録』の場合
　(3)-1「戸籍事項記録コード」から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報に入力した戸籍事項を追加する
(4)『戸籍事項処理区分』が『修正』の場合
　(4)-1「戸籍事項明細番号」「戸籍事項記録コード」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル（仮戸籍）の該当戸籍事項情報の更新を行う

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 別紙1 (記録)
    - 1.1.2801 事件別 入力画面の表示
    - 1.2.2801 事件別 入力項目のチェック
    - 1.3.2801 事件別 中間ファイル(仮戸籍)への追加
  - 2.0 別紙2 (修正)
    - 2.1.2801 事件別 修正画面の表示
    - (1.2.2801) 事件別 修正項目のチェック
    - (1.3.2801) 事件別 中間ファイル(仮戸籍)の修正

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0　本紙			備考
	(1) 中間ファイル(選択番号)読む	/		(参)中間ファイル(選択番号)
	(2) 戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む	/		画面ヘッド部表示
	(3) 戸籍事項処理区分は何か？ (1:記録,2:修正)	/		ー受領番号 ー選択事件コード ー在外送付区分 ●戸籍管理番号 ー戸籍事項処理区分 ー戸籍事項明細番号 ー戸籍事項記録コード 〜
1	(4) 戸籍事項の「記録」の処理を行う　別紙 [1.0]	/		
2	(5) 戸籍事項の「修正」の処理を行う　別紙 [2.0]	/		

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/4

処理名		1.0 別紙1(記録)			備考
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801,2901,3001,3101,0701,0801,1101,1201)			/		(参)中間ファイル(選択番号)
2801 氏の変更 (107条1項)	(2)戸籍事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.2801]		/		-受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 -戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード 〜
	(3)キー選択 (実行キー,PF1,PF2,PF5,PF9,PF12,その他)		/		
	実行キー	(4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.2801]	/		
		YES →		(5)同画面を編集する	
		NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する			
	PF1	(7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する,届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2	(9)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5	(11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	PF9	(13)入力項目が,すべてチェックされているか?(YES,NO)	/		※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと:転籍事項の1つ前に格納する
		YES (14)入力画面から戸籍事項を編集し,中間ファイル(仮戸籍)に〔戸籍事項情報〕を追加する [1.3.2801]		(15)移記:戸籍事項事件メニュー処理に制御を渡す	
		NO (16)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する	
	PF12	(18)画面を初期化する		(19)同画面を編集する	
	その他	(20)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
2901	※と同様の処理を行う		/		107条2項の処理
3001	※と同様の処理を行う		/		107条3項の処理
3101	※と同様の処理を行う		/		107条4項の処理
0701	※と同様の処理を行う		/		73条の2の処理
0801	※と同様の処理を行う		/		69条の2の処理
1101	※と同様の処理を行う		/		77条の2の処理
1201	※と同様の処理を行う		/		75条の2の処理

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/4

処理名	2.0 別紙2(修正)			備考
(1)戸籍事項記録番号は何か?(2801,2901,3001,3101,0701,0801,1101,1201)		/		(参)中間ファイル(選択番号) -受領番号 -選択事件コード -在外送付区分 -戸籍管理番号 -戸籍事項処理区分 ●戸籍事項明細番号 ●戸籍事項記録コード 〜
2801 氏の変更(107条1項)	(2)戸籍事項明細番号に該当する戸籍事項を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍事項情報から取得し,戸籍事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.2801]	/		
	(3)キー選択 (実行キー,PF1,PF2,PF5,PF9,その他)	/		
	実行キー (4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) ([1.2.2801])	/		
	YES →		(5)同画面を編集する	
	NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する			
	PF1 (7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する,届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2 (9)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5 (11)前画面へ		(12)移記:戸籍事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	PF9 (13)入力項目はすべてチェックされているか?(YES,NO)	/		※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと :身分事項情報の管理部,共通部は更新しない
	YES (14)中間ファイル(仮戸籍)の〔戸籍事項情報〕を修正する ([1.3.0101])		(15)移記:戸籍事項表示処理に	
	NO (16)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(17)同画面を編集する	
	その他 (18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(19)同画面を編集する	
2901	※と同様の処理を行う	/		107条2項の処理
3001	※と同様の処理を行う	/		107条3項の処理
3101	※と同様の処理を行う	/		107条4項の処理
0701	※と同様の処理を行う	/		73条の2の処理
0801	※と同様の処理を行う	/		69条の2の処理
1101	※と同様の処理を行う	/		77条の2の処理
1201	※と同様の処理を行う	/		75条の2の処理

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/8

処理名	1.1.2801　移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集･出力1/2	(受取側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,Z9/Z9	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更1/2)	現ページ/総ページ		――――	――――			Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル(仮戸籍)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数		戸籍特定情報	記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	氏変更日		――――	――――				
	氏変更の事由		中間ファイル(選択番号)	(戸籍事項記録コード)				出力項目 - 2801(氏の変更)の場合,'1'を設定 - 2901(107条2項)の場合,'2'を設定 - 3001(107条3項)の場合,'3'を設定 - 3101(107条4項)の場合,'4'を設定 - 0701(73条の2)の場合,'5'を設定 - 0801(69条の2)の場合,'6'を設定 - 1101(77条の2)の場合,'7'を設定 - 1201(75条の2)の場合,'8'を設定
	届出人1資格区分		――――	――――				
	届出人1資格名称			――――				
	届出人1氏名			――――				
	届出人2資格区分			――――				
	届出人2資格名称			――――				
	届出人2氏名			――――				
	送付を受けた日			――――				氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合,入力不可(プロテクト)
	受理者			――――				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/8

処理名	1.1.2801　移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)編集･出力2/2	(受取側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更2/2)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル(仮戸籍)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	記録数		戸籍特定情報	記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	許可日		――――――	――――――				
	許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可を受けた者			――――――				
	従前の記録(氏)			――――――				入力不可(プロテクト)
	記録日			――――――				
	特記事項			――――――				

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/8

処理名	画面名	画面ID	
1.2.2801　単体チェック	移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	氏変更日	○	英数	『日付チェックサブルーチン』	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	氏変更の事由	○	数字	1～9であること 2801の場合,1,または9であること. 2801以外の場合,入力不可.			
3	届出人1資格区分		数字				
4	届出人1氏名		漢字				
5	届出人2資格区分		数字				
6	届出人2氏名		漢字				
7	送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
8	受理者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
9	許可日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
10	許可書謄本の送付を受けた日		漢字	『日付チェックサブルーチン』			
11	許可を受けた者		漢字				
12	従前の記録(氏)		漢字				
13	記録日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
14	特記事項		漢字				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/8

処理名	1.3.2801中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報 編集･出力1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報　←(引渡側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍管理番号		中間ファイル(選択番号)	戸籍管理情報				:その他の｢管理｣情報は省略
	戸籍事項記録区分			｢2｣ 移記処理(事件別)で記録				戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理で記録
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報共通	戸籍番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	行番号							決裁処理で戸籍DB反映時に設定する
	出力区分							
	タイトルコード		中間ファイル(選択番号)	(戸籍事項記録コード)				- 2801(氏の変更)の場合,'2801'【氏の変更】を設定 - 2901(107条2項)の場合,'2901'【氏の変更】を設定 - 3001(107条3項)の場合,'3001'【氏の変更】を設定 - 3101(107条4項)の場合,'3101'【氏の変更】を設定 - 0701(73条の2)の場合,'0701'【氏の変更】を設定 - 0801(69条の2)の場合,'0801'【氏の変更】を設定 - 1101(77条の2)の場合,'1101'【氏の変更】を設定 - 1201(75条の2)の場合,'1201'【氏の変更】を設定
	記録コード			戸籍事項記録コード				同上
	管掌者コード							
	戸籍事項項目							次ページ以降に記録

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/8

処理名	1.3.2801中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報編集･出力2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報 ←(引渡側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報	氏変更	氏変更日		移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更1/2)	氏変更日		有		
	氏変更	氏変更の事由			(氏変更の事由)				- 1(氏の変更)の場合,【戸籍法107条1項の届出】設定 - 2(107条2項)の場合,【戸籍法107条2項の届出】設定 - 3(107条3項)の場合,【戸籍法107条3項の届出】設定 - 4(107条4項)の場合,【戸籍法107条4項の届出】設定 - 5(73条の2)の場合,【戸籍法73条の2の届出】設定 - 6(69条の2)の場合,【戸籍法69条の2の届出】設定 - 7(77条の2)の場合,【戸籍法77条の2の届出】設定 - 8(75条の2)の場合,【戸籍法75条の2の届出】設定 - 9(氏の変更〔事由なし〕)の場合,空白を設定.
	届出	届出人 資格		移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更1/2)	届出人1資格区分				
		届出人 資格名称			届出人1資格名称				
		届出人 氏名			届出人1氏名				
		届出人 資格			届出人2資格区分				
		届出人 資格名称			届出人2資格名称				
		届出人 氏名			届出人2氏名				
	送付	送付を受けた日*1			送付を受けた日		有		107条1項以外の画面では入力不可
	送付	受理者　*1			受理者				107条1項以外の画面では入力不可
	許可	許可日		移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更2/2)	許可日				
	許可	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可	許可を受けた者			許可を受けた者				
	従前記載	従前の記録(氏)*2			――――――				画面では入力不可

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/8

処理名	1.3.2801中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報 編集･出力3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項情報	←(引渡側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	記録 記録日			記録日				
	特記 特記事項			特記事項				
	*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意							
	※　①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名							

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/8

処理名	2.1.2801　移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)編集･出力1/2	(受取側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報

受取側			引渡側				コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9., Z9/Z9	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称	記号名		名称		記号名			
移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更1/2)	現ページ/総ページ		――――――	――――――				Z9/Z9	未使用
	編製日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定情報	編製日			有		
	消除日			消除日			有		
	記録数			記録数				Z9	
	在籍数			在籍数				Z9	
	本籍			本籍コード			有		
				本籍					
	筆頭者			筆頭者					
	氏変更日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	氏変更日			有		
	氏変更の事由			氏変更の種別					- 2801(氏の変更)の場合,'1'を設定 - 2901(107条2項)の場合,'2'を設定 - 3001(107条3項)の場合,'3'を設定 - 3101(107条4項)の場合,'4'を設定 - 0701(73条の2)の場合,'5'を設定 - 0801(69条の2)の場合,'6'を設定 - 1101(77条の2)の場合,'7'を設定 - 1201(75条の2)の場合,'8'を設定 - 2801(氏の変更)で,氏変更の事由が空白の場合,'9'を設定
	届出人1資格区分			届出人	資格				
	届出人1資格名称				資格名称				
	届出人1氏名				氏名				
	届出人2資格区分			届出人	資格				
	届出人2資格名称				資格名称				
	届出人2氏名				氏名				
	送付を受けた日			送付を受けた日 *1					氏変更の種別が1(107条1項)以外の場合,入力不可(プロテクト)
	受理者			受理者 *1					

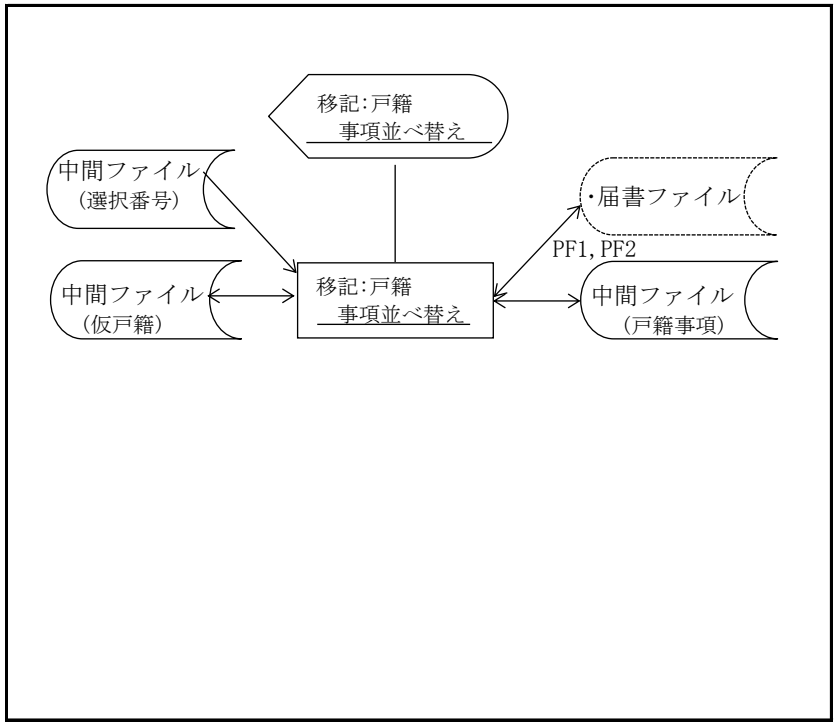
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/8

処理名	2.1.2801　移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更)編集･出力2/2	(受取側)移記:戸籍事項事件別入力画面(氏の変更)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:戸籍事項事件別入力画面 (氏の変更2/2)	許可日		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報	許可日				
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可を受けた者			許可を受けた者				
	従前の記録(氏)			従前の記録(氏)*				入力不可(プロテクト)
	特記事項			特記事項				
				*1:107条1項以外のファイルにはないので注意 *2:107条4項のファイルにはないので注意				

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)1戸籍事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3)戸籍事項の並べ替えを指示する
(4)戸籍事項表示に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙
- 1.0　データ編集(中間ファイル/戸籍事項)
- 2.0　データ編集(移記:戸籍事項並べ替え画面)
- 3.0　審査

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ●戸籍管理番号 －戸籍事項処理区分 －戸籍事項明細番号 －戸籍事項1録コード 〉
(2)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む		/		
(3)戸籍管理番号に該当する戸籍の「戸籍事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む		/		
	(4)中間ファイル(戸籍事項)を編集・出力する [1.0]	/		当ﾌﾟﾛｾｽのWORKﾌｧｲﾙ
(5)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する
(7)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF4,PF5,PF7,PF8,PF9,その他)		/		
実行キー	(8)審査(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
	YES (9)中間ファイル(戸籍事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う	/		
	(10)中間ファイル(戸籍事項)から移記:戸籍事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]		(11)同画面を編集する	
	NO (12)審査で編集したメッセージを表示する			
PF1	(13)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(15)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	(17)中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(18)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」
PF5	(19)前画面へ,中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(20)移記:戸籍事項事項表示に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF7	(21)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(22)同画面を編集する	
	YES (23)前ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する			
	NO (24)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(25)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (26)次ページ分の移記:戸籍事項並べ替え画面を表示する			
	NO (27)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
PF9	(28)中間ﾌｧｲﾙ(戸籍事項)を基に中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)の戸籍事項情報の並べ替えを行う	/		┌ 当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される
	(29)中間ファイル(戸籍事項)を削除する		(30)移記:戸籍事項事項表示処理に制御を渡す	
その他	(31)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(32)同画面を編集する	

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	1.0中間ファイル(戸籍事項)編集・出力	(受取側)中間ファイル(戸籍事項)	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)戸籍事項

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (戸籍事項)	明細件数		――――――	――――――				戸籍事項の記録件数を格納する :1戸籍事項毎に+1を付加する
	明細番号		――――――	――――――				:戸籍事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理での記録 2:移記処理(事件別)で記録
	戸籍事項記録区分		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報管理	戸籍事項記録区分				複数明細あり (107条1項等,同一記録コードの明細が複数あり得るので注意すること)
	戸籍事項コード		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報共通	タイトルコード				
	戸籍事項名称			タイトルコード		有		

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/5

処理名	2.0　移記:戸籍事項並べ替え画面編集・出力	(受取側)移記:戸籍事項並べ替え画面	←(引渡側)中間ファイル(戸籍事項)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:戸籍事項 並べ替え画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル(仮戸籍)	編製日		有		
	消除日		戸籍特定情報	消除日		有		
	記録数			記録数			Z9	
	在籍数			在籍数			Z9	
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	明細件数〈13 明細番号		中間ファイル (戸籍事項)	――――――				1戸籍事項毎に+1して表示する 入力項目,表示する戸籍事項の戸籍事項記録区分が1 〔審査処理で記録〕 の場合(転籍の記録事項),新明細番号を入力不可(プロテクト)する ⇒　転籍事項は必ず戸籍事項の最後に記録されている(移記:戸籍事項事件別入力を参照)
	新明細番号			――――――				
	戸籍事項			戸籍事項名称				
	※			氏変更種別				
	(exp.) 氏変更種別が107条2項の場合『氏の変更(107条2項)』と表示する							

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:戸籍事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	3.0　審査			備考
(1)中間ファイル(戸籍事項)の明細件数の数だけ(3)～(17)の処理を繰り返す			(2)本紙へ	
(3)新明細番号が入力されているか?(YES,NO)		/		
YES	(4)新明細番号:中間ファイル(戸籍事項)の明細件数?(>,=,<)	/		
>	(7)エラーメッセージ 「入力された明細番号は戸籍事項件数を超えています。」		(8)本紙へ	
=	(9)エラーメッセージ 「入力された明細番号の事項は転籍事項ですので,並べ替えできません。」		(10)本紙へ	
<	(11)→(12) へ	/		
NO	(12)明細番号を新明細番号に転送する	/		新明細番号が入力されていない場合も,中間ファイル(戸籍事項)の並べ替えは,新明細番号を基に行うため,同一番号を設定する
	(13)→(14)へ	/		
(14)新明細番号は重複しているか?(YES,NO)		/		チェック済[(3)～(13)]の新明細番号のすべてと比較し,判断する
YES	(15)エラーメッセージ 「入力されてた明細番号は重複して入力されています。」		(16)本紙へ	
NO	(17)→	/		

第72(9)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

Ⅰ.処理概要

(1)父母氏名,続柄の入力チェック

				父氏名	母氏名	父母との続柄
◇「父母との続柄」が設定されている　※ ・異動者でない ・除籍者である ・届書入力処理で審査済である ・移記事項入力処理で設定済である	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である	父/母氏名に記載がある	②	□	□	×
		父/母氏名に記載がない	③	×	×	×
	上記以外 {・記録のない者,記録のある者または除籍者である		②	×	×	×
◇「父母との続柄」が設定されていない ・届書入力処理で審査していない入籍者である （管外からの転籍における構成員等）			④	○	○	◎

(2)養父母氏名,続柄の入力チェック

			養父氏名	養母氏名	養父母との続柄
◇「養父母との続柄」が設定されている※ ・届書入力処理で審査済である （養子縁組の養子） ・移記事項入力処理で設定済である	記録者または入籍者である {・記録のある者,入籍者または入籍除籍者である	①	△	△	×
	上記以外である {・記録のない者または除籍者である	②	×	×	×
◇「養父母との続柄」が設定されていない	入籍者である {・入籍者または入籍除籍者である	②	○	○	○
			*1	*1	*1
	上記以外である {・記録のない者,記録のある者または除籍者である	③	×	×	×

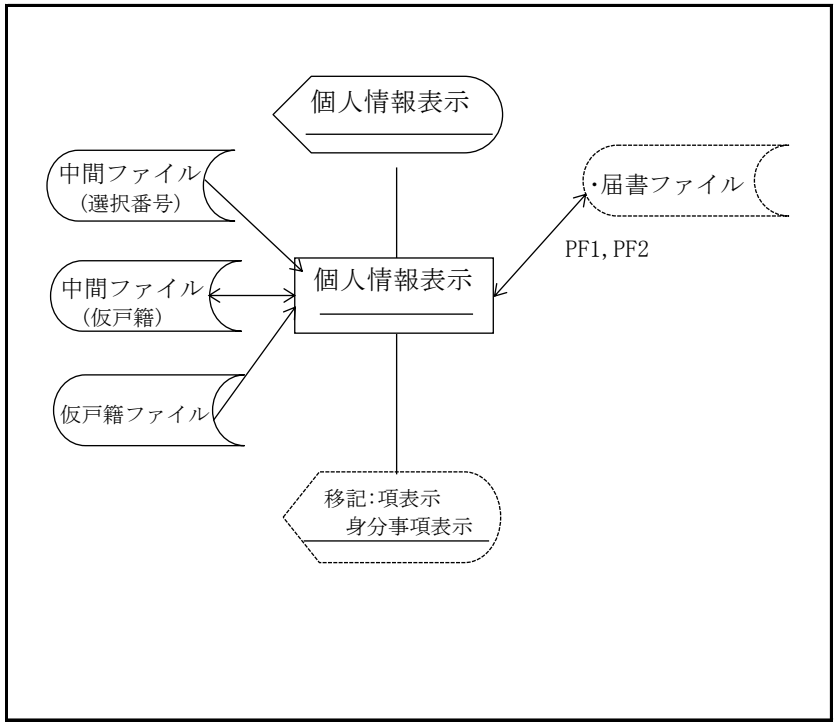
◎:入力可能(必須入力)
○:入力可能(任意入力)
×:入力不可(プロテクト)
□:更正可能
△:更正または記録可能

*1:関連チェック⇒「養父母との続柄」が記録されている場合,「養父氏名」または「養母氏名」が記録されていること
（参考)「父母との続柄」が記録されている場合,「父氏名」または「母氏名」が記録されていること　の関連チェックは行わない⇒棄児の場合がある

※　続柄が設定されているか,設定されていないかにより,処理を振り分けている
⇒　基準書を記録する上で
「一度,移記入力処理で続柄が設定してしまうと,再び修正,削除はできない」仕様としているので注意を要する。
（「審査入力」で設定済の場合,修正・削除は不可であるが,「移記事項入力」で設定した場合であれば,修正・削除の処理は特に制限しない。:メーカー任。）

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
仮戸籍ファイル	入力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)更正(訂正)できない項目にプロテクトをかける
(3)入力された項目のチェックを行う
(4)個人特定事項が更正(訂正)された場合,中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報を更新する
(5)個人特定事項が入力された場合,中間ファイル(仮戸籍)に身分事項情報を作成する

(6)移記:身分事項表示処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙
- 1.0　データ編集(個人情報表示画面)
- 2.0　別紙1　〔画面プロテクト〕
- 3.0　単体チェック
- 4.0　別紙2　〔入力審査〕
- 5.0　別紙3　〔中間ファイル(仮戸籍)の更新･作成〕

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/9

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読む		/		(参)中間ファイル(選択番号)
(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読み個人情報表示画面を編集する [1.0]			(3)同画面を編集する	－受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 〜 ●個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(4)入力項目のプロテクトを行う 別紙[2.0]				
(5)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF9,その他)		/		
実行キー	(6)入力項目の単体チェック(OK;YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(7)入力項目の審査を行う(OK:YES,NG;NO) 別紙[4.0]	/		
YES	→		(8)同画面を編集する	:メッセージが表示される場合がある [4.0]
NO	(9)審査で編集したエラーメッセージを表示する			
NO	(10)単体チェックで編集したメッセージを表示する		(11)同画面を編集する	
PF1	(12)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(13)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(14)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(15)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF5	(16)前画面へ		(17)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF9	(18)入力項目がすべてチェックされているか?(YES,NO)	/		入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと
YES	(19)中間ファイル(仮戸籍)の更新・追加 別紙[5.0]	/	(20)身分事項表示処理	
NO	(21)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する		(22)同画面を編集する	
その他	(23)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	1.0　個人情報表示画面　編集･出力	(受取側)個人情報表示面面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人情報表示画面	カナ氏名		中間ファイル(仮戸籍) 氏名情報	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	生年月日		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	生年月日				
	性別							中間ファイル(仮戸籍)/個人特定情報の「父母との続柄」に項目があれば,それを基に翻訳する
	性別名称					有		
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		
	配偶者区分			配偶者区分				
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		
	父氏名			父氏名				入力可能項目
	母氏名			母氏名				入力可能項目
	父母との続柄			父母との続柄				入力可能項目
	父母との続柄名称			父母との続柄		有		
	養父氏名			養父氏名				入力可能項目
	養母氏名			養母氏名				入力可能項目
	養父母との続柄			養父母との続柄				入力可能項目
	養父母との続柄名称			養父母との続柄		有		
	個人除区分			個人除区分				
	個人除区分名称			個人除区分		有		

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	1.0　別紙1(入力項目のプロテクト)			備考
(1)「父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)		/		
YES	(2)「父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする	/	(3)本紙へ	
	(4)個人異動区分は何か?(0:記録なし,1:記録,2:入籍,3:除籍,4:入籍除籍)	/		中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/管理で判断
	2 入籍 (5)「父氏名」が設定されているか?(YES,NO)	/		
	YES (6)→(8)	/		入籍者等に関して父母欄の更正を可能とする.(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため,父母氏名の消除が可能となるが,業務的にあり得ない)
	NO (7)「父氏名」を入力不可(プロテクト)とする	/		
	4 入籍除籍 (8)「母氏名」が設定されているか?(YES,NO)	/		
	YES (9)→(13)	/		
	NO (10)「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする	/		
	0 1 3 (11)→「父氏名」「母氏名」を入力不可(プロテクト)とする	/		
NO	(12)→(13)	/		
(13)「養父母との続柄」が設定されているか?(YES,NO)		/		
YES	(14)「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト)とする	/		
	(15)個人異動区分は何か?(0:記録なし,1:記録,2:入籍,3:除籍,4:入籍除籍)	/		身分事項(離縁)を記録した者に関して養父母欄の記録を可能とする. 入籍者等に関して養父母欄の更正を可能とする.(更正が可能の際には父母欄にプロテクトがかかっていないため,養父母氏名の消除が可能となるが,業務的にあり得ない)
	1 2 4 (16)→			
	0 3 (17)「養父氏名」「養母氏名」を入力不可(プロテクト)とする			
NO	(18)個人異動区分は何か?(0:記録なし,1:記録,2:入籍,3:除籍,4:入籍除籍)	/		
	2 4 (19)→			入籍者等に関して養父母事項の記録(氏名,続柄)の記録を可能とする.
	0 1 3 (20)「養父氏名」「養母氏名」「養父母との続柄」を入力不可(プロテクト) とする			

第72(9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	画面名	画面ID	
3.0　単体チェック	個人情報表示画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	父氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	母氏名		漢字				
3	父母との続柄	○	漢字	(10:男,11:長男～29:十九男, (30:女,31:長女～49:十九女, (99:空欄)であること			
4	養父氏名		漢字				
5	養母氏名		漢字				
6	養父母との続柄		漢字	(51:養子,52:養女)であること			

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	4.0　別紙1〔審査〕			備考
(1)「養父母との続柄」が入力されたか?(YES,NO)		/		
YES	(2)「養父氏名」≠空白　または　「養母氏名」≠空白か?　(YES,NO)	/		
	YES　→		(3)本紙へ	
	NO　(4)エラーメッセージ 「続柄が入力してあるにも係わらず,養父又は養母氏名が入力されていません。」を表示する			
NO	(5)「養父氏名」=空白　かつ　「養母氏名」=空白か?　(YES,NO)	/		
	YES　→		(6)本紙へ	
	NO　(7)エラーメッセージ 「養父又は養母氏名が入力されているにも係わらず,続柄が記録されていません。」を表示する			

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	5.0　別紙3　中間ファイル(仮戸籍)更新･作成〕			備考
(1)従前「父氏名」≠「父氏名」　または　従前「母氏名」≠「母氏名」　または 従前「父母との続柄」≠「父母との続柄」　または 従前「養父氏名」≠「養父氏名」　または　従前「養母氏名」≠「養母氏名」　または 従前「養父母との続柄」≠「養父母との続柄」　であるか? (YES,NO)		/		従前:当画面表示当初の記録内容
YES	(2)中間ファイル(仮戸籍)の〔個人特定情報〕を更新する [5.1]		(3)本紙へ	
NO	→			

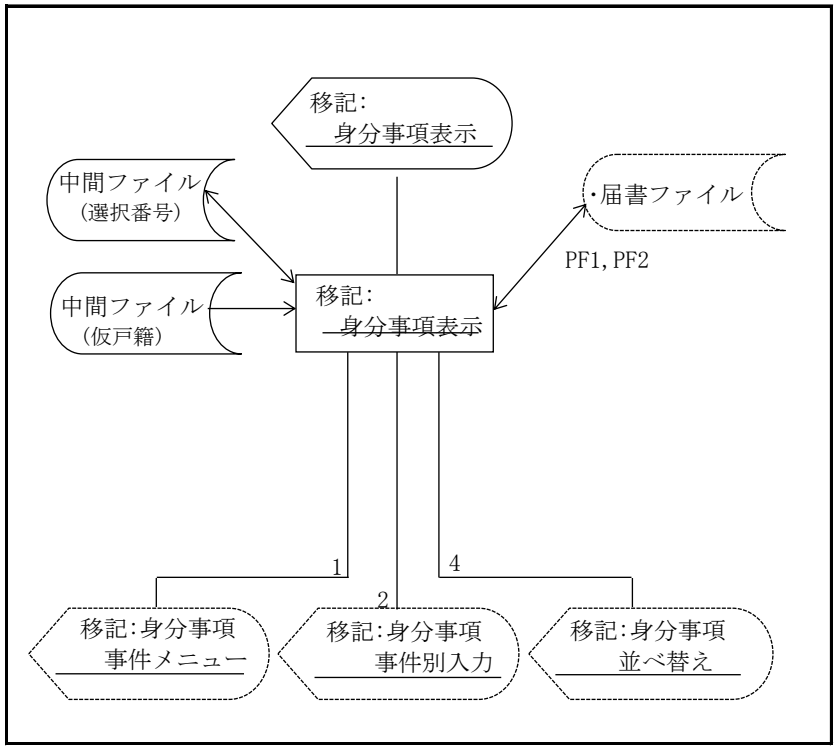
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人情報表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和2年3月31日	R2.1	9/9

処理名	5.1 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)個人特定編集･出力	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)	←(引渡側)個人情報表示画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報管理	個人異動区分							**具体的な項目は省略, R2.1(移記事項入力-14)**
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	個人番号		個人情報表示画面					
	戸籍番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父			父氏名				
	母			母氏名				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父氏名				
	養母			養母氏名				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号							
	住所							
	個人除区分							

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/11

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)移記戸籍構成員一覧で入力された「明細番号」(個人管理番号)で中間ファイル(仮戸籍)を検索し,該当者の身分事項をすべて画面に表示する

(2)選択された「処理番号」から各処理に振り分ける
(2)-1「移記」が選択された場合
移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す
(2)-2「修正」が選択され,「明細番号」が入力された場合
移記:身分事項事件別入力処理に「明細番号」と制御を渡す
(2)-3「消除」が選択され,「明細番号」が入力された場合
消除された身分事項を高輝度等で表示する
(2)-4「並べ替え」が選択された場合
移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(移記:身分事項表示画面)
  - 1.1画面表示
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 審査
- 5.0 データ編集(中間ファイル/選択番号)〔更新〕

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	2/11

処理名	0.0 本紙 1/2			備考
	(1)中間ファイル(選択番号)を読む	/		(参)中間ファイル(選択番号)
	(2)個人管理番号に該当する者の「個人特定情報」「氏名情報」を中間ファイル(仮戸籍)から読む	/		画面ヘッド部表示 −受領番号 −選択事件コード −在外送付区分 〜
	(3)個人管理番号に該当する者の「身分事項情報」を中間ファイル(仮戸籍)から全件読む	/		
	(4)移記:身分事項表示画面を編集する [1.0],別紙[1.1]		(5)同画面を編集する	複数画面を考慮する ●戸籍管理番号 −戸籍事項処理区分 −戸籍事項明細番号 −戸籍事項記録コード
	(6)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF4,PF5,PF7,PF8,その他)	/		
実行キー	(7)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
	YES (8)審査(OK:YES,NG:NO) [4.0]	/		
	YES (9)処理区分は何か?(1,2,3,4)	/		
	1 記載 (10)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する [5.0]		(11)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	
	2:修正 (12)中間ファイル(選択番号)を編集・出力する ([5.0])		(13)移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
	3:削除 (14)該当の「身分事項」のインデックスをすべて高輝度表示する		(15)同画面を編集する	:中間ファイル(仮戸籍)から削除からは削除せず画面上で対応し,処理終了時(PF4,PF5)の際に削除する
	4 並べ替え →		(16)移記:身分事項並べ替え処理に制御を渡す	:当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除し,制御を渡す
	NO (17)エラーメッセージを表示する		(18)同画面を編集する	
	NO (19)各チェックで編集したメッセージを表示する			
PF1	(20中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(21)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(22)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(23)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→		(24)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF5	(25)前画面へ		(26)個人情報表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」 :当プロセスで「削除」した身分事項を中間ファイル(仮戸籍)から削除する
PF7	(27)前ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/	(28)同画面を編集する	
	YES (29)前ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する			
	NO (30)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/11

処理名	0.0　本紙　2/2		備考
PF8	(31)次ページがあるか?(ある:YES,ない:NO)	/ (32)同画面を編集する	
	YES (33)次ページ分の移記:身分事項表示画面を表示する		
	NO (34)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する		
その他	(35)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/11

処理名	1.0　移記:身分事項表示画面　編集・出力	(受取側)移記:身分事項表示画面	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:身分事項表示画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	明細件数1～13 明細番号		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項情報					身分事項毎に+1して表示する
	身分事項ﾀｲﾄﾙ			タイトルコード		有		身分事項毎に表示する 1インデックス1明細で表示する (1明細であふれる場合は複数明細で表示する)
	身分事項			記録コード		有		
				身分事項項目				
	処理区分		――――――	――――――				1:記録～4:並べ替え　の選択入力
	選択番号			――――――				明細番号の入力

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/11

処理名	1.1　別紙(身分事項の分類)　1/2	備考

1.身分事項の分類(従前本籍人が入籍する場合,システム上,従前の戸籍からその者の身分事項をすべて移記し,下記の表に従い画面表示を行う)〔入籍者のみ〕
〔移記不要事項〕:無条件に削除可能な身分事項　〔審査要事項〕:移記が必要かどうかの判断を必要とする身分事項

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		〔移記要事項〕	〔移記不要事項〕 明細番号を高輝度表示する	〔審査要事項〕 身分事項タイトルを高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
1	養子離縁事項がある ・養子の記録(0401)	1-1　養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	――――――	養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	――――――	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子離縁事項 ・養親の記録(0402)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0403)は移記不要
		1-2　養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	――――――	――――――	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子離縁事項 ・養子の記録(0401)	
2	養子縁組取消事項がある ・養子の記録(3501)	2-1　養子縁組事項がない ・養子の記録(0301)	――――――	養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	――――――	養子縁組事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(0303)は移記不要 養子縁組取消事項 ・養親の記録(0302)は移記不要 ・養子の配偶者の記録(3503)は移記不要
		2-2　養子縁組事項がある ・養子の記録(0301)	――――――	――――――	養子縁組事項 ・養子の記録(0301) 養子縁組取消事項 ・養子の記録(3501)	
3	特別養子離縁事項がある ・養子の記録(0601)	3-1　特別養子縁組事項がない ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	――――――	特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	――――――	特別養子縁組事項 ・養子の従前戸籍の記録(0501)は移記不要 ・養子の新戸籍の記録(0502)は移記不要 ・養親の記録(0504)は移記不要 特別養子離縁事項 ・養親の記録(0602)は移記不要 3-2:養親が外国人の場合,養子には変動がないので,特別養子縁組事項は記録されている
		3-2　特別養子縁組事項がある ・養子の入籍戸籍の記録(0503)	――――――	特別養子縁組事項 ・養子の入籍戸籍の記録(0503) 特別養子離縁事項 ・養子の記録(0601)	――――――	
4	離婚事項がある(1001)	4-1　婚姻事項がない(0901)	――――――	離婚事項(1001)	――――――	
		4-2　婚姻事項がある(0901)	――――――	――――――	婚姻事項(0901) 離婚事項(1001)	
5	配偶者死亡による婚姻解消事項がある ・死亡/死亡者の生存配偶者の記録(1602)		――――――	婚姻事項(0901) 死亡事項 ・死亡者の生存配偶者の記録(1602)		*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・死亡者の記録(1601)は移記不要 ・高齢者消除の記録(1603)は移記不要
6	配偶者失踪による婚姻解消事項がある ・失踪/失踪者の生存配偶者の記録(1702)		――――――	婚姻事項(0901) 失踪事項 ・失踪者の生存配偶者の記録(1702)		*婚姻事項(0901)は必ずある 死亡事項 ・失踪者の記録(1701)は移記不要

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	6/11

処理名	1.1 別紙(身分事項の分類) 2/2	備考

	中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報/共通		入籍者の身分事項の画面の表示方法			
	判断要件(記録コード)		[移記要事項]	[移記不要事項] 明細番号を高輝度表示する	[審査要事項] 身分事項タイトルを高輝度表示する	備考
	要件1	要件2				
7	婚姻取消事項がある(3701)	7-1 婚姻事項がない(0901)	――――――	婚姻取消事項(3701)		
		7-2 婚姻事項がある(0901)	――――――	――――――	婚姻事項(0901) 婚姻取消事項(3701)	-
8	親権(管理権)事項がある(1301)		――――――	――――――	親権(管理権)事項(1301)	※
9	後見事項がある(1401)		――――――	――――――	後見事項(1401)	※
9-1	未成年後見事項がある(4101)		――――――	――――――	未成年後見事項(4101)	※
10	保佐事項がある(1501)		――――――	――――――	保佐事項(1501)	※
11	認知事項がある ・被認知者の記録(0201)		――――――	――――――	認知事項 ・被認知者の記録(0201)	婚姻準正となっている者の場合、移記不要であるが、システムで判断できないため、[審査要事項]とする
12	特別養子縁組事項がある ・養子の新戸籍編製の記録(0502)		――――――	――――――	特別養子縁組事項 ・養子の新戸籍編製の記録(0502)	養親が共に外国人の場合、養子の入籍戸籍の記録がないので新戸籍編製の記録を移記する必要があるが、システムで判断できない為、[審査要事項]とする
13	1～12の要件以外の場合で ・出生/子の記録(0101) ・認知/親に対する認知の記録(0203) ・養子縁組/養子の記録(0301) ・特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503) ・婚姻(0901) ・推定相続人廃除(1901) ・国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) ・国籍選択(2601) ・外国国籍喪失(2701) ・名の変更(3201) ・外国人配偶者の国籍変更(9001) ・外国人配偶者の氏名変更(9101) ・平成15年法律第111号3条(7003)		出生/子の記録(0101) 認知/親に対する認知の記録(0203) 養子縁組/養子の記録(0301) 特別養子縁組/養子の入籍戸籍の記録(0503) 婚姻(0901) 推定相続人廃除(1901) 国籍喪失/国籍喪失の配偶者の記録(2502) 国籍選択(2601) 外国国籍喪失(2701) 名の変更(3201) 外国人配偶者の国籍変更(9001) 外国人配偶者の氏名変更(9101) 平成15年法律第111号3条(7003)			
14	1～12の要件以外の場合及び13の要件以外の場合		――――――	＜該当事項＞	――――――	

※移記が必要かどうかは、インデックスの記録有＝＝＝の者のすべての身分行為(戸籍が複数の場合もある)で判断＝＝要な為、無条件に[審査要事項]とする。

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/11

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック	移記:身分事項表示画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	1　(記録)　または　2　(修正)または 3　(削除)　または　4　(並べ替え)　であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	選択番号		数字	表示している身分事項のNo.であること(MAX13)			

第72(9)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/11

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック	移記:身分事項表示画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1) 処理区分=1 (記録) のとき　または (No.1) 処理区分=4 (並べ替え) のとき　(No.2) 選択番号=スペース　であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.1) 処理区分=2 (修正) のとき　または (No.1) 処理区分=3 (消除) のとき　(No.2) 選択番号≠スペース　であること			

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/11

処理名	4.0　審査1/2　(1:記録,4:並べ替え)	備考

1. 処理区分の審査1

中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理		処理区分	
	個人異動区分	1:記録	4:並べ替え
Ⅰ	0:(記録なし)	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	×①	×①
Ⅲ	2:入籍	○	○
Ⅳ	3:除籍	×②	×②
Ⅴ	4:入籍除籍	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む

→　個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2) (1)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(2)-1「○」の場合
本紙に戻り,処理区分により次プロセスに制御を渡す

(2)-2「×」の場合
本紙に戻り,該当するエラーメッセージを表示後,同一画面を表示する
・エラーメッセージ
①「指定した該当者に対して移記の処理はできません。」
②「除籍者に対して移記の処理はできません。」

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/11

処理名	4.0　審査2/2　(2:修正,3:削除)	備考

2. 処理区分の審査2

中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報/管理		中間ファイル（仮戸籍） 身分事項情報/管理	処理区分	
	個人異動区分	身分事項記録区分	2:修正	3:削除
Ⅰ	0:(記録なし)	0:既存の記録	×　①	×　②
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別) で記録	○	○
Ⅱ	1:記録 (異動なし記録のみ)	0:既存の記録	×　①	×　②
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別) で記録	―――――	―――――
Ⅲ	2:入籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別) で記録	○	○
Ⅳ	3:除籍	0:既存の記録	×　⑤	×　⑤
		1:審査処理で記録	×　⑤	×　⑤
		2:移記処理(事件別) で記録	―――――	―――――
Ⅴ	4:入籍除籍	0:既存の記録	○	○
		1:審査処理で記録	×　③	×　④
		2:移記処理(事件別) で記録	○	○

〔処理手順〕

(1)中間ファイル(選択番号)の個人管理番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報を読む

→　個人異動区分
個人異動形態区分(未使用)の取得

(2)移記:身分事項表示画面で入力された明細番号に該当する
中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報を読む

→　身分事項記録区分の取得

(3) (1)及び(2)で取得した区分と移記:身分事項表示画面で入力された処理区分で左記の表を検索する

(3)-1「○」の場合
本紙に戻り,処理区分により次プロセスに制御を渡す

(3)-2「×」の場合
本紙に戻り,該当するエラーメッセージを表示後,同一画面を表示する

・エラーメッセージ
①「従前からある記録事項ですので修正できません。」
②「従前からある記録事項ですので削除できません。」
③「審査で記録した事項ですので修正できません。」
④「審査で記録した事項ですので削除できません。」
⑤「除籍者に対して移記の処理はできません。」

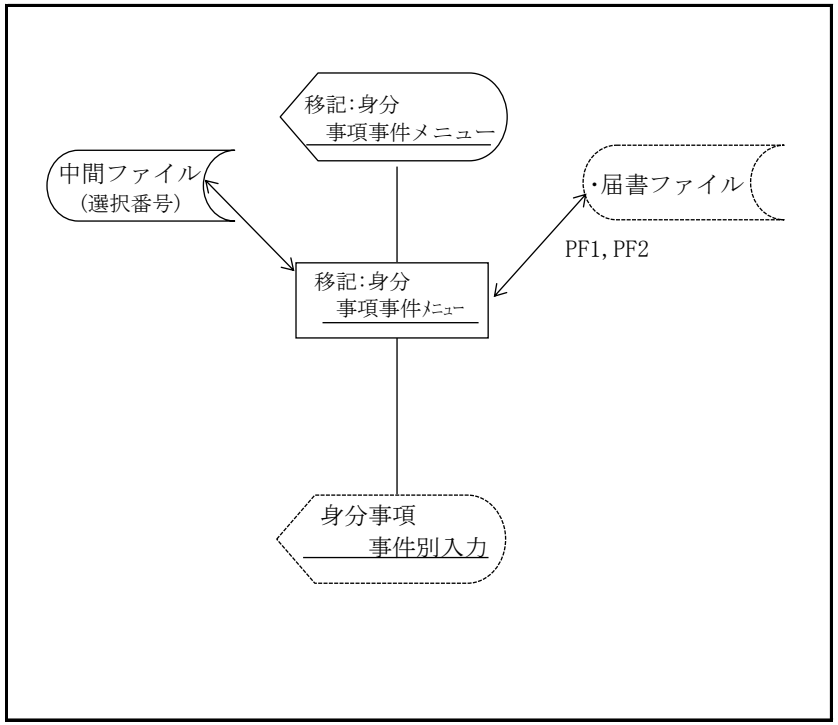
第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/11

処理名	5.0 中間ファイル（選択番号）編集･出力	（受取側）中間ファイル（選択番号）	←(引渡側）移記:身分事項表示画面,中間ファイル（仮戸籍

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル(選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							
	身分事項	処理区分		移記:身分事項表示画面	処理区分				
		明細番号		中間ファイル（仮戸籍） 身分事項情報	明細番号				処理区分が 2:修正の場合に,移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する
		記録コード			記録コード				処理区分が 2:修正の場合に,移記:身分事項表示画面で入力された選択番号に該当する中間ファイル（仮戸籍）の明細番号を設定する

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入出力		

3.処理概要

(1)移記:身分事項事件メニュー画面を表示する
(2)入力された「選択番号」から移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙
- 1.0 データ編集（移記:身分事項事件メニュー画面）
- 2.0 単体チェック
- 3.0 データ編集（中間ファイル/選択番号）〔更新〕

5.備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0　本紙			備考
(1) 中間ファイル(選択番号)を読む			/	(参)中間ファイル(選択番号)
(2)個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ﾌｧｲﾙ（仮戸籍）から読む			/	画面ヘッド部表示 −受領番号 −選択事件コード −在外送付区分 〜 ●個人管理番号 −身分事項処理区分 −身分事項明細番号 −身分事項記録コード
(3)移記:身分事項事件メニュー画面を出力する [1.0]		(4) 同画面を編集する	/	
(5) キー選択（実行キー,PF1,PF2,PF4,FF5,その他）			/	
実行キー	(6) 入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]		/	
	YES (7) 中間ファイル（選択番号）を編集･出力する [3.0]		(8) 移記:身分事項事件別入力処理に制御を渡す	
	NO (9) チェックで編集したメッセージを表示する		(10)同画面を編集する	
PF1	(11)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(12)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2	(13)中間ファイルをすべて削除する,届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(14)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4	→		(15)移記戸籍構成員一覧処理に制御を渡す	「処理終了」
PF5	(16)前画面へ		(17)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
その他	(18)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	1.0 移記:身分事項事件ﾒﾆｭｰ画面編集･出力	(受取側) 移記:身分事項事件メニュー画面	←(引渡側) 中間ファイル (身分事項)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:身分事項 事件メニュー画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル (仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	選択番号		――――――	――――――				明細番号の入力

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	4/5

処理名	画面名	画面ID	
2.0 単体チェック	移記:身分事項事件メニュー画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1(出生) または 20(認知:被認知者の記録) または 21(認知:親に対する認知の記録) または 3(養子縁組) または 40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製の記録) または 41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍の記録) または 5(婚姻) または 6(親権(管理権)) または 70(後見) または 71(未成年後見) または 8(保佐) または 9(推定相続人廃除) または 10(国籍選択) または 11(配偶者の国籍喪失) または 12(外国国籍喪失) または 13(名の変更) または 90(外国人配偶者の国籍変更) または 91(外国人配偶者の氏名変更) または 92(平成15年法律第111号3条) であること	項目エラーがあります。正しく入力して下さい。		41の番号が使われているため、後見の番号修正と共に、未成年後見を追加

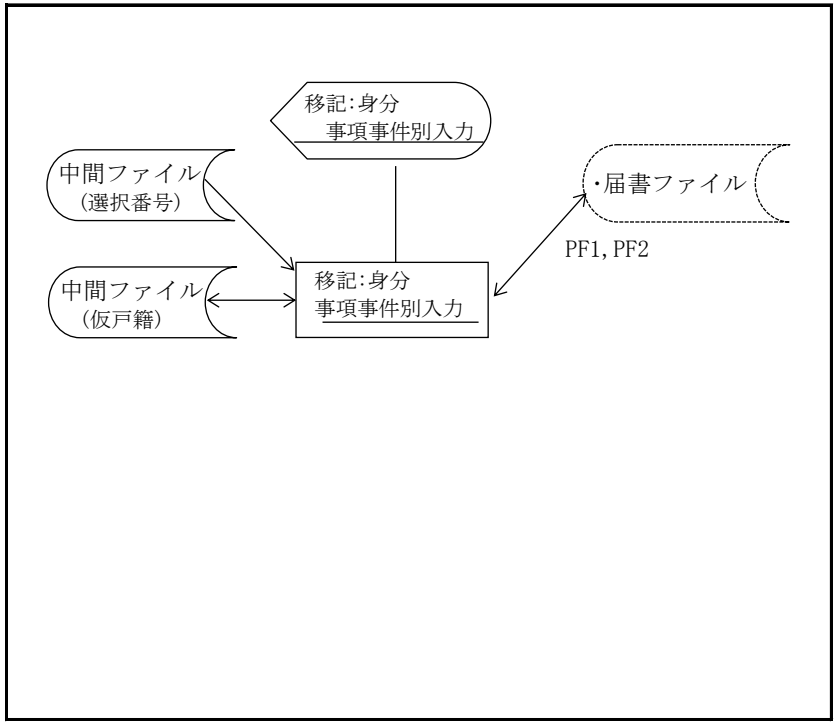
第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		移記:身分事項事件メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	5/5

処理名	3.0 中間ファイル(選択番号)編集・出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	← (引渡側)移記事項届出メニュー画面

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目			DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	受領番号								移記戸籍選択画面で設定済
	選択事件コード								移記戸籍選択画面で設定済
	在外送付区分								移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍	戸籍管理番号							移記戸籍選択画面で設定済
	戸籍事項	処理区分							
		明細番号							
		記録コード							
	個人	個人管理番号							移記戸籍構成員一覧画面で設定済
	身分事項	処理区分							移記:身分事項表示画面で設定済
		明細番号							
		記録コード		移記:身分事項 届出メニュー画面	(選択番号)	-選択番号=1(出生)の場合 '0101'を設定 -選択番号=20(認知:被認知者の記録)の場合 '0201'を設定 -選択番号=21(認知:親に対する認知)の場合 '0203'を設定 -選択番号=3(養子縁組)の場合 '0301'を設定 -選択番号=40(特別養子縁組:養子の新戸籍編製)の場合 '0502'を設定 -選択番号=41(特別養子縁組:養子の入籍戸籍)の場合 '0503'を設定 -選択番号=5(婚姻)の場合 '0901'を設定 -選択番号=6(親権(管理権))の場合 '1301'を設定 -選択番号=70(後見)の場合 '1401'を設定	-選択番号=71(未成年後見)の場合 '4101'を設定 -選択番号=8(保佐)の場合 '1501'を設定 -選択番号=9(推定相続人廃除)の場合 '1901'を設定 -選択番号=10(国籍選択)の場合 '2601'を設定 -選択番号=11(配偶者の国籍喪失)の場合 '2502'を設定 -選択番号=12(外国国籍喪失)の場合 '2701'を設定 -選択番号=13(名の変更)の場合 '3201'を設定 -選択番号=90(配偶者の国籍変更)の場合 '9001'を設定 -選択番号=91(配偶者の氏名変更)の場合 '9101'を設定 -選択番号=92(平成15年法律第111号3条)の場合 '7003'を設定		

第72(9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

1.詳細フロー



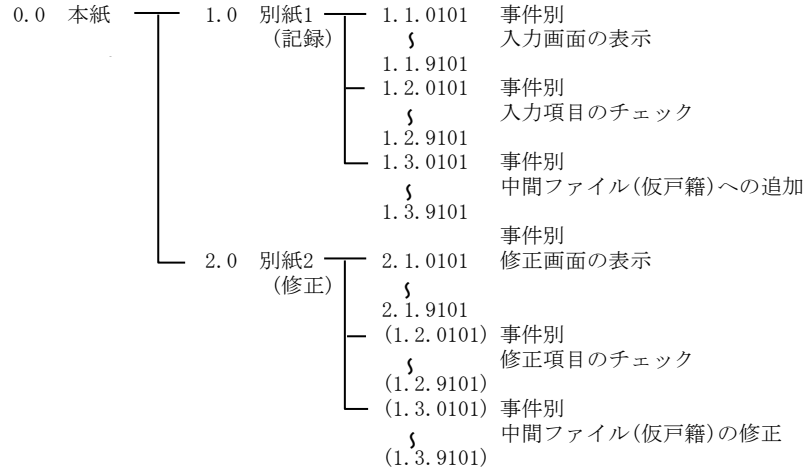
2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ファイル(仮戸籍)	入出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2)『身分事項処理区分』から記録,修正,削除の処理を行う
(3)『身分事項処理区分』が『記録』の場合
　(3)-1『身分事項記録番号』から該当事件の入力画面を出力する
　(3)-2入力項目のチェックを行う
　(3)-3中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報に入力した身分事項を追加する
(4)『身分事項処理区分』が『修正』の場合
　(4)-1「身分事項明細番号」「身分事項記録番号」から該当事件の修正画面を出力する
　(4)-2入力項目のチェックを行う
　(4)-3中間ファイル(仮戸籍)の該当身分事項情報の更新を行う

4.機能体系(要件定義書の構成)



5.備考(特記事項含む)

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/6

処理名	0.0　本紙			備考
	(1) 中間ファイル(選択番号)を読む	/		(参)中間ファイル(選択番号)
	(2) 個人管理番号に該当する者の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)から読む	/		画面ヘッド部表示 －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 〜 ●個人管理番号 ●身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
	(3) 身分事項処理区分は何か？(1:記録,2:修正)	/		
1	(4) 身分事項の「記録」の処理を行う　別紙[1.0]	/		
2	(5) 身分事項の「修正」の処理を行う　別紙[2.0]	/		

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	3/6

処理名	1.0 別紙1(記録)1/2			備考
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)		/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 ●身分事項記録コード
0101 出生/子	(2)身分事項事件別入力画面を編集する(入力画面) [1.1.0101]	/		*1
	(3)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF9,PF12,その他)	/		
	実行キー (4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.0101]	/		*2,*3
	YES →		(5)同画面を編集する	
	NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する			
	PF1 (7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2 (9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5 (11)前画面へ		(12)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	PF7 (13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/	(14)同画面を編集する	
	YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
	PF8 (17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
	PF9 (20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)	/		
	YES (21)入力画面から身分事項を編集し、中間ファイル(仮戸籍)に[身分事項情報]を追加する [1.4.001]		(22)移記:身分事項事件メニュー処理に制御を渡す	*4 ※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと 入籍者⇒審査で記録された事項の1つ前に格納する 変動なし者⇒一番最後に格納する
	NO (23)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する	
	PF12 (25)画面を初期化する		(26)同画面を編集する	
	その他 (27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]	/		認知の処理/被認知者
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]	/		認知の処理/認知を受けた親の直系卑属
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]	/		養子縁組の処理/養子
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]	/		特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	4/6

処理名	1.0 別紙1(記録)2/2			備考
0503	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]	/	特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍
0901	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/	婚姻の処理
1301	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/	親権(管理権)の処理
1401	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/	後見の処理
1501	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/	保佐の処理
2001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/	推定相続人廃除の処理
2502	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/	国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者
2601	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/	国籍選択の処理
2701	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/	外国国籍喪失の処理
3201	※と同様の処理を行う	*1[1.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/	名の変更の処理
4101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/	未成年後見の処理
9001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/	外国人配偶者の国籍変更の処理
9101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/	外国人配偶者の氏名変更の処理
7003	※と同様の処理を行う	*1[1.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/	平成15年法律第111号3条の処理

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	5/6

処理名	2.0 別紙2(修正)1/2			備考
(1)身分事項記録番号は何か？ (0101,0201,0203,0301,0502,0503,0901,1301,1401,1501,2001,2502,2601,2701,3201,4101,9001,9101,7003)		/		(参)中間ファイル(選択番号) －受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 ～ －個人管理番号 －身分事項処理区分 ●身分事項明細番号 ●身分事項記録コード
0101 出生/子	(2)身分事項明細番号に該当する身分事項を中間ファイル(仮戸籍)の身分事項情報から取得し、身分事項事件別入力画面を編集する(修正画面) [2.1.0101]	/		*1
	(3)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF9,その他)	/		
	実行キー (4)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [1.2.0101][1.3.010	/		*2,*3
	YES →		(5)同画面を編集する	
	NO (6)チェックで編集したメッセージを表示する			
	PF1 (7)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する、届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する		(8)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF2 (9)中間ファイルをすべて削除する、届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する		(10)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
	PF5 (11)前画面へ		(12)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
	PF7 (13)前ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/	(14)同画面を編集する	
	YES (15)前ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
	PF8 (17)次ページがあるか？(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (18)次ページ分の移記:身分事項事件別入力画面を表示する			
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
	PF9 (20)入力項目が、すべてチェックされているか？(YES,NO)	/		
	YES (21)中間ファイル(仮戸籍)の[身分事項情報]を修正する [1.4.001]		(22)移記:身分事項表示処理に制御を渡す	*4 ※ 入力項目が未チェックのままPF9が押下されないこと:身分事項情報の管理部、共通部は更新しない
	NO (23)エラーメッセージ「実行キーを押下して入力項目のチェックを行って下さい。」を表示する。		(24)同画面を編集する	
	その他 (25)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			
0201	※と同様の処理を行う *1[1.1.0201]*2[1.2.0201]*3[1.3.0201]*4[1.4.0201]	/		認知の処理/被認知者
0203	※と同様の処理を行う *1[1.1.0203]*2[1.2.0203]*3[1.3.0203]*4[1.4.0203]	/		認知の処理/認知を受けた親の直系卑属
0301	※と同様の処理を行う *1[1.1.0301]*2[1.2.0301]*3[1.3.0301]*4[1.4.0301]	/		養子縁組の処理/養子
0502	※と同様の処理を行う *1[1.1.0502]*2[1.2.0502]*3[1.3.0502]*4[1.4.0502]	/		特別養子縁組の処理/養子の新戸籍編製

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年 7月16日	8.2	6/6

処理名	2.0 別紙2(修正)2/2			備考
0503	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0503]*2[1.2.0503]*3[1.3.0503]*4[1.4.0503]	/	特別養子縁組の処理/養子の入籍戸籍
0901	※と同様の処理を行う	*1[1.1.0901]*2[1.2.0901]*3[1.3.0901]*4[1.4.0901]	/	婚姻の処理
1301	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1301]*2[1.2.1301]*3[1.3.1301]*4[1.4.1301]	/	親権(管理権)の処理
1401	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1401]*2[1.2.1401]*3[1.3.1401]*4[1.4.1401]	/	後見の処理
1501	※と同様の処理を行う	*1[1.1.1501]*2[1.2.1501]*3[1.3.1501]*4[1.4.1501]	/	保佐の処理
2001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2001]*2[1.2.2001]*3[1.3.2001]*4[1.4.2001]	/	推定相続人廃除の処理
2502	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2502]*2[1.2.2502]*3[1.3.2502]*4[1.4.2502]	/	国籍喪失の処理/国籍喪失者の配偶者
2601	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2601]*2[1.2.2601]*3[1.3.2601]*4[1.4.2601]	/	国籍選択の処理
2701	※と同様の処理を行う	*1[1.1.2701]*2[1.2.2701]*3[1.3.2701]*4[1.4.2701]	/	外国国籍喪失の処理
3201	※と同様の処理を行う	*1[1.1.3201]*2[1.2.3201]*3[1.3.3201]*4[1.4.3201]	/	名の変更の処理
4101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.4101]*2[1.2.4101]*3[1.3.4101]*4[1.4.4101]	/	未成年後見の処理
9001	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9001]*2[1.2.9001]*3[1.3.9001]*4[1.4.9001]	/	外国人配偶者の国籍変更の処理
9101	※と同様の処理を行う	*1[1.1.9101]*2[1.2.9101]*3[1.3.9101]*4[1.4.9101]	/	外国人配偶者の氏名変更の処理
7003	※と同様の処理を行う	*1[1.1.7003]*2[1.2.7003]*3[1.3.7003]*4[1.4.7003]	/	平成15年法律第111号3条の処理

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/14

処理名	1.1.0101　移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力1/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目		DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録その1)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『1/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日			生年月日				
	出生地		――――――	――――――				
	父の国籍			――――――				
	父の生年月日			――――――				
	母の国籍			――――――				
	母の生年月日			――――――				
	届出日			――――――				
	航海日誌謄本提出日			――――――				
	届出人資格区分			――――――				
	届出人資格名称			――――――				
	届出人氏名			――――――				
	届出人の戸籍の本籍			――――――				
	届出人の戸籍の筆頭者			――――――				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	2/14

処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力2/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録その2)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『2/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍)	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称		個人特定情報	筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	届出人の国籍		――――――	――――――				
	届出人の生年月日			――――――				
	父の氏名			――――――				
	父の戸籍の本籍			――――――				
	父の戸籍の筆頭者			――――――				
	母の氏名			――――――				
	母の戸籍の本籍			――――――				
	母の戸籍の筆頭者			――――――				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/14

処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力3/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録その3)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『2/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍)	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称		個人特定情報	筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	国籍留保の届出日		――――――	――――――				
	国籍留保の届出人			――――――				
	国籍留保の届出人資格区分			――――――				
	国籍留保の届出人資格名称			――――――				
	国籍留保の届出人氏名			――――――				
	国籍留保の届出人国籍			――――――				
	国籍留保の届出人生年月日			――――――				
	送付を受けた日			――――――				
	受理者			――――――				
	許可日			――――――				
	許可書謄本の送付を受けた日			――――――				
	許可を受けた者			――――――				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/14

処理名	1.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力4/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録その4)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『3/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍)	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分名称		個人特定情報	筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分名称			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	入籍日		――――――	――――――				
	従前戸籍の本籍			――――――				
	従前戸籍の筆頭者			――――――				
	除籍日			――――――				
	新本籍			――――――				
	入籍戸籍の戸籍			――――――				
	入籍戸籍の筆頭者			――――――				
	記録日			――――――				
	特記事項			――――――				

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/14

処理名	画面名	画面ID	
1.2.0101　単体チェック　1/2	移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出生日	○	英数	『日付チェックサブルーチン』 中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報の生年月日と異なる場合高輝度表示する。	「項目エラーがあります。正しく入力してください。」		
2	出生地		漢字	『住所変換サブルーチン』			
3	父の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
4	父の生年月日		数字	『日付チェックサブルーチン』			
5	母の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
6	母の生年月日		数字	『日付チェックサブルーチン』			
7	届出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
8	航海日誌謄本提出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
9	届出人資格区分		英数				
10	届出人氏名		漢字				
11	届出人の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
12	届出人の戸籍の筆頭者		漢字				
13	届出人の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
14	届出人の生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
15	父の氏名		漢字				
16	父の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
17	父の戸籍の筆頭者		漢字				
18	母の氏名		漢字				
19	母の戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
20	母の戸籍の筆頭者		漢字				
21	国籍留保の届出日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
22	国籍留保の届出人資格区分		英数				
23	国籍留保の届出人氏名		漢字				

第7 2 (9)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/14

処理名	画面名	画面ID	
1.2.0101　単体チェック　2/2	移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
24	国籍留保の届出人の国籍		漢字	『住所変換サブルーチン』	「項目エラーがあります。正しく入力してください。」		
25	国籍留保の届出人の生年月日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
26	送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
27	受理者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
28	許可日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
29	許可書謄本の送付を受けた日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
30	許可を受けた者		漢字	『住所変換サブルーチン』			
31	入籍日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
32	従前戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
33	従前戸籍の筆頭者		漢字				
34	除籍日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
35	新本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
36	入籍戸籍の本籍		漢字	『住所変換サブルーチン』			
37	入籍戸籍の筆頭者		漢字				
38	記録日		英数	『日付チェックサブルーチン』			
39	特記事項		漢字				

第7 2 (9)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/14

処理名	画面名	画面ID	
1.3.0101　関連チェック	移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.3)父の国籍≠空白　のとき　(No.4)父の生年月日≠空白　であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.5)母の国籍≠空白　のとき　(No.6)母の生年月日≠空白　であること			
3	(No.12)届出人の戸籍の筆頭者≠空白　のとき　(No.11)届出人の戸籍の本籍≠空白　であること			
4	(No.24)国籍留保の届出人の国籍≠空白　のとき(No.25)国籍留保の届出人の生年月日≠空白　であること			
5	(No.32)従前戸籍の筆頭者≠空白　のとき　(No.33)従前戸籍の本籍≠空白　であること			
6	(No.36)入籍戸籍の筆頭者≠空白　のとき　(No.37)入籍戸籍の本籍≠空白　であること			

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	8/14

処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報(出生/子の記録)編集・出力1/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報 ←(引渡側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報管理	個人管理番号		中間ファイル(選択番号)	個人管理番号				:その他の「管理」情報は省略
	身分事項記録区分			「2」 移記処理(事件別)で記録				身分事項記録区分 1:既存の記録 2:審査処理で記録 3:移記処理(事件別)で記録 4:移記処理(個人情報)で記録
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報共通	個人番号							
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード		移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子)	「0101」				【出生】
	記録コード			「0101」				出生(子の記録)
	管掌者コード							
	事件発生日			出生日				
	身分事項項目							次ページ以降に記録

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	9/14

処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報(出生/子の記録)編集・出力2/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報 ←(引渡側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報	出生	出生日		移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録その1)	出生日		有		
		出生地			出生地				
	外国人父母	父の国籍			父の国籍				
		父の生年月日			父の生年月日		有		
		母の国籍			母の国籍				
		母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出	届出日			届出日		有		
		航海日誌の謄本提出日			航海日誌謄本提出日		有		
		届出人 資格			届出人資格区分				
		届出人 資格名称			届出人資格名称				
		届出人 氏名			届出人氏名				
		戸籍の届出人 本籍		移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録その2)	届出人の戸籍の本籍				
		戸籍の届出人 筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				
		届出人の国籍			届出人の国籍				
		届出人の生年月日			届出人の生年月日				
	日本人父母	父の氏名			父の氏名				
		父の戸籍 本籍			父の戸籍の本籍				
		父の戸籍 筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
		母の氏名			母の氏名				
		母の戸籍 本籍			母の戸籍の本籍				
		母の戸籍 筆頭者			母の戸籍の筆頭者				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	10/14

処理名	1.4.0101 中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)身分事項情報(出生/子の記録)編集・出力3/3	(受取側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項情報 ←(引渡側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)

受取側				引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報	国籍留保	国籍留保の届出日		移記:身分事項 事件別入力画面 (出生/子の記録その2)	国籍留保の届出日		有		
		国籍留保の届出人 資格			国籍留保の届出資格区分				
		国籍留保の届出人 資格名称			国籍留保の届出資格名称				
		国籍留保の届出人 氏名			国籍留保の届出人氏名				
		国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
		国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日		有		
	送付	送付を受けた日		移記:身分事項 事件別入力画面 (出生/子の記録その3)	送付を受けた日		有		
		受理者			受理者				
	許可	許可日			許可日		有		
		許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日		有		
		許可を受けた者			許可を受けた日		有		
	入籍	入籍日			入籍日		有		
	入戸籍	従前戸籍 本籍			従前戸籍の本籍				
		従前戸籍 筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍	除籍日			除籍日		有		
	除戸籍	新本籍			新本籍				
		入籍戸籍 本籍			入籍戸籍の本籍				
		入籍戸籍 筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録	記録日			記録日				
	特記	特記事項			特記事項				
	※ ①一番左の項目:グループ名 ②次の項目:インデックス名								

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	11/14

処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面 (出生/子の記録)編集・出力1/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/身分

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面 (出生/子の記録その1)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『1/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	出生日		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報 (出生/子の記録)	出生日		有		
	出生地			出生地				
	父の国籍			父の国籍				
	父の生年月日			父の生年月日		有		
	母の国籍			母の国籍				
	母の生年月日			母の生年月日		有		
	届出日			届出日		有		
	航海日誌謄本提出日			航海日誌謄本提本提出日		有		
	届出人資格区分			届出人資格区分				
	届出人資格名称			届出人資格名称				
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人の戸籍の本籍			届出人の戸籍の本籍				
	届出人の戸籍の筆頭者			届出人の戸籍の筆頭者				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	12/14

処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力2/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/身分

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面(出生/子の記録その2)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『2/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	届出人の国籍		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報(出生/子の記録)	届出人の国籍				
	届出人の生年月日			届出人の生年月日				
	父の氏名			父の氏名				
	父の戸籍の本籍			父の戸籍の本籍				
	父の戸籍の筆頭者			父の戸籍の筆頭者				
	母の氏名			母の氏名				
	母の戸籍の本籍			母の戸籍の本籍				
	母の戸籍の筆頭者			母の戸籍の筆頭者				

第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	13/14

処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力3/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/身分

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面(出生/子の記録その2)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『2/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	国籍留保の届出日		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報(出生/子の記録)	国籍留保の届出日		有		
	国籍留保の届出人資格区分			国籍留保の届出人資格区分				
	国籍留保の届出人資格名称			国籍留保の届出人資格名称				
	国籍留保の届出人の国籍			国籍留保の届出人の国籍				
	国籍留保の届出人の生年月日			国籍留保の届出人の生年月日				
	送付を受けた日			送付を受けた日				
	受理者			受理者				
	許可日			許可日				
	許可書謄本の送付を受けた日			許可書謄本の送付を受けた日				
	許可を受けた者			許可を受けた者				

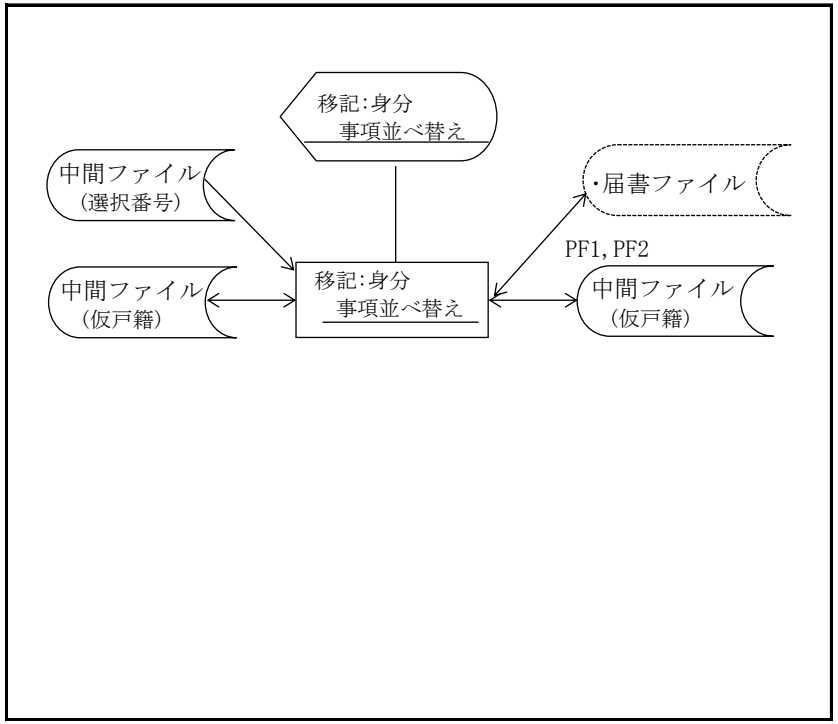
第72(9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項事件別入力	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	14/14

処理名	2.1.0101 移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)編集・出力4/4	(受取側)移記:身分事項事件別入力画面(出生/子の記録)←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)個人特定情報/身分

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
移記:身分事項 事件別入力画面(出生/子の記録その3)	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	『3/3』
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	入籍日		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報(出生/子の記録)	入籍日		有		
	従前戸籍			従前戸籍の本籍				
	従前筆頭者			従前戸籍の筆頭者				
	除籍日			除籍日		有		
	新本籍			新本籍				
	入籍戸籍の本籍			入籍戸籍の本籍				
	入籍戸籍の筆頭者			入籍戸籍の筆頭者				
	記録日			記録日		有		
	特記事項			特記事項				

第7 2 (9)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		移記:身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1. 詳細フロー



2. 使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	入力		
中間ファイル(仮戸籍)	入出力		
中間ﾌｧｲﾙ(身分事項)	入出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(選択番号)を読み込む
(2) 1身分事項のタイトルを1明細として一覧で表示する
(3) 身分事項の並べ替えを指示する
　・異動のない者で,従前からある身分事項は並べ替えの対象外
(4) 身分事項表示に制御を渡す

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集(中間ファイル/身分事項)
- 2.0 データ編集(移記:身分事項並べ替え画面)
- 3.0 審査

5. 備考(特記事項含む)

第72(9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(選択番号)を読み込む		/		(参)中間ファイル(選択番号)
(2)個人管理番号に該当する戸籍の「氏名」「個人特定」「戸籍特定」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む		/		－受領番号 －選択事件コード －在外送付区分 〜
(3)個人管理番号に該当する戸籍の「身分事項」情報を中間ファイル(仮戸籍)を読む		/		
(4)中間ファイル(身分事項)を編集・出力する [1.0]		/		当ﾌﾟﾛｾｽのWORKﾌｧｲﾙ ●戸籍管理番号 －身分事項処理区分 －身分事項明細番号 －身分事項記録コード
(5)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(6)同画面を編集する	複数画面を考慮する
(7)キー選択(実行キー, PF1, PF2, PF4, PF5, PF7, PF8, PF9, その他)		/		
実行キー (8)審査(OK:YES, NG:NO) [3.0]		/		
YES (9)中間ファイル(身分事項)を新明細番号に従って並べ替えを行う		/		
(10)中間ファイル(身分事項)から移記:身分事項並べ替え画面を編集・出力する [2.0]			(11)同画面を編集する	
NO (12)チェックで編集したメッセージを表示する				
PF1 (13)中間ﾌｧｲﾙをすべて削除する, 届書ﾌｧｲﾙの「届書排他区分」に'0'を設定する			(14)業務選択に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF2 (15)中間ファイルをすべて削除する, 届書ファイルの「届書排他区分」に'0'を設定する			(16)移記戸籍選択処理に制御を渡す	「処理中止」「届書ロック解除」
PF4 →			(17)移記戸籍構成員一覧に制御を渡す	「処理終了」
PF5 (18)前画面へ, 中間ファイル(身分事項)を削除する			(19)移記:身分事項表示一覧に制御を渡す	「当プロセスのみ処理中止」
PF7 (20)前ページがあるか?(ある:YES, ない:NO)		/	(21)同画面を編集する	
YES (22)前ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する				
NO (23)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する				
PF8 (24)次ページがあるか?(ある:YES, ない:NO)		/		
YES (25)次ページ分の移記:身分事項並べ替え画面を出力する				
NO (26)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する				
PF9 (27)中間ファイル(身分事項)を基に中間ファイル(仮戸籍)の身分事項の並べ替えを行う		/		当PFキーにより中間ファイル(仮戸籍)に並べ替えの処理結果が反映される
(28)中間ファイル(身分事項)を削除する			(29)身分事項表示処理に制御を渡す	
その他 (30)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する			(31)同画面を編集する	

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	1.0中間ファイル(身分事項)編集･出力	(受取側)中間ファイル(身分事項)	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)身分事項

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(身分事項)	明細件数		――――――	――――――				身分事項の記録件数を格納する :1身分事項毎に+1を付加する :身分事項記録区分 0:既存の記録 1:審査処理で記録 2:移記処理(事件別)で記録 3:移記処理(個人情報)で記録 複数明細あり (認知等,同一記録コードの明細が複数あり得る野で注意すること)
	明細番号		――――――	――――――				
	身分事項記録区分		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報管理	身分事項記録区分				
	身分事項コード		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項情報共通	タイトルコード				
	身分事項名称			タイトルコード		有		

第7 2 (9)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/5

処理名	2.0 移記:身分事項並べ替え画面編集・出力	(受取側)移記:身分事項並べ替え画面	←(引渡側)中間ファイル(身分事項)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
移記:身分事項並べ替え画面	現ページ/総ページ		――――――	――――――			Z9/Z9	
	漢字氏名		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定情報	漢字氏名				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者区分			筆頭者区分		有		『筆頭者』
	配偶者区分			配偶者区分		有		『夫』『妻』『生存配偶者』
	本籍			本籍コード		有		
				本籍				
	明細1件〜13 明細番号		中間ファイル(身分事項)	――――――				1身分事項毎に+1して表示する
	新明細番号			――――――				入力項目,表示する身分事項の身分事項処理区分が0〔既存の記録〕の場合,その者が戸籍に変動がなければ,新明細番号を入力不可(プロテクト)する ⇨ 戸籍に変動がない者の従前の記録は並べ替えできない
	身分事項			身分事項名称				

第7 2 (9)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		移記:身分事項並べ替え	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	3.0　審査			備考
(1)中間ファイル(身分事項)の明細件数の数だけ(3)～(19)の処理を繰り返す			(2)本紙へ	
(3)新明細番号が入力されているか?　(YES,NO)		/		
YES	(4)新明細番号≦中間ファイル(身分事項)の明細件数であるか?(YES,NO)	/		
	YES	(5)　→　(8)へ	/	
	NO	(6)エラーメッセージ 「入力された明細番号が身分事項件数を超えています。」		(7)本紙へ
	(8)該当者は『戸籍に入籍する者』か『戸籍に変動のない者』か?		/	:中間ファイル(仮戸籍)の個人特定情報/管理で判断する
	入籍	(9)　→　(16)へ	/	
	変動なし	(10)既存の記録(従前からある記録)の明細の明細番号を新明細番号としているか?	/	戸籍に変動ない者の既存の記録(従前からある記録)の並べ替えは不可
		YES　(11)エラーメッセージ 「入力された明細番号は既存の記録ですので,並べ替えできません。」		(12)本紙へ
		NO　(13)　→　(16)へ	/	
NO	(14)明細番号を新明細番号に転送する		/	新明細番号が入力されていない場合も,中間ファイル(身分事項)の並べ替えは,新明細番号を基に行うため,同一番号を設定する
	(15)　→　(11)へ		/	
(16)新明細番号は重複しているか?　(YES,NO)			/	
YES	(17)エラーメッセージ 「入力されている明細番号が重複しています。」			(18)本紙へ
NO	(19)→		/	チェック済[(3)～(15)]の新明細番号のすべてと比較し,判断する

第7.2.(10)

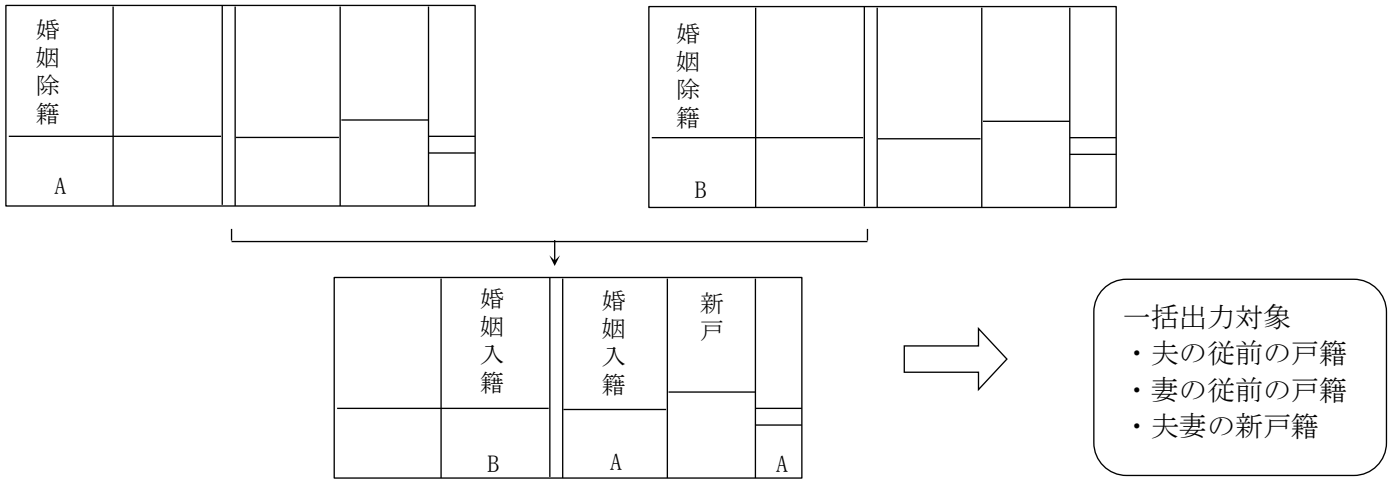
「決裁用帳票出力」処理

第7 2 (10)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁用帳票出力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

決裁処理において,戸籍の記載確認を行うための補助資料出力処理であり,仮戸籍表示と同様に『受理』の届のもののみが,出力対象である。
この処理は,単独での処理の形態をとらず,他の処理の中で出力処理を行う。

1. 出力様式
　様式は,「全部事項証明」に準じる。
　但し,表題を「決裁用帳票」とし,認証文・認印の出力は行わない。又,記録事項は,訂正事項も含め,すべて出力させる。

2. 出力対象
　異動を伴う戸籍(記載のみも含む)すべてを一括出力する。又,各戸籍別にも選択できるようにする。
　例示)夫(A)及び妻(B)となる者が,本籍人である婚姻で,夫の氏を称して新戸籍を管内に編製する場合



3. 出力処理業務
　運用に依存される処理のため,次の3つの処理で出力可能とする。(出力及び出力後の取扱いには,細心の注意を要する。)
(1)処分決定処理‥処分決定(「受理」)後で,出力可。移記処理を要しない事件等。
(2)移記処理……移記前後で,出力可。
(3)決裁処理……決裁前で,出力可。

第7.2.(11)

「決裁」処理

(1) 未決裁一覧処理
・受領番号が入力されたときは,その受領番号の届書の決裁画面を表示する。
・支所番号が入力されたときは,その支所番号で受け付けた届書の一覧を表示し,その一覧から決裁する届書を選択する。
(2) 決裁処理
・表示の管掌者が不適切の場合は,管掌者を変更する。
・決裁区分にしたがって処理を行う。

2. 未決裁一覧･決裁(受付)画面でのPFキー

PFキー＼画面	未決裁一覧画面	決裁(受付)画面
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		
PF3		決裁処理開始
PF4		
PF5		
PF6		
PF7	前頁表示(一覧表示内)	前頁表示
PF8	次頁表示(一覧表示内)	次頁表示
PF9		仮9条2項表示
PF10		決裁戸籍表示
PF11		エラー履歴表示
PF12	画面の初期化	
実行キー	決裁番号選択	決裁内容確定

3. 決裁処理で入力可能な区分の意味

決裁区分	意味
決裁	届書の処理内容に誤りがない場合,処分区分に応じた処理を行わせ,届書の処理を完結させること。
修正	処分区分に変更が生じない,届書の処理内容の誤りを修正するときは,本決裁区分を指定する。 例外として処分区分『受理』が『受理処分の撤回』に変更になる場合は,本決裁区分を指定する。

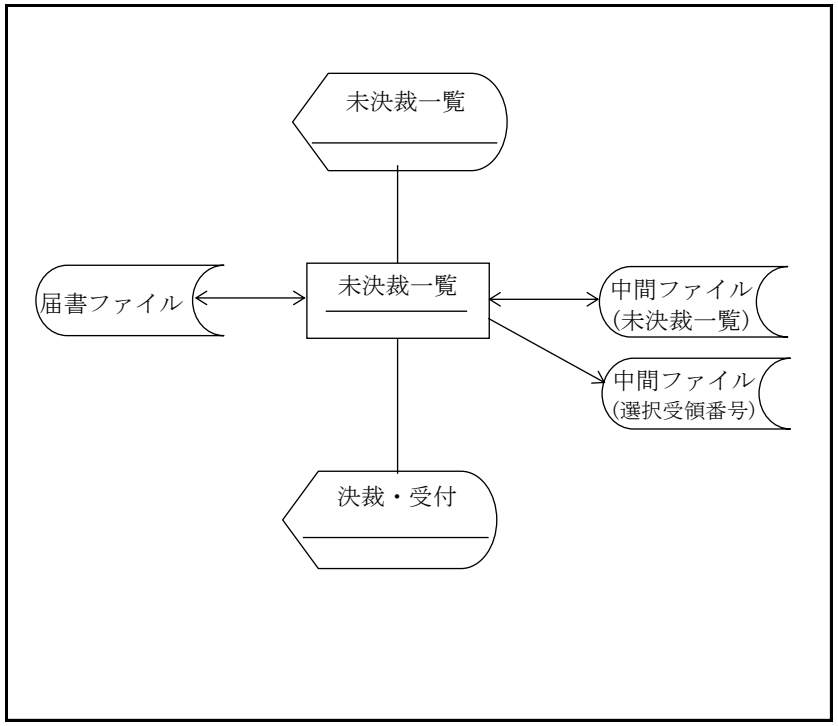
処分区分	意味
誤処理	人違いによる届書の入力誤りがあった場合に限り,本処分区分を指定して,正しい事件本人に対する入力を再度行う。

4. その他の決裁区分(決裁処理では入力不可)

決裁区分	意味
欠番	休日･夜間受領番号取得処理で取得した受付帳で,未使用の受付帳を無効にする区分。 受付帳の決裁区分を欠番に変更する処理は,受付ファイルメンテ処理で行う(決裁処理では行わない)

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/8

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(届書)	入出力		
中間ファイル(未決裁一覧)	入出力		
中間ファイル(選択受領番号)	出力		

3.処理概要

(1)未決裁届書の受領番号を入力する
　ア.受領番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す

(2)支所番号を入力する
　ア.支所番号入力のチェックを行う
　イ.支所番号から未決裁届書の抽出･表示をする

(3)選択番号を入力する
　ア.選択番号の入力チェックを行う
　イ.決裁･受付に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(中間ファイル(未決裁一覧))
- 2.0　データ編集表(未決裁一覧画面)
- 3.0　データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
- 4.0　データ編集表(届書ファイル)

5.備考(特記事項含む)

(1)中間ファイル(未決裁一覧)の機能
　決裁を要する届書を指定された支所で抽出した後,未決裁一覧画面を表示する

(2)中間ファイル(受領番号)の機能
　選択した受領番号又は入力した受領番号を次機能に受け渡す

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/8

処理名	0.0 本紙 (1/3)		備考
	(1) 届書ファイルが存在する(YES,NO)	/	
YES	(2) → (4)へ	/	
NO	(3) メッセージ『未決裁の届は存在しません(全て決裁済みです)』を表示する		メッセージは業務選択画面で表示
	(4) 未決裁一覧画面を表示する(選択番号は入力不可とする)	/	
	(5) キー選択(実行キー,PF1,PF12,その他)	/	
実行キー	(6) 受領番号の入力がある(YES,NO)	/	
	YES (7) 受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/	
	(8) 届書ファイルは存在する(YES,NO)	/	
	YES (9)届書ファイルの処分区分は保留以外である(YES,NO)	/	決裁できる処分区分は『受理』『不受理』『返戻』『受理処分の撤回』である
	YES (10)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)	/	
	YES (11)中間ファイル(選択受領番号)を作成する [3.0]	/	
	(12)届書ファイルの届書排他区分に1をセットする [4.0]		(13)決裁・受付へ制御を渡す:届書レコードの排他処理
	NO (14)エラーメッセージ『該当の受領番号の届書は現在処理中です。決裁は行えません。』を表示する		(15)同画面を編集する →(4)へ
	NO (16)エラーメッセージ 『該当の受領番号で未決裁の届は有りません』を表示する		
	NO (17)エラーメッセージ 『該当の受領番号で未決裁の届は有りません』を表示する		
	NO (18) → (19)へ	/	
	(19)支所番号の入力がある(YES,NO)	/	
	YES (20)支所番号=99である(YES,NO)	/	
	YES (21) → (31)へ	/	
	NO (22)届書ファイルを読み,最後になるまで(23)～(29)の処理を繰り返す	/	
	(23)入力の支所番号=届書ファイルの出張所番号である (YES,NO)	/	
	YES (24)届書ファイルの処分区分は保留以外である (YES,NO)	/	
	YES (25)届書ファイルの届書排他区分は0である (YES,NO)	/	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/8

処理名	0.0 本紙　(2/3)		備考
	YES (26)中間ファイル(未決裁一覧)を作成し,件数をカウントする → (22)へ [1.0]	/	
	NO (27) → (22)へ	/	
	NO (28) → (22)へ	/	
	NO (29) → (22)へ	/	
	(30) → (38)へ	/	
NO	(31)届書ファイルを読み,最後になるまで(32)～(36)の処理を繰り返す	/	
	(32)届書ファイルの処分区分は保留以外である(YES,NO)	/	
	YES (33)届書ファイルの届書排他区分は0である(YES,NO)	/	
	YES (34)中間ファイル(未決裁一覧)を作成し,件数をカウントする → (31)へ [1.0]	/	
	NO (35) → (31)へ	/	
	NO (36) → (31)へ	/	
	(37) → (38)へ	/	
	(38)件数は1件以上ある(YES,NO)	/	
YES	(39)中間ファイル(未決裁一覧)から未決裁一覧画面を編集する メッセージ『決裁する届の番号を選択して下さい』を表示する (選択番号の入力を可とし,受領番号の入力を不可とする) [2.0]	/	
	(40)キー選択(実行キー,PF1,PF7,PF8,PF12,その他)	/	
	実行キー (41)選択番号の入力がある(YES,NO)	/	
	YES (42)選択番号に該当する届書ファイルを検索する (ある:YES,ない:NO)	/	
	YES (43)届書ファイルの排他区分は0である (YES,NO)	/	未決裁一覧で選択中に,他で処理された場合の確認。
	YES (44)中間ファイル(選択受領番号)を作成する [3.0]	/	
	(45)該当の届書ファイルの届書排他区分に1をセットする [4.0]	(46)決裁・受付へ制御を渡す	届書レコードの排他処理
	NO (47)エラーメッセージ『選択番号が誤っています。正しく入力して下さい』を表示する	(48)同画面を編集する → (40)へ	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/8

処理名				0.0 本紙　(3/3)			備考
			NO	(49)エラーメッセージ 『選択した届書ファイルは他で処理中です.決裁処理することはできません』を表示する			
			NO	(50)メッセージ『決裁する届の番号を選択して下さい』を表示する			
		PF1		(51)中間ファイル(未決裁一覧)を削除する		(52)業務選択へ制御を渡す	
		PF7		(53)前ページがあるか(YES,NO)	/		
			YES	(54)前ページ分の未決裁一覧画面を編集する	/		
			NO	(55)エラーメッセージ『先頭ページです』を表示する		(56)同画面を編集する→(40)へ	
		PF8		(57)次ページがあるか(YES,NO)	/		
			YES	(58)次ページ分の未決裁一覧画面を編集する	/		
			NO	(59)エラーメッセージ『最終ページです』を表示する		(60)同画面を編集する→ (10)へ	
		PF12		(61)中間ファイル(未決裁一覧)を削除し,入力画面を初期化する		(62)同画面を編集する→(4)へ	
		その他		(63)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(64)同画面を編集する→(40)へ	
	NO			(65)メッセージ『未決裁の届は存在しません(全て決裁済みです)』を表示する		(66)同画面を編集する→(4)へ	
PF1	————→					(67)業務選択に制御を渡す	
PF12	(68)入力画面を初期化する					(69)同画面を編集する→(4)へ	
その他	(70)エラーメッセージ『無効なキーが押下されました。』を表示する						

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/8

処理名	1.0　中間ファイル(未決裁一覧)作成処理	(受取側)中間ファイル(未決裁一覧)　←(引渡側)届書ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(未決裁一覧)	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	受付日			送付日または受領日				送付日があれば送付日を設定 送付日がなければ受領日を設定
	支所番号			出張所番号				
	事件本人			事件本人1				届書での代表事件本人
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/8

処理名	2.0　未決裁一覧画面表示処理	(受取側)未決裁一覧画面	←(引渡側)中間ファイル(未決裁一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
未決裁一覧画面	システム日付							システム日付
	現ページ,総ページ							未決裁一覧画面表示処理で設定
	入力支所番号							
	入力受領番号							
	一連番号							システムで設定
	受領番号　1～6		中間ファイル (未決裁一覧)	受領番号				
	処分区分名称　1～6			処分区分		有		
	事件名　1～6			選択事件コード		有		
最大1画面6明細	受理送付区分名称　1～6			受理送付区分		有		
	本非区分名称　1～6			本非区分		有		
	渉外区分名称　1～6			渉外区分		有		
	受付日　1～6			受付日		有		
	支所番号　1～6			支所番号				
	事件本人　1～6			事件本人				
	他受領番号　1～6							他受領番号にデータがあれば,『*』を表示する
	選択番号							

第72(11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	7/8

処理名	3.0 中間ファイル(選択受領番号)作成処理	(受取側)中間ファイル(選択受領番号) ←(引渡側)中間ファイル(届書)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(選択受領番号)	受領番号		中間ファイル(届書)	受領番号				
	処分区分			処分区分				
	選択事件コード			選択事件コード				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	出張所番号			出張所番号				
	動態区分			動態区分				
	他受領番号			同時決裁受領番号(1)				
	ロック戸籍番号 (1～5)			ロック戸籍番号 (1～5)				
	決裁区分							

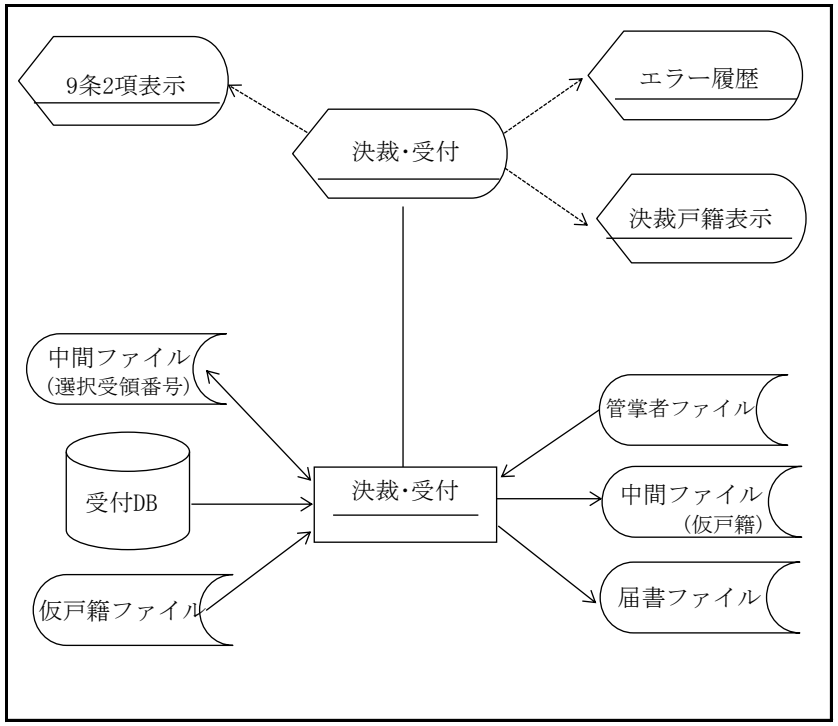
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		未決裁一覧	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/8

処理名	4.0　届書ファイル更新処理	(受取側)届書ファイル	←(引渡側)未決済一覧処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号 (1～5)							
	ロック戸籍番号 (1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書排他区分		未決裁一覧処理					1:排他を設定する

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/15

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付DB	入力	届書ファイル	出力
仮戸籍ファイル	入力		
中間ファイル(選択受領番号)	入出力		
管掌者ファイル	入力		
中間ファイル(仮戸籍	出力		

3.処理概要

(1)決裁･受付画面を編集する
(2)必要に応じ9条2項画面を表示する(PF9)
(3)必要に応じ決裁戸籍画面を表示する(PF10)
(4)必要に応じエラー履歴画面を表示する(PF11)
(5)管掌者が修正された場合はそのチェックを行う
(6)決裁区分の入力チェックを行う
(7)決裁区分により決裁または修正または誤処理の処理をした後、業務選択に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(決裁･受付画面)
- 2.0　単体チェック表
- 3.0　データ編集表(中間ファイル(選択受領番号))
- 4.0　データ編集表(中間ファイル(仮戸籍))
- 5.0　データ編集表(届書ファイル)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/15

処理名			0.0 本紙 (1/4)			備考
(1) 中間ファイル(選択受領番号)を読む				/		
(2) 中間ファイル(選択受領番号)の受領番号と他受領番号をキーとして受付データベースを検索する				/		
(3) 決裁･受付画面を編集する [1.0]				/		
(4) キー選択(実行キー,PF1,PF3,PF5,PF7,PF8,PF9,PF10,PF11,その他)				/		
実行キー	(5) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]			/		
	YES	(6) 管掌者コードが入力された(YES,NO)		/		
		YES	(7) 入力された管掌者コードに対応するコードがあるまで,管掌者ファイルを読む(コードがある:YES,コードがない:NO)	/		
			YES (8) 管掌者名称を決裁･受付画面号に設定する → (12)へ	/		
			NO (9) エラーメッセージ「管掌者コードが間違っています。」を表示する		(10)同画面を編集する	
		NO	(11) → (12)へ	/		
		(12)入力された決裁区分と決裁名称を決裁･受付画面号に設定する			(13)同画面を編集する	
	NO	(14)エラーメッセージを表示する				
PF1	(15)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する			/		
	(16)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]			/		
	(17)中間ファイル(選択受領番号)を削除する				(18)業務選択に制御を渡す	
PF3	(19)入力項目がチェック済みである(YES,NO)			/		
	YES	(20) → (23)へ		/		
	NO	(21)エラーメッセージ「実行キーを押下しないと決裁(PF3)処理はできません」を表示する			(22)同画面を編集する	
	(23)決裁区分を中間ファイル(選択受領番号)に設定し更新する [3.0]			/	『受付データベース』の要件定義書を参照	
	(24)受付データベース処理 ―――→			/		
	(25)決裁区分(1:『決裁』,2:『誤処理』,3:『修正』)			/		『誤処理』は決裁区分ではないが,名称を変更
	1	(26)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は受理である(YES,NO)		/		すると修正が広範囲に及ぶため,決裁処理中に
		YES	(27)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮戸籍ファイルを検索する	/		おいては「決裁処理で入力する区分」という意
			(28)該当の仮戸籍ファイルが存在する(YES,NO)	/		味で,決裁区分の名称をそのまま使用する。

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/15

処理名	0.0 本紙　(2/4)	備考
	YES (29)該当の仮戸籍ファイルについて(30)～(40)の処理を繰り返す /	仮戸籍ﾌｧｲﾙから決裁する仮戸籍を抽出する
	(30)仮戸籍の戸籍事項の数だけ(31)～(33)の処理を繰り返す /	
	(31)戸籍事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO) /	仮戸籍管理情報で判断する
	YES (32)管掌者コードを設定する　→　(30)へ /	
	NO (33)　→　(30)へ /	
	(34)→(35)へ /	
	(35)仮戸籍の身分事項の数だけ(36)～(38)の処理を繰り返す /	
	(36)身分事項は届出または移記で作成されたものである(YES,NO) /	仮戸籍管理情報で判断する
	YES (37)管掌者コードを設定する　→　(35)へ /	
	NO (38)　→　(35)へ /	
	(39)→(40)へ /	
	(40)中間ファイル(仮戸籍)を作成する　→　(29)へ[4.0] /	
	(41)　→　(42)へ /	
	(42)戸籍データベース処理　――→ /	『戸籍データベース』の要件定義書を参照
	(43)個人状態ファイル処理　――→ /	『個人状態ファイル』要件定義書を参照
	(44)不受理申出ファイル処理　――→ /	『不受理申出ファイル』の要件定義書を参照
	(45)附票データベース処理　――→ /	『附票データベース』の要件定義書を参照
	(46)民刑異動ファイル処理　――→ /	『民刑異動ファイル』の要件定義書を参照
	NO (47)　→　(48)へ /	
	(48)中間ファイル(選択受領番号)の選択事件コードは認知届である (YES,NO) /	
	YES (49)個人状態ファイル処理　――→ /	『個人状態ファイル』要件定義書を参照
	NO (50)→(51)へ /	
	(51)住基法9条2項処理　――→ /	『住基法9条2項』の要件定義書を参照
	(52)中間ファイル(選択受領番号)の選択事件コードは死亡届または失踪届である (YES,NO) /	
	YES (53)相続税法58条通知処理　――→ /	『相続税法58条通知』の要件定義書を参照

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/15

処理名			0.0 本紙 (3/4)			備考
			NO (54) → (55)へ	/		
			(55)中間ファイル(選択受領番号)の動態区分=1:要である (YES,NO)	/		
			YES (56)人口動態ファイル処理 →	/	『人口動態ファイル』の要件定義書を参照	
			NO (57)→(58)へ	/		
			(58)発送ファイル処理 →	/	『発送ファイル』の要件定義書を参照	
			(59)統計処理 →	/	『統計』の要件定義書を参照	
		NO	(60)中間ファイル(選択受領番号)のロック戸籍番号がある (YES,NO)	/		
			YES (61)戸籍データベース処理 →	/	『戸籍データベース』の要件定義書を参照	
			NO (62) → (63)へ	/		
			(63)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして,仮戸籍ファイルを検索し,該当のレコードがあれば削除する	/		
			(64)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして,エラー履歴ファイルを検索し,該当のレコードがあれば削除する	/		
			(65)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして,仮9条2項ファイルを検索し,該当のレコードがあれば削除する	/		
			(66)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号に該当の届書ファイルを削除する	/		
			(67)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(68)業務選択へ制御を渡す	
	2		(69)届書ファイルの処分区分に9(誤処理)を,届書排他区分に0(未)を設定して,届書ファイルを更新する [5.0]	/		届書ファイルの排他を解除する ※処分区分における誤処理は9である
			(70)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして,仮戸籍ファイル,エラー履歴ファイル,仮9条2項ファイルを各々検索し,該当のレコードがあれば削除する	/		(51)～(53)の処理と同じ
			(71)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(72)業務選択へ制御を渡す	
	3		(73)届書ファイルの決裁区分に3(修正)を,届書排他区分に0(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]	/		届書ファイルの排他を解除する
			(74)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(75)業務選択へ制御を渡す	
PF5			(76)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/		
			(77)届書ファイルの届書排他区分に0:(未)を設定して届書ファイルを更新する [5.0]	/		

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	5/15

処理名	0.0 本紙 (4/4)			備考
	(78)中間ファイル(選択受領番号)を削除する		(79)未決裁一覧処理に制御を渡す	
PF7	(80)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/		PF7,PF8は1つの届の処理で複数の受付帳が作成されるときに別の受付帳を表示するためのファンクションキー (事件本人が3名以上いる場合の画面スクロールとは異なる)
	YES (81)現在表示の受領番号-1の受領番号で受付DBを検索する	/		
	(82)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/		
	YES (83)検索した受付DBの内容を表示する [1.0]		(84)同画面を編集する	
	NO (85)エラーメッセージ｢先頭ページを表示中です｣を表示する			
	NO (86)エラーメッセージ｢作成された受付帳は1件だけです｣を表示する			
PF8	(87)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/		
	YES (88)現在表示の受領番号+1の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (89)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/		
	YES (90)検索した受付DBの内容を表示する [1.0]		(91)同画面を編集する	
	NO (92)エラーメッセージ｢最終ページを表示中です｣を表示する			
	NO			
	NO (93)エラーメッセージ｢作成された受付帳は1件だけです｣を表示する			
PF9	――――→		(94)9条2項表示処理に制御を渡す	
PF10	――――→		(95)決裁戸籍表示処理に制御を渡す	
PF11	――――→		(96)エラー履歴表示画面に制御を渡す	
その他	(97)エラーメッセージ｢無効なキーが押下されました｣を表示する		(98)同画面を編集する	

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/15

処理名	1.0　決裁･受付画面編集(1/2)	(受取側)決裁･受付画面	←(引渡側)受付データベース

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
決裁･受付画面	画面ID							
	システム日付					有		システム日付
	現ページ,総ページ							
	受領番号		受付DB(受付)	受領番号				
	受理送付の別			受理送付区分		有		
	受付日			受付日		有		
	処分内容			処分区分		有		
	事件名			受付事件コード		有		
	事件発生日			事件発生日		有		
	事件発生時分			事件発生時分				
	決裁内容			決裁区分		有		
	出張所番号			出張所番号		有		
	発送日			発送日		有		
	郵送日			郵送日		有		
	本籍非本籍の別			本非区分		有		
	発日			発日		有		
	収日			収日		有		
	指示日			指示日		有		
	許可日			許可日		有		
	渉外内容			渉外区分		有		
	関連受領番号(1～5)			関連受領番号(1～5)				
	事件本人区分内容(1～4)		受付DB(事件本人)	事件本人区分		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している (1)　←　事件本人の1レコード目 (2)　←　事件本人の2レコード目 (3)　←　事件本人の3レコード目 (4)　←　事件本人の4レコード目
	届出人表示(1～4)			届出人区分		有		
	カナ氏名(1～4)			カナ氏名				
	漢字氏名(1～4)			漢字氏名				
	生年月日(1～4)			生年月日		有		

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	7/15

処理名	1.0　決裁･受付画面編集(2/2)	(受取側)決裁･受付画面　←　(引渡側)受付データベース

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
決裁･受付画面	送達確認2(1～4)		受付DB(事件本人)	送達確認2				
	送達確認1		受付DB(受付)	送達確認1				
	本籍(1～4)		受付DB(事件本人)	本籍コード		有		(1～4)は事件本人複数レコードに対応している
				本籍				
	届出人資格1		受付DB(受付)	届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資絡2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍 (*1)			届後本籍コード		有		(*1) 受付事件コードが 「1601」:死亡　又は 「4402」:その他(本籍分明)　又は「4404」:その他(死亡)のとき,「届後本籍」≠空白　であればその内容を表示する。 なお,このとき画面のタイトルを『死亡日時』に変更する。
				届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	管掌者コード		システム処理					管掌者コードを出力
	管掌者					有		管掌者コードの内容を表示
	決裁区分		受付DB(受付)					
	決裁内容					有		決裁区分の内容を表示

第72(11)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/15

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック	決裁･受付		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	決裁区分	○	数字	(1:決裁,2:誤処理,3:修正)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	管掌者コード		数字				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/15

処理名	3.0　中間ファイル(選択受領番号)更新	(受取側)中間ファイル(選択受領番号)　←(引渡側)決裁･受付処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択受領番号)	受領番号							
	処分区分							
	選択事件コード							
	受理送付区分							
	本非区分							
	出張所番号							
	動態区分							
	他受領番号							
	ロック戸籍番号 (1～5)							
	決裁区分		決裁･受付処理	決裁区分				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/15

処理名	4.0中間ファイル(仮戸籍)作成　(1/5)	(受取測)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定　←(引渡側)仮戸籍ファイル(戸籍特定)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル(戸籍特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/15

処理名	4.0中間ファイル(仮戸籍)作成(2/5)	(受取測)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項 ←(引渡側)仮戸籍ファイル(戸籍事項)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル(戸籍事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	戸籍番号			戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/15

処理名	4.0中間ファイル(仮戸籍)作成(3/5)	(受取測)中間ファイル(仮戸籍):個人特定 ←(引渡側)仮戸籍ファイル(個人特定)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル (個人特定)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	戸籍記録順位番号			戸籍記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/15

処理名	4.0中間ファイル(仮戸籍)作成(4/5)	(受取測)中間ファイル(仮戸籍):氏名 ←(引渡側)仮戸籍ファイル(氏名)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル(氏名)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/15

処理名	4.0中間ファイル(仮戸籍)作成(5/5)	(受取測)中間ファイル(仮戸籍):身分事項	←(引渡側)仮戸籍ファイル(身分事項)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報		仮戸籍ファイル(身分事項)	仮戸籍管理情報				
	編製区分			編製区分				
	個人番号			個人番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

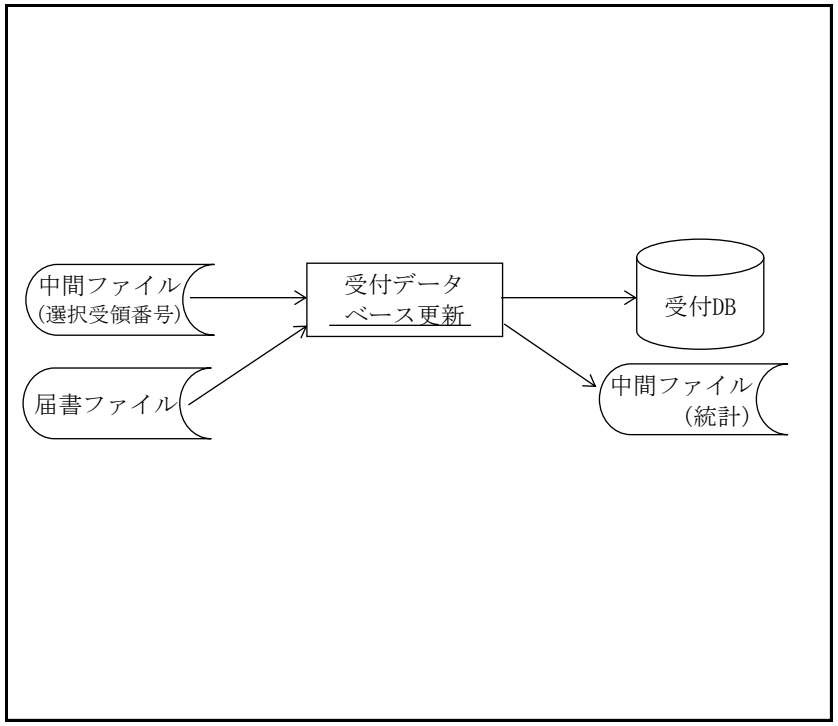
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		決裁･受付	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/15

処理名	5.0　届書ファイル更新	(受取側)届書ファイル	←(引渡側)決裁･受付処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
届書ファイル	受領番号							
	選択事件コード							
	出張所番号							
	受領日							
	送付日							
	発送元							
	在外送付区分							
	処理日							
	指示日							
	許可日							
	受理送付区分							
	本非区分							
	郵送日							
	動態区分							
	届区分							
	渉外区分							
	同時決裁受領番号 (1～5)							
	ロック戸籍番号 (1～5)							
	事件別内容							
	不受理申出処分区分							
	処分区分		決裁･受付処理	9(誤処理)				決裁区分が『誤処理』のとき設定
	決裁区分			決裁区分:3(修正)				決裁区分が『修正』のとき設定
	届書排他区分							0:未を設定

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
受付DB	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(選択受領番号)の内容を基に受付データベースを更新する
(2)受理の場合は事件の統計を取る

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(受付データベース)
- 2.0　データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/6

処理名	0.0 本紙(1/2)		備考
	(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む	/	
	(2)受領番号で受付DBを検索する	/	
	(3)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)	/	
YES	(4)決裁区分が1:『決裁』又は3:『修正』のとき,受付DBの決裁区分に設定し更新する [1.0] 決裁区分が2:『誤処理』のとき,受付DBの処分区分に設定し履歴をとる [1.0]	/	決裁区分を受付DBに設定する 誤処理は処分区分に設定し,受領番号の枝番をカウントアップし履歴処理とする
	(5)(6)～(9)の処理を繰り返す	/	
	(6)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/	
	YES (7)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である(YES,NO)	/	
	YES (8)決裁区分が1:『決裁』又は3:『修正』のとき,検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する [1.0] 決裁区分が2:『誤処理』のとき,検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる→(6)へ [1.0]	/	同一処理で作成された受付DBにも決裁区分を設定する(誤処理も同様)
	NO (9)→(19)へ	/	
	NO		
	(10)→(19)へ	/	
NO	(11)中間ファイル(選択受領番号)の決裁区分は1:『決裁』である	/	
	YES (12)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/	
	(13)届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)にデータがある(YES,NO)	/	・胎児認知の届出がなされている出生届 ・身元不明の死亡(法91条1項)に対する本本籍分明届(法91条2項,3項) ・既に受付帳に記載のある追完届　　他 上記に関して,各々の受付データベースに関連受領番号を記載しなければいけない ※1つの届書入力処理で複数の受付データベースが作成されるときの,関連受領番号の記録は処分決定でされるので,決裁では決裁区分又は処分区分の設定だけでよい (6)～(8)がその処理である ・決裁区分を受付DBに設定する
	YES (14)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を,決裁区分に1を設定し,受付DBを更新する [1.0]	/	
	(15)関連受領番号をキーとして受付データベースを検索する (ある:YES,ない:NO)	/	
	YES (16)受付DBの関連受領番号(1～5)の空いている項目に,届書ファイルの関連受領番号(事件別内容)を設定し,受付DBを更新する [1.0]	/	
	NO (17)→(19)へ	/	
	NO (18)決裁区分が1:『決裁』又は3:『修正』のとき,検索した受付DBの決裁区分に設定し更新する [1.0] 決裁区分が2:『誤処理』のとき,検索した受付DBの処分区分に設定し履歴をとる [1.0]	/	
	NO		

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/6

処理名	0.0 本紙(2/2)			備考
(19)中間ファイル(選択受領番号)決裁区分は1:『決裁』である(YES,NO)		/		
YES (20)中間ファイル(選択受領番号)の処分区分は1:『受理』である(YES,NO)		/		以降,統計処理を行う
YES (21)中間ファイル(選択受領番号)の出張所番号で中間ファイル(統計)を作成し,受理送付区分と本非区分を設定する [2.0]		/		
(22)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号で受付DBを検索する		/		
(23)受付DBの発日と収日にデータがある(YES,NO)		/		
YES (24)中間ファイル(統計)の伺い数に1を加える [2.0]		/		伺いの統計をとる
NO (25)→(26)へ		/		
(26)中間ファイル(選択受領番号)の他受領番号にデータがある(YES,NO)		/		
YES (27)以下の処理((28)～(32))を繰り返す		/		
(28)次の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)		/		
YES (29)検索した受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号　である(YES,NO)		/		
YES (30)受付データベースの発日と収日にデータがある (YES,NO)		/		
YES (31)中間ファイル(統計)の伺い数に1を加える [2.0]		/		伺いの統計をとる
NO (32)→(28)へ		/		
NO ——→			(33)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
NO ——→				
——→				
NO ——→				
NO ——→				
NO ——→				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/6

処理名	1.0受付データベース更新(1/2)	(受取側)受付DB(受付)	←(引渡側)受付データベース処理,届書ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号							誤処理のとき枝番をカウントアップし履歴処理とする
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)		届書ファイル	関連受領番号				事件別内容にあるデータ
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

第72(11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/6

処理名	1.0受付データベース更新(2/2)	(受取側)受付DB(受付)	←(引渡側)受付データベース処理,届書ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付DB(受付)	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	届書送付目録区分							
	処分区分		受付データベース処理	決裁区分				決裁区分が2:『誤処理』のとき設定
	決裁区分			決裁区分				決裁区分が1:『決裁』または 3:『修正』 のとき設定する

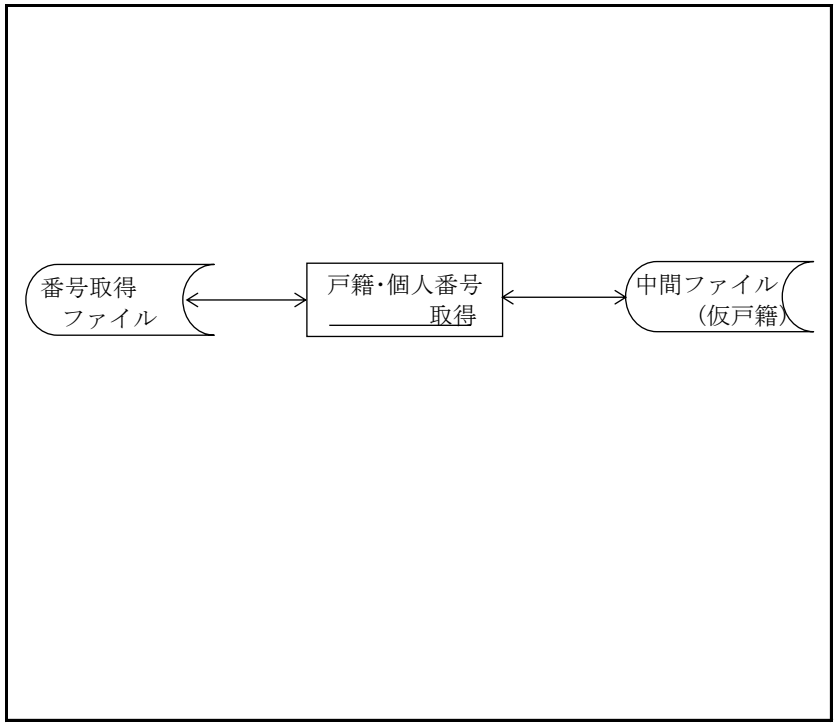
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/6

処理名	2.0　中間ファイル(統計)作成	(受取側)中間ファイル(統計)　←(引渡側)中間ファイル(選択受領番号),受付データベース

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号		中間ファイル(選択受領番号)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	伺い数		受付データベース処理	伺い数				
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附表一部消除数							
	附表全部消除数							
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入出力		
番号取得ファイル	入出力		

3.処理概要
(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う
(2)戸籍編製が新戸籍編製の場合,戸籍番号を取得し,仮戸籍ファイルに付加する
(3)戸籍に入籍者がいる場合,個人番号を取得し,仮戸籍ファイルに付加する

4.機能体系(要件定義書の構成)
0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新)
- 2.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):氏名更新)
- 5.0 データ編集表(中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新)
- 6.0 データ編集表(戸籍番号更新)
- 7.0 データ編集表(個人番号更新)

5.備考(特記事項含む)
(1)仮戸籍ファイルについて
ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人,外国人に関してはファイルを作成しない
イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
(異動前の情報を持つ必要はない)
ウ.異動者だけでなく,戸籍の全構成員について作成される

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0 本紙			備考
(1)番号取得ファイルを読み戸籍番号を取得する		/		
(2)番号取得ファイルを読み個人番号を取得する		/		
(3)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(4)～(23)の処理を繰り返す		/		
(4)戸籍編製区分は新戸籍編製である(YES,NO)		/		
YES	(5)「戸籍番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の戸籍番号に設定する	/		新戸籍編製であれば戸籍番号を付加する
	(6)戸籍番号に1をたす	/		
	(7)構成員の数だけ(8)～(9)の処理を繰り返す	/		新戸籍編製のときの構成員は全員新しい戸籍に入籍するので,個人番号を各々に取得する
	(8)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/		
	(9)個人番号に1をたす→(7)へ	/		
	(10)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定を更新する [1.0]	/		
	(11)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項を更新する [2.0]	/		
	(12)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]	/		
	(13)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]	/		
	(14)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(3)へ [5.0]	/		
NO	(15)構成員の数だけ(16)～(22)の処理を繰り返す	/		
	(16)個人異動区分は入籍である(YES,NO)	/		
	YES (17)「個人番号+1」を中間ファイル(仮戸籍)の個人番号に設定する	/		既存の戸籍に入籍するときは,個人番号を取得する
	(18)個人番号に1をたす	/		
	(19)中間ファイル(仮戸籍):個人特定を更新する [3.0]	/		
	(20)中間ファイル(仮戸籍):氏名を更新する [4.0]	/		
	(21)中間ファイル(仮戸籍):身分事項を更新する→(15)へ [5.0]	/		
	NO (22)→(15)へ	/		
	(23)→(3)へ	/		
(24)戸籍番号を番号取得ファイルの戸籍番号にセットして番号取得ファイルを更新する [6.0]		/		
(25)個人番号を番号取得ファイルの個人番号にセットして番号取得ファイルを更新する [7.0]			(26)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	1.0　中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定更新	(受取側)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定 ←(引渡側)番号取得ファイル(戸籍番号)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル（仮戸籍） 戸籍特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ﾌｧｲﾙ･個人番号+1を設定する
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	2.0　中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項更新	(受取側)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項　←(引渡側)番号取得ファイル(戸籍番号)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	戸籍番号		番号取得ファイル (戸籍番号)					番号取得ﾌｧｲﾙ･個人番号+1を設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	戸籍事項項目							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	3.0　中間ファイル(仮戸籍):個人特定更新	(受取側)中間ファイル(仮戸籍):個人特定　←(引渡側)番号取得ファイル(戸籍番号)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ﾌｧｲﾙ(個人番号) 番号取得ﾌｧｲﾙ(戸籍番号)					番号取得ﾌｧｲﾙ･個人番号+1を設定する
	戸籍番号							番号取得ﾌｧｲﾙ･戸籍番号+1を設定する
	個人記録順位番号							
	入籍日							
	除籍日							
	性別							
	生年月日							
	筆頭者区分							
	配偶者区分							
	父							
	母							
	父母との続柄							
	養父							
	養母							
	養父母との続柄							
	前個人番号							
	個人除区分							
	審査不可区分							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	4.0　中間ファイル(仮戸籍):氏名更新	(受取側)中間ファイル(仮戸籍):氏名 ←(引渡側)番号取得ファイル(個人番号)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 氏名	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル(個人番号)					番号取得ﾌｧｲﾙ･個人番号+1を設定する
	行番号							
	カナ氏名							
	漢字氏名							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	5.0　中間ファイル(仮戸籍):身分事項更新	(受取側)中間ファイル(仮戸籍):身分事項　←(引渡側)番号取得ファイル(個人番号)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	仮戸籍管理情報							
	編製区分							
	個人番号		番号取得ファイル(個人番号)					番号取得ﾌｧｲﾙ･個人番号+1を設定する
	行番号							
	出力区分							
	タイトルコード							
	記録コード							
	管掌者コード							
	事件発生日							
	身分事項項目							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	6.0　戸籍番号更新	(受取側)番号取得ファイル(戸籍番号)	←(引渡側)戸籍･個人番号取得処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (戸籍番号)	番号種別							1:戸籍番号
	戸籍番号		戸籍･個人番号取得処理	戸籍番号				

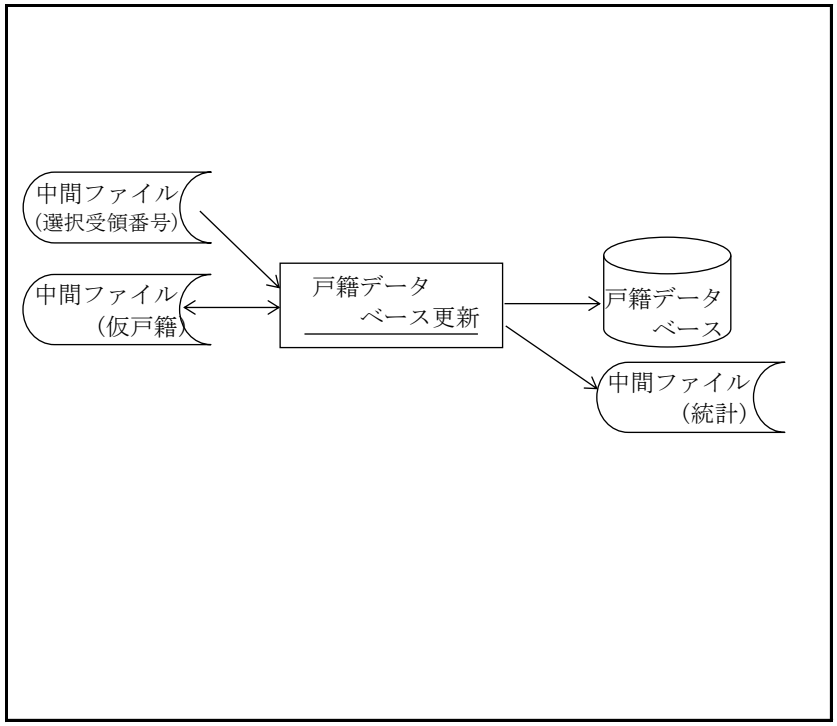
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍･個人番号取得	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	7.0　個人番号更新	(受取側)番号取得ファイル(個人番号)	←(引渡側)戸籍･個人番号取得処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル (個人番号)	番号種別							2:個人番号
	個人番号		戸籍･個人番号取得処理	個人番号				

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力		
中間ファイル(仮戸籍)	入力		
戸籍データベース	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)仮戸籍ファイルを基に以下の処理を行う

(2)処分区分が受理であれば,中間ファイル(仮戸籍)の更新情報(DB更新･追加)に従って,戸籍データベース(戸籍特定,戸籍事項,氏名,個人特定,身分事項)の更新･追加を行う

(3)処分区分が受理以外であれば,戸籍DBのロックを解除する(戸籍特定DBの更新)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理の場合)
- 2.0 データ編集表(戸籍事項)
- 3.0 データ編集表(氏名)
- 4.0 データ編集表(個人特定)
- 5.0 データ編集表(身分事項)
- 6.0 データ編集表(戸籍特定:処分区分が受理以外の場合)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

(1)　仮戸籍ファイルについて

ア.本籍人の戸籍に関してファイルが作成される(処分区分が受理のみ)
　本籍人:従前の戸籍が本籍地にあるまたは異動後の戸籍が本籍地に編製される
※非本籍人,外国人に関してはファイルを作成しない

イ.仮戸籍ファイルは異動後の戸籍の形態で作成される
　(異動前の情報を持つ必要はない)

ウ.異動者だけでなく,戸籍の全構成員について作成される

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成31年 3月31日	22	2/10

処理名	0.0 本紙 (1/2)		備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)があるか(YES,NO)		/	
YES (2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(39)の処理を繰り返す		/	
(3)戸籍編製区分は新戸籍編製または新戸・全除である(YES,NO)		/	
YES (4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数、新戸籍編製数、附票全部記載数に1を加える	[7.0]	/	統計処理
(5)戸籍特定情報を戸籍特定DBに追加する	[1.0]	/	新戸籍が編製された場合は仮戸籍の全部の情報を戸籍データベースに追加する
(6)戸籍事項の数だけ(7)の処理を繰り返す		/	
(7)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(6)へ	[2.0]	/	
(8)構成員の数だけ(9)～(14)の処理を繰り返す		/	
(9)中間ファイル(統計)の増減本籍人数に1を加える	[7.0]	/	
(10)個人特定情報を個人特定DBに追加する	[3.0]	/	
(11)氏名情報を氏名DBに追加する	[4.0]	/	
(12)身分事項の数だけ(13)の処理を繰り返す		/	
(13)身分事項情報を身分事項DBに追加する→(12)へ	[5.0]	/	
(14) → (8)へ		/	
(15) → (2)へ		/	
NO (16)戸籍編製区分は全部除籍または新戸・全除である(YES,NO)		/	
YES (17)中間ファイル(統計)の増減戸籍数から1を引き、全部除籍数、附票全部消除数に1を加える。	[7.0]	/ /	統計処理
NO (18) → (18.1)へ		/	
(18.1)戸籍編製区分は新戸・全除である(YES,NO)		/	
YES (18.2)戸籍事項の数だけ(18.3)の処理を繰り返す		/	統計処理
(18.3)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く	[7.0]	/	
NO (18.4) → (19)へ		/	
(19)戸籍特定情報で該当の戸籍特定DBを更新する	[1.0]	/	
(20)戸籍事項の数だけ(21)～(23)の処理を繰り返す		/	
(21)戸籍事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)		/	
YES (22)戸籍事項情報を戸籍事項DBに追加する→(20)へ	[2.0]	/	
NO (23) → (20)へ		/	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名	0.0 本紙(2/2)			備考
	(24)構成員の数だけ(25)～(39)の処理を繰り返す	/		
	(25)個人異動区分(入籍,除籍,その他)	/		
	入籍 (26)中間ファイル(統計)の増減本籍人数と附票一部記載数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	除籍 (27)中間ファイル(統計)の増減本籍人数から1を引く [7.0]	/		統計処理
	(28)戸籍編製区分は全部除籍である(YES,NO)	/		
	YES (29) ～ (32)へ	/		
	NO (30)中間ファイル(統計)の附票一部消除数に1を加える [7.0]	/		統計処理
	その他 (31) ～ (32)へ	/		
	(32)個人特定情報で該当の個人特定DBを更新する [3.0]	/		
	(33)今回の処理で氏名が変更になったか(YES,NO)	/		氏の変更･名の変更があった場合,氏名DBに追加する
	YES (34)氏名情報を氏名DBに追加する [4.0]	/		
	NO (35) ～ (36)へ	/		
	(36)身分事項の数だけ(37～(39)の処理を繰り返す	/		
	(37)身分事項は今回の処理で作成されたものか(YES,NO)	/		
	YES (38)身分事項の数だけ身分事項DBに追加する [5.0]	/		
	NO (39) → (36)へ	/		
	(40) → (24)へ	/		
	(41) → (2)へ	/		
→			(42)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
NO	(43)中間ファイル(選択受領番号)を読む	/		『受理』以外のときは,届書入力審査でロックした戸籍を解除する
	(44)ロック戸籍番号に戸籍番号が格納してあるか(YES,NO)	/		
	YES (45)ロック戸籍番号(1～5)に戸籍番号があるだけ(46)～(47)の処理を繰り返す	/		
	(46)戸籍番号をキーとして戸籍特定DBを検索する	/		
	(47)戸籍特定DBの戸籍異動区分に0をセットして戸籍特定DBを更新する(戸籍ロックの解除) → (45)へ [6.0]	/		
→			(48)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
	NO →			

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	1.0　戸籍DB(戸籍特定)更新/受理	(受取側)戸籍データベース(戸籍特定)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍):戸籍特定

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍特定	戸籍番号				
	編製日			編製日				
	改製日			改製日				
	回復日			回復日				
	消除日			消除日				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	記録者数			記録者数				
	在籍者数			在籍者数				
	除籍者数			除籍者数				
	戸籍除区分			戸籍除区分				
	戸籍異動区分			戸籍異動区分				0:ロック解除が設定されている

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	2.0 戸籍DB(戸籍事項)更新	(受取側)戸籍データベース(戸籍事項) ←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍):戸籍事項

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍事項)	戸籍番号		中間ファイル(仮戸籍) 戸籍事項	戸籍番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	戸籍事項項目			戸籍事項項目				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/10

処理名	3.0　戸籍DB(個人特定)更新	(受取側)戸籍データベース(個人特定)　←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍):個人特定

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (個人特定)	個人番号		中間ファイル(仮戸籍) 個人特定	個人番号				
	戸籍番号			戸籍番号				
	個人記録順位番号			個人記録順位番号				
	入籍日			入籍日				
	除籍日			除籍日				
	性別			性別				
	生年月日			生年月日				
	筆頭者区分			筆頭者区分				
	配偶者区分			配偶者区分				
	父			父				
	母			母				
	父母との続柄			父母との続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母との続柄			養父母との続柄				
	前個人番号			前個人番号				
	個人除区分			個人除区分				
	審査不可区分			審査不可区分				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	4.0　戸籍DB(氏名)更新	(受取側)戸籍データベース(氏名)	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍):氏名

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (氏名)	個人番号		中間ファイル(仮戸籍) 氏名	個人番号				
	行番号			行番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/10

処理名	5.0　戸籍DB(身分事項)更新	(受取側)戸籍データベース(身分事項)	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍):身分事項

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (身分事項)	個人番号		中間ファイル(仮戸籍) 身分事項	個人番号				
	行番号			行番号				
	出力区分			出力区分				
	タイトルコード			タイトルコード				
	記録コード			記録コード				
	管掌者コード			管掌者コード				
	事件発生日			事件発生日				
	身分事項項目			身分事項項目				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	6.0　戸籍DB(戸籍特定)更新/不受理	(受取側)戸籍データベース(戸籍特定)	←(引渡側)戸籍データベース処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍データベース (戸籍特定)	戸籍番号							
	編製日							
	改製日							
	回復日							
	消除日							
	本籍コード							
	本籍							
	筆頭者							
	記録者数							
	在籍者数							
	除籍者数							
	戸籍除区分							
	戸籍異動区分		戸籍データベース処理					0:戸籍ロック解除を設定

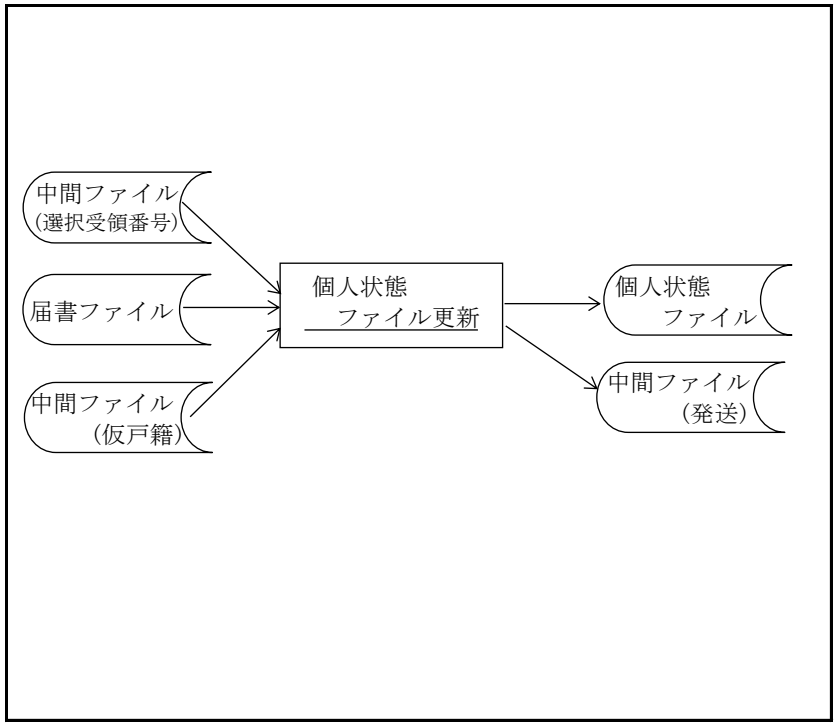
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	7.0 中間ファイル(統計)更新	(受取側)中間ファイル(統計)	←(引渡側)戸籍データベース処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数		戸籍データベース処理	増減戸籍数				
	増減本籍人数			増減本籍人数				
	新戸籍編製数			新戸籍編製数				
	全部除籍数			全部除籍数				
	伺い数							
	附票一部記載数		戸籍データベース処理	附票一部記載数				
	附票全部記載数			附票全部記載数				
	附票一部消除数			附票一部消除数				
	附票全部消除数			附票全部消除数				
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
中間ファイル(仮戸籍)	出力		
個人状態ファイル	出力		
中間ファイル(発送)	出力		

3.処理概要

(1)後見届,保佐届,胎児認知届,胎児認知区分のある出生届の各届出の場合,個人状態ファイルを更新する

(2)個人状態ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき,従前の内容を異動先の個人状態ファイルに移す

(3)胎児認知区分のある者が他市区町村の戸籍に異動したとき,中間ファイル(発送)の送付書類区分の胎児認知フラグを設定する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙(後見届)
- 2.0 別紙(保佐届)
- 3.0 別紙(認知届〔胎児認知〕)
- 4.0 別紙(出生届)
- 5.0 データ編集表(個人状態ファイル:区分の更新)
- 6.0 データ編集表(個人状態ファイル:作成)
- 7.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	2/10

処理名	0.0 本紙 (1/2)			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する		/		
(3)届書の事件名(後見届、保佐届、認知届、出生届、その他)		/		
後見届	(4)		(7)次の処理を行う	『受付･決裁』の要件定義書に戻る (4)削除
保佐届	(5)保佐届の処理を行う(別紙『保佐届』を参照) [2.0]			
認知届	(6)認知届の処理を行う(別紙『認知届』を参照) [3.0]			
出生届	(8)出生届の処理を行う(別紙『出生届』を参照) [4.0]	/		
その他	(9) → (10)へ	/		
(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(11)～(34)の処理を繰り返す		/		
(11)構成員の数だけ(12)～(33)の処理を繰り返す		/		
(12)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍、除籍、その他)		/		
入籍	(13)個人特定DBの前個人番号に個人番号がある(YES,NO)	/		個人状態ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは、異動後も同じ個人状態ファイルを作成する
YES	(14)前個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する	/		
	(15)個人状態ファイルがある(YES,NO)	/		
	YES (16)この個人状態ファイルと同じ内容で異動後の個人に個人状態ファイルを作成する → (11) [6.0]	/		
	NO (17) → (11)へ	/		
NO	(18) → (11)へ	/		
除籍	(19)除籍者は他市町村への異動である(YES,NO)	/		
YES	(20)除籍者の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する	/		
	(21)個人状態ファイルがある(YES,NO)	/		
	YES (22)胎児認知区分=1:有である(YES,NO)	/		
	YES (23)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		
	YES (24)中間ファイル(発送)の数だけ(25)～(27)の処理を繰り返す	/		
	(25)中間ファイル(発送)の市区町村コードと異動先の市区町村が同じ(YES,NO)	/		

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	3/10

処理名	0.0 本紙(2/2)		備考
YES	(26)中間ファイル(発送)の送付書類区分の胎児認知フラグに1を設定する→(11)へ [7.0]	/	胎児認知の届出をしている者が他の市区町村に異動した場合は、その旨の発送ファイルを作成する
NO	(27) → (24)へ	/	
	(28) → (29)へ	/	
NO	(29)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の胎児認知フラグに1を設定する → (11)へ [7.0]	/	
NO	(30) → (11)へ	/	
NO	(31) → (11)へ	/	
NO	(32) → (11)へ	/	
その他	(33) → (11)へ	/	
	(34) → (10)へ	/	
——→	(35)次の処理を行う		『受付･決裁』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	4/10

処理名	1.0 別紙(後見届)			備考
(1)		/		(1)～(17)まで削除
13: 禁治産宣告の裁判確定	(2)	/		
	(3)	/		
	YES (4)	/		
	(5)	/		
	YES (6)		(8)	
	NO (7)			
	NO (9) → (2)へ	/		
34: 禁治産宣告取消の裁判確定	(10)	/		
	(11)	/		
	YES (12)	/		
	(13)	/		
	YES (14)		(15)	
	NO →			
	NO (16) → (10)へ	/		
その他	→		(17)	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	5/10

処理名	2.0 別紙(保佐届)			備考
(1)届書ファイルの届出原因区分(11、31、その他)		/		
11: 準禁治産宣告の裁判確定	(2)	/		(2)～(9)まで削除
	(3)	/		
	YES (4)	/		
	(5)	/		
	YES (6)		(8)	
	NO (7)			
	NO (9) → (2)へ	/		
31: 準禁治産宣告取消の裁判確定	(10)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の構成員の数だけ(11)～(16)の処理を繰り返す	/		
	(11)個人異動区分は記載である(YES,NO)	/		
	YES (12)個人番号で個人状態ファイルを検索する	/		
	(13)個人状態ファイルがある(YES,NO)	/		
	YES (14)準禁治産者区分:0を設定し、個人状態ﾌｧｲﾙを更新する [5.0]		(15)本紙へ戻る	個人状態ファイルがある場合だけ更新する
	NO →			
	NO (16) → (10)へ	/		
その他	→		(17)本紙へ戻る	

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/10

処理名	3.0 別紙(認知届)			備考
(1)届書ファイルの認知区分=1:胎児認知届である(YES,NO)		/		
YES (2)母の個人番号がある(YES,NO)		/		母が本籍人の場合に限り胎児認知区分を設定する
YES (3)個人番号で個人状態ファイルを検索する		/		
(4)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)		/		
YES (5)胎児認知区分:1を設定し,個人状態ファイルを更新する	[5.0]		(7)本紙へ戻る	個人状態ファイルがあれば更新,なければ作成する
NO (6)個人状態ファイルを作成し,胎児認知区分:1を設定する	[5.0]			
NO ———→				
NO ———→				

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	4.0 別紙(出生届)			備考
(1)届書ファイルの事件別内容に母の個人番号がある(YES,NO)		/		母に胎児認知区分がある場合は,出生により無条件で区分を削除する
YES (2)個人番号で個人状態ファイルを検索する		/		
(3)個人状態ファイルは存在するか(YES,NO)		/		
YES (4)胎児認知区分は1である(YES,NO)		/		
YES (5)胎児認知区分:0を設定し,個人状態ファイルを更新する	[5.0]		(6)本紙へ戻る	個人状態ファイルがある場合だけ更新する
NO ———→				
NO ———→				
NO ———→				

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	4	8/10

処理名	5.0個人状態ファイル更新(区分変更)	(受取側)個人状態ファイル ← (引渡側)個人状態ファイル処理

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		個人状態ファイル処理					作成の場合は個人番号を設定
	禁治産者区分							
	準禁治産者区分							準禁治産取消:『0』を設定する
	破産宣告人区分							
	裁判所通知区分							
	犯歴区分							
	胎児認知区分		個人状態ファイル処理					胎児認知届:『1』を設定する 出生届:『0』を設定する
	受理処理伺い区分							
	保留区分							
	メモ							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	6.0 個人状態ファイル作成	(受取側)個人状態ファイル	←(引渡側)(前個人番号の)個人状態ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	禁治産者区分		(前個人番号の)個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	犯歴区分			犯歴区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理処理伺い区分			受理処理伺い区分				
	保留区分			保留区分				
	メモ			メモ				

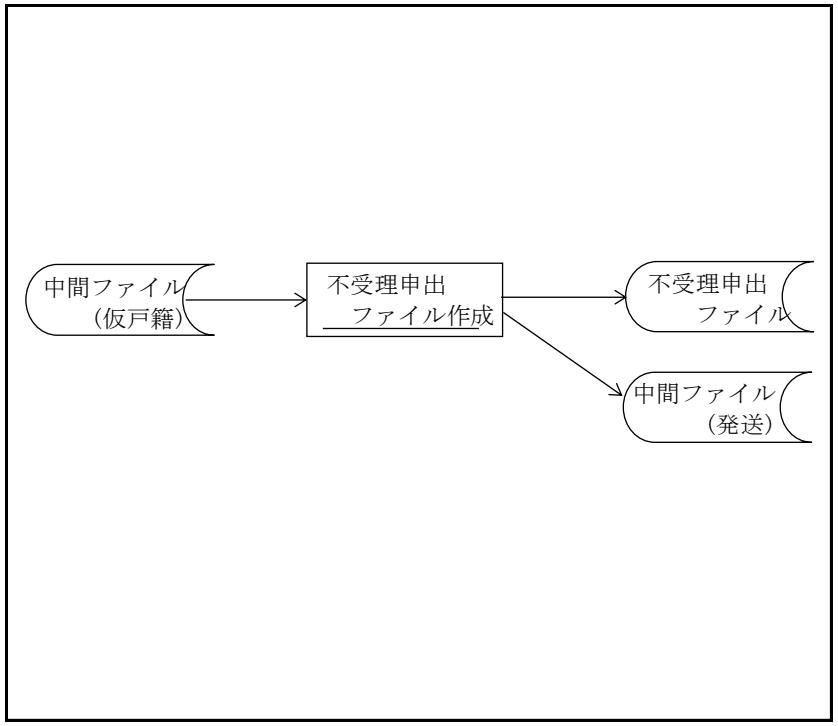
第72(11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	10/10

処理名	7.0 中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)	←(引渡側)中間ファイル(選択受領番号),仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル(選択受領番号)	受領番号				更新の場合は胎児認知フラグのみを
	出張所番号			出張所番号				設定
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	本籍地				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい)
	郵便番号					有		本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所,宛名を設定する
	住所					有		
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知		個人状態ﾌｧｲﾙ処理					有:『1』を設定する
	住民票通知							
	附票通知							

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		不受理申出ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
不受理申出ファイル	出力		
中間ファイル(発送)	出力		

3.処理概要

(1)不受理申出ファイルを持っている者が本籍地の他の戸籍に異動したとき,従前の内容を異動先の不受理申出ファイルに移す

(2)不受理申出ファイルを持っている者が他市区町村の戸籍に異動したとき,中間ファイル(発送)の送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0データ編集表(不受理申出ファイル)
- 2.0データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙	備考
(1)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(2)～(23)の処理を繰り返す	/	
(2)構成員の数だけ(3)～(22)の処理を繰り返す	/	
(3)中間ファイル(仮戸籍)の個人異動区分(入籍,除籍,その他)?	/	
入籍 (4)個人特定DBの前個人番号にデータがある(YES,NO)	/	不受理申出ファイルを有している者が他の戸籍(同一本籍地)に異動したときは,異動後も同じ不受理申出ファイルを作成する
YES (5)前個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する	/	
(6)不受理申出ファイルがある(YES,NO)	/	
YES (7)この不受理申出ファイルと同じ内容で異動後の個人に不受理申出ファイルを作成する　→　(2)へ [1.0]	/	
NO (8)　→　(2)へ	/	
NO (9)　→　(2)へ	/	
除籍 (10)除籍者は他市区町村へ異動する(YES,NO)	/	
YES (11)除籍者の個人番号をキーとして不受理申出ファイルを検索する	/	不受理申出ファイルを有している者が他の市区町村に異動した場合は,その旨の発送ファイルを作成する
(12)不受理申出ファイルがある(YES,NO)	/	
YES (13)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/	
YES (14)中間ファイル(発送)の数だけ(15)～(17)の処理を繰り返す	/	
(15)中間ファイル(発送)の市区町村コードと異動先の市区町村が同じ(YES,NO)	/	
YES (16)中間ファイル(発送)の送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する　→　(2)へ [2.0]	/	
NO (17)　→　(14)へ	/	
(18)　→　(19)へ	/	
NO (19)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し,送付書類区分の不受理申出フラグに1を設定する　→　(2)へ [2.0]	/	
NO (20)　→　(2)へ	/	
NO (21)　→　(2)へ	/	
その他 (22)　→　(2)へ	/	
(23)　→　(1)へ	/	
――→	(24)次の処理を行う	『受付･決裁』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　不受理申出ファイル作成	(受取側)不受理申出ファイル	←(引渡側)(前個人番号の)不受理申出ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出ファイル	個人番号							システムで新しい個人番号を設定
	行番号		(前個人番号の) 不受理申出ファイル	行番号				
	出張所番号			出張所番号				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件コード				
	開始日			開始日				
	送付日			送付日				
	失効日			失効日				
	失効区分			失効区分				
	作成日			作成日				
	相手方氏名1			相手方氏名1				
	相手方氏名2			相手方氏名2				

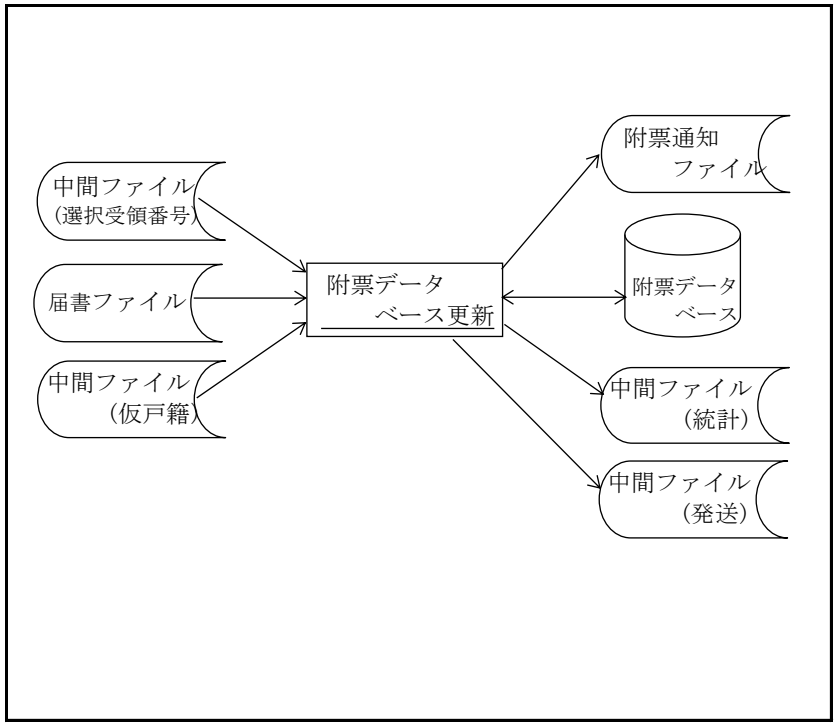
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	2.0　中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)	←(引渡側)中間ファイル(選択受領番号),仮戸籍ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル(選択受領番号)	受領番号				更新の場合は不受理申出フラグのみ
	出張所番号			出張所番号				を設定
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	本籍地				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい)
	郵便番号					有		本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所,宛名を設定する
	住所					有		
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出		不受理申出ﾌｧｲﾙ処理					有:『1』を設定する
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/10

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力	中間ファイル(統計)	出力
		中間ファイル(発送)	出力
届書ファイル	入力		
中間ファイル(仮戸籍)	入力		
附票データベース	入出力		
附票通知ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイル･仮戸籍ファイル,附票データベースを基に以下の処理を行う

(2)非本籍地から本籍地へ入籍した場合,出生等データを作成するだけの処理の場合に附票データベースを作成する(住所,住定日は除く)

(3)本籍地から本籍地へ異動した場合,従前の附票の最終住所とその住定日で異動後の附票データベースを作成する

(4)本籍地から非本籍地へ異動した場合,附票通知ファイルと発送ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(附票:個人番号登録のみ)
- 2.0　データ編集表(附票:作成)
- 3.0　データ編集表(附票通知ファイル)
- 4.0　データ編集表(中間ファイル(統計))
- 5.0　データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

サンプル

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/10

処理名	0.0 本紙 (1/4)		備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/	
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する		/	
(3)戸籍の届は何か(出生,国籍取得(帰化),就籍,その他)		/	
出生	(4)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(5)～(36)の処理を繰り返す	/	
	(5)棄児発見調書による処理か(YES,NO)	/	棄児は住所と住定日のない附票を作成する(住基法19-1通知で処理する)
	YES (6)中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (4)へ [1.0]	/	
	NO (7) → (8)へ	/	
	(8)構成員の数だけ(9)～(35)の処理を行う	/	
	(9)個人異動区分(入籍,除籍,その他)?	/	
	入籍 (10)入籍者は出生子である(YES,NO)	/	
	YES (11)届書の住所は日本国内である	/	
	YES (12)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号 住所･方書←届書の住所･方書, 住定日←届書の生年月日 で附票を作成する [2.0]	/	出生子は届書の情報で附票を作成する
	NO (13)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (8)へ [1.0]	/	出生子の住所が外国の場合は住所,住定日のない附票を作成する
	NO (14) → (15)へ	/	
	(15)異動者は前個人番号を持っている(YES,NO)	/	非嫡出子の出生で母につき新戸籍編製をする場合の母の処理
	YES (16)前個人番号で附票DBを検索する	/	
	(17)附票DBに住所が記載されている(YES,NO)	/	管内→管内の異動は従前の附票から最新の住所を新附票へ移記する
	YES (18)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号,住所･方書･住定日←前附票DBの最終の住所･方書･住定日 で附票を作成する [2.0]	/	
	NO (19)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (8)へ [1.0]	/	
	NO (20)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する → (8)へ [1.0]	/	管外→管内は住所情報を除く附票を作成し,19-3通知を待って処理する
	除籍 (21)除籍者は他市区町村へ異動する(YES,NO)	/	
	YES (22)除籍者の個人番号をキーとして附票DBを検索する	/	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/10

処理名					0.0 本紙(2/4)			備考
					(23)附票DBに住所が記載されている(YES,NO)	/		
					YES (24)附票DBの最終住所,住定日で附票通知ファイルを作成する [3.0]	/		管内→管外は附票から19-3通知を作成する
					(25)中間ファイル(統計)の附票通知作成数に1を加える [4.0]	/		
					(26)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		
					YES (27)中間ファイル(発送)の数だけ(28)～(30)の処理を繰り返す	/		
					(28)除籍者の異動先市区町村と発送ファイルの市区町村が同じ(YES,NO)	/		
						/		
					YES (29)中間ファイル(発送)の送付書類区分の附票通知フラグに1を設定する → (8)へ [5.0]	/		
					NO (30) → (27)へ	/		
					(31) → (32)へ	/		
					NO (32)受領番号と異動先の市区町村(本籍コード)で中間ファイル(発送)を作成し,送付書類区分の附票通知フラグに1を設定する → (8)へ [5.0]	/		
				NO	(33) → (8)へ	/		
			NO		(34) → (8)へ	/		
			その他		(35) → (8)へ	/		
		(36) → (4)へ				/		
	→					/	(37)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
国籍取得帰化	(38)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(39)～(48)の処理を繰り返す					/		
	(39)構成員の数だけ(40)～(47)の処理を行う					/		
	(40)個人異動区分(入籍,除籍,その他)?					/		
	入籍 (41)入籍者は国籍取得者(帰化者)である(YES,NO)					/		
	YES (42)届書の住所は日本国内である					/		

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/10

処理名	0.0　本紙　(3/4)					備考
			YES	(43)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号, 住所･方書←届書の住所･方書, 住定日←届書の住定日で附票を作成する　→ [2.0]	/	国籍取得者(帰化者)は届書の情報で附票を作成する
			NO	(44)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する　→　(39)へ [1.0]	/	
		NO		(44)　→　(45)へ	/	
		(45)入籍者の以降の処理は出生届の(15)～(20)と同じであるので省略			/	
		除籍		(46)除籍の処理は出生届の(21)～(34)と同じであるので省略	/	
		その他		(47)　→　(8)へ	/	
	(48)　→　(4)へ				/	
	→					(49)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
就籍	(50)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(51)～(58)の処理を繰り返す				/	
	(51)構成員の数だけ(52)～(57)の処理を行う				/	
		(52)個人異動区分(入籍,その他)?			/	
		入籍		(53)入籍者は就籍者である(YES,NO)	/	
			YES	(54)届書の住所は日本国内である	/	
				YES	(55)戸籍個人番号←中間ファイル(仮戸籍)の個人番号, 住所･方書←届書の住所･方書, 住定日←届書入力の住定日　で附票を作成する [2.0]	/	国籍取得者(帰化者)は届書の情報で附票を作成する
				NO	(58)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号で附票を作成する　→　(51)へ [1.0]	/	
		その他			(57)　→　(8)へ	/	
	(58)　→　(4)へ				/	
	→				/	(59)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
その他	(60)戸籍の中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(61)～(66)の処理を繰り返す				/	
	(61)構成員の数だけ(62)～(65)の処理を行う				/	
		(62)個人異動区分(入籍,除籍,その他)?			/	
		入籍		(63)入籍の処理は出生届の(15)～(20)と同じであるので省略	/	
		除籍		(64)除籍の処理は出生届の(21)～(34)と同じであるので省略	/	

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/10

処理名	0.0　本紙　(4/4)		備考
	その他　(65)　→　(8)へ	/	
	(66)　→　(4)へ	/	
	――→	(67)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/10

処理名	1.0　附票DB作成(個人番号)	(受取側)附票データベース	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
附票データベース	戸籍個人番号		中間ファイル(仮戸籍)	戸籍個人番号				
	住記個人番号							
	履歴番号							
	現除区分							
	作成日							
	住所登録事由コード							
	住所							
	方書							
	住定日							
	消除日							
	住所消除事由コード							
	修正確定日							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/10

処理名	2.0　附票DB作成	(受取側)附票データベース	←(引渡側)中間ファイル(仮戸籍),附票データベース処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
附票データベース	戸籍個人番号		中間ファイル(仮戸籍)	戸籍個人番号				
	住記個人番号							
	履歴番号		附票データベース処理(届書ファイル等)	履歴番号				1を設定(1から連番で取得)
	現除区分			現除区分				0:現住所を設定
	作成日			作成日				
	住所登録事由コード			住所登録事由コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	消除日							
	住所消除事由コード							
	修正確定日							

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/10

処理名	3.0　附票通知ファイル作成	(受取側)附票通知ファイル　←(引渡側)中間ファイル(選択受領番号),附票DB処理,届書ファイル,附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
附票通知ファイル	受領番号		中間ファイル(選択受領番号) 届書ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				入籍先の自治体コードを設定
	宛名			宛名		有		入籍先の自治体の宛名を設定
	事件コード			事件コード				
	受理日			受領日				
	新本籍			新本籍				各届書毎に項目が異なる 新本籍→異動後の本籍 旧本籍→届出前の本籍 新筆頭者→異動後の筆頭者 旧筆頭者→届出前の筆頭者 ※事件別内容部分
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	氏名			事件本人氏名				※事件別内容部分
	住所		附票データベース	住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/10

処理名	4.0　中間ファイル(統計)更新	(受取側)中間ファイル(統計)	←(引渡側)附票データベース処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	伺い数							
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附票一部消除数							
	附票全部消除数							
	附票通知作成数		附票データベース処理	附票通知作成数				
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数							

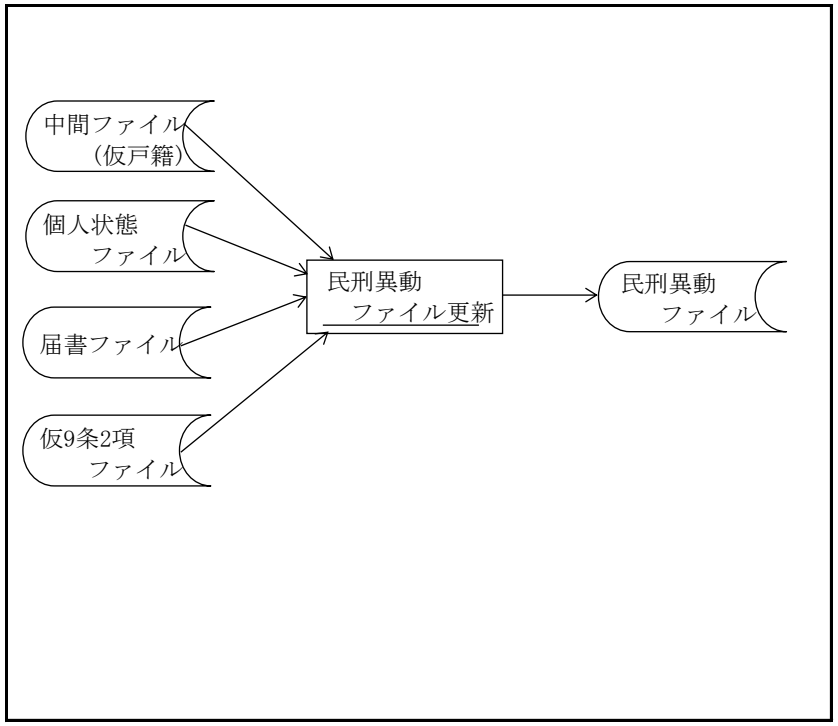
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		附票データベース	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/10

処理名	5.0 中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)　←(引渡側)中間ファイル(選択受領番号),仮戸籍ファイル,附票DB処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		中間ファイル(選択受領番号)	受領番号				更新の場合は附票通知フラグのみを
	出張所番号			出張所番号				設定
	市区町村コード		仮戸籍ファイル	届後本籍				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所、宛名を設定する
	郵便番号					有		
	住所					有		
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知		附票データベース処理					有:『1』を設定する

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		民刑異動ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(仮戸籍)	入力		
個人状態ファイル	入力		
届書ファイル	入力		
仮9条2項ファイル	入力		
民刑異動ファイル	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(仮戸籍)を読み以下の処理を行う

(2)異動者が禁治産者,準禁治産者,破産者,犯歴者の場合,民刑異動ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙── 1.0　データ編集表(民刑異動ファイル)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		民刑異動ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙　(1/2)	備考

(1)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(2)～(31)の処理を繰り返す /

(2)構成員の数だけ(3)～(30)の処理を行う /

(3)個人異動区分は除籍又は記載である(YES,NO) /

異動者だけ処理を行うが,入籍者については
・(本→本異動)は除籍者で作成する
・(非本→本異動)は作成不要
・(出生等入籍のみ)も作成不要であるので入籍は処理不要

YES (4)個人番号で個人状態ファイルを検索する /

(5)個人状態ファイルが存在する(YES,NO) /

YES (6)禁治産者区分,準禁治産者区分,破産宣告人区分,犯歴区分のいずれかの区分=1:有である(YES,NO) /

YES (7)中間ファイル(仮戸籍)の受領番号をキーとして仮9条2項ファイルを検索する /

仮9条2項ファイルがある場合は,その新旧情報で民刑異動ファイルを作成する

(8)仮9条2項ファイルが存在する(YES,NO) /

YES (9)該当受領番号の仮9条2項ファイルがなくなるまで(10)～(24)の処理を繰り返す /

(10)中間ファイル(仮戸籍)の個人番号=仮9条2項ファイルの個人番号である (YES,NO) /

仮9条2項ファイルの新旧情報を比較し,同じ項目は旧のみを登録する

YES (11)仮9条2項ファイルの新氏名=旧氏名である (YES,NO) /

YES (12)旧氏名を民刑異動ファイルへ設定する [1.0] /

NO (13)旧氏名と新氏名を民刑異動ファイルへ設定する [1.0] /

(14)仮9条2項ファイルの新本籍=旧本籍である (YES,NO) /

YES (15)旧本籍を民刑異動ファイルへ設定する [1.0] /

NO (16)旧本籍と新本籍を民刑異動ファイルへ設定する [1.0] /

(17)仮9条2項ファイルの新筆頭者=旧筆頭者である (YES,NO) /

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		民刑異動ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	0.0　本紙　(2/2)			備考
	YES	(18)旧筆頭者を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/	
	NO	(19)旧筆頭者と新筆頭者を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/	
		(20)仮9条2項ファイルの新生年月日=旧生年月日である (YES,NO)	/	
	YES	(21)旧生年月日を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/	
	NO	(22)旧生年月日と新生年月日を民刑異動ファイルへ設定する [1.0]	/	
		(23)その他の項目を設定して民刑異動ファイルを作成する　→　(2)へ [1.0]	/	
NO	(24)　→　(9)へ		/	
(25)　→　(26)へ			/	
NO	(26)中間ファイル(仮戸籍)の受領番号で届書ファイルを検索する		/	仮9条2項ファイルがない場合は,新旧情報が存在しないので,届書ファイルの現情報で民刑異動ファイルを作成する
	(27)届書ファイルの内容で民刑異動ファイルを作成する　→　(2)へ [1.0]		/	
NO	(28)　→　(2)へ		/	
NO	(29)　→　(2)へ		/	
NO	(30)　→　(2)へ		/	
(31)　→　(1)へ			/	
———→				(32)次の処理を行う　『決裁･受付』の要件定義書に戻る

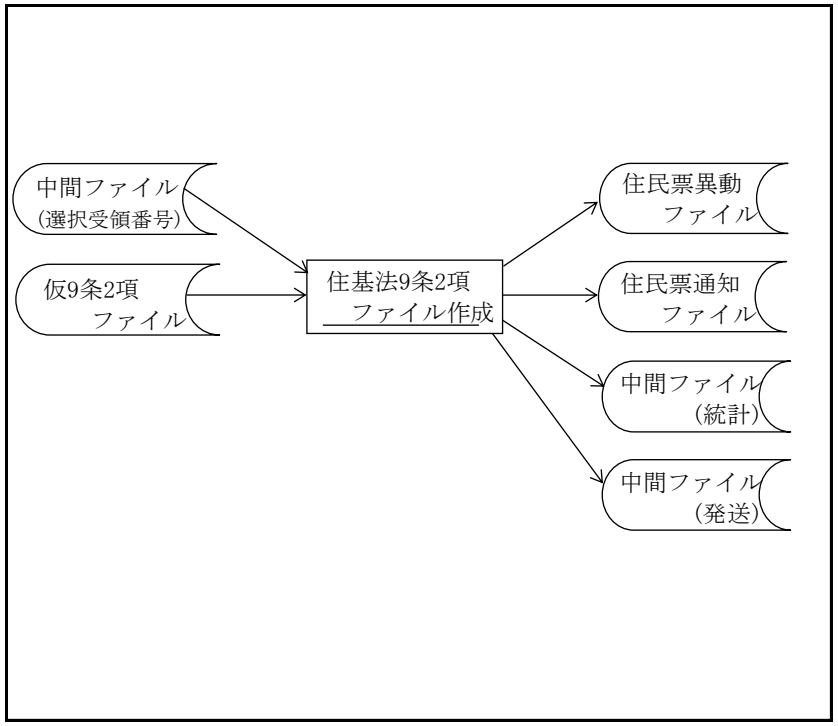
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		民刑異動ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	1.0　民刑異動ファイル作成	(受取側)民刑異動ファイル　←(引渡側)個人状態ファイル,届書ファイル(又は仮9条2項ファイル)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
民刑異動ファイル	処理日							処理日又は送付日又は受領日
	出張所番号		届書ファイル(仮9条2項ファイル)	出張所番号				
	事件コード			選択事件コード				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	犯歴区分			犯歴区分				
	新氏名		届書ファイル(仮9条2項ファイル)	新氏名				変更があった場合のみ記載
	旧氏名			旧氏名				
	新本籍			新本籍				変更があった場合のみ記載
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				変更があった場合のみ記載
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	新生年月日			新生年月日				変更があった場合のみ記載
	旧生年月日			旧生年月日				

第72(11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/7

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力	中間ファイル(発送)	出力
仮9条2項ファイル	入力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)仮9条2項ファイルを基に以下の処理を行う

(2)新旧のデータを比較し,変更のあるデータだけを次の条件でファイルに振り分ける

(3)事件本人が住所人の場合,住民票異動ファイルを作成する

(4)事件本人が非住所人の場合,住民票通知ファイル(住基法9条2項通知)と発送ファイルを作成する

(5)住民票異動ファイル作成数及び住民票通知作成数の統計を取得する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(住民票異動ファイル作成)
- 2.0　データ編集表(住民票通知ファイル作成)
- 3.0　データ編集表(中間ファイル(統計))
- 4.0　データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/7

処理名	0.0 本紙　(1/2)		備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/	
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮9条2項ファイルを検索する		/	
(3)該当する受領番号の仮9条2項ファイルが無くなるまで(4)～(36)の処理を繰り返す		/	
(4)変更フラグに0をセットする		/	
(5)旧氏名=新氏名である(YES,NO)		/	
YES (6)新氏名を空白にする		/	
NO (7)変更フラグに1をセットする		/	
(8)旧生年月日=新生年月日である(YES,NO)		/	
YES (9)新生年月日を空白にする		/	
NO (10)変更フラグに1をセットする		/	
(11)旧父母との続柄=新父母との続柄である(YES,NO)		/	
YES (12)新父母との続柄を空白にする		/	
NO (13)変更フラグに1をセットする		/	
(14)旧本籍(本籍コード)=新本籍(本籍コード)である(YES,NO)		/	
YES (15)新本籍(本籍コード)を空白にする		/	
NO (16)変更フラグに1をセットする		/	
(17)旧筆頭者=新筆頭者である(YES,NO)		/	
YES (18)新筆頭者を空白にする		/	
NO (19)変更フラグに1をセットする		/	
(20)変更フラグ=1(YES,NO)		/	
YES (21)異動者は住所人である(YES,NO)		/	
YES (22)9条2項情報を住民票異動ファイルに出力する	[1.0]	/	住所人は住民票異動ファイルを作成する
(23)中間ファイル(統計)の住民票異動作成数に1を加える	[3.0]	/	
NO (24)住所は日本国内である(YES,NO)		/	外国に住所がある者は9条2項通知は不要
YES (25)　→　(27)へ		/	
NO (26)　→　(3)へ		/	
(27)9条2項情報を住民票通知ファイルに出力する	[2.0]	/	住所人以外は住民票通知ファイルを作成する
(28)中間ファイル(統計)の住民票通知作成数に1を加える	[3.0]	/	
(29)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)		/	発送ファイルを作成する

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/7

処理名	0.0　本紙(2/2)			備考
	YES	(30)中間ファイル(発送)の数だけ(31)～(33)の処理を繰り返す	/	
		(31)異動者の住所と発送ファイルの市区町村が同じ (YES,NO)	/	
		YES (32)中間ファイル(発送)の送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定する　→　(3)へ [4.0]	/	
		NO (33)　→　(30)へ	/	
	(34)　→　(35)へ		/	
	NO	(35)受領番号と異動者の住所(住所コード)で中間ファイル(発送)を作成し,送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定する　→　(3)へ [4.0]	/	
NO	(36)　→　(3)へ		/	
→			(37)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/7

処理名	1.0　住民票異動ファイル作成	(受取側)住民票異動ファイル	←(引渡側)仮9条2項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票異動ファイル	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				国籍取得,帰化のみ設定
	住民日			住民日				国籍取得,帰化のみ設定
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				出生,国籍取得,帰化のみ設定

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/7

処理名	2.0　住民票通知ファイル作成	(受取側)住民票通知ファイル　←(引渡側)仮9条2項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票通知ファイル	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				国籍取得,帰化のみ設定
	住民日			住民日				国籍取得,帰化のみ設定
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				出生,国籍取得,帰化のみ設定

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/7

処理名	3.0　中間ファイル(統計)更新	(受取側)中間ファイル(統計)	←(引渡側)住基法9条2項処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	伺い数							
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附票一部消除数							
	附票全部消除数							
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数		住基法9条2項処理	住民票通知作成数				
	住民票異動作成数			住民票異動作成数				
	相続税法58条通知作成数							

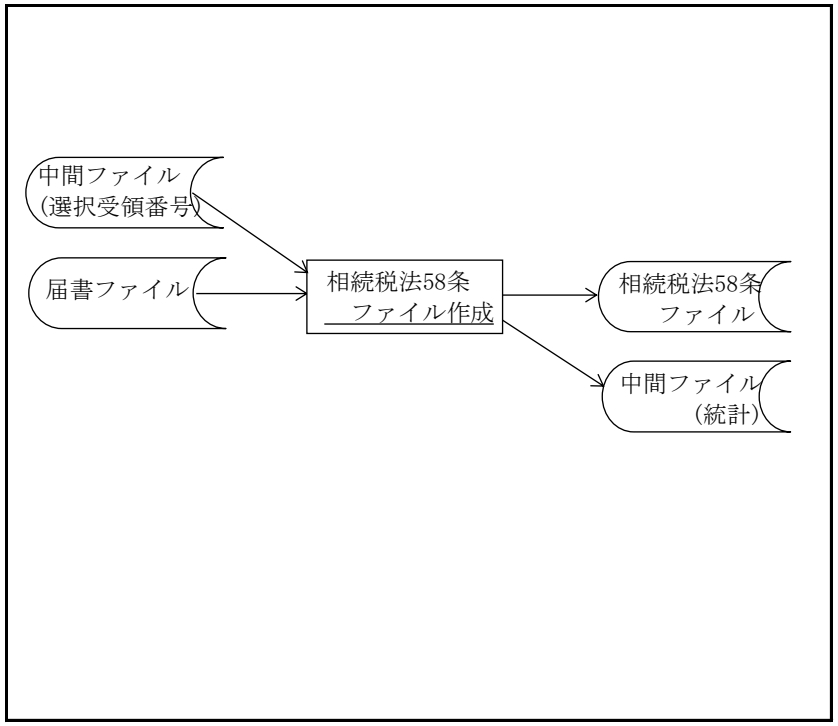
第72(11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		住基法9条2項	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/7

処理名	4.0　中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)	←(引渡側)仮9条2項ファイル,住基法9条2項処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				更新の場合は住民票通知フラグのみ
	出張所番号			出張所番号				を設定
	市区町村コード			住所				住所コードの上5桁(送付する市区町村名が分かればよい)
	郵便番号					有		
	住所					有		住所コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所,宛名を設定する
	宛名					有		
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知		住基法9条2項処理					有:『1』を設定する
	附票通知							

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		相続税法58条通知	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
相続税法58条ファイル	出力		
中間ファイル(統計)	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを基に以下の処理を行う

(2)死亡届及び失踪届の受理扱い分であれば相続税法58条ファイルを作成する

(3)相続税法58条通知の統計を取得する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(相続税法58条ファイル)
- 2.0　データ編集表(中間ファイル(統計))

5.備考(特記事項含む)

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙			備考
	(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む	/		
	(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する	/		
	(3)届書ファイルの在外送付区分=0(受理分の届)または2(在外公館からの直接送付)である (YES,NO)	/		
YES	(4)相続税法58条ファイルを作成する [1.0]	/		
	(5)中間ファイル(統計)の相続税法58条通知作成数に1を設定する [2.0]		(6)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
NO	――→			

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　相続税法58条ファイル作成	(受取側)相続税法58条ファイル　←(引渡側)届書ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
相続税法58条ファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	住所			住所				
	本籍			本籍				本非区分=1(本籍分届)のとき設定
	筆頭者区分							
	生年月日			生年月日				
	相続開始年月日			死亡日				
	死亡地			死亡地				死亡届のとき設定
	届出人氏名			届出人氏名				
	届出人住所			届出人住所				死亡届のとき設定

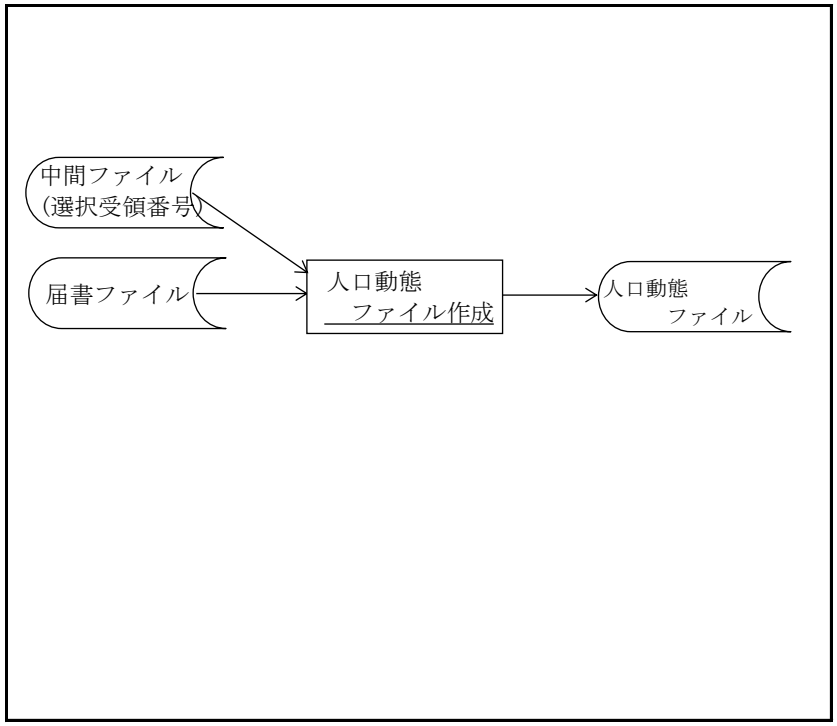
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		相続税法58条通知	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	2.0　中間ファイル(統計)更新	(受取側)中間ファイル(統計)	←(引渡側)相続税法58条通知処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(統計)	受領番号							
	出張所番号							
	受理送付区分							
	本非区分							
	増減戸籍数							
	増減本籍人数							
	新戸籍編製数							
	全部除籍数							
	伺い数							
	附票一部記載数							
	附票全部記載数							
	附票一部消除数							
	附票全部消除数							
	附票通知作成数							
	住民票通知作成数							
	住民票異動作成数							
	相続税法58条通知作成数		相続税法58条通知処理	相続税法58条通知作成数				

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		人口動態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/2

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
人口動態ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを基に以下の処理を行う

(2)出生届,死亡届,婚姻届,離婚届で受理扱い分の場合,人口動態ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0　本紙

5.備考(特記事項含む)

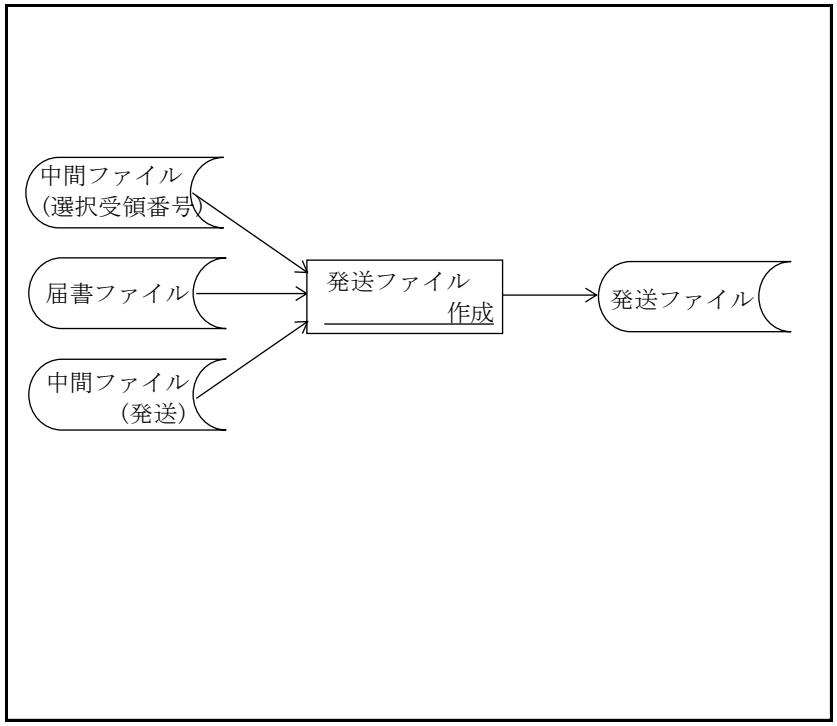
データ編集表は削除する
データ編集内容は厚生省の「標準仕様書」を参照のこと

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		人口動態ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/2

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読み込む		/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する		/		
(3)届出事件は何か(出生,死亡,婚姻,離婚)		/		
出生届	(4)人口動態ファイル(出生)を作成する [1.0]		(8)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
死亡届	(5)人口動態ファイル(死亡)を作成する [2.0]			
婚姻届	(6)人口動態ファイル(婚姻)を作成する [3.0]			
離婚届	(7)人口動態ファイル(離婚)を作成する [4.0]			

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		発送ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力		
届書ファイル	入力		
中間ファイル(発送)	入出力		
発送ファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイルを読み届書の送付が必要な場合,中間ファイル(発送)があれば追加し,なければ中間ファイル(発送)を作成する

(2)中間ファイル(発送)があればその内容を発送ファイルに登録する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0　データ編集表(中間ファイル(発送))
- 2.0　データ編集表(発送ファイル)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		発送ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読み込む		/		
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして届書ファイルを検索する		/		
(3)在外送付区分は0:『受理分の届』又は2:『在外公館の直接送付』である(YES,NO)		/		
YES	(4)届書ファイルの本籍(現本籍,異動後本籍)の数だけ(5)～(13)の処理を繰り返す	/		届書の送付が必要な場合は発送ファイルを作成する(他市区町村へ:国外は除く)
	(5)その本籍は管外本籍(国籍を除く)である(YES,NO)	/		
	YES (6)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/		
	YES (7)中間ファイル(発送)の数だけ(8)～(10)の処理を繰り返す	/		
	(8)中間ファイル(発送)の市区町村コードと本籍コードが同じ(YES,NO)	/		
	YES (9)中間ファイル(発送)の送付書類区分の届書フラグに1を設定する　→　(4)へ [1.0]	/		中間ファイルがあれば届書フラグを設定する
	NO (10)　→　(7)へ	/		
	(11)　→　(12)へ	/		
	NO (12)受領番号と本籍コードで中間ファイル(発送)を作成し,送付書類区分の届書フラグに1を設定する　→　(4)へ [1.0]	/		中間ファイルがなければ作成し,届書フラグを設定する
	NO (13)→(4)へ	/		
	(14)→(16)へ	/		
NO	(15)→(16)へ	/		
(16)中間ファイル(発送)が存在する(YES,NO)		/		
YES	(17)中間ファイル(発送)の数だけ以下の処理を繰り返す	/		
	(18)中間ファイル(発送)の内容で発送ファイルを作成する　→　(17) [2.0]	/		
	――→		(19)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
NO	――→			

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		発送ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)	←(引渡側)届書ファイル,発送ファイル処理

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		届書ファイル	受領番号				更新の場合は届書フラグのみを設定
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			本籍コード				本籍コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい) 本籍コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所,宛名を設定する
	郵便番号							
	住所							
	宛名							
	送付書類区分							
	届書		発送ファイル処理					有:『1』を設定する
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							

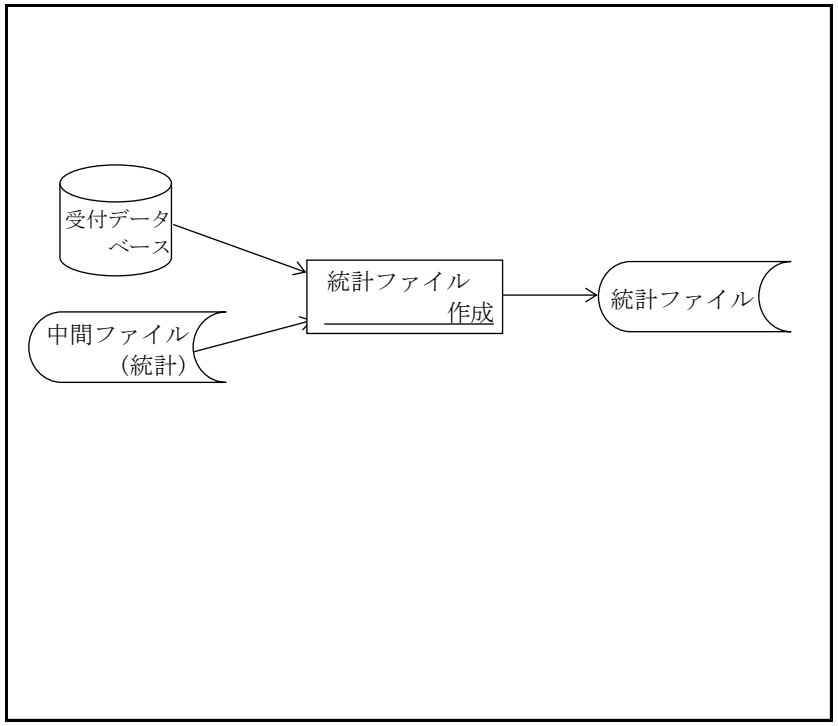
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		発送ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	2.0　発送ファイル作成	(受取側)発送ファイル	←(引渡側)中間ファイル(発送)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		中間ファイル(発送)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号			郵便番号				
	住所			住所				
	宛名			宛名				
	送付書類区分			送付書類区分				
	届書			届書				
	不受理申出			不受理申出				
	胎児認知			胎児認知				
	住民票通知			住民票通知				
	附票通知			附票通知				

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		統計ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付データベース	入力		
中間ファイル(統計)	入力		
統計ファイル	出力		

3.処理概要

(1)中間ファイル(統計)の内容と受付DBから統計ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙── 1.0　データ編集表(統計ファイル)

5.備考(特記事項含む)

再製の統計は除く

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		統計ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0 本紙			備考
(1)中間ファイル(統計)を読み込む		/		
(2)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを読み込む		/		
(3)統計ファイルが存在する(YES,NO)		/		
YES	(4)中間ファイル(統計)の増減戸籍数～相続税法58条通知作成数を統計ファイルの同じ項目に加える [1.0]	/		統計ファイルがあれば中間ファイル(統計)の内容を追加する
NO	(5)処理日と中間ファイル(統計)の出張所番号で統計ファイルを作成し,中間ファイル(統計)の増減戸籍数～相続税法58条通知作成数を統計ファイルの同項目に設定する [1.0]	/		統計ファイルがなければ中間ファイル(統計)の内容で作成する
(6)中間ファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する		/		
(7)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)		/		
YES	(8)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)	/		
YES	(9)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える [1.0]	/		
NO	(10)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非本籍届出数に1を加える [1.0]	/		
NO	(11)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える [1.0]	/		
(12)以下の処理((13)～(19))を繰り返す		/		
	(13)次のファイル(統計)の受領番号で受付DBを検索する(ある:YES,ない:NO)	/		
YES	(14)受付DBの関連受領番号(1)=中間ファイル(選択受領番号)の受領番号である (YES,NO)	/		
YES	(15)中間ファイル(統計)の受理送付区分=1:受理である(YES,NO)	/		事件の本,非,送付の別で統計を振り分ける
YES	(16)中間ファイル(統計)の本非区分=1:本籍である(YES,NO)	/		
YES	(17)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の本籍届出数に1を加える　→　(13)へ [1.0]	/		
NO	(18)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の非籍届出数に1を加える　→　(13)へ [1.0]	/		
NO	(19)受付事件コードに合致する統計ファイルの事件名の送付数に1を加える　→　(13)へ [1.0]	/		
NO	――→		(20)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る
No	――→			
――→				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		統計ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	1.0　統計ファイル作成　(1/2)	(受取側)統計ファイル　←(引渡側)中間ファイル(統計),受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
統計ファイル	日付							システムで自動的に設定
	出張所番号		中間ファイル(統計)	出張所番号				
	本籍数			+増減戸籍数				
	本籍数の増減			増減戸籍数				
	本籍人口数			+増減本籍人数				
	本籍人口数の増減			増減本籍人数				
	出生		受付DB					受付事件コードによるカウント処理
	本籍人届出数							
	非本籍人届出数							
	送付数							
	国籍留保 〜 不受理申出							出生と同じ項目を持つ (事件表の事件の数分ある:省略)
	新戸籍編製数		中間ファイル(統計)	+新戸籍編製数				
	戸籍全部消除数			+戸籍全部除籍数				
	違反通知数							
	戸籍の再製･補完数							
	その他		中間ファイル(統計)	+伺い数				
	謄抄本の発行件数 (有料,無料)							省略(統計ファイルを参照)
	附票一部記載数			+附票一部記載数				
	附票全部記載数			+附票全部記載数				
	附票一部消除数			+附票一部消除数				
	附票全部消除数			+附票全部消除数				
	附票通知作成数			+附票通知作成数				
	住民票通知作成数			+住民票通知作成数				
	住民票異動作成数			+住民票異動作成数				

第72(11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		統計ファイル	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	4/4

処理名	1.0 統計ファイル作成 (2/2)	(受取側)統計ファイル ←(引渡側)中間ファイル(統計),受付DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
統計ファイル	相続税法58条通知作成数		中間ファイル(統計)	+相続税法58条通知作成数				

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	1	1/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
									･本籍届出の件数を+1する: 受理送付区分=1(受理)で本非区分=1(本籍)の場合 ･非本届出の件数を+1する: 受理送付区分=1(受理)で本非区分=2(非本)の場合 ･送付の件数を+1する: 受理送付区分=2(送付)の場合
統計ファイル	出生	本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 0101[出生] 0102[出生(国籍留保)] 0103[出生(認知)] 0104[出生(棄児発見)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍留保	本籍届出							受付事件コード= 0102[出生(国籍留保)] 0105[出生(認知･国籍留保)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	認知	本籍届出							受付事件コード= 0201[認知] 0202[認知(胎児)] 0203[認知(遺言)] 0204[認知(審判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	養子縁組	本籍届出							受付事件コード= 0301[養子縁組] 0302[養子縁組(実方と親族関係終了)] 0501[特別養子縁組] 3501[縁組取消]の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	縁組取消	本籍届出							受付事件コード= 3501[縁組取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	養子離縁	本籍届出							受付事件コード= 0401[養子離縁] 0402[養子離縁(調停)] 0403[養子離縁(裁判)] 0601[特別養子離縁] 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

第72(11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成12年 3月 1日	1	2/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ←(引渡側)受付データベース

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称			記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
統計ファイル	離縁取消	本籍届出			受付データベース					受付事件コード= 3601[離縁取消] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	法73条の269条の2	本籍届出								受付事件コード= 0701[戸籍法73条の2] 0801[戸籍法69条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	婚姻	本籍届出								受付事件コード= 0901[婚姻] 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	婚姻取消	本籍届出								受付事件コード= 3701[婚姻取消] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	離婚	本籍届出								受付事件コード= 1001[離婚] 1002[離婚(調停)] 1003[離婚(裁判)] 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	離婚取消	本籍届出								受付事件コード= 3801[離婚取消] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	法75条の277条の2	本籍届出								受付事件コード= 1101[戸籍法77条の2] 1201[戸籍法75条の2] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	親権・未成年者の後見・後見監督	①届出	本籍届出							受付事件コード= 1301[親権者指定] 1302[親権者指定(調停)] 1303[親権者指定(裁判)] 1304[親権者変更(調停)] 1305[親権者変更(裁判)] 1306[親権者喪失(裁判)] 1307[管理権喪失(裁判)] 1308[親権喪失取消]
			非本届出							
			送付							

第72(11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成23年 9月30日	14.1	3/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側								コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名				
統計ファイル	(親権・未成年者の後見・後見監督)	(①届出)		受付データベース						1310[親権辞任] 1311[管理権辞任] 1312[親権回復] 1313[管理権回復] 1321[親権停止取消し] 1401[後見開始] 1402[後見終了] 1403[後見人更迭] 1410[後見監督開始] 1411[後見監督終了] 1412[後見監督更迭] 1501[保佐開始] 1502[保佐終了] 1503[保佐人更迭] 4101[未成年者の後見開始] 4102[未成年者の後見終了] 4103[未成年後見人更迭] 4110[未成年者の後見監督開始] 4111[未成年者の後見監督終了] 4112[未成年者後見監督人更迭] 4118[未成年後見人地位喪失] 4120[未成年後見監督人地位喪失] の場合、カウントアップする
		②嘱託 甲類審判	本籍届出							受付事件コード= 1314[親権喪失(嘱託)] 1315[管理権喪失(嘱託)] 1320[親権停止(嘱託)] 1404[後見辞任(嘱託)] 1405[後見解任(嘱託)] 1413[後見監督辞任(嘱託)] 1414[後見監督解任(嘱託)] 1504[保佐辞任(嘱託)] 1505[保佐解任(嘱託] 4104[未成年後見人辞任(嘱託)] 4105[未成年後見人解任(嘱託)] 4113[未成年後見監督人辞任(嘱託)] 4114[未成年後見監督人解任(嘱託)] 4117[未成年後見人選任(嘱託)] 4119[未成年後見監督人選任(嘱託)] 4121[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4122[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4123[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4124[未成年後見人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4125[未成年後見人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4126[未成年後見人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] 4127[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定め(嘱託)] 4128[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定め(嘱託)] 4129[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定め(嘱託)] 4130[未成年後見監督人の権限を財産に関する権限に限定する定めの取消し(嘱託)] 4131[未成年後見監督人財産に関する権限単独行使の定めの取消し(嘱託)] 4132[未成年後見監督人財産に関する権限事務分掌行使の定めの取消し(嘱託)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		(②嘱託) 保全処分	本籍届出							受付事件コード= 1316[親権停止代行選任(嘱託)] 1317[親権停止代行改任(嘱託)] 1318[管理権停止代行選任(嘱託)] 1319[管理権停止代行改任(嘱託)] 1406[後見命令(嘱託)] 1407[後見停止代行選任(嘱託)] 1408[後見停止代行改任(嘱託)] 1409[財産管理者改任(嘱託)] 1415[後見監督停止代行選任(嘱託)] 1416[後見監督停止代行改任(嘱託)] 1506[保佐命令(嘱託)]
			非本届出							
			送付							

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成22年 3月 1日	13	4/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
統計ファイル	(親権･未成年者の後見･後見監督)	(②嘱託)(保全処分)		受付データベース					1507[保佐停止代行選任(嘱託)] 1508[保佐停止代行改任(嘱託)] 1509[財産管理者改任(嘱託)] 4107[未成年者の後見停止代行者選任(嘱託)] 4108[未成年者の後見停止代行者改任(嘱託)] 4115[未成年者の後見監督停止代行者選任(嘱託)] 4116[未成年者の後見監督停止代行者改任(嘱託)] の場合、カウントアップする
	死亡	本籍届出							受付事件コード= 1601[死亡] 1602[高齢者消除] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告	本籍届出							受付事件コード= 1701[失踪宣告] 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	失踪宣告取消	本籍届出							受付事件コード= 3901[失踪宣告取消] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	復氏	本籍届出							受付事件コード= 1801[復氏] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	婚姻関係終了	本籍届出							受付事件コード= 1901[婚姻関係終了] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除	本籍届出							受付事件コード= 2001[推定相続人廃除(調停)] 2002[推定相続人廃除(裁判)] 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	推定相続人廃除取消	本籍届出							受付事件コード= 4001[推定相続人廃除取消(調停)] 4002[推定相続人廃除取消(裁判)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	1	5/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
統計ファイル	入籍	本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 2101[入籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	分籍	本籍届出							受付事件コード= 2201[分籍] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍取得	本籍届出							受付事件コード= 2301[国籍取得] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	帰化	本籍届出							受付事件コード= 2401[帰化] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2501[国籍喪失] 2502[国籍喪失(国籍離脱)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	国籍選択	本籍届出							受付事件コード= 2601[国籍選択] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	外国国籍喪失	本籍届出							受付事件コード= 2701[外国国籍喪失] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	氏の変更	法107条1項	本籍届出						受付事件コード= 2801[戸籍法107条1項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						
		法107条2項	本籍届出						受付事件コード= 2901[戸籍法107条2項] の場合、カウントアップする
			非本届出						
			送付						

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成12年 3月 1日	1	6/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側					引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目				DB・ファイル名 画面名称	項目				
	名称			記号名		名称	記号名			
統計ファイル	(氏の変更)	法107条3項	本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 3001[戸籍法107条3項] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法107条4項	本籍届出							受付事件コード= 3101[戸籍法107条4項] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
	名の変更	本籍届出								受付事件コード= 3201[名の変更] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	転籍	本籍届出								受付事件コード= 3301[転籍] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	就籍	本籍届出								受付事件コード= 3401[就籍] の場合、カウントアップする
		非本届出								
		送付								
	訂正・更正	市町村長職権	本籍届出							受付事件コード= 5001[訂正(市区町村長職権)] 7001[更正] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法24条2項	本籍届出							受付事件コード= 5002[訂正(24条2項)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法113条・法114条	本籍届出							受付事件コード= 5003[訂正(113条)] 5004[訂正(114条)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							
		法116条	本籍届出							受付事件コード= 5005[訂正(116条)] の場合、カウントアップする
			非本届出							
			送付							

第7 2 (11)	データ編集表(補足説明)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		決裁処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	7/7

処理名	事件の統計の取り方	(受取側)統計ファイル ← (引渡側)受付データベース

受取側				引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称		記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
統計ファイル	訂正・更正	続柄の記載更正(嘱託) 本籍届出		受付データベース					受付事件コード= 7003[続柄の記載更正(嘱託)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
		続柄の記載更正(申出) 本籍届出							受付事件コード= 7004[続柄の記載更正(申出)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	追完	本籍届出							受付事件コード= 8001[追完] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	その他	本籍届出							受付事件コード= 4401[その他] 4402[その他(本籍分明)] 4403[その他(胎児死産)] 4404[その他(死亡)] の場合、カウントアップする
		非本届出							
		送付							
	不受理申出	本籍届出							
		非本届出							
		送付							

(1) 在外選挙人異動者リストファイル

決裁する仮戸籍ファイル中の異動(記載･入籍･除籍)者で,当該附票DBに在外選挙人名簿登録市区町村欄に記載がある者について,各異動処理にて作成された中間ファイル(30条の12第1項)の作成有無チェック及び,異動処理で作成されない者(事件本人以外)の通知漏れを防止する為に,在外選挙人異動者リストファイルを作成する。

当処理は,附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が,戸籍システムで可能な場合であり,あくまでも,サンプル提示とする。

(2) 公職選挙法30条の12第1項通知該当者リスト

当処理で作成された在外選挙人異動者リストファイルに基づき,公職選挙法30条の12第1項通知該当者リストを出力する。

当処理は,附票情報との連動により在外選挙人関連の対応が,戸籍システムで可能な場合であり,出力項目/運用等は全てメーカー任とする。‥基準書提示はしない。

在外選挙人異動者リスト

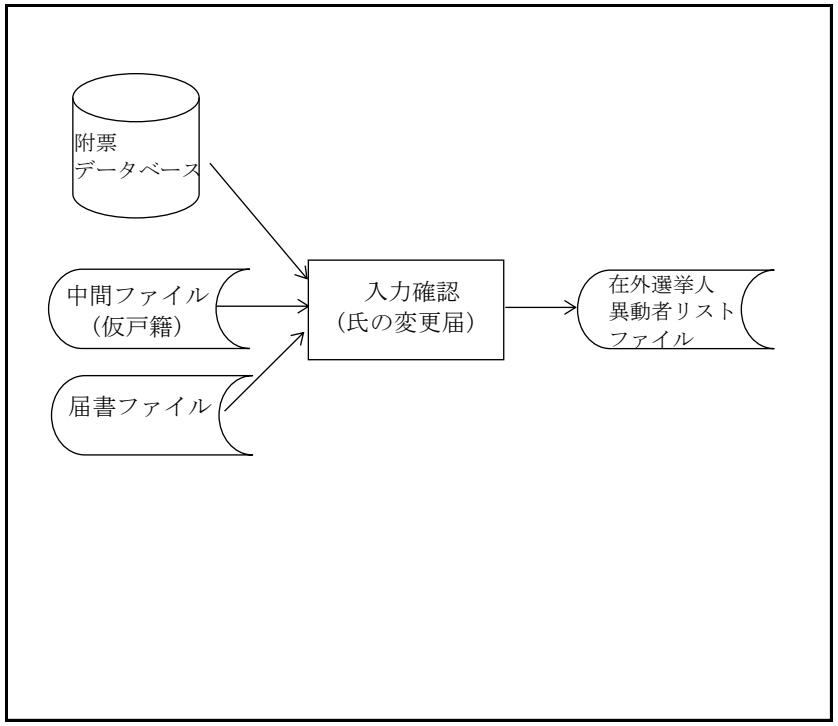
出力範囲(H11.06.01～H11.06.02)　　平成XX年XX月XX日XX頁

受領番号	受領･送付日	事件名	氏名	生年月日	本籍　選管登録地	筆頭者	異動区分
99000123	H11.06.01	婚姻	甲野義太郎	S50.05.05	平河町二丁目…… 東京都新宿区	甲野幸雄	除籍
99000130	H11.06.02	死亡	乙野忠治	S30.01.01	永田町一丁目…… 京都市左京区	乙野忠治	除籍

参考的に在外選挙人異動者リストを提示する

第7 2 (11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		在外選挙人異動者リストファイル	システム化調査研究会	平成11年 3月 1日	令和　年　月　日	2.1	1/3

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(仮戸籍)	入力		
附票データベース	入力		
届書ファイル	入力		
在外選挙人異動者リストファイル	出力		

3.処理概要

(1)届書ファイル,中間ファイル(仮戸籍)を読む。

(2)該当する附票データベースを読む。

(3)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙------ 1.0データ編集表(公在外選挙人異動者リストファイル)

5.備考(特記事項含む)

サンプル

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		在外選挙人異動者リストファイル	システム化調査研究会	平成11年 3月 1日	平成31年 3月31日	22	2/3

処理名	0.0 本紙		備考
(1)中間ファイル(届書)を読み込む		/	
(2)中間ファイル(仮戸籍)の戸籍の数だけ(3)～(12)を繰り返す		/	
(3)構成員の数だけ(4)～(11)を繰り返す		/	
(4)個人異動区分は入籍,除籍又は記載である(YES,NO)		/	
YES	(5)個人番号で附票DBを検索する	/	
	(6)当該附票DBは存在する(YES,NO)	/	
	YES (7)当該者は在外選挙人である(YES,NO)	/	
	YES (8)在外選挙人異動者リストファイルを編集･出力する [1.0]	/	
	NO (9) → (3)へ	/	
	NO (10) → (3)へ	/	
NO	(11) → (3)へ	/	
(12) → (2)へ		/	
――→		(13)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る

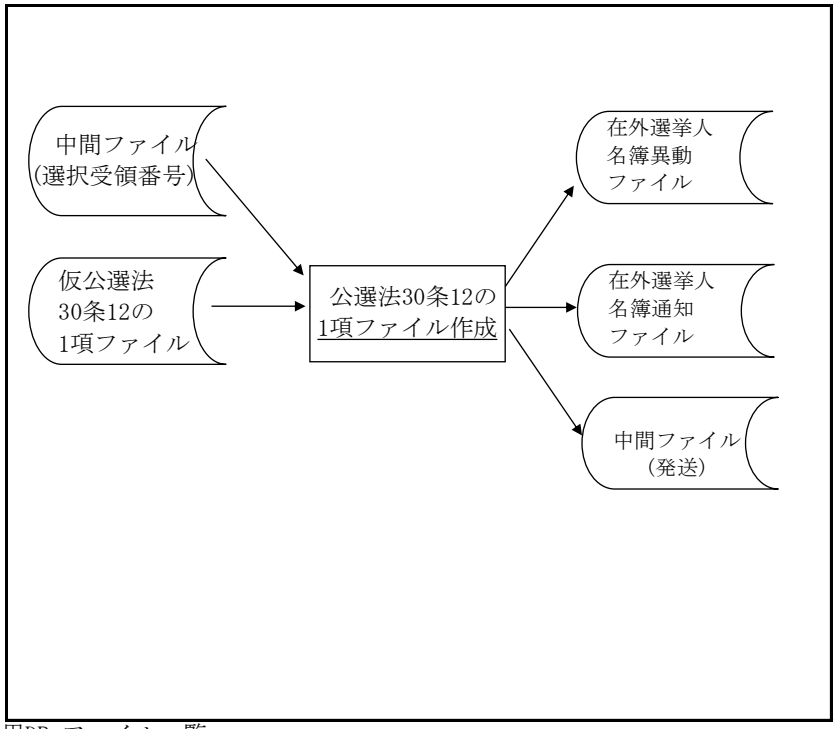
第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		在外選挙人異動者リストファイル	システム化調査研究会	平成11年3月1日	令和　年　月　日	2.1	3/3

処理名	1.0 在外選挙人異動者リストファイル作成	(受取側)在外選挙人異動者リストファイル　←　(引渡側)届書ファイル,中間ファイル(仮戸籍),附票DB

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外選挙人異動者リストファイル	受領番号		届書ファイル	受領番号				
	市区町村コード		附票データベース	在外選挙人名簿 登録市区町村コード				
	宛名							市区町村を宛名に変換した項目
	事件コード		届書ファイル	事件コード				
	受理日			受領日　OR送付日				送付日がない場合は受領日を設定
	個人番号		中間ファイル(仮戸籍)	個人番号				
	氏名			漢字氏名				
	生年月日			生年月日				
	本籍			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	個人異動区分			個人異動区分				

第72(11)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条の12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	1/6

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(選択受領番号)	入力	中間ファイル(発送)	出力
仮公選法30条12の1項ファイル	入力		
在外選挙人名簿異動ファイル	出力		
在外選挙人名簿通知ファイル	出力		

3.処理概要

(1)仮公選法30条12の1項ファイルを基に以下の処理を行う
(2)新旧のデータを比較し、変更のあるデータだけを次の条件でファイルに振り分ける
(3)在外選挙人名簿の登録市町村の場合、在外選挙人名簿異動ファイルを作成する
(4)在外選挙人名簿の登録市町村以外の場合、在外選挙人名簿通知ファイルと発送ファイルを作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(在外選挙人名簿異動ファイル作成)
- 2.0 データ編集表(在外選挙人名簿通知ファイル作成)
- 3.0 データ編集表(中間ファイル(発送))

5.備考(特記事項含む)

サンプル

第7 2 (11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	2/6

処理名	0.0 本紙 1/2		備考
(1)中間ファイル(選択受領番号)を読む		/	
(2)中間ファイル(選択受領番号)の受領番号をキーとして仮公選法30条12の1項ファイルを検索する		/	
(3)該当する受領番号の仮公選法30条12の1項ファイルが無くなるまで(4)～(32)の処理を繰り返す		/	
	(4)変更フラグに0をセットする	/	
	(5)新氏名=空白である(YES,NO)	/	
	YES (6) → (8)	/	
	NO (7)変更フラグに1をセットする	/	
	(8)新生年月日=空白である(YES,NO)	/	
	YES (9) → (11)	/	
	NO (10)変更フラグに1をセットする	/	
	(11)新性別=空白である(YES,NO)	/	
	YES (12) → (14)	/	
	NO (13)変更フラグに1をセットする	/	
	(14)新本籍=空白である(YES,NO)	/	
	YES (15) → (17)	/	
	NO (16)変更フラグに1をセットする	/	
	(17)新筆頭者=空白である(YES,NO)	/	
	YES (18) → (20)	/	
	NO (19)変更フラグに1をセットする	/	
	(20)変更フラグ=1(YES,NO)	/	
	YES (21)在外選挙人名簿の登録市町村である(YES,NO)	/	
	YES (22)30条12の1項情報を在外選挙人名簿異動ファイルに出力する [1.0]	/	在外選挙人名簿の登録市町村は在外選挙人名簿異動ファイルを作成する
	NO (23)30条12の1項情報を在外選挙人名簿通知ファイルに出力する [2.0]	/	在外選挙人名簿の登録市町村以外は在外選挙人名簿通知ファイルを作成する
	(24)中間ファイル(発送)がある(YES,NO)	/	発送ファイルを作成する
	YES (25)中間ファイル(発送)の数だけ(26)～(28)の処理を繰り返す	/	
	(26)在外選挙人名簿の登録市町村と発送ファイルの市町村が同じ(YES,NO)	/	
	YES (27)中間ファイル(発送)の送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する→(3)へ [3.0]	/	
	NO (28) → (25)へ	/	
	(29) → (30)へ	/	

第72(11)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	3/6

処理名	0.0 本紙 2/2			備考
	NO (31)受領番号と在外選挙人名簿の登録市町村(市町村コード)で中間ファイル(発送)を作成し、送付書類区分の在外選挙人名簿通知フラグに1を設定する → (3) [3.0]	/		
	NO (32) → (3)へ	/		
———→		/	(33)次の処理を行う	『決裁･受付』の要件定義書に戻る

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	4/6

処理名	1.0 在外選挙人名簿異動ファイル作成	(受取側)在外選挙人名簿異動ファイル ← (引渡側)仮公選法30条12の1項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外選挙人名簿異動ファイル	受領番号		仮公選法30条12の1項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	5/6

処理名	2.0　在外選挙人名簿通知ファイル作成	(受取側)在外選挙人名簿通知ファイル　←　(引渡側)仮公選法30条12の1項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
在外選挙人名簿通知ファイル	受領番号		仮公選法30条12の1項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	市区町村コード			市区町村コード				
	宛名			宛名				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新性別			新性別				
	旧性別			旧性別				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所			住所				
	方書			方書				
	転入届出日			転入届出日				

第7 2 (11)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		公選法30条12の1項通知作成処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	平成11年 3月 1日	2.1	6/6

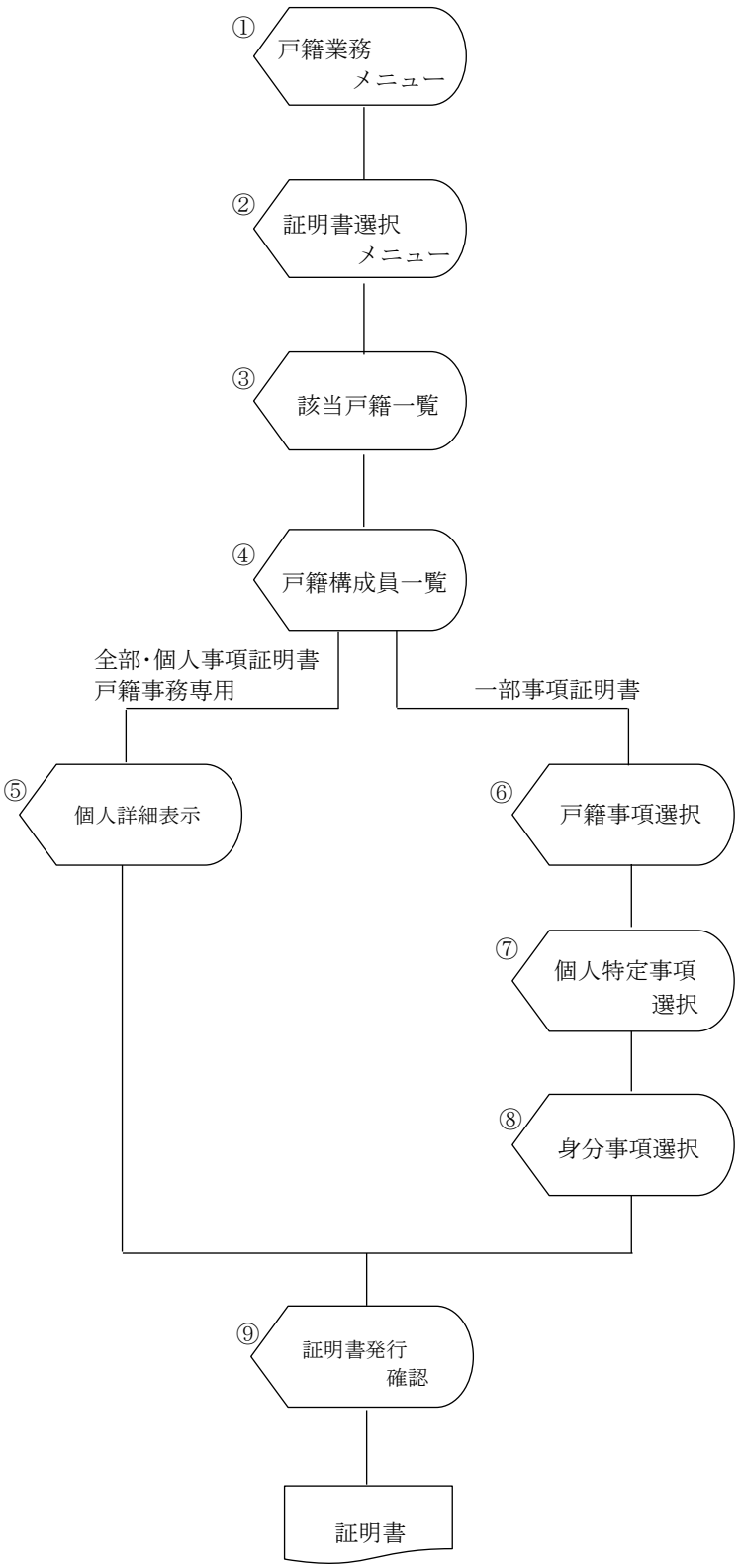
処理名	3.0　中間ファイル(発送)作成	(受取側)中間ファイル(発送)　←　(引渡側)仮公選法30条12の1項ファイル、公選法30条12の1項通知作成処理

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(発送)	受領番号		仮公選法30条12の1項ファイル	受領番号				更新の場合は在外選挙人名簿通知
	出張所番号			出張所番号				フラグのみを設定
	市区町村コード			市区町村コード				
	郵便番号					有		市区町村コードを基に送付する
	住所					有		市区町村の郵便番号、住所、宛名
	宛名					有		を設定する
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知							
	附票通知							
	在外選挙人名簿通知		公選法30条12の1項通知作成処理					有:『1』を設定する

第7.2.(12)

「証明書発行」処理

第7 2 (12)	オンライン処理の流れ図(概略)	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改定日付	版
証明書発行業務		平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1



概要説明

①戸籍業務メニュー
「5.証明処理」を選択。

②証明書選択メニュー
発行する証明書の選択番号を指定する。

③該当戸籍一覧
検索キーを入力し該当する戸籍を画面上に表示する。証明書を発行する該当戸籍を選択。

④戸籍構成員一覧
選択された戸籍の戸籍事項内容及び構成員(個人)の主な内容を表示。
個人事項証明書、一部事項証明書を発行する場合、詳細選択番号により個人を指定する。(複数人選択可)

⑤個人詳細表示
選択された個人の身分事項詳細内容を表示する。

※⑥～⑧は、一部事項証明書を選択した場合のみ遷移

⑥戸籍事項選択
戸籍事項詳細内容を表示。
戸籍事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑦個人特定事項選択
個人特定事項詳細内容を表示。
項目毎に記録事項を選択することが可能。

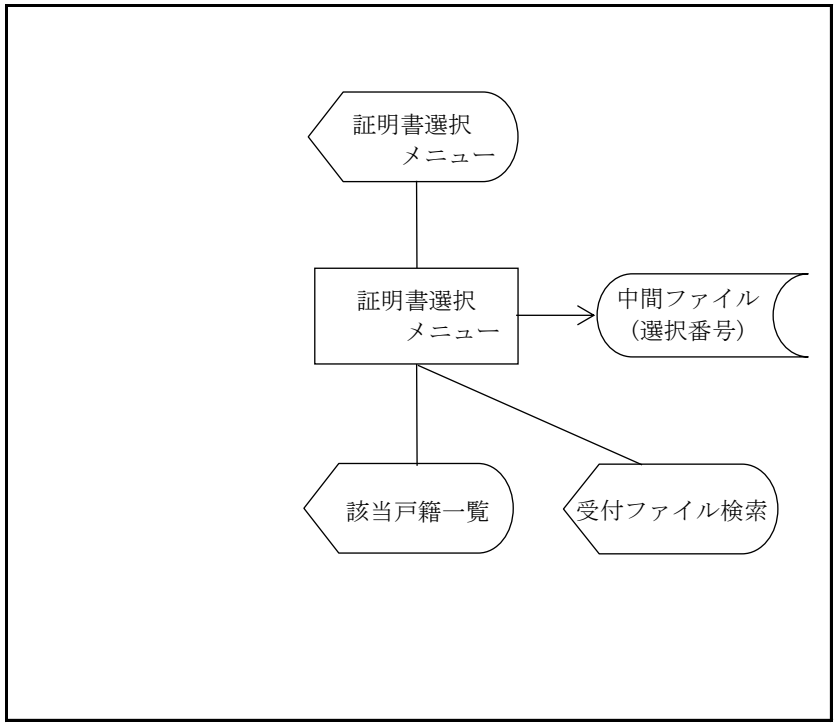
⑧身分事項選択
身分事項詳細内容を表示。
身分事項毎(タイトル)に記録事項を選択することが可能。

⑨証明書発行確認
選択された戸籍内容(本籍・筆頭者・記載者)を表示。
内容を確認し証明書出力を行う。

発行部数を指定する。
(2部以上発行する場合に入力する)
管掌者を指定する。
(変更がある場合のみ)

第7 2 (12)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書選択メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/4

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ﾌｧｲﾙ(選択番号)	出力		

3.処理概要

(1) 選択番号を中間ファイルに出力する。
(2) 該当戸籍一覧または受付ファイル検索に制御を渡す。
(選択番号により制御先を決定する)

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック
- 2.0 データ編集表(中間ファイル/選択番号)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (12)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書選択メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/4

処理名	0.0　本紙			備考
(1)キー選択(実行キー,PF1,その他)		/		
実行キー	(2)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO)　〔1.0〕	/		
	YES (3)中間ファイル(選択番号)を編集･出力する　〔2.0〕		(4)該当戸籍一覧または受付ファイル検索に制御を渡す	
	NO (5)エラーメッセージを表示する		(6)同画面を編集する	
PF1	→		(7)戸籍業務メニューに制御を渡す	
その他	(8)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(9)同画面を編集する	

第7 2 (12)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書選択メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/4

処理名	画面名	画面ID	
1.0　データチェック	証明書選択メニュー		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字	1～5であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書選択メニュー	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/4

処理名	2.0　中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(選択番号)	←(引渡側)証明書選択メニュー画面

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (選択番号)	選択番号		証明書選択 メニュー画面	選択番号				

第7 2 (12)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明書発行処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

処理名	

1.検索業務での同処理と異なる部分

(1)該当戸籍一覧　:無し

(2)戸籍構成員一覧:・証明書選択メニューで中間ファイルに出力された選択番号(全部・個人事項証明書、一部事項証明書)を証明書種別(*1)として中間ファイルに出力する。

証明書種別=1:全部・個人事項証明書
=3:一部事項証明書

・証明書種別=1のとき、個人詳細表示に制御を渡す。

・証明書種別=3のとき、画面表示用中間ファイル(戸籍事項選択)を出力し、戸籍事項選択に制御を渡す。

(3)個人詳細表示　:・PF3にて全部証明書、PF4にて個人証明書を決定し、証明書発行確認に制御を渡す。
このとき、個人証明書ならば中間ファイル(戸籍構成員一覧)の証明書種別に2を設定する。

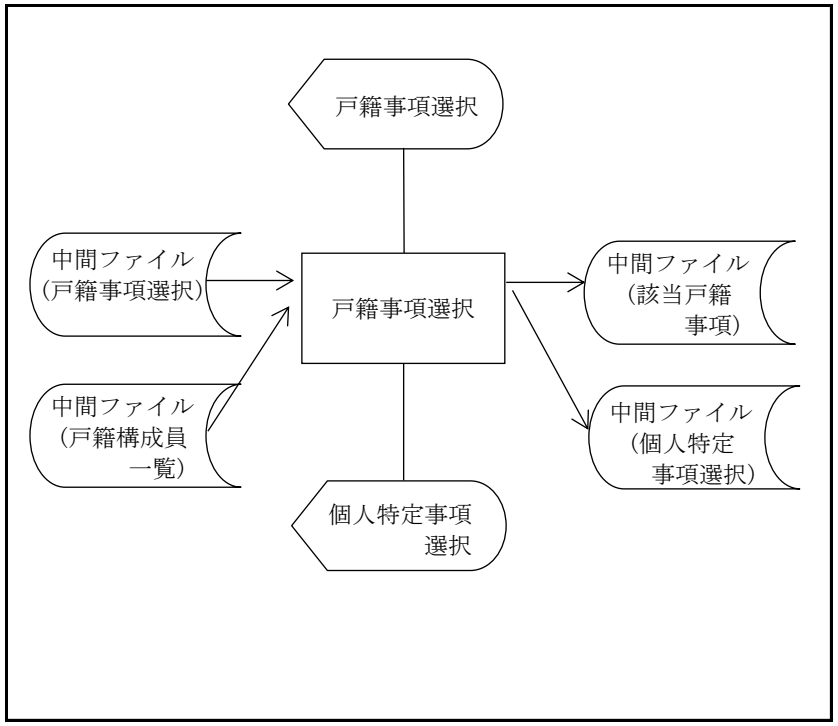
・PF10、PF11はPFキーエラーとする。

(*1)　:証明書種別は、証明書発行確認にて出力証明書を識別するのに使用する。

(4)受付ファイル検索　:画面レイアウトについては同様とし、証明を発行しようとする選択番号を別途設ける。
選択された受付ファイルの情報を中間ファイルに出力する。
その後、証明書発行確認の画面へ制御を渡す。
対象とする証明書は、
・届書受理証明書
・戸籍法41条証書提出の証明書
・届書預り証明書　とする。

第7 2 (12)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍事項選択)	入力	中間ファイル (個人特定事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当戸籍事項)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(戸籍事項選択)より当該戸籍の全戸籍事項を表示する。
(2) 選択された戸籍事項(複数指定可)を中間ファイル(該当戸籍事項)に出力する。
(3) 個人特定事項選択に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(戸籍事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当戸籍事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/個人特定事項選択)

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (12)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/6

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイルより戸籍事項選択画面を編集･表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF4,PP5,PF7,PF8,その他)		/		
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕	/		
	YES (4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (5)中間ファイル(該当戸籍事項)を編集･出力する 〔3.0〕		(7)個人特定事項選択に制御を渡す	
	NO →			
	(6)中間ファイル(個人特定事項選択)を編集･出力する 〔4.0〕			
	NO (8)エラーメッセージを表示する		(9)同画面を編集する	
PF1	→		(10)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2	→		(11)証明書選択メニューに制御を渡す	
PF4	→		(12)証明書発行確認に制御を渡す	
PF5	→		(13)戸籍構成員一覧に制御を渡す	
PF7	(14)戸籍事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (15)前ページ分の戸籍事項選択画面を編集する		(17)同画面を編集する	
	NO (16)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(18)戸籍事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (19)次ページ分の戸籍事項選択画面を編集する		(21)同画面を編集する	
	NO (20)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
その他	(22)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(23)同画面を編集する	

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/6

処理名	1.0　戸籍事項選択画面表示	(受取側)戸籍事項選択画面	←(引渡側)中間ファイル(戸籍事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ			――――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番			――――――				先頭ページの1行めから連番
	戸籍事項名			戸籍事項コード		有		複数有り
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

第7 2 (12)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/6

処理名	画面名	画面ID	
2.0　データチェック	戸籍事項選択		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号		数字	当該戸籍事項の数を越えていないこと	「項目エラー、正しく入力して下さい。」		
				番号が重複していないこと			

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/6

処理名	3.0　中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(該当戸籍事項)	←(引渡側)中間ファイル(戸籍事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当戸籍事項)	編製日		中間ファイル (戸籍事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	戸籍事項コード			戸籍事項コード				画面で指定されたもののみ移送
	戸籍事項記録項目			戸籍事項記録項目				

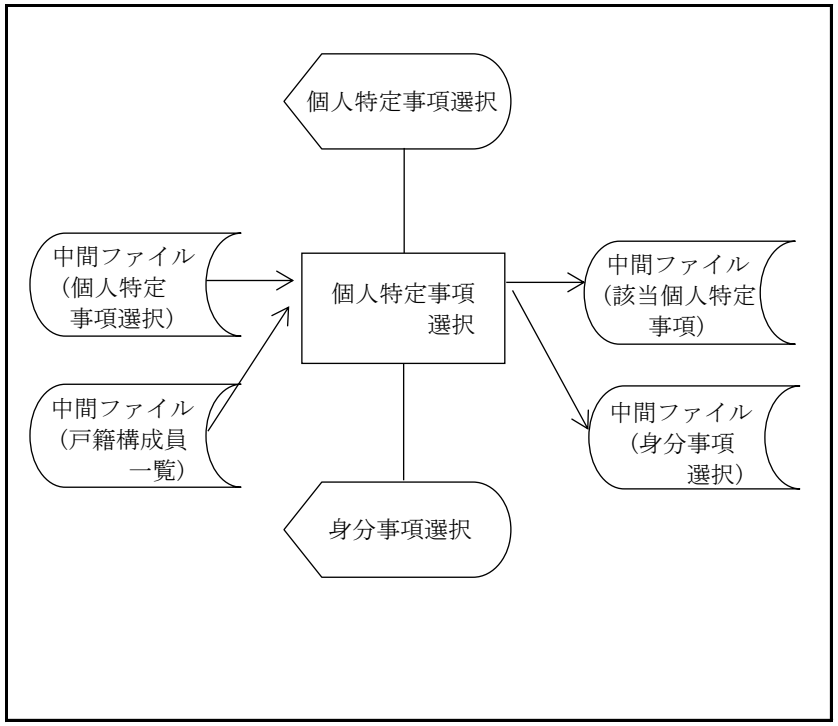
第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/戸籍事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/6

処理名	4.0　中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(個人特定事項選択)　←(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

第7 2 (12)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人特定事項選択)	入力	中間ファイル (身分事項選択)	出力
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力		
中間ファイル (該当個人特定事項)	出力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(個人特定事項)より当該個人特定事項を表示する。

(2) 選択された個人特定事項(複数指定可)を中間ファイル(該当個人特定事項)に出力する。

(3) 身分事項選択に制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人特定事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当個人特定事項)
- 4.0 データ編集表(中間ファイル/身分事項選択)

5.備考(特記事項含む)

第72(12)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/6

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイルより個人特定事項選択画面を編集･表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF4,PF5,その他)		/		
実行キー	(3)選択コードのチェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕	/		
	YES (4)選択コードの指定があるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (5)中間ファイル(該当個人特定事項)を編集･出力する 〔3.0〕		(7)身分事項選択に制御を渡す	
	NO →			
	(6)中間ファイル(身分事項選択)を編集･出力する 〔4.0〕			
	NO (8)エラーメッセージを表示する		(9)同画面を編集する	
PF1	→		(10)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2	→		(11)証明書選択メニューに制御を渡す	
PF4	→		(12)証明書発行確認に制御を渡す	
PF5	→		(13)戸籍事項選択に制御を渡す	
その他	(14)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(15)同画面を編集する	

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/6

処理名	1.0　個人特定事項選択画面表示	(受取側)個人特定事項選択画面	←(引渡側)中間ファイル(個人特定事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人特定事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者			配偶者区分				配偶者区分=1:　夫 2:　妻 上記以外:　スペースを設定
	生年月日			生年月日		有		
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄		有		
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄		有		

第7 2 (12)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/6

処理名	画面名	画面ID	
2.0　データチェック	個人特定事項選択		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択コード		英数	'S'又はスペースであること	「項目エラー、正しく入力して下さい。」		

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/6

処理名	3.0　中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(該当個人特定事項)	←(引渡側)中間ファイル(個人特定事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当個人特定事項)	編製日		中間ファイル (個人特定事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	配偶者区分			配偶者区分				
	生年月日			生年月日				
	父			父				
	母			母				
	父母続柄			父母続柄				
	養父			養父				
	養母			養母				
	養父母続柄			養父母続柄				

画面で指定されたもののみ移送

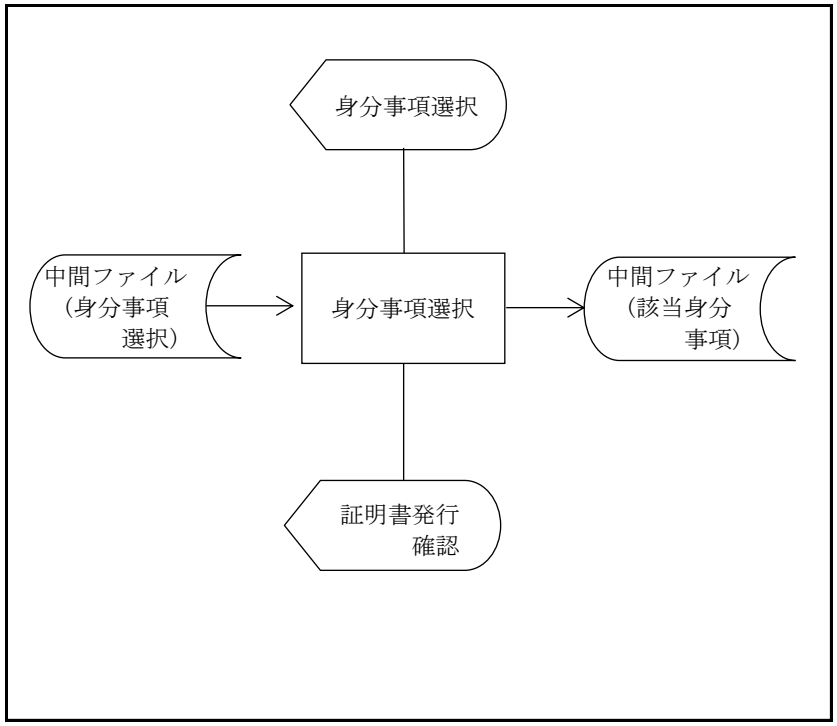
第72(12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/個人特定事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/6

処理名	4.0　中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(身分事項選択)	←(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
中間ファイル (身分事項選択)	編製日		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	タイトルコード			タイトルコード				複数有り
	身分事項記載項目			身分事項記載項目				

第7 2 (12)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/身分事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (身分事項選択)	入力		
中間ファイル (該当身分事項)	出力		

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(身分事項選択)より当該個人の全身分事項を表示する。
(2) 選択された身分事項(複数指定可)を中間ファイル(該当身分事項)に出力する。
(3) 証明書発行確認に制御を渡す。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(身分事項選択画面)
- 2.0 データチェック
- 3.0 データ編集表(中間ファイル/該当身分事項)

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (12)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/身分事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイルより身分事項選択画面を編集･表示する 〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PP1,PF2,PF4,PF5,PF7,PF8,その他)		/		
実行キー	(3)選択番号のチェック(OK:YES,NG:NO) 〔2.0〕	/		
	YES (4)選択番号の指定があるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (5)中間ファイル(該当身分事項)を編集･出力する 〔3.0〕		(6)証明書発行確認に制御を渡す	
	NO →			
	NO (7)エラーメッセージを表示する		(8)同画面を編集する	
PF1	→		(9)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2	→		(10)証明書選択メニューに制御を渡す	
PF4	→		(11)証明書発行確認に制御を渡す	
PF5	→		(12)個人特定事項選択に制御を渡す	
PF7	(13)身分事項の前ページがあるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (14)前ページ分の身分事項選択画面を編集する		(16)同画面を編集する	
	NO (15)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示する			
PF8	(17)身分事項の次ページがあるか(ある:YES,ない:NO)	/		
	YES (18)次ページ分の身分事項選択画面を編集する		(20)同画面を編集する	
	NO (19)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示する			
その他	(21)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(22)同画面を編集する	

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/身分事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	1.0　身分事項選択画面表示	(受取側)身分事項選択画面	←(引渡側)中間ファイル(身分事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9., Z9/Z9	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
身分事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	現ページ、総ページ			――――――			Z9/Z9	
	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	項番			――――――				先頭ページの1行めから連番
	身分事項名			タイトルコード		有		複数有り
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

第7 2 (12)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/身分事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/5

処理名	画面名	画面ID	
2.0　データチェック	身分事項選択		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号		数字	当該身分事項の数を越えていないこと	「項目エラー、正しく入力して下さい。」		
				番号が重複していないこと			

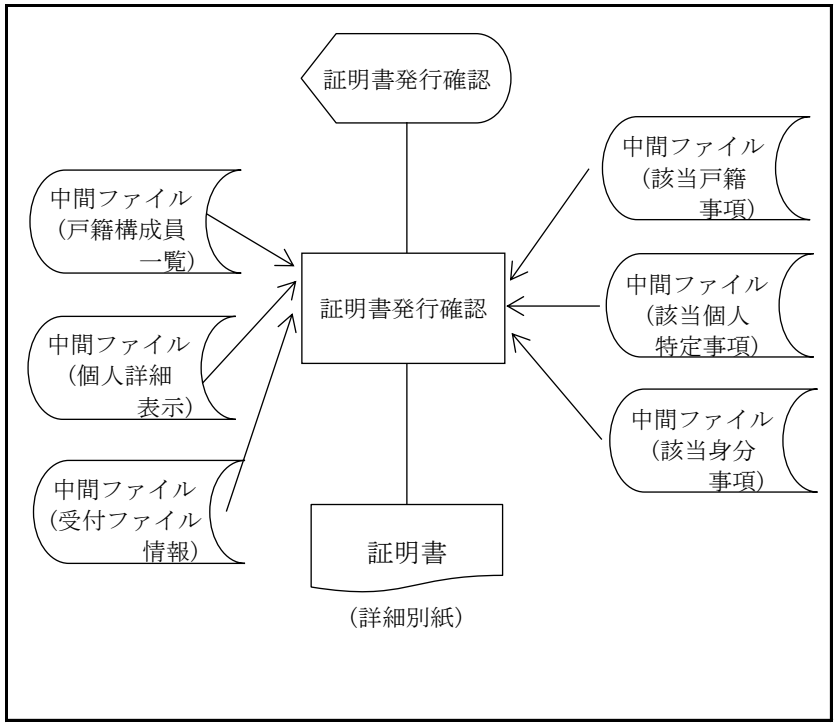
第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/身分事項選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	3.0 中間ファイル編集･出力	(受取側)中間ファイル(該当身分事項)	←(引渡側)中間ファイル(身分事項選択)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル (該当身分事項)	編製日		中間ファイル (身分事項選択)	編製日				
	消除日			消除日				
	個人除区分			個人除区分				
	本籍コード			本籍コード				
	本籍地番			本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	タイトルコード			タイトルコード				画面で指定されたもののみ移送
	身分事項記録項目			身分事項記録項目				

第7 2 (12)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書発行確認	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/3

1. 詳細フロー



2. 使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (戸籍構成員一覧)	入力	中間ファイル (該当個人特定事項)	入力
中間ファイル (個人詳細表示)	入力	中間ファイル (該当身分事項)	入力
中間ファイル (該当戸籍事項)	入力	中間ファイル (受付ファイル情報)	入力

3. 処理概要

(1) 中間ファイル(戸籍構成員一覧)等より証明書発行確認画面を表示する。
(2) 各中間ファイルより、指定された証明書を出力する。
(3) 各中間ファイルを削除する。

4. 機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙―― 1.0　データ編集表(証明書発行確認画面)

5. 備考(特記事項含む)

第7 2 (12)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書発行確認	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/3

処理名	0.0　本紙			備考
(1)中間ファイル(戸籍構成員一覧)より証明書発行確認画面を編集･表示する　〔1.0〕		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PP2,その他)		/		
実行キー	(3)各証明書を発行する(1:全部事項証明、2:個人事項証明、3:一部事項証明)	/		
	1 (4)全部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	2 (5)個人事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	3 (6)一部事項証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	4 (7)届書受理証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	5 (8)戸籍法41条証書提出の証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	6 (9)届書預り証明書を発行部数分出力する(詳細別紙)	/		
	(10)各中間ファイルを削除する	/		
PF1	→		(11)戸籍業務メニューに制御を渡す	
PF2	→		(12)証明書選択メニューに制御を渡す	
その他	(13)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示する		(14)同画面を編集する	

第7 2 (12)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		証明処理/証明書発行確認	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/3

処理名	1.0　証明書発行確認画面表示	(受取側)証明書発行確認画面	←(引渡側)中間ファイル(戸籍構成員一覧)

受取側			引渡側			コード変換有無 サ=サブルーチン	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
身分事項選択画面	画面ID			画面ID				
	システム日付			システム日付				
	証明書種別		中間ファイル (戸籍構成員一覧)	――――――				証明書種別　=1:全部事項証明書 =2:個人事項証明書 =3:一部事項証明書 =4:届書受理証明書 =5:戸籍法41証書提出の証明書 =6:届書預り証明書
	編製日			編製日		有		
	消除日			消除日		有		
	個人除区分			個人除区分				
	本籍			本籍コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	カナ氏名			カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	選択事項名(項番)							一部事項証明を選択された場合の証明項目を出力する
	選択事項名(事項名)							
	発行部数							初期値として1を出力
	管掌者コード			管掌者コード				
	管掌者名					有		

第7.2.(13)

「各種ファイル更新」処理

第7 2 (13)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		ファイル更新処理選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/5

1.ファイル更新処理業務の概要

A.不受理申出･個人状態ファイル更新処理

･不受理申出･個人状態ファイル更新には,該当戸籍一覧表示,戸籍構成員一覧表示,不受理申出ファイル更新,個人状態ファイル更新がある

･該当戸籍一覧表示では,該当戸籍を表示選択し,戸籍構成員一覧表示では,該当戸籍の構成員を表示し個人を選択する
不受理申出ファイル更新では,選択された個人の不受理申出ファイルを全件検索して表示･更新する
個人状態ファイル更新では,選択された個人の個人状態ファイルを検索して表示･更新する

･該当戸籍一覧表示での検索項目及び当説明での検索キーは,検索処理と同様である

B.受付ファイル更新処理

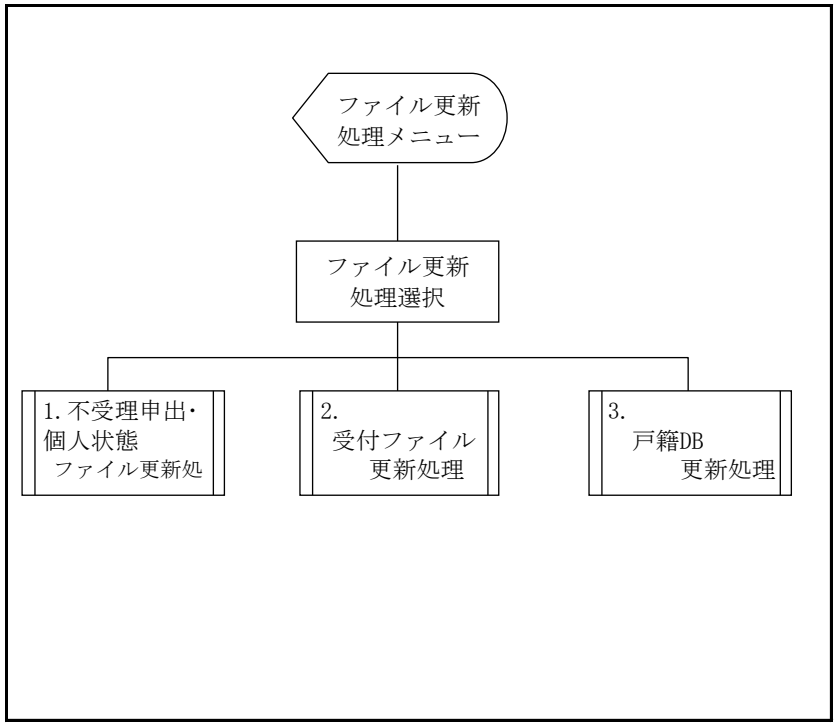
C.戸籍DB更新処理

2.各検索画面でのPFキー(Aの場合のみ)

画面 / PFキー	ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示	不受理申出ﾌｧｲﾙ更新	個人状態ファイル更新
PF1	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー	戸籍業務メニュー
PF2		ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ	ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ	ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ	ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ	ファイル更新処理ﾒﾆｭｰ
PF3				前頁構成員		
PF4				次頁構成員		
PF5			該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧	戸籍構成員一覧
PF6						
PP7		前頁表示	構成員項目前頁	前頁表示	前頁表示	
PF8		次頁表示	構成員項目次頁	次頁表示	次員表示	
PF9					個人詳細表示	個人詳細表示
PF10			戸籍項目前頁	不受理申出ﾌｧｲﾙ更新		不受理申出ﾌｧｲﾙ更新
PF11			戸籍項目次頁	個人状態ファイル更新	個人状態ファイル更新	
PF12		入力画面初期化			不受理申出ファイルの更新	個人状態ファイルの更新
実行キー	該当戸籍一覧	戸籍構成員一覧	個人詳細表示		画面入力項目チェック	画面入力項目チェック

第7 2 (13)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		ファイル更新処理選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/5

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分

3.処理概要

(1) 検索処理選択番号の入力チェック

(2) 不受理申出・個人状態ファイル更新処理に制御を渡す

(3) 受付ファイル更新処理に制御を渡す

(4) 戸籍DB更新処理に制御を渡す

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 別紙1(パスワード・チェック)
- 2.0 データチェック(単体表)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		ファイル更新処理選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/5

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 検索処理メニュー画面を出力する		/		
(2) キー選択(実行キー,PF1,その他)		/		
実行キー	(3) 入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/		
YES	(4) パスワードのチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/		
YES	(5) 選択番号(1)	/		
1	(6) 不受理申出･個人状態ファイル更新処理		(7) 該当戸籍一覧表示に制御を渡す	
2	(8) 受付ファイル更新処理		(9) 受付ファイル更新処理に制御を渡す	
3	(10)戸籍DB更新処理		(11)戸籍DB更新処理に制御を渡す	
NO	(12)エラーメッセージ『パスワード･エラー』を表示する			
NO	(13)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する		(14)同画面を編集する	
PF1	――→		(15)業務選択に制御を渡す	
その他	(16)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(17)同画面を編集する	

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		ファイル更新処理選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/5

処理名	画面名	画面ID	
1.0　ファイル更新処理 選択番号のチェック	ファイル更新処理メニュー		

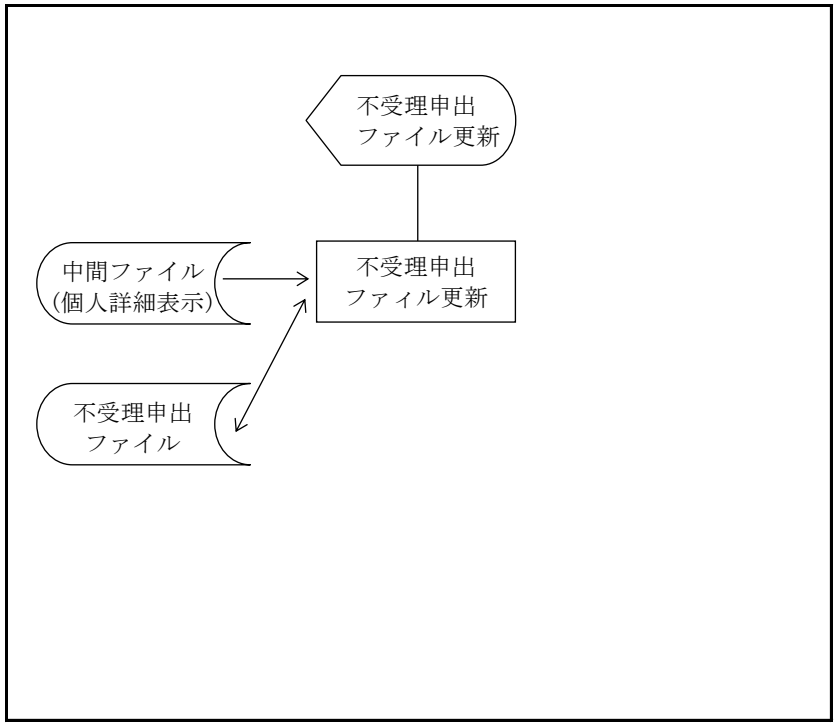
No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	選択番号	○	数字	1又は2又は3であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	パスワード	○	数字	数字であること			

第72(13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		ファイル更新処理選択	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/5

処理名	2.0　別紙1(パスワード･チェック)			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 入力されたパスワードをキーにパスワードファイルを読む(ある:YES,なし:NO)		/		
YES	(2) 内容をチェックする(OK:YES,NG:NO)　《自治体,メーカー独自》	/		パスワードチェック･サブルーチン
	YES (3) 操作員資格区分を参照する	/		
	NO (4) エラー	/		
NO	(5) エラー	/		

第7 2 (13)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
不受理申出ファイル	入出力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに不受理申出ファイルを検索し,ファイルの内容等を編集する

(2) 不受理申出ファイル更新画面の表示

(3) 不受理申出ファイルの更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(不受理申出ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(不受理申出ファイル更新画面編集)
- 5.0 データチェック(単体表)
- 6.0 データ編集表(不受理申出ファイル編集)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を個人番号をキーとして不受理申出ファイルを全件検索する(ある,なしに係わらず)		/		
(2) 不受理申出ファイル更新画面を編集･表示する [1.0]		/	(3) 同画面を編集する	
(4) キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF9,PF11,PF12,その他)		/		
実行キー	(5) 処理選択番号がある(YES,NO)	/		
YES	(6) 処理選択番号(1～3,その他)	/		
1	(7) 入力項目のチェック(C [2.0][3.0]	/		
YES	(8) 不受理申出ファイル更新画面を編集する [4.0]	/		
	(9) メッセージ『チェックOKです。不受理申出ファイルを追加して下さい』を表示する			
NO	(10)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する		(11)同画面を編集する	
2	(12)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0]	/		
YES	(13)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
YES	(14)不受理申出ファイル更新画面を編集する [4.0]	/		
	(15)メッセージ『チェックOKです。不受理申出ファイルを更新して下さい』を表示する			
NO	(16)(17)へ	/		
NO	(17)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する		(18)同画面を編集する	
3	(19)入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [5.0]	/		
YES	(20)メッセージ『チェックOKです。不受理申出ファイルを削除して下さい』を表示する			
NO	(21)入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集･出力する			
その他	(22)エラーメッセージ『処理選択番号入力が違います。再度,入力して下さい』を表示する		(23)同画面を編集する	

第72(13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名		0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
	NO	(24)エラーメッセージ『処理選択番号を入力して下さい』を表示する		(25)同画面を編集する	
PF1		――→		(26)業務選択に制御を渡す	
PF2		――→		(27)ファイル更新処理選択に制御を渡す	
PF5		――→		(28)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
PF7		(29)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES	(30)前ページ不受理申出ファイル更新画面出力			
	NO	(31)エラーメッセージ『先頭ページです』を表示する		(32)同画面を編集する	
PF8		(33)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES	(34)次ページ不受理申出ファイル更新画面出力			
	NO	(35)エラーメッセージ『最終ページです』を表示する		(36)同画面を編集する	
PF9		――→		(37)個人詳細表示に制御を渡す	
PF11		――→		(38)個人状態ファイル更新に制御を渡す	
PF12		(39)入力項目のチェック済みである(YES,NO)	/		
	YES	(40)処理選択番号(1～3)	/		
		1 (41)不受理申出ファイルを編集･追加する [6.0]	/		
		(42)メッセージ『不受理申出ファイルが追加されました』を表示する		(43)同画面を編集する	
		2 (44)不受理申出ファイルを編集･更新する [6.0]	/		
		(45)メッセージ『不受理申出ファイルが更新されました』を表示する		(46)同画面を編集する	
		3 (47)不受理申出ファイルを削除する	/		
		(48)メッセージ『不受理申出ファイルが削除されました』を表示する		(49)同画面を編集する	
	NO	(50)(51)へ	/		
その他		(51)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(52)同画面を編集する	

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	1.0　不受理申出ファイル更新画面編集	(受取側)不受理申出ファイル更新画面	←(引渡側)中間ファイル(個人詳細),不受理申出ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
不受理申出ファイル更新画面	カナ氏名		中間ファイル(個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍･住所コード		有		
				本籍地番				
	筆頭者			筆頭者				
	生年月日			生年月日		有		
	項番		不受理申出ファイル	行番号				不受理申出ファイルがある場合のみ処理を行う(MAX2件)
	出張所			出張所番号				
	受･送			受理送付区分				
	開始日			開始日(届出日)		有		
	送付日			送付日		有		
	失効日			失効日		有		
	失効区分　(コード)			失効区分				
	失効区分(漢字)			失効区分		有		
	不受理申出事件 (コード)			不受理申出事件コード				
	不受理申出事件 (名称)			不受理申出事件コード		有		
	相手氏名1			相手方氏名1				
	相手氏名2			相手方氏名2				

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目のチェック	不受理申出ファイル更新		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	出張所	○	数字	自治体固有の出張所番号であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		2件目迄入力があれば,2件目もチェックを繰り返す
02	受･送	○	数字	1又は2であること			
03	開始日	○	数字	元号,日付チェックでOKであること			
04	送付日		数字	元号,日付チェックでOKであること			
05	失効日		数字	元号,日付チェックでOKであること			
06	失効区分		数字	1:終了　2:取下　3:失効			
07	不受理申出事件	○	数字	01～04,07～13,18,19,21,22,26,28～33であること			
08	相手氏名1		漢字				
09	相手氏名2		漢字				

第7 2 (13)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	不受理申出ファイル更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.3)受･送が1(受理)の時,(NO.5)送付日が入力無しであること	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	(NO.3)受･送が2(送付)の時,(NO.5)送付日が入力有りであること			
03	(NO.5)送付日に入力有りの時,送付日は(NO.4)開始日以降であること			
04	(NO.6)失効日に入力有りの時,失効日は(NO.4)開始日以降であること			
05	(NO.5)送付日に入力有り且つ(NO.6)失効日に入力有りの時,送付日は失効日以前であること			

第72(13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成20年 3月 1日	12.0	7/9

処理名	4.0不受理申出ファイル更新画面編集	(受取側)不受理申出ファイル更新画面 ← (引渡側)不受理申出ファイル更新画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
不受理申出ファイル更新画面	失効日		不受理申出ファイル更新画面			有		~~入力無しの時、開始日より6ヶ月後-1日をセット(但し、開庁日と重なる場合は、その翌日をセット)~~
	失効区分(コード)							~~入力なしの時、1(終了)をセット~~
	失効区分(漢字)			失効区分		有		
	不受理申出事件(名称)			不受理申出事件(コード)		有		

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	画面名	画面ID	
5.0　入力項目のチェック	不受理申出ファイル更新		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
	処理項番	○	数字	画面上に表示されている項番であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

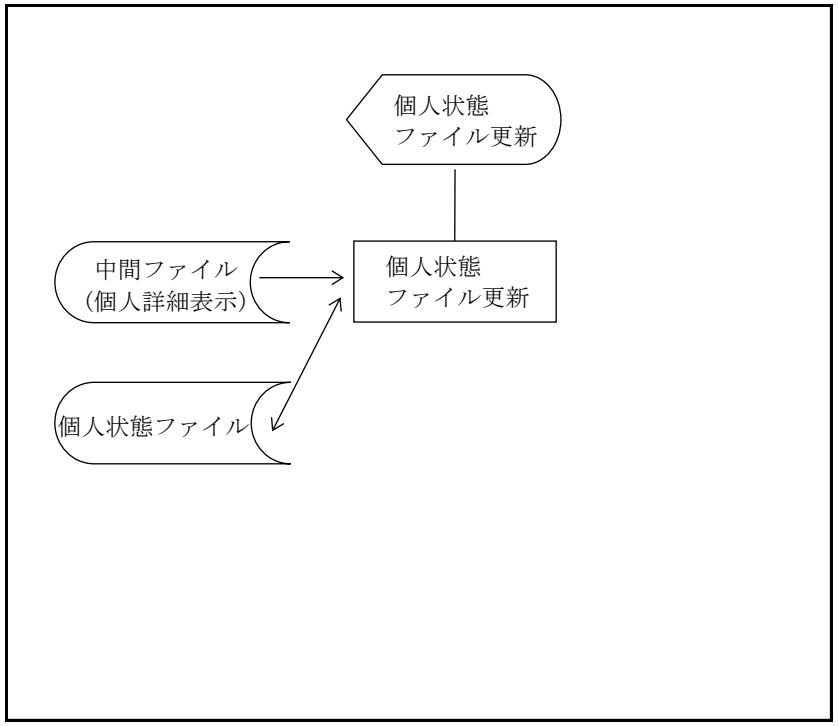
第72(13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		不受理申出ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	6.0　不受理申出ファイル編集	(受取側)不受理申出ファイル　←(引渡側)中間ファイル(個人詳細),不受理申出ファイル更新画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	記号名			
不受理申出ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	行番号		不受理申出ファイル	項番				追加の時,該当個人番号の全不受理ファイル中最終行番号+1をセット
	出張所番号		不受理申出ファイル更新画面	出張所				
	受理･送付区分			受･送				
	不受理申出事件コード			不受理申出事件 (コード)				
	開始日(届出日)			開始日		有		
	送付日			送付日		有		入力無しの時は,0(ゼロ)をセット
	失効日			失効日		有		
	失効区分			失効区分　(コード)				
	作成日(処理日)			現年月日				
	相手方氏名1			相手氏名1				入力無しの時は,ブランクをセット
	相手方氏名2			相手氏名2				入力無しの時は,ブランクをセット

第7 2 (13)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/6

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル (個人詳細表示)	入力		
個人状態ファイル	入出力		

3.処理概要

(1) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーに個人状態ファイルを検索し,ファイルの内容等を編集する

(2) 個人状態ファイル更新画面の表示

(3) 個人状態ファイルの更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(個人状態ファイル更新画面編集)
- 2.0 データチェック(単体表)
- 3.0 データチェック(関連表)
- 4.0 データ編集表(個人状態ファイル編集)

5.備考(特記事項含む)

第72(13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	2/6

処理名	0.0 本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1) 中間ファイル(個人詳細表示)を選択されたデータ(選択区分='1')まで読みとばし、該当データを読み込む		/		
(2) 中間ファイル(個人詳細表示)の個人番号をキーとして個人状態ファイルを検索する(ある、なしに係わらず)		/		
(3) 個人状態ファイル更新画面を編集・表示する [1.0]		/	(4) 同画面を編集する	
(5) キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF9,PF10,PF12,その他)		/		
実行キー	(6) 入力項目のチェック(OK:YES,NG:NO) [2.0][3.0]	/		
	YES (7) メッセージ『チェックOKです。個人状態ファイルを更新(PF12)して下さい』を表示する			
	NO (8) 入力項目チェック処理にて編集したメッセージを編集・出力する		(9) 同画面を編集する	
PF1	——→		(10)業務選択に制御を渡す	
PF2	——→		(11)ファイル更新処理選択に制御を渡す	
PF5	——→		(12)戸籍構成員一覧表示に制御を渡す	
PF9	——→		(13)個人詳細表示に制御を渡す	
PF10	——→		(14)不受理申出ファイル更新に制御を渡す	
PF12	(15)入力項目のチェック済みである(YES,NO)	/		
	YES (16)中間ファイル(個人詳細表示)が存在している(YES,NO)	/		
	YES (17)個人状態ファイルを編集・更新する [4.0]	/		
	NO (18)個人状態ファイルを編集・追加する [4.0]	/		
	(19)メッセージ『個人状態ファイルか更新されました』を表示する		(20)同画面を編集する	
	NO (21)(22)へ	/		
その他	(22)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました』を表示する		(23)同画面を編集する	

第72(13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	3/6

処理名	1.0 個人状態ファイル更新画面編集	(受取側)個人状態ファイル更新画面	←(引渡側)中間ファイル(個人詳細),個人状態ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB・ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
個人状態ファイル更新画面	カナ氏名		中間ファイル(個人詳細表示)	カナ氏名				
	漢字氏名			漢字氏名				
	本籍			本籍・住所コード		有		
				本籍地番				
	生年月日			生年月日		有		
	筆頭者			筆頭者				
	禁治産者区分		個人状態ファイル	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				個人状態ファイルがない場合全ての項目へ0(ゼロ)をセット
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	(犯歴区分)			(犯歴区分)				犯歴区分は,民刑担当者が操作の場合のみ更新できるようにする等,市町村の判断に委ねられる
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理・処理伺い			受理伺い区分				
	保留			保留区分				
	メモ			メモ				入力無しの時,ブランクをセット

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/6

処理名	画面名	画面ID	
2.0　入力項目のチェック	個人状態ファイル更新		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	準禁治産者区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
03	破産宣告人区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
04	裁判所通知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
05	犯歴区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
06	胎児認知区分	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
07	受理･処理伺い	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			
08	保留	○	数字	0(ゼロ)又は1であること			

第72(13)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/6

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目のチェック	個人状態ファイル更新		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	(NO.1)禁治産者区分,(NO.2)準禁治産者区分の一方が必ず0(ゼロ)であること	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		個人状態ファイル更新	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/6

処理名	4.0　個人状態ファイル編集	(受取側)個人状態ファイル　←(引渡側)中間ファイル(個人詳細),個人状態ファイル更新画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
個人状態ファイル	個人番号		中間ファイル (個人詳細表示)	個人番号				
	禁治産者区分		個人状態ファイル更新画面	禁治産者区分				
	準禁治産者区分			準禁治産者区分				
	破産宣告人区分			破産宣告人区分				
	裁判所通知区分			裁判所通知区分				
	犯歴区分			犯歴区分				
	胎児認知区分			胎児認知区分				
	受理伺い区分			受理･処理伺い				
	保留区分			保留				
	メモ			メモ1～5				

受付ファイル更新処理は,通常の異動処理では出来ない受付ファイルに対する処理を直接行う業務であり,次の10業務の処理を行える。
検索業務の受付ファイル検索と同様の流れにより,受付ファイルを特定して処理を行う。

No.	受付ファイル更新業務	処理概要	処理対象		履歴
			処分区分	決裁区分	
1	便宜訂正	処分及び戸籍の記録内容の変わらない軽微些細な受付ファイルの記録誤りを訂正する処理。	---	決裁	○
2	返戻(受理処分の撤回)	送付先から不受理が相当と判断され,届書が返戻されてきた場合に,受付ファイルの処分を「受理」から「受理処分の撤回」に変更する処理。	受理	決裁	○
3	返戻(本籍不分明)	送付先において該当者が確定できずに本籍不明とされ,届書が返戻されてきた場合に,受付ファイルの本籍欄を「不詳」に変更する処理。	受理	決裁	○
4	発日,発送日入力･修正	照会をする場合における発日,届書 送付をする場合における発送日の入力･修正を行う処理。	---	---	×
5	関連受領番号入力･修正	特定の受付ファイルに対して,関連する受付ファイルの受領番号(関連受領番号)を入力･修正する処理。	---	決裁	×
6	受理後の処理照会	受理処分を行ったが,戸籍の記録方法等が不明確で処理照会を行う場合,処分区分を「受理」から「処理照会」に変更し,発日を入力する処理。	受理	未決裁	○
7	送達確認消し込み	届書等の送達が確認できた場合で,受付ファイルの送達区分を「未到着」から「到着済」に変更する処理。	受理	決裁	×
8	受付ファイル更新	受附帳の記載項目ではなく,システムで使用される項目の更新を行う処理。	---	---	×
9	本籍地変更後の届出 (標準準則第34条)	届書等の受理後に本籍地の変更が明らかになった場合,受付ファイルで修正を必要とする項目を変更する処理。	受理	決裁	○
10	本非区分変更(胎児認知)	胎児認知届後の出生届により,胎児認知届の受付ファイルの本非区分が変更となる場合に,本非区分を変更する処理。	受理	決裁	○

※処理対象は,各受付ファイル更新業務別に,処理を行おうとする受付ファイルの処分区分･決裁区分の状態で異なるが,決裁区分が「欠番」のものはすべてにおいて対象外である。
※履歴管理は,受付ファイル受領番号の枝番を使用して行われる。上記の表では,履歴欄の『○』業務が履歴管理の対象となり,他は上書き処理となる。
※本籍受領分で戸籍の記載がされている場合は,戸籍訂正処理が必要となる場合もある。
※決裁前に関連受領番号を修正すると,同時に決裁がされずに決裁区分が未更新のまま決裁が完了する場合があるため,関連受領番号入力･修正については,決裁後に実施する。

次頁以降に,それぞれの業務処理サンプルを受付ファイル(抜粋)で示す。[(2)が主に該当業務の処理結果であり⁝⁝ 部分が変更個所である。]

1.便宜訂正

便宜訂正の対象となる項目としては,届出人氏名1～2,届後本籍,届後戸籍の筆頭者,漢字氏名,本籍等がある。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目25番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 甲野英助の本籍が「三丁目52番地」と判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

2.返戻(受理処分の撤回)

特定の受付ファイルを選択し,処理を行うことにより履歴が取られ処分区分か変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子の本籍地に婚姻の不受理申出が出されていたのが判明

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受撤回	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

3.返戻(本籍不分明)

特定の受付ファイルを選択し,処理を行うことにより履歴が取られ指定された本籍欄が「不詳」に変更される。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子が該当する本籍に存在せず本籍不分明とされて返戻されてきた場合

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	不詳

4.発日,発送日入力･修正

発日,発送日の入力及び修正を行う。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 翌日が閉庁日のため発送日を,H7.01.23と入力する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	本籍
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

5.関連受領番号入力･修正

特定の受付ファイルを選択し,その受付ファイルと関連する受付ファイルの受領番号を関連受領番号として入力及び修正する。

ここでの入力等の判断は,操作者に委ねられる

(1) H17.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編成)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 他の受付ファイル(受領番号:199500130)と関連付ける。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号			漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	非本	H7.01.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	199500130	000000000	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

6.受理後の処理伺い

特定の受付ファイル(受理･未決裁)を選択し,発日を入力する。システムでは,収日のクリア,届書Fの削除を行う。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日		漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	受理	未決裁				甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(2) 受理は確定しているが,戸籍編製の記録が不明確。(発日を入力する)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	発日	収日		漢字氏名	本籍
1995000100	1	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	処理伺	未決裁	H7.01.21			甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

(3) 戸籍DB更新でロックを解除,個人状態F更新で受理処理伺い区分を設定する。

7.送達確認消し込み

送達の確認が取れた特定の受付ファイルを選択し,送達確認区分を設定する。この処理の利用は,市町村に委ねられる。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管内に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	未到着

(2) 乙野梅子の本籍地への送達が確認された場合。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	送達確認1	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍X	筆頭者名	受理	決裁	不要	

漢字氏名	本籍	送達確認
甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地	未到着
乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地	到達済

8.受付ファイル更新

送達の確認が取れた特定の受付ファイルを選択し,送達確認区分を設定する。この処理の利用は,市町村に委ねられる。

(1) H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人,妻となる乙野梅子が非本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オトヤ　バイコ	管外本籍A一丁目16番地

(2) 乙野梅子のカナ氏名「オトヤ　バイコ」が「オツノ　ウメコ」と判明。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	
1995000100	0	婚姻	H7.01.20	受理	本籍		管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	

漢字氏名	カナ氏名	本籍
甲野　英助	コウノ　エイスケ	管外本籍C三丁目52番地
乙野　梅子	オツノ　ウメコ	管外本籍A一丁目16番地

9.本籍地変更後の届出(標準準則34条)

入力変更項目としては、本非区分、発送日(転送日を設定)、届後本籍(転籍先市町村名を入力)、関連受領番号、本籍がある。届後筆頭者はクリアする。

(1)H7.01.20 婚姻届出(夫となる甲野英助が非本籍人、妻となる乙野梅子が本籍人で管外に新戸籍編製)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		…	漢字氏名	本籍
1995000100	0	婚姻	H7.1.20	受理	本籍	H7.1.21	管外本籍B	筆頭者名	受理	決裁	000000000	000000000	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍A一丁目16番地

※戸籍記録は行われており、乙野梅子は除籍となっている。

(2)H7.01.22 転籍届送付(H7.1.19に乙野梅子在籍戸籍の転籍届を転籍先市町村で受領、転籍先本籍:管外本籍X)

―戸籍訂正処理(受領番号:199500130)‥‥婚姻届により除籍となっている乙野梅子を回復させる。

―転籍処理　　(受領番号:199500132)‥‥乙野梅子を回復した戸籍の転籍処理を通常の異動処理で行う。

―準則34条によるファイル更新処理‥‥‥婚姻届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁	関連受領番号		…	漢字氏名	本籍
1995000100	1	婚姻	H7.1.20	受理	非本	H7.1.22			受理	決裁	199500130	199500132	…	甲野　英助	管外本籍C三丁目52番地
														乙野　梅子	管外本籍X

〃『戸規第41条により』+転籍先市町村名+『長へ転送』〃の形で自動設定する。

例)

a.届後本籍入力欄に、「東京都千代田区」が入力される。

b.受付ファイルの届後本籍に、「戸規第41条により東京都千代田区長へ転送」を設定し更新する。

10.本非区分変更(胎児認知)

特定の受付ファイルを選択し、本非区分を変更する。この処理の利用は、市区町村に委ねられる。

(1)H31.01.20 胎児認知届出(母となる乙野梅子が本籍地に届出)

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	0	認知 (胎児)	H31.1.20	受理	本籍		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子 の胎児	管内本籍A	

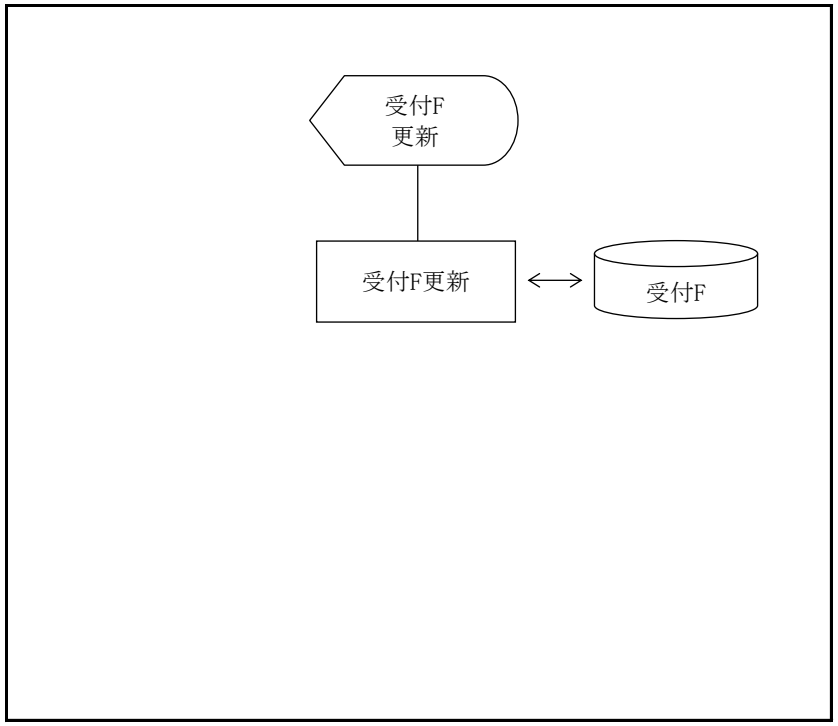
(2)H31.03.02 出生届送付(H31.3.1に母につき管外へ新戸籍編製する出生届を新戸籍編製先市区町村で受領)

―ファイル更新処理…胎児認知届の受付ファイルを更新する。

受領番号		事件	受付日	受送	本非	発送日	届後本籍/筆頭者		処分	決裁			漢字氏名	本籍	
2019000100	1	認知 (胎児)	H31.1.20	受理	非本		管外本籍A	筆頭者名	受理	決裁		…	乙野　梅子 の胎児	管内本籍A	

第7 2 (13)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/24

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
受付F	入出力		

3.処理概要

(1) 入力された受領番号をもとに受付Fを検索し画面へ表示する
(2) 入力された項目の単体チェックを行う
(3) 入力された項目の関連チェックを行う
(4) 入力されたデータから受付Fを編集･出力する

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(受付F更新入力画面)
- 2.0 単体チェック
- 3.0 関連チェック
- 4.0 データ編集表(受付F)
- 5.0 データ編集表(受付F更新確認画面)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/24

処理名	0.0　本紙　1/2	根拠法令(マニュアル処理)
	(1)入力時の受領番号7桁=検索データの受領番号3～9桁目と同じ場合繰返し処理を行う /	
	(2)入力された受領番号をキーとして受付Fを検索する /	
	(3)受付F更新入力画面を編集･表示する [1.0] /	
	(4)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,その他) /	
実行キー	(5)入力項目の単体チェック(OK,NG) [2.0] /	
OK	(6)入力項目の関連チェック(OK,NG) [3.0] /	
OK	(7)受付Fを編集する [4.0] /	
	(8)受付F更新確認画面を編集･表示する [5.0] /	
	(9)キー選択(PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,PF9,その他) /	
	PF ————→	(10)業務選択に制御を渡す
	PF2 ————→	(11)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す
	PF5 (12) 受付F更新入力画面を表示する /	
	(13)→(4)へ /	
	PF7 (14)前ページがある(YES,NO) /	
	YES (15)前ページ受付F更新確認画面表示	(16)同画面を編集する
	NO (17)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示	
	PF8 (18)次ページかある(YES,NO) /	
	YES (19)次ページ受付F更新確認画面表示	(20)同画面を編集する
	NO (21)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示	
	PF9 (22)処理No.=4又は5(YES,NO) /	
	YES (23)受付Fを更新する(REPLACE処理)	(24)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す
	NO (25)受付F･受領番号の枝番に1を加える /	
	(26)受付Fを追加する(ADD処理)	(27)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す
	その他 (28)エラーメッセージ「無効なキーか入力されました。」を表示	(29)同画面を編集する

第72(13)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	10/24

処理名	0.0 本紙 2/2			根拠法令(マニュアル処理)
	NG (30)エラーメッセージを表示する		(31)同画面を編集する	
	NG			
PF1	————→		(32)業務選択に制御を渡す	
PF2 PF5	————→		(33)各種ファイル更新業務選択に制御を渡す	
PP7	(34)前ページがある(YES,NO)	/		
	YES (35)前ページ受付F更新入力画面表示		(36)同画面を編集する	
	NO (37)エラーメッセージ「先頭ページです。」を表示			
PF8	(38)次ページがある(YES,NO)	/		
	YES (39)次ページ受付F更新入力画面表示		(40)同画面を編集する	
	NO (41)エラーメッセージ「最終ページです。」を表示			
その他	(42)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました。」を表示			

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/24

処理名	1.0　入力画面編集　1/4	(受取側)受付F更新(受付)入力画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新入力画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新入力画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/24

処理名	1.0　入力画面編集　2/4	(受取側)受付F更新(受付)入力画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新入力画面 受付F(受付)	処分名		受付F(受付)	処分区分		有		
	決裁区分			決裁区分				
	決裁名					有		処理名称を編集
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5				3～9桁目を移送
	届出人資格1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍名					有		
	届抜本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	事件発生日時			事件発生日時				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年 3月 1日	10	13/24

処理名	1.0　入力画面編集　3/4	(受取側)受付F更新(事件本人)入力画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新入力画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新入力画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆順者1～n			筆頭者				
	送達2　1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

処理名	1.0　入力画面編集　4/4

選択処理番号により,以下の項目が入力可能となる。(入力可能項目名は高輝度表示とする。)

選択処理番号　1　(便宜訂正)
届出人氏名1～2,届後本籍コード,届後本籍,届後戸籍の筆頭者,漢字氏名,本籍コード,本籍　等

選択処理番号　2　(返戻(受理処分の撤回))

選択処理番号　3　(返戻(本籍不分明))
本籍

選択処理番号　4　(発日,発送日修正)
発日,発送日

選択処理番号　5　(関連受領番号入力･修正)
関連受領番号1～5

選択処理番号　6　(受理後の処理伺い)
発日

選択処理番号　7　(送達確認消し込み)
送達1,送達2

選択処理番号　8　(受付ファイル更新)
出張所番号,届書送付目録区分,カナ氏名

選択処理番号　9　(本籍地変更後の届出)
本非区分,発送日(転送日),届出後本籍,関連受領番号1～5

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	15/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック表(1/3)	受付F更新(受付)画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	出張所番号		数字		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
2	受付日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」			
3	事件発生日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
4	発送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
5	事件発生時分		数字				
6	受理送付区分	○	数字	(1:受理,2:送付)であること			
7	郵送日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
8	発日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
9	本非区分	○	数字	(1:本籍分届,2:非本籍分届)であること			
10	指示日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
11	収日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
12	渉外区分	○	数字	(0:日本人,1:渉外,2:外国人)であること			
13	許可日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
14	送達確認1		数字	(△:不要,0:到着済,2:未到着)であること			
15	処分区分		数字	(1:受理,2:不受理,3:受理伺い,4:処理伺い,5:返戻,6:取下げ,7:保留,8:受理処分後の撤回,9:誤処理)であること			
16	決裁区分		数字	(0:未決裁,1:決裁,3:修正,4:欠番)であること			
17	関連受領番号		数字				
18	届出人資格区分1		数字	コード表参照			
19	届出人資格名称1		漢字				
20	届出人氏名1		漢字				
21	届出人資格区分2		数字	コード表参照			
22	届出人資格名称2		漢字				
23	届出人氏名2		漢字				
24	届後本籍区分		数字	(1:入籍,2:新戸籍編製)であること			

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	16/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック表(2/3)	受付F更新(受付)画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
25	届後本籍コード		数字		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
26	届後本籍		漢字				
27	届後戸籍の筆頭者		漢字				
28	事件発生日時		漢字				

第7 2 (13)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成16年11月 1日	8.3	17/24

処理名	画面名	画面ID	
2.0　単体チェック表(3/3)	受付F更新(事件本人)画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
29	事件本人区分		数字	コード表参照	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
30	届出人区分		数字	(0:△、1:届出人)であること			
31	カナ氏名		カナ				
32	漢字氏名		漢字				
33	生年月日		英数	「日付チェックサブルーチン」			
34	本籍コード		数字				
35	本籍		漢字				
36	筆頭者		漢字				
37	送達確認2		数字				

第7 2 (13)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	18/24

処理名	画面名	画面ID	
3.0　関連チェック表(1/1)	受付F更新(受付,事件本人)画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(NO. 3)事件発生日≠スペースの時,(NO. 2)受付日≧(NO. 3)事件発生日であること	『関連エラーかあります。正しく入力して下さい。』		
2	(NO. 4)発送日≠スペースの時,(NO. 2)受付日≦(NO. 4)発送日であること			
3	(NO. 8)発日≠スペースの時,(NO. 2)受付日≦(NO. 8)発日であること			
4	(NO.11)収日≠スペースの時,(NO. 8)発日≠スペースかつ(NO. 8)発日≦(NO.11)収日であること			
5	(NO.28)事件発生日時≠スペースの時,受付F,受付事件コード=16(死亡)であること			

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	19/24

処理名	4.0　受付F編集　1/3	(受取側)受付F(受付)	←(引渡側)受付F更新確認画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F(受付)	出張所番号		受付F更新確認画面	出張所No.				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	事件発生日時			事件発生日時				
	受理送付区分			受理送付区分				
	本非区分			本非区分				
	渉外区分			渉外区分				
	発送日			発送日				
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	収日			収日				
	指示日			指示日				
	許可日			許可日				
	関連受領番号1～5			関連受領番号1～5				
	届出人資格区分1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格区分2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	送達確認1			送達確認1				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	20/24

処理名	4.0　受付F編集　2/3	(受取側)受付F(受付)	←(引渡側)受付F更新確認画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F(受付)	届書送付目録区分		受付F更新確認画面	届書送付目録				
	処分区分			処分区分				
	決裁区分			決裁区分				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年3月1日	10	21/24

処理名	4.0　受付F編集　3/3	(受取側)受付F(事件本人)	←(引渡側)受付F更新確認画面

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F(事件本人)	事件本人区分1～n		受付F更新確認画面	事件本人区分				
	届出人区分1～n			届出人区分				
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍1～n			本籍				
	筆頭者			筆頭者				
	送達確認2　1～n			送達確認2				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	22/24

処理名	5.0　確認画面編集　1/3	(受取側)受付F更新(受付)確認画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新確認画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新確認画面 受付F(受付)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	受領番号		受付F(受付)	受領番号				3～9桁目を移送
	受付事件名			受付事件コード		有		
	出張所No.			出張所番号				
	受付日			受付日				
	事件発生日			事件発生日				
	発送日			発送日				
	事件発生時分			事件発生時分				
	受送区分			受理送付区分				
	受送名					有		
	郵送日			郵送日				
	発日			発日				
	本非区分			本非区分				
	本非名					有		
	指示日			指示日				
	収日			収日				
	渉外区分			渉外区分				
	渉外名					有		
	許可日			許可日				
	届書送付目録区分			届書送付目録区分				
	届書送付目録名					有		
	送達1			送達確認1				
	送達1名					有		
	処分区分			処分区分				

第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	23/24

処理名	5.0　確認画面編集　2/3	(受取側)受付F更新(受付)確認画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新確認画面 受付F(受付)	処分名		受付F(受付)	処分区分		有		
	決裁区分			決裁区分				
	決裁名					有		
	関連受領No.1～5			関連受領番号1～5				
	届出人資格1			届出人資格区分1				
	届出人資格名称1			届出人資格名称1				
	届出人氏名1			届出人氏名1				
	届出人資格2			届出人資格区分2				
	届出人資格名称2			届出人資格名称2				
	届出人氏名2			届出人氏名2				
	届後本籍区分			届後本籍区分				
	届後本籍名					有		
	届後本籍コード			届後本籍コード				
	届後本籍			届後本籍				
	届後戸籍の筆頭者			届後戸籍の筆頭者				
	事件発生日時			事件発生日時				

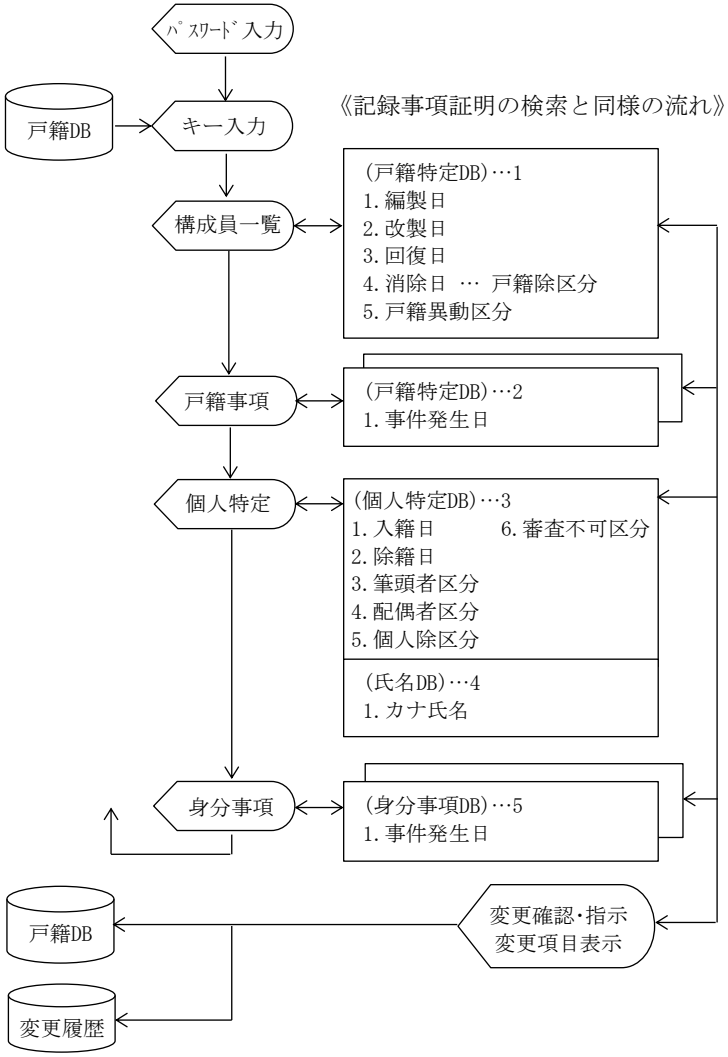
第7 2 (13)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		受付ファイル更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	平成18年3月1日	10	24/24

処理名	5.0　確認画面編集　3/3	(受取側)受付F更新(事件本人)確認画面	←(引渡側)受付F

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付F更新確認画面 共通域	画面ID							
	システム日付							
受付F更新確認画面 受付F(事件本人)	処理			処理No.		有		処理名称を編集
	事件本人No.1～n							1～n件のシーケンス番号設定
	事件本人区分1～n		受付F(事件本人)	事件本人区分				
	事件本人名1～n					有		
	届出人区分1～n			届出人区分				
	届出人名1～n					有		
	カナ氏名1～n			カナ氏名				
	漢字氏名1～n			漢字氏名				
	生年月日1～n			生年月日				
	本籍コード1～n			本籍コード				
	本籍(上段)1～n			本籍				1～25文字を設定
	本籍(下段)1～n							26～50文字を設定
	筆頭者1～n			筆頭者				
	送達2　1～n			送達確認2				
	送達2名1～n					有		

第7 2 (13)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		戸籍DB更新処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

戸籍DBの特定項目のみを,資格(パスワード制御)をもった者が変更できる処理を「戸籍DB更新処理」と呼ぶ。
　　戸籍原簿としてのデータ項目以外で,システムが使用する特定項目のみが対象。



【処理条件概要】

1. 処理操作者の限定を,パスワード等により行う。
2. 変更可能な項目を,左記の枠組みの中の項目のみとする。
3. 戸籍事項・身分事項等との係わりは,操作者の責任で確認する。
4. 配偶者区分の更新は,『生存配偶者』から『未』へのみ可とする。
5. カナ氏名については,変更前のカナ氏名を「旧氏名」とする。(氏名DB履歴)
   他の項目については,上書き方式とする。
6. 戸籍DBの検索から更新までの間の排他制御は,行うようにする。
7. すべての変更に対して,変更履歴ファイルを作成する。
   作成後のファイル利用は,各自治体に委ねる。
8. 戸籍異動区分については,特に配慮を要する。

【戸籍DB変更履歴F】レコード長:200バイト　順次編成

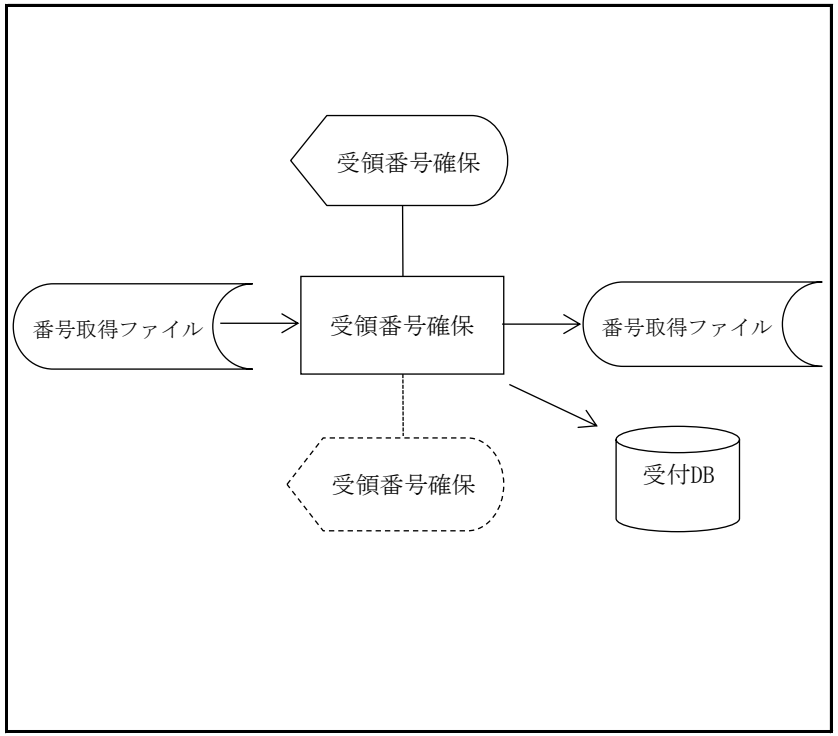
NO	項目名	項目のバイト数	備考
1	変更日	9(8)	yyyymmdd(西暦)
2	変更時間	9(9)	ttmmssnnn
3	変更者	N(15)	パスワード
4	変更場所	N(7)	出張所(3)+端末(4)
5	戸籍番号	9(10)	
6	個人番号	9(10)	戸籍特定,戸籍事項DBの変更時は不使用。
7	行番号	9(2)	戸籍事項,身分事項,氏名DBの変更時のみ使用。
8	記載コード	9(4)	戸籍事項,身分事項DBの変更時のみ使用。
9	変更対象区分	9(2)	11:戸籍特定DB・編製日～51:身分事項DB・事件発生日
10	区分別内容	X(120)	変更前と後を持つ。変更対象区分が「11」であれば変更前編製日:9(7)と変更後編製日:9(7)を持つ。
11	予備	X(13)	

第7.2.(14)

「受領番号確保」処理

第7 2 (14)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		休日･夜間分　受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/7

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
番号取得ファイル	入出力		
受付DB	出力		

3.処理概要

(1)届出日と届出日毎の届書枚数の入力及び受領番号の確保
(2)受領番号に対応する受付DBの作成

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データ編集表(休日･夜間分(受領番号確保)画面作成)
- 2.0 データ編集表(番号取得ファイル更新)
- 3.0　データチェック(単体表)
- 4.0　データ編集表(受付DB)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (14)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日･夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/7

処理名	0.0　本紙			根拠法令(マニュアル処理)
(1)休日･夜間分(受領番号確保)画面を出力する		/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,その他)		/		
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [3.0]	/		
YES	(4)日付の年度をキーとして番号取得ファイルを読む	/		
	(5)休日･夜間分(受領番号確保)画面を編集する [1.0]	/		
	(6)届出枚数分行う(受領番号･開始番号から受領番号･終了番号まで)	/		
	(7)受領番号で受付DBを作成する [4.0]	/		
	(8)番号取得ファイルを更新する [2.0]		(9)同画面を編集する	
NO	(10)エラーメッセージ 単体チェックにて編集したメッセージを表示する			
PF1	→		(11)業務選択に制御を渡す	
その他	(12)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する		(13)同画面を編集する	

第7 2 (14)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日・夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/7

処理名	1.0　休日･夜間分(受領番号確保)画面編集	(受取側)休日･夜間分(受領番号確保)画面	←(引渡側)番号取得ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
休日･夜間分(受領番号確保)画面	日付		同画面	(同項目)				
	届書枚数			(同項目)				
	受領番号･開始番号		番号取得ファイル	受領番号				受領番号
	受領番号･終了番号			受領番号				受領番号 + 届書枚数 - 1

第7 2 (14)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日･夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/7

処理名	2.0　番号取得ファイル更新	(受取側)番号取得ファイル	←(引渡側)番号取得ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
番号取得ファイル	受領番号		番号取得ファイル	受領番号				受領番号 + 届書枚数

第7 2 (14)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日･夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/7

処理名	画面名	画面ID	
3.0　入力項目チェック	休日･夜間分(受領番号確保)画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
01	日付	○	英数	『日付チェックサブルーチン』	『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
02	届書枚数	○	数字				

第7 2 (14)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日･夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/7

処理名	4.0　受付DB(受付)作成	(受取側)受付DB(受付)	←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
受付DB(受付)	受領番号			受領番号				
	出張所番号							
	受付事件コード							
	受付日							
	事件発生日							
	事件発生時分							
	事件発生日時							
	受理送付区分							
	本非区分							
	渉外区分							
	発送日							
	郵送日							
	発日							
	収日							
	指示日							
	許可日							
	関連受領番号(1～5)							
	届出人資格区分1							
	届出人資格名称1							
	届出人氏名1							
	届出人資格区分2							
	届出人資格名称2							
	届出人氏名2							
	届後本籍区分							
	届後本籍コード							
	届後本籍							

第72(14)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		休日･夜間分 受領番号確保	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/7

処理名	4.0　受付DB(受付)作成	(受取側)受付DB(受付)	←(引渡側)

受取側			引渡側			コード変換有無(サブルーチン)	出力形態 Z9.,	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
受付DB(受付)	届後戸籍の筆頭者							
	送達確認1							
	処分区分							
	決裁区分							
	届書送付目録区分							

第7.2.(15)

「帳票出力」処理

第7 2 (15)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		帳票出力処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1.処理範囲

(1)帳票出力処理では、戸籍法令等で示されている帳票または、戸籍事務内で使用する帳票を対象にしている。

(2)帳票レイアウトは、帳票設計書で示した様式で規定する。(一部除く)

2.処理概要

(1)帳票出力する際、抽出条件が必要となるものがあるため、各帳票毎に抽出条件入力画面を設け範囲指定を行う。
入力された抽出条件の妥当性をチェックし、正しければ帳票出力処理を行う。
(出力処理については、対象ファイル全件検索しなければならないものもあるため、バッチ起動を行う等システム環境に合わせた運用が必要となる。
そのため、出力手順(方式)についてはメーカに任せる)

(2)帳票の種類
・受付帳
・種類番号帳
・届書送付目録(本籍人、渉外関係)
・届書送達確認書
・戸籍事務専用
・宛名シール
・高齢者消除該当一覧(許可申請書)
・本籍町名変更通知

その他、運用に合わせて帳票追加しても構わない

第7.2.(16)

「統計」処理

第7 2 (16)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		統計処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1.処理範囲

(1)統計処理では、戸籍事件表を作成するための処理を行う。事件表を作成するため、自治体毎に日計表、週計表、月計表など作成し管理を行っているが、基準書内では、最終目的とする事件表(年計)を対象としている。
（日計表～月計表においては、オプションでシステム化を図っても可）

(2)また、証明書発行枚数等、一部システム化に馴染まない項目があるため統計ファイル更新処理機能を取り込み、実態の数値を直接入力できることとした。

2.処理概要

(1)事件表出力処理は、統計ファイルの情報を編集し、事件表を作成する。(月計表など出力条件が必要な場合は、出力条件入力画面を設け階層的に展開するものとし、対象ファイルは統計ファイルのみから編集可能な内容とする)

(2)統計ファイル更新処理は、日単位に作成される統計情報に対して更新する。累積データ(週計、月計等)を作成した場合は、それぞれの整合性(表間突合)が合うように更新する必要がある。

第7.2.(17)

「関連業務」処理

第7 2 (17)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		関連業務処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1.処理範囲

(1)関連業務処理では、戸籍事務の一連処理として行う業務を特定し展開するものである。性質的に、他省庁との協議事項が関与するため、詳細仕様について今後検討する必要がある。

(2)以下に示す関連業務は、参考的に載せているのでシステム化に当り、事前の調整･検討が必要となる場合もある。また、厚生省で検討を進めている「人口動態システム」においても、関連事務として位置づけ今後取り入れていく。

2.処理概要

関連業務処理として位置づけているものを以下に示す。

(1)身分証明書

現状では、発行する自治体により様式が異なっている。証明項目では(準)禁治産者及び、破産者の有無について証明している点が共通しているため、出力項目について標準化を図っている。

(2)相続税法58条通知

現状では、地域により用いられている様式が異なっている。(連名方式、単票方式等)

帳票設計書で示したレイアウトは、国税庁の承認を得て参考的に示している。実際の運用に関しては、管轄税務署との事前承認を得てシステム化を図る必要あり。

(3)附票関連事務

平成4年度における「戸籍附票部会結果報告書」を参照。

要件定義書として、9条2項処理を示す。

第7 2 (17)	システム処理の概要説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/1

1. 9条2項処理の内容

(1) 9条2項ファイルメンテ処理

9条2項ファイルの内容の確認,追加,修正,削除が生じた場合,9条2項ファイルメンテから処理を開始する。

本処理が使用できるのは、仮9条2項ファイルが存在する間(処分決定(受理)後～決裁(決裁)前),または住民票異動ファイル及び住民票通知ファイルが存在する間である。

画面展開は
①9条2項ファイル内容表示:処理する9条2項ファイルを選択する。
②9条2項通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容も)。
③9条2項内容:9条2項内容を表示,入力する。

(2) 仮9条2項ファイル表示処理

仮9条2項ファイルの内容を表示するだけの処理で,決裁処理から制御が渡される。

画面展開は
①9条2項通知者一覧:処理対象となる者を選択する(処理内容は入力不可:表示のみ)。
②9条2項内容:9条2項内容を表示する。

2. 9条2項ファイルメンテでのPFキー

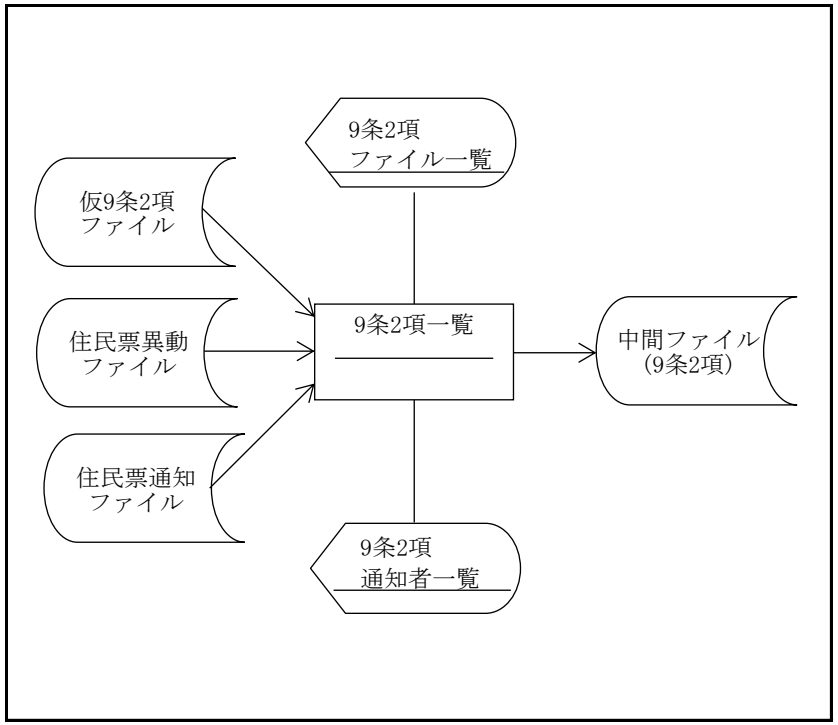
画面 / PFキー	9条2項ファイル一覧	9条2項通知者一覧	9条2項内容処理
PF1	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ	戸籍業務メニューへ
PF2	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ	ファイルメンテ画面へ
PF3			9条2項内容処理
PF4			
PF5	戸籍業務メニューへ	9条2項ファイル一覧へ	9条2項通知者一覧へ
PF6			
PF7	前頁表示	前頁表示	
PF8	次頁表示	次頁表示	
PF9			
PF10			
PF11			
PF12			画面の初期化
実行キー	9条2項通知者一覧へ	9条2項内容処理へ	画面内容確認

仮9条2項ファイル表示でのPFキー

画面 / PFキー	9条2項通知者一覧	9条2項内容処理
PF1	決裁処理画面へ	決裁処理画面へ
PF2		
PF3		
PF4		
PF5	決裁処理画面へ	9条2項通知者一覧へ
PF6		
PF7	前頁表示	
PF8	次頁表示	
PF9		
PF10		
PF11		
PF12		
実行キー	9条2項通知者一覧へ	

第7 2 (17)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/7

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
仮9条2項ファイル	入力		
住民票異動ファイル	入力		
住民票通知ファイル	入力		
中間ファイル(9条2項)	出力		

3.処理概要

(1)仮9条2項ファイル,住民票異動ファイル,住民票通知ファイルのデータ一覧を表示する。

(2)処理する受領番号を選択して,9条2項通知者一覧へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック表
  - 2.0 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:仮9条2項ファイル)
    - 2.1 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:住民票異動ファイル)
    - 2.2 データ編集表(9条2項ファイル一覧画面:住民票通知ファイル)
  - 3.0 データ編集表(中間ファイル(9条2項))

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/7

処理名	0.0　本紙			備考
	(1)仮9条2項ファイルがある(YES,NO)		/	
YES	(2)仮9条2項ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.0]		/	
NO	(3)　→　(4)へ		/	
	(4)住民票異動ファイルがある(YES,NO)		/	
YES	(5)住民票異動ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.1]		/	
NO	(6)　→　(7)へ		/	
	(7)住民票通知ファイルがある(YES,NO)		/	
YES	(8)住民票通知ファイルの内容を9条2項ファイル一覧画面に表示する [2.2]		/	
NO	(9)　→　(10)へ		/	
	(10)表示が1件もない(YES,NO)		/	
YES	(11)エラーメッセージ『9条2項データが1件も有りません』を表示する			(12)ファイルメンテに制御を渡す　エラーメッセージはファイルメンテ画面で表示
NO	(13)　→　(14)へ		/	
	(14)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,その他)		/	
実行キー	(15)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]		/	
	YES	(16)選択番号に該当する9条2項データがある(YES,NO)	/	
		YES	(17)該当するデータの受領番号とファイル種別を基に,ファイル(仮9条2項,住民票異動,住民票通知)を読み,その内容で中間ファイル(9条2項)を作成する。 [3.0]		(18)9条2項通知者一覧に制御を渡す	同一受領番号でレコードがあるだけ作成する
		NO	(19)エラーメッセージ『選択番号に該当するデータがありません』を表示		(20)　→　(14)へ	
	NO	(21)エラーメッセージを表示する		
PF1	⟶			(22)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶			(23)ファイルメンテに制御を渡す
PF5	⟶			(24)業務選択に制御を渡す
PF7	(25)前ページがある(YES,NO)		/	
	YES	(26)前ページ分の9条2項ファイル一覧画面を編集する		(27)同画面を編集する→(14)へ
	NO	(28)エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する		
PF8	(29)次ページがある(YES,NO)		/	
	YES	(30)次ページ分の9条2項ファイル一覧画面を編集する		(31)同画面を編集する→(14)へ
	NO	(32)エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する		
その他	(33)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(34)同画面を編集する→(14)へ

第72(17)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/7

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック	9条2項ファイル一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	選択番号	○	数字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		

第72(17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/7

処理名	2.0　9条2項ファイル一覧編集処理	(受取側)9条2項ファイル一覧画面	← (引渡側)仮9条2項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					『仮9条2項』と表示する
	選択番号							

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/7

処理名	2.1　9条2項ファイル一覧編集処理	(受取側)9条2項ファイル一覧画面	←　(引渡側)住民票異動ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		住民票異動ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					『住民票異動』と表示する
	選択番号							

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/7

処理名	2.2　9条2項ファイル一覧編集処理	(受取側)9条2項ファイル一覧画面	←　(引渡側)住民票通知ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
9条2項ファイル一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	項番							連番で表示する
	受領番号		住民票通知ファイル	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	ファイル名称		システム処理					『住民票通知』と表示する
	選択番号							

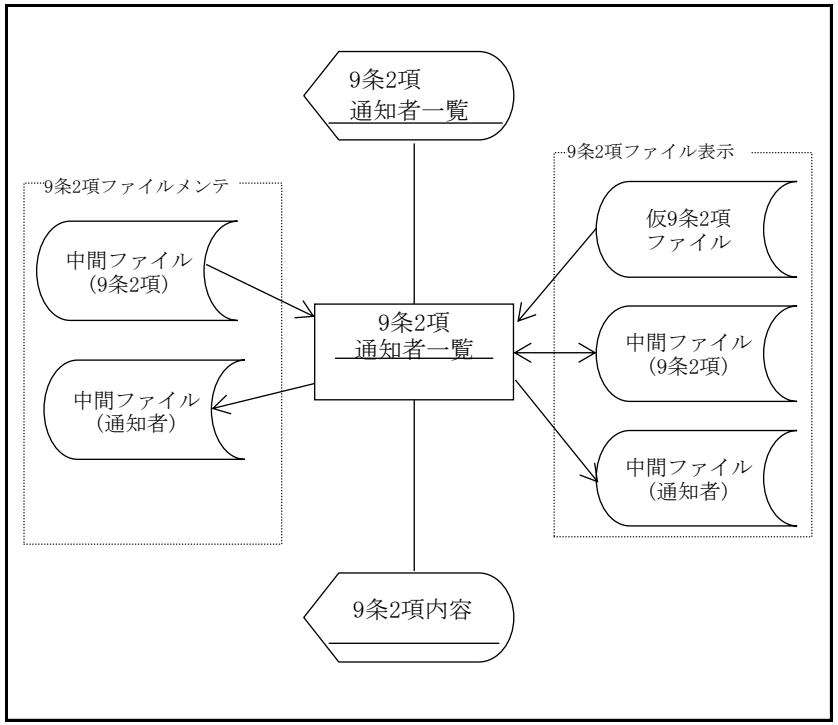
第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項ファイル一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/7

処理名	3.0　中間ファイル(9条2項)作成	(受取側)中間ファイル(9条2項)	←　(引渡側)仮9条2項,住民票異動,住民票通知ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	受領番号		仮9条2項ファイル 住民票異動ファイル 住民票通知ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮9条2項ファイル 2:住民票異動ファイル 3:住民票通知ファイル

第7 2 (17)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/9

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
【9条2項ファイルメンテ】		【9条2項ファイル表示】	
中間ファイル(9条2項)	入力	仮9条2項ファイル	入力
中間ファイル(通知者)	出力	中間ファイル(9条2項)	入出力
		中間ファイル(通知者)	出力

3.処理概要

(1)9条2項ファイル一覧から制御を渡されたとき
①中間ファイル(9条2項)から通知者一覧を表示する。
②通知者の内容の表示,変更,削除か,追加を指定して9条2項処理へ制御を渡す。

(2)決裁処理から制御を渡されたとき
①該当の受領番号から仮9条2項ファイルを検索し,通知者一覧を表示する。
②表示する通知者の選択番号を指定して,9条2項処理へ制御を渡す。

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック表
  - 2.0 関連チェック表
  - 3.0 データ編集表(9条2項一覧画面)
    - 3.1 データ編集表(中間ファイル(9条2項):9条2項表示)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(通知者):9条2項メンテ)
    - 4.1 データ編集表(中間ファイル(通知者):9条2項表示)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/9

処理名	0.0　本紙　(1/2)		備考
	(1)9条2項ファイルメンテから制御が渡された(YES,NO)	/	
YES	(2)中間ファイル(9条2項)から9条2項通知者一覧画面を表示する [3.0]	/	
	(3)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF7,PF8,その他)	/	
	実行キー (4)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/	
	YES (5)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/	
	YES (5)　→　(9)へ	/	
	NO (6)エラーメッセージを表示する		(7)　→　(3)へ
	NO (8)エラーメッセージを表示する		
	(9)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)	/	
	YES (10)画面に入力の処理区分は2:『追加』である	/	
	YES (11)中間ファイル(通知者)を作成し,処分区分を設定する [4.0]		(12)9条2項内容処理へ制御を渡す　「受領番号」～「受理日」は必ず設定
	NO (13)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し,処分区分を設定する [4.0]		
	NO (14)エラーメッセージ「該当のデータは有りません」を表示する		(15)　→　(3)へ
	PF1 ⟶		(16)業務選択へ制御を渡す
	PF2 ⟶		(17)ファイルメンテへ制御を渡す
	PF5 ⟶		(18)9条2項ファイル一覧へ制御を渡す
	PF7 (19)前ページがある(YES,NO)	/	
	YES (20)前ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する [3.0]		(21)同画面を編集する→(3)へ
	NO (22)エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する		
	PF8 (23)次ページがある(YES,NO)	/	
	YES (24)次ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する [3.0]		(25)同画面を編集する→(3)へ
	NO (26)エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する		
	その他 (27)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(28)同画面を編集する→(3)へ
NO	(29)決裁処理している受領番号を基に仮9条2項ファイルを検索する(ある:YES,なし:NO)	/	
	YES (30)　→　(33)へ	/	
	NO (31)エラーメッセージ『9条2項データは存在しません』を表示する		(32)決裁処理へ制御を渡す　エラーメッセージは決裁処理で表示する
	(33)該当のデータで中間ファイル(9条2項)を作成する [3.1]	/	同一受領番号でデータがあるだけ作成する
	(34)中間ファイル(9条2項)から9条2項通知者一覧画面を表示する [3.0]	/	

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	0.0　本紙　(2/2)			備考
(35)キー選択(実行キー,PF1,PF5,PF7,PF8,その他)			/	
実行キー	(36)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/	
	YES (37)　→　(40)へ		/	
	NO (38)エラーメッセージを表示する			(39)　→　(35)へ
	(40)該当番号に当たるデータがある(YES,NO)		/	
	YES (41)該当のレコードで中間ファイル(通知者)を作成し,処分区分を設定する	[4.0]		(42)9条2項内容処理へ制御を渡す
	NO (43)エラーメッセージ「該当のデータは有りません」を表示する			(44)　→　(35)へ
PF1	⟶			(45)決裁処理へ制御を渡す
PF5	⟶			(46)決裁処理へ制御を渡す
PF7	(47)前ページがある(YES,NO)		/	
	YES (48)前ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(49)同画面を編集する→(35)へ
	NO (50)エラーメッセージ「先頭ページを表示中です」を表示する			
PF8	(51)次ページがある(YES,NO)		/	
	YES (52)次ページ分の9条2項通知者一覧画面を編集する	[3.0]		(53)同画面を編集する→(35)へ
	NO (54)エラーメッセージ「最終ページを表示中です」を表示する			
その他	(55)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(56)同画面を編集する→(35)へ

第72(17)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック	9条2項通知者一覧		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	処理区分	○	数字	(1:表示,2:追加,3:修正,4:削除)であること	「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		9条2項表示は1のみ
2	該当番号		数字				9条2項表示は必須

第7 2 (17)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック	9条2項通知者一覧		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)処理区分 ＝ 2(追加)のとき,(No.2)該当番号 ＝ スペースであること	関連エラーがあります。正しく入力してください。		9条2項ファイルメンテのみ関連チェックが必要
2	(No.1)処理区分 ≠ 2(追加)のとき,(No.2)該当番号 ≠ スペースであること			

第72(17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	6/9

処理名	3.0 9条2項通知者一覧編集処理	(受取側)9条2項通知者一覧画面 ← (引渡側)中間ファイル(9条2項)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名	DB･ファイル名 画面名称	項目 名称	項目 記号名			
9条2項通知者一覧画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ,総ページ							
	項番							
	受領番号		中間ファイル(9条2項)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	氏名			旧氏名				
	処理区分							
	該当番号							

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	3.1　中間ファイル(9条2項)作成	(受取側)中間ファイル(9条2項)	← (引渡側)仮9条2項ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	受領番号		仮9条2項ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別		システム処理					1:仮9条2項ファイル　を設定

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/9

処理名	4.0　中間ファイル(通知者)作成	(受取側)中間ファイル(通知者)	←　(引渡側)中間ファイル(9条2項)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(通知者)	受領番号		中間ファイル(9条2項)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				処理区分が2『追加』の場合 「新氏名」～「世帯主との続柄」は空白とする(データの移送はない)
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別			ファイル種別				
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示,2:追加,3:修正,4:削除

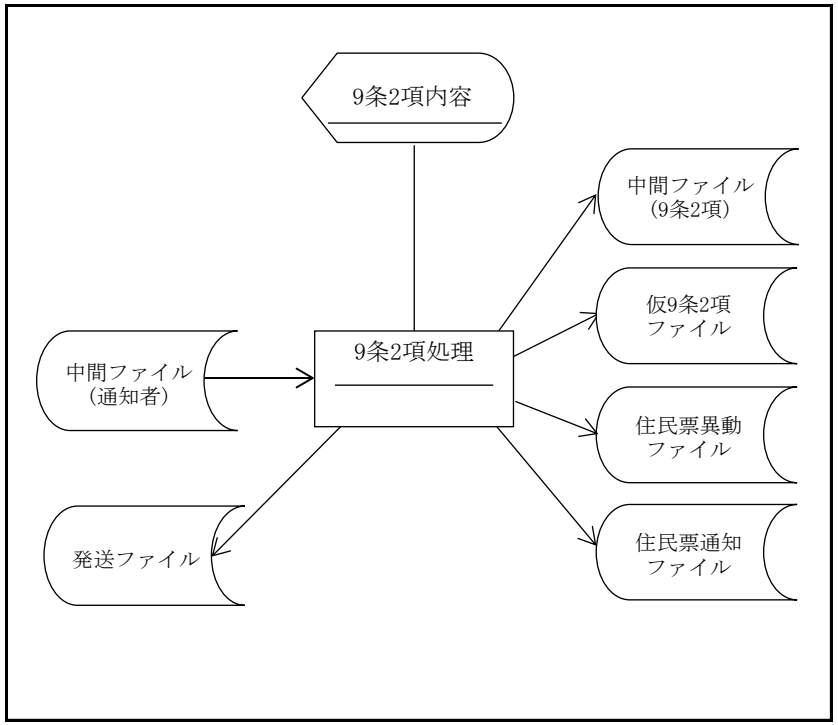
第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項通知者一覧表示	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	9/9

処理名	4.1　中間ファイル(通知者)作成	(受取側)中間ファイル(通知者)	←　(引渡側)中間ファイル(9条2項)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(通知者)	受領番号		中間ファイル(9条2項)	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			旧氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			旧生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			旧父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍コード				
	新本籍			新本籍				
	旧本籍コード			旧本籍コード				
	旧本籍			旧本籍				
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			旧筆頭者				
	住所コード			住所コード				
	住所			住所				
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別			ファイル種別				1:仮9条2項ファイル　のみ
	処理区分		システム処理	処理区分				1:表示　のみ

第7 2 (17)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/14

1.詳細フロー



2.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
中間ファイル(通知者)	入力		
中間ファイル(9条2項)	出力		
仮9条2項ファイル	出力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		
発送ファイル	出力		

3.処理概要

(1)処理区分により以下の処理を行う
- 『表示』:9条2項内容画面に表示し,内容を確認してもらう
  (9条2項表示はこの処理のみ)
- 『追加』:9条2項内容画面に追加するデータを入力してもらう
  確認後(実行キーの押下),PF3キーの押下によりデータを追加する
- 『修正』:9条2項内容画面に表示し,データを修正してもらう
  確認後(実行キーの押下),PF3キーの押下によりデータを更新する
- 『削除』:9条2項内容画面に表示し,内容を確認してもらう
  確認後(実行キーの押下),PF3キーの押下によりデータを削除する

(2)住民票通知ファイルへデータを追加する場合,発送ファイルも作成する

4.機能体系(要件定義書の構成)

- 0.0 本紙
  - 1.0 単体チェック表
  - 2.0 関連チェック表
  - 3.0 データ編集表(9条2項内容画面)
  - 4.0 データ編集表(中間ファイル(9条2項))
    - 4.1 データ編集表(仮9条2項ファイル)
    - 4.2 データ編集表(住民票異動ファイル)
    - 4.3 データ編集表(住民票通知ファイル)
  - 5.0 データ編集表(発送ファイル)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/14

処理名	0.0　本紙　(1/4)			備考
(1)中間ファイル(通知者)を読んで9条2項内容画面を編集する	[3.0]	/		
(2)処理区分別に以下の処理を行う(1:表示,2:追加,3:修正,4:削除)		/		
表示	(3)9条2項ファイルメンテの処理である(YES,NO)	/		
YES	(4)キー選択(PF1,PF2,PF5,その他)	/		
PF1	⟶		(5)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(6)ファイルメンテに制御を渡す	
PF5	⟶		(7)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
その他	(8)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(9)　→　(4)へ	
NO	(10)キー選択(PF1,PF5,その他)	/		
PF1	⟶		(11)決裁処理に制御を渡す	
PF5	⟶		(12)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
その他	(13)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(14)　→　(10)へ	
追加	(15)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF12,その他)	/		
実行キー	(16)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[1.0] /		
YES	(17)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)	[2.0] /		
YES	(18)　→　(22)へ	/		
NO	(19)エラーメッセージを表示する		(20)　→　(15)へ	
NO	(21)エラーメッセージを表示する			
(22)キー選択(実行キー,PF1.PF2,PF3,PF5,PF12,その他)		/		
実行キー	(23)　→　(22)へ	/		
PF1	⟶		(24)業務選択に制御を渡す	
PF2	⟶		(25)ファイルメンテに制御を渡す	
PF3	(26)画面入力されたデータを中間ファイル(9条2項)に追加する	[4.0] /		
	(27)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項,2:住民票異動,3:住民票通知)	/		
1	(28)画面入力されたデータを仮9条2項ファイルに追加する	[4.1] /		
2	(29)画面入力されたデータを住民票異動ファイルに追加する	[4.2] /		
3	(30)画面入力されたデータを住民票通知ファイルに追加する	[4.3] /		
		/		

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	3/14

処理名	0.0　本紙　(2/4)		備考
	(31)中間ファイル(通知者)のファイル種別は,3(住民票通知)である(YES,NO)	/	
	YES (32)中間ファイル(通知者)の受領番号を基に,発送ファイルを検索する(ある:YES,ない:NO)	/	
	YES (33)中間ファイル(通知者)の住所と発送ファイルの市区町村が同じ(YES,NO)	/	
	YES (34)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し,発送ファイルを更新する [5.0]		(35)9条2項通知者一覧に制御を渡す
	NO (36)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し,発送ファイルを作成する [5.0]		
	NO (37)発送ファイルの送付書類区分の住民票通知フラグに1を設定し,発送ファイルを作成する [5.0]		
	NO ⟶		
	PF5 ⟶		(38)9条2項通知者一覧に制御を渡す
	PF12 (39)9条2項内容画面を初期化する　→　(15)へ	/	
	その他 (40)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(41)同画面を編集する→(22)へ
PF1 ⟶			(42)業務選択に制御を渡す
PF2 ⟶			(43)ファイルメンテに制御を渡す
PF5 ⟶			(44)9条2項通知者一覧に制御を渡す
PF12	(45)9条2項内容画面を初期化する　→　(15)へ	/	
その他	(46)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(47)同画面を編集する→(15)へ
修正	(48)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,PF12,その他)	/	
実行キー	(49)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO) [1.0]	/	
	YES (50)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO) [2.0]	/	
	YES (51)　→　(55)へ	/	
	NO (52)エラーメッセージを表示する		(53)　→　(48)へ
	NO (54)エラーメッセージを表示する		
	(55)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF3,PF5,PF12,その他)	/	
	実行キー (56)　→　(55)へ	/	

第7 2 (17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	4/14

処理名	0.0　本紙　(3/4)	備考

		PF1	⟶		(57)業務選択に制御を渡す	
		PF2	⟶		(58)ファイルメンテに制御を渡す	
		PF3	(59)画面入力されたデータで中間ファイル(9条2項)を更新する [4.0]	/		
			(60)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項,2:往民票異動.3:住民票通知)	/		
			1 (61)画面入力されたデータで仮9条2項ファイルを更新する [4.1]		(62)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
			2 (63)画面入力されたデータで住民票異動ファイルを更新する [4.2]			
			3 (64)画面入力されたデータで住民票通知ファイルを更新する [4.3]			
		PF5	⟶		(65)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
		PF12	(66)9条2項内容画面を初期化する　→　(48)へ	/		
		その他	(67)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(68)同画面を編集する→(55)へ	
	PF1	⟶			(69)業務選択に制御を渡す	
	PF2	⟶			(70)ファイルメンテに制御を渡す	
	PF5	⟶			(71)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
	PF12	(72)9条2項内容画面を初期化する　→　(48)へ		/		
	その他	(73)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			(74)同画面を編集する→(48)へ	
削除	(75)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF5,その他)			/		
	メッセージ『削除してよろしいですね,確認して下さい(実行キー)』を表示する					
	実行キー	(76)キー選択(実行キー,PF1,PF2,PF3,PF5,その他)				
		メッセージ『PF3キーでデータが削除されます』を表示する				
		実行キー	(77)　→　(76)へ	/		
		PF1	⟶		(78)業務選択に制御を渡す	
		PF2	⟶		(79)ファイルメンテに制御を渡す	
		PF3	(80)確認されたデータを中間ファイル(9条2項)から削除する	/		
			(81)中間ファイル(通知者)のファイル種別? (1:仮9条2項,2:住民票異動,3:住民票通知)	/		
			1 (82)確認されたデータを仮9条2項ファイルから削除する		(83)9条2項通知者一覧に制御を渡す	
			2 (84)確認されたデータを住民票異動ファイルから削除する			
			3 (85)確認されたデータを住民票通知ファイルから削除する			

第72(17)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	5/14

処理名	0.0 本紙 (4/4)		備考
	PF5	⟶	(86)9条2項通知者一覧に制御を渡す
	その他	(87)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する	(88)同画面を編集する→(76)へ
PF1	⟶		(89)業務選択に制御を渡す
PF2	⟶		(90)ファイルメンテに制御を渡す
PF5	⟶		(91)9条2項通知者一覧に制御を渡す
その他	(92)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する		(93)同画面を編集する→(75)へ

第72(17)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	6/14

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック	9条2項内容		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	現氏名		漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		『追加』の場合必須
2	新氏名		漢字				
3	現本籍		漢字				『追加』の場合必須
4	新本籍		漢字				
5	現筆頭者		漢字				『追加』の場合必須
6	新筆頭者		漢字				
7	現生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
8	新生年月日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
9	現父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
10	新父母との続柄		数字	(10:男　～　49:十九女)であること			
11	住所		漢字				『追加』の場合必須
12	方書		漢字				
13	世帯主		漢字				『追加』の場合必須
14	世帯主との続柄		数字				『修正』の場合は「住所」～「住民日」だけ修正可能
15	住定日		数字	「日付チェックサブルーチン」			
16	住民日		数字	「日付チェックサブルーチン」			

第72(17)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	7/14

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック	9条2項内容		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1		関連エラーがあります。正しく入力してください。		
2				
3				
4	『追加』のとき, (No.8)新生年月日 ≠ スペースであれば,(No.7)現生年月日 ≠ スペースであること			
5	『追加』のとき, (No.10)新父母との続柄 ≠ スペースであれば,(No.9)現父母との続柄 ≠ スペースであること			
6	『追加』のとき,(No.2)新氏名　または　(No.4)新本籍　または　(No.6)新筆頭者　または (No.8)新生年月日　または　(No.10)新父母との続柄 のいずれかに入力があること			
7	『追加』のとき,(No.2)新氏名 ≠ スペース　であれば (No.1)現氏名 ≠ (No.2)新氏名　であること			
8	『追加』のとき,(No.4)新本籍 ≠ スペース　であれば (No.3)現本籍 ≠ (No.4)新本籍　であること			
9	『追加』のとき,(No.6)新筆頭者 ≠ スペース　であれば (No.5)現筆頭者 ≠ (No.6)新筆頭者　であること			
10	『追加』のとき,(No.8)新生年月日 ≠ スペース　であれば (No.7)現生年月日 ≠ (No.8)新生年月日　であること			
11	『追加』のとき,(No.10)現父母との続柄 ≠ スペース　であれば (No.9)現父母との続柄 ≠ (No.10)現父母との続柄であること			

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	8/14

処理名	3.0　9条2項内容編集処理　(1/2)	(受取側)9条2項内容画面	←　(引渡側)中間ファイル(通知者)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
9条2項内容画面	画面ID		システム処理					
	システム日付							
	現ページ/総ページ							
	受領番号		中間ファイル(通知者)	受領番号				
	支所番号			出張所番号				
	事件名称			事件コード		有		
	現氏名			旧氏名				
	新氏名			新氏名				
	現本籍			旧本籍コード		有		
				旧本籍				
	新本籍			新本籍コード		有		
				新本籍				
	現筆頭者			旧筆頭者				
	新筆頭者			新筆頭者				
	現生年月日			旧生年月日		有		
	新生年月日			新生年月日		有		
	現父母との続柄			旧父母との続柄				
	現父母との続柄名称					有		
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	新父母との続柄名称					有		
	住所			住所コード		有		
				住所				
	方書			方書				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄		有		
	世帯主との続柄名称					有		

第72(17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和 年 月 日	1	9/14

処理名	3.0 9条2項内容編集処理 (2/2)	(受取側)9条2項内容画面	← (引渡側)中間ファイル(通知者)

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
9条2項内容画面	住定日		中間ファイル(通知者)	住定日				
	住民日			住民日				

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	10/14

処理名	4.0　中間ファイル(9条2項)作成・更新	(受取側)中間ファイル(9条2項)	←　(引渡側)9条2項内容画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
中間ファイル(9条2項)	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				
	ファイル種別							

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	11/14

処理名	4.1　仮9条2項ファイル　作成･更新	(受取側)仮9条2項ファイル　←　(引渡側)9条2項内容画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
仮9条2項ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		9条2項内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		9条2項内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	12/14

処理名	4.2　住民票異動ファイル　作成･更新	(受取側)住民票異動ファイル　← (引渡側)9条2項内容画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票異動ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	事件コード			事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	13/14

処理名	4.3　住民票通知ファイル　作成･更新	(受取側)住民票通知ファイル　← (引渡側)9条2項内容画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
住民票通知ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード		9条2項内容処理	住所コード				市区町村部分だけのコード
	宛名			宛名				上記部分を宛名に変換した項目
	事件コード		9条2項内容画面	事件コード				
	受理日			受理日				
	新氏名			新氏名				
	旧氏名			現氏名				
	新生年月日			新生年月日				
	旧生年月日			現生年月日				
	新父母との続柄			新父母との続柄				
	旧父母との続柄			現父母との続柄				
	新本籍コード			新本籍				
	新本籍							
	旧本籍コード			現本籍				
	旧本籍							
	新筆頭者			新筆頭者				
	旧筆頭者			現筆頭者				
	住所コード			住所				
	住所							
	方書			方書				
	住定日			住定日				
	住民日			住民日				
	世帯主			世帯主				
	世帯主との続柄			世帯主との続柄				

第7 2 (17)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		9条2項内容処理	システム化調査研究会	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1	14/14

処理名	5.0　発送ファイル　作成	(受取側)発送ファイル	←　(引渡側)9条2項内容画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
発送ファイル	受領番号		9条2項内容画面	受領番号				
	出張所番号			支所番号				
	市区町村コード			住所コード				住所コードの上5桁(送付する市区町村名がわかればよい)
	郵便番号				有			住所コードの上5桁を基に送付する市区町村の郵便番号,住所,宛名を設定する
	住所				有			
	宛名				有			
	送付書類区分							
	届書							
	不受理申出							
	胎児認知							
	住民票通知		9条2項内容処理					1:「有」を設定する
	附票通知							

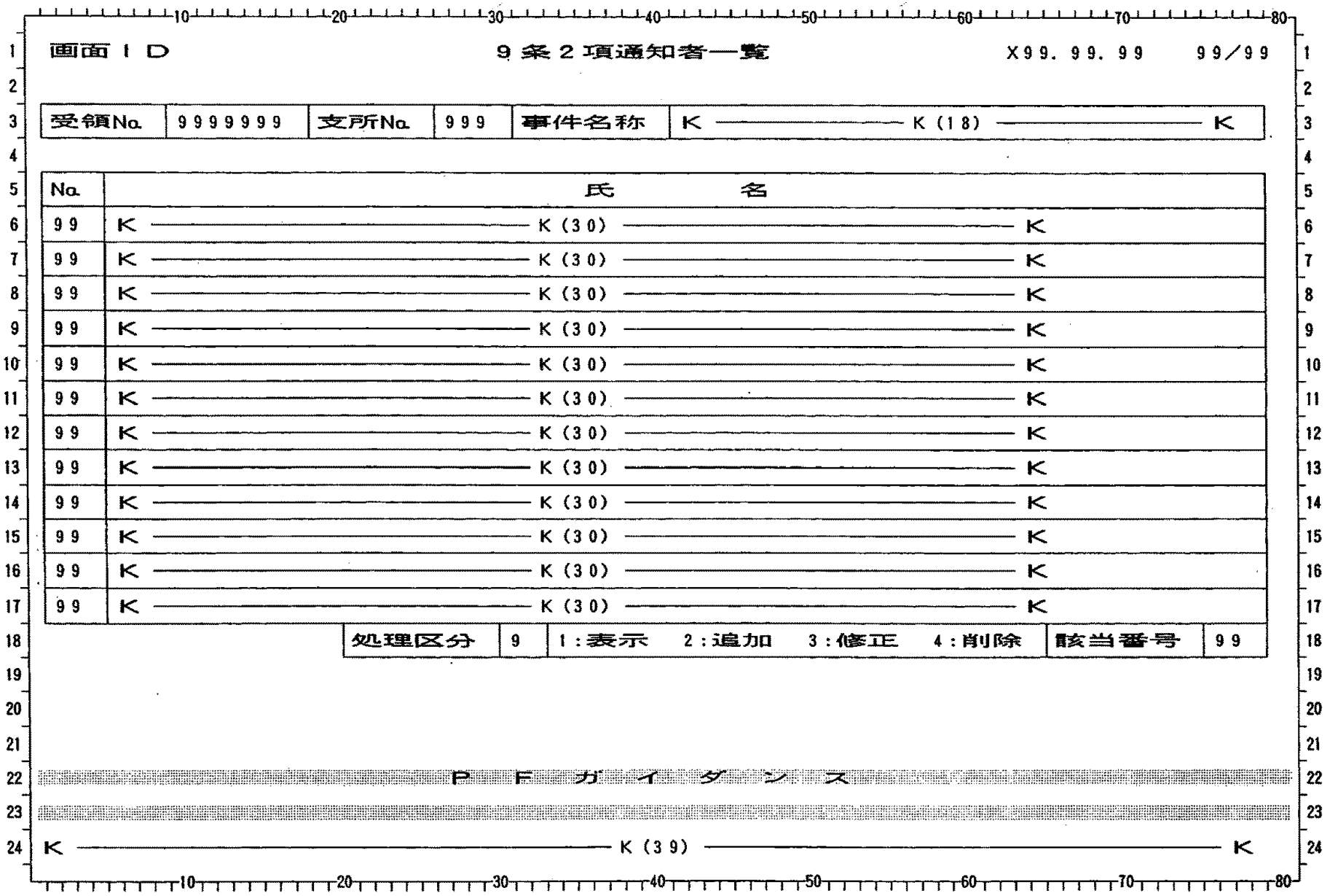
画面ＩＤ　　９条２項ファイル一覧　　X99.99.99　　99/99

No.	受領番号	支所No.	事　件　名　称	ファイル名
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK
99	9999999	999	K ―― K(18) ―― K	KKKKK

選択番号	99

ＰＦガイダンス

K ―― K(39) ―― K


画面ＩＤ
９条２項通知者一覧
X99.99.99
99/99
受領No.
9999999
支所No.
999
事件名称
K
K（18）
K
No.
氏　　名
99
K
K（30）
K
処理区分
9
1：表示　2：追加　3：修正　4：削除
該当番号
99
ＰＦガイダンス
K（39）

画面ＩＤ　　９条２項内容　　X99.99.99　99/99

受領No.	9999999	支所No.	999	事件名称	K ―― K(18) ―― K

氏　名	現	K ―― K(30) ―― K			
	新	K ―― K(30) ―― K			
本　籍	現	K ―― K(30) ―― K			
	新	K ―― K(30) ―― K			
筆頭者	現	K ―― K(30) ―― K			
	新	K ―― K(30) ―― K			
生年月日	現	X99.99.99	父母との続柄	現	99　ＫＫＫ
	新	X99.99.99		新	99　ＫＫＫ
住　所	K ―― K(30) ―― K				
方　書	K ―― K(30) ―― K				
世帯主	K ―― K(30) ―― K				
世帯主との続柄	999999　K ―― K(25) ―― K				
住定日	X99.99.99	住民日	X99.99.99		

ＰＦガイダンス

K ―― K(39) ―― K

第7 2 (17)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
9条2項ファイル一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	9条2項ファイル一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	面面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	項番	2	数字	出	
5	受領番号	7	数字	出	
6	支所番号	3	数字	出	
7	事件名称	18	漢字	出	
8	ファイル名称	5	漢字	出	
＊　上記4～8を一画面MAX15件分表示する　（複数ページ有り）					
9	選択番号	2	数字	入	
10	PFガイダンス1	39	漢字	出	
11	PFガイダンス2	39	漢字	出	
12	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第7 2 (17)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
9条2項通知者一覧	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	9条2項通知者一覧

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
7	項番	2	数字	出	
8	氏名	30	漢字	出	
＊　上記7～8を一画面MAX12件分表示する　（複数ページ有り）					
9	処理区分	1	数字	入	1:表示 2:追加 3:修正 4:削除
10	該当番号	2	数字	入	
11	PFガイダンス1	39	漢字	出	
12	PFガイダンス2	39	漢字	出	
13	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第7 2 (17)	画面項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
9条2項内容処理	平成6年12月 1日	令和　年　月　日	1

画面番号		画面名	9条2項内容

No.	項目名	桁数	タイプ	入出力	備考
1	画面ID	8	英数字	出	
2	システム日付	7	英数字	出	「元号コード　年.月.日」で編集
3	現ページ/総ページ	5	英数字	出	「99/99」で編集
4	受領番号	7	数字	出	
5	支所番号	3	数字	出	
6	事件名称	18	漢字	出	
7	現氏名	30	漢字	入	
8	新氏名	30	漢字	入	
9	現本籍	30	漢字	入	
10	新本籍	30	漢字	入	
11	現筆頭者	30	漢字	入	
12	新筆頭者	30	漢字	入	
13	現生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
14	新生年月日	7	英数字	入	元号コード入力有
15	現父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
16	現父母との続柄名称	3	漢字	出	
17	新父母との続柄コード	2	数字	入	コード入力有
18	新父母との続柄名称	3	漢字	出	
19	住所	30	漢字	入	
20	方書	30	漢字	入	
21	世帯主	30	漢字	入	
22	世帯主との続柄コード	6	数字	入	コード入力有
23	世帯主との続柄名称	25	漢字	出	
24	住定日	7	英数字	入	元号コード入力有
25	住民日	7	英数字	入	元号コード入力有
26	PFガイダンス1	39	漢字	出	
27	PFガイダンス2	39	漢字	出	
28	エラーメッセージ行	39	漢字	出	

第7.2.(18)

「一括」処理

第7 2 (18)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		一括処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	1/2

1. 処理範囲

(1)該当ファイル全件を検索する処理、またはオンライン処理中に実行すると、著しく性能低下を招くような処理を一括処理として切り分ける。

例えば、高齢者消除の該当者抽出処理のように、戸籍DB全件(現在戸籍)を順次検索し、条件に適合した者を抽出する処理などがあげられる。

2. 処理概要

(1)純粋なるバッチ処理、または、オンライン起動によるバッチ処理など運用形態がシステム処理により異なるが、前者の純粋なるバッチ処理を想定し概要を示す。

(ア)高齢者消除抽出処理

①基準日を指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)満100才以上でありかつ他に生存している在籍者が存在しない
ウ)戸籍附票データの住所欄がスペースである

②条件に全て該当する者を抽出し、一覧表に出力する。

以降の処理については、運用にあわせてシステム化を図ること。(参考的に次頁参照)

(イ)本籍町名変更通知

①現本籍と、新本籍の対応表を作成する(事前準備)。

②変更する現本籍コードを指定し、戸籍DBを以下の条件で検索する。
ア)現在戸籍のもの
イ)現本籍コードと同じ戸籍

③条件に全て該当する戸籍事項(本籍、筆頭者)を抽出し、地番順に並び替える。

④地番順に並び替えられたデータを新本籍の対応表と突き合わせ、新本籍を付加する。

⑤現本籍と新本籍の比較が把握できる一覧表を作成。

⑥変更する内容を確認(目検)。

⑦正しければ、新本籍に置き替える(更正事項も付加)。

⑧変更履歴確認リストを出力。

⑨⑤の内容で本籍町名変更通知を作成する。

第7 2 (18)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		一括処理	システム化調査研究会	平成 6年12月 1日	令和　年　月　日	1	2/2

高齢者消除処理

1.処理概要

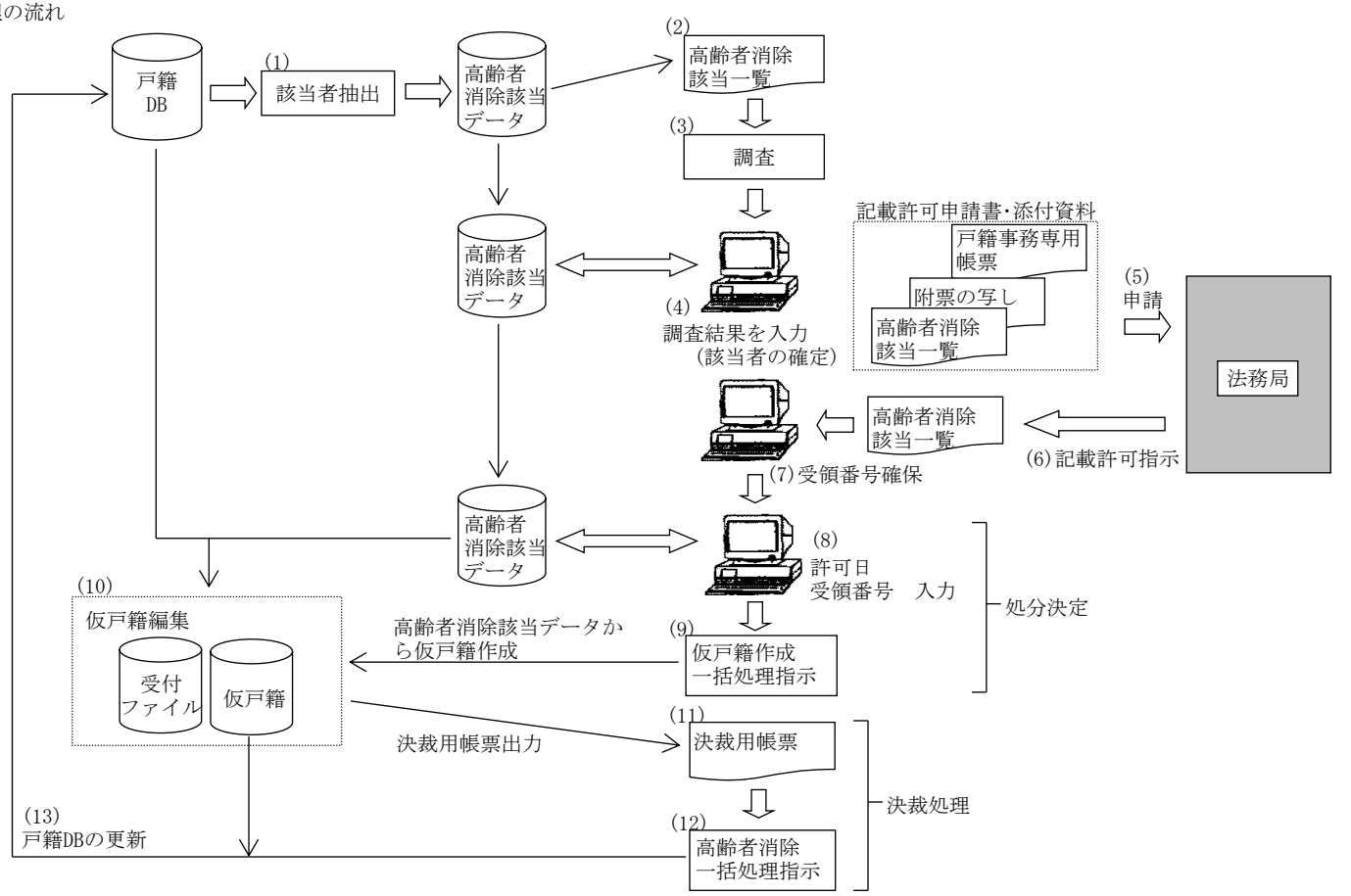
戸籍DBから該当データを抽出して一覧表を作成する。(抽出条件は、帳票設計書を参照)

高齢者消除該当一覧表をもとに、調査を行い高齢者消除の許可申請書を作成し法務局に提出する。

法務局から許可を得られた者に対して、高齢者消除処理を行う。高齢者消除処理は、審査結果入力処理で対応するか、バッチ処理で行うかは任せる。

以下に、高齢者消除処理をバッチ処理で行った場合の流れ(参考)を示す。バッチ処理においても、仮戸籍データを作成しオンラインの流れに準じて各事務工程を設定すること。

2.処理の流れ



第7.2.(19)

「行政区画土地の名称変更」処理

第7 2 (19)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	1/9

0.前提

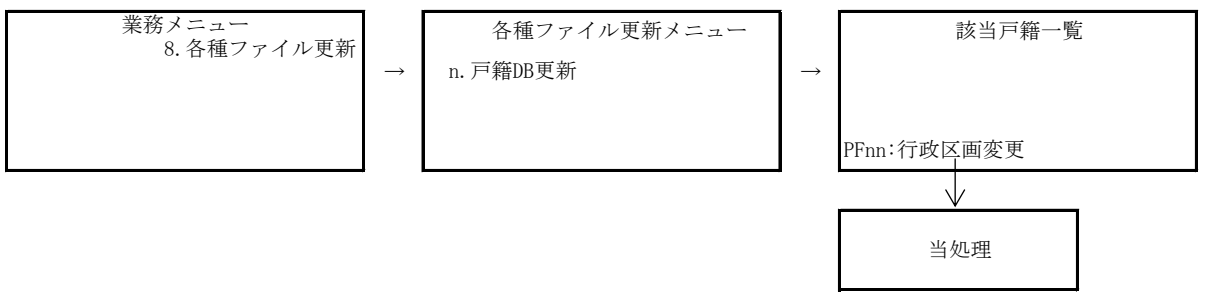
本基準書はオンラインによる「行政区画土地の名称変更」処理の一例を示すものであり,画面・PFキー・位置付け等はサンプルとします。

但し,「行政区画土地の名称変更」処理機能を業務メニュー等の前面に提示することは,なるべく避けていただきたい。

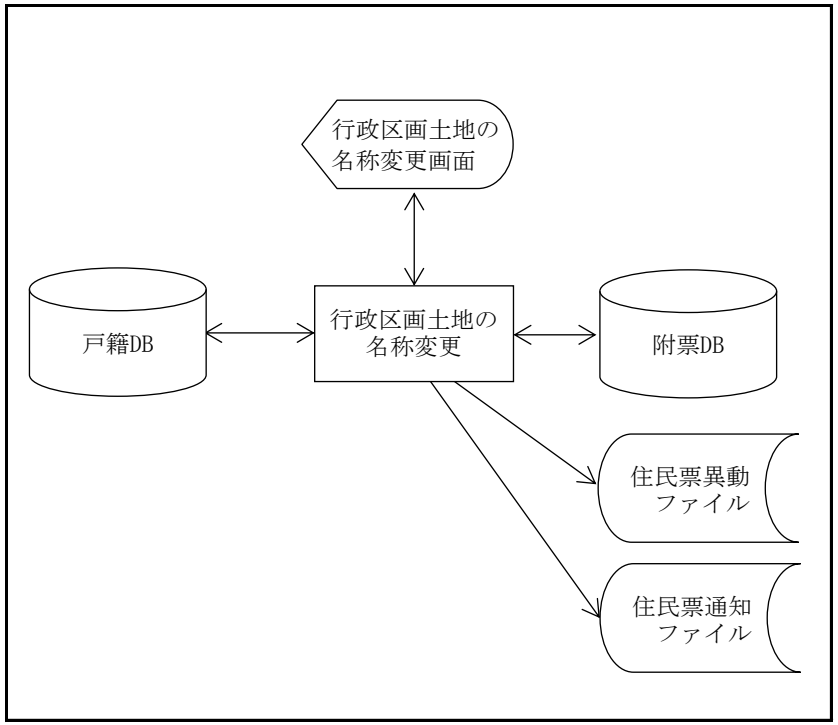
当仕様では,同時に附票DB,住民票異動ファイル,住民票通知ファイルを更新・作成しているが,参考仕様と考えていただきたい。

特に,住民票通知は通常の通知の様式とは自治体毎に異なる可能性が大きいと思える。

当処理の位置付け(参考)



1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
戸籍DB	入出力		
附票DB	入出力		
住民票異動ファイル	出力		
住民票通知ファイル	出力		

3.処理概要

(1)選択された戸籍に対し,新本籍,記録日,更正事由(事件発生日,事由)を入力し,戸籍DBを更新する。

(2)当該附票DBを更新する　←参考

(3)当該戸籍に在籍している者が住所人の場合,
住民票異動ファイルを作成する。　←参考

(4)当該戸籍に在籍している者が非住所人の場合,
住民票通知ファイルを作成する。　←参考

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 単体チェック
- 2.0 関連チェック
- 3.1 データ編集(戸籍特定DB)
- 3.2 データ編集(戸籍事項DB)

5.備考(特記事項含む)

第72(19)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	3/9

処理名	0.0　本紙			根拠法令（マニュアル処理）
(1)行政区画土地の名称変更画面に必要データを入力する。			/	
(2)キー選択(実行キー,PF3,PF5,PF10,PF12,その他)			/	
実行キー	(3)入力項目の単体チェック(OK:YES,NG:NO)	[1.0]	/	
	YES (4)入力項目の関連チェック(OK:YES,NG:NO)	[2.0]	/	
	YES (5)戸籍特定DBの編集・出力	[3.0]	/	
	(6)戸籍事項DBの編集・出力	[3.1]	/	
	(7)附票DBの編集・出力		/	★参考:編集・出力は決裁等参照
	(8)当該戸籍に在籍している人数分(9)～(11)の処理を繰り返す		/	
	(9)当該戸籍に在籍している者は住所人である(YES,NO)		/	
	YES (10)住民票異動ファイルの編集・出力		/	★参考:編集・出力は決裁等参照
	NO (11)住民票通知ファイルの編集・出力　→　(8)へ		/	★参考:編集・出力は決裁等参照
	(12)　→　(13)へ			(7)同画面を編集する
	NO (13)エラーメッセージを表示する			
	NO			
PF3	---->			(9)該当戸籍一覧へ制御を渡す
PF5	---->			(10)構成員一覧へ制御を渡す
PF10	---->			(11)管内住所SUBへ制御を渡す
PF12	(12)入力画面を初期化する			(13)同画面を編集する
その他	(14)エラーメッセージ「無効なキーが入力されました」を表示する			

第7 2 (19)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	4/9

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表	行政区画土地の名称変更		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	新本籍	○	漢字		「項目エラーがあります。正しく入力して下さい。」		管内住所SUBより
2	記録日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」,未来日チェック			
3	事件発生日	○	英数	「日付チェックサブルーチン」,未来日チェック			
4	事件発生事由		数字	1:土地の名称変更　～　6:町となったため			
5	事由入力		漢字				

第7 2 (19)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	5/9

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック表	行政区画土地の名称変更		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.2)記録日 ≧ (No.3)事件発生日であること	「関連エラーがあります。正しく入力して下さい。」		
2	(No.4)事件発生事由,(No.5)事由入力　のいずれか一方に入力があること			
3	(No.1)新本籍は現在の本籍と異なること			

第7 2 (19)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	6/9

処理名	3.0　戸籍特定編集	(受取側)戸籍特定事項	←　(引渡側)行政区画土地の名称変更画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍特定	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面	――――――				
	編製日			――――――				
	改製日			――――――				
	回復日			――――――				
	消除日			――――――				
	本籍コード			新本籍のコード				*当然,管内のみ
	本籍			新本籍				
	筆頭者			――――――				
	記録者数			――――――				
	在籍者数			――――――				
	除籍者数			――――――				
	戸籍･除籍区分			――――――				
	戸籍異動区分			――――――				

第7 2 (19)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁数
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	7/9

処理名	3.1 戸籍事項編集	(受取側)戸籍事項	← (引渡側)行政区画土地の名称変更画面

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
戸籍事項	戸籍番号		行政区画土地の名称変更画面	――――――				
	行番号			――――――				
	出力区分			――――――				「0」を設定
	タイトルコード			――――――				7001:「更正」を設定
	記録コード			――――――				7001:「基本事項の更正の記録」を設定
	管掌者コード			――――――				
	事件発生日			記録日				
	更正 更正日			記録日				
	更正 更正事項			――――――				’本籍’を設定
	更正 更正事由			事件発生日				(事件発生日) + 選択された(事件発生事由)又は (事件発生日) + (事由入力)を編集し,設定
				事件発生事由				
				事由入力				
	従前の記録			本籍				
	特記事項			――――――				

第7 2 (19)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		行政区画土地の名称変更	システム化調査研究会	平成10年 2月27日	令和　年　月　日	1	8/9

行政区画土地の名称変更画面(サンプル)

```
PROGRAM-ID                 行政区画土地の名称変更(入力)        X.99.99.99

 本　　籍 | K ──────────────────────────────────────────────── K
 筆　頭　者 | K ──────────────────────────────────────────────── K

 新　本　籍 | K ──────────────────────────────────────────────── K
 記　録　日 | 9 99 99 99        【更正日】に記録されます。
 更　正　事　由 |
   事件発生日 | 9 99 99 99        【更正事由】日付＋事由の日付へ記録されます
   事件発生事由 | 9  下記区分を入力して下さい。ない場合は直接事由入力となります
       事由入力 | K ──────────────────────────────────────────── K
                | K ──────────────────────────────────────────── K
                |     (事　　由) 1. 土地の名称変更
                |                2. 行政区画変更
                |                3. 行政区画の名称変更
                |                4. 行政区画及び土地の名称変更
                |                5. 市となったため
                |                6. 町となったため

 ＰＦ３：該当戸籍選択　ＰＦ５：戸籍構成員一覧　ＰＦ１０：管内住所選択
                ＰＦ１２：画面初期　実　行：確認画面
```

本籍　:選択された戸籍の本籍　(表示)
筆頭者:選択された戸籍の筆頭者氏名　(表示)

新本籍:管内住所SUB等で設定した本籍　(入力)
記録日:更正する日　(入力)

事件発生日　:更正事案施行日　(入力)
事件発生事由:事由区分(1～6)　(入力)
事由入力　:事由入力領域　(入力)

行政区画土地の名称変更　前

（１の１）　全 部 事 項 証 明

本　　籍	東京都千代田区平河町一丁目１０番地
氏　　名	河野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製	【編製日】平成１０年１月１日
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

行政区画土地の名称変更　後

（１の１）　全 部 事 項 証 明

本　　籍	東京都千代田区平河町八丁目１０番地
氏　　名	河野　義太郎
戸籍事項 戸籍編製 更　　正	【編製日】平成１０年１月１日 【更正日】平成１２年１月５日 【更正事項】本籍 【更正事由】平成１２年１月１日行政区画変更 【従前の記録】 【本籍】東京都千代田区平河町一丁目１０番地
戸籍に記録されている者	【名】義太郎

第7.2.(20)

「受付ファイル欠番」処理

第7 2 (20)	システム処理の処理概要	作業名	作成者	作成日付	改定日付	版	頁
		受付ファイル欠番処理	システム化調査研究会	平成10年2月27日	令和　年　月　日	1	1/4

1.欠番処理の目的

夜間･休日分の受領番号を余分に取得した場合や、非本籍分等の届書入力を誤って複数処理した場合など、1度採番された受領番号に対して取消を行うことを目的とする。

2.処理概要

業務メニューの｢ファイル更新｣→｢受付DBメンテ｣処理内に｢欠番処理｣を設け、異動処理から独立した処理とする。

欠番処理を行うに当たって、受付ファイルの状態により以下のパターンに分類することができると共に、そのパターン毎に処理内容が異なるので確認すること。

《パターン》

(1)夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合

受付ファイルの内容は未入力状態(受領番号のみで、他の項目は初期化状態)

(2)同一届書を複数入力してしまった場合

(ア)決裁処理未完了(処分決定まで完了)

受付ファイルは｢未決裁｣の状態。届書ファイル、仮戸籍ファイル等の中間ファイルが存在する。

(イ)決裁処理まで完了

一連の処理が完了し受付ファイルは｢決裁済｣の状態。届書の内容により、戸籍記載の有無がある。

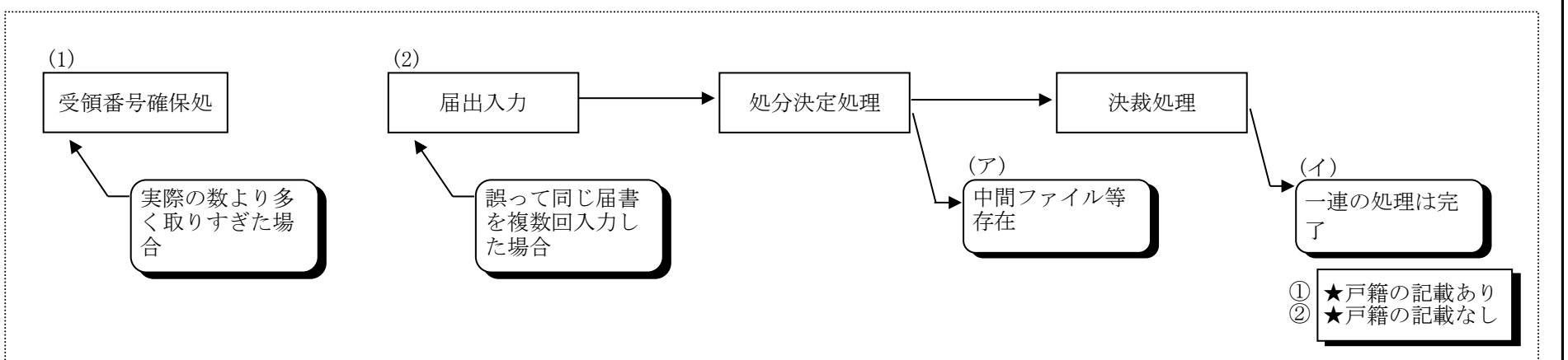
受理分については、住基法9条2項通知など通知関係のファイルが作成されている。また事件表に関する統計情報もカウントされた状態

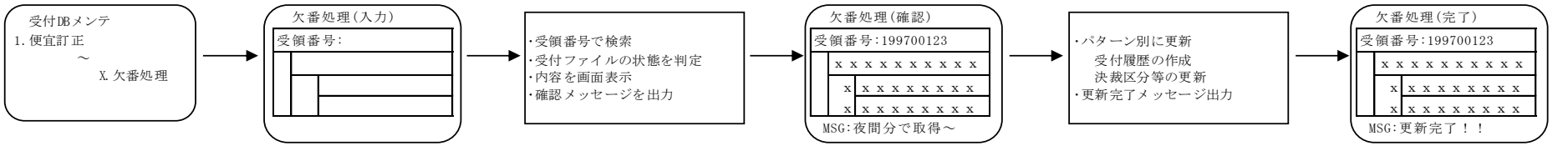
①戸籍の記載があるもの

本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合

②戸籍の記載がないもの

非本籍分の同一届書入力を複数行ってしまった場合、または、本籍人分ではあるが戸籍の記載がないもの





欠番処理を行おうとする受付ファイルの内容を画面表示させ、操作者が確認できるよう考慮すること。(履歴があれば参照できるのが好ましい)
処理権限(パスワードチェック)を、必要に応じて行うことは特に差し支えない。

3.処理詳細

処理概要であげたパターン別に処理詳細を以下に示す。画面レイアウト等については特に示さないので、必要に応じて設計すること。
受領番号を指定した際に、その受領番号種別をシステムが判定し確認させるためのメッセージを出力するものとする。

3.1　夜間･休日分受領番号取得処理において余分に取りすぎた場合

・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「夜間分で取得された受付帳です」
・受付ファイルの決裁区分を書き換えて更新する。(履歴レコードは作成しない)

	「受領番号」	「処分区分」	「決裁区分」
更新前	199700100-0	スペース	スペース
更新後	199700100-0	スペース	欠番

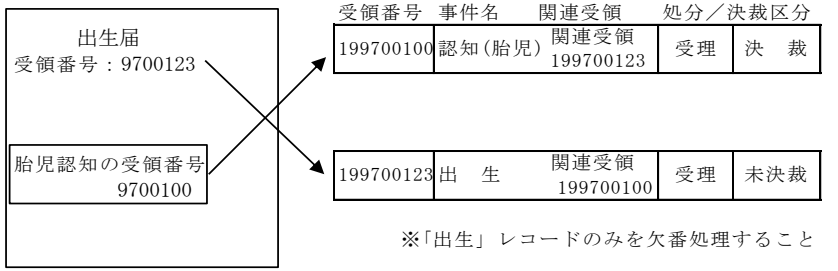
3.2　同一届書を誤って複数入力した場合

3.2.1　決裁前

・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「決裁前の受付帳です(中間ファイルの削除、同時に作成した受付帳の欠番処理を行います」
・当該届で作成された受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。

	「受領番号」	事件本人　～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野　太郎	受理	未決裁	
更新後	199700100-0	甲野　太郎	受理	欠番	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

・当該届で複数作成された受付ファイルについても上記と同様な処理を行うものとする。
　届書の同時決裁受領番号を参照し欠番処理を行う。→胎児認知の出生届で認知の受付帳を欠番処理しないための方策)
　基本となる届出の受領番号からでないと選択できないため。(届書ファイルは基本部のみ)



⇒既に一連処理完了済

出生届を欠番する場合、既に作成されている「認知(胎児)」の受付レコードまで欠番しないよう注意が必要である。
あくまで、該当届出で作成された受付レコードを対象とすること。

・本籍人の場合、戸籍にロックがかかっているので解除する。
・中間ファイルの削除処理を行う。
　仮戸籍ファイル、届書ファイル、エラー履歴ファイル、(要旨ファイル)

3.2.2　決裁後

(1)戸籍に記載があるもの
・欠番処理は不可
　戸籍訂正処理により対応することとなる。
　但し、システム側で戸籍記載の有無について判定できないため、操作員が判断するものとする。

(2)戸籍に記載がないもの
・受領番号を指定入力
・確認メッセージ出力:「決裁済の本籍人分の受付帳です。戸籍に記載されているか内容を確認して下さい。」
　「決裁済の非本籍人分の受付帳です。内容を確認して下さい。」
　←本非区分を判定してメッセージ内容を変える。
・指定された受領番号のみの受付ファイルに履歴を追加して決裁区分が欠番のものを作成する。

	「受領番号」	事件本人　～	「処分区分」	「決裁区分」	
更新前	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
更新後	199700100-0	甲野　太郎	受理	決裁	
	199700100-1		スペース	欠番	←追加

複数受付ファイルが作成されている届出であったとしても、個別に指定し複数回処理するものとする。

※作成済のファイル等については、システムから更新等連動しない
・統計(事件表):そのまま
・送付目録　　:印刷物を修正
・通知関係　　:印刷物を廃棄
・人口動態　　:人口動態システムにおいて欠番処理を行う

4.欠番データの扱い
(1)検索画面表示
・一覧画面には表示させないものとする。
→事件本人氏名等による検索を行っても、一覧表示および詳細表示できないものとする
・詳細表示については、受領番号ダイレクト検索により表示できるものとする。
・詳細表示の際、極力最新データを先に表示する。
→欠番のデータは、内容が初期化状態のため履歴データを先に表示した方が良いとの考えもあるため

(2)受理証明書
受理証明書の発行を抑止するものとする
(送付分と同様に発行できないような仕掛けを設ける)

(3)受付帳(印刷)
印刷する際に、「欠番」のレコードをスキップし出力しない方が望ましい。
(欠番のデータは、受付帳(ファイル)ではない扱いとなるため)

5.補足
「帰化」「入籍」届出において、当初入力した人数に変更があった場合も欠番処理にて対応することとなる。
【理由】:届出入力側で再入力時に人数のチェックを行っているため変更ができない。

(1)増分するケース(3人→4人)
・増分の1名を新規届書入力で対応
・受付ファイルメンテで関連受領番号を入力し対応付けする
(連続した受領番号を付番する場合には、右記(2)の処理を行う)

(2)減少するケース(4人→3人)
・当初入力した該当届について欠番処理を行う(必ず決裁前の状態)
・正しい人数で再度新規届書入力する
(当初入力した届出は欠番(取消))

第7.2.(21)「再製」処理

21.再製

1.処理範囲

(1)申出再製制度により相当と認められる関係人から再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
システム戸籍において再製が発生する場合として以下のような事案等が考えられる。
・市区町村長の過誤により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・錯誤による届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
・虚偽の届出等により訂正があった戸籍に対して申し出があった場合
(2)成年後見制度により成年後見登記センタに移行した場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。
(3)嫡出でない子の戸籍における父母との続柄の更正後、再製の申出があった場合におそれ再製に準じて戸籍の再製を行う。

2.処理概要

(1)再製処理
ア)再製後のシステム戸籍の作成に関して、戸籍情報システムでその機能を規定することを必須とはしないが以下の点に留意する。
(但し、戸籍情報システムで対応するとした場合の戸籍処理選択メニューへの組み込みは、メーカーの任意とする。)
・再製原戸籍の戸籍特定の戸籍･除籍区分は、再製の事由により設定内容を区別する。
申出再製制度により再製した場合:「4:申出再製原戸籍」とする。
成年後見制度により再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
申出再製制度発足前に成年後見制度による再製以外で再製した場合:「3:再製原戸籍」とする。
・保存年限について
戸籍･除籍区分が「3:再製原戸籍」の場合は1年保存の対象とする。
戸籍･除籍区分が「4:申出再製原戸籍」の場合は以下2通りとする。
Ⅰ.戸籍法第11条の2第1項の規定による再製の場合…80年
Ⅱ.戸籍法第11条の2第2項の規定による再製の場合…1年
※除籍を再製する場合、再製完了時点で除籍の保存年限が再製原戸籍の年限より下の場合は、除籍の保存年限を継続で活用する。
・再製をした際の戸籍特定の各種日付の設定内容については以下の内容に従う。

〈戸籍の再製〉

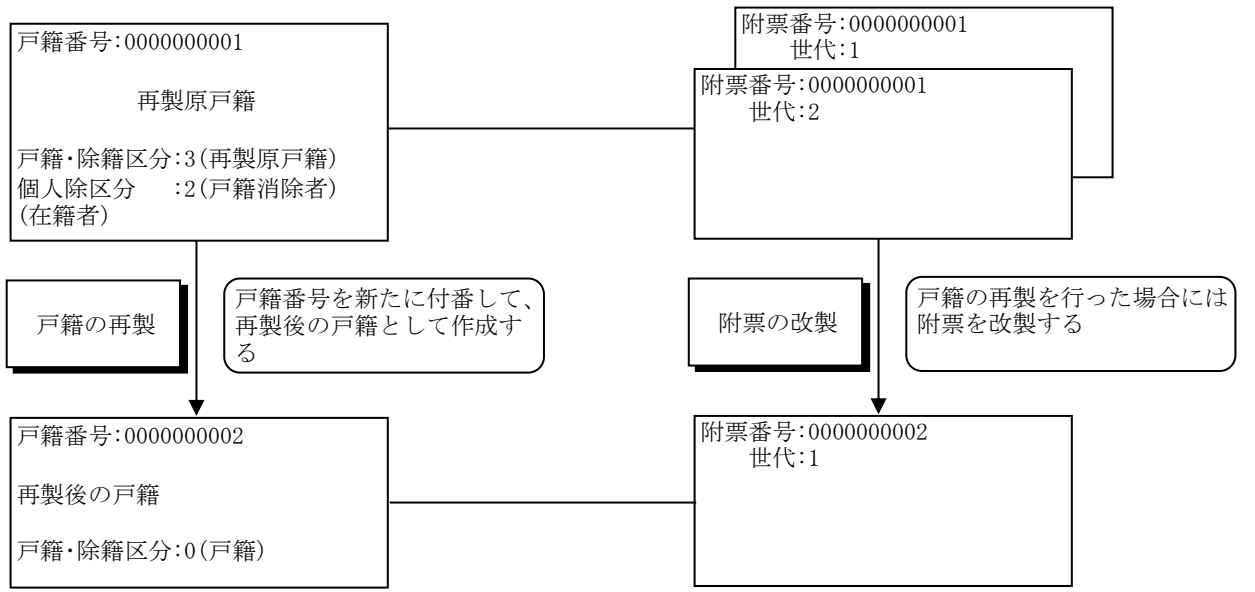
日　　付	再製原戸籍	再製後の戸籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	再製した日	変更なし

〈除籍の再製〉

日　　付	再製原除籍	再製後の除籍
編製日	変更なし	変更なし
改製日	変更なし	変更なし
回復日	変更なし	変更なし
消除日	変更なし	変更なし

・再製原戸籍中の在籍している個人の個人特定の個人除区分は「2:戸籍消除者」とする。
(在籍者以外は設定中の内容の通りとする。)
・統計において、「戸籍の再製･補完」(事件表　第2表)を計上する。
・統計において、「新戸籍編製」「戸籍全部消除」(事件表　第2表)は計上しない。
・統計において、「本籍数」「本籍人口数」(事件表　第3表)は計上しない。
再製により人の増減は発生しない。戸籍訂正により、人を増減させてから再製する。
・受付ファイルは作成しない。

イ)再製処理後の再製原戸籍、戸籍及び附票データの持ち方
・再製処理を行うことにより、再製原戸籍、戸籍及び附票データの関連は以下のようにする。
(但し、附票に関してはサンプル提示である。)
※申出再製制度発足以前に成年後見制度による再製以外で再製した場合または成年後見制度による再製をした場合のデータの持ち方の事例
申出再製制度による再製の場合は、上記事例における再製原戸籍の戸籍・除籍区分が「4:申出再製原戸籍」となる。



(2)再製原戸籍の扱いに関して

ア)画面表示

・システム上で再製原戸籍であることの認識が行えること。
画面上に再製原戸籍と分かる表記がある、該当戸籍を選択すると再製原戸籍である旨のメッセージが表示される等

イ)証明書･帳票の発行

・再製原戸籍の戸籍証明書としての発行は抑止する。
・再製原戸籍の戸籍事務専用帳票としての発行は可能とする。出力帳票を図1及び図2に示す。
・認証文については以下に示す。
申出再製制度による再製原戸籍の場合　　:「これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。」(図1参照)
申出再製制度以外による再製原戸籍の場合:「これは,再製原戸籍に記録されている全ての事項を出力したものである。」(図2参照)
・証明枠の左上の枠に「再製原戸籍」と印字する。
・一般行政証明として出力する場合、証明書右上の「事務専用帳票」及び管掌者コードが表示されるのは好ましくない。一般行政証明としてのレイアウトを次頁図3及び図4に示す。認証文は戸籍事務専用帳票と同様である。

ウ)再製原戸籍の訂正

・訂正を行う･行わないかは自治体の判断による。
・訂正を行う場合は、履歴を残した訂正をする(訂正事項を付記する)。
・再製原戸籍訂正単独の受付ファイルは作成しない。

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,戸籍法第11条の2第1項(又は第2項)の規定による再製原戸籍の写しである。
平成yy年yy月yy日

図1　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

再製現戸籍	(1の1) 戸籍事務専用
本籍	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
氏名	甲野　太郎
戸籍事項 0101 戸籍改製 0103 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】
身分事項 0101 出　生	【略】
0102 婚　姻	【略】
	【略】

発行番号　zzzzzzz

これは,再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。
平成yy年yy月yy日

図2　申出再製制度による再製原戸籍(戸籍事務専用帳票)

再　製　原　戸　籍	（１の１）	
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ	
氏　　名	甲野　太郎	
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】戸籍法第１１条の２第１項の規定による再製につき消除	
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】	
身分事項 出　　生	【略】	
婚　　姻	【略】	
	【略】	

発行番号　zzzzzzz

これは，戸籍法第11条の2第1項（又は第2項）の規定による再製原戸籍の写しである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図3　申出再製制度による再製原戸籍（一般行政証明書）

再　製　原　戸　籍	（１の１）	
本　　籍	ＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸＸ	
氏　　名	甲野　太郎	
戸籍事項 戸籍改製 戸籍消除	【改製日】 【改製事由】平成６年法務省令第５１号附則第２条第１項による改製 【消除日】平成ｙｙ年ｙｙ月ｙｙ日 【特記事項】再製につき消除	
戸籍に記録されている者	【名】 太郎 【生年月日】　　【配偶者区分】 【父】 【母】 【続柄】	
身分事項 出　　生	【略】	
婚　　姻	【略】	
	【略】	

発行番号　zzzzzzz

これは，再製原戸籍に記載されている全ての事項を出力したものである。

平成yy年yy月yy日

東京都△△△△市長　東京　太郎　職印

図4　申出再製制度以外による再製原戸籍（一般行政証明書）

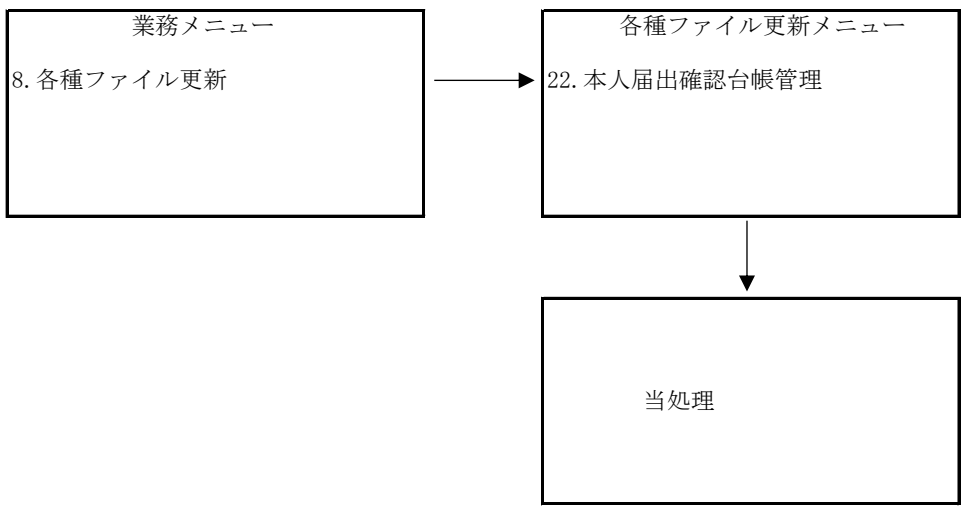
第7.2.(22)

本人届出確認台帳管理
(サンプル)

0.前提

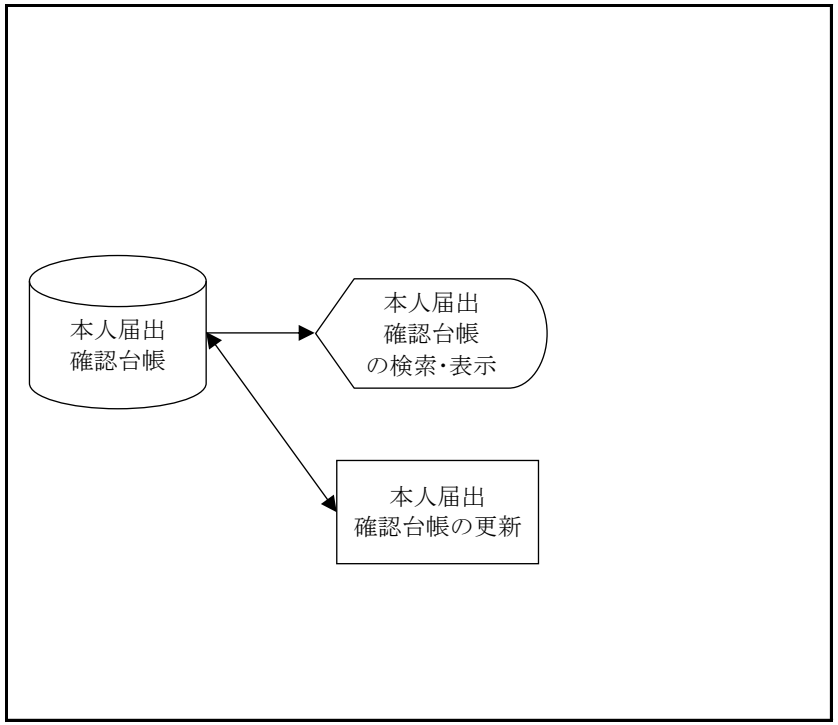
・本仕様創設的届における届出本人確認用の確認台帳の管理処理の一例を示すものです。

・当処理の位置付け



第7 2 (22)	システム環境仕様書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	2/15

1.詳細フロー



2.使用DB・ファイル一覧

名称	入出力区分	名称	入出力区分
本人届出確認台帳ファイル	入出力		
本人届出確認通知ファイル	入出力		
発送ファイル	入出力		

3.処理概要

(1)検索キーの入力及びキーによる本人届出確認台帳の検索

a.受領番号(9桁)

b.受付日　　※範囲指定も検索可能

c.事件名

d.漢字氏名(氏,氏名)

e.処分区分

f.台帳対象区分

(2)キーを基に本人届出確認台帳を検索し,データの内容等を編集する

(3)本人届出確認台帳一覧画面の表示

(4)本人届出確認台帳の更新

4.機能体系(要件定義書の構成)

0.0 本紙
- 1.0 データチェック(単体表)
- 2.0 データチェック(関連表)
- 3.1 データ編集表(検索画面編集)
- 3.2 データ編集表(確認台帳表示画面編集)

5.備考(特記事項含む)

第7 2 (22)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	3/15

処理名								0.0 本紙　1/2			備考
(1)本人届出確認台帳検索画面を表示する。									/		
(2)キー選択(実行キー,PF1,PF2,その他)									/		
実行キー	(3)入力検索キーのチェック(OK:YES,NG:NO) [1.0][2.0]								/		
	YES	(4)受領番号～台帳対象区分で本人届出確認台帳ファイルを検索する。							/		
		(5)0 < 検索件数 < 100 か?(YES,NO)							/		
		YES	(6)本人届出確認台帳検索画面を編集･表示する。 [3.1]						/		
			(7)キー選択(該当番号の入力(実行キー),PF1,PF7,PF8,PF12,その他)						/		
			実行キー	(8)該当番号のチェック(OK:YES,NG:NO)					/		
				YES	(9)本人届出確認台帳表示･更新画面(該当受領番号)を編集･出力する。 [3.2]				/	(10)本人届出確認台帳表示･更新に制御を渡す	
					(11)キー選択(PF1,PF7,PF8,PF9,その他)					(12)同画面を編集する	
					PF1	→				(13)業務選択画面に制御を渡す	
					PF2	→			/	(14)本人届出確認台帳表示･更新に制御を渡す	
					PF7	(15)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/		
						YES	(16)前ページ分の本人届出確認台帳表示･更新画面編集		/		
						NO	(17)エラーメッセージ『先頭ページです。』を表示する。			(18)同画面を編集する	
					PF8	(19)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)			/		
						YES	(20)次ページ分の本人届出確認台帳表示･更新画面編集		/		
						NO	(21)エラーメッセージ『最終ページです。』を表示する。			(22)同画面を編集する	
					PF9	(23)本人届出確認台帳ファイルを更新する。				(24)本人届出確認台帳表示･更新に制御を渡す	
					その他	(25)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。				(26)同画面を編集する	
				NO	(27)エラーメッセージ『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』を表示する。						
			PF1	→						(28)業務選択画面に制御を渡す	

第7 2 (22)	要件定義ワークシート	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	4/15

処理名		0.0 本紙　2/2						備考
			PF7	(29)前ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)		/		
				YES	(30)前ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集		(31)同画面を編集する	
				NO	(32)エラーメッセージ 『先頭ページです。』を表示する。			
			PF8	(33)次ページがあるか?(ある:YES,なし:NO)				
				YES	(34)次ページ分の本人届出確認台帳検索画面編集			
				NO	(21)エラーメッセージ 『最終ページです。』を表示する。			
			PF12	(36)入力画面を初期化する				
			その他	(25)エラーメッセージ 『無効なキーが入力されました。』を表示する。				
		NO	(38)検索件数 ＝ 0		エラーメッセージ 『該当がありません。再度,検索キーを入力してください。』を表示する。			
			(39)検索件数>99		エラーメッセージ 『該当が多すぎます。再度,検索キーを入力してください。』を表示する。			
	NO	(40)エラーメッセージ 『検索キーが正しくありません。再度,検索キーを入力してください。』を表示する。						
PF1	→						(41)業務選択画面に制御を渡す	
PF12	(42)入力画面を初期化する						(43)同画面を編集する	
その他	(40)エラーメッセージ『無効なキーが入力されました。』を表示する。							

第72(22)	データチェック(単体表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	5/15

処理名	画面名	画面ID	
1.0　単体チェック表(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	項目名	必須	属性	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	受領番号		数字		『項目エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
2	受付事件		数字	※コード一覧参照			
3	受付日(1)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
4	受付日(2)		英数	『日付チェックサブルーチン』			
5	漢字氏名		漢字				
6	処分区分		数字	※コード一覧参照			
7	台帳対象区分		数字	(1:対象,2:対象外)であること			

第7 2 (22)	データチェック(関連表)	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	6/15

処理名	画面名	画面ID	
2.0　関連チェック(1/1)	本人届出確認台帳検索画面		

No	内容	出力エラーメッセージ	ｴﾗｰｺｰﾄﾞ	備考
1	(No.1)受領番号 ＝ スペース(未入力) かつ (No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(1) ＝ スペース(未入力) かつ (No.4)受付日(2) ＝ スペース(未入力) かつ (No.5)漢字氏名 ＝ スペース(未入力) かつ (No.6)処分区分 ＝ スペース(未入力) かつ (No.7)台帳対象区分 ＝ スペース(未入力) の時	『関連エラーがあります。正しく入力して下さい。』		
2	(No.2)受付事件 ＝ スペース(未入力) かつ (No.3)受付日(2) ＝ スペース(未入力) の時			

第7 2 (22)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	7/15

処理名	3.1 検索画面編集(1/1)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳検索	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号							
	受付事件							
	受付日1							
	受付日2							
	処分区分							
	台帳対象区分							
	漢字氏名							
	No1～n		本人届出確認台帳ファイル	――――――――				1～n件のシーケンス番号設定
	受領番号1～n			受領番号				
	受付日1～n			受付日				
	受付事件1～n			受付事件コード		有		
	氏名1～n			漢字氏名				

第7 2 (22)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	8/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(1/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面 ← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側			引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目		DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称	記号名		名称	記号名			
本人届出確認 台帳表示･更新	画面ID							
	システム日付							
	画面ページ							
	受領番号		本人届出確認 台帳ファイル	受領番号				
	出張所番号			出張所番号				
	受付事件			受付事件コード		有		
	受付日			受付日				
	処分区分			処分区分		有		
	台帳対象区分			台帳対象区分		有		
	事件本人（1） 氏名(1)			漢字氏名(1)				
	事件本人（1） 住所(1)			住所(1)				
	事件本人（1） 本人区分(1)			本人区分(1)		有		
	事件本人（1） 来庁者区分(1)			来庁者区分(1)		有		
	事件本人（1） 確認区分(1)			確認区分(1)		有		
	事件本人（1） 確認方法1(1)			確認方法1(1)		有		
	事件本人（1） 確認手段1(1)			確認手段1(1)				
	事件本人（1） 確認方法2(1)			確認方法2(1)		有		
	事件本人（1） 確認手段2(1)			確認手段2(1)				
	事件本人（1） 確認担当者(1)			確認担当者(1)				
	事件本人（1） 通知要否(1)			通知要否(1)		有		
	事件本人（1） 通知日(1)			通知日(1)				
	事件本人（1） 通知担当者(1)			通知担当者(1)				
	事件本人（2） 氏名(2)			漢字氏名(2)				
	事件本人（2） 住所(2)			住所(2)				
	事件本人（2） 本人区分(2)			本人区分(2)		有		
	事件本人（2） 来庁者区分(2)			来庁者区分(2)		有		

第7 2 (22)	データ編集表	作業名	作成者	a	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	9/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(2/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面 ← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳表示･更新	事件本人(2)	確認区分(2)		本人届出確認台帳ファイル	確認区分(2)		有		
		確認方法1(2)			確認方法1(2)		有		
		確認手段1(2)			確認手段1(2)				
		確認方法2(2)			確認方法2(2)		有		
		確認手段2(2)			確認手段2(2)				
		確認担当者(2)			確認担当者(2)				
		通知要否(2)			通知要否(2)		有		
		通知日(2)			通知日(2)				
		通知担当者(2)			通知担当者(2)				
	事件本人(3)	氏名(3)			漢字氏名(3)				
		住所(3)			住所(3)				
		本人区分(3)			本人区分(3)		有		
		来庁者区分(3)			来庁者区分(3)		有		
		確認区分(3)			確認区分(3)		有		
		確認方法1(3)			確認方法1(3)		有		
		確認手段1(3)			確認手段1(3)				
		確認方法2(3)			確認方法2(3)		有		
		確認手段2(3)			確認手段2(3)				
		確認担当者(3)			確認担当者(3)				
		通知要否(3)			通知要否(3)		有		
		通知日(3)			通知日(3)				
		通知担当者(3)			通知担当者(3)				
	事件本人(4)	氏名(4)			漢字氏名(4)				
		住所(4)			住所(4)				
		本人区分(4)			本人区分(4)		有		
		来庁者区分(4)			来庁者区分(4)		有		

第7 2 (22)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	10/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(3/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

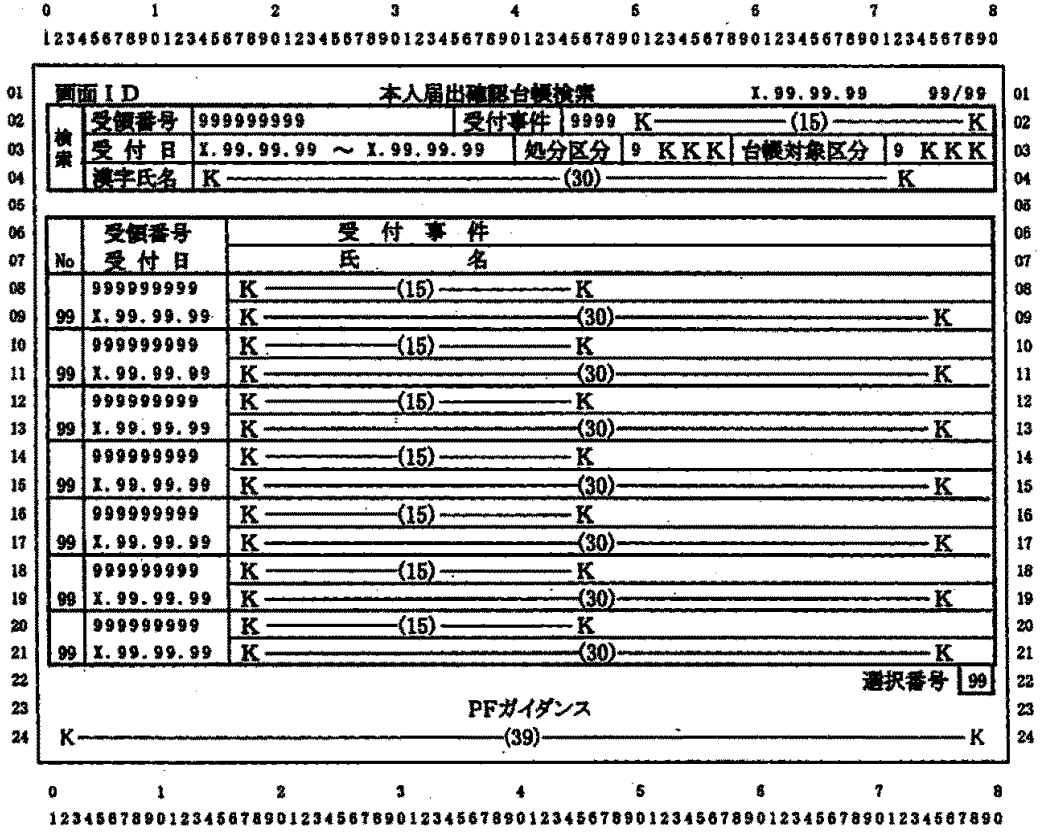
受取側				引渡側			コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目				
	名称		記号名		名称	記号名			
本人届出確認台帳表示･更新	事件本人（4）	確認区分(4)		本人届出確認台帳ファイル	確認区分(4)		有		
		確認方法1(4)			確認方法1(4)		有		
		確認手段1(4)			確認手段1(4)				
		確認方法2(4)			確認方法2(4)		有		
		確認手段2(4)			確認手段2(4)				
		確認担当者(4)			確認担当者(4)				
		通知要否(4)			通知要否(4)		有		
		通知日(4)			通知日(4)				
		通知担当者(4)			通知担当者(4)				
	届出人（1）	氏名(1)			届出人氏名(1)				
		住所(1)			届出人住所(1)				
		本人区分(1)			届出人本人区分(1)		有		
		来庁者区分(1)			届出人来庁者区分(1)		有		
		確認区分(1)			届出人確認区分(1)		有		
		確認方法1(1)			届出人確認方法1(1)		有		
		確認手段1(1)			届出人確認手段1(1)				
		確認方法2(1)			届出人確認方法2(1)		有		
		確認手段2(1)			届出人確認手段2(1)				
		確認担当者(1)			届出人確認担当者(1)				
		通知要否(1)			届出人通知要否(1)		有		
		通知日(1)			届出人通知日(1)				
		通知担当者(1)			届出人通知担当者(1)				
	届出人（2）	氏名(2)			届出人氏名(2)				
		住所(2)			届出人住所(2)				
		本人区分(2)			届出人本人区分(2)		有		
		来庁者区分(2)			届出人来庁者区分(2)		有		

第7 2 (22)	データ編集表	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	11/15

処理名	3.2 確認台帳表示画面編集(4/5)	(受取側) 本人届出確認台帳検索画面	← (引渡側) 本人届出確認台帳ファイル

受取側				引渡側				コード変換有無(ｻﾌﾞﾙｰﾁﾝ)	出力形態 Ｚ９．，	備考
DB･ファイル名 画面名称	項目			DB･ファイル名 画面名称	項目					
	名称		記号名		名称		記号名			
本人届出確認台帳表示･更新	届出人（2）	確認区分(4)		本人届出確認台帳ファイル	届出人確認区分(2)			有		
		確認方法1(4)			届出人確認方法1(2)			有		
		確認手段1(4)			届出人確認手段1(2)					
		確認方法2(4)			届出人確認方法2(2)			有		
		確認手段2(4)			届出人確認手段2(2)					
		確認担当者(4)			届出人確認担当者(2)					
		通知要否(4)			届出人通知要否(2)			有		
		通知日(4)			届出人通知日(2)					
		通知担当者(4)			届出人通知担当者(2)					
	使者（1）	氏名(1)			使者氏名(1)					
		住所(1)			使者住所(1)					
		確認区分(1)			使者確認区分(1)			有		
		確認方法1(1)			使者確認方法1(1)			有		
		確認手段1(1)			使者確認手段1(1)					
		確認方法2(1)			使者確認方法2(1)			有		
		確認手段2(1)			使者確認手段2(1)					
		確認担当者(1)			使者確認担当者(1)					
	使者（2）	氏名(2)			使者氏名(2)					
		住所(2)			使者住所(2)					
		確認区分(2)			使者確認区分(2)			有		
		確認方法1(2)			使者確認方法1(2)			有		
		確認手段1(2)			使者確認手段1(2)					
		確認方法2(2)			使者確認方法2(2)			有		
		確認手段2(2)			使者確認手段2(2)					
		確認担当者(2)			使者確認担当者(2)					
	備考				備考					

本人届出確認台帳検索の画面

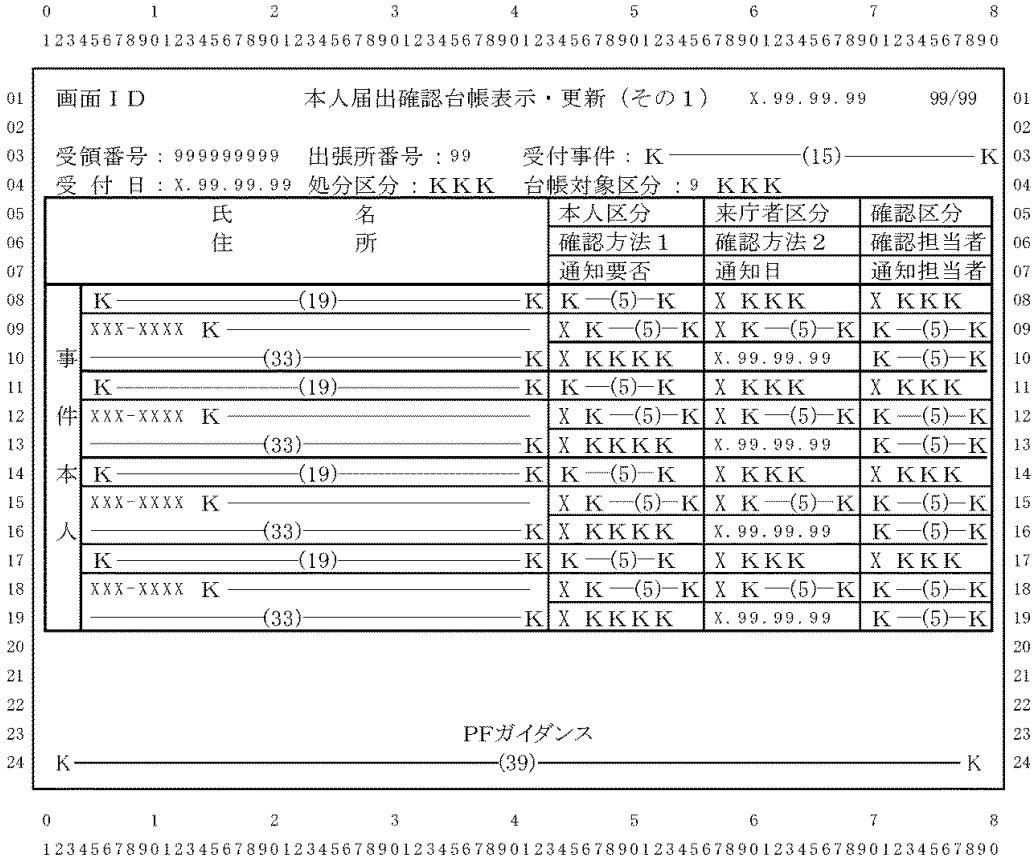


検索キー:受領番号,受付事件,受付日,漢字氏名,処分区分,台帳対象区分

※検索事件数:MAX99件
※受付日は範囲指定も可とする。

氏名　　:事件本人の複数表示も可とする。

本人届出確認台帳の画面



本人届出確認通知書:処分決定で発送ファイルが作成された後は、当該処理または帳票出力において発行することは、メーカー任意とする。

受付事件　:受付事件名

処分区分　:コード一覧参照

台帳対象区分:1. 対象
2. 対象外

来庁者区分　:1. 来庁者
2. 郵送

確認区分　:1. 確認
:0. 未確認

確認方法1･2　:1. 運転免許証　2. パスポート
3. 個人番号カード 4. 健康保険証
5. その他
※「その他」のときはワープロ的に入力できるものとする。
※その他確認方法の参考例
クレジットカード、免許証、許可証、学生証などがある

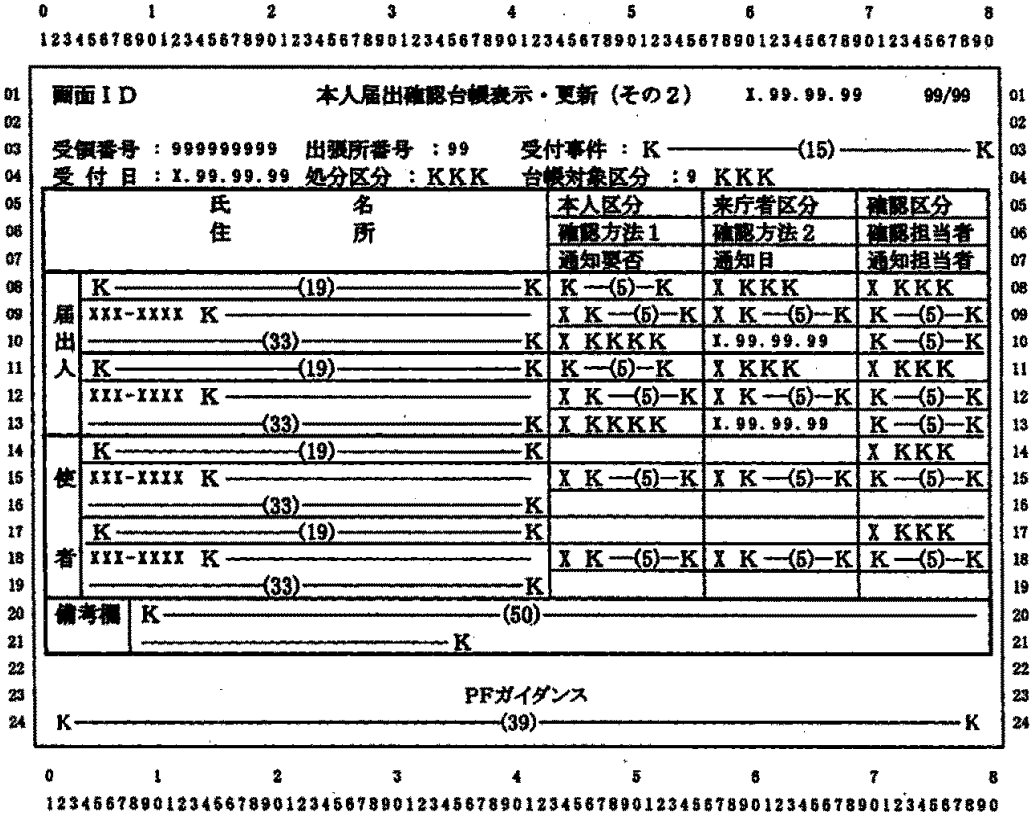
確認担当者　:本人確認をした職員氏名
※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。

通知要否　:1. 通知要
2. 通知不要

通知日　:届出人に対して通知をした日

通知担当者　:通知をした職員氏名
※職員コード･職員氏名についてはメーカー任意とする。

本人届出確認台帳の画面



使者の欄　：入力可能となっているが、運用に合わせて不要としてもよい。

備考欄　　：届出人からの連絡の記録等をワープロ的に記録できるものとする。

第7 2 (22)	補足説明書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁数
		本人届出確認台帳管理	システム化調査研究会	平成15年 5月30日	令和　年　月　日	7.1	15/15

本人確認が必要と思われる届

No	届書	届出種類	創設種別	報告種別	届出人候補	事件本人候補	備考
1	出生(認知)	創設・報告	認知	出生	父、母	出生子、父	認知が創設の為、父に対して確認要。
2	出生(国籍留保)	創設・報告	国籍留保	出生	父、母	出生子	国籍留保が創設の為、国籍留保の届出人に対し本人確認要。
3	認知	創設・報告	右以外	裁判認知、外国の方式	父、子、親権者母、親権者養父、親権者養母、その他	父(認知者)、子(被認知者)	
4	養子縁組	創設・報告	右以外	証書提出	養子、養女、養父、養母、法定代理人(父、母、母の親権者、特別代理人、母の未成年後見人、未成年後見人、未成年後見監督人、児童福祉施設の長)	養子、養女、養父、養母	
5	養子離縁	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養親、養子	養親、養子	養子が15歳未満のときは法定代理人(親権者、後見人)が届出人になる。
6	73の2	創設	創設のみ	無	離縁によって縁組前の氏に復した者	離縁によって縁組前の氏に復した者	届出人は本人のみ。法定代理人も不可。
7	離縁同時73の2	創設・報告	協議離縁	裁判離縁	養子、養女、養父、養母	養子、養女、養父、養母	
8	婚姻	創設・報告	右以外	証書提出	夫、妻	夫、妻	
9	離婚	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	
10	77の2	創設	創設のみ	無	複氏者	復氏者	
11	＝＝同時 77の2	創設・報告	協議離婚	裁判離婚	夫、妻	夫、妻	創設的な離婚時、77の2は離婚の本人確認状態を引き継ぐ。 報告的な離婚時、77の2は77の2の処分決定で本人確認情報を入力する。
		創設	創設のみ	無	夫、妻	夫、妻	
12	親権(管理権)	創設・報告	親権辞任、親権回復、管理権辞任、管理権回復、親権者指定(協議)	親権変更、親権喪失、管理権喪失、親権者指定(調停・裁判)	父、母、養父、養母、親族	親権者、未成年の子、親権協議者	
13	復氏	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
14	姻族関係終了	創設	創設のみ	無	生存配偶者	生存配偶者	
15	入籍	創設	創設のみ	無	入籍者、入籍者の配偶者(配偶者があるとき)、法定代理人(15歳未満のとき)	入籍者	民791条2項の場合は氏変更許可の審判所の謄本が必要
16	分籍	創設	創設のみ	無	分籍者	分籍者	
17	国籍選択	創設	創設のみ	無	親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人、法定代理人	国籍選択者	
18	107の2	創設	創設のみ	無	外国人との婚姻による氏の変更者	外国人との婚姻による氏の変更者	
19	107の3	創設	創設のみ	無	事件本人	事件本人	
20	転籍	創設	創設のみ	無	筆頭者、配偶者、親権者父、親権者母、親権者養父、親権者養母、未成年後見人	筆頭者、配偶者	

第7 2 (22)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

1.様式

(1)A4版縦

2.編集条件

(1)出力サイクル
日時

(2)抽出条件
本人届出確認台帳ファイルから該当項目を抽出

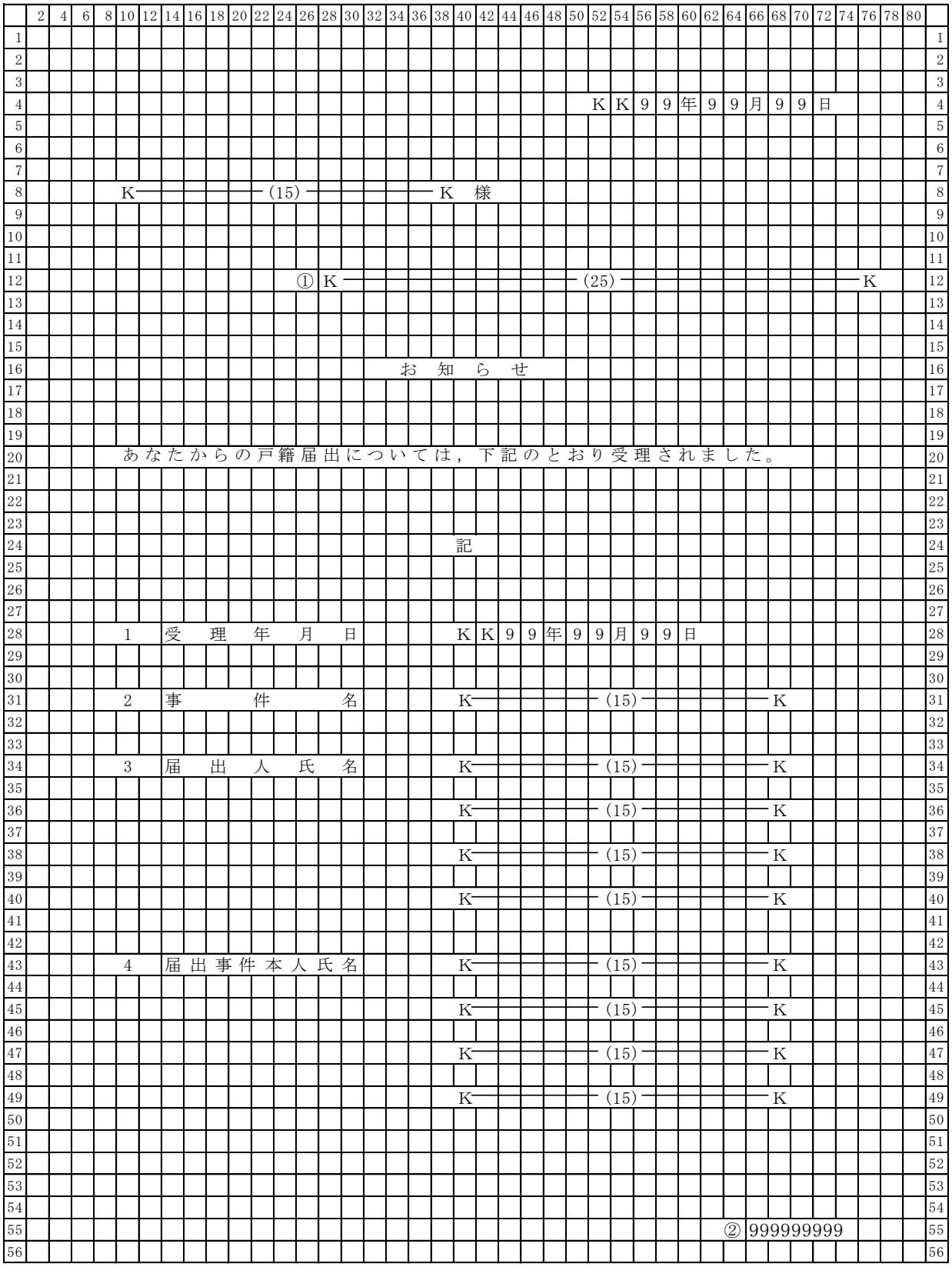
(3)出力条件
特になし

3.運用関係

本通知書は、
法務省民一第748号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(通達)
法務省民一第749号、戸籍の届出における本人確認の取扱いについて(依命通知)
により運用すること。

第7 2 (22)	帳票設計書	作成者	頁数
		システム化調査研究会	2/3

帳票名称	作成日付	改訂日付	版
本人確認通知	平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1



①発行市区町村名+"長"
②受領番号

第7 2 (22)	帳票項目一覧表	作成者		頁数
		システム化調査研究会		3/3
帳票名称		作成日付	改訂日付	版
本人確認通知		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	事件本人氏名	15	漢字	
3	発行市区町村名	25	漢字	市区町村名 + ″長″
4	受理年月日	11	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
5	事件名	15	漢字	
6	届出人氏名1	15	漢字	
7	届出人氏名2	15	漢字	
8	届出人氏名3	15	漢字	
9	届出人氏名4	15	漢字	
10	届出事件本人氏名1	15	漢字	
11	届出事件本人氏名2	15	漢字	
12	届出事件本人氏名3	15	漢字	
13	届出事件本人氏名4	15	漢字	
14	受領番号	9	数字	

第72(22)	コード設計書	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

索引	付設対象	方式	一覧頁	目的	付設区分具体例
た					
	台帳対象区分	区分	1	本人届出確認台帳の作成有無	「対象」「対象外」
	通知要否区分	区分	1	本人確認通知の要否	「通知不要」「通知要」
は					
	本人確認区分	区分	1	本人確認の有無	「未確認」「確認」
	本人確認方法	区分	1	届書持参者の本人識別	「運転免許証」「パスポート」
ら					
	来庁者区分	区分	1	届出の方法	「来庁者」「郵送」

第72(22)	コード一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
	平成15年5月30日	平成31年 3月31日	22

No.	付設対象	項目名	コード	桁数	桁の意味	備考
	台帳対象区分	対象	1	1		
		対象外	2			
	通知要否区分	通知不要	0	1		
		通知要	1			
	本人確認区分	未確認	0	1		
		確認	1			
	本人確認方法	運転免許証	1	1		
		パスポート	2			
		個人番号カード	3			
		健康保険証	4			
		その他	5			
	来庁者区分	来庁者	1	1		
		郵送	2			

［ ］内は、民二7002号通達での名称

第7 2 (22)	メッセージ一覧表	主管課名		頁数
		システム化調査研究会		1/1
適用業務名		作成日付	改訂日付	版
		平成15年5月30日	令和　年　月　日	7.1

コード	メッセージ
Mnnnnn	作成された本人届出確認台帳は1件だけです。

第7.2.(23)

不受理処分整理簿管理
(サンプル)

0.前提
本仕様は不受理処分整理簿および不受理証明書の管理処理の一例を示すものである。

1.【遵守】不受理処分整理簿のレイアウト･出力項目
後述の不受理処分整理簿の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

2.【遵守】不受理処分整理簿用のファイル仕様書
後述のファイル仕様書の不受理処分ファイルを参照
〈補足説明〉
不受理処分整理簿中、受付ファイル中に存在しない項目は以下の4つ存在する。
①不受理処分決定年月日　②届出年月日(受付ファイルの項目「受付日」と同一日)　③返戻年月日　④不受理の理由
上記②を除く3項目に受領番号を加えた(受付ファイルとのリンク付用)4項目を格納するものが不受理処分ファイルである。

3.【任意】不受理処分レコード作成･修正方法
メーカーに一任とする。

4.【遵守】不受理証明書のレイアウト･出力項目
後述の不受理証明書の帳票設計書･帳票項目一覧表を参照

5.【遵守】不受理処分整理簿、不受理証明書の作成条件
受付ファイルの処分区分は「不受理」または「受理処分の撤回」であること。

6.使用DB･ファイル一覧

名称	入出力区分
受付ファイル	入出力
不受理処分整理簿ファイル	入出力

第72(23)	ファイル仕様書	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改訂日付	版
戸籍(共通)	平成19年 3月 1日	令和　年　月　日	11

ファイル名	メインキー項目	副次キー項目	媒体	編成	レコード長
不受理処分	受領番号		ディスク	DB	400

No.	項目名	タイプ(桁数)	コード化の有無	繰り返し個数	備考
1	受領番号	9(　9)	無	無	
2	返戻年月日	9(　8)	無	無	
3	不受理処分決定日	9(　8)	無	無	
4	不受理の理由	K(123)	無	無	
5	予備	X(129)	-	-	

第72(23)	新帳票一覧表		作成者			頁数
			システム化調査研究会			1/1
運用業務名			作成日付	改定日付		版
証明等に係わる業務			平成19年3月1日	令和　年　月　日		11
項番	帳票名	規格	根拠法令	保存期間(年)	オンラインバッチ区分	出力サイクル
1	不受理処分整理簿	有	準則		オンライン	随時
2	不受理証明書	有	戸規66条		オンライン	随時

第7 2 (23)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
不受理処分整理簿		平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

1. 様式

(1) A4版横
(2) 出力項目及び様式は規定

2. 編集条件

(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3. 運用関係

特になし

第7 2 (23)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		不受理処分整理簿	システム化調査研究会	平成19年 3月 1日	令和　年　月　日	11	1/1

平成　　年　　月　　日　　ページ

不　受　理　処　分　整　理　簿

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

不受理処分決定年月日	受領番号	受理送付の区分	件名	届出年月日	返戻年月日

不受理の理由

届出人(資格)　(　　)　(　　)

(　　)
(　　)
(　　)
(　　)

第72(23)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理処分整理簿	汎用	単票	A4横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	作成年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
2	ページ数	4	漢字	
3	不受理処分決定年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
4	受領番号	9	漢字	
5	受理・送付の区分	2	漢字	'受理','送付'
6	件名	12	漢字	
7	届出年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
8	返戻年月日	(10)	漢字	H.Z9.Z9.Z9
9	不受理の理由	123	漢字	
10	届出人氏名	30	漢字	最大2
11	届出人資格	11	漢字	最大2
12	事件本人氏名	30	漢字	最大4
13	事件本人資格	11	漢字	最大4
14	事件本人生年月日	(10)	漢字	最大4 外国人:Z999.Z9.Z9 日本人:元号99.Z9.Z9
15	生年月日表示	1	漢字	最大4'生'
16	事件本人本籍	(50)	漢字	最大4

第7 2 (23)	帳票設計書	作成者		頁数
		システム化調査研究会		1/1
帳票名称		作成日付	改定日付	版
不受理証明書		平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

1.様式

(1) A4版横又は縦
(2) 出力項目は規定

2.編集条件

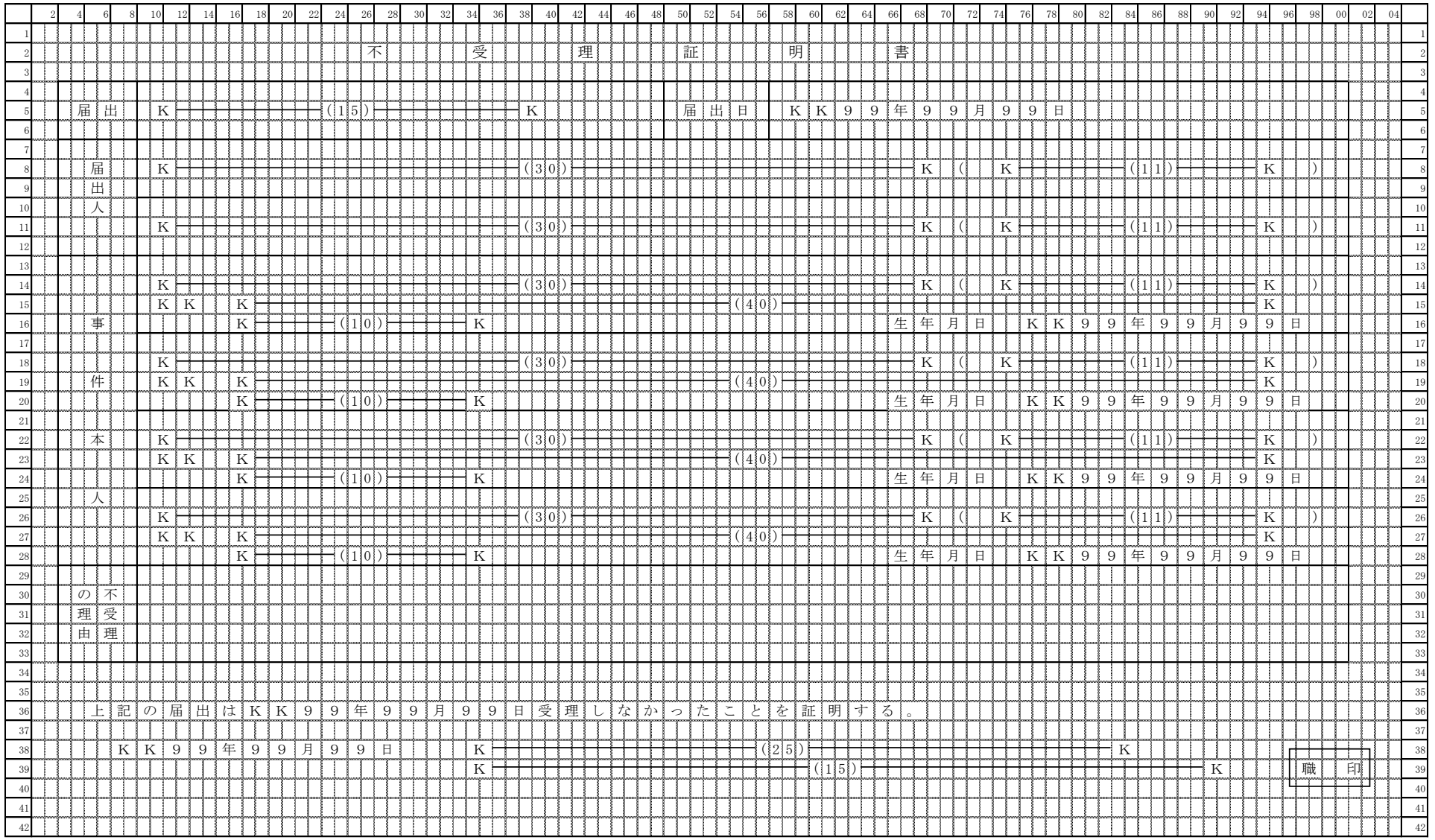
(1) 出力サイクル
随時

(2) 編集内容
帳票項目一覧を参照

3.運用関係

特になし

第7 2 (23)	帳票設計書	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		不受理証明書	システム化調査研究会	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11	1/1



第72(23)	帳票項目一覧表	主管課名	頁数
		システム化調査研究会	1/1

適用業務名	作成日付	改定日付	版
	平成19年3月1日	令和　年　月　日	11

帳票名	定・汎区分	単・連区分	寸法	複写枚数
不受理証明書	汎用	単票	A4縦または横	

No.	項目名	桁数	編集方法	備考
1	届書名	15	漢字	
2	届出年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
3	届出人氏名	30	漢字	
4	届出人資格	11	漢字	
	NO3～4は最大2件			
5	事件本人氏名	30	漢字	
6	事件本人資格	11	漢字	
7	事件本人本籍・国籍区分	2	漢字	日本人の場合'本籍' 外国人の場合'国籍'
8	事件本人本籍	50	漢字	2段編集
9	事件本人生年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
	NO5～9は最大4件			
10	不受理の理由	123	漢字	
11	不受理年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
12	発行年月日	(11)	漢字	元号Z9年Z9月Z9日
13	市区町村名+役職名	25	漢字	
14	首長氏名	15	漢字	横倍角
15	職印	-	電子印	

第7.2.(24)

戸籍副本データ管理システム

第7 2 (24)	システム処理の概要説明	作業名	作成者	作成日付	改訂日付	版	頁
		戸籍副本データ管理システム	システム化調査研究会	平成25年3月 1日	令和　年　月　日	16	1/1

1.戸籍副本データ管理システムの構築に伴う、電算化戸籍の副本の送信方法等については、別紙の「戸籍副本データ管理システムに係る戸籍情報システム要件定義書」を参照すること。

3　その他関連資料

（目次）

(1)「民事行政審議会の答申について」

(2)「セットアップ部会検討結果報告書」

(3)「附票部会検討結果報告書」

民事行政審議会の答申について

法務省民事局

1　法務大臣の諮問事項

電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することについて意見を承りたい。

2　審議会の日程

平成５年１０月１４日に第１回の会議を開催し，平成６年１月３１日答申，この間４回にわたり会議を開催した。

3　答申の内容

(1)　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

(2)　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

ア　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

イ　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

ウ　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

(3)　戸籍情報の保全及び保護対策について

ア　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当

な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

イ　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

ウ　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

(4)　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

ア　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

イ　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

(5)　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

ア　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

イ　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

(6) 移行について

ア　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

イ　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

ウ　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

民事行政審議会答申

第１　電子情報処理組織を用いて戸籍事務を処理する制度の導入について

電子情報処理組織（以下「コンピュータシステム」という。）を用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，相当である。

（説明）

コンピュータシステムを用いて大量の情報を迅速かつ正確に処理することは，我が国の社会，経済の多くの分野におけるすう勢であり，市区町村においても，行政需要の増大と多様化に対応するため，住民基本台帳事務を始めとする各種業務の分野にコンピュータシステムを導入し，その一層の拡大が図られているところである。

このような状況の中で，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入することは，以下の観点からして相当であると考えられる。

(1)　行政サービスの向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなるため，国民の身分関係が速やかに，かつ，正確に公示されることが可能となるとともに，戸籍に記録されている事項等についての証明書の速やかな交付が可能となる。また，市区町村の支所又は出張所においても，端末装置を設置することにより本庁と同様のサービスの提供が可能となる。

このように，戸籍事務のコンピュータ化により行政サービスの向上が図られる。

(2)　戸籍事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，コンピュータシステムが通有する情報処理の迅速性，正確性，自動処理性等の特性を活用することが可能となり，戸籍事務処理の迅速化及び正確化が図られることとなる。すなわち，コンピュータシステムにおける戸籍の「検索機能」により検索時間の短縮が図られ，「記録機能」により記録時間の大幅な短縮とより正確な戸籍の

記録が確保されることとなる。また，コンピュータシステムに「審査機能」を付加することにより審査事務の的確性を確保することができることとなり，さらに，統計事務，報告事務等をコンピュータシステム化することにより戸籍事務処理全体としての効率化及び正確化が図られることとなる。

なお，帳簿のブックレス化により，戸籍及び除かれた戸籍の編綴作業や見出帳の記載作業がなくなり，戸籍事務処理の負担が軽減される。

(3) 関連事務処理の迅速性及び正確性の向上

戸籍事務のコンピュータ化により，戸籍事務と住民基本台帳事務，人口動態調査事務等のいわゆる戸籍関連事務との一元的な処理が可能となり，これにより，これら関連事務の大半を占める転記や点検の作業の迅速化及び正確化が図られるとともに，事務量の軽減が図られることとなる。

なお，この場合には，第２の２に記述するとおり，プライバシー保護及びデータ保護を図る必要がある。

(4) 戸籍情報の保全及び保護

戸籍事務のコンピュータ化については，プライバシー保護及びデータ保護の観点から，磁気データ化された戸籍情報の保全及び保護をいかに確保するかが重要な問題となるが，これについては，第３で記述するとおりの対応方策を講じることにより，その保全及び保護を図ることができ，コンピュータシステムの導入の障害とはならないものと考えられる。

第２　コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式についての基本構想について

１　戸籍事務を全国的に統一した内容及び方式により処理するため，市区町村長は，法務省が定める統一性確保のための基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

２　戸籍事務のコンピュータシステムは，市区町村における他の事務に必要な戸籍情報を提供することができるものとするとともに，他の事務を処理するコンピュータシステムからはアクセスできないシステムとするものとする。

3　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，自動審査機能及び自動記録機能を有するものとする。

（説明）

1　戸籍事務処理の統一性の確保

戸籍は日本国民の身分関係を登録及び公証するものであり，その様式及び事務処理の内容は，民法，戸籍法，戸籍法施行規則等により厳格に規定され，戸籍事務は，国の事務として，全国的に統一した内容及び方式により処理されるべきものである。そのため，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長は，統一性確保のために法務省が定める基準に適合したコンピュータシステムを導入するものとする。

2　戸籍情報と関連事務との関係

戸籍事務をコンピュータ化する場合は，市区町村における他の事務にも必要な戸籍情報を提供し，情報の一元化を図ることにより，他の事務の処理の正確化及び迅速化並びに事務量の軽減化に資することが望ましい。しかし，同時に，戸籍事務は国民の親族的身分関係を登録及び公証するものであり，国民のプライバシーにかかわる事務であるので，戸籍事務のコンピュータシステムを構築するに当たっては，他の事務を処理するコンピュータシステムから戸籍情報ファイルに自由にアクセスし，戸籍情報を自由に用いることなどを厳に防止する必要がある。

そこで，戸籍事務を処理するコンピュータシステムは，他の事務を処理するコンピュータシステムに，法令の規定に基づき必要とされる範囲のデータを提供するが，他の事務を処理するコンピュータシステムからは戸籍情報ファイルに直接アクセスできないシステムとするものとする。

3　審査機能及び戸籍記録機能

(1)　戸籍事務を処理するコンピュータシステムにおいては，コンピュータシステムに自動審査機能を付加し，これにより戸籍事務処理の正確性を高めるべきである。すなわち，戸籍の届出事件の処理に当たっては，届出の内容をコンピュータに入力することにより，コンピュータシステムが当該届

出データの内容が民法，戸籍法等の法令に適合しているかどうかを審査し，これが法令に違反している場合はその旨を画面に表示するなど，可能な範囲において自動的に審査を行う機能を有するシステムとすべきである。(2) 現行の戸籍事務処理においては，戸籍の記載事務がその事務の相当の部分を占めていることから，戸籍のコンピュータシステムにおいては，届出を受理するに際し入力された情報や既に戸籍情報ファイルに記録されている情報に基づき，可能な範囲において自動的に記録を行う機能を持つことにより，戸籍の記録の正確性を確保するとともに迅速化を図るシステムとすべきである。

第3　戸籍情報の保全及び保護対策について

1　戸籍情報の改ざんを防止するため，コンピュータシステム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備え，戸籍事務担当者がパスワードを入力しない限り戸籍情報ファイルに変更を加えることができず，また，戸籍情報ファイルに痕跡を残さないでこれを変更することができない仕組みとする等，この点についての十分な対策を講ずべきである。

2　戸籍情報の保全のため，市区町村長は，戸籍情報ファイルの万全なバックアップ体制を備えるべきものとし，これに加えて，監督法務局若しくは地方法務局又はその支局にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを送付し，監督法務局等がこれを保管し，障害に備えるものとすべきである。

3　戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

（説明）

1　戸籍情報の改ざんの防止

戸籍情報の改ざんの防止は，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度に対する国民の信頼を確保する上で最も重要な課題である。

(1) 戸籍情報ファイルの改ざんは，コンピュータシステム内の戸籍情報ファイルの内容の不当な更新によって行うことが可能であるから，その最も有効な防止策は，システム自体が不当な手段による戸籍情報ファイルの更新を防止する機能を備えることである。そのため，市区町村の戸籍情報ファイルについては，端末装置を順次操作しなければ，これを変更することができない仕組みとすべきである。

具体的には，戸籍事務処理の手続に従い，届書の記載内容の入力，受理・不受理の処分決定，移記事項入力，校合指示という一連の手順を踏むことによって，初めて戸籍情報ファイルの内容が変更できる仕組みとすることが考えられる。

(2) 新たな戸籍情報を戸籍情報ファイルに付加する校合事務については，その端末装置の操作者が正当な権限を有する者であることをコンピュータが確認した上でなければ，その処理ができない仕組みとすべきである。例えば，事前に登録されたパスワードによって，校合事務を処理する権限を有する者であることが確認されて，初めてその処理ができるものとするなどの措置を講ずることが相当である。

(3) 戸籍情報ファイルの改ざんは，戸籍情報ファイルを構成するデータの一部を別のデータに差し替える方法によって行われることもあり得る。したがって，戸籍情報ファイルを構成するデータについては，当該データの変更，訂正等によりその差し替えをした場合には，その差し替えをしたことが明らかとなり，かつ，差し替え前のデータが変更，訂正等の経緯と共に必ず保存されることとすべきである。

2 市区町村及び監督法務局におけるバックアップ体制

(1) 戸籍情報の重要性から，その保全のためのバックアップ体制は万全なものでなければならない。そのため，市区町村においては，万全なバックアップ体制を備えるべきであることは当然である。その方策として，市区町村長は，戸籍情報ファイルのほかに，必ず，別にバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを保有するものとすべきである。

(2) 現行のブックシステムにおいては，市区町村長は，戸籍の副本を監督法務局若しくは地方法務局又はその支局に送付し，監督法務局等がこれを保存することとされているが，コンピュータシステムを用いる市区町村長は，この副本に相当するものとしてバックアップ用の戸籍情報ファイルのデータを監督法務局等に送付し，監督法務局等がこれを保管することにより，市区町村の戸籍情報ファイルの障害に備えるものとすべきである。

3 戸籍情報の適切な取扱いを確保するための措置

戸籍情報の適切な取扱いを確保するため，戸籍事務を管掌する市区町村長は，戸籍情報がコンピュータシステムに接続された電気通信回線を通じて第三者に知られることを防止し，かつ，戸籍情報が滅失・き損することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。

第4 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書について

1 コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する市区町村における戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明は，全部事項証明書，個人事項証明書及び一部事項証明書を交付してするのが相当である。

2 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書は，左横書きとし，アラビア数字を用いるものとし，その記録事項の表示方法についても，インデックスを設ける等の改善を図るべきである。

（説明）

1 戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の交付

戸籍事務は，国民の身分関係を登録し，公証するものであるから，コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する場合には，戸籍及び除かれた戸籍の謄本，抄本並びに記載事項証明書の交付の制度に相当するものとして，戸籍に記録されている事項を証明した書面を交付する制度を設けるべきである。

証明書の種類は，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている事項の全部を証明した全部事項証明書，戸籍及び除かれた戸籍に記録されている個人に関する事項の全部を証明した個人事項証明書並びに戸籍及び除かれた戸籍に記録

されている事項中の証明を求められた事項を証明した一部事項証明書とするのが相当である。

なお，戸籍の記録についての証明書を請求する場合の方法等は現行の戸籍の謄本等を請求する場合のそれ（戸籍法第１０条及び戸籍法施行規則第１１条参照。）と，また，除かれた戸籍についての証明書を請求することができる者及びその請求をすることができる場合等は現行の除かれた戸籍の謄本等を請求する場合（同法第１２条の２，同規則第１１条の２及び第１１条の３参照。）と同様とするのが相当である。

2　戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書の様式

コンピュータシステムにより戸籍事務を処理する方式の下では，戸籍は，コンピュータの電磁的記録として保存されることになるから，その記録事項の証明書の様式も，現行の謄抄本のそれにとらわれず，より分かりやすく見やすいものとすべきである。

現在の戸籍の謄本及び抄本は，いずれも，縦書きであり，これに使用される文字のうち年月日は壱，弐，参，拾の漢数字を用いるべきものとされている。しかし，近時の社会のすう勢にかんがみ，コンピュータシステムによる戸籍及び除かれた戸籍の記録についての証明書については，その様式を左横書きにし，併せてそれらに表示する数字もアラビア数字を用いるものとすべきであり，その記録事項の表示方法についても，当該記録事項のインデックスを設ける等の改善を図るべきである。

第５　コンピュータシステムの導入に関しての基本方針について

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該指定は，官報に告示してするものとする。

2　段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

（説明）

1　コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する市区町村長の指定

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することについては，国民の社会生活に深くかかわっている戸籍事務の処理の方法の大きな変更であることから，市区町村長が導入しようとするコンピュータシステムが法務省の定める基準に適合するかどうか，戸籍情報の保全及び保護対策が採られているかどうか等を審査した上で，これを導入する市区町村長を国民に対して明確に公示する必要がある。

そこで，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度を導入する市区町村長については，その申出に基づき，法務大臣が指定するものとし，当該法務大臣の指定は，広く一般国民に対して公示する意味で官報に告示してするものとする。

2　市区町村の一部の戸籍のコンピュータ化

コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理するについては，市区町村のすべての戸籍事務を一律に処理することが理想であり，これを原則とするが，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理する制度への移行には，相当な費用と期間を要することが見込まれるため，段階的に市区町村の一部の区域を定めて，当該区域に本籍を定める者の戸籍のみをコンピュータシステムを用いて処理することができるものとする。

第6　移行について

1　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，戸籍に記載されている事項のうち，新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　移行に際しての戸籍情報ファイルの作成においては，誤字・俗字を解消すべきである。

誤字・俗字を解消する場合には，誤字・俗字の正字への対応関係が明らかなものである場合を除き，事前又は事後に本人にその旨を告知するものとする。

3　移行作業を外部委託する市区町村長は，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用することを防止するため必要な措置を講じなければならないものとする。

（説明）

1　移行する事項の範囲

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業は，膨大な労力と経費を要する。移行を能率的に実施し，現行法の下での新戸籍を編製する場合との整合性を図るため，戸籍に記載されている事項の全部の入力を要せず，その事項のうち新戸籍編製の場合に移記を要しない事項の入力を省略することができるものとするのが相当である。

2　誤字・俗字の解消

移行のための戸籍情報ファイルの作成作業に際しては，氏名についての誤字・俗字を解消して正字に引き直すものとするのが相当である。

誤字・俗字を解消する場合には，何らかの方法で事前又は事後に本人にその旨を告知するのが相当ではあるが，一方，コンピュータ化に際しては，この処理が多量に，かつ，同時期に実施されることになる。そこで，市区町村長が誤字・俗字を解消する旨の周知のための広報活動を十分に行う場合において，誤字・俗字である文字がその対応する正字に訂正されることが，一般人の常識をもって判断した場合に明らかであるときには，本人がその旨を知ることができるから，本人に対する個別の告知を要しないこととして差し支えないものとするのが相当である。

3　外部委託の場合のプライバシーの保護

移行のため戸籍情報ファイルを作成する作業は，相当規模の作業人員を必要とするものであることから，移行作業のうち外部委託になじむものについては，これを外部委託によって処理する必要があるが，この場合には，プライバシー保護についての必要かつ十分な措置が採られなければならない。

そのため，市区町村長は，移行作業を外部委託しようとするときは，移行作業の従事者がその事務に際して知り得た事項を不当な目的に使用すること

を防止するため必要な措置を講じなければならないものとすべきである。その方法としては，市区町村長は，プライバシー保護のため，受託業者に，戸籍データの保管の施設及び体制，移行作業の場所及び体制等を適正なものとさせるとともに，秘密保持義務を課した上，これに違反した場合の責任を明確にするなどの十分な措置を講ずべきである。

第７　その他

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，戸籍の附票事務についても，同時にコンピュータ化を図るのが相当である。

（説明）

戸籍事務のコンピュータ化に際しては，市区町村における事務処理全体の合理化の観点から，戸籍事務に密接に関連する戸籍の附票事務も，同時にコンピュータ化を図るのが相当と考えられる。

戸籍コンピュータ化調査研究会

セットアップ部会

検討結果報告書

平成４年度

財団法人　民事法務協会

※※※※　目　　次　※※※※

はじめに …… 1

第1　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について
1　はじめに …… 2
2　移行の方法 …… 2
3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較
(1)　各方式の比較 …… 3
4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について
(1)　作業工程について …… 8
(2)　作業工数について …… 9
5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果 …… 11
(1)　現行の戸籍との整合性について …… 12
(2)　移行経費について …… 12
(3)　市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について …… 13
7　結論 …… 13
8　移行作業に係る提言 …… 14

第2　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について
1　はじめに …… 15
2　システム認容申請手続について
(1)　システム認容申請手続の方法 …… 15
(2)　システム認容申請手順 …… 16
(3)　システム認容申請手続における問題点 …… 17

第3　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護
1　はじめに …… 19
2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項 …… 20
(1)　委託業者の全般に係る事項 …… 20
(2)　受託業者以外の第三者に係る事項 …… 20
(3)　データの管理・保管に係る事項 …… 21
(4)　データ等の授受・運搬に係る事項 …… 21
(5)　戸籍データ作成に係る事項 …… 21
(6)　受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項 …… 22
(7)　その他 …… 22

第4　外字の取扱いについて
1　はじめに …… 23
2　誤字・俗字の解消 …… 23
3　外字の対応方法 …… 24
(1)　外字の対応ができない場合の取扱 …… 24
(2)　外字の管理及び統一化 …… 25

○　「各方式の比較表」 …… 別　紙　(1)
○　「作業方式別作業工程図」 …… 別　紙　(2)
○　「移行作業工数比較表」 …… 別　紙　(3)
○　「システム認容申請手順」 …… 別　紙　(4)

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，昭和６０年から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という。）が組織され，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点についての調査研究が進められてきているところである。

この研究会による調査研究は，各年度ごとに文書によって報告されており，平成元年度に，それまでの成果を集大成した「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における設計・製造及び運用についての調査研究報告書」が提出され，この報告書において，戸籍事務にコンピュータを利用すれば，現在よりも能率的・合理的な処理が可能であるとの一応の結論が示された。この結果に基づいて，平成２年度から市区町村が将来戸籍事務にコンピュータ・システムを導入する場合に遵守すべき最小限の仕様・条件を定めた「基準書」の作成に取り組んでいる。「基準書」は，すでにその一部が完成し，残りの部分も近く完成する見込みである。また，豊島区の協力を得て，「基準書」の既に完成した部分についてその実用性を検証する作業（戸籍パイロット・システム）を開始している。

上記のとおり，戸籍事務のコンピュータ化の調査研究については，ほぼ最終段階にさしかかっており，研究会としては「基準書」の作成と並行して，現行の戸籍（簿）の移行作業の実施方法，戸籍情報システム（パッケージソフト）等の認容手順，移行作業におけるデータ保護・プライバシー保護の問題等について，検討する必要があるとされた。

そのため，研究会の下に「セットアップ部会」を設け，移行作業及びシステム認容手続における問題点の分析を行い，具体的な事務処理の方法，問題点の解決方法及び今後の課題等について検討するとともに，研究会における「基準書」及び法務省の「移行要領」等のための資料を提供することとされたものである。

今回，これらの検討結果を取りまとめたので，「セットアップ部会検討結果報告書」として提出する。

第１　戸籍事務をコンピュータにより処理するに当たっての移行の方法について

１　はじめに

戸籍事務をコンピュータによって処理する場合には，戸籍（簿）をはじめとした既存の戸籍関係諸帳簿に記載されている事項を，コンピュータの磁気記録媒体に移し替える作業が必要かつ不可欠となる。このための一連の作業を移行という。

本部会では，昭和６３年度の「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合における現行戸籍簿等の移行及びプライバシー・データ保護についての調査研究報告書」を前提に，より具体的な移行の方法及び問題点の再検討を行った。

昭和６３年度の報告書においては，戸籍に記載された身分事項等について，従前どおりの文書形式により移記して処理することを前提としていたが，その後の戸籍コンピュータ化調査研究会において，コンピュータ化に際しては，審査機能との関連などから身分事項等を各要素に分解し，項目化することが適切であるとの結論に達したため，これを前提に再検討を行ったものである。

２　移行の方法

戸籍は，日本人の身分関係を登録・公証するものであり，そこには，出生をはじめ婚姻，縁組等「人の身分」に関する様々な情報が登録されている。これらの戸籍データをどの範囲でコンピュータの磁気媒体へ移し替えるかについては，移行の効率化及び移行後の戸籍のあり方等を考慮した上で，慎重に決定されなければならない。

市区町村においては，戸籍事務のコンピュータ化に伴って，現存の戸籍等に記載された膨大なデータを短期間に移行する必要があり，また，それに要する経費も非常に高額となることが予想される。この点は，今後，戸籍事務のコンピュータ化を望む市区町村にとっては，避けられない問題であり，その方式のいかんは，戸籍事務のコンピュータ化の拡大を左右しかねない重要な問題であると考える。

現在の戸籍事務においては，戸籍（簿）に記載されている内容を新しい戸籍用紙に移し替える場合の取扱いとして，改製の手続による場合（戸籍法第１２８条）と再製の手続による場合（戸籍法第１１条）の二つの方式が規定されている。

戸籍法上，改製とは，戸籍（簿）の様式が法律又は命令に基づき改められた場合に，従前の規定による様式で編製されていた戸籍を新しい様式に改めるための編製替をいい，また，再製とは，戸籍（簿）が滅失の虞れがある場合，あるいは滅失した場合に，戸籍を元の状態に再現するための編製替をいう。

ところで，昭和６３年度の報告書においては，前述の改製方式と再製方式のほか，第三の方式として，除籍された者の事項を除き全部の事項をそのまま移記する，いわゆる在籍者再製方式（以下「第三方式」という。）が提案されている。そのため本部会においては，以上の三つの方式について，そのメリット・デメリットを比較検討することとした。

3　改製方式，再製方式及び第三方式の各移行方式の比較

(1)　各方式の比較

今回検討した各方式の異同について項目別に比較したのが，別紙(1)「各方式の比較表」である。

①　基本的内容について

各方式の法律上の根拠については，前述のとおり，改製方式及び再製方式については現行の戸籍法によって規定されており，これらは過去の法改正等に伴う改製作業あるいは滅失等に伴う再製作業等により，現実の戸籍実務において運用されてきている方法である。しかし，第三方式については，過去に実施された経緯がなく，まさに今回の戸籍事務のコンピュータ化のための便宜的な方法として検討されているものである。

すなわち，改製方式及び再製方式は，現行の法制度において対応することが可能であるが，第三方式を採用した場合は，別途このための法律的裏付け（法改正）が必要となる。

②　移記前の原本（戸籍）の取扱いについて

移記前の原本（戸籍）の保存期間については，改製方式とした場合は，

過去に改製が実施された際の取扱いから推測して，５０年ないし８０年の期間となると考えられる。再製方式による場合は，原則として現行の戸籍（簿）をそのまま移記することから，１０年間の保存とされている。また，第三方式の場合は，除籍者を除いた全ての事項が移記されるが，基本的には現在の戸籍（簿）の一部が移記される点において再製方式と異なり，改製方式と同様な取扱いとなるものと考えられる。

今後，コンピュータ化を実施する市区町村においては，前述の保存期間は依然として移記前の原本（戸籍）を保管しなければならないことから，この保存期間の長短は，市区町村の保管スペースの確保などこの保管のための負荷の面において大きな問題となると思われる。

しかしながら，現在の除籍簿の保管においては，マイクロフィルム等により管理することが認められていることから，保管スペースの問題はある程度解決されている問題と考える。

③　移記後の原本（戸籍）の取扱いについて

各方式による移記により，どのような形で戸籍がデータベース化されるかについては，できあがった戸籍の整合性の問題があり，相当に重要な要素となる。

改製方式によれば，移記される事項は戸籍法施行規則第３７条，３９条に規定された事項に限定され，従前の戸籍（簿）に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は，現行の記載例に引き直して移記される。また，追完・訂正事項については，原則として身分事項欄等に反映させた上で移記されることから，最も整理された形での戸籍となる。

再製方式によれば，原則として従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項をそのまま移記することとなるため，戸籍（簿）によっては現行記載例に対応しない記載例が存在するが，改製方式と同様に，現行の記載例に引き直して移記することが認められている（昭48.11.17民二第8522号通知）。しかし，移記される事項は，従前の戸籍（簿）に記載された全ての事項を移記することが原則であるため，改製方式以上に項目化が対応できない部分が発生する可能性がある。

第三方式については，従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を移記することから，再製方式と同様の問題点が存在する。また，除籍者が離婚によるものである場合は，当該配偶者は除籍されているため移記の必要がないが，他方の配偶者の身分事項欄には，依然として婚姻・離婚事項が残ること等，戸籍の整合性が問題となる。はたして第三方式によりできあがった戸籍について該当住民等の理解が得られるか疑問であり，これが大きな問題となる可能性があろう。

④　システム上の問題点について

移記されたデータベースを基に，コンピュータ稼働後は処理を進めていくこととなるため，コンピュータに記録されるデータ量は増加の一途をたどることが予想される。そのためには，当初のデータ量は最小限のもので運用をスタートすることが望ましく，このことは導入するコンピュータの容量・機種を決定する上でも重要な要素となるものと考えられる。

改製方式では，戸籍法施行規則第３７条，３９条に基づく事項のみを移行すれば足りることから，移記事項が限定されデータ量が減少する。一方，再製方式では，原則として現行の戸籍（簿）に記載された事項の全てを移記することとなることから，データ量は相当大きなものとなると考えられる。また，第三方式では，除籍者のデータが移記されないことから，ある程度のデータを減少させることができ，データ量的には，改製方式と再製方式の内側の再製方式に近いところに位置するものと思われる。

さて，戸籍事務コンピュータ化のシステム開発において，特記されるものとしては，そのシステムで審査機能を付加した点が挙げられる。これは，市区町村が総合窓口制を採用する場合が増加し，戸籍事務に関する専門的な知識を有する職員の確保が非常に難しくなってきていることから，基本的なチェックをコンピュータに行わせようとするものである。例えば，離婚による女性の待婚期間の確認，婚姻における婚姻適齢の確認等である。これらの審査機能を活用するためには，従前の記載事項を

データベースとして保有していることが前提となるが，改製方式による場合は，移記事項が現に効力を有する事項のみとなることから，稼働後の一定期間においては，この機能が効果を発することができないことが生ずる。

ところで，移行作業は，戸籍のデータ量が膨大であることから，その作業は相当長期間に及ぶものと考えられ，移行期間中に発生する事件に係る戸籍データ（以下「異動データ」という。）については，再度入力することが必要となる。本来の改製方式によれば，従前のデータをいったんデータベース化した場合であっても，これらの異動データの入力も，稼働日の時点において整序され，改製した形とすることが望ましいが，現実問題として市区町村においてはこの追いかけ処理が不可能であると思われる。そこで，移行期間中の異動データについては，当該戸籍内に除籍者が生じている場合であっても，例外的に追加入力の処理ができるとする取扱いが認められれば，それらの異動事項がデータベースとして戸籍内に存在することとなり，審査機能の活用に資することも可能となると考える。

なお，第三方式において移行期間が６カ月以上かかる場合は，審査機能における待婚期間の審査について，移行期間中に待婚期間が満了してしまうことから，移行開始時までの離婚等の事項がデータベースに移記されていても審査機能に活用できないこととなる。

⑤　住民関係について

戸籍事務のコンピュータ化及び移記された戸籍データベースについては，地域住民としても大きな関心を寄せることが想定される。

これは「私の戸籍」という概念で示されるように，国民の感情論として戸籍が国の文書であるという意識よりも，当該国民個人のための文書と意識されるものとして存在してきていることを否定できないことによる。そのため，今回の戸籍事務のコンピュータ化に伴っても，どの程度の身分事項を移記し，どのような戸籍とするかは慎重に検討しなければならないものと思われる。

改製方式によれば，必要最低限の移記事項に特定され，戸籍の整合性

が確保される点において，住民感情的なトラブルは少ないと考えられるが，再製方式又は第三方式による場合には，現在戸籍の全て又は現存者の身分事項がそのまま移記されるため，依然として離婚歴が残る等により，地域住民の理解を得られるか，また，戸籍の整合性を説明し得るかが懸念される。

また，移記前の戸籍（簿）について，その謄抄本等の証明書（以下「証明書等」という。）の請求がどの程度発生するかの問題がある。

再製方式の場合は，原則として全ての記載事項が移記され，また，移記前の原本（戸籍）は戸籍原本としての効力を失っているため，原則として証明書等の発行には応じられないこと等から，その請求は数少ないものと思われる。改製方式の場合は，移記事項が整理された形となる反面，相続における従前戸籍の確認などのために改製原戸籍とされる移記前の戸籍の証明書等の請求が相当程度なされることが考えられる。また，第三方式の場合は，改製方式による場合よりは減少すると思われるが，同様な趣旨から，相当程度の請求がされるものと予測される。

しかし，そもそも今回の移行作業は，記載内容の項目化を前提としていることから，再製といっても従前の文書形式による記載内容と著しく異なる形式となるため，再製の場合であっても移記前の原本の証明が求められることが考えられ，はたして各方式によりどの程度の差が発生するかは予測し難いものがある。

⑥　移行用戸籍データの作成について

現行の戸籍（簿）に記載されたデータを移行するためには，パンチ入力を容易にし，入力によるミスを極力減少させる必要があるため，現在の戸籍に記載された事項を入力し安いように加工し，移行のための戸籍データを作成する必要がある。また，今回の戸籍事務のコンピュータ化に際しては，従前の文書形式による記載事項を各項目に分解し入力することを前提としているため，この項目化のためのコーディング作業が必要不可欠である。

移行用の戸籍データ作成に関しては，移行作業のコスト面及びその正確性の確保が大きな要素となる。

戸籍データのパンチ入力については，そのデータ量が減少すればパンチ入力の量が減少するため，結果的には入力によるミスも減少することが考えられる。この点に関しては，改製方式が最も効果的であるが，次の問題点が考えられる。

改製方式によれば，除籍された者及び在籍者の身分事項のうち，移記不要事項及び追完・訂正事項の身分事項への反映等についての判断及びこれに伴うマーキングが必要となり，再製方式によれば，改製方式による場合のような移記不要事項の見極め，マーキングは不要であるが，市区町村長限りの職権訂正事項についてはマーキング等が必要となり，また，第三方式によれば，在籍者についての訂正・追完事項については，内容によって身分事項に反映すべきものが存在するため，その判断及びマーキングが必要となる。

前述の移記不要事項の見極め及びマーキング作業は，戸籍の専門的知識を必要とすることから，市区町村職員が行うこと，あるいは移行作業を行う業者が独自に戸籍についての知識を有する要員を確保する必要が生ずる。

市区町村職員が行うこととした場合は，通常事務を処理しつつ当該事務の処理を進める必要があり，また，これができない場合は別途人員を確保する必要があるなど，市区町村が負担を負うことが問題となる。

一方，業者が要員を確保して行うこととした場合は，現実に適切な要員の確保が可能であるのかといった問題のほか，この専門知識を有する要員を確保するための移行経費の増加が考えられる。

以上のように，この入力不要部分のマーキング及び項目化のコーディング作業は，移行作業における経費面及び市区町村にかかる負担の点から，どの方式によるかを決定する上で重要なポイントであると思われる。

4　改製方式，再製方式及び第三方式による作業工数について

(1)　作業工程について

各方式による作業工程については，おおむね別紙(2)「作業方式別作業工程図」のとおりであると考えられる。

一般的な移行作業の実施に当たっては，移行すべき戸籍（簿）の特定の

ための事前準備として戸籍（簿）の点検及び入力データ作成のためのコード番号付け，入力用原票（移行用戸籍データ）の作成，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディング，項目化後のデータに基づくパンチ入力，パンチ入力されたデータの照合及び修正，移行期間中の異動データの反映及び最終確認を行った上での納品という工程を踏むものと考えられる。

なお，ここで示したそれぞれの作業工程は，一般的に想定される一例として示したものであって，今後，市区町村が実際に移行作業を実施する際には，これとは異なる工程により行われることも当然にあり得るものと思われる。

別紙(2)のとおり，各方式により工程そのものには大きな差はないと思われるが，前述のとおり，従前の記載事項の見極めと項目化するためのマーキング及びコーディングの作業において，各方式により若干の相違が生ずるものと考えられる。

(2) 作業工数について

各方式によるメリット・デメリットを検討する上で，移行作業に係る経費の差がどの程度発生するかについては，実際にコンピュータを導入しようとする市区町村にとっては，最も関心があることであろう。

そこで，本部会においては，参加したセットアップメーカーに，実際の移行作業を前提に各方式による工数の積算依頼を行い，その結果を踏まえて検討することとした。各メーカーからの報告を集計した結果は別紙(3)「移行作業工数比較表」のとおりである。なお，この調査を依頼する際に示した前提条件は次のとおりである。

ア) 自治体作業レベルは，複写作業の立会い事務と検査作業の最終確認事務のみとし，メーカーにおいて，精度の高いデータを作成するものとする。

イ) 戸籍人数割合は，１戸籍２．８人とする。

ウ) 改製による入力不要部分の発生割合は，１割とする。

エ) その他算出基礎は，昭和６３年財団法人民事法務協会の報告書による。

なお，この集計表は各メーカー単位で各方式を比較することを目的とす

るものであって，メーカー間における作業工数は各メーカーの作業方法及び各作業に対するウエイトの置き方等がそれぞれ異なるため，各メーカー間での比較は適当でない。また，メーカーに対する積算依頼は，10,000戸籍と100,000戸籍とについて行い，この双方についての報告を受けたが，結果的に10,000戸籍と100,000戸籍との間においてはその数の差によるもののほかは，各方式においても格別の相違点も存しなかったことから，この報告書では10,000戸籍による比較を紹介するに留めることとした。

① 各メーカーの作業工数の比較

各メーカーによる工数の積算については，メーカー各社の移行作業におけるノウハウが加味され，また，各メーカーが具体的に想定する処理工程が異なり，これを事前に同一のものとして特定することが困難であったため，工数積算の前提が不明確となる点があったが，各メーカーにおける各方式による相違点を知るという点においては，ほぼ目的を達成できるものであると考えられる。

各方式による作業工数の比較は，A社を除き，改製方式が最も少なく，次いで第三方式，再製方式の順となっている。また，A社は第三方式が最も少なく，次いで改製方式，再製方式の順となっている。

これは，A社とその他社との間の移記不要部分のマーキング作業，マーキング作業により移記すべき事項が特定された後の項目化作業，入力作業及び確認作業のウエイトの置き方の差による工数の増減によるものと考えられるが，A社を含めても工数的には各社とも各方式による相違には大きな差は存在しない結果となっている。

② 各方式による移行経費の比較

今回の調査においては，工数のみの比較とし，実際の移行経費による比較は行わなかった。これは，移行経費額が提示されることにより，当該経費額がひとり歩きをすることを避けるため，あえて行わなかったものである。しかしながら，各作業区分毎における工数が実数で明示されていることから，移行経費額は各作業に従事する者の単価を設定すれば，容易に積算できるものであろう。

実際に経費を積算し，各方式を比較した場合には，入力データの不要

部分のマーキング作業には戸籍の専門的知識を要することから，経費積算の上で大きな影響力があるものと思われる。その結果，改製方式による場合はマーキング作業のウエイトが大きいことから，実際の経費額による比較では，改製方式による場合の経費が増加し，再製方式による場合はマーキング作業はほとんどないことから相対的に経費額は減少するものの，データ量が多いことから入力作業及び確認作業による経費並びにシステム稼働後のファイル容量の増に係る経費が増加するものと考えられる。

改製方式と第三方式との比較においては，作業工数に大きな差がなく，マーキング作業のウエイトからして，現実の経費額では第三方式によることが最も安価となるものと思われるが，改製方式との間ではそれほどのかい離がないものと見込まれる。

5　改製方式，再製方式及び第三方式の検討結果

移行作業の方式の決定については，各方式のメリット・デメリットを比較し，総合的に最も適当と思われる方式を検討する必要がある。今回検討した各方式については，前述のとおり，その比較項目ごとにそれぞれメリット・デメリットが存在し，一概にその結論を導き出すことは容易ではなかった。しかし，移行作業に当たっては，各市区町村が望むそれぞれ異なった方式により処理することは適当でなく，統一化される必要がある。そこで，この報告書では，検討の経緯を踏まえ一応の結論を提示することとする。

どの方式を採用するかの判断基準としては，次の事項が挙げられる。

その第一は，現行の戸籍（簿）との整合性の問題である。コンピュータ化後の戸籍は，戸籍事項及び身分事項の項目化を前提としている。これを踏まえた上で現行戸籍との整合性を検討する必要がある。

第二は，移行の経費の問題である。いわゆるバブル経済の崩壊後，市区町村においては税収が大幅ダウンするなど，移行経費の節減は重要な課題である。

第三は，市区町村の職員が行う作業の軽減の問題である。市区町村にとっては，この移行作業のための職員を特別に確保することは困難であり，現行の職員での対応を前提としなければならないことによる。

(1) 現行の戸籍との整合性について

改製方式は，法律的な裏付けがあり，過去の法改正等において実施されている方式であり，戸籍の整合性を論ずる上では，最も問題のない方式論であると考えられる。また，３－(1)－④で提案した移行期間中の異動データについて追加入力の方法が認められた場合は，結果的にコンピュータ処理がスタートした時点では，稼働日現在による改製戸籍となってはいないが，これは移行処理上やむを得ないことであって，このことが改製方式の適否を左右するものではないと考える。

再製方式についても，法律的な裏付けがあり整合性を論ずる上では問題はないと考えられるが，旧記載例について，項目化が困難なものが発生することも考えられ，この点をいかに解決するかの問題点が存する。

第三方式については，戸籍事務のコンピュータ化のために提案された経費節減及び市区町村職員の負担軽減のための新しい方式であり，当然のことながら法律的な裏付けは存在しない。この方式を実現するためには，戸籍法上新たな戸籍の移行方式として立法する必要がある。しかし，コンピュータ化のための移行方式として，経費節減あるいは市区町村職員の負担を軽減する目的のみということではたして国民に容認されるかという点については，戸籍の整合性の上で問題点を多く含んでいることから疑問が感じられる。既述のとおり，離婚歴がある場合に離婚した配偶者が除籍されているため移記されないにもかかわらず，身分事項欄には，婚姻事項及び離婚事項が移記されることなど，少なからず問題を抱えている。

(2) 移行の経費について

今回調査した別紙(3)「移行作業工数比較表」においては，各作業項目の内容及びメーカーごとの方法及び技術が異なり，また，メーカーと市区町村との作業分担のウエイトの置き方が統一されていないため，一概に結論を導き出すことは困難である。

しかし，工数的には，再製方式はデータ量が減少しないことから最も工数が増加し，改製方式及び第三方式は，ほとんど差が生じていない結果となっている。また，この結果は実際の経費により積算されたとしても方法論の決定を左右するほどの大きなかい離が生ずるものとは考えられないで

あろう。

(3) 市区町村の職員が行う作業の軽減の問題について

戸籍事務のコンピュータ化に関しては，その移行すべきデータが膨大であり，通常事務と並行して移行作業を行う必要があることから，市区町村職員の負担を極力軽減する方策を検討する必要がある。

移行作業における市区町村職員の負担は，移行にたずさわるメーカーの技術及び方法により異なる結果となっている。改製方式によれば，マーキング作業に戸籍の知識を有する要員が必要となるが，移行業者においてこの手当てがされることが予定されており，このことを前提として，それぞれの方式により大きな差は生じていない。

7 結論

戸籍事務のコンピュータ化は，市区町村にとって一大事業であり，地域住民に及ぼす影響も非常に大きなものである。この点を認識するならば，ただ単に移行のための経費節減及び市区町村職員の負担軽減ということのみで結論に到達することは，必ずしも相当ではないであろう。

市区町村としては，戸籍事務のコンピュータ化がスムーズになされるよう最善の方法を検討するとともに，その処理体制を確保することが重要であり，責務であると考える。また，コンピュータ化をひとつの契機として，従前の戸籍を整理し，整然とした戸籍を作り上げることも，将来，戸籍制度を運用していく上で重要な意味を有するものと考える。

部会における検討では，最終的に改製方式あるいは第三方式によるべきかが論議されたが，経費の問題，戸籍の整合性の問題，コンピュータ化による戸籍の将来の運用の問題からして，移行作業の方式は，改製方式によるのが適当であるとの結論に達した。

また，改製日をどの時点とするかについては，従前の戸籍（簿）を凍結した日，あるいは，個々の戸籍（簿）の移行が完了した日とする等の意見も出されたが，コンピュータ稼働日（官報に告示された日）とするのが最も適当であると考える。

なお，各方式の検討途中において提言された第三方式を指示する理由を次に付言する。

第一に，改製方式による場合は，移記不要事項の見極めが非常に大きな事務量となり，その結果，市区町村の負担が増加すること。

第二に，移記不要事項の見極めが専門的知識を必要とされることから，移記事項にミスが発生する可能性が高いこと。

第三に，移行期間中の異動データの追いかけ処理について，本来の改製戸籍とするためには，一端データベース化した事項も移記不要部分の見極めを行った上で再入力する必要があり，現実的にはその処理が不可能であること。

第四に，改製方式によれば，データベース化されたデータ量が少ないため，コンピュータによるシステム審査機能を活用できないこと。

等である。

8　移行作業に係る提言

本部会においては，移行作業方法として改製方式によるのが相当であるとの結論に達したが，前述のとおり第三方式を指示する意見があったことも事実である。そこで，本部会としては，改製方式によるデメリットを解決する方策等について検討する必要があると考え，次の事項を提言する。

ア）　市区町村職員の負担軽減のため，移記不要事項の見極め作業を移行メーカーが責任をもって処理できる体制を確保すること。

イ）　移行期間中の異動データの入力に関しては，改製方式による場合も，いったん移記されたデータに追加入力を行うという便宜的な処理を認めること。

ウ）　改製原戸籍については，戸籍事項欄に改製による除籍事項の記載が必要となるが，稼働日現在で大量の処理を必要とするため，欄外にこの旨記載する等の便宜的な方法を検討すること。

エ）　改製原戸籍の保存方法については，従前どおりの紙による場合，マイクロフィルムによる場合等が考えられるが，今後，光ディスク等による場合も想定できることから，その可否について検討すること。

第２　戸籍事務のコンピュータ化に伴うシステム認容申請手続について

１　はじめに

市区町村が戸籍事務をコンピュータによって処理しようとする場合は，その事務が国の機関委任事務であることから，監督法務局との連絡・調整を密にし，統一的に手続が行われるよう配意する必要がある。

戸籍事務は性質上国の事務であり，全国統一の方式により処理されなければならないものであるから，理想をいえば，戸籍情報システム（以下「システム」という。）も，全国の市区町村が同一のハードで，同一のプログラムを用いることが望ましい。しかしながら，今日多くの市区町村においてＯＡ化が進められ，大規模な市や区にあっては，ホスト・コンピュータとして種々のメーカーの機種が導入されているほか，比較的規模の小さい市区町村においてもオフィス・コンピュータが導入されているなど，市区町村が使用するコンピュータの機種は同一ではない。このため，システムの設計に当たっては，こうした市区町村のコンピュータ化の状況を前提に置かなければならない。

そこで，考えられたのが「基準書」による統一化で，これは，現在各市区町村で用いられている各種のコンピュータのハードとソフトの共通要素を拾い出し，各機種の処理能力で実現可能な範囲内において，各機種に適応する統一の仕様を作成しようとするもの，すなわち，この範囲内においてプログラムの統一性を図ろうとするものである。

この結果，戸籍事務のコンピュータ化に参画するメーカーは，自社のコンピュータハードを使用し独自のシステムを開発したとしても，あたかもその処理は全国統一のシステムを用いて処理するのと同様の効果を得ることができるのである。

戸籍コンピュータシステムを開発するメーカーは，この趣旨を十分理解し，「基準書」を遵守することが，前提条件となることは言うまでもない。

２　システム認容申請手続について

(1)　システム認容申請手続の方法

市区町村が戸籍事務をコンピュータにより処理するためには，当然そのためのコンピュータ機器及びシステムを導入する必要がある。しかし，導入するシステムが「基準書」に示された基準をクリアしているか否かの判断をしなければならず，また，どのような方法によりその検証を行うかが問題となる。

従前は，メーカーが「基準書」に基づき開発したシステムを，メーカー単位のパッケージソフトとして認容する方法が検討されていたが，そもそも法務局あるいは法務省は，民間のメーカーが開発したパッケージソフトに対して直接許認可することができるか，その手続はどのようにするか等について疑問が存した。そこで，従来の戸籍事務の一部処理システムについての認容手続が，各法務局・地方法務局の定める戸籍事務取扱準則に示された「事務改善等により戸籍事務に関する処理方法及び組織機構を改めたとき」に該当するものとして取り扱われていることから，この方法に類した手続により一連の認容手続を進めることが現行の法制度の中では，最も適当であると考えられる。

(2)　システム認容申請手順

システム認容申請手順として考えられる方法として，本部会としては，別紙(4)による手続方法を提案する。

①　移行作業に着手する前の手続

コンピュータを導入しようとする市区町村は，移行作業に着手する前提として，市区町村としての全体のコンピュータ化計画案及び移行作業のための計画案等を作成するとともに，導入するメーカー，機種，プログラム及びコンピュータ化後の戸籍事務の処理方法等について，管轄法務局・地方法務局長に対し認容申請を行う。

なお，この場合には，当該市区町村が，行政機関の保有する電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する法律第２６条による個人情報の適切な取扱いを保護するための必要な施策を策定し，実施するものであることを明らかにしなければならない。

認容申請を受けた法務局・地方法務局は，全体計画の整合性を確認するとともに，導入されるシステムが「基準書」に適合するか否かを検証

する。確認・検証の結果，問題がないと判断された場合は認容し，問題がある場合は法務省に対し照会する。

照会を受けた法務省は，市区町村が導入するメーカーのソフトについても必要に応じ検証を行った上で，適宜，法務局・地方法務局に対し回答する。

なお，移行作業着手前の手続に関して，認容権者は法務局長又は地方法務局長となるのか，認容許可がないと移行作業に着手できないかといった問題が残されているが，今後，これらの問題点について検討する必要があるとともに，認可されたメーカーのソフトについては，法務省で適宜の方法により公表すること等も検討すべきであると考える。

② 移行期間中の手続

市区町村が戸籍データの移行に着手した場合，その処理の方法について，様々な疑義，不明事項が発生することが予想される。

当然，これらの事項についても，統一的に問題が解決され処理することが必要であるため，法務局・地方法務局に確認・照会を行うことが不可欠である。また，法務局・地方法務局において判断できない事項については，適宜，法務省に回答を求めることも必要である。

③ コンピュータ稼働前の手続

市区町村は，移行作業がある程度収束し，その終了日を特定できる状態になった時点で，監督法務局・地方法務局長に対し，コンピュータにより戸籍事務を取り扱うこと（コンピュータ稼働日の特定）についての申報を行う。

申報を受けた法務局・地方法務局の長は，移行作業の進捗状況等について調査を行い，稼働日等について問題がないと判断された場合は，法務大臣に対して，その具申を行う。

具申を受けた法務省は，どの市区町村（地域等が特定される場合も考えられる。）がいつから戸籍事務をコンピュータによって処理するか等について，官報に告示の手続を行う。

(3) システム認容申請手続における問題点

システム認容申請手続は，一例として，前述のとおりの方法が考えられ

る。この方法を部会において検討する上で，種々の問題点の提起がなされた。その主なものは次のとおりである。

ｱ) 戸籍事務の一部処理の認容申請において，申請から認容までの期間が相当長期間となり，問題となったケースがあるが，戸籍事務のコンピュータ化の認容申請に関しては短期間に処理がなされること。

ｲ) ひとつの市区町村で認可されたパッケージソフトを使用して認容申請をする場合は，原則どおりの手続を必要とせず，簡便な方法を検討すべきこと。

ｳ) 法務局においてパッケージソフトの検証する場合，処理システムのプログラムを直接確認できる要員もしくは専門的知識を有する職員を確保することは不可能であることから，その検証方法を確立する必要があること。

ｴ) 移行作業は短期間のうちに完了する必要があることから，その期間中に生じた疑義に対して，法務局等から早急に回答が得られるようにすること。

ｵ) 市区町村の一部の地域等を限定して，コンピュータ化を実施することについて，認容することができるのか。また，地域等の限定の方法に，一定の基準，制限が必要とされるか等について検討すること。

第３　移行作業期間中のデータ保護及びプライバシー保護

１　はじめに

戸籍簿又は除籍簿は，事変を避けるためでなければ，市区役所又は町村役場の外にこれを持ち出すことができないとされ（戸規第７条），また，これらの簿冊は，施錠のある耐火性の書庫又は倉庫に蔵めてその保存を厳重にしなければならないと規定されている（戸規第８条）。

戸籍データの移行作業に関連しても，当然にこれら規定は適用されるべきものであり，市区町村がセットアップ業者（以下「業者」という。）に委託して移行作業を処理する場合にも，戸籍簿又は除籍簿を直接市区役所又は町村役場の外に持ち出すことは許されないであろうと思われる。また，たとえ戸籍簿又は除籍簿の写しであっても，この戸籍の持つ特殊性を十分理解した上，データ保護及びプライバシー保護が図られなければならないことはいうまでもない。

したがって，移行作業は，そのすべてを公務員として守秘義務を負った市区町村職員が市区役所又は町村役場内で行うことが最も望ましいが，既存の戸籍に記載された膨大なデータを，平常事務を進めながら移行することは，現実に不可能であるといわざるを得ない。

そこで，当部会においては，各市区町村及び業者の移行作業工程を前提に，移行作業において当然に発生するであろうと思われる事項について検討を行った。

しかしながら，戸籍が人の身分関係の登録簿であるという性格を認識するならば，移行作業において，そのデータ及びプライバシーに関する守秘義務が当然に発生するものであり，また，これが遵守されなければならないことはいうまでもないことである。現実に，各市区町村においては，各種の場面においてそのデータ保護・プライバシー保護に関しての独自の条例等が制定されており，その実現のため，細心の注意が払われていることは周知の事実である。そこで，ここで提案する事項は，最低限守らなければならない事項とし，その表現も一般的な規定程度のものに留めた。実際の移行作業に当

たっては，実施する市区町村がデータ保護・プライバシー保護の確保のために，具体的な措置を実際の移行作業に即して独自に講ずることが望ましいと考える。

2　データ保護・プライバシー保護のための遵守事項

移行作業について，市区町村が業者に委託して作業を進める場合は，データ保護及びプライバシー保護を十分図っていくことが重要である。そのためには，次の諸点について十分認識し，必要な措置等を講ずることが肝要であると考える。

(1)　委託業務の全般に係る事項

市区町村から委託された業者は，市区町村から提供された入力資料及び記録媒体等（以下「データ等」という。）について，善良な管理者の注意をもって保管・管理することを義務付ける必要がある。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ｱ)　受託業者は，データ等を委託した市区町村が指示した目的以外の目的に使用してはならないこと。

ｲ)　受託業務遂行過程において生じた記録又は入力情報が記載されているデータ等は，原則として，市区町村にその全てを返還すること。

ｳ)　受託業者は，契約業務終了後，又は契約解除後においても，受託業務によって知り得た情報を外部に洩らすことのないよう守秘義務を負うこと。

ｴ)　市区町村の職員は，入力資料等の管理状況その他これらに関する設備及び処理方法等を調査するため，受託業者の作業施設に立入り，必要に応じ改善させる等の措置を講ずること。

ｵ)　受託業者は，その責任を明確にするため，市区町村に対し受託業務の管理責任者，作業内容別の担当者及び従事者を文書をもって報告する等，必要な措置を講ずること。

(2)　受託業者以外の第三者に係る事項

戸籍を移行する場合は，そのデータ等が個人の身分関係に関するものであることから，移行作業の過程で，関係機関以外の第三者に流出することのないよう最善の注意を払わなければならないことは言うまでもない。し

かし，実際の移行作業には，移行用の戸籍データの作成，移記事項の項目化，パンチ入力，入力事項の確認等，様々な業者を介在して進めなければ実現できないことは事実であろう。

すなわち，戸籍に関するデータ等の一部もしくは全部が，作業を委託した市区町村が関知する範囲を超えて他の業者等に流れることは，そのデータ等の特殊性及び散逸を防止する観点から，細心の注意を払わなければならないと考える。

そこで，受託業者が，受託した業務の一部もしくは全部を他の業者に再委託する場合は，その再委託の範囲及び処理方法について，事前に市区町村の承認を得るなど，各作業の責任の所在を明確にすることが肝要である。ただし，市区町村の条例等によって再委託が禁止されている場合は，その条例に従うことは当然のことである。

(3) データの管理・保管に係る事項

受託業者は，業務を遂行するために必要なデータ等の保管体制，施設及び管理等について，内部規定を設定し，事前に市区町村の承認を得る等，データ保護・プライバシー保護に関して，十分な措置を講ずることが必要である。

具体的方策としては，次の諸点が考えられる。

ｱ) 受託業務の処理に当たっては，専用の処理室を設けるなどして，データ等の散逸を未然に防止する方策を検討すること。

ｲ) データ等の授受及び保管に当たっては，データリストを作成し，記録に残すこと。

ｳ) 受託業務の処理に当たって作成されるチェックリスト，データ等についても，その保管には万全を期すること。

(4) データ等の授受・運搬に係る事項

市区町村と受託業者との間におけるデータ等の授受に当たっては，授受・運搬途中におけるデータ等の飛散及び紛失を防ぐため，それぞれ指定した職員が，内容及び数量等の確認を行う等，その管理，方法に十分な注意を払うことが必要である。

(5) 戸籍データ作成に係る事項

コンピュータ化のためには，現行の戸籍（簿）に記載されたデータをコンピュータの記録媒体に入力することが前提となるが，その入力用の戸籍データの作成については，遺漏，散逸がないよう留意する必要がある。戸籍データの作成方法には，マイクロフィルムによる場合，戸籍（簿）を複写機を用いてコピーする場合，光ディスクに記録する場合等，様々なものが考えられる。

そこで，入力用の戸籍データの作成に当たっては，その場所，方法等に関して事前に市区町村と協議して定め，データ等の散逸がないよう厳格に管理することが必要である。

(6) 受託業者の契約違反に伴う措置に関する事項

一連の移行作業においては，委託した市区町村と受託した業者との信頼関係が重要であり，信義則に反するような行為があってはならないことが前提となる。

そこで，受託業者が契約内容に違反した場合は，直ちに契約を解除することができること，委託した市区町村の損害又は業務の支障に対して，速やかに賠償又は修復の措置を講ずる等，移行作業の重要性を認識させるとともに，その責任の所在を明確にする必要がある。

(7) その他

戸籍事務のコンピュータ化に伴う移行作業に関しては，何ら問題なく完了することが原則であり，移行作業について少なからず問題が提起された場合は，社会的にも大きな問題に発展しかねないこと，及び今後のコンピュータ化の拡大を左右する問題となる点を十分認識する必要がある。そのため，次の点にも留意することが必要であると考える。

ア) 受託業者は，戸籍及びプライバシー保護の重要性を認識し，受託業務に係わる従事者に対して，必要な研修・教育を行う等，作業が厳格に行われるよう留意することが重要である。

イ) 受託業務に係る不明事項に関しては，市区町村と協議するとともに，市区町村が判断できない事項については，市区町村から必要に応じ監督法務局の指示を仰ぐ等，取扱いの統一を図る必要があり，今後，その具体的方法論を検討する必要があるものと考える。

第４　外字の取扱いについて

１　はじめに

現行の戸籍（簿）の記載事項は，手書きであるもの，タイプライターを使用したもの，戸籍の一部処理によりパソコン等のプリンターを使用したもの等，様々な記入方法により編製されている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴って，戸籍の記載事項はコンピュータのデータベースとして管理されることとなり，当然に，戸籍に記載される文字（漢字）もコンピュータでの対応となる。しかし，戸籍に用いられる漢字は，通常の行政文書等と異なり，「氏」及び「名」が存在する関係から，正字とされている漢字についてはその全てを対応できるシステムが必要である。現在の戸籍（簿）には「氏」に用いる漢字についての制限がないことから，様々な漢字が存在する結果となり，移行作業及びコンピュータ稼働後の運用に大きな影響を及ぼす可能性がある。

現在のコンピューターシステムにおいては，ＪＩＳ規格に基づく第一水準及び第二水準程度の漢字については対応できるものの，全ての正字に対応できるものは開発されていない。

２　誤字・俗字の解消

平成２年１０月２０日付け法務省民二第5,２００号通達に基づき，婚姻，養子縁組，転籍等による新戸籍編製，他の戸籍への入籍又は戸籍の再製により，従前の戸籍に記載されている氏若しくは名を移記する場合，又は認知，後見開始等により戸籍の身分事項欄，父母欄等に新たに氏若しくは名を記載する場合は，当該氏又は名が従前戸籍，現在戸籍等において誤字又は俗字で記載されているとしても，これに対応する字種及び字体による正字で記載するものとされている。

戸籍事務のコンピュータ化に伴い，従前の戸籍（簿）の記載事項をコンピュータのデータベースに移記することとなるが，この場合も観念的には新戸籍編製と同様であることから，積極的に誤字・俗字を解消すべきものと考える。

ところで，前述の通達発出後は，市区町村においても通達の趣旨に則り事

務処理が行われているが，一部には，勝手に「氏」が変えられたとして当該人から苦情が寄せられるケースも発生している。戸籍事務のコンピュータ化に伴い，これらの処理が一律，広範囲にわたって実施されることから，大きな問題に発展する可能性も否定できない。

これらの問題を解決するためには，今以上に広く国民へ周知することが必要であると考えられ，具体的方法としては，通達の発出のみに留まらず，マスコミ等を利用した広報等を検討すべきであり，市区町村としても地域住民の理解を得られるよう周知の方法等を検討することが重要であると考える。

また，前述の通達は，コンピュータのデータベースへの移行の方法として，改製方式とすることを明言はしていないため，この趣旨をより明らかにするため，新たに通達を発出することも必要であると考える。

3　外字の対応方法

戸籍における「氏」及び「名」に用いられる漢字は，国民の感情論的な問題も付加され，それが正字である以上，現行の戸籍（簿）に記載されている漢字どおりに移記されることが原則であり，コンピュータにより対応できないことだけの理由をもって，他の文字あるいはひらがな等に変更することは許されないであろう。また，正字である漢字については，できるかぎりこれを忠実に表現することが戸籍制度の基本であるとして運用されてきており，これに対応できるシステムとすることが必要であると考える。

そこで，システムを開発するメーカーにおいては，この趣旨を十分理解し，何らかの方法で漢字の対応が可能となるよう期待するものである。

なお，本部会に参加したメーカーについて，その対応方法を確認したが，その方法論は異なるものの，ほぼ現行の戸籍（簿）に使用されている漢字については，対応できるとの確認がなされた。しかし，具体的な各メーカーの方法は，機密事項となるため，この報告書に提示することは省略する。

(1)　外字の対応ができない場合の取扱

移行作業に係る部分については，その期間がある程度長期となることから，期間内に外字として登録し，管理することによって，戸籍データベースへの入力は可能であると考える。

問題となるのは，稼働後に非コンピュータ化庁から転籍あるいは婚姻等

によりコンピュータ入力が必要となった場合，対応する漢字が登録されていないと処理ができないこととなる点にある。一端データベース化された戸籍については，漢字での対応ができないことをもってデータベース化されない戸籍（事故簿）とすることは，極力避けられるべきである。

そこで，このような事案の場合は，届出を受理した後，外字の作成のため，戸籍を編製するためには若干の期間を要することを届出人に説明し理解を得るとともに，受理証明の請求があった場合は，手書きにより対応するより方法がないものと思われる。

(2) 外字の管理及び統一化

戸籍事務処理のためのコンピュータは，市区町村単位で導入され，その機種も異なることから，前述のような市区町村間での異動があった場合は，ひとつの市区町村で作成・登録した外字を他の市区町村で活用することができない状況にある。

外字を作成しシステムに登録するためには，その期間と経費を必要とし，これを各市区町村ごとに同じ文字を作成することは，非常に非効率的であると思われる。本来であるならば，ひとつの登録パターンが作成され，それを画一的に使用できるシステムが望まれるが，現実的には不可能であろう。

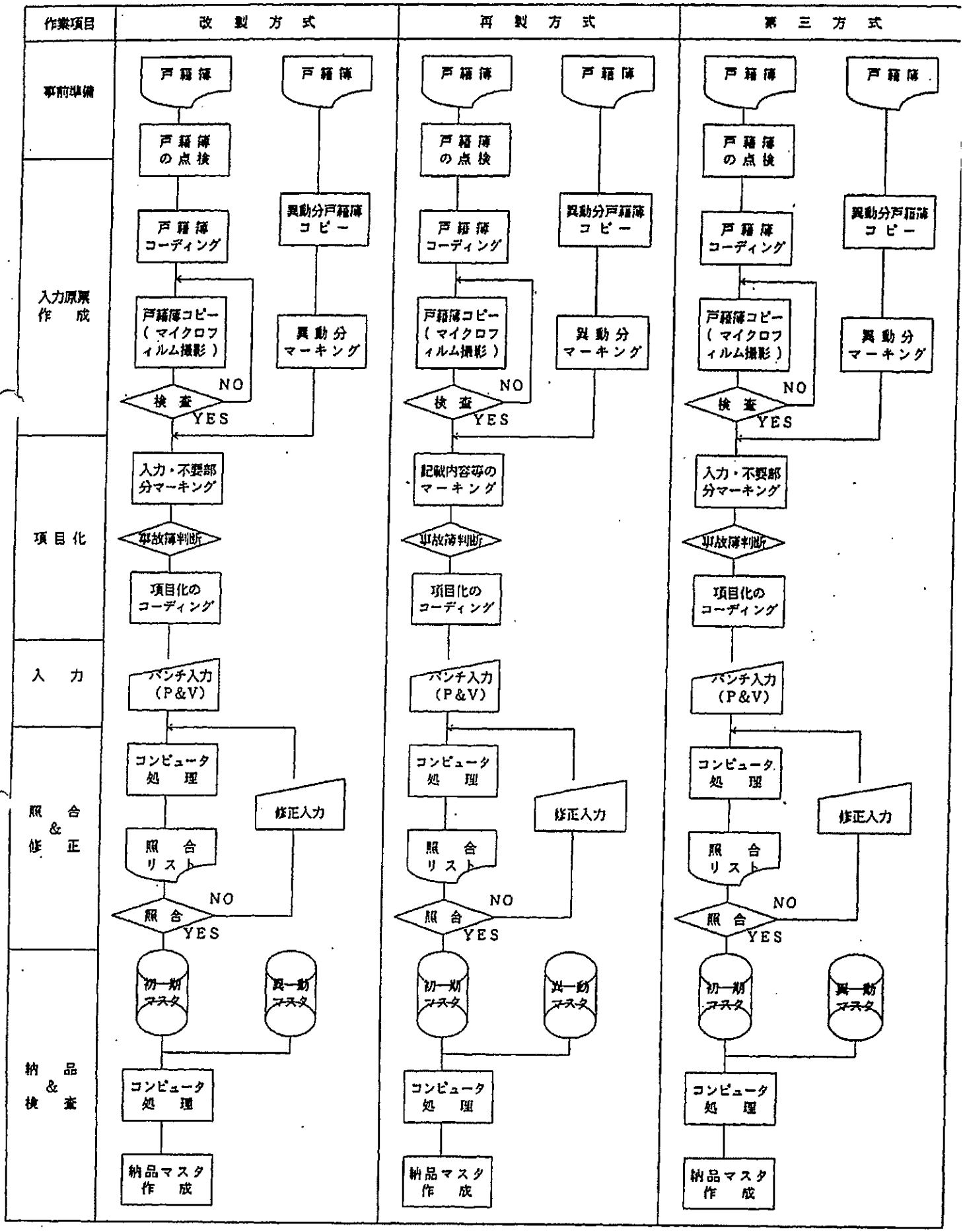
今後，外字の作成・登録が容易であり，その検索及び管理が可能なシステムの開発が望まれる。

各方式の比較表

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
基本的内容	法律上の定義	戸籍の様式が法律または命令に基づき改められた場合に，従前の様式を新しい様式に改めるための手続。	戸籍の全部又は一部が，滅失したとき，又は滅失の虞れがある場合に戸籍を元の状態に戻すための手続。	戸籍のコンピュータ化に伴い，新たな方式として提案された手続。 ※ 現行法上の根拠はない。
	移記事項の取扱	現に効力を有する事項のみ項目化した上で移記する（戸籍法施行規則第37条ただし書き及び同第39条1項準用）。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	従前戸籍の記載事項をそのまま項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。	除籍者を除き在籍者の全ての身分事項を項目化した上で移記する。なお，現行記載例に対応しない事項については，現行記載例に引き直す。 改製方式と再製方式の中間的方式である。
	効力の発生時期	各戸籍につき，各市区町村が実際に改製した時（一戸籍ごとの処理）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を改製日とすることが妥当である。	監督法務局が調査完了した時（大13.5.6民7383号回答）。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を再製日とすることが妥当である。	過去に実施した経緯がない。 ※ 戸籍事務のコンピュータ化においては一括稼働となるため，稼働日を効力発生日とすることが妥当である。
移記前の原本の取扱	基本的な考え方	除籍	戸・除籍として効力はない。	除籍
	保存期間	当該年度の翌年から80年又は50年。	再製の翌年から10年（昭39.2.27民381号通達）	当該年度の翌年から80年又は50年。
	謄抄本の交付	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が限定されることから，証明発行件数は増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。	戸籍原本としての効力を失っているため，謄抄本の交付には応じられない。特に必要のある場合には，一般行政証明として交付（昭37.11.2 民3175号回答）。 ※ 項目化した後に移記することから，交付請求が全くないとは考えられない。	改製原戸籍として交付する。 ※ 移記事項が一部限定されることから，証明発行件数は若干増加すると思われるが，改製原戸籍の検索はコンピュータ化される。
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない（昭32.6.1民1002号通達）。 「改製原戸籍」と押印する。	上部欄外（右側）に再製除籍の旨を記載する。なお，朱線交差又は除籍印をする必要はない。 「再製原戸籍」と押印する。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
移記後の原本の取扱	基本的な考え方	戸籍	戸籍	戸籍
	戸籍事項欄への記載等	戸籍事項欄に改製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，改製による入籍事由は記載しない。	戸籍事項欄に再製による編製の旨を記載する。なお，各人の身分事項欄には，再製による入籍事由は記載しない。	取扱未定 ※ 改製原戸籍と同様の取扱になると思われる。
	入力の方法	従前戸籍に記載されている事項が，現行の記載例に対応していない場合は現行記載例に引き直し，また，追完・訂正事項については，身分事項欄等に反映させ，項目化した後入力する。 ※ 最も理路整然とした戸籍となる。	原則として従前戸籍の記載事項全てを項目化した後入力するが，現行の記載例に対応していない場合は現行記載に引き直す。 ※ 対応しない記載例が増加する可能性がある。	従前の戸籍に記載された事項のうち，除籍者以外の事項について，原則として全ての事項を項目化した後入力するが，現行記載例に対応しない場合は現行記載例に引き直す。 ※ 追完・訂正事項については改製方式と，また，項目化については再製方式と同様の問題点が存在する。 ※ 一例として，離婚の事実がある場合，身分事項欄にはその事項が残るが，相手方は同一戸籍に記載されていない等，戸籍の合理性を欠くこととなる。
システム上の問題	コンピュータの負荷	入力データ量が減少することから，負荷が少ない。	ほとんど入力データ量が減少しないことから，負荷が大きい。	入力データ量は，改製方式と再製方式の中間に位置する。
	審査機能の活用	待婚期間等の審査ロジックが活用できない。 ※ 戸籍凍結後の異動データを上書きする方法によれば，審査ロジックが活用できるため，その方法論を検討する必要がある。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。	待婚期間等の審査ロジックが活用できる。 ※ 移行期間が6月以上となる場合は，移行期間中に待婚期間が満了するため，移記の必要性に欠ける。
住民関係	住民感情	最新の身分事項のみであるため，トラブルは少ない。	全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。	在籍者の全身分事項が記載されているため，離婚歴が残る等の問題が解消されない。
	証明書の手数料負担	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。	再製原戸籍の証明書は，原則発行されないことから，手数料負担は少ない。 ※ 入力事項が項目化されることから，どの程度住民の需要が減少するか疑問がある。	改製原戸籍の証明書が必要となる場合が増加すると考えられることから，手数料負担が増加する。

項目	比較項目	改製方式	再製方式	第三方式
データ作成	データ作成のコスト	データ量は減少するが，入力不要部分等の作業コストが増加する。	データ量が大きく，パンチ入力等のコストが増加する。	データ量は改製方式より大きく，再製方式より減少し，総合的なコストは安価となる。
	データ作成の正確性	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要があり，専門的な知識を求められる。	原則として古い戸籍記載事項を現行の記載事項に項目化した上で移記する必要があり，対応できない記載事項の発生及びデータ量が減少しないこと等から，正確性は落ちる。	身分事項欄に記載された事項について，入力不要部分をマーキングする必要はないが，再製方式と同様に現行の記載例に対応できない記載事項の発生が考えられる。
	照合の負荷	入力不要部分の確認が必要となるが，データ量が減少することから，総合的な負荷は減少する。	複雑な記載例の確認及びデータ量が大きいことから，負荷は大きい。	入力不要部分の確認が必要ないため，改製方式より照合の負荷は軽減される。
	異動処理	異動データについても，入力不要部分の判断が必要となるため，専門的な知識が必要となる。 ※ 追加入力が認められた場合は，この問題は解決する。	入力不要部分の判断は必要としない。	入力不要部分の判断は必要としない。

作業方式別作業工程図


作業項目
改製方式
再製方式
第三方式
事前準備
入力原票作成
項目化
入力
照合&修正
納品&検査
戸籍簿
戸籍簿の点検
戸籍簿コーディング
異動分戸籍簿コピー
戸籍簿コピー（マイクロフィルム撮影）
異動分マーキング
検査
NO
YES
入力・不要部分マーキング
記載内容等のマーキング
事故簿判断
項目化のコーディング
パンチ入力（P&V）
コンピュータ処理
修正入力
照合リスト
照合
初一期マスタ
異一動マスタ
納品マスタ作成

別紙(3)

移行作業工数比較表

対象戸籍　10,000戸籍

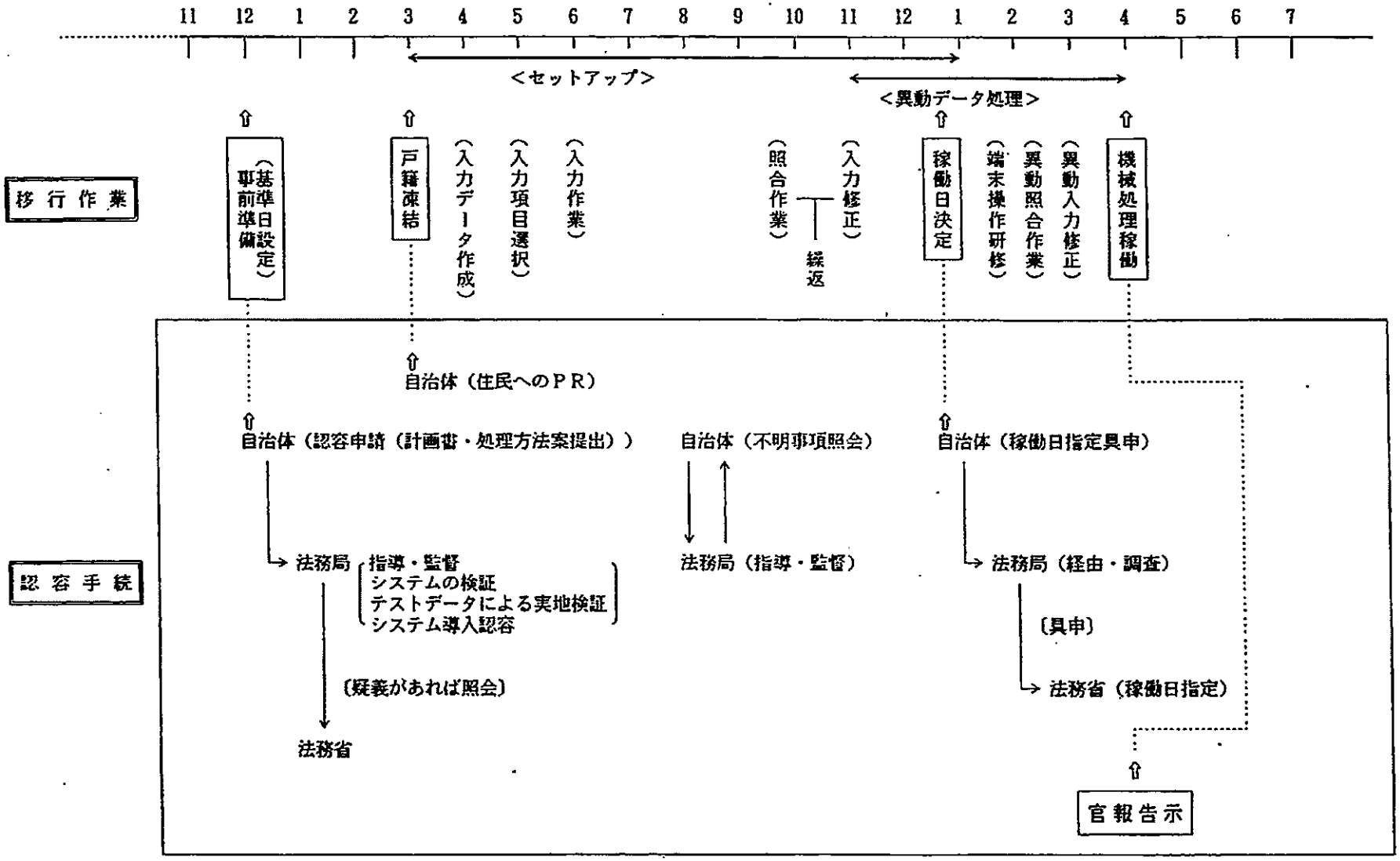
（単位：人月）

分類	作業項目	A社			B社			C社			D社			E社		
		再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三	再製	改製	第三
事前準備	事前作業 入力用データ複写 台帳コード付け	※ 統一処理とし，比較検討項目から除外した。														
マーキング	資料事前審査等	3.7	3.0	3.1	1.6	1.4	1.5	2.0	0.0	5.0	2.4	2.4	2.4			
	入力不要部分マーキング	0.0	4.3	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	7.0	0.0	0.0	6.6	6.0	1.4	5.0	4.0
	点検・確認	1.0	3.0	2.0				1.0	3.0	2.0				1.0	4.0	3.3
	（小計）	4.7	10.3	5.1	1.6	2.4	1.5	3.0	10.0	7.0	2.4	9.0	8.4	2.4	9.0	8.2
項目化	身分事項等コード化	25.0	19.0	21.0	4.8	4.3	4.3									
	項目化のマーキング				5.1	4.6	5.0	10.5	7.0	8.0	10.0	7.0	7.7	14.0	10.0	12.0
	事故簿判断・確認	3.7	2.8	3.1				3.0	3.0	3.0	3.5	3.0	3.0			
	（小計）	28.7	21.8	24.1	9.9	8.9	9.3	13.5	10.0	11.0	13.5	10.0	10.7	14.0	10.0	12.0
入力	入力管理	1.0	1.0	1.0												
	入力作業	12.7	10.8	11.8	94.8	85.2	92.8	35.0	20.0	22.0	34.7	20.5	22.5	34.6	20.8	22.6
	電算処理・外字索引等	1.0	1.0	1.0				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	3.0	3.0	3.0
	（小計）	14.7	12.8	13.8	94.8	85.2	92.8	37.0	22.0	24.0	36.7	22.5	24.5	37.6	23.8	25.6
照合	照合リスト作成										0.5	0.5	0.5			
	第1回照合	10.5	8.0	8.9	18.5	16.6	18.1	10.0	9.0	9.5	16.0	12.0	13.5	8.0	7.0	7.5
	第2回照合	1.0	0.8	0.9	0.3	0.3	0.3	3.0	2.0	2.5	1.0	1.0	1.0	8.0	7.0	7.5
	第3回照合	0.1	0.1	0.1	21.4	10.2	20.9	1.0	1.0	1.0	23.3	17.5	17.5			
	第4回照合				0.3	0.3	0.3	4.0	3.0	3.0	1.0	1.0	1.0			
	（小計）	11.6	8.9	9.9	40.5	36.4	39.6	18.0	15.0	16.0	41.8	32.0	33.5	16.0	14.0	15.0
修正	修正箇所の入力	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
	（小計）	0.2	0.2	0.2	0.8	0.8	0.8	1.8	1.0	1.1	1.8	1.0	1.2	2.0	1.4	1.6
検査	原票との照合確認	0.7	0.7	0.7				2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0
	入力不要部分検査等				6.4	6.3	6.2				0.3	0.3	0.3			
	（小計）	0.7	0.7	0.7	6.4	6.3	6.2	2.0	2.0	2.0	2.3	2.3	2.3	2.0	2.0	2.0
その他	運用管理	5.0	5.0	5.0												
	戸籍の点検										3.5	3.5	3.5			
	（小計）	5.0	5.0	5.0							3.5	3.5	3.5			
合計	自治体作業分工数	0.0	0.0	0.0	28.1	25.8	27.4	0.0	0.0	0.0	20.8	24.0	24.0	8.0	7.0	7.5
	メーカー作業分工数	65.6	50.7	58.8	125.9	114.2	122.8	75.3	60.0	61.1	72.2	56.3	60.1	66.0	54.1	56.9
	全作業工数合計	65.6	50.7	58.8	154.0	140.0	150.2	75.3	60.0	61.1	102.0	80.3	84.1	74.0	61.1	64.4

▒▒▒ の部分は，自治体において処理を行う。

別紙(4)

システム認容申請手順



(財)民事法務協会　殿

附票部会

検討結果報告書

平成５年３月３１日

戸籍コンピュータ化調査研究会
―附票部会―

―― 目　次 ――

はじめに ―――― 1

1．戸籍附票を電算化する必要性等
(1) 必要性 ―――― 2
(2) 開発方針 ―――― 3

2．現行制度について
(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度 ―――― 4
(2) 戸籍附票の運用形態 ―――― 4
(3) 改製の方法 ―――― 6
戸籍附票事務の流れ図（資料） ―――― 7

3．〔附票システム〕の概要
(1) 〔附票システム〕の範囲 ―――― 24
(2) 他システムとの関係 ―――― 25

4．〔附票システム〕のシステム化案
(1) 異動処理の方法 ―――― 28
(2) データ保護と安全対策 ―――― 30
〔附票システム〕のドキュメント（資料） ―――― 36
システム化後の改製方式（資料） ―――― 62

5．まとめ
(1) 検討項目内容 ―――― 64

6．参考資料 ―――― 67
画面展開図（資料） ―――― 68
帳票仕様（資料） ―――― 76

はじめに

戸籍事務のコンピュータ化については，戸籍事務に直接携わってる市区町村からもかなりの要望があり，また，大量情報の処理にコンピュータを利用することは，時代のすう勢でもあることから，昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会（以下「研究会」という）を組織し，戸籍事務をコンピュータによって処理することとした場合の種々の問題点等についての調査研究が進められてきているところである。

本研究の初年度である昭和６０年度の調査研究においては，「戸籍事務を電子情報処理組織により処理することとした場合の問題点等」について調査研究がされ，コンピュータ化にあたっての基本的な問題の指示がされた。そして，昭和６１年度以降は，これらの指示事項について順次調査研究が行われ，昭和６１年度は，「電子情報処理組織に入出力する漢字の取扱い等について」，同６２年度は，「戸籍関係諸帳簿の様式及び記入方法等について」，同６３年度は，「現行戸籍簿の移行及びプライバシー・データ保護について」の各テーマについて調査研究が行われた。さらに，平成元年度には，コンピュータシステムを採用する場合のすべての事項を対象とした，「戸籍事務をコンピュータにより処理することとした場合のシステムの設計，製造及び運用について」の調査研究が行われた。そして，この５年間の調査研究によって，コンピュータシステムを用いて戸籍事務を処理することは技術的に可能であり，しかも，現行の可視台帳を前提とする事務処理方法におけるよりは，事務の迅速化・正確化を図ることができるとの結論が得られた。この成果を踏まえて，平成２年度からは，戸籍事務のコンピュータ化の実現をめざし，本格的な調査研究を進めることとし，具体的なプログラム設計のための仕様・条件を明らかにした「基準書」を作成するため，市区町村における戸籍事務処理の実態調査を行い，現行の事務処理の分析，コンピュータ処理する事務の範囲，コンピュータ化した場合の事務処理手続の流れの概略，画面のレイアウト等について調査研究を行ってきている。上記の一連の研究過程において，戸籍事務をコンピュータで処理することとした場合の処理の流れのなかで，戸籍事務に関連する戸籍の附票，住民票，人口動態調査票等の事務処理の効率化をも考慮して，これらの事務処理についても検討する必要があるとされた。

これらのうち，附票の事務処理に関しては，「戸籍附票部会」を設け，戸籍と附票事務の現行業務の分析と相互の関連について及び現在研究中の戸籍事務のコンピュータシステムとの連携を図るとした場合にはどの様な方法が考えられるのか，また，そのための問題点はどこにあるのか，さらに今後の課題としてどのようなものが残されているのか，について検討をすることとされたものである。

今回，これらの検討の結果を取りまとめたので，「附票部会検討結果報告書」として提出する。

1．戸籍附票を電算化する必要性等

(1) 必要性

近年，コンピュータによる高度情報処理技術の発達は目覚ましいものがあり，現代社会のあらゆる分野に導入されている状況にある。こうした動きは全国の各地方公共団体の事務処理にも大きな影響を及ぼし，事務改革の一つの手段とするとともに，行政サービスの向上を図ることを目的として高度情報処理技術の導入が進められており，平成４年４月１日現在においては，全市区町村（3,259団体）の９９．０％にあたる3,227団体において，何らかの業務にコンピュータが利用されている（自治省調べ）。

こうした状況にあって，住民基本台帳事務については，昭和５９年度に自治省において「住民記録に係るプライバシーの保護等に関する研究委員会」が設定され，住民記録のコンピュータ化について，「現行の住民基本台帳事務の処理方法の中には，近年の新しい情報処理技術の活用を阻害している面も見受けられるため，個人情報の適正な保護・管理の方策と併せて，新しい情報処理技術を活用して住民の福祉の増進や行政事務の合理化を図る方向で，事務処理方法の再検討を行う必要がある。例えば，個人情報を記録した磁気ファイル等を住民基本台帳として認める等が挙げられる。」との研究委員会報告を得た。

この研究委員会報告を受けて，昭和６０年の住民基本台帳法の一部を改正する法律により，市町村長は住民票を磁気テープ（これに準ずる方法により一定の事項を確実に記録しておくことができるものを含む。）で調製することができるものとされた。

これは，第一に，改正前の法ではコンピュータ処理を行う場合の明文の規定がなかったため，たとえ磁気テープをもって住民票を調製するとしても，一方で必ず可視台帳を備え付けることとされていたものを，磁気テープを住民票の原本とみなし，可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図ったものである。

また，第二に，磁気テープによる住民票の調製方法，磁気テープの保護・管理の方法等，住民記録をコンピュータ処理する場合の基準を定めることにより，事務処理の統一化を図るとともに，コンピュータ処理の場合の住民記録の適正な管理を図ろうとしたものである。これにより，住民票を磁気テープをもって調製し，コンピュータ，端末機，電気通信関係装置，電気通信回線，プログラム等の全部又は一部により構成され，住民基本台帳に関する記録を管理し，住民基本台帳に関する事務を処理する住民記録システムが急速に普及することとなった。

住民記録システムの導入状況は，平成４年４月１日現在で，全市区町村の８５．２％，人口割合にすれば９６．６％にのぼっている（自治省調べ）。

しかし，上記法改正においては，戸籍事務がコンピュータ化されていないことから，戸籍の附票の事務については，コンピュータ化が見送られた。

一方，戸籍事務については，事務に直接携わっている市区町村から，戸籍事務のコンピュータ化の早期実現を要望されているところである。

このため，法務省において昭和６０年度から戸籍事務コンピュータ化調査研究会を組織し，昭和６０年度においては，戸籍事務を電子情報処理組織により処理すること

とした場合の問題点等について調査研究がなされ，同６１年度から同６３年度まで，これらの指摘事項について順次研究が進められた。

これらの調査研究においては，いずれも戸籍事務をコンピュータ化することは，一応可能であるとしている。

しかし，これらの調査研究は，戸籍事務の流れのうち，主要な事項を指摘して研究が行われたものである。このため，戸籍事務のコンピュータ化の実現に向けては，さらに問題点を洗い出し，これを詳細に検討する必要があるため，平成元年度以降引き続き調査研究が進められているところである。

今後，この調査研究結果を踏まえ，市町村長は戸籍を磁気媒体を利用し調製することができる旨の戸籍法等の所要の改正を待ち，平成７年中の実施を目指している。

以上のように，法的に住民基本台帳事務のコンピュータ化が認められ，また，戸籍事務のコンピュータ化を検討している現状を鑑みれば，本籍地で作成される戸籍と住所地で調製される住民票との間を連絡・媒介するための帳票である戸籍の附票の事務についても，磁気テープを戸籍の附票の原本とみなし可視台帳に代えることを可能とし，市町村の事務処理の簡素化，効率化等を図るとともに，住民記録の適正な管理を図るため，コンピュータ化を進める必要がある。

(2) 開発方針

戸籍の附票事務のコンピュータ化を進めるに当たっては，事務処理の簡素化，効率化及び住民サービスの面から，市町村の事務処理の統一化を図るための一定の基準を設ける必要がある。

この基準の設定に当たっては，現在，事務がどのようになされ，他の市町村と，あるいは他の行政事務とどのようにかかわっているかを整理しておく必要がある。

その上で，下記の事項について一定の基準を設定することとする。

ｱ) コンピュータ化するシステムの範囲，

ｲ) コンピュータ化した場合の戸籍システム，住民記録システムとのリンクの方法，範囲，

ｳ) 戸籍の附票の異動処理の方法

ｴ) 磁気テープの管理方法　等

2．現行制度について

(1) 戸籍制度と住民基本台帳制度

戸籍制度は，本籍地において人の親族的身分関係を登録・公証する制度であり，住民基本台帳制度は，住所地において人の居住関係を公証することを任務とする制度である。両制度とも同一人を公簿に記録し，これを基に公証するという点では同じであり，また，人を統一的に把握するためには身分関係と居住関係の両面から総合的にみることが必要である。したがって，人の出生や死亡の事実．又はその人が同一人であることを確定するための基本的事項，すなわち氏名，出生の年月日，性別等について戸籍の記載と住民票の記載とに矛盾があるとすれば，同一人物の把握に支障が生じ，市町村の行う公証制度や社会生活に混乱をもたらすことは言うまでもない。

他方，市町村長は住民基本台帳法に基づき，その市町村の区域内に本籍を有するものについて，その戸籍を単位として，戸籍の附票を作成しなければならない。附票には，戸籍の表示（本籍・筆頭者），その戸籍に在籍している者の氏名，住所，住所を定めた年月日が記載されている（住民基本台帳法１６条，１７条）。戸籍の届出があるつど，あるいは住所の変更に関する届出（転入届，転居届等）があるつど，戸籍の届出地から住所地へ，住所地から本籍地へ通知がなされ，住民票や戸籍の附票に記載がなされる（同法１８条，１９条，同法施行令１２条）。

すなわち，戸籍と住民票を相互に関連させ．それぞれの記載の公正性を保つための媒介物の役割を果たすものが戸籍の附票である。

(2) 戸籍附票事務の運用形態

7) 戸籍附票事務の運用形態

戸籍及び住民票の異動が起こったときに戸籍附票の処理が発生する。附票事務の運用形態としては次の３つが考えられる。

① 戸籍係（戸籍担当職員）が附票事務を処理する

② 住基係（住基担当職員）が附票事務を処理する

③ 附票係（附票担当職員）が附票事務だけを処理する

上記３形態の中では①の形態を採用している市区町村が殆どであると思われる。これは，附票の様式が戸籍と類似していること，戸籍の異動において附票の作成，消除が行われること等の理由が挙げられる。またこの場合に，附票は戸籍と一緒に綴られて管理されるのが一般的である。

②，③の形態で附票事務を運用している市区町村は稀であろうが，近年住民記録システムを導入している自治体において附票事務の電算化がなされた場合に，①から②，③の運用形態に移行するところが増えている。これは附票を磁気媒体で管理している（原票として可視台帳が必要），住民記録システムとデータ連携を図るため住基担当者が処理した方が効率的であること等の理由による。ただし附票を電算化している市区町村でも戸籍の一部処理システムを導入しているところは①で運用している。

ｲ) 附票事務

附票の事務は異動事務，証明事務，統計事務の３つに大別される。各事務で行われる主な処理を以下に示す。

① 異動事務
- 戸籍の異動による附票の作成
- 戸籍の異動による附票の消除及び住基法19-3通知の作成
- 住民票の異動による附票の修正

② 証明事務
- 附票の証明書発行（全部，一部）
- 附票除票の証明書発行（全部，一部）
- 改製原附票の証明書発行（全部，一部）

③ 統計事務
- 附票事務に関する統計の取得

ｳ) 各処理形態における事務の流れ図

各処理形態における事務の流れ図を別紙に示すが，あくまでも一般的な流れを示しただけでこの流れで全市区町村が処理しているわけではない（戸籍，住基，附票とも電算化の有無は考えていない）。戸籍，住基独自の処理については附票に係わるもの以外は省略した。附票の処理は今回示したもの以外にもあるが，代表的な処理をとりあえず示した。また，まとめられるところはなるべくまとめて流れ図に記入した。7)で示したように，附票を取り扱う係が異なることにより処理の流れも異なるが，大きくは書類の流れと担当する職員が異なる程度なので，各係別での流れ図の作成は省略した（相違点は流れ図から読み取っていただきたい）。

以上の点を踏まえ今回示す流れ図は以下のものである。

Ⅰ 異動処理
- Ⅰ－１ 新しい戸籍を編製することによる附票の作成
- Ⅰ－１－１ 同一本籍内で異動する場合
- Ⅰ－１－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
- Ⅰ－１－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
- Ⅰ－１－４ 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合
- Ⅰ－２ 既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載
- Ⅰ－２－１ 同一本籍内で異動する場合
- Ⅰ－２－２ 他の本籍地から異動してきた場合（住所人）
- Ⅰ－２－３ 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）
- Ⅰ－２－４ 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合
- Ⅰ－３ 戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）
- Ⅰ－４ 戸籍から除かれたことによる附票の一部消除（離縁，離婚等）
- Ⅰ－５ 戸籍から除かれたことによる附票の全部消除①（管外転籍）

Ⅰ－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除②（管外転籍以外：死亡，復氏等）

Ⅰ－7　住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正

Ⅰ－8　Ⅰ－7で附票が改製される場合

Ⅰ－9　住民基本台帳法の通知による附票の修正（法19条1項，法19条3項）

Ⅰ－10　Ⅰ－9で附票が改製される場合

Ⅱ　証明処理

Ⅱ－1　戸籍附票の証明（除票，改製原附票の証明も含む）

(3) 改製の方法

附票の改製については，住民基本台帳法施行令第21条で住民票の改製（同施行令第16条）に準ずることとなっており，市町村長が認める場合に改製できると規定されている。市町村長が認める場合とは，一般的には

①附票の記載欄（住所欄及び住所を定めた日欄）に余白がない場合

②附票の汚損，き損が著しい場合

が考えられる。①，②ともこのような状態になっているものは，書き換えない限り附票としての役割を果たしているとはいえないので改製をするのは当然のことである。

上記①に関連してシステム化後の記載欄は1欄で十分ではないかとの意見が出された。この理由として，

・住所の履歴を持つことを法律では定めていない

・附票の記載事項は現行の情報だけでよいと判断できる（住民基本台帳法第17条）

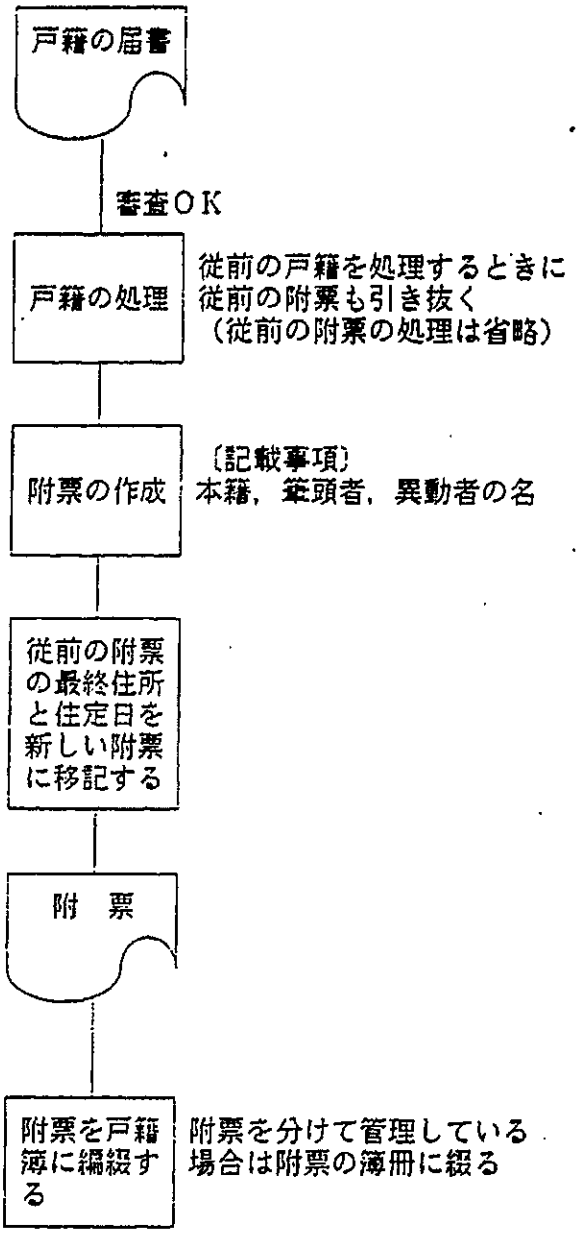
・従前の情報の証明も法律で定められているのではなく，行政サービスの一環である

が挙げられた（現行の運用形態は，住民基本台帳事務処理要領に掲げられている戸籍附票の参考様式（記載欄が5欄）がもとになっているためと考えられる）。

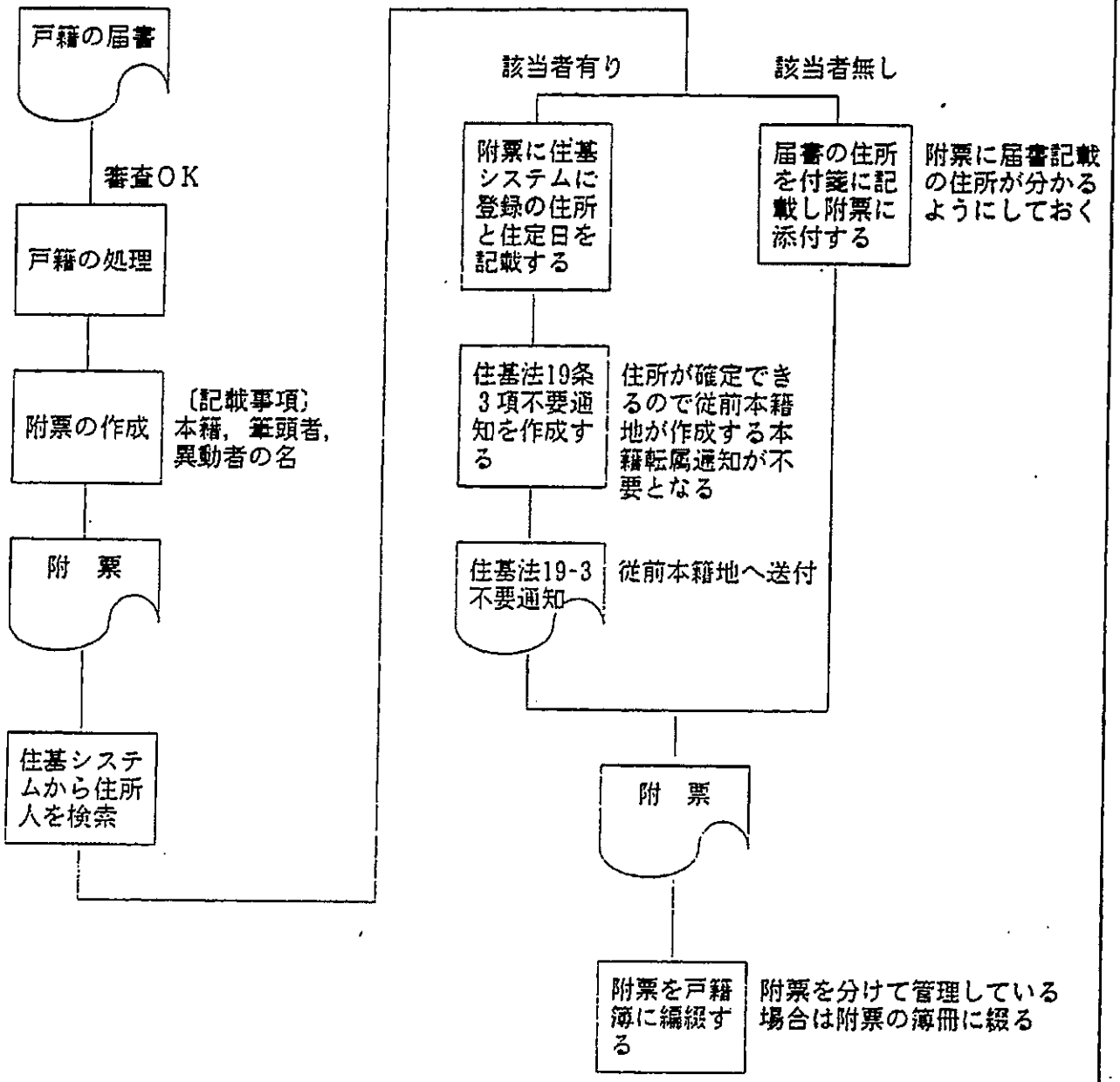
これに対し，実際に住所履歴を必要としている事務が存在すること（登記，車検，国外転入等），住民の要求が依然としてあること等を考えれば，システム化になったからといって現在の情報のみの証明でよいとするのは住民サービスの低下につながるのではないかとの意見が出された。

本報告書では，とりあえず現行と同じ取り扱いができるようなシステム提案を行うこととしている。

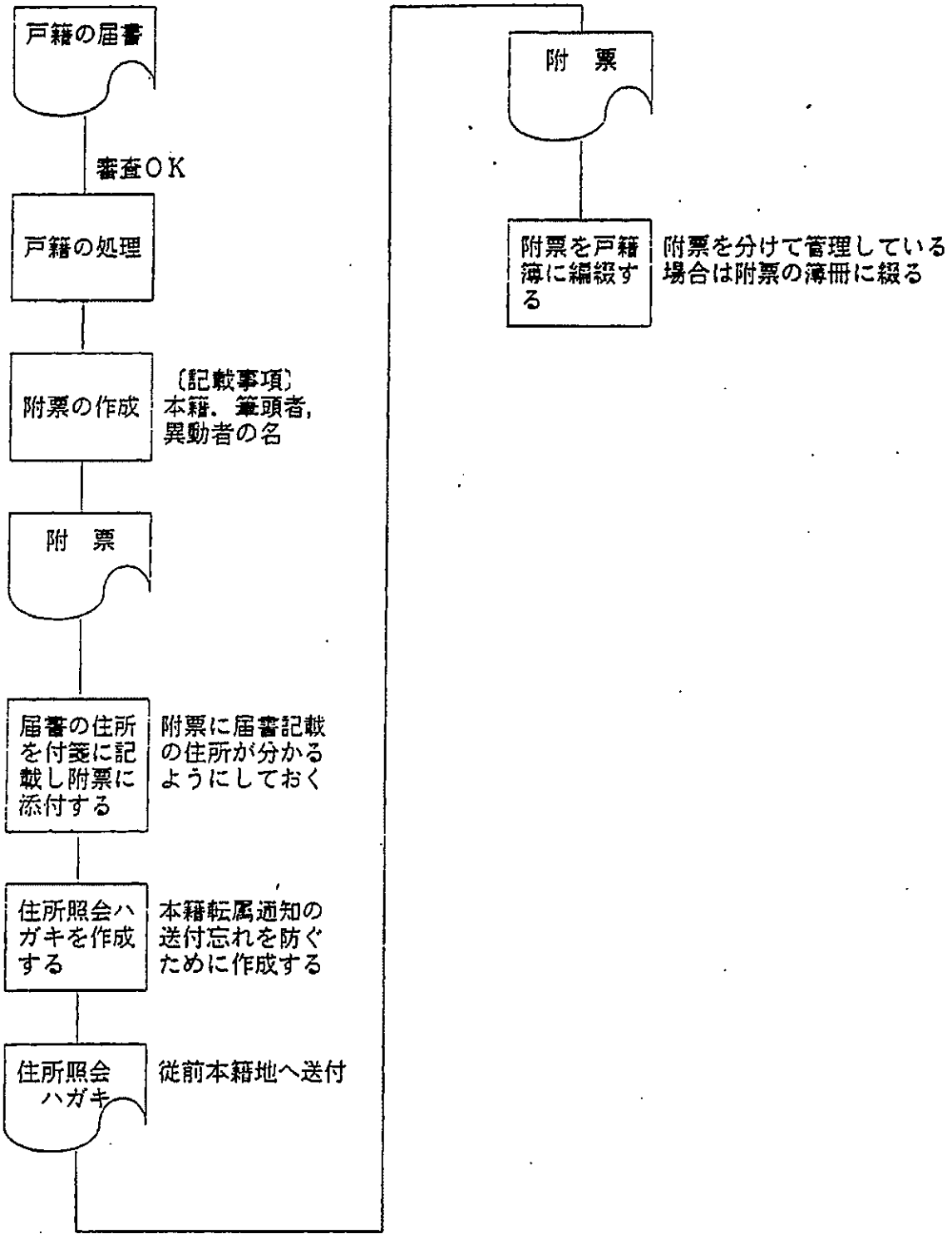
2．(2) I－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



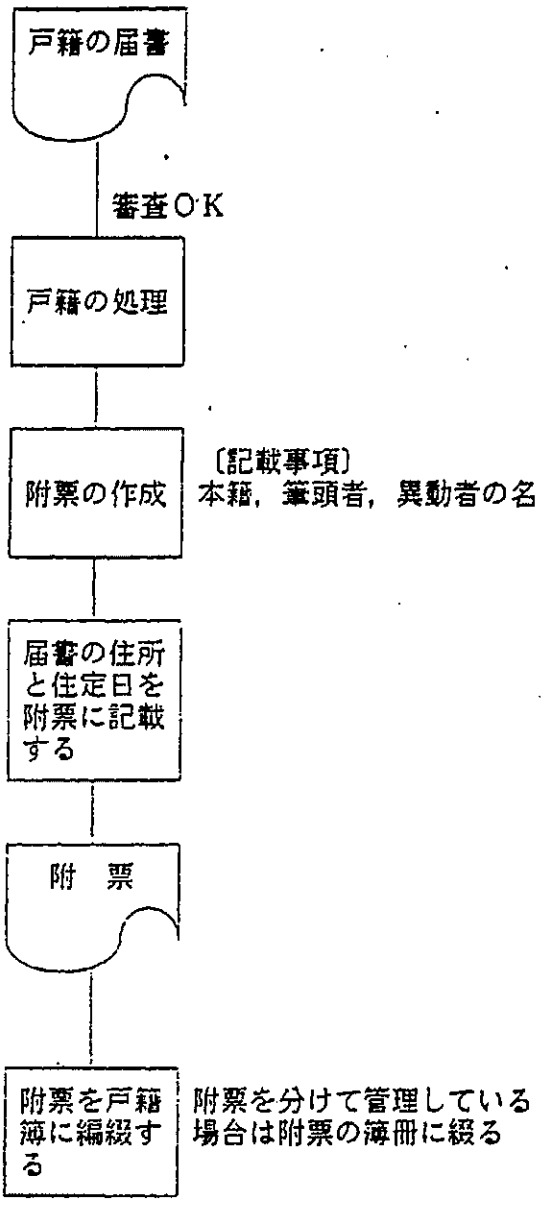
2．(2) I－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



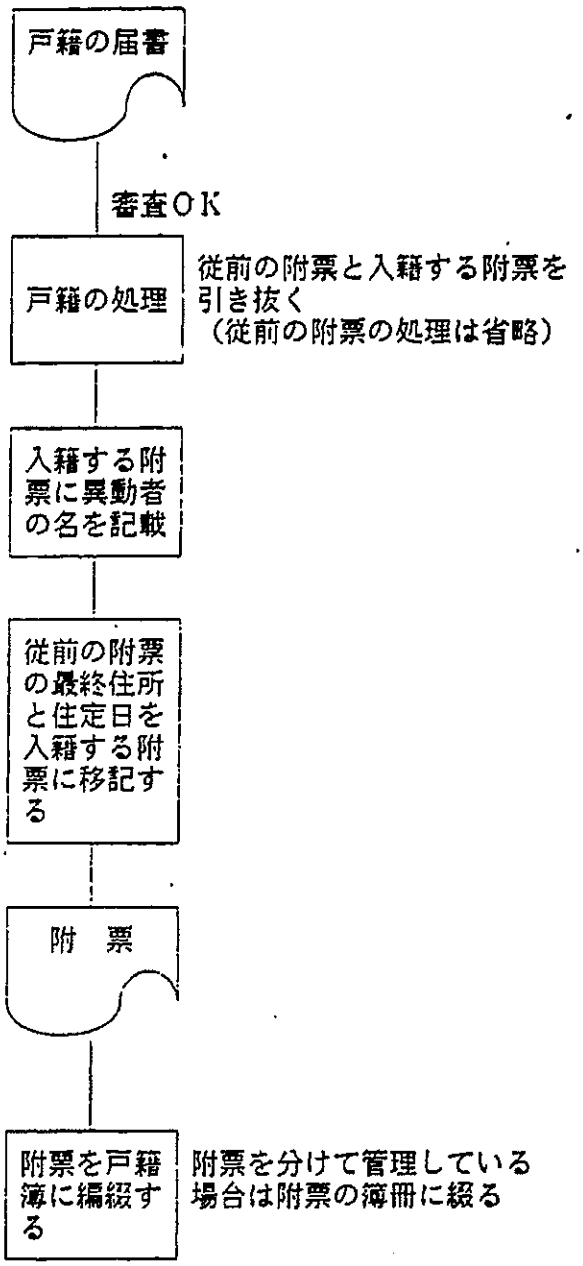
2．(2) I－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



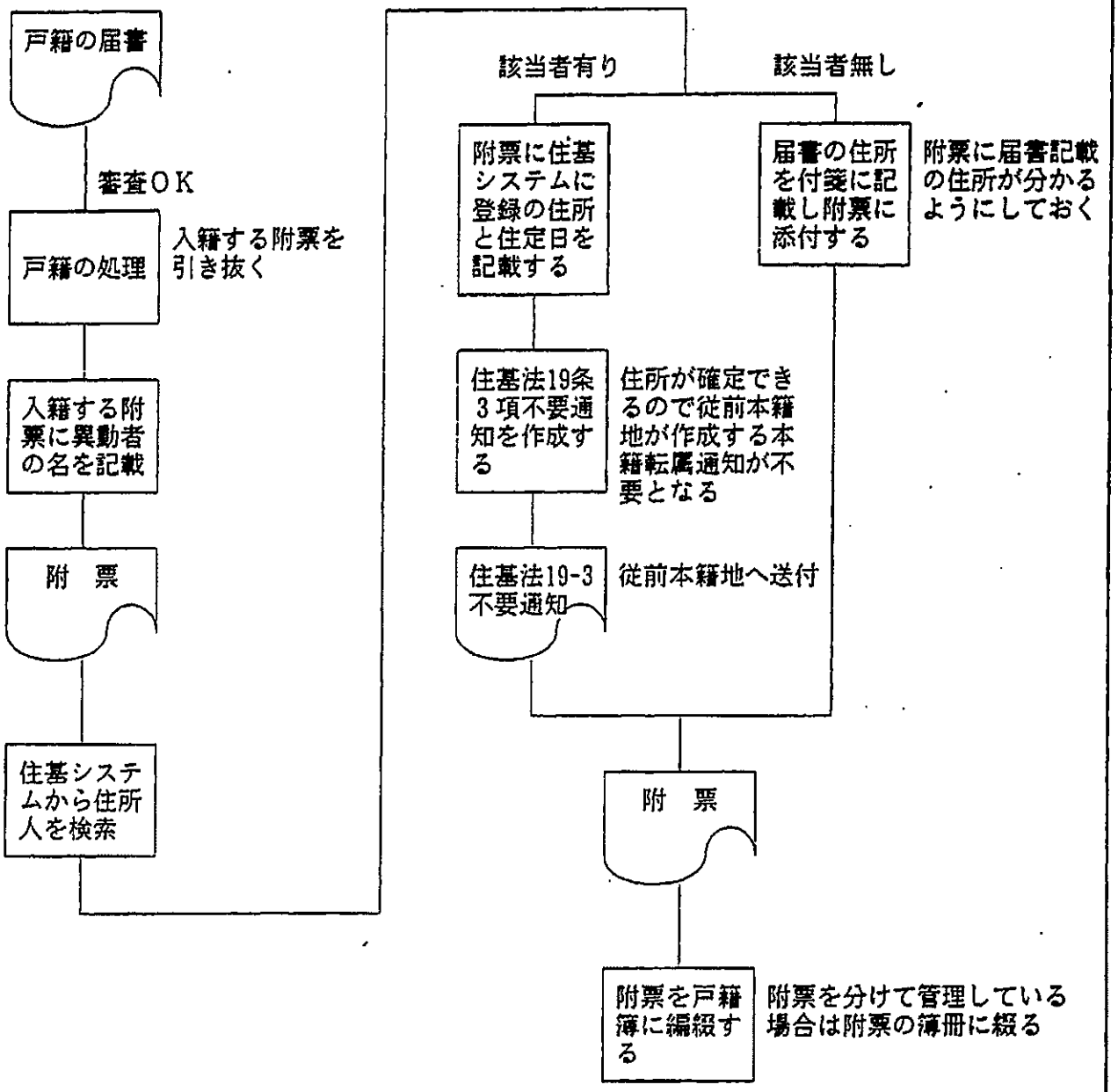
2．(2) I－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



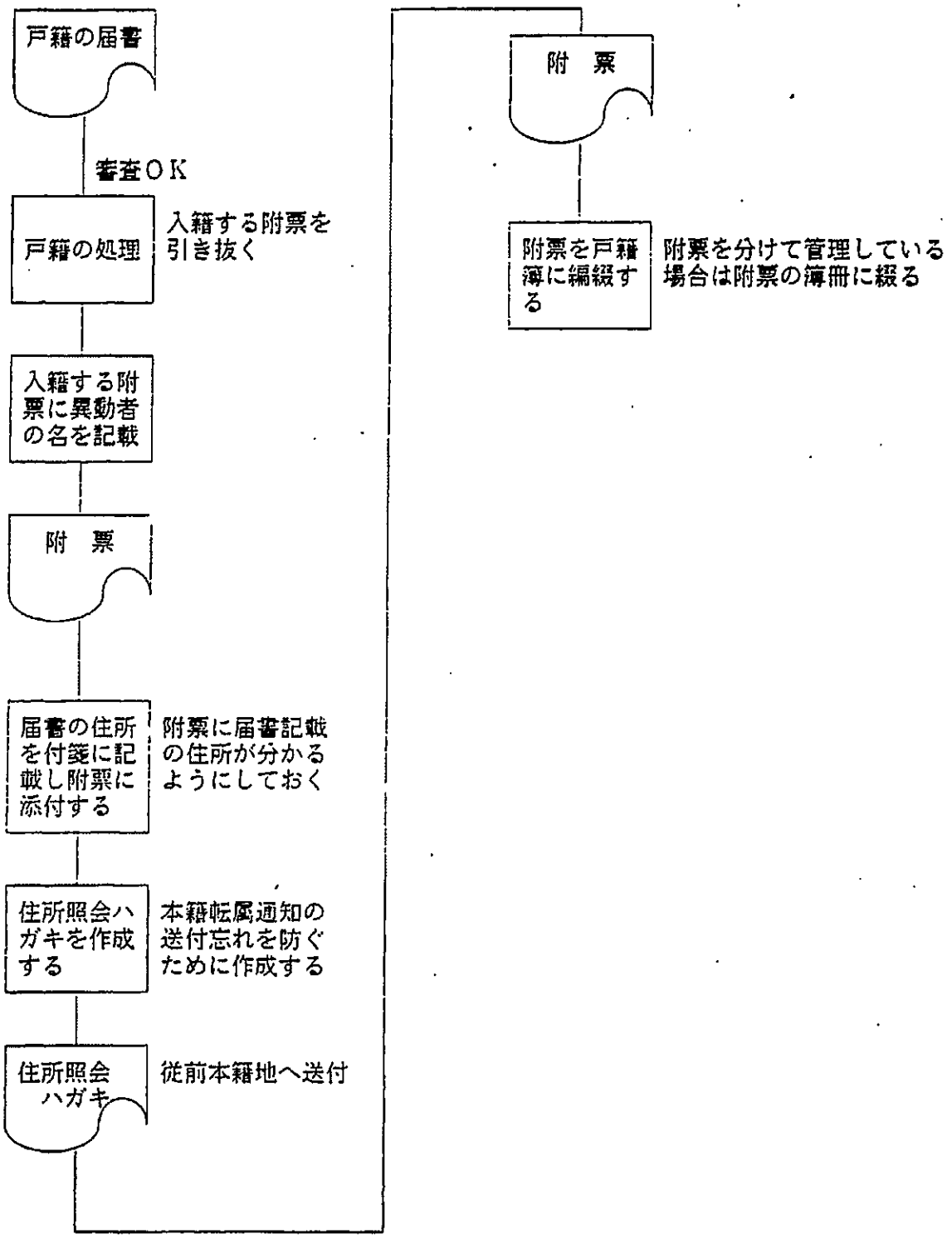
2．(2) I－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合 ――	頁　数 1／1



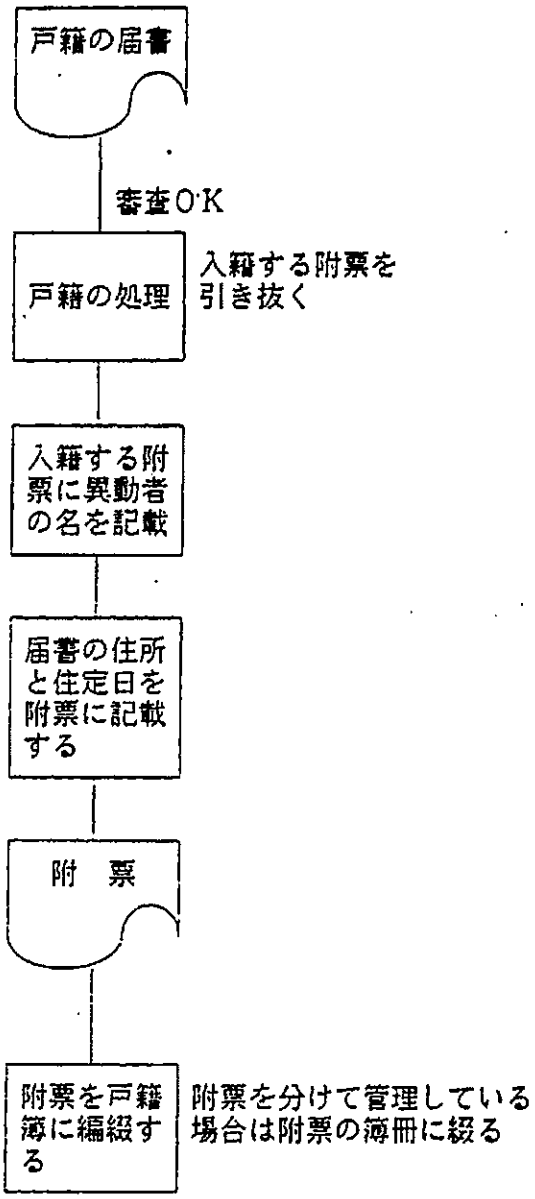
2．(2) Ⅰ－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



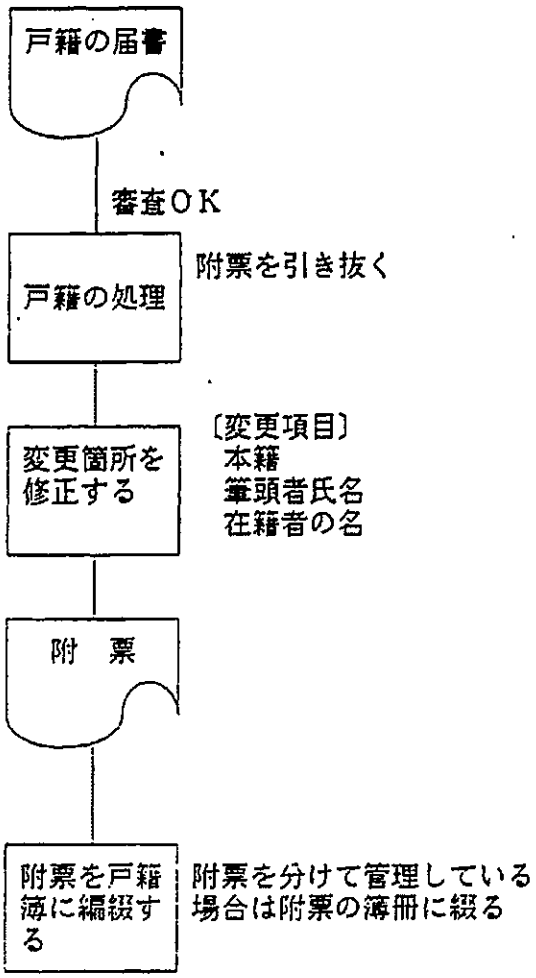
2．(2) I－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



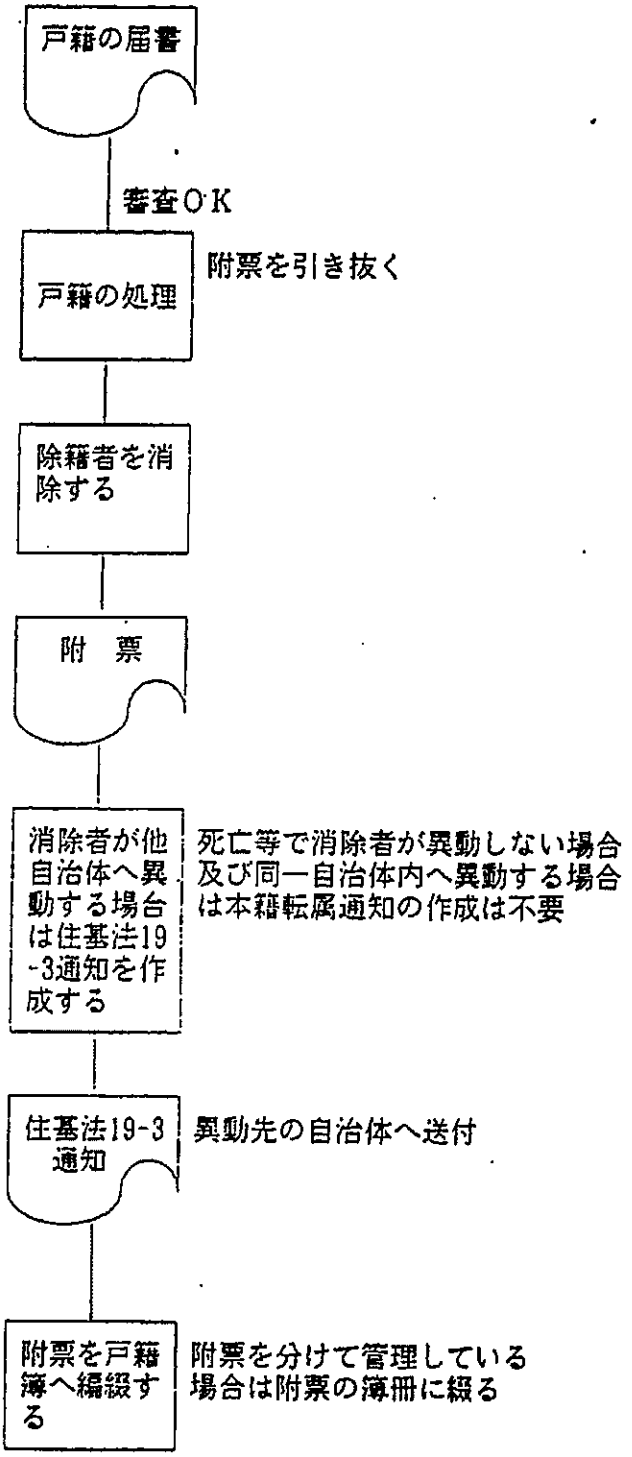
2．(2) I－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



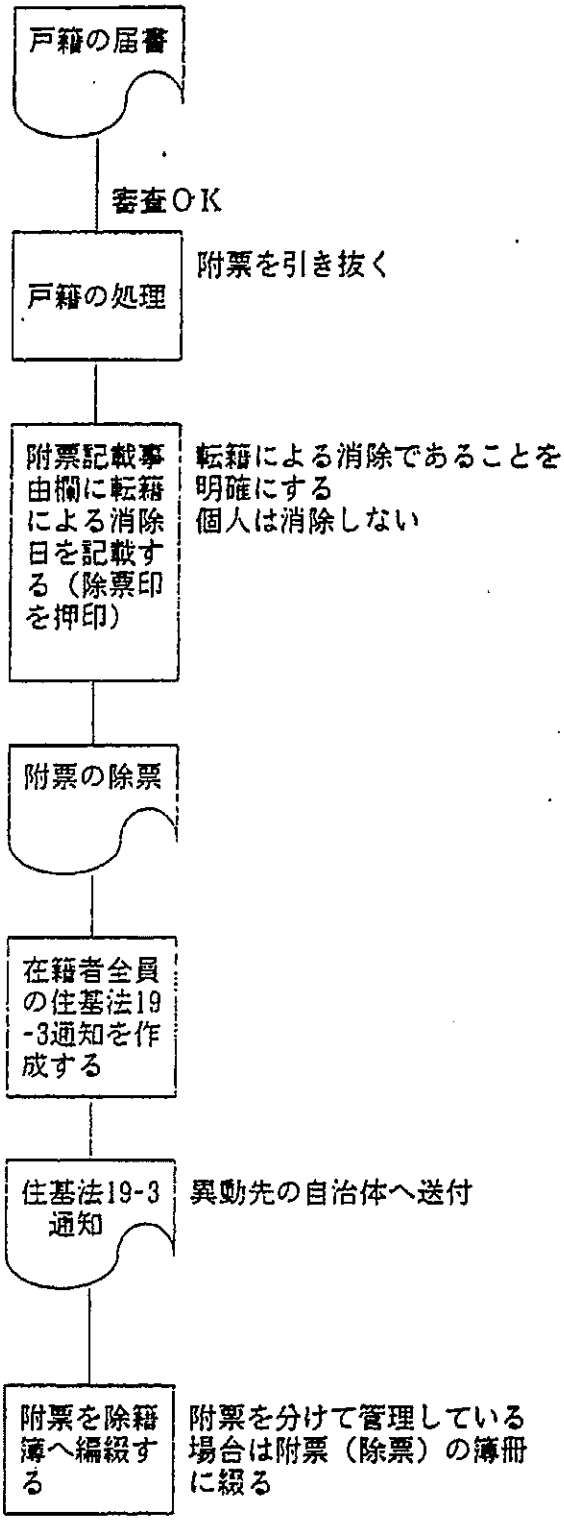
2．(2) I－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



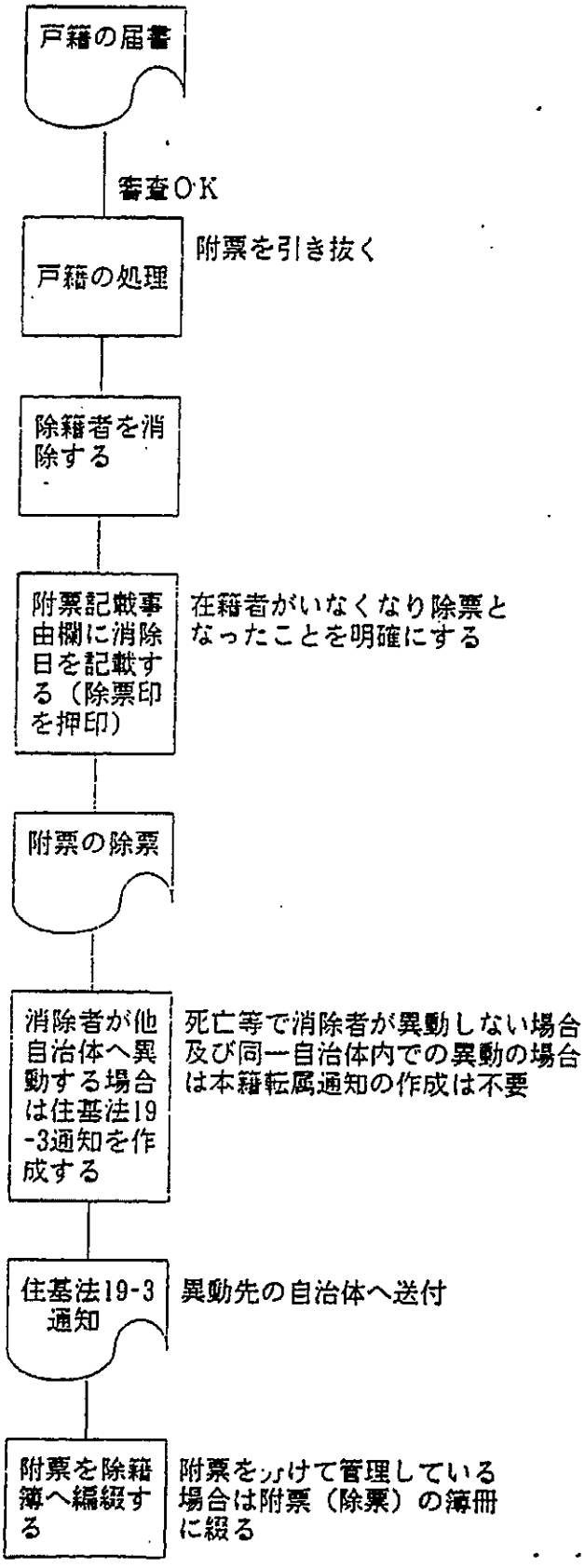
2．(2) I－4	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 離縁、離婚等 ――	頁　数 1／1



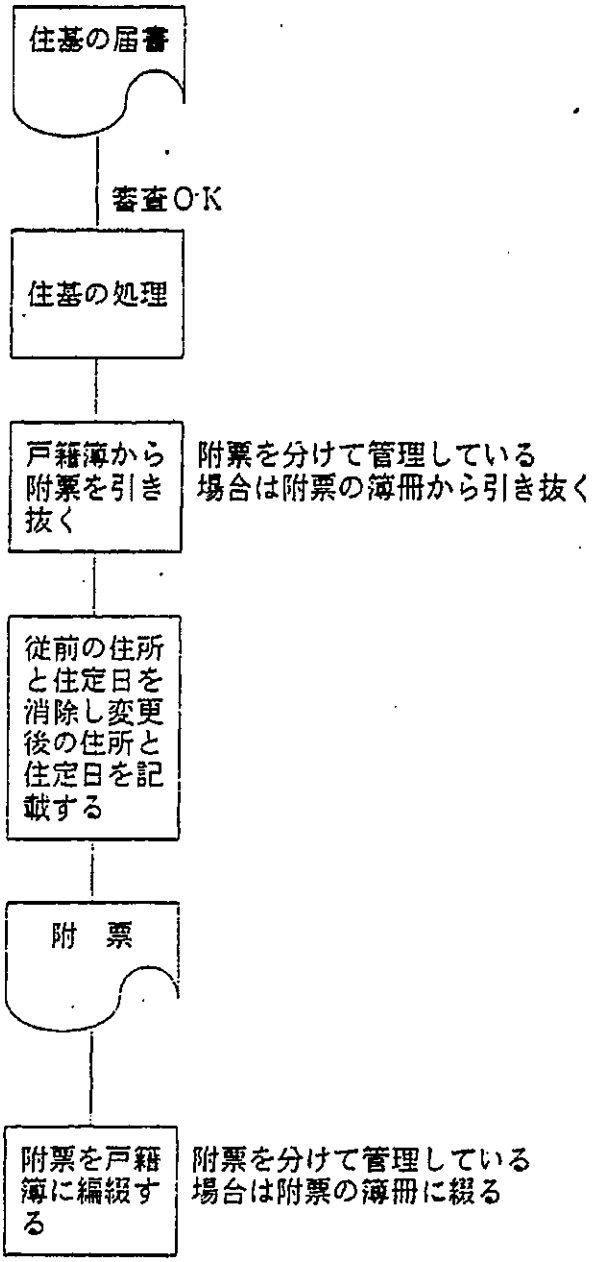
2．(2) I－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除① ―― 管外転籍 ――	頁　数 1／1



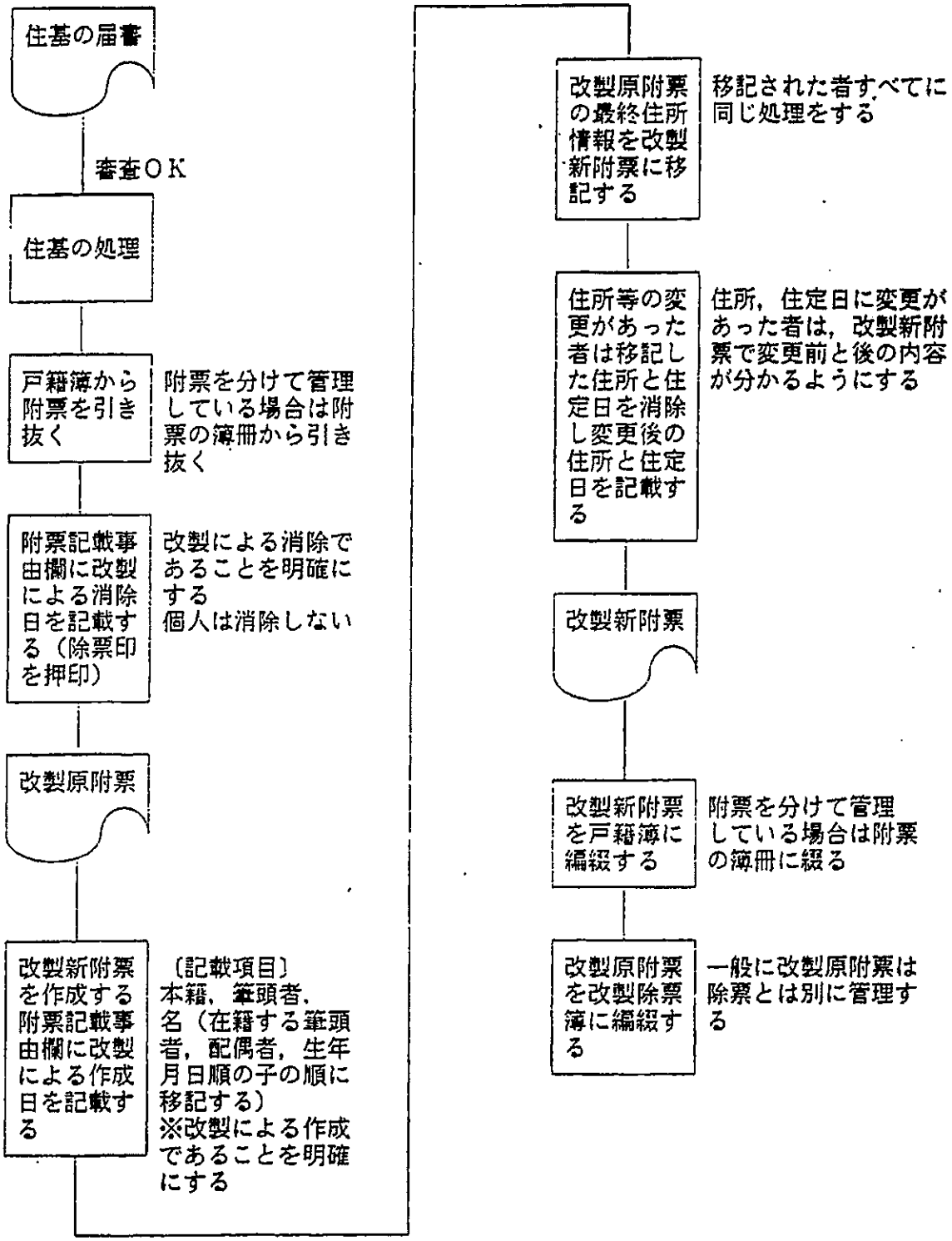
2．(2) I－6	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除② ―― 管外転籍以外：死亡，復氏等 ――	頁　数 1／1



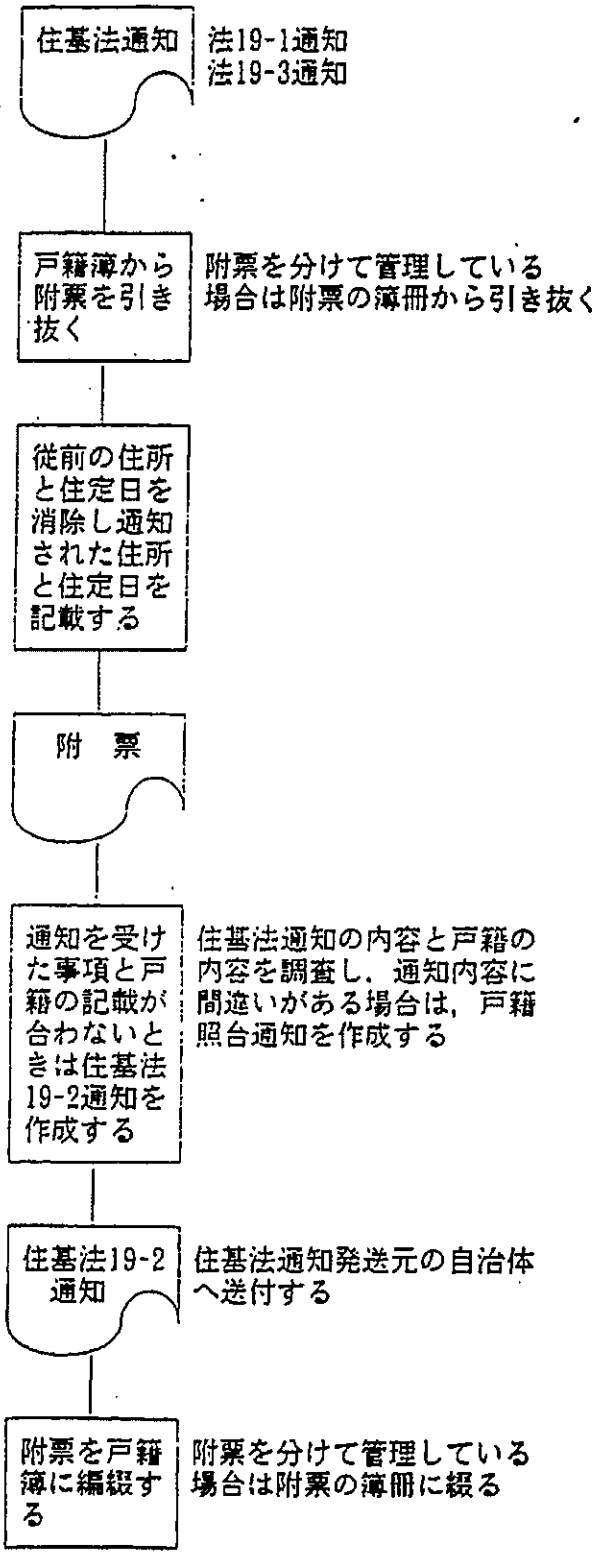
2．(2) I－7	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ―― 転入，転居，住居表示変更等 ――	頁　数 1／1



2．(2) I－8	住民基本台帳法に基づく届出又は職権による住民票記載等による附票の修正 ── 附票が改製される場合 ──	頁　数 1／1

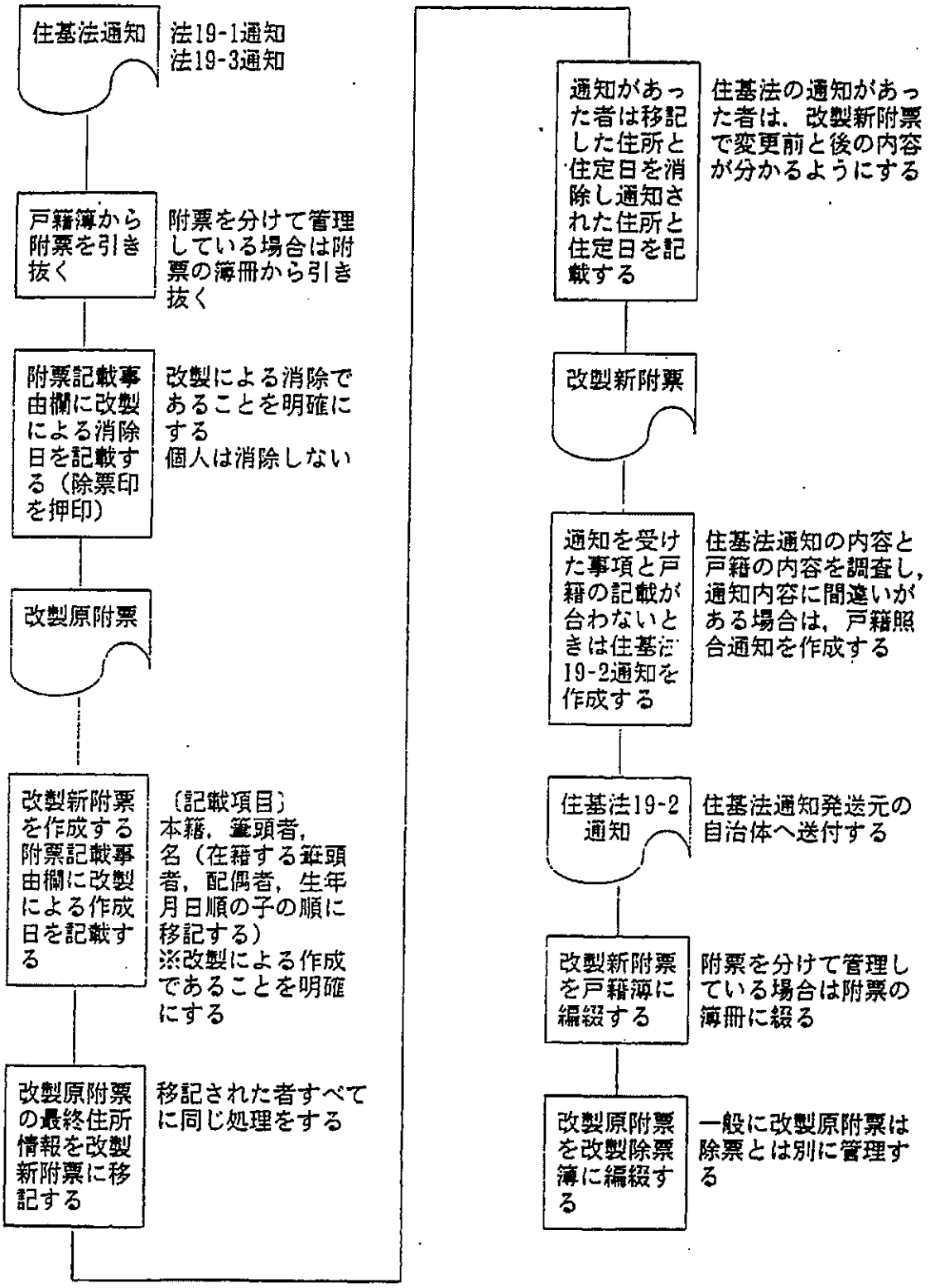


2．(2) I－9	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 住基法19-1通知，住基法19-3通知 ――	頁　数 1／1

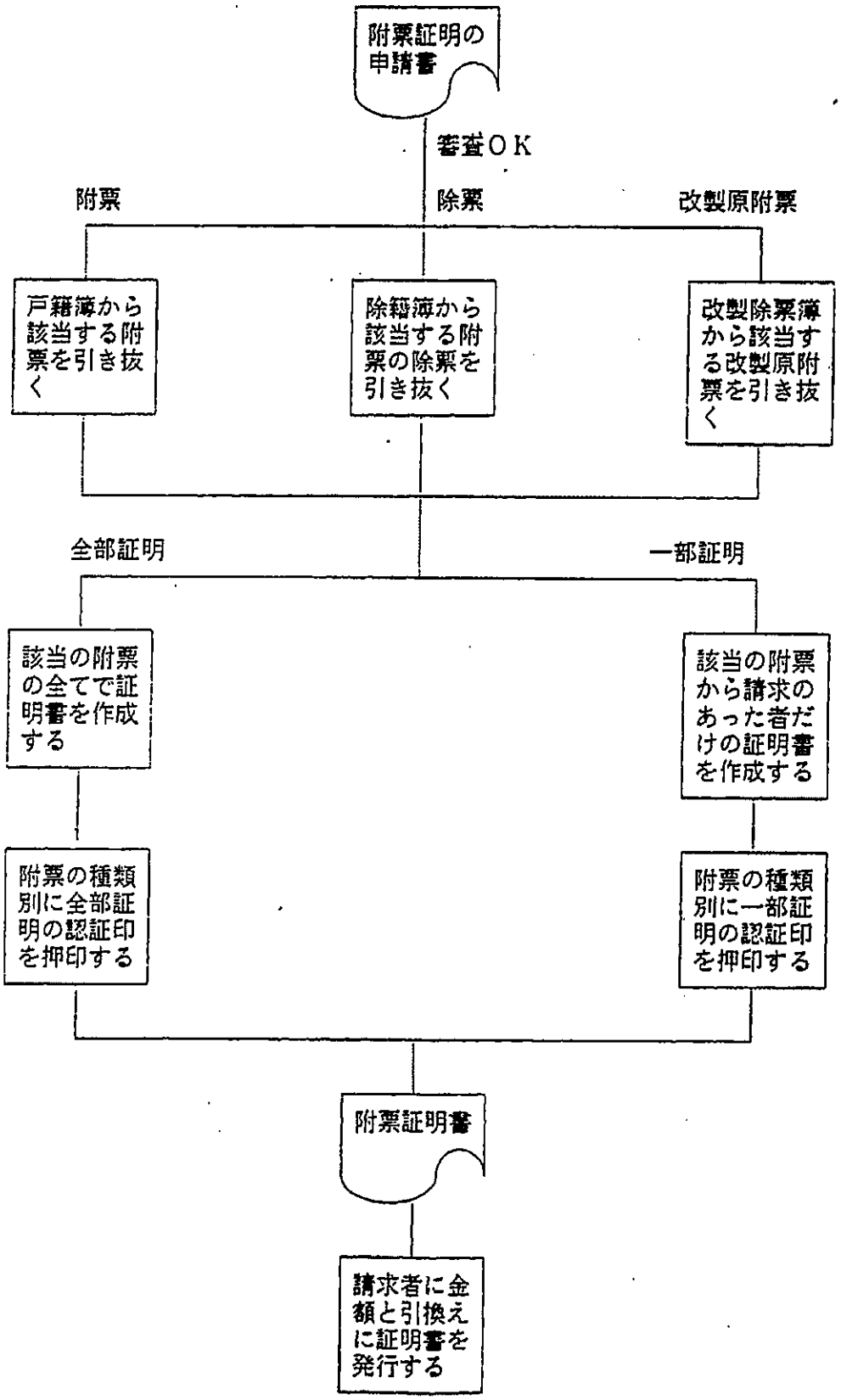


住民基本台帳法の通知による附票の修正

―― 附票が改製される場合 ――



2．(2) Ⅱ－1	戸籍附票の証明 ―― 附票・除票・改製原附票（全部，一部証明） ――	頁　数 1／1



3．〔附票システム〕の概要

現在，戸籍の附票は紙で管理されるもので，住民票と異なり磁気テープで調製することは許されていない。しかし，いくつかの市町村では，附票の管理は紙で行うものの，事務処理の部分をコンピュータ処理させる附票システムを使用しているところがある。

本報告書で提示する附票のコンピュータ処理概要は，戸籍の附票をブックレス管理（磁気媒体で記録）するシステムであるので，すでに使用されている附票システムとは，根本的に異なるものである。そこで，本報告書ではカギ括弧付きの附票システム（〔附票システム〕）と呼ぶことで，現在使用されている附票システムとの混同を防ぐ。

(1) 〔附票システム〕の範囲

戸籍の附票事務内容については，2．(2)イ)の中で簡単に述べたが，ここでは，システム化する事務の範囲を，オンラインシステムによる事務の範囲，バッチシステムによる事務の範囲に区分して検討する。

ア) オンラインシステムによる事務の範囲

入力したデータがすぐに有効になる事務，データを即時に取得できる事務をオンライン処理とする。

① 戸籍の附票の異動事務

ア 戸籍の異動にともない発生する事務

- 附票の作成
- 附票への個人追加
- 附票の個人消除
- 附票の全部消除
- 附票の本籍，筆頭者，名の修正

イ 住民票の異動にともない発生する事務

- 附票の住所の変更
- 附票の住所の消除
- 附票の住所の回復

ウ 通知による事務

- 住民基本台帳法第19条1項通知による，附票の住所の変更，消除，回復
- 住民基本台帳法第19条3項通知による，附票の住所の記載

② 戸籍の附票の証明事務

- 全部証明書の発行
- 一部証明書の発行
- 記載事項証明書の発行

③ 戸籍の附票の統計事務

- 附票の異動に関する統計の取得
- 附票の証明書発行に関する統計の取得

ｲ) バッチシステムによる事務の範囲

即時対応が求められない事務で，サイクルを決めて一括処理を行うのに適している事務をバッチ処理とする。

① 戸籍の附票の通知書作成事務

- 住民基本台帳法第１９条２項通知の作成
- 住民基本台帳法第１９条３項通知の作成
- 住民基本台帳法第１９条３項不要通知の作成
- 住所照会通知の作成

② 戸籍の附票の統計表の出力

ｳ) 戸籍附票事務のシステム化の範囲

上記で示した事務を関連する事務ごとにまとめ，システム化する事務とその処理形態をオンライン，バッチ（含むオンライン・バッチ）及び手作業の区分でまとめた表を次ページに示す（附票事務システム範囲表）。なお，△はシステムで処理ができなかった場合に，手作業によって補完することができる処理である。

(2) 他システムとの関係

ｱ) 戸籍システムとの関係

住民基本台帳法施行令第１８条の規定により，新しく戸籍が編製されたとき及び戸籍の編製後その戸籍に入った者があるときは附票にその者に関する記載をすることになっている。また，同施行令第１９条では戸籍にある者が消除されたときは附票からも消除する規定である。さらに，この場合に消除された者が他の市町村に転属したときは附票に記載してある事項を新本籍地の市町村長に通知しなければならない（住民基本台帳法第１９条３項）。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，戸籍システムの異動処理にともない，あるいは原籍地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

① 戸籍システムの異動処理にともなう処理

ア 出生届，婚姻届又は職権等により戸籍の記載を行うため，戸籍システムを使用し，処理を開始する。

イ 入力画面から，出生届等に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ 入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を仮の戸籍データベースに記録する。

エ 戸籍の異動形態によって他に記載がある場合はその内容を仮の戸籍データベースに追記する。

オ 仮の戸籍データベースの内容を再確認し，間違いがなければ戸籍データベースに記録する。

（附票事務システム範囲表）

関連届等	個別事務	ｵﾝﾗｲﾝ処理	バッチ処理	手作業
戸籍の届による処理	附票の作成	○		
	附票の修正	○		
	附票の消除	○		
	住基法19-3通知の作成・出力		○	△
	住基法19-3不要通知の作成・出力		○	△
	住所照会通知の作成・出力		○	△
住基法による届出の処理	附票の修正	○		
	附票の改製	○		
住基法による通知処理に	附票の修正	○		
	附票の改製	○		
	住基法19-2通知の作成・出力		○	△
その他の処理	附票証明書発行	○		
	統計事務	○		
	統計表の出力		○	

カ　戸籍の異動内容に則して，附票データベースを作成又は更新する。他の市町村に転属する場合は，法１９条３項通知ファイルを作成する。

キ　戸籍の附票システムを使用し，法１９条３項通知ファイルから住民基本台帳法第１９条３項通知を出力する。

②　原籍地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，原籍地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに記録する。

ｲ）住民記録システムとの関係

現在，戸籍の附票の記載事項のうち，住所及び住所を定めた年月日は，本籍地と住所地が同一である場合には住民票の記載により，また，異なる場合には住所地市町村長からの通知により職権で記載されることになっている。

したがって，戸籍の附票事務をコンピュータ化した場合，住民記録システムの異動処理にともない，あるいは住所地市町村長からの通知により戸籍の附票システムを稼動することとなる。

コンピュータ処理する際の処理の流れは下記のとおりとなる。

①　住民記録システムの異動処理にともなう処理

ア　転入届，転居届又は職権により住民票の記載を行うため，住民記録システムを使用し，処理を開始する。

イ　入力画面から，転入届に記載されている項目，職権により記載すべき項目を入力する。

ウ　入力項目を法令等の面からチェックし，異動内容を住民記録データベースに記録する。

エ　住民記録データベースに記録するデータを基に，住民記録異動ファイルを作成する。

オ　住民記録異動ファイルを基に，戸籍の附票システムを使用し，異動内容を附票データベースに記録する。

②　住所地市町村長からの通知による処理

ア　戸籍の附票システムを使用し，処理を開始する。

イ　附票データベースから本籍，氏名，生年月日等をキーに該当する附票を検索する。

ウ　入力画面から，住所地市町村長からの通知に記載されている項目を入力し，附票データに追記又は更新する。

エ　住所及び住所を定めた年月日以外で通知の内容と戸籍の記載の内容が異なる場合には，住民基本台帳法第１９条２項通知を作成する。

4．〔附票システム〕のシステム化案

(1) 異動処理の方法

ここでは前段までの内容を踏まえ，附票を磁気テープをもって調製する方法，即ち附票事務をシステム化した場合の方法を考える。

今回作成したものは附票事務のシステム化の一実現方法であり，これが唯一の方法ではない。ここでシステム化案を作成した目的は，附票をコンピュータで処理できることを証明するのではなく，システム化において守られるべき事項の洗い出しにある。

7) 〔附票システム〕の処理形態

戸籍附票事務のシステム形態は，戸籍及び住民基本台帳のシステムとの関連をどう考えるかで異なってくる。

① 戸籍システムとの連動を考えた附票システム

② 住民記録システムとの連動を考えた附票システム

③ 附票を独自で考える附票システム

④ 戸籍システム，住民記録システムの双方との連動を考えた附票システム

上記①～③は2．(2)7)戸籍附票事務の運用形態で述べた①～③の形態に各々当てはまる。本来であれば全部の処理形態でシステム化案を示すべきであろうが，今回は①～③の形態をすべて程度取り込んでいる④の形態のシステム化案を示すこととする。④だけを示す理由としては他にも次のものが挙げられる。

・戸籍附票のシステム化は現在法務省が進めている戸籍のシステム化に伴い発生したもので，その戸籍システムとの連動を考えなければならない。

・戸籍附票は戸籍と住民票の双方の異動により処理が起こるもので，単一の業務との連動では附票システムの性能が半減してしまう。

しかし，④の処理から戸籍システムとの連動を外したものが②の処理であり，住民記録システムとの連動を外したものが①の処理であり，双方との連動を外したものが③の処理であるといえるので，①～③の処理の流れは報告書から読み取ることは可能である。

1) 他システムとの連動における〔附票システム〕の範囲

附票事務のシステム範囲については3．(1)で述べたが，現行附票事務の中で他のシステムに係わる部分をどのように捕らえるかで〔附票システム〕の構成が変わってくる。構成が変わると言っても，3．(1)のシステムの範囲が変更になるのではなく，3．(1)で示した事務の一部を戸籍システムや住民記録システムに取り込むことにより，〔附票システム〕そのものの事務の数が変わるということである。

しかし，戸籍及び住民基本台帳に関する部分を各々のシステムで取り込めるかどうかは，法務省及び自治省の考えもあるので，本報告書で可能であるとは断言できない。しかしデータの有効利用及び使用者（運用）の使い勝手等，総合的にシステムを考えると，各システムで附票部分を取りみ，また，データを連動させた方がよいので，この考えに基づいたシステム化案を提案する。なお，住民記録システムとの連動は，本籍地と住所地が同一の者しか行えない。

ｳ) 〔附票システム〕の仕様

実際にシステム化する際には種々の仕様書が必要になるが，ここでは最小限必要と思われるものだけを示す。また，今回はシステム化の方途を探るのが目的で，システムそのものの構築を考えるのではないから，内容も抽象化して記載する。

今回示すドキュメントは以下のものである。

Ⅰ　戸籍・附票・住民記録システム関連図

Ⅱ　附票項目一覧

Ⅲ　附票処理パターン

Ⅲ－1　戸籍システムでの附票処理

Ⅲ－1－1　新しい戸籍を編製することによる附票の作成

Ⅲ－1－1－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）

Ⅲ－1－1－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）

Ⅲ－1－1－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）

Ⅲ－1－1－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）

Ⅲ－1－1－5　帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合

Ⅲ－1－2　既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載

Ⅲ－1－2－1　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除）

Ⅲ－1－2－2　同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除）

Ⅲ－1－2－3　他の本籍地から異動してきた場合（住所人）

Ⅲ－1－2－4　他の本籍地から異動してきた場合（非住所人）

Ⅲ－1－2－5　出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合

Ⅲ－1－3　戸籍の記載を変更したことによる附票の修正（氏名変更，管内転籍等）

Ⅲ－1－4　戸籍から除かれたことによる附票の一部消除

Ⅲ－1－4－1　他の本籍地へ異動する場合

Ⅲ－1－4－2　死亡等で他への異動がない場合

※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－1，Ⅲ－1－2－1で示したとおり

Ⅲ－1－5　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍）

Ⅲ－1－6　戸籍から除かれたことによる附票の全部消除（管外転籍以外）

Ⅲ－1－6－1　他の本籍地へ異動する場合

Ⅲ－1－6－2　死亡等で他への異動がない場合

※　同一本籍地への異動はⅢ－1－1－2，Ⅲ－1－2－2で示したとおり

Ⅲ－2　住民記録システムでの附票処理

Ⅲ－2－1　住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正

Ⅲ－2－1－1　本籍地に転入してきた場合

Ⅲ－2－1－2　本籍人である住所人が転居等をした場合

Ⅲ－2－2　職権での住民票修正による附票の修正（住所人が本籍人の場合）

Ⅲ－2－3　住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正（附票が改製される場合）

Ⅲ－3　附票システムでの附票処理

Ⅲ－3－1　附票修正処理

Ⅲ－３－１－１　住民基本台帳法の通知による附票の修正
Ⅲ－３－１－２　住民基本台帳法の通知による附票の修正（附票が改製される場合）
Ⅲ－３－２　証明書発行処理（附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明））
Ⅲ－３－３　各種帳票出力処理

エ）　システム化後の改製について

改製については２．(3)で述べたとおりであるが，システム化においては附票を磁気媒体で管理するため記載欄の満欄が考えにくいこと，附票の汚損及びき損があり得ないことから，厳密にいえば現行の可視台帳上の改製はシステム化において発生しないことになる。

しかし改製がないとすると，附票の証明書ではすべての住所履歴が出力されるため，２．(3)の意見でもあったとおりその是非が問題となってくる。今回はとりあえず現行と同じ方法を残すこととし，住所の履歴回数がある規定回数を越えたら改製と同じ扱いをするということとしている。

一例として，履歴回数が５回を越えたデータが改製の条件に合致すると仮定し，【別紙】にシステム化での改製方法を２つ示す。

①　附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法
②　改製の条件にあった者だけを改製する方法

以上のように，システム化でも改製はある得ると考えるべきとは思うが，改製のきっかけをどうするのかは，自治省及び法務省の意見を待たなければならないと考える。

(2)　データ保護と安全対策

7）　データ保護と安全対策の概要

当初，コンピュータによる情報処理システムは，コンピュータの四則演算機能，比較機能，記憶機能を利用したバッチ処理システムとして導入されてきた。さらに現在では，通信回線を利用したオンライン処理システムへの移行が進んでいる。

オンライン処理システムでは，データを記憶しておくファイルが集中化・大量化し，災害や故意・過失等の発生により，コンピュータによる情報処理システムが停止すると，行政サービスの停滞等，その影響は非常に大きなものとなる。

そのため，システム開発においては，信頼性の高いデータ保護と安全対策を講ずることが求められている。

①　データ保護と安全対策の必要性

コンピュータによる情報処理システムの停止による影響のほか，データ保護と安全対策を必要とする主な要因は次のとおりである。

ア　集中化，大容量化したデータファイルが壊されると，その再生に多大な時間と経費が必要となる。
イ　通信回線の利用やネットワーク化は，盗聴などの外部から介入されやすくなるため，犯罪や事故の可能性が増大する。

ウ　オンライン処理システムでは，文書決裁等のチェックが行われないまま処理が完結するため，故意による情報操作が容易となる。

エ　オンライン処理システムでは，端末装置が分散配置されるため，その管理が十分に行えなくなる。

オ　オンライン処理システムは，多数のプログラムが組み合わさって稼動しており，システムが巨大かつ複雑になってきている。そのため，設計者等，特定の者しかシステムの維持ができなくなりやすく，障害時の復旧も時間がかかるようになる。

イ）　データ保護対策

データ保護の目的は，データの正確性の確保，データの漏洩・損失・き損・改ざんを防止するとともに，火災や地震等の災害からデータを守ことにある。ここでは，運用管理面とソフトウェアから見たデータ保護対策について整理することとした。

①　運用管理面からのデータ保護対策

ア　入出力情報及び媒体の管理

i）　入力原票の受け渡しでは，受け渡し票により，原票の枚数，相手の氏名等の記入を確認する。

ii）　出力帳票は，配付先，部数等を一覧表にしておくとともに，受け渡しは，受け渡し票による確認のほか，特異な帳票については受領者を指名する。

iii）　定期，あるいは日時が指定された出力帳票が，その指定どおりに出力されないときは，その原因を調査する。

iv）　入出力帳票は，その保存期間を定めるとともに，廃棄するときは，シュレッダーの使用や焼却等の方法により復元できないようにする。

v）　未使用の入出力帳票の保管は，定期的に在庫管理を行い，不正使用や不足による処理の遅延を防止する。

vi）　帳票や磁気テープ等の出力媒体を外部に持ち出すときは，業務担当部門の承認の上，貸出期間等を記入した貸出票を作成し，変換等の管理をする。

vii）　入力原票から出力帳票の利用，廃棄までの一連の手続きは，帳票の流れ図等により，必ず明確にしておく。

イ　データベース（一般常駐ファイルを含む）の管理

i）　特定のパスワードまたはＩＤカードを登録し，権限のない者が端末装置によるデータベースのデータの操作ができないようにする。

ii）　データベースにどのような情報がどのような状態で保管されているかを，特定の者以外には秘密にしておく。

iii）　暗号等を使用し，データの内容を特定の者以外に理解できないようにする。

iv）　リカバリ対策として，データベースの世代管理や二重管理をしておく必要がある。

ウ　ドキュメント（システム設計者）の管理

i）　記入方法の標準化を図るとともに，管理体制を一元化する。

ii) 外部への持ち出しは，貸出方法等の手続きを明確にする。

iii) システムの変更等によるプログラムの修正が発生したときは，プログラム仕様書の訂正等，ドキュメントの内容を最新の状態にあわせておく。

エ オペレーション（機器操作）の管理

i) オペレータが的確に操作できるように，操作手引書（操作手順・異常時の対処の方法及び報告事項，完了時の報告事項等）を作成する。

ii) オペレータが適切に処理できるように，作業指示書（ジョブ名，処理日，使用ファイル，入出力帳票，手順等）を作成する。

iii) オペレータの教育訓練を行うとともに，職員の健康管理に留意する。

iv) オペレーション作業の標準化，簡略化を図る。

オ 電子計算機室等の入退室管理

i) 入室の許可を受けない者が入室できなようにする。

ii) 電算担当課職員以外の入室許可者の入退室の管理を行う。

iii) 部外者の入室には，電算担当課職員が必ず立ち会う。

iv) オペレーションは，複数の職員で行う。

v) 夜間等の無人時には，不用な者が入室できないようにする。

② ソフトウェアによるデータ保護対策

運用管理面以外のシステム設計時に，データ保護のチェックをソフトウェア（プログラム）で行う方法を紹介する。

ア オペレーティングシステム

i) 管理プログラムのデータ保全機能により，あるプログラムが他のプログラムに干渉したり，変更したりできないようにする。

ii) パスワードの設定時に更新不能のパスワードを付加して，情報の改ざんを防止する。

iii) データベース等のファイルにアクセスしたときに記録するロギング機能を使用し，問題が生じたときの解決の手がかりを確保する。

iv) 管理プログラム（オンライン制御，システム制御，保全管理，運用管理，データ管理等）の機能を有効に活用する。

イ プログラミング

プログラム上の障害としては，プログラミングの誤修正，本番データの破壊，不注意によるミス等がある。この対策として，構造化プログラミング（モジュール化）の採用，トップダウンプログラミングの採用等が挙げられる。

ウ システムの稼動テスト

プログラミングのミスや誤データの混入等によるデータの破壊を防止するには，十分なテスト計画やテスティング（システムの運用テスト）が必要である。

エ システムの保守

稼動後にシステムの修正や変更があったときは，ドキュメントの内容を最新の状態に合わせておくとともに，十分にシステムの運用テストを行う必要がある。

ｶ) 安全対策実施上の留意点

① 安全目標の明確化

コンピュータによる情報処理システムを取り巻く危険を防止する，絶対かつ確実な方策はあり得ないといえる。そのため，障害の発生に伴う損失や許容できるダウン対策などを，量的に表示した目標安全，あるいは，最低維持すべき機能やデータ，プログラムなどを，定期的に記述した目標安全度を設定し，安全対策を講ずることが求められている。

② 重点的な安全対策の実施

安全対策は，多くの費用や手数などを必要とする。しかし，いかなる危険によって，どの程度の損失を被るかを分析し，必要最小限の対策は講じなければならない。それには，滅多に生じない大きな災害はもちろん，日常生じやすい小さな事故やミス，エラー等についても十分に考慮する必要がある。

③ 安全対策に対する継続的な関心と努力

安全対策の前提となる危険や対策による効果の予測は，十分に把握されていないうえ，コンピュータ情報処理システムの内外環境も常時変化している。また，従事職員が運用管理を十分に認識していないと，安全対策に対する意識を低下させてしまう。したがって，安全対策の実効を維持していくためには，安全対策を定期的に見直すとともに，必要に応じて改善していく必要がある。

④ 組織的な安全対策の確立

安全対策は，様々な手段を組み合わせて初めて実効あるものとなる。それには，対策に投じる予算措置，関係法規の整備など，組織をあげての対策が必要となる。従事職員のデータ保護や重要性に対する自覚や認識をはじめ，管理者の積極的な指示と理解がなければ，安全対策を確立することは難しくなる。

⑤ 従事職員に対する管理の適正化

いかに精巧にできている装置や設備も，最終的には人間の操作や管理手続きに依存することになる。また，危険が生ずるのも人間の行動に起因するものがほとんどであり，安全対策の実効を確保する上で，従事職員の意識と行動は，大きなウェイトを占めている。したがって，職員の適材適所という人事管理面での配慮とともに，従事職員に対しては設備や装置の操作，運用管理手続きの習熟，倫理観の高揚を図るために，計画的，体系的な教育や研修が必要となる。

⑥ 応急対策及び復旧対策の重要性

地方公共団体の事務処理において，長期にわたるシステムの停止やデータ等の損失は許されない。このため，災害や事故が発生した場合は，その被害を最小限に抑え，業務を速やかに正常に戻す必要があり，応急対策や復旧対策が極めて重

要となる。

エ) 機器の安全対策

機器の安全対策については，通産省の「電子計算システム安全対策」がひとつのチェックの指標として作成されている。この基準は，保護される対象ごとに項目化し，それぞれ対策内容と三段階の基準が列挙されているので，これを参考としてシステムの特性に応じた最も有効な組み合わせ，選択を行う必要がある。

① 機器構成

処理が停止することによって，非常に大きな影響をもたらすときは，早期リカバリーあるいは瞬時に他のシステムが代替できるような構成にする必要がある。

② 設備

ア 共通事項

i) 防災設備の完備及び防災体制を確立する。
ii) 設備の現状を把握する。
iii) 保守点検を実施する。
iv) 保守作業スペースを確保する。

イ 建築物

i) 防水，耐震設備を完備する。
ii) 延焼遮断設備を完備する。
iii) ガラスの飛散を防止する。

ウ 電子計算組織室

i) 避難通路，非常口を設置する。
ii) カーテン等の不燃化物，防火設備を完備する。
iii) 静電気を帯びる物を設置しない。
iv) 侵入の防止設備を完備する。

エ 電子計算組織

i) 転倒防止を図る。

オ データ等の保管室

i) キャビネット等の施錠のできる保管庫に保管する。
ii) 磁界の影響を受けないような措置を講じる。

カ 電源室，空気調整室

i) 消火器を設置する。

キ 電気設備

i) 電子計算機の起動電流を考慮して，電源の容量を考慮する。
ii) 負荷変動の激しい機器との共用を避ける。
iii) 電流の遮断防止設備を完備する。
iv) 無停電装置を完備する。

ク 空気調整設備

i） フィルターや電気集塵機等により，電子計算機室内の空気中に埃や有毒ガスが混入することを防止する。

ii） 本体及び周辺機器の発熱容量を考慮し，余裕を持った機器を設置する。

ｵ） コンピュータシステム停止時の対策（ダウン対策）

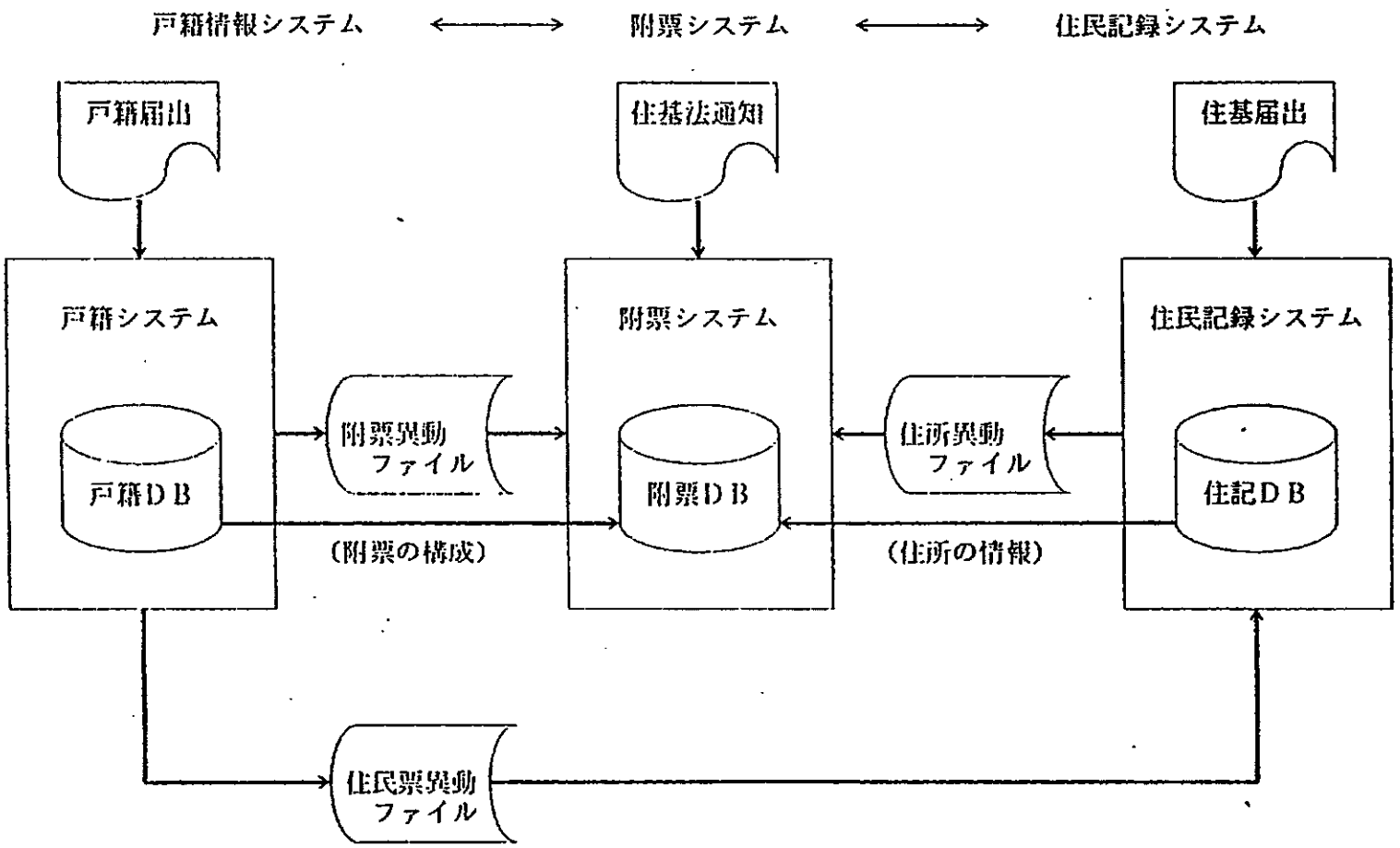
十分に考慮した安全対策を施してもなお，システムのトラブルを完全に避けることはできない。たとえ，可能性は少ないとしても，コンピュータシステムが全く停止してしまうという事態も想定しておかなければならない。このような場合，オンラインサービスを前提とした窓口をはじめとして，組織全体に大きな混乱が生じかねない。そこで，トラブルに応じた段階的な対処策をマニュアル化しておくなど，混乱を最小限に抑えるための工夫が必要となる。

多くのオンライン実施団体では，「ダウン対策マニュアル」，「バックアップ手順書」，等の呼称で，システム停止時の運用方法の取り決めを行っている。それらの中から，特に重要と思われる事項を以下に提示することとする。

- サービス窓口，コンピュータ所管部署の双方に連絡責任者を置き，緊急時の連絡体制を一本化する。なお，専用の連絡手段を確保し，必要なときに即座に連絡がとれるようにしておかなければならないこと。
- トラブル時の説明の方法など，来客に対する対応を決めおくこと。
- トラブル時の分担を決めておくこと。たとえば，業務運用担当（手処理，窓口説明等），復旧担当（連絡，機器操作等），状況記録，報告担当など。
- トラブルに応じた復旧の方法を洗い出しておくこと。

この他に，特にコンピュータ所管部署では，コンピュータメーカー，保守担当業者，電力会社，通信業者（ＮＴＴ）等との連絡網を整備して，早期の原因発見と復旧が行える体制を整えておくことが肝要である。

4．(1) 1	戸籍・附票・住民記録システム関連図	頁　数 1／1



戸籍情報システム：戸籍の処理，附票異動ファイルの作成，住民票異動ファイルの作成
住民記録システム：住民票の処理，住所異動ファイルの作成
附票システム　　：附票の処理，各異動ファイルの取り込み

4．(1) Ⅱ	附票項目一覧	頁　数 1／1

1．附票データベース項目

〔附票管理データ項目〕

No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	戸籍番号と同一番号を使用する
2	附票作成日	9（　8）	無	附票が作成された日
3	附票作成区分	9（　1）	有	1：戸籍編製での作成　2：改製による作成
4	附票除票日	9（　8）	無	附票が消除された日
5	附票除票区分	9（　1）	有	1：消除　2：転籍消除　3：改製消除
6	本籍	K（50）	無	
7	筆頭者	K（30）	無	

〔附票データ項目〕

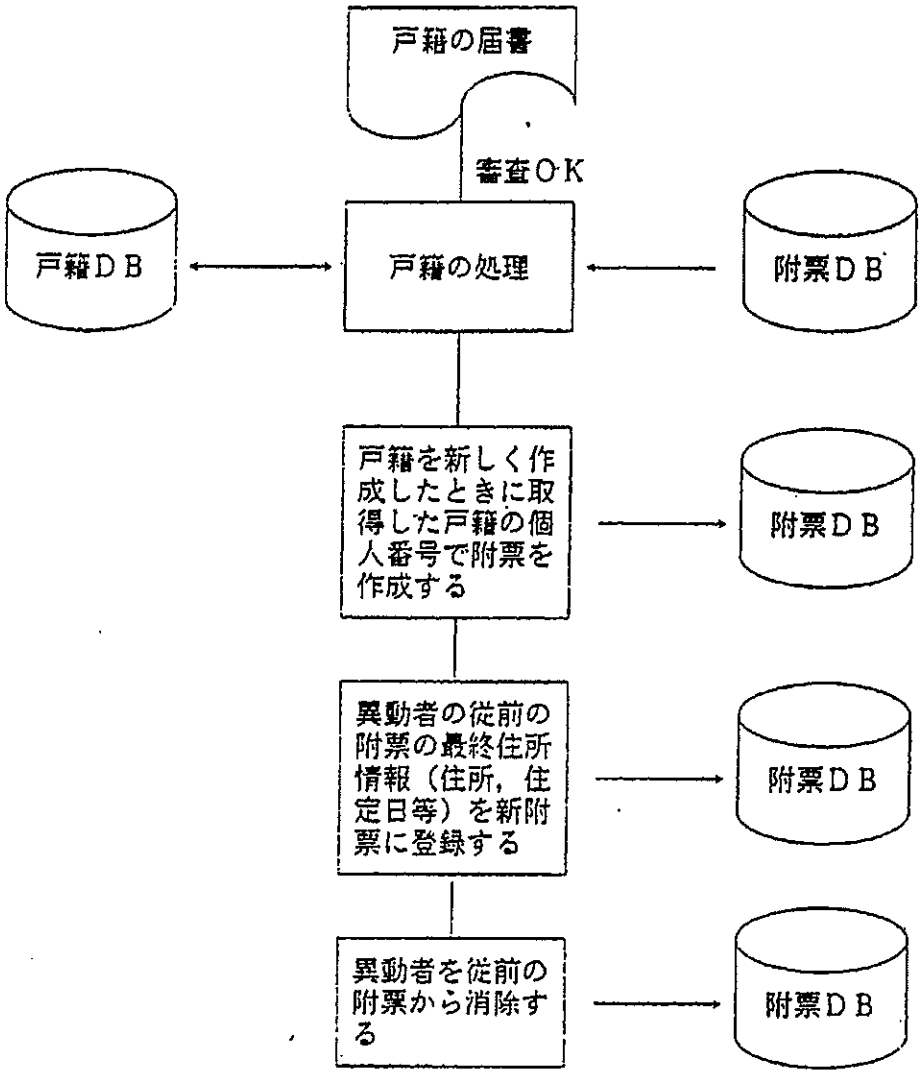
No.	項　目　名	項目長	コード化の有無	備　　考
1	附票番号	9（　9）	無	附票管理データと結び付ける番号
2	戸籍個人番号	9（10）	無	戸籍データベースと結び付ける番号
3	住記個人番号	9（10）	無	住記データベースと結び付ける番号
4	住所履歴番号	9（　2）	無	ＤＢの種別によっては不要項目
5	現除区分	9（　1）	有	1：現住所　2：消除住所
6	作成日	9（　8）	無	住所が記載された日
7	住所	K（50）	無	
8	方書	K（50）	無	
9	住定日	9（　8）	無	
10	消除日	9（　8）	無	住所が消除された日

住民基本台帳法第17条で規定されている項目（本籍，筆頭者，氏名，住所，住所を定めた年月日）以外はシステム化に伴い必要となる項目である。上記項目は附票データとして必要なものを示したのであり，附票ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽに必ず持つということではない（戸籍ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ，住記ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽで持っても構わない）。

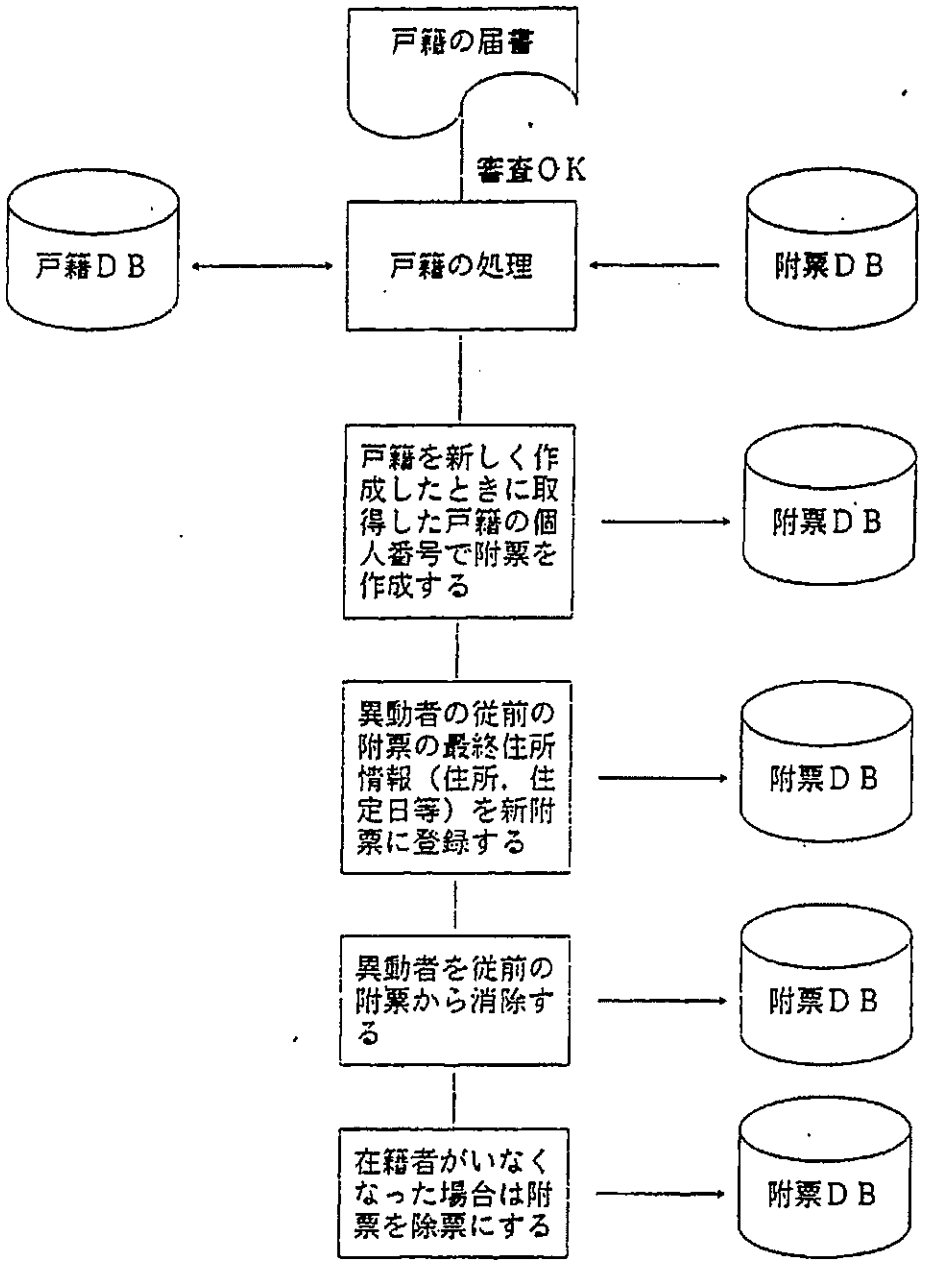
データベースの種別は問わない。

項目長，コード化の有無はシステムの内容により変更可能である。

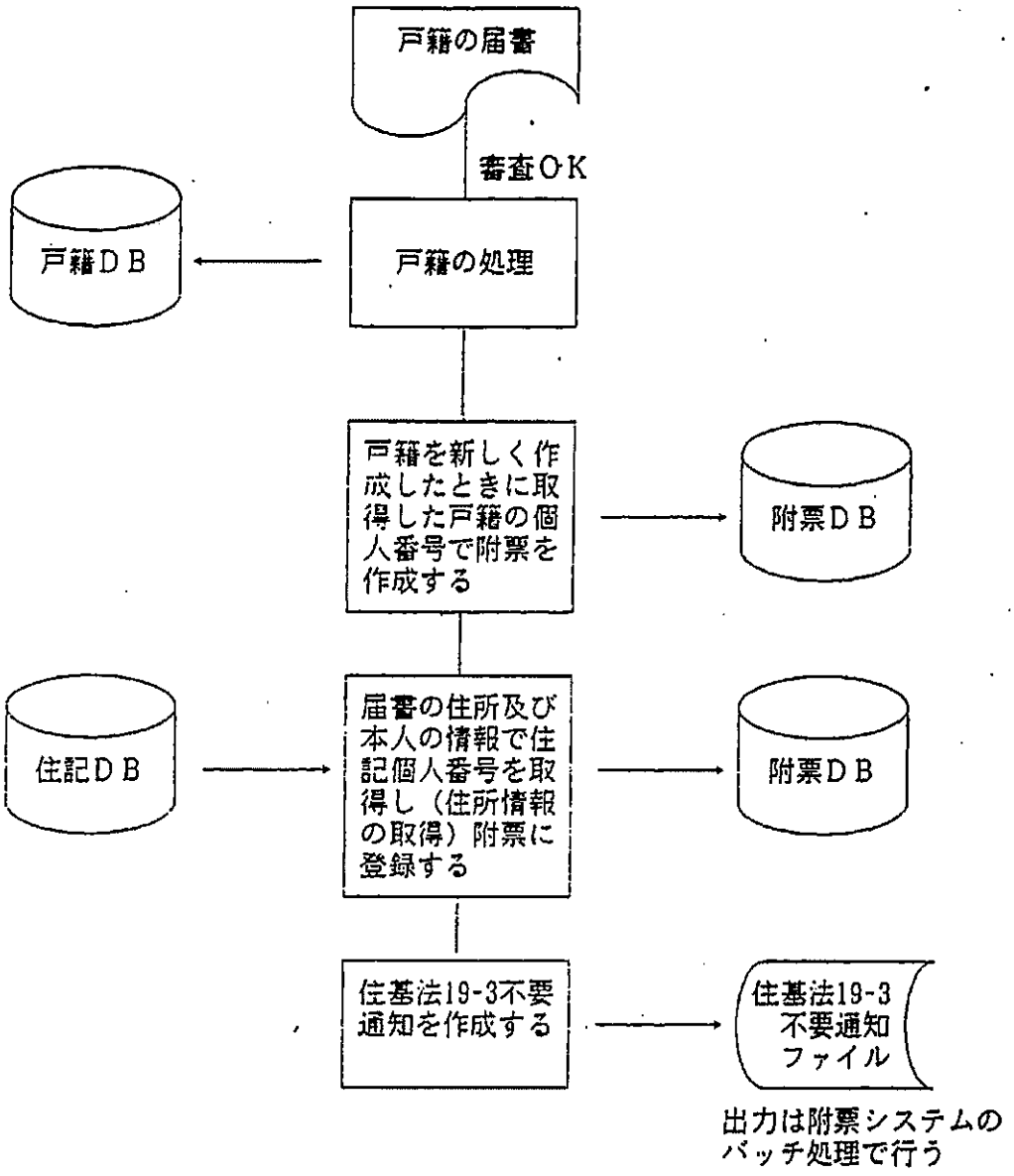
4．(1) Ⅲ－1－1－1	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



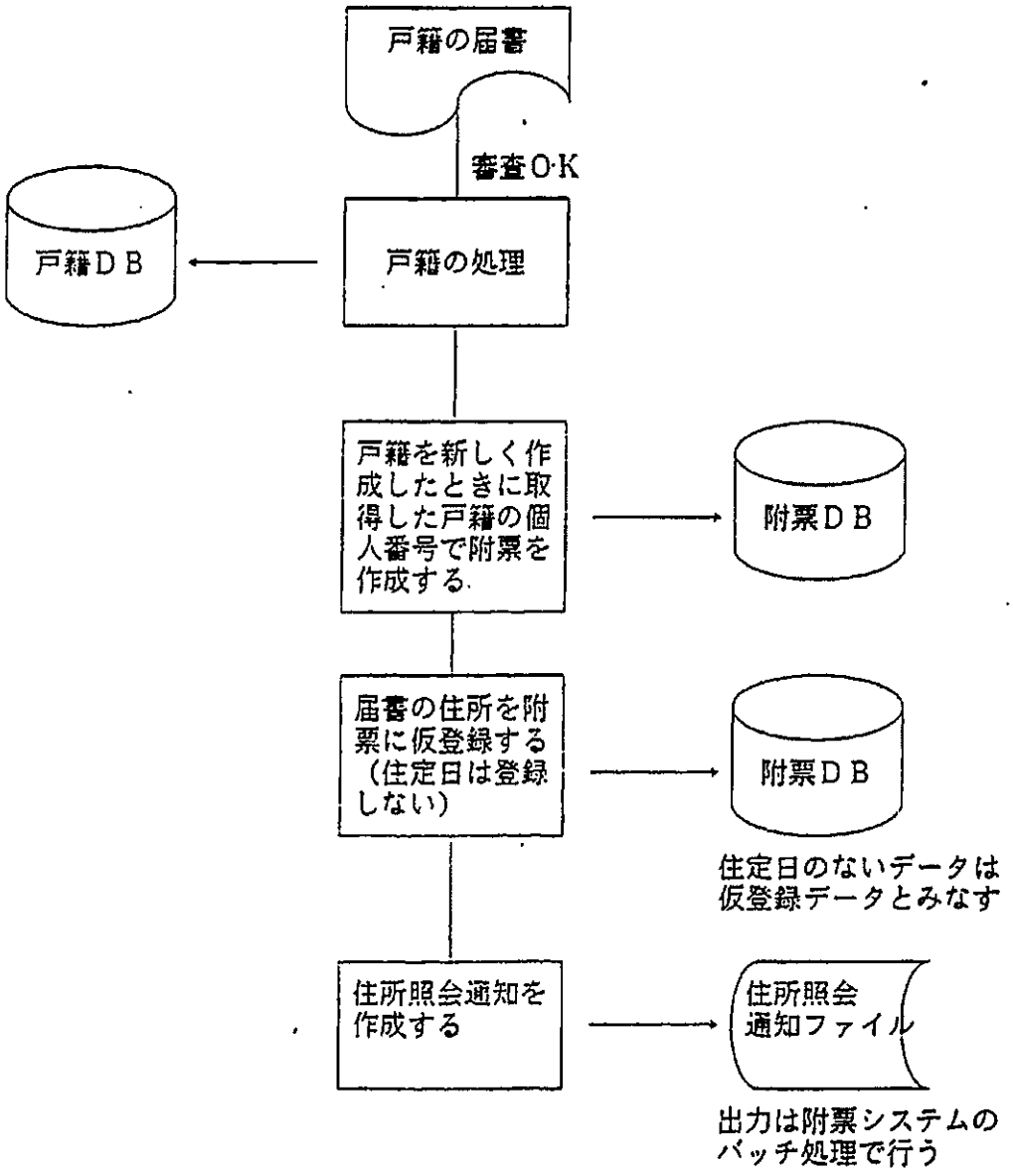
4．(1) Ⅲ－1－1－2	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



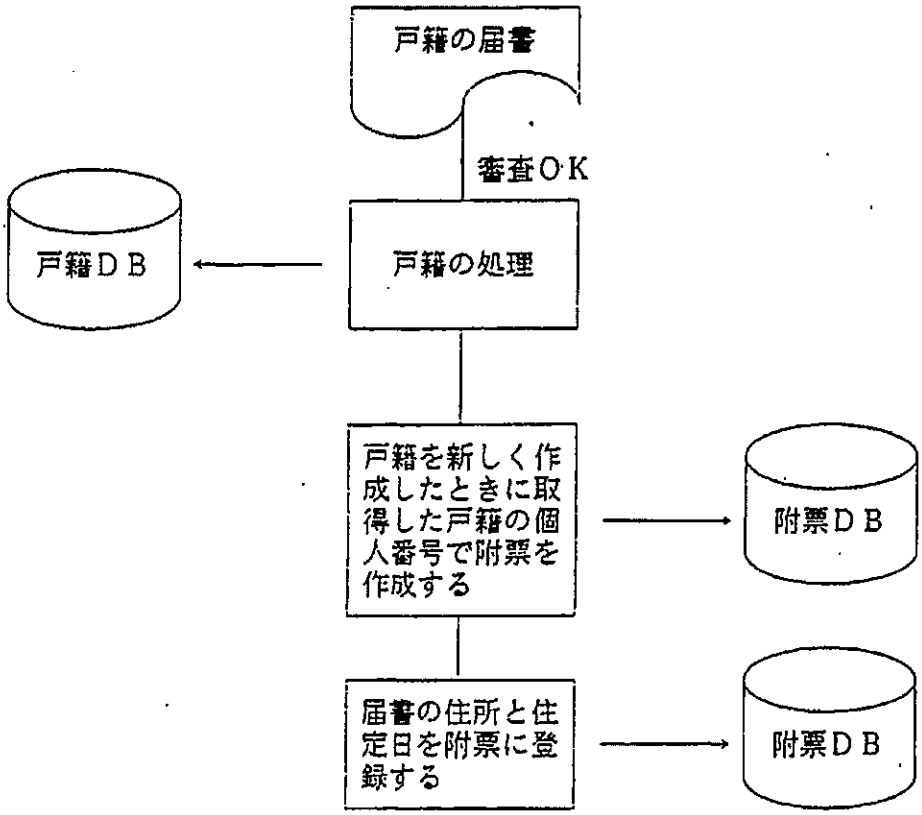
4．(1) Ⅲ－1－1－3	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



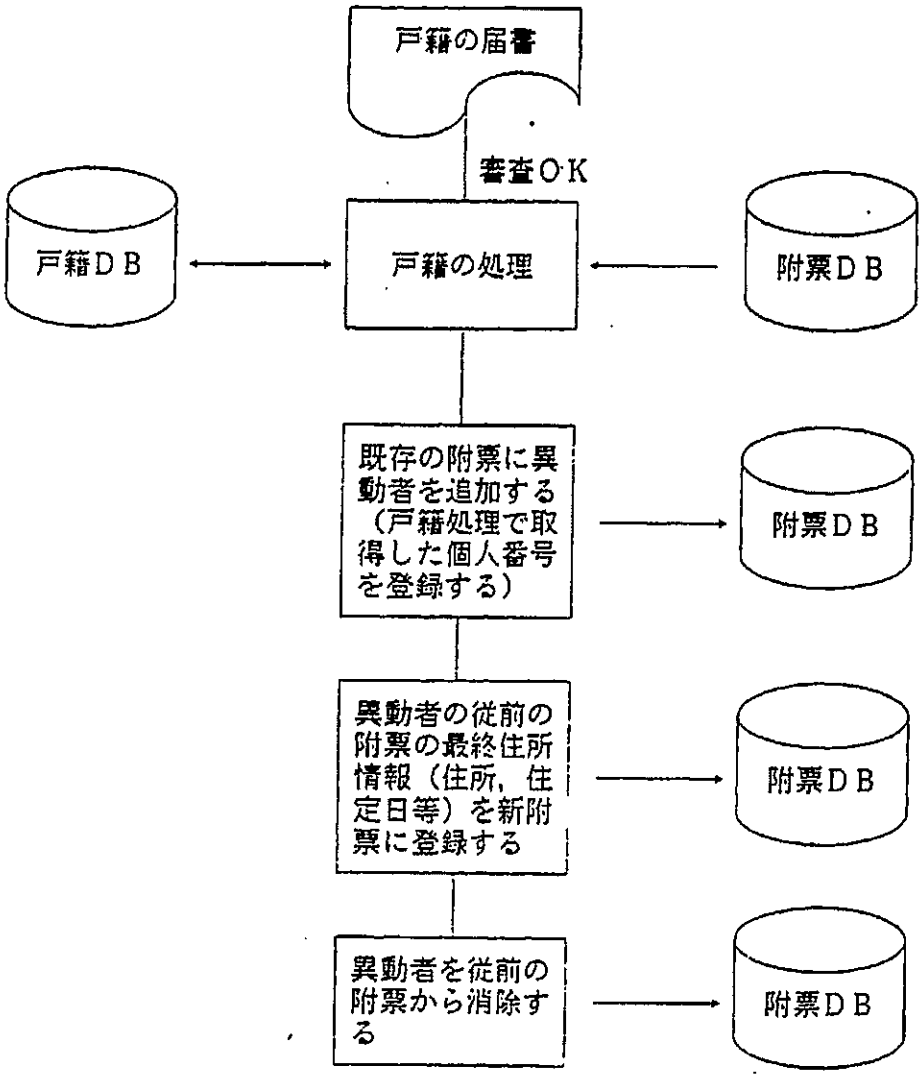
4．(1) Ⅲ－1－1－4	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



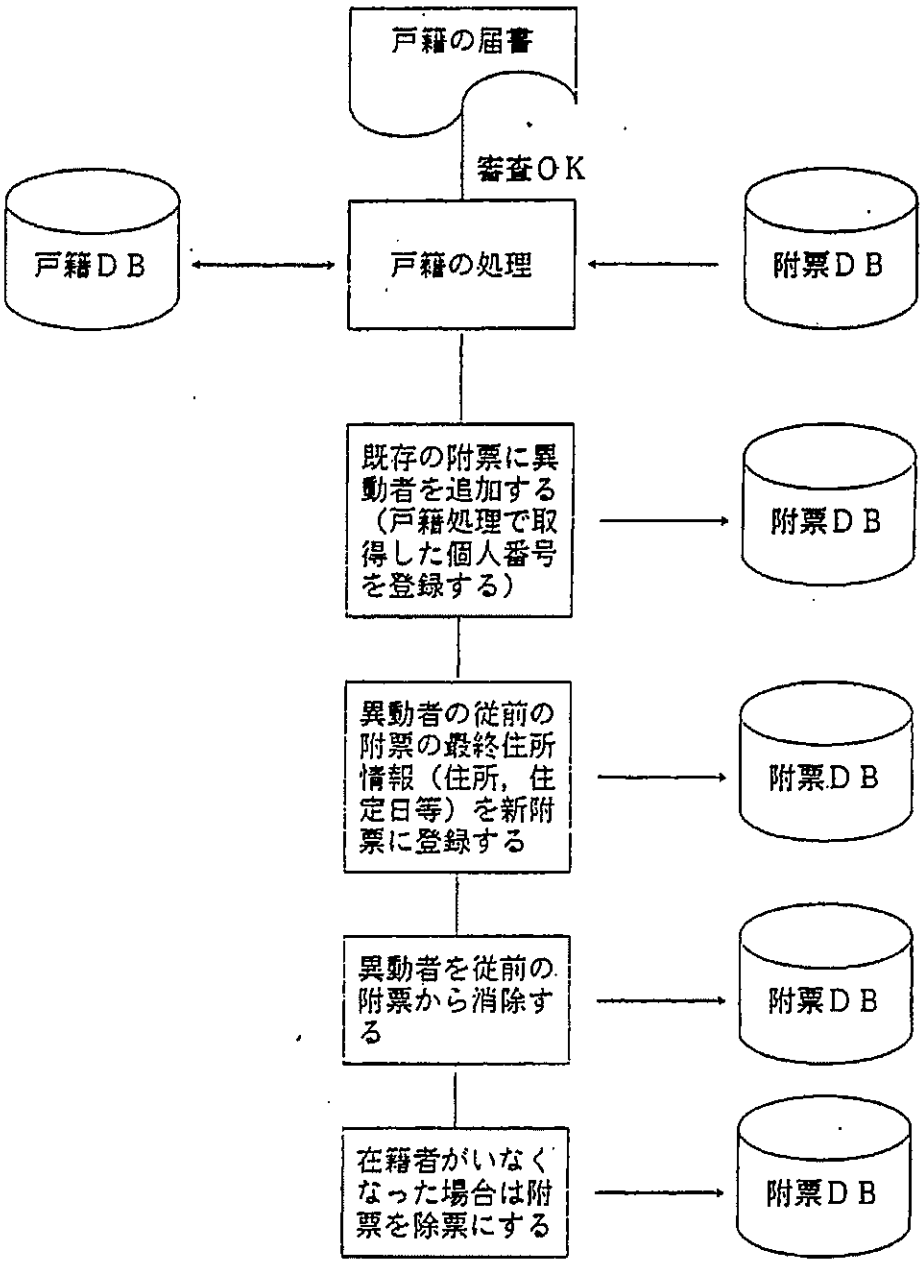
4．(1) Ⅲ－1－1－5	新しい戸籍を編製することによる附票の作成 ―― 帰化等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



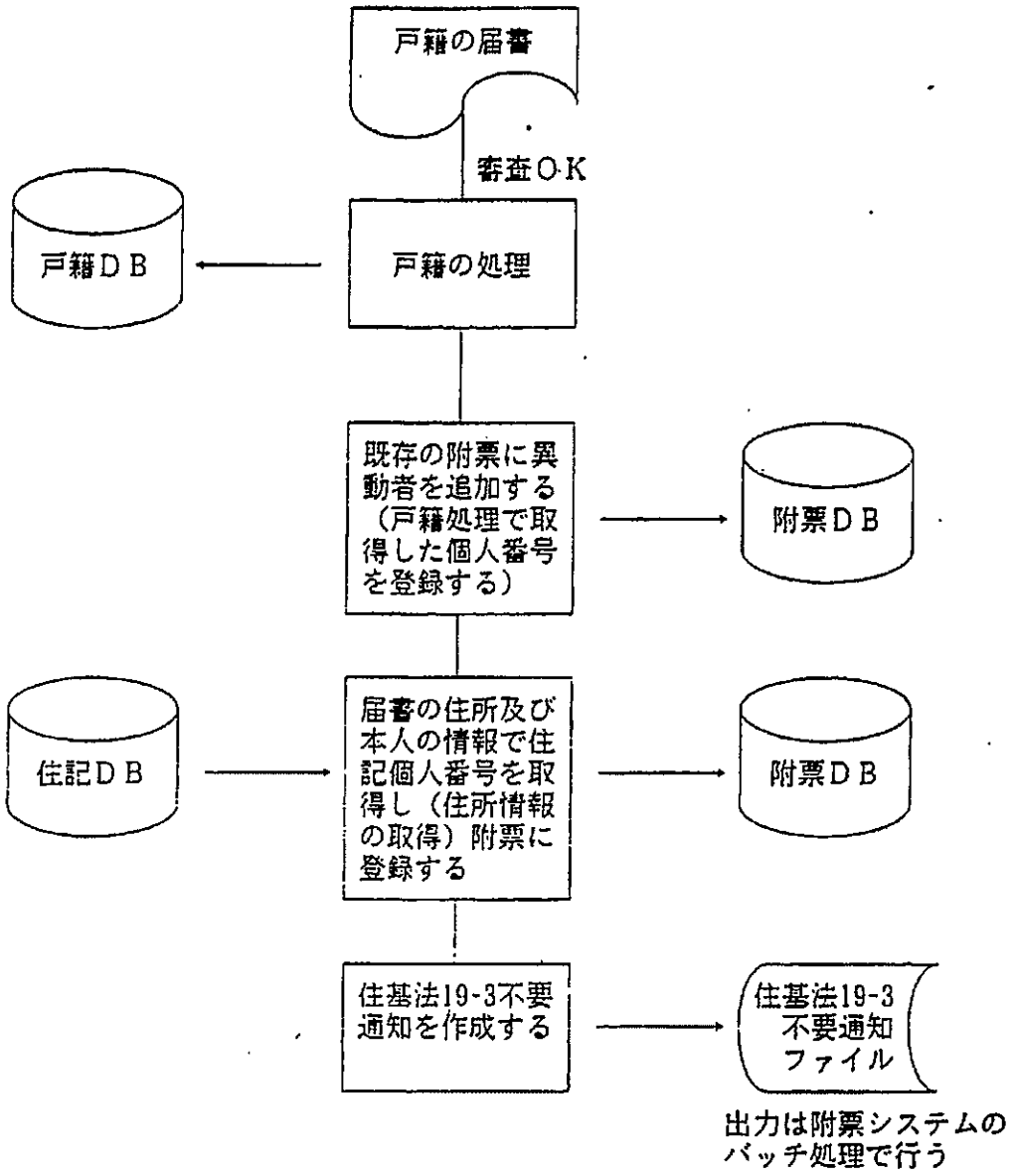
4．(1) Ⅲ－1－2－1	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が一部消除） ――	頁　数 1／1



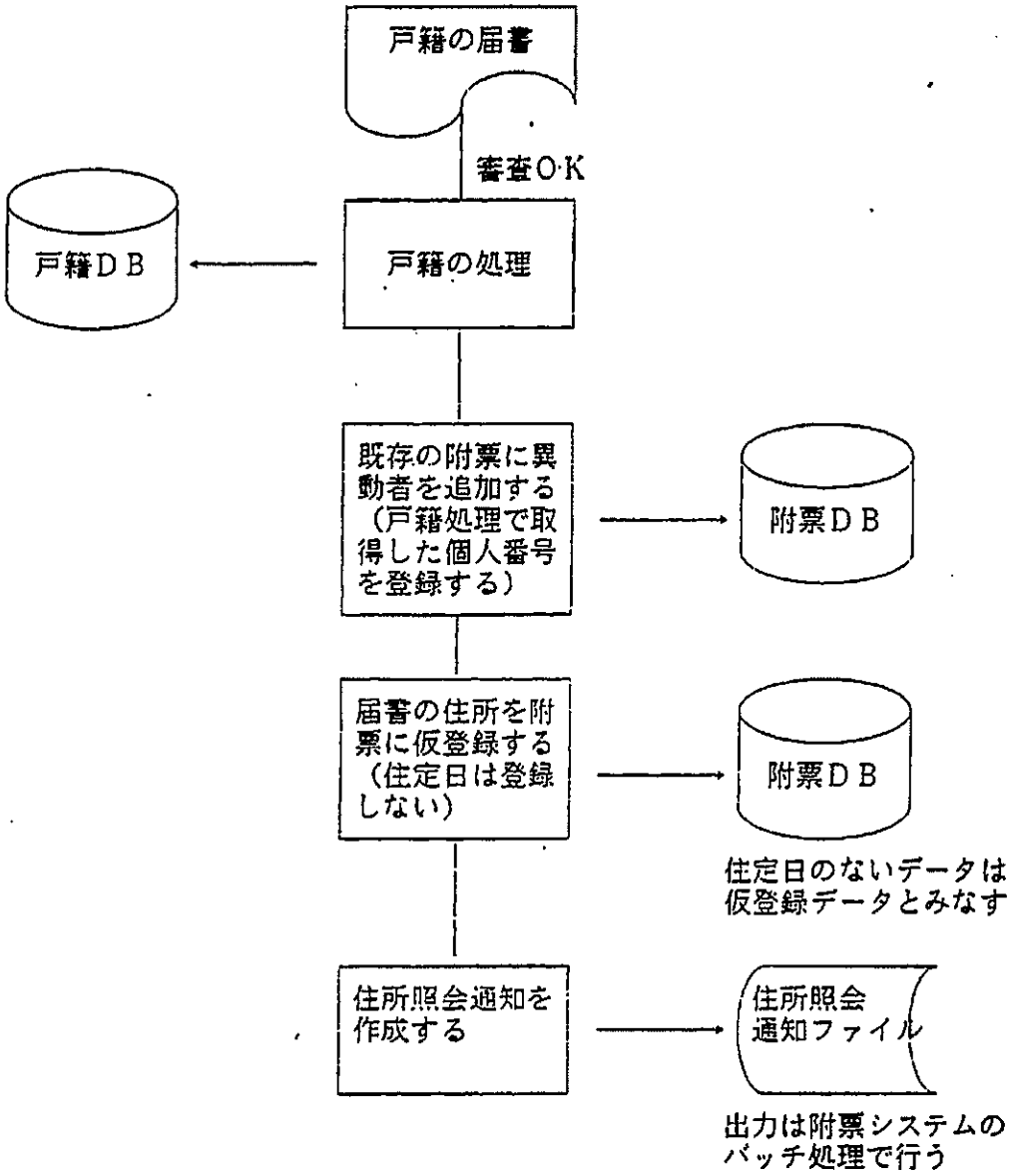
4．(1) Ⅲ－1－2－2	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 同一本籍内で異動する場合（従前の附票が全部消除） ――	頁　数 1／1



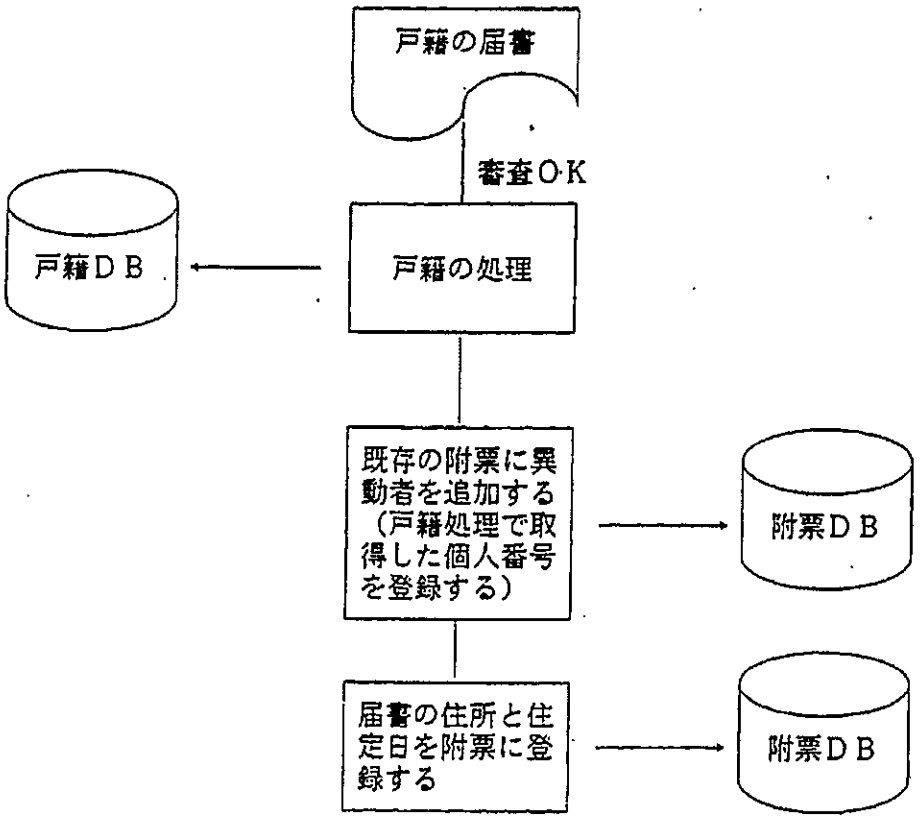
4．(1) Ⅲ－1－2－3	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（住所人） ――	頁　数 1／1



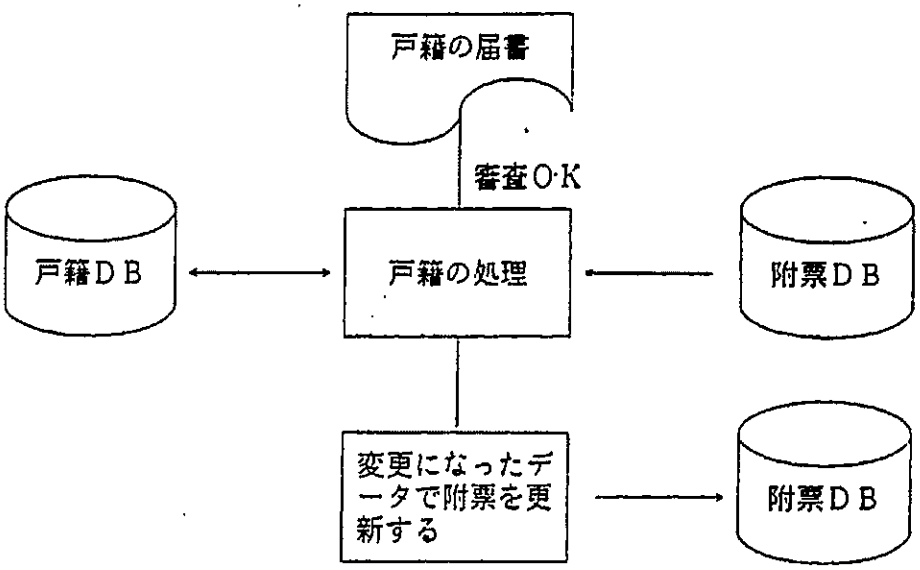
4．(1) Ⅲ－1－2－4	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 他の本籍地から異動してきた場合（非住所人） ――	頁　数 1／1



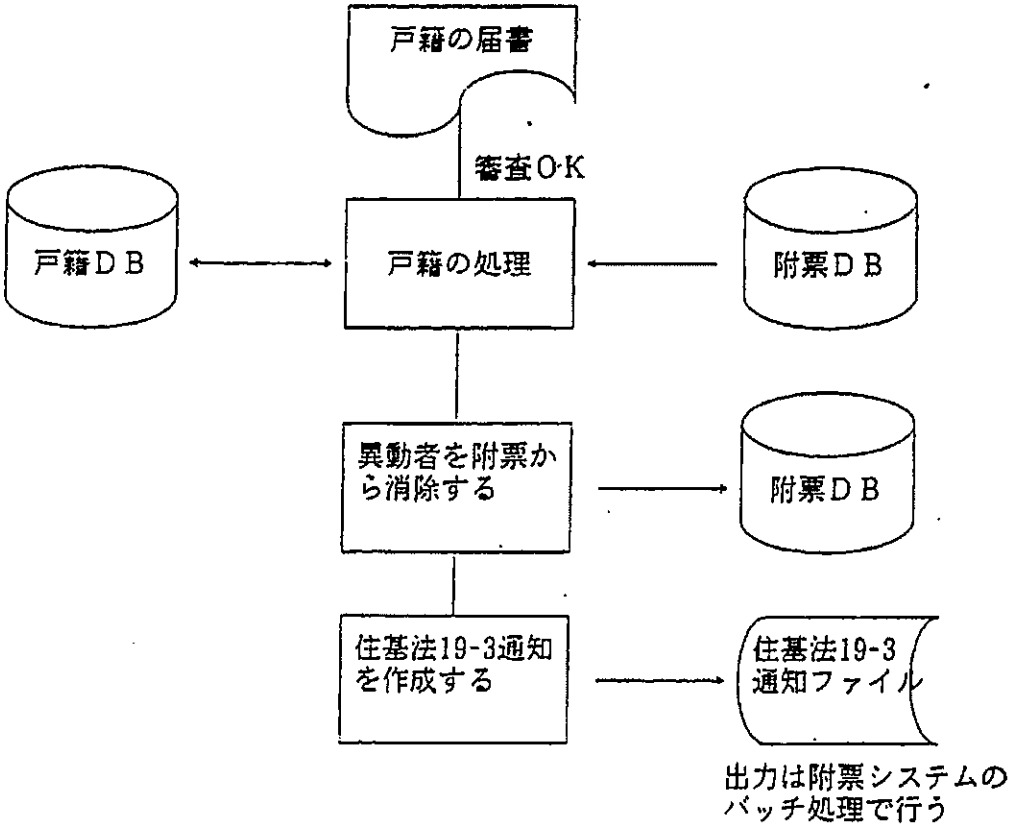
4．(1) Ⅲ－1－2－5	既存の戸籍へ入籍することによる附票の記載 ―― 出生等で住所，住定日が届書から確定できる場合 ――	頁　数 1／1



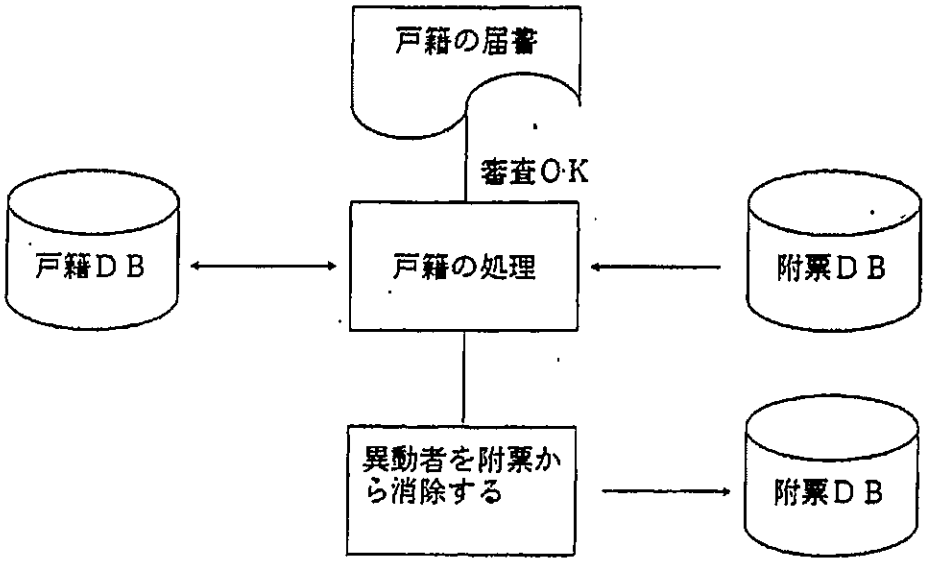
4．(1) Ⅲ－1－3	戸籍の記載を変更したことによる附票の修正 ―― 氏名変更，管内転籍等 ――	頁　数 1／1



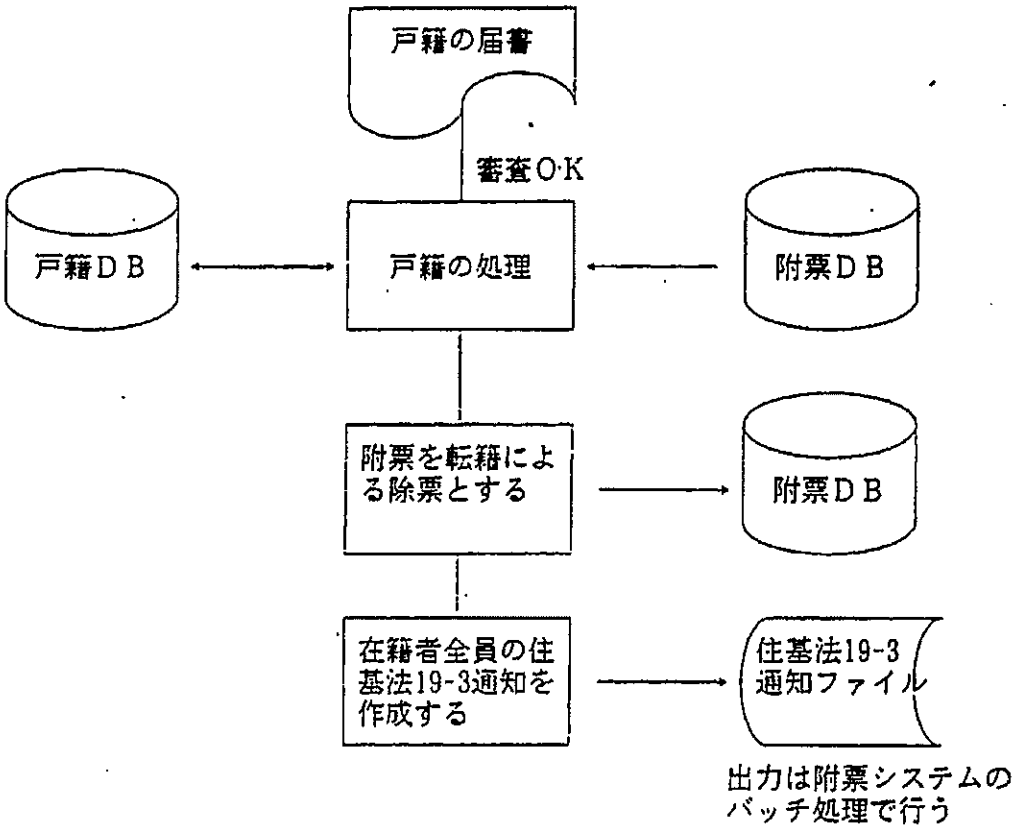
4．(1) Ⅲ－1－4－1	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



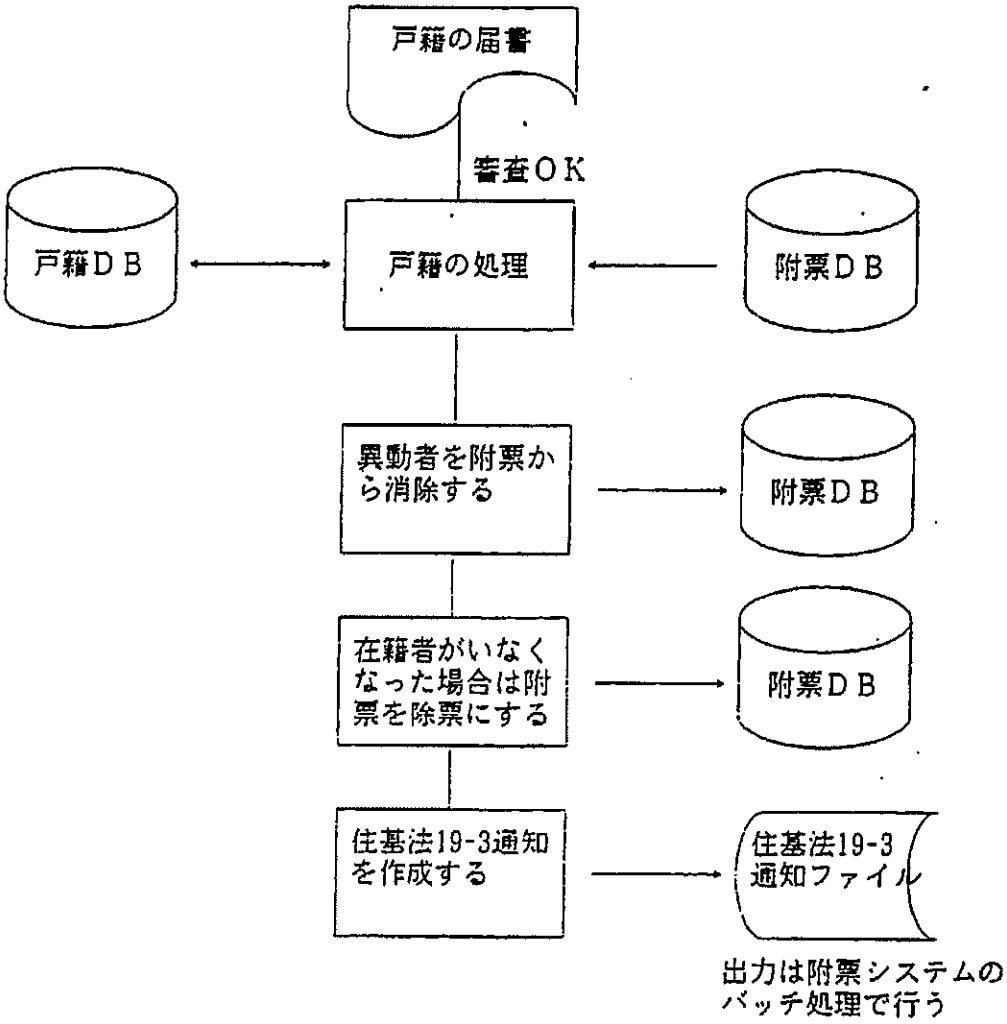
4．(1) Ⅲ－1－4－2	戸籍から除かれたことによる附票の一部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



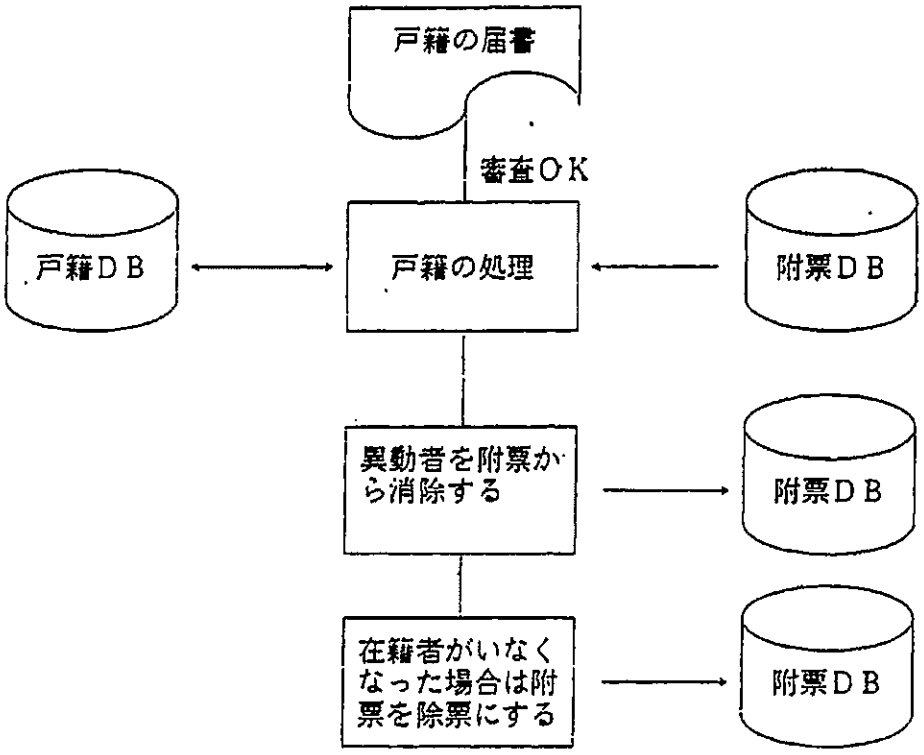
4．(1) Ⅲ－1－5	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 管外転籍 ――	頁　数 1／1



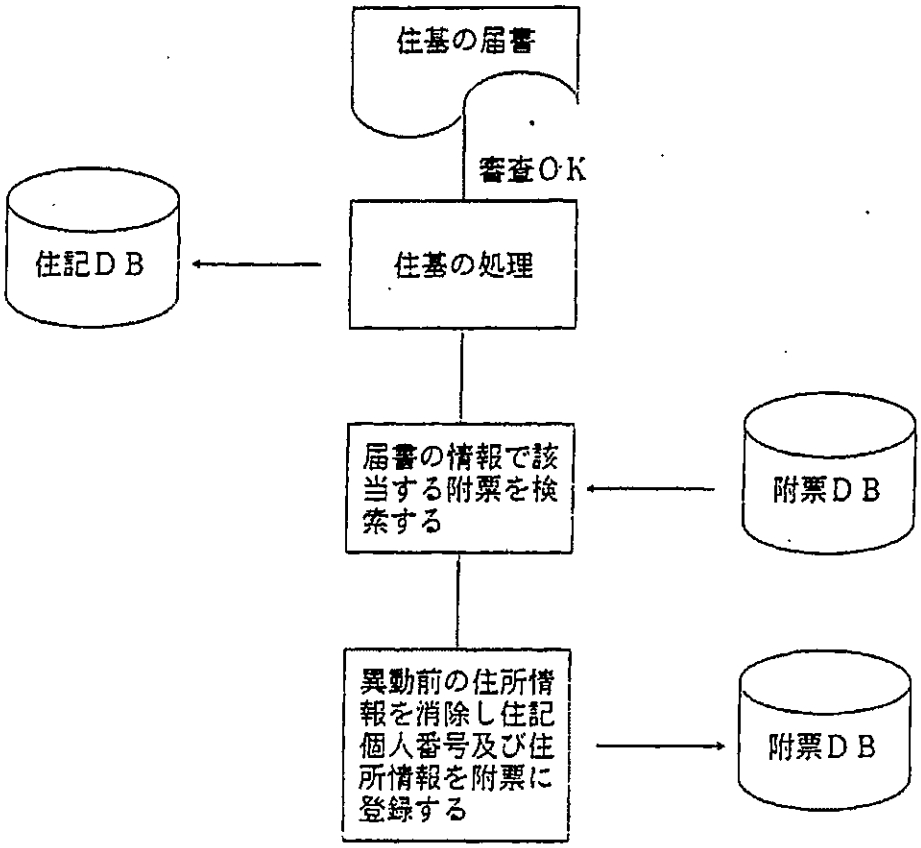
4．(1) Ⅲ－1－6－1	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 他の本籍地へ異動する場合 ――	頁　数 1／1



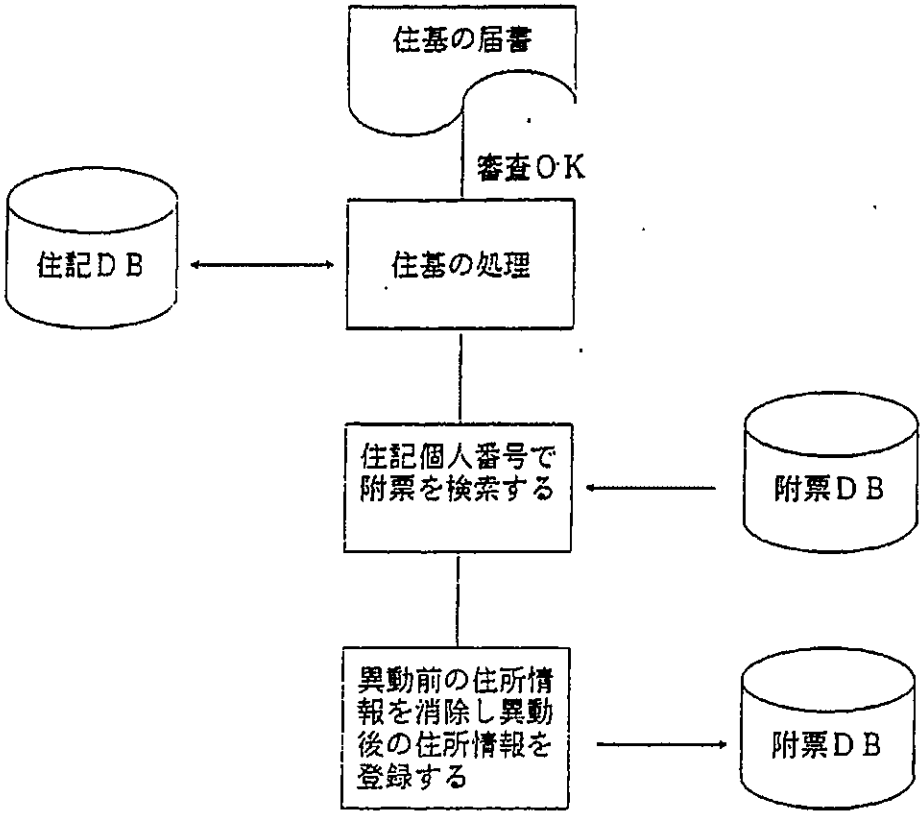
4．(1) Ⅲ－1－6－2	戸籍から除かれたことによる附票の全部消除 ―― 死亡等で他への異動がない場合 ――	頁　数 1／1



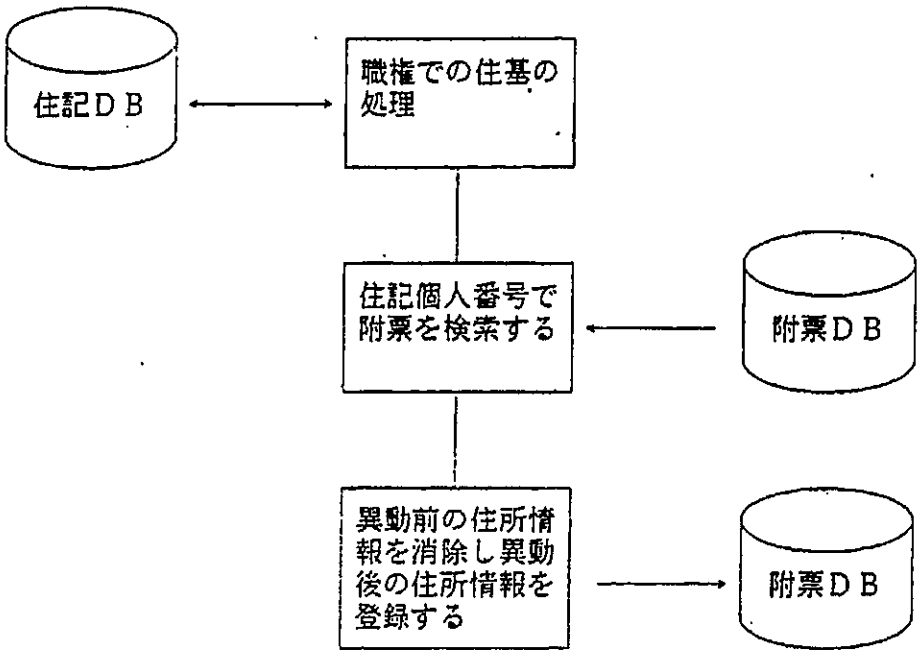
4．(1) Ⅲ－2－1－1	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍地に転入してきた場合 ――	頁　数 1／1



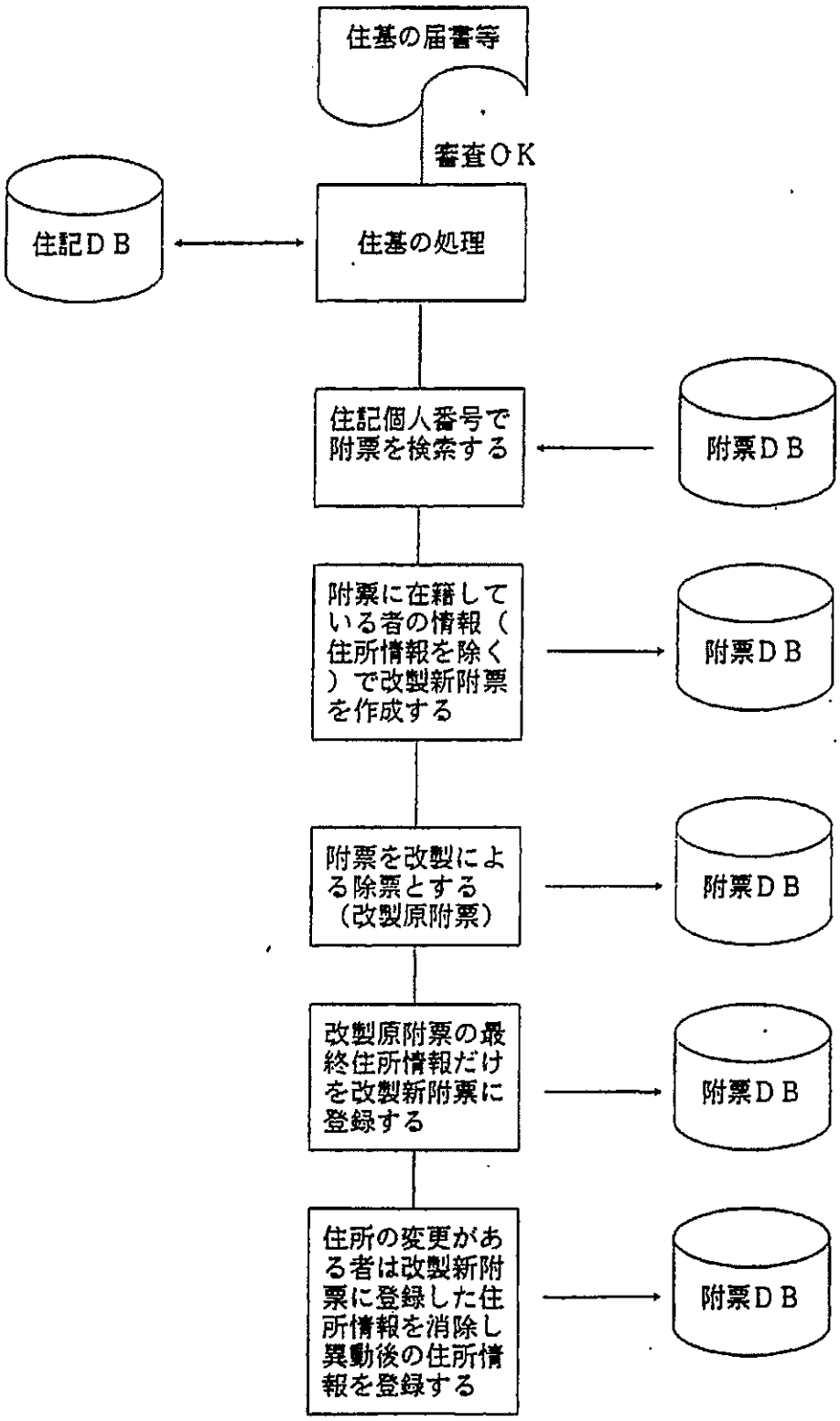
4．(1) Ⅲ－2－1－2	住民基本台帳法に基づく届出による附票の修正 ―― 本籍人である住所人が転居等をした場合 ――	頁　数 1／1



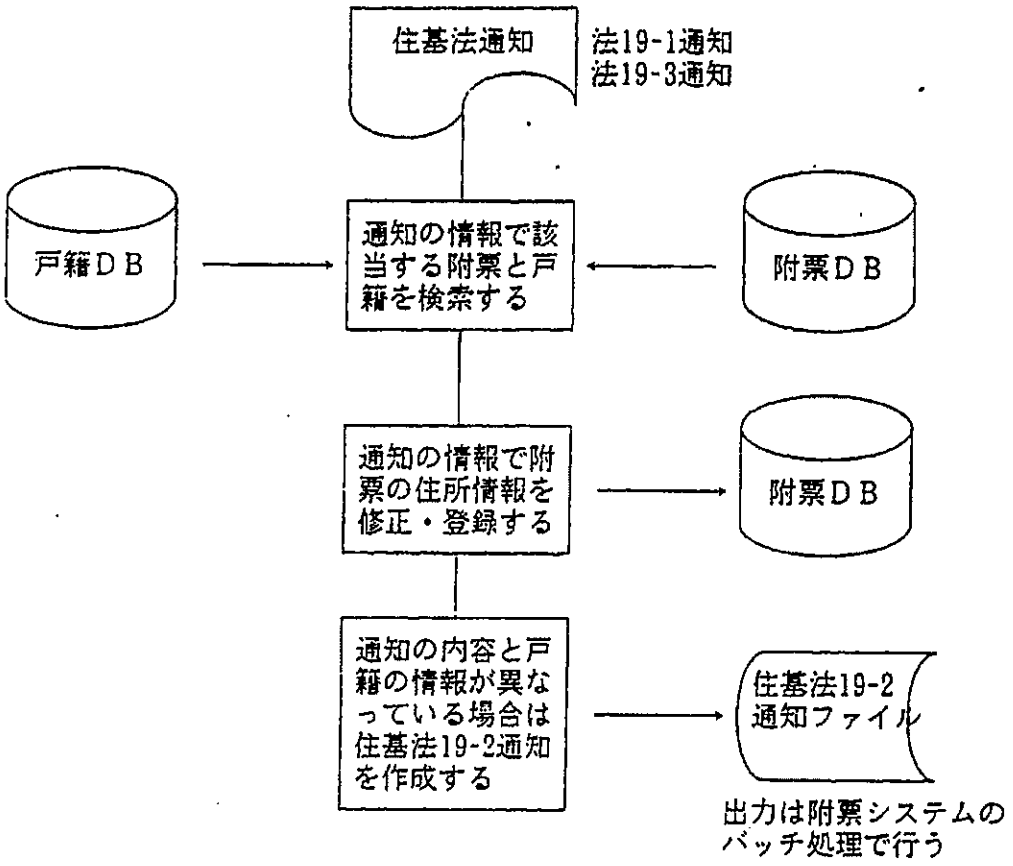
4．(1) Ⅲ－2－2	職権での住民票修正による附票の修正 ―― 住所人が本籍人の場合 ――	頁　数 1／1



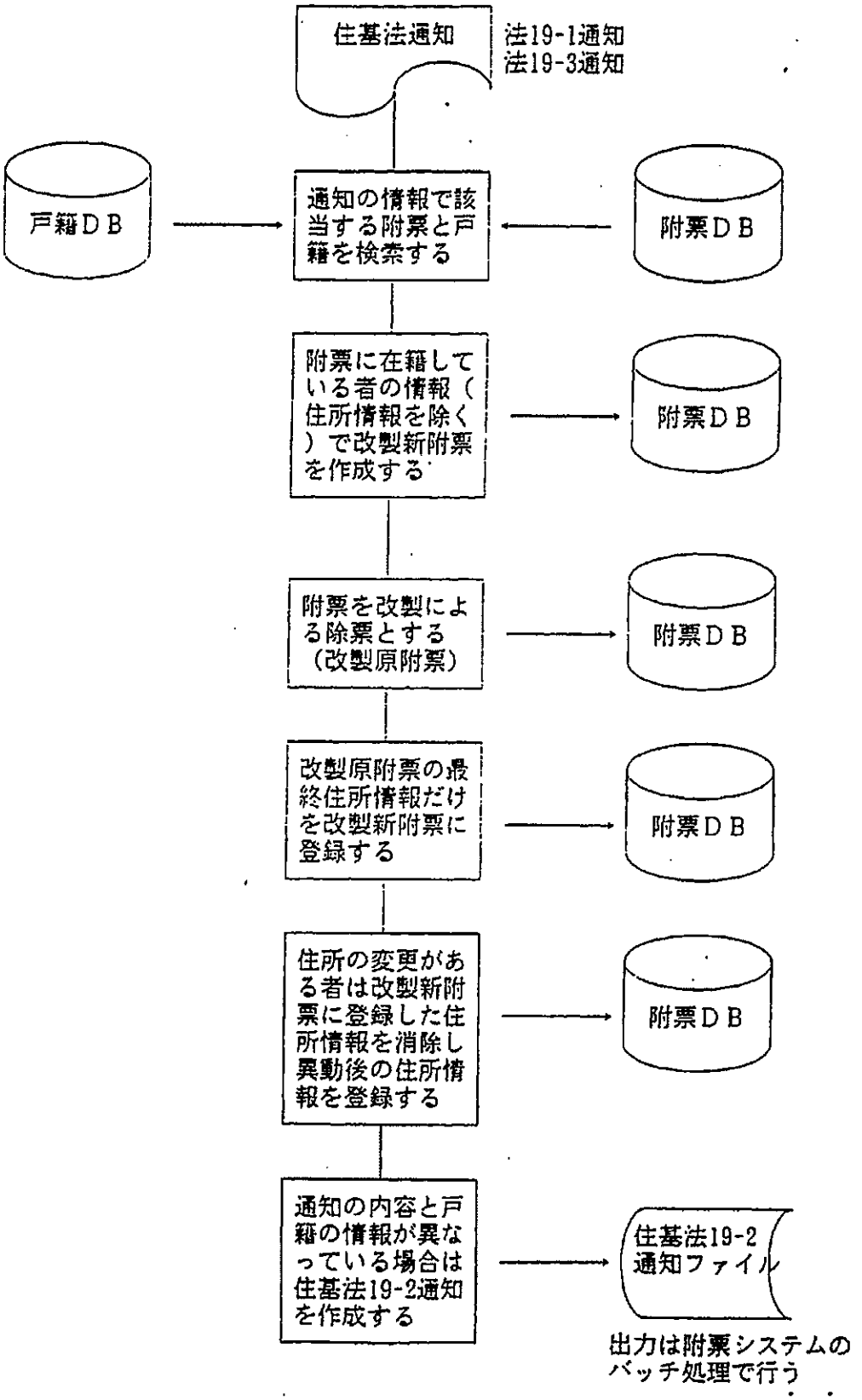
4．(1) Ⅲ－2－3	住民基本台帳法に基づく届出又は職権での住民票修正による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



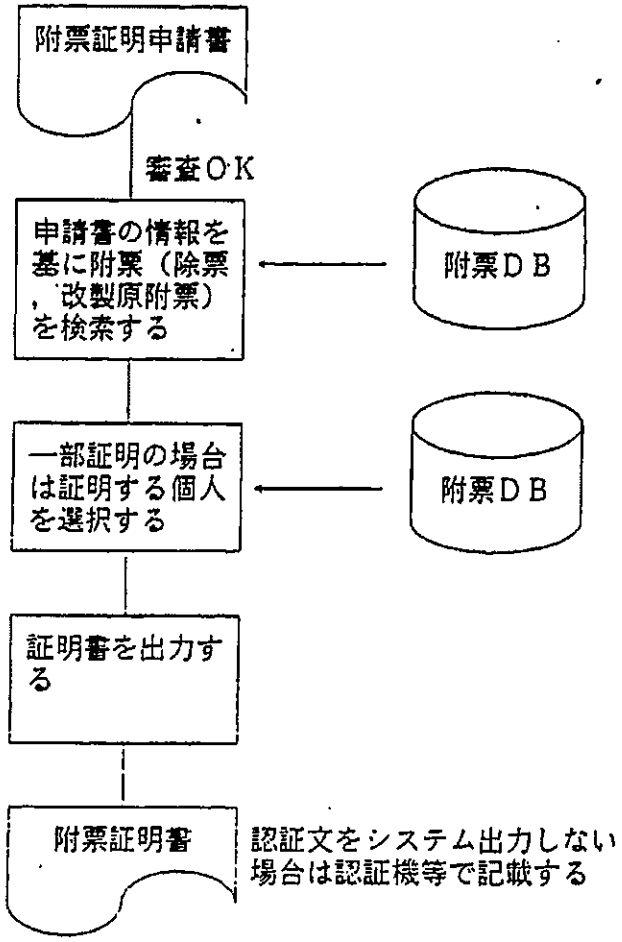
4．(1) Ⅲ－3－1－1	住民基本台帳法の通知による附票の修正	頁　数 1／1



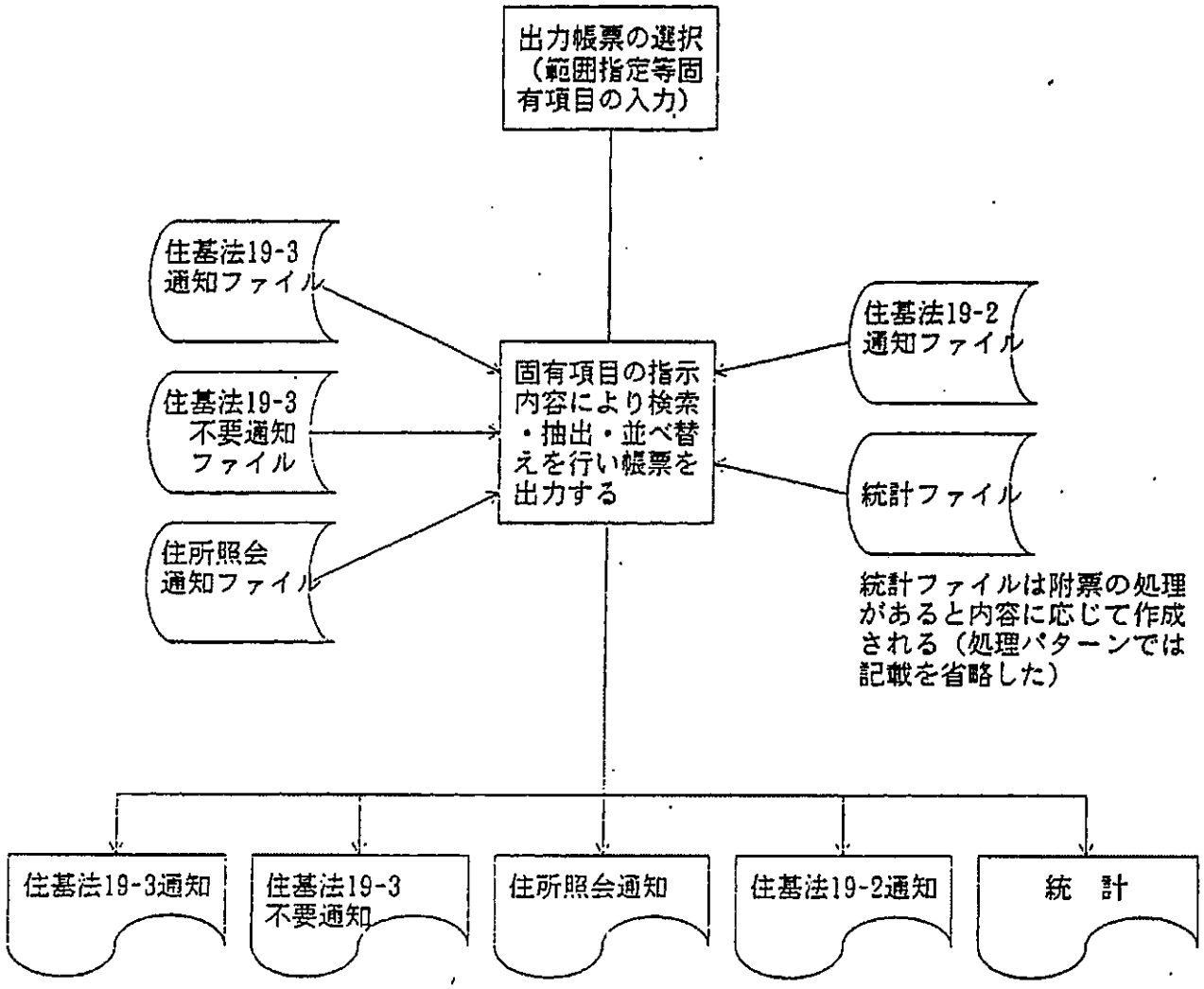
4．(1) Ⅲ－3－1－2	住民基本台帳法の通知による附票の修正 ―― 附票が改製される場合 ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－2	証明書発行処理 ―― 附票・除票・改製原附票（一部証明，全部証明） ――	頁　数 1／1



4．(1) Ⅲ－3－3	各種帳票出力処理	頁　数 1／1



4．(1) 別　紙	附票の改製方法	頁　数 1／2

① 附票にいる者の１人を改製することで全員が改製となる方法

〔附票ＤＢ：異動前〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	

附票の改製方法

② 改製の条件にあった者だけを改製する方法

〔附票ＤＢ：異動前〕は①と同じ

住所を「住所ＥＥＥ」から「住所ＦＦＦ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	
	4	
	5	
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ

さらに住所を「住所ＦＦＦ」から「住所ＧＧＧ」に変更したとき

〔附票ＤＢ：異動後〕

河野　太郎	1	住所ＥＥＥ
	2	住所ＦＦＦ
	3	住所ＧＧＧ
	4	
	5	
花子	1	住所ＦＦＦ
	2	住所ＧＧＧ
	3	
	4	
	5	

〔改製原附票ＤＢ〕

河野　太郎	1	住所ＡＡＡ
	2	住所ＢＢＢ
	3	住所ＣＣＣ
	4	住所ＤＤＤ
	5	住所ＥＥＥ
花子	1	住所ＢＢＢ
	2	住所ＣＣＣ
	3	住所ＤＤＤ
	4	住所ＥＥＥ
	5	住所ＦＦＦ

5．まとめ

(1) 検討項目内容

まとめとして，当戸籍附票システム部会で検討された議題とその経緯及び結論を示す。また，議題の中には法令に係わる部分等，自治省・法務省の検討を待たなければ結論が出せない問題もいくつかあったが，それについては当部会での検討経緯だけを示す。

ア) 戸籍の附票をシステム化するメリット

〔結論〕・現在の可視台帳処理では，附票への記載処理が遅い（住民基本台帳法第19条1項通知及び同法第19条3項通知の作成が遅いため）が，システム化により迅速に処理できると考えられる（通知及び記載の双方とも）。当然住民サービスの向上につながる。

・システムで処理するので，現在よりは転記ミスが少なくなると予想される（職員の負担軽減）。

イ) 附票システムの独立性について

〔問題〕附票がシステム化された場合，戸籍．住記のどちらのシステムに属するのか。

〔経緯〕・附票の所有する項目からみれば，戸籍との共通点が多いため，戸籍に属するといえる。

・運用の面からみれば，附票は単独で稼動されるシステムであるので，どのシステムにも属さず，独立であるといえる。

〔結論〕データの持ち方については作成する市町村に一任する（ただし，不適なデータの規制は行う）。

附票システムは独立である。

ウ) 附票の履歴の考え方

〔経緯〕・住民基本台帳法では，住所が変更されたときに前のデータを履歴として残しておくことも，残しておいた場合にその証明書を出すことも規定はしていない。したがって，最新住所のみを現在附票とし，前住所は改製原附票としても構わないと考える。

・附票の履歴の証明を必要とする事務はいくつかある（登記，車検，国外転入等）。

・以前の住所が改製原附票でしか証明できないとすると，住民の負担増につながる（金銭面から）。

・現在は附票の記載欄に余白が無くなったとき，附票の汚損・き損が著しいときに附票の改製が認められるが，システム化ではこの考えでの改製は無くなると予想される。システム化では附票の履歴を無限に持つのだろうか。

〔結論〕種々の事務との関連上，附票の履歴を無くすのは問題がある。
システム化でも，現在の改製の考えを踏襲する方法を考えるべきではあるが，その内容については自治省，法務省両省で考えていただきたい。

〔報告書での記載〕2．(3) 改製の方法
4．(1)．エ) システム化後の改製について

エ) 附票のセットアップ

〔経緯〕・附票のセットアップは改製と同じとみなし，最新住所だけ移記するとした方がよい（費用が安くあがる，職員の作業軽減にもなる）。
・改製することで可視台帳は改製原附票となり，5年後は廃棄されることにより住所の履歴がなくなる（住民サービスの低下となる）。
・現在も強制改製を行っていることを考えれば，住民サービスの低下になるとは思えない。

〔結論〕この方法についても自治省，法務省両省で考えていただきたい（メリット，デメリットを再度検討する必要がある）。

オ) 附票を作成するときの住記番号の取得について

〔問題〕附票を作成するとき，住所人に関しては住民記録データベースから住記番号を直接取得したい。

〔経緯〕・「行政機関の保有する電子計算機に係る個人情報の保護に関する法律」（個人情報保護法）の第9条1項の条項に引っ掛かるのではないか。
・住記番号は住民基本台帳法で定めた住民票の項目には無いため（システム化により必要となる特別なデータ），取得してよいとの明文化はできない。
・税システム等では住記番号の取得を容認している事例がある。

〔結論〕住民記録システムを主として考え，住民記録システムから附票システムへ住記番号を渡してやるという前提であれば，取得しても構わないと考える。

カ) 誤字・俗字の住基窓口対応

〔問題〕平成2年10月20日法務省民二第5200号通達で，戸籍の異動があったときに誤字・俗字を正字に引き直して構わないとのことである（常に引き直しができるということではない）が，住基の窓口でも引き直して構わないとしてほしい。

〔経緯〕・住基の届出が多い現在では，住基の窓口でこの処理を行わせることにより，誤字・俗字の解消が早まる。ひいては，戸籍コンピュータ化でのセットアップ時の職員の負荷が軽減される。
・住基の窓口では戸籍原本がないため，誤字・俗字が戸籍に記載されている文字同じとの確認がとれない。また，戸籍の一部の処理形態でしか引き直せないので，住基の窓口ではその判断がつかない。

・住所と本籍が同一の市町村にいる者だけを対象にするとか，手続きの方法を考えるなどして，何とか住基窓口でも対応できないものか。

〔結論〕現状では難しいとのことであるが，法務省で再度前向きに考えていただくよう要望する。

キ) 戸籍の附票事務のシステム化の範囲

〔経緯〕・住民基本台帳法第19条２項通知は手書きとすべきである。件数が少なく電算化のメリットも考えにくい。

・附票で必ず必要となる処理と，オプション処理とに切り分けるべきである。

〔結論〕戸籍の附票事務はそれほど多くなく，また，特別煩雑でシステム化に適していない事務は無いと思われるので，一応すべての事務をシステム化範囲とする。

オプションについては市町村に一任されるものでり，本報告書で切り分ける必要はない。

〔報告書での記載〕３．(1) 〔附票システム〕の範囲

6．参考資料

(1) 画面展開図

高野太郎が東京都台東区に転入したことにより，台東区（住所地）から千代田区（本籍地）へ住民基本台帳法第19条1項通知が送付され，それに基づいて附票処理する事例の画面展開図を表す。各画面の展開内容は以下のとおりである。

① 附票メニューから住基法19条1項通知処理を選択する（画面1）。
② 検索画面から該当者検索情報を入力する（画面2）。今回はカナ氏名を検索条件とする。
③ 該当附票一覧が表示されるので，合致する附票を選択する（画面3）。
④ 附票に記載されている者の一覧画面から該当者を選択する（画面4）。
⑤ 該当者の附票情報が表示される。該当者に間違いがないか確認する（画面5）。
⑥ 附票修正画面では現在の住所が旧住所欄に表示される（画面6）。
⑦ 旧住所の消除日と新しい住所の情報を新住所欄に記載する（画面7）。
⑧ 確認すると修正後の附票情報画面が表示される（画面8）。

(2) 帳票仕様

附票システムで作成される帳票仕様を示す。

① 附票の全部証明書
② 附票の一部証明書
③ 附票の除票の全部証明書
④ 改製原附票の全部証明書
⑤ 住民基本台帳法19条2項通知
⑥ 住民基本台帳法19条3項通知

附　票　業　務　メ　ニ　ュ　ー

H 5. 3. 31

1．検　索　処　理

2．住基法１９条１項通知処理

3．住基法１９条３項通知処理

4．修　正　処　理

5．附票の写し発行処理

6．住基法通知発行処理

7．統　計　処　理

業務選択番号　2

『業務を選択して下さい』

該　当　附　票　一　覧　　H 5. 3. 31　／

検索						
	カナ氏名	コウノ　タロウ				
	漢字氏名					
	本　　籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名　／　筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01					
02					
03					
04					
05					
06					

該当番号

『該当者検索を行って下さい』

該当附票一覧

H 5. 3. 31　1／2

検索	カナ氏名	コウノ タロウ				
	漢字氏名					
	本籍					
	筆頭者					
	生年月日		戸籍個人番号		住記個人番号	

No.	本人氏名 ／ 筆頭者	生年月日	編製日	除票日	改製日
01	河野　太郎	M40. 2. 4	S23. 4. 1	S58. 12. 20	
	河野　弘	東京都千代田区平河町一丁目１５番地			
02	高野　太郎	S35. 9. 17	S25. 5. 15		
	高野　幸雄	東京都千代田区霞が関一丁目１番地			
03	甲野　太郎	S10. 12. 10	S33. 12. 10		S61. 4. 20
	甲野　太郎	東京都千代田区霞が関二丁目１０番地			
04	小宇野　太郎	S40. 8. 15	S37. 6. 10		
	小宇野　稔	東京都千代田区永田町五丁目３２０番地			
05	高野　太郎	S10. 12. 10	S61. 4. 20		
	高野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			
06	河野　太郎	H 1. 1. 11	H 1. 1. 11		
	河野　太郎	東京都千代田区千代田一丁目１番地			

該当番号　2

『該当する附票を選択して下さい』

附票構成員一覧

H 5. 3.31　1/ 1

編製日	H25. 5.15	除票日		改製日	
本籍	東京都千代田区霞が関一丁目1番地				
筆頭者	高野　幸雄				
記載者数	7	在籍者数	4	除籍者数	3

No.	本人氏名	生年月日	作成日	除籍日
01	高野　幸雄	S 2. 8.27	S25. 5.15	
02	高野　梅子	S 5. 8. 7	S25. 5.15	
03	高野　太郎	S20. 8.15	S28. 7.18	
04	高野　花子	S30. 2. 7	S30. 2. 7	S60. 4.12
05	高野　良子	S31. 8.16	S31. 8.16	S63.11. 3
06	高野　弘子	S33.11. 6	S33.11. 6	H 1. 5.19
07	高野　次郎	S35. 9.17	S35. 9.17	
08				
09				
10				

該当番号　3

『該当する個人を選択して下さい』

個人附票詳細表示

H 5. 3. 31　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住所			
	住定日	作成日	消除日	現除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日		現
04				
05				

『確認して下さい』

附　票　修　正　画　面　　H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	

新情報	
住　所	
方　書	
住定日	
作成日	

『１９条１項通知の情報を入力して下さい』

附　票　修　正　画　面

H 5. 3. 31

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ　タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

旧情報	
住　所	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号
方　書	コーポ東池袋３０３号室
住定日	S55. 4. 4
作成日	S55. 4. 12
消除日	H 5. 3. 31

新情報	
住　所	東京都台東区東上野四丁目１０番
方　書	池の端マンションＡ－５０５号室
住定日	H 5. 3. 27
作成日	H 5. 3. 31

『確認して下さい』

個人附票詳細表示　　H 5. 3. 31　　1/ 1

（編製日）　S25. 5. 15　（除票日）　　（改製日）

本　　籍	東京都千代田区霞が関一丁目１番地		
筆頭者	高野　幸雄		
カナ氏名	コウノ タロウ		
漢字氏名	高野　太郎		
生年月日	S20. 8. 15	除籍日	

No.	住　　所			
	住　定　日	作　成　日	消　除　日	現　除
01	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　千代田マンション２０１２号室			
	昭和 20年 8月 15日	昭和 20年 8月 15日	昭和 54年 4月 8日	除
02	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号　明和荘３号室			
	昭和 54年 4月 2日	昭和 54年 4月 8日	昭和 55年 4月 12日	除
03	東京都豊島区東池袋一丁目１８番１号　コーポ東池袋３０３号室			
	昭和 55年 4月 4日	昭和 55年 4月 12日	平成 5年 3月 31日	除
04	東京都台東区東上野四丁目１０番　池の端マンションＡ－５０５号室			
	平成 5年 3月 21日	平成 5年 3月 31日		現
05				

『確認して下さい』

附　票　の　全　部　証　明　書

（1の1）　全　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者	栴子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
附票に記載されている者 除余　第番	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日
	以下余白

発行番号００１２３４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

附　票　の　一　部　証　明　書

（1の1）　一　部　証　明

編　製　日	昭和５０年８月２０日
本　　籍 氏　　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日
	以下余白

発行番号００２５７４

この写しは戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職印

附　票　の　除　票　の　全　部　証　明　書

除　票	（1の1）	全　部　証　明
編　製　日 消　除　日	昭和５０年８月２０日 平成５年３月３１日	
本　籍 氏　名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者 除　票番	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 【住定日】平成３年４月３日 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５０年８月２０日	
附票に記載されている者 除　票番	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】昭和５３年７月５日	
	以下余白	

発行番号００３５７９

この写しは戸籍の附票の除票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職印

改製原附票の全部証明書

改製原附票	（2の1）	全部証明
編製日 改製除票日	昭和４０年８月２０日 平成４年３月２７日	
本籍 氏名	東京都千代田区平河町一丁目１０番地 河野　義太郎	
附票に記載されている者	義太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	梅子 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日 【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年９月２２日 【住　所】新潟県北蒲原郡紫雲時町大字藤塚浜１２８４番地　紫雲アパート４号室 【住定日】昭和５０年１１月１３日 【住　所】東京都千代田区霞が関一丁目１番１号 【住定日】昭和４０年８月２０日	
附票に記載されている者	太郎 【住　所】東京都千代田区霞が関二丁目１番２号　コーポ自治２０３号室 【住定日】平成３年１月１１日	

発行番号００４３４０

改製原附票の全部証明書

（2の2）　全部証明

	【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５５年１２月１日
附票に記載されている者 除　籍	花子 【住　所】東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番１号 【住定日】平成元年４月１５日
	【住　所】新潟県新潟市米山二丁目４番１号 【住定日】昭和５７年３月３日
	以下余白

発行番号００４３４０

この写しは改製原の戸籍の附票の原本と相違ないことを証明する。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印

住民基本台帳法第１９条２項通知

訂正通知書（法第１９条２項通知）

住　　所 世 帯 主	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室 河野　義太郎
本　　籍 筆 頭 者	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地 河野　義太郎
氏　名　１ 生年月日 性　別 続　柄	河野　太郎 昭和５５年１２月１日 男 長男
相違事項	本籍 生年月日（河野　太郎）

上記のとおり相違ありますから通知します。

平成　５年　３月３１日

何市区町村長　　氏　　名　　職　印

住民基本台帳法第１９条３項通知

附票転属通知書（法第１９条３項通知）

新本籍	東京都新宿区歌舞伎町一丁目４番地
旧本籍	東京都千代田区平河町一丁目１０番地
筆頭者	河野　義太郎
異動者　1	義太郎
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者　2	梅子
住所	東京都千代田区霞が関一丁目１番１号　法務マンション１１０１号室
住定日	平成４年１２月３日
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	
異動者	
住所	
住定日	

上記のとおり通知します。

平成５年３月３１日

何市区町村長　　氏　名　　職印